	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1	A		複写機	ふくしゃき	copying machine	文書、図面などを複製する機械。	JIS B 0137	2007							
2	A		静電複写機	せいでんふくしゃき	electrostatic process copying machine	半導体の光伝導性を応用した複写機。	JIS B 0137	2007							
3	A		間接静電複写機	かんせつせいでんふくしゃき	indirect method electrostatic process copying machine	均一に帯電した感光体表面に、原稿像の静電潜像を形成し、これを原版として紙上に可視像を形成する静電複写機。	JIS B 0137	2007							
4	A		乾式間接静電複写機	かんしきかんせつせいでんふくしゃき	dry process indirect method electrostatic photocopying machine	粉状の現像剤を用いて可視像を形成する間接静電複写機。	JIS B 0137	2007							
5	A		アナログ複写機	あなろぐふくしゃき	analog copier	光学レンズを解して、原稿像を直接感光体に結合させて静電潜像をつくり、可視像を形成する複写機。	JIS B 0137	2007							
6	A		デジタル複写機	でじたるふくしゃき	digital copier	画像を(デジタル)電気信号に変換した後、この電気信号によって静電潜像を作り可視像を形成する複写機。	JIS B 0137	2007							
7	A		カラー複写機	からーふくしゃき	color copying machine	原稿と同じ色彩画像が得られる3原色以上の発色機能をもつ複写機。フルカラー複写機ともいう。	JIS B 0137	2007							
8	A		複合機	ふくごうき	multifunction device/peripheral, (MFD/MFP)	複写機にスキャナ機能、プリンタ機能、ファクシミリ機能などを付加した機器。また、プリンタに複写機機能をもたせたものを複合機の範囲に含める[複写機機能をもつとは、市場にて付加機能(オプション)などの付加によって、その機能をもつものを含める。さらに、拡張機能付デジタル複写機も複合機の範ちゅう(疇)に含む。]。	JIS B 0137	2007							
9	A		拡張機能付デジタル複写機	かくちょうきのうつきでじたるふくしゃき	upgradable digital copier	プリンタ機能、ファクシミリ機能などを後付けできる複写機。	JIS B 0137	2007							
10	A		大判複写機	おおばんふくしゃき	large format copier	A2サイズ又は432×539mm(17×22インチ)以上の用紙にコピー可能な複写機。	JIS B 0137	2007							
11	A		大判複合機	おおばんふくごうき	large format multifunction devices/peripheral	プリンタ機能、ファクシミリ機能などが付加されたA2サイズ又は432×539mm(17×22インチ)以上の用紙にコピー可能な複写機。	JIS B 0137	2007							
12	A		複写機機能	ふくしゃききのう	copier function	原稿台ガラスをもち、パソコンを介さずに、複写可能な機能。	JIS B 0137	2007							
13	A		コピーボリューム	こぴーぼりゅーむ	copy volume	ある単位期間に複写されるコピー枚数のことで、通常"1か月"のコピー枚数。	JIS B 0137	2007							
14	A		レディモード	れでぃもーど	ready mode	既にウォームアップが完了しているが低電力モードには移行しておらず、すぐにコピーが可能な状態。	JIS B 0137	2007							
15	A		主走査(方向)	しゅそうさ(ほうこう)	main scanning	読取り系では、光学系の走査方向に対し直角の方向。書込み系では、感光体の軸方	JIS B 0137	2007							
16	A		副走査(方向)	ふくそうさ(ほうこう)	sub scanning	読取り系では、光学系の走査方向。書込み系では、感光体の回転方向。	JIS B 0137	2007							
17	A		解像度	かいぞうど	resolution	デジタル複写機において分解能を表す尺度。読取り解像度は、読取りセンサの画素密度。	JIS B 0137	2007							
18	A		解像力	かいぞうりょく	resolving power	近接した線画、1mm幅の中に何本分離して判別できるかの限界値。一般的には、解像力チャートを用いて判別する。	JIS B 0137	2007							
19	A		階調	かいちょう	tone number	同一色で表現可能な異なった濃度の数。	JIS B 0137	2007							
20	A		模写サイズ	もしゃさいず	copy size	複写可能な最大及び最小の寸法。用紙サイズ及び画像欠け幅で決まる。	JIS B 0137	2007							
21	A		画像欠け幅	がぞうかけはば	image loss	ある寸法の用紙に、余白なく書き込まれた原稿を複写した場合に、用紙の周辺の記録できない範囲。	JIS B 0137	2007							
22	A		ウォームアップタイプ	うぉーむあっぷたいぷ	warm-up time	電源スイッチを入れてから複写動作の開始が可能になるまでの時間。ウェイトタイムとも	JIS B 0137	2007							
23	A		ファーストコピータイム	ふぁーすとこぴーたいむ	first copy time	スタートキーを押してから1枚目のコピー用紙が排出し終わるまでの時間。	JIS B 0137	2007							
24	A		連続複写速度	れんぞくふくしゃそくど	copy speed	連続コピーの場合、2枚目以降に排出されるコピー単位時間当たりのコピー枚数。ただし、連続巻取式の複写機では排出部を通過する単位時間当たりの長さをいう。コピース	JIS B 0137	2007							
25	A		複写倍率	ふくしゃばいりつ	magnification	原稿の画像寸法に対する、複写された画像寸法の倍率。	JIS B 0137	2007							
26	A		給紙容量	きゅうしようりょう	paper capacity	給紙部(カセット、トレイ、デッキなど)に一度に収容できるコピー用紙枚数。ロールペーパの場合は、長さ又は換算枚数。	JIS B 0137	2007							
27	A		リカバリタイム	りかばりたいむ	recovery time	国際エネルギースタープログラムが規定する低電力モードからレディモードまでの復帰時	JIS B 0137	2007							
28	A		ファーストジョブタイム	ふぁーすとじょぶたいむ	first job time	電源スイッチを入れてからコピーが1枚排紙されるまでの時間。	JIS B 0137	2007							
29	A		カートリッジ方式	かーとりっじほうしき	cartridge type	複写機においては、一般に、現像剤、トナー機構部などを容器ごと簡便に交換する方	JIS B 0137	2007							
30	A		タンデム方式	たんでむほうしき	tandem method	機器を複数台つなげて出力する方式、又はカラー複写機において、感光体を含むプロセスユニットを3セット以上(例 C、M、Y、K用)もち、画像形式をする方式。	JIS B 0137	2007							
31	A		給紙	きゅうし	paper feeding	コピー用紙を機内へ送り込む工程。	JIS B 0137	2007							
32	A		自動給紙方式	じどうきゅうしほうしき	automatic paper feed	給紙を自動的に行う方式。	JIS B 0137	2007							
33	A		手差し給紙方式	てざしきゅうしほうしき	manual paper feed, feed bypass	給紙を手で行う方式。マルチ手差し給紙及びシングル手差し給紙がある。	JIS B 0137	2007							
34	A		エアー給紙	えあーきゅうし	air suction feed	空気の吸引によってコピー用紙を機内へ送り込む給紙方式。	JIS B 0137	2007							
35	A		帯電	たいでん	electrostatic charge	露光に先だって、感光体に一様に静電気を帯びさせる工程。通常、コロナ放電による。	JIS B 0137	2007							
36	A		コロナ帯電	ころなたいでん	corona charging	タングステンワイヤなどの電極にコロナ放電開始電圧以上の電圧を印加し、コロナ放電によって感光体を帯電させる方式。	JIS B 0137	2007							
37	A		接触帯電	せっしょくたいでん	contact charging	電圧を印加したローラ、ブラシ、ブレードなどの帯電デバイスを感光体表面に押し当てて帯電させる方式。	JIS B 0137	2007							
38	A		ローラ帯電	ろーらたいでん	roller charging	電圧を印加した導電性弾性ロールを感光体に押し当て感光体とともに接触回転させて帯電させる方式。	JIS B 0137	2007							
39	A		ブラシ帯電	ぶらしたいでん	brush charging	導電性繊維から成るブラシ状繊維を感光体に押し当て電圧を印加して帯電させる方式。	JIS B 0137	2007							
40	A		注入帯電	ちゅうにゅうたいでん	injection charging	接触帯電方式において帯電デバイスと感光体の間との微小ギャップでの放電現象にはよらない帯電方式。	JIS B 0137	2007							
41	A		露光	ろこう	exposure	帯電させた感光体に光像を照射して潜像を形成させる工程。	JIS B 0137	2007							
42	A		静電潜像	せいでんせんぞう	latent image	露光された感光体表面に形成された電荷像。 帯電された感光体表面に露光によって光像を結像させるか、又は電気信号に変換された原稿像を照射し、光の当たった部分の電荷を消失させることで形成される電荷の像。	JIS B 0137	2007							
43	A		画像メモリ	がぞうめもり	memory	読取り後、電気信号に変換された原稿像をいったん保持するための記憶装置。	JIS B 0137	2007							
44	A		フラットベッド	ふらっとべっど	flat-bed	原稿台ガラスをもち、光学系で走査し原稿を読み取る方式。	JIS B 0137	2007							
45	A		シートスルー	しーとするー	sheet-through	原稿を移動させて読み取る方式。	JIS B 0137	2007							
46	A		ホームポジション	ほーむぽじしょん	home position	原稿台、光学系などの反復機構、感光体などの回転機構の複写開始時における基準位	JIS B 0137	2007							
47	A		現像	げんぞう	developing	静電潜像を可視像に変える工程。	JIS B 0137	2007							
48	A		乾式現像	かんしきげんぞう	dry developing	感光体をトナーと呼ばれる粉体で現像する方式。	JIS B 0137	2007							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
49	A		一成分現像	いちせいぶんげんぞう	mono-component developing	キャリア粒子を用いず、トナーだけで現像する方式。 トナーは、磁性及び非磁性の両方がある。	JIS B 0137	2007							
50	A		二成分現像	にせいぶんげんぞう	two-component	キャリアと呼ばれる磁性粒子及びトナーが混合された現像剤を用いた現像方式。	JIS B 0137	2007							
51	A		磁気ブラシ現像	じきぶらしげんぞう	magnetic brush developing	現像剤をマグネットに吸着させ、感光体に接触させることによってトナーを潜像部に付着させて現像する方式。	JIS B 0137	2007							
52	A		複写濃度	ふくしゃのうど	image density	コピーの画像部の濃度。	JIS B 0137	2007							
53	A		かぶり濃度	かぶりのうど	fog density	コピーの非画像部の濃度。通常、局部的よごれは、除く。地かぶり濃度ともいう。	JIS B 0137	2007							
54	A		コントラスト	こんとらすと	contrast	原稿又はコピーにおいて、非画像部濃度と画像部濃度との比。通常、白黒の差のはっきりしたものをコントラストが高いと表現する。	JIS B 0137	2007							
55	A		階調再現性	かいちょうさいげんせい	tone reproduction	写真のような中間調を含む原稿をコピーしたときの濃淡再現性。一般的には、グレースケールで判別する。	JIS B 0137	2007							
56	A		ハーフトーン	はーふとーん	halftone	色の濃淡の中間色調。	JIS B 0137	2007							
57	A		グレースケール	ぐれーすけーる	gray scale	白及び黒を含め、その間の中間色(ハーフトーン)を段階的に濃度を変えて並べたチャー	JIS B 0137	2007							
58	A		黒ベタ	くろべた	solid	線及び文字画像と違い、ある程度以上の幅又は面積のある一様な黒色部分。べたくろと	JIS B 0137	2007							
59	A		ラインコピー	らいんこぴー	line copy	線及び文字によって構成された原稿のコピー。線画像ともいう。	JIS B 0137	2007							
60	A		エッジ現象	えっじげんしょう	edge effect	コピー上の幅広い面積のべた部において、その中央部の濃度が周辺部より薄くなる現象。エッジ効果ともいう。	JIS B 0137	2007							
61	A		現像剤濃度自動調整	げんぞうざいのうどじどうちょうせい	automatic toner density control	2成分現像剤のキャリア及びトナーの混合比率を自動的に制御する機能。	JIS B 0137	2007							
62	A		現像バイアスコントロール	げんぞうばいあすこんとろーる	developing bias control	見やすいコピー画像が得られるように、原稿の種類に応じた電圧を現像器にかける方式。	JIS B 0137	2007							
63	A		ロータリ現象	ろーたりげんしょう	rotary development	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックなどの複数の現像器を回転体に取り付け、各色の現像器を順次感光体に対向させて現像する方式。	JIS B 0137	2007							
64	A		カラーパッチ	からーぱっち	color patch	色の再現性を見るために、標準的な有彩色の短冊をパッチワーク上に並べたチャート。	JIS B 0137	2007							
65	A		転写	てんしゃ	transfer	感光体上の可視像をコピー用紙上に移す工程。	JIS B 0137	2007							
66	A		コロナ転写	ころなてんしゃ	corona transfer	感光体と接触する複写用紙の背面から、コロナ放電によって電荷を与え、感光体表面のトナー像をコピー用紙上に転写する方式。	JIS B 0137	2007							
67	A		ローラ転写	ろーらてんしゃ	roller transfer	表面の電荷を与えたローラを用いて、感光体上の像をコピー用紙上に転写する方式。	JIS B 0137	2007							
68	A		ベルト転写方式	べるとてんしゃほうしき	belt transfer method	ベルトに電荷を付与して、複写用紙を吸着搬送するとともに、感光体上のトナー像を用紙上に転写する方式。	JIS B 0137	2007							
69	A		中間転写方式	ちゅうかんてんしゃほうしき	intermediate transfer method	カラー複写機において、各色の感光体上に作像したトナー像を、あらかじめ中間転写体に転写してから転写紙に転写する方式。	JIS B 0137	2007							
70	A		多重転写方式	たじゅうてんしゃほうしき	multi-transfer method	感光体上に形成された各色トナー像を順次用紙上に転写して、トナー画像を重ね合わせる転写方式。又は、いったん中間転写体上にトナー像を重ね合わせた後、用紙上に一括転写する中間転写方式。	JIS B 0137	2007							
71	A		分離、はく(剥)離	ぶんり、はくり	separation	転写後のコピー用紙を感光体からは(剥)がす工程。	JIS B 0137	2007							
72	A		静電分離	せいでんぶんり	corona separation	コロナ放電によって感光体からコピー用紙を分離する方式。除電分離ともいう。	JIS B 0137	2007							
73	A		エアー分離	えあーぶんり	air separation, (suction separation)	空気の吸引又は吹きつけによって感光体からコピー用紙を分離する方式。サクション分離ともいう。	JIS B 0137	2007							
74	A		つめ(爪)分離	つめぶんり	claw separation	(爪)状の部品を用いて感光体、定着ローラなどからコピー用紙を分離する方式。	JIS B 0137	2007							
75	A		定着	ていちゃく	fixing, fusing	転写された用紙上のトナーを固着させる工程。	JIS B 0137	2007							
76	A		熱定着	ねつていちゃく	heat fixing	熱を利用してコピー用紙上のトナーを定着させる方式。	JIS B 0137	2007							
77	A		熱ローラ定着	ねつろーらていちゃく	heat roller fixing	加熱されたローラ間を通過させることによって、用紙上のトナーを定着させる方式。ヒートローラ定着ともいう。	JIS B 0137	2007							
78	A		ベルト定着	べるとていちゃく	belt fixing	加圧ローラの代わりにベルトを用いて、コピー用紙を熱ローラに圧着させることによって、定着を行う方式。	JIS B 0137	2007							
79	A		フィルム定着	ふぃるむていちゃく	film fixing	耐熱性及び離型性をもつ薄膜フィルムを介して、コピー用紙に熱を供給する定着方式。	JIS B 0137	2007							
80	A		IH定着、(電磁誘導加熱定着)	IHていちゃく、(でんじゆうどうかねつていちゃく)	induction heat fixing	熱ローラなど芯金を加熱させる手段に、高周波による電磁誘導現象(渦電流)を利用した定着方式。	JIS B 0137	2007							
81	A		オンデマンド定着	おんでまんどていちゃく	on-demand fixing	コピー作成の稼動時だけ、定着装置に熱を供給して定着を行う方式。	JIS B 0137	2007							
82	A		フラッシュ定着	ふらっしゅていちゃく	flash fixing	キセノンランプなどのせん光によって、コピー用紙上のトナーを定着させる方式。	JIS B 0137	2007							
83	A		圧力定着	あつりょくていちゃく	pressure fixing	圧力をかけたローラ間を通過させることによって、圧力だけでコピー用紙上のトナーを定着させる方式。	JIS B 0137	2007							
84	A		クリーニング	くりーにんぐ	cleaning	転写後、感光体上のトナー残り、紙粉などを清掃する工程。	JIS B 0137	2007							
85	A		ブレードクリーニング	ぶれーどくりーにんぐ	blade cleaning	板状の弾性ゴムを押し当てて、清掃する方式。	JIS B 0137	2007							
86	A		ブラシクリーニング	ぶらしくりーにんぐ	brush cleaning	回転する毛ブラシを押し当てて、清掃する方式。	JIS B 0137	2007							
87	A		可変倍率機能	かへんばいりつきのう	variable magnification function	原稿に対して拡大又は縮小する機能。	JIS B 0137	2007							
88	A		定形変倍	ていけいへんばい	preset zoom	定形サイズの原稿用紙及び用紙間で、適切なコピーとなるように設定された複写倍率選択機能。	JIS B 0137	2007							
89	A		自動倍率選択機能	じどうばいりつせんたくきのう	automatic magnification selection	原稿サイズ及びコピーする用紙サイズに合わせて、自動的にコピーする倍率を選択する機能。	JIS B 0137	2007							
90	A		自動用紙選択機能	じどうようしせんたくきのう	automatic copy-paper selection	原稿サイズを自動的に検知し、倍率を指定した場合には、適切な用紙(サイズ)を選択する機能。	JIS B 0137	2007							
91	A		ズーム	ずーむ	zoom magnification	設定可能な範囲で任意の複写倍率を選択できる縮小拡大コピー機能。一般に縮小拡大の上下限内で1%刻みの設定が行える。	JIS B 0137	2007							
92	A		独立変倍	どくりつへんばい	x/y independent magnification (scaling)	原稿に対して縦横独自に複写倍率を設定できる機能。	JIS B 0137	2007							
93	A		自動濃度調整	じどうのうどちょうせい	automatic density control	原稿の種類に応じて、自動的に画像の濃度を調整する機能。	JIS B 0137	2007							
94	A		オートクリア機能	おーとくりあきのう	auto clear function	コピー終了後、所定の時間が経過すると自動的に初期状態に復帰する機能。例えば、用紙サイズ、コピー濃度、コピー枚数変更などに用いる。自動復帰ともいう。	JIS B 0137	2007							
95	A		割込み機能	わりこみきのう	interruption function	連続コピー中、一時中断して他のコピーをとり、その後、元の連続コピー状態に復帰する機能。割込みコピーともいう。	JIS B 0137	2007							
96	A		オートシャットオフ機能	おーとしゃっとおふきのう	auto shutoff function	コピー終了後、所定の時間が経過すると自動的に電源を切る機能。ただし、小容量の結露防止ヒータなどの電源が残る場合もある。	JIS B 0137	2007							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
97	A		文字・写真モード	もじ・しゃしんもーど	text/photographic mode	文字だけの原稿ではなく、写真などの中間調が混在した原稿を、より忠実に再現するために設定されたモード。	JIS B 0137	2007							
98	A		単色カラー	たんしょくからー	single color copy	原稿の色に関係なく、黒以外の単色でコピーする機能。モノカラーともいう。	JIS B 0137	2007							
99	A		自動カラー選択機能	じどうからーせんたくきの	automatic color selection	カラー原稿又は白黒原稿を、自動的に識別する機能。	JIS B 0137	2007							
100	A		両面機能	りょうめんきのう	duplex function	用紙片面への複写後、用紙を表裏反転させて、再び複写画像形成部に送る機構をもち、次の複写指示によって両面複写を行う機能。自動原稿送り装置との組合せで“片面→両面”、“両面→両面”及び“両面→片面”のコピーが容易に行える。	JIS B 0137	2007							
101	A		ワンツーワンモード、1to1モード	わんつーわんもーど、1to1もーど	1(one) to 1(one) mode	自動原稿送り装置を用いて、複数の原稿から一部のコピーを行う動作。	JIS B 0137	2007							
102	A		ページ集約	ぺーじしゅうやく	N-in-1	複数の原稿を1枚の用紙上にまとめてレイアウトしてコピーする機能。	JIS B 0137	2007							
103	A		イメージリピート	いめーじりぴーと	repeat function	同一原稿を1枚の用紙に複数レイアウトしてコピーする機能。	JIS B 0137	2007							
104	A		自己診断機能	じこしんだんきのう	self-diagnosis function	複写機の異常又は動作状態を自己検知し、その内容を表示又は通知する機能。使用時又は保守作業時の処理を容易にする機能。	JIS B 0137	2007							
105	A		トナーセーブモード	となーせーぶもーど	toner saving mode	コピー濃度が低くなる画像処理を行い、トナーの消費を抑えるためのモード。	JIS B 0137	2007							
106	A		原稿送り装置	げんこうおくりそうち	document feeder	1枚ずつ手で挿入した原稿を自動的に原稿台ガラス上に送り込み、コピー完了後、自動的に原稿を排出する装置。	JIS B 0137	2007							
107	A		自動原稿送り装置	じどうげんこうおくりそうち	automatic document feeder, (ADF)	あらかじめセットした原稿を、1枚ずつ自動的に原稿台ガラス上に送り込み、コピー完了後、自動的に原稿を排出する装置。	JIS B 0137	2007							
108	A		フィニッシャ	ふぃにっしゃ	finisher	複数原稿を1部ずつ仕上げて排出し、積載する装置。 備考 JIS X 6910参照。	JIS B 0137	2007							
109	A		ソータ	そーた	sorter	多枚数のコピーをとる場合、自動的に分類及びページ揃えをする装置。	JIS B 0137	2007							
110	A		ビン	びん	bin	ソータにおいて、排出されたコピーを受ける棚又は容器。	JIS B 0137	2007							
111	A		大容量(給紙)トレイ	だいようりょう(きゅうし)とれい	large capacity (paper feed) tray	一般に数千枚以上の用紙を収容できる給紙トレイ。大容量給紙デッキともいう。	JIS B 0137	2007							
112	A		シフトトレイ	しふとといれい	shift tray, offset catch tray	1部ずつ仕上げるフィニッシャにおいて、排出方向と垂直の方向に1部ごとにずらして排出させるトレイ。オフセットキャッチトレイともいう。	JIS B 0137	2007							
113	A		両面ユニット	りょうめんゆにっと	duplex unit	定着後の用紙の先後端を反転させる用紙搬送機構を用いて、用紙の裏面にコピーを行うための装置。	JIS B 0137	2007							
114	A		シートスルー装置	しーとするーそうち	sheet-through device	読取り装置(スキャナなど)を固定し、原稿を移動させて画像を読みとる装置。シングルパスフィーダともいう。	JIS B 0137	2007							
115	A		ステープル	すてーぷる	staple	ビン又はトレイに収容した用紙を、自動的に針でとじる機能又は装置。 備考 JIS X 6910参照。	JIS B 0137	2007							
116	A		パンチ	ぱんち	punch	コピー用紙にファイルのための穴をあける機能又は装置。 備考 JIS X 6910参照。	JIS B 0137	2007							
117	A		中とじ	なかとじ	saddle stitch	複写された用紙の中央部に自動的にステープルを行い、二つ折に製本する機能。 備考 JIS X 6910参照。	JIS B 0137	2007							
118	A		Z折り	Zおり	z-fold	二つ折りされた用紙の一方を更に二つ折りして、断面がZ形状になる折り様式。	JIS B 0137	2007							
119	A		シートインサータ	しーといんさーた	sheet-inserter	コピーされた用紙束に、区切り又は表紙として用紙を挿入する装置。	JIS B 0137	2007							
120	A		液晶タッチパネル	えきしょうたっちぱねる	LCD touch panel	指で触れることによって入力設定を行える液晶画面の操作パネル。LCDパネルともいう。	JIS B 0137	2007							
121	A		枚数セットキー	まいすうせっときー	copy quantity keys	必要コピー枚数をあらかじめ設定するキー。単にテンキーともいう。	JIS B 0137	2007							
122	A		スタートキー	すたーときー	start key	コピー動作を始めさせるキー。コピーキーともいう。	JIS B 0137	2007							
123	A		ストップキー	すとっぷきー	copy stop key	連続コピー動作中に、途中の任意の枚数でコピーを終了するときに使用するキー。ストップキーともいう。	JIS B 0137	2007							
124	A		クリアキー	くりあきー	clear key	入力した数値を取り消すためのキー。	JIS B 0137	2007							
125	A		リセットキー	りせっときー	reset key	すべての入力情報を初期値に戻すキー。	JIS B 0137	2007							
126	A		給紙トレイ選択キー	きゅうしとれいせんたくきー	paper tray select key	給紙トレイ又はコピー用紙を選択するキー。用紙サイズ選択キーともいう。カセットをもつ機械においては給紙カセット選択キーともいう。	JIS B 0137	2007							
127	A		節電キー	せつでんきー	energy-saver key	エネルギー消費を削減するために省エネモードを入切するキー。	JIS B 0137	2007							
128	A		紙詰まり表示	かみつまりひょうじ	paper jam indicator	紙詰り状態又はその場所を示すランプ若しくは表示。紙詰り点検(位置)表示ランプ又はジャム表示ともいう。	JIS B 0137	2007							
129	A		給紙ユニット	きゅうしゆにっと	paper feed unit	給紙機能を構成する部品の集合体。	JIS B 0137	2007							
130	A		給紙ローラ	きゅうしろーら	paper feed roller	給紙トレイ又は給紙カセットから用紙を機内へ1枚ずつ送り込むためのローラ。	JIS B 0137	2007							
131	A		分離ローラ	ぶんりろーら	separation roller	重用紙を機内へ送り込むのを防ぐローラ。さば(捌)きローラ又はリタードローラともいう。	JIS B 0137	2007							
132	A		レジストローラ	れじすとろーら	paper stop roller	用紙が感光体上のトナー像と同期して転写されるように用紙搬送タイミングを制御するローラ対。ペーパストップローラともいう。	JIS B 0137	2007							
133	A		ピックアップローラ	ぴっくあっぷろーら	pick-up roller	給紙トレイ又は給紙カセットから用紙を機内へ送り出すローラ。紙送り出しローラともい	JIS B 0137	2007							
134	A		搬送ローラ	はんそうろーら	conveyance roller	機内の紙搬送経路に配置され、用紙を搬送するローラ。	JIS B 0137	2007							
135	A		ドライブローラ	どらいぶろーら	drive roller	動力伝達のもととなるローラ。	JIS B 0137	2007							
136	A		テンションローラ	てんしょんろーら	tension roller	ベルトなどを張るためのローラ。	JIS B 0137	2007							
137	A		アイドルローラ	あいどるろーら	idle roller	ベルトなどを支持するだけのローラ。	JIS B 0137	2007							
138	A		給紙カセット	きゅうしかせっと	paper feed cassette	シート状のコピー用紙を格納し、着脱ができ、本体と連動して給紙ができるように構成さ	JIS B 0137	2007							
139	A		給紙トレイ	きゅうしとれい	paper feed tray	自動給紙のため、あらかじめ多数のコピー用紙をセットしておくトレイ。通常は機械本体と一体となっているものが多い。給紙デッキともいう。	JIS B 0137	2007							
140	A		排紙トレイ	はいしとれい	exit tray	複写されたコピー用紙を受けるトレイ。	JIS B 0137	2007							
141	A		除電ブラシ	じょでんぶらし	discharging brush	複写工程で用紙に付与された電荷を放電消去するために導電性ブラシ。除電針ともい	JIS B 0137	2007							
142	A		チャージ	ちゃーじ	charger	チャージワイヤを電極とした感光体を帯電させる装置。帯電器ともいう。	JIS B 0137	2007							
143	A		チャージワイヤ	ちゃーじわいや	charging wire	チャージャの電極となるワイヤ。一般的にタングステン線が用いられる。帯電ワイヤとも	JIS B 0137	2007							
144	A		帯電ローラ	たいでんろーら	roller charging device	感光体を均一に帯電させるために電圧が印加され接触回転するローラ。	JIS B 0137	2007							
145	A		感光体	かんこうたい	photoreceptor, (photoconductor)	光導電性をもち、画像(光情報像)を静電潜像として記録するもの。形状としてドラム、シート又はベルトがあり、感光ドラム、感光ベルトなどという。	JIS B 0137	2007							
146	A		高圧ユニット	こうあつゆにっと	high voltage power supply, (HVPS)	高電圧を発生させる電源装置。高圧電源(HVPS)ともいう。	JIS B 0137	2007							
147	A		光学(系)ユニット	こうがく(けい)ゆにっと	optical unit	原稿を照明する露光ランプ、反射笠などの部品及びミラー、光学レンズなどによって、原稿像を感光体に露光するための装置。デジタル機(ディジタル機)の場合には読取りのためのラインセンサ及び感光体へのレーザ書込みにかかわる部品・ユニットが含まれる。	JIS B 0137	2007							
148	A		原稿台ガラス	げんこうだいがらす	original glass plate	原稿面に使用する透明な板ガラス。プラテンガラスともいう。	JIS B 0137	2007							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
149	A		原稿(台)カバー	げんこう(だい)かばー	original cover	原稿台ガラス上の原稿を押さえる板。原稿押さえ、プラテンカバーともいう。	JIS B 0137	2007							
150	A		露光ランプ	ろこうらんぷ	exposure lamp	露光のための光源。蛍光ランプ(fluorescent lamp), ハロゲンランプ(halogen lamp)、キセノンランプ(xenon lamp)などがある。	JIS B 0137	2007							
151	A		レンズハウジング	れんずはうじんぐ	lens housing	レンズを支持し、遮光を目的とした箱。	JIS B 0137	2007							
152	A		レンズアレイ	れんずあれい	lens array	ガラス又はプラスチックでできたマイクロレンズを光軸と直角方向に1列又は複数列、帯状に並べたレンズ集合体。	JIS B 0137	2007							
153	A		CCDラインセンス	CCDらいんせんす	CCD line sensor	数ミクロン角の受光素子を数千個1列に並べたワンチップの光電変換素子。走査線1ラインを読み取ることができるのでラインイメージセンサともいう。	JIS B 0137	2007							
154	A		レーザスキャンユニット	れーざすきゃんゆにっと	laser scanning unit	高速回転のポリゴンミラーにレーザ光を照射し、その反射光を結像レンズ、ミラーなどを経て感光体表面に照射する装置。書込みユニットともいう。	JIS B 0137	2007							
155	A		ポリゴンミラー	ぽりごんみらー	polygon mirror	感光体へレーザ光を走査するために高速回転する多面体のミラー。	JIS B 0137	2007							
156	A		LEDアレイ	LEDあれい	LED array	発光ダイオードを1列に並べた素子。	JIS B 0137	2007							
157	A		現像ユニット	げんぞうゆにっと	developing unit	感光体表面に形成された静電潜像を現像して可視像化する装置。現像器又は現像槽と	JIS B 0137	2007							
158	A		現像ローラ	げんぞうろーら	developing roller	感光体表面に形成された静電潜像を現像するためのローラ。	JIS B 0137	2007							
159	A		転写帯電器、転写チャージャ	てんしゃたいでんき、てんしゃちゃーじゃ	transfer charger	コロナ帯電を用いて感光体上のトナー像を用紙に転写するユニット。	JIS B 0137	2007							
160	A		転写ローラ	てんしゃろーら	transfer roller	表面に電荷を与えるローラを用いて、感光体上のトナー像を用紙上に転写するローラ。	JIS B 0137	2007							
161	A		転写ベルト	てんしゃべると	transfer belt	ベルト表面に与えられた電荷で、複写用紙を吸着搬送するとともに、感光体上のトナー像を用紙に転写するベルト部品。	JIS B 0137	2007							
162	A		転写ドラム	てんしゃどらむ	transfer drum	カラー複写機において、感光体の静電潜像が現像され、シアン、マゼンタ、イエロー及びブラックの各色トナーの可視像を順次転写するために感光体と対面し、複写用紙を保持	JIS B 0137	2007							
163	A		中間転写体	ちゅうかんてんしゃたい	intermediate transfer unit	カラー複写機において、4色の各色トナー像をいったん順次転写(1次転写)させ、全色を蓄積し、その後、用紙に一括転写させる(2次転写)際の媒体。ドラム又はベルトのタイプ	JIS B 0137	2007							
164	A		分離チャージャ	ぶんりちゃーじゃ	separation charger	転写帯電器によって、トナー像が転写された用紙を感光体から引きは(剥)がすための帯電器[はく(剥)離チャージャともいう。]。	JIS B 0137	2007							
165	A		分離つめ(爪)	ぶんりつめ(つめ)	separation claw	転写後のコピー用紙を感光体から引きは(剥)がすため、又は、定着後の用紙を定着ローラ(ヒートローラ、加圧ローラ)から引きは(剥)がすためのつめ(爪)。はく(剥)離つめ	JIS B 0137	2007							
166	A		定着ユニット	ていちゃくゆにっと	fixing unit, fusing unit	転写後のコピー用紙上のトナーを固着させる装置。定着器ともいう。	JIS B 0137	2007							
167	A		定着ローラ	ていちゃくろーら	fixing roller, fusing roller	圧力定着、熱ローラ定着などに用いられるローラの総称。	JIS B 0137	2007							
168	A		ヒートローラ	ひーとろーら	heat roller	コピー用紙にトナーを融着させるための加熱圧着を行うローラ。加熱ローラともいう。	JIS B 0137	2007							
169	A		加圧ローラ	かあつろーら	pressure roller	ヒートローラに圧着して、用紙に対するトナーの投びょう(錨)効果を上げ、送りを行うロー	JIS B 0137	2007							
170	A		定着ヒータ	ていちゃくひーた	fixing heater	コピー用紙にトナーを融着させる加熱器。	JIS B 0137	2007							
171	A		クリーニングユニット	くりーにんぐゆにっと	cleaning unit	不要な現像剤を除去及び清掃するための装置。クリーナユニット、クリーニング装置とも	JIS B 0137	2007							
172	A		クリーニングブレード	くりーにんぐぶれーど	cleaning blade	不要な現像剤を除去及び清掃するためのブレード。主として感光体、定着ローラなどに	JIS B 0137	2007							
173	A		クリーニングローラ	くりーにんぐろーら	cleaning roller	不要な現像剤を除去及び清掃するためのローラ。主として感光体、定着ローラなどに用	JIS B 0137	2007							
174	A		クリーニングウェブ	くりーにんぐうぇぶ	cleaning web	不要な現像剤を除去及び清掃するための布又は紙などの部材。主として感光体、定着ローラなどに用いる。	JIS B 0137	2007							
175	A		クリーニングパッド	くりーにんぐぱっど	cleaning pad	不要な現像剤を除去及び清掃するための厚手の布又は紙などの部材。定着ローラなどに用いる。クリーニングフェルトともいう。	JIS B 0137	2007							
176	A		クリーニングブラシ	くりーにんぐぶらし	cleaning brush	不要な現像剤を除去及び清掃するためのブラシ。主として感光体などに用いる。ファーブラシともいう。	JIS B 0137	2007							
177	A		廃トナーボトル	はいとなーぼとる	waste toner bottle	クリーニングユニットで清掃及び除去され集められた現像剤の回収容器。	JIS B 0137	2007							
178	A		現像剤	げんぞうざい	developer	現像のために用いられる消耗品(トナー、キャリア、一成分トナー、スタート現像剤など)	JIS B 0137	2007							
179	A		トナー	となー	toner	静電式の現像に用いる微細な着色粒子。	JIS B 0137	2007							
180	A		スタート現像剤	すたーとげんぞうざい	start developer	トナー及びキャリアを所定の比率で配合した現像剤。	JIS B 0137	2007							
181	A		一成分トナー	いちせいぶんとなー	monocomponent toner, single-component toner	キャリアを必要としない現像方式で用いるトナー。キャリアレストナーともいう。これには磁性粉をもつ磁性トナーと磁性粉をもたない非磁性トナーとがある。	JIS B 0137	2007							
182	A		二成分現像剤	にせいぶんげんぞうざい	two component developer	一般にトナー及びその保持剤であるキャリアを特定の比率で混合した現像剤。	JIS B 0137	2007							
183	A		キャリア	きゃりあ	carrier	静電式(乾式)現像に用いるトナーの保持剤。トナーと混合する微細な鉄粉、マグネタイトなどの磁性粒子。	JIS B 0137	2007							
184	A		トナーカートリッジ	となーかーとりっじ	toner cartridge	電子写真方式を利用した複写機、複合機、プリンタ、ファクシミリなどの機器に使用されるトナーを充てん(填)したトナー容器、ドラム及び現像ユニットのいずれか二つ以上を組み合わせて構成される印字のためのカートリッジ。	JIS B 0137	2007							
185	A		トナー容器	となーようき	toner bottle, toner	機体にセットしてトナーの補充を行う容器。筒型をトナーボトル、箱型をトナーコンテナとも	JIS B 0137	2007							
186	A		第二原図用紙	だいにげんずようし	intermediate paper	原稿から第二の原稿を複製するために用いる用紙。通常は、透過露光方式の複写に適した紙質のもの。	JIS B 0137	2007							
187	A		フォーム用紙	ふぉーむようし	form paper	伝票、証券などあらかじめ各種の書式が印刷された用紙。	JIS B 0137	2007							
188	A		ラベル用紙	らべるようし	label paper	のり付はく(剥)離用紙。ダイレクトメールの宛名、荷札、ラベルなどに用いられる。	JIS B 0137	2007							
189	A		エネルギー消費効率	えねるぎーしょうひこうりつ	energy consumption efficiency	エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)の規定による1時間当たりの消費電力量。	JIS B 0137	2007							
190	A		国際エネルギースタープログラム	こくさいえねるぎーすたーぷろぐらむ	energy star program	省エネ機器を対象とした、日米間で合意した任意登録制度。	JIS B 0137	2007							
191	A		省エネモード	しょうえねもーど	power saving mode	レディモードにおいて、一定時間、コピー動作及び外部からの信号がないときに自動的に移行する節電状態。国際エネルギースタープログラム規定による低電力モード、オフモード(オートオフモード)、スリープモード及びマニュアルで切り替わる節電状態がある。	JIS B 0137	2007							
192	A		除湿ヒータ	じょしつひーた	anti-humidity heater	機内を暖め、性能に影響を与えるおそれのある相対湿度を下げるヒータ。結露防止ヒータも含む。	JIS B 0137	2007							
193	A		ジアゾ複写機	じあぞふくしゃき	diazo copying machine	ジアゾ化合物の光分解性を応用した複写機。	JIS B 0137	2007							
194	A		湿式ジアゾ複写機	しつしきじあぞふくしゃき	semidry process diazo copying machine	現像に液体を使用するジアゾ複写機。	JIS B 0137	2007							
195	A		乾式ジアゾ複写機	かんしきじあぞふくしゃき	ammonia process diazo copying machine	アンモニア蒸気によって現像を行うジアゾ複写機。	JIS B 0137	2007							
196	A		熱式ジアゾ複写機	ねつしきじあぞふくしゃき	thermal process diazo copying machine	熱によって現像を行うジアゾ複写機。	JIS B 0137	2007							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
197	A		加圧式ジアゾ複写機	かあつしきじあぞふくしゃき	pressure development process diazo copying machine	微量のアルカリ溶液を圧力を加えて転写することによって現像を行うジアゾ複写機。	JIS B 0137	2007							
198	A		直接静電複写機	ちょくせつせいでんふくしゃき	direct method electrostatic process	光導電性物質を塗布した感光紙を用いて、これに直接可視像を作成する複写機。	JIS B 0137	2007							
199	A		乾式直接静電複写機	かんしきちょくせつせいでんふくしゃき	dry process direct method electrostatic copying machine	粉状の現像剤を用いて可視像を形成する直接静電複写機。	JIS B 0137	2007							
200	A		湿式間接静電複写機	しつしきかんせつせいでんふくしゃき	liquid process indirect method electrostatic copying machine	液状の現像剤を用いて可視像を形成する間接静電複写機。	JIS B 0137	2007							
201	A		シート自動給紙方式	しーとじどうきゅうしほうし	automatic sheet paper	あらかじめ裁断されたコピー用紙を自動的に給紙する方式。	JIS B 0137	2007							
202	A		ロール自動給紙方式	ろーるじどうきゅうしほうし	automatic roll paper feed	ロール上のコピー用紙又は感光紙を自動的に切断して給紙する方式。	JIS B 0137	2007							
203	A		ステップカット方式	すてっぷかっとほうしき	step cut	コピー用紙又は感光紙の切断長さを段階的に選択できる方式。	JIS B 0137	2007							
204	A		ランダムカット方式	らんだむかっとほうしき	random cut	コピー用紙又は感光紙の切断長さを自由に決めることができる方式。	JIS B 0137	2007							
205	A		シンクロカット方式	しんくろかっとほうしき	synchro cut	コピー用紙又は感光紙の切断長さが、原稿の長さに応じて自動的に決められる方式。	JIS B 0137	2007							
206	A		シングルコロナ方式	しんぐるころなほうしき	single-corona charging	感光体又は感光紙の感光面に特定の極性の放電電極を設け、コロナ放電によって帯電させること。	JIS B 0137	2007							
207	A		ダブルコロナ帯電	だぶるころなたいでん	double-corona charging	感光体の両面に異極性の放電電極を設け、コロナ放電によって帯電させること。	JIS B 0137	2007							
208	A		全面露光方式	ぜんめんろこうほうしき	whole image exposure	全面画像を同時に露光する方式。	JIS B 0137	2007							
209	A		スリット露光方式	すりっとろこうほうしき	slit exposure type	感光体又は感光紙、原稿及び光学系を一定関係にして移動させながら順次露光する方	JIS B 0137	2007							
210	A		透過式露光方式	とうかしきろこうほうしき	contact printing of transparence	原稿側から光を当てて露光を行う方式。	JIS B 0137	2007							
211	A		原稿固定式露光方式	げんこうこていしきろこうほうしき	stationary original exposure type	原稿を固定して露光を行う方式。	JIS B 0137	2007							
212	A		原稿移動式露光方式	げんこういどうしきろこうほうしき	moving original exposure type	原稿を移動させながら露光を行う方式。	JIS B 0137	2007							
213	A		色地の原稿	いろじのげんこう	colored original	原稿の地の色が白くないもの、例えば、色紙、新聞のようなもの。	JIS B 0137	2007							
214	A		熱現像	ねつげんぞう	heat developing	感光紙面に熱を当てて、現像すること。	JIS B 0137	2007							
215	A		ガス現像	がすげんぞう	ammonia gas developing	アンモニア水を蒸発させ、感光紙面に当てて現像すること。	JIS B 0137	2007							
216	A		湿式現像	しつしきげんぞう	wet developing	感光体又は感光紙を湿潤状態で現像すること。	JIS B 0137	2007							
217	A		塗布式現像	とふしきげんぞう	coat-type developing	現像液を現像ローラで感光紙面に塗布して現像する方式。	JIS B 0137	2007							
218	A		浸せき式現象	ひたせきしきげんしょう	dip-type developing	現像液中に感光紙を通過させて現像する方式。	JIS B 0137	2007							
219	A		潜像転写方式	せんぞうてんしゃほうしき	electrostatic atent image transfer process	感光体表面に形成された潜像をそのままコピー用紙に転写する方式。	JIS B 0137	2007							
220	A		リテンション方式	りてんしょんほうしき	retention system	1回の露光によって感光体に作られた一つの潜像から多枚数のコピーを取る方式。	JIS B 0137	2007							
221	A		ベルト分離	べるとぶんり	belt separation	ベルトを用いて感光体からコピー用紙を分離すること。	JIS B 0137	2007							
222	A		オーブン定着	おーぶんていちゃく	oven fixing	ランプヒータ、リボンヒータなどのふく射熱で定着させること。ランプヒータ定着、リボンヒータ定着、ヒータ定着ともいう。	JIS B 0137	2007							
223	A		熱板定着	ねついたていちゃく	heat plate fixing	加熱された金属板等に接触させることよって、定着させること。	JIS B 0137	2007							
224	A		原稿排出装置	げんこうはいしゅつそうち	document assist device, (DAD)	必要なコピー枚数がコピーされた後、原稿を自動的に排出する装置。	JIS B 0137	2007							
225	A		オーバレイ	おーばれい	overlay	原稿を何ら変えることなく、追加、変更、抹消など、複写物の構成を変える装置。	JIS B 0137	2007							
226	A		インジケータ	いんじけーた	indicator	機械のいろいろの使用状態を示す表示器。	JIS B 0137	2007							
227	A		リピートカウンタ	りぴーとかうんた	repeat counter	必要複写枚数があらかじめ設定できる枚数計で、あらかじめ設定した枚数をコピーした後、再び設定した枚数値へ自動復帰するもの。	JIS B 0137	2007							
228	A		プリセットカウンタ	ぷりせっとかうんた	preset counter	必要コピー枚数をあらかじめ設定できる枚数計で、あらかじめ設定した枚数コピーした後、再び設定した枚数へ自動復帰しないもの。	JIS B 0137	2007							
229	A		露光調整カバー	ろこうちょうせいかばー	exposure control lever	複写濃度を調節するレバー又はつまみ。 濃度調整レバーということもある。また見やすいコピー画像が得られ羽陽に、原稿の種類に応じて選択するキーを使用することもある。このキーは、プリントキーを兼ねている場合	JIS B 0137	2007							
230	A		速度つまみ	そくどつまみ	speed control knob	ジアゾ複写機において、複写濃度を調整するため、紙送り速度を調整するつまみ。	JIS B 0137	2007							
231	A		準備中表示	じゅんびちゅうひょうじ	waiting indicator	コピー動作が可能となるように機械が準備している間であることを示すランプ又は表示。	JIS B 0137	2007							
232	A		給紙トレイ表示	きゅうしとれいひょうじ	paper tray indicator	選択した給紙トレイを示すランプ又は表示。	JIS B 0137	2007							
233	A		用紙サイズ表示	ようしさいずひょうじ	paper size indicator	コピー用紙のサイズを示すランプ又は表示。	JIS B 0137	2007							
234	A		現像剤点検表示	げんぞうざいてんけんひょうじ	developer check indicator	現像剤の補給状態を点検する必要があることを示すランプ又は表示。湿式現像の場合、ボトル交換ランプ又は表示という場合もある。	JIS B 0137	2007							
235	A		マスタ交換表示	ますたこうかんひょうじ	master sheet change indicator	マスタシート(シート状の感光体)を交換する必要があることを示すランプ又は表示。単にマスタランプ又は巻取りインジケータということもある。	JIS B 0137	2007							
236	A		ペーパ軸	ぺーぱじく	paper supporting shaft	ロール状のコピー用紙又感光紙に通す軸。	JIS B 0137	2007							
237	A		巻取軸	まきとじく	paper winding shaft	複写の終わったコピー用紙又は感光紙を巻き取る軸。	JIS B 0137	2007							
238	A		カッタ	かった	cutter	コピー用紙又は感光紙を切断する刃の組合せ。	JIS B 0137	2007							
239	A		案内板	あんないばん	guide plate	原稿(原図)、コピー用紙、感光紙などを正しい位置に誘導するための装置を構成してい	JIS B 0137	2007							
240	A		テーブル	てーぶる	table	ジアゾ複写機において、原稿(原図)及び感光紙の挿入を容易にするための台。	JIS B 0137	2007							
241	A		原稿受	げんこううけ	original receiving tray	露光部を通った後の原稿又は原図を受けるもの。	JIS B 0137	2007							
242	A		安定器	あんていき	ballast choke (stabilizer)	ランプを適切に点灯させるための機器で水銀ランプ用と蛍光ランプ用とがある。	JIS B 0137	2007							
243	A		焦点面ガラス	しょうてんめんがらす	focal glass plate	映像のぼけを防止するために複写用レンズの焦点面上に取り付ける透明な板ガラス。	JIS B 0137	2007							
244	A		スリットガイド	すりっとがいど	slit guide plate	焦点面ガラスと相対した感光紙裏面に接する案内板。	JIS B 0137	2007							
245	A		シリンダガラス	しりんだがらす	cylinder glass	焼付部に使用する透明な円筒状のガラス。	JIS B 0137	2007							
246	A		焼付ベルト	やきつけべると	printer belt	シリンダガラスを回転させ、原稿と感光紙とを密着させて搬送するベルト。	JIS B 0137	2007							
247	A		冷却タイマ	れいきゃくたいま	cooling timer	複写作業終了後、シリンダガラス内の温度を下げるためにファンなどを一定時間作動させるもの。	JIS B 0137	2007							
248	A		絞りローラ	しぼりろーら	squeezing roller	2本一組で又は現像ローラとともに働いて余分の現像液を絞るローラ。	JIS B 0137	2007							
249	A		気化ヒータ	きかひーた	evaporating heater	アンモニア水を蒸発させるための加熱器。	JIS B 0137	2007							
250	A		補助ヒータ	ほじょひーた	space heater	現像タンク内の湿度を保つための加熱器。	JIS B 0137	2007							
251	A		現像ざら	げんぞうざら	developing tray	感光体又は感光紙を現像する目的で現像液をためる皿。	JIS B 0137	2007							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
252	A		現像ざら受	げんぞうざらうけ	developing tray retainer	現像皿を載せ、現像皿からあふれ出た液を受けるもの。	JIS B 0137	2007							
253	A		現像液ポンプ	げんぞうえきぽんぷ	developer pump	現像液を循環させるポンプ	JIS B 0137	2007							
254	A		フロート	ふろーと	float	現像液タンク中の液量を検出するための浮子。	JIS B 0137	2007							
255	A		ガス現象タンク	がすげんしょうたんく	developing tank	アンモニアガスをため、現像する容器。	JIS B 0137	2007							
256	A		気化ざら	きかざら	evaporating tray	アンモニア水を受け、蒸発させるための皿。	JIS B 0137	2007							
257	A		アンモニア滴下ガラス	あんもにあてきかがらす	drip gauge	アンモニア水の滴下状態を観察するためのもの。	JIS B 0137	2007							
258	A		ゴムスリーブ	ごむすりーぶ	sealing sleeve	ガス現像タンク開口部に接し、感光紙を搬送する筒状のベルト。	JIS B 0137	2007							
259	A		給液ボトル	きゅうえきぼとる	supplying bottle	機体にセットして液の補充を行う容器。 現像用給液ボトル、溶剤用給液ボトルなどがある。補充液ボトルともいう。	JIS B 0137	2007							
260	A		給液キャップ	きゅうえききゃっぷ	supplying cap	給液ボトルのふた。給液弁付きのものもある。	JIS B 0137	2007							
261	A		給液弁	きゅうえきべん	supplying valve	給液キャップに付いているバルブ。	JIS B 0137	2007							
262	A		排液チューブ	はいえきちゅーぶ	drain tube	液を排出させるための管。	JIS B 0137	2007							
263	A		巻付防止づめ	まきつけぼうしづめ	guide	ローラに感光紙が巻きつかないように設けられたつめ。	JIS B 0137	2007							
264	A		原稿はがし	げんこうはがし	original separator	原稿又は原図を感光紙とをシリンダガラスからはがすもの。	JIS B 0137	2007							
265	A		乾燥ヒータ	かんそうひーた	drying heater	コピーを乾燥させる加熱器。	JIS B 0137	2007							
266	A		ドライヤ	どらいや	dryer	風を送り、コピーを乾燥させるもの。	JIS B 0137	2007							
267	A		ヒートホルダ	ひーとほるだ	heater holder	ヒータを支持するもの。	JIS B 0137	2007							
268	A		フィルタバッグ	ふぃるたばっぐ	filter bag	感光体から取り除かされた不要な現像剤を回収する袋又は容器。	JIS B 0137	2007							
269	A		現像液	げんぞうえき	liquid developer	現像するための液で、ジアゾ式ではあらかじめ現像剤と水とを調合して使ったものとがある。また、静電式ではトナーを分散剤で分散させたものをいう。	JIS B 0137	2007							
270	A		分散剤	ぶんさんざい	dispersing agent, dispersant	静電式(湿式)現像に用いるトナーを分散させる液。複写機の分野では、慣用語として、溶剤ともいわれている。	JIS B 0137	2007							
271	A		補充現像剤	ほじゅうげんぞうざい	replenishment developer	現像によって変化した現像剤の配合比率を適当な比率に戻すための現像剤。液体の場合は、特に補充現像液ともいう。 なお、プレミックス現像剤ともいう。	JIS B 0137	2007							
272	A		オフセットマスタ紙	おふせっとますたし	offset master paper	原稿からオフセット印刷用のマスタを作成するために用いる用紙。	JIS B 0137	2007							
273	A		プリンタ	ぷりんた	printer	画像信号を用紙に印刷する装置をいう。この装置は、ラスタイメージプロセッサなどの機能を含んでもよい。	JIS B 9527	2004	ISO/IEC 11160-2	1996				1996	SC 28
274	A		ページ	ぺーじ	page	用紙の片側に印刷するテキスト又は図形類をいう。	JIS B 9527	2004	ISO/IEC 11160-2	1996				1996	SC 28
275	A		ラスタイメージプロセッサ(RIP)	らすたいめーじぷろせっさ(RIP)	Raster Image Processor (RIP)	符号化文字データ及び/又はベクトルデータをラスタデータに変換する装置。	JIS B 9527	2004	ISO/IEC 11160-2	1996				1996	SC 28
276	A		印刷の単位	いんさつのたんい	Unit of printing	ソースファイルは、プリンタの印刷方式に基づくデータブロックに分割できる。この最小のデータブロックを印刷の単位という。	JIS B 9527	2004	ISO/IEC 11160-2	1996				1996	SC 28
277	B		操作者接近区域	そうさしゃせっきんくいき		通常動作状態で、次のいずれかに該当する区域 - 工具の使用なしで近接することのできる区域、又は、 - 近接する手段が意図的に操作者に対して設けられている区域、又は、 - 工具の使用を必要とするしないにかかわらず、操作者が近接するように指示されている区域。 特に限定を加えていない限り、用語“近接する”及び“近接することができる”は、いずれ	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
278	B		サービス従事者接近区域	さーびすじゅうじしゃせっきんくいき		操作者近接区域以外に、機器を動作された状態も含めて、サービス従事者が近接する必要のある区域。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
279	B		器体	きたい		すべての近接することができる導電部、ハンドルの軸、ノブ、グリップその他これに類するもの及びすべての近接することができる絶縁物表面に貼り付けた金属はく。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
280	B		相互接続ケーブル	そうごせつぞくけーぶる		機器の外部にあるケーブルであって、情報技術機器のユニットに付属部品を電気的に接続するため、また、システム内のユニットを相互接続するため、また、ユニットをTCN回路を接続する外部回路に接続するために用いられるケーブル。このようなケーブルは、一つのユニットから別のユニットへどんな種類の回路を伝達してもよい。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
281	B		ELV回路	ELVかいろ		通常動作状態の下でのELV回路のあらゆる二つの導体間又はその一つの導体とアースとの間の電圧がピーク42.4V又は直流60V以下の二次回路であって、少なくとも基礎絶縁によって危険電圧から絶縁されており、かつ、SELV回路に関する要求事項にも、また、制限電流回路に関する要求事項にも合わないもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
282	B		制限電流回路	せいげんでんりゅうかいろ		通常状態及び起こり得る1故障状態のそれぞれのもとで流れる電流が危険な値とならないように設計され、かつ、保護されている回路。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
283	B		一次回路	いちじかいろ		電力を供給する外部電圧その他これに類する電源(例えば、電動発電機一式)に直接接続されている内部回路。一次回路には、変圧器の一次巻線、電動機その他の負荷装置及び電源への接続装置を含む。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
284	B		SELV回路	SELVかいろ		通常な状態及び単一故障状態において、安全地を超えないように設計され保護されている回路。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
285	B		二次回路	にじかいろ		一次電源に直接接続していない回路であって、機器内の変圧器、変換機、その他これに類する絶縁装置又は電池から電力を供給するもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
286	B		TCN回路	TCNかいろ		電気通信網に接続することを意図した回路で機器内にあるもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
287	B		TNV回路	TNVかいろ		近接することができる部分が制限され、通常の運転及び単一故障状態の下での電圧が規定された限度値を超えないように設計され、保護された機器内の回路。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
288	B		TNV-1回路	TNV-1かいろ		次のTNV回路 - 通常動作時に、通常動作電圧がSELV回路に関する限度値を超えず、 - TCN回路を接続する外部回路からの過電圧があり得る。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
289	B		TNV-2回路	TNV-2かいろ		次のTNV回路 - 通常動作時に、通常動作電圧がSELV回路に関する限度値を超え、 - TCN回路を接続する外部回路からの過電圧を受けない。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
290	B		TNV-3回路	TNV-3かいろ		次のTNV回路 - 通常動作時に、通常動作電圧がSELV回路に関する限度値を超え、 - TCN回路を接続する外部回路からの過電圧があり得る。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
291	B		空間距離	くうかんきょり		空間を通して測定した電動部相互間又は電動部と機器のバウンディング面との間の最短距離。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
292	B		着脱式電源コード	ちゃくだつしきでんげんこーど		適切な機器用カプラを用いて機器に接続するようになっている電源用可とうコード。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
293	B		非着脱式電源コード	ひちゃくだつしきでんげんこーど		機器に固定したか又は組み込んだ電源可とうコード。 この種のコードは、次のいずれかとすることができる。 　通常：特殊コードを用いたり特殊工具を用いたりすることなく、容易に交換できる可とうコード、又は 　特殊：特殊可とうコード又は交換の際に特殊工具を用いる必要のある可とうコード又は機器を破損せずには交換することのできない可とうコード。 上記用語“特殊”には、例えば、一体型コードガードの使用、ケーブル用ラグの使用、はとめの使用などは含むが、導体を端子に差し込む前に整形すること又は端末を強化するためによ(撚)り線をねじることは含まない。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
294	B		沿面距離	えんめんきょり		絶縁物表面に沿って測定した導電部相互間又は導電部と機器のバウンディング面との間の最短距離。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
295	B		定格電流	ていかくでんりゅう		製造業者が指定した機器の入力電圧。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
296	B		温度過昇防止装置	おんどかしょうぼうしそうち		異常動作状態になったときに作動するために温度を検知する調節器。操作者によって温度設定の変更ができないもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
297	B		自己復帰型温度過昇防止装置	じこふっきがたおんどかしょうぼうしそうち		機器の関連する部分が十分に冷却されたときに、自動的に元の電流が流れるように戻す温度過昇防止装置。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
298	B		手動復帰型温度過昇防止装置	しゅどうふっきがたおんどかしょうぼうしそうち		元の電流が流れるように戻すためには、手で復帰させる必要があるか又はある部分を交換する必要がある温度過昇防止装置。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
299	B		エンクロージャ	えんくろーじゃ		1.2.6.2、1.2.6.3、又は1.2.6.4のいずれか、又はその幾つかの機能をもつ機器の部品。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
300	B		電気的エンクロージャ	でんきてきえんくろーじゃ		危険電圧が加わる部分又は危険エネルギーレベルをもつ部分への接触を防止するために設けた機器の部分。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
301	B		防火用エンクロージャ	ぼうかようえんくろーじゃ		内部からの火又は炎の広がりを、最小限に食い止めるために設けた機器の部分。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
302	B		機械的エンクロージャ	きかいてきえんくろーじゃ		機械的危険その他の物理的危険によって障害を防止するために設けた機器の部分。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
303	B		危険エネルギーレベル	きけんえねるぎーれべる		20J以上の蓄積エネルギー又は電位差2V以上の部分に存在する240VA以上の連続有能電力レベル。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
304	B		クラスOI機器	くらすOIき		次によって、感電に対する保護を行っている機器。 a) 基礎絶縁を使用し、それに加えて、 b) 基礎絶縁が破損した場合に、危険電圧が加えるおそれのある導電部の屋内配線の保護アース用導体に接続するようになっているもの。かつ、 c) 外部にアース用端子又はアース用口出し線をもっているが、アース用導体のない電源コード及びアース刃のないプラグを使用している機器。 　2ピンのプラグにアース用口出し線を設けたコードセットを使用したものもクラスOI機器とみなす。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
305	B		クラスI機器	くらすIき		次によって、感電に対する保護を行っている機器 a) 基礎絶縁を使用し、それに加えて、 b) 基礎絶縁が破損した場合に、危険電圧が加わるおそれのある導電部を建造物の屋内配線の保護アース用導体に接続するようになっているもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
306	B		クラスII機器	くらすIIき		感電に対する保護を基礎絶縁だけに頼るのではなく、二重絶縁又は強化絶縁といった付加的な安全対策を講じている機器であって、保護アース用又は設置条件のいずれかにも頼らないもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
307	B		クラスIII機器	くらすIIIき		感電に対する保護をSELV回路からの電源に頼っている機器であって、危険電圧を発生しないもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
308	B		ダイレクトプラグイン機器	だいれくとぷらぐいんき		電源コードなしで使用するようになっている機器。電源プラグは、機器のエンクロージャと一体型となっており、コンセントに機器の質量が加わるようになっている。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
309	B		固定型機器	こていがたき		特定の場所に締付け又は他の方法で固定する据置型機器。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
310	B		埋込型機器	うめこみがたきき		壁のくぼんだところ、その他、これに類する場所に設置するようになっている機器。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
311	B		手持型機器	てもちがたきき		通常手でもって使用するようになっている可搬型機器、又は機器の一部。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
312	B		可搬型機器	かはんがたきき		次のいずれかに該当する機器。 - 質量が18kg以下であって、かつ、固定されていないもの、又は - その使用目的を果たすために、操作者が容易に動かすことができるよう車輪、キャスタその他を取り付けたもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
313	B		恒久接続機器	こうきゅうせつぞくきき		ねじ端子によって、建造物の電源設備に接続するようになっている機器。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
314	B		プラグ接続機器(タイプA)	ぷらぐせつぞくきき(たいぷA)		工業用以外のプラグ及びコンセント又は工業用以外の機器用カプラ並びにその両方を用いて、建造物の電源配線に接続するようになってる機器。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
315	B		プラグ接続機器(タイプB)	ぷらぐせつぞくきき(たいぷB)		IEC 60309又はこれに類する国内規格に適合する工業用プラグ及びコンセントもしくは機器用カプラ又はその両方を用いて、建造物の電源配線に接続するようになっている機器。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
316	B		据置型機器	すえおきがたきき		可搬型でない機器。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
317	B		定格周波数	ていかくしゅうはすう		製造業者が指定した一次電源周波数。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
318	B		基礎絶縁	きそぜつえん		感電に対する基礎的な保護の役目をしている絶縁。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
319	B		二重絶縁	にじゅうぜつえん		基礎絶縁及び付加絶縁の両方からなる絶縁。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
320	B		機能絶縁	きのうぜつえん		機器が正しく機能するうえで必要な絶縁。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
321	B		強化絶縁	きょうかぜつえん		この規格で規定する条件の下で、二重絶縁と同程度に感電に対する保護を行うことができる単一の絶縁方式。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
322	B		付加絶縁	ふかぜつえん		基礎絶縁が破損した場合に感電に対する保護をするために、基礎絶縁に追加して設けられた独立した絶縁。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
323	B		安全インターロック	あんぜんいんたーろっく		危険な状態を取り除かないうちは人が危険な部分に接近することを防止する手段又は人が接近する場合には自動的に危険な状態を取り除く手段。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
324	B		爆発限界	ばくはつげんかい		気体、蒸気、霧又は粉末のいずれかを含んだ可燃性混合物の濃度であって、着火源を取り去った後、炎を伝幡させることのできる最低の濃度。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
325	B		温度制限器	おんどせいげんき		通常動作状態で、温度をある一定の値以下又は以上に保つために温度を検知する調節器。操作者がその温度設定の変更を行うことができるようになってもよい。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
326	B		通常負荷	つうじょうふか		製造業者の取扱説明書に従った通常の使用状態のうち、最も過酷となる状態に近い運転形態。ただし、実際上の使用上体が明らかに製造業者が推奨した最大負荷状態より過酷となる場合には、適用できる最大となる負荷を用いる。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
327	B		接近制限箇所	せっきんせいげんかしょ		次のいずれにも該当する機器のための箇所。 - サービス従事者又はその部分が制限される理由ならびに考慮しておくべき事前措置について説明を受けている使用者だけがそこに接近することができる箇所、及び、 - 工具又は錠前及びかぎ、その他の安全手段を使用して接近できるようになっており、かつ、その箇所に責任ある専門家によって接近が管理されている。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
328	B		材料の難熱性区分	ざいりょうのなんねつせいくぶん		金属又は磁気以外の材料の耐着火性及び難燃性の識別。附属書Aに基づいた試験によって、材料を1.2.13.2から1.2.13.9Aまでの区分に分けられる。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
329	B		5V材	5Vざい		附属書A.9に基づいて試験を行ったとき、炎が出たり赤熱してもよいが、規定時間内にそれが消える材料。赤熱小片又は有炎滴下物によって、外科用綿が着火しない。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
330	B		HB材	HBざい		附属書A.8に基づいて試験を行ったとき、規定の最大燃料速度を超えることの材料。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
331	B		HBF発泡材	HBFはっぽうざい		附属書A.7に基づいて試験を行ったとき、規定の最大燃料速度を超えることの発泡材。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
332	B		HF-1発泡材	HF-1はっぽうざい		附属書A.7に基づいて試験を行ったとき、炎が出たり赤熱してもよいが、規定時間内にそれが消える発泡材。燃焼小片、赤熱小片又は有炎滴下物によって、外科用綿が着火しない。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
333	B		HF-2発泡材	HF-2はっぽうざい		附属書A.7に基づいて試験を行ったとき、炎が出たり赤熱してもよいが、規定時間内にそれが消える発泡材。燃焼小片、赤熱小片又は有炎滴下物によって、外科用綿が着火してもよい。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
334	B		V-0材	V-0ざい		附属書A.6に基づいて試験を行ったとき、炎が出たり赤熱してもよいが、平均5秒以下でそれが消える材料。赤熱小片又は有炎滴下物によって、外科用綿が着火しない。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
335	B		V-1材	V-1ざい		附属書A.6に基づいて試験を行ったとき、炎が出たり赤熱してもよいが、平均25秒以下でそれが消える材料。赤熱小片又は有炎滴下物によって、外科用綿が着火しない。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
336	B		V-2材	V-2ざい		附属書A.6に基づいて試験を行ったとき、炎が出たり赤熱してもよいが、平均25秒以下でそれが消える材料。赤熱小片又は有炎滴下物によって、外科用綿が着火してもよい。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
337	B		VTM-材	VTM-ざい		附属書A.6から附属書A.9に基づく試験及び評価の実施が困難な材料に適用されるA.101の試験において、規定の条件を満足する薄い材料。試験炎を取り去った後の状態によってVTM-0、VTM-1及びVTM-2の三つに区分される。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
338	B		連続動作	れんぞくどうさ		時間に制限のない状態負荷での動作。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
339	B		間欠動作	かんけつどうさ		規定時間の同一運転の繰返し。各繰返しは、規定時間通常負荷での運転とスイッチを切るか、又は無負荷にするかのいずれかによるある時間の運転休止とによって行う。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
340	B		短時間動作	たんじかんどうさ		冷状態から始動して、規定の時間通常負荷で運転すること。この場合、機器の温度が室温と同じにもどるまでの十分な時間間隔を設けて運転する。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
341	B		操作者	そうさしゃ		サービス従事者以外の人。 この規格においては、用語“オペレータ(操作者)”は、用語“ユーザ(使用者)”と同じ意味で使用しており、どちらの用語を使用しても両者には差はない。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
342	B		装飾部分	そうしょくぶぶん		エンクロージャの外側に設けた、安全性に関する機能を持たない機器の部分。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
343	B		サービス従事者	さーびすじゅうじしゃ		次のことについて適切な技術的訓練を受けており、かつ、必要な経験をもっている人。 - 作業実施に際してさらされる危険について熟知しているとともに、サービス従事者、その他の人にできるだけ危険が及ばないようにするために講じる手段についても熟知して	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
344	B		定格周波数範囲	ていかくしゅうはすうはんい		製造業者が指定した一次電源周波数範囲であって、下限定格周波数及び上限定格周波数を示したもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
345	B		定格電圧範囲	ていかくでんあつはんい		製造業者が指定した一次電源電圧範囲であって、下限定格電圧及び上限定格電圧を示したもの。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
346	B		バウンディング面	ばうんでぃんぐめん		接近することができる絶縁物表面に、金属はくを押し当てたと考えたときの電気的エンクロージャの外表面。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
347	B		IT電源システム	ITでんげんしすてむ		直接アースに接続せずに、電気設備の露出導電部をアースした配電システム(図表あり)。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
348	B		TN電源システム	TNでんげんしすてむ		一点を直接アースしており、設備の露出導電部を保護用アース導体によって、そのアース点に接続した配電システム。中性導体及び保護用アース導体の接続の仕方によって次の3種類のTN電源システムがある。 - TN-Sシステム:システム全体にわたって中性線と保護用アース導体とを分離したもの(図表あり)。 - TN-C-Sシステム:システムの一部で中性線と保護アース用導体とを1本の導体で結合したもの(図表あり)。 - TN-Cシステム:システム全体にわたって中性線と保護用アース導体とを1本の導体で結合したもの(図表あり)。 幾つかのTNパワーシステムは、アースされた中間タップ(中性点)をもつ変圧器の二次巻線から給電される。相線2本と中性線がある場合、これらのシステムは“単相三線式”として一般に知られている。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
349	B		TT電源システム	TTでんげんしすてむ		1点を直接アースしており、設備の露出導電部を電源システムのアース電極から電気的に独立した別のアース電極に接続した配線システム(図表あり)。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
350	B		電気通信網	でんきつうしんもう		離れた建物に設置された機器相互間の通信を意図して、金属終端された伝達手段。ただし、次を除く。 - 電気通信伝送媒体として使用される電力の給電、送電及び配電の電源システム - ケーブルTV分配システム - データ処理装置の各ユニットに接続するSELV回路	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
351	B		ルーティン試験	るーていんしけん		該当する規格の要求事項又は規定された規準に適合しているか否かを検査するために、製造中又は製造後において、各々個別の装置に対して実施する試験[IEV 151-04-16]。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
352	B		型式試験	かたしきしけん		設計どおりに製作した機器が、この規格の要求事項にて起動するか否かを調べるために、その製品の代表試験品に対して行う試験。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
353	B		自動温度調節器	じどうおんどちょうせつき		通常動作状態で、温度をある一定の範囲内に保つために温度を繰り返し検知する調節器。操作者がその設定を行うことができるようになっていてもよい。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
354	B		定格運転時間	ていかくうんてんじかん		製造者が指定した機器の運転時間。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
355	B		工具	こうぐ		ねじ、ラッチその他これに類する固定装置を緩めたり締め付けたりするために使用することができるねじ回しその他のジグ。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
356	B		使用者	しようしゃ		操作者(1.2.14.5参照)。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
357	B		直流電圧	ちょくりゅうでんあつ		ピーク対ピーク脈流地が平均値の10%以下となる電圧の平均値(可動線輪型計器で測定した場合)。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
358	B		危険電圧	きけんでんあつ		制限電流回路又はTNV回路のいずれかの要求事項も満足しない回路に存在する、ピーク42.4V又は直流60Vを超える電圧。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
359	B		定格電圧	ていかくでんあつ		製造業者が指定した一次電源電圧(三相の場合は、相間電圧。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
360	B		動作電圧	どうさでんあつ		通常の使用状態のもとで機器を定格電圧で動作した場合に、その部分が受ける、又は受ける可能性がある最大電圧。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
361	B		レーザ	れーざ		主として制御した誘導放出の過程によって、180mmから1mmの波長範囲における電磁放射を生成又は増幅することができるデバイス。	JIS C 6950	2006	IEC 60950	1999		廃→ C 6950-1 2009/04		パート移行	TC/SC 108
362	A		責任追跡性	せきにんついせきせい	accountability	あるエンティティの動作が、その動作から動作主のエンティティまで一意に追跡できることを確実にする特性。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004	IDT			2004	SC27
363	A		資産	しさん	asset	組織にとって価値をもつもの。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
364	A		真正性	しんせいせい	authenticity	ある主体又は資源が、主張どおりであることを確実にする特性。真正性は、利用者、プロセス、システム、情報などのエンティティに対して適用する。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
365	A		可用性	かようせい	availability	認可されたエンティティが要求したときに、アクセス及び使用が可能である特性。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
366	A		ベースライン管理策	べーすらいんかんりさく	baseline controls	あるシステム又は組織のために設定されたセーフガードの最低限の組合せ。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
367	A		機密性	きみつせい	confidentiality	認可されていない個人、エンティティ又はプロセスに対して、情報を使用不可又は非公開にする特性。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
368	A		管理策	かんりさく	control	ICTセキュリティにおいては、“管理策”は“セーフガード”と同義語とすることがある(セーフガード 参照)。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
369	A		指針	ししん	guidelines	方針のなかに設定された目標を達成するためになすべきこと及びその方法を明らかにした記述。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
370	A		影響	えいきょう	impact	情報セキュリティインシデントの結果。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
371	A		情報セキュリティインシデント	じょうほうせきゅりていいんしでんと	information security incident	事業活動又は情報セキュリティを損ねる可能性のある、予期しない又は望んでいない事象。情報セキュリティインシデントの例には、次のものがある。 — サービス、設備又は施設の停止 — システムの動作不良又は過負荷 — 人為的誤り — 方針又は指針への不適合 — 物理的セキュリティに関する取決めへの違反 — 管理されていないシステム変更 — ソフトウェア又はハードウェアの動作不良 — アクセス違反	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
372	A		ICTセキュリティ	ICTせきゅりてい	ICT security	ICTにかかわる機密性、完全性、可用性、否認防止、責任追跡性、真正性及び信頼性の定義付け、達成及び維持に関連したすべての側面。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
373	A		ICTセキュリティ方針	ICTせきゅりていほうしん	ICT security policy	組織及びそのICTシステム内において、取扱いに慎重を要する情報を含む資産・保護・配付を統制する規則、指示及び慣行。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
374	A		情報処理設備	じょうほうしょりせつび	information processing facility	情報処理システム、サービス若しくは基盤、又はそれらを収容する物理的な設置場所。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
375	A		情報セキュリティ	じょうほうせきゅりてい	information security	情報又は情報処理設備にかかわる機密性、完全性、可用性、否認防止、責任追跡性、真正性並びに信頼性の定義付け、達成及び維持に関連したすべての側面。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
376	A		完全性	かんぜんせい	integrity	資産の正確さ及び完全さを保護する特性。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
377	A		否認防止	ひにんぼうし	non-repudiation	ある活動又は事象が起きたことを、後になって否認されないように証明する能力。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
378	A		信頼性	しんらいせい	reliability	意図した動作及び結果に一致する特性。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
379	A		残留リスク	ざんりゅうりすく	residual risk	リスク対応の後に残っているリスク。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
380	A		リスク	りすく	risk	ある脅威が、資産又は資産のグループのぜい(脆)弱性につけ込み、そのことによって組織に損害を与える可能性。これは、事象の発生確率と事象の結果との組合せによって測	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
381	A		リスク分析	りすくぶんせき	risk analysis	リスクの重大さを算定するための体系的なプロセス。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
382	A		リスクアセスメント	りすくあせすめんと	risk assessment	リスク特定、リスク分析及びリスク評価を組み合わせたプロセス。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
383	A		リスクマネジメント	りすくまねじめんと	risk management	ICTシステムの資源に作用する不確かな事象を、制御し、また、それらの除去又は最小化する総合的なプロセス。	JIS Q 13335-1	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
384	A		リスク対応	りすくたいおう	risk treatment	リスクを変更するために方策を選択及び実施するプロセス。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
385	A		セーフガード	せーふがーど	safeguard	リスク対応のための慣行、手順又は仕組み。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
386	A		脅威	きょうい	threat	システム又は組織に損害を与える可能性があるインシデントの潜在的な原因。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
387	A		ぜい(脆)弱性	ぜいじゃくせい	vulnerability	一つ以上の脅威がつけ込むことができる、資産又は資産グループがもつ弱点。	JIS Q 13335-	2006	ISO/IEC 13335-1	2004				2004	SC27
388	A		資産	しさん	asset	組織にとって価値をもつもの。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005	IDT			2005	SC27
389	A		可用性	かようせい	availability	認可されたエンティティが要求したときに、アクセス及び使用が可能である特性。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
390	A		機密性	きみつせい	confidentiality	認可されていない個人、エンティティ又はプロセスに対して、情報を使用不可又は非公開にする特性。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
391	A		情報セキュリティ	じょうほうせきゅりてい	information security	情報の機密性、完全性及び可用性を維持すること。さらに、真正性、責任追跡性、否認防止及び信頼性のような特性を維持することを含めてもよい。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
392	A		情報セキュリティ事象	じょうほうせきゅりていじしょう	information security event	システム、サービス又はネットワークにおける特定の状態の発生。特定の状態とは、情報セキュリティ基本方針への違反若しくは管理策の不具合の可能性、又はセキュリティに関連するかもしれない未知の状況を示しているものをいう。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
393	A		情報セキュリティインシデント	じょうほうせきゅりていいんしでんと	information security incident	望まない単独若しくは一連の情報セキュリティ事象、又は予期しない単独若しくは一連の情報セキュリティ事象であって、事業運営を危うくする確率及び情報セキュリティを脅かす確率が高いもの。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
394	A		情報セキュリティマネジメントシステム	じょうほうせきゅりていまねじめんとしすてむ	information security management system,	マネジメントシステム全体の中で、事業リスクに対する取組み方に基づいて、情報セキュリティの確立、導入、監視、レビュー、維持及び改善を担う部分。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
395	A		完全性	かんぜんせい	integrity	資産の正確さ及び完全さを保護する特性。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
396	A		残留リスク	ざんりゅうりすく	residual risk	リスク対応の後に残っているリスク。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
397	A		リスクの受容	りすくのじゅよう	risk acceptance	リスクを受容する意思決定。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
398	A		リスク分析	りすくぶんせき	risk analysis	リスク因子を特定するための、及びリスクを算定するための情報の系統的使用。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
399	A		リスクアセスメント	りすくあせすめんと	risk assessment	リスク分析からリスク評価までのすべてのプロセス。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
400	A		リスク評価	りすくひょうか	risk evaluation	リスクの重大さを決定するために、算定されたリスクを与えられたリスク基準と比較するプロセス。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
401	A		リスクマネジメント	りすくまねじめんと	risk management	リスクに関して組織を指揮し管理する調整された活動。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
402	A		リスク対応	りすくたいおう	risk treatment	リスクを変更させるための方策を、選択及び実施するプロセス。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
403	A		適用宣言書	てきようせんげんしょ	statement of applicability	その組織のISMSに関連して適用する管理目的及び管理策を記述した文書。	JIS Q 27001	2006	ISO/IEC 27001	2005				2005	SC27
404	A		資産	しさん	asset	組織にとって価値をもつもの。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005	IDT			2005	SC27
405	A		管理策	かんりさく	control	リスクを管理する手段（方針、手順、指針、実践又は組織構造を含む。）であり、実務管理的、技術的、経営的又は法的な性質をもつことがあるもの。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
406	A		指針	ししん	guideline	方針の中に設定された目的を達成するためになすべきこと及びその方法を明らかにした	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
407	A		情報処理施設(設備)	じょうほうしょりしせつ(せつび)	information processing facilities	情報処理のシステム、サービス若しくは基盤のいかなるもの、又はそれらを収納する物理的場所。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
408	A		情報セキュリティ	じょうほうせきゅりてい	information security	情報の機密性、完全性及び可用性を維持すること。さらに、真正性、責任追跡性、否認防止及び信頼性のような特性を維持することを含めてもよい。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
409	A		情報セキュリティ事象	じょうほうせきゅりていじしょう	information security event	システム、サービス又はネットワークにおける特定の状態の発生。特定の状態とは、情報セキュリティ基本方針への違反若しくは管理策の不具合の可能性、又はセキュリティに関連するかもしれない未知の状況を示していることをいう。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
410	A		情報セキュリティインシデント	じょうほうせきゅりていいんしでんと	information security incident	望まない単独若しくは一連の情報セキュリティ事象、又は予期しない単独若しくは一連の情報セキュリティ事象であって、事業運営を危うくする確率及び情報セキュリティを脅かす確率が高いもの。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
411	A		方針	ほうしん	policy	経営陣が正式に表明した包括的な意思及び方向付け。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
412	A		リスク	りすく	risk	事象の発生確率と事象の結果との組合せ。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
413	A		リスク分析	りすくぶんせき	risk analysis	リスク因子を特定するための、及びリスクを算定するための情報の系統的使用。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
414	A		リスクアセスメント	りすくあせすめんと	risk assessment	リスク分析からリスク評価までのすべてのプロセス。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
415	A		リスク評価	りすくひょうか	risk evaluation	リスクの重大さを決定するために、算定されたリスクを与えられたリスク基準と比較するプロセス。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
416	A		リスクマネジメント	りすくまねじめんと	risk management	リスクに関して組織を指揮し管理する調整された活動。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
417	A		リスク対応	りすくたいおう	risk treatment	リスクを変更させるための方策を、選択及び実施するプロセス。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
418	A		第三者	だいさんしゃ	third party	当該問題に関して、当事者と無関係であると認められる個人又は団体。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
419	A		脅威	きょうい	threat	システム又は組織に損害を与える可能性があるインシデントの潜在的な原因。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
420	A		ぜい弱性	ぜいじゃくせい	vulnerability	一つ以上の脅威がつけ込むことができる、資産又は資産グループがもつ弱点。	JIS Q 27002	2006	ISO/IEC 17799	2005				2005	SC27
421	A		情報	じょうほう	information	事実、事象、事物、過程、着想などの対象物に関して知り得たことであって、概念を含み、一定の文脈中で特定の意味をもつもの。(備)図1参照。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
422	A		データ	でーた	data	情報の表現であって、伝達、解釈又は処理に適するように形式化され、再度情報として解釈できるもの。(備)1.データに対する処理は、人間が行ってもよいし、自動的手段で行ってもよい。2.図1参照。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
423	A		テキスト	てきすと	text	文字、記号、語、句、段落、文、表又はそれ以外の文字配置の形で表したデータであって、意味の伝達を目的とし、その解釈が読者のもつ何らかの自然言語又は人工言語の知識に本質的に基づくもの。(例)用紙上に印刷又は画面上に表示した事務用の書状。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
424	A		アクセスする	あくせすする	to access	資源を使用できるようにする。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
425	A		情報処理	じょうほうしょり	information processing	情報に対して行われる、データ処理を含む操作の体系的実施。データ通信、オフィスオートメーションなどの操作を含むことがある。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
426	A		データ処理、DP、自動データ処理、ADP	でーたしょり、DP、じどうでーたしょり、ADP	data processing, DP, automatic data processing, ADP	データに対して行われる操作の体系的実施。(例)データに対する算術演算又は論理演算、データに対する併合又は整列、プログラムに対するアセンブル又はコンパイル、テキストに対する編集、分類、併合、記憶、検索、表示、印字などの操作。(備)図1参照。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
427	A		ハードウェア	はーどうぇあ	hardware	情報処理システムの物理的な構成要素の全体又は一部分。(例)計算機、周辺装置。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
428	A		ソフトウェア	そふとうぇあ	software	情報処理システムのプログラム、手続き、規則及び関連文書の全体又は一部分。(備)ソフトウェアは、それを記憶した媒体とは無関係な知的創作物である。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
429	A		ファームウェア	ふぁーむうぇあ	firmware	命令の順序付けられた集合及び関連データであって、主記憶装置とは機能的に無関係な方法で記憶されるもの。通常、ROMに記憶される。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
430	A		記憶装置、記憶機構	きおくそうち、きおくきこう	storage (device)	データを格納し、保持し、かつ、取り出すことのできる機能単位。(参)11.01.12と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
431	A		メモリ	めもり	memory	処理装置及び他のすべての内部記憶装置において、命令を実行するために使用するアドレスを付けることのできる記憶空間のすべて。(参)11.01.13と同じであるが、一部表現	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
432	A		自動(的)	じどう(てき)	automatic	指定された条件の下で、人手の介入なしに機能を果たす処理過程又は装置に関する用	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
433	A		自動化する	じどうかする	to automate	処理過程又は装置を自動的なものにする。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
434	A		自動化、オートメーション	じどうか、おーとめーしょ	automation	処理過程又は装置を自動操作に置き換えること、又はその結果。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
435	A		情報化する、機械化する	じょうほうかする、きかいかする	to computerize	計算機を使用して自動化する。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
436	A		情報化、機械化	じょうほうか、きかいか	computerization	計算機による自動化。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
437	A		計算機の世代	けいさんきのせだい	computer generation	製作技術に基づく計算機の歴史的な分類。(例)リレー又は真空管に基づく第1世代、トランジスタに基づく第2世代、集積回路に基づく第3世代。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
438	A		計算機科学、情報科学、情報工学	けいさんきかがく、じょうほうかがく、じょうほうこうがく	computer science	計算機による情報処理に関連する科学技術の一分野。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
439	A		計算センタ、計算機センタ、データ処理センタ	けいさんせんた、けいさんきせんた、でーたしょりせ	computer center, data processing center	要員、ハードウェア及びソフトウェアを含を施設であって、情報処理サービスを提供するためのもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
440	A		データ処理システム、計算機システム、計算システム	でーたしょりしすてむ、けいさんきしすてむ、けいさんしすてむ	data processing system, computer system, computing system	データ処理を行う計算機、周辺装置及びソフトウェア。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
441	A		情報処理システム	じょうほうしょりしすてむ	information processing system	データ処理システム及び装置であって情報処理を行うもの。事務機器、通信装置などを含む。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
442	A		情報システム	じょうほうしすてむ	information system	情報処理システムと、これに関連する人的資源、技術的資源、財的資源などの組織上の資源とからなり、情報を提供し配布するもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
443	A		資源、計算機資源	しげん、けいさんきしげん	resource, computer resource	要求された操作を遂行するのに必要なデータ処理システムの要素。(例)記憶装置、入出力装置、処理装置、データ、ファイル、プログラム。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
444	A		処理過程、処理	しょりかてい、しょり	process	あらかじめ決められた事象の過程であって、その目的又は効果によって定義され、与えられた条件の下で達成されるもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
445	A		処理過程(データ処理における)、処理(データ処理における)	しょりかてい(でーたしょりにおける)、しょり(でーたしょりにおける)	process (in data processing)	一つのプログラムの全体又は一部分の実行中に発生する、あらかじめ決められた事象の過程。(参)この項は、JIS X 0010-1987[情報処理用語(操作技法及び機能)]の10.01.03を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
446	A		構成	こうせい	configuration	情報処理システムのハードウェア及びソフトウェアの編成及び相互接続の仕方。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
447	A		ブロック図	ぶろっくず	block diagram	システムの主要な部分又は機能を図記号によって表現し、それらの関係を線で結んで示した図。(備)ブロック図で表現するものは、物理的な装置とは限らない。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
448	A		同期、同期式、同期的	どうき、どうきしき、どうきてき	synchronous	共通のタイミング信号などの特定の事象の発生に依存する二つ以上の処理過程に関する用語。(参)10.01.08と同じであるが、一部表現を改めた。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
449	A		非同期、非同期式、非同期的	ひどうき、ひどうきしき、ひどうきてき	asynchronous	共通のタイミング信号などの特定の事象の発生に依存しない二つ以上の処理過程に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
450	A		入力(データ)	にゅうりょく(でーた)	input (data)	記憶又は処理のために、情報処理システム又はその一部分に入れるデータ。(参)この項は、JIS X 0006-1989[情報処理用語(データの準備及び取扱い)]の06.02.01を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
451	A		入力(過程)	にゅうりょく(かてい)	input (process)	記憶又は処理のために、情報処理システム又はその一部分にデータを入れる処理過程。(参)この項は、JIS X 0006-1989[情報処理用語(データの準備及び取扱い)]の06.02.02を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
452	A		入力	にゅうりょく	input	入力過程にかかわる装置、処理過程若しくは入出力チャネル、又はそれらに関係するデータ若しくは状態に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
453	A		出力(データ)	しゅつりょく(でーた)	output (data)	情報処理システム又はその一部分が、外部に転送するデータ。(参)この項は、JIS X 0006-1989[情報処理用語(データの準備及び取扱い)]の06.02.04を置き換えることにな	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
454	A		出力(過程)	しゅつりょく(かてい)	output (process)	情報処理システム又はその一部分が、外部にデータを転送する処理過程。(参)この項は、JIS X 0006-1989[情報処理用語(データの準備及び取扱い)]の06.02.05を置き換え	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
455	A		出力	しゅつりょく	output	出力過程にかかわる装置、処理過程若しくは入出力チャネル、又はそれらに関係するデータ若しくは状態に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
456	A		ダウンロードする	だうんろーどする	to download	プログラムやデータを、ある計算機から、それに接続されていて、より小さな資源をもつ別の計算機へ転送する。メインフレームからパーソナルコンピュータに転送するのが典型	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
457	A		アップロードする	あっぷろーどする	to upload	プログラムやデータを、ある計算機から、それに接続されていて、より大きな資源をもつ別の計算機へ転送する。パーソナルコンピュータからメインフレームに転送するのが典型	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
458	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	二つの機能単位の間で共有される境界部分であって、機能に関するいろいろな特性、物理的相互接続特性、信号交換特性、その他の適当な特性によって定義されるもの。(参)09.01.01と同じであるが、一部表現を改めた。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
459	A		データ通信	でーたつうしん	data communication	データ伝送及びその調整のための規則に従って、幾つかの機能単位間でデータを転送すること。(参)この項は、JIS X 0009:1987[情報処理用語(データ通信)]の09.01.03を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
460	A		機能単位	きのうたんい	functional unit	ハードウェア、ソフトウェア又はその両者からなり、指定された目的を遂行できるもの。(参)10.01.01と同じであるが、一部表現を改めた。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
461	A		オンライン	おんらいん	online, on-line	計算機の制御下にある機能単位の操作に関する用語。(参)この項は、JIS X 0010-1987[情報処理用語(操作技法及び機能)]の10.03.05を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
462	A		オフライン	おふらいん	offline, off-line	計算機の主たる操作とは無関係に又はそれと並列に発生する機能単位の操作に関する用語。(参)この項は、JIS X 0010:1987[情報処理用語(操作技法及び機能)]の10.03.06を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
463	A		時分割、タイムシェアリング	じぶんかつ、たいむしぇありんぐ	time sharing, time slicing	一つの処理機構において、二つ以上の処理過程の時間を細分化して交互に配置させるようにするデータ処理システムの操作技法。(参)この項は、JIS X 0010-1987[情報処理用語(操作技法及び機能)]の10.04.05を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
464	A		ネットワーク、網	ねっとわーく、もう	network	ノード及びそれらを相互接続する枝の配置。(参)18.01.01と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
465	A		計算機ネットワーク、コンピュータネットワーク	けいさんきねっとわーく、こんぴゅーたねっとわーく	computer network	データ通信のために相互に接続されたデータ処理ノードからなるネットワーク。(参)18.02.01と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
466	A		ローカルエリアネットワーク、LAN(省略形)	ろーかるえりあねっとわーく、らん	local area network, LAN	地理的に限定された地域内にあり、利用者の構内に配置された計算機ネットワーク。(備)ローカルエリアネットワーク内での通信は、外部の規定に準拠する必要はない。しかし、ローカルエリアネットワークをまたがる通信は、外部の規定に準拠する場合もある。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
467	A		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability	それぞれの機能単位に固有な特性に関する知識を利用者がほとんど又は全く必要とせずに、各機能単位が互いに通信し、プログラムを実行し又はデータを転送する能力。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
468	A		ターンキーシステム	たーんきーしすてむ	turnkey system	特定の利用者又は適用業務の要件にできるだけ適するように、導入時に直ちに使用でき、かつ稼働できる状態で利用者に提供されるデータ処理システム。(備)利用者データの準備作業を必要とすることもある。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
469	A		仮想(的)	かそう(てき)	virtual	実在しているかのようにみえるが、その機能が他の手段によって達成される機能単位に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
470	A		仮想機械、VM(省略形)	かそうきかい、VM	virtual machine	特定の利用者が独占的に使用しているかのようにみえる仮想のデータ処理システムであって、その機能が実在のデータ処理システムの資源を利用して実現されているもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
471	A		データ媒体	でーたばいたい	data medium	データを内部又は表面に記憶し、そこからデータを取り出すことのできる材料。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
472	A		ディスク	でぃすく	disk	平らな円盤状で、片面又は両面でデータを読み取ったり書き込んだりするために回転させて用いるデータ媒体。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
473	A		ログオンする、ログインす	ろぐおんする、ろぐいんす	to log on, to log in	セションを開始する。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
474	A		ログオフする、ログアウトする	ろぐおふする、ろぐあうとする	to log off, to log out	セションを終了する。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
475	A		信号	しんごう	signal	データを表現するために用いられる物理量の変化。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
476	A		離散(的)	りさん(てき)	discrete	文字のように個々に区別できる要素からなるデータ、明確に区別できる有限個の値をもつ物理量又はそれらのデータを使用する処理過程及び機能単位に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
477	A		数値(的)	すうち(てき)	numeric, numerical	数によって表現されるデータ及びそのデータを使う処理過程又は機能単位に関する用	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
478	A		ディジタル	でぃじたる	digital	数字によって表現されるデータ及びそのデータを使う処理過程又は機能単位に関する用	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
479	A		英数字	えいすうじ	alphanumeric	英字及び数字からなり、句読点などの文字も含むデータ並びにそのデータを使う処理過程又は機能単位に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
480	A		アナログ	あなろぐ	analog	連続的に可変な物理量、連続的な形式で表現されたデータ及びそのデータを使う処理過程又は機能単位に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
481	A		記号	きごう	symbol	特定の文脈において意味をもつ概念の図的表現。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
482	A		ビット、2進数字	びっと、2しんすうじ	bit, binary digit	2進記数法で用いられる0又は1のいずれかの数字。(参)この項は、JIS X 0004-1989[情報処理用語(データの構成)]の04.03.07を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
483	A		バイト	ばいと	byte	一つの単位として扱われる複数のビットからなる列。通常、1文字又は文字の一部分を表現するもの。(備1.)1バイト中のビット数は、データ処理システムごとに一定である。(備2.)1バイト中のビット数は、通常、8である。(参)この項は、JIS X 0004-1989[情報処理用語(データの構成)]の04.03.07を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
484	A		8ビットバイト、オクテット	8びっとばいと、おくてっと	8-bit byte, octet	8ビットからなるバイト。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
485	A		文字	もじ	character	データを表現、構成又は制御するために用いられる要素の集合の構成単位。(備)文字は、次のように分類される。(#図有り)(参)この項は、JIS X 0004-1989[情報処理用語(データの構成)]の04.01.01を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
486	A		数字	すうじ	digit, numeric character	負でない整数を表す文字。(例)16進記数法における0～9及びA～Fの文字の一つ。(参)04.03.05と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
487	A		処理装置、中央処理装置、CPU(省略形)	しょりそうち、ちゅうおうしょりそうち、CPU	processing unit, central processing unit, CPU	一つ以上の処理機構と内部記憶装置とからなる機能単位。(備)処理機構と処理装置は、同義に使用されることがある。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
488	A		メインフレーム	めいんふれーむ	mainframe	通常、計算センタ内に設置される計算機であって、広範囲の能力及び大規模の資源をもち、他の計算機を接続することによって、その資源を共用できるもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
489	A		計算機、コンピュータ	けいさんき、こんぴゅーた	computer	算術演算及び論理演算を含む大量の計算を、人手の介入なしに遂行することのできる機能単位。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
490	A		ディジタル計算機、ディジタルコンピュータ	でぃじたるけいさんき、でぃじたるこんぴゅーた	digital computer	内部的に記憶されたプログラムによって制御される計算機であって、プログラムの全体又は一部分、及びそのプログラムの実行に必要なデータの全部又は一部分のために共通の記憶装置を使用することができ、利用者の作成したプログラム又は利用者の指定したプログラムを実行し、ディジタルに表現した離散的データに対して算術演算及び論理演算を含む利用者の指定した操作を行い、実行時に自分自身の内容を変更するプログラムを実行できるもの。(備)情報処理の分野では、計算機は、ディジタル計算機のことをいい	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
491	A		アナログ計算機、アナログコンピュータ	あなろぐけいさんき、あなろぐこんぴゅーた	analog computer	他のシステムの振る舞いに類似した動作をする計算機であって、アナログデータを受け入れ、処理し、作成するもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
492	A		ハイブリッド計算機、ハイブリッドコンピュータ	はいぶりっどけいさんき、はいぶりっどこんぴゅーた	hybrid computer	アナログ計算機の構成要素とディジタル計算機の構成要素とを含み、アナログ-ディジタル変換器とディジタル-アナログ変換器とによって、両者を統合した計算機。(備)ハイブリッド計算機は、アナログデータ及び離散的データの両方を使用したり作成したりする。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
493	A		周辺装置	しゅうへんそうち	peripheral equipment	特定の計算機によって制御され、かつその計算機と交信できる装置。(例)入出力装置、外部記憶装置。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
494	A		処理機構、プロセッサ	しょりきこう、ぷろせっさ	processor	計算機において、命令を解釈し、実行する機能単位。(備)処理機構は、少なくとも一つの命令制御装置と、算術論理演算装置とからなる。(参)11.01.01と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
495	A		マイクロプロセッサ	まいくろぷろせっさ	microprocessor	1個又は数個の集積回路にその要素が集約されている処理機構。(参)11.01.06と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
496	A		集積回路、IC(省略形)、チップ、マイクロチップ	しゅうせきかいろ、IC、ちっぷ、まいくろちっぷ	integrated circuit, IC, chip, microchip	相互接続された電子的な素子からなる半導体材料の小片。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
497	A		端末	たんまつ	terminal	システム又は通信ネットワーク内の機能単位であって、データを入れたり取り出したりす	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
498	A		利用者端末	りようしゃたんまつ	user terminal	利用者が計算機と交信することのできる端末。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
499	A		ワークステーション	わーくすてーしょん	workstation	通常、専用の計算能力をもち、利用者向きの入力装置及び出力装置をもつ機能単位。(例)プログラム式端末、非プログラム式端末、独立に動作するマイクロコンピュータ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
500	A		プログラム式端末、知的端末	ぷろぐらむしきたんまつ、ちてきたんまつ	programmable terminal, intelligent terminal	外部からデータ処理能力を与えることのできる利用者端末。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
501	A		非プログラム式端末	ひぷろぐらむしきたんまつ	nonprogrammable terminal, dumb terminal	外部からデータ処理能力を与えることのできない利用者端末。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
502	A		表示端末、VDT(省略形)、表示装置、VDU(省略形)	ひょうじたんまつ、VDT、ひょうじそうち、VDU	video display terminal, visual display terminal, VDT, visual display unit,	表示画面をもち、通常、キーボードなどの入力機器を接続した利用者端末。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
503	A		計算器	けいさんき	calculator	特に算術演算を行うのに適した装置であって、個別の演算又は一連の演算を始めるために人手の介入を必要とするもの。プログラムを記憶している場合には、それを変更するためにも、人手の介入を必要とする。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
504	A		計算機アーキテクチャ、コンピュータアーキテクチャ	けいさんきあーきてくちゃ、こんぴゅーたあーき	computer architecture	計算機の論理構造及び機能特性であって、ハードウェア及びソフトウェア構成要素の間の相互関係を含むもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
505	A		マイクロコンピュータ、マイクロ計算機	まいくろこんぴゅーた、まいくろけいさんき	microcomputer	記憶装置及び入出力装置を含み、処理装置が一つ以上のマイクロプロセッサから構成されるディジタル計算機。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
506	A		パーソナルコンピュータ、パーソナル計算機、PC(省略形)	ぱーそなるこんぴゅーた、ぱーそなるけいさんき、PC	personal computer, PC	個人が単独で使用することを主目的としたマイクロコンピュータ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
507	A		ポータブルコンピュータ、携帯用計算機	ぽーたぶるこんぴゅーた、けいたいようけいさんき	portable computer	複数の場所で使用できるように、持ち運びを可能としたマイクロコンピュータ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
508	A		ラップトップコンピュータ、ラップトップ計算機	らっぷとっぷこんぴゅーた、らっぷとっぷけいさん	laptop computer	人間のひざに乗せて操作できる程度に小型で軽量のバッテリー式ポータブルコンピュータ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
509	A		ミニコンピュータ	みにこんぴゅーた	minicomputer	機能的にみて、マイクロコンピュータとメインフレームとの中間に位置するディジタル計算	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
510	A		スーパコンピュータ	すーぱこんぴゅーた	supercomputer	科学的及び工学的な問題を解くための計算機であって、その時点で得られる最高の処理速度をもつとして分類されるもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
511	A		ミップス、MIPS(省略形)	みっぷす、MIPS	MIPS, millions of instructions per second	命令を毎秒百万回実行することに相当する処理性能の測度の単位。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
512	A		メガフロップス、MFLOPS(省略形)	めがふろっぷす、MFLOPS	MFLOPS, megaflops	浮動小数点演算を毎秒百万回実行することに相当する処理性能の測度の単位。(備)この測定単位は、計算機の科学的応用において使用される。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
513	A		接続性	せつぞくせい	connectivity	システム又は装置を変更しないで他のシステム又は装置に接続できる能力。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
514	A		応用ソフトウェア[プログラム]	おうようそふとうぇあ[ぷろぐらむ]	application software [program]	ある適用業務問題の解決に特有のソフトウェア[プログラム]。(例)表計算プログラム。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
515	A		システムソフトウェア、基本ソフトウェア	しすてむそふとうぇあ、きほんそふとうぇあ	system software	応用ソフトウェアの実行を支援するが応用には依存しないソフトウェア。(例)オペレーティングシステム。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
516	A		支援ソフトウェア[プログラム]	しえんそふとうぇあ[ぷろぐらむ]	support software [program]	他のソフトウェアの開発、保守又は使用を援助するが応用に依存しない、はん(汎)用的な機能を提供するソフトウェア[プログラム]。(例)コンパイラ、データベース管理システ	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
517	A		システム文書	しすてむぶんしょ	system documentation	情報処理システムに関して、要件、能力、限界、設計、操作、運用及び保守について記述した文書の集まり。(参)20.06.01と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
518	A		ソフトウェアパッケージ	そふとうぇあぱっけーじ	software package	はん(汎)用の応用又は機能のための文書のそろったプログラム一式であって、複数の利用者に供給されるもの。(備)特定の応用向けに変更できるソフトウェアパッケージもある。(参)この項は、JIS X 0020-1992[情報処理用語(システム開発)]の20.01.16を置き換	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
519	A		可搬性(プログラムの)	かはんせい(ぷろぐらむの)	portability (of a program)	プログラムを、異なった言語に変換することなく、かつ、ほとんど又は全く変更することなく、異種のデータ処理システム上で実行できるプログラムの能力。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
520	A		ソフトウエア工学	そふとうぇあこうがく	software engineering	ソフトウェアの運用・保守を容易にし、かつ、その品質を向上させるためのソフトウェアの設計・実現・試験・文書化に対する科学的及び技術的な知識・手法・経験の体系的な適	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
521	A		オペレーティングシステム、OS(省略形)	おぺれーていんぐしすてむ、OS	operating system, OS	プログラムの実行を制御するソフトウェアであって、資源割振り、スケジューリング、入出力制御、データ管理などのサービスを提供するもの。(備)オペレーティングシステムは、ソフトウェアが主体であるが、部分的にハードウェア化することも可能である。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
522	A		プログラム、計算機プログラム、コンピュータプログラム	ぷろぐらむ、けいさんきぷろぐらむ、こんぴゅーたぷろぐらむ	program, computer program	アゴリズムの記述に適した人工言語の規則に従った構文上の単位であって、ある機能若しくは仕事の遂行又は問題の解決のために必要な宣言と文若しくは命令とから構成されるもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
523	A		プログラムする	ぷろぐらむする	to program, to code(コノ意味 デハ使用シナイホウガヨイ)	プログラムを設計し、記述し、修正し、試験する。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
524	A		プログラミング	ぷろぐらみんぐ	programming	プログラムの設計、記述、修正及び試験。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
525	A		ルーチン	るーちん	routine, program(コノ意味デハ使用シナイホウガヨイ)	一般的に又は頻繁に使用されるプログラムの全体又は一部分。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
526	A		アルゴリズム、算法	あるごりずむ、さんぽう	algorithm	問題を解くためのものであって、明確に定義され、順序付けられた有限個の規則からな	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
527	A		流れ図	ながれず	flowchart, flow diagram	処理又はプログラムの設計又は文書化のために処理過程、又は問題の各段階の解法を図形表現したものであって、適切な注釈が付けられた幾何図形を用い、データ及び制御の流れを線で結んで示した図。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
528	A		デバッグする	でばっぐする	to debug	プログラム中の誤りを検出し、場所を突き止め、取り除く。(参)07.05.05と同じ	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
529	A		自然言語	しぜんげんご	natural language	明示的に規定された規則ではなく、慣用に基づいた規則をもつ言語。(例)日本語、英	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
530	A		人工言語	じんこうげんご	artificial language	使用前から規則が明示的に確立されている言語。(例)Fortran、Cobol。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
531	A		プログラム言語、プログラミング言語	ぷろぐらむげんご、ぷろぐらみんぐげんご	programming language	プログラムを表現するための人工言語。(参)07.01.06と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
532	A		シミュレーション、模擬(実験)	しみゅれーしょん、もぎ(じっけん)	simulation	物理的又は抽象的なシステムの選択された動作特性を表現するために、データ処理システムを用いること。(例)様々な速度、温度及び空気圧における翼のまわりの空気流を表現すること。(参)20.01.09と同じ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
533	A		エミュレーション	えみゅれーしょん	emulation	あるデータ処理システムを模倣するために、別のデータ処理システムを使い、模倣されるシステムと同じデータを受け入れ、同じプログラムを実行し、同じ結果を出すこと。(備)エミュレーションは、通常、ハードウェア又はファームウェアによって行われる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
534	A		情報検索、IR(省略形)	じょうほうけんさく、IR	information retrieval, IR	記憶されたデータから、与えられた主題に関する情報を取り出す行動、方法及び手順。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
535	A		ハードコピー、印字出力	はーどこぴー、いんじしゅつりょく	hard copy	印字装置、作図装置などの出力装置で作成された表示画像の永続的な出力であって、持ち運びができるもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
536	A		ソフトコピー	そふとこぴー	soft copy	聴覚的又は視覚的な形での情報の永続的でない出力。(例)ブラウン管への表示。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
537	A		メニュー	めにゅー	menu	データ表示システムが表示する選択項目の一覧であって、起動する動作を利用者がそこから選択できるもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
538	A		プロンプト、入力要求(メッセージ)	ぷろんぷと、にゅうりょくようきゅう(めっせーじ)	prompt	利用者の応答を要求するために、プログラムが送出する視覚的又は聴覚的なメッセージ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
539	A		コンピュータグラフィクス、(計算機)図形処理、CG(省略形)	こんぴゅーたぐらふぃくす、(けいさんき)ずけいしょり、CG(しょうりゃくがた)	computer graphics	計算機によって、画像を生成、操作、記憶及び表示するための方法及び技法。(参)この項は、JIS X 0013-1987[情報処理用語(図形処理)]の13.01.01を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
540	A		オフィスオートメーション、OA(省略形)	おふぃすおーとめーしょん、OA	office automation, OA	情報処理システムによる事務活動の統合化。(備)この用語は、テキスト、画像及び音声の処理及び伝達を含む。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
541	A		テキスト処理、ワードプロセシング	てきすとしょり、わーどぷろせしんぐ	text processing, word processing	テキストに対し入力、編集、整列、併合、検索、記憶、表示、印字などのデータ処理を施すこと。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
542	A		互換性	ごかんせい	compatibility	機能単位の能力であって、著しい変更を伴わないで、特定のインタフェースの要求に適合できる能力。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
543	A		人工知能、AI(省略形)	じんこうちのう、AI	artificial intelligence, AI	計算機科学の一分野であって、推論、学習、自己改善など、通常、人間的な知能に関する機能を遂行するデータ処理システムの開発を目的とするもの。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
544	A		ロボット工学、ロボティクス	ろぼっとこうがく、ろぼていくす	robotics	ロボットを設計、構築及び利用することに関する技術。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
545	A		計算機支援	けいさんきしえん	computer-aided, computer-assisted, CA	作業の一部分を計算機によって遂行する技術又は処理過程に関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
546	A		電子出版	でんししゅっぱん	electronic publishing, computer-aided publishing, computer-assisted publishing	計算機の支援によるテキスト、図形及び絵画を含む、印刷品質並みの文書の制作。(備)電子出版は、応用プログラムを利用して行う場合もあるが、専用システムを使用して行う場合もある。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
547	A		卓上出版、DTP(省略形)	たくじょうしゅっぱん、DTP	desktop publishing	マイクロコンピュータを利用した電子出版。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
548	A		電子メール	でんしめーる	electronic mail, E mail	計算機ネットワーク上で、利用者端末相互間で伝達されるメッセージ形式の通信。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
549	A		知識ベース	ちしきべーす	knowledge base, K-base	データベースの一種であって、推論規則と、特定の分野における人間の経験に関する情報及び専門知識とを備えたもの。(備)自己改良能力をもつシステムの場合には、知識ベースが過去に体験した諸問題の解から得た情報ももつ。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
550	A		エキスパートシステム、専門家システム	えきすぱーとしすてむ、せんもんかしすてむ	expert system, ES	計算機システムであって、専門家の作成した知識ベースから推論を行うことによって、特定の分野又は応用領域の問題を専門的に解決するもの。(備1.)この用語は、通常、専門的な知識をもつことを強調しているが、知識ベースと同義語に用いられることがある。(備2.)自分の知識ベースを改良し、過去の問題の経験に基づいて新たな推論規則を作成できるエキスパートシステムもある。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
551	A		画像処理	がぞうしょり	image processing, picture processing	データ処理システムを利用して、画像の生成、走査、解析、改善、解釈又は表示を行うこと。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
552	A		表計算プログラム、スプレッドシートプログラム	ひょうけいさんぷろぐらむ、すぷれっどしーとぷろ	spreadsheet program	行及び列の形に配置した要素(セル)の表を表示するプログラムであって、一つの要素の内容を変更すると、要素相互間で利用者があらかじめ定義した関係に基づいて再計算	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
553	A		ユーザフレンドリ、利用者親近(的)	ゆーざふれんどり、りようしゃしんきん(てき)	user-friendly	人間が利用しやすく、かつ、便利なことに関する用語。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
554	A		データ保護	でーたほご	data protection	故意若しくは偶然によって権限をもたずに行われる、データの開示、変更又は破壊に対する適切な管理的、技術的又は物理的な防衛手段の実現。(参)この項は、JIS X 0008-1987R[情報処理用語(期制、完全性及び安全保護)]の08.06.04を置き換えることにな	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
555	A		計算機犯罪、コンピュータ犯罪	けいさんきはんざい、こんぴゅーたはんざい	computer crime	ハードウェア、ソフトウェア若しくはデータの使用、変更又は破壊によって引き起こされる犯罪。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
556	A		ハッカー	はっかー	hacker	高度の技術をもった計算機のマニア。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
557	A		ハッカー	はっかー	hacker	高度の技術をもった計算機のマニアであって、知識と手段を駆使して、保護された資源に権限をもたずにアクセスする人。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
558	A		ソフトウェア盗用	そふとうぇあとうよう	software piracy	ソフトウェア製品を不法に使用したり、複写したりすること。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
559	A		情報管理	じょうほうかんり	information management	情報処理システムにおいて、情報の取得、分析、保存、検索及び配布を制御する機能。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
560	A		データ管理	でーたかんり	data management	データ処理システムにおいて、データに対するアクセス、データの記憶の実行・監視及び入出力操作の制御をする機能。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
561	A		アクセス法	あくせすほう	access method	データの使用、データの読取り若しくは書込みのための記憶装置の使用、又はデータ転送のための入出力チャネルの使用を可能にする技法。(例)直接アクセス法、索引付きアクセス法、順アクセス法。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
562	A		データバンク	でーたばんく	data bank	利用者が参照できるように構成された、特定の事柄に関するデータの集合。(参)この項は、JIS X 0004-1989[情報処理用語(データの構成)]の04.07.14を置き換えることにな	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
563	A		データベース	でーたべーす	database	複数の適用業務分野を支援するデータの集まりであって、データの特性とそれに対応する実体との間の関係を記述した概念的な構造に従って編成されたもの。(参)この項は、JIS X 0004-1989[情報処理用語(データの構成)]の04.07.15を置き換えることになる。	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
564	A		ファイル	ふぁいる	file	一つの単位として記憶又は処理される、レコードからなる名前の付いた集合。(参)この項は、JIS X 0004:1989[情報処理用語(データの構成)]の04.07.10を置き換えることにな	JIS X 0001	1994	ISO/IEC 2382-1	1993				1993	JTC1
565	A		発見的方法	はっけんてきほうほう	heuristic method	一連の近似的な結果を用いて、意にかなう最終結果に近づいているかどうかの評価がなされる問題解決の探索的方法。例えば、一定の指針に従った試行錯誤による方法。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
566	A		数学的帰納法	すうがくてきのうほう	mathematical induction	N以上の自然数を含む項に関する命題を証明する方法であって、まずその命題がNについて成立することを示し、次に、もしN以上の任意のnに対してその命題が成立するならば、(n+1)に対してもその命題が成立すると示すことによって証明する。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
567	A		形式論理	けいしきろんり	formal logic	論証の中の用語の意味にかかわらない正当な論証の構成及び形式の研究。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
568	A		記号論理学、数理論理学	きごうろんりがく、すうりろんりがく	symbolic logic, mathematical logic	自然言語のもつあいまいさ及び論理的不十分さを避けるために選定された人工言語を用いて、正当な論証及び演算を行う学問分野。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
569	A		スイッチング変数	すいっちんぐへんすう	switching variable	有限個の可能な値又は状態だけをとりうる変数。(例)文字集合中の任意の1文字。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
570	A		(1)引き数	(1)ひきすう	argument	独立変数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
571	A		(2)引き数	(2)ひきすう	argument	独立変数の任意の値。(例)探索かぎ、すなわち表中の項目の場所を識別する数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
572	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	特定の用途のために、ある一定の値が与えられる変数であって、かつ、その用途を示しうるもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
573	A		スカラ	すから	scalar	ただ一つの値によって特性付けられる量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
574	A		ベクトル	べくとる	vector	通常、スカラの順序付けられた集合によって特性付けられる量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
575	A		範囲	はんい	span	ある量又は関数がとりうる最大値と最小値との差。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
576	A		指数(対数の)	しすう(たいすうの)	characteristic (of a logarithm)	対数表示において正又は負の値をとりうる整数部。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
577	A		仮数(対数の)	かすう(たいすうの)	mantissa (of a logarithm)	対数表示における非負の小数部。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
578	A		自然数、非負整数	しぜんすう、ひふせいすう	natural number, nonnegative integer	0、1、2、…のうちの一つの数。(注)自然数は、0からでなく、1から始まると定義する人もいる。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
579	A		整数	せいすう	integer, integer number	0、+1、−1、+2、−2、…のうちの一つの数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
580	A		実数	じっすう	real number	固定基数記数法において、有限又は無限の数表示を使って表現される数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
581	A		有理数	ゆうりすう	rational number	ある整数を0でない整数で割った商である実数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
582	A		無理数	むりすう	irrational number	有理数でない実数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
583	A		複素数	ふくそすう	complex number	実数の順序対からなる数であって、a + ibの形で表現できる。ここで、a及びbは実数であり、# iの2乗=−1である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
584	A		(一様)乱数	(いちよう)らんすう	random number	ある既知の数の集合から、どの数も同じ出現確率をもつように取り出される数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
585	A		乱数列	らんすうれつ	random number sequence	各々の数が先行する数に関する知識からだけでは予測できない数列。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
586	A		擬似乱数列	ぎじらんすうれつ	pseudo-random number sequence	ある定義された算術処理によって決定された数列であるが要求されている目的に対しては実際上、乱数列であるもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
587	A		通し番号	とおしばんごう	serial number	列中のある項目の位置を示す整数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
588	A		0 (データ処理における)	ぜろ (でーたしょりにおける)	zero (in data processing)	いかなる数に加えても、又はいかなる数から引いても、その数の値を変えない数。(注) ゼロは計算機の中で異なる複数個の表現をとることがある。例えば、正又は負の符号付きゼロ(符号付きの数からそれ自身を引くと得られることがある。)とか浮動小数点ゼロ(その固定小数点部分はゼロであるが、浮動小数点表示の指数は様々でありうる。)が	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
589	A		2値[3値][8値][10値][12値][16値][N値]	2ち[3ち][8ち][10ち][12ち][16ち][Nち]	binary [ternary] [octal] [decimal or denary] [duodecimal] [sexadecimal or hexadecimal] [N-ary]	2[3][8][10][12][16][N]個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用語。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
590	A		2値	2ち	binary	2個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
591	A		3値	3ち	ternary	3個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
592	A		8値	8ち	octal	8個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
593	A		10値	10ち	decimal or denary	10個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
594	A		12値	12ち	duodecimal	12個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
595	A		16値	16ち	sexadecimal or	16個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
596	A		N値	Nち	N-ary	N個の異なる値又は状態をとりうるような選択又は条件で特性付けられることを表す用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
597	A		2進[3進][8進][10進][12進][16進][N進](法)	2しん[3しん][8しん][10しん][12しん][16しん](ほう)	binary [ternary] [octal] [decimal or denary] [duodecimal] [sexadecimal or hexadecimal] [N-ary]	固定基数記数法において、基数として2[3][8][10][12][16][N]をとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
598	A		2進(法)	2しん(ほう)	binary	固定基数記数法において、基数として2をとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
599	A		3進(法)	3しん(ほう)	ternary	固定基数記数法において、基数として3をとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
600	A		8進(法)	8しん(ほう)	octal	固定基数記数法において、基数として8をとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
601	A		10進(法)	10しん(ほう)	decimal or denary	固定基数記数法において、基数として10をとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
602	A		12進(法)	12しん(ほう)	duodecimal	固定基数記数法において、基数として12をとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
603	A		16進(法)	16しん(ほう)	sexadecimal or	固定基数記数法において、基数として16をとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
604	A		N進(法)	Nしん(ほう)	N-ary	固定基数記数法において、基数としてNをとること及びそのような方式。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
605	A		階乗	かいじょう	factorial	1から与えられた整数までのすべての自然数の積。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
606	A		スイッチング関数	すいっちんぐかんすう	switching function	有限個の可能な値だけをとる関数であって、その関数の各々の独立変数も有限個の可能な値だけをとるもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
607	A		ブール関数	ぶーるかんすう	Boolean function	関数及び各独立変数のとりうる値が二つしかないスイッチング関数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
608	A		再帰的に定義された列	さいきてきにていぎされたれつ	recursively defined sequence	2番目以降の項の各々は、それに先行する幾つか又はすべての項をオペランドに含む演算によって定められる項の列。(注)再帰的に定義された列においては、通常、2個以上の有限個の定義されていない項があってもよい。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
609	A		写像する	しゃぞうする	to map (over)	他の集合中の量又は値との間に、定まった対応をもつ値の集合を確定すること。(例)数学的関数を評価すること。すなわち直接関係する独立変数の値に対して従属変数の値を	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
610	A		写像	しゃぞう	map	他の集合中の量又は値との間に、定まった対応をもつ値の集合。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
611	A		母関数	ぼかんすう	generating function	無限級数で表現されたときに、一連の与えられた関数又は定数を、その無限級数の係数としてもつ数学的関数。(例)関数(#数式有り)。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
612	A		しきい値関数	しきいちかんすう	threshold function	一つ以上の引き数をもつ2値スイッチング関数であって、その引き数は必ずしも2値引き数である必要はないが、その引き数に関する所定の数学的関数が、与えられたしきい値を超えたときにはその関数の値が1をとり、それ以外のときにはその関数の値が0をとるも	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
613	A		(1)ブール演算	(1)ぶーるえんざん	Boolean operation	各オペランド及び結果が二つの値のうち、一つをとる演算。 (注)02.05中の個々のブール演算の定義、表1及び表2を簡単にするために、二つのブール値は"ブール値0"と"ブール値1"と書く。これ以外の値の対も、定義に矛盾することなく	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
614	A		(2)ブール演算	(2)ぶーるえんざん	Boolean operation	ブール代数の規則に従う演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
615	A		2項[N項]ブール演算	2こう[Nこう]ぶーるえんざん	dyadic [N-adic] Boolean operation	二つ[N個]のオペランドに関するブール演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
616	A		2項ブール演算	2こうぶーるえんざん	dyadic Boolean operation	二つのオペランドに関するブール演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
617	A		N項ブール演算	Nこうぶーるえんざん	N-adic Boolean operation	N個のオペランドに関するブール演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
618	A		ブール演算子	ぶーるえんざんし	Boolean operator	オペランド及び結果がそれぞれ二つの値のうちの一つをとる演算子。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
619	A		相補演算	そうほえんざん	complementary operation	あるブール演算に対する他のブール演算であって、同じオペランドに対してそれらの演算を行ったとき、第一のブール演算の結果の否定が結果として得られるもの。(例)論理和は否定論理和の相補演算である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
620	A		双対演算	そうついえんざん	dual operation	あるブール演算に対する他のブール演算であって、第一のブール演算のオペランドの否定を第二のブール演算のオペランドとして演算したとき、第一のブール演算の結果の否定が結果として得られるもの。(例)論理和は論理積の双対演算である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
621	A		一致演算	いっちえんざん	identity operation	すべてのオペランドが同じブール値をとるときに限り、結果がブール値1になるブール演算。(注)二つのオペランドに対する一致演算は等価演算である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
622	A		非一致演算	ひいっちえんざん	non-identity operation	すべてのオペランドが同じブール値をとらないときに限り、結果がブール値1になるブール演算。(注)二つのオペランドに対する非一致演算は非等価演算である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
623	A		等価演算、IF-AND-ONLY-IF演算、IFF(省略形)	とうかえんざん、IF-AND-ONLY-IFえんざん、IFF	equivalence operation, IF-AND-ONLY-IF operation, IFF	二つのオペランドが同じブール値をとるときに限り、結果がブール値1になる2項ブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
624	A		非等価演算、排他的論理和演算、EXCLUSIVE-OR演算	ひとうかえんざん、はいたてきろんりわえんざん、EXCLUSIVE-ORえんざん	non-equivalence operation, EXCLUSIVE-OR operation	二つのオペランドが異なるブール値をとるときに限り、結果がブール値1になる2項ブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
625	A		論理積、AND演算	ろんりせき、ANDえんざん	conjunction, AND operation, intersection	各オペランドがブール値1をとるときに限り、結果がブール値1になるブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
626	A		否定論理積、否定積、NAND演算	ひていろんりせき、ひていせき、NANDえんざん	non-conjunction, NAND operation, NOT-BOTH operation	各オペランドがブール値1をとるときに限り、結果がブール値0になる2項ブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
627	A		論理和、OR演算、INCLUSIVE-OR演算	ろんりわ、ORえんざん、INCLUSIVE-ORえんざん	disjunction, OR operation, INCLUSIVE-OR operation, logical add	各オペランドがブール値0をとるときに限り、結果がブール値0になるブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
628	A		否定論理和、否定和、NOR演算	ひていろんりわ、ひていわ、NORえんざん	non-disjunction, NOR operation, NEITHER-NOR operation	各オペランドがブール値0をとるときに限り、結果がブール値1になる2項ブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
629	A		排他演算、NOT-IF-THEN演算	はいたえんざん、NOT-IF-THENえんざん	exclusion, NOT-IF-THEN operation	1番目のオペランドがブール値1、2番目のオペランドがブール値0をとるときに限り、結果がブール値1になる2項ブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
630	A		含意、IF-THEN演算	がんい、IF-THENえんざん	implication, IF-THEN operation, conditional implication (operation)	1番目のオペランドがブール値1、2番目のオペランドがブール値0をとるときに限り、結果がブール値0になる2項ブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
631	A		否定、NOT演算	ひてい、NOTえんざん	negation, NOT operation	オペランドのブール値と反対のブール値を結果としてとる単項ブール演算。(注)表2のブール演算表参照。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
632	A		否定する	ひていする	to negate	否定の演算を行うこと。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
633	A		精度	せいど	precision	ほとんど等しい値を区別する能力の尺度。(例)4けたの数表示は6けたの数表示より精度が低い。しかし、適切に計算された4けたの数表示は不適切に計算された6けたの数表示より正確なこともある。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
634	A		多倍精度	たばいせいど	multiple-precision	ある一つの数を表すとき、精度を高めるために機械の語を二つ以上用いることに関する	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
635	A		単[2倍、倍][3倍]精度	たん(2ばい、ばい)(3ばい)せいど	single- [double-] [triple-]precision	ある一つの数を表すとき、要求される精度に応じて機械の語を1個[2個][3個]用いることに関する用語。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
636	A		単精度	たんせいど	single-precision	ある一つの数を表すとき、要求される精度に応じて機械の語を1個用いることに関する用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
637	A		2倍精度	2ばいせいど	double-precision	ある一つの数を表すとき、要求される精度に応じて機械の語を2個用いることに関する用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
638	A		倍精度	ばいせいど	double-precision	ある一つの数を表すとき、要求される精度に応じて機械の語を2個用いることに関する用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
639	A		3倍精度	3ばいせいど	triple-precision	ある一つの数を表すとき、要求される精度に応じて機械の語を3個用いることに関する用	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
640	A		誤差	ごさ	error	計算、観測又は測定された値又は状態と、真の、指定された又は理論的に正しい値又は状態との差異。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
641	A		正確	せいかく	accuracy	誤差のないものがもっている性質。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
642	A		正確さ	せいかくさ	accuracy	誤差の少なさの定性的評価。評価が高いことは誤差が少ないことに対応する。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
643	A		正確度	せいかくど	accuracy	誤差の大きさの定量的測度。しばしば相対誤差の関数で表現される。この測度が高いことは誤差が少ないことに対応する。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
644	A		絶対誤差	ぜったいごさ	absolute error	計算値、観測値、測定値又は実現値から、真値、指定値又は理論値を代数的に引いた	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
645	A		相対誤差	そうたいごさ	relative error	絶対誤差と、誤差を含む量の真値、指定値又は理論値との比。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
646	A		平衡誤差	へいこうごさ	balanced error	誤差の集合であって、それらの平均値がゼロになるもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
647	A		偏り	かたより	bias	ある値の基準値からの系統的なずれ。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
648	A		偏り誤差	かたよりごさ	bias error	偏りによる誤差。(例)1.縮んだ巻き尺を用いた測定による誤差。2.計算の際の打切りによる誤差。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
649	A		誤差範囲	ごさはんい	error range	誤差がとりうる値の集合。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
650	A		誤差幅	ごさはば	error span	誤差の最大値と最小値との差。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
651	A		打切り誤差	うちきりごさ	truncation error	打切りによる誤差。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
652	A		丸め誤差	まるめごさ	rounding error	丸めによる誤差。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
653	A		2進算術演算	2しんさんじゅつえんざん	binary arithmetic	オペランドと結果が純2進記数法で表現される算術演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
654	A		有効けた演算	ゆうこうけたえんざん	significant digit arithmetic	浮動小数点表示法の変形を使った計算法であって、オペランドの有効けた数が表示され、結果の有効けた数はオペランドの有効けた数、実行される演算及び有効精度から決	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
655	A		(算術)あふれ	(さんじゅつ)あふれ	(arithmetic) overflow	算術演算の結果を表す数値の語のうち、数表現のために与えられている語長を超える	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
656	A		あふれ	あふれ	overflow	演算の結果を表す語の、意図した記憶装置の記憶容量を超える部分。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
657	A		(算術)下位けたあふれ	(さんじゅつ)かいけたあふれ	(arithmetic) underflow	算術演算において、絶対値が小さ過ぎるため、使用している記数法の範囲では表示できないような結果。(例)1.特に浮動小数点表示法が用いられている場合、結果が表示しうる0でない最小値より小さいときこの状態になる。2.許された範囲を超える負の指数が発生すると、結果は下位けたあふれになる。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
658	A		けた上げ数	けたあげすう	carry digit	ある数字位置の和又は積がその数字位置で表現できる最高数を超えるときに生じ、他での処理のために送られる数字。(注)位取り表記法においては、けた上げ数は次の大きい重みをもつ数字位置へ、そこでの処理のために送られる。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
659	A		けた上げ	けたあげ	carry	けた上げ数を送る動作。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
660	A		けた上げする	けたあげする	to carry	けた上げ数を送ること。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
661	A		循環けた上げ	じゅんかんけたあげ	end-around carry	けた上げ数を最上位の数字位置から最下位の数字位置へ送る動作。(例)減基数の補数で表現されている二つの負数を加えるとき、循環けた上げが必要となる。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
662	A		借り数	かりすう	borrow digit	ある数字位置の差が算術的に負のときに生じ、他での処理のために送られる数字。(注)位取り表現法においては、借り数は次の大きい重みをもつ数字位置へ送られる。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
663	A		循環借り	じゅんかんかり	end-around borrow	借り数を最上位の数字位置から最下位の数字位置へ送る動作。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
664	A		中置表記法、インフィックス表記法	ちゅうちひょうきほう、いんふぃっくすひょうきほう	infix notation	演算子の優先順位の規則によって支配され、括弧のような区切り記号を用いる数学上の式を構成する方法であって、演算子はオペランドの間に置かれ、各演算子は隣接するオペランド又は中間結果に対して行われる演算を示すもの。(例)1.AとBとを加え、その和にCを乗ずることは、(A+B)×Cという式で表される。2.PとQとRとの論理積の結果との論理積は、P&(Q&R)という式で表される。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
665	A		前置表記法、プレフィックス表記法、ポーランド表記法、ルカーシェビッチ表記法	ぜんちひょうきほう、ぷれふぃっくすひょうきほう、ぽーらんどひょうきほう、るかーしぇびっちひょうき	prefix notation, Polish notation, parenthesis-free notation, Lukasiewicz notation	数学上の式を構成する方法であって、各演算子はオペランドの前に置かれ、それに続くオペランド又は中間結果に対して行われる演算を示すもの。(例)1.AとBとを加え、その和にCを乗ずることは、×+ABCという式で表される。2.PとQとRとの論理積の結果との論理積は、&P&QRという式で表される。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
666	A		後置表記法、ポストフィックス表記法、逆ポーランド表記法	こうちひょうきほう、ぽすとふぃっくすひょうきほう、ぎゃくぽーらんどひょうきほう	suffix notation, postfix notation, reverse Polish notation	数学上の式を構成する方法であって、各演算子はそのオペランドの後に置かれ、その前にあるオペランド又は中間結果に対して行われる演算を示すもの。 (例)1. AとBとを加え、その和にCを乗ずることは、AB + C ×という式で表される。 2. PとQとRとの論理積の結果との論理積は、&P&QRという式で表される。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
667	A		正規化する(浮動小数点表示法において)	せいきかする(ふどうしょうすうてんひょうじほうにおいて)	to normalize (in a floating-point representation system), to standardize (in a floating-point representation system)	浮動小数点表示において、表現されている実数は変化させずに、固定小数部がある決められた範囲内に収まるように固定小数部を調整し、それに対応して指数部も調整すること。(例)固定小数部を1から9.99…の範囲に収めるためには、浮動小数点表示123.45×102は1.2345×104と正規化される。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
668	A		(1)打切り(列の)	(1)うちきり(れつの)	truncation (of a string)	列の始め又は終わりの部分の、指定された基準に従った削除又は省略。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
669	A		(2)打切り(計算処理の)	(2)うちきり(けいさんしょりの)	truncation (of a computation process)	計算処理が完全に又は自然に終了する前の、指定された規則に従った計算処理の終了。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
670	A		丸める	まるめる	to round	位取り表現において、1個以上の数字を最下位から削除又は省略し、残りの部分をある指定された規則に従って調整すること。(注)1.丸めの目的は、通常、数表示の精度を限定すること、数表示における文字数を減らすこと、又はその両者である。2.算術における最も一般的な丸め方は、切捨て、切上げ及び四捨五入である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
671	A		切り捨てる	きりすてる	to round down	残った数表示の部分には何の調整も施さないように丸めること。(例)12.6374と15.0625という数表示は、切り捨てて小数第2位まで求めると、それぞれ12.63と15.06とになる。(注)1.数表示を切り捨てた場合、その絶対値は増加しない。2.切捨ては打切りの一つである。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
672	A		切り上げる	きりあげる	to round up	一つ以上の非ゼロ数字を削除するときに限り、残った数表示の部分を、その最下位の数字に1を加えて必要なけた上げを行うことにより調整して丸めること。(例)12.6374と15.0625という数表示は、切り上げて小数第2位まで求めると、それぞれ12.64と15.07とになる。注 数表示を切り上げた場合、その絶対値は減少しない。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
673	A		(1)四捨五入する	(1)ししゃごにゅうする	to round off	削除する数字の最上位がその数字位置の基数の半分以上の値であるときに限り、残った数表示の部分を、その最下位の数字に1を加えて必要なけた上げを行うことにより調整して丸めること。(例)12.6374と15.0625という数表示は、四捨五入して小数点第2位まで求めると、それぞれ12.64と15.06とになる。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
674	A		(2)四捨五入する	(2)ししゃごにゅうする	to round off	次のような場合に、残った数表示の最下位の数字に1を加えて必要なけた上げを行うことにより調整して丸めること。(a)削除する数字の最上位がその数字位置の基数の半分より大きい。(b)削除する数字の最上位がその数字位置の基数の半分に等しく、その後に続く一つ以上の数字がゼロよりも大きい。(c)削除する数字の最上位がその数字一の基数の半分に等しく、その後に続くすべての数字がゼロで、かつ残った数字の最下位が奇数で	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
675	A		基準化する	きじゅんかする	to scale	ほかの単位で表されているある量を、その範囲がある決められた範囲に収まるようにするために変えること。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
676	A		倍率	ばいりつ	scale factor,scaling factor	基準化において乗数として用いられる数。(例)856、423、-95及び-182を-1から+1の範囲内に収めるためには、1/1000の倍率を用いるとよい。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
677	A		量子化する	りょうしかする	to quantize	変数のとる範囲を、重複しない、必ずしも等間隔でなくてもよい有限個の区間に分けて、その各区間をその区間内のある割り当てられた値を使って指定すること。(例)人間の年齢は1年という量(区間)で量子化されることが多い。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
678	A		サンプリングする	さんぷりんぐする	to sample	定義域上で規則的又は不規則的に離れた、異なる値に対する関数値を求めること。(注)この用語は、特定の分野、例えば統計学などで、別の意味に用いられることがある。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
679	A		演算	えんざん	operation	既知のものの許された組合せに対して施されて、新しいものを作り出す明確に定義された動作。(例)算術における加算処理、例えば、5と3とを加えて8を得る場合、数5と3はオペランド、数8は結果、加算記号は行われる演算が加算であることを示す演算子である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
680	A		オペランド、演算数	おぺらんど、えんざんすう	operand	演算が行われる対象となるもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
681	A		結果	けっか	result	演算を行って得られるもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
682	A		単項演算	たんこうえんざん	monadic operation,unary operation	ただ一つのオペランドに対する演算。(例)否定	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
683	A		2項[N項]演算	2こう[Nこう]えんざん	dyadic [N-adic] operation	2個[N個]のオペランドに対する演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
684	A		2項演算	2こうえんざん	dyadic operation	2個のオペランドに対する演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
685	A		N項演算	Nこうえんざん	N-adic operation	N個のオペランドに対する演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
686	A		演算子(記号処理における)	えんざんし(きごうしょりにおける)	operator (in symbols manipulation)	演算において、行われる動作を表す記号。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
687	A		単項[2項]演算子	たんこう(2こう)えんざんし	monadic [dyadic] operator, unary [binary] operator	一つだけのオペランド[二つだけのオペランド]に対する演算を表す演算子。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
688	A		単項演算子	たんこうえんざんし	monadic operator,unary operator	一つだけのオペランドに対する演算を表す演算子。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
689	A		2項演算子	2こうえんざんし	dyadic operation, binary operation	二つだけのオペランドに対する演算を表す演算子。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
690	A		(1)論理演算	(1)ろんりえんざん	logic operation, logical operation	記号論理学の規則に従う演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
691	A		(2)論理演算	(2)ろんりえんざん	logic operation, logical operation	演算の結果の各文字が各オペランドの対応する文字だけで決まる演算。(例)表2の"結果"の欄に示される2項ブール演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
692	A		しきい値演算	しきいちえんざん	threshold operation	オペランドのしきい値関数を計算する演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
693	A		多数決演算	たすうけつえんざん	majority operation	各オペランドが値0又は1のいずれかをとり、値1をもつオペランドの個数が値0をもつオペランドの個数より多いときだけ値が1になるしきい値演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
694	A		比較する	ひかくする	to compare	二つの項目の間の相対的な大小関係を知るために、順序若しくは列中における相対的な位置を知るために、又はある与えられた特性に関して一致しているかどうかを知るために、二つの項目を調べること。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
695	A		論理比較	ろんりひかく	logical comparison	二つの列が一致しているかどうかを知るためにそれらを調べること。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
696	A		けた送り、けた移動	けたおくり、けたいどう	shift	語の中の文字の幾つか又はすべてを、指定された語端の方向に同じ文字位置数だけそれぞれ移動すること。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
697	A		算術けた送り	さんじゅつけたおくり	arithmetic shift	固定基数記数法及び固定小数点表示法による数の表示に施されるけた送りであって、数の固定小数部を表す文字だけを移動すること。(注)1.算術けた送りは、丸めの影響を除けば、通常、元の数に、基数の正又は負の整数の指数をもったべきを掛けることに等しい。2.論理けた送りと算術けた送りは対象語である。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
698	A		論理けた送り	ろんりけたおくり	logical shift,logic shift	機械の語のすべての文字に同等に施すけた送り。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
699	A		循環けた送り	じゅんかんけたおくり	end-around shift,cyclic	機械の語又はレジスタの一端からはみ出した文字が、他端から再び入り込む論理けた	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
700	A		演算表	えんざんひょう	operation table	オペランドの値のすべての妥当な組合せとその組合せの各々に対する結果を示すことで演算を定義する表。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
701	A		ブール演算表	ぶーるえんざんひょう	Boolean operation table	オペランドの各々とその結果とが二つの値のうちの一つをとる演算表。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
702	A		真理値表	しんりちひょう	truth table	論理演算に対する演算表。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
703	A		ベン図	べんず	Venn diagram	集合が平面上に描かれた領域で表現されている図表。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
704	A		バイチ図	ばいちず	Veitch diagram	四角形を用いてブール関数を表す図表。この図表を構成する四角形の数は、とりうる状態の数、すなわち2を変数の個数によってべき乗したものである。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
705	A		カルノー図	かるのーず	karnaugh map	重なった部分長方形で描かれた変数の論理関数の長方形図表であって、重なった長方形の各交差は論理変数の一意的な組合せを表し、かつすべての組合せに対して交差が	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
706	A		集合	しゅうごう	set	与えられた一つ以上の共通的な性質をもつ有限個又は無限個のある種の対象、物又は	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
707	A		要素(集合の)	ようそ(しゅうごうの)	element (of a set), member (of a set)	集合を定義する性質をもつ一つの対象、物又は概念。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
708	A		空集合	くうしゅうごう	empty set, null set	要素をもたない集合。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
709	A		部分集合	ぶぶんしゅうごう	subset	集合であって、その集合の各要素はある指定された別の集合の要素であるもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
710	A		真部分集合	しんぶぶんしゅうごう	proper subset	ある集合に対して、その集合の要素すべては含んでいない部分集合。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
711	A		全集合	ぜんしゅうごう	universal set	ある与えられた問題に関係する要素すべてを含む集合。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
712	A		組合せ	くみあわせ	combination	集合から選択された、ある与えられた個数の相異なる要素であって、選択された要素が並べられる順序は無視される。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
713	A		順列	じゅんれつ	permutation	集合から選択された、ある与えられた個数の相異なる要素の順序付けられた並び。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
714	A		変数	へんすう	variable	ある与えられた適用において、実際の値が割り当てられるまで、値が決まらない又は既知の範囲で値が決まらないもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
715	A		値域を定める	ちいきをさだめる	to range	量又は関数がとりうる値の範囲を定めること。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
716	A		関数	かんすう	function	従属変数の値が一つ以上の独立変数の値から、ある指定されたやり方で決まる数学上の対象であって、独立変数それぞれの値域内の値の各許される組合せに対して従属変数の値が二つ以上対応することはないもの。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
717	A		帰納的関数	きのうてきかんすう	recursive function	自然数を値としてとり、この関数がオペランドになるという置換え規則により得られる自然数の列から値が導かれる関数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
718	A		算術演算	さんじゅつえんざん	arithmetic operation	算術の規則に従う演算。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
719	A		被加数	ひかすう	augend	加算において、他の数又は量が加えられる数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
720	A		加数	かすう	addend	加算において、被加数に加えられる数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
721	A		和	わ	sum	2個以上の数又は量の加算の結果である数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
722	A		被減数	ひげんすう	minuend	減算において、他の数又は量が引かれる数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
723	A		減数	げんすう	subtrahend	減算において、被減数から引く数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
724	A		差	さ	difference	減算において、被減数から減数を引いた結果の数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
725	A		因数	いんすう	factor	乗算において、オペランドとなる数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
726	A		被乗数	ひじょうすう	multiplicand	乗算において、他の数又は量を掛けられる因数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
727	A		乗数	じょうすう	multiplier factor, multiplier	乗算において、被乗数に掛ける因数。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
728	A		積	せき	product	乗算の結果である数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
729	A		被除数	ひじょすう	dividend	除算において、他の数又は量で割られる数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
730	A		除数	じょすう	divisor	除算において、被除数を割る数又は量。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
731	A		商	しょう	quotient	被除数の値を除数の値で割って得られる数又は量。除算の結果の一つ。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
732	A		剰余	じょうよ	remainder	除算において、被除数のうち割られなかった部分の数又は量。その絶対値は除数の絶対値より小さい。除算の結果の一つ。	JIS X 0002	1987	ISO 2382-2	1976				1976	JTC1
733	A		トリガ回路	とりがかいろ	trigger circuit	少なくとも一つの安定状態を含む幾つかの安定状態又は不安定状態をもち、適切なパルスを印加することによって目的とする状態遷移を起こすことができる回路。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
734	A		安定状態	あんていじょうたい	stable state	トリガ回路において、適切なパルスの印加まで回路がとどまっている状態。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
735	A		不安定状態	ふあんていじょうたい	unstable state, metastable state, quasistable state	トリガ回路において、パルスの印加なしに安定状態に戻るまでの一定期間、回路がとどまっている状態。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
736	A		双安定(トリガ)回路、フリップフロップ	そうあんてい(とりが)かいろ、ふりっぷふろっぷ	bistable (trigger) circuit, flip-flop	二つの安定状態をもつトリガ回路。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
737	A		単安定(トリガ)回路	たんあんていとりがかいろ	monostable (trigger)	一つの安定状態と一つの不安定状態をもつトリガ回路。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
738	A		遅延素子	ちえんそし	delay element	ある与えられた時間間隔の後、先に入力された入力信号と本質的に同じ出力信号を出力する機構。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
739	A		遅延線	ちえんせん	delay line	信号の伝送において、目的とする遅延を生じるように設計された線又は回路網。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
740	A		パルス	ぱるす	pulse, impulse	考慮の対象とする時間に比べて短期間の振幅の変化であって、その変化後の値が最初の値と同じもの。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
741	A		パルス列	ぱるすれつ	pulse train, pulse string	同様の特性をもつ一連のパルス。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
742	A		刻時信号、クロック信号、刻時パルス、クロックパルス	こくじしんごう、くろっくしんごう、こくじぱるす、くろっくぱるす	clock signal, clock pulse	時間間隔の計測や同期化のために使用される周期信号。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
743	A		信号変換、信号成形	しんごうへんかん、しんごうせいけい	signal transformation, signal shaping	最大値、波形、タイミングなどの信号の特性を一つ以上変えること。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
744	A		信号再生	しんごうさいせい	signal regeneration	元の特性と一致させるように、信号を復元する信号変換。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
745	A		許可信号	きょかしんごう	enabling signal	事象の生起を許す信号。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
746	A		抑止信号	よくししんごう	inhibiting signal	事象の生起を禁止する信号。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
747	A		パラメトロン	ぱらめとろん	parametron	共振回線のパラメタ励振現象を利用して1/2分周発振を起こさせ、この振動の2種の位相によって2進数字を表示させることによって、記憶又は論理演算の機能を行わせる論理	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
748	A		並列	へいれつ	parallel	互いに類似した別々の機能単位によって扱われる個々の事象がすべて同じ時間間隔内に生起する処理に関する用語。(例)内部バスを構成する複数の線によって機械の語を構成する複数のビットを並列に転送すること。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
749	A		直列	ちょくれつ	serial	すべての事象が一つずつ次々に生起する処理に関する用語。(例)CCITT勧告V.24に従って、文字を構成する複数のビットを直列に転送すること。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
750	A		順次、逐次	じゅんじ、ちくじ	sequential	すべての事象が、時間をおくことなく、一つずつ次々に生起する処理に関する用語。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
751	A		並行	へいこう	concurrent	共通の時間間隔内に生起し、共通の資源を交互に使用しなければならないこともある複数の処理に関する用語。(例)単一の命令制御装置をもつ計算機上の多重プログラミングにおいては、数個のプログラムが並行に実行される。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
752	A		同時	どうじ	simultaneous	一つの処理において、別々の機能単位によって扱われ、同じ時間間隔内に生起する二つ以上の事象に関する用語。(例)一つ以上のプログラムの実行において、入出力チャネル、入出力制御装置及び関連した周辺装置によって行われる幾つかの入出力操作は、互いに同時であり、また、処理装置によって直接操作される他の操作とも同時であり得	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
753	A		連続	れんぞく	consecutive	一つの処理において、それぞれの間に他のいかなる事象も生起しないで続く二つの事象に関する用語。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
754	A		先取り	さきどり	prefetch	進行中の処理と並行して、必要と思われる命令又はデータをあらかじめ読み取ること。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
755	A		機能設計	きのうせっけい	functional design	システムの構成要素の機能と構成要素間の動作上の関係を規定すること。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
756	A		論理設計	ろんりせっけい	logic design	記号論理学のような形式的な記述方法を用いる機能設計。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
757	A		論理図	ろんりず	logic diagram	論理設計の図形表現。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
758	A		論理記号	ろんりきごう	logic symbol	演算子、機能又は機能的関係を表す記号。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
759	A		論理回路、論理機構	ろんりかいろ、ろんりきこう	logic device	論理演算を行う回路又は機構。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
760	A		順序回路	じゅんじょかいろ	sequential circuit	ある瞬間における出力値が、その時点での入力値と内部状態とによって定まり、その内部状態は、直前の入力値と直前の内部状態とによって定まる論理回路。(備)順序回路は、有限個の内部状態をとることができるので、抽象的な観点からは有限オートマトンといかなる時点においても、出力値がその時の入力値だけによって定まる論理回路。(備)組合せ回路は、内部状態を考慮しなくてもよい順序回路の特別の場合である。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
761	A		組合せ回路	くみあわせかいろ	combinational circuit		JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
762	A		論理素子、ゲート	ろんりそし、げーと	gate, logic element	基本となる論理演算を行う組合せ回路。(備)論理素子は一般に1個の出力をもつ。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
763	A		否定素子、NOT素子、NOTゲート	ひていそし、NOTそし、NOTげーと	NOT gate,NOT element	ブール演算としての否定を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
764	A		排他素子、NOT-IF-THEN素子、NOT-IF-THENゲー	はいたそし、NOT-IF-TENそし、NOT-IF-THENげー	NOT-IF-THEN gate, NOT-IF-THEN element	ブール演算としての排他演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
765	A		論理積素子、AND素子、ANDゲート	ろんりせきそし、ANDそし、ANDげーと	AND gate, AND element	ブール演算としての論理積演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
766	A		排他的論理和素子、EXCLUSIVE-OR素子、EXCLUSIVE-ORゲート	はいたてきろんりわそし、EXCLUSIVE-ORそし、EXCLUSIVE-ORげーと	EXCLUSIVE-OR gate, EXCLUSIVE-OR element	ブール演算としての非等価演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
767	A		論理和素子、(INCLUSIVE-)OR素子、(INCLUSIVE-)ORゲート	ろんりわそし、(INCLUSIVE-)ORそし、(INCLUSIVE-)ORげーと	(INCLUSIVE-) OR gate, (INCLUSIVE-) OR element	ブール演算としての論理和演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
768	A		否定論理和素子、NOR素子、NORゲート	ひていろんりわそし、NORそし、NORげーと	NOR gate, NOR element	ブール演算としての否定論理和演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
769	A		等価素子、IF-AND-ONLY-IF素子、IF-AND-ONLY-IFゲート	とうかそし、IF-AND-ONLY-IFそし、IF-AND-ONLY-IFげーと	IF-AND-ONLY-IF gate, IF-AND-ONLY-IF element	ブール演算としての等価演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
770	A		含意素子、IF-THENゲート、IF-THEN素子	がんいそし、IF-THENげーと、IF-THENそし	IF-THEN gate, IF THEN element	ブール演算としての含意演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
771	A		否定論理積素子、NAND素子、NANDゲート	ひていろんりせきそし、NANDそし、NANDげーと	NAND gate, NAND element	ブール演算としての否定論理積を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
772	A		一致素子、一致ゲート	いっちそし、いっちげーと	identity gate, identity element	一致演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
773	A		しきい値素子、しきい値ゲート	しきいちそし、しきいちげーと	threshold gate, threshold element	しきい値演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
774	A		多数決素子、多数決ゲート	たすうけつそし、たすうけつげーと	majority gate, majority element	多数決演算を行う論理素子。	JIS X 0003	1989	ISO 2382-3	1987				1987	JTC1
775	B		文字	もじ	character	データを表現、構成又は制御するために用いる要素の集合(文字集合)の構成単位。(備)文字は次のように分類される。(#表有り)	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
776	B		文字集合	もじしゅうごう	character set	所定の目的を満たす、相異なる文字の完結した有限集合。(例)JIS X 0201(情報交換用符号)における文字集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
777	B		欧字[英字]集合	おうじ[えいじ]しゅうごう	alphabetic character set	欧字[英字]を必ず含み、制御文字、特殊文字も含むが、漢字、仮名、数字は含まない文字集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
778	B		欧字集合	おうじしゅうごう	alphabetic character set	欧字を必ず含み、制御文字、特殊文字も含むが、漢字、仮名、数字は含まない文字集	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
779	B		英字集合	えいじしゅうごう	alphabetic character set	英字を必ず含み、制御文字、特殊文字も含むが、漢字、仮名、数字は含まない文字集	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
780	B		数字集合	すうじしゅうごう	numeric character set	数字を必ず含み、制御文字、特殊文字も含むが、欧字、漢字、仮名は含まない文字集	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
781	B		欧数字[英数字]集合	おうすうじ[えいすうじ]しゅうごう	alphanumeric character set	欧字[英字]と数字の両方を必ず含み、制御文字、特殊文字も含む文字集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
782	B		欧数字集合	おうすうじしゅうごう	alphanumeric character	欧字と数字の両方を必ず含み、制御文字、特殊文字も含む文字集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
783	B		英数字集合	えいすうじしゅうごう	alphanumeric character	英字と数字の両方を必ず含み、制御文字、特殊文字も含む文字集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
784	B		2進文字集合	2しんもじしゅうごう	binary character set	二つの文字からなる文字集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
785	B		コード(体系)、符号(体系)	こーど(たいけい)、ふごう(たいけい)	code, coding scheme	第1の集合の要素を第2の集合の要素に対応付けさせる規則の集まり。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
786	B		コード化集合	こーどかしゅうごう	coded set	コードに従って、他の要素の集合に対応付けられている要素の集合。(例)3文字からなる省略語の集合に対応付けられている空港名の表。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
787	B		コード化文字集合	こーどかもじしゅうごう	coded character set	各要素が、単一文字からなるコード化集合。(例)7ビット2進数字列の集合に対応付けられるアルファベットの文字。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
788	B		コード要素、コード値、コード化表現	こーどようそ、こーどち、こーどかひょうげん	code element, code value, coded representation	コード化集合の一つの要素にコードを適用した結果。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
789	B		コード(要素)集合	こーど(ようそ)しゅうごう	code element set, code set	コード化集合の全要素にコードを適用した結果。(例)空港名を表す3文字の国際識別(コード)の全部。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
790	B		欧字[英字][数字][欧数字][英数字][2進][漢字]コード	おうじ[えいじ][すうじ][おうすうじ][えいすうじ][2しん][かんじ]こーど	alphabetic[numeric][alphanumeric][binary][kanji]code	欧字[英字][数字][欧数字][英数字][2進][漢字]の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
791	B		欧字コード	おうじこーど	alphabetic code	欧字の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
792	B		英字コード	えいじこーど	alphabetic code	英字の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
793	B		数字コード	すうじこーど	numeric code	数字の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
794	B		欧数字コード	おうすうじこーど	alphanumeric code	欧数字の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
795	B		英数字コード	えいすうじこーど	alphanumeric code	英数字の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
796	B		2進コード	2しんこーど	binary code	2進の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
797	B		漢字コード	かんじこーど	kanji code	漢字の文字集合に適用した結果としてコード要素集合を作るコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
798	B		欧字[英字][数字][欧数字][英数字][2進][漢字]コード化集合	おうじ[えいじ][すうじ][おうすうじ][えいすうじ][2しん][かんじ]こーどかしゅうごう	alphabetic[numeric][alphanumeric][binary][kanji]code set	欧字[英字][数字][欧数字][英数字][2進][漢字]の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
799	B		欧字コード化集合	おうじこーどかしゅうごう	alphabetic coded set	欧字の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
800	B		英字コード化集合	えいじこーどかしゅうごう	alphabetic coded set	英字の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
801	B		数字コード化集合	すうじこーどかしゅうごう	numeric coded set	数字の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
802	B		欧数字コード化集合	おうすうじこーどかしゅうごう	alphanumeric coded set	欧数字の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
803	B		英数字コード化集合	えいすうじこーどかしゅう	alphanumeric coded set	英数字の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
804	B		2進コード化集合	2しんこーどかしゅうごう	binary coded set	2進の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
805	B		漢字コード化集合	かんじこーどかしゅうごう	kanji coded set	漢字の文字集合の要素からなるコード化集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
806	B		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御文字以外の文字であって、通常、手書き、印字、表示によって生成される視覚表現をもつもの。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
807	B		欧字	おうじ	letter	欧文に使われる図形文字であって、単独で又は他の図形文字と組み合わせて用いたときに、本来話し言葉の発音要素を表すもの。(備)区別的発音符そのものや句読点は、欧	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
808	B		アルファベット	あるふぁべっと	alphabet	欧文に使われる順序付けられた文字集合であって、その順序に対し合意が得られているもの。(備)この定義には、区別的発音符つきの欧字を含む欧字によって表される文字からなる自然言語のアルファベットも含まれる。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
809	B		表意文字	ひょういもじ	ideogram, ideographic character	自然言語において、対象物又は概念と、それに対応した発音要素を表す図形文字。(例)中国の表意文字、又は日本の漢字。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
810	B		数字	すうじ	digit, numeric character	負でない整数を表す文字。(例)16進記数法における0から9及びAからFの文字の一つ。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
811	B		10進数字	10しんすうじ	decimal digit	10進記数法で用いられる数字。(例)アラビア数字の0から9までのうちの一つ。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
812	B		2進数字、ビット	2しんすうじ、びっと	bit,binary digit	2進記数法で用いられる数字。(例)純2進記数法では、0か1のどちらか。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
813	B		2進文字	2しんもじ	binary character	2進文字集合のどちらかの文字。(例)T(真)又はF(偽)、Y(肯定)又はN(否定)。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
814	B		空白(文字)	くうはく(もじ)	blank (character)	図形文字列において空いている位置を表す文字。(例)一部のプログラム言語で使われている。(備)空白文字と間隔文字とは異なる(04.04.03参照)。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
815	B		特殊文字	とくしゅもじ	special character	欧字、数字、仮名又は空白文字でなく、また通常、表意文字でもない図形文字。(例)句読点、通貨記号、パーセント記号、算術記号。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
816	B		英字、ローマ字	えいじ、ろーまじ	Roman letter	A、B、…、Z及び、a、b、…、zの52個の図形文字。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
817	B		仮名	かな	kana	日本語の文章を書き表すときに用いられる表音文字であって、片仮名と平仮名の2種類	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
818	B		漢字	かんじ	kanji	日本語の文章を書き表すときに用いられる表意文字。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
819	B		8進数字	8しんすうじ	octal digit	8進記数法で用いられる数字。(例)アラビア数字の0から7までのうちの一つ。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
820	B		16進数字	16しんすうじ	hexadecimal digit, sexadecimal digit	16進記数法で用いられる数字。(例)0から9までの数字及びA、B、C、D、E、Fの文字のうちの一つ。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
821	B		制御文字	せいぎょもじ	control character	特定の文脈中にあって、制御機能を指定する文字。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
822	B		伝送制御文字	でんそうせいぎょもじ	transmission control character	データ端末装置間でのデータの伝送を制御し、又は容易にするために使われる制御文字。(備)伝送制御文字は、JIS X 0201などに規定されている。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
823	B		間隔(文字)	かんかく(もじ)	space character	印字位置又は表示位置を、図形文字を作成しないで行に沿って1けた進める	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
824	B		書式制御文字	しょしきせいぎょもじ	format effector, layout character /GB/	印字、表示又は記録されるデータの位置を決めるために使われる制御文字。(備)書式制御文字は、JIS X 0201、JIS X 0211などに規定されている。*(注)英国だけで通用す	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
825	B		コード拡張文字	こーどかくちょうもじ	code extension character	次に続く一つ以上のコード要素を異なるコードに従って解釈することを指示するために使われる制御文字。(備)コード拡張文字はJIS X 0201、JIS X 0202などに規定されている。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
826	B		装置制御文字	そうちせいぎょもじ	device control character	計算機システムに用いられている周辺装置に対する制御機能を指定するために使われる制御文字。(備)装置制御文字は、JIS X 0201、JIS X 0211などに規定されている。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
827	B		列	れつ	string	全体として見たとき同じ性質をもつ要素の並び。例えば、文字の並び。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
828	B		記号[文字][欧字][2進数字]列	きごう[もじ][おうじ][2しんすうじ]れつ	symbol [character][alphabetic][binary digit] string	記号[文字][一つのアルファベットに含まれる欧字][2進数字]だけからなる列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
829	B		記号列	きごうれつ	symbol string	記号だけからなる列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
830	B		文字列	もじれつ	character string	文字だけからなる列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
831	B		欧字列	おうじれつ	alphabetic string	一つのアルファベットに含まれる欧字だけからなる列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
832	B		2進数字列	2しんすうじれつ	binary digit string	2進数字だけからなる列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
833	B		空列	くうれつ	null string	要素を全くもたない列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
834	B		単位列	たんいれつ	unit string	ただ一つの要素をもつ列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
835	B		位置	いち	position	列中の任意の場所であって、一つの要素が占めることができ、通し番号で識別されるも	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
836	B		nビットバイト	nびっとばいと	n-bit byte	nビットからなる列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
837	B		バイト	ばいと	byte,octet,8-bit byte	8ビットからなる列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
838	B		語	ご	word	何らかの目的から一つの単位とみなされる文字列。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
839	B		アルファベットの語	あるふぁべっとのご	alphabetic word	一つのアルファベットに含まれる欧字だけからなる語。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
840	B		数値(の)語	すうち(の)ご	numeric word	数字を必ず含み、間隔文字及び特殊文字も含むことがある語。(例)国際10進分類法においては、英語の医学百科事典を識別するために数値の語61(03)=20が使われている。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
841	B		機械(の)語、計算機の語	きかい(の)ご、けいさんきのご	machine word, computer word	特定の計算機による処理に適し、通常一つの単位として扱われる語。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
842	B		語長	ごちょう	word size, word length	1語の文字数。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
843	B		データの要素	でーたのようそ	data element	特定の文脈中で、不可分とみなされる1単位のデータ。(例)3けたの10進数字の組合せからなる値をもつデータ要素 “人の年齢”。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
844	B		欄、フィールド	らん、ふぃーるど	field	データ媒体上又は記憶装置中で、特定の種類のデータ要素に使用される指定領域。(例)画面上で賃金率の入力又は表示に使われる一連の文字位置。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
845	B		レコード	れこーど	record	1単位として取り扱われるデータ要素の集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
846	B		論理レコード	ろんりれこーど	logical record	論理的な観点から一つのレコードであると考えられる、関連したデータ要素の集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
847	B		物理レコード	ぶつりれこーど	physical record	データ媒体上又は記憶装置中の物理的位置に関連して考えたレコード。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
848	B		レコード長	れこーどちょう	record length,record size	1レコード中のバイト数(又は他の適当な単位の数)。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
849	B		ブロック	ぶろっく	block	単位として記録又は伝送される一連の要素。(備)この要素は、文字、語又はレコードであってよい。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
850	B		ブロック長	ぶろっくちょう	block size,block length	1ブロック中のバイト数(又は適当な単位の個数)。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
851	B		ブロック化因数	ぶろっくかいんすう	blocking factor	1ブロックに含まれるレコード数。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
852	B		ファイル	ふぁいる	file	1単位として格納又は処理され、名前をもつレコードの集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
853	B		ファイルの更新	ふぁいるのこうしん	file updating	ファイル中のデータの追加、削除又は変更の作業。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
854	B		ファイルの保守	ふぁいるのほしゅ	file maintenance	ファイルの更新又は再編成の作業。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
855	B		表、テーブル	ひょう、てーぶる	table	データの配列であって、その項目が引き数又はかぎによって識別できるもの。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
856	B		データバンク	でーたばんく	data bank	特定の事柄について、利用者が参照できるように構成されたデータの集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
857	B		データベース	でーたべーす	database	複数の独立した利用者に対して、要求に応じてデータを受け入れ、格納し、供給するためのデータ構造。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
858	B		項目、データ項目	こうもく、でーたこうもく	item, data item	データの集合の要素。(例)ファイルはレコードのような幾つかの項目からなり、更にそのレコードは他の項目からなっている。(備)情報処理の目的で、1単位として取り扱われる一連の文字又は語の集合をいう。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
859	B		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	ファイルなどを収容し、通常、取付け取外しのできるデータ媒体の管理上の単位。(備)一つのボリューム上に複数のファイルを収容することもあれば、複数のボリュームにわたって一つのファイルを収容することもある。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
860	B		リスト、並び	りすと、ならび	list	データ要素の順序付けられた集合。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
861	B		連鎖リスト、連結リスト	れんさりすと、れんけつりすと	chained list, linked list	リストの一種であって、データ要素は記憶装置中に分散していてもよいが、各データ要素が後続するデータ要素の位置に関する情報を含むもの。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
862	B		対称リスト	たいしょうりすと	symmetrical list	各データ要素が先行するデータ要素の位置に関する情報も含む連鎖リスト。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
863	B		線形リスト	せんけいりすと	linear list	データ要素の線形な順序集合であって、記憶装置中で記憶位置を順次割り当てることによって、その順序が保たれているもの。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
864	B		後入れ先出しリスト、スタック	あといれさきだしりすと、すたっく	pushdown list, (pushdown) stack	最後に格納されたデータ要素が最初に読み出されるように構成され維持されているリスト。(備)このデータ構成法は、last in, first out (LIFO)の特性をもつ。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
865	B		待ち行列、先入れ先出しリスト	まちぎょうれつ、さきいれさきだしりすと	queue, pushup list	最初に格納されたデータ要素が最初に読み出されるように構成され維持されているリスト。(備)この方法は"first in, first out"(FIFO)の特性をもつ。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
866	B		リスト処理	りすとしょり	list processing	リスト形式のデータを処理する方法。(備)データ要素の物理的位置を変えないで、その順序を変更できるように、通常、連鎖リストが使われる。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
867	B		区切り記号	くぎりきごう	delimiter	文字列の初め又は終わりを示すために使われる一つ以上の文字。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
868	B		識別子	しきべつし	identifier	データ要素を識別し又は名付け、必要に応じてデータ要素の性質を示すために使用される一つ以上の文字。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
869	B		ラベル	らべる	label	データ要素の集合に含まれるか、又は集合に付加される識別子。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
870	B		かぎ、キー	かぎ、きー	key	データ要素の集合に含まれる識別子。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
871	B		ポインタ	ぽいんた	pointer	他のデータ要素の位置を示すデータ要素。	JIS X 0004	1989	ISO 2382-4	1987		2002/8	1999	1999	JTC1
872	A		文字	もじ	character	データを表現、構成又は制御するために用いる要素の集合の構成単位。(備)文字は次のように分類される。(#表有り)	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
873	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	文字の有限集合であって、所定の目的を満たすもの。(例)JIS X 0221-1における文字集	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
874	A		欧字[英字]集合	おうじ[えいじ]しゅうごう	alphabetic character set	欧字[英字]を含み、特殊文字を含んでもよいが、数字は含まない文字集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
875	A		数字集合	すうじしゅうごう	numeric character set	数字を含み、特殊文字を含んでもよいが、通常は欧字を含まない文字集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
876	A		欧数字[英数字]集合	おうすうじ[えいすうじ]しゅうごう	alphanumeric character set	欧字[英字]及び数字を含み、特殊文字も含んでもよい文字集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
877	A		2進文字集合	2しんもじしゅうごう	binary character set	二つの文字からなる文字集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
878	A		コード(体系)、符号(体系)	こーど(たいけい)、ふごう(たいけい)	code, coding scheme	第1の集合の要素を第2の集合の要素に対応付けさせる規則の集まり。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
879	A		コード化集合、符号化集合	こーどかしゅうごう、ふごうかしゅうごう	coded set	コードに従って、他の要素の集合に対応付けられている要素の集合。(例)3文字からなる省略語の集合に対応付けられている空港名の表。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
880	A		コード化文字集合、符号化文字集合	こーどかもじしゅうごう、ふごうかもじしゅうごう	coded character set	各要素が、単一文字からなるコード化集合。(例)7ビットの列の集合に対応付けられるアルファベットの文字。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
881	A		コード値、コード要素、符号値、符号要素	こーどち、こーどようそ、ふごうち、ふごうようそ	code value, code element	コード化集合の一つの要素にコードを適用した結果。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
882	A		コード(要素)集合、符号(要素)集合	こーど(ようそ)しゅうごう、ふごう(ようそ)しゅうごう	code element set, code set	コード化集合の全要素にコードを適用した結果。(例)空港名を表す3文字の国際識別(コード)の全部。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
883	A		欧字[英字]コード、欧字[英字]符号	おうじ[えいじ]こーど、おうじ[えいじ]ふごう	alphabetic code	適用した結果として欧字コード(要素)集合[英字コード(要素)集合を作るコード。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
884	A		数字コード、数字符号	すうじこーど、すうじふごう	numeric code	適用した結果として数字コード(要素)集合を作るコード。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
885	A		欧数字[英字]コード、欧数字[英字]符号	おうすうじ[えいじ]こーど、おうすうじ[えいじ]ふごう	alphanumeric code	適用した結果として欧数字[英数字]コード(要素)集合を作るコード。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
886	A		2進コード、2進符号	2しんこーど、2しんふごう	binary code	適用した結果として2進コード(要素)集合を作るコード。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
887	A		欧字[英字]コード(要素)集合、欧字[英字]符号(要素)集合	おうじ[えいじ]こーど(ようそ)しゅうごう、おうじ[えいじ]ふごう(ようそ)しゅうごう	alphabetic code set, alphabetic code, element set	欧字集合[英字集合]の要素からなるコード(要素)集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
888	A		数字コード(要素)集合、数字符号(要素)集合	すうじこーど(ようそ)しゅうごう、すうじふごう(ようそ)しゅうごう	alphabetic coded set	数字集合の要素からなるコード(要素)集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
889	A		欧数字[英数字]コード(要素)集合、欧数字[英数字]符号(要素)集合	おうすうじ[えいすうじ]こーど(ようそ)しゅうごう、おうすうじ[えいすうじ]ふごう(ようそ)しゅうごう	alphabetic coded set, alphabetic code, element set	欧数字[英数字]の要素からなるコード(要素)集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
890	A		2進コード(要素)集合、2進符号(要素)集合	2しんこーど(ようそ)しゅうごう、2しんふごう(ようそ)しゅうごう	binary coded set, binary coded element set	2進文字集合の要素からなるコード(要素)集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
891	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能文字以外の文字であって、通常、手書き、印字、表示によって生成される視覚表現をもつもの。(備)テキスト中で、制御機能文字を表すために図形文字を使ってもよ	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
892	A		欧字	おうじ	letter, alphabetic character	図形文字であって、単独で又は他の図形文字と組み合わせて用いたときに、書き言葉の概念又は話言葉の発音要素を表すもの。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
893	A		アルファベット	あるふぁべっと	alphabet	文字集合であって、その要素の順序に対し合意が得られているもの。(例)128個のASCII	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
894	A		英字、ラテン字	えいじ、らてんじ	Roman letter	A、B、、、、、、、、、Z及びa、b、、、、、、、、、zの52個の図形文字。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	
895	A		表意文字	ひょういもじ	ideogram,, ideographic character	自然言語において、対象物又は概念と、それに対応した発音要素を表す図形文字。(例)中国の表意文字、又は日本の漢字。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
896	A		数字	すうじ	digit, numeric character	自然数を表す文字。(例)10進記数法における0～9の文字の一つ。16進記数法におけるそれらの数字及びA～Fの欧字の一つ。(備)1.数学用語"自然数"は、負でないすべての整数を表す。2.これはJIS X 0001の01.02.12の定義を変更したものである。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
897	A		欧数字[英数字]	おうすうじ[えいすうじ]	alphabetic character	欧数字[英数字]集合の文字の一つ。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	
898	A		10進数字	10しんすうじ	decimal digit	10進記数法で用いられる数字。(例)アラビア数字の0～9の文字の一つ。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
899	A		16進数字	16しんすうじ	hexadecimal digit	16進記数法で用いられる数字。(例)図形文字0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、A、B、C、D、	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	
900	A		ビット、2進数字	びっと、2しんすうじ	bit,, binary digit	2進記数法で用いられる数字0又は1。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
901	A		2進文字	2しんもじ	binary character	2進文字集合のどちらかの文字。(例)T(真)又はF(偽)、Y(肯定)又はN(否定)。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
902	A		空白(文字)	くうはく(もじ)	blank, blank character	図形文字列において空いている位置を表す文字。(例)一部のプログラム言語で使われている。(備)空白文字と間隔文字とは異なる(04.04.03参照)。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
903	A		特殊文字	とくしゅもじ	special character	表音文字、数字又は空白文字でなく、また通常、表意文字でもない図形文字。(例)句読点、パーセント記号、算術記号。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
904	A		制御機能文字	せいぎょきのうもじ	control character	特定の文脈中にあって、制御機能を指定する文字。(備)1.制御文字は後の動作で使用するために記録されることもある。2.制御文字は図形文字ではないが、場合によっては図形を用いて表現することがある。3.制御文字は、JIS X 0201、JIS X 0211などに規定され	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
905	A		伝送制御機能文字	でんそうせいぎょきのうもじ	transmission control character	データ端末装置間でのデータの伝送を制御し、又は容易にするために使われる制御機能文字。(備)伝送制御機能文字は、JIS X 0201及びJIS X 0201に規定されている。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
906	A		間隔(文字)	かんかく(もじ)	space character	印字位置又は表示位置を、図形文字を作成しないで行に沿って1けた進める文字。(備)間隔文字は、JIS X 0221-1、JIS X 0201及びJIS X 0202に規定されている。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
907	A		書式制御機能文字	しょしきせいぎょきのうもじ	format effector	印字、表示又は記録されるデータの位置を決めるために使われる制御機能文字。(備)書式制御機能文字は、JIS X 0201-1、JIS X 0211などに規定されている。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
908	A		コード拡張機能文字	こーどかくちょうきのうもじ	code extension character	次に続く一つ以上のコード要素を異なるコードに従って解釈することを指示するために使われる制御機能文字。(備)コード拡張機能文字はJIS X 0201-1、JIS X 0202などに規定	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
909	A		装置制御機能文字	そうちせいぎょきのうもじ	device control character	データ処理システムに用いられている周辺装置に対する制御機能を指定するために使われる制御機能文字。(備)装置制御機能文字は、JIS X 0201-1、JIS X 0211などに規定	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
910	A		列	れつ	string	全体として見たとき同じ性質をもつ要素の並び。例えば、文字の並び又はビットの並び。(備)列は空であってもよいし、ただ一つの要素だけからなっていてもよい。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
911	A		文字列	もじれつ	character string	文字だけからなる列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
912	A		欧字[英字]列	おうじ[えいじ]れつ	alphabetic string	一つのアルファベットに含まれる欧字[英字]だけからなる列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
913	A		ビット列	びっとれつ	bit string	ビットだけからなる列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	
914	A		空列	くうれつ	null string	要素を全くもたない列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
915	A		単位列	たんいれつ	unit string	ただ一つの要素をもつ列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
916	A		位置	いち	position	列中の任意の場所。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
917	A		バイト	ばいと	byte	幾つかのビットからなる列であって、一つの単位として扱われ、通常は一つの文字又はその一部分を表すもの。(備)1.一つのデータ処理システムでは、バイト中のビット数は固定されている。2.バイト中のビット数は、通常8である。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
918	A		nビットバイト	nびっとばいと	n-bit byte	nビット数が明示的に指定されているバイト。(例)7ビットバイト	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
919	A		8ビットバイト	8びっとばいと	8-bit byte	8ビットからなる列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	
920	A		語	ご	word	何らかの目的から一単位とみなされる文字列又はビット列。(備)機械の語の長さは計算機の構成によって定義されるが、テキスト処理における後は、特殊文字又は制御機能文字によって区切られる。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
921	A		アルファベットの語	あるふぁべっとのご	alphabetic word	一つの欧字集合に含まれる文字だけからなる語。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
922	A		数値(の)語	すうち(の)ご	numeric word	数字を含み、間隔文字及び特殊文字も含むことがある語。(例)AFNORの電話番号を表すために"33(1)42 91 55 55"と書いた列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
923	A		欧数字[英数字]の語	おうすうじ[えいすうじ]のご	alphabetic word	一つの欧数字[英数字]集合に含まれる文字だけからなる語。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	
924	A		機械(の)語、計算機の語	きかい(の)ご、けいさんきのご	computer word, machine word	特定の計算機による処理に適し、通常一単位として扱われる語。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
925	A		語長	ごちょう	word length, word size	1語中の文字又はビットの数。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
926	A		データの要素	でーたのようそ	data element	特定の文脈中で、不可分とみなされる1単位のデータ。(例)3けたの10進数字の組合せからなる値をもつデータ要素 "人の年齢"。(備)JIS X 0017中の17.06.02の定義とは異な	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
927	A		欄、フィールド	らん、ふぃーるど	field	データ媒体上又は記憶装置中で、特定の種類のデータ要素に使用される指定領域。(例)画面上で賃金率の入力又は表示に使われる一連の文字位置。(備)JIS X 0017中の17.05.12の定義とは異なる。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
928	A		レコード	れこーど	record	1単位として取り扱われるデータ要素の集合。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
929	A		論理レコード	ろんりれこーど	logical record	物理的な環境とは独立に、論理的な観点から一つのレコードであると考えられる、関連したデータ要素の集合。(備)一つの論理レコードの各部分が異なる複数の物理レコード中に配置されてもよく、複数の論理レコード又はそれらの各部分が一つの物理レコード中に	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
930	A		物理レコード	ぶつりれこーど	physical record	データ媒体上又は記憶装置中の一つの物理的位置に配置されたレコード。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
931	A		レコード長	れこーどちょう	record length,record size	1レコード中のバイト数(又は他の適切適当な単位の数)。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
932	A		ブロック	ぶろっく	block	なんらかの目的から一単位とみなされる文字、後又はレコードの列。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
933	A		ブロック長	ぶろっくちょう	block size,block length	1ブロック中のバイト数(又は適切適当な単位の個数)。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
934	A		ブロック化因数	ぶろっくかいんすう	blocking factor	1ブロックに含まれるレコードの最大数。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
935	A		ファイル	ふぁいる	file	1単位として扱われる、名前をもつレコードの集合。(備)これはJIS X 0001における01.08.06の定義を変更したものである。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
936	A		ファイルの更新	ふぁいるのこうしん	file updating	ファイル中のデータの追加、削除又は変更の作業。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
937	A		ファイルの保守	ふぁいるのほしゅ	file maintenance	ファイルの更新又は再編成の作業。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
938	A		表、テーブル	ひょう、てーぶる	table	データの配列であって、その項目が引き数又はかぎによって識別できるもの。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
939	A		リスト、並び	りすと、ならび	list	関連する項目の順序付けられた有限の集合。(備)リストの項目がリストであってもよい。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
940	A		連鎖リスト、連結リスト	れんさりすと、れんけつりすと	chained list, linked list	リストの一種であって、項目は記憶装置中に分散していてもよいが、各項目が後続する項目の位置を表すデータを含むもの。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
941	A		環状リスト、リング	かんじょうりすと、りんぐ	circular list, ring	連結リストであって、任意の位置から出発してすべての項目を処理した後、出発点に選考する項目に戻るもの。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
942	A		双方向リスト、対称リスト	そうほうこうりすと、たいしょうりすと	symmetrical list, bidirectional list	各項目が、先行するデータ要素の位置を表すデータも含む連結連鎖リスト。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
943	A		線形リスト	せんけいりすと	linear list	それ自身がリストではない項目から構成したリスト。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
944	A		スタック、後入れ先出しリスト	すたっく、あといれさきだしりすと	stack, pushdown list, (pushdown)	最後に挿入格納された項目が次に検索されるように構成され維持されているリスト。(備)この方法は、“last-in-first-out”(LIFO)の特性をもつ。2.省略	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
945	A		待ち行列、先入れ先出しリスト	まちぎょうれつ、さきいれさきだしりすと	queue, pushup list	最初に挿入された項目が次に検索されるように構成され維持されているリスト。(備)1.この方法は、“first-in-first-out”(FIFO)の特性をもつ。2.省略	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
946	A		リスト処理	りすとしょり	list processing	リスト形式のデータを処理する方法。(備)項目の物理的位置を変えないで、その順序を変更できるように、通常、連結リストが使われる。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
947	A		両頭待ち行列	りょうとうまちぎょうれつ	dequeue, double-ended queue	どちらの端においても、挿入及び検索ができるように構成され維持されているリスト	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
948	A		ヒープ	ひーぷ	heap	要素の順序が定義されていない、動的に維持されているリスト	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
949	A		区切り記号	くぎりきごう	delimiter	文字列の初め又は終わりを示すために使われる一つ以上の文字。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
950	A		識別子	しきべつし	identifier	データ要素を識別し又は名付け、必要に応じてデータ要素の性質を示すために使用される一つ以上の文字。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
951	A		かぎ、キー	かぎ、きー	key	データ要素の集合に含まれる識別子。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
952	A		ポインタ	ぽいんた	pointer	他のデータ要素の位置を示すデータ要素。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
953	A		ラベル	らべる	label	データ要素の集合に含まれるか、又は集合に付加される識別子。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
954	A		内部ラベル	ないぶらべる	internal labl	データ媒体上に記録されたラベルであって、そのデータ媒体上に記録されたデータに関する情報を与えるもの。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
955	A		ボリュームラベル、ボリューム始めラベル、ボリューム見出し	ぼりゅーむらべる、ぼりゅーむはじめらべる、ぼりゅーむみだし	volume label, beginning-of-volume label, volume header	ボリュームを識別し、そのデータの始まりを示す内部ラベル。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
956	A		ボリューム終わりラベル、EOV	ぼりゅーむおわりらべる、EOV	end-of-volume label, EOV	ボリュームに含まれるデータの終わりを示す内部ラベル。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
957	A		見出しラベル、HDR、ファイル始めラベル	みだしらべる、HDR、ふぁいるはじめらべる	header label, HDR, beginning-of-file label	ファイルを識別し、その場所を指定し、ファイル制御に用いるデータを含む内部ラベル。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
958	A		ファイル終わりラベル、EOF、後書きラベル	ふぁいるおわりらべる、EOF、あとがきらべる	end-of-file label, EOF, trailer label	ファイルの終わりを示す内部ラベルであって、ファイル制御に用いるデータを含むことがある。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
959	A		ノード、節点	のーど、せってん	node	データ構造において、従属する項目が始まる点。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
960	A		木、根付き木	き、ねつきき	tree, rooted tree	階層的に結合されたノードを含むデータ構造であって、各ノードには一つ以下の親ノードがあり、ただ一つの根ノードをもつもの。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
961	A		部分木	ぶぶんき	subtree	木の中の任意のノード、及びそれに接続するすべての従属ノード。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
962	A		順序木	じゅんじょき	ordered tree	各ノードの部分木の順序に意味がある木。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
963	A		2分木、2進木	2ぶんき、2しんき	binay tree	順序木であって、各ノードがそれに直接従属する、他の、二つ以下のノードをもつもの。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
964	A		(木の)高さ	(きの)たかさ	height	根ノードから終端ノードに至る任意の経路中の、ノード数の最大値。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
965	A		平衡木、高さ平衡木	へいこうき、たかさへいこうき	balanced tree, height-balanced tree	各ノードがもつ直接の部分木の高さの差が1以下であるような木。	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
966	A		B木	Bき	B-tree	平衡木の一種であって、根ノードから終端ノードに至るすべての経路が同じ長さをもつも	JIS X 0004	2002	ISO/IEC 2382-4	1999				1999	JTC1
967	B		表記法	ひょうきほう	notation	データを表現するための記号の集合及びその使い方の規則。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
968	B		記数法	きすうほう	numeration system, number representation	数を表現するための表記法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
969	B		数表現	すうひょうげん	number representation, numeration	記数法による数の表現。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
970	B		離散的表現	りさんてきひょうげん	discrete representation	文字によるデータの表現。各々の文字又は文字の集まりは、多数の選択可能なもののうちの一つを指定する。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
971	B		離散的データ	りさんてきでーた	discrete data	文字によって表現されたデータ。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
972	B		数表示	すうひょうじ	numeral	数の離散的表現。(例)次の四つの数表示は、同じ数、十二を表したものである。Twelve 英語による数表示。 12 10進記数法 XII ローマ数字による表示 1100 2進記数法	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
973	B		2[8][10][16]進数(表示)	2[8][10][16]しんすう(ひょうじ)	binary [octal] [decimal] [hexadecimal] numeral	2[8][10][16]進記数法における表示。(例)101は2進数表示であり、Vは等価なローマ数字による数表示である。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
974	B		2進数(表示)	2しんすう(ひょうじ)	binary numeral	2進記数法における数表示。(例)101は2進数表示であり、Vは等価なローマ数字による数表示である。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
975	B		8進数(表示)	8しんすう(ひょうじ)	octal numeral	8進記数法における数表示。(例)101は2進数表示であり、Vは等価なローマ数字による数表示である。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
976	B		10進数(表示)	10しんすう(ひょうじ)	decimal numeral	10進記数法における数表示。(例)101は2進数表示であり、Vは等価なローマ数字による数表示である。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
977	B		16進数(表示)	16しんすう(ひょうじ)	hexadecimal numeral	16進記数法における数表示。(例)101は2進数表示であり、Vは等価なローマ数字による数表示である。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
978	B		数値表現	すうちひょうげん	numeric representation	数表示によるデータの離散的表現。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
979	B		数値データ	すうちでーた	numeric data	数表示によって表現されたデータ。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
980	B		ディジタル表現	でぃじたるひょうげん	digital representation	変数の量子化された値の離散的表現。すなわち、数字と、場合によっては特殊文字及び間隔文字とによる数の表現。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
981	B		ディジタルデータ	でぃじたるでーた	digital data	数字並びに場合によっては特殊文字及び間隔文字によって表現されたデータ。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
982	B		欧数字[英数字]データ	おうすうじ[えいすうじ]でー	alphanumeric data	欧字[英字]及び数字並びに場合によっては特殊文字及び間隔文字によって表現された	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
983	B		英数字データ	えいすうじでーた	alphanumeric data	英字及び数字並びに場合によっては特殊文字及び間隔文字によって表現されたデータ。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
984	B		欧数字データ	おうすうじでーた	alphanumeric data	欧字及び数字並びに場合によっては特殊文字及び間隔文字によって表現されたデータ。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
985	B		アナログ表現	あなろぐひょうげん	analog representation	連続的に変わりうると考えられる物理量による変数値の表現であって、その物理量の大きさは、その変数又はその変数の適当な関数に正比例するもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
986	B		アナログデータ	あなろぐでーた	analog data	連続的に変わりうると考えられる物理量によって表現されたデータであって、その大きさは、そのデータ又はそのデータの適当な関数に正比例するもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
987	B		ディジタル化する	でぃじたるかする	to digitize	離散的データでないデータをディジタル形式で表現すること。(例)ある物理量の大きさのディジタル表現をその大きさのアナログ表現から得ること。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
988	B		底	てい	base, radix (deprecated in this sense)	記数法において、表現される数を決定するために、指数で示される値によってべき乗され、かつそれに仮数が乗じられる数。(例)次の式の数5(#2.8×5の2乗)=70。*(注)この意味では使用しないほうがよい。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
989	B		符号位置	ふごういち	sign position	通常、数表示の一端の位置であって、その数表示で表現された数の代数符号を示す標識を置くもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
990	B		符号ビット[符号文字][符号数字]	ふごうびっと[ふごうもじ][ふごうすうじ]	sign bit [sign character] [sign digit]	符号位置を占める2進数字又は2進文字[文字][数字]であって、その数表示が表現する数の代数符号を示すもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
991	B		符号ビット	ふごうびっと	sign bit	符号位置を占める2進数字又は2進文字であって、その数表示が表現する数の代数符号を示すもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
992	B		符号文字	ふごうもじ	sign character	符号位置を占める2進数字又は2進文字であって、その数表示が表現する数の代数符号を示すもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
993	B		符号数字	ふごうすうじ	sign digit	符号位置を占める2進数字であって、その数表示が表現する数の代数符号を示すもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
994	B		有効数字、有効けた	ゆうこうすうじ、ゆうこうけ	significant digit	数表示において、与えられた正確度又は精度を保つために必要な数字。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
995	B		位取り表現法、位取り表記法	くらいどりひょうげんほう、くらいどりひょうきほう	positional (representation) system, positional notation	文字の順序付けられた集合によって数を表現する記数法であって、一つの文字のもつ値が、その位置とそれ自体の値とに依存するもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
996	B		位取り表現	くらいどりひょうげん	positional representation	位取り表現法による数の表現。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
997	B		数字位置	すうじいち	digit place, digit position	位取り表現法において、文字が占める各々の場所であって、順序数又は同等な識別子によって識別されるもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
998	B		重み	おもみ	weight	位取り表現法における各数字位置の係数であって、各数字位置における文字によって表現される値にそれぞれの係数を乗じて加え合わせると、この表現における数の値が得ら	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
999	B		最大有効数字[最大有効ビット]	さいだいゆうこうすうじ[さいだいゆうこうびっと]	most significant digit [bit], MSD [MSB]	位取り表現法において、最大の重みをもつ数字[ビット]位置。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1000	B		最大有効数字、MSD(省略形)	さいだいゆうこうすうじ、MSD	most significant digit, MSD	位取り表現法において、最大の重みをもつ数字位置。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1001	B		最大有効ビット、MSB(省略形)	さいだいゆうこうびっと、MSB	most significant bit, MSB	位取り表現法において、最大の重みをもつビット位置。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1002	B		最小有効数字[最小有効ビット]	さいしょうゆうこうすうじ[さいしょうゆうこうびっと]	least significant digit [bit], LSD [LSB]	位取り表現法において、最小の重みをもつ数字[ビット]位置。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1003	B		最小有効数字、LSD(省略形)	さいしょうゆうこうすうじ、LSD	least significant digit, LSD (abbreviation)	位取り表現法において、最小の重みをもつ数字位置。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1004	B		最小有効ビット、LSB(省略形)	さいしょうゆうこうびっと、LSB	least significant bit, LSB (abbreviation)	位取り表現法において、最小の重みをもつビット位置。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1005	B		基数記数法、基数表記法	きすうきすうほう、きすうひょうきほう	radix (numeration) system, radix notation	ある数字位置の重みと、それより一つ低い数字位置の重みとの比が正の整数である位取り表現法。(備)ある数字位置の文字の可能な値は、ゼロからその数字位置の基数より1小さい値までである。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1006	B		基数	きすう	radix	基数記数法における数字位置に関する正の整数であって、その数字位置の重みにそれを乗じると、一つ上位の重みをもつ数字位置の重みになるもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1007	B		小数点	しょうすうてん	radix point	基数記数法で表される数の表現において、整数部の文字と小数部の文字とを分ける位	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1008	B		混合基数記数法、混合基数表記法	こんごうきすうきすうほう、こんごうきすうひょうきほう	mixed radix (numeration) system, mixed radix	数字位置がすべて同じ基数をもつとは限らない基数記数法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1009	B		固定基数記数法、固定基数表記法	こていきすうきすうほう、こていきすうひょうきほう	fixed radix (numeration) system, fixed radix notation	すべての数字位置が同じ基数をもつ基数記数法。ただし、最大の重みをもつ数字位置を除く。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1010	B		10進記数法	10しんきすうほう	decimal (numeration) system	数字の0、1、2、3、4、5、6、7、8及び9を使い、基数が10で、整数部の最下位の数字位置の重みが1である固定基数記数法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1011	B		16進記数法	16しんきすうほう	hexadecimal (numeration) system	16個の数字0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、A、B、C、D、E及びFを使い、基数が16で、整数部の最下位の数字位置の重みが1である固定基数記数法。A、B、C、D、E及びFは、それぞれ10、11、12、13、14及び15を表す。(例)16進記数法では、3E8という数表示は、1000すなわち、(#3x16の2乗+14x16の1乗+8x16の0乗)という数字を表現する。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1012	B		8進記数法	8しんきすうほう	octal (numeration) system	数字0、1、2、3、4、5、6、7及び8を使い、基数が8で、整数部の最下位の数字位置の重みが1である固定基数記数法。(例)8進記数法では、1750という数表示は、1000すなわち、(#1x8の3乗+7x8の2乗+5x8の1乗+0x8の0乗)という数字を表現する。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1013	B		2進記数法	2しんきすうほう	binary (numeration) system	数字0及び1を使い、基数が2である固定基数記数法。(例)この記数法では、数表示110.01は10進記数法における数6.25を表す。すなわち、(#1x2の2乗+1x2の1乗+1x2のマ	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1014	B		10進小数点	10しんしょうすうてん	decimal point	10進記数法における小数点。(備)10進小数点は、いろいろな慣習に応じて、コンマ、ピリオド又は数字の半分の高さの位置にある点によって表現される。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1015	B		固定小数点表示法	こていしょうすうてんひょうじほう	fixed-point representation system	合意が得られている何らかの約束によって、小数点が一連の数字位置中に暗示的に固定されている基数記数法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1016	B		可変小数点表示法	かへんしょうすうてんひょうじほう	variable-point representation system	小数点がその位置にある特殊文字によって明示的に示されている基数記数法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1017	B		混合基底記数法、混合基底表記法	こんごうきていきすうほう、こんごうきていひょうきほう	mixed base (numeration) system, mixed base	仮数と底とからなる一連の項の和として数が表される記数法であって、各項の底はその適用が決まれば一定であるが、すべての項の底の間は必ずしも整数比ではない。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1018	B		浮動小数点表示法	ふどうしょうすうてんひょうじほう	floating-point (representation) system	一対の数表示で実数が表される記数法であって、一方の数表示で与えられた仮数と、暗示的に定められている浮動小数点基底を他方の数表示で与えられた指数でべき乗することによって得られた値との積がその実数となるもの。(備)浮動小数点表示法においては、同じ数に対して、小数点を移動し、それに従って指数を調整することによって得られ	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1019	B		浮動小数点表示	ふどうしょうすうてんひょうじ	floating-point representation	浮動小数点表示法による実数の表現。(例)数0.0001234の浮動小数点表示は、0.1234-3である。ここで、0.1234は仮数、-3は指数である。これらの数表示は、可変小数点の10進記数法で表されている。暗示的に定められた浮動小数点基底は10である。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1020	B		仮数(浮動小数点表示における)	かすう(ふどうしょうすうてんひょうじにおける)	mantissa (in a floating-point representation)	浮動小数点表示において、表現される実数を決定するために暗示的に定められている浮動小数点基底をその指数だけべき乗したものに掛けられる数表示。(例)05.04.02の例を参照。*(注)(浮動小数点表示における)	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1021	B		指数(浮動小数点表示における)	しすう(ふどうしょうすうてんひょうじにおける)	exponent (in a floating-point representation)	浮動小数点表示において、表現される実数を決定するために仮数との乗算に先立ち、暗示的に定められた浮動小数点基底にべき乗すべき数表示。(例)05.04.02の例を参照。*(注)(浮動小数点表示における)	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1022	B		指数部(浮動小数点表示における)	しすうぶ(ふどうしょうすうてんひょうじにおける)	characteristic	浮動小数点表示において、指数を表す数表示。(備)指数部は、指数とある定数だけ違うことがしばしばある。この場合は、バイアス付き指数という。例えば、この定数を64とすると、05.04.02の例の浮動小数点表示は、次のようになる。0.123461。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1023	B		浮動小数点基底、浮動小数点基数	ふどうしょうすうてんきてい、ふどうしょうすうてんきすう	floating-point base, floating-point radix	浮動小数点表示法において、暗示的に固定された、1より大きい正整数の底であって、指数によって明示的に示された値又は指数部によって表現された値によってべき乗され、そして表現される実数を決定するために、その仮数が乗じられるもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1024	B		正規形(浮動小数点表示における)	せいきけい(ふどうしょうすうてんひょうじにおける)	normalized form (in a floating-point representation), standard form (in a floating-point representation)	浮動小数点表示法において、どのような実数も一意的な一対の数表示で表せるように、仮数をあらかじめ決められた標準の範囲に収めた形。*(注)(浮動小数点表示における)	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1025	B		正規化する(浮動小数点表示法における)	せいきかする(ふどうしょうすうてんひょうじほうにおける)	to normalize	浮動小数点表示法において、表現されている実数は変化させずに、仮数がある決められた範囲内に収まるように仮数を調整し、それに対応して指数部も調整する。*(注)(浮動小数点表示における)	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1026	B		10進表記法	10しんひょうきほう	decimal notation	10個の異なる文字、通常は、10進数字を使う表記法。(例)1.文字列196912312359は、1970年が始まる1分前の日付と時刻とを表現している。2.国際10進分類法(UDC)で使わ	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1027	B		2進表記法	2しんひょうきほう	binary notation	二つの異なる文字、通常は、2進数字の0と1を使う表記法。(例)交番2進コードは2進表記法であるが、2進記数法ではない。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1028	B		ビット位置	びっといち	bit position	2進表記法における語の中の文字の位置。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1029	B		2進化表記法	2しんかひょうきほう	binary-coded notation	各々の文字が2進数表示で表現されている2進表記法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1030	B		2進化10進表記法、BCD、2進化10進符号	2しんか10しんひょうきほう、BCD、2しんか10しんふごう	binary-coded decimal notation, BCD, binary-coded decimal representation, binary-	各々の10進数字が2進数字で表現されている2進化表記法。(例)重みが8-4-2-1である2進化10進表記法では、数23は0010 0011で表現される(2進記数法における表現10111と同じ)。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1031	B		3増し符号	3ましふごう	excess three code	10進数字nが、(n+3)を表現する2進数表示で表現される2進化10進表記法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1032	B		5-2選符号	5-2せんふごう	two-out-of-five code	各々の10進数字が5個の2進数字からなる2進数表示で表現される2進化10進表記法であって、その5個のうち2個は一方の2進数字、慣習では1、残りの3個は他方の2進数字、慣習では0をとるようになっているもの。(備)通常の重みは、00110という0の表現を除い	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1033	B		2-5進符号	2-5しんふごう	biquinary code	10進数字nが一対の数表示aとbで表される表記法であって、aは0又は1、bは0、1、2、3又は4で、(5a+b)がnに等しいもの。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1034	B		パック10進表記法	ぱっく10しんひょうきほう	packed decimal notation	二つの連続した10進数字にそれぞれ4ビットを割り当てて、1バイトで表現する2進化10進表記法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1035	B		アンパック10進表記法	あんぱっく10しんひょうき	unpacked decimal notation	各々の10進数字が、1バイトで表現される2進化10進表記法。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1036	B		補数	ほすう	complement	与えられた数を、ある決められた数から引くことによって得られる数。(例)固定基数記数法において、この決められた数は基数のべき乗であるか、又は基数の与えられたべき乗より1小さいものである。(備)負の数は、しばしば補数で表現される。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1037	B		基数の補数	きすうのほすう	radix complement	固定基数記数法において、与えられた数を、基数のある決められたべき乗から引くことによって得られる補数。(例)3けたを使い、基数のべき乗が1000である10進記数法では、830は170の基数の補数である。(備)基数の補数は、最初に減基数の補数を導き出し、	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1038	B		10の補数	10のほすう	tens complement, complement on ten	10進記数法における基数の補数。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1039	B		2の補数	2のほすう	twos complement	2進記数法における基数の補数。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1040	B		減基数の補数、基数-1の補数	げんきすうのほすう、きすう-1のほすう	diminished radix complement, radix-minus-one complement	固定基数記数法において、与えられた数を、基数のある決められたべき乗より1小さい数から引くことによって得られる補数。(備)減基数の補数は、与えられた数の各々の数字を基数より1小さい数字から引くことによって得られる。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1041	B		9の補数	9のほすう	nines complement, complement on nine	10進記数法における減基数の補数。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1042	B		1の補数	1のほすう	ones complement, complement on one	2進記数法における減基数の補数。	JIS X 0005	1990	ISO 2382-5	1989		2002/8	1999	1999	JTC1
1043	A		表記法	ひょうきほう	notation	データを表現するための記号の集合及びその使い方の規則。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1044	A		記数法	きすうほう	numeration system, number representation	数を表現するための表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1045	A		数表現	すうひょうげん	number representation, numeration	記数法による数の表現。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1046	A		離散的表現	りさんてきひょうげん	discrete representation	文字によるデータの表現であって、文字又は文字の集まりが、とり得る値の一つを表すも	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1047	A		離散的データ	りさんてきでーた	discrete data	文字のように、異なる要素で構成されるデータ、又は整数のように、別々のものとして認識できる一つ以上の値で表すことのできるデータ。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1048	A		数表示	すうひょうじ	numeral	数の離散的表現。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1049	A		2進数(表示)	2しんすう(ひょうじ)	binary numeral	2進記数法における数表示。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1050	A		8進数(表示)	8しんすう(ひょうじ)	octal numeral	8進記数法における数表示。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1051	A		10進数(表示)	10しんすう(ひょうじ)	decimal numeral	10進記数法における数表示。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1052	A		16進数(表示)	16しんすう(ひょうじ)	hexadecimal numeral	16進記数法における数表示。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1053	A		数値表現	すうちひょうげん	numeric representation	数表示によるデータの表現。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1054	A		数値データ	すうちでーた	numeric data	数表示によって表現されたデータ。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1055	A		ディジタル表現	でぃじたるひょうげん	digital representation	数字と、場合によっては特殊文字及び間隔(文字)とによる数の表現。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1056	A		ディジタルデータ	でぃじたるでーた	digital data	数字と、場合によっては特殊文字及び間隔(文字)とによって表現されたデータ。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1057	A		ディジタル化データ	でぃじたるかでーた	digitized data	量子化され、ディジタル表現に適している値。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	
1058	A		欧数字(英数字)データ	おうすうじ(えいすうじ)でーた	alphanumeric data	欧字(英字)及び数字と、場合によっては特殊文字及び間隔(文字)とによって表現されたデータ。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1059	A		アナログ表現	あなろぐひょうげん	analog representation	連続的に変わりうると考えられる物理量による変数値の表現であって、その物理量の大きさが、その変数又はその変数の適当な関数に正比例するもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1060	A		アナログデータ	あなろぐでーた	analog data	連続的に変わりうると考えられる物理量によって表現されたデータであって、その大きさが、そのデータ又はそのデータの適当な関数に正比例するもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1061	A		ディジタル化する	でぃじたるかする	<to> digitize	離散的データでないデータをディジタル形式で表現する。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1062	A		定数	ていすう	literal	文法的な観点から、直接、値を表す字句単位。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1063	A		数値定数	すうちていすう	numeric literal	数表現で用いる数字及びその他の文字から構成される定数であって、通常の算術演算に適するもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1064	A		整定数	せいていすう	integer literal	整数を表すために使われる数値定数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1065	A		実定数	じつていすう	real literal	実数を表すために使われる数値定数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1066	A		10進定数	10しんていすう	decimal literal	10進数を表すために使われる数値定数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1067	A		底付き定数	そこつきていすう	based literal	基数を明示的に表現する形式で、数を表すために使われる数値定数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1068	A		文字定数	もじていすう	character literal	ただ一つの文字からなる定数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1069	A		列定数	れつていすう	string literal, string	0個以上の文字からなり、一つの単位として扱われる定数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1070	A		列挙定数	れっきょていすう	enumeration literal	列挙型の実現形である定数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1071	A		底	てい	base, radix	記数法において、指数で示される値によってべき乗される値であって、それにさらに仮数が乗ぜられて、表現される数を決定するもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1072	A		符号位置	ふごういち	sign position	通常、数表示の一端の位置であって、その数表示が表現する数の代数符号を示す標識を置くもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1073	A		符号ビット	ふごうびっと	sign bit	符号位置を占めるビットであって、その数表示が表現する数の代数符号を示すもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1074	A		符号文字	ふごうもじ	sign character	符号位置を占める文字であって、その数表示が表現する数の代数符号を示すもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1075	A		有効数字	ゆうこうすうじ	significant digit	数表示において、与えられた正確度又は精度を保つために必要な数字。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1076	A		位取り表記法、位取り記数法	くらいどりひょうきほう、くらいどりきすうほう	positional notation, positional numeration	数字の順序付けられた集合によって数を表現する記数法であって、一つの数字のもつ値が、その位置とそれ自体の値とに依存するもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1077	A		位取り表現	くらいどりひょうげん	positional representation	位取り表記法による数の表現。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1078	A		数字位置	すうじいち	digit place, digit position	位取り表記法において、文字が占める各々の位置であって、順序数又はそれと同等なものによって識別されるもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1079	A		重み	おもみ	weight	位取り表記法における数字位置の係数であって、各数字位置における数字によって表現される値にそれぞれの係数を乗じて加え合わせると、この表現における数の値が得られ	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1080	A		最大有効数字、MSD	さいだいゆうこうすうじ、	most significant digit, MSD	位取り表記法において、最大の重みをもつ数字位置。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1081	A		最大有効ビット、MSB	さいだいゆうこうびっと、	most significant bit, MSB	位取り表記法において、最大の重みをもつビット位置。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1082	A		最小有効数字、LSD	さいしょうゆうこうすうじ、	least significant digit, LSD	位取り表記法において、最小の重みをもつ数字位置。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1083	A		最小有効ビット、LSB	さいしょうゆうこうびっと、LSB	least significant bit, LSB	位取り表記法において、最小の重みをもつビット位置。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1084	A		基数表記法	きすうひょうきほう	radix notation	ある数字位置の重みと、それより一つ低い数字位置の重みとの比が正の整数である位取り表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1085	A		基数	きすう	radix	基数表現法における正の整数であって、ある数字位置の重みにそれを乗じると、一つ上位の重みをもつ数字位置の重みになるもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1086	A		小数点	しょうすうてん	radix point	基数表現法で表される数の表現において、整数部の数字と小数部の数字とを分ける位	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1087	A		混合基数表記法	こんごうきすうひょうきほう	mixed radix notation	数字位置がすべて同じ基数をもつとは限らない基数表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1088	A		固定基数表記法	こていきすうひょうきほう	fixed radix notation	すべての数字位置が同じ基数をもつ基数記数法。ただし、最大の重みをもつ数字位置を	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1089	A		10進法、10進記数法	10しんほう、10しんきすうほう	decimal system, decimal numeration system	10個の数字0、1、2、3、4、5、6、7、8及び9を使い、基数が10で固定され、整数部の最小の重みが1である固定基数表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1090	A		16進法、16進記数法	16しんほう、16しんきすうほう	hexadecimal system, hexadecimal numeration system	16個の数字0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、A、B、C、D、E及びFを使い、基数が16で固定され、整数部の最小の重みが1である固定基数表記法。A、B、C、D、E及びFは、それぞれ10、11、12、13、14及び15を表す。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1091	A		8進法、8進記数法	8しんほう、8しんきすうほう	octal system, octal numeration system	8個の数字0、1、2、3、4、5、6、及び7を使い、基数が8で固定され、整数部の最小の重みが1である固定基数表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1092	A		2進法、2進記数法	2しんほう、2しんきすうほう	binary system, binary numeration system	2個の数字0及び1を使い、基数が2で固定され、整数部の最小の重みが1である固定基数表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1093	A		10進小数点	10しんしょうすうてん	decimal point	10進記数法における小数点。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1094	A		固定小数点表示法	こていしょうすうてんひょうじほう	fixed-point representation system	何らかの約束によって、小数点が一連の数字位置中に暗示的に固定されている基数表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1095	A		可変小数点表示法	かへんしょうすうてんひょうじほう	variable-point representation system	小数点がその位置にある特殊文字によって明示的に示されている基数記数法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1096	A		混合基底表記法	こんごうきていひょうきほう	mixed base notation	仮数と底とからなる一連の項の和として数が表される記数法であって、各項の底はその適用が決まれば一定であるが、すべての項の底の間が必ずしも整数比ではないもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1097	A		浮動小数点表示法	ふどうしょうすうてんひょうじほう	floating-point representation system	一対の数表示で実数が表される記数法であって、一方の数表示で与えられた仮数と、浮動小数点基底を他方の数表示で与えられた指数でべき乗することによって得られた値との積がその実数となるもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1098	A		浮動小数点表示	ふどうしょうすうてんひょう	floating-point	浮動小数点表示法による実数の表現。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1099	A		仮数	かすう	mantissa	表現される実数を決定するために、浮動小数点基底をその指数だけべき乗したものに掛けられる数表示。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1100	A		指数	しすう	exponent	表現される実数を決定するために、仮数との乗算に先立ち、浮動小数点基底にべき乗すべき数表示。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1101	A		指数部	しすうぶ	characteristic	浮動小数点表示において、内部的に指数を表す数表示。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1102	A		浮動小数点基底、浮動小数点基数	ふどうしょうすうてんきてい、ふどうしょうすうてんきすう	floating-point base, floating-point radix	浮動小数点表示法において、1より大きい正整数に固定された底であって、表現される実数を決定するために、指数によって明示的に示された値によってべき乗され、その後仮数が乗ぜられるもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1103	A		正規化する	せいきかする	<to> normalize	浮動小数点表示法において、表現されている実数は変化させずに、仮数がある決められた範囲内に収まるように仮数を調整し、それに対応して指数部も調整する。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1104	A		正規形、標準形	せいきけい、ひょうじゅんけい	normalized form, standard form	浮動小数点表示法において、実数を正規化した形。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1105	A		10進表記法	10しんひょうきほう	decimal notation	10個の異なる文字、通常は、10進数字を使う表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1106	A		2進表記法	2しんひょうきほう	binary notation	二つの異なる文字、通常は、数字0及び1を使う表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1107	A		ビット位置	びっといち	bit position	2進表記法における語の中の文字の位置。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1108	A		2進化表記法	2しんかひょうきほう	binary-coded notation	各文字が2進数で表現されている2進表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1109	A		2進化10進表記法、BCD、2進化10進符号	2しんか10しんひょうきほう、BCD、2しんか10しんふごう	binary-coded decimal notation, BCD notation, binary-coded decimal representation	各10進数字が別々に2進数で表現されている2進化表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1110	A		3増し符号	3ましふごう	excess-three code	10進数字nが、数(n+3)に等しい2進数で表現される2進化10進表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1111	A		5-2選符号	5-2せんふごう	two-out-of-five code	各10進数字が5ビットからなる2進数で表現される2進化10進表記法であって、その5個のうち2個は一方のビット、慣習では1、残りの3個は他方のビット、慣習では0をとるように	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1112	A		2-5進符号	2-5しんふごう	biquinary code	0から9までの数nが一対の数表示aZbとで表される表記法であって、aは0又は1、bは0、1、2、3又は4で、和(5a+b)がnに等しいもの。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1113	A		パック10進表記法	ぱっく10しんひょうきほう	packed decimal notation	二つの連続する10進数字にそれぞれ4ビットを割り当て、1バイトで10進数2けたを表現する2進化10進表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1114	A		アンパック10進表記法	あんぱっく10しんひょうき	unpacked decimal notation	各10進数字が、1バイトで表現される2進化10進表記法。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1115	A		補数	ほすう	complement	与えられた数を、ある決められた数から引くことによって得られる数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1116	A		基数の補数	きすうのほすう	radix complement	固定基数記数法において、与えられた数を、基数のある決められたべき乗から引くことによって得られる補数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1117	A		10の補数	10のほすう	tens complement	10進法における基数の補数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1118	A		2の補数	2のほすう	twos complement	2進法における基数の補数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1119	A		減基数の補数、基数-1の補数	げんきすうのほすう、きすう-1のほすう	diminished radix complement, radix-minus-one complement	固定基数記数法において、与えられた数を、基数のある決められたべき乗より1小さい数から引くことによって得られる補数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1120	A		9の補数	9のほすう	nines complement	10進法における減基数の補数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1121	A		1の補数	1のほすう	ones complement	2進法における減基数の補数。	JIS X 0005	2002	ISO/IEC 2382-5	1999				1999	JTC1
1122	A		読み取る	よみとる	to read	記憶装置、データ媒体又は他の情報源からデータを得ること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1123	A		書き込む	かきこむ	to write	記憶装置又はデータ媒体にデータを永久的又は一時的に記録すること。(備)“読み込む”及び“読み取る”と、“書き込む”及び“書き取る”とは、記述上の見方の相違にすぎない場合が多い。例えば、内部記憶から外部記憶へデータの1ブロックを転送することは、“外部記憶に書き込む”、“内部記憶から読み取る”又はその両方を指すと考えてよい。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1124	A		複写する、コピーする	ふくしゃする、こぴーする	to copy	情報源のデータ媒体からデータを読み取り、そのデータはそのまま残し、同じデータを書込み先のデータ媒体に書き込むこと。書込み先のデータ媒体は、必ずしも情報源のデータ媒体と同じ種類でなくてもよい。(例)磁気テープから、磁気ディスクにファイルを複写する。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1125	A		複製する	ふくせいする	to duplicate	情報源のデータ媒体から、同じ物理的な形態をもつ書込み先のデータ媒体に複写すること。(例)ある磁気テープから別の磁気テープにファイルを複製する。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1126	A		入力(データ)	にゅうりょく(でーた)	input (data)	計算機の構成要素が受け取るデータ。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1127	A		入力(処理)	にゅうりょく(しょり)	input (process)	計算機の構成要素がデータを受け取る処理。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1128	A		入力	にゅうりょく	input	入力処理にかかわる装置、処理若しくはチャネル、又はこれらにかかわるデータ若しくは状態に関する用語。(備)“入力”という用語は、文脈上明らかな場合には、“入力データ”、“入力信号”又は“入力処理”の代わりに用いてもよい。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1129	A		出力(データ)	しゅつりょく(でーた)	output (data)	計算機の構成要素が作り出すデータ。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1130	A		出力(処理)	しゅつりょく(しょり)	output (process)	計算機の構成要素がデータを作り出す処理。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1131	A		出力	しゅつりょく	output	出力処理にかかわる装置、処理若しくはチャネル、又はこれらにかかわるデータ若しくは状態に関する用語。(備)“出力”という用語は、文脈上明らかな場合には、“出力データ”、“出力信号”又は“出力処理”の代わりに用いてもよい。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1132	A		入出力、I/O	にゅうしゅつりょく、I/O	input-output, I/O	同時的か否かを問わず入力処理、出力処理又はその両方にかかわる装置、処理若しくはチャネル又はこれらにかかわるデータ若しくは状態に関する用語。(備)“入出力”という用語は、文脈上明らかな場合には、“入出力データ”、“入出力信号”又は“入出力処理”の代わりに用いてもよい。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1133	A		データ収集	でーたしゅうしゅう	data collection	計算機で使用するために、一つ以上の箇所からデータを集める処理。(例)計算センタで使用するために、支社で発生したトランザクションをデータ網によって収集する。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1134	A		データ入力	でーたにゅうりょく	data entry	機械で読取り可能な媒体にデータを入力する処理。(例)端末からフレキシブルディスク上の給与ファイルにデータを入力する。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1135	A		データ取得	でーたしゅとく	data acquisition	データを収集及び入力する処理。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1136	A		転送する	てんそうする	to transfer	データをある記憶場所から他の記憶場所へ送ること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1137	A		ブロック転送	ぶろっくてんそう	block transfer	1回の操作で一つ以上のデータのブロックを転送する処理。(備)ブロック転送は、元の記憶場所からデータを消去してもよいし、しなくてもよい。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1138	A		ロードする	ろーどする	to load	データを記憶装置又は作業用レジスタに転送すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1139	A		変形する	へんけいする	to transform	指定された規則に従って、意味を著しく変えずにデータの表現を変えること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1140	A		翻訳する	ほんやくする	to translate	あるプログラム言語で表現されたプログラムを、他のプログラム言語、又は実行に適した他の表現に変えること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1141	A		変換する	へんかんする	to convert	伝える情報の内容を変えずに、データの表現をある形から別の形に変えること。(例)コード変換、基数変換、アナログからディジタルへの変換、媒体変換。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1142	A		字訳する	じやくする	to transliterate	データを文字ごとに変換すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1143	A		符号化する、コード化する	ふごうかする、こーどかする	to encode	元の形に再変換できるように、コードを使って、データを変換すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1144	A		復号する	ふくごうする	to decode	以前に符号化された結果を元に戻すようにデータを逆に変換すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1145	A		転記する	てんきする	to transcribe	あるデータ媒体から他のデータ媒体へ、必要に応じてデータを受け取る側の媒体に受け入れられる形に変換して、複写すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1146	A		パックする	ぱっくする	to pack	データ及び記憶媒体の既知の特性を利用して、元の形に復元できるように、データを記憶媒体上に圧縮した形に変換すること。(例)他の目的には使用しないと思われるビット位置又はバイト位置の記憶場所を利用する。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1147	A		パッキング	ぱっきんぐ	packing	データをパックする操作。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1148	A		アンパックする	あんぱっくする	to unpack	パックされたデータを元の形に復元すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1149	A		圧縮する	あっしゅくする	to compress, to compact	繰り返し出現している文字を符号化又は削除することによって、データ媒体上の使用領域を減らすこと。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1150	A		展開する、伸張する	てんかいする、しんちょうする	to expand	圧縮されたデータを元の形に戻すこと。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1151	A		探索	たんさく	search	与えられた性質をもつデータ要素を見つけるために行う、ある集合に属する一つ以上のデータ要素の検査。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1152	A		探索サイクル	たんさくさいくる	search cycle	探索のための一連の事象であって、各データ要素に対して繰り返されるもの。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1153	A		探索かぎ	たんさくかぎ	search key	データの探索に使用するかぎ。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1154	A		2分探索	2ぶんたんさく	dichotomizing search	データ要素の順序付けられた集合に対して行う探索であって、集合を共通部分のない二つに分けて、その一方を捨て、受け入れられた部分に対して、探索が完了するまでこの処理を繰り返す方法によるもの。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1155	A		2等分探索	2とうぶんたんさく	binary search	2分探索の一種であって、探索の各段階でデータ要素の集合を同数のデータ要素をもつ二つの部分に分けるもの。集合のデータ要素の数が奇数の場合には、一方の集合にデータ要素を一つ余分に含めればよい。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1156	A		フィボナッチ探索	ふぃぼなっちたんさく	Fibonacci search	2分探索の一種であって、集合に属するデータ要素の数がフィボナッチ数に等しいか、又は次に大きいフィボナッチ数に等しいと仮定し、探索の各段階においてデータ要素の集合をフィボナッチ数列に一致するように分割する方法によるもの。(備)1.フィボナッチ数列とは、数列0、1、1、2、3、5、8、…のように、各々の項が先行する2項の和であるような数列である。2.フィボナッチ探索は2等分探索に比べ、磁気テープなど順次アクセスするデータ媒体の移動量の平均値をわずかに少なくする点で利点がある。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1157	A		走査	そうさ	scanning	データの組織的検査。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1158	A		線形探索、順序探索	せんけいたんさく、じゅんじょたんさく	linear search	データの集合の中を順次に走査する探索。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1159	A		連鎖リスト探索、連結リスト探索	れんさりすとたんさく、れんけつりすとたんさく	chained list search	連鎖リストを用いる探索。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1160	A		木探索	きたんさく	tree search	木構造をもつ集合に対して行う探索であって、各段階ごとに木のどの部分を探索しなくてよいかを決めることができるもの。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1161	A		ハッシュ表探索	はっしゅひょうたんさく	hash table search	所要データ要素の記憶場所をハッシュ表から得る探索。記憶場所のアドレスが重複する場合には適切な手順に従う。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1162	A		順序付ける	じゅんじょづける	to order	指定された規則に従った順に項目を配置すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1163	A		順序	じゅんじょ	order	順序付ける際に用いられる指定された並べ方。(備)順番と違って順序は必ずしも線形である必要はない。例えば、項目が階層構造をもつ場合の順序付けがそうである。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1164	A		順番付ける	じゅんばんづける	to sequence	自然数の順序に従った順に項目を配置すること。(備)通常の線形順序は、適当な方法及び手順を指定することによって、自然数上に写像できる。したがって、この拡張として、順番付けが、例えばアルファベット順や年代順であってもよい。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1165	A		列、順番列	れつ、じゅんばんれつ	sequence	順番付けられた一連の項目。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1166	A		索引	さくいん	index	ファイル又は文書の内容を示す表であって、その内容の位置を示すためのかぎ又は参照情報を含んでいるもの。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1167	A		分類する	ぶんるいする	to sort	指定された基準に従って項目をグループに分けること。各グループ内では、項目を必ずしも順序付ける必要はない。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1168	A		併合する	へいごうする	to merge	与えられた同じ順序をもつ二つ以上のデータの集合に属する項目を、その順序に従って結合して一つの集合にすること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1169	A		照合する(せん孔カードシステムにおける)	しょうごうする(せんこうかーどしすてむにおける)	to collate	二つ以上のデータの集合を、あらかじめ決められた順序に従って一つの集合に並べ換えること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1170	A		照合順番(せん孔カードシステムにおける)	しょうごうじゅんばん(せんこうかーどしすてむにおけ	collating sequence	照合する際に用いられる指定された並べ方。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1171	A		編集する	へんしゅうする	to edit	後の操作のためにデータを準備すること。(備)編集にはデータの並び換え、データの追加又は修正、不必要なデータの削除、書式制御、コードの変換及びゼロ抑制のような標準的な処理の適用などが含まれる。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1172	A		抽出する	ちゅうしゅつする	to extract	項目のグループから一定の基準に合う項目を選んで取り出すこと。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1173	A		マスク	ますく	mask	ある文字パターンの幾つかの部分を保持するか否かの制御のために使われる文字パ	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1174	A		クリアする、消去する	くりあする、しょうきょする	to clear	一つ以上の記憶場所をある決められた状態、通常ゼロ又は間隔文字に相当する状態にすること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1175	A		ゼロ充てんする	ぜろじゅうてんする	to zerofill	使用されていない記憶場所に、ゼロを表す文字を書き込むこと。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1176	A		位置調整する	いちちょうせいする	to justify	データの指定された側の端の文字がレジスタ内の特定の位置にくるように、レジスタの内容をけた送りすること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1177	A		左寄せする[右寄せする]	ひだりよせする[みぎよせする]	to left-justify [right-justify]	左[右]に位置調整すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1178	A		左寄せする	ひだりよせする	to left-justify	左に位置調整すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1179	A		右寄せする	みぎよせする	to right-justify	右に位置調整すること。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1180	A		ゼロ抑制	ぜろよくせい	zero suppression	数表示における意味のないゼロの除去。	JIS X 0006	1989	ISO 2382-6	1987				1987	JTC1
1181	A		メタ言語、超言語	めたげんご、ちょうげんご	metalanguage	別の言語又は場合によっては自分自身に関する規則の幾つか又は全体を規定するために使用される言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1182	A		アルゴリズム言語、算法言語	あるごりずむげんご、さんぽうげんご	algorithmic language	アルゴリズムを表現するための人工言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1183	A		プログラム言語、プログラミング言語	ぷろぐらむげんご、ぷろぐらみんぐげんご	programming language	プログラムを表現するための人工言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1184	A		機械語、機械言語	きかいご、きかいげんご	machine language	特定の計算機又は計算機のクラスの機械命令だけで構成される人工言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1185	A		機械向き言語、計算機向き言語	きかいむきげんご、けいさんきむきげんご	machine-oriented language, computer-	プログラム言語の一つであって、その単純文は特定の計算機、又は計算機のクラスの機械命令と同じかそれに類似した構造をもつもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1186	A		アセンブリ言語	あせんぶりげんご	assembly language	機械向き言語の一種であって、記号を使って操作及び記憶場所に名前を付けたり、マクロ命令などの機能を提供したりするもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1187	A		第1世代言語、1GL(省略形)	だい1せだいげんご、1GL	first-generation language, 1GL(省略形)	アセンブリ言語によく似ており、かつ計算機の機械語への依存度の大きいプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1188	A		高水準言語	こうすいじゅんげんご	high-level language, high-order language	主として特定のクラスの問題用に設計され、構文的にもその問題に適応しているプログラム言語であって、本質的には特定の計算機又は計算機のクラスの構造に依存しないも	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1189	A		記号言語	きごうげんご	symbolic language	演算、アドレス、オペランド及び結果の名前を記号形式で表すプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1190	A		第2世代言語、2GL(省略形)	だい2せだいげんご、2GL	second-generation language, 2GL(省略形)	第1世代言語の機能を拡張し、マクロ命令のような高水準言語の言語構成要素を取り込んだプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1191	A		第3世代言語、3GL(省略形)	だい3せだいげんご、3GL	third-generation language, 3GL(省略形)	高水準言語の一種であって、単純文当たりの機械命令数の比率が高く、特定の計算機の動作に関する詳細な知識よりも、解決すべき問題のほうにプログラマが専心できるよう	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1192	A		第4世代言語、4GL(省略形)	だい4せだいげんご、4GL	fourth-generation language, 4GL(省略形)	必ずしもプログラマとは限らない利用者が、自然言語に近い形で文を作成できるようになっている高水準言語であって、単純文当たりの機械命令数の比率が第3世代言語のそれに比べて高く、前世代のプログラム言語の場合よりも解決すべき問題のほうに利用者	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1193	A		拡張可能言語	かくちょうかのうげんご	extensible language	利用者特有の付加的な機能をプログラマに提供するために、他から変更されたり、自分自身を変更したりすることのできるプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1194	A		代数処理言語	だいすうしょりげんご	algebraic language	代数式に似た文を構成することのできるプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1195	A		問題向き言語、適用業務向き言語	もんだいむきげんご、てきようぎょうむむきげんご	problem-oriented language, application-oriented language	特定の適用業務領域の考え方を反映しているプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1196	A		オブジェクト指向言語	おぶじぇくとしこうげんご	object-oriented language	オブジェクト指向の概念を支援するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1197	A		作用形言語	さようがたげんご	imperative language	代入によって変数の状態を変化させることによって、その主たる作用を達成するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1198	A		手続き形言語	てつづきがたげんご	procedural language, procedure-oriented	特定の順番で実行させる特定の文又は命令を与えて計算機システムを稼働させることによって、達成されるものを記述する手段を提供するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1199	A		非手続き形言語	ひてつづきがたげんご	nonprocedural language	特定の順番で実行させる特定の文又は命令を与えずに計算、機システムを稼働させることによって、達成されるものを記述する手段を提供するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1200	A		関数形言語	かんすうがたげんご	functional language	関数呼出しだけを使用して計算機システムを稼働させることによって、達成されるものを記述する手段を提供するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1201	A		構造化プログラミング言語	こうぞうかぷろぐらみんぐげんご	structure programming language	構造化プログラミング(2)のための言語構成要素を提供するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1202	A		ブロック構造言語	ぶろっくこうぞうげんご	block-structured language	ブロック文の使用を支援するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1203	A		はん(汎)用言語	はんようげんご	generl-purpose language	広範囲の適用業務における使用に適している高水準言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1204	A		専用言語	せんようげんご	special-purpose language	特定の種類の適用業務に機能を特化させたプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1205	A		対話形言語、会話形言語	たいわがたげんご、かいわがたげんご	interactive language, conversational language	対話形式で利用者と計算機ンステムとの間の交信を支援するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1206	A		リスト処理言語	りすとしょりげんご	list processing language	リスト又は文字列の形で表現されたデータを操作するためのプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1207	A		式言語	しきげんご	expression language	式の文脈の中で代入を行うことができるプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1208	A		テキスト整形言語	てきすとせいけいげんご	text formatting language	テキストの割付け方法を指示するための問題向き言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1209	A		マーク付け言語	まーくづけげんご	markup language	手続き的及び記述的なマークを未加エテキストの中に挿入することによって、そのテキストを構造化文書に変形するためのテキスト整形言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1210	A		ページ記述言語、PDL(省略形)	ぺーじきじゅつげんご、PDL	page description language, PDL(省略形)	文書の印刷形式又は表示形式を、ページ単位で指定するために使用されるテキスト整形言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1211	A		製作言語、教材作成用言語	せいさくげんご、きょうざいさくせいようげんご	authoring language	計算機支援教育用のコースウェアの開発を目的とした問題向き言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1212	A		(1)マクロ言語	(1)まくろげんご	macro language (1)	マクロ定義の定義及びマクロ命令の定義を目的としたプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1213	A		(2)マクロ言語	(2)まくろげんご	macro language (2)	マクロ定義及びマクロ命令を包含するプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1214	A		仕様言語	しようげんご	specification language	通常は、計算機による処理の可能な、自然言語と人工言語との組合せからなる問題向き言語であって、システム又は構成要素に関する要件、設計、振舞いなどの特性を表現するために使用され、指定された実体を展開し、分析し、文書化するために使用される特殊な言語構成要素と、場合によっては検証プロトコルとを備えたもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1215	A		要求仕様言語	ようきゅうしようげんご	requirement specification language	ハードウェア要件、ソフトウェア要件又はその両者を展開し、分析し、文書化するために使用される特殊な言語構成要素と、場合によっては検証プロトコルとを備えた仕様言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1216	A		設計用言語	せっけいようげんご	design language	ハードウェア又はソフトウェアの設計内容を展開し、分析し、文書化するために使用される特殊な言語構成要素と、場合によっては検証プロトコルとを備えた仕様言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1217	A		ハードウェア設計(用)言語、HDL(省略形)	はーどうぇあせっけい(よう)げんご、HDL	hardware design language, HDL(省略形)	ハードウェアの設計内容を展開し、分析し、文書化するために使用される特殊な言語構成要素と、場合によっては検証プロトコルとを備えた設計用言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1218	A		プログラム設計(用)言語	ぷろぐらむせっけい(よう)げんご	program design language	プログラムの設計内容を展開し、分析し、文書化するために使用される特殊な言語構成要素と、場合によっては検証プロトコルとを備えた設計用言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1219	A		擬似コード	ぎじこーど	pseudocode	プログラム言語の言語構成要素と自然言語のそれとの組合せであって、必ずしも計算機による処理が可能でなくてもよいが、プログラムの設計内容を読者に明示することを目的	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1220	A		コンパイラ仕様言語	こんぱいらしようげんご	compiler specification language	コンパイラの開発に使用される言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1221	A		テスト言語、試験言語	てすとげんご、しけんげん	test language	ハードウェア又はソフトウェアの構成要素を試験するための手段を提供する問題向き言	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1222	A		(1)構造化プログラミング	(1)こうぞうかぷろぐらみんぐ	structured programming (1)	それぞれが単一の入り口点と単一の出口点とをもつ構成要素だけを用いて、階層的に配置してプログラムを構成する方法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1223	A		(2)構造化プログラミング	(2)こうぞうかぷろぐらみん	structured programming	構造化設計法に基づいて、構造化プログラムを開発するためのソフトウェア開発技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1224	A		構造化プログラム	こうぞうかぷろぐらむ	structured program	構造化プログラミング(1)の原理に従って構築されたプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1225	A		構造化設計	こうぞうかせっけい	structured design	モジュール性、トップダウン設計、並びにデータ、システム構造及び処理段階に関する段階的詳細化などの原理に基づく、指定された規則に厳密に従ったソフトウェア設計に関する任意の統制されたアプローチ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1226	A		段階的詳細化、段階的洗練	だんかいてきしょうさいか、だんかいてきせんれ	stepwise refinement	処理段階及びデータを、最初はおおまかに定義しておき、それ以降は徐々に詳細に定義していくソフトウェア開発技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1227	A		入れ子にする	いれこにする	(to) nest	ある種類の幾つかの構造体を、同種の一つの構造体の中に組み入れる。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1228	A		関数形プログラミング	かんすうけいぷろぐらみん	functional programming	主として、入れ子にした関数呼出しの列としてプログラムを構成する方法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1229	A		モジュラプログラミング	もじゅらぷろぐらみんぐ	modular programming	モジュールの集まりとしてソフトウェアを作成するようなソフトウェア開発技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1230	A		論理プログラミング	ろんりぷろぐらみんぐ	logic programming	論理式の形での規則の集合としてプログラムを構成する方法。各規則には、事前にアルゴリズムが定義されていて、プログラムは、入力データをこの規則に従って処理するよう	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1231	A		飛越し	とびこし	jump	命令又は文の逐次的な実行からの離脱。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1232	A		飛び越す	とびこす	(to) jump	命令又は文の実行中に、暗黙の又は宣言された順番から離脱する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1233	A		標識、インディケータ(プログラミングにおける)	ひょうしき、いんでぃけーた(ぷろぐらみんぐにおけ	indicator(in computer programming)	処理過程の結果、又は指定された状態の発生に基づいて所定の状態にセットすることができる仕組み又は変数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1234	A		フラグ	ふらぐ	flag	ある条件が成立していることを示す変数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1235	A		スイッチ	すいっち	switch	フラグの制御に従って、幾つかの飛越しの中から一つを選ぶこと。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1236	A		作業領域、作業域	さぎょうりょういき、さぎょういき	working space, work space, working area, work	プログラムがデータを一時的に保持するために使用する記憶領域の部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1237	A		相互排除	そうごはいじょ	mutual exclusion	ある時点で、ただ一つのプロセスだけが、同一の共用変数にアクセスできたり、危険域グループ内の要素を実行できるという規制。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1238	A		同期	どうき	synchronization	二つ以上のプロセスの実行に関して、共通のタイミング、及び協調を維持する動作。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1239	A		ハッシュ法、ハッシュアドレス法	はっしゅほう、はっしゅあどれすほう	hashing, hash addressing	データの記憶及び取出しの目的で探索キーをアドレスに変換する方法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1240	A		ハッシュ関数(ハッシュ法における)	はっしゅかんすう(はっしゅほうにおける)	hash function	項目の集合内のある項目の位置を決定するために使用される関数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1241	A		ハッシュ値	はっしゅち	hash value	あるデータ要素の記憶装置上での位置を示すために、ハッシュ関数によって生成される	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1242	A		衝突(ハッシュ法における)、ハッシュ衝突	しょうとつ(はっしゅほうにおける)、はっしゅしょうと	collision (in hashing), hash clash	二つ以上の異なるキーに対して同じハッシュ値が生成されること。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1243	A		衝突解消(ハッシュ法における)	しょうとつかいしょう(はっしゅほうにおける)	collision resolution (in hashing), rehashing	付加的な計算又は他の手段を適用して、衝突を解消する過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1244	A		共用変数	きょうようへんすう	shared variable	二つ以上のプロセス又は二つ以上の並行に実行されるプログラムからアクセスすることのできる変数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1245	A		結合する、結び付ける	けつごうする、むすびつける	(to) bind	プログラムの中で識別子を別の対象に関係づける。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1246	A		結合、結付け	けつごう、けつづけ	binding	プログラムの中で識別子を別の対象に関係づける過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1247	A		結合時	けつごうじ	binding time	結合の行われる時期。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1248	A		静的結合	せいてきけつごう	static binding	プログラムの実行に先だって遂行され、実行中に変更されることのない結合。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1249	A		動的結合	どうてきけつごう	dynamic binding	プログラムの実行中に遂行される結合。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1250	A		前結合	まえけつごう	early binding	通常、実行効率の向上のために、翻訳中にほとんどの結合が遂行されるプログラム言語の特性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1251	A		後結合	あとけつごう	late binding	通常、柔軟性の観点から、実行中にほとんどの結合が遂行されるプログラム言語の特	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1252	A		ヒープ	ひーぷ	heap	データ対象を動的に構築したり削除したりするのに使用される内部記憶の部分であって、データ対象が予測不可能な順番で使用されるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1253	A		データフロー、データ流れ	でーたふろー、でーたなが	data flow	特定の作業の遂行過程における、計算機システムの実行可能な部分によるデータの移	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1254	A		反復	はんぷく	iteration	文の列を繰り返して実行する過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1255	A		反復段階	はんぷくだんかい	iteration step	反復に関する文の列を1回実行すること。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1256	A		ループ	るーぷ	loop	ある条件が成立している間、繰り返して実行される文又は命令の列。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1257	A		無限ループ、閉じたループ	むげんるーぷ、とじたるー	infinite loop, closed loop	外部の介入によらなければ実行を終了させることのできないループ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1258	A				loop assertion		JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1259	A		ループ本体	るーぷほんたい	loop body	ループの主目的を達成するループの部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1260	A		ループ制御	るーぷせいぎょ	loop control	ループを繰り返して実行するかどうかを判定する試験を含む言語構成要素。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1261	A		ループ制御変数、ループパラメタ	るーぷせいぎょへんすう、るーぷぱらめた	loop-control variable, loop parameter	ループから出るかどうかを判定するために使用されるデータ対象。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1262	A		反復制御	はんぷくせいぎょ	iteration scheme	ループから出るかどうかを判定するためにループ制御において使用される方法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1263	A		指定回反復	していかいはんぷく	fixed-count iteration	反復制御の一種であって、特定の条件が生じるまでではなくて、反復が指定回数を超えたときに、ループの実行を終了するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1264	A		終了試験	しゅうりょうしけん	termination test	ループ制御における試験であって、TRUE条件によって反復の終了が指示されるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1265	A		継続試験	けいぞくしけん	continuation test	ループ制御における試験であって、TRUE条件によって反復の続行が指示され、FALSE条件によって反復の終了が指示されるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1266	A		前判定ループ	まえはんているーぷ	pretest loop	ループ本体に入る前に試験が遂行されるループ制御。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1267	A		後判定ループ	あとはんているーぷ	posttest loop	ループ本体の後に試験が遂行されるループ制御。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1268	A		途中判定ループ	とちゅうはんているーぷ	in-test loop	ループ本体の途中で遂行されるループ制御。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1269	A		再帰	さいき	recursion	副プログラムが、その中に自分自身の副プログラム呼出しを含むか、又は元の副プログラムを呼び出したり、後で自分自身の副プログラム呼出しに戻ってくる後続の副プログラム呼出しの連鎖を起動したりする別の副プログラムを呼び出すという過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1270	A		直接に再帰的	ちょくせつにさいきてき	directly recursive	自分自身の呼出しを含んでいる副プログラムに関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1271	A		間接に再帰的	かんせつにさいきてき	indirectly recursive	元の副プログラムを呼び出したり、後で元の副プログラムの副プログラム呼出しに戻ってくる後続の副プログラム呼出しの連鎖を起動したりする副プログラムに関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1272	A		同時再帰	どうじさいき	simultaneous recursion, mutual recursion	二つの副プログラムが互いに呼び合う状況。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1273	A		再入可能	さいにゅうかのう	reentrant	プログラムの実行可能な版の全体又は一部分に関する用語であって、繰り返して入ることも、直前の実行が完了しないうちに入ることもでき、しかもそのようなプログラムの毎回の実行が他の実行とは無関係である場合に使用する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1274	A		プログラマ	ぷろぐらま	programmer	プログラムを設計、作成又は試験する人。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1275	A		環境	かんきょう	environment	ソフトウェア開発サイクルの幾つかの段階を支援するための、ハードウェア及びソフトウェアツールの集まり。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1276	A		プログラミング環境、プログラミング支援環境	ぷろぐらみんぐかんきょう、ぷろぐらみんぐしえんかんきょう	programming environment, programming support environment	プログラムの作成を支援するための、ハードウェア及びソフトウェアツールの集まり。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1277	A		統合プログラミング環境、IPE(省略形)	とうごうぷろぐらみんぐかんきょう、IPE	integrated programming environment, IPE(省略形)	プログラムの開発を支援するための、共通の利用者インタフェース(図形によるインターフェースの場合もある)の下でのハードウェア及びソフトウェアツールの統合された集ま	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1278	A		翻訳する	ほんやくする	(to) translate	あるプログラム言語で表現されたプログラムの全体又は一部分を、元の意味を全く変更することなく別のプログラム言語に変換する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1279	A		翻訳	ほんやく	translation	翻訳する過程又はその結果。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1280	A		翻訳プログラム、トランスレータ	ほんやくぷろぐらむ、とらんすれーた	translation program, translator	翻訳を行うことのできる一つ以上のプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1281	A		アセンブルする	あせんぶるする	(to) assemble	アセンブリ言語を目的言語に翻訳する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1282	A		アセンブラ	あせんぶら	assembler	アセンブルを行うことができる翻訳プログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1283	A		絶対アセンブラ	ぜったいあせんぶら	absolute assembler	絶対コードを作り出すアセンブラ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1284	A		コード(プログラミングにおける)	こーど(ぷろぐらみんぐにおける)	code(in computer programming)	プログラム言語、又はアセンブラ、コンパイラなどの翻訳プログラムによって作り出された形で表現されるプログラムテキストの断片。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1285	A		コーディング(プログラミングにおける)	こーでぃんぐ(ぷろぐらみんぐにおける)	coding(in computer programming)	プログラムをあるプログラム言語で表現する過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1286	A		絶対コード	ぜったいこーど	absolute code	アドレスがすべて絶対アドレスであるようなコード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1287	A		アセンブリコード	あせんぶりこーど	assembly code	アセンブラによる認識及び処理が可能な形で表現されたコード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1288	A		アセンブル後原点	あせんぶるごげんてん	assembled origin	アセンブラ、コンパイラ又は連係編集プログラムによってプログラムの全体又は一部分に割り当てられた記憶場所の先頭アドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1289	A		クロスアセンブラ	くろすあせんぶら	cross-assembler	ある計算機を使用して他機種の計算機の目的言語へとプログラムのアセンブルを行うアセンブラ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1290	A		再配置アセンブラ	さいはいちあせんぶら	relocating assembler	成果物が再配置可能であるアセンブラ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1291	A		アセンブル即実行	あせんぶるそくじっこう	assemble-and-go	プログラムのアセンブル、連係、ロード及び実行のそれぞれの間で停止が起こらないような操作技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1292	A		コンパイルする	こんぱいるする	(to) compile	高水準言語で表現されたプログラムの全体又は一部分を、中間言語、アセンブリ言語又は機械語で表現されたプログラムに翻訳する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1293	A		コンパイラ	こんぱいら	compiler	コンパイルすることができる翻訳プログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1294	A		コンパイル	こんぱいる	compilation	コンパイルする過程又はその結果。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1295	A		コンパイル単位	こんぱいるたんい	compilation unit	高水準言語で表現され、かつコンパイルのために十分に完結しているプログラムの全体又は一部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1296	A		コンパイラコード	こんぱいらこーど	compiler code	コンパイラによる認識及び処理が可能な形で表現されたコード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1297	A		コンパイラ生成系、コンパイラコンパイラ、メタコンパイラ	こんぱいらせいせいけい、こんぱいらこんぱいら、めたこんぱいら	compiler generator, compiler compiler, metacompiler	コンパイラの全体又は一部分の仕様を指定し構築するために使用される、翻訳プログラム又はインタプリタ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1298	A		クロスコンパイラ	くろすこんぱいら	cross-compiler	ある計算機上で他機種の計算機の目的言語へとコンパイルを行うコンパイラ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1299	A		コンパイル即実行	こんぱいるそくじっこう	compile-and-go	プログラムのコンパイル、連係、ロード及び実行のそれぞれの間で停止が起こらないような操作技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1300	A		逆アセンブルする	ぎゃくあせんぶるする	(to) disassemble	目的コードをアセンブリ言語の表現に翻訳する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1301	A		逆コンパイルする	ぎゃくこんぱいるする	(to) decompile	コンパイル済みのプログラムを、その機械語の版から、高水準言語で表現された元のプログラムにできるだけ似た形に翻訳する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1302	A		逆コンパイラ	ぎゃくこんぱいら	decompiler	プログラムを逆コンパイルするソフトウェアツール。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1303	A		解釈実行する	かいしゃくじっこうする	(to) interpret	次の文を処理する前に、原始プログラムの中の文又は構成要素を一つずつ解析し、翻訳し、実行する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1304	A		インタプリタ、解釈実行プログラム	いんたぷりた、かいしゃくじっこうぷろぐらむ	interpreter, interpretive program	解釈実行する機能をもつプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1305	A		解釈実行コード	かいしゃくじっこうこーど	nterpretive code	インタプリタによる認識及び処理が可能な形で表現されたコード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1306	A		機械コード	きかいこーど	machine code	計算機の処理装置による認識及び実行が可能な形で表現されたコード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1307	A		原始言語	げんしげんご	source language	原始プログラムにおいて使用されるプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1308	A		機械依存	きかいいぞん	machine-dependent	特定機種の計算機に固有の機能に依存しているために、同機種の計算機上でしか実行できないソフトウェアに関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1309	A		機械独立	きかいどくりつ	machine-independent	特定機種の計算機に固有の機能に依存していないために、複数機種の計算機上でも実行できるソフトウェアに関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1310	A		原始プログラム	げんしぷろぐらむ	source program	特定の翻訳プログラムが受け入れることのできるプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1311	A		原始コード	げんしこーど	source code	アセンブラ、コンパイラなどの翻訳プログラムへの入力に適した形で表現されたコード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1312	A		原始モジュール	げんしもじゅーる	source module, compilation unit (deprecated in this sense)	翻訳のために十分完結している、原始プログラムの全体又は一部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1313	A		中間言語	ちゅうかんげんご	intermediate language	原始プログラムの全体若しくは一部分又は単独の文を原始言語に翻訳する目標言語。その目標言語は、さらに翻訳されたり、解釈実行されたりする。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1314	A		ルートコンパイラ	るーとこんぱいら	root compiler	中間言語だけへコンパイルを行うコンパイラ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1315	A		コード生成系、コードジェネレータ	こーどせいせいけい、こーどじぇねれーた	code generator	通常は、コンパイラの一部分をなす副プログラムであって、プログラムの全体又は一部分をある中間言語から目的言語に変換するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1316	A		原始コード生成系、原始コードジェネレータ	げんしこーどせいせいけい、げんしこーどじぇね	source code generator	プログラムに関する要求事項又は設計内容を入力として受け入れ、要求事項又は設計内容を具体化する原始コードを作り出すソフトウェアツール。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1317	A		構文解析する	こうぶんかいせきする	(to) parse	言語構成要素を構文素に分解し、構文素間の関係を確立することによって、言語構成要素の構文構造を決定する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1318	A		構文解析系、パーサ	こうぶんかいせきけい、ぱーさ	parser	通常、アセンブル、コンパイル解釈実行又は解析の最初の段階として、プログラムなどのテキストの構文解析を行うソフトウェアツール。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1319	A		適用業務プログラム生成系、アプリケーションジェネレータ	てきようぎょうむぷろぐらむせいせいけい、あぷりけーしょんじぇねれーた	application generator	特定の適用業務領域における一つ以上の問題を解決するためのプログラムを作り出す原始コード生成系。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1320	A		ソフトウェアツール	そふとうぇあつーる	software tool	プログラム若しくはその文書の作成、試験、分析又は保守において使用されるソフトウェ	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1321	A		目標言語	もくひょうげんご	target language	翻訳プログラムがその結果を表現するときの言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1322	A		(1)目標計算機	(1)もくひょうけいさんき	target machine (1)	あるプログラムを実行することを意図した計算機。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1323	A		(2)目標計算機	(2)もくひょうけいさんき	target machine (2)	他の計算機によるエミュレーションの対象となる計算機。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1324	A		目標プログラム	もくひょうぷろぐらむ	target program	原始プログラムの翻訳版。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1325	A		親言語	おやげんご	host language	データ操作言語の文が埋め込まれるプログラム言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1326	A		(1)ホスト計算機	(1)ほすとけいさんき	host machine (1)	他の計算機用のソフトウェアを開発するために使用される計算機。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1327	A		(2)ホスト計算機	(2)ほすとけいさんき	host machine (2)	他の計算機をエミュレートするために使用される計算機。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1328	A		(3)ホスト計算機	(3)ほすとけいさんき	host machine (3)	プログラム又はファイルの導入先となる計算機。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1329	A		目的言語	もくてきげんご	object language	目的プログラムを表現するための目標言語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1330	A		目的コード	もくてきこーど	object code	実行前のコードの最終版。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1331	A		目的モジュール	もくてきもじゅーる	object module	連係のために十分に完結している目的プログラムの全体又は一部。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1332	A		目的プログラム	もくてきぷろぐらむ	object program	特定の計算機による実行を可能にするためには、必要ならば、連係しておかなければならない目標プログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1333	A		翻訳時	ほんやくじ	translation time (1)	翻訳を行っている時期。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1334	A		コンパイル時	こんぱいるじ	compilation time (1)	コンパイルを行っている時期。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1335	A		アセンブル時	あせんぶるじ	assembly time (1)	アセンブルを行っている時期。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1336	A		翻訳時間	ほんやくじかん	translation time (2),translation duration	プログラムの翻訳に要する時間。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1337	A		コンパイル時間	こんぱいるじかん	compilation time (2), compilation duration	プログラムのコンパイルに要する時間。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1338	A		アセンブル時間	あせんぶるじかん	assembly time (2), assembly duration	プログラムのアセンブルに要する時間。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1339	A		翻訳プログラム指示文	ほんやくぷろぐらむしじぶ	translator directive	プログラムの翻訳を制御するための言語構成要素。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1340	A		アセンブラ指示文	あせんぶらしじぶん	assembler directive	プログラムのアセンブルを制御するための言語構成要素。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1341	A		コンパイラ指示文	こんぱいらしじぶん	compiler directive	プログラムのコンパイルを制御するための言語構成要素。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1342	A		インタプリタ指示文	いんたぷりたしじぶん	interpreter directive	プログラムの解釈実行を制御するための言語構成要素。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1343	A		従属コンパイル	じゅうぞくこんぱいる	separate compilation, dependent compilation	複数の原始モジュールに含まれるインタフェース及び文脈上での関係を表現するデータを使用して、原始モジュールをコンパイルすること。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1344	A		独立コンパイル	どくりつこんぱいる	independent compilation, separate compilation (deprecated in this sense)	複数の原始モジュールに含まれるインタフェース及び文脈上での関係を表現するデータを使用せずに、原始モジュールをコンパイルすること。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1345	A		はん(汎)用体、はん(汎)用体単位	はんようたい、はんようたいたんい	generic unit	言語構成要素のパラメタ化されたモデルであって、翻訳時においてその言語構成要素から固有の言語構成要素が導き出されるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1346	A		マクロ生成系、マクロジェネレータ	まくろせいせいけい、まくろじぇねれーた	macrogenerator	通常、アセンブラ又はコンパイラの一部分であり、原始プログラムの中のマクロ命令又はマクロ呼出しを、対応するマクロ定義に従って、適切なコードに置き換えるモジュール。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1347	A		マクロ処理系、マクロプロセッサ	まくろしょりけい、まくろぷろせっさ	macroprocessor	マクロ定義を支援するためにアセンブラ及びコンパイラの中に用意されることがある副プログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1348	A		マクロプログラミング	まくろぷろぐらみんぐ	macroprogramming	マクロ定義と、マクロ命令又はマクロ呼出しとを使用するプログラミング。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1349	A		マクロライブラリ	まくろらいぶらり	macro library	マクロ呼出し及びマクロ命令、並びにマクロ生成系による使用が可能なそれらのマクロ定義の集まり。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1350	A		マクロアセンブラ	まくろあせんぶら	macroassembler	マクロ生成系の機能を含んでいるか、又はその機能を遂行するアセンブラ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1351	A		プログラム生成系、プログラムジェネレータ	ぷろぐらむせいせいけい、ぷろぐらむじぇねれーた	program generator	他のプログラムを作り出すことのできるプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1352	A		前処理系、プリプロセッサ	まえしょりけい、ぷりぷろせっさ	preprocessor	主要な処理過程に先立って幾つかの処理段階を遂行するプログラム又は副プログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1353	A		前処理	まえしょり	preprocessing	主要な処理過程に先立って遂行される処理。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1354	A		言語前処理系、言語プリプロセッサ	げんごまえしょりけい、げんごぷりぷろせっさ	language preprocessor	プログラムの前準備的な処理を行う機能単位。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1355	A		連係する、リンクする	れんけいする、りんくする	(to) link	ポインタを確立してデータ対象を相互に接続したり、連係を用意して幾つかのプログラムの部分を相互に接続したりする。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1356	A		連係、リンク	れんけい、りんく	linkage, link	プログラムの部分であって、単一の命令又はアドレスであることが多いが、プログラムの別個のモジュール間で制御、場合によってはパラメタを引き渡すもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1357	A		連係編集プログラム、リンカ	れんけいへんしゅうぷろぐらむ、りんか	linkage editor,linker	個別に翻訳された幾つかの目的モジュール又はロードモジュールを処理するときに、これらのモジュール間の相互参照を解決し、モジュール間の連係を用意し、再配置可能)要素を確立し、必要に応じてアドレスを調整して、一つの新しいロードモジュールを生成する	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1358	A		ローダ	ろーだ	loader	外部記憶装置から内部記憶装置に他のプログラムをコピーしたり、外部記憶装置から内部記憶装置、又は内部記憶装置からレジスタにデータをコピーしたりするプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1359	A		ロードする(プログラミングにおける)	ろーどする(ぷろぐらみんぐにおける)	(to) load (in computer programming)	ローダを実行する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1360	A		絶対ローダ	ぜったいろーだ	absolute loader	外部記憶装置から内部記憶装置にロードモジュールをコピーするプログラムであって、ロードモジュール内では全アドレスが絶対アドレスであり、したがってアドレス調整の必要	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1361	A		連係ローダ、リンキングローダ	れんけいろーだ、りんきんぐろーだ	linking loader	連係編集プログラム及びローダの機能を組み合わせたプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1362	A		ロードモジュール	ろーどもじゅーる	load module	ロート及び実行に適した形のプログラムの全体又は一部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1363	A		ロード即実行	ろーどそくじっこう	load-and-go	プログラムのロードと実行の間で停止が起こらないような操作技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1364	A		ロード後原点	ろーどごげんてん	loaded origin	主記憶装置にロードされ終わったプログラムの最初の記憶場所のアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1365	A		ロード図、ロードマップ	ろーどず、ろーどまっぷ	load map	メモリ上に常駐しているプログラム又はデータに関して、その全体又は指定部分の記憶場所又は大きさを識別するための、計算機の作成したリスト。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1366	A		再配置する	さいはいちする	(to) relocate	あるアドレス空間内の目的プログラムの全体又は一部分を移動し、所要のアドレスを補正して、新しい場所において、この変換結果としての対応するプログラムの各部分が実行できるようにする。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1367	A		再配置可能プログラム	さいはいちかのうぷろぐら	relocatable program	再配置できる形になっている目的プログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1368	A		再配置可能	さいはいちかのう	relocatable	主記憶装置のどの部分にでもロードできる目的プログラムの全体又は一部分に関する	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1369	A		再配置ローダ	さいはいちろーだ	relocating loader	再配置可能プログラム又は再配置可能モジュールを処理するローダ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1370	A		再配置辞書	さいはいちじしょ	relocation dictionary	再配置されたときに補正の必要なアドレスを識別する、目的モジュール又はロードモジュールの部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1371	A		再配置オフセット	さいはいちおふせっと	relocation offset	プログラムの、ロード後原点とアセンブル後原点との差。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1372	A		アドレスオフセット	あどれすおふせっと	address offset	アクセスすべき記憶場所のアドレスを確定するために相対アドレスに加えられる数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1373	A		セグメント化、区分化	せぐめんとか、くぶんか	segmentation	プログラムの各部分が、必要となった時点で、補助記憶装置から主記憶装置へとロードされるような記憶割振りの技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1374	A		セグメント(プログラミングにおける)、区分	せぐめんと(ぷろぐらみんぐにおける)、くぶん	segment (in computer programming)	プログラム全体が主記憶装置に常駐していなくても実行することもできるプログラムの部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1375	A		オーバレイセグメント、オーバレイ区分	おーばれいせぐめんと、おーばれいくぶん	overlay segment	プログラムを構成するセグメントであって、一時に一つずつ主記憶装置の中の同じ区域に入って実行されるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1376	A		オーバレイする	おーばれいする	(to) overlay	プログラムの他の部分に上書きしていくような方法で、外部記憶装置からオーバレイセグメントをロードする。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1377	A		オーバレイ監視プログラム、オーバレイスーパバイザ	おーばれいかんしぷろぐらむ、おーばれいすーぱばいざ	overlay supervisor	オーバレイセグメントの順番制御及び位置決め制御を行う副プログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1378	A		常駐	じょうちゅう	resident	主記憶装置上に滞留している間の、プログラムの全体又は一部分、並びにデータに関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1379	A		常駐プログラム	じょうちゅうぷろぐらむ	resident program	記憶装置の特定の領域に滞留しているプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1380	A		起動レコード、活性化レコード	きどうれこーど、かっせいかれこーど	activation record	タスク又は副プログラムの1回の実行を表現するデータ対象であって、その実行に関するデータ値と処理状況のデータとを含むもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1381	A		言語プロセッサ	げんごぷろせっさ	language processor	特定のプログラム言語で書かれたプログラムを翻訳し実行するための機能単位。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1382	A		実行時	じっこうじ	execution time (1), run	特定のプログラムが実行されている時期。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1383	A		実行時間	じっこうじかん	execution time (2), run duration,running time	特定のプログラムを実行するのに要する時間。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1384	A		経過時間	けいかじかん	elapsed time	あるプログラムの実行の開始から終了の間に実際に経過した時間。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1385	A		プロセッサ時間	ぷろせっさじかん	processor time	あるプログラムを処理機構が実際に実行した時間の総和。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1386	A		実行プロファイル	じっこうぷろふぁいる	execution profile	プログラム内の命令又は文の実行回数又は実行時間を、絶対値又は相対値で表現した	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1387	A		追跡	ついせき	trace	プログラムの全体又は一部分の実行記録であって、実行された命令又は文の列、それに付随するオペランド及びその名前、並びに結果を示したもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1388	A		追跡する	ついせきする	(to) trace	追跡を生成する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1389	A		実行追跡、制御流れ追跡、コード追跡	じっこうついせき、せいぎょながれついせき、こーどついせき	execution trace,control flow trace, code trace	プログラムの実行中に実行された命令の列の記録。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1390	A		そ(遡)及追跡	そきゅうついせき	retrospective trace	プログラムの実行後に、その実行中に記録された履歴データから生成される追跡。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1391	A		副プログラム追跡	ふくぷろぐらむついせき	subprogram trace	あるプログラムの全体又は一部分の実行中に遂行された副プログラム呼出しの全部又は一部分及び、場合によっては、各副プログラム又は他のモジュールが授受したパラメタ	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1392	A		記号追跡	きごうついせき	symbolic trace	入力データには実際の値ではなく記号を使用して、原始プログラムの文と、そのプログラムの実行時における飛越しの結果とを記録したもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1393	A		記号実行	きごうじっこう	symbolic execution	入力データには実際の値ではなく変数名のような記号を使用して、これらの記号を含んだ論理式又は数式としてプログラム出力を表現し、プログラム全体又はその一部分の実行を模擬することによってソフトウェアの解析を支援する過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1394	A		変数追跡、データフロー追跡、データ追跡	へんすうついせき、でーたふろーついせき、でーたついせき	variable trace, data-flow trace, data trace	プログラムの実行中に参照された変数又は変更された変数の名前及び値の記録。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1395	A		実行モニタ	じっこうもにた	execution monitor	システム又は機能単位と並行に動作し、システム又は機能単位の動作を監視し、記録し、解析し、又は検証するソフトウェアツール又はハードウェア装置。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1396	A		出る	でる	(to) exit	一つのプログラム又はその一部分の中でそのプログラム又は一部分の実行を終了する命令又は文を実行する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1397	A		出口点、出口	でぐちてん、でぐち	exit point	プログラム、モジュール又は文の中の地点であって、プログラム、モジュール又は文の実行を終了できるところ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1398	A		入り口点(プログラミングにおける)、入り口	いりぐちてん(ぷろぐらみんぐにおける)、いりぐち	entry point (in computer programming), entrance	プログラム、モジュール又は文の中の地点であって、プログラム、モジュール又は文の実行を開始できるところ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1399	A		再入点	さいにゅうてん	reentry point	プログラム、モジュール又は文の中の地点であって、別のプログラム、モジュール又は文の実行後にその地点から元のプログラム、モジュール又は文の実行を再開できるとこ	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1400	A		中断点、ブレークポイント	ちゅうだんてん、ぶれーくぽいんと	breakpoint	プログラム、モジュール又は文の中の地点であって、特定の状態又は事象によって実行を中断することもできるところ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1401	A		設定する(中断点を)	せっていする(ちゅうだんてんを)	(to) set (a breakpoint)	中断点と、プログラムの実行を中断する適切な事象とを定義する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1402	A		起動させる(中断点を)	きどうさせる(ちゅうだんてんを)	(to) initiate (a breakpoint)	中断点においてプログラムの実行を中断する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1403	A		制御中断点、コード中断点	せいぎょちゅうだんてん、こーどちゅうだんてん	control breakpoint, code breakpoint	特定の命令の実行によって起動する中断点。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1404	A		データ中断点	でーたちゅうだんてん	data breakpoint	特定のデータ対象へのアクセスによって起動する中断点。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1405	A		動的中断点	どうてきちゅうだんてん	dynamic breakpoint	中断点の一種であって、それを含むプログラム又は別のプログラムの実行中に、中断点を起動させた特定の事象又は状態によって替えられることがあるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1406	A		静的中断点	せいてきちゅうだんてん	static breakpoint	コンパイル中に設定することができる中断点。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1407	A		プログラム式中断点	ぷろぐらむしきちゅうだんてん	programmable breakpoint	中断点の起動時に、事前に指定されたデバック過程を自動的に呼び出す中断点。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1408	A		プリアンブル中断点	ぷりあんぶるちゅうだんてん	preamble breakpoint	プログラム又は副プログラムへの入り口点に格納されている中断点。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1409	A		ポストアンブル中断点	ぽすとあんぶるちゅうだんてん	postamble breakpoint	プログラム又は副プログラムからの出口点に格納されている中断点。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1410	A		チェックポイント	ちぇっくぽいんと	checkpoint	プログラムの中の地点であって、自分自身の実行を中断するのに適しており、状態及び結果を記録し、それらを検査し、再始動するための命令の列が挿入されるところ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1411	A		再始動する	さいしどうする	(to) restart	チェックポイントにおいて記録されたデータを使用して、プログラムの実行を再開する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1412	A		再始動点	さいしどうてん	restart point, rescue point	プログラムの中の地点であって、中断点又はチェックポイントにおいてプログラムの実行が中断された後、その実行を続行又は再開できるところ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1413	A		回復する	かいふくする	(to) recover	要求された機能が遂行されるよう、システム、ファイル、データベースなどの資源の全体若しくは一部分、又はプログラムの実行に関して直前の状態又は新しい状態を確立す	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1414	A		回復(プログラミングにおける)	かいふく(ぷろぐらみんぐにおける)	recovery (in computer programming)	回復する過程又はその結果。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1415	A		前進回復	ぜんしんかいふく	forward recovery	回復の一方法であって、システム、プログラム、ファイル、データベースなどの資源の状態を、以前に維持されていた状態ではなくて、要求された機能を遂行できる新しい状態を	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1416	A		後退回復	こうたいかいふく	backward recovery	回復の一方法であって、システム、プログラム、ファイル、データベースなどの資源を、要求された機能を遂行できる、以前の状態に復旧すること。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1417	A		インライン回復	いんらいんかいふく	inline recovery	障害発生以前の安全な地点から作業を再開することによって遂行される回復。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1418	A		飢え、枯渇	うえ、こかつ	starvation	あるプロセスが必要とする資源を、並行的に活性化状態にある他のプロセスが永続的に確保しているために、予測できる時間内にそのプロセスの実行が先に進めない状況。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1419	A		デッドロック、すくみ	でっどろっく、すくみ	deadlock	二つ以上の装置又は並行プロセスが他の装置又はプロセスに割り当てられた資源を待ち合っているか、又は相互に依存し合っているために、データ処理が先に進めない状	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1420	A		ロックアウト	ろっくあうと	lockout	一度に1台の装置又は一つのプロセスだけによるアクセスを許可し、他からのアクセスを排除することによって、共用資源を保護するような資源割振りの技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1421	A		ブートストラップ、初期プログラムロード、IPL(省略形)	ぶーとすとらっぷ、しょきぶろぐらむろーど、IPL	bootstrap,initial program load, IPL(省略形)	永続的に常駐しているか、又は計算機に容易にロードできる短いプログラムであって、その実行によってオペレーティングシステム又はそのローダのようなより大きいプログラムをメモリに収容すること。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1422	A		ブートストラップする	ぶーとすとらっぷする	(to) bootstrap	ブートストラップを実行する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1423	A		ブートストラップローダ	ぶーとすとらっぷろーだ	bootstrap loader	ブートストラップをロードするのに使用される短いプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1424	A		ブートする	ぶーとする	(to) boot	オペレーティングシステムの再ロード、場合によってはメモリのクリアによって計算機を初期化する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1425	A		例外	れいがい	exception	プログラムの実行中に発生し、通常の実行順序からの離脱を引き起こす可能性のある状態であって、その状態を定義し、発生させ、認識し、無視し、又は処理するための手段が存在するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1426	A		発生させる(例外を)	はっせいさせる(れいがい	(to) raise (an exception)	指定された状態の発生に基づいて例外の通知を引き起こす。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1427	A		例外ハンドラ	れいがいはんどら	exception handler	特定の種類の例外に応じて実行されるプログラムの部分。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1428	A		処理する(例外を)	しょりする(れいがいを)	(to) handle (an exception)	例外の発生の結果として直接に処置を行う。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1429	A		伝搬する(例外を)	でんぱんする(れいがいを)	(to) propagate (an exception)	あるモジュールの中に必要とされる例外処理機能が欠如しているために、先行の呼ぶモジュール又は外側の入れ子のモジュールの例外ハンドラに制御を移行したり、例外ハンドラ内で明示的に再度例外を発生させたりする。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1430	A		アドレス付け例外	あどれすづけれいがい	addressing exception	プログラムにとって使用可能な空間の範囲外のアドレスを、そのプログラムが算出したときに発生する例外。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1431	A		データ例外	でーたれいがい	data exception	プログラムの中で不正にデータを使用又はアクセスしようとしたときに発生する例外。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1432	A		演算例外	えんざんれいがい	operation exception	プログラムが不正な操作部を検出したときに発生する例外。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1433	A		保護例外	ほごれいがい	protection exception	プログラムが記憶装置上の保護領域にアクセスしようとしたときに発生する例外。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1434	A		オーバフロー例外	おーばふろーれいがい	overflow exception	演算の結果によってオーバフローが引き起こされたときに発生する例外。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1435	A		アンダフロー例外	あんだふろーれいがい	underflow exception	演算の結果によって算術アンダフローが引き起こされたときに発生する例外。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1436	A		デバッグする	でばっぐする	(to) debug	プログラムの中の誤りを検出し、その場所を突き止め、それを取り除く。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1437	A		デバッガ	でばっが	debugger	デバッグを支援するためのソフトウェア。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1438	A		ダンプする	だんぷする	(to) dump	ある時点における記憶装置の全体又は一部分の内容を、解析しやすい形式で記録したり表示したりする。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1439	A		(1)ダンプ	(1)だんぷ	dump (1)	ダンプする過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1440	A		(2)ダンプ、データダンプ	(2)だんぷ、でーただんぷ	dump (2), datadump	タンプされたデータそのもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1441	A		指定域ダンプ	していいきだんぷ	selective dump	指定された記憶場所の幾つかの区域だけのダンプ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1442	A		変更域ダンプ	へんこういきだんぷ	change dump	ある指定された期間に内容が変化した記憶場所のダンプ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1443	A		事後解析ダンプ	じごかいせきだんぷ	postmortem dump	プログラムの実行の異常終了時に生成されるダンプ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1444	A		速写ダンプ、スナップショットダンプ	そくしゃだんぷ、すなっぷしょっとだんぷ	snapshot dump	特定の時点においてメモリ又はデータベースに格納されていたデータの全部又は一部分のコピー。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1445	A		メモリダンプ、記憶域ダンプ	めもりだんぷ、きおくいきだんぷ	memory dump	計算機の内部記憶装置の全体又は一部分の内容のダンプ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1446	A		机上検査	きじょうけんさ	desk checking	人手によるプログラムの模擬的な実行を含めた、静的解析技法であって、この技法では、原始コード、試験結果などの文書類が、通常、その文書の作成者によって視覚的に精査され、障害、開発標準に対する違反などの問題を摘出する。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1447	A		可逆実行、プレイバック	かぎゃくじっこう、ぷれいばっく	reversible execution, playback	入力及び出力が、利用者の制御のもとで、場合によっては順方向又は逆方向に再生できるような方法で、プログラムの全体又は一部分の実行履歴を記録する技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1448	A		再現、リプレイ	さいげん、りぷれい	replay	解析のために、制御された条件のもとでプログラムの実行を引き起こすような方法で、入力を収集し、それをプログラムに再度投入する技法。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1449	A		単一命令操作、逐一命令操作、単一命令実行	たんいつめいれいそうさ、ちくいちめいれいそうさ、たんいつめいれいじっこう	single-step operation, step-by-step operation, single-step execution	単独の命令又は命令の一部分が、外部からの合図に呼応して実行されるような計算機の操作形態。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1450	A		診断プログラム	しんだんぷろぐらむ	diagnostic program	装置内の障害又はプログラムの中の誤りを検出し、その場所を突き止め、それを説明するためのプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1451	A		追跡プログラム	ついせきぷろぐらむ	trace program	追跡を生成するプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1452	A		操作コードトラップ	そうさこーどとらっぷ	operation code trap	機械命令の操作部の特別な変更であって、その機械命令を実行しようとすると割込みを引き起こすもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1453	A		検査プログラム	けんさぷろぐらむ	checking program	診断プログラムの一種であって、原始プログラム又はデータが、構文上若しくは意味上誤っていないかどうか、又は指定の要件に適合していないかどうかを調べるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1454	A		パッチ	ぱっち	patch	原始プログラムから新たにアセンブル又はコンパイルすることなく、目的モジュール又はロードされたプログラムを直接に変更すること。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1455	A		パッチする	ぱっちする	(to) patch	パッチを施す。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1456	A		表明	ひょうめい	assertion	プログラムの実行時にそのプログラムの特定の点において、存在しなければならない特定の状況、又は満たさなければならない特定の条件を指定する言語構成要素。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1457	A		ループ表明	るーぷひょうめい	loop assertion	ループの特定の部分を毎回実行する前に成立していなければならない一つ以上の条件を指定する論理式。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1458	A		不変、不変関係	ふへん、ふへんかんけい	invariant	指定された環境においては何も変化しない特性に関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1459	A		ループ不変関係、ループ不変式	るーぷふへんかんけい、るーぷふへんしき	loop invariant	ループの実行中はずっと不変である条件。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1460	A		事前条件、前件	じぜんじょうけん、ぜんけ	precondition	プログラム内の実行順序において、指定された部分の直前の点における表明。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1461	A		事後条件、後件	じごじょうけん、こうけん	postcondition	プログラム内の実行順序において、指定された部分の直後の点における表明。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1462	A		正当性証明	せいとうせいしょうめい	correctness proving	プログラムの意味がそのプログラムの仕様と矛盾していないことの、形式的かつ数学的	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1463	A		正当性の証明	せいとうせいのしょうめい	proof of correctness	正当性証明への適用によってもたらされる証明。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1464	A		形式仕様書、形式仕様	けいしきしようしょ、けいしきしよう	formal specification	形式的な表記法で書かれた仕様。正当性証明においてしはしば使用される。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1465	A		部分正当性	ぶぶんせいとうせい	partial correctness	プログラムの出力表明がその入力表明及び処理段階から論理的に導き出されることを示す正当性証明。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1466	A		全域正当性	ぜんいきせいとうせい	total correctness	プログラムの出力表明がその入力表明及び処理段階から論理的に導き出され、かつ指定した全入力条件の下でそのプログラムが終了することを示す正当性証明。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1467	A		誤りの埋込み、バグの埋込み、障害の埋込み	あやまりのうめこみ、ばぐのうめこみ、しょうがいのうめこみ	error seeding, bug seeding, fault seeding	プログラムの中の障害の検出と除去の比率を監視し、プログラムの中に残存する障害の件数を推定するために、既知の障害を意図的に追加する過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1468	A		既存誤り、既存障害	きぞんあやまり、きぞんしょうがい	indigenous error, indigenous fault	プログラムの中の誤りであって、誤りの埋込み過程の一環として挿入されたものではないもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1469	A		誤り制御ソフトウェア	あやまりせいぎょそふとうぇあ	error control software	計算機システムが、誤りを検出し、記録し、場合によっては訂正するために監視するソフトウェア。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1470	A		誤り予測	あやまりよそく	error prediction	システム又は構成要素の中の誤りに関して予想される件数又は性質についての定量的	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1471	A		回復不能誤り	かいふくふのうあやまり	unrecoverable error	プログラムにとっては、外部からの回復技法を使用しない限り回復が不可能な誤り。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1472	A		マイクロ命令	まいくろめいれい	microinstruction	機械命令又は他の自立形のハードウェア機能を遂行するために必要とされる基本操作の幾つかを指定し、かつ、この操作に付随するオペランドを示す指示語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1473	A		マイクロプログラミング	まいくろぷろぐらみんぐ	microprogramming	マイクロ命令を使用するプログラミング。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1474	A		マイクロプログラム	まいくろぷろぐらむ	microprogram	マイクロ命令の列であって、対応するハードウェア構成要素とともに、機械命令又は自立的なハードウェア機能の遂行を完全に制御するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1475	A		マイクロコード	まいくろこーど	microcode	マイクロ命令の集まりであって、マイクロプログラムの一部分、全体又はその集合を構成するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1476	A		マイクロコードアセンブラ	まいくろこーどあせんぶら	microcode assembler	マイクロプログラムを、記号形式からバイナリ形式に翻訳するプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1477	A		マイクロ操作	まいくろそうさ	microoperation	マイクロプログラミングにおいて、機械命令又は他の自立的なハードウェア機能の遂行のために必要とされる基本操作の一つ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1478	A		マイクロプログラム可能計算機	まいくろぷろぐらむかのうけいさんき	microprogrammable computer	利用者がマイクロプログラムを作成したり変更したりすることのできる計算機。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1479	A		命令	めいれい	instruction, statement (deprecated in this sense)	操作及び関連するすべてのオペランドの識別に関する仕様。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1480	A		機械命令	きかいめいれい	machine instruction	計算機によって直接に実行することのできる命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1481	A		命令形式	めいれいけいしき	instruction format	命令の構成部分の配置。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1482	A		命令集合、命令レパートリ	めいれいしゅうごう、めいれいれぱーとり	instruction set, instruction repertoire	特定の計算機で認識されるか、又は特定のプログラム言語で提供される命令の全集合。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1483	A		命令長	めいれいちょう	instruction length	機械命令を記憶するのに必要な語、バイト又はビットの個数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1484	A		操作部、演算部、操作フィールド	そうさぶ、えんざんぶ、そうさふぃーるど	operation part, operation field	機械命令又はマイクロ命令の一部分であって、遂行する操作を指定するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1485	A		アドレス、番地	あどれす、ばんち	address	場所を識別するための値。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1486	A		アドレス部	あどれすぶ	address part	機械命令又はマイクロ命令の一部分であって、オペランドのアドレスを指定するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1487	A		アドレス形式	あどれすけいしき	address format	アドレス内の要素の数及び配置。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1488	A		命令コード、計算機命令コード	めいれいこーど、けいさんきめいれいこーど	instruction code, computer instruction code, machine code(deprecated in this	特定の計算機上で使用可能な機械命令を表現するためのー組のバイト。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1489	A		操作コード、演算コード	そうさこーど、えんざん	operation code	機械命令の操作部のコード化表現。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1490	A		ゼロアドレス命令	ぜろあどれすめいれい	zero-address instruction	アドレス部のない命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1491	A		1アドレス命令、単一アドレス命令、単一オペランド命令	1あどれすめいれい、たんいつあどれすめいれい、たんいつおぺらんどめい	one-address instruction, single-address instruction, single-operand instruction	アドレス部が一つしかない命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1492	A		2アドレス命令、2オペランド命令	2あどれすめいれい、2おぺらんどめいれい	two-address instruction, double-operand	二つのアドレス部を含む命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1493	A		3アドレス命令	3あどれすめいれい	three-address instruction	三つのアドレス部を含む命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1494	A		nアドレス命令	nあどれすめいれい	n-address instruction	n個のアドレス部を含む命令。ただし、nは非負の整数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1495	A		1＋1アドレス命令	1たす1あどれすめいれい	one-plus-one address instruction	二つのアドレス部を含む命令であって、次に実行される命令のアドレスが2番目のアドレス部に含まれているもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1496	A		暗黙アドレス指定	あんもくあどれすしてい	implied addressing, implicit addressing	アドレス指定の一方法であって、命令の操作部がオペランドのアドレスを示すもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1497	A		1増しアドレス指定	1ましあどれすしてい	one-ahead addressing	暗黙アドレス指定の一種であって、命令のオペランドが、最後に実行された命令で使用したオペランドの場所の次の記憶場所にあるとみなされるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1498	A		反復アドレス指定	はんぷくあどれすしてい	repetitive addressing	暗黙アドレス指定の一種であって、命令の操作部が、最後に実行された命令のオペランドのアドレスを暗黙に指しているもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1499	A		直接命令、即値命令	ちょくせつめいれい、そくちめいれい	direct instruction,immediate	オペランドのアドレスではなくて、オペランドの値を含む命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1500	A		即値オペランド	そくちおぺらんど	immediate operand	アドレスではなくて、値そのものを命令の中に含んでいるオペランド。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1501	A		即値データ	そくちでーた	immediate data	命令に含まれているデータ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1502	A		間接命令	かんせつめいれい	indirect instruction	間接アドレスを含んでいる命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1503	A		空操作命令、no-op	くうそうさめいれい、no-op	no operation instruction, no-op	計算機では何も操作を遂行せずに、次に実行すべき命令に計算機を進めるだけの命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1504	A		特権命令	とっけんめいれい	privileged instruction	特定のモードでだけ実行できる命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1505	A		飛越し命令	とびこしめいれい	jump instruction	飛越しを指定する命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1506	A		無条件飛越し命令	むじょうけんとびこしめいれい	unconditional jump instruction	必ず飛越しをするよう指定された飛越し命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1507	A		条件付き飛越し命令	じょうけんつきとびこしめいれい	conditional jump instruction	飛越しのための条件が指定された飛越し命令。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1508	A		呼出し列	よびだしれつ	calling sequence	副プログラムの実行を引き起こす命令の列であって、必要に応じて、処理するデータを供給し、結果(存在する場合)の引渡しと、呼ぶプログラムへの復帰とを制御するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1509	A		アドレス空間	あどれすくうかん	address space	特定のプログラム又は機能単位によって使用されるアドレスの集合。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1510	A		記号アドレス	きごうあどれす	symbolic address	アドレスを表現する識別子。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1511	A		直接アドレス	ちょくせつあどれす	direct address	他のアドレスを格納した記憶場所を参照せずに場所を識別するアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1512	A		基底アドレス	きていあどれす	base address	アドレス計算の際に起点として使用されるアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1513	A		絶対アドレス	ぜったいあどれす	absolute address	直接アドレスの一種であって、基底アドレスを参照せずに場所を識別するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1514	A		相対アドレス	そうたいあどれす	relative address	直接アドレスの一種であって、基底アドレスからの偏位によって場所を識別するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1515	A		間接アドレス、多層アドレス	かんせつあどれす、たそうあどれす	indirect address, multilevel address	他のアドレスの記憶場所を識別するアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1516	A		再配置可能アドレス	さいはいちかのうあどれす	relocatable address	アドレスで参照されるデータ、又はそのアドレスを含むプログラムを再配置するときに、補正を必要とするアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1517	A		生成アドレス	せいせいあどれす	generated address	プログラムの実行中に計算されたアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1518	A		実効アドレス	じっこうあどれす	effective address	指定されたアドレスに対して、必要とされる指標付け、間接アドレス付け、又は他のアドレス修飾を施した結果生成されるアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1519	A		アドレス修飾	あどれすしゅうしょく	address modification	アドレスに施される算術演算、論理演算、又は構文上の操作。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1520	A		仮想アドレス	かそうあどれす	virtual address	仮想記憶システムにおいて、外部記憶装置上の記憶場所に割り当てられるアドレスであって、主記憶の一部分であるかのようにその場所にアクセスさせるようにするもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1521	A		実アドレス	じつあどれす	real address	仮想記憶システムにおける、主記憶部分の記憶場所のアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1522	A		指標(プログラミングにおける)	しひょう(ぷろぐらみんぐにおける)	index (in computer programming)	データの項目の列の中で、あるデータの項目の位置を識別する整数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1523	A		指標付きアドレス	しひょうつきあどれす	indexed address	指標レジスタの内容によって修飾されるアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1524	A		自己相対アドレス	じこそうたいあどれす	self-relative address	アクセスしようとする記憶場所のアドレスを得るために、そのアドレスを含む命令のアドレスに加算しなければならないアドレス。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1525	A		構成図、階層図	こうせいず、かいそうず	structure chart, hierarchy chart	システム又はプログラムにおいて、モジュール、動作などの実体を識別し、大きい実体又は一般的な実体がより小さい実体又はより特化した実体にどのように細分されるかを示	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1526	A		呼出しグラフ、呼出し木	よびだしぐらふ、よびだしき	call graph, call tree	システム又はプログラム内のモジュールを識別するための図であって、どのモジュールが互いに他のモジュールを呼び出しているかを示したもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1527	A		制御流れ図、制御流れグラフ	せいぎょながれず、せいぎょながれぐらふ	control flow diagram, control flow graph	プログラムの実行中に演算の遂行される可能性があるすべての実行順序の集まりを描いた図。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1528	A		ナッシシュナイダマン図、チャピン図、ボックスチャート	なっししゅないだまんず、ちゃぴんず、ぼっくすちゃーと	Nassi-Shneiderman chart, Chapin chart, box diagram	順番付けられ、入れ子になった箱で構成される制御流れ図であって、その箱が順次要素、繰返し及び条件文を表しているもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1529	A		データ流れ図、データフローグラフ	でーたながれず、でーたふろーぐらふ	data flowchart, data flow diagram, data flow graph	データ送出し側、データ受取り側、データ格納域、及びデータに施す処理過程をノードとし、かつ、データに関する論理的な流れをノード間のリンクとして描いた図。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1530	A		風船図、バブルチャート	ふうせんず、ばぶるちゃー	bubble chart	円(風船)を使って実体を描き、円を連結する線によって実体間の関係を表現した図。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1531	A		入力処理出力図、IPOチャート(省略形)	にゅうりょくしょりしゅつりょくず、IPOちゃーと	input-process-output chart, IPO chart	ソフトウェアシステム又はモジュールに関する図であって、左側には入力、中央には処理ステップ、右側には出力のそれぞれの一覧を収容した三つの長方形で表し、入力及び処理ステップ、処理ステップ及び出力をそれぞれ結合する矢印とからなるもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1532	A		状態遷移図、状態図	じょうたいせんいず、じょうたいず	state transition diagram, state diagram	システム又は構成要素のとりうる状態を描き、ある状態から別の状態への変化を引き起こした、又はそのような変化に起因する事象又は条件を示す図。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1533	A		タスク状態	たすくじょうたい	task state	タスクがその生存期間を通してとることのできる状態の一つ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1534	A		起動(プログラミングにおける)、活性化	きどう(ぷろぐらみんぐにおける)、かっせいか	activation (in computer programming)	起動レコードの設定。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1535	A		確立	かくりつ	elaboration	参照の解決、データ型検査、記憶割振りなどの実行に先だって宣言がその効果をもたらす過程。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1536	A		実行可能	じっこうかのう	executable	タスクの起動からその完了までの間にそのタスクがとりうるタスク状態に関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1537	A		閉鎖	へいさ	blocked	タスクが待たされているか、又はある事象を待っているという、実行可能タスクのタスク状態に関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1538	A		動作可能	どうさかのう	ready	タスクが処理を待っているが、閉鎖されてはいないという、実行可能タスクのタスク状態に関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1539	A		実行中	じっこうちゅう	running	タスクがその時点で処理機構に割り当てられているような、実行可能タスクのタスク状態に関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1540	A		遅延	ちえん	delayed	遅延文によって、閉鎖されているような、実行可能タスクの状態に関する用語。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1541	A		完了した	かんりょうした	completed	実行を終えたタスクのタスク状態に関する用語。この場合、そのタスクに依存する事象はすべて解決済みである。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1542	A		終了した	しゅうりょうした	terminated	実行を完了したタスクのタスク状態に関する用語。この場合、そのタスクに依存する事象はすべて解決済みであり、活動レコードも解放されている。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1543	A		母体タスク	ぼたいたすく	master task	プログラムのモジュールであって、その実行によってタスクを生成するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1544	A		タスクエントリ	たすくえんとり	task entry	呼ぶモジュールとの間のインタフェースが用意される、タースクの内部の地点。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1545	A		ガード、警護	がーど、けいご	guard	選択待機文の選択肢が"開いている"か"閉じている"かを判定するために使用される条	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1546	A		開いたガード	ひらいたがーど	open guard	条件が真と評価されるガード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1547	A		閉じたガード	とじたがーど	closed guard	条件が偽と評価されるガード。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1548	A		スレッド	すれっど	thread	プロセスの内部にある別のプロセスであって、前者のプロセスの資源を使用するもの。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1549	A		スタブ、代用部分	すたぶ、だいようぶぶん	stub	プログラム開発を進行させるために、プログラム内で一時的に使用される代替の構成要	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1550	A		足場材	あしばざい	scaffolding	ソフトウェア開発及び試験過程を支援するために作成されるが、最終製品に取り込まれることのないプログラム及びデータ。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1551	A		プログラミングシステム	ぷろぐらみんぐしすてむ	programming system	プログラミング環境において、あるプログラム言語で表現されるプログラムの開発及び使用に必要となるプログラム言語及びソフトウェアツール。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1552	A		プログラムライブラリ	ぷろぐらむらいぶらり	program library	プログラム又はその一部分、及び場合によってはそれらの利用に関する情報の組織化された集まり。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1553	A		ソフトウェアライブラリ	そふとうぇあらいぶらり	software library	ソフトウェアの開発、使用又は保守を援助することを目的とした、ソフトウェア及び関連資料の制御された集まり。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1554	A		システムライブラリ	しすてむらいぶらり	system library	計算機システムのソフトウェア内に常駐するソフトウェアライブラリであって、使用のためにアクセスしたり、参照によって他のプログラムの中に取り込んだりすることができるも	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1555	A		動作環境	どうさかんきょう	operating environment	プログラムの実行中に存在しているか、又は存在していることが期待される、プログラムの外部環境。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1556	A		バッチ処理環境、一括処理環境	ばっちしょりかんきょう、いっかつしょりかんきょう	batch-processing environment	入力データを到着の都度処理するのではなくて、入力を幾つかの集まりにまとめておいて処理する動作環境。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1557	A		対話形環境	たいわがたかんきょう	interactive environment	実行中のプログラムから各利用者に応答し、利用者は処理過程の間操作に直接影響を及ぼすということを認識しているような動作環境。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1558	A		リアルタイム環境、実時間環境	りあるたいむかんきょう、じつじかんかんきょう	real-time environment	リアルタイムプログラムの実行を支援する動作環境。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1559	A		ユーティリティプログラム、サービスプログラム	ゆーていりていぷろぐらむ、さーびすぷろぐらむ	utility program, service program	計算機の利用者及びサービス担当者に対して、一般的にかつしばしば必要とされるサービスを提供するプログラム。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1560	A		ユーティリティルーチン、サービスルーチン	ゆーていりているーちん、さーびするーちん	utility routine, service routine	計算機の利用者及びサービス要員に対して、一般的にかつしばしば必要とされるサービスを提供するルーチン。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1561	A		改修容易性	かいしゅうようい せい	modifiability	プログラムに変更を施すことができる容易さの尺度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1562	A		理解性、理解のしやすさ	りかいせい、りかいのしやすさ	understandability	人間がプログラムを読解したり、実世界のデータ及びアルゴリズムに対応付けを行う問題解決において、データ構造又はデータ対象及びアルゴリズムを個別に分離したりする作業が容易に行える尺度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1563	A		モジュール性	もじゅーるせい	modularity	ある構成要素を変更した場合、他の構成要素に及ぼす影響が最小限で済むように、プログラムをモジュールで構成できる度合い。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1564	A		結束性、凝集度、モジュール強度	けっそくせい、ぎょうしゅうど、もじゅーるきょうど	cohesion, module strength	単一のモジュールに含まれる複数の作業が相互に関連し合う方法とその度合い。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1565	A		機能的結束性	きのうてきけっそくせい	functional cohesion	あるモジュールに含まれる作業がすべて、一つの指定された目標の遂行に寄与しているという結束性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1566	A		情報共用的結束性	じょうほうきょうようてきけっそくせい	informational cohesion	あるモジュールに含まれる作業が共通のデータ構造の上で遂行されるが、個別の入り口点及びコードを使用するという結束性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1567	A		対話的結束性	たいわてきけっそくせい	communicational cohesion	モジュールに含まれる幾つかの作業が、同じ入力データを使用するか、又は同じ出力データを生成するという結束性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1568	A		時間的結束性	じかんてきけっそくせい	temporal cohesion	あるモジュールに含まれる作業がすべて、特定の時点で必要とされるという結束性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1569	A		論理的結束性	ろんりてきけっそくせい	logical cohesion	あるモジュールに含まれる幾つかの作業が、論理的に類似しているという結束性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1570	A		同時的結束性	どうじてきけっそくせい	coincidental cohesion	あるモジュールに含まれる幾つかの作業が、互いに機能的な関連をもっていないという	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1571	A		手続き的結束性	てつづきてきけっそくせい	procedural cohesion	あるモジュールに含まれる作業がすべて、反復過程又は判断過程のようなある手続きに寄与しているという結束性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1572	A		順次的結束性	じゅんじてきけっそくせい	sequential cohesion	あるモジュールに含まれる作業の一つの結果が、後に同じモジュールによって遂行される別の作業のオペランドとして機能するという結束性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1573	A		結合度、結合	けつごうど、けつごう	coupling	モジュール同士の相互接続又は相互依存性。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1574	A		データ結合	でーたけつごう	data coupling	幾つかのモジュール間でデータが共用されているという結合度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1575	A		制御結合	せいぎょけつごう	control coupling	あるモジュールが別のモジュールの動作に影響を及ぼすという明らかな目的で後者にデータを引き渡すという結合度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1576	A		外部結合	がいぶけつごう	external coupling	形式的に外部的と宣言された変数にだけ結合を限定することによって、変数の結合を制御できるような結合度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1577	A		共通環境結合、共通結合	きょうつうかんきょうけつごう、きょうつうけつごう	common environment coupling, common coupling	幾つかのモジュールが共通のデータにアクセスしているような結合度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1578	A		内容結合	ないようけつごう	content coupling	あるモジュールが別のモジュールのコードを参照したり変更したりするような結合度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1579	A		ファンイン、入力数	ふぁんいん、にゅうりょくすう	fan-in	特定の一つのモジュールを制御しているモジュールの数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1580	A		ファンアウト、出力数	ふぁんあうと、しゅつりょく	fan-out	一つのモジュールの制御下にあるモジュールの数。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1581	A		局所化	きょくしょか	localization	強結束性及び疎結合という品質をもつモジュールの集合に適用される原則。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1582	A		適合性	てきごうせい	conformability	幾つかのプログラム部分の全体が直ちに試験できるような方法でそのプログラムが設計され構成されている度合いの尺度。	JIS X 0007	2001	ISO/IEC 2382-7	1997				2000	JTC1
1583	A		セキュリティ	せきゅりてぃ	computer security, COMPUSEC	通常、適切な行動をとることにより、事故又は悪意に基づく行為からデータ及び資源を保護すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1584	A		管理的セキュリティ、手続き的セキュリティ	かんりてきせきゅりてぃ、てつづきてきせきゅりてぃ	administrative security, procedural security	セキュリティのための管理上の手段。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1585	A		通信セキュリティ、COMSEC(省略形)	つうしんせきゅりてぃ、こむせっく	communications security, COMSEC	データ通信に適用するセキュリティ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1586	A		データセキュリティ	でーたせきゅりてぃ	data security	データに適用するセキュリティ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1587	A		セキュリティ監査	せきゅりていかんさ	security audit	データ処理システムの記録及び行為に対する独立した検閲及び検査であって、システム制御が適切であるかどうかを試験し、設定したセキュリティ方針及び操作手続きに適合しているかどうかを確認し、セキュリティへの侵入工作を検出し、さらに、制御、セキュリティ方針並びに手続きに対して、提示された変更を推薦することを目的とするもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1588	A		セキュリティ方針	せきゅりていほうしん	security policy	セキュリティを提供するために採用した、計画又は一連の行動。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1589	A		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity	データの特性であって、その正確さと一貫性が、データにどのような変更を行っても保存されるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1590	A		ファイル保護	ふぁいるほご	file protection	ファイルへの許可されていないアクセス、変更又は削除に対抗する、適切な管理上の、技術的な、又は物理的な手段の実現。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1591	A		機密性	きみつせい	confidentiality	データの特性であって、そのデータが、認可されていない個人、プロセス又は他のエンティティに利用可能とならない程度、又は暴露されない程度を示すもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1592	A		責任追跡性	せきにんついせきせい	accountability	あるエンティティの行為を、そのエンティティまで一意に追跡できることを確実にする特	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1593	A		エンティティ認証	えんていていにんしょう	authentication	あるエンティティについて主張されている身元を検証する行為。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1594	A		メッセージ認証	めっせーじにんしょう	message authentication	あるメッセージが本来の発信者から目的受信者に、途中で変更されることなく送られたことの検証。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1595	A		認証情報	にんしょうじょうほう	authentication information	あるエンティティについて主張されている身元の有効性確認に利用する情報。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1596	A		身分証明	みぶんしょうめい	credentials	あるエンティティについて主張されている身元を確認するために伝送するデータ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1597	A		認証交換	にんしょうこうかん	authentication exchange	あるエンティティの身元を、情報交換によって確認するための機構。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1598	A		認可	にんか	authorization	権利を与えること。アクセス権に基づいて、アクセスできるようにすることを含む。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1599	A		可用性(セキュリティにおける)	かようせい(せきゅりていにおける)	availability	認可されたエンティティから請求がありしだい、アクセスし利用できるようにする、データ又は資源の特性。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1600	A		証明(セキュリティにおける)	しょうめい(せきゅりていにおける)	certification	データ処理システムの全部又は一部がセキュリティの要件に適合していることを、第三者機関が保証する手続き。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1601	A		セキュリティ許容度	せきゅりていきょようど	security clearance, clearance	特定のセキュリティレベル又はそれより下位のセキュリティレベルで、データ又は情報にアクセスするため、個人に与えられる許可の範囲。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1602	A		セキュリティレベル	せきゅりていれべる	security level	階層的なセキュリティ区分とセキュリティ部類との組合せであって、あるオブジェクトの保護必要度、又はある個人のセキュリティ許容度を表すもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1603	A		閉鎖型セキュリティ環境	へいさがたせきゅりていかんきょう	closed-security environment	事故又は悪意に基づく行為からデータ及び資源を保護するために、(認可、セキュリティ許容度、構成制御などの)特別な注意が払われている環境。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1604	A		開放型セキュリティ環境	かいほうがたせきゅりていかんきょう	open-security environment	事故又は悪意に基づく行為からのデータ及び資源の保護が、通常の操作手続きによって達成される環境。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1605	A		プライバシ	ぷらいばし	privacy	個人に関するデータの、不当又は不法な収集及び利用によって、その個人の私生活又は私事への侵入を受ける、ということのない権利。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1606	A		危機分析	ききぶんせき	risk analysis, risk assessment	データ処理システムの資産、その資産に対する脅威、及びその脅威に対するシステムのぜい弱性を確認する、系統的な方法。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1607	A		危機容認	ききようにん	risk acceptance	通常は技術的又は費用上の理由によって、一定の危機を許容するための、管理上の決	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1608	A		保護必要度	ほごひつようど	sensitivity	情報の所有者が情報に割り当てた重要性の尺度であって、保護の必要性を示すもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1609	A		システム完全性	しすてむかんぜんせい	system integrity	データ処理システムの品質であって、認可されていない利用者による資源の変更又は利用を防ぐとともに、認可された利用者による資源の不適切な変更又は不適切な利用を防ぎながら、データ処理システムがその運用上の目的を満たす度合い。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1610	A		脅威分析	きょういぶんせき	threat analysis	データ処理システムに悪影響を与えるおそれのある行為及び事象の調査。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1611	A		信頼できる計算機システム	しんらいできるけいさんきしすてむ	trusted computer system	十分なセキュリティをもつデータ処理システムであって、さまざまなアクセス権をもつ複数の利用者によるデータへの並行アクセス、及びさまざまなセキュリティ区分とさまざまなセキュリティ部類とをもつデータへの並行アクセスを処理できるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1612	A		サブジェクト(セキュリティにおける)	さぶじぇくと(せきゅりていにおける)	subject	オブジェクトにアクセスできる能動的エンティティ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1613	A		オブジェクト(セキュリティにおける)	おぶじぇくと(せきゅりていにおける)	object	エンティティであって、それへのアクセスが制御されるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1614	A		セキュリティ区分	せきゅりていくぶん	security classification	データ又は情報へのアクセスに対して必要な、保護の度合い決定し、その保護の度合いを指定すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1615	A		保護必要情報	ほごひつようじょうほう	sensitive information	その情報の暴露、変更、破壊、又は損失によって、感知できる損害を誰かに又は何かに与えるので、保護するべきであると、相当の権限をもつ者が決定した情報。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1616	A		セキュリティ部類	せきゅりていぶるい	security category	データへのアクセスを制御する保護必要情報の、階層的でないグループ分けであって、階層的なセキュリティ区分だけの場合よりも細かく制御するために利用するもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1617	A		区画化	くかくか	compartmentalization	危機を減少させるために、データを孤立したブロックに分け、別個にセキュリティの制御を行うこと。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1618	A		多重レベル装置、複数レベル装置	たじゅうれべるそうち、ふくすうれべるそうち	multilevel device	セキュリティ破壊の招来の危険を冒さずに、二つ以上のセキュリティレベルのデータを同時に処理することができる機能単位。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1619	A		単一レベル装置	たんいつれべるそうち	single-level device	一時には単一のセキュリティレベルのデータだけを処理することができる機能単位。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1620	A		暗号	あんごう	cryptography	データを変換する原理、手段及び方法を具体化する技術分野であって、その意味内容を隠し、認可されていない利用を防ぎ、又は検出されない変更を防ぐことを目的とするも	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1621	A		暗号化	あんごうか	encryption, encipherment	データの暗号変換。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1622	A		非可逆暗号化、片方向暗号化、一方向暗号化	ひかぎゃくあんごうか、かたほうこうあんごうか、いちほうこうあんごうか	irreversible encryption, irreversible encipherment, one-way encryption	もとのデータを再生することのできない暗号文を生成する暗号化。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1623	A		復号	ふくごう	decryption, decipherment	暗号文から、もとの対応するデータを得るプロセス。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1624	A		暗号システム、暗号系	あんごうしすてむ、あんごうけい	cryptographic system, ciphersystem,	文書、装置、機器、及び関連する技術であって、それらをともに利用することによって、暗号化又は復号の手段を提供するもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1625	A		暗号解読	あんごうかいどく	cryptoanalysis	暗号システム、その入力、出力、又はその両方を解析して、平文などの保護必要情報を導出すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1626	A		平文	ひらぶん、へいぶん	plaintext, cleartext	暗号技術を使わずに、内容の意味を読み取ることのできるデータ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1627	A		暗号文	あんごうぶん	ciphertext	暗号化によって生成されるデータであって、暗号技術を使わないと、内容の意味を読み取ることのできないもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1628	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号化又は復号の操作を制御するビット列。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1629	A		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key	復号のためのかぎであって、所有者が専用で利用するもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1630	A		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key	任意のエンティティが利用するためのかぎであって、対応するプライベートかぎの所有者と暗号化した通信を行うためのもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1631	A		公開かぎ(鍵)暗号、非対称暗号	こうかいかぎあんごう、ひたいしょうあんごう	public-key cryptography, asymmetric cryptography	暗号化及び復号に、公開かぎ及び対応するプライベートかぎを利用する暗号。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1632	A		対称暗号	たいしょうあんごう	symmetric cryptography	暗号化及び復号に同じかぎを利用する暗号。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1633	A		秘密かぎ(鍵)	ひみつかぎ	secret key	暗号化及び復号のために、限られた数の通信者が利用することを意図したかぎ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1634	A		転置	てんち	transposition	ある規則に従ってビット又は文字を並べ替える暗号化。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1635	A		置換	ちかん	substitution	ビット列又は文字列を別のビット列又は文字列と置き換える暗号化。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1636	A		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control	データ処理システムの資源に対して、認可されたエンティティが認可された方法でだけアクセスできることを確実にする手段。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1637	A		アクセス制御リスト、アクセスリスト	あくせすせいぎょりすと、あくせすりすと	access control list, access list	資源にアクセスすることを認可されたエンティティ及びそのアクセス権のリスト。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1638	A		アクセス部類	あくせすぶるい	access category	エンティティが利用することを認可された資源に基づいて、エンティティに割り当てられる	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1639	A		アクセスレベル	あくせすれべる	access level	保護された資源にアクセスするために、エンティティに必要な権限のレベル。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1640	A		アクセス権	あくせすけん	access right	あるサブジェクトが、特定の型の操作を行うために、特定のオブジェクトにアクセスするための許可。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1641	A		アクセス許可	あくせすきょか	access permission	あるサブジェクトに与えられた、あるオブジェクトに関するすべてのアクセス権。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1642	A		アクセス期間	あくせすきかん	access period	指定されたアクセス権が有効である期間。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1643	A		アクセスの型(セキュリティにおける)	あくせすのかた(せきゅりていにおける)	access type	あるアクセス権によって指定される操作の型。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1644	A		チケット、切符(セキュリティにおける)	ちけっと、きっぷ(せきゅりていにおける)	ticket	あるオブジェクトに対して、所有者がもつ一つ以上のアクセス権の表現。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1645	A		能力(セキュリティにおける)	のうりょく(せきゅりていにおける)	capability	一つ又は一群のオブジェクトの識別情報、及びそれらのオブジェクトに認可されたアクセスの型の集合の表現。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1646	A		能力リスト	のうりょくりすと	capability list	あるサブジェクトに関するリストであって、そのサブジェクトがすべてのオブジェクトに対してもつすべてのアクセスの型を示すもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1647	A		身元の認証、身元の確認	みもとのにんしょう、みもとのかくにん	identity authentication, identity validation	データ処理システムがエンティティを認識できるようにするための試験を実行すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1648	A		身元トークン	みもとー くん	identity token	身元の認証に利用する装置。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1649	A		パスワード	ぱすわーど	password	認証情報として利用する文字列。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1650	A		最小特権	さいしょうとっけん	minimum privilege	あるサブジェクトのアクセス権を、認可された仕事の実行に必要な権限だけに制限するこ	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1651	A		知る必要性	しるひつようせい	need-to-know	データの将来の受信者が、そのデータの表現する保護必要情報を知り、アクセスし、所有するという、正当な要件。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1652	A		論理的アクセス制御	ろんりてきあくせすせい	logical access control	データ又は情報に関連する機構を利用してアクセス制御を行うこと。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1653	A		物理的アクセス制御	ぶつりてきあくせすせい	physical access control	物理的な機構を利用してアクセス制御を行うこと。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1654	A		制御アクセスシステム、CAS(省略形)	せいぎょあくせすしすてむ、CAS	controlled access system, CAS (abbreviation)	物理的アクセス制御を自動化する手段。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1655	A		読出しアクセス	よみだしあくせす	read access	データを読み出す許可を与えるアクセス権。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1656	A		書込みアクセス	かきこみあくせす	write access	データを書き込む許可を与えるアクセス権。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1657	A		利用者ID、利用者識別情報	りようしゃID、りようしゃしきべつじょうほう	user ID, user identification	利用者を識別するために、データ処理システムが利用する文字列又はパターン。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1658	A		(1)利用者プロファイル	(1)りようしゃぷろふぁいる	user profile	主としてアクセス制御に使うための、利用者の記述。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1659	A		(2)利用者プロファイル	(2)りようしゃぷろふぁいる	user profile	利用者の行動のパターンであって、行動の変化を検出するために使えるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1660	A		計算機不正利用	けいさんきふせいりよう	computer abuse	意図的又は不注意による、認可されていない行為であって、データ処理システムのセキュリティに影響又はかかわるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1661	A		計算機犯罪	けいさんきはんざい	computer crime	データ処理システム又は計算機ネットワークの助けを借りて、又はそれに直接かかわって行われる犯罪。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1662	A		計算機による詐欺	けいさんきによるさぎ	computer fraud	データ処理システム又は計算機ネットワークの助けを借りて、又はそれに直接かかわって行われる詐欺。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1663	A		脅威	きょうい	threat	セキュリティの潜在的な違反。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1664	A		能動的脅威	のうどうてききょうい	active threat	データ処理システムの状態を、認可を得ずに意図的に変更する脅威。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1665	A		受動的脅威	じゅどうてききょうい	passive threat	データ処理システムの状態を変更することなく、情報を暴露する脅威。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1666	A		欠陥(セキュリティにおける)、抜け穴	けっかん(せきゅりていにおける)、ぬけあな	flaw, loophole	保護機構をう(迂)回するか、又は無力化させる、指示の誤り、省略、又は見過ごし。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1667	A		ぜい(脆)弱性	ぜいじゃくせい	vulnerability	データ処理システムの弱点又は欠陥。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1668	A		危機	きき	risk	特定の脅威が、データ処理システムの特定のぜい弱性を利用する可能性。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1669	A		サービスの妨害	さーびすのぼうがい	denial of service	資源への認可されたアクセスの妨害、又は時間が重要な作業の遅延。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1670	A		セキュリティ破壊の招来	せきゅりていはかいのしょうらい	compromise	セキュリティの違反であって、それによってプログラム又はデータが変更、破壊、又は認可されていないエンティティに利用可能であったかもしれないもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1671	A		損失	そんしつ	loss	セキュリティ破壊の招来から生じた損害の定量的な尺度。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1672	A		危急	ききゅう	exposure	特定の攻撃が、データ処理システムの特定のぜい弱性を不正利用する可能性。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1673	A		セキュリティ破壊を招来する放射	せきゅりていはかいをしょうらいするほうしゃ	compromising emanation	意図せずに放出される信号であって、それが横取りされて解析されると、処理又は伝送中の保護必要情報が漏れてしまうかもしれないもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1674	A		暴露	ばくろ	disclosure	セキュリティの違反であって、それによって、認可されていないエンティティにデータが利用可能となるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1675	A		侵入、潜入	しんにゅう、せんにゅう	penetration	データ処理システムに対する、認可されていないアクセス。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1676	A		侵入工作	しんにゅうこうさく	breach	セキュリティのある要素のあざむき、又は無力化であって、その検出の有無とはかかわりなく、データ処理システムへの侵入を引き起こすかもしれないもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1677	A		ネットワーク縫い進み	ねっとわーくぬいすすみ	network weaving	侵入のための技術であって、検出及びぞ(遡)及を避けてデータ処理システムへのアクセスを行うために、異なる通信ネットワークを縫うように利用するもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1678	A		攻撃	こうげき	attack	セキュリティに違反しようとする試み。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1679	A		暗号解読攻撃	あんごうかいどくこうげき	analytical attack, cryptoanalytical attack	解析的な手法を利用して符号を破る、又はかぎを発見する試み。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1680	A		暗号文だけに基づく攻撃、暗号文攻撃	あんごうぶんだけにもとづくこうげき、あんごうぶんこうげき	ciphertext-only attack	暗号解析者が暗号文だけをもっている、暗号解読攻撃。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1681	A		既知平文攻撃	きちひらぶんこうげき	known-plaintext attack	暗号解析者が、対応する大量の平文及び暗号文をもっている、暗号解読攻撃。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1682	A		選択平文攻撃	せんたくひらぶんこうげき	chosen-plaintext attack	暗号解析者が、無数の平文、メッセージを送出して、対応する暗号文を調べる暗号解読	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1683	A		全数攻撃、力づく攻撃	ぜんすうこうげき、ちからづくこうげき	exhaustive attack, brute-force attack	パスワード又はかぎとして考えられる値を試すことによりセキュリティに違反しようとする、試行錯誤的な試み。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1684	A		傍受	ぼうじゅ	eavesdropping	情報を含む放射信号の、認可を得ていない横取り。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1685	A		盗聴	とうちょう	wiretapping	データの取得、変更、又は挿入を行うために、データ回線の一部に秘密にアクセスするこ	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1686	A		能動的盗聴	のうどうてきとうちょう	active wiretapping	データの変更又は挿入を目的とする盗聴。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1687	A		受動的盗聴	じゅどうてきとうちょう	passive wiretapping	データの取得に限定した盗聴。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1688	A		なりすまし、変装	なりすまし、へんそう	masquerade	認可されていないアクセスを行うために、あるエンティティが別のエンティティのふりをす	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1689	A		便乗侵入	びんじょうしんにゅう	piggyback entry	認可された利用者の合法的な接続を経由した、データ処理システムへの認可されていないアクセス。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1690	A		直後侵入する	ちょくごしんにゅうする	to tailgate	認可された人物の背後に接近して制御された扉を通過し、認可されていない物理的アクセスを行う。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1691	A		ごみあさりをする	ごみあさりをする	to scavenge	許可なしで残留データを探索し、保護必要情報を獲得する。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1692	A		だます	だます	to sproof	利用者、(傍受者などの)観察者、又は資源をあざむくことを意図した行動をとる。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1693	A		打ち切られた接続	うちきられたせつぞく	aborted connection	定められた手続きに従わない切断。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1694	A		障害時アクセス	しょうがいじあくせす	failure access	ハードウェアの故障又はソフトウェアの障害による、データ処理システムの中のデータに対する、認可を得ていない、通常は故意ではないアクセス。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1695	A		伝送路間侵入	でんそうろかんしんにゅう	between-the-lines entry	正当な利用者の資源に接続された伝送チャネルが一時的に非活性状態となったとき、認可されていない利用者による能動的盗聴によって可能となったアクセス。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1696	A		隠し戸	かくしと	trapdoor	通常は試験及び問題解析のために作られる、ソフトウェア又はハードウェアの隠された機構であって、セキュリティをだますために利用されることがある。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1697	A		保守フック、保守かぎ(鉤)	ほしゅふっく、ほしゅかぎ	maintenance hook	追加機能の保守及び開発を容易にするために、ソフトウェアの中に設けた隠し戸であって、普通の入口以外からプログラムに入ったり、通常の検査をしないでプログラムに入ったりできるようになることがある。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1698	A		集約	しゅうやく	aggregation	重要度の低い情報を収集し、つきあわせることによって、保護必要情報を取得すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1699	A		連結(セキュリティにおける)、融合	れんけつ(せきゅりていにおける)、ゆうごう	linkage,, fusion	保護された情報を導出するために、あるデータ処理システムから得たデータ又は情報を、別のシステムから得たデータ又は情報と意図的に組み合わせること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1700	A		トラフィック解析	とらふぃっくかいせき	traffic analysis	トラフィックの流れの観察による、情報の導出。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1701	A		データ破壊、データ汚染	でーたはかい、でーたお	data corruption	データ完全性への、偶発的又は意図的な違反。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1702	A		氾濫	はんらん	flooding	偶発的又は意図的な、大量のデータの挿入によって、サービスの妨害を引き起こすこと。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1703	A		汚染	おせん	contamination	あるセキュリティ区分又はセキュリティ部類のデータを、より低いレベルにあるセキュリティ区分又は別のセキュリティ部類に移入すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1704	A		隠れたチャネル	かくれたちゃねる	covert channel	セキュリティ方針に違反するような方法で、データの伝送に使われるかもしれない伝送	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1705	A		悪意ある論理	あくいあるろんり	malicious logic	ハードウェア、ファームウェア、又はソフトウェアとして実現されたプログラムであって、何らかの認可されていない行為、又は有害な行為の実行を目的とするもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1706	A		ウイルス	ういるす	virus	自分自身の複写、又は自分自身を変更した複写を他のプログラムに組み込むことによって繁殖し、感染したプログラムを起動すると実行されるプログラム。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1707	A		ワーム、寄生虫	わーむ、きせいちゅう	worm	データ処理システム又は計算機ネットワークを通して自分自身を繁殖させることのできる、自己完結型のプログラム。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1708	A		トロイの木馬	とろいのもくば	Trojan horse	外見上は無害であるが、悪意ある論理をもったプログラムであって、認可を受けずにデータを収集、変造又は破壊することができるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1709	A		バクテリア、連鎖手紙	ばくてりあ、れんさてがみ	bacterium, chain letter	各受信者の配布先リストの全員に、電子メールによって自分自身の複写を送付することによって繁殖するプログラム。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1710	A		論理爆弾	ろんりばくだん	logic bomb	特定のシステム条件によって起動されたときに、データ処理システムに損害を与える悪意ある論理。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1711	A		時限爆弾	じげんばくだん	time bomb	予定の時刻に起動される論理爆弾。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1712	A		検証	けんしょう	verification	行為、プロセス、又は製品を、対応する要件又は仕様と比較すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1713	A		データ保護	でーたほご	data protection	データへの認可されていないアクセスから防護するため、管理上の、技術的な、又は物理的な手段を実施すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1714	A		防護対策	ぼうごたいさく	countermeasure	ぜい弱性を最小にするために設計された行為、装置、手続き、技術、又はその他の手	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1715	A		フェールセーフ(セキュリティにおける)	ふぇーるせーふ(せきゅりていにおける)	failsafe	故障が生じたときにセキュリティ破壊の招来を避けることに関する用語。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1716	A		データ妥当性検証	でーただとうせいけんしょう	data validation	データが正確であるかどうか、完全であるかどうか、又は指定された基準を満たしているかどうかを確認するために利用するプロセス。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1717	A		キー入力検証	きーにゅうりょくけんしょう	keystroke verification	キーボードから同じデータを再入力することによる、データ入力の正確さの確認。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1718	A		監査証跡(セキュリティにおける)	かんさしょうせき(せきゅりていにおける)	audit trail	セキュリティ監査で利用することを考えて収集するデータ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1719	A		プライバシ保護、個人情報保護	ぷらいばしほご、こじんじょうほうほご	privacy protection	プライバシを確保するためにとる手段。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1720	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	メッセージの受信者がメッセージの出所を確認できるように、メッセージに付加するデー	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1721	A		安全な封筒、ディジタル封筒	あんぜんなふうとう、でぃじたるふうとう	digital envelope	本来の受信者がメッセージの内容の完全性を確認するために、メッセージに付加するデータ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1722	A		生体計測(による)	せいたいけいそく(による)	biometric	ある人物の識別情報を検証するために、指紋、眼底血管紋又は声紋などの、個人の一意な特徴を反映した、特定の属性を利用することに関する用語。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1723	A		コールバック	こーるばっく	call-back, dial-back	データ処理システムが発信、端末を識別する手続きであって、呼を切断し、発信、端末を呼び出すことによって発信、端末を認証するもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1724	A		上書き消去(セキュリティにおける)	うわがきしょうきょ(せきゅりていにおける)	clearing	特定のセキュリティ区分及びセキュリティ部類をもつ区分データをデータ媒体上に上書きすること。この上書きによって、そのデータ媒体は、同じセキュリティ区分及びセキュリティ部類で、書込みのために再利用することができるようになる。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1725	A		消毒	しょうどく	sanitizing	文書の重要度を減少させるために、文書から保護必要情報を除去すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1726	A		残留データ	ざんりゅうでーた	residual data	ファイルの全体又は一部を消去した後、データ媒体に残ったデータ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1727	A		職掌分散	しょくしょうぶんさん	separation of duties	個人が一人だけで行動してもデータ処理システムの限られた部分に対するセキュリティ破壊の招来しか冒せないように、保護必要情報に対する責任を分割すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1728	A		わな	わな	entrapment	侵入の試みを検出したり、又はどの欠陥を利用するかで侵入者を混乱させるために、データ処理システムに意図的に明らかな欠陥を埋め込むこと。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1729	A		侵入試験、潜入試験	しんにゅうしけん、せんにゅうしけん	penetration testing	データ処理システムの機能の検査であって、セキュリティの裏をかく手段を捜すもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1730	A		計算機システム監査	けいさんきしすてむかんさ	computer-system audit	データ処理システム内で使う手続きの検査であって、その有効性と正しさとを評価し、改善の推薦を行うもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1731	A		障害対策手続き	しょうがいたいさくてつづき	contingency procedure	予期した異常状況が発生したときに、プロセスの通常の経路に代わってとる手続き。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1732	A		データ認証	でーたにんしょう	data authentication	データ完全性を検証するために利用するプロセス。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1733	A		メッセージ認証符号	めっせーじにんしょうふごう	message authentication code	データ(平文又は暗号文)及び秘密かぎの両方の関数であって、データ認証のためにデータに付随させるビット列。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1734	A		改ざん(竄)検出	かいざんけんしゅつ	manipulation detection, modification detection	データが、偶発的又は意図的に変更されたかどうかを検出するために利用する手続き。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1735	A		改ざん(鼠)検出符号、MDC(省略形)	かいざんけんしゅつふごう、MDC	manipulation detection code, modification detection code, MDC	データの関数としてデータに付随させるビット列であって、改ざん検出に使えるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1736	A		否認	ひにん	repudiation	通信の全部又は一部に加わったエンティティの一つが、通信した事実を否定すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1737	A		セキュリティフィルタ	せきゅりていふぃるた	security filter	信頼できる計算機システムであって、そのシステムを通過するデータにセキュリティ方針を強制するもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1738	A		ガード(セキュリティにおける)	がーど(せきゅりていにおける)	guard	異なるセキュリティレベルで稼働する二つのデータ処理システム間、又は利用者端末とデータベースとの間にセキュリティフィルタを提供する機能単位であって、利用者がアクセスする許可を得ていないデータを通過させないもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1739	A		相互不信	そうごふしん	mutual suspicion	相互に影響するエンティティ間で、どちらのエンティティも、ある特性に関して、正常に又は安全に機能するために、もう一方のエンティティを信頼していない関係。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1740	A		公証	こうしょう	notarization	内容、出所、時刻、及び配達などの、データの性質の正確さを後で保証することができるように、信頼できる第三者機関にデータを登録すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1741	A		トラフィックパディング、トラフィック埋込み	とらふぃっくぱでぃんぐ、とらふぃっくうめこみ	traffic padding	トラフィック解析又は復号をより困難にするために、伝送媒体ににせのデータを生成する、防護対策。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1742	A		ウイルス紋	ういるすもん	virus signature	特定のウイルスの各々の複写に共通な一意のビット列であって、走査、プログラムがウイルスの存在を検出するために使うもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1743	A		ワクチンプログラム、抗ウイルスプログラム	わくちんぷろぐらむ、こういるすぷろぐらむ	anti-virus program, vaccine program	ウイルスを検出するように設計されたプログラムであって、是正措置を提案又は実行するものもある。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1744	A		データの復元	でーたのふくげん	data restoration	失われたデータ又は汚染されたデータを再生する行為。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1745	A		データの再構築	でーたのさいこうちく	data reconstruction	本来の情報源の解析によるデータの復元方法。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1746	A		データの再構成	でーたのさいこうせい	data reconstitution	代わりの情報源で得られる構成要素からのデータの組立てによるデータの復元方法。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1747	A		バックアップ手続き	ばっくあっぷてつづき	backup procedure	故障又は災害の場合のデータの復元のために準備する手続き。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1748	A		バックアップファイル	ばっくあっぷふぁいる	backup file	後になってデータの復元が必要となる可能性を考慮して作成するファイル。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1749	A		後退回復	こうたいかいふく	backward recovery	新しい版のデータ及び稼働記録のデータを用いて、古い版のデータの再構成を行うこと。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1750	A		前進回復	ぜんしんかいふく	forward recovery	古い版のデータ及び稼働記録のデータを用いて、新しい版のデータの再構成を行うこと。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1751	A		記録保管する	きろくほかんする	to archive	通常は与えられた時間間隔で、バックアップファイル及びそれに関する稼働記録を格納	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1752	A		記録保管ファイル	きろくほかんふぁいる	archive file	後になっての調査又は検証のため、セキュリティ又は他の自的のために、別にしておく	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1753	A		記録保管済みファイル	きろくほかんずみふぁいる	archived file	記録保管ファイルをとってあるファイル。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1754	A		コールドサイト、シェルサイト、冷サイト	こーるどさいと、しぇるさいと、れいさいと	cold site, shell site	交代用のデータ処理システムの設置と運用を支援するために必要な最小限の設備を備えた施設。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1755	A		ホットサイト、熱サイト	ほっとさいと、ねつさいと	hot site	直ちにデータ処理を交代できるように、十分な機器と設備とを備えた計算機センタ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1756	A		障害対策計画、災害復旧計画	しょうがいたいさくけいかく、さいがいふっきゅうけいかく	contingency plan, disaster recovery plan	バックアップ手続き、緊急時の対応、及び災害後の復旧のための計画。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1757	A		複写防止	ふくしゃぼうし	copy protection	データ、ソフトウェア又はファームウェアの、認可されていない複写を検出又は防止するために、特別な技術を用いること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1758	A		ソフトウェア盗用	そふとうぇあとうよう	software piracy	認可を得ることなく、ソフトウェア製品を利用、複写又は配布すること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1759	A		施錠	せじょう	padlocking	認可されていない複写に対して、データ又はソフトウェアを保護するために、特別な技術を用いること。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1760	A		不良セクタ法	ふりょうせくたほう	bad sectoring	複写防止の技術であって、ディスク上に意図的に不良セクタを書き込むもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1761	A		検査コード	けんさこーど	checking code	認可されていない複写かどうかを判断するために、ディスクの一部を読み出す機械命	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1762	A		過剰セクタ、余剰セクタ	かじょうせくた、よじょうせくた	extra sector	複写防止の一方法で、標準のセクタ数を超えてトラック上に書き込まれるセクタ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1763	A		過剰トラック、余剰トラック	かじょうとらっく、よじょうとらっく	extra track	複写防止の一方法で、標準のトラック数を超えてディスク上に書き込まれるトラック。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1764	A		偽(にせ)セクタ	にせせくた	fake sector	見出しだけでデータをもたないセクタであって、ディスク上に大量に利用することによって、認可されていない複写プログラムがディスクの複写に失敗するようにしたもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1765	A		位置ずらしトラック、オフセットトラック	いちずらしとらっく、おふせっととらっく	offset track	複写防止の一方法で、ディスク上の標準的でない位置に書き込まれるトラック。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1766	A		セクタ位置合わせ	せくたいちあわせ	sector alignment	ディスクが認可されていない複写であるかどうかを判断する、複写防止の技術であって、セクタの位置が正しいかどうかを全トラックにわたって検査するもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1767	A		ら(螺)旋状トラック	らせんじょうとらっく	spiral track	複写防止の一方法で、ディスク上にら(螺)旋状に書き込まれるトラック。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1768	A		過長セクタ、スーパセクタ	かちょうせくた、すーぱせくた	supersector	複写防止の一方法で、ディスク上に書き込まれる、基準以上の長さのセクタ。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1769	A		弱磁化ビット	じゃくじかびっと	weak bit	複写防止の一方法で、0又は1のどちらにも解釈されるように、意図的に弱い磁場を用いてディスク上に書き込まれるビット。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1770	A		幅広トラック	はばびろとらっく	wide track	複写防止の一方法で、ディスク上の隣接する二つ以上のトラック位置に同一のデータが書き込まれるもの。	JIS X 0008	2001	ISO/IEC 2382-8	1998				1998	JTC1
1771	B		インタフェース	いんたふぇーす	interface	二つの機能単位で共有される境界部分であって、機能特性、共通する物理的相互特性、信号特性及びその他の適当な特性により定義されるもの。(注)この概念は、異なる機能をもつ二つの装置の接続を行う仕様を含む。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1772	B		データ伝送	でーたでんそう	data transmission	電気通信を用いてある地点から他の地点へデータを伝えること。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1773	B		データ通信	でーたつうしん	data communication	プロトコルに従ったデータ伝送によって、機能単位間で情報を転送すること。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1774	B		データ送信装置	でーたそうしんそうち	data source	伝送するデータを送り出す機能単位。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1775	B		データ受信装置	でーたじゅしんそうち	data sink	伝送されたデータを受け取る機能単位。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1776	B		多重(化)	たじゅう(か)	multiplexing	データ伝送において、二つ以上のデータ送信装置がそれぞれの通信路をもつように、一つの伝送媒体を共有させる機能。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1777	B		データ網	でーたもう	data network	データ端末装置間の接続を確立するためのデータ回線及び交換装置の構成。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1778	B		節点、ノード	せってん、のーど	node	データ網において、一つ以上の機能単位が通信路又はデータ回線を相互接続する点。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1779	B		閉域利用者グループ	へいいきりようしゃぐるーぷ	closed user group	データ網の中における指定された利用者のグループであって、そのグループの中で相互に通信することは許されるが、他のすべての利用者と通信することは許されないという機能を割り当てられているもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1780	B		外部アクセス可能閉域利用者グループ	がいぶあくせすかのうへいいきりようしゃぐるーぷ	closed user group with outgoing access	閉域利用者グループの一つであって、データ網伝送サービス内の他の利用者と通信することが許される機能を割り当てられている利用者を有するもの。相互運用設備が使用可能で他の交換網に接続されているデータ端末装置をもつ利用者を有するもの又はそ	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1781	B		全二重伝送	ぜんにじゅうでんそう	duplex transmission	同時に両方向へ伝送が可能なデータ伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1782	B		半二重伝送	はんにじゅうでんそう	half-duplex transmission	どちらの方向にも伝送が可能であるが、両方向同時には伝送できないデータ伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1783	B		単方向伝送	たんほうこうでんそう	simplex transmission	あらかじめ指定された一方向だけの伝送が可能なデータ伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1784	B		直列伝送	ちょくれつでんそう	serial transmission	文字又はその他のデータを表す信号エレメント群の順次伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1785	B		並列伝送	へいれつでんそう	parallel transmission	文字又はその他のデータを表す信号エレメント群の同時伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1786	B		バースト伝送	ばーすとでんそう	burst transmission	制御された間欠的な時間間隔で行われる特定のデータ信号速度によるデータ伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1787	B		調歩式伝送	ちょうほしきでんそう	start-stop transmission	文字を表すそれぞれの信号群に、スタート信号が先行し、ストップ信号が後続する非同	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1788	B		スタート信号	すたーとしんごう	start signal	調歩式伝送において、受信装置がその符号エレメントの受信を準備するための信号であって、文字の先頭に位置するもの。(注)スタート信号は、一般に1単位間隔の信号エレメントに限定される。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1789	B		ストップ信号	すとっぷしんごう	stop signal	調歩式伝送において、後続する文字を受信装置が受信できるように準備するための信号であって、文字の終わりに位置するもの。(注)ストップ信号は、通常、定められた最小値以上の長さを有する一つの信号エレメントに限定される。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1790	B		非同期伝送	ひどうきでんそう	asynchronous transmission	各々の文字又は文字ブロックの先頭の発生時点は任意であるが、いったん伝送が開始されると、その文字又はブロックのビットを表す各信号の発生時点は、固定した時間基準の有意瞬間と同じ関係をもつデータ伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1791	B		非等時性伝送	ひとうじせいでんそう	anisochronous transmission	同一グループ内における任意の二つの有意瞬間の間隔は常に単位時間の整数倍となるが、異なるグループにまたがる二つの有意瞬間の間隔は必ずしも単位時間の整数倍とならないデータ伝送の処理過程。(注)データ伝送におけるグループとは、一つのブロック	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1792	B		同期伝送	どうきでんそう	synchronous transmission	ビットを表す各信号の発生時点が固定した時間基準に関係するデータ伝送。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1793	B		等時性伝送	とうじせいでんそう	isochronous transmission	任意の二つの有意瞬間の間隔が常に単位時間の整数倍となるようなデータ伝送の処理	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1794	B		エレメント(データ伝送における)	えれめんと(でーたでんそうにおける)	element (in data transmission)	文字が形づくられる等長単位の各要素。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1795	B		有意状態	ゆういじょうたい	significant condition	信号の各エレメントを特性付ける各々の状態。(例)2値信号を表すための電流のオン(1)、オフ(0)など。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1796	B		有意瞬間	ゆういしゅんかん	significant instant	有意状態が変化する瞬間。(例)電流のオンからオフ、又はオフからオンへの変換点な	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1797	B		接続	せつぞく	connection	情報を伝えるために機能単位間に確立される関係。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1798	B		二地点同接続、ポイントツーポイント接続	にちてんどうせつぞく、ぽいんとつーぽいんとせつ	point-to-point connection	データ伝送のために、二つのデータステーション間で確立される接続。(注)この接続は、交換装置を含むことがある。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1799	B		分岐接続、マルチポイント接続	ぶんきせつぞく、まるちぽいんとせつぞく	multipoint connection	データ伝送のために、三つ以上のデータステーションの間で確立される接続。(注)この接続は、交換装置を含むことがある。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1800	B		伝送路	でんそうろ	line,transmission line	データ回線の一部であってデータ回線終端装置の外側にあり、データ回線終端装置をデータ交換装置と接続したり、データ回線終端装置を他の一つ以上のデータ回線終端装置と接続したり、又はデータ交換装置を他のデータ交換装置と接続したりするもの。(#図	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1801	B		通信路、データ伝送路	つうしんろ、でーたでんそうろ	channel, data Transmission channel	片方向伝送の手段。(注)通信路は、例えば周波数多重又は時分割多重により提供されることがある。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1802	B		順方向通信路	じゅんほうこうつうしんろ	forward channel	伝送の方向が利用者情報の転送される方向と同じ通信路。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1803	B		逆方向通信路	ぎゃくほうこうつうしんろ	backward channel	順方向通信路に伴う通信路であって、監視信号又は誤り制御信号のために使われるが、伝送の方向は利用者情報が転送される順方向通信路の方向と逆であるもの。(注)情報を両方向に同時に転送する場合には、この定義はデータ送信装置からみたもので	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1804	B		データリンク	でーたりんく	data link	リンクプロトコルによって制御される二つのデータ端末装置の一部と、相互に接続しているデータ回線との組であって、データ送信装置からデータ受信装置へのデータ転送を可能とするもの。(注)(#図有り)参照。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1805	B		データ回線	でーたかいせん	data circuit	両方向のデータ通信の手段を提供する関連した一組の送信通信路及び受信通信路。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1806	B		直列データ回線	ちょくれつでーたかいせん	tandem data circuit	連続した三つ以上のデータ回線終端装置を含むデータ回線。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1807	B		データ回線透過性	でーたかいせんとうかせ	data circuit transparency	データの内容又は構造を変えることなくすべてのデータを転送するデータ回線の機能。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1808	B		プロトコル、通信規約	ぷろとこる、つうしんきやく	protocol	通信を行うに際し、機能単位の動作を決定する意味上及び構文上の規則の集合。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1809	B		両方向同時通信	りょうほうこうどうじつうしん	two-way simultaneous communication	同時に両方向にデータが転送されるデータ通信。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1810	B		両方向交互通信	りょうほうこうこうごつうしん	two-way alternative communication	データは両方向に転送されるが、一度には片方向にしか転送されないデータ通信。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1811	B		片方向通信	かたほうこうつうしん	one-way communication	あらかじめ指定された一方向にデータが転送されるデータ通信。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1812	B		コード透過形データ通信	こーどとうかがたでーたつうしん	code-transparent data communication	データ通信の一形態であって、データ送信装置において使われるビット列の構成に依存しない、ビットを基本とするプロトコル。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1813	B		コード独立形データ通信	こーどどくりつがたでーたつうしん	code-independent data communication	データ通信の一形態であって、データ送信装置において使われる文字集合又はコードに依存しない、文字を基本とするプロトコル。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1814	B		メッセージ交換	めっせーじこうかん	message switching	データ網の中で完結したメッセージを受信、記憶及び送信することにより、メッセージの経路指定を行う処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1815	B		パケット交換	ぱけっとこうかん	packet switching	行く先が指定されたパケットを用いて行うデータの経路指定及び転送の処理過程であって、通信路はパケットの伝送中だけ占有され、伝送終了後は他のパケットの転送のために利用可能となるもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1816	B		回線交換	かいせんこうかん	circuit switching	要求のたびに二つ以上のデータ端末装置を接続し、その接続が解放されるまで、それらの間のデータ回線を排他的に使用させるようにする処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1817	B		回復	かいふく	recovery	データの転送中に発生した矛盾した状態又は誤った状態を特定のデータステーションが解決する処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1818	B		誤り制御	あやまりせいぎょ	error control	プロトコルの一部であって、誤りの検出を制御し、場合によっては訂正を制御するもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1819	B		呼制御手順	こせいぎょてじゅん	call control procedure	呼の設定及び解放に必要な一連のプロトコルを実現したもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1820	B		基本形リンク制御	きほんがたりんくせいぎょ	basic mode link control	ISO/CCITTに規定されている情報交換用7ビット文字集合の制御文字を用いたデータリンク制御。(注)ISO Standard 646 and CCITT Recommendation V.3、ISO Standard 1745。Basic Mode Control Procedures (参)1.JIS X 0201情報交換用符号、2.JIS X 5002基本形データ伝送制御手順。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1821	B		相手選択接続機能	あいてせんたくせつぞくきのう	virtual call facility	利用者のデータを網内においてパケットの形で転送する際に、二つのデータ端末装置間の通信の期間を呼設定手順及び呼解放手順により定める利用者機能。利用者データはすべて、網が受け取ったのと同じ順序で網からデータ端末装置へ渡される。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1822	B		データグラムサービス	でーたぐらむさーびす	datagram service	パケット交換において、データグラムをそのアドレス部で示されるあて先へ転送するサービスであって、その転送の過程で網が他のデータグラムを参照する必要のないもの。(注)データグラムがあて先へ渡される順序は、網がデータグラムを受け取った順序とは	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1823	B		高速セレクト、ファストセレクト	こうそくせれくと、ふぁすとせれくと	fast select	相手選択接続機能における機能選択の一つであって、呼設定パケット及び呼解放パケットにデータを含めることを許すもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1824	B		データ信号速度	でーたしんごうそくど	data signaling rate	データ伝送システムの特定の伝送路において、1秒間に送られる2進数字(ビット)の個数の総計。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1825	B		変調速度	へんちょうそくど	modulation rate	変調された信号の、隣接する有意瞬間の最小公称時間間隔の逆数値。(注)時間の単位が秒であれば、変調速度はボーで示される。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1826	B		データ転送速度	でーたてんそうそくど	data transfer rate	データ伝送システムにおいて、対応する装置間で単位時間にやりとりされるビット、文字又はブロックの個数の平均値。(注)1.この速度は秒、分又は時間当たりのビット、文字又はブロックの個数で表される。2.対応する装置を、例えば変復調装置相互間、中間装置相互間又はデータ送信装置とデータ受信装置の間のように明示しなければならない。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1827	B		有効データ転送速度	ゆうこうでーたてんそうそくど	effective data transfer rate	データ送信装置からデータ受信装置へ転送され、有効に受信された単位時間当たりのビット、文字又はブロックの個数の平均値。(注)この速度は、秒、分又は時間当たりのビット、文字又はブロックの個数で表される。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1828	B		利用者サービスクラス	りようしゃさーびすくらす	user class of service	データ信号速度、データ端末装置の動作モード及びもしあればコード構成が標準化されているデータ網によって提供されるデータ伝送サービスの区分。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1829	B		利用者機能	りようしゃきのう	user facility	要求に応じて利用者に使用可能となり、かつデータ網伝送サービスの一部として提供される機能の集合。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1830	B		選択信号	せんたくしんごう	selection signal	交換網における呼を確立するために必要とされるすべての情報を指定する文字の列。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1831	B		呼出し(データ網における)	よびだし(でーたもうにおける)	calling	データステーション間の接続を確立するために、選択信号を伝送する処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1832	B		手動呼出し(データ網における)	しゅどうよびだし(でーたもうにおける)	manual calling (in data network)	呼出し側のデータステーションからの選択信号を一定でない文字速度で回線に入力することを許す呼出し。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1833	B		自動呼出し(データ網における)	じどうよびだし(でーたもうにおける)	automatic calling (in data network)	選択信号のエレメントが最大データ信号速度で連続的にデータ網に入力される呼出し。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1834	B		短縮アドレス呼出し	たんしゅくあどれすよびだし	abbreviated address calling	呼を開始するときに、利用者がアドレスの総文字数より少ない文字数のアドレスを使用できる呼出し。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1835	B		直接呼出し機能、ダイレクトコール機能	ちょくせつよびだしきのう、だいれくとこーるきのう	direct call facility	利用者がアドレス選択信号を出さなくても呼出しができるようにする機能。網は、一つ以上の事前に決められたデータステーションに対する接続を確立するための命令として呼出し要求信号を解釈する。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1836	B		応答	おうとう	answering	データステーション間の接続の確立を完結するために、呼出し側のデータステーションに応ずる処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1837	B		手動応答	しゅどうおうとう	manual answering	呼び出された使用者が、呼出しを受信できることを手操作によって知らせたとき、呼が確立する応答。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1838	B		自動応答	じどうおうとう	automatic answering	呼び出されたデータ端末装置の呼出し信号に対して自動的に行われる応答。(注)呼び出されたデータ端末装置に操作員がいるか否かに関係なく呼が確立する。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1839	B		着呼受付信号	ちゃっこうけつけしんごう	call-accepted signal	呼び出されたデータ端末装置が、到着した呼出しを受け付けることを示すために送る呼出し制御信号。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1840	B		着呼受付不可信号	ちゃっこうけつけふかしんごう	call-not-accepted signal	呼び出されたデータ端末装置が、到着した呼出しを受け付けないことを示すために送る呼出し制御信号。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1841	B		ポーリング	ぽーりんぐ	polling	分岐接続又は二地点間接続において、データステーションに対し、一度には1局だけに送信を促す処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1842	B		セレクティング	せれくてぃんぐ	selecting	分岐接続又は二地点間接続において、一つ以上のデータステーションに対し、データの受信を要求する処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1843	B		コンテンション	こんてんしょん	contention	共通の通信路を介して、二つ以上のデータステーションが同時に転送しようとしたり、又は両方向交互通信において同時に転送しようとしたりするときに発生する状態。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1844	B		データ転送段階、データ転送フェーズ	でーたてんそうだんかい、でーたてんそうふぇーず	data transfer phase	網を介して接続されるデータ端末装置間で利用者のデータが転送される、呼の一段階。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1845	B		ブロック検査、ブロックチェック	ぶろっくけんさ、ぶろっくちぇっく	block check	誤り制御手順の一部であって、データブロックが決められた規則に従って構成されていることを確認するために使われるもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1846	B		フロー制御	ふろーせいぎょ	flow control	データ通信において、データ転送速度を制御すること。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1847	B		問合せ	といあわせ	interrogating	主局が従局に対し、その局であることの確認又は局の状態を送るように要求する処理過	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1848	B		タイムアウト、時間切れ	たいむあうと、じかんぎれ	time out	ある特定の事象から始まり、あらかじめ決められた時間の終わりに発生する事象。(注)タイムアウトは適当な信号を使うことにより、発生しないようにすることができる。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1849	B		パケット	ぱけっと	packet	データや制御信号を含む2進数字の列であって、列全体を一つの単位として伝送したり交換したりされるもの。(注)データ、制御信号、場合によっては誤り制御情報を含むこともあるが、これらの情報が一定の形式で配列されている。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1850	B		パケット順序制御	ぱけっとじゅんじょせいぎょ	packet sequencing	パケットが送信側のデータ端末装置から送られてきた順序のとおりに、受信側のデータ端末装置に伝送されることを保証する処理過程。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1851	B		データグラム	でーたぐらむ	datagram	パケット交換において、データ端末装置と網との事前の接続手続きによらず、一つ一つのパケット自身が発信データ端末装置とあて先データ端末装置の間の経路指定のための十分な情報を保持しているパケット。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1852	B		データステーション	でーたすてーしょん	data station	データ端末装置、データ回線終端装置及び中間装置。(注)1.(#図有り)参照。2.データ端末装置は、データ処理システムに直接接続される場合とその一部となる場合がある。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1853	B		データ端末装置、DTE(省略形)	でーたたんまつそうち、DTE	data terminal equipment, DTE (abbreviation)	データステーションの一部であって、データ送信装置、データ受信装置又はその両方として働くもの。(注)(#図有り)参照。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1854	B		中間装置	ちゅうかんそうち	intermediate equipment	データ端末装置と信号変換装置との間に位置する補助的な装置であって、変調の前又は復調の後において付加的な機能を果たすもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1855	B		データ回線終端装置、DCE(省略形)	でーたかいせんしゅうたんそうち、DCE	data circuit-terminating equipment, DCE (abbreviation)	データステーションにおいて、データ端末装置と伝送路の間に位置し、信号変換及び符号化を行う装置。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1856	B		変復調装置、モデム	へんふくちょうそうち、もでむ	modem	信号を変調及び復調する機能単位。(注)1.変復調装置の機能の一つには、アナログ伝送設備を介してディジタルデータを伝送できるようにすることがある。2.変復調装置という語は、変調装置と復調装置の結合短縮形である。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1857	B		変調装置	へんちょうそうち	modulator	信号を伝送に適した変調信号に変換する機能単位。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1858	B		復調装置	ふくちょうそうち	demodulator	変調された信号をもとの信号に復元する機能単位。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1859	B		データ交換装置、DSE(省略形)	でーたこうかんそうち、DSE	data switching exchange, DSE (abbreviation)	回線交換、メッセージ交換、パケット交換などの交換機能をもつ装置。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1860	B		データ集線装置	でーたしゅうせんそうち	data concentrator	共用のデータ伝送路に、同時に使用可能な通信路の数より多くのデータ端末装置を接続できるようにする機能単位。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1861	B		データ多重変換装置、データマルチプレクサ	でーたたじゅうへんかんそうち、でーたまるちぷれくさ	data multiplexer	二つ以上の通信路が一つのデータ伝送路を共用できるようにする機能単位。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1862	B		制御局	せいぎょきょく	control station	基本形リンク制御において主局を指定し、ポーリング、セレクティング、問合せ及び回復手順を管理するデータステーション。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1863	B		従属局	じゅうぞくきょく	tributary station	基本形リンク制御を用いた分岐接続又は二地点間接続における、制御局以外のデータステーション。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1864	B		主局	しゅきょく	master station	基本形リンク制御において、一つ以上の従局へのデータを転送するよう求められ、それに応じたデータステーション。(注)ある任意の瞬間において、データリンク上では主局はただ一つしかありえない。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1865	B		従局	じゅうきょく	slave station	基本形リンク制御において、データを受信するように主局によって選ばれたデータステー	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1866	B		受動局	じゅどうきょく	passive station	基本形リンク制御を用いる分岐接続又は二地点間接続において、ポーリング又はセレクティングを待っている従属局。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1867	B		複合局	ふくごうきょく	combined station	データステーションの一部であって、ハイレベルデータリンク制御において、データリンクの複合制御機能をもち、送信する指令及び応答を生成し、受信した指令及び応答を解釈	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1868	B		一次局	いちじきょく	primary station	データステーションの一部であって、ハイレベルデータリンク制御におけるデータリンクの一次制御機能をもち、送信する指令を生成し、受信した応答を解釈するもの。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1869	B		二次局	にじきょく	secondary station	データステーションの一部であって、ハイレベルデータリンク制御における一次局からの指示によってデータリンク制御機能を実行し、受信した指令を解釈し送信する応答を生成	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1870	B		パケット形態端末	ぱけっとけいたいたんまつ	packet mode terminal	パケットを制御し、組み立て、送信及び受信することのできる端末装置。	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1871	B		パケット組立て分解機能、PAD	ぱけっとくみたてぶんかいきのう、PAD	packet assembler/disassembler, PAD (abbreviation)	パケット交換網にアクセスする機能のないデータ端末装置がパケット交換網にアクセスできるようにする機能単位。(略)PAD	JIS X 0009	1987	ISO 2382-9	1984		1997	1995	1995	JTC1
1872	A		データ通信	でーたつうしん	data communication	データ伝送及びその調和のとれた交換を制御するプロトコルによって、機能装置間でデータを転送すること。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1873	A		データ伝送、伝送	でーたでんそう、でんそう	data transmission, transmission	通信設備を介して、ある地点から一つ以上の他の地点へデータを転送すること。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1874	A		データ送信装置	でーたそうしんそうち	data source	伝送するデータを送り出す機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1875	A		データ受信装置	でーたじゅしんそうち	data sink	伝送されたデータを受けとる機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1876	A		伝送媒体	でんそうばいたい	transmission medium	信号を伝える、自然又は人工の媒体。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1877	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	二つの機能装置間で共有される境界。この境界は、機能、物理的相互接続、信号交換などの種々の特性によって、適切に定義される。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1878	A		アナログ信号	あなろぐしんごう	analog signal	どの瞬間でも、データを表す特性量が連続的な域値内の任意の値をとることができる信	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1879	A		離散的信号、時間的離散信号	りさんてきしんごう、じかんてきりさんしんごう	discrete signal, discretely timed signal	時間的に連続する要素から構成される信号。各要素にはデータを表す特性量が一つ以上ある。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1880	A		ディジタル信号	でぃじたるしんごう	digital signal	データを表す特性量が、明確に定義された有限個の離散値を用いて時間軸上で表現される離散的信号。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1881	A		2値信号、2値ディジタル信号	2ちしんごう、2ちでぃじたるしんごう	binary signal, binary digital signal	各々の信号要素が、許容された離散2値のどちらか一方をもつディジタル信号。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1882	A		信号要素	しんごうようそ	signal element	離散的信号を構成し、一つ以上の特性量によって、他とは区別される各要素。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1883	A		有意状態	ゆういじょうたい	significant condition	信号要素の意味を符号によって表した特性量。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1884	A		遷移	せんい	transition	離散的信号において、異なる有意状態をもつ二つの連続的な信号要素を分割する過渡的な現象。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1885	A		有意瞬間	ゆういしゅんかん	significant instant	離散的信号において、信号要素の始まる瞬間。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1886	A		有意区間	ゆういくかん	significant interval	連続する二つの有意瞬間の時間区間。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1887	A		ジッタ	じった	jitter	ディジタル信号における有意瞬間の、時間軸上の理想的な位置からの微小時間で、かつ非累積的な変動。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1888	A		位相ジッタ	いそうじった	phase jitter	有意区間の微小変動として表されるジッタ。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1889	A		転送する	てんそうする	to transfer	ある地点から送信し、他のある地点で受信する。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1890	A		伝送する	でんそうする	to transmit	ある地点から他の受取り地点へ送信する。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1891	A		並列伝送	へいれつでんそう	parallel transmission	文字又はその他のデータを表す信号要素群を、独立した複数のデータ伝送路を介して同時伝送すること。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1892	A		直列伝送	ちょくれつでんそう	serial transmission	文字又はその他のデータを表す信号要素群を、一つのデータ伝送路を介して順次伝送すること。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1893	A		単方向伝送	たんほうこうでんそう	simplex transmission	あらかじめ指定された一方向だけの伝送が可能なデータ伝送。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1894	A		半二重伝送	はんにじゅうでんそう	half-duplex transmission	どちらの方向にも伝送が可能であるが、両方向同時には伝送できないデータ伝送。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1895	A		全二重伝送	ぜんにじゅうでんそう	duplex transmission, full-duplex transmission	同時に両方向へ伝送が可能なデータ伝送。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1896	A		非同期伝送	ひどうきでんそう	asynchronous transmission	各々の文字又は文字ブロックの開始時点は任意であるが、いったん伝送が開始されると、各々の信号要素の発生時点は、固定した時間基準の有意瞬間と同じ関係をもつデー	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1897	A		調歩式伝送	ちょうほしきでんそう	start-stop transmission	文字を表すそれぞれの信号要素群に、スタート信号と呼ばれる特定の信号が先行し、ストップ信号と呼ばれる他の特定の信号が後続する非同期伝送。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1898	A		同期伝送	どうきでんそう	synchronous transmission	各々の信号要素の発生時点が、固定した時間基準に関係するデータ伝送。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1899	A		基底帯域、ベースバンド	きていたいいき、べーすばんど	baseband	変調を受けていない、一つの信号又は一組の多重化された信号が占有する周波数帯域。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1900	A		狭帯域、ナローバンド	きょうたいいき、なろーばんど	narrowband	転送される情報の量に比べて、比較的に限定された周波数帯域。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1901	A		広帯域、ブロードバンド	こうたいいき、ぶろーどばんど	broadband, wideband	広域の周波数を必要とする適用業務で使用される周波数帯域。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1902	A		データ伝送路、通信路	でーたでんそうろ、つうしんろ	transmission channel, channel	二つの地点間で、片方向に信号を伝送する手段。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1903	A		順方向通信路	じゅんほうこうつうしんろ	forward channel	伝送の方向が利用者データの転送される方向に限定されるデータ伝送路。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1904	A		逆方向通信路	ぎゃくほうこうつうしんろ	backward channel	順方向通信路に伴うが、伝送方向が逆のデータ伝送路であって、監視信号又は誤り制御信号のために使われるもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1905	A		より対線、ツイストペア	よりついせん、ついすとぺあ	twisted pair	互いにより合わされた、二つの絶縁された電導体からなる伝送媒体。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1906	A		同軸対、同軸ペア	どうじくつい、どうじくぺあ	coaxial pair	共通軸をもつ、二重の円筒状導体からなる伝送媒体。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1907	A		同軸ケーブル	どうじくけーぶる	coaxial cable	一つ以上の同軸対を含むケーブル。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1908	A		光ファイバ	ひかりふぁいば	optical fiber	光信号を伝達できる繊維状の導波路からなる伝送媒体。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1909	A		データ集線装置	でーたしゅうせんそうち	data concentrator	共有の伝送媒体で使用可能なデータ伝送路の数よりも多くのデータ送信装置を接続できるようにする機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1910	A		多重化装置(データ通信における)、データ多重化装置	たじゅうかそうち(でーたつうしんにおける)、でーたたじゅうかそうち	multiplexer (in data communication), data multiplexer	別々の送信源からの信号を集め、単一の合成信号にする機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1911	A		通信アダプタ	つうしんあだぷた	communication adapter	伝送設備に機能装置を接続させるためのハードウェア構成物。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1912	A		変復調装置、モデム	へんふくちょうそうち、もで	modem	信号を変調及び復調する機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1913	A		伝送路符号、ライン符号	でんそうろふごう、らいんふごう	line code	データ伝送路の特性に適合する符号。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1914	A		位相符号化(データ通信における)	いそうふごうか(でーたつうしんにおける)	phase encoding (in data communication)	周期的信号の位相を用いたディジタルデータの符号化。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1915	A		マンチェスタ符号化	まんちぇすたふごうか	Manchester encoding	各ビットに割り当てられた時間区間を、中間点における遷移で半分に分割し、その遷移方向でビット値が決定される2値位相符号化。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1916	A		差動マンチェスタ符号化	さどうまんちぇすたふごうか	differential Manchester encoding	各ビットに割り当てられた時間区間を、中間点における遷移で半分に分割し、その時間区間の開始点での遷移の有無からビット値が決定される2値位相符号化。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1917	A		N値符号化	Nちふごうか	n-ary encoding	どの瞬間でも、信号が二つ以上の可能な物理的状態中の任意の一つの状態をとるディジタルデータの符号化。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1918	A		冗長符号	じょうちょうふごう	redundant code	データを表現するために必要な最小量を越えた、文字、記号又は信号要素を使用する符	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1919	A		スクランブルする	すくらんぶるする	to scramble	ディジタル信号を、伝送又は記録を容易にするために、同じ意味及び同じビット速度をもつ擬似ランダムなディジタル信号に変換する。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1920	A		逆スクランブルする	ぎゃくすくらんぶるする	to descramble	スクランブルされたディジタル信号を、元のディジタル信号に復元する。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1921	A		搬送波、キャリア	はんそうは、きゃりあ	carrier	信号によって、特性量を変化させる、波動又は振動。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1922	A		変調	へんちょう	modulation	搬送波の一つ以上の特性量を、伝送する信号の特性量に応じて、変化させる処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1923	A		復調	ふくちょう	demodulation	変調された信号を、元の信号に復元する処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1924	A		振幅偏移キーイング、ASK(省略形)	しんぷくへんいきーいんぐ、ASK	amplitude shift keying, ASK (abbreviation)	変調するディジタル信号の出力信号振幅を、あらかじめ定められた一定数の振幅値の中の一つに変化させる変調。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1925	A		周波数偏移キーイング、FSK(省略形)	しゅうはすうへんいきーいんぐ、FSK	frequency shift keying, FSK (abbreviation)	変調するディジタル信号の出力信号周波数を、あらかじめ定められた一定数の周波数値の中の一つに変化させる変調。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1926	A		位相連続周波数偏移キーイング、位相連続FSK(省略形)	いそうれんぞくしゅうはすうへんいきーいんぐ、いそうれんぞくFSK	phase-continuous frequency shift keying, phase-continuous FSK (abbreviation)	あらかじめ定められた周波数間の遷移が周波数の切替えによって実現される周波数偏移キーイングであって、遷移に位相偏移を伴わない方法。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1927	A		位相一貫周波数偏移キーイング、位相一貫FSK(省略形)	いそういっかんしゅうはすうへんいきーいんぐ、いそういっかんFSK	phase coherent frequency shift keying, phase coherent FSK	あらかじめ定められた周波数がビット速度の整数倍であり、かつ、これらの周波数間の遷移が搬送波の波形のゼロ交差でなされる周波数偏移キーイング。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1928	A		位相偏移キーイング、PSK(省略形)	いそうへんいきーいんぐ、PSK	phase shift keying, PSK (abbreviation)	変調するディジタル信号の出力信号位相を、あらかじめ定められた一定数の位相値の中の一つに変化させる変調。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1929	A		ビット速度	びっとそくど	bit rate	ビットが転送される速度。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1930	A		データ信号速度、DSR(省略形)	でーたしんごうそくど、DSR	data signaling rate, DSR (abbreviation)	並列伝送におけるビット速度。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1931	A		変調速度	へんちょうそくど	modulation rate	変調された信号の公称有意区間の逆数。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1932	A		変調単位、ボー	へんちょうたんい、ぼー	baud	秒当たりの信号要素の数で表される変調速度の単位。それらのすべての信号要素は、長さが等しく、かつ、1ビット以上を表す。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1933	A		実転送速度、転送速度	じつてんそうそくど、てんそうそくど	actual transfer rate, transfer rate	単位時間に二点間を転送されるビット、文字又はブロックの個数の平均値。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1934	A		有効転送速度	ゆうこうてんそうそくど	effective transfer rate	単位時間に二点間を転送され、かつ、有効に受信されたビット、文字又はブロックの個数の平均値。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1935	A		多重(化)	たじゅう(か)	multiplexing	一つのデータ伝送路上を伝送するために、幾つかの異なる信号を一つの信号に結合する処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1936	A		逆多重(化)	ぎゃくたじゅう(か)	demultiplexing	多重化によって形成された信号に対して、元の独立したそれぞれの信号又は信号群を復元する処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1937	A		周波数分割多重(化)、FDM(省略形)	しゅうはすうぶんかつたじゅう(か)、FDM	frequency division multiplexing, FDM (abbreviation)	一つのデータ伝送路で伝送するために、幾つかの独立した信号を別々の周波数帯に割り当てる多重化。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1938	A		時分割多重(化)、TDM(省略形)	じぶんかつたじゅう(か)、TDM	time division multiplexing, TDM (abbreviation)	一つのデータ伝送路で伝送するために、幾つかの独立した信号を別々の周期的なタイムスロットに割り当てる多重化。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1939	A		統計的時分割多重(化)、STDM(省略形)	とうけいてきじぶんかつたじゅう(か)、STDM	statistical time division multiplexing, STDM (abbreviation)	それぞれの瞬間に評価された必要性に応じて、時間区間がそれぞれの信号に割り当てられる時分割多重化。全体的な需要がデータ伝送路の容量を時折超える危険を伴う。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1940	A		多重接続	たじゅうせつぞく	multiple access	あらかじめ定められた方法又は通信量の需要に応じて、多数の端末が一つのデータ伝送路の通信容量を動的に使用する技術。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1941	A		周波数分割多元接続、FDMA(省略形)	しゅうはすうぶんかつたげんせつぞく、FDAM	frequency division multiple access, FDMA	同一のデータ伝送路の中に設けられた副次のデータ伝送路の各々に、別々の周波数帯域を割り当てる多元接続の技法。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1942	A		時分割多元接続、TDMA(省略形)	じぶんかつたげんせつぞく、TDMA	time division multiple access, TDMA (abbreviation)	同一のデータ伝送路の中に設けられた副次のデータ伝送路の各々に、別々のタイムスロットを割り当てる多元接続の技法。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1943	A		データリンク	でーたりんく	data link	プロトコルによって制御される二つのデータ端末装置の一部と、相互に接続しているデータ回線とからなり、データ転送を可能とするもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1944	A		データ回線	でーたかいせん	data circuit	両方向のデータ伝送の手段を提供する、関連した一組のデータ伝送路。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1945	A		伝送路	でんそうろ	line, transmission line	物理的な伝送媒体。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1946	A		プロトコル、通信規約	ぷろとこる、つうしんきやく	protocol	通信を行う際に、機能装置の動作を決定する規約の集合。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1947	A		文字指向プロトコル	もじしこうぷろとこる	character-oriented protocol	利用者データ及びデータリンク制御機能の両方を、特定の文字として符号化したデータリンクプロトコル。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1948	A		ビット指向プロトコル	びっとしこうぷろとこる	bit-oriented protocol	データリンク制御機能がフレームの特定の位置に固定されており、利用者データをその内容に依存することなくビット列として転送できるデータリンクプロトコル。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1949	A		データ回線透過性	でーたかいせんとうかせ	data circuit transparency	データ内容又はデータ構造を変えることなくすべてのデータを転送するデータ回線の機	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1950	A		フレーム(データ通信における)、伝送フレーム	ふれーむ(でーたつうしんにおける)、でんそうふれーむ	frame (in data communication), transmission frame	利用者データ及び制御データの伝送のために、あらかじめプロトコルによって決められたフィールドからなるデータ構造。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1951	A		情報ビット	じょうほうびっと	information bit	制御のためではなく、利用者データを表現することに使用されるビット。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1952	A		付加ビット、サービスビット	ふかびっと、さーびすびっと	overhead bit, service bit	制御のために使用される、補助的なビット。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1953	A		フレーム開始、フレーム開始デリミタ	ふれーむかいし、ふれーむかいしでりみた	start-of-frame, frame start delimiter	フレームの開始を示す特定のビットパターン。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1954	A		フレーム終了、フレーム終了デリミタ	ふれーむしゅうりょう、ふれーむしゅうりょうでりみた	end-of-frame, frame end delimiter	フレームの終了を示す特定のビットパターン又は特定の信号。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1955	A		プリアンブル(データ通信における)	ぷりあんぶる(でーたつうしんにおける)	preamble	他のデータ局との同期確立を目的として、データ局からフレームに先行して伝送される特定のビットパターン。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1956	A		フレーム制御部	ふれーむせいぎょぶ	frame control field	フレームの種別及び特定の制御機能を定義するビットパターン。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1957	A		フレーム検査シーケンス、FCS(省略形)	ふれーむけんさしーけんす、FCS	frame check sequence, FCS (abbreviation)	フレーム内のデータによって決定されるビット列であって、伝送誤り検出のためフレーム内に含まれるもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1958	A		タイムスロット、TS(省略	たいむすろっと、TS	time slot, TS	互いに異なるものとして認識され、かつ、定義される周期的な時間区間。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1959	A		タイミング回復	たいみんぐかいふく	timing recovery	タイムスロットの周期性に基づいて、受信ディジタル信号から周期性のタイミング信号を導出すること。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1960	A		誤り制御	あやまりせいぎょ	error control	プロトコルの一部であって、誤りを検出でき、場合によっては誤りを訂正できるもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1961	A		ブロック検査、ブロックチェック	ぶろっくけんさ、ぶろっくちぇっく	block check	誤り制御手順の一部であって、データブロックが与えられた規則に従って構成されていることを確認するために使われるもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1962	A		ビット誤り率、BER(省略形)	びっとあやまりりつ、BER	bit error ratio, BER (abbreviation), bit error rate (deprecated)	ある時間内に発生した誤りのビット数を、送信、受信又は処理したビットの総数で除した値。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1963	A		フロー制御	ふろーせいぎょ	flow control	データ通信において、実転送速度を制御すること。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1964	A		肯定応答	こうていおうとう	acknowledgment	伝送されたデータが受信されたことを示すために受信側から送信側に送る肯定的な応	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1965	A		ポーリング	ぽーりんぐ	polling	データ局に対して、一度には1局だけに送信を促す処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1966	A		セレクティング	せれくてぃんぐ	selecting	一つ以上のデータ局に対して、データの受信を要求する処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1967	A		コンテンション	こんてんしょん	contention	同一のデータ伝送路上で2台以上のデータ局が同時にデータを伝送しようとしたときに発生する状態。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1968	A		データ転送段階、データ転送フェーズ	でーたてんそうだんかい、でーたてんそうふぇーず	data transfer phase	ネットワークを介して接続されるデータ端末装置間で利用者のデータが転送される、呼の一段階。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1969	A		問合せ	といあわせ	interrogating	主局が従局に対して、その局であることの確認又は局の状態を送るように要求する処理	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1970	A		タイムアウト、時間切れ	たいむあうと、じかんぎれ	time-out	事前に決められた時間が経過した後に、発生するように設計された事象。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1971	A		回復	かいふく	recovery	データ伝送において、データ転送中に発生した矛盾又は誤り状態を解決する処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1972	A		基本形リンク制御	きほんがたりんくせいぎょ	basic mode link control	情報交換用7ビット符号化文字集合の標準化された制御文字を使用する文字指向プロトコルによるデータリンクの制御。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1973	A		ハイレベルデータリンク制御、HDLC(省略形)	はいれべるでーたりんくせいぎょ、HDLC	high-level data link control,	情報交換のためにJIS X 5104:1991(ハイレベルデータリンク制御手順のフレーム構成)で定義されたフレーム構成を使用するビット指向プロトコルによるデータリンクの制御。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1974	A		データ局	でーたきょく	data station	伝送するデータの送り出し、伝送されたデータの受け取り、及び他の機能装置との通信に必要なすべての機能を実行する機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1975	A		データ端末装置、DTE(省略形)	でーたたんまつそうち、DTE	data terminal equipment, DTE(abbreviation)	データ局の一部であって、データ送信装置、データ受信装置又はその両方として働くもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1976	A		中間装置	ちゅうかんそうち	intermediate equipment	データ端末装置とデータ回線終端装置との間に位置する補助的な装置であって、変調の前又は復調の後において付加的な機能を果たすもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1977	A		データ回線終端装置、DCE(省略形)	でーたかいせんしゅうたんそうち、DCE	data circuit-terminating equipment, DCE (abbreviation)	データ局において、データ端末装置と伝送路との間に位置し、信号変換及び符号化を行う装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1978	A		制御局	せいぎょきょく	control station	基本形リンク制御において、主局を指定し、ポーリング、セレクティング、問合せ及び回復の手順を管理するデータ局。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1979	A		従属局	じゅうぞくきょく	tributary station	基本形リンク制御を用いた分岐接続又は二地点間接続における、制御局以外のすべてのデータ局。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1980	A		主局	しゅきょく	master station	基本形リンク制御において、一つ以上の他局へのデータを転送するよう求められ、それに応じたデータ局。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1981	A		従局	じゅうきょく	slave station	基本形リンク制御において、データを受信するように主局によって選ばれたデータ局。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1982	A		受動局	じゅどうきょく	passive station	基本形リンク制御を用いる分岐接続又は二地点間接続において、ポーリング又はセレクティングを待っている従属局。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1983	A		一次局	いちじきょく	primary station	データ局の一部であって、ハイレベルデータリンク制御におけるデータリンクの一次制御機能をもち、送信する指令を生成し、受信した応答を解釈するもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1984	A		二次局	にじきょく	secondary station	データ局の一部であって、ハイレベルデータリンク制御における一次局からの指示によってデータリンク制御機能を実行し、受信した指令を解釈し、送信する応答を生成するも	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1985	A		複合局	ふくごうきょく	combined station	ハイレベルデータリンク制御において、一次局又は二次局の役割を実行可能なデータ	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1986	A		節点(データ通信における)、ノード(データ通信における)	せつてん(でーたつうしんにおける)、のーど(でーたつうしんにおける)	node (in data communication)	データ網において、一つ以上の機能装置がデータ伝送路又はデータ回線を相互接続する点。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1987	A		ポート	ぽーと	port	信号がネットワークに出入りする際に通過する端点。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1988	A		接続	せつぞく	connection	データ伝送のために機能装置間で確立される関係。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1989	A		二地点間接続、ポイントツーポイント接続	にちてんかんせつぞく、ぽいんとつーぽいんとせつ	point-to-point connection	二つのデータ局間で確立される接続。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1990	A		分岐接続、マルチポイント接続	ぶんきせつぞく、まるちぽいんとせつぞく	multipoint connection	三つ以上のデータ局間で確立される接続。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1991	A		一せい同報、ブロードキャスト	いっせいどうほう、ぶろーどきゃすと	broadcast	すべてのあて先への同一データの伝送。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1992	A		グループ同報、マルチキャスト	ぐるーぷどうほう、まるちきゃすと	multicast	選ばれた一群のあて先への同一データの伝送。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1993	A		データ網	でーたもう	data network	データ端末装置間のデータ通信を実現するための、データ回線と交換装置とからなるネットワーク。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1994	A		ローカルエリアネットワーク、LAN(省略形)	ろーかるえりあねっとわーく、らん	local area network, LAN (abbreviation)	利用者の構内に設置され、地理的に限られた範囲内のコンピュータネットワーク。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
1995	A		メトロポリタンエリアネットワーク、MAN(省略形)	めとろぽりたんえりあねっとわーく、MAN	metropolitan area network, MAN (abbreviation)	同じ都市内のローカルエリアネットワークを接続するための網。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1996	A		ワイドエリアネットワーク、広域通信網、WAN(省略	わいどえりあねっとわーく、こういきつうしんもう、	wide area network, WAN (abbreviation)	ローカルエリアネットワーク又はメトロポリタンネットワークよりも広域に通信サービスを提供するネットワーク。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1997	A		サービス総合ディジタル網、ISDN(省略形)	さーびすとうごうでぃじたるもう、ISDN	integrated service digital network, ISDN	ユーザ網インタフェース間をディジタル接続することによって、種々の電気通信サービスをまとめて提供又は使用可能にするネットワーク。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1998	A		蓄積回送、蓄積転送	ちくせきかいそう、ちくせきてんそう	store-and-forward	データをあて先に再送する前に、一時的に蓄積しておく、データ網の運用形態。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
1999	A		データ交換装置、DSE(省略形)	でーたこうかんそうち、DSE	data switching exchange, DSE (abbreviation)	ある一地点に設置され、データ回線間の交換機能をもつ装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2000	A		交換	こうかん	switching	接続のために、機能装置、データ伝送路又は通信回線を連動させる一時的な処理過	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2001	A		回線交換	かいせんこうかん	circuit switching	要求のたびに二つ以上のデータ端末装置を接続し、その接続が解放されるまで、それらの間のデータ回線を排他的に使用させるようにする処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2002	A		メッセージ交換	めっせーじこうかん	message switching	データ網において、完結したメッセージを受信し、必要に応じて蓄積し、回送することによって、メッセージの経路制御を行う処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2003	A		パケット	ぱけっと	packet	制御情報及び利用者データを含む特定の書式で配列されたビット列であり、一つのまとまりとして伝送及び交換されるもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2004	A		パケット交換	ぱけっとこうかん	packet switching	データ網において、あて先の指定されたパケットを用いて、データの経路制御及び転送を行う処理過程。異なるあて先のパケットには、二つの節点間を結ぶデータ伝送路がそれぞれ動的に割り当てられる。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2005	A		パケット順序制御	ぱけっとじゅんじょせいぎょ	packet sequencing	パケットが、送信側のデータ端末装置から送られてきた順序のとおりに、受信側のデータ端末装置に伝送されることを保証する処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2006	A		パケット転送形態	ぱけっとてんそうけいたい	packet transfer mode	パケットの伝送及びパケット交換を用いることによって、複数の接続において、ネットワーク資源の動的な共有を可能にするデータ転送方法。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2007	A		パケット形態端末	ぱけっとけいたいたんまつ	packet mode terminal	パケットを制御し、組み立てて、送信及び受信することのできるデータ端末装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2008	A		パケット組立て分解装置、PAD(省略形)	ぱけっとくみたてぶんかいそうち、PAD	packet assembler/disassembler, PAD (abbreviation)	パケット転送形態の機能のないデータ端末装置を、パケット交換網にアクセスできるようにする機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2009	A		データグラム	でーたぐらむ	datagram	パケット交換において、データ端末装置とネットワークとの事前の接続手続きによらず、一つ一つのパケット自身が発信データ端末装置とあて先データ端末装置との間の経路制御のための十分な情報を保持しているパケット。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2010	A		データグラムサービス	でーたぐらむさーびす	datagram service	パケット交換において、データグラムをそのアドレス部で示されるあて先に転送するサービスであって、その転送の過程でネットワークが他のデータグラムを参照する必要のない	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2011	A		相手選択接続機能	あいてせんたくせつぞくきのう	virtual call facility	利用者データが、ネットワークを通してパケット転送形態で転送される際に、二つのデータ端末装置間の通信の期間を、呼設定手順及び呼解放手順によって定める利用者機	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2012	A		呼制御手順	こせいぎょてじゅん	call control procedure	呼の確立、維持及び解放に必要な一連のプロトコル。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2013	A		選択信号	せんたくしんごう	selection signal	交換網において、呼を確立するために必要とされるすべての情報を表現する文字列。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2014	A		符号透過形データ通信	ふごうとうかがたでーたつうしん	code-transparent data communication	データ通信の一形態であって、データ送信装置において使われるビット列の構成に依存しないビット指向プロトコルを使用するもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2015	A		符号独立形データ通信	ふごうどくりつがたでーたつうしん	code-independent data communication	データ通信の一形態であって、データ送信装置において使われる文字集合又は符号に依存しない文字指向プロトコルを使用するもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2016	A		利用者サービスクラス	りようしゃさーびすくらす	user class of service	データ信号速度、データ端末装置の動作モード及びもしあれば符号構成が標準化されているデータ網によって提供されるデータ伝送サービスの区分。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2017	A		利用者機能	りようしゃきのう	user facility	要求に応じて利用者に使用可能となり、かつデータ伝送のサービスとしてデータ網によって提供される機能の集合。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2018	A		呼出し(データ網における)	よびだし(でーたもうにおける)	calling	データ局間の接続を確立するために、選択信号を伝送する処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2019	A		呼	こ	call	接続の確立、メッセージの伝送及び接続の完了からなる、データ局間に確立される関	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2020	A		手動呼出し(データ網における)	しゅどうよびだし(でーたもうにおける)	manual calling (in a data network)	呼出し側のデータ局からの選択信号を一定でない文字速度で伝送路に入力することを許す呼出し。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2021	A		自動呼出し(データ網における)	じどうよびだし(でーたもうにおける)	automatic calling (in a data network)	選択信号が最大ビット速度で連続的にデータ網に入力される呼出し。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2022	A		短縮アドレス呼出し	たんしゅくあどれすよびだし	abbreviated address calling	呼を開始するときに、利用者がアドレスの総文字数より少ない文字数のアドレスを使用できる呼出し。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2023	A		直接呼出し機能、ダイレクトコール機能	ちょくせつよびだしきのう、だいれくとこーるきのう	direct call facility	データ網が呼出し要求信号を利用者によって事前に決められた一つ以上のデータ局に対する接続確立の命令として解釈する機能。これによって、利用者が呼の確立の際にアドレス選択信号を用意する必要がなくなる。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2024	A		応答(データ網における)	おうとう(でーたもうにおける)	answering	データ局間の接続の確立を完結するために、呼出し側のデータ局に応ずる処理過程。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2025	A		手動応答(データ網における)	しゅどうおうとう(でーたもうにおける)	manual answering	呼び出された利用者が、呼出しを受け入れる用意ができていることを手動操作によって指示したとき、呼が確立する応答。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2026	A		自動応答(データ網における)	じどうおうとう(でーたもうにおける)	automatic answering	呼び出されたデータ端末装置が呼出し信号に対して自動的に行う応答。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2027	A		閉域利用者グループ、CUG(省略形)	へいいきりようしゃぐるーぷ、CUG	closed user group, CUG (abbreviation)	データ網の中における指定された利用者のグループであって、そのグループの中で相互に通信することは許されるが、データ網の他のすべての利用者とアクセスすることは許されないという利用者機能を割り当てられているもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2028	A		外部アクセス可能閉域利用者グループ、出接続可能閉域利用者グループ	がいぶあくせすかのうへいいきりようしゃぐるーぷ、しゅつせつぞくかのうへいいきりようしゃぐるーぷ	closed user group with outgoing access	閉域利用者グループの一つであって、そのグループに属するデータ端末装置からグループ以外のデータ端末装置に発呼することを許す利用者機能が割り当てられているもの。このグループに属するデータ端末装置は、同時に他の閉域利用者グループに属していてもよい。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2029	A		内部アクセス可能閉域利用者グループ、入接続可能閉域利用者グループ	ないぶあくせすかのうえいいきりようしゃぐるーぷ、にゅうせつぞくかのうえいいきりようしゃぐるーぷ	closed user group with incoming access	閉域利用者グループの一つであって、そのグループに属するデータ端末装置にグループ以外のデータ端末装置から着呼することを許す利用者機能が割り当てられているもの。このグループに属するデータ端末装置は、同時に他の閉域利用者グループに属していてもよい。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2030	A		高速セレクト	こうそくせれくと	fast select	相手選択接続機能における機能選択の一つであって、呼設定パケット及び呼解放パケットに利用者データを含めることを許すもの。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2031	A		サーバ	さーば	server	データ網を介して、ワークステーション、その他の機能装置に共有サービスを提供する機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2032	A		クライアント	くらいあんと	client	サーバから共有サービスを受けることのできる機能装置。	JIS X 0009	1997	ISO/IEC 2382-9	1995				1995	JTC1
2033	A		ジョブ	じょぶ	job	利用者によって定義され、計算機によって実施される仕事の単位。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2034	A		動的(資源)割振り	どうてき(しげん)わりふり	dynamic (resource) allocation	計算機プログラムの実行のために割り当てられる資源が、必要時に適用される基準によって決定される割振り技法の一つ。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2035	A		(プログラムの)走行、走行	(ぷろぐらむの)そうこう、そうこう	(program) run	一つ以上の計算機プログラムの遂行。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2036	A		機能単位	きのうたんい	functional unit	ハードウェア、ソフトウェア又はその両者から成るものであって、指定された目的を遂行しうるもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2037	A		処理装置、プロセッサ	しょりそうち、ぷろせっさ	processor	計算機において、命令を解読し、実行する機能単位。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2038	A		処理(データ処理システムにおける)	しょり(でーたしょりしすてむにおける)	process (in a data processing system)	意図する目的又は効果に応じて発生する事象の過程。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2039	A		処理する(データを)	しょりする(でーたを)	to process (data)	処理において、データに演算を施すこと。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2040	A		実行	じっこう	execution	計算機によって、一つの命令又は計算機プログラム中の複数の命令を遂行する処理。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2041	A		実行する	じっこうする	to execute	命令又は計算機プログラムの実行を遂行すること。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2042	A		資源割振り	しげんわりふり	resource allocation	ジョブの実施のための、計算機システムの設備の割当て。(例)主記憶装置、入出力装置、ファイルの割当て。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2043	A		同期(的)	どうき(てき)	synchronous	共通のタイミング信号のような特定の事象の発生に依存した二つ以上の処理に関する用	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2044	A		割込み	わりこみ	interrupt, interruption	計算機プログラムの実行のような処理の中断であって、その処理に対する外部からの事象に起因し、後でその処理が再開できるような方法で遂行されるもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2045	A		交互配置する、インタリーブする	こうごはいちする、いんたりーぶする	to interleave	事物又は事象の列の部分と別の同質のものの列の部分とを、各々の列の同一性を保ちつつ、交互に配置すること。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2046	A		結び付ける(アドレスについて)	むすびつける(あどれすについて)	to bind (of an address)	絶対アドレス、仮想アドレス又は装置識別子を、計算機プログラム中の記号アドレス又は標に関連づけること。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2047	A		応答時間	おうとうじかん	response time	計算機システムに対する問合せ又は要求の終わりから応答の始まりまでの経過時間。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2048	A		ターンアラウンドタイム	たーんあらうんどたいむ	turnaround time, turnaround time	ジョブを提出してから、完全な出力が返送されるまでの経過時間。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2049	A		処理能力、スループット	しょりのうりょく、するーぷっと	throughput	与えられた時間内に計算機システムによって遂行される仕事の量の測度。(例)1日当たりのジョブの個数。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2050	A		タスク	たすく	task	多重プログラミング又は多重プロセッシングの環境において、計算機によって実施されるべき仕事の要素として制御プログラムによって取り扱われる命令の一つ以上の列。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2051	A		ディスパッチする	でぃすぱっちする	to dispatch	実行の準備ができているジョブ又はタスクに対して処理装置上の時間を割り振ること。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2052	A		ディスパッチャ	でぃすぱっちゃ	dispatcher	オペレーティングシステムにおける計算機プログラム又はその他の機能単位であって、その目的がディスパッチすることであるもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2053	A		スケジュールする	すけじゅーるする	to schedule	ディスパッチされるべきジョブ又はタスクを選択すること。(注)一部のオペレーティングシステムにおいては、上記以外に入出力操作のような仕事の単位もスケジュールされうる。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2054	A		(ジョブの)走行、走行	(じょぶの)そうこう、そうこう	(job) run	一つ以上のジョブの遂行。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2055	A		ジョブの流れ、走行の流れ、入力の流れ	じょぶのながれ、そうこうのながれ、にゅうりょくのながれ	job stream, run stream, input stream	遂行されるべき幾つかのジョブのすべて又はその部分を表現したものの列であって、オペレーティングシステムに渡されるもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2056	A		指令言語、制御言語	しれいげんご、せいぎょげんご	command language, control language	適切な構文をもった手順演算子の集合であって、オペレーティングシステムによって遂行されるべき機能を指示するために用いられるもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2057	A		目的モジュール	もくてきもじゅーる	object module	アセンブラ又はコンパイラの出力であり、かつ連係編集プログラムの入力になりうる計算機プログラムの単位。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2058	A		ロードモジュール	ろーどもじゅーる	load module	実行のために主記憶装置内へロードしうる計算機プログラムの単位であって、通常、連係編集プログラムの出力である。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2059	A		連係編集プログラム、リンカ	れんけいへんしゅうぷろぐらむ、りんか	linkage editor,linker	目的モジュール間の相互参照を解決し、可能ならば構成要素を再配置することによって、一つ以上の別々に翻訳された目的モジュール又はロードモジュールから、一つのロードモジュールを作成するために用いられる計算機プログラム。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2060	A		記憶イメージ	きおくいめーじ	storage image, core image	主記憶装置中に依存するときのあるがままを示すような、計算機プログラム及び関連するデータの表現。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2061	A		制御域	せいぎょいき	control area	制御情報を保持するために計算機プログラムによって用いられる記憶域。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2062	A		制御プログラム	せいぎょぷろぐらむ	control program	一つの計算機プログラムであって、計算機システムにおいて計算機プログラムの実行をスケジュールし、監視するように設計されたもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2063	A		常駐	じょうちゅう	resident	特定の記憶装置上に、常時保持される計算機プログラムに関する用語。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2064	A		中核、常駐制御プログラム	ちゅうかく、じょうちゅうせいぎょぷろぐらむ	nucleus, resident control program	制御プログラムの、主記憶装置中に常駐する部分。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2065	A		システム生成、SYSGEN	しすてむせいせい、SYSGEN	system generation, sysgen (acronym)	オペレーティングシステムの任意選択部分を選択し、データ処理施設の要件に適するような特定のオペレーティングシステムを作成する処理。*(注)sysgenは頭字語。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2066	A		一括処理、バッチ処理	いっかつしょり、ばっちしょり	batch processing	あらかじめ蓄えられたデータの処理又はジョブの実施であって、その進行中は、利用者がもはや、その処理に影響を及ぼすことができないような手段によるもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2067	A		遠隔一括処理、遠隔バッチ処理	えんかくいっかつしょり、えんかくばっちしょり	remote batch processing	入出力装置がデータリンクを介して計算機にアクセスする一括処理。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2068	A		会話形、対話形	かいわがた、たいわがた	conversational mode, interactive mode	計算機システムの操作形態の一つであって、利用者とシステムとの間で交互に取り交される投入及び応答が、二者間の対話と同様の手段でなされるようなもの。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2069	A		実時間、リアルタイム	じつじかん、りあるたいむ	real time	計算機外部の別の処理と関係をもちながら、かつ外部の処理によって定められる時間要件に従って、計算機の行うデータの処理に関する用語。(注)用語"実時間"は、会話形で動作するシステム、及びその進行中に人間の介入によって影響を及ぼすことができる処理を記述するのにも用いられる。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2070	A		直結、オンライン	ちょっけつ、おんらいん	online, on-line	計算機の直接制御下での機能単位の操作に関する用語。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2071	A		非直結、オフライン	ひちょっけつ、おふらいん	offline, off-line	計算機の非直接制御下での機能単位の操作に関する用語。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2072	A		単一命令操作、逐一命令操作	たんいつめいれいそうさ、ちくいちめいれいそうさ	single step operation, step-by-step operation	一つの計算機命令又はその一部分が、外部信号に呼応して実行される計算機の操作形態。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2073	A		スプーリング	すぷーりんぐ	spooling	周辺装置と計算機の処理装置との間でデータを転送するとき、処理の遅れを短縮するために補助記憶装置を緩衝記憶として用いること。(注)この用語は、語句"Simultaneous Peripheral Operation Online"に由来している。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2074	A		遠隔一括入力、遠隔バッチ入力	えんかくいっかつにゅうりょく、えんかくばっちにゅ	remote batch entry	データリンクを介して計算機にアクセスする入力装置を通して行われるデータの一括依頼。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2075	A		遠隔ジョブ入力、RJE(省略形)	えんかくじょぶにゅうりょく、RJE	remote job entry, RJE (abbreviation)	データリンクを介して計算機にアクセスする入力装置を通したジョブの依頼。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2076	A		タイムスライシング	たいむすらいしんぐ	time slicing	二つ以上の処理が同一処理装置上の細分化された時間に割り当てられる操作形態。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2077	A		時分割、タイムシェアリング	じぶんかつ、たいむしぇありんぐ	time sharing	一つの処理装置において、二つ以上の処理を、時間で交互配置させるようにする計算機システムの操作技法。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2078	A		多重プログラミング、マルチプログラミング	たじゅうぷろぐらみんぐ、まるちぷろぐらみんぐ	multiprogramming	一つの処理装置によって、二つ以上の計算機プログラムを交互配置して実行する機能を備えた操作形態。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2079	A		多重タスキング、マルチタスキング	たじゅうたすきんぐ、まるちたすきんぐ	multitasking, multi-tasking	二つ以上のタスクを、並行して遂行する又は交互配置で実行する機能を備えた操作形態。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2080	A		多重プロセッシング、マルチプロセッシング	たじゅうぷろせっしんぐ、まるちぷろせっしんぐ	multiprocessing	多重プロセッサの二つ以上の処理装置による並列処理の機能を備えた操作形態。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2081	A		エミュレートする	えみゅれーとする	to emulate	模倣システムが、被模倣システムと同様に同一データを受け入れ、同一の計算機プログラムを実行し、同一の結果を得るように、あるシステムが他のシステムを、主としてハードウェアによって模倣すること。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2082	A		エミュレーション	えみゅれーしょん	emulation	模倣システムが、被模倣システムと同様に同一データを受け入れ、同一の計算機プログラムを実行し、同一の結果を得るような、あるシステムによる他のシステムの、主としてハードウェアによる模倣。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2083	A		エミュレータ	えみゅれーた	emulator	模倣システムが、被模倣システムと同様に同一データを受け入れ、同一の計算機プログラムを実行し、同一の結果を得るように、あるシステムが他のシステムを模倣する装置又は計算機プログラム。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2084	A		カタログ	かたろぐ	catalog, catalogue	ファイル及びライブラリの場所に関連した登録簿であって、それらの所在を示すもの。(注)カタログは、ファイルが記憶される装置の形式、合言葉、ブロック化因数のようなその他の情報を含みうる。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2085	A		カタログする	かたろぐする	to catalog, to catalogue	ファイル又はライブラリに関する情報をカタログに入れること。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2086	A		単純緩衝法	たんじゅんかんしょうほう	simple buffering	計算機プログラムの実行の間中、緩衝記憶装置を割り当てておく技法の一つ。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2087	A		動的緩衝法	どうてきかんしょうほう	dynamic buffering	緩衝記憶装置の動的割振り。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2088	A		動的再配置	どうてきさいはいち	dynamic relocation	計算機プログラムが主記憶装置の異なった領域で実行されうるように、実行中にこのプログラムに対して新たな絶対アドレスを割り当てる処理。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2089	A		ロールアウトする	ろーるあうとする	to roll out	主記憶装置を別の用途のために解放することを目的として、種々の大きさのファイル又は計算機プログラムのようなデータの集合を、主記憶装置から補助記憶装置に転送する	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2090	A		ロールインする	ろーるいんする	to roll in	前にロールアウトされたデータの集合を主記憶装置に再格納すること。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2091	A		スワッピング	すわっぴんぐ	swapping	主記憶装置の領域の内容と補助記憶装置の領域の内容とを交換する処理。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2092	A		保護、ロックアウト	ほご、ろっくあうと	protection, lock out, lock-out	計算機システムの全体又は一部分のアクセス又は使用を制限するための仕組み。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2093	A		仮想記憶、仮想記憶装置	かそうきおく、かそうきおくそうち	virtual storage	計算機システムの利用者にとってアドレス可能な主記憶装置とみなしうる記憶空間であって、仮想アドレスが実アドレスへ写像されるもの。(注)仮想記憶の大きさは、計算機システムのアドレス指定方式及び使用可能な補助記憶装置の量によって制限され、主記憶場所の実際の量によっては制限されない。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2094	A		仮想アドレス	かそうあどれす	virtual address	仮想記憶における記憶場所のアドレス。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2095	A		実記憶、実記憶装置	じつきおく、じつきおくそうち	real storage	仮想記憶システムにおける主記憶装置。(注)物理的には、実記憶装置と主記憶装置とは同一である。しかし、概念的には、実記憶装置は仮想記憶システムの利用者にとって利用可能なアドレス領域の部分だけを表す。かつては、利用者にとって利用可能なアドレスの全領域は、主記憶装置によって与えられていた。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2096	A		実アドレス	じつあどれす	real address	実記憶装置における記憶場所のアドレス。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2097	A		アドレス変換機構	あどれすへんかんきこう	address translator	仮想アドレスを実アドレスに変換する機能単位。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2098	A		ページ(仮想記憶システムにおける)	ページ(かそうきおくしすてむにおける)	page (in a virtual storage system)	仮想アドレスをもち、実記憶装置と補助記憶装置との間において1単位として転送される固定長のブロック。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2099	A		ページ枠	ぺーじわく	page frame	実記憶装置において、1ページ分の大きさをもつ記憶場所。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2100	A		ページング	ぺーじんぐ	paging	実記憶装置と補助記憶装置との間におけるページの転送。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2101	A		ページング技法	ぺーじんぐぎほう	paging technique	実記憶装置がページ枠に分割されるような実記憶装置の割振り技法。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2102	A		要求時ページング	ようきゅうじぺーじんぐ	demand paging	必要時の、補助記憶装置から主記憶装置へのページの転送。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2103	A		先行ページング	せんこうぺーじんぐ	anticipatory paging	必要となる以前の、補助記憶装置から主記憶装置へのページの転送。	JIS X 0010	1987	ISO 2382-10	1979				1979	JTC1
2104	A		送りレジスタ、シフトレジスタ	おくりれじすた、しふとれじすた	shift register	けた送りを行うレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2105	A		処理機構、プロセッサ	しょりきこう、ぷろせっさ	processor	計算機において、命令を解釈し、実行する機能単位。(備)1.処理機構は、少なくとも一つの命令制御装置と、算術論理演算装置とからなる。2.この項はJIS X 0010-1987[情報処理用語(操作技法及び機能)]の10.01.02を置き換える。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2106	A		(命令)制御装置、(命令)制御機構	(めいれい)せいぎょそうち、(めいれい)せいぎょき	(instruction) control unit	処理機構において、適切な順番で命令を取り出し、各命令を解釈し、その解釈に従って算術論理演算装置やその他の部分へ適切な信号を与える部分。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2107	A		主制御装置、主制御機構	しゅせいぎょそうち、しゅせいぎょきこう	main control unit	一つの処理機構に二つ以上の命令制御装置がある場合、ある与えられた時間において、他のすべての命令制御装置を従属させる命令制御装置。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2108	A		刻時機構、クロック	こくじきこう、くろっく	clock	処理機構の演算の規制、割込みの発生、計時などの目的に使用される、正確な時間間隔をもった周期的信号を生成する機構。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2109	A		内部記憶(装置)、内部メモリ	ないぶきおく(そうち)、ないぶめもり	internal storage, internal memory	入出力チャネルを用いることなく、処理機構からのアクセスが可能な記憶装置。(備)内部記憶装置は、キャッシュメモリ及びレジスタのような他の種類の記憶装置を含む。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2110	A		主刻時機構、主クロック	しゅこくじきこう、しゅくろっく	master clock	他の刻時機構を制御することを主な機能とする刻時機構。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2111	A		マイクロプロセッサ	まいくろぷろせっさ	microprocessor	1個又は数個の集積回路にその要素が集約されている処理機構。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2112	A		緩衝記憶(装置)、バッファ記憶(装置)	かんしょうきおく(そうち)、ばっふぁきおく(そうち)	buffer storage, buffer	データ転送特性が異なる二つの機能単位の間のデータ転送を可能にするために、一時的にデータを記憶する専用の記憶装置又は専用の記憶領域。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2113	A		多重プロセッサ、マルチプロセッサ	たじゅうぷろせっさ、まるちぷろせっさ	multiprocessor	一つの主記憶装置に共通にアクセスする二つ以上の処理機構をもつ計算機。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2114	A		算術[論理][算術論理]演算装置、算術[論理][算術論理]演算機構、ALU(省略形)	さんじゅつ[ろんり][さんじゅつろんり]えんざんそうち、さんじゅつ[ろんり][さんじゅつろんり]えんざんき	arithmetic [logic] [arithmetic and logic]unit, ALU	処理機構において、算術演算[論理演算][算術演算と論理演算]を行う部分。備考 算術演算装置という用語は、算術演算及び論理演算の両方を行う装置に対しても使われることがある。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2115	A		算術演算装置、算術演算機構、ALU(省略形)	さんじゅつえんざんそうち、さんじゅつえんざんきこう、ALU	arithmetic unit, ALU (abbreviation)	処理機構において、算術演算を行う部分。(備)算術演算装置という用語は、算術演算及び論理演算の両方を行う装置に対しても使われることがある。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2116	A		算術論理演算装置、算術論理演算機構、ALU(省略形)	さんじゅつろんりえんざんそうち、さんじゅつろんりえんざんきこう、ALU	arithmetic and logic unit, ALU (abbreviation)	処理機構において、算術演算と論理演算を行う部分。(備)算術演算装置という用語は、算術演算及び論理演算の両方を行う装置に対しても使われることがある。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2117	A		論理演算装置、論理演算機構、ALU(省略形)	ろんりえんざんそうち、ろんりえんざんきこう、ALU	logic unit	処理機構において、論理演算を行う部分。(備)算術演算装置という用語は、算術演算及び論理演算の両方を行う装置に対しても使われることがある。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2118	A		パイプライン処理装置、パイプライン処理機構	ぱいぷらいんしょりそうち、ぱいぷらいんしょりきこう	pipeline processor	命令の実行が一連の装置で行われ、かつ、これら複数の装置が複数の命令の適切な部分を同時に処理できるようになっている処理機構。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2119	A		アレイ処理装置、アレイ処理機構、ベクトル処理装置、ベクトル処理機構	あれいしょりそうち、あれいしょりきこう、べくとるしょりそうち、べくとるしょりきこ	array processor, vector processor	オペランドが単一の要素だけでなく、データの配列であるような命令を実行することができる処理機構。(備)アレイ処理装置が単一の要素について動作するような特別な場合には、このような要素をスカラと称する。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2120	A		母線、バス	ぼせん、ばす	bus	二つの端点間に位置する複数の装置の間で、データを転送するための機構であって、ある瞬間には1個の装置だけが送信できるもの。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2121	A		記憶装置、記憶機構	きおくそうち、きおくきこう	storage (device)	データを格納し、保持し、かつ、取り出すことのできる機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2122	A		メモリ	めもり	memory	処理装置及び他の内部記憶装置において、命令を実行するために使われるアドレス可能な記憶空間のすべて。(備)計算機、マイクロコンピュータ及びある種のミニコンピュータでは、主記憶装置よりもメモリという用語のほうがよく使われる。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2123	A		外部記憶(装置)、補助記憶(装置)	がいぶきおく(そうち)、ほじょきおく(そうち)	external storage, auxiliary storage	入出力チャネルを通してだけ処理機構からのアクセスが可能な記憶装置。(備)外部記憶装置は、周辺装置として考えてよい場合がある。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2124	A		主記憶(装置)、主メモリ	しゅきおく(そうち)、しゅめもり	main storage, main memory	命令及びその他のデータを、実行又は処理に先立ってロードしなければならない内部記憶装置。(備)主記憶装置という用語は、大型の計算システムの場合によく使われる。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2125	A		キャッシュメモリ	きゃっしゅめもり	cache (memory)	処理機構が主記憶装置から得た命令及びデータのうち、後で使われる可能性の高いものの写しを保持するための、主記憶装置よりも小容量かつ、高速の緩衝記憶装置。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2126	A		レジスタ	れじすた	register	特定の記憶容量をもち、通常、特定の目的のために作られた内部記憶装置の一つ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2127	A		入出力チャネル	にゅうしゅつりょくちゃねる	input-output channel	内部記憶装置と周辺装置の間のデータ転送を扱う機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2128	A		直接記憶アクセス、DMA(省略形)	ちょくせつきおくあくせす、DMA	direct memory access,DMA	主記憶装置と周辺装置の間において、処理装置によるデータの処理を必要としないで、データを直接移動させるための技法。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2129	A		(入出力)制御装置、(入出力)制御機構、IOC(省略形)	(にゅうしゅつりょく)せいぎょそうち、(にゅうしゅつりょく)せいぎょきこう、IOC	(input-output) controller, IOC (abbreviation)	一つ以上の入出力装置を制御する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2130	A		入力[出力][入出力]装置、入力[出力][入出力]機構	にゅうりょく[しゅつりょく][にゅうしゅつりょく]そうち、にゅうりょく[しゅつりょく][にゅうしゅつりょく]きこう	input [output] [input-output]unit, input[output] [input-output]device	計算機へ[から][との間で]データを入力[出力][入出力]する装置。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2131	A		出力装置、出力機構	しゅつりょくそうち、しゅつりょくきこう	output unit, output device	計算機からデータを出力する装置。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2132	A		入出力装置、入出力機構	にゅうしゅつりょくそうち、にゅうしゅつりょくきこう	input-output unit, input-output device	計算機との間でデータを入出力する装置。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2133	A		入力装置、入力機構	にゅうりょくそうち、にゅうりょくきこう	input unit, input device	計算機へデータを入力する装置。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2134	A		多重チャネル、マルチプレクサチャネル	たじゅうちゃねる、まるちぷれくさちゃねる	multiplexer channel	同時に動作する複数台の周辺装置と内部記憶装置との間のデータの転送を並行的に扱う機能単位。データ転送は、バイト単位又はブロック単位で行われる。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2135	A		選択チャネル、セレクタチャネル	せんたくちゃねる、せれくたちゃねる	selector channel	接続されている複数台の周辺装置のうち選択された1台と内部記憶装置との間のデータの転送を扱う機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2136	A		データ転送速度(処理装置における)	でーたてんそうそくど(しょりそうちにおける)	data transfer rate	対応する装置間で転送される、単位時間当たりのビット数、バイト数又はブロック数。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2137	A		通信制御装置、通信制御機構	つうしんせいぎょそうち、つうしんせいぎょきこう	communication control unit	データ回線を介して伝送されるデータの授受に関する制御を行う機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2138	A		演算時間	えんざんじかん	operation time	ある命令(加算、乗算、除算など)について、命令実行段階に費やされる時間に命令取出し段階の時間を加えたもの。ただし、前者だけを指す場合もある。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2139	A		命令取出し段階	めいれいとりだしだんかい	instruction fetch cycle	命令制御装置が前の命令の実行中又は実行終了後に、次に実行すべき命令を内部記憶装置から取り出し始めてから取り出し終わるまでの動作段階。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2140	A		命令実行段階	めいれいじっこうだんかい	execution cycle	命令制御装置が命令を取り出し終わってから、その実行が終わるまでの動作段階。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2141	A		命令アドレスレジスタ、プログラムレジスタ、命令ポインタレジスタ	めいれいあどれすれじすた、ぷろぐらむれじすた、めいれいぽいんたれじす	instruction address register, program register, instruction pointer register	次に実行すべき命令のアドレスを保持する専用レジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2142	A		命令レジスタ	めいれいれじすた	instruction register	解釈のために命令を保持するレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2143	A		指標レジスタ、インデックスレジスタ	しひょうれじすた、いんでっくすれじすた	index register	命令の実行中にオペランドのアドレスを変更するために、その内容が用いられるレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2144	A		基底(アドレス)レジスタ	きてい(あどれす)れじすた	base (address) register	基底アドレスを保持するレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2145	A		フラグレジスタ	ふらぐれじすた	flag register	命令の実行中に起こる可能性のある特定の条件によってセットされるビットをもつ専用レ	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2146	A		割込みレジスタ	わりこみれじすた	interrupt register	割込み処理に必要なデータを保持する専用レジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2147	A		はん<汎>用レジスタ	はんようれじすた	general purpose register	レジスタの集合のうち、通常、明示的にアドレスを指定できるレジスタであって、累算器、指標レジスタ又はデータの特殊操作用のように種々の目的に用いることができるもの。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2148	A		浮動小数点レジスタ	ふどうしょうすうてんれじす	floating-point register	浮動小数点表示法を用いて、データを操作するためのレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2149	A		固定小数点レジスタ	こていしょうすうてんれじすた	fixed-point register	固定小数点表示法を用いて、データを操作するためのレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2150	A		累算器、アキュムレータ	るいさんき、あきゅむれーた	accumulator	レジスタの一種であって、演算の一つのオペランドを記憶し、演算後、その内容がその演算の結果で置換されるもの。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2151	A		算術レジスタ	さんじゅつれじすた	arithmetic register	算術演算又は論理演算のオペランド又は結果を保持するレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2152	A		倍[3倍][4倍][N倍]長レジスタ	ばい[3ばい][4ばい][Nばい]ちょうれじすた	double [triple] [quadruple] [N-tuple]length register, double [triple] [quadruple] [N-tuple]register	単一のレジスタとして機能する2[3][4][N]個のレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2153	A		N倍長レジスタ	Nばいちょうれじすた	N-tuple length register, N-tuple register	単一のレジスタとして機能するN個のレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2154	A		3倍長レジスタ	3ばいちょうれじすた	triple length register, triple register	単一のレジスタとして機能する3個のレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2155	A		倍長レジスタ	ばいちょうれじすた	double length register, double register	単一のレジスタとして機能する2個のレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2156	A		4倍長レジスタ	4ばいちょうれじすた	quadruple length register, quadruple register	単一のレジスタとして機能する4個のレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2157	A		計時機構、タイマ	けいじきこう、たいま	timer, clock register	時間を計るために、規則的な間隔で内容が変化するレジスタ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2158	A		レジスタ長	れじすたちょう	register length	レジスタの記憶容量。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2159	A		間隔計時機構	かんかくけいじきこう	interval timer	指定された長さの時間が経過すると、割込み信号を発生する装置。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2160	A		加算器	かさんき	adder	入力データで表現される数の和を出力データとして表現する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2161	A		直列加算器	ちょくれつかさんき	serial adder	数字位置ごとに順次、オペランドの対応する数字を加えることによって加算を行う加算	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2162	A		並列加算器	へいれつかさんき	parallel adder	オペランドのすべての対応する数字位置の数字について同時に加算を行う加算器。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2163	A		けた上げ保留加算機	けたあげほりゅうかさんき	carry-save adder	個々の数字位置に関して入力3個、和の出力1個及びけた上げ出力1個をもち、演算1サイクル内では、それ自身でけた上げ数の伝搬を行わない加算機。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2164	A		半加算機	はんかさんき	half adder	被加数A及び加数Bの二つの入力、並びにけた上げなしの和S及びけた上げ数Cの二つの出力をもち、入力と出力とが次の表によって関係付けられる組合せ回路。(#表有り)	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2165	A		全加算器	ぜんかさんき	full adder	被加数D、加数E及び下位の数字位置から送られてくるけた上げ数Fの三つの入力、並びにけた上げなしの和T及び新しいけた上げ数Rの二つの出力をもち、入力と出力とが次の表によって関係付けられる組合せ回路。(#表有り)	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2166	A		減算器	げんさんき	subtracter	入力データで表現される数の差を出力データとして表現する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2167	A		半減算器	はんげんさんき	half subtracter	被減数G及び減数Hの二つの入力、並びに借りなしの差U及び借り数Vの二つの出力をもち、入力と出力とが次の表によって関係付けられる組合せ回路。(#表有り)	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2168	A		全減算器	ぜんげんさんき	full subtracter	被減数I、減数J及び他の数字位置から送られてくる借り数Kの三つの入力、並びにJとKの和とIとの、借りなしの差W及び新しい借り数Xの二つの出力をもち、入力と出力とが次の表によって関係付けられる組合せ回路。(#表有り)	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2169	A		加減算器	かげんさんき	adder-subtracter	受け取った制御信号に応じて加算器又は減算器として動作する機能単位。(備)加減算器は、和と差とを同時に出力するように構成することもできる。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2170	A		補数器	ほすうき	complementer	入力データで表現される数の補数を出力データとして表現する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2171	A		並列加算	へいれつかさん	parallel addition	オペランドのすべての数字位置の数字について、並列に行われる加算。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2172	A		直列加算	ちょくれつかさん	serial addition	数字位置ごとに順次、オペランドの対応する数字を加えることによって行われる加算。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2173	A		高速けた上げ	こうそくけたあげ	high-speed carry	並列加算において、けた上げを高速化する方法の総称。(例)9飛ばしけた上げ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2174	A		9飛ばしけた上げ	9とばしけたあげ	standing-on-nines carry	10進数で表された数の並列加算において、ある数字位置の現在の和が9であるとき、その数字位置へのけた上げを次の数字位置へ飛ばし、その9を0に変えること。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2175	A		カスケード式けた上げ	かすけーどしきけたあげ	cascaded carry	並列加算において、加算によって部分和数表示とけた上げ数表示とを作り、それらを再び加算するという手順を、けた上げがなくなるまで繰り返すこと。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2176	A		部分けた上げ	ぶぶんけたあげ	partial carry	並列加算において、けた上げの一部又は全部をすぐには送らないで、一時的に記憶しておくこと。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2177	A		全けた上げ	ぜんけたあげ	complete carry	並列加算において、すべてのけた上げを直ちに送ること。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2178	A		リップルけた上げ	りっぷるけたあげ	ripple carry	並列加算において、ある数字位置においてその数字位置の加算の結果として生成され、次の高位数字位置に伝搬されるけた上げ。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2179	A		比較器	ひかくき	comparator	二つの項目を比較し、その結果を表示する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2180	A		計数器、カウンタ、[可逆計数器、可逆カウンタ]	けいすうき、かうんた、[かぎゃくけいすうき、かぎゃくかうんた]	counter [reversible counter]	有限個の状態をもち、各々の状態が数を表す機能単位であって、適当な信号を受け取ると、その数が1又は与えられた定数だけ増加[増加又は減少]するもの。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2181	A		可逆計数器、可逆カウンタ	かぎゃくけいすうき、かぎゃくかうんた	reversible counter	有限個の状態をもち、各々の状態が数を表す機能単位であって、適当な信号を受け取ると、その数が1又は与えられた定数だけ増加又は減少するもの。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2182	A		計数器、カウンタ	けいすうき、かうんた	counter	有限個の状態をもち、各々の状態が数を表す機能単位であって、適当な信号を受け取ると、その数が1又は与えられた定数だけ増加するもの。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2183	A		モジュロn計数器	もじゅろnけいすうき	modulo-n counter	順に計数していって、表現する数が最大値n-1に到達したあと、次にゼロに戻る計数器。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2184	A		セットする(計数器を)	せっとする(けいすうきを)	to set (a counter)	計数器を、指定された数に対応する状態にすること。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2185	A		リセットする(計数器を)	りせっとする(けいすうきを)	to reset (a counter)	計数器を、指定された初期の数に対応する状態にすること。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2186	A		環状計数器、リングカウンタ	かんじょうけいすうき、りんぐかうんた	ring counter	計数器の一種であって、素子が環状につながれ、通常、そのうちの1個の素子が他と異なる状態となっていて、入力信号を受けるごとに、この状態が一つ隣に移動するように構	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2187	A		(データ)変換器、コンバータ、(データ)コンバータ、変換器	(でーた)へんかんき、こんばーた、(でーた)こんばーた、へんかんき	(data) converter	データを一つの表現から、等価ではあるが異なった表現に変換する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2188	A		コード変換器、コードコンバータ	こーどへんかんき、こーどこんばーた	code converter	あるコード又はコード化文字集合を用いたデータの表現を、別のコード又は別のコード化文字集合を用いた表現に変更する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2189	A		符号器、エンコーダ	ふごうき、えんこーだ	encoder	同時に2本以上に信号が乗ることのない複数の入力線と、任意の本数に信号が乗る複数の出力線とをもち、出力信号の組合せが、信号が乗っている入力線を示すコードとなっている機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2190	A		復号器、デコーダ	ふくごうき、でこーだ	decoder	任意の本数に信号が乗る複数の入力線と、同時に2本以上に信号が乗ることのない複数の出力線とをもち、入力信号の組合せが、信号が乗っている出力線を示すコードとなっている機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2191	A		直並列変換器、スタティサイダ	ちょくへいれつへんかんき、すたていさいだ	staticizer, serial-parallel converter	時系列信号を、これに対応する同時に存在する一組の信号に変換する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2192	A		並直列変換器、ダイナミサイザ	へいちょくれつへんかんき、だいなみさいざ	serializer, parallel-serial converter, dynamicizer	一組の同時に存在する信号を、これに対応する一つの時系列信号に変換する機能単位。	JIS X 0011	1989	ISO 2382-11	1987			廃止か？	無い	JTC1
2193	A		未使用媒体	みしようばいたい	blank medium, virgin	基準となる印及び利用者のデータが記憶されたことがないデータ媒体。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2194	A		空き媒体	あきばいたい	empty medium	基準となる印だけを含み、利用者のデータを含まないデータ媒体。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2195	A		消去する	しょうきょする	to erase	データをデータ媒体から除去すること。(備)消去は通常、データを重ね書きするかポインタを削除することで行われる。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2196	A		フレキシブルディスク、フロッピー(ディスク)	ふれきしぶるでぃすく、ふろっぴー(でぃすく)	flexible disk,floppy (disk)	保護容器に入っている可とう<撓>性の磁気ディスク。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2197	A		初期化	しょきか	initialization	機械を始動可能状態にするための操作、又はデータ媒体を使用する前、若しくは処理を行う前に必要とされる操作。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2198	A		フォーマッティング	ふぉーまっていんぐ	formatting	特定の計算機システムが媒体にデータを記憶し、後でその媒体からデータを取り出せるようにするために、データ媒体を初期化すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2199	A		装着する	そうちゃくする	to mount	データ媒体を操作位置に取り付けること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2200	A		バックアップ	ばっくあっぷ	backup	喪失若しくは破壊されたデータの復元を助けるために、又はシステムの作動を維持するために使用する手続き、技法又はハードウェアに関する用語。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2201	A		巻き戻す	まきもどす	to rewind	磁気テープ又はせん孔テープを開始位置に戻すこと。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2202	A		トラック	とらっく	track	データ媒体が一つの読取り書込みヘッドを通過する際に、その読取り書込みヘッドに対応するデータ媒体上の経路。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2203	A		代替トラック、交代トラック	だいたいとらっく、こうたいとらっく	alternate track,alternative track	正常なトラックが傷ついたり、使用不能になったりした際に、その代わりとして使用する予備のトラック。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2204	A		索引トラック	さくいんとらっく	index track	同じデータ媒体の他のトラック上のデータの位置決めに必要な情報を保持するトラック。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2205	A		刻時トラック、クロックトラッ	こくじとらっく、くろっくとらっ	clock track	タイミングの基準を与えるための信号パターンが記録されているトラック。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2206	A		誤り率	あやまりりつ	error rate	伝送又は転送されたデータの総量に対する、検知された誤りの総数の割合。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2207	A		誤り訂正	あやまりていせい	error correction	データの伝送、転送又は記憶の間に生じた誤りのあるデータを訂正するのに使用する方	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2208	A		誤り検出	あやまりけんしゅつ	error detection	データが誤りなく伝送又は転送されたかどうかを判定する方法。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2209	A		ソフトエラー、一時誤り	そふとえらー、いちじあやまり	soft error, transient error	散発的に起こる誤りであって、次にデータを読み取るときに生じるとは限らないもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2210	A		ハードエラー	はーどえらー	hard error	データ読取りのたびに常に起こる永続的な誤り。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2211	A		プリントスルー	ぷりんとするー	print through	磁気媒体のある部分と他の部分とが接近して置かれたときに生じることのある記録されている信号の望ましくない転写。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2212	A		基準縁	きじゅんえん	reference edge, guide edge	データ媒体の縁であって、データ媒体に関する仕様又は測定のよりどころとするために使用するもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2213	A		(テープの)列、テープフレーム	(てーぷの)れつ、てーぷふれーむ	tape row, tape frame	磁気テープの基準縁に垂直な直線上にあって、並列に記録又は検出される2進文字の集まり。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2214	A		列ピッチ	れつぴっち	row pitch	記録済みのデータ媒体上でトラック方向に測った隣接するテープの列間の距離。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2215	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	トラックに対して垂直方向に測った隣接するトラック間の距離。(備)トラックピッチは、トラック密度に反比例する。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2216	A		トラック密度	とらっくみつど	track density	トラックに対して垂直方向に数えた単位長当たりのトラックの数。(備)トラック密度は、トラックピッチに反比例する。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2217	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	一つのトラック上に記録された、単位長又は単位角度当たりの磁化変化の数。(備)通常使用する単位は、長さに対してはミリメートル当たりの磁化反転数(ftpmm)であり、角度に対してはラジアン当たりの磁化反転数(ftprad)である。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2218	A		ビット密度、記録密度	びっとみつど、きろくみつ	bit density, recording	単位長又は単位面積当たりに記録された2進数字の数。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2219	A		データ密度	でーたみつど	data density, packing density (deprecated in this sense)	単位長、単位面積又は単位体積当たりに記憶されたデータの文字数。(備)1.データ密度は、通常ミリメートル当たりの文字数(cpmm)又はラジアン当たりの文字数(cprad)で表す。2.ディスクでは、データ密度よりも片面又は両面に記録される総記憶容量が通常用い	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2220	A		データ媒体保護機構	でーたばいたいほごきこう	data medium protection device	データ媒体を読取り専用にする可動機構又は取外しのできる機構。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2221	A		(1)(データ媒体を)後退させる	(1)(でーたばいたいを)こうたいさせる	to backspace (a data medium)	データ媒体を指定された距離だけ逆方向に移動させる。(例)せん孔テープを1列分逆方向に移動させること。磁気テープを1ブロック分逆方向に移動させる。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2222	A		(2)(位置を)後退させる	(2)(いちを)こうたいさせる	(2) to backspace (a	印字行又は表示行に沿って、印字位置又は表示位置を1位置分逆方向に移動させるこ	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2223	A		磁心、(磁気)コア	じしん、(じき)こあ	(magnetic) core	記憶のために使う、通常ドーナツ状の形をした小さな磁性体。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2224	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	データを記憶できる磁性層をもつテープ。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2225	A		(磁気テープ)カセット	(じきてーぷ)かせっと	(magnetic tape) cassette	回転軸によって駆動される磁気テープが容器に内蔵されているデータ媒体であって、磁気テープを取り外すことなく処理できるようにしたもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2226	A		(磁気テープ)カートリッジ	(じきてーぷ)かーとりっじ	(magnetic tape) cartridge	摩擦によって駆動される磁気テープが容器に内蔵されているデータ媒体であって、磁気テープを取り外すことなく処理できるようにしたもの。(備)駆動機構を問題にしない場合、用語"磁気テープカセット"と"磁気テープカートリッジ"は、同じ意味で用いることがある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2227	A		磁気カード	じきかーど	magnetic card	データを記憶できる磁性層をもつカード。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2228	A		磁気ドラム	じきどらむ	magnetic drum	データを記憶できる磁性層をもつ円筒形の回転体。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2229	A		磁気ディスク	じきでぃすく	magnetic disk	片面又は両面にデータを記憶できる磁性層をもつ平らな回転盤。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2230	A		ハードディスク	はーどでぃすく	hard disk	剛体の磁気ディスク。(備)この語は通常、取外しのできない剛体の磁気ディスクを指す。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2231	A		ディスケット	でぃすけっと	diskette	ジャケットに包まれた小さな磁気ディスク。(備)用語“ディスケット”と“フレキシブルディスク”は、同じ意味で用いることがある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2232	A		ディスクパック	でぃすくぱっく	disk pack	複数枚の磁気ディスクの集合体であって、作動時には分離される容器とともに、ディスク装置から一括して取り外すことができるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2233	A		ディスクカートリッジ	でぃすくかーとりっじ	disk cartridge	1枚又は複数枚の磁気ディスクの集合体であって、分離できない容器とともに、ディスク装置から一括して取り外すことができるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2234	A		データモジュール	でーたもじゅーる	data module	取外し可能な密封されたディスクパックであって、読取り書込み機構と磁気ディスクを一体化したもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2235	A		光ディスク、ディジタル光ディスク	ひかりでぃすく、でぃじたるひかりでぃすく	optical disk,digital optical disk	光学的技術によって読み取ることが可能なディジタルデータを保持する円盤。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2236	A		ドロップアウト	どろっぷあうと	drop-out	磁気記憶装置にデータを記憶する場合又は磁気記憶装置からデータを取り出す場合に、2進文字を読取り損なうことによって引き起こされる誤り。(備)ドロップアウトは通常、磁性層の損傷又は微片がその上に存在することによって発生する。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2237	A		紛失パルス	ふんしつぱるす	missing-pulse	読取り又は記録ができないレベルのパルス。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2238	A		ドロップイン	どろっぷいん	drop-in	磁気記憶装置にデータを記憶する場合、又は磁気記憶装置からデータを取り出す場合に、事前に記録していない2進文字を読み取ることによって引き起こされる誤り。(備)ドロップインは通常、磁性層の損傷又は微片がその上に存在することによって発生する。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2239	A		余剰パルス	よじょうぱるす	extra-pulse	記録中又は読取り中に生じる、あってはならない余分なパルス。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2240	A		磁気インク	じきいんく	magnetic ink	データの記録に適した磁性体の微粒を含む特殊インク。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2241	A		磁気インク文字	じきいんくもじ	magnetic ink character	自動識別できるように磁気インクで書かれた文字。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2242	A		光学文字	こうがくもじ	optical character	光学的な手段による自動識別を容易にするために、特殊な規則に従って印字又は手書きされた図形文字。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2243	A		文字認識	もじにんしき	character recognition	自動的な手段によって文字を識別すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2244	A		磁気インク文字認識、MICR(省略形)	じきいんくもじにんしき、MICR	magnetic ink character recognition, MICR (abbreviation)	磁気インク文字の文字認識。(備)用語“MICR”は、磁気インク文字読取り装置の意味で用いることがある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2245	A		光学的文字認識、OCR(省略形)	こうがくてきもじにんしき、OCR	optical character recognition, OCR (abbreviation)	図形文字を識別するために光学的な手段を用いる文字認識。(備)用語“OCR”は、光学式文字読取り装置の意味で用いることがある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2246	A		マーク読取り、光学マーク読取り	まーくよみとり、こうがくまーくよみとり	mark scanning,optical mark reading	データ媒体上に記憶されたマークを光学的かつ自動的に検知すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2247	A		バーコード	ばーこーど	bar code	異なる太さや間隔をもつ平行な縦線の組合せによって文字を表現するコードであって、横断走査によって光学的に読み取るもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2248	A		孔パターン	こうぱたーん	hole pattern	データの符号化表現をデータ媒体上に実現した孔の配列。(例)一つの文字を表現するせん孔の配置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2249	A		パターン認識	ぱたーんにんしき	pattern recognition	自動的な手段によって、形、輪郭又は構成を識別すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2250	A		(せん孔)テープ	(せんこう)てーぷ	(punch) tape	孔パターンをせん孔することができるテープ。(備)1.“せん孔”を“さん孔”ということもある。2.特に材質が紙の場合、“紙テープ”ということもある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2251	A		せん孔(済)テープ	せんこう(ずみ)てーぷ	punched tape	孔パターンがせん孔されているテープ。(備)12.01.58の備考を参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2252	A		テープスプール、ハブ	てーぷすぷーる、はぶ	tape spool,hub	フランジのない円筒であって、周りにテープが巻かれるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2253	A		リール	りーる	reel	フランジ付きの円筒であって、周りにテープが巻かれるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2254	A		せん孔カード	せんこうかーど	punch card	孔パターンをせん孔することができるカード。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2255	A		せん孔(済)カード	せんこう(ずみ)かーど	punched card	孔パターンがせん孔されているカード。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2256	A		アパチャカード	あぱちゃかーど	aperture card	標準的な外形をもつ処理可能なカードであって、その中にマイクロフィルム画面を挿入できるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2257	A		カードデック	かーどでっく	card deck	せん孔済カードの集まり。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2258	A		記憶(動作)	きおく(どうさ)	storing	データを記憶装置に格納する動作。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2259	A		(1)記憶する	(1)きおくする	(1) to store	データを記憶装置に格納すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2260	A		(2)記憶する	(2)きおくする	(2) to store	記憶装置においてデータを保持すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2261	A		記憶(保持)	きおく(ほじ)	storage	記憶装置におけるデータの保持。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2262	A		(記憶)場所	(きおく)ばしょ	(storage) location	アドレスによって一意に指定される記憶装置の中の位置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2263	A		記憶セル、記憶素子	きおくせる、きおくそし	storage cell, storage	記憶装置中でアドレスによって指定できる最小単位。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2264	A		2値セル	2ちせる	binary cell	一つの2進文字を保持できる記憶セル。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2265	A		記憶保護	きおくほご	storage protection	書込み、読取り又はその両方を阻止することによって、記憶装置又は記憶場所へのアクセスを制限すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2266	A		語構成記憶装置	ごこうせいきおくそうち	word organized storage	機械の語を単位として又は同一時間内で機械の語の部分を単位として、データを記憶したり取り出したりできる記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2267	A		静的記憶装置	せいてききおくそうち	static storage	記憶内容を保持するために周期的な記憶回復動作を必要としない記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2268	A		動的記憶装置	どうてききおくそうち	dynamic storage	記憶内容を保持するために周期的な記憶回復動作を必要とする記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2269	A		消去可能記憶装置	しょうきょかのうきおくそう	erasable storage	異なるデータを同じ記憶場所に何回でも書込みできる記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2270	A		永久記憶装置	えいきゅうきおくそうち	permanent storage	記憶内容の消去が不可能な記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2271	A		読取り専用記憶装置、固定記憶装置、ROM(省略	よみとりせんようきおくそうち、こていきおくそうち、	read-only memory, ROM (abbreviation)	通常の状態でデータの読取りだけができる記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2272	A		読取り書込み記憶装置、RAM	よみとりかきこみきおくそうち、RAM	RAM	データの書込みと読取りができる記憶装置。(備)RAMは、語源的には“Random Access Memory”の省略形であるが、直接アクセス記憶装置の意味でこの用語を用いてはいけな	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2273	A		プログラム可能読取り専用記憶装置、PROM(省略形)	ぷろぐらむかのうよみとりせんようきおくそうち、PROM	programmable read-only memory, PROM (abbreviation)	一度書き込まれた後、読取り専用記憶装置となる記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2274	A		消去及びプログラム可能読取り専用記憶装置、EPROM(省略形)	しょうきょおよびぷろぐらむかのうよみとりせんようきおくそうち、EPROM	erasable programmable read-only memory, EPROM (abbreviation)	特殊な処理によって記憶内容を消去して、再使用のできるプログラム可能読取り専用記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2275	A		揮発性記憶装置	きはつせいきおくそうち	volatile storage	電源が切れたときに記憶内容が失われる記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2276	A		不揮発性記憶装置	ふきはつせいきおくそうち	nonvolatile storage	電源が切れたときにも記憶内容が失われない記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2277	A		非破壊読取り	ひはかいよみとり	nondestructive read	元の場所にあるデータを消去しない読取り。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2278	A		破壊読取り	はかいよみとり	destructive read	元の場所にあるデータを消去する読取り。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2279	A		記憶容量	きおくようりょう	storage capacity	記憶装置に格納することのできるデータの量であって、データの単位で表されるもの。(備)1.データの単位としては、2進文字、バイト、語などがある。2.レジスタに関しては、レジスタ長という用語を同じ意味で使う。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2280	A		直接アクセス	ちょくせつあくせす	direct access,random access	データの物理的位置を表すアドレスによって、データの相対位置に無関係な順序で記憶装置からデータを読み取る能力又は記憶装置にデータを格納する能力。(注)国際規格及びこの規格では、他の意味で使われているため、この英語を使用しないほうがよい。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2281	A		順次アクセス	じゅんじあくせす	sequential access,serial access	順序付けられているのと同じ順番でデータを記憶装置又はデータ媒体に格納する能力又は格納されたとおりの順番でデータを読み取る能力。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2282	A		後入れ先出し記憶装置、スタック(記憶装置)	あといれさきだしきおくそうち、すたっく(きおくそうち)	pushdown storage, stack (storage)	次に取り出されるデータ要素が最も新しく記憶されたものであるような方法でデータを順序付ける記憶装置。(備)この方法は、“後入れ先出し”(LIFO)と呼ばれる。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2283	A		先入れ先出し記憶装置	さきいれさきだしきおくそうち	pushup storage	次に取り出されるデータ要素が最も古く記憶されたものであるような方法でデータを順序付ける記憶装置。(備)この方法は、“先入れ先出し”(FIFO)と呼ばれる。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2284	A		スタックポインタ	すたっくぽいんた	stack pointer, stack indicator	後入れ先出し記憶装置において、最も新しく記憶された項目を保持している記憶場所のアドレス。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2285	A		連想記憶装置、内容アドレス記憶装置	れんそうきおくそうち、ないようあどれすきおくそうち	associative storage, content addressable	記憶場所が、その名前又は位置ではなくて、記憶内容又はその一部によって識別される記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2286	A		転送時間	てんそうじかん	transfer time	データ転送が開始された時点から完了する時点までの時間。(備)1.付図1参照。2.利用者が転送するデータ量に依存しない量として規定する目的では、受渡し完了をデータの先頭に着目して規定することが多い。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2287	A		待ち時間	まちじかん	latency,waiting time	命令制御装置がデータの要求を発した時点から実際のデータ転送が開始される時点までの時間。(備)(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2288	A		アクセス時間、呼び出し時間	あくせすじかん、よびだしじかん	access time	データの要求が発せられた時点からデータの受渡しが完了する時点までの時間。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2289	A		平均アクセス時間	へいきんあくせすじかん	mean access time	装置を通常に動作させたときのアクセス時間の平均値。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2290	A		位置決め時間、シーク時間	いちぎめじかん、しーくじかん	positioning time, seek time	直接アクセス記憶装置のアクセスアームを、適切なトラック上に位置決めするのに必要な時間。(備)(#図有り)1参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2291	A		回転待ち時間、サーチ時間	かいてんまちじかん、さーちじかん	rotational delay, search time	直接アクセス記憶装置の読取り書込みヘッドが、与えられたアドレス又はキーに対応するトラック上の特定のレコードの位置に到達するのに必要な時間。(備)(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2292	A		回転位置検出、回転位置感知、RPS(省略形)	かいてんいちけんしゅつ、かいてんいちかんち、RPS	rotational position sensing, RPS (abbreviation)	読取り及び書込みが可能な位置を示すためにディスクの位置を連続的に監視する技法。(備)この技法では、読取り書込みヘッド位置を適切な同期信号と連続的に比較する。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2293	A		サイクル時間	さいくるじかん	cycle time	記憶装置の連続する読取り書込みサイクルの開始点の間の最小時間。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2294	A		読取り[書込み]サイクル時間	よみとり[かきこみ]さいくるじかん	read [write] cycle time	分離した読取りと書込みのサイクルをもつ記憶装置において、連続する読取り[書込み]サイクルの開始点の最小時間。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2295	A		書込みサイクル時間	かきこみさいくるじかん	write cycle time	分離した読取りと書込みのサイクルをもつ記憶装置において、連続する書込みサイクルの開始点の最小時間。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2296	A		読取りサイクル時間	よみとりさいくるじかん	read cycle time	分離した読取りと書込みのサイクルをもつ記憶装置において、連続する読取りサイクルの開始点の間の最小時間。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2297	A		名目転送速度	めいもくてんそうそくど	nominal transfer rate	単位時間に転送可能な文字数の公称値又は理論値。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2298	A		実効転送速度	じっこうてんそうそくど	effective transfer rate	単位時間に実際に転送される利用者のデータの文字数。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2299	A		順読み、順方向読取り	じゅんよみ、じゅんほうこうよみとり	forward reading	磁気テープ装置などにおいて、順方向にデータ媒体を進めながら、記憶されているデータを読み取ること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2300	A		逆読み、逆方向読取り	ぎゃくよみ、ぎゃくほうこうよみとり	backward reading	磁気テープ装置などにおいて、逆方向にデータ媒体を戻しながら、記録されているデータを読み取ること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2301	A		静電記憶装置	せいでんきおくそうち	electrostatic storage	誘電体表面層上の帯電領域を用いた記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2302	A		集積回路記憶装置、集積回路メモリ、ICメモリ	しゅうせきかいろきおくそうち、しゅうせきかいろめもり、ICめもり	integrated circuit memory, IC memory	結晶材料で作られた単一のチップ上に一括して作り込まれたトランジスタやダイオード、その他の回路素子からなる記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2303	A		極低温記憶装置	ごくていおんきおくそうち	cryogenic storage	極低温における物質の超伝導特性及び磁気特性を用いた記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2304	A		磁気記憶装置	じききおくそうち	magnetic storage	物質の磁気特性を用いた記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2305	A		光記憶装置、光メモリ	ひかりきおくそうち、ひかりめもり	optical storage	光学技術を用いた記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2306	A		(磁気)バブル記憶装置、(磁気)バブルメモリ	(じき)ばぶるきおくそうち、(じき)ばぶるめもり	bubble memory	薄膜上の、移動可能で書換え可能な不揮発性の円柱形磁化領域を用いる磁気記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2307	A		電流一致選択	でんりゅういっちせんたく	coincident-current selection	磁気記憶装置のセルの配列において、2本以上の線に同時に電流を流し、選択されたセルにおいてだけ、その合計の起磁力がしきい値を超えるようにすることによって、配列中の1個のセルを選択すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2308	A		磁気記録	じききろく	magnetic recording	磁化可能な物質を選択的に磁化することによってデータを記憶する技法。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2309	A		水平磁気記録	すいへいじききろく	longitudinal magnetic recording	データを表す磁化の方向を、記録トラックの長手方向にする磁気記録方式。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2310	A		垂直磁気記録	すいちょくじききろく	perpendicular magnetic recording, vertical magnetic recording	データを表す磁化の方向を、記録面に対して垂直にする磁気記録方式。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2311	A		磁気ドラム記憶装置	じきどらむきおくそうち	magnetic drum storage	軸を中心に回転する磁気ドラムの表面上に磁気記録することによって、データを記憶する磁気記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2312	A		(磁気)ディスク記憶装置	(じき)でぃすくきおくそうち	(magnetic) disk storage	共通な軸を中心に回転する1枚又は複数枚のディスクの平らな表面に磁気記録することによって、データを記憶する磁気記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2313	A		磁気テープ記憶装置	じきてーぷきおくそうち	magnetic tape storage	長手方向に移動するテープの表面に磁気記録することによって、データを記憶する磁気記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2314	A		磁気カード記憶装置	じきかーどきおくそうち	magnetic card storage	薄い可とう<撓>性のカードの表面に磁気記録することによって、データを記憶する磁気記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2315	A		基準復帰記録	きじゅんふっききろく	return-to-reference recording	0及び1を表す磁化のパターンが記憶セルの一部だけを占め、その記憶セルの残りは基準状態に磁化されるようにした2進数字の磁気記録。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2316	A		非ゼロ復帰記録、NRZ(省略形)、非基準復帰記録	ひぜろふっききろく、NRZ、ひきじゅんふっききろく	non-return-to-zero recording, NRZ (abbreviation), non-return-to-reference recording	0及び1を表す磁化のパターンが記憶セルの全体を占め、記憶セルのどの部分も基準状態に磁化されることのない2進数字の磁気記録。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2317	A		位相変調記録、位相符号化、位相コード化	いそうへんちょうきろく、いそうふごうか、いそうこー	phase modulation recording, phase encoding	記憶セルを、反対方向に磁化した二つの領域に分割して、これらの磁化方向の順序によって、表現する2進数字が0か1かを示す磁気記録。(備)(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2318	A		倍パルス記録	ばいぱるすきろく	double-pulse recording	磁化領域の両側が磁化されていない領域になっている位相変調記録。(備)(#図有り)参	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2319	A		ゼロ復帰記録、RZ(省略形)	ぜろふっききろく、RZ	return-to-zero recording, RZ (abbreviation)	基準状態が磁化されていない状態である基準復帰記録。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2320	A		極性ゼロ復帰記録、RZ(P)	きょくせいぜろふっききろく、RZ(P)	polarized return-to-zero recording, RZ(P) (abbreviation)	0をある向きの磁化で表し、1を反対の向きの磁化で表すゼロ復帰記録。(備)(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2321	A		非ゼロ復帰(変化)記録、NRZ(C)(省略形)	ひぜろふっき(へんか)きろく、NRZ(C)	non-return-to-zero (change) recording, NRZ(C) (abbreviation)	ある指定された状態に磁化することによって0を表し、もう一つの状態によって1を表す非ゼロ復帰記録。磁化の状態は、表現すべき値が変化するときだけ変化する。(備)1.二つの状態は、一方が磁気飽和で他方が磁化されていない状態であってもよいが、相互に反対の極性に磁気飽和している状態であるのが、より一般的である。2.(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2322	A		非ゼロ復帰(1)記録、NRZ-1(省略形)、非ゼロ復帰(マーク)記録、NRZ(M)(省略形)	ひぜろふっき(1)きろく、NRZ-1、ひぜろふっき(まーく)きろく、NRZ(M)	non-return-to-zero change-on-ones recording, NRZ-1 (abbreviation), non-return-to-zero (mark) recording,	1を磁化状態の変化で表し、0を変化なしで表す非ゼロ復帰記録。(備)1.1又はマーク信号だけが明示的に記録されるので、この方式を"マーク方式"と呼ぶ。2.(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2323	A		非ゼロ復帰(0)記録、NRZ-0(省略形)	ひぜろふっき(0)きろく、NRZ-0	non-return-to-zero change-on-zeros recording, NRZ-0	0を磁化状態の変化で表し、1を変化なしで表す非ゼロ復帰記録。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2324	A		周波数変調記録、FM記録(省略形)	しゅうはすうへんちょうきろく、FMきろく	frequency modulation recording, FM recording (abbreviation)	各々のセルの境界と1を表すセルの中央とに磁化状態の変化がある非ゼロ復帰記録。(備)(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2325	A		変形周波数変調記録、MFM記録(省略形)	へんけいしゅうはすうへんちょうきろく、MFMきろく	modified frequency modulation recording, MFM recording	0を表す二つのセルの境界と、1を表すセルの中央とに磁化状態の変化がある非ゼロ復帰記録。(備)(#図有り)参照。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2326	A		磁気ヘッド	じきへっど	magnetic head	磁気データ媒体上でデータの読取り、書込み及び消去のうちの一つ又は幾つかの機能を果たすことのできる電磁石。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2327	A		読取りヘッド	よみとりへっど	read head	読取りだけが可能な磁気ヘッド。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2328	A		読取り書込みヘッド	よみとりかきこみへっど	read/write head	読取り及び書込みが可能な磁気ヘッド。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2329	A		先行読取りヘッド	せんこうよみとりへっど	pre-read head	ある読取りヘッドに隣接して置かれ、その読取りヘッドがデータを読み取る前に同じデータを読み取るために使う読取りヘッド。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2330	A		書込みヘッド	かきこみへっど	write head	書込みだけが可能な磁気ヘッド。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2331	A		消去ヘッド	しょうきょへっど	erase head	磁気データ媒体上のデータを消去することだけが可能な磁気ヘッド。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2332	A		浮動ヘッド	ふどうへっど	floating head	記録表面から離れて空気層上を浮動する磁気ヘッド。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2333	A		ヘッドローディング域	へっどろーでぃんぐいき	head loading zone	データの読取り及び書込みのために適正な浮動高にヘッドを位置付けするのに用いる磁気ディスク表面の外周領域。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2334	A		プリアンブル	ぷりあんぶる	preamble	磁気媒体において、各ブロックの先頭に記録する、同期を目的とする2進数字の列。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2335	A		ポストアンブル	ぽすとあんぶる	postamble	磁気媒体において、各ブロックの最後に記録する、逆方向読取り時の同期を目的とする2進数字の列。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2336	A		ブロック間隔、IBG(省略形)	ぶろっくかんかく、IBG	interblock gap, IBG (abbreviation)	データ媒体上における二つの連続するブロックの間の部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2337	A		レコード間隔、IRG(省略形)	れこーどかんかく、IRG	interrecord gap, IRG (abbreviation)	データ媒体上における二つの連続するレコードの間の部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2338	A		大容量記憶装置	だいようりょうきおくそうち	mass storage	非常に大きな記憶容量をもつ記憶装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2339	A		テープ始端マーカ、BOTマーカ(省略形)	てーぷしたんまーか、BOTまーか	beginning-of-tape marker, BOT marker (abbreviation)	記録可能領域の始端を示すために用いる磁気テープ上の印。(例)光反射片、磁気テープの透明部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2340	A		ロードポイント	ろーどぽいんと	load point	磁気テープ上の記録可能領域の始端。(備)磁気テープ駆動機構によっては、ロードポイントの位置を示すために、テープ始端マーカを用いるものがある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2341	A		書込み(許可)リング、ファイル保護リング	かきこみ(きょか)りんぐ、ふぁいるほごりんぐ	write-enable ring, write ring, file-protection ring, file protect ring, safety	取外しできるプラスチック製又は金属製のリングであって、磁気テープリール上に装着するかしないかによって磁気テープへの書込みを抑止し、それによってファイルの不測の消去を防ぐもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2342	A		テープ終端マーカ、EOTマーカ(省略形)	てーぷしゅうたんまーか、EOTまーか	end-of-tape marker, EOT marker (abbreviation)	記録可能領域の終端を示すために用いる磁気テープ上の印。(例)光反射片、磁気テープの透明部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2343	A		(磁気テープ)始端部	(じきてーぷ)したんぶ	(magnetic tape) leader	テープ始端マーカの前にあり、磁気テープを繰り出すために用いる磁気テープの部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2344	A		(磁気テープ)終端部	(じきてーぷ)しゅうたんぶ	(magnetic tape) trailer	テープ終端マーカの後にある磁気テープの部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2345	A		スキュー	すきゅー	skew	テープの列が指定された基準から外れている角度方向又は長手方向の偏位。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2346	A		(磁気)テープ駆動機構	(じき)てーぷくどうきこう	(magnetic) tape drive	磁気テープを駆動し、その動きを制御する機構。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2347	A		(磁気)テープ装置	(じき)てーぷそうち	(magnetic) tape unit	磁気テープ駆動機構、磁気ヘッド及びそれに付随する制御機構を含む装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2348	A		ストリーミングテープ駆動機構、ストリーマ	すとりーみんぐてーぷくどうきこう、すとりーま	streaming tape drive, streamer	ブロック間隔で停止することなく、磁気ディスクの連続ダンプ又は連続的再格納を行うために特別に設計された磁気テープ装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2349	A		保存期間	ほぞんきかん	retention period	データ媒体上のデータが保存されるべき期間。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2350	A		真空槽、バキュームカラム	しんくうそう、ばきゅーむからむ	vacuum column	磁気テープ駆動機構において、スプールと駆動機構の間にあって、たるみをもたせながらテープを吸引するために低空気圧に維持される空洞部。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2351	A		バンド	ばんど	band	磁気ドラム又は磁気ディスク上の一組のトラックであって、そのすべてが並列に読取り又は書込みできるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2352	A		セクタ	せくた	sector	磁気ドラム又は磁気ディスク上のトラック又はバンドのあらかじめ決められた角度方向の部分であって、アドレスが与えられているもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2353	A		シリンダ	しりんだ	cylinder	磁気ディスク機構において、コームがある位置にあるとき、そのすべての磁気ヘッドによってアクセスされるすべてのトラックの組。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2354	A		アクセスアーム	あくせすあーむ	access arm	磁気ディスク装置において、磁気ヘッドが取り付けられる腕状のもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2355	A		ヘッドディスクアセンブリ、HDA(省略形)	へっどでぃすくあせんぶり、HDA	head/disk assembly, HDA (abbreviation)	磁気ディスク装置において、磁気ディスク、磁気ヘッド及びアクセス機構を一つの容器に閉じ込める形で組み込んだ部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2356	A		ホームアドレス	ほーむあどれす	home address	磁気ディスクの各々のトラック上に書き込まれた情報であって、ディスク表面のトラック番号を識別するもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2357	A		コーム	こーむ	comb	磁気ディスク装置において、一体となって動くアクセスアームの集合体。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2358	A		アクセス機構、アクチュエータ(磁気ディスクにお	あくせすきこう、あくちゅえーた(じきでぃすくにお	access mechanism, actuator	アクセスアーム又はコームを駆動するための機構。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2359	A		ヘッド衝突、ヘッドクラッシュ	へっどしょうとつ、へっどくらっしゅ	head crash	磁気ヘッドと回転するデータ媒体の表面との偶発的な接触。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2360	A		ディスク駆動機構	でぃすくどうきこう	disk drive	磁気ディスクの回転を制御する装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2361	A		位置決め孔	いちぎめこう	index hole	ディスクの最初のセクタの始まりを表示するフレキシブルディスク上のせん孔。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2362	A		読取り書込み開口部、読取り書込みスロット	よみとりかきこみかいこうぶ、よみとりかきこみすろっと	read/write slot, read/write opening	読取り書込みヘッドが、トラックにアクセスすることを可能にするディスケットのジャケットの開口部。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2363	A		(磁気)ディスク装置	(じき)でぃすくそうち	(magnetic) disk unit	磁気ディスク、ディスク駆動機構、1個又は複数個の磁気ヘッド及びそれに付随する制御機構を含む装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2364	A		(磁気)ドラム装置	(じき)どらむそうち	(magnetic) drum unit	磁気ドラム、それを駆動するための機構、磁気ヘッド及びそれに付随する制御機構を含	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2365	A		磁極間隔	じきょくかんかく	gap width	磁気ヘッドの磁極間の間げきの寸法。(備)対応英語の直訳である“ギャップ幅”は、この意味では用いないほうがよい。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2366	A		浮上高、ヘッド高	ふじょうこう、へっどこう	flying height, head gap	磁気ヘッドと記録媒体表面の間隔。(備)対応英語“head gap”の直訳である“ヘッドギャップ”又は“ヘッド間隔”は、この意味では用いないほうがよい。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2367	A		ハードセクタリング	はーどせくたりんぐ	hard sectoring	磁気ディスク上のセクタ境界を物理的に印づけること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2368	A		ソフトセクタリング	そふとせくたりんぐ	soft sectoring	磁気ディスク上のセクタ境界を、記録されたデータを用いて識別すること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2369	A		ヘッド切換え	へっどきりかえ	head switching	一つの磁気データ媒体の読取り又は書込みに別の磁気ヘッドを用いること。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2370	A		書込み保護ラベル	かきこみほごらべる	write protection label	フレキシブルディスクにはり付けるかはり付けないかによってフレキシブルディスクへの書込みを抑止するラベル。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2371	A		チャド	ちゃど	chad	せん孔されてデータ媒体から分離されるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2372	A		せん孔位置	せんこういち	punch position, punching position	データを記録するためにせん孔する場合の、データ媒体上の定義された位置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2373	A		せん孔装置、せん孔機構	せんこうそうち、せんこうきこう	punch	データ媒体に孔をあける装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2374	A		せん孔部	せんこうぶ	punch station	データ媒体がせん孔されるせん孔装置内の場所。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2375	A		スポットせん孔機	すぽっとせんこうき	spot punch	データ媒体に一度に1個の孔をあける機構。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2376	A		(けん盤)せん孔機	(けんばん)せんこうき	keypunch, keyboard punch	けん盤操作によってデータ媒体にせん孔するせん孔装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2377	A		繰出し孔	くりだしこう	feed hole, sprocket hole	位置決め可能なようにデータ媒体上にせん孔される孔。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2378	A		繰出し孔トラック	くりだしこうとらっく	feed track, sprocket track	データ媒体上の繰出し孔のあるトラック。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2379	A		繰出し孔ピッチ	くりだしこうぴっち	feed pitch	繰出し孔トラックに沿った隣接する繰出し孔の対応する2点間の距離。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2380	A		(カードの)段	(かーどの)だん	card row	せん孔カードの長辺に平行な1列のせん孔位置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2381	A		(カードの)けた	(かーどの)けた	card column	せん孔カードの短辺に平行な1列のせん孔位置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2382	A		ゾーンパンチ	ぞーんぱんち	zone punch	12段せん孔カードの上側3段のうちの1段にせん孔される孔。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2383	A		テープせん孔装置、テープせん孔機構	てーぷせんこうそうち、てーぷせんこうきこう	tape punch	せん孔テープ上に孔パターンの様式でデータの記録を自動的に作るせん孔装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2384	A		(せん孔)テープ読取り装置、(せん孔)テープ読取り機構	(せんこう)てーぷよみとりそうち、(せんこう)てーぷよみとりきこう	punched tape reader	せん孔済テープ上の孔パターンを読み取るか又は検出して、データを孔パターンから電気信号に変換する入力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2385	A		テープ複製装置、テープ複製機構	てーぷふくせいそうち、てーぷふくせいきこう	tape reproducer	あるテープから読み取ったデータの全部又は一部を複写して別のテープを作る装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2386	A		カードせん孔装置、カードせん孔機構	かーどせんこうそうち、かーどせんこうきこう	card punch	せん孔カード上に孔パターンの様式でデータのレコードを作る出力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2387	A		カード読取り装置、カード読取り機構	かーどよみとりそうち、かーどよみとりきこう	card reader	せん孔済カードの孔を読み取るか又は検出して、データを孔パターンから電気信号に変換する入力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2388	A		カード通路	かーどつうろ	card path	カード処理機構において、カードがそれに沿って動かされ誘導される部分。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2389	A		カード送り機構	かーどおくりきこう	card feed	カードを1枚ずつカードホッパからカード通路に動かす機構。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2390	A		カードホッパ	かーどほっぱ	card hopper	カード処理機構の部分であって、処理するカードを保持し、カード送り機構に送り出せるようにするもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2391	A		カードスタッカ	かーどすたっか	card stacker	カード処理機構の部分であって、処理された後のカードを受け入れるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2392	A		せん孔通路	せんこうつうろ	punch path	せん孔装置内にあって、せん孔部をもつカード通路。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2393	A		読取り部、検出部	よみとりぶ、けんしゅつぶ	read station	データ媒体上のデータが読み取られる読取り装置内の場所。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2394	A		読取り通路	よみとりつうろ	read path	読取り装置内で読取り部をもつ経路。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2395	A		せん孔翻訳機	せんこうほんやくき	interpreter (device)	せん孔済カードにせん孔された孔パターンに対応する文字を、同じカード上に印字する	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2396	A		転送せん孔翻訳機	てんそうせんこうほんやくき	transfer interpreter	せん孔済カードにせん孔された孔パターンに対応する文字を、別のせん孔済カード上に印字する装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2397	A		(カード)複製せん孔装置、(カード)複製せん孔機、(カード)複製機	(かーど)ふくせいせんこうそうち、(かーど)ふくせいせんこうき、(かーど)ふくせ	(card) reproducing punch, (card) reproducer, card duplicator	あるせん孔済カードから読み取ったデータの全部又は一部を複写して、別のせん孔済カードを作る装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2398	A		合計せん孔機	ごうけいせんこうき	summary punch	別の装置で計算又は合計されたデータのレコードを作るために使用するカードせん孔装	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2399	A		製表機	せいひょうき	tabulator	せん孔済カード又はせん孔済テープのようなデータ媒体からデータを読み取り、リスト、表又は合計を作り出す装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2400	A		カード分類機	かーどぶんるいき	card sorter	せん孔済カードをそのカードの孔パターンに応じて選ばれたポケットに入れる装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2401	A		ポケット(カード分類機における)	ぽけっと(かーどぶんるいきにおける)	pocket	カード分類機内のカードスタッカ。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2402	A		照合機	しょうごうき	collator	せん孔済カードなどの組を照合、併合、突合せなどする装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2403	A		印字装置、プリンタ	いんじそうち、ぷりんた	printer	あらかじめ定められた一つ又は複数の文字集合に属する離散的な図形文字の列を主な様式として、データのハードコピー記録を作る出力装置。(備)多くの場合、印字装置は作図装置としても使用できる。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2404	A		作図装置、プロッタ	さくずそうち、ぷろった	plotter	取外し可能な媒体上に、二次元図形の様式でデータのハードコピー記録を直接作り出す出力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2405	A		衝撃式印字装置、インパクトプリンタ	しょうげきしきいんじそうち、いんぱくとぷりんた	impact printer	印字される媒体を機械的に打つことによって印字を行う印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2406	A		非衝撃式印字装置、ノンインパクトプリンタ	ひしょうげきしきいんじそうち、のんいんぱくとぷりん	nonimpact printer	印字される媒体を機械的に打たないで印字を行う印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2407	A		逐次印字装置、シリアルプリンタ	ちくじいんじそうち、しりあるぷりんた	character printer, serial printer	一度に1個の文字を印字する印字装置。(備)逐次印字装置には、直列インタフェースをもつものも並列インタフェースをもつものもある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2408	A		行印字装置、ラインプリンタ	ぎょういんじそうち、らいんぷりんた	line printer	1行分の文字を単位として印字する印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2409	A		ページ印字装置、ページプリンタ	ぺーじいんじそうち、ぺーじぷりんた	page printer	1ページ分を単位として印字する印字装置。(例)COM印字装置、レーザ印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2410	A		バー印字装置、バープリンタ	ばーいんじそうち、ばーぷりんた	bar printer	活字バーによって活字が選ばれる衝撃式印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2411	A		活字バー、印字バー	かつじばー、いんじばー	type bar, printer bar	活字を保持しているバーであって、通常、衝撃式印字装置に取り付けられているもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2412	A		オンザフライ印字装置	おんざふらいいんじそうち	on-the-fly printer	印字中も活字バンド又は活字が動きを停止しない衝撃式印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2413	A		ドラム印字装置、ドラムプリンタ	どらむいんじそうち、どらむぷりんた	drum printer	個々の印字位置ごとに、回転するドラム上に完全な文字集合が用意されている衝撃式印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2414	A		印字ドラム、活字ドラム	いんじどらむ、かつじどら	print drum	すべての印字可能位置に文字を供給できる回転円筒。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2415	A		印字ホイール、活字ホイール	いんじほいーる、かつじほいーる	print wheel	1か所の印字位置に文字集合のすべての文字を供給できる回転円板。(備)デイジーホイールは印字ホイールの一つである。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2416	A		チェーン印字装置、チェーンプリンタ	ちぇーんいんじそうち、ちぇーんぷりんた	chain printer	回転する鎖を構成する個々の輪に活字が備えられている衝撃式印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2417	A		バンド[ベルト]印字装置、バンド[ベルト]プリンタ	ばんど[べると]いんじそうち、ばんど[べると]ぷりん	band [belt] printer	印字できる文字集合が、柔軟性のあるバンド上[ベルト上]に備えられている衝撃式印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2418	A		バンド印字装置、バンドプリンタ	ばんどいんじそうち、ばんどぷりんた	band printer	印字できる文字集合が、柔軟性のあるバンド上に備えられている衝撃式印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2419	A		ベルト印字装置、ベルトプリンタ	べるといんじそうち、べるとぷりんた	belt printer	印字できる文字集合が、柔軟性のあるベルト上に備えられている衝撃式印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2420	A		ドット印字装置、ドットプリンタ	どっといんじそうち、どっとぷりんた	dot (matrix) printer, matrix printer	複数の点で表現される文字や画像を印字する印字装置。(備)ドット印字装置が図形用にだけ使用される場合、ドット作図装置と呼ばれることもある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2421	A		インクジェット印字装置、インクジェットプリンタ	いんくじぇっといんじそうち、いんくじぇっとぷりんた	ink jet printer	非衝撃式印字装置であって、文字が用紙上にインクの粒子又は小滴の噴射によって形成されるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2422	A		感熱印字装置、感熱プリンタ	かんねついんじそうち、かんねつぷりんた	thermal printer	非衝撃式印字装置であって、感熱紙上に直接に高温素子を当てて又は熱で溶けるインクをもつリボンの上から普通紙上に高温素子を当てて、文字を形成するもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2423	A		静電印字装置、静電プリンタ	せいでんいんじそうち、せいでんぷりんた	electrostatic printer	非衝撃式印字装置であって、静電気によって潜像を作り、トナーを使ってそれを可視化し、紙の上に転写して定着させるもの。(備)静電印字装置は、作図装置として使用される。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2424	A		レーザ印字装置、レーザプリンタ	れーざいんじそうち、れーざぷりんた	laser printer,laser beam printer	非衝撃式印字装置であって、感光面にレーザ光線を当てて潜像を作り、トナーを使ってそれを可視化し、紙の上に転写して定着させるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2425	A		磁気印字装置、磁気プリンタ	じきいんじそうち、じきぷりんた	magnetographic printer	非衝撃式印字装置であって、金属ドラム上で作動する磁気ヘッドによって潜像を作り、トナーを使ってそれを可視化し、紙の上に転写して定着させるもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2426	A		計算機出力マイクロフィルム印字装置、COMプリンタ	けいさんきしゅつりょくまいくろふぃるむいんじそうち、COMぷりんた	computer output microfilm printer, COM printer	写真用フィルム上に、個々のページの縮小像を作るページ印字装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2427	A		用紙速送り	ようしはやおくり	paper skip,paper throw,paper slew	印字装置において、1行ずつの行送りより実質的に速く用紙を動かすこと。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2428	A		連続紙	れんぞくし	continuous forms, continuous forms paper	連続的に印字装置に供給される白紙又は用紙。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2429	A		折りたたみ連続紙	おりたたみれんぞくし	fanfold paper, zig-zag fold paper, z-fold paper	あらかじめ折りたたまれ、通常、両側の繰出し孔によって紙送りされる連続紙。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2430	A		インクリボン	いんくりぼん	inked ribbon	出力装置に使用されるインクが塗られたリボン。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2431	A		(1)書式送り、用紙送り	(1)しょしきおくり、ようしおくり	(1) form feed	用紙の指定部分を印字位置に動かすために使う用紙速送り。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2432	A		(2)書式送り、用紙送り	(2)しょしきおくり、ようしおくり	(2) form feed	次の用紙、次のページ又はそれに相当するものの上のあらかじめ決められた最初の行に、印字位置又は表示位置を動かすこと。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2433	A		改行	かいぎょう	line feed	次の行の同じ位置へ印字位置又は表示位置を動かすこと。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2434	A		復帰	ふっき	carriage return	同じ行の先頭の位置へ印字位置又は表示位置を動かすこと。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2435	A		(利用者)端末	(りようしゃ)たんまつ	(user) terminal	利用者が計算機と交信するための入出力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2436	A		問合せ端末、照会用端末	といあわせたんまつ、しょうかいようたんまつ	inquiry station	主として計算機に対して問合せを行うための利用者端末。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2437	A		データ入力端末、データ収集端末	でーたにゅうりょくたんまつ、でーたしゅうしゅうたん	data input station, data collection station	主として計算機にデータを入れるために設計された利用者端末。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2438	A		自動記録器、ロガー	じどうきろく き、ろがー	logger	通常、時間の経過に従って事象や物理的状態を記録する機能単位。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2439	A		走査器、スキャナ	そうさき、すきゃな	scanner	空間的なパターンの構成部分を逐次的に調べて、そのパターンに対応するアナログ又はディジタルの信号を生成する機構。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2440	A		光学式走査器、光学式スキャナ	こうがくしきそうさき、こうがくしきすきゃな	optical scanner	パターンを調べるために光学的操作を用いる走査器。(備)光学式走査器は、パターン認識又は文字認識によく使われる。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2441	A		文字読取り装置	もじよみとりそうち	character reader	文字認識を行う入力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2442	A		磁気インク文字読取り装置	じきいんくもじよみとりそうち	magnetic ink character reader	磁気インク文字認識によって文字を読み取る入力装置。(備)用語"MICR"は、磁気インク文字読取り装置の意味で用いることがある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2443	A		光学式文字読取り装置	こうがくしきもじよみとりそうち	optical character reader	光学的文字認識によって文字を読取る入力装置。(備)用語"OCR"は、光学式文字読取り装置の意味で用いることがある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2444	A		ページ読取り装置	ぺーじよみとりそうち	page reader	印刷テキストを入力データとする文字読取り装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2445	A		文書読取り装置、ドキュメント読取り装置	ぶんしょよみとりそうち、どきゅめんとよみとりそうち	document reader	決まった様式の用紙上の特定領域内のテキストを入力データとする文字読取り装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2446	A		表示装置	ひょうじそうち	display device	データを目に見える形で表す出力装置。(備)データは、通常、一時的に表示されるだけであるが、ハードコピーが得られるように作られたものもある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2447	A		文字表示装置	もじひょうじそうち	character display (device)	データを図形文字の形だけで表す表示装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2448	A		図形表示装置	ずけいひょうじそうち	graphic display (device)	データを任意の図形の形で表す表示装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2449	A		接触画面、タッチスクリーン	せっしょくがめん、たっちすくりーん	touch sensitive screen, touch screen	画面の一部分に触れることによって、利用者がデータ処理システムと交信できる表示装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2450	A		カーブフォロア	かーぶふぉろあ	curve follower	曲線で表されたデータを読み取る入力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2451	A		操作卓、制御卓	そうさたく、せいぎょたく	(operator) console	計算機の操作員と計算機との間の交信に使う機構をもつ機能単位。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2452	A		操作盤、制御盤	そうさばん、せいぎょばん	operator control panel	計算機又はその一部を制御するために使うスイッチをもつ機能単位。計算機の機能動作に関する情報を与えるインディケータをもつこともある。(備)操作盤は、操作卓又は操作員が操作する他の装置の一部であることもある。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2453	A		インディケータ	いんでぃけーた	indicator	ある決められた状態が存在することを視覚的な方法などで表示する機構。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2454	A		モニタ	もにた	monitor	解析のために、データ処理システム内の選択された動作を監視し記録する機構。(備)基準から著しく逸脱していることを示したり、特定の機能単位の利用程度を測ったりするの	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2455	A		保守盤、保守パネル	ほしゅばん、ほしゅぱねる	maintenance panel	装置の一部分であって、その装置と保守技術者との間のやり取りに使うもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2456	A		音声応答装置	おんせいおうとうそうち	audio response unit	音声信号で応答する出力装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2457	A		けん盤、キーボード	けんばん、きーぼーど	keyboard	キーを一定の規則に従って配列した盤であって、そのキーを押すとそれに対応した信号を送り出すもの。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2458	A		マーク読取り装置	まーくよみとりそうち	mark reader	特定のカード又は用紙に付けられた印を、光学的又は電磁気的に読み取って、電気信号に変換する装置。	JIS X 0012	1990	ISO 2382-12	1988				1988	JTC1
2459	A		(計算機)図形処理、コンピュータグラフィクス、CG(省略形)	(けいさんき)ずけいしょり、こんぴゅーたぐらふぃくす、CG	computer graphics	計算機によって、画像を生成、操作、記憶及び表示するための方法及び技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2460	A		対話型(計算機)図形処理、対話型コンピュータグラフィクス	たいわがた(けいさんき)ずけいしょり、たいわがたこんぴゅーたぐらふぃくす	interactive computer graphics	利用者が、表示面上で表示の内容、形式、大きさ、又は色を動的に制御したり変更したりできるような図形処理。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2461	A		表示画像	ひょうじがぞう	display image(in computer graphics)	表示面上に同時に描かれる表示要素の集まり。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2462	A		画像処理、映像処理	がぞうしょり、えいぞうしょり	image processing, picture processing	与えられた目的のために、物体又はデータの視覚的表現に対して何らかの操作を施す過程。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2463	A		(位置)移動描画	(いち)いどうびょうが	motion dynamics	静止している観測者に対して物体が動いているかのように、又は物体に対して観測者が動いているかのように見せて、表示画像上で物体を動かすこと。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2464	A		(形質)変化描画	(けいしつ)へんかびょうが	update dynamics	表示上で見た物体の形状、色などの特性の変化に関する相互作用。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2465	A		(科学的)可視化	(かがくてき)かしか	(scientific)visualization(in computer graphics)	人間が理解しやすいようにするために図形処理及び画像処理を利用して、処理過程又は物体に関するモデル又は特性を提示すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2466	A		形状モデリング、幾何モデリング	けいじょうもでりんぐ、きかもでりんぐ	(24.02.03) geometric modeling	3次元の形状を計算機処理可能な形で表現したモデルを、計算機システム上で創成すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2467	A		面モデリング、サーフェスモデリング	めんもでりんぐ、さーふぇすもでりんぐ	surfacing, surface modeling	物体の表面を表現するモデルを計算機システム上で創成すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2468	A		立体モデリング、ソリッドモデリング	りったいもでりんぐ、そりっどもでりんぐ	solid modeling, volume modeling	外観形状だけでなく内部の質的特性も表現するために、物体の立体的特性を扱う3次元形状モデリング。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2469	A		座標図形処理、線図形処理	ざひょうずけいしょり、せんずけいしょり	coordinate graphics, line graphics	表示画像がすべて線分で構成される図形処理。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2470	A		ラスタ図形処理	らすたずけいしょり	raster graphics	表示画像が、行列状に並べられた画素の配列で構成される図形処理。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2471	A		場面、シーン	ばめん、しーん	scene	物体の実際の配置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2472	A		グラフィクス中核系、GKS	ぐらふぃくすちゅうかくけい、GKS	Graphical Kernel System, GKS(abbreviation)	標準化された図形処理システムの一つであって、図形処理プログラム作成用の機能の集まり、及び応用ソフトウェアと図形入出力装置との間の機能的インタフェースを提供す	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2473	A		コンピュータグラフィクスインタフェース、図形処理インタフェース、CGI(省略形)	こんぴゅーたぐらふぃくすいんたふぇーす、ずけいしょりいんたふぇーす、CGI	Computer Graphics Interface, CGI (abbreviation)	図形処理システムにおける装置独立部分と装置依存部分との間の標準インタフェース。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2474	A		コンピュータグラフィクス参照モデル、図形処理参照モデル、CGRM(省略形)	こんぴゅーたぐらふぃくすさんしょうもでる、ずけいしょりさんしょうもでる、	Computer Graphics Reference Model, CGRM (abbreviation)	図形処理に関する標準化された概念的枠組み。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2475	A		コンピュータグラフィクスメタファイル、図形処理メタファイル、CGM(省略形)	こんぴゅーたぐらふぃくすめたふぁいる、ずけいしょりめたふぁいる、CGM	Computer Graphics Metafile, CGM (abbreviation)	表示画像を作成するための描画データの記憶及び転送に適した、標準化されたファイル形式。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2476	A		対話型グラフィクスシステムPHIGS、PHIGS(省略形)	たいわがたぐらふぃくすしすてむふぃぐす、ふぃぐす	Programmer's Hierarchical Interactive Graphics System, PHIGS (abbreviation)	階層構造をもつ図形データの定義、変更、記憶及び表示を制御するための、標準化された図形処理支援機能の集まり。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2477	A		ディジタル化画像	でぃじたるかがぞう	digitized image	表示画像を生成するためのディジタル表現。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2478	A		符号化画像、コード化画像	ふごうかがぞう、こーどかがぞう	coded image	記憶又は処理に適した、表示画像の符号化表現。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2479	A		連長符号化、ランレングス符号化	れんちょうふごうか、らんれんぐすふごうか	run-length encoding	ディジタルデータ列を一連の数によって定義する符号化であって、それぞれの数は、同じ値をもつ要素が連続して現れる個数を表しているもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2480	A		差分符号化	さぶんふごうか	differential encoding	ディジタルデータ列の符号化であって、最初の要素以外の各要素を、その要素の値と一つ手前の要素の値との差分で表すもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2481	A		アドレス可能点	あどれすかのうてん	addressable point	既定義の座標系において、位置を指定できる任意の点。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2482	A		絶対座標	ぜったいざひょう	absolute coordinate	アドレス可能点の位置が、指定された座標系の原点を基準にして表現される座標。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2483	A		相対座標	そうたいざひょう	relative coordinate	アドレス可能点の位置が、他のアドレス可能点を基準にして表現される座標。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2484	A		増分座標	ぞうぶんざひょう	incremental coordinate	直前に指定された点を基準点とする相対座標。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2485	A		利用者座標、ユーザ座標	りようしゃざひょう、ゆーざざひょう	user coordinate	利用者によって指定され、装置に依存しない座標系で表現される座標。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2486	A		世界座標、ワールド座標	せかいざひょう、わーるどざひょう	world coordinate	図形のデータ処理、特に入力及び出力を指定するために応用プログラムによって使われる、装置に依存しない座標。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2487	A		装置座標	そうちざひょう	device coordinate	装置に依存した座標系で指定される座標。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2488	A		正規化装置座標、NDC(省略形)	せいきかそうちざひょう、NDC	normalized device coordinate, NDC (abbreviation)	中間的な座標系で指定され、ある範囲(通常は、0から1まで)に正規化される装置座標。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2489	A		装置変換、ワークステーション変換	そうちへんかん、わーくすてーしょんへんかん	device transformation	正規化装置座標から装置座標への座標変換。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2490	A		正規化変換	せいきかへんかん	normalized transformation	世界座標から正規化装置座標への座標変換。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2491	A		表示要素、図形基本要素、出力基本要素	ひょうじようそ、ずけいきほんようそ、しゅつりょくきほんようそ	display element, graphics primitive, output primitive	表示画像を構成するために使用する基本的な図形要素。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2492	A		格子	こうし	grid	表示面上で2次元的に位置を指示するために使用する座標線の集合。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2493	A		輪郭	りんかく	contour	与えられた属性に関して同じ値をもち、区域の境界として機能しうる線を形成する点の集	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2494	A		隠線、隠れ線	いんせん、かくれせん	hidden line	3次元物体のビューにおいて、視点から見えなくすることのできる線又は線分。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2495	A		隠面、隠れ面	いんめん、かくれめん	hidden surface	3次元物体のビューにおいて、視点から見えなくすることのできる表面。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2496	A		ワイヤフレーム表現、針金細工表現	わいやふれーむひょうげん、はりがねざいくひょう	wireframe representation	物体があたかも針金で構成されているかのように、3次元物体をすべて線で構成する表現方式。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2497	A		レンダリング、描画	れんだりんぐ、びょうが	rendering	場面の幾何学的構成、色、テクスチャ、照明効果などの特徴を表示画像に変換するこ	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2498	A		ラスタ化	らすたか	rasterization	画素で構成される表示画像を作成するレンダリング技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2499	A		きめ(肌理)、テクスチャ	きめ、てくすちゃ	texture	物体表面の肉眼で見える外観を、照明の明るさ及びその色とは無関係に特徴づける属性の集まり。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2500	A		きめ(肌理)写像、テクスチャ写像	きめしゃぞう、てくすちゃしゃぞう	texture mapping	物体の2次元表現に対して、モデル化した表面のテクスチャを画像の対応領域上に写像することによって、3次元の外観を与えるレンダリング技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2501	A		陰影付け処理、シェーディング	いんえいつけしょり、しぇーでぃんぐ	shading	光源の位置と、対象物体及び隣接物体への光の当たり具合とを解析し、物体の表面上の輝度を計算することによって物体にレンダリングを施す技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2502	A		滑らかな陰影付け処理、スムーズシェーディング	なめらかないんえいつけしょり、すむーずしぇーでぃ	smooth shading	ワイヤフレーム表現から作成した立体的な物体の曲面に対して、滑らかな外観を与えるための陰影付け処理。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2503	A		グローシェーディング	ぐろーしぇーでぃんぐ	Gouraud shading	頂点の輝度の各辺に沿った線形補間、及び補間された辺の輝度の内部にわたる線形補間による、多角形区域の滑らかな陰影付け処理。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2504	A		フォンシェーディング	ふぉんしぇーでぃんぐ	Phong shading	頂点の法線ベクトルの各辺に沿った線形補間、及び補間された辺の法線ベクトルの内部にわたる線形補間による、多角形区域の滑らかな陰影付け処理。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2505	A		光線追跡法、視線逆探索法、レイトレーシング	こうせんついせきほう、しせんぎゃくたんさくほう、れいとれーしんぐ	ray tracing	観察者の視点からある場面の物体へと向かう想像上の光線を追跡することによって、結果の表示画像に表示すべき場面の各部分を決定する技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2506	A		島	しま	island	輪郭によって区切られ、塗りつぶしパターンで囲まれた区域。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2507	A		輪郭表現、アウトライン表現	りんかくひょうげん、あうとらいんひょうげん	outline representation	隠線消去を行った物体のワイヤフレーム表現。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2508	A		多角形塗りつぶし、多角形充てん(填)、多角形フィル	たかくけいぬりつぶし、たかくけいじゅうてん(てん)、たかくけいふいる	polygon fill	プログラムで定義された面の多角形区域内を塗りつぶしパターンによって塗りつぶすこと。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2509	A		入力基本要素	にゅうりょくきほんようそ	input primitive	キーボード、選択値入力装置、位置入力装置、実数値入力装置などの入力装置から得られる基本的な図形要素。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2510	A		仮想空間(図形処理における)	かそうくうかん(ずけいしょりにおける)	virtual space (in computer graphics)	表示要素の座標が、装置に依存しない形で表現される空間。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2511	A		走査線	そうさせん	scan line, scanning line	連続して走査される、通常は水平方向の画素の列。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2512	A		4分木	4ぶんぎ	quadtree	2次元物体を4分長方形の木構造として表現したものであって、すべての4分長方形が、指定された特性に関して同質になるまで、又は事前に決められた打切りレベルに到達するまで、同質でない4分長方形を再帰的に細分することによって形成される。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2513	A		8分木	8ぶんぎ	octree	3次元物体を8分直方体の木構造として表現したものであって、すべての8分直方体が、指定された特性に関して同質になるまで、又は事前に決められた打切りレベルに到達するまで、同質でない8分直方体を再帰的に細分することによって形成される。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2514	A		ビュー(図形処理における)	びゅー(ずけいしょりにおける)	view (in computer graphics)	3次元物体に関してとらえることのできる表現の一つ。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2515	A		表示	ひょうじ	display	データの視覚表現。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2516	A		表示する	ひょうじする	<to> display	データを視覚的に表現する。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2517	A		ソフトコピー(図形処理における)	そふとこぴー(ずけいしょりにおける)	soft copy	表示空間上での永続性のない表示画像。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2518	A		装置空間	そうちくうかん	device space	表示装置のアドレス可能点の全集合によって定義される空間。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2519	A		アドレス指定能力(図形処理における)	あどれすしていのうりょく(ずけいしょりにおける)	addressability (in computer graphics)	装置空間におけるアドレス可能点の数。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2520	A		表示空間	ひょうじくうかん	display space, operating space	画像表示に使用可能な範囲に対応する、装置空間の部分。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2521	A		表示面	ひょうじめん	display surface	表示装置において、表示画像を表示する媒体。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2522	A		画素、ピクセル、pel(省略形)	がそ、ぴくせる、pel	pixel, picture element, pel (abbreviation)	色、輝度などの属性を、独立に割り当てることができる、表示画像の最小の2次元要素。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2523	A		ボクセル、体素	ぼくせる、たいそ	voxel, volume element	色、輝度などの属性を独立に割り当てることができる、立体モデリングにおける最小の3次元要素。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2524	A		画素値、ピクセル値	がそち、ぴくせるち	pixel value	画素の色、輝度などの属性を表現する離散的な値。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2525	A		ボクセル値、体素値	ぼくせるち、たいそち	voxel value	ボクセルの色、輝度などの属性を表現する離散的な値。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2526	A		ピクセルマップ	ぴくせるまっぷ	pixel map, pixmap	画素値の2次元配列。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2527	A		ビットマップ、ビット面	びっとまっぷ、びっとめん	bitmap, bitplane	ある属性の有無を示すビットの2次元配列。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2528	A		領域(図形処理における)	りょういき(ずけいしょりにおける)	region (in computer graphics)	表示空間内の連続する部分。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2529	A		カラーマップ、色マップ	からーまっぷ、いろまっぷ	color map	画素値を実際の表示色に変換する際に使用する色値の集合。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2530	A		グリフ	ぐりふ	glyph	欧字形状、アイコン形状などの図形文字の形状。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2531	A		アイコン、図像	あいこん、ずぞう	icon, pictogram	画面上に表示される図記号であって、特定の機能又はソフトウェア適用業務を選択するために、利用者がマウスなどの装置を使用して指し示すことができるもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2532	A		グリフフォント	ぐりふふぉんと	glyph font	個々のグリフの寸法、太さ、傾きなどの特性の記述及び検索手段を備えたグリフの集	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2533	A		濃淡階調	のうたんかいちょう	gray scale	白色と黒色との間の輝度の範囲。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2534	A		ホットスポット、指示位置	ほっとすぽっと、ひょうじい	hotspot	ポインタの指し示す座標に対応する(x, y)の位置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2535	A		絶対ベクトル	ぜったいべくとる	absolute vector	始点と終点とが絶対座標で指定されるベクトル。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2536	A		相対ベクトル	そうたいべくとる	relative vector	終点が始点からの変位として指定されるベクトル。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2537	A		増分量	ぞうぶんりょう	increment size	表示面上の隣接するアドレス可能点間の距離。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2538	A		ラスタ	らすた	raster	走査によって表示空間を一様に覆う、事前に決められた線のパターン。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2539	A		ラスタ単位	らすたたんい	raster unit	隣接する画素間の距離。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2540	A		空白化、ブランキング	くうはくか、ぶらんきんぐ	blanking	表示要素の表示を抑止すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2541	A		明滅、ブリンキング	めいめつ、ぶりんきんぐ	blinking	表示要素の輝度を、意図して周期的に変化させること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2542	A		ちらつき、フリッカ	ちらつき、ふりっか	flicker	表示画像の輝度、色などの特性の一つの、望ましくない周期的な変動。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2543	A		回り込み(図形処理における)	まわりこみ(ずけいしょりにおける)	wraparound (in computer graphics)	表示空間の一端からはみ出した表示画像の部分を、その表示空間の反対側に表示すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2544	A		エイリアシング(図形処理における)	えいりあしんぐ(ずけいしょりにおける)	aliasing (in computer graphics)	不十分なサンプリング間隔又は不適当なフィルタ処理によって引き起こされた望ましくない視覚効果。通常は、物体の境界又は線に沿ったぎざぎざの縁又は階段状の縁として	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2545	A		アンチエイリアシング	あんちえいりあしんぐ	antialiasing	エイリアシングを補正する技法であって、表示画像の線及び縁を表示面上で滑らかに見せること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2546	A		ディザ法、ディザリング	でぃざほう、でぃざりんぐ	dithering	画素の集まりに対して、限定された範囲から値をパターンの形で割り当てることによって、ラスタの色又は輝度を変動させる技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2547	A		ラスタ走査	らすたそうさ	raster scan	表示空間全域にわたって走査線を掃引することによって、表示画像の要素を生成又は記録するための技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2548	A		ラスタ表示、ラスタ画像	らすたひょうじ、らすたが	raster display, raster	ラスタ走査を使用する表示装置によって生成された表示画像。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2549	A		表示操作卓	ひょうじそうさたく	display console	少なくとも一つの表示面をもつ操作卓。入力装置をもつ場合もある。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2550	A		表示装置	ひょうじそうち	(12.08.12) display device	データを目に見える形で表す出力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2551	A		画面、スクリーン	がめん、すくりーん	screen	永続性のない表示画像が現れる表示面。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2552	A		グラフィクスワークステーション	ぐらふぃくすわーくすてーしょん	graphics workstation	図形及び図形文字データの表示及び処理が可能なワークステーション。入力装置をもつ場合もある。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2553	A		有向ビーム表示装置、カリグラフィック表示装置	ゆうこうびーむひょうじそうち、かりぐらふぃっくひょうじそうち	calligraphic display device, directed-beam display device	表示要素を生成する順番をプログラムで制御する表示装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2554	A		ベクトル表示装置、ベクトルリフレッシュ表示装置	べくとるひょうじそうち、べくとるりふれっしゅひょうじ	vector display device, vector-refresh display	表示画像が、点から点へと系統的な順番に描かれる一連のベクトルとして生成される表示装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2555	A		プラズマパネル、ガスパネル	ぷらずまぱねる、がすぱねる	plasma panel, gas panel	表示装置の部分であって、平面状のガス封入パネルの中にグリッド電極があるもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2556	A		能動マトリックス表示装置、アクティブマトリックス表示装置	のうどうまとりっくすひょうじそうち、あくていぶまとりっくすひょうじそうち	active matrix display device, active matrix display	表示装置の一種であって、画面の制御精度を高めるために画面上の各画素に駆動トランジスタが対応付けられているもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2557	A		受動マトリックス表示装置	じゅどうまとりっくすひょうじそうち	passive matrix display device, passive matrix display	表示装置の一種であって、トランジスタ1個を用いて1行分の画素を制御するもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2558	A		ドラム作図装置、ドラムプロッタ	どらむさくずそうち、どらむぷろった	drum plotter	回転するドラムの表面に取り付けられた表示面の上に表示画像を描く作図装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2559	A		平面作図装置、平面プロッタ	へいめんさくずそうち、へいめんぷろった	flatbed plotter	平面に取り付けられた表示面の上に表示画像を描く作図装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2560	A		ラスタ作図装置、ラスタプロッタ	らすたさくずそうち、らすたぷろった	raster plotter	走査線ごとに掃引する技法を用いて、表示面の上に表示画像を生成する作図装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2561	A		静電作図装置、静電プロッタ	せいでんさくずそうち、せいでんぷろった	electrostatic plotter	表示画像を静電気的に作成し、次にそれを紙の上に転写して定着させるラスタ作図装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2562	A		描画ヘッド、プロッティングヘッド	びょうがへっど、ぷろっていんぐへっど	plotting head	作図装置の部分であって、表示面上に描画するのに使用するヘッド。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2563	A		文字発生器、キャラクタジェネレータ	もじはっせいき、きゃらくたじぇねれーた	character generator	文字のコード要素を、その文字の表示用の図形表現に変換する機能単位。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2564	A		線分文字発生器、ストローク文字発生器	せんぶんもじはっせいき、すとろーくもじはっせいき	stroke character generator	線分で構成された文字の表示画像を生成する文字発生器。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2565	A		ドットマトリックス文字発生器	どっとまとりっくすもじはっせいき	dot matrix character generator	碁盤の目状に並んだドットで構成される文字の表示画像を生成する文字発生器。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2566	A		画像反転	がぞうはんてん	reverse video, inverse video	通常は強調表示のために、表示画像の全体又は部分に対し、前景及び背景の色、又は明暗を入れ替える修正。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2567	A		曲線発生器	きょくせんはっせいき	curve generator	曲線の符号化表現を表示用の図形表現に変換する機能単位。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2568	A		モーフィング	もーふぃんぐ	morphing	特殊効果を作り出すために二つ以上の画像を連結し併合することができる計算機アニメーション過程。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2569	A		モーフ	もーふ	morph	モーフィングによって生成した動的な表示画像。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2570	A		ベクトル発生器、ベクトルジェネレータ	べくとるはっせいき、べくとるじぇねれーた	vector generator	有向線分を生成する機能単位。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2571	A		位置入力装置、ロケータ	いちにゅうりょくそうち、ろけーた	locator device, locator	位置座標を表現するデータを与える入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2572	A		ポインティング装置	ぽいんていんぐそうち	pointing device	画面上で記号又はカーソルを動かすために使用する器具。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2573	A		ディジタイザ	でぃじたいざ	digitizer, graphics digitizer	幾何学的形状に関するアナログデータをディジタル形式に変換するための図形入力装	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2574	A		トラックボール	とらっくぼーる	trackball, control ball	自転可能なボールを使用する位置入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2575	A		ジョイスティック、操作棒	じょいすていっく、そうさぼ	joystick	少なくとも2方向の自由度をもつレバーを使用した位置入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2576	A		サムホイール、指動輪	さむほいーる、しどうりん	thumbwheel	中心軸の周りに回転する環状の器具を使用した実数値入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2577	A		マウス	まうす	mouse	表示面とは別の面上を動かすことによって操作する手持ち式のポインティング装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2578	A		パック	ぱっく	puck	表示画像をトレースするとき、入力点を登録するため、タブレット上で手動によって位置決めするポインティング装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2579	A		タブレット	たぶれっと	graphics tablet	位置を指示するための機構をもった特殊な平板であり、通常は位置入力装置として使用するもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2580	A		ポインタ(図形処理における)	ぽいんた(ずけいしょりにおける)	pointer (in computer graphics)	項目を選択するため、利用者がマウスなどのポインティング装置によって動かすことができる、画面上に表示された記号。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2581	A		ピック入力装置	ぴっくにゅうりょくそうち	pick device	表示要素を指定するのに使用する入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2582	A		ライトペン	らいとぺん	lightpen	表示面上にその先端を近づけて使用する、受光性のピック入力装置又は位置入力装	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2583	A		押しボタン、ボタン	おしぼたん、ぼたん	pushbutton, button	動作又は対象の選択候補の集まりの中から選択するために使用する、機能キー又は画面領域上でのその模擬機能。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2584	A		仮想押しボタン、ライトボタン	かそうおしぼたん、らいとぼたん	virtual pushbutton, light button	ポインティング装置によって活性化させることのできる、画面領域上の模擬押しボタン。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2585	A		実数値入力装置、バリュエータ	じっすうちにゅうりょくそうち、ばりゅえーた	valuator device, valuator	スカラ値を与える入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2586	A		選択値入力装置	せんたくちにゅうりょくそう	choice device	一群の選択候補の中から一つの値を与える入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2587	A		ストローク入力装置、点列入力装置	すとろーくにゅうりょくそうち、てんれつにゅうりょくそ	stroke device	自己の移動経路を一連の座標値として与える入力装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2588	A		フレームバッファ、ビデオRAM、VRAM(省略形)	ふれーむばっふぁ、びでおRAM、VRAM	frame buffer, video RAM, VRAM (abbreviation)	表示画像のすべての画素の値を保持する緩衝記憶装置。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2589	A		表示指令	ひょうじしれい	display command, display instruction (deprecated in this sense)	表示装置の状態を変更したり、表示装置の動作を制御したりする指令。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2590	A		絶対座標指令	ぜったいざひょうしれい	absolute command, absolute instruction (deprecated in this sense)	絶対座標を使用する表示指令。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2591	A		相対座標指令	そうたいざひょうしれい	relative command, relative instruction (deprecated in this sense)	相対座標を使用する表示指令。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2592	A		クリックする	くりっくする	<to> click	ポインタによって指示される区域又は表示要素を選択するために、ポインティング装置上の押しボタンを押してすばやく放す。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2593	A		再表示、画像再表示	さいひょうじ、がぞうさいひょうじ	regeneration, image regeneration	記憶装置上での表現形式から表示画像を生成するために必要な一連の動作。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2594	A		リフレッシュ、再生	りふれっしゅ、さいせい	refresh	画面上で画像が見え続けるように、表示画像を繰返し作り出す動作。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2595	A		リフレッシュ速度、再生速度	りふれっしゅそくど、さいせいそくど	refresh rate	表示画像のリフレッシュの頻度。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2596	A		エコー(図形処理における)	えこー(ずけいしょりにおける)	echo (in computer graphics)	入力装置から与えられた現在値を、表示操作卓側の利用者に即座に通知すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2597	A		カーソル(図形処理における)	かーそる(ずけいしょりにおける)	cursor	表示空間で、次のデータの入力位置などの特別に関心のある位置を指示するための、可動でかつ通常は可視である基準点。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2598	A		追跡(図形処理における)、トラッキング(図形処理における)	ついせき(ずけいしょりにおける)、とらっきんぐ(ずけいしょりにおける)	tracking (in computer graphics)	追跡記号を動かす動作。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2599	A		追跡記号、トラッキング記号	ついせききごう、とらっきんぐきごう	tracking symbol	位置入力装置によって生成された座標データに対応する位置を示すための、画面上の記号。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2600	A		照準記号、照準マーク	しょうじゅんきごう、しょうじゅんまーく	aiming symbol, aiming circle, aiming field	画面上で、その時点にライトペンの存在が検知できる区域を指示するために使用する、円などの形状の光のパターン。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2601	A		検出可能要素	けんしゅつかのうようそ	detectable element	ポインティング装置による操作の対象となりうる表示要素。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2602	A		ラバーバンディング、ゴムひも法	らばーばんでぃんぐ、ごむひもほう	rubberbanding	他の端点又は対象との接続関係を保持したまま、結線を伸縮したり、サイズ変更したり、方向を変えたりするようにして、点又は対象を移動させる技法。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2603	A		インキング、線引き	いんきんぐ、せんひき	inking	ペンで紙の上に線を描くようにして、画面上で位置入力装置を移動させ、位置入力装置の軌跡を残すことによって線を引くこと。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2604	A		塗りつぶす	ぬりつぶす	<to> fill	閉じた区域又は対象の全域にわたって、表示要素を繰返し配置する。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2605	A		塗りつぶしパターン、フィルパターン	ぬりつぶしぱたーん、ふぃるぱたーん	fill pattern	閉じた区域を塗りつぶすために使用する、表示要素の繰返し配置模様。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2606	A		ドラッギング、ドラッグ	どらっぎんぐ、どらっぐ	dragging	ポインティング装置を使用して、画面上で表示要素の再配置をすること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2607	A		強調表示	きょうちょうひょうじ	highlighting	視覚属性を変更することによって表示要素を強調すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2608	A		写像(図形処理における)	しゃぞう(ずけいしょりにおける)	mapping (in computer graphics)	ある座標系から他の座標系への変換。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2609	A		平行移動	へいこういどう	translating (in computer graphics)	表示要素の各位置に、同一の変位を適用すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2610	A		拡大縮小、スケーリング(図形処理における)	かくだいしゅくしょう、すけーりんぐ(ずけいしょりに	scaling (in computer graphics)	表示画像の全体又は部分の大きさを、一つ以上の座標軸の方向に、比例的に変化させること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2611	A		伸縮する	しんしゅくする	<to> stretch	表示面上で、物体の大きさ、形状又はその両者を変化させる。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2612	A		サイズ変更する、寸法変更する	さいずへんこうする、すんぽうへんこうする	<to> resize	表示面上で、要素の座標又は寸法を変更する。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2613	A		回転(図形処理における)	かいてん(ずけいしょりにおける)	rotation (in computer graphics)	物体が固定軸を中心にして回るのを表現するために、表示要素を変更すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2614	A		鏡映を作る	きょうえいをつくる	<to> mirror	1本の共通軸に関して、各表示要素の複製を線対称になるように配置して表示画像を作	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2615	A		(1)ウィンドウ、表示窓	(1)ういんどう、ひょうじまど	window (1), display window	表示画像の部分であって、定義された境界をもち、その内部にデータが表示されるもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2616	A		(2)ウィンドウ、窓	(2)ういんどう、まど	window (2)	仮想空間内のあらかじめ定義された部分。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2617	A		ビューポート、表示域	びゅーぽーと、ひょうじいき	viewport	表示空間内のあらかじめ定義された部分。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2618	A		ウィンドウビューポート変換、窓表示域変換	ういんどうびゅーぽーとへんかん、まどひょうじいきへんかん	window/viewpoint transformation	ウィンドウ(2)の境界及び内容を、ビューポートの境界及び内部に写像すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2619	A		カスケードウィンドウ	かすけーどういんどう	cascaded windows	共通の制御の下で、生成・表示され、場合によっては重なり合うことのある二つ以上のウィンドウ(1)。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2620	A		ポップアップウィンドウ	ぽっぷあっぷういんどう	pop-up window	ある操作又は事象に応答して、表示面上に瞬時に現れる一つのウィンドウ(1)。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2621	A		ダイアログボックス	だいあろぐぼっくす	dialog box	データの入力可能なポップアップウィンドウ。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2622	A		活動ウィンドウ	かつどういんどう	active window	現在操作中のウィンドウ(1)。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2623	A		非活動ウィンドウ、押込みウィンドウ	ひかつどういんどう、おしこみういんどう	pushed window, inactive window	現在操作中でないウィンドウ(1)。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2624	A		ウィンドウ生成	ういんどうせいせい	windowing	表示面上でのウィンドウ(1)の生成。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2625	A		アイコン化する、最小化する	あいこんかする、さいしょうかする	<to> iconize, <to> stow, <to> minimize	ウィンドウ(1)をアイコンに置き換える。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2626	A		縮小する	しゅくしょうする	<to> shrink	ウィンドウ(1)を小さくする。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2627	A		拡大する	かくだいする	<to> expand	ウィンドウ(1)を大きくする。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2628	A		最大化する	さいだいかする	<to> maximize	アイコンをウィンドウ(1)に置き換える。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2629	A		メニュー	めにゅー	menu	計算機システムから利用者に対して表示される任意選択項目の一覧であって、起動させたい動作又は項目をその中から利用者が選択できるもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2630	A		メニューバー、アクションバー	めにゅーばー、あくしょんばー	menu bar, action bar	メニューの名称又はアイコンを表示するために使用される、通常、ウィンドウ(1)の一辺にある区域。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2631	A		プルダウンメニュー	ぷるだうんめにゅー	pull-down menu	利用者がメニューバーから名称又はアイコンを選択したとき、そのメニューバーの直下に現れるメニュー。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2632	A		ウィンドウ重ね	ういんどうかさね	window cascading, rollover windowing	一連のカスケードウィンドウを重ね合わせて作成すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2633	A		タイル張り	たいるばり	tiling	表示画面を、互いに重なり合わないようにして二つ以上のウィンドウ(1)に分割すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2634	A		(1)タイル	(1)たいる	tile (1)	領域を塗りつぶすために、X方向及びY方向に複製されるピクセルマップ。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2635	A		(2)タイル	(2)たいる	tile (2)	タイル張りによって生成されたウィンドウ(1)。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2636	A		背景タイル	はいけいたいる	background tile	ウィンドウ(1)の内容が失われたとき又は無効になったとき、そのウィンドウ(1)の領域を塗りつぶすために使用するタイル(1)。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2637	A		点描パターン	てんびょうぱたーん	stipple pattern	タイル(1)又は切落しマスクを生成するために使用するピクセルマップ。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2638	A		切落しマスク	きりおとしますく	clip mask	ピクセルマップ又は長方形の並びのどちらかによって定義される領域であって、その境界の外側の表示データを切り取るもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2639	A		境界線	きょうかいせん	border	ウィンドウ(1)を取り囲む線であって、通常は各辺とも同じ太さをもつもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2640	A		隠ぺい(蔽)する	いんぺいする	<to> obscure	表示対象の全体又は部分に関する利用者のビューを、別の表示対象でさえぎる。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2641	A		閉そく(塞)する	へいそくする	<to> occlude	表示対象に関係する動作の開始又は項目の選択を抑止する。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2642	A		切落し、クリッピング	きりおとし、くりっぴんぐ	clipping	切落しマスクの外側にある表示要素を全部除去することによって、内側のデータ又は表示画像だけを取り出す動作。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2643	A		遮へい(蔽)、逆切落し、逆クリッピング	しゃへい(へい)、ぎゃくきりおとし、ぎゃくくりっぴんぐ	shielding, reverse clipping	与えられた切落しマスクで覆われた部分のすべての表示要素の表示を抑止すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2644	A		スクローリング(図形処理における)、スクロール、視野移動	すくろーりんぐ(ずけいしょりにおける)、すくろーる、しやいどう	scrolling (in computer graphics)	古いデータがウィンドウ(1)の一端で消えると同時に、新しいデータが他端から現れるような方法で、ウィンドウ(1)の内部の表示要素を垂直方向又は水平方向に移動させること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2645	A		縦視野移動、ローリング	たてしやいどう、ろーりん	rolling, vertical scrolling	上下方向に限定されたスクローリング。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2646	A		スクロールバー、視野移動棒	すくろーるばー、しやいどうぼう	scroll bar	画面又はウィンドウ(1)の一辺にある長方形の区域であって、スクローリング過程を制御したり、データ又は表示画像の現在の表示範囲を示したりするのに使用するもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2647	A		スクロールボックス、視野移動箱	すくろーるぼっくす、しやいどうはこ	scroll box	スクロールバー上にある可動の箱であって、ウィンドウ(1)内に現在表示されているデータ又は表示画像の相対的な位置を示すもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2648	A		バウンディングボックス(図形処理における)、枠どり	ばうんでぃんぐぼっくす(ずけいしょりにおける)、わく	bounding box (in computer graphics)	図形対象を取り囲む、通常は目に見えない長方形の枠であって、その図形対象が選択されたとき見えるようになるもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2649	A		ハンドル(図形処理における)	はんどる(ずけいしょりにおける)	handle (in computer graphics)	バウンディングボックス又はウィンドウ(1)の四隅の一つ又は一辺の中央部にある小さな長方形の箱であって、図形対象又はウィンドウ(1)のサイズ変更のために使用するもの。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2650	A		ズーミング、ズーム	ずーみんぐ、ずーむ	zooming	表示要素が観察者に近づいたり、観察者から遠ざかったりするように見せるために、表示画像全体を連続的に拡大縮小すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2651	A		動軸回転表示、タンブリング	どうじくかいてんひょうじ、たんぶりんぐ	tumbling	空間内において、方向が連続的に変化する軸の周りに表示要素が回転する様子を動的に表示すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2652	A		パニング、パン、パノラマ移動	ぱにんぐ、ぱん、ぱのらまいどう	panning, panoramic translating	表示画像が横方向に動いているように見せるために、表示要素を漸進的に平行移動すること。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2653	A		背景画像	はいけいがぞう	background image, static image	個々の処理操作の間も変化することのない、例えば書式オーバレイのような、表示画像の部分。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2654	A		前景画像	ぜんけいがぞう	foreground image, dynamic image	個々の処理操作の都度、変化しうる表示画像の部分。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2655	A		書式オーバレイ	しょしきおーばれい	form overlay	背景画像として使用される、報告書様式、格子、地図などのパターン。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2656	A		書式フラッシュ	しょしきふらっしゅ	form flash	書式オーバレイの表示。	JIS X 0013	1998	ISO/IEC 2382-13	1996				1996	JTC1
2657	A		信頼性	しんらいせい	reliability	機能単位が、要求された機能を規定された条件のもとで規定された期間実行する能力。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2658	A		平均故障間隔、MTBF(省略形)	へいきんこしょうかんかく、MTBF	mean time between failures, MTBF	機能単位の寿命内の規定された期間における、規定された条件のもとでの、隣接した故障と故障との間の時間の平均値。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2659	A		平均修理時間、MTTR(省略形)	へいきんしゅうりじかん、MTTR	mean time to repair,MTTR (abbreviation)	機能単位の寿命内の規定された期間における、事後保守のために要する時間の平均値。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2660	A		間違い	まちがい	mistake	意図したものでない結果を引き起こす人間の行為。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2661	A		障害	しょうがい	fault	要求された機能を機能単位が遂行できなくなる偶発的条件。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2662	A		故障	こしょう	failure	要求された機能を遂行する、機能単位の能力がなくなること。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2663	A		プログラム依存形障害	ぷろぐらむいぞんがたしょうがい	program-sensitive fault	ある特定の順番の命令群を実行した結果として現れる障害。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2664	A		データ依存形障害	でーたいぞんがたしょうが	data-sensitive fault	ある特定のパターンのデータを処理した結果として現れる障害。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2665	A		保守、保全	ほしゅ、ほぜん	maintenance	機能単位を、要求された機能を果たせる状態に保つ又は修復することを意図した諸活動。(注)この用語は、試験、測定、交換、調整、修理などのような活動を実行することにより、機能単位を指定された状態に保つことを含んでいる。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2666	A		保守性、保全性	ほしゅせい、ほぜんせい	maintainability	決められた要求に従って遂行される、機能単位の保守の容易さ。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2667	A		事後保守、事後保全	じごほしゅ、じごほぜん	corrective maintenance	障害を取り除くために行われる保守。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2668	A		予防保守、予防保全	よぼうほしゅ、よぼうほぜ	preventive maintenance	障害が発生するのを予防するために行われる保守。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2669	A		定期保守、定期保全	ていきほしゅ、ていきほぜ	scheduled maintenance	設定された計画に従って実施される保守。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2670	A		限界試験、限界検査	げんかいしけん、げんかいけんさ	marginal test, marginal check	初期障害をもつ構成要素を検出し指摘するために、供給される電圧や周波数などの動作条件を公称値付近で変化させる技法。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2671	A		使用可能時間、可用時間	しようかのうじかん、かようじかん	available time	利用者の立場からみて、機能単位が使用できる時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2672	A		使用不能時間	しようふのうじかん	unavailable time	利用者の立場からみて、機能単位が使用できない時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2673	A		動作可能時間	どうさかのうじかん	operable time,uptime	機能単位を動作させると正しい結果を出す時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2674	A		動作不能時間	どうさふのうじかん	inoperable time	ダウン時間のうち、すべての周囲条件は満足されているが、機能単位を動作させても正しい結果を出さない時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2675	A		動作時間	どうさじかん	operating time	動作可能時間のうち、機能単位が動作している時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2676	A		アイドル時間、遊休時間	あいどるじかん、ゆうきゅうじかん	idle time	動作可能時間のうち、機能単位が動作していない時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2677	A		ダウン時間	だうんじかん	down time	機能単位が障害のために使用できない時間。(注)ダウン時間は、その機能単位自体の障害によるものと、周囲の障害によるものとがあり、前者の場合にはダウン時間は動作不能時間に等しい。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2678	A		外因損失時間	がいいんそんしつじかん	environmental loss time, external loss time	機能単位の外部の障害に起因するダウン時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2679	A		システム実動時間	しすてむじつどうじかん	system production time	動作時間のうち、実際に利用者に使用される時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2680	A		プログラム実動時間	ぷろぐらむじつどうじかん	program production time	システム実動時間のうち、利用者の計算機プログラムが首尾よく実行されている時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2681	A		システム試験時間	しすてむしけんじかん	system test time	動作時間のうち、機能単位が動作の妥当性について試験されている時間。(注)機能単位は計算機とそのオペレーティングシステムとから構成されることもあるので、ある場合にはシステム試験時間はオペレーティングシステムを構成する計算機プログラムの試験	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2682	A		プログラム試験時間	ぷろぐらむしけんじかん	program test time	システム実動時間のうち、利用者の計算機プログラムが試験されている時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2683	A		再実行時間	さいじっこうじかん	rerun time	動作時間のうち、動作中の障害又は間違いのため、再走行するのに使用される時間。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2684	A		雑時間	ざつじかん	miscellaneous time, incidental time	動作時間のうち、システム実動時間でもシステム試験時間でも再実行時間でもない時間。(注)雑時間は、主として実演、操作員訓練などの目的で使用される。	JIS X 0014	1999	ISO/IEC 2382-14	1997				1997	JTC1
2685	B		字句(単位)	じく(たんい)	lexical unit, (lexical) token	規則に基づいて、意味上の基礎的な単位を表現する言語構成要素。(例)直定数“2G5”、キーワードPRINT、区切り記号:(セミコロン)。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2686	B		識別子	しきべつし	identifier	言語対象物を名付ける字句単位。(例)変数、配列、レコード、ラベル、手続きなどの名前。(注)識別子は、通常、欧字で始まり、場合によってはその後に幾つかの欧字、数字又はその他の文字が続く。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2687	B		環境記述	かんきょうきじゅつ	environment description	プログラムの部分ではないが、プログラムの実行に関する事項を記述する言語構成要素。(例)機器の特性、ファイルの特性、他のプログラムとのインタフェース。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2688	B		キーワード	きーわーど	keyword	ある文脈中において、言語構成要素を特性付ける字句単位。(例)ある種の文脈においては、IFは条件構成体を特性付ける。(注)キーワードは、通常、識別子の形式をもつ。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2689	B		予約語	よやくご	reserved word	識別子として用いてはならないキーワード。(注)Adaにおいては、すべてのキーワードは予約語である。FORTRANには予約語はない。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2690	B		直定数、リテラル	ちょくていすう、りてらる	literal	直接、値を表す字句単位。(例)100は百を表し、“APRIL”は文字列APRILを表す。また、3.0005E2は数300.05を表す。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2691	B		(命令)文	(めいれい)ぶん	statement	一連の動作の中の一段階又は一組の宣言を表す言語構成要素。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2692	B		複合文	ふくごうぶん	compound statement	幾つかの文を順番付けることによって構成される一つの文。(注)複合文は多くの場合、構成要素となっている幾つかの文を、構文規則によって一まとめにしたものである。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2693	B		ブロック(プログラム言語における)	ぶろっく(ぷろぐらむげんごにおける)	block (in programming languages)	複合文であって、その中に含まれている少なくとも一つの宣言の有効範囲になっているもの。(注)ブロックは更に、記憶割振りや、プログラムの区分化を指定する。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2694	B		モジュール、プログラム単位	もじゅーる、ぷろぐらむたんい	module,program unit	手続きやデータの宣言から成る言語構成要素であって、他の同様の構成要素と相互に作用しうるもの。(例)Adaのパッケージ、FORTRANのプログラム単位、PL/Iの外部手続	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2695	B		密閉型	みっぺいがた	encapsulated type	抽象データ型を表すモジュール。(例)スタック処理モジュール。(注)密閉型は値の表現を隠ぺいするが、他のモジュールからその値に対して演算を行うことはできる。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2696	B		プログラム(プログラム言語における)	ぷろぐらむ(ぷろぐらむげんごにおける)	program (in programming languages)	一つ以上の互いに関連するモジュールの論理的集まり。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2697	B		注釈、注	ちゅうしゃく、ちゅう	comment	プログラムの本文中に含まれているが、そのプログラムの実行には影響を与えない言語構成要素。(注)注釈はプログラムの注意事項を説明するのに用いられる。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2698	B		言語対象(物)	げんごたいしょう(ぶつ)	language object	プログラム言語内で、構造上又は用法上から類別される対象であって、通常、データ対象物と処理対象物とに分けられる。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2699	B		データ対象(物)	でーたたいしょう(ぶつ)	data object	プログラム言語内で扱うことができる形式のデータであって、構造上又は用法上の観点から類別したもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2700	B		処理対象(物)	しょりたいしょう(ぶつ)	processing object	プログラム言語内で定義されている、又は定義しうる処理の単位であって、構造上又は用法上の観点から類別したもの。(例)手続き、式、関数。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2701	B		言語(構成)要素	げんご(こうせい)ようそ	language construct	プログラム言語を記述する際に必要な構文上の構成要素。(例)識別子、命令文、モ	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2702	B		宣言	せんげん	declaration	言語対象物を確立するための仕組み。(注)宣言は、通常、関係する言語対象物へ識別子を与え、また属性を割り当てることを含む。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2703	B		省略時	しょうりゃくじ	default	明示的に指定されていない場合に選ばれる属性、値などに関する用語。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2704	B		暗示(的)宣言	あんじ(てき)せんげん	implicit declaration	識別子の存在によって引き起こされる宣言であって、省略時解釈によってその属性が決められるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2705	B		組込み、定義済み	くみこみ、ていぎずみ	built-in, predefined	プログラム言語の定義によって宣言されている言語対象物に関する用語。(例)PL/Iの組込み関数SIN、FORTRANの定義済みデータ型INTEGER。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2706	B		(宣言の)有効範囲	(せんげんの)ゆうこうはん	scope (of declaration)	宣言が適用されるプログラムの部分。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2707	B		局所(的)	きょくしょ(てき)	local	言語対象物とブロックとの間の関係を示す用語であって、その言語対象物の有効範囲がそのブロック内に含まれている場合に用いられる。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2708	B		大域(的)	たいいき(てき)	global	言語対象物とブロックとの間の関係を示す用語であって、その言語対象物の有効範囲がそのブロックの外側にまで広がっているが、そのブロックを含む、より大きなブロックには含まれる場合に用いられる。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2709	B		外部(的)	がいぶ(てき)	external	一つのモジュールを越えた有効範囲をもつ言語対象物に関する用語。(例)モジュールの入口名は外部的である。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2710	B		静的	せいてき	static	プログラムの実行に入る前に確立されうる性質に関する用語。(例)固定長変数の長さは、静的である。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2711	B		動的	どうてき	dynamic	プログラムの実行中にだけ確立されうる性質に関する用語。(例)可変長変数の長さは、動的である。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2712	B		生存期間	せいぞんきかん	lifetime	実行時間の一部であって、ある一つの言語対象物が存在する期間。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2713	B		参照	さんしょう	reference	ある一つの宣言された言語対象物を指す言語構成要素。(例)識別子	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2714	B		(名前の)修飾	(なまえの)しゅうしょく	(name) qualification	言語対象物の要素を参照するための仕組みであって、その対象物に対する参照とその要素に対して宣言された識別子によって行われるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1

	ﾚﾍﾞﾙ		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2715	B		一様参照	いちようさんしょう	uniform referencing	プログラム言語の性質であって、参照のための二つ以上の言語構成要素が同じ形をもつもの。(例)名前の修飾と間接参照、配列の添字と手続きのパラメタ。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2716	B		変数(プログラム言語における)	へんすう(ぷろぐらむげんごにおける)	variable	異なる値をとりうるが、ある時点では一つの値だけをとる言語対象物。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2717	B		定数	ていすう	constant	一つの値だけをとる言語対象物。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2718	B		集合体	しゅうごうたい	aggregate	データ対象物の構造化された集まりであって、一つのデータ型を形成するもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2719	B		配列(プログラム言語における)	はいれつ(ぷろぐらむげんごにおける)	array (in programming languages)	同一の属性をもったデータ対象物から成る集合体であって、その各々のデータ対象物が添字指定によって一意に参照されうるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2720	B		レコード(プログラム言語における)	れこーど(ぷろぐらむげんごにおける)	record (in programming languages)	データ対象物から成る集合体であって、これらのデータ対象物はそれぞれ異なる属性をもつことができ、通常、識別子が付けられているもの。(注)あるプログラム言語では、レコードは構造体と呼ばれることもある。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2721	B		可変部	かへんぶ	variant part	レコードの部分であって、そのデータ対象物が選択的に定義されているもの。(注)データ対象物の個数と構成は変わりうる。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2722	B		区域(プログラム言語における)	くいき(ぷろぐらむげんごにおける)	area (in programming languages)	データ対象物をその中に挿入したり、参照したり、そこからデータ対象物を除去したりすることができる仕組みと、それが行われる記憶装置中の空間。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2723	B		仮引数、仮パラメタ	かりひきすう、かりぱらめた	(formal) parameter, dummy argument	手続きの入口に現れる識別子であって、手続きの実行を引き起こす手続き呼出し中の対応する実引数と結合されるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2724	B		実引数、実パラメタ	じつひきすう、じつぱらめた	actual parameter, (actual) argument	手続き呼出しに現れる言語対象物であって、この手続きの実行時に対応する仮引数と結合されるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2725	B		(データ)型	(でーた)がた	(data) type	値の集合であって、その集合には一組の演算が定義されているもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2726	B		ピクチャ(プログラム言語における)	ぴくちゃ(ぷろぐらむげんごにおける)	picture (in programming languages)	骨組みとなる文字列の直定数を用いてデータ型を記述する言語構成要素。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2727	B		書式(プログラム言語における)	しょしき(ぷろぐらむげんごにおける)	format	文字を用いてファイル中のデータ対象物の表現を指定する言語構成要素。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2728	B		添字指定	そえじしてい	subscripting	配列参照と、評価されるときに配列要素の位置を与える一つ以上の式とによって、その要素を参照する仕組み。(注)この仕組みを用いることも添字指定という。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2729	B		間接参照	かんせつさんしょう	indirect referencing	目的の言語対象物を指定する値をもつデータ対象物を介して、その言語対象物を参照する仕組み。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2730	B		データ流れ	でーたながれ	data flow	定数、変数、ファイル間におけるデータの転送であって、命令文、手続き、モジュール又はプログラムの実行により行われるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2731	B		代入	だいにゅう	assignment	変数に値を与える仕組み。(注)この仕組みを用いることも代入という。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2732	B		名前による代入	なまえによるだいにゅう	assignment by name	レコードの値をレコードの変数に代入することであって、一致した識別子同士だけで行われるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2733	B		初期化する	しょきかする	to initialize	データ対象物の生存期間の最初に、そのデータ対象物に値を与えること。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2734	B		自動記憶割振り	じどうきおくわりふり	automatic storage allocation	データ対象物に対して空間を割り振る仕組みであって、そのデータ対象物の有効範囲の実行の間だけ割り振られるもの。(注)自動記憶割振りは、動的記憶割振りの一種である。もう一つは、利用者の要求によって制御される記憶割振りである。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2735	B		擬寸法集合体	ぎすんぽうしゅうごうたい	assumed-size aggregate	対応する実引数から、添字の範囲又は全体を受け取る仮引数をもつ集合体。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2736	B		整合寸法集合体	せいごうすんぽうしゅうごうたい	adjustable-size aggregate	添字の範囲の部分又は全体が、動的に与えられる仮引数をもつ集合体。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2737	B		編集(プログラム言語における)	へんしゅう(ぷろぐらむげんごにおける)	editing (in programming languages)	与えられた書式によって指定される表現に値を変換すること。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2738	B		式	しき	expression	一つ以上のオペランドから値を計算する言語構成要素。(注)オペランドには、直定数、識別子、配列参照、関数呼出しなどがある。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2739	B		手続き(プログラム言語における)	てつづき(ぷろぐらむげんごにおける)	procedure (in programming languages)	仮引数をもつ又はもたないブロックであって、そのブロック名及びその仮引数に対応する実引数をもつ言語対象物によって、その実行が引き起こされるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2740	B		関数(手続き)(プログラム言語における)	かんすう(てつづき)(ぷろぐらむげんごにおける)	function (procedure)	実行のとき一つの値を生じる手続きであって、その手続き呼出しが一つの式の中でオペランドとして用いられるもの。(例)関数SINは、SIN(X)によって呼び出されたときsin Xの	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2741	B		非同期手続き	ひどうきてつづき	asynchronous procedure	プログラムの呼出し側の部分と並行に実行される手続き。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2742	B		危険域	きけんいき	critical section	非同期手続きにおいて、自分自身又は他の非同期手続きの部分と同時には実行できない部分。(注)このとき、自分自身又は他の非同期手続きの部分も危険域である。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2743	B		名札(プログラム言語における)	なふだ(ぷろぐらむげんごにおける)	label (in programming languages)	識別子などを用いて命令文に名前を付ける言語構成要素。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2744	B		実行順序	じっこうじゅんじょ	execution sequence	プログラム中において、命令文の列及び列の一部分を実行する順番。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2745	B		制御流れ	せいぎょながれ	control flow	一つのプログラムの実行順序におけるすべての可能な経路を抽象化したもの。(注)制御流れは、図によって表現することができる。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2746	B		無条件文	むじょうけんぶん	unconditional statement	唯一の実行順序を指定する命令文。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2747	B		条件構成体	じょうけんこうせいたい	conditional construct	複数の異なる実行順序を指定する言語構成要素。(例)CASE文、IF文、ALGOLにおける条件式。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2748	B		ループ構成体	るーぷこうせいたい	loop construct	実行順序において繰返しを指定する言語構成要素。(例)FORTRANのDOループ、ALGOLのforループ、COBOLのPERFORMループ、PL/1のDO WHILEループ。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2749	B		(手続き)呼出し	(てつづき)よびだし	(procedure) call	手続きの実行を引き起こすための言語構成要素。(注)手続き呼出しは、通常、一つの入口名及び必要ならば実引数をもつ。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2750	B		(手続きの)入口	(てつづきの)いりぐち	entry (of a procedure)	手続きの一つの実行順序の始点を示す、その手続き内の言語構成要素。(注)手続きは二つ以上の入口をもちうる。各入口は、通常、入口名と呼ばれる識別子及び必要ならば	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2751	B		パラメタ結合	ぱらめたけつごう	parameter association	仮引数と、手続き呼出しによって指定される、対応する実引数との結合。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2752	B		(手続きの)出口、戻り	(てつづきの)でぐち、もどり	return (from a procedure)	手続きの一つの実行順序の終点を示す、その手続き内の言語構成要素。(注)通常、この実行順序は、対応する手続き呼出しの地点に戻る。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2753	B		(関数手続きの)副作用	(かんすうてつづきの)ふくさよう	side effect (of a function procedure)	関数手続きの実行によって引き起こされる外部的な作用であって、関数の結果の値を生ずる作用とは異なるもの。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2754	B		分岐構成体	ぶんぎこうせいたい	branch construct	ラベルの参照によって、幾つかの異なる実行順序から一つを選び出す言語構成要素。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2755	B		例外(プログラムげんごにおける)	れいがい(ぷろぐらむげんごにおける)	exception (in programming languages)	実行中に生ずる特殊な状態であって、異常とみなされ、通常の実行順序から離脱することもあり、プログラム言語中にこの状態を定義し、発生させ、認識し、無視し、操作する機能があるもの。(例)PL/1のON条件、Adaの例外。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2756	B		(演算子の)優先順位	(えんざんしの)ゆうせんじゅんい	(operator) precedence	式中で演算子の適用の順序を決める規則。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2757	B		変換(プログラム言語における)	へんかん(ぷろぐらむげんごにおける)	conversion (in programming languages)	同じデータ項目ではあるが、異なるデータ型に属する値の間の変形。(注)データ表現の正確度は、異なるデータ型の間で変わるので、変換により情報が失われることもある。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2758	B		活性化	かっせいか	activation	手続き呼出しによって起動される、その手続きの状態。	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2759	B		接続	せつぞく	connection	モジュール間の相互作用、特に非同期手続きに対する手続き呼出しを可能にする仕組み。(例)COBOLのENABLE文は、通信接続を確立し、OPEN文は入出力接続を可能にす	JIS X 0015	1987	ISO 2382-15	1985		2002/6	2000	1999	JTC1
2760	A		構文素、字句要素、字句単位	こうぶんもと、じくようそ、じくたんい	lexical token, lexical element, lexical unit	プログラム言語のアルファベットからなる1文字以上の列であって、規約に基づいて意味上の基本単位を表現するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2761	A		言語構成要素、言語要素	げんごこうせいようそ、げんごようそ	language construct	プログラム言語の規則に従って一つ以上の構文素から形成される、プログラムの構文的に容認できる部分。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2762	A		識別子	しきべつし	identifier	言語構成要素を名付ける構文素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2763	A		既定義の識別子	きていぎのしきべつし	predefined identifier	プログラム言語の一部分として定義される識別子。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2764	A		予約語	よやくご	reserved word	プログラマが再定義できない既定義識別子。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2765	A		区切り記号	くぎりきごう	delimiter, separator	構文上の単位と見なされる構文素又は文字列の始まり又は終わりを示す別の構文素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2766	A		分離記号	ぶんりきごう	separator	隣り合う構文素又は構文単位が単一の項目として解釈されないようにするための区切り	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2767	A		多重定義する	たじゅうていぎする	to overload	ある構文素に対して二通り以上の意味を割り当てる。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2768	A		あいまい(曖昧)性除去	あいまいせいじょきょ	disambiguation	同じ順番で配列された構文素からなる言語構成要素が幾つかあるうちで、プログラム中に特にその一つが現れたとき、どの言語構成要素が参照されているかを決定する仕組	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2769	A		ラベル、名札	らべる、なふだ	label	プログラムの中で場所を表すための識別子。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2770	A		注釈、注	ちゅうしゃく、ちゅう	remark, comment	プログラムの実行に影響を及ぼさないテキストを、プログラムに含ませるために使用する言語構成要素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2771	A		宣言	せんげん	declaration	プログラムの中に識別子を導入し、その識別子の解釈方法を指定する明示的な言語構	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2772	A		宣言部、データ部	せんげんぶ、でーたぶ	declarative part, data division	一つ以上の宣言で構成されるプログラムの部分。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2773	A		省略時(の)、既定(の)	しょうりゃくじ(の)、きてい	default	明示的に何も指定しなかった場合に仮定される属性、データ値又はオプションに関する	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2774	A		暗示(的)宣言	あんじ(てき)せんげん	implicit declaration	対象を指す識別子の存在によって引き起こされる宣言であって、省略時解釈によって識別子の特性が決まるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2775	A		既定義(の)、組込み	きていぎ(の)、くみこみ	predefined, built-in,	プログラム言語の定義によって宣言されている言語構成要素に関する用語。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2776	A		有効範囲、宣言の有効範囲	ゆうこうはんい、せんげんのゆうこうはんい	scope, scope of declaration	宣言が適用されるプログラムの部分。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2777	A		共用データ	きょうようでーた	shared data	非同期又は並行に実行されることがある二つ以上のモジュールによってアクセスされる	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2778	A		動的有効範囲	どうてきゆうこうはんい	dynamic scope	モジュールの全体又は一部分の活性化によって作り出される有効範囲であって、あるモジュールで使用している宣言を、別のモジュールからでも使用するようにしたもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2779	A		静的有効範囲	せいてきゆうこうはんい	static scope	ある宣言の行われているモジュールを取り囲む最も内側のモジュールを見つけることによって決まるような有効範囲。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2780	A		宣言区域	せんげんくいき	declarative region	宣言を構成するプログラムの部分。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2781	A		局所(的)	きょくしょ(てき)	local	言語構成要素に関する用語であって、その言語構成要素の有効範囲が宣言されている宣言区域の内側にだけ及んでいる場合に使用する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2782	A		大域(的)	たいいき(てき)	global	言語構成要素に関する用語であって、その言語構成要素の有効範囲がプログラムの全モジュールに及んでいる場合に使用する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2783	A		外部(的)	がいぶ(てき)	external	言語構成要素に関する用語であって、その言語構成要素を参照しているモジュールの外側で宣言されている場合に使用する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2784	A		静的	せいてき	static	対象に関する用語であって、その対象がプログラム全体の実行中ずっと存在し、それがもつ値が保持されている場合に使用する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2785	A		動的	どうてき	dynamic	データ属性に関する用語であって、その値がプログラムの全体又は一部分の実行中にだけ確立されている場合に使用する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2786	A		生存期間	せいぞんきかん	lifetime	実行時間の一部分であって、ある言語構成要素が存在する期間。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2787	A		可視性	かしせい	visibility (1)	モジュール内の特定の場所にある特定の言語構成要素を参照できる能力。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2788	A		可視範囲	かしはんい	visibility (2)	プログラムの一部分であって、その内側で特定の言語構成要素を参照できるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2789	A		データ構造	でーたこうぞう	data structure	データ単位とデータ自身との間の物理的又は論理的な関係。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2790	A		データ対象	でーたたいしょう	data object	ファイル、配列のようなデータ構造の要素、又はオペランドであって、プログラムの実行にとって必要とされるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2791	A		変数	へんすう	variable	宣言又は暗示的宣言によって確立される四つ組であって、識別子、データ属性の集合、一つ以上のアドレス及びデータ値で構成され、アドレスとデータ値との間の関係が変化し	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2792	A		データ値	でーたち	data value	宣言済みのデータ対象の集合の要素であって、特定の文脈において、変数、データ型などの言語構成要素と関連づけられるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2793	A		定数	ていすう	constant	宣言又は暗示的宣言によって確立される四つ組であって、識別子、属性の集合、一つ以上のアドレス、及び単一のデータ値で構成されるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2794	A		集成式、集合体	しゅうせいしき、しゅうごうたい	aggregate	構成要素の構造化された集まりであって、その要素は同種のデータ構造であっても異種のデータ構造であってもよく、その集まりのデータ構造自身は対応する合成型の構成部分であってもよいもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2795	A		集成式の値	しゅうせいしきのあたい	aggregate value	集成式に関連づけられたデータ値。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2796	A		配列	はいれつ	array	配列型を実現値とする集成式であって、各要素又は要素の適切な集まりが他とは無関係に、かつ、個別に参照されるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2797	A		部分配列	ぶぶんはいれつ	array slice, slice	任意の次元に沿って連続したセルからなる配列の部分。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2798	A		可変部	かへんぶ	variant part	データ対象で構成されるレコードの一部分であって、対応するデータ構造又は宣言済みのデータ型を変えることが可能なもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2799	A		可変レコード	かへんれこーど	variant record	可変部をもつレコード。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2800	A		判別子	はんべつし	discriminant	パラメタに似た言語構成要素であって、与えられた可変レコード内部で使用されるデータ構造を指定するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2801	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	モジュール間でデータ対象又はデータ値を授受するための言語構成要素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2802	A		実パラメタ、実引き数	じつぱらめた、じつひきすう	actual parameter, actual argument	呼出し又ははん(汎)用体専用化において、データ対象とその対応する宣言とを関連づけるために使用されるパラメタ。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2803	A		仮パラメタ、仮引き数	かりぱらめた、かりひきすう	formal parameter, dummy argument	あるモジュールの宣言の中で定義され、呼出し又ははん(汎)用体専用化において実パラメタと関連づけられるパラメタ。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2804	A		パラメタ結合	ぱらめたけつごう	parameter association	仮パラメタと、呼出し又ははん(汎)用体専用化の中の対応する実パラメタとの関連づけ。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2805	A		データ属性	でーたぞくせい	data attribute	データ型、データ対象、モジュールなどの言語構成要素に関する既定義の特性。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2806	A		名前の修飾、修飾	なまえのしゅうしょく、しゅうしょく	name qualification, qualification	プログラムの一部分の有効範囲において言語構成要素を参照するための仕組みであって、その部分への参照と、その部分の中の言語構成要素に対して宣言された識別子とによって行われるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2807	A		別名	べつめい	alias	ある言語構成要素に対する代替の識別子。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2808	A		ポインタ	ぽいんた	pointer	あるデータ対象のアドレスをデータ値とする別のデータ対象。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2809	A		空ポインタ	からぽいんた	null pointer	データ対象を何も明示的に指していないポインタ。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2810	A		データ型	でーたかた	data type, datatype	指定されたデータ構造をもつデータ対象の既定義の集まり、及び許容された操作の集まりであって、これらの操作の一つを実行するときにそのデータ対象がオペランドとしての役割を果たすもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2811	A		抽象データ型、ADT	ちゅうしょうでーたかた、ADT	abstract data type, ADT	データ構造体のクラスであって、そのデータ構造体において用意されている操作又は機能の一覧、それらの操作に関する形式的な特性、及び内部的な実現方法とは無関係なインタフェースによって記述するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2812	A		密閉型	みっぺいがた	encapsulated type	外部から参照できるように定義したインタフェース、並びに内部構造及び関連した操作に関しては外部からは参照できないように定義した実現方法をもつデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2813	A		スカラ型、単純型	すからがた、たんじゅんが	scalar type, simple type	個々の実現値がスカラを表現しているデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2814	A		原子型	げんしがた	atomic type	個々のデータ対象が細分不可能な単一のデータ値で構成されるデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2815	A		論理型、ブール型	ろんりがた、ぶーるがた	logical type, Boolean type	データ対象は論理値(通常はTRUE又はFALSE)だけを想定し、ブール演算子だけで操作できるデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2816	A		範囲	はんい	rang , span	スカラ型の連続したデータ値からなる集合。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2817	A		実数型	じっすうがた	real type	個々のデータ対象が、おそらくは近似によって実数を表現しているデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2818	A		固定小数点型	こていしょうすうてんがた	fixed-point type, implied decimal type	実数型の一種であって、個々のデータ対象が固定小数点表示法で表現されているもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2819	A		浮動小数点型	ふどうしょうすうてんがた	floating-point type	実数型の一種であって、個々のデータ対象が浮動小数点表示法で表現されているもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2820	A		順序型、離散型	じゅんじょがた、りさんがた	ordinal type, discrete type	個々のデータ対象が可算順序集合の要素を表しているデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2821	A		添え字型	そえじがた	index type	順序型の一種であって、個々のデータ対象が元の配列の添え字を表しているもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2822	A		整数型	せいすうがた	integer type	順序型の一種であって、個々のデータ対象が特定範囲内の整数を表しているもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2823	A		列挙型	れっきょがた	enumeration type, enumerated type	順序型の一種であって、個々のデータ対象がデータ型の宣言の中で明示的に列挙されているもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2824	A		数値型	すうちがた	numeric type	スカラ型の一種であって、個々のデータ対象が整数であるか、又は実数の近似値を表現しているもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2825	A		文字型	もじがた	character type	個々のデータ対象が文字を表現しているデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2826	A		文字列型	もじれつがた	string type	個々のデータ対象が文字列を表現しているデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2827	A		ポインタ型、アクセス型	ぽいんたがた、あくせすがた	pointer type, access type	ポインタを個々のデータ対象とするデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2828	A		配列型	はいれつがた	array type	合成型であって、個々の成分がすべて同じデータ型であるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2829	A		レコード型	れこーどがた	record type	フィールド型又は他のレコード型を成分とする合成型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2830	A		可変レコード型	かへんれこーどがた	variant record type	レコード型であって、構成要素の選択候補を指定する可変部をもつもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2831	A		部分型、副型	ぶぶんがた、ふくがた	subtype	あるデータ型に制約を課することによって、そこから導出される別のデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2832	A		基底型	きていがた	base type, host type, underlying type	部分型の派生するデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2833	A		制約	せいやく	constraint	あるデータ型に対してその範囲又は操作を限定すること。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2834	A		密閉型	みっぺいがた	private type	データ型であって、その構造、値の集まり及び操作がプログラムの中では定義されているが、そのプログラムの特権部分に限って使用可能であるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2835	A		限定型、限定付き型	げんていがた、げんていつきがた	limited type	密閉型であって、その型に対して明示的に宣言された操作又はデータ属性だけが、宣言の含まれるプログラムの外側で使用可能であるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2836	A		親の型	おやのかた	parent type	新しいデータ型を作成するためのひな(雛)形としての役割を果たすデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2837	A		派生型	はせいがた	derived type	データ値及び操作が、既存の親の型のものの丸写しであるデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2838	A		型変換	かたへんかん	type conversion	通常は、データ型の違法な不一致を回避するために遂行される、あるデータ型のデータ値から別のデータ型のデータ値への表現の変換。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2839	A		強い型付け	つよいかたつけ	strong typing	言語構成要素の中のオペランドが、操作に関するデータ型と整合しているデータ型をもっているか、又は操作の遂行前に明示的な型変換が終了していなければならない、という	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2840	A		弱い型付け	よわいかたつけ	weak typing	強い型付けに関する規則の緩和。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2841	A		既定義(の)型	きていぎ(の)かた	predefined type	既定義の識別子によって参照されるデータ型であって、プログラム言語ではその識別子に対して適切な操作が用意されるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2842	A		普遍型	ふへんがた	universal type	数値リテラルからなるデータ型及び、強い型付けに適合させるために使用する既定義の操作の結果からなるデータ型。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2843	A		無名(の)	むめい(の)	anonymous	データ型が明示的に宣言されていないデータ対象に関する用語。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2844	A		書式	しょしき	format	レコード、ファイル、メッセージ、記憶装置又は伝送路上のデータ対象の表現を、文字の形式で指定する言語構成要素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2845	A		ピクチャ	ぴくちゃ	picture	モデルとなる文字リテラルによって、文字列型のデータ対象の書式を記述する言語構成	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2846	A		文、命令文	ぶん、めいれいぶん	statement	宣言を表現したり、遂行する動作、動作の遂行に用いられるオペランド(必要ならば)、及び結果の処置で構成される一単位の作業を規定したりするための、明示的に完結している構文上の単位。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2847	A		単純文	たんじゅんぶん	simple statement, elementary statement	他の文を含まない文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2848	A		複合文	ふくごうぶん	compound statement	一つ以上の文で構成される文であって、構文的に単純文と等価になるように区切られる	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2849	A		代入文	だいにゅうぶん	assignment statement	単純文であって、変数の現在のデータ値を式で指定した新しいデータ値に置き換えるも	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2850	A		exit文、終了文	いぐじっとぶん、しゅうりょうぶん	exit statement	包含する言語構成要素の実行を終了させるために使用する単純文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2851	A		return文、復帰文	りたーんぶん、ふっきぶん	return statement	モジュールの中の言語構成要素であって、そのモジュールにおいて一つ(又は場合によっては複数)の実行順序の終わりを示し、呼ぶモジュールの中の指定された場所への飛越しを引き起こし、場合によっては呼ぶ側に結果を引き渡すもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2852	A		戻る	もどる	to return	呼ぶプログラムへの飛越しを引き起こすreturn文を実行する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2853	A		返す、戻す	かえす、もどす	to return	return文の実行時に、呼ぶプログラムに対してデータ値を引き渡す。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2854	A		エントリ	えんとり	entry	副プログラムの先頭、又は副プログラムの中の入り口名によって指定された任意の場所における実行順序の開始。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2855	A		入り口名	いりぐちめい	entry name	実行順序の始まりを指定する識別子。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2856	A		goto文、飛越し文	ごーとぅぶん、とびこしぶん	goto statement	実行順序の中の指定された点から、通常はラベルによって識別される目標の文へと、プログラム制御の明示的な移行を指定する単純文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2857	A		無条件文	むじょうけんぶん	unconditional statement, imperative statement	無条件に実行される文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2858	A		条件文	じょうけんぶん	conditional statement	複合文の一種であって、一つ以上の対応する条件に関する条件式の値に従って、文を包含する列の一つを実行するために選択するか、まったく選択しないかを決めもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2859	A		条件式	じょうけんしき	conditional expression	式であって、その評価が以降の実行順序の選択に使用されるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2860	A		if文、判断文	いふぶん、はんだんしき	if statement	条件文の一種であって、条件式の真理値に従って、その文が包含する文の列の実行を引き起こしたり、引き起こさなかったりするもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2861	A		case文、場合分け文	けーすぶん、ばわいわけぶん	case statement	条件文の一種であって、条件式の値に従って幾つかの選択可能な文の列の中から、実行のために一つを選び出すもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2862	A		反復文、繰返し文、loop文	はんぷくぶん、くりかえしぶん、るーぷぶん	iteration statement, loop statement	包含する幾つかの文の繰返し実行を制御する仕組みをもつ複合文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2863	A		while構文、前判定繰返し構文	ほわいるこうぶん、まえはんていくりかえしこうぶん	while-construct	反復制御のための言語構成要素であって、遂行する試験を各反復段階の前で定義するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2864	A		until構文、後判定繰返し構文	あんているこうぶん、あとはんていくりかえしこうぶ	until-construct	反復制御のための言語構成要素であって、遂行する試験を各反復段階の後で定義するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2865	A		for構文、繰返し構文	ふぉーこうぶん、くりかえしこうぶん	for-construct	反復制御のための言語構成要素であって、通常は、ループ制御変数に従ってその制御のために遂行される試験と、反復段階の間に遂行される反復制御変数の変更に関する規定とを定義するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2866	A		do while文、repeat while文、perform while文	どぅーほわいるぶん、りぴーとほわいるぶん、ぱふぉーむほわいるぶん	do while statement, repeat while statement, perform while statement	反復制御がwhile構文の中に組み込まれている反復文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2867	A		until文、repeat until文、perform until文	あんているぶん、りぴーとあんているぶん、ぱふぉーむあんているぶん	until statement, repeat until statement, perform until statement	反復制御がuntil構文の中に組み込まれている反復文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2868	A		perform文	ぱふぉーむぶん	perform statement	複合文であって、一つ以上のCOBOL手続きへの制御の移行を明示的に指定し、かつ、指定された手続きの実行が完了すると必ず暗黙的に制御の戻りを指定するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2869	A		ブロック文	ぶろっくぶん	block statement	単一の構文単位として扱われる文の有限列であって、識別子をもつことがあるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2870	A		手続き呼出し文、手続き文	てつづきよびだしぶん、てつづきぶん	procedure-call statement, procedure statement	手続きに実パラメタを与え、手続きの実行を引き起こす単純文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2871	A		エントリ呼出し文	えんとりよびだしぶん	entry-call statement	あるタスクから別のタスクとのランデブー要求をできるようにするために使用する単純	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2872	A		delay文、遅延文	でぃれいぶん、ちえんぶん	delay statement	遅延要求を含むタスクの実行を中断するために使用する単純文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2873	A		abort文、打切り文	あぼーとぶん、うちきりぶん	abort statement	一つ以上のタスクが異常状態になるようにし、これらのタスクとの以降のランデブーを禁止する単純文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2874	A		raise文、生起文	らいずぶん、せいきぶん	raise statement	例外を伝搬させたり、例外を発生させたりする単純文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2875	A		accept文、受理文	あせぷとぶん、じゅりぶん	accept statement	サーバタスクの中の複合文であって、このサーバタスクが、別のタスク又は主プログラムを待ち受けて、タスク同期のためにエントリ呼出し文の実行を引き起こすもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2876	A		select文、選択文	せれくとぶん、せんたくぶん	select statement	呼ぶタスク又は呼ばれるタスクが、動作を達成する幾つかの過程の中から一つを選び出したり、それらに対して待機したりすることのできる複合文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2877	A		選択待機文	せんたくたいきぶん	selective-wait statement	エントリ呼出し文からの呼出しを待って、その文の列を実行する選択文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2878	A		式	しき	expression	一つ以上のオペランドからの結果としてのデータ値の計算法を定義する言語構成要素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2879	A		混合型、混合モード	こんごうがた、こんごう	mixed type, mixed mode	二つ以上の異種のデータ型で構成される式に関する用語。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2880	A		論理式、ブール式	ろんりしき、ぶーるしき	Boolean expression	論理値の計算法を定義する言語構成要素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2881	A		演算子の優先順位	えんざんしのゆうせんじゅんい	operator precedence	式の中で演算子の適用の順番を定める規則。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2882	A		モジュール、プログラム単位	もじゅーる、ぷろぐらむたんい	module, program unit	コンパイル、結合、実行などの動作に関して個々に区別又は識別できるように作成されたプログラムの部分であって、他の幾つかのプログラム又はプログラムの部分と相互作	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2883	A		本体	ほんたい	body (in programming languages)	文又はモジュールの実行可能部分を構成する言語構成要素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2884	A		副プログラム	ふくぷろぐらむ	subprogram	識別子の付いたモジュールであって、特定の言語構成要素によって別のプログラム又は他のモジュールから制御流れの中へ呼び込まれて起動され、その制御流れから起動側のプログラム又はモジュールに戻るもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2885	A		コルーチン	こるーちん	coroutine	副プログラムの一種であって、実行後に再度呼び出されたとき、直前の実行時の戻り場所から再開するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2886	A		呼出し	よびだし	call	通常、呼ぶモジュールに制御が返されるという暗黙の仮定の下に、あるモジュールから別のモジュールに制御を移行する命令。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2887	A		呼び出す	よびだす	<to> call	呼出しを実行する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2888	A		名前呼び	なまえよび	call by name	呼出しの一種であって、呼ぶモジュールが、呼ばれるモジュールに対して、一つ以上のパラメタの名前を与え、関連するパラメタが、呼ばれるモジュールの中で使用される都度	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2889	A		参照呼び、アドレス呼び、場所呼び	さんしょうよび、あどれすよび、ばしょよび	call by reference, call by address, call by location	呼出しの一種であって、呼ぶモジュールが、呼ばれるモジュールに対して、引き渡されるパラメタのアドレスを与えるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2890	A		値呼び	あたいよび	call by value	呼出しの一種であって、呼ぶモジュールが、呼ばれるモジュールに対して、引き渡されるパラメタの実効値を与えるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2891	A		副プログラム呼出し	ふくぷろぐらむよびだし	subprogram call	副プログラムを起動する呼出し。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2892	A		手続き、サブルーチン	てつづき、さぶるーちん	procedure, subroutine	副プログラムの一種であって、パラメタ授受の一環である場合を除き、データ値を返さな	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2893	A		関数	かんすう	function	副プログラムの一種であって、通常、仮パラメタをもち、起動場所に返すデータ値を作成するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2894	A		関数呼出し	かんすうよびだし	function call	関数の実行を引き起こすための実パラメタを与え、実行を引き起こす言語構成要素。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2895	A		トランザクション呼び	とらんざくしょんよびだし	transaction call	関数呼出しの一種であって、あるタスクが、別のタスクとのランデブーを要求できるようにするもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2896	A		副単位	ふくたんい	subunit	個別にコンパイルされるモジュールの本体。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2897	A		本体受け	ほんたいうけ	body stub	本体の一形式であって、モジュールの実行可能部分が副単位の中で定義されているも	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2898	A		接続	せつぞく	connection	モジュール相互間、特に手続き呼出し文と非同期手続きとの間の相互作用を可能にする	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2899	A		名前によるパラメタ結合、名前による代入	なまえによるぱらめたけつごう、なまえによるだいにゅう	named parameter association, assignment by name	副プログラム呼出しにおいて、実パラメタに対応する仮パラメタを明示的に名前で示すことによって、パラメタ結合を確立すること。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2900	A		位置によるパラメタ結合	いちによるぱらめたけつごう	positional parameter association	副プログラム呼出しにおいて、実パラメタと、副プログラムの宣言の中の同じ位置にある仮パラメタとを対応付けること。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2901	A		仮パラメタモード	かりぱらめたもーど	formal parameter mode	仮パラメタを変更せずにそれを評価してよいか、新しい値を与えてよいか、又は評価し、かつ、変更してよいかどうかを指示する特性。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2902	A		マクロ命令、マクロ	まくろめいれい、まくろ	macroinstruction, macro	呼ぶ側のプログラム言語のレベルでマクロ定義を起動する命令。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2903	A		マクロ呼出し	まくろよびだし	macrocall	呼ぶ側のプログラム言語のレベルでマクロ定義を起動する文。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2904	A		マクロ定義	まくろていぎ	macrodefinition	指令、文又は命令の既定義の列であって、対応する起動中のマクロ命令又はマクロ呼出しのそれぞれを置き換えるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2905	A		パッケージ	ぱっけーじ	package	データ型、そのデータ型のデータ対象、そのデータ型のパラメタを用いる副プログラムのような、論理的に関連し合った言語構成要素をグループ分けすることによって、抽象化、カプセル化又は情報隠ぺい(蔽)を規定することを意図したモジュール。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2906	A		パッケージ宣言	ぱっけーじせんげん	package declaration	言語構成要素に関する個別の宣言であって、インタフェース用又はコンパイル用のいずれかのために、パッケージの外側で言語構成要素の詳細指定が必要とされるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2907	A		可視部	かしぶ	visible part	パッケージ宣言の一部分であって、オブジェクトの利用者又はパッケージのサービスに必要な詳細情報を与えるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2908	A		密閉部	みっぺいぶ	private part	パッケージ宣言の一部分であって、開発過程で必要とされる構造の詳細情報を与えるが、パッケージの機能利用者には無縁であり、かつ、アクセス不可能であるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2909	A		はん(汎)用体	はんようたい	generic	適用可能なデータ型のために実言語構成要素を、強い型付けの規則に従って生成するためのひな(雛)形として機能する言語構成要素に関する用語。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2910	A		はん(汎)用体宣言	はんようたいせんげん	generic declaration	はん(汎)用体専用化の間に実パラメタで置き換えられることになるはん(汎)用体パラメタを導入するためのはん(汎)用体言語構成要素の宣言。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2911	A		はん(汎)用体本体	はんようたいほんたい	generic body	はん(汎)用体専用化の間に対応する実言語構成要素の本体のひな(雛)形として機能するはん(汎)用体言語構成要素の本体。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2912	A		はん(汎)用体操作	はんようたいそうさ	generic operation	多重定義の行われる操作であって、特定の一つの操作を指定するのではなく、特定のデータ型の実パラメタに仮パラメタを提供するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2913	A		はん(汎)用体パッケージ	はんようたいぱっけーじ	generic package	関連するアルゴリズム又は操作のためにひな(雛)形を提供することを意図したパッケー	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2914	A		はん(汎)用体モジュール	はんようたいもじゅーる	generic module	はん(汎)用体専用化によってモジュールを生成するためのパラメタ化されたひな(雛)	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2915	A		はん(汎)用体専用化	はんようたいせんようか	generic instantiation	具体的なモジュールを作成するために、はん(汎)用体モジュールからのはん(汎)用体パラメタの問題を解決する過程。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2916	A		はん(汎)用体単位の専用体	はんようたいたんいのせんようたい	generic instance	はん(汎)用体専用化によってはん(汎)用体モジュールから作成される具体的なモジュール。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2917	A		主プログラム	しゅぷろぐらむ	main program	実行されるプログラムの最初のモジュールであって、他のモジュールの実行を引き起こすことがあるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2918	A		タスク	たすく	task	多重プロセッサ上での実行、又は単独のプロセッサ上での切替え実行によって、他のモジュールと並行に実行できるモジュール。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2919	A		危険域	きけんいき	critical section	タスクの一部分であって、その実行中は自分自身の他の部分、又は他のタスクの実行が禁止されているもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2920	A		タスク同期	たすくどうき	task synchronization	複数のタスクが互いに待機し合って活動を調整する手段。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2921	A		ランデブー	らんでぶー	rendezvous	二つのタスク間の相互作用であって、タスク実行の処理過程のある点において、一方の処理過程が時間調整を行って他方を待つことがあるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2922	A		セマフォ、信号灯	せまふぉ、しんごうとう	semaphore	一つ以上のタスクにとって使用可能である資源を、一度に一つのタスクにだけ使用可能にするように、資源へのアクセスを待ち行列によって制御するためのデータ構造。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2923	A		モニタ	もにた	monitor	共用データ対象及び操作の集合であって、並列プロセスにとって使用可能であるが一度に一つのプロセスだけに使用可能である資源に対する要求、又はそのような資源へのアクセスを制御するために、データ対象を操作することがあるもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2924	A		実行順序	じっこうじゅんじょ	execution sequence	宣言の確立、並びに一連の文全体及びその一部分の実行の順番。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2925	A		制御流れ	せいぎょながれ	control flow	一つのプログラム全体を通して、実行順序がとることのできる経路。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2926	A		副作用	ふくさよう	side effect	式、文、又は副プログラムの実行によって引き起こされる間接的な作用。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2927	A		情報隠ぺい(蔽)	じょうほういんぺい	information hiding	利用者が本質的に知っているべきであると考えられる細部以外の、ある言語構成要素又はその特定の細部にアクセスしたり、それらを知ろうとしたりすることを拒否するという原	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2928	A		カプセル化する	かぷせるかする	<to> encapsulate	言語構成要素に対して情報隠ぺい(蔽)を適用する。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2929	A		カプセル化	かぷせるか	encapsulation	カプセル化する過程又はその結果。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2930	A		密閉	みっぺい	private	言語構成要素の利用者にとって直接に使用可能でないような言語構成要素の特性に関する用語。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2931	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	操作及びデータからなる集合であって、操作の結果を格納し保持するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2932	A		メッセージ	めっせーじ	message	オブジェクトに対してその操作の一つを遂行する要求。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2933	A		プロトコル	ぷろとこる	protocol	メッセージの交換においてオブジェクトの振る舞いを決める規則の集まり。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2934	A		メソッド	めそっど	method	メッセージの受取り時にオブジェクトが実行する操作。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2935	A		クラス	くらす	class	オブジェクトに関するひな(雛)形であって、そのようなオブジェクトの専用体用の内部構造と操作の集合とを定義するもの。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2936	A		多様性、多相性、多態性	たようせい、たそうせい、たたいせい	polymorphism	同一のメッセージに対して個々のオブジェクトが異なった応答を行う能力。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2937	A		継承	けいしょう	inheritance	あるクラスから下位クラスに対して、その内部構造及び操作の集まりの全体又は一部分をコピーすること。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2938	A		委譲	いじょう	delegation	あるオブジェクトが、あるメッセージに関するサービスを別のオブジェクトに譲渡することを許可する手段。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2939	A		オブジェクト指向	おぶじぇくとしこう	object-oriented	オブジェクト、クラス及び継承を支援する技法又はプログラム言語に関する用語。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2940	A		添え字指定	そえじしてい	subscripting	配列参照と、評価時に配列の要素の位置を明示する一つ以上の式とによって、配列要素を参照する仕組み。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2941	A		間接参照	かんせつさんしょう	indirect referencing	参照先の言語構成要素を指すデータ対象によって参照する仕組み。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2942	A		初期化する	しょきかする	<to> initialize	データ対象の生存期間の始まりに、そのデータ対象にデータ値を与える。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2943	A		動的記憶割振り	どうてきおくわりふり	dynamic storage allocation	データ対象の有効範囲の実行中にだけ、そのデータ対象に対して記憶空間を割り振るこ	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2944	A		拡張性	かくちょうせい	extensibility	標準の言語構成要素と同じ構文記述方法で新しい言語構成要素の仕様を受け入れ、それを使用することができるプログラム言語の能力。	JIS X 0015	2002	ISO/IEC 2382-15	2000				1999	JTC1
2945	B		情報理論	じょうほうりろん	information theory	情報の測度や性質を取り扱う理論分野。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2946	B		通信理論	つうしんりろん	communication theory	雑音その他妨害の影響下における通報の伝送を取り扱う理論分野。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2947	B		情報の測度	じょうほうのそくど	measure of information	事象の集合から生起する一つ又は一連の事象の確率で定まる適切な関数。(注)情報理論において、“事象”は確率論で使用されるものと同様である。例えば、事象とは、集合の1要素が生起することや通報の指定した位置に特定の文字又は語が生起すること。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2948	B		通報(情報理論、通信理論における)	つうほう(じょうほうりろん、つうしんりろんにおける)	message (in information theory and communication theory)	情報の伝達を目的とする順序付けられた文字列。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2949	B		情報源	じょうほうげん	message source, information source	通信系において通報の発生する部分。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2950	B		通報受端	つうほうじゅたん	message sink	通信系において通報を受け取る部分。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2951	B		通信路(通信理論における)	つうしんろ(つうしんりろんにおける)	channel (in communication theory)	通信系において情報源と通報受端を結ぶ部分。(注)1.符号器が情報源と通信路入力の間に、また復号器が通信路出力と通報受端の間に存在してもよい。一般に、符号器、復号器は通信路の一部とはみなさない。しかし、情報源、通報受端の一部とみなす場合がある。2.シャノンの情報理論においては、情報源からの通報に対して通報受端が受け取る通報の条件付き生起確率で、通信路は特徴付けられる。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2952	B		2元対称通信路	にげんたいしょうつうしんろ	symmetric binary channel	2種の文字から成る通報を伝送する通信路であり、伝送したある文字を、他方の文字に誤る条件付き確率が等しい性質をもつもの。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2953	B		定常情報源	ていじょうじょうほうげん	stationary message source, stationary information source	通報の生起確率が時刻に依存しない情報源。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2954	B		選択情報量	せんたくじょうほうりょう	decision content	有限個の互いに排反な事象の中から、いずれかの事象を選択するために必要な選択回数を意味する対数的尺度。数学的には、この選択情報量は、(#数式有り)で表される。ここで、nは事象の個数である。(例)16.03の末尾参照。(注)1.16.01.03の注参照。2.対数の底により単位が定まる。3.選択情報量は、事象の生起確率に対して独立である。しかし、選択情報量が用いられる場合は、生起確率が等しいと仮定されていることが多い。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2955	B		情報量	じょうほうりょう	information content	確率事象の生起を知ることにより伝えられる情報の測度。数学的には、事象xに対する情報量I(x)は、その事象が生起する確率p(x)の逆数の対数として表される。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2956	B		エントロピー、平均情報量	えんとろぴー、へいきんじょうほうりょう	entropy, mean information content, average information content	有限の完全事象系の中から、いずれの事象が生起したかを知ることにより伝えられる情報の測度の平均値。(例)16.03の末尾参照。(備)完全事象系とは、それを構成する事象が互いに排反であり、すべての事象の和集合が全事象に一致する事象系をいう。(#数	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2957	B		相対エントロピー	そうたいえんとろぴー	relative entropy	エントロピーHと選択情報量(#数式有り)で表される。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2958	B		冗長量(情報理論における)	じょうちょうりょう(じょうほうりろんにおける)	redundancy (in information theory)	選択情報量(#数式有り)(注)通常、通報は、適切な符号を用いて、より少ない文字数で表現できる。冗長量は、符号化により達成される通報の平均長の減少量と考えられる。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2959	B		シャノン、ビット	しゃのん、びっと	shannon, binary unit of information content, bit	情報の測度の単位。互いに排反な二つの事象から成る集合の、2を底とする対数として表された選択情報量に等しい。(例)8文字から成る文字集合の選択情報量は、3シャノン(#数式有り)に等しい。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2960	B		ハートレー	はーとれー	hartley,decimal unit of information content	情報の測度の単位。互いに排反な10個の事象から成る集合の、10を底とする対数として表された選択情報量に等しい。(例)8文字から成る文字集合の選択情報量は、0.903ハートレー(#数式有り)に等しい。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2961	B		ナット	なっと	natural unit of information content, nat	自然対数で表現された情報の測度の単位。(例)8文字から成る文字集合の選択情報量は、(#数式有り)ナットに等しい。(例)3要素から成る文字集合の各文字をa、b、cとし、ある情報源からの通報において各文字が生起する確立を次のとおりとする。(#数式有り)	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2962	B		冗長度(情報理論における)	じょうちょうど(じょうほうりろんにおける)	relative redundancy	(#数式有り)。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2963	B		条件付き情報量	じょうけんつきじょうほうりょう	conditional information content	ある事象が生起したという条件下で他の事象の生起を知ることにより伝えられる情報の測度。(#数式有り)	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2964	B		結合情報量	けつごうじょうほうりょう	joint information content	二つの事象が同時に生起したことを知ることにより伝えられる情報の測度。(#数式有り)	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2965	B		あいまい量、あいまい度	あいまいりょう、あいまいど	equivocation	一つの通信路によって情報源に接続されている通報受端において特定の通報が生起したという条件下で、情報源においてある通報の生起する条件付きエントロピー。(注)1.(#数式有り)として与えられる。2.あいまい量は、雑音のある通信路で影響を受けた受信通報を訂正するために、通報受端において供給しなければならない1通報当たりの付加的	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2966	B		散布量、散布度	さんぷりょう、さんぷど	irrelevance, prevarication, spread	一つの通信路によって通報受端に接続されている情報源において特定の通報が生起したという条件下で、通報受端においてある通報の生起する条件付きエントロピー。(#数式	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2967	B		伝達情報量、相互情報量	でんたつじょうほうりょう、そうごじょうほうりょう	transinformation (content), transferred information, transmitted information, mutual information	事象xの生起を知ることにより伝えられる情報量と、他の事象yが生起したという条件下で事象xの生起を知ることにより伝えられる条件付き情報量との差。(#数式有り)	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2968	B		平均伝達情報量	へいきんでんたつじょうほうりょう	mean transinformation (content), average transinformation (content)	完全事象系の中から一つの事象が生起したという条件下で、他の完全事象系の中から一つの事象が生起したことを知ることにより伝えられる伝達情報量の平均値。(#数式有り)	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2969	B		(1文字当たりの)平均エントロピー、(1文字当たりの)平均情報量、(1文字当たりの)情報速度	(1もじあたりの)へいきんえんとろぴー、(1もじあたりの)へいきんじょうほうりょう、(1もじあたりの)じょうほうそくど	mean entropy (per character), mean information content (per character), average information content (per character), information rate (per character)	定常情報源から出されるすべての通報に対する1文字当たりのエントロピーの平均値。(#数式有り)(注)1.1文字当たりの平均エントロピーは、シャノン/文字などの単位で表現される。2.情報源が定常でないならば、(#数式有り)の極限は存在しない場合がある。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2970	B		(平均)情報速度	(へいきん)じょうほうそくど	(average) information rate	単位時間当たりの平均エントロピー。(#数式有り)(注)平均情報速度はシャノン/秒などの単位で表現される。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2971	B		(1文字当たりの)平均伝達情報量	(1もじあたりの)へいきんでんたつじょうほうりょう	mean transinformation content (per character)	定常情報源から出されるすべての通報に対する1文字当たりの平均伝達情報量。(#数式有り)(注)1文字当たりの平均伝達情報量は、シャノン/文字などの単位で表現される。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2972	B		(平均)伝達情報速度	(へいきん)でんたつじょうほうそくど	(average) Transinformation rate	単位時間当たりの平均伝達情報量。(#数式有り)(注)平均伝達情報速度は、シャノン/秒などの単位で表現される。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2973	B		通信路容量	つうしんろようりょう	channel capacity	情報源から通報を伝送する際の通信路の能力の測度。1文字当たりの平均伝達情報量の最大値又は平均伝達情報速度の最大値で表現される。この最大値は適当な符号を用いれば、任意の小さな誤り確率で達成できる。	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2974	B		条件付きエントロピー、条件付き平均情報量	じょうけんつきえんとろぴー、じょうけんつきへいきんじょうほうりょう	conditional entropy, mean conditional information content, average conditional information	完全事象系の中から一つの事象が生起したという条件下で、条件付きの確率の指定された他の完全事象系の中から一つの事象が生起したことを知ることにより伝えられる情報の測度の平均値。(#数式有り)	JIS X 0016	1987	ISO/IEC 2382-16	1978				1996	JTC1
2975	A		情報理論	じょうほうりろん	information theory	情報の定量的な尺度を取り扱う理論分野。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2976	A		通信理論	つうしんりろん	communication theory	雑音、その他の妨害の影響下における通報の伝送に関する性質を取り扱う理論分野。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2977	A		情報(情報理論における)	じょうほう(じょうほうりろんにおける)	information (in information theory)	事象の集合から生起する事象に関する不確実さを減らしたり取り除いたりする知識。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2978	A		通報(情報理論及び通信理論における)	つうほう(じょうほうりろんおよびつうしんりろんにおける)	message (in information theory and communication theory)	情報の伝達を目的とする、順序付けられた文字列。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2979	A		情報源	じょうほうげん	message source, information source	通信系において通報が発生する部分。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2980	A		通報受端	つうほうじゅたん	message sink, information sink	通信系において通報を受け取る部分。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2981	A		通信路(通信理論における)	つうしんろ(つうしんりろんにおける)	channel (in communication theory)	通信系において情報源と通報受端とを結ぶ部分。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2982	A		2元対称通信路	にげんたいしょうつうしんろ	symmetric binary channel	2進文字から成る通報を伝送する通信路であり、伝送したある文字がもう一方の文字に変化してしまう条件付き確率が等しい性質をもつもの。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2983	A		定常情報源	ていじょうじょうほうげん	stationary message source, stationary information source	通報の生起確率が時刻に依存しない情報源。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2984	A		選択情報量	せんたくじょうほうりょう	decision content	互いに排反な事象から成る有限集合中の事象の数の対数。数学的には、この選択情報量は、H0=log nで表される。ここで、nは事象の数である。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2985	A		情報量	じょうほうりょう	information content	確率事象の生起を知ることによって伝えられる情報の尺度。この尺度はその事象の生起確率の逆数の対数に等しく、数学的には、I(x)=log 1/p(x)= −log p(x)で表される。ここで、p(x)は事象xの生起確率である。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2986	A		エントロピー、平均情報量	えんとろぴー、へいきんじょうほうりょう	entropy, average information content, negentropy (deprecated)	有限の完全事象系の中から、いずれの事象が生起したかを知ることによって伝えられる情報量の平均値。数学的には、H(X)=Σp(xi)I(xi)=Σp(xi)log1/p(xi)で表される。ここで、X={x1、……、xn}は事象xi(i=1、……、n)の集合、I(xi)は事象xiの情報量、及びp(xi)は事象xiの生起確率であって、Σp(xi)=1を満たすものとする。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2987	A		相対エントロピー	そうたいえんとろぴー	relative entropy	エントロピーHと選択情報量Hoとの比Hr。数学的には、Hr=H/H0で表される。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2988	A		冗長量(情報理論における)	じょうちょうりょう(じょうほうりろんにおける)	redundancy (in information theory)	選択情報量H0とエントロピーHとの差R。数学的には、R=H0−Hで表される。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2989	A		冗長度(情報理論における)	じょうちょうど(じょうほうりろんにおける)	relative redundancy	冗長量Rと選択情報量Hoとの比r。数学的には、r=R/H0で表される。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2990	A		条件付き情報量	じょうけんつきじょうほうりょう	conditional information content	ある事象yが生起したという条件下で他の事象xの生起を知ることによって伝えられる情報の定量的な尺度。この尺度は事象yが生起したという条件下の事象xの条件付き確率p(x|y)の逆数に等しい。数学的には、この尺度I(x|y)は、I(x|y)=log1/p(x|y)で表される。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2991	A		結合情報量	けつごうじょうほうりょう	joint information content	二つの事象x及びyが同時に生起したことを知ることによって伝えられる情報の定量的な尺度。この量は両事象の結合確率p(x、y)の逆数の対数に等しい。数学的には、この尺度I(x、y)は、I(x、y)=log1/p(x、y)で表される。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2992	A		条件付きエントロピー、条件付き平均情報量	じょうけんつきえんとろぴー、じょうけんつきへいきんじょうほうりょう	conditional entropy, mean conditional information content, average conditional information content	完全事象系の中から一つの事象が生起したという条件下で、他の完全事象系の中から一つの事象が生起したことを知ることによって伝えられる条件付き情報量の平均値。数学的には、この尺度は、H(X|Y)=Σ Σp(xi、yi)I(xi|yi)で表される。ここで、X={x1、……、xn}は事象xi(i=1、……、n)の集合、Y={y1、……、ym}は事象yj(j=1、……、m)の集合、I(xi|yi)はyiが生起したという条件化でxiの条件付き情報量、及びp(xi、yi)は両事象の	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2993	A		あいまい量、あいまい度	あいまいりょう、あいまいど	equivocation	一つの通信路によって情報源に接続されている通報受端において特定の通報の集合が生起したという条件下で、情報源においてある通報の集合が生起する条件付きエントロ	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2994	A		散布量、散布度	さんぷりょう、さんぷど	irrelevance, prevarication, spread	一つの通信路によって通報受端に接続されている情報源において特定の通報の集合が生起したという条件下で、通報受端においてある通報の集合が生起する条件付きエント	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2995	A		伝達情報量、相互情報量	でんたつじょうほうりょう、そうごじょうほうりょう	transinformation content, transferred information, transmitted information, mutual information	事象xの生起を知ることによって伝えられる情報量I(x)と、他の事象yが生起したという条件下で同じ事象xの生起を知ることによって伝えられる条件付き情報量I(x|y)との差。数学的には、この尺度T(x,y)は、T(x,y) = I(x) − I(x,y)で表される。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
2996	A		平均伝達情報量	へいきんでんたつじょうほうりょう	mean transinformation content, average transinformation content	完全事象系の中から一つの事象が生起したという条件下で、他の完全事象系の中から一つの事象が生起したことを知ることによって伝えられる伝達情報量の平均値。数学的には、この尺度は、T(X、Y)=Σ　Σp(xi、yj)T(xi、yj)で表される。ここで、X={x1、……、xn}は事象xi(i=1、……、n)の集合、Y={y1、……、ym}は事象yj(j=1、……、m)の集合、T(xi、yi)はxi並びにyiの伝達情報量、及びp(xi、yi)は両事象の結合確率である。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2997	A		1文字当たりの平均エントロピー、1文字当たりの平均情報量、1文字当たりの情報速度	1もじあたりのへいきんえんとろぴー、1もじあたりのへいきんじょうほうりょう、1もじあたりのじょうほうそくど	character mean entropy, character mean information content, character average information content,	定常情報源から出されるすべての通報に対する1文字当たりのエントロピーの平均値。数学的には、この尺度H'は極限値H'=lim Hm/mで表される。ここで、Hmは定常情報源から出されるm個の文字から成る全系列についてのエントロピーである。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2998	A		(平均)情報速度	(へいきん)じょうほうそくど	average information rate	1文字当たりの平均エントロピーH'を文字の時間長さの平均値で割ったもの。数学的には、この尺度H*はH*=H'/t(X)で表される。ここで、X={x1、……、xn}は文字xi(i=1、……、n)の集合であり、t(X)=∑p(xi)t(xi)は確率p(xi)で生じる文字xiの時間長さt	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
2999	A		1文字当たりの平均伝達情報量	1もじあたりのへいきんでんたつじょうほうりょう	character mean transinformation content	定常情報源から出されるすべての通報に対する平均伝達情報量の1文字当たりの平均値。数学的には、この尺度T'は、極限値T'=lim Tm/mで表される。ここで、Tmはm個の文字から成る入力及び出力の系列間の平均伝達情報量である。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
3000	A		平均伝達情報速度	へいきんでんたつじょうほうそくど	average transinformation rate	1文字当たりの平均伝達情報量T'を、入力文字及び出力文字の対の時間の平均値で割ったもの。数学的には、この尺度T*は、T*=T'/t(X、Y)で表される。ここで、X={x1、……、xn}は入力文字xi(i=1、……、n)の集合、Y={y1、……、ym}は出力文字yj(j=1、……、m)の集合、及びt(X、Y)=Σ Σp(xi、yj)t(xi、yj)は結合確率p(xi、yj)で生起する文字の組(xi、yi)の時間長t(xi、yi)の平均値である。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
3001	A		通信路容量	つうしんろようりょう	channel capacity	情報源から通報を伝送する際の通信路の能力の尺度。1文字当たりの平均伝達情報量の最大値又は平均伝達情報速度の最大値で表現される。この最大値は適当な符号を用いれば、任意の小さな誤り確率で達成できる。	JIS X 0016	1997	ISO/IEC 2382-16	1996				1996	JTC1
3002	A		データベース	でーたべーす	database	適用業務分野で使用するデータの集まりであって、データの特性とそれに対応する実体の間の関係とを記述した概念的な構造によって編成されたもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3003	A		スキーマ	すきーま	schema	思考の特定のレベルに関係する、データベースの構造についての完結した記述。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3004	A		データベース管理システム、DBMS(省略形)	でーたべーすかんりしすてむ、DBMS	database management system, DBMS (abbreviation)	データベースの定義、生成、操作、制御、管理及び使用のための、ハードウェア及びソフトウェアに基づいたシステム。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3005	A		情報システム(データベースにおける)	じょうほうしすてむ(でーたべーすにおける)	information system (in databases)	情報の維持及び操作のためのシステムを形成する概念スキーマ、情報ベース及び情報処理系。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3006	A		経営情報システム、MIS(省略形)	けいえいじょうほうしすてむ、MIS	management information system, MIS (abbreviation)	組織の管理者層による意思決定を支援する情報処理システム。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3007	A		利用者ビュー	りようしゃびゅー	user view	特定の利用者又は利用者グループにとっての論議領域の見方、及び関連する情報であって、対応するデータの集まりによって表現されたもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3008	A		(1)データモデル	(1)でーたもでる	data model	情報システムにおける形式的記述、及び適用されるデータベース管理システムの要件に従って、データベースの中のデータを構造化するパターン。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3009	A		(2)データモデル	(2)でーたもでる	data model	組織(企業、官公庁など)における情報構造を反映した方法でのデータ編成の記述。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3010	A		データモデル化機能、DMF(省略形)	でーたもでるかきのう、DMF	data modeling facility, DMF (abbreviation)	データモデル(17.01.08)を実現するためのソフトウェア。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3011	A		データ構造化規則	でーたこうぞうかきそく	data structuring rule	データの構造を、特定のデータ型の実現値として指定する規則。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3012	A		データ対象(データベースにおける)	でーたたいしょう(でーたべーすにおける)	data object	一つの単位として扱われるデータであって、既知であるか又は既知であるとみなしたデータ構造の実現値を表現するもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3013	A		データ操作規則	でーたそうさきそく	data manipulation rule	特定のデータ型のデータに対して許容された操作に従って、そのデータ型の実現値としてのデータ対象を操作するための規則。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3014	A		データベーススキーマ	でーたべーすすきーま	database schema	次の二つの特性をもつスキーマの集まり。a)特定の論議領域又は実体世界に関する思考の特定のレベル、及び適切なデータベースの見方に関係する。b)思考の各レベルに関連する情報ベースの矛盾のない文の集まりの表現形式を定義し、これらの形式に対する操作の側面を含む。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3015	A		データベースサブスキー	でーたべーすさぶすきー	database subschema	データベーススキーマのうち一つ以上の適用業務に関係する部分。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3016	A		概念レベル	がいねんれべる	conceptual level	情報システムにおける論議領域の特性又は実体世界を記述した情報の解釈及び操作だけに限った見方。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3017	A		概念モデル	がいねんもでる	conceptual model	論議領域の特性の、実体及び実体関連による表現。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3018	A		命題	めいだい	proposition	実体に関係する事象について認識できる状態であって、その事象に関して成立していることを主張したり否定したりできるもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3019	A		情報ベース	じょうほうべーす	information base	特定の実体世界に関して成立する命題を表現した文の集まりであって、文同士でも概念スキーマとも矛盾しないもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3020	A		実体	じったい	entity	現在に存在し、過去に存在し、又は将来に存在し得る、具体的又は抽象的な事物、及び事物間の結び付き。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3021	A		論議領域、対象領域	ろんぎりょういき、たいしょうりょういき	universe of discourse	特定の文脈において関心のあるすべての実体。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3022	A		実体世界	じったいせかい	entity world	論議領域の特定の見方に関連する実体の集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3023	A		実体クラス	じったいくらす	entity class	共通の属性をもつ実体の集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3024	A		(実体)実現値	(じったい)じつげんち	(entity) occurrence, (entity) instance	ある実体クラスの特定の実体。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3025	A		属性	ぞくせい	attribute	実体の、名前付きの特性。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3026	A		属性値、値	ぞくせいち、あたい	(attribute) value	ある属性の特定の実現値。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3027	A		属性定義域、定義域(データベースにおける)	ぞくせいていぎいき、ていぎいき(でーたべーすにお	(attribute) domain	ある属性のとり得るすべての値の集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3028	A		属性クラス	ぞくせいくらす	attribute class	ある実体クラスの実体実現値に関して、同じ特性に対応してとり得るすべての属性値の	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3029	A		実体識別、識別	じったいしきべつ、しきべ	(entity) identification	一つ以上の属性の属性値によって特定の実体の実現値を一意に識別する方法。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3030	A		実体関連、関連	じったいかんれん、かんれ	(entity) relationship	実体間、又は同じ実体クラスの属性間の認識された結び付き。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3031	A		属性関連、関連	ぞくせいかんれん、かんれ	(attribute) relationship	属性間の認識された結び付き。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3032	A		従属性	じゅうぞくせい	dependency	ある実体又は属性は、別の実体又は属性がそれぞれ存在するときに限り、存在することを示す実体関連又は属性関連。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3033	A		動作	どうさ	action	情報ベース又は概念スキーマに存在する文の集まりに対する一連の基本動作であって、一つの単位として扱われ、文の集まりを別の文の集まりに変更したり、検索したりす	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3034	A		基本動作	きほんどうさ	elementary action	スキーマの文脈に従った、文の挿入、削除又は検索。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3035	A		許容動作	きょようどうさ	permissible action	指定された規則又は制約に合致する動作であって、情報ベース又は概念スキーマに存在する、矛盾のない文の集まりを別の矛盾のない文の集まりに変更したり、矛盾のない文の集まりを検索したりすること。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3036	A		外部レベル	がいぶれべる	external level	利用者向きの情報表現に限った立場で思考するレベル。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3037	A		内部レベル	ないぶれべる	internal level	情報システムの物理的な実現方法に従った情報表現に限った立場で思考するレベル。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3038	A		外部スキーマ	がいぶすきーま	external schema	データベーススキーマのうちで外部レベルと関係する部分であって、特定の利用者ビューの立場で起こり得る文の集まりの外部表現と、その表現に対する操作面とを定義	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3039	A		内部スキーマ	ないぶすきーま	internal schema	データベーススキーマのうちで内部レベルと関係する部分であって、特定の利用者ビューの立場で可能な文の集まりの内部表現と、その表現に対する操作面とを定義した	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3040	A		概念スキーマ	がいねんすきーま	conceptual schema	論議領域で成立すべき命題を表現する矛盾のない文の集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3041	A		概念サブスキーマ	がいねんさぶすきーま	conceptual subschema	概念スキーマのうち一つ以上の適用業務に関係する部分。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3042	A		論理レベル	ろんりれべる	logical level	概念スキーマ及び対応する情報ベースには従い、物理的な実現方法は抽象化して、データベース及びそのアーキテクチャを取り扱う立場で思考するレベル。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3043	A		物理レベル	ぶつりれべる	physical level	データ構造の物理表現、並びにデータ処理システム内でのデータ構造とその対応する記憶編成及びアクセス操作との間の写像の立場で思考するレベル。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3044	A		論理スキーマ	ろんりすきーま	logical schema	データベーススキーマのうち、論理レベルと関係する内部スキーマの部分。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3045	A		物理スキーマ	ぶつりすきーま	physical schema	データベーススキーマのうち、物理レベルと関係する内部スキーマの部分。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3046	A		記憶編成	きおくへんせい	storage organization	データ構造とその結び付きとに対応した、記憶装置の配置及びアクセス操作の組合せ	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3047	A		(データベース)ファイル編成	(でーたべーす)ふぁいるへんせい	(database) file organization	特定のファイル及びそのレコードのデータ構造に従った記憶領域の配置及びアクセス法の実現であって、それによってデータベースの一部分であるファイルを提供するもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3048	A		主キー、一次キー	しゅきー、いちじきー	primary key	一つのレコードを一意に識別するキー。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3049	A		副キー、二次キー	ふくきー、にじきー	secondary key	主キーではないキーであって、索引が維持されており、識別されるレコードが二つ以上あってもよいもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3050	A		アクセス経路	あくせすけいろ	access path	必要とするデータに到達するアドレスの連鎖。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3051	A		アクセス経路独立性	あくせすけいろどくりつせい	access path independence	アクセス経路が変更されてもプログラムの中でデータの論理記述を変更する必要のないように、データの論理記述をそのアクセス経路から独立させること。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3052	A		現在ポインタ	げんざいぽいんた	current pointer	データ操作言語の命令文を実行すると必要に応じて更新されるポインタであって、データ操作における現在レコードの場所を識別するもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3053	A		入口点(データベースにおける)	いりぐちてん(でーたべーすにおける)	entry point (in databases)	利用者の指令によってデータベースの中に入ったときに、最初にアクセスされるレコード。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3054	A		関係	かんけい	relation	同じ属性をもつ実体実現値及びそれらの属性の集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3055	A		関係クラス	かんけいくらす	relation class	同じ属性の集まりを共通にもつすべての関係。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3056	A		関係構造	かんけいこうぞう	relational structure	関係として配置されるデータの構造。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3057	A		関係モデル	かんけいもでる	relational model	その構造が関係の集まりに基づくデータモデル。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3058	A		関係データベース	かんけいでーたべーす	relational database	関係によってデータが編成されアクセスされるデータベース。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3059	A		関係データベース管理システム、RDBMS(省略形)	かんけいでーたべーすかんりしすてむ、RDBMS	relational database management system, RDBMS (abbreviation)	関係データベース用に設計されたデータベース管理システム。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3060	A		組	くみ	tuple	関係データベースにおける関係の一部分であって、実体とその属性とを一意に記述する	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3061	A		関係代数	かんけいだいすう	relational algebra	関係を表現し操作するための代数。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3062	A		射影	しゃえい	projection	関係代数の演算の一つであって、ある関係から属性の部分集合を使用して新しい関係を作り出すもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3063	A		選択	せんたく	selection	関係代数の演算の一つであって、ある関係から実体実現値の部分集合である、新しい関係を作り出すもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3064	A		結合	けつごう	join	関係代数の演算の一つであって、各関係の一つ以上の属性に関し共通の定義域をもつ二つ以上の関係から一つの新しい関係を作り出すもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3065	A		正規化(データベースにおける)	せいきか(でーたべーすにおける)	normalization	一つの関係を、属性間の冗長性及び矛盾を排除して、より単純な一つ以上の関係に変換する過程であって、参照整合性の維持に役立つ。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3066	A		参照整合性	さんしょうせいごうせい	referential integrity	外部キーの属性値が、他の関係の主キーの値と同一であるか、又はナル値であるような、関係の集まりのもつ特性。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3067	A		基数(データベースにおける)	きすう(でーたべーすにおける)	cardinality	関係データベースにおける、関係の中の組の個数。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3068	A		外部キー	がいぶきー	foreign key	一つの関係における、別の関係の中の主キーに対応する属性のグループ。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3069	A		カーソル(データベースにおける)	かーそる(でーたべーすにおける)	cursor (in databases)	関係データベースにおける、表の中の行へのポインタであって、その表の中を移動するために使用されるもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3070	A		関数従属性	かんすうじゅうぞくせい	functional dependence	関係の属性の対(A、B)の性質であって、Aの各属性値に対し、関連するBの属性値が一つだけ存在するもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3071	A		階層モデル	かいそうもでる	hierarchical model	データモデルであって、その構造のパターンが木構造に基づいているもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3072	A		木構造	きこうぞう	tree structure	実体又は属性をノードとして配置したデータ構造であって、各ノードにはたかだか一つの親ノードがあり、かつ、根ノードが一つしかないもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3073	A		ネットワークモデル	ねっとわーくもでる	network model	データモデルであって、その構造パターンがネットワーク構造に基づいているもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3074	A		ネットワーク構造	ねっとわーくこうぞう	network structure	実体又は属性をノードとして配置したデータ構造であって、木構造とは違い、ノードが複数の親ノードをもつことが可能であるもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3075	A		根ノード	ねのーど	root node	親ノードをもたないノード。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3076	A		親ノード	おやのーど	parent node	直接に従属するノードを少なくとも一つもつノード。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3077	A		終端ノード、葉	しゅうたんのーど、は	terminal node, leaf	従属するノードをもたないノード。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3078	A		レコード(データベースにおける)	れこーど(でーたべーすにおける)	record	レコード型の実現値であるデータ対象。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3079	A		データ型(データベースにおける)	でーたがた(でーたべーすにおける)	data type	指定されたデータ構造をもつデータ対象の定義された集まり、及び許容された操作の集まりであって、これらの操作の一つを実行するときにそのデータ対象が作用対象としての役割を果たすもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3080	A		合成型	ごうせいがた	composite type	一つ以上のデータ型をもつデータ構造で構成されたデータ型であって、許容された操作の固有の集まりをもつもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3081	A		レコード型(データベースにおける)	れこーどがた(でーたべーすにおける)	record type (in databases)	フィールド型又は他のレコード型を構成要素とする合成型。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3082	A		データ欄、フィールド(データベースにおける)	でーたらん、ふぃーるど(でーたべーすにおける)	(data) field	フィールド型の実現値であるデータ対象。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3083	A		フィールド型	ふぃーるどがた	field type	データ型であって、その実現値は、概念的な文脈では基本項目であり、その文脈では基本的な性質の情報を表現するもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3084	A		親子集合(ネットワークモデルにおける)	おやこしゅうごう(ねっとわーくもでるにおける)	set (in a network model)	対応する親子集合型に従った、レコードの名前付きの集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3085	A		親子集合型	おやこしゅうごうがた	set type (in a network model)	レコード型の名前付きの集まりであって、親レコードである一つのレコード型と、子レコードである一つ以上のレコード型とから成り、かつ、親レコードのレコード型と他のレコード型との間に階層関係があるもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3086	A		親レコード(ネットワークモデルにおける)	おやれこーど(ねっとわーくもでるにおける)	owner record (in a network model)	一つの親子集合の中で他のすべてのレコードに対して上位にあるレコード。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3087	A		子レコード(ネットワークモデルにおける)	これこーど(ねっとわーくもでるにおける)	member record (in a network model)	一つの親子集合の中で親レコードの下位にあるレコード。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3088	A		領域(ネットワークモデルにおける)	りょういき(ねっとわーくもでるにおける)	realm (in a network model)	一つの単位として開いたり閉じたりすることのできるデータベースの一部分。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3089	A		データ辞書、情報資源辞書、IRD(省略形)	でーたじしょ、じょうほうしげんじしょ、IRD	data dictionary, information resource dictionary, IRD	メタデータからなるデータベース。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3090	A		データ要素(データベースにおける)	でーたようそ(でーたべーすにおける)	data element	論議領域の対象とそれらを表現した語との間に確立される関連であって、名前をもち、基本的な単位として扱われるもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3091	A		データ記述	でーたきじゅつ	data description	データ要素及びデータ構造の形式的な記述であって、データ要素の名前及び語を用いる	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3092	A		データ辞書システム、情報資源辞書システム、IRDS(省略形)	でーたじしょしすてむ、じょうほうしげんじしょしすてむ、IRDS	data dictionary system, information resource dictionary system, IRDS (abbreviation)	データ辞書の定義、生成、更新、処理及び使用のためのソフトウェアシステム。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3093	A		メタデータ	めたでーた	metadata	データ記述を含むデータ要素に関するデータ、並びにデータの所有者、アクセス経路、アクセス権及びデータの変更度に関するデータ。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3094	A		データの変更度	でーたのへんこうど	data volatility	ある時間間隔におけるデータの変更回数に関係するデータの特性。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3095	A		データベース言語	でーたべーすげんご	database language	データベースの生成、モデル化、実現、記述、使用、管理などの緒活動を支援するために使用する言語。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3096	A		概念スキーマ言語	がいねんすきーまげんご	conceptual schema language	計算機及び人間による解析が可能なデータベース言語であって、命題及びその操作を、動作・記述の対、指令・条件の対などによって表現するために必要な言語構成要素のすべてを含むもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3097	A		データ定義言語、データ記述言語、DDL(省略形)	でーたていぎげんご、でーたきじゅつげんご、DDL	data definition language, data description language, DDL (abbreviation)	データベース内のデータ及びデータ構造を記述するためのデータベース言語。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3098	A		データ操作言語、DML(省略形)	でーたそうさげんご、DML	data manipulation language, DML	データベース管理システムの一環として用意されるデータベース言語であって、データベースにアクセスし、データの生成、検索、読取り、書込み、削除などの操作を行うため	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3099	A		記憶構造言語	きおくこうぞうげんご	storage structure language	特定の記憶装置又はオペレーティングシステムに依存することなく記憶編成を定義するためのデータベース言語。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3100	A		データベース管理言語、DAL(省略形)	でーたべーすかんりげんご、DAL	database administration language, DAL	データベース管理用のデータベース言語。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3101	A		問合せ言語	といあわせげんご	query language	利用者がデータベース内のデータを検索し、場合によってはそれを変更するデータ操作	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3102	A		問合せ	といあわせ	query	指定した条件に基づいて、データベースからデータを直接に抽出したり、ある結果を導き出したりする要求。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3103	A		関係言語	かんけいげんご	relational language	関係データベースへのアクセス、問合せ及び変更のためのデータベース言語。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3104	A		埋込み言語、埋込みデータベース言語	うめこみげんご、うめこみでーたべーすげんご	embedded (database) language	データベースを使用するための命令文の集まりであって、既存のプログラム言語に追加されるもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3105	A		独立データベース言語、独立言語	どくりつでーたべーすげんご、どくりつげんご	self-contained (database) language	データベース言語であって、データベースを使用する完結した応用プログラムを作成でき、親言語の中に埋め込む必要のないもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3106	A		親言語(データベースにおける)、ホスト言語	おやげんご(でーたべーすにおける)、ほすとげんご	host language (in databases)	埋込み言語を含むことができるプログラム言語。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3107	A		述語	じゅつご	predicate	概念スキーマ言語の中の言語構成要素であって、動詞に似ており、文の中で参照される実体を修飾するもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3108	A		項	こう	term	概念スキーマ言語の中で実体を指す言語構成要素。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3109	A		文	ぶん	sentence	概念スキーマ言語の中で命題を表現する言語構成要素。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3110	A		異義語	いぎご	homonyms	異なった実体を指す同じ項の集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3111	A		同義語、シノニム	どうぎご、しのにむ	synonyms	同じ実体を指す異なった項の集まり。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3112	A		データベース機械	でーたべーすきかい	database machine	データベース適用業務及び場合によってはデータベース実現用に専用に設計された計	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3113	A		分散データベース	ぶんさんでーたべーす	distributed database	物理的には分散して配置されているが、論理的には利用者がデータベースを集中的に見ることのできるような方法でデータベース管理システムによって扱われるデータベー	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3114	A		データベースハンドラ	でーたべーすはんどら	database handler	データベース管理システムの構成要素であって、データベース呼出しを解釈し、対応するデータベースへのアクセスを調整し、実行するもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3115	A		データベース管理	でーたべーすかんり	database administration	データベースの全データの定義、編成、管理、制御及び保護に関する諸機能の遂行。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3116	A		データベース管理者	でーたべーすかんりしゃ	database administrator	データベースの管理に責任をもつ人又はそのグループ。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3117	A		データ管理	でーたかんり	data administration	組織(企業、官公庁など)のデータの指定、収集、提供、維持などの諸機能の遂行。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3118	A		データベースユーティリ	でーたべーすゆーていり	database utility	データベース全体としての導入、利用又は維持のためのプログラム。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3119	A		データベースキー	でーたべーすきー	database key	データベース管理システムによって割り当てられる主キー。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3120	A		主索引、一次索引	しゅさくいん、いちじさくいん	primary index	主キー用の索引。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3121	A		副索引、二次索引	ふくさくいん、にじさくいん	secondary index	副キー用の索引。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3122	A		転置	てんち	inverted	副キーからみたファイル、レコードの集まり又は関係に関する用語。その副キーからは、そのファイル、レコードの集まり又は関係への索引が存在する。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3123	A		更新前コピー	こうしんまえこぴー	before-image	変更前のブロック又はレコードのコピー。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3124	A		更新後コピー	こうしんごこぴー	after-image	変更後のブロック又はレコードのコピー。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3125	A		ロードする(データベースにおける)	ろーどする(でーたべーすにおける)	<to> load (in databases)	データをデータベースに投入する。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3126	A		回復(データベースにおける)	かいふく(でーたべーすにおける)	recovery (in databases)	バックアップファイル、更新後コピーなどによるデータベースの復元。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3127	A		再始動(データベースにおける)	さいしどう(でーたべーすにおける)	restart (in databases)	誤りからの回復後のデータベース管理システムの開始。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3128	A		コールドスタート	こーるどすたーと	cold start	更新前コピー又は更新後コピーの前処理を伴わないデータベース管理システムの開始。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3129	A		ウォームスタート	うぉーむすたーと	warm start	更新前コピー又は更新後コピーの前処理を伴うデータベース管理システムの開始。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3130	A		再構成	さいこうせい	restructuring	情報システムの実際の状態に従うようにデータベースの論理構造を変更することであって、対応する再編成を含む。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3131	A		再編成	さいへんせい	reorganization	実際のデータ構造に従うように、又は実際のデータ構造へのよりよい適合を目的として、データベースの記憶編成を変更することであって、データベースの中の既存のデータを新しい編成に対して適応させることも含む。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3132	A		空き領域管理	あきりょういきかんり	free-space administration	データベース用に使用可能な記憶領域を管理するための手段又はプログラムの使用。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3133	A		データの独立性	でーたのどくりつせい	data independence	適用業務プログラムがデータ構造の変更から独立であることを可能にする、データベース管理システムの性質。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3134	A		利用者	りようしゃ	user	計算機システムに指令又はメッセージを出したり、計算機システムからメッセージを受け取ったりする人又はもの。	JIS X 0017	1997	ISO/IEC 2382-17	1996				1999	JTC1
3135	A		ネットワーク、網	ねっとわーく、もう	network	ノードとそれらを相互接続する枝の配置。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3136	A		ノード(分散データ処理における)、節点(分散データ処理における)	のーど(ぶんさんでーたしょりにおける)、せってん(ぶんさんでーたしょりにおける)	node	ネットワークにおいて、枝の終端の点。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3137	A		枝、ブランチ	えだ、ぶらんち	branch	ネットワークにおいて、二つの隣接ノードを接続し、中間ノードのないパス。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3138	A		パス、経路	ぱす、けいろ	path	ネットワークにおける任意の二つのノード間の任意の通路。(備)パスは、二つ以上の枝を含んでもよい。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3139	A		隣接ノード、隣接節点	りんせつのーど、りんせつせってん	adjacent node	他のノードを含まない少なくとも一つのパスで接続された二つのノード。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3140	A		端点、周辺ノード、周辺節点	たんてん、しゅうへんのーど、しゅうへんせってん	endpoint node,peripheral node	一つの枝の終端だけであるノード。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3141	A		中間ノード、中間節点	ちゅうかんのーど、ちゅうかんせってん	intermediate node	二つ以上の枝の終端を兼ねるノード。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3142	A		線状ネットワーク、線状網	せんじょうねっとわーく、せんじょうもう	linear network	ただ二つの端点と、任意の数の中間ノードがあり、任意の二つのノード間に唯一のパスしかないネットワーク。(備)(#図有り)	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3143	A		環状ネットワーク、環状網、ループ	かんじょうねっとわーく、かんじょうもう、るーぷ	ring network, loop	すべてのノードが必ず二つの枝をもち、任意の二つのノード間に必ず二つのパスがあるネットワーク。(備)ノードはすべて閉じた線上にある。(#図有り)	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3144	A		木状ネットワーク、木状網	きじょうねっとわーく、きじょうもう	tree network	任意の二つのノード間に一つのパスしかないネットワーク。(備)(#図有り)	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3145	A		星状ネットワーク、星状網	ほしじょうねっとわーく、ほしじょうもう	star network	中間ノードが一つしかない木状ネットワーク。(備)(#図有り)	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3146	A		網目状ネットワーク、網目状網	あみめじょうねっとわーく、あみめじょうもう	mesh network	ノード間に二つ以上のパスをもつノードが、少なくとも二つ以上あるネットワーク。(#図有り)	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3147	A		完全接続ネットワーク、完全接続網	かんぜんせつぞくねっとわーく、かんぜんせつぞく	fully-connected network	任意の二つのノード間に必ず枝をもつネットワーク。(備)(#図有り)	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3148	A		計算機ネットワーク	けいさんきねっとわーく	computer network	データ通信のために相互に接続されたデータ処理ノードからなるネットワーク。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3149	A		ネットワークアーキテクチャ	ねっとわーくあーきてくちゃ	network architecture	計算機ネットワークの論理構造及び動作原則。(備)ネットワークの動作原則は、サービス、機能及びプロトコルの動作原則を含む。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3150	A		セション	せしょん	session	ネットワークアーキテクチャにおいて、機能単位間のデータ通信のために行われる接続の、確立、維持及び解放に関するすべての動作。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3151	A		層、レイヤ	そう、れいや	layer	ネットワークアーキテクチャにおいて、概念的に完結した、サービス、機能及びプロトコルのグループ。このグループは、階層的に並べられたグループの集合の一つであり、そのネットワークアーキテクチャに適合するすべてのシステムに横断的に適用される。(備)(#	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3152	A		サービス	さーびす	service	ネットワークアーキテクチャにおいて、ある層がエンドユーザに近い隣接の層に提供する能力。(備)1.ある層が提供するサービスは、その層よりも物理的媒体に近い層が提供するサービスに依存する。(#図有り)	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3153	A		分散データ処理、DDP(省略形)	ぶんさんでーたしょり、DDP	distributed data processing, DDP	入出力機能に加えて、処理、記憶、制御機能の一部又はすべてがデータ処理ステーション間で分散されるデータ処理。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3154	A		遠隔アクセスデータ処理	えんかくあくせすでーたしょり	remote-access data processing	入出力機能が、データ通信手段によって計算機システムに接続されている装置で実行されるデータ処理。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3155	A		階層形計算機ネットワーク	かいそうがたけいさんきねっとわーく	hierarchical computer network	制御機能が階層的に構成され、データ処理ステーション間に分散できる計算機ネットワーク。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3156	A		同種計算機ネットワーク	どうしゅけいさんきねっとわーく	homogeneous computer network	すべての計算機が類似又は同一のアーキテクチャをもつ計算機ネットワーク。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3157	A		異種計算機ネットワーク	いしゅけいさんきねっとわーく	heterogeneous computer network	計算機が互いに異なるアーキテクチャをもつが相互に通信できる計算機ネットワーク。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3158	A		データ処理ノード	でーたしょりのーど	data processing node	計算機ネットワークにおいて、データ処理装置が配置されているノード。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3159	A		ホスト計算機	ほすとけいさんき	host computer	計算機ネットワークにおいて、エンドユーザに計算やデータベースアクセスのようなサービスを提供し、ネットワーク制御機能を実行できる計算機。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3160	A		ホストノード	ほすとのーど	host node	ホスト計算機が配置されたノード。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3161	A		データ処理ステーション	でーたしょりすてーしょん	data processing station	データ処理ノードにおいて、データ処理装置とそれに関連するソフトウェア。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3162	A		ワークステーション	わーくすてーしょん	work station	人間が操作し、通常端点に配置されるデータ処理ステーション。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3163	A		前置プロセッサ、フロントエンドプロセッサ	ぜんちぷろせっさ、ふろんとえんどぷろせっさ	front end processor	計算機ネットワークにおいて、回線制御、メッセージ操作、コード変換、誤り制御のような仕事をホスト計算機に代わって処理するプロセッサ。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3164	A		ドメイン、定義域	どめいん、ていぎいき	domain	データ処理の資源が共通の制御下に置かれている計算機ネットワークの一部分。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3165	A		隣接ドメイン、隣接定義域	りんせつどめいん、りんせつていぎいき	adjacent domain	隣接ノードに置かれた装置によって相互接続された二つのドメイン。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3166	A		エンドユーザ	えんどゆーざ	end user	データ処理と情報交換のために、計算機ネットワークを使用する人、装置、プログラム又は計算機システム。	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3167	A		ゲートウェイ	げーとうぇい	gateway	異なるネットワークアーキテクチャをもつ二つの計算機ネットワークを相互に接続する機	JIS X 0018	1989	ISO 2382-18	1987				1999	JTC1
3168	A		アナログ変数	あなろぐへんすう	analog variable	数式の変数又は物理量に対応する連続信号。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3169	A		演算増幅器	えんざんぞうふくき	operational amplifier	各種の演算器を構成するために外部素子を付加して使用する増幅器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3170	A		アナログ加算器	あなろぐかさんき	summer, analog adder	複数の入力アナログ変数を単に加算又はそれぞれの入力アナログ変数を加重加算した出力アナログ変数を得る演算器。(参)単に加算器ともいう。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3171	A		符号変換器	ふごうへんかんき	inverter	入力アナログ変数と大きさが等しく、かつ符号が反対の出力アナログ変数を得る演算	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3172	A		係数器	けいすうき	coefficient unit, scale multiplier	入力アナログ変数を定数倍した出力アナログ変数を得る演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3173	A		アナログ乗算器、アナログ掛算器	あなろぐじょうざんき、あなろぐかけざんき	analog multiplier	二つの入力アナログ変数の積に比例した出力アナログ変数を得る演算器。(備)この用語は、サーボ乗算器のように二つ以上の乗算ができる装置にも適用する。(参)単に乗算器又は掛算器ともいう。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3174	A		1/4自乗乗算器	1/4じじょうじょうざんき	quarter-squares multiplier	XY=[(X+Y)2乗-(X-Y)2乗]/4の関係式に基づいて乗算出力アナログ変数を得る演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3175	A		アナログ除算器、アナログ割算器	あなろぐじょざんき、あなろぐわりざんき	analog divider	二つの入力アナログ変数の商に比例した出力アナログ変数を得る演算器。(参)単に除算器又は割算器ともいう。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3176	A		積分器	せきぶんき	integrator	入力アナログ変数を時間に関して積分した出力アナログ変数を得る演算器。(備)積分器によっては時間以外の積分変数とみなすことができる。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3177	A		加算積分器	かさんせきぶんき	summing integrator	入力アナログ変数を加重加算し、時間に関して積分した出力アナログ変数を得る演算	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3178	A		関数発生器	かんすうはっせいき	function generator	入力アナログ変数のある関数に等しい出力アナログ変数を得る演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3179	A		固定関数発生器	こていかんすうはっせいき	fixed function generator	発生する関数が固定されており、利用者によって変更が不可能な関数発生器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3180	A		可変関数発生器	かへんかんすうはっせい	variable function	発生する関数が計算する前又は計算途中に利用者によって設定できる関数発生器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3181	A		比較器(アナログ計算における)	ひかくき(あなろぐけいさんにおける)	comparator (in analog computing)	二つの入力アナログ変数を比較し、その比較結果を示す演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3182	A		リミタ(アナログ計算における)	りみた(なあろぐけいさんにおける)	limiter (in analog computing)	アナログ変数が規定域を超過するのを制限する演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3183	A		不感帯要素	ふかんたいようそ	dead-zone unit	出力アナログ変数が入力アナログ変数の特定範囲内では一定である演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3184	A		リゾルバ	りぞるば	resolver	極座標で与えられた入力アナログ変数を、直角座標の出力アナログ変数に変換する演算器。又はその逆変換を行う演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3185	A		アナログ-ディジタル変換器、A/D変換器、ADC(省略形)	あなろぐ-でぃじたるへんかんき、A/Dへんかんき、ADC	analog-to-digital converter, A/D converter, ADC (abbreviation)	データをアナログ表現からディジタル表現に変換する演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3186	A		ディジタル-アナログ変換器、D/A変換器、DAC(省略形)	でぃじたる-あなろぐへんかんき、D/Aへんかんき、DAC	digital-to-analog converter, D/A converter, DAC (abbreviation)	データをディジタル表現からアナログ表現に変換する演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3187	A		追従保持要素、トラックホールドユニット	ついじゅうほじようそ、とらっくほーるどゆにっと	track and hold unit,track and store unit	外部論理信号によって、入力アナログ変数又はその標本値に等しい出力アナログ変数を得る演算器。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3188	A		係数設定モード	けいすうせっていもーど	potentiometer set mode	アナログ計算機の設定モードであって、問題の係数値を動作するモード。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3189	A		テストモード	てすともーど	static test mode	アナログ計算機の設定モードであって、特定の初期条件を与えるために演算器相互間の接続の状態を調べ、更に積分器以外のすべての演算器の正常な動作を確認するモー	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3190	A		初期条件モード、リセットモード	しょきじょうけんもーど、りせっともーど	initial condition mode, reset mode	アナログ計算機の動作モードであって、積分器は動作させないで初期条件を設定するモード。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3191	A		演算モード	えんざんもーど	compute mode, operate mode	アナログ計算機の動作モードであって、演算を実行し解を求めるモード。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3192	A		保持モード	ほじもーど	hold mode	アナログ計算機の動作モードであって、積分が停止しすべての変数をこのモードに入った時の値に保持するモード。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3193	A		時間変換係数	じかんへんかんけいすう	time scale (factor)	解く問題の時間軸を計算機の時間軸に変換するのに使う係数。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3194	A		実時間演算(アナログ計算における)	じつじかんえんざん(あなろぐけいさんおける)	real-time operation (in analog computing)	時間変換係数が1で行われる演算。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3195	A		繰返し演算	くりかえしえんざん	repetitive operation	初期条件と他のパラメタの決まった組合せに従い、自動的繰返しによって方程式の解を求める演算。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3196	A		反復演算、自動設定繰返し演算	はんぷくえんざん、じどうせっていくりかえしえんざん	iterative operation, automatic sequential operation	初期条件又は他のパラメタの組合せ順序に従い、自動的にパラメタを設定する機構によって方程式の各解を求める演算。(備)反復演算は、境界値問題又はシステムパラメタの最適化問題の解を自動的に求めるのに使用する。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3197	A		演算器(アナログ計算における)	えんざんき(あなろぐけいさんにおける)	functional unit (in analog computing)	入力に対して特定の演算を施した出力を得る装置。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3198	A		アナログスイッチ	あなろぐすいっち	analog switch	外部論理信号で入力アナログ変数を選択した出力をえる。	JIS X 0019	1994	ISO 2382-19	1989				1989	JTC1
3199	A		システム開発	しすてむかいはつ	system development	通常、要求分析、システム設計、実現、文書化及び品質保証を含む過程。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3200	A		要件、要求、要求事項	ようけん、ようきゅう、ようきゅうじこう	requirement	システムが満たされなければならない必す(須)条件。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3201	A		仕様(書)	しよう(しょ)	specification	システムの開発又は妥当性確認のためにそのシステムを明確に規定する、文書化された詳細な記述。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3202	A		形式仕様(書)	けいしきしよう(しょ)	formal specification	実現の妥当性を数学的に証明するため、又は実現を数学的に導くために用いられる仕	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3203	A		システムライフサイクル	しすてむらいふさいくる	system life cycle	システムの概念形成から使用終了に至るまでの発展上の諸変化の全過程。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3204	A		データインベントリ	でーたいんべんとり	data inventory	情報処理システムにおけるすべてのデータとそれらの相互依存性を含む特性の集合。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3205	A		パイロットプロジェクト	ぱいろっとぷろじぇくと	pilot project	実際的ではあるが限定された運用条件のもとで、情報処理システムの暫定版を試験するように計画されるプロジェクトであって、後にそのシステムの最終版を試験するために使	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3206	A		プロトタイプ	ぷろとたいぷ	prototype	システム設計、性能及び実現・運用可能性を評価する、又は要件をよりよく理解若しくは決定するのに適したモデル又は暫定的な実現。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3207	A		シミュレーション、模擬(実験)	しみゅれーしょん、もぎ(じっけん)	simulation	物理的又は抽象的なシステムの選択された動作特性を表現するために、データ処理システムを用いること。(例)様々な速度、温度及び空気圧における翼のまわりの空気流を表現すること。(備)01.06.01と同一用語。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3208	A		トップダウン、下向き	とっぷだうん、したむき	top-down	最も抽象度の高い段階から始め、最も抽象度の低い段階へと進めていく方法又は手順に関する用語。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3209	A		ボトムアップ、上向き	ぼとむあっぷ、うわむき	bottom-up	最も抽象度の低い段階から始め、最も抽象度の高い段階へと進めていく方法又は手順に関する用語。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3210	A		システム支援	しすてむしえん	system support	実現されたシステムの使用及び改善に必要なサービス及び物質の継続的な提供。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3211	A		適用業務問題、応用問題	てきようぎょうむもんだい、おうようもんだい	application problem	最終利用者が提示した問題であって、それを解決するために情報処理を必要とするもの。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3212	A		システムソフトウェア	しすてむそふとうぇあ	system software	応用ソフトウェアの開発及び実行を支援する、応用に依存しないソフトウェア。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3213	A		応用ソフトウェア[プログラム]、適用業務ソフトウェア[プログラム]	おうようそふとうぇあ[ぷろぐらむ]、てきようぎょうむそふとうぇあ[ぷろぐらむ]	application software [program]	特定の応用問題を解くためのソフトウェア[プログラム]。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3214	A		応用ソフトウェア、適用業務ソフトウェア	おうようそふとうぇあ、てきようぎょうむそふとうぇあ	application software	特定の応用問題を解くためのソフトウェア。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3215	A		応用プログラム、適用業務プログラム	おうようぷろぐらむ、てきようぎょうむぷろぐらむ	application software	特定の応用問題を解くためのプログラム	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3216	A		ソフトウェアパッケージ	そふとうぇあぱっけーじ	software package	はん(汎)用的な応用問題を解くため、又ははん用的な機能を果たすための、文書のそろったプログラム一式であって、複数の利用者に供給され得るもの。(備)特定の応用向けに変更できるソフトウェアパッケージもある。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3217	A		機会検討	きかいけんとう	opportunity study	問題を調査し、対象期間中に解く必要があるかどうかを決めるための検討。(備)機会検討は通常、限られた資源を優先度の高い問題に割り当てるようにして、機会費用を最小にするために行う。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3218	A		実現可能性検討、実現可能性調査、フィージビリティスタディ	じつげんかのうせいけんとう、じつげんかのうせいちょうさ、ふぃーじびりてぃすたでぃ	feasibility study	実行可能性、費用及び効果の観点から、問題とそれに対し考えられる解を明確にし、分析するための検討。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3219	A		問題定義、問題記述	もんだいていぎ、もんだいきじゅつ	problem definition,problem description	問題の明確な記述。問題を解決するのに使われるデータ、方法、手順及び算法の記述を含んでもよい。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3220	A		要求分析	ようきゅうぶんせき	requirements analysis	システムを定義するのに必要な利用者要件の体系的な調査。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3221	A		システム分析	しすてむぶんせき	system analysis, systems analysis	既存又は計画中のシステムを体系的に調査し、そのシステムに要求される情報、そのシステムの処理過程、それらの相互関係及び他のシステムとの関係を明らかにすること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3222	A		機能分析	きのうぶんせき	functional analysis	既存又は計画中のシステムの機能の体系的な調査。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3223	A		情報分析	じょうほうぶんせき	information analysis	既存又は計画中のシステム内の情報及びその流れの体系的な調査。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3224	A		データ分析	でーたぶんせき	data analysis	既存又は計画中のシステム内のデータ及びその流れの体系的な調査。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3225	A		システムフォローアップ、開発後評価	しすてむふぉろーあっぷ、かいはつごひょうか	system follow-up, post-implementation review, post-development review	システムが安定した運用状態に達した後に実施される、そのシステムの効果の調査。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3226	A		システム設計	しすてむせっけい	system design	システムが所定の要件を満たすように、ハードウェア及びソフトウェアのアーキテクチャ、構成要素、モジュール、インタフェース及びデータを定義する過程。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3227	A		システム概念設計	しすてむがいねんせっけい	conceptual system design	システム構成、処理過程及びシステム内の情報の流れの論理的側面を規定するためのシステム設計活動。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3228	A		機能設計	きのうせっけい	functional design	システムの構成要素の機能と構成要素間の動作上の関係を規定すること。(備)03.03.01と同一用語。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3229	A		ウォークスルー	うぉーくするー	(structured) walk-through	システムの全体又はその一部の要件、設計又は実現について検査資格を有する要員が体系的に行う検査。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3230	A		実現、インプリメンテーション	じつげん、いんぷりめんてーしょん	implementation (of a system)	システム開発のの段階の一つであって、システムのハードウェア、ソフトウェア及び運用手段を動作可能にすることを目的とするもの。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3231	A		(システム)インテグレーション、(システム)統合	(しすてむ)いんてぐれーしょん、(しすてむ)とうごう	(system) integration	システムの構成要素を順次結合していって、一つの全体システムを構築すること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3232	A		切替えシステム	きりかえしすてむ	change-over system	稼働中のシステムから後継システムへの移行を容易にするために、一時的に用いる情報処理システム。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3233	A		カットオーバ	かっとおーば	cutover	システムの機能を後継システムに所定の時点で移すこと。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3234	A		並列運転	へいれつうんてん	parallel run	ある情報処理システムとの置換システムとを、相互比較して置換え可能性の確証を得るために、同じ応用、同じ原始データで動作させること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3235	A		品質保証、QA(省略形)	ひんしつほしょう、QA	quality assurance,QA	定められた技術的な要件にシステム又は構成要素が適合していることを保証するために必要な、計画的かつ体系的な活動。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3236	A		机上検査、机上チェック	きじょうけんさ、きじょうちぇっく	desk checking	機能又は構文上の間違いがないかどうか、原始プログラムをステップごとに調べながら、人手によって模擬的に実行すること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3237	A		検証(試験)	けんしょう(しけん)	verification (test)	システム開発の特定の段階で、そのシステムが所定の要件のすべてを満たしていることを立証すること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3238	A		妥当性確認(試験)、確認(試験)	だとうせいかくにん(しけん)、かくにん(しけん)	validation (test)	実現されたシステムが所定の要件を満たしているかどうかを決める試験。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3239	A		単体試験	たんたいしけん	unit test	分析上又はプログラミング上の間違いがないことを確認するために、個々のプログラム又はモジュールに対して行う試験。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3240	A		統合試験、結合試験	とうごうしけん、けつごうしけん	integration test	プログラム又はモジュールが、全体システムにおいて正しく機能することを確認するために、それらを段階的に結合し、試験すること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3241	A		受入れ試験	うけいれしけん	acceptance test	契約上の要求事項が満足されていることを確認するために、設置後購入者の構内において、納入者も参加して購入者によって通常実施されるシステム又は機能単位の試験。(備)08.01.08と同一用語。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3242	A		使用性試験	しようせいしけん	usability test, fitness-for-use test	実現されたシステムが利用者の定める機能上の目的を満たしているかどうかを判定する試験。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3243	A		システム保守	しすてむほしゅ	system maintenance	障害の修復、性能向上又は環境若しくは要件の変化への適応の目的でシステムを変更すること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3244	A		システム文書	しすてむぶんしょ	system documentation	情報処理システムに関して、要件、能力、限界、設計、操作、運用及び保守について記述する文書の集まり。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3245	A		評価報告書	ひょうかほうこくしょ	evaluation report	システムの目標をどのようにして達成したかを記述し、残された課題を明らかにし、将来の開発に役立てる目的で作成されるシステムフォローアップ報告書。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3246	A		利用者マニュアル、ユーザマニュアル	りようしゃまにゅある、ゆーざまにゅある	user manual, user's guide	機能単位の使用法を記述する文書であって、機能単位の利用者、所有者及び納入者の権利及び責任の記述を含むこともあるもの。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3247	A		システム記述	しすてむきじゅつ	system description	システムに関して、構成、本質的特性、並びにハードウェア及びソフトウェアに対する要件を定義する、システム設計の結果として得られる文書。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3248	A		決定表	けっていひょう	decision table	問題の分析に際して考慮すべき条件と、各条件についてとるべき動作とをまとめた表。(備)01.05.01と同一用語。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3249	A		プログラム仕様(書)	ぷろぐらむしよう(しょ)	program specification	プログラムの作成を可能にし、その保守を容易にするため、詳細にプログラムの構造及び機能を記述した文書。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3250	A		開発基本線	かいはつきほんせん	developmental baseline	開発中のシステムに関して、与えられた時点で効力をもつ仕様。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3251	A		プログラム保守マニュアル、プログラム保守説明書	ぷろぐらむほしゅまにゅある、ぷろぐらむほしゅせつめいしょ	program maintenance manual	プログラムの保守に必要な情報を提供する文書。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3252	A		試験計画(書)、システム試験・評価計画(書)	しけんけいかく(しょ)、しすてむしけんひょうかけいかく(しょ)	test plan, system test and evaluation plan	システムの試験及び評価に関して、全般的計画、要件、基準、全般的方法論及び責任を定めた計画又は計画書。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3253	A		プロジェクト	ぷろじぇくと	project	目標、規模及び期間を定めて行う仕事。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3254	A		プロジェクト管理	ぷろじぇくとかんり	project management	プロジェクト立案及びプロジェクト制御に関する諸活動。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3255	A		プロジェクト立案、プロジェクト計画	ぷろじぇくとりつあん、ぷろじぇくとけいかく	project planning	プロジェクトの構成要素、実施時間、資源及び実施手順を決めることに関連する諸活動。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3256	A		プロジェクト制御、プロジェクト統制	ぷろじぇくとせいぎょ、ぷろじぇくととうせい	project control	プロジェクトの進ちょく(捗)、方向、品質及び資源の使い方を、計画と比較しながら監視することに関連する諸活動。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3257	A		ネットワーク図	ねっとわーくず	network chart	プロジェクト制御において、事象及び活動並びにその間の関係を記述し、工程計画をたてるために用いる有向グラフ。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3258	A		ネットワーク計画	ねっとわーくけいかく	network planning	プロジェクトの立案、工程計画及び制御のためにネットワーク図を利用する技法。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3259	A		プロジェクト仕様(書)	ぷろじぇくとしよう(しょ)	project specification	プロジェクトの目的、要件、範囲及び他のプロジェクトとの関係を詳細に規定する文書。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3260	A		構成制御委員会	こうせいせいぎょいいんかい	configuration control board	現行の開発基本線に対するすべての変更提案を評価し、それらを承認又は却下する、専門家からなる委員会。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3261	A		構成管理	こうせいかんり	configuration management	システムの構成要素の機能的及び物理的特性を文書化し、それらの特性の変更を管理し、変更の過程及び実現状況を記録・報告し、指定された要件が満たされることを検証する	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3262	A		構成制御	こうせいせいぎょ	configuration control	構成管理の一部であって、構成要素の変更を他の変更との関係を含め評価し、承認するか却下するか決定すること。	JIS X 0020	1992	ISO/IEC 2382-20	1990				1990	JTC1
3263	A		(テクニカル)プロセス	(てくにかる)ぷろせす	(technical) process	物理変数が監視又は制御される装置で行われる一連の動作。(例)精油所における蒸留と凝縮。航空機における自動操だ(舵)と自動着陸。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3264	A		プロセス計算機システム(プロセスコンピュータシステム)	ぷろせすけいさんきしすてむ(ぷろせすこんぴゅーたしすてむ)	process computer system	プロセスを監視又は制御するプロセスインタフェースシステムを備えた計算機システム。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3265	A		プロセスインタフェースシステム	ぷろせすいんたふぇーすしすてむ	process interface system	プロセス計算機システムにおいてプロセス制御装置を計算機システムに接続するための機能単位。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3266	A		プロセス制御装置	ぷろせすせいぎょそうち	process control equipment	(テクニカル)プロセスの変数を測定し、プロセス計算機システムからの制御信号に基づいてプロセスを制御し、かつ適当な信号変換を行う装置。(例)センサ、変換器、アクチュ	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3267	A		フェールセーフ動作	ふぇーるせーふどうさ	failsafe operation	構成要素に故障が発生した場合に、装置の喪失、装置への障害及び運転員への危害を減じる計算機システムの動作。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3268	A		防爆形	ぼうばくがた	explosion proof	爆発しないように、かつ爆発させないように設計された装置の構造(形式)。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3269	A		サージ耐力、サージ抵抗	さーじたいりょく、さーじていこう	surge resistance	過電圧が加わったときに、機能が損なわれない状態を維持し得る装置の能力。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3270	A		ターンオン安定時間	たーんおんあんていじか	turn-on stabilizing time	装置に電圧が加えられた瞬間から仕様どおりの動作が可能となるまでの時間間隔。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3271	A		環境条件	かんきょうじょうけん	environmental condition	装置のもつ機能の保護と正しい動作のために必要な物理的条件。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3272	A		雑音	ざつおん	noise	信号に影響し、信号によって運ばれた情報をゆがめる外乱。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3273	A		プロセス割込み信号	ぷろせすわりこみしんごう	process interrupt signal	プロセスから生じ、プロセス計算機システムに割込みを発生させる信号。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3274	A		ハイウェイ	はいうぇい	highway	プロセス計算機システムにおいて、計算機システムとプロセスインタフェースシステム間の相互接続のための一手段。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3275	A		入力サブシステム	にゅうりょくさぶしすてむ	input subsystem	プロセスインタフェースシステムにおけるプロセスからプロセス計算機システムへデータを転送する部分。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3276	A		出力サブシステム	しゅつりょくさぶしすてむ	output subsystem	プロセスインタフェースシステムにおけるプロセス計算機システムからプロセスへデータを転送する部分。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3277	A		アナログ入力チャネル増幅器	あなろぐにゅうりょくちゃねるぞうふくき	analog input channel amplifier	一つ以上のアナログ入力チャネルの後段に取り付けられ、アナログ信号レベルをAD変換器の入力範囲に適合させる増幅器。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3278	A		アナログ出力チャネル増幅器	あなろぐしゅつりょくちゃねるぞうふくき	analog output channel amplifier	一つ以上のアナログ出力チャネルの後段に取り付けられ、DA変換器の出力信号範囲を、プロセスを制御するために必要な信号レベルに適合させる増幅器。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3279	A		ドリフト	どりふと	drift	装置の全入力信号値が一定値を保っているとき、規定された時間内の装置の出力信号値の望ましくない変動。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3280	A		絶縁増幅器	ぜつえんぞうふくき	isolated amplifier	信号回路と接地を含む他の回路との間に電気的接続のない増幅器。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3281	A		非絶縁増幅器	ひぜつえんぞうふくき	non-isolated amplifier	信号回路と接地を含む他の回路との間に電気的接続のある増幅器。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3282	A		差動増幅器	さどうぞうふくき	differential amplifier	二つの入力回路をもち、二つの入力信号の差を増幅する増幅器。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3283	A		マルチレンジ増幅器	まるちれんじぞうふくき	multirange amplifier	各種のアナログ信号範囲を指定された出力範囲に適合させるため、切替え可能、プログラム可能又は自動設定可能な増幅度をもつ増幅器。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3284	A		サンプルホールド装置	さんぷるほーるどそうち	sample-and-hold device	アナログ信号の瞬間値を検出し記憶する装置。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3285	A		マルチプレクサ	まるちぷれくさ	multiplexer	幾つかの入力信号を、各々の入力信号に再生できるような方法で一つの出力信号にす	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3286	A		デマルチプレクサ	でまるちぷれくさ	demultiplexer	マルチプレクサによって結合された各々の信号を出力信号群として再生する装置。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3287	A		診断機能	しんだんきのう	diagnostic function	正しく機能しているか否かを検知し、誤りの種類を識別する機能。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3288	A		回復機能	かいふくきのう	recovery function	故障発生後、正常な動作を再び続けるために必要な機能。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3289	A		グループ絶縁	ぐるーぷぜつえん	grouping isolation	電気回路のグループごとの電気的分離。(注)一つのグループ内では、例えば電源を介した電気的接続がある。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3290	A		正規電圧	せいきでんあつ	normal mode voltage	本来の信号の電圧に加えられる、増幅器の2入力間に誘導される雑音電圧。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3291	A		同相電圧	どうそうでんあつ	common mode voltage	差動増幅器において、各本来の信号の電圧に加えられる、各入力と接地間に誘導され	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3292	A		雑音除去	ざつおんじょきょ	normal mode rejection	望ましくない正規電圧の影響を抑制する増幅器の能力。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3293	A		同相分除去	どうそうぶんじょきょ	common mode rejection	同相電圧の影響を抑制する差動増幅器の能力。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3294	A		正常動作精度	せいじょうどうさせいど	mean rate accuracy	入力における雑音によって生じる誤差を除き、装置が正常な作動条件の下で使用されているとき、許容される精度範囲。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3295	A		立上がり時間	たちあがりじかん	rise time	ステップ関数の応答において、規定された2値間で信号が変化するのに要する時間。(注)通常これらの値は、ステップの高さの10%と90%である。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3296	A		整定時間	せいていじかん	settling time	規定された入力信号がシステムに入った後、出力信号が安定状態値を中心とした規定された範囲の中におさまるまでに要する時間。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3297	A		ディジタル検出遅延時間	でぃじたるけんしゅつちえんじかん	recognition time	ディジタル入力信号の値の変化が、ディジタル入力装置によって検出されるまでの時間。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3298	A		クロストーク	くろすとーく	crosstalk	他の回路からの望ましくないエネルギの影響によって回路中に生じる妨害。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3299	A		入力保護	にゅうりょくほご	input protection	任意の二つの入力端子間又は任意の入力端子と接地間に加えられるおそれのある過電圧に対する保護。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3300	A		接点保護	せってんほご	contact protection	過電流又は過電圧に対する接点の保護。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3301	A		接点状態表示信号	せってんじょうたいひょうじしんごう	contact interrogation signal	接点が開いているか閉じているかの状態を示す信号。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3302	A		接点跳動	せってんちょうどう	contact bounce	接点の開閉時に生じる望ましくない開閉現象。(備)一般に、チャタリングという。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3303	A		回復時間	かいふくじかん	recovery time	パルスを送る又は受けるときに、一つのパルスの終わりから次のパルスの始めまでの間に必要な時間。(注)これは、パルスを送るか又は受ける装置に適用した場合の定義であ	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3304	A		アナログ入力チャネル(プロセス制御における)	あなろぐにゅうりょくちゃねる(ぷろせすせいぎょにお	analog input channel (in process control)	アナログ入力サブシステム中のAD変換器と端子との間のアナログデータ経路。(注)この経路には、フィルタ、アナログ信号マルチプレクサ及び一つ以上の増幅器が含まれること	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3305	A		接点入力	せってんにゅうりょく	contact input	スイッチの開閉によって発生する装置への2進入力。(注)スイッチには、機械的又は電気的なものもある。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3306	A		ブリッジ入力回路(プロセス制御における)	ぶりっじにゅうりょくかいろ(ぷろせすせいぎょにおけ	bridge input circuit (in process control)	1端に検出素子、他端に比較素子のあるブリッジで構成されるアナログ入力回路。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3307	A		最大正規電圧	さいだいせいきでんあつ	maximum normal mode voltage	サブシステムが仕様に従って作動する正規電圧の最大値。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3308	A		最大同相電圧	さいだいどうそうでんあつ	maximum common mode voltage	サブシステムが仕様に従って作動する同相電圧の最大値。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3309	A		最大作動正規電圧	さいだいさどうせいきでんあつ	maximum operating normal mode voltage	入力サブシステムに加えることのできる正規電圧であって、性能は低下するがサブシステムは作動し続ける範囲内の最大値。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3310	A		最大作動同相電圧	さいだいさどうどうそうでんあつ	maximum operating common mode voltage	入力サブシステムに加えることのできる同相電圧であって、性能は低下するがサブシステムは作動し続ける範囲内の最大値。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3311	A		最大許容正規過電圧	さいだいきょようせいきかでんあつ	maximum allowable normal mode overvoltage	機能の一時的損失の可能性があるが、回路損傷を生じることなく入力サブシステムに加えることのできる正規電圧の最大値。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3312	A		最大許容同相過電圧	さいだいきょようどうそうかでんあつ	maximum allowable common mode overvoltage	機能の一時的損失の可能性があるが、回路損傷を生じることなく入力サブシステムに加えることのできる同相電圧の最大値。	JIS X 0021	1987	ISO 2382-21	1985				1985	JTC1
3313	A		計算器	けいさんき	calculator	特に算術演算を行うのに適した装置であって、個別の演算又は一連の演算を始めるために人手の介入を必要とするもの。プログラムを記憶している場合には、それを変更するにも人手の介入を必要とする。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3314	A		累計メモリ	るいけいめもり	sigma memory	一連の計算の結果を累計するために使用する計算器の記憶装置。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3315	A		メモリ分割	めもりぶんかつ	memory partitioning,storage	計算器において、一つの記憶装置を複数の独立した区域に分割すること。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3316	A		ポケット計算器、ハンドヘルド計算器	ぽけっとけいさんき、はんどへるどけいさんき	pocket calculator, hand-held calculator	商用電源なしで作動する計算器であって、手に持って操作したり、ポケットに入れて運んだりできる軽くて小さいもの。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3317	A		卓上計算器	たくじょうけいさんき	desk-top calculator	主に卓上で使用するために設計された計算器。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3318	A		商用電源式計算器	しょうようでんげんしきけいさんき	mains-powered calculator	電源を商用電源だけに依存する計算器。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3319	A		電池式計算器	でんちしきけいさんき	battery-powered	電源を化学式電池、太陽電池又は充電式電池だけに依存する計算器。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3320	A		交直両用式計算器	こうちょくりょうようしきけいさんき	mains/battery powered calculator	電源を電池及び商用電源に依存する計算器。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3321	A		加算機式計算器	かさんきしきけいさんき	calculator with arithmetic logic	計算器の一種であって、各オペランドの入力後に演算記号を与えるように内部回路を構成したもの。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3322	A		数式通り方式計算器、算式通り方式計算器	すうしきどおりほうしきけいさんき、さんしきどおりほうしきけいさんき	calculator with algebraic logic	計算器の一種であって、最初のオペランドは入力前に演算記号を必要としないが、以後のオペランドはそれを必要とするように内部回路を構成したもの。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3323	A		逆ポーランド表記式計算器	ぎゃくぽーらんどひょうきしきけいさんき	calculator with postfix notation logic, calculator with suffix notation logic, calculator with reverse-Polish notation logic	計算器の一種であって、オペランドはエンター(Enter)キーによって演算記号なしに入力し、2番目以降のオペランドより後に演算記号を入力するように内部回路を構成したもの。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3324	A		表示式計算器	ひょうじしきけいさんき	display calculator	計算器の一種であって、データ出力を恒久的には残らない文字の形で示すもの。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3325	A		印字式計算器	いんじしきけいさんき	printing calculator	計算器の一種であって、データ出力を紙の上に印字するもの。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3326	A		表示印字式計算器	ひょうじいんじしきけいさんき	display and printing calculator	計算器の一種であって、表示式計算器と印字式計算器のデータ出力機能を備え、利用者の意図によって印字式計算器の機能を選択できるもの。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3327	A		アドレス指定可能な記憶域をもたない計算器	あどれすしていかのうなきおくいきをもたないけいさ	calculator without addressable storage	計算器の一種であって、データは次の演算で記憶域を消去しない限り記憶できないが、定数を記憶する機能は、もつ場合もあるもの。(備)この用語は、現在は使われていな	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3328	A		キーボード制御式のアドレス指定可能な記憶域をもつ計算器	きーぼーどせいぎょしきのあどれすしていかのうなきおくいきをもつけいさんき	calculator with keyboard controlled addressable storage	計算器の一種であって、キーボード制御によるデータの記憶と蓄積だけを許しており、記憶装置内のデータをそれらのアドレスに対するキーボード操作によってだけ変更するもの。(備)この用語は、現在は使われていない。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3329	A		プログラム制御式のアドレス指定可能な記憶域をもつ計算器	ぷろぐらむせいぎょしきのあどれすしていかのうなきおくいきをもつけいさんき	calculator with program-controlled addressable storage	計算器の一種であって、プログラム制御によるデータの記憶と蓄積だけを許しており、記憶装置内のデータをそれらのアドレスに対するプログラムステップによってだけ変更するもの。(備)この用語は、現在は使われていない。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3330	A		プログラム制御式及びキーボード制御式のアドレス指定可能な記憶域をもつ計算器	ぷろぐらむせいぎょしきおよびきーぼーどせいぎょしきのあどれすしていかのうなきおくいきをもつけいさ	calculator with program-controlled and keyboard controlled addressable storage	計算器の一種であって、プログラム制御及びキーボード制御の両方によるデータの記憶と蓄積を許しており、記憶装置内のデータをそれらのアドレスに対する次の演算によってだけ変更するもの。(備)この用語は、現在は使われていない。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3331	A		プログラム固定式計算器	ぷろぐらむこていしきけいさんき	nonprogrammable calculator	利用者がプログラムを変更できない計算器。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3332	A		プログラム式計算器	ぷろぐらむしきけいさんき	programmable calculator	利用者がプログラムをすることができ、かつそのプログラムを変更できる計算器。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3333	A		キーボードプログラム入力式計算器	きーぼーどぷろぐらむにゅうりょくしきけいさんき	calculator with keyboard program input	計算器の一種であって、所定の数のプログラムステップをキーボードによって入力し、反復使用のために計算器中に保持することを許すもの。(備)この用語は、現在は使われて	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3334	A		外部プログラム入力式計算器	がいぶぷろぐらむにゅうりょくしきけいさんき	calculator with external program input	計算器の一種であって、所定の数のプログラムステップを外部データ媒体によって入力し、反復使用のために計算器中に保持することを許すもの。(備)この用語は、現在は使	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3335	A		キーボード及び外部プログラム入力式計算器	きーぼーどおよびがいぶぷろぐらむにゅうりょくしきけいさんき	calculator with keyboard and external program input	計算器の一種であって、所定の数のプログラムステップをキーボードか外部データ媒体のどちらかによって入力し、反復使用のために計算器中に保持することを許すもの。(備)この用語は、現在は使われていない。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3336	A		手動機能	しゅどうきのう	manual function	利用者が始動又は遂行する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3337	A		機械機能	きかいきのう	machine function	計算器が遂行する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3338	A		自動機能	じどうきのう	automatic function	プログラムが制御し、利用者の補助なしに実行する、単一又は一連の機械機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3339	A		選択機能	せんたくきのう	function preselection capability	特定の制御又はキーによって複数の機能を実行できるようにする機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3340	A		けた区切り機能	けたくぎりきのう	punctuation capability	表示又は印字する数の小数点記号の左側を3けたずつのグループに分ける機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3341	A		非加算機能、ノンアド機能	ひかさんきのう、のんあどきのう	nonadd function	印字式計算器において、計算に影響なく文字を印字する機能。(備)表示印字式計算器を含む。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3342	A		誤り状態(計算器における)、エラー状態(計算器における)	あやまりじょうたい(けいさんきにおける)、えらーじょうたい(けいさんきにおける	error condition (in calculators)	計算器が実行できない機能を利用者が実行しようとすると生じる状態。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3343	A		あふれ(計算器における)、オーバーフロー(計算器における)	あふれ(けいさんきにおける)、おーばーふろー(けいさんきにおける)	overflow (in calculators)	計算器が入力中のけた数を受け入れられない、又は計算結果のけた数を処理できない状態。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3344	A		ロックアウト機能	ろっくあうときのう	lock-out facility	計算器があふれ又は誤り状態にあるときにデータの入力を禁ずる機能。(備)一般に特定の解除キーを除くすべてのキーの入力を禁ずる機能を含む。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3345	A		二乗機能	にじょうきのう	square function	ある数にそれ自身を掛ける機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3346	A		平方根機能	へいほうこんきのう	square root function	それ自身を掛けたときに元の数を作るような数を与える機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3347	A		百分率機能	ひゃくぶんりつきのう	percentage function	ある数に百分率の数値を掛け、結果を自動的に100で割る機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3348	A		直接百分率機能	ちょくせつひゃくぶんりつきのう	direct percentage function	割増率又は割引率を与えると、値を直ちに計算する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3349	A		定数機能	ていすうきのう	constant function	数と演算命令を入力し、それを反復使用のために計算器が保持する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3350	A		自動定数機能	じどうていすうきのう	automatic constant	反復使用するために、数と演算命令を入力し、自動的に計算器が保持する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3351	A		負の符号入力	ふのふごうにゅうりょく	negative entry	計算器に入力した数に負の符号を与えること。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3352	A		符号反転機能、サインチェンジ機能	ふごうはんてんきのう、さいんちぇんじきのう	sign change function	計算器に保持した数の正負の符号を反転する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3353	A		アドモード	あどもーど	add mode	加算及び減算において、入力した数の最下位のけたを基準にして、小数点記号をあらかじめ決めた位置に置く方式。(備)乗算、除算を含む。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3354	A		固定小数点方式	こていしょうすうてんほうしき	fixed decimal mode	計算結果の小数部のけた数をあらかじめ選択している方式。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3355	A		浮動小数点方式	ふどうしょうすうてんほうしき	floating decimal mode	入力データの小数部のけた数に関係なく、計算結果の小数点記号を自動的に位置決めする方式。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3356	A		階乗機能	かいじょうきのう	factorial function	階乗計算に用いる機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3357	A		置数消去機能、クリアエントリー機能	ちすうしょうきょきのう、くりあえんとりーきのう	clear entry function	計算器に入力し、まだ処理していないデータを取り消す機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3358	A		全消去機能	ぜんしょうきょきのう	clear all function	作業レジスタ及び記憶装置中のデータを全部取り消す機能。(備)記憶装置中のデータは取り消さない方式の計算器もある。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3359	A		メモリ消去機能	めもりしょうきょきのう	clear memory function	キー操作によって、指定した記憶装置中のデータを取り消す機能。(備)ある計算器では、指定した機能を取り消すために使う別の"消去機能"用キーがある。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3360	A		印字抑止機能、ノンプリント機能	いんじよくしきのう、のんぷりんときのう	nonprint function	計算器の印字機構の動作を抑止する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3361	A		イコール機能	いこーるきのう	equals function	一連の演算を完了させ結果を出す機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3362	A		小計機能	しょうけいきのう	subtotal function	計算の中間結果を表示又は印字する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3363	A		合計機能	ごうけいきのう	total function	計算結果の合計を表示又は印字し、一連の演算を完了させる機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3364	A		ゼロ抑制機能、ゼロサプレス機能	ぜろよくせいきのう、ぜろさぷれすきのう	zero suppression function	印字又は表示される計算結果から不要なゼロを取り除く機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3365	A		結果出力拡張機能	けっかしゅつりょくかくちょうきのう	extended result output function	計算結果のけた数が計算器の出力できるけた数を超える場合、連続した複数回の操作によって、結果を表示又は印字する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3366	A		アンダフロー(計算器における)、下位けたあふれ(計算器における)	あんだふろー(けいさんきにおける)、かいけたあふれ(けいさんきにおける)	underflow (in calculators)	数の有効数字がすべて落とされて、計算器がゼロの結果を示す状態。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3367	A		切上げ機能	きりあげきのう	round-up function, rounding	計算結果の意図している最下位に対し、次のけたがゼロより大きい値をもつ場合に1を加える機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3368	A		四捨五入機能	ししゃごにゅうきのう	round-off function, rounding	計算結果の意図している最下位に対し、次のけたが5以上の場合は1を加え、4以下の場合は変化を与えないような機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3369	A		切捨て機能	きりすてきのう	round-down function	計算結果において意図している最下位けたより小さいすべてのけたを削除する機能。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3370	A		作動電圧表示器	さどうでんあつひょうじき	operating voltage indicator	電池式計算器に正しい電圧が加えられていることを示すための視覚的信号を与える装	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3371	A		紙送り、ペーパフィード	かみおくり、ぺーぱふぃーど	paper feed	印字式計算器において、利用者の要求に従って手操作によって縦方向に紙を位置決めするための装置。(備)表示印字式計算器を含む。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3372	A		再表示制御	さいひょうじせいぎょ	display recall control	電池式計算器において、電池節約回路によって消されている表示を再表示するための	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3373	A		負の符号表示	ふのふごうひょうじ	negative indication	示されている数が負であることを示す視覚的表示。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3374	A		小数点記号	しょうすうてんきごう	decimal marker	数の中の小数点を示す視覚的表示。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3375	A		誤り表示、エラー表示	あやまりひょうじ、えらーひょうじ	error indication	計算器が実行できない機能を利用者が実行しようとしたことを示す視覚的表示。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3376	A		記憶装置表示、メモリ表示	きおくそうちひょうじ、めもりひょうじ	memory indication, storage indication	記憶装置中に数を保持していることを示す視覚的表示。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3377	A		アンダフロー表示、下位けたあふれ表示	あんだふろーひょうじ、かいけたあふれひょうじ	underflow indication	計算器がアンダフロー状態にあることを示す視覚的表示。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3378	A		あふれ表示、オーバーフロー表示	あふれひょうじ、おーばーふろーひょうじ	overflow indication	計算器があふれ状態にあることを示す視覚的表示。	JIS X 0022	1989	ISO 2382-22	1986				1986	JTC1
3379	A		テキスト	てきすと	text	文字、記号、語、句、段落、文、表又はそれ以外の文字配置の形で表わしたデータであって、意味の伝達を目的とし、その解釈が読者のもつ何らかの自然言語又は人工言語の知識に本質的に基づくもの。例 用紙上に印刷又は画面上に表示した事務用の書状。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3380	A		テキスト処理、ワードプロセッシング	てきすとしょり、わーどぷろせっしんぐ	test processing, word processing	テキストに対し、入力、テキスト編集、分類、併合、検索、記憶、表示、印刷などのデータ処理を施すこと。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3381	A		テキストプロセッサ、ワードプロセッサ	てきすとぷろせっさ、わーどぷろせっさ	text processor, word processor	利用者がテキスト処理を行えるようにするための、ソフトウェアパッケージ又は関連ソフトウェアを備えた装置	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3382	A		テキスト編集、編集(テキスト処理における)	てきすとへんしゅう、へんしゅう(てきすとしょりにお	text editing, editing (in text processing)	テキストプロセッサを使用して、テキストを追加、削除及び書式を変換を含む、テキストの再配置又は変更のような、テキストの操作を行うこと。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3383	A		文書(テキスト処理における)	ぶんしょ(てきすとしょりにおける)	document (in text processing)	テキスト及び場合によっては画像の、名前の付いた構造体の単位であって、記憶、編集及び検索ができ、システム又は利用者間で個別の単位として交換できるもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3384	A		下書き	したがき	draft copy	検討、承認又は編集のために準備される文書の暫定版。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3385	A		文書体系	ぶんしょたいけい	document architecture	特定のテキスト処理環境において、文書に関してすべての場合を考慮した構造を規定する、相互に関連する規定の完全な集合。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3386	A		文書プロファイル、文書概要	ぶんしょぷろふぁいる、ぶんしょがいよう	document profile	文書全体に関する、形式や書式のような特性を指定する属性の集合。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3387	A		割付け対象(体)	わりつけたいしょう(たい)	layout object	文書に関する特定の割付け構造の要素。例 ページ、ブロック	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3388	A		論理対象(体)	ろんりたいしょう(たい)	logical object	文書に関する特定の論理構造に要素があって、適用業務や利用者にとって特別な意味をもつことがあるもの。例 章、節、段落。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3389	A		文書本体	ぶんしょほんたい	document body	文書概要を除く、テキスト及び割付け情報からなる、文書の内容。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3390	A		書式(テキスト処理における)	しょしき(てきすとしょりにおける)	format (in text processing)	印刷形式の中、表示形式の中又はデータ媒体の上での、テキストの特定の配置又は割付け。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3391	A		書式付け(テキスト処理における)	しょしきつけ(てきすとしょりにおける)	formatting (in text processing)	利用者の指定した条件に従ってテキストの割付けの準備ができるようにする、テキストエディタ又は他のテキスト処理ソフトウェアの機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3392	A		行、テキストの行	ぎょう、てきすとのぎょう	line, line of text	通常、単語及び空白からなる文字の列であって、その並び方は書式設定の過程で決定されるが、通常、並び線上に並べられるもの。備考 行の長さは、書式設定の際に、その場所において使用可能な領域によって決定される。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3393	A		並び線	ならびせん	baseline, reference line	文字の位置決め及び垂直方向の行間距離の測定のために使用される、水平方向の主	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3394	A		行送り幅	ぎょうおくりはば	line spacing	隣接する行の並び線間の距離。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3395	A		テキスト領域	てきすとりょういき	text area, type area	1ページ又は画面の領域であって、通常、テキスト又はその他の図形要素が置かれると	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3396	A		文字枠	もじわく	character box, bounding box	表示面又は印刷面上の想像上の平行四辺形であって、1個の図形文字全体を収容できるもの。備考 文字間の空を調整したり隣接する文字が接したりするようにするために、文字枠は、重なり合っていてもよい。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3397	A		ブロック(テキスト処理における)、区画	ぶろっく(てきすとしょりにおける)、くかく	block (in text processing)	利用者の定義したテキストの断片であって、これに対してテキスト処理操作が実行されるもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3398	A		描画用文字	びょうがようもじ	pictorial character	事前に定義された文字集合の文字の一つであって、けい(罫)線、枠、図、ロゴ、線図などのような単純な図形の合成に使用できるもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3399	A		自動脚注	じどうきゃくちゅう	automatic footnote tie-in	脚注の引用が行われたページの最下段又は指定の場所に、脚注を自動的に配置する	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3400	A		スクロール	すくろーる	scrolling	画面又はウィンドウの境界外のデータを見つめるために、表示画像を垂直方向又は水平方向に移動すること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3401	A		ウィンドウ機能	ういんどうきのう	windowing	複数のウィンドウを使用して、別々のデータを同時に表示したり、複数の適用業務を個別に制御したりすること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3402	A		ブラウジング(テキスト処理における)、拾い読み(テキスト処理における)	ぶらうじんぐ(てきすとしょりにおける)、ひろいよみ(てきすとしょりにおける)	browsing (in text processing)	テキストをスクロールによってすばやく表示し、調べること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3403	A		ページ表示	ぺーじひょうじ	full-page display	1ページ上に印刷できる行数のテキストや図形を一度に表示すること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3404	A		プレビュー、試し表示	ぷれびゅー、ためしひょうじ	print preview	文書のページ全体の表示であって、そのページが実際に印刷されたときのページの見え方をそのまま再生したもの。備考 プレビューの場合は、利用者がその機能を要求しなければならない。これに対しWYSIWYGでは、印刷された場合と同じ見え方でテキストが常	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3405	A		プレビューア、試し表示プログラム	ぷれびゅーあ、ためしひょうじぷろぐらむ	previewer	プレビューの表示に使用するソフトウェア。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3406	A		WYSIWYG (ウィジウィグ、頭字語)	WYSIWYG (ういじういぐ、かしらじご)	WYSIWYG, what-you-see-is-what-you-get	印刷されたときと同じ見え方でテキストを常時表示するテキストプロセッサの機能。備考 WYSIWYGでは、常時、表示が行われるが、プレビューの表示は利用者が要求しなければならない機能である。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3407	A		非表示文字	ひひょうじもじ	hidden character	通常は、印刷も表示もしない文字。例 埋込み制御文字。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3408	A		削除	さくじょ	delete	入力済みのテキストの全体又は一部分を、利用者が消去することのできる機能又はモー	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3409	A		保存	ほぞん	save	ファイルの内容に対する変更を確定するために、利用者がデータ媒体上にファイルを記憶させることのできる機能又はモード。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3410	A		取消、アンドゥー	とりけし、あんどぅー	undo	最後に実行した指令又は指令群の実行結果を、利用者が取り消すことのできる機能。備考 取り消しの不可能な指令もある。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3411	A		付加(テキスト処理における)	ふか(てきすとしょりにおける)	append (in text processing)	入力済みテキスト末尾に別の文書又は文字列を、利用者が追加することのできる機能又はモード。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3412	A		文例集、ボイラプレート	ぶんれいしゅう、ぼいらぷれーと	boilerplate	複数の文書の中での再利用を意図した記憶済みテキスト。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3413	A		定型書状	ていけいしょじょう	form letter	データ媒体上に記憶された標準的なテキストからなる書状であって、受信者の氏名及びあて先のような情報を追加することによって個別の書状が作成できるもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3414	A		スペルチェッカ、つづり検査プログラム	すぺるちぇっか、つづりけんさぷろぐらむ	spelling checker, spell checker	テキスト中の単語のづづりを検証するための、テキストプロセッサのプログラム。備考 検証は、単語入力の都度、又はあとに一括して行われる。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3415	A		文法チェッカ、文法検査プログラム、構文チェッカ、構文検査プログラム	ぶんぽうちぇっか、ぶんぽうけんさぷろぐらむ、こうぶんちぇっか、こうぶんけんさぷろぐらむ	grammar checker	テキストの構文上の特性を組込みの構文規則と比較し、その修正方法を指示するソフトウェア。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3416	A		スタイルチェッカ、スタイル検査プログラム	すたいるちぇっか、すたいるけんさぷろぐらむ	style checker	テキストの体裁上の特性を組込み、体裁マニュアルと比較することによって校正し、体裁を改善する方法を指示するソフトウェア。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3417	A		挿入	そうにゅう	insert	既存のテキストの指定した位置に追加のテキストを、利用者が差し込むことのできる機能又はモードであって、追加した位置以降のテキストが自動的に再配置されたもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3418	A		置換	ちかん	replace	既存のテキストの指定された部分を別のテキストに、利用者が置き換えることのできる機能又はモード。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3419	A		検索(テキスト処理における)	けんさく(てきすとしょりにおける)	search (in text processing), find	テキストの中で特定の文字列、埋込み指令、特定の属性のついた文字などの出現場所を、利用者が突き止めることのできる機能又はモード。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3420	A		検索・置換	けんさく・ちかん	search and replace, find and replace	テキストの中で特定の文字列、埋込み指令、特定の属性のついた文字などの出現場所を、利用者が突き止め、その全体又は一部分を別のテキストに置き換えることのできる機能又はモード。備考 この機能又はモードは、文書全体でも一部分に対しても実行するこ	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3421	A		前文対象検索・置換	ぜんぶんたいしょうけんさく・ちかん	global search and replace, global find and replace	同一文書内で特定の文字列、埋込み指令、特定の属性のついた文字などの出現場所を、利用者が突き止め、それを自動的に又は利用者の制御下で別のテキストに置き換えることのできる機能又はモード。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3422	A		逆方向検索	ぎゃくほうこうけんさく	backward search, reverse search, reverse find	同一文書内で、任意の位置から文頭方向に探索できる機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3423	A		ブロック移動(テキスト処理における)、区画移動(テキスト処理における)	ぶろっくいどう(てきすとしょりにおける)、くかくいどう(てきすとしょりにおける)	block move (in text processing)	利用者が、テキストのブロックを指示し、それを同一文書内の別の場所又は別文書の中に移動することのできる機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3424	A		切りばり	きりばり	cut and paste	利用者が、ある文書内のテキスト又は図形を、同一文書又は別の文書で使用するために、クリップボードに移動したり複写したりすることのできる機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3425	A		クリップボード	くりっぷぼーど	clipboard	同一文書内又は別の文書内で再使用するために、テキスト又は図形を一時的に保持しておくための記憶領域。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3426	A		ブロック複写、区画複写	ぶろっくふくしゃ、くかくふくしゃ	block copy	利用者が、ブロックを複製し、それを同一文書内の別の場所又は別文書の中に挿入することのできる機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3427	A		単語送り	たんごおくり	word wrap	ある行上で、単語とそれに付随した句読点とを合わせた長さが使用可能な領域を超えた場合、その単語全体を次の行上に自動的に配置する機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3428	A		送込み(テキスト処理における)	おくりこみ(てきすとしょりにおける)	wraparound	ある行の最終位置のあとに入力されたテキストを、次の行の先頭に自動的に配置することのできる機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3429	A		埋込み指令(テキスト処理における)	うめこみしれい(てきすとしょりにおける)	embedded command (in text processing)	テキスト処理の指令であって、テキストの一部分として入力され、プレビュー若くは印刷ファイルの生成のために文書の書式付けを行うとき、又は文書の印刷をするときに、解釈され実行されるもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3430	A		非分割空白	ひぶんかつくうはく	no-break space, hard space	文字列の中で、特殊文字によって表現される空白であって、その場所ではテキストプロセッサによって文字列が分断されることがないもの。例 数12000又はGeorge Vという語句の途中の空白。備考 非分割空白を埋込み指令によって実現してもよい。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3431	A		任意ハイフン	にんいはいふん	discretionary hyphen, soft hyphen	単語の途中の特殊文字であって、単語を分割してもよい場合を示すために自動的に又は利用者によって挿入され、行末における領域不足によってその単語を分割するときにハイフンとして表示されるもの。備考 任意のハイフンは、ハイフン除去の対象になる。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3432	A		必す＜須＞ハイフン	ひっすはいふん	required hyphen, hard hyphen	同一業内のどの位置にあろうと、単語又は語句のつづりにとって必要とされるハイフン。備考 必す<須>ハイフンは、ハイフン除去の対象にはならない。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3433	A		ハイフン除去	はいふんじょきょ	hyphen drop	単語を分割する必要がなくなったときに、単語の表示において任意のハイフンを表示しないようにできる機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3434	A		範囲指定	はんいしてい	range specification	文字列の始点と終点とを指示することによって、対象区間を指定すること。備考 範囲は、単語、行、段落、文、ページのような単語に基づいて指定することができる。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3435	A		読みとばし	よみとばし	skip (in text processing)	利用者がページ全体又は段落全体のような一まとまりのテキストを飛び越すことのできる	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3436	A		上書きする(テキスト処理における)	うわがきする(てきすとしょりにおける)	to overwrite	同一領域上に新しいテキストを入力することによって、既存のテキストを置き換える。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3437	A		復旧する	ふっきゅうする	to undelete	以前に削除されたテキスト又は図形で、その削除が保存指令などによって確定されていないものを復元する。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3438	A		複数キーによる文字入力	ふくすうきーによるもじにゅうりょく	multistroke character entry	ある文字を生成するのに、複数個のキー入力を必要とするテキストの入力方法。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3439	A		表意文字入力	ひょういもじにゅうりょく	ideogram entry	表音文字に基づく複数キーによる文字入力と、辞書及び構文規則による表意文字への変換との組合せで行う表意文字用のテキスト入力の方法。例 仮名漢字変換による日本語文字の入力、ピンイン漢字変換による中国語文字の入力。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3440	A		テキストエディタ	てきすとえでぃた	text editor	利用者がテキストを生成し改訂することのできるソフトウェア。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3441	A		行エディタ	ぎょうえでぃた	line editor	利用者が、同一行又は一まとまりの隣接行内で編集しようとするテキストの要素にアクセスするのに、行を指定しなければならないテキストエディタ。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3442	A		画面エディタ	がめんえでぃた	screen editor	画面上にテキストを表示し、カーソルを移動させて、行番号を考慮せずに、任意の文字列を編集することのできるテキストエディタ。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3443	A		構文主導形エディタ	こうぶんしゅどうがたえでぃた	syntax-directed editor	特定のプログラム言語用に設計されたテキストエディタであって、その言語の構文との整合性を確保するもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3444	A		文書合成	ぶんしょごうせい	document merge	事前に記憶された複数の文書又はその一部から、利用者が新しい一つの文書を生成することのできるテキストプロセッサの機能。例 定型書状と名簿に記載されている受信者の氏名及び住所とを組合わせること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3445	A		割付けモード	わりつけもーど	adjust text mode	テキストを指定した行長及びページ長に合わせるために、利用者がテキストを再整形することのできるモード。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3446	A		ページ長制御	ぺーじちょうせいぎょ	page length control, page depth control	テキスト処理において、ページ長を指定する機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3447	A		文書整形系	ぶんしょせいけいけい	document formatter	利用者が、文書の割付けを行い、印刷できるようにすることのできるプログラム。備考 文書整形系では、ページや段落の番号付けなどの機能を実行してもよい。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3448	A		横長書式、風景画書式	よこながしょしき、ふうけいがしょしき	landscape, landscape format, horizontal format	通常の読みの方向に置きたいとき、縦(ページ長)よりも横(ページ幅)のほうが長くなるようなページ上にテキストや図形を配置すること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3449	A		縦長書式、肖像画書式	たてながしょしき、しょうぞうがしょしき	portrait, portrait format, vertical format	通常の読みの方向に置いたとき、縦(ページ長)よりも横(ページ幅)のほうが短くなるようなページ上にテキストや図形を配置すること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3450	A		省略字書式、基本書式	しょうりゃくじしょしき、きほんしょしき	default format, basic format	利用者が特に指定しない限り、自動的に設定される規定の書式。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3451	A		余白部、マージン	よはくぶ、まーじん	margin	ページ又は画面のテキスト領域とページ又は画面の4辺との間にある、通常は使用しない領域。備考 余白部には、ヘッダ、フッダ、小さな図版、注記、ページ番号などのような要素を収容してもよい。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3452	A		ヘッダ	へっだ	page header, running head	同一文書内で複数ページの最上段に印刷されるブロック。備考 ヘッダには、ページ番号のような可変情報を入れてもよい。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3453	A		フッダ	ふっだ	footer, running foot	同一文書内で複数ページの最下段に印刷されるブロック。備考 フッダには、ページ番号のような可変情報を入れてもよい。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3454	A		中央にそろえる、センタリングする	ちゅうおうにそろえる、せんたりんぐする	to center	水直線上と水平線上の両方、又はその一方の基準点に関して均等に置かれるように、テキストを配置する。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3455	A		字下げする	じさげする	to indent	ある行に始端を、他の行よりも余白部から中央よりに設定する。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3456	A		下線を引く	かせんをひく	to underline, to	ある文字又はーまとまりの文字の直下に線を印刷したり表示したりする。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3457	A		右そろえ	みぎそろえ	right-aligned, right-adjusted, flush right, right-justified (deprecated in	右端の余白部に文字位置をそろえるが、左端の余白部にはそろえる必要の内テキストに関する用語。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3458	A		左そろえ	ひだりそろえ	left-aligned, left-adjusted, flush left, left-justified (deprecated in this sense)	左端の余白部に文字位置をそろえるが、右端の余白部にはそろえる必要のないテキストに関する用語。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3459	A		右ラグ	みぎらぐ	ragged right	右端の余白部に文字位置をそろえないテキストに関する用語。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3460	A		左ラグ	ひだりらぐ	ragged left	左端の余白部に文字位置をそろえないテキストに関する用語。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3461	A		行そろえする	ぎょうそろえする	to justify (in text processing)	各行の始端と終端の文字が左右の余白部にそろうように、水平方向にテキストを調整したり、テキストの最初の行と最後の行とが上下の余白部にそろうように、テキストを垂直方向に調整したりすること。備考 1. 段落の最後の行は、行そろえしない場合が多い。2. 行を縦書きにする記述方法(例えば日本語)では、垂直方向に調整する。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3462	A		定規線	じょうぎせん	ruler line	左右の余白部及びタブストップの設定されている場所を指定する線。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3463	A		自動ページ番号振り	じどうページばんごうふり	automatic page numbering	事前に定義した方法で同一文書の連続したページに対し、自動的にページ識別子を生成するテキストプロセッサの機能。備考 この用語は、自動改ページと同義に使用しない	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3464	A		自動改ページ	じどうかいページ	automatic pagination	事前に定義したページ割付けパラメタにしたがって、テキストを自動的に各ページに配置すること。備考 1 .この機能によって、利用者は、ページの最終行にことを考慮せずにテキスト入力することができる。2. この用語は、自動ページ番号振りと同義に使用しないほ	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3465	A		自動段落番号振り	じどうだんらくばんごうふり	automatic paragraph numbering	事前に定義した方法で同一文書の連続した段落に対し、自動的に通しの段落識別子を生成するテキストプロセッサの機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3466	A		ページ長	ページちょう	page length, page depth	画面に表示したりページに印刷したりするときの、使用可能な領域の垂直方向の寸法。備考 ページ長は、通常、実際の用紙の寸法よりも短くするが、例えば、折り込みページの図版を作成する場合のように、標準的な用紙寸法よりも長くしてもよい。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3467	A		改ページ	かいページ	page break	あるページ上への印刷を終了し、次のページの先頭から印刷を再開する機能。備考 改ページの際に、ヘッダ及びフッダを印刷することができる。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3468	A		強制改ページ	きょうせいかいページ	hard page break, required page break	指定した位置に手動で入力され、テキスト編集にかかわらずその位置が変化しない改ページ。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3469	A		任意改ページ	にんいかいページ	soft page break	自動改ページによって挿入され、テキスト編集によってその位置が変化することのある改ページ。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3470	A		末尾孤立行、ウィドウ	まつびこりつぎょう、ういど	widow, widow line	次の段又は次のページの先頭に送られてそこに単独で現われる、段落の最後の行。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3471	A		冒頭孤立行、オーファン	ぼうとうこりつぎょう、おーふぁん	orphan, orphan line	段又はページの末尾に単独で現われる、段落の最初の行。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3472	A		単語カウント	たんごかうんと	word count	同一文書内の単語数を数えることができるテキストプロセッサの機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3473	A		水平タブ、水平方向書式送り	すいへいたぶ、すいへいほうこうしょしきおくり	horizontal tabulation, horizontal formatting	利用者が定義した限度値の範囲内で、テキストを水平方向にあらかじめ定められた位置まで進めるテキストエディタの機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3474	A		垂直タブ、垂直方向書式送り	すいちょくだぶ、すいちょくほうこうしょしきおくり	vertical tabulation, vertical formatting	利用者が定義した限度値の範囲で、テキストを垂直方向にあらかじめ定められた位置まで進めるテキストエディタの機能。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3475	A		段、コラム	だん、こらむ	column	複数の行を垂直方向に配置して作った幾つかの区画の一つであって、ページ上や画面上では横に並べて置かれるもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3476	A		マーク付け言語	まーくつけげんご	markup language	文書処理を支援するために、文中の中に入れられる埋込み指令からなる言語。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3477	A		ページ記述言語	ページきじゅつげんご	page description language	文書の印刷形式や表示形式を指定するために使用される言語。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3478	A		フォント、書体	ふぉんと、しょたい	font	同一のデザインをもつ文字の集合。例 9ポイントのクーリエ 備考 同一のフォントでも複数の大きさのものがある。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3479	A		カーニング	かーにんぐ	kerning	隣接する二つの文字の間の空きを減らすこと。例 筆記体風で印刷したり表示したりするために、文字枠を重ね合せること。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3480	A		スタイル	すたいる	style	書式付け命令の集合に名前を付けたものであって、テキストに対して多くの属性を同時に適用したり、同じ書式付け情報をテキストの異なる部分に適用したりすることによって文書のレイアウトを標準化できるようにするもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3481	A		スタイル集	すたいるしゅう	style sheet	ファイルに格納されたスタイルの集まりであって、文書に関連付けてそのレイアウトを決めるためのもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3482	A		高品質印字、LQ(省略形)	こうひんしついんじ、LQ	letter quality, LQ (abbreviation)	テキストの印字品質であって、商業文に適し、事務用の欧文電動タイプライタ並の品質に匹敵するもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3483	A		中品質印字、NLQ(省略形)	ちゅうひんしついんじ、NLQ	near letter quality, NLQ (abbreviation)	テキストの印字品質であって、事務用の欧文電動タイプライタ並の品質には劣るが、企業内での文書や大量の外部配送作業には十分通用する品質であり、高品質印字よりも高速で印刷するときに使用するもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1
3484	A		並品質印字	なみひんしついんじ	draft quality	テキストの印字品質であって、商業文には適さないが、大部分の企業内文書には十分通用し、中品質印字よりも高速で印刷するときに使用するもの。	JIS X 0023	1995	ISO/IEC 2382-23	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3485	A		計算機統合生産、CIM(省略形)	けいさんきとうごうせいさん、CIM	computer-integrated manufacturing, CIM (abbreviation)	生産にかかわるすべての活動が、計算機を利用して統合的に計画・管理・制御されている生産システム。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3486	A		計算機支援エンジニアリング、CAE(省略形)	けいさんきしえんえんじにありんぐ、CAE	computer-aided engineering, CAE	製造難易度、性能、生産性又は経済性の最適化など生産に必す(須)の機能を遂行するために計算機システムを使用するエンジニアリング活動。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3487	A		計算機支援設計、CAD(省略形)	けいさんきしえんせっけい、きゃど	computer-aided design, CAD (abbreviation)	設計、シミュレーション又は部品若しくは製品の改良などの機能を遂行するために計算機システムを使用する、製図及び描画を含む設計活動。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3488	A		計算機支援製図	けいさんきしえんせいず	computer-aided drawing, computer-aided drafting	図形処理のソフトウェア及びハードウェアを使用する製図の手法及び技法。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3489	A		計算機支援計画、CAP(省略形)	けいさんきしえんけいかく、CAP	computer-aided planning, CAP (abbreviation)	生産計画ソフトウェア、意志決定支援ソフトウェアなどの計算機システムを使用して生産活動全般を計画すること。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3490	A		計算機支援製造、CAM(省略形)	けいさんきしえんせいぞう、きゃむ	computer-aided manufacturing, CAM (abbreviation)	生産工程が計算機システムによって指令・制御されている製造方式。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3491	A		計算機支援設計・製造、CAD/CAM(省略形)、CADM(省略形)	けいさんきしえんせっけいせいぞう、CAD/CAM、CADM	computer-aided design and manufacturing, CAD/CAM (abbreviation), CADM (abbreviation)	計算機支援設計と計算機支援製造とからなる生産活動。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3492	A		計算機支援生産管理、CAPM(省略形)、計算機支援生産制御、CAPC(省略形)	けいさんきしえんせいさんかんり、CAPM、けいさんきしえんせいさんせいぎょ、CAPC	computer-aided production management, CAPM (abbreviation), computer-aided production control, CAPC	資源所要計画から生産制御まで計算機システムを使用する生産管理活動。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3493	A		計算機支援品質保証、CAQA(省略形)、CAQ保証(省略形)	けいさんきしえんひんしつほしょう、CAQA、CAQほしょう	computer-aided quality assurance, CAQA (abbreviation), CAQ assurance (abbreviation)	製品のライフサイクルの全段階を通じて、工程、部品及び製品に関する計画、監視並びに制御を情報化することによって実現される品質保証。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3494	A		計算機支援工程計画、CAPP(省略形)	けいさんきしえんこうていかんり、CAPP	computer-aided process planning, CAPP (abbreviation)	機械加工のような生産に関する工程順序・生産手順の基本的データの作成に、計算機システムを使用するすべての計画活動。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3495	A		計算機支援試験、CAT(省略形)	けいさんきしえんしけん、CAT	computer-aided testing, CAT (abbreviation)	計算機システムによって、製品又はその一部分を試験したり点検したりすること。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3496	A		生産計画制御システム、PPCS(省略形)	せいさんけいかくせいぎょしすてむ、PPCS	production planning control system, PPCS (abbreviation)	生産計画の作成、遂行及び制御のために使用する計算機システム。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3497	A		製造資源計画、MRP Ⅱ(省略形)	せいぞうしげんけいかく、MRP Ⅱ	manufacturing resource planning, MRP Ⅱ (abbreviation)	製造工程における各資源の、与えられた時点での必要量を評価及び予測することによって製造計画を実現すること。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3498	A		資材所要量計画、MRP(省略形)	しざいしょようりょうけいかく、MRP	material requirements planning, MRP	マスタ生産計画を基に、親品目の生産日程を求め、その構成部品の所要量に優先度をつける計画技法。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3499	A		フレキシブル製造システム、FMS(省略形)	ふれきしぶるせいぞうしすてむ、FMS	flexible manufacturing system, FMS (abbreviation)	製造作業の変更に容易に対応できるように、数値制御された製造装置と搬送機構とを組み合わせたシステム。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3500	A		製造セル(計算機統合生産における)	せいぞうせる(けいさんきとうごうせいさんにおける)	manufacturing cell (in computer-integrated manufacturing)	複数の作業場、材料、部品倉庫又は仮置場及びこれらを相互に結合する搬送機構から構成された製造の単位。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3501	A		有限要素解析	ゆうげんようそかいせき	finite-element analysis	離散的要素に擬似的に分解し、機械部品又は物理的構造物の構造特性を解析するこ	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3502	A		有限要素モデリング	ゆうげんようそもでりんぐ	finite-element modeling	有限要素解析のために、設計中の機械部品又は物理的構造物を表現する数学的モデルを計算機システム上に創成すること。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3503	A		形状モデリング、幾何モデリング	けいじょうもでりんぐ、きかもでりんぐ	geometric modeling	3次元の形状を計算機処理可能な形で表現したモデルを、計算機システム上で創成すること。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3504	A		面モデリング、サーフェスモデリング	めんもでりんぐ、さーふぇすもでりんぐ	surfacing, surface modeling	物体の表面を表現するモデルを計算機システム上で創成すること。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3505	A		立体モデリング、ソリッドモデリング	りったいもでりんぐ、そりっどもでりんぐ	solid modeling, volume modeling	外観形状だけでなく内部の質的特性も表現するために、物体の立体的特性を扱う3次元形状モデリング。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3506	A		プロダクトモデリング	ぷろだくともでりんぐ	product modeling	物体の立体的特徴とともに、その製造に必要な情報を処理の対象とする3次元形状モデ	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3507	A		ワイヤフレームモデリング	わいやふれーむもでりん	wireframe modeling	一連の線で表面の輪郭を描くことによって、物体の形状を表現する3次元形状モデリン	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3508	A		部品ファミリープログラム方式	ぶひんふぁみりーぷろぐらむほうしき	family-of-parts programming	計算機支援設計・製造システム上で、既存部品の設計を少し変更することによって、又は設計済みの部品、サブアセンブリ若しくは構造を組み合わせることによって、新部品を	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3509	A		数値制御、NC(省略形)	すうちせいぎょ、NC	numerical control, NC (abbreviation)	実時間で取り込んだ数値コード化指令を使用する装置によって実行する、工作機械又は加工設備の自動制御。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3510	A		グループテクノロジー、グループ技法	ぐるーぷてくのろじー、ぐるーぷぎほう	group technology	頻繁に使われる類似部品を関連部品群としてまとめるために、計算機支援工程計画で使用するコード化及び分類の技法。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3511	A		計算機数値制御、CNC(省略形)	けいさんきすうちせいぎょ、CNC	computer numerical control, CNC	基本の数値制御指令の一部又はすべてを記憶し、実時間で実行するために専用の計算機を使用する数値制御。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3512	A		動的工具表示	どうてきこうぐひょうじ	dynamic tool display	計算機支援設計・製造において、数値制御された切削工具を図形で表示し、切削工程のシミュレーション及び検証のためにそれを画面上の工具軌跡に沿って動かす機能。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3513	A		ロボット工学	ろぼっとこうがく	robotics	ロボットの設計、製造及び使用に関する工学の分野。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3514	A		ロボット	ろぼっと	robot	通常、動作手順の設定が可能であって、自動制御によって操作又は移動の作業を行う機械的な装置。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3515	A		産業用マニピュレーションロボット	さんぎょうようまにぴゅれーしょんろぼっと	manipulating industrial robot	産業の自動化に使用される、自動的に制御され再プログラム可能な、多様の自由度をもつ多目的自動操縦機械。これには、据付型及び移動型がある。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3516	A		ロボットシステム	ろぼっとしすてむ	robot system, robotic system	ロボットのハードウェア及びソフトウェアから構成される製造セルであって、マニピュレータ、電源、制御システム、エンドエフェクタ、ロボットに接続される装置並びにロボットを操作及び監視する通信インタフェースを含むもの。	JIS X 0024	1998	ISO/IEC 2382-24	1995				1995	JTC1
3517	A		ローカルエリアネットワーク、LAN(省略形)	ろーかるえりあねっとわーく、らん	local area network, LAN (abbreviation)	利用者の構内に設置され、地理的に限られた範囲内の計算機ネットワーク。(備)ローカル エリアネットワーク内での通信は、外部の規定に準拠する必要はない。しかし、ネットワークをまたがる通信は、外部の規定に準拠しなければならないこともある。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3518	A		ベースバンドLAN	べーすばんどらん	baseband LAN	符号 化されたデータが搬送波で変調されずに伝送されるローカルエリアネットワーク。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3519	A		ブロードバンドLAN	ぶろーどばんどらん	broadband LAN	符号化されたデータが搬送波で変調・多重化されて伝送されるローカルエリア ネットワーク。複数の通信路から構成される。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3520	A		LAN一斉同報、LANブロードキャスト	らんいっせいどうほう 、らんぶろーどきゃすと	LAN broadcast	同じローカルエリアネットワーク上のす べてのデータステーションによって受信されることを意図したフレームの送信。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3521	A		LANグループ同報、LANマルチキャスト	らんぐるーぷどうほう 、らんまるちきゃすと	LAN multicast	同じローカルエリアネットワーク上のあ る選ばれた一群のデータステーションによって受信されることを意図したフレームの送信。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3522	A		トークン	とーくん	token	ローカルエリアネットワークにおいて、伝送媒体を一時的に使用する権利を表すことに用いられる特別のビット群。あるデータステーションから別のデータステーションに順次渡される。(備)すべての情報は、フレームによって運ばれる。フレームには、トークンだけのもの、利用者データだけのものなどがある。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3523	A		トークンパッシングプロトコル、トークンパッシング手順	とーくんぱっしんぐぷろとこる、とーくんぱっしんぐてじゅん	token passing protocol,token passing procedure	トークンを利用するローカルエリアネットワークに おいて、データステーションのトークンの獲得方法、使用方法及び転送方法を決定する規則 の集合。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3524	A		キャリア検地	きゃりあけんち	carrier sense	ローカルエリア ネットワークにおいて、他のデータステーションが伝送中か否かを検出するために、データ ステーションが行う動作。(参)搬送波検地ということもあるが、ここでいう搬送波は、 ベースバンドとブロードバンドとを区別するための搬送波の意味とは異な	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3525	A		バスネットワーク	ばすねっとわーく	bus network	任意 の二つのデータステーション間に唯一のパスしかなく、任意のデータステーションから伝送 されたデータが、同じ伝送媒体に接続されている他のすべてのデータステーションで利用可 能なローカルエリアネットワーク。(備)バスネットワークは、線状ネットワーク、星状 ネットワーク又は木状ネットワークの形態をとることができる。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3526	A		リピータ、中継器	りぴーた、ちゅうけいき	repeater	ロー カルエリアネットワークにおいて、データステーション間の伝送範囲の拡張又は二つの枝間 の相互接続を行うために、信号の増幅及び再生を行う機器(図1参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3527	A		LANサーバ	らんさーば	LAN server	ローカルエリアネットワーク上の他のデータステーションに、特定のサービスを提供するデータステーション。(例)ファイルサーバ、プリントサーバ、メールサーバ	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3528	A		ブリッジ	ぶりっじ	bridge	同じ論理リック制御プロトコルを使用する二つのローカルエリアネットワークを相互接続する機能単位。それぞれのローカルエリアネットワークが異なる媒体アクセス制御フロトコルを使用していてもよい。(図1参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3529	A		LANゲートウェイ	らんげーとうぇい	LAN gateway	ロー カルエリアネットワークとそれと異なるプロトコルを使用しているネットワークとを接続す る機能単位(図1参照)。(備)接続されるネットワークには、他のローカルエリアネットワーク、公衆データ網などが考えられる。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3530	A		LAN個別アドレス	らんこべつあどれす	LAN individual address	ローカルエリアネットワーク上の特定のデータステーションを識別するアド レス。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3531	A		LANグループアドレス	らんぐるーぷあどれす	LAN group address	ローカルエリアネットワーク上の一群のデータステーションを識別するアドレス。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3532	A		LANグループ同報アドレス、LANマルチキャストアドレス	らんぐるーぷどうほうあどれす、らんまるちきゃすとあどれす	LAN multicast address	ローカルエリアネットワーク上のデータステーションの部分集合を識別する LANグループアドレス。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3533	A		LAN一斉同報アドレス、LANブロードキャストアドレス	らんいっせいどうほうあどれす、らんぶろーどきゃすとあどれす	LAN broadcast address, LAN global address	ローカルエリアネットワーク上のすべてのデータス テーションの集合を識別するLANグループアドレス	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3534	A		アドレス管理	あどれすかんり	address administration	ロー カルエリアネットワークのアドレスを管理し、一意になるように割り当てること。アドレス 管理には、局所アドレス管理及び全域アドレス管理がある。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3535	A		局所アドレス管理	きょくしょあどれすかんり	local address administration	同じローカルエリアネットワーク内で、すべてのLAN個別アドレス を一意になるように割り当てるアドレス管理。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3536	A		全域アドレス管理	ぜんいきあどれすかんり	universal address administration, global address administration	同じローカ ルエリアネットワーク内だけでなく、異なるローカルエリアネットワークとの間でも、すべ てのLAN個別アドレスを一意になるように割り当てるアドレス管理。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3537	A		空アドレス	くうあどれす	null address	いずれのデータ ステーションにも関連しない、フレーム中のアドレス。(備)空アドレスは、保守のために 使用できる。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3538	A		媒体アクセス制御、MAC(省略形)	ばいたいあくせすせいぎょ、MAC	medium access control, MAC (abbreviation)	伝送 媒体を一時的に制御下に置くデータステーションを決定するために使用する技法。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3539	A		幹線ケーブル	かんせんけーぶる	trunk cable	データス テーション間の通信を可能にするために幹線結合器を接続するケーブル(図2	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3540	A		幹線結合器、幹線接続器、TCU(省略形)	かんせんけつごうき、かんせんせつぞくき、TCU	trunk coupling unit, trunk connecting unit, TCU (abbreviation)	ドロップケーブルを介してデータステーションを幹線ケーブルに接続する物理装置(図2参照)。(備)幹線結合器は、データステーションをネットワークに挿入したり、バイパスさせたりする手段として使用する。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3541	A		引込みケーブル	ひきこみけーぶる	drop cable	データステー ションと幹線結合器との接続に使用するケーブル(図2参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3542	A		放棄シーケンス	ほうきしーけんす	abort sequence	フレームの送信を早期に集結させるための特定のビットパターン。ビット列の任意の場所で使用してよい。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3543	A		媒体インタフェースコネクタ、MIC(省略形)	ばいたいいんたふぇーすこねくた、MIC	medium interface connector, MIC	ローカルエリアネットワークにおいて、データステーションと、幹線結合器、幹 線ケーブル及び引込みケーブルとを接続するために使用するコネクタ(図2参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3544	A		媒体接続機構、MAU(省略形)	ばいたいせつぞくきこう、MAU	medium attachment unit, MAU (abbreviation)	ローカルエリアネットワーク上のデータステーションにおいて、データ端末装置と伝送媒体とを結合するために使用する機器(図2及び図3参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3545	A		媒体依存インタフェース、MDI(省略形)	ばいたいいぞんいんたふぇーす、MDI	medium dependent interface, MDI	ローカルエリアネットワーク上のデータステーションにおいて、伝送媒体と媒体接続機構と を接続する機械的及び電気的なインタフェース(図2及び図3参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3546	A		接続機構インタフェース、AUI(省略形)	せつぞくきこういんたふぇーす、AUI	attachment unit interface, AUI (abbreviation)	ローカルエリアネットワーク上のデータステーションにおいて、媒体接続機構とデータ端末 装置とを接続するインタフェース(図2及び図3参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3547	A		キャリア検地多重アクセス衝突検出ネットワーク、CSMA/CDネットワーク(省略形)	きゃりあけんちたじゅうあくせすしょうとつけんしゅつねっとわーく、CSMA/CDねっとわーく	carrier sense multiple access with collision detection network, CSMA/CD network (abbreviation)	媒体アクセス制御プロトコルがキャリア検地を行うとともに、衝突によって発生した例外状態を、再伝送によって解消するバスネットワーク。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3548	A		キャリア検地多重アクセス衝突回避ネットワーク、CSMA/CAネットワーク(省略形)	きゃりあけんちたじゅうあくせすしょうとつかいひねっとわーく、CSMA/CAねっとわーく	carrier sense multiple access with collision avoidance network, CSMA/CA network (abbreviation)	媒体アスセス制御プロトコルがキャリア検地を行うとともに、データステーションが伝送を開始する前に、必ずジャム信号を送信するバスネットワーク。ジャム信号送出中に、他のデータステーションからの信号との衝突がないときは、データ送信を開始し、衝突が生じたときは、伝送を中止して、時間をおいて再伝送を試みる。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3549	A		コンテンション(ローカルエリアネットワークにおける)	こんてんしょん(ろーかるえりあねっとわーくにおける)	contention	ローカルエリアネット ワークにおいて、媒体アクセス制御プロトコルが2台以上のデータステーションの同時伝送 を許容し、そのために衝突の発生する可能性がある状態。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3550	A		衝突	しょうとつ	collision	伝送媒体上では、2台以上の データステーションが同時に伝送することによって生じる状	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3551	A		ジャム信号	じゃむしんごう	jam signal	あるデータステーショ ンが、他のすべてのデータステーションに、伝送を行ってはならないことを通知するために 送出する信号。(備)1.CSMA/CDネットワークの場合、ジャム信号は、衝突が発生したことを示す。(備)2.CSMA/CAネットワークの場合、ジャム信号は、そのデータステーションが伝送を開始しようとしていることを示す。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3552	A		強制衝突	きょうせいしょうとつ	collision enforcement	CAMA/CDネットワークにおいて、あるデータステーションが衝突を検出したときに、ジャム信号を送出すること。これによって、他のすべてのデータステーションに、衝突の発 生を確実に認識させる。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3553	A		べき乗打切り待機法、再送時間算出法	べきじょううちきりたいきほう、さいそうじかんさんしゅつほう	truncated binary exponential backoff	CSMA/CDネットワークにおいて、衝突が発生したときに、再伝送の契機を決定するア ルゴリズム。再伝送までの時間は、スロット時間及び再伝送回数から算出する。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3554	A		超過送信、ジャバ	ちょうかそうしん、じゃば	jabber	プロトコル で許容された時間間隔を超えるデータステーションによる伝送。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3555	A		超過送信制御、ジャバ制御	ちょうかそうしんせいぎょ、じゃばせいぎょ	jabber control	ローカルエリアネットワークにおいて、媒体接続機構が異常に長い データ列を出力することを防ぐために、自動的に伝送を中断する機能。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3556	A		遅延処理	ちえんしょり	deference	伝送媒体が使用中のときに、 衝突が発生するのを防止するため、データステーションが後続の伝送を遅らせる処理。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3557	A		スロット時間(CSMA/CDネットワークにおける)	すろっとじかん(CSMA/CDねっとわーくに	slot time (in a CSMA/CD network)	衝突が発生した場合に、データステーションが次の再伝送を許されるまでの遅延 時間を決定するために使用される単位時間。実装に依存する。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3558	A		往復伝搬時間	おうふくでんぱんじかん	round-trip propagation time	バスネットワーク上の最も遠い2台のデータステーションをビットが往復伝 搬するのに必要な時間。(備)キャリア検地を使用したネットワークにおいて、各フレーム の長さは、伝送を行っているデータステーションがその伝送中に衝突又はジャム信号を検出 できる程度に、十分に長くなければならない。したがって、フレームの最小の長さは、往復 伝搬時	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3559	A		トークンバスネットワーク	とーくんばすねっとわーく	token-bus network	トークンパッシングプロトコルを使用するバスネットワーク。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3560	A		ヘッドエンド	へっどえんど	headend	ブロードバンドLAN において、各データステーションから信号を受信し、すべてのデータステーションにその信 号を再送する機器。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3561	A		順方向LANチャネル	じゅんほうこうらんちゃねる	forward LAN channel	ブロードバンドLANにおいて、ヘッドエンドからデータステーショ ンへのデータ伝送用に割り当てられる通信路。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3562	A		逆方向LANチャネル	ぎゃくほうこうらんちゃねる	backward LAN channel	ブロードバンドLANにおいて、データステーションからヘッドエンドへのデータ伝送用に割り当てられる通信路。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3563	A		ダウンリンク	だうんりんく	downlink	トークンバスネット ワーク形式のブロードバンドLANにおいて、データ送信時にデータステーションからの送 信を受信したヘッドエンドが、その伝送路に接続するすべてのデータステーションに対して データを送信する方向又はそのデータ伝送。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3564	A		アップリンク	あっぷりんく	uplink	トークンバスネットワーク形 式のブロードバンドLANにおいて、データ送信時にデータステーションからヘッドエンド に対してデータを送信する方向又はそのデータ伝送。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3565	A		単一ケーブルブロードバンドLAN	たんいつけーぶるぶろーどばんどらん	single-cable broadband LAN	順方向LANチャネルと逆方向LAN チャネルとで、1本のケーブルを共用するブロードバンドLAN。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3566	A		二重ケーブルブロードバンドLAN	にじゅうけーぶるぶろーどばんどらん	dual-cable broadband LAN	順方向LANチャネルと逆方向LAN チャネルとで、それぞれ別々のケーブルを使用するブロードバンドLAN。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3567	A		論理リング	ろんりりんぐ	logical ring	トークンバス ネットワークにおけるデータステーション間のトークンの受渡し順序を論理的に表したもの。環状ネットワークにおけるトークンの受渡しを模擬したものである(図4	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3568	A		雑音バースト信号	ざつおんばーすとしんごう	noise burst signal	トークンバスネットワーク又はトークンリングネットワークにおいて、有効なフ レームでは発生しない信号波形が、伝送媒体上にあることを示す信号。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3569	A		バス未使用信号	ばすみしようしんごう	bus-quiet signal	トークンバスネットワークにおいて、伝送媒体が使用されていることを示す信号。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3570	A		制御フレーム	せいぎょふれーむ	control frame	層又は副層 が、他のシステムの同じ層又は副層のエンティティに対して送信するが、上位の層又は副層 には受け渡さないフレーム。例 媒体アクセス制御フレーム	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3571	A		応答時間ウインドウ、応答ウインドウ	おうとうじかんういんどう、おうとううういんどう	response time window, response window	トークンバス ネットワークにおいて制御される時間の間隔。媒体アクセス制御フレームを送信したデータ ステーションが、それに対する応答を待つ時間。1スロット時間に等しい。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3572	A		伝送経路遅延、単一方向伝搬時間	でんそうけいろちえん、たんいつほうこうでんぱんじ	transmission path delay, one-way propagation time	バスネットワーク上の最も遠い2台のデータステーション間をビットが伝播する のに必要な時間。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3573	A		スロット時間(トークンバスネットワークにおける)	すろっとじかん(とーくんばすねっとわーくにおける)	slot time (in a token-bus network)	データステーションが、他のデータステーションからの応答を待たなければ ならない最大時間。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3574	A		トークンリングネットワーク	とーくんりんぐねっとわーく	token-ring network	トークンパッシングプロトコルを使用して、データステーショ ン間の単一方向のデータ伝送を実現する環状ネットワーク。伝送されたデータは、送信元の データステーションに戻	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3575	A		スロット形リングネットワーク	すろっとけいりんぐねっとわーく	slotted-ring network	一つの伝送媒体上の伝送路にあらかじめ定義されたスロットの中にデータを設定することによって、データステーション間の単一方向のデータ伝送を 実現する環状ネットワーク。伝送されたデータは、送信元のデータステーションに戻る。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3576	A		リング遅延	りんぐちえん	ring latency	環状ネットワー クにおいて、信号がリングを一周するために必要となる時間。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3577	A		スター形配線リングネットワーク	すたーけいはいせんりんぐねっとわーく	star/ring network	数台のデータステーションを幹線結合器によって1か所で相互 に接続するという方法で配線された、単一方向の伝送を行う環状ネットワーク。(備)デー タステーションの挿入・除去は、ネットワークの運用を中断することなく実施できる。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3578	A		ビーコンステーション	びーこんすてーしょん	beaconing station	環状ネットワーク上で、下流のデータステーションに対して重大な故障を報 告するデータステーション。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3579	A		アクセス制御フィールド	あくせすせいぎょふぃーるど	access control field	トークンか否かの別、トークンを使用できるデータステーション、フ レームの有効性及びデータステーションによる次のトークンの予約を示すビットパターン。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3580	A		フィル	ふぃる	fill	トークンリングネットワークにおいて、伝送中のデータステーションがフレーム、トークン又は放棄シーケンスの前後に送信する特 定のビットパターン。このビットパターンがない場合、送信側の状態が非活動状態又は不確 定な状態であると判断される。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3581	A		隣接局通知	りんせつきょくつうち	neighbor notification	トークンリングネットワークにおいて、各データステーションが上流の活動状態 にあるデータステーションを識別する手順。この手順で得た識別情報によって、すべての データステーションは、故障が発生した場合に、その発生箇所を限定することができる。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3582	A		フレーム除去	ふれーむじょきょ	stripping	リングをフレームが一周した後、送信元のデータステーションが、ネットワークからフレームを取り除く処 理。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3583	A		論理リンク制御プロトコル、LLCプロトコル(省略	ろんりりんくせいぎょぷろとこる、LLCぷろとこる	logical link control protocol, LLC protocol	ローカルエリアネットワークにお いて、接続されている伝送媒体とのアクセスの手段と独立に、データステーション間のフ レーム交換の手段を定めるプロトコル。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3584	A		媒体アクセス制御プロトコル、MACプロトコル(省略形)	ばいたいあくせすせいぎょぷろとこる、MACぷろとこる	medium access control protocol, MAC protocol (abbreviation)	ローカルエリアネット ワークにおいて、データステーション間のデータ交換を可能にするため、接続されている伝 送媒体とのアクセス手段を、ネットワークの構成形態を考慮して定めるプロトコル。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3585	A		論理リンク制御副層、LLC副層(省略形)	ろんりりんくせいぎょふくそう、LLCふくそう	logical link control sublayer, LLC sublayer (abbreviation)	ローカルエリアネットワークにおける、データリンク層の一部 分。媒体に依存しないデータリンク機能を提供する(図3参照)。(備)論理リンク制御副 層は、ネットワーク層にサービスを提供するために、媒体アクセス制御副層のサービスを使 用する。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3586	A		媒体アクセス制御副層、MAC副層(省略形)	ばいたいあくせすせいぎょふくそう、MACふくそう	medium access control sublayer, MAC sublayer (abbreviation)	ローカルエリアネットワークにおける、データ リンク層の一部分。媒体アクセス制御を適用し、構成形態に依存する機能を提供する。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3587	A		物理信号制御副層、PLS副層(省略形)	ぶつりしんごうせいぎょふくそう、PLSふくそう	physical signaling sublayer, PLS sublayer (abbreviation)	ローカルエリアネットワークにおける、物理層の一部分。媒体アクセ ス制御副層と接し、ヒット記号の符号化及び送信、ビット記号の受信及び復号、並びに物理 媒体の切放しを行う(図3参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3588	A		物理媒体接続副層、PMA副層(省略形)	ぶつりばいたいせつぞくふくそう、PMAふくそう	physical medium attachment sublayer, PMA sublayer (abbreviation)	ローカルエリアネットワークにおける、物理層の一部分。媒体接続機構の機能を有する回路によって実現される(図3参照)。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3589	A		論理リンク制御第1種動作、第1種動作LLC(省略形)	ろんりりんくせいぎょだい1しゅどうさ、だい1しゅどうさLLC	logical link control type 1, LLC type 1 (abbreviation)	論理リンク制御副層における、受信完了通知を行わないコネクションレス型伝送。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3590	A		論理リンク制御第2種動作、第2種動作LLC(省略形)	ろんりりんくせいぎょだい2しゅどうさ、だい2しゅどうさLLC	logical link control type 2, LLC type 2 (abbreviation)	論理リンク制御副層における、コネクション型伝送。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3591	A		論理リンク制御第3種動作、第3種動作LLC(省略形)	ろんりりんくせいぎょだい3しゅどうさ、だい3しゅどうさLLC	logical link control type 3, LLC type 3 (abbreviation)	論理リンク制御副層における、受信完了通知を行うコネクションレス型伝送。	JIS X 0025	1994	ISO/IEC 2382-25	1992				1992	JTC1
3592	A		実システム	じつしすてむ	real system	1台以上の計算機、関連するソフトウェア、周辺装置、端末、操作者、物理的プロセス及び通信手段の集合体。この集合体は、情報処理、情報転送又はその両者を遂行することのできる自立的統一体を形成する。(JIS X 5003 参照)	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3593	A		実開放型システム	じつかいほうがたしすてむ	real open system	開放型システム関相互接続の要件に従って他の実システムとの間で通信を行う実システム(JIS X 5003参照)	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3594	A		開放型システム	かいほうがたしすてむ	open system	実開放型システム相互間の通信に関連する種々の状況を、一般化した抽象モデルによって実現したもの(JIS X 5003参照)	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3595	A		開放型システム間相互接続、OSI(省略形)	かいほうがたしすてむかんそうごせつぞく、OSI	open systems interconnection, OSI(省略形)	データを交換するための各種規格に従った計算機システムの相互接続(JIS X 5003参照)	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3596	A		開放型システム間相互接続参照モデル、OSI参照モデル(省略形)	かいほうがたしすてむかんそうごせつぞくさんしょうもでる、OSIさんしょうもで	open systems interconnection reference model, OSI reference	開放型システム間相互接続の一般的原則及びそれらの原則にしたがったネットワークアーキテクチャを記述するモデル(図1参照) 備考 このモデルは、JIS X 5003の中で規定されており、それを参照する規格の開発を調整するための枠組みを提供する。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3597	A		OSI管理	OSIかんり	OSI management	OSI環境での通信を可能とするための資源の制御、調整及び監視をする機能。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3598	A		終端の開放型システム	しゅうたんのかいほうがたしすてむ	end open system	通信が行われる際に、データ送信側、データ受信側又はその両者になることができる開放型システム。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3599	A		中断	ちゅうだん	relay	ある開放型システムからの受信データを他の開放型システムへ転送することを可能にする、経路選択などの機能の集合。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3600	A		中間システム	ちゅうかんしすてむ	intermediate system	通信が行われる際に、中断を行うが、データ送信側にもデータ受信側にもならない開放型システム。備考 中間システムは、複数存在してもよい。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3601	A		OSI環境、OSIE(省略形)	OSIかんきょう、OSIE	OSI environment, OSIE(省略形)	開放型システム間での通信を可能にする概念、要素、機能、サービス及びプロトコルの集合の抽象的表現。これは、開放型システム間相互接続参照モデル及びそれから導き出される特定の規格によって規定される。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3602	A		サブシステム(OSIにおける)	さぶしすてむ(OSIにおける)	subsystem (in OSI)	開放型システムを階層に区分したとき、その開放型がシステムのすぐ上の区分又はすぐ下の区分とだけ直接に相互作用を行う階層内の要素。備考 開放型システムの階層区分は、層又は副層のいずれであってもよい。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3603	A		エンティティ(OSIにおける)	えんていてい(OSIにおける)	entity (in OSI)	サブシステム内の能動的要素。備考 ある層内でのエンティティ間の協調動作は、一つ以上のプロトコルによって制御される。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3604	A		層(OSIにおける)	そう(OSIにおける)	layer (in OSI)	開放型システム間相互接続参照モデルにおいて、概念的に完結したサービス、機能及びプロトコルのグループ。このグループは、階層的に配置された7グループのうちの一つであって、すべての開放型システムに共通に適用される。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3605	A		副層(OSIにおける)	ふくそう(OSIにおける)	sub layer (in OSI)	開放型システム間相互接続参照モデルにおいて、一つの層内にあって、概念的に完結したサービス、機能及びプロトコルのグループ。これは、すべての開放型システムに共通に	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3606	A		応用層	おうようそう	application layer	応用プロセルに対し、OSI環境にアクセスする手段を提供する層(26.02.01の備考1.及び図1参照)。備考 応用層は、応用プロセスのデータ交換手段を提供し、これらの各プロセスが通信するための応用プロセス用プロトコルを含む。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3607	A		プレゼンテーション層	ぷれぜんてーしょんそう	presentation layer	データを表現するための共通構文の選択及び適用業務データと共通構文との相互変換を提供する層(26.02.01の備考1.及び図1参照)。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3608	A		セション層	せしょんそう	session layer	共同動作しているプレゼンテーションエンティティに対し、対話の構成及び同期を行い、データ交換を管理する手段を提供する層(26.02.01の備考1.及び図1参照)。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3609	A		トランスポート層	とらんすぽーとそう	transport layer	終端間に、信頼性の高いデータ転送サービスを提供する層(26.02.01の備考1.及び図1参照)。備考 特定の条件の下では、ネットワーク層から提供されるサービスをトランスポート層が改善することがある。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3610	A		ネットワーク層	ねっとわーくそう	network layer	開放型システム間のネットワーク上に存在するトランスポート層内のエンティティに対し、経路選択及び交換を行うことによってデータのブロックを転送するための手段を提供する層(26.02.01の備考1.及び図1参照)。備考 ネットワーク層では、中間システムを使用して	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3611	A		データリンク層	でーたりんくそう	data link layer	ネットワークエンティティ間で、一般に隣接ノード間のデータを転送するためのサービスを提供する層(26.02.01の備考1.及び図1参照)。備考 データリンク層では、物理層内で誤りが発生すればこれを検出する。更に、その誤りを訂正することもできる。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3612	A		物理層	ぶつりそう	physical layer	伝送媒体上でビットの転送を行うための物理コネクションを確立し、維持し、解放する機械的、電気的、機能的及び手続き的な手段を提供する層(26.02.01の備考1.及び図1参	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3613	A		サービス(OSIにおける)	さーびす(OSIにおける)	service (in OSI)	特定の層及びそれより下の層から、その特定の層のすぐ上の層のエンティティに対して提供される機能。備考 特定の層のサービスは、その層とすぐ上の層との境界において	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3614	A		サービスアクセス点、SAP(省略形)	さーびすあくせすてん、SAP	service access point, SAP (省略形)	特定の層のサービスが、その層のエンティティからすぐ上の層のエンティティに対して提供される点。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3615	A		プロトコル(OSIにおける)	ぷろとこる(OSIにおける)	protocol (in OSI)	同一の層に属するエンティティの通信時の振舞いを決定する、意味規則及び構文規則の	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3616	A		プロトコル制御情報、PCI(省略形)	ぷろとこるせいぎょじょうほう、PCI	protocol control information, PCI(省略形)	特定の層のすぐ下の層から提供されるサービスによってその特定の層のエンティティ相互間で授受されるデータであって、それらのエンティティ相互間の協同動作を制御するも	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3617	A		利用者データ(OSIにおける)	りようしゃでーた(OSIにおける)	user data (in OSI)	特定の層のエンティティ相互間で、そのすぐ上の層にサービスを提供するために、すぐ上の層のエンティティに代わって、転送されるデータ。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3618	A		プロトコルデータ単位、PDU(省略形)	ぷろとこるでーたたんい、PDU	protocol data unit, PDU(省略形)	特定の層のプロトコル内に指定されたデータの集合であって、その層のプロトコル制御情報と、場合によってはその層の利用者データとからなるもの(図2参照)。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3619	A		サービスデータ単位、SDU(省略形)	さーびすでーたたんい、SDU	service data unit, SDU(省略形)	特定の層のサービスの利用者によって送信されるデータの集合であって、意味を変えずに同位サービス利用者に転送しなければならないもの(図2参照)。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3620	A		優先データ単位	ゆうせんでーたたんい	expedited data unit	あるコネクションにおいて以降に送信されるいかなるサービスデータ単位よりも必ず先に宛先開放型システム内の同位エンティティに配信される、小規模のサービスデータ単位。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3621	A		サービス利用者(OSIにおける)	さーびすりようしゃ(OSIにおける)	service user (in OSI)	サービスアクセス点を経由してサービスを利用する、単一の開放型システム内のエンティティ。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3622	A		サービス提供者(OSIにおける)	さーびすていきょうしゃ(OSIにおける)	service provider (in OSI)	同位サービス利用者に対してサービスを提供するすべてのエンティティの抽象的表現。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3623	A		発呼側サービス利用者	はっこがわさーびすりようしゃ	calling service user	コネクション確立要求を起動するサービス利用者。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3624	A		着呼側サービス利用者	ちゃくこがわさーびすりようしゃ	called service user	発呼側サービス利用者からコネクションの確立を要求されるサービス利用者。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3625	A		送信側サービス利用者	そうしんがわさーびすりようしゃ	sending service user	コネクション型伝送のデータ転送フェーズ中に、又はコネクションレス型伝送のある期間に、データ送信側として動作するサービス利用者。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3626	A		受信側サービス利用者	じゅしんがわさーびすりようしゃ	receiving service user	コネクション型伝送のデータ転送フェーズ中に、又はコネクションレス型伝送のある期間に、データ受信側として動作するサービス利用者。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3627	A		プリミティブ(OSIにおける)、サービスプリミティブ	ぷりみてぃぶ(OSIにおける)、さーびすぷりみてぃぶ	primitive (in OSI), service primitive	サービス利用者とサービス提供者との間における相互動作の抽象的な表現(図3参照)。備考 サービス利用者は、通常、エンティティ(第7層の場合を除く。)からなり、特定層のサービス提供者は、通常、その層のエンティティとより下位の層のサービスとからなる(第1層の場合を除く。)したがって、プリミティブは、隣接するエンティティ間の相互動作の抽象的な表現ということもできる。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3628	A		要求プリミティブ	ようきゅうぷりみてぃぶ	request primitive	サービス利用者がある手順を起動するために発行するプリミティブ(図3参照。)	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3629	A		指示プリミティブ	しじぷりみてぃぶ	indication primitive	サービス提供者がある手順を起動したこと、又は同一のサービスアクセス点でサービス利用者がある手順を起動したことを示すために、サービス提供者が発行するプリミティブ	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3630	A		応答プリミティブ	おうとうぷりみてぃぶ	response primitive	あるサービスアクセス点において、それ以前に指示プリミティブによって起動されていた手順が完了したことを示すために、そのサービスアクセス点でサービス利用者が発行するプリミティブ(図3参照)。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3631	A		確認プリミティブ	かくにんぷりみてぃぶ	confirm primitive	あるサービスサクセス点において、それ以前に要求プリミティブによって起動されていた手順が完了したことを示すために、そのサービスアクセス点でサービス提供者が発行するプリミティブ(図3参照)。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3632	A		同位エンティティ	どういえんてぃてぃ	peer entities	同一の開放型システムか別の開放型システムを問わず、お互いが同一の層内に存在しているエンティティ。備考 同一開放型システムに存在するエンティティ間の通信は、OSI	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3633	A		コネクション(OSIにおける)	こねくしょん(OSIにおける)	connection (in OSI)	すぐ上の層の複数のエンティティ間のデータ伝送を目的とし、特定の階層によって確立される協調的な関係。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3634	A		接続関係にあるエンティティ	せつぞくかんけいにあるえんてぃてぃ	correspondent entities	特定層内で、すぐ下の層の一つのコネクションを共有するすべてのエンティティ。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3635	A		コネクション型伝送	こねくしょんがたでんそう	connection-mode transmission, connection-oriented transmission	送信側のサービスアクセス点から一つ以上の受信側のサービスアクセス点へコネクションを確立して、データ単位を伝送すること。備考 コネクションは、データ伝送前に確立され、データ伝送後に開放される。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3636	A		コネクションレス型伝送	こねくしょんれすがたでんそう	connection less-mode transmission, connection less transmission	送信側のサービスアクセス点から一つ以上の受信側のサービスアクセス点へコネクションを確立せずにデータ単位を伝送すること。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3637	A		多重化(OSIにおける)	たじゅうか(OSIにおける)	multiplexing (in OSI)	特定層の複数のコネクションをすぐ下の層の単一のコネクションで支援する機能。備考 “多重化”という用語は、より狭義にも使用される。この場合、“多重化”は送信側エンティティの機能を意味し、“逆多重化”は受信側エンティティの機能を意味する。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3638	A		逆多重化(OSIにおける)	ぎゃくたじゅうか(OSIにおける)	demultiplexing (in OSI)	特定層のエンティティが、すぐ下の層の単一のコネクション上で受信したサービスデータ単位から、特定層の複数のコネクションに対応したプロトコルデータ単位を識別する機	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3639	A		応用サービス要素、ASE(省略形)	おうようさーびすようそ、ASE	application service element, ASE (省略形)	応用層のエンティティの一部分であって、必要に応じてより下位のサービスを利用して、OSI環境内で特定の機能を提供するもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3640	A		応用アソシエーション、アソシエーション	おうようあそしえーしょん、あそしえーしょん	application association, association	二つの応用エンティティ間の共同動作関係であって、情報通信及び応用エンティティの結合動作の調整を目的とするもの。備考 応用アソシエーションは、プレゼンテーションサービスを利用して、応用プロトコル制御情報を交換することによって支援される。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3641	A		アソシエーション制御サービス要素、ACSE(省略形)	あそしえーしょんせいぎょさーびすようそ、ACSE	association control service element, ACSE(省	応用サービス要素の一つであって、すべての応用アソシエーションの確立、終了のための排他的かつ整合的な手段を提供するもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3642	A		コミットメント、並行処理及び回復、CCR(省略形)	こみっとめんと、へいこうしょりおよびかいふく、	commitment, concurrency and recovery, CCR(省略	応用サービス要素の一つであって、複数の応用プロセスから共有データに対して施される操作を制御し、操作が完全に施されるか全く施されないかのどちらかを保証するもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3643	A		遠隔操作サービス要素、ROSE(省略形)	えんかくそうささーびすようそ、ROSE	remote operation service element, ROSE(省略形)	応用サービスの要素の一つであって、操作の遠隔起動・遠隔制御のための一般的な機能を提供するもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3644	A		高信頼転送サービス要素、RTSE(省略形)	こうしんらいてんそうさーびすようそ、RTSE	reliable transfer service element, RTSE(省略形)	応用サービス要素の一つであって、特定のアソシエーションに関連する応用エンティティの対の間で交換されるプロトコルデータ単位の完全性を保証し、通信障害及び終端の開放型システムの障害を最小の再転送回数で回復する機能を提供するもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3645	A		仮想端末	かそうたんまつ	virtual terminal	あるクラスに属する各種の端末を一般化した論理モデルであって、そのクラスの端末がOSI環境内でどのように動作するかを記述したもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3646	A		ファイルの転送、アクセス及び、管理、FTAM(省略形)	ふぁいるのてんそう、あくせすおよび、かんり、FTAM	file transfer, access and management, FTAM(省略形)	応用サービスの一つであって、利用者の応用プロセスの中において終端の開放型システム間でファイルを転送し、遠隔ファイルの集合を管理し、それらにアクセスすることを可能にするもの。対象となるファイルは、他から転送されてきたものでもよい。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3647	A		ジョブの転送及び操作、JTM(省略形)	じょぶのてんそうおよびそうさ、JTM	job transfer and manipulation, JTM(省略	応用サービスの一つであって、利用者応用プロセスから、処理しようとするタスクに関連した文書を転送し操作して、かつ、それらのタスクの実行を指示できるようにするもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3648	A		ディレクトリシステム(OSIにおける)	でぃれくとりしすてむ(OSIにおける)	directory system (in OSI)	現実のオブジェクトの集合に関する情報の論理データベースを保持するために協同動作する開放型システムの集まり。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3649	A		ディレクトリ機能	でぃれくとりきのう	directory facility	応用サービスの一つであって、応用プロセスで使用する記号名を、OSI環境で使用する完結したネットワークアドレスに変換する機能。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3650	A		製造メッセージサービス、MMS(省略形)	せいぞうめっせーじさーびす、MMS	manufacturing message service, MMS(省略形)	応用サービスの一つであって、ネットワーク内に分散配置された製造制御用又はプロセス制御用の計算機及び関連機器の操作を、監視用計算機が制御できるようにするもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3651	A		メッセージ通信処理サービス	めっせーじつうしんしょりさーびす	message handling service	応用サービスの一つであって、システム間で電子メッセージを交換するための一般的な機能を提供するもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3652	A		共通管理情報サービス、CMIS(省略形)	きょうつうかんりじょうほうさーびす、CMIS	common management information service, CMIS(省略形)	応用サービスの一つであって、集中型又は非集中型の管理環境内で、システム管理目的として、情報及び指令を交換するときの一般な機構を提供するもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3653	A		遠隔データベースアクセス	えんかくでーたべーすあくせす	remote database access	応用サービスの一つであって、利用者の応用プロセスから遠隔データベースへのアクセスを可能にするもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3654	A		トランザクション処理	とらんざくしょんしょり	transaction processing	分散型システムにおける応用サービスの一つであって、複数のプロセスが対話型通信によってトランザクションを完了できるようにするもの。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3655	A		具象構文	ぐしょうこうぶん	concrete syntax	データを具体的に表現するために用いるデータの形式的記述に関する種々の規則。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3656	A		転送構文	てんそうこうぶん	transfer syntax	開放型システム間におけるデータ転送に使用する具象構文。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3657	A		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax	応用層データ又は応用プロトコル制御情報を符号化の技法とは無関係な表現規則によって表現するための仕様。	JIS X 0026	1995	ISO/IEC 2382-26	1993				1993	JTC1
3658	A		オフィスオートメーション、事務機械化、OA(省略形)	おふぃすおーとめーしょん、じむきかいか、OA	office automation, OA (abbreviation)	事務処理の生産性向上を目的として、情報処理システムによって行う事務作業の統合。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3659	A		オフィスオートメーションシステム、事務機械化システム、OAシステム(省略形)	おふぃすおーとめーしょんしすてむ、じむきかいかしすてむ、OAしすてむ(しょうりゃくがた)	office automation system	事務作業を統合するために用いる情報処理システム。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3660	A		加入者、サービス利用者	かにゅうしゃ、さーびすりようしゃ	subscriber	オフィスオートメーションシステムのサービスの利用を許可されたし利用者。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3661	A		テキスト[音声][画像][映像]の伝送	てきすと[おんせい][がぞう][えいぞう]のでんそう	text [voice][image][video]transmission	ネットワークを通じて、ある点から別の点へ、テキスト[音声][画像][映像]を電子的に転送すること。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3662	A		電子保存文書	でんしほぞんぶんしょ	electronic archive	履歴を残すため又はバックアップのための、記憶装置内の文書の集まり。例 ある文書のさまざまな版(version)の集まりを格納したもの。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3663	A		ファイルすること、格納	ふぁいるすること、かくのう	filing	電子的手段若くは光学的手段による、又はハードコピーとしての文書の格納。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3664	A		文書の配信	ぶんしょのはいしん	document delivery	受信者システムへの文書の転送。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3665	A		配布先表	はいふさきひょう	distribution list	受信者が確定及び指名したり、発信者が使用したりするための、予定受信者の一覧表。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3666	A		発信者	はっしんしゃ	originator	メッセージを作成し、そのあて先を決め、通常は、送信する利用者。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3667	A		受信者	じゅしんしゃ	recipient	メッセージのあて先となる利用者。備考 受信が予定されているがまだ受信されていない場合は、予定受信者という。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3668	A		封筒	ふうとう	envelope	メッセージの一部分であって、メッセージの発信、送信又は配信の際に使用される、受信者の識別子、経路選択情報又は他の情報からなる部分。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3669	A		文書交換様式	ぶんしょこうかんようしき	document interchange format	オフィスオートメーションシステムの利用者間で交換のために文書を表現する仕様。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3670	A		メッセージ	めっせーじ	message (in electronic massage)	一つのまとまりとして転送されるビット列又は文字列。備考 メッセージは、封筒と内容の二つの部分から構成される。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3671	A		音声メール	おんせいめーる	voice message	ディジタル化された音声メッセージであって、格納され、一人以上の受信者に回送される	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3672	A		非公開写し受信者	ひこうかいうつしじゅしん	blind-copy recipient	識別情報が、同じメッセージのほかの受信者に公開されていない受信者。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3673	A		写し受信者、二次受信者	うつしじゅしんしゃ、にじじゅしんしゃ	copy recipient, secondary recipient	メッセージの正受信者ではないが、常に通知されるように配布先表に含まれる受信者。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3674	A		卓上形応用プログラム	たくじょうけいおうようぷろぐらむ	desk application	オフィスオートメーションのサービスを利用するために、利用者端末上で直接実行可能な応用プログラム。例 電子カレンダ、計算器、電話番号簿。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3675	A		総合ソフトウェア	そうごうそふとうぇあ	integrated software	個々のプログラムで実行される表計算、テキスト処理、データベース管理、事務用グラフ作成など幾つかの機能を結合したソフトウェアパッケージ。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3676	A		電子メール、Eメール(省略形)	でんしめーる、Eめーる	electronic mail, E-mail	計算機ネットワーク上の利用者端末間で伝送される、メッセージ形式の書状。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3677	A		電子メッセージ通信	でんしめっせーじつうしん	electronic massaging	電子的な手段によるメッセージの転送、記憶及び検索。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3678	A		書籍箱、メールボックス、電子メールボックス	しょせきばこ、めーるぼっくす、でんしめーるぼっくす	mailbox, electronic mailbox	受信電子メール及び発信電子メールを保持するための論理記憶又は仮想記憶の領域。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3679	A		ディレクトリ(電子メールにおける)	でぃれくとり(でんしめーるにおける)	directory (in electronic mail)	計算機ネットワーク上であて先となりうる利用者又はサービスの体系的な一覧表。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3680	A		受信箱	じゅしんばこ	in-basket, inbox	受信電子メールだけを収容する書簡箱。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3681	A		送信箱	そうしんばこ	out-basket	送信電子メールを収容し、発信済みメールも収容できる書簡箱。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3682	A		同報メール	どうほうめーる	broadcast mail	計算機ネットワーク内のすべての利用者端末あてに伝送される電子メール。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3683	A		メッセージ検索	めっせーじけんさく	massage retrieval	書簡箱から受信電子メールを取り出す過程。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3684	A		フォルダ	ふぉるだ	folder	文書又は電子メールの分類のために使用される論理記憶又は仮想記憶の領域。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3685	A		テレックス	てれっくす	telex	テレプリンタ又はそれと同等の装置間での、テキスト伝送のための公衆交換サービス。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3686	A		テレテックス	てれてっくす	teletex	レター並みの印字品質で加入者間の通信を提供する電子メールサービス。備考 1.テレテックスは、テレックスの機能強化版であり、テレックスよりも高速度で大文字・小文字混在データの伝送が可能である。2.この用語とテレテキストを同義に使用してはならない。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3687	A		テレテキスト	てれてきすと	teletext, broadcast videography	ニュース、天気予報、広告などのような選択可能なテキスト形式の資料を、直接に加入者のテレビジョンに提供する同報サービス。備考 1.加入者がテレテキスト信号を受信するには、特別なデコーダが必要になる。2.この用語とテレテックスを同義に使用してはなら	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3688	A		ビデオテックス、ビューデータ	びでおてっくす、びゅーでーた	videotex, interactive videography, viewdata/GB/(イギリスだけ)	電話通信ネットワークにおいて、対話形式による英数字情報及び図形情報の交換を提供するサービス。この情報は、画面上に表示される。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3689	A		コンピュータ会議	こんぴゅーたかいぎ	computer conference	計算機ネットワークを使用した、参加者間での対話形通信。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3690	A		仲介形会議	ちゅうかいがたかいぎ	moderated conference	参加者が仲介者を介してメッセージを交換する形態のコンピュータ会議。仲介者はメッセージを受託、編集又は排除できる。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3691	A		遠隔会議	えんかくかいぎ	teleconferencing	幾つかの地点の参加者間の、電気通信機能を用いた対話形通信。備考1.遠隔会議には、電気会議及び静止画又は動画を用いたテレビ会議を含む。2.図1参照。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3692	A		テレビ会議	てれびかいぎ	video conferencing	音声、テキスト及び図形の伝送に加え、参加者自身の静止画像又は動画像の伝送も提供している遠隔会議。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3693	A		電話会議	でんわかいぎ	conference call	音声により対話が可能な、及び場合によってはファックスが使用できる電話回線によって参加者が接続される遠隔会議。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3694	A		ファックス、ファクシミリ	ふぁっくす、ふぁくしみり	fax, facsimile, telefax	紙面の、電気通信システムを介した伝送、及び受信地における、同一画像の写しの生	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3695	A		ファックスを送る	ふぁっくすをおくる	to fax	ファックスを用いて、画像を伝送する。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3696	A		ファックス文書	ふぁっくすぶんしょ	fax, telecopy	ファックスから受け取った写し。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3697	A		ファックス装置、ファクシミリ装置	ふぁっくすそうち、ふぁくしみりそうち	fax machine, facsimile machine	画像をファックスによって伝送したり受け取ったりするために使用する機能単位。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3698	A		ファックスボード	ふぁっくすぼーど	fax board	利用者端末内に搭載されるボードであって、ファックスによる画像の送受信のために使用されるもの。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3699	A		ファックスモデム	ふぁっくすもでむ	fax modem	ファックス装置の機能と変復調装置の機能とを組合わせた機能単位。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3700	A		電子文書交換、電子データ交換、EDI(省略形)	でんしぶんしょこうかん、でんしでーたこうかん、EDI	electronic document interchange, electronic data interchange, EDIT(省	標準的な規則に従った計算機システム間でのデータ及び文書の交換。	JIS X 0027	1995	ISO/IEC 2382-27	1994				1994	JTC1
3701	A		(1)人工知能、AI(省略形)	(1)じんこうちのう、AI	artificial intelligence(1), AI	一般に人間の知性と結び付けて考えられる、推論(1)、学習などの機能を遂行するモデル及びシステムを取り扱う学際分野。通常は、計算機科学に属するものとみなされる。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3702	A		(2)人工知能、AI	(2)じんこうちのう、AI	artificial intelligence(2), AI	一般に人間の知性と結び付けて考えられる、推論(1)、学習などの機能を遂行する、機能単位の能力。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3703	A		知識	ちしき	knowledge	系統だって使用することができるように整理された、事実、事象、信念及び規則の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3704	A		領域	りょういき	domain	知識又は専門的知識の特定の分野。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3705	A		知識ベースシステム	ちしきべーすしすてむ	knowledge-based system	知識ベースからの推論(2)によって、特定の領域又は応用分野の問題を解決するように設計されている情報処理システム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3706	A		エキスパートシステム	えきすぱーとしすてむ	expert system	人間の専門的知識で構築された知識ベースからの推論(2)によって、特定の領域又は応用分野の問題を解決するように設計されている知識ベースシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3707	A		知識工学	ちしきこうがく	knowledge engineering	当該領域の専門家(エキスパート)及びその他の知識源から知識を獲得して知識ベースに組み込むことに関する学問分野。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3708	A		知識表現	ちしきひょうげん	knowledge representation	知識をコード化して知識ベースに記憶する過程、又はその結果。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3709	A		知識獲得	ちしきかくとく	knowledge acquisition	知識を探し出し、収集し、洗練し、知識ベースシステムが更に処理できる形式に交換する	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3710	A		認知モデル化	にんちもでるか	cognitive modeling	人間の知覚、行動、記憶及び推論(1)を情報処理の観点からモデル化すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3711	A		(1)推論	(1)すいろん	reasoning	人間又は計算機が、仮説を設定したり、分析、分類、診断、問題解決、又は推論(2)を行ったりするときに実行する過程。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3712	A		問題解決	もんだいかいけつ	problem solving	達成したい目標につながり得る操作、又は動作の系列を決定すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3713	A		パターン認識	ぱたーんにんしき	pattern recognition	機能単位を使用して、物理的パターン若しくは抽象的パターン、構造又は形状を識別す	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3714	A		画像認識	がぞうにんしき	image recognition	機能単位を使用して、画像及びその構成要素並びに構成要素の特性及び空間的な位置関係を知覚し、分析すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3715	A		音声確認	おんせいかくにん	speech recognition	機能単位を使用して、人間の声によってもたらされる情報を知覚し、分析すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3716	A		自動音声認識	じどうおんせいにんしき	automatic speech recognition	機能単位を使用して、人間の声によってもたらされる情報を知覚し、分析すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3717	A		合成	ごうせい	synthesis	機能単位を使用して、人工の声、テキスト、音楽、画像などを生成すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3718	A		画像理解	がぞうりかい	image understanding, image comprehension	機能単位を使用して、与えられた画像及びそれが表現するものの記述を作成すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3719	A		自然言語理解	しぜんげんごりかい	natural-language understanding, natural-language comprehension	機能単位を使用して、自然言語で伝達されるテキスト又は発話から情報を抽出すること、及び与えられたテキスト又は発話とそれが表現するものの記述を作成すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3720	A		コンピュータビジョン	こんぴゅーたびじょん	computer vision, artificial vision	視覚データを獲得・処理・解釈する機能単位の能力。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3721	A		マシンビジョン	ましんびじょん	machine vision	コンピュータビジョンを機械、ロボット、プロセス、又は品質管理に適用すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3722	A		機械学習	きかいがくしゅう	machine learning	機能単位が新しい知識・技能を獲得すること、又は既存の知識・技能を再構成することによって、自身の性能を向上させる過程。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3723	A		自動学習	じどうがくしゅう	automatic learning	機能単位が新しい知識・技能を獲得すること、又は既存の知識・技能を再構成することによって、自身の性能を向上させる過程。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3724	A		ニューラルネットワーク	にゅーらるねっとわーく	neural network	原始的な処理要素が調整可能な重み付きリンクで結合されたネットワーク。各要素は、複数のリンクからの入力値に非線形関数を適用して値を生成し、それを他の要素へ送信し、又は出力として提供する。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3725	A		ニューラルネット	にゅーらるねっと	neural net	原始的な処理要素が調整可能な重み付きリンクで結合されたネットワーク。各要素は、複数のリンクからの入力値に非線形関数を適用して値を生成し、それを他の要素へ送信し、又は出力として提供する。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3726	A		事実	じじつ	fact	実世界又は概念世界で、一般的に正しいと認められている実体に関する記述。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3727	A		信念	しんねん	belief	実世界又は概念世界で、その正しさが確信度という尺度で計ることのできる実体に関す	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3728	A		確信度	かくしんど	certainty factor, confidence factor	仮説、推論規則、又は推論の結論の文の妥当性を表現する数値。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3729	A		ファジィ集合	ふぁじぃしゅうごう	fuzzy set	各要素が、通常0から1までの、その集合への帰属の度合いを示す数値と関連付けられるという特性をもつ非古典的な集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3730	A		ファジィ論理	ふぁじぃろんり	fuzzy logic	事実、推論規則、及び限量詞に対し確からしさの度合いが与えられている非古典的な論	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3731	A		ファジィ集合論理	ふぁじぃしゅうごうろんり	fuzzy-set logic	事実、推論規則、及び限量詞に対し確からしさの度合いが与えられている非古典的な論	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3732	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	一つ以上の属性をもつ、物理的又は概念的な実体。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3733	A		スキーマ	すきーま	schema	単純概念、実体、又はオブジェクトのクラスについての知識を、その可能な使い方を基に表現する定式化法。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3734	A		パターン	ぱたーん	pattern	与えられた文脈の中で、実体を認識するために使われる、特徴の集合及び特徴間の関	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3735	A		テンプレート	てんぷれーと	template	認識されるべき実体の全体又は一部と比較される参照パターン。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3736	A		意味ネットワーク	いみねっとわーく	semantic network, semantic net	オブジェクト又は状態が、互いの関係を示すリンクによって結ばれているノードとして表現される、概念指向の知識表現。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3737	A		知識木	ちしきぎ	knowledge tree	木構造的な有向グラフによって表現される階層的な意味ネットワーク。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3738	A		継承	けいしょう	inheritance	階層的な知識表現において、一つ以上のサブクラスにまたがってクラス特性を非明示的に獲得すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3739	A		フレーム	ふれーむ	frame	オブジェクトと、スロットと呼ばれる区画に記憶された特性の集合とを関連づける、データ指向の知識表現。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3740	A		スロット	すろっと	slot	フレームの構成要素であって、オブジェクト名、ファセットと呼ばれる特定の属性、値、他フレームへのポインタなどの記憶に使用されるもの。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3741	A		スクリプト	すくりぷと	script	既知の実体間の相互作用の結果を決定するために、あらかじめ定義された一連の事象で使用する知識表現。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3742	A		シナリオ	しなりお	scenario	既知の実体間の相互作用の結果を決定するために、あらかじめ定義された一連の事象で使用する知識表現。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3743	A		主題の役	しゅだいのやく	thematic role	実体がスクリプトの実行中に遂行する機能の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3744	A		支持者	ししじゃ	prop	スクリプトの実行中にそれ自体は行動をしない実体。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3745	A		設定	せってい	setting	支持者を含むスクリプトの特定の文脈。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3746	A		セッティング	せってぃんぐ	setting	支持者を含むスクリプトの特定の文脈。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3747	A		シーン	しーん	scene	スクリプトに基づいた知識表現における一連の典型的な行動又は事象。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3748	A		エピソード	えぴそーど	episode	スクリプトに基づいた知識表現における一連の典型的な行動又は事象。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3749	A		行動	こうどう	action	スクリプトに基づいた知識表現において、アクターによって実行される操作。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3750	A		アクター	あくたー	actor	スクリプトにおいて、主題の役を割り当てる実体。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3751	A		役者	やくしゃ	actor	スクリプトにおいて、主題の役を割り当てる実体。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3752	A		宣言的知識	せんげんてきちしき	declarative knowledge	事実、規則及び定理で表現される知識。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3753	A		手続的知識	てつづきてきちしき	procedural knowledge	問題を解決したり、目標に到達したりするために実行される段階を、明示的に示す知識。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3754	A		コンパイルされた知識	こんぱいるされたちしき	compiled knowledge	計算機が直ちに処理できるように、宣言的知識を手続的知識に変換したもの。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3755	A		メタ知識	めたちしき	metaknoeledge	知識の構造、使用及び制御に関する知識。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3756	A		if-then規則	いふぜんきそく	if-then rule	前提又は条件を表すif部と、if部が真である場合に実行される結論又は動作を表すthen部とから構成される規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3757	A		if-thenルール	いふぜんるーる	if-then rule	前提又は条件を表すif部と、if部が真である場合に実行される結論又は動作を表すthen部とから構成される規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3758	A		if-then文	いふぜんぶん	if-then statement	前提又は条件を表すif部と、if部が真である場合に実行される結論又は動作を表すthen部とから構成される規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3759	A		左辺	さへん	left-hand side	If-then規則の"if"部にある事実又は文の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3760	A		前提部	ぜんていぶ	premise part	If-then規則の"if"部にある事実又は文の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3761	A		条件部	じょうけんぶ	condition part	If-then規則の"if"部にある事実又は文の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3762	A		右辺	うへん	right-hand side	If-then規則の"then"部にある事実又は文の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3763	A		帰結部	きけつぶ	conclusion part	If-then規則の"then"部にある事実又は文の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3764	A		結論部	けつろんぶ		If-then規則の"then"部にある事実又は文の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3765	A		動作部	どうさぶ	action part	If-then規則の"then"部にある事実又は文の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3766	A		プロダクション規則	ぷろだくしょんきそく	production rule	ルールベースシステムにおいて、知識を表現するために用いられるIf-then規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3767	A		プロダクションルール	ぷろだくしょんるーる	production rule	ルールベースシステムにおいて、知識を表現するために用いられるIf-then規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3768	A		メタ規則	めたきそく	metarule	他の規則又は規則の集合を適用する条件、順序及び方法を規定する規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3769	A		メタルール	めたるーる	metarule	他の規則又は規則の集合を適用する条件、順序及び方法を規定する規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3770	A		制約規則	せいやくきそく	constraint rule	探索を問題空間の指定する部分に制限する規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3771	A		制約ルール	せいやくるーる	constraint rule	探索を問題空間の指定する部分に制限する規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3772	A		発火する	はっかする	to fire	規則の条件部が満たされることによって、その動作部を開始する。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3773	A		多重発火	たじゅうはっか	multiple firing	同一の相談において、知識を繰り返しアクセスするために、規則を2回以上発火させるこ	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3774	A		活性化	かっせいか	activation	規則の発火又はプログラム若しくは副プログラムの起動を可能とする操作。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3775	A		アクティベーション	あくてぃべーしょん	activation	規則の発火又はプログラム若しくは副プログラムの起動を可能とする操作。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3776	A		追跡機構	ついせききこう	tracing facility	知識指向のプログラム言語又はプログラミングツールにおいて、実行された規則を、使用された変数と一緒に表示する手段。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3777	A		デーモン	でーもん	demon, daemon	変更、追加、削除などの事象が発生するたびに、明示的に呼び出されることなく起動される手続。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3778	A		アジェンダ	あじぇんだ	agenda	仕掛かり中の活動を優先順位を付けて並べたリスト。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3779	A		推論	すいろん	inference	結論が、既知の前提から導かれるような推論(1)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3780	A		演繹	えんえき	deduction	特定の前提の集合から論理的な結論を導く推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3781	A		演繹的推論	えんえきてきすいろん	deductive inference	特定の前提の集合から論理的な結論を導く推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3782	A		帰納	きのう	induction	与えられた事実から出発して、一般的な仮説を結論する推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3783	A		帰納推論	きのうすいろん	inductive inference	与えられた事実から出発して、一般的な仮説を結論する推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3784	A		発想	はっそう	abduction	個々の事実から、それらのもっともらしい説明を導き出す推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3785	A		アブダクション	あぶだくしょん	abduction	個々の事実から、それらのもっともらしい説明を導き出す推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3786	A		発想推論	はっそうすいろん	abductive inference	個々の事実から、それらのもっともらしい説明を導き出す推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3787	A		モデル駆動推論	もでるくどうすいろん	model-driven inference	対象領域モデルを使用する推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3788	A		モデル駆動型推論	もでるくどうがたすいろん	model-driven inference	対象領域モデルを使用する推論(2)	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3789	A		インスタンシエイション	いんすたんしえいしょん	instantiation	変数に値を代入したり、クラスからその例を生成したりすること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3790	A		具体化	ぐたいか	instantiation	変数に値を代入したり、クラスからその例を生成したりすること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3791	A		前向き連鎖	まえむきれんさ	forward chaining	既定の事実から出発して、ルールベースシステムが目標に到達するか新しい可能性を調べ尽くしたときに終了するように、推論(2)が行われる順序を規定する反復手続。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3792	A		後向き連鎖	うしろむきれんさ	backward chaining	真偽を決定すべき目標から出発して、後向きにルールベースシステムをさかのぼるように推論(2)が行われる順序を規定する反復手続。この場合、質問が答えられたり、以前に記憶された結果が見つかったり、矛盾が見つかったり、真偽が決定できないことが判明したりしたときに、処理が終了する。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3793	A		発見的規則	はっけんてきそく	heuristic rule	問題を解決するために専門家が使う知識及び経験を形式化する目的で書かれたそれ専用の規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3794	A		ヒューリスティックルール	ひゅーりすていっくるーる	heuristic rule	問題を解決するために専門家が使う知識及び経験を形式化する目的で書かれたそれ専用の規則。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3795	A		状態	じょうたい	state	問題を解決する段階の一つにおける、その問題の記述。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3796	A		探索空間	たんさくくうかん	search space	問題解決において初期状態から目標状態に至るまでに取り得るすべての段階の集合。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3797	A		問題空間	もんだいくうかん	problem space	種々の要素間の相互作用の解析に使用することができる状態及び特定の問題を解決するに当たり、考慮される操作のすべてによって定義される概念的又は形式的領域。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3798	A		解空間	かいくうかん	solution space	特定の問題のために解を構成するすべての状態によって定義される概念的又は形式的	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3799	A		評価関数	ひょうかかんすう	evaluation function	解の探索中に、問題空間の中間状態の値又は重みを決定する関数。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3800	A		問題分割	もんだいぶんかつ	problem reduction	一つの問題をより解きやすい複数の小問題に分解する操作による問題解決。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3801	A		問題簡約	もんだいかんやく	problem reduction	一つの問題をより解きやすい複数の小問題に分解する操作による問題解決。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3802	A		手段目標解析	しゅだんもくひょうかいせき	means-ends analysis, means-end analysis	各段階で現在の状態と既知の目標状態との差を最も縮める操作を探索し適用することによる問題解決。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3803	A		生成・検査	せいせい・けんさ	generate-and-test	複数の可能解を生成することと、与えられた評価基準を満たさないものを枝刈りして削除することによる問題解決。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3804	A		黒板モデル	こくばんもでる	blackboard model	複数の知識源からアクセスされる黒板と呼ばれる共有の作業記憶を使用した問題解決モデル。黒板は、中間結果又は新しいデータを伝達するために使用される。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3805	A		パターンマッチング	ぱたーんまっちんぐ	pattern matching	あるパターンとあらかじめ用意された複数のパターンを比較し、与えられた評価基準に基づき最も似たものを選択するパターンの識別方法。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3806	A		テンプレートマッチング	てんぷれーとまっちんぐ	template matching	テンプレートを使用したパターンマッチング。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3807	A		ルールマッチング	るーるまっちんぐ	rule matching	前提が真である一連のIf-then規則を連続して適用することによって、与えられた問題の諸要素を目標に対応づけること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3808	A		競合解消	きょうごうかいしょう	conflict resolution	最適な規則を選択することによって、ルールベースシステムにおいて複数の規則が適用可能な状態を解消すること。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3809	A		探索木	たんさくぎ	search tree	探索の間に適用される規則、探索される節点、及び得られる結果を表現する、木状のグ	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3810	A		縦型探索	たてがたたんさく	depth-first search	探索木の探索であって、その最高点で選択可能な枝の一つを最初に選択し、その枝に沿って下向きに、目標、あらかじめ決められた深さ、又は行き止まりに到達するまで進む	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3811	A		横型探索	よこがたたんさく	breadth-first search	探索木の上位から下位へ進む探索であって、目標又はあらかじめ決められた状態に到達するまで、一つのレベルにおいてすべての節点を検査し、その後に次の下位に進むも	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3812	A		双方向探索	そうほうこうたんさく	bidirectional search	前向き連鎖と後ろ向き連鎖とを同時に開始し、その二つの探索の道が解空間で出会ったとき、又はすべての可能性を調べつくしたときに停止する探索。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3813	A		発見的探索	はっけんてきたんさく	heuristic search	受け入れられる解を得るために使用される、成功する保証のない、経験及び判断に基づ	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3814	A		ヒューリスティック探索	ひゅーりすていっくたんさく	heuristic search	受け入れられる解を得るために使用される、成功する保証のない、経験及び判断に基づ	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3815	A		最良優先探索	さいりょうゆうせんたんさく	best-first search	探索の各段階において、そこから目標までのすべての可能な枝をあらかじめ決められた基準に照らして評価し、その結果に基づいて最良の経路を選択する探索。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3816	A		バックトラッキング	ばっくとらっきんぐ	backtracking	受け入れられない解に至った場合、他を選択するために以前の状態に後戻りする探索	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3817	A		後戻り	あともどり	backtracking	受け入れられない解に至った場合、他を選択するために以前の状態に後戻りする探索	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3818	A		枝刈り	えだかり	pruning	探索木の一つ以上の枝を無視するという、問題解決を効率化する技法。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3819	A		カットオフ	かっとおふ	cut-off	探索木の一つ以上の枝を無視するという、問題解決を効率化する技法。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3820	A		刈込み	かりこみ	cut-off	探索木の一つ以上の枝を無視するという、問題解決を効率化する技法。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3821	A		計画立案	けいかくりつあん	planning	目標に到達するための方法、及び行動の順序をあらかじめ決定する過程。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3822	A		プランニング	ぷらんにんぐ	planning	目標に到達するための方法、及び行動の順序をあらかじめ決定する過程。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3823	A		階層的計画立案	かいそうてきけいかくりつあん	hierarchical planning	階層表現を生成することによって、計画の漠然とした断片をより詳細な部分計画に区分する計画立案。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3824	A		階層的プランニング	かいそうてきぷらんにんぐ	hierarchical planning	階層表現を生成することによって、計画の漠然とした断片をより詳細な部分計画に区分する計画立案。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3825	A		非階層的計画立案	ひかいそうてきけいかくりつあん	nonhierarchical planning	階層的計画立案の手法を使用しない計画立案。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3826	A		機会主義的計画立案	きかいしゅぎてきけいかくりつあん	opportunistic planning	作成中の計画に機会主義的な問題解決行動を含んでいる計画立案。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3827	A		機会主義的プランニング	きかいしゅぎてきぷらんにんぐ	opportunistic planning	作成中の計画に機会主義的な問題解決行動を含んでいる計画立案。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3828	A		知識技術者	ちしきぎじゅつしゃ	knowledge engineer	ある領域の専門家及び他の知識源から知識を得て、知識ベースとして組み立てる人。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3829	A		知識エンジニア	ちしきえんじにあ	knowledge engineer	ある領域の専門家及び他の知識源から知識を得て、知識ベースとして組み立てる人。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3830	A		ナレッジエンジニア	なれっじえんじにあ	knowledge engineer	ある領域の専門家及び他の知識源から知識を得て、知識ベースとして組み立てる人。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3831	A		知識工学ツール	ちしきこうがくつーる	knowledge engineer tool	知識ベースシステムの迅速な開発を促進するように設計された機能的ツール。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3832	A		知識源	ちしきげん	knowledge source	特定の種類の問題に対して知識ベースが作成されている情報の源。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3833	A		知識ソース	ちしきそーす	knowledge source	特定の種類の問題に対して知識ベースが作成されている情報の源。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3834	A		領域知識	りょういきちしき	domain knowledge	特定の領域内で蓄積された知識。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3835	A		ドメイン知識	どめいんちしき	domain knowledge	特定の領域内で蓄積された知識。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3836	A		領域モデル	りょういきもでる	domain model	知識又は専門的知識の特定分野におけるモデル。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3837	A		ドメインモデル	どめいんもでる	domain model	知識又は専門的知識の特定分野におけるモデル。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3838	A		知識ベース	ちしきべーす	knowledge base	ある領域における人間の経験及び専門的知識に関する推論(2)規則と情報とから構成されるデータベース。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3839	A		推論機構	すいろんきこう	inference engine	エキスパートシステムの構成要素で、知識ベースに記憶した情報の表現から結論を導くために推論(1)の原理を適用するもの。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3840	A		エキスパートシステム開発ツール	えきすぱーとしすてむかいはつつーる	expert-system shell	特定の分野の専門知識を組み込むための空のエキスパートシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3841	A		シェル	しぇる	shell	特定の分野の専門知識を組み込むための空のエキスパートシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3842	A		説明機能	せつめいきのう	explanation facility	知識ベースシステムの構成要素で、どのように解が導かれたか、解に至る段階がどのように正当化されるかを説明する機能。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3843	A		対話機能	たいわきのう	dialog component	知識ベースシステムの構成要素で、利用者と会話モードにおいて情報交換を行う機能。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3844	A		相談	そうだん	consultation	知識ベースシステムと、支援を求める利用者との間のオンラインのやりとり。通常、質問及び応答からなる対話で構成される。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3845	A		コンサルテーション	こんさるてーしょん	consultation	知識ベースシステムと、支援を求める利用者との間のオンラインのやりとり。通常、質問及び応答からなる対話で構成される。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3846	A		真理維持システム	しんりいじしすてむ	truth maintenance system	信念間の依存関係を監視することによって、知識ベースの真理性を維持する知識ベースシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3847	A		不確実性	ふかくじつせい	uncertainty	推論(1)の実行中にある値を決定することができない状態、又は知識ベース中の事実若しくは規則が疑わしい状態。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3848	A		不確定性	ふかくていせい	uncertainty	推論(1)の実行中にある値を決定することができない状態、又は知識ベース中の事実若しくは規則が疑わしい状態。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3849	A		ルールベースシステム	るーるべーすしすてむ	rule-based system	与えられた手順に従い、If-then規則の集まりを事実の集まりに適用することによって推論(2)を行う知識ベースシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3850	A		ルール型システム	るーるがたしすてむ	rule-based system	与えられた手順に従い、If-then規則の集まりを事実の集まりに適用することによって推論(2)を行う知識ベースシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3851	A		プロダクションシステム	ぷろだくしょんしすてむ	production system	与えられた手順に従い、If-then規則の集まりを事実の集まりに適用することによって推論(2)を行う知識ベースシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3852	A		モデルに基づくエキスパートシステム	もでるにもとづくえきすぱーとしすてむ	model-based expert system	領域モデルの構造及び機能を組み入れたエキスパートシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3853	A		モデルに基づくシステム	もでるにもとづくしすてむ	model-based system	領域モデルの構造及び機能を組み入れたエキスパートシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3854	A		助言システム	じょげんしすてむ	advisory system	指示よりも助言に重点を置いたエキスパートシステム。	JIS X 0028	1999	ISO/IEC 2382-28	1995				1995	JTC1
3855	A		学習	がくしゅう	learning	生物又は自動システムが、自身の能力又は性能を向上させるものに使用することができる知識又は技能を獲得する過程。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3856	A		機械学習	きかいがくしゅう	machine learning	機能単位が新しい知識・技能を獲得すること、又は既存の知識・技能を再構成することによって、自身の性能を向上させる過程。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3857	A		自動学習	じどうがくしゅう	automatic learning	機能単位が新しい知識・技能を獲得すること、又は既存の知識・技能を再構成することによって、自身の性能を向上させる過程。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3858	A		自己学習	じこがくしゅう	self-learning	外部から明示的に知識を取り入れることなく、内部の知識ベース又は新しい入力データから学習すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3859	A		知識獲得	ちしきかくとく	knowledge acquisition	知識を探し出し、収集し、洗練して、知識ベースシステムが更に処理できる形式に変換する過程。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3860	A		学習戦略	がくしゅうせんりゃく	learning strategy	実際の適用に先立って考えられた学習技法の使用計画。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3861	A		概念	がいねん	concept	範疇に所属するか否かを決定するための抽象的な実体。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3862	A		概念学習	がいねんがくしゅう	concept learnibg	新しい知識を引き出して将来の使用のために記憶する目的で、既存の知識を新しい情報に適用することによって、概念の表現を作り出すこと。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3863	A		概念的クラスタリング	がいねんてきくらすたりんぐ	conceptual clustering	オブジェクト、事象又は事実を、単純で記述的な概念によって特徴づけられるクラスに分類すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3864	A		分類形成	ぶんるいけいせい	taxonomy formation	離接的なクラスにクラスタリングされた概念を用いることによって、概念を分類する方法の体系を構築すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3865	A		機械による発見	きかいによるはっけん	machine discovery	学習する能力をもつ機械が、分類形成を行い、観察されたデータに存在する規則性を表す経験則を発見すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3866	A		認知科学	にんちかがく	cognitive science	知性のもつ表現及び計算の能力を発見することと、それら能力の脳における構造的及び機能的な表現を発見することとを目的とする、学際的な知識の分野。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3867	A		認知主義	にんちしゅぎ	cognitivism	知性のもつ表現及び計算の能力を発見することと、それら能力の脳における構造的及び機能的な表現を発見することとを目的とする、学際的な知識の分野。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3868	A		逆学習	ぎゃくがくしゅう	unlearning	学習の内容を除去するために、システムに記憶された知識を調整すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3869	A		概念記述	がいねんきじゅつ	concept description	ある概念のすべての既知の事例のクラスを記述するデータ構造。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3870	A		チャンキング	ちゃんきんぐ	chunking	記憶、検索又は処理内容を容易にするために、知識を高位の概念的レベルで単一の実体にグループ化すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3871	A		特徴記述	とくちょうきじゅつ	characteristic description	与えられた概念のすべての事例に共通する特性を表す概念記述。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3872	A		弁別特徴記述	べんべつとくちょうきじゅつ	discriminant description	与えられた概念を他の概念から区別する特性を表す概念記述。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3873	A		識別特徴記述	しきべつとくちょうきじゅつ	discriminant description	与えられた概念を他の概念から区別する特性を表す概念記述。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3874	A		構造的特徴記述	こうぞうてきとくちょうきじゅつ	structural description	構造部分についての記述及びそれらの間の相互関係に基づいた、オブジェクト及び概念の表現。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3875	A		概念形成	がいねんけいせい	concept formation	オブジェクト、事象又は事実の与えられた集合を特徴づける概念を生成すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3876	A		部分的学習可能概念	ぶぶんてきがくしゅうかのうがいねん	partially lrarned concept	利用可能なデータ、知識又は仮定からは、その厳密な記述を推論できないような概念。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3877	A		バージョン空間	ばーじょんくうかん	version space	利用可能なデータ、知識又は仮定と整合のとれたすべての概念記述の半順序集合。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3878	A		事例空間	じれいくうかん	example space, instance space	学習されるべき概念のすべての可能な事例及び反例の集合。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3879	A		記述空間	きじゅつくうかん	description space	学習者にとって利用可能な記述言語で記述できる、事例空間からのすべての事例の集	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3880	A		概念の一般化	がいねんのいっぱんか	concept generalization	より多くの事例を含むように概念記述の対象範囲を拡張すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3881	A		整合的な一般化	せいごうてきないっぱんか	consistent generalization	概念クラスに属する幾つか又はすべての正例を含み、すべての負例を含まない概念の	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3882	A		制約に基づく一般化	せいやくにもとづくいっぱんか	constraint-based generalization	与えられた事実又は事象を説明するために使用する、概念の制約を満足する、概念の一般化。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3883	A		類似性に基づく一般化	るいじせいにもとづくいっぱんか	similarity-based generalization	与えられた概念のすべての事例を、事例間の類似点と相違点とに着目して記述する概念の一般化。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3884	A		完全な一般化	かんぜんないっぱんか	complete generalization	与えられた概念クラスのすべての正例を記述する概念の一般化。この記述には負例を含む場合もある。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3885	A		概念の特殊化	がいねんのとくしゅか	concept specialization	記述する事例の集合を縮小することによって概念記述の対象範囲を狭めること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3886	A		混同行列	こんどうぎょうれつ	confusion matrix	手元にあった事例をあるルール集合で分類する際に、正しい分類及び誤った分類の数を記録するために使用する行列。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3887	A		概念の妥当性確認	がいねんのだとうせいかくにん	concept validation	学習された概念を、手元にあった事例にその概念の記述を適用し、その結果から誤り行列を作成することによって、試験する帰納的方法。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3888	A		因果解析	いんがかいせき	causal analysis	学習戦略で用いられる解析法で、観察された事象、例えば、ある目標を達成しなかった、という事象について、ありそうな原因を追跡することによって行うもの。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3889	A		暗記学習	あんきがくしゅう	rote learning	与えられた情報について推論を行うことなしに、新しい知識として直接蓄える学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3890	A		適応学習	てきおうがくしゅう	adaptive learning	外部知識源からの助言によって内部の知識を調整したり、既存の知識によって新たに獲得した情報を変形したりする学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3891	A		発見的学習	はっけんてきがくしゅう	heuristic learning	実験、評価又は試行錯誤の結果から学習するような学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3892	A		教示による学習	きょうじによるがくしゅう	learning by being told	与えられた情報から関係する要素を選択又は変形することなしに、外部知識源から知識を獲得するような暗記学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3893	A		指示による学習	しじによるがくしゅう	learning from instruction	与えられた情報から関係する要素を選択又は変形することなしに、外部知識源から知識を獲得するような暗記学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3894	A		助言の受け入れ	じょげんのうけいれ	advice taking	外部知識源からの一般的な助言によって、手続き的挙動を修正する教示による学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3895	A		逐次学習	ちくじがくしゅう	incremental learning	その後の段階で与えられる新しい知識を取り入れるために、ある段階で学習した知識を変形する複数段階の適応学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3896	A		漸進的学習	ぜんしんてきがくしゅう	incremental learning	その後の段階で与えられる新しい知識を取り入れるために、ある段階で学習した知識を変形する複数段階の適応学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3897	A		教師あり学習	きょうしありがくしゅう	supervised learning	獲得した知識の正しさが外部知識源からのフィードバックを通して試験される学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3898	A		教師なし学習	きょうしなしがくしゅう	unsupervised learning, learning without a teacher	獲得された知識が正しいかどうかを外部知識源からのフィードバックによって試験しない学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3899	A		発見による学習	はっけんによるがくしゅう	learning by discovery	観察されたデータのもつ規則性を記述することによって、ある分野における新しい規則若しくは法則を導き出す又は分類形成を行う教師なし学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3900	A		観察による学習	かんさつによるがくしゅう	learning from observation	観察されたデータのもつ規則性を記述することによって、ある分野における新しい規則若しくは法則を導き出す又は分類形成を行う教師なし学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3901	A		帰納学習	きのうがくしゅう	inductive learning, learning by induction	供給された知識、事例又は観察から帰納が導かれる学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3902	A		例からの学習	れいからのがくしゅう	learning from examples	例からの一般的な概念記述を推論することによる概念の帰納学習。例の代わりにその概念の反例を使用する場合もある。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3903	A		例に基づく学習	れいにもとづくがくしゅう	example-based learning, instance-based learning	例からの一般的な概念記述を推論することによる概念の帰納学習。例の代わりにその概念の反例を使用する場合もある。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3904	A		正例	せいれい	positive example	学習されるべき概念に適合し、その概念の一般化を生み出し得る例。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3905	A		正の例	せいのれい	positive instance	学習されるべき概念に適合し、その概念の一般化を生み出し得る例。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3906	A		負例	ふれい	negative example	概念記述の対象範囲を制限するような、学習されるべき概念の反例。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3907	A		負の例	ふのれい	negative instance	概念記述の対象範囲を制限するような、学習されるべき概念の反例。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3908	A		ニアミス	にあみす	near-miss	学習されるべき概念の負例のうち、その概念の正例に極めて類似しているもの。これは、正例の重要な属性を特定するのに役立つ。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3909	A		事例に基づく学習	じれいにもとづくがくしゅう	case-based learning	現在の問題をそれ以前に解かれた問題集合と比較し、それらの解を現問題の解決に利用する学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3910	A		演繹学習	えんえきがくしゅう	deductive learning, learning by deduction	宣言の真理値を保存しつつ変形するという方法で、新しい知識が既存の知識から演えきされるような学習戦略。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3911	A		説明に基づく学習	せつめいにもとづくがくしゅう	explanation-based learning	演えき学習の発展形であり、例題を使って、抽象的知識又は構造的知識が操作的知識又は領域知識から導かれる。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3912	A		分析的学習	ぶんせきてきがくしゅう	analytic learning	演えき学習の発展形であり、例題を使って、抽象的知識又は構造的知識が操作的知識又は領域知識から導かれる。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3913	A		操作化	そうさか	operationalization	宣言的なものから手続的、すなわち、操作的なものへの変換による知識コンパイル。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3914	A		類推による学習	るいすいによるがくしゅう	learning by analogy	帰納学習と演えき学習とを結合した学習戦略。帰納は比較又は関連させるべき概念の共通の特徴を決定し、演えきは共通の特徴から学習されるべき概念の期待される特性を	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3915	A		連想学習	れんそうがくしゅう	associative learning	帰納学習と演えき学習とを結合した学習戦略。帰納は比較又は関連させるべき概念の共通の特徴を決定し、演えきは共通の特徴から学習されるべき概念の期待される特性を	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3916	A		功罪の割当	こうざいのわりあて	credit/blame assignment	目標達成の成功又は失敗の原因となった決定又は作用素を同定すること。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3917	A		強化学習	きょうかがくしゅう	reinforcement learning	功罪の割当によって改善された学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3918	A		解経路からの学習	かいけいろからのがくしゅう	learning from solution paths	ある問題の完全な解経路が発見された後に、その解経路に沿ったすべての遷移を正例とし、解経路から外れるすべての遷移を負例とする強化学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3919	A		徒弟戦略	とていせんりゃく	learning-apprentice strategy	余計な探索を避け、素早いフィードバックを得るために、専門家が望ましい遷移とそうでないものとを区別する行為を観察し、利用する功罪の割当。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3920	A		実行しながらの学習	じっこうしながらのがくしゅ	learning while doing	解パスが発見されるのを待つことなく、解の探索中に功罪の割当をする強化学習。	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3921	A		遺伝的学習	いでんてきがくしゅう	genetic learning	強さに従って分類器の対の集合を選び、それらに遺伝的操作を適用して子孫を作るような、反復的な分類アルゴリズムに基づく機械学習。現在の規則が不適切であると判明したときに、新しい、より適切な規則を生成するために、最弱の分類器が最強の子孫で置	JIS X 0031	1999	ISO/IEC 2382-31	1997				1997	JTC1
3922	A		電子メール	でんしめーる	electronic mail	計算機ネットワークを介した利用者端末相互間の通信。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3923	A		Eメール	Eめーる	e-mail	計算機ネットワークを介した利用者端末相互間の通信。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3924	A		情報オブジェクト	じょうほうおぶじぇくと	information object	情報の実体を表現するデータの集合体。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3925	A		メッセージ	めっせーじ	message	利用者エージェント相互間で転送される情報オブジェクト。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3926	A		メッセージ転送	めっせーじてんそう	message transfer	計算機ネットワークを利用してメッセージを運ぶこと。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3927	A		メッセージ蓄積	めっせーじちくせき	message storage	メッセージ通信処理システムにおいて、後で利用するためのメッセージの自動記憶。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3928	A		メッセージ通信処理	めっせーじつうしんしょり	message handling	メッセージ転送及びメッセージ蓄積の本質的に関するサブタスクを統合する分散情報処理タスク。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3929	A		メールボックス	めーるぼっくす	mailbox	特定の利用者のための蓄積したメッセージを収容する機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3930	A		電子メールボックス	でんしめーるぼっくす	electronic mailbox	特定の利用者のための蓄積したメッセージを収容する機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3931	A		利用者	りようしゃ	user	潜在的な発信元又は着信先としてメッセージ通信処理に参加する人又は機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3932	A		直接利用者	ちょくせつりようしゃ	direct user	メッセージ通信処理システムを直接利用することによって、メッセージ通信処理に従事する利用者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3933	A		間接利用者	かんせつりようしゃ	indirect user	メッセージ通信処理システムに接続したその他の通信システムを介してメッセージを通信処理に従事する利用者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3934	A		ディレクトリ	でぃれくとり	directory	計算機ネットワーク上でて先となり得る利用者又はサービスの体系的な一覧表。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3935	A		個人間メッセージ通信	こじんかんめっせーじつうしん	interpersonal messaging	個人相互間の通常の仕事又は私的な通信のために仕立てられたメッセージ通信処理の形態。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3936	A		メッセージ通信処理システム	めっせーじつうしんしょりしすてむ	message handling system	ある通信者からその他の通信者へメッセージを運ぶことができる機能単位の体系化された集合体。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3937	A		メッセージ通信処理環境	めっせーじつうしんしょりかんきょう	message handling environment	メッセージ通信処理システム、利用者及び配布先リストを包含する環境。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3938	A		メッセージ通信システム	めっせーじつうしんしすてむ	messageing system	メッセージ通信処理システムを実装するときに使用するデータ処理システム	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3939	A		メッセージ通信サブシステム	めっせーじつうしんさぶしすてむ	messaging subsystem	機能的に重要なメッセージ通信処理システムの一部。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3940	A		利用者エージェント	りようしゃえーじぇんと	user agent	単一の直接利用者がメッセージ通信処理システムと相互作用する手段としての機能単	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3941	A		配布先リスト	はいふさきりすと	distribution list	あらかじめ定義された利用者グループ及びその他の配布先リストを表現する抽象概念。これは、メッセージ通信処理システムが運ぶ情報オブジェクトの潜在的着信先となる。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3942	A		メールエクスプローダ	めーるえくすぷろーだ	mail exploder	要求されるメッセージの複写及び複写結果の配布先リストによって指定される様々な受信者への発送を行う機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3943	A		メール放送者	めーるほうそうしゃ	mail broadcaster	要求されるメッセージの複写及び複写結果の配布先リストによって指定される様々な受信者への発送を行う機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3944	A		アクセス装置	あくせすそうち	access unit	メッセージ転送システムをその他の通信システムへ結合する機能単位の一つ。これによって、その利用者はその他のメッセージ通信処理システムに間接的にアクセスする。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3945	A		メッセージ転送システム	めっせーじてんそうしすてむ	message transfer system	一つ以上のメッセージ転送エージェントから構成される機能単位。利用者エージェント、メッセージ蓄積及びアクセス装置の間で蓄積回送形のメッセージ転送を提供する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3946	A		メッセージ転送エージェント	めっせーじてんそうえーじぇんと	message transfer agent	配布先リストによって特定される利用者又は利用者グループにメッセージを運ぶメッセージ転送システムの機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3947	A		メールゲートウェイ	めーるげーとうぇい	mail gateway	二つ以上の異種のメッセージ通信処理システムの接続及びそれらの相互間でのメッセージの転送を行う機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3948	A		ゲートウェイ	げーとうぇい	gateway	二つ以上の異種のメッセージ通信処理システムの接続及びそれらの相互間でのメッセージの転送を行う機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3949	A		管理領域	かんりりょういき	management domain	メッセージ転送エージェントを一つ以上含むメッセージ通信システムの集合体。これは、単一組織によって管理される。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3950	A		主管庁管理領域	しゅかんちょうかんりりょういき	administration management domain	国家の電気通信監督官庁によって認定された電気通信運営者が管理する管理領域。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3951	A		私設管理領域	しせつかんりりょういき	private management domain	国家の電気通信監督官庁によって認定された電気通信運営者ではないその他の組織が管理する管理領域。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3952	A		封筒	ふうとう	envelope	メッセージの一部であって、メッセージの発信者及び潜在受信者を識別するもの。そのメッセージの転送履歴を記録し、メッセージ転送システムによって次に行われる伝送の方向を決定し、内容を特徴付ける。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3953	A		内容	ないよう	content	メッセージの一部であって、メッセージの転送中に変換の場合を除いて、メッセージ転送システムから検査及び修正を受けないもの。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3954	A		見出し	みだし	heading	メッセージの種別によっては、内容の一部であって、利用者エージェントの処理に役立つ情報を含むもの。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3955	A		本体	ほんたい	body	メッセージの種別によっては、内容の一部であって、発信者が明示的に意思を伝えるも	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3956	A		主題	しゅだい	subject	見出しの一部であって、メッセージの内容を要約したもの。発信者が指定する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3957	A		署名	しょめい	signature	本体の最後尾にあって、個人を特定するために発信者によって記述される一連のテキス	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3958	A		符号化情報種別	ふごうかじょうほうしゅべ	encoded information type	封筒の一部であって、内容の個々の部分について、符号化情報の種別を識別するもの。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3959	A		内容種別	ないようしゅべつ	content type	封筒の一部であって、内容全体の構文規則及び意味形式を識別するもの。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3960	A		打診	だしん	probe	メッセージ転送によって伝送される情報オブジェクトであって、メッセージの配信可能性を決定することに使用するもの。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3961	A		報告	ほうこく	report	メッセージ転送システムによって生成される情報オブジェクトであって、メッセージ又は打診の転送処理に関する結果又は経過を示す。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3962	A		発信者	はっしんしゃ	originator	メッセージ又は打診の発生元である利用者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3963	A		受信者	じゅしんしゃ	recipient	メッセージを受信するか、又はメッセージのあて先である利用者又は配布先表。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3964	A		潜在受信者	せんざいじゅしんしゃ	potential recipient	メッセージ又は打診のあて先となることができる利用者又は配布先表。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3965	A		実受信者	じつじゅしんしゃ	actual recipient	配信又は確認が行われる潜在受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3966	A		指定受信者	していじゅしんしゃ	intended recipient	メッセージ又は打診のあて先として発信者が指定した潜在受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3967	A		対象受信者	たいしょうじゅしんしゃ	immediate recipient	メッセージ又は打診の特定のインスタンスに割り当てられた潜在受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3968	A		代行受信者	だいこうじゅしんしゃ	alternate recipient	メッセージ又は打診を特定の優先受信者に運ぶことができない場合にあて先となる潜在受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3969	A		メンバ受信者	めんばじゅしんしゃ	member recipient	配布先表展開の結果としてメッセージが運ばれる潜在受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3970	A		転送処理	てんそうしょり	transmittal	発信元から潜在受信者への情報オブジェクトの伝達又は伝達の試行。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3971	A		転送処理段階	てんそうしょりだんかい	transmittal step	メッセージ通信処理環境において、ある機能単位から別の機能単位へ情報オブジェクトを運ぶ過程。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3972	A		転送処理事象	てんそうしょりじしょう	transmittal event	メッセージ転送システムにおいて、メッセージの転送処理の途中で発生する事象。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3973	A		発信	はっしん	origination	直接利用者がメッセージ若しくは打診をその利用者エージェントに伝達する最初の転送処理段階。又は間接利用者がそれにサービスを提供する通信システムにメッセージ若し	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
3974	A		送信	そうしん	submission	メッセージ転送エージェントがメッセージ、打診又は報告を別のメッセージ転送エージェントに伝達する転送処理段階。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3975	A		直接送信	ちょくせつそうしん	direct submission	利用者エージェント又はメッセージ蓄積がいかなる機能単位も介することなくメッセージ転送エージェントにメッセージ又は打診を直接伝達する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3976	A		間接送信	かんせつそうしん	indirect submission	利用者エージェントがメッセージ蓄積を経由してメッセージ転送エージェントにメッセージ又は打診を伝達する送信。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3977	A		配信	はいしん	delivery	メッセージ転送エージェントが潜在受信者のメッセージ蓄積又は利用者エージェントにメッセージ又は報告を伝達する転送処理段階。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3978	A		転送	てんそう	transfer	メッセージ転送エージェントがメッセージ、打診又は報告を別のメッセージ転送エージェントに伝達する転送処理段階。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3979	A		検索	けんさく	retrieval	メッセージ又は報告が利用者のメッセージ蓄積から引き出されて、利用者の利用者エージェントに伝達される転送処理段階。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3980	A		受信	じゅしん	receipt	利用者エージェントが直接利用者にメッセージ若しくは報告を伝達する転送処理段階。又は別の通信システムが間接利用者に伝達する転送処理段階。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3981	A		受入	うけいれ	import	メッセージ転送システムにおいて、アクセス装置が外部の通信システムからメッセージ転送エージェントに情報オブジェクトを伝達する転送処理段階。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3982	A		送出	そうしゅつ	export	外部の通信システムに伝達するためにメッセージ転送エージェントが情報オブジェクトをアクセス装置に伝達する転送処理段階。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3983	A		分配	ぶんぱい	splitting	メッセージ又は打診を複写する転送処理事象。これは、転送処理段階において、メッセージ転送エージェントがインスタンスを対象受信者に様々の方法で伝達するために行う。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3984	A		合成	ごうせい	joining	メッセージ転送エージェントが同じメッセージ又は打診についての複数のインスタンス又は報告を結合する転送処理事象。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3985	A		あて先変更	あてさきへんこう	redirection	メッセージ転送エージェントがメッセージの対象受信者である利用者又は配布先リストを代行受信者に変更する転送処理事象。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3986	A		配信不能	はいしんふのう	nondelivery	メッセージ転送エージェントが対象受信者にメッセージを配信することができなかったり又はメッセージ若しくは打診の発信者に報告を配信することができないことを決定する転送	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3987	A		確認	かくにん	affirmation	メッセージ転送システムが打診に記述されているすべてのメッセージを対象受信者に配信できることを、メッセージ転送エージェントが決定する転送処理事象。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3988	A		不達確認	ふたつかくにん	non-affirmation	メッセージ転送システムが打診に記述されているメッセージをいずれかの対象受信者に配信できないことを、メッセージ転送エージェントが決定する転送処理事象。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3989	A		命名機関	めいめいきかん	naming authority	名前の割振りに対し責任を負う機関。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3990	A		O/R名	O/Rめい	O/R name	識別子の一つ。これによって、利用者が発信者と呼ばれたり、利用者又は配布先表がメッセージ又は打診の潜在受信者と呼ばれる。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3991	A		発信者名	はっしんしゃめい	originator	識別子の一つ。これによって、利用者が発信者と呼ばれたり、利用者又は配布先表がメッセージ又は打診の潜在受信者と呼ばれる。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3992	A		受信者名	じゅしんしゃめい	recipient	識別子の一つ。これによって、利用者が発信者と呼ばれたり、利用者又は配布先表がメッセージ又は打診の潜在受信者と呼ばれる。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3993	A		O/Rアドレス	O/Rあどれす	O/R address	属性の一つ。これは、ある利用者又は配布先表をその他のものと識別し、利用者のメッセージ通信処理システム又は配布先表の所在地へアクセスする点を定義する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3994	A		発信者アドレス	はっしんしゃあどれす	originator address	属性の一つ。これは、ある利用者又は配布先表をその他のものと識別し、利用者のメッセージ通信処理システム又は配布先表の所在地へアクセスする点を定義する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3995	A		受信者アドレス	じゅしんしゃあどれす	recipient address	属性の一つ。これは、ある利用者又は配布先表をその他のものと識別し、利用者のメッセージ通信処理システム又は配布先表の所在地へアクセスする点を定義する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3996	A		名前解析	なまえかいせき	name resolution	必要であれば、O/Rアドレスを O/R名に付加する転送処理事象。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3997	A		属性	ぞくせい	attribute	利用者又は配布先表を記述するデータ項目の一つ。これは、利用者又は表のメッセージ通信処理システムにおける物理的又は組織的な構造に関連した位置を示すために使用	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3998	A		一般名	いっぱんめい	common name	他の属性で示される実体と関係がある利用者又は配布先表を識別するための、O/Rアドレスの属性。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
3999	A		個人名	こじんめい	personal name	O/Rアドレスの属性であって、組織名などのその他の属性で示される実体と関係がある個人に独自な名称。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4000	A		組織名	そしきめい	organization name	O/Rアドレスの属性であり、メッセージを送信及び受信するための組織に独自な名称。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4001	A		部門名	ぶもんめい	organizational unit name	O/Rアドレスの属性であり、メッセージを送信及び受信するための組織における部門に独自な名称。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4002	A		国名	こくめい	country name	国を識別するための標準的な属性。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4003	A		最上位領域名	さいじょういりょういきめい	top-level domain name	O/Rアドレスの属性であり、メッセージ通信処理システムの地理的又は組織的構造における最上位の階層レベル。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4004	A		最上位ドメイン名	さいじょういどめいんめい	top-level domain name	O/Rアドレスの属性であり、メッセージ通信処理システムの地理的又は組織的構造における最上位の階層レベル。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4005	A		管理領域名	かんりりょういきめい	management domain name	管理領域の識別子。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4006	A		主管庁領域名	しゅかんちょうりょういきめ	administration domain	国に関連した主管庁管理領域を識別する属性の一つ。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4007	A		私設領域名	しせつりょういきめい	private domain name	国又は主管庁管理領域に関連した私設管理領域を識別する属性の一つ。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4008	A		別名	べつめい	alias	O/R又は、O/Rアドレスの代役となるもの。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4009	A		メッセージ通信処理サービス	めっせーじつうしんしょりさーびす	message handling service	メッセージ通信処理システムによって提供されるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4010	A		返信する	へんしんする	<to>reply	受信メッセージの発信者を指定受信者として割り当てて、その受信メッセージへ返答するメッセージを作成する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4011	A		自動返信	じどうへんしん	auto-reply	受信メッセージへ返答するメッセージの自動作成及びその受信メッセージの発信者を指定受信者とする自動割当て。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4012	A		転送する	てんそうする	<to>forward	受信メッセージへ新たに指定受信者を割り当てたメッセージを作成する。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4013	A		自動転送	じどうてんそう	auto-forward	あらかじめ指定された新たな指定受信者に、受信したメッセージを転送する自動的な動	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4014	A		日時指定配信サービス	にちじしていはいしんさーびす	deferred delivery service	送信したメッセージが特定の日時に配信されるように発信者の利用者エージェントが要求できるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4015	A		配信通知サービス	はいしんつうちさーびす	delivery notification service	送信したメッセージが受信者の利用者エージェント又はアクセス装置に配信できた場合に明示的に通知されることを発信者の利用者エージェントが要求できるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4016	A		配信不能通知サービス	はいしんふのうつうちさーびす	nondelivery notification service	送信したメッセージが受信者の利用者エージェント又はアクセス装置に配信されなかった場合に通知されることを発信者の利用者エージェントが要求できるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4017	A		他受信者名表示サービス	たじゅしんしゃめいひょうじさーびす	disclosure of other recipients service	複数受信者メッセージを送信する場合に、その他の全受信者のO/R名を各受信者の利用者エージェントに通知することをメッセージの配信に当たって、発信者の利用者エージェントがメッセージ転送システムに指示できるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4018	A		配信保留サービス	はいしんほりゅうさーびす	hold-for-delivery service	配信のために後の時間までメッセージ転送システムがメッセージ及び報告を保留するように受信者の利用者エージェントが要求できるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4019	A		送信証明サービス	そうしんしょうめいさーびす	proof of submission service	指定受信者に配信するためにメッセージが送信された証明をメッセージ転送システムからメッセージの発信者が得ることを許可するサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4020	A		配信証明サービス	はいしんしょうめいさーびす	proof delivery service	メッセージが既に指定受信者に配信された証明をメッセージの発信者が得ることができるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4021	A		メッセージ識別サービス	めっせーじしきべつさーびす	message identification service	システムによって発信された又は配信されたメッセージ又は打診に対して、メッセージ転送システムがユニークな識別子を利用者エージェントに付与できるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4022	A		アクセス管理サービス	あくせすかんりさーびす	access management service	利用者エージェント及びメッセージ転送エージェントが互いにアクセスでき、関連した情報を管理するサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4023	A		機密保護アクセス管理サービス	きみつほごあくせすかんりさーびす	secure access management service	不正使用に対するメッセージ通信処理システムの資源に保護を提供するサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4024	A		匿名再発信者	とくめいさいはっしんしゃ	anonymous remailer	メッセージの発信者が、最終の受信者から本名を隠すことを認める機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4025	A		メッセージ保管	めっせーじほかん	message store	一つの直接利用者にメッセージ蓄積能力を提供する機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4026	A		保管メッセージ通知サービス	ほかんめっせーじつうちさーびす	stored message alert service	メッセージ保管に着信したメッセージが登録された基準を満たすごとに利用者に通知するサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4027	A		保管メッセージ一覧サービス	ほかんめっせーじいちらんさーびす	stored message listing service	受信者の利用者エージェントにメッセージ保管で保管されているメッセージについての情報一覧を供給するサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4028	A		保管メッセージ要約サービス	ほかんめっせーじようやくさーびす	stored message summary service	受信者の利用者エージェントにメッセージ保管に保管されているメッセージの一つ以上の属性に基づいて指定された基準を満たすメッセージの数を数えることを供給するサービ	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4029	A		個人間メッセージ	こじんかんめっせーじ	interpersonal message	個人間メッセージ通信におけるメッセージ。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4030	A		個人間メッセージ通信	こじんかんめっせーじつうしん	interpersonal messaging system	個人間メッセージ通信を行うメッセージ通信処理システム。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4031	A		正受信者	せいじゅしんしゃ	primary recipient	主にメッセージのあて先となる受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4032	A		写し受信者	うつしじゅしんしゃ	copy recipient	メッセージの正受信者ではないが、メッセージの内容が通知される受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4033	A		二次受信者	にじじゅしんしゃ	copy recipient	メッセージの正受信者ではないが、メッセージの内容が通知される受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4034	A		秘密受信者	ひみつじゅしんしゃ	blind copy reciouent	同一メッセージの他の受信者に正体を明かさない受信者。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4035	A		個人間メッセージ通信サービス	こじんかんめっせーじつうしんさーびす	interpersonal messaging service	個人間メッセージ通信システムによって提供されるサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4036	A		本体種別表示サービス	ほんたいしゅべつひょうじさーびす	typed body service	個人間通信メッセージの本体内の各部分の本質及び特性を伝達することを許可するサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4037	A		失効日付表示サービス	しっこうひづけひょうじさーびす	expiration date indication service, expiry date indication service	個人間メッセージを無効にする日時を発信者が受信者に表示可能にするサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4038	A		差替え表示サービス	さしかえひょうじさーびす	obsoleting indication service	以前に送信した一つ以上のメッセージが差し替えられたことを発信者が受信者に表示可能にするサービス。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4039	A		個人間通知	こじんかんつうち	interpersonal notification	あて先の受信者にメッセージが受信されたかどうかを個人間メッセージの発信者に知らせる情報。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4040	A		受信通知	じゅしんつうち	receipt notification	発信者に個人間メッセージの受信成功を報告する個人間通知。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4041	A		受信不能通知	じゅしんふのうつうち	nonreceipt notification	発信者に個人間メッセージの受信の失敗又は受信の遅延を報告する個人間通知。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4042	A		ディレクトリシステム	でぃれくとりしすてむ	diewctory system	協力してディレクトリサービスを提供する開放型システムの集まり。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4043	A		ディレクトリ利用者	でぃれくとりりようしゃ	directory user	ディレクトリシステムにアクセスする個人又は機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4044	A		ディレクトリ利用者エージェント	でぃれくとりりようしゃえーじぇんと	directory user agent	ディレクトリ利用者がディレクトリシステムと相互作用するために利用する機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4045	A		ディレクトリシステムエージェント	でぃれくとりしすてむえーじぇんと	directory system agent	ディレクトリ情報基盤に含まれる情報へのアクセスを提供するディレクトリシステムの機能単位。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4046	A		ディレクトリ情報基盤	でぃれくとりじょうほうきば	directory information base	ディレクトリシステムによって管理される一連の情報。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4047	A		ディレクトリ名	でぃれくとりめい	directory name	ディレクトリシステムの規則に従って系統だてられた特定のオブジェクトの識別子。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4048	A		ディレクトリ情報木構造	でぃれくとりじょうほうきこうぞう	directory information tree	ディレクトリ名によってオブジェクトを明白に示すために、ディレクトリシステムで使われる木構造。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4049	A		ディレクトリ管理ドメイン	でぃれくとりかんりどめいん	directory management domain	一つの権限によって管理される一つ以上のディレクトリシステムエージェントの集まり。幾つかのディレクトリ利用者エージェントが含まれる場合がある。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4050	A		照会	しょうかい	referral	ディレクトリシステムへの要求が解決されない場合に、ディレクトリシステムエージェントからディレクトリ利用者エージェント又は別のディレクトリシステムエージェントに別のアクセスポイント又はディレクトリシステムエージェントを利用するようにすすめる提案。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4051	A		物理的配信	ぶつりてきはいしん	physical delivery	物理的な形状でのメッセージの配信。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4052	A		物理的配信システム	ぶつりてきはいしんしすてむ	physical delivery system	物理的配信を実行するシステム。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4053	A		物理的配信アクセス装置	ぶつりてきはいしんあくせすそうち	physical delivery access unit	物理的配信のためのアクセス装置。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4054	A		スレッド	すれっど	thread	密接に関連した情報を含み、かつ他のメッセージから容易に分離できる一連のメッセー	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4055	A		顔文字	かおもじ	emoticon, smiley	メッセージの発信者の気分を表現するために使用される、合成した記号。	JIS X 0032	1999	ISO/IEC 2382-32	1999	MOD			1999	JTC1
4056	A		基本記号	きほんきごう	basic symbol	処理やデータ媒体などの正確な性質や形状が明らかでないとき、又は実際の媒体を描く必要のないときに用いる記号。	JIS X 0121	1986							
4057	A		個別記号	こべつきごう	specific symbol	処理やデータ媒体などの正確な性質や形状が明らかで、実際の媒体を描く必要があるときに用いる記号。	JIS X 0121	1986							
4058	A		流れ図	ながれず	flowchart	問題の定義、分析又は解法の図的表現であって、データ流れ図、プログラム流れ図及びシステム流れ図とする。	JIS X 0121	1986							
4059	B		2値変数	2ちへんすう		二つの異なった値をもち、そのうちの、いずれか一方の値をとる変数。	JIS X 0122					廃1999/11			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4060	B		2値論理素子	2ちろんりそし		入力及び出力が2値変数を表し、その出力が入力の論理関数(特別な場合として、時間的関係、しきい値論理関数、増幅作用なども含む。)で規定される素子。ただし、この規格における素子とは、ある基本的論理機能を実行する論理回路の単位を指すものとし、通常一つの記号枠(例1参照)又は連結した複数個の記号枠で示すものとする。	JIS X 0122					廃1999/11			
4061	B		組合せ論理素子	くみあわせろんりそし		任意の時点における出力値が、その時点の入力値だけによって定まる論理素子。	JIS X 0122					廃1999/11			
4062	B		順序論理素子	じゅんじょろんりそし		任意の時点における出力値が、その時点の入力値と素子の内部状態とによって定まる論理素子。その内部状態は、直前の入力値と直前の内部状態とによって定まる。	JIS X 0122					廃1999/11			
4063	B		論理状態	ろんりじょうたい		2値変数の二つの値に対応する状態。論理状態は、二つの異なった記号。一般に0と1の記号で表し、それぞれ論理状態0及び論理状態1、又は単に状態0及び状態1と呼ぶ。	JIS X 0122					廃1999/11			
4064	B		内部論理状態	ないぶろんりじょうたい		記号枠内部でとり得る入力又は出力の論理状態。紛らわしくない場合は、単に内部状態	JIS X 0122					廃1999/11			
4065	B		外部論理状態	がいぶろんりじょうたい		記号枠外部でとり得る入力又は出力の論理状態。紛らわしくない場合は、単に外部状態	JIS X 0122					廃1999/11			
4066	B		論理レベル	ろんりれべる		2値変数がとる二つの論理状態に対応する物理量を表す。一般にHとLの記号で表す。この場合、Hはより大きい値をもつ論理レベルを表すのに使用し、Lはより小さい値をもつ論理レベルを表すのに使用する。	JIS X 0122					廃1999/11			
4067	B		正論理	せいろんり		2値変数の状態1をより大きい値をもつ論理レベル(Hレベル)に対応させ、状態0をより小さい値をもつ論理レベル(Lレベル)に対応させる論理。	JIS X 0122					廃1999/11			
4068	B		負論理	ふろんり		2値変数の状態1をより小さい値をもつ論理レベル(Lレベル)に対応させ、状態0をより大きい値をもつ論理レベル(Hレベル)に対応させる論理。	JIS X 0122					廃1999/11			
4069	B		従属関係表記	じゅうぞくかんけいひょうき		記号枠内において、複数の論理素子で構成される回路のすべての接続状態を実際に示すことなしに、入力相互間、出力相互間又は入力と出力相互間の関係を示す表記法。	JIS X 0122					廃1999/11			
4070	B		影響入力	えいきょうにゅうりょく		従属関係表記に従って他の入力や出力に影響を及ぼす入力。	JIS X 0122					廃1999/11			
4071	B		影響出力	えいきょうしゅつりょく		従属関係表記に従って他の入力や出力に影響を及ぼす出力。	JIS X 0122					廃1999/11			
4072	B		被影響入力	ひえいきょうにゅうりょく		従属関係表記によって影響を受ける入力。	JIS X 0122					廃1999/11			
4073	B		被影響出力	ひえいきょうしゅつりょく		従属関係表記によって影響を受ける出力。	JIS X 0122					廃1999/11			
4074	A		データ処理機械	でーたしょりきかい		事務分野及び技術分野におけるデータを処理するための装置であって、電子計算機を中核とする各種機械をいう。	JIS X 0124	1993							
4075	A		決定表	けっていひょう	decision table	問題の記述において起こり得るすべての条件と、それに対して実行すべき動作とを組み合わせた表。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4076	A		単適合決定表	たんてきごうけっていひょう	single-hit decision table	条件の組合せのどの一つも、ただ一つの規則においてだけ満たされる決定表。混同のおそれのない場合は、これを単に決定表と呼んでもよい。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4077	A		多重適合決定表	たじゅうてきごうけっていひょう	multiple-hit decision table	条件の組合せのうちの少なくとも一つが、二つ以上の規則によって満たされる決定表(1.備考2.参照)。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4078	A		規則	きそく	rule	表の条件指定部及び動作指定部を通る一つの列であって、満たされるべき条件のただ一つの組合せと、それに対応する動作との組を定義するもの。ある規則が満足されるとは、すべての条件がその規則の条件指定に合致することをいう。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4079	A		補完規則	ほかんきそく	ELSE-rule	表中に値による指定が示されていない条件のすべての組合せに対して、実行すべき動作を示す規則。(備)補完規則は、書かなくてもよい。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4080	A		条件	じょうけん	condition	問題の表記において考慮すべき事項の記述又は条件の一部として考慮すべき他の手続きへの参照。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4081	A		動作	どうさ	action	問題解決のために実行すべき処理の記述。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4082	A		条件指定	じょうけんしてい	condition entry	ある条件と特定の規則との関連付け。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4083	A		動作指定	どうさしてい	action entry	ある動作と特定の規則との関連付け。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4084	A		条件記述部	じょうけんきじゅつぶ	condition stub	問題の記述において考慮すべきすべての条件を列挙したもの。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4085	A		動作記述部	どうさきじゅつぶ	action stub	問題の記述において実行すべきすべての動作を列挙したもの。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4086	A		表見出し	ひょうみだし	table heading	他の文書から決定表を参照するための名前又はその他の手段。それの代わりに、又はそれに添えて、表の明確な説明を書いてもよい。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4087	A		初期化部	しょきかぶ	initialization section	最初の条件を調べる前に順番に実行すべき無条件動作を列挙したもの。これは、表見出しの次の行に書くことができる。初期化部は、任意選択とする。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4088	A		制限指定表	せいげんしていひょう	limited entry table	すべての条件と動作が、指定部の規則への参照なしに、記述部中の記述だけで完成している決定表(附属書2、例1参照)。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4089	A		拡張指定表	かくちょうしていひょう	extended entry table	記述部中では条件や動作の共通部分だけが、記述されていて完成していない決定表。その記述は、指定部の規則で指定された値によって完成する(附属書2、例2参照)。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4090	A		混合指定表	こんごうしていひょう	mixed entry table	制限指定の行と拡張指定の行の双方を含む決定表(附属書2、例4参照)。(備)通常、拡張指定表と呼ばれるものは、制限指定をも含み、したがって、厳密にはいかなる拡張指定表も混合指定表も、制限指定表(附属書2、例3参照)に変換することのできる混合指定	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4091	A		完備した表	かんびしたひょう	complete table	条件指定のすべての組合せに対して、それを満足する規則が存在する決定表。	JIS X 0125	1986	ISO 5806	1984				1984	SC7
4092	A		文書	ぶんしょ	document	報告書、仕様書、マニュアル又は書物のように、人間が利用するためにひと区切りとして識別できる情報の単位。	JIS X 0126	2001	ISO/IEC 6592	1998				2000	SC7
4093	A		文書化	ぶんしょか	documentation	一つ又は複数の関連する文書の集合。	JIS X 0126	2001	ISO/IEC 6592	1998				2000	SC7
4094	A		情報項目(副項目)	じょうほうこうもく(ふくこうもく)	information item(sub-item)	情報の要素の定義された固まり。副項目は一つの情報項目の一部分である。	JIS X 0126	2001	ISO/IEC 6592	1998				2000	SC7
4095	A		文書項目表	ぶんしょこうもくひょう	documentation profile	一つ又は複数の文書の内容を記述する情報項目の表。	JIS X 0126	2001	ISO/IEC 6592	1998				2000	SC7
4096	A		条件付	じょうけんつき	conditional	関連するまとまりすべてに供給される情報。	JIS X 0126	2001	ISO/IEC 6592	1998				2000	SC7
4097	A		任意	にんい	optional	作成者又は販売組織が任意に提供できる情報。	JIS X 0126	2001	ISO/IEC 6592	1998				2000	SC7
4098	A		基本要素	きほんようそ	imperative construct	一つの手続き部及びその手続き部を1回だけ実行することを指定する暗黙の制御部から	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4099	A		順次要素	じゅんじようそ	serial construct	二つ以上の手続き部及びそれらの手続き部を与えられた順序で1回だけ実行する暗黙の制御部からなる。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4100	A		並列要素	へいれつようそ	parallel construct	二つ以上の手続き部及びそれらの手続き部を開始する一つの制御部からなる。この要素の実行は、開始したすべての手続き部を完全に実行したとき、完了する。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4101	A		繰返し要素	くりかえしようそ	iterative construct		JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4102	A		前判定繰返し	ぜんはんていくりかえし	pre-tested iteration	一つの手続き部及び一つの条件をもつ制御部からなる。その条件の値によってこの手続き部を0回以上実行する。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4103	A		後判定繰返し	あとはんていくりかえし	post-tested iteration	一つの手続き部及び一つの条件をもつ制御部からなる。その条件の値によってこの手続き部を1回以上実行する。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4104	A		継続繰返し	けいぞくくりかえし	continuous iteration	一つの手続き部及びその手続き部を継続的に繰り返すことを指定する暗黙の制御部か	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4105	A		選択要素	せんたくようそ	selective choice construct		JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4106	A		単岐選択	たんきせんたく	monadic selective	一つの手続き部及び一つの条件をもつ制御部からなる。この条件の値は、その手続き部を実行するか否かを指定する。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4107	A		双岐選択	そうきせんたく	dyadic selective	二つの手続き部及び一つの条件をもつ制御部からなる。この条件の値は、その二つの手続き部のどちらを実行するかを指定する。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4108	A		多岐選択	たきせんたく	multiple exclusive selective	多数の手続き部及び条件の集合をもつ制御部からなる。これらの条件の値によって、実行すべき手続き部が一つだけ決まる。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4109	A		多重岐選択	たじゅうきせんたく	multiple inclusive selective	多数の手続き部及び条件の集合をもつ制御部からなる。これらの条件の値によって、実行すべき0個以上の手続き部が決まる。その実行の順序は、定めない。	JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4110	A		打切り	うちきり	termination		JIS X 0128	1988	ISO/IEC 8631	1989				1989	SC7
4111	B		総合評価	そうごうひょうか	assessment	ソフトウェアのモジュー ル、パッケージ又は製品の受入れ又は引渡しを決定するために、特定のソフトウェア のモジュール、パッケージ又は製品に対して、特定の文書化された総合評価基準を適 用する行為。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4112	B		特質	とくしつ	feature	品質特性に関係付けて識別されたソフトウェア製品の特徴。(参)例えば、特質は、プログラムのパスの長さ、モジュール性、プログラム構造及び原始プログラム中の注釈を含む。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4113	B		ファームウェア	ふぁーむうぇあ	firmware	利用者環境では変更 できないコンピュータプログラム及びデータが格納されているハードウェア。ファー ムウェア内に格納されているコンピュータプログラム及びデータは、ソフトウェアと して分類する。コンピュータプログラム及びデータを格納している電気回路の構成要 素は、ハードウェアとして分類する。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4114	B		達成のレベル	たっせいのれべる	level of performance	品質特性に対応 する特定の値の集合によって示される、必要性を満たす度合い。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4115	B		測定	そくてい	measurement	ソフトウェア品質測定法を特定のソフト ウェア製品に適用する行為。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4116	B		品質	ひんしつ	quality	明示的又は暗示的な必要性を満たす製品又は サービスの能力をもたらす、製品又はサービスの特質及び特性の全体 (ISO 8402:1986参照)。(備)契約の場合には必要性は仕様化されるが、その他の場合には暗示的な必要性も識別して定義するほうがよい	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4117	B		評定	ひょうてい	rating	測定値を適切な評定水準に対応付ける行為 。評定は、対象ソフトウェアについて特定の品質特性がどの評定水準かを決定するた めに行う。(備)下位レベルの評定値をもとに上位レベルの評定値を求める場合及び 主観的に測定値又は評定値を直接使用する場	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4118	B		評定水準	ひょうていすいじゅん	rating level	明示的又は暗示的な 必要性に基づいて、ソフトウェアを分類する(評定する)ための、尺度上の値の範囲 。適切な評定水準は、例えば、利用者視点、管理者視点又は開発者視点といった異な る品質視点に対応して設定してもよい。これらの水準を評定水準とする。(備)評定 水準は、ISO 8402で定義する"等級"(grades)とは異なる。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4119	B		ソフトウェア	そふとうぇあ	software	コンピュータシステムの運用に 関するプログラム、手順、規則及びそれらに関連するすべての文書類。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4120	B		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product	利用者に納入するために作られたソフトウェアの実体。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4121	B		ソフトウェア品質	そふとうぇあひんしつ	software quality	明示的又 は暗示的な必要性を満たすソフトウェア製品の能力をもたらす、ソフトウェア製品の 特質及び特性の全体。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4122	B		ソフトウェア品質総合評価基準	そふとうぇあひんしつそうごうひょうかきじゅん	software quality assessment criteria	特定のソフトウェア製品の総合 的品質が、受入れ可能か否かを決定するために用いる、定義し文書化した規則及び条件の集合。品質は、ソフトウェア製品に対して評定された水準の集合によって表す。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4123	B		ソフトウェア品質特性	そふとうぇあひんしつとくせい	software quality characteristics	ソフトウェア製品の品質を記述し、評価するソフトウェア 製品の属性の集合。一つのソフトウェアの品質特性は、複数の階層の副特性に展開し てもよい。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4124	B		ソフトウェア品質測定法	そふとうぇあひんしつそくていほう	software quality metric	特定のソフトウェア製品がもつ特質の値を決定するために用いる定量的尺度及び方法。	JIS X 0129	1994	ISO/IEC 9126	1991		廃→X 0129-1:2003/2	9126-1:2001	2001	SC7
4125	A		達成水準	たっせいすいじゅん	level of performance	品質特性に対応する特定の値の集合によって示される必要性を満たす度合い。	JIS X 0129-1	2003	ISO/IEC 9126-1	2001				2001	SC7
4126	A		プログラム構成要素	ぷろぐらむこうせいようそ	program construct	プログラムを手続的アルゴリズムの制御構造の表現方法として見たとき、プログラムを構成する要素。一つの要素は、ある階層において一つ以上の手続部及び一つの制御部からなる。各手続部は、一つ以上の実行される演算からなるか又は空である。制御部は、指示と幾つかの条件とからなり、手続部を実行する方法を指定する。制御部は、指示の性質及び条件の値に従って手続部を起動又は終了させる。制御部には、指示も条件もな	JIS X 0130	1995	ISO/IEC CD 14568	1994				1997	SC7
4127	A		プログラムモジュール	ぷろぐらむもじゅーる	program module	手続及びデータの宣言からなる言語構成要素とし、他の同様の構成要素と相互に作用しうるもの。この規格では、プログラムモジュールをモジュールと呼ぶ。 例1.Fortranのプログラム及びサブルーチン副プログラム、Adaのパッケージ、PL/Iの外部手続及びCの関数。	JIS X 0130	1995	ISO/IEC CD 14568	1994				1997	SC7
4128	A		木構造図	きこうぞうず	tree-structured chart	JIS X 0128で定義されたプログラムの構成要素を組み合わせて作られた木の構造をもつ、プログラムモジュールの論理を表現する図。	JIS X 0130	1995	ISO/IEC CD 14568	1994				1997	SC7
4129	A		CASEツール	CASEつーる	CASE tool	ソフトウェアライフサイクルの開発プロセスにおいて、作業の一部を自動化することによって、ソフトウェア開発者を支援する応用ソフトウェア。備考 CASEは、Computer Aided Software Engineeringの略。	JIS X 0130	1995	ISO/IEC CD 14568	1994				1997	SC7
4130	A		状態	じょうたい	state	ソフトウェアの実行における進行段階を表現する一意な値とする。識別子として状態名と呼ぶ一意な名前をもつ。	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4131	A		遷移	せんい	transition	ある状態から別の状態への又は同じ状態への変化とする。条件が満足されたときに起こる。遷移に伴って動作が実行されることもある。形式的には、遷移は、次の三つの部分からなる。	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4132	A		方向部	ほうこうぶ	direction part		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4133	A		条件部	じょうけんぶ	condition part		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4134	A		動作部	どうさぶ	action part		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4135	A		遷移元状態	せんいもとじょうたい	previous state		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4136	A		遷移先状態	せんいさきじょうたい	next state		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4137	A		遷移先状態番号	せんいさきじょうたいばんごう	next state number		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4138	A		状態識別子	じょうたいしきべつし	state identifier		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4139	A		状態番号	じょうたいばんごう	state number		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4140	A		状態名	じょうたいめい	state name		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4141	A		入力結合子	にゅうりょくけつごうし	incoming connector		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4142	A		出力結合子	しゅつりょくけつごうし	outgoing connedtor		JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4143	A		初期状態	しょきじょうたい	initial state	初期状態はただ一つとする。ソフトウェアは、その活動を初期状態から開始する。初期状態は、少なくともどれか一つの遷移の遷移元状態でなければならない。	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4144	A		終了状態	しゅうりょうじょうたい	final state	一つ以上の状態を終了状態とすることができる。ソフトウェアは、その活動を終了状態で終了する。各々の終了状態は、少なくともどれか一つの遷移の遷移元状態でなければな	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4145	A		初期/終了状態	しょき/しゅうりょうじょうたい	initial/final state	初期状態を終了状態とすることもできる。この場合は、ソフトウェアは、その活動を終了した後、活動を即座に再開しても構わないし、また、しなくてもよい。初期/終了状態は、少なくとも一つ以上の遷移の遷移元状態でなければならない。少なくとも一つ以上の遷移の遷移先状態でなければならない。	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4146	A		中間状態	ちゅうかんじょうたい	intermediate state	初期状態でもなく、終了状態でもなく、又は初期・終了状態でもない状態を、中間状態と呼ぶ。中間状態は、少なくとも一つ以上の別状態からの遷移の遷移先状態でなければならない。更に、少なくとも一つ以上の別状態への遷移の遷移元状態でなければならな	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4147	A		別状態への遷移	べつじょうたいへのせんい	transition to another state	この遷移は、ある状態から別の状態への変化を示す。このような遷移では方向部の遷移元状態の識別子と遷移先状態の識別子とは、異なる状態を示す。	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4148	A		自状態への遷移	じじょうたいへのせんい	transition to the same state	この遷移は、ある状態から同じ状態へ戻る変化を示す。このような遷移では方向部の遷移元状態の識別子と遷移先状態の識別子とは、同じ状態を示す。	JIS X 0131	1995	ISO/IEC 11411	1995				1995	SC7
4149	A		取得者	しゅとくしゃ	acquirer	供給者からシステム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを取得又は調達する組織(JIS X 0160:1996)。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4150	A		属性	ぞくせい	attribute	実体の測定可能な物理的又は概念的な特徴。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4151	A		開発者	かいはつしゃ	developer	ソフトウェアライフサイクルプロセスにおいて、開発活動(要求分析、設計、試験、受入れまでを含む。)を遂行する組織(JIS X 0160:1996)	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4152	A		直接測定値	ちょくせつそくていち	direct measure	他のいかなる属性の測定値にも依存しないある属性の測定値。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4153	A		評価モジュール	ひょうかもじゅーる	evaluation module	特定のソフトウェア品質特性又は品質副特性のための一組の評価技術。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4154	A		外部測定値	がいぶそくていち	external measure	対象とするソフトウェア製品を含むシステムのふるまいを測定することから導かれる、ソフトウェア製品の間接測定値。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4155	A		外部品質	がいぶひんしつ	external quality	製品が指定された条件下で使用された場合に、明示的及び暗示的必要性を満足させる	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4156	A		故障	こしょう	failure	要求された機能を遂行する製品の能力が尽きる状態、又は事前に仕様化された制限内で機能を遂行する製品の能力がない状態。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4157	A		障害	しょうがい	fault	計算機プログラム内の不正確なステップ、プロセス又はデータの定義。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4158	A		暗示的必要性	あんじてきひつようせい	implied needs	対象の実体が特定の条件下で使われるとき、明示されていないが配慮すべき必要性。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4159	A		指標	しひょう	indicator	他の測定値の見積又は予測に使うことができる測定値。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4160	A		間接測定値	かんせつそくていち	indirect measure	一つ以上の他の属性の測定値から導かれるある属性の測定値。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4161	A		中間ソフトウェア製品	ちゅうかんそふとうぇあせいひん	intermediate software product	ソフトウェア開発プロセスのある階段の製品で、他の段階への入力として用いられる製品。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4162	A		内部測定値	ないぶそくていち	internal measure	製品それ自身の測定値で、直接又は間接のいずれでもよい。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4163	A		内部品質	ないぶひんしつ	internal quality	特定の条件下で使用される場合に、明示的及び暗示的必要性を満たす製品の能力を決定する製品の属性の全体。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4164	A		保守者	ほしゅしゃ	maintainer	保守活動を遂行する組織(JIS X 0160:1996)。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4165	A		測定する	そくていする	measure	測定を行う行為。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4166	A		測定値	そくていち	measure	測定することによって、実体の属性に割り当てられた数又は分類。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4167	A		測定	そくてい	measurement	実体の属性に対して尺度から値(数又は分類でもよい。)に割り当てるために、測定法を使う行為。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4168	A		測定法	そくていほう	metric	定義された測定方法及び測定尺度。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4169	A		品質	ひんしつ	quality	ある"もの(entity)"の明示された又は暗黙の必要性を満たす能力に関する特性の全体(ISO 8402:1994)。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4170	A		品質評価	ひんしつひょうか	quality evaluation	ある"もの"が、規定要求事項をどれだけ満たすことができるかの程度を示すための体系的な審査(ISO 8402:1994)。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4171	A		利用時の品質	りようじのひんしつ	quality in use	指定された利用者が仕様化された特定の仕方で製品を利用したとき、仕様化された目的を達成するために、有効性、生産性及び満足度を伴い必要性を満たしている程度。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4172	A		品質モデル	ひんしつもでる	quality model	品質要求及び品質評価の基礎を与えるような特性の集合及び特性間の関係。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4173	A		評定	ひょうてい	rating	測定値を適切な評定水準に対応付ける行為。評定は、対象ソフトウェアについて、特定の品質特性がどの評定水準に対応するかを決定するために行う。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4174	A		評定水準	ひょうていすいじゅん	rating level	測定尺度を分類するために使われる順序尺度上の点。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4175	A		尺度	しゃくど	scale	定義された特徴をもつ値の集合。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4176	A		ソフトウェア	そふとうぇあ	software	情報処理システムに関する、プログラム、プロセス、規則及び関連する文書の全体又は一部(JIS X 0001:1994)。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4177	A		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product	計算機プログラム、手続き並びにその関連する文書及びデータを含めたまとまり。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4178	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	契約を交わした取得者に、システム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを契約に基づいて提供する組織(JIS X 0160:1996)	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4179	A		システム	しすてむ	system	明示的な必要性又は目的を満たす能力を与えるために、一つ以上のプロセス、ハードウェア、ソフトウェア、設備及び人間からなる統合されたもの(JIS X 0160:1996)。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4180	A		利用者	りようしゃ	user	特定の機能を遂行するために、ソフトウェア製品を使う個人。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4181	A		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation	定められた用途に対する特有の要求事項が満たされていることを、客観的証拠の審査及び提出によって確認すること(ISO 8402:1994)	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7
4182	A		検証	けんしょう	verification	規定要求事項が満たされていることを、客観的証拠の審査及び提出によって確認すること(ISO 8402:1994、2.17)。	JIS X 0133-1	1999	ISO/IEC 14598-1	1998				1999	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4183	A		評価技術(評価に用いる技術)	ひょうかぎじゅつ(ひょうかにもちいるぎじゅつ)	evaluation technology (technology used for evaluation)	評価に用いる技法、ツール、測定法、測定値、その他の技術情報。	JIS X 0133-2	2001	ISO/IEC 14598-2	2000				2000	SC7
4184	A		支援組織	しえんそしき	supporting function	技術、ツール、経験及び管理技能の供給を通して、ソフトウェア評価活動を支援することに対する責任をもつ組織。	JIS X 0133-2	2001	ISO/IEC 14598-2	2000				2000	SC7
4185	A		技術	ぎじゅつ	techniques	特定の作業を遂行するために必要な方法及び技能。	JIS X 0133-2	2001	ISO/IEC 14598-2	2000				2000	SC7
4186	A		計数規則	けいすうきそく	counting rule	測定値を得るための、条件及び手続。	JIS X 0133-3	2001	ISO/IEC 14598-3	2000				2000	SC7
4187	A		外部属性	がいぶぞくせい	external attribute	実体の環境とどのように関連するかの関係からだけ得ることのできる実体の測定可能な	JIS X 0133-3	2001	ISO/IEC 14598-3	2000				2000	SC7
4188	A		内部属性	ないぶぞくせい	internal attribute	実体それ自身から純粋に得ることのできる実体の測定可能な特徴。	JIS X 0133-3	2001	ISO/IEC 14598-3	2000				2000	SC7
4189	A		単位	たんい	unit	測定の標準として採用された量。	JIS X 0133-3	2001	ISO/IEC 14598-3	2000				2000	SC7
4190	A		商用既製ソフトウェア	しょうようきせいそふとうぇあ	commercial off the shelf software(COTS)	市場ニーズに依存して要求仕様が定められ、市販によって入手可能で、幅広い一般消費者によって利用に適していることが示されているソフトウェア。	JIS X 0133-4	2001	ISO/IEC 14598-4	1999				1999	SC7
4191	A		注文ソフトウェア	ちゅうもんそふとうぇあ	custom software	利用者の要求仕様から特定のアプリケーションのために開発されたソフトウェア。	JIS X 0133-4	2001	ISO/IEC 14598-4	1999				1999	SC7
4192	A		既存のソフトウェア	きそんのそふとうぇあ	existing software	既に開発され入手でき、そのまま又は修正によって利用可能で、供給者、取得者、又は第三者によって提供されたソフトウェア製品。	JIS X 0133-4	2001	ISO/IEC 14598-4	1999				1999	SC7
4193	A		評価方法	ひょうかほうほう	evaluation method	特定の製品構成要素又は製品全体に対して、仕様化された計測又は検証の結果を得るために、評価者によって実行される行為を記述した手続。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4194	A		評価報告書	ひょうかほうこくしょ	evaluation report	評価結果及び評価に関連する他の情報を公表する文書。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4195	A		評価記録(書)	ひょうかきろく(しょ)	evaluation records	評価プロセスの中で実行されたすべての活動及び得られた結果の客観的証拠を文書化したもの。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4196	A		評価依頼者	ひょうかいらいしゃ	evaluation requester	評価を求める人又は組織。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4197	A		評価ツール	ひょうかつーる	evaluation tool	データを収集する、データの解釈を行う、又は評価の一部を自動化するために、評価中に使用されるツール。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4198	A		評価者	ひょうかしゃ	evaluator	評価を行う人又は組織。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4199	A		ソフトウェア製品開発者	そふとうぇあせいひんかいはつしゃ	software product developer	ソフトウェア製品を生産する人又は組織。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4200	A		ソフトウェア製品評価	そふとうぇあせいひんひょうか	software product evaluation	規定された手続に従って、ソフトウェア製品の一つ以上の特性の総合評価(assessment)を行うことによって構成される技術的操作。	JIS X 0133-5	1999	ISO/IEC 14598-5	1998				1998	SC7
4201	A		評価モジュール	ひょうかもじゅーる	avaluation module	ソフトウェアの品質特性、副特性又は属性を測定するための、評価技術のパッケージ。 備考 そのパッケージは、次のものを含む。 -評価方法及び評価技法 -評価への入力 -測定し、収集すべきデータ -支援手続き及び支援ツール	JIS X 0133-6	2002	ISO/IEC 14598-6	2001				2001	SC7
4202	A		評価技術(評価に用いる技術)	ひょうかぎじゅつ(ひょうかにもちいるぎじゅつ)	evaluation technology (technology used for evaluation)	評価に用いる技法、ツール、測定法、測定値、その他の技術情報(JIS X 0133-2)。	JIS X 0133-6	2002	ISO/IEC 14598-6	2001				2001	SC7
4203	A		構成部品	こうせいぶひん	component	分析の特定水準で考慮されるシステム中のアセンブリモジュール又はソフトウェアモジュールのような離散構造をもつ実体。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4204	A		信頼等級、信頼の度合い	しんらいとうきゅう、しんらいのどあい	degree of confidence	この規格では、この"信頼等級"という用語は、ソフトウェアがその要求事項に適合していることを意味するときにだけ使用される。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4205	A		設計責任機関	せっけいせきにんきかん	design authority	システムの設計記述を作成する責任をもつ個人又は組織。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4206	A		故障	こしょう	failure	前もって指定された限界内で、要求された機能を遂行する品目の能力の停止、又は遂行の能力がなくなること。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4207	A		障害隔離	しょうがいかくり	fault isolation	自サブシステム中で発生した障害が原因で、その結果として、別のサブシステム中で障害が発生することがないようにするサブシステムの能力。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4208	A		機能	きのう	function	当該システムの意図された振舞いの側面。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4209	A		引き金事象	ひきがねじしょう	initiating event	危険な兆候に至らしめる可能性のある事象。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4210	A		リスク抑制の完全性保証機関	りすくよくせいのかんぜんせいほしょうきかん	integrity assurance authority	リスク抑制の完全性要求事項に対する準拠性の総合評価をする責任をもつ独立の個人又は組織。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4211	A		リスク抑制の完全性水準	りすくよくせいのかんぜんせいすいじゅん	integrity level	システムリスクを受入れ可能な範囲内に維持するために必要な品目がもつ性質の値の範囲(値域)を表す表示記号。緩和機能を実行する品目の場合には、その性質は、当該品目が緩和機能を実行する際に満たさなければならない信頼度とする。自己の故障が危険な兆候をもたらす可能性のある品目の場合には、その性質は、その故障の発生頻	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4212	A		品目	ひんもく	item	個別に考慮可能な部品、構成部品、サブシステム、装置、システムなどのような実体。品目は、ハードウェア、ソフトウェア又はその両者からなっていてもよい。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4213	A		緩和機能	かんわきのう	mitigating function	正しく提供されれば、引き金事象が指定された危険な兆候になるのを防止しうる機能。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4214	A		リスク	りすく	risk	想定された危険な兆候の生起確率と、その生起によって起こりうる不利な結末との関	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4215	A		リスク次元	りすくじげん	risk dimension	システムに対してリスク総合評価をする際の着眼点(例えば、安全性、経済性、セキュリ	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4216	A		安全性	あんぜんせい	safety	システムが、規定された条件のもとで、人の生命、健康、財産又はその環境を危険にさらす状態に移行しない期待度合い。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4217	A		セキュリティ、安全保護	せきゅりてぃ、あんぜんほご	security	偶然又は悪意によるアクセス、使用、変更、破壊又は漏えい(洩)から、システム品目を保護すること。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4218	A		ソフトウェアに課せられたリスク抑制の完全性水準	そふとうぇあにかせられたりすくよくせいのかんぜんせいすいじゅん	software integrity level	ソフトウェア品目がもつリスク抑制の完全性水準。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4219	A		サブシステム	さぶしすてむ	subsystem	より大きいシステムの一部を構成するシステム。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4220	A		システム	しすてむ	system	一つ以上のプロセス、ハードウェア、ソフトウェア、設備及び人を統合化して、規定のニーズ又は目的を満たす能力を提供するまとまり。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4221	A		系統的故障	けいとうてきこしょう	systematic failure	ある特定の原因に決定論的に関係する故障。系統的故障は、その原因を設計記述の修正、又は、製造プロセス、運用手順、文書、その他の関連する因子の修正によってだけ排除することができる。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4222	A		システムに課せられたリスク抑制の完全性水準	しすてむにかせられたりすくよくせいのかんぜんせいすいじゅん	system integrity level	システムがもつリスク抑制の完全性水準。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4223	A		危険な兆候	きけんなちょうこう	threat	一つ以上の想定されたリスク次元面での不利な結果をもたらす可能性のあるシステム又はシステム環境の状態。	JIS X 0134	1999	ISO/IEC 15026	1998				1998	SC7
4224	B		基本機能要素	きほんきのうようそ	Base Functional Component, BFC	利用者機能要件の基本単位。測定を目的としてFSM手法において定義され、利用される。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4225	B		BFC型	BFCがた	BFC Type	定義されたBFCの種類。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4226	B		境界	きょうかい	boundary	測定対象ソフトウェアとその利用者との間の概念的なインタフェース。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4227	B		FSM手法	FSMしゅほう	FSM Method	この規格の要求事項に適合した、規則の集合によって定義されるFSMの具体的な実現。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4228	B		機能領域	きのうりょういき	Functional Domain	FSMに適合した利用者機能要件の特性に基づいたソフトウェアの分類。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4229	B		機能規模	きのうきぼ	Functional Size	利用者機能要件を定量化して得られるソフトウェアの規模。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4230	B		機能規模測定	きのうきぼそくてい	Functional Size Measurement, FSM	機能規模を測定するプロセス。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4231	B		利用者機能要件	りようしゃきのうようけん	Functional User Requirements	利用者要件の部分集合。利用者機能要件は、利用者の要求を満足するためにソフトウェアが実現しなければならない利用者の業務及び手順を表す。品質要件及び技術要件は	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4232	B		特定用途向け改定手法	とくていようとむけかいていしゅほう	local customization	特定の用途で利用するために、変更前の手法とは異なった機能規模を生成するように改定されたFSM手法。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4233	B		品質要件	ひんしつようけん	Quality Requirements	JIS X 0129で定義されたソフトウェア品質に関連した要件のすべて。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4234	B		FSMの範囲	FSMのはんい	Scope of FSM	特定のFSMに含まれる利用者機能要件の集合。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4235	B		技術要件	ぎじゅつようけん	Technical Requirements	ソフトウェアの開発、維持管理、支援及び実行のための技術・環境に関連した要件。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4236	B		利用者	りようしゃ	user	次のいずれか又は両方。	JIS X 0135-1	1999	ISO/IEC 14143-1	1998				2007	SC7
4237	A		基本機能要素	きほんきのうようそ	Base Functional Component, BFC	利用者機能要件の基本単位。測定を目的としてFSM手法において定義され、利用される。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4238	A		BFC型	BFCがた	BFC Type	定義されたBFCの種類。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4239	A		境界	きょうかい	boundary	測定対象ソフトウェアとその利用者との間の概念的なインタフェース。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4240	A		FSM手法	FSMしゅほう	FSM Method	この規格の要求事項に適合FSMの具体的な実現で、規則の集合によって定義されるも	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4241	A		機能領域	きのうりょういき	Functional Domain	FSMに適合した利用者機能要件の特性に基づいたソフトウェアの分類。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4242	A		機能規模	きのうきぼ	Functional Size	利用者機能要件を定量化して得られるソフトウェアの規模。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4243	A		機能規模測定	きのうきぼそくてい	Functional Size Measurement, FSM	機能規模を測定するプロセス。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4244	A		利用者機能要件	りようしゃきのうようけん	Functional User Requirements	利用者要件の部分集合。利用者機能要件は、業務及びサービスの視点から、ソフトウェアが何をするかを記述する。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4245	A		特定用途向け改定手法	とくていようとむけかいていしゅほう	local customization	特定の用途で利用するために、変更前の手法とは異なった機能規模を生成するように改定されたFSM手法。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4246	A		FSMの範囲	FSMのはんい	Scope of FSM	特定のFSMに含まれる利用者機能要件の集合。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4247	A		利用者	りようしゃ	user	ソフトウェアとやり取りをする又は相互に影響し合う人、又はもの。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4248	A		利用者要件	りようしゃようけん	User Requirements	ソフトウェアに対する利用者ニーズの集合。	JIS X 0135-1	2010	ISO/IEC 14143-1	2007				2007	SC7
4249	A		FSM手法候補	FSMしゅほうこうほ	Candidate FSM Method	JIS X 0135-1に対する適合性評価のための文書化されたソフトウェア規模測定手法。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4250	A		評価チェックリスト	ひょうかちぇっくりすと	evaluation checklist	製品、プロセス又はサービスが特定の規格の一つ以上の規定内容に適合しているかを調べる質問のリスト。 備考 この規格では、適合性を評価する製品はFSM手法候補であり、規定内容は、JIS X 0135-1の規定内容である。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4251	A		評価手順	ひょうかてじゅん	evaluatiomprocedure	評価中の製品、プロセス又はサービスの特定の規格に対する適合性を決定するために、評価チームが実行しなければならない一連の作業手順。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4252	A		評価スポンサ	ひょうかすぽんさ	evaluation sponsor	資金又はその他の資源を提供し、適合性評価を依頼する人又は組織。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4253	A		必す(須)要求事項	ひっすようきゅうじこう	exclusive requirement (英文旧称: mandatory requirement)	ある規格に適合するためには必ず満たさなければならない要求事項。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4254	A		選択要求事項	せんたくようきゅうじこう	optional requirement	ある規格で選択事項とされている項目に適合するために、満たさなければならない要求事項。 備考 選択要求事項は、次のいずれかである。 a) 二つ以上の項目から一つを選択する要求事項。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4255	A		所有者	しょゆうしゃ	owner	FSM手法候補の著作権を所有する人又は組織。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4256	A		規定内容	きていないよう	provision	ある規格の記述、推奨事項又は要求事項。 備考 規定内容の種類は、そこで使われている言葉遣いで区別できる。例えば、推奨事項は、“…することが望ましい”、“…するのがよい”、“…しないほうがよい”などと表現され、要求事項は、“…しなければならない”、“…する”、“…とする”、“…による”、“…してはならない”、“…しない”などと表現される。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4257	A		推奨事項	すいしょうじこう	recommendation	助言又は手引きを示す規定内容。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4258	A		要求事項	ようきゅうじこう	requirement	満たすべき基準を示す規定内容。 備考 要求事項は、“…しなければならない”、“…してはならない”などと表現される。要求事項には、必す(須)要求事項及び適用可能な選択要求事項を含む。	JIS X 0135-2	2004	ISO/IEC 14143-2	2002				2002	SC7
4259	A		アクティビティ	あくていびてい	activity		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4260	A		アクティビティの型	あくていびていのかた	activity type		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4261	A		連鎖	れんさ	chain		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4262	A		連鎖の型	れんさのかた	chain type		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4263	A		コンピュータを利用したソフトウェアシステム(CBSS)	こんぴゅーたをりようしたそふとうぇあしすてむ	computer-based software system(CBSS)		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4264	A		エミュレートされた利用者	えみゅれーとされたりようしゃ	emulated user		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4265	A		実行時間	じっこうじかん	execution time		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4266	A		平均実行時間	へいきんじっこうじかん	mean execution time		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4267	A		平均実行時間の評価値	へいきんじっこうじかんのひょうかち	mean execution time rating value		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4268	A		平均実行時間の基準値	へいきんじっこうじかんのきじゅんち	mean execution time reference value		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4269	A		観測期間	かんそくきかん	observation period		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4270	A		準備時間	じゅんびじかん	preparation time		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4271	A		評定間隔	ひょうていかんかく	rating interval		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4272	A		相対連鎖頻度	そうたいれんさひんど	relative chain frequency		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4273	A		遠隔端末エミュレータ	えんかくたんまつえみゅれーた	remote terminal emulator(RTE)		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4274	A		安定化フェーズ	あんていかふぇーず	stabilization phase		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4275	A		補足時間	ほそくじかん	supplementary run		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4276	A		試験中のシステム	しけんちゅうのしすてむ	system under test(SUT)		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4277	A		タスク	たすく	task		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4278	A		タスク完了	たすくかんりょう	task completion		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4279	A		タスク形態	たすくけいたい	task mode		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4280	A		タスク提示	たすくていじ	task submission		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4281	A		タスクの型	たすくのかた	task type		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4282	A		処理能力	しょりのうりょく	throughput		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4283	A		処理能力の評定値	しょりのうりょくのひょうていち	throughput rating value		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4284	A		処理能力の基準値	しょりのうりょくのきじゅん	throughput reference		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4285	A		時間クラス	じかんくらす	time class		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4286	A		適時性の評定値	てきじせいのひょうていち	timeliness rating value		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4287	A		適時性関数	てきじせいかんすう	timeliness function		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4288	A		適時処理能力	てきじしょりのうりょく	timely throughput		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4289	A		利用者	りようしゃ	user		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4290	A		利用者の型	りようしゃのかた	user type		JIS X 0136	2001	ISO/IEC 14756	1999				1999	SC7
4291	A		転送ファイル	てんそうふぁいる	transfer file	交換するためのデータを含むファイル。ファイルは、一つのヘッダ及び幾つかの構成要素から作られる。構成要素は、データ又はデータ定義データを含む。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4292	A		移出プロセス	いしゅつぷろせす	export process	発信環境からの転送ファイルを生成するプロセス。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4293	A		移出者	いしゅつしゃ	exporter	移出プロセスのエージェント。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4294	A		移入プロセス	いにゅうぷろせす	import process	対象環境に転送ファイルの内容を組み込むプロセス。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4295	A		移入者	いにゅうしゃ	importer	移入プロセスのエージェント。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4296	A		可読テキストファイル符号化	かどくてきすとふぁいるふごうか	clear text file encoding	ある特定の文字種を使って人が読める表示を最初に定義し、そして更に、その文字種の符号化を定義することによって、データを表現するための符号の類。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4297	A		項数	こうすう	arity	関係の項数は、関係に関与する役割の数。2項関係は、項数2をもつ。n項関係は、項数nをもつ(n>2)。ときには関係の“次数(degree)”と呼ばれることもある。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4298	A		関連実体	かんれんじったい	associative entity	他の実体との間のある関連を表現するために使われる実体。関連実体は、ある関係が他には十分な機構を用意できない場合に使われる。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4299	A		属性	ぞくせい	attribute	実体又は関係の単一値の特性。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4300	A		属性付き関係	ぞくせいつきかんけい	attributed relationship	属性を持つ関係。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4301	A		基数	きすう	cardinality	主実体への一つの関係に関連づけられる実体インスタンス数の制約の記述。基数は、ある関係に関与する各実体ごとに、その関係した実体の一つの特定インスタンスと関連付けできる最少及び最大のそのインスタンス数を示すことによって表現される。 参考 基数は、インスタンス数の最小値(x)及び最大値(y)をコロンで区切った形式x:yで表現する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4302	A		CDIF	CDIF	CASE Data Interchange Format	CASEデータ交換形式。CDIF規格群を参照。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4303	A		CDIF可読テキスト符号化	CDIFかどくてきすとふごう	CDIF clear text encoding	CDIF転送ファイルの可読テキストファイル符号化。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4304	A		CDIF移出ツール	CDIFしゅつつーる	CDIF exporter	CDIF転送ファイルを作り出すツール。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4305	A		CDIF規格群	CDIFきかくぐん	CDIF family of standards	CDIF規格群 (JIS X 0137、ISO/IEC 15475、ISO/IEC 15476)は、連携して使用する規格の集合によって構成され、モデル化ツール間の情報交換のための一つの標準定義の規	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4306	A		CDIF図記法	CDIFずきほう	CDIF graphical notation	CDIFモデル化概念の図表現に適用する規則の集合。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4307	A		CDIF識別子	CDIFしきべつし	CDIF identifier	転送のモデル部のオブジェクトを一意に識別する属性。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4308	A		CDIF移入ツール	CDIFいにゅうつーる	CDIF importer	CDIF転送ファイルを読み、モデルの作成又は修正のためにそのファイルを使用するツー	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4309	A		CDIF意味メタモデル	CDIFいみめたもでる	CDIF semantic metamodel	モデル定義のために使用する概念及び記法の集合の記述。CDIF意味メタモデルは、システム開発に使用するモデルを構築し、定義するために使用される実体関係属性モデル	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4310	A		CDIFメタ識別子	CDIFめたしきべつし	CDIF MetaIdentifier	転送のメタモデル部のメタオブジェクトを一意に識別するメタメタ属性。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4311	A		CDIFメタメタモデル	CDIFめためたもでる	CDIF meta-metamodel	メタモデルを記述するために使用する概念及び記法の集合の記述。特に、CDIFメタメタモデルは、メタモデル及びCDIFメタメタモデル自身の双方を構成し、定義するために使用される実体関係属性モデルを定義する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4312	A		CDIF転送	CDIFてんそう	CDIF transfer	特定の構文、その構文の特定の符号化及びメタモデルの組合せ。言い換えれば、転送の形式及び内容の完全定義。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4313	A		CDIF転送ファイル	CDIFてんそうふぁいる	CDIF transfer file	ISO/IEC 15475に適合している転送ファイル。 参考 ISO/IEC 15474は、JIS X 0138としてJIS化の予定。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4314	A		CDIF転送形式	CDIFてんそうけいしき	CDIF transfer format	転送形式の完全定義を合わせて提供する。特定の構文とその構文の符号化の組合せ。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4315	A		CDIF転送構文及び符号化	CDIFてんそうこうぶんおよびふごうか	CDIF transfer syntax and encoding	CDIFが規定する標準転送形式。SYNTAX.1及びENCODING.1の組合せは、最初のCDIF転送構文及び符号化を構成する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4316	A		特性実体	とくせいじったい	characteristic entity	一方のめたオブジェクトに対する付加属性を提供するメタ実体。特性実体は、属性的実体(attributive entity)又は依存実体(dependent entity)とも呼ばれる。特性メタ実体の各インスタンスは、論理的には一つの他のメタ実体の一つのインスタンスとしか関係を持たない。したがって、移入者は、特性メタ実体のメタ属性と所有しているメタオブジェクトのメタ属性とを取り込むことができる。ここで、“所有している(owing)”メタオブジェクトとは、特性メタ実体が基数1:1で関係付けられているメタオブジェクトを指す。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4317	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	文字集合は、終端記号を表現するために符号化で使用する文字の集まり。使用される文字集合は、CDIF転送におけるテキストメタ属性及び文字列メタ属性の符号化で重要であ	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4318	A		制約	せいやく	constraint	制約は、一般的には属性の値の制限、又は値若しくは一つ以上の他オブジェクトの存在に基づく任意のオブジェクトの存在に関する制限。CDIFでは制約は、計算可能(すなわち、制約を実現するために組み入れられたコード)、又は計算不能(例えば、自然言語で表現された制約)に分類してもよい。計算不能制約の一例"DFMProcessの二つのインスタンスは、メタ属性Nameと同一の値を持ってはいけない"。計算可能テキスト制約の一例"ForAny (DFMProcess、c) Unique(c.Name)"。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4319	A		データモデル	でーたもでる	data model	データに関するモデル。それによってデータの解釈が得られる。モデル化ツール業界では、データモデルは、計算機によって操作され符号化することができる。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4320	A		符号化	ふごうか	encoding	符号化は、ある識別された符号集合を用い、どのように構文の要素が表現されるかの定義。構文文法中の様々な終端記号及びデータ型の詳細な表現が提供されている。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4321	A		ENCODING.1	えんこーでぃんぐわん	ENCODING.1	ENCODING.1は、CDIF規格群で定義された最初の符号化の規定。CDIF規格群は、各々構文及び符号化で構成する複数転送形式を支援する。 参考 添字".1"が示すように、CDIF規格を構成する幾つかの符号化規定のうちの最初に定義した符号化規定である。この規格策定時点では、ENCODING.1だけが規定されてい	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4322	A		実体	じったい	entity	モデル(すなわち、転送)中に現れるオブジェクト(すなわち、物、事象または概念)。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4323	A		情報内容	じょうほうないよう	information content	情報内容は、CDIF転送中に見出されるメタモデル及びモデルインスタンスの集合。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4324	A		インスタンス	いんすたんす	instance	型の個々の出現(例 図MyDiagramは、Diagram型のインスタンス)。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4325	A		意味メタモデル	いみめたもでる	semantic metamodel	CDIF意味メタモデル参照。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4326	A		中核実体	ちゅうかくじったい	kernel entity	他のメタ実体の出現なしにインスタンスが存在できるメタ実体。例えば、名前、完全記述及び簡略記述をもつ、Attributeと呼ぶメタ実態のインスタンスは、それが記述するDataObjectの知識なしに意味をもつ。 AttributeとDataObjectは、メタ実体の名称。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4327	A		メタ	めた	meta-	CDIFでは通例、メタは、概念についての定義情報を意味するための、概念を示す接頭辞。すなわち、三つのモデル層の中の、あるオブジェクトの位置を指示するために使われ	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4328	A		メタ属性	めたぞくせい	meta-attribute	メタ実体又はメタ関係の特性の定義。メタ属性のインスタンスは、モデル中ではデータの値として出現する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4329	A		メタ実体	めたじったい	meta-entity	CDIFモデル中に出現するデータオブジェクトの型の定義。特に、メタ実体は、あるモデル中にインスタンスをもつ物、事象又は概念を表現するためにまとめられる、0個以上のメタ属性の集合を表現する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4330	A		メタ層	めたそう	meta-layers	モデル層参照。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4331	A		メタメタ属性	めためたぞくせい	meta-meta-attribute	メタメタ実体又はメタメタ関係の特性の定義。メタメタ属性のインスタンスは、メタデータの値としてメタモデル中に出現する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4332	A		メタメタ実体	めためたじったい	meta-meta-entity	メタ実体、メタ関係、メタ属性又は対象分野の振舞い及び構造の定義(すなわち、モデル中の情報を記述するために使われるメタオブジェクト定義の定義)。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4333	A		メタメタモデル	めためたもでる	meta-metamodel	CDIFメタメタモデル参照。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4334	A		メタメタ関係	めためたかんけい	meta-meta-relationship	CDIFメタモデル中に出現するデータオブジェクトの型の定義。すなわち、メタメタ関係はメタメタ実体のインスタンス間の関係の定義を表現する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4335	A		メタモデル	めたもでる	metamodel	メタモデルは、それらのインスタンスがCDIF転送のモデル部に現れる、メタ実体、メタ関係、及びメタ属性の詳細定義を包含。(CDIF規格群を含む規格集合に定義される)CDIF意味メタモデルは、CDIF転送において、CDIF拡張機構を使わずに転送できる、すべての情報の型の定義である。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4336	A		メタオブジェクト	めたおぶじぇくと	meta-object	メタオブジェクトは、メタ実体、メタ関係、及びメタ属性の総称的用語。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4337	A		メタ関係	めたかんけい	meta-relationship	CDIFモデル中に出現するデータオブジェクトの型の定義。すなわち、メタ関係は、モデル中にインスタンスを持つメタ実体同士の関係の定義を表す。メタ関係は、メタ実体間の関係の特性を表現するためにまとめられる、0個以上のメタ属性の集合を定義することがで	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4338	A		モデル	もでる	model	情報システム又はソフトウェア製品といった、情報システムの部品を表現(記述又は規定)する、関連するメタオブジェクトのインスタンスの集まり。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4339	A		モデル層	もでるそう	model layer	CDIF規格群を規定するために使用する定義(又は抽象概念)の集合。CDIFには四つのモデル層、利用者データ、モデル、メタモデル、メタメタモデルがある。任意の与えられたモデル層は、その層の一層下に出現できるすべてのインスタンスの、正確、かつ、完全な定義を提供する。例えば、メタメタモデルは、メタモデルを構成し理解するために使用される定義の集合を提供する。メタモデルは、モデルを構成し理解するために使用される定	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4340	A		モデル化ツール	もでるかつーる	modelling tool	モデル化(すなわち、ソフトウェア製品又は情報システムの表現)の支援を提供するツー	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4341	A		n項関係	nこうかんけい	n-ary relationship	項数が、2より大きい(n>2)関係。三つ以上の関与する実体を持つ関係。 備考 単一の実体は、単一の関係に複数関与してもよい。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4342	A		非終端記号	ひしゅうたんきごう	non-terminal symbol	階層中で更に分解される構文の階層的定義の要素。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4343	A		関係	かんけい	relationship	一つ以上の実体にまたがる実世界の関連。関連が実体とそれ自身の間である場合、その関係は、再帰的であるという。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4344	A		役割	やくわり	role	関係への実体の関与の仕方。各役割は、基数の最小値及び最大値をもち、属性をもってもよい。役割のもつ方向性は、役割名をどう読むかを示す。 参考 役割は、実体と関係を結びつけるものである。例えば、実体"人"と実体"会社"との間の関係"勤務する"において、"人"の役割は"社員"と、また、"会社"の役割は"勤務先"と名付けることができる。この意味は、"社員"が"勤務先"に"勤務する"のであって、"勤務先"が"社員"に"勤務する"のではない。つまり、この関係において"社員"は関係元、"勤務先"は関係先という方向性をもつ。このように、役割のもつ方向性は、実体と実体との関係において役割名をどう読むかを示している。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4345	A		対象分野	たいしょうぶんや	subject area	関連するメタオブジェクトインスタンス定義の集まり。対象分野は、意図した意図した関心分野を定義するために使用される。対象分野は、メタモデル全体に渡る統合を保証するために部分的に重なるが、ツールは移入/移出のためのデータに関連した対象分野だけ	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4346	A		構文	こうぶん	syntax	構文は、CDIF転送中の情報形式の定義。定義は文法の形をとる。終端のレベルにいたるまでの順序、反復に関して指定するが、文法中のどの終端オブジェクトの表現をも規定しない。これらの決定はその構文のその符号化の中に定義される。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4347	A		SYNTAX.1	しんたっくすわん	SYNTAX.1	SYNTAX.1は、CDIF規格群内に定義された最初の構文。CDIF規格群は、構文及び符号化で各々構成された複数転送形式を支援する。 参考 添字".1"が示すように、CDIF規格を構成する幾つかの構文のうちの最初に定義した構文である。この規格策定時点では、SYNTAX.1だけが規定されている。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4348	A		終端記号	しゅうたんきごう	terminal symbol	階層中でそれ以上分解できない、構文の階層的定義の要素。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4349	A		ツール	つーる	tool	JIS X 0160:1996に定義するソフトウェア及びシステムライフサイクルプロセスに対する支援を提供するソフトウェア製品。CDIF規格群では、"ツール(tool)"が使用される場合、"ツール"は、通常、モデル化ツールを参照する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4350	A		転送	てんそう	transfer	CDIF転送参照。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4351	A		転送形式	てんそうけいしき	transfer format	CDIF転送形式参照。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4352	A		仮想参照	かそうさんしょう	virtual reference	仮想参照は、メタモデル中の特定のメタ実体ではなく、概念を指す参照。斜線の入った箱で表現される。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4353	A		作業メタモデル	さぎょうめたもでる	working metamodel	作業メタモデルは、CDIF転送のモデル部としてインスタンス化される特定のメタオブジェクトの定義。作業メタモデルは、転送のメタモデル部に参照される、対象分野によって使用されるCDIF意味メタモデル中の、メタオブジェクト及びメタモデル部の拡張として定義されたメタオブジェクトを構成する。	JIS X 0137-1	2003	ISO/IEC 15474-1	2002				2002	SC7
4354	A		項数	こうすう	arity	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4355	A		関連実体	かんれんじったい	associative entity	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4356	A		属性付き関係	ぞくせいつきかんけい	attributed relationship	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4357	A		基数	きすう	cardinality	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4358	A		CDIF	CDIF	CASE Data Interchange Format	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4359	A		CDIF規格群	CDIFきかくぐん	CDIF family of standards	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4360	A		CDIF図記法	CDIFずきほう	CDIF graphical notation	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4361	A		CDIF意味メタモデル	CDIFいみめたもでる	CDIF semantic metamodel	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4362	A		CDIFメタメタモデル	CDIFめためたもでる	CDIF meta-meta model	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4363	A		CDIF転送ファイル	CDIFてんそうふぁいる	CDIF transfer file	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4364	A		特性実体	とくせいじったい	characteristic entity	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4365	A		制約	せいやく	constraint	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4366	A		符号化	ふごうか	encoding	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4367	A		実体	じったい	entity	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4368	A		インスタンス	いんすたんす	instance	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4369	A		中核実体	ちゅうかくじったい	kernel entity	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4370	A		メタ属性	めたぞくせい	meta-attribute	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4371	A		メタ実体	めたじったい	meta-entity	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4372	A		メタメタ属性	めためたぞくせい	meta-meta-attribute	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4373	A		メタメタ実体	めためたじったい	meta-meta-entity	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4374	A		メタメタモデル	めためたもでる	meta-metamodel	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4375	A		メタメタ関係	めためたかんけい	meta-meta-relationship	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4376	A		メタモデル	めたもでる	metamodel	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4377	A		メタオブジェクト	めたおぶじぇくと	meta-object	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4378	A		メタ関係	めたかんけい	meta-relationship	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4379	A		モデル	もでる	model	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4380	A		モデル層	もでるそう	model layer	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4381	A		n項関係	nこうかんけい	n-ary relationship	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4382	A		関係	かんけい	relationship	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4383	A		役割	やくわり	role	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4384	A		意味メタモデル	いみめたもでる	semantic metamodel	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4385	A		対象分野	たいしょうぶんや	subject area	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4386	A		構文	こうぶん	syntax	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4387	A		作業メタモデル	さぎょうめたもでる	working metamodel	JIS X 0137-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4388	A		転送ファイル	てんそうふぁいる	transfer file	ISO/IEC FCD 13236-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4389	A		移出者	いしゅつしゃ	exporter	ISO/IEC FCD 13236-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4390	A		移入者	いにゅうしゃ	importer	ISO/IEC FCD 13236-1で定義されている。	JIS X 0137-2	2003	ISO/IEC 15474-2	2002				2002	SC7
4391	A		CDIF	CDIF	CASE Data Interchange Format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4392	A		CDIF規格群	CDIFきかくぐん	CDIF family of standards	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4393	A		CDIF図記法	CDIFずきほう	CDIF graphical notation	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4394	A		CDIF識別子	CDIFしきべつし	CDIF identifier	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4395	A		CDIF意味メタモデル	CDIFいみめたもでる	CDIF semantic metamodel	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4396	A		CDIFメタメタモデル	CDIFめためたもでる	CDIF meta-meta model	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4397	A		CDIF転送	CDIFてんそう	CDIF transfer	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4398	A		CDIF転送ファイル	CDIFてんそうふぁいる	CDIF transfer file	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4399	A		CDIF転送形式	CDIFてんそうけいしき	CDIF transfer format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4400	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4401	A		符号化	ふごうか	encoding	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4402	A		ENCODING.1	えんこーでぃんぐわん	ENCODING.1	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4403	A		インスタンス	いんすたんす	instance	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4404	A		メタ属性	めたぞくせい	meta-attribute	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4405	A		メタモデル	めたもでる	meta model	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4406	A		メタオブジェクト	めたおぶじぇくと	meta-object	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4407	A		メタ関係	めたかんけい	meta-relationship	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4408	A		モデル	もでる	model	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4409	A		非終端記号	ひしゅうたんきごう	non-terminal symbol	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4410	A		生成規則	せいせいきそく	production rule	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4411	A		対象分野	たいしょうぶんや	subject area	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4412	A		構文	こうぶん	syntax	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4413	A		SYNTAX.1	しんたっくすわん	SYNTAX.1	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4414	A		終端記号	しゅうたんきごう	terminal symbol	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4415	A		転送	てんそう	transfer	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4416	A		転送形式	てんそうけいしき	transfer format	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-1	2004	ISO/IEC 15475-1	2002				2002	SC7
4417	A		CDIF	CDIF	CASE Data Interchange Format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4418	A		CDIF規格群	CDIFきかくぐん	CDIF family of standards	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4419	A		CDIF図記法	CDIFずきほう	CDIF graphical notation	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4420	A		CDIF意味メタモデル	CDIFいみめたもでる	CDIF semantic metamodel	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4421	A		CDIFメタメタモデル	CDIFめためたもでる	CDIF meta-meta model	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4422	A		CDIF転送	CDIFてんそう	CDIF transfer	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4423	A		CDIF転送ファイル	CDIFてんそうふぁいる	CDIF transfer file	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4424	A		CDIF転送形式	CDIFてんそうけいしき	CDIF transfer format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4425	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4426	A		符号化	ふごうか	encoding	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4427	A		ENCODING.1	えんこーでぃんぐわん	ENCODING.1	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4428	A		インスタンス	いんすたんす	instance	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4429	A		メタ属性	めたぞくせい	meta-attribute	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4430	A		メタ実体	めたじったい	meta-entity	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4431	A		メタモデル	めたもでる	meta model	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4432	A		メタオブジェクト	めたおぶじぇくと	meta-object	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4433	A		メタ関係	めたかんけい	meta-relationship	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4434	A		モデル	もでる	model	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4435	A		非終端記号	ひしゅうたんきごう	non-terminal symbol	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4436	A		生成規則	せいせいきそく	production rule	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4437	A		対象分野	たいしょうぶんや	subject area	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4438	A		構文	こうぶん	syntax	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4439	A		SYNTAX.1	しんたっくすわん	SYNTAX.1	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4440	A		終端記号	しゅうたんきごう	terminal symbol	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4441	A		転送	てんそう	transfer	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4442	A		転送形式	てんそうけいしき	transfer format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4443	A		メタモデル部	めたもでるぶ	meta model section	(JIS X 0138-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4444	A		転送ヘッダ	てんそうへっだ	transfer header	(JIS X 0138-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4445	A		転送ファイル	てんそうふぁいる	transfer file	(ISO/IEC 132384からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4446	A		移出プロセス	いしゅつぷろせす	export process	(ISO/IEC 132384からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4447	A		移出者	いしゅつしゃ	exporter	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4448	A		移入プロセス	いにゅうぷろせす	import process	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4449	A		移入者	いにゅうしゃ	importer	(ISO/IEC 13238-1からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4450	A		可読テキストファイル符号化	かどくてきすとふぁいるふごうか	clear text file encoding	(ISO/IEC 132384からの定義)	JIS X 0138-2	2004	ISO/IEC 15475-2	2002				2002	SC7
4451	A		CDIF	CDIF	CASE Data Interchange Format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4452	A		CDIF規格群	CDIFきかくぐん	CDIF family of standards	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4453	A		CDIF図記法	CDIFずきほう	CDIF graphical notation	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4454	A		CDIF意味メタモデル	CDIFいみめたもでる	CDIF semantic metamodel	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4455	A		CDIFメタメタモデル	CDIFめためたもでる	CDIF meta-meta model	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4456	A		CDIF転送	CDIFてんそう	CDIF transfer	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4457	A		CDIF転送ファイル	CDIFてんそうふぁいる	CDIF transfer file	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4458	A		CDIF転送形式	CDIFてんそうけいしき	CDIF transfer format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4459	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4460	A		符号化	ふごうか	encoding	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4461	A		ENCODING.1	えんこーでぃんぐわん	ENCODING.1	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4462	A		メタ属性	めたぞくせい	meta-attribute	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4463	A		メタ実体	めたじったい	meta-entity	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4464	A		メタモデル	めたもでる	meta model	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4465	A		メタオブジェクト	めたおぶじぇくと	meta-object	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4466	A		メタ関係	めたかんけい	meta-relationship	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4467	A		モデル	もでる	model	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4468	A		非終端記号	ひしゅうたんきごう	non-terminal symbol	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4469	A		生成規則	せいせいきそく	production rule	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4470	A		対象分野	たいしょうぶんや	subject area	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4471	A		構文	こうぶん	syntax	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4472	A		SYNTAX.1	しんたっくすわん	SYNTAX.1	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4473	A		終端記号	しゅうたんきごう	terminal symbol	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4474	A		転送	てんそう	transfer	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4475	A		転送形式	てんそうけいしき	transfer format	(JIS X 0137-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4476	A		メタモデル部	めたもでるぶ	meta model section	(JIS X 0138-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4477	A		転送ヘッダ	てんそうへっだ	transfer header	(JIS X 0138-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4478	A		転送ファイル	てんそうふぁいる	transfer file	(ISO/IEC FCD 13238-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4479	A		移出プロセス	いしゅつぷろせす	export process	(ISO/IEC FCD 13238-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4480	A		移出者	いしゅつしゃ	exporter	(ISO/IEC FCD 13238-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4481	A		移入プロセス	いにゅうぷろせす	import process	(ISO/IEC FCD 13238-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4482	A		移入者	いにゅうしゃ	importer	(ISO/IEC FCD 13238-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4483	A		可読テキストファイル符号化	かどくてきすとふぁいるふごうか	clear text file encoding	(ISO/IEC FCD 13238-1からの定義)	JIS X 0138-3	2004	ISO/IEC 15475-3	2002				2002	SC7
4484	A		取得者	しゅとくしゃ	acquirer	供給者から、システム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを取得又は調達する個人又は組織。 備考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4485	A		属性	ぞくせい	attribute	人手又は自動的な手段によって、定量的又は定性的に識別できる実体の特性又は特徴。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4486	A		基本測定量	きほんそくていりょう	base measure	単一の属性とそれを定量化するための方法とで定義した測定量。 備考1. 基本測定量は、他の測定量と機能的に独立した測定量である。 2. ISO Intemational Vocabulary of Basic and General Terminology、1993における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4487	A		データ	でーた	data	基本測定量、導出測定量及び/又は指標に割り当てられた値の集合。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4488	A		データ提供者	でーたていきょうしゃ	data provider	データの発信源となる個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4489	A		データ蓄積	でーたちくせき	data store	検索を可能にするために系統立てられ、堅固に保持されるデータ及び情報の集合。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4490	A		判断基準	はんだんきじゅん	decision criteria	アクション若しくは追加調査の必要性を決めるため又は与えられた結果の信頼度のレベルを記述するために使う、しきい(閾)値、目標又はパターン。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4491	A		導出測定量	どうしゅつそくていりょう	derived measure	複数の基本測定量の値の関数として定義した測定量。 備考 ISO Intemational Vocabulary of Basic and General Terms in Metrology; 1993における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4492	A		実体	じったい	entity	その属性を測定することによって特徴付けすべき対象。例 対象としては、プロセス、製品、プロジェクト又は資源がある。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4493	A		指標	しひょう	indicator	定義された情報ニーズに関するモデルから導出した特定の属性の見積り又は評価を示す測定量。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4494	A		指標値	しひょうち	indicator value	指標に割り当てられた数値又は分類結果。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4495	A		情報ニーズ	じょうほうにーず	information need	目的、目標、リスク及び問題点を管理するために必要となる見解。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4496	A		情報成果物	じょうほうせいかぶつ	information product	ある情報ニーズに着目した一つ以上の指標及びそれに関連する解釈。例 欠陥率の実績を予測と比較して、その違いが問題となるかどうかを評価したもの。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4497	A		測定量(名詞)	そくていりょう	measure (noun)	測定の結果として値が割り当てられる変数。備考 "測定量"という用語は、基本測定量、導出測定量及び指標をまとめて参照するために使う。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4498	A		測定する(動詞)	そくていする	measure (verb)	測定を行う行為。 参考 JIS X 0133:1999における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4499	A		測定可能な概念	そくていかのうながいねん	measurable concept	実体の属性と情報ニーズとの間の抽象的な関係。参考 附属書A図A.1に示す。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4500	A		測定	そくてい	measurement	測定量の値を決定するという目的をもった操作の集合。 備考 ISO Intemational Vocabulary of Basic and General Terms in Metrology; 1993における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4501	A		測定分析者	そくていぶんせきしゃ	measurement analyst	測定における計画作成、遂行、評価及び改善に対する責任をもった個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4502	A		測定経験データベース	そくていけいけんでーたべーす	measurement experience base	情報成果物及び測定プロセスの評価、並びに測定プロセスを通して学んだ教訓を含んだデータ蓄積。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4503	A		測定の関数	そくていのかんすう	measurement function	複数の基本測定量を結合するために遂行するアルゴリズム又は計算。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4504	A		測定データ管理者	そくていでーたかんりしゃ	measurement librarian	測定データを蓄積したものを管理する責任をもった個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4505	A		測定方法	そくていほうほう	measurement method	特定の尺度に関して属性を定量化するために使う一連の操作の論理的な順序を一般的に記述したもの。 備考1. 測定方法の類型は、属性を定量化するために使う操作の性質による。これには、次の二つの類型がある。 主観的一人間の判断を含んだ定量化 客観的一数値的な規則に基づいた定量化 2. ISO Intemational Vocabulary of Basic and General Terms in Metrology; 1993における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4506	A		測定手続	そくていてつづき	measurement procedure	与えられた方法に従って、、ある特定の測定を遂行する際に使う具体的に記述した操作の集合。 参考 ISO Intemational Vbcabulary of Basic and General Terms in Metrology; 1993における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4507	A		測定プロセス	そくていぷろせす	measurement process	プロジェクト全体又は組織における測定の仕組みの中でソフトウェアの測定を確立、計画、遂行及び評価するためのプロセス。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4508	A		測定プロセスの責任者	そくていぷろせすのせきにんしゃ	measurement process owner	測定プロセスに責任をもつ個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4509	A		測定スポンサ	そくていすぽんさ	measurement sponsor	測定プロセスの確立を承認及び支援する個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4510	A		測定利用者	そくていりようしゃ	measurement user	情報成果物を利用する個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4511	A		モデル	もでる	model	一つ以上の基本測定量及び/又は導出測定量をそれに関連する判断基準と結合するアルゴリズム又は計算。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4512	A		観測	かんそく	observation	基本測定量に対する値を得るために測定手続を適用する実現例。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4513	A		運用者	うんようしゃ	operator	システムを運用する個人又は組織。 備考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4514	A		組織単位	そしきたんい	organizational unit	測定の対象となる組織の部分。 備考 組織単位は、整合のとれたビジネス目標群に対して実施する幾つかのプロセスをもつ。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4515	A		プロセス	ぷろせす	process	入力を出力に変換する相互に関連する活動群。 参考1. X0021-9:1999における定義に基づく。 2. JIS X 0l60:1996では、"互いに関連をもった"アクティビティ"の集合で、入力を出力に変換するもの"と定義している。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4516	A		尺度	しゃくど	scale	連続的若しくは離散的な値の順序集合又は分類の集合で、それに属性を対応付けるもの。 備考1. 尺度の類型は、尺度上の値同士の関係による。一般には次の4種類の尺度を定義する。 - 名義尺度測定値を分類するためのも以例えば、欠陥を類型によって分類したときに各分類項目に順序があることを意味しない。 - 順序尺度測定値を離散的な階級に分けるためのも仇例えば、欠陥に重大度レベルを割り当てるのは、階級に分けることである。 - 間隔尺度測定値は属性の等しい量に対応して等しい距離をもつ。例えば、サイクロマティックの複雑さは、最小値1をもち、それが一つ増えることは1本のパスが増えることを表す。ゼロという値をもつことはできない。 参考 ソースコードの制御の流れの複雑さを表す測定量 - 比尺度測定値は、属性の等しい量に対応して等しい距離をもち、ゼロという値は、その属性に対応するものが存在しないことを表す。例えば、プログラム行数で表したソフトウェア部品の規模について考えると、ゼロという値はプログラムがないことを表し各増分値がそれと等しい量のプログラム行数を表すので、プログラム行数で表したソフトウェア部品の規模は、比尺度である。 2. これらは、尺度の類型の例でしかない。Roberts[12]は、より多くの尺度の類型を定	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4517	A		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product	計算機プログラム、手続並びにその関連する文書及びデータを含めたまとまり。 備考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4518	A		ソフトウェアサービス	そふとうぇあさーびす	software service	開発、運用及び保守のような、ソフトウェア製品に付随した活動、作業又は職務の遂行。 参考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4519	A		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stake holder	測定のスポンサ、データの提供者、測定結果の利用者又はこれ以外の測定プロセスに参加している個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4520	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	取得者と合意して、その合意条項に基づいてシステム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを提供する組織。 備考1. “供給者”という言葉は、“請負業者”、“生産者”、“販売者”又は“製造業者”という言葉と同義語である。 2. 取得者は、自分の組織の一部を供給者と呼んでもよい。 3. JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4521	A		システム	しすてむ	system	一つ以上のプロセス、ハードウェア、ソフトウェア、設備及び人を統合化して、規定のニーズ又は目的を満たす能力を提供するまとまり。 参考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4522	A		測定の単位	そくていのたんい	unit of measurment	取決め又は慣習に従って定義し採用した特別の量で、同じ種類の他の量をそれと比較することによって、その量の相対的な大きさを表現するためのもの。 参考 ISO Intemational Vocabulary of Basic and General Terms in Metrology、 1993における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4523	A		利用者	りようしゃ	user	ある機能を果たすシステムを利用する個人又は組織。 備考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4524	A		値	あたい	value	基本測定量、導出測定量又は指標に割り当てられた数値又は分類結果。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4525	A		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product	計算機プログラム、手続並びにその関連する文書及びデータを含めたまとまり。 備考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4526	A		ソフトウェアサービス	そふとうぇあさーびす	software service	開発、運用及び保守のような、ソフトウェア製品に付随した活動、作業又は職務の遂行。 参考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4527	A		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stake holder	測定のスポンサ、データの提供者、測定結果の利用者又はこれ以外の測定プロセスに参加している個人又は組織。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4528	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	取得者と合意して、その合意条項に基づいてシステム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを提供する組織。 備考1. “供給者”という言葉は、“請負業者”、“生産者”、“販売者”又は“製造業者”という言葉と同義語である。 2. 取得者は、自分の組織の一部を供給者と呼んでもよい。 3. JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4529	A		システム	しすてむ	system	一つ以上のプロセス、ハードウェア、ソフトウェア、設備及び人を統合化して、規定のニーズ又は目的を満たす能力を提供するまとまり。 参考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4530	A		測定の単位	そくていのたんい	unit of measurement	取決め又は慣習に従って定義し採用した特別の量で、同じ種類の他の量をそれと比較することによって、その量の相対的な大きさを表現するためのもの。 参考 ISO htemational Vbcabulary of Basic and General Terms in Metrology; 1993における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4531	A		利用者	りようしゃ	user	ある機能を果たすシステムを利用する個人又は組織。 備考 JIS X 0160:1996における定義に基づく。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4532	A		値	あたい	value	基本測定量、導出測定量又は指標に割り当てられた数値又は分類結果。	JIS X 0141	2004	ISO/IEC 15939	2002				2007	SC7
4533	A		基本機能要素、BFC	きほんきのうようそ、BFC	Base Functional Component, BFC	利用者機能要件の基本単位。測定を目的としてFSM手法において定義され、利用される。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003	IDT			2003	SC7
4534	A		基本機能要素型、BFC型	きほんきのうようそがた、びーえふしーがた	Base Functional Component type, BFC	定義されたBFCの種類。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4535	A		境界	きょうかい	boundary	測定対象ソフトウェアとその利用者との間の概念的なインタフェース。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4536	A		データ属性	でーたぞくせい	data attribute	ソフトウェアの利用者機能要件として識別されたデータグループ内での情報の最小項	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4537	A		データグループ	でーたぐるーぷ	data group	個別で、空でなく、順序がなく、冗長でないデータ属性の集合。そこに含まれる個々のデータ属性は、同一の注目オブジェクト型の補完的側面を記述している。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4538	A		データ移動(型)	でーたいどう(かた)	data movement (-type)	一つのデータグループに属する一つ以上のデータ属性を移動する基本機能要素。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4539	A		エントリ(型)	えんとり(かた)	entry (-type)	データグループを、利用者から境界を越えて、それを必要とする機能プロセスへ移動するデータ移動型。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4540	A		エグジット(型)	えぐじっと(かた)	exit (-type)	データグループを、機能プロセスから境界を越えて、それを必要とする利用者に移動するデータ移動型。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4541	A		機能プロセス	きのうぷろせす	functional process	利用者機能要件の基本的要素であり、一意で、互いに密接に関連し、独立して実行可能なデータ移動の集合。機能プロセスは、一つ以上のトリガ事象によって起動される。トリガ事象型に対応して実行されなければならないすべてが完了したときに、機能プロセス	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4542	A		機能規模測定、FSM	きのうきぼそくてい、(えふえすえむ)	Functional Size Measurement (FSM)	機能規模を測定するプロセス。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4543	A		機能規模測定手法	きのうきぼそくていしゅほう	functional size measurement method	JIS X 0135-1の要求事項に適合した、規則の集合によって定義されるFMSの具体的な実現。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4544	A		利用者機能要件、FUR	りようしゃきのうようけん、えふゆーあーる	Functional User Requirements (FUR)	利用者要件の部分集合。利用者機能要件は、利用者の要求を満足するためのソフトウェアが実現しなければならない利用者の業務及び手順を表す。品質要件及び技術要件を	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4545	A		層	そう	layer	ソフトウェアを機能分割した状態。同一の層に含まれるすべての機能プロセスは、同一の抽象レベルで実行される。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4546	A		測定手法	そくていしゅほう	measurement method	測定を遂行する際に使う一連の操作の論理的な順序を一般的に記述したもの。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4547	A		測定手順	そくていてじゅん	measurement procedure	与えられた方法に従ってある特定の測定を遂行する際に使う具体的に記述した操作の	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4548	A		測定プロセス	そくていぷろせす	measurement process	プロジェクト全体又は組織における測定の仕組みの中でソフトウェアの測定を確立、計画、遂行及び評価するためのプロセス。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4549	A		注目オブジェクト(型)	ちゅうもくおぶじぇくと(かた)	object of interest (-type)	利用者機能要件として識別されたオブジェクト。利用者の世界にある、物理的なオブジェクト、又は概念的なオブジェクトの全体若しくは部分。利用者は、ソフトウェアに、注目オブジェクトに関するデータの処理及び/又は保存を要求する。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4550	A		実行環境(ソフトウェア)	じっこうかんきょう(そふとうぇあ)	operating environment (software)	指定されたコンピュータシステム上で並行して実行するソフトウェアの集合。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4551	A		持続的記憶域	じぞくてききおくいき	persistent storage	機能プロセスが自分の寿命を超えてデータを格納することができる記憶域、及び/又は他の機能プロセス若しくは同一プロセスの以前の実行によって格納したデータを読み取ることができる記憶域。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4552	A		基本量	きほんりょう	quantity (base)	ある量体系の中で、通常互いに機能的に独立であると認められている諸量のうちの一	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4553	A		読込み(型)	よみこみ(かた)	read (-type)	データグループを、持続的記憶域からそれを必要とする機能プロセスの内に移動するデータ移動型。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4554	A		トリガ事象	とりがじしょう	triggering event	被測定ソフトウェアの境界の外側で発生し、一つ以上の機能プロセスを起動する事象。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4555	A		測定単位	そくていたんい	unit of measurement	取決め又は慣習に従って定義し採用した特別の量で、同じ種類の他の量をそれと比較することによって、その量の相対的な大きさを表現するためのもの。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4556	A		利用者	りようしゃ	users	次のいずれか又は両方。 － 利用者機能要件を規定する人 － ソフトウェアとやり取りをする又は相互に影響し合う人又はもの	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4557	A		量の値	りょうのあたい	value (of a quantity)	一般に、単位に数を乗じて表される特定の量の大きさ。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4558	A		書込み(型)	かきこみ(かた)	write (-type)	機能プロセス内にあるデータグループを持続的記憶域に移動するデータ移動型。	JIS X 0143	2006	ISO/IEC 19761	2003				2003	SC7
4559	A		取得者	しゅとくしゃ	acquirer	供給者から、製品又はサービスを取得又は調達する利害関係者(JIS X 0170参照)。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004	IDT			2004	SC7
4560	A		診断した能力	しんだんしたのうりょく	assessed capability	JIS X 0145規格群の規定に従って実施する一つ以上の適切なプロセスアセスメントの出	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4561	A		アセスメント制約条件	あせすめんとせいやくじょうけん	assessment constraints	アセスメント結果の使い方及びアセスメントの実施方法に関するアセスメントチームの選択の自由に対する制約事項。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4562	A		アセスメント指標	あせすめんとしひょう	assessment indicator	プロセス属性の評定時にアセッサの判断を支援するものとして使用する客観的証拠の出	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4563	A		アセスメント入力	あせすめんとにゅうりょく	assessment input	プロセスアセスメントの実施に先立って必要な情報。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4564	A		アセスメントの道具	あせすめんとのどうぐ	assessment instrument	プロセスの実行又は能力を診断するとき、アセスメントデータを取り扱いつとき、及びアセスメント結果を記録するときに、アセッサを支援するものとしてアセスメントの全期間を通して使用するツール又は一組のツール。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4565	A		アセスメント出力	あせすめんとしゅつりょく	assessment output	アセスメントで作成するすべての文書化された結果。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4566	A		アセスメント参加者	あせすめんとさんかしゃ	assessment participant	アセスメントの対象範囲内で何らかの責任をもつ個人。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4567	A		アセスメントプロセス	あせすめんとぷろせす	assessment process	組織の標準プロセスが事業目標の達成に貢献する度合い、及び継続的なプロセス改善のニーズに組織が焦点を当てることを標準プロセスが手助けする度合いの決定。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4568	A		アセスメント目的	あせすめんともくてき	assessment purpose	アセスメント入力の一部として提供される記述。アセスメントを実施する理由を定義してい	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4569	A		アセスメント記録	あせすめんときろく	assessment record	アセスメントに関する整理され文書化された情報の集まり。アセスメントによって作成されるプロセスプロファイルの理解及び検証のために補足説明をするもの。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4570	A		アセスメント範囲	あせすめんとはんい	assessment scope	アセスメントを行う境界の定義。アセスメント入力の一部として提供されるもので、アセスメントの組織上の範囲、対象として含めるプロセス及びそれらのプロセスを運用している背景を含んでいる。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4571	A		アセスメント依頼者	あせすめんといらいしゃ	assessment sponsor	診断対象組織単位の内部又は外部の個人又は団体。アセスメントの実施を要求し、そのために財政面の資源又はその他の資源を提供する者。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4572	A		アセスメントチーム	あせすめんとちーむ	assessment team	共同してプロセスアセスメントを行う一人以上の人の集まり。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4573	A		アセッサ	あせっさ	assessor	プロセス属性の評定に参加する個人。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4574	A		属性指標	ぞくせいしひょう	attribute indicator	特定のプロセス属性の達成度合いの判断を支援するアセスメント指標。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4575	A		基本プラクティス	きほんぷらくていす	base practice	首尾一貫して実施する場合、特定のプロセス目的の達成に貢献する活動。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4576	A		能力軸	のうりょくじく	capability dimension	プロセスアセスメントモデルの要素のうちで、プロセス能力の測定に明示的に関係する要素の集合。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4577	A		能力指標	のうりょくしひょう	capability indicator	プロセス能力の判断を支援するアセスメント指標。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4578	A		連絡アセッサ	れんらくあせっさ	competent assessor	アセスメントを実施し、プロセスアセスメントの適合性を監視し、検証するための能力をもつアセッサ。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4579	A		定義されたプロセス	ていぎされたぷろせす	defined process	組織の修整指針に従って、組織の標準プロセスによって管理され(すなわち、計画され、監視され、調整され)、修整されたプロセス。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4580	A		共通プラクティス	きょうつうぷらくていす	generic practice	首尾一貫して実施する場合、特定のプロセス属性の達成に貢献する活動。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4581	A		指標	しひょう	indicator	(JIS X 0145-1の3.4参照)	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4582	A		客観的証拠	きゃっかんてきしょうこ	objective evidence	あるものの存在又は真実を裏付けるデータ。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4583	A		組織単位	そしきたんい	organizational unit	組織内の診断対象部分。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4584	A		実行指標	じっこうしひょう	performance indicator	実行指標。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4585	A		プラクティス	ぷらくていす	practice	プロセス目的若しくはプロセス成果に寄与する活動、又はプロセスの能力を強化する活	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4586	A		プロセス	ぷろせす	process	インプットをアウトプットに変換する、相互に関連する又は相互に作用する一連の活動(JIS Q 9000)	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4587	A		プロセスアセスメント	ぷろせすあせすめんと	process assessment	プロセスアセスメントモデルを用いた、プロセス能力を診断する目的に適したモデル。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4588	A		プロセスアセスメントモデ	ぷろせすあせすめんとも	Process Assessment	一つ以上のプロセス参照モデルに基づく、プロセス能力を診断する目的に適したモデ	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4589	A		プロセス属性	ぷろせすぞくせい	process attribute	いかなるプロセスにも適用可能な、プロセス能力の測定可能な特性。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4590	A		プロセス属性評定	ぷろせすぞくせいひょうてい	process attribute rating	診断対象プロセスに対する、プロセス属性の達成度合いの判断。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4591	A		プロセス能力	ぷろせすのうりょく	process capability	現在の事業目標又は計画している事業目標を満たすためのプロセスに関する能力の特殊付け。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4592	A		プロセス能力判定	ぷろせすのうりょくはんてい	process capability determination	特定の規則要求事項を満たすために展開しているプロセスに関連した強み、弱み及びリスクを識別する目的で遂行されるもので、組織内の選択されたプロセスについてある目標能力に照らした体系的なアセスメント及び分析。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4593	A		プロセス能力判定依頼者	ぷろせすのうりょくはんていいらいしゃ	process capability determination sponsor	診断対象組織単位の内部又は外部の個人または団体。プロセス能力判定の実施を要求し、そのために財政面の資源又はその資源を提供する者。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4594	A		プロセス能力水準	ぷろせすのうりょくすいじゅん	process capability level	プロセスの能力を表現する6段階からなる順序尺度上の点。各水準は、下位の能力水準を基準としている。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4595	A		プロセス能力水準評定	ぷろせすのうりょくすいじゅんひょうてい	process capability level rating	診断対象プロセスのプロセス属性評定から導かれるプロセス能力水準の表現。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4596	A		プロセスの背景	ぷろせすのはいけい	process context	プロセス属性評定の判断、理解及び比較可能性に影響を与える因子の集合。アセスメント入力として文書化する。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4597	A		プロセス軸	ぷろせすじく	process dimension	プロセスアセスメントモデルの要素のうちで、適切なプロセス参照モデルで定義されたプロセス群に明示的に関係する要素の集合。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4598	A		プロセス改善	ぷろせすかいぜん	process improvement	組織のプロセスを変えるために行われる行動。組織の事業目的を、より効果的に、及び/又は、より効率的に満たすような行動。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4599	A		プロセス改善施策	ぷろせすかいぜんしさく	process improvement program	特定された改善目標の達成に関連する、すべての戦略、指針、目標、責任及び活動。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4600	A		プロセス改善プロジェクト	ぷろせすかいぜんぷろじぇくと	process improvement project	プロセス改善施策の部分集合。特定の改善を達成するための首尾一貫した活動の集合を形成するもの。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4601	A		プロセス改善依頼者	ぷろせすかいぜんいらいしゃ	process improvement sponsor	診断対象組織単位の内部又は外部の個人又は団体。プロセス改善の実施を要求し、そのために財政面の資源又は他の資源を提供する者。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4602	A		プロセス成果	ぷろせすせいか	process outcome	プロセスの目に見える結果。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4603	A		プロセス実行	ぷろせすじっこう	process performance	プロセスが遂行されたことによっても目的が達成された程度。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4604	A		プロセスプロファイル	ぷろせすぷろふぁいる	process profile	診断対象プロセスのプロセス属性評定の集合。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4605	A		プロセス目的	ぷろせすもくてき	process purpose	プロセス実行の測定可能な高位の目標、及びプロセスの有効な実行によって見込まれる	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4606	A		プロセス参照モデル	ぷろせすさんしょうもでる	Process Reference Model	プロセス間の関連を記述する体系とともに、プロセス目的及びプロセス成果という言葉で記述されたライフサイクル中のプロセス定義からなるモデル。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4607	A		準アセッサ	じゅんあせっさ	provisional assessor	適格アセッサの指導者及び監督の下でアセスメントを実施するスキル(技術)及び能力をもった人。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4608	A		標準プロセス	ひょうじゅんぷろせす	standard process	組織におけるすべてのプロセスの手引となる、基本的なプロセスの定義の集合。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4609	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	製品又はサービスの供給について、調達先と契約を取り決める組織又は個人(JIS X	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4610	A		修整指針	しゅうせいししん	tailoring guideline	特定のニーズを適切に満たすために、組織が標準プロセスのプロセス記述を調整できるようにする指示。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4611	A		修整したプロセス	しゅうせいしたぷろせす	tailored process	標準プロセス定義を修整して作成された、定義されたプロセス。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4612	A		目標能力	もくひょうのうりょく	target capability	プロセス能力判定依頼者が測定するプロセス能力。規定要求事項を成功裏に実行させるために受容可能なプロセスリンクを示している。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4613	A		作業生産物	さぎょうせいさんぶつ	work product	プロセスの実行に関する作成物。	JIS X 0145-1	2008	ISO/IEC 15504-1	2004				2004	SC7
4614	A		流通ソフトウェア	りゅうつうそふとうぇあ	consumer software package	特定の機能を果たすように設計され、販売されるソフトウェア製品。流通ソフトウェアにおいては、ソフトウェアとその関連文書とが一つの単位として包装されて販売される。-利用者機能要件を規定する人 -ソフトウェアとやり取りをする又は相互に影響しあう人又	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4615	A		購入者	こうにゅうしゃ	consumer	パッケージを購入する組織又は個人。	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4616	A		最終利用者	さいしゅうりようしゃ	end user	パッケージを使う個人。	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4617	A		製造業者	せいぞうぎょうしゃ	manufacturer	パッケージを開発する組織。	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4618	A		発売元	はつばいもと	marketing organization	パッケージのマーケティングを担当する組織。	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4619	A		販売者	はんばいしゃ	supplier	パッケージを購入者に販売する組織。	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4620	A		ソフトウェア支援	そふとうぇあしえん	software support	ソフトウェア及びその関連文書が所定の機能を維持するように保守すること。(備)ソフトウェア支援は、製造業者、発売元、販売者などから購入者に提供される。契約上、特別の合意のある場合には、購入者によるソフトウェアの保守や拡張が認められることもあ	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4621	A		環境	かんきょう	environment	そのソフトウェアが作動するハードウェア及びソフトウェアの構成をいう。(例えば、ソフトウェアの設計に際して、対象とした計算機、オペレーティングシステム、その他のソフトウェア及び周辺装置の種類。)	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4622	A		ヘルプ	へるぷ		任意のキーを押すことによって、そのプログラムの使用方法などを画面に表示する機	JIS X 0151	1989	ISO 9127	1988				1988	SC7
4623	A		機能	きのう	function	利用者又はプログラムが対象作業のすべて又は一部を遂行するためのアルゴリズムをプログラム中に定義したもの。	JIS X 0152	1995	ISO/IEC 12119	1994				1994	SC7
4624	A		要求文書、要求記述文書	ようきゅうぶんしょ、ようきゅうきじゅつぶんしょ	requirement document	ソフトウェアパッケージが満たすべき推奨、要求又は規制の任意の組合わせを含む文書。	JIS X 0152	1995	ISO/IEC 12119	1994				1994	SC7
4625	A		製品記述書	せいひんきじゅつしょ	product description	潜在的購入者が購入の前に彼ら自身への製品の適切さの評価を助けることを主目的としたソフトウエアパッケージの特徴を記述した文書。	JIS X 0152	1995	ISO/IEC 12119	1994				1994	SC7
4626	A		利用者用文書	りようしゃようぶんしょ	user documentation	製品の適用のため提供され、かつ、製品の構成要素となる、印刷物又は非印刷物の形で利用できるひとそろいの文書。	JIS X 0152	1995	ISO/IEC 12119	1994				1994	SC7
4627	A		パッケージ文書	ぱっけーじぶんしょ	package documentation	製品記述書及び利用者用文書。	JIS X 0152	1995	ISO/IEC 12119	1994				1994	SC7
4628	A		試験項目	しけんこうもく	test case	機能又は機能の組合わせをどのように試験しなければならないのか、又はすべきかを明示した、試験者に対する文書化された指針。試験項目は次の課題についての詳細情報を含む。—試験目的—試験される機能—試験環境及びその他の条件(構成の詳細及び準備作業)—試験データ—手順—システムに期待される挙動	JIS X 0152	1995	ISO/IEC 12119	1994				1994	SC7
4629	A		保守	ほしゅ	maintenance	ソフトウェアパッケージの改訂に関するシステム保守の一部分(付属書AのA.5.2参照)。	JIS X 0152	1995	ISO/IEC 12119	1994				1994	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4630	A		取得者	しゅとくしゃ	acquirer	供給者から、システム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを取得又は調達する組織。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4631	A		取得	しゅとく	acquisition	システム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを得るための一連の作業。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4632	A		合意	ごうい	agreement	業務上の関係を実行するための条件の定義。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4633	A		監査	かんさ	audit	ソフトウェア製品及びその作成プロセスが要求事項を満足しているかどうかを、権限を与えられた者が独立した立場で評価すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4634	A		基準線	きじゅんせん	baseline	構成品目がそのライフサイクル上の決められた時期に媒体に関係なく、正式に指定し確定された構成品目の正式版として認定されたもの。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4635	A		構成品目	こうせいひんもく	configuration item	決められた時点で実利用者が使用する機能を実現し、かつ、全体構成の中で一意に識別できる“もの”をいう	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4636	A		契約	けいやく	contract	ソフトウェアサービスの提供に関する、又はソフトウェア製品の提供、開発、製造、運用若しくは保守に関する、法的強制力のある二者間の合意。又は、一つの組織の中で行われる同様の内部合意。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4637	A		開発者	かいはつしゃ	developer	ソフトウェアライフサイクルプロセスを通して、開発作業(要求分析、設計及び受入れテストを含む。)を遂行する組織。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4638	A		評価	ひょうか	evaluation	対象とする“もの”が、決められた基準に達していることを系統的に決定すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4639	A		ファームウェア	ふぁーむうぇあ	firmware	ハードウェア及びハードウェア上に読取り専用ソフトウェアとして組み込まれた計算機命令又はデータとの組合せ。このソフトウェアは、プログラム制御の下では変更することは	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4640	A		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model	ソフトウェア製品の開発、運用及び保守に伴う“プロセス”、“アクティビティ”及び“タスク”の枠組み。この枠組みは、システムの要求事項の定義から、その利用終了までのシステムの生涯に及ぶ。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4641	A		保守者	ほしゅしゃ	maintainer	保守作業を実施する組織。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4642	A		監視	かんし	monitoring	取得者又は第三者が、供給者の作業の状況及びその結果を監視すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4643	A		非納入品目	ひのうにゅうひんもく	non-deliverable item	ソフトウェア製品の開発で必要となるハードウェア製品又はソフトウェア製品であるが、契約上は納入する必要がないもの。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4644	A		既製品	きせいひん	off-the-shelf product	既に開発が終わり、そのままで又は少し手を加えて使用できる状態にある製品。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4645	A		運用者	うんようしゃ	operator	システムを運用する組織。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4646	A		プロセス	ぷろせす	process	互いに関連をもった“アクティビティ”の集合で、入力を出力に変換するもの。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4647	A		適格性確認	てきかくせいかくにん	qualification	対象とする“もの”が規定要求事項を満たす能力があるかどうかを実証すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4648	A		適格性確認要求事項	てきかくせいかくにんようきゅうじこう	qualification requirement	ソフトウェア製品が仕様に適合し、かつ、実環境で利用可能であることの確認に用いられる基準又は条件。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4649	A		適格性確認テスト	てきかくせいかくにんてすと	qualification testing	ソフトウェア製品が仕様に適合し、かつ、実環境で利用可能であることを確認するテスト。このテストは開発者が行い、適宜所得者が確認する。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4650	A		品質保証	ひんしつほしょう	quality assurance	ある"もの"が品質要求事項を満たすことについての十分な信頼を与えるために、品質システムの中で実施され、必要に応じて実証される、すべての計画的かつ体系的な活動。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4651	A		リリース	りりーす	release	ある目的(例えば、テストリリース)のために用意された構成品目の特定の版。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4652	A		提案依頼書(見積依頼書)	ていあんいらいしょ(みつもりいらいしょ)	request for proposal (tender)	指定されたシステム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを取得するために、取得者が入札者に対しその意図を伝えるために用いる文書。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4653	A		廃棄	はいき	retirement	新システムに一部若しくは全体を置換えするか、又は改定したシステムを導入することで、運用又は保守組織が実施中の支援を中止すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4654	A		セキュリティ	せきゅりてぃ	security	権限を与えられていない者又はシステムが読み込んだり変更できないように情報及びデータを保護すること。権限を与えられている者又はシステムがアクセスを拒否されないように情報及びデータを保護すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4655	A		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product	計算機プログラム、手続き並びにその関連する文書及びデータを含めたまとまり。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4656	A		ソフトウェアサービス	そふとうぇあさーびす	software service	開発、運用及び保守のようなソフトウェア製品に付随した活動、作業又は職務の遂行。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4657	A		ソフトウェアユニット	そふとうぇあゆにっと	software unit	分割してコンパイル可能なコードのひとまとまり。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4658	A		作業記述書	さぎょうきじゅつしょ	statement of work	取得者が契約下で実施する作業を明確に記述するために使用する文書。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4659	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	取得者と契約を交わし、その条項に基づいてシステム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを提供する組織。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4660	A		システム	しすてむ	system	一つ以上のプロセス、ハードウェア、ソフトウェア、設備及び人を統合化して、規定のニーズ又は目的を満たす能力を提供するまとまり。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4661	A		テスト網羅性	てすともうらせい	test coverage	システム又はソフトウェア製品に対する要求事項について、テストケースを使用してテストできる範囲。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4662	A		テスト計画性	てすとけいかくせい	testability	要求が満たされているかどうか判定するために、客観的かつ実行可能なテストが計画できる程度。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4663	A		利用者	りようしゃ	user	ある機能を果たす運用システムを利用する個人又は組織。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4664	A		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation	所定の使用方法に対応した特定の要求事項が満たされていることを、客観的根拠の調査及び提出によって確認すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4665	A		検証	けんしょう	verification	規定要求事項が満たされていることを、客観的根拠の調査及び提出によって確認すること。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4666	A		版	はん	version	ある品目の(時間によって)識別された段階。	JIS X 0160	1996	ISO/IEC 12207	1995		2007/3	Amd.1:02, Amd2:04	2008	SC7
4667	A		適応保守	てきおうほしゅ	adaptive maintenance	引渡し後、変化した又は変化している環境において、ソフトウェア製品を使用できるように保ち続けるために実施するソフトウェア製品の修正。 備考 適応保守派、必す(須)運用ソフトウェア製品の運用環境変化に順応するために必要な改良を提供する。これらの変更は、環境の変化に歩調を合わせて実施する必要がある。例えば、オペレーティングシステムの更新が必要になったとき、新オペレーティングシステムに適応するためには幾つかの変更が必要かもしれない。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4668	A		基準線	きじゅんせん	baseline	ライフサイクル上の決められた時期に、媒体に関係なく、正式に指定し確定され、正式版として承認された(configuration item)それぞれの版のこと(JIS X 0160参照)。 備考 ときに、新しい基準線は、新しいリリースと呼ばれる。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4669	A		是正保守	ぜせいほしゅ	corrective maintenance	ソフトウェア製品の引渡し後に発見された問題を訂正するために行う受身の修正(reactive modification)。 備考 この修正によって、要求事項を満たすようにソフトウェア製品を修復する。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4670	A		保守性計画	ほしゅせいけいかく	Maintainability Plan	ソフトウェアに関する特定の保守性について、その実践、資源及び活動の順序を記述した文書。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4671	A		改良保守	かいりょうほしゅ	Maintenance enhancement	訂正ではないソフトウェアの変更。 備考 改良保守には適応保守及び完全化保守の二つのタイプがある。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4672	A		保守計画	ほしゅけいかく	Maintenance Plan	ソフトウェア製品に関する特定の保守の実践、資源及び活動の順序を記述した文書。 備考 保守者が諸種計画を作成する。この計画は、製品の状態が保守フェーズに移った時点から開始したほうがよい。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4673	A		保守プロセス	ほしゅぷろせす	Maintenance Process	保守者が行うアクティビティ及びタスク。 備考 保守プロセスは、問題又は適応のための改善のニーズによって、ソフトウェア製品がコード及び関連文書の修正を受けるとき開始される。その目的は、完全性を維持しつつ、既存のソフトウェア製品を修正することである。このプロセスはソフトウェア製品の移	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4674	A		保守実行プログラム	ほしゅじっこうぷろぐらむ	Maintenance programme	保守計画を実施するために利用される、組織的な構造、責任、手続き、プロセス及び資源。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4675	A		修正依頼	しゅうせいいらい	MR:Modification Request	保守対象となるソフトウェア製品への変更提案を識別するために使われる総称用語。 備考 MR(修正依頼)は、後で訂正と改良とに分類できる。さらに是正、予防、適応又は完全化の保守のタイプに分けられる。MR(修正依頼)は、変更依頼(change request)という	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4676	A		完全化保守	かんぜんかほしゅ	perfective maintenance	引渡し後のソフトウェア製品の性能又は保守性を改善するための修正。 備考 完全化保守は、利用者のための改良(改善)、プログラム文書の改善を提供し、ソフトウェアの性能強化、保守性などのソフトウェア属性の改善に向けての記録を提供す	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4677	A		予防保守	よぼうほしゅ	preventive maintnance	引渡し後のソフトウェア製品の潜在的な障害が顕在化する前に発見し、是正を行うため	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4678	A		問題報告	もんだいほうこく	PR:Problem Report	ソフトウェア製品に発見された問題を識別し、記述するために使用。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4679	A		ソフトウェアエンジニアリング環境	そふとうぇあえんじにありんぐかんきょう	SEE, Software Engineering Environment	ソフトウェア工学的な活動に必要な自動化ツール、ファームウェアよう装置及びハードウェアの集合。 備考 自動化ツールには、コンパイラ、アセンブラ、リンカ、ローダ、オペレーティングシステム、デバッガ、シミュレータ、テストツール、文書化ツール及びデータベース管理システムを含んでよいが、これらに限定されるものではない。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4680	A		ソフトウェアテスト環境	そふとうぇあてすとかんきょう	STE : Software Test Environment	ソフトウェアの適格性確認及び、場合によって葉、他のソフトウェアテストを行うのに必要な設備、ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、手続き及び文書。 備考 この構成要素には、シミュレータ、コードアナライザ、テストケースジェネレータ及びパスアナライザを含んでよいが、これらに限定されるものではなく、かつ、ソフトウェアエンジニアリング環境で使われる要素を含んでもよい(MIL-HDBK-347)。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4681	A		ソフトウェアの引継ぎ	そふとうぇあのひきつぎ	Software transition	最初に開発を行った組織から、保守を行う組織にソフトウェア開発を受け渡すための、制御され、調整された一連の活動。	JIS X 0161	2002	ISO/IEC 14764	1999				2006	SC7
4682	A		結果	けっか	consequence	事象から生じるもの。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006	IDT			2006	SC7
4683	A		事象	じしょう	event	ある一連の状況の発生。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4684	A		発生確率	はっせいかくりつ	probability	事象が起こりそうな程度。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4685	A		プロジェクトリスク台帳	ぷろじぇくとりすくだいちょう	project risk profile	プロジェクトの現状及び履歴的なリスク関連の情報。プロジェクトにおける個々のリスク要因のすべてを要約又は集約したもの。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4686	A		リスク	りすく	risk	事象の発生確率と事象の結果との組合せ。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4687	A		リスクの受容	りすくのじゅよう	risk acceptance	リスクを受容する意思決定。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4688	A		リスク活動要求	りすくかつどうようきゅう	risk action request	リスクしきい値を超えると判断された一つ以上のリスクに対する、推奨される対応案及びその根拠。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4689	A		リスクカテゴリ	りすくかてごり	risk category	リスクの等級又は型(例えば、技術的、法的、組織的、安全性、経済的、工学的、費用的、日程的)。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4690	A		リスク基準	りすくきじゅん	risk criteria	リスクの重大さを評価するために与えられた判断基準に適応される尺度。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4691	A		リスク脅威量	りすくきょういりょう	risk exposure	個人、プロジェクト又は組織に現れるリスクによる潜在的損失。リスクが生じるだろうという発生確率とリスク発生の結果の大きさとの関係。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4692	A		リスク管理計画	りすくかんりけいかく	risk management plan	リスク管理プロセスの要素及び資源が、組織又はプロジェクトの中にどのように実行されるかという記述。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4693	A		リスク管理プロセス	りすくかんりぷろせす	risk management process	製品又はサービスのライフサイクル全体にわたるリスクを系統的に識別し、分析し、対応し、監視する連続的なプロセス。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4694	A		リスク管理システム	りすくかんりしすてむ	risk management system	リスクを管理運営することに関係する、組織の管理システムの一連の要素。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4695	A		リスク台帳	りすくだいちょう	risk profile	リスクの現状及び履歴的なリスク情報の時系列的記録。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4696	A		リスク状態	りすくじょうたい	risk state	現在のプロジェクトのリスク情報。リスク情報は、個々のリスクに関連している。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4697	A		リスクしきい値	りすくしきいち	risk threshold	ステークホルダーの行動の引き金となる条件。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4698	A		リスク対応	りすくたいおう	risk treatment	リスクを変更するための方策を、選択及び実施するプロセス。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4699	A		リスク因子	りすくいんし	source	結果をもたらす可能性が潜在する物事又は行動。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7
4700	A		ステークホルダー	すてーくほるだー	stakeholder	リスクに影響を与え、リスクの影響を受け、又は影響を受けると認識する個人、グループ又は組織。	JIS X 0162	2008	ISO/IEC 16085	2006				2006	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4701	A		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model	ソフトウェア製品の開発、運用及び保守に伴う"プロセス"、"アクティビティ"及び"タスク"の枠組み。この枠組みは、システムの要求事項の定義から、その利用終了までのシステムの生涯に及ぶ(JIS X 0160:2007参照)。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4702	A		CASEツール	CASEつーる	CASE tool	JIS X 160:1996に定義するソフトウェアライフサイクルアクティビティのために、自動化支援を提供することによってソフトウェア技術者を支援することができるソフトウェア製品(ISO/IEC 14102:1995参照)。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4703	A		組織	そしき	organization	責任、権限及び相互関係が取り決められている人々及び施設の集まり(JIS Q 9000:2006参照)。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4704	A		ソフトウェア技術環境、SEE	そふとうぇあぎじゅつかんきょう、SEE	Software Engineering Environment, SEE	ソフトウェアシステム及び関連領域(例えば、プロジェクト管理、プロセス管理など)の技術に対して自動化サービスを提供するもの。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4705	A		SEEサービス	SEEさーびす	SEE Service	SEEのためのライフサイクルアクティビティを支援する一つ以上のサービス操作で構成されるもの。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4706	A		アクタ	あくた	actor	SEEサービスを提供及び/又は利用する組織又はCASEツール。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4707	A		操作	そうさ	operation	アクティビティを実行するために必要な行為。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4708	A		SEEサービス取得者	SEEさーびすしゅとくしゃ	SEE Service acquirer	SEEサービスを利用するアクタ。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4709	A		SEEサービス供給者	SEEさーびすきょうきゅう	SEE Service supplier	SEEサービスを提供するアクタ。	JIS X 0163	2009	ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4710	C		自動化又は支援化ソフトウェアプロセス	じどうかまたはしえんかそふとうぇあぷろせす	automated or assisted software process				ISO/IEC 15940	2006				2006	SC7
4711	A		取得者	しゅとくしゃ	acquirer	供給者から、製品又はサービスを取得又は調達する利害関係者。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4712	A		アクティビティ	あくていびてい	activity	時間と資源とを消費し、その実績が一つ以上の成果の実現を達成するか又は現実に寄与する必要のある行動の集合。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4713	A		合意	ごうい	agreement	業務上の関係を実行するための諸条件の相互認証。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4714	A		基準線	きじゅんせん	baseline	公式にレビューされ、合意された仕様又は製品で、それ以後は以降の開発の基礎として使用され、公式の変更管理手順が使用された場合だけ変更可能としたもの。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4715	A		エネーブリングシステム	えねーぶりんぐしすてむ	enabling system	ライフサイクル段階の期間中は対象システムを保管するが、運用の期間中はその機能に直接的に寄与するとは限らないシステム。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4716	A		エンタプライズ	えんたぷらいず	enterprise	合意に従って、製品及び/又はサービスを取得及び供給する責任をもった組織の中の部	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4717	A		設備	せつび	facility	活動の実施を容易にする物理的手段及び装置。例として、建物、器具及び道具。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4718	A		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model	ライフサイクルに関係するプロセス及びアクティビティの枠組みで、コミュニケーション及び理解のための共通に参照できる役割をもつもの。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4719	A		運用者	うんようしゃ	operator	システムの機能性に貢献し、機能を発揮させるための知識、スキル(技術)及び手順を利用する個人又は組織。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4720	A		組織	そしき	organization	責任、権限及び相互関係が取り決められている人々及び設備の集まり(JIS Q	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4721	A		プロセス	ぷろせす	process	インプットをアウトプットに変換する、相互に関連する又は相互に作用する一連の活動(JIS Q 9000:2000)。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4722	A		プロジェクト	ぷろじぇくと	project	定められた資源及び要求に従って、製品又はサービスを作り出すために実施される、定義された開始日及び終了日があると取組み。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4723	A		資源	しげん	resource	プロセスの実行中に利用されるか、消費される資産。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4724	A		段階	だんかい	stage	システム記述またはシステム自身の状態に関係するシステムのライフサイクル中の一つの期間。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4725	A		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stakeholder	システムに、権利、持ち分又は請求権をもっている関係者。又は、関係者のニーズ及び期待に合う特性をシステムが有することに、利権、持ち分又は請求権をもっている関係	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4726	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	製品又はサービスの提供に関して取得者と合意を結ぶ組織又は個人。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4727	A		システム	しすてむ	system	一つ以上の明記された目的を達成するために編成された相互に影響する要素を組み合わせたもの。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4728	A		システム要素	しすてむようそ	system element	システムを構成する要素の集合の一員。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4729	A		対象システム	たいしょうしすてむ	system-of-interset	この規格で規定するライフサイクルが考慮されているシステム。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4730	A		システムライフサイクル	しすてむらいふさいくる	system life cycle	対象システムの構想から廃棄までの時間に伴う進化。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4731	A		トレードオフ	とれーどおふ	trade-off	利害関係者にとっての実質利益を基本に、様々な要求及び代替解決策から選定するという意思決定行為。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4732	A		利用者	りようしゃ	user	システムを利用する間、システムからの恩恵を受ける個人又はグループ。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4733	A		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation	客観的証拠を提示することによって、特定の意図された用途又は適用に関する要求事項が満たされていることを確認すること(JIS Q 9000:2000)。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4734	A		検証	けんしょう	verification	客観的証拠を提示することによって、規定四級事項が満たされていることを確認すること(JIS Q 9000:2000)。	JIS X 0170	2004	ISO/IEC 15288	2002				2008	SC7
4735	A		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence	符号拡張手順において制御のために使用する一つ以上のビット組合せ。先頭のビット組合せは、制御文字ESCAPE(エスケープ)を表現する。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4736	A		現在位置	げんざいいち	active position	次にくる図形文字を表現する図形記号を表示するための文字位置又は次に実行される制御機能の基点となる文字位置。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4737	A		終端バイト	しゅうたんばいと	Final Byte	エスケープシーケンス又は制御シーケンスを終わらせるビット組合せ。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4738	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送及び解釈に影響を及ぼす作用で、一つ以上のビット組合せで表現するもの。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4739	A		制御シーケンス	せいぎょしーけんす	control sequence	制御機能CONTROL SEQUENCE INTRODUCER (CRI、制御シーケンス開始)から始まる一つ以上のビット組合せであって、制御機能の符号化表現のために使う。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4740	A		制御文字	せいぎょもじ	control character	一つのビット組合せだけで表現する制御機能。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4741	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能以外で、通常、手書き・印字・表示の可視的表現をもち、一つ以上のビット組合せからなる符号化表現をもつ文字。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4742	A		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol	図形文字又は制御機能の視覚的表現。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4743	A		装置	そうち	device	CCデータ要素の符号化情報を送信若しくは受信又は送受信できる情報処理機械の一部	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4744	A		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination	文字表示に用いる1バイトの順序付けられたビットの集合。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4745	A		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension	与えられた符号化文字集合に含まれていない文字の符号化のために用いる手法。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4746	A		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code	文字集合を定め、かつ、その集合内の文字とビット組合せとを1対1に関係付ける、あいまいでない規則の集合。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4747	A		符号化文字データ要素、CCデータ要素	ふごうかもじでーたようそ、CCでーたようそ	coded-character-data-element (CC-data-	符号化文字集合に関する一つ以上の企画に適合し、かつ、文字の符号化表現の列によって構成される、情報交換の構成単位。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4748	A		符号表	ふごうひょう	code table	符号化文字集合の中の各ビット組合せに割り当てた文字を示す表。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4749	A		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる構成単位の集合の要素。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4750	A		文字位置	もじいち	character position	図形記号を表示しているか、又は表示できる表示面上の部分。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4751	A		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの。	JIS X 0201	1997	ISO/IEC 646	1991				1991	SC2
4752	A		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination	文字表示に用いる順序付けられたビットの集合。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4753	A		バイト	ばいと	byte	一つの単位として操作するビット列。各ビットは、0又は1の値をもつ。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4754	A		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる構成単位の集合の要素。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4755	A		符号化文字データ要素、CCデータ要素	ふごうかもじでーたようそ、CCでーたようそ	coded-character-data-element (CC-data-	符号化文字集合に関する一つ以上の企画に適合し、かつ、文字の符号化表現の列によって構成される、情報交換の構成単位。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4756	A		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code	文字集合を定め、かつ、その集合内の文字とビット組合せとを1対1に関係付ける、あいまいでない規則の集合。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4757	A		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension	与えられた符号化文字集合に含まれていない文字の符号化のために用いる手法。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4758	A		符号表	ふごうひょう	code table	符号化文字集合の中の各ビット組合せに割り当てた文字を示す表。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4759	A		結合文字	けつごうもじ	combining character	符号化文字集合の識別された部分集合の構成単位であって、先行する非結合文字(以下、基底文字という。)と組み合わせることを意図したもの、又は基底文字の後に結合文字の列が続いた形のものと組み合わせることを意図したもの。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4760	A		制御文字	せいぎょもじ	control character	一つのビット組合せだけで表現する制御機能。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4761	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送及び解釈に影響を及ぼす作用で、一つ以上のビット組合せで表現するもの。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4762	A		指示する	しじする	to designate	文字集合を、即座に又は更に他の制御機能が出現してから、所定の方法で表現できるように指定する。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4763	A		装置	そうち	device	CCデータ要素の符号化情報を送信若しくは受信又は送受信できる情報処理機械の一部	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4764	A		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence	符号拡張手順において制御のために使用する一つ以上のビット組合せ。先頭のビット組合せは、制御文字ESCAPE(エスケープ)を表現する。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4765	A		終端バイト	しゅうたんばいと	Final Byte	エスケープシーケンス又は制御シーケンスを終わらせるビット組合せ。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4766	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能以外で、通常、手書き・印字・表示の可視的表現をもち、一つ以上のビット組合せからなる符号化表現をもつ文字。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4767	A		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol	図形文字又は制御機能の視覚的表現。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4768	A		中間バイト	ちゅうかんばいと	Intermediate Byte	エスケープシーケンスの中で、制御文字ESCAPE(ESC、エスケープ)と終端バイトとの間に現れてもよいビット組合せ。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4769	A		呼び出す	よびだす	to invoke	所定のビット組合せが出現するだけで、指示された文字集合が表現できる状態にする。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4770	A		レパートリ	れぱーとり	repertoire	符号化文字集合の一つ以上のビット組合せによって表現される、規定された文字の集合	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4771	A		表現する	ひょうげんする	to represent	次のいずれかの意味を表す。 a) ある文字集合を指示し呼び出してあるとき、所定のビット組合せをその文字集合内の文字の意味に使用する。 b) エスケープシーケンスを追加の制御機能の意味に使用する。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4772	A		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの。	JIS X 0202	1998	ISO/IEC 2022	1994				1994	SC2
4773	B		ビット	びっと		二つの値またはニつの状態のうちいずれか一方をとって情報を表現するもので、2進法表示における数字の0または1に対応する。	JIS X 0203					廃1994/6			
4774	B		情報トラック	じょうほうとらっく		紙テープに情報を記録するためにあけられる孔の長手方向の線状の部分(#図有り)。	JIS X 0203					廃1994/6			
4775	B		繰り出し孔トラック	くりだしこうとらっく		紙テープを送るために紙テープの長手方向にあけられる一連の孔の線状の部分(#図有	JIS X 0203					廃1994/6			
4776	B		8単位紙テープ	8たんいかみてーぷ		八つの情報トラックと一つの繰り出し孔トラックを有する紙テープで、繰り出し孔トラックの両側にそれぞれ三つと五つの情報トラックを配置したもの。	JIS X 0203					廃1994/6			
4777	B		奇偶検査	きぐうけんさ		0と1の組合せからなる1群の情報に余分のビットを付加して、その全体に含まれている1の数を奇数(又は偶数)にそろえることによって誤りを検出すること。	JIS X 0203					廃1994/6			
4778	B		奇偶検査ビット	きぐうけんさびっと		奇偶検査のために付加されるビット(#図有り)。	JIS X 0203					廃1994/6			
4779	A		ビット	びっと		二つの値またはニつの状態のうちいずれか一方をとって情報を表現するもので、2進法表示における数字の0または1に対応する。	JIS X 0204	1969							
4780	A		情報ブロック	じょうほうぶろっく		機械的に1単位として扱かえる連続した情報の集まり。	JIS X 0204	1969							
4781	A		トラック	とらっく		磁気テープの表面に一連の情報をたくわえ、1個のヘッドで読出しまたは書込みができる線状の部分。	JIS X 0204	1969							
4782	A		奇偶検査	きぐうけんさ		0と1の組合せからなる一群の情報に余分のビットを付加して、その全体に含まれている1の数が奇数(又は偶数)にそろっているか否かによって誤りを検出すること。	JIS X 0204	1969							
4783	A		奇偶検査ビット	きぐうけんさびっと		奇偶検査のために付加するビット。	JIS X 0204	1969							
4784	B		12段せん孔カード	12だんせんこうかーど		1けたに12段のせん孔位置を有する紙カード。	JIS X 0205					廃1994/6			
4785	B		けた	けた		12段せん孔カードにおいて紙カードの短辺に平行に並ぶ1列のせん孔位置(#図有り)。	JIS X 0205					廃1994/6			
4786	B		段	だん		12段せん孔カードにおいて紙カードの長辺に平行に並ぶ1列のせん孔位置(#図有り)。	JIS X 0205					廃1994/6			
4787	B		ビットパターン	びっとぱたーん		複数個の2値情報の任意の組合せ。たとえば"01011100"	JIS X 0205					廃1994/6			
4788	B		せん孔パターン	せんこうぱたーん		複数個のせん孔(孔あり、孔なし)の任意の組合せ。たとえば"0-8-2"(0、8、2段に孔あ	JIS X 0205					廃1994/6			
4789	B		ビット番号	びっとばんごう		符号を構成しているビット組合せの各ビットを識別するために、各ビットに対応して連続して付与した番号。なお、ビット番号は、bとサヒックスの数字で表す。(例)JIS X 0201(情報交換用符号)の8単位符号の図形キャラクタ"A"のビット組合せとビット番号の対応は、次のとおりである(#図有り)。	JIS X 0206	1977				廃2008/9			
4790	B		数値パラメタ	すうちぱらめた	numeric parameter	制御文字の機能を規定するパラメタのうち、数値で指定するもの。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4791	B		選択パラメタ	せんたくぱらめた	selective parameter	制御文字の機能を規定するパラメタのうち、規定事項を項目で選択指定するもの。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4792	B		モード	もーど	mode	データの送受信、処理又は表示に関して選択的に指定する方式条件。このモードを指定することにより、制御状態を規定する。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4793	B		フィールド	ふぃーるど	field	行始端、行終端、組始端、組終端又はタブストップで範囲を指定された印字面又は表示面上の区域。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4794	B		領域	りょういき	area	領域制御のための特殊制御文字によって範囲を指定されている図形文字列の区域。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4795	B		保護領域	ほごりょういき	protected area	人手操作でデータの入力をすることを禁止されている領域。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4796	B		非保護領域	ひほごりょういき	unprotected area	人手操作でデータの入力をすることを許可されている領域。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4797	B		動作位置	どうさいち	active position	次に処理しようとしている文字位置。処理した後は、動作位置は、通常1文字分進む。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4798	B		行始端	ぎょうしたん	home position of line	行の最初の文字が始まる物理的な位置。横書きの場合は、最左端、縦書きの場合は、最上端の文字の位置とし、装置固有の位置とする。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4799	B		組始端	くみしたん	first character position of line	行組み指定(LC)によって指定される字の並べ方における各行の最初の文字の始まる位置。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4800	B		組終端	くみしゅうたん	last character position of line	行組み指定(LC)によって指定される字の並べ方における各行の文字の終わる位置。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4801	B		タブストップ	たぶすとっぷ	tabulation stop	字方向タブ、行方向タブなどのタブ動作に際して、動作位置が停止する位置をあらかじめ決めておくために設ける機構又はしるし。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4802	B		字方向	じほうこう	character writing direction	文字の配列の方向。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4803	B		行方向	ぎょうほうこう	line writing direction	文字の配列の方向に垂直な方向。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4804	B		図形文字列	ずけいもじれつ	graphic character string	JIS X 0201及びJIS X 0208などで規定された図形文字集合に含まれる文字の列。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4805	B		合成	ごうせい	character composition	二つ以上の図形文字をそのまま重ね合わせて一つの図形文字を作成すること。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4806	B		ルビ	るび	ruby	文字のそばにつけて文字の読み方、意味強調などを示すもの。原則として縦書きの場合は右側、横書きの場合は上側に添える。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4807	B		コマンド	こまんど	command	コマンド開始(SCM)とコマンド終了(ECM)にはさまれた一つ以上の図形文字の列。各種の操作を指示するのに用いる。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4808	B		強調	きょうちょう	highlight	図形文字列を通常の表現と異なった方法で表現すること。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4809	B		上つき	うわつき	superscript	通常の文字位置よりも上部の位置に印字又は表示すること。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4810	B		下つき	したつき	subscript	通常の文字位置よりも下部の位置に印字又は表示すること。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4811	B		欧文ピッチ処理	おうぶんぴっちしょり	proportional spacing	欧文文字などを表現する際、文字固有の字幅に従って字送りすること。(例)Wは広く、Iは狭く字送りして印字又は表示する。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4812	B		縦書き	たてがき	vertical writing	各行の文字が縦読みになるような文字の配列。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4813	B		横書き	よこがき	horizontal writing	各行の文字が横読みになるような文字の配列。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4814	B		文字の大きさ	もじのおおきさ	graphic size	文字の外わくの大きさ。文字の高さと文字の幅で表す。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4815	B		文字の高さ	もじのたかさ	height of character	文字の字の向きの外わくの大きさ。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4816	B		文字の幅	もじのはば	width of character	文字の字の向きに直角方向の外わくの大きさ。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4817	B		半角	はんかく	half size of character	文の配列の方向の外わくの大きさが、通常の大きさの50%である文字の大きさ(#図有	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4818	B		文字ピッチ	もじぴっち	character pitch	文字を行中に並べる場合の字送り量。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4819	B		行ピッチ	ぎょうぴっち	line pitch	行を並べる場合の行送り量。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4820	B		内字	ないじ	internal character	JIS X 0201及びJIS X 0208で規定する図形文字。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4821	B		準内字	じゅんないじ	quasi-internal character	JIS X 0201の符号表及びJIS X 0208の図形文字用符号表の空き領域の符号を割り当てられた図形文字。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4822	B		外字	がいじ	external character	内字及び準内字以外の図形文字であって、外字番号又は外字符号で指定されるもの。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4823	B		外字番号	がいじばんごう	external character number	個々の外字を識別するために付けた番号。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4824	B		外字符号	がいじふごう	external character code	個々の外字を識別するために付けた符号であって、外字符号指定(EXC)とともに用いら	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4825	B		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列、この規格では、7単位符号系では7ビット、8単位符号系では8ビットからなる。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4826	B		文字回転	もじかいてん	character rotation	縦書きの場合に図形文字の向きを横書きの文字の向きにすること。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4827	B		基本状態	きほんじょうたい	basic state	基本状態とは、表1の状態をいう(#表有り)。	JIS X 0207	1979				廃1997/6			
4828	A		空き容量	あきようりょう	unassigned code-points	規定する文字が存在しない区点位置。	JIS X 0208	1997							
4829	A		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence	符号拡張手順において制御のために使用する一つ以上のビット組合せ。先頭のビット組合せは、制御文字ESCAPE(エスケープ)を表現する。	JIS X 0208	1997							
4830	A		漢字集合	かんじしゅうごう	Kanji set	この規格で規定する図形文字集合の全体。	JIS X 0208	1997							
4831	A		区	く	row	2バイト符号の中で、第1バイトによって区別される符号又は図形文字の集合。	JIS X 0208	1997							
4832	A		区点位置	くてんいち	code-point	ある区の点。区点番号(区点)によって参照できる。	JIS X 0208	1997							
4833	A		現在位置	げんざいいち	active-position	次にくる図形文字を表現する図形を表示するための文字位置又は次に実行される制御機能の基点となる文字位置。	JIS X 0208	1997							
4834	A		CCデータ要素、符号化文字データ要素	CCでーたようそ、ふごうかもじでーたようそ	CC-data-element, coded-character-data-element	符号化文字集合に関する一つ以上の規格に適合する文字の符号化表現の列によって構成される情報交換の構成単位。	JIS X 0208	1997							
4835	A		字形	じけい	ZIKEI	字体を、手書き、印字、画面表示などによって実際に図形として表現したもの。	JIS X 0208	1997							
4836	A		字体	じたい	ZIRAI	図形文字の図形表現として形状についての抽象的概念。	JIS X 0208	1997							
4837	A		終端バイト	しゅうたんばいと	Final Byte	エスケープシーケンス又は制御シーケンスを終わらせるビット組合せ。	JIS X 0208	1997							
4838	A		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol	図形文字又は制御機能の視覚的表現。	JIS X 0208	1997							
4839	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能以外で、通常、手書き・印字・表示の可視的表現をもち、一つ以上のビット組合せからなる符号化表現をもつ文字。	JIS X 0208	1997							
4840	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送及び解釈に影響を及ぼす作用で、一つ以上のビット組合せで表現するもの。	JIS X 0208	1997							
4841	A		制御シーケンス	せいぎょしーけんす	control sequence	制御機能CONTROL SEQUENCE INTRODUCER (CSI、制御機能シーケンス開始)から始まるビット組合せの列。制御機能の符号化表現のために使う。	JIS X 0208	1997							
4842	A		制御文字	せいぎょもじ	control character	一つのビット組合せだけで表現する制御機能。	JIS X 0208	1997							
4843	A		装置	そうち	device	CCデータ要素の符号化情報を送信、受信又は送受信できる情報処理機械の一部分。	JIS X 0208	1997							
4844	A		点	てん	cell	一つの区の中で、第2バイトによって区別される個々の符号又は図形文字。	JIS X 0208	1997							
4845	A		バイト	ばいと	byte	一つの単位として操作するビット列。各ビットは、0又は1の値をもつ。	JIS X 0208	1997							
4846	A		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination	文字表現に用いる1バイトの順序付けられたビットの集合。	JIS X 0208	1997							
4847	A		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension	与えられた符号化文字集合に含まれていない文字の符号化のために用いる手法。	JIS X 0208	1997							
4848	A		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code	文字集合を定め、かつその集合内の文字とビット組合せとを1対1に関係付ける、あいまいでない規則の集合。	JIS X 0208	1997							
4849	A		符号表	ふごうひょう	code table	符号化文字集合の中のビット組合せに割り当てた文字を示す表。	JIS X 0208	1997							
4850	A		包摂	ほうせつ		複数の字体を区別せずに、それらに同一の区点位置を与えることをいう。	JIS X 0208	1997							
4851	A		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる構成単位の集合の要素。	JIS X 0208	1997							
4852	A		文字位置	もじいち	character position	図形を表示しているか、又は表示できる表示面上の部分。	JIS X 0208	1997							
4853	A		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの。	JIS X 0208	1997							
4854	A		レパートリ	れぱーとり	repertoire	符号化文字集合の一つ以上のビット組合せによって表現される、規定された文字の集	JIS X 0208	1997							
4855	A		位取り記数法	くらいどりきすうほう	positional notation	数を文字列で表し、その値が文字の値とその置かれた位置によって定まるような数の表	JIS X 0210	1986	ISO 6093	1985				1985	JTC1
4856	A		小数点記号	しょうすうてんきごう	decimal mark	数の整数部の数字と小数部の数字とを分離する文字。	JIS X 0210	1986	ISO 6093	1985				1985	JTC1
4857	A		欄	らん	field	データ伝送媒体上の文字位置列のある連続領域。	JIS X 0210	1986	ISO 6093	1985				1985	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4858	A		欄記述	らんきじゅつ	field description	欄の中の情報が情報交換当事者に数値として一意に解釈されることを保証するために、欄に与えられる特性の集合。(備)記述は、一群の交換データ内の各欄に対して、当事者間の情報交換の合意に伴う文書の中で定める。欄記述は、欄幅の指定を含まなければ	JIS X 0210	1986	ISO 6093	1985				1985	JTC1
4859	A		欄幅	らんはば	length of a field	欄の文字位置の数。	JIS X 0210	1986	ISO 6093	1985				1985	JTC1
4860	A		現在領域	げんざいりょういき	active area	現在データ位置を含むデータ部内の領域。現在表示位置を含む表示部内の領域。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4861	A		現在フィールド	げんざいふぃーるど	active field	現在データ位置を含むデータ部内のフィールド。現在表示位置を含む表示部内のフィー	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4862	A		現在行	げんざいぎょう	active line	現在データ位置を含むデータ部内の行。現在表示位置を含む表示部内の行。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4863	A		現在ページ	げんざいぺーじ	active page	現在データ位置を含むデータ部内のページ。現在表示位置を含む表示部内のページ。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4864	A		現在位置	げんざいいち	active position	次にくる図形文字を表現する図形を表示するための文字位置又は次に実行される制御機能の基点となる文字位置。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4865	A		領域	りょういき	area	必ずしも同一行にあるとは限らない連続する文字位置の並び。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4866	A		補助装置	ほじょそうち	auxiliary device	データの入力、蓄積、検索又は表示のために文字表示装置に接続した装置。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4867	A		双方向データ	そうほうこうでーた	bi-directional data	左から右及び右から左のように、書く方向を変えて表示されるテキスト列を含むデータ。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4868	A		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination	文字表現に使う順序付けられたビットの集合。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4869	A		バイト	ばいと	byte	一つの単位として取り扱うビット列。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4870	A		取り消す	とりけす	to cancel	その後の処理において無視できるようにデータに印をつけること。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4871	A		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる要素の集合の構成単位。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4872	A		文字表示装置	もじひょうじそうち	character-imaging device	図形の形でデータを視覚的に表示する装置。CRT、プリンタなど。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4873	A		文字の進路	もじのしんろ	character path	表示部内の行に沿った文字位置の順序。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4874	A		文字位置	もじいち	character position	図形を表示しているか、又は表示できる表示面上の部分。データ部内では、その後の表示処理のために図形文字を受信する位置。表示部内では、文字表示出力を行うために図形文字を受信する位置。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4875	A		文字の進む方向	もじのすすむほうこう	character progression	データ部内の行に沿った文字位置の順序。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4876	A		クリアする、解除する	くりあする、かいじょする	to clear	データの表示又はデータの表示に使われる情報(例えば、フィールドの境界を示すタブ位置)を除去すること。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4877	A		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code	文字集合を定め、かつ、その集合内の文字とビット組合せを1対1に関係付ける、あいまいでない規則の集合。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4878	A		符号化文字データ要素、CCデータ要素	ふごうかもじでーたようそ、CCでーたようそ	coded-character-data-element, CC data element	符号化文字集合に関する一つ以上の識別された規格に従って、文字の符号化表現の列を構成する交換情報の要素。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4879	A		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension	与えられた符号の文字集合に含まれていない文字の符号化のために用いる手法。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4880	A		符号表	ふごうひょう	code table	符号の中の各ビット組合せに割り当てた文字を示す表。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4881	A		制御文字	せいぎょもじ	control character	一つのビット組合せだけで表現する制御機能。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4882	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送及び解釈に影響を及ぼす作用で、一つ以上のビット組合せで表現するもの。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4883	A		制御シーケンス	せいぎょしーけんす	control sequence	制御機能 CONTROL SEQUENCE INTRODUCER (CSI、制御シーケンス開始)から始まるビット組合せの列であって、パラメタをもつか又はもたない制御機能の符号化表現のた	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4884	A		制御列	せいぎょれつ	control string	制御のための論理的な単位としてデータストリーム中に現れるビット組合せの列。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4885	A		カーソル	かーそる	cursor	表示面上で現在表示位置を示すための特別な標識。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4886	A		データ部	でーたぶ	data component	受信したデータをその後の表示処理のために蓄積するのに使用される装置の一部分。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4887	A		小数点	しょうすうてん	decimal point	数字の整数部分と小数部分とを分けるために使う図形で、通常はFULL STOP(ピリオド)又はCOMMA(コンマ)。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4888	A		既定値	きていち	default	特に指定しないときに想定する値又は状態。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4889	A		削除する	さくじょする	to delete	文字位置から内容を取り除き、それによって空いたすき(隙)間に隣接する一連の文字を移動すること。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4890	A		指示する	しじする	to designate	文字集合を、即座に又は更に他の制御機能が出現してから、所定の方法で表現できるように指定すること。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4891	A		装置	そうち	device	CCデータ要素の符号化情報を送信及び/又は受信できる情報処理機械の一部分。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4892	A		表示面	ひょうじめん	display	プリンタ及びCRTを含むすべての文字表示装置におけるデータの表示可能部分。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4893	A		編集機能	へんしゅうきのう	editor function	データの視覚的な配置を編集、変更又は移動するのに用いる制御機能。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4894	A		適格である	てきかくである	eligible	伝送又は転送しようとする領域を表すのに用いる用語。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4895	A		系	けい	environment	データ処理システム、データ通信システム又はそのようなシステムの一部で、一つの文字を表現するのに使用するビット数を指定する特性。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4896	A		消去する	しょうきょする	to erase	文字位置から内容を取り除き、それによって空いたすき(隙)間をそのままにしておくこ	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4897	A		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence	符号拡張手順において制御のために使用するビット組合せ列。先頭のビット組合せは、制御文字 ESCAPE(エスケープ)を表現する。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4898	A		フィールド	ふぃーるど	field	文字タブ位置にある文字位置(フィールドの最初)から次の文字タブ位置にある文字位置の直前(フィールドの最後)までの文字位置からなる領域。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4899	A		終端バイト	しゅうたんばいと	final byte	エスケープシーケンス又は制御シーケンスを終わらせるビット組合せ。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4900	A		書式機能	しょしききのう	formator function	データストリームの送信者が情報をどのように整形し、表現して欲しいかを記述する制御機能(書式制御又は表示制御機能)。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4901	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能以外で、通常、手書き・印字・表示の可視的表現をもち、一つ以上のビット組合せからなる符号化表現をもつ文字。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4902	A		表示様式	ひょうじようしき	graphic rendition	一連の図形を表示する際の視覚的様式。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4903	A		図形	ずけい	graphic symbol	図形文字又は制御機能の視覚的表現。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4904	A		防護領域	ぼうごりょういき	guarded area	属性付き領域の特別な場合。この領域の内容は、データストリームの形で伝送から除外してもよいし、補助入出力装置への転送から除外してもよい。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4905	A		初期状態	しょきじょうたい	initial state	動作が可能になった後の装置の状態。この状態は、モードの"リセット"状態であることが望ましい。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4906	A		中間バイト	ちゅうかんばいと	intermediate byte	a)エスケープシーケンスの中で、制御機能 ESCAPE (ESC、エスケープ)と終端バイトとの間にきてもよいビット組合せ。b)制御シーケンスの中で、制御機能 CONTROL SEQUENCE INTRODUCER (CSI 制御シーケンス開始)と終端バイトとの間又はパラメタバイトと終端バイトとの間にきてもよいビット組合せ。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4907	A		呼び出す	よびだす	to invoke	所定のビット組合せが出現するだけで、指示された文字集合が表現できる状態にするこ	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4908	A		行	ぎょう	line	1列に並んだ文字位置の集合。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4909	A		行開始位置	ぎょうかいしいち	line home position	データ部の行内の基準位置であって、現在データ位置が通常その位置より手前へ移動できない位置。表示部の行内の基準位置であって、現在表示位置が通常その位置より手前へ移動できない位置。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4910	A		行終了位置	ぎょうしゅうりょういち	line limit position	データ部の行内の基準位置であって、現在データ位置が通常その位置を越えて移動できない位置。表示部の行内の基準位置であって、現在表示位置が通常その位置を越えて移動できない位置。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4911	A		行の向き	ぎょうのむき	line orientation	文字表示出力において行がどのように現れるのかを規定するための用語。この規格では、これは横書き又は縦書きだけとしてよい。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4912	A		行の進む方向	ぎょうのすすむほうこう	line progression	行が順に現れる方向。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4913	A		オペレーティングシステム	おぺれーていんぐしすてむ	operating system	計算機プログラムの実行を制御するソフトウェアであって、スケジュール、デバッグ、入出力制御、課金処理、コンパイル、記憶域割当て、データ管理及びこれらに関連した諸サービスを行うもの。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4914	A		ページ	ぺーじ	page	1列に並んだ行の集合。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4915	A		ページ開始位置	ぺーじかいしいち	page home position	データ部のページ内の基準位置であって、現在行(現在データ位置を含む行)が通常その位置より手前へ移動できない位置。表示部のページ内の基準位置であって、現在行(現在表示位置を含む行)が通常その位置より手前へ移動できない位置。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4916	A		ページ終了位置	ぺーじしゅうりょういち	page limit position	データ部のページ内の基準位置であって、現在行(現在データ位置を含む行)が通常その位置を越えて移動できない位置。表示部のページ内の基準位置であって、現在行(現在表示位置を含む行)が通常その位置を越えて移動できない位置。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4917	A		パラメタバイト	ぱらめたばいと	parameter byte	制御シーケンスの中で、制御機能CONTROL SEQUENCE INTRODUCER (CSI、制御シーケンス開始)と終端バイトとの間、又はCSIと中間バイトとの間にくるビット組合せ。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4918	A		表示部	ひょうじぶ	presentation component	装置の中で、文字表示出力を行う部分。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4919	A		私用、試用	しよう、しよう	private use, experimental use	標準化していない制御機能又はモードを、この規格と両立する方式で表現する手段。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4920	A		保護領域	ほごりょういき	protected area	属性付き領域の特別な場合。この領域の内容は、手操作による変更から保護されるとともに、消去からも保護される。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4921	A		属性化領域	ぞくせいかりょういき	qualified area	ある特性をもつ文字位置の列	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4922	A		レパートリ	れぱーとり	repertoire	符号化文字集合の一つ以上のビット組合せによって表現される、規定された文字の集	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4923	A		スクロール	すくろーる	scroll	表示面上の全体又は一部の図形を、指定した方向に移動する動作。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4924	A		選択領域	せんたくりょういき	selected area	内容がデータストリームの形で伝送又は補助入出力装置へ転送するのに適格となり得る文字位置の列。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4925	A		タブ	たぶ	tabulation	情報をそろえて配列するために、表示面上の文字位置又は行を指定する技法。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4926	A		タブ位置	たぶいち	tabulation stop	ある文字位置又はある行位置をタブに使用することの指定。文字タブ位置は、フィールドの境界にもなる。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4927	A		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの。	JIS X 0211	1994	ISO/IEC 6429	1992				1992	SC2
4928	A		文字	もじ		情報の表現や制御などに用いる有限集合の要素。文字は、図形文字と制御文字に分類	JIS X 0212	1990							
4929	A		図形文字	ずけいもじ		視覚的な図形によって表される文字。(備)この規格では、図形文字のことを文字と略称することがある。	JIS X 0212	1990							
4930	A		ダイアクリティカルマーク	だいあくりてぃかるまーく		発音の変化を示す記号。	JIS X 0212	1990							
4931	A		区	く		2バイト符号の中で、第1バイトによって区別される符号表上の位置の集合。	JIS X 0212	1990							
4932	A		点	てん		一つの区の中で、第2バイトによって区別される符号表上の位置。	JIS X 0212	1990							
4933	A		字体	じたい		概念を点画などの要素を組み合わせて文字化するという処理を経て出現した文字の骨	JIS X 0212	1990							
4934	A		字形	じけい		骨格表現である字体に適用された表示設計によって具体化した図形表現。	JIS X 0212	1990							
4935	A		空き領域	あきりょういき	unassigned code-points	規定する文字が存在しない画区点位置。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4936	A		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence	符号拡張手順において制御のために使用する一つ以上のビット組合せ。先頭のビット組合せは、制御文字ESCAPE(エスケープ)を表現する。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4937	A		漢字集合	かんじしゅうごう	Kanji set	この規格で規定する図形文字集合の全体。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4938	A		区	く	row	2バイト符号の中で、第1バイトによって区別される符号又は図形文字の集合。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4939	A		互換用文字	ごかんようもじ	compatibility character	既存の符号化文字集合等との互換性のため、この規格に符号化文字として含めた図形	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4940	A		現在位置	げんざいいち	active position	次にくる図形文字を表現する図形を表示するための文字位置又は次に実行される制御機能の基点となる文字位置。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4941	A		CCデータ要素、符号化文字データ要素	CCでーたようそ、ふごうかもじでーたようそ	CC-data-element, coded-character-data-element	符号化文字集合に関する一つ以上の規格に適合する文字の符号化表現の列によって構成される情報交換の構成単位。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4942	A		字形	じけい	ZIKEI	字体を、手書き、印字、画面表示などによって実際に図形として表現したもの。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4943	A		字体	じたい	ZITAI	図形文字の図形表現としての形状についての抽象的概念。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4944	A		終端バイト	しゅうたんばいと	final byte	エスケープシーケンス又は制御シーケンスを終わらせるビット組合せ。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4945	A		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol	図形文字又は制御機能の視覚的表現。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4946	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能以外で、通常、手書き・印字・表示の可視的表現をもち、一つ以上のビット組合せからなる符号化表現をもつ文字。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4947	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送及び解釈に影響を及ぼす作用で、一つ以上のビット組合せで表現するもの。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4948	A		制御シーケンス	せいぎょしーけんす	control sequence	制御機能CONTROL SEQUENCE INTRODUCER(CSI、制御機能シーケンス開始)から始まるビット組合せの列。制御機能の符号化表現のために使う。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4949	A		制御文字	せいぎょもじ	control character	一つのビット組合せだけで表現する制御機能。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4950	A		装置	そうち	aevice	CCデータ要素の符号化情報を送信、受信又は送受信できる情報処理機械の一部分。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4951	A		点	てん	cell	一つの区の中で、第2バイトによって区別される個々の符号又は図形文字。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4952	A		バイト	ばいと	byte	一つの単位として操作するビット列。各ビットは、0又は1の値をもつ。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4953	A		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination	文字表現に用いる1バイトの順序付けられたビットの集合。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4954	A		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension	与えられた符号化文字集合に含まれていない文字の符号化のために用いる手法。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4955	A		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code	文字集合を定め、かつその集合内の文字とビット組合せとを1対1に関係付ける、あいまいでない規則の集合。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4956	A		符号表	ふごうひょう	code table	符号化文字集合の中の各ビット組合せに割り当てた文字を表す表。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4957	A		包摂	ほうせつ	unification	複数の字体を区別せずに、それらに同一の面区点位置を与えることをいう。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4958	A		面	めん	plane	一つの94×94文字集合からなる2バイト符号化漢字集合。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4959	A		面区点位置	めんくてんいち	code-point	ある面のある区の点。面区点番号によって参照できる。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4960	A		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる構成単位の集合の要素。	JIS X 0213	2000				2004/2追			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4961	A		文字位置	もじいち	character position	図形を表示しているか、又は表示できる表示面上の部分。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4962	A		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの。	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4963	A		レパートリ	れぱーとり	repertoire	符号化文字集合の一つ以上のビット組合せによって表現される、規定された文字の集	JIS X 0213	2000				2004/2追			
4964	A		図形文字集合識別子	ずけいもじしゅうごうしきべつし	identifier of graphic character set	JIS X 0201、JIS X 0212及びJIS X 0221で規定されている図形文字集合を識別するための標識。	JIS X 0218	1997							
4965	B		基本多言語面、BMP	きほんたげんごめん、BMP	basic multilingual plane, BMP	群00の面00。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4966	B		ブロック	ぶろっく	block	共通の特性をもつ文字の連続した組。例えば、用字。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4967	B		正規形式	せいきけいしき	canonical form	この符号化文字集合の文字を、1文字当たり4オクテットで表現する形式。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4968	B		CCデータ要素、符号化文字データ要素	CCでーたようそ、ふごうかもじでーたようそ	CC-data-element, coded-character-element	符号化文字集合に関する一つ以上の識別された規格に従って、文字の符号化表現の列からなる交換情報の要素。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4969	B		点	てん	cell	区の中で個々の文字を割り当てられる場所。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4970	B		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる要素の集合の構成単位。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4971	B		文字境界	もじきょうかい	character boundary	連続するオクテット列の中で、文字の符号表現の最後のオクテットと次に続く文字の符号化表現の最初のオクテットとの間の境目。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4972	B		符号化文字	ふごうかもじ	coded character	符号化表現をもつ文字。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4973	B		符号化文字集合	ふごうかもじしゅうごう	coded character set	文字集合及びその集合の文字と符号化表現との間の関係を定めるあいまいさのない規則の集合。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4974	B		符号表	ふごうひょう	code table	符号の一つ以上のオクテットに割り当てられた文字群を示す表。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4975	B		結合文字	けつごうもじ	combining character	この規格群で規定する符号化文字集合の識別された部分集合の構成単位であって、先行する非結合文字(以下、基底文字という。)と組み合わせることを意図したもの、又は基底文字の後に結合文字の列が続いた形のものと組み合わせることを意図したもの(4.13参照)。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4976	B		互換用文字	ごかんようもじ	compatibility character	主として既存の符号化文字集合との互換性のため、この規格群に符号化文字として含めた図形文字。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4977	B		合成列	ごうせいれつ	composite sequence	基底文字とそれに続く一つ以上の結合文字とからなる図形文の列(4.11参照)。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4978	B		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送又は解釈に影響を及ぼし、かつ一つ以上のオクテットからなる符号化表現をもつ動作。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4979	B		既定状態	きていじょうたい	default state	状態が明示的に指定されていないときに、想定する状態。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4980	B		詳細符号表	しょうさいふごうひょう	detailed code table	個々の文字を表す符号表であって、通常は一つの区の一部を示す。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
4981	B		装置	そうち	device	CCデータ要素を挿入する符号化情報を送信及び/又は受信できる情報処理機器の一部分(これは、通常の入出力機器であってもよく、応用プログラム又はゲートウエイ機能のような処理であってもよい。)。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
4982	B		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能以外の文字であって、通常は、手書き、印字又は表示の可視化表現をもつ。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4983	B		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol	図形文字又は合成列の可視化表現。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4984	B		群	ぐん	group	この符号化文字集合の符号化空間の一部であって、256×256×256の点からなるもの。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4985	B		交換	こうかん	interchange	通信手段又は可搬媒体によって、ある利用者から他の利用者に文字の符号化データを転送すること。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4986	B		相互動作	そうごどうさ	interworking	それぞれ異なる符号化文字集合を採用している二つ以上のシステム間で、意味のある文字符号データの交換ができるようにすること。二つの符号系間の変換を含むこともある。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4987	B		オクテット	おくてっと	octet	1単位として取り扱う8ビット長のビット順序列。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4988	B		面	めん	plane	群の一部分であって、256×256の点からなるもの。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4989	B		表示、表示する	ひょうじ、ひょうじする	presentation, to present	図形記号を書いたり、印字したり、画面表示したりする処理。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4990	B		表示形	ひょうじけい	presentation form	一部の言語の用字を表示する際に、他の文字との相対的な位置に依存して文字を表現する図形記号の形。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4991	B		私用面	しようめん	private use planes	この符号化文字集合中の面であって、この規格群で文字を規定しない面(10.1参照)。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4992	B		レパートリ	れぱーとり	repertoire	符号化文字集合で表現する文字の指定された集合。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4993	B		区	く	row	面の一部分であって、256の点からなるもの。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4994	B		用字	ようじ	script	一つ以上の言語の表記の方法で使用する図形文字の集合。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4995	B		追加面	ついかめん	supplementary planes	基本多言語面に割り当てていない文字を収容するための面。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4996	B		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの(例えば、“装置”が符号変換機又はゲートウエイ機能の場合、これは、応用プログラムのような処理であってもよい。)。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4997	B		領域	りょういき	zone	一つ以上の区の一部又は全部からなる符号表上の点の並びであって、特定の種類の文字を含むもの(8.参照)。	JIS X 0221	1995	ISO/IEC 10646-1	1993		2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
4998	A		基底文字	きていもじ	base character	先立つ文字と図形的に結合しない図形文字。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003	IDT			2003	SC2
4999	A		基本多言語面、BMP	きほんたげんごめん、BMP	basic multilingual plane, BMP	群00の面00。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5000	A		ブロック	ぶろっく	block	共通の特性をもつ文字の集合(例えば、用語)が割当てられた符号位置の連続する範囲。ブロック同士は、重なり合わない。ブロック中には、文字が割り当てられない符号位置が一つ以上あってもよい。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003					2003	SC2
5001	A		基準形式	きじゅんけいしき	canonical form	この符号化文字集合の文字を、1文字当たり4オクテットで表現する形式。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5002	A		CCデータ要素、符号化文字データ要素	CCでーたようそ、ふごうかもじでーたようそ	CC-data-element, coded-character-element	符号化文字集合に関する特定された一つ以上の規格に適合して、文字の符号化表現の列を構成するように仕様決めされた、情報交換の単位。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003					SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5003	A		点	てん	cell	区の中で個々の文字を割り当てる場所。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5004	A		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる要素の集合の構成単位。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5005	A		文字境界	もじきょうかい	character boundary	連続するオクテット列の中で、文字の符号表現の最後のオクテットと次に続く文字の符号化表現の最初のオクテットとの間の境目。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5006	A		符号化文字	ふごうかもじ	coded character	符号化表現をもつ文字。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5007	A		符号化文字集合	ふごうかもじしゅうごう	coded character set	文字集合及びその集合の文字と符号化表現との間の関係を規定するあいまいさのない規則の集合。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5008	A		符号表	ふごうひょう	code table	符号の一つ以上のオクテットに割り当てられた文字群を示す表。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5009	A		組	くみ	collection	番号及び名前が付けられた符号化文字の集合であって、その符号化文字の符号位置が一つ以上の識別された範囲にあるもの。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5010	A		結合文字	けつごうもじ	combining character	この符号化文字集合の識別された部分集合の構成単位であって、先行する非結合文字(基底文字)と組み合わせることを意図したもの、又は基底文字の後に結合文字の列が続いた形のものと組み合わせることを意図したもの(4.15参照)。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5011	A		互換用文字	ごかんようもじ	compatibility character	主として既存の符号化文字集合との互換性のため、この規格に符号化文字として含めた図形文字。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5012	A		合成列	ごうせいれつ	composite sequence	基底文字とそれに続く一つ以上の結合文字、ZERO WIDTH JOINER又はZERO WIDTH NON-JOINERとからなる図形文の列(4.13参照)。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5013	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送又は解釈に影響を及ぼし、かつ、一つ以上のオクテットからなる符号化表現をもつ動作。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5014	A		既定状態	きていじょうたい	default state	状態が明示的に指定されていないときに、想定する状態。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5015	A		詳細符号表	しょうさいふごうひょう	detailed code table	個々の文字を表す符号表であって、通常は、一つの区の一部を示す。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5016	A		装置	そうち	device	CCデータ要素内の符号化情報を送信及び/又は受信できる情報処理機器の一部分(これは、通常の入出力機器であってもよく、応用プログラム又はゲートウエイ機能のような処理であってもよい。)。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5017	A		確定組	かくていぐみ	fixed collection	識別された範囲に含まれるすべての符号位置に文字が割り当てられている組。確定組は、この規格の将来の版においても変わらないことを意図している。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5018	A		書式文字	しょしきもじ	format character	周囲の文字の配置又は処理に作用することを主な機能とする文字。通常は、それ自身の可視化表現をもたない。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5019	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能でも書式文字でもない文字であって、通常は、手書き、印字又は表示の可視化表現をもつ。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5020	A		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol	図形文字又は合成列の可視化表現。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5021	A		群	ぐん	group	この符号化文字集合の符号化空間の一部であって、256×256×256の点からなるもの。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5022	A		上半分の領域	うえはんぶんのりょういき	high-half zone	UTF-16(付属書C参照)で用いるために保留されている点の集合。この領域内の点に対応する区点要素は、UTF-16でBMP以外の面の文字を表現する一対の区点要素のうち、第1の区点要素として用いてよい。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5023	A		交換	こうかん	interchange	通信手段又は交換可能な媒体によって、ある利用者から他の利用者に文字の符号化データを転送すること。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5024	A		相互動作	そうごどうさ	interworking	それぞれ異なる符号化文字集合を採用している二つ以上のシステム間で、意味のある文字符号化データの交換ができるようにすること。二つの符号の間での変換を含むこと	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5025	A		下半分の領域	したはんぶんのりょういき	low-half zone	UTF-16(付属書C参照)で用いるために保留されている点の集合。この領域内の点に対応する区点要素は、UTF-16でBMP以外の面の文字を表現する一対の区点要素のうち、第2の区点要素として用いてよい。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5026	A		オクテット	おくてっと	octet	1単位として取り扱う8ビット長のビット順序列。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5027	A		面	めん	plane	群の一部分であって、256×256の点からなるもの。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5028	A		表示、表示する	ひょうじ、ひょうじする	presentation, to present	図形記号を書いたり、印字したり、画面表示したりする処理。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5029	A		表示形	ひょうじけい	presentation form	一部の言語の用字を表示するときに、他の文字との相対的な位置に依存して文字を表現する図形記号の形。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5030	A		私用面	しようめん	private use planes	この符号化文字集合中の面であって、この規格で文字を規定しない面(箇条10参照)。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5031	A		区点要素	くてんようそ	RC-element	この符号化文字集合の符号空間内の一つの点に対応する(標準形式での)4オクテットの列のうち、区オクテット及び点オクテット(6.2参照)からなる2オクテットの列。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5032	A		レパートリ	れぱーとり	repertoire	符号化文字集合で表現する文字の指定された集合。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5033	A		区	く	row	面の一部分であって、256の点からなるもの。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5034	A		用字	ようじ	script	一つ以上の言語の表記の方法で使用する図形文字の集合。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5035	A		追加面	ついかめん	supplementary planes	基本多言語面に割り当てていない文字を収容するための面。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5036	A		用字及び記号のための追加多言語面、SMP	ようじおよびきごうのためのついかたげんごめん、SMP	Supplementary Multilingual Plane for scripts and symbols, SMP	群00の面01。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5037	A		追加漢字面、SIP	ついかかんじめん、SIP	Supplementary Ideographic Plane, SIP	群00の面02。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5038	A		追加特殊用途面、SSP	ついかとくしゅようとめん、SSP	supplementary special-purpose plane, SSP	群00の面0E。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5039	A		対をなさない区点要素	ついをなさないくてんようそ	unpaired RC-element	CCデータ要素の中の区点要素であって、次のいずれかであるもの。 －上半分の領域の区点要素であって、下半分の区点要素が直後にないもの。 －下半分の領域の区点要素であって、上半分の区点要素が直前にないもの。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5040	A		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの(例えば、“装置”が符号変換機又はゲートウエイ機能の場合、これは、応用プログラムのような処理であってもよい。)。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5041	A		領域	りょういき	zone	一つ以上の区の一部又は全部からなる符号表上の点の並びであって、特定の種類の文字を含むもの(例として、箇条8参照)。	JIS X 0221	2007	ISO/IEC 10646 Amd.1:05, Amd.2:06	2003				2003	SC2
5042	B		基本多言語面、BMP	きほんたげんごめん、BMP	basic multilingual plane, BMP	群00の面00。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5043	B		ブロック	ぶろっく	block	共通の特性をもつ文字の集合(例えば、用字)が割り当てられた符号位置の連続する範囲。ブロック同士は、重なり合わない。ブロック中には、文字が割り当てられていない符号位置が一つ以上あってもよい。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5044	B		正規形式	せいきけいしき	canonical form	この符号化文字集合の文字を、1文字当たり4オクテットで表現する形式。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5045	B		CCデータ要素、符号化文字データ要素	CCでーたようそ、ふごうかもじでーたようそ	CC-data-element, coded-character-data-element	符号化文字集合に関する一つ以上の規格に適合する文字の符号化表現の列によって構成される情報交換の構成単位。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5046	B		点	てん	cell	区の中で個々の文字を割り当てられる場所。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5047	B		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる要素の集合の構成単位。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5048	B		文字境界	もじきょうかい	character boundary	連続するオクテット列の中で、文字の符号化表現の最後のオクテットと次に続く文字の符号化表現の最初のオクテットとの間の境目。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5049	B		符号化文字	ふごうかもじ	coded character	符号化表現をもつ文字。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5050	B		符号化文字集合	ふごうかもじしゅうごう	coded character set	文字集合及びその集合の文字と符号化表現との間の関係を定めるあいまいさのない規則の集合。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5051	B		符号表	ふごうひょう	code table	符号の一つ以上のオクテットに割り当てられた文字群を示す表。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5052	B		組	くみ	collection	番号及び名前が付けられた符号化文字の集合であって、その符号化文字の符号位置が一つ以上の識別された範囲にあるもの。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5053	B		結合文字	けつごうもじ	combining character	この規格群で規定する符号化文字集合の識別された部分集合の構成単位であって、先行する非結合文字(以下、基底文字という。)と組み合せることを意図したもの、又は基底文字の後に結合文字の列が続いた形のものと組み合せることを意図したもの(合成列参照)。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5054	B		互換用文字	ごかんようもじ	compatibility character	主として既存の符号化文字集合との互換性のため、この規格群に符号化文字として含めた図形文字。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5055	B		合成列	ごうせいれつ	composite sequence	基底文字とそれに続く一つ以上の結合文字とからなる図形文字の列(組参照)。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5056	B		制御機能	せいぎょきのう	control function	データの記録、処理、伝送又は解釈に影響を及ぼし、かつ、一つ以上のオクテットからなる符号化表現をもつ動作。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2
5057	B		既定状態	きていじょうたい	default state	状態が明示的に指定されていないときに、想定する状態。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→ X 0221 :2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646: 2003	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5058	B		詳細符号表	しょうさいふごうひょう	detailed code table	個々の文字を示す符号表であって、通常は一つの区の一部を示す。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5059	B		装置	そうち	device	CCデータ要素内の符号化情報を送信及び/又は受信できる情報処理機器の一部分(これは、通常の入出力機器であってもよく、応用プログラム又はゲートウェイ機能のような処理であってもよい。)。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5060	B		確定組	かくていぐみ	fixed collection	識別された範囲に含まれるすべての符号位置に文字が割り当てられている組。確定組は、この規格群の将来の版においても変わらないことを意図している。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5061	B		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御機能以外の文字であって、通常は、手書き、印字又は表示の可視化表現をもつ。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5062	B		図形記号	ずけいきごう	graphic symbo	図形文字又は合成列の可視化表現。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5063	B		群	ぐん	group	この符号化文字集合の符号化空間の一部であって、256×256×256の点からなるもの。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5064	B		上半分の領域	うえはんぶんのりょういき	high-half zone	UTF-16[附属書C(規定)参照]で用いるために保留されている点の集合。この領域内の点に対応する区点要素は、UTF-16で、BMP以外の面の文字を表現する区点要素の対の第1の区点要素として用いてよい。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5065	B		交換	こうかん	interchange	通信手段又は交換可能な媒体によって、ある利用者から他の利用者に文字の符号化データを転送すること。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5066	B		相互動作	そうごどうさ	interworking	それぞれ異なる符号化文字集合を採用している二つ以上のシステム間で、意味のある文字符号化データの交換ができるようにすること。二つの符号系間の変換を含むこともある。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5067	B		下半分の領域	したはんぶんのりょういき	low-half zone	UTF-16[附属書C(規定)参照]で用いるために保留されている点の集合。この領域内の点に対応する区点要素は、UTF-16で、BMP以外の面の文字を表現する区点要素の対の第2の区点要素として用いてよい。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5068	B		オクテット	おくてっと	octet	1単位として取り扱う8ビット長のビット順序列。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5069	B		面	めん	plane	群の一部分であって、256×256の点からなるもの。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5070	B		表示、表示する	ひょうじ、ひょうじする	presentation, to present	図形記号を書いたり、印字したり、画面表示したりする処理。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5071	B		表示形	ひょうじけい	presentation form	一部の言語の用字を表示する際に、他の文字との相対的な位置に依存して文字を表現する図形記号の形。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5072	B		私用面	しようめん	private use planes	この符号化文字集合中の面であって、.この規格群で文字を規定しない面。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5073	B		区点要素	くてんようそ	RC-element	この符号化文字集合の符合空間内の一つの点に対応する(正規形式での)4オクテットの列のうち、区オクテット及び点オクテットからなる2オクテットの列。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5074	B		レパートリ	れぱーとり	repertoire	符号化文字集合で表現する文字の指定された集合。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5075	B		区	く	row	面の一部分であって、256の点からなるもの。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5076	B		用字	ようじ	script	一つ以上の言語の表記の方法で使用する図形文字の集合。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5077	B		追加面	ついかめん	supplementary plane	基本多言語面に割り当てていない文字を収容するための面。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5078	B		対をなさない区点要素	ついをなさないくてんようそ	unpaired RC-element	CCデータ要素の中の区点要素であって、次のいずれかであるもの。 -上半分の領域の区点要素であって、下半分の領域の区点要素が直後にないもの。 -下半分の領域の区点要素であって、上半分の領域の区点要素が直前にないもの。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5079	B		利用者	りようしゃ	user	装置が提供するサービスを使う人又はそれに代わるもの(例えば、“装置”が符号変換機又はゲートウェイ機能の場合、これは、応用プログラムのような処理であってもよい。)。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5080	B		領域	りょういき	zone	一つ以上の区の部又は全部からなる符号表上の点の並びであって、特定の種類の文字を含むもの。	JIS X 0221-1	2001	ISO/IEC 10646-1	2000		廃→X 0221:2007/12	ISO/IEC 10646:03, Amd.1:05, Amd.2:06	10646:2003	SC2
5081	B		完全表記	かんぜんひょうき	complete representation	表現に関連したすべての日付及び時間の要素を含む表記。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5082	B		協定世界時	きょうていせかいじ	Coordinated Universal Time, UTC	国際度量衡局(BIPM)によって維持管理されている時系。標準周波数と時刻信号に関する標準電波の基礎となるもの。(備)1.この定義の出典は、国際無線通信諮問委員会(CCIR)勧告460-2による。CCIRは、協定世界時に対してUTCという省略形を決めている	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5083	B		暦日付	れきひづけ	calendar date	暦年、暦月及び暦月の中の序数によって指定される特定の日の日付。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5084	B		年日付	ねんひづけ	ordinal date	暦年及び暦年の中の序数によって指定される特定の日の日付。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5085	B		日	ひ	day	00:00から始まり24:00(翌日の00:00と一致。)で終わる24時間の期間。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5086	B		基本形式	きほんけいしき	basic format	要求される正確さを満足するのに必要な最少項目数の構成要素を含む表記形式。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5087	B		グレゴリオ暦	ぐれごりおれき	Gregorian calendar	ユリウス暦の誤差を修正して1582年に定められ、一般に用いられている暦法。グレゴリオ暦では平年は365日、うるう年は366日をもち、一連の12の月に分けられている。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5088	B		時	じ	hour	60分の期間。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5089	B		地方時	ちほうじ	local time	ある地域で用いられる公式時。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5090	B		分	ふん	minute	60秒の期間	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5091	B		暦月	れきげつ	calendar month	暦年を一連の12の部分に分割した期間であって、それぞれ特定の名称をもち、特定の日数を含む。暦月は、序列の順に次の名称及び日数をもつ。1月(31日)、2月(平年28日、うるう年29日)、3月(31日)、4月(30日)、5月(31日)、6月(30日)、7月(31日)、8月(31日)、9月(30日)、10月(31日)、11月(30日)及び12月(31日)。(参)適用業務によっては、1か月を30日の期間とすることがある。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5092	B		期間	きかん	period	次のいずれかによって指定される時間の長さ。(1)時、日、月、年などによって定義される時間の長さ。(2)始点及び終点によって定義される時間の長さ。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5093	B		秒	びょう	second	ISO 31-1に定められた国際単位系(SI)における時間の基本単位。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5094	B		上位省略表記	じょういしょうりゃくひょうき	truncated representation	表記の最左端から始まる上位の部分を省略した、完全表記の略記。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5095	B		週	しゅう	week	7日の期間。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5096	B		暦週	れきしゅう	calendar week	暦年中の序数によって指定される特定の7日の期間であり、月曜日から始まる。その年の第1暦週は、最初の木曜日を含む週とする。これは、1月4日を含む週に等しい。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5097	B		年	ねん	year	暦年に等しい長さの連続した12か月の期間。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5098	B		暦年	れきねん	calendar year	地球が太陽を一周するのに要する暦の上の1月1日から12月31日までの周期的な期間(日の整数倍)。暦年は、平年又はうるう年とする。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5099	B		平年	へいねん	common year	365日をもつ暦年。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5100	B		うるう年	うるうどし	leap year	366日をもつ暦年。うるう年は、西暦の年数が4で割り切れる年で、400で割り切れない100の倍数を除いた年である。	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5101	B		元号	げんごう		日本で用いる年の呼称。(例)明治、大正、昭和、平成	JIS X 0301	1992	ISO 8601	1988		2002/8	2000	2004	ISO/TC83
5102	A		協定世界時	きょうていせかいじ	Coordinated Universal Time, UTC	国際度量衡局(BIPM)及び国際地球回転観測事業(IERS)によって維持管理されている時間尺度。標準周波数及び時刻信号に関する標準電波の基礎となるもの。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5103	A		日付	ひづけ	date	構成要素(暦年、暦月、暦週、暦日又は年の通し日)の任意の組み合わせによって指定される暦上の特定の日の日付。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5104	A		暦日付	れきひづけ	date, calendar	暦年、暦月及び暦月の中の序数によって指定される特定の日の日付。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5105	A		年間通算日	ねんかんつうさんび	date, ordinal	暦年及び暦年の中の序数によって指定される特定の日の日付。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5106	A		暦週日付	れきしゅうひづけ	date, week	その暦週が属する暦年、暦年の中のその暦週を表す序数及びその暦週の中の序数によって指定される暦上の特定の日の日付。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5107	A		日	ひ	day	24時間の長さの時間単位。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5108	A		暦日	れきじつ	day, calendar	00:00から始まり24:00(翌日の00:00と一致。)で終わる時間間隔。通常、24時間。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5109	A		時間長	じかんちょう	duration	時間の長さ。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5110	A		基本形式	きほんけいしき	format, basic	要求される正確さを満足するのに必要な最少項目数の構成要素を含む表記形式。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5111	A		拡張形式	かくちょうけいしき	format, extended	基本形式を拡張した形式。分離記号を含む。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5112	A		グレゴリオ暦	ぐれごりおれき	Gregorian calendar	一般に用いられている暦法。回帰年がユリウス暦よりも正確に近似されるように、1582年に定められた。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5113	A		時	じ	hour	JIS Z 8202-1で定義されている、60分の時間の単位。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5114	A		地方時	ちほうじ	local time	ある地域で用いられる公式時。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5115	A		分	ふん	minute	JIS Z 8202-1で定義する、60秒間の時間の単位。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5116	A		月	つき	month	28、29、30又は31日間の時間の単位。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5117	A		暦月	れきげつ	month, calendar	暦年を一連の12の部分に分割した期間であって、それぞれ特定の名称をもち、特定の日数を含む。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5118	A		期間、時間間隔	きかん、じかんかんかく	period of time, time-	二つの時点の間の時間部分。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5119	A		反復時時間間隔	はんぷくじじかんかんかく	recurring time-interval	同じ長さの時間長が切れ目なく続いた期間。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5120	A		完全表記	かんぜんひょうき	representation, complete	表現に関連したすべての日付及び時間又は時刻の要素を含む表記。4けたの数字は、暦年を表す場合に限る。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5121	A		小数点表記	しょうすうてんひょうき	representation, decimal	表記の中の最下位の構成要素に小数部分を追加することによる表現の拡大。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5122	A		拡大表記	かくだいひょうき	representation, expanded	暦年中の特定の日として0000～9999の範囲を超える表現の拡大。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5123	A		上位省略表記	じょういしょうりゃくひょうき	representation, truncated	表記の最左端から始まる上位の部分を除いた、完全表記の略記。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5124	A		下位省略表記	かいしょうりゃくひょうき	representation with reduced precision	表記の最右端から始まる下位の部分を除いた、完全表記の略記。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5125	A		秒	びょう	second	JIS Z 8202-1に規定する国際単位系(SI)における時間又は時刻の基本単位。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5126	A		うるう秒	うるうびょう	second, leap	UTCを調整してUT1(地球の自転に基づく時間尺度)に合致するように近似精度を上げるために用いられる1秒単位の時間ステップ。挿入される秒は正のうるう秒、削除される秒は負のうるう秒と呼ばれる。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5127	A		時点	じてん	time-point	長さ0とみなされる時間軸上の点。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5128	A		週	しゅう	week	7日間の時間の単位。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5129	A		暦週	れきしゅう	calendar week	暦年中の序数によって指定される特定の7日間。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5130	A		年	ねん	year	1暦年の連続期間と同じ時間の単位。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5131	A		暦年	れきねん	calendar year	地球が太陽を一周するのに要する暦の上の1月1日から12月31日までの周期的な時間間隔(日の整数倍で近似)。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5132	A		百倍年数	ひゃくばいねんすう	year, centennial	グレゴリオ暦における暦年の年数が100で割り切れる暦年。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5133	A		平年	へいねん	common year	グレゴリオ暦における365日からなる暦年。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5134	A		うるう年	うるうどし	leap year	グレゴリオ暦における366日からなる暦年。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5135	A		元号	げんごう		日本で用いる暦年の上位呼称。	JIS X 0301	2002	ISO 8601	2000				2004	ISO/TC83
5136	B		時刻	じこく		日本標準時を用いた24時制による時分秒の時刻。	JIS X 0302	1977				廃→X 0301:199			
5137	B		データ処理機械	でーたしょりきかい		事務分野および技術分野におけるデータを処理するための装置で、電子計算機を中核とする各種機械をいう。	JIS X 0303	1971	ISO 5218	1977		廃2007/2		2004	SC32
5138	B		性別	せいべつ		男、女の別をいう。	JIS X 0303	1971	ISO 5218	1977		廃2007/2		2004	SC32
5139	B		2文字国名コード	2もじこくめいこーど		アルファベット2文字で構成される国名コード。	JIS X 0304	1988	ISO 3166	1988					ISO/TC46
5140	B		3文字国名コード	3もじこくめいこーど		アルファベット3文字で構成される国名コード。	JIS X 0304	1988	ISO 3166	1988					ISO/TC46
5141	B		3数字国名コード	3すうじこくめいこーど		3けたの数字で構成される国名コード。	JIS X 0304	1988	ISO 3166	1988					ISO/TC46
5142	A		コード	こーど	code	あらかじめ設定した規則の集合に従って、別の形にデータ変換又はデータ表現を行うもの(JIS X 0701)。	JIS X 0304	1999	ISO 3166-1	1997				2006	ISO/TC46
5143	A		コード要素	こーどようそ	code element	コード化集合の一つの要素にコードを適用した結果(JIS X 0001)。	JIS X 0304	1999	ISO 3166-1	1997				2006	ISO/TC46
5144	A		国名コード	こくめいこーど	country code	国名コード要素による表現。	JIS X 0304	1999	ISO 3166-1	1997				2006	ISO/TC46
5145	A		国名	こくめい	country name	国、保護領及び特定の地政学的な意味又は位置付けをもつその他の地域の名称。	JIS X 0304	1999	ISO 3166-1	1997				2006	ISO/TC46
5146	A		国際標準逐次刊行物番号	こくさいひょうじゅんちくじかんこうぶつばんごう	ISSN: International Standard Serial Number	"ISSN"という文字列に続き、末尾に1けたの検査数字を含む8けたの数字。	JIS X 0306	1999	ISO 3297	1998				2007	ISO/TC46
5147	A		国際逐次刊行物データシステム	こくさいちくじかんこうぶつでーたしすてむ	ISDS: International Serials Data System	各国の国内センター、地域センター及びこれらの調整を行う国際センターから成るISSNの付与・登録のための国際的組織。	JIS X 0306	1999	ISO 3297	1998				2007	ISO/TC46
5148	A		キータイトル	きーたいとる	key title	ISDSが逐次刊行物に対して与えるISSNと一体となっている標題。	JIS X 0306	1999	ISO 3297	1998				2007	ISO/TC46
5149	A		逐次刊行物	ちくじかんこうぶつ	serial	印刷物又は非印刷物の形で、継続して刊行され、通常、番号又は年月次の表示をもち、かつ終期を限定しないで継続することを意図した出版物。	JIS X 0306	1999	ISO 3297	1998				2007	ISO/TC46
5150	A		分類表	ぶんるいひょう		標数を一定の規則で体系的に配列した表。	JIS X 0307	1989							
5151	A		標数	ひょうすう		ある概念をUDCの記号体系に基づく十進数字と若干の記号で表現したもので、主標数と補助標数とで構成される。	JIS X 0307	1989							
5152	A		体系分類(概念の)	たいけいぶんるい(がいねんの)		ある概念をもつ標数と他の概念をもつ標数との位置関係が、全体の構成の中で明確に示されている分類。	JIS X 0307	1989							
5153	A		分類の展開	ぶんるいのてんかい		体系分類において、概念を逐次限定することによって分類項目数を増やすこと。	JIS X 0307	1989							
5154	A		標数の細分	ひょうすうのさいぶん		標数のけた数を増やすことによって概念をより狭い範囲に限定していくこと。	JIS X 0307	1989							
5155	B		国名コード	こくめいこーど	country code	レコーディングの最初の権利者の居住国を識別するために用いるコード。	JIS X 0308	1992	ISO 3901			2002/7	ISO 3901:2001	2001	ISO/TC46
5156	B		最初の権利者	さいしょのけんりしゃ	first owner	レコーディングの製作者。(備)レコーディングの製作者がISRCのコードを付与する以前に、そのレコーディングをすべての権利とともに譲渡したときは、その取得者が当該レコーディングの最初の権利者となる。	JIS X 0308	1992	ISO 3901			2002/7	ISO 3901:2001	2001	ISO/TC46
5157	B		レコーディング年	れこーでぃんぐねん	year of recording	収録及び編集の工程におけるすべての作業が終了し、レコーディングが完成した年。	JIS X 0308	1992	ISO 3901			2002/7	ISO 3901:2001	2001	ISO/TC46
5158	B		レコーディング	れこーでぃんぐ	recording	収録及び編集の作業よって得られた成果。使用した技術、記録媒体の種類、作業工程などとは無関係である。	JIS X 0308	1992	ISO 3901			2002/7	ISO 3901:2001	2001	ISO/TC46
5159	B		レコーディング細目	れこーでぃんぐさいもく	recording item	一つの単位として使用するレコーディングの一部分。	JIS X 0308	1992	ISO 3901			2002/7	ISO 3901:2001	2001	ISO/TC46
5160	A		国名コード	こくめいこーど	country code	レコーディングに対してISRCが割り当てられた時点で、登録者の本社が所在する国を識別するコード。	JIS X 0308	2002	ISO 3901	2001				2001	ISO/TC46
5161	A		音楽ビデオレコーディング	おんがくびでおれこーでぃんぐ	music video recording	音楽作品の演奏のレコーディングによって全体又は実質的部分が構成されるようなオーディオ要素を、オーディオビジュアルで固定したもの。	JIS X 0308	2002	ISO 3901	2001				2001	ISO/TC46
5162	A		レコーディング	れこーでぃんぐ	recording	収録及び編集の作業よって得られた成果。使用したオーディオ又はオーディオビジュアルの記録媒体及び技術の種類並びに数量とは無関係である。	JIS X 0308	2002	ISO 3901	2001				2001	ISO/TC46
5163	A		登録者	とうろくしゃ	registrant	オーディオ又は音楽ビデオのレコーディングに対してISRCが付与されたときの、原製作者又は権利者。	JIS X 0308	2002	ISO 3901	2001				2001	ISO/TC46
5164	A		データ処理機械	でーたしょりきかい		事務分野および技術分野におけるデータを処理するための装置で、電子計算機を中核とする各種機械をいう。	JIS X 0401	1973							
5165	A		都道府県	とどうふけん		普通地方公共団体である都道府県をいう。	JIS X 0401	1973							
5166	A		指定都市	していとし		人口50万以上の市で、地方自治法に規定された指定都市をいう。	JIS X 0402	2003				2003/12			
5167	A		市区町村	しくちょうそん		都道府県に包括される普通地方公共団体である市町村、特別地方公共団体である特別区及び指定都市に設けられた区をいう。	JIS X 0402	2003				2003/12			
5168	A		産業	さんぎょう		日本標準産業分類(1)による産業をいう。ここでいう産業とは、事業所において社会的な分業として行われる財貨及びサービスの生産又は提供にかかわるすべての経済活動をいう。ここでは、一般に産業といわれる農業、建設業、製造業、卸売業、小売業などの営利的活動のほか、教育、宗教、公務、医療などにおける非営利的活動も含める。なお、家庭内において家族が行う家事労働は含めない。注(1)総務庁編"日本標準産業分類"	JIS X 0403	1997							
5169	A		職業	しょくぎょう		日本標準職業分類(1)による職業をいう。ここでいう職業とは、個人が継続的に遂行している収入を伴う仕事をいう。注(1)総務庁編"日本標準職業分類"(1986年5月改訂)。	JIS X 0404	1987							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5170	A		商品	しょうひん		ここでいう商品とは、原則として日本標準商品分類(1)に含まれている商品をいう。注(1)行政管理庁編"日本標準商品分類"(昭和50年3月)	JIS X 0405	1994							
5171	A		勘定科目	かんじょうかもく		会計上の計算及び記録の単位である勘定に付けた名称。	JIS X 0406	1984							
5172	A		大学・高等専門学校	だいがくこうとうせんもんがっこう		学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する大学又は高等専門学校をいう。なお、大学は同法第69条の2に規定する短期大学を含む。	JIS X 0408	2004				2004/2			
5173	A		地域メッシュ	ちいきめっしゅ		地域に関する情報を表示するための単位として、全国の地域を対象に、地理学的経緯度に基づいて設定した正方形に近い小区画をいう。	JIS X 0410	1976				2002/2追			
5174	A		地目	ちもく		土地の主たる用途による区分をいい、原則として不動産登記法施行令(昭和35年政令第228号)第3条に規定するところによる。	JIS X 0411	1976							
5175	A		コード	こーど	code	あらかじめ定められた規則に従い、何らかの形態に変換又は表現されたデータ。	JIS X 0412-1	2004	ISO 639-1	2002				2002	ISO/TC37
5176	A		コード要素	こーどようそ	code element	コードにおける個々の項目。 備考 この規格においては、各コード要素は言語識別子及び言語名からなる。	JIS X 0412-1	2004	ISO 639-1	2002				2002	ISO/TC37
5177	A		言語識別子	げんごしきべつし	language identifier	言語名を示す情報。 備考 この規格においては、各言語識別子は2文字からなる。	JIS X 0412-1	2004	ISO 639-1	2002				2002	ISO/TC37
5178	A		コード	こーど	code	あらかじめ定められた規則に従い、何らかの形態に変換又は表現されたデータ。	JIS X 0412-2	2004	ISO 639-2	1998				1998	ISO/TC37
5179	A		コード要素	こーどようそ	code element	コードにおける個々の項目。 備考 この規格においては、各コード要素は言語識別子及び言語名からなる。	JIS X 0412-2	2004	ISO 639-2	1998				1998	ISO/TC37
5180	A		言語識別子	げんごしきべつし	language identifier	言語名を示す情報。.. 備考 この規格においては、各言語識別子は3文字からなる。	JIS X 0412-2	2004	ISO 639-2	1998				1998	ISO/TC37
5181	A		集合的言語識別子	しゅうごうてきげんごしきべつし	collective language identifier	言語群の名称を表示するための言語識別子。	JIS X 0412-2	2004	ISO 639-2	1998				1998	ISO/TC37
5182	B		データキャリア	でーたきゃりあ	data carrier, transponder, ID tag	非接触でデータを、読取り又は書込みできる情報担体。応答器、IDタグともいう。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5183	B		データキャリアシステム	でーたきゃりあしすてむ	data carrier system, ID system, radio frequency identification system	データキャリアとリーダ/ライタとから構成されるシステム。IDシステムともいう。データキャリアシステムのうち、電波によって交信するものをRF-IDと呼ぶことがある。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5184	B		交信	こうしん	communication	データキャリアとリーダ/ライタとの間のデータ通信。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5185	B		リーダ/ライタ	りーだ/らいた	reader/writer, interrogator	データキャリアとのデータ交信、制御及びそのデータに関する処理を行う装置。アンテナ、信号処理部、外部インタフェースから構成される。質問器ともいう。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5186	B		カード形	かーどがた	card type	カード形状のデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5187	B		箱形	はこがた	cube type	箱形状のデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5188	B		円筒形	えんとうがた	cylinder type	円筒形状のデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5189	B		円板形	えんばんがた	disk type	円板形状のデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5190	B		リードオンリー形	りーどおんりーかた	read only type	通常の状態で記憶部のデータの読取りだけを行えるデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5191	B		リードライト形	りーどらいとがた	read/write type	記憶部のデータを自由に書込み及び読取りができるデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5192	B		プログラマブルリードオンリー形	ぷろぐらまぶるりーどおんりーがた	programable read omly type	リードオンリー形の一種で専用装置によって書込みが行えるデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5193	B		能動形	のうどうがた	active type	自らデータを送信する能力のあるデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5194	B		受動形	じゅどうがた	passive type	自らデータを送信する能力がないデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5195	B		電池内蔵形	でんちないぞうがた	built-in battery type	電池を内蔵するデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5196	B		無電池形	むでんちがた	batteryless type	電池を内蔵せず、外部からエネルギーを得て動作するデータキャリア。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5197	B		記憶容量	きおくようりょう	memory capacity	データキャリアに入れることができるデータ量。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5198	B		電池寿命	でんちじゅみょう	battery life	データキャリアに内蔵している電池の消耗によって正常な使用ができなくなるまでの期	JIS X 0500	1995				2002/3			
5199	B		寿命	じゅみょう	life	データキャリアが使えなくなるまでの期間又は書込み回数。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5200	B		データ保持期間	でーたほじきかん	data maintain period	記憶したデータが内蔵している電池の消耗やメモリ素子の特性によって保持できなくなるまでの期間。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5201	B		システム領域	しすてむりょういき	system area	記憶容量の範囲においてシステムの管理用に使用される領域。多くの場合は、ユーザが自由に使用できない領域。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5202	B		ユーザ領域	ゆーざりょういき	user area	記憶容量の範囲でユーザが自由に利用できる領域。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5203	B		メモリ	めもり	memory	データを記憶する装置。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5204	B		アンテナ分離形	あんてなぶんりがた	separate antenna type	リーダ/ライタのうちで、アンテナが分離したもの。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5205	B		マルチアンテナ形	まるちあんてながた	multi antenna type	リーダ/ライタのうちで、アンテナを二つ以上もつもの。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5206	B		携帯形リーダ/ライタ	けいたいがたりーだ/らい	handy reader/writer	表示部や操作部が一体形成された、携帯形のリーダ/ライタ。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5207	B		アンテナ	あんてな	antenna, read/write head	リーダ/ライタの一部で、データキャリアに対し伝送媒体の送受信を行う部分。リード/ライトヘッドともいう。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5208	B		ID指定モード	あいでぃーしていもーど	ID code designation mode	特定のIDコードをもつデータキャリアとだけ交信するモード。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5209	B		トリガモード	とりがもーど	trigger mode	リーダ/ライタがトリガ信号によって交信を開始するモード。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5210	B		オートリード	おーとりーど	automatic reading	データキャリアが動作領域に入ると、自動的に読取りが行われること。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5211	B		オートライト	おーとらいと	automatic writing	データキャリアが動作領域に入ると、自動的に書込みが行われること。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5212	B		電磁結合方式	でんじけつごうほうしき	electromagnetic coupling type	一対のコイルを対向配置し、相互誘導によって交信を行う方式。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5213	B		電磁誘導方式	でんじゆうどうほうしき	electromagnetic induction type	電磁界による誘導によって交信する方式。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5214	B		電波通信方式	でんぱつうしんほうしき	radio frequency communication type, micro wave	電波によって交信する方式。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5215	B		光通信方式	ひかりつうしんほうしき	optical communication	光によって交信する方式。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5216	B		静電結合方式	せいでんけつごうほうしき	electrostatic coupling type	金属はくなどの容量プレートを対向配置させ、静電誘導によって交信する方式。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5217	B		交信領域	こうしんりょういき	communication area	データキャリアとリーダ/ライタが交信できる領域。データキャリアとリーダ/ライタの相対位置関係によって示される。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5218	B		交信距離	こうしんきょり	communication range	データキャリアとリーダ/ライタが交信できる距離。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5219	B		交信角度	こうしんかくど	communication angle	リーダ/ライタとデータキャリアの交信可能な対向角度。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5220	B		不感帯	ふかんたい	dead zone	交信領域内の交信が不安定な領域。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5221	B		指向性	しこうせい	directivity	交信領域の幅。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5222	B		相互干渉	そうごかんしょう	mutual interference	複数のデータキャリア及びリーダ/ライタが相互に影響し、交信に悪影響を与えること。	JIS X 0500	1995				2002/3			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5223	B		交信時間	こうしんじかん	communication time	データキャリアとリーダ/ライタ間でデータの書込み又は読取の一連の動作に要する時間。上位機器との通信時間は含まない。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5224	B		移動速度	いどうそくど	passing speed	交信が可能なデータキャリアとリーダ/ライタの相対速度。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5225	B		密着形	みっちゃくがた	close range type	密着して交信するもの。一般に、交信距離は数ミリメートル以下である。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5226	B		近接形	きんせつがた	short range type	交信距離が短いもの。一般に、交信距離は数ミリメートル～数十ミリメートル程度である。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5227	B		遠隔形	えんかくがた	long range type	交信距離が長いもの。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5228	B		交信プロトコル	こうしんぷろとこる	communication protocol	データキャリアとリーダ/ライタ間の交信を行うに際し、機能単位の動作を決定する意味上及び構文上の規則の集合。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5229	B		変調	へんちょう	modulation	伝送しようとする情報を表す信号波によって、正弦波又は周期的パルスなどの高周波電流の振幅、周波数その他に時間的な変化を与える操作。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5230	B		誤り検出	あやまりけんしゅつ	error detection	データが誤りなく伝送又は転送されたかどうかを検出する方法。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5231	B		誤り訂正	あやまりていせい	error correction	データの伝送、転送又は記憶の間に生じた誤りのあるデータを、訂正するのに使用する	JIS X 0500	1995				2002/3			
5232	B		偏波	へんぱ	polarized wave	電磁波の電気力線の偏波の方向とし、水平方向に進む電波で電気力線が水平のものを水平偏波、垂直のものを垂直偏波、回転するものを円偏波又は長円偏波という。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5233	B		搬送波	はんそうは	carrier	情報の伝送に必要な搬送用の正弦波又は周期的なパルスなどの波。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5234	B		システムコード	しすてむこーど	system code	適用システムごとに与えられる識別コード。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5235	B		IDコード	IDこーど	ID code	適用システム内で、個々のデータキャリアに与えられた識別コード。	JIS X 0500	1995				2002/3			
5236	A		データキャリア	でーたきゃりあ	data carrier	情報を人、動物又は物に付加し、人、動物又は物を特定するために利用する情報担体の総称。RDIF、1次元シンボル、2次元シンボルなどを表す。	JIS X 0500	2002							
5237	A		バーコードシンボル	ばーこーどしんぼる	bar code symbol	光学的反射率の高い部分と低い部分との組み合わせで情報を表示し、機械読取り可能とした情報担体の総称。1次元シンボル及び2次元シンボルが含まれる。	JIS X 0500	2002							
5238	A		バーコードシンボル体系	ばーこーどしんぼるたいけい	bar code symbology	バーコードシンボルと同義。	JIS X 0500	2002							
5239	A		1次元シンボル	1じげんしんぼる	linear symbol	長方形のバーとスペースの配列で情報を表示し、バー及びスペースに対し垂直方向に走査することによって機械読取り可能なバーコードシンボル。シンボルキャラクタ、クワイエットゾーン及びキャラクタ間ギャップによって構成する。	JIS X 0500	2002							
5240	A		2次元シンボル	2じげんしんぼる	two-dimensional symbol	バーコードシンボルの情報を読むために、バーコードシンボルに対し、水平及び垂直の両方向を走査することによって機械読取り可能なバーコードシンボル。	JIS X 0500	2002							
5241	A		バーコードリーダ	ばーこーどりーだ	bar code reader	バーコードシンボルの情報を読み取る装置。通常スキャナと復号器で構成する。	JIS X 0500	2002							
5242	A		スキャナ	すきゃな	scanner	バーコードシンボルの光学的情報を電気的情報に変換する装置。スキャナの試験方法はISO/IEC 15423参照。	JIS X 0500	2002							
5243	A		復号器	ふくごうき	decoder	バーコードシンボルの電気的情報を文字コードに変換する装置。復号器の試験方法はISO/IEC 15423参照。	JIS X 0500	2002							
5244	A		復号	ふくごう	decode	バーコードシンボルの電気的情報を文字コードに変換すること。	JIS X 0500	2002							
5245	A		符号化	ふごうか	encode	文字コードをバーコードシンボルに変換すること。	JIS X 0500	2002							
5246	A		バーコードマスタ	ばーこーどますた	bar code master	バーコードシンボルを印刷するための基礎となる写真原板又は電子的画像。バーコードマスタはISO/IEC 15421参照。	JIS X 0500	2002							
5247	A		印刷品質	いんさつひんしつ	print quality	印刷されたバーコードシンボルを、主にISO/IEC 15416に示す方法で、等級化したもの。	JIS X 0500	2002							
5248	A		検証器	けんしょうき	verifier	印刷されたバーコードシンボルの印刷品質を、主にISO/IEC 15416に示す方法で検証する装置。検証器の具備すべき要件はISO/IEC 15426参照。	JIS X 0500	2002							
5249	A		シンボル体系識別子	しんぼるたいけいしきべつし	symbology identifier	バーコードシンボルの種類を識別するコード。ISO/IEC 15424参照。バーコードリーダによってバーコードシンボルの種類を識別し、バーコードリーダから送信されるデータの先頭に付加される。	JIS X 0500	2002							
5250	A		クワイエットゾーン	くわいえっとぞーん	quiet zone	バーコードシンボルの両端又は、周囲に配される光学的反射率の高い部分。クワイエットゾーンはバーコードシンボルに含まれる。	JIS X 0500	2002							
5251	A		ベアラバー	べあらばー	bearer bar	バーコードシンボルの上下、左右又は周辺を取り囲むバー。	JIS X 0500	2002							
5252	A		モジュール	もじゅーる	module	1次元シンボル及びマルチローシンボル体系では、スペース、バー及びキャラクタ間ギャップを構成する基本単位。マトリックスシンボル体系では、シンボルを構成する基本	JIS X 0500	2002							
5253	A		基材	きざい	substrate	バーコードシンボルを印刷する媒体。一般には紙を使用する。	JIS X 0500	2002							
5254	A		背景	はいけい	background	印刷したバーコードシンボルで、周囲を含む反射率の高い部分の総称。1次元シンボルでは、クワイエットゾーン、スペース及びキャラクタ間のギャップを含む。	JIS X 0500	2002							
5255	A		キャラクタ	きゃらくた	character	数字、文字、記号のバー及びスペースなどによる表現。特殊キャラクタ(制御符号、スタートキャラクタ、ストップキャラクタ)を含む。	JIS X 0500	2002							
5256	A		シンボルキャラクタ	しんぼるきゃらくた	symbol character	キャラクタと同義	JIS X 0500	2002							
5257	A		ASCIIキャラクタ	あすきーきゃらくた	ASCII character	ISO 646で規定する文字レパートリーをバー及びスペースなどで表現したキャラクタ。	JIS X 0500	2002							
5258	A		RFID	RFID	RDIF (Radio Frequency Identification)	誘導電磁界又は電波によって、非接触で半導体メモリのデータを読み出し、書込みのために近距離通信を行うものの総称。	JIS X 0500	2002							
5259	A		RFタグ	RFたぐ	RF tag	半導体メモリを内蔵して、誘導電磁界又は電波によって書き込まれたデータを保持し、非接触で読出しできる情報媒体。	JIS X 0500	2002							
5260	A		能動型RFタグ	のうどうがたRFたぐ	active RF tag	自らデータを送信する機能を備えているRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5261	A		受動型RFタグ	じゅどうがたRFたぐ	passive RF tag	リーダ/ライタから送られてきた搬送波の電力を利用して送信する機能を備えているRFタ	JIS X 0500	2002							
5262	A		リーダ/ライタ	りーだ/らいた	reader/interrogator	RFタグのデータ書込み、読出しする装置。通常、アンテナと制御装置で構成する。	JIS X 0500	2002							
5263	A		アンテナ	あんてな	antenna	リーダ/ライタの一部で、RFタグとの物理的に電磁界ないしは電波の送受信を行う導体素子放射部分(空間結合素子部分)。	JIS X 0500	2002							
5264	A		交信	こうしん	radio communication	RFタグとリーダ/ライタ(アンテナ)間の無線通信。	JIS X 0500	2002							
5265	A		2値幅シンボル体系	2ちはばしんぼるたいけい	two-width symbology	データキャラクタを細エレメントと太エレメントで構成する1次元シンボルの総称。コード39及びインタリーブド2オフ5、コーダバーなどが含まれる。	JIS X 0500	2002							
5266	A		(n, k)シンボル体系	(n, k)しんぼるたいけい	(n, k) symbology	データキャラクタがn個のモジュールから成り、かつ、データキャラクタをk個の異なる幅をもつバー及びスペースで構成する1次元シンボルの総称。EAN/UPC及び、コード128など	JIS X 0500	2002							
5267	A		EAN/UPC	EAN/UPC	EAN/UPC	ISO/IEC 15420で規定する1次元シンボル。データキャラクタが7モジュールから成り、かつ、データキャラクタを2本のバーと2本のスペースの組合せで表す1次元シンボル。10種類の数字キャラクタを表すことが出来る。	JIS X 0500	2002							
5268	A		コード128	こーど128	Code 128	JIS X 0504 (ISO/IEC 15417)で規定する1次元シンボル。データキャラクタが11モジュールから成り、かつ、データキャラクタを3本のバーと3本のスペースの組合せで表す1次元シンボル。128種類のASCIIキャラクタを表すことができる。	JIS X 0500	2002							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5269	A		コード39	こーど39	Code 39	JIS X 0503 (ISO/IEC 16388)で規定する1次元シンボル。データキャラクタを、5本バーと4本のスペースの組合せで構成し、かつ3本の太エレメントを含む合計9本のエレメントで構成する1次元シンボル。43種類のキャラクタを表すことができる。	JIS X 0500	2002							
5270	A		インタリーブド2オブ5	いんたりーぶど2おぶ5	Interleaved 2 of 5	ISO/IEC 16390で規定する1次元シンボル。データキャラクタを、2本の太エレメント及び3本の細エレメントの組合せで構成し、かつ2本の太エレメントを含む合計5本のエレメントで構成する1次元シンボル。10種類の数字キャラクタを表すことができる。	JIS X 0500	2002							
5271	A		コーダバー	こーだばー	Codabar	JIS X 0506で規定する1次元シンボル。データキャラクタを、4本のバーと3本のスペースの組合せで構成し、かつ2本の太エレメントを含む合計7本のエレメントで構成する1次元シンボル。数字キャラクタを含む20種類のキャラクタを表すことができる。	JIS X 0500	2002							
5272	A		エレメント	えれめんと	element	1本のバー又はスペース。	JIS X 0500	2002							
5273	A		細エレメント	ほそえれめんと	narrow element	2値幅シンボル体系においてシンボルキャラクタ及びキャラクタ間ギャップを構成する平行なエレメントのうち、幅が細いエレメント。	JIS X 0500	2002							
5274	A		太エレメント	ふとえれめんと	wide element	2値幅シンボル体系においてシンボルキャラクタ及びキャラクタ間ギャップを構成する平行なエレメントのうち、幅が太いエレメント。	JIS X 0500	2002							
5275	A		バー	ばー	bar	シンボルキャラクタを構成する平行なエレメントのうち、反射率が低いエレメント。	JIS X 0500	2002							
5276	A		スペース	すぺーす	space	シンボルキャラクタ及びキャラクタ間ギャップを構成する平行なエレメントのうち、反射率が高いエレメント。	JIS X 0500	2002							
5277	A		バー高さ	ばーたかさ	bar height	1次元シンボル及びマルチローシンボル体系における読取り方向と垂直な方向に測定した個々のバー寸法。	JIS X 0500	2002							
5278	A		エレメント幅	えれめんとはば	element width	1次元シンボル及びマルチローシングル体系における読取り方向と平行な方向に測定した個々のエレメント寸法。	JIS X 0500	2002							
5279	A		キャラクタ間ギャップ	きゃらくたかんぎゃっぷ	intercharacter gap	隣接する二つのシンボルキャラクタの間に存在する反射率の高い部分。	JIS X 0500	2002							
5280	A		補助パターン	ほじょぱたーん	auxiliary pattern	データを構成しないバー及びスペースのパターン。	JIS X 0500	2002							
5281	A		データキャラクタ	でーたきゃらくた	data character	データを表すシンボルキャラクタ。	JIS X 0500	2002							
5282	A		スタートキャラクタ	すたーときゃらくた	start character	データキャラクタ及び/又はキャラクタ間ギャップからなる列の直前に配されるキャラクタ。	JIS X 0500	2002							
5283	A		ストップキャラクタ	すとっぷきゃらくた	stop character	データキャラクタ及び/又はキャラクタ間ギャップからなる列の直後に配されるキャラクタ。	JIS X 0500	2002							
5284	A		チェックキャラクタ	ちぇっくきゃらくた	check character	シンボルチェックキャラクタとデータチェックキャラクタの総称。読取りの信頼性を向上される目的で用いる。	JIS X 0500	2002							
5285	A		シンボルチェックキャラクタ	しんぼるちぇっくきゃらくた	symbol check character	符号化された1次元シンボルのデータが正しいかどうかをチェックするために、1次元シンボルの種類ごとに定められた計算方法を使用し求められたチェックデジットを表すシンボ	JIS X 0500	2002							
5286	A		データチェックキャラクタ	でーたちぇっくきゃらくた	data check character	バーコードリーダから送信された1次元シンボルのデータが正しいかどうかをチェックするために、利用者が応用例ごとに定められた計算方法を使用し求められたチェックデジットを表すキャラクタ。	JIS X 0500	2002							
5287	A		モジュロ10	もじゅろ10	modulo-10	チェックキャラクタを算出するための計算方法の一つ。例えば、インタリーブド2オブ5で用いられる。	JIS X 0500	2002							
5288	A		モジュロ43	もじゅろ43	modulo-43	チェックキャラクタを算出するための計算方法の一つ。例えば、コード39で用いられる。	JIS X 0500	2002							
5289	A		モジュロ103	もじゅろ103	modulo-102	チェックキャラクタを算出するための計算方法の一つ。例えば、コード128で用いられる。	JIS X 0500	2002							
5290	A		キャラクタセルフチェック	きゃらくたせるふちぇっく	character self-checking	個々のシンボルキャラクタが正しいかどうかをチェックする機能。	JIS X 0500	2002							
5291	A		最小反射率差	さいしょうはんしゃりつさ	minimum reflectance difference	バーコードシンボルを構成するバーとスペース。クワイエットゾーン又はキャラクタ間ギャップとの反射率差の最小値。MRDともいう。	JIS X 0500	2002							
5292	A		PCS値	PCSち	print contrast signal	次の式で定義される値。PCS値=RS-RB/RS。ここに、RS:スペース、クワイエットゾーン及びキャラクタ間ギャップの反射率(%)、RB:バーの反射率(%)	JIS X 0500	2002							
5293	A		ボイド	ぼいど	void	バーにおける反射率の高い汚れ。	JIS X 0500	2002							
5294	A		スポット	すぽっと	spot	スペース、クワイエットゾーン又はキャラクタ間ギャップにおける反射率の低い汚れ。	JIS X 0500	2002							
5295	A		マルチローシングル体系	まるちろーしんぐるたいけい	multi-row symbology	1次元シンボルを積み重ねたような2次元シンボルの総称。シンボルキャラクタ及びクワイエットゾーンによって構成する。PDFなどが含まれる。	JIS X 0500	2002							
5296	A		マトリックスシンボル体系	まとりっくすしんぼるたいけい	matrix symbology	主に格子状にデータを配した2次元シンボルの総称。符号化領域、機能パターン及びクワイエットゾーンによって構成する。データマトリックス、マキシコード、QRコードなどが含	JIS X 0500	2002							
5297	A		PDF417	PDF417	RDF417	ISO/IEC 15438で規定する2次元シンボル。長方形2次元シンボルで、スタートキャラクタ、符号化領域及びストップキャラクタで構成する。符号化領域は、長方形もモジュールによって最大15725モジュールで構成する。	JIS X 0500	2002							
5298	A		データマトリックス	でーたまとりっくす	Data Matrix	ISO/IEC 16022で規定する2次元シンボル。正方形2次元シンボルの外周二辺にL字形及びほかの二辺に破線状の位置検出パターンを配置し、2次元シンボルのひずみを検出する位置合わせパターンを符号化領域に配置している。符号化領域は正方形のモジュールによって、最大20736モジュールで構成する。	JIS X 0500	2002							
5299	A		マキシコード	まきしこーど	MaxiCode	ISO/IEC 16023で規定する2次元シンボル。正方形2次元シンボルの真中に三重の同心円の位置検出パターンを配置し、2次元シンボルの傾きを検出するパターンを6か所に配置している。符号化領域は六角形のモジュールによって、常に884モジュールで構成する。2種類の誤り訂正レベルをもつ。	JIS X 0500	2002							
5300	A		QRコード	QRこーど	QR Code	JIS X 0510(ISO/IEC 18004)で規定する2次元シンボル。正方形2次元シンボルの三角に正方形の位置検出パターンを配置し、2次元シンボルのひずみを検出する位置合わせパターンを符号化領域に配置している。符号化領域は正方形のモジュールによって、最大31329モジュールで構成する。4種類の誤り訂正レベルをもつ。	JIS X 0500	2002							
5301	A		位置合せパターン	いちあわせぱたーん	alignment pattern	画像にある程度のひずみが生じた場合でも、復号ソフトウェアが画像の座標マップを再編成することを可能にするパターン。	JIS X 0500	2002							
5302	A		符号化領域	ふごうかりょういき	encoding region	機能パターン以外のデータコード語及び誤り訂正コード語に使用されるシンボル領域。	JIS X 0500	2002							
5303	A		位置検出パターン	いちけんしゅつぱたーん	finder pattern	画像領域でシンボル位置の検索を助けるパターン。	JIS X 0500	2002							
5304	A		タイミングパターン	たいみんぐぱたーん	timing pattern	シンボル内のモジュール座標を決定する明モジュールと暗モジュールとの交互列。	JIS X 0500	2002							
5305	A		セグメント	せぐめんと	segment	ECIモード及び符号化モード規則に基づいて符号化されるデータ列。	JIS X 0500	2002							
5306	A		コード語	こーどご	codeword	データを符号化するときの構成単位。コード語の大きさは2次元シンボルの種類によって	JIS X 0500	2002							
5307	A		データコード語	でーたこーどご	data codeword	データを表すコード語。	JIS X 0500	2002							
5308	A		機能パターン	きのうぱたーん	function pattern	復号を補助するシンボル位置の検索又は特性の識別に必要なシンボルのオーバヘッド	JIS X 0500	2002							
5309	A		誤り訂正	あやまりていせい	error correction	読取り不可能なシンボルキャラクタの検知と訂正をする数学的手法。	JIS X 0500	2002							
5310	A		誤り訂正レベル	あやまりていせいれべる	error correction level	選択できる誤り訂正の等級。	JIS X 0500	2002							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5311	A		拡張チャネル解釈	かくちょうちゃねるかいしゃく	Extended channel interpretation	デフォルトの解釈とは異なるデータコード語の別の解釈定義。拡張チャネル解釈は、別の文字集合若しくは2進データ(例えば、デジタル化された署名)のコード語化、データの中間処理(例えば、データの圧縮)又はデータのフォーマット(例えば、ワードプロセシングのファイルフォーマット)の手段として機能する。ECIともいう。	JIS X 0500	2002							
5312	A		拡張チャネル解釈指定	かくちょうちゃねるかいしゃくしてい	ECI designator	特定のECI割当てを定義する番号。	JIS X 0500	2002							
5313	A		入れ子ECI	いれこECI	nested ECI	既にほかのECIが適応されているデータ列の全体又は一部に適応される拡張チャネル解	JIS X 0500	2002							
5314	A		部分セグメント	ぶぶんせぐめんと	subsegment	入れ子にされているECIモードにおいて、ある一つのECIモード指示子で始まり、次のモード指示子に先立って終了するセグメントの一部分。	JIS X 0500	2002							
5315	A		連結	れんけつ	structured append	一つのメッセージを幾つかのシンボルに分割するデータの表示方法。それらのシンボルは、完全なメッセージが再構築される前にすべての読出しを必要とする。また、この場合、メッセージ内でのシンボルの順番及び総数が定義される。	JIS X 0500	2002							
5316	A		電池内蔵型タグ	でんちないぞうがたたぐ	built-in battery type	データの保持又は内部回路駆動のために電池を内蔵しているRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5317	A		無電池型タグ	むでんちがたたぐ	battery-less type	電池を内蔵しておらず、必要な電力をアンテナから非接触で供給を受けるRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5318	A		カード形タグ	かーどがたたぐ	card type tag	主に人が携帯することを目的とした、おおむねカード形状のRFタグ。外形に関する明確な規定はない。	JIS X 0500	2002							
5319	A		箱形タグ	はこがたたぐ	cube type tag	主にモノへの取付けを目的とした箱形状のRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5320	A		円筒形タグ	えんとうがたたぐ	cylinder type tag	主にモノへの埋込みを目的とした円筒形状のRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5321	A		円板形タグ	えんばんがたたぐ	disk type tag	主にモノへの取付けを目的とした円板形状のRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5322	A		ラベル形タグ	らべるがたたぐ	label type tag	主にモノに貼り付けることを目的とした薄形のRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5323	A		モジュール形タグ	もじゅーるがたたぐ	module type tag	主にモノに組み込むことを目的とした、簡易パッケージング又はパッケージが施されていないRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5324	A		リードオンリー型	りーどおんりーがた	read only type	生産時にあらかじめ書き込まれているデータの読出しだけが行えるRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5325	A		リードライト型	りーどらいとがた	read/write type	リーダ/ライタで自由に読書きできるメモリ領域をもったRFタグ。	JIS X 0500	2002							
5326	A		ワーム型	わーむがた	write once read many type (WORM)	リーダ/ライタを使用して一度だけ書込みができ、以降は読出しかできないRFタグ。メモリ領域を分割してビット又はバイト単位で追加書込みできるものもある。	JIS X 0500	2002							
5327	A		記憶容量	きおくようりょう	memory capacity	RFタグの読出し又は読書きが可能なデータ量。ビット、バイトなどの単位で表される。	JIS X 0500	2002							
5328	A		データ保持期間	でーたほじきかん	data retention period	リーダ/ライタによって書き込まれたデータを保持できる期間。書換え回数を超えて使用したときは適用されない。	JIS X 0500	2002							
5329	A		電池寿命	でんちじゅみょう	battery life	RFタグに内蔵されている電池の消耗によってRFタグが正常に動作できなくなるまでの期間。一定の使用条件下での期待寿命値。	JIS X 0500	2002							
5330	A		書換え回数	かきかえかいすう	rewritable time	不揮発性のメモリを搭載しているRFタグのデータ保持期間を保証できる書換え可能な回	JIS X 0500	2002							
5331	A		動作温度範囲	どうさおんどはんい	operating temperature	データの読書きが可能な温度範囲。	JIS X 0500	2002							
5332	A		データ保持温度範囲	でーたほじおんどはんい	installation temperature range	書き込んだデータを保持した状態で放置可能な温度範囲。	JIS X 0500	2002							
5333	A		コイルアンテナ	こいるあんてな	coil antenna	RDIFを構成する要素の一つで、コイル状に配置された導線又はパターンで形成されるア	JIS X 0500	2002							
5334	A		平面アンテナ	へいめんあんてな	flat panel antenna	RDIFを構成する要素の一つで、板状又ははく状の導体で形成されるアンテナ。	JIS X 0500	2002							
5335	A		ダイポールアンテナ	だいぽーるあんてな	dipole antenna	RDIFを構成する要素の一つで、半波長の長さの棒状の導体で形成されるアンテナ。	JIS X 0500	2002							
5336	A		据え置き型	すえおきがた	stand alone type	制御盤内や現場にそのまま設置できる制御装置。DINレールや固定用ねじによって取り付けられる。	JIS X 0500	2002							
5337	A		組込み型	くみこみがた	built-in type	装置や機器の内部に組み込まれて設置される制御装置。	JIS X 0500	2002							
5338	A		マルチアンテナ型	まるちあんてながた	multi-antenna type	1台に複数のアンテナを接続できる制御装置。	JIS X 0500	2002							
5339	A		携帯型	けいたいがた	portable type	主に人が携帯して使用できるように、アンテナ、操作部、表示部などが一体化された制御	JIS X 0500	2002							
5340	A		エアインタフェース部	えあいんたふぇーすぶ	air interface module	RFタグとのエアインタフェースを制御する機能ブロック。	JIS X 0500	2002							
5341	A		論理処理型	ろんりしょりがた	control module	RF処理部と上位インタフェース部の制御及び内部処理を行う機能ブロック。	JIS X 0500	2002							
5342	A		上位インタフェース部	じょういいんたふぇーすぶ	interface module	上位に接続された機器との通信を制御する機能ブロック。	JIS X 0500	2002							
5343	A		電源部	でんげんぶ	power supply module	外部から供給された電源を電圧変換し、安定化される機能ブロック。	JIS X 0500	2002							
5344	A		電磁誘導方式	でんじゆうどうほうしき	inductive coupling type	誘導電磁界によって交信を行う方式。ただし、密着形のものを電磁結合方式ともいう。	JIS X 0500	2002							
5345	A		マイクロ波方式	まいくろはほうしき	micro-wave type	マイクロ波帯又は準マイクロ波帯の電波によって交信する方式。	JIS X 0500	2002							
5346	A		交信領域	こうしんりょういき	interrogation zone	RFタグがアンテナとデータの伝送を安定的に行える3次元の空間伝送領域。	JIS X 0500	2002							
5347	A		交信距離	こうしんきょり	communication range	RFタグがアンテナとデータの伝送を安定的に行える最大伝送距離。	JIS X 0500	2002							
5348	A		交信角度	こうしんかくど	orientation	RFタグがアンテナとデータの伝送を安定的に行える対向角度。	JIS X 0500	2002							
5349	A		交信時間	こうしんじかん	communication time	RFタグとリーダ/ライタ間でデータの書込み又は読出しなどの一連の処理に要する時間。上位機器との通信時間は含まない。	JIS X 0500	2002							
5350	A		交信速度	こうしんそくど	data rate	RFタグとリーダ/ライタ間のビット伝送速度。	JIS X 0500	2002							
5351	A		指向性	しこうせい	antenna directivity	RFタグとリーダ/ライタ(アンテナ)の交信領域の広がり。RFタグとアンテナ形状の他に搬送周波数によっても特性が異なる。指向性が強いと広がりが小さくなり、弱いと広がりが	JIS X 0500	2002							
5352	A		マルチリード	まるちりーど	multiple reading	一つのアンテナの交信領域内にある複数のRFタグを認識し、それぞれからデータを読み出す機能。	JIS X 0500	2002							
5353	A		アンチコリジョン	あんちこりじょん	anti-collision	マルチリードと同義語。	JIS X 0500	2002							
5354	A		タグトークファースト	たぐとーくふぁーすと	tag talk first (TTF)	RFタグがリーダ/ライタから電磁波又は電波を受信したとき、RFタグが先にデータを送信する方式。	JIS X 0500	2002							
5355	A		リーダトークファースト	りーだとーくふぁーすと	reader talk first (RTF)	リーダ/ライタが常にRFタグを検索する方式。RFタグはリーダ/ライタからコマンドを受け付けるまではデータの送信は行わない。	JIS X 0500	2002							
5356	A		相互干渉	そうごかんしょう	mutual interference	複数のRFタグ及びリーダ/ライタの送信する搬送波や信号波が相互に影響し混信すること。相互干渉があると交信品質が著しく悪化し、エラーが頻発する。	JIS X 0500	2002							
5357	A		金属影響	きんぞくえいきょう	metal influence	RFタグ及びアンテナが設置される周辺の交信領域特性に影響を与える現象。	JIS X 0500	2002							
5358	A		密着型	みっちゃくがた	close coupled type	RFタグがアンテナに密着して交信するRFID。一般的には交信距離が数ミリメートル以下	JIS X 0500	2002							
5359	A		近接型	きんせつがた	proximity type	RFタグとアンテナの交信距離が数ミリ～数十ミリメートルのRFID。	JIS X 0500	2002							
5360	A		近傍型	きんぼうがた	vicinity type	RFタグとアンテナの交信距離が数十ミリ～0.7メートル程度のRFID。	JIS X 0500	2002							
5361	A		遠隔型	えんかくがた	long range type	RFタグとアンテナの交信距離が0.7メートル以上のRFID。	JIS X 0500	2002							
5362	A		固有ID	こゆうID	unique ID	個々のRFタグを、唯一に特定することを目的として付与する識別番号又は識別データ。	JIS X 0500	2002							
5363	A		アプリケーションID	あぷりけーしょんID	application ID	RFタグに記載されたデータの内容を識別するために付与する番号又はデータ。	JIS X 0500	2002							
5364	B		バーコードシンボル	ばーこーどしんぼる		数種の幅の白と黒の平行バーからなるバーコードとマージン及びJIS X 9001[光学式文字認識のための字形(英数字)]に規定するOCR-B字体の文字で構成され、媒体上に印刷(表示)されたマーク。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5365	B		標準バージョン	ひょうじゅんばーじょん		この規格で定めるバーコードシンボルの1形式で、13けたで表すもの。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5366	B		短縮バージョン	たんしゅくばーじょん		この規格で定めるバーコードシンボルの1形式で、8けたで表すもの。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5367	B		バーコード	ばーこーど		バーコードシンボルのうち、数種の幅の白と黒の平行バーで構成される部分。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5368	B		白バー	しろばー		バーコードを構成する平行バーのうち、反射率が高いバー。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5369	B		黒バー	くろばー		バーコードを構成する平行バーのうち、反射率が低いバー。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5370	B		マージン	まーじん		バーコードの両側に設けた余白部分。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5371	B		モジュール	もじゅーる		白バー、黒バー及びマージンを構成する基本単位。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5372	B		キャラクタ	きゃらくた		数字の実際的又は符号化した表現。バーコードでは7モジュールで1キャラクタを表す。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5373	B		プリフィックスキャラクタ	ぷりふぃっくすきゃらくた		国コードなど商品コードの管理単位を識別するキャラクタ。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5374	B		データキャラクタ	でーたきゃらくた		商品コードを表すキャラクタ。ただし、プリフィックスキャラクタを含む場合もある。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5375	B		モジュラチェックキャラクタ	もじゅらちぇっくきゃらくた		バーコードシンボルの読取りの正確性を保つために、ある計算方法に基づいて求めた値を表すキャラクタ。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5376	B		モジュラス10	もじゅらす10		モジュラチェックキャラクタを算出する計算方法。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5377	B		奇数パリティ	きすうぱりてぃ		バーコードの1キャラクタにおいて、黒バーのモジュール数の和が奇数(3又は5)のもの。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5378	B		偶数パリティ	ぐうすうぱりてぃ		バーコードの1キャラクタにおいて、黒バーのモジュール数の和が偶数(2又は4)のもの。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5379	B		PCS値	PCSち	Print Contrast Signal	印刷図形の光学的特性を測定するために定義される量。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5380	B		ボイド	ぼいど		黒バーにおける欠け。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5381	B		スポット	すぽっと		白バー及びマージンにおける汚れ。	JIS X 0501	1985				廃2009/3			
5382	A		デジタル	でじたる	digital	数字によって表現されるデータ並びにそのデータを利用するプロセス及び機能単位に関する(接頭語)。[JIS X 0001の01.02.04参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5383	A		エラー(1)	えらー(1)	error(1)	デジタルデータにおいて、情報の取得、保存、処理又は交信の結果、単一又は複数のビットが誤った値で取り扱われること、又はデータ列からビットが欠落していること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5384	A		エラー(2)	えらー(2)	error(2)	演算、検出又は計測された値及び条件と、その正しい、認定された又は理論的に正しいとされる値又は条件との不一致。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5385	A		エラー(3)	えらー(3)	error(3)	システム上で想定される無効となるような状況。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5386	A		エラーバースト	えらーばーすと	error burst	エラービットを始端及び終端とするビット列であって、その中に含まれる正しいビットの長さが常に与えられた値より小さいもの。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5387	A		エラー制御(1)	えらーせいぎょ(1)	error control(1)	情報の記録、処理又は伝送においてエラーの発生率を削減するための手段。[IEC 60050-702の702-07-40参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5388	A		エラー制御(2)	えらーせいぎょ(2)	error control(2)	データのやりとりにおいて、エラーの検出又は(可能な場合には)エラーの訂正を行うプロトコルの一部。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5389	A		エラー訂正コード	えらーていせいこーど	error correcting code	検出されたエラーの幾つかに対し自動補正を可能にするエラー検出コード。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5390	A		エラー検出コード	えらーけんしゅつこーど	error detection code	構成規則(rules of construction)によって、情報の記録、処理又は伝送において発生したエラーが規則を逸脱した場合にその自動検出を可能にする冗長コード。[IEC 60050-702の702-05-19参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5391	A		ファイル	ふぁいる	file	一つの単位として取り扱われる名前を付けられた記録情報の集合体。[JIS X 0004の04.07.10参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5392	A		ゼロ消去(1)	ぜろしょうきょ(1)	zero-suppression(1)	ある数値から不要な0を削除すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5393	A		ゼロ消去(2)	ぜろしょうきょ(2)	zero-suppression(2)	印字出力又は画像表示される演算結果から不要な0を削除する機能。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5394	A		ゼロ消去(3)	ぜろしょうきょ(3)	zero-suppression(3)	UCC-12データ列をUPC-Eフォーマットに符号化する場合に特定の位置から0を削除する	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5395	A		データ	でーた	data	伝送、解析、及び処理に適するように形式化され、再度解釈できる情報表現。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5396	A		データ符号化	でーたふごうか	data coding	ベースバンドデータビット表現、又は論理データビットから物理信号へのマッピング。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5397	A		データ識別子	でーたしきべつし	data identifier, DI	特定の文字又は文字列であって、それに続くデータ内容が意図する用途を定義する。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5398	A		データ伝送	でーたでんそう	data transmission	電信電話回線を介して、ある地点から他の一つ以上の地点に対して行われるデータの転送。[JIS X 0009の09.01.02参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5399	A		情報	じょうほう	information	情報処理における、ある文脈において特定の意味合いをもつオブジェクトに関しての知識。[JIS X 0001の 01.01.01参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5400	A		メッセージ(1)	めっせーじ(1)	message(1)	発信元から送信先へ伝送される情報の単位。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5401	A		メッセージ(2)	めっせーじ(2)	message(2)	情報理論及び通信理論における、情報を伝送するために順序付けられた文字列。[JIS X 0016の 16.02.01参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5402	A		読取り	よみとり	read	機械可読媒体からデータを取得する処理(必要に応じ、発信元に入力されたデータの修復を行って交信するために必要な競合制御管理、エラー制御管理、チャンネル複合化及びソース復号化を含む。)。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5403	A		読み取る、読み込む	よみとる、よみこむ	read	入力装置、記憶装置又はデータ媒体からデータを得ること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5404	A		リーダ(1)	りーだ(1)	reader(1)	記憶装置、データ媒体又は他の媒体からのデータ読取り又は解釈のために用いられる	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5405	A		リーダ(2)	りーだ(2)	reader(2)	マイクログラフィクスにおける、マイクロイメージを拡大表示する装置。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5406	A		ライセンスプレート(固有識別子)の概念	らいせんすぷれーと(こゆうしきべつし)のがいねん	license plate concept	機械可読媒体に含まれる固定コードがデータベースへのポインタとして利用される概念。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5407	A		機械可読媒体	きかいかどくばいたい	machine-readable medium	操作者の人的介在なしに、ある媒体から処理システムにデータの直接転送を可能にする特性をもつ自動データ取得媒体。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5408	A		読取り能力	よみとりのうりょく	readability	一定の条件下でデータを読み取る能力。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5409	A		電子データ交換	でんしでーたこうかん	electronic data interchange, EDI	標準化されたルールに適合してコンピュータシステム間で行われるデータ及び文書の交換。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5410	A		相互運用性テスト	そうごうんようせいてすと	interoperability testing	複数の製品、部品若しくは機器、又はサービスが、規格又は標準において定義された機能の集合を、共同で作動できるかどうかを検証すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5411	A		ビット、2進数字	びっと、2しんすうすうじ	bit, binary digit	2進法演算システムで使用される場合の単位であり、0又は1のいずれかの数字。[JIS X 0001の 01.02.08参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5412	A		最下位ビット	さいかいびっと	least significant bit, LSB	ビットのグループにおける最も重み値の小さいバイナリ値をもつビット。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5413	A		最上位ビット	さいじょういびっと	most significant bit, MSB	ビットのグループにおける最も重み値の大きいバイナリ値をもつビット。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5414	A		2進化10進表記法	2しんか10しんひょうきほう	binary coded decimal,	0から9のそれぞれの数字を、4ビットの2進形式の集合で表す10進数の表現方法。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5415	A		数字	すうじ	numeric	(文字集合について)数値だけを含んでいる(形容詞)。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5416	A		英数字	えいすうじ	alphanumeric	文字及び数字の両方からなるが、句読点又は他の文字を含むことがあるデータに関する(接頭語)。又は英数字データを使用する処理及び機能単位に関する(接頭語)。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5417	A		冗長性(1)	じょうちょうせい(1)	redundancy(1)	ある要求された機能を果たす不可欠な手段に加え、信頼性を改善するための手段があ	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5418	A		冗長性(2)	じょうちょうせい(2)	redundancy(2)	安定して読取り及び交信ができる可能性を向上させるために情報が反復されること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5419	A		スキャン(1)	すきゃん(1)	scan(1)	シンボル又はシンボルの一部をスキャンする光線の一回の通過。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5420	A		スキャン(2)	すきゃん(2)	scan(2)	撮像装置による単一のイメージ認識。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5421	A		スキャンする(1)	すきゃんする(1)	scan(1)	体系的にデータを調べること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5422	A		スキャンする(2)	すきゃんする(2)	scan(2)	シンボル又はシンボルの一部にスキャンビームを通過させること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5423	A		スキャンする(3)	すきゃんする(3)	scan(3)	撮像装置によって単一のイメージをとら(捉)えること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5424	A		方位	ほうい	orientation	ピッチ角、スキュー角及びチルト角という三次元での角度状態を示す用語で表現される、リーダに対向する機械可読媒体の位置関係。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5425	A		レンジ、距離	れんじ、きょり	range	読取装置が所定の特性の機械可読媒体を読込み可能な最大距離。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5426	A		検証(1)	けんしょう(1)	verification(1)	関連する要件又は仕様と、動作、処理又は結果とを比較すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5427	A		許容範囲	きょようはんい	tolerance	システム又は環境の、作用又は影響に起因するシステムパラメタ値の最大許容偏差。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5428	A		コード要素	こーどようそ	code element	コード化集合の一つの要素にコードを適用した結果。[JIS X 0004の04.02.04参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5429	A		ソフトウェア	そふとうぇあ	software	電気通信において、機器の操作、電気通信ネットワーク、又はその他のシステムに関連する、コンピュータプログラム、手順、ルール、及び文書。[IEC 60050-702の702-09-02	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5430	A		視野(1)	しや(1)	field of view(1), FoV(1)	一度のスキャンで読取り可能なバーコード長。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5431	A		視野(2)	しや(2)	field of view(2), FoV(2), capture field/area/zone	リーダライタが電子タグ(トランスポンダ)とやりとりできるリーダライタの周りの領域。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5432	A		誤認	ごにん	misread	リーダライタによって読み取られたデータが媒体内の対応するデータと相違する状況。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5433	A		自動認識システム	じどうにんしきしすてむ	automatic identification system	対象物の正確、かつ、明確な識別を実現するためのシステム。対象物としては、データが記載されたラベル、タグ、電子タグ又はもともとの特性及び所定の特性、適切なシステム源によって問合わせが行われるデータ又は特性などである。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5434	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	所定の目的を満たす文字の有限集合。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5435	A		公称	こうしょう	nominal	最適な動作を保証するようにシステムが設計された場合の値。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5436	A		シンボル識別子	しんぼるしきべつし	symbology identifier	復号器によって作りだされる文字列で、復号器から出力される復号済みデータの前に付けられるもの。復号化されたデータから、元のシンボルを認識するためのものである。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5437	A		伝統的製版法	でんとうてきせいはんほう	conventional printing process	印刷方法の一つ。刷版(平面又は円筒形)及び液体インクを用い、被印刷物上に、あるイメージの複製を作り出す方法。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5438	A		リーディングゼロ列	りーでぃんぐぜろれつ	leading zeros	数値の左に位置するすべてのゼロ。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5439	A		リーディングゼロ	りーでぃんぐぜろ	leading zero	位取り表記法において、ゼロでない最上位の数値の位置よりも上位の位置にあるゼロ。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5440	A		連結	れんけつ	concatenation	単一のファイル又はデータフィールドを形成するために、データキャリアのデータに含まれる所定の要素を連結する機能。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5441	A		構造的付加	こうぞうてきふか	structured append	二つ以上のシンボルに含まれるデータを、単一のメッセージとして取り扱うため、あらかじめ定めた順序(構造)につなぎ合わせること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5442	A		バイト(1)	ばいと(1)	byte(1)	一つの単位として扱われる複数のビットから構成される列。通常は1文字又は文字の1部分を表す。[JIS X 0004の04.05.08参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5443	A		バイト(2)	ばいと(2)	byte(2)	AIDCの分野では、一つの文字を構成し一つの単位として扱われる連続したビット。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5444	A		カレントループ	かれんとるーぷ	current loop	テレタイプ(TTY)通信インタフェース。ノイズの多い環境においても比較的長距離のデータ通信が可能。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5445	A		電磁スペクトル	でんじすぺくとる	electromagnetic spectrum	周波数又は波長によって特性が示される、電磁放射の帯域。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5446	A		拡張2進化10進表記法	かくちょう2しんか10しんひょうきほう	extended binary-coded decimal interchange code, EBCDIC	8ビット文字によって構成される標準コード。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5447	A		レコード	れこーど	record	データの編成において、一つの単位として扱われるデータ要素の集合。[JIS X 0004の04.07.03参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5448	A		影響	えいきょう	impact	システム、環境、その他に対して、その動作性能に影響を与える作用。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5449	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	二つの機能単位の間で共有される境界領域で、それぞれの機能に関する様々な特性、物理的相互接続特性、信号交換特性、その他の適正な特性によって定義される。[JIS X 0001の01.01.35参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5450	A		出荷時目録	しゅっかじもくろく	manifest	出荷に関する情報項目の一覧。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5451	A		平均故障間隔	へいきんこしょうかんかく	mean time between failures, MTBF	コンポーネント、アッセンブリ又はシステムに障害が発生するまでの時間。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5452	A		メモリ	めもり	memory	処理装置及び他のすべての内部記憶装置において、命令を実行するために使用されるアドレスを付けることのできる記憶空間のすべて。[JIS X 0001:1994の01.01.11参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5453	A		公称範囲	こうしょうはんい	nominal range	そのシステムが使われる環境の通常の変動を考慮した場合、システムが信頼できる動作を保証できる能力の範囲。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5454	A		メモリパーティション	めもりぱーていしょん	memory partition	複数レベルの情報提供を可能とするための、電子メモリのセグメント化。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5455	A		アプリケーション識別子	あぷりけーしょんしきべつし	application identifier, AI	EAN/UCCが規定した識別子で、続くデータ内容の意味と用途とを定義するもの。JIS X 0531:2003(情報技術-EAN/UCCアプリケーション識別子とFACTデータ識別子、及びその管理)(ISO 15418、EAN/UCC Application Identifires and FACT Data Identifiers and Maintenance)及びEAN General Specificationsにおいて定義されている。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5456	A		光学的読取媒体	こうがくてきよみとりばいたい	optically readable medium, ORM	自動認識技術の一つの種類。一次元バーコード、二次元シンボル、マークセンス又は光学文字認識(OCR)などが該当する。光源で照らし、光学的検知装置によって検知し、反射があらかじめ定められた方式に基づき電気信号に変換される。この信号は、読取り機が認識し、対応するコンピュータコードに変換される。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5457	A		適合性	てきごうせい	conformity	製品、処理又はサービスが指定の要件を満たしていること。[ISO/IEC Guide 2:1996の	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5458	A		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation	所定の用途に対応した特定の要件が満たされていることを、客観的証拠の調査と提出とによって確認すること。すなわち、すべての要件が正しく完全に実装され、システム要件にトレースできること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5459	A		検証(2)	けんしょう(2)	verification(2)	特定の要件が満たされていることを、客観的証拠の調査と提出とによって確認すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5460	A		検証(3)	けんしょう(3)	verification(3)	調査、検査、試験、確認、監査又は他の方法によって製品、処理、サービス又は書類が特定の要件を満たしていることを確認すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5461	A		(人間)可読情報	(にんげん)かどくじょうほう	human-readable	機械可読媒体に関係してそれとともに表され、人間に伝えることを意図した情報。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5462	A		(人間)可読表示	(にんげん)かどくひょうじ	human-readable interpretation	機械可読媒体の近くに提示され、媒体中に符号化されたデータを人間が読める形で提供した情報。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5463	A		人向け説明	ひとむけせつめい	human translation	機械可読媒体の近くに提示され、シンボルの中に符号化されたデータの一部、及び符号化されていないデータフィールド記述を表現した可読情報。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5464	A		データエリアタイトル	でーたえりあたいとる	data area titles	機械可読又は(人間)可読な形式の情報からなるデータエリア。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5465	A		フリーテキスト	ふりーてきすと	free text	機械可読媒体に符号化された内容以外の可読情報。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5466	A		抽象(的)、アブストラクト	ちゅうしょう(てき)、あぶすとらくと	abstract(形容詞の場合)	何かに依存しないこと。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5467	A		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax	OSIプレゼンテーションサービスにおいて、アプリケーション層データ又はアプリケーションプロトコル制御情報を、符号化技術に依存しない記述規則を用いて表現するための仕	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5468	A		符号化	ふごうか	encode(動詞の場合)	コードの使用によって、元の形に再変換が可能な形態にデータを変換すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5469	A		復号化	ふくごうか	decode(動詞の場合)	符号化された表現を元の形に戻して情報を再格納すること。[IEC 60050-702の702-05-	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5470	A		ひずみ(1)	ひずみ(1)	distortion(1)	イメージ又は波形における望ましくない変化。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5471	A		ひずみ(2)	ひずみ(2)	distortion(2)	信号の形状又は明りょう度に正常ではない変化を生じさせる何らかの障害。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5472	A		受信確認信号	じゅしんかくにんしんごう	acknowledgment signal	相手方向からの信号の受信を確認するため、こちらから送信する信号。[IEC 60050-714の714-07-22参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5473	A		アドレス指定能力(1)	あどれすしていのうりょく(1)	addressability(1)	ビット、フィールド、ページ、ファイル又は他に定義されたタグ内のメモリ領域をアドレス指定する能力。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5474	A		アドレス指定能力(2)	あどれすしていのうりょく	addressability(2)	コンピュータグラフィクスにおいて、装置空間又は記憶装置におけるアドレス指定可能な	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5475	A		アドレス指定能力(3)	あどれすしていのうりょく(3)	addressability(3)	マイクログラフィクスにおいて、あるフィルムのフレーム(コマ)におけるアドレス指定可能な水平方向及び垂直方向における点の数。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5476	A		ブロックコード	ぶろっくこーど	block code	固定長のコードフォーマットをもつエラー検出コードで、cパリティビットを伴うkメッセージビットは、nビットブロックコード(n = k + c)を構成するようになっているもの。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5477	A		データ領域	でーたりょういき	data field	データの特定の項目又は複数の項目に割り当てられたメモリの領域。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5478	A		プロトコル	ぷろとこる	protocol	通信を行う場合に、機能装置の動作を決定する規約の集合。[JIS X 0009の09.06.04参	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5479	A		ブロックチェック文字	ぶろっくちぇっくもじ	block check character,	伝送エラーを検出するために、データに追加されるパリティエラーチェック文字。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5480	A		ビット誤り率	びっとあやまりりつ	bit error rate, BER	伝送されたすべてのビットに対し、エラーとして受信されるビットの割合。ある時間内に発生した誤りのビット数を、送信、受信又は処理したビットの総数で除して算出される。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5481	A		拡張ポート	かくちょうぽーと	expansion port	コンピュータ又は周辺機器における追加入出力を可能とするための端子。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5482	A		情報ビット	じょうほうびっと	information bit	制御の目的ではなく、利用者データを表現することに使用されるビット。[JIS X 0009の09.06.09参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5483	A		チェックサム	ちぇっくさむ	check sum, CSUM	コードを生成するデータブロックの内容の操作であって、生成されたコードがそのブロックに追加され、伝送前と後とに検査することによって、データが壊れたり又は失われたりしていないかを判断するようになっているもの。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5484	A		INCITS	INCITS	International committee for information technology standards	米国内において情報技術の開発に責任をもつ米国規格協会(ANSI)認可の標準開発組織。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5485	A		環境パラメタ	かんきょうぱらめた	environmental parameter	システムの性能にかかわりをもっているか又は影響を与え得る外部パラメタ。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5486	A		16進(1)	16しん(1)	hexadecimal(1), Hex(名詞の場合)	0～9までの数字、及びA～Fまでの文字を使用し、16を基数としてデータを表す方法。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5487	A		16進(2)	16しん(2)	hexadecimal(2)(形容詞の場合)	16進数値のように、16の取り得る異なった値又は状態をもつ選択又は条件によって特徴付けられていること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5488	A		項目(1)	こうもく(1)	item(1)	アプリケーションにおける最小の認識可能な実体。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5489	A		項目(2)	こうもく(2)	item(2)	データセットの要素。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5490	A		無線周波データ通信、RF/DC	むせんしゅうはでーたつうしん、RF/DC	radio frequency date communication, RF/DC	遠隔装置が無線リンクによってホストコンピュータと交信するシステム。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5491	A		単語(1)	たんご(1)	word(1)	コンピュータで使用される、通常8ビット、16ビット、又は32ビットで構成される文字の集	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5492	A		単語(2)	たんご(2)	word(2)	ある目的のために一つの単位として扱われる文字列又はビット列。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5493	A		出力装置	しゅつりょくそうち	output device	印刷用図版処理において、印刷用図版を生成するために使用される、コンピュータが制御する末端装置。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5494	A		巡回冗長検査(1)	じゅんかいじょうちょうけんさ(1)	cyclic redundancy check(1), CRC(1)	パケットレベルでのエラー検出アルゴリズムで、モジュロ2の算術論理の属性を利用するもの。メッセージ多項式、パリティ多項式を構成するジェネレータ多項式及び伝送多項式	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5495	A		巡回冗長検査(2)	じゅんかいじょうちょうけんさ(2)	cyclic redundancy check(2), CRC(2)	巡回アルゴリズムによって、余分の数字又は文字が作り出される冗長検査。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5496	A		アプリケーション標準	あぷりけーしょんひょうじゅん	application standard	ある条件化において、自動認識及びデータ取得技術を特定の目的、規定にどう適用するかの方法を定めた規格。例えば、データ形式、ユーザ要件、適合性要件、及び該当する技術標準の関連するパラメタの選定などを規定する。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5497	A		データ圧縮	でーたあっしゅく	data compaction	機械可読媒体の中にデータをできるだけ効率的に最小のスペースで表現するためにオリジナルデータを処理する仕組み又はアルゴリズム。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5498	A		モジュロ	もじゅろ	modulo	二つの整数の除算の余りを結果とするアルゴリズム。バーコードシンボルのチェック文字を算出するために使用される。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5499	A		オープンシステム	おーぷんしすてむ	open system	異なった設計又は製造による他のシステムとの相互運用性を実現するため、公的に定義されたインタフェース及びプロトコルをもつシステム。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5500	A		クローズドシステム(1)	くろーずどしすてむ(1)	closed system(1)	独自開発の規格に従っているシステム。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5501	A		クローズドシステム(2)	くろーずどしすてむ(2)	closed system(2)	データの取得、格納及び通信を含むデータ処理が、システムが属する組織の制御下にあるシステム。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5502	A		オープンアプリケーション環境	おーぷんあぷりけーしょんかんきょう	open application environment	第三者が自由に参加でき、かつ、相互間の取決めを必要としないアプリケーション。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5503	A		クローズドアプリケーション環境(システム)	くろーずどあぷりけーしょんかんきょう(しすてむ)	closed application environment (system)	クローズドグループのユーザによる使用を前提としたアプリケーション。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5504	A		暗号化(1)	あんごうか(1)	encryption(1)	しばしば平文に対して用いられるデータ保護方法で、適切な解読キーがなければ理解できない形式に変換すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5505	A		暗号化(2)	あんごうか(2)	encryption(2),	データを暗号変換すること。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5506	A		RS232	RS232	RS232	米国電子工業会(EIA)によって規定された、装置の相互接続のための一般的な物理インタフェース標準。単一の装置のポイントツーポイント接続で9600bpsまでの通信速度及び15mまでの距離を許容範囲とする。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5507	A		RS422	RS422	RS422	RS232同様の平衡インタフェース標準であるが、ノイズに強く、より対線ケーブルで異なる電圧を取り扱うことによって、3000mまでの距離で単一又は複数のデバイスを主装置に接続することが可能。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5508	A		RS485	RS485	RS485	RS422の上位バージョン。複数のデバイス(通常は32まで)を2しん(芯)バス接続で1000m以上の距離で利用可能。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5509	A		受信信号強度表示信号	じゅしんしんごうきょうどひょうじしんごう	receiving signal strength indicator, RSSI	受信入力電圧の値。ハードウェアの実装によって、デジタルデータ又はアナログ電圧で表示することが可能である。	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5510	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	問題の解法のための、明確に定義された有限個の規則の順序付き集合。[JIS X 0001の01.05.05参照]	JIS X 0500-1	2009	ISO/IEC 19762-1	2005				2008	SC31
5511	A		画素	がそ	pixel, picture element	色又は輝度を個別に定義できる表示面上での最小要素(JIS X 4201参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5512	A		エレメント	えれめんと	element	一次元シンボルにおける単一のバー若しくは単一のスペース又はマトリックスシンボルにおける多角形若しくは単一円形セル。シンボル体系規則に従ってシンボルキャラクタを作	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5513	A		解像度(1)	かいぞうど(1)	resolution(1)	明確に識別できる属性表示間の最小距離。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5514	A		解像度(2)	かいぞうど(2)	resolution(2)	バーコードリーダによって読める最小エレメント幅。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5515	A		X寸法	Xすんぽう	X dimension	一次元シンボルにおける細エレメントの幅又は二次元シンボルにおける単一エレメントの	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5516	A		Y寸法	Yすんぽう	Y dimension	一次元シンボル又はマルチローシンボル体系における、列のエレメントの高さ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5517	A		復号	ふくごう	decoding	符号化された表現から、情報を元の書式に復元するプロセス。[IEC 60050-702の702-05-15参照]	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5518	A		復号容易度	ふくごうよういど	decodability	バー及びスペースが相互に又は単独で参照復号アルゴリズムを満たすときの関係の測	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5519	A		有効開口径	ゆうこうかいこうけい	effective aperture	走査器又は同様な装置において、走査するときのスポット径と、反射光をセンサが受光するときの物理的な開口径とのうち、小さい方の径。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5520	A		読取距離	よみとりきょり	reading distance	バーコードリーダがシンボルを正しく読むことができるときの、走査器の読取窓からシンボルまでの距離(又は距離範囲)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5521	A		読取深度(1)	よみとりしんど(1)	depth of field (1)	焦点の合った十分な品質の画像が得られるときの、受光センサからシンボルまでの距離の最小値から最大値までの幅。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5522	A		読取深度(2)	よみとりしんど(2)	depth of field (2)	定めた仕様のシンボルを、バーコードリーダが正しく読める距離範囲。バーコードリーダの最大読取範囲(range of scanner)から、最小読取距離を引いた値と同じ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5523	A		最小読取距離	さいしょうよみとりきょり	optical throw	定めた仕様のシンボルを読むときの、走査器の読取窓から読取深度の浅い位置までの	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5524	A		読取率	よみとりりつ	read rate	特定のシンボルを100回読取試行したときの、読取りに成功した回数。百分率で表す。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5525	A		キャラクタ	きゃらくた	character	組織の合意によって用いる集合の要素で、情報の制御又は表現をするもの。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5526	A		補助キャラクタ、補助パターン	ほじょきゃらくた、ほじょぱたーん	auxiliary character, auxiliary pattern	データ以外のキャラクタ又はパターン	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5527	A		データキャラクタ	でーたきゃらくた	data character	データを表す、単一数字、英文字若しくは記号、又は制御文字。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5528	A		フォント	ふぉんと	font	特定の書体及び特定の画像サイズのキャラクタ集合。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5529	A		可読文字	かどくもじ	human readable character	目視可能な文字。標準的な目視可能な英数字及び記号を用いて、バーコード(データキャラクタ、チェックキャラクタなど)の内容を表現したものであり、機械読取可能な表現	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5530	A		シンボル	しんぼる	symbol	特定の文脈において意味をもつ概念の図的表現。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5531	A		一次元シンボル	いちじげんしんぼる	linear bar code	シンボルキャラクタと、特定の一次元シンボル又は例えば、RSS-14スタックシンボルなどによって要求される特徴との組合せデータを、画像によって表現したものであり、バーコードリーダによって同時に読むことができる。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5532	A		透過率	とうかりつ	transmittance (1)	透過光の放射束又は光束と入射光の放射束又は光束との比。一般に、百分率(%)で表す(JIS Z 8120の01.01.41参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5533	A		吸収率、光学濃度、Dτ	きゅうしゅうりつ、こうがくのうど、Dτ	transmittance(2), optical density, Dτ	物質が光を吸収する程度を表す量。単に濃度ともいう。通常は、透過率(τ)の逆数の10を底にした対数(Dτ = − log10τ)で表される[IEC 60050-845の845-04-66参照]。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5534	A		シンボルキャラクタ、バーコードキャラクタ	しんぼるきゃらくた、ばーこーどきゃらくた	symbol character, bar code character	明エレメント及び暗エレメントパターンによるコード語の物理的表現。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5535	A		反射率差	はんしゃりつさ	reflectance difference	バーコードシンボルの、明エレメントと暗エレメントとの反射率の差。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5536	A		参照しきい値	さんしょうしきいち	reference threshold	参照復号アルゴリズムによって、単一エレメント又はエレメントの組合せを判断するための境界点。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5537	A		欠陥	けっかん	defect	規定の要件を満たすために必す(須)な特性の、欠如又は不具合。それによって、必要機能に影響を及ぼすことがある。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5538	A		不透明性	ふとうめいせい	opacity	光の透過を防ぐ、物質の特性。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5539	A		光沢	こうたく	gloss	入射光の一部を、鏡面のように反射する表面の性質。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5540	A		太細比	ふとほそひ	wide:narrow ratio	シンボルにおける細エレメント幅を1とした、太エレメント幅の比率。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5541	A		バー幅修正、BWA	ばーはばしゅうせい、BWA	bar width adjustment, BWA	印刷又は複写過程において、バー幅の増減を補うために、バーコードマスタのバー幅を調整する量。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5542	A		読取角度	よみとりかくど	reading angle	走査線の軸を基準としたシンボルの回転角度(JIS X 0522-1参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5543	A		ピッチ角	ぴっちかく	pitch	バーコードリーダが読める範囲で、バーの高さ方向に平行な軸に対するバーコードシンボルの回転角度。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5544	A		スキュー角	すきゅーかく	skew	バーコードリーダが読める範囲で、シンボル幅に平行な軸に対するバーコードシンボルの回転角度。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5545	A		チルト角	ちるとかく	tilt	バーコードリーダが読める範囲で、基材表面に垂直な軸に対するバーコードシンボルの回転角度。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5546	A		検証器	けんしょうき	verifier	シンボルの検証に用いる装置。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5547	A		バー	ばー	bar	シンボルキャラクタを構成する平行なエレメントのうち、反射率が低いエレメント。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5548	A		バー幅	ばーはば	bar width	一次元シンボル又は二次元シンボルにおいて、走査方向に平行して測定した、個々のバー幅の寸法。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5549	A		バー幅補正、BWC	ばーはばほせい、BWC	bar width compensation, BWC	印刷又は画像化によって発生すると予想される太り又は細りを補正するために、機械読取り可能なシンボル、バーコードマスタ又はデジタルバーコードファイル上にあるバー幅を縮小又は拡大する度合い(JIS X 0523参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5550	A		バー高さ	ばーたかさ	bar height	一次元シンボル及びマルチローシンボル体系における読取方向と垂直な方向に測定した個々のバー寸法。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5551	A		シフトキャラクタ	しふときゃらくた	shift character	復号先を一つのコード集合から他のコード集合に切り替えるために用いるシンボルキャラクタであって、切替えの対象が、そのシフトキャラクタに続く一つのキャラクタか、(ダブルシフト又はトリプルシフトの場合には)二つ又は三つのキャラクタかであるもの。切替えを行った後、復号先は、自動的に、シフトキャラクタが現れる前のコード集合に戻る。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5552	A		Z寸法(1)	Zすんぽう(1)	Z dimension (1)	2値幅シンボル体系のバーコードシンボルにおける細エレメントの実測平均幅。細バー幅平均及び細スペース幅平均の和の半分に等しい。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5553	A		Z寸法(2)	Zすんぽう(2)	Z dimension (2)	(n、k)シンボル体系のバーコードシンボルにおける細エレメントの実測平均幅。すべてのキャラクタの平均幅を1キャラクタ当たりのモジュール数で除した値に等しい。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5554	A		全方向	ぜんほうこう	omnidirectional	あらゆる方向に。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5555	A		検証	けんしょう	verification	シンボル体系の仕様に適合するかどうかを測定すること。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5556	A		参照復号アルゴリズム	さんしょうふくごうあるごりずむ	reference decode algorithm	復号容易度を算出する基本となる、シンボル体系仕様で引用する復号アルゴリズム。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5557	A		開口	かいこう	aperture	光学システムにおいて、読取視野を決定する光の通り口。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5558	A		可視レーザダイオード、	かしれーざだいおーど、	visible laser diode, VLD	可視光の波長領域で動作するレーザダイオード。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5559	A		ラスタ	らすた	raster	単一の一次元走査線でなく、ほぼ平行な複数の走査線をつくるレーザビームの照射。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5560	A		走査窓	そうさまど	scanning window	有効読取範囲のこと。 非接触式スキャナの読取窓の前方領域で、シンボルを読める範囲。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5561	A		電荷結合素子、CCD	でんかけつごうそし、CCD	charge-coupled device,	ある種類のバーコードリーダで、一次元配列又は二次元配列で用いる電子感光素子。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5562	A		復号器	ふくごうき	decoder	あるコード体系で符号化表現された情報を復元する装置。[IEC 60050-702の702-09-44	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5563	A		自動識別	じどうしきべつ	auto discrimination	二つ以上のシンボル体系を、自動的に識別するバーコードリーダの機能。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5564	A		付加情報	ふかじょうほう	overhead	バーコードシンボルの一部。補助キャラクタ及びシンボルチェックキャラクタで構成される。データを符号化するシンボルキャラクタに加えて、シンボルを有効な構造とするため	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5565	A		ストップキャラクタ、ストップパターン	すとっぷきゃらくた、すとっぷぱたーん	stop character, stop pattern	バーコードシンボルの終端(最右端)を示す補助キャラクタ。すなわち、データキャラクタ及び/又はキャラクタ間ギャップからなる列の直後に配置するキャラクタ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5566	A		ガードパターン	がーどぱたーん	guard pattern	他のシンボル体系との分割又はシンボルを分割する目的で用い、スタート又はストップパターンに関連した、バー及びスペースからなる補助パターン。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5567	A		代入誤り	だいにゅうあやまり	substitution error	バーコードシンボルを読むとき、誤って復号したキャラクタ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5568	A		チェックデジット、チェックキャラクタ	ちぇっくでじっと、ちぇっくきゃらくた	check digit, check character	定義されたアルゴリズムによって、コード中の他のキャラクタから算出した数字又はキャラクタ。バーコードが、正しく構成しているかを確認するために用いる。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5569	A		シンボルチェックキャラクタ	しんぼるちぇっくきゃらくた	symbol check character	シンボル体系仕様に基づいてバーコードを正しく構成し、正しく読むために用いる、バーコードシンボル中のシンボルチェックキャラクタ以外のキャラクタから計算して求めたシン	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5570	A		データチェックキャラクタ、データチェックデジット	でーたちぇっくきゃらくた、でーたちぇっくでじっと	data check character, data check digit	データを正しく構成し、伝送されることを保証するため、データに基づいて算出し適用する数字又はキャラクタ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5571	A		高さ方向の余裕度	たかさほうこうのよゆうど	vertical redundancy	シンボルの高さが、単一走査線の太さよりも高いことによって、バーコードシンボルを複数の走査線で走査できる特性。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5572	A		クワイエットゾーン	くわいえっとぞーん	quiet zone	バーコードシンボルを囲む空白領域で、特にスタートキャラクタの前及びストップキャラクタの後の空白領域をいう。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5573	A		シンボル幅、シンボル長	しんぼるはば、しんぼるちょう	symbol width, symbol length	クワイエットゾーンを含むバーコードシンボルの全幅。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5574	A		印刷品質	いんさつひんしつ	print quality	印刷した光学シンボルが、規定された要件に適合する度合い。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5575	A		分光感度	ぶんこうかんど	spectral response	スキャナ又は他の装置の、様々な波長の光に対する感度。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5576	A		走査反射率波形	そうさはんしゃりつはけい	scan reflectance profile	シンボルを走査する装置によって作られるアナログ波形であり、シンボルを通過する走査線に沿った反射率変動の描画。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5577	A		反射率	はんしゃりつ	reflectance	与えられた条件における入射光に対する反射光の比率 [IEC 60050-845の845-04-58参	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5578	A		反射係数	はんしゃけいすう	reflectance factor	一定の照明下の試料が定められた方向の円すい形内に反射する放射束と、同一条件下で完全拡散反射体が反射する放射束との比。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5579	A		拡散反射	かくさんはんしゃ	diffuse reflection	反射光による光の拡散であって、巨視的な尺度での正反射がないもの[IEC 60050-845の845-04-47参照]。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5580	A		スポット、染み	すぽっと、しみ	spot, speck	シンボルの中で、高い反射率が想定される領域における、インキ、汚れ又は他の要因による低い反射率の部分。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5581	A		ボイド	ぼいど	void	バーコードシンボルの中で、低い反射率が想定される領域における、高い反射率の部	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5582	A		背景	はいけい	background	印刷したシンボルの暗エレメントの間及びシンボル周囲の明るい部分。背景は、シンボルを印刷している基材又は適切な明部分を重複印刷した基材の場合がある。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5583	A		透き通り	すきとおり	show through	ある基材の反射率が、その下にあるマーキング又は物質によって影響を受ける特性。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5584	A		印刷適性ゲージ	いんさつてきせいげーじ	printability gauge	印刷の品質を査定又は確認するための目盛を印字した基板。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5585	A		バーコードマスタ	ばーこーどますた	bar code master	公差内で、通常の伝統式印刷法(具体的には版式複写印刷)のために作成した、一次元シンボル又は二次元シンボルの原版又は他の画像。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5586	A		シンボル縦横比	しんぼるたてよこひ	symbol aspect ratio	シンボル幅に対するシンボル高さの比率。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5587	A		シンボル構造	しんぼるこうぞう	symbol architecture	バーコードシンボルの構造。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5588	A		モジュール(1)	もじゅーる(1)	module(1)	(一次元又はマルチローシンボル体系において)シンボルキャラクタの公称尺度単位	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5589	A		モジュール(2)	もじゅーる(2)	module(2)	"マトリックスシンボル体系の"コード語の1ビットを表現するために用いる単一セル又はエレメント。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5590	A		モジュラシンボル体系	もじゅらしんぼるたいけい	modular symbology	シンボルキャラクタを、X寸法又はモジュール幅の整数倍のエレメントで構成しているシンボル体系。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5591	A		(n, k)シンボル体系	(n, k)しんぼるたいけい	(n, k) symbology	それぞれのシンボルキャラクタの幅がnモジュールで、k組のバー及びスペースで構成するバーコードシンボル体系の分類。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5592	A		集版	しゅうばん	integrated artwork	バーコードシンボル及び他の画像を、電子的に集約して作成した版下。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5593	A		複合シンボル	ふくごうしんぼる	composite symbol	一次元シンボルを単独に読むことができ、かつ、一次元シンボル及び二次元シンボルを、一つのデータメッセージとして読める、一次元シンボル及び二次元シンボルの組合	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5594	A		ラベル印刷機	らべるいんさつき	label printing machine	データからバーコードラベルを直接作るための装置。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5595	A		レーザ彫刻機	れーざちょうこくき	laser engraver	物品に、図形画像を、レーザ光線を集光した熱を用いて、直接刻印する装置。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5596	A		発光ダイオード、LED	はっこうだいおーど、LED	light emitting diode, LED	化学組成によって決まる波長の光を、誘導放出によって発する半導体。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5597	A		正反射、鏡面反射	せいはんしゃ、きょうめんはんしゃ	regular reflection, specular reflection	幾何光学の反射の法則に従う、拡散がない反射(JIS Z 8120参照)。[IEC 60050-845の845-04-45参照]	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5598	A		ワンド	わんど	wand	ペン形の走査機構。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5599	A		接触式スキャナ	せっしょくしきすきゃな	contact scanner	シンボルと接触して又は接触に近い距離で読取りを行うスキャナ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5600	A		固定ビームスキャナ	こていびーむすきゃな	fixed beam scanner	光ビームを、固定した方向に放射する走査装置。ビーム上をバーコードシンボルが通過することによって走査できる。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5601	A		スロットリーダ	すろっとりーだ	slot reader	近接読取りのバーコードリーダを組込んだスロットに、バーコードを印刷した媒体を通して引くことによって、読取りを行うバーコード読取装置。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5602	A		レーザ(1)	れーざ(1)	laser(1)	単色で可干渉な、強い光ビームを発生する装置。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5603	A		レーザ(2)	れーざ(2)	laser(2)	誘導放出によってもたらされる可干渉光を放射する源。[IEC 60050-845の845-04-39参	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5604	A		ヘリウムネオンレーザ	へりうむねおんれーざ	helium-neon laser	632.8 nmの波長で、赤色の可視可干渉光を放射するレーザ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5605	A		単一走査線スキャナ、単一ビームスキャナ	たんいつそうさせんすきゃな、たんいつびーむすきゃ	single line scanner, single beam scanner	単一経路をたどる光ビームが一次元の視野を示すスキャナ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5606	A		可動ビームスキャナ	かどうびーむすきゃな	moving beam scanner	光ビームを、機械的又は電子的な方法によって掃引するスキャナ装置。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5607	A		振動ミラースキャナ	しんどうみらーすきゃな	oscillating mirror scanner	スキャナの光線に対し、適切な角度をなす平面内に振動するミラーを取り付けた単一ビームスキャナ。例えば、水平な一次元視野を、垂直方向の上下に掃引する効果をも	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5608	A		ラスタスキャナ	らすたすきゃな	raster scanner	幾つかの並行した走査ビームを放射する可動ビームスキャナ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5609	A		平台スキャナ	ひらだいすきゃな	flat-bed scanner	スキャナの内部から、複数の走査ビームを、上部の窓又は複数の溝に向けて照射する全方向スキャナであり、バーコードシンボルを、窓又は複数の溝の上部を通過させて読	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5610	A		全方向スキャナ	ぜんほうこうすきゃな	omnidirectional scanner	スキャナの読取窓に対し、平行又は平行に近い面のシンボルを、その方向に関係なく読むことができるスキャナ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5611	A		ショートリード	しょーとりーど	short read	長いシンボルに含まれる明らかに有効な短いシンボルを同一又は異なるシンボル体系として読み取ること。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5612	A		濃度計	のうどけい	densitometer	反射率又は光学濃度透過率を計測するための光度計。[IEC 60050-845の845-05-27参	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5613	A		光度計	こうどけい	photometer	光量を計測するための計器。[IEC 60050-845の845-05-15参照]	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5614	A		スキャナ	すきゃな	scanner	光学的情報を電気信号に変換し、復号及びコンピュータへの伝送を行う光学的走査装	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5615	A		重ね印刷	かさねいんさつ	overprinting	事前印刷物に、重ねて印刷すること。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5616	A		復号アルゴリズム	ふくごうあるごりずむ	decode algorithm	一次元シンボル又はマトリックスシンボル体系で用いる規則の集合。シンボルのエレメントパターンをデータキャラクタに変換する。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5617	A		シンボル体系	しんぼるたいけい	symbology	一次元シンボル又は二次元シンボルの形態で、データを表現する標準仕様。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5618	A		コード	こーど	code	第1の集合の要素を第2の集合の要素に対応付けさせる規則の集まり(JIS X 0004の04.02.01参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5619	A		コード化集合	こーどかしゅうごう	coded set	コードに従って他の要素の集合に対応付けられている要素の集合(JIS X 0004の04.02.02参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5620	A		コード化文字集合(1)	こーどかもじしゅうごう(1)	coded character set(1)	各要素が単一文字からなるコード化集合(JIS X 0004の04.02.03参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5621	A		コード化文字集合(2)	こーどかもじしゅうごう(2)	coded character set(2)	一次元シンボル又は二次元シンボル体系の仕様に従ってバイト値に配置された単一のキャラクタの集合(JIS X 0004の04.02.03参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5622	A		バーコード	ばーこーど	bar code	02.01.21 一次元シンボルと同義。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5623	A		二次元シンボル(1)	にじげんしんぼる(1)	two-dimensional symbol	データを機械的に読取可能な形で表現したコードであって、光学的走査で読み取られる、規則的パターンをなす多角形又は円形セルの集合であるもの。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5624	A		パリティ	ぱりてぃ	parity	キャラクタを奇数(奇数の二進数の"1"を含む構成)又は偶数(偶数の二進数の"1"を含む構成)で符号化する方式。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5625	A		可変パリティ符号化、変動パリティ符号化	かへんぱりていふごうか、へんどうぱりていふごうか	variable parity encodation	一連のシンボルキャラクタに情報を付加する符号化処理であって、偶数パリティキャラクタと奇数パリティキャラクタとを混在させ、その組合わせによって付加情報を表現するもの。これの目的として、数字の暗示的符号化及び検査情報の符号化がある(JIS X 0507	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5626	A		偶数パリティ	ぐうすうぱりてぃ	even parity	キャラクタが偶数の暗モジュールを含む場合のシンボルキャラクタの符号化特性。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5627	A		奇数パリティ	きすうぱりてぃ	odd parity	キャラクタが奇数の暗モジュールを含む場合のシンボルキャラクタの符号化特性。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5628	A		固定パリティ	こていぱりてぃ	fixed parity	バーコードシンボル又はシンボルの定義された部分において、すべてのシンボルキャラクタが奇数又は偶数の、同一のパリティをもつ特性。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5629	A		印刷適性試験	いんさつてきせいしけん	printability test	印刷品質の試験。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5630	A		基材	きざい	substrate	バーコードシンボル、OCR文字又はコーティングなどを印刷する素材又は媒体。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5631	A		PCS値、PCS	PCSち、PCS	print contrast signal	明エレメント及び暗エレメントの反射率の相対的な差の割合。 PCS = RL − RD / RL ここに、RL:暗エレメントの反射率 RD:明エレメントの反射率	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5632	A		追加シンボル	ついかしんぼる	add-on symbol	主シンボル情報の追加情報を符号化したシンボル(JIS X 0507参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5633	A		双方向の	そうほうこうの	bi-directional	それぞれが逆の二つの方向で動作が可能な。例えば、両側から書込み及び読取りができるタグ及び両方向から読取可能なバーコードは、双方向である。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5634	A		倍率係数	ばいりつけいすう	magnification factor	生成すべき実際の寸法を得るために、バーコードシンボルの公称寸法に適用する一定	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5635	A		EAN/UPC数字集合	EAN/UPCすうじしゅうごう	EAN/UPC number set	偶数パリティ又は奇数パリティに対応付けて、0～9の数字をバー又はスペースによって符号化した、10パターンの集合(JIS X 0507参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5636	A		はしご状(配置)	はしごじょう(はいち)	ladder orientation	垂直方向の走査ビームがシンボルを完全に通過することを可能にするため、バーの軸が水平に配置されたバーコードシンボルの方向。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5637	A		さく(柵)状(配置)	さくじょう(はいち)	picket fence orientation	水平方向の走査ビームがシンボルを完全に通過することを可能にするため、バーの軸が垂直に配置されたバーコードシンボルの方向。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5638	A		バースペース配列	ばーすぺーすはいれつ	bar-space sequence	シンボルキャラクタを構成するエレメントを、モジュールの並びで表現したもの。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5639	A		キャラクタ間ギャップ	きゃらくたかんぎゃっぷ	intercharacter gap	分離形バーコードシンボルにおいて、あるシンボルキャラクタの最後のバーから次のキャラクタの最初のバーまでの間隔。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5640	A		バーコード密度、シンボル密度	ばーこーどみつど、しんぼるみつど	bar code density, symbol density	単位寸法内に表示可能な、バーコードシンボルキャラクタの数。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5641	A		切詰め	きりつめ	truncation	シンボルの幅はそのままで、高さだけを縮小すること。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5642	A		分離パターン	ぶんりぱたーん	delineator	追加シンボル内のキャラクタを分割する補助パターン(JIS X 0507 参照)。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5643	A		ベアラバー	べあらばー	bearer bar	バーコードシンボルの上下、左右又は周辺を取り囲むバー(JIS X 0500:2002の10016参	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5644	A		コーナマーク	こーなまーく	corner marks	バーコードマスタにおいて、クワイエットゾーンを含むバーコードシンボルの四つの角を示すマーク。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5645	A		2値幅シンボル体系、2進シンボル体系	2ちはばしんぼるたいけい、2しんしんぼるたいけ	two-width symbology, binary symbology	データキャラクタを細エレメント及び太エレメントで構成する一次元シンボルの総称。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5646	A		バーコードシンボル	ばーこーどしんぼる	bar code symbol	クワイエットゾーン、スタート及びストップキャラクタ、データキャラクタ、チェックキャラクタ並びに他の補助パターンを含む、特定のシンボル体系で必要な、シンボルキャラクタと機能との組合せ。組み合わせることで読取可能な実体が完成する。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5647	A		分離形バーコード	ぶんりかたばーこーど	discrete code	各キャラクタがバーで始まりバーで終わるため、キャラクタ間ギャップが情報を含まないシンボル体系。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5648	A		連続形バーコード	れんぞくかたばーこーど	continuous code	キャラクタ間ギャップをもたないシンボル体系。すなわち、一つのシンボルキャラクタの最後のエレメントが次のシンボルキャラクタの最初のエレメントに隣接し、すべてのエレメントが連続的に情報をもつ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5649	A		セルフチェック	せるふちぇっく	self-checking	バーコードの各キャラクタに検査用アルゴリズムを適用するシンボル体系の機能。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5650	A		バーコードリーダ	ばーこーどりーだ	bar code reader	バーコードシンボルに符号化されたデータを取得するための機器。次の二つの部分で構成する。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5651	A		フィルムマスタ	ふぃるむますた	film master	フィルムに焼き付けられたバーコードマスタ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5652	A		CPI	CPI	character per inch	バーコード密度を25.4mm(1インチ)当たりのキャラクタ数で表すもの。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5653	A		ドットコード	どっとこーど	dot code	個々のモジュールが情報を含まないスペースに囲まれた、マトリックスシンボル体系の部分集合。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5654	A		充てん(填)キャラクタ、埋め草キャラクタ	じゅうてんきゃらくた、うめくさきゃらくた	filler character, pad character	望ましい長さに達するまでデータ項目を拡張するために挿入するキャラクタ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5655	A		埋め草コード語	うめくさこーどご	pad codeword	望ましいシンボル構造を得るため又はシンボルの容量を満たすため、コード語列を拡張するために挿入するコード語。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5656	A		切替キャラクタ	きりかえきゃらくた	latch character	あるコード集合から別のコード集合に切替えるために用いるシンボルキャラクタ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5657	A		棄却誤り	ききゃくあやまり	erasure	代入誤り又は復号誤りに対し、物理的に欠如したキャラクタ又は復号に失敗したシンボルキャラクタで表現する誤りの分類。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5658	A		段	だん	column	マルチローシンボル体系の列における水平方向のシンボルキャラクタの位置。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5659	A		列	れつ	row	マルチローシンボル体系における横方向の構成要素の集合。スタートパターン、シンボルキャラクタの数及びストップパターンで構成する。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5660	A		データ領域	でーたりょういき	data region	他のシンボル付加情報ではなく、データコード語に用いられるシンボルの部分。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5661	A		データコード語	でーたこーどご	data codeword	シンボル体系の圧縮方式の一つを用いてデータを符号化したコード語。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5662	A		データ分離キャラクタ	でーたぶんりきゃらくた	data separator character	連結した二つのデータ項目の、一つ目のデータ項目の終わり及び次のデータ項目の始まりを確定するための補助キャラクタ。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5663	A		位置合せパターン	いちあわせぱたーん	alignment pattern	マトリックスシンボル体系で規定された位置に配する固定参照パターン。このパターンが、画像のある程度のひずみに対し、復号ソフトウェアが座標の対応付けを再編成する	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5664	A		位置検出パターン	いちけんしゅつぱたーん	finder pattern	視野内で、シンボル体系規則に従ってシンボルの位置決めをするための、シンボル体系固有のパターン。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5665	A		方向認識パターン	ほうこうにんしきぱたーん	orientation pattern	シンボルの方向を認識するために用いる、独自の明暗モジュールの配列。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5666	A		圧縮モード	あっしゅくもーど	compaction mode	PDF417 シンボル体系における、3種類のデータ圧縮アルゴリズム(テキスト、数値又はバイト)の一つ	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5667	A		誤り訂正コード語	あやまりていせいこーどご	error correction codeword	誤り訂正コード語生成アルゴリズムから導いた値を符号化した、シンボル内のコード語。復号誤りの検出ができ、誤り訂正レベルに応じた誤り訂正が可能。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5668	A		固定パターン	こていぱたーん	fixed pattern	二次元シンボル体系独自の非データ部分で、位置検出パターン、タイミングパターン、方向認識パターン及びその他の静的要素を含む。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5669	A		二次元シンボル(2)、2Dシンボル	にじげんしんぼる(2)、2Dしんぼる	two-dimensional symbols	情報を完全に読み取るためには、水平及び垂直の両方向に解析が必要な、光学的に読取可能なシンボル。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5670	A		マルチローシンボル体系、スタックシンボル体系	まるちろーしんぼるたいけい、すたっくしんぼるたいけい	multi-row symbology, stacked symbology	垂直方向に隣接する二つ以上のシンボルキャラクタ列からなるバーコードシンボル体系。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5671	A		マトリックスシンボル体系	まとりっくすしんぼるたいけい	matrix symbology	画像走査システムで読み取るために表示した、規則的なパターンの多角形エレメント又は円形エレメントの集まり。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5672	A		拡張チャネル解釈、ECI	かくちょうちゃねるかいしゃく、ECI	extended channel interpretation, ECI	幾つかのシンボル体系で、規定の文字集合以外で解釈したデータ列の出力を可能にするために用いる規約。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5673	A		拡張チャネルモデル	かくちょうちゃねるもでる	extended channel model	データメッセージ列及び制御情報の両方を符号化し伝送するシステム。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5674	A		ECI指定	ECIしてい	ECI designator	特定のECI割当てを表す6けた(桁)の番号。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5675	A		誤り訂正レベル	あやまりていせいれべる	error correction level	固定ではなく、利用者選択によって設定される、シンボル体系の誤り訂正能力の等級。	JIS X 0500-2	2009	ISO/IEC 19762-2	2005				2008	SC31
5676	A		エアインタフェース	えあいんたふぇーす	air interface	RFタグとリーダライタとの間のデータ通信が電磁誘導又は電波伝ぱ(播)の方法で行われ、通常は空気中で行われる通信。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5677	A		方位	ほうい	alignment	ピッチ、スキュー及びチルトという言葉で表現されるリーダライタアンテナに対向するRFタグの位置角度合せのこと。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5678	A		振幅変調、AM	しんぷくへんちょう、AM	amplitude modulation, AM	搬送波の振幅への変調が、変調信号の瞬時値の一定の関数(一般には線形関数)である変調方式。[IEC 60050-702の702-06-17参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5679	A		アンテナ偏波	あんてなへんぱ	antenna polarization	(アンテナシステムにおいて)送信ベクトルに対して垂直な面での電界強度ベクトルの先端の集まり。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5680	A		衝突防止、アンチコリジョン	しょうとつぼうし、あんちこりじょん	anti-clash, anti-contention, anti-collision	リーダライタの受信機に対して、RFIDシステムの読取り(交信)領域内の複数RFタグからリーダライタへ一斉に応答することによる衝突を回避するため、及びエラーの応答又はお互いによる妨害がないように競合が起きることを回避するための機能。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5681	A		認証(1)	にんしょう(1)	authentication(1)	二つの個体間の交信を進めることが適切かどうかを検証するために行われる二つのエレメント間でのメッセージ交換。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5682	A		認証(2)	にんしょう(2)	authentication(2)	ある実体の得られた識別内容を検証する(セキュリティのための)動作。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5683	A		積載物自動認識、AEI	せきさいぶつじどうにんしき、AEI	automatic equipment identification, AEI	陸上輸送機関用車両のための、明確なデータ構造をもつRFタグ及びリーダライタを用いた自動認識システム。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5684	A		自動再送要求、ARQ	じどうさいそうようきゅう、ARQ	automatic repeat request, ARQ	エラー検出及び(必要ならば)それに続く訂正のための送信の繰返しとで構成されるプロトコル。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5685	A		覚せい(醒)	かくせい	awake	対応するリーダライタからの送信に対し、受信と応答とが可能なようにRFタグ受信機の電源が入った状態。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5686	A		後方散乱	こうほうさんらん	backscatter	RFタグで行われる処理であって、同一搬送周波数で受信信号を再送出するか、又は受信信号を変調し再放射するかのいずれかであるもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5687	A		帯域幅時間積	たいいきはばじかんせき	bandwidth times time, BT	1ビットのために使う帯域幅と時間との積を指定する用語	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5688	A		変調単位、ボー	へんちょうたんい、ぼー	baud	秒当たりの信号要素の数に等しい変調速度の単位。それらすべての信号要素は長さが等しく、かつ、1ビット以上を表す。[JIS X 0009の09.05.20参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5689	A		2相偏移キーイング、BPSK	2そうへんいきーいんぐ、BPSK	binary phase shift keying, BPSK	信号点配置図(constellation diagram)上の2点だけを使う位相の変調方法。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5690	A		差動2相偏移キーイング、DBPSK	さどう2そうへんいきーいんぐ、DBPSK	differential binary phase shift keying, DBPSK	データが差動予備処理された場合の2相偏移変調。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5691	A		ガウス形最小偏移キーイング、GMSK	がうすかたさいしょうへんいきーいんぐ、GMSK	gaussian minimum shift keying, GMSK	ガウス波形に整形したMSK。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5692	A		最小偏移キーイング、MSK	さいしょうへんいきーいんぐ、MSK	minimum shift keying, MSK	変調指数が0.5である位相連続の2周波数偏移変調の形式。[IEC 60050-702の702-06-49参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5693	A		バイフェーズマーク	ばいふぇーずまーく	bi-phase-mark	論理値"1"はビットの始め、中間、及び最後で遷移し、かつ、論理値"0"はビットの始め及び最後で遷移する形式のデジタルデータ符号化形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5694	A		記憶容量	きおくようりょう	memory capacity	RFタグの中に記憶でき、ビット又はバイトの単位で表示されるデータの量。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5695	A		搬送波検知多重アクセス(1)、CSMA(1)	はんそうはけんちたじゅうあくせす(1)、CSMA(1)	carrier sense multiple access(1), CSMA(1)	自身が送信する前に別のタグがチャネルを使用しているかどうか、そのタグが"検知"することを可能にする方式の多重アクセスプロトコル。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5696	A		搬送波検知多重アクセス(2)、CSMA(2)	はんそうはけんちたじゅうあくせす(2)、CSMA(2)	carrier sense multiple access(2), CSMA(2)	データステーションが共通リソースを自ら使用する場合に、別ユーザからの搬送波の有無に基づいて調停する方式の多重アクセス技術。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5697	A		衝突検出型搬送波検知多重アクセス、CSMA/CD	しょうとつけんしゅつかたはんそうはけんちたじゅうあくせす、CSMA/CD	carrier sense multiple access with collision detection, CSMA/CD	自身が送信する前に別のタグがチャネルを使っているかどうか"検知"して使用し、衝突が発生すると、そのことをそのタグが検知することを可能にする方式の多重アクセスプロトコル。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5698	A		チップ	ちっぷ	chip	(デジタル無線交信において)特定規則に従って、同じ信号の他の部分とは、はっきりと区別できる特性で送信される、一つの文字を表す信号の時間部分。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5699	A		チップレート	ちっぷれーと	chip rate	拡散シーケンスで搬送波を変調するときの周波数。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5700	A		符号分割多重アクセス(1)、CDMA(1)	ふごうぶんかつたじゅうあくせす(1)、CDMA(1)	code division multiple access(1), CDMA(1)	各送信内容がパケットに分割され、独自コードが各パケットに割り当てられ、すべての符号化されたパケットは、一つの信号に数学的に組み込まれ、各々の対象受信機は、割り当てられた独自コードに応じたデータパケットだけを抽出する技術。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5701	A		符号分割多重アクセス(2)、CDMA(2)	ふごうぶんかつたじゅうあくせす(2)、CDMA(2)	code division multiple access(2), CDMA(2)	単一チャネルの範囲内で、独立した符号で変調することを使用する方式の多重アクセス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5702	A		衝突(1)	しょうとつ(1)	collision(1)	1台のリーダライタの電磁界の中で、二つ以上のRFタグによる交信が同時に起こり、その結果としてエラーになるか、又は通信内容を失うこと。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5703	A		衝突(2)	しょうとつ(2)	collision(2)	通信媒体上で通信が同時にあった結果起きる状態。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5704	A		衝突(3)	しょうとつ(3)	collision(3)	二つ以上の異なるデータに対して同じハッシュ値が生じる(ハッシングの)こと。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5705	A		両立性	りょうりつせい	compatibility	許容できない相互作用を引き起こさずに該当要件が満たされる特定の条件下で、共用するための製品、プロセス、又はサービスの適切性。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5706	A		互換性	ごかんせい	interchangeability	同等の機能を示す複数のデバイス又はシステムの間に存在する状態で、変更しないで別のものと交換することが可能で、かつ、同じ動作サービスを実現するインタフェースの	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5707	A		等価等方性放射電力、実効等方性放射電力、等価等方放射電力、EIRP	とうかとうほうせいほうしゃでんりょく、じっこうとうほうせいほうしゃでんりょく、とうかとうほうほうしゃでんりょく、EIRP	equivalent isotropically radiated power, effective isotropically radiated power, equivalent isotropical radiated power.	送信機からの実放射無線電力と、等方性放射源に対するアンテナシステムの利得との積。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5708	A		電磁界	でんじかい	electromagnetic field	物質媒体又は真空での電磁界条件を特性化する場。次に示す四つのベクトル量のセットで定義されている。 E: 電界(ベクトル) D: 電束密度(ベクトル) H: 磁界(ベクトル) B: 磁束密度(ベクトル)	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5709	A		データ転送速度	でーたてんそうそくど	data transfer rate	2点の間で単位時間当たりに伝送されるビット、キャラクタ、又はブロックの平均数。[JIS X 0009の09.05.21参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5710	A		電磁干渉、EMI	でんじかんしょう、EMI	electromagnetic interference, EMI	電磁妨害に起因する装置通信チャネル又はシステムの性能劣化。[IEC 60050-161の161-01-06 (702-08-29)参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5711	A		誤作動	ごさどう	false activation	外部又は未指定のRFタグがRFIDシステムの交信領域に入り、応答、誤りその他を生じることの結果。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5712	A		タグファミリ	たぐふぁみり	family of tags	それぞれ異なる性能をもつにもかかわらず、共通のリーダライタと識別番号及びデータの通信ができるRFタグの集合。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5713	A		遠方界領域	えんぽうかいりょういき	far field region	アンテナの電磁界領域の一部分であって、各点での電磁界の主要要素がアンテナからの伝ぱ(播)エネルギーであり、各点での電磁界分布の形が本質的にアンテナからの距離の依存しないもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5714	A		電磁界強度、送出電磁界強度	でんじかいきょうど、そうしゅつでんじかいきょうど	field strength, transmitter field intensity	(無線送信機の)特定設置条件及び変調条件で、特定の特性化された周波数で動作する無線送信システムによって所定のポイントで作り出される電磁界の強さ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5715	A		順方向リンク、ダウンリンク	じゅんほうこうりんく、だうんりんく	forward link, down-link	リーダライタからRFタグへの送信。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5716	A		フレーム(1)	ふれーむ(1)	frame(1)	(時分割多重方式において)完全な信号サイクルを構成する一連のタイムスロットの反復的な組合せ、又はサイクルの中でそれぞれのタイムスロットの相対位置が識別できる他の処理からなる反復する組合せ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5717	A		フレーム(2)	ふれーむ(2)	frame(2)	通信フレームとは、データのユーザ用及び制御データ用として、プロトコルによって規定されたフィールドからなる(データ交信における)データの構造。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5718	A		周波数ホップレート	しゅうはすうほっぷれーと	frequency hop rate	周波数ホッピングスペクトラム拡散(FHSS)方式における送信周波数間遷移の周波数で、FHSS中心周波数での滞留時間の逆数に等しい。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5719	A		周波数ホップシーケンス	しゅうはすうほっぷしーけんす	frequency hop sequence	周波数ホッピングスペクトラム拡散(FHSS)方式において使用するホッピング周波数を決定する2進擬似乱数系列(PRBS)。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5720	A		絶対利得	ぜったいりとく	absolute gain	アンテナによって一定方向に向けて発生した放射強度と、アンテナに入力された電力があらゆる方向に一様に電波を放射したと仮定した場合の放射強度との比率であって、一般にデシベルで表されるもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5721	A		磁界	じかい	magnetic field	磁束密度Bとともに磁場力Hによって特性化された電磁界の構成要素。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5722	A		半二重伝送(1)	はんにじゅうでんそう(1)	half-duplex	どちらの方向にもデータを通信できるが、一度にできるのは一方向だけである通信方	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5723	A		半二重伝送(2)	はんにじゅうでんそう(2)	half-duplex transmission(2)	どちらの方向にもデータを通信できるが、一度に通信できるのは一方向からだけで、送受信機が(RFタグ)活性化のための電磁界を送信するのを止めた後に(RFタグから)情報を通信する形式の通信方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5724	A		高調波	こうちょうは	harmonics	送信機の基本周波数の整数倍の周波数で、振幅は基本周波数よりも常に小さいもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5725	A		使用中のプログラミング	しようちゅうのぷろぐらみ	in-use programming	対象物又は個体に取り付けられて使用中のRFタグに対し、読取り及び書込みができる	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5726	A		無線周波数干渉、RFI	むせんしゅうはすうかんしょう、RFI	radio frequency interference, RFI	無線周波数の妨害に起因する希望信号の受信率の低下。[IEC 60050-713:1998の713-11-05参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5727	A		無線周波数妨害	むせんしゅうはすうぼうがい	radio frequency disturbance	無線周波数範囲内の成分をもち、装置、設備若しくはシステムの性能を低下させたり、又は生物若しくは無生物に悪影響を与えるおそれのあるあらゆる電磁現象。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5728	A		インタレース半二重	いんたれーすはんにじゅう	interlaced half duplex	リーダライタによって全二重通信が、タグによって半二重方式の動作が行われる交信方	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5729	A		交信領域	こうしんりょういき	interrogation zone	その中のRFタグ又はRFタグのグループを、対応するRFIDリーダライタが効果的に読み取ることができる領域。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5730	A		メモリモジュール	めもりもじゅーる	memory module	読取り及び書込み、又は再プログラミング可能なRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5731	A		パルス幅変調、PDM	ぱるすはばへんちょう、PDM	pulse duration modulation, PDM	変調信号の値の所定の関数に応じてパルス幅を変化させるパルス時間変調。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5732	A		無線ノイズ、無線周波数ノイズ	むせんのいず、むせんしゅうはすうのいず	radio noise, radio frequency noise	無線周波数の範囲内の成分をもち、明らかに情報を搬送せず、希望信号と重なるか結合し得る経時変化する電磁現象。[IEC 60050-713:1998の713-11-03参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5733	A		電磁ノイズ	でんじのいず	electromagnetic noise	明らかに情報を搬送せず、希望信号と重なるか結合し得る、経時変化する電磁現象。[JIS C 66050-161の161-01-02参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5734	A		周波数範囲	しゅうはすうはんい	frequency range	(装置において)装置が満足に動作するように調整できる一組の周波数の範囲。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5735	A		方向性感度	ほうこうせいかんど	orientation sensitivity	角度の変化又は方向の関数として示される(RFタグの)応答の感度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5736	A		パケット(1)	ぱけっと(1)	packet(1)	通信回線で送られるデータのブロック。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5737	A		パケット(2)	ぱけっと(2)	packet(2)	(データ通信において)制御データと場合によっては利用者データとを含み、全体として伝送され転換される所定の形式で配置されたビット系列。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5738	A		侵入(1)	しんにゅう(1)	penetration(1)	電磁波が物質の中へ、又は物質を貫通して伝ぱ(播)する能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5739	A		侵入(2)	しんにゅう(2)	penetration(2)	データ処理システムへの不正アクセスのこと。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5740	A		幽霊処理	ゆうれいしょり	phantom transaction	実在しないRFタグの誤認識。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5741	A		位相偏移キーイング、PSK	いそうへんいきーいんぐ、PSK	phase shift keying, PSK	被変調波の位相と無変調搬送波の位相との間の所定の位相差によって表され、不連続的に時間合せされた変調信号において各々有意な状態にある位相角度変調。[IEC 60050-702の702-06-40参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5742	A		ピックレート	ぴっくれーと	pick rate	RFシステムにおける百分率検出率。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5743	A		偏波	へんぱ	polarization	(電磁波につき)ある固定点での電束密度ベクトルの先端によって時間的に表される カーブ、及びカーブの方向によって特性づけられる電磁波の属性。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5744	A		電力利得	でんりょくりとく	power gain	所定の方向において、送信アンテナから放射される電界強度の、同じ入力電力が供給される等方性アンテナから放射される電界強度に対する比。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5745	A		プログラム能力	ぷろぐらむのうりょく	programmability	RFタグにデータを入力し、かつ、RFタグに保管されたデータを書き換えることができる能	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5746	A		予測寿命	よそくじゅみょう	projected life	電池寿命の予測値、並びに、必要に応じてタグの読取り回数及び書込み回数に基づいた(RFタグの)見積もり寿命。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5747	A		近接度	きんせつど	proximity	システム構成要素の一つのものの他のものへの接近度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5748	A		Q値	Qち	Q factor, quality factor	周波数帯域幅に対する中心周波数の比率。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5749	A		クエリ(1)	くえり(1)	query(1)	一つ以上のソースから来た電子的な方法による情報の要求。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5750	A		クエリ(2)	くえり(2)	query(2)	所定条件に基づいて、データを直接に抽出する要求、又はデータベースから必要なデータを(他の抽出データから)導出する要求。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5751	A		リードオンリ	りーどおんり	read only	データが変更不可能な状態に記録され、したがって、読取りだけが可能なRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5752	A		返信リンク、アップリンク	へんしんりんく、あっぷり	return link, up-link	RFタグからリーダライタへの通信。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5753	A		分離	ぶんり	separation	二つのRFタグ間、又はRFタグとリーダライタとの間の動作可能距離。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5754	A		シャドーイング	しゃどーいんぐ	shadowing	リーダライタとRFタグとの間に置かれた物体が信号を不明りょう(瞭)にし、正常通信を妨害する状態。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5755	A		正弦波搬送波	せいげんははんそうは	sinusoidal carrier	単一周波数、単一波長を特徴とする基本的波形であって、その波形の性質(振幅、周波数など)を変調することによってデータ又は情報の搬送に使用されるもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5756	A		拡散シーケンス	かくさんしーけんす	spreading sequence	各論理ビットの符号化に使用するデータ符号化要素チップの擬似乱数系列。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5757	A		規則のための技術基準、TBR	きそくのためのぎじゅつきじゅん、TBR	technical basis for regulation, TBR	ETSI(欧州通信規格協会)によって開発されたETSs(仕様書及び試験)の一部であって、共通技術規則(CTR)のための基準として供せられるもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5758	A		ベクトル(1)	べくとる(1)	vector(1)	大きさ、向き、及び起点を示す定量的要素のこと。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5759	A		ベクトル(2)	べくとる(2)	vector(2)	通常、スカラ量の組によって特徴付けられる有向直線分量。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5760	A		識別	しきべつ	identify	RFタグ(タグID)との通信を行うのに単一的に参照できる方法をもたらす、RFタグの分離及び孤立化の処理過程。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5761	A		読取り	よみとり	read	識別済みのRFタグから情報を取り出すRFタグ処理過程。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5762	A		識別範囲	しきべつはんい	identification range	規定条件の下で、RFIDシステムが要求するRFタグを確実に識別できる範囲。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5763	A		識別速度	しきべつそくど	identification rate	規定条件の下で、RFIDシステムが要求するRFタグを確実に識別できる速度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5764	A		読取り範囲	よみとりはんい	read range	規定条件の下で、RFIDシステムが要求するRFタグから確実に読取りができる範囲。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5765	A		読取り速度	よみとりそくど	read rate	規定条件の下で、RFIDシステムが要求するRFタグから確実に読取りができる速度	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5766	A		書込み範囲	かきこみはんい	write range	規定条件の下で、RFIDシステムが要求するRFタグに対して確実に書込みができる範囲。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5767	A		書込み速度	かきこみそくど	write rate	規定条件の下で、RFIDシステムが要求するRFタグに対して確実に書込みができる速度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5768	A		書込み	かきこみ	write	識別済みのRFタグの中に情報を書き込むRFタグ処理過程。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5769	A		(タグ検出)レート	(たぐけんしゅつ)れーと	rate	単位時間当たりに検出するRFタグの数量。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5770	A		レンジ、距離	れんじ、きょり	range	リーダライタアンテナとRFタグとの間の(最小及び最大)距離。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5771	A		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability	幾つかの製造元の異なる複数システムの間で、お互いに有効に動作することを可能にする方法で双方向性データ交換機能を実行するために存在する条件。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5772	A		非干渉	ひかんしょう	non-interference	互いの性能に深刻な悪影響を伴うことなく、同じ空間に様々な種類又は異なった製造元の規格適合の機器が共存しているときに、存在する状態。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5773	A		非同期RFタグ	ひどうきRFたぐ	asynchronous tag	タイミングを内部の独立した発振器から作っているRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5774	A		非同期伝送(1)	ひどうきでんそう(1)	asynchronous transmission(1)	タイミング情報又は刻時情報をデータへ加えることを要求しないデータ通信の方法。通信は、各文字又は各文字ブロックの始まり及び終わりに置かれたスタートビット(bits)及びストップビット(bits)を、受信側が参照することによって達成される。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5775	A		非同期伝送(2)	ひどうきでんそう(2)	asynchronous transmission(2)	各文字又は各文字ブロックの開始は任意であるが、いったん開始された場合、信号要素は規定の固定速度で送信される形式のデータ通信。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5776	A		周波数帯域	しゅうはすうたいいき	frequency band	所定の上下制限周波数間に含まれる一連の周波数群。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5777	A		一括読込み、マルチリード	いっかつよみこみ、まるちりーど	batch reading, multiple readings	システムの交信領域に同時に存在する多数のRFタグを読み込むRFIDリーダライタの処理過程又は処理能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5778	A		搬送周波数	はんそうしゅうはすう	carrier frequency	通常、RFIDシステムでは振幅偏移キーイング(ASK)、周波数偏移キーイング(FSK)、位相偏移キーイング(PSK)、又はその変形方式によって適切に変調し、データを搬送するために使われる(固定の振幅及び周波数のアナログ信号)周波数。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5779	A		搬送波(1)	はんそうは(1)	carrier(1)	信号によって変化される特性量をもつ波又は振動。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5780	A		搬送波(2)	はんそうは(2)	carrier(2)	(変調において)一般に周期的で、他の振動及び波形の変調に従う特性の振動又は波。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5781	A		搬送信号	はんそうしんごう	carrier signal	データを搬送するために選択的に生成した周波数の信号。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5782	A		データ伝送路	でーたでんそうろ	transmission channel	2点間での一つの方向への信号通信路。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5783	A		チャネル	ちゃねる	channel	(通信経路で)信号が2点間を通信される間にたどる経路。[IEC 60050-704の704-04-01	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5784	A		チャネル復号化	ちゃねるふくごうか	channel decoding	チャネル符号化形式から原符号データを分離するのに、受信時に動作する処理過程。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5785	A		チャネル符号化	ちゃねるふごうか	channel encoding	原符号化データを効果的にチャネル通信するための符号化方式の適用。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5786	A		データフィールド保護	でーたふぃーるどほご	data field protection	RFタグに記憶されたデータ項目又はフィールドに対してアクセスの制御及び操作を制御する手段。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5787	A		電界	じかい	electric field	電束密度Dとともに電界強度Eとによって表される電磁界の構成要素。[IEC 60050-121の121-11-67参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5788	A		キロヘルツ、kHz	きろへるつ、kHz	kilohertz, kHz	秒当たり千(1000)サイクルに等しい周波数の尺度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5789	A		メガヘルツ、MHz	めがへるつ、MHz	megahertz, MHz	秒当たり100万(1000000)サイクルに等しい周波数の尺度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5790	A		ギガヘルツ、GHz	ぎがへるつ、GHz	gigahertz, GHz	秒当たり10億(1000000000)サイクルに等しい周波数の尺度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5791	A		電磁波	でんじは	elctromagnetic wave	時間的に変化する電磁界の伝ぱ(播)によって表される波動。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5792	A		周波数	しゅうはすう	frequency	周期的信号の単位時間当たりのサイクル数。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5793	A		二重伝送	にじゅうでんそう	duplex transmission	データを両方向から同時に送信する方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5794	A		全二重伝送	ぜんにじゅうでんそう	full-duplex transmission	両方向から同時にデータが送信されるデータ通信方式であり、送信機が(RFタグ)活性化のための電磁界を送信している間に(RFタグから)データを通信する。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5795	A		地理的位置	ちりてきいち	geolocation	特定位置を表す緯度・経度による座標。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5796	A		ハンドシェーキング(1)	はんどしぇーきんぐ(1)	handshaking(1)	機器間のデータの流れを調節するための仕組み	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5797	A		ハンドシェーキング(2)	はんどしぇーきんぐ(2)	handshaking(2)	通信を確立するために2台のコンピュータ又は1台のコンピュータと周辺機器とによって用いられる規約及び手順。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5798	A		ホップシーケンス	ほっぷしーけんす	hop sequence	FHSS送信機がFHSSチャネルを選択するために用いられる擬似乱数的に配列されたホッピング周波数一覧。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5799	A		ホップレート	ほっぷれーと	hop rate	所定のFHSSホッピング周波数での滞留時間の逆数	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5800	A		等方性放射体	とうほうせいほうしゃたい	isotropic radiator	全方向に対して等しい放射強度をもち、実際のアンテナの方向性能を表するための便利な参照となる損失のない仮想のアンテナ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5801	A		論理リンク制御、LLC	ろんりりんくせいぎょ、LLC	logical link control, LLC	データリンク(OSIモデルのレイヤ2)中で上位に位置する構成要素であって、主に端末間のエラー制御、端末間のデータフロー制御及びアクセスに関与しているもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5802	A		論理リンク制御プロトコル、LLCプロトコル	ろんりりんくせいぎょぷろとこる、LLCぷろとこる	logical link control protocol, LLC protocol	(ローカルエリアネットワークにおいて)通信媒体の共用の仕方にかかわりなく、データ装置間のフレーム交換を管理するプロトコル。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5803	A		製造者RFタグ識別番号	せいぞうしゃRFたぐしきべつばんごう	manufacturer tag ID	タグIC又はタグ製造者が付けたRFタグを単一的に識別する参照番号。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5804	A		マイクロ波	まいくろは	microwave	導波管、空洞、又は平面伝送路などの技術の利用が可能な程度に十分に短い波長の電	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5805	A		放射の近傍界、放射の近傍界領域	ほうしゃのきんぼうかい、ほうしゃのきんぼうかいりょういき	radiating near field, radiating near field region	"極近傍界"と"遠方界"との間に位置するアンテナの電磁界領域の一部であって、各点での電磁界の主要要素がアンテナからの伝ぱ(播)エネルギーであり、各点での電磁界分布の形が本質的にアンテナからの距離によって変化するもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5806	A		ノード(1)	のーど(1)	node(1)	他のネットワーク機器と通信することが可能なネットワーク接続機器。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5807	A		ノード(2)	のーど(2)	node(2)	ネットワークへの複数の入口に接続又は連携された、ネットワークへの入口。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5808	A		ノード(3)	のーど(3)	node(3)	データ構造の中で下位項目が発生するポイント。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5809	A		イミュニティ	いみゅにてぃ	immunity	電磁的妨害が存在している中で、機能低下を伴わずに、装置、機器又はシステムが機能する能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5810	A		フィールド外報告	ふぃーるどがいほうこく	out of field reporting	RFタグがリーダライタの交信領域を離れるとき、又はいったん離れると、RFタグの識別が報告される形のリーダライタの動作モード。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5811	A		フィールド内報告	ふぃーるどないほうこく	in field reporting	RFタグが交信領域に入ったとき、及び、RFタグが交信領域に残っている間は一定時間経過後、繰り返して、RFタグの識別を報告する形のリーダライタの動作モード。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5812	A		偏波	へんぱ	polarization	偏波が直線偏波に固定されているか又は回転偏波の伝ぱ(播)の方向に直角に回転している電磁波の電気的ベクトルの方向。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5813	A		タイミング情報	たいみんぐじょうほう	timing information	(同期ネットワークにおいて)デジタル信号内に埋め込まれた同期信号、タイミング信号、又は時間的尺度から生成され、それらによって運ばれる幾つかの系列の事象の時間関係についての情報。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5814	A		放射パターン、放射指向性図	ほうしゃぱたーん、ほうしゃしこうせいず	radiation pattern, radiation diagram	あるアンテナから放射される電磁界量の空間分布を示す図的表現。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5815	A		電力束密度	でんりょくそくみつど	power flux density	単位領域ごとに分けられた電磁波エネルギーの伝ぱ(播)する方向に対して垂直の単位広さの表面を通過する電力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5816	A		無線周波数(1)	むせんしゅうはすう(1)	radio frequency(1)	相当する周期的な電気振動の周波数、又は周期的な電波の周波数。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5817	A		無線周波数(2)	むせんしゅうはすう(2)	radio frequency(2)	30 Hz から3 GHzまでの間の無線周波数。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5818	A		再プログラム能力	さいぷろぐらむのうりょく	reprogrammability	適切なプログラミング装置を使用してRFタグのデータ内容を変更する能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5819	A		ゼロ復帰、RZ	ぜろふっき、RZ	return to zero, RZ	論理値"1"のビットの始めにおいて、低から高への信号が遷移して、ビットの中央で高から低への信号が遷移し、論理値"0"では信号遷移がない形式を使ったデジタルデータの	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5820	A		RFモジュール/ステージ	RFもじゅーる/すてーじ	RF module/stage	RF信号を作り出すリーダライタの一部。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5821	A		ローミング	ろーみんぐ	roaming	一つのリーダライタの通信領域から別のリーダライタの通信領域へと移動することができるRFタグの能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5822	A		信号要素(1)	しんごうようそ(1)	signal element(1)	期間、その相対位置、その波形及びその大きさなど、複数の特性によって他とは区別される個別の時間信号の一部。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5823	A		信号要素(2)	しんごうようそ(2)	signal element(2)	個別の信号を構成し、複数の特性によって他と区別されるそれぞれの部分。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5824	A		信号対ノイズ比、信号ノイズ比、S/N	しんごうついのいずひ、しんごうのいずひ、S/N	signal-to-noise ratio, signal/noise ratio, S/N	通信チャネルの特定の位置、通常は所定の条件で、受信機端子において存在するノイズ電力に対する希望信号電力の比で、一般的にはデシベルで表示される比率。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5825	A		信号対ノイズ及びひずみ、SINAD	しんごうついのいずおよびひずみ、SINAD	signal to noise & distortion, SINAD	システム内に存在するノイズ及びひずみのレベルの合計に対する、信号、ノイズ及びひずみのレベルの合計の比率。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5826	A		休止サイクル	きゅうしさいくる	sleep cycle	バッテリの負担する電力使用量を減らすためにRFタグの内部での不必要な部分の定期的な電源遮断。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5827	A		スペクトル	すぺくとる	spectrum	(信号又はノイズにおいて)周波数領域内で時間的に変動する信号又はノイズに現れ、それぞれの振動は、その周波数、その大きさ、又はその初期位相によって特性化される一連の正弦波振動。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5828	A		スペクトルマスク	すぺくとるますく	spectrum-mask	周波数の関数として示される送信の最大電力密度。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5829	A		同期RFタグ	どうきRFたぐ	synchronous tag	そのタイミングがリーダの搬送波の各サイクルと同期している形のRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5830	A		RFタグ識別番号	RFたぐしきべつばんごう	tag ID	製造者RFタグ識別番号、又はユーザで付けたRFタグ識別番号のどちらかに対する一般的呼称。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5831	A		RFタグ間通信	RFたぐかんつうしん	tag-to-tag communication	リーダライタと交信するのと同様に、RFタグ同士が互いに交信できる能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5832	A		ツリーアルゴリズム	つりーあるごりずむ	tree algorithm	リーダライタによって使われる決定論的アルゴリズムであって、衝突が検出されたとき、すべてのRFタグが識別できるまで、RFタグが生成する乱数値の利用可能空間を検索す	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5833	A		型式認定	かたしきにんてい	type approval	型式試験に基づく機器の認定。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5834	A		ユーザRFタグ識別番号	ゆーざRFたぐしきべつばんごう	user tag ID	ユーザが定義したRFタグ識別番号。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5835	A		1回書込み複数回読取可能RFタグ、ワーム型RFタグ	1かいかきこみふくすうかいよみとりかのうRFたぐ、わーむがたRFたぐ	write once/read many, WORM	(RFタグで)部分又は全体の書込みをユーザが一度だけ行うことができ、その後は読取り専用として使用される形式のRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5836	A		一体化アクティブ(能動型)タグ	いったいかあくてぃぶ(のうどうがた)たぐ	unitized active tag	バッテリが封入されたアクティブ(能動型)タグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5837	A		書込み防止機能(1)	かきこみぼうしきのう(1)	write protection(1)	RFタグを設計するときに組み込まれる機能であって、メモリの全体又は一部を、変更、追加又は消去から保護することができるもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5838	A		書込み防止(2)	かきこみぼうし(2)	write protection(2)	データ媒体上のデータの書込み又は消去を防止する手段。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5839	A		アクティブ(能動型)タグ	あくてぃぶ(のうどうがた)たぐ	active tag	無線信号を発信する能力をもつRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5840	A		RFタグ	RFたぐ	transponder, RF tag	適切なトリガ信号に対する応答として信号を自動的に送信する無線送信機と無線受信機との組合せ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5841	A		アナンシエータ、告知装置	あなんしえーた、こくちそうち	annunciator	RFタグに取り付けることが可能で、RFタグ又はRFタグが付いた個体の識別を支援する目的で、命令によって視覚的信号又は音響信号を発することができる装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5842	A		アンテナ、空中線	あんてな、くうちゅうせん	antenna, aerial	送受信機と電磁波伝ぱ(播)媒体との間で、所要の結合を維持するために設計された電波送受信システムの部品。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5843	A		ダイポール	だいぽーる	dipole	(アンテナにおいて)平衡型給電線によって励起され、通常直線状に構成された伝導体からなる左右対称形のアンテナ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5844	A		指向性能	しこうせいのう	directivity	(アンテナに関し)通常、デシベルで表され、空中の全方向への平均化された放射強度値と、所定の方角に向けたアンテナによって導出される放射強度値との比率。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5845	A		放射効率	ほうしゃこうりつ	radiation efficiency	(アンテナに関し)アンテナによって受け取られた正味電力に対し、アンテナから放射された総出力の比。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5846	A		アンテナ効率	あんてなこうりつ	antenna efficiency	開口放射仕様の(開口型アンテナにおいて)、開口部の幾何学的面積に対する最大総実効面積の比。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5847	A		励磁器	れいじき	exciter	アンテナ用電力増幅器。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5848	A		固定式RFID装置、FE	こていしきRFIDそうち、FE	fixed RFID equipment, FE	搭載機材(車載型RFタグ)の中のデータを問い合わせ、受信及び解析を行い、識別番号の提示を行う機器。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5849	A		平面配列	へいめんはいれつ	planar array	複数の放射素子が平面上に配置された(平面パネルアンテナの)配列。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5850	A		ホスト	ほすと	host	ユーザと非接触情報システムとの間のインタフェースを提供するパーソナルコンピュータなどの電子計算装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5851	A		リーダライタ	りーだらいた	interrogator	固定式又は可搬式のデータ取得及び識別のための装置であり、無線周波数電磁界を使用して、交信領域内にある1個又はグループのRFタグを励起し、RFタグから変調データを	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5852	A		メモリカード	めもりかーど	memory card	読取り若しくは書込み可能な、又は再プログラム可能なクレジットカードサイズのタグであり、データには、マイクロプロセッサ(スマートカードの場合)を通して物理的な接触、又は無線接続(非接触)によってアクセスする形のカード型タグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5853	A		マルチプレクサ、コント	まるちぷれくさ、こんとろー	multiplexer, controller	多重化を行うための(データ通信)装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5854	A		多重化	たじゅうか	multiplexing	共有通信チャネル上の通信のための単一合成信号の中に、様々な個別の情報源からの信号を組み立てるための可逆プロセス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5855	A		車載器、OBE	しゃさいき、OBE	on-board equipment, OBE	車載形RFタグ。 唯一又は一義的で完全な識別番号及び関連データを含み識別される、乗り物又は個体に取り付けたRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5856	A		無線機又はトランシーバ、送受信機	むせんきまたはとらんしーば、そうじゅしんき	transceiver, transmitter-receiver	送受信を行うために、共通回路、及び通常同じアンテナを使用する無線送信機と無線受信機とを単一ユニットに組み合わせたもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5857	A		送信機	そうしんき	transmitter	エネルギー又は変調データ情報を、送信又は伝達する目的で、電磁波の放射又は電磁界の送出を行う電子装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5858	A		近接センサ	きんせつせんさ	proximity sensor	選ばれた目標物の存在を感知し信号化する電子装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5859	A		アロハ(1)(ランダム)	あろは(1)(らんだむ)	ALOHA(1) (random)	乱数倍の時間間隔の後にRFタグがリーダライタに応答する形の多重アクセスプロトコ	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5860	A		アロハ(2)(スロット)	あろは(2)(すろっと)	ALOHA(2) (slotted)	指定された時間帯を待ってRFタグがリーダライタに応答する形の多重アクセスプロトコル。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5861	A		振幅偏移キーイング、ASK	しんぷくへんいきーいんぐ、ASK	amplitude shift keying, ASK	変調デジタル信号によって、あらかじめ定められた一定数の振幅値の間で出力信号の振幅を変化させるデジタル信号の変調方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5862	A		バイフェーズ符号化、分割位相符号化	ばいふぇーずふごうか、ぶんかつそういふごうか	bi-phase encoding, split-phase encoding	ビット周期の開始、終わり又は中間地点で状態が遷移する形でのデジタルデータの符号化の一般的形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5863	A		バイフェーズレベル	ばいふぇーずれべる	bi-phase-level	ビット周期の前半期の信号状態がそのデータ値(1は高、0は低)を示し、かつ、ビット周期の中間において反対の状態へと遷移してタイミング信号の役割を果たす形のデジタルデータ符号化形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5864	A		バイフェーズスペース	ばいふぇーずすぺーす	bi-phase-space	論理値"0"はビットの始め、中間及び終わりに状態遷移をもち、かつ、論理値"1"はビットの始め及び終わり状態遷移をもつ形式のデジタルデータ符号化形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5865	A		キャパシティ	きゃぱしてぃ	capacity	通信情報内容を意味する最大可能キャラクタ数、又は適切なコードの使用によって任意の低いエラー率で達成できる最大可能平均情報伝送率のどちらか一方として示され、所定のメッセージソースからメッセージを送信するための所定の制限についての既定の	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5866	A		キャプチャフィールド、キャプチャ面積、キャプチャ領域	きゃぷちゃふぃーるど、きゃぷちゃめんせき、きゃぷちゃりょういき	capture field, capture area, capture zone	RFタグが応答を送るよう信号を受ける領域であり、リーダライタのアンテナによって決まる電磁界領域。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5867	A		チッピング	ちっぴんぐ	chipping	各チップはスペクトラム拡散帯域の中で異なるスペクトラル構成要素、又は周波数群を表しており、スペクトラム拡散通信プロセスの中で一つのチップ(05.01.23の定義とは異なる。)から他のチップへと移動するプロセス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5868	A		衝突回避	しょうとつかいひ	collision avoidance	衝突の解決に当てられる多重アクセスプロトコル。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5869	A		集中機(1)	しゅうちゅうき(1)	concentrator(1)	中央データプロセッサ又は情報管理システムへの単一リンクへの送信を進める前に、多数のデータ通信機器を接続し、ローカルなポイントにデータパケットを集中させるための	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5870	A		集中機(2)、統計処理マルチプレクサ	しゅうちゅうき(2)、とうけいしょりまるちぷれくさ	concentrator(2), statistical multiplexer	データチャネルを、最大情報処理量の要求に応じてチャネル間隔を動的に割り当て、より低い平均速度をもつ複数チャネルに分割するために使われる(データ通信)装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5871	A		連続的報告	れんぞくてきほうこく	continuous reporting	交信領域内にRFタグが残っている間は、RFタグの識別番号が連続的に報告又は連絡される形のリーダライタの動作モード。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5872	A		離調	りちょう	de-tuning	電子的同調回路の共振に影響を与える金属への近接接近によって生じるRFタグ及びリーダライタの性能の劣化。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5873	A		差分符号化	さぶんふごうか	differential encoding	最初の要素を除き、各要素がその要素と直前の要素との間の値の差分で表す形のデジタルデータ列の符号化方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5874	A		直接シーケンススペクトル拡散変調	ちょくせつしーけんすすぺくとるかくさんへんちょう	direct sequence spread spectrum modulation	デジタル情報信号の各要素が、情報信号のビットレートよりもかなり高いディジットレートをもつ擬似乱数系列として送信される形のスペクトル拡散変調の形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5875	A		下り回線	くだりかいせん	down-link	送信用宇宙局と受信用地上局との間の無線回線。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5876	A		電磁結合	でんじけつごう	electromagnetic coupling	電磁誘導とも呼ばれ、磁界又は電界を通しての結合。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5877	A		放射(電磁気の)	ほうしゃ(でんじきの)	radiation (electromagnetic)	発生源から空中へ発する電磁波の形でのエネルギーによる現象	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5878	A		登録(1)	とうろく(1)	enrolment(1)	はじめてリーダライタに関係付けられるときのRFタグでの処理。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5879	A		登録(2)	とうろく(2)	enrolment(2)	話者限定の音声認識システムで、所定の話者からのデータを用いてシステムを話者向けにすること。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5880	A		ヨーロッパ電気通信報告、ETR	よーろっぱでんきつうしんほうこく、ETR	European telecommunications report, ETR	ETSI作業プログラム内の作業項目の成果物として作成された技術レポート。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5881	A		ヨーロッパ通信標準、ETS	よーろっぱつうしんひょうじゅん、ETS	European telecommunications standard, ETS	ETSI作業プログラム内の作業項目の成果物として作成されたヨーロッパ標準の資格をもつETSI文書。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5882	A		工場プログラミング	こうじょうぷろぐらみんぐ	factory programming	生産工程の一部でRFタグにデータを記録すること。結果的に読取り専用RFタグになる。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5883	A		フィールドプログラミング	ふぃーるどぷろぐらみんぐ	field programming	RFタグの出荷後に、RFタグの中に情報をプログラムすること。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5884	A		周波数ホッピングスペクトル拡散変調	しゅうはすうほっぴんぐすぺくとるかくさんへんちょう	frequency hopping spread spectrum modulation	情報を送信するために必要な帯域幅より、相当に広い周波数帯域を覆う一組の周波数群から擬似乱数方法で選択した搬送周波数に、短い間隔で自動的に切り替えていく形式のスペクトル拡散変調の形態。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5885	A		周波数偏移キーイング(1)、FSK(1)	しゅうはすうへんいきーいんぐ(1)、FSK(1)	frequency shift keying(1), FSK(1)	離散時間変調信号の各々の有意状態が変調信号の周波数の不連続値からなる特定セットの一つによって表される形の角度変調。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5886	A		周波数偏移キーイング(2)、FSK(2)	しゅうはすうへんいきーいんぐ(2)、FSK(2)	frequency shift keying(2), FSK(2)	変調デジタル信号が送出信号の周波数を、固定数の規定周波数間で変化させる形の変調方式。[JIS X 0009の09.05.13参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5887	A		ホーミング	ほーみんぐ	homing	携帯用リーダライタを使い、又は携帯用リーダライタなしで指定RFタグを探し出す、又は検出する能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5888	A		IDフィルタ	IDふぃるた	ID filter	整合性の確認のため新しく読まれた識別情報(ID)をデータベース又はセット内のそれらと比較するソフトウェア機能。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5889	A		実装内容適合宣言、ICS	じっそうないようてきごうせんげん、ICS	implementation conformance statement, ICS	ある規格への適合性が要求され、システム又は実装の供給業者が作成する宣言書。それには、どんな機能が実装されているかどうかについての詳細な情報が提供され、その製品・サービスが適合しているかどうかの宣言がなされている。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5890	A		誤読	ごどく	incorrect read	読取り又は問合せの過程でRFタグから取り出すつもりのデータセットの全部又は一部を正しく読み取ることに失敗すること。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5891	A		電磁誘導	でんじゆうどう	inductive coupling	磁界の変化を用いて、変調データ又はエネルギーを一つのシステム要素から別の要素へ、例えばリーダライタからRFタグへ転送するプロセス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5892	A		質問	しつもん	interrogation	RFタグを読み取る、又は交信するプロセス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5893	A		マンチェスタ符号	まんちぇすたふごう	Manchester coding	ソース符号化形式における各1ビットが、その派生形式で又はチャネル符号化形式で2ビットで表されるバイフェーズコードフォーマット。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5894	A		マンチェスタ符号化	まんちぇすたふごうか	Manchester encoding	各ビットに割り当てられた時間区間を、中間点における遷移で半分に分割し、その遷移方向でビット値が決定されるバイフェーズ符号化。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5895	A		平均修理時間(1)、MTTR(1)	へいきんしゅうりじかん(1)、MTTR(1)	mean time to repair(1), MTTR(1)	多数の装置の修理経験から得られる、故障した装置の修理に要する平均時間。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5896	A		平均修理時間(2)、MTTR(2)	へいきんしゅうりじかん(2)、MTTR(2)	mean time to repair(2), MTTR(2)	所定の機能ユニットのために、ある条件の下での改良保全のために要する平均期間。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5897	A		ミラー符号	みらーふごう	Miller coding	論理値"1"のときはビット区間の中間で遷移をもち、論理値"0"の場合は、論理値"1"に続く場合は遷移せず、論理値"0"に続く場合はビット間隔の始まりで遷移する、デジタルデータの符号化形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5898	A		変調	へんちょう	modulation	搬送波の少なくとも一つの特性量が、送信される信号の特性量に従って変化させられる形の処理	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5899	A		位相変調、PM	いそうへんちょう、PM	phase modulation, PM	搬送波の位相が、その瞬時位相偏差が変調信号の瞬時値の既定の関数、通常は直線に従って変化する形で、データは、搬送波の位相の変化で示される変調方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5900	A		パルス位置変調、PPM	ぱるすいちへんちょう、PPM	pulse position modulation, PPM	データは、基準点に対するパルスの相対位置で示される変調方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5901	A		(米国)情報技術規格国際委員会	(べいこく)じょうほうぎじゅつきかくこくさいいいんかい	INCITS T6	米国内でRFID標準の開発に責任をもつ米国規格協会(ANSI)公認の規格開発機関の技術委員会。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5902	A		非ゼロ復帰コード、NRZ(1)	ひぜろふっきこーど、NRZ(1)	non-return to zero code, NRZ(1)	ビット周期の間中、状態が一定のデジタルデータの符号化のための一般的なフォーマット。バイナリ1が1レベルの1ビット期間によって表され、バイナリ0は0レベルの1ビット期間によって表される通信コードは、ゼロ復帰コードで格納されるデータの約2倍多いデータ	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5903	A		非ゼロ復帰記録、NRZ(2)	ひぜろふっききろく、NRZ(2)	non-return to zero recording, NRZ(2)	パルス間でゼロ復帰が釣り合っていない状態の記録方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5904	A		1で反転する非ゼロ復帰(NRZ-I)、NRZ-マーク	1ではんてんするひぜろふっき(NRZ-I)、NRZ-まー	non-return to zero invert on ones, NRZ-I, NRZ-	論理値"1"を示すビット周期の始めで遷移(電圧変化)し、論理値"0"を示すビット周期の始めからは遷移しない形のデジタルデータの符号化形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5905	A		非ゼロ復帰(マーク)記録、NRZ(M)	ひぜろふっき(まーく)きろく、NRZ(M)	non-return to zero (mark) recording, NRZ (M)	1で反転する非ゼロ復帰方式での記録方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5906	A		非ゼロ復帰レベル、NRZ-L	ひぜろふっきれべる、NRZ-L	non-return to zero-level, NRZ-L	データ内で論理値"1"を示す"高レベル"への遷移(電圧変化)、及び論理値"0"を示す"低レベル"への遷移を使用するデジタルデータの符号化形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5907	A		非ゼロ復帰スペース、差動符号化、NRZ-Space	ひぜろふっきすぺーす、さどうふごうか、NRZ-Space	non-return to zero-space, differential encoding, NRZ-Space	論理値"0"を示すビット周期の始まりにおける遷移(電圧変化)、及び論理値"1"を示すビット周期の始まりで遷移しない形のデジタルデータの符号化形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5908	A		パッシブ(受動型)タグ	ぱっしぶ(じゅどうがた)たぐ	passive tag	リーダライタから搬送波信号を受け取って、反射及び変調を行うRFID装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5909	A		ポーリング	ぽーりんぐ	polling	通信時にデータ装置が一つずつ呼び出される形のプロセス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5910	A		端子集中機	たんししゅうちゅうき	port concentrator	通信ネットワークの中に送信を進めるために多数のデータ交信インタフェースからの出力を受け入れる装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5911	A		プログラマ(1)	ぷろぐらま(1)	programmer(1)	通常は近接接近で、電磁誘導データ転送リンクを経由し、RFタグのデータの入力又は変更(プログラミング)をするための電子装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5912	A		プログラマ(2)	ぷろぐらま(2)	programmer(2)	プログラムを設計し、書き、テストする人。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5913	A		プログラミング(1)	ぷろぐらみんぐ(1)	programming(1)	RFタグに格納されるデータを書き込む又は格納されたデータを変更すること。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5914	A		プログラミング(2)	ぷろぐらみんぐ(2)	programming(2)	プログラムの設計、書込み、修正及びテスト。[JIS X 0001の01.05.03参照]	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5915	A		パルス分散	ぱるすぶんさん	pulse dispersion	分散したリアクタンス(容量、インダクタンス)成分の影響を受けて、実際の通信システムを通して通信する間でのパルスの幅又は時間的な拡散。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5916	A		パルス幅変調、PDM、PWM	ぱるすはばへんちょう、PDM、PWM	pulse duration modulation, PDM, pulse width modulation, PWM	変調信号の値の既定関数に従いパルス幅が変えられる形で、データはパルス幅で示される変調方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5917	A		パルス位置変調、PPM	ぱるすいちへんちょう、PPM	pulse position modulation, PPM	データは基準点に対するパルスの相対位置で示される変調方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5918	A		RFID	RFID	radio frequency identification	RFタグの固有IDを読み取るシステム。RFIDは、種々の変調方式と符号化方式とを使って、RFタグへ又はRFタグから通信するために、スペクトルの無線周波数部分内における電磁的結合又は静電結合を、具体的に利用している。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5919	A		RFIDシステム	RFIDしすてむ	radio frequency identification system	一つ以上のリーダライタ及び一つ以上のRFタグからなっており、適切な変調誘導又は放射された電磁搬送波を用いてデータ通信を達成する、自動認識システム及びデータ取得	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5920	A		リーダライタ	りーだらいた	reader/interrogator, reader/writer	必要に応じて競争とエラーとを制御管理し、加えてソースに入ったデータを回復し、交信するために必す(須)のチャネル及びソースの復号化を行い、RFタグからデータを取り込み、場合によってはデータをRFタグに送信するプロセスを実行するための電子装置。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5921	A		読取り又は書込み	よみとりまたはかきこみ	read/write	RFタグからデータを読み取り、また適切なプログラム装置を使ってデータを変更(書込みプロセス)する、又はその両方ともできる(RFIDシステムの)能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5922	A		スクランブル	すくらんぶる	scrambling	格納データ又はエラー制御機能の有効性に対するセキュリティ強化のために、データを再配置又は転置する処理。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5923	A		スクリーニング(1)	すくりーにんぐ(1)	screening(1)	求める視野の外にあるRFタグの無用の動作を回避するためにRF通信を遮へい(蔽)する	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5924	A		スクリーニング(2)	すくりーにんぐ(2)	screening(2)	電波妨害を排除又は最小限にする処理であって、電磁波の反射素材及び吸収素材を用い、適切な構造と配置とで、潜在的妨害発信源と保護対象回路との間の相互作用を軽	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5925	A		選択(1)	せんたく(1)	selection(1)	リーダライタに対する特定RFタグ又は一部のRFタグの応答を要求するリーダライタによ	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5926	A		選択(2)	せんたく(2)	selection(2)	(データベースに関し)既定の関係から出てくる実体の部分集合である新たな関係を形成するリレーショナル代数の演算。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5927	A		センサ	せんさ	sensor	物体の存在を感知し、制御目的で使用することができる電子信号を送る電子機器。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5928	A		信号伝達技術	しんごうでんたつぎじゅつ	signaling technique	RFタグとリーダライタとの間の交信に必す(須)の変調、データ符号化、プロトコル及びシーケンスの全体的定義。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5929	A		タイムスロット	たいむすろっと	time-slot	ユニークに区別でき認識できる周期的時間間隔。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5930	A		ソース復号化	そーすふくごうか	source decoding	ビット列に符号化された受信ソースから原型又は元のデータを再生する処理。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5931	A		ソース符号化	そーすふごうか	source encoding	送信のために符号化したメッセージを生成するのにデータの原型又はソースに加えられる演算処理。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5932	A		スペクトル拡散変調	すぺくとるかくさんへんちょう	spread spectrum modulation	送信信号の平均電力スペクトル密度が、情報送信のために必要な帯域幅よりかなり広い帯域幅全体にわたり乱数又は擬似乱数方法で拡散される形の変調形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5933	A		短距離無線通信装置、SRD	たんきょりむせんつうしんそうち、SRD	short range device, SRD	単方向性及び双方向性通信の両方を提供し、他の無線装置へ干渉を引き起こす可能性が低い無線通信機。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5934	A		表面弾性波、SAW	ひょうめんだんせいは、SAW	surface acoustic wave, SAW	自動認識に利用される技術であって、そこでは、低出力マイクロ波無線周波数信号が、RFタグの中の圧電性結晶物質によって超音波信号に変換され、それに対する複数の反射(それぞれ異なる遅れ時間をもつ。)の組合せが固有IDを表現し、無線周波数信号となって返信されるというもの。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5935	A		同期化	どうきか	synchronization	二つの経時変化する現象、時間尺度又はシグナルの同期を達成するためクロック周波数を調整するプロセス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5936	A		RFタグ、電子タグ、タグラベル、タグ(1)	RFたぐ、でんしたぐ、たぐらべる、たぐ(1)	RF tag, code plate, transponder, electronic label, tag(1)	情報を保管する仕組みをもち、目的物にはり付けられるRFタグ。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5937	A		タグ(2)	たぐ(2)	tag(2)	データテキスト又は目的物を構造化するために使われるマークアップ言語内の(ハイパーメディア)言語要素。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5938	A		タグ先導交信	たぐせんどうこうしん	tag initiated communication	リーダライタにRFタグを認識させ応答を引き出すためにリーダライタに信号を送る能動型RFタグの(タグトークファースト)能力。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5939	A		タグトークファースト、TTF	たぐとーくふぁーすと、TTF	tag talks first, TTF	RFタグから最初に開始される形の交信形式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5940	A		時分割二重化、TDD	じぶんかつにじゅうか、	time division duplexing,	リーダライタとRFタグとが同時に動作しないようにするために時間を分けて操作する手	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5941	A		時分割多重化、TDM	じぶんかつたじゅうか、TDM	time division multiplexing, TDM	共通チャネル上の通信のために多数の独立した信号が一周期間間隔に別々に割り付けられる形の多重化方式。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5942	A		トレーニングシーケンス、TSC	とれーにんぐしーけんす、TSC	training sequence, TSC	受信機のため受信能力を上げるための専用のビットシーケンス。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5943	A		上り回線	のぼりかいせん	up-link	送信用地上局と、受信用宇宙局との間の無線回線。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5944	A		ウェイクアップ	うぇいくあっぷ	wake-up	RFタグを"休止"(電力維持)状態から"覚せい(醒)"(受信又は送信の準備ができた)状態へと移行する処理。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5945	A		書込み	かきこみ	write	データを出力装置、データ格納装置、又はデータ媒体へ送ること。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5946	A		放出	ほうしゅつ	emission	無線送信局によって生成される(無線通信)電波又は無線信号。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
5947	A		欧州郵便電気通信主管庁会議、CEPT	おうしゅうゆうびんでんきつうしんしゅかんちょうかいぎ、CEPT	Conference europeenne des administrations des postes et telecommunications,	ヨーロッパの周波帯の効率利用と関連する規制に責任をもつ機関。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5948	A		欧州通信規格協会、ETSI	おうしゅうつうしんきかくきょうかい、ETSI	European Telecommunications Standards Institute, ETSI	電気通信分野の標準化に責任をもつヨーロッパの標準機関。	JIS X 0500-3	2009	ISO/IEC 19762-3	2005				2008	SC31
5949	A		黒バー	くろばー		バーコードを構成する平行バーのうち、反射率の低いバー。	JIS X 0502	1994							
5950	A		白バー	しろばー		バーコードを構成する平行バーのうち、反射率の高いバー。	JIS X 0502	1994							
5951	A		エレメント	えれめんと		1本の白バー又は黒バー。	JIS X 0502	1994							
5952	A		細エレメント	ほそえれめんと		バーコードを構成する平行バーのうち、幅の細いバー。	JIS X 0502	1994							
5953	A		太エレメント	ふとえれめんと		バーコードを構成する平行バーのうち、幅の太いバー。	JIS X 0502	1994							
5954	A		クワイエットゾーン	くわいえっとぞーん		バーコードの両端にある余白部分。	JIS X 0502	1994							
5955	A		バーコードキャラクタ	ばーこーどきゃらくた		バーコードで表す情報の基本単位。1キャラクタは、太エレメント2本、細エレメント3本の組合せで構成され、0から9までの数字を表す(1キャラクタが物流商品コードの10進法表記1けたを表す。)。	JIS X 0502	1994							
5956	A		ベアラーバー	べあらーばー		バーコードの周辺を縦、横に取り囲むバー。	JIS X 0502	1994							
5957	A		スタートコードバー	すたーとこーどばー		バーコードの最も左側に位置し、細エレメント4本で構成され、右側にキャラクタが存在することを表すバー。	JIS X 0502	1994							
5958	A		ストップコードバー	すとっぷこーどばー		バーコードの最も右側に位置し、太エレメント1本、細エレメント2本で構成され、左側のキャラクタの終了を表すバー。	JIS X 0502	1994							
5959	A		最小反射率差	さいしょうはんしゃりつさ		バーコードシンボルの光学的特性を測定するために定義される値。	JIS X 0502	1994							
5960	A		ボイド	ぼいど		黒バーにおける欠け。	JIS X 0502	1994							
5961	A		スポット	すぽっと		白バー及びクワイエットゾーンにおける汚れ。	JIS X 0502	1994							
5962	A		バーコード	ばーこーど		バーコードシンボルからクワイエットゾーン及びベアラーバーを除いた、バーコードキャラクタ群で構成される部分。	JIS X 0502	1994							
5963	A		バーコードシンボル	ばーこーどしんぼる		バーコード、クワイエットゾーン、ベアラーバー及びJIS X 9001に規定するOCR-B字体で構成され、媒体上に印刷(表示)されたマーク。	JIS X 0502	1994							
5964	A		物流商品コード	ぶつりゅうしょうひんこーど		物流識別キャラクタ、フラッグキャラクタ、データキャラクタ及びモジュラチェックキャラクタで構成されるコード。14けたの標準バージョン、16けたの拡張バージョン及び6けたのアドオンバージョンがある。	JIS X 0502	1994							
5965	A		標準バージョン	ひょうじゅんばーじょん		この規格で定めるバーコードシンボルの一形式で、14けたの標準物流商品コードを表し	JIS X 0502	1994							
5966	A		拡張バージョン	かくちょうばーじょん		この規格で定めるバーコードシンボルの一形式で、16けたの拡張物流商品コードを表し	JIS X 0502	1994							
5967	A		アドオンバージョン	あどおんばーじょん		この規格で定めるバーコードシンボルの一形式で、6けたのアドオンコードを表したもの。標準バージョン又は拡張バージョンと連続して使用される。	JIS X 0502	1994							
5968	A		物流識別キャラクタ	ぶつりゅうしきべつきゃらくた		物流商品コードのうち、個装又は内装商品(内箱)の数や組合せなどの相違を識別するキャラクタ。標準バージョンでは1キャラクタで、また、拡張バージョンでは2キャラクタで表	JIS X 0502	1994							
5969	A		フラッグキャラクタ	ふらっぐきゃらくた		物流商品コードのうち、国コードなどのフラッグコードを表し、商品コードの管理単位を識別するキャラクタ。フラッグコードが2けたの場合2キャラクタで、また3けたの場合は3キャ	JIS X 0502	1994							
5970	A		データキャラクタ	でーたきゃらくた		商品メーカーコード及び商品アイテムコードを表すキャラクタ。フラッグキャラクタが2キャラクタの場合には10キャラクタで、3キャラクタの場合には9キャラクタで表す。	JIS X 0502	1994							
5971	A		モジュラチェックキャラクタ	もじゅらちぇっくきゃらくた		バーコードシンボルの読取りの正確性を保つために、モジュラス10に基づいて算出された値を表すキャラクタ。	JIS X 0502	1994							
5972	A		モジュラス10	もじゅらす10		モジュラチェックキャラクタを算出する計算法。	JIS X 0502	1994							
5973	A		スペアキャラクタ	すぺあきゃらくた		コード体系の調整のためのキャラクタ。その値は、"0"とする。	JIS X 0502	1994							
5974	A		ITF	ITF	Interleaved Two of Five	この規格で採用したバーコードシンボルの方式。	JIS X 0502	1994							
5975	A		黒バー	くろばー	bar	バーコードを構成する並行なバーのうち、反射率が低いバー。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5976	A		白バー	しろばー	space	バーコードを構成する並行なバーのうち、反射率が高いバー。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5977	A		エレメント	えれめんと	element	1本の黒バー又は白バー	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5978	A		細エレメント	ほそえれめんと	narrow element	バーコードを構成する並行なバーのうち、幅が細いバー。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5979	A		太エレメント	ふとえれめんと	wide element	バーコードを構成する並行なバーのうち、幅が太いバー。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5980	A		モジュール	もじゅーる	module	バーの幅を表す最小単位で細エレメントの幅と等しい。太エレメントの幅は2～3モジュー	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5981	A		クワイエットゾーン	くわいえっとぞーん	quiet zone	バーコードの両端にある余白部分。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5982	A		キャラクタ間ギャップ	きゃらくたかんぎゃっぷ	intercharacter gap	隣接する二つのバーコードキャラクタの間に存在する余白部分。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5983	A		バーコードキャラクタ	ばーこーどきゃらくた	symbol character	一定数の黒バーと白バーとで表された数字、文字及び特殊文字。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5984	A		スタートキャラクタ	すたーときゃらくた	start character	バーコードの始まりを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5985	A		ストップキャラクタ	すとっぷきゃらくた	stop character	バーコードの終わりを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5986	A		データキャラクタ	でーたきゃらくた	data character	スタートキャラクタ及びストップキャラクタを除いたバーコードキャラクタ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5987	A		バーコードシンボル	ばーこーどしんぼる	bar code symbol	バーコード部と先頭、末尾クワイエットゾーンとで構成されるバーコード全体。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5988	A		チェックキャラクタ	ちぇっくきゃらくた	check character	シンボルチェックキャラクタとデータチェックキャラクタの総称。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5989	A		シンボルチェックキャラクタ	しんぼるちぇっくきゃらくた	symbol check character	バーコードシンボルのデータが正しいかどうかをチェックするための、モジュラス43を使用したチェックデジットを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5990	A		データチェックキャラクタ	でーたちぇっくきゃらくた	data check character	バーコードシンボルのデータが正しいかどうかをチェックするための、ユーザが自由に設定できるアルゴリズムを使用したチェックデジットを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5991	A		モジュラス43	もじゅらす43	modulo 43	シンボルチェックキャラクタを計算するためのアルゴリズム。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5992	A		キャラクタセルフチェック	きゃらくたせるふちぇっく	character self-checking	個々のバーコードキャラクタが正しいかどうかをチェックする機能。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5993	A		ASCIIキャラクタ	あすきーきゃらくた	ASCII character	ANSI X3.4により定められた文字コード体系におけるキャラクタ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5994	A		ITF	ITF	Interleaved 2 of 5	ISO/IEC 16390で規定されているバーコードシンボル。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5995	A		プリアンブル	ぷりあんぶる	preamble	メッセージを転送するとき、メッセージの直前に転送される同期などを目的とするデータ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5996	A		最小反射比差	さいしょうはんしゃひさ	minimum reflectance difference	バーコードシンボルの光学特性を表し、附属書2(参考)の2.2で定義される値。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5997	A		ボイド	ぼいど	void	黒バーにおける欠け。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5998	A		スポット	すぽっと	spot	白バー、キャラクタ間ギャップ及びクワイエットゾーンにおける汚れ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
5999	A		復号化	ふくごうか	decode	バーコードシンボルをコンピュータで処理し、元のデータ形式に変換すること。デコード。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31
6000	A		復号器	ふくごうき	decoder	復号化をする装置。デコーダ。	JIS X 0503	2000	ISO/IEC 16388	1999				2007	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6001	A		モジュール	もじゅーる		黒バー、白バー及びクワイエットゾーンを表現する最小単位。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6002	A		黒バー	くろばー		バーコード構成する平行なバーのうち、反射率が低いバー。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6003	A		白バー	しろばー		バーコード構成する平行なバーのうち、反射率が高いバー。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6004	A		エレメント	えれめんと		1本の黒バー又は白バー。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6005	A		クワイエットゾーン	くわいえっとぞーん		バーコードの両端にある余白部分。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6006	A		バーコードキャラクタ	ばーこーどきゃらくた		一定数の黒バーと白バーとで表された数字、文字及び特殊文字。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6007	A		スタートキャラクタ	すたーときゃらくた		バーコードの始まりを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6008	A		ストップキャラクタ	すとっぷきゃらくた		バーコードの終わりを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6009	A		データキャラクタ	でーたきゃらくた		スタートキャラクタ及びストップキャラクタを除いたバーコードキャラクタ。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6010	A		キャラクタ	きゃらくた		スタートキャラクタ、ストップキャラクタ及びデータキャラクタの総称。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6011	A		チェックキャラクタ	ちぇっくきゃらくた		読取りの信頼性を向上させる目的で用いるデータキャラクタ。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417:2000	2007	SC31
6012	A		最小反射率差	さいしょうはんしゃりつさ		バーコードシンボルの光学的特性を表す値。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6013	A		ボイド	ぼいど		黒バーにおける欠け。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6014	A		スポット	すぽっと		白バー及びクワイエットゾーンにおける汚れ。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6015	A		バーコード部	ばーこーどぶ		バーコードシンボルからクワイエットゾーンを除いたバーコードキャラクタ群で構成される部分。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6016	A		バーコードシンボル	ばーこーどしんぼる		バーコード部と左右クワイエットゾーンとで構成される部分。	JIS X 0504	1996				2003/6用	ISO/IEC 15417	2007	SC31
6017	A		黒バー	くろばー	bar	バーコードを構成する並行なバーのうち、反射率が低いバー。	JIS X 0506	2000							
6018	A		白バー	しろばー	space	バーコードを構成する並行なバーのうち、反射率が高いバー。	JIS X 0506	2000							
6019	A		エレメント	えれめんと	element	1本の黒バー又は白バー	JIS X 0506	2000							
6020	A		細エレメント	ほそえれめんと	narrow element	バーコードを構成する並行なバーのうち、幅が細いバー。	JIS X 0506	2000							
6021	A		太エレメント	ふとえれめんと	wide element	バーコードを構成する並行なバーのうち、幅が太いバー。	JIS X 0506	2000							
6022	A		クワイエットゾーン	くわいえっとぞーん	quiet zone	バーコードの両端にある余白部分。	JIS X 0506	2000							
6023	A		キャラクタ間ギャップ	きゃらくたかんぎゃっぷ	intercharacter gap	隣接する二つのバーコードキャラクタの間に存在する余白部分。	JIS X 0506	2000							
6024	A		バーコードキャラクタ	ばーこーどきゃらくた	symbol character	一定数の黒バーと白バーとで表された数字、文字及び特殊文字。	JIS X 0506	2000							
6025	A		スタートキャラクタ	すたーときゃらくた	start character	バーコードの始まりを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0506	2000							
6026	A		ストップキャラクタ	すとっぷきゃらくた	stop character	バーコードの終わりを表すバーコードキャラクタ。	JIS X 0506	2000							
6027	A		データキャラクタ	でーたきゃらくた	data character	スタートキャラクタ及びストップキャラクタを除いたバーコードキャラクタ。	JIS X 0506	2000							
6028	A		バーコードシンボル	ばーこーどしんぼる	bar code symbol	バーコード部と先頭、末尾クワイエットゾーンとで構成されるバーコード全体。	JIS X 0506	2000							
6029	A		バーコード部	ばーこーどぶ	bar code part	バーコードシンボルからクワイエットゾーンを除いたバーコードキャラクタ群とキャラクタ間ギャップ群とで構成される部分。	JIS X 0506	2000							
6030	A		最小反射率差	さいしょうはんしゃりつさ	minimum reflectance difference	バーコードシンボルの光学特性を表し、5.2で定義される値。	JIS X 0506	2000							
6031	A		ボイド	ぼいど	void	黒バーにおける欠け。	JIS X 0506	2000							
6032	A		スポット	すぽっと	spot	白バー、キャラクタ間ギャップ及びクワイエットゾーンにおける汚れ。	JIS X 0506	2000							
6033	A		追加シンボル	ついかしんぼる	add-on symbol	主シンボル情報の追加情報を符号化したシンボル。.	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6034	A		補助パターン	ほじょぱたーん	auxiliary pattern	シンボルのデータでない構成部を表すバー/スペースのパタ「ン。例えば、.ガードパターン、キャラクタ間分離パターンなど。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6035	A		分離パターン	ぶんりぱたーん	delineator	追加シンボル内のキャラクタを分割する補助パターン。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6036	A		偶数パリティ	ぐうすうぱりてぃ	even parity	偶数の黒モジュールをもつシ、ンボルキャラクタの符号化特性。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6037	A		ガードパターン	がーどぱたーん	guard pattern	他のシンボル体系でスタートパターン若しくはストップパターンに該当する又はシンボルを二等分するバー/スペースの補助パターン。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6038	A		倍率	ばいりつ	magnification factor	EAN/UPCシンボルの公称サイズの定乗数。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6039	A		付番組織	ふばんそしき	numbering organization	UCC/EANシステムの管理及び特定地域内の付番管理に対して責任をもつ組織。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6040	A		数字セット	すうじせっと	number set	偶数又は奇数パリティに対応付けて0～9の数字をバー又はスペースによって符号化した10パターンのセット。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6041	A		奇数パリティ	きすうぱりてぃ	odd parity	奇数の黒モジュールをもつシンボルキャラクタの符号化特性。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6042	A		UCC/EANシステム	UCC/EANしすてむ	UCC/EAN system	EANインターナショナル及び米国コードセンタ(Uniform Code Council)の規定に基づいて、製品、処理装置、資産、場所及びサービスにそれぞれ固有の付番及び識別を行うシステム(附属書C参照)。.	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6043	A		可変パリティ符号化	かへんぱりていふごうか	variable parity encodation	数字を暗示的に符号化するため又はチェックを行う目的で、特定の偶数又は奇数のパリティキャラクタを組み合わせて一連のシンボルキヤラクタの補足情報を符号化する過程	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6044	A		ゼロ抑制	ぜろよくせい	zero-suppression	UCC-12データ列の特定位置にあるゼロを削除して、データ列をUPC-E形式に変換する過程をいう。 参考 用語に関しては、JIS X 0500(データキャリア用語)も参照のこと。	JIS X 0507	2004	ISO/IEC 15420	2000				2000	SC31
6045	A		基本的チャネルモデル	きほんてきちゃねるもでる	basic channel model	バーコードデータを符号化して伝送するための標準的なシステム。復号器からは、データメッセージバイトを出力するが、メッセージに関する制御情報は出力しない。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6046	A		バー スペース列	ばー すぺーすれつ	bar-space sequence	シンボルキャラクタを構成する各エレメント(バー及びスペースを、モジュール層で示した	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6047	A		クラスタ	くらすた	cluster	3種類あるPDF417シンボルキャラクタサブセットのいずれか。これらはすべて、互いに排他である。与えられたクラスタに含まれるシンボルキャラクタは、構造的にそれぞれ異なった規則に従っており、その規則をシンボル体系の復号に用いる。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6048	A		圧縮モード	あっしゅくもーど	compaction mode	8ビットのデータバイトを効率的にコード語に対応付けるPDF417のデータ圧縮アルゴリズム。テキスト、数字及びバイト圧縮モードの3種類がある。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6049	A		e距離	eきょり	e-distance	エレメントの先端から次の類似エレメントの先端まで、又は後端から次の後端までの距	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6050	A		誤り訂正コード語	あやまりていせいこーどご	error correction codeword	復号誤りの検出を可能にする誤り訂正レベルで決められたアルゴリズムを用いて計算した値を、符号化したコード語。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6051	A		拡張チャネル解釈、ECI	かくちょうちゃねるかいしゃく、ECI	Extended Channel Interpretation, ECI	PDF417を含む幾つかのシンボル体系で、規定値の解釈を異なる解釈に替える手順。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6052	A		拡張チャネルモデル	かくちょうちゃねるもでる	Extended Channel Model	データメッセージバイト及びそのメッセージに関する制御情報を符号化して送るシステム。復号器は、このモデルに応じた拡張チャネルモードで動作する。制御情報の伝達は、拡張チャネル解釈(ECI)のエスケープシーケンスで行う。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6053	A		機能コード語	きのうこーどご	function codeword	シンボル体系内のコード語であって、そのシンボル体系内の特定の動作を開始するもの。例えば、データ符号化集合の切換え、圧縮法の実施、リーダのプログラミング、拡張チャネル解釈(ECI)の実施である。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6054	A		グローバルラベル識別子、GLI	ぐろーばるらべるしきべつし、GLI	Global Label Identifier, GLI	PDF417シンボル体系内の手順であって、拡張チャネル解釈(ECI)に類似した働きをするもの。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6055	A		マクロPDF417	まくろPDF417	Macro PDF417	PDF417シンボル体系における手順であって、コンピュータファイルからデータを、幾つかのPDF417シンボルに分配するもの。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6056	A		モード切替コード語	もーどきりかえこーどご	Mode Latch codeword	一つのモードから他のモードへ切り換えるときに用いるコード語。新しいモードは、別の切換モード語若しくは一語切換モード語が明示若しくは暗示されるか、又はラベルの終わりに達するまで有効である。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6057	A		モード一語切換コード語	もーどいちごきりかえこーどご	Mode Shift codeword	一つのモードから他のモードへ、コード語一つ分だけ切り換えるときに用いるコード語。その後、符号化機能は元のモードに戻る。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6058	A		行指示コード語	ぎょうしじこーどご	Row Indicator codeword	各行のスタートキャラクタ又はストップキャラクタに隣接するコード語。PDF417シンボルの構造に関する情報を、行識別、行総数、縦列総数及び誤り訂正レベルによって符号化す	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6059	A		シンボル長記述子	しんぼるちょうきじゅつし	Symbol Length Descriptor	PDF417の最初のコード語で、シンボル中のデータコード語の総数を符号化したコード語。	JIS X 0508	2010	ISO/IEC 15438	2006				2006	SC31
6060	B		位置合せパターン	いちあわせぱたーん	alignment pattern	1型を除くすべてのモデル2シンボルにおける固定の参照パターン。このパターンは、画像にある程度のひずみが生じた場合でも、復号ソフトウェアが画像の座標マップを再編成することを可能にする。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004 :2000	2006	SC31
6061	B		文字数指示子	もじすうしじし	character count indicator	モード内におけるデータ文字列の長さを定義するビット列。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6062	B		拡張チャネル解釈指定	かくちょうちゃねるかいしゃくしてい	ECI designator	特定のECI割当てを定義する6けたの番号。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6063	B		符号化領域	ふごうかりょういき	encoding region	機能パターン以外のデータの符号化及び誤り訂正コード語に使用されるシンボル領域。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6064	B		拡張チャネル解釈、ECI	かくちょうちゃねるかいしゃく、ECI	extended channel interpretation	デフォルトの解釈とは異なるデータコード語の別の解釈定義。ECIは、別の文字集合若しくは2進データ(例えば、デジタル化された署名)のコード語化、データの中間処理(例えば、データの圧縮)又はデータのフォーマット(例えば、ワードプロセシングのファイルフォーマット)の手段として機能する。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004 :2000	2006	SC31
6065	B		拡張パターン	かくちょうぱたーん	extension pattern	モデル1におけるデータを符号化しない機能パターン。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6066	B		位置検出パターン	いちけんしゅつぱたーん	finder pattern	QRコードシンボルの三つの隅に配置される3個の位置検出要素パターンから構成される機能パターン。これは、画像領域でシンボル位置の検索を助ける。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6067	B		形式情報	けいしきじょうほう	format information	シンボルに適用する誤り訂正レベル及び使用するマスク処理パターンに関する情報をもち、符号化領域を復号するのに必要な機能パターン。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6068	B		機能パターン	きのうぱたーん	function pattern	復号を補助するシンボル位置の検索又は特性の識別に必要なシンボルのオーバヘッド部分。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6069	B		マスクパターン参照子	ますくぱたーんさんしょうし	mask pattern reference	シンボルに適用されるマスク処理パターンのための3ビットの識別子。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6070	B		マスク処理	ますくしょり	masking	明及び暗のモジュール数を均一化し、画像の高速処理の障害となるパターンの発生を抑えるために行う、符号化領域のビットパターンとマスク処理パターンとのXOR処理。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6071	B		モード	もーど	mode	ビット列として定義される文字集合の表示方法。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6072	B		モード指示子	もーどしじし	mode indicator	次のデータ列がどのモードで符号化されるかを示す4ビットの識別子。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6073	B		モジュール	もじゅーる	module	シンボルを構成する単位正方形のセル。1ビットが1モジュールに相当する。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6074	B		入れ子ECI	いれこECI	nested ECI	既に他のECIが適用されているデータ列の全体又は一部に適用される拡張チャネル解釈。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6075	B		埋め草コード語	うめくさこーどご	pad codeword	コード語の総数がシンボルの容量に満たない場合、空のコード語位置を充てんする目的で使用する、データを示さないゼロのビット。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6076	B		埋め草ビット	うめくさびっと	padding bit	データビット列の終端パターンの後にある最終コード語の空の位置を充てんする目的で使用する、データを示さないゼロのビット。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6077	B		位置検出要素パターン	いちけんしゅつようそぱたーん	position detection pattern	位置検出パターンを構成する3個の同一要素の一つ。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6078	B		剰余ビット	じょうよびっと	remainder bit	符号化領域が8ビットのシンボル文字で割り切れない場合に、最終シンボル文字の後にあるシンボル符号化領域の空の位置を充てんする目的で使用されるデータを示さないゼ	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6079	B		剰余コード語	じょうよこーどご	remainder codeword	データ及び誤り訂正コード語の総数が、シンボルの容量を満たさない場合に、シンボルを完成させるために空のコード語位置を充てんするために使用する埋め草コード語。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6080	B		セグメント	せぐめんと	segment	ECIモード及び符号化モードの規則に基づいて符号化されるデータ列。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6081	B		分離パターン	ぶんりぱたーん	separator	位置検出パターンをシンボルから分離するために用いる1モジュール幅のすべてが明モジュールの機能パターン。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6082	B		連結	れんけつ	structured append	一つのメッセージを幾つかのシンボルに分割するデータの表示方法。それらのシンボルは、完全なメッセージが再構築される前にすべての読出しを必要とする。また、この場合、メッセージ内でのシンボルの順番及び総数が定義される。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004 :2000	2006	SC31
6083	B		部分セグメント	ぶぶんせぐめんと	subsegment	入れ子にされているECIモードにおいて、ある一つのECIモード指示子で始まり、次のモード指示子に先立って終了するセグメントの一部分。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6084	B		終端パターン	しゅうたんぱたーん	terminator	データを示すビット列の終了に使用する0000のビットパターン。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6085	B		タイミングパターン	たいみんぐぱたーん	timing pattern	シンボル内のモジュール座標を決定する明モジュールと暗モジュールとの交互列。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6086	B		型番	かたばん	version	21×21モジュール(1型)～177×177モジュール(40型)の間において、番号で示されるシンボルの大きさ。シンボルに適用された誤り訂正レベルを示す場合もある。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6087	B		型番情報	かたばんじょうほう	version information	モデル2におけるシンボルの型番情報及びその誤り訂正ビットをもつ機能パターン。	JIS X 0510	1999	ISO/IEC 18004			2004/11	ISO/IEC 18004	2006	SC31
6088	A		位置合せパターン	いちあわせぱたーん	alignment pattern	マトリックスシンボル体系における、決められた位置にある、固定参照パターン。このパターンは、画像にある程度のひずみが生じた場合でも、復号ソフトウェアが画像の座標マップを再編成することを可能にする。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6089	A		文字数指示子	もじすうしじし	character count indicator	モード内におけるデータ文字列の長さを定義するビット列。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6090	A		ECI指定	ECIしてい	ECI designator	特定のECI割当てを表す6けたの番号。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6091	A		符号化領域	ふごうかりょういき	encoding region	機能パターン以外のデータの符号化及び誤り訂正コード語に使用されるシンボル領域。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6092	A		ECI	ECI	extended channel interpretation	いくつかのシンボル仕様で、既定の文字集合の解釈とは異なるデータ列の出力を可能にするために用いられる規約。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6093	A		拡張パターン	かくちょうぱたーん	extension pattern	モデル1のQRコードシンボルの中でデータを符号化することのない機能パターン。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6094	A		位置検出パターン	いちけんしゅつぱたーん	finder pattern	QRコードシンボルの三つの隅に配置される3個の位置検出要素パターンから構成される機能パターン。これは、画像領域でシンボル位置の検索を助ける。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6095	A		形式情報	けいしきじょうほう	format information	シンボルに適用する誤り訂正レベル及び使用するマスク処理パターンに関する情報をもち、符号化領域を復号するのに必要な符号化パターン。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6096	A		機能パターン	きのうぱたーん	function pattern	復号を補助するシンボル位置の検索又は特性の識別に必要なシンボルの才]バーヘッド	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6097	A		マスクパターン参照子	ますくぱたーんさんしょうし	mask pattern reference	シンボルに適用されるマスク処理パターンのための3ビットの識別子。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6098	A		マスク処理	ますくしょり	masking	明及び暗のモジュール数を均一化し、画像の高速処理の障害となるパターンの発生を抑えるために行う、符号化領域のビットパターンとマスク処理パターンとのXOR処理。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6099	A		モード	もーど	mode	ビット列として定義される文字集合の表示方法。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6100	A		モード指示子	もーどしじし	mode indicator	次のデータ列がどのモードで符号化されるかを示す4ビットの識別子。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6101	A		モジュール	もじゅーる	module	シンボルを構成する単位セル。1ビットが1モジュールに相当する。 参考 通常、モジュールの形状は正方形であるが、印字装置によっては円形などの形状となることがある。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6102	A		埋め草コード語	うめくさこーどご	pad code word	コード語の総数がシンボルの容量に満たない場合、空のコード語位置を充てんする目的で使用する、データを示さない仮のコード語。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6103	A		埋め草ビット	うめくさびっと	padding bit	データビット列の終端パターンの後にある最終コード語の空の位置を充てんする目的で使用する、データを示さないゼロのビット。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6104	A		位置検出要素パターン	いちけんしゅつようそぱたーん	position detection pattern	位置検出パターンを構成する3個の同一要素の一つ。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6105	A		残余ビット	ざんよびっと	remainder bit	符号化領域が8ビットのシンボル文字で割り切れない場合に、'最終シンボル文字の後にあるシンボル符号化領域の空の位置を充てんする目的で使用されるデ]タを示さないゼ	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6106	A		残余コード語	ざんよこーどご	remainder code word	データ及び誤り訂正コード語の総数が、シンボルの容量を満たさない場合に、シンボルを完成させるために空のコード語位置を充てんするために使用する埋め草コード語。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6107	A		セグメント	せぐめんと	segment	ECIモード及び符号化モードの規則に基づいて符号化される'データ列。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6108	A		分離パターン	ぶんりぱたーん	separator	位置検出パターンをシンボルから分離するために用いる1モジュール幅のすべてが明モジュールの機能パターン。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6109	A		構造的連接	こうぞうてきれんせつ	structured append	一つのメッセージを幾つかのシンボルに分割するデータの表示方法。それらのシンボルは、完全なメッセージが再構築される前にすべての読出しを必要とする。また、この場合、メッセージ内でのシンボルの順番及び総数が定義される。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6110	A		終端パターン	しゅうたんぱたーん	terminator	データを示すビット列の終了に使用する0000のビットパターン。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6111	A		タイミングパターン	たいみんぐぱたーん	timing pattern	シンボル内のモジュール座標を決定する明モジュールと暗モジュールとの交互列。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6112	A		型番	かたばん	version	21×21モジュール(1型)～177×177モジュール(40型)の間において、番号で示されるシンボルの大きさ。シンボルに適用された誤り訂正レベルを示す場合もある。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6113	A		型番情報	かたばんじょうほう	version information	モデル2におけるシンボルの型番を表すデータ及びその誤り訂正ビットをもつ符号化パターン。	JIS X 0510	2004	ISO/IEC 18004	2000				2006	SC31
6114	A		仕分け	しわけ	sortation	流通段階において物流自動荷役システム(automated material-handling system)によってパッケージ及び貨物を輸送先別に仕分ける過程をいう。	JIS X 0515	2003	ISO/IEC 15394	2000				2000	ISO/TC122
6115	A		コード39	こーど39	Code39	0～9及びA～Zに加え、慣習的に"*"(アスタリスク)で表示するスタートキャラクタ及びストップキャラクタを表す特殊キャラクタと"-"(負符号)、"."(ピリオド)、スペース、"$"(ドル記号)、"/"(斜線)、"+"(正符号)及び"%"(パーセント)とを符号化する、分離形で可変長のバーコードシンボル体系。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005	IDT			2005	ISO/TC122
6116	A		コード128	こーど128	Code128	ASCIIの文字集合128文字、拡張ASCII文字集合128文字及び四つの非データ機能文字を符合化可能な、連続形で可変長のバーコードシンボル体系。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6117	A		部品	ぶひん	component	取引において、製品又はサービスを受ける、購入又は消費する単位。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6118	A		部品包装	ぶひんほうそう	component packaging	供給者が定義する、部品の商取引上の単位。該当する場合には、保護、構造的整列又は自動実装のための方法を含む。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6119	A		原産国	げんさんこく	country of origin	製品が部品、半完成品又は完成品として認知された製造国。原産国の定義は、各地域の規則の規定による。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6120	A		データ項目セパレータ	でーたこうもくせぱれーた	data element separator	データの分離した領域を区切るために使用する特有のキャラクタ。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6121	A		データ項目名	でーたこうもくめい	data element title	データ項目を簡潔に記述するバーコードのためのデータ領域名称の一部。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6122	A		データマトリックス	でーたまとりっくす	data matrix	特殊文字集合に加え、数字だけのデータ、英数字及びすべてのISO/IEC 646(ASCII)を含み、様々な文字集合の符号化が可能で、誤り訂正機能をもつマトリックス形2次元シン	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6123	A		ドット	どっと	dot	周囲と異なる反射率をもつ、局所的な領域。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6124	A		セル内のドットずれ	せるないのどっとずれ	dot misalignment within a cell	ドットの物理的な中心点とセルの中心点との距離。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6125	A		EAN.UCCシステム	EAN.UCCしすてむ	EAN.UCC system	国際EAN協会とUCCとが共同で管理する仕様、規格及びガイドライン。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6126	A		EAN/UPC	EAN/UPC	EAN/UPC	流通業界が採用している数字13けたの固定長バーコードシンボルで、国際EAN協会が割り当てる企業プリフィックス、製造業者が割り当てる製品コード及び右端に置かれるモ	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6127	A		エレメント幅	えれめんとはば	element width	エレメントの先端から同じエレメントの後端までの幅。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6128	A		棄却誤り訂正	ききゃくあやまりていせい	erasure correction	位置の分かっているデータの誤りを訂正するために誤り訂正キャラクタを用いること。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6129	A		誤り訂正	あやまりていせい	error correction	誤りの検出及び訂正を行うための数学的手順。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6130	A		誤り検出	あやまりけんしゅつ	error detection	シンボル中の誤りの数が誤り訂正の能力を上回ることを検出するために、誤り訂正キャラクタを用いること。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6131	A		EN	EN	European Norm	欧州統一規格。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6132	A		第一段階の組立品	だいいちだんかいのくみたてひん	first level assembly	この規格における、製造される電子的品目又は構成部品からなる電子的品目などの機械的組立品。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6133	A		フォーマット(大容量自動認識情報媒体)	ふぉーまっと(だいようりょうじどうにんしきじょうほうばいたい)	format (high-capacity ADC media)	一つ以上の“セグメント”を包括するもの。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6134	A		フォーマットエンベロープ	ふぉーまっとえんべろーぷ	format envelope	“フォーマットヘッダ”及び“フォーマットトレーラ”からなり、規定の“フォーマット”でデータの始めと終わりとを区切るもの。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6135	A		フォーマットヘッダ	ふぉーまっとへっだ	format header	“フォーマットエンベロープ”の先頭を識別するために使われる“フォーマットインジケータ”を含む文字列。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6136	A		フォーマットインジケータ	ふぉーまっといんじけーた	format indicator	特定のアプリケーションデータの“フォーマットタイプ”を識別するために使われる2けたの	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6137	A		フォーマットトレーラ	ふぉーまっととれーら	format trailer	“フォーマットエンベロープ”の終端を識別するためのキャラクタ。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6138	A		フォーマットタイプ	ふぉーまっとたいぷ	format type	特定の“フォーマット”を符合化するための規則。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6139	A		グローバルトレードアイテムナンバー	ぐろーばるとれーどあいてむなんばー	GTIN – Global Trade Item Number	有効なEAN.UCC製品ナンバーのすべて(製品又はサービス)を示す用語。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6140	A		インタリーブド2オブ5	いんたりーぶど2おぶ5	interleaved 2 of 5	0～9までの10種類の数字を符合化するバーコードシンボル体系。インタリーブド2オブ5という用語は、二つの隣接するキャラクタを符号化する場合に用いる方法からきている。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6141	A		ITF-14	ITF-14	ITF-14	EAN.UCCのGTINを14けたで表現したもの。インタリーブド2オブ5体系で符号化されてい	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6142	A		メッセージエンベロープ	めっせーじえんべろーぷ	message envelope	“メッセージヘッダ”、データ及び“メッセージトレーラキャラクタ”からなるもの。与えられたメッセージにおける“データ列”の始めと終わりとを区切る。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6143	A		メッセージヘッダ	めっせーじへっだ	message header	“メッセージエンベロープ”の先頭を識別するために使う文字列。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6144	A		メッセージトレーラキャラクタ	めっせーじとれーらきゃらくた	message trailer character	伝送終了文字で、“EOT”(ASCII/ISO 646 04Hex)を用いてメッセージの終了を示すもの。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6145	A		PDF417	PDF417	PDF417	誤り訂正能力をもつ2次元マルチローシンボル体系。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6146	A		製品包装	せいひんほうそう	product package	ひも、ラップ、コンテナなどで単独又は複数の商品を包む、識別可能な包装。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6147	A		QRコード	QRこーど	QR Code	誤り訂正能力をもつ、マトリックス形シンボル。全体的に正方形のパターンに配置される正方形のモジュールの配置からなる。シンボルの位置、大きさ及び傾きの検出を容易にするために、三つの隅に配置された固有の位置検出パターンを含む。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6148	A		セグメント	せぐめんと	segment	“データ要素”の論理的なグループ、特にEDIメッセージの論理的な部分。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6149	A		セグメント終端子	せぐめんとしゅうたんし	segment terminator	“セグメント”を分けるために用いられる単一のキャラクタ。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6150	A		記号論	きごうろん	semantics	データ領域の目的を確認するための方法。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6151	A		シリアル番号	しりあるばんごう	serial number	供給者が、あるものの生存期間を通じて割り当てた製品識別番号(コード)。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6152	A		構造	こうぞう	structure	メッセージ内のデータ項目の構成順序。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6153	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	取引における製品又はサービスを生産、提供又は装備する組織又は個人。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6154	A		構文	こうぶん	syntax	メッセージを形成するためにデータを組み立てる方法。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6155	A		トレーサビリティ識別	とれーさびりてぃしきべつ	traceability identification	製品の固有のグループ(例えば、ロット、バッチ、項目、改正/バージョン又はシリアル番号)を識別するか、又は追跡すること。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6156	A		トレーサビリティ番号	とれーさびりてぃばんごう	traceability number	トレーサビリティ識別の目的のために、供給者が割り当てた番号(コード)。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6157	A		米国共通商品コード	べいこくきょうつうしょうひんこーど	UPC, Universal Product Code	米国食品業界及びその業界に引き続き他の流通業界で採用された、数字12けたの固定長バーコードシンボル。UCCが割り当てた6けたの製造業者番号、製造業者が割り当てた5けたの製品コード及び12けた目のモジュロ10チェックデジットからなる。	JIS X 0516	2006	ISO 22742	2005				2005	ISO/TC122
6158	A		バー	ばー	bar	走査反射率波形の全域的しきい値より低い領域に対応する、反射率の低いエレメント。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6159	A		バー反射率	ばーはんしゃりつ	bar reflectance	走査反射率波形における、個々のバー反射率の最小値。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6160	A		復号容易度	ふくごうよういど	decodability	理想的な寸法から最もかけ離れたエレメントから算出する、理想的なエレメント寸法と参照しきい値との間の余裕度。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6161	A		復号	ふくごう	decode	バーコードシンボルに符号化された情報の判読。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6162	A		エッジコントラスト	えっじこんとらすと	edge contrast	ふたつの隣り合うバー反射率とスペース反射率との差。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6163	A		エレメント反射率の非均一性	えれめんとはんしゃりつのひきんいつせい	element reflectance non-uniformity	個々のエレメント又はクワイエットゾーンの走査反射率波形における最大反射率と最小反射率との差。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6164	A		全域的しきい値	ぜんいきてきしきいち	global threshold	最初にエレメントの識別をするために用いる、走査反射波形における最大と最小反射率の中間の反射率。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6165	A		光沢	こうたく	gloss	入射光を鏡のように反射させる表面の性質。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6166	A		測定領域	そくていりょういき	inspection band	測定が行われる領域(通常1次元シンボルの高さの10%～90%まで)。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6167	A		測定開口	そくていかいこう	measuring aperture	バーコードシンボルの有効な標本を得るための円形の開口で、1:1の倍率となる場合、その直径は測定領域の直径と等しい。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6168	A		変位幅	へんいはば	modulation	最小エッジコントラストとシンボルコントラストとの比。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6169	A		(n, k)シンボル体系	(n, k)しんぼるたいけい	(n, k) symbology	1次元シンボルの分類の一つ。それぞれのシンボルキャラクタはnモジュールの幅で、k本のバーとk本のスペースの組で構成する。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6170	A		山	やま	peak	走査反射率波形における高い反射率の点。両側に低い反射率の点がある。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6171	A		標本化領域	ひょうほんかりょういき	sample area	測定装置の視野内に入る、シンボルの有効な領域。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6172	A		走査反射率波形	そうさはんしゃりつはけい	scan reflectance profile	シンボルを走査する線に沿って、反射率の変化をプロットしたもの。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6173	A		走査線	そうさせん	scan path	クワイエットゾーンを含むシンボルを横切る、標本化領域の中心線。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6174	A		スペース	すぺーす	space	走査反射率波形の全域的しきい値より高い領域に対応する、反射率の高いエレメント。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6175	A		スペース反射率	すぺーすはんしゃりつ	space reflectance	走査反射率波形における、個々のスペース、クワイエットゾーン又はキャラクタ間ギャップの反射率の最大値。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6176	A		2値幅シンボル体系	2ちはばしんぼるたいけい	two-width symbology	1次元シンボルの分類の一つ。それぞれのシンボルキャラクタは、互いに一定の比率の幅を持つ細エレメントと太エレメントだけで構成する。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6177	A		谷	たに	valley	走査反射率波形における低い反射率の点。両側に高い反射率の点がある。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6178	A		高さ方向の余裕度	たかさほうこうのよゆうど	vertical redundancy	複数の走査線での走査を可能とするシンボルの特性。単一の走査線の幅と比較して、かなり高いシンボルは余裕度が大きい。	JIS X 0520	2001	ISO/IEC 15416	2000				2000	SC31
6179	A		1次参照テストシンボル	1じさんしょうてすとしんぼる		許容誤差を検出器精度の10倍に近い精度で作り、この規格に従ったバーコード検証器の精度試験用シンボル。	JIS X 0521-1	2005	ISO/IEC 15426-1	2000	IDT			2006	SC31
6180	A		接触式スキャナ	せっしょくしきすきゃな	contact scanner	シンボルに接触して又は接触に近い距離で読み取る種類のスキャナ。ペンスキャナ及びワンドがこれに該当する。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001	IDT			廃止され	SC31
6181	A		復号の冗長性	ふくごうのじょうちょうせい	decode redundancy	復号器が有効な復号と認める前に、あらかじめ決められた回数だけ復号の一致を得ること。例えば、復号の冗長性が2の場合、二つの同じ復号が必要となる。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6182	A		読取窓	よみとりまど	exit window	スキャナ及び復号器の読取範囲図測定における基準面。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6183	A		最大読取距離	さいだいよみとりきょり	maximum reading distance	読取窓から読取深度の最も遠い端までの距離。図2のRを参照。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6184	A		最小読取距離	さいしょうよみとりきょり	minimum reading distance	読取窓から読取深度の最も近い端までの距離。図2のAを参照。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6185	A		ラスタ	らすた	raster	1走査線の代わりに、複数のほぼ平行な走査線を形成するレーザ光線の反射。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6186	A		ラスタ間隔	らすたかんかく	raster distance	読取窓からの距離を規定した平面上に放射された、最も幅広の隣接する2本の走査線間の距離。付属書Bの図B.3 のEを参照。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6187	A		ラスタ幅	らすたはば	raster width	読取窓からの距離を規定した平面上に放射された、最も外側の2本の走査線間の距離。読取範囲は、スキャナの構造と読取距離とによって異なる。付属書Bの図B.3のDを参	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6188	A		読取角度	よみとりかくど	reading angle	走査線の軸を基準としたシンボルの回転角度。図1に、チルト角、スキュー角及びピッチ角を示す。チルト角はz軸を、スキュー角はx軸を、及びピッチ角はy軸を、基準とする回転	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6189	A		読取範囲図	よみとりはんいず	reading diagram	バーコードシンボルの特定のX寸法(又はその他パラメタ)における読取領域を図示化したもの。 読取範囲図のパラメタは、次によって構成する(付属書B参照)。 - リーダの読取窓を基準とする測定 - z軸上で測った読取距離 - X寸法(単位:mm) - スキュー角、チルト角及びピッチ角 - シンボルコントラスト値 - 外乱光	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6190	A		読取領域	よみとりりょういき	reading zone	非接触式スキャナの読取窓前面で指定したシンボルが読み取れる範囲。図2の領域MNOPをいう。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6191	A		読取率	よみとりりつ	read rate	特定のシンボルを100回転読取試行したときの、読取りに成功した回数。百分率で表す。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6192	A		分解能	ぶんかいのう	resolution	試験対象となる機器で読取り可能な最小エレメント幅。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6193	A		走査	そうさ	scan	名詞:シンボル若しくはその一部を横切る1本の走査ビーム、又は画像読取装置で取り込まれる1画像。 動詞:シンボル若しくはその一部を走査ビームで横切ること、又は画像読取り装置で1画像を取り込むこと。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6194	A		走査試行	そうさしこう	scan attempt	シンボルに対しスキャナが単一方向に走査する(又はその反対方向に走査する。)、又はトリガ若しくはアプリケーションによって2秒以内に1回動作させること。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6195	A		走査率	そうさりつ	scanning rate	バーコードシンボルを1秒間に走査する回数。1秒当たりの走査回数又は走査線数でも表す。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6196	A		走査速度	そうさそくど	scanning speed	1軸読取範囲図をもつスキャナにおいて、スキャナの読取部がバーコードシンボルを通過するときの速度。	JIS X 0522-1	2005	ISO/IEC 15423-1	2001					SC31
6197	A		設定可能画像解像度	せっていかのうがぞうかいぞうど	addressable imaging resolution	1本の直線に沿った単位長さ当たりの最大画素数(例えば、ドット/mm)を表し、バーコード作成者がこれを指定できる。作成者が指定できない画像化装置及びソフトウエアを用いて高められた解像度は、この解像度から除外する。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001	IDT			2009	SC31
6198	A		調整済みBWC	ちょうせいずみBWC	adjusted BWC	設定可能画像解像度に合わせて調整した後のBWC。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6199	A		バー幅修正	ばーはばしゅうせい	bar width compensation (BWC)	印刷又は画像化によって発生すると予想される太り又は細りを補正するために、機械読取り可能なシンボル、バーコードマスタ又はディジタルバーコードファイル上にあるバーの幅を縮小又は拡大する度合い。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6200	A		バー幅拡大	ばーはばかくだい	bar width increase (BWI)	印刷又は画像化によって発生すると予想される細りを補正するために、機械読取り可能なシンボル、バーコードマスタ又はディジタルバーコードファイル上にあるバーの幅を拡	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6201	A		バー幅縮小	ばーはばしゅくしょう	bar width reduction (BWR)	印刷又は画像化によって発生すると予想される太りを補正するために、機械読取り可能なシンボル、バーコードマスタ又はディジタルバーコードファイル上にあるバーの幅を縮	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6202	A		ビットマップ	びっとまっぷ	bit map	画像化装置から出力され、画像を、構成単位である画素レベルで電子的に表現したも	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6203	A		消耗品	しょうもうひん	consumables	印刷媒体、すなわち定期的に利用者が補充しなければならないリボン、ラベル、印刷基材、トナー、インキなどの材料。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6204	A		バーコードプリンタ	ばーこーどぷりんた	dedicated bar code printer	データをバーコードシンボルに変換できる機能を備えている印刷装置。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6205	A		ディジタルバーコードファイル	でぃじたるばーこーどふぁいる	digital bar code file	ディジタル形式で作成及び保存されているバーコードファイル。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6206	A		ディジタルバーコード画像化システム	でぃじたるばーこーどがぞうかしすてむ	digital bar code imaging system	バーコード画像を生成するために必要なソフトウエアとハードエアとからなるシステム。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6207	A		ゆがみ	ゆがみ	distortion	一枚の版下における高さと幅の比を修正して、柔軟性のある凸版印刷版を輪転印刷機の印刷シリンダに巻き付けたときに、画像に生じる寸法変化(不均衡)	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6208	A		不均衡	ふきんこう	disproportioning	JIS X 0523の3.11に示す。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6209	A		はん用プリンタ	はんようぷりんた	general purpose printer	連続したデータを、有効なバーコードシンボルに変換できない印刷装置(例えば、事務用プリンタ)。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6210	A		イメージセッタ	いめーじせった	imagesetter	写真用フィルム、紙又は印刷版に、設定可能解像度でコンピュータ画像を出力する際に用いる装置。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6211	A		画像化ツール	がぞうかつーる	imaging tool	画像を直接的又は間接的に印刷基材へ転送する装置。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6212	A		丸め誤差	まるめごさ	rounding errors	画像化装置において、バー又はスペースモジュールへのドット割付けが一貫していない状態。すなわち、利用者指定寸法に基づいた各モジュールが、一貫性のある数のドットから構成されていない状態。	JIS X 0523	2007	ISO/IEC 15419	2001				2009	SC31
6213	A		作成バー幅差	さくせいばーはばさ	achieved bar width difference	シンボルにあるすべてのバーの、規定幅と実寸幅との差の平均。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000	IDT			2000	SC31
6214	A		バーエッジ	ばーえっじ	bar edge	バーコードシンボル内で、バーとスペースとの境界部分。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6215	A		バーエッジの適合性	ばーえっじのてきごうせい	bar edge conformance	バーエッジ又はバーエッジの一部が配置されている位置の、規定位置に対する精度。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6216	A		バーエッジの輪郭	ばーえっじのりんかく	bar edge contour	バーからスペースへ遷移するすべての地点を、バーの高さ方向に沿って結んだ線。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6217	A		バーエッジの濃度こう(勾)配	ばーえっじののうどこうばい	bar edge gradient	単位距離当たりのバーエッジにおける光学濃度の変化率。光学濃度波形から測定する。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6218	A		バー幅調整	ばーはばちょうせい	bar width adjustment (BWA)	バーコードマスタのバーを調整する際の縮小(バー幅縮小)量又は拡大(バー幅拡大)量。画像製版及び印刷工程中にバー幅の太り又は細りをそれぞれ補正するために用い	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6219	A		バー幅拡大	ばーはばかくだい	bar width increase	バー幅調整を参照。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6220	A		バー幅縮小	ばーはばしゅくしょう	bar width reduction	バー幅調整を参照。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6221	A		バー幅公差	ばーはばこうさ	bar width tolerance	バーの目標寸法と作成寸法との間で認められる最大許容値。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6222	A		基材濃度	きざいのうど	base density	バーコードマスタ基材の最小光学濃度。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6223	A		ネガ画像	ねががぞう	negative image	バーの光学濃度が低く、スペースの光学濃度が高い画像。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6224	A		公称バー幅	こうしょうばーはば	nominal bar width (EAN/UPC symbols)	シンボル体系仕様書で定義している倍率=1.0の基準バー幅。シンボル体系仕様書に含んでいる他のバー幅は、これを基に比較する。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6225	A		光学濃度波形	こうがくのうどはけい	optical density profile	バーコードマスタ画像の光学濃度を連続図で示し、シンボルのすべてのバーを直角に交わる線に沿って、光学濃度をマイクロメータ(μm)単位で測定して作成する。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6226	A		極性	きょくせい	polarity	画像のネガディブ特性またはポジティブ特性。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6227	A		ポジ画像	ぽじがぞう	positive image	バーの光学濃度が高く、スペースの光学濃度が低い画像。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6228	A		規定バー幅	きていばーはば	specified bar width	a) (EAN/UPCシンボルの場合) 公称バー幅と同義。適応可能ならば、倍率及びバー幅調整によって修正される。すなわち、"(倍率によって拡大された公称値)±バー幅調整"となる。 b) (その他のシンボルの場合) 太細比又はモジュール数の倍数であるエレメント寸法と同義。必要に応じて、適応可能ならば、バー幅調整によって修正される。すなわち、"(太細比の倍数であるエレメント寸法)±バー幅調整"、又は"(モジュール数の倍数であるエ	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6229	A		目標エレメント幅	もくひょうえれめんとはば	target element width	バー幅調整分も含めて算出されたエレメントの寸法。	JIS X 0524	2007	ISO/IEC 15421	2000				2000	SC31
6230	A		コードキャラクタ	こーどきゃらくた	code character	データキャリア識別子文字列における2番目のキャラクタ。読み取られたデータキャリアの種類をホスト装置に示す。	JIS X 0530	2003	ISO/IEC 15424	2000				2008	SC31
6231	A		フラグキャラクタ	ふらぐきゃらくた	flag character	データキャリア識別子文字列における最初のキャラクタ。このフラグキャラクタ及びそれに続くキャラクタが、データキャリア識別子キャラクタを構成することをホスト装置に示す。	JIS X 0530	2003	ISO/IEC 15424	2000				2008	SC31
6232	A		変更子キャラクタ	へんこうしきゃらくた	modifier character	データキャリア識別子文字列におけるコードキャラクタに続く残りのキャラクタ。特定の追加的処理情報をホスト装置に示す。	JIS X 0530	2003	ISO/IEC 15424	2000				2008	SC31
6233	A		FNC1	FNC1	FNC1	特定のシンボル体系において、特別な目的に使われる特殊機能キャラクタ。 備考 コード49で、FNC1で示す工業標準とは、異なる別の工業標準に準拠するシンボルであることを示すために用いる。	JIS X 0530	2003	ISO/IEC 15424	2000				2008	SC31
6234	A		FNC2	FNC2	FNC2	特定のシンボル体系において、特別な目的に使われる特殊機能キャラクタ。 備考 コード128のエミュレーションモードで用いる。また、コード49で特別な工業標準に準拠する、バーコードシンボルであることを示すために用いる。	JIS X 0530	2003	ISO/IEC 15424	2000				2008	SC31
6235	B		ボリュームセット	ぼりゅーむせっと	volume set	ファイルセットを記録した1個以上のボリュームの集まり。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6236	B		ファイルセット	ふぁいるせっと	file set	1個以上のボリュームに連続して記録した1個以上のファイルの集まり。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6237	B		ファイル分割	ふぁいるぶんかつ	file section	1個のボリュームに記録したファイルの一部。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6238	B		ブロック化	ぶろっくか	blocked	レコード又はレコードセグメントが、ブロックの先頭以外のバイトから始まってよいことを表す属性。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6239	B		固定長レコード	こていちょうれこーど	fixed-length record	すべてのレコードが同じ長さをもつファイルの中のレコード。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6240	B		可変長レコード	かへんちょうれこーど	variable-length record	各レコードが、それぞれ異なった長さをもつことが許されるファイルの中のレコードであって、セグメント化レコードでないもの。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6241	B		セグメント化レコード	せぐめんとかれこーど	segmented record	各レコードが異なった長さをもつことが許され、レコード全体を1個のブロックに記録しても2個以上のブロックにわたって記録してもよいように指定されているファイルに含まれるレ	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6242	B		テープマーク	てーぷまーく	Tape Mark	区切りとして使用される制御ブロック。(備)テープマークの構成は、3.1.1による。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6243	B		利用者	りようしゃ	user	処理システムが提供するサービスを要求する人又はその他の実体(応用プログラムなど)。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6244	B		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application program	ファイルに含まれるレコードの内容を処理するプログラム。(備)応用プログラムは、この規格で定義する利用者の一つである。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6245	B		インストレーション	いんすとれーしょん	installation	磁気テープの処理又は情報交換を行うための一つ以上の処理システムの使用を制御する人又は他の実体。(備)インストレーションは、この規格で定義する利用者の一つであ	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6246	B		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムを作成システム、受領システム又は両者として動作させる処理の集合。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6247	B		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	他のシステムとの情報交換のために、磁気テープ上にファイルを記録することができる情報処理システム。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6248	B		作成者	さくせいしゃ	originator	作成システムに対して指令を発する権限をもつ人。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6249	B		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	情報交換のために、他のシステムによって記録済みの磁気テープファイルを読み取ることができる情報処理システム。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6250	B		受領者	じゅりょうしゃ	recipient	受領システムに対して指令を発する権限をもつ人。	JIS X 0601	1990	ISO 1001	1986		2000/7	ISO 1001 :1986	1986	JTC1
6251	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application program	ファイルに含まれるレコードの内容を処理するプログラム。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6252	A		ブロック	ぶろっく	block	関連する情報交換用規格によって記録するバイトの集合。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6253	A		ブロック化	ぶろっくか	blocked	レコード又はレコードセグメントが、ブロックの先頭以外のバイトから始まってよいことを表	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6254	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱う8個の2進数の集まり。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6255	A		ファイル	ふぁいる	file	0個以上のレコードからなる情報の集合。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6256	A		ファイル分割	ふぁいるぶんかつ	file section	1個のボリュームに記録したファイルの一部。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6257	A		ファイルセット	ふぁいるせっと	file set	1個以上のボリュームに連続して記録した1個以上のファイルの集まり。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6258	A		固定長レコード	こていちょうれこーど	fixed-length record	すべてのレコードが同じ長さをもつファイルの中のレコード。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6259	A		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムを作成システム、受領システム又は両者として動作させる処理の集	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6260	A		インストレーション	いんすとれーしょん	installation	磁気テープの処理又は情報交換を行うための一つ以上の処理システムの使用を制御する人又は他の実体。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6261	A		ラベル	らべる	label	ボリューム又はボリュームのファイル分割の識別及び特性を表示するレコード。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6262	A		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	他のシステムとの情報交換のために、磁気テープ上にファイルを記録することができる情報処理システム。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6263	A		作成者	さくせいしゃ	originator	作成システムに対して指令を発する権限をもつ人。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6264	A		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	情報交換のために、他のシステムによって記録済みの磁気テープファイルを読みとることができる情報処理システム。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6265	A		受領者	じゅりょうしゃ	recipient	受領システムに対して指令を発する権限をもつ人。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6266	A		レコード	れこーど	record	情報の一つの単位として扱われる関連したデータの集まり。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6267	A		セグメント化レコード	せぐめんとかれこーど	segmented record	各レコードが異なった長さをもつことが許され、レコード全体を1個のブロックに記録しても2個以上のブロックにわたって記録してもよいように指定されているファイルに含まれる	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6268	A		情報交換用規格	じょうほうこうかんようきかく	international standard for information interchange	記録方式及び磁気テープのトラック様式を規定する規格(例えば、JIS X 6103)。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6269	A		テープマーク	てーぷまーく	tape mark	区切りとして使用される制御ブロック。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6270	A		利用者	りようしゃ	user	処理システムが提供するサービスを要求する人又はその他の実体(応用プログラムな	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6271	A		可変長レコード	かへんちょうれこーど	variable-length record	各レコードが、それぞれ異なった長さをもつことが許されるファイルの中のレコードであって、セグメント化レコードでないもの。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6272	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	取り外しが可能な磁気テープのリール。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6273	A		ボリュームセット	ぼりゅーむせっと	volume set	ファイルセットを記録した1個以上のボリュームの集まり。	JIS X 0601	2000	ISO 1001	1986				1986	JTC1
6274	A		ラベル	らべる	label	各ボリューム、トラック又はファイルの始め又は終わりにあるブロックであって、そのボリューム、トラック又はファイルを識別したり、特性を表したり、境界を表したりするもの。ラベルは、ファイルの一部とは考えない。	JIS X 0602	1982	ISO 4341	1978		1982/3	ISO 4341:1978	1978	JTC1
6275	A		ラベル識別子	らべるしきべつし	label identifier	ラベルを識別するためにラベル中に記録される1個以上の文字。	JIS X 0602	1982	ISO 4341	1978		1982/3	ISO 4341:1978	1978	JTC1
6276	A		ラベル内で用いる文字	らべるないでもちいるもじ	characters used in a label	ラベル内に記録できる文字は、JIS X 0201(情報交換用符号)で定義されるもののうち、次の規定に従うものとする。 (a)数字　0から9までの任意の数字。この規格では、ラベル番号として用いるときに“n”で表すことがある。 (b)図形文字　ローマ字用7単位符号表の第2～5列にある任意の文字。ただし、情報交換当事間の合意があれば、ボリューム識別名、ファイル識別名及びシステム又は利用者使用のために確保された欄において、ローマ字、片仮名用8単位符号表の第10～13列にある任意の文字を使用してもよい。この規格では、ラベル番号として用いるときに“a”で表	JIS X 0602	1982	ISO 4341	1978		1982/3	ISO 4341:1978	1978	JTC1
6277	A		テープマーク	てーぷまーく	tape mark	ファイルデータとラベル群との間、及び各ラベル群の間の境界を示す境界子。基本システムにおいては、テープマークはファイル境界を示すために用いる。(備)この規格では、テープマークの記録位置を“*”で示す(#表有り)。	JIS X 0602	1982	ISO 4341	1978		1982/3	ISO 4341:1978	1978	JTC1
6278	A		二重テープマーク	にじゅうてーぷまーく	double tape mark	ボリューム又はファイルセットの終わりを示す連続した2個のテープマーク。(備)基本システム以外のシステムでは、ボリューム上に空ファイル分割又は空ファイルがあるときも、連続した2個のテープマークが現れるが、この場合には二重テープマークとして解釈せず、空ファイル分割又は空ファイルを囲む2個のテープマークと解釈する。この規格で“空”とはファイル見出しラベルの後のテープマークから、そのファイル分割又はファイルのボリューム終わりラベル、トラック終わりラベル又はファイル終わりラベルの前のテープマークまでの間に、1個のブロックも存在しないことを意味する。	JIS X 0602	1982	ISO 4341	1978		1982/3	ISO 4341:1978	1978	JTC1
6279	A		中間のトラック終わり、中間のトラック始め	ちゅうかんのとらっくおわり、ちゅうかんのとらっくはじめ		連続して使用されるトラックにおいて、先行するトラックの終わりを中間のトラック終わりといい、後続するトラックの始めを中間のトラック始めという。	JIS X 0602	1982	ISO 4341	1978		1982/3	ISO 4341:1978	1978	JTC1
6280	A		ブロック	ぶろっく	block	一つの論理単位として扱われるバイトの集まり。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6281	A		ブロック化	ぶろっくか	blocked	レコード又はレコードセグメントがブロックの先頭以外のバイトから始まってよいことを表	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6282	A		バイト	ばいと	byte	一つの単位として取り扱われる8個の2進数字の列。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6283	A		シリンダ	しりんだ	cylinder	各面に1個ずつある同一トラック番号をもつトラックの対。(備)1.シリンダ番号は、2けたの数字からなり、トラック番号と一致する。2.片面上だけにしか記録しないフレキシブルディスクカートリッジでは、1個のトラックだけでシリンダを構成する。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6284	A		エクステント	えくすてんと	extent	連続した昇順のアドレスをもつ物理レコードの集まり。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6285	A		ファイル	ふぁいる	file	一つの主題に関連したレコードからなる、名前の付けられた情報の集まり。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6286	A		ファイル分割	ふぁいるぶんかつ	file section	2個以上のボリュームにまたがって記録されるファイルにおいて、各ボリュームに記録されるファイルの一部分。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6287	A		固定長レコード	こていちょうれこーど	fixed-length record	すべてのレコードが同じ長さをもつファイルの中のレコード。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6288	A		書式決め	しょしきぎめ	formatting	フレキシブルディスクカートリッジの表面にシリンダを確立し、物理レコードのアドレスを指定する適切な制御情報の書き込み。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6289	A		初期設定	しょきせってい	initialization	一般的な処理又は使用に先立って、ボリューム見出しラベル、エラーマップラベル及びフレキシブルディスクカートリッジ上において、初期化時に必要となるその他のすべての情	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6290	A		ラベル	らべる	label	ボリューム、ファイル又はそのボリューム上のファイル分割に対し、それらを識別したり、特性又は境界を表示したりするレコード。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6291	A		自然順序	しぜんじゅんじょ	natural order	許される最小値から始まり、許される最大値まで1ずつ増加する整数の昇順の順序。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6292	A		物理レコード	ぶつりれこーど	physical record	一つのセクタの中のデータを記録する固定長の領域。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6293	A		物理レコードアドレス	ぶつりれこーどあどれす	physical record address	最上位2けたがシリンダアドレス、次の1けたが面番号、最下位2けたがセクタ番号を示す5けたの数字。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6294	A		レコード	れこーど	record	情報の一つの単位として扱われる関連したデータの集まり。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6295	A		セクタ	せくた	sector	フレキシブルディスクカートリッジにおいて、あらかじめ決められた角度偏位の範囲にあって、磁気ヘッドによってアクセスできる同一トラック上の部分。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6296	A		セグメント化レコード	せぐめんとかれこーど	segmented record	各レコードが1個以上の連続したレコードセグメントからなるファイルの中のレコード。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6297	A		トラック	とらっく	track	ディスクが1回転する間に、1個の磁気ヘッドが静止した状態でアクセスできるフレキシブルディスクカートリッジの部分。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6298	A		可変長レコード	かへんちょうれこーど	variable-length record	各レコードが、それぞれ異なった長さをもつことが許されるファイルの中のレコードであって、セグメント化されていないもの。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6299	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	取り外し可能な記録媒体の物理的単位。	JIS X 0603	2000	ISO 7665	1983				1983	JTC1
6300	A		行きがけ順	いきがけじゅん	enter the tree at the root node	次の再帰的アルゴリズムにより生成される階層構造中のノードの列。(a)根ノードから木構造に入る。(b)以前にたどっていない部分木のうち最も左のものをたどる。(c)(b)ができないとき、部分木の上位ノードに戻り、(b)に行く。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6301	A		位置	いち	location	フィールドの最初のバイトの位置を示すバイト番号。リーダとディレクトリ中の位置は、リーダの最初のバイトを起点とする。データ記述レコードや利用者データフィールドの位置は、データの基底アドレスを起点とする。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6302	A		英数字	えいすうじ	alphanumeric character	JIS X 0201(情報交換用符号)のローマ文字用7単位符号表の2～7列にある文字。ただし、(7/15)は除く。(備)この規格では、文字を規定するときは、JIS X 0201のローマ文字用7単位符号表内の位置(列/行)又はESC、RS、US、SPなどの略語で表す。8単位符号系を使用する場合は、“ローマ文字用7単位符号表の(n/m)”と表記されている箇所を、“JIS X 0201のローマ文字・片仮名用8単位符号表の(0n/m)”と読み換える。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6303	A		エントリマップ	えんとりまっぷ	entry map	ディレクトリ内のエントリの構造を示すリーダ中のフィールド。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6304	A		階層、階層構造	かいそう、かいそうこうぞう	hierarchy, hierarchical structure	最上位に根ノードをもち、配下に複数の順序付けされた部分木をもち、その最下位が葉ノードで終わる根付き順序木構造。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6305	A		拡張文字(ESC)	かくちょうもじ(ESC)	escape character; ESC	追加文字を得るために使用される制御文字。後続の限定された数のビットの組の意味を変更する。使用法は、JIS X 0202(情報交換用符号の拡張法)による。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6306	A		可変長フィールド	かへんちょうふぃーるど	variable-length field	実現値ごとに長さが変わるフィールド。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6307	A		基本	きほん	elementary	それ以上分割すると意味を失うような最小の単位。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6308	A		空	くう	null	データ要素、列又は集合などの実現値が存在しない状態。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6309	A		区切り構造	くぎりこうぞう	delimited structure	区切り文字で区切られたデータ要素の集まりから構成される構造。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6310	A		区切り文字	くぎりもじ	delimiter	データ要素間及びデータフィールド間を分離する1個の文字。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6311	A		サブフィールド分離文字(UT)	さぶふぃーるどぶんりもじ(UT)	unit terminator, UT	DDR及びDR中の可変長フィールド内のサブフィールドを区切るために用いる文字。JIS X 0201のローマ文字用7単位符号表の(1/15)の文字。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6312	A		写像する	しゃぞうする	to map	二つの構造の要素間の対応を定めること。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6313	A		情報交換形式	じょうほうこうかんけいしき	interchange format	特定システム内での処理用レコード形式でなく情報交換のためのレコード形式。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6314	A		情報交換水準	じょうほうこうかんすいじゅ	interchange level, level	この規格の要求条件の規定された部分集合に対応する水準。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6315	A		相対位置(RP)	そうたいいち(RP)	relative position; RP	フィールドの先頭を基底として10進整数で表したバイト位置。相対位置の先頭の値は0と	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6316	A		タグ	たぐ	tag	フィールドの内部名を指定するために用いるディレクトリ中の識別子。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6317	A		直積ラベル	ちょくせきらべる	Cartesian label	2個以上のベクトルラベルの要素の直積により構成される識別子の配列。配列の要素は、直積の要素と同一順序をもつ。すなわち、(#数式有り)。ここで、a(i)b(j)は、対応する配列データの要素(i、j)の識別子を形成するa(i)とb(j)の連結である。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6318	A		ディレクトリ	でぃれくとり	directory	ディレクトリエントリを要素とする表。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6319	A		ディレクトリエントリ	でぃれくとりえんとり	directory entry	レコードの特定フィールドのタグ、長さ及び位置に関する情報をもつディレクトリ中の固定長フィールド。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6320	A		データ記述ファイル(DDF)	でーたきじゅつふぁいる(DDF)	data descriptive file, DDF	1個のデータ記述レコード及びこれと対応する複数のデータレコードを含むファイル。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6321	A		データ記述レコード(DDR)	でーたきじゅつれこーど(DDR)	data descriptive record: DDR	データレコードに論理的に先行し、対応するデータレコードを解釈するために必要な制御パラメタとデータ定義情報をもつ1個のレコード。このレコードは、ファイルラベルを除いたファイル内の先頭の論理レコードである。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6322	A		データの基底アドレス	でーたのきていあどれす	base address of data	ディレクトリのフィールド分離文字の後の、最初のデータフィールドまでのバイト数と同じ値をもつデータ要素。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6323	A		データレコード(DR)	でーたれこーど(DR)	data record; DR	利用者データを含む論理レコード。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6324	A		バイト	ばいと	byte	n個のビットの集まり。(備)この規格は媒体に独立であり、ビット数は媒体に依存する。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6325	A		配列記述子	はいれつきじゅつし	array descriptor	配列の次元数と要素数を指定する数字の並び。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6326	A		ビットフィールド	びっとふぃーるど	bit field	2進数だけから構成され、必要なときは、右側にバイト境界まで2進数の0が充てんされるデータフィールド[(33)文字モードビット列参照]。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6327	A		ファイル	ふぁいる	file	1個の単位として扱われる関連するレコードの集まり。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6328	A		ファイル名	ふぁいるめい	file title	情報交換用ファイルに対し、表示可能な記述を与える文字列。ラベルとファイル構成の規格で規定されるラベル中のファイル識別名と同一である必要はない。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6329	A		フィールド分離文字(FT)	ふぃーるどぶんりもじ(FT)	field terminator, FT	レコード中のフィールドを終了させるために用いる文字。JIS X 0201のローマ文字用7単位符号表(1/14)の文字。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6330	A		複合データフィールド	ふくごうでーたふぃーるど	compound data field	1個以上の基本データ要素から構成されるフィールド。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6331	A		ベクトルラベル	べくとるらべる	vector label	ベクトルデータの各データ要素を識別するためのラベル(行又は列の見出し)を要素とするベクトル。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6332	A		文字モードビット列	もじもーどびっとれつ	character mode bit string	2進数の列を表現する文字“0”、“1”からなる文字列[(27)ビットフィールド参照]。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6333	A		ラベル	らべる	label	サブフィールドの内容を識別又は名付けるための文字列。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6334	A		リーダ	りーだ	leader	レコードの処理のためのパラメタを与える各レコードの先頭にある固定長のフィールド。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6335	A		レコード長	れこーどちょう	record length	レコードのバイトで数えた長さと等しい値をもつデータ要素。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6336	A		論理レコード、レコード	ろんりれこーど、れこーど	logical record, record	媒体上の表現とは独立な、関連するデータ要素の集まり。	JIS X 0604	1986	ISO 8211	1985				1994	JTC1
6337	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。この規格では、1バイトを8ビットとする。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6338	A		セクタのデータフィールド	せくたのでーたふぃーるど	data field of a sector	セクタ中でデータを含む固定長のフィールド。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6339	A		データ交換規格	でーたこうかんきかく	data interchange standard	FDCの物理的、磁気的特性、記録方式及びトラックフォーマットを規定する規格。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6340	A		欠陥セクタ	けっかんせくた	defective sector	正常に読み書きできないセクタ。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6341	A		記述子	きじゅつし	descriptor	ボリューム又はファイルの属性を記述したデータの集合。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6342	A		FDC	FDC	FDC	フレキシブルディスクカートリッジ。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6343	A		ファイル	ふぁいる	file	情報の集まり。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6344	A		フォーマッティング	ふぉーまっていんぐ	formatting	FDCにセクタの物理的アドレスを設定する制御情報の記録。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6345	A		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムを作成システム、受領システム又はその両方のシステムとして動作させる処理の集合。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6346	A		初期化	しょきか	initialization	一般的処理又は使用する前に、FDCの初期に必要となる記述子の記録。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6347	A		ODC	ODC	ODC	光ディスクカートリッジ。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6348	A		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	他のシステムとのデータ交換のために、FDCにファイルを記録する情報処理システム。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6349	A		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	データ交換のために、他のシステムによって記録済みのFDCからファイルを読み取る情報処理システム。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6350	A		セクタ	せくた	sector	ヘッドによって個別にアクセスできるFDC上のトラックの部分。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6351	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	ディスクの1回転でヘッドがアクセスできるFDC上の部分。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6352	A		利用者	りようしゃ	user	処理システムが提供するサービスを要求する人又はその他の実体(応用プログラムな	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6353	A		固定長レコード	こていちょうれこーど	fixed-length record	一つのファイルですべてのレコードが同じ長さをもつレコード。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6354	A		レコード	れこーど	record	情報の一つの単位として取り扱われるデータ。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6355	A		セグメント	せぐめんと	segment	レコードの一部。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6356	A		セグメント化レコード	せぐめんとかれこーど	segmented record	一つのファイルで分離した一つ以上のセグメントによって構成するレコード。それぞれのレコードは、異なる長さでもよい。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6357	A		可変長レコード	かへんちょうれこーど	variable-length record	一つのファイルで異なるレコード長をもち、分離したセグメントが存在しないレコード。	JIS X 0605	1997	ISO/IEC 9293	1994				1994	JTC1
6358	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application program	ファイルの内容を処理し、ファイル又はファイルの記録されたボリュームの属性の一部を処理することもあるプログラム。(備)応用プログラムは、この規格で定義する利用者の特定クラスをなす。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1994	JTC1
6359	A		バイト	ばいと	byte	1単位として取り扱われる8個の2進数字の列。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6360	A		セクタのデータ領域	せくたのでーたりょういき	data field of a sector	セクタ中のデータを含む領域。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6361	A		データ編集者	でーたへんしゅうしゃ	data preparer	ボリューム群に記録されるべきデータの編集を管理する人又は他の実体。(備)データ編集者は、この規格で定義する利用者の特定クラスをなす。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6362	A		記述子	きじゅつし	descriptor	ボリューム又はファイルに関する記述的情報を含む構造。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6363	A		エクステント	えくすてんと	extent	連続する昇順のブロック番号をもつ論理ブロックの集まり。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6364	A		ファイル	ふぁいる	file	名前を付けた情報の集まり。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6365	A		ファイル分割	ふぁいるぶんかつ	file section	1個のエクステントに記録されたファイルの一部分。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6366	A		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムが、作成システム、受領システム又はその両方として動作することを可能にする処理の集まり。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6367	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	1個の論理単位として取り扱われる(#数式有り)個のバイトの群(nは0又は正の整数。)。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6368	A		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	他のシステムとのデータ交換を目的として、ボリューム集合上にファイルの集まりを作成することのできる情報処理システム。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6369	A		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	データ交換を目的として他のシステムで作成されたボリューム集合上のファイルの集まりを読み取ることができるシステム。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6370	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として取り扱われるバイト列。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6371	A		セクタ	せくた	sector	独立にアクセスすることができるCD-ROMの記録領域のアドレス指定可能な最小部分。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6372	A		利用者	りようしゃ	user	処理システムによって提供されるサービスを呼び出す人又は他の実体(例えば、応用プログラム)。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6373	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	機器から取り外すことができるCD-ROM。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6374	A		ボリューム集合	ぼりゅーむしゅうごう	volume set	ファイルの集まりが記録されている1個又は複数個のボリュームの集まり。	JIS X 0606	1998	ISO 9660	1988				1988	JTC1
6375	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application	ファイルの内容を処理し、ファイル又はそのファイルを記録したボリュームに関するシステム指定の属性データも処理できるプログラム。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6376	A		バイト	ばいと	byte	単位として取り扱う8個の2進数字の列。記録のための規格(1/5.10参照)がバイトを記録する枠組みを8ビットより大きいと規定しているときには、この規格ではバイトはその枠組みの最下位の8ビットに記録し、その他のビットにはZERO(1/6.7参照)を記録しなければならない。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6377	A		記述子	きじゅつし	descriptor	ボリューム又はファイルの記述情報を含む構造。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6378	A		ファイル	ふぁいる	file	一つにまとまった情報。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6379	A		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムが作成システム、受領システム又はその両方のシステムとして動作することを可能とする処理の集合。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6380	A		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	他のシステムとの情報交換を目的としてボリューム集合にファイルの集合を書き込むことのできる情報処理システム。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6381	A		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	情報交換を目的として他のシステムが書き込んだボリューム集合からファイルの集合を読み出すことのできる情報処理システム。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6382	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として取り扱うバイトの例。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6383	A		セクタ	せくた	sector	媒体の他の番地付けた部分とは独立にアクセス可能な最小の番地付けた部分のデータ領域。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6384	A		記録のための規格	きろくのためのきかく	standard for recording	媒体中に記録する情報の記録方法及び番地付けの方法を規定する規格。記録のための規格中で、この規格に関係ある規定は次のとおりとする。(1)各セクタに対する一意の番地(2)各セクタの長さ(3)セクタが再生専用形、追記形又は書換形であるかを判定する方法(4)追記形の媒体に対して、各セクタが未登録がどうかを検出す(5)セクタの記録に際して行う事前処理の必要性の有無 この規格と共に用いる記録のための規格には、媒体の作成者と受領者との間の同意が必要である。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6385	A		利用者	りようしゃ	user	処理システムが提供するサービスを呼び出す人又は他の実体。(例えば、応用システム)。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6386	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	関係する記録のための規格が規定するセクタ番地空間。 備考 通常、媒体はセクタ番地の1個の集合を持つ。このとき、その媒体は1個のボリュームとする。媒体が媒体の両面に対して別々のセクタ番地をもつ場合には、その媒体は2個のボリュームとする。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6387	A		ボリューム集合	ぼりゅーむしゅうごう	volume set	同一のボリューム集合識別子を持つ1個以上のボリュームの集まり。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6388	A		エクステント	えくすてんと	extent	セクタ番号が昇順に連続するセクタの列。エクステントの番地又は位置は、セクタ列の最初のセクタの番号とする。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6389	A		開始点	かいしてん	anchor point	ボリューム記述子列のエクステントを識別する記述子を記録するための、規定された論理セクタ番号集合中の一つの論理セクタ番号。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6390	A		巡回冗長検査	じゅんかいじょうちょうけんさ	cyclic redundancy check, CRC	バイト列の正しさを計算する方法。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6391	A		エクステント	えくすてんと	extent	昇順に連続する論理セクタ番号(3/8.1.2.1参照)をもつ論理セクタの集合。エクステントの番地又は位置は、論理セクタ列の最初の論理セクタ番号とする。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6392	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	論理ボリューム中の割付けの単位。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6393	A		論理セクタ	ろんりせくた	logical sector	ボリューム中の割付けの単位。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6394	A		論理ボリューム	ろんりぼりゅーむ	logical volume	1個以上の区画の集合。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6395	A		区画	くかく	partition	ボリューム中の論理セクタから成る一つのエクステント。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6396	A		エクステント	えくすてんと	extent	昇順に連続する論理ブロック番号を持つ論理ブロックの列。エクステントの番地又は位置は、その先頭論理ブロックの番号とする。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6397	A		ファイル集合	ふぁいるしゅうごう	file set	ファイル及びディレクトリの集まり。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6398	A		グループID	ぐるーぷID	group ID	利用者のグループの識別情報。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6399	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	論理ボリューム中の割付けの単位。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6400	A		論理ボリューム	ろんりぼりゅーむ	logical volume	一つ以上のファイル集合を記録した区画の空でない集合。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6401	A		区画	くかく	partition	ボリューム中の論理ブロックのエクステント。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6402	A		利用者ID	りようしゃID	user ID	利用者の識別情報。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6403	A		媒体の適合性	ばいたいのてきごうせい	conformance of a medium	第1部の媒体の適合性(1/3.1参照)を第5部に適用する。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6404	A		情報処理システムの適合性	じょうほうしょりしすてむのてきごうせい	conformance of an information processing system	第1部の情報システムの適合性(1/3.2参照)を第5部に適用する。	JIS X 0607	1996	ISO/IEC 13346-1 ISO/IEC 13346-2 ISO/IEC 13346-3 ISO/IEC 13346-4 ISO/IEC 13346-5	1995 1995 1995 1995 1995		2001/8	13346-2 13346-3 13346-4	1999 1999 1999	JTC1
6405	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application	ファイルの内容を処理し、ファイル又はそのファイルを記録したボリュームに関するシステム指定の属性データも処理できるプログラム。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6406	A		バイト	ばいと	byte	単位として取り扱う8個の2進数字の列。記録のための規格(1/5.13参照)がバイトを記録する枠組みを8ビットより大きいと規定しているとき、この規格では、その枠組みの下位8ビットにバイトを記録し、その他のビットにはZEROを記録する。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6407	A		CD-ROM	CD-ROM	CD-ROM	再生専用形コンパクトディスク(1/5.5参照)。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6408	A		CD-WO	CD-WO	CD-WO	記録のための規格(1/5.13参照)に適合する追記形コンパクトディスク(1/5.5参照)。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6409	A		コンパクトディスク	こんぱくとでぃすく	compact disk	IEC 908及びJIS X 6281に従って記録した光ディスク。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6410	A		記述子	きじゅつし	descriptor	ボリューム又はファイルの記述情報を含む構造。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6411	A		ファイル	ふぁいる	file	一つにまとまった情報。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6412	A		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムが作成システム、受領システム又はその両方のシステムとして動作することを可能とする処理の集合。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6413	A		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	他のシステムとの情報交換を目的としてボリューム集合中にファイルの集合を書き込むことのできる情報処理システム。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6414	A		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	情報交換を目的として他のシステムが書き込んだボリューム集合からファイルの集合を読み出すことのできる情報処理システム。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6415	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として取り扱うバイトの列。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6416	A		セクタ	せくた	sector	記録のための規格(1/5.13参照)で規定した、媒体のほかの番地付けた部分とは独立にアクセス可能な番地付けた部分のデータ領域。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6417	A		記録のための規格	きろくのためのきかく	standard for recording	媒体中に記録する情報の記録方法及び番地付けの方法を規定する規格。記録のための規格中で、この規格に関係のある規定は、次のとおりとする。(1)各セクタに対する一意の番地 (2)各セクタの長さ (3)各物理セクタのデータ領域の位置 (4)各セクタが再生専用形又は追記系であるかを判定する方法 (5)追記形の媒体に対して、各セクタが未記録かどうかを検出する方法 この規格と共に用いる記録のための規格には、媒体の作成	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6418	A		利用者	りようしゃ	user	処理システムが提供するサービスを呼び出す人又は他の実体(例えば、応用システム)。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6419	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	関係する記録のための規格が規定するセクタ番地空間。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6420	A		ボリューム集合	ぼりゅーむしゅうごう	volume set	同一のボリューム集合識別子をもつ1個以上のボリュームの集まり。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6421	A		ファイル集合	ふぁいるしゅうごう	file set	ファイル及びディレクトリの集まり。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6422	A		グループID	ぐるーぷID	group ID	利用者のグループの識別情報。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6423	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	ボリューム集合中の割付けの単位。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6424	A		利用者ID	りようしゃID	user ID	利用者の識別情報。	JIS X 0608	1997	ISO/IEC 13490-1 ISO/IEC 13490-2	1995 1995				1995 1995	JTC1
6425	A		開始点	かいしてん	anchor point	ボリューム記述子列のエクステントを識別する記述子を記録するための、規定された論理セクタ番号集合中の一つの論理セクタ番号。	JIS X 0609	1998							
6426	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application	ファイルの内容を処理し、ファイル又はそのファイルを記録したボリュームに関するシステム指定の属性データも処理できるプログラム。	JIS X 0609	1998							
6427	A		バイト	ばいと	byte	単位として取り扱う8個の2進数字の列。記録のための規格がバイトを記録する枠組みを8ビットより大きいと規定しているときには、この規格ではバイトはその枠組みの最下位の8ビットに記録し、その他のビットにはZEROを記録しなければならない。	JIS X 0609	1998							
6428	A		巡回冗長検査	じゅんかいじょうちょうけんさ	cyclic redundancy check, CRC	バイト列の正しさを計算する方法。	JIS X 0609	1998							
6429	A		記述子	きじゅつし	descriptor	ボリューム又はファイルの記述情報を含む構造。	JIS X 0609	1998							
6430	A		エクステント	えくすてんと	extent	第2章においては、セクタ番号が昇順に連続するセクタの列であって、エクステントの番地又は位置は、セクタ列の最初のセクタの番号とする。第3章においては、昇順に連続する論理セクタ番号をもつ論理セクタの集合であって、エクステントの番地又は位置は、論理セクタ列の最初の論理セクタ番号とする。第4章においては、昇順に連続する論理ブロック番号をもつ論理ブロックの列であって、エクステントの番地又は位置は、その先頭論理	JIS X 0609	1998							
6431	A		ファイル	ふぁいる	file	一つにまとまった情報。	JIS X 0609	1998							
6432	A		ファイル集合	ふぁいるしゅうごう	file set	ファイル及びディレクトリの集まり。	JIS X 0609	1998							
6433	A		グループID	ぐるーぷID	group ID	利用者のグループの識別情報。	JIS X 0609	1998							
6434	A		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムが作成システム、受領システム又はその両方のシステムとして動作することを可能とする処理の集合。	JIS X 0609	1998							
6435	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	論理ボリューム中の割付けの単位。	JIS X 0609	1998							
6436	A		論理セクタ	ろんりせくた	logical sector	ボリューム中の割付けの単位。	JIS X 0609	1998							
6437	A		論理ボリューム	ろんりぼりゅーむ	logical volume	一つ以上のファイル集合を記録した区画の空でない集合。	JIS X 0609	1998							
6438	A		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	ほかのシステムとの情報交換を目的としてボリューム集合にファイルの集合を書き込むことのできる情報処理システム。	JIS X 0609	1998							
6439	A		区画	くかく	partition	第3章においては、ボリューム中の論理セクタから成る一つのエクステント。第4章においては、ボリューム中の論理ブロックのエクステント。	JIS X 0609	1998							
6440	A		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	情報交換を目的としてほかのシステムが書き込んだボリューム集合からファイルの集合を読み出すことのできる情報処理システム。	JIS X 0609	1998							
6441	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として取り扱うバイトの列。	JIS X 0609	1998							
6442	A		セクタ	せくた	sector	媒体のほかの番地付けた部分とは独立にアクセス可能な最小の番地付けた部分のデータ領域。	JIS X 0609	1998							
6443	A		記録のための規格	きろくのためのきかく	standard for recording	媒体中に記録する情報の記録方法及び番地付けの方法を規定する規格。記録のための規格中で、この規格に関係のある規定は次のとおりとする。a)各セクタに対する一意の番地 b)各セクタの長さ c)セクタが再生専用形、追記形又は書換形であるかを判定する方法 d)追記形の媒体に対して、各セクタが未記録かどうかを検出する方法 e)セクタの記録に際して行う事前のための規格には、媒体の作成者と受領者との間の同意が必要	JIS X 0609	1998							
6444	A		利用者	りようしゃ	user	処理システムが提供するサービスを呼び出す人、又はほかの実体(例えば、応用システ	JIS X 0609	1998							
6445	A		利用者ID	りようしゃID	user ID	利用者の識別情報。	JIS X 0609	1998							
6446	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	関係する記録のための規格が規定するセクタ番地空間。	JIS X 0609	1998							
6447	A		ボリューム集合	ぼりゅーむしゅうごう	volume set	同一のボリューム集合識別子をもつ1個以上のボリュームの集まり。複数ボリュームを利用可能にすることは、オプションとする。処理システムは、単一ボリュームだけを利用可能にして、適合性を主張できる。同一ボリューム集合中のすべての媒体は、同じ物理セクタ長をもつ。書換形/上書き可能形の媒体及び追記形の媒体は、同一ボリューム集合に	JIS X 0609	1998							
6448	A		開始点	かいしてん	anchor point	ボリューム記述子列のエクステントを識別する記述子を記録するための、規定された論理セクタ番号集合中の一つの論理セクタ番号。	JIS X 0610	2006							
6449	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application	ファイルの内容を処理し、ファイル又はそのファイルを記録したボリュームに関するシステム指定の属性データも処理できるプログラム。	JIS X 0610	2006							
6450	A		バイト	ばいと	byte	一つの単位として扱う8個の2進数字の列。	JIS X 0610	2006							
6451	A		巡回冗長検査	じゅんかいじょうちょうけんさ	cyclic redundancy check (CRC)	バイト列の正しさを計算する方法。	JIS X 0610	2006							
6452	A		データ編集者	でーたへんしゅうしゃ	data preparer	ボリュームグループ上に記録するデータの編集を管理する人又は他の実態。	JIS X 0610	2006							
6453	A		記述子	きじゅつし	descriptor	ボリューム又はファイルに関する記述的情報をもつ構造。	JIS X 0610	2006							
6454	A		エクステント	えくすてんと	extent	次の二つの定義を与える。 a) ボリューム構造及びJIS X 0606のファイル構造では、昇順に連続する論理セクタ番号をもつ論理セクタの集合。エクステントの番地又は位置は、論理セクタ列の最初の論理セクタの番号とする。 b) ファイル構造では、昇順に連続する論理ブロック番号をもつ論理ブロックの集合。エクステントの番地又は位置は、論理ブロック列の最初の論理ブロックの番号とする。	JIS X 0610	2006							
6455	A		ファイルセクション	ふぁいるせくしょん	file section	1個のエクステントに記録したファイルの一部。	JIS X 0610	2006							
6456	A		ファイル集合	ふぁいるしゅうごう	file set	ファイル又はディレクトリの集合。	JIS X 0610	2006							
6457	A		ファイル集合番号	ふぁいるしゅうごうばんごう	file set number	論理ボリュームのファイル集合を識別する番号。ファイル集合番号の一つは0とする。	JIS X 0610	2006							
6458	A		ファイル集合記述子番号	ふぁいるしゅうごうきじゅつしばんごう	file set descriptor number	ファイル集合記述子列のファイル集合記述子を識別する番号。	JIS X 0610	2006							
6459	A		ファイルユニット	ふぁいるゆにっと	file unit	一つのエクステントを構成する論理セクタの集合。論理セクタ番号は、連続した昇順列と	JIS X 0610	2006							
6460	A		ファイルユニットの大きさ	ふぁいるゆにっとのおおきさ	file unit size	ファイルセクションに割り当てられたファイルの一部を構成するファイルユニットの中の論理セクタの個数。	JIS X 0610	2006							
6461	A		グループID	ぐるーぷID	group ID	利用者のグループの識別子。	JIS X 0610	2006							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6462	A		処理システム	しょりしすてむ	implementation	情報処理システムが、作成システム、受領システム又はその両方のシステムとして動作することを可能とする処理の集合。	JIS X 0610	2006							
6463	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	論理ボリューム中の割付けの単位。	JIS X 0610	2006							
6464	A		論理セクタ	ろんりせくた	logical sector	ボリューム中の割付の単位。	JIS X 0610	2006							
6465	A		論理ボリューム	ろんりぼりゅーむ	logical volume	一つ以上の区画の集合。	JIS X 0610	2006							
6466	A		作成システム	さくせいしすてむ	originating system	他のシステムとのデータ交換を目的としてボリューム集合中にファイルの集合を作成することができる情報処理システム。	JIS X 0610	2006							
6467	A		区画	くかく	partition	ボリューム中において論理セクタから成る一つのエクステント。	JIS X 0610	2006							
6468	A		区画番号	くかくばんごう	partition number	ボリュームの区画を識別する番号。区画番号は、0から始まる昇順に割り当てた連続した整数とする。	JIS X 0610	2006							
6469	A		物理セクタ	ぶつりせくた	physical sector	JIS X 6241が規定する割当て単位。	JIS X 0610	2006							
6470	A		基本ボリューム記述子番号	きほんぼりゅーむきじゅつしばんごう	primary volume descriptor number	ボリューム記述子列の基本ボリューム記述子を識別する番号。ボリューム記述子列の一つの最新基本ボリューム記述子だけが、基本ボリューム記述子番号0をもつ。	JIS X 0610	2006							
6471	A		受領システム	じゅりょうしすてむ	receiving system	データ交換を目的として他のシステムによって形成されたボリューム集合からファイル集合を読み取ることのできる情報処理システム。	JIS X 0610	2006							
6472	A		予備	よび	reserved	次の二つの定義を用いる。 a) 予備欄に関しては、“予備”という用語は、将来のDVDの規定において用いられる可能性があることを示し、実装では無視しなければならないことを示す。予備欄のすべてのバイトは、00hに設定しなければならない。 b) 値が定義済みの欄に関しては、“予備”という用語は、将来のDVDの規定において用いられる可能性があることを示し、実装では無効な値として扱われなければならない。	JIS X 0610	2006							
6473	A		セクタ	せくた	sector	媒体の他の番地付け可能部分とは独立にアクセスできる番地付け可能最小部分のデー	JIS X 0610	2006							
6474	A		記録のための規格	きろくのためのきかく	standard for recording	媒体に記録される情報用の記録方法及び番地指定方法を規定する規格。記録のための規格は、JIS X 0607の1/5.10の規定による。	JIS X 0610	2006							
6475	A		2の補数	2のほすう	twos complement	その数の各ビットを反転させ(1を0に置き換え、0を1に置き換える)、1を加えて計算される数値。ただし、オーバフローは無視する。	JIS X 0610	2006							
6476	A		ブリッジフォーマット	ぶりっじふぉーまっと	Bridge Format	JIS X 0609及びJIS X 0606の両規格に従うフォーマット。	JIS X 0610	2006							
6477	A		利用者	りようしゃ	user	処理システムが提供するサービスの実行を呼び出す人又は他の実体(例えば、応用プログラム)。	JIS X 0610	2006							
6478	A		利用者ID	りようしゃID	user ID	利用者の識別子。	JIS X 0610	2006							
6479	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	関係する記録のための規格が規定するセクタ番地空間。	JIS X 0610	2006							
6480	A		ボリューム記述子順序番号	ぼりゅーむきじゅつしじゅんじょばんごう	volume descriptor sequence number	ボリューム記述子列のボリューム記述子を識別する番号。同一のボリューム記述子順序番号をもつすべてのボリューム記述子は、同一の内容をもつ。最新記述子は、JIS X 0607の3/8.4.3の規定による。	JIS X 0610	2006							
6481	A		ボリュームグループ	ぼりゅーむぐるーぷ	volume group	同時に作られた内容をもち、一つ以上の連続した番号のボリュームから成る一つのボリューム集合の中のグループ。	JIS X 0610	2006							
6482	A		ボリューム順序番号	ぼりゅーむじゅんじょばんごう	volume sequence number	ボリューム集合中のボリュームに対して、1から始まる昇順に連続した整数を割り当てた番号。	JIS X 0610	2006							
6483	A		ボリューム集合	ぼりゅーむしゅうごう	volume set	同一のボリューム集合識別子をもつ一つ以上のボリュームの集合。	JIS X 0610	2006							
6484	A		ボリューム集合の大きさ	ぼりゅーむしゅうごうのおおきさ	volume set size	ボリュームグループ内で最大のボリューム順序番号をもつボリュームのボリューム順序番号。	JIS X 0610	2006							
6485	B		文字	もじ		データの構成、制御又は表現に用いる要素となるものであって、英字、仮名、数字、記号及び特殊な機能を表現するもの。なお、間隔文字を示すのに△を使用する。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6486	B		数字	すうじ		“0”～“9”の文字	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6487	B		a文字	aもじ		JIS X 0201のローマ字用7単位符号表の2/0～2/2、2/5～2/15、3/0～3/15、4/1～4/15、5/0～5/10、5/15の位置にある57文字(附属書A参照)。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6488	B		ラベル	らべる		各ボリューム又はファイルの始め若しくは終わりにあるレコードであって、そのボリューム又はファイルを識別したり、特性を表したり、境界を表したりするもの。ラベルはファイルの一部とは考えない。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6489	B		ラベルセット	らべるせっと		連続するブロックとして記録された同じラベル識別子をもつラベルの集まり。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6490	B		ラベル識別子	らべるしきべつし		ラベルを識別するためにラベル中に記録されている3個の文字。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6491	B		ラベル番号	らべるばんごう		ラベル識別子のすぐ後ろに記録されている1個の文字。ラベルセット内の各ラベルを識別するために使用する。(備)この規格では、ラベル番号としての数字をnで表すことがあ	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6492	B		DDES	DDES	Digital Data Exchange Specification	電子製版システム間での可搬記憶媒体によるデジタルデータ交換仕様。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6493	B		UEF	UEF	User Exchange Format	DDESで定めるデータ交換用基本ファイルフォーマット。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6494	B		拡張UEF	かくちょうUEF	Extended User Exchange Format	DDESで定めるUEFのオプション指定部分を使用した拡張ファイルフォーマット。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6495	B		非UEF	ひUEF	Non User Exchange	拡張UEF外の情報を含むファイルフォーマット。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6496	B		ベンダ	べんだ	Vendor	コンピュータ、オペレーティングシステム、周辺装置などの装置を組み合わせ、アプリケーションシステムを構築するもの。(参)この規格では、規格の利用者の立場を三者に区分しており、コンピュータ、オペレーティングシステム、周辺装置などの装置の提供者側と、それらの装置を組みあわせ、アプリケーションシステムを構築する側と、アプリケーションシステムの最終利用者側とに分けている。	JIS X 0651	1991	ISO/DIS 10755	1991		廃2005/12		無い	
6497	B		文字	もじ		データの構成、制御又は表現に用いる要素となるものであって、英字、仮名、数字、記号及び特殊な機能を表現するもの。この規格では、間隔文字を示すのに△を使用する。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6498	B		数字	すうじ		“0”～“9”の文字。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6499	B		a文字	aもじ		JIS X 0201のローマ字文字用7単位符号表の2/0～2/2、2/5～2/15、3/0～3/15、4/1～4/15、5/0～5/10、5/15の位置にある57文字(附属書A参照)。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6500	B		ラベル	らべる		各ボリューム又はファイルの始め又は終わりにあるレコードであって、そのボリューム又はファイルを識別したり、特性を表したり、境界を表したりするもの。ラベルはファイルの一部とは考えない。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6501	B		ラベルセット	らべるせっと		連続するブロックとして記録された同じラベル識別子をもつラベルの集まり。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6502	B		ラベル識別子	らべるしきべつし		ラベルを識別するためにラベル中に記録されている3個の文字。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6503	B		ラベル番号	らべるばんごう		ラベル識別子のすぐ後ろに記録されている1個の文字。ラベルセット内の各ラベルを識別するために使用する。(備)この規格では、ラベル番号としての数字を<n>で表すことがあ	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6504	B		DDES	DDES	Digital Data Exchange Specification	電子製版システム間での可搬記憶媒体によるディジタルデータ交換仕様。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6505	B		UEF	UEF	User Exchange Format	DDESで定めるデータ交換用基本ファイルフォーマット。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6506	B		拡張UEF	かくちょうUEF	Extended User Exchange Format	DDESで定めるUEFのオプション指定部分を使用した拡張ファイルフォーマット。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6507	B		非UEF	ひUEF	Non User Exchange	拡張UEF外の情報を含むファイルフォーマット。	JIS X 0652	1992	ISO/DIS 10756	1991		廃2005/12		無い	
6508	B		文字	もじ		データの構成、制御又は表現に用いる要素となるものであって、英字、仮名、数字、記号及び特殊機能を表現するもの。この規格では、間隔文字を示すのに△を使用する。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6509	B		数字	すうじ		“0”～“9”の文字。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6510	B		a文字	aもじ		JIS X 0201のローマ文字用7単位符号表の2/0～2/2、2/5～2/15、3/0～3/15、4/1～4/15、5/0～5/10、5/15の位置にある57文字。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6511	B		ラベル	らべる		各ボリューム又はファイルの、始め及び終わりにあるレコードであって、そのボリューム又はファイルを識別したり、特性を表したり、境界を表したりするもの。ラベルは、ファイルの一部とは考えない。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6512	B		ラベルセット	らべるせっと		連続するブロックとして記録された同じレベルの識別子をもつラベルの集まり。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6513	B		ラベル識別子	らべるしきべつし		ラベルを識別するためにラベル中に記録されている3個の文字。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6514	B		ラベル番号	らべるばんごう		ラベル識別子のすぐ後ろに記録されている1個の文字。ラベルセット内の各ラベルを識別するために使用する。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6515	B		ディジタルデータ交換仕様、DDES	でぃじたるでーたこうかんしよう、DDES	Digital Data Exchange Specification, DDES	電子製版システム間での可搬記憶媒体によるディジタルデータ交換仕様。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6516	B		利用者交換フォーマット、UEF	りようしゃこうかんふぉーまっと、UEF	User Exchange Format, UEF	DDESで定めるデータ交換用基本ファイルフォーマット。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6517	B		拡張UEF	かくちょうUEF	Extended UEF, EUEF	DDESで定めるUEFのオプション指定部分を使用した拡張ファイルフォーマット。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6518	B		非UEF	ひUEF	Non-UEF	拡張UEFで定めた以外の情報を含むファイルフォーマット。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6519	B		単色画像	たんしょくがぞう	Monochrome pictures	無彩色(白/黒)の画像だけではなく、単一の色相からなる色をもった画像。画素が階調をもつものと、拡張をもたない(二値)ものとがある。	JIS X 0653	1994				廃2005/12			
6520	B		ディジタルデータ交換仕様、DDES	でぃじたるでーたこうかんしよう、DDES	Digital Data Exchange Specification, DDES	稼働中のシステム間でディジタル的に符号化した情報を共有する一方法。	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6521	B		10進小数点表記法	10しんしょうすうてんひょうきほう	decimal point notation	数体上の10進数の数字の記号列として表現(JIS X 0201の位置3/0から3/9まで)及び10進小数点(JIS X 0201の位置2/14)。	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6522	B		連続調(カラー画像)データ	れんぞくちょう(からーがぞう)でーた	contone (colour picture) data	長方形に配置された画素であって、各画素はそれらの色成分に対応した数値の集合によって表す。4色画像の場合には、各画素は、シアン(C)、マゼンダ(M)、黄色(Y)及び墨(K)のプロセスカラーに対応した4個の8ビットデータから構成する。	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6523	B		線画データ	せんがでーた	line art data	長方形に配列した画素であって、それぞれの画素は限られた数のうちの1色をとる。これらの色は、カラーパレットテーブルによって定義してもよい。カラーパレットテーブルは、パレット内の各エントリに対して4色に分解された要素の数値を規定する。画素データは、一般に同一パレットエントリの多くの画素を構成する連続領域をもち、ディザ法又は誤差拡散法によって更に広い色領域を疑似的に再現しないことを特徴とする。したがって、線画情報はランレングス符号化に適しており、この符号化を用いることによってファイルの大	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6524	B		システム提供者固有のデータ	しすてむていきょうしゃこゆうのでーた	vendor-specific data	システム提供者が自由裁量で送るデータ。	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6525	B		校正刷り	こうせいずり	proof	印刷された画像の模擬又は原型。	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6526	B		直接ディジタルカラー校正装置、DDCP	ちょくせつでぃじたるからーこうせいそうち、DDCP	Direct Digital Colour Proofer, DDCP	ディジタルデータから直接校正刷りを作成することができる出力装置。	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6527	B		画像セット	がぞうせっと	image set	長方形領域の校正刷りを作成するために使用するデータ(連続調画像データ、線画データ及びシステム提供者固有データ)の論理的グループ化。	JIS X 0654	1995	ISO 10758	1994		廃2005/12		無い	
6528	B		記号	きごう	sign	慣習又は主観によって解釈される物理現象。通常、この現象は、環境によって決定される。(参)情報処理用語の“記号”については、JIS X 0004を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6529	B		(記号の)意味	(きごうの)いみ	meaning (of a sign)	記号に対応する概念を解釈したもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6530	B		概念	がいねん	concept	思考の単位。(備)概念は周囲の世界についての知識と認識を構成するために使われるものであって、必ずしも表現されることはない。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6531	B		システム、体系	しすてむ、たいけい	system	要素の集合及び要素と要素との関係の集合であって、その集合が一つの全体を成すと考えられるもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6532	B		言語	げんご	language	コミュニケーションのための記号の体系、通常、語い(彙)と規則で構成されるもの。(参)情報処理用語の“言語”については、JIS X 0007を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6533	B		自然言語	しぜんげんご	natural language	進歩発展している言語。その用法は、必ずしも明確に規定されているわけではない。(参)情報処理用語の“自然言語”については、JIS X 0007を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6534	B		人工言語	じんこうげんご	artificial language	あらかじめ定めた規則の集合に基づいて作られた言語又は統制された言語。(参)情報処理用語の“人工言語”についてはJIS X 0007を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6535	B		キャラクタ	きゃらくた	character	その使用について合意に達した要素の集合の一部分、データの組織化、制御又は表現に用いる。(備)キャラクタには、文字、数字、句読記号、その他のシンボルを含むことがあり、隣り合わせたものと次に続くものとの間をあけて並べて表現されたり、データ媒体上にその他の物理状態で表現されたりすることが多い。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6536	B		語(1)	ご(1)	word (1)	ある言語において、それ自体で特定の意味を伝達することが可能な最小の単位であって、しかも一つの文の中で独立した単位として存在できるもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6537	B		(データ処理の)語(1)	(でーたしょりの)ご(1)	word (1) (in data processing)	ある目的に対して、一つの単位とみなすのが適当なキャラクタの列。(参)情報処理用語の“語”については、JIS X 0004を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6538	B		句	く	phrase	文法に従って結合された語(1)の連鎖であって、単一の意味をもつもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6539	B		用語	ようご	term	概念を表示するために用いる語(1)又は句。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6540	B		名称	めいしょう	name	個々の存在、対象又は類を表示するために用いる語(1)又は句。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6541	B		専門用語集	せんもんようごしゅう	terminology	特定主題分野の用語を組織した集合であって、用語の意味を定義したもの、又はその意味が関連分野において広く了解されているもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6542	B		名称集	めいしょうしゅう	nomenclature	特定分野で用いられる名称を体系立てて集めた集合。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6543	B		同義性	どうぎせい	synonymy,synonymity	二つ以上の用語についてみられる特性であって、形は異なっていても、全く同じ意味又はほとんど同じ意味をもっていること。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6544	B		類義性	るいぎせい	quasi-synonymy,quasi-synonymity	二つ以上の用語についてみられる特性であって、形は異なっていても、類似の意味をもつとともに、ある特定の目的のためには同義語とみなし得ること。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6545	B		多義性	たぎせい	polysemy	語源からみて、語が二つ以上の関連した意味をもっているような特性。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6546	B		同形同音異義性	どうけいどうおんいぎせい	homonymy, homonymity	二つ以上の用語が、同じ形又は同じ発音でありながら、異なった意味をもっているような特性。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6547	B		同形異義性	どうけいいぎせい	homography	二つ以上の用語が、同じ形でありながら、それぞれ異なった意味をもっているような特性。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6548	B		同音異義性	どうおんいぎせい	homophony	二つ以上の用語が、同じ発音でありながら、異なった意味をもっているような特性。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6549	B		コミュニケーション、伝達	こみゅにけーしょん、でんたつ	communication	信号の伝送によって意味を伝えること。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6550	B		コミュニケーション理論	こみゅにけーしょんりろん	communication theory	コミュニケーションの過程及びコミュニケーションシステムの研究を扱う科学分野。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6551	B		メッセージ	めっせーじ	message	ある発信源から、一つ以上の送信先に向けて、適切な言語又はコード(2)によって、情報(1)又は通知を伝達するもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6552	B		コミュニケーションシステム	こみゅにけーしょんしすてむ	communication system	コミュニケーションの過程を統制するためのシステム。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6553	B		情報(1)	じょうほう(1)	information	伝達される事実。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6554	B		情報(2)	じょうほう(2)	information (2)	コミュニケーションの過程において、知識を増やす目的で、事実又は概念を表現するために使われるメッセージ。(参)情報処理用語の“情報”については、JIS X 0001を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6555	B		記録情報	きろくじょうほう	recorded information	データ媒体の内部若しくは表面に又はそれを介して蓄積された情報(1)。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6556	B		情報システム	じょうほうしすてむ	information system	コミュニケーションを可能にして、情報(2)を処理するコミュニケーションシステム。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6557	B		データ媒体	でーたばいたい	data medium	媒体の一つであって、その内部若しくは表面に又はそれを介してデータを蓄積し、表現し又は伝達するためのもの。(参)情報処理用語の“データ媒体”については、JIS X 0001を	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6558	B		データ処理	でーたしょり	data processing	適切な手法の規則に従って、データを取り扱うすべての動作。(参)情報処理用語の“データ処理”については、JIS X 0001を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6559	B		データ媒体変換	でーたばいたいへんかん	data transformation	(データの)意味を著しく変えることなく、ある規則の集合に従って、一つのデータ媒体から別のデータ媒体へとデータを移すこと。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6560	B		データ変換	でーたへんかん	data conversion	特定の規則に従って、データの意味を完全に保ったまま、一つの表現形式から別の表現形式へとデータを入れ替えること。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6561	B		コード(1)	こーど(1)	code	ある言語を別の言語に変換するための規則の集合。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6562	B		コード(2)	こーど(2)	code (2)	あらかじめ設定した規則の集合に従って、別の形にデータ変換又はデータ表現を行うもの。(参)情報処理用語の“コード”については、JIS X 0004を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6563	B		コーディング	こーでぃんぐ	coding	データ変換又はデータ表現を行う過程。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6564	B		(データ処理の)書式	(でーたしょりの)しょしき	format (in data processing)	あらかじめ設定した方法でデータ媒体の内部又は表面にデータを配(排)列するもの。(参)情報処理用語の“書式”については、JIS X 0004を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6565	B		ドキュメンテーション	どきゅめんてーしょん	documentation	記録情報の蓄積、検索、利用又は転送を目的として継続し、しかも系統立てて記録情報を収集し、処理すること。(参)情報処理用語の“ドキュメンテーション”については、JIS X	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6566	B		文献集	ぶんけんしゅう	documentation	特定の目的のために収集された文献の集合。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6567	B		文献、資料	ぶんけん、しりょう	document	ドキュメンテーションの過程において、一つの単位として扱うことができる記録情報。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6568	B		情報検索	じょうほうけんさく	information retrieval	蓄積されたものの中から、特定の情報(1、2)を見つけ出すための活動、方法及び手順。(参)情報処理用語の“情報検索”については、JIS X 0004を参照。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6569	B		文献検索	ぶんけんけんさく	document retrieval	蓄積されたものの中から、特定の文献を見つけ出すための活動、方法及び手順。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6570	B		参照検索、参照事項検索	さんしょうけんさく、さんしょうじこうけんさく	reference retrieval	蓄積されたものの中から、あらゆる種類の参照事項を見つけ出すための活動、方法及び手順。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6571	B		文書館学、史料館学	もんじょかんがく、しりょうかんがく	archive science	文書館の組織、管理及び運営に適用する情報科学。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6572	B		図書館学	としょかんがく	library science	文庫・図書館の組織、管理及び運営に適用する情報科学。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6573	B		博物館学	はくぶつかんがく	museology	博物館の組織及び博物館法の適用に関する理論、活動及び技術。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6574	B		博物館資料記録技術	はくぶつかんしりょうきろくぎじゅつ	museography	博物館に保存される資料を特定し、記述する技術。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6575	B		書誌作成技術	しょしさくせいぎじゅつ	bibliography	文献を特定し、記述する技術及び記述されたものを有用な順に配(排)列する技術。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6576	B		書誌学	しょしがく	bibliology, bibliography	図書の生産及び配布の技術に関する研究。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6577	B		情報科学	じょうほうかがく	information science	情報(1、2)の機能、構造、転送及び情報システムの管理に関する研究。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6578	B		文書、史料	もんじょ、しりょう	archives	現在は使用されない記録の集合。その文献の不朽の価値に基づいて、それの作成に責任をもって関与したもの、利用するためにそれを引き継いだもの、又は適切な文書館が選別の有無にかかわらず保存したもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6579	B		文書館、史料館	もんじょかん、しりょうかん	archives	文書を収集及び保存し、利用者の不用決定に応じて所蔵場所を定める機関。(備)文書館には、公立(国立、県立など)文書館、部局文書館、中央文書館、特殊文書館、写真史料館、マイクロフィルム史料館などがある。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6580	B		博物館資料	はくぶつかんしりょう	museum	学術及び文化のうえで関心の高い資料を集め、永続して保存し、展示する資料。(備)ここでいう資料には、文字で記されないものを含むことが多い。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6581	B		博物館	はくぶつかん	museum	博物館資料を収集し、保存して展示するための機関。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6582	B		文庫	ぶんこ	library	印刷された図書、逐次刊行物、その他の図画資料又は視聴覚資料を集めて貸出し又は閲覧に提供するために組織したもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6583	B		図書館	としょかん	library	文庫を設立して運営し、利用者の情報要求、調査研究要求、教育要求又は娯楽要求に応じて職員が資料を提供してその利用を図ることなどを目的とする機関又は機関の中の	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6584	B		総合図書館	そうごうとしょかん	general library	原則としてあらゆる知識分野を扱う図書館。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6585	B		専門図書館	せんもんとしょかん	special library	一つの学科又は特定の知識分野を扱う図書館。(備)“専門図書館”という用語は、ある場合には、特定の利用者層(例えば、病院内の人)に優先して奉仕する図書館又は主として特定の資料形態を扱う図書館についていうこともある。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6586	B		研究図書館	けんきゅうとしょかん	research library	ある主題分野において、徹底した研究調査が可能な図書館。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6587	B		参考図書館	さんこうとしょかん	reference library	館内利用に限定された文庫であって、通常、参考調査用の文献を含み、職員の助力によって情報(1)を得る所。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6588	B		国立図書館	こくりつとしょかん	national library	その国で出版された有意義な出版物をすべて収集し、保存する責任をもつ図書館であって、法定納本図書館としての機能をもつこともある。(備)次に示すような幾つかの機能を果たすのが普通である。最新の全国書誌及びそ(遡)及書誌を作成する。その図書館が属する国について書かれた文献を含む、大規模で、代表となるような外国文献のコレクションを所蔵し、維持する。国を代表する書誌情報センタとして活動する。総合目録を編	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6589	B		納本図書館、寄託図書館	のうほんとしょかん、きたくとしょかん	deposit library	一定条件の下で、文献を保存する図書館。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6590	B		著作権(登録)図書館	ちょさくけん(とうろく)としょかん	copyright library	一国の法定納本図書館であって、その図書館に対する公式の寄託行為によって著作権を決定したり、又は事前に決定したりする図書館。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6591	B		公共図書館	こうきょうとしょかん	public library	原則として地域社会に対してサービスを提供する総合図書館。(備)一般市民向けの図書館及び児童、患者、囚人などのような特別な利用者集団向けの図書館とがある。通常、公共図書館には、公共機関が全額又は一部を出資している図書館と、民間が出資して運営している図書館とがある。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6592	B		移動図書館、ブックモビル	いどうとしょかん、ぶっくもびる	mobile library, bookmobile (USA)	遠距離のため容易に図書館まで来館できないような利用者のために、特別装備の車両、船舶などを使って、資料を直接届ける図書館であって、公共図書館の1部局となることも	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6593	B		フィルムライブラリ	ふぃるむらいぶらり	film library	映画資料及び映像資料を収集し、保存し、利用に供する機関又はサービス。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6594	B		レコードライブラリ	れこーどらいぶらり	sound recordings library, record library	録音資料を収集し、保存し、利用に供する機関又はサービス。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6595	B		写真図書館	しゃしんとしょかん	photographic library	写真資料を収集し、保存し、利用に供する機関又はサービス。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6596	B		教材センタ、視聴覚センタ	きょうざいせんた、しちょうかくせんた	media resource centre, resource centre	主として非図書資料又はそれらの資料を創作し、製作するための材料及び調査・発表用の機材を集めたところ。(備)教育に利用するために組織されるのが普通である。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6597	B		図書館ネットワーク	としょかんねっとわーく	library network	図書館が協力してサービス及び資源をある程度まで分担する計画又は活動のことであって、図書館利用者向けのサービスの改善を意図するもの。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6598	B		図書館システム	としょかんしすてむ	library system	ある地域、特定の主題分野又は特定の利用者集団に対して、あらゆる図書館の部局、サービス部門、係が協力してサービスを提供する図書館又は図書館が連携した集合。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6599	B		レフェラルセンタ	れふぇらるせんた	referral centre	適切な回答を提供するのに最もふさわしい情報(1、2)の出所を質問者に紹介する機関。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6600	B		クリアリングハウス	くりありんぐはうす	clearing house	資料及びデータを収集し、保存し、報知し、利用できるようにする機関。このときの資料及びデータは、利用者を他の情報(1、2)源に導くものであることもあるし、完結済み、進行中又は計画中の研究・調査研究であることもある。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6601	B		情報センタ、ドキュメンテーションセンタ	じょうほうせんた、どきゅめんてーしょんせんた	information centre, documentation centre	程度の差はあれ、ドキュメンテーションの機能及び情報(2)の取扱い及び配布機能を遂行する機関。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6602	B		情報分析センタ	じょうほうぶんせきせんた	information analysis centre	実験、研究、開発、試験、技術などから得られた文献の内容及び情報(1、2)の特質について責任をもって分析し、評価し、濃縮し、合成し、再構成し、配布し、更にそのような評価を要約して報告する機関。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6603	B		データセンタ	でーたせんた	data centre	数値データを優先して扱う機関。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6604	B		情報検索代行業者	じょうほうけんさくだいこうぎょうしゃ	information broker	特定の主題に関する情報(1、2)であっても、責任をもって捜し、検索して提供する営利団体(個人のこともある。)。	JIS X 0701	1989	ISO 5127-1	1983		2005/7	ISO 5127:2001	2001	ISO/TC46
6605	A		概念	がいねん	concept	複数の特性の特異的組合せによって創造される“知識”(1.1.3.14)の単位。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6606	A		事物	じぶつ	object	認知可能又は想像可能なもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6607	A		集合	しゅうごう	set	“事物”(1.1.1.02)又は“概念”(1.1.1.01)の集積であって、一体をなすとみなされるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6608	A		要素	ようそ	element	“集合”(1.1.1.03)の一部を構成する個々の“事物”(1.1.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6609	A		関係	かんけい	relation	2個以上の“要素”(1.1.1.04)の間の知的結合。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6610	A		システム、体系	しすてむ、たいけい	system	相互に関係する“概念”(1.1.1.01)又は“事物”(1.1.1.02)の“集合”(1.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6611	A		主題分野	しゅだいぶんや	subject field	特定の“知識分野”(1.1.3.14)。主題分野の境界は目的に関連した見地から決定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6612	A		順序	じゅんじょ	order	異なった“要素”(1.1.1.04)間の“関係”(1.1.1.05)が明示され、又は確認された“集合”(1.1.1.03)の状態。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6613	A		言語	げんご	language	“コミュニケーション”(1.1.3.01)のために使用される”サイン”(1.1.3.02)の“体系”(1.1.1.06)。一般に、“語い(彙)”(2.2.1.17)と規則とで構成される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6614	A		日常言語	にちじょうげんご	natural language	人間社会で実際に使用されている“言語”(1.1.2.01)。多くの場合、その使用規則は慣習に由来する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6615	A		人工言語	じんこうげんご	artificial language	使用前から規則が明示的に確立されている”言語”(1.1.2.01)。(JIS X 0001参照)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6616	A		テキスト、本文	てきすと、ほんぶん	text	“文字”(1.1.2.09)、“記号”(1.1.2.11)、“語(1)”(1.1.2.07)、句、段落、文、“表”(2.2.1.32)又はそれ以外の文字配列で表された“データ”(1.1.4.01)。“意味”(1.1.3.04)の伝達を目的とし、その解釈は読者が身に付けている“自然言語”(1.1.2.02)又は“人工言語”(1.1.2.03)の”知識”(1.1.3.14)に基づく。(JIS X 0001参照)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6617	A		用語句	ようごく	terminological phrase	少なくとも1個の“用語”(1.1.2.12)及びその他の複数の“語い(彙)”項目を含む“語(1)”(1.1.2.07)の組合せ。“語い(彙)”項目の選択は当該“用語”(1.1.2.12)によって制約され	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6618	A		列	れつ	string	同じ性質をもち、一体と認識される“要素”(1.1.1.04)の連続。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6619	A		語(1)	ご(1)	word (1), orthographic	文の中で独立の単位として存在し、特定の“意味”(1.1.3.04)を伝える最小の言語単位。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6620	A		語(2)	ご(2)	word (2)	与えられた目的のために、一つの単位とみなすのが適当な文字列。(JIS X 0004参照)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6621	A		文字	もじ	character	“データ”(1.1.4.01)の表示、構成又は制御のために使用される“要素集合”(1.1.1.04、	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6622	A		指称	ししょう	designation	“サイン”(1.1.3.02)による“概念”(1.1.1.01)の表示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6623	A		記号	きごう	symbol	文字、数字、絵文字、又はそれらの任意の組合せを用いた“指称”(1.1.2.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6624	A		用語	ようご	term	特定の“主題分野”(1.1.1.07)における一般“概念”(1.1.1.01)の言語“指称”(1.1.2.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6625	A		名称	めいしょう	name	言語表現による個別“概念”(1.1.1.01)の“指称”(1.1.2.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6626	A		用語集	ようごしゅう	terminology	特定の“言語”(1.1.2.01)に属する“指称”(1.1.2.10)の“集合”(1.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6627	A		命名集	めいめいしゅう	nomenclature	あらかじめ確立された命名規則に従って構成された“用語集”(1.1.2.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6628	A		同義性	どうぎせい	synonymy	ある“言語”(1.1.2.01)において、複数の“用語”(1.1.2.12)が同じ“概念”(1.1.1.01)を表す“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6629	A		準同義性	じゅんどうぎせい	quasi-synonymy	ある“言語”(1.1.2.01)において、複数の“用語”(1.1.2.12)が類似の“意味”(1.1.3.04)をもちながらも異なった“概念”(1.1.1.01)を表現し、目的によっては同義語と見なされる”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6630	A		多義性	たぎせい	polysemy	ある“言語”(1.1.2.01)において、1個の“指称”(1.1.2.10)がある特性を共有する2個以上の“概念”(1.1.1.01)を定義するときの“指称”と概念との“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6631	A		同称異義性	どうしょういぎせい	homonymy	ある“言語”(1.1.2.01)において、1個の“指称”(1.1.2.10)が互いに無関係な2個以上の“概念”(1.1.1.01)を表現する“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6632	A		同形異義性	どうけいいぎせい	homography	2個以上の“用語”(1.1.2.12)において、同じ形態をもつがお互いに無関係の“意味”(1.1.3.04)をもつ“質”(1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6633	A		同音異義性	どうおんいぎせい	homophony	2個以上の“用語”(1.1.2.12)において、同じ音声をもつが無関係の“意味”(1.1.3.04)をもつ“質”(1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6634	A		翻音	ほんおん	transcription	ある表記体系の“文字”(1.1.2.09)又は特別に設定された記述体系を用いて、与えられた“言語”(1.1.2.01)の発音を表現すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6635	A		翻字	ほんじ	transliteration	ある記述体系の“文字”(1.1.2.09)を第二の記述体系における対応“文字”(1.1.2.09)で表現すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6636	A		ローマ字化	ろーまじか	romanization	“翻字”(1.1.2.23)、“翻音”(1.1.2.22)、又はこれらの併用によって非ラテン記述体系をラテンアルファベットで表現すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6637	A		翻訳	ほんやく	translation	ある“言語”(1.1.2.01)から他の“言語”(1.1.2.01)への変換。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6638	A		楽譜記号	がくふきごう	notation (1)	音楽に用いられる音の数、量、高さ及び持続時間を表現する“記号”(1.1.2.11)の“集合”(1.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6639	A		コミュニケーション	こみゅにけーしょん	communication	“信号”(1.1.3.03)の伝送による“意味”(1.1.3.04)の伝達。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6640	A		サイン	さいん	sign	“意味”(1.1.3.04)の伝達に用いられる物理的現象。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6641	A		信号	しんごう	signal	“データ”(1.1.4.01)を表現するために用いられる物理量の変化。(JIS X 0001参照)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6642	A		意味	いみ	meaning	“サイン”(1.1.3.02)で想起される“概念”(1.1.1.01)解釈。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6643	A		メッセージ	めっせーじ	message	“コミュニケーション”(1.1.3.01)の目的のために作成された“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6644	A		コミュニケーション理論	こみゅにけーしょんりろん	communication theory	“コミュニケーション”(1.1.3.01)プロセス及び“コミュニケーションシステム”(1.1.3.07)の研究に関わる科学領域。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6645	A		コミュニケーションシステ	こみゅにけーしょんしすて	communication system	“コミュニケーション”(1.1.3.01)プロセスを管理する“システム”(1.1.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6646	A		情報(1)	じょうほう(1)	information (1)	伝達された“知識”(1.1.3.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6647	A		情報(2)	じょうほう(2)	information (2)	“コミュニケーション”(1.1.3.01)のプロセスにおいて、“知識”(1.1.3.14)を増やす目的で、“情報(1)”(1.1.3.08)を表現する”メッセージ”(1.1.3.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6648	A		記録情報	きろくじょうほう	recorded information	“データ媒体”(1.1.4.02)に蓄積された“情報(1)”(1.1.3.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6649	A		記録	きろく	record (1)	あらかじめ設定された目的のために選択され提示された人物又は“事物”(1.1.1.02)に関する“データ”(1.1.4.01)の“集合”(1.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6650	A		情報システム	じょうほうしすてむ	information system	“情報(2)”(1.1.3.09)の“コミュニケーション”(1.1.3.01)及び処理を可能とする“コミュニケーションシステム”(1.1.3.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6651	A		アクセス	あくせす	access	“資料”(1.2.02)から“情報(1)”(1.1.3.08)を取得するための権利、機会又は手段。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6652	A		知識	ちしき	knowledge	推論に基づき立証を経た認識。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6653	A		データ	でーた	data	“コミュニケーション”(1.1.3.01)、解釈及び処理に適するように形式化された“情報(1)”(1.1.3.08)表現。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6654	A		データ媒体	でーたばいたい	data medium, support	“データ”(1.1.4.01)を記録し、検索することができる物理的媒体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6655	A		データ処理	でーたしょり	data processing, DP	“データ”(1.1.4.01)操作の組織的作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6656	A		データ媒体変換	でーたばいたいへんかん	data transformation	ある“データ媒体”(1.1.4.02)からほかの“データ媒体”(1.1.4.02)への“データ”(1.1.4.01)の変換。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6657	A		データ変換	でーたへんかん	data conversion	ある表現形式から他の表現形式への“データ”(1.1.4.01)の変換。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6658	A		コード(1)、符号(1)	こーど(1)、ふごう(1)	code (1)	ある“言語”(1.1.2.01)を別の“言語”(1.1.2.01)に変換するための規則の“集合”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6659	A		コード(2)、符号(2)	こーど(2)、ふごう(2)	code (2)	あらかじめ設定された規則に従って異なった形式に変換又は表現された“データ”(1.1.4.01)の“集合”(1.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6660	A		コーディング、符号化	こーでぃんぐ、ふごうか	coding	“データ媒体変換”(1.1.4.04)又は“データ”(1.1.4.01)表示のプロセス。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6661	A		書式(1)	しょしき(1)	format (1)	“データ媒体”(1.1.4.02)における所定のデータ配列。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6662	A		データバンク	でーたばんく	data bank	“ファイル(2)”(2.3.4.10)又は“データベース”(1.1.4.11)の”集合”(1.1.1.03)であって、蓄積“システム”(1.1.1.06)、処理“システム”(1.1.1.06)及び“検索システム”(4.3.2.1.02)と組み合わされたもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6663	A		データベース	でーたべーす	database	関係“データ”(1.1.4.01)の“集合”(1.1.1.03)であって、所定の目的又は所定の“データ処理”(1.1.4.03)“システム”(1.1.1.06)に適合したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6664	A		全文データベース	ぜんぶんでーたべーす	full text database	“資料”(1.2.02)の全文又は主要部分を含む情報源“データベース”(1.1.4.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6665	A		ホスト	ほすと	host	“データベース”(1.1.4.11)を保有するコンピュータであって、“コミュニケーション”(1.1.3.01)ネットワークを通じて他のコンピュータに接続可能なもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6666	A		インターネット	いんたーねっと	internet	世界規模で相互接続できるコンピュータシステム及びコンピュータネットワークであって、ゲートウェイを通じてそれらの間で“データ”(1.1.4.01) の移動が可能なもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6667	A		ドキュメンテーション	どきゅめんてーしょん	documentation	“保管(1)”(4.3.1.1.01)、“分類作業”(4.2.2.4.02)、“検索” (4.3.2.1.01) 、利用又は伝達を目的とする、“記録情報”(1.1.3.10) の継続的・系統的な蓄積及び処理。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6668	A		資料、文献	しりょう、ぶんけん	document	“ドキュメンテーション”(1.2.01) プロセスにおいて、一つの単位として処理することが可能な“記録情報”(1.1.3.10) 又は“事物” (1.1.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6669	A		二次資料、二次文献	にじしりょう、にじぶんけん	secondary document, derived document	ほかの“資料”(1.2.02) についての“データ”(1.1.4.01)、“情報(1)” (1.1.3.08) 又は“情報(2)”(1.1.3.09) を含む“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6670	A		情報管理	じょうほうかんり	information management	ある組織内における“情報(1)”(1.1.3.08) 源の企画、管理及び利用。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6671	A		情報検索	じょうほうけんさく	information retrieval	蓄積されたものの中から、特定の“情報(1)”(1.1.3.08) 又は“情報(2)”(1.1.3.09) を取り出すプロセス。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6672	A		資料検索	しりょうけんさく	document retrieval	蓄積されたものの中から、特定の“資料”(1.2.02) を取り出すプロセス。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6673	A		参照検索	さんしょうけんさく	reference retrieval	“参照”(4.2.1.3.07)に限定された“情報検索”(1.2.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6674	A		情報学、情報科学	じょうほうがく、じょうほうかがく	information science	“情報(1)”(1.1.3.08) 又は“情報(2)”(1.1.3.09) の機能、構造、伝達、及び“情報システム”(1.1.3.12) 管理に関する研究。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6675	A		文書館学	ぶんしょかんがく	archival science	“アーカイブズ(1)”(3.1.01) 又は“文書館”(3.1.02) の組織、管理及び運営に適用される“情報学” (1.2.08) の一部門。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6676	A		図書館学	としょかんがく	library science	“図書館資料”(3.1.03) 又は“図書館”(3.1.04) の組織、管理及び運営に応用される“情報学”(1.2.08) の一部門。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6677	A		図書館業務	としょかんぎょうむ	librarianship	“図書館学”(1.2.10) の実務的応用。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6678	A		博物館学	はくぶつかんがく	museology	“博物館資料”(3.1.05) 又は“博物館”(3.1.06) の組織及び博物館法規の適用に関する理論、活動及び技術。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6679	A		博物館資料作成技術	はくぶつかんしりょうさくせいぎじゅつ	museography	“博物館資料”(3.1.05) 又は“博物館”(3.1.06) に保存されている“資料”(1.2.02) を特定し記述する技術。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6680	A		書誌作成	しょしさくせい	bibliography (1)	“資料”(1.2.02) を識別し、記述する理論、活動及び技術。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6681	A		書誌学	しょしがく	bibliology	“図書”(2.1.12) 及び“本”(2.4.01) の作成及び配布の技術に関する研究。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6682	A		複製技術	ふくせいぎじゅつ	reprography	技術的手段による“資料”(1.2.02) の画像の“複製”(2.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6683	A		印刷	いんさつ	printing	“インク”(6.5.22) を付けた活字、平版、活版若しくは丸版によって、又はインクジェットから紙などの表面にその印影を転写すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6684	A		テレコミュニケーション	てれこみゅにけーしょん	telecommunication	電磁的又は電子的手段による“信号”(1.1.3.03) の転送の理論及び技術。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6685	A		用語作業	ようごさぎょう	terminology work	“概念”(1.1.1.01) 及びその“指称”(1.1.2.10) の収集、記述、処理及び表示に関わる作	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6686	A		評価	ひょうか	evaluation	雇用予定者、従業員、計画、機関、操業、又は組織の目標の実現のために寄与する資源の能力又は実績の査定。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6687	A		質	しつ	quality	明示的又は暗黙的な要求を満足する能力に依存する製品又は“サービス”(5.5.01)の性能及び特性の全体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6688	A		計量書誌学	けいりょうしょしがく	bibliometrics	“資料”(1.2.02) の“利用”(6.1.25) 及び“出版物”(2.1.11) のパターンに応用される数学的及び統計学的方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6689	A		計量情報学	けいりょうじょうほうがく	infometrics	“情報利用”(5.1.01) の“コミュニケーション”(1.1.3.01) に応用される数学的及び統計学	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6690	A		文書館員	ぶんしょかんいん	archivist	“文書館学”(1.2.09) の訓練を受けた職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6691	A		保存技術者	ほぞんぎじゅつしゃ	conservator	“事物”(1.1.1.02) の保全及び価値を維持するために必要な物理的作業を実施するために要求される“知識”(1.1.3.14) 及び技能について専門的又は技術的に訓練を受けた職	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6692	A		博物館専門職員	はくぶつかんせんもんしょくいん	curator	“コレクション(2)”(3.1.07) に対応し、その“受入資料” (4.1.2.02) 及び保全を行う職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6693	A		ドキュメンタリスト	どきゅめんたりすと	documentalist	“ドキュメンテーション”(1.2.01) の訓練を受けた職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6694	A		情報検索業者	じょうほうけんさくぎょうしゃ	information broker	ある“事物”(1.1.1.02) についての“情報(1)”(1.1.3.08) 又は“情報(2)”(1.1.3.09) を探索し、検索し、若しくは提供することを営利事業として実施する職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6695	A		情報管理者	じょうほうかんりしゃ	information manager, information officer	“情報管理”(1.2.04) を実施する職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6696	A		図書館専門職員	としょかんせんもんしょくいん	librarian	“図書館業務”(1.2.11) の専門的訓練を受けた職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6697	A		記録管理者	きろくかんりしゃ	records manager	“記録”(1.1.3.11) の作成、“利用”(6.1.25) 、維持及び“処分” (4.1.1.24) を経済的・効率的に実施する職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6698	A		展示担当者	てんじたんとうしゃ	preparator	展示を行うことを目的として、“事物”(1.1.1.02) の準備、処理、及び配置を行う職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6699	A		出版者	しゅっぱんしゃ	publisher	“出版物”(2.1.11) の“印刷”(1.2.17) 及び発行を行う団体又は個人。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6700	A		主題専門家	しゅだいせんもんか	subject specialist	“情報(1)”(1.1.3.08) 及び“ドキュメンテーション”(1.2.01) 組織にあって、高等教育を受け、特定主題又は領域に関する高度の“知識”(1.1.3.14) をもつことによって、当該“主題分野” (1.1.1.07) における“受入資料”(4.1.2.02) の選択及び主題“目録作業” (4.2.1.1.03) 、更に関連する“情報サービス”(5.5.02) を実施する職員。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6701	A		登録責任者	とうろくせきにんしゃ	registrar	“情報(1)”(1.1.3.08) 及び“ドキュメンテーション”(1.2.01) 組織の”文書担当部門” (3.3.13) の代表者。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6702	A		原資料	げんししりょう	original document	最初に作成された“資料”(1.2.02)。“原本”(2.1.05) とは異なるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6703	A		マスタ	ますた	master	“資料”(1.2.02) の“コピー(2)”(2.1.14) 又は“原資料”(2.1.01)であって、それから他の“コピー(1)”(2.1.06) を作成することが可能なもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6704	A		複製	ふくせい	reproduction	“原資料”(2.1.01) であると認識される“資料”(1.2.02) から複製された類似の“資料”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6705	A		影印資料	えいいんしりょう	facsimile	“原資料”(2.1.01) の内容、形態及び外見に可能な限り類似しているが、必ずしも同じ大きさではない“複製”(2.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6706	A		原本	げんぽん	copy (1)	“複製”(2.1.03)又は、より完成度の高い資料が作成される元の“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6707	A		コピー(1)	こぴー(1)	copy (2)	“資料”(1.2.02) の“複製”(2.1.03) 又は転写物。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6708	A		ハードコピー	はーどこぴー	hard copy	通常は“紙”(6.5.01) の上に作成された“コピー(1)”(2.1.06) であって、機器の助けを借りずに読取りが可能なもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6709	A		フォーム	ふぉーむ	form	印刷などの方法によって複製された“資料”(1.2.02) であって、特別の“情報(1)” (1.1.3.08) を記録するためにあらかじめ設定されたスペースをもつもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6710	A		改作	かいさく	adaptation	ほかの作品から派生した作品、特に別の媒体又は別の文章形態又は音楽形態をとることによって派生した作品。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6711	A		編曲	へんきょく	arrangement (1)	上演に際しての音楽的な“改作”(2.1.09)。改作に当たっては作品作成当初の意図とは異なる歌唱又は楽器を受け入れ、又は当初に意図されたものとは異なる能力レベルの演奏家又は歌手を受け入れる。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6712	A		出版物	しゅっぱんぶつ	publication	広く配布することを目的とする“資料”(1.2.02)。一般に多部数の“コピー (1)”(2.1.06) が作成される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6713	A		図書	としょ	book (1)	手稿、印刷、又は電子形態で公刊され、一般にページ付けして物理的単位を構成する“知的創作物”(7.2.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6714	A		文書単位	ぶんしょたんい	archival unit, item	“文書館”(3.1.02) における単独の“資料”(1.2.02) 又はその“集合”(1.1.1.03) であって、一括処理できるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6715	A		コピー(2)	こぴー(2)	copy (3)	“資料”(1.2.02) に複数の見本がある中の一見本。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6716	A		文書片	ぶんしょへん	piece	物理的にこれ以上の分割ができないと認識できる“文書単位” (2.1.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6717	A		画像資料	がぞうしりょう	iconic document	画像表現を主体とする“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6718	A		画像	がぞう	picture	“事物”(1.1.1.02) 又は形状の二次元的表現。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6719	A		挿図	そうず	illustration	“本文”(1.1.2.04) に付随する表現であって、主として文字以外の手段で当該“本文”の内容を視覚化したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6720	A		視聴覚資料	しちょうかくしりょう	audio-visual document	一連の関連映像からなる“資料”(1.2.02)。その内容を見たり聞いたりするために、特別の装置を使う必要がある。音声を伴わなくてもよい。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6721	A		透過資料	とうかしりょう	transparency	“情報(2)”(1.1.3.09) を担うシートで、光源にすかして、又はスクリーンに投影して見るも	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6722	A		立体写真	りったいしゃしん	stereograph	同じ“事物”(1.1.1.02) を、少し異なった視点から撮った1対の“画像”(2.1.17) 。立体鏡 (stereoscope) 又は特別な眼鏡を通して、同時に見ることによって三次元的な印象を与え	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6723	A		原案	げんあん	draft	“資料”(1.2.02) の準備版。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6724	A		補遺	ほい	supplement	“資料”(1.2.02) の本体を補足するもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6725	A		簡略版	かんりゃくばん	abridgement	ある“資料”(1.2.02) をその本質を失うことなく圧縮することによって得られた“資料” 。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6726	A		簡略資料	かんりゃくしりょう	brief (1)	ある“資料”(1.2.02) の内容の“要約”(4.2.2.2.05)、“抄録” (4.2.2.2.01)、又は“簡略版” (2.2.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6727	A		コレクション(1)、集成	これくしょん(1)、しゅうせい	collection (1)	単一又は複数の主題について、1人若しくは複数の“著者” (4.2.1.5.03) 又は“編集者” (4.2.1.5.07) の作品をまとめ、通常は“共通タイトル”(4.2.1.4.09) を付与してまとめられた“資料” (1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6728	A		選集	せんしゅう	anthology	一般に文学作品の資料群又は“抜粋”(4.2.2.2.06) の“コレクション(1)”(2.2.1.05) からなる“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6729	A		ファイル(1)	ふぁいる(1)	file (1)	作業者の当座の利用のために、又は文書的“整理”(4.3.1.1.06) の過程で集められ、同じ主題、活動又は業務に関わるものとして組織化された単位。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6730	A		記録(2)	きろく(2)	record (2)	官庁、組織及び個人が法的義務遂行又は事務的交渉のために作成し、受領し又は保持する“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6731	A		議事録	ぎじろく	minutes	ある会合又は会議において発言され実施されたことの公式“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6732	A		会議録	かいぎろく	proceedings, transactions	ある会議に提出された論文の“テキスト”(1.1.2.04) を含む“資料”(1.2.02)。一般に、論文から発生する討論記録及びそれらに関連する事務的事項を含む。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6733	A		報告書	ほうこくしょ	report	事実の提示を含む、又は行為、調査、研究、若しくは出来事の“記録(2)”(2.2.1.08) を含む“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6734	A		日誌	にっし	journal (1)	ある組織又は立法府における毎日の出来事、業務、“議事録”(2.2.1.09) などの、非個人的な記述を含む時系列的な“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6735	A		覚書	おぼえがき	memorandum	内部の“コミュニケーション”(1.1.3.01) に使用され、備忘録としての役割をもつ“資料”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6736	A		書簡	しょかん	letter	個人又は組織あてに提出される“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6737	A		参考資料	さんこうしりょう	reference work	ある主題に関する詳細な“情報(1)”(1.1.3.08) への迅速な“アクセス”(1.1.3.13) が可能な“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6738	A		辞典	じてん	dictionary	ある“言語”(1.1.2.01) を構成する“語(2)”(1.1.2.08) 又は語 の“カテゴリー”(4.2.2.4.07) のそれぞれに、当該“言語”による説明、又は他の“言語”への翻訳を付与し、それらをアルファベット順又は体系的に配列したリスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6739	A		用語辞典、語い(彙)	ようごじてん、ごい	vocabulary	一つ以上の特定“主題分野”(1.1.1.07) における“指称” (1.1.2.10) 及び定義を含む“辞典”(2.2.1.16)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6740	A		用語リスト	ようごりすと	glossary	専門“用語”(1.1.2.12)、難解語、古語又は方言語のリスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6741	A		百科事典	ひゃっかじてん	encyclopedia	あらゆる主題又は関連する一群の主題を、アルファベット順又は体系的に配列し、通常それぞれに詳細な“記事”(2.4.24)を付与することで、“知識”(1.1.3.14) を集大成した“資	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6742	A		指針(1)	ししん(1)	guide (1)	利用者がある作業を実施するうえで役立つ入門的“情報(1)” (1.1.3.08) を含む“資料”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6743	A		ハンドブック	はんどぶっく	handbook	特定の主題に関する基本的“知識”(1.1.3.14) を含む“参考資料”(2.2.1.15)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6744	A		マニュアル	まにゅある	manual	実行、製造、使用又は修理のための詳細な“指針(1)”(2.2.1.20)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6745	A		年譜	ねんぷ	calendar (1)	同じ“シリーズ(2)”(4.3.1.1.16) 又は“クラス” (4.2.2.4.03) の“資料”(1.2.02) 、若しくは各種情報源から選んだ特定の種類の“資料”(1.2.02) を一般に年代的な順序で配列したリストであって、“資料”(1.2.02) ごとに“要約”(4.2.2.2.05) 的記述を付したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6746	A		暦	こよみ	calendar (2)	時系列に関する“情報(1)”(1.1.3.08) を提供する“資料” (1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6747	A		年鑑	ねんかん	yearbook	参考資料を含み、年間隔で改定される“逐次刊行物” (2.4.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6748	A		要覧、名鑑、ディレクトリ	ようらん、めいかん、でぃれくとり	directory	人物、“事象”(2.2.1.15)、団体、場所などを特定したり、探し出したりするために、アルファベット順、日付順又は体系順に“情報(1)”(1.1.3.08) を掲載した“参考資料”(2.2.1.15)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6749	A		地図集	ちずしゅう	atlas	“地図”(2.2.1.28) の“コレクション(1)”(2.2.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6750	A		地図	ちず	map	時間及び空間を限定することができる現象を縮尺し、かつ通常は平面上に表記されたも	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6751	A		平面図	へいめんず	plan	ある限定された区域について大縮尺で表示された“地図” (2.2.1.28)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6752	A		天体儀	てんたいぎ	globe	天体の立体表現。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6753	A		チャート	ちゃーと	chart	表形式で表示され、又は図式で系統的に配列された情報資料。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6754	A		表	ひょう	tables	“データ”(1.1.4.01) を行と列とに規則的に配列された“資料” (1.2.02)。解説文を付記することがある。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6755	A		人名録	じんめいろく	roll (1)	特定の目的のために人物の“名称”(1.1.2.13) を列挙した“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6756	A		教皇小書簡	きょうこうしょうしょかん	brief (2)	教皇庁尚書院がろう(蝋)“封印”で封じ、発行した公開“書簡” 。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6757	A		教書	きょうしょ	bull (1)	円い金属製“公印”(7.1.13) で封印し、又は“公印”(7.1.13) を添付するかして、高度の儀礼的性格をもたせた“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6758	A		証印	しょういん	stamp (1)	ある種の特徴をもつことを明示するために“資料”(1.2.02)に付与された記号。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6759	A		総譜	そうふ	score	音楽作品用の“楽譜”(1.1.2.26)を含む“資料”(1.2.02)で、各“ページ”(2.4.22)上にパートごとの譜表を同時に響く音符が垂直に並ぶように配列されたもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6760	A		歌詞台本	かしだいほん	libretto	大規模な音楽作品の歌詞を含む“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6761	A		出版宣伝文	しゅっぱんせんでんぶん	blurb	“出版者”(1.3.14) による“資料”(1.2.02) 紹介。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6762	A		標題紙	ひょうだいし	title page	“本”(2.4.01) のなかで、完全な書誌的“情報(1)”(1.1.3.08) を含む“ページ” (2.4.22)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6763	A		巻頭語句	かんとうごく	incipit	“手稿”(2.3.1.01)、“揺らん(籃)期本”(2.4.19) 又は初期に印刷された“本”(2.4.01) の書き出し部分の“語(1)”(1.1.2.07)又は句。“タイトル”(4.2.1.4.01) 及び“著者”(4.2.1.5.03) の“名称”(1.1.2.13) を含むことがある。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6764	A		奥付	おくづけ	colophon	“本”(2.4.01) の中で著作者、“著作権”(7.2.2.02) 所有者、制作及び出版の経緯を記載した部分。“標題紙”(2.2.2.01) の裏側又は“本”(2.4.01) の末尾に記載される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6765	A		目次	もくじ	table of contents	“資料”(1.2.02) の各“標目”(4.2.1.3.01) 及び“副標目” (4.2.1.3.05) を掲載順に列挙したリスト。通常、それらが始まる最初の“ページ”(2.4.22) 又は“段”(2.4.23) を付記する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6766	A		まえがき	まえがき	preface	“資料”(1.2.02) の冒頭に収載された論述。通常、著作の履歴及び目的を示す。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6767	A		序文	じょぶん	introduction	“資料”(1.2.02) の“本文”(1.1.2.04)の冒頭部分。“資料”の背景、内容又は構成に関する一般的“情報(1)”(1.1.3.08) を提供する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6768	A		図	ず	figure	“本文”(1.1.2.04) を説明又は補足するための“挿図”(2.1.18)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6769	A		キャプション	きゃぷしょん	caption	“挿図”(2.1.18)の主題を説明するために“挿図”(2.1.18)に付記された解説文。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6770	A		注	ちゅう	note	“本文”(1.1.2.04) の主体に示された“情報(1)”(1.1.3.08) を説明又は補足するために、“ページ”(2.4.22) の最下段、“資料” (1.2.02) の末尾、又は“資料”の区分ごとの末尾に収載された指示(indication)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6771	A		蔵書ラベル	ぞうしょらべる	bookplate	“資料”(1.2.02) に添付してその所有者を示すラベル。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6772	A		付録	ふろく	appendix	“資料”(1.2.02) の末尾に掲載され、“本文”(1.1.2.04) を補足するもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6773	A		追補	ついほ	addenda	“資料”(1.2.02) の付属物として続けて作成され、“本文” (1.1.2.04) を補充又は修正し、その補足機能を明示するもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6774	A		正誤表	せいごひょう	errata, corrigenda	“資料”(1.2.02) の付属物として続けて作成され、“本文” (1.1.2.04) 中の誤り及び訂正を表示するもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6775	A		手稿	しゅこう	manuscript (1)	手書き又は筆写による“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6776	A		印字資料	いんじしりょう	typescript	タイプライタ又はコンピュータを使用して作成された“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6777	A		原稿	げんこう	manuscript (2)	多部数の“コピー(1)”(2.1.06) 又は“コピー(2)”(2.1.14) を出版するために作成された“写稿”(2.3.1.01) 又は“タイプ稿” (2.3.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6778	A		巻装本	かんそうほん	roll (2)	1枚の、又は端部で綴り合わせた多数枚の“羊皮紙”(6.5.37) 又は“紙”(6.5.01) からなる巻物状の“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6779	A		線画、素描	せんが、そびょう	drawing	固体鉱物質又はとがった用具で作成された“画像” (2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6780	A		敷写し、トレース	しきうつし、とれーす	tracing (1)	ある“画像”(2.1.17) の上に半透明の“紙”(6.5.01)を置き、当該“画像”(2.1.17)から選ばれた“要素”(1.1.1.04) をその上に描写することによって得られた“画像”(2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6781	A		転写画	てんしゃが	transfer (1)	直接接触することである表面から他の表面に顔料を移動することによって得られた“画像”(2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6782	A		拓本	たくほん	rubbing	浮き彫り又は彫り込みのある表面、又は粗い(textured)表面の上に“紙”(6.5.01) を置き、色材で紙 (6.5.01) の上を摩擦し加圧することによって得られた“画像”(2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6783	A		水彩画	すいさいが	watercolour	セピア、ビストル、又は水溶性“色”(6.2.30) を用いて制作された“画像”(2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6784	A		淡彩画	たんさいが	wash drawing	鉛筆又は“インク”(6.5.22) で描き、水彩絵具で彩色された“線画”(2.3.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6785	A		下絵	したえ	cartoon (1)	“絵画”(2.3.1.12)、モザイク、又は装飾のための下地“線画” (2.3.1.05)。一般に最終作品と同じ大きさをもつ。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6786	A		絵画	かいが	painting	“絵具”(6.5.24) を用いて制作された“画像” (2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6787	A		単刷画	たんさつが	monotype	圧力をかけて“油絵”(2.3.1.12) の“転写画”(2.3.1.07) を作ることによって1枚だけ制作された“画像”(2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6788	A		挿入画	そうにゅうが	miniature (1)	“手稿”(2.3.1.01) 又は“本”(2.4.01) の中に描かれた“画像” (2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6789	A		細密画	さいみつが	miniature (2)	象げ(牙)又は“羊皮紙”(6.5.37) の上に極めて詳細に描かれた“画像”(2.1.17)。その多くは肖像画で、高さ50mmを超えるものはほとんどない。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6790	A		コラージュ	こらーじゅ	collage	種々の素材から構成された芸術的“事物”(1.1.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6791	A		印刷物	いんさつぶつ	print	感光性をもつ素材上への像の“コピー(2)”(2.1.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6792	A		刷り	すり	impression	“資料”(1.2.02) から同時に印刷されたすべての“コピー (2)” (2.1.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6793	A		試刷	ためしずり	proof	“印刷物”(2.3.2.01) の試験的又は念を入れた“刷り” (2.3.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6794	A		凸版印刷物	とっぱんいんさつぶつ	relief print	平板、ブロック、又は円筒の凸部だけに“インク”(6.5.22) を付着させることによって作成された“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6795	A		凹版印刷物	おうはんいんさつぶつ	intaglio print	平板又は円筒の凹部だけに“インク”(6.5.22) を付着させ、周囲の非印刷部分と区分することによって作成された“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6796	A		平版印刷物	へいばんいんさつぶつ	lithograph (1)	吸水性の石板又は特殊処理された1枚若しくは2枚合わせの金属板を用いて作成された“印刷物”(2.3.2.01)。印刷インクは、“インク” (6.5.22) への親和力又は反発力によって、像が描かれた部分だけに付着する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6797	A		スクリーン印刷物	すくりーんいんさつぶつ	screen print	液状色材が浸透できる印刷面をもつ絹又は合成繊維のガーゼを通すことによって作成された“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6798	A		孔版印刷物	こうはんいんさつぶつ	stencil print	型版の細孔に“インク”(6.5.22) を通すことによって、又は細孔の周囲部分にインク (6.5.22) を付着させることによって作成された印刷物 (2.3.2.01)。当該部分を網で保持す	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6799	A		ドットマトリクス印刷物	どっとまとりくすいんさつぶつ	dot matrix print	列又は行を構成する多数の印刷要素からなる印刷ヘッドを用い、電子的制御によってドッドを画像に構成することによって作成された“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6800	A		インクジェット印刷物	いんくじぇっといんさつぶつ	ink jet print	コンピュータ支援印刷設備を用い、字組みなど画像作成に関する指示に従って“紙” (6.5.01) の上に“インク”(6.5.22) を噴射することによって作成された“印刷物”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6801	A		レーザ印刷物	れーざいんさつぶつ	laser print	コンピュータ支援印刷装置を用い、字組みなど画像作成に関する指示に従ってレーザ光線を利用して“紙”(6.5.01) の上に粉末状トナーを焼き付けることによって作成された”印刷物” (2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6802	A		偽造防止印刷物	ぎぞうぼうしいんさつぶつ	security print	偽造を防止するために、複数の画像処理方法を組み合わせて、又は何らかの秘匿方法を用いて作成された“印刷物” (2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6803	A		板目木版画	いためもくはんが	woodcut	通常、木目に沿って切り出した木塊の表面から印刷しない部分を削りとり、画像を凸部とすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6804	A		金属凸版画	きんぞくとっぱんが	metal relief cut	金属板の表面から印刷しない部分を削りとり、画像を凸部とすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6805	A		金属エッチング凸版画	きんぞくえっちんぐとっぱんが	metal relief etching	金属板の表面から印刷しない部分を食刻し、画像を凸部とすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6806	A		レリーフハーフトーン印刷物	れりーふはーふとーんいんさつぶつ	relief half-tone print	大きさの異なるドットで濃淡のかい(諧)調を表現する“金属エッチング凸版画”(2.3.2.15)の一種。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6807	A		木口木版画	こぐちもくはんが	wood-engraving	木目を横切って切りだした木塊(木口木版)の表面から印刷しない部分を削りとり、画像を凸部とすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6808	A		リノリウム版画	りのりうむはんが	linocut	リノリウム板の表面から印刷しない部分を削りとり、画像を凸部とすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6809	A		凸版画	とっぱんが	engraving (1)	凹版から作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。板を手刀又は機械で削りとり、又は酸で食刻することにより、印刷部分を非印刷部分よりも低くする。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6810	A		銅版画	どうはんが	copper engraving	銅板又は鋼めっきした銅板を使用し、印刷部分を非印刷部分よりも低くすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6811	A		鋼板画	こうばんが	steel engraving	鋼板を使用し、印刷部分を非印刷部分よりも低くすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6812	A		彫版画	ちょうはんが	engraving (2)	金属板を使用し、印刷部分を道具で削りとって非印刷部分よりも低くすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6813	A		線刻版画	せんこくはんが	line engraving	金属板を使用し、印刷部分を彫刻刀(ビュラン、burin)で削りとって、非印刷部分よりも低くすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6814	A		メゾチント版画	めぞちんとはんが	mezzotint	金属板を使用し、はじめに全体を粗く(伝統的にはロッカーを用いて)仕上げ、次に印刷部分を磨いて(reburnishing)白くする(ハーフトーン効果を出す)ことによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6815	A		ドライポイント版画	どらいぽいんとはんが	dry point	金属板を使用し、印刷部分を鋼鉄針で引っかくことによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6816	A		エッチング、腐食版画	えっちんぐ、ふしょくはんが	etching	金属板を使用し、はじめに金属板を耐酸性の下塗りで覆ってから図柄を描き、次に酸を用いて程度に差をつけて食刻することにより印刷部分を非印刷部分より低くすることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6817	A		ソフト グラウンド エッチング	そふとぐらうんどえっちんぐ	soft ground etching	紙(6.5.01)の上張りをトレースして図柄を描き、次に酸を用いて程度に差をつけて食刻するエッチング。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6818	A		アクアチント版画	あくあちんとはんが	aquatint	金属板を使用し、はじめに樹脂粉又はアスファルトで金属板を覆い、部分的にそれらを除去したり補足するなどして図柄を作り、次に酸を用いて程度に差をつけて食刻して、金属板を露出させることによって作成された版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6819	A		石板印刷物	せきばんいんさつぶつ	lithograph (2)	石版を用いる“印刷物”(2.3.2.01)。像の絵柄を石版の上に直接、又は特別に調製した“紙”(6.5.01)からの転写画として描く。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6820	A		コロタイプ印刷物	ころたいぷいんさつぶつ	collotype print	金属板の版を用いる印刷物プリント(2.3.2.01)。はじめに重クロム酸塩処理をしたゼラチンで金属板の表面を覆い、反転させた写真陰画をのせて各部分が受ける光量に強弱をつけて、その強弱に応じてインキの付着量を加減する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6821	A		写真	しゃしん	photograph, photo	電磁放射線の作用により感光表面の上に、耐久性のある直接像を固定するプロセスによって作成された“画像”(2.1.17)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6822	A		銀板写真、ダゲレオタイプ	ぎんばんしゃしん、たげれおたいぷ	daguerreotype	銀を塗布した銅版に固定された陽画“写真”(2.3.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6823	A		カーボンプリント	かーぼんぷりんと	carbon print	はじめに写真陰画を通じて感光させたカーボンティッシュから、紙又はほかのフィルム媒体の上に転写させることによって作成された印刷物(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6824	A		コロジオンプリント	ころじおんぷりんと	collodion print	銀塩で感光性をもたせたコロジオンの“塗工”(6.3.01)に写真陰画を通じて感光させることによって作成された印刷物(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6825	A		卵白プリント	らんぱくぷりんと	albumen print	銀塩で感光性をもたせ、写真陰画を通して露光させた卵白“塗工”(6.3.01)によって作成された印刷物(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6826	A		ビトロタイプ	びとろたいぷ	vitrotype	コロジオン又は卵白を被覆したガラス板に形成された陽画“写真”(2.3.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6827	A		フェロタイプ	ふぇろたいぷ	ferrotype	コロジオンを被覆した黒色又は黒褐色エナメル鉄板に形成された陽画“写真”(2.3.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6828	A		パンノタイプ	ぱんのたいぷ	pannotype	コロジオンを被覆したオイルクロスに形成された陽画“写真”(2.3.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6829	A		フィルムストリップ	ふぃるむすとりっぷ	filmstrip	静止“画像”として投影するために写像(photographic image)を焼き付けた短い“映画フィルム”(2.3.3.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6830	A		映画フィルム	えいがふぃるむ	cinematographic film	透明材の細長い薄片又は電子的データ媒体に記録し、画面上に高速、かつ、連続的に投影又は再生することによって、自然で連続的な動きを錯覚させる一連の“画像”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6831	A		フォトコピー	ふぉとこぴー	photocopy	電磁照射の作用によって感光材の上又は感光材を通して制作された“ハードコピー”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6832	A		マイクロフォーム	まいくろふぉーむ	microform	マイクロ像を収めた写真“資料”(1.2.02)。通常は、写真フィルム。(JIS Z 6000参照)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6833	A		マイクロカード	まいくろかーど	microcard	不透明シートにマイクロ像を格子状に配列した“マイクロフォーム”(2.3.3.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6834	A		マイクロフィルム	まいくろふぃるむ	microfilm	ストリップ状又はロール状の“マイクロフォーム”(2.3.3.12)。(JIS Z 6000参照)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6835	A		マイクロフィッシュ	まいくろふぃっしゅ	microfiche	通常は格子状に配列した複数のマイクロ像(単一のマイクロ像のこともある)及び上部に見出し欄をもつ長方形シート状の“マイクロフォーム”(2.3.3.12)。(JIS Z 6000参照)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6836	A		ウルトラフィッシュ	うるとらふぃっしゅ	ultrafiche	縮小率90倍以上のマイクロ像をもつ“マイクロフィッシュ”(2.3.3.15)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6837	A		ホログラム	ほろぐらむ	hologram	コヒーレントな(可干渉距離の長い)光波の干渉によって得られた三次元写真表現。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6838	A		ディスク	でぃすく	disc, disk	平らな円盤状の“データ媒体”(1.1.4.02)。“情報(1)”(1.1.3.08)又は“情報(2)”(1.1.3.09)を表面に記録し、特別の装置を用いて読み取る。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6839	A		レコード	れこーど	gramophone record	一般にプラスチック材を用い、その上にら(螺)旋状に音声を記録し、それからの再生を可能とする“ディスク”(2.3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6840	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	一般にプラスチック材を用い、その上を磁気化された層で被覆し、“データ”(1.1.4.01)の記録を可能とするテープ。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6841	A		ビデオテープ	びでおてーぷ	videotape	“映画フィルム”(2.3.3.10)を記録し再生するための“磁気テープ”(2.3.4.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6842	A		磁気ディスク	じきでぃすく	magnetic disc	磁気化された層で被覆し、“データ”(1.1.4.01)の記録を可能とする平板状の“ディスク”(2.3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6843	A		フロッピーディスク	ふろっぴーでぃすく	diskette, floppy disc	曲げやすい材料で作り、標準化された大きさをもつ可搬性の“磁気ディスク”(2.3.4.05)。コンピュータで作成されたデジタル“データ”(1.1.4.01)を蓄積するために使用する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6844	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disc	レーザスキャナを使用して“データ”(1.1.4.01)を記録し、再生し、又は“検索(1)”(4.3.2.1.01)するための“ディスク”(2.3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6845	A		コンパクトディスク、CD	こんぱくとでぃすく、CD	compact disc	小型の“光ディスク”(2.3.4.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6846	A		CD-ROM	CD-ROM	CD-ROM	読み取り専用の“コンパクトディスク”(2.3.4.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6847	A		ファイル(2)	ふぁいる(2)	file (2)	一つの単位として蓄積され処理される“記録”(1.1.3.11)“集合”(1.1.1.03)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6848	A		画像表示	がぞうひょうじ	screen image	モニタ又はほかの類似装置で表示されるアナログ“データ”又はデジタル“データ”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6849	A		ホームページ	ほーむぺーじ	homepage	“データ”(1.1.4.01) の提供者によって供給された“情報(1)” (1.1.3.08) の“アクセスポイント”(4.2.1.1.12) として機能する“画像表示”(2.3.4.11)。“ハイパーテキスト”(4.3.1.1.19) “システム”(1.1.1.06) に基づく“インターネット”(1.1.4.14) 又は他のネットワーク上でアク	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6850	A		本	ほん	volume, book (2)	“製本”(6.8.01) によって一つの物理単位を形成する“リーフ” (2.4.21) の重なり。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6851	A		単行書	たんこうしょ	monograph, monographic publication	印刷形態又は非印刷形態の“出版物” (2.1.11)。一冊の“本” (2.4.01) として完了したものであっても、又は限定巻数で完了し若しくは完了することが意図されているものであっ	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6852	A		小冊子	しょうさっし	pamphlet	最大48ページの“単行書”(2.4.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6853	A		版	はん	edition	共通の性格によって特徴付けられる同一の“刷り” (2.3.2.02) のすべての“コピー (2)”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6854	A		章	しょう	chapter	ある“資料”(1.2.02) の中で番号又は標題が付けられた部分。章は一般にこれだけで独立しているが、その前後の章と関係付けられている。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6855	A		逐次刊行物	ちくじかんこうぶつ	serial, serial publication	印刷形態又は非印刷形態の“出版物”(2.1.11)であって、一般に番号又は日付を表示し、発行間隔にかかわりなく、期限を定めずに継続的に出版されるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6856	A		定期刊行物	ていきかんこうぶつ	periodical	“逐次刊行物”(2.4.06) であって、一般に同一号のなかでも、異なる号にわたっても多彩な内容と寄稿者をもつもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6857	A		そう(叢)書	そうしょ	series (1)	一群の“本”(2.4.01) から構成される“逐次刊行物” (2.4.06)。番号付けの有無は問わず、“本”(2.4.01) ごとにそれ自身の“タイトル”(4.2.1.4.01) をもつほか、全体として“共通タイトル” (4.2.1.4.09) をもち、期間を定めずに発行される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6858	A		雑誌	ざっし	journal (2)	特定の主題又は専門分野に関心をもつ読者を対象とした“逐次刊行物”(2.4.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6859	A		ニューズレター、会報	にゅーずれたー、かいほう	newsletter	ある団体が出版する“逐次刊行物”(2.4.06)であって、一般に団体構成員に対してその活動領域における最新の“情報(1)” (1.1.3.08) を提供するもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6860	A		新聞	しんぶん	newspaper	極めて頻繁な間隔で発行される“逐次刊行物”(2.4.06)。現在発生している出来事についての最新の“情報(1)”(1.1.3.08) を提供し、更に解説を加えることが多い。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6861	A		コラム	こらむ	column (1)	“逐次刊行物”(2.4.06) のなかに定常的に掲載される“記事” (2.4.24)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6862	A		当座資料	とうざしりょう	ephemera	特定又は一連の行事のために作成される“資料”(1.2.02) 。後日又は別の脈絡のために役立たせることを意図したものではない。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6863	A		パンフレット	ぱんふれっと	brochure	一時的性格をもつ“小冊子”(2.4.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6864	A		ポスター	ぽすたー	poster	壁面に掲示するために作成された片面の“印刷物”(2.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6865	A		漫画	まんが	cartoon (2), strip cartoon	物語を形成する“画像”(2.1.17)。一般に短い解説文を伴う。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6866	A		葉書	はがき	postcard	郵送によって伝達されるカード。片面に“画像”(2.1.17) を伴うことが多い。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6867	A		シートミュージック	しーとみゅーじっく	sheet music	“表紙”(6.8.13)のない印刷楽譜。一枚物かどうかは問わない。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6868	A		揺らん(籃)期本、インキュナブラ	ようらんきほん、いんきゅなぶら	incunabulum	ヨーロッパで活版印刷された“本”(2.4.01) で、西暦 1499 年12月 31 日までの日付をもつもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6869	A		別刷	べつずり	offprint	包括的な“出版物”(2.1.11) の一部であって、その印字面から作成され、当該“出版物”(2.1.11) とは独立に入手できる“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6870	A		リーフ、ペラ	りーふ、ぺら	leaf	“紙”(6.5.01) 又は類似の薄い素材のシートであって、その上に“情報(1)”(1.1.3.08) を記録した又は記録可能なもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6871	A		ページ	ぺーじ	page	“リーフ”(2.4.21) の片面。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6872	A		段	だん	column (2)	“ページ”(2.4.22) の縦区分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6873	A		記事	きじ	article	出版物の一部を構成する個別の“テキスト”(1.1.2.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6874	A		装丁	そうてい	binding (1), book binding	“中身”(6.8.02) の片側に取り付けた“表紙”(6.8.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6875	A		アーカイブズ(1)、史料	あーかいぶず(1)、しりょう	archives (1)	案件遂行の過程で機関又は個人によって集積され、永続的価値をもつために保存される、同一“出所”(4.1.1.10)の“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6876	A		文書館、アーカイブズ(2)	ぶんしょかん、あーかいぶず(2)	archives (2), record office	“アーカイブズ(1)”(3.1.0.1)の選定、“受入”(4.1.2.01)、“保存”(6.1.01)及び“利用可能性”(5.6.06)を担当する機関又は機関の部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6877	A		図書館資料、ライブラリ(1)	としょかんしりょう、らいぶらり(1)	library (1)	一定の“対象集団”(5.1.04)による“利用”(6.1.25)のために選定・保持される、“資料”(1.2.02)の組織化された“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6878	A		図書館、ライブラリ(2)	としょかん、らいぶらり(2)	library (2)	“図書館資料”(3.1.03)を集成・維持し、職員の“サービス”(5.5.01)によって利用に供する機関又は機関の部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6879	A		博物館資料、ミュージアム(1)	はくぶつかんしりょう、みゅーじあむ(1)	museum (1)	展示目的で永久的に保存される、文化的若しくは科学的価値のある人工物又は自然物の組織化された“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6880	A		博物館、ミュージアム(2)	はくぶつかん、みゅーじあむ(2)	museum (2)	“博物館資料”(3.1.05)の収集・保存及び展示を担当する機関又は機関の部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6881	A		コレクション(2)	これくしょん(2)	collection (2)	“出所”(4.1.1.10)とは無関係に、何らかの共通特性に基づき集められた“資料”(1.2.02)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6882	A		包括コレクション	ほうかつこれくしょん	comprehensive collection	特定の“主題分野”(1.1.1.07)、年代又は“出所”(4.1.1.10)に関しての完全性を目指す“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6883	A		機密文書コレクション	きみつぶんしょこれくしょ	classified collection	“限定アクセス記録”(7.3.5.04)の“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6884	A		専門コレクション	せんもんこれくしょん	special collection	“コレクション(2)”(3.1.07)の一部分であって、形式・種類・主題・時期又は地域に基づき集成され、別に管理されるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6885	A		参考用コレクション	さんこうようこれくしょん	reference collection, on-site collection	“アクセス”(1.1.3.13)が容易で、通常“貸出”(5.4.03)利用の対象外である“参考資料”(2.2.1.15)及びその他の利用頻度の高い“資料”(1.2.02)を主とする“コレクション(2)”(3.1.07)又は“コレクション(2)”(3.1.07)の一部。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6886	A		コレクション(3)	これくしょん(3)	collection (3)	手稿保存施設の“所蔵資料”(3.1.13)全体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6887	A		所蔵資料	しょぞうしりょう	holdings	情報ドキュメンテーション機関の“保管責任”(6.1.02)における“資料”(1.2.02)の全体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6888	A		基礎コレクション	きそこれくしょん	basic collection, basic level collection, basic	一つ又は複数の“主題分野”(1.1.1.07)について基礎的な“知識”(1.1.3.14)を供給する“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6889	A		保存コレクション	ほぞんこれくしょん	reserve collection (1), off-site collection, storage collection	“コレクション(2)”(3.1.07)の一部であって、“利用”(6.1.25)の頻度が低いために別途保管されるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6890	A		展示	てんじ	exhibition	芸術的、歴史的、科学的、又は技術的“資料”(1.2.02)を集めたものであって、教育的意図又は美学に基づき計画された順序に従い、来場者がその中を移動し通覧するもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6891	A		美術館(1)	びじゅつかん(1)	gallery	絵画、彫刻その他の美術作品を展示する機関又は機関の部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6892	A		情報センタ	じょうほうせんた	information centre	“情報サービス”(5.5.02)を提供する施設。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6893	A		ドキュメンテーションセンタ	どきゅめんてーしょんせん	documentation centre	“ドキュメンテーション”(1.2.01)機能を遂行する機関。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6894	A		クリアリングハウス	くりありんぐはうす	clearing-house	機関が作成又は集積した“資料”(1.2.02)の提供サービスを担当する部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6895	A		総合図書館	そうごうとしょかん	general library	一般に、すべての“主題分野”(1.1.1.07)を扱う“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6896	A		国立図書館	こくりつとしょかん	national library	国内で出版された“出版物”(2.1.11)の“原本”(2.1.05)を入手し、保存する特別の責任を負っている”図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6897	A		著作権登録図書館	ちょさくけんとうろくとしょかん	copyright library	国の“著作権納本”“図書館”(3.1.04)であって、“著作権”(7.2.2.02)が、指定“図書館”(3.1.04)への公式“寄託”(4.1.2.08)行為に依存するか、又は過去に依存していた図書	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6898	A		専門図書館	せんもんとしょかん	special library	一つの学問分野若しくは特定の“主題分野”(1.1.1.07)を対象とするか、若しくは特定の“利用者グループ”(5.1.08)のニーズに対応する“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6899	A		中核主題図書館	ちゅうかくしゅだいとしょかん	main subject library	国内で特定の“主題分野”(1.1.1.07)の“資料”(1.2.02)を収集する特別な責任を負っている“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6900	A		研究図書館	けんきゅうとしょかん	research library	特定の“主題分野”(1.1.1.07)での網羅的な調査が遂行可能な“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6901	A		中央図書館	ちゅうおうとしょかん	central library (1)	ある地域又は機関内にある他の“図書館”(3.1.04)に対し特定の“サービス”(5.5.01)を提供する“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6902	A		中央館	ちゅうおうかん	central library (2), main library	中央での管理のために必要な人員、資材などが配置され、また、通常最大で最も重要な“所蔵資料”(3.1.13)が配置される“図書館”(3.1.04)中の部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6903	A		分館	ぶんかん	branch library	“中央館”(3.2.08)以外の“図書館”(3.1.04)中の部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6904	A		寄託図書館	きたくとしょかん	deposit library	“資料”(1.2.02)が一定の条件のもとに寄託される“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6905	A		参考調査用図書館資料	さんこうちょうさようとしょかんしりょう	reference library	“利用”(6.1.25)が“図書館”(3.1.04)内に限定されている“図書館資料”(3.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6906	A		指定参考用コレクション	していさんこうようこれくしょん	reserve collection (2), reserve books collection	特定の行事のため、その参加者による“利用”(6.1.25)を主目的として、一定の主題に関し一時的に集成される“参考用コレクション”(3.1.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6907	A		貸出用コレクション	かしだしようこれくしょん	loan collection	館外“貸出”(5.4.03)が可能な“資料”(1.2.02)の“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6908	A		短期貸出用コレクション	たんきかしだしようこれくしょん	short loan collection	教科書又は教科書類似の基礎的“出版物”(2.1.11)の“貸出用コレクション”(3.2.13)で、通常複数の“コピー(2)”(2.1.14)があり、学生が限られた期間、“利用”(6.1.25)するも	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6909	A		公共図書館	こうきょうとしょかん	public library	地域社会を対象とする“総合図書館”(3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6910	A		移動図書館	いどうとしょかん	mobile library	“資料”(1.2.02)を直接利用者に提供するための特別な設備と備品を備えた車両などを使用する“図書館”(3.1.04)。“公共図書館”(3.2.15)の一部門となることがある。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6911	A		巡回文庫	じゅんかいぶんこ	travelling library	一つの“サービス”(5.5.01)提供場所に一時的に保有され、そこから次の場所へと、あらかじめ定められた日程に従って次々と送られる“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6912	A		私立ライブラリ	しりつらいぶらり	private library	個人又は法人団体が所有する“図書館資料”(3.1.03)又は“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6913	A		学術図書館	がくじゅつとしょかん	academic library	高等教育及び研究施設が設立し、運営する“図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6914	A		行政ライブラリ	ぎょうせいらいぶらり	administrative library	行政機関内に設立され、主として職員の“利用”(6.1.25)を目的とする“図書館資料”(3.1.03)又は”図書館”(3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6915	A		希書ライブラリ	きしょらいぶらり	rare book library, rare book collection	主に非常に古い時代のもの又は希少な“図書”(2.1.12)からなる“図書館資料”(3.1.03)又は“専門コレクション”(3.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6916	A		アートライブラリ	あーとらいぶらり	art library	創作美術品及び“複製物”(2.1.03)並びに関連文献の“コレクション(2)”(3.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6917	A		国立公文書館	こくりつこうぶんしょかん	national archives	主に国の中央行政機関を出所とする中央“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の保存を担当する“文書館”(3.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6918	A		地方文書館	ちほうぶんしょかん	regional archives	主に中間的レベルの行政機関を出所とする“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の保存を担当する“文書館”(3.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6919	A		地域文書館	ちいきぶんしょかん	local archives	主に市又はその他の地域行政機関を出所とする“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の保存を担当する“文書館”(3.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6920	A		機関アーカイブズ	きかんあーかいぶず	departmental archives	政府の部局若しくは省庁の施設、機関などの“アーカイブズ(1)”(3.1.01)又は“文書館”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6921	A		現用記録	げんようきろく	current records	部局、施設又は機関の現行業務遂行のために、経常的に利用される“記録”(1.1.3.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6922	A		半現用記録	はんげんようきろく	semicurrent records	現行業務遂行に、非経常的に必要とされる“記録”(1.1.3.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6923	A		非現用記録	ひげんようきろく	noncurrent records	“原局”(3.3.10)の現行業務遂行に既に必要がなくなった“記録”(1.1.3.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6924	A		公記録	こうきろく	public records (1)	“省庁などの行政機関が公務遂行上作成又は収受し、かつ、蓄積した“記録(1)”(1.1.3.11)又は“アーカイブズ(1)”(3.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6925	A		私文書	しぶんしょ	papers, personal papers, private archives	個人又は家族の“資料”(1.2.02)が自然に“集積”(4.1.2.05)したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6926	A		原局	げんきょく	office of origin, controlling agency	業務遂行の過程で一群の“記録”(1.1.3.11)が作成又は収受され、かつ、集積される機関又は機関の部署。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6927	A		部局文書管理担当	ぶきょくぶんしょかんりたんとう	departmental records office	“原局”(3.3.10)での“現用記録”(3.3.05)及び“半現用記録”(3.3.06)の管理を行う機関の部門。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6928	A		記録保管施設	きろくほかんしせつ	records centre	最終的な“処分”(4.1.1.24)までの期間に“半現用記録”(3.3.06)の低経費“保管(1)”(4.3.1.1.01)、維持及び“参照”(4.2.1.3.07)“利用”(6.1.25)を行うための施設。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6929	A		文書担当部門	ぶんしょたんとうぶもん	registry	“現用記録”(3.3.05)の作成及び管理を担当する機関の一部門。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6930	A		総合博物館	そうごうはくぶつかん	general museum	一般に、すべての“知識”(1.1.3.14)分野を対象とする“博物館”(3.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6931	A		国立博物館	こくりつはくぶつかん	national museum	国内の重要な“博物館資料”(3.1.05)の入手及び保全の責任を負っている“博物館”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6932	A		専門博物館	せんもんはくぶつかん	specialized museum	一つの主題に関してあらゆる側面を表現するか、特定の利用者群の要求を満たす“博物館”(3.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6933	A		地方博物館	ちほうはくぶつかん	provincial museum	ある地方又は同等の行政単位を対象として、その地方の重要な“博物館資料”(3.1.05)の入手及び保全の責任を負っている“総合博物館”(3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6934	A		地域博物館	ちいきはくぶつかん	regional museum	特定の地域を対象として、その地域の重要な“博物館資料”(3.1.05)の入手及び保全の責任を負っている“総合博物館”(3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6935	A		市立博物館	しりつはくぶつかん	city museum, municipal museum	市の地域社会を対象として、その市内の重要な“博物館資料”(3.1.05)の入手及び保全の責任を負っている“総合博物館”(3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6936	A		私立博物館	しりつはくぶつかん	private museum	個人又は法人団体が所有する“博物館資料”(3.1.05)又は“博物館”(3.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6937	A		大学博物館	だいがくはくぶつかん	university museum	大学が設立し運営する“博物館”(3.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6938	A		美術館(2)	びじゅつかん(2)	art museum, art gallery	創作美術品及び“複製物”(2.1.03)からなる“博物館資料”(3.1.05)又は“博物館”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6939	A		屋外博物館	おくがいはくぶつかん	open air museum	“コレクション(2)”(3.1.07)が一定の地理的範囲内で屋外に構成される“博物館”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6940	A		産業博物館	さんぎょうはくぶつかん	industrial museum, factory museum	設備及び装置ををそのまま保持した産業施設が主要な“博物館資料”(3.1.05)となっている“博物館”(3.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6941	A		蔵書構成	ぞうしょこうせい	collection development	“コレクション(2)”(3.1.07)の計画、設立、拡大及び維持にわたる情報ドキュメンテーション機関の応用分野。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6942	A		蔵書構成方針	ぞうしょこうせいほうしん	collection policy	情報ドキュメンテーション機関による、“蔵書構成”(4.1.1.01)に割り当てられた財源を有効に利用するための戦略の表明。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6943	A		蔵書管理	ぞうしょかんり	collection management	“蔵書構成方針”(4.1.1.02)を実行するための計画及び業務遂行。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6944	A		主題範囲	しゅだいはんい	subject scope	“蔵書構成方針”(4.1.1.02)に含まれる“主題分野”(1.1.1.07)の範囲。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6945	A		蔵書広範度	ぞうしょこうはんど	collection breadth	“主題範囲”(4.1.1.04)に関しての“コレクション(2)”(3.1.07)の網羅性の程度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6946	A		蔵書深度	ぞうしょしんど	collection depth	各“主題分野”(1.1.1.07)での“コレクション(2)”(3.1.07)の完全さの度合い。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6947	A		蔵書新鮮度	ぞうしょしんせんど	collection currency	“コレクション(2)”(3.1.07)内の“資料”(1.2.02)がどの程度最新の“知識”(1.1.3.14)を反映しているかの度合い。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6948	A		カバレージ	かばれーじ	coverage	“蔵書広範度”(4.1.1.05)、“蔵書深度”(4.1.1.06)及び“蔵書新鮮度”(4.1.1.07)から見た“コレクション(2)”(3.1.07)の完全さの度合い。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6949	A		カバー率	かばーりつ	coverage ratio	ある“主題分野”(1.1.1.07)の“資料”(1.2.02)の推定総体に関連しての“蔵書深度”(4.1.1.06)を表す比率。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6950	A		出所	しゅっしょ	provenance	過去に“記録(2)”(2.2.1.08)を作成、蓄積、維持及び利用した機関又は個人。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6951	A		査定	さてい	appraisal	“記録(2)”(2.2.1.08)の価値を決定し、それによってその資料の“処分”(4.1.1.24)又は他の“資料”(1.2.02)の“受入”(4.1.2.01)を決定するプロセス。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6952	A		一次的価値	いちじてきかち	primary value	“記録(2)”(2.2.1.08)又は“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の内容に基づく価値並びにそれらを発生させた業務の継続処理に役立つ価値。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6953	A		管理的価値	かんりてきかち	administrative value	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の管理業務遂行上の“一次的価値”(4.1.1.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6954	A		財政的価値	ざいせいてきかち	fiscal value, financial value	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の財務若しくは会計業務遂行上又は財務上の証拠物件としての“一次的価値”(4.1.1.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6955	A		法的価値	ほうてきかち	legal value	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の法律業務遂行上又は法的証拠物件としての”一次的価値”(4.1.1.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6956	A		二次的価値	にじてきかち	secondary value, archival value	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)が、その内容に基づき作成者以外の個人又は機関に対してもつ価値。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6957	A		証明価値	しょうめいかち	evidential value	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)がその作成者の出自、機能及び活動内容を証明する“二次的価値”(4.1.1.16)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6958	A		情報価値	じょうほうかち	informational value	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の、その“情報(1)”(1.1.3.08)内容に基づく、参照としての使用上、並びに研究上の“二次的価値”(4.1.1.16)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6959	A		内在的価値	ないざいてきかち	intrinsic value	“資料”(1.2.02)が“情報(1)”(1.1.3.08)源としての価値以外にもつ固有の価値。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6960	A		記録調査	きろくちょうさ	records survey	記録管理又は史料化処理の計画立案のために、その機関の“記録(2)”(2.2.1.08)に関する基本的“情報(1)”(1.1.3.08)を収集する過程。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6961	A		記録保存年限表	きろくほぞんねんげんひょう	records schedule, disposal schedule, retention	機関の“記録(2)”(2.2.1.08)を記載した“資料”(1.2.02)であって、“保存期間”(4.1.1.23)を確定するとともに“処分”(4.1.1.24)のための保証を与えるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6962	A		全庁記録保存年限表	ぜんちょうきろくほぞんねんげんひょう	general records schedule, general schedule, common records schedule	ある機関の中で幾つかの又はすべての部局若しくは組織管理単位に共通の、特別な“記録(2)”(2.2.1.08)の“シリーズ(2)”(4.3.1.1.16)を対象とする“記録保存年限表”(4.1.1.21)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6963	A		保存期間	ほぞんきかん	retention period	“記録(2)”(2.2.1.08)が情報ドキュメンテーション機関に移されるか、そうでない場合は廃棄されるまで、“原局”(3.3.10)又は“記録保管施設”(3.3.12)に保存されるべき期間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6964	A		処分	しょぶん	disposal, disposition	“記録(2)”(2.2.1.08)の“査定”(4.1.1.11)後、“保存期間”(4.1.1.23)を過ぎたものに対して取られる措置。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6965	A		サンプリング	さんぷりんぐ	sampling	“記録(2)”(2.2.1.08)の総体から、全体を表現する目的で、個別のものを選出する作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6966	A		有期限記録	ゆうきげんきろく	temporary record	査定の結果“二次的価値”(4.1.1.16)がないとされ、即時又は“保存期間”(4.1.1.23)後の“処分”(4.1.1.24)が承認された“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6967	A		廃棄凍結記録	はいきとうけつきろく	frozen record	特別な状況によって“保存期間”(4.1.1.23)の一時的な延長を必要とするために、“記録保存年限表”(4.1.1.21)に従って廃棄することができない“有期限記録”(4.1.1.26)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6968	A		資料収集、受入	しりょうしゅうしゅう、うけい	acquisition	情報ドキュメンテーション機関の“所蔵資料”(3.1.13)を確立、拡大又は更新する業務。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6969	A		受入資料	うけいれしりょう	accession	情報ドキュメンテーション機関の“所蔵資料”(3.1.13)に追加される“資料”(1.2.02)又は資	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6970	A		追加受入	ついかうけいれ	accrual	“文書館”(3.1.02)が既に所蔵する“シリーズ(2)”(4.3.1.1.16)への“受入資料”(4.1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6971	A		移管	いかん	transfer (2)	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の物理的“保管責任”(6.1.02)を、法的権利の変更の上又は変更なしに移し替える行為、並びに移管される“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6972	A		集積	しゅうせき	accumulation	“記録(2)”(2.2.1.08)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)が、あらゆる業務の処理で作成される過程、並びにその過程の結果。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6973	A		発注前調査	はっちゅうまえちょうさ	pre-order search	“資料”(1.2.02)の重複“受入”(4.1.2.01)を避けるための点検処置。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6974	A		著作権納本	ちょさくけんのうほん	legal deposit, copyright deposit	“資料”(1.2.02)が法に従って“著作権登録図書館”(3.2.03)の“所蔵資料”(3.1.13)に追加される過程、又はその過程を経た資料。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6975	A		寄託	きたく	deposit	“資料”(1.2.02)が情報ドキュメンテーション機関に、所有若しくは法的権利の変更なしに“移管”(4.1.2.04)されること、又はそのような移管による受入資料。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6976	A		交換	こうかん	exchange	物々交換又は物納による“資料収集”(4.1.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6977	A		寄贈	きぞう	donation, gift	金銭的な対価を支払わず、所有及び法的権利を変更する“資料収集”(4.1.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6978	A		入手依頼	にゅうしゅいらい	request (1)	“資料”(1.2.02)の“交換”(4.1.2.09)、“寄贈”(4.1.2.10)又は“寄託”(4.1.2.08)による入手を求める行為。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6979	A		手配中資料	てはいちゅうしりょう	desiderata	特定利用者の“請求”(5.1.11)によって、情報ドキュメンテーション機関が探し求める”資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6980	A		発注番号	はっちゅうばんごう	acquisition number	情報ドキュメンテーション機関が、発注に当たって“資料”(1.2.02)又は資料群識別のため割り当てる個別の番号。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6981	A		資料検査	しりょうけんさ	collating	“資料”(1.2.02)が完全で、製作上の“欠陥”(6.1.16)がないことを確かめる点検処置。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6982	A		原本証明	げんぽんしょうめい	authentication	“資料”(1.2.02)が真正であることを証明する行為。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6983	A		受入登録	うけいれとうろく	accessioning	“受入資料”(4.1.2.02)を“コレクション(2)”(3.1.07)の“所蔵資料”(3.1.13)に統合する操	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6984	A		受入原簿	うけいれげんぼ	accession register	すべての“受入資料”(4.1.2.02)を受入日によって経時的“順序”(1.1.1.08)に配列した原	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6985	A		受入リスト	うけいれりすと	accession list	情報ドキュメンテーション機関の“所蔵資料”(3.1.13)に最近追加された“資料”(1.2.02)の	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6986	A		移管リスト	いかんりすと	transfer list	一回ごとの“移管”(4.1.2.04)で対象となる“記録(2)”(2.2.1.08)又は“アーカイブズ(1)”(3.1.01)のリスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6987	A		受入番号	うけいればんごう	accession number	“受入原簿”(4.1.2.17)中で“資料”(1.2.02)又は資料群に永続的識別のため割り当てられる、個別の番号又は“コード(2)”(1.1.4.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6988	A		押印	おういん	stamping	“資料”(1.2.02)がある機関若しくは個人の所有であるか、又は法的“保管責任”(6.1.02)の対象であることを示すために、その資料又は資料の“リーフ”(2.4.21)の上に、識別用“証印”(2.2.1.36)を行う作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
6989	A		在架寿命	ざいかじゅみょう	shelf life (1)	“資料”(1.2.02)が情報ドキュメンテーション機関の利用者に公開される理想的な期間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6990	A		資料の間引き	しりょうのまびき	weeding	あらかじめ確定した基準に基づき“コレクション(2)”(3.1.07)又は“集積”(4.1.2.05)から個別の“資料”(1.2.02)を除去する作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6991	A		重複資料	ちょうふくしりょう	duplicate	“コレクション(2)”(3.1.07)に既に存在する“資料”(1.2.02)の“コピー(1)”(2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6992	A		複本	ふくほん	added copy	“コレクション(2)”(3.1.07)用に収集又は保持される“重複資料”(4.1.2.24)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6993	A		継続入手資料リスト	けいぞくにゅうしゅしりょうりすと	continuation record	継続注文によって受入れる、分冊で刊行される全“資料”(1.2.02)のリスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6994	A		未着資料ファイル	みちゃくしりょうふぁいる	dead file	発注又は入手依頼したが未着の“資料”(1.2.02)に関する“情報(1)”(1.1.3.08)を格納した“資料収集”“ファイル(1)”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6995	A		再査定	さいさてい	reappraisal	どの資料を受入解除すべきか決定するために、“文書館”(3.1.02)の“所蔵資料”(3.1.13)又はその一部に対して行う再評価。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6996	A		除籍、受入解除	じょせき、うけいれかいじょ	de-accessioning	“コレクション(2)”(3.1.07)又は“集積”(4.1.2.05)からの“資料”(1.2.02)削除。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6997	A		流出	りゅうしゅつ	alienation	“記録(2)”(2.2.1.08)又は“文書館”(3.1.02)の管理者又は所有者による、管理・所有の法的権利をもたない者への資料“移管”(4.1.2.04)又は“保管責任”(6.1.02)喪失。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6998	A		除籍簿	じょせきぼ	de-accession register, discards register	“コレクション(2)”(3.1.07)又は“集積”(4.1.2.05)から削除された”資料”(1.2.02)の“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
6999	A		流出史料	りゅうしゅつしりょう	removed archives, migrated archives	公式“保管責任”(6.1.02)の対象でなくなったか、又はもともと資料が蓄積されていた国から流出した“アーカイブズ(1)”(3.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7000	A		受入取り消し	うけいれとりけし	withdrawal	“文書館”(3.1.02)の物理的・法的“保管責任”(6.1.02)から、”原局”(3.3.10)若しくはその継承者への、又は“寄託”(4.1.2.08)の場合は所有者への、“資料”(1.2.02)返還。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7001	A		資料返還請求	しりょうへんかんせいきゅ	replevin	所有権を主張する機関又は個人による、“資料”(1.2.02)占有回復のための法的行為。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7002	A		記述	きじゅつ	description (1), document description	“資料”(1.2.02)の識別及び管理を確保するための、資料“データ”の把握・分析・組織化、記録などの作業又は作業結果。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7003	A		書誌記述	しょしきじゅつ	bibliographic description	主に“資料”(1.2.02)内の特定情報源から転写した“データ”(1.1.4.01)に基づき、所定の規則に従って行う“書誌単位”(4.2.1.1.08)の“記述”(4.2.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7004	A		目録作業	もくろくさぎょう	cataloguing, cataloging	“目録”(4.3.2.1.06)の作成及び維持。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7005	A		出版時目録	しゅっぱんじもくろく	cataloguing in publication, CIP	“資料”(1.2.02)発行時、又は場合によって発行以前に、“出版者”(1.3.14)又は書誌作成機関によって作成される“記述”(4.2.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7006	A		分担目録作業	ぶんたんもくろくさぎょう	shared cataloguing	作業の重複を避けるために、複数の情報ドキュメンテーション機関によって行われる“目録作業”(4.2.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7007	A		中央目録作業	ちゅうおうもくろくさぎょう	centralized cataloguing	単一の指定書誌作成機関又は”図書館”(3.1.04)によって行われる“目録作業”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7008	A		記述単位	きじゅつたんい	unit of description	一体として処理される“資料”(1.2.02)及びその部分若しくは集合体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7009	A		書誌単位	しょしたんい	bibliographic unit	“書誌記述”(4.2.1.1.02)に用いられる“記述単位”(4.2.1.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7010	A		書誌要素	しょしょうそ	bibliographic element	“書誌記述”(4.2.1.1.02)に用いられる最小の論理的“データ”(1.1.4.01)単位。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7011	A		エントリ	えんとり	entry	“資料”(1.2.02)の“記録”(1.1.3.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7012	A		書誌的記録	しょしてききろく	bibliographic entry	“書誌記述”(4.2.1.1.02)を含む“エントリ”(4.2.1.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7013	A		アクセスポイント	あくせすぽいんと	access point	“書誌的記録”(4.2.1.1.11)の探索及び識別に使用できる、すべての“要素”(1.1.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7014	A		記述エントリ	きじゅつえんとり	descriptive entry	“資料”(1.2.02)の詳細な“記述”(4.2.1.1.01)を伴う“書誌的記録”(4.2.1.1.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7015	A		目録エントリ	もくろくえんとり	catalogue entry	“目録”(4.3.2.1.06)中の“エントリ”(4.2.1.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7016	A		基本エントリ	きほんえんとり	main entry	最も完全度の高い“書誌記述”(4.2.1.1.02)がなされている“書誌的記録”(4.2.1.1.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7017	A		典拠レコード	てんきょれこーど	authority record	“典拠ファイル”(4.2.1.1.21)中の“エントリ”(4.2.1.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7018	A		書式(2)	しょしき(2)	format (2)	“記述”(4.2.1.1.01)要素を、それらに対応する“コード(2)”(1.1.4.07)及び適用規則とともに、所定の順序に配列したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7019	A		国際標準書誌記述、ISBD	こくさいひょうじゅんしょしきじゅつ、ISBD	international standard bibliographic description, ISBD	国際的に標準化された“書誌記述”規則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7020	A		国際標準記録史料記述、ISAD	こくさいひょうじゅんきろくしりょうきじゅつ、ISAD	international standard for archival description, ISAD	国際的に標準化された記録史料の“記述”規則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7021	A		典拠コントロール	てんきょこんとろーる	authority control	“検索システム”(4.3.2.1.02)において、“資料”(1.2.02)に対する“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)の割り当てを確実に標準化する作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7022	A		典拠ファイル	てんきょふぁいる	authority file	“用語辞典”(2.2.1.17)において、各種“名称”(1.1.2.13)などの“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)を標準化した参照用リスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7023	A		マークアップ言語	まーくあっぷげんご	markup language	機械可読“テキスト”の種々な要素の特性を識別する“コーディング”(1.1.4.08)“システム”(1.1.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7024	A		SGML	SGML	standard generalized markup language, SGML	“マークアップ言語”(4.2.1.1.22)応用の規格。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7025	A		HTML	HTML	hypertext markup language, HTML	選択“アクセスポイント”をとおして“資料”間リンクを可能にする“SGML”(4.2.1.1.23)応用言語。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7026	A		URI	URI	universal resource identifier, URI	“インターネット”(1.1.4.14)上の“資料”(1.2.02)の単一“コピー(1)”(2.1.06)又は他の資源のアドレスを識別する“コード(1)”(1.1.4.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7027	A		URL	URL	universal resource locator, URL	“インターネット”(1.1.4.14)上で、“資料”(1.2.02)の単一“コピー(1)”(2.1.06)又はあらゆる資源若しくは“サービス”(5.5.01)を識別する“コード(1)”(1.1.4.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7028	A		URN	URN	universal resource name, URN	“インターネット”(1.1.4.14)上での、ある“サービス”(5.5.01)又は資源を識別する“コード(1)”(1.1.4.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7029	A		国際標準図書番号、ISBN	こくさいひょうじゅんとしょばんごう、ISBN	international standard book number, ISBN	“図書”(2.1.12)又は他の“単行書”(2.4.02)の“タイトル”(4.2.1.4.01)又は“版”(2.4.04)を識別する国際標準“コード”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7030	A		国際標準逐次刊行物番号、ISSN	こくさいひょうじゅんちくじかんこうぶつばんごう、	international standard serial number, ISSN	“逐次刊行物”(2.4.06)を識別する国際標準“コード”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7031	A		国際標準楽譜番号、ISMN	こくさいひょうじゅんがくふばんごう、ISMN	international standard music number, ISMN	楽譜を識別する国際標準“コード”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7032	A		ISRC	ISRC	international standard recording code, ISRC	音楽録音を識別する国際標準“コード”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7033	A		ISFN	ISFN	international standard film number, ISFN	“映画フィルム”(2.3.3.10)を識別する国際標準“コード”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7034	A		ISRN	ISRN	international standard technical report number, ISRN	技術報告書を識別する国際標準“コード”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7035	A		バーコード	ばーこーど	bar code	多様な種類の物品の識別に国際的に使用され、また情報ドキュメンテーション機関でも用いられる、線条で構成される“コーディング”“システム”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7036	A		EAN	EAN	European article number, EAN	主にヨーロッパで商品識別に使用され、“図書館”(3.1.04)でも用いられる標準“コード”。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7037	A		標目	ひょうもく	heading	“情報”検索“システム”(4.3.2.1.02)において、“記述”(4.2.1.1.01)を見出すための最初の“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7038	A		著者標目	ちょしゃひょうもく	author heading	“著者”(4.2.1.5.03)の“名称”(1.1.2.13)に基づく“標目”(4.2.1.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7039	A		形式標目	けいしきひょうもく	form heading	同じ書誌形態の複数“資料”(1.2.02)の“エントリ”(4.2.1.1.10)を並置するための“標目”(4.2.1.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7040	A		件名標目	けんめいひょうもく	subject heading	内容が類似した“資料”(1.2.02)の“エントリ”(4.2.1.1.10)を並置するための“標目”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7041	A		副標目	ふくひょうもく	subheading	標目を更に細分するために用いられる“標目”(4.2.1.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7042	A		標目指示、トレーシング	ひょうもくしじ、とれーしんぐ	tracing (2)	“資料”(1.2.02)の複出“エントリ”(4.2.1.1.10)のため、すべての代替及び関連“標目”を列挙する作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7043	A		参照	さんしょう	reference	“目録”(4.3.2.1.06)又は“書誌”(4.3.2.1.07)において、関連“資料”(1.2.02)が見出される可能性のあるほかの“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)を提示する行為。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7044	A		タイトル	たいとる	title	“資料”(1.2.02)の冒頭にあって資料を識別し、また通常その資料を他の資料と区別する	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7045	A		本タイトル	ほんたいとる	title proper	“資料”(1.2.02)の主要なタイトルと認識される“タイトル”(4.2.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7046	A		副タイトル	ふくたいとる	subtitle	通常、しばしば故意にあいまいにされている“本タイトル”(4.2.1.4.02)の意味を説明する目的で“タイトル”(4.2.1.4.01)に追加される語句。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7047	A		並列タイトル	へいれつたいとる	parallel title	ほかの“言語”(1.1.2.01)又は文字による“タイトル”(4.2.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7048	A		原タイトル、原書名	げんたいとる、げんしょめ	original title	“資料”(1.2.02)の原“版”(2.4.04)の“タイトル”(4.2.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7049	A		統一タイトル	とういつたいとる	uniform title	種々のタイトルにより知られる“資料”(1.2.02)の“エントリ”(4.2.1.1.10)を並置するための標準“タイトル”(4.2.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7050	A		キータイトル	きーたいとる	key title	“ISSN”ネットワークが付与した“逐次刊行物”(2.4.06)の固有“タイトル”(4.2.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7051	A		別タイトル	べつたいとる	alternative title	“資料”(1.2.02)の“本タイトル”(4.2.1.4.02)の最初の部分を言い換える形で続く第二の部	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7052	A		共通タイトル	きょうつうたいとる	common title	一つの“集合”(1.1.1.03)の部分となる幾つかの“書誌単位”(4.2.1.1.08)に共通な“タイトル”(4.2.1.4.01)部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7053	A		集合タイトル、総合タイトル	しゅうごうたいとる、そうごうたいとる	collective title	幾つかの“記述単位”(4.2.1.1.07)に共通な“タイトル”(4.2.1.4.01)又はタイトルの一部。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7054	A		略タイトル、略書名	りゃくたいとる、りゃくしょめい	half title	“リーフ”(2.4.21)の表ページ上で“標題紙”(2.2.2.01)の前にある、通常短縮された”タイトル”(4.2.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7055	A		欄外タイトル	らんがいたいとる	running title	各“テキスト”(1.1.2.04) “ページ”(2.4.22)に反復される、通常短縮された”タイトル”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7056	A		責任表示	せきにんひょうじ	statement of responsibility	“著者”(4.2.1.5.03)並びにほかの寄稿者の氏名並びに“資料”作成上の役割りの明示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7057	A		著者表示	ちょしゃひょうじ	author statement	“資料”(1.2.02)の“著者”の氏名の表示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7058	A		著者、著作者	ちょしゃ、ちょさくしゃ	author	“資料”(1.2.02)の作成責任を負うと考えられる個人。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7059	A		筆名	ひつめい	pseudonym	“著者”(4.2.1.5.03)が“資料”(1.2.02)の出版に使う本名以外の“名称”(1.1.2.13)又はほかの表現。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7060	A		著者所属機関	ちょしゃしょぞくきかん	author affiliation	“著者”(4.2.1.5.03)が所属する団体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7061	A		団体著者	だんたいちょしゃ	corporate author	“資料”(1.2.02)の作成責任を負うと考えられる団体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7062	A		編集者	へんしゅうしゃ	editor	“出版物”(2.1.11)に対して知的責任を負う団体又は個人。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7063	A		無著者名資料	むちょしゃめいしりょう	anonymous document	著者が不明であるなど、著者名が表示されていない“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7064	A		版表示	はんひょうじ	statement of edition	“資料”(1.2.02)の“版”(2.4.04)又は“刷り”(2.3.2.02)に関する“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7065	A		出版事項	しゅっぱんじこう	imprint	出版地、“出版者”(1.3.14)並びに出版及び“印刷”年に関する“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7066	A		形態的記述	けいたいてきじゅつ	physical description	“資料”(1.2.02)の大きさ・媒体・“挿図”(2.1.18)、附属物及び関連“データ”(1.1.4.01)の“記述”(4.2.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7067	A		丁番号付け	ちょうばんごうづけ	foliation	“資料”(1.2.02)の“リーフ”(2.4.21)に番号を付ける作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7068	A		ページ付け	ページづけ	pagination	“資料”(1.2.02)の“ページ”(2.4.22)に番号を付ける作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7069	A		シリーズ表示	しりーずひょうじ	series statement	“資料”(1.2.02)が属している“そう(叢)書”(2.4.08)の名称表示。しばしば対応するISSN(4.2.1.2.02)も表示される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7070	A		注記	ちゅうき	notes	“記述”(4.2.1.1.01)の非公式部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7071	A		人名注記	じんめいちゅうき	biographical note	個人の経歴についての“注記”(4.2.1.5.15)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7072	A		主題分析	しゅだいぶんせき	content analysis, subject analysis	“資料”(1.2.02)の内容要素及びその相互の“関係”(1.1.1.05)を決定するための分析。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7073	A		内容記述	ないようきじゅつ	content description	“資料”(1.2.02)から取られた“データ”(1.1.4.01)に基づき、“索引言語”(4.2.2.1.04)から採られた“索引語”(4.2.2.1.06)又は“分類記号”(4.2.2.4.17)を付与することによって行われる“記述”(4.2.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7074	A		統制語い(彙)	とうせいごい	controlled vocabulary	“索引作業”(4.2.2.7.01)のために使用が認められた“語(1)”(1.1.2.07)又は句のリスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7075	A		索引言語	さくいんげんご	indexing language	“資料”(1.2.02)の内容又は形式を特徴付けるために作成された“人工言語”(1.1.2.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7076	A		キーワード	きーわーど	key word	“資料”(1.2.02)の内容を表現するためにその“タイトル”(4.2.1.4.01) 又は“テキスト”(1.1.2.04)から取られた重要“語(1)”(1.1.2.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7077	A		索引語	さくいんご	index term	“索引”(4.3.2.1.08)に収載される“語(1)”(1.1.2.07)又は句。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7078	A		抄録	しょうろく	abstract	“資料”(1.2.02)の表現であって、知的手順により作成され、その資料の内容の概要を示	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7079	A		注釈	ちゅうしゃく	annotation	“資料”(1.2.02)の短い“内容記述”(4.2.2.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7080	A		指示的抄録	ししてきしょうろく	indicative abstract	“資料”(1.2.02)の内容及び形式の概念を与える短い“抄録”(4.2.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7081	A		報知的抄録	ほうちてきしょうろく	informative abstract	“資料”(1.2.02)の内容を、その“テキスト”(1.1.2.04)全体を読むべきか否かを決定するのに十分な程度に説明した“抄録”(4.2.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7082	A		要約	ようやく	summary	“資料”(1.2.02)をその線的順序に従って表現したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7083	A		抜粋	ばっすい	extract	“資料”(1.2.02)を、その中から選択した“語(1)”(1.1.2.07)、句又は文に基づいて簡潔に表現したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7084	A		管理履歴	かんりりれき	administrative history	“文書館”(3.1.02)の“探索補助手段”(4.3.2.1.03)の一部であって、その“所蔵資料”(3.1.13)を作成又は集積した機関の履歴を示すもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7085	A		手引	てびき	guide (2)	情報ドキュメンテーション機関の“所蔵資料”(3.1.13)のための、広範又は一般的な“探索補助手段”(4.3.2.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7086	A		所在索引	しょざいさくいん	location index, location register	“アーカイブズ(1)”(3.1.01)及び“記録(2)”(2.2.1.08)の一般的“探索補助手段”(4.3.2.1.03)であって、それらの所在を示す“索引”(4.3.2.1.08)又は“登録簿”(7.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7087	A		蔵書目録	ぞうしょもくろく	inventory	“クラス”(4.2.2.4.03)又は“シリーズ”(4.3.1.1.16)を主要な“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)とし、しばしば“管理履歴”(4.2.2.2.07)及び“所蔵資料”(3.1.13)の各部の詳細を示した、“アーカイブズ(1)”(3.1.01)又は“記録(2)”(2.2.1.08)の“探索補助手段”(4.3.2.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7088	A		分類	ぶんるい	classification	“概念”(1.1.1.01)の“クラス”(4.2.2.4.03)又はその下位区分への帰属を示すことにより、概念間の“一般特殊関係”(4.2.2.5.02)又はそのほかの“関係”(1.1.1.05)を表現した“記号”(1.1.2.11)の配列。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7089	A		書誌分類	しょしぶんるい	bibliographic classification, library classification, book classification	“図書館”(3.1.04)が各々の“本”(2.4.01)に、ただ一つの“分類記号”(4.2.2.4.17)を付与できるように設計された普遍的“分類”(4.2.2.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7090	A		単一題目分類法	たんいつだいもくぶんるいほう	monothetic classification	性質の全面的類似を“クラス”(4.2.2.4.03)への帰属の基準とする“分類”法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7091	A		複数題目分類法	ふくすうだいもくぶんるい	polythetic classification	性質の部分的類似を“クラス”(4.2.2.4.03)への帰属の基準とする“分類”法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7092	A		排他的分類法	はいたてきぶんるいほう	disjunct classification	各“記述単位”(4.2.1.1.07)が1つの“クラス”(4.2.2.4.03)にだけ帰属し得る“分類”法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7093	A		重複分類法	ちょうふくぶんるいほう	conjunct classification	“記述単位”(4.2.1.1.07)が複数の“クラス”(4.2.2.4.03)に帰属し得る“分類”法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7094	A		分類体系	ぶんるいたいけい	classification system	割り付けられた“分類記号”(4.2.2.4.17)をもつ“索引言語”(4.2.2.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7095	A		分類作業	ぶんるいさぎょう	classifying	“分類体系”(4.2.2.4.01)から取られた“クラス”(4.2.2.4.03)の“記号”(1.1.2.11)を“資料”(1.2.02)に付与すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7096	A		クラス	くらす	class	少なくとも一つの特性を共有する“要素”(1.1.1.04)の“集合”(1.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7097	A		メインクラス	めいんくらす	main class	“分類体系”(4.2.2.4.01)の一次的区分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7098	A		サブクラス	さぶくらす	subclass	“クラス”(4.2.2.4.03)の二次的区分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7099	A		連鎖	れんさ	chain	階層の最上位を除いて、その各々が上位の類に従属する一連の“クラス”(4.2.2.4.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7100	A		カテゴリー	かてごりー	category, broad facet	一般的分類体系の“メインクラス”(4.2.2.4.04)の、又は専門的“分類体系”(4.2.2.4.01)の一次区分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7101	A		区分原理	くぶんげんり	principle of division	“クラス”(4.2.2.4.03)への分割のために用いられる基準。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7102	A		一般概念	いっぱんがいねん	genus, generic concept	共通の性質をもつことによってグループを形成する二つ以上の“事物”(1.1.1.02)に対応する“概念”(1.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7103	A		種概念	しゅがいねん	species, specific concept	“一般特殊関係”(4.2.2.5.02)における、より狭い“概念”(1.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7104	A		ファセット	ふぁせっと	facet, array	一つの分割基準を適用して得られる“クラス”(4.2.2.4.03)又は“サブクラス”(4.2.2.4.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7105	A		サブファセット	さぶふぁせっと	subfacet	“ファセット”(4.2.2.4.11)内の一つの“フォーカス”(4.2.2.4.13)を分割して得られる“サブクラス”(4.2.2.4.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7106	A		フォーカス	ふぉーかす	focus	“ファセット”(4.2.2.4.11)を構成する“クラス”(4.2.2.4.03)又は“サブクラス”(4.2.2.4.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7107	A		列挙順序	れっきょじゅんじょ	citation order, facet	複合主題において、各種の“ファセット”(4.2.2.4.11)が提示される“順序”(1.1.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7108	A		標準列挙順序	ひょうじゅんれっきょじゅんじょ	standard citation order	ロンドンのClassification Research Group (CRG) が確立した、“ファセット”(4.2.2.4.11)分析に基づく“列挙順序”(4.2.2.4.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7109	A		倒置の原則	とうちのげんそく	principle of inversion	“列挙順序”(4.2.2.4.14)と“ファイリング”(4.3.1.2.01)の順序との間の倒置“関係”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7110	A		分類記号	ぶんるいきごう	notation (2), notation system	“クラス”(4.2.2.4.03)の間の“関係”(1.1.1.05)を表現し“分類体系”(4.2.2.4.01)に定められた順序を維持する順序的“記号”(1.1.2.11)の“体系”(1.1.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7111	A		(分類記号の)基本要素	(ぶんるいきごうの)きほんようそ	base	“分類記号”(4.2.2.4.17)の“文字”(1.1.2.09) “集合”(1.1.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7112	A		(分類記号の)表現性	(ぶんるいきごうの)ひょうげんせい	expressiveness	“クラス”(4.2.2.4.03)“記号”(1.1.2.11)が合成若しくは“関係”(1.1.1.05)、又は記憶に便利な略号の形をとることによって、利用者が、追加的な“情報(1)”(1.1.3.08)を得られるような“分類記号”(4.2.2.4.17)の“質”(1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7113	A		(分類記号の)許容性	(ぶんるいきごうの)きょようせい	hospitality	“分類体系”(4.2.2.4.01)において、新しい主題を容易に包含し得るような“分類記号”(4.2.2.4.17)の“質”(1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7114	A		記号シフト構成法	きごうしふとこうせいほう	retroactive notation	“ファセット”(4.2.2.4.11)間の“関係”(1.1.1.05)を、一つの“文字”(1.1.2.09)から次の低位の文字へのシフトによって示す“クラス”(4.2.2.4.03)”記号”(1.1.2.11)の構成法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7115	A		列挙型分類体系	れっきょがたぶんるいたいけい	enumerative classification system	“概念”(1.1.1.01)の間の“形式関係”(4.2.2.5.06)が、あらかじめ定められていることを特徴とする“分類体系”(4.2.2.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7116	A		ファセット分類体系	ふぁせっとぶんるいたいけい	faceted classification system	“概念”(1.1.1.01)の間の“形式関係”(4.2.2.5.06)が、“索引作業”(4.2.2.7.01)又は“分類作業”(4.2.2.4.02)の際に定められることを特徴とする“分類体系”(4.2.2.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7117	A		主表	しゅひょう	main table	“分類体系”(4.2.2.4.01)において、“メインクラス”(4.2.2.4.04)及びその固有の下位区分を含む部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7118	A		補助表	ほじょひょう	auxiliary table	“分類体系”(4.2.2.4.01)において、二つ以上の“メインクラス”(4.2.2.4.04)に適用できる一般的下位区分を含む部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7119	A		意味論的関係	いみろんてきかんけい	semantic relation	“概念”(1.1.1.01)間、及び“クラス”(4.2.2.4.03) “記号”(1.1.2.11)とその“意味”(1.1.3.04)との間の“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7120	A		一般特殊関係	いっぱんとくしゅかんけい	generic relation	二つの“概念”(1.1.1.01)の一方が他方の内包をすべて含み、加えて少なくとも一つの限定的特性をもつときの、両概念の“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7121	A		全体部分関係	ぜんたいぶぶんかんけい	partitive relation	二つの“概念”(1.1.1.01)の一方がある“事物”(1.1.1.02)の全体を表し、他方がその一部を表すときの、両概念の“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7122	A		関連関係、連想関係	かんれんかんけい、れんそうかんけい	associative relation	二つの“概念”(1.1.1.01)が、経験に基づく非階層的な主題的結び付きをもつときの、両概念の“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7123	A		概念実現値関係	がいねんじつげんちかんけい	instance relation	一般“概念”(1.1.1.01)と個別的概念との“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7124	A		形式関係	けいしきかんけい	formal relation	“索引言語”(4.2.2.1.04)における“用語”(1.1.2.12)間の“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7125	A		分析的関係	ぶんせきてきかんけい	analytic relation	“索引言語”(4.2.2.1.04)の“表”(2.2.1.32)又は“用語”(1.1.2.12)リストにおいて明示される“形式関係”(4.2.2.5.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7126	A		階層関係	かいそうかんけい	hierarchical relation	二つの“概念”(1.1.1.01)の一方が他方に従属するときの、両概念の”形式関係”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7127	A		合成関係	ごうせいかんけい	synthetic relation	規則の適用によって確立される“概念”(1.1.1.01)間の“形式関係”(4.2.2.5.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7128	A		相関係	そうかんけい	phase relation	“カテゴリー”(4.2.2.4.07)間及び“ファセット”(4.2.2.4.11)間で暗示されるもの以外の、二つ以上の“メインクラス”(4.2.2.4.04)の間の“形式関係”(4.2.2.5.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7129	A		ファセット内関係	ふぁせっとないかんけい	intrafacet relation	“ファセット”(4.2.2.4.11)内の“フォーカス”(4.2.2.4.13)間の“関係”(1.1.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7130	A		ファセット間関係	ふぁせっとかんかんけい	interfacet relation	異なる“ファセット”(4.2.2.4.11)に属する“フォーカス”(4.2.2.4.13)の間の“形式関係”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7131	A		同等関係	どうとうかんけい	equivalence relation	異なる“概念”(1.1.1.01)が同一の“優先語”(4.2.2.6.04)又は“クラス”(4.2.2.4.03) “記号”(1.1.2.11)で表されるときの“形式関係”(4.2.2.5.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7132	A		シソーラス	しそーらす	thesaurus	“同等語”(4.2.2.6.11)、相互関係及び適用規則を含む“統制語い”(4.2.2.1.03)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7133	A		上位語	じょういご	broader term, BT	“シソーラス”(4.2.2.6.01)の“索引語”(4.2.2.1.06)であって、“階層関係”(4.2.2.5.08)において、それより下位にあるほかの索引語より広い“概念”(1.1.1.01)を表すもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7134	A		下位語	かいご	narrower term, NT	“シソーラス”(4.2.2.6.01)の“索引語”(4.2.2.1.06)であって、“階層関係”(4.2.2.5.08)において、それより上位にあるほかの索引語より特定的な“概念”(1.1.1.01)を表すもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7135	A		優先語、ディスクリプタ	ゆうせんご、でぃすくりぷた	preferred term, descriptor	“シソーラス”(4.2.2.6.01)の“索引語”(4.2.2.1.06)であって、関連する等価な見出語よりも優先して用いられるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7136	A		最上位語	さいじょういご	top term	“シソーラス”(4.2.2.6.01)の“索引語”(4.2.2.1.06)であって、“階層関係”(4.2.2.5.08)において、それより下位にある他のすべての索引語より広い“概念”(1.1.1.01)を表し、“上位語”(4.2.2.6.02)をもたないもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7137	A		関連語	かんれんご	related term	他の索引語と同格関係にあって、同位の“関係”(1.1.1.05)にある“索引語”(4.2.2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7138	A		主題ディスクリプタ	しゅだいでぃすくりぷた	content descriptor	“資料”(1.2.02)の主題を示すのに用いられる“優先語”(4.2.2.6.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7139	A		形式ディスクリプタ	けいしきでぃすくりぷた	form descriptor	“資料”(1.2.02)の物理的又は書誌的形態を示すのに用いられる“索引語”(4.2.2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7140	A		スコープノート	すこーぷのーと	scope note	“索引語”(4.2.2.1.06)の使い方の簡単な説明。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7141	A		非ディスクリプタ	ひでぃすくりぷた	non-descriptor	“シソーラス”(4.2.2.6.01)において、ある“概念”(1.1.1.01)の表現に使用されず、代わりに用いるべき“優先語”(4.2.2.6.04)への参照が付された“用語”(1.1.2.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7142	A		同等語	どうとうご	equivalent term	ほかの用語と“同等関係”(4.2.2.5.13)にある“用語”(1.1.2.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7143	A		演えき(繹)的構築法、先験的構築法	えんえきてきこうちくほう、せんけんてきこうちくほう	gestalt method, a priori method	語いの分析による“シソーラス”(4.2.2.6.01)の構築方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7144	A		帰納的構築法、後験的構築法	きのうてきこうちくほう、ごけんてきこうちくほう	analytical method, a posteriori method	“資料”(1.2.02)の分析に基づく“統制語い”(4.2.2.1.03)の構築方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7145	A		マクロシソーラス	まくろしそーらす	macrothesaurus	“知識”(1.1.3.14)の広い範囲をカバーする高位の一般的“索引語”(4.2.2.1.06)の“シソーラス”(4.2.2.6.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7146	A		マイクロシソーラス	まいくろしそーらす	microthesaurus	“知識”(1.1.3.14)の限られた分野を、詳細にカバーする“シソーラス”(4.2.2.6.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7147	A		起点シソーラス	きてんしそーらす	source thesaurus	2言語又は“多言語シソーラス”(4.2.2.6.19)の構築において、基本資料となる“シソーラス”(4.2.2.6.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7148	A		目標シソーラス	もくひょうしそーらす	target thesaurus	“起点シソーラス”(4.2.2.6.16)から構築される“シソーラス”(4.2.2.6.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7149	A		単一言語シソーラス	たんいつげんごしそーらす	monolingual thesaurus	単一の“言語”(1.1.2.01)だけの“索引語”(4.2.2.1.06)をもつ“シソーラス”(4.2.2.6.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7150	A		多言語シソーラス	たげんごしそーらす	multilingual thesaurus	複数の“言語”(1.1.2.01)の“索引語”(4.2.2.1.06)及びそれらの“同等語”(4.2.2.6.11)をもつ“シソーラス”(4.2.2.6.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7151	A		体系的表示	たいけいてきひょうじ	classified display	“シソーラス”(4.2.2.6.01)の表示法であって、“索引語”(4.2.2.1.06)を構造化された系列として示すもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7152	A		アルファベット順表示	あるふぁべっとじゅんひょうじ	alphabetical display	“シソーラス”(4.2.2.6.01)の表示法であって、“用語”(1.1.2.12)並びにほかの“索引語”(4.2.2.1.06)及び“同等語”(4.2.2.6.11)に対するその“関係”(1.1.1.05)をアルファベット順に示し、かつ、場合によっては“スコープノート”(4.2.2.6.09)を含むもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7153	A		図式表示	ずしきひょうじ	thesaurus diagram, graphic display	“索引語”(4.2.2.1.06)を図形で示す“シソーラス”(4.2.2.6.01)の表示方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7154	A		索引作業、インデクシング	さくいんさぎょう、いんでくしんぐ	indexing	“索引語”(4.2.2.1.06)の規則に従い、“語(1)”(1.1.2.07)、句、又は“分類記号”(4.2.2.4.17)によって“資料”(1.2.02)の内容又は形式を表現すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7155	A		特殊性の原則	とくしゅせいのげんそく	principle of specificity	“資料”(1.2.02)の特殊性のレベルに応じて“索引作業”(4.2.2.7.01)を行う原則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7156	A		抽出型索引	ちゅうしゅつがたさくいん	derived indexing	“索引語”(4.2.2.1.06)を“資料”(1.2.02)から採択する“索引作業”(4.2.2.7.01)の方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7157	A		付与型索引	ふよがたさくいん	assigned indexing	“索引語”(4.2.2.1.06)を“索引言語”(4.2.2.1.04)から採択する“索引作業”(4.2.2.7.01)の	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7158	A		深い索引	ふかいさくいん	depth indexing	“資料”(1.2.02)の幾つかの部分又は全部を対象として行い、比較的多数の“索引語”(4.2.2.1.06)を用いる“索引作業”(4.2.2.7.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7159	A		浅い索引	あさいさくいん	shallow indexing	“資料”(1.2.02)の主な内容だけを対象として行い、比較的少数の“索引語”(4.2.2.1.06)を用いる“索引作業”(4.2.2.7.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7160	A		自動索引	じどうさくいん	automatic indexing	コンピュータプログラムによって行われる“索引作業”(4.2.2.7.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7161	A		用語資料マトリックス	ようごしりょうまとりっくす	term/document matrix	“資料”(1.2.02)及び“索引語”(4.2.2.1.06)との照応関係を示すマトリックス。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7162	A		クラスタリング	くらすたりんぐ	clustering	“資料”(1.2.02)の自動的な“分類”(4.2.2.3.01)であって、通常は“複数題目分類”(4.2.2.3.04)であり、順序付けを伴わないがしばしば排他的であるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7163	A		セントロイド	せんとろいど	centroid	クラスタ内の資料の“クラス”(4.2.2.4.03)を代表する仮想的な“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7164	A		重み付け	おもみづけ	weighting	ある“用語”(1.1.2.12)に、ほかの用語よりも高い重要性を付与する手法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7165	A		識別力	しきべつりょく	term discrimination value	“資料”(1.2.02)を相互に区別する“索引語”(4.2.2.1.06)の“質”(1.3.02)の尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7166	A		保管(1)	ほかん(1)	storage (1)	後の“利用”(6.1.25)に備えるための、“データ”(1.1.4.01)並びに“資料”(1.2.02)の配置及び保持にかかわる過程。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7167	A		直接的保管	ちょくせつてきほかん	direct storage	“保管計画”(4.3.1.1.03)に従う、“資料”(1.2.02)の組織的な“保管(1)”(4.3.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7168	A		保管計画	ほかんけいかく	storage plan, filing plan, filing system	書架その他の用具の位置並びに空間利用の現状及び予定を示す、書庫又は保管場所の計画。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7169	A		隔離保管	かくりほかん	remote storage	“資料”(1.2.02)の利用場所以外への“保管(1)”(4.3.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7170	A		中間保管	ちゅうかんほかん	intermediate storage	“半現用記録”(3.3.06)を最終“処分”(4.1.1.24)までの“記録保管施設”(3.3.12)での“保管(1)”(4.3.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7171	A		整理	せいり	arrangement (2)	“資料”(1.2.02)を組織化し管理するための知的及び物理的作業。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7172	A		整理のレベル	せいりのれべる	level of arrangement	経営的及び知的管理の目的のための“記録(2)”(2.2.1.08)の階層的グルーピング。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7173	A		主題分類原則	しゅだいぶんるいげんそく	principle of pertinence	“資料”(1.2.02)の主題内容に基づく整理の原則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7174	A		出所原則	しゅっしょげんそく	principle of provenance	“資料”(1.2.02)の出所に基づく整理の原則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7175	A		原秩序尊重の原則	げんちつじょそんちょうのげんそく	principle of respect for original order	“アーカイブズ(1)”(3.1.01)において“資料”(1.2.02)の作成者による“整理”(4.3.1.1.06)を維持する整理の原則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7176	A		カテゴリー化	かてごりーか	categorization	“情報利用者”(5.1.05)に想定される関心を反映するように行われる、“開架”(4.3.1.3.06)への配列を目的とする“資料”(1.2.02)への“カテゴリ”(4.2.2.4.07)“記号”(1.1.2.11)の付	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7177	A		レコードグループ	れこーどぐるーぷ	archive group, record group	アーカイブズのための“整理”(4.3.1.1.06)における、出所の部署又は機関レベルでの第一次的区分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7178	A		完結レコードグループ	かんけつれこーどぐるーぷ	closed record group	“記録(2)”(2.2.1.08)が追加される可能性の小さい“レコードグループ”(4.3.1.1.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7179	A		完結ファイル	かんけつふぁいる	closed file	“資料”(1.2.02)を含む“ファイル(1)”(2.2.1.07)であって、作業が完了し、資料が追加される可能性の小さいもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7180	A		サブグループ	さぶぐるーぷ	subgroup	“レコードグループ”(4.3.1.1.12)の、出所機関の管理部門を示す下位区分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7181	A		シリーズ	しりーず	series (2)	“出所”(4.1.1.10)及び機能又は形態を同じくする“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7182	A		サブシリーズ	さぶしりーず	subseries	ファイルの配列、形態、形式又は内容を同じくする“資料”(1.2.02)のシリーズ(2)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7183	A		全文蓄積	ぜんぶんちくせき	full-text storage	“資料”(1.2.02)全体の“テキスト”(1.1.2.04)を機械可読な媒体に蓄積する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7184	A		ハイパーテキスト	はいぱーてきすと	hypertext	“資料”(1.2.02)及びそれに関連する資料を、それらの“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)間のリンクと共に蓄積し、ある資料からほかの資料へ直ちに移行できるようにしたもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7185	A		電子的レコード	でんしてきれこーど	electronic record, machine-readable record	機械可読な媒体に保存された“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7186	A		ファイリング	ふぁいりんぐ	filing	“資料”(1.2.02)を“ファイル(1)”(2.2.1.07)又は“ファイル(2)”(2.3.4.10)に収めること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7187	A		縦置きファイリング	たておきふぁいりんぐ	vertical filing	“資料”(1.2.02)を書架上に立てて置くこと。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7188	A		横置きファイリング	よこおきふぁいりんぐ	flat filing	“資料”(1.2.02)を書架の棚板に平行な位置に置くこと。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7189	A		配架	はいか	shelving	“資料”(1.2.02)の書架上への“直接的保管”(4.3.1.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7190	A		資料ボックス	しりょうぼっくす	archive box	“資料”(1.2.02)の“配架”(4.3.1.3.01)及び取扱いを容易にするための保護容器。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7191	A		地図キャビネット	ちずきゃびねっと	plan cabinet, plan case	大判の“資料”(1.2.02)を“保管(1)”(4.3.1.1.01)するためのキャビネット。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7192	A		配架リスト	はいかりすと	shelf list	“保管(1)”(4.3.1.1.01)の場所を反映した“所蔵資料”(3.1.13)のリスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7193	A		ハニカム配架	はにかむはいか	honeycombing	“追加受入”(4.1.2.03)の挿入を容易にするため、配架された“資料”(1.2.02)の間に空間を残す配架。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7194	A		開架	かいか	open shelves	利用者が“アクセス”(1.1.3.13)できる書架。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7195	A		閉架	へいか	closed shelves	利用者が通常はアクセスできない書架。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7196	A		密集配架	みっしゅうはいか	compact shelving	空間の節約及び安全性の向上のための、可動式設備を用いる“配架”(4.3.1.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7197	A		複式配架	ふくしきはいか	back-to-back shelving	背を合わせた2列の書架への“配架”(4.3.1.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7198	A		ベイ配架	べいはいか	bay shelving	水平に配列され垂直部材又はフレームで区切られた片側又は両側書架への“配架”(4.3.1.3.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7199	A		検索 (1)	けんさく(1)	retrieval	蓄積された“データ”(1.1.4.01)を選択的に取り出す能動的過程。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7200	A		検索システム	けんさくしすてむ	retrieval system	“資料”(1.2.02)の表現、そのアドレス、及び資料自体への“アクセス”(1.1.3.13)を可能にする“システム”(1.1.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7201	A		探索補助手段	たんさくほじょしゅだん	finding aid	“記録(2)”(2.2.1.08)又は“アーカイブズ(1)”(3.1.01)の管理のための“検索システム”(4.3.2.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7202	A		文献検索システム	ぶんけんけんさくしすてむ	bibliographic retrieval system	書誌的“データ”(1.1.4.01)への“アクセス”(1.1.3.13)を可能にする“検索システム”(4.3.2.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7203	A		文献データベース	ぶんけんでーたべーす	bibliographic database	“データベース”(1.1.4.11)の形態をとる“文献検索システム”(4.3.2.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7204	A		目録	もくろく	catalogue, catalog (US)	一つの“コレクション(1)”(2.2.1.05)に含まれる“データ”(1.1.4.01)及び“資料”(1.2.02)のアドレスへの“アクセス”(1.1.3.13)を可能にする、順序付けられたリスト又は“文献検索システム”(4.3.2.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7205	A		書誌	しょし	bibliography (2)	“資料”(1.2.02)を記述し、一義的に定義する“データ”(1.1.4.01)への“アクセス”(1.1.3.13)が可能な“文献検索システム”(4.3.2.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7206	A		索引	さくいん	index	順序付けられたリスト又は“検索システム”(4.3.2.1.02)の一部であって、別様に組織されたその一部、“資料”(1.2.02)のアドレス、又は資料自体への“アクセス”(1.1.3.13)を可能	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7207	A		主題索引	しゅだいさくいん	subject index	“検索システム”(4.3.2.1.02)の“表”(2.2.1.32)における“件名標目”(4.2.1.3.04)の所在を示すアルファベット順の“索引”(4.3.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7208	A		連鎖索引	れんささくいん	chain index	“クラス”(4.2.2.4.03)“記号”(1.1.2.11)の“連鎖”(4.2.2.4.06)の分析によって作成された“主題索引”(4.3.2.1.09)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7209	A		相関索引	そうかんさくいん	relative index	デューイ十進分類法 (DDC) において、“主題索引”(4.3.2.1.09)に与えられた名称。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7210	A		引用	いんよう	citation, quotation	ある“資料”(1.2.02)内における、ほかの資料又はその一部への“参照”(4.2.1.3.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7211	A		引用索引	いんようさくいん	citation index	複数の“資料”(1.2.02)を、それらに含まれる“引用”(4.3.2.1.12)によってリンクする“索引”(4.3.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7212	A		書誌結合	しょしけつごう	bibliographic coupling	二つの“資料”(1.2.02)が、一つ以上の他の資料を共通に“引用”(4.3.2.1.12)したことによって、それらの間に形成されたリンクに基づく“索引作業”(4.2.2.7.01)又は“分類作業”(4.2.2.4.02)の方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7213	A		共引用	きょういんよう	co-citation	一つの“資料”(1.2.02)の二つ以上のほかの資料への“引用”(4.3.2.1.12)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7214	A		対応表	たいおうひょう	concordance list, conversion list	配列の異なる二つ以上の“索引言語”(4.2.2.1.04)又は“探索補助手段”(4.3.2.1.03)の“用語”(1.1.2.12)の間の“関係”(1.1.1.05)のリスト。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7215	A		事前結合索引	じぜんけつごうさくいん	precoordinate index	複合主題が、“索引作業”(4.2.2.7.01)の時点でその基本的“要素”(1.1.1.04)に分析され、“クラス”(4.2.2.4.03)及び“用語”(1.1.2.12)の順序が固定された“索引言語”(4.2.2.1.04)によって、それらの要素があらかじめ定められた“順序”(1.1.1.08)で結合される“索引”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7216	A		分類目録	ぶんるいもくろく	classified catalogue	“分類体系”(4.2.2.4.01)及び“主題索引”(4.3.2.1.09)に基づく“エントリ”(4.2.1.1.10)をもつ“目録”(4.3.2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7217	A		主題目録	しゅだいもくろく	subject catalogue	“件名標目”(4.2.1.3.04)表又は“典拠ファイル”(4.2.1.1.21)から取られた“エントリ”(4.2.1.1.10)を主題ごとにアルファベット又は分類の“順序”(1.1.1.08)にファイルした“目	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7218	A		辞書体目録	じしょたいもくろく	dictionary catalogue	“件名標目”(4.2.1.3.04)リスト又は“典拠ファイル”(4.2.1.1.21)から取られた主題“エントリ”(4.2.1.1.10)を、“著者”(4.2.1.5.03)及び“タイトル”(4.2.1.4.01)のエントリと統合又は同時ファイルして一つの統制されたアルファベット順の系列とした“目録”(4.3.2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7219	A		著者目録	ちょしゃもくろく	author catalogue	“著者”(4.2.1.5.03)及び“タイトル”(4.2.1.4.01)のエントリだけを、“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)とする“目録”(4.3.2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7220	A		アルファベット順分類目録	あるふぁべっとじゅんぶんるいもくろく	alphabetico-classified catalogue	アルファベット順に配列した広い“クラス”(4.2.2.4.03)を、それぞれの中で同じくアルファベット順に配列した主題により下位区分した“目録”(4.3.2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7221	A		事後結合索引	じごけつごうさくいん	postcoordinate index	複合主題が、“索引作業”(4.2.2.7.01)の時点でその基本的“要素”(1.1.1.04)に分析されるが、“検索 (2)”(4.3.3.1.01)の時点まで結合されず、“クラス”(4.2.2.4.03)及び“用語”(1.1.2.12)の固定された順序を利用しない“索引”(4.3.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7222	A		項目エントリ方式	こうもくえんとりほうしき	item entry system	“資料”(1.2.02)を示す書誌的“データ”(1.1.4.01)を、“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)とする“索引作業”(4.2.2.7.01)“システム”(1.1.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7223	A		用語エントリ方式	ようごえんとりほうしき	term entry system	“事物”(1.1.1.02)を示す“索引語”(4.2.2.1.06)を“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)とする事後結合型の“索引作業”(4.2.2.7.01)“システム”(1.1.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7224	A		検索 (2)	けんさく(2)	search and retrieval	“検索システム”(4.3.2.1.02)によって、“資料”(1.2.02)に関する“情報(1)”(1.1.3.08)を見出すために行われる操作。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7225	A		検索言語	けんさくげんご	search language	検索を実行するのに用いられる“人工言語”(1.1.2.03)であって、しばしば“索引言語”(4.2.2.1.04)と所定のソフトウェア“システム”(1.1.1.06)のメニュー又は“コマンド”(4.3.3.2.04)の組合せからなるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7226	A		請求プロファイル	せいきゅうぷろふぁいる	request profile	請求(5.1.11)及び利用者の関心領域の自然語による“記述”(4.2.1.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7227	A		マスキング	ますきんぐ	masking	共通の文字列を含む“語(2)”(1.1.2.08)を結合する検索技術。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7228	A		部分一致	ぶぶんいっち	truncation	“検索式”(4.3.3.2.03)に用いられる“語(1)”(1.1.2.07)の冒頭、中間又は末尾部分の“マスキング”(4.3.3.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7229	A		対話型検索	たいわがたけんさく	interactive search	“検索システム”(4.3.2.1.02)とのオンラインでの対話によって、“検索戦略”(4.3.3.2.01)を変更し得る検索法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7230	A		バッチ検索	ばっちけんさく	differed search, batch search	複数の“検索式”(4.3.3.2.03)をまとめて、“検索システム”(4.3.2.1.02)のバッチ処理によって同時に処理する検索法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7231	A		ブール演算検索	ぶーるえんざんけんさく	Boolean search	論理演算子を用いる検索法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7232	A		メニュー方式の検索	めにゅーほうしきのけんさく	menu-based search	“検索システム”(4.3.2.1.02)であらかじめ定められた選択肢によって、“検索式”(4.3.3.2.03)を定式化する検索法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7233	A		フリーテキスト検索	ふりーてきすとけんさく	free-text search	“日常言語”(1.1.2.02)を用いて、“資料”(1.2.02)の全体又は一部を走査し合致を求める	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7234	A		確率的検索	かくりつてきけんさく	probabilistic retrieval	“情報検索”(1.2.05)において、ある“コレクション(2)”(3.1.07)に属する“資料”(1.2.02)の“適合性”(4.3.3.2.12)を評価するために行われる、ベイズの定理及び幾つかの仮定に基	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7235	A		照合関数	しょうごうかんすう	matching function	“資料”(1.2.02)と“検索式”(4.3.3.2.03)との類似性を測定する関数。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7236	A		類似度	るいじど	similarity measure	“資料”(1.2.02)群をクラスタに分け、検索“用語”間の合致を定める尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7237	A		検索戦略	けんさくせんりゃく	search strategy	“情報”要求に適合するための、一群の選択肢から選ばれた検索手順の一般的特徴。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7238	A		検索プロファイル	けんさくぷろふぁいる	search profile	“索引言語”(4.2.2.1.04)による“請求プロファイル”(4.3.3.1.03)の定義。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7239	A		検索式	けんさくしき	query	“検索システム”(4.3.2.1.02)から“参照”(4.2.1.3.07)又はその他の“データ”(1.1.4.01)の形で回答を得るための、一つ以上の段階からなる質問。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7240	A		コマンド	こまんど	command	“検索言語”(4.3.3.1.02)において、“検索システム”(4.3.2.1.02)に与えられる指示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7241	A		検索回答	けんさくかいとう	hit	“検索システム”(4.3.2.1.02)から得られる、定式化された検索に合致する回答。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7242	A		適合度順配列	てきごうどじゅんはいれつ	rank	“検索回答”(4.3.3.2.05)の“照合関数”(4.3.3.1.12)による並べ替え。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7243	A		検索履歴	けんさくりれき	search history	一つの“検索式”(4.3.3.2.03)による、又は一連の検索式を含むセッションで行われた検索の“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7244	A		検索評価	けんさくひょうか	search evaluation	“検索システム”(4.3.2.1.02)及び用いられた“検索戦略”(4.3.3.2.01)によって得られた結果の効率性の検討。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7245	A		ノイズ	のいず	noise	“検索式”(4.3.3.2.03)への回答として得られた、適合性のない“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7246	A		検索もれ	けんさくもれ	silence	適合性のある“資料”(1.2.02)が、“検索式”(4.3.3.2.03)への回答として見出されないために欠けている状態。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7247	A		冗長的回答	じょちょうてきかいとう	redundancy	“情報利用者”(5.1.05)に既に知られている、“適合性”(4.3.3.2.12)の低い回答。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7248	A		適合性	てきごうせい	relevance	“請求プロファイル”(4.3.3.1.03)に対して適当な“検索回答”(4.3.3.2.05)として得られた“資料”(1.2.02)の“質”(1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7249	A		適切性	てきせつせい	pertinence	“情報利用者”(5.1.05)の要求に対して、適当な“検索回答”(4.3.3.2.05)として得られた“資料”(1.2.02)の“質”(1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7250	A		再現率	さいげんりつ	recall	適合性ある“検索回答”(4.3.3.2.05)の数と、すべての適合的な“資料”(1.2.02)の数との	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7251	A		正規化再現率	せいきかさいげんりつ	normalized recall	考えられる最良及び最悪の結果に関する、適合性ある“検索回答”(4.3.3.2.05)の順位付き“再現率”(4.3.3.2.14)の尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7252	A		精度	せいど	precision	適合性ある“検索回答”(4.3.3.2.05)の数と、すべての検索回答の数との比。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7253	A		正規化精度	せいきかせいど	normalized precision	考えられる最良及び最悪の結果に関する、“検索回答”(4.3.3.2.05)の“精度”(4.3.3.2.16)の精細さ。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7254	A		フォールアウト	ふぉーるあうと	fallout	適合性のない“検索回答”(4.3.3.2.05)の数と、すべての不適合“資料”(1.2.02)の数との	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7255	A		一般性	いっぱんせい	generality	適合性のない“検索回答”(4.3.3.2.05)の数と、すべての“資料”(1.2.02)の数との比。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7256	A		偶然発見性因子	ぐうぜんはっけんせいいんし	serendipity factor	“情報利用者”(5.1.05)が予期しない適合性ある“検索回答”(4.3.3.2.05)を得る可能性を増加させるような、“検索システム”(4.3.2.1.02)の“質”(1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7257	A		ブラウジング	ぶらうじんぐ	browsing	特定の方法によらず、一般的に“資料”(1.2.02)の“コレクション(2)”(3.1.07)又は“ファイル(1)”(2.2.1.07)中の“記録(2)”(2.2.1.08)を探索して、質問に適合する“データ”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7258	A		サーフィング	さーふぃんぐ	surfing	ネットワーク内での“ブラウジング”(4.3.3.2.21)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7259	A		情報利用	じょうほうりよう	use of information	情報ドキュメンテーション機関の提供するインフラストラクチャー、“サービス”(5.5.01)又は資材の利用。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7260	A		アクセス可能性	あくせすかのうせい	accessibility	法的根拠及び“探索補助手段”(4.3.2.1.03)の存在の結果としての、閲覧しようとする“資料”(1.2.02)への“アクセス”(1.1.3.13)の“利用可能性”(5.6.06)及び容易さ。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7261	A		情報リテラシー	じょうほうりてらしー	information literacy	“情報(1)”(1.1.3.08)、“情報(2)”(1.1.3.09)及び関連資源の有効性の認識、並びにそれらを利用する能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7262	A		対象集団	たいしょうしゅうだん	target population	ある情報ドキュメンテーション機関の提供する“情報サービス”(5.5.02)の現実の、又は想定される“情報利用者”(5.1.05)の集団。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7263	A		情報利用者	じょうほうりようしゃ	information user	“情報センタ”(3.1.18)の提供するインフラストラクチャ、“サービス”(5.5.01)又は資材の利	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7264	A		最終利用者	さいしゅうりようしゃ	end user	“情報サービス”(5.5.02)の行った特定の検索の結果を、自らの“情報(1)”(1.1.3.08)要求を満たすために利用する“情報利用者”(5.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7265	A		熟練利用者	じゅくれんりようしゃ	expert user	提供される“情報サービス”(5.5.02)に関して、相当の経験をもつ“情報利用者”(5.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7266	A		利用者グループ	りようしゃぐるーぷ	user group	共通の関心をもつ多数の“情報利用者”(5.1.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7267	A		特定利用者グループ	とくていりようしゃぐるーぷ	closed user group, CUG	公衆ネットワーク又はビデオテックス“システム”(1.1.1.06)における、“データ”(1.1.4.01)、“情報(1)”(1.1.3.08)又は“情報(2)”(1.1.3.09)に、排他的に“アクセス”(1.1.3.13)し得る“利用者グループ”(5.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7268	A		情報サービスネットワーク	じょうほうさーびすねっとわーく	information service network	“サービス”(5.5.01)及び“情報利用者”(5.1.05)の利益のための資源を、共有して共同作業を行う単位のグループ。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7269	A		請求	せいきゅう	request (2)	情報ドキュメンテーション機関に向けられる“情報利用者”(5.1.05)の問合せ又は要求。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7270	A		利用時間	りようじかん	access hours	“情報利用者”(5.1.05)が、情報ドキュメンテーション機関を利用できる時間、日又は年間の一定期間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7271	A		開館時間	かいかんじかん	opening hours	情報ドキュメンテーション機関が、“情報利用者”(5.1.05)に開放されている時間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7272	A		貸出期間	かしだしきかん	loan period, lending period	“情報利用者”(5.1.05)が、“資料”(1.2.02)を貸出機関の構外で所持することを許されている期間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7273	A		資料提供所要時間	しりょうていきょうしょようじかん	document delivery time	“情報利用者”(5.1.05)による1件の“資料”(1.2.02)請求(5.1.11)にこたえるために必要な時間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7274	A		帯出記録(1)	たいしゅつきろく(1)	charge out (1)	“資料”(1.2.02)の“保管(1)”(4.3.1.1.01)場所からの移動を記録すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7275	A		帯出記録(2)	たいしゅつきろく(2)	charge out (2)	帯出記録(1)(5.2.05)を記録するために用いられる書類。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7276	A		登録済み利用者	とくろうずみりようしゃ	registered user	ある情報ドキュメンテーション機関に自らの“データ”(1.1.4.01)を登録し、同機関の“コレクション(1)”(2.2.1.05)を同機関の構内又は構外において利用することのできる“情報利用	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7277	A		利用者カード	りようしゃかーど	user identification card, reader's ticket, admission card	ある情報ドキュメンテーション機関が発行する、同機関への“アクセス”(1.1.3.13)のための識別カード。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7278	A		ネットワーク利用者識別記号	ねっとわーくりようしゃしきべつきごう	network user identification, NUI	ネットワーク“サービス”(5.5.01)の利用登録者に対して、資格ある“情報利用者”(5.1.05)であることを証明するために与えられる識別記号。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7279	A		利用者パスワード	りようしゃぱすわーど	user password	特定のコンピュータ“システム”(1.1.1.06)に“アクセス”(1.1.3.13)し得る“情報利用者”(5.1.05)を、識別するための“語(2)”(1.1.2.08)、“コード(2)”(1.1.4.07)又は“文字”“集	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7280	A		自由アクセス	じゆうあくせす	open access	“情報(2)”(1.1.3.09)、“資料”(1.2.02)、又は“情報サービス”(5.5.02)への無制限の“アクセス”(1.1.3.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7281	A		制限アクセス	せいげんあくせす	closed access	一般的又は特定的な規制によって制限された、“情報(2)”(1.1.3.09)、“資料”(1.2.02)、又は“情報サービス”(5.5.02)への“アクセス”(1.1.3.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7282	A		サービス地域	さーびすちいき	service area	ある機関が住民に“情報サービス”(5.5.02)を提供する地理的範囲。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7283	A		オンライン利用者用目録、OPAC	おんらいんりようしゃようもくろく、OPAC	online public access catalogue, OPAC	“情報(2)”(1.1.3.09)がコンピュータ“システム”の“データベース”(1.1.4.11)に保存され、“情報利用者”(5.1.05)が、遠隔地点にある端末機から直接参照できる“目録”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7284	A		ヘルプデスク	へるぷですく	help desk	“情報利用者”(5.1.05)が、特定の“システム”(1.1.1.06)、“情報サービス”(5.5.02)又は“データベース”(1.1.4.11)に関する助言をなし得る職員と接触できる場所、又は電話若しくは電子メール連絡先。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7285	A		利用者エリア	りようしゃえりあ	reader area	情報ドキュメンテーション機関内において“情報利用者”(5.1.05)に提供される区画。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7286	A		閲覧室	えつらんしつ	reading room	情報ドキュメンテーション機関内において、通常、参考用コレクション(3.1.11)を用意して、資料(1.2.02)の相談に提供される区画。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7287	A		キャレル	きゃれる	bay, carrel	“利用者エリア”(5.3.04)内にある、周囲から遮断されているが完全に仕切られてはいない、“情報利用者”(5.1.05)のための作業空間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7288	A		館内研究室	かんないけんきゅうしつ	study cabin	“利用者エリア”(5.3.04)内にある、完全に仕切られた研究室。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7289	A		返納箱	へんのうばこ	book drop	“情報利用者”(5.1.05)が、職員の助けを借りずに“資料”(1.2.02)を返却するための箱又はシュート。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7290	A		出納台	すいとうだい	circulation desk	情報ドキュメンテーション機関内において、“貸出”(5.4.03)及び関連業務を扱う区画。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7291	A		資料の館内利用	しりょうのかんないりよう	inhouse use of documents	“情報センタ”(3.1.18)の構内において、“帯出記録(1)”(5.2.05)を作成することなく“資料”(1.2.02)を閲覧すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7292	A		遠隔利用	えんかくりよう	remote use	“中央館”(3.2.08)の提供する“サービス”(5.5.01)を、その館又は“分館”(3.2.09)の外部の“アクセスポイント”(4.2.1.1.12)から電子的ネットワークを介して利用すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7293	A		貸出	かしだし	loan	“資料”(1.2.02)をその“保管”場所から他の場所へ一定期間物理的に移動すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7294	A		図書館間貸出	としょかんかんかしだし	interlending	一定の条件のもとで、“資料”(1.2.02)をある“図書館”(3.1.04)又は“文書館”(3.1.02)から他の図書館又は文書館へ一定期間物理的に移動すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7295	A		館内貸出	かんないかしだし	reading-room lending	情報ドキュメンテーション機関内において、“資料”(1.2.02)をその“保管”場所から他の場所へ閲覧の目的で移動すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7296	A		貸出可能性	かしだしかのうせい	loan availability	請求された“資料”(1.2.02)の、“貸出”(5.4.03)のための“利用可能性”(5.6.06)、及び貸出条件の明示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7297	A		貸出更新	かしだしこうしん	renewal of loan	承認を得た“貸出期間”(5.2.03)の延長。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7298	A		館内請求番号	かんないせいきゅうばんごう	local request number	個々の情報ドキュメンテーション機関が“貸出”(5.4.03)請求(5.1.11)に付与する、一つの貸出請求にかかわるすべての“メッセージ”(1.1.3.05)を識別する番号。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7299	A		資料所在調査請求	しりょうしょざいちょうさせいきゅう	document-location request	請求された“資料”(1.2.02)の“コピー(2)”(2.1.14)を所蔵する機関のリストの“請求”(5.1.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7300	A		貸出更新請求	かしだしこうしんせいきゅう	loan-renewal request	“貸出期間”(5.2.03)延長の“請求”(5.1.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7301	A		延滞通知	えんたいつうち	overdue notice	“情報利用者”(5.1.05)に対する、貸し出された“資料”(1.2.02)の、“貸出期間”(5.2.03)の超過による返却を要する旨の通知。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7302	A		返納督促	へんのうとくそく	recall notice	“情報利用者”(5.1.05)に対する、貸し出された“資料”(1.2.02)の返却の請求。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7303	A		サービス	さーびす	service	供給者と利用者との接点、又は供給者内部において行われる、利用者の要求を満たすための活動の結果。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7304	A		情報サービス	じょうほうさーびす	information service	特定の“情報利用者”(5.1.05)の要求を満たすための、“情報(1)”(1.1.3.08)又は“情報(2)”(1.1.3.09)の保管、アクセス、加工又は提供。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7305	A		広報プログラム	こうほうぷろぐらむ	outreach programme	情報ドキュメンテーション機関による、潜在的な“情報利用者”(5.1.05)に“情報サービス”(5.5.02)を知らせるための組織的活動。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7306	A		域外サービス	いきがいさーびす	outreach service, extension service	通常の“サービス地域”(5.3.01)外でほかの情報サービスが利用できない場合、又は情報利用者が情報ドキュメンテーション機関に出向くことができない場合に、現実の、又は潜在的な“情報利用者”(5.1.05)に“情報サービス”(5.5.02)を提供すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7307	A		レファレンスインタビュー	れふぁれんすいんたびゅー	reference interview, presearch interview	“情報利用者”(5.1.05)及び“情報”担当職員が、要求を正確に表現し、適切な“検索戦略”(4.3.3.2.01)を決定するために行う討論。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7308	A		レファレンスサービス	れふぁれんすさーびす	reference service	情報ドキュメンテーション機関が、“請求”(5.1.11)に応じて行う“情報(2)”(1.1.3.09)及び助言の提供。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7309	A		レファラルサービス	れふぁらるさーびす	referral service	請求された“情報(1)”(1.1.3.08)又は“情報(2)”(1.1.3.09)が提供できないとき、“情報利用者”(5.1.05)にほかの情報源又は情報サービスを紹介する“情報サービス”(5.5.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7310	A		カレントアウェアネスサービス	かれんとあうぇあねすさーびす	current awareness service	“情報利用者”(5.1.05)に、新たに利用可能となった“資料”(1.2.02)に関する“情報(1)”(1.1.3.08)を定期的に提供すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7311	A		選択的情報提供、SDI	せんたくてきじょうほうていきょう、SDI	selective dissemination of information, SDI	あらかじめ定められた“情報利用者”(5.1.05)の、“検索プロファイル”(4.3.3.2.02)に適合する“カレントアウェアネスサービス”(5.5.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7312	A		補完情報サービス	ほかんじょうほうさーびす	back-up service	検索が成功した後、選択された“資料”(1.2.02)を提供する、追加的な“情報サービス”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7313	A		資料編集サービス	しりょうへんしゅうさーびす	information repackaging	特定の“利用者グループ”(5.1.08)の要求に応えるため、種々の出処から得られた資料の、編集又は統合することによる“情報サービス”(5.5.02)又は製品の提供。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7314	A		資料提供サービス	しりょうていきょうさーびす	document delivery service, document supply service	“資料”(1.2.02)の“原本”(2.1.05)又は“コピー(1)”(2.1.06)を“貸出”(5.4.03)のためでなく“情報利用者”(5.1.05)が所持するために提供すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7315	A		相談サービス	そうだんさーびす	advisory service, consulting service	“情報(2)”(1.1.3.09)スタッフが、“情報利用者”(5.1.05)に提供する、口頭又は文書による支援。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7316	A		利用者教育	りようしゃきょういく	user education, bibliographic instruction (US)	“情報利用者”(5.1.05)に対して、情報源、及び“図書館”(3.1.04)、“ドキュメンテーションセンタ”(3.1.19)又はその他の情報ドキュメンテーション機関で利用できる“情報サービス”(5.5.02)の、有効な利用法を教えることを目的とする正規の教育。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7317	A		利用案内	りようあんない	user guide	特定の情報ドキュメンテーション機関内の物理的配置を、利用者に示すための記号、標識、案内書、小冊子、“地図”(2.2.1.28)又は“平面図”(2.2.1.29)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7318	A		利用者調査	りようしゃちょうさ	user study	“情報利用”(5.1.01)のパターン、潜在的又は顕在的な“情報(1)”(1.1.3.08)要求、又は“情報利用者”(5.1.05)の“情報サービス”(5.5.02)に対する期待に関する科学的調査。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7319	A		サービス能力	さーびすのうりょく	service performance	情報ドキュメンテーション機関の提供する“情報サービス”(5.5.02)の有効性、及びそれらの保有する資源の利用の効率性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7320	A		サービス能力測定	さーびすのうりょくそくてい	performance measure	情報ドキュメンテーション機関の“サービス能力”(5.6.02)を評価するための、比率又はそのほかの定量化の方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7321	A		サービス能力指標	さーびすのうりょくしひょう	performance indicator	行われた活動又は提供された“サービス”(5.5.01)の量を、あらかじめ定められた目標との比較において示す数値。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7322	A		コレクションの利用度	これくしょんのりようど	collection use	“コレクション(2)”(3.1.07)が、一定期間内に“情報利用者”(5.1.05)によって閲覧された	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7323	A		利用可能性	りようかのうせい	availability	情報ドキュメンテーション機関が、“情報利用者”(5.1.05)の要求に応じて資材、設備又は”情報サービス”(5.5.02)を実際に提供できる程度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7324	A		資料利用度	しりょうりようど	document exposure	一つの“資料”(1.2.02)が、1人の“情報利用者”(5.1.05)によって閲覧される時間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7325	A		貸出冊数	かしだしさつすう	circulation	情報ドキュメンテーション機関が、一定期間内に“情報利用者”(5.1.05)に貸し出した”資料”(1.2.02)の数。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7326	A		在架期間	ざいかきかん	shelf life (2)	ある“資料”(1.2.02)が、2回の“貸出”(5.4.03)の間に書架にとどまっている期間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7327	A		貸出頻度	かしだしひんど	lending frequency	ある“資料”(1.2.02)が、一定期間内に貸し出された回数を示す数値。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7328	A		資料閲覧頻度	しりょうえつらんひんど	document consultation frequency	ある“資料”(1.2.02)が、一定期間内に利用された回数を示す数値。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7329	A		オブソレッセンス、経年減衰	おぶそれっせんす、けいねんげんすい	obsolescence	“資料”(1.2.02)又は資料群が、古くなるにつれて閲覧回数が減少し、場合によって、又はある“主題分野”(1.1.1.07)において、価値が低下すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7330	A		利用者満足度	りようしゃまんぞくど	user satisfaction	“情報”要求と、“情報利用者”(5.1.05)が提供された“情報サービス”(5.5.02)に対して表明した満足との比率を、示すサービス能力の尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7331	A		請求充足度	せいきゅうじゅうそくど	request satisfaction	情報ドキュメンテーション機関がこたえ得た“請求”(5.1.11)の、“請求”の総数に対する比を、示すサービス能力の尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7332	A		利用者の反響	りようしゃのはんきょう	user feedback	“情報利用者”(5.1.05)が、情報ドキュメンテーション機関に対して”利用者満足度”(5.6.13)を表明する応答。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7333	A		利用者プロファイル	りようしゃぷろふぁいる	user profile	“情報利用者”(5.1.05)の関心領域又は所属機関の表示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7334	A		(資料)保存	(しりょう)ほぞん	preservation	“資料”(1.2.02)及び“コレクション(1)”(2.2.1.05)の健全性を保持し、寿命を長くする他のすべての方策で、財政的、政策的決定をも含む。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7335	A		保管責任	ほかんせきにん	custody	“資料”(1.2.02)の物理的“保存”(6.1.01)に関する責任。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7336	A		資料保全	しりょうほぜん	conservation	“劣化”(6.1.13)を防止、抑制、遅らせるための介入技術。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7337	A		修復	しゅうふく	restoration	“劣化”(6.1.13)や“損傷”(6.1.14)を被った“資料”(1.2.02)を、その当初の状態に可能な限り近い状態に戻すための行為。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7338	A		修理	しゅうり	repair	“資料”(1.2.02)の現役復帰のための、“資料保全” (6.1.03)及び“修復”(6.1.04)方策。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7339	A		担体(1)	たんたい(1)	carrier(1)	“情報(1)”(1.1.3.08)を提示できるようにするため、“データ媒体”(1.1.4.02)に重畳される	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7340	A		担体(2)	たんたい(2)	carrier(2)	“データ媒体”(1.1.4.02)の成分であって、“情報(1)”(1.1.3.08) を提示できるようにするために、その状態を変化させられるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7341	A		保管(2)	ほかん(2)	storage(2)	“資料”(1.2.02)を規定の条件下に保ち、その“検索(1)” (4.3.2.1.01) 又はその中に含まれる“情報(1)”(1.1.3.08)の“検索(1)” (4.3.2.1.01)を可能にするための“保存”(6.1.01)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7342	A		補強	ほきょう	consolidation	適切な物質を導入することによる“データ媒体”(1.1.4.02)の強化。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7343	A		保存記録	ほぞんきろく	conservation record	“資料”(1.2.02)の状態、又は“資料”(1.2.02)に適用された“資料保全”(6.1.03)若しくは“修復”(6.1.04)に関する“ドキュメンテーション”(1.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7344	A		可逆性	かぎゃくせい	reversibility	“資料”(1.2.02)が“損傷”(6.1.14)を受けることなく、処理前の状態に戻すことを可能にする“資料保全”(6.1.03)の“質” (1.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7345	A		長期耐用品質	ちょうきたいようひんしつ	archival quality	無期限の“保存”(6.1.01)及び制限された条件下における“利用” (6.1.25)を可能とする“資料”(1.2.02)、並びに“資料保全”(6.1.03)及び“修復”(6.1.04)に用いられた材料に特	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7346	A		劣化	れっか	deterioration	材料自体の分解又は環境条件との相互作用による、材料の漸進的分解及び予想される最終破壊。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7347	A		損傷	そんしょう	damage	外的及び内的作用による“資料”(1.2.02)の物理的条件の有害な変化。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7348	A		破損	はそん	failure	機能単位が要求機能を果たす能力の終えん(焉)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7349	A		欠陥	けっかん	fault	“破損”(6.1.15)の起因になりかねない偶発的条件。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7350	A		生物劣化	せいぶつれっか	biodeteriorating	生物体に起因する“劣化”(6.1.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7351	A		物理的損傷	ぶつりてきそんしょう	mechanical damage	材料に対して、内的又は外的に加えられた力の相互作用に起因する“損傷”(6.1.14)で、材料の形状又は特性に変化をもたらすもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7352	A		化学的損傷	かがくてきそんしょう	chemical damage	材料自身の不安定性又は外的影響によってもたらされる、構成物質の化学変化による“損傷”(6.1.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7353	A		疲労破損	ひろうはそん	fatigue failure	長期間にわたる繰返し応力の結果起こる材料の“破損” (6.1.15)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7354	A		保存寿命	ほぞんじゅみょう	shelf life (3)	“利用”(6.1.25)に不適なほどに、材料を“劣化”(6.1.13)するまでの時間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7355	A		経年変化	けいねんへんか	aging	時間の経過による“劣化”(6.1.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7356	A		加速劣化	かそくれっか	accelerated aging	“劣化”(6.1.13)を発生するような高レベルの環境条件にさらすことによって、材料の“経年変化”効果を推定する試験方法。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7357	A		取扱い	とりあつかい	handling	“資料”(1.2.02)の“保存”(6.1.01)及び“利用”(6.1.25)に必要とされる物理作用。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7358	A		利用	りよう	use	“資料”(1.2.02)の参照。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7359	A		絶対湿度	ぜったいしつど	absolute humidity	単位体積の空気中の水蒸気量。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7360	A		相対湿度	そうたいしつど	relative humidity	ある温度において、ある体積の空気中に最大保持できる水蒸気量に対する実際の水蒸気量の比率を、パーセントで示したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7361	A		湿度計	しつどけい	hygrometer	“相対湿度”(6.1.27)の測定器。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7362	A		自記温湿度計	じきおんしつどけい	thermo-hygrograph	温度及び“相対湿度”(6.1.27)を連続的に記録する装置。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7363	A		防災計画	ぼうさいけいかく	disaster control plan	自然災害及び人為的災害を防止し、その影響を減じ、復旧を容易にするための手続きを、組織化したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7364	A		永久保存性	えいきゅうほぞんせい	permanence	通常の“保管(2)”(6.1.08)及び“利用”(6.1.25)条件で、長期間の化学変化に抗し、少なくとも数百年間顕著な“劣化”(6.1.13)を被ることなく保たれるような材料の能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7365	A		耐久性	たいきゅうせい	durability	長期間にわたる摩耗に耐える材料の能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7366	A		吸収性	きゅうしゅうせい	absorbency	接触する液体を、吸収し保持する材料特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7367	A		ぬれ特性	ぬれとくせい	receptivity	液体を受け入れる“データ媒体”(1.1.4.02)の表面特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7368	A		透過性	とうかせい	permeability	材料の、ある表面からほかの表面へ、気体又は液体の透過を許す材料特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7369	A		空げき(隙)率	くうげきりつ	porosity	空げき(隙)をもつ材料の特性。通常、全体積中に占める空げきの体積比で表現される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7370	A		色堅ろう(牢)性	いろけんろうせい	colour fastness	“顔料”(6.5.21)又は“染料”(6.5.23)が、当初の色調を保つ特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7371	A		アルカリ量	あるかりりょう	alkali reserve	“経年変化”(6.1.22)又は環境汚染により生成される酸を中和するため、“紙”(6.5.01)に加える化合物の量。特定の試験条件で決定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7372	A		接合強度	せつごうきょうど	bond strength	特定の試験条件で測定される接着の尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7373	A		破裂強さ	はれつつよさ	bursting strength	材料の表面に、直角に加えられた均一に分散した圧力に、材料が耐える尺度。特定の試験条件で測定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7374	A		引張強さ	ひっぱりつよさ	tensile strength	材料が破れるまでに、引張りに耐える能力の尺度。特定の試験条件で測定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7375	A		しわ性	しわせい	creasibility	“き裂”(6.6.10)を起こすことなく、シート状の材料を折ることができる特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7376	A		耐折強さ	たいせつつよさ	folding endurance	特定の試験条件で測定される、材料が折り曲げに耐える尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7377	A		弾性	だんせい	elasticity	引張りを加えた後、材料が、“損傷”(6.1.14)を受けることなく以前の形状に戻る能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7378	A		可とう(撓)性	かとうせい	flexibility	折り曲げを加えた後、材料が、“損傷”(6.1.14)を受けることなく以前の形状に戻る能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7379	A		可塑性	かそせい	plasticity	材料が、“損傷”(6.1.14)を受けることなく新しい形になる能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7380	A		曲げ剛性	まげごうせい	flexural strength	“接着剤”(6.5.27)の“可とう(撓)性”(6.2.15)の尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7381	A		展性	てんせい	extensibility	材料が、“損傷”(6.1.14)を受けることなく引き延ばされる能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7382	A		剛性	ごうせい	rigidity	材料又は構造が、機械的な力にさらされたときに、“損傷”(6.1.14)を受けることなく、その形状をとどめる能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7383	A		ぜい(脆)性	ぜいせい	brittleness	剛性材料が、機械的な力にさらされたときに、突然“破損”(6.1.15)する特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7384	A		消去可能性	しょうきょかのうせい	erasability	“記録情報”(1.1.3.10)を消し去り、再利用を可能にすることのできる“担体(1)”(6.1.06)の	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7385	A		引裂強さ	ひきさきつよさ	tear resistance	材料が引き裂きに耐える能力で、特定の試験条件で測定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7386	A		寸法安定性	すんぽうあんていせい	dimensional stability	処理、環境、“経年変化”(6.1.22)及び“利用”(6.1.25)の影響を受けても、材料が、寸法及び形状を保つ能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7387	A		湿潤強さ	しつじゅんつよさ	wet strength	水を満たされたとき、破断や分裂に耐える材料の能力。特定の試験条件で測定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7388	A		耐水性	たいすいせい	water resistance	水の作用や浸せきを完全に阻まないまでも、それに抗する、材料の能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7389	A		耐火性	たいかせい	fire resistance	材料及び構造が、が(瓦)解、火炎貫通又は非露出表面の過度の温度上昇に耐える能力の尺度。特定の試験条件で測定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7390	A		不燃性	ふねんせい	non-combustibility	材料が空気存在下で熱せられたとき燃焼に耐える能力で、特定の試験条件で測定され	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7391	A		非引火性	ひいんかせい	non-flammability	特定の試験条件での燃焼の場合に、材料が発炎に耐える能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7392	A		pH値	pHち	pH value	水溶液中で酸及びアルカリ濃度を示す尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7393	A		色	いろ	colour	にじ(虹)の色相のどれか、及びこれらの色相を白黒と混ぜてできる明暗。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7394	A		平滑度	へいかつど	smoothness	材料の表面の起伏の度合いの尺度で、特定の試験条件で測定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7395	A		白色度	いろじろど	whiteness	材料の表面が光を反射する能力の尺度。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7396	A		不透明度	ふとうめいど	opacity	材料によって反射された光の量と吸収された光の量との比。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7397	A		半透明性	はんとうめいせい	translucence	透明になることなく、光を透過させる材料表面の能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7398	A		透明性	とうめいせい	transparence	固体物質又は空げき(隙)を通して、明確な画像を見ることを可能にする材料の能力。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7399	A		塗工	とこう	coating	材料表面にほかの液体材料を単層又は複層に塗布するプロセス。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7400	A		サイジング	さいじんぐ	sizing	“紙”(6.5.01)若しくは“板紙”(6.5.02)の表面、又は製紙材料に材料を添加するプロセス。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7401	A		紙の仕上げ	かみのしあげ	finish	機械的方法によって“紙”(6.5.01)又は“板紙”(6.5.02)に施された表面特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7402	A		縦方向	たてほうこう	machine direction	“紙”(6.5.01)又は“板紙”(6.5.02)の地の目の方向で、抄紙機でしひつ(紙匹)が移動する方向と平行のもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7403	A		横方向	よこほうこう	cross direction	“紙”(6.5.01)又は“板紙”(6.5.02)の地の目の方向で、“縦方向”(6.3.04)と垂直のもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7404	A		漂白	ひょうはく	bleaching(1)	“紙”(6.5.01)の白色度を向上させるための化学物質によるパルプの処理。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7405	A		微生物	びせいぶつ	micro-organism	通常、肉眼では確認できない小さな寸法の生物。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7406	A		菌類	きんるい	fungus	有機物を栄養とする、葉緑素をもたない隠花植物。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7407	A		チャタテムシ	ちゃたてむし	book louse	植物性材料上の“菌類”(6.4.02)を食物とする、こう(嚙)虫目の昆虫。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7408	A		しみ	しみ	bookworm	“資料”(1.2.02)を侵食する、各種の幼虫。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7409	A		紙	かみ	paper	懸濁液中のパルプを乾燥して微細網目上に形成される、セルロース繊維からなる、密着したシート又はしひつ(紙匹)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7410	A		板紙	いたがみ	board(1)	“破裂強さ”(6.2.10)の高い“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7411	A		損紙	そんし	broke	製造過程で捨てられる“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7412	A		砕木パルプ紙	さいぼくぱるぷし	ground wood paper	木材から機械的方法で得た、パルプから作られる紙。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7413	A		上質紙	じょうしつし	woodfree paper	木材から化学的に得た、又はそのほかの植物から得たセルロース繊維だけで作られた“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7414	A		無酸紙	むさんし	acid-free paper	中性又はアルカリ性のpH“値”(6.5.01)をもつ“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7415	A		保存用紙	ほぞんようし	permanent paper	“図書館”(3.1.04)、“文書館”(3.1.02)、その他保護された環境下で、長期の“保管(2)”(6.1.08)の間、“利用”(6.1.25)に影響するような特性変化がない、又は極めて少ない	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7416	A		リクレーム紙	りくれーむし	reclaimed paper	紙製品の製造過程で発生する廃棄物起源の繊維、又は“損紙”(6.5.03)を混入した“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7417	A		再生紙	さいせいし	recycled paper	使用後回収した“紙”(6.5.01)からの繊維を混入した“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7418	A		耐久紙	たいきゅうし	durable paper	特定の試験条件で測定される“耐久性”(6.2.02)への要求を満たす“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7419	A		新聞巻取紙	しんぶんまきとりがみ	newsprint	“砕木パルプ紙”(6.5.04)にてん(填)料を全く又はほとんど加えずに作った“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7420	A		アート紙(1)	あーとし(1)	art paper(1)	高級な描画“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7421	A		アート紙(2)	あーとし(2)	art paper(2)	謄写“印刷”(1.2.17)のための、木砕パルプを含まない“塗工紙”(6.5.18)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7422	A		イミテーションアート紙	いみてーしょんあーとし	imitation art paper	“アート紙(2)”(6.5.13)の性質をもたせるため“てん(填)料”(6.5.33)を極端に高配合し、カレンダ仕上げを強化した“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7423	A		インディアペーパー	いんでぃあぺーぱー	India paper	“本”(2.4.01)の体積を少なく印刷するための、薄く、高密度、かつ、不透明で、耐久性の高い印刷用紙。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7424	A		地図用紙	ちずようし	plan paper, map paper	高い強さと特性、特に“引張強さ”(6.2.11)、“耐折強さ”(6.2.13)、耐摩耗性、並びに高い“寸法安定性”(6.2.23)を備えた、高度にサイズした“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7425	A		証券用紙	しょうけんようし	security paper	偽造防止のための識別用の特徴をもたせた“紙”(6.5.01)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7426	A		塗工紙	とこうし	coated paper	“紙の仕上げ”(6.3.03)を改善するため、クレーその他の材料を塗工した“紙”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7427	A		カレンダ処理紙	かれんだしょりし	calendered paper	ローラを通過させることによって、表面を平滑にした“紙” (6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7428	A		無サイズ紙	むさいずし	unsized paper	“サイズ剤”(6.5.30)を加えていない“紙”(6.5.01)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7429	A		顔料	がんりょう	pigment	“担体(1)”(6.1.06)に“色”(6.2.30)をもたせるために用いる、通常、微細な非溶解性粒子からなる物質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7430	A		インク	いんく	ink	“顔料”(6.5.21)、“染料”(6.5.23)、又はそれらの混合物からなる線描用液体。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7431	A		染料	せんりょう	dye	“含浸”(6.7.13)によって、“データ媒体”(1.1.4.02)又は“担体(1)”(6.1.06)に、必要な“色”(6.2.30)を与えるための、天然物質又は合成物質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7432	A		絵具	えのぐ	paint	液体又は“顔料”(6.5.21)を含む粉体で、“データ媒体” (1.1.4.02)に塗布することによって、保護、装飾そのほかの特性をもつ不透明な薄膜を形成するもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7433	A		溶剤	ようざい	solvent	自身の化学組成を変えることなく、他の物質を溶解又は希釈する特性をもった、通常、液体の物質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7434	A		溶液	ようえき	solution	固体又は気体が、“溶剤”(6.5.25)と混合物を作ることによって液体に変化したもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7435	A		接着剤	せっちゃくざい	adhesive	化学的作用、機械的作用又はその両者によって、材料を接合する物質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7436	A		にかわ	にかわ	glue	動物の皮若しくは骨、又は合成改質高分子炭化水素から作る“接着剤”(6.5.27)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7437	A		のり	のり	paste	通常、でん粉と水から作る柔らかい可塑性の“接着剤”(6.5.27)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7438	A		サイズ剤	さいずざい	size	“紙”(6.5.01)パルプ又は紙の表面に添加し、“吸収性”(6.2.03)を減じ、強度を高める物	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7439	A		硫酸ばんど	りゅうさんばんど	alum	<製紙>“サイズ剤”(6.5.30)として用いるロジンと組み合わせて使う硫酸アルミ。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7440	A		緩衝剤	かんしょうざい	buffer	“アルカリ量”(6.2.08)を確保するのに用いる物質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7441	A		てん(填)料	てんりょう	filler(1)	<製紙>特定の性質をもたせるために、製品に添加する不活性物質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7442	A		充てん(填)剤	じゅうてんざい	filler(2)	<修復>“事物”(1.1.1.02)のささいな“損傷”(6.1.14)を直すのに用いる“のり”(6.5.29)又は	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7443	A		酢酸セルロース	さくさんせるろーす	cellulose acetate	セルロースの酢酸エステル。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7444	A		間紙(かんし)	かんし	carrier sheet	“ページ”(2.4.22)間で、“転写”(6.6.21)又は化学薬品の拡散を防ぐために挿入する“紙”(6.5.01)シート。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7445	A		羊皮紙	ようひし	parchment	動物の皮を加工して得られた物質。通常、羊又はやぎの皮。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7446	A		ベラム	べらむ	vellum	子牛の皮から作られる上質の“羊皮紙”(6.5.37)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7447	A		薄葉紙(うすようし)	うすようし	tissue	軽量の“無サイズ紙”(6.5.20)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7448	A		修復薄葉紙	しゅうふくうすようし	repair tissue	“紙”“資料”の“修復”(6.1.04)の場合、上張りとして使うための“薄葉紙”(6.5.39)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7449	A		薄葉和紙	うすようわし	Japanese tissue	植物繊維からできた“修復薄葉紙”(6.5.40)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7450	A		損耗	そんもう、そんこう	wear and tear	“資料”(1.2.02)の“取扱い”(6.1.24)及び“利用”(6.1.25)の場合に、加えられる機械的力に起因する“損傷”(6.1.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7451	A		摩耗	まもう	abration	ほかの材料との接触によって、材料が擦れ、摩滅することに起因する“損傷”(6.1.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7452	A		ブロッキング(1)	ぶろっきんぐ(1)	blocking	“リーフ”(2.4.21)の接着。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7453	A		保じん(塵)性	ほじんせい	dust retention	ちりを寄せ、保持する表面特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7454	A		ふくれ	ふくれ	blister	材料の部分的な凸面状の変形。トラップされた空気、気体及び液体によって起きる。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7455	A		ぜい(脆)化	ぜいか	embrittlement	材料の特性が“可とう(撓)性”(6.2.15)から“ぜい(脆)性” (6.2.20)に変化すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7456	A		おちょこ	おちょこ	buckling	一つ以上の平面のゆがみによって原型を失うこと。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7457	A		波打ち	なみうち	cockling	一つの平面で波状に起きる“おちょこ”(6.6.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7458	A		カール	かーる	curling	シートの一平面で“おちょこ”(6.6.07)がおき、シート自身で丸まること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7459	A		き(亀)裂	きれつ	cracking	“事物”(1.1.1.02)の表面又は内部で、連続性が失われる“損傷” (6.1.14)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7460	A		ひび割れ	ひびわれ	crazing	“事物”(1.1.1.02)の全表面に、模様状に拡がる“き裂”(6.6.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7461	A		漏えい(洩)	ろうえい	exudation	“事物”(1.1.1.02)の表面に、液体内容物が漏れ出すこと。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7462	A		色あせ	いろあせ	fugitive colours	“色堅ろう性”(6.2.07)を欠く“顔料”(6.5.21)又は“染料”(6.5.23)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7463	A		クリープ(1)	くりーぷ(1)	creep (1)	長期にわたり定常荷重を受けることによって、“資料” (1.2.02)が寸法拡大変形すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7464	A		クリープ(2)	くりーぷ(2)	creep (2)	“接着剤”(6.5.27)が、当初使用された場所から経年で拡散すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7465	A		湿潤伸び	しつじゅんのび	damp stretching	湿気を吸収することによって、“資料”(1.2.02)が寸法拡大変形すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7466	A		湿潤収縮	しつじゅんしゅうしゅく	shrinking	湿気を吸収することによって、“資料”(1.2.02)が寸法縮小変形すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7467	A		切り落とし	きりおとし	cropping	“資料” (1.2.02)の一部が切り落とされ、寸法又は“情報(1)”(1.1.3.08)内容に変化を来	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7468	A		折れ込み	おれこみ	dog-eared	製造上の“欠陥”(6.1.16)、故意の行為又は“損耗”(6.6.01)の結果として起きる、“リーフ”(2.4.21)の角の折り返し。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7469	A		ブリード	ぶりーど	bleeding	液体との接触によって、“顔料”(6.5.21)や“染料”(6.5.23)が流れ出したり、隣接部に拡散すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7470	A		転写	てんしゃ	off-setting	“印刷”(1.2.17)の過程、乾燥前及びその後の拡散において、インク、その他の“担体(1)”(6.1.06)が、隣接する“リーフ” (2.4.21)に移動すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7471	A		欠落	けつらく	loss	“資料”(1.2.02)の一部又は全部がないこと。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7472	A		欠像	けつぞう	lacuna	画像“資料”(1.2.02)からの“記録情報”(1.1.3.10)の“欠落”(6.6.22)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7473	A		ホリデー	ほりでー	holiday	“接着剤”(6.5.27)に覆われた面のうち、他の面と接合していない部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7474	A		変色	へんしょく	discolouration	“色”(6.2.30)の濃度又は“質”(1.3.02)の変化。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7475	A		汚点	おてん	stain	異物との接触によって起こる“変色”(6.6.25)した部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7476	A		水ぬれ跡	みずぬれあと	damp stain	水との接触で起こる“汚点”(6.6.26)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7477	A		きつね(狐)色変色	きつねいろへんしょく	foxing	小褐色点の形態の“紙”(6.5.01)の“変色”(6.6.25)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7478	A		黄色化	おうしょくか	yellowing	“経年変化”(6.1.22)による“変色”(6.6.25)。徐々に暗色化し更には茶色化する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7479	A		退色(1)	たいしょく(1)	bleaching(2)	“色”(6.2.30)の強度が失われる“変色”(6.6.25)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7480	A		退色(2)	たいしょく(2)	fading	漸進的な“退色(1)”(6.6.30)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7481	A		光劣化	ひかりれっか	photodegradation	光の作用による“劣化”(6.1.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7482	A		酸劣化	さんれっか	acid deterioration	内部又は外部の化学薬品の反応によって起こる“劣化” (6.1.13)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7483	A		酸の拡散	さんのかくさん	acid migration	酸性材料から、それに接触している、より酸性度の低い材料へ酸が移動すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7484	A		酸化	さんか	oxidation	電子交換によって、化合物の性質を変化させるような化学反応の効果。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7485	A		はく(剥)離	はくり	delamination(1)	積層材料の接合損傷、又は“接着剤”(6.5.27)の損傷の結果、積層材料の層がはがれる	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7486	A		クリーニング	くりーにんぐ	cleaning	“資料” (1.2.02)から異物の除去。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7487	A		物理的クリーニング	ぶつりてきくりーにんぐ	mechanical cleaning	機械的方法による、“資料”(1.2.02)表面からのほこり、汚れなどの“クリーニング”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7488	A		乾式クリーニング	かんしきくりーにんぐ	dry cleaning	磨き剤による“クリーニング”(6.7.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7489	A		洗浄	せんじょう	washing	水の浸せき、又は水を表面に塗布することによる“クリーニング”(6.7.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7490	A		酵素	こうそ	enzyme	生体外で作用し、特定の生化学反応に触媒作用をする天然有機物質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7491	A		酵素クリーニング	こうそくりーにんぐ	biological cleaning	“酵素”(6.7.05)を使った“クリーニング”(6.7.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7492	A		化学クリーニング	かがくくりーにんぐ	chemical cleaning	化学物質の浸せき、又は化学物質を表面に塗布することによる“クリーニング”(6.7.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7493	A		化学漂白	かがくひょうはく	bleaching(3)	酸化剤又は還元剤を用いた“化学クリーニング”(6.7.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7494	A		脱酸処理	だつさんしょり	deacidification	“事物”(1.1.1.02)の“保存”(6.1.01)のために、アルカリ性物質を使って材料の”pH値”(6.2.29)を上げること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7495	A		水性脱酸	すいせいだつさん	aqueous deacidification	水溶液を用いた“脱酸処理”(6.7.09)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7496	A		非水性脱酸	ひすいせいだつさん	non-aqueous	非水溶液を用いた“脱酸処理”(6.7.09)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7497	A		再サイジング	さいさいじんぐ	resizing	“サイズ剤”(6.5.30)を用いて、“事物”(1.1.1.02)の機械強度を向上させる“修復”(6.1.04)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7498	A		含浸	がんしん	impregnation	材料へ液体を注入し又は吸収させること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7499	A		駆除	くじょ	disinfestation	昆虫、小げっ(齧)歯動物、その他の害虫を排除すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7500	A		殺菌	さっきん	disinfection	有害な“微生物”(6.4.01)を破壊すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7501	A		くん(燻)蒸	くんじょう	fumigation	真空又は気密容器中で、“資料”(1.2.02)を気体又は蒸気にさらし、“駆除”(6.7.14)又は“殺菌”(6.7.15)すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7502	A		加湿(1)	かしつ(1)	humidification(1)	温度を一定に保ちながら、相対湿度を上げること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7503	A		加湿(2)	かしつ(2)	humidification(2)	“加湿(1)”(6.7.17)によって、材料の絶対湿度を上げる“資料保全”(6.1.03)処理。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7504	A		除湿	じょしつ	dehumidification	“相対湿度”(6.1.27)を減ずること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7505	A		解本	かいほん	pulling	製本された“本”(2.4.01)を、構成部分に分解すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7506	A		緩和	かんわ	relaxation	“資料”(1.2.02)を原状に復帰させるため、又は以後の“資料保全”(6.1.03)処理をしやすくするために、“資料”(1.2.02)をより柔軟にする“資料保全”(6.1.03)処理。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7507	A		平面化	へいめんか	flattening	“資料”(1.2.02)から平面歪みを取り去ること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7508	A		マウンティング	まうんてぃんぐ	mounting	別の“データ媒体”(1.1.4.02)を“資料”(1.2.02)に接合する“資料保全”(6.1.03)処理。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7509	A		裏打ち	うらうち	backing	“資料”(1.2.02)を極力原状に保ちながら、裏側に補強層を加えること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7510	A		エンキャプシュレーション	えんきゃぷしゅれーしょん	encapsulation	不活性で透明な材料の層間に、材料を密閉すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7511	A		ラミネーション	らみねーしょん	lamination	“紙”(6.5.01)シートの補強及び保護のために、シートの片面又は両面に、接着によって透明材料を固定すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7512	A		絹張り補強	きぬばりほきょう	silking	絹ガーゼを使う“ラミネーション”(6.7.26)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7513	A		熱シール	ねつしーる	heat-sealing	熱及び圧力で接着を行う“ラミネーション”(6.7.26)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7514	A		溶媒ラミネーション	ようばいらみねーしょん	solvent lamination	化学作用で接着を行う“ラミネーション”(6.7.26)。通常、溶媒ラミネーションは、酢酸セルロースに対してアセトンを使用する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7515	A		デラミネーション	でらみねーしょん	delamination(2)	物理的又は化学的方法により“ラミネーション”(6.7.26)した材料を取り去ること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7516	A		ドライマウンティング	どらいまうんてぃんぐ	dry mounting	熱及び圧力を使った非液体の“接着剤”(6.5.27)により接合するマウンティング”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7517	A		エンキャプシュレーションマウンティング	えんきゃぷしゅれーしょんまうんてぃんぐ	encapsulation mounting	“資料”(1.2.02)の一部又は全部が見えるような穴の空いた上側の材料と、“データ媒体”(1.1.4.02)とからなる“マウンティング”(6.7.23)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7518	A		インフィリング	いんふぃりんぐ	infilling	材料の欠落部分を適切な材料で置き換えること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7519	A		ペーパースプリット法	ぺーぱーすぷりっとほう	paper splitting	“紙”(6.5.01)のシートを二つの面に分けること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7520	A		す(漉)きば(嵌)め法	すきばめほう	leafcasting	真空吸引によってパルプを、“紙” “資料”にインフィリングすること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7521	A		大量修復保存	たいりょうしゅうふくほぞん	mass conservation	自動化した“資料保全”(6.1.03)処理技術を用い、大量の“資料” (1.2.02)を同時に処理すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7522	A		画像処理による復元	がぞうしょりによるふくげん	image enhancement	光学的又は電子的技術によって、退色したり、不完全な“資料” (1.2.02)中の“情報(1)”(1.1.3.08)内容を再創造すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7523	A		製本	せいほん	binding(2)	“リーフ” (2.4.21)をまとめ、“表紙” (6.8.13)に接合するプロセス及び技術。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7524	A		中身	なかみ	book block	“製本” (6.8.01)の準備作業として“本” (2.4.01)単位でまとめられた“リーフ” (2.4.21)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7525	A		折り丁(1)	おりちょう(1)	section	“製本” (6.8.01)の目的のための一単位として扱う、折った“リーフ” (2.4.21)をまとめたも	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7526	A		折り丁(2)	おりちょう(2)	signature	“本” (2.4.01)中の“折り丁(1)”(6.8.03)を形成する、印刷されたシートを折ったもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7527	A		入紙	いりがみ	insert	“テキスト” (1.1.2.04)とは別に印刷されたシート又は“折り丁(2)”(6.8.04)で、“製本” (6.8.01)過程で“中身” (6.8.02)に縫いつけ、又ははり込まれたもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7528	A		まくら(枕)	まくら	guard, hinge(2)	“製本” (6.8.01)に歪みを与えることなく追加物を挿入できるように、“中身” (6.8.02)に縫いつける布片又は“紙片”(6.5.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7529	A		背	せ	back	“中身” (6.8.02)の“と(綴)じ小口” (6.8.19)をつないだもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7530	A		背ばり	せばり	lining	“くるみ表紙” (6.8.14)の“背表紙” (6.8.17)又は“中身” (6.8.02)の“背” (6.8.07)に、“接着剤”(6.5.27)で付けられた材料。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7531	A		寒冷しゃ(紗)	かんれいしゃ	super	合本製本の場合、“背” (6.8.07)又は“中身” (6.8.02)に、にかわ付けされた粗い布で、“くるみ表紙” (6.8.14)製本された“本” (2.4.01)の最初の“背ばり”(6.8.08)を形成するも	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7532	A		見返し	みかえし	endpaper	合本製本の場合“中身” (6.8.02)に接合された折った“紙” (6.5.01)のシートで、“本” (2.4.01)が“くるみ表紙” (6.8.14)に収められるとき、外側の“ページ” (2.4.22)は、“平” (6.8.15)の内側に“接着剤”(6.5.27)で固定される。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7533	A		きき紙	ききがみ	paste-down	“平” (6.8.15)の内側にのり付けされた方の、“見返し”(6.8.10)の半分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7534	A		見返しの遊び	みかえしのあそび	fly-leaf	“本” (2.4.01)の最初と最後に、“見返し”(6.8.10)と最初・最後の“折り丁(1)”(6.8.03)の間に挿入する白紙。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7535	A		表紙	ひょうし	cover	“利用” (6.1.25)する場合に、“中身” (6.8.02)を保護するため、“中身” (6.8.02)の両わき(脇)及び“背” (6.8.07)に固定する材料。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7536	A		くるみ表紙	くるみひょうし	case	“中身” (6.8.02)にはり付ける前に、作成される“表紙” (6.8.13)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7537	A		平(ひら)	ひら	board(2)	“表紙” (6.8.13)の一部分として“中身” (6.8.02)の両脇に固定される“板紙” (6.5.02)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7538	A		製本用板紙	せいほんようのいたがみ	binder's board	“平” (6.8.15)として使うための剛直堅ろうな“板紙” (6.5.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7539	A		背表紙	せびょうし	spine	“本” (2.4.01)の“背” (6.8.07)及びその上にかぶる“表紙” (6.8.13)の部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7540	A		前小口	まえこぐち	fore edge	“本” (2.4.01)の“リーフ” (2.4.21)の前側。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7541	A		と(綴)じ小口	とじこぐち	binding edge	“本” (2.4.01)の“リーフ” (2.4.21)又は“折り丁(1)”(6.8.03)の後ろ側。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7542	A		溝	みぞ	joint	“表紙” (6.8.13)を開閉する場合に、折り曲がるようにした、“背表紙” (6.8.17)と“表紙”の外側接合部。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7543	A		のど布	のどぬの	hinge(1), inner joint	“背表紙” (6.8.17)と“表紙” (6.8.13)の接合部の内側。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7544	A		のど空き	のどあき	gutter	“本” (2.4.01)の対面する“ページ” (2.4.22)の内側の余白によってできる空間。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7545	A		全装製本	ぜんそうせいほん	full binding	“背表紙”(6.8.17)と両側に同じ素材を使う、“本”(2.4.01)の完全な“製本” (6.8.01)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7546	A		クロス製本	くろすせいほん	cloth binding	堅い“平”(6.8.15)に布を用いた“全装製本”(6.9.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7547	A		半皮製本	はんかわせいほん	half binding	“平”(6.8.15)の幅の四分の一まで“背表紙”(6.8.17)が伸び、“平”の角又は“前小口”(6.8.18)が、ほかの側と異なる素材で覆われている“製本”(6.8.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7548	A		七分革製本	しちぶかわせいほん	three-quarter binding	“平”(6.8.15)の幅の四分の三まで“背表紙”(6.8.17)が伸び、“平”(6.8.15)の角又は“前小口”(6.8.18)が、ほかの側と異なる素材で覆われている“製本”(6.8.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7549	A		背革製本	せがわせいほん	quarter binding	“背表紙”(6.8.17)がほかの側と異なる素材で覆われている“製本”(6.8.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7550	A		図書館製本	としょかんせいほん	library binding	厳しい“利用”(6.1.25)を意図した製本。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7551	A		柔軟製本	じゅうなんせいほん	flexible binding, leaf attachment method	“本”(2.4.01)が平面的に開けるように、糸とじ及び表紙付けした“製本”(6.8.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7552	A		無線とじ	むせんとじ	adhesive binding, perfect binding	“リーフ”(2.4.21)を“接着剤”(6.5.27)を用いてまとめる“製本”(6.8.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7553	A		メカニカルバインディング	めかにかるばいんでぃんぐ	mechanical binding	“リーフ”(2.4.21)をまとめるのに、糸又は“接着剤”(6.5.27)を使わずに、機械的方法を用いる“製本”(6.8.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7554	A		ら(螺)旋とじ	らせんとじ	spiral binding	“リーフ”(2.4.21)と両側の“表紙”(6.8.13)に並べて穴をあけ、ら旋状のワイヤを通すことによる“メカニカル・バインディング”(6.9.09)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7555	A		コーム製本	こーむせいほん	comb binding	柔軟な“背表紙”(6.8.17)から伸びる湾曲したつめ(爪)を、“リーフ”(2.4.21)及び“表紙”(6.8.13)の間けつ(欠)に差し込むことによる“メカニカル・バインディング”(6.9.09)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7556	A		総繰り	そうくり	collation	“リーフ”(2.4.21)又は“折り丁(1)”(6.8.03)の集まりで、それらが正しい順序に並んだも	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7557	A		糸とじ	いととじ	sewing	針及び糸を使って“折り丁(1)”(6.8.03)を固定すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7558	A		オーバーソーイング	おーばーそーいんぐ	oversewing	“リーフ”(2.4.21)又は“折り丁(1)”(6.8.03)を、糸又はテープに固定して“中身”(6.8.02)を形成するための“糸とじ”(6.10.02)技法で、各“折り丁(1)”(6.8.03)の“背”(6.8.07)を糸が取り囲み、“リーフ”(2.4.21)を固定する。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7559	A		鎖とじ	くさりとじ	kettle stitching	“折り丁(1)”(6.8.03)を糸又はワイヤでつなぐために用いる、結び目のある糸。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7560	A		締めかがり	しめかがり	stitching	“リーフ”(2.4.21)又は“折り丁(1)”(6.8.03)を、糸又はワイヤでつなぐこと。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7561	A		平とじ	ひらとじ	side stitching	“本”(2.4.01)の厚さ方向に、糸又はワイヤが貫通するような“締めかがり”(6.10.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7562	A		中とじ	なかとじ	saddle stitching	金属のステープルが、“本”(2.4.01)の中央の折り目を貫通し、単一の“折り丁(1)”(6.8.03)を形成するような“締めかがり”(6.10.05)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7563	A		は(貼)り込み	はりこみ	tipping-in	挿入する“リーフ”(2.4.21)の一端に、“接着剤”(6.5.27)を細く塗り、ほかの“リーフ”(2.4.21)と接合すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7564	A		くるみ	くるみ	casing-in	“中身”(6.8.02)の“見返し”(6.8.10)の外側に、“接着剤”(6.5.27)を塗り、“中身”(6.8.02)を“くるみ表紙”(6.8.14)に固着する過程。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7565	A		下ごしらえ	したごしらえ	forwarding	“見返し”(6.8.10)の“はり込み”(6.10.08)を含む、“丸み耳だし”(6.10.14)及び“背表紙”(6.8.17)の“背ばり”(6.8.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7566	A		のり付け	のりづけ	gluing-off	“糸とじ”(6.10.02)の後、“中身”(6.8.02)の“背”(6.8.07)に“接着剤”(6.5.27)を塗るプロセ	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7567	A		ニッピング	にっぴんぐ	nipping	糸の張力によって起きる膨張を減らすために、“糸とじ”(6.10.02)し、“背”(6.8.07)を“のり付け”(6.10.11)した後、“中身”(6.8.02)に圧力をかけること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7568	A		あじろ(網代)とじ	あじろとじ	notching	“無線とじ”(6.9.08)の場合、“中身”(6.8.02)の“背”(6.8.07)に溝を切っておくこと。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7569	A		丸み耳だし	まるみみみだし	rounding and backing	化粧裁ちの後、“背ばり”(6.8.08)装着の前に“中身”(6.8.02)を整形すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7570	A		公文書	こうぶんしょ	public record (2)	国内法で定められた“記録”(1.1.3.11)及び“アーカイブズ(1)”(3.1.01)	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7571	A		非譲渡性、非侵害性	ひじょうとせい、ひしんがいせい	inalienability, inviolability	法的資格のない何人へも、“公文書”(7.1.01)の所有権を移転できない原則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7572	A		非時効性	ひじこうせい	imprescriptibility	非譲渡性公共財のゆえに、“公文書”(7.1.01)が無期限に“資料返還請求”(4.1.2.34)の対象にとどめられる原則。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7573	A		証明	しょうめい	certification (1)	“資料”(1.2.02)又は“原本”(2.1.05)若しくは“コピー(1)”(2.1.06)の公的性格を明らかにする行為。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7574	A		認証	にんしょう	certification (2)	保証制度において、あらかじめ定められた要求に、製品及びサービスがどの程度、合致しているかを明らかにする宣言。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7575	A		認証謄本	にんしょうとうほん	certified copy	適格な権威が証する“コピー(1)”(2.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7576	A		登録簿	とうろくぼ	register	法的権威が公式に“データ”(1.1.4.01)を記入した“資料”(1.2.02)。通常は、“本”(2.4.01)となっている。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7577	A		法律	ほうりつ	act	立法府又は公的権威の決定を、公式に収載した“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7578	A		文化財法(文化財保護法)	ぶんかざいほう(ぶんかざいほごほう)	cultural property law	国家的文化遺産の一部を形成する私的所有の“資料”(1.2.02)及びほかの資料の販売輸出を規制する“法律”(7.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7579	A		公報	こうほう	official bulletin	法的性格をもつ“情報(2)”(1.1.3.09)の公的典拠となる“資料”(1.2.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7580	A		封印	ふういん	seal (1)	権威を付するため、道具によって押印し、何らかの方法で“資料”(1.2.02)に添付するはじめ柔かい材料。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7581	A		印具	いんぐ	seal (2)	“封印”(7.1.11)に用いる道具。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7582	A		公印	こういん	bull (2)	高い公式性をもつ“資料”(1.2.02)に付する“封印”(7.1.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7583	A		領収印	りょうしゅういん	stamp (2)	権威に適正料金を払ったことを示す印符又は捺印。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7584	A		知的創作物	ちてきそうさくぶつ	intellectual work	知的活動の結果、“独創性”(7.2.1.05)又は“新規性”(7.2.1.06)のゆえに、“著作権”(7.2.2.02)又は“工業所有権”(7.2.3.1.02)を取得できる“資料”(1.2.02)の内容。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7585	A		保護	ほご	protection	“知的創作物”(7.2.1.01)に与えられる“著作者権”(7.2.2.01)又は“工業所有権”(7.2.3.1.02)の法的保証。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7586	A		公有	こうゆう	public domain	“倫理権”(7.2.2.1.01)の侵害のない限り、自由に使用できる“知的創作物”(7.2.1.01)の	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7587	A		従来技術	じゅうらいぎじゅつ	prior art	“特許出願”(7.2.3.3.02)の“優先日”(7.2.3.3.09)以前に、“説明”(7.2.3.4.02)、口述、使用又はほかの方法で、公衆に供されたすべての内容。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7588	A		独創性、創意の高さ	どくそうせい、そういのたかさ	originality	既存の“知的創作物”(7.2.1.01)又はその組合せからは直ちに導くことのできない知的創作物の質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7589	A		新規性	しんきせい	novelty	既存の“知的創作物”(7.2.1.01)から区別される知的創作物の質。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7590	A		新規性調査	しんきせいちょうさ	novelty search	“発明”(7.2.1.08)の“新規性”(7.2.1.06)又は独創性(7.2.1.05)に影響する“要素”(1.1.1.04)の探索。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7591	A		発明	はつめい	invention	“事物”(1.1.1.02)、道具若しくは物質の組合せ又は生産の過程に関し、“特許性”(7.2.1.09)をもつ“知的創作物”(7.2.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7592	A		特許性	とっきょせい	patentability	“工業知的財産”(7.2.3.1.01)分野にあって、“特許”(7.2.3.1.10)の法的要件を満たす“知的創作物”(7.2.1.01)の特性。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7593	A		使用許諾	しようきょだく	license	特定の条件のもとで、“知的創作物”(7.2.1.01)の利用の権利を承諾する公的手順。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7594	A		譲渡	じょうと	assignment	“著作者権”(7.2.2.01)、発明者の権利又は“工業所有権”(7.2.3.1.02)の個人又は法人への移転。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7595	A		盗作、海賊行為	とうさく、かいぞくこうい	pirated work piracy	“知的創作物”(7.2.1.01)の全部又は一部に関し、付随する権利を侵害した、複製、公演若しくは“コミュニケーション”(1.1.3.01)又は“二次資料”(1.2.03)の作成。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7596	A		ひょうせつ(剽窃)	ひょうせつ	plagiary	ほかの“著作者”(4.2.1.5.03)の“知的創作物”(7.2.1.01)の全部又は一部を借用又は模倣によって、自己の知的創作物として提示する行為。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7597	A		公正使用	こうせいしよう	fair dealing	法律が規定し又は条約が承認する制限に従った、“知的創作物”(7.2.1.01)の自由使	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7598	A		著作者権	ちょさくしゃけん	author's rights	“知的創作物”(7.2.1.01)の“著作者”(4.2.1.5.03)に与えられるすべての権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7599	A		著作権	ちょさくけん	copyright	“知的創作物”(7.2.1.01)を利用する独占的権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7600	A		著作権表示	ちょさくけんひょうじ	copyright notice	“著作権”(7.2.2.02)の年及び所有者を示す“出版事項”(4.2.1.5.10)の表示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7601	A		隣接権	りんせつけん	neighbouring rights	文学的又は美術的制作への貢献者に与えられる“著作者権”(7.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7602	A		死後発行権	しごはっこうけん	right of posthumous publication	“著作者”(4.2.1.5.03)が死亡した場合、未公刊であった“知的創作物”(7.2.1.01)、の所有者の“著作者権”(7.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7603	A		翻訳権	ほんやくけん	right of translation	“知的創作物”(7.2.1.01)の“翻訳”(1.1.2.25)を許諾する著作者権(7.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7604	A		翻訳許諾	ほんやくきょだく	translation license	“知的創作物”(7.2.1.01)の最初の“出版物”(2.1.11)の期日から7年後まで、ある“言語”(1.1.2.01)への“翻訳”(1.1.2.25)がなされてなく、“翻訳権”(7.2.2.06)所有者から許諾が得られないことを証することができるときに、当該言語への翻訳を許可する非独占的権	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7605	A		排他的権利	はいたてきけんり	exclusive rights	“知的創作物”(7.2.1.01)による利益から他を排する“著作者権”(7.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7606	A		倫理権	りんりけん	moral right	“著作者権”(7.2.2.01)のうち、永久的、非譲渡性及び非時効のもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7607	A		氏名表示権、氏名尊重権、氏名権	しめいひょうじけん、しめいそんちょうけん、しめいきそんきょぜつけん、ちょさくぶつそんちょうけん、どういつせいほじけん	right to be identified	著作者が希望するとおりに“知的創作物”(7.2.1.01)に署名し、及び引用され上演される際は、常に氏名を表示される“著作者”(4.2.1.5.03)の“倫理権”(7.2.2.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7608	A		き(毀)損拒絶権、著作物尊重権、同一性保持権	わい曲、又はき(毀)損行為に対し、“知的創作物”(7.2.1.01)を保護する“倫理権”(7.2.2.1.01)。	right to object to derogatory treatment		JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7609	A		公表権	こうひょうけん	right of disclosure	“知的創作物”(7.2.1.01)を発行するか、しないかを決める“著作者”(4.2.1.5.03)の“倫理権”(7.2.2.1.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7610	A		修正・引上権	しゅうせい・ひきあげけん	right of correction or withdrawal	“出版者”(1.3.14)に正当に補償を支払う条件で、いかなるときにも“知的創作物”(7.2.1.01)を廃し、修正し又は配布から回収する“著作者”(4.2.1.5.03)の“倫理権”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7611	A		経済権	けいざいけん	economic rights	金銭上の利益のため、“知的創作物”(7.2.1.01)の利用を独占的に与えられる“著作者権”(7.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7612	A		実演権	じつえんけん	right of public performance	“知的創作物”(7.2.1.01)の上演又は“コミュニケーション”(1.1.3.01)に関する決定を行う“著作者権”(7.2.2.01)所有者の“経済権”(7.2.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7613	A		複製権	ふくせいけん	right of reproduction	“知的創作物”(7.2.1.01)の複製の形式及び可否を決める“著作者権 ”(7.2.2.01)所有者の“経済権”(7.2.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7614	A		翻案権	ほんあんけん	right of adaptation	“知的創作物”(7.2.1.01)の“二次資料”(1.2.03)の創作を許諾する“著作者権”(7.2.2.01)所有者の“経済権”(7.2.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7615	A		使用料請求権	しようりょうせいきゅうけん	right to royalties	“知的創作物”(7.2.1.01)の利用によって、定期的に払われる利益の分配を受ける“著作者権”(7.2.2.01)所有者の“経済権”(7.2.2.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7616	A		工業知的財産	こうぎょうちてきざいさん	industrial property	“発明”(7.2.1.08)、“意匠”(7.2.3.1.08)、“商標”(7.2.3.1.05)、“サービスマーク”(7.2.3.1.07)又は“名称”(1.1.2.13)の所有。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7617	A		工業所有権	こうぎょうしょゆうけん	industrial property title	“特許庁”(7.2.3.1.11)に出願し、許可され、登録される独占的“工業知的財産”(7.2.3.1.01)の権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7618	A		実用新案	じつようしんあん	utility model patent	通常、“特許性”(7.2.1.09)より短かい期間と、より低い保護条件で、許可される限定的“工業所有権”(7.2.3.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7619	A		発明者証、特許証(特許法)	はつめいしゃしょう、とっきょしょう(とっきょほう)	inventor's certificate	“発明”(7.2.1.08)に対して、“倫理権”(7.2.2.1.01)及び発明者への公正な支払を許可し、全“経済権”(7.2.2.2.01)を留保する“工業所有権”(7.2.3.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7620	A		商標	しょうひょう	trade mark	企業の製品を区別するに用いられる“サイン”(1.1.3.02)又は“記号”(1.1.2.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7621	A		登録商標表示	とうろくしょうひょうひょうじ	registered trade mark	登録“商標”(7.2.3.1.05)の所有の表示。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7622	A		サービスマーク	さーびすまーく	service mark	企業のサービスを区別するのに用いられる“サイン”(1.1.3.02)又は“記号”(1.1.2.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7623	A		意匠	いしょう	design	“事物”(1.1.1.02)の全部又は一部の形状又は構成(内部又は外形)の様相又は“要素”(1.1.1.04)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7624	A		意匠簿	いしょうぼ	design document	“意匠”(7.2.3.1.08)の“記録(2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7625	A		特許、発明特許、独占特許	とっきょ、はつめいとっきょ、どくせんとっきょ	patent, patent of invention, exclusion patent	特定の期間、“発明”(7.2.1.08)、“実用新案”(7.2.3.1.03)又は“意匠”(7.2.3.1.08)に“保護”(7.2.1.02)を与える“工業所有権”(7.2.3.1.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7626	A		特許庁	とっきょちょう	patent office	“工業知的財産”(7.2.3.1.01)法の国の行政に当たり、特に、“工業所有権”(7.2.3.1.02)の登録、審査、許可及び発行を司る政府又は国際官庁。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7627	A		原特許	げんとっきょ	main patent	“追加特許”(7.2.3.2.02)が依存する“特許”(7.2.3.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7628	A		追加特許、(特許法第三一条)	ついかとっきょ、(とっきょほうだいさんじゅういちじょ	patent of addition	特許の対象である“発明”(7.2.1.08)の軽微な改善又は修正した“特許”(7.2.3.1.10)であって、通常、同じ所有者によるもの。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7629	A		改良特許	かいりょうとっきょ	improvement patent	“発明”(7.2.1.08)の改良であって、実施前に先行発明の所有者の許諾を必要とする“特許”(7.2.3.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7630	A		内国特許	ないこくとっきょ	national patent	1国だけに有効な“特許”(7.2.3.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7631	A		広域特許	こういきとっきょ	regional patent	共通の特許制度に合意した諸国に有効な“特許”(7.2.3.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7632	A		簡易特許	かんいとっきょ	petty patent	簡易な“特許出願”(7.2.3.3.02)で受理される短い有効期間の“特許”(7.2.3.1.10)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7633	A		事前公表	じぜんこうひょう	prior disclosure	“特許出願”(7.2.3.3.02)の“優先日”(7.2.3.3.09)に先立つ、同じ“著作者”(4.2.1.5.03)による同じ主題の“出版物”(2.1.11)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7634	A		特許出願	とっきょしゅつがん	patent application	管轄の“特許庁”(7.2.3.1.11)の“ファイリング”(4.3.1.2.01)用に提出された、“特許”(7.2.3.1.10)を得るための“特許明細書”(7.2.3.4.04)及び記入済み“フォーム”(2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7635	A		分割出願	ぶんかつしゅつがん	divisional application	二つ以上の“発明”(7.2.1.08)にわたるため、幾つかに分けた“特許出願”(7.2.3.3.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7636	A		優先権	ゆうせんけん	union priority right	最初、ある国で登録された“工業知的財産”(7.2.3.1.01)の“保護”(7.2.1.02)が、ほかのパリ条約の加盟国に行う第二の出願に対しても同じ優先が与えられる権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7637	A		特許証、特許抄本(1)	とっきょしょう、とっきょしょうほん(1)	letters patent, patent abridgement(1)	“工業所有権”(7.2.3.1.02)の証拠として、“特許庁”(7.2.3.1.11)が発行する文書。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7638	A		特許原簿	とっきょげんぼ	patent register	“特許出願”(7.2.3.3.02)及び“特許”(7.2.3.1.10)の“データ”(1.1.4.01)並びにその有効性と財産性の“登録簿”(7.1.07)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7639	A		特許の再発行	とっきょのさいはっこう	reissue of a patent	“発明”(7.2.1.08)の全部又は一部を無効又は実施不能とする、作為のない誤びゅう(謬)に対する訂正“請求”(5.1.11)を受けて、再審査に続く2回目の“特許”(7.2.3.1.10)の発	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7640	A		特許の再審査	とっきょのさいしんさ	re-examination of a	先立つ審査で考慮されなかった適切な“資料”(1.2.02)に基づく、登録済“特許”の再審	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7641	A		優先日	ゆうせんび	priority date	“特許”(7.2.3.1.10) の権利の開始日を定める“特許出願”(7.2.3.3.02) の最初の登録日。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7642	A		請求項	せいきゅうこう	claim	要求又は取得する“保護”(7.2.1.02) の範囲を規定する“発明”(7.2.1.08) の技術特性の	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7643	A		説明	せつめい	description (2)	“ドキュメンテーション”(1.2.01) 目的の、“発明”(7.2.1.08) の対象及び“特許明細書”(7.2.3.4.04) の内容のすべてで、明りょうな記述。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7644	A		特許抄録、特許抄本(2)	とっきょしょうろく、とっきょしょうほん(2)	patent abstract, paten adridgement(2)	“ドキュメンテーション”(1.2.01) 目的の、“発明”(7.2.1.08) の対象を示す簡単な“説明”(7.2.3.4.02)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7645	A		特許明細書	とっきょめいさいしょ	patent specification	“特許”(7.2.3.1.10) に関する“説明”(7.2.3.4.02) 及び“請求項”(7.2.3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7646	A		前文	ぜんぶん	preamble	“発明”(7.2.1.08) の分野を述べる“請求項”(7.2.3.4.01) の最初の部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7647	A		特徴部分	とくちょうぶぶん	characterizing portion	請求し、又は取得する“保護” (7.2.1.02) の範囲を述べ、かつ、必要な“独創性” (7.2.1.05) 及び“新規性”(7.2.1.06)をもつ、“発明”(7.2.1.08) の部分を特に記述する“請求項” (7.2.3.4.01) の第二の部分。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7648	A		主請求項	しゅせいきゅうこう	main claim	“保護”(7.2.1.02) の可及的広い範囲を含む第一の“請求項”(7.2.3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7649	A		独立形式請求項	どくりつけいしきせいきゅうこう	independent claim	“主請求項”(7.2.3.4.07) とは異なり、それには含まれない技術事項に言及する“請求項”(7.2.3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7650	A		従属形式請求項	じゅうぞくけいしきせいきゅうこう	dependent claim	先行の請求項に関係し、その請求項の範囲を限定し、明確にする“請求項”(7.2.3.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7651	A		被記録者	ひきろくしゃ	data subject	“個人データ”(7.3.2.01)が記録されている人。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7652	A		記録者	きろくしゃ	data holder	“データ”(1.1.4.01)を記録し、利用することが認められた人、又は機関。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7653	A		処理者	しょりしゃ	data handler	“データ”(1.1.4.01)を処理することが認められた人。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7654	A		第三者	だいさんしゃ	third party	“被記録者”(7.3.1.01)、データ使用者以外の人又は機関。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7655	A		使用者	しようしゃ	data user	“データ”(1.1.4.01)を操作することを認められた人又は機関。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7656	A		レジスター	れじすたー	register of data files	データコレクション(参照取る)と内容及び目的の記述。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7657	A		告知義務	こくちぎむ	obligation of notification	“使用者”(7.3.1.05)が、“個人データ”(7.3.2.01)を“保管”していることを知らせる義務。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7658	A		データ修正	でーたしゅうせい	modification of data	表現する“情報(2)”を変更するような“データ”(1.1.4.01)の更新。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7659	A		連携	れんけい	data linkage	単一の“被記録者”(7.3.1.01)に関する複数の情報限からの“データ”(1.1.4.01)の統合。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7660	A		データ健全性	でーたけんぜんせい	data integrity	合法的に収集し、検証し、蓄積し、最新状態に保たれている”データ”(1.1.4.01)の“質”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7661	A		個人データ	こじんでーた	personal data	個人として識別された、又は識別が可能な人に関する“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7662	A		無制限データ	むせいげんでーた	unrestricted data	公共的にアクセスできる、情報源から得た“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7663	A		匿名化されたデータ	とくめいかされたでーた	anonymyzed data	“被記録者”(7.3.1.01)に対する、直接の参照を取り除いた“個人データ”(7.3.2.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7664	A		取扱注意データ	とりあつかいちゅういでーた	sensitive data	“情報開示”(7.3.3.1.03)や誤使用によって、有害な効果を生じる可能性のある“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7665	A		機密データ	きみつでーた	classified data	“データ保護”(7.3.3.1.01)の程度に応じ、管理的手段によってアクセスが制限されている“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7666	A		極秘データ	ごくひでーた	confidential data	限定された人しかアクセスさせず、限定された使用を前提とした“データ”(1.1.4.01)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7667	A		データ保護	でーたほご	data protection	“データ”(1.1.4.01)に対して、資格のない“アクセス”(1.1.3.13)を避けるためにとられる、法的、管理的、技術的、物理的方策。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7668	A		データセキュリティ	でーたせきゅりてい	data security	“データ健全性”(7.3.1.10)を保証するために施された“データ保護”(7.3.3.1.01)の結果。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7669	A		情報開示	じょうほうかいじ	disclosure	“データ”(1.1.4.01)への“アクセス”(1.1.3.13)を“第三者”(7.3.1.04)に提供すること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7670	A		処理許可	しょりきょか	processing permit	記録“データ”(1.1.4.01)に特定の作業を行う資格を、“処理者”(7.3.1.03)又は“使用者”(7.3.1.05)に与えること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7671	A		アクセス承認	あくせすしょうにん	clearance	特定の“機密データ”(7.3.2.05)に対して、アクセスする資格を与えること。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7672	A		リグレーディング	りぐれーでぃんぐ	regrading	“機密データ”(7.3.2.05)の保護のレベルの変更。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7673	A		ダウングレーディング	だうんぐれーでぃんぐ	downgrading	“機密データ”(7.3.2.05)の保護のレベルを低くする“リグレーディング”(7.3.3.1.06)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7674	A		機密解除	きみつかいじょ	declassification	“機密データ”(7.3.2.05)に対する“アクセス”(1.1.3.13)の制限の取り除き。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7675	A		データ保護監視機関	でーたほごかんしきかん	data protection supervisory authority	“データ保護”(7.3.3.1.01)の法規制を執行する公機関又は公人。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7676	A		信任	しんにん	accrediation	“取扱注意データ”(7.3.2.04)を処理する資格の、“データ保護監視機関”(7.3.3.1.09)から	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7677	A		アクセス管理	あくせすかんり	access control	適切な“アクセス承認”(7.3.3.1.05)をもつ“使用者”(7.3.1.05) に、“アクセス”(1.1.3.13)を制限する方策。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7678	A		ブロッキング	ぶろっきんぐ	blocking of data, locking of data	保持する“データ”(1.1.4.01)の、入力、処理及び転送を防ぐ方策。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7679	A		同意	どうい	consent	法で定められているものを除き、“記録者”(7.3.1.02)が、“個人データ”(7.3.2.01)を記録する際に必要な“被記録者”(7.3.1.01)の許諾。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7680	A		知る権利	しるけんり	right to know	法で定められた種類の記録“データ”(1.1.4.01)の存在、それに施される操作、それに対して“アクセス”(1.1.3.13)を与えられた“第三者”(7.3.1.04)に関しての“知らせを受ける権	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7681	A		知らせを受ける権利	しらせをうけるけんり	right to be informed	“被記録者”(7.3.1.01)が、自分に関する“個人データ”(7.3.2.01)の存在、内容、目的及び利用に関して告知されることができる権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7682	A		閲覧権	えつらんけん	right to inspect	“被記録者”(7.3.1.01)が、自分に関する“個人データ”(7.3.2.01)を監視することができる	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7683	A		監視権	かんしけん	right of inspection	“データ保護監視機関”(7.3.3.1.09)が、“データ”(1.1.4.01)を参照し、管理することができ	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7684	A		コンプライアント権	こんぷらいあんとけん	right of compliant	“個人データ”(7.3.2.01)に関して“データ保護”(7.3.3.1.01)法規の侵害があったとき、法的訴訟をとることができる、“被記録者”(7.3.1.01)及び“データ保護監視機関”	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7685	A		訂正権	ていせいけん	right to correction	“被記録者”(7.3.1.01)が、自分に関する“個人データ”(7.3.2.01)の誤った記載を訂正することができる権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7686	A		消去権	しょうきょけん	right to deletion of data	“データ保護”(7.3.3.1.01)法規の侵害があったとき、“データ”(1.1.4.01)を消去することができる、“被記録者”(7.3.1.01)及び“データ保護監視機関”(7.3.3.1.09)の権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7687	A		ブロッキング権	ぶろっきんぐけん	right to data blocking, right to data locking	規則違反があると思われるとき、“ブロッキング”(7.3.3.2.03)をすることができる、“被記録者”(7.3.1.01)及び“データ保護監視機関”(7.3.3.1.09)の権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7688	A		アクセス権	あくせすけん	access to information, freedom of information	ある条件下で、政府機関の“記録 (2)”(2.2.1.08)に含まれる“情報(1)”(1.1.3.08)を得る権利。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7689	A		開示日	かいじび	access date	“記録(2)”(2.2.1.08)又は“アーカイブズ(1)”(3.1.01)が市民に開示される日付。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7690	A		自由アクセス記録	じゆうあくせすきろく	open access records	市民による“アクセス”(1.1.3.13)に制限のない“記録 (2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7691	A		限定アクセス記録	げんていあくせすきろく	restricted access records	市民による“アクセス”(1.1.3.13)に制限のある“記録 (2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7692	A		制限アクセス記録	せいげんあくせすきろく	closed access records	市民による“アクセス”(1.1.3.13)を認めない“記録 (2)”(2.2.1.08)。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46
7693	A		スクリーニング	すくりーにんぐ	screening	“限定アクセス記録”(7.3.5.04)又は“制限アクセス記録”(7.3.5.05)の存在を発見するために行う“所蔵資料”(3.1.13)の調査。	JIS X 0701	2005	ISO 5127	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7694	B		出版物	しゅっぱんぶつ	publication	通常大量部数で出版される文献であって、広く配布されるもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7695	B		一次文献	いちじぶんけん	primary document	重要で独自性に富んだ情報を提供する文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7696	B		二次文献	にじぶんけん	secondary document	一次文献から派生して作られた文献又は一次文献について述べる文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7697	B		図書	としょ	book	48ページを超える文献であって、書誌単位を構成するもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7698	B		単行出版物	たんこうしゅっぱんぶつ	monographic publication	本文と図の両方又はどちらか一方を肉眼で読める形で収録した単行書であって、1巻で完結するもの、限定された巻で完結するもの又は限定された巻で完結を予定しているものがある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7699	B		パンフレット	ぱんふれっと	pamphlet	最大48ページの文献であって、書誌単位を構成するもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7700	B		写本、稿本	しゃほん、こうほん	manuscript	手で書いた文献又は筆写した文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7701	B		原稿	げんこう	manuscript	記述又は口述筆記された文献で配布される前に著者が修正したものもある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7702	B		初期刊本、揺らん(籃)期本、インキュナブラ	しょきかんぼん、ようらんきぼん、いんきゅなぶら	incunabulum	活版印刷の文献であって、西暦1500年までに作られたとされているもの。(備)例えば、写真などについて、技術の揺らん(籃)期に作られた資料を示すこともある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7703	B		会議資料	かいぎしりょう	records, transactions	ある会議に関する議事録、通信及びその他の文献のシリーズ。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7704	B		会議録	かいぎろく	proceedings	会議で発表された論文の論文集、一般に討論された報告書。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7705	B		表	ひょう	tables	縦と横との欄にデータを形どおりに並べた資料であって、説明文を付けることがある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7706	B		画像資料	がぞうしりょう	iconic document	画像表現を主体とする資料。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7707	B		地図	ちず	map	時間と空間とを限定して、現実の事象又は空想上の事象をある縮尺にし、通常は平面上に様式化して表現したもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7708	B		平面図	へいめんず	plan	ある区域を大縮尺で表示した地図。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7709	B		逐次刊行物	ちくじかんこうぶつ	serial publication	分冊で継続刊行される印刷出版物又は印刷によらない出版物であって、通常、番号又は日付の表示をして、発行間隔にかかわりなく、期限を定めずに刊行し続けるもの。(備)逐次刊行物には、定期刊行物、新聞、年報、研究機関の報告書シリーズ又は会議資料、会議録シリーズ、シリーズものの単行書などがある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7710	B		シリーズ	しりーず	series	一群の巻から構成されている逐次刊行物であって、番号が付いているものと付いていないものとがある。各巻には固有の表題があり、共通表題のもとにまとめられて、発行期間を定めずに刊行される。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7711	B		定期刊行物	ていきかんこうぶつ	periodical	おおむね、一つ以上の専門分野を扱う逐次刊行物であって、一般の情報(1)及び学術情報・技術情報を提供するもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7712	B		会報	かいほう	bulletin	一つの協会、行政機関又はその他の団体が編集する定期刊行物であって、その活動を報告したり、公式の情報又は信頼すべき情報を掲載したりする。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7713	B		ニューズレター	にゅーずれたー	newsletter	一般に、ある団体がその活動範囲の最新の情報(1)を会員に伝えるために発行する逐次刊行物。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7714	B		新聞	しんぶん	newspaper	極めて頻繁に発行される定期刊行物であって、新しい出来事について最新の情報を提供し、解説を加えることが多い。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7715	B		年報、年鑑	ねんぽう、ねんかん	annual, yearbook	原則として1年に1回発行される逐次刊行物。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7716	B		特別号	とくべつごう	special issue	ある特定の主題について取り上げた逐次刊行物の号であって、おおむね正規の発行間隔とは別に出版される。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7717	B		技術仕様書	ぎじゅつしようしょ	technical specification	製品及びサービスの特徴のうち、品質、性能、安全性、寸法などについて規定する文献。用語、記号、試験項目及び試験方法、包装、表示要件などを掲載することもある。技術仕様書には、取扱い規程の形式をとるものもある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7718	B		規格	きかく	standard	一般公衆が利用できる技術仕様書又はそれに類した文献であって、科学・技術・経験を集約した結果に基づいて喚起されたあらゆる利害について協調と合意又は大方の承認を得て作成され、社会の便益を最大限に増進することを目的として、国、地域又は国際間で認められた団体が承認したもの。(備)1.ここの定義に示したすべての条件を満たす技術仕様書中には、例えば“勧告”のようにほかの名称で呼称されるものもある。2.言語によっては“規格”という語がこの定義に示したものとは別の意味で使われることがある。その場合の規格とは技術仕様書のことであり、ここの定義に示した条件の全部を満たさ	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7719	B		参考図書	さんこうとしょ	reference work	特定の主題に関する情報(1)又は情報源を即座に入手できる文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7720	B		要覧、名鑑	よういらん、めいかん	directory	個人、物件、団体、場所などを特定したり、捜し出したりするために、五十音順、アルファベット順、日付順又は体系順に情報(1)を掲載している参考図書。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7721	B		教科書	きょうかしょ	textbook	教授用の文献であって、芸術・科学・技術に関する基本知識を解説しているもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7722	B		案内書	あんないしょ	guide	利用者がある操作を実行するのに手ほどきとなる情報(1)を十分に収録している文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7723	B		百科事典	ひゃっかじてん	encyclopedia	あらゆる主題に関する知識又は関連する一群の主題に関する知識を五十音順、アルファベット順又は体系順に集めて並べた文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7724	B		辞典	じてん	dictionary	ある言語で記述された語又はある範囲の語を五十音順、アルファベット順又は体系順に集めて並べたものであって、一つ以上の言語で解説又は翻訳しているもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7725	B		難語集、用語解説	なんごしゅう、ようごかいせつ	glossary	ある特定の言語で使われる古語、まれにしか使われない語、よく知られていない語又は新語の辞典。(備)難語集は、1冊の独立した文献となることもあれば、一つの文献の付録又は文献中の1編になることもある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7726	B		用語集	ようごしゅう	vocabulary	ある特定の主題分野に関係した用語の辞典。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7727	B		単行書、モノグラフ	たんこうしょ、ものぐらふ	monograph	ある特定の主題に関して、詳細で完結した研究成果を収録した文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7728	B		全書	ぜんしょ	treatise	ある主題分野について、できるだけ系統立てて詳細に解説した文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7729	B		学位論文	がくいろんぶん	thesis, dissertation	著者の研究及び知見を報告した文献であって、著者が学位又は専門資格を取得する候補者としてふさわしい能力をもっていることを立証するために提出する。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7730	B		報告書	ほうこくしょ	report	個人又は機関の活動成果を示した文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7731	B		研究報告書	けんきゅうほうこくしょ	research report	研究又は開発を通じて得られた成果を示した報告書。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7732	B		研究展望報告書	けんきゅうてんぼうほうこくしょ	state of the art report	ある特定の主題について、一定期間に刊行されたさまざまな研究成果を掲載した報告書であって、通常は書誌を収録している。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7733	B		論文集、著作集	ろんぶんしゅう、ちょさくしゅう	collection	一つ以上の主題について、一人以上の著者が著述又は編集した作品を共通表題のもとにまとめた文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7734	B		記念論文集	きねんろんぶんしゅう	festschrift	個人又は団体の栄誉をたたえて、記念祝典、記念日、その他の行事、個人をしのぶ機会などに出版される論文集。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7735	B		伝記	でんき	biography	一人の人物の生涯と活動を記録した文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7736	B		自伝	じでん	autobiography	著者自身の生涯と活動を記録した文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7737	B		回顧録、回想録	かいころく、かいそうろく	memoirs	ある人物の生涯に起こった出来事を叙述した文献であって、著者がその出来事の当事者又は証言者であるもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7738	B		日記	にっき	diary	著者自身の日々の生活を記録した文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7739	B		地図帳、図録	ちずちょう、ずろく	atlas	地図を分類して集めたもの。広い意味では一組の図版、平面図又は図表。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7740	B		派生文献	はせいぶんけん	derivative document	一つ以上の文献を改作したり、並べ換えたり、翻訳したりしてできる二次文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7741	B		選集	せんしゅう	anthology, selected extracts	文献又は文献の抜粋を集めて作成した派生文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7742	B		抄本	しょうほん	abridgment	一つの文献の要点を要約した派生文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7743	B		翻訳	ほんやく	translation	本文を別の言語で表現し直した派生文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7744	B		書誌	しょし	bibliography	記入項目を一定の順序で一覧表にしている二次文献であって、文献を記述し、個別に特定する要素を収録しているもの。(備)1.書誌には、独立した1冊の文献("単行書誌")になっているものと、ある文献の付録及び文献中の1編("うもれた書誌")になっているものとがある。2."bibliography"に倣って、グラフィという接尾語は、ディスクについてディスコグラフィ、フィルムについてフィルモグラフィとなるように、特定の種類の資料を集めたものを示す用語を作るために使われることがある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7745	B		国際書誌	こくさいしょし	international bibliography	言語又は国にかかわりなく文献を記録し、記述した書誌。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7746	B		全国書誌	ぜんこくしょし	national bibliography	一つの国で出版された文献又はその国で使われている一つ以上の言語で書かれた文献を記録し、記述している書誌。(備)幾つかの国では、その国に関係する出版物であって外国で発行されたもの、又はその国の国民が外国で出版した著作を収録しているものも	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7747	B		新刊書誌	しんかんしょし	current bibliography	ほぼ一定の間隔をおいて定期刊行される書誌であって、文献が出版されたと同時に又は出版されてから、その文献を記録し、記述したもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7748	B		そ(遡)及書誌	そきゅうしょし	retrospective bibliography	過去の一定期間に出版された文献を記録し、記述した書誌。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7749	B		目録	もくろく	catalogue	永続して又は一時的に集めた文献を収録し、記述した二次文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7750	B		索引	さくいん	index	ある文献に使われた用語を選び、順に並べて一覧表にし、その用語が使われた箇所を示す参照を付けた二次文献。(備)索引には、独立した1冊の文献となっているものと、ある文献の付録又は文献中の1編になっているものとがある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7751	B		引用索引	いんようさくいん	citation index	引用された文献と引用した文献とを結び付ける二次文献。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7752	B		表紙	ひょうし	cover	文献の外面であって、文献を保護するのに適した材料でできているもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7753	B		ジャケット、ダストカバー	じゃけっと、だすとかばー	jacket, book jacket, dust cover	印刷済みの包装紙又はそれに類したものであって、文献を出版するときに、表紙をくるむもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7754	B		抄録ページ	しょうろくぺーじ	abstract page	一つ以上の寄稿論文から構成されている出版物の巻頭又は巻末に掲載し、それぞれの論文の書誌記述及び抄録を掲載するページ。切り離せるものが望ましい。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7755	B		目次	もくじ	table of contents	文献の章の見出し、節の見出し及び小見出しを掲載順に列挙した一覧表であって、最初の掲載ページ又は最初の欄を付記する。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7756	B		図表一覧	ずひょういちらん	list of illustrations	文献に収録した図を一覧表にしたものであって、掲載したページ又は欄を示し、番号を振っていることもある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7757	B		まえがき	まえがき	preface	文献の冒頭に置かれ、一般に、その作品の書かれた経緯及び目的について記してある文章。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7758	B		序文	じょぶん	introduction	文献の前文であって、文献が書かれた背景、内容又は構成についておおまかな情報を示す。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7759	B		ビブリッド、書誌標示	びぶりっど、しょしひょうじ	biblid	逐次刊行物の巻、号、論文及びページを表す一組の書誌データ。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7760	B		欄	らん	column	横書きのページを縦に割って区分したもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7761	B		章	しょう	chapter	記述した文献を区分して番号又は表題を付けたもの。一般に、これだけで独立しているが、その前後の部分とも関係している。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7762	B		論文	ろんぶん	article	独立した文章であって、出版物の中の一部を構成する。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7763	B		注記	ちゅうき	note	ページの最下段又は文献の巻末や章末に記載して、本文で述べた情報(1)の一部を明確にしたり、補足したりするもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7764	B		参照	さんしょう	bibliographical reference	書誌データを引用したものであって、一つ以上の関連した文献を特定するために欠かせないもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7765	B		図表	ずひょう	figure	本文を説明したり、補足したりするための図。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7766	B		キャプション	きゃぷしょん	caption, legend, cutline	図に付記して、表現した主題を説明する文章。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7767	B		付録	ふろく	appendix,annex	本文を補足するものであって、文献の巻末に掲載し、注記、統計表又はその他の情報(1)を収録するもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7768	B		補遺	ほい	supplement	本文を補足するものであって、文献中のある情報(1)を明確にしたり、新たな情報(1)を付け加えたりするもの。(備)補遺は、文献と別に出版されるものもあれば、文献の中の一編として出版されるものもある。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7769	B		追補	ついほ	addenda, addendum	本文を印刷した後に、文献の一部として本文を補足したり、修正したりするために添えるもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7770	B		正誤表	せいごひょう	errata, corrigenda, erratum, corrigendum	本文を印刷した後に、文献の一部として本文中の誤りとその訂正箇所を表にして添えるもの。	JIS X 0702	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7771	B		(文献の)収集	(ぶんけんの)しゅうしゅう	acquisition (of documents)	図書館又はドキュメンテーションセンタの蔵書を増やして、最新のものにする活動又はそれらの機関の目的に沿ったサービス。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7772	B		文献の選択	ぶんけんのせんたく	selection of documents	購入、交換又は寄贈によって、文献の収集を決定する業務。書誌、目録、出版者一覧、書店一覧、文献そのものなどを調査して、図書館、ドキュメンテーションセンタ又は情報センタのコレクションと調和させながら増加させ、最新のものにする。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7773	B		協同収集	きょうどうしゅうしゅう	co-operative acquisition	ある地方、地域、国又は国を越えたレベルで、二つ以上の図書館、ドキュメンテーションセンタ又はサービスの間で、収集の組織と調整を行うシステム。少なくとも各出版物の1部は、関係する地域で保存するようにする。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7774	B		蔵書	ぞうしょ	stock, holdings	図書館又はドキュメンテーションセンタが所蔵する文献の全体。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7775	B		有償収集	ゆうしょうしゅうしゅう	non-gratuitous acquisition	購入又は交換によって、文献を収集すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7776	B		発注	はっちゅう	order	購入を依頼する文献の参照事項を取扱業者に指示すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7777	B		定期購読	ていきこうどく	subscription	ある一定期間に、逐次刊行物を規則正しく配送することを契約することであって、通常は所定の金額を前金で支払う。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7778	B		予約購読	よやくこうどく	subscription	個人が出版者又は著者に対して、その文献が出版される前に特別価格で入手できるように契約すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7779	B		継続発注	けいぞくはっちゅう	standing order	ある期間に、文献を系統だてて探索し、入手することを、発注者が取扱業者に委任する発注形態。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7780	B		一括発注	いっかつはっちゅう	blanket order	あらかじめ取り交わした契約に基づき、小売書店又は出版社が主体となって、図書館、ドキュメンテーションセンタ又は情報センタに文献を送付すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7781	B		見計らい送本	みはからいそうほん	sending on approval, sending on approbation	文献を受け入れるか返却するかを購読者に決めてもらうために、出版社又は小売書店が文献を送付すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7782	B		(文献の)交換	(ぶんけんの)こうかん	exchange (of documents)	機関と機関との間で文献を提供し合う協定に基づいて、文献を収集すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7783	B		(文献の)国内交換	(ぶんけんの)こくないこうかん	national exchange (of documents)	一つの国内の機関と機関との間で、文献を交換すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7784	B		(文献の)国際交換	(ぶんけんの)こくさいこうかん	international exchange (of documents)	異なった国の機関と機関との間、又は国際機関と機関との間で、文献を交換すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7785	B		無償収集	むしょうしゅうしゅう	free acquisition	購入や交換によらない方法によって、1冊の文献又は一組の文献を収集すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7786	B		寄贈	きぞう	donation, gift	1冊の文献又は一組の文献をある機関に贈与すること。報恩の意図をもつが、受贈機関には受入れを拒絶する権利がある。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7787	B		遺贈	いぞう	bequest, legacy	遺志又は遺言によって、1冊の文献又は一組の文献をある機関に提供すること。報恩の意図をもつが、受贈機関には受入れを拒絶する権利がある。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7788	B		寄託	きたく	deposit	所有権を留保したまま、文献を図書館、ドキュメンテーションセンタ又は情報センタに保存すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7789	B		法定納本(制度)	ほうていのうほん(せいど)	legal deposit	法律又は協定の定めた機関が、その国で作成、出版又は配布された、ある範囲の文献の一定部数を保存する制度。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7790	B		書評見本	しょひょうみほん	press copy, review copy	通常は逐次刊行物に掲載される紹介記事、抄録、評論などを執筆してもらうために送付されてくる無料の文献。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7791	B		検収	けんしゅう	collating	文献を検査し、その文献に異常がなく、すべての箇所が申し分なく正しい順にそろっていることを確認すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7792	B		登録	とうろく	accession	発注と照合し、検収したうえで、収集したものをコレクションに加える手続。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7793	B		受入れ	うけいれ	accessioning	所蔵しようとする文献を登録簿に記録すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7794	B		登録簿	とうろくぼ	inventory	一般に、コレクションに加える文献を収集した日付順に列挙して記述したもの。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7795	B		逐次刊行物の受入れ	ちくじかんこうぶつのうけいれ	accessioning of serials	逐次刊行物の号が到着次第、規則正しく記録し、いつでも所蔵が確認できるようにしておくこと。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7796	B		シンボル	しんぼる	symbol	キャラクタ、図、文字、略語などのように、約定で定めてある記号のことであって、1語又は数語の代わりに、著述その他の伝達に使う。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7797	B		翻字、字訳	ほんじ、じやく	transliteration	完全なアルファベット体系で書いてあるキャラクタを別の変換用アルファベットのキャラクタで表現し直すこと。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7798	B		翻音、音訳	ほんおん、おんやく	transcription	元の記述方式がどのようなものであれ、ある言語のキャラクタを別の言語の文字又は記号の音声体系で表現し直すこと。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7799	B		ローマ字化	ろーまじか	romanisation	ラテン文字を用いないアルファベット体系で書かれたものをラテン文字に変換すること。ローマ字化するためには、変換される体系の性格によって、翻字若しくは翻音を利用するか又はこの二つの方式を併用して利用することができる。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7800	B		分析	ぶんせき	analysis	全体の中の主要な部分とそれらの相互関係を発見することを目的として調べること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7801	B		内容分析	ないようぶんせき	content analysis	文献の内容を分析し、的確かつ簡潔な形式で、文献の特徴をとらえて表現するためのデータを得ること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7802	B		索引作業	さくいんさぎょう	indexing	通常は、検索しやすいようにするためにドキュメンテーション言語又は自然言語の要素を使って、文献を分析した結果を表現すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7803	B		抄録	しょうろく	abstract	解釈及び批評を加えずに、文献の内容を簡潔に表現し直すこと。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7804	B		指示抄録	ししょうろく	indicative abstract	著作の形式、扱っている主題及び事実の論じ方について指示する抄録。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7805	B		報知抄録	ほうちしょうろく	informative abstract	文献に収録されている情報について、情報の質と量の面から、又はこのうちのいずれか一つの面から、できるだけ多く表現した抄録。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7806	B		選択抄録、偏向抄録	せんたくしょうろく、へんこうしょうろく	selective abstract, slanted abstract	特定の利用者層にとって欠くことができないと思われる一部分だけを本文から抜き出した抄録。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7807	B		要旨	ようし	summary	文献中の顕著な知見や結論を短く言い換えたもの。本文を読了した読者の理解を深めることを意図している。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7808	B		書評	しょひょう	review	一つ以上の文献を批判しながら概観したもの。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7809	B		抜粋	ばっすい	extract	文献から選択した文で構成した本文。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7810	B		簡略版	かんりゃくばん	abridged version	本文からの抜粋又は本文の要約。本文の全体を一様に短縮して表現する。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7811	B		解題	かいだい	annotation	文献又は文献の内容について短く批評又は解説したもの。ごく簡単に記述したものもある。通常、その文献の書誌事項を引用した後に注記として追加する。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7812	B		索引用語の付与	さくいんようごのふよ	allocation of indexing terms	文献又はデータを特定の規則に従って表現するために、索引用語を選択して割り当てること。索引用語は、本文中に使われたものであってもなくてもよい。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7813	B		用語の抽出	ようごのちゅうしゅつ	extraction of terms	索引対象の本文から索引用語を取り出す過程。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7814	B		索引時概念組合せ索引作業	さくいんじがいねんくみあわせさくいんさぎょう	pre-coordinated indexing	用語又は分類記号の結合順序をドキュメンテーション言語又は索引システムに従って定めた索引作業。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7815	B		検索時概念組合せ索引作業	けんさくじがいねんくみあわせさくいんさぎょう	post-coordinated indexing	用語又は分類記号の結合順序をあらかじめ決めておかない索引作業。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7816	B		リンク付け	りんくづけ	linking	文献又は検索要求に指定したデスクリプタを結合させるために、記号又はシンボルを割り当てること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7817	B		リンク	りんく	link	文献又は検索要求に指定したデスクリプタを結合させるために使用した記号又はシンボル。そのデスクリプタとほかのデスクリプタとが偶然に結びつかないようにする。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7818	B		意味分析	いみぶんせき	semantic factoring	検索時に特定の概念が表せるように、用語を組み合わせる方法。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7819	B		索引精度	さくいんせいど	depth of indexing	索引作業の過程で、一つの主題を詳細に表現する程度。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7820	B		自動索引作業	じどうさくいんさぎょう	automatic indexing	文献の本文から語や用語を自動選択したり、又はドキュメンテーション言語の中から用語を自動付与したりして、文献の内容を表現すること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7821	B		自動抄録作業	じどうしょうろくさぎょう	automatic abstracting	自動手法によって、抄録の作業をすること。	JIS X 0705	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7822	B		ドキュメンテーション言語	どきゅめんてーしょんげんご	documentary language	データ又は文献の蓄積及び検索ができるようにするために、データ又は文献の内容を表現するのに使う形式化した言語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7823	B		分類	ぶんるい	classification	概念を類(3)及び類を区分したものに並べ替えて、概念どうしの意味関係を表現すること。類は、表記法によって表現する。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7824	B		分類体系	ぶんるいたいけい	classification system	分類記号及びそれに対応する用語を用いて、文献又はデータを構造化して表現するためのドキュメンテーション言語。必要があれば、五十音順又はアルファベット順の索引によって、分類した主題に接近しやすくする。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7825	B		分類作業	ぶんるいさぎょう	classifying	データ又は文献の索引作業と配(排)列を容易にするために、分類体系の中から分類記号をデータ又は文献に割り当てること。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7826	B		シソーラス	しそーらす	thesaurus	意味関係をもっている用語を統制した用語集。一つ以上の特定の知識分野を収録する。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7827	B		単純階層	たんじゅんかいそう	mono-hierarchy	ドキュメンテーション言語の特性であって、ある一つの段階では各用語に唯一の上位語しか指定しないこと。(参)階層付けられた用語において各用語が、直属の上位語を一つだけ指定していること。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7828	B		多重階層	たじゅうかいそう	poly-hierarchy	ドキュメンテーション言語の特性であって、ある一つの段階では各用語に幾つもの上位語を指定する。(参)階層付けられた用語において各用語が、二つ以上の上位語を指定していること。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7829	B		キーワード	きーわーど	key-word	できる限り辞書に登録してあるような標準形式にした語又は語群。文献の表題又は本文から抽出して文献の内容を表現し、検索を可能にするもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7830	B		デスクリプタ	ですくりぷた	descriptor	シソーラスに収録した用語であって、文献中の概念又は検索要求の中の概念を表現するために使う。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7831	B		非デスクリプタ	ひですくりぷた	non-descriptor	シソーラスに収録した用語であるが、概念を表現するためには使わず、その代わりに一つ以上のデスクリプタを指示するために用いる。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7832	B		同義語	どうぎご	synonym	形式は別であっても、他の用語と全く同じ意味又はほとんど同じ意味をもつ用語。(備)“同義性”の定義については、JIS X 0701の01-1.1.2-12を参照。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7833	B		類義語	るいぎご	quasi-synonym,near-synonym	形式は別であっても、他の用語と同様の意味をもち、指定されたドキュメンテーション言語の中では同義語として扱われる用語。(備)“類義性”の定義については、JIS X 0701の01-1.1.2-13を参照。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7834	B		多義語	たぎご	polyseme	語源からみて、二つ以上の関連した意味をもっている用語。(参)“多義性”の定義については、JIS X 0701の01-1.1.2-14を参照。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7835	B		同形異義語	どうけいいぎご	homograph	他の用語と同じ形でありながら、別の意味をもつ用語。(参)“同形異義性”の定義については、JIS X 0701の01-1.1.2-16を参照。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7836	B		識別子、特定記号	しきべつし、とくていきごう	identifier	デスクリプタとして使われる名称。(備)この用語は、ある計画の名称、個人名、団体名、商標、地名、略語、頭字語などであっても構わない。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7837	B		限定子、クォリファイア	げんていし、くぉりふぁいあ	qualifier	同形異義語の様々な意味を区別するために使うシンボル又は語。(備)クォリファイアは、ドキュメンテーション言語の独立した要素ではない。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7838	B		ユニターム	ゆにたーむ	uniterm	ドキュメンテーション言語で用いる意味を表す要素の中で最小のもの。組合せによる索引システムの中で、特定の概念を表現するために用いる。(備)この用語を、キーワード又はデスクリプタの同義語として使用してはならない。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7839	B		ロールインジケータ、機能指示記号	ろーるいんじけーた、きのうしじきごう	role indicator	特別なリストから選択した補助シンボル。デスクリプタに併記して、使用するデスクリプタの意味を指示する。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7840	B		表記法、表記体系	ひょうきほう、ひょうきたいけい	notation, system of notation	適用規則をもったシンボルを集めたものであって、類(3)及び類どうしの相互関係を表すために使う。(備)合成するために、句読記号のような特殊キャラクタを用いることがある。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7841	B		分類記号	ぶんるいきごう	class symbol,class mark	ある分類体系の表記法によって、類(3)を表すもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7842	B		分類番号	ぶんるいばんごう	class number	ある分類体系の数字表記法によって類(3)を表すもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7843	B		単一表記法	たんいつひょうきほう	pure notation	(アルファベット、数字などのような)ただ1種類のシンボルを用いる表記法。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7844	B		複合表記法	ふくごうひょうきほう	mixed notation	様々な種類のシンボルを一緒に用いる表記法。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7845	B		二進表記法	にしんひょうきほう	binary notation	二つのシンボルだけを用いる表記法。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7846	B		アルファベット表記法	あるふぁべっとひょうきほう	alphabetical notation	アルファベットのキャラクタだけを用いる表記法。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7847	B		数字表記法	すうじひょうきほう	numerical notation	数字だけを用いる表記法。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7848	B		十進表記法	じっしんひょうきほう	decimal notation	数字の0、1、…、9を基準に用いる表記法。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7849	B		アルファニューメリック表記法	あるふぁにゅーめりっくひょうきほう	alphanumeric notation	文字、数字及び特殊キャラクタを用いる表記法。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7850	B		構造表記法	こうぞうひょうきほう	structured notation	分類記号を形成する表記法であって、分類記号が類(3)どうしの形式関係を表現しているもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7851	B		階層表記法	かいそうひょうきほう	hierarchical notation	分類記号を形成する構造表記法であって、分類記号が類(3)どうしの階層関係を表現しているもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7852	B		線形表記法	せんけいひょうきほう	linear notation	分類記号を形成する表記法であって、分類記号が類(3)どうしの相互関係を表現せずに、類どうしの序列を保っているもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7853	B		(表記法の)基本要素	(ひょうきほうの)きほんようそ	base (of notation)	特定の表記法に用いる一組のシンボル。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7854	B		ファセット連結記号	ふぁせっとれんけつきごう	intra-facet connector	ファセット(1)の中で、フォーカスどうしの関係を表す特殊なシンボル。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7855	B		ファセット表示記号	ふぁせっとひょうじきごう	facet indicator	連結している分類記号の要素の中において、特定のファセット(1)を導入する特殊なシンボル。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7856	B		関係指示記号	かんけいしじきごう	relation indicator	連結している分類記号の要素の中で、一定の関係を指示する特殊なシンボル。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7857	B		表記法の許容性、表記法の展開性	ひょうきほうのきょようせい、ひょうきほうのてんかいせい	hospitality of notation	表記法の特性であって、ある分類法の中に新しい類(3)を挿入できること。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7858	B		八進細分記号	はちしんさいぶんきごう	octave device	十進表記法を拡張するための方法であって、ある同位列の中の類の数を制限しないように、数字の9を拡張用のシンボルとして用いるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7859	B		分離記号	ぶんりきごう	separator	表記法の要素であって、ある分類記号の中の要素を別々に分けるために用いるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7860	B		割込み記号	わりこみきごう	intercalator	ある表記法の分類記号については、他の分類法から借用したことを示すための分離記号。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7861	B		ファセット順位	ふぁせっとじゅんい	citation order	ファセット(1)を適用する順位を決めるための原則。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7862	B		拡張記号	かくちょうきごう	extension sign	連続する複数の類(3)が結合することを示すシンボル。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7863	B		追加記号	ついかきごう	addition sign	連続しない複数の類(3)が結合することを示すシンボル。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7864	B		割込み分類	わりこみぶんるい	intercalation	表している内容を変えないようにして、ファセット順位を変えるために分類記号の要素を組み替えること。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7865	B		意味関係	いみかんけい	semantic relation	概念どうしの論理関係、存在関係又は心理関係を表したものであって、ドキュメンテーション言語で形式化することがある。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7866	B		属種関係	ぞくしゅかんけい	generic relation	二つの概念の間の意味関係であって、そのうち一方の概念が属であるとき、他方の概念が種となるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7867	B		部分全体関係	ぶぶんぜんたいかんけい	part-whole relation, partitive relation	二つの概念どうしの意味関係であって、そのうち一方の概念が全体であるとき、他方の概念がその中の要素の一つとなるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7868	B		連想関係	れんそうかんけい	associative relation	概念どうしの意味関係であって、特定の目的のために概念を並置したもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7869	B		連続関係	れんぞくかんけい	consecutive relation	二つの概念が、相互に変化して依存し合っている連想関係であって、一方の概念が他方の概念に従うもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7870	B		比較関係	ひかくかんけい	comparative relation	概念どうしの連想関係であって、個々の概念の特性を明らかにするもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7871	B		偏向関係	へんこうかんけい	bias relation	ある主題分野(概念体系)とある概念の間の連想関係であって、通常その概念が他の主題分野に属すると考えられるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7872	B		形式関係	けいしきかんけい	formal relation	概念どうしの関係であって、あるドキュメンテーション言語の用語又は類で表現されるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7873	B		階層関係	かいそうかんけい	hierarchical relation	二つの用語又は類どうしの形式関係であって、一方が他方に対して下位にあるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7874	B		同格関係	どうかくかんけい	coordinate relation	用語又は類(3)を並置している形式関係。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7875	B		(ドキュメンテーション言語の)等価関係	(どきゅめんてーしょんげんごの)とうかかんけい	equivalence relation (in documentary languages), preferential relation	用語どうしの形式関係であって、同じデスクリプタ又は同じ分類記号で表されるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7876	B		相互参照	そうごさんしょう	cross-reference	あるドキュメンテーション言語において、用語又は類(3)の関係が同格関係であることを示すもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7877	B		集合、組	しゅうごう、くみ	set	有限個又は無限個の物体、事象又は概念を集めたもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7878	B		部分集合	ぶぶんしゅうごう	subset	集合の中の個々の要素が、他の集合の要素になっているもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7879	B		類(1)	るい(1)	class (1)	少なくとも一つの特性を共通してもっているような要素の集合。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7880	B		類(2)	るい(2)	class (2)	一組の集合の要素を定義する属性の集合。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7881	B		類(3)	るい(3)	class (3)	指定された集合の一部を部分(実体)に分割してできた部分集合。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7882	B		属性	ぞくせい	attribute	ある要素の特性。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7883	B		属	ぞく	genus	ある概念が他の概念に対して属の関係にあるとは、他の概念がその概念と同一の属性をもつほかに、更に一つ以上の属性をもつことで定義されることをいう。(例)“せきつい(脊椎)動物”という属は、“鳥類”という種に対して、上位の概念である。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7884	B		種	たね	species	ある概念が他の概念の種であるとは、他の概念がその概念の属であるような場合をいう。(例)“鳥類”という種は、“脊椎(せきつい)動物”という属に対して、下位の概念である。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7885	B		カテゴリ	かてごり	category	原則としてあらゆる主題分野に適用できるように、普遍的な概念を多用途の部分に分けたもの。(例)作用、材料(物質)、空間、時間、品質。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7886	B		(区分の)特性	(くぶんの)とくせい	characteristic (of division)	ある主題を分析して類(3)に区分するために使われる属性。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7887	B		ファセット(1)	ふぁせっと(1)	facet (1)	ある類(3)に対して、単一の特性を適用して作り出した区分の集合。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7888	B		ファセット(2)	ふぁせっと(2)	facet (2)	概念のもつ性質に応じて概念をまとめるために使われる属性。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7889	B		フォーカス	ふぉーかす	focus	ファセット(1)の要素。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7890	B		上下列	じょうげれつ	chain	類(3)が連なったものであって、先頭の類を除く個々の類が先行する類の下位になっているもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7891	B		同位列	どういれつ	array	ある類(3)を細分してできた集合であって、その類より1段階だけ下位に当たるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7892	B		ツリー	つりー	tree	上下列を集めてできた集合であって、最初の構成要素を共通にもっているもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7893	B		共通細目	きょうつうさいもく	common subdivision	多くの類(3)に適用できる一般カテゴリ。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7894	B		分類表	ぶんるいひょう	classification table	概念を類(1、2、3)、類区分及び細目に分けて、体系立ててまとめたものであって、一つの表記法で表されるもの。(備)分類表は、主分類表にも、補助分類表にもなることがある。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7895	B		孤立概念	こりつがいねん	isolate	単一の概念であって、定義するために又は分類体系の中の位置を定めるために、孤立しているとみなされるもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7896	B		普遍分類体系、一般分類体系	ふへんぶんるいたいけい、いっぱんぶんるいたいけい	universal classification system, general classification system	知識の全領域を網羅している分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7897	B		専門分類体系	せんもんぶんるいたいけい	specialized classification system	特定の主題、学科又は学科群を扱う分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7898	B		簡略分類体系	かんりゃくぶんるいたいけい	broad classification system	知識分野を幾つかの主だった類(3)に細分している分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7899	B		精密分類体系、深層分類体系	せいみつぶんるいたいけい、しんそうぶんるいたいけい	close classification system, depth classification system	ある主題についてあらゆる面から示すように分析できる分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7900	B		階層分類体系、一段階層分類体系	かいそうぶんるいたいけい、いちだんかいそうぶんるいたいけい	hierarchical classification system, monohiererchical classification system	階層関係だけを用いて細分している分類体系。主として一段階層分類体系及び一次元分類体系となり、補助分類表にだけファセットを導入しているもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7901	B		線形分類体系	せんけいぶんるいたいけい	linear classification system	分類対象となる主題をすべて列挙している分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7902	B		多元分類体系	たげんぶんるいたいけい	multidimensional classification system	一つ以上の特性によって類(3)を細分できるようにしている分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7903	B		ファセット分類体系	ふぁせっとぶんるいたいけい	faceted classification system	概念を一連のファセット(1)の中に配(排)列し、ファセットを組み合わせて、ある主題の表記法を合成する分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7904	B		分析形分類体系	ぶんせきがたぶんるいたいけい	analytical classification system	類(3)どうしの固定された形式関係に基づく分類体系。(備)実際の分類体系は分析形と合成形の双方の特性を示していることが多く、独自の体系に従って、強調の仕方が違う。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7905	B		合成形分類体系	ごうせいがたぶんるいたいけい	synthetic classification system	分類するときに形式関係が決定される分類体系。(備)実際の分類体系は分析形と合成形の双方の特性を示していることが多く、独自の体系に従って、強調の仕方が違う。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7906	B		分析合成形分類体系	ぶんせきごうせいがたぶんるいたいけい	analytico-synthetic classification system	主題を表すために、複合主題又は複雑な主題を分析した後で、分類記号を合成して組み立てるという特性をもつ分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7907	B		列挙分類体系	れっきょぶんるいたいけい	enumerative classification system	個々の類を主記入として一覧表にしている分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7908	B		二分分類体系	にぶんぶんるいたいけい	dichotomized classification system	個々の類が二つの下位の類に細分できるようになっている分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7909	B		十進分類体系	じっしんぶんるいたいけい	decimal classification system	十進表記法を採用している分類体系。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7910	B		単一言語シソーラス	たんいつげんごしそーらす	monolingual thesaurus	一つの自然言語から採用したデスクリプタを収録しているシソーラス。通常、非デスクリプタも収録している。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7911	B		多言語シソーラス	たげんごしそーらす	multilingual thesaurus	複数の自然言語から採用したデスクリプタを収録しているシソーラス。通常、非デスクリプタも収録しており、収録した言語ごとに対応する概念を示している。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7912	B		起点シソーラス	きてんしそーらす	source thesaurus	他のシソーラスを作成するときに、その基となるシソーラス。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7913	B		目標シソーラス	もくひょうしそーらす	target thesaurus	起点シソーラスから作成されたシソーラス。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7914	B		マクロシソーラス	まくろしそーらす	macrothesaurus	広く使用されている用語を収録したシソーラスであって、広範囲の知識分野を網羅するもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7915	B		マイクロシソーラス	まいくろしそーらす	microthesaurus	あるシソーラスの中の一部分を構成するシソーラスであって、用語を加えて補足することがある。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7916	B		専門シソーラス	せんもんしそーらす	specialized thesaurus	扱う知識分野を一つに限定してあるシソーラス。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7917	B		主題別シソーラス	しゅだいべつしそーらす	thematical thesaurus	主題分野ごとに用語をまとめた後で、収録した用語の関係を定めたシソーラス。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7918	B		ファセットシソーラス	ふぁせっとしそーらす	faceted thesaurus	ファセット(1)ごとに用語をまとめた後で、収録した用語どうしの関係を定めたシソーラス。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7919	B		優先使用語をもつシソーラス	ゆうせんしようごをもつしそーらす	thesaurus with preferred terms	索引作業のときに、ある一つの概念を示す用語はただ一つだけ認められているシソーラス。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7920	B		優先使用語をもたないシソーラス	ゆうせんしようごをもたないしそーらす	thesaurus without preferred terms	収録している用語がすべてデスクリプタになっているシソーラス。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7921	B		上位語	じょういご	broader term	階層関係の中で、上位にある用語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7922	B		属の用語	ぞくのようご	generic term	属種関係の中で、属を表す上位語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7923	B		全体語	ぜんたいご	collective term	部分全体関係の中で、全体を表す上位語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7924	B		下位語	かいご	narrower term	階層関係の中で、下位にある用語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7925	B		種の用語	しゅのようご	specific term	属種関係の中で、種を表す下位語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7926	B		部分語	ぶぶんご	partitive term	部分全体関係の中で、ある要素であることを表す下位語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7927	B		関連語	かんれんご	related term	同格関係によって他の用語と結び付けられる用語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7928	B		優先使用語	ゆうせんしようご	preferred term	等価語の集合の中からデスクリプタとして選ばれた用語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7929	B		等価語	とうかご	equivalent term	他の用語と同じ概念を表すために使われる用語。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7930	B		シソーラスの項目	しそーらすのこうもく	thesaurus entry	シソーラス本編の要素。デスクリプタ、非デスクリプタ、デスクリプタに関するあらゆる情報などから成る。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7931	B		補助デスクリプタ	ほじょですくりぷた	auxiliary descriptor	一つ以上の他のデスクリプタと必ず一緒に使われるデスクリプタ。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7932	B		候補デスクリプタ	こうほですくりぷた	candidate descriptor	シソーラスに収録するために提案された語又は語群。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7933	B		スコープノート	すこーぷのーと	scope note	デスクリプタの使用法について簡単に説明したもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7934	B		(シソーラスの)適用分野	(しそーらすの)てきようぶんや	field of application (of a thesaurus)	シソーラスが収録した専門の主題。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7935	B		(デスクリプタの)出典	(ですくりぷたの)しゅってん	source (of a descriptor)	デスクリプタを採択した文献。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7936	B		起点デスクリプタ	きてんですくりぷた	source descriptor	起点シソーラスに収録したデスクリプタ。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7937	B		目標デスクリプタ	もくひょうですくりぷた	target descriptor	目標シソーラスに収録したデスクリプタ。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7938	B		概念記号	がいねんきごう	concept symbol	多言語シソーラス又は優先使用語をもたないシソーラスに使用する記号又はシンボル。等価(同じ概念)の用語を表すために使用する。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7939	B		用語表	ようごひょう	basic list	最初の版のシソーラスから採択した候補デスクリプタの用語を五十音順、アルファベット順又は分類順に一覧表にしたもの。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7940	B		分析手法	ぶんせきしゅほう	analytical method	文献を内容分析して、ある自然言語から、特定の主題分野に関する重要な用語を収集すること。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7941	B		切りばり法、アプリオリ法	きりばりほう、あぷりおりほう	gestalt method, a priori method	定評のある辞典類から、ある自然言語の特定の主題分野に関する重要な用語を収集すること。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7942	B		(多言語シソーラスの)言語の等価	(たげんごしそーらすの)げんごのとうか	linguistic equivalence (in a multilingual thesaurus)	同じ概念を別の言語で表現したものの関係。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7943	B		(シソーラスの)本編	(しそーらすの)ほんぺん	main part (of a thesaurus)	シソーラスを構成する部分であって、個々のデスクリプタ又は非デスクリプタに関する情報を余すところなく示しているところ。(備)分類順、五十音順、アルファベット順又はこれらを併用して本編を配(排)列したものもある。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7944	B		(シソーラスの)補足編	(しそーらすの)ほそくへん	auxiliary part (of a thesaurus)	シソーラスを構成する部分であって、本編を補足するもの。(例)索引、分類一覧表、関連図。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7945	B		階層表示	かいそうひょうじ	hierarchical display	デスクリプタについて最も詳しい一覧表。個々のデスクリプタについて、一般のものから特殊なものの順に、そのデスクリプタが表す種の用語を示す。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7946	B		(シソーラスの)関連図	(しそーらすの)かんれんず	graphic display (of a thesaurus)	シソーラスの諸関係を矢印、円、多角形のような各種の図形で表したもの。図の中に用語を並べて示す。	JIS X 0706	1989				廃→X 0701: 2005/7			ISO/TC46
7947	B		一次資料	いちじしりょう	primary source	新たに記録された未加工の資料。各種の著作、論文、報告及びそれらなどを収録した出	JIS X 0801	1989				廃2009/3			
7948	B		二次資料	にじしりょう	secondary source	一次資料を入手する上で必要な情報(書誌事項、抄録、所在など)を集めて、これを組織的に配列し、容易に検索できるようにしたもの。抄録誌、索引誌、文献目録、総合目録な	JIS X 0801	1989				廃2009/3			
7949	B		機関名	きかんめい	name of corporate body	ある名称によって識別され、一つの実体として活動し又は活動できる組織体の名称。組織体の典型的なものは、公共機関、大学、研究所、企業、非営利団体、政府機関などで	JIS X 0801	1989				廃2009/3			
7950	B		雑誌	ざっし	periodical	逐次刊行物の一種で、通常週刊から季刊程度の刊行頻度で定期的に刊行される出版物。同一の誌名及び毎冊逐次番号(巻、号など)をもち、多数の執筆者による論文、記事などを収録する。	JIS X 0801	1989				廃2009/3			
7951	B		標題誌	ひょうだいし	title page	図書の書名、著者名、出版者(社)名などを記述し、本文の前に付けたページ。出版年などを標題紙の裏ページに記述することも少なくないので、書誌要素の情報源として最も重要である。逐次刊行物は、標題誌をもたず、書誌要素はマストヘッドから採るのが普通である。日本の図書は、通常、標題紙裏を用いず、奥付がこれに代わる。	JIS X 0801	1989				廃2009/3			
7952	B		略記	りゃっき	abbreviation	語句(ここでは誌名)の一部を省いて、簡略にした記載。	JIS X 0801	1989				廃2009/3			
7953	B		一次資料	いちじしりょう	primary source	研究の成果を、情報生産者が初めて記録化して発表した資料。この規格では、一次資料の参照文献リストの表記も含む。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7954	B		二次資料	にじしりょう	secondary source	一次資料の利用を容易にするため、一次資料に含まれる必要部分を再編成して作成された資料。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7955	B		機関名	きかんめい	name of corporate body	ある名称によって識別され、一つの実体として活動し又は活動できる組織体の名称。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7956	B		機関名の階層性	きかんめいのかいそうせい	hierarchy of name of corporate body	機関名に、上位機関名(上位部局名)、下位機関名などの構成要素があること。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7957	B		原資料	げんしりょう	original source	元になった資料。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7958	B		省略	しょうりゃく	omission	機関名を構成する単語の中で、一部の単語を省くこと。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7959	B		書誌参照	しょしさんしょう	bibliographic reference	他の資料又は資料の一部を参照するとき、それを確認するための一組の書誌要素。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7960	B		書誌要素	しょしようそ	bibliographic element	書誌記述を構成し、それ自身で独立した最小の情報の記述単位。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7961	B		団体著者	だんたいちょしゃ	corporate author	資料の著作に責任のある団体又は機関。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7962	B		頭字語	とうじご	acronym	機関名を構成する単語の頭文字又は文字列をつづり合わせて作った語。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7963	B		補記	ほき	additional entry	原情報を補うため、必要情報を捜し求め付加すること。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7964	B		略記	りゃっき	abbreviation	機関名を構成する単語の中で、全部又は一部の単語を短縮すること。	JIS X 0802	1989				廃2009/3			
7965	A		基本索引	きほんさくいん	basic index	フィールドを指定しない場合に探索される一連のフィールドに関する索引。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7966	A		コマンド式	こまんどしき	command expression	ある機能の実行を求める形式の整った要求。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7967	A		コマンド名	こまんどめい	command name	コマンド式を開始するために用いる特別に定義された予約語又はその省略形。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7968	A		コマンド仕様	こまんどしよう	command specification	コマンド名の次にくる文字列で、コマンド式がどのように及び何に対して演算するかを指定するもの。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7969	A		結合子	けつごうし	connector	探索語句と限定子とを結び付ける記号。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7970	A		省略時値	しょうりゃくじち	default	利用者が特に別の値を指定しない限り、システムが自動的に想定する値。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7971	A		フィールド	ふぃーるど	field	レコードの一部分をなすもので、一単位として扱われる構造化したデータであって、特定の種類のデータを蓄積するために用いるもの。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7972	A		マスク	ますく	masking	探索語句中の未知の文字又は指定しない文字を、特定の文字によって記号化すること。その特定の文字は、0個以上の文字又は空白文字に代わるものとして定義されている。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7973	A		演算子	えんざんし	operator	探索される二つのものの間の関係を特定するために用いる予約語又は記号。演算子には、3.10.1～3.10.3がある。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7974	A		ブール演算子	ぶーるえんざんし	Boolean operator	二つの探索語句又は探索要素の間の論理的な関係を表す演算子。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7975	A		近接演算子	きんせつえんざんし	proximity operator	二つの探索語句の間の順序及び距離を指定する演算子。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7976	A		範囲演算子	はんいえんざんし	ranging operator	二つの探索語句の間の連続した値の範囲を指定する演算子。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7977	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	特定のコマンド式を実行する際に定数を与える変数及びそのコマンド式を示す変数。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7978	A		限定子	げんていし	qualifier	変数がとりうる値の範囲を限定するため又は指示するために用いるパラメタ。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7979	A		レコード	れこーど	record	通常、多数のフィールドからなり、1単位として扱われるデータの集合。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7980	A		予約語	よやくご	reserved word	コマンド言語において、特定の意味が明示的に定義されている単語、省略形又は記号。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7981	A		予約語解除記号	よやくごかいじょきごう	restoration mark	定義されている予約語の意味を、その語に本来備わっている文字通りの意味に戻すために用いる記号。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7982	A		検索集合	けんさくしゅうごう	result set	一つの探索文によって検索された一群のレコード。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7983	A		検索集合識別子	けんさくしゅうごうしきべつし	result set identifier	検索集合に対してシステム又は利用者が付与するラベル。ある探索文に対する検索集合識別子は、その探索文の探索文識別子と一致する。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7984	A		(オンライン)探索	(おんらいん)たんさく	(online) search	探索者が求める情報を探すのに必要だと思われる十分な数のデータベースに対してなされる計算機を介した会話型の探索プロセス。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7985	A		探索要素	たんさくようそ	search element	探索語句若しくは同一の索引で探索する探索語句をブール演算子で結合したもの及びその限定子(限定子は、明示しなくてもよい)、探索集合識別子、又はSCANコマンド式若しくはRELATEコマンド式によって得られた表示から選択した語句。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
7986	A		探索文	たんさくぶん	search statement	FINDコマンドのコマンド仕様。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7987	A		探索文識別子	たんさくぶんしきべつし	search statement	それぞれの探索文に対してシステムが付与するラベル。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7988	A		探索方針	たんさくほうしん	search strategy	情報要求を満たすために作成された一連のコマンド式。探索方針には、データベースの選択コマンド、探索語句を指定するコマンド、探索コマンド及び表示コマンドが含まれる。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7989	A		探索語句	たんさくごく	search term	FINDコマンドがシステムに検索するように指示する語又は一群の語。探索語句中には、一つ以上の探索語を含む。近接演算子を含んでもよいが、ブール演算子、範囲演算子及び限定子は含まない。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7990	A		探索語	たんさくご	search word	システムで探索することができる語。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7991	A		分離記号	ぶんりきごう	separator	コマンド式の構成要素を区分するために用いる文字又は文字列。この規格では、間隔、コロン、セミコロン及び丸括弧を分離記号として定義する。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7992	A		セッション	せっしょん	session	ログオンしてからログオフするまでの利用者とシステムとの間のやりとりのすべて。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7993	A		ストップワード	すとっぷわーど	stopword	索引を作成する際に無視する語。データベースごとに定める。例えば、of、and、or、isな	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7994	A		シソーラス	しそーらす	thesaurus	同義、階層などの関係及び従属関係を示している用語集。情報の蓄積及び検索に用いるために、あらかじめ設定されている統制語い(彙)を提供する機能をもつ。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7995	A		切捨て	きりすて	truncation	語の左端若しくは右端の文字又は文字列をマスクする特殊な形の文字マスク。	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7996	A		語	ご	word	分離記号の前又は後にある1文字以上の文字。この文字は、文字、数字又は記号とす	JIS X 0803	1995	ISO 8777	1993				1993	ISO/TC46
7997	B		文字列	もじれつ	character string	文字、数字、区切り字、その他の記号の組合せ。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
7998	B		データ要素	でーたようそ	data element	識別可能で定義可能なデータの基本単位。識別子としてのタグで表されるデータ要素名及び特定の事実を表現する一つ以上の値をもつ。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
7999	B		データ要素台帳	でーたようそだいちょう	data element directory	値の表現方法を伴うデータ要素の表。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8000	B		データ要素群	でーたようそぐん	data element group	関連するデータ要素の集合。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8001	B		データ要素群名	でーたようそぐんめい	data element group name	データ要素群を識別する1語以上の単語列。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8002	B		データ要素名	でーたようそめい	data element name	データ要素を識別する1語以上の単語列。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8003	B		データ要素値	でーたようそち	data element value	データ要素の記述及び表現の方法に従って、コード、数字又は自然言語で表現される一つの事実。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8004	B		情報検索	じょうほうけんさく	information retrieval	ある事柄又は文献の書誌事項に関する蓄積されたデータから、必要なものを引き出すための行動、方法及び手続。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8005	B		メッセージ	めっせーじ	message	情報検索トランザクションで使用される構造化されたデータ要素の組合せ。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8006	B		レコード	れこーど	record	通常、一つの単位として扱われるデータ群。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8007	B		表現方法	ひょうげんほうほう	representation	あるデータ要素値を、文字列で表す方法。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8008	B		検索集合	けんさくしゅうごう	result set	探索処理のFINDコマンドによって検索されたレコード、書誌事項、文献、その他の情報単位の群。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8009	B		探索要求	たんさくようきゅう	search request	検索されるものが満たすべき値とデータ要素とを記述した、構造化された問合わせ。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8010	B		タグ	たぐ	tag	データ要素名又はデータ要素群名の代わりに用いるための識別子。この規格では、3けたの数字を用いる。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8011	B		トランザクション	とらんざくしょん	transaction	原文書の全文又は2次情報の検索要求及び関連する支払いを可能にするためのメッセージの作成又は変更。	JIS X 0805	1998	ISO 8459-3	1994		廃2008/3		1994	ISO/TC46
8012	A		(A)アソシエーション	(A)あそしえーしょん	A-association	応用アソシエーション(application association)の略	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8013	A		抽象データベースレコード	ちゅうしょうでーたべーすれこーど	abstract database record	データベースレコード中の情報の抽象的表現。抽象データベースレコードは、抽象レコード構造(スキーマによって定義される。)をデータベースレコードに適用することによって形成することができる。抽象データベースレコードに要素指定を適用して別の抽象データベースレコードの実現値を形成することもできる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8014	A		抽象レコード構造	ちゅうしょうれこーどこうぞう	abstract record structure	データベーススキーマの一次的要素。抽象レコード構造をデータベースレコードに適用した結果が、抽象データベースレコードとなる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8015	A		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax	抽象構文記法を用いたあるデータ型の記述。OID(オブジェクト識別子)によって参照することができる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8016	A		抽象構文記法	ちゅうしょうこうぶんきほう	abstract syntax notation	データ型の記述をその表現方法から独立に行うことのできる言語。ASN.1が、その一例で	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8017	A		アクセスポイント	あくせすぽいんと	access point	単独又は他のアクセスポイントとの組合せによってレコードの探索に用いられるキー。一意でも一意でなくともよい。アクセスポイントは、要素(抽象構文によって定義される。)と等しくても、幾つかの要素から抽出しても、又は要素に関係なくてもよい。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8018	A		アクセスポイント句	あくせすぽいんとく	access point clause	タイプ1問合せのオペランドの一つ(非公式)。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8019	A		集合的表示応答	しゅうごうてきひょうじおう	aggregate present	表示操作での、幾つかのセグメント要求(もしあれば)と一つの表示応答とを合わせたも	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8020	A		APDU	APDU		応用プロトコルデータ単位(application protocol date unit)の略	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8021	A		応用アソシエーション	おうようあそしえーしょん	application association	データベース利用者とデータベース提供者との間の通信セション。一つ以上の(Z)アソシエーションからなる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8022	A		応用プロトコル	おうようぷろとこる	application protocol	発信元と受信側との間の情報の形式と交換とを管理する規則。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8023	A		応用プロトコルデータ単位	おうようぷろとこるでーたたんい	application protocol date unit	発信元と受信側との間を転送される情報の単位。その形式は、Z39.50プロトコルによって規定され、応用プロトコル情報と場合によって応用利用者データとからなる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8024	A		応用プロトコル制御情報	おうようぷろとこるせいぎょじょうほう	application protocol control information	応用プロトコルデータ単位によって伝達される情報。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8025	A		適用選択可能形	てきようせんたくかのうけい	applied variant	選択可能形仕様の三つの使用法の一つで、検索レコードに含まれる要素に対し受信側が適用する選択可能形仕様。[選択可能形要求(variantRequest)及び提供選択可能形(supportedVariant)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8026	A		ARS	ARS	ARS	抽象レコード構造(abstract record structure)の略	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8027	A		ASN.1	ASN.1	ASN.1	JIS X 5603(ISO/IEC 8824)及びJIS X 5604(ISO/IEC 8825)に規定される抽象構文記法	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8028	A		属性	ぞくせい	attribute	探索語の一つの特性、又は全体としての探索語の一つの特性をなす幾つかの特性成	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8029	A		属性要素	ぞくせいようそ	attribute element	属性型とその型の値との組によって表現される属性。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8030	A		属性リスト	ぞくせいりすと	attribute list	属性要素の集合及びその所属する属性集合識別子。属性リストは、探索用語と組み合わされてタイプ1問合せのオペランドとなる。通常、その集合の一つの属性要素が、正規化されたアクセスポイントに対応し、このアクセスポイントに対して、(他の属性要素によって修飾された)検索語が、照合される。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8031	A		属性集合	ぞくせいしゅうごう	attribute set	属性型の集合。各属性型は、それぞれ属性値のリストである。各型は、ある整数によって表現され、この整数は、その属性集合(属性集合識別子によって識別される。)の中で一意であり、またある型の中で各々の属性値は、一意である。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8032	A		属性集合識別子	ぞくせいしゅうごうしきべつ	attribute set id	(属性リストの中の)属性要素の属する属性集合を識別するOID。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8033	A		属性型	ぞくせいかた	attribute type	属性要素の構成成分。属性集合は、一つ以上の属性型を定義し、各型に対し整数を割り当てる(また、各型に対する属性値も定義する。)。例えば、属性集合biblは、属性型"Use"に対し整数1を割り当てている。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8034	A		属性値	ぞくせいち	attribute value	属性要素の構成成分。属性集合は、一つ以上の値を各型に対し定義する。例えば属性集合"bibl"は、属性型"Use"に値"personal name"を定義している。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8035	A		クライアント	くらいあんと	client	発信元を含む応用。すなわちデータベース利用者。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8036	A		クライアントシステム	くらいあんとしすてむ	client system	クライアントの存在するシステム。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8037	A		構成仕様	こうせいしよう	composition specification	検索レコードの望ましい構成(要素及びレコード構文)を指示するために表示要求に含まれうる仕様。スキーマ識別子、要素指定、及びレコード構文識別子を含む。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8038	A		条件応答付サービス	じょうけんおうとうつきさーびす	conditionally confirmed service	応答付又は応答なしとして呼び出されうるサービス。(発信元又は受信側からの)要求に(同位からの)応答が続きうるものとして定義される。例えば、資源制御は、条件応答付サービスの一つである。応答なしサービス(non-confirmed service及び応答付サービス(confirmed service)も参照。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8039	A		応答付サービス	おうとうつきさーびす	confirmed service	(発信元又は受信側からの)要求に(同位からの)応答が続くものとして定義されるサービス。例えば、探索サービスは、発信元によって起動される応答付サービスの一つである。アクセス制御サービスは、受信側によって起動される応答付サービスの一つである[応答なしサービス(non-confirmed service及び条件応答付サービス(conditionally-confirmed	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8040	A		データベース	でーたべーす	database	関連する情報を含む情報単位の集まり。各情報単位が、データベースレコードである。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8041	A		データベースレコード	でーたべーすれこーど	database record	データベース中の情報単位を表現する局所的なデータ構造。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8042	A		データベーススキーマ	でーたべーすすきーま	database schema	データベースのレコードに含まれる情報についての発信元と受信側との間の共通理解。これによって要素指定を通してその情報の部分を選択することが可能となる。スキーマは、データベースレコードに適用されて抽象データベースレコードとなる抽象レコード構造	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8043	A		データ要素	でーたようそ	data element	要素(element)と同義参照。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8044	A		要素	ようそ	element	スキーマの定義する情報の単位。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8045	A		要素要求	ようそようきゅう	ElementRequest	特定の要素の検索のために要素指定とともに含まれる要求。要素要求は、要素の望ましい選択可能形を示す選択可能形要求を含むことができる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8046	A		要素集合名	ようそしゅうごうめい	element set name	基本名の形での要素指定。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8047	A		要素指定	ようそしてい	element specification	要素指定書式の実現値又は要素集合名。要素指定は、一つの抽象データベースレコードを別の抽象データベースレコードに変換する(この変換は、無変換でもよい。)。要素指定は、抽象データベースレコードから要素を選択する。さらに、これらの要素に対し選択可能形形式を指定することもある。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8048	A		要素指定書式	ようそしていしょしき	element specification	要素指定を表現する構造。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8049	A		要素指定識別子	ようそしていしきべつし	element specification identifier	要素指定書式のオブジェクト識別子又は要素集合名。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8050	A		例外的レコード長	れいがいてきれこーどちょう	exceptional record size	単一の例外的に大きな(すなわち、要望メッセージ長より大きい)レコードが要求される特別な場合に、表示応答に含まれうるレコードの最大長。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8051	A		機能群	きのうぐん	facility	Z39.50サービスの論理的なまとまり、又は単独のサービス。例えば、検索機能群は、表示サービス及びセグメントサービスからなり、探索機能群は、探索サービスだけからなる。他に、ある機能群が他の機能群のサービスを使用し、その機能群のサービスをもたないこともある。例えば、説明機能群は、サービスをもたず、探索サービス及び表示サー	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8052	A		(レコードの)最終断片	(れこーどの)さいしゅうだんぺん	final fragment	レコードの終わりで終了する断片[(レコードの)断片(fragment)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8053	A		(レコードの)断片	(れこーどの)だんぺん	fragment	レコードの真の部分列(この定義は、レベル2セグメント化の文脈でだけ意味をもつ。当該の箇条ではレコードは、バイトの列として考える。)。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8054	A		GRS	GRS		共通レコード構文。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8055	A		起動要求	きどうようきゅう	initiating request	操作を開始する要求。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8056	A		(レコードの)中間断片	(れこーどの)ちゅうかんだんぺん	intermediate fragment	レコードの終わりでも開始でもない断片[(レコードの)断片(fragment)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8057	A		IR	IR		情報検索	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8058	A		項目	こうもく	item	(1)検索集合項目(result set item)。(2)書誌項目(ISO 10160)参照。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8059	A		最大セグメント長	さいだいせぐめんとちょう	maximum segment size	集合的表示応答(セグメント化が有効な場合)のセグメントの許される最大長。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8060	A		名前	なまえ	name	ある言語で表された言語的構成要素で何らかの実体に対応するもの。名前は、それに結び付けられた実体を示す(識別する。)。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8061	A		応答なしサービス	おうとうなしさーびす	non-confirmed service	発信元又は受信側からの要求に対応する応答がないものとして定義されるサービス。例えばセグメントサービスは、受信側から起動される応答なしサービスである。[応答付サービス(confirmed service)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8062	A		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	object identifier	大域的に一意に認知され、登録機関によって登録されるデータ実体を示す識別子。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8063	A		OID	OID		(object identifier)の略。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8064	A		操作	そうさ	operation	起動要求及びそれに対応する終了応答、並びにその間にはさまれる関連のメッセージ。例えば、探索操作は、常に探索要求及び探索応答を含み、更にアクセス制御及び資源制御メッセージを含んでもよい。一つの(Z)アソシエーション内には複数の並行操作を含	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8065	A		操作型	そうさかた	operation type	その操作を起動する要求の名前。例えば、探索要求は、"探索"型の操作を起動する。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8066	A		発信元	はっしんもと	origin	(Z)アソシエーションを起動し(Z)アソシエーション中で操作を起動する実体。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8067	A		発信元サービス利用者	はっしんもとさーびすりようしゃ	origin service-user	発信元で要求を発行するクライアントの部分。[サービス利用者(service-user)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8068	A		OSI	OSI		開放型システム間相互接続。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8069	A		Pコンテキスト	Pこんてきすと	P-context	プレゼンテーションコンテキスト(presentation context)の略。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8070	A		要望メッセージ長	ようぼうめっせーじちょう	preferred message size	セグメント化が有効でないときの探索応答又は表示応答の最大長。プロトコル制御情報を含まない応答レコード長さの和(バイト数)で表される。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8071	A		プレゼンテーションコンテキスト	ぷれぜんてーしょんこんてきすと	presentation context	抽象構文を応用アソシエーションの中で使用するためにプレゼンテーション層で取り決められた抽象構文と転送構文との組合せ。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8072	A		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive	サービスプリミティブ(service primitive)と同義。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8073	A		基本名	きほんめい	primitive name	その内部構造の理解を必要としない、又は利用者にとって理解が重要でないような名前。基本名は、プリミティブとは関係がないことに注意。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8074	A		レコード構文	れこーどこうぶん	record syntax	検索レコードを表現するため発信元又は受信側によって要求される抽象構文。完全な定義については、レコード構文参照。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8075	A		応答レコード	おうとうれこーど	response record	データベースレコードを表す探索応答又は(集合的)表示応答での検索レコード、若しくは代替診断レコード。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8076	A		検索集合	けんさくしゅうごう	result set	転送レコードの選択機構として局所的に用いられるデータ構造。その論理的構造は、順序づけられた検索集合項目の名前付のリストであり、更にその検索集合を作成した探索を代表する何らかの情報をもちうる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8077	A		検索集合項目	けんさくしゅうごうこうもく	result set item	データベース名、データベース中のレコードに対するポインタ、及び場合によってはレコードに関連づけられた何らかの情報。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8078	A		検索集合レコード	けんさくしゅうごうれこーど	result set record	検索集合項目で表されるデータベースレコードをさす慣用的な言い方。[検索集合(result set)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8079	A		検索レコード	けんさくれこーど	retrieval record	レコード構文をある抽象データベースレコードに適用することによって定義される送出可能な構造。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8080	A		RPN問合せ	RPNといあわせ	RPN query	逆ポーランド表記法(RPN)形式で表現された探索問合せ。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8081	A		スキーマ	すきーま	schema	データベーススキーマ(database schema)と同義。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8082	A		セグメント	せぐめんと	segment	集合的表示応答、すなわちセグメント要求又は表示応答の一部分として受信側によって送られる(又は送出のために準備中の)メッセージ。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8083	A		サーバ	さーば	server	受信側を含む応用。すなわちデータベース供給側。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8084	A		サーバシステム	さーばしすてむ	server system	サーバの存在するシステム。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8085	A		サービス	さーびす	service	(1)"探索"サービスのようなZ39.50サービス。(2)"接続性検索集合拡張サービス"のような拡張サービス。(3)サービス提供者。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8086	A		サービスプリミティブ	さーびすぷりみていぶ	service primitive	サービス利用者とサービス提供者との間における相互動作の抽象的で実装から独立した表現。サービスプリミティブの四つの型は、要求、指示、応答、確認である。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8087	A		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	service -provider	同位のサービス利用者にサービスを提供するエンティティ(発信元と受信側)全体の抽象概念。サービス提供者の概念は、プロトコル手続の仕様を容易にするために使われる。これは、プロトコルモデルを示すためにProtocol Modelの中でだけ使用される。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8088	A		サービス利用者	さーびすりようしゃ	service-user	発信元サービス利用者又は受信側サービス利用者。クライアント又はサーバで発信元又は受信側に要求を行う部分。サービス利用者の概念は、プロトコル手続の仕様を容易にするために使われる。これは、プロトコルモデルを示すためにProtocol Modelの中でだけ	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8089	A		単純表示応答	たんじゅんひょうじおうとう	simple present response	一つのセグメントからなる集合的表示応答。すなわち、表示応答だけからなり、セグメント要求を含まないもの。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8090	A		(レコードの)開始断片	(れこーどの)かいしだんぺ	starting fragment	レコードの先頭で開始する断片[(レコードの)断片(fragment)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8091	A		提供選択可能形	ていきょうせんたくかのうけい	supportedVariant	選択可能形仕様の三つの使用法の一つで、特定の要素に対して受信側が利用可能なものを提示する選択可能形仕様[適用選択可能形(appliedVariant)及び選択可能形要求(variantRequest)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8092	A		代替診断レコード	だいたいしんだんれこーど	surrogate diagnostic	データベースレコードを表す検索レコードの代わりに供給される診断レコード。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8093	A		タグ	たぐ	tag	要素(又は要素を表すタグ系列のノード)の識別子。タグ型及びタグ値からなる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8094	A		タグ系列	たぐけいれつ	TagPath	(レコードの要素が、階層的に木として表現されている場合)木の最上位からそのタグが表現するノードまでのノードの連り。タグ系列の各ノードは、タグで表される。最終ノードが最下位ノードの場合、タグ系列は、要素を表現する。そうでない場合、タグ系列は、最上位ノードがそのノードであるような部分木を表現する。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8095	A		タグ集合	たぐしゅうごう	tagSet	要素の集合に対するタグ値(及び推奨されるデータ型)の集まり。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8096	A		タグ集合識別子	たぐしゅうごうしきべつし	tagSetId	タグ集合に対する接続的な識別子として働くオブジェクト識別子。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8097	A		タグ型	たぐかた	tagType	タグ集合の略式(整数)識別子。スキーマ定義は、(スキーマ定義の文脈中で)特定のタグ集合を識別するために、タグ型をタグ集合識別子に与えてもよい。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8098	A		タグ値	たぐち	tagValue	要素(又は要素を表すタグ系列のノード)の識別子。整数であっても文字列であってもよく、タグ型によって修飾される。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8099	A		受信側	じゅしんがわ	target	(Z)アソシエーションを受け入れるエンティティ。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8100	A		受信側サービス利用者	じゅしんがわさーびすりようしゃ	target service-user	受信側で要求を発行するサーバの部分[サービス利用者(service-user)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8101	A		終了応答	しゅうりょうおうとう	terminating response	操作を終了させる応答。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8102	A		転送構文	てんそうこうぶん	transfer syntax	抽象構文と組になってレコード構文をなす構文。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8103	A		三つ組	みつくみ	triple	三つの組(n=3のn-組)。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8104	A		タイプ1問合せ	たいぷいちといあわせ	type-1 query	RPN問合せ(RPN query)と同義。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8105	A		選択可能形	せんたくかのうけい	variant	要素を検索する際に利用可能な幾つかありうる形のうちの一つ。発信元は、特定の選択可能形を要求してもよく、受信側は、特定の選択可能形で表示する。受信側は、ある要素についてどのような選択可能形が利用可能かを指示することもできる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8106	A		選択可能形リスト	せんたくかのうけいりすと	variant list	受信側によって供給される特定の要素に対する提供選択可能形のリスト。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8107	A		選択可能形要求	せんたくかのうけいようきゅう	variantRequest	選択可能形仕様の三つの使用法の一つで、要素要求の中で使われる選択可能形仕様[適用選択可能形(appliedVariant)及び提供選択可能形(supportedVariant)も参照]。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8108	A		選択可能形集合	せんたくかのうけいしゅうごう	variant set	クラスの集合の定義。それぞれのクラスについての型の集合、及びそれぞれの型について値の集合。選択可能形仕様は、特定の選択可能形集合の選択可能形指定子の集合	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8109	A		選択可能形集合識別子	せんたくかのうけいしゅうごうしきべつし	variant set identifier	選択可能形集合を識別するOID。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8110	A		選択可能形仕様	せんたくかのうけいしよう	variant specification	選択可能形要求、適用選択可能形又は提供選択可能形。選択可能形仕様は、それぞれが選択可能形指定子である三つ組の列とする。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8111	A		選択可能形指定子	せんたくかのうけいしてい し	variant specifier	選択可能形仕様の構成要素。クラス、そのクラスのために定義された型及びその型のために定義された値からなる。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8112	A		(Z)アソシエーション	(Z)あそしえーしょん	Z-association	Z39.50アソシエーション(Z39.50-association)の略。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8113	A		Z39.50アソシエーション	Z39.50あそしえーしょん	Z39.50-association	発信元によって明示的に確立され、発信元若しくは受信側によって明示的に、又は(A)アソシエーションの終了によって暗黙的に終了するセション。発信元と受信側との間の通信は、応用アソシエーション中のZ39.50アソシエーションを通して行われる。一つの(A)アソシエーション中には幾つかの連続した(Z)アソシエーションが存在してよい。	JIS X 0806	1999	ISO 23950	1998				1998	ISO/TC46
8114	A		著者	ちょしゃ	author	文献の知的及び芸術的内容に責任をもつ人又は団体。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8115	A		電子掲示板	でんしけいじばん	bulletin board	コンピュータシステムに蓄積された特定の話題に関する情報又はメッセージを、利用者が遠隔地からアクセスできるようにしたシステム。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8116	A		コンピュータプログラム	こんぴゅーたぷろぐらむ	computer program	コンピュータの実行形式に合わせて表現した動作を指定する予定又は計画。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8117	A		記事	きじ	contribution	文献を構成する独立した単位。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8118	A		データベース	でーたべーす	database	特定の規則に従って電子的な形式で、一か所に蓄積されたデータの集合であって、コンピュータでアクセス可能なもの。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8119	A		電子メール会議	でんしめーるかいぎ	discussion list	電子メールリストの登録者間でコンピュータネットワークを通じて開かれる特定の話題に関する議論の場を指す。そこでは参加者個人からの寄稿が自動的に電子メールとして登録者全員に送信される。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8120	A		文献、資料	ぶんけん、しりょう	document	その物理的な形態及び特徴に関係なく、ドキュメンテーションの過程において一つの単位として扱うことができる記録情報。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8121	A		版	はん	edition	文献のコピーの集合全体で、そのデータは、すべての点においてマスタとして用いられた単一のコピーに対応する。[バージョンを参照]。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8122	A		電子文献	でんしぶんけん	electronic document	電子形態で存在する文献であって、コンピュータ技術によってアクセス可能なもの。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8123	A		電子メールシステム	でんしめーるしすてむ	electronic message	コンピュータネットワークを介して電子形態でメッセージを送信するシステム。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8124	A		ファイル	ふぁいる	file	組織化されたデータの集合。一般には関連付けられたレコードから構成される。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8125	A		記事掲載資料	きじけいさいしりょう	host document	複数の記事から構成される文献又は物理的・書誌的にも独立していないが、それぞれが識別可能な部分から構成される文献。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8126	A		単行書	たんこうしょ	monograph	逐次刊行されない文献。すなわち、一回の刊行で完結される文献又はあらかじめ設定された回数だけ刊行して完結される文献を指す。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8127	A		出版者	しゅっぱんしゃ	publisher	文献の製作及び頒布に責任をもつ人又は団体。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8128	A		レコード	れこーど	record	通常単一のものとして扱われるデータ群。ファイルの部分集合。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8129	A		逐次刊行物	ちくじかんこうぶつ	serial	媒体の種類を問わず継続して刊行される出版物であって、通常番号又は日付の表示をして、期限を定めずに刊行し続けるもの。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8130	A		タイトル、標題紙	たいとる、ひょうだいし	title	文献に表示された語や語句で、それを用いて文献を指し示すことが容易で、文献の識別に用いることができ、多くの場合、他の文献からその文献を区別するもの。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8131	A		バージョン	ばーじょん	version	内容を変えることなく、形態だけを変えた文献の形式[版を参照]。	JIS X 0807	1999	ISO 690-2	1997				1997	ISO/TC46
8132	A		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity	応用プロセスのOSIに関係する側面。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8133	A		応用層	おうようそう	Application Layer	応用プロセスに対し、OSI環境にアクセスする手段を提供する層。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8134	A		応用プロトコルデータ単位	おうようぷろとこるでーたたんい	application-protocol-data-unit	特定の層のプロトコル内に指定されたデータの集合であって、その層のプロトコル制御情報と、場合によってはその層の利用者データとからなるもの。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8135	A		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application-service-element	応用層のエンティティの一部であって、必要に応じてより下位のサービスを利用して、OSI環境内で特定の機能を提供するもの	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8136	A		(N)サービス	(N)さーびす	(N)-service	(N)層及びそれより下の層の能力であって、(N)層と(N+1)層との境界において(N+1)エンティティに提供されるもの。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8137	A		プレゼンテーションサービス	ぷれぜんてーしょんさーびす	presentation-service	プレゼンテーション層と応用層との境界において、応用エンティティに提供されるプレゼンテーション層及び下位の層の能力。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8138	A		応用アソシエーション	おうようあそしえーしょん	application-association	二つの応用エンティティ間の共同動作関係であって、情報通信及び応用エンティティの結合動作の調整を目的とするもの。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8139	A		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application-context	応用アソシエーション上での応用エンティティの相互動作のために必要な、応用サービス要素、それに関連する任意選択機能及びその他の情報の明示的に識別された集合。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8140	A		応用コンテキスト定義	おうようこんてきすとていぎ	application-context-definition	応用コンテキストの記述。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8141	A		応用エンティティ実行	おうようえんていていじっこう	application-entity-invocation	応用プロセス実行の通信要求に対応する与えられた応用エンティティの能力の一部又は全部の特別な活用。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8142	A		応用プロセス実行	おうようぷろせすじっこう	application-process-invocation	情報処理の特定の場合に対応する与えられた応用プロセスの能力の一部、又は全部の特別な活用。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8143	A		指示プリミティブ	しじぷりみていぶ	indication primitive	相互動作の表現で、サービス提供者が次のいずれかを行うもの。a)サービス提供者が自らある手続きを実行したことを指示する。b)同位のサービスアクセス点のサービス利用者がある手続きを実行したことを指示する。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8144	A		非確認型サービス	ひかくにんがたさーびす	non-confirmed service	(N)サービス全体のうち、起動をかけたサービス利用者に対して、サービス提供者からの明示的な確認のないもの。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8145	A		提供者起動サービス	ていきょうしゃきどうさーびす	provider-initiated service	(N)サービス全体のうち、サービス利用者からではなく、サービス提供者の側から起動されたもの。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8146	A		要求プリミティブ	ようきゅうぷりみていぶ	request primitive	サービス利用者がある手続きを実行するために発行する相互動作の表現。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8147	A		サービスプリミティブ	さーびすぷりみていぶ	service primitive	サービス利用者とサービス提供者との間における相互動作の、抽象的で実装から独立した表現。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8148	A		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	service-provider	同位サービス利用者に対して、サービスを提供するエンティティ全体の抽象化。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8149	A		サービス利用者	さーびすりようしゃ	service-user	サービスを利用する、単一の開放型システム内のエンティティ。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8150	A		文献資料	ぶんけんしりょう	bibliographic item	図書館、又は他の機関が所有する単行書、逐次刊行物、マイクロフォーム、フィルム、録画物、録音物、その他の情報資料。資料は、異なる形態のもののこともある。例えば、本は、紙に印刷されることも電子的に表現されることもある。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8151	A		連鎖型ILLトランザクション	れんさがたILLとらんざくしょん	chained ILL-transaction	三つ以上の当事者、すなわち、依頼機関、受付機関、及び一つ以上の中継機関を含むILLトランザクションで、各中継機関が、すべてのILLメッセージの中継ぎを行うもの。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8152	A		電子的配送	でんしてきはいそう	electronic delivery	依頼された資料の電子的な表現による、通信サービスを経由した配送。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8153	A		最終受付機関	さいしゅううけつけきかん	final-respnder	依頼された資料を提供する機関。ILLトランザクションの受付機関とILL副トランザクションの受付機関とを区別する必要があるときにこの語を使用する。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8154	A		ILLトランザクション	ILLとらんざくしょん	ILL-transaction	単一の完結したILLサイクルの全体。最初のILL REQUESTから、依頼された資料が返送されてサイクルが終了するまでのすべての動作、サービスプリミティブ及びメッセージを	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8155	A		ILLトランザクショングルー	ILLとらんざくしょんぐるー	ILL-transaction group	同じ依頼機関が起動した関連するILLトランザクションのまとまり。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8156	A		ILLトランザクション状態	ILLとらんざくしょんじょうたい	ILL-transaction state	ILLトランザクションの現在処理中の状態を表現した情報。依頼機関、受付機関及びILLトランザクションにかかわるすべての中継機関の状態の組合せを表す。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8157	A		最初の依頼機関	さいしょのいらいきかん	initial-requester	ILLトランザクションを起動した機関(個人又は団体)。ILLトランザクションの依頼機関とILL副トランザクションの依頼機関とを区別する必要があるときにこの語を使用する。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8158	A		中継機関	ちゅうけいきかん	intermediary	依頼を他の図書館若しくは機関に転送する受付機関、又は他の受付機関と連鎖型又は区分化型の副トランザクションを起動する受付機関。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8159	A		資料	しりょう	item	文献資料参照。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8160	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	機能的に関連のある一つ以上のデータ要素のグループ。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8161	A		区分化型ILLトランザクション	くぶんかがたILLとらんざくしょん	partitioned ILL-transaction	三つの当事者、すなわち、依頼機関、受付機関及び一つの中継機関を含むILLトランザクションで、処理段階では中継機関がILLメッセージの中継ぎを行い、追跡段階では依頼機関と受付機関とが直接交信するもの。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8162	A		処理段階	しょりだんかい	processing phase	依頼された資料の発送までのILLトランザクションの段階。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8163	A		依頼機関	いらいきかん	requester	ILL REQUESTを生成する者。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8164	A		受付機関	うけつけきかん	responder	ILL REQUESTを受け取る者。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8165	A		単純型ILLトランザクション	たんじゅんがたILLとらんざくしょん	simple ILL-transaction	依頼機関及び受付機関の二つの機関だけがかかわるILLトランザクション。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8166	A		副トランザクション	ふくとらんざくしょん	sub-transaction	中継機関と受付機関との間、又は中継機関と他の中継機関との間で行われるILLトランザクションの部分。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8167	A		提供者	ていきょうしゃ	supplier	依頼された資料を提供する者。最終受付機関と同じ必要はない。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8168	A		終了状態	しゅうりょうじょうたい	terminal state	そこから異なる状態へは遷移しない状態。例えば、複写物が提供された場合、受付機関にとってはSHIPPEDが、依頼機関にとってはRECEIVEDが最終状態。CANCELLEDは、依頼機関及び受付機関双方にとって最終状態。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8169	A		追跡段階	ついせきだんかい	tracking phase	発送及び現物貸借資料の受領以降のILLトランザクションの段階。貸借期間の更新、督促及び資料返送を含む。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8170	A		利用者	りようしゃ	user	サービス利用者参照。	JIS X 0808	2001	ISO 10160	1997				1997	ISO/TC46
8171	A		応用層	おうようそう	application layer	応用プロセスに対し、OSI環境にアクセスする手段を提供する層。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8172	A		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity	応用プロセスのOSIに関係する側面。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8173	A		応用プロセス	おうようぷろせす	application-process	特定の応用のための情報処理を実行する実開放型システム内の要素。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8174	A		応用プロトコルデータ単位	おうようぷろとこるでーたたんい	application-protocol-data-unit	特定の層のプロトコル内に指定されたデータの集合であって、その層のプロトコル制御情報と、場合によってはその層の利用者データとからなるもの。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8175	A		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application-service-element	応用層のエンティティの一部分であって、必要に応じてより下位のサービスを利用して、OSI環境内で特定の機能を提供するもの。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8176	A		(N)サービス	(N)さーびす	(N)-service	(N)層及びそれより下の層の能力であって、(N)層と(N+1)層との境界において(N+1)エンティティに提供されるもの。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8177	A		プレゼンテーションサービス	ぷれぜんてーしょんさーびす	presentation-service	プレゼンテーション層と応用層の境界において、応用エンティティに提供されるプレゼンテーション層及び下位の層の能力。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8178	A		転送構文	てんそうこうぶん	transfer syntax		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8179	A		データ型	でーたがた	data type:type	命名された一連の値。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8180	A		単純型	たんじゅんがた	simple type	一連の値を直接的に特定することで定義される型。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8181	A		構造型	こうぞうがた	structure type	他の一つ以上の型を参照することで定義される型。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8182	A		構成要素型	こうせいようそがた	component type	構造型を定義する際に参照される型のうちの一つ。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8183	A		値	あたい	value	一連の値の区別される構成要素。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8184	A		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax	データを表現する符号化技術とは無関係である公式なデータ仕様において使用される規則の側面。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8185	A		応用アソシエーション	おうようあそしえーしょん	application-association	二つの応用エンティティ実行間の共同動作関係であって、情報通信及び応用エンティティの結合動作の調整を目的とするもの。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8186	A		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application-context	応用アソシエーション上での応用エンティティ実行の相互動作のために必要な、応用サービス要素、それに関連する任意選択機能及びその他の情報の明示的に識別された	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8187	A		応用コンテキスト定義	おうようこんてきすとていぎ	application-context-definition	応用コンテキストの記述。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8188	A		応用エンティティ実行	おうようえんていていじっこう	application-entity-invocation	応用プロセス実行の通信要求に対応する与えられた応用エンティティの能力の一部又は全部の特別な活用。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8189	A		応用プロセス実行	おうようぷろせすじっこう	application-process-invocation	情報処理の特定の場合に対応する与えられた応用プロセスの能力の一部又は全部の特別な活用。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8190	A		指示プリミティブ	しじぷりみていぶ	indication primitive	相互動作の表現で、サービス提供者が次のいずれかを行うもの。a)サービス提供者が自らある手続きを実行したことを指示する。b)同位のサービスアクセス点のサービス利用者がある手続きを実行したことを指示する。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8191	A		非確認型サービス	ひかくにんがたさーびす	non-confirmed service	(N)サービス全体のうち、起動をかけたサービス利用者に対して、サービス提供者からの明示的な確認のないもの。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8192	A		提供者起動サービス	ていきょうしゃきどうさーびす	provider-initiated service	(N)サービス全体のうち、サービス利用者からではなく、サービス提供者の側から起動されたもの。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8193	A		要求プリミティブ	ようきゅうぷりみていぶ	request primitive	サービスユーザがある手続きを実行するために発行する相互動作の表現。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8194	A		サービスプリミティブ	さーびすぷりみていぶ	service primitive	サービス利用者とサービス提供者との間における相互動作の、抽象的で実装から独立した表現。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8195	A		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	service-provider	同位サービス利用者に対してサービスを提供するエンティティ全体の抽象化。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8196	A		サービス利用者	さーびすりようしゃ	service-user	サービスを利用する、単一の開放型システム内のエンティティ。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8197	A		著者	ちょしゃ	author		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8198	A		請求記号	せいきゅうきごう	call number		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8199	A		図書館利用者識別子	としょかんりようしゃしきべつし	client identifier		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8200	A		図書館利用者区分	としょかんりようしゃくぶん	client-status		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8201	A		国	くに	country		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8202	A		版	はん	edition		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8203	A		出版地	しゅっぱんち	place-of-publication		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8204	A		私書箱	ししょばこ	post-office-box		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8205	A		郵便番号	ゆうびんばんごう	postal-code		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8206	A		出版者	しゅっぱんしゃ	publisher		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8207	A		後援団体	こうえんだんたい	sponsoring body		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8208	A		町名及び番地	ちょうめいおよびばんち	street-and number		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8209	A		タイトル	たいとる	title		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8210	A		転送モード	てんそうもーど	transportation-mode		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8211	A		巻号	かんごう	volume-issue		JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8212	A		利用者番号	りようしゃばんごう	account-number	債権・債務が発生する口座の番号。依頼機関は、普通個々の受付機関ごとに別の口座を割り当てる。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8213	A		追加コード	ついかこーど	additional-no-letters	資料を識別する数字又はコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8214	A		転送済	てんそうずみ	already-forwarded	ILL要求を転送済であることを知らせる受付機関からの通知。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8215	A		照会済一覧	しょうかいずみいちらん	already-tried-list	問合せを受けたが依頼した資料を提供できなかった機関の一覧。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8216	A		回答	かいとう	answer	可否の応答を表すコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8217	A		製本中	せいほんちゅう	at-bindery	資料を所蔵しているが、依頼された資料は、製本中。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8218	A		著者	ちょしゃ	author	資料の知的芸術的内容に責任をもつ個人又は団体の名前。資料の作曲者、作成者又は創造者を含む。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8219	A		記事の著者	きじのちょしゃ	author-of-article	ある資料の部分要素をなす資料(記事)の著者。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8220	A		不正構造APDU	ふせいこうぞうAPDU	badly-structured-APDU	受理したAPDUの構造が、JIS X 5603及びJIS X 5604で定義された標準記法及び符号化に従っていないこと、又はISO 9735及びこの規格の附属書Bで定義するEDIFACT符号化に従っていないこと。例えば、受理したAPDUが、記述されている長さと合わない場合。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8221	A		提供準備中	ていきょうじゅんびちゅう	being-processed-for-	資料は、検索中、複写中及び/又は配送のためにこん包中。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8222	A		請求記号	せいきゅうきごう	call-number	所蔵機関における物理的な所在を示す資料記号。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8223	A		CHECKED-IN APDU提供可	ちぇっくど-いん APDUていきょうか	can-send-CHECKED-IN	CHECKED-IN APDUが提供可能なことを示す受付機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8224	A		RECEIVED APDU提供可	れしーぶどADPUていきょうか	can-send-RECEIVED	RECEIVED APDUが提供可能なことを示す依頼機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8225	A		RETURNED APDU提供可	りたーんどADPUていきょうか	can-send-RETURNED	RETURNED APDUが提供可能なことを示す依頼機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8226	A		SHIPPED APDU提供可	しっぷど ADPU ていきょう	can-send-SHIPPED	SHIPPED APDUが提供可能なことを示す受付機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8227	A		中継不可	ちゅうけいふか	cannot-send-onward	通信障害のために、中継機関は、依頼の送信不可能。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8228	A		課金対象数	かきんたいしょうすう	chargeable-units	課金される提供物の数。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8229	A		課金	かきん	charges	依頼されたサービスに対する受付機関の料金。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8230	A		市	し	city	市町村を識別するために使用される句。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8231	A		図書館利用者識別子	としょかんりようしゃしきべつし	client-identifier	図書館利用者を一意に識別するために使用される数字又はコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8232	A		図書館利用者名	としょかんりようしゃめい	client-name	資料を請求した個人又は団体の名前。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8233	A		要図書館利用者署名	ようとしょかんりようしゃしょめい	client-signature-required	資料に同封する用紙に図書館利用者が署名しなければならないという受付機関の条件。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8234	A		図書館利用者区分	としょかんりようしゃくぶん	client-status	図書館利用者の身分又は職業。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8235	A		条件	じょうけん	conditions	資料を貸し出すための条件を示すコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8236	A		著作権適合性	ちょさくけんてきごうせい	copyright-compliance	依頼機関が遵守する適用著作権規則又は法を示す依頼機関の備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8237	A		関連情報	かんれんじょうほう	correlation-information	誤り報告とサービス要求とを関連付けるのに使用する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8238	A		費用	ひよう	cost	提供したサービスのために、受付機関が要求、取得又は請求する金額。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8239	A		費用見積	ひようみつもり	cost-estimate	依頼されたサービスを提供するための料金の推定金額。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8240	A		費用超過	ひようちょうか	cost-exceeds-limit	依頼を提供する最小費用が許可された金額を上回ったことを示す受付機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8241	A		国	くに	country	国を指定するために使用される句。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8242	A		通貨コード	つうかこーど	currency-code	ISO 4217による通貨を識別するためのコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8243	A		現在状態	げんざいじょうたい	current-state	ILLトランザクションの状態を識別するためのコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8244	A		返却日	へんきゃくび	date-checked-in	貸出資料が受付機関に戻った日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8245	A		返却期限	へんきゃくきげん	date-due	貸出資料を受付機関に返却しなければならない期限。これには、最新の返却期限を反映させることが望ましい。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8246	A		回答期限	かいとうきげん	date-for-reply	受付機関に回答しなければならない期限。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8247	A		最終トランザクション日	さいしゅうとらんざくしょん	date-of-last-transaction	最新の状態遷移が発生した日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8248	A		最新のサービス日	さいしんのさーびすび	date-of-most-recent-service	状態報告を提供するシステムで起こった最新のサービス事象の日。これらは、状態報告を提供するシステムによって実行されるサービス又は受理したAPDUに反映されるサービスのいずれかとする。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8249	A		サービス日	さーびすび	date-of-service	ILLトランザクションにかかわるサービスが実行された日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8250	A		受領日	じゅりょうび	date-received	依頼機関が資料を受領した日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8251	A		要求日	ようきゅうび	date-requested	依頼機関がILL要求を起動した日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8252	A		返却日	へんきゃくび	date-returned	資料が受付機関に返された日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8253	A		発送日	はっそうび	date-shipped	資料が依頼機関に発送された日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8254	A		配達サービス	はいたつさーびす	delivery-service	依頼された資料の運送に使用される配達サービス又は配達方法。物理的配送又は電子的配送の両方が使用される。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8255	A		希望返却期限	きぼうへんきゃくきげん	desired-due-date	資料の貸借期限の更新で提案された期日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8256	A		トランザクション識別子の重複	とらんざくしょんしきべつしのじゅうふく	duplicate-transaction-id	ILL-REQUEST APDUのトランザクション識別子の値の不正な重複。すなわち、値が、同じ依頼機関から受け付けた既存のILL-REQUESTの一つと一致している。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8257	A		版	はん	edition	ある出版者又は出版者のグループが発行した資料であって、一つの原版、又は非図書資料の場合、実質的に同じ原盤から作成され、同じ内容をもつすべての複写物。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8258	A		電子配送	でんしはいそう	electronic delivery	通信を基盤としたデータ伝送機構による電子的文書の配送。有形の磁気的媒体又は光学的媒体の移動による配送は除く。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8259	A		利用可能日	りようかのうび	estimated-date-available	保留されている資料が利用可能になる予定の日付。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8260	A		廃棄日	はいきび	expiry date	ILLトランザクションが自動的に廃棄する日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8261	A		廃棄フラグ	はいきふらぐ	expiry flag	ILLトランザクションに廃棄日が設定されているかどうかを示すフラグ。それが設定されている場合、その日が"必要とする日"(need-before-date)であるか他の日であるかを示	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8262	A		あて名追加情報	あてなついかじょうほう	extended-postal-delivery-address	配送先を正確に指定するために、住所に必要な付加的情報。例えば、大きなビルの部屋番号又は階数。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8263	A		最終受付機関	さいしゅううけつけきかん	final-responder	依頼された資料を提供する機関。ILLトランザクションの受付機関とILL副トランザクションの受付機関とを区別する必要があるときに、この語を使用する。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8264	A		転送フラグ	てんそうふらぐ	forward flag	受理したILL-REQUESTが中継機関から転送されたかどうかを示すフラグ。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8265	A		転送備考	てんそうびこう	forward note	ILL-REQUESTが新しい受付機関に転送されるときに受付機関が付加する備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8266	A		一般問題	いっぱんもんだい	general-problem	ILLサービス提供者が検出した、受理したAPDUの一般の(トランザクション識別子又は容認される状態遷移に関連しない)問題を示すコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8267	A		ILL APDU型	ILL APDUかた	ILL-APDU-type	受理したAPDUの種類を指定するコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8268	A		ILLサービス型	ILLさーびすかた	ILL-service-type	依頼されたILLサービスの種類を表すコード。希望の順に一覧することが可能。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8269	A		ILLトランザクション	ILLとらんざくしょん	ILL-transaction	単一の完結したILLサイクルの全体。最初のILL依頼から、依頼された資料が返送されてサイクルが終了するまでのすべての動作、サービスプリミティブ及びメッセージを含む。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8270	A		処理中	しょりちゅう	in-process	資料を受領したが、利用の準備が整っていないこと。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8271	A		貸出中	かしだしちゅう	in-use/on-loan	資料は所蔵しているが、現在図書館利用者が使用中又は他の機関に貸出中。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8272	A		最初の依頼機関	さいしょのいらいきかん	initial-requester	ILLトランザクションを起動した(個人又は団体)。ILLトランザクションの依頼機関とILL副トランザクションの依頼機関とを区別する必要があるときに、この語を使用する。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8273	A		最初の依頼機関アドレス	さいしょのいらいきかんあどれす	initial-requester-address	最初の依頼機関に到達するのに使われる通信サービス及びアドレスを識別する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8274	A		最新のサービス起動者	さいしんのさーびすきどうしゃ	initiator-of-most-recent service	最新のサービスを起動した依頼機関又は受付機関を識別する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8275	A		団体記号	だんたいきごう	institution-symbol	ILLトランザクションに参加する図書館、機関又は会社を略語形式で明確に識別する数字、文字又はコード。例えば、機関の総合目録記号など。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8276	A		保険	ほけん	insured-for	資料の紛失又は汚損に対する保険金額の備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8277	A		中継機関識別子	ちゅうけいきかんしきべつ	intermediary-id	ILLトランザクション中継機関を識別する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8278	A		中継機関問題	ちゅうけいきかんもんだい	intermediary-problem	中継機関が依頼を処理するのに問題があることを示すコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8279	A		不正トランザクション識別子	ふせいとらんざくしょんしきべつし	invalid-transaction-id	ILL-REQUESTのトランザクション識別子値の不正。例えば、値がこの規格の割当て規則に違反する場合、個人記号若しくは団体記号が未知の場合、又は個人名若しくほ団体名が未知の場合。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8280	A		ISBN、国際標準図書番号	ISBN、こくさいひょうじゅんとしょばんごう	ISBN, International Standard Book Number	JIS X 0306で規定された、単行書に割り当てられた国際的な図書番号。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8281	A		ISSN、国際標準逐次刊行物番号	ISSN、こくさいひょうじゅんちくじかんこうぶつばんごう	ISSN, International Standard Serial Number	JIS X 0305で規定された、逐次刊行物のタイトルに割り当てられた国際的な逐次刊行物番号。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8282	A		資料形式	しりょうけいしき	item-type	資料が作製されたときの書誌的な形式を識別するコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8283	A		欠落	けつらく	lacking	そのタイトルの資料は所蔵しているが、依頼された部分又はページを所蔵していないこ	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8284	A		著作権許諾欠落	ちょさくけんきょだくけつらく	lacks-copyright-compliance	複写を行う前に、適用される著作権規定又は著作権法に適合していることを示さなければならないという指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8285	A		サービスのレベル	さーびすのれべる	level-of-service	要求する探索の詳しさ、及び回答を必要とする期限のレベルを示すコード。このコードは、地域又は国内の規定が反映されることに注意する。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8286	A		図書館専用	としょかんせんよう	library-use-only	資料が、依頼された機関から移動することができないことを示す受付機関の備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8287	A		所蔵アドレス	しょぞうあどれす	location-address	資料を所蔵する機関に連絡するための、通信サービス及びアドレス又は郵送先住所を識別する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8288	A		所蔵識別子	しょぞうしきべつし	location-id	依頼された資料を所蔵する機関の記号又は名前。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8289	A		所蔵備考	しょぞうびこう	location-note	ILL-REQUEST中に提供される書誌データを補足又は訂正する付加的な情報。又は提供される所在を明らかにする付加的な情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8290	A		所蔵先不明	しょぞうさきふめい	locations-not-found	受付機関の候補が識別不可能。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8291	A		紛失	ふんしつ	lost	紛失した、及び/又は所蔵から取り消された資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8292	A		発送メッセージ不提供	はっそうめっせーじふていきょう	mandatory-messaging-not-supported	受付機関はSHIPPED及び/又はCHECKEDINのメッセージを提供しないこと。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8293	A		最大費用	さいだいひよう	maximum-cost	ILLサービスを受けるために支払われる最高金額。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8294	A		媒体仕様	ばいたいしよう	medium-characteristics	依頼された資料を提供する物理的な媒体の仕様。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8295	A		媒体形式	ばいたいけいしき	medium-type	資料が作成された媒体を識別するコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8296	A		APDUの誤り	APDUのあやまり	mistyped-APDU	この規格で定義する構造に合致しないAPDU。例えば、そのプロトコルの版に定義されていないデータ型を含むなど。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8297	A		金額	きんがく	monetary-value	金銭の値。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8298	A		最新のサービス	さいしんのさーびす	most-recent-service	状態報告を行うシステムで最後に起こったサービスを識別するコード。このコードは、状態報告を行うシステムが実行したサービスを表し、又は受け取ったAPDUに反映されているサービスを表す。状態報告を状態問合せ(status query)の回答として送るとき、そのSTATUS-QUERYを最新のサービスとすることは無意味であるので、これを最新のサービ	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8299	A		最新のサービス備考	さいしんのさーびすびこう	most-recent-service-note	最新のサービスプリミティブからの備考パラメタの内容。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8300	A		団体名	だんたいめい	name-of-institution	図書館、機関又は会社を識別する語、句又は略語。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8301	A		個人名	こじんめい	name-of-person	それによって個人が通常知られているか又は指定され、ILLトランザクションに参加する個人を識別することのできる一語又は複数語及び/又はかしら文字の組合せ。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8302	A		全国書誌番号	ぜんこくしょしばんごう	national-bibliography-no	希望の資料の全国書誌及び該当のレコード番号を識別する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8303	A		必要とする日	ひつようとするひ	need-before-date	資料又は返答が必要な期限。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8304	A		個数	こすう	no-of-units-per-medium	供給する媒体ごとの発送した物理的な個数。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8305	A		複写禁止	ふくしゃきんし	no-reproduction	全体としても部分としても、複写又は機械的な複製をしてはならない資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8306	A		貸出禁止	かしだしきんし	non-circulating	所蔵しているが、貸出はできない資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8307	A		利用不可能	りようふかのう	not-available	なんらかの技術的な理由によって、サービス利用者は、一時的にサービス要求ができな	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8308	A		指定情報誤り	していじょうほうあやまり	not-found-as-cited	受付機関が不完全又は誤りと判断した資料の識別情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8309	A		所在不明	しょざいふめい	not-on-shelf	その機関が所蔵しているが、貸出中でもなく、書か(架)にもない資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8310	A		非所蔵	ひしょぞう	not-owned	受付機関が所蔵していない資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8311	A		備考	びこう	note	他のどのデータ要素にも書かれていない付加的情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8312	A		通知備考	つうちびこう	notification note	受付機関がFORWARD-NOTIFICATIONに付加する備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8313	A		予約中	よやくちゅう	on-hold	他の機関又は人に要求されており、利用可能になり次第、その機関又は人に提供される	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8314	A		注文中	ちゅうもんちゅう	on-order	注文されているが、受付機関がまだ受け取っていない資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8315	A		利用制限中	りようせいげんちゅう	on-reserve	所蔵しているが、利用制限のために、別に取り置かれている資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8316	A		ページ付	ぺーじづけ	pagination	資料又は資料の部分のページを示す数字。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8317	A		支払確定	しはらいかくてい	payment-provided	依頼機関の費用の支払が正式に認められ、既に送ったか、又は資料に同封するという依頼機関の宣言。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8318	A		連鎖の許可	れんさのきょか	permission-to-chain	別の受付機関と連鎖型副トランザクションを起動することを受付機関に許可する指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8319	A		送付先リスト変更許可	そうふさきりすとへんこうきょか	permission-to-change-send-to-list	受付機関へ送付先一覧(send-to-list)の内容を変更する許可を与える指示。許可された変更の性質は、"優先順序(preference)"の値に依存する。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8320	A		転送の許可	てんそうのきょか	permission-to-forward	要求を別の受付機関に転送することを受付機関に許可する指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8321	A		区分化の許可	くぶんかのきょか	permission-to-partition	別の受付機関と区分化副トランザクションを起動することを受付機関に許可する指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8322	A		個人記号	こじんきごう	person-symbol	ILLトランザクションに参加する者をあいまいでなく識別する略語形式の数字(列)、文字(列)又はコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8323	A		物理媒体	ぶつりばいたい	physical-medium	媒体形式参照。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8324	A		出版地	しゅっぱんち	place-of-publication	出版者の住所。出版者が欠落していれば、印刷者、頒布者又は製造業者の住所。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8325	A		予約	よやく	place-on-hold	その資料が利用可能になり次第提供されるよう予約をするという要求。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8326	A		運用方針問題	うんようほうしんもんだい	policy-problem	運用方針によって依頼に応えられないことを示す受付機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8327	A		状態不良	じょうたいふりょう	poor-condition	資料は所蔵しているが、貸出又は複製のできる物理的状態でない。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8328	A		私書箱	ししょばこ	post-office-box	郵便局が割り当てた箱の番号。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8329	A		郵便番号	ゆうびんばんごう	postal-code	市又は他の地域内に与えられる地域を識別するコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8330	A		優先順序	ゆうせんじゅんじょ	preference	送付先一覧(send-to-list)に挙げられた機関を一覧の順に並べるか、又は他の順に並べるかの指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8331	A		前払い要求	まえばらいようきゅう	prepayment-required	ILLトランザクションを継続するに先立って、前払いを要求するこを示す受付機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8332	A		非対応プロトコル版	ひたいおうぷろとこるばん	protocol-version-not-supported	プロトコル版番号(protocol-version-number)要素の値に対応していないプロトコルの版を含むAPDUを受け取った。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8333	A		プロトコル版番号	ぷろとこるばんばんごう	protocol-version-number	使用するプロトコルの版を識別する番号。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8334	A		発行日	はっこうび	publication-date	出版者が記載した著作の発行の日付。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8335	A		要素の発行日	ようそのはっこうび	publication-date-of-components	著作の書誌的に識別可能な一部分に出版者が記載しだ発行の日付。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8336	A		出版者	しゅっぱんしゃ	publisher	資料の出版に責任のある個人又は団体。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8337	A		所在提供理由	しょざいていきょうりゆう	reason-location-provided	ILL要求への回答として所在を提供する理由を示すのに使用するコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8338	A		無回答理由	むかいとうりゆう	reason-no-report	STATUS-QUERYへの回答として報告が提供できない理由を示すために使用されるコー	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8339	A		使用不可理由	しようふかりゆう	reason-not-available	資料が使用できない理由を示すために使用されるコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8340	A		不満足理由	ふまんぞくりゆう	reason-unfilled	ILL要求を満たすことができなかった理由を示すために使われるコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8341	A		相互同意	そうごどうい	reciprocal agreement	どういう条件で何が提供されるかについて、あらかじめの合意を示す依頼機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8342	A		地域	ちいき	region	地方、州、地域又は場所を識別するために使用する句。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8343	A		更新可否	こうしんかひ	renewable	提供される資料の貸借期限更新の可否を示す指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8344	A		報告源	ほうこくげん	report-source	誤り報告の最初の提供元がサービス利用者なのかサービス提供者なのかを示すコー	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8345	A		報告形式	ほうこくけいしき	report-type	報告が利用できるかどうかの指示。できる場合、状態報告なのか、誤り報告なのか又はその両方なのかの指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8346	A		依頼機関識別子	いらいきかんしきべつし	requester-id	ILLトランザクション依頼機関の識別情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8347	A		依頼機関用備考	いらいきかんようびこう	requester-note	ILLトランザクション依頼機関が提供する備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8348	A		依頼機関の任意選択メッセージ	いらいきかんのにんいせんたくめっせーじ	requester-optional-messages	依頼機関がRECEIVED及び/又はRETURNEDの任意選択メッセージを送ることができるかどうか、更に、受付機関からのSHIPPED及び/又はCHECKED-INの任意選択メッセージを要求又は希望するかどうかの指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8349	A		依頼機関CHEKED-IN	いらいきかんCHEKED-IN	requester-CHECKED-IN	CHECKED-INの受理の要求又は希望をするかしないかの依頼機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8350	A		依頼機関SHIPPED	いらいきかんSHIPPED	requester-SHIPPED	SHIPPED APDUを要求又は希望をするかしないかの依頼機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8351	A		資源制約	しげんせいやく	resource-limitation	資源の制限のため、サービス利用者は要求したサービスを実行できない。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8352	A		受付機関アドレス	うけつけきかんあどれす	responder-address	受付機関に到着するための通信サービス及びアドレスを識別する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8353	A		受付機関識別子	うけつけきかんしきべつし	responder-id	ILLトランザクションの受付機関の識別情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8354	A		受付機関用備考	うけつけきかんようびこう	responder-note	ILLトランザクション受付機関が提供する備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8355	A		受付機関の任意選択メッセージ	うけつけきかんのにんいせんたくめっせーじ	responder-optional-messages	受付機関がSHIPPED及び/又はCHECKEDの任意選択メッセージを送ることができるかどうか、更に、依頼機関からのRECEIVED及び/又はRETURNEDのメッセージを要求又は希望をするかしないかの指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8356	A		受付機関RECEIVED	うけつけきかんれしーぶど	responder-RECEIVED	RECEIVED APDUの受理を要求又は希望をするかしないかの受付機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8357	A		受付機関固有結果	うけつけきかんこゆうけっか	responder-specific-result	受付機関に固有のILL要求に対する回答で提供される理由、すなわち、この規格では指定していない理由。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8358	A		受付機関固有サービス	うけつけきかんこゆうさーびす	responder-specific-service	受付機関による固有のサービス、すなわち、この規格では指定していないサービス。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8359	A		再依頼日	さいいらいび	retry-date	それ以降に再依頼してよい日。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8360	A		再依頼フラグ	さいいらいふらぐ	retry-flag	ILLトランザクションが以前の再依頼か、そうでないかの依頼機関の指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8361	A		返却保険	へんきゃくほけん	return-insurance-required	貸し出された資料の返却に受付機関が要求する紛失又は汚損に対する保険金額。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8362	A		返却方法	へんきゃくほうほう	returned-via	資料を返却するための依頼機関の発送方法。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8363	A		安全保護問題	あんぜんほごもんだい	security-problem	受理者がサービス要求を処理することを妨げる安全保護上の問題に遭遇したことを示す指示。可能性のある理由は、この規格では規定しない。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8364	A		シリーズのタイトル及び番号	しりーずのたいとるおよびばんごう	series-title-number	それぞれが、グループ内で自身のタイトル及び番号をもつと同時に、全体としてグループ又は副グループに適用される集合的なタイトルをもつという事実によって互いに関連する分離した出版物の番号に与えられる名前。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8365	A		送付先一覧	そうふさきいちらん	send-to-list	ILLトランザクションを転送、連鎖又は区分化するための可能性のある受付機関の一覧。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8366	A		利用条件	りようじょうけん	shipped-conditions	資料の利用条件。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8367	A		発送サービスの種別	はっそうさーびすのしゅべ	shipped-service-type	提供したILLサービスの種別を示すコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8368	A		発送方法	はっそうほうほう	shipped-via	資料を送るために貸出者が使用する発送の方法。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8369	A		閲覧場所制限	えつらんばしょせいげん	special-collections-supervision-required	資料が依頼機関の特別収集室又は資料館内で利用されなければならないという受付機関による指示。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8370	A		後援者	こうえんしゃ	sponsoring-body	その資料を発行した又は著作性に関与している団体又は組織。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8371	A		町名及び番地	ちょうめいおよびばんち	street-and-number	建物の場所を識別するために使用する数字及び/又は句。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8372	A		補足情報	ほそくじょうほう	supplemental-item-description	機械可読形式で表現されてもよい付加的な記述情報(例えば、MARCレコード)。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8373	A		提供者識別子	ていきょうしゃしきべつし	supplier-id	資料の提供者が受付機関と異なる場合、依頼された資料の提供者を識別する情報。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8374	A		提供媒体の種別	ていきょうばいたいのしゅべつ	supply-medium-type	要求された資料の種別を識別するコード。希望の順に一覧可能。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8375	A		システム番号	しすてむばんごう	system-no	システム内で、依頼された資料の書誌レコードを識別する番号。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8376	A		通信サービスアドレス	つうしんさーびすあどれす	telecom-service-address	電子的なメールボックスサービス又は通信ネットワークの参加者に割り当てられた一意の数字又はコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8377	A		通信サービス識別子	つうしんさーびすしきべつ	telecom-service-identifier	ILLトランザクションに使用される通信サービスの一意な名前又はコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8378	A		サービスの時間	さーびすのじかん	time-of-service	サービスを実行した時間。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8379	A		タイトル	たいとる	title	資料を識別するための語又は語のグループからなる資料の名。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8380	A		論文のタイトル	ろんぶんのたいとる	title-of-article	資料の一構成部分である資料(論文)のタイトル。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8381	A		トランザクショングループ修飾子	とらんざくしょんぐるーぷしゅうしょくし	transaction-group-qualifier	一連の照会又はILL依頼及びその継続的な再依頼といった関連するILLトランザクションの集合を識別する英数字の文字列。この修飾子は、元のILLトランザクション依頼機関のシステム内で一意とする。依頼機関識別子との組合せで、ILLトランザクショングループ全体に対しても一意な識別子となる。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8382	A		トランザクション問題	とらんざくしょんもんだい	transaction-id-problem	受信APDU中のトランザクション識別子に関連する問題を示すコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8383	A		トランザクション修飾子	とらんざくしょんしゅうしょくし	transaction-qualifier	一つのILLトランザクションに関係するすべてのサービス及びメッセージを識別する英数字の文字列。ILLトランザクションの最初の依頼機関によって割り当てられ、ILLの相手によってILLトランザクションに関係する後継のすべてのサービス及びメッセージに適用される一意な文字列。依頼機関の識別子とトランザクショングループ修飾子とを組み合わせることで、ILLトランザクションの広く一意な識別子となる。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8384	A		トランザクションの種別	とらんざくしょんのしゅべつ	transaction-type	ILLトランザクションの種類を決めるコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8385	A		運搬方法	うんぱんほうほう	transportation-mode	依頼された資料を物理的又は非電子的に運搬する方法。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8386	A		実行不可能	じっこうふかのう	unable-to-perform	サービス利用者が依頼したサービスを実行できない理由を示すコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8387	A		未知のトランザクション識別子	みちのとらんざくしょんしきべつし	unknown-transaction-id	受信APDUのトランザクション識別子の値に対応するILLトランザクションが、存在しない。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8388	A		未認知APDU	みにんちAPDU	unrecognized-APDU	受信APDUの種類は、この規格で定義するAPDUの中にない。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8389	A		参照源検証	さんしょうげんけんしょう	verification-reference-source	資料を識別したり、所在を確認したりするのに使用される書誌的情報の(権威ある)情報源。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8390	A		巻号	かんごう	volume-issue	逐次刊行物又は複数冊の単行書の物理単位の識別子又は出版された資料の部分の単位を識別する数、文字又は語。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8391	A		未着巻号	みちゃくかんごう	volume/issue-not-yet-available	そのタイトルは、所有しているが、依頼された部分はまだ受け取っていない資料。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8392	A		支払意思備考	しはらいいしびこう	will-pay-fee	適切な料金を支払うことに同意するという依頼機関の備考。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8393	A		後日提供結果	ごじつていきょうけっか	will-supply-results	ILL要求への回答中の"後日提供"結果に関連する付加的な情報を識別するコード。	JIS X 0809	2001	ISO 10161-1	1997				1997	ISO/TC46
8394	A		消費側	しょうひがわ	consumer	提供側又は中継者が送信したGEDIレコードを受信し、GEDIヘッダ情報を処理し、最終利用者が電子的文献複写物を利用できるようにする応用プロセス。	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8395	A		領域	りょういき	domain	電子的文献交換トランザクションを相互に行うことができる一つ以上の提供側及び一つ以上の消費側からなる集団であって、次の各項目について共通の合意を持つもの。 1)電子的文献交換書式及び圧縮アルゴリズム 2)電子文献転送のしくみ 3)ネットワーク技術	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8396	A		電子的文献複写物	でんしてきぶんけんふくしゃぶつ	Electronic Document Copy	GEDIレコードのうち、文献の電子的複写物を含んでいる部分。	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8397	A		電子的文献交換トランザクション	でんしてきぶんけんこうかんとらんざくしょん	Electronic Document Interchange Transaction	提供側での電子文献の設定に始まり、消費側への当該文献の配送の完了で終わる、電子的文献複写物交換の全体。	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8398	A		GEDI領域	GEDIりょういき	GEDI domain	この規格に従うことが共通の合意となっている領域。	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8399	A		GEDIヘッダ、GEDIカバー	GEDIへっだ、GEDIかばー	GEDI Header, GEDI Cover	次の情報を含む、GEDIレコードの先頭部分。 1) GEDIレコードの部分の書式及びバージョン 2) 電子的文献交換トランザクション 3) 電子文献の書誌記述 4) 電子的文献複写物の書式	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8400	A		GEDIレコード	GEDIれこーど	GEDI Record	GEDIヘッダ及び電子的文献複写物の両方を含む、完全なGEDIメッセージ。	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8401	A		中継者	ちゅうけいしゃ	Relay	GEDIレコードをある領域の中で提供側又は中継者から受信し、次の領域の中で他の中継者又は消費側に送信する応用プロセス。	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8402	A		提供側	ていきょうがわ	Supplier	電子的文献複写物を捕そく、GEDIレコードを作成し、場合によっては一つ以上の中継者を経由して、消費側に当該レコードを送信するプロセス。	JIS X 0811	2002	ISO 17933	2000				2000	ISO/TC46
8403	A		アクセス容易性	あくせすよういせい	accessibility	サービス又は設備への到達及び利用の容易さ。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8404	A		適切性	てきせつせい	appropriateness	その指標によって特定の活動を評価することの適切さ。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8405	A		利用可能性	りようかのうせい	availability	利用者が要求したときに、資料、設備又はサービスについて、実際に図書館が提供できる程度。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8406	A		資料	しりょう	document	その物理的形態及び特性にかかわらず、情報管理の過程で一つのまとまりとして扱われる。記録された情報(ISO 2789)	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8407	A		有効性	ゆうこうせい	effectiveness	所期の目的が、どの程度達成できたかを示す尺度。 備考 ある活動が生み出すべき結果を最大限に実現した場合に、その活動は有効といえ	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8408	A		効率性	こうりつせい	efficiency	所期の目的を達成するために、資源をどの程度利用したかを示す尺度。 備考 資源の利用を最小限にする場合、又は同じ資源でよりよいパフォーマンスを生み出す場合に、その活動は有効といえる。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8409	A		評価	ひょうか	evaluation	サービス又は設備の有効性、効率性、有用性及び適合性を推定する過程。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8410	A		設備	せつび	facilities	図書館利用者に提供している装置、閲覧席など。 備考 複写機、オンライン端末、CD-ROM ワークステーション、座席及び机を含む。ただし、トイレ、喫茶室及び公衆電話は除く。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8411	A		目標	もくひょう	goal	合意された、一連の方針を実施することによって達成されるべき望ましい状態。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8412	A		指標	しひょう	indicator	何らかの活動(事象、物体又は人)の価値を評価するために、その活動を数量的及び質的に特徴付けるのに用いられる表現(数値、記号又は言葉)、ならびにそれに関連する	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8413	A		図書館	としょかん	library	収集した資料を維持し、情報、調査研究、教育又は娯楽に対する利用者の要求が満たされるように、職員のサービスによって、それらの資料の利用を促進することを主たる目的とする機関又は機関の一部。(ISO 2789) 備考1 これは、図書館に対する必要条件であって、このほかの資料及びサービスを否定するものではない。 2 資料は、伝統的な、物理的形態で利用可能なものでもよいし、電子的な形態で利用可能なものでもよい。また、図書館は、自館の蔵書以外の資料が利用可能となるように、サービスを拡張してもよい。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8414	A		貸出	かしだし	loan	資料を一定期間利用できるよう、利用者に直接又は他の機関に、資料を貸し出す処理(ISO 2789)。 備考 利用のために記録されたすべての貸出を含む。図書館間での貸出を含む。更新も	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8415	A		使命	しめい	mission	サービスを展開し、成果を上げていくうえでの組織の目標及び選択が明確に述べられた、上部組織によって承認された表明。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8416	A		目的	もくてき	objective	組織の目標の達成に寄与するためになされる個々の活動が達成すべき、具体的な目標。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8417	A		パフォーマンス	ぱふぉーまんす	performance	図書館が提供するサービスの有効性、並びにサービスを提供するための資源の配分及び利用における効率性。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8418	A		パフォーマンス指標	ぱふぉーまんすしひょう	performance indicator	図書館のパフォーマンスを特徴付けるために用いられる、図書館の統計及びデータから導かれた数値、記号による表現。 備考 図書館のパフォーマンスを特徴付けるために用いる場合に限って、単純な集計値及びそれらの比率もこれに含まれる。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8419	A		サービス対象者	さーびすたいしょうしゃ	population to be served	図書館がサービス及び資料を提供する対象となる人間の集合。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8420	A		質	しつ	quality	顕在的な又は潜在的な要求を図書館が満たすことのできる能力という点での、そのサービス又は成果についての特徴及び特性の全体性。(ISO 8402、附属書C[1])。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8421	A		経常経費	けいじょうけいひ	recurrent expenditure	職員、並びに経常的に利用及び補充される資源に対する費用。資本財、建物の新築又は増改築、コンピュータへの設備投資などの経費は除く。 備考1 経常経費の計算方法は、機関、財政当局及び国によって異なるため、その方法を一つに規定することはできない。したがって、この尺度を適用する状況における通例に従って計算しなければならない。このことは、同じ方法で計算がなされる場合にだけ、それらの比較が妥当なことを意味する。 2 経常経費には、通常、次のものが含まれる。給料及び賃金(職員手当て、社会保険料などを含む。)、蔵書用の資料の購入費、管理費、建物・蔵書などの維持費、建物・設備の賃借料又は減価償却費、その他の運営費用(暖房、照明、電気など)。 3 指標を国際比較に用いる場合を除き、通常、付加価値税、消費税、サービス税、及びその他の地方税を含める。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8422	A		信頼性	しんらいせい	reliability	ある尺度が、繰り返し一貫して同じ結果を示す程度。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8423	A		資源	しげん	resources	職員、資料、設備、空間などの図書館の資産。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8424	A		特定サービス対象者	とくていさーびすたいしょうしゃ	target population	個々の図書館が、特定のサービスの対象又は特定の資料の主要な利用者として想定する、実際の利用者及び潜在的な利用者の集団。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8425	A		タイトル	たいとる	title	通常、資料に記載されている語又は句であって、その資料を指すのに都合がよく、その資料を特定するために用いられ、しばしば(必ずではないが)その資料を他の資料から区別するもの(ISO 2789)。 備考 測定という目的の点では、“タイトル”は、固有のタイトルを持つ独立した一点の資料を指し、その一点の資料が、多巻ものとして出版されることもある。“タイトル”は、図書館が所蔵している、その資料の複本の数とは無関係である。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8426	A		利用者	りようしゃ	user	図書館サービスの受け手。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8427	A		妥当性	だとうせい	validity	ある指標が、測定対象と指定としているものを、実際に測定している程度。	JIS X 0812	2007	ISO 11620:1998 1998:Amd.1:2003	1998				2008	ISO/TC46
8428	A		運営単位	うんえいたんい	administrative unit	単一の運営者又は単一の管理運営のもとに置かれた、独立した一つ又は複数の図書	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003	IDT			2006	ISO/TC46
8429	A		分館	ぶんかん	branch library	特定の利用者集団(例 児童、教職員)又は限定された地域の利用者を対象に、中央館から離れた場所でサービスを提供する、より大きな運営単位の一部。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8430	A		中央館	ちゅうおうかん	central library, main library	中枢の運営機能があり、図書館所蔵資料及びサービスの重要部分をもっている、運営単位における部分。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8431	A		外部のサービス拠点	がいぶのさーびすきょてん	external service point	図書館の建物から離れて、利用者に対し定期的にサービスを提供している場所。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8432	A		図書館	としょかん	library	資料を収集、組織化及び保存し、情報、調査研究、教育、文化又は娯楽に対する利用者の要求が満たされるように、それらの情報資源及び施設の利用を促進することを主たる目的とする機関又は機関の一部。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8433	A		高等教育機関の図書館	こうとうきょういくきかんのとしょかん	library of an institution of higher education	大学及びその他の高等教育機関にあり、学生及び教職員に対しサービスを提供することが主要な機能である図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8434	A		移動図書館	いどうとしょかん	mobile library	利用者が図書館の建物にアクセスする代替として、特別に装備された移動施設を用いて、資料及びサービスを直接に利用者に提供する図書館。公共図書館の一部である場	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8435	A		国立図書館	こくりつとしょかん	national library	自国に関連する資料の網羅的な収集及び保存に責任をもつ図書館、法定納本制度をもつ図書館として機能してもよい。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8436	A		公共図書館	こうきょうとしょかん	public library	地方又は地域社員のすべての住民にサービスを提供する、一般的な図書館。通常、財源のすべて又は一部は公的資金によって賄われる。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8437	A		学校図書館	がっこうとしょかん	school library	高等教育機関より下位に属するいずれかの種類の学校に附属し、学校の生徒及び教師に対しサービスを提供することが主要な機能である図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8438	A		専門図書館	せんもんとしょかん	special library	特定の学問分野、特別な知識分野又は特定地域に関することを扱う独立した図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8439	A		政府機関の図書館	せいふきかんのとしょかん	government library	海外、国内及び地方の政府機関を含む、行政サービス機関、府省庁又は会議に対しサービスを提供するために運営される図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8440	A		医学図書館	いがくとしょかん	health-service library, medical library	民間又は公共の病院などにおいて、医療専門家に対しサービスを提供する図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8441	A		学術及び研究図書館	がくじゅつおよびけんきゅうとしょかん	library of professional and learned institutions and associations	特定の業界又は専門的職業の会員及び関係者に対しサービスを提供することを主たる目的とし、専門職協会、事業者団体、学術団体、労働組合又は同様の団体が運営する図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8442	A		企業図書館	きぎょうとしょかん	industrial and commercial library	社員からの要求に応じ情報提供を行うため、親組織が運営する、企業内にある図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8443	A		マスメディアの図書館	ますめでぃあのとしょかん	media library	新聞、出版、報道、映画及びテレビを含む、報道及び出版に関する企業・団体に対しサービスを提供する図書館。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8444	A		地域図書館	ちいきとしょかん	regional library	主要な機能が公共図書館、学校図書館又は大学図書館のいずれとも同じといえず、国立図書館のネットワークの一部でもない、特定の地域に対しサービスを提供する図書	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8445	A		その他の図書館	そのほかのとしょかん	other library	どの種類の定義にも属さない図書館(例 任意団体の図書館、美術館内の図書館)。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8446	A		抄録・索引データベース	しょうろく・さくいんでーたべーす	abstract and indexing database	一般的な学問分野又は地域に関連する定期刊行物及び/又はその他のタイトルを継続して分析し、内容を紹介している、書誌情報の集合体。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8447	A		アクセス権	あくせすけん	access right	図書館所蔵資料にたどりつき、利用する権利。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8448	A		受入	うけいれ	addition, acquisition	報告期間中に所蔵資料に追加した資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8449	A		視聴覚資料	しちょうかくしりょう	audiovisual document	音声及び/又は映像の占める割合が大きく、視聴には特別な装置を必要とする資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8450	A		図書	としょ	book	逐次刊行物以外の、印刷された冊子形態の資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8451	A		地図資料	ちずしりょう	cartographic document	空間及び時間的観点から場所を特定できるよう、具体的な又は抽象的な事象を縮尺し、規約に従って表現したもの。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8452	A		CD-ROM	CD-ROM	Compact Disc Read-Only Memory, CD-ROM	テキスト形式及び/又はマルチメディア形式のデータを含む、レーザ技術を利用した、コンピュータの情報記憶装置及び検索媒体。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8453	A		データベース	でーたべーす	database	共通のインタフェースをもち、データの検索及び処理用のソフトウェアをもつ、電子的に蓄積されたデータ又はレコード群(例 ファクトデータ、書誌データ、テキスト)の集合体。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8454	A		デジタル資料	でじたるしりょう	digital document	図書館所蔵資料の一部として、図書館がデジタル化した又はデジタル形態で受け入れた、一定の内容をもつ情報群。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8455	A		資料	しりょう	document	情報管理の過程で一つのまとまりとして扱われる、記録された情報又は物体。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8456	A		電子図書	でんしとしょ	electronic book, eBook	一般的に本文の検索が可能で、印刷形態の図書(モノグラフ)と類似するものとして認識できるデジタル資料。使用許可を必要とするものと必要としないものがある。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8457	A		電子的所蔵資料	でんしてきしょぞうしりょう	electronic collection	図書館所蔵資料のうち、電子形態の資源すべて。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8458	A		電子的逐次刊行物	でんしてきちくじかんこうぶつ	electronic serial	電子形態だけ、又は電子形態及びそれ以外の形態と合わせて出版された逐次刊行物。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8459	A		全文データベース	ぜんぶんでーたべーす	full-text database	原文(例 モノグラフ、報告書、雑誌記事)、楽譜資料、地図資料又は画像資料の集合体。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8460	A		政府刊行物	せいふかんこうぶつ	government document	国費で出版された資料、法律が義務付けた資料又は国際機関(例 国際連合、欧州連合、ユネスコ)が出版した資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8461	A		画像資料	がぞうしりょう	graphic document	絵又は写真が最も顕著な特徴である印刷資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8462	A		図書館所蔵資料	としょかんしょぞうしりょう	library collection	図書館が利用者に対し提供する、すべての資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8463	A		手稿	しゅこう	manuscript	手書き又はタイプ入力による原資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8464	A		マイクロ資料	まいくろしりょう	microform	利用するときに拡大を必要とする写真資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8465	A		モノグラフ	ものぐらふ	monograph	1冊又は一定の冊数で完結又は完結予定の刊行物。印刷形態であってもなくてもよい。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8466	A		モノグラフシリーズ	ものぐらふしりーず	monographic series	相互に関連付ける目的で共通するタイトルが付与された、複数のモノグラフ。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8467	A		マルチメディア資料	まるちめでぃあしりょう	multimedia document	本文、画像、写真、映像、音声などの異なる情報媒体が組み合わされたデジタル形態の	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8468	A		新聞	しんぶん	newspaper	専門的な又は一般的な関心ごとについての最新ニュースを扱い逐次刊行物。日付順又は番号順に並べられ、通常、週に1回以上発行される。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8469	A		その他のデータベース	そのほかのでーたべーす	other database	通読するよりは、通常、特定の情報を調査するために用いる、記述的な情報又は数値データを含むデータベース(例 人名録、百科事典、辞書、統計図表及び/又は数学公式	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8470	A		その他のデジタル資料	そのほかのでじたるしりょう	other digital document	電子図書、ネットワーク上の視聴覚資料又は電子特許以外のデジタル資料(例 電子形態である、報告書、プレプリント、地図資料又は音楽資料)。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8471	A		その他の図書館資料	そのほかのとしょかんしりょう	other library document	この規格で個別に規定している、図書、逐次刊行物、手稿、楽譜資料、マイクロ資料、地図資料、視聴覚資料、画像資料及び特許資料以外の、電子形態でない資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8472	A		特許資料	とっきょしりょう	patent	発明を使用する又は使用許可を与える独占的な権利を発明者に認めた政府刊行物。関連する典拠資料が伴う。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8473	A		定期刊行物	ていきかんこうぶつ	periodical	終期の予定がなく、定期的に刊行される、同じタイトルをもつ逐次刊行物。シリーズ番号又は発行日が付与される。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8474	A		物理単位	ぶつりたんい	physical unit	保管器具に収められ、物理的にまとめられた資料の単位。他の資料の単位と異なり、自由に持ち運びができる単位で数える。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8475	A		楽譜資料	がくふしりょう	printed music document	音楽表現を主たる内容とする資料。通常、音符で表現される。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8476	A		逐次刊行物	ちくじかんこうぶつ	serial	通常、数字又は年月が明示され、終期の予定がなく、刊行頻度を問わず、連続して発行される資料。印刷形態であってもなくてもよい。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8477	A		所蔵	しょぞう	stock	自館で所蔵する、又は少なくとも一定期間は利用できるようアクセス権を取得した図書館外の資源の、特定の種類(例 図書、逐次刊行物、マイクロ資料、電子的逐次刊行物)の	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8478	A		タイトル	たいとる	title	資料を特定するため及びその資料を他の資料から区別するため、通常、資料中の先頭部分にある語。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8479	A		冊	さつ	volume	セット全体又はその一部を形成するために、一つの標題紙のもと一定数の紙陽が束ねられた印刷資料のための物理単位。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8480	A		除籍	じょせき	withdrawal	報告期間中に所蔵資料から除いた資料。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8481	A		実貸出者	じつかしだししゃ	active borrower	報告期間中に、一つ以上の資料を借り出した登録利用者。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8482	A		実利用者	じつりようしゃ	active user	報告期間中に、来館した、又は図書館の設備若しくはサービスを利用した登録利用者。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8483	A		ダウンロードされた資料	だうんろーどされたしりょう	document downloaded	電子的所蔵資料のうち、利用者に配信された資料の全文又はその一部。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8484	A		電子的文献配送(仲介)	でんしてきぶんけんはいそう(ちゅうかい)	electronic document delivery, mediated	図書館職員の仲介によって(必ずしも他の図書館を経由する必要はない)、図書館所蔵資料の文献又はその一部を利用者に電子的に送信する処理。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8485	A		電子的サービス	でんしてきさーびす	electronic service	ローカルサーバから提供される、又はネットワーク経由でアクセスできる、電子図書館	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8486	A		外部機関からの文献提供	がいぶきかんからのぶんけんていきょう	external document supply	図書館以外の提供機関によって(図書館間貸出経由ではない)、図書館所蔵資料以外の資料群から配送される、印刷形態又は電子形態の文献又はその一部。この場合、図書館自身がその処理及び/又は支払いに関与しているものとする。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8487	A		レファレンスサービス	れふぁれんすさーびす	information request	図書館職員が一つ以上の情報資源(例 印刷資料、非印刷資料、機械可読データベース、自館及び他機関の目録)を駆使して行う、情報仲介。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8488	A		館内利用	かんないりよう	in-house use	図書館内での利用のために、利用者が開架書架から資料を持ち出しすること。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8489	A		インターネットセッション	いんたーねっとせっしょん	internet session	図書館内に設置されたワークステーションからの、利用者によるインターネットアクセス。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8490	A		図書館間貸出	としょかんかんかしだし	interlibrary lending	ある図書館から同じ管理運営下にない他の図書館に対する、現物(物理的形態の資料)の貸出、又は複写による資料若しくはその一部の配送。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8491	A		貸出	かしだし	loan	電子的形態でない資料(例 図書)又は物理的に持ち運びできる装置(例 CD-ROM)若しくはその他の装置(例 電子図書リーダ)に搭載された電子資料を、直接又は配送によって貸し出す処理。または一定期間利用できるよう、電子資料(例 電子図書)を1人の利用	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8492	A		OPAC (オンライン閲覧目録)	おぱっく(おんらいんえつらんもくろく)	Online Public Access Catalogue, OPAC	通常、特定の図書館又は図書館システムに所蔵される資料を記述した、書誌レコードのデータベース。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8493	A		館内貸出	かんないかしだし	on-site loan	図書館内での利用のために、多くの場合には閉架書庫から、資料を出納して貸し出す処	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8494	A		サービス対象者	さーびすたいしょうしゃ	population to be served	図書館がサービス及び資料を提供する対象となる人間の集合。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8495	A		ダウンロードされたレコード	だうんろーどされたれこーど	record downloaded	データベース又はOPAC(オンライン閲覧目録)のセッション継続中に全表示された目録レコード又はデータベースの見出し項目。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8496	A		登録利用者	とうろくりようしゃ	registered user	図書館内又は館外において図書館の所蔵資料及び/又はサービスを利用するため、図書館に登録した個人又は機関。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8497	A		アクセス拒否	あくせすきょひ	rejected session, turnaway	同時接続可能な利用者数の上限を超えたため、データベース又はOPAC(オンライン閲覧目録)への接続に成功しなかった要求。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8498	A		更新	こうしん	renewal	利用者に借り出されていた資料の貸出期間を延長する手続。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8499	A		予約	よやく	reservation	利用者が図書館所蔵資料又は受入手続中の資料の利用を請求したが、その時点で利用できなかった場合に、後日利用するために行われる手続。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8500	A		検索	けんさく	search, query	データベース又はOPAC(オンライン閲覧目録)上で行われる、特有の情報検索。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8501	A		セッション	せっしょん	session	データベース又はOPAC(オンライン閲覧目録)への接続に成功した要求。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8502	A		セッション継続時間	せっしょんけいぞくじかん	session time	セッションが継続している時間。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8503	A		利用者	りようしゃ	user	図書館サービスの受け手。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8504	A		利用者教育	りようしゃきょういく	user training	図書館サービスの利用に関し、具体的な教育成果を目的とした、特定の研修計画による教育プログラム。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8505	A		仮想来館	かそうらいかん	virtual visit	図書館の建物の外からの、図書館のウェブサイトへの利用者によるアクセス。閲覧したページ数又は要素数は関係しない。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8506	A		来館者	らいかんしゃ	visit	図書館の建物に入館した利用者。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8507	A		ウェブサイト	うぇぶさいと	website	インターネット上に独自のドメインをもち、デザイン資料の集合によって構成される電子的サービス。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8508	A		アクセス	あくせす	access	サービス又は施設に到達して利用できること。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8509	A		ネットワーク	ねっとわーく	network	通常、コンピュータサーバを通じて相互接続されている、情報資源及びサービスを共有できる複数のワークステーション。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8510	A		開館時間数	かいかんじかんすう	opening hours	標準的な一週間において、利用者が主要な図書サービス(例 レファレンスサービス、貸出サービス、閲覧室)を利用できる時間。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8511	A		座席	ざせき	seats	読書又は調査研究を目的とする利用者に提供される席。備品の有無は関係しない。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8512	A		空間	くうかん	space	図書館の機能を果たすために割り当てられた場所。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8513	A		ワークステーション	わーくすてーしょん	workstation	独立型若しくはネットワーク型のコンピュータ、又は処理機能をもたない端末装置。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8514	A		資本支出	しほんししゅつ	capital expenditure	固定資産の取得又は追加にかかる経費。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8515	A		運営経費	うんえいけいひ	operating expenditure, ordinary expenditure	図書館の運営上発生する経費。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8516	A		図書館職員	としょかんしょくいん	library employee	報酬を得て図書館業務に従事する者。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8517	A		専門職員	せんもんしょくいん	professional staff	図書館職員のうち、図書館学・図書館情報学の教育・研修を受け、かつ、職務が専門的な教育・研修を必要とする者。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8518	A		技能職員	ぎのうしょくいん	qualified specialist staff	図書館学・図書館情報学以外の分野において、専門家養成の教育・研修を受けた図書	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8519	A		その他の職員	そのほかのしょくいん	other staff	図書館学・図書館情報学、又はその他の専門分野の正式な資格をもたないすべての図書館職員。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8520	A		ボランティア	ぼらんてぃあ	volunteers	無報酬で図書館業務を行う者。	JIS X 0814	2007	ISO/IEC 2789	2003				2006	ISO/TC46
8521	A		ダブリンコアメタデータイニシアチブ	だぶりんこあめたでーたいにしあちぶ	DCMI, Dublin Core Metadata Initiative	ダブリンコアメタデータ基本記述要素の維持管理組織。	JIS X 0836	2005	ISO 15836	2003	IDT			2009	ISO/TC46
8522	A		情報資源	じょうほうしげん	information resource	識別可能なあらゆるもの(Internet RFC2396と同一の定義)。	JIS X 0836	2005	ISO 15836	2003				2009	ISO/TC46
8523	A		情報資源のライフサイクル	じょうほうしげんのらいふさいくる	Lifecycle of an information resource	ある特定の情報資源の生産、展開、利用の過程。この例には、着想、草稿の作成、記事の改訂、本の出版、図書館による収集、磁気ディクスへの書換え、光記録媒体への変換、他の言語への翻訳、新しい作品(例えば、映画)の派生などがある。	JIS X 0836	2005	ISO 15836	2003				2009	ISO/TC46
8524	A		文献	ぶんけん	document	分類作業及び索引作業の対象となる、印刷された形態又は他の形態のもの。(備)この定義は、冊子体及びマイクロ形態(例えば、図書、雑誌、設計図、地図)ばかりでなく、印刷以外の形態(例えば、機械可読記録、フィルム、音盤)、三次元物体、標本として使用される実物などにも当てはまる。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8525	A		索引言語	さくいんげんご	indexing language	自然言語から選択され、統制された語の集合で、文献の主題を要約して表現するために用いる。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8526	A		シソーラス	しそーらす	thesaurus	統制された索引言語の語い(彙)であって、あらかじめ概念間(例えば、“上位”、“下位”)の先験的な関係を明示するように組織化したもの。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8527	A		索引語	さくいんご	indexing term	ある概念を名詞又は名詞相当の句の形で適切に表現したもの。(備)統制された索引言語においては、索引語は優先語であるか又は非優先語であるかを明示する。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8528	A		優先語	ゆうせんご	preferred term	ある概念を表現する索引作業で一貫して用いる語。“ディスクリプタ”ともいう。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8529	A		非優先語	ひゆうせんご	non-preferred term	優先語の同義語又は準同義語。“非ディスクリプタ”ともいう。非優先語は、文献には付与されないが、シソーラスでは見出し語として扱われる。シソーラスの利用者には、指示(例えば、USEやSEE)によって適切な優先語が示される。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8530	A		複合語	ふくごうご	compound term	二つ以上の構成要素からなる名詞としての索引語。それらの構成要素は、独立した索引語として用いることができる。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8531	A		句	く	phrase	索引語としては1語の索引語と同様の働きをもつ2語以上からなる結び付き。(備)大多数の複合語又は句の構成要素は、次のとおり区分する。(a)焦点又は中心:その語又は句全体で指示している概念の一般的なクラスを示す名詞の構成要素。(例)1.複合語“輸出保険”の名詞部分“保険”。(例)2.句“場の方程式”の名詞部分“方程式”。(b)相違点又は修飾部:焦点の範囲を限定して、そのサブクラスの一つを特定する一つ以上の構成要素。(例)1.複合語“輸出保険”の名詞部分“輸出”。(例)2.句“場の方程式”の名詞と助詞	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8532	A		観点表示	かんてんひょうじ	node label	索引作成時に文献には付与されないが、カテゴリの分割の論理的な基盤を示すために、ある種のシソーラスの体系配列部分に付け加える仮の語。“ファセット指示子”ともいう。(例)職業によって、用途によって、部分によって。	JIS X 0901	1991	ISO 2788	1986				1986	ISO/TC46
8533	A		アクセス	あくせす	access	情報を探し出し、利用し、検索する権利、機会及び方法。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001	IDT			2001	ISO/TC46
8534	A		説明責任	せつめいせきにん	accountability	個人、組織及び集団はその行動に対する責任を持ち、その行動を他の人々に説明することを要求され得るという原則。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8535	A		活動の追跡	かつどうのついせき	action tracking	活動に関する時間的制限を監視し、業務行者にその制限を課すプロセス。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8536	A		アーカイブ機関	あーかいぶきかん	archival authority, archival agency, archival institution, archival	アーカイブを選択、受入、保存、利用できるようにすること、及びそれ以外の記録の廃棄に責任を持つ当局、又は制度。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8537	A		分類	ぶんるい	classification	論理的に構成された制定、方法及び手順規則に従ったアテゴリによる業務活動及び/又は記録の系統的な識別及び配列。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8538	A		分類システム	ぶんるいしすてむ	classification system	分類を行うためのシステム。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8539	A		変換	へんかん	conversion	ある媒体から別の媒体に、又はある形式から別に記録を変換するプロセス。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8540	A		廃棄	はいき	destruction	記録を除去又は削除して、いかなる再生のも不可能にするプロセス。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8541	A		処分	しょぶん	disposition	処分権限又はその他の規定に基づいて文書化された、記録の保有、廃棄又は移管決定に関係したプロセスの範囲。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8542	A		文書	ぶんしょ	document	一つの単位として取り扱われる記録された情報、又はオブジェクト。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8543	A		索引付け	さくいんつけ	indexing	記録及び/又は情報の検索を容易にするアクセス点を定めるプロセス。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8544	A		メタデータ	めたでーた	metadata	記録のコンテキスト(背景･状況･環境)、内容、構造、及びある期間の記録の管理について説明したデータ。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8545	A		移行	いこう	migration	記録の真正性、完全性、信頼性及び利用性を維持しつつ、記録をあるシステムから別のシステムに移す行為。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8546	A		保存	ほぞん	preservation	真正な記録を長期にわたり技術的、内容的に存続し続けられるようにするためのプロセス及び運用。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8547	A		記録	きろく	records	法的な責任の履行、又は業務処理における、証拠及び情報として、組織、又は個人が作成、取得及び維持する情報。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8548	A		記録管理	きろくかんり	records management	記録の作成、取得、維持、利用、及び処分の効率的で体系的な統制に責任をもつ管理の分野であって、記録の形で業務活動及び処理に関する証拠及び情報を取り込み、維持するためのプロセスを含む。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8549	A		記録システム	きろくしすてむ	records system	長期間、記録を取り込み、維持し、アクセスを提供する情報システム。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8550	A		登録	とうろく	registration	システムへの入力時に記録に独自の識別子を与える行為。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8551	A		追跡	ついせき	tracking	記録の移動及び利用のために情報を作成し、取り込み、維持すること。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8552	A		移管	いかん	transfer <custody>	<管理における>記録に対する管理権、所有権及び責任の変更。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8553	A		移動	いどう	transfer <movement>	<移動における>記録を、ある場所から別の場所に動かすこと。	JIS X 0902-1	2005	ISO 15489-1	2001				2001	ISO/TC46
8554	B		暗黙的引用仕様	あんもくてきいんようしよう	implicit interface	ある手続が自分自身以外の有効域内で引用されているとき、その手続が引用仕様宣言をもたない外部手続、引用仕様宣言をもたない仮手続、又は文関数であれば、その手続は、暗黙的引用仕様をもつという。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8555	B		引用	いんよう	reference	実行中のその時点での値を要求する形でデータ 実体の名前若しくは部分実体特定子を書くこと、又はその時点での手続の実行を要求 する形でその手続の名前、その演算子記号若しくは利用者定義代入文を書くこと。(備)変数を確定する動作及び手続の名前を実引数として書くことは、引用とはみな さない。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8556	B		引用仕様	いんようしよう	interface	手続引用仕様の項を見よ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8557	B		引用仕様宣言	いんようしようせんげん	interface block	INTERFA CE文から対応するEND INTERFACE文までの文の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8558	B		引用仕様本体	いんようしようほんたい	interface body	引用仕様宣言内の、FUNCTION文又はSUBROUTINE文から対応するEND文までの文の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8559	B		演算	えんざん	operation	一つ又は二つの演算対象に作用する計算処理。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8560	B		演算子	えんざんし	operator	演算を指定する構文素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8561	B		演算対象	えんざんたいしょう	operand	演算子の左又は右にある式。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8562	B		大きさ	おおきさ	size	配列について、要素の総数。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8563	B		大きさ引継ぎ配列	おおきさひきつぎはいれつ	assumed-size array	結合される実引数から大きさを引き継ぐ仮配列。右端の次元の上限を星印で指定する 。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8564	B		親子結合	おやこけつごう	host association	内部副プログラム、モジ ュール副プログラム又は構造型定義が、その親プログラムの言語要素を参照するときの作用。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8565	B		親プログラム	おやぷろぐらむ	host	内部手続を包む主プログラム又 は副プログラムを、その内部手続の親プログラムと呼ぶ。モジュール手続を包むモジ ュールを、そのモジュール手続の親プログラムと呼ぶ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8566	B		外部装置	がいぶそうち	external unit	外部ファイルを参照するために 用いる機構。外部装置は、非負整数によって識別される。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8567	B		外部手続	がいぶてつづき	external procedure	外部副プログラム又 はFortran語以外の手段によって定義される手続。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8568	B		外部ファイル	がいぶふぁいる	external file	実行可能プログラム の外部の媒体にある記録の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8569	B		外部副プログラム	がいぶふくぷろぐらむ	external subprogram	副プ ログラムであって、主プログラムにもモジュールにも他の副プログラムにも包まれていないもの。(備)モジュールは、副プログラムとは呼ばない。(参)FORTRAN 77では、初期値設定プログラム単位をも副プログラムと呼んでいた	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8570	B		確定	かくてい	defined	データ実体について、有効な値をもっている又 は与えられた状態。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8571	B		確定可能	かくていかのう	definable	変数は、代入文の左辺にその名 前又は特定子を書いてその値を変更してよい場合、確定可能であるという。割り付け られていない割付け配列は、確定可能でないデータ実体の例である。確定可能でない 部分実体の例としては、Cを定数の配列としIを整変数とし	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8572	B		型	かた	type	データ型のこと	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8573	B		型宣言文	かたせんげんぶん	type declaration statement	INTEGER文、REAL文、DOUBLE PRECISION文、COMPLEX文、CHA RACTER文、LOGICAL文又はTYPE(型名)文。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8574	B		型パラメタ	かたぱらめた	type parameter	組込みデータ型のパラメタ。型パラメタには、種別(KIND=)と長さ(LEN=)とがある。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8575	B		型パラメタ値	かたぱらめたち	type parameter value	組込みデータ型 のデータ要素の型パラメタの値。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8576	B		合致	がっち	conformance	実行可能プログラムは、それが規格に定められた形と関係だけを用いて書かれ、かつ規格に従った解釈をもつならば、この規格に合致している。プログラム単位は、それをある実行可能プログラムに含めてその実行可能プログラムが規格合致するようにできるならば、この規格に合致している。処理系は、規格に定められた解釈を満たすように規格合致プログラムを実行するならば、この規格に合致している。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8577	B		仮手続	かりてつづき	dummy procedure	手続として宣言又は引用されている仮引数。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8578	B		仮配列	かりはいれつ	dummy array	配列である仮引数。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8579	B		仮引数	かりひきすう	dummy argument	FUNCTION文、SUBROUTINE文、ENTRY文又は文関数定義文の中で、手続名の後の括弧付 き並びに名前が書いてある言語要素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8580	B		仮ポインタ	かりぽいんた	dummy pointer	ポインタである仮引数。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8581	B		関数	かんすう	function	式中で呼び出す手続。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8582	B		関数結果	かんすうけっか	function result	関数の値を返すデータ実 体。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8583	B		関数副プログラム	かんすうふくぷろぐらむ	function subprogram	引用 仕様宣言内にないFUNCTION文から対応するEND文までの文の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8584	B		キーワード	きーわーど	keyword	文キーワード又は引数キーワード。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8585	B		記憶単位	きおくたんい	storage unit	文字記憶単位、数値記憶単位又 は不特定記憶単位。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8586	B		記憶列	きおくれつ	storage sequence	連続する記憶単位の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8587	B		記憶列結合	きおくれつけつごう	storage association	一方の記憶列の いずれかの記憶単位が他方の記憶列のいずれかの記憶単位と同一であるような、二つ の記憶列の間の関係。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8588	B		刻み幅	きざみはば	stride	添字三つ組に指定する増分値。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8589	B		行	ぎょう	line	0～132文字の文字からなるプログラム形式記録 。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8590	B		共通ブロック	きょうつうぶろっく	common block	実行可能プログラム 中のどの有効域からも参照できる、物理的な記憶場所の区画。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8591	B		局所要素	きょくしょようそ	local entity	一つの有効域を有効範囲 とする構文素によって識別される言語要素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8592	B		記録	きろく	record	ファイル中で、ひとまとまりとして扱われる値の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8593	B		空状態	くうじょうたい	disassociated	ポインタは、DEALL OCATE文又はNULLIFY文の実行後、空状態になる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8594	B		組込み	くみこみ	intrinsic	この規格で定義されていて、特に定義した り宣言したりせずにどの有効域ででも用いることのできる型、演算、代入、及び手続 に冠する修飾語。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8595	B		形状	けいじょう	shape	配列について、次元数及び各寸法。形状は 、各次元の寸法を要素とする1次元の配列で表現することができる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8596	B		形状適合	けいじょうてきごう	conformable	二つの配列は、同じ形状 をもつとき、形状適合しているという。スカラは、いかなる配列とも形状適合する。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8597	B		形状明示配列	けいじょうめいじはいれつ	explicit-shape array	明示 的な上下限を伴って宣言された名前付き配列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8598	B		結合	けつごう	association	名前結合、ポインタ結合又は記憶列結合。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8599	B		言語要素	げんごようそ	entity	次のいずれを指すのにも用いる用語 :プログラム単位、手続、演算子、引用仕様宣言、共通ブロック、外部装置、文関数 、型、名前付き変数、式、構造体の成分、名前付き定数、文番号、構造構文、変数群 。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8600	B		構造型	こうぞうがた	derived type	成分をもつデータの型。各々の 成分は、組込み型又は別の構造型とする。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8601	B		構造構文	こうぞうこうぶん	construct	CASE文、DO文、IF文又 はWHERE文から対応する端末文までの文の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8602	B		構造体	こうぞうたい	structure	構造型のスカラデータ実体	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8603	B		構造体成分	こうぞうたいせいぶん	structure component	構造型の データ実体の、その構造型の成分に対応する部分。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8604	B		構文素	こうぶんそ	lexical token	それ以上分割できない解釈をも つ、1文字以上の文字の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8605	B		サブルーチン	さぶるーちん	subroutine	CALL文又は利用者定 義代入文によって呼び出す手続。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8606	B		サブルーチン副プログラム	さぶるーちんふくぷろぐらむ	subroutine subprogram	引用仕様宣言内にないSUBROUTINE文から対応するEND文までの文の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8607	B		参照結合	さんしょうけつごう	use association	USE文によって指定さ れる、異なる有効域間での名前の結合。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8608	B		式	しき	expression	演算対象、演算子及び括弧の列。変数、定数、関数 引用又は計算の表現でありうる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8609	B		次元数	じげんすう	rank	配列の次元の個数。スカラについてはゼロ とする。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8610	B		指示先	ししさき	target	TARGET文又はTARGET属性をも つ型宣言文で指定された名前付きデータ実体、ポインタに対するALLOCATE文 によって生成されたデータ実体。又はそれらの実体の部分実体。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8611	B		指示状態	ししじょうたい	pointer associated	ポインタ代入の後又 はALLOCATE文の有効な実行の後の、ポインタと指示先との関係。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8612	B		実行可能プログラム	じっこうかのうぷろぐらむ	executable program	ちょうど一つの主プログラムを含むプログラム単位の一組。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8613	B		実行構文	じっこうこうぶん	executable construct	CASE構文、DO 構文、IF構文、WHERE構文又は単純実行文。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8614	B		実行文	じっこうぶん	executable statement	一つ以上の計算処理動作 を行う又は制御する命令。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8615	B		実在する	じつざいする	present	ある副プログラムの分身において、仮引数は、それが実引数に結合されていて、かつその実引数が、呼出し側の手続内で 実在する仮引数であるとき又は呼出し側の手続の仮引数でないとき、その副プログラ ムの分身内で実在するという。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8616	B		実体	じったい	object	データ実体のこと。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8617	B		実引数	じついんすう	actual argument	手続引用に指定する式、 変数、手続又は選択戻り指定子。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8618	B		自動割付けデータ実体	じどうわりつけでーたじったい	automatic data object	副プログラムの局所要素であって、仮引数でなく、その文字長又はそ の配列の上下限が定数でないデータ実体。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8619	B		授受特性	じゅじゅとくせい	intent	手続でもポインタでもない仮引 数の、属性の一つ。授受特性は、その仮引数が、データを手続の中へ転送するために 用いられるのか、手続の外へ転送するために用いられるのか、その両方のために用い られるのかを示す。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8620	B		主プログラム	しゅぷろぐらむ	main program	モジュールでも副プ ログラムでも初期値設定プログラム単位でもないプログラム単位。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8621	B		種別型パラメタ	しゅべつがたぱらめた	kind type parameter	一つ の組込み型に用意されている種別の識別番号を値とするパラメタ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8622	B		上下限	じょうかげん	bounds	名前付き配列について、配列要素の 添字の値が収まっていなければならない限界。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8623	B		初期値設定プログラム単位	しょきちせっていぷろぐらむたんい	block data program unit	名前付き共通ブロック内のデータ実体に初期値を与えるための プログラム単位。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8624	B		処理系	しょりけい	processor	計算機システムと、実行可能プログ ラムをその計算機システムで使用できるように変形する機構とを組み合わせたもの。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8625	B		数値型	すうちがた	numeric type	整数型、実数型又は複素数型。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8626	B		スカラ	すから	scalar	(1)配列でない単一のデータ。(2)配列であるという性質をもたないこと。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8627	B		寸法	すんぽう	extent	配列の一つの次元の大きさ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8628	B		成分	せいぶん	component	構造型の構成要素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8629	B		接続されている	せつぞくされている	connected	(1)外部装置につ いて、外部ファイルを参照していること。(2)外部ファイルについて、それを参照 している外部装置があること。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8630	B		全体配列	ぜんたいはいれつ	whole array	名前付き配列のこと。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8631	B		選択子	せんたくし	selector	次のものを特定する構文上の機構。(1)データ実体の部分。部分列、配列要素、部分配列又は構造体成分を特定することができる。(2)あるCASEブロックを実行する場合値の組。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8632	B		総称識別子	そうしょうしきべつし	generic identifier	INTE RFACE文中に書いて、その引用仕様宣言内のすべての手続に関連付けられている 構文素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8633	B		添字	そえじ	subscript	配列要素選択子中のスカラ整数式の並びの1項目。(参)FORTRAN 77では、その並び全体を添字と呼んでいた。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8634	B		添字三つ組	そえじみつぐみ	subscript triplet	部分配列選択子中の 並びの項目であって、コロンを含むもの。添字三つ組は、整数値の規則的な列を指定 する。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8635	B		属する	ぞくする	belong	EXIT文又はCYCLE文にDO構文が 書いてあるとき、その文は、その名前をもつDO構文に属するという。DO構文名が 書いてないとき、その文は、最も内側を包んでいるDO構文に属するという。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8636	B		属性	ぞくせい	attribute	型宣言文(R501)で指定できる、データ実 体の性質。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8637	B		大域要素	たいいきようそ	global entity	一つの実行可能プログラ ムを有効範囲とする構文素によって識別される言語要素。プログラム単位、共通ブロ ック又は外部手続でありうる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8638	B		大小順序	だいしょうじゅんじょ	collating sequence	個々の種別型パ ラメタに関する、すべての異なる文字の順序付け。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8639	B		代入文	だいにゅうぶん	assignment statement	"変数=式"の 形の文。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8640	B		単純実行文	たんじゅんじっこうぶん	action statement	計算処理 動作を指定する単一の文。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8641	B		重複部分配列	ちょうふくぶぶんはいれつ	many-one array section	ベクトル添字をもつ部分配列であって、そのベクトル添字が同じ値の二つ以上の要素 をもっているもの。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8642	B		定数	ていすう	constant	実行可能プログラムを実行している間、値を変 えることのできないデータ実体。定数は、名前付き定数又は定数表現でありうる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8643	B		定数式	ていすうしき	constant expression	プログラム実行中に値が 変わらないことを保証するための規則を満たす式。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8644	B		定数表現	ていすうひょうげん	literal constant	名前のない定数。(参)FORTRAN 77では、これを単に定数と呼んでいた。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8645	B		データ	でーた	datum, data	単一の量。データは、そのデータ型 に指定されている値の集合のいずれかの値をとりうる。(参)英語では、単数形がdatum、複数形がdataである。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8646	B		データ型	でーたがた	data type	値の集合、それらの値の表現方法及 びそれらの値を解釈し操作する演算の集合によって特徴付けられる、データの名前付 き分類区分。組込み型の場合、データ値の集合は、型パラメタの値に依存する。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8647	B		データ実体	でーたじったい	data object	定数、変数又は定数 の部分実体のいずれかであるデータ要素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8648	B		データ要素	でーたようそ	data entity	データ実体、式の評価結 果又は関数引用の実行結果(関数結果と呼ぶ。)。データ要素は、データ型(組込み型又は構造型)をもち、不定である変数の場合を除いて、データ値をもつ。すべての データ要素は、次元数をもち、したがってスカラ又は配列となる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8649	B		手続	てつづき	procedure	プログラムの実行中に呼び出すことのできる計 算処理。手続は、関数又はサブルーチンでありうる。手続はまた、組込み手続、外部 手続、モジュール手続、内部手続、仮手続又は文関数でありうる。一つの副プログラ ムは、その中にENTRY文を含んでいれば、二つ以上の手続を定義することができる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8650	B		手続引用仕様	てつづきいんようしよう	procedure interface	手続の特性、その手続の名前、それぞれの仮引数の名前及び(もしあれば)その手続を引用す るために用いることのできる総称識別子。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8651	B		問合せ関数	といあわせかんすう	inquiry function	組込み関数であって 、その結果が、主要な引数の、値ではなく性質に依存して決まるもの。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8652	B		特性	とくせい	characteristics	(1)手続について、関数であるかサブルーチンであるかの分類、各仮引数の特性及び関数であればその関数結果の特性。(2)仮引数について、それがデータ実体であるか手続であるかの別及びOPTOPNAL属性をもつか否かの別。(3)データ実体について、その型、型パラメタ、形状、他のデータ要素への配列上下限及び文字長の依存の仕方、授受特性、省略可能な引数であるか否かの別、ポインタ又は指示先であるか否かの別、並びに形状引継ぎ、大きさ引継ぎ又は文字長引継ぎであるか否かの別。(4)仮手続について、省略可能な引数であるか否かの別、引用仕様が明示的であるか暗黙的であるかの別及び明示的であればその手続の特性。(5)関数結果について、その型、型パラメタ、ポインタであるか否かの別、ポインタであれば次元数、ポインタでなければ形状、他のデータ要素への配列上下限及び文字長の依存の仕方、並びに文字長引継ぎであるか否かの	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8653	B		特定子	とくていし	designator	部分実体特定子の項を見よ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8654	B		内部手続	ないぶてつづき	internal procedure	内部副プログラムに よって定義される手続。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8655	B		内部ファイル	ないぶふぁいる	internal file	データを内部記憶か ら内部記憶へ転送し変換するために用いる文字変数。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8656	B		内部副プログラム	ないぶふくぷろぐらむ	internal subprogram	副プ ログラムであって、主プログラム又は他の副プログラムに包まれているもの。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8657	B		名前	なまえ	name	英字の後ろに30文字以内の英数字下線(英字 、数字及び下線)を書いた構文素。(参)FORTRAN 77では、これを英字名 (symbolic name)と呼んでいた。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8658	B		名前結合	なまえけつごう	name association	引数結合、参照結合又は親子結合。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8659	B		名前付き	なまえつき	named	名前をもっていること。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8660	B		名前付き定数	なまえつきていすう	named constant	名前をもつ定数。(参)FORTRAN 77では、これを定数名(symbolic name of a constant)と呼んでいた。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8661	B		廃止事項	はいしじこう	deleted feature	FORTRAN 77の機能のうち、冗長になっていてほとんど使用されなくなっているとみなされるもの。FORTRAN 77の機能は、この規格では何も廃止されていない。(参)この規格で廃止予定事項とされている機能は、次の改正の際に廃止事項になりうる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8662	B		廃止予定事項	はいしよていじこう	obsolescent feature	FORTRAN 77の機能のうち、冗長にはなっているがまだ頻繁に使用されているとみなされるもの。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8663	B		配列	はいれつ	array	同じ型、同じ型パラメタをもつスカラデータの集合であって、要素が四角い形に配置されたもの。配列は、名前付き配列、部分配列、構造体成分、関数値又は式でありうる。配列の次元数は、1以上とする。(参)FORTRAN 77では、すべての配列が名前付きであり変	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8664	B		配列値	はいれつち	array-valued	配列であるという性質をもつこ と。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8665	B		配列ポインタ	はいれつぽいんた	array pointer	配列へのポインタ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8666	B		配列要素	はいれつようそ	array element	配列を構成する個々のス カラデータ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8667	B		引数	ひきすう	argument	実引数又は仮引数	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8668	B		引数キーワード	ひきすうきーわーど	argument keyword	仮引数の名前。手続が明示的引用仕様をもつ場合に、手続引用中で等号の左辺に用いることが できる(R1211)。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8669	B		引数結合	ひきすうけつごう	argument association	手続引用を実行して いる間の、実引数と仮引数との関係	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8670	B		標準モジュール	ひょうじゅんもじゅーる	standard module	系列 規格として別に規格化されるモジュール。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8671	B		ファイル	ふぁいる	file	内部ファイル又は外部ファイル。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8672	B		副プログラム	ふくぷろぐらむ	subprogram	関数副プログラム又 はサブルーチン副プログラム。(参)FORTRAN 77では、初期値設定プログ ラム単位をも副プログラムと呼んでいた。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8673	B		副プログラムの分身	ふくぷろぐらむのぶんしん	instance of a subprogram	ある副プログラムで定義されている手続を、呼び出す時に生成される その副プログラムの複製。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8674	B		不定	ふてい	undefined	データ実体について、確定した値をもっていな い状態。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8675	B		不特定記憶単位	ふとくていきおくたんい	unspecified storage unit	ポインタ、又はポインタでなく型が基本文字型、基本整数型、基本実数型、倍精度実 数型、基本論理型及び基本複素数型のいずれでもないスカラを、保持するための記憶 場所の単位。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8676	B		部分実体	ぶぶんじったい	subobject	名前付きデータ実体の一部であ って、他の部分とは独立に引用したり確定したりできる部分。部分実体は、配列要素 、部分配列、構造体成分又は部分列でありうる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8677	B		部分配列	ぶぶんはいれつ	array section	配列の部分実体であって 、構造体成分でないもの。その一組は、添字、添字三つ組及びベクトル添字で指定す る。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8678	B		部分配列添字	ぶぶんはいれつそえじ	section subscript	部分配列 選択子中の添字、ベクトル添字又は添字三つ組。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8679	B		部分列	ぶぶんれつ	substring	スカラ文字列の連続的な一部分。(備)部分配列も部分列選択子を含むことができる。その場合の結果は、部分列とは呼ばず、部分配列と呼ぶ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8680	B		プログラム	ぷろぐらむ	program	実行可能プログラム及び主プロ グラムの項を見よ。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8681	B		プログラム単位	ぷろぐらむたんい	program unit	実行可能プログラムの基本的な構成要素。文及び注釈行の列。プログラム単位は、主プログラム、モジュール、外部副プログラム又は初期値設定プログラム単位でありうる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8682	B		ブロック	ぶろっく	block	ある実行構文に埋め込まれ、その構文特有 の文で両端を区切られた実行構文の列。列全体を一つのものとして扱う。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8683	B		文	ぶん	statement	構文素の列。文は、通常は単一の行で構成するが、アンド記号を用いてある行から次の行へ文を継続することができ、セミコロンを用いて一つの行の中に複数の文を書くことができる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8684	B		文関数	ぶんかんすう	statement function	代入文と同様の形をした 単一の文によって定義される手続。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8685	B		文キーワード	ぶんきーわーど	statement keyword	文の構文規則の 一部をなし、その文を識別するのに用いられる単語。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8686	B		文内要素	ぶんないようそ	statement entity	一つの文又は一つの 文の一部分を有効範囲とする構文素によって識別される言語要素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8687	B		文番号	ぶんばんごう	statement label	文の左に先行して置き、その文 を参照するために用いることのできる、5文字以内の数字からなる構文素。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8688	B		ベクトル添字	べくとるそえじ	vector subscript	次元数1の整数式で ある部分配列添字。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8689	B		変形関数	へんけいかんすう	transformational function	要素別処理関数 でも問合せ関数でもない組込み関数。多くの変形関数は、配列の引数及び配列の結果 をもち、結果の配列の要素の値が引数の複数の要素の値に依存して決まる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8690	B		変数	へんすう	variable	実行可能プログラムを実行している間に、値を 確定したり再確定したりできるデータ実体。変数は、名前付きデータ実体、配列要素 、部分配列、構造体成分又は部分列でありうる。(参)FORTRAN 77では、すべての変数がスカラであり名前付きであった。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8691	B		ポインタ	ぽいんた	pointer	POINTER属性をもつ変数。ポインタ は、指示先に対して指示状態でなければ、引用も確定もしてはならない。指示先が配 列である場合、指示状態でなければ形状をもたない。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8692	B		ポインタ結合	ぽいんたけつごう	pointer association	ポインタを指示 先に対して指示状態にする作用。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8693	B		ポインタ代入	ぽいんただいにゅう	pointer assignment	ポインタ代入文 の実行、又はポインタを部分実体としてもつ構造型のデータ実体への代入文の実行に よる、ポインタと指示先とのポインタ結合。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8694	B		ポインタ代入文	ぽいんただいにゅうぶん	pointer assignment statement	“ポインタ名=>指示先”の形の文。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8695	B		末端成分	まったんせいぶん	ultimate component	構造型又は構造体について、次のいずれか。(1)組込み型である成分(2)POINTER属性をもつ 成分(3)構造型であってPOINTER属性をもたない成分の末端成分	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8696	B		明示的引用仕様	めいじてきいんようしよう	explicit interface	ある有効域内で引用されている手続について、内部手続、モジュール手続、組込み手続、引用仕様宣言をもつ外部手続、自分自身の有効域内で引用されている再帰手続、又は引用仕様宣言をもつ仮手続のいずれかであるという性質。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8697	B		文字	もじ	character	英字、数字及びその他の記号。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8698	B		文字記憶単位	もじきおくたんい	character storage unit	ポインタ でなく型が基本文字型であり文字長が1であるスカラを、保持するための記憶場所の 単位。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8699	B		モジュール	もじゅーる	module	プログラム単位であって、他の プログラム単位から参照される定義を、内部にもっている又は参照しているもの。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8700	B		モジュール手続	もじゅーるてつづき	module procedure	モジュー ル副プログラムによって定義される手続。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8701	B		モジュール副プログラム	もじゅーるふくぷろぐらむ	module subprogram	モジュールに包まれていて内部副プログラムではない副プログラム。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8702	B		文字列	もじれつ	character string	左から右へ順に1、2、3、…と番 号付けられた文字の列。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8703	B		文字列の長さ	もじれつのながさ	length of a character string	文字 列中の文字の個数。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8704	B		有効域	ゆうこういき	scoping unit	(1)構造型定義の部分。(2)引用仕様本体から、それに包まれている構造型定義及び引用仕様本体をすべて除いた部分。(3)プログラム単位又は副プログラムから、それに包まれている構造型定義、引用仕様本体及び副プログラムをすべて除いた部分。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8705	B		有効範囲	ゆうこうはんい	scope	ある構文素がある単一の解釈を もつような実行可能プログラムの一部分。有効範囲は、一つの実行可能プログラム、一つの有効域、一つの文又は一つの文の一部分でありうる。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8706	B		要素別処理	ようそべつしょり	elemental	一つの配列の要素ごとに 、又は一組の形状適合する配列及びスカラの対応要素ごとに、独立に適用される組込 み演算、組込み手続又は組込み代入に冠する修飾語。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8707	B		呼び出す	よびだす	invoke	(1)サブルーチンを、CALL文又は利用者定義入文によって呼ぶこと。(2)式の評価中に関数を、その名前又は演算子を 用いた引用によって呼ぶこと。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8708	B		利用者定義演算	りようしゃていぎえんざん	defined operation	演算であって組込み演算でないもの。利用者定義演算は、総称識別子に関連付けた関数によって定義する。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8709	B		利用者定義代入文	りようしゃていぎだいにゅうぶん	defined assignment statement	代入文であって、組込み代入文でないもの。利用者定義入は、サブルーチン、及びASSIGNMENT(=)の指定のある引用仕様宣言によって定義する。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8710	B		割付け配列	わりつけはいれつ	allocatable array	ALLOCAT ABLE属性をもつ名前付き配列。割付け配列は、その配列に領域が割り付けられて いるときにだけ、形状をもち、引用したり確定したりしてよい。	JIS X 3001	1994				廃→X 3001-1:1998/10	ISO/IEC 1539-1:1997	2004	SC22
8711	A		後始末	あとしまつ	finalization	実体を解体抹消する直前に利用者定義後始末サブルーチンを呼び出す処理過程。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8712	A		後始末可能	あとしまつかのう	finalizable	後始末サブルーチンをもつ型又は後始末可能な成分をもつ型。後始末可能な型の実	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8713	A		後始末サブルーチン	あとしまつさぶるーちん	final subroutine	後始末の間に処理系が自動的に呼び出すサブルーチン。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8714	A		暗黙的引用仕様	あんもくてきいんようしよう	implicit interface	有効域内で引用される手続について、明示的引用仕様をもたないという性質。文関数は、常に暗黙的引用仕様をもつ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8715	A		暗黙的初期値指定	あんもくてきしょきちしてい	default initialization	型定義中で初期値指定を指定すると、その型の実体は、自動的に初期化される。非ポインタ成分は暗黙的に値を与えて初期化することができ、ポインタ成分は初期状態を暗黙的に空状態にすることができる。暗黙的初期値指定は、組込み型の実体にはない。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8716	A		暗黙的初期値設定されている	あんもくてきしょきちせっていされている	default-initialized	部分成分が暗黙的初期値指定によって初期化されるとき、その部分成分は暗黙的初期値設定されているという。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8717	A		引用	いんよう	reference	実行中のその時点での値を要求する形で実体特定子を書くこと、その時点での手続の実行を要求する形でその手続特定子、その演算子記号若しくは利用者定義代入文を書くこと、又はUSE文にモジュール名を書くこと。変数を確定する動作及び手続の名前を実引数として書くことは、引用とはみなさない。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8718	A		引用仕様	いんようしよう	interface	手続引用仕様の項を見よ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8719	A		引用仕様宣言	いんようしようせんげん	interface block	INTERFACE文から対応するEND INTERFACE文までの文の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8720	A		引用仕様本体	いんようしようほんたい	interface body	引用仕様宣言内の、FUNCTION文又はSUBROUTINE文から対応するEND文までの文の	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8721	A		上書き	うわがき	override	明示的初期値指定又は暗黙的初期値指定が、暗黙的初期値指定に優先するとき、優先する初期値指定だけが指定されたかのように扱われること。手続が直接拡張型に束縛されているとき、それが、親型から継承されるはずの手続に優先すること。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8722	A		演算	えんざん	operation	一つ又は二つの演算対象に作用する計算処理。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8723	A		演算子	えんざんし	operator	演算を指定する構文素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8724	A		演算対象	えんざんたいしょう	operand	演算子の左又は右にある式。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8725	A		大きさ	おおきさ	size	配列について、要素の総数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8726	A		大きさ引継ぎ配列	おおきさひきつぎはいれつ	assumed-size array	結合される実引数から大きさを引き継ぐ仮配列。右端の次元の上限を星印で指定する。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8727	A		親型	おやがた	parent type	直接拡張型の派生元の拡張可能型。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8728	A		親子結合	おやこけつごう	host association	内側に含まれる有効域から親有効域の言語要素を参照できるようにする処理過程。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8729	A		親成分	おやせいぶん	parent component	直接拡張型の継承された部分に対応する、その型の要素の成分。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8730	A		親プログラム	おやぷろぐらむ	host	親有効域のこと。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8731	A		親有効域	おやゆうこういき	host scoping unit	他の有効域を、直接に取り囲んでいる有効域。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8732	A		外部結合	がいぶけつごう	external linkage	言語Cの言語要素がプログラムに対して大域的であることを記述する特性。外部結合は、言語Cの国際規格の6.2.2で定義されている。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8733	A		外部装置	がいぶそうち	external unit	外部ファイルを参照するために用いる機構。外部装置は、非負整数によって識別される。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8734	A		外部手続	がいぶてつづき	external procedure	外部副プログラム又はFortran以外の手段によって定義される手続。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8735	A		外部ファイル	がいぶふぁいる	external file	プログラムの外部の媒体にある記録の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8736	A		外部副プログラム	がいぶふくぷろぐらむ	external subprogram	副プログラムであって、主プログラムにもモジュールにも他の副プログラムにも包まれていないもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8737	A		拡張型	かくちょうがた	extension type	基底型は、それ自体だけの拡張型とする。直接拡張型は、それ自体及びその親型が拡張型となっている型の拡張型とする。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8738	A		拡張可能型	かくちょうかのうがた	extensible type	EXTENDS属性を用いて新しい型を派生しうる型。BIND属性をもたず、連続型でない型。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8739	A		確定	かくてい	defined	データ実体について、有効な値をもっている又は与えられた状態。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8740	A		確定可能	かくていかのう	definable	変数は、代入文の左辺にその特定子を書いてその値を変更してよい場合、確定可能であるという。割り付けられていない割付け変数は、確定可能でないデータ実体の例である。確定可能でない部分実体の例としては、Cを定数の配列とし|を整変数としたときの	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8741	A		型	かた	type	値の集合、それらの値の表現方法及びそれらの値を解釈し操作する演算の集合によって特徴付けられる、データの名前付き分類区分。データ値の集合は、型パラメタの値に	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8742	A		型が適合する	かたがてきごうする	type compatible	すべてのデータ要素は、同じ型の他のデータ要素と型が適合する。無制限多相的データ要素は、すべてのデータ要素と型が適合する。無制限多相的でない多相的出0多要素は、実行時の型がその多相的データ要素の宣言時の型の拡張型であるデータ要素と型	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8743	A		型宣言文	かたせんげんぶん	type declaration statement	INTEGER文、REAL文、DOUBLE PRECISION文、COMPLEX文、CHARACTER文、LOGICAL文又はTYPE(型名)文。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8744	A		型束縛手続	かたそくばくてつづき	type-bound procedure	型定義中の手続束縛。その手続は、その実行時の型をもつ何らかの実体を通じて束縛名によってか、利用者定義演算としてか、利用者定義代入によってか、又は後始末処理の一部として、引用することができる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8745	A		型パラメタ	かたぱらめた	type parameter	データ型のパラメタ。組込み型の型パラメタには、種別(KIND)と文字長(LEN)とがある。派生型の型パラメタは、派生型定義の中で定義する。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8746	A		型パラメタ順序	かたぱらめたじゅんじょ	type parameter order	派生型指定子における、派生型の型パラメタの順序。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8747	A		合致	がっち	conformance	プログラムは、それが規格に定められた形と関係だけを用いて書かれ、かつ規格に従った解釈を持つならば、この規格に合致している。プログラム単位は、それをあるプログラムに含めてそのプログラムが規格合致するようにできるならば、この規格に合致している。処理系は、規格に定められた解釈を満たすように規格合致プログラムを実行し、1.5に列挙された検出及び報告の能力をもつならば、この規格に合致している。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8748	A		仮データ実体	かりでーたじったい	dummy data object	データ実体である仮引数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8749	A		仮手続	かりてつづき	dummy procedure	手続きとして宣言又は引用されいる仮引数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8750	A		仮配列	かりはいれつ	dummy array	配列である仮引数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8751	A		仮引数	かりひきすう	dummy argument	手続の実行の間、結合した実引数を参照できるようにする言語要素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8752	A		関数	かんすう	function	式中で呼び出し、値を計算し、その値をその式の評価に用いる手続。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8753	A		関数結果	かんすうけっか	function result	関数の値を返すデータ実体。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8754	A		関数副プログラム	かんすうふくぷろぐらむ	function subprogram	引数仕様宣言内にないFUNCTION文から対応するEND文までの文の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8755	A		キーワード	きーわーど	keyword	文の構文の一部を成す単語又は並び中の項目を識別するのに用いる名前。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8756	A		記憶単位	きおくたんい	storage unit	文字記憶単位、数値記憶単位、ファイル記憶単位又は不特定記憶単位。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8757	A		記憶列	きおくれつ	storage sequence	連続する記憶単位の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8758	A		記憶列結合	きおくれつけつごう	storage association	一方の記憶列のいずれかの記憶単位が他方の記憶列のいずれかの記憶単位と同一であるような、二つの記憶列の間の関係。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8759	A		規格合致プログラム	きかくがっちぷろぐらむ	standard-conforming program	この規格に定められた形と関係だけを用いて書かれ、かつ規格に従った解釈をもつプログラム。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8760	A		刻み幅	きざみはば	stride	添字三つ組に指定する増分値。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8761	A		基底型	きていがた	base type	別の型の拡張でない拡張可能型。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8762	A		行	ぎょう	line	Fortranの文、注釈又はINCLUDE行からなる、0～132個の文字の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8763	A		共通ブロック	きょうつうぶろっく	common block	プログラム中のどの有効域からも参照できる、物理的な記憶場所の区画。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8764	A		局所変数	きょくしょへんすう	local variable	特定の有効域に対して局所的な変数。参照結合又は親子結合によって取り込まれたものでもなく、仮引数でもなく、共通ブロック中の変数でもない変数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8765	A		局所要素	きょくしょようそ	local entity	一つの有効域を有効範囲とする構文素によって識別される言語要素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8766	A		記録	きろく	record	ファイル中で、ひとまとまりとして扱われる値又は文字の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8767	A		空状態	からじょうたい	disassociated	空状態のポインタは、どの指示先とも結合いていない。ポインタは、NULLIFY文の実行後か、空状態のポインタのポインタ代入後か、暗黙的初期値指定によってか、又は明示的初期値指定によって、空状態になる。データポインタは、DEALLOCATE文の実行によっ	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8768	A		組込み	くみこみ	intrinsic	型、演算子、代入文、手続き及びモジュールに冠する修飾語。組込み型、組込み演算子及び組込み代入文は、この規格で定義されていて、特に定義したり宣言したりせずにどの有効域ででも用いることができる。組込みモジュールは、この規格で定義されいるかまたは処理系が用意していて、参照結合によって参照することができる。このとき、組込みモジュール内で定義された手続及び型は、組込みではない。この規格で定義されていない組込み手続及び組込みモジュールは、非標準の組込み手続及び組込みモジュールと	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8769	A		クラス	くらす	class	クラスNとは、型Nから拡張された型すべての集合をいう。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8770	A		継承	けいしょう	inherit	親から獲得すること。直接拡張型の中で明示的に宣言せずに親型から自動的に獲得される型パラメタ、成分又は手続束縛は、継承されるという。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8771	A		形状	けいじょう	shape	配列の次元数及び各寸法。形状は、各次元の寸法を要素とする1次元の配列で表現することができる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8772	A		継承結合	けいしょうけつごう	inheritance association	直接拡張型における、継承された成分と親成分との間の関係。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8773	A		形状適合	けいじょうてきごう	conformable	二つの配列は、同じ形状をもつとき、形状適合しているという。スカラは、いかなる配列とも形状適合する。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8774	A		形状引継ぎ配列	けいじょうひきつぎはいれ	assumed-shape array	結合される実引数から形状を引き継ぐ、ポインタでない仮配列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8775	A		形状明示配列	けいじょうめいじはいれつ	explicit-shape array	明示的な上下限を伴って宣言された名前付き配列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8776	A		結果変数	けっかへんすう	result variable	関数の値を返す変数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8777	A		結合	けつごう	association	名前結合、ポインタ結合、記憶列結合又は継承結合。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8778	A		結合名	けつごうめい	associate name	SELECT TYPE構文又はASSOCIATE構文の中で、選択子が結合する構文内要素の名	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8779	A		原型	げんけい	prototype	関数引用し様本体に対する言語Cの言語要素。言語Cの国際規格の6.7.5.3で定義されて	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8780	A		言語要素	げんごようそ	entity	次のいずれかを指すのに用いる用語:プログラム単位、手続、抽象引用仕様、演算子、総称引用共通、共通ブロック、外部装置、文関数、型、データ要素、文番号、構造構文、	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8781	A		構造構文	こうぞうこうぶん	construct	ASSOCIATE文、DO文、構造FORALL文、IF文、SELECT CASE文、SELECT TYPE文又は構造WHERE文から対応する端末文までの文の例。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8782	A		構造体	こうぞうたい	structure	派生型のスカラデータ実体。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8783	A		構造体型	こうぞうたいがた	struct	連続派生型に対応する言語Cの言語要素。言語Cの国際規格の6.2.5で定義されている。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8784	A		構造体構成子	こうぞうたいこうせいし	structure constructor	派生型の値を構成するための構造上の機構。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8785	A		構造体成分	こうぞうたいせいぶん	structure component	実体特定子によって引用することのできる、派生型の実体の一部分。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8786	A		構文結合	こうぶんけつごう	construct association	ASSOCIATE構文又はSELECT TYPE構文における選択子と結合名との間の結合。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8787	A		構文素	こうぶんそ	lexical token	指定された解釈をもつ、1文字以上の文字の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8788	A		構文内要素	こうぶんないようそ	construct entity	一つの構造構文を有効範囲とする構文素によって識別される言語要素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8789	A		サブルーチン	さぶるーちん	subroutine	CALL文又は利用者定義代入文によって呼び出す手続。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8790	A		サブルーチン副プログラ	さぶるーちんふくぷろぐら	subroutine subprogram	引用仕様宣言内にないSUBROUTINE文から対応するEND文までの文の例。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8791	A		参照結合	さんしょうけつごう	use association	USE文によって指定される、異なる有効域間での名前の結合。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8792	A		式	しき	expression	演算対象、演算子及び括弧の例(R722)。変数、定数、関数引用又は計算の表現であり	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8793	A		次元数	じげんすう	rank	配列の次元の個数。スカラについてはゼロとする。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8794	A		指示先	ししさき	target	TARFET属性をもつデータ要素、又はポインタと結合されたデータ要素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8795	A		指示状態	ししじょうたい	pointer associated	ポインタ代入の後又はALLOCATE文の有効な実行の後の、ポインタと指示先との関係。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8796	A		事前接続	じぜんせつぞく	preconnected	プログラムの実行の始めに外部ファイルに接続しているという、装置の性質。そのような装置は、そのような装置は、その装置に対するOPEN文を実行しなくても入出力文に指定	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8797	A		実行構文	じっこうこうぶん	executable construct	単純実行文(R214)、ASSOCLATE構文、CASE構文、DO構文、FORALL構文、IF構文、SELECT TYPE構文又はWHERE構文。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8798	A		実行時の型	じっこうじのかた	dynamic type	データ要素が実行時にもつ型。多相的でないデータ要素の実行時の型は、宣言時の型と同じとする。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8799	A		実行文	じっこうぶん	executable statement	一つ以上の計算処理動作を行う又は制御する命令。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8800	A		実体	じったい	object	データ実体のこと。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8801	A		実体特定子	じったいとくていし	object designator	データ実体の特定子。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8802	A		実引数	じつひきすう	actual argument	手続引用に指定する式、変数、手続又は選択戻り指定子。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8803	A		自動割付けデータ実体	じどうわりつけでーたじったい	automatic data object	副プログラムの局所要素であって、仮引数でなく、長さ型パラメタ又は配列上下限が初期値式でない式で指定されているデータ実体。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8804	A		授受特性	じゅじゅとくせい	intent	仮データ実体の属性の一つ。授受特性は、その仮引数が、データを手続の中へ転送するために用いられるのか、手続の外へ転送するために用いられるのか、その両方のために用いられるのかを示す。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8805	A		主プログラム	しゅぷろぐらむ	main program	Fortranの主プログラム又はFortran以外の手段で定義された代替物。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8806	A		種別型パラメタ	しゅべつがたぱらめた	kind type parameter	一つの組込み型に用意されている種別の識別番号を値とするパラメタ、又はKIND属性をもつと宣言された派生型パラメタ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8807	A		純粋手続	じゅんすいてつづき	pure procedure	純粋組込み手続であるか、純粋副プログラムによって定義されるか、又は純粋関数だけを引用した文関数である手続。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8808	A		上下限	じょうかげん	bounds	名前付き配列について、配列要素の添字の値が収まっていなければならない限界。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8809	A		小数点記号	しょうすうてんきごう	decimal symbol	ファイル中の実数の10進表現において、整数部と小数部とを分ける文字。暗黙の小数点記号は点(ピリオド)である。現在の小数点記号は、現在の小数点編集モードによって決	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8810	A		初期値設定プログラム単位	しょきちせっていぶろぐらむたんい	block data program unit	名前付き共通ブロック内のデータ実体に初期値を与えるためのプログラム単位。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8811	A		処理系	しょりけい	processor	計算機システムと、プログラムをその計算機システムで使用できるように変形する機構とを組み合わせたもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8812	A		処理系依存	しょりけいいぞん	processor dependent	この規格で完全には規定していない機能の呼称。そのような機能に対しては、処理系が手段又は意味を定めて付与しなければならない。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8813	A		数値型	すうちがた	numeric type	整数型、実数型又は複素数型。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8814	A		数値記憶単位	すうちきおくたんい	numeric storage unit	ポインタでなく型が基本実数型、基本整数型又は基本論理型であるスカラを保持するための記憶場所の単位。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8815	A		スカラ	すから	scalar	(1) 配列でない単一のデータ。(2) 配列であるという性質をもたないこと。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8816	A		寸法	すんぽう	extent	配列の一つの次元の大きさ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8817	A		制御配列	せいぎょはいれつ	control mask	WHERE文又はWHERE構文において、各WHERE代入文でどの配列要素が確定されるかを論理値によって決定する論理型配列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8818	A		成分	せいぶん	component	派生型の構成要素	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8819	A		成分順序	せいぶんじゅんじょ	component order	組込み書式付き入出力及び構造体構成子に用いられる派生型の成分の順序付け。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8820	A		接続されている	せつぞくされている	connected	(1) 外部装置について、外部ファイルを参照していること。 (2) 外部ファイルについて、それを参照している外部装置があること。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8821	A		宣言関数	せんげんかんすう	specification function	宣言式中で用いることのできる、組込み関数でない関数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8822	A		宣言式	せんげんしき	specification expression	長さ型パラメタ、配列上下限などの指定に使えるように制限を課した式。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8823	A		宣言時の型	せんげんじのかた	declared type	データ要素が宣言時にもつ型。多相的データ要素の場合、実行時にもつ型(実行時の型)と異なってもよい。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8824	A		全体配列	ぜんたいはいれつ	whole array	名前付き配列のこと。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8825	A		選択子	せんたくし	selector	次のものを特定する構文上の機構。 (1) データ実体の部分。部分列、配列要素、部分配列又は構造体成分を特定することができる。 (2) あるCASEブロックを実行する場合値の組。 (3) SELECT TYPE構文のどの分岐が実行されるかを型によって決める実体。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8826	A		相互利用可能	そうごりようかのう	interoperable	Fortranの言語要素について、それと同様な言語Cの言語要素が定義しうるといことを保障する性質。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8827	A		総称引用仕様	そうしょういんようしよう	generic interface	総称手続束縛又は総称引用仕様宣言によって指定される引用仕様。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8828	A		総称引用仕様宣言	そうしょういんようしようせんげん	generic interface block	総称指定をもつ引用仕様宣言。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8829	A		総称識別子	そうしょうしきべつし	generic identifier	INTERFACE文中に書いて、その引用仕様宣言内のすべての手続に関連付けられている構文素、又はGENERIC文中に書いて、そのすべての個別型束縛手続に関連付けられて	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8830	A		添字	そえじ	subscript	配列要素選択子中のスカラ整数式の並びの1項目。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8831	A		添字三つ組	そえじみつぐみ	subscript triplet	部分配列選択子中の並びの項目であって、コロンを含むもの。添字三つ組は、整数値の規則的な列を指定する。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8832	A		属する	ぞくする	belong	EXIT文又はCYCLE文にDO構文名が書いてあるとき、その文は、その名前をもつDO構文に属するという。DO構文名が書いてないとき、その文は、最も内側を包んでいるDO構文に属するという。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8833	A		属性	ぞくせい	attribute	型宣言文(R501)で指定できる、データ実体の性質。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8834	A		束縛ラベル	そくばくらべる	binding label	連携処理系において、変数、共通ブロック、サブルーチン又は関数を一意的に識別する基本文字列の値。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8835	A		大域要素	たいいきようそ	global entity	一つのプログラムを有効範囲とする識別子をもつ言語要素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8836	A		大小順序	だいしょうじゅんじょ	collating sequence	個々の種別パラメタに関する、すべての異なる文字の順序付け。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8837	A		代入文	だいにゅうぶん	assignment statement	"変数 = 式"の形の文。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8838	A		他言語結合	たげんごけつごう	linkage association	相互利用可能なFortranの言語要素とそれに対応する言語Cの言語要素との間の結合。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8839	A		多相的	たそうてき	polymorphic	プログラムの実行中に異なる形をもつことができること。キーワードCLASSを指定して宣言した実体は、多相的になる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8840	A		単純実行文	たんじゅんじっこうぶん	action statement	計算処理動作を指定する又は制御する単一の文(R214)。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8841	A		遅延束縛	ちえんそくばく	deferred binding	DEFERRED属性をもつ束縛。遅延束縛は、抽象型定義(4.5.6)の中にだけ書くことができ	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8842	A		抽象型	ちゅうしょうがた	abstract type	ABSTRACT属性をもつ型。多相的でない実体は、抽象型として宣言してはならない。多相的な実体は、動的な抽象型をもつように構成したり割り付けたりしてはならない。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8843	A		重複部分配列	じゅうふくぶぶんはいれつ	many-one array section	ベクトル添字をもつ部分配列であって、そのベクトル添字が同じ値の二つ以上の要素をもっているもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8844	A		直接拡張型	ちょくせつかくちょうがた	extended type	他の型の拡張である拡張可能型。EXTENDS属性をもって宣言された型。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8845	A		定数	ていすう	constant	プログラムを実行している間、値を変えることのできないデータ実体。定数は、名前付き定数又は定数表現でありうる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8846	A		定数表現	ていすうひょうげん	literal constant	名前のない定数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8847	A		データ	でーた	datum, data	単一の量。データは、その型に指定されている値の集合のいずれかの値をとりうる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8848	A		データ型	でーたがた	data type	型の項を見よ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8849	A		データ実体	でーたじったい	data object	定数、変数又は部分定数(定数の部分実体)のいずれかであるデータ要素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8850	A		データ要素	でーたようそ	data entity	データ実体、式の評価結果又は関数引用の実行結果(関数結果と呼ぶ。)。データ要素は、型(組込み型又は派生型)をもち、不定である定数の場合を除いて、データ値をもつ。すべてのデータ要素は、次元数をもち、したがってスカラ又は配列となる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8851	A		手続	てつづき	procedure	プログラムの実行中に呼び出すことのできる計算処理。手続は、関数又はサブルーチンでありうる。手続はまた、組込み手続、外部手続、モジュール手続、内部手続、仮手続又は文関数でありうる。一つの副プログラムは、その中にENTRY文を含んでいれば、二つ以上の手続を定義することができる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8852	A		手続引用仕様	てつづきいんようしよう	procedure interface	手続の特性、その手続の名前、それぞれの仮引数の名前及び(もしあれば)その手続を引用するために用いることのできる総称識別子。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8853	A		手続特定子	てつづきとくていし	procedure designator	手続の特定子。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8854	A		問合せ関数	といあわせかんすう	inquiry function	組込み関数又は組込みモジュール内で定義された関数であって、その結果が、一つ以上の引数の、値ではなく性質に依存して決まるもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8855	A		当該実体仮引数	とうがいじったいかりひきすう	passed-object dummy argument	型束縛手続又は手続ポインタ成分の仮引数であって、その手続を呼び出すのに使った実体と結合されるもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8856	A		特性	とくせい	characteristics	(1) 手続について、関数であるかサブルーチンであるかの分類、純粋であるかどうか、要素別処理であるかどうか、BIND属性をもつかどうか、束縛ラベルの値、各仮引数の特性及び関数であればその関数結果の特性。 (2) 仮引数について、それがデータ実体であるかどうか、手続であるかどうか、手続ポインタであるかどうか、選択戻り星印であるかどうか及びOPTIONAL属性をもつかどうか。 (3) 仮データ実体について、その型、型パラメタ、形状、他のデータ要素への配列上下限及び型パラメタの依存の仕方、授受特性、省略可能な引数であるかどうか、ポインタ又は指示先であるかどうか、割付け実体であるかどうか、VALUE属性、ASYNCHRONOUS属性又はVOLATILE属性をもつかどうか、多相的であるかどうか、並びに形状引継ぎ、大きさ引継ぎ又は型パラメタ引継ぎであるかどうか。 (4) 仮手続又は手続ポインタについて、省略可能な引数であるかどうか、引用仕様が明示的であるか暗黙的であるか及び明示的であればその手続の特性。 (5) 関数結果について、その型、型パラメタ、どの型パラメタが無指定か、多相的かどうか、ポインタ又は割付け関数結果であるかどうか、手続ポインタであるかどうか、ポインタ又は割付け関数結果であれば次元数、ポインタでも割付け関数結果でもなければ形状、他のデータ要素への配列上下限及び型パラメタの依存の仕方、並びに文字長引継ぎで	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8857	A		特定子	とくていし	designator	名前の後に、成分選択子、部分配列選択子、配列要素選択子及び部分列選択子を0以上書いたもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8858	A		内部手続	ないぶてつづき	internal procedure	内部副プログラムによって定義される手続。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8859	A		内部ファイル	ないぶふぁいる	internal file	データを内部記憶から内部記憶へ転送し変換するために用いる文字変数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8860	A		内部副プログラム	ないぶふくぶろぐらむ	internal subprogram	副プログラムであって、主プログラム又は他の副プログラムに包まれているもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8861	A		名前	なまえ	name	英字の後ろに62文字以内の英数字下線(英字、数字及び下線)を書いた構文素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8862	A		名前結合	なまえけつごう	name association	引数結合、参照結合。親子結合、他言語結合又は構文結合。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8863	A		名前付き	なまえつき	named	名前をもっていること。すなわち、"名前付き変数"のような用法における"名前付き"は、その変数名が添字並び、部分列指定などによって修飾されていないことを意味する。例えば、Xが配列変数であるとき、引用Xは名前付き変数であるのに対して、引数X(1)は実	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8864	A		名前付き定数	なまえつきていすう	named constant	名前をもつ定数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8865	A		廃止事項	はいしじこう	deleted feature	以前のFortran規格の機能のうち、冗長になっていてほとんど使用されなくなっているとみなされるもの。以前のFortran規格にあってこの規格にない機能の一覧表を、B.1に示す。この規格で廃止予定事項とされている機能は、次の改正の際に廃止事項になりうる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8866	A		廃止予定事項	はいしよていじこう	obsolescent feature	冗長にはなっているがまだ頻繁に使用されているとみなされる機能。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8867	A		配列	はいれつ	array	同じ型、同じ型パラメタをもつスカラデータの集合であって、要素が四角い形に配置されたもの。配列は、名前付き配列、部分配列、構造体成分、関数値又は式でありうる。配列の次元数は、1以上とする。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8868	A		配列ポインタ	はいれつぽいんた	array pointer	配列へのポインタ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8869	A		配列要素	はいれつようそ	array element	名前付き配列又は構造体成分である配列を構成する、個々のスカラデータ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8870	A		派生型	はせいがた	derived type	成分をもつデータの型。それぞれの成分は、組込み型又は別の派生型とする。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8871	A		引数	ひきすう	argument	実引数又は仮引数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8872	A		引数結合	ひきすうけつごう	argument association	手続引用を実行している間の、実引数と仮引数との関係。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8873	A		非実行文	ひじっこうぶん	nonexecutable statement	計算処理動作が行われるときのプログラム環境を指定するために用いる文。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8874	A		非数	ひすう	NaN	IEEE算術の非数(Not-a-Number)の値。定義されない値又は不正な演算で生成される値を表す。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8875	A		ファイル	ふぁいる	file	内部ファイル又は外部ファイル。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8876	A		ファイル記憶装置	ふぁいるきおくそうち	file storage unit	書式なしファイル又は流れファイルの記憶単位。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8877	A		副プログラム	ふくぶろぐらむ	subprogram	関数副プログラム又はサブルーチン副プログラム。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8878	A		副プログラムの分身	ふくぶろぐらむのぶんしん	instance of a subprogram	ある副プログラムで定義されている手続を、呼び出すときに生成されるその副プログラムの複製。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8879	A		符号なし	ふごうなし	unsigned	言語Cの数値型に冠する修飾語であり、その型が非負の値だけから構成されることを示すもの。言語Cの国際規格の6.2.5で定義されている。Fortranには同様のものはない。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8880	A		不定	ふてい	undefined	データ実体について、確定した値をもっていない状態。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8881	A		不特定記憶単位	ふとくていきおくたんい	unspecified storage unit	ポインタ、又はポインタでなく型が基本文字型、基本整数型、基本実数型、倍精度実数型、基本論理型及び基本複素数型のいずれでもないスカラを、保持するための記憶場所	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8882	A		部分実体	ぶぶんじったい	subobject	データ実体の一部分であって、他の部分とは独立に引用したり確定したりできる部分。部分実体は、配列要素、部分配列、構造体成分、部分列又は複素数型実体の実部若しく	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8883	A		部分成分	ぶぶんせいぶん	subcomponent	派生型の実体の部分成分とは、その実体の成分又はその実体の部分実体の成分のこ	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8884	A		部分配列	ぶぶんはいれつ	array section	配列の部分実体であって、構造体成分でないもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8885	A		部分配列添字	ぶぶんはいれつそえじ	section subscript	部分配列選択子中の添字、ベクトル添字又は添字三つ組。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8886	A		部分列	ぶぶんれつ	substring	スカラ文字列の連続的な一部分。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8887	A		プログラム	ぷろぐらむ	program	ちょうど一つの主プログラムを含むプログラム単位の一組。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8888	A		プログラム単位	ぷろぐらむたんい	program unit	プログラムの基本的な構成要素。文、注釈及びINCLUDE行の列。プログラム単位は、主プログラム、モジュール、外部副プログラム又は初期値設定プログラム単位でありうる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8889	A		ブロック	ぶろっく	block	ある実行構文に埋め込まれ、その構成特有の文で両端を区切られた実行構文の列。列全体を一つのものとして扱う。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8890	A		文	ぶん	statement	構文素の列。文は、通常は単一の行で構成するが、ある行から次の行へ文を継続することができ、セミコロンを用いて一つの行の中に複数の文を書くことができる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8891	A		文関数	ぶんかんすう	statement function	代入文と同様の形をした単一の文によって定義される手続。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8892	A		文内要素	ぶんないようそ	statement entity	一つの文又は一つの文の一部分を有効範囲とする構文素によって識別される言語要	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8893	A		文番号	ぶんばんごう	statement label	文の左に先行して置き、その文を参照するために用いることのできる、5文字以内の数字からなる構文素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8894	A		ベクトル添字	べくとるそえじ	vector subscript	次元数1の整数式である部分配列添字。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8895	A		変形関数	へんけいかんすう	transformational function	組込み関数又は組込みモジュールで定義された関数であって、要素別処理関数でも問合せ関数でもない関数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8896	A		変数	へんすう	variable	プログラムを実行している間に、値を確定したり再確定したりできるデータ実体。変数は、名前付きデータ実体、配列要素、部分配列、構造体成分又は部分列でありうる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8897	A		void型	voidがた	void	言語Cの型であり、値をもたないもの。言語Cの国際規格の6.2.5で定義されいる。Fortranには同様のものはない。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8898	A		ポインタ	ぽいんた	pointer	POINTER属性をもつ言語要素。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8899	A		ポインタ結合	ぽいんたけつごう	pointer association	ポインタを指示先に対して指示状態にする作用。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8900	A		ポインタ代入	ぽいんただいにゅう	pointer assignment	ポインタ代入文の実行、又はポインタを部分実体としてもつ派生型のデータ実体への代入文の実行による、ポインタと指示先とのポインタ結合。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8901	A		ポインタ代入文	ぽいんただいにゅうぶん	pointer assignment statement	“ポインタ実体 => 指示先”の形の文。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8902	A		末端成分	まったんせいぶん	ultimate component	構造体について、次のいずれか。 (1) 組込み型である成分 (2) ALLOCATABLE属性又はPOINTER属性をもつ成分 (3) ALLOCATABLE属性もPOINTER属性ももたない派生型成分の末端成分	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8903	A		丸めモード	まるめもーど	rounding mode	厳密に表現できない演算の結果を選択する方法。IEEE算術には、直近丸め、(ゼロへの)切捨て、(∞への)切上げ及び(-∞への)切下げの四つのモードがある。入出力には更に、COMPATIBLE及びPROCESSOR DEFINEDの二つのモードがある。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8904	A		無指定型パラメタ	むしていがたぱらめた	deferred type parameter	実体の宣言時には値を指定せず、その実体の割付け等又はポインタ代入時に値を指定する長さ型パラメタ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8905	A		明示的引用仕様	めいじてきいんようしよう	explicit interface	手続が引用の時点で明示的引用仕様をもてば、処理系は、その引用の特性と宣言の特性とがこの規格で要求される関係にあることを確認できる。手続は、次のいずれかであるとき、明示的引用仕様をもつ。内部手続、モジュール手続、組込み手続、引用仕様本体をもつ外部手続、自分自身の有効域内で引用されている手続、又は引用仕様本体をも	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8906	A		明示的初期値指定	めいじてきしょきちしてい	explicit initialization	明示的初期値指定は、型宣言文中又はDATA文中での、組込み型又は派生型の実体に対して指定できる。暗黙的初期値指定をもつ派生型の実体は、DATA文中に書いてはな	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8907	A		文字	もじ	character	英字、数字及びその他の記号。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8908	A		文字記憶単位	もじきおくたんい	character storage unit	ポインタでなく型が基本文字型であり文字長が1であるスカラを、保持するための記憶場所の単位。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8909	A		文字長	もじちょう	character length	文字列の長さのこと。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8910	A		文字長パラメタ	もじちょうぱらめた	character length	文字型のデータ要素の、文字の個数を指定する型パラメタ。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8911	A		モジュール	もじゅーる	module	プログラム単位であって、他のプログラム単位から参照される定義を、内部にもっている又は参照しているもの。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8912	A		モジュール手続	もじゅーるてつづき	module procedure	モジュール副プログラムによって定義される手続。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8913	A		モジュール副プログラム	もじゅーるふくぶろぐらむ	module subprogram	モジュールに包まれていて内部副プログラムでない副プログラム	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8914	A		文字列	もじれつ	character string	左から右へ順に1、2、3...と番号付けられた文字の列。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8915	A		文字列の長さ	もじれつのながさ	length of a character	文字列中の文字の個数。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8916	A		有効域	ゆうこういき	scoping unit	(1) プログラム単位又は副プログラムから、それに包まれている有効域をすべて除いた部分。 (2) 派生型定義。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8917	A		有効項目	ゆうこうこうもく	effective item	ある構文素がある単一の解釈をもつようなプログラムの一部分。有効範囲は、一つのプログラム、一つの有効域、一つの構造構文、一つの文又は一つの文の一部分であろう	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8918	A		要素別処理	ようそべつしょり	elemental	一つの配列の要素ごとに、又は一組の形状適合する配列及びスカラの対応要素ごとに、独立に適用される演算、手続又は代入に冠する修飾語。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8919	A		呼び出す	よびだす	invoke	(1) サブルーチンを、CALL文又は利用者定義代入文によって呼ぶこと。 (2) 式の評価中に関数を、その名前又は演算子を用いた引用によって呼ぶこと。 (3) 後始末によって、後始末サブルーチンを呼ぶこと。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8920	A		利用者定義演算	りようしゃていぎえんざん	defined operation	演算であって組込み演算でないもの。利用者定義演算は、総称識別子に関連付けた関数によって定義する。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8921	A		利用者定義代入文	りようしゃていぎだいにゅうぶん	defined assignment statement	代入文であって組込み代入文でないもの。利用者定義代入は、サブルーチン、及びASSIGNMENT(=)の指定のある総称引用仕様によって定義する。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8922	A		連携処理系	れんけいしょりけい	companion processor	大域的なデータ及び手続を引用又は確定若しくは定義できる機構。そのような言語要素をFortran以外の手段で引用又は確定若しくは定義する機構であってもよい。それらの手続は、C関連原型で記述することができる。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8923	A		割付け変数	わりつけへんすう	allocatable variable	ALLOCATABLE属性をもつ変数。その変数は、割り付けられているときにだけ、引用したり確定したりしてよい。配列である場合、割り付けられているときにだけ、形状をもつ。名前付き変数又は構造体成分であってもよい。	JIS X 3001-1	2009	ISO/IEC 1539-1	2004				2004	SC22
8924	A		条件付き翻訳	じょうけんつきほんやく	conditional compilation		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8925	A		翻訳指示	ほんやくしじ	conditional compilation directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8926	A		翻訳指示	ほんやくしじ	coco directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8927	A		単純翻訳指示	たんじゅんほんやくしじ	coco action directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8928	A		仕入翻訳指示	しいれほんやくしじ	coco assignment directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8929	A		型宣言翻訳指示	かたせんげんほんやくしじ	coco type declaration directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8930	A		ALTER翻訳指示	ALTERほんやくしじ	coco alter directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8931	A		ELSE IF翻訳指示	えるすいふほんやくしじ	coco ELSE IF directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8932	A		ELSE翻訳指示	えるすほんやくしじ	coco ELSE directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8933	A		END IF翻訳指示	えんどいふほんやくしじ	coco END IF directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8934	A		IF THEN翻訳指示	いふぜんほんやくしじ	coco IF THEN directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8935	A		MESSAGE翻訳指示	めっせーじほんやくしじ	coco message directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8936	A		STOP翻訳指示	すとっぷほんやくしじ	coco stop directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8937	A		翻訳指示の継続行	ほんやくしじのけいぞく	coco continuation line		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8938	A		翻訳指示の継続	ほんやくしじのけいぞく	coco directive		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8939	A		翻訳指示行	ほんやくしじぎょう	coco line		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8940	A		単純行	たんじゅんぎょう	non coco line		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8941	A		翻訳条件設定ファイル	ほんやくじょうけんせっていふぁいる	coco SET file		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8942	A		翻訳対象ブロック	ほんやくたいしょうぶろっく	coco TRUE block		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22
8943	A		翻訳対象外ブロック	ほんやくたいしょうがいぶろっく	coco FALSE block		JIS X 3001-3	2000	ISO/IEC 1539-3	1999				1999	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8944	A		脚書き領域	あしがきりょういき	footing area	下端部の余白に隣接したページ本体の位置。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8945	A		あて先	あてさき	destination	待ち行列から伝送する受信側の記号名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8946	A		暗黙範囲符	あんもくはんいふ	implicit scope terminator	文の範囲を終了させる分離符の終止符、又は先行する指定(phrase)の中に含まれる文の範囲の終わりを示す文中の指定(phrase)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8947	A		一意名	いちいめい	identifier	一意参照に必要な修飾語、添字及び部分参照子を伴うデータ名の構文的に正しい組合せ。ただし、一般形式中の“一意名”に対する規則で、修飾、添字付け又は部分参照が禁止されることがある。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8948	A		印字位置	いんじいち	column	印字行中の文字位置。印字位置は、印字行の左端の文字位置から右へ、1から1刻みで	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8949	A		印字項目	いんじこうもく	printable item	範囲と内容が基本報告書記述項で指定されたデータ項目。この基本報告書記述項には、COLUMN NUMBER句及びPICTURE句、並びにSOURCE句、SUM句又はVALUE句のいずれかが含まれる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8950	A		印字集団	いんじしゅうだん	printable group	少なくとも1行の印字行を含む報告集団。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8951	A		埋め草文字	うめくさもじ	padding character	物理レコード中の使用されていない文字位置を埋めるために使用する英数字。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8952	A		英字	えいじ	alphabetic character	英文字又は空白。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8953	A		英数字	えいすうじ	alphanumeric character	計算機文字集合(computer's character set)の任意の文字。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8954	A		英文字	えいもじ	letter	次の二つの組の一つに属する文字。(a)英大文字:A、B、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z。(b)英小文字:a、b、c、d、e、f、g、h、i、j、k、l、m、n、o、p、q、r、s、t、u、v	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8955	A		演算符号	えんざんふごう	operational sign	数字データ項目又は数字定数の値が正か負かを示すために付ける算術符号。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8956	A		OPEN文のモード	おーぷんぶんのもーど	open mode	あるファイルに対してOPEN文を実行してからREEL指定又はUNIT指定のないCLOSE文を実行するまでの状態。個々のOPEN文のモードは、OPEN文でINPUT、OUTPUT、I-O又はEXTENDとして指定される。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8957	A		外部スイッチ	がいぶすいっち	external switch	ハードウェア又はソフトウェアの装置であって、作成者によって定義され、命名され、二者択一の状態のいずれかであることを示すために使用される。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8958	A		外部データ	がいぶでーた	external data	プログラム中で外部データ項目又は外部ファイル結合子として記述されたデータ。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8959	A		外部データ項目	がいぶでーたこうもく	external data item	実行単位中の一つ以上のプログラムにおいて外部レコードの一部として記述されたデータ項目であって、そのデータ項目は、それが記述されたすべてのプログラムで参照でき	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8960	A		外部データレコード	がいぶでーたれこーど	external data record	実行単位中の一つ以上のプログラムにおいて記述されたレコードであって、それを構成するデータ項目は、それらが記述されたすべてのプログラムで参照できる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8961	A		外部ファイル結合子	がいぶふぁいるけつごうし	external file connector	実行単位中の一つ以上の実行用プログラムにおいて参照可能なファイル結合子。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8962	A		カウンタ	かうんた	counter	数値又は数値の諸表現を収めるデータ項目であって、その数値に対して他の数値を加減したり、変更したり、破算したり、任意の正又は負の値を設定したりできる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8963	A		拡張モード	かくちょうもーど	extend mode	EXTEND指定付きのOPEN文を実行した後のファイルの状態であって、そのファイルに対するREEL指定又はUNIT指定のないCLOSE文が実行されるまで続く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8964	A		下端部の余白	かたんぶのよはく	bottom margin	ページ本体に続く余白。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8965	A		可変長レコード	かへんちょうれこーど	variable length record	可変個の文字位置を含むことを許すファイル記述項又は整列併合用記述項をもつファイルのレコード。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8966	A		可変反復データ項目	かへんはんぷくでーたこうもく	variable occurrence data item	反復回数が可変である表要素。データ記述項にOCCURS DEPENDING ON句を含む項目、又はそのような項目に従属する項目をいう。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8967	A		仮原文	かりげんぶん	pseudo-text	仮原文区切り記号で囲まれた原始プログラム又はCOBOL登録集中の原文語、注記行又は分離符の空白の並び。ただし、仮原文区切り記号は含まない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8968	A		仮原文区切り記号	かりげんぶんくぎりきごう	pseudo-text delimiter	2個の連続した等号(=)であって、仮原文を区切るのに使う。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8969	A		環境句	かんきょうく	environment clause	環境部の記述項に書く句。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8970	A		完結文	かんけつぶん	sentence	幾つかの文の並びであって、分離符の終止符でとめたもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8971	A		キー	きー	key	レコードの位置を識別するためのデータ項目、又は、データの順序を識別するために用いるデータ項目の組。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8972	A		記号文字	きごうもじ	symbolic-character	利用者が定める表意定数を指定する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8973	A		記述項	きじゅつこう	entry	COBOLプログラムの見出し部、環境部又はデータ部に書く一連の句の組であって、分離符の終止符でとめる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8974	A		記述項の右辺	きじゅつこうのうへん	object of entry	データ部中において、記述項の左辺の直後に書く作用対象又は予約語の組。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8975	A		記述項の左辺	きじゅつこうのさへん	subject of entry	データ部の記述項において、レベル指示語又はレベル番号の直後に書く作用対象又は	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8976	A		基本項目	きほんこうもく	elementary item	論理的にそれ以上は細分されないデータ項目。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8977	A		逆編集	ぎゃくへんしゅう	de-edit	数字編集データ項目からその項目の編集されていない数値を求めるために、すべての編集文字を論理的に除去すること。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8978	A		行位置	ぎょういち	line number	あるページ中における報告書行の縦方向の位置付けを示す整数。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8979	A		行数カウンタ	ぎょうすうかうんた	linage-counter	特殊レジスタの一つであって、その値はページ本体中での現在の行位置を示す。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8980	A		共通プログラム	きょうつうぷろぐらむ	common program	別のプログラムの中に直接含まれているにもかかわらず、その別のプログラムに直接又は間接に含まれるすべてのプログラムから呼び出すことが可能なプログラム。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8981	A		局所名	きょくしょめい	local name	宣言したプログラムの中からだけ参照できる名前。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8982	A		句	く	clause	ある記述項の性質を指定するために、一連のCOBOL文字列を並べたもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8983	A		区切り文字	くぎりもじ	delimiter	文字列の終わりを識別し、後続の文字列と分離するための文字又は連続する文字の並び。区切り文字自身は、文字列に属さない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8984	A		句読文字	くとうもじ	punctuation character	次の文字をいう(#表有り)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8985	A		区分番号	くぶんばんごう	segment-number	区分化のために手続き部の節を分類する利用者語。区分番号は、1けた又は2けたの数字からなる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8986	A		組合せ条件	くみあわせじょうけん	combined condition	2個以上の条件を論理演算子AND又はORで結合した条件。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8987	A		計算機名	けいさんきめい	computer-name	プログラムを翻訳又は実行する計算機を識別するシステム名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8988	A		形式	けいしき	format	一組のデータの特定の並び方。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8989	A		けた位置	けたいち	digit position	1けたの数字を収めるのに必要な物理的記憶単位であって、データ項目を定義するデータ記述項で指定された用途によってその大きさは変わる。そのデータ記述項で用途がDISPLAYと指定する場合は、けた位置は文字位置と同義である。物理的記憶の詳細な特性は、作成者が作成者が定める。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8990	A		結果の一意名	けっかのいちいめい	resultant identifier	算術演算の結果を収めるための利用者が定めるデータ項目。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8991	A		源項目	げんこうもく	source item	SOURCE句において指定され、印字項目に値を与える一意名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8992	A		言語名	げんごめい	language-name	特定のプログラム言語を指定するシステム名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
8993	A		現在レコード	げんざいれこーど	current record	あるファイルの処理中に、そのファイルのレコード領域中で、現在使用可能になっているレコード。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8994	A		原始プログラム	げんしぷろぐらむ	source program	この規格では、構文的に正しいCOBOL文の組を原始プログラムと呼び、他の書式及び記号でこれを表記することを妨げない。COBOL原始プログラムは、見出し部、COPY文又はREPLACE文で始まる。COBOL原始プログラムは、プログラム終わり見出しで終わるか又は次の原始プログラム行がないことによって終わる。“原始プログラム”の代わりに単に“プログラム”ということがある。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8995	A		原文語	げんぶんご	text word	COBOL登録集、原始プログラム又は仮原文中の境界Aと境界Rの間の1文字又は連続した文字であって、次のものをいう。(a)空白、仮原文区切り記号及び文字定数の両端の区切り記号を除く分離符。左右の括弧は、登録集、原始プログラム又は仮原文中において常に原文語とみなされる。(b)定数、文字定数の場合、その定数を囲む両端の引用符も含める。(c)分離符によって区切られた、分離符と定数以外の連続したCOBOL文字。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8996	A		原文名	げんぶんめい	text-name	登録集原文を識別する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8997	A		語	ご	word, COBOL word	30文字以下の文字の列であって、利用者語、システム名又は予約語のいずれかである(4.4.2.2.1 COBOLの語参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8998	A		合計カウンタ	ごうけいかうんた	sum counter	データ部の報告書節のSUM句で指定される符号付き数字データ項目。合計カウンタには、報告書作成中に行われる所定の合計演算の結果が収められる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
8999	A		降順キー	こうじゅんきー	descending key	データ項目の比較の規則に従って、最も高い値のキーから始まり最も低い値のキーにいたる順序にデータを並べる場合、その値をもつキー。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9000	A		構成節	こうせいせつ	configuration section	環境部中の節であって、原始プログラム及び実行用プログラムの全般的な仕様を書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9001	A		固定長レコード	こていちょうれこーど	fixed length record	すべてのレコードが同じ個数の文字位置を含むものと指定するファイル記述項又は整列併合用記述項をもつファイルのレコード。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9002	A		COBOL文字集合	こぼるもじしゅうごう	COBOL character set	次に示す文字の集合(#表有り)。(備)1.計算機によっては、文字集合にこの文字をすべて含むとは限らないので、他の文字で書き換えてもよい。COBOL文字集合は、JIS X 0201(情報交換用符号)の部分集合である。通貨記号を除いてアメリカ規格ANSIX3.4及びISO 646の国際標準版(International Reference Version、IRV)の部分集合でもある。2.計算機文字集合が英小文字を含む場合は、その英小文字を文字列中に用いることができる。文字定数中及び幾つかのPICTURE句の文字列中で用いる文字を除いて、各々の小文字は、対応する大文字と等価とする。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9003	A		固有の大小順序	こゆうのだいしょうじゅん	native collating sequence	実行用計算機段落で指定する計算機に関連する作成者定義の文字の大小順序。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9004	A		固有文字集合	こゆうもじしゅうごう	native character set	実行用計算機段落で指定する計算機に関連する作成者定義の文字集合。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9005	A		最右端	さいうたん	low order end	文字列の右端の文字。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9006	A		最左端	さいさたん	high order end	文字列の左端の文字。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9007	A		作業場所節	さぎょうばしょせつ	working-storage section	データ部中の節であって、独立項目やレコードからなる作業場所データ項目を記述する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9008	A		索引ファイル	さくいんふぁいる	indexed file	索引編成のファイル。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9009	A		索引編成	さくいんへんせい	indexed organization	各レコードがそのレコード中の1個以上のキーの値によって識別されるような永続的な論理ファイル構造。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9010	A		作成者語	さくせいしゃご	implementor-name	作成者の処理系で使える固有の機能を参照するためのシステム名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9011	A		作用対象	さようたいしょう	operand	一般的な定義は、“操作の対象となる要素”であるが、この規格では、文の書き方又は記述項の書き方の中に、日本語で示された語及びそれによって示すデータの暗黙的な参	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9012	A		算術演算	さんじゅつえんざん	arithmetic operation	算術文を実行し又は算術式を評価して、その結果として数学的に正しい解を与えること。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9013	A		算術演算子	さんじゅつえんざんし	arithmetic operator	次の1文字又は2文字の組合せ(#表有り)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9014	A		算術式	さんじゅつしき	arithmetic expression	数字基本項目の一意名、数字定数、数字基本項目の一意名や数字定数を算術演算子でつないだもの、算術式を算術演算子でつないだもの、又は括弧でくくった算術式。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9015	A		算術文	さんじゅつぶん	arithmetic statement	算術演算の実行を引き起こす文。算術文には、ADD文、COMPUTE文、DIVIDE文、MULTIPLY及びSUBTRACT文がある。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9016	A		参照キー	さんしょうきー	key of reference	索引ファイル中のレコードを呼び出すために現在使われている主レコードキー又は副レコードキー。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9017	A		式	しき	expression	算術式又は条件式。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9018	A		資源	しげん	resource	オペレーティングシステムによって管理され、実行中のプログラムが使用できる機能又はサービス。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9019	A		システム名	しすてむめい	system-name	操作環境との通信に使うCOBOLの語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9020	A		実行時	じっこうじ	execution time, object	実行用プログラムを実行する時点。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9021	A		実行単位	じっこうたんい	run unit	実行時に問題解決の単位として相互に作用し機能する、幾つかの実行用プログラム。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9022	A		実行不成功	じっこうふせいこう	unsuccessful execution	文の実行を試みたが指定された動作を完了しなかったこと。文が実行不成功になると、その文で参照されたどのデータにも影響を与えないが、状態指示子には影響を与えるこ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9023	A		実行用計算機	じっこうようけいさんき	object-computer	環境部の段落の名前であって、実行用プログラムを実行する計算機の環境をこの段落で記述する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9024	A		実行用計算機記述項	じっこうようけいさんききじゅつこう	object computer entry	環境部の実行用計算機段落に書く記述項であって、実行用プログラムを実行する計算機の環境を記述する句を含む。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9025	A		実行用プログラム	じっこうようぷろぐらむ	object program	実行可能な機械語命令の組及びデータとの相互作用のために設計された他の素材であって、問題解決を行うもの。ここでは、一般に原始プログラムについてCOBOLコンパイラを実行した結果得られる機械語をいう。“実行用プログラム”の代わりに単に“プログラ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9026	A		実小数点	じつしょうすうてん	actual decimal point	データ項目中の小数点の位置を、小数点を表す終止符(.)又はコンマ(,)を用いて物理的に表現したもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9027	A		指定	してい	phrase	一連のCOBOLの文字列を並べたものであって、COBOLの手続き文又は句の一部となる	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9028	A		指標	しひょう	index	計算機の記憶場所又はレジスタであって、その内容は、表中の特定の要素を識別するのに用いられる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9029	A		指標データ項目	しひょうでーたこうもく	index data item	指標名に対応する値が、作成者の決めた形式で収められるデータ項目。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9030	A		指標名	しひょうめい	index-name	特定の表に関係付けられた指標を命名する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9031	A		修飾語	しゅうしょくご	qualifier	次のものをいう(4.4.3.8.1 修飾参照)。(a)従属する一意でないデータ名を一意にしたり条件名を一意にしたりするデータ名又はレベル指示語に続く名前。(b)段落名を一意にする節名。(c)原文名を一意にする登録集名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9032	A		修飾されたデータ名	しゅうしょくされたでーためい	qualified data-name	データ名の後に、連結語OF又はINと、修飾語のデータ名との組を幾つか付けて一意名にしたもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9033	A		集団項目	しゅうだんこうもく	group item	従属するデータ項目で構成されるデータ項目。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9034	A		終了記号	しゅうりょうきごう	message indicator	次に示すような特定の条件を通信管理システムに知らせるための識別符号。 符号　　意味 通信群終了記号(EGI)　通信群の終わり 通信文終了記号(EMI)　通信文の終わり 通信行終了記号(ESI)　通信行の終わり EGI、EMI及びESIの階層で、EGIは、概念的にESI及びEMIを包含する。EMIは、概念的にESIを包含する。通信行は、ESI、EMI又はEGIによって終わる。通信文は、EMI又はEGIに	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9035	A		終了条件	しゅうりょうじょうけん	at end condition	SEARCH文の実行中に、WHEN指定に書かれた条件が満足されずに表引きが終了した場合に起きる条件。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9036	A		出力手続き	しゅつりょくてつづき	output procedure	SORT文実行中で整列機能が整列を完了した後、又はMERGE文実行中で併合機能が併合順序の次のレコードを選択可能とした後に、制御が移る文の組。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9037	A		出力ファイル	しゅつりょくふぁいる	output file	出力モード又は拡張モードで開かれたファイル。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9038	A		出力モード	しゅつりょくもーど	output mode	OUTPUT指定又はEXTEND指定のあるOPEN文を実行した後のファイルの状態であって、そのファイルに対するREEL指定又はUNIT指定のないCLOSE文が実行されるまで続く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9039	A		主レコードキー	しゅれこーどきー	prime record key	索引ファイル中のレコードを一意に識別する内容をもつキー。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9040	A		順ファイル	じゅんふぁいる	sequential file	順編成のファイル。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9041	A		順編成	じゅんへんせい	sequential organization	ファイルにレコードが書かれた時に決まる前後関係に従ってレコードが識別されるような永続的な論理ファイル構造。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9042	A		順呼出し	じゅんよびだし	sequential access	ファイル中のレコードの順序で決まる前後関係に従ってレコードを読み書きする呼出し	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9043	A		条件	じょうけん	condition	真理値を定めることのできる実行中のプログラムの状態。言語仕様又は一般形式で条件1、条件2などと参照される条件は、括弧付きの場合も含む単純条件か、又は複数個の単純条件、論理演算子及び括弧を構文上正しく組み合わせた組合せ条件からなる条件式であって、真理値を決められるものとする。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9044	A		条件式	じょうけんしき	conditional expression	EVALUATE文、IF文、PERFORM文又はSEARCH文に書く単純条件又は複合条件[(148)単純条件及び(230)複合条件参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9045	A		条件指定	じょうけんしてい	conditional phrase	条件指定は、条件文の実行によって生じる条件の真理値の結果に従ってとるべき動作を指定する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9046	A		条件文	じょうけんぶん	conditional statement	条件の真理値によって実行用プログラムが次にとる動作が決まる文(4.6.4..1 条件文と条件完結文参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9047	A		条件変数	じょうけんへんすう	conditional variable	条件名が付き、1個以上の値が割り当てられるデータ項目。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9048	A		条件名	じょうけんめい	condition-name	条件変数がとりうる値の一部に付けた利用者語、又は作成者が定めるスイッチ若しくは装置の状態に付けた利用者語。“条件名”を一般形式中で使用する場合は、“条件名”は条件名と一意参照のために付けた修飾語又は添字の構文的に正しい組からなる一意なデータ項目の参照を意味する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9049	A		条件名条件	じょうけんめいじょうけん	condition-name condition	ある条件変数の値が、その条件名に割り当てられている値の組に含まれているかどうかによって決まる命題。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9050	A		初期化プログラム	しょきかぷろぐらむ	initial program	実行単位中でそのプログラムが呼び出されたときはいつでも初期状態にされるプログラ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9051	A		初期状態	しょきじょうたい	initial state	実行単位で最初に呼び出されたときのプログラムの状態(10.2.4プログラムの初期状態	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9052	A		昇順キー	しょうじゅんきー	ascending key	データ項目の比較の規則に従って、最も低い値のキーから始まり最も高い値のキーにいたる順序にデータが並べられる、その値をもつキー。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9053	A		上端部の余白	じょうたんぶのよはく	top margin	ページ本体に先行する余白。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9054	A		字類条件	じるいじょうけん	class condition	ある項目の内容がすべて英字であるか、すべて数字であるか、又は字類名の定義で並べた文字だけで構成されているかによって真理値の決まる命題。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9055	A		字類名	じるいめい	class name	環境部の特殊名段落で定義した利用者語であり、データ項目の内容が字類名の定義で並べた文字だけで構成されているか否かで、真理値が決まる命題に付けた名前。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9056	A		真理値	しんりち	truth value	条件を評価した結果の表現であって、次の二つのいずれかになる。成立(真)、不成立	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9057	A		スイッチ状態条件	すいっちじょうたいじょうけん	switch-status condition	オン又はオフに設定できる作成者の定めたスイッチが、所定の状態にあるかどうかによって真理値の決まる命題。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9058	A		数字	すうじ	numeric character	次の文字をいう。0、1、2、3、4、5、6、7、8、9。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9059	A		数字項目	すうじこうもく	numeric item	0から9までの数字からなる文字の列で表される値だけを内容とするように記述されたデータ項目。符号付きの場合、“+”、“−”又はその他の符号を表す文字を含む(6.5.12	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9060	A		数字定数	すうじていすう	numeric literal	1けた以上の数字からなる定数であって、小数点や算術符号を含んでいてもよい。小数点は、右端にあってはならない。算術符号を書くときは、左端に書かなければならない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9061	A		制御脚書き	せいぎょあしがき	control footing	制御集団の最後の報告集団。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9062	A		制御頭書き	せいぎょあたまがき	control heading	制御集団の最初の報告集団。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9063	A		制御階層	せいぎょかいそう	control hierarchy	CONTROL句に書かれたFINAL及びデータ名の順番によって定まる報告書細分の序列。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9064	A		制御切れ	せいぎょぎれ	control break	CONTROL句で参照するデータ項目の値が変化すること。より一般的には、報告書の階層構造を制御するデータ項目の値の変化。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9065	A		制御切れレベル	せいぎょぎれれべる	control break level	最も大きい制御切れを基点とする制御階層中の相対位置。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9066	A		制御集団	せいぎょしゅうだん	control group	制御データ項目の値又はFINALによって作られる本体集団の組。各制御集団は、制御頭書き報告集団に始まり、中間に幾つかの明細報告集団を含み、制御脚書き報告集団に	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9067	A		制御データ項目	せいぎょでーたこうもく	control data item	内容の変化が制御切れを起こすデータ項目。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9068	A		制御データ名	せいぎょでーためい	control data-name	CONTROL句に書かれ、制御データ項目を参照するデータ名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9069	A		正書法	せいしょほう	reference format	COBOL原始プログラムを書くときの標準体裁。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9070	A		整数	せいすう	integer	想定小数点の右側にけた位置をもたない数字定数又は数字データ項目。一般形式中でこの用語を用いたときは、小数点を含まない数字定数であって、規則で明示しない限り符号が付いてはならないし、またゼロであってもならない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9071	A		正負条件	せいふじょうけん	sign condition	あるデータ項目又は算術式の代数的な値がゼロより大きいか、小さいか又はゼロに等しいかによって真理値の決まる命題。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9072	A		整列併合用ファイル記述項	せいれつへいごうようふぁいるきじゅつこう	sort-merge file description entry	データ部のファイル節に書く記述項であって、レベル指示語SDに続いてファイル名を書き、その後に必要なファイル句の組を書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9073	A		整列用ファイル	せいれつようふぁいる	sort file	SORT文で整列されるレコードの集まり。この整列用ファイルは、整列機能によってだけ作り出され、使われる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9074	A		節	せつ	section	幾つかの段落又は記述項の組であって、節の見出しで始まる。各節は、節の見出し及び関連する節の本体からなる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9075	A		節の見出し	せつのみだし	section header	環境部、データ部及び手続き部の節の始めを示す語を分離符の終止符でとめたもの。環境部とデータ部とでは、節の見出しは予約語の列であり、次のものがある。 環境部の節の見出し CONFIGURATION SECTION. INPUT-OUTPUT SECTION. データ部の節の見出し FILE SECTION. WORKING-STORAGE SECTION. LINKAGE SECTION. COMMUNICATION SECTION. G16264:G16280REPORT SECTION. 手続き部の節の見出しは、節名、予約語SECTION、区分番号(書かなくてもよい。)を書き、分離符の終止符でとめる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9076	A		節名	せつめい	section-name	手続き部の節を命名する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9077	A		宣言完結文	せんげんかんけつぶん	declarative sentence	1個のUSE文を分離符の終止符で完結させた翻訳指示完結文。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9078	A		宣言部分	せんげんぶぶん	declaratives	手続き部の最初にあって、見出しDECLARATIVESと見出しEND DECLARATIVESとにはさまれた幾つかの専用の節。宣言部分は、節の見出しの後にUSE翻訳指示完結文を書き、その後に必要に応じて関連する段落を書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9079	A		相対キー	そうたいきー	relative key	相対ファイル中のレコードを識別する値をもつキー。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9080	A		相対ファイル	そうたいふぁいる	relative file	相対編成のファイル。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9081	A		相対編成	そうたいへんせい	relative organization	ファイル中のレコードの論理的な順序を指定する1以上の整数によってレコードを識別するような永続的な論理ファイル構造。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9082	A		相対レコード番号	そうたいれこーどばんごう	relative record number	相対編成のファイル中のレコードの順序番号。この番号は、整数の数字定数として扱わ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9083	A		想定小数点	そうていしょうすうてん	assumed decimal point	データ項目中の小数点位置が、実際の文字を用いないで指定されたもの。この想定小数点は、機能的な意味はあるが、物理的に表現された実体はない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9084	A		添字	そえじ	subscript	表中の特定の要素を識別するための、整数、データ名の後に必要ならば演算子+又は-と整数を続けたもの、又は指標名の後に必要ならば演算子+又は-と整数を続けたものによって表される出現番号。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9085	A		添字付きデータ名	そえじつきでーためい	subscripted data-name	データ名の後に括弧で囲んだ1個以上の添字を書いた一意名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9086	A		大域名	たいいきめい	global name	ただ一つのプログラムで宣言される名前であるが、その名前は、それを宣言したプログラム及びそれを宣言したプログラムに含まれるプログラムから参照できる。条件名、データ名、ファイル名、レコード名、報告書名及び幾つかの特殊レジスタは、大域名であってもよい[10.1.3.8.2 条件名、データ名、ファイル名、レコード名及び報告書名に対する規則、10.4.2.4(1)LINAGE-COUNTERに関する一般規則(1)、10.4.4.4(1)LINE-COUNTER及びPAGE-COUNTERに関する一般規則(1)参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9087	A		大記憶	だいきおく	mass storage	データを順にも乱にも構成し維持できる媒体。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9088	A		大記憶管理システム	だいきおくかんりしすてむ	mass storage control system, MSCS	大記憶ファイル処理を管理し、制御する入出力管理システム。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9089	A		大記憶ファイル	だいきおくふぁいる	mass storage file	大記憶媒体に収められたレコードの集まり。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9090	A		単項演算子	たんこうえんざんし	unary operator	算術式中で、変数又は左括弧の前に付ける正号(+)又は負号(-)であって、それぞれ算術式に+1又は-1を掛ける効果をもつ。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9091	A		単純条件	たんじゅんじょうけん	simple condition	次の条件のうちの一つ。比較条件、字類条件、条件名条件、スイッチ状態条件、正負条件、単純条件を括弧で囲んだもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9092	A		段落	だんらく	paragraph	手続き部では、段落名の後に、分離符の終止符を付けて幾つかの完結文を書いたもの。見出し部及び環境部では、段落名の見出しの後に幾つかの記述項を書いたもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9093	A		段落の見出し	だんらくのみだし	paragraph header	ある予約語の後に分離符の終止符を付けたものであって、見出し部と環境部とのすべての段落の始まりを示す。段落の見出しには、次のものがある。見出し部:PROGRAM-ID. AUTHOR. INSTALLATION. DATE-WRITTEN. DATE-COMPILED. SECURITY. 環境部:SOURCE-COMPUTER. OBJECT-COMPUTER. SPECIAL-NAMES. FILE-CONTROL.	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9094	A		段落名	だんらくめい	paragraph-name	手続き部の段落を識別するために段落の先頭に書く利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9095	A		注記行	ちゅうきぎょう	comment line	標識領域に星印(*)を書いた原始プログラムの行であって、その行のA領域及びB領域には計算機の文字集合の任意の文字列を書ける。注記行は、プログラムの文書化のためだけにある。特殊な形式の注記行として、標識領域に斜線(/)を書くと、注記行を印字する前に改ページが起こる。この場合も、その行のA領域及びB領域に計算機の文字集	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9096	A		注記項	ちゅうきこう	comment-entry	計算機の文字集合から任意の文字を組み合わせて見出し部に書く記述項。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9097	A		通貨記号	つうかきごう	currency sign	COBOL文字集合のうちの文字"¥"。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9098	A		通貨編集用文字	つうかへんしゅうようもじ	currency symbol	特殊名段落のCURRENCY SIGN句で定義される文字。COBOL原始プログラムでCURRENCY SIGN句を書かなければ、通貨編集用文字は通貨記号と同じである。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9099	A		通信管理システム	つうしんかんりしすてむ	message control system, MCS	作成者の用意する実行時の管理システムであって、通信の処理を行う。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9100	A		通信記述項	つうしんきじゅつこう	communication description entry	データ部の通信節に書く記述項であって、レベル指示語CDの後に通信記述名を書き、その後に必要な句を書く。これは、通信管理システムとCOBOLプログラムの論理的な連絡	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9101	A		通信記述名	つうしんきじゅつめい	cd-name	データ部の通信節における通信記述項で記述され、通信管理システムとの論理的な連絡領域に命名する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9102	A		通信行	つうしんぎょう	message segment	通信行終了記号によって定義される通信文の細分データ[(91)終了記号参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9103	A		通信節	つうしんせつ	communication section	通信管理システムとプログラムの論理的な連絡を記述するデータ部の節であって、1個以上の通信記述領域からなる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9104	A		通信装置	つうしんそうち	terminal, communication device	待ち行列にデータを送信したり、待ち行列からデータを受信したりできる機構(ハードウェア又はハードウェアとソフトウェア)。この機構は、計算機又は周辺装置でありうる。一つの計算機上で、通信記述項をもつ一個以上のプログラムが、一つ以上のこの機構を定	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9105	A		通信文	つうしんぶん	message	通信文終了記号又は通信群終了記号で定義されるデータ[(92)終了記号参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9106	A		通信文個数	つうしんぶんこすう	message count	指定された待ち行列中に存在する完全な通信文の個数。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9107	A		次の実行完結文	つぎのじっこうかんけつぶん	next executable sentence	実行中の文の実行完了後に制御が移る可能性のある次の完結文[4.4.4.2 制御の明示移行と暗黙移行参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9108	A		次の実行文	つぎのじっこうぶん	next executable statement	実行中の文の実行完了後に制御が移る可能性のある次の文(4.4.4.2 制御の明示移行と暗黙移行参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9109	A		次のレコード	つぎのれこーど	next record	ファイルの現在レコードに論理上続くレコード。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9110	A		定数	ていすう	literal	文字の列であって、その値は文字列を構成する文字の並びによって決まる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9111	A		データ記述項	でーたきじゅつこう	data description entry	COBOLプログラムのデータ部中の記述項であって、レベル番号、必要ならばデータ名及び必要なデータ句の組からなる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9112	A		データ句	でーたく	data clause	COBOLプログラムのデータ部のデータ記述項中の句であって、データ項目のある性質を記述する情報を含む。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9113	A		データ項目	でーたこうもく	data item	COBOLプログラムによって定義されたデータ(定数は除く。)の単位。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9114	A		データ名	でーためい	data-name	データ部のデータ記述項で書いたデータ項目を命名する利用者語。一般形式中で使われるデータ名は、規則で特に許されない限り部分参照、添字付け又は修飾してはならな	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9115	A		手順名	てじゅんめい	routine-name	COBOL以外の言語で記述された手続きを識別する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9116	A		手続き	てつづき	procedure	手続き部中の一つの段落若しくは節、又は機能的に続いた幾つかの段落若しくは節。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9117	A		手続き部の終わり	てつづきぶのおわり	end of procedure division	COBOL原始プログラムにおいて、それ以降には手続きを書かない物理的な位置。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9118	A		手続き分岐文	てつづきぶんきぶん	procedure branching statement	原始プログラム中に書かれた順序に従わず、次の実行文ではない他の文に制御の明示的な移行を起こす文。手続き分岐文には、次のものがある。ALTER文、CALL文、EXIT文、EXIT PROGRAM文、GO TO文、MERGE文(OUTPUT PROCEDURE指定)、PERFORM文及びSORT文(INPUT PROCEDURE指定又はOUTPUT PROCEDURE指	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9119	A		手続き名	てつづきめい	procedure-name	手続き部中の段落又は節を命名する利用者語であって、段落名(修飾されていてもよい。)及び節名がある。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9120	A		デバッグ行	でばっぐぎょう	debugging line	標識領域に文字"D"を書いた行。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9121	A		デバッグ節	でばっぐせつ	debugging section	USE FOR DEBUGGING文を含む節。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9122	A		動詞	どうし	verb	COBOLコンパイラ又は実行用プログラムをとる動作を表現する語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9123	A		動的呼出し	どうてきよびだし	dynamic access	大記憶ファイルにおいて、一つのOPEN文の範囲で順呼出しと乱呼出しの切換えができる呼出し法[(99)順呼出し及び(289)乱呼出し参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9124	A		登録集原文	とうろくしゅうげんぶん	library text	COBOL登録集中の原文語、注記行、分離符の空白又は分離符の仮原文区切り記号の	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9125	A		登録集名	とうろくしゅうめい	library-name	原始プログラムの翻訳のためにコンパイラが使うCOBOL登録集を命名する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9126	A		特殊名	とくしゅめい	special-names	環境部の段落の名前であって、作成者語を利用者の付ける呼び名に関連付ける。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9127	A		特殊名記述項	とくしゅめいきじゅつこう	special names entry	環境部の特殊名段落において、通貨編集用文字を指定すること、小数点を選択すること、記号文字を指定すること、作成者語を利用者が定義した呼び名に関連付けること、符号系名を文字集合及び文字の大小順序に関連付けること、並びに字類名を文字の組に関連付けることを行う記述項。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9128	A		特殊文字	とくしゅもじ	special character	次の文字をいう(#表有り)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9129	A		特殊文字語	とくしゅもじご	special-character word	算術演算子又は比較文字として使う予約語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9130	A		特殊レジスタ	とくしゅれじすた	special register	コンパイラが作り出す記憶場所であって、COBOLの特定の仕様を用いると発生する情報を収めるのが本来の用途である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9131	A		独立項目	どくりつこうもく	noncontiguous item	作業場所節中又は連絡節中の基本データ項目であって、他のデータ項目と階層関係をもたない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9132	A		独立データ記述項	どくりつでーたきじゅつこう	77-level-description-	レベル番号77をもつ独立したデータ項目を記述するデータ記述項。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9133	A		内部データ	ないぶでーた	internal data	すべての外部データ項目及び外部ファイル結合子を除くプログラム中で記述されたデータ。プログラムの連絡節で記述された項目は、内部データとして扱われる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9134	A		内部データ項目	ないぶでーたこうもく	internal data item	実行単位の一つのプログラム中で記述されたデータ項目。内部データ項目は、大域名をもつことができる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9135	A		内部ファイル結合子	ないぶふぁいるけつごうし	internal file connector	実行単位中のただ一つの実行用プログラムによってだけ参照可能なファイル結合子。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9136	A		入出力管理	にゅうしゅつりょくかんり	i-o-control	環境部の段落の名前であって、実行用プログラムに必要な再開点、幾つかのデータファイルによる領域の共用及び単一の入出力装置上の複数個のファイルを指定する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9137	A		入出力管理記述項	にゅうしゅつりょくかんりきじゅつこう	i-o-control entry	環境部の入出力管理段落において、命名されたファイルに対し、プログラムの実行時のデータの転送と取扱いに関する情報を指定する句から構成される記述項。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9138	A		入出力節	にゅうしゅつりょくせつ	input-output section	環境部中の節であって、実行用プログラムが用いるファイルと外部媒体に命名し、プログラム実行時のデータの転送と取扱いに関する情報を指定する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9139	A		入出力状態	にゅうしゅつりょくじょうたい	i-o status	入出力動作の結果の状態を表す2文字の値を含む概念上の存在。この値は、そのファイルに対するファイル管理記述項中にFILE STATUS句を書くことによって、そのプログラムで利用可能となる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9140	A		入出力文	にゅうしゅつりょくぶん	input-output statement	個々のレコード又はファイルを一つの単位として動作を実行することによって、ファイル処理を行う文。入出力文には、次の文がある。ACCEPT文(一意名指定)、CLOSE文、DELETE文、DISABLE文、DISPLAY文、ENABLE文、OPEN文、PURGE文、READ文、RECEIVE文、REWRITE文、SEND文、SET文(TO ON又はTO OFF指定)、START文及び	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9141	A		入出力両用ファイル	にゅうしゅつりょくりょうようふぁいる	input-output file	入出力両用モードで開かれたファイル。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9142	A		入出力両用モード	にゅうしゅつりょくりょうようもーど	i-o mode	I-O指定付きのOPEN文を実行した後のファイルの状態であって、そのファイルに対するREEL指定又はUNIT指定のないCLOSE文が実行されるまで続く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9143	A		入力手続き	にゅうりょくてつづき	input procedure	整列されるレコードの引渡しを管理するために、SORT文の実行中に制御が渡される文	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9144	A		入力ファイル	にゅうりょくふぁいる	input file	入力モードで開かれたファイル。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9145	A		入力モード	にゅうりょくもーど	input mode	INPUT指定付きのOPEN文を実行した後のファイル状態であって、そのファイルに対するREEL指定又はUNIT指定のないCLOSE文が実行されるまで続く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9146	A		廃要素	はいようそ	obsolete element	この規格中にあって、しかも国際規格COBOLの次の版で削除される予定のCOBOL言語	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9147	A		発信源	はっしんげん	source	待ち行列に送信する源の記号名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9148	A		範囲明示文	はんいめいじぶん	delimited scope statement	明示範囲符を含む文(4.4.4.4 明示範囲符と暗黙範囲符参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9149	A		比較演算子	ひかくえんざんし	relational operator,	次に示す予約語の列と比較文字との組であって、比較条件を書くのに使う(#表有り)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9150	A		比較条件	ひかくじょうけん	relation condition	ある算術式、データ項目、文字定数又は指標名ともう一つの算術式、データ項目、文字定数又は指標名の値とが、所定の比較関係を満たしているかどうかによって真理値の決まる命題[(206)比較演算子参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9151	A		比較文字	ひかくもじ	relation character	次の文字(#表有り)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9152	A		必要語	ひつようご	key word	原始プログラムを書くときに、ある書き方の中では必ず書かなければならない予約語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9153	A		否定組合せ条件	ひていくみあわせじょうけ	negated combined	括弧で囲んだ条件の直前に論理演算子NOTを付けたもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9154	A		否定単純条件	ひていたんじゅんじょうけ	negated simple condition	単純条件の直前に論理演算子NOTを付けたもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9155	A		表	ひょう	table	論理的に連続したデータ項目の組であって、COBOLプログラムのデータ部でOCCURS句によって定義される。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9156	A		表意定数	ひょういていすう	figurative constant	コンパイラの作成する値であって、ある予約語を用いて参照される(4.4.2.2.3 表意定数の値参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9157	A		標準データ形式	ひょうじゅんでーたけいしき	standard data format	COBOLのデータ部でデータを記述するときの概念であって、無限の長さと幅とをもった印字ページ上のデータ形式を想定してデータの性質や特性を表現する。計算機の内部や特定の媒体上にデータを収める形式ではない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9158	A		表要素	ひょうようそ	table element	表中の反復する項目の組に属する1個のデータ項目。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9159	A		部	ぶ	division	ある種の規則に従って構成された幾つかの節や段落。各部は、部の見出しと関連する部の本体からなる。COBOLプログラムには、次の四つがある。(a)見出し部(identificationdivision)、(b)環境部(environmentdivision)、(c)データ部(datadivision)、	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9160	A		ファイル	ふぁいる	file	レコードの集まり。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9161	A		ファイル位置指示子	ふぁいるいちしじし	file position indicator	概念上の指示子であり、次のいずれかを示す。(a)索引ファイルに対する参照キー中の現在のキー値。(b)順ファイルに対する現在レコードのレコード番号。(c)相対ファイルに対する現在レコードの相対レコード番号。(d)次の論理レコードが存在しないこと。(e)相対レコード番号中の有効数字のけた数が相対キーデータ項目のけた数より大きいこと。(f)入力の不定ファイルが存在しないこと。(g)ファイル終了条件が既に存在しているこ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9162	A		ファイル管理	ふぁいるかんり	file-control	環境部の段落の名前であって、原始プログラムで用いるファイルを、この段落で宣言す	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9163	A		ファイル管理記述項	ふぁいるかんりきじゅつこ	file control entry	ファイルに関連する物理属性を宣言するSELECT句とそれに従属するすべての句。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9164	A		ファイル記述項	ふぁいるきじゅつこう	file description entry	データ部のファイル節中の記述項であって、レベル指示語FDに続いてファイル名を書き、その後に必要なファイル句の組を書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9165	A		ファイル句	ふぁいるく	file clause	データ部のファイル記述(FD)項及び整列併合用ファイル記述(SD)項に現れる句。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9166	A		ファイル結合子	ふぁいるけつごうし	file connector	ファイルについての情報を含む記憶領域であって、ファイル名と物理ファイルの間、及びファイル名とそれに関連するレコード領域の間の連絡に使用される。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9167	A		ファイル固有属性	ふぁいるこゆうぞくせい	fixed file attributes	ファイルについての情報であって、ファイルが生成されたとき確立され、その後そのファイルが存在する間は変更できないもの。これらの属性は、ファイルの編成(順、相対又は索引)、主レコードキー、副レコードキー、符号系、最小レコード長、レコード形式(固定長又は可変長)、索引ファイルのキーの文字の大小順序、ブロック化因数、埋め草文字及びレ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9168	A		ファイル終了条件	ふぁいるしゅうりょうじょうけん	at end condition	次の場合に起きる条件。(a)順呼出しのファイルに対するREAD文の実行中で、ファイルに次のレコードがない場合、相対レコード番号中の有効数字のけた数が相対キーデータ項目のけた数より大きい場合、又は入力の不定ファイルが存在しない場合。(b)RETURN文の実行中で、整列併合用ファイルの次のレコードが存在しない場合。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9169	A		ファイル節	ふぁいるせつ	file section	データ部中の節であって、ファイル記述項、整列併合用ファイル記述項及び関連するレコード記述を書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9170	A		ファイル属性不整合条件	ふぁいるぞくせいふせいごうじょうけん	file attribute conflict condition	ファイルの入出力動作の実行が不成功となり、プログラム中のそのファイルに対して指定されたファイル属性が、そのファイルの固有属性と一致しない状態。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9171	A		ファイル編成	ふぁいるへんせい	file organization	ファイルを生成した時に永続的に定まるファイルの論理構造。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9172	A		ファイル名	ふぁいるめい	file-name	データ部のファイル節中のファイル記述項又は整列併合用ファイル記述項において、ファイル結合子に命名する利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9173	A		複合条件	ふくごうじょうけん	complex condition	1個以上の条件に1個以上の論理演算子を作用させた条件[(43)組合せ条件、(210)否定組合せ条件、(211)否定単純条件参照]。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9174	A		副待ち行列	ふくまちぎょうれつ	sub-queue	待ち行列を論理的に階層分割したもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9175	A		副レコードキー	ふくれこーどきー	alternate record key	索引ファイル中のレコードを識別する主レコードキー以外のキー。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9176	A		符号系名	ふごうけいめい	alphabet-name	環境部の特殊名段落において利用者が定義する名前であって、特定の文字集合及び文字の大小順序に付ける名前(6.4.5 特殊名段落参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9177	A		物理ページ	ぶつりぺーじ	physical page	装置に依存する概念であって、作成者によって定義される。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9178	A		不定ファイル	ふていふぁいる	optional file	実行用プログラムが実行されるときに、必ずしも存在しなくてもよいように宣言されたファイル。その実行用プログラムは、そのファイルの有無を調べる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9179	A		部の見出し	ぶのみだし	division header	部の始まりを示すもので、語の組合せの後を分離符の終止符でとめる。COBOLプログラムの部の見出しには、次の四つがある。 IDENTIFICATION DIVISION. ENVIRONMENT DIVISION. DATA DIVISION. PROCEDURE DIVISION [USING {データ名1} …].	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9180	A		部分参照子	ぶぶんさんしょうし	reference modifier	データ項目を部分的に参照するために用いる最左端文字位置と長さ(4.4.3.8.3 部分参照	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9181	A		プログラム終わり見出し	ぷろぐらむおわりみだし	end program header	COBOL原始プログラムの終わりを表すものであって、語の組合せの後を分離符の終止符でとめる。プログラム終わり見出しは、次のとおりとする。END PROGRAM プログラム	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9182	A		プログラム名	ぷろぐらむめい	program-name	見出し部及びプログラム終わり見出しにおいて、COBOL原始プログラムを識別する利用	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9183	A		プログラム名記述項	ぷろぐらむめいきじゅつこう	program identification entry	見出し部のプログラム名段落の記述項であって、プログラム名を指定し、そのプログラムに与える属性を指定する句を含む。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9184	A		ブロック	ぶろっく	block, physical record	通常1個以上のレコードを組み合わせたデータの物理的単位。大記憶ファイルでは、ブロックがレコードの部分であることもある。ブロックの大きさは、そのファイルの大きさや、ブロックに含まれたり重なったりしているレコードの大きさなどと直接の関係はない(4.4.3.1.2ファイルの論理的性質参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9185	A		文	ぶん	statement	COBOL原始プログラムにおいて、動詞で始まり、語、定数及び分離符の構文的に正しい組合せを続けたもの。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9186	A		分離符	ぶんりふ	separator	文字列を区切る1文字又は連続した2文字(4.4.2.1 分離符参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9187	A		併合用ファイル	へいごうようふぁいる	merge file	MERGE文で併合されるレコードの集まり。併合用ファイルは、併合機能によってだけ生成され、使われる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9188	A		ページ	ぺーじ	page	報告書データを物理的に区分する縦の単位であって、その区分は、報告書の体裁や報告書を出力する外部装置の性質に基づく。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9189	A		ページ脚書き	ぺーじあしがき	page footing	報告書のページの最後の報告集団であって、報告書作成管理システムによって作られ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9190	A		ページの頭書き	ぺーじのあたまがき	page heading	報告書のページの最初の報告集団であって、報告書作成管理システムによって作られ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9191	A		ページ本体	ぺーじほんたい	page body	印字行や空白行を含む論理的なページ部分(7.3.7 LINAGE句参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9192	A		編集用文字	へんしゅうようもじ	editing character	次の1文字又は決まった2文字の組合せ(#表有り)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9193	A		変数	へんすう	variable	実行用プログラムの実行によってその値が変えられるデータ項目。算術式で使われる変数は、数字基本項目でなければならない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9194	A		報告集団	ほうこくしゅうだん	report group	データ部の報告書節において、01レベル及びそれに従属するレベルの記述項で指定される報告書の一部分。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9195	A		報告集団記述項	ほうこくしゅうだんきじゅつこう	report group description entry	データ部の報告書節に書く記述項であって、レベル番号01に続いて必要ならばデータ名を書き、その後にTYPE句と必要な報告書句の組を書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9196	A		報告書脚書き	ほうこくしょあしがき	report footing	報告書の最後にだけ作られる報告集団。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9197	A		報告書頭書き	ほうこくしょあたまがき	report heading	報告書の最初にだけ作られる報告集団。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9198	A		報告書記述項	ほうこくしょきじゅつこう	report description entry	データ部の報告書節に書く記述項であって、レベル指示語RDに続いて報告書名を書き、その後に必要な報告書句の組を書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9199	A		報告書行	ほうこくしょぎょう	report line, line	ページを横割りにした単位であって、文字が横に並んだ一列。報告書行の各文字位置は、前の報告書行の対応する文字位置と同じ文字位置になる。報告書行の行番号は、ページの先頭を1として、1ずつ増えていく。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9200	A		報告書句	ほうこくしょく	report clause	データ部の報告書節の句であって、報告書記述項又は報告集団記述項の中に書く。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9201	A		報告書作成管理システム	ほうこくしょさくせいかんりしすてむ	report writer control system, RWCS	作成者の用意する実行時の管理システムであって、報告書を作成する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9202	A		報告書節	ほうこくしょせつ	report section	データ部中の節であって、0個以上の報告書記述項及び関連する報告集団記述項からな	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9203	A		報告書ファイル	ほうこくしょふぁいる	report file	ファイル記述項にREPORT句を含むファイルであって、報告書作成管理システムが作り出したレコードの集まり。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9204	A		報告書名	ほうこくしょめい	report-name	データ部の報告書節中において、報告書記述項に記述する報告書を命名する利用者	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9205	A		報告書レコード	ほうこくしょれこーど	report writer logical record	報告書の印字行及び選択や縦方向の位置決めのために必要な制御情報を含むレコー	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9206	A		補助語	ほじょご	optional word	言語を読みやすくするだけのために、ある書き方の中に書く予約語であって、原始プログラムを書くときに書くかどうかは利用者に任される。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9207	A		ボリューム	ぼりゅーむ	volume	記憶媒体の独立した単位であって、ファイルの一部、ファイルの全部又は幾つかのファイルを含む。その大きさは、作成者が定める。“リール”及びユニットと同義である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9208	A		ボリューム指示子	ぼりゅーむしじし	current volume pointer	順ファイルの現在のボリュームを指す概念上の指示子。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9209	A		本体集団	ほんたいしゅうだん	body group	明細報告集団、制御頭書き報告集団及び制御脚書き報告集団の総称。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9210	A		翻訳時	ほんやくじ	compile time	COBOL原始プログラムを、COBOLコンパイラによって実行用プログラムに翻訳する時	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9211	A		翻訳単位のプログラム	ほんやくたんいのぷろぐら	separately compiled	別々に翻訳されるプログラムであって、そのプログラムに含まれるプログラムも含む。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9212	A		翻訳用計算機	ほんやくようけいさんき	source-computer	環境部の段落の名前であって、原始プログラムを翻訳する計算機の環境をこの段落で記述する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9213	A		翻訳用計算機記述項	ほんやくようけいさんききじゅつこう	source computer entry	環境部の翻訳用計算機段落において、原始プログラムを翻訳する計算機の環境を記述する句から構成される記述項。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9214	A		待ち行列	まちぎょうれつ	queue	伝送又は処理を待つ通信文の論理的な集合。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9215	A		待ち行列名	まちぎょうれつめい	queue name	待ち行列中の通信文又はその部分を参照する論理的な経路を通信管理システムに示すための記号名。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9216	A		無効キー条件	むこうきーじょうけん	invalid key condition	実行時に、索引ファイル又は相対ファイルに関係付けられたキーの値が無効とされるような条件。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9217	A		無条件文	むじょうけんぶん	imperative statement	無条件動詞で始まり、無条件に決まった動作をとるように指示する文、又は明示範囲符で区切られた条件文(範囲明示文)。一つの無条件文は、幾つかの無条件文のつながったものであってもよい。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9218	A		明示範囲符	めいじはんいふ	explicit scope terminator	手続き部の特定の文の範囲を終了させる予約語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9219	A		文字	もじ	character	言語の、それ以上分割できない基本単位。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9220	A		翻訳指示文	ほんやくしじぶん	compiler directing statement	翻訳指示動詞で始まる文であって、翻訳中に特定の動作を行わせる。翻訳指示文には、COPY文、ENTER文、REPLACE文及びUSE文がある。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9221	A		文字位置	もじいち	character position	用途はDISPLAYとして記述された標準データ形式の1文字を収めるのに必要な物理的記憶単位。物理的記憶の詳細な特性は、作成者が定める。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9222	A		文字項目	もじこうもく	nonnumeric item	計算機の文字集合中の任意の組合せを内容とするデータ項目。文字項目の項類によっては、使用できる文字が制限される場合もある。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9223	A		文字定数	もじていすう	nonnumeric literal	引用符で囲んだ定数。文字列は、計算機の文字集合のうち、いかなる文字を含んでもよ	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9224	A		文字の大小順序	もじのだいしょうじゅんじょ	collating sequence	計算機で処理できる文字が並べられる順序であって、整列、併合、比較及び索引ファイルの順処理において使用される。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9225	A		文字列	もじれつ	character-string	COBOLの語、定数、PICTURE句の文字列又は注記項を形成する連続した文字の並び(4.4.2.2文字列参照)。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9226	A		ユニット	ゆにっと	unit	記憶媒体の独立した単位であって、ファイルの一部、ファイルの全部又は幾つかのファイルを含む。その大きさは、作成者が定める。“リール”及び“ボリューム”と同義である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9227	A		呼ばれるプログラム	よばれるぷろぐらむ	called program, subprogram	CALL文の対象となるプログラムであって、実行時に呼ぶプログラムと組み合わされて1個の実行単位となる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9228	A		呼び出し法	よびだしほう	access mode	ファイル中のレコードを操作する方法。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9229	A		呼び名	よびな	mnemonic-name	環境部で特定の作成者語と関連付けられる利用者語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9230	A		呼ぶプログラム	よぶぷろぐらむ	calling program	CALL文を実行して他のプログラムを呼ぶプログラム。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9231	A		予約語	よやくご	reserved word	COBOL原始プログラムで使われる決まった語であって、利用者語又はシステム名として使用してはならない。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9232	A		乱呼出し	らんよびだし	random access	相対ファイル又は索引ファイルのレコードの読み書きや削除において、キーデータ項目中にプログラムで指定した値によってレコードを識別する呼出し法。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9233	A		リール	りーる	reel	記憶媒体の独立した単位であって、ファイルの一部、ファイルの全部又は幾つかのファイルを含む。その大きさは、作成者が定める。“ユニット”及び“ボリューム”と同義である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9234	A		略記組合せ比較条件	りゃっきくみあわせひかくじょうけん	abbreviated combined relation condition	比較条件を続けて書くときに、共通の左辺、又は共通の左辺及び比較演算子を記述上省略した組合せ条件。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9235	A		利用者語	りようしゃご	user-defined word	句又は文の書き方を満足するために、利用者が与えるCOBOLの語。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9236	A		レコード	れこーど	record	最も包括的なデータ項目。レコードのレベル番号は01である。レコードは、基本項目又は集団項目のいずれでもよい。“レコード”は、“論理レコード”と同義である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9237	A		レコードキー	れこーどきー	record key	索引ファイル中のレコードを識別する値をもつキー。レコードキーは、主レコードキー又は副レコードキーとする。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9238	A		レコード記述	れこーどきじゅつ	record description	特定のレコードに関連したデータ記述項のすべての組。“レコード”記述は“レコード”記述項と同義である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9239	A		レコード記述項	れこーどきじゅつこう	record description entry	特定のレコードに関連したデータ記述項のすべての組。“レコード”記述項は“レコード”記述と同義である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9240	A		レコード内データ構造	れこーどないでーたこうぞう	intra-record data structure	レコードを記述する一連のデータ記述項によって定義されるレコードの一部分における集団項目及び基本データ項目のすべての集まり。これらのデータ記述項は、そのレコード内データ構造を記述する最初のデータ記述項のレベル番号より大きいレベル番号をもつすべての記述項を含む。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9241	A		レコード番号	れこーどばんごう	record number	順編成のファイル中のレコードの順序番号。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9242	A		レコード名	れこーどめい	record-name	COBOLプログラムのデータ部のレコード記述項で定義したレコードを命名する利用者	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9243	A		レコード領域	れこーどりょういき	record area	データ部のファイル節のレコード記述項で定義したレコードを処理するために割り付けられた記憶領域。ファイル節において、レコード領域の現在の文字位置の個数は、明示的又は暗黙的のRECORD句によって決まる。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9244	A		レベル指示語	れべるしじご	level indicator	ファイルの種類又は階層関係を示す2文字の英字。データ部のレベル指示語は、CD、FD、RD及びSDである。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9245	A		レベル番号	れべるばんごう	level-number	データ項目の階層中の序列を指定したり、データ記述項の特別な性質を指定したりする1個又は2個の数字で表現する利用者語。01から49までのレベル番号は、レコード階層構造におけるデータ項目の位置付けを指定する。1から9までのレベル番号は、1けたで書いてもよいし、ゼロの後に有効数字を書いてもよい。レベル番号66、77及び88は、データ記述項の特別な性質を指定する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9246	A		連続項目	れんぞくこうもく	contiguous items	データ部の連続した記述項で記述される項目。互いに一定の階層関係を有する。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9247	A		連絡節	れんらくせつ	linkage section	呼ばれるプログラムのデータ部の節であって、呼ぶプログラムから使用可能なデータ項目を記述する。これらのデータ項目は、呼ぶプログラム及び呼ばれるプログラムの両方	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9248	A		論理演算子	ろんりえんざんし	logical operator	予約語のAND、OR又はNOT。条件を書くのにANDとORを論理連結語として使える。NOTは、論理否定に使う。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9249	A		論理ページ	ろんりページ	logical page	上端部の余白、ページ本体及び下端部の余白から構成される概念上の存在。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9250	A		論理レコード	ろんりれこーど	logical record	最も包括的なデータ項目。レコードのレベル番号は01である。レコードは、基本項目又は集団項目のいずれでもよい。“論理レコード”は、“レコード”と同義である。	JIS X 3002	1992	ISO/IEC 1989	1985				2002	SC22
9251	A		BASIC	BASIC	BASIC	ある類似の構文と意味をもった言語の族に対して与えられた名称。Beginner's All-purpose Symbolic Instruction Codeの頭文字をとった頭字語である。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9252	A		あふれ	あふれ	overflow	数値演算の場合、前の演算で絶対値がMAXNUM(5.4.4参照)を超える結果又は固定小数点宣言の精度指定によって表現することのできる最大値を超える結果を生成しようとした状態。文字列演算の場合、前の演算が処理系定義の最大長より長い文字列の結果を生成しようとした状態。文字列代入の場合、前の演算が文字列変数又は文字列関数の宣言された最大長又は省略時想定による最大長より長い結果を代入しようとした状態。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9253	A		誤り	あやまり	error	プログラムが正しくなくなるような、プログラムの構文上の欠陥。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9254	A		一括方式	いっかつほうしき	batch mode	利用者との対話によらない環境でプログラムを処理する方式。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9255	A		印字欄	いんじらん	print zone	印字出力行中のある連続した文字位置。print文による一つの印字項目を評価した結果を、ここに配置することができる。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9256	A		下位けたあふれ	かいけたあふれ	underflow	数値演算において、前の演算で絶対値が機械最小値よりも小さく、かつゼロでない結果を生成しようとした状態。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9257	A		外部	がいぶ	external	構文的に、より大きいプログラム単位に含まれていない手続きを指す修飾語。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9258	A		機械最小値	きかいさいしょうち	machine infinitesimal	BASIC処理系が表現でき、かつ処理できる最小の(ゼロでない)正の値。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9259	A		機能語	きのうご	keyword	プログラム言語で用いる文又は文の構成要素を識別する文字の列。通常、よく使われる単語や記憶しやすい単語でつづる。この規格の定めるすべての機能語を表3.1に示す。この規格は、機能単位によって構成されているので、必要な機能語は機能単位ごとに異なる。各機能語がどの機能単位に含まれるかをも示す。機能語のつづりの英大文字の一部又は全部を、英小文字で書いてもよい。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9260	A		行	ぎょう	line	プログラムの行を2通りの観点で規定する。一つは物理行(physical line)とし、もう一つは論理行(logical line)とする。物理行は、順番に並んでいる文字の列とする。行番号又はアンド記号で始まり、行末で終わる。論理行は、行番号の後ろにBASIC言語の本文を順番に並べたものとする。行継続(line-continuation)は、論理的に、1文字の空白で置き換	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9261	A		行末	ぎょうまつ	end-of-line	行の終りを識別する文字、文字の列又は指示。行には、プログラムの行、印字の行及び入力応答の行の3種類の行がある。行末は、行の種類や環境に応じて異なっていてもよい。例えばある処理系で、入力応答の行末が、対話方式や一括方式で用いる入力源に応じて異なっていてもかまわない。行末の代表的な例としては、復帰(carriage-return)、復改(carriage-return line-feed)又はカードの終端などの記録末(end of record)がある。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9262	A		切捨て	きりすて	truncation	高精度の数値表現から低精度の数値表現を得る方法の一つ。もとの表現中の不必要な下位のけたを単に取り除く。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9263	A		固有	こゆう	native	記録形式において、記録中で欄が特定の構造をもち、同じシステム内の別の言語が生成した記録と互換性があることを指す修飾語。数値データや文字列データにおいて、親ハードウェアが直接に実現できるように、ある種の意味規則(例えば、精度や文字の大小順序)の実現方法が処理系定義に任されていることを指す修飾語。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9264	A		識別名	しきべつめい	identifier	変数、配列、配列値、例外処理区、関数、絵、副プログラム及びプログラムを命名する文字の列。実時間プログラムにおいては、識別名は、並行単位、事象、構造、処理域、共用域及び通報域を命名するのにも用いる。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9265	A		してもよい	してもよい	may	この用語は、処理系に対する許容の意味で用いる。すなわち、規格合致処理系(standard-conforming implementation)が、ある機能を実現してもよいし、実現しなくても	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9266	A		しなければならない	しなければならない	shall	この用語は、要求の意味で用いる。すなわち、規格合致しているといえるために、プログラムがとらなければならない形及び処理系がとらなければならない動作を規定することを	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9267	A		対話方式	たいわほうしき	interactive mode	プログラムを対話的に処理する方式。利用者は、個々のプログラムの動作に対して直接に応答ができ、更に、プログラムの実行の開始と終了を制御することができる。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9268	A		できる	できる	can	この用語は、プログラムに対する許容の意味で用いる。すなわち、規格合致プログラム(standard-conforming program)の中に、ある形式を書いてもよく、規格合致処理系がこのプログラムを正しく処理しなければならないことを示す。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9269	A		内部	ないぶ	internal	記録形式において、データの型及び正確な値を保持して生成し、後の読込み操作でそのとおりに再入力できるデータ表現を指す修飾語。手続きにおいて、構文的に、より大きいプログラム単位に含まれて、データを共用する手続きを指す修飾語。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9270	A		プログラム単位	ぷろぐらむたんい	program unit	BASICプログラムの独立した部分。主プログラム(end文の行までの行の列)、外部副プログラム定義、外部関数定義、外部絵定義又は並行単位。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9271	A		丸め	まるめ	rounding	高精度の数値表現から低精度の数値表現を得る方法の一つ。もとの数値のうちの除去される部分の大きさによって、結果の下位のけたを調整する。例えば、Xを最も近い整数値に丸めるには、INT(X+0.5)とすることができる(5.4参照)。	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9272	A		有効数字	ゆうこうすうじ	significant digits	数値表現中の、ゼロでない最高位の数字から最低位の数字までの数字の列。小数点の位置には無関係である。通常、正規化浮動小数点表現においては、数値表現中の有効数字だけが、内部表現の仮数部に保持される。固定小数点表現においては、最低位の数字が明示的に最右端のけたに位置付けられ、有効数字の左側のゼロも保持されるこ	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9273	A		予約語	よやくご	reserved word	BASICプログラム中で、ルーチン識別名、文字列識別名又は数値識別名として用いてはならない文字の列。4.4.2(11)参照。次のものがある。(a)引き数のない組込み関数名 (b)配列値の識別名 (c)ある種の機能語	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9274	A		例外状態	れいがいじょうたい	exception	プログラムの実行中に、規格の意味規則どおりに動作できないこと又は何らかの資源の制限を超えそうになったことを、処理系が認識したときの状態。ある種の例外状態[続行可能(nonfatal)な例外状態]は、規格の定める自動回復手続きで処理することができる。これらも含めてすべての例外状態は、プログラムで指定する回復手続き(recovery procedure)で処理することもできる(12.1参照)。規格が回復手続を定めていない例外状態[続行不能(fatal)な例外状態]及び処理系のハードウェア又は操作環境の制約によって規格の定めた回復手続きがとれない例外状態は、プログラム中に回復手続きの指定がなければ、その例外状態の発生した環境に従って、次のとおり処理される。(a)関数、絵又は副プログラムの呼出し中に起こったときには、例外状態は、呼出し側のプログラム単位中のその呼び出した文に"伝達"される(12.1参照)。(b)(a)の伝達が主プログラム若しくは並行単位に到達したとき又は例外状態が主プログラム中若しくは並行単位中で起こったときには、その例外状態が、そのプログラム又は(実時間プログラムの場合に	JIS X 3003	1993	ISO/IEC 10279	1991				1991	SC22
9275	B		代入可能	だいにゅうかのう	assignable	ある値又はあるデータ型の値を指定されたデータ型のデータ対象に代入することを許すデータ型又は値の特徴	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9276	B		(集まりの)基数	(あつまりの)きすう	cardinality(of a collection)	その集まり中の対象の個数。それらの対象は必ずしも互いに異ならない。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9277	B		文字レパートリ、レパートリ	もじれぱーとり、れぱーとり	character repertoire, repertoire	特定の目的や応用のために使用する文字集合。文字レパートリは、既定の照合順を想定する。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9278	B		型変換属性	かたへんかんぞくせい	coercibility	文字列データ項目に対する照合順をどのように決定するかを決める文字列データ項目の属性。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9279	B		照合順	しょうごうじゅん	collation, collating sequence	二つの比較可能な文字列を順序付ける方法。すべての文字集合は既定の照合順をもつ。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9280	B		比較可能	ひかくかのう	comparable	ある対象の値を別の対象の値と比較することを許す二つのデータ対象の特徴。データ型が比較可能であるとは、これらのデータ型の対象が比較可能であることをいう。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9281	B		記述子	きじゅつし	descriptor	SQL対象のコード化された記述。記述子は、適合するSQL処理系が必要とするすべての情報を含む。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9282	B		互いに異なる	たがいにことなる	distinct	二つの値が互いに異ならないとは、二つともナル値であるか、"8.2(比較述語>"に従い等しいと比較されるのかのいずれかとする。そうでなければ、二つは互いに異なる。二つの行(又は部分行)が互いに異なるとは、対応する値の少なくとも一つの組が互いに異なる	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9283	B		重複	ちょうふく	duplicate	二つ以上の値又は行が(互いに)重複しているとは、それらが異ならないことと同値とする。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9284	B		2項演算子	2こうえんざんし	dyadic operator	左のオペランド及び右のオペランドの二つのオペランドをもつ演算子、この規格における2項算術演算子の例は、左のオペランドから右のオペランドを引く"-"がある。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9285	B		使用形式	しようけいしき	form-of-use	(文字列中の)文字を表現する規約(又はコード化)。使用形式には、固定長コード化及び可変長コード化がある。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9286	B		使用形式変換	しようけいしきへんかん	form-of-use conversion	文字列を一つの使用形式から他の使用形式に変換する方法。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9287	B		処理系定義	しょりけいていぎ	implementation-defined	おそらくSQL処理系間で異なるが、特定のSQL処理系の処理系作成者によって指定される仕様。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9288	B		処理系依存	しょりけいいぞん	implementation-dependent	おそらくSQL処理系間で異なるが、この規格で規定せず、SQL処理系の処理系作成者によっても指定を要求しない仕様	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9289	B		単項演算子	たんこうえんざんし	monadic operator	一つのオペランドをもつ演算子。この規格における単項算術演算子の例は、オペランドを負にすることを指定する"-"がある。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9290	B		マルチ集合	まるちしゅうごう	multiset	必ずしも互いに異ならない対象の順序づけられていない集まり。集まりは、空であってもよい	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9291	B		n項演算子	nこうえんざんし	n-adic operator	可変個のオペランド(非形式的には、n個のオペランド)をもつ演算子。この規格での1項演算子の例には、COALESCEがある。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32
9292	B		ナル値(ナル)	なるち(なる)	null value (null)	データ値の欠如を示すために使われる特別な値又はマーク。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X3005-1,2,3,4?		9075-1:2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9293	B		永続	えいぞく	persistent	意図的に破壊されるまで無期限に存在し続けること。参照及びカスケード動作は意図的とみなされる。SQLトランザクション(“4.28SQLトランザクション”参照)又はSQLセション(“4.30SQLセション”参照)の終了に伴う動作は意図的とはみなされない。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X 3005-1 ,2,3,4?		9075-1: 2008	SC32
9294	B		冗長な重複	じょうちょうなちょうふく	redundant duplicates	任意のマルチ集合の重複する値又は行の一つを除いた残り。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X 3005-1 ,2,3,4?		9075-1: 2008	SC32
9295	B		レパートリ	れぱーとり	repertoire	文字レパートリ参照。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X 3005-1 ,2,3,4?		9075-1: 2008	SC32
9296	B		並び	ならび	sequence	必ずしも互いに異ならない対象の順序づけられた集まり。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X 3005-1 ,2,3,4?		9075-1: 2008	SC32
9297	B		集合	しゅうごう	set	互いに異なる対象の順序づけられていない集まり。集まりは、空であってもよい。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X 3005-1 ,2,3,4?		9075-1: 2008	SC32
9298	B		SQL処理系	SQLしょりけい	SQL-implementation	この規格に適合するデータベース管理システム。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X 3005-1 ,2,3,4?		9075-1: 2008	SC32
9299	B		文字変換	もじへんかん	translation	一つの文字レパートリ中の文字から同じ又は異なる文字レパートリの文字へ文字を変換する方法。	JIS X 3005	1995	ISO/IEC 9075	1992		廃→ X 3005-1 ,2,3,4?		9075-1: 2008	SC32
9300	A		基本単位	きほんたんい	atomic	分割できないこと。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9301	A		翻訳単位	ほんやくたんい	compilation unit	一つ以上のサブプログラムからなり得る実行コードの部分。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9302	A		データ型	でーたがた	data type	表現可能な値の集合。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9303	A		記述子	きじゅつし	descriptor	SQLオブジェクトの符号化記述。規格に適合するSQL処理系が必要とするそのオブジェクトについてのすべての情報を含む。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9304	A		識別子	しきべつし	Identifier	あるものを識別する手段。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9305	A		識別	しきべつ	identify	あるものをあいまいにではなく適切に参照すること。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9306	A		処理系定義	しょりけいていぎ	implementation-defined	SQL処理系間で異なりうるが、それぞれの特定のSQL処理系で実装者によって指定され	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9307	A		処理系依存	しょりけいいぞん	implementation-dependent	SQL処理系間で異なりうるが、JIS X 3005で規定せず、どのようなSQL処理系であっても、指定することが必要ないもの。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9308	A		(値の)実現値	(あたいの)じつげんち	instance (of value)	値の物理的表現。一つの実現値は、ただ一つの場所にある。実現値は、その値のデータ型であるデータ型をもつ。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9309	A		ナル値	なるち	null value	任意のデータ値がないことを示すために用いる特別な値。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9310	A		(″xオブジェクト″の)オブジェクト	(″xおぶじぇくと″の)おぶじぇくと	object (as in ″x object″)	もの。Xオブジェクトは、あるxの構成要素又はあるxと関連づけられた別の構成要素で、そのxと独立に存在できない。例えば、SQLオブジェクトは、SQLの文脈中だけで存在するオブジェクトであり、SQLスキーマオブジェクトは、あるSQLスキーマ中で存在するオブ	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9311	A		永続	えいぞく	persistent	意図的に破壊されるまで無制限に存在し続けること。参照動作及びカスケード動作は、故意とみなす。SQLトランザクション又はSQLセションの終了に伴う動作は、故意とはみなさない。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9312	A		(オブジェクトの)特性	(おぶじぇくとの)とくせい	property (of an object)	オブジェクトの属性、質、または特徴。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9313	A		行	ぎょう	row	(フィールド名、値の)対の並び。各値のデータ型は、行型によって指定される。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9314	A		(規格の)適用範囲	(きかくの)てきようはんい	scope (of a standard)	規格の主題及び取り扱う側面を規定する規格の箇条で、それによってその規格又はその規格の特定の部の適用可能な限界を示す。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9315	A		(宣言の)有効範囲	(せんげんの)ゆうこうはんい	scope (of a declaration)	そのオブジェクトは宣言されたSQLクライアントモジュールSQLサーバモジュール、<外部呼出し手続き>SQLルーチン、又はSQL文内で参照可能な部分。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9316	A		並び	ならび	Sequence rules	必ずしも異なる必要がないオブジェクトの順序づけられた集合。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9317	A		場所	ばしょ	site	特定のデータ型(又はその部分型の値の実現値によって占められる場所。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9318	A		SQLコネクション	SQLこねくしょん	SQL-connection	SQLクライアントとSQLサーバとの間のアソシエーション。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9319	A		SQL環境	SQLかんきょう	SQL-environment	SQLデータが存在しSQL文を実行する文脈。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9320	A		SQL処理系	SQLしょりけい	SQL-implementation	SQL文を処理する処理系。規格に適合するSQL処理系は、“8.適合性”で規定されるSQL処理系の要件を満たすSQL処理系とする。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9321	A		SQLセション	SQLせしょん	SQL-session	一人の利用者が一つのSQLエージェントから、一つのSQLコネクション上で、連続するSQL文の並びを実行する文脈。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9322	A		SQL文	SQLぶん	SQL-statement	JIS X 3005の部で規定する形式及び構文規則に適合するか又は適合すると主張する文	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9323	A		表	ひょう	table	表は、一つ以上の列の順序づけられた集まり及び0以上の行の順序づけられない集まりをもつ。各列は、名前とデータ型とをもつ。各行は、各列に対して、その列のデータ型中のただ一つの値をもつ。	JIS X 3005-1	2002	ISO/IEC 9075-1	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9324	A		代入可能	だいにゅうかのう	assignable	あるデータ型の値を別のデータ型のデータオブジェクトに代入すること許すデータ型又は値の特徴。“4.12型変換及びデータ型の混合”参照。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9325	A		代入	だいにゅう	assignment	(相手の)場所のTの値が(代入もとの)与えられた値Sと同一になることを確実にする効果を持つ操作。代入は、しばしば、“Tには、Sが設定される。”又は“Tには、Sの値が設定される。”という句を用いて示される。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9326	A		属性	ぞくせい	attribute	属性記述子によってその性質が指定される(構造型の)要素。構造型Tの値Vは、Tの各属性Aに対して、ただ一つの属性値をもつ。この値は、その属性の観測関数A(V)の呼出しの結果とする。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9327	A		(集まりの型の値の)基数	(あつまりのかたのあたいの)きすう	cardinarity (of a value of a collection type)	その集まり中のオブジェクトの個数。それらのオブジェクトは必ずしも互いに異ならない。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9328	A		文字レパートリ、レパートリ	もじれぱーとり、れぱーとり	character repertoire; repertoire	特定の目的又は適用業務のために用いる文字の集合。文字レパートリは、想定される規定の照合順番をもつ。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9329	A		型変換可能性	かたへんかんかのうせい	coercibility	文字列データ項目に対する照合順番をどのように決定するかを決める文字列データ項目の属性。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9330	A		照合順	しょうごうじゅん	collation, collation	二つの比較可能な文字列を順序付ける方法。すべての文字集合は、規定の照合順をも	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9331	A		集まり型	あつまりがた	collection type	集まりデータ型arrayによって示される集まりの型。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9332	A		(値の対が)比較可能	(あたいのついが)ひかくかのう	comparable (of a pair of values)	“8.2<比較述語>”の規則に従って、比較できること。一つのデータ型の値は、すべてとは限らないが、たいていの場合、ある値を他の値と比較することができる。ここのデータ型の比較可能性の規定は、“4.2文字列”から“4.11集まり型”を参照。さらに、あるデータ型の値を他のデータ型の値と比較できるならば、二つのデータ型は、(互いに)比較可能という。“4.12型変換及びデータ型の混在”を参照。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9333	A		構成関数	こうせいかんすう	constructor function	どの構造型に対しても、ただ一つある暗に指定される零項SQL呼出し関数。データ型Tに対する構成関数の呼出しは、値VがナルでなくTに対して定義されたすべての観測関数Oに対して、Oに対応する属性の既定値を返す、最特定型Tの値Vを返す。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9334	A		宣言型	せんげんがた	declared type	値を示す式で、その式の評価の結果の値に共通する一意なデータ型。例えば、パラメタ、列及び変数など、この語は、値を示すために参照されるものにも用いる。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9335	A		(比較可能な値の対が)異なる	(ひかくかのうなあたいのついが)ことなる	distinct (of a pair of comparable values)	非公式には、等しくないか若しくは両方ともナルでないか、または対応する構成要素が異なる対を持つ。公式には、次による。 比較可能な型の二つのナル値は、異ならない。 比較可能な型のナル値とナル値でない値は、異なる。 — 既定義型又は参照型の二つの値が異なるということは、それらが等しくないことと同値とする。 — 二つの値V1及びV2が、比較形式がRELATIVE又はMAPである利用書定義型の値で、かつ“8.2<比較述語>に従って比較した結果が不定(unknown)ならば、それらが異なるかどうかは、処理系依存とする。そうでなければ、それらが異なるということは、等しくないことと同値とする。 — 二つの値V1及びV2が、比較形式がSTATEである構造型の値ならば、それらの最特定型が異なるか、又は、共通の最特定型の属性Aが存在し、V1のAの値とV2のAの値とが異なるとき、それらの値は、異なる。 — 二つの行(又は二つの部分行)が異なるということは、それぞれのフィールドの対のうちの少なくとも一つが異なることと同値とする。 — 二つの配列が同じ基数をもたないか、又は、同じ基数の配列に対して、二つの配列中の同じ順序位置の要素が異なるならば、それらの配列は、異なる。 参考0.1. 比較可能な二つの値が異なるかどうかの評価の結果は、決して不定(unknown)にはならない。比較可能でない二つの値、例えば、比較形を持たない利用者定義型の値	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9336	A		重複	ちょうふく	duplicade	二つ以上の値又は行が(互いに)重複しているための必要十分条件は、それらが異ならないことである。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9337	A		2項	2こう	dyadic	演算子、関数及び手続きで、ただ二つのオペランド又はパラメタをもつもの。JIS X 3005のこの部の2項演算子の例は、左のオペランドから右のオペランドを引く“−”がある。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9338	A		要素型	ようそがた	element type	集まり型*CT*のすべての値のすべての要素に共通するデータ型の指定を含む*CT*の定義。これは*CT*の要素型及び*CT*のすべての値の要素型とする。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9339	A		(比較可能な値の対が)等しい	(ひかくかのうなあたいのついが)ひとしい	equal (of a pair of comparable values)	<比較述語>中で引数として渡されるならば、真(true)を生じること。“8.2<比較述語>”参照。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9340	A		外部ルーチン	がいぶるーちん	external routine	ルーチン本体がSQL以外の標準プログラム言語で書かれたプログラムを識別する外部本体参照であるSQL呼出しルーチン。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9341	A		固定長	こていちょう	fixed-length	ビット列又は文字列の特性で、それぞれ、ビット単位または文字単位でのデータ列の長さとして知られるただ一つのビット数又は文字数を含むようにデータ列を制約する特性。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9342	A		使用形式	しようけいしき	form-fo-use	(文字列中の)文字を表現する規約(又はコード化)。使用形式には、固定長コード化と可変長コード化がある。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9343	A		使用形式変換	しようけいしきへんかん	form-fo-use conversion	文字rつを一つの使用形式から他の使用形式に変換する方法。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9344	A		(値の対が)同一	(あたいのついが)どういつ	identical (of a pair of values)	SQL中のどのような方法によっても、それらの間のどんな違いも検知できないという意味で、区別できないこと。完全な定義については、“9.0同一値の決定を参照。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9345	A		(構造型の)インターフェース	(こうぞうがたの)いんたーふぇーす	interface (of structured type)	そのパラメタ又は結果の少なくとも一つの宣言型が構造型となるすべての関数からなる集合。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9346	A		単項	たんこう	monadic selective	演算子、関数及び手続きで、ただ一つのオペランド又はパラメタをもつもの。この規格における単項算術演算子の例は、オペランドの符号を反転することを指定する“−”がある。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9347	A		最特定型	さいとくていがた	most specific type	値で、その値のすべてのデータ型が上位型となる一意なデータ型。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9348	A		変異関数	へんいかんすう	mutator function	その定義があるユーザ定義型Tの(宣言型ATの)ある属性Aの定義によって想定される2項型保持関数M。Mの1番目のパラメタは、Mの結果型でもある、宣言型Tの結果SQLパラメタとする。M0の2番目のパラメタのデータ型は、Mの結果型でもある、宣言型ATとする。M(A、AV)の呼出しは、Vと異なりがあるとしても、属性Aの値だけが異なる値V1を返す。V1の最特定型は、Vの最特定型とする。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9349	A		n項演算子	nこうえんざんし	n-adic operator	可変個のオペランド(非形式的には、n個のオペランド)をもつ演算子。この規格中でのn項演算子の例としては、COALESCEがある。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9350	A		零項	れいこう	niladic	関数及び手続きでパラメタがないもの。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9351	A		観測関数	かんそくかんすう	object (as in "x object")	構造型Tの属性Aの定義によって、暗に定義されるSQL呼出し関数。VがTのある値で、Aの宣言型がTならば、A(V)の呼出しは、ATのある値AVを返す。AVは、Vの属性Aの値と	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9352	A		冗長な重複	じょうちょうなちょうふく	baseline	任意のマルチ集合の重複する値又は行の一つを除いたすべてのもの。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9353	A		参照型	さんしょうがた	observer function	一つの特定データ型の場所を参照する可能性のあるすべての値のデータ値。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9354	A		REF値	REFち	REF value	ある場所を参照する値。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9355	A		被参照型	ひさんしょうがた	referenced type	特定の参照型の値によって参照される場所の値の宣言型。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9356	A		被参照値	ひさんしょうち	referenced value	REF値によって参照される場所の値。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9357	A		レパートリ	れぱーとり	repertoire	文字レパートリ参照。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9358	A		結果SQLパラメタ	けっかSQLぱらめた	result SQL parameter	RESULTを指定するSQLパラメタ。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9359	A		結果データ型	けっかでーたがた	result data type	SQL呼出し関数の結果データ型は、その呼出しの結果の宣言型とする。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9360	A		(SQLルーチンの)署名	(SQLるーちんの)しょめい	signature (of an SQL-invoked routine)	SQL呼出しルーチンの名前、そのルーチンの各SQLパラメタの位置及び宣言型、ならびにそのルーチンがSQL呼出し関数か又はSQL呼出し手続きかを示す標識。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9361	A		SQL引数	SQLひきすう	SQL argument	SQL呼出しルーチンの呼出しのSQLパラメタを置き換える値を示す式。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9362	A		SQL呼出しルーチン	SQLよびだしるーちん	SQL-invoked routine	SQL内からだけ呼び出すことが許されるルーチン。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9363	A		SQLパラメタ	SQLぱらめた	SQL parameter	SQL呼出しルーチンの署名の一部として宣言するパラメタ。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9364	A		SQLルーチン	SQLるーちん	SQL routine	ルーチン本体がSQLで書かれたSQL呼出しルーチン。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9365	A		STATE関数	STATEかんすう	STATE function	2項BOOLEAN関数で、<スキーマ修飾付きルーチン名>がEQUALSであるもの。EQUALSは、順序づけられていない構造型に関連づけられて暗に定義されていてもよい。データ型TのSTATE関数のパラメタは、両方ともTの宣言型とする。EQUALS(V1、V2)の呼出しが真であることはTのすべての属性Aに対して、A(V1)=A(V2)が成り立つことと同値とす	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9366	A		部分フィールド	ぶぶんふぃーるど	subfield	フィールドFが行型RTのフィールドであるか、又はFが行型RT2のフィールドで、RT2がフィールドF2の宣言型で、かつフィールドF2がRTの部分フィールドであるならば、フィールドFは、行型RTの部分フィールドとする。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9367	A		下位型	かいがた	subtype	データ型T2のすべての値がデータ型T1の値でもあるならば、データ型T2は、データ型T1の下位型とする。T1とT2とが互換でなければ、T2は、T1の真下位型とする。"互換"は、"4.12型変換及びデータ型の混合"で定義する。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9368	A		上位型	じょういがた	super type	データ型T2のすべての値がデータ型T1の値でもあるならば、データ型T1は、データ型T2の上位型とする。T1とT2とが互換でなければ、T1は、T2の真上位型とする。"互換"は、"4.12型変換及びデータ型の混合"で定義する。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9369	A		文字変換	もじへんかん	translation	一つの文字レパートリ中の文字から同じか又は異なる文字レパートリの文字へ文字を変換する方法。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9370	A		型保持関数	かたほじかんすう	type-areserveing function	SQL呼出し関数で、そのパラメタの一つが結果SQLパラメタであるもの。型保持関数の呼出しによって返される値の最特定型は、結果SQLパラメタを置換えるSQL引数値の最特定型と同じとする。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9371	A		ユーザ定義型	ゆーざていぎがた	user-defined type	ユーザ定義型記述子によってその特性が指定される型。	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9372	A		可変長	かへんちょう	variable-length	ビット列又は文字列の特性で、0(ゼロ)と、それぞれ、ビット単位又は文字単位でのそのデータ列の最大長として知られる最大数との間の任意のビット数又は文字数を含を許す	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9373	A		空白	くうはく	white space	SQLテキスト中のトークンを区切るために用いられる文字。空白は、(例えば、他のものから<非区切りトークン>を区切るために)必要とされることもあり、禁止する規則がない限り、二つのトークンの間で用いられてもよい。空白は、次の文字のいずれかとする。 — U+0009、Horizontal Tab — U+000A、Line Feed — U+000B、Vertical Tabulation — U+000C、Form Feed — U+000D、Carriage Return — U+0020、Space — U+00A0、No-Break Space — U+2000、En Quad — U+2001、Em Quad — U+2002、En Space — U+2003、Em Space — U+2004、Three-Per-Em Space — U+2005、Four-Per-Em Space — U+2006、Six-Per-Em Space — U+2007、FIgure Space — U+2008、Punctuation Space — U+2009、Thin Space — U+200A、Hair Space — U+200B、Zero Width Space — U+3000、Ideographic Space — U+2028、Line Separator — U+2029、Paragraph Separator — U+202F、Narrow No-Break Space — U+FEFF、Zero idth No-Break Space 参考1. "U+xyzw"という記法は、ISO/IEC 10646の基本多言語面での文字位置を識別	JIS X 3005-2	2002	ISO/IEC 9075-2	1999		2003/10	Amd.1:01	2008	SC32
9374	A		データ元	でーたもと	data source	現行コネクションの一部であるSQLサーバのための同義語。	JIS X 3005-3	2002	ISO/IEC 9075-3	1999				2008	SC32
9375	A		ハンドル	はんどる	handle	CLI資源の割当て時にSQL/CLI処理系によって戻され、そのCLI資源を参照するSQL/CLI適用業務プログラムによって使用されるCLIオブジェクト(CLI object)。	JIS X 3005-3	2002	ISO/IEC 9075-3	1999				2008	SC32
9376	A		内表	ないひょう	inner table	左外結合の2番目のオペランド、又は右外結合の最初のオペランド。	JIS X 3005-3	2002	ISO/IEC 9075-3	1999				2008	SC32
9377	A		擬似列	ぎじれつ	pseudo-column	その表の記述子の一部ではない表中の列。そのような擬似列の例は、処理系定義の行識別子とする。	JIS X 3005-3	2002	ISO/IEC 9075-3	1999				2008	SC32
9378	A		外部ルーチン	がいぶるーちん	external routine	そのルーチン本体がSQL以外の標準プログラム言語で書かれたプログラムを識別する外部本体参照であるSQL呼出しルーチン。	JIS X 3005-4	1998	ISO/IEC 9075-4	1996		2002/10定	1999	2008	SC32
9379	A		(SQL呼出しルーチンの)署名	(SQLよびだしるーちんの)しょめい	signature	SQL呼出しルーチンの名前、そのルーチンの各SQLパラメタの位置及びデータ型、並びにそのルーチンがSQL呼出し関数か又はSQL呼出し手続かを示す標識。	JIS X 3005-4	1998	ISO/IEC 9075-4	1996		2002/10定	1999	2008	SC32
9380	A		SQLルーチン	SQLるーちん	SQL routine	そのルーチン本体がSQLで書かれたSQL呼出しルーチン。	JIS X 3005-4	1998	ISO/IEC 9075-4	1996		2002/10定	1999	2008	SC32
9381	A		SQL呼出しルーチン	SQLよびだしるーちん	SQL-invoked routine	SQL内からの呼出しだけが許されるルーチン。	JIS X 3005-4	1998	ISO/IEC 9075-4	1996		2002/10定	1999	2008	SC32
9382	A		アクセストークン	あくせすとーくん	access token	データリンク値のファイル参照(File Reference)と組合わせて、SQLサーバによって、ある条件の下で戻される暗号化された値。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9383	A		データリンク	でーたりんく	datalink	データ型DATALINKの値で、そのSQL環境の一部分ではないファイルを参照する値。そのファイルは、ある外部ファイル管理機能によって管理されると想定する。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9384	A		データリンカ	でーたりんか	datalinker	外部ファイルへのアクセス及び参照整合性を制御するための処理系依存の構成要素。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9385	A		外部データ	がいぶでーた	external data	SQLセション中に含まれるSQLサーバによって管理されないが、そのSQLセションでアクセス可能なデータ。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9386	A		外部データおお(覆)い	がいぶでーたおおい	foreign-data wrapper	SQLサーバによって呼出し可能なルーチンの名前付きの集まりで、この規格中でそのようなルーチンに対して規定するプログラムインタフェースを提供する。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9387	A		外部サーバ	がいぶさーば	foreign server	そのSQL環境の外部にあるが、外部データを管理するSQLサーバに知られている名前付きのサーバ。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9388	A		外部表	がいぶひょう	foreign table	必要なときに、ある外部サーバによって行が供給される名前付きの表。これらの行を供給する機構は、外部データおおいによって提供される。外部表を構成するデータは、そのSQL環境の一部ではない。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9389	A		整合性選択肢	せいごうせいせんたくし	integrity option	データリンクとそれが参照するファイルとの間のリンクの整合性の水準の指定。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9390	A		リンク制御	りんくせいぎょ	link control	データ型DATALINKの列の特性で、その列中のデータリンクとそれらが参照するファイルとの間のリンクが(いろいろな特定の方法で)監視されるべき範囲を指定する特性。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9391	A		読込み許可選択肢	よみこみきょかせんたくし	read permission option	あるデータリンクによって参照される外部ファイルの読込みの許可をどのように決定するかを指定するリンク制御選択肢。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9392	A		回復選択肢	かいふくせんたくし	recovery option	あるデータリンクによって参照されるファイルに対して時刻指定回復が要求されるかどうかを指定するリンク制御選択肢。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9393	A		SQL/MED処理系	SQL/MEDしょりけい	SQL/MED implementation	この規格中で定義されている言語によって拡張されているかもしれないSQL文を処理するSQL処理系。規格に適合するSQL/MED処理系は、“適合性”で規定されるSQL/MED処理系の要件を満たすSQL/MED処理系とする。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9394	A		リンク解除選択肢	りんくかいじょせんたくし	unlink option	データリンクによって占められるある場所が更新又は削除されたときにとられる動作を指定するリンク制御選択肢。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9395	A		利用者対応付け	りようしゃたいおうづけ	user mapping	認可識別子から、外部サーバによって維持される等価な概念への処理系定義の写像。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9396	A		書込み許可選択肢	かきこみきょかせんたくし	write permission option	あるデータリンクによって参照されるファイルの書込みの許可をどのように決定するかを指定するリンク制御選択肢。	JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9397	A		妥当なXML文書	だとうなえっくすえむえるぶんしょ	Valid XML document		JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9398	A		XML文書	XMLぶんしょ	XML document		JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9399	A		(“DTD”としても知られる)XML文書型宣言	(“DTD”としてもしられる)XMLぶんしょがたせんげん	XML document type declaration (also known as “DTD”)		JIS X 3005-9	2003	ISO/IEC 9075-9	2001				2008	SC32
9400	A		列取出しメソッド	れつとりだしめそっど	accessor method	それが呼び出されたとき、結果集合反復子オブジェクトによって戻される列データをアクセスするメソッド。列取出しメソッドは、名前付き列取出しメソッド(named accessor method)又は位置付け列取出しメソッド(positioned accssor method)のいずれかとする。名前付き列取出しメソッドは、<名前付き反復子>の<反復子指定宣言>を含む<反復子宣言句>の結果として宣言される。名前付き列取出しメソッドは、それを定義している<名前付き反復子>句からその名前とその結果データ型との両方を導出する。位置づけ列取出しメソッドは、<位置づけ反復子>の<反復子指定宣言句>の結果として宣言される。位置づけ列取出しメソッドは、それを定義している<位置づけ反復子>句からその名前とその結	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9401	A		仕立て処理	したてしょり	customization	SQL運用業務プログラムの埋込みSQLを相手のSQL処理系に対して実行させるために仕立てる処理系固有の処理。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9402	A		生成コネクションクラス	せいせいこねくしょんくらす	generated connection class	そのクラスのメソッドが呼び出されたとき、名前付きデータベースコネクションを維持するクラス。このクラスの署名は、Java適用業務プログラム中の<コネクション宣言句>に直接含まれる副作用として生成される。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9403	A		生成反復子クラス	せいせいはんぷくしくらす	generated iterator class	そのクラスのメソッドが呼び出されたとき、結果集合反復子に関連付けられるSQL問合せの行及び列の取り出しを提供するクラス。生成反復子クラス(generated iterator class)は、生成名前付き反復子クラス(generated named iterator class)又は生成位置付け反復子クラス(generated positioned iterator class)のいずれかとする。生成名前付き反復子クラスの署名は、<名前付き反復子>の<反復子指定宣言>を含む<反復子宣言句>に含まれる副作用として生成され、名前付き列取出しメソッドを指定する。生成位置付け反復子クラスの署名は、<位置付け反復子>の<反復指定宣言>を含む<反復子宣言句>に含まれる副作用として生成され、位置付け列取出しメソッドを指定する。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9404	A		取得メソッド	しゅとくめそっど	getter method	RTStatementクラス若しくはRTResultSetクラス、又はそのようなクラスのサブクラスのオブジェクトに定義されるメソッドで、呼び出されたときに、ホスト変数が束縛変数として現れると、与えられたデータ型のそれらのホスト変数に値を設定するメソッド。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9405	A		処理系固有	しょりけいこゆう	implementation-specific	SQL処理系間でおそらく異なるが、各特定のSQL処理系の一部として与えられる。	JIS X 3005-	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9406	A		(SQLJ適用業務プログラムの)組込み	(SQLJてきようぎょうむぷろぐらむの)くみこみ	instllation (of SQLJ application)	相手のSQL処理系に対してSQLJ適用業務プログラムを実行することを可能にするために先立って行う必要がある、SQLJ翻訳(SQLJ translation)及び仕立て処理(customization)以外の何かを含む処理系定義のフェーズで、空かもしれないフェーズ。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9407	A		Java基本データ型	じゃばきほんでーたかた	Java primitive datatype	次のJava型のうちの一つ。boolean、byte、short、int、long、float又はdouble。 参考2 JDBCとの相互互換性のために、Java基本データ型のcharは、意図的にこのリストから省かれている。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9408	A		左辺値式	さへんちしき	l-valued expression	Java言語仕様 (Java Language Specification)で定義されているとおり、Java代入(assignment)の左辺側(LeftHandSide)に現れることが許されるJava式。例えば、左辺値式は、局所変数又は現行オブジェクト若しくはクラスのフィールドの名前付き変数であってもよいし、フィールドアクセス又は配列アクセスからの結果となり得る計算された変数で	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9409	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	個々のSQL文によって要求される入力及び生成される出力に関する情報だけでなくそれらの文のテキストを含むオブジェクトで、SQL翻訳プログラムによって生成されたJava直列化オブジェクト。直列化オブジェクトは、その後、その他の処理のために仕立処理又はSQLJ実行系によってアクセスされ得る。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9410	A		プロファイルファイル	ぷろふぁいるふぁいる	profile file	SQLJ翻訳の結果として生成された一つ以上のプロファイルを含むファイル。	JIS X 3005-	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9411	A		設定メソッド	せっていめそっど	setter method	RTStatementクラス又はRTStatementのサブクラスのオブジェクトに定義されるメソッドで、呼び出されたときに、与えられたデータ型の束縛変数をそのデータベースへの入力パラメタとして引き渡すメソッド。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9412	A		SQLJ翻訳	SQLJほんやく	SQLJ translation	埋込みSQLを含むJava適用業務プログラムを二つ以上の異なるファイルに変換する処理で、最初のファイルは、埋込みSQLの利用部分がSQLJの実行時APIを呼び出すJavaコードに置き換えられることを除いて、元のJava適用業務プログラムと同一になり、2番目(及びそれ以降)のファイルはプロファイルファイルになる。	JIS X 3005-10	2003	ISO/IEC 9075-10	2000				2008	SC32
9413	A		クラスファイル	くらすふぁいる	class file	Javaクラスのコンパイルされたバイトコードを含むファイル。	JIS X 3005-	2007	ISO/IEC 9075-13	2003	IDT			2008	SC32
9414	A		既定コネクション	きていこねくしょん	default connection	データソースとしてURL"jdbc:default:connection"(URLの詳細については、[RFC2368]及び[RFC2396]参照)で確立された現行SQL処理系、SQLセション、及びSQLトランザクションへのJDBCコネクション。	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9415	A		配置記述子	はいちきじゅつし	deployment descriptor	SQL.INSTALL_JAR手続き及びSQL.REMOVE_JAR手続にそれぞれ対応する<組込み動作>及び<除去動作>を指定し、配置記述子ファイル(deployment descriptor file)中に含まれる一つ以上のSQL文。	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9416	A		配置記述子ファイル	はいちきじゅつしふぁいる	deployment descriptor file	[J2SE]のjava.util.jar部で記述されるように、JARのマニフェスト項目でSQLJDeploymentDescriptor:TRUEを指定したJAR中に含まれる配置記述子を含むテキストファイル。	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9417	A		外部Javaデータ型	がいぶじゃばでーたがた	external Java data type	<外部Java型句>を指定する<利用者定義型定義>で定義されたSQL利用者定義型。	JIS X 3005-	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9418	A		外部Javaルーチン	がいぶじゃばるーちん	external Java routine	LANGUAGE JAVAを指定し、かつ、PROCEDURE若しくはFUNCTIONのいずれかを指定する<SQL呼出しルーチン>で定義される外部ルーチン、又は<外部Java型句>を指定する<利用者定義型定義>で定義される外部ルーチン。	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9419	A		組み込まれたJAR	くみこまれたじゃー	installed JAR	SQL環境にその存在が既に登録され、SQLJ.INSTALL_JAR手続又はSQL.REPLACE_JAR手続のうちの一つの実行によってSQL環境にその内容が複写された	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9420	A		Javaアーカイブ、JAR	じゃばあーかいぶ、JAR	Java Archive, JAR	[J2SE]のjava.util.jar部で記述されるように、0個以上のJavaのclass及びserファイルを含み、0個以上の配置記述子ファイルを含むzip形式のファイル。JARは、Javaプログラムを配布する通常の方法であり、あるSQL環境に対する外部Javaルーチン及び外部Javaデータ型の処理系を提供するこの規格によって規定される仕組みである。	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9421	A		JVM	JVM	JVM	[JVM]で規定されるJava仮想機械。	JIS X 3005-	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9422	A		serファイル	serふぁいる	ser file	[Serialization]で規定される形式でのJavaオブジェクトの表現を含むファイル。	JIS X 3005-	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9423	A		該当Javaクラス	がいとうじゃばくらす	subject Java class	そのクラスの該当Javaクラス名(subject Java class name)及びそれを含むJARの組合せによって一意に識別されるJavaクラス。	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9424	A		該当Javaクラス名	がいとうじゃばくらすめい	subject Java class name	Javaクラスの完全に装飾されたパッケージ及びクラス名。	JIS X 3005-	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9425	A		システムクラス	しすてむくらす	system class	この規格に適合する処理系によって提供されるJavaクラスで、組み込まれたJAR中に含まれていなくても外部Javaルーチン又は外部Javaデータ型から参照することができる	JIS X 3005-13	2007	ISO/IEC 9075-13	2003				2008	SC32
9426	A		全グループ内容モデル	ぜんぐるーぷないようもで	all group content model	[Schema1]で規定されるxs:allによって記述されるXMLスキーマ複合型の内容モデル	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003	IDT			2008	SC32
9427	A		正規XMLスキーマ定数	せいきえっくすえむえるすきーまていすう	canonical XML Schema literal	[Schema2]で規定されるXMLスキーマ型XSTの正規語い表現。XSTの値空間中の各値に対して、唯一の正規XMLスキーマ定数がある。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9428	A		メタデータ	めたでーた	metadata	データについてのデータ。この規格では、ISO/IEC 9075-2及びこの規格群の他の部で規定されるように、メタデータは、表記述子、列記述子などの中に含まれる。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9429	A		順内容モデル	じゅんないようもでる	sequence content model	[Schema1]で規定されるxs:sequenceによって記述されるXMLスキーマ複合型の内容モデ	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9430	A		URI	URI	URI	[RFC2396]で規定され、[RFC2732]で修正された一様資源識別子。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9431	A		妥当XML文字	だとうえっくすえむえるもじ	valid XML character	[XML]で規定される正しい文字。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9432	A		XML属性	XMLぞくせい	XML attribute	[XML]で規定される属性。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9433	A		XML属性情報項目	XMLぞくせいじょうほうこうもく	XML attribute information item	[Infoset]で規定される属性情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9434	A		XML文字情報項目	XMLもじじょうほうこうもく	XML character information item	[Infoset]で規定される文字情報項目	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9435	A		XMLコメント情報項目	XMLこめんとじょうほうこうもく	XML comment information item	[Infoset]で規定されるコメント情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9436	A		XML文書情報項目	XMLぶんしょじょうほうこうもく	XML document information item	[Infoset]で規定される文書情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9437	A		XML文書型宣言情報項目	XMLぶんしょがたせんげんじょうほうこうもく	XML document type declaration information	[Infoset]で規定される文書型宣言情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9438	A		XML要素	XMLようそ	XML element	[XML]で規定される要素。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9439	A		XML要素情報項目	XMLようそじょうほうこうもく	XML element information item	[Infoset]で規定される要素情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9440	A		XML情報項目	XMLじょうほうこうもく	XML information item	[Infoset]で規定される情報項目。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9441	A		XML Name	XML ねーむ	XML Name	[XML]で規定されるName。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9442	A		XML NameChar	XML ねーむきゃら	XML NameChar	[XML]で規定されるNameChar。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9443	A		XML名前空間	XMLなまえくうかん	XML namespace	[Namespaces]で規定される名前空間。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9444	A		XML名前空間接頭辞	XMLなまえくうかんせっと	XML namespace prefix	[Namespaces]で規定される名前空間接頭辞。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9445	A		XML名前空間情報項目	XMLなまえくうかんじょうほうこうもく	XML namespace information item	[Infoset]で規定される名前空間情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9446	A		XML NCName	XML NCねーむ	XML NCName	[Namespaces]の規則[4]で規定されるNCName。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9447	A		XML記法情報項目	XMLきほうじょうほうこうもく	XML notation information item	[Infoset]で規定される記法情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9448	A		XML処理命令情報項目	XMLしょりめいれいじょうほうこうもく	XML processing instruction information	[Infoset]で規定される処理命令情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9449	A		XML QName	XML Qねーむ	XML QName	[Namespaces]の規則[6]で規定されるQName。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9450	A		XML QName接頭辞	XML Qねーむせっとうじ	XML QName prefix	[Namespaces]の規則[7]で規定されるPrefix。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9451	A		XML QName局所部	XML Qねーむきょくしょぶ	XML QName local part	[Namespaces]の規則[8]で規定されるLocalPart。	JIS X 3005-	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9452	A		XMLスキーマ	XMLすきーま	XML Schema	[Schema1]で規定されるSchema(又はスキーマ)。	JIS X 3005-1	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9453	A		XMLスキーマ組込みデータ型	XMLすきーまくみこみでーたがた	XML Schema built-in data type	[Schema2]で規定される組込みデータ型。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9454	A		XMLスキーマ複合型	XMLすきーまふくごうがた	XML Schema complex	[Schema1]で規定される複合型定義によって定義される複合型。	JIS X 3005-1	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9455	A		XMLスキーマデータ型	XMLすきーまでーたがた	XML Schema data type	[Schema2]で規定されるデータ型。	JIS X 3005-1	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9456	A		XMLスキーマ文書	XMLすきーまぶんしょ	XML Schema document	[Schema1]で規定されるスキーマ文書。	JIS X 3005-1	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9457	A		XMLスキーマ単純型	XMLすきーまたんじゅんが	XML Schema simple type	[Schema2]で規定される単純型定義によって定義される単純型。	JIS X 3005-1	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9458	A		XMLスキーマ型	XMLすきーまがた	XML Schema type	一つずつを区別する必要がないときに、XMLスキーマ組込みデータ型、XMLスキーマ複合型、XMLスキーマデータ型及びXMLスキーマ単純型をまとめて参照するために用いる	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9459	A		XMLターゲット名前空間	XMLたーげっとなまえくうかん	XML target namespace	[Schema1]で規定されるターゲット名前空間。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9460	A		XMLターゲット名前空間URI	XMLたーげっとなまえくうかんURI	XML target namespace URI	XMLターゲット名前空間のURI。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9461	A		XMLテキスト	XMLてきすと	XML text	“10.14 XML値としての文字列の解釈”で規定するテキストXML内容の部分文字列である文字列。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9462	A		XML非展開対象実体参照情報項目	XMLひてんかいたいしょうじったいさんしょうじょうほうこうもく	XML unexpanded entity reference information item	[Infoset]で規定される非展開対象実体参照情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9463	A		XML解析対象外実体情報項目	XMLかいせきたいしょうがいじったいじょうほうこうも	XML unparsed entity information item	[Infoset]で規定される解析対象外実体情報項目。	JIS X 3005-14	2005	ISO/IEC 9075-14	2003				2008	SC32
9464	A		代入	だいにゅう	assignment		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9465	A		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9466	A		基数	きすう	cardinality		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9467	A		翻訳単位	ほんやくたんい	compilation unit		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9468	A		構成関数	こうせいかんすう	construction function		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9469	A		データ型	でーたがた	data type		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9470	A		宣言型	せんげんかた	declared type		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9471	A		定義スキーマ	ていぎすきーま	definition schema		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9472	A		記述子	きじゅつし	descriptor		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9473	A		外部ルーチン	がいぶるーちん	external routine		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9474	A		識別子	しきべつし	identifier		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9475	A		処理系定義	しょりけいていぎ	implementation-defined		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9476	A		処理系依存	しょりけいいぞん	implementation-dependent		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9477	A		情報スキーマ	じょうほうすきーま	information schema		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9478	A		(値の)実現値	(あたいの)じつげんち	instance (of a value)		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9479	A		変異関数	へんいかんすう	mutator function		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9480	A		ナル値	なるち	nul value		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9481	A		観測関数	かんそくかんすう	observer function		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9482	A		行	ぎょう	row		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9483	A		並び	ならび	sequence		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9484	A		(SQL呼出しルーチンの)署名	(SQLよびだしるーちんの)しょめい	signature (of a SQL-invoked routine)		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9485	A		SQL環境	SQLかんきょう	SQL-environment		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9486	A		SQL処理系	SQLしょりけい	SQL-implementation		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9487	A		SQL呼出しメソッド	SQLよびだしめそっど	SQL-invoked method		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9488	A		SQL呼出しルーチン	SQLよびだしるーちん	SQL-invoked routine		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9489	A		SQLルーチン	SQLるーちん	SQL routine		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9490	A		下位型	かいかた	subtype		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9491	A		上位型	じょういかた	supertype		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9492	A		表	ひょう	table		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9493	A		型保持関数	かたほじかんすう	type-preserving function		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9494	A		利用者定義型	りようしゃていぎがた	user-defined type		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9495	A		空白	くうはく	white space		JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9496	A		通有データ型	つうゆうでーたがた	generic data type	単一企業よりも広い文脈中で用いられ、それが表現される方法を標準化することが有利であるような、JIS X 3005中で定義されていない種類のデータ型とする。	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9497	A		メタ変数	めたへんすう	meta-variable	メタ変数は、処理系依存又は処理系定義の定数を定義するために用いる変数とする。	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9498	A		メソッド	めそっど	method	SQL呼出しメソッド	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9499	A		配列	はいれつ	array	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9500	A		実表	じつひょう	base table	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9501	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9502	A		列	れつ	column	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9503	A		終了条件	しゅうりょうじょうけん	completion condition	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9504	A		個別型	こべつかた	distinct type	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9505	A		例外条件	れいがいじょうけん	exception condition	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9506	A		偽	ぎ	False	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9507	A		フィールド	ふぃーるど	field	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9508	A		ホスト言語	ほすとげんご	host language	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9509	A		順序付け関数	じゅんじょづけかんすう	ordering function	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9510	A		既定義データ型	きていぎでーたがた	predefined data type	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9511	A		権限	けんげん	privilege	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9512	A		もとの型	もとのかた	source type	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9513	A		SQLデータ	SQLでーた	SQL-data	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9514	A		SQL呼出しメソッド	SQLよびだしめそっど	SQL-invoked method	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9515	A		SQL文	SQLぶん	SQL-statement	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9516	A		構造型	こうぞうがた	structured type	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9517	A		変換関数	へんかんかんすう	transformation functions	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9518	A		真	しん	True	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9519	A		不定	ふてい	Unknown	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9520	A		利用者定義型変換	りようしゃていぎがたへんかん	user. defined cast	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9521	A		ビュー	びゅー	view	(JIS X 3005中で定義された概念)	JIS X 3006-1	2004	ISO/IEC 13249-1	2002				2007	SC32
9522	A		上位語	じょういご	broader term	階層関係の中で、上位にある用語(例えば、"SQL"の上位語は"データベース言語"。)	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9523	A		同格関係	どうかくかんけい	coordinate relation	用語又は用語のクラスを並置している形式的な関係。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9524	A		階層関係	かいそうかんけい	hierarchical relation	一方の用語が他方の用語の下位にある二つの用語間又は二つのクラス間の形式的な	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9525	A		下位語	かいご	narrower term	階層関係の中で、下位にある用語(例えば、"SQL"の下位語は"SQL/MM"。)	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9526	A		優先使用用語	ゆうせんしようようご	preferred term	等価語の集合の中からデスクリプタ(ドキュメンテーション用語)として選ばれた用語(例えば、"Structured Query Language"に対する優先使用用語は"SQL"。)	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9527	A		関連語	かんれんご	related term	同格関係によって他の用語と結び付けられる用語(例えば、"SQL"に対する関連語は、"DB2")。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9528	A		同音語	どうおんご	soundex term	用語の発音が他の用語と似ているが、異なる形式を持つ用語(例えば、"there"に対する同音語は、"their")。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9529	A		同義語	どうぎご	synonym term	他の用語と全く同じか又は似た意味をもつが、異なる形式を持つ用語(例えば、"SQL/MM"に対する同義語は、"SQL Multimedia and Application Package")。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9530	A		最上位語	さいじょういご	top term	階層関係の中で、最も上位の用語。"計算機言語"が"データベース言語"の上位語であると定義されているならば、"SQL"の最上位語は"計算機言語"である。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9531	A		含む	ふくむ	contain	JIS X 3005で規定する定義による。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9532	A		直に含む	じかにふくむ	immediately contain	JIS X 3005で規定する定義による。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9533	A		単純に含む	たんじゅんにふくむ	simply contain	JIS X 3005で規定する定義による。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9534	A		SQL呼び出しルーチン	SQLよびだしるーちん	SQL-invoked routine	JIS X 3005で規定する定義による。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9535	A		シソーラス	しそーらす	thesaurus	ANSI/NISO Z39.19で規定する定義による。	JIS X 3006-2	2003	ISO/IEC 13249-2	2000				2003	SC32
9536	A		0次元位置形状	0じげんいちけいじょう	0-dimensional geometry	位置形状次元が0の位置形状。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9537	A		1次元位置形状	1じげんいちけいじょう	1-dimensional geometry	位置形状次元が1の位置形状。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9538	A		2次元位置形状	2じげんいちけいじょう	2-dimensional geometry	位置形状次元が2の位置形状。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9539	A		曲線の境界	きょくせんのきょうかい	boundary of a curve	曲線が閉じているならば、空集合、そうでなければ、その曲線の始点及び終点を含む集	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9540	A		点の境界	てんのきょうかい	boundary of a point	空集合。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9541	A		面の境界	めんのきょうかい	boundary of a surface	内部及び外部の環を含む、面の輪郭を含む曲線の集合。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9542	A		閉曲線	へいきょくせん	closed curve	始点が終点と等しい曲線。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9543	A		閉包	へいほう	closure	開いた点集合が境界を含みトポロジ的に閉じた点集合になるようにするトポロジ機能。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9544	A		次元	じげん	dimension	位置形状の次元。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9545	A		位置形状	いちけいじょう	geometry	対象物の外形及び地理的な位置。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9546	A		共通部分	きょうつうぶぶん	intersection	二つの位置形状の点集合表現a及びbが共通部分をもつ、すなわち、a∩b≠Φならば、それらの二つの位置形状は、共通部分をもつ。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9547	A		直線環	ちょくせんかん	linear ring	閉じていて単純な折線。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9548	A		折線	おれせん	linestring	制御点間を直線で内装した曲線。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9549	A		非閉曲線	ひへいきょくせん	non-closed curve	始点が終点に等しくない曲線。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9550	A		多角形	たかくけい	polygon	境界の定義に直線環を用いた面。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9551	A		点集合	てんしゅうごう	point set	点の有限集合又は無限集合としての位置形状表現。 参考 数学的な集合の共通部分(∩)、和集合(∪)、及び差集合(-)の操作は、点集合に対して作用する。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9552	A		環	かん	ring	閉じていて単純な曲線。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9553	A		空間的に等しい	くうかんてきにひとしい	spatially equals	位置形状値が空間的に等しいかどうかの試験は、数学の集合が"等しい"ときの定義に類似する。 参考1.二つの位置形状値の点集合が等しいならば、その位置形状は、空間的に等しい。二つの点集合a及びbは、(a-b)∩(b-a)=Φならば、等しい。 2.点の無限集合は、試験できないので、内部表現での等しさ、すなわち、二つの、おそらくは全く異なる、表現の間で等しさを試験しなければならない。その試験は、空間参照システムの解像度又はデータの正確さで制限してもよい。二つの点の距離がある許容範囲内であるならば、その2点が等しいとするような処理系定義の許容範囲を提供しても	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9554	A		トポロジ的に閉じている	とぽろじてきにとじている	topologically closed	すべての値がそれ自身の境界を含む位置形状型の特性。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9555	A		直に含む	じかにふくむ	immediately contain	JIS X 3005で規定する定義による。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9556	A		緩衝帯	かんしょうたい	buffer	ある位置形状オブジェクトとの距離が、与えられた距離以下であるようなすべての点を含む別の位置形状オブジェクト。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9557	A		計算トポロジ、代数トポロジ	けいさんとぽろじ、だいすうとぽろじ	computational topology, algebraic topology	計算幾何学で通常行われる操作を補助、拡張又は定義するトポロジ的な概念、構造及び代数。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9558	A		連結している	れんけつしている	connected	位置形状オブジェクト上の任意の2点が、オブジェクト内にある曲線によって連結できることを意味する位置形状オブジェクトの特性。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9559	A		位置形状オブジェクトの凸包	いちけいじょうおぶじぇくとのとつほう	convex hull of a geometric object	位置形状オブジェクトに関連した位置形状集合を含む最小凸集合。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9560	A		座標次元	ざひょうじげん	coordinate dimension	座標系中の位置を記述するのに必要な測定値又は座標の数。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9561	A		座標	ざひょう	coordinate	N次元空間の点の位置を表すN数集合の一つ。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9562	A		座標系	ざひょうけい	coordinate system	座標をどのように点に当てはめるかを指定する(数学的な)規則の集合。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9563	A		座標参照系	ざひょうさんしょうけい	coordinate reference system	基準(datum)(データ)によって地表に関連づけられる座標系。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9564	A		曲線	きょくせん	curve	線の連続的な像を表現する、有界で連結している1次元位置形状プリミティブ。したがって、1パラメタの点集合として完全に表現できる。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9565	A		終点	しゅうてん	end point	曲線の最後の点。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9566	A		位置形状複合体	いちけいじょうふくごうたい	geometric complex	それぞれの位置形状プリミティブの位置形状境界がその位置形状複合体内で他の位置形状プリミティブの和集合として表現できるような、互いに素な値形状プリミティブの集	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9567	A		位置形状次元	いちけいじょうじげん	geometric dimension	位置形状集合中のそれぞれの直接位置が、その内部に直接位置をもつ部分集合で、ユークリッドn-空間Rnに類似した(同形の)部分集合に関連しているような最大数n。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9568	A		位置形状オブジェクト	いちけいじょうおぶじぇくと	geometric object	単一の実体として扱われる位置形状プリミティブ、位置形状プリミティブの集まり、又は位置形状複合体。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9569	A		位置形状プリミティブ	いちけいじょうぷりみてぃ	geometric primitive	単一で連結していて同質の位置形状要素を表現するオブジェクト。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9570	A		準同形	じゅんどうけい	homomorphism	一方から他方へ構造を保存する機能があるような二つのオブジェクト(二つの複合体)間の関係。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9571	A		(位置形状オブジェクトの)内部	(いちけいじょうおぶじぇくとの)ないぶ	interior (of a geometric object)	位置形状境界を除く、位置形状オブジェクト上のすべての点の集合。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9572	A		同形	どうけい	isomorphism	一方から他方へ構造を保存する1対1の機能があるような二つのオブジェクト(二つの複合体)間の関係。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9573	A		点	てん	point	位置を表現するが、広がりを持たない0次元位置形状プリミティブ。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9574	A		始点	してん	start point	曲線の最初の点。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9575	A		面	めん	surface	平面領域の連続的な像を表現する、誘拐で連結している2次元位置形状プリミティブ。したがって、2派ラメ多の点集合として局所的に完全に表現できる。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9576	A		データ	でーた	datum	他の量の計算のために参照又は基盤としてもよい任意の量又は量の集合。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9577	A		楕円体	だえんたい	ellipsoid	楕円を軸にそって回転させてできる形。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9578	A		扁平率	へんぺいりつ	flattening	楕円体の長半径と端半径との里、長半径との比率。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9579	A		測地座標系、楕円体座標系	そくちざひょうけい、だえんたいざひょうけい	geodetic coordinate system, ellipsoidal coordinate system	緯度、経度及び(三次元の場合)楕円体の高さによって位置が指定される座標系。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9580	A		子午線	しごせん	meridian	楕円体とその端半径を含む平面との共通部分。 参考 子午線には、全円としての子午線の他に、半円としての子午線もある。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9581	A		本初子午線	ほんしょしごせん	prime meridian, zero meridian	他の子午線の経度を定量化するための子午線。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9582	A		投影座標系	とうえいざひょうけい	projected coordinate	地図投影の結果形成される2次元デカルト座標系。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9583	A		長半径	ちょうはんけい	semi-major axis	楕円体の長軸の半分。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9584	A		短半径	たんはんけい	semi-minor axis	楕円体の短軸の半分。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9585	A		単位	たんい	unit	次元で示すパラメタで表現される定義された量。	JIS X 3006-3	2003	ISO/IEC 13249-3	1999				2003	SC32
9586	A		基本画像特徴	きほんがぞうとくちょう	basic image feature	複合特徴ではない基本的な画像特徴。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9587	A		色空間	いろくうかん	color space	色値の表現方法の規約の集合。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9588	A		複合特徴	ふくごうとくちょう	composite feature	基本画像特徴及びそれらに関連する重みから構成される画像特徴。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9589	A		画像様式	がぞうようしき	image format	特定の圧縮又は非圧縮の交換様式を用いた、ディジタル画像の画像データを格納するための規約の集合。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9590	A		画像特徴	がぞうとくちょう	image feature	(固有画像特性以外の)画像データの特性。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9591	A		固有画像特性	こゆうがぞうとくせい	inherent image characteristics	ディジタル画像の画像様式及び特有の物理特性。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9592	A		重み付き特徴リスト	おもみつきとくちょうりすと	list of weighted features	複合特性を参照。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9593	A		画像	がぞう	picture element	"JIS X 4301で規定する定義"の標本を参照。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9594	A		原画像	げんがぞう	raw image	ある画像を表現する2進オクテット列。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9595	A		画像の類似度	がぞうのるいじど	similarity of images	二つの画像の比較によって得られる数量。数量は、画像特徴に基づく。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9596	A		サムネイル	さむねいる	thumbnail	ある原画像から縮小して得られる別の原画像。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9597	A		列	れつ	column	JIS X 4301の規定による。 参考1 ここでの"列"の使用は、JPEG規格で定義したもので、SQL規格で定義したもので	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9598	A		成分	せいぶん	component	JIS X 4301の規定による。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9599	A		(ディジタル)(静止)画像	(でぃじたる)(せいし)がぞう	(digital) (still) image	JIS X 4301の規定による。 参考2 "ディジタル"及び"静止"の括弧は、JIS X 4301で用いる規約であり、"ディジタル画像"、"静止画像"、及び"画像"の用語が交換可能なことを意味する。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9600	A		画像データ	がぞうでーた	image data	JIS X 4301の規定による。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9601	A		交換様式	こうかんようしき	interchange format	JIS X 4301の規定による。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9602	A		行(数)	ぎょう(すう)	[(number of) items]	JIS X 4301の規定による。 備考3 "数"の括弧は、JIS X 4301で用いる規約であり、"行数"と"行"の用語が交換可能なことを意味する。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9603	A		標本	ひょうほん	sample	JIS X 4301の規定による。	JIS X 3006-5	2003	ISO/IEC 13249-5	2001				2003	SC32
9604	A		現在フィールド	げんざいふぃーるど	active field	データ発掘モデルを計算し、単一入力行を評価文は予測するために、データ発掘実行中に使用する入力フィールド。 備考 現在フィールドは、論理データ仕様で定義する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9605	A		適用フェーズ	てきようふぇーず	application phase	フェーズ。その間で、入力行がデータ発掘に対して評価され、一つ以上の値が、例えば、データ発掘クラスタ分析のためのクラスタの識別、データ発掘クラス分類又はデータ発掘回帰のための予測値として、計算される。 備考 適用フェーズは、現状のところデータ発掘クラスタ分析、クラス分類及び回帰のためにだけ使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9606	A		連関規則	れんかんきそく	association rule	フィールド値の組合せ。その組合せは、(指定したしきい値に従って)頻繁に現れる。すなわち、値の組合せを含むかなりの数のグループがある。 適用例 店舗設計	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9607	A		連関規則支持度	れんかんきそくしじど	asscciation rule support	連関規則の全項目を含むトランザクションの百分率。 備考 連関規則"XかつYならばZである"の連関規則支持度は、X、Y及びZを含むトランザクション数を総トランザクション数で割った100倍とする。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9608	A		カテゴリフィールド型	かてごりふぃーるどがた	categorical field type	比較演算子として<等演算子>だけを支援するカテゴリフィールド型のフィールドの性質。 備考 定義した順序はなく、算術演算子は支援しない。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9609	A		クラスラベル	くらすらべる	class label	クラス分類モデルを生成するためにデータ発掘クラス分類で使用する目標フィールド。この目標フィールドのクラスラベルのないデータへの適用が、このクラスラベルのための値を予測することを可能にする。 備考 クラスラベルは、カテゴリフィールド型をもたなければならない。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9610	A		クラス分類損失度	くらすぶんるいそんしつど	classification cost rate	データ発掘クラス分類の妥当性確認フェーズ中に許容される最大クラス分類誤り。このことはクラス分類モデルが十分に考慮されていない。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9611	A		クラス分類誤り	くらすぶんるいあやまり	classification error	クラス分類技法の正当性確認フェーズ中に予測された値の総数の間で誤って予測された値の百分率。 備考 この誤りは、試験フェーズの終わりで返却される。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9612	A		クラス分類モデル	くらすぶんるいもでる	classification model	データ発掘クラス分類の結果。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9613	A		データ発掘適用タスク	でーたはっくつてきようたすく	data mining application task	データ発掘モデル、入出力のためのデータ発掘データ及び操作のために使用する結果フィールドの値を含むデータ発掘モデルに適用するのに必要な全データに対する抽象。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9614	A		データ発掘クラス分類	でーたはっくつくらすぶんるい	data mining classification	クラスラベル値がクラスラベル値なしにモデル及び入力フィールド値を使用することによって予測できるような、クラス分類モデルを計算するデータ発掘技法。 備考 この規格では、用語"クラス分類"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘クラス分類"の同意語として時には使用する。 適用例 保険危険予測	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9615	A		データ発掘クラスタ	でーたはっくつくらすた	data mining cluster	共通の特性をもつ入力行の集合("3.1.2.13データ発掘クラスタ分析"を参照)。 備考この規格では、用語"クラスタ"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘クラスタ"の同意語として時には使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9616	A		データ発掘クラスタ分析	でーたはっくつくらすたぶんせき	data mining clustering	クラスタという共通の特性をもつ入力行の集合を発見するデータ発掘技法。ここで、行が一つのクラスタ内部ではできる限り同質であり、二つのクラスタ間ではできる限り異質とするようなクラスタ。 備考 この規格では、用語"クラスタ"又は"セグメント"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘クラスタ"の同意語として時には使用する。 適用例 ダイレクトメール	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9617	A		データ発掘データ	でーたはっくつでーた	data mining data	データ発掘訓練、試験又は適用実行のためのデータにアクセスするのに必要なメタデータを表現するデータの記述。このデータは、表に入っている。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9618	A		データ発掘データ型	でーたはっくつでーたがた	data mining data type	表の抽象を表現するデータ発掘データ型。データ発掘データ型は、入力フィールド名(すなわち、表の名前)を別名に写像する。この別名は、データ発掘実行の前に、指定された論理データ仕様で使用されるフィールド名と比較される。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9619	A		データ発掘モデル	でーたはっくつもでる	data mining model	与えられたデータ集合上のデータ発掘技法のデータ発掘実行結果。ここで、データの中で発見された有効な相関を含む。 備考 1.データ発掘モデルは、追加データの振舞いを関連付け、分類し、又は予測するために、最初の大容量データの代用として単独で使用できる。 2.この規格では、用語"発掘モデル"又は"モデル"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘モデル"の同意語として時には使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9620	A		データ発掘回帰	でーたはっくつかいき	data mining regression	目標フィールドの数値型を除けばデータ発掘クラス分類と類似したデータ発掘技法。それは数値を予測するのを可能にする回帰モデルを計算する。 備考1. 予測値は、モデルを作るのに使用されるデータに含まれる値に一致しなくてもよい。 2. この規格では、用語"回帰"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘回帰"の同意語として時には使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9621	A		データ発掘実行	でーたはっくつじっこう	data mining run	データ発掘設定を使用するデータ発掘モデルの計算。 備考 データ発掘技法に従って、データ発掘実行は、訓練フェーズ、妥当性確認フェーズ及び試験フェーズを含んでもよい。データ発掘実行は、訓練フェーズを含むとき訓練実行と呼び、試験フ、エーズだけを含むとき試験実行と呼ぶ。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9622	A		データ発掘セグメンテーション	でーたはっくつせぐめんてーしょん	data mining segmentation	"3.1.2.13データ発掘クラスタ分析"を参照。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9623	A		データ発掘設定	でーたはっくつせってい	data mining settings	データ発掘技法に依存する論理データ仕様及びパラメタを指定するデータ発掘実行で使用される設定。 備考 この規格では、用語"発掘設定"又は"設定"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘設定"の同意語として時には使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9624	A		データ発掘タスク	でーたはっくつたすく	data mining task	データ発掘設定及びデータ発掘データ型を含めて、データ発掘モデルを計算し、試験し、適用するのに必要な全データに対する抽象。 備考 この規格では、用語"発掘タスグ"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘タスク"の同意語として時には使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9625	A		データ発掘技法	でーたはっくつぎほう	data mining technique	著名である4種類のデータ発掘技法。すなわち、連関規則発見、クラスタ分析(セグメンテーション)、クラス分類及び回帰。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9626	A		データ発掘試験結果	でーたはっくつしけんけっか	data mining test result	試験データの中で正確及び不正確な予測値の評価を含む試験フェーズの終わりで返却される統計的な結果。 備考1. この結果は、データ発掘モデルの品質基準を考慮できる。 2. この規格では、用語"試験結果"は、その意味が文脈からあいまいでないところでは"データ発掘試験結果"の同意語として時には使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9627	A		データ発掘試験タスク	でーたはっくつしけんたすく	data mining test task	データ発掘モデル及び操作のために使用するデータ発掘データの値を含めて、データ発掘モデルを試験するのに必要な全データに対する抽象。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9628	A		データウェアハウス	でーたうぇあはうす	data warehouse	意思決定のためのデータの集まり。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9629	A		搬出	はんしゅつ	export	利用者定義型の値を特定のデータの形式に変換すること。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9630	A		搬入	はんにゅう	import	特定のデータの形式から利用者定義型の値を生成すること。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9631	A		入力フィールド	にゅうりょくふぃーるど	input field	入力行の行型のフィールド。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9632	A		入力行	にゅうりょくぎょう	input row	データ発掘モデルのデータ発掘実行、試験又は適用のための入力として使用する行。 備考 求める行型は、設定値の論理デ=タ仕様によって、又は発掘モデルの論理データ仕様及び目標によって決定する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9633	A		論理データ仕様	ろんりでーたしよう	logical data specification	データ発掘実行の間に使用するフィールド名及びフィールド型を記録するデータ発掘設定の一部分。 備考 これらのフィールドは、データ発掘実行前に、データ発掘データ型で定義されたフィールド名又は別名と比較する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9634	A		論理フィールド	ろんりふぃーるど	logica Field	特性が論理データ仕様型(DM_LogicalDataSpec)のメソッドによって与えられる入力フィールドに対して置き換えられるもの。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9635	A		論理フィールド型	ろんりふぃーるどがた	logical field type	データ発掘フィールド値がデータ発掘実行の間に比較され、管理される方法を定義する分類か又は数値かのどちらかである論理フィールドの型。 備考 この規格では、用語“フィールド型”は、その意味が文脈からあいまいでないところでは“論理フィールド型”の同意語として時には使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9636	A		数値フィールド型	すうちふぃーるどがた	numerical field type	<数値式>のすべての操作を支援する数値フィールド型のフィールドの性質。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9637	A		予測値	よそくち	predicted value	データ発掘クラス分類又は回帰モデルを使用する予測された目標フィールドの値。 備考 予測値は、分類か又は数値かのどちらかにできる。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9638	A		回帰モデル	かいきもでる	regression model	データ発掘回帰の結果。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9639	A		規則信頼度	きそくしんらいど	rule confidence	規則の前提部を含むトランザクションのうち、その規則の全項目を含むトランザクションの百分率。 備考 連関規則“XかつYならばZである”の信頼度は、X、Y及びZを含むトランザクション数をX及びYを含むトランザクション数で割った100倍とする。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9640	A		類似度比率	るいじどひりつ	similarity scale	データ発掘クラスタ分析の類似度を計算するのに使用する数値フィールドに対する比率。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9641	A		源表	げんひょう	source table	データ発掘を処理するデータを含んでいる表。源表は、実表か又はビューのいずれかと	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9642	A		目標フィールド	もくひょうふぃーるど	target field	値が予測されるデータ発掘クラス分類及び回帰で使用する特別なフィールド。 備考 クラス分類において、目標フィールドは、クラスラベルと呼ばれ、カテゴリフィールド型をもつ。回帰において、目標フィールドは、数値フィールド型をもつ。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9643	A		試験フェーズ	しけんふぇーず	testing phase	目標フィールドの値を含んでいる入力行の集合を読み、適用フェーズで各行を評価し、予測値を目標フィールド中の実際の値と比較するフェーズ。 備考 試験フェーズは、データ発掘クラス分類及び回帰に対してのみ使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9644	A		訓練データ	くんれんでーた	training data	訓練フェーズに対する入力として使用するデータ。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9645	A		訓練フェーズ	くんれんふぇーず	training phase	データ発掘モデルが計算されるフェーズで、全データ発掘技法に共通。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9646	A		妥当性確認フェーズ	だとうせいかくにんふぇーず	validation.phase	データ発掘クラス分類及び回帰の技法のための訓練フェーズの一部分。ここでは、試験フェーズで記述されているように、計算されたデータ発掘モデル及びデータ発掘モデルに対する入力行を試験するための別の入力行の集合を使用する。	JIS X 3006-6	2004	ISO/IEC 13249-6	2002				2006	SC32
9647	A		誤り	あやまり	error	この規格の要求事項に対するプログラムの違反であって、処理系が必ずしも検出しなくてよいもの。(参)1.この規格に違反するかしないかが、読み込むデータに依存するプログラム、又は処理系定義の機能をその処理系がどう定義しているかに依存するプログラムを作ることができる場合、その要求事項に対する違反を誤りと規定する。処理系は、これらの情報を使わなくても、そうした違反があると報告できることもある。しかし、違反となるかどうかが、実行してみるか、実行をシミュレートしてみるか、又はそうした情報をもとにして検証手順を踏んでみるかしなければ分からない場合が必ずある。要求事項に対する違反のうち、違反となるかどうかがそうした情報を使わずに判定できるものは、誤りといわない。2.処理系は、できる限り多くの誤りをできる限り完全に検出するように努めることが望ましい。ただし、その検出が過大な負担となる場合は、この限りでない。	JIS X 3008	1994	ISO/IEC 7185	1990				1990	SC22
9648	A		拡張	かくちょう	extension	この規格の6.に対する変更のうち、この規格に準拠するプログラム(5.2参照)を排除することがないもの。ただし、幾つかの特定のつづりの識別子の使用を禁じてもよい。(6.1.2	JIS X 3008	1994	ISO/IEC 7185	1990				1990	SC22
9649	A		処理系定義	しょりけいていぎ	implementation-defined	処理系によって異なっているかもしれないが、個々の処理系では定義されている。	JIS X 3008	1994	ISO/IEC 7185	1990				1990	SC22
9650	A		処理系依存	しょりけいいぞん	implementation-dependent	処理系によって異なっているかもしれず、個々の処理系で定義されているとも限らない。	JIS X 3008	1994	ISO/IEC 7185	1990				1990	SC22
9651	A		処理系	しょりけい	processor	プログラムを入力として受けとり、その実行の準備を行い、それをデータと共に実行して結果をもたらすためのシステム又は機構。(参)処理系とは、インタプリタ又はコンパイラと実行時システムといったものだけではなく、その背後にある計算機とオペレーティングシステム又はそれと同等の機構をも含めていう。例えば、コンパイラ単独では処理系とは	JIS X 3008	1994	ISO/IEC 7185	1990				1990	SC22
9652	B		境界調整	きょうかいちょうせい	alignment	特定の型のオブジェクトを特定のバイトアドレスの倍数のアドレスをもつ記憶域境界に割り付ける要求。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9653	B		実引数	じつひきすう	argument	関数呼出し式において、括弧で囲み、コンマで区切った並びの中の式、又は関数形式のマクロ呼出しにおいて、括弧で囲み、コンマで区切った並びの中の前処理字句の列。“actual argument”又は“actual parameter”として知られている。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9654	B		ビット	びっと	bit	2種類の値のうちの一つをもちうるオブジェクトを保持するために十分な大きさをもつ実行環境でのデータ記憶域の単位。オブジェクトの個々のビットのアドレスを表現できる必要はない。(備)ビットがもちうる2種類の値のうちの一方を値0という。ビットの値を値0以外にすることを、この規格では、“ビットをセットする”という。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9655	B		バイト	ばいと	byte	実行環境の基本文字集合の任意の要素を保持するために十分な大きさをもつデータ記憶域の単位。オブジェクトの個々のバイトのアドレスを、一意に表現できなければならない。バイトは連続するビットの列からなる。1バイト中のビット数は、処理系定義とする。最も重みの小さいビットを下位ビット(low-order bit)と呼び、最も重みの大きいビットを上位	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9656	B		文字	もじ	character	1バイトに納まるビット表現。ソース環境及び実行環境それぞれの基本文字集合の各要素の表現は、1バイトに納まらなければならない。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9657	B		制約	せいやく	constraints	言語要素に関する規定を解釈するに当たっての構文上及び意味上の制限。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9658	B		診断メッセージ	しんだんめっせーじ	diagnostic message	処理系が出力するメッセージのうち、処理系定義の部分集合に属するメッセージ。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9659	B		前方参照	ぜんぽうさんしょう	forward reference	その節に関連する付加情報を含むこの規格の前方の節への参照。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9660	B		処理系	しょりけい	implementation	特定の翻訳環境中において特定の制御オプションの下で走行し、特定の実行環境用にプログラムを翻訳し、その実行環境における関数の実行をサポートする特定のソフトウェ	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9661	B		処理系定義の動作	しょりけいていぎのどうさ	implementation-defined behavior	正しいプログラム構成要素及び正しいデータに関する動作のうち、処理系の特徴に依存し、更に各処理系が文書化しなければならない動作。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9662	B		処理系限界	しょりけいげんかい	implementation limit	処理系がプログラムに課す制限。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9663	B		文化圏固有動作	ぶんかけんこゆうどうさ	locale-specific behavior	国家、文化及び言語の地域規約(ロケール)に依存し、各処理系が文書化しなければならない動作。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9664	B		多バイト文字	たばいともじ	multibyte character	ソース環境又は実行環境の拡張文字集合の要素を表す1バイト以上のバイト列。拡張文字集合は、基本文字集合を包含する。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9665	B		オブジェクト	おぶじぇくと	object	その内容によって、値を表現することができる実行環境中の記憶域の領域。ビットフィールド以外のオブジェクトは、連続する一つ以上のバイトの列からなる。そのバイトの個数、順序及び符号化規則は、明示的に規定するか又は処理系定義とする。オブジェクトを参照する場合、オブジェクトは、特定の型をもっていると解釈してもよい(6.2.2.1参照)。	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9666	B		仮引数	かりひきすう	parameter	関数宣言若しくは関数定義の一部として宣言され、関数に入る時点で値を得るオブジェクト、又は関数形式マクロ定義におけるマクロ名の直後の括弧で囲まれコンマで区切られた並びに現れる識別子。“formal argument”又は“formal parameter”として知られてい	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9667	B		未定義の動作	みていぎのどうさ	undefined behavior	可搬性がない若しくは不正なプログラム構成要素の使用における動作、又は不正なデータ若しくは不確定な値をもつオブジェクトの使用における動作であり、この規格が何ら要求を課さない動作。未定義の動作に対して、その状況を無視して予測不可能な結果を返してもよい。一方、翻訳時又はプログラム実行時に、文書化された、環境に特有な方法で処理してもよい(診断メッセージの発行を伴っても伴わなくてもよい。)。更に(診断メッセージを出力し)翻訳又は実行を中断してもよい。この規格の制約以外の箇所で現れる“…(し)なければならない”又は“…(し)てはならない”という要求をプログラムが守っていない場合、その動作は未定義とする。この規格では、このほかに、用語“未定義の動作”を使うことによるか又は動作の定義を明示的には与えないことによって未定義の動作を示すこともある。これらの三つの書き方は強調度において何ら変わりはなく、それらはす	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9668	B		未定義の動作	みていぎのどうさ	unspecified behavior	正しいプログラム構成要素及び正しいデータに対する動作であり、この規格が明示的に何ら要求を課さない動作。(例)1.未規定の動作の例としては、関数の実引数の評価順序がある。2.未定義の動作の例としては、整数演算のオーバーフローに対する動作がある。3.処理系定義の動作の例としては、符号付き整数を右シフトした場合の最上位ビットの伝ぱ法がある。4.文化圏固有動作の例としては、islower関数が26種類の英小文字以外の文字に対し、真を返すかどうかがある。前方参照　islower関数(7.3.1.6)、関数呼出し(6.3.2.2)、式(6.3)、文化圏固有操作(7.4)、ビット単位のシフト演算子(6.3.7)	JIS X 3010	1994	ISO/IEC 9899	1990		2003/12	1999	1999	SC22
9669	A		アクセス	あくせす	access	<実行時の動作>オブジェクトの値を読み取る、又は変更すること。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9670	A		境界調整	きょうかいちょうせい	alignment	特定の型のオブジェクトを特定のバイトアドレスの倍数のアドレスをもつ記憶域境界に割り付ける要求。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9671	A		実引数	じつひきすう	argument, actual argument, actual	関数呼出し式において、括弧で囲まれコンマで区切られた並びの中の式、又は関数形式のマクロの呼出しにおいて、括弧で囲まれコンマで区切られた並びの中の前処理字句の	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9672	A		動作	どうさ	behavior	外から見る様子又は動作。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9673	A		処理系定義の動作	しょりけいていぎのどうさ	implementation-defined behavior	未規定の動作のうち、各処理系が選択した動作を文書化するもの。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9674	A		文化圏固有動作	ぶんかけんこゆうどうさ	locale-specific behavior	国家、文化及び言語の地域規約に依存する動作であり、各処理系がその動作を文書化するもの。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9675	A		未定義の動作	みていぎのどうさ	undefined behavior	可搬性がない若しくは正しくないないプログラム構成要素の使用したときの動作、又は正しくないデータを使用したときの動作であり、この規格が何ら要求を課さないもの。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9676	A		未規定の動作	みきていのどうさ	unspecified behavior	この規格が、二つ以上の可能性を提供し、個々の場合にどの可能性を選択するかに関して何ら要求を課さない動作。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9677	A		ビット	びっと	bit	2種類の値のうちの一方を値としてもつオブジェクトを保持するために十分な大きさをもつ実行環境でのデータ記憶域の単位。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9678	A		バイト	ばいと	byte	実行環境の基本文字集合の任意の要素を保持するために十分な大きさをもつアドレス付け可能なデータ記憶域の単位。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9679	A		文字	もじ	character	<抽象的意味>データを構成する、制御する、又は表現するために使用する基本要素から成る集合の要素。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9680	A		文字、1バイト文字	もじ、1ばいともじ	character, single-byte character	<プログラム言語Cでの意味>1バイトに納まるビット表現。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9681	A		多バイト文字	たばいともじ	multibyte character	ソース環境又は実行環境の拡張文字集合の要素を表す1バイト以上のバイトの列。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9682	A		ワイド文字	わいどもじ	wide character	型wchar_tのオブジェクトに納まり、その時点のロケールでの任意の文字を表現できるビット表現。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9683	A		制約	せいやく	constraints	言語要素に関する規定を解釈するに当たっての構文上又は意味上の制限。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9684	A		正しい丸めの結果	ただしいまるめのけっか	correctly rounded result	有効な丸めモードの下で得られる結果の形式の表現で、無制限の範囲及び精度を仮定して得られる結果に最も近いもの。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9685	A		診断メッセージ	しんだんめっせーじ	diagnostic message	処理系が出力するメッセージのうち、処理系定義の部分集合に属するメッセージ。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9686	A		前方参照	ぜんぽうさんしょう	forward reference	その箇所に関する付加情報を含むこの規格の前方の箇所への参照。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9687	A		処理系	しょりけい	implementation	特定の翻訳環境中において特定の制御オプションの下で走行し、特定の実行環境用にプログラムを翻訳し、その実行環境における関数の実行をサポートする特定のソフトウェ	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9688	A		処理系限界	しょりけいげんかい	implementation limit	処理系がプログラムに課す制限。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9689	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	その内容によって、値を表現することができる実行環境中の記憶域の部分。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9690	A		仮引数	かりひきすう	parameter, formal parameter, formal argument	関数宣言若しくは関数定義の一部として宣言され、関数に入る時点で値を得るオブジェクト、又は関数方式マクロ定義におけるマクロ名の直後の括弧で囲まれたコンマで区切られた並びに現れる識別子。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9691	A		推奨実装仕様	すいしょうじっそうしよう	recommended practice	この規格の趣旨に沿うために強く推奨する規定。しかし、処理系によっては非現実的な場合もある。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9692	A		値	あたい	value	オブジェクトが特定の型をもっていると解釈する場合のオブジェクトの内容の厳密な意	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9693	A		処理系定義の値	しょりけいていぎのあたい	implementation-defined value	未規定の値のうち、各処理系が選択した値を文書化するもの。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9694	A		不定の値	ふていのあたい	indeterminate value	未規定の値又はトラップ表現。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9695	A		未規定の値	みきていのあたい	unspecified value	適切な型の正しい値であり、この規格が、個々の場合にどの値を選択するかに対して何ら要求を課さないもの。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9696	A	⌈x⌉	⌈x⌉	⌈x⌉	xの切上げ、すなわち、x以上の最小の整数。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9697	A	⌊x⌋	⌊x⌋	⌊x⌋	xの切下げ、すなわち、x以下の最大の整数。	JIS X 3010	2003	ISO/IEC 9899	1999				1999	SC22
9698	A		抽象クラス	ちゅうしょうくらす	abstract class	定義によって、直接インスタンスをもつことが許されないクラス	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9699	A		活動	かつどう	activation	関数の計算。個々の活動は、起動時点、活動期間及び活動終了時点をもっている。活動は、関数適用形式によって起動される。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9700	A		アクセス関数	あくせすかんすう	accessor	インスタンスのスロットに対する読み出し関数と書込み関数との総称。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9701	A		束縛	そくばく	binding	束縛には構文的側面と意味論的側面とがある。構文的には、“束縛”は、識別子と、束縛するISLISP評価形式との関係を規定する。束縛されているかどうかは、識別子が定義されている位置とそれが参照されている位置とを関係付けることによって、検査できる。意味論的には、“束縛”は、変数、変数名及びオブジェクトの間の関係(又は変数とその場所との関係)を規定する。この関係は、束縛という実体によって具現化されていると考えることができる。そのような束縛の実体は、実行時に構築され、後で破壊される。ただし、束縛によっては、無制限に存在機関を持つ場合がある。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9702	A		クラス	くらす	class	オブジェクトであって、インスタンスと呼ばれる一群のオブジェクトの構造及び振る舞いを決定する。振る舞いとは、一つのインスタンスに対して実行できる操作の集合である。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9703	A		例外状態	れいがいじょうたい	condition	実行中のプログラムによって検出される(又は検出される可能性のある)状況を表現するオブジェクト。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9704	A		定義位置	ていぎいち	definition point	ISLISPテキストのテキスト上の位置であり、その位置以降では、定義されたオブジェクトは識別子によって表現される。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9705	A		直接インスタンス	ちょくせついんすたんす	direct instance	ISLISPオブジェクトは、唯一のクラスの直接インスタンスである。その唯一のクラスを、“そのオブジェクトのクラス”と呼ぶ。直接インスタンスは振る舞いをともない、直接インスタンスのすべての集合が、、一つのクラスを構成する。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9706	A		動的	どうてき	dynamic	プログラムの実行によって初めて決定でき、一般に、静的に決定することが不可能な影響をもつ。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9707	A		動的変数	どうてきへんすう	dynamic variable	最も最近に束縛を設定した活性ブロックによって、その束縛が決定される変数。静的原理によって、静的に自明なブロックによって束縛が決定されるものではない。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9708	A		評価	ひょうか	evaluation	実行のために準備された評価形式の計算。その結果は、値及び/又は副作用となる。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9709	A		実行	じっこう	execution	活動の並び。活動は入れ子になることもある。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9710	A		拡張	かくちょう	extension	この規格の要求に対する処理系定義の追加事項であり、次の条件をすべて満たすもの。・特定の識別子の使用を禁止することを除き、この規格に適合するISLISPテキストの正当性を損なわない。・エラーを通知するようこの規格が要求している動作の集合を変更しない。・処理系依存と指定されている機能の状態を変更しない。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9711	A		評価形式	ひょうかけいしき	evaluation form	プログラムテキスト中の、構文的に正しい単位であり、実行のために準備することが可能であるもの。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9712	A		関数	かんすう	function	ISLISPオブジェクトであり、引数を伴って呼び出され、計算(副作用をともなってもよい。)を行い、値を返すもの。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9713	A		包括関数	ほうかつかんすう	generic function	関数であり、その呼び出しの際の振る舞いが引数の値の属するクラスによって決定され、一般的には複数のメソッドによって構成されるもの。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9714	A		識別子	しきべつし	identifier	ISLISPオブジェクトを指定する静的構成要素(字句要素)。ISLISPテキストをデータ構造で表現する場合、識別子は記号で表現する。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9715	A		変更不可能な束縛	へんこうふかのうなそくばく	immutable binding	束縛が変更不可能であるとは、識別子とそれが表現するオブジェクトとの関係が変更できないことを意味する。変更不可能な束縛を変更しようと試みた場合は、違反とする(エラー名 immutable-binding)。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9716	A		変更不可能なオブジェクト	へんこうふかのうなおぶじぇくと	immutable object	オブジェクトが変更不可能であるとは、それが変更できないことを意味する。変更するための演算子が用意されていない場合、及び変更を行う演算子の使用を禁止する何らかの制約がある場合に、変更不可能となる。特にことわらない限り、適合するプロセッサは、変更不可能なオブジェクトを変更する試みを検出しなくてもよい。変更不可能なオブジェクトを変更する試みが行われた場合は、結果は未定義となる。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9717	A		処理系定義	しょりけいていぎ	implementation defined	ISLISPプロセッサごとに異なるかも知れない機能であるが、個々のプロセッサごとに完全に定義されているもの。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9718	A		処理系依存	しょりけいいぞん	implementation dependent	ISLISPプロセッサごとに異なるかも知れない機能であるが、個々のプロセッサによっては必ずしも定義されていないもの。備考 適合するISLISPテキストは、処理系依存の機能に依存してはならない。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9719	A		継承	けいしょう	inheritance	クラスとその(直接又は間接の)上位クラスとの関係であり、上位クラスの構造及び振る舞いをそのクラスに写像する関係。ISLISPは、制限された多重継承を可能とする。すなわち、クラスは、直接の上位クラスを同時に複数持つことが可能である。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9720	A		(クラスの)インスタンス	(くらすの)いんすたんす	instance	クラスの直接インスタンス又はその下位クラスのインスタンス。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9721	A		リテラル	りてらる	literal	プログラム中に、表現が定数として直接現れているオブジェクト。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9722	A		メタクラス	めたくらす	metaclass	インスタンスがクラスであるクラス。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9723	A		メソッド	めそっど	method	特定のパラメタ記述に対応して、包括関数の、クラスに固有な振る舞い及び操作を定義する実体。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9724	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	ISLISPプロセッサが生成、破壊、操作、比較、格納、入力又は出力することができるものは、すべてオブジェクトである。特に、関数はISLISPオブジェクトである。関数に引数として渡され、値として返され、変数に束縛され、構造体の一部となり得るオブジェクトを第1級オブジェクト(first-class object)と呼ぶ。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9725	A		演算子	えんざんし	operator	複合形式の第1要素であり、その評価形式が特殊形式であることを示す予約された名前、マクロの名前、ラムダ式又は関数の名前空間に属する識別子。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9726	A		パラメタ記述	ぱらめたきじゅつ	parameter profile	メソッドのパラメタリストであり、それぞれのパラメタには、そのクラス名が付随する。パラメタにクラス名が付随しない場合、そのパラメタには、最も一般的なクラスに属する。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9727	A		場所	ばしょ	place	オブジェクトは場所に格納して、後で取り出すことができる。場所は、評価形式によって指定され、setfの第1引数となり得る。このように使われた場合、オブジェクトは、その場所に格納される。評価形式がsetfの第1引数以外として使用された場合は、格納されているオブジェクトが取り出される。場所として許される評価形式の一覧を、setfの規定で示す。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9728	A		位置	いち	position	a) 引数位置 評価形式の第1要素以外の要素が現れる位置。b) 演算子位置 評価形式の第1要素が現れる位置。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9729	A		処理	しょり	process	実行準備されたISLISPテキストの実行。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9730	A		プロセッサ	ぷろせっさ	processor	ISLISPテキスト(又はそれと等価なデータ構造)を入力として受け入れ、それを実行のために準備し、結果を実行として値と副作用とを生成するシステム又は機構。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9731	A		プログラム	ぷろぐらむ	program	評価する式の集合体であり、その特性は文脈に依存する。この規格では、“プログラム”という用語は、抽象的にだけ使用する。すなわち、プログラムに対する特定の構文は存	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9732	A		有効範囲	ゆうこうはんい	scope	識別子の有効範囲とは、その識別子の意味が定義されているテキスト部分。すなわち、その識別子が指し示すISLISPオブジェクトが存在するテキスト部分。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9733	A		スロット	すろっと	slot	インスタンスの名前付きの構成要素であり、スロットアクセスメソッドを使ってアクセスできるもの。インスタンスの構造は、そのスロットの集合によって定義される。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9734	A		テキスト	てきすと	text	この規格の要求に適合する(すなわち、ISLISPの構文及び静的意味を有する)テキスト。ISLISPテキストは、最上位形式の並びによって構成する。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9735	A		最上位形式	さいじょういけいしき	toplevel form	他の評価形式の中に入れ子になっていない評価形式又はprogn形式の中にだけ入れ子になっている評価形式。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9736	A		最上位有効範囲	さいじょういゆうこうはんい	toplevel scope	完全なISLISPテキストの単位が処理される有効範囲。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9737	A		書込み関数	かきこみかんすう	writer	クラスのインスタンスのスロットに値を束縛する役割を担う包括関数。	JIS X 3012	1998	ISO/IEC 13816	1997				2007	SC22
9738	A		A	A	A	アトムの集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9739	A		起動	きどう	activation	起動子を実行する過程。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9740	A		起動子	きどうし	activator	実行のためにゴールを準備した結果。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9741	A		アルゴリズム、エルブラン	あるごりずむ、えるぶらん	algorithm, Herbrand	エルブランアルゴリズム参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9742	A		別名	べつめい	alias	開いたストリームに関連づけられるアトム。標準入力ストリームは、別名user_outputをもつ。また、標準出力ストリームは、別名user_outputをもつ。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9743	A		無名変数	むめいへんすう	anonymous variable	他のどの変数(又は無名変数)とも異なる変数(項又はPrologテキストにおいて_で表	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9744	A		引数	ひきすう	argument	述語項又は複合項に付随する項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9745	A		算術データ型	さんじゅつでーたがた	arithmetic data type	値がZ又はRのメンバであるようなデータ型。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9746	A		アリティ	ありてぃ	arity	複合項の引数の個数。構文的には、関数子又は述語に付随する非負整数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9747	A		表明する	ひょうめいする	assert, to	節を表明するとは、その節の述語によって定義されたデータベース中の利用者定義手続へ、その節を加えること。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9748	A		結合性(演算子の)	けつごうせい(えんざんし	associativity(of an	非結合性、右結合性、又は左結合性のいずれかの性質。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9749	A		アトム	あとむ	atom	識別子で指示される基本オブジェクト。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9750	A		アトム、空	あとむ、くう	atom, null	空アトム参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9751	A		アトム、1文字	あとむ、いちもじ	atom, one-char	1文字アトム参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9752	A		アトミック項	あとみっくこう	atomic term	アトム又は数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9753	A		公理	こうり	axiom	一つの演算と、その演算が属するデータ型のすべての値とによって充足される規則。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9754	A		後戻りする	あともどりする	backtrack, to	現ゴールの再実行を試みるためにゴールの選択点へ戻る。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9755	A		バイアス、指数	ばいあす、しすう	bias,exponent	指数バイアス参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9756	A		本体部	ほんたいぶ	body	文脈によって規則節の一部として区別されたときのゴール。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9757	A		ブートストラップされた(組込み述語)	ぶーとすとらっぷされた(くみこみじゅつご)	bootstrapped(built-in predicate)	より一般的な組込み述語の特殊事例として定義される。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9758	A		組込み述語	くみこみじゅつご	built-in predicate	その実行が処理系によって実装されている手続。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9759	A		C	C		文字集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9760	A		バイト	ばいと	byte	0..255の範囲の整数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9761	A		呼出し可能項	よびだしかのうこう	callable term	アトム又は複合項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9762	A		CC	CC		文字符号の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9763	A		文字	もじ	character	実装定義の文字集合Cのメンバ。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9764	A		文字、引用内	もじ、いんようない	character,quoted	引用内文字参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9765	A		文字、引用外	もじ、いんようがい	character,unquoted	引用外文字参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9766	A		文字変換写像	もじへんかんしゃぞう	character-conversion mapping	文字集合Cの上の写像であって、Prologテキストの単位部分及びその入力元となる部分において、ある文字を別の文字と等価とみなすために、別の文字への変換を指定するこ	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9767	A		選択点	せんたくてん	choicepoint	複数の方法でゴールを実行できるような実行中の状態。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9768	A		(演算子の)クラス	(えんざんしの)くらす	class(of an operator)	前置演算子、中置演算子、又は後置演算子を定義する演算子のクラス。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9769	A		節	せつ	clause	事実節又は規則節。節は、頭部と本体部とをもつ。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9770	A		節項	せつこう	clause-term	Prologテキスト中の読込み項T.であって、Tは主関数子(:-)/1をもたない。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9771	A		大小順序	だいしょうじゅんじょ	collating sequence	文字集合C上で定められた実装定義の順序。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9772	A		完全データベース	かんぜんでーたべーす	complete database	実行される手続の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9773	A		(二つの代入の)合成	(ふたつのだいにゅうの)ごうせい	composition (of two substitutions)	最初の代入に続けてσ2番目の代入を行った結果の写像。代入σ1と代入σ2との合成は、σ1°σ2と表す。項tに合成を施した場合、[(tσ1)σ2]の意味でtσ1σ2と表す。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9774	A		複合項	ふくごうこう	compound term	N個の引数の列をもつアリティN(Nは正)の関数子。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9775	A		構成	こうせい	configuration	処理系を作動させるのに使用するホスト計算機及び使用する計算機、オペレーティングシステム、並びにソフトウェア。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9776	A		適合処理系	てきごうしょりけい	conforming processor	この規格に対する適合性を規定した項目にすべて合致する処理系。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9777	A		適合Prologデータ	てきごうぷろろぐでーた	conforming Prolog data	この規格で、Prologデータに対する適合性を規定した項目にすべて合致する文字及びバイトの列。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9778	A		適合Prologテキスト	てきごうぷろろぐてきすと	conforming Prolog text	この規格で、Prologテキストに対する適合性を規定した項目にすべて合致する文字の	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9779	A		子、制御	こ、せいぎょ	construct, control	制御子参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9780	A		構成子、リスト	こうせいし、りすと	constructor, list	リスト構成子参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9781	A		含む	ふくむ	contain, to	項T1と項T2とが同一項の場合、又はT1が複合項でその引数の一つがT2を含んでいる場合、項T1は他の項T2を含む。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9782	A		制御子	せいぎょし	control construct	Prolog処理系で定義されている手続。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9783	A		Conv c	Conv c	Conv c	C(文字集合)上の文字変換写像であって、Prologテキストの単位部分及び入力元となる部分で、ある文字を他の文字に変換するように指定するもの。Conv cの初期値は、idenity mapping cでなければならない。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9784	A		(型Aから型Bへの)変換	(かたAからかたBへの)へんかん	convert(from type A to typeB)	関数形式が次のような操作の場合、型Aの値を型Bに変換する。Convert A→B:A→B∪{error}変換ができなかった場合は誤りとする。例えば、項の節への変換及びその逆変換、文字変換、並びに浮動小数点値の整数値への変換及びその逆変換。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9785	A		複写、(項の)改名	ふくしゃ、(こうの)かいめい	copy,renamed(of a term)	改名複写(項の)参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9786	A		CT	CT	CT	複合項の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9787	A		カット	かっと	cut	カット親で定義されたより深い実行状態に戻る選択点をすべて削除する機能をもつ制御	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9788	A		データ、適合Prolog	でーた、てきごうぷろろぐ	data, conforming Prolog	適合Prolog参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9789	A		データベース	でーたべーす	database	実行中の現時点に存在している利用者定義手続の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9790	A		データベース、完全	でーたべーす、かんぜん	database, complete	完全データベース参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9791	A		データ型	でーたがた	data type	値の集合及びそれらの値を取り扱う操作の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9792	A		データ型、算術	でーたがた、さんじゅつ	data type,arithmetic	算術データ型参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9793	A		非正規化値	ひせいきかち	denormalized value	型Fに許されている最高精度より低い精度のFの浮動小数点値。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9794	A		指示	しじ	directive	Prologテキストの意味に影響を及ぼす項Dであって、Prologテキスト中では指示項: - (D)として表示される。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9795	A		指示項	ししこう	directive term	Prologテキスト中の読込み項T.であって、Tは主関数子(:-)/1をもつ。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9796	A		動的(手続)	どうてき(てつづき)	dynamic (of a procedure)	動的手続とは、例えば、節を表明したり、撤回したりすることによって、実行中に手続に含まれる節を検査したり変更したりできる手続をいう。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9797	A		作用、副	さよう、ふく	effect, side	副作用参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9798	A		(リストの)要素	(りすとの)ようそ	element(of a list)	非空リストの要素であって、リストの頭部であるか又はリストの尾部の要素であるもの。空リストには、要素はない。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9799	A		空リスト	くうりすと	empty list	アトム[]。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9800	A		誤り	あやまり	error	通常の実行処理を中断させる特別な環境。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9801	A		評価可能関数子	ひょうかかのうかんすうし	evaluable functor	式の主関数子。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9802	A		評価する	ひょうかする	evaluate	式からその値を導き出す。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9803	A		例外値	れいがいち	exceptional value	式の値が非数値のもの。すなわち、float_overflow、int_overflow、underflow、zero_divisor又はundefined。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9804	A		実行(動詞: 実行する)	じっこう(どうし: じっこうす	execution(verb: to	Prolog処理系がゴールを充足しようと試みる処理。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9805	A		指数バイアス	しすうばいあす	exponent bias	通常、指数を符号なしの整数に変換する際に行われる浮動小数点の指数部に加算され	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9806	A		式	しき	expression	値を導出するために評価できるアトミック項又は複合項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9807	A		拡張	かくちょう	extension	この規格では規定されていない機能であるが、追加してもあいまいさ又は矛盾を引き起こすことのない機能であって、処理系が備えているもの。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9808	A		F	F	F	浮動小数点値の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9809	A		事実節	じじつせつ	fact	本体部がtrueのゴールである節。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9810	A		失敗する	しっぱいする	fail, to	あるゴールが充足されないならば、そのゴールの実行は失敗する。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9811	A		ファイル名	ふぁいるめい	file name	実装定義される基底項で、Prologテキストの実行中に入出力として用いるファイルを処理系が識別するためのもの。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9812	A		フラグ	ふらぐ	flag	実装定義又は利用者定義の値に関連づけられるアトム。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9813	A		浮動小数点値	ふどうしょうすうてんち	floating point value	集合Fの要素。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9814	A		関数子	かんすうし	functor	アリティを伴う識別子。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9815	A		関数子名	かんすうしめい	functor name	関数子の識別子。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9816	A		関数、丸め	かんすう、まるめ	function, rounding	丸め関数参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9817	A		関数子、主	かんすうし、しゅ	functor, principal	主関数子参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9818	A		ゴール	ごーる	goal	実行されるべき述語項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9819	A		基底項	きていこう	ground term	アトミック項又は引数がすべて基底である複合項。ある置換の適用が基底項を生成するのであれば、その項はその置換について基底である。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9820	A		(リストの)頭部	(りすとの)とうぶ	head(of a list)	空でないリストの最初の要素。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9821	A		(規則節の)頭部	(きそくせつの)とうぶ	head(of a rule)	文脈で区別される述語項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9822	A		エルブランアルゴリズム	えるぶらんあるごりずむ	Herbrand algorithm	等式集合の最はん(汎)単一化MGUを計算するアルゴリズムの一つ。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9823	A		I	I	I	整数の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9824	A		同一項	どういつこう	identical terms	二つの項は、それらが同じ抽象構文をもつ場合に同一である。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9825	A		識別子	しきべつし	identifier	構造をもたない基本的なオブジェクトで、アトム、関数子名及び述語名を記すために用い	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9826	A		iff	iff	iff	必要十分条件。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9827	A		実装定義	じっそうていぎ	implementation defined	一部がこの規格で定義され、他が処理系の附属文書で定義されること。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9828	A		実装依存	じっそういぞん	implementation dependent	実装依存の機能は、処理系に依存する。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9829	A		実装固有	じっそうこゆう	implementation specific	この規格で定義されないが、適合する処理系で利用可能にすること。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9830	A		指示子、述語	ししし、じゅつご	indicator, predicate	述語指示子参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9831	A		入出力モード	にゅうしゅつりょくもーど	input/output mode	ストリームの属性を示すアトム。処理系は入出力モードとしてread、write、appendを利用可能にしなければならない。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9832	A		(項の)具体値	(こうの)ぐたいち	instance(of a term)	項に置換を適用した結果。tが項でσが置換であるなら、σによるtの具体値はtσと表記され	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9833	A		具体化される	ぐたいかされる	instantiated	ある変数は、ある置換の適用がアトミック項又は複合項を生じる場合に、その置換について具体化される。ある項は、項中の変数が具体化されるときに限り、具体化される。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9834	A		整数値	せいすうち	integer value	集合Iの要素。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9835	A		レベル、トップ	れべる、とっぷ	level, top	トップレベル参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9836	A		リスト	りすと	list	空リスト又は非空リスト。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9837	A		リスト構成子	りすとこうせいし	list constructor	リストの構成に用いる主関数子'.'/2。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9838	A		リスト、空	りすと、くう	list, empty	空リスト参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9839	A		リスト、非空	りすと、ひくう	list, non-empty	非空リスト参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9840	A		リスト、部分	りすと、ぶぶん	list, partial	部分リスト参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9841	A		リスト、読込み機能選択	りすと、よみこみきのうせんたく	list, read-options	目標ストリーム参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9842	A		リスト、書込み機能選択	りすと、かきこみきのうせんたく	list, write-options	書込み指定リスト参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9843	A		写像	しゃぞう	mapping	Tがあるデータ型である場合の、データ型MT。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9844	A		モード、入出力	もーど、にゅうしゅつりょく	mode,input/output	入出力モード参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9845	A		最はん(汎)単一化子	さいはんたんいつかし	mode general unifier(MGU)	項の最はん(汎)単一化子(MGU)は、複数の項を同一にする極小の置換である。すべての単一化子は、あるMGUの具体値である。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9846	A		(アトムの)名前	(あとむの)なまえ	name(of atom)	文字の並びであり、あるアトムを他のアトムと区別する。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9847	A		名、ファイル	めい、ふぁいる	name,file	ファイル名参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9848	A		名、関数子	めい、かんすうし	name,functor	関数子名参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9849	A		名、述語	めい、じゅつご	name,predicate	述語名参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9850	A		名前付き変数	なまえつきへんすう	named variable	無名変数でない変数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9851	A		非空リスト	ひくうりすと	non-empty list	主関数子がリスト構成子で第2引数がリストである複合項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9852	A		正規化値	せいきかち	normalized value	型Fの浮動小数点値で、Fに許容される最大精度を提供するもの。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9853	A		NSTO	NSTO	NSTO	出現検査対象外。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9854	A		空アトム	くうあとむ	null atom	アトム''。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9855	A		数	かず	number	整数値又は浮動小数点値。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9856	A		1文字アトム	1もじあとむ	one-char atom	一つの文字の名前をもつアトム。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9857	A		(複合項又は述語項の)演算対象	(ふくごうこうまたはじゅつごこうの)えんざんたいしょう	operand(of a compound term or predication)	関数子名(述語名)が演算子である複合項(述語項)の引数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9858	A		(演算の)演算対象	(えんざんの)えんざんたいしょう	operand(of an operation)	関数様式及び一つ以上の公理によって定義される演算に供給される値。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9859	A		演算子	えんざんし	operator	関数子名又は述語名で、それぞれ複合項又は述語項を前置形式、中置形式又は後置形式で表現できるようにするもの。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9860	A		演算子、定義済み	えんざんし、ていぎずみ	operator, predefined	定義済み演算子参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9861	A		機能選択、ストリーム	きのうせんたく、すとりーむ	options, stream	ストリーム機能選択参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9862	A		部分リスト	ぶぶんりすと	partial list	変数又は主関数子がリスト構成子で第2引数が部分リストである複合項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9863	A		位置、ストリーム	いち、すとりーむ	position, stream	ストリーム位置参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9864	A		精度	せいど	precision	浮動小数点値仮数部の数字の個数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9865	A		定義済み演算子	ていぎずみえんざんし	predefined operator	処理系が最初から供給する演算子。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9866	A		述語	じゅつご	predicate	アリティを伴う識別子。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9867	A		述語、組込み	じゅつご、くみこみ	predicate, built-in	組込み述語参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9868	A		述語指示子	じゅつごしじし	predicate indicator	AがアトムでNが非負の整数である場合、一つの特定の手続を示す複合項A/N。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9869	A		述語名	じゅつごめい	predicate name	述語の識別子。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9870	A		述語項	じゅつごこう	predication	アリティがNの述語及びN個の引数の列。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9871	A		主関数子	しゅかんすうし	principal functor	複合項の関数子がFでアリティがNである場合、F/Nが複合項の主関数子である。アトミック項がcの場合、アトミック項の主関数子はc/0である。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9872	A		私的(手続)	してき(てつづき)	private(of a procedure)	私的手続とは、実行中にその節を調べられない手続をいう。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9873	A		手続	てつづき	procedure	制御子、組込み述語又は利用者定義手続。手続は、静的であるか動的である。手続は、私的であるか公的である。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9874	A		手続、利用者定義	てつづき、りようしゃていぎ	procedure, user-defined	利用者定義手続参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9875	A		処理系	しょりけい	processor	構成との組合せで動作するコンパイラ又はインタプリタ。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9876	A		処理系、適合	しょりけい、てきごう	processor, conforming	適合処理系参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9877	A		Prologデータ	Prologでーた	Prolog data	読込み項の列。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9878	A		Prologテキスト	Prologてきすと	Prolog text	指示と節とからなる読込み項の列。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9879	A		公開(手続)	こうかい(てつづき)	public(of a procedure)	公開手続とは、例えば、組込み述語clause/2を呼ぶことによって、実行中にその節を調べられる手続をいう。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9880	A		問合せ	といあわせ	query	トップレベルへの対話的な入力として与えられるゴール。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9881	A		引用内文字	いんようないもじ	quoted character	Prologテキスト又はPrologデータ中の文字で、単引用内文字、二重引用内文字又は逆引用内文字をいう。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9882	A		R	R	R	実数の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9883	A		読込み機能選択	よみこみきのうせんたく	read-option	組込み述語read_term/3及びそれから派生するブートストラップされた組込み述語から生成される結果を詳細化するための未具体化引数をもつ複合項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9884	A		読込み機能選択リスト	よみこみきのうせんたくりすと	read-option list	読込み機能選択のリスト。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9885	A		読込み項	よみこみこう	read-term	項の後にendトークンが続くもの。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9886	A		再実行する	さいじっこうする	re-execute, to	ゴールを再実行するとは、そのゴールを充足するよう再び試みることをいう。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9887	A		改名複写(項の)	かいめいふくしゃ(こうの)	renamed copy(of a term)	項の特別な異形。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9888	A		撤回する	てっかいする	retract,to	節を撤回するとは、その節の述語によってデータベースに定義された利用者定義手続からその節を削除することをいう。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9889	A		丸め	まるめ	rounding	(ある操作に対する)正確な(しかし表現できない)値に近い表現可能な最終値を計算す	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9890	A		丸め関数	まるめかんすう	rounding function	定義形式が次の形をもち、xの要素をそれ自身に写像する単調非減少関数。Rnd R→X (XはRの離散部分集合)形式的には、xとyとがRの要素のとき、次のとおりになる。 $x \in X \Rightarrow rnd(x) = x$ $x < y \Rightarrow rnd(x) \leqq rnd(y)$	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9891	A		規則節	きそくせつ	rule	本体部がtrueゴールではない節。実行中にある代入について本体部がtrueならばその代入について頭部もtrueになる。規則節は主関数子が(:-)/2で第1引数が頭部に第2引数が本体部に変換されるPrologテキスト中の項として表される。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9892	A		充足する	じゅうそくする	satisfy, to	ゴールを充足するとは、実行して成功裏に終了することをいう。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9893	A		順序、大小	じゅんじょ、だいしょう	sequence, collating	大小順序参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9894	A		副作用	ふくさよう	side effect	実行中の起動子の非論理的効果。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9895	A		定義形式	ていぎけいしき	signature	名前及び演算対象と値との型を定義する演算の仕様。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9896	A		出力先	しゅつりょくさき	sink	処理系が出力結果を書き出す物理的対象。例えば、ファイル、端末装置、プロセス間通信チャネル。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9897	A		入力元	にゅうりょくもと	source	処理系が入力データを読み込む物理的対象。例えば、ファイル、端末装置、プロセス間通信チャネル。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9898	A		入力元/出力先	にゅうりょくもと/しゅつりょくさき	source/sink	入力元又は出力先。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9899	A		(演算子の)指定子	(えんざんしの)していし	specifier(of an operator)	アトムfx、fy、xfx、xfy、yfx、xf又はyfのうちの一つ。指定子は、演算子のクラス及び結合性を表す。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9900	A		スタック	すたっく	stack	データ型SD。Dはデータ型。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9901	A		静的(手続)	せいてき(てつづき)	static(of a procedure)	節を変更できない手続。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9902	A		STO	STO	STO	出現検査対象。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9903	A		ストリーム	すとりーむ	stream	入力元又は出力先への接続。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9904	A		ストリーム機能選択	すとりーむきのうせんたく	stream-options	ストリームのモードによって与えられる性質に追加する性質を規定する0個以上の項のリ	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9905	A		ストリーム位置	すとりーむいち	stream position	ストリームが接続されている入力元/出力先の絶対位置。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9906	A		ストリーム、目標	すとりーむ、もくひょう	stream, target		JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9907	A		ストリーム項	すとりーむこう	stream-term	Prologテキストの中でストリームを識別する実装依存の基底項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9908	A		代入	だいにゅう	substitution	変数から項への写像。この写像の拡張として、項に働く代入は、その項の中の各変数に	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9909	A		成功する	せいこうする	succeed	あるゴールが充足されるとき、そのゴールの実行は成功する。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9910	A		尾部	びぶ	tail	非空リストの第2引数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9911	A		目標ストリーム	もくひょうすとりーむ	target stream		JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9912	A		項	こう	term	アトミック複合項又は変数。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9913	A		項、アトミック	こう、あとみっく	term, atomic	アトミック項参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9914	A		項、呼出し可能	こう、よびだしかのう	callable	呼出し可能項参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9915	A		項、複合	こう、ふくごう	compound	複合項参照	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9916	A		項、基底	こう、きてい	ground	基底項参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9917	A		項、同一	こう、どういつ	identical	同一項参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9918	A		項の先行	こうのせんこう	term-precedes	項の全順序を定義する項集合上の2項関係。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9919	A		項、ストリーム	こう、すとりーむ	stream	ストリーム項参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9920	A		テキスト、適合	てきすと、てきごう	conforming	Prolog 適合Prologテキスト参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9921	A		テキスト、Prolog	てきすと、ぷろろぐ		Prologテキスト参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9922	A		トップレベル	とっぷれべる	top level	Prologプロセッサが入力を処理して問合せを実行することを繰り返すプロセス。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9923	A		型	かた	type	項の型は、構文に依存する項の属性とする。アトム、整数、浮動小数点数、変数又は複合項のいずれかとする。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9924	A		型、データ	かた、でーた	data	データ型参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9925	A		未定義	みていぎ	undefined	この規格で、(1)未定義と規定している、又は(2)実行に関して要件がない場合に、その機能を未定義とする。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9926	A		単一化可能	たんいつかかのう	unifiable	二つ以上の項が統合可能である必要十分条件は、その単一化子が存在することとする。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9927	A		単一化子(二つ以上の項の)	たんいつかし(ふたついじょうのこうの)	unifier	各項にこの代入を適用することによって同一項が得られる代入。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9928	A		単一化子、最はん(汎)	たんいつかし、さいはん	most general	最はん(汎)単一化子参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9929	A		単一化する	たんいつかする	unify	組込み述語(=)/2(unify)の実行が成功するように、2項の最はん(汎)単一化子を見つけて適用すること。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9930	A		未具体化	みぐたいか	uninstanciated	変数が未具体化であるとは、それが具体化されていないことである。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9931	A		引用外文字	いんようがいもじ	unquoted character	引用文字でないPrologテキスト又はPrologデータの文字。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9932	A		利用者定義手続	りようしゃていぎてつづき	user-defined procedure	頭部が同じ述語指示子をもち、Prologテキストで表現されるか又は実行の途中で表明された節の列で定義される手続。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9933	A		V	V	V	変数集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9934	A		値、非正規化	あたい、ひせいきか	denormalized	非正規化値参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9935	A		値、例外	あたい、れいがい	exceptional	例外値参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9936	A		値、正規化	あたい、せいきか	normalized	正規化値参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9937	A		変数	へんすう		実行中に具体化され得るオブジェクト。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9938	A		変数、無名	へんすう、むめい	anonymous	無名変数参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9939	A		変数、名前付き	へんすう、なまえつき	named	名前付き変数参照。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9940	A		変数集合(項の)	へんすうしゅうごう(こうの)	variable set		JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9941	A		異形(項の)	いぎょう(こうの)	variant		JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9942	A		証人(変数集合の)	しょうにん(へんすうしゅうごうの)	witness		JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9943	A		書込み指定	かきこみしてい	write-option	組込み述語write_term/3及び、そこから派生するブートストラップされた組込み述語によって生成された出力を制御する基底項。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9944	A		書込み指定リスト	かきこみしていりすと	write-option list	書込み指定のリスト。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9945	A		Z	Z	Z	数学上の整数の集合。	JIS X 3013	2001	ISO/IEC 13211-1	1995				1995	SC22
9946	A		実引数	じつひきすう	argument	関数呼出し式の括弧の中にコンマで区切られて並んだ式、関数形マクロ呼出しの括弧の中にコンマで区切られて並んだ前処理字句の列、throwの演算対象、又はテンプレート具体化の三角括弧の中にコンマで区切られて並んだ型識別子若しくはテンプレート名。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9947	A		診断情報	しんだんじょうほう	diagnostic message	処理系が出力する処理系定義の出力情報の一つ。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9948	A		動的な型	どうてきなかた	dynamic type	左辺値式の表す左辺値が指す最派生オブジェクト(1.8)の型。 例 その静的な型が"クラスBへのポインタ"であるポインタ(8.3.1)pが、クラスBから派生した(10.)クラスDのオブジェクトを指していたとすると、式*pの動的な型は"D"となる。参照(8.3.2)も同様に扱う。 左辺値式の動的な型は、それの静的な型とする。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9949	A		不適格プログラム	ふてきかくぷろぐらむ	ill-formed program	適格プログラム(1.3.14)でないC++処理系への入力。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9950	A		処理系定義の動作	しょりけいていぎのどうさ	implementation-defined behavior	適格プログラムの構文単位と、正しいデータとの組合わせに対する、処理系に依存した動作であって、それぞれの処理系が文書で説明を用意しておかなければならない動作。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9951	A		処理系限界	しょりけいげんかい	implementation limit	処理系がプログラムに課している制限。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9952	A		文化圏固有動作	ぶんかけんこゆうどうさ	locale-specific behavior	国、文化、言語などに依存した動作であって、それぞれの処理系が文書で説明を用意しておかなければならない動作。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9953	A		多バイト文字	たばいともじ	multi-byte character	翻訳環境又は実行環境での拡張文字集合の要素を表した1バイト以上のバイト列。拡張文字集合は、基本文字集合をその部分集合としている(2.2参照)。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9954	A		仮引数	かりひきすう	parameter	次のいずれかとする。 - 関数宣言、若しくは関数定義の中、又は例外処理部のcatch節の中で宣言され、その関数又は例外処理部が起動する際に値を受け取るオブジェクト又は参照 - 関数形式マクロの定義の中で、そのマクロ名に続く括弧の中にコンマで区切られて並んでいる識別子 - テンプレート仮引数	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9955	A		呼出し情報	よびだしじょうほう	signature	関数について、その多重定義解決(13.3)に用いる情報。基本的には、その関数の仮引数の型の列。関数がクラスのメンバである場合には、関数自身のcv修飾子及びそれを宣言しているクラスも含める(関数の呼出し情報には、返却値の型が含まれていない。多重定義の解決には、返却値の型が関与しないからである)。関数テンプレートの特殊化に対する呼出し情報では、テンプレート実引数の型を含める(14.5.5.1参照)。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9956	A		静的な型	せいてきなかた	static type	式(3.9)の型。その式がもたらす結果の型として、実行時の意味を考慮せずにプログラムを解析することで得られる。式の静的な型は、その式が位置するプログラムの形だけから決まり、プログラムの実行中に変わることがない。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9957	A		未定義の動作	みていぎのどうさ	undefined behavior	間違いを含んだプログラム、間違ったデータなどに対して生じうる動作であって、この規格で要件を規定していない動作。この規格で動作を明示的に与えていない場合も、未定義の動作とする。 参考 未定義の動作としては、次のものがありうる。 - その状況を完全に無視し、何が起きるかわからない。 - 翻訳段階又はプログラムの実行段階で、その環境に沿っての動作をする(診断情報を出してもよいし、出さなくてもよい。)、ただし、その動作については文書を用意して説明しておく。 - 翻訳又は実行を終了する(診断情報を出力する。)。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9958	A		未規定の動作	みきていのどうさ	unspecified behavior	適格プログラムと正しいデータとの組合わせに対する動作であって、処理系に依存する動作。処理系は、どんな動作が生じるかについて文書を用意する必要はない。 参考 多くの場合、どんな動作が生じうるかについて、この規格の中で示唆する。	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9959	A		適格プログラム	てきかくぷろぐらむ	well-formed program	構文規則、診断対象の意味規則、及び単一定義規則(3.2参照)に従ったC++プログラ	JIS X 3014	2003	ISO/IEC 14882	2003				2003	SC22
9960	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	Application	入口点をもつアセンブリ(10.1参照)。アプリケーション実行に際しては、新しいアプリケーション領域が生成される。同一のアプリケーションに対する複数の異なるインスタンスが、同一コンピュータに同時に具現化できる。このとき、それぞれのインスタンスは、独自のアプリケーション領域をもつ。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9961	A		アプリケーション領域	あぷりけーしょんりょういき	Application domain	アプリケーション状態のコンテナとして働くことによって、アプリケーションの隔離を実現するもの。アプリケーション領域は、アプリケーションで定義された型並びにアプリケーションで使用するライブラリのコンテナ及び境界として機能する。あるアプリケーション領域にロードされた型は、別のアプリケーション領域にロードされた同じ型とは区別される。アプリケーション連携のためには、アプリケーション領域の間で間接的にインスタンスを共有することも可能だが、インスタンスを直接共有することはできない。例えば、アプリケーション領域ごとに、これらの型の静的変数の複製をもつ。また、型の静的構築子は、アプリケーション領域ごとに高々1回しか実行されない。実装は、アプリケーション領域の構築及び破棄に関する、実装固有の方針及び/又は機構を提供してよい。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9962	A		アセンブリ	あせんぶり	Assembly	プログラムコンパイルの結果としてコンパイラによって出力される一つ以上.のファイル。アセンブリは、ロード可能なコードモジュールの集合とそれとともに一っの機能単位を実装する他の資源とによって構成される。アセンブリは、型、型を実装するために使われる実行可能コード及び他のアセンブリに対する参照を含んでもよい。この規格では、アセンブリの物理的表現を定義しない。アセンブリはコンパイラの出力である。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9963	A		安全でないコード	あんぜんでないこーど	Unsafe code	ポインタの宣言及び操作、ポインタと整数型との間の変換、並びに変数のアドレス取得めような低水準操作の実行を許すコード。このような操作は、基盤オペレーティングシステムのインタフェース、メモリマップ機器へのアクセス及び時間的に厳しいアルゴリズムの実装などの機能を提供する。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9964	A		仮引数	かりひきすう	Parameter	そのメソッドへの入口で値をとる、メソッド、インスタンス構築子又は添字子定義の一部として宣言された変数。形式仮引数ともいう。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9965	A		クラスライブラリ	くらすらいぶらり	Class library	他のアセンブリで使用できるアセンブリ。クラスライブラリの使用は、新しいアプリケーション領域の生成をもたらさない。クラスライブラリは、それを使うアプリケーション領域にロードされる。例えば、アプリケーションがクラスライブラリを使うときには、そのアプリケーションのアプリケーション領域にロードされる。アプリケーションが、それ自体でクラスライブラリBを使っているクラスライブラリAを使うなら、A及びBの両方がそのアプリケーションのア	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9966	A		コンパイル時エラー	こんぱいるじえらー	Compile-time error	プログラムのコンパイルで報告されるエラー。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9967	A		コンパイル時警告	こんぱいるじけいこく	Compile-time waming	危険性のあるプログラム要素のおかしな使い方を通知するための、プログラムコンパイル途中に報告されるメッセージ。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9968	A		実装	じっそう	Implementation	特定の任意制御機能のもとで特定のコンパイル環境で動作する)特定の実行環境のためのプログラムのコンパイルを実行し、そこでのメソッドの実行を行うあるソフトウェアの	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9969	A		実装定義の振る舞い	じっそうていぎのふるまい	Implementation-defined behavior	それぞれの実装がどのような選択をしたか文書に記す未規定の振る舞い。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9970	A		診断メッセージ	しんだんめっせーじ	Diagnostic message	実装の出力メッセージの中で、実装定義の部分に属するメッセージ。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9971	A		推奨されたやり方	すいしょうされたやりかた	Recommended practice	ある種の実装では実際的ではないかもしれないが、規格の意図に沿って強く推奨された	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9972	A		正当なプログラム	せいとうなぷろぐらむ	Valid program	構辛規則及び診断可能な意味規則に従って構築された C#プログラム。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9973	A		ソースファイル	そーすふぁいる	Source file	Unicode文字の順序だった列。ソースファイルは、普通、ファイルシステムのファイルと一対一に対応するが、この対応は、必す(須)ではない。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9974	A		名前空間	なまえくうかん	Name space	他のプログラムに提供されるプログラム要素を提示する方式を提供する論理的組織体	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9975	A		引数	ひきすう	Argument	メソッド又はインスタンス構築子呼出し式において、コンマで区切られ、両端が括弧並びの式。実引数とも呼ばれる。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9976	A		振る舞い	ふるまい	behaviour	外からの見え方、すなわち動作。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9977	A		プログラム	ぷろぐらむ	Program	コンパイラに提示された一つ以上のソースファイル。プログラムはコンパイラへの入力と	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9978	A		プログラム具現化	ぷろぐらむぐげんか	Program instantiation	アプリケーションの実行。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9979	A		未規定の振る舞い	みきていのふるまい	Unspecified behavior	この規格が二つ以上の可能性を与えており、どのインスタンスについてもそれ以上の要件を課していない振る舞い。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9980	A		未定義の振る舞い	みていぎのふるまい	Undefined behavior	この規格では一切要件を課さない、非可搬な若しくはエラーを含む構成要素、又は誤りのあるデータの使用によって生じる振る舞い。 備考 未定義の振る舞いの処理の可能性は、その状況を完全に無視してどのような結果になってもほうっておくものから、その環境において文書化されている方式に従って(診断メッセージを出すものもあれば出さないものもあり)実行若しくはコンパイルするやり方、又は(診断メッセ'ージを出して)実行若しくはコンパイルを停止するものまで広範囲にわ	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9981	A		例外	れいがいじょうけん	Exception	通常期待される振る舞いの範囲外のエラー条件。	JIS X 3015	2005	ISO/IEC 23270	2003				2006	SC22
9982	A		抽象	ちゅうしょう	Abstract	抽象オブジェクト型だけが、型も仮想実行システム(VES)も実装を供給しないメソッド契約を定義することを許される。そのようなメソッド契約を、抽象メソッドという。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003	IDT			2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
9983	A		メンバのアクセス可能性	めんばのあくせすかのうせい	Accessibility of members	型は、そのすべてのメンバの有効範囲を設定する。さらに、型は、そのメンバのためのアクセス可能性規則を指定する。記述がある場所以外は、アクセス可能性は、参照されているメンバの静的に見えている(可視の)型、並びにその参照を行っている型及びアセンブリにだけ基づいて決定される。CTSは、アクセス可能性のために七つの異なる規則を提供する。それは、コンパイラ制御、非公開、ファミリ、アセンブリ、ファミリ及びアセンブリ、ファミリ又はアセンブリ、並びに公開とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9984	A		集合体データ	しゅうごうたいでーた	Aggregate data	部品部分(配列、構造体又はオブジェクトインスタンス。)をもつが、値をコピーすることによって渡されるデータ項目。部品部分は、管理下記憶への参照を含むことができる。集合体データは、値型を用いて表す。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9985	A		アプリケーション領域	あぷりけーしょんりょういき	Application domain	同じオペレーティングシステムのプロセスで動作するアプリケーションを互いに分離する	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9986	A		配列の要素	はいれつのようそ	Array elements	組込み型を除く値の表現は、部分値へ細分できる。これらの部分値は、名前付けされているか、又は添字指定式によってアクセスされる。名前付けされている場合には、フィールドと呼ばれ、添字指定式によってアクセスされる場合には、配列の要素と呼ばれる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9987	A		実引数	じつひきすう	Argument	メソッド呼出しへの演算対象の値	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9988	A		配列型	はいれつがた	Array types	配列要素からなる値を表現する型	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9989	A		アセンブリ	あせんぶり	Assembly	アセンブリは、1単位機能を実装するロード可能なコードモジュール及び他の資源によって構成された集合とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9990	A		アセンブリ有効範囲	あせんぶりゆうこうはん	Assembly scope	型名は、型の実装を含むアセンブリによって有効範囲を設定される。型名は、型を実装するアセンブリのアセンブリ有効範囲の中にある。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9991	A		代入互換性	だいにゅうごかんせい	Assignment compatibility	格納域識別情報によって記述された格納域に対する、型識別情報によって記述された値の代入互換性は、その値の厳密な型が提供する型の一つが、格納域識別情報における型と同じになる場合に互換と定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9992	A		属性	ぞくせい	Attributes	型の属性及び型のメンバ属性は、それらの定義に記述的情報を添付する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9993	A		基底クラスライブラリ	きていくらすらいぶらり	Base Class Library	カーネルプロファイルの一部であって、最新のプログラム言語における単純な実行時ライブラリに当たるもの。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9994	A		二項演算子	にこうえんざんし	Binary operators	二項演算子は、二つの実引数をとり、ある操作を実行し、値を戻す。二項演算子は、二つの演算対象のうち一つの型又は返却値の型を定義するクラスにおける静的メソッドとして	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9995	A		論理型	ろんりがた	Boolean Data Type	CLI論理型は、記憶域で1バイトを占有する。すべてのビットが0のビットパターンは、偽値を表す。いずれかのビットが1のビットパターンは、真値を表す。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9996	A		ボックス化	ぼっくすか	Box	命令boxは、インスタンスのコピーを作り、新しく割り付けられたオブジェクトにそれを埋め込むことによって、値型インスタンスをSystem.Objectに変換する(常に型安全な)拡大操	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9997	A		ボックス化された型	ぼっくすかされたかた	Boxed type	CTSは、すべての値型について、対応する参照型を定義し、ボックス化された型と呼ぶ。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9998	A		ボックス化された値	ぼっくすかされたあたい	Boxed value	ボックス化された型の値をボックス化された値という。この表現は、値型の値が格納され得る格納域とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
9999	A		組込み型	くみこみかた	Built-in types	CTSの整数部分で、仮想実行システム(VES)が直接に提供するデータ型。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10000	A		参照渡し仮引数	さんしょうわたしかりひきすう	By-ref parameters	データのアドレスは、呼出し側から呼び出される側へと渡される。したがって、その仮引数の型は、管理下又は管理外のポインタになる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10001	A		値渡し仮引数	あたいわたしかりひきすう	By-value parameters	オブジェクトの値は、呼出し側から呼び出される渡される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10002	A		呼出し規約	よびだしきやく	Calling Convention	呼出し規約は、どのようにメソッドの実引数が呼出し側から呼び出される側に渡されるかを規定する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10003	A		キャスト	きゃすと	Casting	値は複数の型をもつことができるので、値を使用する場合は、その型のうちどれが使用されているか明白に識別する必要がある。値は型付けされた格納域から読み込まれるので、使用される値の型は、その値が読み込まれた格納域の型とする。異なる型が使用される場合、値は、その他の型のうちの一つにキャストされる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10004	A		CIL	CIL	CIL	Common Intermediate Languageの短縮形。共通中間言語。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10005	A		クラス契約	くらすけいやく	Class contract	クラス契約は、クラス型の値の表現を指定する。さらに、クラス契約は、クラス型が提供する他の契約を指定する。例えば、どのインタフェース、メソッド、特性及びイベントが、実装されなければならないかを指定する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10006	A		クラス型	くらすがた	Class type	クラス型の値の表現、及びクラス型が提供する契約(クラス、インタフェース、メソッド、特性及びイベント。)のすべての完全な仕様とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10007	A		CLI	CLI	CLI	Common Language Infrastructureの短縮形。共通言語基盤。CLIの中心に、コンパイラ、ツール及びCLI自体によって共有される単一の型システムである共通型システム(CTS)がある。これは、型を宣言し、使用し、管理する場合に、CLIが従う規則を定義するモデル	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10008	A		CLS	CLS	CLS	Common Language Specificationの短縮形。共通言語規定。CLSは、言語の相互運用性を促進することに意図した規約の集合とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10009	A		CLS使用例	CLSしようれい	CLS (consumer)	CLS使用側は、CLS準拠フレームワーク(ライブラリ)によって供給された特徴のすべてへのアクセスを可能とするように設計された言語又はツールとする。ただし、必ずしも、CLS準拠フレームワークを生成できなくともよい。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10010	A		CLS拡張側	CLSかくちょうがわ	CLS (extender)	CLS拡張側は、プログラマがCLS準拠フレームワークを利用拡張できるよう設計された言語又はツールとする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10011	A		CLSフレームワーク	CLSふれーむわーく	CLS (framework)	CLS準拠のコードからなるライブラリ。単に、"フレームワーク"ともいう。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10012	A		コードラベル	こーどらべる	Code labels	コードラベルは、実行される命令のアドレスを表現する。コードラベルには、コロン(":")が	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10013	A		強制型変換	きょうせいかたへんかん	Coercion	強制型変換は、特定の型の値及び望まれる型を用い、元の値に対して等価な意味をもつ望まれる型の値を生成する試みを行う。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10014	A		共通言語仕様 (CLS)	きょうつうげんごしよう(CLS)	Common Language Specification (CLS)	共通言語仕様(CLS)は、言語の相互運用性を促進することを意図する規約の集合とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10015	A		共通型システム(CTS)	きょうつうがたしすてむ(CTS)	Common Type System (CTS)	共通システム(CTS)は、多くのプログラム言語に存在する型及び操作を提供する豊富な型システムを提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10016	A		コンパイラに制御のされたアクセス可能性	こんぱいらにせいぎょのされたあくせすかのうせい	Compiler-controlled accessibility	参照ではなく定義の利用を通じてだけ、すなわち、単一のコンパイラ単位の内部から、コンパイラ制御下でだけアクセス可能な状態。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10017	A		複合型	ふくごうがた	Compound types	フィールドから構成される値を表現する型。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10018	A		計算された制御移行先	けいさんされたせいぎょいこうさき	Computed destinations	メソッド呼出しの移行先は、CIL命令のストリームの中で直接にコード化(call命令及びjmp命令)されてもよいし、計算(calli命令及びcallvirt命令)されてもよい。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10019	A		具象	ぐしょう	Concrete	abstractと印付けられないオブジェクト型は、定義によって、具象とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10020	A		適合性	てきごうせい	Conformance	この規格への適合性を主張するシステムは、この規格の必す(須)な要件をすべて実装し、実装プロファイルを既定しなければならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10021	A		契約	けいやく	Contracts	契約は、契約のすべての実装者及びすべての利用者の間での、識別情報の集合に関して共有された前提とする。契約は、名前付きとする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10022	A		変換演算子	へんかんえんざんし	Conversion operators	変換演算子は、ある型から別の型への変換を可能にする単項演算子とする。演算子メソッドは、演算対象又は返却型のいずれかの静的メソッドとして定義されなければならな	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10023	A		カスタム属性	かすたむぞくせい	Custom attributes	カスタム属性は、メタデータに使用者定義の注記を追記する。カスタム属性を利用して、型のインスタンスは、メタデータのあらゆる要素とともに格納できる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10024	A		カスタム修飾子	かすたむしゅうしょくし	Custom modifiers	modreq("要求された修飾子")及びmodopt("省略可能修飾子")を用いて定義されたカスタム修飾子は、カスタム属性に類似している。ただし、修飾子は、宣言に添付するのではなく識別情報の一部になる点が異なる。それぞれの修飾子は、識別情報の中の項目に	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10025	A		データラベル	でーたらべる	Data labels	データラベルは、データの断片の格納域を指定する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10026	A		委譲	いじょう	Delegates	委譲は、オブジェクト指向における、関数ポインタに相当する。委譲は、基底型System.Delegateから派生するクラスの定義によって作られる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10027	A		派生型	はせいがた	Derived Type	派生型は、その基底型の型契約すべての提供を保証する。型は、直接的に指定された基底型から、そして間接的にはそれら基底型の基底型から派生する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10028	A		列挙	れっきょ	Enums	列挙は、すべて同一な型をもつ記号の集合を定義する。enumは、enumerationの短縮形	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10029	A		等価性	とうかせい	Equality	値型については、等価演算子は、厳密な型の定義の一部とする。等価性の定義は、次の規則に従うのが望ましい。 - 等価演算子は、同値演算子であることが望ましい。 - 同一性は、等価性を示唆することが望ましい。 - 一方の(又は両方の)演算対象がボックス化値である場合、 - まず、ボックス化されている演算対象をボックス化解除し、次に、結果として生じる値に等価性の通常の規則を適用し、等価性を計算するのが望ましい。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10030	A		値の等価性	あたいのとうかせい	Equality of values	文字列が同じ場合、変数に格納された値は等価とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10031	A		評価スタック	ひょうかすたっく	Evaluation stack	評価スタックは、メソッド状態に関連する。それは、値型のボックス化解除されたインスタンスを含む、任意のデータ型を保持できるスロットから構成される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10032	A		イベント契約	いべんとけいやく	Event contract	イベント契約は、イベント定義を用いて指定される。名前付きイベントを管理するための操作の拡張可能な集合には、イベントへの関心を登録、イベントへの関心を廃止、及びイベントを発生という、三つの標準方法が含まれる。イベント契約は、イベント契約を提供する型が実行しなければならないすべての操作のメソッド契約を指定する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10033	A		イベント定義	いべんとていぎ	Event definitions	CTSは、イベントを、CTSが特性を提供する方法と同じ方法で提供する。しかし、そのメソッドは異なり、イベントを発生させるだけでなくイベントへの申込み又はその中止のため	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10034	A		例外処理	れいがいしょり	Exception handling	例外処理は、コードの例外オブジェクト及び保護ブロックによってCLIで提供される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10035	A		拡張配列ライブラリ	かくちょうはいれつらいぶらり	Extended Array Library	拡張配列ライブラリは、いかなるプロファイルにも属さないが、CLI実装の一部として提供可能とする。拡張配列ライブラリは、非ベクトル配列を提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10036	A		拡張数値ライブラリ	かくちょうすうちらいぶらり	Extended Numerics Library	拡張数値ライブラリは、いかなるプロファイルにも属さないが、CLI実装の一部として提供可能とする。浮動小数点(System.Float、System.Double)データ型及び拡張精度(System.Decimal)データ型を提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10037	A		ファミリアクセス可能性	ふぁみりあくせすかのうせい	Family accessibility	同じ型を提供する参照元に対してアクセス可能(権限がある)とする。同じ型とは、その型及びそれから継承されている型のすべてとする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10038	A		ファミリ及びアセンブリアクセス可能性	ふぁみりおよびあせんぶりあくせすかのうせい	Family-and-assembly accessibility	ファミリアクセス及びアセンブリアクセスの両方の資格をもつ参照元に対してだけアクセス可能(権限がある)とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10039	A		ファミリ又はアセンブリアクセス可能性	ふぁみりまたはあせんぶりあくせすかのうせい	Family-or-assembly accessibility	ファミリアクセス又はアセンブリアクセスの資格をもつ参照元に対してだけアクセス可能(権限がある)とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10040	A		フィールド定義	ふぃーるどていぎ	Field definitions	フィールド定義名及び格納域識別情報。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10041	A		フィールド継承	ふぃーるどけいしょう	Field inheritance	派生オブジェクト型は、その基底オブジェクト型の非静的なフィールドをすべて継承する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10042	A		フィールド	ふぃーるど	Fields	フィールドは、プログラムのデータを格納する、型付けされたメモリの格納域とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10043	A		ファイル名	ふぁいるめい	File Names	ファイル名は、"."を正常な構成文字とみなすことを除いて、他の名前と同じとする。ファイル名のための構文は、基礎とするオペレーティングシステムの規定に従う。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10044	A		終了化子	しゅうりょうかし	Finalizers	オブジェクト型を生成するクラス定義は、クラスのインスタンスがもはやアクセス可能でない場合に呼び出されるインスタンスメソッドを供給してもよい。このメソッドを終了化子とい	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10045	A		取得メソッド	しゅとくめそっど	Getter method	特性は、特性の現在値のアクセスのための取得メソッドを定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10046	A		大域的フィールド	たいいきてきふぃーるど	Global Fields	多くの言語が、静的メンバを備えた型に加えて、全く型の一部ではないデータ及びメソッドについての概念をもつ。これらの大域的フィールド及び大域的メソッドと呼ぶ。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10047	A		大域的メソッド	たいいきてきめそっど	Global Methods	多くの言語が、静的メンバを備えた型に加えて、全く型の一部ではないデータ及びメソッドについての概念をもつ。これらの大域的フィールド及び大域的メソッドと呼ぶ。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10048	A		大域的状態	たいいきてきじょうたい	Global state	CLIは、多重並行スレッド、複数の管理下ヒープ及び共有メモリアドレス空間を管理する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10049	A		GUID	GUID	GUID	遠隔手続き呼出しとともに使用される一意な識別文字列。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10050	A		名前による隠ぺい	なまえによるいんぺい	hide-by-name	与えられた型の中での名前の導入は、同じ名前で同じ種類(メソッド又はフィールド)であるすべての継承されたメンバを隠ぺいする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10051	A		名前及び識別情報による隠ぺい	なまえおよびしきべつじょうほうによるいんぺい	hide-by-name-and-sig	与えられた型の中での名前の導入は、同じ種類だが、フィールドに対しては同じ型の継承されたメンバを、メソッド、特性及びイベントに対しては同じ識別情報の継承されたメンバを、隠ぺいする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10052	A		隠ぺい	いんぺい	Hiding	隠ぺいは、基底型から継承されたどのメソッド名がコンパイル時の名前結合のために使用可能か制御する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10053	A		ホーム	ほーむ	Homes	データ値のホームとは、再使用のために格納される場所とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10054	A		識別子	しきべつし	Identifiers	識別子は、実体の名前付けに使用される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10055	A		同一性	どういつせい	Identity	同一性演算子は、CTSによって次のとおりに定義される。 — 値が異なる厳密な型をもつ場合、それらは同一ではない。 — 値が同じ厳密な型をもつ場合であって、それらの厳密な型が値型の場合、値のビット列が同じ場合及びその場合に限り、それらの値は、同一とする。 — 値が同じ厳密な型をもつ場合であって、それらの厳密な型が参照型の場合、値の格納域が同じ場合及びその場合に限り、それらの値は、同一とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10056	A		値の同一性	あたいのどういつせい	Identity of values	文字列の格納域が同じ場合、変数の値は同一とする。この場合、格納域に一つの文字列だけが存在する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10057	A		Ilasm	Ilasm	Ilasm	CILのためのアセンブリ言語。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10058	A		継承要求	けいしょうようきゅう	Inheritance demand	型に添付される場合、継承確認要求は、次を要求する。その型からの継承を望むあらゆる型が指定されたセキュリティ許可をもたなければならないことを要求する。最終(fainal)でない仮想メソッドに添付された場合、このメソッドの上書きを望むあらゆる型が指定されたセキュリティ許可をもたなければならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10059	A		インスタンスメソッド	いんすたんすめそっど	Instance Methods	インスタンスメソッドは、型のインスタンスに関連する。インスタンスメソッドの本体内では、メソッドが動作している特定のインスタンスをthisポインタによって参照できる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10060	A		命令ポインタ	めいれいぽいんた	Instruction pointer (IP)	命令ポインタ(IP)は、現在のメソッドの中でCLIによって実行される次のCIL命令を指す。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10061	A		インタフェース契約	いんたふぇーすけいやく	Interface contract	インタフェース契約は、そのインタフェースが他のどの契約を提供するかを指定する。例えば、どのインタフェース、メソッド、特性及びイベントを実装しなければならないかを指定	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10062	A		インタフェース型定義	いんたふぇーすがたていぎ	Interface type definition	インタフェース定義は、インタフェース型を定義する。インタフェース型は、同じ名前のインタフェース契約を提供するあらゆるオブジェクト型によって実装されなければならないメソッド、格納域及び他の契約の名前付きグループとする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10063	A		インタフェース型継承	いんたふぇーすがたけいしょう	Interface type inheritance	インタフェース型は、複数のインタフェース型を継承できる。すなわち、インタフェース契約は、提供されなければならない他のインタフェース契約を列挙してもよい。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10064	A		インタフェース型	いんたふぇーすがた	Interface types	インタフェース型は、操作の部分集合を記述し、表現を記述しない。したがって、いかなる値の厳密な型にもなりえない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10065	A		インタフェース	いんたふぇーす	Interfaces	インタフェースは、他の型が実装できる契約を定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10066	A		カーネルプロファイル	かーねるぷろふぁいる	Kernel Profile	カーネルプロファイルは、CLIの最小であって可能な規格合致処理系とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10067	A		ラベル	らべる	Labels	プログラム記法として提供する。メタデータ中で符号化される数値を表現する。ラベルによって表現された値は、現メソッドの始点からのバイオオフセットとする。ただし、正確な符合化は、ラベルが生じる論理的なメタデータ構造体又はCILストリームに依存して異な	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10068	A		ライブラリ	らいぶらり	Libraries	プログラマにとって、ライブラリは、有用な機能の集合を提供する型(クラス、インタフェース及び値型。)の一貫した集合とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10069	A		局所メモリ領域	きょくしょめもりりょういき	Local memory pool	局所メモリ領域は、その型又は大きさがコンパイル時に知られておらず、プログラマが管理下ヒープ中に割り付けたくないオブジェクトを割り付けるために使用される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10070	A		局所識別情報	きょくしょしきべつじょうほ	Local signatures	局所識別情報は、メソッドの実行中に割り付けられた局所変数についての契約を指定す	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10071	A		格納域識別情報	かくのういきしきべつじょうほう	Location signatures	すべての格納域は、型付けされる。これは、すべての格納域は、格納域、その使用法及びその格納域に格納された値の使用法の制約を定義する格納域識別情報をもつことを	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10072	A		格納域	かくのういき	Locations	値は、格納域に格納される。格納域は一度に一つの値を保持できる。格納域は、すべて型付けされる。格納域の型は、格納される値が満たされなければならない要件を具現化	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10073	A		計算機状態	けいさんきじょうたい	Machine state	CLIの設計目標の一つは、CILコード生成器からメソッドの呼出しフレームの詳細を隠ぺいすることにある。計算機状態は、主として大域状態及びメソッド状態からなり、設計上の選択を反映する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10074	A		管理下コード	かんりかこーど	Managed code	管理下コードは、CLIが取り込む次のような中核となるサービスの集合を提供するために十分な情報を提供するコードとする。 — メソッドのコードの内部アドレスから、メソッド記述メタデータを見つける。 — スタックをたどる。 — 例外を扱う。 — セキュリティ情報を格納し取り出す。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10075	A		管理下データ	かんりかでーた	Managed data	管理下データはゴミ集めプロセスを通じて、CLIによって自動で割り付けられ解放されるデータとする。管理下コードだけが管理下データにアクセスできる。しかし、管理下コードプログラムは、管理下および管理外データの両方にアクセスできる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10076	A		管理下ポインタ型	かんりかぽいんたがた	Managed pointer types	管理下ポインタデータ型は、CLIによって管理されるオブジェクト参照を表現する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10077	A		管理下ポインタ	かんりかぽいんた	Managed Pointers	管理下ポインタ(&)は、オブジェクトのフィールド、値型のフィールド、配列要素、又は、管理下配列の中へのポインタ添字のために配列末尾の次のアドレスを指すことができる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10078	A		目録	もくろく	Manifest	アセンブリは1単位として適用された1ファイル以上の集合とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10079	A		組換え記述子	くみかえきじゅつし	Marshalling Descriptors	組換え記述子は、識別情報に似てバイナリデータのBLOBとする。フィールド又は仮引数(仮引数番号0の返却値も通常提供する。)が、Pinvoke割当て又は仲介コードによって、管理外コードを呼び出したり呼び出されたりする場合の組換え方法を示す。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10080	A		メンバ	めんば	Member	フィールド、配列要素及びメソッドは、型のメンバという。特性及びイベントも、型のメンバ	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10081	A		メンバ継承	めんばけいしょう	Member inheritance	オブジェクト型だけが実装を継承できる。したがって、オブジェクト型だけがメンバを継承	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10082	A		記憶域	きおくいき	Memory store	“記憶域”は、CLIが動作する通常のプロセスメモリを意味する。これはバイト配列とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10083	A		メタデータ	めたでーた	Metadata	CLIは、共通型システムによって定義された型について記述参照するためにメタデータを使用する。メタデータは、特定のプログラム言語に依存しない方法で格納され、“永続化”される。したがって、メタデータは、ツール及び仮想実行システム、また、プログラムを操作するツール(コンパイラ、デバッガなど。)間で共通の交換機構を提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10084	A		メタデータ字句	めたでーたじく	Metadata Token	4バイトの値であり、メタデータ表の中の行要素又はヒープUser String中の開始バイトオフセットを指定する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10085	A		メソッド	めそっど	Method	名前つきメソッドは、厳密な型の値について実行してよい演算を記述する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10086	A		メソッド契約	めそっどけいやく	Method contract	メソッド契約は、メソッド定義を用いて規定される。メソッド契約は、メソッドの実装とメソッド呼出し側との間の契約を指定する名前付き演算とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10087	A		メソッド定義	めそっどていぎ	Method definitions	メソッド定義は、名前、メソッド識別情報及び省略可能なメソッドの実装からなる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10088	A		メソッド継承	めそっどけいしょう	Method inheritance	派生オブジェクト型は、その基底オブジェクト型のインスタンスメソッド及び仮想メソッドのすべてを継承する。構築子及び静的メソッドは継承しない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10089	A		メソッドポインタ	めそっどぽいんた	Method Pointers	型メソッドポインタ変数は、互換識別情報をもつメソッドへの入口点のアドレスを保持しなければならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10090	A		メソッド識別情報	めそっどしきべつじょうほう	Method signatures	メソッド識別情報は、次からなる。 — 呼出し規約。 — メソッドの各仮引数に対して一つずつの、0個以上の仮引数識別情報の並び。 — 返却値が生成される場合には、返却値のための型識別情報。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10091	A		メソッド状態	めそっどじょうたい	Method state	メソッド状態は、メソッド実行環境について記述する。従来のコンパイラ用語の"呼出しスタックフレーム"中で取り込まれた情報の上位集合に相当する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10092	A		methodInfoハンドル	めそっどいんふぉはんどる	methodInfo handle	メソッド呼出し情報、局所変数の型及び例外ハンドラに関するデータを保持する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10093	A		モジュール	もじゅーる	Module	実行可能な内容を含む単一ファイル。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10094	A		名前変換	なまえへんかん	Name Mangling	プラットフォームでは、管理下プログラムに現れた名前を、CPU固有実装で使用される名前(例えば、C++コンパイラによって生成される場合。)とは異なる名前をつけるよう強制する名前変換規則を使用できる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10095	A		CPU固有のデータ型	CPUこゆうのでーたがた	Native Data Types	CLIの実装は、ある関数を実行するのに必要なデータ型を指定した既存のオペレーティングシステム又は実行時プラットフォーム上に構築されることがある。メタデータは、CLIの組込み型と利用者定義の型とをどのように組み換えるべきか、どのようなCPU固有型から組換え戻されるかを指定することによって、CPU固有データ型との相互運用を可能にす	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10096	A		CPU固有の大きさの型	CPUこゆうのおおきさのかた	Native size types	CPU固有の大きさの型(I、U、O、及び&。)は、値の大きさの選択を遅延するためのCLIの機構とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10097	A		入れ子型定義	いれこがたていぎ	Nested type definitions	入れ子になった型定義は、一つの違いを除いて最上位の型定義と同一とする。その違いとは、最上位の型定義は可視性属性をもつが、入れ子になった型の可視性は、それを囲む側の型の可視性と同じとする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10098	A		入れ子になった型	いれこになったかた	Nested types	入れ子型とも呼ばれる、入れ子になった型は、囲む側の型のメンバとなることができる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10099	A		ネットワークライブラリ	ねっとわーくらいぶらり	Network Library	このライブラリは、コンパクトプロファイルの一部とする。それは、http及びネットワークポートへの直接アクセスを取り込む単純なネットワークサービスを提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10100	A		OOP	OOP	OOP	オブジェクト指向プログラム。Object Oriented Programmingの短縮形。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10101	A		オブジェクト型	おぶじぇくとがた	Object type	オブジェクト型はインスタンスの物理的構造及びその上で許可される演算について記述	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10102	A		オブジェクト型継承	おぶじぇくとがたけいしょう	Object type inheritance	他のオブジェクト型から継承されないSystem.Objectの例外を除いて、すべてのオブジェクト型は、他のオブジェクト型から、明示的又は暗黙的に、ただ一つの他のオブジェクト型を提供する(そのオブジェクト型から継承される。)と宣言しなければならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10103	A		オブジェクト	おぶじぇくと	Object	各オブジェクトは、それ自体、型付けされている。すなわち、その型は、明示的にその表現の中に含まれている。オブジェクトは、それを他のすべてのオブジェクトと識別する同一性(識別性)をもち、(オブジェクト又は値のいずれかであってよい。)他の実体を格納するスロットをもつ。そのスロットの内容は変化してもよいが、オブジェクトの同一性は決し	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10104	A		非透過クラス	ひとうかくらす	Opaque classes	幾つかの言語は、内容をアドレス算術及び間接参照操作によって直接操作できる複数バイトデータ構造を提供する。この機能を提供するCLIは、データメンバに関する情報のない指定された大きさの値型生成を可能にする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10105	A		多重定義	たじゅうていぎ	Overloading	一つの有効範囲内では、与えられた名前は、次のいずれかが異なる場合、複数のメソッドを参照できる。仮引数の数及び各実引数の型。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10106	A		上書き	うわがき	Overriding	上書きは、オブジェクトの配置を扱い、インスタンスフィールド及び仮想メソッドだけに適用可能とする。CTSは、メンバ上書きに二つの形式、new slot(新規スロット)及びexpect existing slot(既存スロットを期待)、を提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10107	A		仮引数	かりひきすう	Parameter	メソッドの対応する実引数を参照するためにメソッドの本体内で使用される名前。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10108	A		仮引数渡し	かりひきすうわたし	Parameter passing	CLIは、3種類の仮引数渡しの方法を提供する。それらすべてがメソッド識別情報の一部としてメタデータ中で指示する。メソッド仮引数は、それぞれが渡す形式をもつ。例えば、最初の仮引数は値渡しであり、他のすべてが参照渡しということができる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10109	A		仮引数識別情報	かりひきすうしきべつじょうほう	Parameter Signatures	仮引数識別情報は、個々の値がメソッド呼出しの一部としてどのように渡されるかについての制約を定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10110	A		アドレス固定	あどれすこてい	Pinned	アドレス固定された局所変数を備えたメソッドを実行中の場合、VESは、局所参照されるオブジェクトを再配置してはならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10111	A		PInvoke	PInvoke	PInvoke	CPU固有コードに定義されたメソッドをCLIのプラットフォーム呼出し(PInvoke 又は p/invoke と呼ばれる。)機能を用いて呼び出すことができる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10112	A		ポインタ型	ぽいんたがた	Pointer type	ポインタ型は、その表現が格納域の計算機アドレスになっている値のコンパイル時の記述とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10113	A		ポインタ	ぽいんた	Pointers	ポインタは、(オブジェクト又は値の型の)フィールド又は配列の要素のアドレスを含むことができる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10114	A		私的アクセス可能性	してきあくせすかのうせい	Private accessibility	メンバを定義するその型の実装の中にある参照元に対してだけアクセス可能(権限がある。)とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10115	A		プロファイル	ぷろふぁいる	Profiles	プロファイルは、あるレベルの機能を提供する一貫した全体を与えるようひとまとめにされた、ライブラリの集合とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10116	A		特性	とくせい	Properties	特性は、名前付きイベント又は特性の振る舞いを実装するアクセス操作子メソッド定義の名前の付いたグループを定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10117	A		特性契約	とくせいけいやく	Property contract	特性契約は、特性定義を用いて指定される。名前付き値を扱う演算の拡張可能な集合が存在する。これは、値を読み、値を変更する標準的な対の操作を含む。特性契約は、それを提供するあらゆる型が実装しなければならない演算の部分集合のメソッド契約を	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10118	A		特性定義	とくせいていぎ	Property definitions	特性定義は、名前付き値及びその値にアクセスするメソッドを定義する。特性定義は、その値のアクセス契約を定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10119	A		公開アクセス可能性	こうかいあくせすかのうせ	Public accessibility	すべての参照元に対して、アクセス可能。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10120	A		限定名	げんていめい	Qualified name	例えば、xという名前のフィールドをもっている複数型Pointがある場合、名前"フィールドx"はそれ自体では名前付きフィールドを一意に識別しないが、限定名"型Pointの中のフィールドx"は一意に識別される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10121	A		次元数	じげんすう	Rank	配列の次元数は、次元の個数とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10122	A		参照要求	さんしょうようきゅう	Reference demand	この印を付けられた項目への参照を解決するどんな試みも、指定されたセキュリティ許可をもっていなければならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10123	A		参照型	さんしょうがた	Reference types	参照型は、ビット列の格納域として表現される値を記述する。3種類の参照型がある。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10124	A		自己反映ライブラリ	じこはんえいらいぶらり	Reflection Library	このライブラリは、コンパクトプロファイルの一部とする。それは、型の構造体を調査し、型のインスタンスを生成し、型のメソッドを呼び出す能力を、型記述に基づいて提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10125	A		遠隔処理境界	えんかくしょりきょうかい	Remoting boundary	計算機境界を越えてオブジェクトの識別性を直接的に共有できない場合、遠隔処理境界が存在する。例えば、二つのオブジェクトが共通アドレス空間を共有しない物理的に隔離された計算機上に存在すれば、遠隔処理境界がそれらの間に存在する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10126	A		返却状態ハンドル	へんきゃくじょうたいはん	Return state handle	このハンドルは現メソッドから戻るとき、メソッド状態を元に戻すために使用される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10127	A		実行時基盤ライブラリ	じっこうじきばんらいぶらり	Runtime Infrastructure Library	このライブラリは、カーネルプロファイルの一部とする。これは、コンパイラがCLIのために必要とするサービス、及び、ファイル形式ストリームから型を動的にロードするために必要とする機能を提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10128	A		有効範囲	ゆうこうはんい	Scopes	名前は、有効範囲と飛ばれる集合へと集められる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10129	A		封印	ふういん	Sealed	型が下位クラスをもってはならないということを明示する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10130	A		封印型	ふういんがた	Sealed type	封印型の宣言は、そのオブジェクト型を継承される基底型をして使うことを禁じる。すなわち、それを継承してはならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10131	A		セキュリティ記述子	せきゅりていきじゅつし	Security descriptor	この記述子は、管理下コードから直接アクセス可能ではないが、セキュリティ上書き(assert、permit-only、又はdeny。)を記録するためにCLIセキュリティシステムによって使用	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10132	A		セキュリティアクセス許可	せきゅりていあくせすきょか	Security permissions	メンバへのアクセスは、アセンブリ、型、メソッド、特性又はイベントに添付可能なセキュリティ要求によっても制御される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10133	A		直列化可能フィールド	ちょくれつかかのうふぃーるど	Serializable fields	直列化可能と印付けされたフィールドは、型の値の永続的状態の一部として直列化されることが望ましい。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10134	A		設定メソッド	せっていめそっど	Setter method	特性は、任意選択で(特性の現在値を修正するために、)設定メソッドを定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10135	A		識別情報	しきべつじょうほう	Signatures	識別情報は、検査可能であって自動的に強制実行可能な契約の一部とする。識別情報は、型及び他の識別情報に制約を加えて作られる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10136	A		単純ラベル	たんじゅんらべる	Simple labels	単純ラベルはアドレスを表現する特殊な名前とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10137	A		特殊なメンバ	とくしゅなめんば	Special members	型の一部として定義可能なインスタンス構造子、インスタンス終了化子及び型初期化子という三つの特別メンバ(メソッド)がある。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10138	A		特殊な型	とくしゅなかた	Special Types	特殊な型はCILから参照される。しかし、そのために定義は供給されない。VESは、参照からの情報に自動で基づいた定義を提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10139	A		標準プロファイル	ひょうじゅんぷろふぁいる	Standard Profiles	二つの標準プロファイルがある。CLIの最も小さな規格合致処理系は、カーネルプロファイルとする。コンパクトプロファイルは、アプリケーションに役立つ追加機能を含む、資源豊富な機器集合を対象にする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10140	A		静的フィールド	せいてきふぃーるど	Static fields	型は、その型の特定の値ではなく、その型に関連した格納域を宣言できる。そのような格納域を、型の静的フィールドという。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10141	A		静的メソッド	せいてきめそっど	Static methods	型は、その型の値ではなく、その型に関連したメソッドを宣言できる。そのようなメソッドを、型の静的メソッドという。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10142	A		上位の呼出し	じょういのよびだし	Super Calls	基底型に定義されたコードを再利用することが望ましい場合がある。例えば、上書き仮想メソッドが、以前の版を呼び出したい場合とする。この種の再利用は、基底型の上書きされたメソッドが呼び出されるので、上位の呼出しと呼ばれる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10143	A		this	でぃす	This	インスタンスメソッド及び仮想メソッドは、それらは、この呼出しが演算を行う(this又はthis pointerとして知られる。)インスタンスに渡される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10144	A		仲介コード	ちゅうかいこーど	Thunk	特殊な処理が必要な場合に、2個のコード間の推移を提供する(典型的には)小さな一片のコード。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10145	A		tryブロック	とらいぶろっく	Try block	CLIでは、メソッドは、保護対象と呼ばれるCIL命令の範囲を定義できる。これはtryブロックと呼ばれる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10146	A		型定義側	かたていぎがわ	Type definers	型定義側は、既存の型から新しい型を構築する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10147	A		型定義	かたていぎ	Type definition	型定義は、次を行う。 — 定義された型に対する名前すなわち、型名を定義し、その名前がみつけられる有効範囲を指定する。 — 異なる種類のメンバ(フィールド、メソッド、イベント及び特性。)の名前が束縛されるメンバ有効範囲を定義する。メンバ名、メンバ種類、メンバ識別情報の組は、型のメンバ有効範囲内で一意とする。 — 暗黙的に、型定義を含むアセンブリのアセンブリ有効範囲へ、型を割り当てる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10148	A		型継承	かたけいしょう	Type inheritance	型継承では、基底型の型契約のすべてを派生型が提供することを保証する。派生型は、通常、追加的な機能又は特殊化した振る舞いを提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10149	A		型メンバ	かためんば	Type members	オブジェクト型定義は、型のすべてのメンバに対するメンバ定義を含む。型メンバは、値が格納されるフィールド、呼び出されるメソッド、使用可能な特性、及び発生してよいイベ	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10150	A		型安全性	かたあんぜんせい	Type safety	契約の強制可能部分(名前付き識別情報)に従う実装を型安全という。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10151	A		型識別情報	かたしきべつじょうほう	Type signatures	型識別情報は、値及びその使用法の制約を定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10152	A		型付き参照仮引数	かたつきさんしょうかりひきすう	Typed reference parameters	データ型の実行時表現が、データのアドレスとともに渡される。この仮引数の型は、この目的のために特に支給される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10153	A		型	かた	Types	型は、値について記述する。値が格納され、渡され、演算される格納域(例えば、すべての変数、仮引数、評価スタック、及びメソッド結果。)は、すべて型をもつ。型は、可能な値、及びその型の値が低提供する可能な演算を定義する。すべての演算子及び関数は、アクセスされる値又は使用さらえる値のそれぞれに対して、期待される型をとる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10154	A		単項演算子	たんこうえんざんし	Unary operators	単項演算子は、一つの実引数をとり、その上で操作を実行し、結果を返す。単項演算子は、演算対象又は返却値の型を定義するクラス上の静的メソッドとして表現される。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10155	A		ボックス化解除	ぼっくすかかいじょ	Unbox	ボックス化解除とは、実行時型が値型のSystem.Objectを値型インスタンスに変換する縮小(実行時例外が生成されるかもしれない)操作とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10156	A		管理外コード	かんりがいこーど	Unmanaged Code	実行のためのCLI実行時環境を要求しないコード。このコードは、実行時環境が提供する共通型システムなどの機能を使用しない。CLI以前の従来のCPU固有コードは管理外と	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10157	A		管理外ポインタ型	かんりがいぽいんたがた	Unmanaged pointer types	管理外ポインタ型(単に"ポインタ型"とも呼ばれるもの。)は、ポインタが参照する格納域のための格納域識別情報指定によって定義される。ポインタ型の識別情報は、すべてこの格納域識別情報を含む。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10158	A		妥当性検証	だとうせいけんしょう	Validation	妥当性検証は、ファイル形式、メタデータ及びCILが自己矛盾でないことを確認するために任意ファイル上で行える試験集合を指す。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10159	A		値型継承	あたいがたけいしょう	Value type inheritance	値型は、ボックス化解除された形式では、いかなる型からも継承されない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10160	A		値型	あたいがた	Value types	クラスとは対照的に、値型は、参照でアクセスされず、その型の格納域に直接に格納さ	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10161	A		値	あたい	Value	組込み型の場合を除く値の表現は、部分値へ分割できる。これらの部分値は、名前付けられて、フィールドと呼ばれるか、添字指定式によってアクセスされ、配列要素と呼ばれ	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10162	A		Varargメソッド	Varargめそっど	Vararg Methods	vararg メソッドは、可変個数の実引数を受け入れる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10163	A		可変個引数並び	かへんこひきすうならび	Variable argument lists	未知の長さ及び型(“varargsメソッド”)の実引数並びに受け入れるメソッドを実装するために、CLIはクラスライブラリと協力して動作する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10164	A		ベクトル	べくとる	Vectors	ベクトルは下限ゼロの一次元配列とする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10165	A		正当性検証可能性	せいとうせいけんしょうかのうせい	Verifiability	記憶安全性は、同じアドレス空間中で動作する複数のプログラムの相互隔離を保証する特性とする。プログラムの動作前に記憶安全かどうかを試験するのが望ましい。不運にも、100%の精度でこれをすることはできないことが証明されている。代わりに、CLIは、正当性検証可能性と呼ばれる、より強い制限を試験できる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10166	A		正当性検証	せいとうせいけんしょう	Verification	正当性検証は、CILコード列がプログラムの論理アドレス空間の外側の記憶へのアクセスを与えないことを保証するために、CIL及びその関連メタデータを検査する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10167	A		版番号	はんばんごう	Version Number	4個の32ビット整数として指定されたアセンブリの版番号	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10168	A		仮想呼出し	かそうよびだし	Virtual call	仮想メソッドは、仮想呼出しという特別な機構によって呼び出されてよい。この機構は、コンパイル時に静的に知らされる型ではなく、仮想呼出しを行うために使われたインスタンスの動的に検知された型に基づいて、実装を選択する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10169	A		仮想呼出し規約	かそうよびだしきやく	Virtual calling convention	CILは、インタプリタ又はJITコンパイラによってCPU固有の呼出し規約に変換される“仮想呼出し規約”を提供する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10170	A		仮想実験システム	かそうじっけんしすてむ	Virtual execution system	仮想実行システム(VES)は管理下コードを実行する環境を提供する。それは、組込みデータ型を直接提供し、関連する計算機モデル及び状態、制御フロー構築要素及び例外処理モデルをもつ仮想計算機を定義する。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10171	A		仮想メソッド	かそうめそっど	Virtual methods	仮想メソッドは、インスタンスメソッドとほとんど同じように型のインスタンスに関係する。ただし、インスタンスメソッドと異なり、thisポインタに使われるオブジェクト型に依存してVESによって実行時選択されるメソッド実装であるかのように仮想メソッドを呼び出せる。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10172	A		可視性	かしせい	Visibility	最上位の型にだけ付けられており、二つの可能性だけがある。同じアセンブリ内の型に見えるか、又はアセンブリにかかわらずすべての型に見えるかとする。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10173	A		拡大	かくだい	Widen	型が、継承されたメソッドを上書きする場合、そのメソッドのアクセス可能性を拡大することがある。しかし、狭くしてはならない。	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10174	A		XMLライブラリ	XMLらいぶらり	XML Library	このライブラリは、コンパクトプロファイルの一部とする。それは、XMLに単純な“プルスタイル”構文解析木を供給する。資源制約機器用に設計されており、単純な利用者モデル	JIS X 3016	2006	ISO/IEC 23271	2003				2006	SC22
10175	A		適合性文書	てきごうせいぶんしょ	conformance document	1.3.1.2の規定に従い、実装の詳細を記述した文書。この文書は、実装者が用意する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10176	A		実装者定義(の)	じっそうしゃていぎ(の)	implementation defined	正しいプログラム・データの値又は動作に関する要求事項を、実装者が、定義し文書にしなければならないことを示す。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10177	A		～しても(も)よい	～しても(も)よい	may	任意機能を示す。実装者 の観点からは、～してもよいは、この規格では必す(須)でないが、実装者が提供し てもよい任意機能を意味する。この規格に厳密に適合する応用プログラムの観点から は、～してもよいは、用いてはならない任意機能を意味する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10178	A		廃止予定(機能)	はいしよてい(きのう)	obsolescent	この規格 を改正するとき、削除の対象になる可能性がある機能を示す。この規格が廃止予定機 能を残した理由は、それらの機能が現在広く用いられているからであり、新しい応用 プログラムは、廃止予定機能を用いないことが望ましい。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10179	A		～しなければならない	～しなければならない	shall	文脈に応じて、実装に関する要求事項又はこの規格に厳密に適合する応用プログラムに関する要求事項を示す。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10180	A		～するのがよい、～することが望ましい	～するのがよい、～することがのぞましい	should	(1)実装の観点からは、要求事項ではなく推奨であるこ とを示す。(2)応用プログラムの観点からは、プログラムの方法に関する推奨及び この規格に厳密に適合する応用プログラムへの要求事項を示す。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10181	A		採用する、採用しない	さいようする、さいようしない	supported, not supported	選択機能の有無を示す。実装者は、この規格が選択機能と 規定する機能にも、常にインターフェースを提供しなければならない。実装がある選 択機能を採用する場合、インタフェースは、この規格の規定通りに動作する(その機 能を採用しないことを示す誤り状態を返さないという点を除く)。選択機能を採用し ない場合、インタフェースは、常に規定に従い機能を採用しないことを示す誤り表示 を返さなければならない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10182	A		システム文書	しすてむぶんしょ	system documentation	実装に付随する文書のうち適合性文書を除いたもの。電子媒体で配布される実装に関する文書を含む。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10183	A		未定義	みていぎ	undefined	応用プログラムが不定の値を用いるとき、又は応用プログラムのデータ若しくは構造が誤っているとき、どのような動作又は値 をとらなければならないかについてこの規格が移植性に関する要求事項を規定しない ことを示す。実装者(又は他の規格)は、未定義の動作の結果を規定してもよい。そのような動作を利用する応用プログラムは、拡張機能を用いたこの規格に適合する応 用プログラムとする(1.3.2.3参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10184	A		未規定	みきてい	unspecified	応用プログラムのデータ又は構造が 正しいとき、どのような動作又は値をとらなければならないかについてこの規格が移 植性に関する要求事項を規定しない ことを示す。実装者(又は他の規格)は、未規定 の動作の結果を規定してもよい。そのような動作を利用する応用プログラムは、拡張 機能を用いたこの規格に適合する応用プログラムとする	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10185	A		絶対パス名	ぜったいぱすめい	absolute pathname	(2.3.6パ ス名の解釈参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10186	A		アクセスモード	あくせすもーど	access mode	システムが許す ファイルへのアクセスの方法。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10187	A		アドレス空間	あどれすくうかん	address space	プロセスが参照できるメモリの中の場所。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10188	A		適切な権限	てきせつなけんげん	appropriate priviledges	特権を必 要とするとこの規格が規定する関数呼出し及び関数呼出しの選択機能のために、プロ セスに特権を付与する実装者定義の手段。この手段はなくてもよく、1個以上存	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10189	A		裏プロセス	うらぷろせす	background process	裏プロセスグループに属するプロセス。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10190	A		裏プロセスグループ	うらぷろせすぐるーぷ	background process group	制御端末と接続を確立したセションに属するプロセスグループのうち、表プロセスグループを除いたもの。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10191	A		ブロック型特殊ファイル	ぶろっくがたとくしゅふぁいる	block special file	装置を参照するファイル。文字型特殊ファイルと異なり、通常、装置 のハードウェア属性を意識しないで装置にアクセスするための手段を提供する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10192	A		文字	もじ	character	一つの図形文字を表現する一つ以上のバイトの列。(参)この用語は、プログラム言語C規格の多バイト文字に対応する。単バイト文字 は、多バイト文字の特殊な場合とする。プログラム言語C規格と異なり、文字は、記 憶域と関係をもたない。この規格がバイトという用語を用いるのは、記憶域に関して 規定するときに限る。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10193	A		文字型特殊ファイル	もじがたとくしゅふぁいる	character special file	装置を参照するファイルの一つ。端末装置ファイルは、文字型特殊ファイルの一つの特別な型とする。端末装置ファイルへのアクセスは、7.1一般端末インターフェー スで規定する。他の文字型特殊ファイルの構造は、この規格では規定しない。それらの使用に関する事項は、この規格では未規定とする。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10194	A		子プロセス	こぷろせす	child process	(2.2.2.62プロ セス参照)	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10195	A		時間刻み	じかんきざみ	clock tick	ある時間間隔。1秒は、1以上の時間刻みからなる。clock t型の値を表すために用いてもよい単位の一つとす る。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10196	A		制御プロセス	せいぎょぷろせす	controlling process	制御端末との接 続を確立したセションリーダ。制御端末があるセションの制御端末でなくなるとき、そのセションのセションリーダは、制御プロセスでなくならなければならない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10197	A		制御端末	せいぎょたんまつ	controlling terminal	セションと対応する 端末。各セションと対応する制御端末の数は、1又は0とする。しかし、一つの制御 端末は、つねに一つのセションに対応する。制御端末から特定の入力があるとき、シ ステムは、制御端末と結び付けられたプロセスグループに属するすべてのプロセスに シグナルを送る(7.1一般端末インタフェース参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10198	A		現行の作業ディレクトリ	げんこうのさぎょうでぃれくとり	current working directory	(2.2.2.89作業ディレクトリ参照)	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10199	A		装置	そうち	device	コンピュータの周辺装置又は応用プログラムか らは周辺装置のように見えるもの。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10200	A		ディレクトリ	でぃれくとり	directory	ディレクトリエントリを含む ファイル。一つのディレクトリの中に、同じ名前をもつディレクトリエントリが複数 存在してはならない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10201	A		ディレクトリエントリ、リンク	でぃれくとりえんとり、りんく	directory entry, link	ファイルとファイル名を対応付けるもの。複数のディレクトリ エントリは、一つのファイルに複数の名前を対応付けることができる。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10202	A		ドット	どっと	dot	1個のドット文字(.)だけからなるファイル名(2.3.6パス名の解釈参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10203	A		ドットドット	どっとどっと	dot-dot	2個のドット文字(..)だけ からなるファイル名(2.3.6パス名の解釈参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10204	A		実効グループID	じっこうぐるーぷID	effective group ID	ファ イルアクセスなどの許可を決定するためにシステムが用いるプロセスの属性(2.3.2及び2.2.2.42参照)。この値は、プロセスの生存期間中に変化することが ある(3.1.2及び	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10205	A		実効利用者ID	じっこうりようしゃID	effective user ID	ファイル アクセスなどの許可を決定するためにシステムが用いるプロセスの属性(2.2.2.87利用者ID参照)。この値は、プロセスの生存期間中に変化することがある(3.1.2	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10206	A		空のディレクトリ	くうのでぃれくとり	empty directory	ドット及びドットドット以外のディレクトリエントリを含まないディレクトリ。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10207	A		空の文字列	くうのもじれつ	empty string (null string)	最初の要素がナル文字である文字配列。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10208	A		基準時点	きじゅんじてん	Epoch	協定世界時(UTC)の 1970年1月1日0時0分0秒(2.2.2.77基準時点からの通算秒参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10209	A		機能試験マクロ	きのうしけんまくろ	feature test macro	#define指令が定義する記号のうち、特定の機能の集合をヘッダから取り組むか どうか判断するために用いるもの(2.7.1参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10210	A		FIFO特殊ファイル (FIFO)	FIFOとくしゅふぁいる(FIFO)	FIFO special file (FIFO)	ファイルの型の一つ。データの読取りの順序が書込みの順序と同じという 特性をもつ。FIFO特殊ファイルの他の特性は、5.3.1、6.4.1、6.4.2及び6.5.3で規定する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10211	A		ファイル	ふぁいる	file	書込み、読取り及びその両方が可能なもの。ファイルは、アクセス許可及び型を含む幾つかの属性をもつ。ファイルの型には、通常ファイル、文字型特殊ファイル、ブロック型特殊ファイル、FIFO特殊ファイル及びディレクトリがある。実装は、他の型のファイルを定義	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10212	A		ファイル記述	ふぁいるきじゅつ	file description	(2.2.2.51 オープンファイル記述参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10213	A		ファイル記述子	ふぁいるきじゅつし	file descriptor	プロセスごとに 一意な負でない整数。ファイルをアクセスするとき、オープンしたファイルを識別す るために用いる。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10214	A		ファイルグループクラス	ふぁいるぐるーぷくらす	file group class	ファ イルの属性。プロセスのグループIDに関するアクセス許可を示す。ファイル所有者クラスに属さないプロセスのうち、実効グループID又は補助グループIDの一つがファイルのグループIDと一致するものは、そのファイルのファイルグループクラスに属する。実装は、他の実装者定義のメンバをファイルグループクラスに加えてもよい。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10215	A		ファイルモード	ふぁいるもーど	file mode	ファイル許可ビット 及びファイルの他の特性を含むデータ(5.6.1参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10216	A		ファイル名	ふぁいるめい	filename	ファイルの命名に用いる1～ {NAME_MAX}バイトからなる名前。名前を構成する文字には、フラッシュ文字及びナル文字以外のすべての文字値を用いてよい。ドット及びドットドットは、特別な意味をもつ。ファイル名を、パス名の構成要素と呼ぶこともある(2.3.6パ	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10217	A		ファイルオフセット	ふぁいるおふせっと	file offset	次の入出力捜査の対 象となるファイル内のバイト位置。通常ファイル、ブロック型特殊ファイル又はディ レクトリに対応する各オープンファイル記述は、ファイルオフセットをもつ。端末装 置を参照しない文字型特殊ファイルは、ファイルオフセットをもってもよい。パイプ 及びFIFO特殊ファイルは、ファイルオフセットをもたない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10218	A		ファイル他者クラス	ふぁいるたしゃくらす	file other class	ファイルの属性。プロセスの所有者ID及びグループIDに関するアクセス許可を示す。ファイル利用者クラス及びファイルグループクラスのどちらにも属さないプロセスは、ファイル他者クラスに属する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10219	A		ファイル所有者クラス	ふぁいるしょゆうしゃくらす	file owner class	ファイルの属性。プロセスの利用者IDに関するアクセス許可を示す。実効利用者IDがファイルの利用者IDと一致するプロセスは、そのファイルのファイル所有者クラスに属する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10220	A		ファイル許可ビット	ふぁいるきょかびっと	file permission bits	ファ イルに関する情報。他の情報と組み合わせて、プロセスに、あるファイルに対して、読取り、書込み又は実行・探索許可を与えるかどうかを判断するために用いる。ビットは、利用者・グループ・他者の三つの部分に分かれる。各部分は、対応するプロセ スのファイルクラスとともに用いる。これらのビットは、ファイルモードの一部になる(5.6.1参照)。ファイルにアクセスできるかどうかを決める場合のファイル 許可ビットの使用方法は、2.3.2ファイルアクセス許可で規定する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10221	A		ファイル通し番号	ふぁいるとおしばんごう	file serial number	ファイルシステムごとに一意なファイルの識別子。ファイル通し番号は、一つのファイルシステム全体で一意とする。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10222	A		ファイルシステム	ふぁいるしすてむ	file system	ファイル及びファイルの属性の集合。ファイルシステムは、ファイルシステム中のファイルのファ イル通し番号に、名前空間を提供する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10223	A		表プロセス	おもてぷろせす	foreground process	表プロセスグ ループに属するプロセス。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10224	A		表プロセスグループ	おもてぷろせすぐるーぷ	foreground process group	制御端末へのアクセスに関して、ある特権をもつプロセスが属するプロセスグループ。裏プロセスグループに属するプロセスは、この特権をもたない。制御端末との接続を確立したセションの中に、制御端末の表プロセスグループは、常に一つだけ存在す る。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10225	A		表プロセスグループID	おもてぷろせすぐるーぷID	foreground process group	表プロセスグループのプロセスグループID。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10226	A		グループID	ぐるーぷID	group ID	gid_t型で表現可能な負でない整数。システムの利用者のグループを識別するために用いる。システムの利用者は、少なくとも一つのグループに属する。プロセスのグループIDには、実グループ ID・実効グループID・(選択機能の)補助グループIDの一つ・(選択機能の)退避グループIDがある。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10227	A		ジョブ制御	じょぶせいぎょ	job control	利用者が選択したプ ロセスの実行を停止(中断)すること、及び停止(中断)したプロセスを後に選択し て続行(再開)することを可能にする機能。利用者は、典型的には、端末入出力ドラ イバ及びコマンドインタプリタが提供する対話型のインタフェースを通じてこの機能 を利用する。適合する実装は、ジョブ制御機能選択機能を採用してもよい。 「POSIX_JOB_CONTROL」という記号は、コンパイル時又は実行時 に、応用プログラムに	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10228	A		リンク	りんく	link	ディレクトリエントリと同じ(2.2.2.17ディレクトリエントリ参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10229	A		リンク数	りんくすう	link count	ファイルを参照するディレクトリエ ントリの数。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10230	A		ログイン	ろぐいん	login	利用者がシステムの利用を開始する時に行う末 規定の動作。各ログインに対応するログイン名は、常にただ一つでなければならない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10231	A		ログイン名	ろぐいんめい	login name	ログインに対応する利用者名。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10232	A		モード	もーど	mode	ファイルの型及びアクセス許可を規定する 属性の集合(2.3.2ファイルアクセス許可参	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10233	A		ナル文字列	なるもじれつ	null string	(2.2.2.23空の文字列参照)	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10234	A		オープンファイル	おーぷんふぁいる	open file	ファイル記述子と結 び付けられているファイル。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10235	A		オープンファイル記述	おーぷんふぁいるきじゅつ	open file description	一つ又は複数のプロセスのファイルのアクセス方法・アクセス状態に関する記録。各ファイル記述子が参照するオープンファイル記述の数は、常にただー つでなければならない。しかし、一つ以上のファイル記述子が、一つのオープンファイル記述を参照してもよい。ファイルオフセット・ファイル状態(表6-5参照)・ファイルアクセスモード(表6-6参照)は、オープンファイル記述の属性とする。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10236	A		親のないプロセスグループ	おやのないぷろせすぐるーぷ	orphaned process group	プロセスグループのうち、所属するすべてのプロセスの親プロセスが、同じグループに属するか、又はグループが属するセッションに属さないもの。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10237	A		親ディレクトリ	おやでぃれくとり	parent directory	(1)ディレクトリの場合、そのディレクトリに対応するディレクトリエントリを含むディ レクトリ及びそのディレクトリの中でパス名ドットドットで表されるディレクトリ。(2)ディレクトリ以外のファイルの場合、そのファイルに対応するディレクトリエ ントリを含むディレクトリ。この概念は、ドット及びドットドットには適用しない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10238	A		親プロセス	おやぷろせす	parent process	(2.2.2.62プロセス参照)	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10239	A		親プロセスID	おやぷろせすID	parent process ID	活動状態 のプロセスが新たに生成するプロセスがもつ属性。親プロセスIDは、プロセスを生 成したプロセスの生存期間は、プロセスを生成したプロセスのプロセスIDになり、プロセスを生成したプロセスの生存期間の後は、実装者定義のシステムプロセスのプ ロセ	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10240	A		前置パス名	まえおきぱすめい	path prefix	ディレクトリに対応 するパス名。最後の文字はスラッシュでもよい。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10241	A		パス名	ぱすめい	pathname	ファイルを識別するために用いる文字列。パス名の終端のナル文字を含んだ長さは、{NAME_MAX}を超えないものとする。パス名は、穿頭のスラッシュ(なくてもよい)及びそれに続くスラッシュを区切 りとする0以上のファイル名からなる。パス名がディレクトリに対応する場合、一つ以上のスラッシュで終わってもよい。複数の連続したスラッシュは、一つのスラッ シュと同じと見なす。二つの連続するスラッシュで始まるパス名は、実装者定義の方法で解釈してもよい。ただし、先頭に3個以上のスラッシュがあるときは、スラッシュが一つしかないときと同じように取り扱わなければならない。パス名の解釈は、2.3.6で規	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10242	A		パス名の構成要素	ぱすめいのこうせいようそ	pathname component	(2.2.2.32ファイル名参照)	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10243	A		パイプ	ぱいぷ	pipe	pipe()関数が作る一対のファイル記述子 によってアクセスされるもの。生成後は、パイプの捜査にファイル記述子を用いるこ とができる。ファイル記述子を用いた捜査では、パイプは、FIFO特殊ファイルと まったく同じように動作する。パイプは、ファイル階層中では、	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10244	A		移植可能なファイル名文字集合	いしょくかのうなふぁいるめいもじしゅうごう	portable filename character set	移植可能なファイル名を構成する文字集合。この規格に適合する複数の実装の間で移植可能なファイル名は、次の文字以外の文字を含んではならない。 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . _ - 最後の3文字はピリオド・アンダライン・ハイフンと する。移植可能なファイル名は、ハイフンで始まってはならない。適合する実装は、 大文字・小文字の区別を保存しなければならない。移植可能なパス名には、スラッシュを用いてよい。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10245	A		特権	とっけん	privilege	(2.2.2.4適切な権限参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10246	A		プロセス	ぷろせす	process	アドレス空間及びその内で実行する一つの 制御スレッド、並びにその要求するシステム資源。プロセスの生成は、他のプロセス のfork()関数の発行による。fork()関数を発行するプロセスを親プロセ ス、fork()関数が生成する新しいプロセスを子プロセスと呼ぶ。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10247	A		プロセスグループ	ぷろせすぐるーぷ	process group	関連するプロセ スにシグナルを送る許可をもつプロセスの集合。システム内のプロセスは、すべてプ ロセスグループに属する。プロセスグループは、一意なプロセスグループIDをもつ。 一つのプロセスは、同時に複数のプロセスグループに属さないものとする。生成直後 の子プロセスは、親プロセスのプロセスグループに属する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10248	A		プロセスグループID	ぷろせすぐるーぷID	process group ID	プロセスグループを示す一意な識別子。生存期間にあるプロセスグループを識別する。プロセスグループIDは、pid_t型で表現可能な正の整数とする。システムは、対応するプロセスグループの生存期間が終わるまで、プロセスグループIDを再利用 してはならない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10249	A		プロセスグループリーダ	ぷろせすぐるーぷりーだ	process group leader	プロセスIDがプロセスグループIDと等しいプロセス。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10250	A		プロセスグループの生存期間	ぷろせすぐるーぷのせいぞんきかん	process group lifetime	プロセスグループの生成から、グループの最後のプロセスの生存期間の終了まで、又はsetsid()関数若しくはsetpgid()関数 の発行によって最後のプロセスがグループを離れるま	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10251	A		プロセスID	ぷろせすID	process ID	プロセスを示す一意な識別子。プロセスIDは、pid_tで表現可能な正の整数とする。システムは、プロセスの生存期間が終わるまでプロセスIDを再利用してはならない。システムは、プロセスグループの生存期間が終了するまで、そのプロセスグループのプロセスグループIDと等しいプロセスIDを、再利用してはならない。システムプロセス以外のプロセスは、値が1であるプロセスIDを使用してはならない。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10252	A		プロセスの生存期間	ぷろせすのせいぞんきかん	process lifetime	プロセスの生成から、システムによるプロセスIDの回収までの期間。fork()関数による生成の後、プロセスは、活動状態になる。プロセスの制御スレッド及びアドレス空間は、プロセスの終了まで存在する。終了後、プロセスは、非活動状態になる。この状態で、システムは、プロセスIDなどの使用中の資源を除く資源を回収しても よい。非活動状態のプロセスに対し他のプロセスが、wait()関数又はwaitpid()関数を発行するとき、システムは、非活動状態のプロセスの資源をすべて回収する。システムが最後に回収する資源は、プロセスIDとする。プロセ スの生存期間は、この時点で終了する。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10253	A		読取り専用ファイルシステム	よみとりせんようふぁいるしすてむ	read-only file system	更新の制限に関する実装者定義の特性をもつファイルシステ ム。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10254	A		実グループID	じつぐるーぷID	real group ID	プロセスの属性。プロセスの生成時点には、プロセスを生成した利用者のグループを識別する(2.2.2.42グループID参照)。この値は、プロセスの生存期間中に変化することがある(4.2.2参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10255	A		実利用者ID	じつりようしゃID	real user ID	プロセスの属性。プロセスの生成時点には、プロセスを生成した利用者を識別する(2.2.2.87利用者ID参照)。この値は、プロセスの生存期間中に変化することがある(4.2. 2	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10256	A		通常ファイル	つうじょうふぁいる	regular file	直接アクセスが可能なバイト列からなるファイル。システムは、通常ファイルに、これ以外の構造上の制約を課さないものとする。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10257	A		相対パス名	そうたいぱすめい	relative pathname	(2.3.6パ ス名の解釈参照)	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10258	A		ルートディレクトリ	るーとでぃれくとり	root directory	各プロセスに結 び付けられたディレクトリ。スラッシュで始まるパス名を解釈するとき用い	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10259	A		退避グループID	たいひぐるーぷID	saved set-group-ID	プロセスの属性。実装が機能の退避利用者IDを採用するとき、柔軟性のある実行グループIDの設定を可能にする(2.1.2及び4.2.2参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10260	A		退避利用者ID	たいひりようしゃID	saved set-user-ID	プロ セスの属性。実装が退避利用者ID機能を実装するとき、柔軟性のある実行利用者IDの設定を可能にする(2.1.2及び4.2.2参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10261	A		基準時点からの通算秒	きじゅんじてんからのつうさんびょう	seconds since the Epoch	指定する時間と基準時点との間の秒数を表す数値。協定世界時(UTC)名[暦年-1900(tm_year)・その年の1月1日からの日 数(tm_yday)・時(tm_hour)・分(tm_min)・秒(tm_sec)からなる]と基準時点からの通算秒が表す時刻との関係は、次の式のとおりとする。暦年が1970年より前、又は基準時点からの通算秒の値が負の場合の関係は、未定義とする。暦年が1970以後で、かつ基準時点からの通算秒の値 が負でない場合、基準時点からの通算秒の値を協定世界時(UTC)名で表すと、次のとおりとなる。 tm-sec + tm_min * 60 + tm_hour * 3600 + tm_yday * 86400 + (tm_year-70) * 31536000 + ((tm_year-69)/4) * 84600	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10262	A		セション	せしょん	session	ジョブ制御のためのプロセスグループの集合。各プロセスグループは、一つのセションに属する。プロセスが属するセションは、所属プロセスグループが属するセションとする。生成直後の子プロセスは、親プロセ スのセションに属する。プロセスは属するセションを変更できる。選択機能の setpgid()関数を採用する実装では、複数のプロセスグループが、一つのセ ションに属することができる(4.3.2及び4.3.3参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10263	A		セションリーダ	せしょんりーだ	session leader	セションを生成 したプロセス(4.3.2参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10264	A		セション生存期間	せしょんせいぞんきかん	session lifetime	セションの生成から、セションに属するすべてのプロセスグループの生存期間が終わるまでの期間。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10265	A		シグナル	しぐなる	signal	システムの中の事象をプロセスに通知刷る ため、又は事象がプロセスに影響を与えるための機構。ハードウェア例外、プロセス による特定の活動などが、この事象に該当する。シグナルという用語は、事象自体を 示すためにも用いる。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10266	A		スラッシュ	すらっしゅ	slash	定数"/"。ISO 8859-1は、この文字を斜線(solidus)とよぶ。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10267	A		補助グループID	ほじょぐるーぷID	supplementary group ID	ファ イルへのアクセス許可を判断するためにシステムが用いるプロセスの属性。プロセスは、実効グループIDの他に、最大{NGROUPS_MAX}個の補助グループ IDをもつ。システムがプロセスを生成するとき、補助グループには親プロセスの補助グループIDの値を設定する。補助グループIDの並びが、プロセスの実効グループIDを含むかどうかは、未	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10268	A		システム	しすてむ	system	この規格の実装。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10269	A		システムプロセス	しすてむぷろせす	system process	システムが定義するプロセスIDをもつ対象物のうち、応用プロセスを実行するプロセスを除いたも の。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10270	A		端末(装置)	たんまつ(そうち)	terminal (terminal device)	7.1の規定に従う文字型特殊ファイル。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10271	A		利用者ID	りようしゃID	user ID	*uid_t*型で表現可能 な負でない整数。システムの利用者を識別するために用いる。プロセスの利用者IDには、実利用者ID、実効利用者ID、(選択機能の)退避利用者IDがある。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10272	A		利用者名	りようしゃめい	user name	利用者の識別のために用いる文字列(9.1参照)。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10273	A		(現行の)作業ディレクトリ	(げんこうの)さぎょうでぃれくとり	working directory (current working directory)	各プロセスに結び付けられたディレクトリ。スラッシュで始まらないパス名を解釈するとき用いる。	JIS X 3030	1994	ISO/IEC 9945-1	1990				2003	SC22
10274	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	application	利用者可搬型選択ユーティリティが提供されている場合、応用プログラムという用語に関連した要件は、端末からシェルコマンド言語文を入力して、システムと対話している利用者の操作を含むものと解釈しなければならない。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10275	A		～することができる	～することができる	can	この規格が許容する、応用プログラムにとって利用可能な選択機能又は振舞いを示す場合に使う。実装は、そのような機能又は振舞いを必す(須)の要件として提供しなければ	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10276	A		適合性文書	てきごうせいぶんしょ	conformance document	実装の詳細を1.3.1.2の規定に従って記述した文書。この文書は、実装者が用意する。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10277	A		実装	じっそう	implementation	この規格で定義するサービスを応用プログラム及び利用者に提供する実体。実装という語は、次に示す製造業者の構成指示に従って、修正した後の実体を意味すると解釈しなければならない。－この規格に適合するようにシステムを構成する。－この規格で規定する種々の任意選択機能を、システム管理者又は操作者の選択・調整によって、選定する。ただし、この意味は、適合性文書を議論するとき、又は"実装者定義"という用語を使	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10278	A		実装者定義(の)	じっそうしゃていぎ(の)	implementation defined	実装者が、正しいプログラム・データの値又は振舞いに関する要件を、定義し、文書化しなければならないことを意味する。実装における値又は振舞いが各システムごとに可変であったり、指定可能であるように設計されている場合、実装者は、この可変部分の性質及び許容範囲を文書化しなければならない。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10279	A		～して(も)よい	～して(も)よい	may	この規格が、提供することを禁止してはいないが、要求してもいない実装に対する選択機能又は振舞いを示す。この規格に厳密に適合するPOSIX.2応用プログラムは、この機能を使うことが許されるが、その場合、実装の振舞いに依存してはならない。あいまいさを避けるために、この反対の意味は、“～しなくて(も)よい(may not)”ではなく、“～する必	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10280	A		廃止予定	はいしよてい	obsolescent	この規格の将来の改正で、削除の対象となる可能性のある機能を示す。この規格に廃止予定機能を残した理由は、それらの機能が現在広く用いられているからである。新しい応用プログラムは、廃止予定機能を用いないことが望ましい。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10281	A		～しなければならない、～する	～しなければならない、～する	shall	文脈に応じて、実装に関する要件又は厳密に適合するPOSIX.2応用プログラムに関する要件を示す。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10282	A		～するのがよい、～することが望ましい	～するのがよい、～することがのぞましい	should	(1)実装の観点からは、要件ではなく推奨であることを示す。(2)応用プログラムの観点からは、プログラムの方法に関する推奨及び厳密に適合するPOSIX.2応用プログラムへの	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10283	A		システム文書	しすてむぶんしょ	system documentation	適合性文書を除いた、実装に付随する文書。電子媒体で配布される実装に関する文書	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10284	A		未定義	みていぎ	undefined	応用プログラムのデータ若しくは構造が誤っているとき、又は不定の値を用いるとき、この規格が移植性に関する要件を規定しないことを示す。実装者は(又は他の規格が)、そのような未定義の値又は動作の結果を規定してもよい(規定している又は規定する可能性がある)。そのような動作を利用する応用プログラムは、1.3.2.3で定義したように、拡張機能を使用する応用プログラムに分類される。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10285	A		未規定	みきてい	unspecified	正しいプログラム構成、又は正しいデータの利用に関して、この規格が応用プログラムに移植性に関する要件を規定しないことを示す。実装者は(又は他の規格が)、そのような未規定の値又は動作の結果を規定してもよい(規定している又は規定する可能性がある)。そのような動作を利用する応用プログラムは、1.3.2.3で定義したように、拡張機能を使用する応用プログラムに分類される。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10286	A		絶対パス名	ぜったいぱすめい	absolute pathname	パス名の解釈を参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10287	A		アドレス空間	あどれすくうかん	address space	プロセスが参照することのできるメモリの部分[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10288	A		肯定応答	こうていおうとう	affirmative response	現在のロケールのLC_MESSAGESカテゴリーのキーワードyesexprに受け付けられる応答の一つとEREとして一致する入力文字列(2.5参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10289	A		alert	あらーと	alert	出力の流れの中にあって、端末がその利用者に視覚的又は聴覚的な警報を出すことが望ましいことを示す文字。<alert>文字は、C言語結合の ‘＼a’ と指示する文字とする。この文字が、警報機能実行のためにシステムから出力装置に送出される文字列と同一であるかは、未規定とする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10290	A		警報	けいほう	alert	利用者の端末に、誤り又はその他のイベントが起こったことを視聴覚的に示すように、指示すること。標準出力が端末装置の場合、端末の利用者に警報を出す方法は未規定とする。標準出力が端末装置以外の場合、(ユーティリティの機能説明の項で、標準出力の利用が未定義の結果を生じるとの記述がない限り)、標準出力に<alert>文字を書くことで	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10291	A		別名	べつめい	alias name	シェルコマンド言語の中で、移植可能文字集合(2.4参照)のアンダライン、数字及び英字、並びに次に挙げる文字だけで構成される単語。 ！ ％ ， ＠ 実装は、拡張として、別名に他の文字を許してもよい。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10292	A		山括弧	やまかっこ	angle brackets	“<”[始め山括弧(left-angle-bracket)]及び“>”[終わり山括弧(right-angle-bracket)]文字。“山括弧で囲まれた”という表現においては、囲まれるべき対象の直前に記号“<”が先行し、対象の直後に“>”が続かなければならない。2.4のこれらの文字の記述では、<less-than-sign>及び<greater-than-sign>という名前を使う。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10293	A		適切な権限	てきせつなけんげん	appropriate privileges	プロセスに特別な権限を付与する実装者定義の手段であって、特殊な権限を必要とするPOSIX.1[8]で規定する関数呼出しの選択機能に関するもの。この手段はなくてもよく、1個以上存在してもよい[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10294	A		実引数	じつひきすう	argument	ユーティリティに渡される(一つ一つの)パラメタであって、POSIX.1[8]のexec()関数群によって作られるargv配列の中の一つの文字列要素に該当するもの。2.10.1及び3.9.1.1参照。(一つ一つの)実引数は、コマンド名に引き続く、選択機能、選択機能の引数、又はオペランド、のいずれかである。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10295	A		アステリスク	あすてりすく	asterisk	“*”文字。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10296	A		裏プロセス	うらぷろせす	background process	裏プロセスグループに属するプロセス[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10297	A		裏プロセスグループ[裏ジョブ]	うらぷろせすぐるーぷ[うらじょぶ]	background process group[background job]	制御端末と接続を確立したセッションに属するプロセスグループのうち、表プロセスグループを除いたもの[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10298	A		逆引用符	ぎゃくいんようふ	backquote	“`”文字。グラーブアクセントともいう。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10299	A		逆斜線	ぎゃくしゃせん	backslash	“＼”文字。逆ソリダスともいう。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10300	A		backspace	ばっくすぺーす	backspace	現在の印字(又は表示)位置を、通常1単位[けた(桁)]直前の位置に移動させる文字。<backspace>は、C言語結合では、‘＼b’と指示する文字とする。この文字が、後退機能実行のためにシステムから出力装置に送出される文字列と同一であるかは、未規定とする。<backspace>文字は、POSIX.1[8]7.1.1.9で定義する特殊文字ERASEである必要はな	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10301	A		ベース名	べーすめい	basename	パス名の中の最後の、すなわちただ一つの、ファイル名。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10302	A		基本正規表現[BRE]	きほんせいきひょうげん	basic regular expression[BRE]	2.8.3で定義する規則に従って構成したパターン(文字又は記号の並び)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10303	A		blank	ぶらんく	blank	現在のロケールのLC_CTYPEカテゴリによって定まるblank文字クラスに属する文字の一つ。POSIXロケールでは、<blank>は、<tab>又は<space>のいずれかとする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10304	A		空白行	くうはくぎょう	blank line	0個以上の<blank>だけで構成され、<newline>で終わる行。空の行も参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10305	A		ブロックモード端末	ぶろっくもーどたんまつ	block-mode terminal	幾つかの標準ユーティリティで記述する1文字単位の入出力操作ができないモードで動作する端末装置(2.14参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10306	A		ブロック型特殊ファイル	ぶろっくかたとくしゅふぁいる	block special file	装置を指すファイルの一つ。ブロック型特殊ファイルは、通常、装置のハードウェア特性を意識させないで、その装置へのアクセス手段を提供するという点で、文字型特殊ファイルと区別される[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10307	A		波括弧	なみかっこ	braces	“{”[左波括弧(left-brace)]及び“}”[右波括弧(right-brace)]文字。“波括弧で囲まれた”という表現においては、囲まれるべき対象の事前に、記号“{”が先行し、対象の直後に“}”が続かなければならない。これらの文字の記述に2.4では、<left-brace>及び<right-brace>という名前を使う。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10308	A		角括弧	かどかっこ	brackets	“[”[左角括弧(left-bracket)]及び“]”[右角括弧(right-bracket)]文字。“角括弧で囲まれた”という表現においては、囲まれるべき対象の事前に、記号“[”が先行し、対象の直後に“]”が続かなければならない。これらの文字の記述に2.4では、<left-square-bracket>及び<right-square-bracket>という名前を使う。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10309	A		1文字に一致するBRE・ERE	1もじにいっちするBRE・ERE	BRE[ERE]matching a single character	一文字又は一つの照合要素のいずれかに一致する基本正規表現(BRE)又は拡張正規表現(ERE)。一つの照合要素には、角括弧表現(2.8.3.2参照)をもつこの型のBRE又はEREだけが、一致することができる(2.2.3も参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10310	A		複数文字に一致するBRE・ERE	ふくすうもじにいっちするBRE・ERE	BRE[ERE]matching multiple characters	文字又は照合要素の連結に一致する基本正規表現(BRE)又は拡張正規表現(ERE)。そのようなBRE(ERE)は、1文字に一致するBRE(ERE)及び特殊文字に一致するBRE(ERE)からなる(2.2.3も参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10311	A		組込みユーティリティ[内蔵]	くみこみゆーていりてぃ[ないぞう]	built-in utility[built-in]	シェルの内部に実装されたユーティリティ。特殊組込みユーティリティと呼ぶユーティリティには、3.14で記述する特殊な性質があるが、特に限定しない限り、組込みユーティリティという用語は、特殊組込みユーティリティも含む。通常組込みユーティリティと呼ぶユーティリティを表2-3に示す。2.3に示すように、これらのユーティリティが実際の実装でシェルに組み込まれているという要件はないが、コマンド検索に関する特殊な性質を	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10312	A		バイト	ばいと	byte	個々にアドレス可能なデータ記憶の単位。オクテット以上で、文字又は文字の一部を格納するために使う(文字参照)。バイトは、連続するビットの列からなり、ビット数は、実装者定義とする。最も重みの小さいビットを下位ビットと呼び、最も重みの大きいビットを上位ビットと呼ぶ。[POSIX.1{8}]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10313	A		carriage-return	きゃりっじりたーん	carriage-return	出力の流れの中にあって、印字の開始を、この<carriage-return>文字が出現した行と物理的に同じ行の先頭に移すことを示す文字。<carriage-return>は、C言語結合の‘\r’と指示する文字とする。この文字が、行頭への移動を実行するためにシステムから出力装置に送出される文字列と同一であるかは、未規定とする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10314	A		文字	もじ	character	一つの図形文字を表現する1バイト以上のバイト列。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10315	A		文字クラス	もじくらす	character class	文字の集合に名前を付けたもの。各文字はその名前から想起される共通の属性をもつ。どのような文字クラスがあり、各文字クラスがどのような文字を含むかは、現在のロケールのLC_CTYPEの値に依存する。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10316	A		文字型特殊ファイル	もじがたとくしゅふぁいる	character special file	装置を参照するファイルの一つ。端末装置ファイルは、文字型特殊ファイルの一つの特別な型とする。端末装置ファイルへのアクセスは、POSIX.1{8}の一般端末インタフェースで規定する。他の文字型特殊ファイルの構造は、この規格では規定しない。それらの使用に関する事項は、この規格では未規定とする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10317	A		サーカムフレックスアクセント	さーかむふれっくすあくせんと	circumflex	“^”文字。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10318	A		照合要素	しょうごうようそ	collating element	文字列の論理的な順番を決めるために使われる最小単位。照合順序を参照。照合要素は、単一文字又は単一の実体としての照合に用いられる二つ以上の文字のどちらかでなければならない。現在のロケールのLC_COLLATEカテゴリの値が、照合要素の現在の	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10319	A		照合	しょうごう	collation	あらかじめ定義された順位規則に従った文字列の論理的な順序。これらの規則は、照合要素間の順序及び複数の照合要素からなる文字列を順序づけるために使われる付加的規則を決める。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10320	A		照合順序	しょうごうじゅんじょ	collation sequence	現在のロケールのLC_COLLATEカテゴリの設定によって決められた照合要素の相対順序。現在のロケールのLC_COLLATEカテゴリ(2.5.2.2参照)に対して定義された文字順序は、個々の要素が順列中の唯一の場所を占めるように、すべての照合要素の相対順序を決める。これは、正規表現及びパターン一致での文字及び照合要素の範囲を定めるのに使われる順序である。加えて、文字及び照合要素の照合の加重の定義は、照合順序の中で、それぞれの位置を表すために、照合要素を使用する。複数レベルの分類は、上限{COLL_WEIGHTS_MAX}までの範囲で、一つ以上の照合の加重を割り当てることによって行われる。個々のレベルでは、要素に、同じ加重を与えてもよい(最初のレベルでは、これは等価クラスと呼ばれる。2.2.2.56参照)し、加重の列から省略されてもよい。最初に割り当てられた加重(最初の順番)を使って同じであると照合した文字列は、さらに	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10321	A		けた(桁)位置	けたいち	column position	一行の中の文字に対する水平方向の尺度の単位。文字集合の個々の文字は、出力装置とは無関係に固有のけた幅をもつと仮定される。移植可能文字集合中の印字可能な個々の文字は、1のけた幅をもつ。標準的ユーティリティは、この規格に規定するように使われる場合、すべての文字は、整数のけた数をもつと仮定する。文字のけた幅は、その文字の内部表現(ビット数又はオクテット数)と関連する必要はない。一行中の文字のけた位置は、その行中にその文字の前にある文字のけた幅の合計に1を足したものとして定義する。けた位置は、1から始まる数字とする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10322	A		制御演算子	せいぎょえんざんし	control operator	シェルコマンド言語中の、制御機能を実行するトークン。制御演算子は、次の記号とする。 &) <newline> && ; | (;; || シェルの内部で使われる入力終了(end-of-input)指示子もまた、制御演算子とみなす。3.3参照。あるシステムでは、"(("記号は制御演算子である。その使用の結果は、未規定とする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10323	A		コマンド	こまんど	command	特定の仕事を実行するためのシェルへの指令(3.9参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10324	A		現行の作業ディレクトリ	げんこうのさぎょうでぃれくとり	current working directory	作業ディレクトリを参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10325	A		コマンド言語インタプリタ	こまんどげんごいんたぷりた	command language interpreter	シェル参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10326	A		カーソル位置	かーそるいち	cursor position	端末のカーソルによって示されるスクリーン上の行及びけたの位置。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10327	A		ディレクトリ	でぃれくとり	directory	ディレクトリエントリを含むファイル。一つのディレクトリの中に、同じ名前をもつディレクトリエントリが複数存在してはならない[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10328	A		ディレクトリエントリ[リンク]	でぃれくとりえんとり[りんく]	directory entry[link]	ファイルとファイル名とを対応付けるもの。複数のディレクトリエントリは、一つのファイルに複数の名前を対応付けることができる[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10329	A		表示	ひょうじ	display	利用者の端末への出力。出力が端末へのものでない場合、その結果は未定義である。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10330	A		ドル記号	どるきごう	dollar-sign	"$"文字。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10331	A		ドット	どっと	dot	1個のドット文字(.)だけからなるファイル名。パス名の解釈を参照[POSIX.1[8]]。シェルの特殊組込みユーティリティの文脈では、3.14.4参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10332	A		ドットドット	どっとどっと	dot-dot	2個のドット文字(..)だけからなるファイル名。パス名の解釈を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10333	A		二重引用符	にじゅういんようふ	double-quote	"""文字。引用符ともいう。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10334	A		実効グループID	じっこうぐるーぷID	effective group ID	ファイルアクセスなどの許可を決定するためにシステムが用いるプロセスの属性(ファイルアクセス許可参照)。グループIDを参照。この値は、プロセスの生存期間中に変化することがある(POSIX.1[8]の3.1.2 exec()及び4.2.2[setgid()]を参照)[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10335	A		実効利用者ID	じっこうりようしゃID	effective user ID	ファイルアクセス許可を含め、種々の許可を決定するために使うプロセスの属性。利用者IDを参照。この値は、プロセスの生存期間中に変化することがある(POSIX.1[8]の3.1.2 exec()及び4.2.2[setgid()]を参照)[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10336	A		空のディレクトリ	くうのでぃれくとり	empty directory	ドット及びドットドット以外のディレクトリエントリを含まないディレクトリ[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10337	A		空の行	くうのぎょう	empty line	<newline>文字だけで構成される行。空白行も参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10338	A		空文字列[ナル文字列]	くうもじれつ[なるもじれつ]	empty string[null string]	最初の要素がナル文字である文字配列[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10339	A		RE全体	REぜんたい	entireRE	文字列選択に対して指定したパターンを構成する一つ以上のBRE又はEREの連結された集合(2.8参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10340	A		基準時点	きじゅんじてん	Epoch	協定世界時の1970年1月1日0時0分0秒。基準時点からの秒数を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10341	A		等価クラス	とうかくらす	equivalence class	同じ主照合加重をもつ照合要素の集合。等価クラス中の要素は、同じ基本文字を基にしたすべてのアクセント付き文字のように、典型的には、自然に一緒のグループになる要素である。等価クラス中の要素の照合順序は、主加重の後に引き続くレベルで割り当てられる加重によって決定される。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10342	A		実行可能ファイル	じっこうかのうふぁいる	executable file	POSIX.1[8]のexec関数群と等価なものによって、新しいプロセスイメージとしてみなされる通常ファイル。したがって、ユーティリティの一つの形式として有効である。POSIX.1[8]のexecを参照。コンパイラとして記述されている標準ユーティリティは、実行可能ファイルを生成する。しかし、他の実行可能ファイルを生成する未規定の方法も、提供してもよい。実行可能ファイルの内部形式は、未規定とする。しかし、この規格に適合する応用プログラムは、実行可能ファイルがテキストファイルであると仮定してはならない。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10343	A		実行	じっこう	execute	3.9.1.1で記述している動作を行うこと。起動を参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10344	A		展開	てんかい	expand	シェルコマンド言語中で、特に明示されないとき、3.6で記述した展開規則のすべてに適用する動作。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10345	A		拡張正規表現	かくちょうせいきひょうげん	extendedregular	2.8.4で記述した規則に従って構成するパターン(文字又は記号の順序)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10346	A		拡張セキュリティ制御	かくちょうせきゅりていせいぎょ	extended security controls	次に示す、システムの基礎をなす概念。アクセス制御(ファイルアクセス許可を参照)及び権限付与[適切な権限を参照]の機構は、実装者定義の拡張セキュリティを許すように定義されている。これらは、POSIX.1[8]で記述したものとは異なったセキュリティ方針を実装するためのセキュリティ機構を提供する実装を許す。これらの機構は、POSIX.1[8]のどの関数の定義された意味合いを変更したり、覆したりするものであってはならない。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10347	A		機能試験マクロ	きのうしけんまくろ	feature test macro	#define指令が定義する記号のうち、特定の機能の集合をヘッダから取り込むかどうか判断するために用いるもの。POSIX.1[8]の2.7.1参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10348	A		フィールド	ふぃーるど	field	シェルコマンド言語中で、仮引数展開(3.6.2)、数学的展開(3.6.4)、コマンド変換(3.6.3)又はフィールド分割(3.6.5)の結果であるテキストの単位。コマンド処理の間(3.9.1参照)、フィールドになるものは、コマンド名及びその引数として使う。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10349	A		FIFO特殊ファイル (FIFO)	FIFOとくしゅふぁいる(FIFO)	FIFO special file [FIFO]	ファイルの型の一つ。データの読取りの順序が、書込みの順序と同じ(first-in-first-out)という特性をもつ。FIFO特殊ファイルの他の特性は、POSIX.1[8]の5.3.1[open()]、6.4.1[read()]、6.4.2[write()]及び6.5.3[lseek()]で規定する[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10350	A		ファイル	ふぁいる	file	書込み、読取り又はその両方が可能なもの。ファイルは、アクセス許可及び型を含む幾つかの属性をもつ。ファイルの型には、通常ファイル、文字型特殊ファイル、ブロック型特殊ファイル、FIFO特殊ファイル及びディレクトリがある。実装は、他の型のファイルを定義してもよい[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10351	A		ファイルアクセス許可	ふぁいるあくせすきょか	file access permissions	次に示すシステムの基礎をなしている概念[POSIX.1[8]]。標準のファイルアクセス制御機構は、次に示すようにファイル許可ビットを使用している。これらのビットは、open()、creat()、mkdir()、及びmkfifo()によってファイルが作成されるときに設定され、chmod()によって変えられる。これらのビットは、stat()又はfstat()によって読まれる。実装は、付加的ファイルアクセス制御機構若しくは代替ファイルアクセス制御機構のどちらか又は両方を提供してもよい。付加的アクセス制御は、ファイル許可ビットによって定義されるアクセス許可を、より制限するだけでなければならない。代替アクセスファイル制御機構は、次に示すものでなければならない。(1)代替ファイルアクセス制御機構は、stat()又はfstat()から返されるファイル所有者クラス、ファイルグループクラス及びファイル他者クラスに対するアクセス許可に相当するファイル許可ビットを指定する。(2)代替ファイルアク制御機構は、適切な権限の所有者又は利用者によって、個々のファイルごとに、明示的な利用者の動作によってだけ、有効とする。(3)代替ファイルアクセス制御機構は、chmod()によってファイルに対してファイル許可ビットが変更された後、そのファイルを無効化する。代替ファイルアクセス制御機構の無効化は、実装によって定義された付加的機構を、無効化する必要はない。プロセスが読取り、書込み又は実行/探索に対するファイルアクセス許可の要求をする場合で、どの付加的ファイルアクセス機構もアクセスを拒否しないときは、アクセスは、次のように決定される。(1)プロセスが適切な権限をもっている場合:(a)読取り許可、書込み許可又はディレクトリ探索許可が要求される場合、アクセスは許可される。(b)実行許可が要求されるときで、ファイル許可ビット又は代替アクセス制御機構によって、少なくとも一つの利用者に許可されている場合、許可される。そうでない場合、アクセスは拒否される。(2)その他の場合:(a)ファイルのファイル許可ビットは、ファイル所有者クラス、ファイルグループクラス及びファイル他者クラスに対する、読取り許可、書込み	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10352	A		ファイル記述子	ふぁいるきじゅつし	file descriptor	プロセスごとに一意な負でない整数。ファイルをアクセスするとき、オープンしたファイルを識別するために用いる[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10353	A		ファイルグループクラス	ふぁいるぐるーぷくらす	file group class	ファイルの属性。プロセスのグループIDに関するアクセス許可を示す。ファイル所有者クラスに属さないプロセスのうち、実効グループID又は補助グループIDの一つがファイルのグループIDと一致するものは、そのファイルのファイルグループクラスに属する。実装は、他の実装者定義のメンバをファイルグループクラスに加えてもよい[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10354	A		ファイル階層	ふぁいるかいそう	file hierarchy	次に示すシステムの基礎をなす概念[POSIX.1[8]]。システムのファイルは、非終端ノードのすべてがディレクトリであり、終端ノードのすべてがその他のファイルの型であるような階層的構造によって組織される。複数のディレクトリエントリが、同じファイルを参照するかもしれないので、階層は“有向グラフ”として適切に記述される。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10355	A		ファイルモード	ふぁいるもーど	file mode	POSIX.1[8]の5.6.1に記述したファイル許可ビット及びファイルの他の特性を含むデータ[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10356	A		ファイルモードビット	ふぁいるもーどびっと	file mode bits	ファイルのファイル許可ビット、実行時利用者ID設定ビット(S_ISUID)及び実行時グループID設定ビット(S_ISGID)。POSIX.1[8]の5.6.1.2参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10357	A		ファイル名	ふぁいるめい	filename	ファイルの命名に用いる1バイトから{NAME_MAX}バイトまでからなる名前。名前を構成する文字には、斜線文字及びナル文字以外のすべての文字値を用いてよい。ドット及びドットドットは、特別な意味をもつ(パス名の解釈を参照)。ファイル名を、パス名の構成要素と呼ぶこともある[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10358	A		ファイル名移植性	ふぁいるめいいしょくせい	filename portability	次に示すシステムの基礎をなす概念[POSIX.1[8]]。ファイル名は、移植可能なファイル名文字集合から構成されることが望ましい。なぜならば、その他の文字の使用は、ある環境では解釈を混乱させ、あいまいにさせるからである[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10359	A		ファイルオフセット	ふぁいるおふせっと	file offset	次の入出力操作の対象となるファイル内のバイト位置。通常ファイル、ブロック型特殊ファイル又はディレクトリに対応する各オープンファイル記述は、ファイルオフセットをもつ。端末装置を参照しない文字型特殊ファイルは、ファイルオフセットをもってよい。パイプ及びFIFO特殊ファイルは、ファイルオフセットをもたない[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10360	A		ファイル他者クラス	ふぁいるたしゃくらす	file other class	ファイルの属性。プロセスの所有者ID及びグループIDに関するアクセス許可を示す。ファイル所有者クラス及びファイルグループクラスのどちらにも属さないプロセスは、ファイル他者クラスに属する[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10361	A		ファイル所有者クラス	ふぁいるしょゆうしゃくらす	file owner class	ファイルの属性。プロセスの利用者IDに関するアクセス許可を示す。実効利用者IDがファイルの利用者IDと一致するプロセスは、そのファイルのファイル所有者クラスに属する	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10362	A		ファイル許可ビット	ふぁいるきょかびっと	file permission bits	ファイルに関する情報。他の情報と組み合わせて、プロセスに、あるファイルに対する、読取り許可、書込み許可又は実行/探索許可を与えるかどうかを判断するために用いる。ビットは、利用者、グループ及びその他の三つの部分に分かれる。各部分は、対応するプロセスのファイルクラスとともに用いる。これらのビットは、ファイルモードの一部になる[POSIX.1[8]の5.6.1参照]。ファイルにアクセスできるかどうかを決める場合のファイル許可ビットの使用方法は、ファイルアクセス許可で規定する[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10363	A		ファイル通し番号	ふぁいるとおしばんごう	file serial number	ファイルシステムごとに一意なファイルの識別子。ファイル通し番号は、一つのファイルシステム全体で一意とする[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10364	A		ファイルシステム	ふぁいるしすてむ	file system	ファイル及びファイルの属性の集合。ファイルシステムは、ファイルシステム中のファイルのファイル通し番号に、名前空間を提供する[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10365	A		ファイル時間更新	ふぁいるじかんこうしん	file times update	次に示すシステムの基礎をなす概念[POSIX.1[8]]。個々のファイルは、3種の異なる関連のある時間の値であるst_atime、st_mtime及びst_ctimeをもつ。st_atimeフィールドは、ファイルデータがアクセスされた時間に関連する。st_mtimeは、ファイルデータが変更された時間に関連する。st_ctimeは、ファイル状態が変化した時間に関連する。これらの値は、POSIX.1[8]の5.6.1に示すように、ファイルの属性構造体が返される。ファイルデータの読み取り若しくは書込み又はファイル状態の変更を要求するこの規格の関数は、適正な時間関連フィールドの内のどれが"更新と印された"かを示す。そのような関数の実装が、この規格によって規定されない時間関連フィールドの更新と印された場合、これは、パス名の解決による変更を除いて、文書化されなければならない。この規格のその他の関数(ファイルデータの読取り又は書込み、若しくはファイル状態の変更を明示的に要求されないが、そのようなことが起こる実装であるようなもの)に対しては、その影響は、未規定とする。実装は、直ちに更新と印されたフィールドを更新してもよいし、そのようなフィールドを周期的に更新してもよい。フィールドが更新されるとき、それらは、現在の時刻に設定され、更新の印は消去される。更新と印されたすべてのフィールドは、ファイルがどのプロセスによってもオープンされていないとき、又はstat()若しくはfstat()がそのファイルに対して実行されたときに、更新されなければならない。その他に更新が行われる時間は、未	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10366	A		ファイル型	ふぁいるがた	file type	5.14(ファイル)を参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10367	A		フィルタ	ふぃるた	filter	標準入力又は入力ファイルのリストからデータを読み取ること、及び標準出力にデータを書き込むことからなる操作コマンド。典型的には、フィルタの機能は、データの流れになんらかの変形を実行することである。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10368	A		表プロセス	おもてぷろせす	foreground process	表プロセスグループに属するプロセス[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10369	A		表プロセスグループ[表ジョブ]	おもてぷろせすぐるーぷ[おもてじょぶ]	foreground process group[foreground job]	制御端末へのアクセスに関して、ある権限をもつプロセスが属するプロセスグループ。裏プロセスグループに属するプロセスは、この権限をもたない。制御端末との接続を確立したセッションの中に、制御端末の表プロセスグループは、常に一つだけ存在する。POSIX.1[8]7.1.1.4参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10370	A		form-feed	ふぉーむふぃーど	form-feed	出力の流れの中で、出力装置の次ページから印字が開始されることを示す文字。<form-feed>は、C言語結合では、'\f'で指示される文字でなければならない。<form-feed>が、出力行の第1文字でない場合、その結果は未規定とする。この文字が、次のページに移動するために、システムから出力装置に送出される文字列と同一であるかは、未規定と	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10371	A		グループID	ぐるーぷID	group ID	gid_t型のオブジェクト内に含まれる負でない整数。システムの利用者グループを識別するために用いる。システムの利用者は、少なくとも一つのグループに属する。プロセスの識別がプロセスに関連するとき、グループDの値は、実グループID、実効グループID、(選択機能の)補助グループIDの一つ又は(選択機能の)退避グループIDである	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10372	A		ハードリンク	はーどりんく	hard link	同じファイルを示す二つのディレクトリエントリ間の関係。lnユーティリティ又はPOSIX.1[8]のlink()関数の実行結果。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10373	A		ホームディレクトリ	ほーむでぃれくとり	home directory	ログイン時に、利用者に関連する現在のディレクトリ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10374	A		不完全行	ふかんぜんぎょう	incomplete line	ファイルの最後に1個以上の<newline>でない文字が構成されるテキストの列。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10375	A		会話的シェル	かいわてきしぇる	interactive shell	利用者が会話的に操作するのに適したシェルの処理モード。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10376	A		起動	きどう	invoke	シェル機能及び特殊組込み機能の探索が省略されていることを除いて、3.9.1.1に示す動作を実行すること。実行も参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10377	A		ジョブ	じょぶ	job	シェルのパイプラインからなるプロセスの集合及びその子孫として生成されたプロセスのすべて。それらのすべては、同じプロセスグループである(パイプライン参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10378	A		ジョブ制御	じょぶせいぎょ	job control	利用者が選択したプロセスの実行を停止(中断)すること、及び停止(中断)したプロセスを後に選択して続行(再開)することを可能にする機能。利用者は、典型的には、端末入力ドライバ及びコマンドインタプリタが提供する対話型のインタフェースを通じてこの機能を利用する。POSIX.1[8]に適合する実装は、ジョブ制御選択機能を採用してもよい。[_POSIX_JOB_CONTROL]という記号は、コンパイル時又は実行時に、応用プログラムにこの選択機能の有無を示す。POSIX.1[8]の2.9参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10379	A		ジョブ制御ジョブID	じょぶせいぎょじょぶID	job control job ID	ジョブの参照に使うハンドル。ジョブ制御ジョブIDは、次のいずれかの書式とする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10380	A		行	ぎょう	line	0個以上の<newline>でない文字と終端が<newline>文字で構成されるテキストの並び。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10381	A		リンク	りんく	link	ディレクトリエントリを参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10382	A		リンク数	りんくすう	link count	特定のファイルを参照するディレクトリエントリの数[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10383	A		ロケール(文化圏固有環境)	ろけーる(ぶんかけんこゆうかんきょう)	locale	言語及び文化的な慣習に依存している利用者環境の部分集合の定義(2.5参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10384	A		ログイン	ろぐいん	login	利用者がシステムの利用を開始するときに行う未規定の動作。各ログインに対応するログイン名は、常にただ一つでなければならない[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10385	A		ログイン名	ろぐいんめい	login name	ログインに対応する利用者名[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10386	A		一致	いっち	matched	BRE又はERE形式で定義した文字の並びとその文字の並びが一致するとき、0個以上の文字の並びに適用する状態(2.8.2参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10387	A		モード	もーど	mode	ファイルの型及びアクセス許可を規定する属性の集合。ファイルアクセス許可を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10388	A		マウントポイント	まうんとぽいんと	mount point	POSIX.1[8]のstruct statのst_devフィールドが親のディレクトリのそれと異なるルートディレクトリ又はディレクトリ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10389	A		複数文字照合要素	ふくすうもじしょうごうようそ	multicharacter collating element	1要素として照合される複数文字の並び。例えば、ある符号化文字集合では、アクセント付き文字は、[けた(桁)を取らない]アクセント記号の後ろに文字を続けて表す。別の例は、スペイン語の"ch"及び"ll"の要素である。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10390	A		名前	なまえ	name	シェルコマンド言語において、移植可能な文字集合のうちアンダライン及び英数字だけから構成される語(2.4参照)。名前の1文字目に数字は使用できない。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10391	A		否定応答	ひていおうとう	negative response	現在のロケールのLC_MESSAGESカテゴリのキーワードnoexprに受け付けられる応答の一つとEREとして一致する入力文字列(2.5参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10392	A		newline	にゅーらいん	newline	出力の流れで、印書が次の行の最初から始まることを示す文字。<newline>はプログラム言語Cの規則では'\n'で示される文字である。この文字が、次の行に移動するために、システムから出力装置に送出される文字列と同一であるかは、未規定である。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10393	A		NUL	NUL	NUL	2.4で規定するように、すべてのビットを0に設定した文字。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10394	A		ナル文字列	なるもじれつ	null string	空文字列を参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10395	A		番号記号	ばんごうきごう	number-sign	“#”文字。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10396	A		目的ファイル	もくてきふぁいる	object file	コンパイルの出力を含む通常ファイルであり、他の目的ファイルとともに実行形式としてリンクされるように、連係編集プログラム(リンケージエディタ)の入力として形式化されているもの。リンクの形式は未規定とする。実行時にオブジェクトの動的リンクを行ってもよい。目的ファイルの内部形式は未規定とあるが、適合応用プログラムは、オブジェクトファイルをテキストファイルと想定してはならない。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10397	A		オープンファイル	おーぷんふぁいる	open file	ファイル記述子に現在結び付けられているファイル[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10398	A		オペランド	おぺらんど	operand	コマンドに対する引数。一般的には、ユーティリティが処理を行うのに必要な情報を提供するオブジェクトとして使用する。オペランドは、一般的に、コマンド行の選択機能の後に指定する(2.10.1参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10399	A		演算子	えんざんし	operator	シェルコマンド言語における、制御演算子又はリダイレクション演算子。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10400	A		選択機能	せんたくきのう	option	コマンドに対する引数。一般的にユーティリティの既定値の振舞いに対する変更を指定するために使用する(2.10.1参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10401	A		選択機能の引数	せんたくきのうのひきすう	option-argument	選択機能の後に続くパラメタ。選択機能の引数は、選択機能と同じ引数文字列に含まれる場合もあるが、多くの場合は、その次の引数である(2.10.1参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10402	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	シェルコマンド言語において、値を格納する実体。パラメタには変数(名前付きパラメタ)、位置パラメタ及び特殊パラメタの三つの型がある。パラメタの展開はパラメタにドル記号“$”を指定する(3.5参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10403	A		親ディレクトリ	おやでぃれくとり	parent directory	(1)ディレクトリの場合、そのディレクトリに対応するディレクトリエントリを含み、かつ、そのディレクトリの中でパス名ドットドットで表されるディレクトリ。(2)ディレクトリ以外のファイルの場合、そのファイルに対応するディレクトリエントリを含むディレクトリ。この概念はドット及びドットドットには適用されない[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10404	A		親プロセス	おやぷろせす	parent process	プロセスを参照[POSIX.1[8]]	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10405	A		親プロセスID	おやぷろせすID	parent process ID	活動状態のプロセスが新たに生成する新しいプロセスの属性。プロセスの親プロセスIDは、プロセスを生成したプロセスの生存期間中は、プロセスを生成したプロセスのプロセスIDである。親プロセスIDは、プロセスを生成したプロセスの生存期間の後は、実装者定義のシステムプロセスのプロセスIDである[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10406	A		パス名	ぱすめい	pathname	ファイルを識別するために用いる文字列。終端のナル文字を含むパス名の長さは、{PATH_MAX}バイトを超えないものとする。パス名は、先頭の斜線(なくてもよい)及びそれに続く斜線を区切りとする0個以上のファイル名からなる。パス名がディレクトリに対応する場合、一つ以上の斜線を続けてもよい。複数の連続した斜線は、一つの斜線と同じとみなす。二つの連続する斜線で始まるパス名は、実装者定義の方法で解釈してもよい。ただし、先頭に3個以上の斜線があるときは、斜線が一つとして扱わなければならない。パス名の解釈については、パス名の解釈に記述する[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10407	A		パス名の構成要素	ぱすめいのこうせいようそ	pathname component	ファイル名を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10408	A		パス名の解釈	ぱすめいのかいしゃく	pathname resolution	次に示す基礎的なシステムの概念[POSIX.1[8]]。パス名から、ファイル階層の中の特定のファイルを得るために、プロセスが行う操作とする。同じファイルへ解釈される複数のパス名があってもよい。パス名を構成するファイル名は、その直前の構成要素が指定するディレクトリに存在する(例えば、パス名の一部を“a/b”とするとき、ファイル“b”はディレクトリ“a”にある)。存在しない場合、パス名の解釈は失敗する。パス名が斜線で始まる場合、最初のファイル名の直前の構成要素は、プロセスのルートディレクトリとする(このようなパス名を絶対パス名という)。パス名が斜線で始まらない場合、最初のファイル名の直前の構成要素はプロセスの作業ディレクトリとする(このようなパス名を相対パス名という)。パス名の構成要素の解釈は、その構成要素のパス接頭部に適用される{NAME_MAX}及び{_POSIX_NO_TRUNC}の値に依存する。{NAME_MAX}より長い構成要素があり、その構成要素のパス名接頭部に対して{_POSIX_NO_TRUNC}が有効なときは(POSIX.1[8]の5.7.1pathconf()参照)、システムは、これを誤り条件としなければならない。そうでないときは、パス名の構成要素の最初の{NAME_MAX}バイトを用いなければならない。特殊なファイル名ドットは、その直前の構成要素が指定するディレクトリを示す。特殊なファイル名ドットドットは、その直前の構成要素が指定するディレクトリの親ディレクトリを示す。例外として、ルートディレクトリでは、ドットドットが、ルートディレクトリそのものを	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10409	A		パス接頭部	ぱすせっとうぶ	path prefix	ディレクトリを示す、最後に斜線(なくてもよい)をもつパス名[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10410	A		パターン	ぱたーん	pattern	様々な文字列又は様々なパス名を選択する手段として、それぞれ、正規表現(RE)の表記(2.3参照)によるか、パス名の展開(3.6.6参照)のいずれかで使われる文字の並び。二つのパターンの構文は似ているが、同一ではない。この規格では、この用語を使用している文脈の中で、参照されているパターンの型を示す。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10411	A		ピリオド	ぴりおど	period	文字“.”。ピリオドという用語は、ドットとは異なる。ドットは、特定のディレクトリエントリを示すために使用する。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10412	A		許可	きょか	permissions	ファイルアクセス許可を参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10413	A		パイプ	ぱいぷ	pipe	POSIX.1[8]のstruct statのst_devフィールドが親のディレクトリのそれと異なるルートディレクトリ又はディレクトリ。pipe()関数が作る一対のファイル記述子の一つによってアクセスされるもの。生成後は、パイプの操作にファイル記述子を用いることができる。ファイル記述子を用いた操作では、パイプは、FIFO特殊ファイルとまったく同じように動作する。パイプは、ファイル階層中では、名前をもたない[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10414	A		パイプライン	ぱいぷらいん	pipeline	シェルコマンド言語において、制御演算子“|”により分割された一つ以上のコマンドの並び(3.9.2参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10415	A		移植可能な文字集合	いしょくかのうなもじしゅうごう	portable characterset	2.4で規定される文字集合。これは、この規格に適合するすべてのシステムにおいて支援される。この用語は、より小さな文字集合である移植可能なファイル名文字集合とは異なる(移植可能なファイル名文字集合参照)	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10416	A		移植可能なファイル名文字集合	いしょくかのうなふぁいるめいもじしゅうごう	portable filename character set	移植可能なファイル名を構成する文字集合。この規格に適合する複数の実装の間でファイル名を移植可能にするには、ファイル名は、次の文字だけから構成されなければならない。 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . _ - 最後の3文字は、それぞれ、ピリオド、アンダライン及びハイフンとする。移植可能なファイル名は、ハイフンで始まってはならない。大文字及び小文字は、適合する実装間でその	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10417	A		位置パラメタ	いちぱらめた	positional parameter	シェルコマンド言語において、一つの数字又は[]内の一つ以上の数字で示すパラメタ(3.5.1参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10418	A		印字可能文字	いんじかのうもじ	printable character	現在のロケールのLC_CTYPEカテゴリでprint文字クラスに含まれる文字(2.5.2.1参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10419	A		権限	けんげん	privilege	適切な権限を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10420	A		プロセス	ぷろせす	process	アドレス空間及びそのうちで実行する一つの制御スレッド、並びにそれが要求するシステム資源。プロセスの生成は、他のプロセスのPOSIX.1[8]fork()関数の発行による。fork()関数を発行するプロセスを親プロセス、fork()関数が生成する新しいプロセスを子プロセスと呼ぶ[POSIX.1[8]]。POSIX.2で必要なプロセス属性は、POSIX.1[8]のプロセス属性の一部を形成する(2.9.1参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10421	A		プロセスグループ	ぷろせすぐるーぷ	process group	関連するプロセスに信号を送る許可をもつプロセスの集合。システム内の各プロセスは、一意なプロセスグループIDをもつプロセスグループに属する。生成直後の子プロセスは、親プロセスのプロセスグループに属する[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10422	A		プロセスグループID	ぷろせすぐるーぷID	process group ID	プロセスグループを示す一意な識別子。生存期間にあるプロセスグループを識別する。プロセスグループIDは、pid_t型で表現可能な正の整数とする。システムは、対応するプロセスグループの生存期間が終わるまで、プロセスグループIDを再利用してはならない	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10423	A		プロセスグループリーダ	ぷろせすぐるーぷりーだ	process group leader	プロセスIDがプロセスグループIDと等しいプロセス。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10424	A		プロセスID	ぷろせすID	process ID	プロセスを示す一意な識別子。プロセスIDは、pid_tで表現可能な正の整数とする。システムは、プロセスの生存期間が終わるまで、プロセスIDを再利用してはならない。システムは、プロセスグループの生存期間が終了するまで、そのプロセスグループのプロセスグループIDと等しいプロセスIDを、再利用してはならない。システムプロセス以外のプロセスは、値が1であるプロセスIDを使用してはならない[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10425	A		プログラム	ぷろぐらむ	program	決められた仕事を行うためにシステムに用意された命令の連続。POSIX.2におけるプログラムという用語は、シェルコマンド言語、複合ユーティリティ入力言語(awk、lex、sedなど)及び高級言語で記述された応用プログラムを含む。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10426	A		読取り専用ファイルシステム	よみとりせんようふぁいるしすてむ	read-only file system	更新を制限する実装者定義の特性をもつファイルシステム[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10427	A		実グループID	じつぐるーぷID	real group ID	プロセスの属性。プロセス生成時点では、プロセスを生成した利用者のグループを識別する。グループIDを参照。この値は、プロセスの生存期間中に、変化してもよい。POSIX.1[8]の4.2.2[setgid()]を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10428	A		実利用者ID	じつりようしゃID	real user ID	プロセスの属性。プロセスの生成時点では、プロセスを生成した利用者を識別する。利用者IDを参照。この値は、プロセスの生存期間中に、変化してもよい。POSIX.1[8]の4.2.2[setuid()]を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10429	A		リダイレクション	りだいれくしょん	redirection	シェルコマンド言語において、コマンドの入出力とファイルとを結び付ける方法(3.7参	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10430	A		リダイレクション演算子	りだいれくしょんえんざんし	redirection operator	シェルコマンド言語において、リダイレクション機能を行う記号。次の記号のいずれかである。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10431	A		リフレッシュ	りふれっしゅ	refresh	利用者の端末の画面の情報が更新されるようにすること。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10432	A		正規表現	せいきひょうげん	regular expression	2.8で定義した規則に従って構成されたパターン(文字又は記号の例)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10433	A		通常ファイル	つうじょうふぁいる	regular file	直接アクセスが可能なバイト列からなるファイル。システムは、通常ファイルに、これ以上の構造上の制約を課してはならない[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10434	A		相対パス名	そうたいぱすめい	relative pathname	パス名の解釈を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10435	A		ルートディレクトリ	るーとでぃれくとり	root directory	各プロセスに結び付けられたディレクトリ。斜線で始まるパス名を解釈するとき用いる[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10436	A		退避グループID	たいひぐるーぷID	saved set-group-ID	プロセスの属性。退避利用者IDの選択機能を実装するとき、実行グループIDを柔軟に設定してもよい。POSIX.1[8]の3.1.2exec()及び4.2.2[setgid()]を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10437	A		退避利用者ID	たいひりようしゃID	saved set-user-ID	プロセスの属性。退避利用者IDの選択機能を実装するとき、実行利用者IDを柔軟に設定してもよい。POSIX.1[8]の3.1.2exec()と4.2.2[setgid()]を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10438	A		画面	がめん	screen	端末ディスプレイ上のけた(桁)と行からなる長方形の部分。画面は、物理的なディスプレイ装置上の部分的に存在していてもよいし、ディスプレイ装置の物理的な全領域を占め	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10439	A		スクロール	すくろーる	scroll	データの表示を端末の画面に対して縦又は横に移動すること。スクロールは、次の二つの型とする。(1)カーソルがデータとともに移動する。(2)データが移動してもカーソルは移	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10440	A		基準時点からの通算秒	きじゅんじてんからのつうさんびょう	seconds since the Epoch	指定する時刻と基準時点との間の秒数を表す数値。協定世界時名[暦年-1900(tm_year)及びその年の1月1日からの日数(tm_yday)、(tm_hour)、分(tm_min)及び秒(tm_sec)からなる]と基準時点からの通算秒が表す時刻との関係は、次のとおりとする。暦年が1970年より前、又は基準時点からの通算秒の値が負のとき、その関係は未定義とする。暦年が1970年以後で、かつ、基準時点からの通算秒の値が負でない場合、基準時点からの通算秒の値は、次の式のとおり協定世界時名と関連する。 tm-sec + tm_min * 60 + tm_hour * 3600 + tm_yday * 86400 + (tm_year-70) * 31536000 + ((tm_year-69)/4) * 84600 [POSIX.1 [8]]	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10441	A		セッション	せっしょん	session	ジョブ制御のためのプロセスグループの集合。各プロセスグループは、一つのセッションに属する。プロセスが属するセッションは、所属プロセスグループが属するセッションとする。生成直後の子プロセスは、親プロセスのセッションに属する。プロセスは属するセッションを変更できる(POSIX.1[8]の4.3.2[setsid()]を参照)。選択機能のsetpgid()関数を採用する実装は、一つのセッションに属する複数のプロセスグループをもつことができる(POSIX.1[8]の4.3.3参照)[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10442	A		セッションリーダ	せっしょんりーだ	sessionleader	セッションを生成したプロセス(POSIX.1[8]の4.3.2[setsid()]を参照)[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10443	A		セッション生存期間	せっしょんせいぞんきかん	session lifetime	セッションの生成から、セッションに属するすべてのプロセスグループの生存期間が終わるまでの期間[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10444	A		シェル	しぇる	shell	入力テキストの並びをコマンドとして解釈するプログラム。これは、入力の流れの上で動作してもよいし、入力要求を出した端末からコマンドを読む会話形式処理でもよい。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10445	A		The Shell	ざ しぇる	the Shell	シェルコマンド言語インタプリタ(4.56を参照)。シェルの特殊な例である。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10446	A		シェルスクリプト	しぇるすくりぷと	shell script	シェルコマンドを含むファイル。ファイルが実行可能なファイルとして作られていると、単純コマンドとして名前を指定するだけで実行できる[3.9.1(単純コマンド)を参照]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10447	A		信号	しんごう	signal	システムの中の事象をプロセスに通知するため、又は事象がプロセスに影響を与えるための機構。ハードウェア例外、プロセスによる特定の活動などが、この事象に該当する。信号という用語は事象それ自信を示すためにも用いる[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10448	A		シングル引用符	しんぐるいんようふ	single-quote	文字"'"。アポストロフィーとも呼ぶ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10449	A		斜線	しゃせん	slash	文字"/"。この文字はソリダスとも呼ぶ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10450	A		ソースコード	そーすこーど	sourcecode	シェルコマンド言語においては、ソースコードは、コマンド言語インタプリタへの入力である。この意味では、シェルスクリプトという用語は同意語である。C言語結合選択機能においては、ソースコードは、C言語規格[7]に適合したコンパイラへの入力である。ISO/IECに適合した他の言語においては、ソースコードはISO/IECに適合したコンパイラへの入力である。次の標準ユーティリティへの入力文もソースコードである。Awk、bc、ed、lex、localedef、make、sed、yaccソースコードという用語は、上記のいずれか又はすべての意	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10451	A		space	すぺーす	space	2.4で<space>として定義された文字。<space>文字は現在のロケールのspace文字クラスのメンバであるが、一つの文字を表しているのであって、この文字クラスの任意のメンバを表しているのではない(ホワイト空白参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10452	A		特殊パラメタ	とくしゅぱらめた	special parameter	シェルコマンド言語において、次に示す一文字で名付けられたパラメタ。 ＊ @ # ? ! - $ 0 3.5.2参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10453	A		標準誤り	ひょうじゅんあやまり	standard error	通常、診断メッセージのために使用される出力の流れ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10454	A		標準入力	ひょうじゅんにゅうりょく	standard input	通常、データの主入力に使用される入力の流れ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10455	A		標準出力	ひょうじゅんしゅつりょく	standard output	通常、データの主出力に使用される出力の流れ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10456	A		標準ユーティリティ	ひょうじゅんゆーていりてぃ	standard utilities	この規格の4.、5.、6.、附属書A及び附属書C、並びにそこでの規定に対する改訂又は補足で規定されるユーティリティ。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10457	A		流れ	ながれ	stream	C言語規格[7]の記述に従った文字の並び。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10458	A		サブシェル	さぶしぇる	subshell	3.12に記述された属性によって、主シェル実行環境又は現在のシェル実行環境とは区別されたシェル実行環境。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10459	A		補助グループID	ほじょぐるーぷID	supplementary group ID	ファイルへのアクセス許可を判断するために用いるプロセスの属性。プロセスは、実効グループIDの他に、最大{NGROUPS_MAX}個の補助グループIDをもつ。プロセスを生成するとき、補助グループIDには親プロセスの補助グループIDの値を設定する。補助グループIDの並びが、プロセスの実効グループIDを含むかどうかは、未規定とする[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10460	A		一時停止したジョブ	いちじていしたじょぶ	suspendedjob	プロセスグループを停止させる信号SIGSTOP、SIGTSTP、SIGTTIN又はSIGTTOUを受け取ったジョブ。一時停止したジョブは裏ジョブであるが、裏ジョブが一時停止したジョブであるとは限らない。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10461	A		システム	しすてむ	system	この規格の実装。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10462	A		システムスケジューリング優先順位	しすてむすけじゅーりんぐゆうせんじゅんい	system scheduling priority	プロセスのスケジューリング優先順位をシステムが決定する際、基準となる番号。システムスケジューリング優先順位を上げるとプロセスをスケジューリングする際、プロセスに更なる優先権が与えられる。下げると、優先権が減り、プロセスが実行されにくくなる。典型的な例としては、同程度のプロセス同士ではシステムスケジューリング優先順位が高いプロセスの方が速く実行され終了する。スケジューリング優先順位0がシステムの初期	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10463	A		tab	たぶ	tab	水平タブ文字。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10464	A		端末[端末装置]	たんまつ[たんまつそうち]	terminal (terminal device)	[POSIX.1[8]]の一般端末インタフェースに従う文字型特殊ファイル[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10465	A		テキストけた	てきすとけた	textcolumn	文字の長方形のブロック。出力ページ又は端末画面上では他のテキストけたと並んでいる。テキストけたの幅は、けた位置の長さとする。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10466	A		テキストファイル	てきすとふぁいる	text file	1行以上の文字を含むファイル。行は、NUL文字を含んではならず、<newline>を入れた長さが{LINE_MAX}バイトを超えてはならない。POSIX.1[8]はテキストファイルとバイナリファイル(C言語規格[7]参照)を区別していないが、多くのユーティリティはテキストファイルを処理するときしか予測できる又は意味のある出力を生成しない。このような制限のある標準ユーティリティは、“標準入力(Standard Input)”又は“入力ファイル(Input Files)”の項にはいつも“テキストファイル(text files)”と規定する。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10467	A		チルド	ちるど	tilde	文字“~”。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10468	A		トークン	とーくん	token	シェルコマンド言語において、シェルが3.3の規則に従って入力を読み込んだとき、一つの単位とみなす文字列。トークンは演算子又は語である。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10469	A		利用者データベース	りようしゃでーたべーす	user database	POSIX.1[8]の9.参照。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10470	A		利用者ID	りようしゃID	user ID	*uid_t*型で表現可能な負でない整数。システムの利用者を識別するために用いる。 プロセスの利用者IDには、実利用者ID、実効利用者ID又は(選択機能の)退避利用者IDがある[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10471	A		利用者名	りようしゃめい	user name	利用者の識別のために用いる文字列。POSIX.1[8]の9.1を参照[POSIX.1[8]]。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10472	A		ユーティリティ	ゆーていりてぃ	utility	特定のタスク又は複数の関連したタスクを実行するために、シェルから名前で呼ぶことのできるプログラム。このプログラムは、コンピュータソースコードからコンパイラシステム又	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10473	A		変数	へんすう	variable	シェルコマンド言語において名前のついたパラメタ(3.5参照)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10474	A		変数割当て[割当て]	へんすうわりあて[わりあて]	variable assignment[assignment]	シェルコマンド言語における次に示す構成の語。varname=value 割当てが起きるように定義されている(3.9.1参照)コマンド群の中で使用されているときだけ、value(語又はフィールド)をvarnameで示された変数の値として割り当てなければならない。varname及びvalueの部分は、それぞれ、名前及び語の要件を満たさなければならない。3.3で規定する区切りに加えて、引用符で囲まれない等号記号で区切られるときは例外とする。どんな場合でも、変数が存在していなかったときは、変数を生成しなければならない。valueが指定されていなければ、変数にはナルの値が与えられる。次に示す変数割当ての結果は、未規定とする。symbol=value(ここで、symbolは等号記号で区切られた正しい語である	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10475	A		vertical-tab	ばーちかるたぶ	vertical-tab	垂直タブ文字。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10476	A		ホワイト空白	ほわいとくうはく	whitespace	現在のロケールでLC_CTYPEカテゴリで定義されているspace文字クラスに属する1個以上の文字。POSIXロケールでは、ホワイト空白は1個以上の<blank>(<space>及び<tab>)、<newline>、<carriage-return>、<form-feed>及び<vertical-tab>からなる。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10477	A		語	ご	word	シェルコマンド言語において、演算子でないトークン。語は語トークンの一部であることもある。パラメタ展開(3.6.2参照)の${name-word}及び変数割当てのname=wordのような様々な形式の中で、語は、トークンの一部としてwordで示される。語の概念は、以後の語の展開(フィールドだけが残る)には、適用されない(3.6を参照のこと)。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10478	A		作業ディレクトリ[現行の作業ディレクトリ]	さぎょうでぃれくとり[げんこうのさぎょうでぃれくとり]	working directory[current working directory]	プロセスに結び付けられたディレクトリ。これは、斜線で始まらないパス名の解釈に使用する。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10479	A		書込み	かきこみ	write	標準出力又は標準誤りのようにファイルに文字を出力すること。何も記述がなければ、標準出力が、“書込み(write)”という用語を使用するときの省略時の出力先である。	JIS X 3031	2001	ISO/IEC 9945-2	1993				2003	SC22
10480	B		実装者定義	じっそうしゃていぎ	implementation-defined	PCTEの実装によって異なることがあるが、どのPCTEの実装においても定義されている。	JIS X 3050	1996	ISO/IEC 13719-1	1995		廃2008/3		1998	SC22
10481	B		実装依存	じっそういそん	implementation-dependent	PCTEの実装によって異なることがあり、必ずしもすべてのPCTEの実装において定義されている必要はない。	JIS X 3050	1996	ISO/IEC 13719-1	1995		廃2008/3		1998	SC22
10482	B		言語結合時定義	げんごけつごうじていぎ	binding-defined	言語結合によって異なることがあるが、どの言語結合に対しても定義されている。	JIS X 3050	1996	ISO/IEC 13719-1	1995		廃2008/3		1998	SC22
10483	B		データ型	でーたかた	datatype	この規格で定義される操作のパラメタや結果の型、又はそれらの型を定義するために用いられる型。23.に見られるように、このような型を他の一般に定義されるデータ型と区別する必要がある場合には、PCTEデータ型(PCTE datatype)という用語を用いる。	JIS X 3050	1996	ISO/IEC 13719-1	1995		廃2008/3		1998	SC22
10484	A		型	かた	type	データ値の集合。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10485	A		基本値	きほんち	primitive value	Undefined型、Null型、Boolean型、Number型又はString型の要素。基本値は、処理系の最下層で直接にデータ値を表現する。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10486	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	Object型の要素。個々のオブジェクトは、特性の集まりからなる。特性は、基本値、オブジェクト又は関数を保持する。オブジェクトの特性の中で関数を保持する特性を、そのオブジェクトのメソッドという。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10487	A		コンストラクタ、構築子	こんすとらくた、こうちくし	constructor	オブジェクトを生成し初期設定する関数。コンストラクタは、付随するプロトタイプオブジェクトをもつ。プロトタイプは、継承及び特性共有を実装するのに用いる。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10488	A		プロトタイプ	ぷろとたいぷ	prototype	ECMAScriptにおける、構造、状態及び振舞いの継承を実装する際に用いるオブジェクト。オブジェクトは、そのオブジェクトを生成したコンストラクタの付随プロトタイプへの暗黙参照をもつ。この暗黙参照は、特性の参照の解決に用いる。コンストラクタcの付随プロトタイプは、プログラムのうえでは、c.prototypeと書いて参照する。オブジェクトのプロトタイプに特性を追加すると、継承の仕組みによって、同じプロトタイプをもつオブジェクトが共	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10489	A		固有オブジェクト	こゆうおぶじぇくと	native object	ECMAScriptの処理系がホスト環境によらず提供するオブジェクト。標準の固有オブジェクトは、この規格で規定する。固有オブジェクトには、組込みオブジェクトもあれば、ECMAScriptの実行中にコンストラクタを使って生成されるオブジェクトもある。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10490	A		組込みオブジェクト	くみこみおぶじぇくと	built-in object	ECMAScriptの処理系がホスト環境によらず提供し、ECMAScriptプログラムの実行開始時点に存在しているオブジェクト。標準の組込みオブジェクトは、この規格で規定する。ECMAScriptの処理系は、その他の組込みオブジェクトを定義してもよい。すべての組込みオブジェクトは、固有オブジェクトとなる。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10491	A		ホストオブジェクト	ほすとおぶじぇくと	host object	ECMAScriptの実行環境を補完する形でホスト環境が提供するオブジェクト。固有オブジェクトでないオブジェクトは、ホストオブジェクトとなる。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10492	A		不定値	ふていち	undefined value	値を代入していない変数がもつ基本値。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10493	A		Undefined型	あんでふぁいんどかた	Undefined type	基本値である不定値だけを要素とする集合。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10494	A		ナル値	なるち	null value	空参照を表す基本値。プログラムのうえでは、nullと書く。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10495	A		Null型	Nullかた	Null type	基本値nullだけを要素とする集合。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10496	A		論理値	ろんりち	boolean value	基本値true及びfalse。trueは論理での真に対応し、falseは偽に対応する。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10497	A		Boolean型	ぶーりあんかた	Boolean type	基本値true及びfalseだけを要素とする集合。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10498	A		論理オブジェクト	ろんりおぶじぇくと	boolean object	組込みオブジェクトBooleanのインスタンスであるObject型の要素。言い換えると、new式でコンストラクタBooleanを指定し、その引数に論理値を与えて生成したオブジェクト。生成されたオブジェクトは、その暗黙の（名前をもたない）特性として、その論理値をもつ。論理オブジェクトは、その論理値に強制的に型変換されるので、論理値が必要となる位置に書くこともできる。この強制的な型変換は、ECMAScriptのもつ便宜性の一つである。その目的は、どんな経歴のプログラマにも対応することにある。手続き型言語又は命令型言語に慣れたプログラマにとっては、論理値、文字列値、数値などを使うのが自然であるし、オブジェクト指向言語に慣れたプログラマにとっては、論理オブジェクト、文字列オ	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10499	A		文字列値	もじれつち	string value	String型の要素。個々の文字列値は、Unicode文字の有限列（長さ0以上）からなる。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10500	A		String型	すとりんぐかた	String type	Unicode文字の有限列（長さ0以上）のすべてからなる集合。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10501	A		文字列オブジェクト	もじれつおぶじぇくと	string object	組込みオブジェクトStringのインスタンスであるObject型の要素。言い換えると、new式でコンストラクタStringを指定し、その引数に文字列値を与えて生成したオブジェクト。生成されたオブジェクトは、その暗黙の（名前をもたない）特性として、その文字列値をもつ。文字列オブジェクトは、その文字列値に強制的に型変換されるので、文字列値が必要と	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10502	A		数値	すうち	number value	Number型の要素。1個の数値を直接に表現する。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10503	A		Number型	なんばーかた	Number type	数値の集合。ECMAScriptでの数値は、IEEE754の64ビット形式倍精度浮動小数点表現を用いて表す。特殊値として、正の無限大、負の無限大及び“非数”（“Not-Number”、NaN）	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10504	A		数値オブジェクト	すうちおぶじぇくと	number object	組込みオブジェクトNumberのインスタンスであるObject型の要素。言い換えると、new式でコンストラクタNumberを指定し、その引数に数値を与えて生成したオブジェクト。生成されたオブジェクトは、その暗黙の（名前をもたない）特性として、その数値をもつ。数値オブジェクトは、その数値に強制的に型変換されるので、数値が必要となる位置に書くこともできる。数値オブジェクトは、特性をプロトタイプNumberに加えることで、その特性を共	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10505	A		Infinity	いんふぃにてぃ	Infinity	数値の一つ。正の無限大を表す。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10506	A		NaN	NaN	Not-a-Number	数値の一つ。IEEE754での“非数”を表す。	JIS X 3060	2000	ISO/IEC 16262	1998				2002	SC22
10507	A		文書	ぶんしょ		人間が理解できるように2次元形式で表現される情報であって、例えば用紙上に印字又は画面上に表示されるもの。この規格においては、文書は1ページ以上からなり、文書作成時の書式の初期値を定義する文書書式情報をもつ。	JIS X 4001	1989							
10508	A		文書ファイル	ぶんしょふぁいる		日本語文書の交換の対象となる一つ以上の文書からなるファイル。文書ファイルは、文書見出し部と文書データ部からなる。一つの文書は、文書見出し部中の文書見出し情報と文書データ部中の文書実体の対として媒体上に格納する。	JIS X 4001	1989							
10509	A		ファイル	ふぁいる		一つの単位として取り扱われる関連したレコードの列。ファイルは、一つのボリュームの全体又は一部に格納することができる。	JIS X 4001	1989							
10510	A		ボリューム	ぼりゅーむ		取付け、取外しのできるデータ媒体の物理的単位。この規格においては、フレキシブルディスクカートリッジがこれに相当する。一つのボリュームには、一つのファイルの全体若しくはその一部、又は二つ以上のファイルを格納することができる。	JIS X 4001	1989							
10511	A		レコード	れこーど		媒体上の格納及び読出しの単位となる連続したデータの集合。この規格においては、256バイトの長さとする。	JIS X 4001	1989							
10512	A		エクステント	えくすてんと		連続した昇順のアドレスをもつレコードの列。	JIS X 4001	1989							
10513	A		システムラベル	しすてむらべる		JIS X 0603（情報交換用フレキシブルディスクカートリッジのラベルとファイル構成）によって規定されているボリューム見出しラベル、ファイル見出しラベルなどの集まり。	JIS X 4001	1989							
10514	A		文書見出し情報	ぶんしょみだしじょうほう		文書ファイルに格納される文書実体に先立って置かれる情報であって、各文書を識別し、その記憶場所、文書の属性などを表すもの。	JIS X 4001	1989							
10515	A		文書交換水準	ぶんしょこうかんすいじゅん		交換する文書中において取り扱う文字の符号化表現及び制御機能などの種別によって区分した文書の水準。	JIS X 4001	1989							
10516	A		文書書式情報	ぶんしょしょしきじょうほう		文書を印字する用紙の寸法、用紙上における文字の物理的な配置、個々の文字の物理的な表現方法などを定める情報。この規格においては、交換文書の書式の初期値を定義するために使用する。	JIS X 4001	1989							
10517	A		制御機能	せいぎょきのう		制御文字で始まる制御列又はそれによって表現される特別の機能。	JIS X 4001	1989							
10518	A		図形文字	ずけいもじ		制御機能以外の文字であって、印字・表示の可視的表現をもつもの。	JIS X 4001	1989							
10519	A		テキスト	てきすと		1ページ以上からなる文書中の図形文字及び制御機能の列。	JIS X 4001	1989							
10520	A		ページ	ぺーじ		用紙の物理的な制約又は文書の体裁に基づいて分割されたテキスト。	JIS X 4001	1989							
10521	A		行	ぎょう		ページ内の文字の1次元的並びで、ページを字方向に区分する単位。	JIS X 4001	1989							
10522	A		文字ピッチ	もじぴっち		文字を行中に並べる場合の字送り量。	JIS X 4001	1989							
10523	A		行ピッチ	ぎょうぴっち		行を並べる場合の行送り量。	JIS X 4001	1989							
10524	A		字方向	じほうこう		文字の読みの方向。	JIS X 4001	1989							
10525	A		行方向	ぎょうほうこう		文字の読みの方向に直角な方向。	JIS X 4001	1989							
10526	A		縦書き	たてがき		各行の文字が上から下へ、縦読みになるような文字の配列。	JIS X 4001	1989							
10527	A		横書き	よこがき		各行の文字が左から右へ、横読みになるような文字の配列。	JIS X 4001	1989							
10528	A		動作位置	どうさいち		次に処理しようとしている文字位置。処理した後は、動作位置は通常1文字分進む。	JIS X 4001	1989							
10529	A		行始端	ぎょうしたん		行の最初の文字が始まる位置。横書きの場合は左端、縦書きの場合は上端の文字が始まる位置で、文書書式情報の字方向余白欄の文字数に対応する余白の次の文字位置。	JIS X 4001	1989							
10530	A		行終端	ぎょうしゅうたん		行の最後の文字位置。横書きの場合は右端、縦書きの場合は下端の文字が終わる位置で、文書書式情報の字方向余白欄の文字数と1行当たり文字数欄の文字数の和に対応する文字位置。	JIS X 4001	1989							
10531	A		全角	ぜんかく		字方向の大きさが、通常である文字の大きさ。	JIS X 4001	1989							
10532	A		半角	はんかく		字方向の大きさが、全角の50%である文字の大きさ。	JIS X 4001	1989							
10533	A		倍角	ばいかく		字方向の大きさが、全角の200%である文字の大きさ。	JIS X 4001	1989							
10534	B		文書	ぶんしょ		人間が理解できるように2次元形式で表現される情報で、例えば用紙上に印字又は画面上に表示されるもの。この規格において、文書は1ページ又は複数ページから成り、文書作成時の書式の初期値を定義する文書書式情報をもつ。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10535	B		文書ファイル	ぶんしょふぁいる		日本語文書の交換の対象となる一つ以上の文書からなるファイル。文書ファイルは文書見出し部、文書データ部からなり、一つの文書は文書見出し部中の文書見出し情報と文書データ部中の文書実体の対により媒体上に格納される。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10536	B		ファイル	ふぁいる		一つの単位として取り扱われる関連したレコードの列。ファイルは、一つのボリュームの全体若しくは一部、又は二つ以上のボリュームにまたがって格納することができる。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10537	B		ボリューム	ぼりゅーむ		取付け取外しができるデータ媒体の物理的単位。この規格においては、フレキシブルディスクカートリッジがこれに相当する。一つのボリュームには、一つのファイルの全体若しくはその一部、又は二つ以上のファイルを格納することができる。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10538	B		レコード	れこーど		媒体上の格納及び読出しの単位となる連続したデータの集合。この規格では256バイトの長さとする。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10539	B		エクステント	えくすてんと		連続した昇順のアドレスをもつレコードの列。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10540	B		システムラベル	しすてむらべる		JIS X 0603(情報交換用フレキシブルディスクカートリッジのラベルとファイル構成)によって規定されているボリューム見出しラベル、ファイル見出しラベルなどの集まり。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10541	B		文書見出し情報	ぶんしょみだしじょうほう		文書ファイルに格納される文書実体に先立って置かれる情報であって、各文書を識別し、その記憶場所、文書の属性等を表すもの。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10542	B		文書交換水準	ぶんしょこうかんすいじゅん		交換する文書中に含まれる事務用グラフの有無、取り扱う文字の符号化表現及び制御文字などの種別により区分した文書の水準。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10543	B		文書書式情報	ぶんしょしょしきじょうほう		文書を印字する用紙の規格、用紙上における文字の物理的な配置、個々の文字の物理的な表現方法などを定める情報。この規格においては、交換文書の書式の初期値を定義するために使用する。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10544	B		制御文字	せいぎょもじ		制御機能を表現する符号化文字。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10545	B		図形文字	ずけいもじ		制御文字以外の符号化文字であって、印字・表示の可視的表現をもつもの。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10546	B		漢字間隔	かんじかんかく		JIS X 0208(情報交換用漢字符号系)による間隔を表現する文字。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10547	B		テキスト	てきすと		1ページ又は複数ページからなる文書の図形文字及び制御文字の列。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10548	B		ページ	ぺーじ		用紙の物理的な制約又は文書の体裁に基づいて分割されたテキスト。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10549	B		字方向	じほうこう		文字の読みの方向。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10550	B		行方向	ぎょうほうこう		文字の読みの方向に直角な方向。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10551	B		行	ぎょう		ページ内の文字の1字元的並びで、ページを字方向に区分する単位。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10552	B		文字ピッチ	もじぴっち		文字を行中に並べる場合の字送り量。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10553	B		行ピッチ	ぎょうぴっち		行を並べる場合の行送り量。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10554	B		縦書き	たてがき		各行の文字が上から下へ、縦読みになるような文字の配列。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10555	B		横書き	よこがき		各行の文字が左から右へ、横読みになるような文字の配列。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10556	B		動作位置	どうさいち		次に処理しようとしている文字位置。処理した後は、動作位置は、通常1文字分進む。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10557	B		行始端	ぎょうしたん		行の最初の文字が始まる位置。横書きの場合は左端の文字が始まる位置で、文書書式情報の字方向余白欄の文字数に対応する余白の次の文字位置。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10558	B		行終端	ぎょうしゅうたん		行の最後の文字位置。横書きの場合は右端、縦書きの場合は下端の文字が終わる位置で、文書書式情報の字方向余白欄の文字数と1行当たり文字数欄の文字数の和に対応する文字位置。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10559	B		全角	ぜんかく		字方向の大きさが、通常である文字の大きさ。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10560	B		半角	はんかく		字方向の大きさが、全角の50%である文字の大きさ。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10561	B		倍角	ばいかく		字方向の大きさが、全角の200%である文字の大きさ。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10562	B		事務用グラフ	じむようぐらふ		文書に含まれる情報のうち、グラフ形式で表現される情報で、この規格では折れ線グラフ、棒グラフ、積上げ棒グラフ、帯グラフ及び円グラフとする。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10563	B		基準軸	きじゅんじく		折れ線グラフ、棒グラフ及び積上げ棒グラフを表現する基本となる軸。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10564	B		実データ軸	じつでーたじく		基準軸と直角な方向にとられる軸。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10565	B		基線	きせん		実データ軸の基準となる位置から基準軸に平行に引かれた直線で、基準軸に対して二次的に使用する基準となる線。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10566	B		要素	ようそ		事務用グラフを構成するデータの集合単位。折れ線グラフ、棒グラフ及び積上げ棒グラフにおいては基準軸を構成し、帯グラフ及び円グラフにおいては全体に対する割合を示	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10567	B		項目	こうもく		同じ性質をもつ要素の種類。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10568	B		ブロック	ぶろっく		文書のページ内において事務用グラフの存在する長方形(正方形を含む。)の領域。そこに事務用グラフを配置する。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10569	B		ブロック書式情報	ぶろっくしょしきじょうほう		ブロックの番号や大きさを規定する情報。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10570	B		グラフ領域	ぐらふりょういき		ブロック内においてグラフを表現する領域。	JIS X 4002	1987				廃2008/3			
10571	A		文書	ぶんしょ		人間が理解できるように2次元形式で表現される情報であって、例えば用紙上に印字又は画面上に表示されるもの。この規格においては、文書は1ページ以上からなり、文書作成時の書式の初期値を定義する文書書式情報をもつ。	JIS X 4003	1989							
10572	A		文書ファイル	ぶんしょふぁいる		日本語文書の交換の対象となる一つ以上の文書からなるファイル。文書ファイルは、文書見出し部と文書データ部からなる。一つの文書は、文書見出し部中の文書見出し情報と文書データ部中の文書実体との対として媒体上に格納する。	JIS X 4003	1989							
10573	A		ファイル	ふぁいる		一つの単位として取り扱われる関連したレコードの列。ファイルは、一つのボリュームの全体若しくは一部、又は二つ以上のボリュームにまたがって格納することができる。	JIS X 4003	1989							
10574	A		ボリューム	ぼりゅーむ		取付け、取外しのできるデータ媒体の物理的単位。この規格においては、フレキシブルディスクカートリッジがこれに相当する。一つのボリュームには、一つ以上のファイルを格納することができる。	JIS X 4003	1989							
10575	A		レコード	れこーど		媒体上での格納及び読出しの単位となる連続したデータの場合。この規格においては、256バイトの長さとする。	JIS X 4003	1989							
10576	A		エクステント	えくすてんと		連続した昇順のアドレスをもつレコードの列。	JIS X 4003	1989							
10577	A		システムラベル	しすてむらべる		JIS X 0603(情報交換用フレキシブルディスクカートリッジのラベルとファイル構成)によって規定されているボリューム見出しラベル、ファイル見出しラベルなどの集まり。	JIS X 4003	1989							
10578	A		文書見出し情報	ぶんしょみだしじょうほう		文書ファイルに格納される文書実体に立って置かれる情報であって、各文書を識別し、その記憶場所、文書の属性などを表すもの。	JIS X 4003	1989							
10579	A		文書交換水準	ぶんしょこうかんすいじゅん		交換する文書中に含まれる図形用のブロックの有無、取り扱う制御文字の種類などによって区分した文書の水準。	JIS X 4003	1989							
10580	A		文書書式情報	ぶんしょしょしきじょうほう		文書を印字する用紙の寸法、用紙上における文字の物理的な配置、個々の物理的な表現方法などを定める情報。この規格においては、交換文書の書式の初期値を定義するために使用する。	JIS X 4003	1989							
10581	A		制御機能	せいぎょきのう		制御文字で始まる制御列又はそれによって表現される特別の機能。この規格においては、表5に示す22種類の制御機能を使用する。	JIS X 4003	1989							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10582	A		図形文字	ずけいもじ		制御文字以外の文字であって、印字・表示の可視的表現をもつもの。この規格においては、JIS X 0201(情報交換用符号)のローマ字7単位符号表の2～7列又はローマ字8単位符号表の02～07列、及びJIS X 0208(情報交換用漢字符号系)の図形文字用符号表で規定される文字を使用する。	JIS X 4003	1989								
10583	A		テキスト	てきすと		1ページ以上からなる文書中の図形文字及び制御機能の列。	JIS X 4003	1989							
10584	A		ページ	ぺーじ		用紙の物理的な制約又は文書の体裁に基づいて分割されたテキスト。	JIS X 4003	1989							
10585	A		字方向	じほうこう		文字の読みの方向。	JIS X 4003	1989							
10586	A		行方向	ぎょうほうこう		文字の読みの方向に直角な方向。	JIS X 4003	1989							
10587	A		行	ぎょう		ページ内の文字の1次元的並びであって、ページを字方向に区分する単位。	JIS X 4003	1989							
10588	A		文字ピッチ	もじぴっち		文字を行中に並べる場合の字送り量。	JIS X 4003	1989							
10589	A		行ピッチ	ぎょうぴっち		行を並べる場合の行送り量。	JIS X 4003	1989							
10590	A		縦書き	たてがき		各行の文字が上から下へ、縦読みになるような文字の配列。	JIS X 4003	1989							
10591	A		横書き	よこがき		各行の文字が左から右へ、横読みになるような文字の配列。	JIS X 4003	1989							
10592	A		動作位置	どうさいち		次に処理しようとしている文字位置。処理した後は、動作位置は通常1文字分進む。	JIS X 4003	1989							
10593	A		行始端	ぎょうしたん		行の最初の文字が始まる位置。横書きの場合は左端、縦書きの場合は上端の文字が始まる位置で、文書書式情報の字方向余白欄の文字数に対応する余白の次の文字位置。	JIS X 4003	1989							
10594	A		行終端	ぎょうしゅうたん		行の最後の文字位置。横書きの場合は右端、縦書きの場合は下端の文字が終わる位置で、文書書式情報。字方向余白欄の文字数と1行当たり文字数欄の文字数の和に対す	JIS X 4003	1989							
10595	A		全角	ぜんかく		字方向の大きさが、通常である文字の大きさ。	JIS X 4003	1989							
10596	A		半角	はんかく		字方向の大きさが、全角の50%である文字の大きさ。	JIS X 4003	1989							
10597	A		倍角	ばいかく		字方向の大きさが、全角の200%である文字の大きさ。	JIS X 4003	1989							
10598	A		ブロック	ぶろっく		文書のページ内において、事務用グラフ、幾何学図形などを配置するための長方形の領	JIS X 4003	1989							
10599	A		ブロック書式情報	ぶろっくしょしきじょうほう		文書内のブロック位置と、事務用グラフ幾何学図形などデータとの対応づけ及びブロックの寸法を記述したデータ。	JIS X 4003	1989							
10600	A		幾何学図形	きかがくずけい		文書中に含まれる図形であって、図形要素が表示命令と幾何学的な座標データから生成されるもの。	JIS X 4003	1989							
10601	A		図形要素	ずけいようそ		図形を構成するのに用いる基本的な最小単位。例えば、点、線分、円弧、文字、折れ線	JIS X 4003	1989							
10602	A		属性要素	ぞくせいようそ		図形要素のもつ物理的な特性であって、その名前や量によって個々の性質を表現できるもの。例えば、線の種類、線幅、色、文字の高さなど。	JIS X 4003	1989							
10603	A		幾何学図形領域	きかがくずけいりょういき		ブロック内に設定される長方形の領域であって、幾何学図形が配置されるところ。	JIS X 4003	1989							
10604	A		仮想装置座標	かそうそうちざひょう		無限の広がりをもつ、装置とは独立な2次元の直交座標。座標上の位置は、絶対座標で参照する。VDCと呼ぶことがある。	JIS X 4003	1989							
10605	A		仮想装置座標領域	かそうそうちざひょうりょういき		仮想装置座標の上で設定される長方形の領域であって、長方形の各辺が座標系の軸に平行であるもの。領域の原点及び座標系の軸の方向を指定することによって、領域内に構成された図形が幾何学図形領域(装置座標)に写像される。この規格においては、VDC領域と呼ぶことがある。	JIS X 4003	1989							
10606	A		幾何学図形データ	きかがくずけいでーた		幾何学図形を記述するデータ。この規格においては、幾何学図形属性と幾何学図形データ列から構成する。	JIS X 4003	1989							
10607	A		幾何学図形属性	きかがくずけいぞくせい		幾何学図形を記述するデータの一部であって、座標データ・属性データ・図形の結合関係や位置決めデータの解釈を制御するもの。この規格において、仮想装置座標の原点、その大きさ及び属性データの上限を指定する形式属性並びに必要とする属性を明示しなかったときの解釈を指定する既定値属性から構成する。	JIS X 4003	1989							
10608	A		幾何学図形データ列	きかがくずけいでーたれつ		文書中に含まれる幾何学図形をその出現順に記述したデータであって、図形要素又は要素属性を指定する演算コードと引き数の組から構成する。この規格においては、演算コード及び引き数は、附属書5によって表現する。	JIS X 4003	1989							
10609	A		色テーブル	いろてーぶる		RGB色彩系の3原色の量的な混合比をコード値として保持することによって、色を定義する表。表の項目の数が同時に表示できる色数(背景色を除く。)を表し、項目の位置が色指標によって参照される。	JIS X 4003	1989							
10610	A		色指標	いろしひょう		色テーブルの項目を識別するために使用する正整数。	JIS X 4003	1989							
10611	A		列挙値	れっきょち		幾つかの定まった状態のそれぞれに割り当てられる整数値であって、その値の大小は、この規格の中で名前を並べたときの順序によって決まるもの。	JIS X 4003	1989							
10612	A		指標	しひょう		列挙値であって、この規格の中で定められた以外の名前を使用する場合、負の整数を割り当てることが許されるもの。	JIS X 4003	1989							
10613	A		大文字線	おおもじせん		ある種の書体の文字の最上端を結んで得られる仮想の水平線。キャップと呼ぶこともある(#図有り)。	JIS X 4003	1989							
10614	A		基底線	きていせん		ある種の書体の文字を水平方向にそろえるための、長方形の底に平行な線。例えば、欧文文字の大文字及び下方突出部のない小文字がこの線上にそろえられる。ベースと呼ぶこともある(#図有り)。	JIS X 4003	1989							
10615	A		垂直中線	すいちょくちゅうせん		文字枠の中心を通り、基底線に垂直な線。センタと呼ぶこともある。	JIS X 4003	1989							
10616	A		水平中線	すいへいちゅうせん		文字の高さを2等分する、垂直中線に直角な線。ハーフと呼ぶこともある。	JIS X 4003	1989							
10617	A		文字間隔	もじかんかく		二つの互いに隣接する文字枠の右端から次の文字枠の左端までの距離。文字間余白と呼ぶこともある。この規格では、距離は、文字の高さに対する比率で表す(#図有り)。	JIS X 4003	1989							
10618	A		文字の高さ	もじのたかさ		基底線から大文字線までの距離(#図有り)。	JIS X 4003	1989							
10619	A		文字幅	もじはば		文字の向きに直角方向の文字枠の大きさ(#図有り)。	JIS X 4003	1989							
10620	A		文字列	もじれつ		文字の列からなる図形要素(#図有り)。	JIS X 4003	1989							
10621	A		文字枠	もじわく		文字を配値する際、字形の存在を限定した長方形(#図有り)。	JIS X 4003	1989							
10622	A		文書	ぶんしょ		人間が理解できるように2次元形式で表現される情報であって、例えば用紙上に印字又は画面上に表示させるもの。この規格においては、文書は1ページからなり、文書作成時の書式の初期値を定義する文書書式情報をもつ。	JIS X 4004	1989							
10623	A		文書ファイル	ぶんしょふぁいる		日本語文書の交換の対象となる一つ以上の文書からなるファイル。文書ファイルは、文書見出し部と文書データ部からなる。一つの文書は、文書見出し部中の文書見出し情報と文書データ部中の文書実体の対として媒体上に格納する。	JIS X 4004	1989							
10624	A		ファイル	ふぁいる		一つの単位として取り扱われる関連したレコードの列。ファイルは、一つのボリュームの全体若しくは一部、又は二つ以上のボリュームにまたがって格納することができる。	JIS X 4004	1989							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10625	A		ボリューム	ぼりゅーむ		取付け、取外しのできるデータ媒体の物理的単位。この規格においては、フレキシブルディスクカートリッジがこれを相当する。一つのボリュームには、一つのファイル全体若しくはその一部、又は二つ以上のファイルを格納することができる。	JIS X 4004	1989							
10626	A		レコード	れこーど		媒体上での格納及び読出しの単位となる連続したデータの集合。この規格においては、256バイトの長さとする。	JIS X 4004	1989							
10627	A		エクステント	えくすてんと		連続した昇順のアドレスをもつレコードの列。	JIS X 4004	1989							
10628	A		システムラベル	しすてむらべる		JIS X 0603(情報交換用フレキシブルディスクカートリッジのラベルとファイル構成)によって規定されているボリューム見出しラベル、ファイル見出しラベルなどの集まり。	JIS X 4004	1989							
10629	A		文書見出し情報	ぶんしょみだしじょうほう		文書ファイルに格納される文書実体に先立って置かれる情報であって、各文書を識別し、その記憶場所、文書の属性などを表すもの。	JIS X 4004	1989							
10630	A		文書交換水準	ぶんしょこうかんすいじゅん		交換する文書中に含まれる事務用グラフ、幾何学図形、二値図形の有無、取り扱う文字の符号化表現及び制御機能などの種別によって区分した文書の水準。	JIS X 4004	1989							
10631	A		文書書式情報	ぶんしょしょしきじょうほう		文書を印字する用紙の寸法、用紙上における文字の物理的な配置、個々の文字の物理的な表現方法などを定める情報。この規格においては、交換文書の書式の初期値を定義するために使用する。	JIS X 4004	1989							
10632	A		制御機能	せいぎょきのう		制御文字で始まる制御列又はそれによって表現される特別の機能。	JIS X 4004	1989							
10633	A		図形文字	ずけいもじ		制御文字以外の文字であって、印字・表示の可視的表現をもつもの。	JIS X 4004	1989							
10634	A		テキスト	てきすと		1ページ以上からなる文書中の図形文字及び制御機能の列。	JIS X 4004	1989							
10635	A		ページ	ぺーじ		用紙の物理的な制約又は文書の体裁に基づいて分割されたテキスト。	JIS X 4004	1989							
10636	A		行	ぎょう		ページ内の文字の1字元的並びで、ページを字方向に区分する単位。	JIS X 4004	1989							
10637	A		文字ピッチ	もじぴっち		文字を行中に並べる場合の字送り量。	JIS X 4004	1989							
10638	A		行ピッチ	ぎょうぴっち		行を並べる場合の行送り量。	JIS X 4004	1989							
10639	A		字方向	じほうこう		文字の読みの方向。	JIS X 4004	1989							
10640	A		行方向	ぎょうほうこう		文字の読みの方向に直角な方向。	JIS X 4004	1989							
10641	A		縦書き	たてがき		各行の文字が上から下へ、縦読みになるような文字の配列。	JIS X 4004	1989							
10642	A		横書き	よこがき		各行の文字が左から右へ、横読みになるような文字の配列。	JIS X 4004	1989							
10643	A		動作位置	どうさいち		次に処理しようとしている文字位置。処理した後は、動作位置は通常1文字分進む。	JIS X 4004	1989							
10644	A		行始端	ぎょうしたん		行の最初の文字が始まる位置。横書きの場合は左端、縦書きの場合は上端の文字が始まる位置で、文字書式情報の字方向余白欄の文字数に対応する余白の次の文字位置。	JIS X 4004	1989							
10645	A		行終端	ぎょうしゅうたん		行の最後の文字位置。横書きの場合は右端、縦書きの場合は下端の文字が終わる位置で、文書書式情報の字方向余白欄の文字数と1行当たり文字数欄の文字数の和に対応する文字位置。	JIS X 4004	1989							
10646	A		全角	ぜんかく		字方向の大きさが、通常である文字の大きさ。	JIS X 4004	1989							
10647	A		半角	はんかく		字方向の大きさが、全角の50%である文字の大きさ。	JIS X 4004	1989							
10648	A		倍角	ばいかく		字方向の大きさが、全角の200%である文字の大きさ。	JIS X 4004	1989							
10649	A		ブロック	ぶろっく		文書のページ内において事務用グラフ、幾何学図形、二値図形などを配置するための長方形の領域。	JIS X 4004	1989							
10650	A		ブロック書式情報	ぶろっくしょしきじょうほう		ブロックの番号、位置及び大きさを規定する情報。	JIS X 4004	1989							
10651	A		画素	がそ		2次元の広がりをもつ画像を水平方向及び垂直方向に分割した最小単位。	JIS X 4004	1989							
10652	A		二値図形	にちずけい		二値で表現される画素の2次元配列によって表現される図形。	JIS X 4004	1989							
10653	A		二値図形情報	にちずけいじょうほう		二値図形を表現するための情報の集まり。	JIS X 4004	1989							
10654	A		二値図形領域	にちずけいりょういき		ブロック内に配置される二値図形表示のための領域。	JIS X 4004	1989							
10655	A		背景	はいけい		二値図形領域内における二値図形が表現される下地となる部分。	JIS X 4004	1989							
10656	A		前景	ぜんけい		二値図形領域内における二値図形の部分。	JIS X 4004	1989							
10657	A		主走査線	しゅそうさせん		字方向に1次元的に配置された画素の配列。	JIS X 4004	1989							
10658	A		主走査方向	しゅそうさほうこう		主走査線上に画素が配置されていく方向。	JIS X 4004	1989							
10659	A		副走査	ふくそうさ		主走査線が配置されていくこと。	JIS X 4004	1989							
10660	A		副走査方向	ふくそうさほうこう		主走査線が配置されていく方向であり、行方向と一致する。	JIS X 4004	1989							
10661	A		画素間隔	がそかんかく		画素の中心とその画素に隣接する画素の中心との距離。	JIS X 4004	1989							
10662	A		副走査間隔	ふくそうさかんかく		一つの主走査線の中心と次の主走査線の中心との距離。	JIS X 4004	1989							
10663	A		BMU	BMU		長さの単位であり、1BMUは(25.4/1200)mmとする。	JIS X 4004	1989							
10664	A		画素密度	がそみつど		主走査方向における25.4mm当たりの画素の数。この規格では、画素間隔と副走査間隔を等しくとる。	JIS X 4004	1989							
10665	B		空き量	あきりょう		行間の値、行頭から行の先頭の文字までの間隔の値又は行の最後尾の文字から行末までの間隔の値。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10666	B		追込み	おいこみ		禁則処理の一つの方法であって、字間を詰めて行中の文字数を多くすること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10667	B		追出し	おいだし		禁則処理の一つの方法であって、字間を広げて行中の文字数を少なくすること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10668	B		欧文	おうぶん		欧文用文字及び欧文間隔で構成される文章であって、横書きとし、欧文ピッチ処理の対象となるもの。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10669	B		欧文間隔	おうぶんかんかく		欧文の単語間の空きを表現する文字。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10670	B		欧文用文字	おうぶんようもじ		欧文を書き表すときに主な構成要素となる表音文字(欧字)、数字及び記号(コンマ、ピリオドなど)。縦書きで用いる全角の欧字は、和字として扱う。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10671	B		親文字	おやもじ		ルビ、添え字又は圏点がつけられたとき、その対象となる文字。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10672	B		親文字群	おやもじぐん		親文字及びそれに付随するルビ、添え字又は圏点を含めた文字群。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10673	B		親文字列長	おやもじれつちょう		親文字列を指定の文字サイズで、表2の空き量を挿入する以外は、ベタ組で配置したときの、親文字列の先頭から最後尾までの長さ(図1参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10674	B		終わり括弧類	おわりかっこるい		文章の中で、ある部分を囲んで他との区別を明らかにするための記号のうち、区切りの終わりを表すもの並びに文章の中の切れ目を表すコンマ“、”及び読点“、”(表1参照)。 例 横書きにおける終わり括弧類　、、’”)〕]｝〉》」』】 参考1. 縦書きではコンマを使用せず、読点“、”を使用する。 2. コンマ及び読点は、組版処理の上で終わり小括弧と同じ処理を行うので、終わり括弧類としてまとめて扱うこととした。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10675	B		括弧類	かっこるい		始め括弧類及び終わり括弧類	JIS X 4051	1995				2004/3			
10676	B		行間	ぎょうかん		隣接する行の最も大きな文字サイズの文字の外枠間の距離。通常、行間は、行の幅の1/2～1倍となる(図2参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10677	B		行長	ぎょうちょう		行頭から分割可能点までの長さ(図3参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10678	B		行頭	ぎょうとう		一つの行の始まる位置(図4参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10679	B		行頭禁則処理	ぎょうとうきんそくしょり		禁則条件上、行頭に位置してはならない文字(行頭禁則文字)が、行頭にこないように追込み又は追出しをすること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10680	B		行頭禁則和字	ぎょうとうきんそくわじ		行頭禁則処理の対象になる和字(表1参照)。 例 横書きにおける行頭禁則和字　ヽゞゝゞ〻ーぁぃぅぇぉっゃゅょゎァィゥェォッャュョヮカケ	JIS X 4051	1995				2004/3			
10681	B		行頭そろえ	ぎょうとうそろえ		文字列の最初の文字を行頭の位置にあわせること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10682	B		行末	ぎょうまつ		一つの行の終わる位置(図4参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10683	B		行末禁則処理	ぎょうまつきんそくしょり		禁則条件上、行末に位置してはならない文字(行末禁則文字)が、行末にこないように追込み又は追出しをすること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10684	B		行末そろえ	ぎょうまつそろえ		文字列の最後の文字を行末の位置にあわせること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10685	B		禁則条件	きんそくじょうけん		禁則文字が行頭若しくは行末に位置してはならないこと、または禁則文字の組を分割してはならないことの条件。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10686	B		禁則処理	きんそくしょり		禁則条件を満足するように文字の配置を決めること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10687	B		禁則文字	きんそくもじ		行頭若しくは行末に位置してはならない文字、または分割してはならない文字の組を構成する文字。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10688	B		均等割り	きんとうわり		字間を均等に空け、文字列の両端を行頭と行末にそろえること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10689	B		区切り約物	くぎりやくもの		文章・語句の区切りに用いる約物で、行頭禁則処理の対象となる約物(表1参照)。 例 横書きにおける区切り約物　？！	JIS X 4051	1995				2004/3			
10690	B		句点類	くてんるい		文又は文章の終わりを示すもの(表1参照)。 例 横書きにおける句点類　。. 参考 縦書きではピリオドを使用せず、句点“。”を使用する。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10691	B		けい(罫)線	けいせん		複数の項目を二次元的に区切るためにもちいるもの。横けい(罫)及び縦けい(罫)がある。けい線は、実線や破線などのけい線種、けい線の太さ、可視や不可視などのけい線	JIS X 4051	1995				2004/3			
10692	B		圏点	けんてん		文字のそばにつけて注意を促したり、その部分を強調したりするしるし。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10693	B		こま(小間)	こま		表のこま内容を表示する領域。基本的には、隣り合う2本の横けい(罫)と隣り合う2本の縦けい(罫)に囲まれた領域からこま余白部分を除いた領域が、一つのこま(小間)を形成する。隣接する複数のこま(小間)を合成して一つのこま(小間)として用いることもあ	JIS X 4051	1995				2004/3			
10694	B		こま内容	こまないよう		表のこま(小間)の中に表示されるもの。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10695	B		三分アキ	さんぶあき、さんぶんあき		空き量を、全角アキの1/3とするもの。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10696	B		三分ルビ	さんぶるび		全角の字幅に3文字のルビをつけるためのルビ。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10697	B		字上げ	じあげ		行末の位置を行頭方向に移すこと。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10698	B		字間	じかん		同一行の隣接する二つの文字の外枠の間隔(表5参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10699	B		字下げ	じさげ		行頭の位置を行末方向に移すこと。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10700	B		指定行長	していぎょうちょう		行頭から行末までの長さ(図3参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10701	B		字幅	じはば		文字を配列する方向の外枠の寸法。 参考 字幅は、横書きでは文字の幅となるが、縦書きでは文字の高さとなる。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10702	B		四分角	しぶかく、しぶんかく		字幅が、全角アキの1/4である文字の外枠。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10703	B		四分アキ	しぶあき、しぶんあき		空き量を、全角アキの1/4とするもの。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10704	B		省略記号	しょうりゃくきごう		角度、通貨などを表す記号。連数字の直前に表記する前置省略記号及び連数字の直後に表記する後置省略記号がある(表1参照)。 例1. 横書きにおける前置省略記号　¥ $ £ 例2. 横書きにおける後置省略記号　° ′ ″ % ‰ ¢ 参考 片仮名単位字を含む全角単位字及びJIS X 0208に含まれる単位記号は、この規格では省略記号として扱う。 例 縦書きの片仮名単位字　㌔（正しい字形はキとロのそれぞれを、横の空白位置にずらしたもの。）	JIS X 4051	1995				2004/3			
10705	B		全角	ぜんかく		漢字1文字分の外枠。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10706	B		全角アキ	ぜんかくあき		空き量を、対応する文字の全角の字幅とするもの。ただし、対応する文字は、表2による。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10707	B		添え字	そえじ		文字のそばにつける上付き文字又は下つき文字。 例1. 52、XNの“2”、“N”が上付き文字の例 例2. C2、X1の“2”、“1”が下付き文字の例 参考 アポストロフィーは添え字ではなく、独立の文字として扱う。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10708	B		そろえ	そろえ		文字列の位置を指定した位置に合わせること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10709	B		縦書き	たてがき		各行の文字を文字の高さ方向に並べる文字の配置。通常、上から下に縦に並べる。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10710	B		縦中横	たてちゅうよこ		縦書きの行中で、縦書きの字の向きのまま横書きにすること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10711	B		タブ(tab)処理	たぶ(tab)しょり		行中の指定された位置に、文字列を合わせて配置すること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10712	B		タブ処理対象文字列	たぶしょりたいしょうもじれつ		タブ記号とタブ記号との間にある文字列又はタブ記号と改行までの文字列。 例 →をタブ記号とすると、次の文字列の“BBBBBB”と“CCC”がタブ処理対象文字列である。“AA”は、タブ処理対象文字列ではない。 AA→BBBBBB→CCC	JIS X 4051	1995				2004/3			
10713	B		タブ処理対象文字列長	たぶしょりたいしょうもじれつちょう		タブ処理対象文字列を指定の文字サイズで、表2の空き量を挿入する以外はベタ組で配置したときのタブ処理対象文字列の先頭から最後尾までの長さ。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10714	B		単位記号	たんいきごう		距離、時間などをはかる基準となる量を表すJIS X 0208に含まれる単位記号。通常、連数字の直後に表記する。 例 100km、50s 参考　片仮名単位字を含む全角単位字及びJIS X 0208に含まれる単位記号は、この規格では省略記号として扱う。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10715	B		段落	だんらく		行組版処理の処理単位となる一つ以上の文の集まり。段落は、1行又は連続した複数の行からなる。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10716	B		段落字下げ	だんらくじさげ		段落先頭行の行頭を空けること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10717	B		段落整形(indent)処理	だんらくせいけい(indent)しょり		段落字下げ、字下げ及び字上げに従って文字を配列すること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10718	B		段落末尾処理(character widow)	だんらくまつびしょり(character widow)		段落の最終行の文字が、ある文字数未満になることを避けるための処理。文字ウィドウ処理とも言う。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10719	B		中央そろえ	ちゅうおうそろえ		文字列の中央を、行頭と行末との中央の位置に合わせること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10720	B		詰め処理	つめしょり		行長が指定行長より大きいとき、字間を詰め、指定行長と同じにする処理。	JIS X 4051	1995				2004/3			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10721	B		中点類	なかてんるい		文章・語句の区切りに用いる記号で、文字の幅の中心に位置するもの(表1参照)。 例 横書きにおける中点類 ・:; 参考 縦書きの和文では、セミコロン";"を使用しない。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10722	B		二分アキ	にぶあき、にぶんあき		空き量を、全角アキの1/2とするもの。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10723	B		延ばし処理	のばししょり		行長が指定行長より小さいとき、字間を広げ、指定行長と同じにする処理。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10724	B		始め括弧類	はじめかっこるい		文章の中で、ある部分を囲んで他との区別を明らかにするための記号のうち、区切りの始まりを示すもの(表1参照)。 例 横書きにおける始め括弧類 ‘“(〔[｛〈《「『【	JIS X 4051	1995				2004/3			
10725	B		八分アキ	はちぶあき		空き量を、全角アキのの1/8とするもの。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10726	B		半角	はんかく		字幅が、全角の1/2である文字の外枠。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10727	B		ピッチ処理	ぴっちしょり		文字を個々の文字の固有の配置位置に応じて並べること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10728	B		表	ひょう		複数の項目を見やすいように二次元的に配置し、けい(罫)線で区切ったもの。けい線、こま(小間)及びこま内容から構成される。 備考 けい線を用いない表は、不可視という属性のけい線を用いているものと解釈する。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10729	B		表サイズ	ひょうさいず		表の高さ及び表の幅(図6参照)。 備考 表サイズには、表が置かれる用紙の大きさなどによる制限がある。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10730	B		不可分文字列	ふかぶんもじれつ		分割不可能な1単位として扱う1文字以上の文字の並び。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10731	B		分割	ぶんかつ		文字間で改行すること。割注処理においては、文字を次の割注行頭に移動すること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10732	B		分割可能点	ぶんかつかのうてん		分割点の候補となりうる文字の間。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10733	B		分割点	ぶんかつてん		禁則処理を満足するように分割を決定した文字の間。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10734	B		分離禁止処理	ぶんりきんししょり		分離禁止の文字の組を構成する文字間では分割しないように追込み又は追出しをする(分割禁止)とともに、延ばし処理によって行を調整するときには、分離禁止文字の組を構成する文字間を広げないように(分離禁止)して、文字を配列すること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10735	B		分離禁止文字	ぶんりきんしもじ		連続した同じ文字間では分割してはならず、延ばし処理によって行を調整する場合でも、連続した文字間を広げてはならない文字(表1参照)。 例 横書きにおける分離禁止文字 ―…… 参考 2倍ダッシュ及び2倍リーダは、それぞれダッシュ及びリーダを2文字続けて表す。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10736	B		分離禁止文字の組	ぶんりきんしもじのくみ		連続した同じ分離禁止文字の組、前置省略記号とその後ろに続く連数字との組、連数字とその後ろに続く後置省略記号との組、連数字とその後ろに続く欧文間隔以外の欧文用文字との組及び欧文間隔以外の欧文用文字とその後ろに続く連数字のこと。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10737	B		ベタ組	べたぐみ		字間を空けずに文字を配置すること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10738	B		文字サイズ	もじさいず		全角の外枠の高さ(図7参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10739	B		文字の高さ	もじのたかさ		文字の、字の向き方向の外枠の大きさ。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10740	B		文字の幅	もじのはば		文字の、字の向きに直角方向の外枠の大きさ。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10741	B		約物	やくもの		句点類、括弧類、中点類などの記述記号の総称。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10742	B		横書き	よこがき		各行の文字を文字の幅方向に並べる文字の配置。通常、左から右に並べる。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10743	B		こま余白	こまよはく		表のけい線とこま(小間)との間の空白領域。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10744	B		ルビ	るび		文字のそばにつけて文字の読み方、意味などを示す小さな文字。 例 文字	JIS X 4051	1995				2004/3			
10745	B		ルビかけ対象	るびかけたいしょう		ルビ文字列長が親文字列長より長い場合に、ルビ文字をかけて配置してもよい文字クラスの文字又は空量(表2参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10746	B		ルビかけ長	るびかけちょう		ルビかけ対象にかけて配置するルビ文字列の長さ。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10747	B		ルビ文字列長	るびもじれつちょう		ルビ文字列を指定のルビ文字列のサイズで、表2の空量を挿入する以外はベタ組で配置したときのルビ文字列の先頭から最後尾までの長さ(図1参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10748	B		連数字	れんすうじ		数字が一つ以上連続するもの。位取りのコンマ及び空白並びに小数点のピリオドを含む。 備考 和字として扱われる全角数字及び欧文用文字として扱われる固有の字幅をもつ数	JIS X 4051	1995				2004/3			
10749	B		和欧文混植処理	わおうぶんこんしょくしょり		和文と欧文が混在した文章からなる行を構成し、文字を配列すること。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10750	B		和字	わじ		和文を構成する漢字、仮名、数字、約物及びそのほかの記号。縦書きの場合、全角の数字を含む。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10751	B		和字間隔	わじかんかく		和字として扱われ、空量を表現する文字。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10752	B		和文	わぶん		和字で構成される文章であって、欧文を含まないもの。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10753	B		割注	わりちゅう		本文中で、複数行に割書きした注釈。割注には、割書きを囲む括弧類を含む。この規格では、2行の割書きだけを規定する(図8参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10754	B		割注行	わりちゅうぎょう		割書きした一つの行。横書きの場合は上から、縦書きの場合は、右から1行目、2行目と呼ぶ。指定行長に収まらず割注を行に分割した場合も、それぞれの行について1行目、2行目と呼ぶ(図8参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10755	B		割注行頭	わりちゅうぎょうとう		一つの割注行の始まる位置(図8参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10756	B		割注行末	わりちゅうぎょうまつ		一つの割注行の終わる位置(図8参照)。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10757	B		割注文字列	わりちゅうもじれつ		割注における注釈文全体。割書きを囲む括弧類は含まない。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10758	B		割注文字列長	わりちゅうもじれつちょう		割注文字列を指定の文字サイズで、表2の空量を挿入する以外はベタ組で配置したときの割注文字列の先頭から最後尾までの長さ。	JIS X 4051	1995				2004/3			
10759	A		合印	あいじるし		注と本文文字列などの該当項目とを対応させるために該当項目につける文字列。	JIS X 4051	2004							
10760	A		空き量	あきりょう		字間の値、行頭から行の先頭の文字までの間隔の値、行の最後尾の文字から行末までの間隔の値、仕上がり用紙サイズと版面の端との間隔の値、版面の端と柱・ノンブルの文字の外枠との間隔の値、隣りあう文字の外枠における行送り方向の間隔の値、文字の外枠と版面の端との行送り方向の間隔の値、文字の外枠とけい線の中心までの間隔の値又は文字の外枠とブロック類の端との間隔の値。	JIS X 4051	2004							
10761	A		追込み	おいこみ		禁則処理の一つの方法であって、字間を詰めて行中の文字数を多くすること。	JIS X 4051	2004							
10762	A		追出し	おいだし		禁則処理の一つの方法であって、字間を広げて行中の文字数を少なくすること。	JIS X 4051	2004							
10763	A		欧文	おうぶん		欧文用文字及び欧文間隔で構成される文章であって、横書きとし、欧文ピッチ処理の対象となるもの。	JIS X 4051	2004							
10764	A		欧文間隔	おうぶんかんかく		欧文の単語間の空きを表現する文字。	JIS X 4051	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10765	A		欧文用文字	おうぶんようもじ		欧文を書き表すときに主な構成要素となる表音文字(欧字)、数字及び記号(コンマ、ピリオド、コロン、セミコロンなど)。縦書きで用いる全角の欧字は、和字として扱う。	JIS X 4051	2004							
10766	A		送り仮名(漢文の)	おくりがな(かんぶんの)		漢文を訓読する場合に、漢字の読み方を示すために漢字に添える仮名。添え仮名、捨て仮名ともいう。通常、片仮名を用いる。ただし、送り仮名及び読み仮名の区別は指定によ	JIS X 4051	2004							
10767	A		親文字	おやもじ		ルビ、添え字又は圏点がつけられたとき、その対象となる文字。	JIS X 4051	2004							
10768	A		親文字群	おやもじぐん		親文字及びそれに付随するルビ、添え字又は圏点を含めた文字群。	JIS X 4051	2004							
10769	A		親文字列長	おやもじれつちょう		親文字列を指定の文字サイズで、表5の空き量を挿入する以外はベタ組で配置したときの、親文字列の先頭から最後尾までの長さ。	JIS X 4051	2004							
10770	A		終わり括弧類	おわりかっこるい		文章の中で、ある部分を囲んで他との区別を明らかにするための記号のうち、区切りの終わりを表すもの並びに文章の中の切れ目を表すコンマ“,”及び読点“、”(表4参照)。	JIS X 4051	2004							
10771	A		改行	かいぎょう		行を改めて、新しく組み始めること。	JIS X 4051	2004							
10772	A		改丁	かいちょう		見出しなどを、次の紙葉の表面(おもてめん)から新しく組み始めること。ノンブルは、奇数となる。縦書きの場合は左ページおこし、横書きの場合は右ページおこしのいずれかによる場合の総称。	JIS X 4051	2004							
10773	A		改丁・改ページ等	かいちょう・かいページなど		左・右ページにかかわらず改ページ、左ページおこし又は右ページおこしのいずれかによる場合の総称。	JIS X 4051	2004							
10774	A		囲み文字	かこみもじ		1文字の字面の内側に、別の文字列を配置し合成した文字。	JIS X 4051	2004							
10775	A		括弧類	かっこるい		始め括弧類及び終わり括弧類。	JIS X 4051	2004							
10776	A		かべ	かべ		多段組において、文章の行の流れを折り返すことになる段抜きの別行見出し。	JIS X 4051	2004							
10777	A		漢文二分アキ組	かんぶんにぶあきぐみ		漢文において、漢字の基本的な字間を二分アキとして文字を配置すること。	JIS X 4051	2004							
10778	A		漢文の漢字	かんぶんのかんじ		漢文における訓点を除く漢字。	JIS X 4051	2004							
10779	A		漢文ベタ組	かんぶんべたぐみ		漢文において、基本的に漢字の字間を空けずにに文字を配置すること。	JIS X 4051	2004							
10780	A		基底文字	きていもじ		結合文字に先行する非結合文字。	JIS X 4051	2004							
10781	A		基本版面	きほんはんめん、きほんはんづら		本の基本として設計される版面体裁。組方向、段数、文字サイズ、字詰め数、行数、行間及び段間で指定する。	JIS X 4051	2004							
10782	A		脚注	きゃくちゅう		基本版面が横書きの場合において、組版対象領域の下端に配置する注。	JIS X 4051	2004							
10783	A		行間	ぎょうかん		隣接する行の最も大きな文字サイズの文字の外枠間の距離。通常、行間は、行の幅の1/2～1倍となる(図2参照)。	JIS X 4051	2004							
10784	A		行長	ぎょうちょう		行頭から分割可能点までの長さ(図3参照)。	JIS X 4051	2004							
10785	A		行頭	ぎょうとう		一つの行の始まる位置(図4参照)。	JIS X 4051	2004							
10786	A		行頭禁則処理	ぎょうとうきんそくしょり		禁則条件上、行頭に位置してはならない文字(行頭禁則文字)が、行頭にこないように追込み又は追出しをすること。	JIS X 4051	2004							
10787	A		行頭禁則和字	ぎょうとうきんそくわじ		行頭禁則処理の対象になる和字(表4参照)。 例 横書きにおける行頭禁則和字　ゝゞ〻々ーぁぃぅぇぉっゃゅょゎァィゥェォッャュョヮヵケ	JIS X 4051	2004							
10788	A		行頭そろえ	ぎょうとうそろえ		文字列の最初の文字を行頭の位置にあわせること。	JIS X 4051	2004							
10789	A		行末	ぎょうまつ		一つの行の終わる位置(図4参照)。	JIS X 4051	2004							
10790	A		行末禁則処理	ぎょうまつきんそくしょり		禁則条件上、行末に位置してはならない文字(行末禁則文字)が、行末にこないように追込み又は追出しをすること。	JIS X 4051	2004							
10791	A		行末そろえ	ぎょうまつそろえ		文字列の最後の文字を行末の位置にあわせること。	JIS X 4051	2004							
10792	A		禁則条件	きんそくじょうけん		禁則文字が行頭若しくは行末に位置してはならないこと、または禁則文字の組を分割してはならないことの条件。	JIS X 4051	2004							
10793	A		禁則処理	きんそくしょり		禁則条件を満足するように文字の配置を決めること。	JIS X 4051	2004							
10794	A		禁則文字	きんそくもじ		行頭若しくは行末に位置してはならない文字、または分割してはならない文字の組を構成する文字。	JIS X 4051	2004							
10795	A		均等割り	きんとうわり		字間を均等に空け、文字列の両端を行頭と行末にそろえること。	JIS X 4051	2004							
10796	A		キャプション	きゃぷしょん		図・写真等又は表につける標題又は簡単な説明。	JIS X 4051	2004							
10797	A		区切り約物	くぎりやくもの		文章・語句の区切りに用いる約物で、行頭禁則処理の対象となる約物(表4参照)。	JIS X 4051	2004							
10798	A		句点類	くてんるい		文又は文章の終わりを示すもの(表4参照)。	JIS X 4051	2004							
10799	A		組版対象領域	くみはんたいしょうりょうい		1段組の版面及び多段組の1段の領域の総称。	JIS X 4051	2004							
10800	A		グループルビ	ぐるーぷるび		2文字以上の親文字列全体にまとめてつけたルビ。	JIS X 4051	2004							
10801	A		訓点	くんてん		漢文を訓読するために施した句点、読点、中点、括弧、返り点、送り仮名、読み仮名及びたて(竪)点の総称。	JIS X 4051	2004							
10802	A		けい(罫)線	けいせん		複数の項目を二次元的に区切るために用いるもの。横けい及び縦けいがある。けい線は、実線や破線などのけい線種、けい線の太さ、可視、不可視などのけい線属性をもつ。実線の主なけい線には、細い順に並べると、表(おもて)けい、中細(ちゅうぼそ)けい	JIS X 4051	2004							
10803	A		結合文字	けつごうもじ		基底文字の直後に続き、基底文字と組合わせること又はすでに合成した合成列と組合わせることを意図した図形文字。	JIS X 4051	2004							
10804	A		圏点	けんてん		文字のそばにつけて注意を促したり、その部分を強調したりするしるし。	JIS X 4051	2004							
10805	A		合成列(結合文字の)	ごうせいれつ(けつごうもじの)		基底文字とそれに続く一つ以上の結合文字とからなる図形文字の列。	JIS X 4051	2004							
10806	A		後注	こうちゅう		大見出し、中見出し若しくは小見出しでくくられた内容の最後、段落の後、又は本文の最後にまとめて配置する注。	JIS X 4051	2004							
10807	A		小口	こぐち		のどに対向する方向。	JIS X 4051	2004							
10808	A		こま(小間)	こま		隣り合う2本の横けいと隣り合う2本の縦けいに囲まれた領域からこま余白部分を除いた領域。隣接する複数のこまを合成して一つのこまとして用いることもある。	JIS X 4051	2004							
10809	A		こま内容	こまないよう		表のこまの中に表示されるもの。	JIS X 4051	2004							
10810	A		こま余白	こまよはく		表のけい線とこまとの間の空白領域。	JIS X 4051	2004							
10811	A		三分アキ	さんぶあき、さんぶんあき		空き量を、全角アキの1/3とするもの。	JIS X 4051	2004							
10812	A		三分ルビ	さんぶるび		全角の字幅に3文字のルビをつけるためのルビ。縦書きの三分ルビの場合、ルビ文字の文字の高さは親文字の1/3となるが、ルビ文字の文字の幅は親文字の1/2となる。横書きの三分ルビの場合、ルビ文字の文字の幅は親文字の1/3となるが、ルビ文字の高さは親	JIS X 4051	2004							
10813	A		字上げ	じあげ		行末の位置を行頭方向に移すこと。	JIS X 4051	2004							
10814	A		字間	じかん		同一行の隣接する二つの文字の外枠の間隔(図5参照)。	JIS X 4051	2004							
10815	A		字下げ	じさげ		行頭の位置を行末方向に移すこと。	JIS X 4051	2004							
10816	A		字面	じづら		文字の図形の、空白を含まない実際の印字又は表示される領域。	JIS X 4051	2004							
10817	A		指定行長	していぎょうちょう		行頭から行末までの長さ(図3参照)。	JIS X 4051	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10818	A		字幅	じはば		文字を配列する方向の外枠の寸法。	JIS X 4051	2004							
10819	A		四分アキ	しぶあき、しぶんあき		空き量を、全角アキの1/4とするもの。	JIS X 4051	2004							
10820	A		四分角	しぶかく、しぶんかく		字幅が、全角アキの1/4である文字の外枠。	JIS X 4051	2004							
10821	A		熟語ルビ	じゅくごるび		モノルビがつく親文字群が熟語を構成するルビ。	JIS X 4051	2004							
10822	A		省略記号	しょうりゃくきごう		角度、通貨などを表す記号。連数字の直前に表記する前置(ぜんち)省略記号及び連数字の直後に表記する後置(こうち)省略記号がある(表4参照)。 例1. 横書きにおける前置省略記号 ￥$£€ 例2. 横書きにおける後置省略記号 ° ′ ″ % ‰ ¢ ℃ 参考 “A”及び“ð”を除外したJIS X 0213における単位記号、及び片仮名単位字を含む全角単位字は、この規格では省略記号として扱う。 例 縦書きの片仮名単位字 ㌔。	JIS X 4051	2004							
10823	A		白ページ	しろページ		何も表示しないページ。	JIS X 4051	2004							
10824	A		絶対位置指定	ぜったいいちしてい		ブロック類の指定が出現した版面又は見開きを単位とする領域からの絶対的な位置を配置位置基準とする、ブロック類の配置位置指定方法。	JIS X 4051	2004							
10825	A		全角	ぜんかく		漢字1文字分の外枠。欧文の組版ではエム(em)ともいう。	JIS X 4051	2004							
10826	A		全角アキ	ぜんかくあき		空き量を、対応する文字の全角の字幅とするもの。ただし、対応する文字は、表5による。	JIS X 4051	2004							
10827	A		相対位置指定	そうたいいちしてい		ブロック類の指定が本文段落などの流れとともに出現した行を配置位置指定基準とし、行送り方向の分割を不可とする、ブロック類の配置位置指定方法。	JIS X 4051	2004							
10828	A		添え字	そえじ		文字のそばにつける上付き文字又は下つき文字。	JIS X 4051	2004							
10829	A		外枠文字	そとわくもじ		囲み文字の囲みを構成する文字。	JIS X 4051	2004							
10830	A		そろえ	そろえ		1行の文字列の位置を指定した位置に合わせること。	JIS X 4051	2004							
10831	A		裁ち代寸法	たちしろすんぽう		仕上がり用紙サイズに合わせて裁断される際に、切り落とされる部分の寸法。	JIS X 4051	2004							
10832	A		縦書き	たてがき		各行の文字を文字の高さ方向に並べる文字の配置。通常、上から下に縦に並べる。	JIS X 4051	2004							
10833	A		縦中横	たてちゅうよこ		縦書きの行中で、縦書きの字の向きのまま横書きにすること。	JIS X 4051	2004							
10834	A		たて(竪)点	たててん		漢文を訓読する場合に、熟語として読むことを示すために熟語の字間に挿入する符号。連続符、音合符、訓合符、連字符、熟字符、合符ともいう。	JIS X 4051	2004							
10835	A		タブ(tab)処理	たぶ(tab)しょり		行中の指定された位置に、文字列を合わせて配置すること。	JIS X 4051	2004							
10836	A		タブ処理対象文字列	たぶしょりたいしょうもじれ		タブ記号とタブ記号との間にある文字列又はタブ記号と改行までの間にある文字列。	JIS X 4051	2004							
10837	A		タブ処理対象文字列長	たぶしょりたいしょうもじれつちょう		タブ処理対象文字列を指定の文字サイズで、表5の空き量を挿入する以外は、ベタ組で配置したときのタブ処理対象文字列の先頭から最後尾までの長さ。	JIS X 4051	2004							
10838	A		単位記号	たんいきごう		距離、時間などをはかる基準となる量を表す“°”、“′”、“″”及び“℃”を除外したJIS X 0208に含まれる単位記号、並びに“Å”及び“ð”。通常、連数字の直後に表記する。	JIS X 4051	2004							
10839	A		段抜き	だんぬき		多段組において一つの見出しを複数の段にわたって配置すること。	JIS X 4051	2004							
10840	A		段落	だんらく		行組版処理の処理単位となる一つ以上の文の集まり。段落は、1行又は連続した複数の行からなる。	JIS X 4051	2004							
10841	A		段落字下げ	だんらくじさげ		段落先頭行の行頭を空けること。	JIS X 4051	2004							
10842	A		段落整形処理	だんらくせいけいしょり		段落字下げ、字下げ及び字上げに従って文字を配列すること。インデント(indent)ともいう。	JIS X 4051	2004							
10843	A		段落末尾処理	だんらくまつびしょり		段落の最終行の文字が、ある文字数未満になることを避けるための処理。文字ウィドウ(character widow)処理とも言う。	JIS X 4051	2004							
10844	A		中央そろえ	ちゅうおうそろえ		文字列の中央を、行頭と行末との中央の位置に合わせること。	JIS X 4051	2004							
10845	A		注記	ちゅうき		図・写真等又は表につけるキャプション以外の説明、凡例、出典等。	JIS X 4051	2004							
10846	A		詰め処理	つめしょり		行長が指定行長より大きいとき、字間を詰め、指定行長と同じにする処理。	JIS X 4051	2004							
10847	A		内部文字	ないぶもじ		囲み文字の内部を構成する文字列。	JIS X 4051	2004							
10848	A		中点類	なかてんるい		文章・語句の区切りに用いる記号で、文字の幅の中心に位置するもの(表4参照)。	JIS X 4051	2004							
10849	A		中扉	なかとびら		書籍の内容が大きく区分される場合に、その内容の区切りを明らかにするために本文中に挿入する、標題などを掲げたページ。	JIS X 4051	2004							
10850	A		2倍アキ	2ばいあき		空き量を、全角アキの2倍とするもの。1.5倍アキは、全角アキの1.5倍、3倍アキは、全角アキの3倍、以下4倍アキ、5倍アキ等も同様とする。	JIS X 4051	2004							
10851	A		二分アキ	にぶあき、にぶんあき		空き量を、全角アキの1/2とするもの。	JIS X 4051	2004							
10852	A		二分四分アキ	にぶしぶあき		空き量を、全角アキの3/4とするもの。	JIS X 4051	2004							
10853	A		延ばし処理	のばししょり		行長が指定行長より短い場合、字間を広げ、行長を指定行長と同じにする処理。	JIS X 4051	2004							
10854	A		ノンブル	のんぶる		本のページの順番を示す番号。	JIS X 4051	2004							
10855	A		ハイフン類	はいふんるい		語句のつなぎ又は数値等の範囲を示すために用いる約物で、行頭禁則処理の対象となる約物(表4参照)。	JIS X 4051	2004							
10856	A		始め括弧類	はじめかっこるい		文章の中で、ある部分を囲んで他との区別を明らかにするための記号のうち、区切りの始まりを示すもの(表1参照)。	JIS X 4051	2004							
10857	A		柱	はしら		本の各ページの版面周辺の余白に書名・見出しなどを記載したもの。	JIS X 4051	2004							
10858	A		八分アキ	はちぶあき		空き量を、全角アキのの1/8とするもの。	JIS X 4051	2004							
10859	A		半角	はんかく		字幅が、全角の1/2である文字の外枠。欧文の組版ではエン(en)ともいう。	JIS X 4051	2004							
10860	A		左とじ(綴じ)	ひだりとじ		書籍、雑誌、小冊子などの印刷物の表(おもて)表紙又は1ページを表(おもて)にし、主要な文字の天地左右が読者の目から見た天地左右の方向と一致するように置かれた場合に、とじ目が読者の目から見て左側となり、ページを右側から左側方向に開いていくとじ方。左開き(ひだりあき、ひだりびらき)ともいう。左とじの場合、見開きでは、左側のページは必ず小さいノンブル(偶数)、右側のページは必ず大きいノンブル(奇数)となる。	JIS X 4051	2004							
10861	A		ピッチ処理	ぴっちしょり		文字を個々の文字の固有の配置位置に応じて並べること。	JIS X 4051	2004							
10862	A		表	ひょう		複数の項目を見やすいように二次元的に配置し、けい線で区切ったもの。表は、表全体、キャプション及び注記を含む。	JIS X 4051	2004							
10863	A		不可分文字列	ふかぶんもじれつ		分割不可能な1単位として扱う1文字以上の文字の並び。	JIS X 4051	2004							
10864	A		副題	ふくだい		見出しにつける副次的な標題。サブタイトルともいう。	JIS X 4051	2004							
10865	A		ブロック類	ぶろっくるい		図・写真等のブロック及び表のブロックの総称。	JIS X 4051	2004							
10866	A		分割	ぶんかつ		文字間で改行すること。割注処理においては、文字を次の割注行頭に移動すること。表処理では、表の行又は表の列を単位として、一つの表を二つの表に分けること。	JIS X 4051	2004							
10867	A		分割可能点	ぶんかつかのうてん		分割点の候補となりうる文字の間。	JIS X 4051	2004							
10868	A		分割点	ぶんかつてん		禁則処理を満足するように分割を決定した文字の間。	JIS X 4051	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10869	A		分離禁止処理	ぶんりきんししょり		分離禁止文字の組を構成する文字間では分割しないように追込み又は追出しをする(分割禁止)とともに、延ばし処理によって行を調整するときには、分離禁止文字の組を構成する文字間を広げないように(分離禁止)して、文字を配列すること。	JIS X 4051	2004							
10870	A		分離禁止文字	ぶんりきんしもじ		連続した同じ文字間では分割してはならず、延ばし処理によって行を調整する場合でも、連続した文字間を広げてはならない文字(表4参照)。	JIS X 4051	2004							
10871	A		分離禁止文字の組	ぶんりきんしもじのくみ		連続した同じ分離禁止文字の組、前置省略記号とその後ろに続く連数字との組、連数字とその後ろに続く後置省略記号との組、連数字とその後ろに続く欧文間隔以外の欧文用文字との組及び欧文間隔以外の欧文用文字とその後ろに続く連数字のこと。	JIS X 4051	2004							
10872	A		ベタ組	べたぐみ		字間を空けずに文字を配置すること。	JIS X 4051	2004							
10873	A		別行見出し	べつぎょうみだし		独立した行として配置する見出し。	JIS X 4051	2004							
10874	A		傍注	ぼうちゅう		基本版面が縦書きの場合において、通常、見開きを一つの単位として、奇数ページの基本版面の左端に接して配置する注。	JIS X 4051	2004							
10875	A		本文	ほんぶん、ほんもん		書籍を構成する主要部分。通常、その前には前付がつき、その後ろには後付がつく。	JIS X 4051	2004							
10876	A		本文文字列	ほんぶんもじれつ		見出し、中扉、表、図・写真等を除外した、通常の文字列。	JIS X 4051	2004							
10877	A		窓見出し	まどみだし		見出しだけで一行を構成することなく、見出しの次に2行又は3行の本文文字列を続ける	JIS X 4051	2004							
10878	A		回り込み	まわりこみ		組版対象領域に配置したブロック類を避けて、片側に本文文字列、小見出しなどを配置すること。	JIS X 4051	2004							
10879	A		右とじ(綴じ)	みぎとじ		書籍、雑誌、小冊子などの印刷物の表(おもて)表紙又は1ページを表(おもて)にし、主要な文字の天地左右が読者の目から見た天地左右の方向と一致するように置かれた場合に、とじ目が読者の目から見て右側となり、ページを左側から右側方向に開いていくとじ方。右開き(みぎあき、みぎびらき)ともいう。右とじの場合、見開きでは、右側のページは必ず小さいノンブル(偶数)、左側のページは必ず大きいノンブル(奇数)となる。	JIS X 4051	2004							
10880	A		見出し	みだし		書籍・雑誌などで、内容を区分するまとまりにつける標題。上位のレベルから、中扉、大見出し(おおみだし)、中見出し(なかみだし)及び小見出し(こみだし)がある。大見出し及び中見出しは、別行見出しであるが、小見出しには、別行見出し、同行見出し及び窓見	JIS X 4051	2004							
10881	A		見開き	みひらき		本を開いたときの左右両方のページを併せていう。	JIS X 4051	2004							
10882	A		文字サイズ	もじさいず		全角の外枠の高さ(図6参照)。	JIS X 4051	2004							
10883	A		文字の高さ	もじのたかさ		文字の、字の向き方向の外枠の大きさ(図6参照)。	JIS X 4051	2004							
10884	A		文字の幅	もじのはば		文字の、字の向きに直角方向の外枠の大きさ(図6参照)。	JIS X 4051	2004							
10885	A		モノルビ	ものるび		親文字列の1文字ごとに対応させたルビ。	JIS X 4051	2004							
10886	A		約物	やくもの		句点類、括弧類、中点類などの記述記号の総称。	JIS X 4051	2004							
10887	A		横書き	よこがき		各行の文字を文字の幅方向に並べる文字の配置。通常、左から右に並べる。	JIS X 4051	2004							
10888	A		読み仮名(漢文の)	よみかな(かんぶんの)		漢文を訓読する場合に、漢字そのものの読みを示すために漢字につける仮名。通常、平仮名を用いるが、片仮名を用いる場合もある。	JIS X 4051	2004							
10889	A		ラベル名	らべるめい		図番号・表番号・見出し番号及び柱番号において、それぞれの番号の前及び/又は後ろにつける文字列。	JIS X 4051	2004							
10890	A		ルビ	るび		文字のそばにつけて文字の読み方、意味などを示す小さな文字。	JIS X 4051	2004							
10891	A		ルビかけ対象	るびかけたいしょう		ルビ文字列長が親文字列長より長い場合に、ルビ文字をかけて配置してもよい文字クラスの文字又は空量(表5参照)。	JIS X 4051	2004							
10892	A		ルビかけ長	るびかけちょう		ルビかけ対象にかけて配置するルビ文字列の長さ。	JIS X 4051	2004							
10893	A		ルビ文字列長	るびもじれつちょう		ルビ文字列を指定のルビ文字列のサイズで、表5の空き量を挿入する以外はベタ組で配置したときのルビ文字列の先頭から最後尾までの長さ(図1参照)。	JIS X 4051	2004							
10894	A		連数字	れんすうじ		数字が一つ以上連続するもの。位取りのコンマ及び空白並びに小数点のピリオドを含	JIS X 4051	2004							
10895	A		連続位置指定	れんぞくいちしてい		表のブロックの指定が本文段落などの流れとともに出現した行を配置位置基準とし、行送り方向の分割も可とする、表のブロックの配置位置指定方法。	JIS X 4051	2004							
10896	A		和欧文混植処理	わおうぶんこんしょくしょり		和文と欧文が混在した文章からなる行を構成し、文字を配列すること。	JIS X 4051	2004							
10897	A		和字	わじ		和文を構成する漢字、仮名、数字、約物及びそのほかの記号。縦書きの場合、全角の欧字を含む。	JIS X 4051	2004							
10898	A		和字間隔	わじかんかく		和字として扱われ、空き量を表現する文字。	JIS X 4051	2004							
10899	A		和文	わぶん		和字で構成される文章であって、欧文を含まないもの。	JIS X 4051	2004							
10900	A		割注	わりちゅう		本文中で、複数行に割書きした注釈。割注には、割書きを囲む括弧類を含む。この規格では、2行の割書きだけを規定する(図7参照)。	JIS X 4051	2004							
10901	A		割注行	わりちゅうぎょう		割書きした一つの行。横書きの場合は上から、縦書きの場合は、右から1行目、2行目と呼ぶ。指定行長に収まらず割注を行に分割した場合も、それぞれの行について1行目、2行目と呼ぶ(図7参照)。	JIS X 4051	2004							
10902	A		割注行頭	わりちゅうぎょうとう		一つの割注行の始まる位置(図8参照)。	JIS X 4051	2004							
10903	A		割注行末	わりちゅうぎょうまつ		一つの割注行の終わる位置(図8参照)。	JIS X 4051	2004							
10904	A		割注文字列	わりちゅうもじれつ		割注における注釈文全体。割書きを囲む括弧類は含まない。	JIS X 4051	2004							
10905	A		割注文字列長	わりちゅうもじれつちょう		割注文字列を指定の文字サイズで、表5の空き量を挿入する以外はベタ組で配置したときの割注文字列の先頭から最後尾までの長さ。	JIS X 4051	2004							
10906	A		ウェイト	うぇいと		書体の線の太さの変化をあらわす量で、この規格では、欧文書体の属性としてのみ指定可能とする。	JIS X 4052	2004							
10907	A		欧文ベースライン	おうぶんべーすらいん		欧文用文字を並べる基準線。並び線ともいう。	JIS X 4052	2004							
10908	A		改段	かいだん		段組で段の途中にも関わらず、次の見出しなどを新しい段の始めから組むこと。	JIS X 4052	2004							
10909	A		改ページ	かいぺーじ		奇数ページ・偶数ページに関わらず、ページの途中であっても次の見出しなどを次のページから新しく組み始めること。	JIS X 4052	2004							
10910	A		箇条書き	かじょうがき		順序付き、又は順序を明示することなく項目を列挙する書き方。	JIS X 4052	2004							
10911	A		行送り方向	ぎょうおくりほうこう		一つの行が次の行へと続く方向。行の進行は、横書きでは版面の上から下、縦書きでは右から左とする。	JIS X 4052	2004							
10912	A		行の幅	ぎょうのはば		行中の最も大きな文字サイズの文字の外枠の寸法。横書きでは文字の高さ、縦書きでは文字の幅となる。	JIS X 4052	2004							
10913	A		具体字形	ぐたいじけい		具体的な形態をもって実現した文字の個々の形。	JIS X 4052	2004							
10914	A		組版	くみはん		文字の連なりを空間的に配置することによって、孤立した文字だけでは困難な表現を行うプロセスの総称。原稿とレイアウトの指定に基づいて、印刷物や電子出版物の上での文字の組み方を決めること。	JIS X 4052	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10915	A		組方向	くみほうこう		縦書き又は横書き。	JIS X 4052	2004							
10916	A		クラス	くらす		一つの種類の組版対象要素の部分集合。	JIS X 4052	2004							
10917	A		こま行均等割り	こまぎょうきんとうわり		こま内容の先頭行をこま頭に、こま内容の最終行をこま末にそろえ、行間を均等に空けて、こま内容全体を配置する方法。こま内容が1行だけの場合は、こま頭側とこま末側を均等に空けて、こま内容をこまの中央に配置する。	JIS X 4052	2004							
10918	A		こま中央行そろえ	こまちゅうおうぎょうそろえ		こま頭側とこま末側を均等に空けて、こま内容全体をこまの中央に配置する方法。	JIS X 4052	2004							
10919	A		こま頭行そろえ	こまとうぎょうそろえ		こま内容の先頭行がこま頭にそろうように、こま末側を空けてこま内容を配置する方法。	JIS X 4052	2004							
10920	A		こま末行そろえ	こままつぎょうそろえ		こま内容の最終行がこま末にそろうように、こま頭側を空けてこま内容全体を配置する方	JIS X 4052	2004							
10921	A		字詰め方向	じづめほうこう		1行の中で、一つの文字から次の文字へと続く方向。	JIS X 4052	2004							
10922	A		書体	しょたい		起筆・終筆・縦横線の太さの割合などに、共通の特徴を持つ一群の文字に対して体裁の名前を与えたもの。	JIS X 4052	2004							
10923	A		スタイルシート	すたいるしーと		文書中の各要素に対して組版指定をまとめて記述したもの。この規格では、特に5.2.2 b)に規定する方法で記述されたものを指す。	JIS X 4052	2004							
10924	A		スラント	すらんと		文字の字形を操作して文字を傾けること。この規格では、6.2 b)4)に掲げる変形についての指定だけを規定する。	JIS X 4052	2004							
10925	A		段間	だんかん		段組の段と段との間の空き。	JIS X 4052	2004							
10926	A		段間けい(罫)	だんかんけい		段組の段と段との間にひけい(罫)線。	JIS X 4052	2004							
10927	A		段組	だんぐみ		連続する1系列の文章を1ページの中で二つ以上の段に分けて組む方法を指す。2系列以上の文章を平行して組む場合には段組についての指定は適用しない。	JIS X 4052	2004							
10928	A		地	ち		紙を目の前に置いたとき、紙面上での紙の下端の方向。	JIS X 4052	2004							
10929	A		天	てん		紙を目の前に置いたとき、紙面上での紙の上端の方向。	JIS X 4052	2004							
10930	A		同行見出し	どうぎょうみだし		見出しの次に改行を入れることなく、文章を続けるもの。吊り見出しともいう。	JIS X 4052	2004							
10931	A		トップセンタ	とっぷせんた		縦書きの場合は、文字の外枠又は具体字形ボディーの天中央、横書きの場合は、文字の外枠又は具体字形ボディーの左端中央にとる文字の基準点の位置。	JIS X 4052	2004							
10932	A		のど	のど		本を広げたとき、中央のとじ目がある方向。	JIS X 4052	2004							
10933	A		版面	はんめん、はんづら		本の1ページ内の、周囲の余白を除いた部分の印刷面。この規格では、柱、ノンブル(ページ番号)は版面に含めない。	JIS X 4052	2004							
10934	A		本文段落	ほんぶんだんらく		段落のうち、見出し及び箇条書きに該当しないもの。	JIS X 4052	2004							
10935	A		文字の正立方向	もじのせいりつほうこう		文字の天地左右が読者の目から見た天地左右の方向と一致するように置かれたときに文字が向いている方向。	JIS X 4052	2004							
10936	A		文字の並びの縦軸	もじのならびのたてじく		文字の正立方向における天地軸に平行な直線を縦軸とする。縦軸は文字の正立方向に対して地方向を正、天方向を負とする。	JIS X 4052	2004							
10937	A		文字の並びの横軸	もじのならびのよこじく		文字の正立方向における左右軸に平行な直線を横軸とする。横軸は文字の正立方向に対して右方向を正、左方向を負とする。	JIS X 4052	2004							
10938	A		和字扱い	わじあつかい		縦書きにおいて欧文用文字を1字1字文字の並びの縦軸に沿って正立方向に配置するこ	JIS X 4052	2004							
10939	A		順序	じゅんじょ		二つの項目についての前、後ろ又は同順位の関係。	JIS X 4061	1996							
10940	A		整列	せいれつ		すべての要素に順番を与えること。	JIS X 4061	1996							
10941	A		照合順番	しょうごうじゅんばん		照合方法に基づいて決めたレコードの順番。	JIS X 4061	1996							
10942	A		照合する	しょうごうする		照合順番を決めること。	JIS X 4061	1996							
10943	A		照合キー	しょうごうきー		照合順番を決めるための直接の評価の対象となる文字列。	JIS X 4061	1996							
10944	A		照合規則	しょうごうきそく		二つの文字列を評価して、その順序を結果として返す手続。	JIS X 4061	1996							
10945	A		照合方法	しょうごうほうほう		ﾚｺｰﾄﾞ中の読み列、表記列など、一つ以上の文字列を照合キーとして、照合規則を適用し、レコードの順番を決定する手続。	JIS X 4061	1996							
10946	A		照合属性	しょうごうぞくせい		文字列の順序を評価するために用いる文字の属性。	JIS X 4061	1996							
10947	A		基底文字	きていもじ		文字集合の各文字に対して、その文字集合の中からあらかじめ定める文字。	JIS X 4061	1996							
10948	A		基底文字列	きていもじれつ		文字列の各文字を対応する基底文字に置き換えて生成した文字列。	JIS X 4061	1996							
10949	A		文字クラス	もじくらす		文字集合の部分集合。	JIS X 4061	1996							
10950	A		表記列	ひょうきれつ		表記に用いられる文字列そのもの。	JIS X 4061	1996							
10951	A		読み列	よみれつ		表記列とは別に専ら照合キーとして与えられる文字列。	JIS X 4061	1996							
10952	A		分節	ぶんせつ		代表読み照合において、代表読みを決めることができるように表記列と読み列を相互に対応させて区切ること、又はそのように区切られた、表記列及び読み列の部分文字列。	JIS X 4061	1996							
10953	A		熟字訓	じゅくじくん		2字以上からなる表記列であって、与えられる読み列を表記列との対応を保ちつつ分節する場合に、それより短く分節できないもの。	JIS X 4061	1996							
10954	A		代表読み	だいひょうよみ		分節の表記列とそれに対応する読み列の先頭字とから一意に決まる文字列であって、照合キーとして用いられるもの。	JIS X 4061	1996							
10955	A		代表読み辞書	だいひょうよみじしょ		与えられた分節の表記列及び読み列の先頭字に対して代表読みを与える対照表。	JIS X 4061	1996							
10956	A		仮名漢字変換	かなかんじへんかん		入力された文字列を、辞書を参照して対応する日本語文字列に変換すること。	JIS X 4062	1998							
10957	A		仮名漢字変換システム	かなかんじへんかんしす		仮名漢字変換を行うシステム。	JIS X 4062	1998							
10958	A		辞書	じしょ		仮名漢字変換の際に参照する単語の集まり。	JIS X 4062	1998							
10959	A		単語	たんご		よみ文字列、表記文字列、変換用品詞からなる論理的な組。	JIS X 4062	1998							
10960	A		よみ文字列	よみもじれつ		仮名漢字変換における、単語の読みとなる文字列。	JIS X 4062	1998							
10961	A		表記文字列	ひょうきもじれつ		仮名漢字変換における、単語の表記となる文字列。	JIS X 4062	1998							
10962	A		変換用品詞	へんかんようひんし		仮名漢字変換を行うための単語の文法的なふるまいを表す識別情報。	JIS X 4062	1998							
10963	A		変換用品詞名	へんかんようひんしめい		変換用品詞を特定する文字列。	JIS X 4062	1998							
10964	A		交換	こうかん		交換用ファイルを作成又は入手し、その交換用ファイル中の単語を、個々の仮名漢字変換システムに対して登録又は削除すること。	JIS X 4062	1998							
10965	A		交換用ファイル	こうかんようふぁいる		様々な仮名漢字変換システムに対して登録又は削除する単語を一覧にしたファイル。	JIS X 4062	1998							
10966	A		交換用ファイル入力システム	こうかんようふぁいるにゅうりょくしすてむ		交換用ファイルを用いて、個々の仮名漢字変換システムに対して単語の登録又は削除を行うシステム。	JIS X 4062	1998							
10967	A		交換用ファイル出力システム	こうかんようふぁいるしゅつりょくしすてむ		個々の仮名漢字変換システムから交換用ファイルを作成するシステム。	JIS X 4062	1998							
10968	A		登録	とうろく		仮名漢字変換したときに、交換用ファイルにある単語が候補にあがるようにすること。	JIS X 4062	1998							
10969	A		削除	さくじょ		仮名漢字変換したときに、交換用ファイルにある単語が、この規格で定義する条件をすべて満たした場合に、候補にあがらないように工夫すること。	JIS X 4062	1998							
10970	A		仮名漢字変換	かなかんじへんかん		入力された文字列を、辞書を参照して対応する日本語文字列に変換すること。	JIS X 4063	2000							
10971	A		子音字	しいんじ		b、c、d、f、g、h、j、k、l、m、n、p、q、r、s、t、v、w、x、y、z。	JIS X 4063	2000							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
10972	A		母音字	ぼいんじ		a、e、i、o、u。	JIS X 4063	2000							
10973	A		よみ文字列	よみもじれつ		仮名漢字変換における、単語の読みとなる文字列。	JIS X 4063	2000							
10974	A		操作単位	そうさたんい		入力バッファに対する、入力・削除・移動の最小単位。この規格では、どういう変換の際にどういう文字列が操作単位となるかは、規定しない。 参考 例えば、ローマ字変換によって“kya”が“きゃ”に変換された場合、“きゃ”全体を1操作単位とする処理系や、“き”と“ゃ”それぞれを1操作単位とする処理系があり得る。また、“issho”が“いっしょ”に変換された場合、“い”“っ”“しょ”それぞれを1操作単位とする処理系や、“い”“っしょ”それぞれを1操作単位とする処理系がありうる。	JIS X 4064	2002							
10975	A		応用プログラム	おうようぷろぐらむ		仮名漢字変換システムを介して、利用者からの文字入力データを要求するソフトウェアの	JIS X 4064	2002							
10976	A		カーソル	かーそる		表示画面上で利用者が文字入力を行う位置を示す印。視覚的な外形を持つ。	JIS X 4064	2002							
10977	A		キー入力	きーにゅうりょく		カーソルでガイドされる入力位置に打鍵作業によって文字を入力すること。	JIS X 4064	2002							
10978	A		ローマ字仮名変換	ろーまじかなへんかん		英字及び記号の列をローマ字綴りと見なしてかな文字列に変換すること。	JIS X 4064	2002							
10979	A		ローマ字入力方式	ろーまじにゅうりょくほうしき		利用者のキー入力をローマ字キーボードからの入力と見なし、仮名漢字変換システムに与える方式。	JIS X 4064	2002							
10980	A		仮名漢字変換システム	かなかんじへんかんしすてむ		利用者のキー入力を漢字・平仮名・カタカナ・英数字・記号類を含む仮名漢字交じり文へ、利用者を補助して、変換するシステム。仮名漢字変換システムは、応用プログラムから制御することができる。	JIS X 4064	2002							
10981	A		仮名入力方式	かなにゅうりょくほうしき		利用者のキー入力を仮名キーボードからの入力と見なし、仮名漢字変換システムに与える方式。	JIS X 4064	2002							
10982	A		確定	かくてい		利用者が仮名漢字変換システムによって入力した文字列を応用プログラムに渡す動作。	JIS X 4064	2002							
10983	A		注目文節	ちゅうもくぶんせつ		仮名漢字変換システムが行う処理の対象になっている文節。	JIS X 4064	2002							
10984	A		文節	ぶんせつ		仮名漢字変換機能による変換の結果として区切られる文字列の1単位。	JIS X 4064	2002							
10985	A		文節カーソル	ぶんせつかーそる		仮名漢字変換システムが行う処理の対象になっている文節を他の文節と区別して示す印。視覚的な外形を持つ。	JIS X 4064	2002							
10986	A		入力バッファ	にゅうりょくばっふぁ		利用者が仮名漢字変換システムに対して行うキー入力を蓄積する記憶領域。	JIS X 4064	2002							
10987	A		入力モード	にゅうりょくもーど		利用者からのキー入力を仮名漢字変換システムが、返還前の文字列として、即座に利用者に提示する際の文字種。利用者からは、入力モードで指定した文字種をそのまま入力したかの用に見える。 入力モードには、平仮名入力モード・片仮名入力モード及び英数字入力モードがある。	JIS X 4064	2002							
10988	A		入力方式	にゅうりょくほうしき		利用者が仮名漢字変換システムに文字をキーボードから入力する方式。入力方式には、仮名漢字入力方式とローマ字入力方式がある。	JIS X 4064	2002							
10989	A		入力文字列	にゅうりょくもじれつ		文字入力機能により入力される文字の列。	JIS X 4064	2002							
10990	A		変換候補	へんかんこうほ		同一の読みから変換され得る複数の語。	JIS X 4064	2002							
10991	A		文字コード	もじこーど		文字に割り当てられた番号。	JIS X 4064	2002							
10992	A		文字種	もじしゅ		グループ分けした文字の集合に付けられた名。	JIS X 4064	2002							
10993	A		論理キー	ろんりきー		仮想的なインタフェース・キーで、仮名漢字変換システムが備える機能の実行を指示するために利用する。この指示は、論理キーを物理キーに対応させ利用者が直接物理キーの押下によって行うことのほか、応用プログラムから行ってもよい。各論理キーの名前は物理デバイスとしてのキーボード上のキーを想定するものではない。 この規格で参照する物理キーは、“漢字キー”“片仮名キー”“平仮名キー”“英数キー”“ローマ字キー”“変換キー”“無変換キー”“コード変換キー”“後退キー”“抹消キー”“エスケープキー”“先頭キー”“末尾キー”“確定キー”“前候補キー”“次候補キー”“候補選択キー”“空白入力キー”“左矢印キー”“右矢印キー”“下矢印キー”“文字キー”“機能キー”“シフトキー”及び“制御キー”とする。 ただし、“文字キー”及び“機能キー”は、説明の煩雑さを避けるため、個々に名称を定義しない、複数の論理キーの総称である。“文字キー”はキー入力として有効なすべての論理キーに対応し、“機能キー”はその他の機能のための論理キーに対応する。 一つのキーを複数の物理キーの組合せに対応させてもよく、複数の論理キーの組合せを一つの物理キーに対応させてもよい。 各論理キーは、仮名漢字変換システムの動作状況によって異なる物理キーに割り当ててもよい。 備考 この規格の附属書2(参考)に、この規格で規定する仮名漢字変換システムの基本機能と国内で複数の企業によって実装されているキーボードとの対応を示す。	JIS X 4064	2002							
10994	B		書籍	しょせき		この規格に従って、電子出版される一まとまりの内容。CD-ROMなどの媒体には、この一まとまりが複数個存在する場合がある。	JIS X 4081	1996				2002/2			
10995	B		登録書籍名管理ファイル	とうろくしょせきめいかんりふぁいる		媒体に記録する全書籍に関する管理情報を格納するファイル。	JIS X 4081	1996				2002/2			
10996	B		書籍ファイル	しょせきふぁいる		各種検索方法を含めた書籍全体を管理する情報及び書籍データ本体を格納するデータ群。書籍データ本体、検索方法に関する指標を含め、各検索インデックスの存在位置情報、本文の位置情報、図版データ位置情報及び書籍定義文字パターン位置情報からな	JIS X 4081	1996				2002/2			
10997	B		バイト	ばいと		8ビットからなるビット列。	JIS X 4081	1996				2002/2			
10998	B		ブロック	ぶろっく		ファイルをファイルの先頭から2048バイトずつに分割した1区画。	JIS X 4081	1996				2002/2			
10999	B		ブロック番号	ぶろっくばんごう		ファイルの先頭のブロックを1として、各ブロックに順につけた番号。各ブロックの位置を示すために用いる。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11000	B		2進化10進数	2しんか10しんすう		4ビットを10進数の1けたとして表す数値表現方法。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11001	B		ファイル名用文字	ふぁいるめいようもじ		JIS X 0201のラテン文字用図形文字集合の8ビット表現。ファイル名に用いる。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11002	B		仮名インデックス	かないんでっくす		本文中の項目を平仮名又は片仮名(以下、両者を併せて仮名と呼ぶ。)で検索するためのインデックス。日本語の読み及び元々仮名で構成される日本語を検索するために用意	JIS X 4081	1996				2002/2			
11003	B		表記形インデックス	ひょうじけいいんでっくす		本文中の項目を漢字仮名混じり表現(英字表現を含む。)で検索するためのインデックス。日本語一般の表記そのもので検索するために用意する。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11004	B		前方一致検索	ぜんぽういっちけんさく		インデックス内のキーワードの先頭から順番にみた部分文字列が検索語として入力された文字列と一致する場合に、検索が成功したとみなす検索。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11005	B		後方一致検索	こうほういっちけんさく		インデックス内のキーワードの末尾から順番にみた部分文字列が検索語として入力された文字列と一致する場合に、検索が成功したとみなす検索。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11006	B		条件検索	じょうけんけんさく		ある項目に対して、付与された複数のキーワードの組合せで行う検索。	JIS X 4081	1996				2002/2			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11007	B		複合検索	ふくごうけんさく		検索キーワードをカテゴリごとに分類できる場合に、ある項目をその分類ごとに付与したキーワードの組合せで行う検索。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11008	B		JIS文字	じすもじ		JIS X 0208で定められた符号化文字集合の文字。一つの文字を2バイトで表現する。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11009	B		書籍定義文字	しょせきていぎもじ		JIS文字に存在しない文字を書籍固有にパターンを定義し、使用する表示用の図形文字。一つの文字を2バイトで表現する。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11010	B		文字	もじ		JIS文字と書籍定義文字を合わせたもの。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11011	B		本文データ内記述子	ほんぶんでーたないきじゅつし		検索結果を表示するための改行、字下げ、強調表示、スクロール制御及び関連項目の参照などの制御タグ。	JIS X 4081	1996				2002/2			
11012	A		書籍	しょせき		この規格に従って、電子出版される一まとまりの内容。CD-ROMなどの媒体には、この一まとまりが複数個存在する場合がある。	JIS X 4081	2002							
11013	A		採録書籍名管理ファイル	さいろくしょせきめいかんりふぁいる		媒体に記録する全書籍に関する管理情報を格納するファイル。旧規格では、登録としていたが、用語の分かりやすさのため採録に変更した。	JIS X 4081	2002							
11014	A		書籍ファイル	しょせきふぁいる		各種検索方法を含めた、書籍全体を管理する情報及び書籍データ本体を格納するデータ群。書籍データ本体、検索方法に関する指標を含め、各検索インデックスの存在位置情報、本文の位置情報、図版データ位置情報及び書籍定義文字パターン位置情報から	JIS X 4081	2002							
11015	A		バイト	ばいと		8ビットからなるビット列。	JIS X 4081	2002							
11016	A		ブロック	ぶろっく		ファイルをファイルの先頭から2048バイトずつに分割した1区画。	JIS X 4081	2002							
11017	A		ブロック番号	ぶろっくばんごう		ファイルの先頭のブロックを1として、各ブロックに順につけた番号。各ブロックの位置を示すために用いる。	JIS X 4081	2002							
11018	A		2進化10進数	2しんか10しんすう		4ビットを10進数の1けた(桁)として表す数値表現方法。	JIS X 4081	2002							
11019	A		ファイル名用文字	ふぁいるめいようもじ		JIS X 0201のラテン文字用図形文字集合の8ビット表現。ファイル名に用いる。	JIS X 4081	2002							
11020	A		仮名インデックス	かないんでっくす		本文中の項目を平仮名又は片仮名(以下、両者を併せて仮名という。)で検索するためのインデックス。日本語の読み及び元々仮名で構成される日本語を検索するために用意	JIS X 4081	2002							
11021	A		表記形インデックス	ひょうじけいいんでっくす		本文中の項目を漢字仮名混じり表現(英字表現を含む。)で検索するためのインデックス。日本語一般の表記そのもので検索するために用意する。	JIS X 4081	2002							
11022	A		前方一致検索	ぜんぽういっちけんさく		インデックス内のキーワードの先頭から順番にみた部分文字列が検索語として入力された文字列と一致する場合に、検索が成功したとみなす検索。	JIS X 4081	2002							
11023	A		後方一致検索	こうほういっちけんさく		インデックス内のキーワードの末尾から順番にみた部分文字列が検索語として入力された文字列と一致する場合に、検索が成功したとみなす検索。	JIS X 4081	2002							
11024	A		条件検索	じょうけんけんさく		ある項目に対して、付与された複数のキーワードの組合せで行う検索。	JIS X 4081	2002							
11025	A		複合検索	ふくごうけんさく		検索キーワードをカテゴリごとに分類できる場合に、ある項目をその分類ごとに付与したキーワードの組合せで行う検索。	JIS X 4081	2002							
11026	A		JIS文字	じすもじ		JIS X 0208で定められた符号化文字集合の文字。一つの文字を2バイトで表現する。	JIS X 4081	2002							
11027	A		書籍定義文字	しょせきていぎもじ		JIS文字に存在しない文字を書籍固有にパターンを定義し、使用する表示用の図形文字。一つの文字を2バイトで表現する。	JIS X 4081	2002							
11028	A		文字	もじ		JIS文字と書籍定義文字を合わせたもの。	JIS X 4081	2002							
11029	A		本文データ内記述子	ほんぶんでーたないきじゅつし		検索結果を表示するための改行、字下げ、強調表示、スクロール制御及び関連項目の参照などの制御タグ。	JIS X 4081	2002							
11030	A		URL	URL	Uniform Resource Locator	インターネット上のアドレス	JIS X 4081	2002							
11031	A		インライン画像	いんらいんがぞう		検索結果の文字列内に表示する画像データ。数式や化学式などの表示に用いる。	JIS X 4081	2002							
11032	A		頭そろえ	あたまそろえ	start-aligned	この用語は、次の二つの意味に用いる。(a)行に一連の文字像を位置決めする割付け処理又は可視化処理の結果であって、これによって、その一連の文字像中の先頭の文字像の位置決め点が行起点に、又は第1行目の字下げ若しくは張出して指定されている場合にはその指定された点に位置決めされる。(b)指定された文字例に一連の文字像を位置決めするタブそろえであって、これによって、その一連の文字像中の先頭の文字像の位置決め点がタブ停止位置に位置決めされる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11033	A		位置決め点	いちぎめてん	position point	文字像を配置する基準となる点。すなわち、文字は、位置決め点を使って動作位置に可視化される。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11034	A		位置決め領域	いちぎめりょういき	positioning area	基本割付け対象体中の長方形の領域であって、そこにすべての文字像の位置決め点及び字送り点が配置される。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11035	A		因子集合	いんししゅうごう	factor set	一つ以上の対象体クラス記述部であって、特定構造を表現する対象体記述部の属性を共通化するのに使用される。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11036	A		右方端	うほうたん	right hand edge	枠又は区画の端であって、割付け進行方向に平行な端であり、その枠又は区画の中を割付の進行方向に進むときの右手の側にある端。(備)割付け進行方向を基準として、前方端、後方端、左方端及び右方端と呼ぶ。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11037	A		外部文書クラス	がいぶぶんしょくらす	external document class	共通構造をもたない交換文書の文書概要によって参照される文書クラス。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11038	A		格納	かくのう	filing	文書の検索を容易にするために、ある定められた方法に従って文書を保管すること。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11039	A		可視化順序	かしかじゅんじょ	imaging order	割付け対象体に直属する下位の割付け対象体群をその割付け対象体に可視化するための優先順位。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11040	A		可視化処理	かしかしょり	imaging process	文書概要、特定割付け構造、共通割付け構造、表示体裁及び内容部を使って、文書を人が知覚できる形で表示媒体上に作成する処理。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11041	A		画像要素、画素	がぞうようそ、がそ	picture element, pel	絵の中でそれぞれ独立に参照することができる最小の図形要素(ラスタ図形要素ともい	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11042	A		画素間隔	がそかんかく	pel spacing	基本割付け対象体中の線方向に隣り合った二つの画素間の距離。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11043	A		画素進行方向	がそしんこうほうこう	pel path	基本割付け対象体中の線方向に引き続く画素の進行方向。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11044	A		画素配列	がそはいれつ	pel array	画像を表現するために使用する2次元の画素の配列。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11045	A		下端	かたん	bottom edge	基本割付け対象体の位置決め領域の端であって、行進行方向の側にある端。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11046	A		可変字送り	かへんじおくり	variable spacing	位置決め点と字送り点との間の距離が文字像の違いによって変化するフォントの特性。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11047	A		間隔比率	かんかくひりつ	spacing ratio	画素間隔に対する線間隔の比率。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11048	A		関心領域	かんしんりょういき	region of interest	仮想の座標空間内にある長方形の領域であって、その辺は座標系の軸に平行であり、可視化しようとしている幾何学図形又は一部を囲っている領域。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11049	A		幾何学図形要素	きかがくずけいようそ	geometric graphics element	幾何学図形の手段によって像を記述するのに使用する図形要素。(備)幾何学図形要素には、幾何学的な基本の形を記述する点、弧、線などが含まれる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11050	A		記述子	きじゅつし	descriptor	文書概要、対象体クラス記述部、割付け体裁、表示体裁又は対象体記述部を表現するデータ構造。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11051	A		記述部	きじゅつぶ	description	構造要素に対応する構成体。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11052	A		基準点	きじゅんてん	reference point	基準領域の隅にある点であって、画素進行方向及び線進行方向の両者の反対側にあって、画素の位置決めに使用する。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11053	A		基準領域	きじゅんりょういき	reference area	基本割付け対象体内の長方形の小さい領域であって、その辺の長さはそれぞれ画素間隔及び線間隔に等しく、その一つの領域内に一つの画素の主要部分が可視化される。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11054	A		基本外	きほんがい	non-basic	与えられた文書応用仕様の範囲で行う文書交換において、文書概要中でその使用が宣言されている場合にだけ許される属性値、制御機能パラメタ値、その他の機能に対する	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11055	A		基本構成部品	きほんこうせいぶひん	basic component	基本論理対象体、基本割付け対象体又はこれらを導き出すことができる対象体クラス。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11056	A		基本測定単位、BMU	きほんそくていたんい、BMU	basic measurement unit	25.4mmの1/1200に等しい線形の測定単位。(備)文書を特定の可視化装置に対応付けるために、局所的に定義された倍率を基本測定単位に適用してもよい。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11057	A		基本値	きほんち	basic value	与えられた文書応用仕様の範囲で行う文書交換において、無条件に許される属性値、制御機能パラメタ値、その他の機能の値。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11058	A		基本論理対象体	きほんろんりたいしょうたい	basic logical object	特定論理構造中の対象体であって、従属するものをもたないもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11059	A		基本割付け対象体	きほんわりつけたいしょうたい	basic layout object	特定割付け構造中の対象体であって、従属するものをもたないもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11060	A		行送り幅	ぎょうおくりはば	line spacing	基本割付け対象体中の二つの隣り合った参照線間の距離(JIS X 4106参照)。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11061	A		行起点	ぎょうきてん	line home position	行枠中の点であって、その行枠の位置決めに使用される。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11062	A		行進行方向	ぎょうしんこうほうこう	line progression	基本割付け対象体中での引き続く行枠の進行方向(JIS X 4106参照)。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11063	A		共通内容部	きょうつうないようぶ	generic content portion	対象体クラスと結び付けられる内容部。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11064	A		共通内容部記述部	きょうつうないようぶきじゅつぶ	generic content portion description	対象体クラス記述部と結び付けられる内容部記述部。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11065	A		共通文書	きょうつうぶんしょ	generic-document	交換された文書の処理に使用するために、共通構造の交換を意図して構造化された情報の集まりであって、付加的に体裁及び内容部が付随することもある。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11066	A		共通論理構造	きょうつうろんりこうぞう	generic logical structure	論理対象体クラス及びそれと結び付けられる共通内容部の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11067	A		共通割付け構造	きょうつうわりつけこうぞう	generic layout structure	割付け対象体クラス及びそれと結び付けられる共通内容部の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11068	A		行末	ぎょうまつ	line terminator	行の終わり又は文字順列の終わりを示す制御機能又は制御機能の組合せ。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11069	A		行枠	ぎょうわく	line box	一連の文字像が位置決められる長方形の領域。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11070	A		切取り画素配列	きりとりがそはいれつ	clipped pel array	すべての切取りパラメタを考慮して決められたとおりに可視化される有効な画素配列。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11071	A		区画	くかく	block	枠又はページの中の長方形の領域に対応する基本割付け構成部品。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11072	A		結合	けつごう	binding	識別子と値からなる対であって、その値はどんな種類でもよく、式で指定してもよい。その値は、結合識別子を使って呼び出す。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11073	A		検索	けんさく	retrieval	以前に格納された情報を取り出すこと。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11074	A		現割付け位置	げんわりつけいち	current layout position	発生する各割付けの流れに対して割付け処理をする間、維持される最下位の枠の識	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11075	A		交換	こうかん	interchange	発進システムから受信システムに文書を渡す処理。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11076	A		交換データ要素	こうかんでーたようそ	interchange data element	文書の構成体を表現するデータ構造。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11077	A		交換様式	こうかんようしき	interchange format	交換のために文書を表現する規制。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11078	A		交換様式クラス	こうかんようしきくらす	interchange format class	特定の応用に適する交換様式の形式。(備)この規格群で定義されるクラスは、交換データ要素の順序付け又は符号化によって異なる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11079	A		交差	こうさ	intersection	表示媒体上で二つ以上の割付け対象体が部分的に又は完全に重なっている重複(共	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11080	A		交渉ページ	こうしょうぺーじ	nominal page	文書の送信者が想定しているとおりに、理想的な大きさの表示面をもつ長方形の領域。(備)理想的な大きさの例は、JIS P 0138(紙加工仕上寸法)に規定されているものであ	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11081	A		構成体	こうせいたい	constituent	属性の集合であって、次のうちの一つ。文書概要、対象体記述部、対象体クラス記述部、表示体裁、割付け体裁又は内容部記述部。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11082	A		構成部品	こうせいぶひん	component	対象体又は対象体クラス。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11083	A		構造要素	こうぞうようそ	structural element	文書の構造上の要素であって、内容部、対象体及び対象体クラスからなる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11084	A		後方端	こうほうたん	trailing edge	枠又は区画の端であって、割付け進行方向に直交する端であり、その枠又は区画の中を割付け進行方向に進むときの後方の側による端[3.(5)参照]。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11085	A		項目識別子	こうもくしきべつし	item identifier	内容部の先頭の文字行に先行する文字列であって、後続の文章を識別するために使用	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11086	A		固定字送り	こていじおくり	constant spacing	位置決め点から字送り点までの間の距離がすべての文字像で同じであるフォントの特	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11087	A		固定字送り幅(固定字送りフォント用の)	こていじおくりはば(こていじおくりふぉんとようの)	character spacing	固定字送りフォントにおいて、字間が0のときの引き続く文字像の位置決め点間の距離。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11088	A		再生保証領域	さいせいほしょうりょういき	assured reproduction area	縁に対して許容された損失となる部分を除いた後に、公称ページ上に残る長方形の領	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11089	A		左方端	さほうたん	left hand edge	枠又は区画の端であって、割付け進行方向に平行な端であり、その枠又は区画の中を割付け進行方向に進むときの左手の側による端[3.(5)参照]。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11090	A		左右突出部	さゆうとっしゅつぶ	kern	文字の一部分であって、その文字の位置決め点又は字送り点を越えている部分。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11091	A		参照線	さんしょうせん	reference line	行起点を通り文字進行方向に平行な線。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11092	A		字送り点	じおくりてん	escapement point	文字像と結び付けられている参照点であって、次の文字像を位置決めするために使用さ	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11093	A		字間	じかん	inter-character space	引き続く文字像の間に入れられる送り幅の追加量。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11094	A		資源文書	しげんぶんしょ	resource document	他の文書の一つ以上の対象体クラス記述部から参照される対象体クラス記述部を一つ以上含む共通文書。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11095	A		字下げ	じさげ	indentation	行に対する一連の文字像を文字進行方向に行起点から距離をおいて配置するようにする割付け処理又は可視化処理の結果。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11096	A		始端	したん	start edge	基本割付け対象体の位置決め領域の端であって、文字進行方向と逆方向の端。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11097	A		指定文字そろえ	していもじそろえ	aligned around	指定された文字列に一連の文字像を位置決めするタブそろえであって、これによって、その文字列中の指定された文字群の先頭の文字像の位置決め点がタブ停止位置に位置	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11098	A		事務文書用言語、ODL	じむぶんしょようげんご、ODL	Office Document Language	この規格群に適合した解放型文書体系文書を表現するマーク付けの言語である文書記述言語SGML(Standard Generalized Markup Language、JIS X 4151参照)の応用。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11099	A		終端	しゅうたん	end edge	基本割付け対象体の位置決め領域の端であって、文字進行方向の前方の側にある端。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11100	A		順番	じゅんばん	sequential order	構造中で対象体を順序付ける用法であって、個々の対象体の直属のすべての従属体が続き、その後に、その対象体と同一の直属上位体をもつ他の対象体が続くように順序付けられる。すなわち、木構造をたどるある順序である。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11101	A		上端	じょうたん	top edge	基本割付け対象体の位置決め領域の端であって、行進行方向の後方の側にある端。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11102	A		初期点	しょきてん	initial point	この用語は、次の二つの意味に用いる。(a)基本割付け対象体と結び付いている点であって、これを基準として、その基本割付け対象体中に可視化されるすべての行枠が位置決めされる(JIS X 4106参照)。(b)基本割付け対象体と結び付いている点であって、これを基準として、その基本割付け対象体中に可視化されるすべての画素が位置決めさ	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11103	A		書式換え	しょしきかえ	reformatting	以前に書式付けられた文書に新たに書式付けの操作を行うこと。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11104	A		書式付き形式	しょしきつきけいしき	formatted form	文書の表現形式の一つであって、発進者が意図したとおりに文書を表示することができるが、編集及び書式付け(書式換えを含む。)はできないもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11105	A		書式付き処理可能形式	しょしきつきしょりかのうけいしき	formatted processable form	文書の表現形式の一つであって、発信者が意図したとおりに文書を表示することができるとともに、編集及び書式付け(書式換えを含む。)もできるもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11106	A		書式付け	しょしきつけ	formatting	文書の割付けを決めるための操作を行うこと。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11107	A		処理	しょり	processing	編集、書式換え、表示、格納及び検索を含め、文書に操作を行うこと。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11108	A		処理可能形式	しょりかのうけいしき	processable form	文書の表現形式の一つであって、編集及び書式付けができるもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11109	A		水平方向(割付け対象体の)	すいへいほうこう(わりつけたいしょうたいの)	horizontal direction	割付け対象体中の方向であって、内容体系は、これを基準として、ページの水平軸を使って定める属性を定義できる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11110	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	情報を表現するために使用する図形記号の集合の一要素。(備)単純な英数字(例えば、アクセント付き文字)及び絵文字(例えば、モザイク)は、図形文字に属する。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11111	A		図形要素	ずけいようそ	graphic element	目に見える表現をもつ可能性のある内容要素。(備)この規格群では、図形要素を図形文字、幾何学図形要素及びラスタ図形要素の三種類に区分している。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11112	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	文字集合の要素であって、データの記録、処理、伝送又は解釈に影響を及ぼし、かつ一つ以上のビット組合せからなる符号化表現をもつ。(例)制御機能の例としては、文字内容体系におけるSGR(Select Graphic Rendition)及び幾何学図形内容体系における"線種の設定"(Set Line Type)がある。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11113	A		生成子完全集合	せいせいしかんぜんしゅうごう	complete generator set	文書根の対象体クラス記述部及びそれに従属する少なくとも1階層の対象体クラス記述部からなる文書の構成体であって、これらの記述部は、対応する特定構造を表現する対象体記述部の集合を生成したり、修正したりする制御のために使われる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11114	A		生成子部分集合	せいせいしぶぶんしゅうごう	partial generator set	階層的に関連のある対象体クラス記述部からなる集まりであって、階層的に関連し対応する対象体記述部の生成を導くのに使用されるが、生成できるすべての特定構造を完全に指定するものではない。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11115	A		線間隔	せんかんかく	line spacing	基本割付け対象体中の二つの隣り合った画素線間の距離(JIS X 4107参照)。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11116	A		線進行方向	せんしんこうほうこう	line progression	基本割付け対象体中での隣り合った画素線の進行方向(JIS X 4107参照)。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11117	A		前方端	ぜんぽうたん	leading edge	枠又は区画の端であって、割付け進行方向に直交する端であり、その枠又は区画の中を割付け進行方向に進むときの前方の側にある端[3.(5)参照]。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11118	A		属性	ぞくせい	attribute	文書の構成体の要素であって、名前と値をもち、かつその構成体の特性又は他の一つ以上の構成体との関係を表す。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11119	A		ソフト行末	そふとぎょうまつ	soft line terminator	後続の割付け処理で削除、置換え又は取替えが許される行末。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11120	A		対象体	たいしょうたい	object	特定割付け構造又は特定論理構造の要素。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11121	A		対象体記述部	たいしょうたいきじゅつぶ	object description	(存在するならば)他の構成部品との関係も含め、対象体の特性を指定する属性の集	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11122	A		対象体クラス	たいしょうたいくらす	object class	共通構造の要素であって、それから共通の特性をもつ対象体を導出できる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11123	A		対象体クラス記述部	たいしょうたいくらすきじゅつぶ	object class description	(存在するならば)他の構成部品との関係も含め、対象体クラスの特性を指定する属性の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11124	A		対象体種別	たいしょうたいしゅべつ	object type	すべての構成部品の特性であって、その構成部品が適用される記述部中に許される属性を指定するとともに、その構成部品の文書体系中での役割を示す。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11125	A		縦横比	じゅうおうひ、たてよこひ	aspect ratio	画素配列の画素進行方向における寸法と線進行方向における寸法の比。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11126	A		タブ(そろえ)	たぶ(そろえ)	tabulation alignment	指定された文字列に一連の文字像を指定された方法(頭そろえ、末そろえ、中央そろえ又は指定文字そろえ)で、参照線方向に指定された点(タブ停止位置)に位置決めする割付け処理又は可視化処理。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11127	A		タブ停止位置	たぶていしいち	tabulation stop	タブそろえの指定された方法(頭そろえ、末そろえ、中央そろえ又は指定文字そろえ)のために使用する参照線方向の位置。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11128	A		単位倍率	たんいばいりつ	unit scaling	倍率付き測定単位(SMU)を導き出すために基本測定単位(BMU)に掛ける倍率(整数又は分数)。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11129	A		中央そろえ	ちゅうおうそろえ	centred	この用語は、次の二つのの意味に用いる。(a)行に一連の文字像を位置決めする割付け処理又は可視化処理の結果であって、これによって、行起点からその一連の文字像中の先頭の文字像の位置決め点までの距離が、最後の文字像の字送り点から位置決め領域の終端までの距離とほぼ等しくなるように位置決めされる。(b)指定された文字列に一連の文字像を位置決めするタブそろえであって、これによって、その一連の文字像中の先頭の文字像の位置決め点からタブ停止位置までの距離が、タブ停止位置から最後の文字像の字送り点までの距離とほぼ等しくなるように位置決めされる。(備)中央そろえという用語は、属性"位置"のパラメタ"位置合わせ"及び属性"区画位置合わせ"の中で	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11130	A		データ構造	でーたこうぞう	data structure	構成体の全部又は一部を表現するデータ項目及びそれらのデータ項目間の関係の集合。(備)データ構造を構成するデータ項目は、文書、文書概要、構成部品、体裁又は関連する内容部の属性を表現する。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11131	A		動作位置	どうさいち	active position	次の文字で指定する動作が効果を現す点。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11132	A		頭末そろえ	とうまつそろえ	justified	文章の頭そろえ及び末そろえの表示を同時に行うために、間隔文字の幅及び(又は)字間を変動させる割付け処理又は可視化処理の結果。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11133	A		特定論理構造	とくていろんりこうぞう	specific logical structure	論理対象体及びそれと結び付いている内容部の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11134	A		特定割付け構造	とくていわりつけこうぞう	specific layout structure	割付け対象体及びそれと結びついている内容部の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11135	A		内容	ないよう	content	文章に含まれる構造上の情報以外の情報であって、人の知覚を意図したもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11136	A		内容種別	ないようしゅべつ	content type	図形文字、ラスタ図形要素及び幾何学図形要素というような内容要素の類別。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11137	A		内容体系	ないようたいけい	content architecture	基本構成部品の内容の内部構造及び表現を内容要素、属性及び制御機能の集合で定義する規則、並びに内容を表示するための指針。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11138	A		内容体系クラス	ないようたいけいくらす	content architecture class	内容要素の各種別に対して定義された形式の集合の一つにおいて、基本構成部品の内容の内部構造及び表現を定義する規則。(例)内容要素が図形文字である場合の内容体系クラスの例としては、書式付き形式、処理可能形式及び書式付き処理可能形式があ	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11139	A		内容体系水準	ないようたいけいすいじゅ	content architecture level	内容体系クラスに関する機能の識別された部分集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11140	A		内容部	ないようぶ	content portion	論理構造及び(又は)割付け構造に従って、文書の内容を区分した結果。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11141	A		内容部記述部	ないようぶきじゅつぶ	content portion	内容部を表現する文書の構成体であって、内容情報及びその特性を指定する属性から	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11142	A		内容編集処理	ないようへんしゅうしょり	content editing process	新しい内容を生成したり以前に生成した内容を修正したりする処理。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11143	A		内容要素	ないようようそ	content element	文書の内容の基本要素。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11144	A		内容割付け処理	ないようわりつけしょり	content layout process	文書割付け処理との相互動作によって、表示体裁に含まれている情報に従って、内容部を利用可能領域に書式付けること及び区画の大きさを決めることからなる処理。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11145	A		任意選択属性	にんいせんたくぞくせい	non-mandatory attribute	構成体に適用可能な場合にでも、明示的に指定する必要のない属性。すなわち、与えられた構成体の中で属性が明示的に指定されていない場合には、その属性は適用されな	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11146	A		ハード行末	はーどぎょうまつ	hard line terminator	書式換えの操作で削除されることを意図していない行末。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11147	A		倍率付き測定単位、SMU	ばいりつつきそくていたんい、SMU	scaled measurement unit,SMU	割付け対象体及び内容要素を表示面に位置決めしたり寸法決めしたりするために使用される線形の測定単位であって、その値は基本測定単位に単位倍率を掛けたものに等	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11148	A		張出し	はりだし	overhang	行に対する一連の文字像を文字進行方向と逆方向に行起点から距離をおいて配置するようにする割付け処理又は可視化処理の結果。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11149	A		左上隅	ひだりうえすみ	top left corner	割付け対象体の隅であって、この割付け対象体において、水平方向及び垂直方向に最小限進んだ隅。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11150	A		左下隅	ひだりしたすみ	bottom left corner	割付け対象体の隅であって、この割付け対象体において、水平方向にはほとんど進まず、垂直方向に最大進んだ隅。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11151	A		必す(須)属性	ひっすぞくせい	mandatory attribute	構成体に適用する場合に、その構成体中で明示的に指定しなければならない属性。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11152	A		表示	ひょうじ	presentation	人が知覚できる形で文書を現出する操作。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11153	A		表示体裁	ひょうじていさい	presentation style	基本論理構成部品又は基本割付け構成部品から参照される文書の構成体であって、文書内容の書式及び外観の手引きとなる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11154	A		表示媒体	ひょうじばいたい	presentation medium	人が知覚できる形で情報を媒介するもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11155	A		表示面	ひょうじめん	presentation surface	人が見るために文書の書式付き形式を表示できる2次元の表示媒体(例えば、紙、フィルム及び表示画面)。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11156	A		フォント	ふぉんと	font	通常、共通なデザインと寸法をもつ文字像の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11157	A		フォント寸法	ふぉんとすんぽう	font size	フォント中の文字像の高さ。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11158	A		複合構成部品	ふくごうこうせいぶひん	composite component	複合論理対象体、複合割付け対象体又はこれらを導き出すことができる対象体クラス。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11159	A		複合論理対象体	ふくごうろんりたいしょうたい	composite logical object	従属する対象体を一つ以上もつ論理構造中の対象体。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11160	A		複合割付け対象体	ふくごうわりつけたいしょうたい	composite layout object	従属する対象体を一つ以上もつ割付け構造中の対象体。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11161	A		文書	ぶんしょ	document	人の知覚を意図して構造化された情報の集まりであって、利用者及び(又は)システムの間で1単位として交換できるもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11162	A		文章単位	ぶんしょうたんい	text unit	内容部記述部を表現するデータ構造。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11163	A		文書応用仕様	ぶんしょおうようしよう	document application profile	この規格群で定義された機能を組み合わせた仕様であって、一つの応用の要件を満たす部分集合を作成することを意図したもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11164	A		文書概要	ぶんしょがいよう	document profile	文書の全体的な特性を指定する属性の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11165	A		文書概要水準	ぶんしょがいようすいじゅ	document profile level	文書概要に関する機能の識別された部分集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11166	A		文書クラス	ぶんしょくらす	document class	論理対象体クラス記述部、割付け対象体クラス記述部、共通内容部記述部、体裁及び文書概要の集合であって、共通の特性をもつ文書の集合を指定する。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11167	A		文書クラス記述部	ぶんしょくらすきじゅつぶ	document class	文書クラスの仕様。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11168	A		文書体系	ぶんしょたいけい	document architecture	この用語は、次の二つの意味に用いる。(a)構成部品と内容部との集合という観点から文書の構造を定義し、かつ構成対という観点から文書の表現を定義する規則。(b)次の構造を一つ以上もつ集合からなる文書の構造情報。特定論理構造、特定割付け構造、共通論理構造及び(又は)共通割付け構造。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11169	A		文書体系クラス	ぶんしょたいけいくらす	document architecture class	文書の構造と表現を書式付き形式、処理可能形式又は書式付き処理可能形式で定義する規則。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11170	A		文書体系水準	ぶんしょたいけいすいじゅ	document architecture	文書体系クラスに関する機能の識別された部分集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11171	A		文書体系	ぶんしょたいけい	document body	文書の一部であって、そこには、共通論理構造、共通割付け構造、特定論理構造、特定割付け構造、割付け体裁及び表示体裁を含むことができるが、文書概要を含んでいては	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11172	A		文書論理根	ぶんしょろんりね	document logical root	特定論理構造の複合対象体であって、階層の最上位のもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11173	A		文書割付け処理	ぶんしょわりつけしょり	document layout process	特定論理構造、共通論理構造及び割付け体裁に含まれている情報と共通割り付け構造に従って特定割付け構造を生成する処理。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11174	A		文書割付け根	ぶんしょわりつけね	document layout root	特定割付け構造の複合対象体であって、階層の最上位のもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11175	A		分断後部	ぶんだんこうぶ	widow	文章の前の部分と一体になっている一つ以上の行であって、ページ又は段の境界によって前の部分から孤立しているもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11176	A		分断前部	ぶんだんぜんぶ	orphan	後続の文章と一体になっている一つ以上の行であって、ページ又は段の境界によって後続の文章から孤立しているもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11177	A		並行注記	へいこうちゅうき	parallel annotation	並行して表示される二つの順序付けられた文字列であって、2番目の文字列は最初の文字列の発音又は解釈を示すのに使用される。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11178	A		ページ	ぺーじ	page	文書の内容を表示するために使用される長方形の領域に対応する構成部品。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11179	A		ページ座標系	ぺーじざひょうけい	page coordinate system	起点がページの左上隅である直交座標系であって、その水平軸及び垂直軸はそれぞれページの上側の端及び左側の端に一致している。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11180	A		ページ集合	ぺーじしゅうごう	page set	ページ又は他のページ集合の集まりを表現する複合割付け構成部品。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11181	A		編集処理	へんしゅうしょり	editing process	内容編集処理及び論理構造編集処理からなる文書処理の段階。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11182	A		末そろえ	まつそろえ	end-aligned	この用語は、次の二つの意味に用いる。(a)行に一連の文字像を位置決めする割付け処理又は可視化処理の結果であって、これによって、最後の文字像の字送り点が位置決め領域の終端に位置決めされる。(b)指定された文字列に一連の文字像を位置決めるタブそろえであって、これによって、最後の文字像の字送り点がタブ停止位置に位置決めさ	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11183	A		右上隅	みぎうえすみ	top right corner	割付け対象体の隅であって、この割付け対象体において、水平方向に最大限進み、垂直方向に最小限進んだ隅。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11184	A		右下隅	みぎしたすみ	bottom right corner	割付け対象体の隅であって、この割付け対象体において、水平方向及び垂直方向に最大限進んだ隅。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11185	A		文字	もじ	character	情報の構成、制御及び表現に使用する要素の集合の1要素。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11186	A		文字回転角	もじかいてんかく	character orientation	文字進行方向に対する文字基準線の方向。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11187	A		文字基準線	もじきじゅんせん	character base line	文字像が意図したとおりに見える方向から見たとき、文字像を横断する水平方向の線。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11188	A		文字食込み	もじくいこみ	pairwise kerning	独立した二つの文字としてではなく、二つの文字を組み合わせた場合の二つの隣り合った文字像間の距離。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11189	A		文字順列	もじじゅんれつ	character sequence	一つ以上の行に印字することを意図した文字の並び。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11190	A		文字進行方向	もじしんこうほうこう	character path	行枠内での引き続く文字像の進行方向。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11191	A		文字像	もじぞう	character image	文字を人が知覚できる形で表示媒体上に表したもの。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11192	A		ラスタ図形要素	らすたずけいようそ	raster graphics element	画像要素(画素)の代替語。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11193	A		利用可能領域	りようかのうりょういき	available area	文書割付け処理で定まる領域であって、その領域に内容部が内容割付け処理によって書式付けられる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11194	A		論理構造	ろんりこうぞう	logical structure	この用語は、次の二つの意味に用いる。(a)文書の内容を人が理解する意味に基づいて順次小さな部分(例えば、章、節及び段階)に分割・再分割した結果。(b)文書の論理的な階層を表現するすべての論理対象及びそれと結び付いている内容部。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11195	A		論理構造編集処理	ろんりこうぞうへんしゅうしょり	logical structure editing process	新たに特定論理構造を生成したり以前に生成した特定論理構造を修正したりし、かつ内容を基本論理対象体に割り当てたり再度割り当てたりする処理。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11196	A		論理順番	ろんりじゅんばん	sequential logical order	割付け処理で論理対象体を処理すべき順番。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11197	A		論理対象体	ろんりたいしょうたい	logical object	文書の特定論理構造の要素であって、応用又は利用者にとって重要な意味をもつ可能性があるもの。例えば、章、節及び段落。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11198	A		論理対象体クラス	ろんりたいしょうたいくらす	logical object class	共通論理構造の要素であって、それから共通の特性をもつ論理対象体の集合を導出できる。例えば、共通の内部構造をもつ節を表現する複合論理対象体。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11199	A		枠	わく	frame	複合割付け構成部品の一つの種類であって、ページ又は他の枠の中の長方形の領域に対応する。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11200	A		割付け構造	わりつけこうぞう	layout structure	この用語は、次の二つの意味に用いる。(a)表示の仕方に基づいて文書の内容を順次小さな部分(例えば、ページ及び区画)に分割・再分割した結果。(b)文書の割付け階層を構成するすべての割付け対象体及びそれと結び付いている内容部。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11201	A		割付け順番	わりつけじゅんばん	sequential layout order	可視化順序が指定されていない場合、割付け対象体を可視化すべき順番。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11202	A		割付け処理	わりつけしょり	layout process	文書割付け処理及び内容割付け処理からなる書式付けのための文書処理の段階。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11203	A		割付け対象体	わりつけたいしょうたい	layout object	文書の特定割付け構造の要素。例えば、ページ及び区画。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11204	A		割付け対象体クラス	わりつけたいしょうたいくらす	layout object class	共通割付け構造の要素であって、これから共通の特性をもつ割付け対象体の集合を導出できる。例えば、共通の頭書き及び脚書きをもつ複数のページ。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11205	A		割付け体裁	わりつけていさい	layout style	論理構成部品から参照される文書の構成体であって、特定割付け構造を生成する手引きとなる。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11206	A		割付けの流れ	わりつけのながれ	layout stream	同一の割付け類別に属する基本論理対象体の集合。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11207	A		割付け類別	わりつけるいべつ	layout category	基本論理対象体と最下位の枠との結び付きであって、基本論理対象体の内容が適切な枠に配置されるようにする。	JIS X 4101	1993	ISO 8613-1	1989				1994	JTC1
11208	A		基本操作	きほんそうさ	basic operation		JIS X 4103	1996	ISO/IEC 8613-3	1995				1995	JTC1
11209	A		複合操作	ふくごうそうさ	compound operation		JIS X 4103	1996	ISO/IEC 8613-3	1995				1995	JTC1
11210	A		文書識別子	ぶんしょしきべつし	document identifier		JIS X 4103	1996	ISO/IEC 8613-3	1995				1995	JTC1
11211	A		問合せ	といあわせ	query		JIS X 4103	1996	ISO/IEC 8613-3	1995				1995	JTC1
11212	A		標本化音響	ひょうほんかおんきょう	sampled sound	離散間隔時間で音響の瞬間の圧力を表現するディジタル値の列。	JIS X 4109	1998	ISO/IEC 8613-9	1996				1996	JTC1
11213	A		要求継続時間	ようきゅうけいぞくじかん	required duration	適用される表示属性及び符号化属性を考慮した音響内容割付け処理によって導出される、音響内容体系を提示するために要求される時間。	JIS X 4109	1998	ISO/IEC 8613-9	1996				1996	JTC1
11214	A		割付け格子寸法	わりつけこうしすんぽう	dimensions of a layout grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11215	A		項目枠	こうもくわく	entry frame		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11216	A		割付け長方形に束縛された項目枠	わりつけちょうほうけいにそくばくされたこうもくわく	entry frame bound to a layout grid rectangle		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11217	A		項目対象体	こうもくたいしょうたい	entry object		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11218	A		論理長方形を占める項目対象体	ろんりちょうほうけいをしめるこうもくたいしょうたい	entry object occupying a logical grid rectangle		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11219	A		格子枠	こうしわく	grid frame		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11220	A		格子枠構成部品	こうしわくこうせいぶひん	grid frame component		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11221	A		格子溝	こうしみぞ	grid gutter space		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11222	A		格子溝幅	こうしみぞはば	grid gutter space width		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11223	A		格子間隔	こうしかんかく	grid interval		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11224	A		格子間隔寸法	こうしかんかくすんぽう	grid interval dimension		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11225	A		格子線	こうしせん	grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11226	A		格子論理構成部品	こうしろんりこうせいぶひ	grid logical component		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11227	A		格子論理対象体	こうしろんりたいしょうたい	grid logical object		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11228	A		第i主格子間隔	だいiしゅこうしかんかく	i-th major grid interval		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11229	A		第i副格子間隔	だいiふくこうしかんかく	i-th minor grid interval		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11230	A		第i主割付け格子線	だいiしゅわりつけこうしせ	i-th major layout grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11231	A		第i副割付け格子線	だいiふくわりつけこうしせ	i-th minor layout grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11232	A		第i主論理格子線	だいiしゅろんりこうしせん	i-th major logical grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11233	A		第i副論理格子線	だいiふくろんりこうしせん	i-th minor logical grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11234	A		割付け格子	わりつけこうし	layout grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11235	A		割付け格子線	わりつけこうしせん	layout grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11236	A		割付け格子単位	わりつけこうしたんい	layout grid location		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11237	A		論理長方形	ろんりちょうほうけい	logical grid rectangle		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11238	A		割付け格子主寸法	わりつけこうししゅすんぽう	major dimension of a layout grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11239	A		割付け格子副寸法	わりつけこうしふくすんぽう	minor dimension of a layout grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11240	A		主格子間隔	しゅこうしかんかく	major grid interval		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11241	A		副格子間隔	ふくこうしかんかく	minor grid interval		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11242	A		主割付け格子線	しゅわりつけこうしせん	major layout grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11243	A		副割付け格子線	ふくわりつけこうしせん	minor layout grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11244	A		主論理格子線	しゅろんりこうしせん	major logical grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11245	A		副論理格子線	ふくろんりこうしせん	minor logical grid line		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11246	A		主進行方向	しゅしんこうほうこう	major path		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11247	A		割付け格子主単位数	わりつけこうししゅたんい	major size of a layout grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11248	A		割付け格子副単位数	わりつけこうしふくたんい	minor size of a layout grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11249	A		論理格子主単位数	ろんりこうししゅたんいすう	major size of a logical grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11250	A		論理格子副単位数	ろんりこうしふくたんいすう	minor size of a logical grid		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11251	A		副進行方向	ふくしんこうほうこう	minor path		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11252	A		内容の複製	ないようのふくせい	reproduction of content		JIS X 4111	1998	ISO/IEC 8613-11	1995				1995	JTC1
11253	A		関連付け情報名	かんれんづけじょうほうめ	associated information		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11254	A		文書断片	ぶんしょだんぺん	document fragment		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11255	A		外部実体	がいぶじったい	external entity		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11256	A		外部参照	がいぶさんしょう	external reference		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11257	A		識別子生成関数	しきべつしせいせいかん	identifier production		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11258	A		位置式	いちしき	location expression		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11259	A		位置子	いちし	locator		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11260	A		参照名	さんしょうめい	rference name		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11261	A		副文書概要	ふくぶんしょがいよう	subprofile		JIS X 4112	1998	ISO/IEC 8613-12	1996				1996	JTC1
11262	A		区画	くかく	block	文書のページ又は枠に直属する視覚的な内容を提示する長方形の領域、文書における時系列で変化する内容(例えば、音響内容)の時間間隔、又はこれらの複合体に相当する基本割付け構成部品。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11263	A		文書集合	ぶんしょしゅうごう	document set	文書集合概要、文書外結合部(任意選択)、及び文書の集合(任意選択)又はハイパメディア文書の集まり。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11264	A		事象	じしょう	event	内部事象又は外部事象。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11265	A		外部事象	がいぶじしょう	external event	文書に付して、外部的に何かの機構によって生成される事柄又は現象。例えば、利用者との対話によって生成される事柄又は現象。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11266	A		枠	わく	frame	文書中における視覚的な内容を提示する長方形領域、時間によって変化する内容(例えば、音響内容)中の時間間隔、又はこれらの複合体に相当する割付け構成部品。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11267	A		ハイパメディア文書	はいぱめでぃあぶんしょ	hypermedia document	結合の存在によって通常の文書と区別される文書。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11268	A		文書内結合	ぶんしょないけつごう	integral link	文書記述中の結合記述で記述される結合。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11269	A		内部事象	ないぶじしょう	internal event	内容の提示が完全に終了したときに発行される事柄又は現象。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11270	A		結合	けつごう	link	節間の関係。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11271	A		節	せつ	node	文書全体又は文書断片。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11272	A		文書外結合	ぶんしょがいけつごう	non-integral link	文書集合の記述の結合部だけに記述され、特定の文書記述には記述されない結合。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11273	A		ページ	ぺーじ	page	文書中における視覚的な内容を提示する長方形領域、時間によって変化する内容(例えば、音響内容)中の時間間隔、又はこれらの複合体に相当する割付け構成部品。	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11274	A		倍率付き時間単位	ばいりつつきじかんたんい	scaled time unit	文書概要の属性"時間単位"によって定義される絶対時間単位に写像する相対的な時間	JIS X 4114	1998	ISO/IEC 8613-14	1997				1997	JTC1
11275	A		ISO所有者識別子	ISOしょゆうしゃしきべつし	ISO owner identifier	ISO出版番号又は文字集合登録番号によって構成する所有者識別子。ISO出版物を識別する所有者識別子、ISO出版物によって割り当てられる所有者識別子又はISO登録文字集合を識別する所有者識別子。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11276	A		ISO文記述	ISOぶんきじゅつ	ISO text description	ISO出版文書名の部番号の表示を除く最後の要素によって構成する公開文記述。ISO出版物を識別する文識別子。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11277	A		あいまいな内容モデル	あいまいななないようもでる	ambiguous content model	文書実現値に現れる要素・文字列が、先読みなしには、二つ以上の素内容字句とみなし得るような内容モデル。(備)SGMLではあいまいな内容モデルを禁止している。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11278	A		暗黙連結(処理定義)	あんもくれんけつ(しょりていぎ)	implicit link (process definition)	結果要素型及びそれらの属性が応用によって暗黙的に定まる連結(処理定義)。ただし、連結属性値の集合は、複数個指定することができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11279	A		一意な識別子	いちいなしきべつし	unique identifier	要素を一意に識別する名前。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11280	A		一般区切り子(機能)	いっぱんくぎりし(きのう)	general delimiter (role)	短縮参照ではない区切り子(機能)。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11281	A		一般実体	いっぱんじったい	general entity	要素の内容又は属性値表記から参照することができる実体。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11282	A		一般実体参照	いっぱんじったいさんしょう	general entity reference	一般実体への名前付き実体参照。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11283	A		英大文字	えいおおもじ	upper-case letters	A～Zの26種の英大文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11284	A		英小文字	えいこもじ	lower-case letters	a～zの26種の英小文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11285	A		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence	最初の文字がエスケープ(ESC)である制御シーケンス。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11286	A		SGML応用	SGMLおうよう	SGML application	SGMLを文書処理システムに適用する規則。SGML表現のマーク構成要素の形式指定を含み、意味定義、応用規則及び処理の非SGML定義を含んでもよい。(備)1.通常、SGML応用の形式指定は、文書型定義、データ内容記法及び実体集合を含み、具象構文又は容量集合を含んでもよい。応用システムが処理を定義している場合には、形式指定に連結処理定義を含めてもよい。2.SGML応用の形式指定は、応用システムが処理する文書に共通の部分となる。それらの共通の部分は、しばしば公開文として使用可能である。3.通常、形式指定は、注釈、意味、応用規則及び応用システムの処理指定を説明する文書を伴う。4.SGML応用は、実現から独立している。応用システムが処理を定義している場合、非SGML定義は、プログラム言語又は文書処理言語によって実現される応用手続	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11287	A		SGML検定構文解析系	SGMLけんていこうぶんかいせきけい	validating SGML parser	報告可能マーク誤りが存在している場合(及びその場合に限り)、発見可能及び報告可能な適合SGMLシステムの構文解析系。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11288	A		SGML構文解析系	SGMLこうぶんかいせきけい	SGML parser	適合SGML文書中のマークを認識するプログラム(プログラムの一部分及びプログラムの組合せを含む。)。(備)プログラム言語処理系に対応させると、SGML構文解析系はSGML文書に関して、字句解析系及び構文解析系の両方の機能を果たすことに相当す	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11289	A		SGMLシステム	SGMLしすてむ	SGML system	SGML構文解析系、実体管理系及び一つ以上のSGML応用の実現を含むシステム若しくは利用者が、SGML応用を実現するための、SGML構文解析系及び実体管理系への使用手段を含むシステム又はその両者を含むシステム。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11290	A		SGML実体	SGMLじったい	SGML entity	この規格に従ってその文字がマーク又はデータとして解釈される実体。(備)SGML文書実体、SGML部分文書実体及びSGML文実体の3種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11291	A		SGML宣言	SGMLせんげん	SGML declaration	文字集合、具象構文、任意選択の機構及び文書のマークに必要な容量を指定するマーク宣言	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11292	A		SGML部分文書実体	SGMLぶぶんぶんしょじったい	SGML subdocument entity	独自の文書型宣言及び連結型宣言に従うSGML実体であって、それに先行するSGML文書実体のSGML宣言に従うもの。少なくとも基本文書型宣言及び基本文書要素の開始及び終了を含む。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11293	A		SGML文書	SGMLぶんしょ	SGML document	文字列で表現された文書であって、この規格に従って物理的な実体構造及び論理的な要素構造に編成された文書。その情報内容を表現するデータ文字並びにデータ構造及びそのデータの処理に必要なその他の情報を表すマーク文字から構成される。そのマークは少なくとも一つの文書型定義を与え、その定義に適合する構造を実現している。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11294	A		SGML文書実体	SGMLぶんしょじったい	SGML document entity	SGML文書を開始するSGML実体。少なくとも、SGML宣言、基本文書型宣言並びに基本文書要素の開始及び終了を含む。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11295	A		SGML文実体	SGMLぶんじったい	SGML text entity	SGML文書実体のSGML宣言に従い、かつ、それを参照する実体に対する文書型宣言及び連結型宣言にも従うSGML実体。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11296	A		SGML文字	SGMLもじ	SGML character	SGML実体の中で使用できる文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11297	A		応用	おうよう	application	文書処理の応用。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11298	A		応用規則	おうようきそく	application convention	この規格が利用者選択にしている範囲での、文書中の文を規定する応用に特有の規則。(備)内容規則及びマーク規則の2種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11299	A		応用特有情報	おうようとくゆうじょうほう	application-specific information	応用又は応用体系が必要とする情報を指定するSGML宣言の引数。(備)この情報によって、応用又は応用体系を指定したり、システムがその文書を処理できるかどうかを決定したりすることができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11300	A		大文字名前開始文字	おおもじなまえかいしもじ	upper-case name start characters	小文字名前開始文字に対応する大文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11301	A		大文字名前文字	おおもじなまえもじ	upper-case name characters	小文字名前文字に対応する大文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11302	A		親要素	おやようそ	containing element	部分要素を含む要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11303	A		開始タグ	かいしたぐ	start-tag	要素の開始を識別し、共通識別子及び属性を指定する記述的マーク。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11304	A		解釈済み引数表記	かいしゃくずみひきすうひょうき	interpreted parameter literal	引数表記に対して、表記区切り子を取り除き、文字参照及び引数実体参照を置換して得られる文字列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11305	A		回避文字(番号)	かいひもじ(ばんごう)	shunned character (number)	具象構文によってその構文を用いた文書の中では使用してはならないと識別された文字(番号)。システムが誤って制御文字として扱う可能性がある文字を対象とする。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11306	A		外部識別子	がいぶしきべつし	external identifier	外部実体又はデータ内容記法を識別する引数。(備)システム識別子及び公開識別子の2種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11307	A		外部実体	がいぶじったい	external entity	実体宣言中にその文を直接含まない実体。そのシステム識別子及び(又は)公開識別子を代わりに指定する。(備)文書型又は連結型宣言は、宣言部分集合のすべて又はその一部を含む外部実体の識別子を含むことができ、その外部識別子は、同時に実体宣言	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11308	A		核具象構文	かくぐしょうこうぶん	core concrete syntax	規格参照具象構文から短縮参照区切り子を除いたもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11309	A		仮想文字集合	かそうもじしゅうごう	virtual character set	図形文字符号拡張における中間的な文字集合の一つであって、JIS X 0202のG0集合、G1集合、G2集合、又はG3集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11310	A		型定義	かたていぎ	type definition	文書型定義。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11311	A		活性連結型(宣言)	かっせいれんけつがた(せんげん)	active link type (declaration)	システムが活性状態と識別している連結型(宣言)。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11312	A		活性文書型(宣言)	かっせいぶんしょがた(せんげん)	active document type (declaration)	システムが活性状態と識別している文書型(宣言)。(備)SGML実体は、活性化した文書型に従って構文解析される、特定の文書型を活性化していなければ基本文書型及び活性化した連結型に従って構文解析される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11313	A		間隔	かんかく	space	具象構文で割り当てられ、間隔を表現する機能文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11314	A		規格参照区切り子集合	きかくさんしょうくぎりししゅうごう	reference delimiter set	この規格で定義し、規格参照具象構文の中で使われる区切り子集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11315	A		規格参照具象構文	きかくさんしょうぐしょうこうぶん	reference concrete syntax	この規格で定義し、すべてのSGML宣言の中で使われる具象構文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11316	A		規格参照予約名	きかくさんしょうよやくめい	reference reserved name	この規格で定義した予約名。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11317	A		規格参照容量集合	きかくさんしょうようりょうしゅうごう	reference capacity set	この規格で定義した容量集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11318	A		規格参照量集合	きかくさんしょうりょうしゅうごう	reference quantity set	この規格で定義した量集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11319	A		記述的マーク	きじゅつてきまーく	descriptive markup	実行されるすべての処理から独立し、システムに依存しない方法で、文書の構造及び属性を記述するマーク。特に、要素構造を表現するために、タグを使用する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11320	A		機能文字	きのうもじ	function character	具象構文によって割り当てられ、マークとして認知された上でSGML機能を果たすマーク文字。データが許される文脈でマークとして認知されない場合は、データとして扱う(機能文字の記録開始RS及び記録終了REの場合のように、言語が特別の扱いを指示する場	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11321	A		機能文字識別引数	きのうもじしきべつひきすう	function character identification parameter	記録開始RS、記録終了RE及びSPACE機能に割り当てられた文字を識別するSGML宣言の引数。更に追加機能を定義することができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11322	A		記法識別子	きほうしきべつし	notation identifier	記法宣言中でデータ内容記法を識別する外部識別子。(備)記法が公開であれば、公開識別子とできる。そうでなければ、記法を解釈するためのプログラムを呼び出すのに十分な記述又はその他の情報とできる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11323	A		記法宣言	きほうせんげん	notation declaration	名前を記法識別子に結合するマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11324	A		記法属性	きほうぞくせい	notation attribute	要素の内容のデータ内容記法を識別する記法名を値とする属性。(備)明示的な内容参照がある場合には、要素の内容が空となるので、記法属性を用いてはならない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11325	A		記法名	きほうめい	notation name	記法宣言によってデータ内容記法に割り当てた名前。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11326	A		基本SGML文書	きほんSGMLぶんしょ	basic SGML document	規格参照具象構文、規格参照容量集合並びにマーク最小化機構SHORTTAG及びOMITTAGを使用した適合SGML文書。(備)基本SGML文書は、規格参照具象構文を使用するのでSHORTREF機構も使用することになる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11327	A		基本文書型	きほんぶんしょがた	base document type	前書きの中の最初の文書型宣言によって指定された文書型。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11328	A		基本文書要素	きほんぶんしょようそ	base document element	文書型が基本文書型である文書要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11329	A		共通識別子	きょうつうしきべつし	generic identifier	要素型を識別する名前。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11330	A		記録	きろく	record	文入力装置上の入力行に対応するSGML実体の区分であって、記録開始RS及び記録終了REによって区切られる。(備)1.文の書式付けによって作成される出力行と区別するために、行ではなく記録と呼ぶ。2.SGML実体は、複数の記録の文、一つの記録の文又は記録境界を全くもたない文(それは、文書中のどこか別の場所で記録境界文字が出現するか否かに依存して、記録の一部分又は記録の外側と考えることができる。)から構成さ	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11331	A		記録開始	きろくかいし	record start	具象構文によって割り当てられる記録の開始を表現する機能文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11332	A		記録境界文字	きろくきょうかいもじ	record boundary character	記録の境界を表現するマーク。(備)記録境界文字は、記録開始RS又は記録終了REからなる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11333	A		記録終了	きろくしゅうりょう	record end	具象構文によって割り当てられた記録の終了を表現する機能文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11334	A		空対応表	くうたいおうひょう	empty map	すべての区切り子が対応付けされていない短縮参照対応表。(備)空対応表は、明示的には宣言できないが、規格参照具象構文中で"#EMPTY"と表記されている予約名によっ	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11335	A		空白列	くうはくれつ	blank sequence	SPACE文字及び(又は)SEPCHAR文字の連続した列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11336	A		空連結集合	くうれんけつしゅうごう	empty link set	すべての結果要素型が暗黙的に決まっており、それらの属性が一つも指定されていない連結集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11337	A		区切り子(文字列)	くぎりし(もじれつ)	delimiter (string)	具象構文によって区切り子機能に割り当てられた文字列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11338	A		区切り子機能	くぎりしきのう	delimiter role	抽象構文によって定義され、具象構文によって割り当てられた文字列で表現され、マークの部品の識別又は(及び)データとマークとの区別を含む機能。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11339	A		区切り子集合	くぎりししゅうごう	delimiter set	抽象構文の区切り子機能に割り当てた区切り子の集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11340	A		区切り子集合引数	くぎりししゅうごうひきすう	delimiter set parameter	SGML宣言の具象構文引数の中にあって、宣言した具象構文の区切り子集合を識別する引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11341	A		区切り子文字	くぎりしもじ	delimiter characters	具象構文によって区切り子機能に割り当てられた文字列の中に出現する名前文字及び機能文字を除くSGML文字の種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11342	A		具象構文	ぐしょうこうぶん	concrete syntax (of SGML)	特定の区切り子文字、量、マーク宣言名などを抽象構文に結合する構文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11343	A		具象構文引数	ぐしょうこうぶんひきすう	concrete syntax parameter	文書要素及び(通常)前書きの中で使われる具象構文を識別するSGML宣言の引数。(備)構文参照文字集合、機能文字、回避文字、命名方法、区切り子使用法、予約名使用法及び量的特徴を識別する引数群からなる引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11344	A		群	ぐん	group	区切り子のgrpoとgrpcとの均衡対又は区切り子のdtgoとdtgcとの均衡対によってくくられた引数の一部分。(備)名前群、名前字句群、モデル群、データタグ群及びデータタグひな形群の5種類がある。名前、名前字句又はデータタグひな形群は、群を含むことはできない。しかし、モデル群はモデル群を含むことができ、データタグ群はデータタグひな形	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11345	A		結果文書型	けっかぶんしょがた	result document type (of a link)	連結処理の結果として生成される実現値の文書型。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11346	A		結果要素型	けっかようそがた	result element type (of a link)	結果文書型宣言の中で定義される要素型。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11347	A		結合記法(名)	けつごうきほう(めい)	associated notation (name)	その引数によって、対応するマーク宣言の対象と結合されている記法(名)。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11348	A		結合要素型	けつごうようそがた	associated element type	その引数によって、対応するマーク宣言の対象と結合されている要素型。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11349	A		原始文書型	げんしぶんしょがた	source document type (of a link)	連結処理の元である実現値の文書型。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11350	A		原始要素型	げんしようそがた	source element type (of a link)	原始文書型宣言で定義した要素型。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11351	A		現属性	げんぞくせい	current attribute	現在値(すなわち、最近指定された値)が省略時値となる属性。(備)開始タグは、現属性をもつ要素の最初の出現に対して省略できない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11352	A		現対応表	げんたいおうひょう	current map	要素内容又は連結型定義の中で短縮参照使用宣言によって現要素と結合された短縮参照対応表。(備)現要素が対応表と結合されていない場合、その直前の現対応表が新しい現対応表として継続する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11353	A		現付番	げんふばん	current rank	共通識別子を得るためにタグの中の付番核に付けられた10進数。(備)開始タグの場合、現付番は、同一の付番核又は同じ付番群の中の付番核をもつ最新の要素の付番である。終了タグの場合、現付番は、同一の付番核で最新の開いている要素の付番であ	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11354	A		現要素	げんようそ	current element	開始タグが新しく出現し(又はマーク最小化によって省略された)開いている要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11355	A		現連結集合	げんれんけつしゅうごう	current link set	要素内容又は連結型定義の中で連結集合使用宣言によって現要素と結合された連結集合。(備)現要素が連結集合と結合されていない場合、その直前の現連結集合を新しい現連結集合として継続する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11356	A		公開識別子	こうかいしきべつし	public identifier	公開文を識別する最小表記。(備)1.文書中の公開識別子は、公的公開識別子として解釈可能としてもよい。2.システムは、公開識別子からシステム識別子への変換に対して責	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11357	A		公開文	こうかいぶん	public text	単一文書の文脈又はシステム環境の範囲を超えて既知であり、公開識別子で使用可能な文。(例)この規格、登録された文書型定義、実体集合、要素集合、データ内容表記法又は他のマーク構成要素。(備)1.公開文は、出版済みの文と等価ではない。すなわち、制限なしの開かれた使用との関連はない。特に、公開文の所有者は、他人にそれを販売・供与、単一団体への使用の制限などの選択が許される。2.公開文は、文書の構成を共有し、実際に交換する文書の量を縮め、誤りの可能性を少なくして、使用を単純にす	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11358	A		公開文記述	こうかいぶんきじゅつ	public text description	公開文を記述する文識別子の一部分。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11359	A		公開文言語	こうかいぶんげんご	public text language	公開文の中に使われている自然言語を特定する文識別子の一部分。(備)データ、注釈及び(又は)定義される名前に使う自然言語を公開文言語とできる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11360	A		公開文種別	こうかいぶんしゅべつ	public text class	公開文が適合するSGMLマーク構成要素を識別する文識別子の一部分。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11361	A		公開文指示シーケンス	こうかいぶんしじしーけんす	public text designating sequence	公開文の中の文字集合の宣言のときに使われ、文字集合を指示するJIS X 0202に規定するエスケープシーケンスを含む文識別子の一部分。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11362	A		公開文表示版	こうかいぶんひょうじばん	public text display version	提供される装置機能又は使用される符号化方式を記述することによって、共通の公開文記述をもつ公開文ではないことを示す文識別子の一部分。(備)もし省略した場合、公開文は装置依存ではない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11363	A		公的公開識別子	こうてきこうかいしきべつし	formal public identifier	その所有者識別子及びその文識別子の構成要素が識別できるように、この規格に規定している規則に従い構成された公開識別子。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11364	A		公的公開識別子誤り	こうてきこうかいしきべつしあやまり	formal public identifier error	公的公開識別子の構成の誤り又は使用法の誤り。ただし、最小表記が適正でない場合を除く。(備)SGML宣言で構文表記"FORMAL YES"を指定した場合にだけ公的公開識別子誤りが起こる。最小表記としての公的公開識別子誤りは、それを指定しない場合でも	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11365	A		構文解析対象文字データ	こうぶんかいせきたいしょうもじでーた	parsed character data	解析され、マークが認知されている文の内容中に出現する0個以上の文字であって、解析中にマークとして認知されないので、データ文字として分類されるもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11366	A		構文参照文字集合	こうぶんさんしょうもじしゅうごう	syntax-reference character set	具象集合によって指定される文字集合であって、構文のすべての潜在利用者に既知であり、すべての重要なSGML文字を含むもの。(備)構文参照文字集合は、一緒に使う特定の文書又はシステム文字集合に無関係に具象構文を定義することを可能とする。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11367	A		固定属性	こていぞくせい	fixed attribute	指定値(もしあれば)が省略時値と同じでなければならない属性。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11368	A		小文字名前開始文字	こもじなまえかいしもじ	lower-case name start characters	具象構文によって追加された小文字の名前開始文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11369	A		小文字名前文字	こもじなまえもじ	lower-case name characters	具象構文によって追加された小文字の名前文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11370	A		固有選択字句	こゆうせんたくじく	inherently optional token	次のいずれかのモデル群字句。1)opt又はrep出現標識をもつもの。2)一つの字句が固有選択であるor群。3)すべての字句が固有選択であるand群又はseq群	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11371	A		合計容量	ごうけいようりょう	total capacity	すべての対象体容量の総和の限界。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11372	A		最小SGML文書	さいしょうSGMLぶんしょ	minimal SGML document	機構がなく規格参照容量集合をもち、核具象構文だけを使う適合SGML文書。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11373	A		参照	さんしょう	reference	他の文、実体又は単一文字のいずれかによって置換されるマーク。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11374	A		G0集合	G0しゅうごう	G0 set	図形文字符号拡張において、標準の呼出しである場合、文字集合位置中の128より小さい文字番号となる文書文字集合図形文字を表す仮想文字集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11375	A		識別子	しきべつし	identifier	識別するための単一の文字列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11376	A		識別子参照値	しきべつしさんしょうち	identifier reference value	属性値であって、同一文書中の要素に対して一つの識別子値として指定された名前。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11377	A		識別子参照並び	しきべつしさんしょうならび	identifier reference list	属性値であって、識別子参照値の並び。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11378	A		識別子値	しきべつしち	identifier value	属性値であって、要素を一意に識別する名前。(備)識別子値は、同一の文書中の他のいかなる識別子値と同じであってはならない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11379	A		字句	じく	token	必ず(須)又は任意選択の字句分離子によって境界をつけられた群の一部。その群は、完全な入れ子群(接続子を除く。)を含む。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11380	A		システム識別子	しすてむしきべつし	system identifier	外部実体を位置付けるため、ファイル識別子、格納場所、プログラム呼出し、データ列の位置又は他のシステム特有情報を特定するシステムデータ。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11381	A		システム宣言	しすてむせんげん	system declaration	適合SGMLシステムの文書に含まれる機構、容量集合、具象構文、文字集合、システム文字集合、解釈可能なデータ内容記法及び実行可能な検定サービスを特定する宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11382	A		システム文字集合	しすてむもじしゅうごう	system character set	特定のSGMLシステムで使う文字集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11383	A		10進数	10しんすう	digits	0から9までの10種のアラビア数字で構成する文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11384	A		実体	じったい	entity	一つの単位として参照される文字の集まり。(備)1.異なる著者によって書かれた本の章、規格外の文字又は写真のような対象は、独立した実体として保持することによって取り扱うことができる。2.実体の物理的な構成は、システム依存であり、ファイル、分割されたデータ集合の一部、データ構造の要素、記号表の項などの形式をとる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11385	A		実体管理系	じったいかんりけい	entity manager	複数の実体への使用を維持及び提供するファイルシステム又は記号表などのプログラム(プログラムの一部又はプログラムの組合わせ)。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11386	A		実体構造	じったいこうぞう	entity structure	一つ以上の実体へ分割された文書の構成。(備)最初の実体は、SGML文書実体であり、その実体に関連する他の実体がどこにあるかを示した実体参照を含む。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11387	A		実体参照	じったいさんしょう	entity reference	実体によって置換される参照。(備)名前付き実体参照及び短縮参照の2種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11388	A		実体集合	じったいしゅうごう	entity set	一緒に使われる実体宣言の集合。(備)実体集合は、公開文にすることができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11389	A		実体終了信号	じったいしゅうりょうしんごう	entity end (signal)	一つの実体の置換文の終了を示すシステムからの信号。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11390	A		実体宣言	じったいせんげん	entity declaration	参照を可能にするために、一つの実体にSGML名を指定するマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11391	A		(文書型の)実現値	(ぶんしょがたの)じつげんち	instance (of a document type)	文書型定義に適合する要素の階層に対するデータ及びマーク。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11392	A		実体文	じったいぶん	entity text	引数表記の中に置換文を含むことによって、又は外部識別子によって置換文を指定する実体宣言の引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11393	A		シフト機能	しふときのう	shift function	図形文字符号拡張において、図形文字集合を呼び出す制御文字又は制御文字列。(備)シングルシフト及びロッキングシフトの2種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11394	A		重要なSGML文字	じゅうようなSGMLもじ	significant SGML character	マーク文字又は最小データ文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11395	A		終了タグ	しゅうりょうたぐ	end-tag	要素の終わりを識別する記述的マーク。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11396	A		省略時実体	しょうりゃくじじったい	default entity	名前が宣言されていない一般実体参照によって参照される実体。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11397	A		省略時値	しょうりゃくじち	default value	属性指定がない場合に属性値を特定する属性定義の一部。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11398	A		省略タグ最小化引数	しょうりゃくたぐさいしょうかひきすう	omitted tag minimization parameter	開始タグ・終了タグの技術的に正しい省略が報告可能マーク誤りとみなされるかどうかを指定する要素宣言の引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11399	A		初期連結集合	しょきれんけつしゅうごう	initial link set	文書の開始時に出現し連結集合となるもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11400	A		所有者識別子	しょゆうしゃしきべつし	owner identifier	公開文の所有者又は創作者を識別する公開識別子の一部分。(備)ISO、登録及び未登録の3種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11401	A		処理指令	しょりしれい	processing instruction	文書処理を制御するシステム依存のデータからなるマーク。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11402	A		処理指令実体	しょりしれいじったい	processing instruction entity	参照時に、処理指令のシステムデータとして扱われる実体。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11403	A		充足字句	じゅうそくじく	satisfied token	出現した内容と一致する内容字句。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11404	A		状態見出し語	じょうたいみだしご	status keyword	マーク区間を無視すること、又はマーク区間を文字データ、置換可能文字データ若しくは構文解析対象として扱うことを指定するマーク区間宣言の引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11405	A		シングルシフト	しんぐるしふと	single shift	後に続く1文字だけに適用するシフト機能。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11406	A		真の部分要素	しんのぶぶんようそ	proper subelement	含んでいる要素のモデルによって許される部分要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11407	A		数	かず	number	10進数だけからなる名前字句。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11408	A		数字句	すうじく	number token	最初の文字が10進数である名前字句。(備)群の中に出現する数字句も字句の一種であるが、属性値として出現する数字句は字句とはみなさない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11409	A		数値指定文字参照	すうちしていもじさんしょう	numeric character reference	区切られた文字番号によって構成する文字参照。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11410	A		(属性指定並びの)正規化長さ	(ぞくせいしていならびの)せいきかながさ	normalized length (of an attribute specification list)	構成要素を区切ったり分離するために使われる実際の文字を無視し、構成要素当たり特別の固定数を数えることによって計算した長さ。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11411	A		制御シーケンス	せいぎょしーけんす	control sequence	それ以降の文字列の解釈、表現又はその他の処理を制御する機能制御文字で始まる文字の並び。(例)エスケープシーケンス。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11412	A		宣言済み具象構文	せんげんずみぐしょうこうぶん	declared concrete syntax	SGML宣言の具象構文引数によって記述された具象構文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11413	A		宣言部分集合	せんげんぶぶんしゅうごう	declaration subset	別の宣言を出現させることができるマーク宣言の部分。(備)宣言部分集合は、文書型、連結型及びマーク区間宣言の中でだけ出現する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11414	A		装置依存の公開文	そうちいぞんのこうかいぶん	device-dependent version of public text	公開文表示版に追加された部分だけ公的公開識別子が他の公開文とは異なる公開文。(備)支援する表示装置又は使用符号化方法を識別する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11415	A		(要素の)属性	(ようその)ぞくせい	attribute (of an element)	型及び内容を除く特質。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11416	A		属性指定	ぞくせいしてい	attribute specification	属性指定並びの構成要素であって、単一の属性値を特定するもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11417	A		属性(指定)並び	ぞくせい(してい)ならび	attribute (specification) list	一つ以上の属性(指定)の集まり。(備)属性(指定)並びは、開始タグ及び連結集合に出現する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11418	A		属性(定義)並び宣言	ぞくせい(ていぎ)ならびせんげん	attribute (definition) list declaration	属性(定義)並びを一つ以上の要素型と結合するマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11419	A		属性値表現	ぞくせいちひょうげん	attribute value literal	参照の置換及び機能文字を無視する又は変換することによって属性値として解釈された区切り文字列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11420	A		属性定義	ぞくせいていぎ	attribute definition	属性定義並びの構成要素である属性名、許容値及び省略値の定義。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11421	A		属性定義並び	ぞくせいていぎならび	attribute definition list	属性定義並び宣言の属性定義並び引数によって定義する一つ以上の属性定義の集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11422	A		(内容字句の)対応内容	(ないようじくの)たいおうないよう	corresponding content (of a content token)	内容字句に対応する文書の中の要素群及び(又は)データ。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11423	A		(短縮参照)対応表	(たんしゅくさんしょう)たいおうひょう	(short reference) map	短縮参照対応表宣言によって宣言された関連の名付けられた集合であって、各短縮参照区切り子は、一般実体名に対応付けられるか又は何も対応付けられない表。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11424	A		対象体容量	たいしょうたいようりょう	object capacity	実体文の文字、定義された実体などの特定の種類の対象体の容量制限。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11425	A		タグ	たぐ	tag	記述的マーク。(備)開始タグ及び終了タグの2種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11426	A		多符号核具象構文	たふごうかくぐしょうこうぶん	multicode core concrete syntax	多符号化した核具象構文であって、符号拡張が行われている場合に、そのマークとして認知しないもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11427	A		多符号基本具象構文	たふごうきほんぐしょうこうぶん	multicode basic concrete syntax	多符号化した基本具象構文であって、符号拡張が行われている場合に、その中でマークとして認知しないもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11428	A		多符号具象構文	たふごうぐしょうこうぶん	multicode concrete syntax	SGML文字として符号拡張制御文字を許す具象構文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11429	A		短縮参照(列)	たんしゅくさんしょう(れつ)	short reference (string)	具象構文によって短縮参照区切り子機能に割り当てられる文字列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11430	A		短縮参照区切り子機能	たんしゅくさんしょうくぎりしきのう	short reference delimiter role	具象構文によって0個以上の文字列で割当て可能な区切り子の役割。短縮参照文字列が認知された場合、短縮参照文字列は、一般実体の名前が現対応表で対応付けられていれば置換され、対応付けられていなければ分離子又はデータとして扱う。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11431	A		短縮参照集合	たんしゅくさんしょうしゅうごう	short reference set	一緒に使われる短縮参照対応表、短縮参照使用及び実体宣言の集合。(備)短縮参照集合は、公開文であってもよい。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11432	A		短縮参照使用宣言	たんしゅくさんしょうしようせんげん	short reference use declaration	短縮参照対応表と一つ以上の要素とを関連付け又は現要素に新しい現対応表を指定するマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11433	A		短縮参照対応表宣言	たんしゅくさんしょうたいおうひょうせんげん	short reference mapping declaration	短縮参照対応表を定義するマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11434	A		単純連結(処理定義)	たんじゅんれんけつ(しょりていぎ)	simple link (process definition)	応用によってすべて暗黙的に指定される結果要素型及び属性の連結(処理定義)。その連結属性は、一つの集合だけが指定でき、原始文書型を基本としなければならない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11435	A		置換可能引数データ	ちかんかのうひきすうでーた	replaceable parameter data	認知及び置換される引数実体参照中の又は文字参照中の文字データ。(備)置換可能引数データを終了するマークは、その中で参照される実体の置換文中では認知されな	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11436	A		置換可能文字データ	ちかんかのうもじでーた	replaceable character data	認知及び置換される一般実体参照中の又は文字参照中の文字データ。(備)置換可能文字データを終了するマークは、その中で参照される実体の置換文中では認知されな	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11437	A		置換文	ちかんぶん	replacement text	実体参照に置換される実体の文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11438	A		置換文字	ちかんもじ	replacement character	文字参照に置換される文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11439	A		注釈	ちゅうしゃく	comment	文書を使う人を補助する説明又は留意事項を含むマーク宣言の一部。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11440	A		注釈宣言	ちゅうしゃくせんげん	comment declaration	注釈だけを含むマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11441	A		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax (of SGML)	文書データにマークの付加を規定する構文であって、マークを表現するために使う特定文字に依存しない構文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11442	A		定義文字実体集合	ていぎもじじったいしゅうごう	definitional character entity set	実際には表示しない図形文字に対する実体名の定義を目的とする文字実体集合。(備)1.その公開識別子は、公開文表示版を含まない。2.システム処理中は、定義実体集合を特定の出力装置に対応する表示文字実体集合に代替する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11443	A		適合SGML応用	てきごうSGMLおうよう	conforming SGML application	適合SGML文書の要件を満たしている応用。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11444	A		適合SGML文書	てきごうSGMLぶんしょ	conforming SGML document	この規格に適合した文書。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11445	A		手続き	てつづき	procedure	特定の要素に働くように応用によって定義される処理。(備)1.単一の手続きは、一つ以上の要素型と関連付けられ、一つ以上の手続きが文書中の異なる位置の同一の要素型に働くことができる。2.手続きは、通常、手続き集合の一部である。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11446	A		手続き集合	てつづきしゅうごう	procedure set	与えられた応用の処理に対して、一諸に使われる手続きの集まり。(備)通常、SGML応用において、手続き集合は連結処理定義に対する応用処理を構成する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11447	A		データ	でーた	data	固有の情報内容を表現する文書文字のうち、マークとして認知されない文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11448	A		データ実体	でーたじったい	data entity	データとして宣言し、参照のときに構文解析しない実体。(備)これには、文字データ実体、特定文字データ実体及び非SGMLデータ実体の3種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11449	A		データ専用文字	でーたせんようもじ	dedicated data character	マークにならないSGML文字によって構成される文字種別。(備)その箇所は、データ文字としてだけ扱う。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11450	A		データ属性	でーたぞくせい	data attribute	特定のデータ内容記法に適合するデータの属性。(備)データ属性の値は、その記法に従って解釈する前に既知でなければならない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11451	A		データ内容	でーたないよう	data content	マークでもなく部分要素でもない要素内容の一部。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11452	A		データ内容記法	でーたないようきほう	data content notation	要素のデータ内容又はデータ実体の応用依存の表現法であって、通常の文書文字集合の意味を拡張又は変更を表す。(備)記法属性によって要素内容を指定し、実体宣言の記法名引数によってデータ実体を指定する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11453	A		データタグ	でーたたぐ	data tag	開いている要素のデータタグ形式に適合する列。(備)開いている要素の終了タグ及びデータタグを含む要素の中の文字データとして作用する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11454	A		データタグ群	でーたたぐぐん	data tag group	データタグ形式と目標とする要素型とを結合するモデル群の字句。(備)目標とする要素の実現値の中で、データ内容及び部分要素のデータ内容からデータタグ形式に適合する列が探索される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11455	A		データタグ形式	でーたたぐけいしき	data tag pattern	適正な文脈中で出現した場合にデータタグを構成する列を特定するデータタグ群の字句。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11456	A		データ文字	でーたもじ	data character	文脈中でデータとして宣言されているか又はマークとして認知しないことによって、データとして解釈されるSGML文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11457	A		点	てん	point	記憶装置の相対的要求量を大雑把に指し示す容量の測定単位。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11458	A		添加部分要素	てんかぶぶんようそ	included subelement	親要素に許されていないが、添加の例外によって許された部分要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11459	A		添加要素	てんかようそ	inclusions	適用モデルが許していなくても、要素又はその部分要素の内容中のどこにでも許されている要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11460	A		等価参照列	とうかさんしょうれつ	equivalent reference string	実体参照、記録終了RE及び(又は)記録開始RSを含む文字列であって、文書が短縮参照を支持する具象構文から短縮参照を支持しない具象構文へ変換されたときに短縮参照を置換する文字列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11461	A		登録所有者識別子	とうろくしょゆうしゃしきべつし	registered owner identifier	ISO 9070に従って構成した所有者識別子。(備)登録所有者識別子は、所有者識別子の中で一意であり、ISO所有者識別子及び未登録所有者識別子とは異なる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11462	A		特定文字データ実体	とくていもじでーたじったい	specific character data entity	参照時に、実体のもつ文が文字データとして扱われる実体。特定のシステム、装置又は応用処理に依存する。(備)特定文字データ実体は、通常、異なった応用、システム又は出力装置に対して再定義すべきである。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11463	A		内容	ないよう	content	文書の中で要素の開始タグと終了タグとの間に出現する文字。(備)1.その文字は、データ、真の部分要素、添加部分要素、その他のマーク又はこれらが混在したものとして解釈される。2.要素が明示内容参照又はその宣言済み内容が"EMPTY"ならば、内容は空である。その場合、応用自身が内容のデータを生成してもよい。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11464	A		内容規則	ないようきそく	content convention	長さに関する制限、許される文字、英大文字及び英小文字の使用などのデータ内容を統制する応用規則。(備)内容規則は、本質的に非公式のデータ内容記法であって、通常、一つの要素型に制限される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11465	A		内容参照属性	ないようさんしょうぞくせい	content reference attribute	内容データを生成するために応用によって参照される暗示属性。(備)要素が明示内容参照をもつ場合、文書の中で要素内容は空である。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11466	A		内容モデル	ないようもでる	content model	許容できる要素内容を定義するモデル群及び例外を指定する要素宣言の引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11467	A		内容モデル入れ子水準	ないようもでるいれこすいじゅん	content model nesting level	内容モデルの中で対応する区切り子終了(grpc又はdtgc)がない開始の区切り子(grpo又はdtgo)の最大数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11468	A		名前	なまえ	name	最初の文字が名前開始文字である名前字句。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11469	A		名前開始文字	なまえかいしもじ	name start character	名前を開始できる文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11470	A		名前群	なまえぐん	name group	名前の連なり。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11471	A		名前字句	なまえじく	name token	名前文字だけからなる文字列。その長さは、NAMELEN量によって制限される。(備)群の中に出現する名前字句も字句であるが、属性値として出現する名前字句は、字句ではな	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11472	A		名前字句群	なまえじくぐん	name token group	名前字句の連なり。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11473	A		名前指定実体参照	なまえしていじったいさんしょう	named entity reference	実体宣言によって宣言された一般実体又は引数実体(おそらく文書型指定によって修飾されている。)の区切られた名前から構成する実体参照。(備)もし省略時実体が宣言されているならば、一般実体参照は、宣言されていない名前をもつことができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11474	A		名前指定文字参照	なまえしていもじさんしょう	named character reference	区切られた機能名からなる文字参照。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11475	A		名前文字	なまえもじ	name character	名前の中に現れることのできる文字。その文字は、名前開始文字、10進数及びその他の具象構文で指定される文字のいずれかである。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11476	A		入手可能公開文	にゅうしゅかのうこうかいぶん	available public text	一般公開され、入手が可能な公開文。(備)所有者が料金の支払又はその他制約の履行を要求する場合がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11477	A		入手不能公開文	にゅうしゅふのうこうかいぶん	unavailable public text	所有者によって選択され制限された人だけに入手可能な公開文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11478	A		排除要素	はいじょようそ	exclusions	適応可能な内容モデル及び添加が任意に許容しても、ある要素の内容中及び部分要素中に許されない要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11479	A		非SGMLデータ実体	ひSGMLでーたじったい	non-SGML data entity	この規格に従って解釈されない文字をもつ実体であり、認知されないもの。(備)非SGMLデータ実体の解釈は、データ内容記法によって規制され、別の規格によって定義される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11480	A		非SGML文字	ひSGMLもじ	non-SGML character	文書文字集合中の文字であって、符号化表現がSGML実体中に現れてはならないもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11481	A		引数	ひきすう	parameter	引数分離子によって連結されているマーク宣言の一部。引数が更に他の引数を含んでもよい。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11482	A		引数表記	ひきすうひょうき	parameter literal	区切られた置換可能な引数データからなる引数又は字句。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11483	A		引数実体	ひきすうじったい	parameter entity	マーク宣言引数から参照することができる実体。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11484	A		引数実体参照	ひきすうじったいさんしょう	parameter entity reference	引数実体への名前付き実体参照。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11485	A		引数分離子	ひきすうぶんりし	parameter separator	マーク宣言中に出現する引数を分離するもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11486	A		必す(須)属性	ひっすぞくせい	required attribute	属性値のための属性指定が常に存在しなければならない属性。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11487	A		表示文字実体集合	ひょうじもじじったいしゅうごう	display character entity set	対応する定義の文字実体集合と同じ実体名をもつ表示される文字の実体集合。これは、対応する定義の文字実体集合の装置依存版である。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11488	A		開いている実体	ひらいているじったい	open entity	既に参照されているが、その実体終了がまだ出現していない実体。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11489	A		開いているマーク区間宣言	ひらいているまーくくかんせんげん	open marked section declaration	マーク区間開始が出現しているが、マーク区間終了がまだ出現していないマーク区間宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11490	A		開いている要素	ひらいているようそ	open element	開始タグは既に出現しているが、終了タグが出現していない要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11491	A		B列	Bれつ	B sequence	大文字Bの連続した文字列。短縮参照として割り当てられた文字列の中で、その文字Bの個数以上の長さをもつ空白列を意味する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11492	A		不活性機能文字	ふかっせいきのうもじ	inert function character	無効という追加SGML機能をもつ機能文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11493	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	同じビット数のビット組合せの一つ以上の並びで文字を表現したもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11494	A		符号集合	ふごうしゅうごう	code set	順序付けられた同じビット数のビット組合せの集合。(例)ビット組合せが8ビット(8ビット符号)の符号集合は、00000000～11111111までの値の範囲(10進数で0から255)で256のビット組合せ又はそれらのビット組合せのあらゆる連続した部分集合を構成する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11495	A		符号集合位置	ふごうしゅうごういち	code set position	符号集合の中のビット組合せの位置を表す数値。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11496	A		付番核	ふばんかく	rank stem	現付番を追加することによって共通識別子名を導き出すことのできる名前。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11497	A		付番群	ふばんぐん	ranked group	同じ現付番を共用する付番核の集まり。(備)付番核が群の中のいかなる付番要素の開始の場合においても、その付番は群中のすべての付番核に対する現付番となる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11498	A		付番要素	ふばんようそ	ranked element	付番核及び付番から構成される共通識別子をもつ要素。(備)付番要素の開始の場合、その付番は、その付番核及び(もしあるならば)付番核が要素の付番群中の付番核に対する現付番となる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11499	A		付番	ふばん	rank suffix	共通識別子を形成するために付番核に付加される番号。(備)番号は、通常1から始まる連番であり、結果の共通識別子は、それらの要素の相対的な付番を示す。(例)頭書きの場合、付番核をHとすると、頭書きの要素の水準はH1、H2、H3などとなる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11500	A		部分要素	ぶぶんようそ	subelement	要素の内容(親要素)において出現する要素であって、親要素が現要素である場合に開始するもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11501	A		文	ぶん	text	文字の並んだもの。(備)それらの文字は、普通の文字集合での意味又はデータ内容記法による図形、画像などとして解釈される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11502	A		文識別子	ぶんしきべつし	text identifier	同じ所有者識別子をもつ他の公開文から区別するために公開文を識別する公開識別子の一部分。(備)公開文種別、任意選択の入手不能標識、公開文記述、公開文言語及び任意選択の公開文表示版から構成される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11503	A		文書	ぶんしょ	document	1単位として処理される情報の集まりを記述したもの。(備)この規格の中では、普遍的にSGML文書を意味する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11504	A		文書型	ぶんしょがた	document type	同一の特性をもつ文書の型。(例)日誌、記事、技術手順書又は書簡。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11505	A		文書型指定	ぶんしょがたしてい	document type specification	タグ又は実体参照が処理される範囲で文書型を識別するタグの一部又は実体参照の一部。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11506	A		文書型宣言	ぶんしょがたせんげん	document type declaration	形式指定を含んでいる文書型定義のマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11507	A		文書型宣言部分集合	ぶんしょがたせんげんぶぶんしゅうごう	document type declaration subset	文書型宣言の宣言部分集合の中で出現する要素、実体及び短縮参照集合。(備)文書型宣言から参照される外部実体は、宣言部分集合の部分と考えられる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11508	A		文書型定義	ぶんしょがたていぎ	document type definition	応用によって定義される特定の型の文書のマークにSGMLを応用する規則。(備)1.文書型定義は、文書型宣言中に記述され、要素型、要素関係及び属性の形式指定とマークによって表現できる参照とからなる。それによって、SGMLが構文を定義するためのマークの語いを定義する。2.文書型定義は、要素の意味、属性の意味及びすべての応用の	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11509	A		文書実現値	ぶんしょじつげんち	document instance	文書型の実現値。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11510	A		文書実現値集合	ぶんしょじつげんちしゅうごう	document instance set	一つ以上の文書型の実現値からなる実体構造の中のSGML文書実体又はSGML部分文書実体の一部。(備)並行して出現する実現値機構が使用されている場合、複合の実現値が一つの文書の中に存在することができ、マーク及びデータがその中で共有される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11511	A		文書処理応用	ぶんしょしょりおうよう	text processing application	関連した型の文書処理の集合。(例)1.ソフトウェア開発者のための技術手引書の出版の場合は、次のようになる。文書型は、設置手引書、操作手引書及び保守手引書を含む。処理は、各種出力装置のための作成、校正、書式付け、ページ割り付けなどからなる。(例)2.出版協会員の著者による原稿の準備の場合は、次のようになる。文書型は、本、雑誌、記事などからなる。処理は、出版者が自身の書式付け及び印刷手段をもつので、作成だけを定義する。(例)3.事務連絡文書の場合は、次のようになる。文書型は、書簡、郵便の履歴及び報告書を含む。処理は、作成、校正、簡単な書式付け、格納、検索、書	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11512	A		文書体系	ぶんしょたいけい	document architecture	文書処理応用の形式化のための規則。(例)文書体系は、次のものを定義できる。1.多様な要素定義に対する属性の意味。2.要素クラス及び要素がもつ属性。3.要素クラスの言葉の中で文書型を定義するための構造規則。4.連結処理及び属性の値による影響。5.交換時に文書に伴う情報(文書概要)。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11513	A		文書文字集合	ぶんしょもじしゅうごう	document character set	SGML文書の中のすべてのマーク及びデータに使用される文字集合。(備)文書がシステム間で交換される場合、文字集合は受信側システムの文字集合に翻訳される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11514	A		文書要素	ぶんしょようそ	document element	文書型の実現値の最も外側にある要素であって、その要素の共通識別子となる文書型名をもつ要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11515	A		文脈上の選択字句	ぶんみゃくじょうのせんたくじく	contextually optional token	次のいずれかの場合の内容字句。(a)固有選択字句である内容字句。(b)出現標識plusをもつ充足字句。(c)モデル群自身が文脈上の選択字句であるモデル群の中にあって、充足字句でない。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11516	A		文脈上の選択要素	ぶんみゃくじょうのせんたくようそ	contextually optional element	(a)それが添加のときだけ出現できる。(b)その時点で適用可能なモデル群の中において、その要素の内容字句が文脈上の選択字句。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11517	A		文脈上の区切り子	ぶんみゃくじょうのくぎりし	delimiter-in-context	同じ実体の中で文脈列が直接続く区切り子列で構成される文字列。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11518	A		文脈上の必す(須)字句	ぶんみゃくじょうのひっすじく	contextually required token	次の(a)～(b)のいずれかの場合の内容字句。(a)そのモデル群の中にそれだけしか存在しない。(b)次の1.～2.の二つの条件を満たすseq群。1.それ自身が文脈上の必要な字句又は充足字句を含む。2.先行するすべての充足字句又は文脈上の選択字句。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11519	A		文脈上の必す(須)要素	ぶんみゃくじょうのひっすようそ	contextually required element	文脈上の選択要素でなく、次の(a)～(b)のいずれかの場合である要素。(a)その共通識別子が文書型名。(b)その時点で適用可能な内容モデル字句が文脈上必す。(備)要素は、文脈上必すでもなく選択でもないことがある。例えば、その時点で適用可能な内容モデル字句がor群の中にあり、しかもそのor群に固有選択字句がない場合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11520	A		文脈列	ぶんみゃくれつ	contextual sequence	文字列が区切り子として認識されるために、同一実体の中で区切り子列に続かなければならない一つ以上のマーク文字の並び。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11521	A		分離子	ぶんりし	separator	文の構造を分けるための記号s、ds、ps又はts。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11522	A		分離子文字	ぶんりしもじ	separator character	分離子中で許容される機能文字から構成する文字種別。記録終了REが間隔に置換される場合、それらの文脈中で間隔に置換される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11523	A		変形(適合)SGML文書	へんけい(てきごう)SGMLぶんしょ	variant (conforming) SGML document	変形具象構文を使う適合SGML文書。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11524	A		変形具象構文	へんけいぐしょうこうぶん	variant concrete syntax	規格参照具象構文又は核具象構文以外の具象構文。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11525	A		報告可能マーク誤り	ほうこくかのうまーくあやまり	reportable markup error	この規格に適合した文書を、活性文書及び連結型に関して構文解析した場合に生ずる誤りで、(要素型を識別できない共通識別子のような)意味誤り及び次の場合を除く。(a)あいまいな内容モデル。(b)内容モデル中の字句の必す又は任意選択の状態を変更できる排除。(c)容量限界の超過。(d)SGML宣言の誤り。(e)あいまいさを生ずるタグの省略。(f)非SGML文字の出現。(g)公的公開識別子の誤り。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11526	A		マーク	まーく	markup	情報を伝達するために文書のデータに付け加えられた文字。(備)記述的マーク(タグ)、参照、マーク宣言及び処理指令の4種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11527	A		マーク規則	まーくきそく	markup convention	実体名の形式化のための規則又は許された短縮参照区切り子の好ましい部分集合のようにマークを統制する応用規則。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11528	A		マーク区間	まーくくかん	marked section	特別の目的のために認知される文書の区間。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11529	A		マーク区間開始	まーくくかんかいし	marked section start	マーク区間宣言を開く区切り子。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11530	A		マーク区間終了	まーくくかんしゅうりょう	marked section end	マーク区間宣言を閉じる区切り子。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11531	A		マーク区間宣言	まーくくかんせんげん	marked section declaration	マーク区間を識別し、その取扱いを指定するマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11532	A		マーク区間の有効状態	まーくくかんのゆうこうじょうたい	effective status of a marked section	マーク区間宣言で指定される優先順位の最も高い状態見出し語。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11533	A		マーク最小化機構	まーくさいしょうかきこう	markup minimization feature	タグの短縮、省略又は実体参照の短縮によってマークが最小化されることを許すSGMLの機構。(備)マーク最小化機構は、文書型定義に影響しないので、省略されたマークを回復することによって、これらの機構を支持しないシステムに最小化された文書を送ることができる。SHORTTAG、OMITTAG、SHORTREF、DATATAG及びRANKの5種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11534	A		マーク宣言	まーくせんげん	markup declaration	文書の中のマークの解釈を制御する宣言。(備)SGML、実体、要素、属性定義並び、記法、文書型、連結型、連結集合、連結使用、マーク区間、短縮参照対応表、短縮参照使用及び注釈の13種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11535	A		マーク付け	まーくづけ	mark up	文書にマークを付け加えること。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11536	A		マーク文字	まーくもじ	markup character	文脈に依存してマーク又はデータとして解釈可能なSGML文字。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11537	A		マーク認知開始文字	まーくにんちかいしもじ	markup-scan-in characters	マーク認知終了文字の出現するまで、マーク認知がされている状態にする機能文字から構成される文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11538	A		マーク認知終了文字	まーくにんちしゅうりょうもじ	markup-scan-out characters	マーク認知開始文字又は実体終了が出現するまでマーク認知を抑止する機能文字から構成される文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11539	A		マーク認知抑止文字	まーくにんちよくしもじ	markup-scan-suppress characters	同一の実体中で、すぐ後に続く文字のマークの認知を抑止する機能文字からなる文字種別。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11540	A		前書き	まえがき	prolog	SGML文書又はSGML部分文書実体の一部分であって、文書型宣言及び連結型宣言を行うもの。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11541	A		見出し語	みだしご	keyword	具象構文によって定義された予約名である引数。(備)引数としては、見出し語又は応用が定義した名前を指定できるが、見出し語の前には、いつでも予約名標識が付く。そのため、具象構文によって使われているかどうかに関係なく、応用が名前を定義できる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11542	A		未登録所有者識別子	みとうろくしょゆうしゃしきべつし	unregistered owner identifier	登録所有者識別子及びISO所有者識別子と区別可能な所有者識別子。(備)登録規格に従って構成されていないので、他の未登録所有者識別子と重複することがある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11543	A		明示内容参照	めいじないようさんしょう	explicit content reference	属性指定中に規定された内容参照。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11544	A		明示連結(処理定義)	めいじれんけつ(しょりていぎ)	explicit link (process definition)	結果要素型及びその属性の連結(処理定義)であって、複数の連結属性値の集合を指定することができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11545	A		命名方法引数	めいめいほうほうひきすう	naming rules parameter	標準の名前英文字種別への追加の指定並びに英大文字への代替の指定のSGML宣言の引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11546	A		目的要素	もくてきようそ	target element	それがもつ共通識別子がデータタグ群で指定される要素。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11547	A		黙示属性	もくしぞくせい	impliable attribute	属性指定の必要がない属性であって、その属性値は、指定されない場合、応用によって定義される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11548	A		文字	もじ	character	文字レパートリで定義されて個々に意味をもつ情報の原子(atom)。(備)1.図形文字及び制御文字の2種類がある。2.文字は、文脈上に出現し、マーク又はデータ内容記法によって定義され、文字レパートリの中でその意味を変更又は補足する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11549	A		文字参照	もじさんしょう	character reference	1文字に置換される参照。(備)名前指定文字参照及び数値指定文字参照の2種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11550	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	各々の文字が符号化表現で関連付けられるような符号集合に割り当てた文字レパートリ。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11551	A		文字種別	もじしゅべつ	character class	非SGML文字又は分離子文字のように、抽象構文の中で共通の目的をもつ文字集合。(備)特定の文字が次の4通りの方法で文字種別へ割り当てられる。1.抽象構文によって明示する方法(Special、Digit、LC Letter及びUC Letter)。2.具象構文によって明示する方法(LCNMSTRT、FUNCHAR、SEPCHARなど)。3.区切り子機能又はその他の文字種別への明示的な割当て結果のように、絶対的な方法(DELMCHAR及びDATACHAR)。4.文書文字集合によって明示する方法(NONSGML)。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11552	A		文字実体集合	もじじったいしゅうごう	character entity set	図形文字である一般実体からなる公開実体集合。(備)1.文字実体は、文書文字集合の中で符号化表現をもたない文字を表すため、又は容易にけん盤から入力できない文字若しくはビット組合せが、すべての出力装置で適切に表示することのできない文字を装置に独立にするために使用される。2.定義用及び表示用の2種類の実体がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11553	A		文字データ	もじでーた	character data	文字データの終わりを示す区切り子のほかにはマークがない文脈に出現する文字。(備)そのような文字は、データ文字として宣言されるので、データ文字に分類される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11554	A		文字データ実体	もじでーたじったい	character data entity	参照された文字データであって、特定システム、装置及び応用処理に依存しない文の実体。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11555	A		文字番号	もじばんごう	character number	文字の符号化表現を等価の10進数で表す番号。(備)ビット組合せの並びを一つ以上の2進数として取り扱うことで得られる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11556	A		文字レパートリ	もじれぱーとり	character repertoire	同時に使用される文字の集合。(備)1.各々の文字又は複合文字の制御シーケンスに対して、意味を定義することができる。2.文字が制御シーケンスの中に出現した場合、その並びの意味は、個々の文字の意味を破棄する。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11557	A		モデル群	もでるぐん	model group	内容モデルの構成要素。その構成要素は、要素の内容中の要素及び文字列の出現の順番を指定する。ただし、要素の内容モデル中及び他の開いている要素の内容モデル中に指定した例外によって修正される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11558	A		要素	ようそ	element	文書型宣言によって定義される階層構造の構成要素。(備)1.通常は、開始タグ及び終了タグである記述的マークによって文書実現値の中で識別される。2.要素は、特定の要素型に分類される。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11559	A		要素型	ようそがた	element type	同一の特性をもつ要素の組の型。(例)章、節、要約、注釈、目録など。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11560	A		要素型定義	ようそがたていぎ	element type definition	特定の型の要素のマークに対してSGMLを応用する応用に特有の規則。(備)要素型定義は、要素定義並び宣言の中及び属性定義並び宣言の中に記述され、特定の要素型に許容された内容、マーク最小化機構及び属性の形式を含む。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11561	A		要素型引数	ようそがたひきすう	element type parameter	定義の要素の型を識別する要素宣言の引数。(備)独立した共通識別子及び名前群の構成要素の形式によって直接的に、又は付番要素若しくは付番群の構成要素によって間接的に指定することができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11562	A		要素構造	ようそこうぞう	element structure	各階層が異なる文書型定義に適合する要素の階層的な文書の構成。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11563	A		要素集合	ようそしゅうごう	element set	共用される要素宣言の集合。(備)要素集合は、公開文にすることができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11564	A		要素宣言	ようそせんげん	element declaration	内容及びマーク最小化構成を処理する要素型宣言の形式指定からなるマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11565	A		容量	ようりょう	capacity	対象の一部又は全体に対し積算した文書内容の量又は複雑さに付けられた制限。(備)容量集合は、抽象構文によって定義されるが、値は個々の文書及びSGMLシステムによって割り当てられる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11566	A		容量集合	ようりょうしゅうごう	capacity set	容量名に対する数値の割当ての集合。(備)SGML宣言の中で、容量集合は文書の最大容量要件とみなされる。容量集合は、応用が処理できなければならない文書の容量要件を制限するために応用によって定義すること、又はシステムが動作できる容量要件を指定するためにシステムによって定義することができる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11567	A		予約名	よやくめい	reserved name	具象構文によって定義される名前。(備)そのような名前は、この規格では構文表記として出現する(4.2参照)。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11568	A		予約名使用引数	よやくめいしようひきすう	reserved name use parameter	規格参照予約名に対する宣言済み具象構文において、置換を指定するSGML宣言の引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11569	A		量	りょう	quantity	マークの数的制限。(例)名前の最大長又は開いている要素の入れ子の最大の深さ。(備)量は、抽象構文によって定義されるが、特定の値が具象構文によって割り当てられ	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11570	A		量集合	りょうしゅうごう	quantity set	量の名前に対する数値の割当ての集合。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11571	A		例外	れいがい	exceptions	添加の制限及び排除の禁止によって、要素の内容モデル及びその要素の中にある要素の内容モデルの効果を書き変える要素宣言の引数。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11572	A		(文字)列	(もじ)れつ	(character) string	文字の並び。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11573	A		連結型宣言	れんけつがたせんげん	link type declaration	連結処理定義の形式指定をするマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11574	A		連結型宣言部分集合	れんけつがたせんげんぶぶんしゅうごう	link type declaration subset	連結型宣言の宣言部分集合中に出現する実体集合、連結属性集合、連結集合及び連結集合使用宣言。(備)連結型宣言からの外部実体参照は、宣言部分集合の部分とみな	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11575	A		連結集合	れんけつしゅうごう	link set	連結集合宣言によって結合を宣言された名前付き集合であって、原始文書型の要素が結果文書型の要素と連結され、それぞれの要素について、原始連結属性と結果要素属性とを指定できる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11576	A		連結集合宣言	れんけつしゅうごうせんげん	link set declaration	連結集合を定義するマーク宣言。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11577	A		連結処理	れんけつしょり	link process	現存する同じ又は別の文書型の実現値(原始文書型)から新しい幾つかの文書型の実現値(結果文書型)を生成する処理であって、その結果が次処理への入力となるように連鎖できる。(備)編集を含むような連結処理の場合は、原始文書型及び結果文書型が通常同じであるが、書式付けの場合は通常異なる。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11578	A		連結処理定義	れんけつしょりていぎ	link process definition	連結処理を記述するためにSGMLに適用する応用特定規則。連結処理定義、原始要素と結果要素との間の連結の連結宣言の中で表現される形式指定を含み、その連結処理に適用可能な原始属性(連結属性)の定義を含む。(備)1.連結処理定義は、連結属性の意味及び処理上の効果を含め、処理の意味を記述する注釈も含むことができる。2.連結処理定義には、単純、暗黙及び明示の3種類がある。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11579	A		連結処理の連鎖	れんけつしょりのれんさ	chain of link processes	最初の処理の元が基本文書型の実現値であって、途中の処理の結果が次の元を形成して順次実行されるような処理の連なり。(備)鎖のどの部分でも繰り返すことができる。例えば、複雑なページ割付け応用は、論理・棒組・ページの三つの文書型及び両端そろえ・行数算出(ページ組)の二つの連結処理を含むことができる。両端そろえ処理は、論理文書の実現値から棒組の実現値を生成し、行数算出処理は、棒組からページを次々と生成する。二つの処理は、行数算出が異なった大きさで棒組の両端そろえを要求する間は	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11580	A		連結属性	れんけつぞくせい	link attribute	原始文書実現値の特定の処理の文脈においてだけ意味のある原始要素型の属性。	JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11581	A		リテラル	りてらる	literal		JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11582	A		キーワード	きーわーど	keyword		JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11583	A		命名規則	めいめいきそく	naming rule		JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11584	A		オプション	おぷしょん	option		JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11585	A		サポートする	さぽーとする	support		JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11586	A		構文参照	こうぶんさんしょう	syntax-reference		JIS X 4151	1992	ISO 8879 & Amd.1	1986				1986	SC34
11587	A		DTD宣言	DTDせんげん	DTD declarations	文書型宣言部分集合の中に現れるマーク付け宣言。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11588	A		外部部分集合	がいぶぶぶんしゅうごう	external subset	文書型宣言部分集合のうち、外部宣言実体中に存在する部分。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11589	A		内部部分集合	ないぶぶぶんしゅうごう	internal subset	文書型宣言部分集合のうち、文書型宣言のdsoとdscとの間に現れる部分。dso及びdscが省略された場合、内部部分集合は、存在しないのではなく、空となる。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11590	A		外部部分集合実体	がいぶぶぶんしゅうごうじったい	external subset entity	文書型宣言の外部識別子パラメタによって宣言され、内部部分集合の末尾で(暗黙的に)参照される実体。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11591	A		完全宣言済み文書インスタンス	かんぜんせんげんずみぶんしょいんすたんす	fully-declared document instance	文書インスタンスであって、それに関連付けられた文書型宣言が、この規格の本体によってインスタンスに必要とされるすべてのDTD特性を表現するのに十分なマーク付け宣言を含み、それらの特性を修正するDTDデータ実体を含まないもの。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11592	A		完全タグ付き文書インスタンス	かんぜんたぐつきぶんしょいんすたんす	fully-tagged document instance	すべての要素に対して終了タグ及び共通識別子付き開始タグが存在し、開始タグ中のすべての属性指定に属性名が存在する文書インスタンス。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11593	A		型妥当文書インスタンス	かただとうぶんしょいんすたんす	type-valid document instance	この規格の本体が要求するとおりであって、関連付けられた文書型宣言中で表現されたDTD特性に適合する文書インスタンス。DTD特性の表現は、マーク付け宣言、DTDデータ実体、又はその両方による。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11594	A		充足タグ付き文書インスタンス	じゅうそくたぐつきぶんしょいんすたんす	amply-tagged document instance	文書型宣言へのアクセスを必要としない範囲内でマーク付け最小化を用いている文書インスタンス。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11595	A		直接再帰要素	ちょくせつさいきようそ	immediately recursive element	同じ型の下位要素をその直接の内容として含む要素。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11596	A		完結記憶文書インスタンス	かんけつきおくぶんしょいんすたんす	integrally-stored document instance	すべての要素及びマーク付き区間が、それが開始した実体の中で終了する文書インスタンス。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11597	A		参照なし文書	さんしょうなしぶんしょ	reference-free document	定義済みデータ文字実体への参照を除いて、実体参照を含まないSGML文書。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11598	A		外部参照なし文書	がいぶさんしょうなしぶんしょ	external-reference-free document	外部実体参照を含まないSGML文書。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11599	A		定義済みデータ文字実体	ていぎずみでーたもじじったい	predefined data character entity	重要なSGML文字をデータとして参照するために使用される、構文参照文字集合中の文字番号と関連付けられた一般実体。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11600	A		空白	くうはく	white space	SEPCHAR、SPACE、RE及びRSの各機能に割り当てられた文字。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11601	A		強制空要素	きょうせいそらようそ	mandatorily empty element	EMPTYと宣言された型の要素、又は明示的な内容参照属性によって、強制的にEMPTYとなった要素。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11602	A		DTD記法	DTDきほう	DTD notation	DTD特性を表現することができるデータ記法。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11603	A		DTD特性	DTDとくせい	DTD properties	マーク付け宣言によって指定できるクラス及び特性。次に示すグローブ設計によって定義される。<!DOCTYPE DOCTYPE grovplan PUBLIC "ISO/IEC 10744:1997//DTD Grove Plan//EN"><grovplan propset=SGMLProp id=dtdprops><title>DTD Properties Grove Plane</title><desc>Classes and properties that are specifiable by DTD declarations.They are needed to parse and validate a document instance.</desc><inclmod>palgabs0 prlgabs1 dtgabs rankabs srabs subdcabs fpiabs arcabs fsiabs dafeabs gadcabs pelement </inclmod><inclclas>sgmldoc doctpdcl</inclclas><omitprop classes="sgmldoc">appinfo epilog</omitprop></grovplan>	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11604	A		パラメタ実体	ぱらめたじったい	parameter entity	外部部分集合実体であるか、又はパラメタ実体名を付けて宣言された実体。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11605	A		DTDデータ実体	DTDでーたじったい	DTD data entity	宣言中に記法名を含む外部パラメタ実体。	JIS X 4151 追補2	2001	ISO 8879/Cor.2	1986/1999				1999	SC34
11606	A		領域	りょういき	area	固定の幅及び高さをもつ四角形であって、流し込みオブジェクトをフォーマット処理して生成する。領域を表示媒体に可視化することによって、(図形、グリフ像などの)マークの集合を生成する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11607	A		関連	かんれん	association	照会式、変換式及び優先順位式から成る三つ組。優先順位式は、無指定時には0と解釈する。関連は、変換処理を制御するために用いる。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11608	A		原子流し込みオブジェクト	げんしながしこみおぶじぇくと	atomic flow object	ポートをもたない流し込みオブジェクト。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11609	A		補助グローブ	ほじょぐろーぶ	auxiliary grove	他のグローブ内のノードを解析することによって生成したグローブ。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11610	A		特質	とくしつ	characteristic	流し込みオブジェクトがもつ名前付きパラメタ。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11611	A		完全グローブ	かんぜんぐろーぶ	complete grove	特性集合からすべてのクラス及び特性を選択したグローブ設計を用いて構築したグローブ。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11612	A		構成要素名	こうせいようそめい	component name	特性集合内で定義した名前であって、参照具象構文名・応用名・完全名の3形式をもつ。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11613	A		生成起点	せいせいきてん	creation origin	結果グローブ内のノード位置を指定する際に起点とするノード。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11614	A		子孫	しそん	descendants	子ノードの部分木の和集合。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11615	A		列挙値	れっきょち	enumerator	データ型enumerationのとり得る値。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11616	A		流し込みオブジェクト	ながしこみおぶじぇくと	flow object	フォーマタが実行する処理の指定。流し込みオブジェクトは、クラスをもつ。クラスは処理の種別を指定し、特質によって更にその詳細を指定する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11617	A		フォーマット処理系	ふぉーまっとしょりけい	formatting process	スタイル言語によって、その処理の一部を指定される処理系。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11618	A		グローブ	ぐろーぶ	grove	ノード型特性によってグラフ状に連結したノードの集合。グローブは、グローブ設計を用いて構築する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11619	A		グローブ設計	ぐろーぶせっけい	grove plan	特性集合から選択したクラス及び特性の集合。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11620	A		グローブ根	ぐろーぶこん	grove root	グローブ内において起点をもたない、一意のノード。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11621	A		内在特性	ないざいとくせい	intrinsic property	特性集合の中で定義されることなく、自動的に特性集合の部分となる特性。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11622	A		行進行方向	ぎょうしんこうほうこう	line-progression-direction	行内領域に関連する方向。行進行方向は、行内領域の行内進行方向に直交する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11623	A		ノード型特性	のーどかたとくせい	nodal property	ノード又はノードリストをその値とする特性。ノード型特性は、その特性集合によって定義され、下位ノード(subnode)・内部参照ノード(irefnode)・非制限参照ノード(urefnode)に分類できる。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11624	A		ノード	のーど	node	特性割当ての順序付き集合。ノードは、グローブの要素であって、グローブ構築に用いるグローブ設計において定義するクラスに属する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11625	A		起点	きてん	origin	ノードxに関して、xを含むノード集合を下位ノード(subnode)特性として開示するノード。グローブ内のグローブ根以外の各ノードは、一意の起点をもつ。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11626	A		起点下位ノード関係	きてんかいのーどかんけい	origin-to-subnode relationship	ノードの起点がもつ下位ノード(subnode)特性であって、そのノードを値に含む。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11627	A		ポート	ぽーと	port	流し込みオブジェクト木内の流し込みオブジェクト上の点であって、そこに流し込みオブジェクトの順序付き集合を付加できる。ポートは、流し込みオブジェクトの主要ポートとなるか、名前付きポートとなる。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11628	A		基本データ型	きほんでーたかた	primitive data type	上位型をもたないデータ型。データ型の基本データ型は、そのデータ型が上位型をもたない場合にはデータ型そのものとなり、上位型をもつ場合、そのデータ型の上位型の基本データ型となる。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11629	A		特性割当て	とくせいわりあて	property assignment	特性名への特性値の割当て。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11630	A		特性集合	とくせいしゅうごう	property set	関連した定義をもつクラス及び特性の集合。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11631	A		処理指定	しょりしてい	process specification	処理指定要素内の指定と、その処理指定要素の使用を宣言した他のすべての処理指定要素との組合せ。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11632	A		処理指定要素	しょりしていようそ	process specification element	要素型形式transformation-specification又は要素型形式style-specificationのインスタンス。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11633	A		処理指定部	しょりしていぶ	process specification part	単一の処理指定要素に基づく処理指定の部分。属性useを用いて参照しているすべての処理指定要素は、別の部とする。処理指定部は、それ以降のすべての処理指定部に優先する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11634	A		(ノードの)兄弟	(のーどの)きょうだい	siblings (of a node)	ノードの、起点下位ノード関係特性の値に出現するグローブ内の他のノード。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11635	A		流し込みオブジェクト列指定	ながしこみおぶじぇくとれつしてい	sosofo	流し込みオブジェクト列の(生成に関する)指定。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34
11636	A		入力グローブ	にゅうりょくぐろーぶ	source grove	構文解析の結果、補助グローブを生成するグローブ	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/ Amd.1 :03	1996	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11637	A		見開き	みひらき	spread	ページ列の中において連続する、裏ページ及び表ページの対。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11638	A		ストリーム	すとりーむ	stream	流し込みオブジェクトのポートに付加した、流し込みオブジェクトの順序付きリスト。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11639	A		部分グローブ	ぶぶんぐろーぶ	subgrove	ノードとそのノードの下位ノード(subnode)特性の値との和。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11640	A		部分木	ぶぶんき	subtree	ノードとその子の部分木との和。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11641	A		同期集合	どうきしゅうごう	synchronization set	異なるストリームに属しているが、相対位置を制約された流し込みオブジェクトの集合。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11642	A		変換処理系	へんかんしょりけい	transformation process	変換言語を用いて指定する処理系。変換処理は、1個以上のSGML文書を0個以上のSGML文書に変換する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11643	A		木	き	tree	親をもたないノードの部分木。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11644	A		検証グローブ	けんしょうぐろーぶ	verification grove	SGML特性集合のすべてのクラス及び特性を含むグローブ設計を用いて、結果グローブから生成したSGML文書又は副文書を構文解析して構築したグローブ。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11645	A		区域	くいき	zone	段を構成する4部分、つまり上部浮動区域(区域top-float)・本文区域(区域body-text)・下部浮動区域(区域bottom-float)・脚注区域(区域footnote)の一つとする。段集合領域コンテナに配置する領域の位置付けは、区域名でラベル付けることによって制御する。	JIS X 4153	1998	ISO/IEC 10179	1996		2005/3追	ISO/IEC 10179:96/Amd.1 :03	1996	SC34
11646	B		追加DPI	ついかDPI	Additional DPI	この規格では定義しない文書作製命令(DPI)。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11647	B		AFIIグリフ名型	AFIIぐりふめいかた	AFII Glyph Name Type	"afiinnnn"という形式の名前からなる、単純グリフ名型の部分集合。ここで、nnnnは、ゼロ以外の数字で始まり、1から2(31乗)-1までの範囲の整数を表現する10進数字の列とす	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11648	B		基底フォント	きていふぉんと	base font	実際のグリフ表現を含むフォント。複合フォント内では、その木構造上における葉節とな	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11649	B		基底構造要素	きていこうぞうようそ	base structure element	それ以上小さな構造要素群に分割することのできない構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11650	B		結合する	けつごうする	bind	ある特定のオブジェクトを、それを識別するために用いる識別子と結び付ける。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11651	B		ビット	びっと	bit	0又は1のいずれかの値を取り得る、情報の1単位の表現。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11652	B		ブロック状態	ぶろっくじょうたい	Block State	ある特定の時点において、ブロックの処理に関連付けられる属性の集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11653	B		論理型	ろんりかた	Boolean type	二つの値(真及び偽)からなる型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11654	B		非負整数型	ひふせいすうがた	Cardinal type	負でない整数から構成される、整数型の副型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11655	B		文字テキスト	もじてきすと	character text	一連のグリフ像によって表されるテキスト。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11656	B		クリップする、切り取る	くりっぷする、きりとる	clip	ピクチャ又は図記号の一部を描画しないことによって、その部分を取り除く。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11657	B		クリップ領域、切取り領域	くりっぷりょういき、きりとりりょういき	clipping region	作画モデルの構成要素の一つ。現ページ像上において、インクを置くことのできる範囲を制限する。クリップ領域の外側にはみ出した図形画像の部分がすべてクリップされる。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11658	B		複合フォント	ふくごうふぉんと	composite font	階層的に(木構造状に)構成されたフォントの集まり。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11659	B		複合構造要素	ふくごうこうぞうようそ	composite structure element	より小さな構造要素群に分割できる構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11660	B		組版割付けプロセス	くみはんわりつけぷろせす	Composition and Layout Process	文書処理モデルの一要素。文字テキストの組版、文字テキスト及び図の書式化、並びに文字テキスト及び図を提示用に配置することを分担する。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11661	B		(複合構造要素の)内容	(ふくごうこうぞうようその)ないよう	content (of a composite structure element)	複合構造要素の下位に位置するすべてのトークン列構造要素の内容。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11662	B		(トークン列の)内容	(とーくんれつの)ないよう	content (of a TOKENSWQUENCE)	トークン列構造要素の値。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11663	B		内容要素	ないようようそ	content element	内容表現交換様式中において、トークンの並びを表現するオクテット列。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11664	B		内容プロセッサ	ないようぷろせっさ	Content Processor	文書処理モデルの構成要素の一つ。文書内容の処理を分担する。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11665	B		内容値	ないようち	content value	符号化指定情報をもつ内容要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11666	B		文脈辞書	ぶんみゃくじしょ	Context Dictionary	辞書資源定義構造要素が定義する辞書。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11667	B		解釈文脈	かいしゃくぶんみゃく	Context of Interpretation	トークン列の内容を内容プロセサが解釈する文脈。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11668	B		文脈スタック	ぶんみゃくすたっく	Context Stack	仮想機械の一部分。辞書の順序付き集合から構成され、この中で名前の検索を行う。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11669	B		作成編集プロセス	さくせいへんしゅうぷろせす	Creation and Editting Process	文書処理モデルの構成要素の一つ。文書作成及び文書編集(更新)を分担する。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11670	B		現解釈文脈	げんかいしゃくぶんみゃく	Current Context of Interpretation	特定のブロック状態と関連付けられ、下位にあるトークン列構造要素の内容を処理するために用いられる解釈文脈。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11671	B		現ページ像	げんぺーじぞう	Current Page Image	ページのブロック状態の要素の一つ。現ページ像の中で、そのページのページ像が構築	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11672	B		下位フォント	かいふぉんと	descendant font	複合フォントにおいて、その階層構造上で根フォントより下位の水準に位置するフォント。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11673	B		辞書	じしょ	Dictionary	キーと値との対の集まりからなるデータ構造。内容処理によって作られる。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11674	B		文書	ぶんしょ	document	特に断らない限り、目に見える形に出力できる電子化された形式の情報。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11675	B		文書作成者	ぶんしょさくせいしゃ	document creator	最終形式文書を生成するプロセス。特に断らない限り、この最終形式文書はSPDL文書と	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11676	B		文書内DPI	ぶんしょないDPI	Document DPI	文書内で指定されている文書作製命令の集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11677	B		文書作製命令	ぶんしょさくせいめいれい	Document Production Instructions	文書の提示に影響を与える命令。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11678	B		文書構造	ぶんしょこうぞう	document structure	SPDL文書を構成する要素の集合及び要素間の相互関係。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11679	B		列挙型	れっきょかた	Enumerated type	列挙された値の集合からなる型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11680	B		(提示プロセスの)環境	(ていじぷろせすの)かんきょう	environment (of the Presentation Process)	提示プロセスから利用可能なすべての外部情報の集合体。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11681	B		環境内識別子型	かんきょうないしきべつしかた	Environment Identifier type	提示プロセスの環境内で情報オブジェクトを識別するために用いられるすべての識別子をその値として含む型。環境内識別子型の値は、公開識別子型、オブジェクト識別子型及び環境内名前型の値から構成される。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11682	B		環境内名前型	かんきょうないなまえかた	Environment Name type	提示プロセスの環境内で情報オブジェクトを識別するために用いられる単純名を値とする型。環境内名前型の値は、ISO/IEC 9070が定義するオブジェクト名の構成要素の集合	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11683	B		外部構造要素	がいぶこうぞうようそ	External Structure	参照を介して文書内に含められる、文書本体の外部にある構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11684	B		最終形式文書	さいしゅうけいしきぶんしょ	final form document	提示に適した形式の文書。この規格内で用いられた場合、この用語は、組版及び割付けに関する事項はすべて決定済みであることを意味している。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11685	B		仕上げ命令	しあげめいれい	Finishing Instruction	文書ページ像の可視化後に行われる文書作製処理に影響を与える文書作製命令。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11686	B		フォント指標対応表	ふぉんとしひょうたいおうひょう	Font Index Map	複合フォント内において、フォント指標をフォント選択子と関連付けるために用いるベクタ。グリフ対応付けの際に使用する。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11687	B		フォント資源	ふぉんとしげん	Font Resource	グリフ表現の集まりに、その全体に関連する記述的情報及びフォント配置量情報を加え	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11688	B		グリフ	ぐりふ	glyph	個々のデザインの違いを除去した認知可能な抽象的図記号	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11689	B		グリフ識別子型	ぐりふしきべつしかた	Glyph Identifier type	単純グリフ名型及び構造化名型からなる値をもつ型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11690	B		グリフ像	ぐりふぞう	glyph image	グリフ表現から得られる、提示面上に表示されるグリフの像。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11691	B		グリフ指標対応表	ぐりふしひょうたいおうひょう	glyph index map	グリフ指標値から、フォント資源内でグリフ表現を識別するグリフ識別子への対応付けを表す表。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11692	B		グリフ表現	ぐりふひょうげん	glyph representation	フォント資源内において、特定のグリフと関連付けられたグリフ形状及びグリフ配置量の	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11693	B		グリフ形状	ぐりふけいじょう	glyph shape	グリフ表現中において、グリフ像を定義するために用いられる情報の集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11694	B		作図状態	さくずじょうたい	graphics state	作図状態変数の値の集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11695	B		作図状態スタック	さくずじょうたいすたっく	graphics state stack	退避された作図状態の順序付き集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11696	B		作図状態変数	さくずじょうたいへんすう	graphics state variables	作画演算子を実行した結果として得られるページ像への変更を指定するために、作画演算子への明示的な引数と組み合わせて用いる変数の集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11697	B		最上位構造水準	さいじょういこうぞうすいじゅん	highest structure level	他のいかなる構造要素にも従属していない構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11698	B		識別子型	しきべつしかた	Identifier type	SPDLインスタンス中でオブジェクトを識別するために用いる型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11699	B		作画可能領域	さくがかのうりょういき	imageable region	作画を行うことのできる現ページ像の領域。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11700	B		作画部	さくがぶ	Imager	作画演算子を実行し、現ページ像に変更を加える、内容プロセサの構成要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11701	B		作画	さくが	imaging	最初は空白である現ページ像に対して変更を加えることによって、文書のページ像を生成していく処理。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11702	B		作画動作	さくがどうさ	imaging activity	Current Clipping Regionによってクリップされたマスクを現ページ像上に描くこと。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11703	B		作画モデル	さくがもでる	imaging model	作画演算子がどのように現ページ像の状態に影響を与えるかを定義するモデル。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11704	B		作画演算子	さくがえんざんし	imaging operator	現ページ像を変更する演算子。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11705	B		直接の下位要素	ちょくせつのかいようそ	immediate subordinates	複合構造要素を分割した各部分。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11706	B		(SPDLの)実装	(SPDLの)じっそう	implementation(of SPDL)	SPDL文書を提示する実際のシステム。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11707	B		面付け	めんつけ	imposition	二つ以上の論理ページの像を、シート媒体のインスタンス(倒えば、紙)の同じ面の上に配置すること。面付けは、組版割付けプロセスの分担とする。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11708	B		埋込みデータ	うめこみでーた	in-line data	(論理的な意味だけで文書中に含まれる外部データとは異なって)物理的にSPDL文書中に含まれるラスタ図形画像データ。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11709	B		指標付きフォント	しひょうつきふぉんと	Indexed Font	フォント資源とグリフ指標対応表との組合せ。文字テキストの提示時に使用する。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11710	B		情報オブジェクト	じょうほうおぶじぇくと	information object	提示プロセスの環境中にあるオブジェクトであって、構造化されているかどうかにかかわらず、1単位の情報を表現するもの。情報オブジェクトは、値、資源及び包含可能構造要	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11711	B		インク	いんく	ink	提示装置上に表示される色と模様とを指定する、作画モデルの構成要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11712	B		SPDLインスタンス	SPDLいんすたんす	instance of SPDL	この規格が定義する標準ページ記述言語(SPDL)によって表現された文書、資源又は包含可能構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11713	B		整数型	せいすうかた	Integer type	整数の部分集合を値とする型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11714	B		ISO 10036グリフ名型	ISO 10036ぐりふめいか	ISO 10036 Glyph Name	ISO/IEC 10036によって規定された登録主体を所有者名が識別する、構造化名の部分集	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11715	B		論理ページ	ろんりぺーじ	logical page	組版割付けプロセスによって識別し、管理することができる文書の一部分。論理ページは、SPDLの文書構造中では明示的な表現をもたない。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11716	B		管理命令	かんりめいれい	Management Instructions	文書作製処理の管理に影響を与える文書作製命令。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11717	B		マスク	ますく	mask	作画モデルの構成要素の一つ。作画要素の形状を与える。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11718	B		媒体	ばいたい		物理的な面であって、その上に提示装置によって文書を目に見える形で描画する。例えば、紙及び画像表示端末の表示画面。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11719	B		媒体宣言	ばいたいせんげん	Medium Declarations	文書の提示に用いられる媒体を指定する文書作製命令。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11720	B		名前型	なまえかた	Name type	18.1.8の定義に従う文字の列を値とする型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11721	B		非負数型	ひふすうかた	Non-Negative Number	数型の値のうち、負でない値からなる型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11722	B		数型	すうかた	Number type	整数型及び実数型の値からなる型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11723	B		オブジェクト	おぶじぇくと	object	仮想機械によって操作できるデータオブジェクト。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11724	B		オブジェクト識別子型	おぶじぇくとしきべつしか	Object Identifier type	JIS X 5603で定義するオブジェクト識別子を値とする型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11725	B		オブジェクト名	おぶじぇくとめい	Object Name	この規格が、JIS X 5603で定義されたオブジェクト識別子値と、ISO/IEC 9070で定義された公開識別子とを共に割り当てている情報オブジェクトを識別する名前。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11726	B		オブジェクト型	おぶじぇくとかた	object type	SPDL仮想機械オブジェクトと関連付けられている一つの識別されたオブジェクト型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11727	B		オクテット	おくてっと	octet	順序付けられた8ビットの並び。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11728	B		オクテット列型	おくてっとれつがた	Octet String type	0個以上の順序付けられたオクテットの列を値とする型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11729	B		演算子	えんざんし	operator	解釈によって、SPDL仮想機械に何らかの操作を実行させるトークン。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11730	B		ページ記述言語	ぺーじきじゅつげんご	page description language	プログラム言語の概念に基礎を置く印刷様式の総称。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11731	B		ページ像	ぺーじぞう	page image	提示を行う媒体の抽象化。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11732	B		親フォント	おやふぉんと	parent font	複合フォントの木構造において、与えられた下位フォントを部分木の構成要素とするフォ	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11733	B		パーサ	ぱーさ	parser	内容値をトークンの列に分解する、仮想機械の一部分。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11734	B		パス	ぱす	path	参照座標系上で幾何形状を定義する0個以上の点、直線及び/又は曲線の概念的な並	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11735	B		同位(構造)要素	どうい(こうぞう)ようそ	peer (structure elements)	同じ構造要素の直接の下位にある他の構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11736	B		ピクチャ	ぴくちゃ	picture	他の画像とは切り離して考えることのできる画像。例えば、ページ又はページ上の図表。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11737	B		正整数型	せいせいすうかた	Positive Integer type	正の整数から構成される、整数型の副型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11738	B		前処理命令	まえしょりめいれい	Pre-processing	文書ページ像の可視化に先立って行う文書作製処理に影響を与える文書作製命令。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11739	B		提示	ていじ	presentation	文書を人間が認識できる形態に描き出すこと。この規格では、電子化文書を目に見える形に可視化すること。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11740	B		提示装置	ていじそうち	presentation device	文書を目に見える形に提示する物理的装置。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11741	B		提示命令	ていじめいれい	Presentation Instruction	文書ページ像の可視化処理及びその媒体上への配置を行う処理に影響を与える文書作製命令。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11742	B		提示順序	ていじじゅんじょ	presentation order	SPDL文書の構造要素の並び順。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11743	B		提示プロセス	ていじぷろせす	presentation process	適切な媒体上に、文書又はその一部分を可視化する処理。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11744	B		印字可能文字列型	いんじかのうもじれつかた	Printable String type	JIS X 5603が定義する印字可能文字列型の値によって構成する型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11745	B		公開識別子型	こうかいしきべつしかた	Public Identifier type	ISO/IEC 9070で定義する公開識別子によって構成する型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11746	B		公開オブジェクト識別子型	こうかいおぶじぇくとしきべつしかた	Public Object Identifier type	ISO/IEC 9070で定義する公開識別子及びJIS X 5603で定義するオブジェクト識別子から構成される型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11747	B		実数型	じっすうかた	Real type	IEEE754の規定に従って表現しうる、数学的な意味での有理数の値から構成される型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11748	B		参照座標系	さんしょうざひょうけい	Reference Coordinate System(RCS)	両軸共にミリメートル単位をとるデカルト座標系。媒体上での位置をあいまいさなく指定することを可能にする。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11749	B		可視化	かしか	rendering	提示プロセスの一環として、ページ像又は文書の目に見える画像を生成すること。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11750	B		資源	しげん	resource	提示プロセスの環境内で利用可能な情報オブジェクト。SPDL文書の提示の際に参照を介して用いることができる。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11751	B		編集可能形式文書	へんしゅうかのうけいしきぶんしょ	revisable form document	適切な機能をもったシステムによって編集及び改訂を行うことに適した形式の文書。一般にこの用語は、文書がその明示的な内容に加えて、その論理構造を識別するための情報を含むことを意味している。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11752	B		根フォント	ねふぉんと	root font	複合フォント内において、その階層構造の最上位にあるフォント。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11753	B		退避オブジェクト	たいひおぶじぇくと	Save Object	ある特定の時点における仮想機械の状態を表すオブジェクト。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11754	B		単純グリフ名型	たんじゅんぐりふめいかた	Simple Glyph Name type	名前型の値の部分集合からなる型。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11755	B		SPDL文書	SPDLぶんしょ	SPDL document	この規格で定義する標準ページ記述言語を用いて表現した(最終形式)文書。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11756	B		SPDL提示プロセス	SPDLていじぷろせす	SPDL Presentation	基本文書処理モデルの一環として、SPDL文書を目に見える形に提示するプロセス。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11757	B		SPDL構造	SPDLこうぞう	SPDL structure	SPDLインスタンスを構成する要素の集合及び要素間の相互関係。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11758	B		SPDL仮想機械	SPDLかそうきかい	SPDL Virtual Machine	SPDL内容処理の規定に用いる仮想機械。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11759	B		状態変数	じょうたいへんすう	state variables	仮想機械の状態の一部を構成する変数の集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11760	B		構造要素	こうぞうようそ	structure element	SPDL構造によって識別される、SPDLインスタンスの任意の構成要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11761	B		構造処理	こうぞうしょり	structure processing	SPDL文書を構築するために用いる構成要素の集合の処理。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11762	B		構造プロセッサ	こうぞうぷろせっさ	Structure Processor	SPDL文書処理モデルにおいて、SPDL文書構造の処理を分担する部分。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11763	B		構造化名	こうぞうかめい	Structured Name	JIS X 4162が定義する、公開識別子の一形態。構造化名は、意味的にはISO/IEC 9070が定義する公開識別子と等価とする。構造化名は、グリフ及びフォント資源の要素を識別するために用いられる。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11764	B		下位要素	かいようそ	subordinate	ある構造要素に対する、その構造要素を分割した結果として得られる構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11765	B		上位要素	じょういようそ	superior	ある構造要素を分割した結果として得られる構造要素に対する、もとの構造要素。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11766	B		補足DPI	ほそくDPI	Supplementary DPI	特定の文書提示と関連付けられてはいるが、文書そのものの中には含まれない文書作	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11767	B		タイルば(貼)り	たいるばり	tiling	領域を塗りつぶ(潰)すために、あるパターンの複製を置いていく処理。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11768	B		トークン、字句	とーくん、じく	token	SPDL仮想機械が処理する、情報の論理的な単位。各トークンの処理は、仮想機械の状態に、ある規定された変化を引き起こす。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11769	B		ユーザ座標系	ゆーざざひょうけい	User Coordinate System(UCS)	媒体上での位置を、作図状態変数Current Transformationが定義する参照座標系への対応付けを用いて指定する、(座標軸の)単位寸法を決めていないデカルト座標系。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11770	B		仮想機械	かそうきかい	virtual machine	処理の規定を行うために用いる、理想化した実装。その状態に対する変更として処理の仕様を記述する。その理想化された記述は、処理を規定するためだけに提供され、現実の実装を制約しない。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11771	B		仮想機械の状態	かそうきかいのじょうたい	Virtual Machine State	ある特定の時点において仮想機械に付属し、それを特徴付ける属性の集合。	JIS X 4154	1997	ISO/IEC 10180	1995		廃2008/3		1995	SC34
11772	A		端点	たんてん	anchor	ハイパリンクで結合したオブジェクト又はオブジェクトの集合体。(備)1."オブジェクト"という用語は、HyTimeの形式的構成子を示すものではない。端点は、文書、要素、データのまとまり(chunk)などであってよい。2.ハイパリンクがオブジェクトを端点であると特定したとき、オブジェクトを端点とする。3.同一のハイパリンク又は異なったハイパリンクの複数のリンク端が、オブジェクトを端点として特定する。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11773	A		応用BOS	おうようBOS	application BOS	応用が自分自身の規則に従って決定した境界内オブジェクト集合(3.4参照)。(備)応用の規則は、引数集合からの自動決定、利用者による選択又はそれらの組合せを与える。応用は、初期状態としてHyTime BOS(3.20参照)の中の実体を利用可能であるが、利用者はHyTime BOSに実体を加えたり、HyTime BOSから実体を引いたりしてもよい。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11774	A		ビット組み	びっとくみ	bit combination	ビットの順序付き集合。例えば、バイトは7ビット又は8ビットの組合せとなる。ビット組みは、文字データ又はマーク付けの中の1文字を表すが、非文字データ中の数値などを表	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11775	A		境界内オブジェクト集合	きょうかいないおぶじぇくとしゅうごう	bounded object set, BOS	HyTime応用が処理する対象。例えば、一つ以上の文書及び他の情報オブジェクトの集合。(備)BOSは、HyTime BOS及び応用BOSの2種類とする。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11776	A		区間	くかん	dimension	座標軸上の大きさ(size)及び位置(position)。次の3要素、すなわち、位置(最初の占有量子)、量子数(占有量子の総数)及び最後の占有量子が、区間を構成する。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11777	A		文書	ぶんしょ	document	人間が知覚することを意図した、一つの単位として特定できる情報の集合。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11778	A		文書(型)定義	ぶんしょ(がた)ていぎ	document type definition, DTD	SGMLを特定の型の文書のマーク付けに適用する、応用定義の規則。文書型定義は、要素型、要素の関係及び属性、並びにマーク付けで表現した参照の、文書型宣言の中で表示した形式的指定を含む。文書型定義は、その指定によって、SGMLが構文を規定するために必要なマーク付けの語法を定義する。(備)文書型定義は、要素の意味及び属性の意味を記述する注釈、並びにあらゆる応用規定を記述する注釈を含んでもよい(ISO	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11779	A		実体記述子	じったいきじゅつし	entity descriptor	外部実体を表すSDIFデータ列の要素(ISO 9069参照)。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11780	A		実体木	じったいき	entity tree	実体を節とする木構造。次の段階からなる。(1)SGML文書実体又はSGML副文書実体を根の節に選ぶ。(2)その節のマーク宣言に含まれる外部識別子(3.12参照)が特定する外部実体の集合が、その節の子を構成する。子の節が、SGML文書実体又はSGML副文書実体であれば、次の段階で親の節となる。(3)木の葉に達するまで、又は指定の最大レベル数に達するまで、親の各節について段階(2)を繰り返す。(備)最大レベル数は、中核として使われるHyTime文書の属性とする。HyTime応用が呼び出されるときには、応	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11781	A		事象	じしょう	event	座標空間におけるオブジェクトの出現。事象が、オブジェクトを配置済み存在範囲(scheduled extent)と関連付ける。(備)事象の配置済み存在範囲は、オブジェクトに位置及び大きさを与える。つまり、すべての軸上の最初の量子の集合が位置を規定し、すべての軸上の量子数の集合が大きさを規定する。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11782	A		事象投影	じしょうとうえい	event projection	一つの座標空間からもう一つの座標空間への("投影元"から"投影先"への)、事象の配置済み存在範囲の変換。(備)その例が、音楽時間から実時間への変換、又は利用者装置座標から実空間単位への変換である。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11783	A		外部識別子	がいぶしきべつし	external identifier	外部の情報オブジェクトを特定する、SGMLマーク宣言(通常は、実体宣言)の引数。(備)次に例示する各種の方法で特定してもよい。(1)公式公開識別子:広域にわたって一意である公開識別子。システムに対して、テーブル参照によってそのオブジェクトをアクセス可能にする。(2)システム識別子:ファイル識別子、記憶の所在、プログラム呼出し、データ列の位置、又は記憶の中にオブジェクトを配置するシステム固有のその他の手段。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11784	A		中核文書	ちゅうかくぶんしょ	hub document	ハイパ文書へのアクセスを開始する文書。HyTimeハイパ文書の中では、中核文書は、交換、描出などの処理のためにHyTime BOSも規定する。(備)1.中核文書は、文書の不変な状態ではないから、属性によって指定することはできない。中核文書の指示は、処理の1引数であり、応用が呼び出される時に指定される。2.幾つかのHyTime文書が、中核文書として指示されたとき、同一HyTime BOSを規定することもある。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11785	A		ハイパ文書	はいぱぶんしょ	hyperdocument	連結網(3.52参照)によって互いに結合された二つ以上の文書又は他の情報オブジェクト。(備)ハイパ文書へのアクセスは、指示された中核文書から始まる。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11786	A		ハイパリンク	はいぱりんく	hyperlink	二つ以上のオブジェクトの間の関係を表現する情報構造。(備)1.ハイパリンクが関係付けるオブジェクトを、そのハイパリンクの“端点”と呼ぶ。端点は、“リンク端(link end)”と呼ぶハイパリンクの特性が特定する。2.HyTimeを使う応用及び体系が、ハイパリンクにリンク型及びリンク名を割り当てる。3.SGML文書は、ハイパリンク以外の手段で関係を表現できる。例えば、文書階層の下位及び横並びの関係は、マーク付けに使うタグの位置	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11787	A		ハイパメディア応用	はいぱめでぃあおうよう	hypermedia application	ハイパテキスト及び/又はマルチメディア機能を含む情報処理応用。(備)1.この定義は、“ハイパメディア”がハイパテキストとマルチメディアとの共通部分ではなく、和集合を指すことを意味する。2.“ハイパテキスト”、“マルチメディア”及び“ハイパメディア”という用語を厳密に区別して用いることは不可能ではないが、この規格では、文書又は応用を参照する際に、厳密な区別を行うべき箇所はほとんどない。しかし、事象は、その性質がハイパリンク付きか否かに影響されないので、“ハイパメディア”ではなく“マルチメディア”として参照する。同様に、ハイパリンクを“ハイパテキスト”、“ハイパメディア”又は単なる“ハイパ”として、区別して特徴付けることはしない。ハイパリンクの性質は、ハイパリンク付けさ	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11788	A		ハイパメディア文書	はいぱめでぃあぶんしょ	hypermedia document	ハイパメディア応用に用いる文書又はハイパ文書。(備)ハイパ文書は、ほとんどの場合ハイパメディア文書でもあり、ハイパメディア応用で普通に使われる。しかし、必ずしもすべてのハイパメディア文書がハイパ文書であるわけではない。ビデオクリップをもつがハイパリンクのない文書は、その例である。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11789	A		ハイパメディア及び時間依存情報の構造化言語	はいぱめでぃあおよびじかんいぞんじょうほうのこうぞうかげんご	Hypermedia/Time-based Structuring Language,HyTime	ハイパテキストのハイパリンク付け、時間的及び空間的な事象配置、並びに同期を表現するために標準化された、ハイパメディアの構造化言語。HyTimeは、基本的な特定機構及び番地付け機構を提供する。オブジェクトのデータ内容記法、リンク型、処理・表示機能などの応用の意味から、HyTimeは独立している。ハイパリンクは、HyTimeに適合する文書に対しても、適合しない文書に対しても、その文書が修正可能であるかどうかにかかわらずに、設定可能とする。すべてのHyTime機能が備わっていれば、“統合開放形ハイパメディア(IOH)”が利用可能になるが、システムは、必要な機能に限った部分機能集合に対応できるだけでよい。ここで統合開放形ハイパメディアは、ハイパリンク付けをいつでもどこにでも何に対しても可能にする、参照のための書誌モデルとする。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11790	A		HyTime属性	HyTimeぞくせい	HyTime attribute	HyTime体系形式の中にその定義を含む要素の属性。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11791	A		HyTime BOS	HyTime BOS	HyTime BOS	単一文書からなるか、又は文書及び情報オブジェクトを単一の実体木の節に記憶している一つのハイパ文書からなる境界内オブジェクトの集合。(備)HyTime BOSは、HyTime基本処理系によって自動的に決定可能である。その実体木の根は、中核文書のSGML	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11792	A		HyTime文書	HyTimeぶんしょ	HyTime document	この規格の定義に従って特性を基本表現したSGML文書。(備)HyTime文書は、適合HyTime文書であることが多い(12.1参照)。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11793	A		HyTime要素	HyTimeようそ	HyTime element	HyTime要素型のインスタンス。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11794	A		HyTime要素型	HyTimeようそがた	HyTime element type	HyTime体系形式に適合するHyTime文書の中の要素型。(備)要素型自体については、HyTimeは何も定義しない。要素型は、体系形式が定義する属性に加えて、応用固有の属性をもってもよい。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11795	A		HyTime基本処理系	HyTimeきほんしょりけい	HyTime engine	文書中のHyTime構成子を見つけて、応用とは独立なその処理を実行するプログラム(又はプログラムの一部、又はプログラムの組合せ)。(備)例えば、HyTime基本処理系は、端点を確定・アクセスするために、データベース及びネットワークサーバと連携できる。事象が置かれた配置、又は事象の存在範囲を規定するための計測単位(measurement unit)とは独立に、座標空間に事象を矛盾なく位置付けるための計算も、HyTime基本処	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11796	A		HyTimeハイパ文書	HyTimeはいぱぶんしょ	HyTime hyperdocument	中核文書がHyTime文書になっているハイパ文書。(備)中核文書は、SGMLで表現しなければならない。ハイパ文書の他の要素は、SGMLで表現する必要はない。中核文書又は他のすべての構成要素は、一つの文書体系に適合できる。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11797	A		HyTimeシステム	HyTimeしすてむ	HyTime system	HyTime基本処理系を含むSGMLシステム。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11798	A		ハイパテキスト	はいぱてきすと	hypertext	複数の順序でアクセスできる情報。(備)ハイパテキストは、単一の文書であっても、文書のライブラリ(“ハイパ文書”)であってもよい。次に例を示す。(1)通常の小説は、ハイパテキストではない。(2)脚注又は内部の相互参照を含む本は、単一文書のハイパテキストである。(3)外部の相互参照(例えば、書誌情報の引用)をもつ本は、全体としてハイパ文書を構成するライブラリのメンバである。(4)内部と外部の相互参照をもつ本は、単一文書のハイパテキストであり、全体としてハイパ文書を構成するライブラリのメンバでもあ	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11799	A		統合開放形ハイパメディア	とうごうかいほうがたはいぱめでぃあ	Integrated open hypermedia, IOH	いつでもどこでも何にでもハイパリンク付けを可能にする参照を示す“書誌モデル(bibliographic model)”の、計算機処理のための形式的表現。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11800	A		リンク	りんく	link	ハイパリンク又はSGML処理(“リンク処理”)のリンク。いずれを採用するかは、文脈によ	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11801	A		リンク端	りんくたん	link end	所在によって端点を特定する、ハイパリンクの特性。(備)“所在(location)”という用語は、HyTimeの形式的構成子をいうものではない。つまり、リンク端は、名前、座標位置、又はどのような意味的構成子によっても、端点を位置付けできる。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11802	A		リンク処理定義	りんくしょりていぎ	link process definition,LPD	SGMLを用いてリンク処理を記述する応用固有の規則。リンク処理定義は、リンク型宣言で表した、ソースと結果の要素間リンクの形式的指定を含み、リンク処理に適用可能なソース属性(“リンク属性”)の定義を含む。(備)リンク処理定義は、リンク属性の意味と処理に対する効果とを含むとともに、処理の意味を記述する注釈をも含み得る(ISO 8879参	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11803	A		リンク型	りんくがた	link type	ハイパリンクのクラス。リンク型は、ハイパリンクが表現する関係に対して、端点が果たす役割を含め、意味を割り当てる。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11804	A		マルチメディア	まるちめでぃあ	multimedia	画家、作曲家などが用いる表現形態(絵画、音楽など)のような、何かを伝達するための手段の複数使用(形容詞)。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11805	A		(オブジェクト)修飾	(おぶじぇくと)しゅうしょく	object modification	描出に際して、一つのオブジェクトがもう一つのオブジェクトに対して施す修飾。(備)1.例えば、効果箱を通る音響信号の経路選択。2.HyTimeは、修飾器の配置を扱うが、修飾の意味を扱うことはない。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11806	A		つなぎ	つなぎ	patch	修飾器とそれが修飾するオブジェクトとの相互接続。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11807	A		表示	ひょうじ	presentation	人間による知覚が可能になった、文書の処理状態。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11808	A		直前指定要素	ちょくぜんしていようそ	previous specified element	直前に解析した文書のSGML表現における要素。(備)直前指定要素は、通常、SGML表現を文字列としてみなした場合、直前に出現した要素でもある。ただし、実体参照によって、他の要素をその実体参照よりもっと後で解析するようにできる。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11809	A		投影	とうえい	projection	事象投影。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11810	A		量子	りょうし	quantum	座標軸の、不可分で計数可能な最小分割。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11811	A		実時間	じつじかん	real time	秒、分、時間などで計測する、日常感覚での時間。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11812	A		描出	びょうしゅつ	rendition	HyTime文書に対して、その表示準備のために実行する処理。応用固有の処理に加えて、HyTimeが定義する事象投影及びオブジェクト修飾を含む。(備)利用者が完全に知覚できる表示を生成するために、幾つかの描出を順次実行してもよい。描出には、新座標空間への事象の投影、例えば、仮想時間から実時間への変換があってもよい。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11813	A		報告可能HyTime誤り	ほうこくかのうHyTimeあやまり	reportable HyTime error, RHE	この規格の要求に対する、HyTime文書の不適合。ただし、次を除く。(1)文書を処理することなしには検出できないもの。(2)この規格が報告不可能と認めているもの。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11814	A		(配置済み)存在範囲	(はいちずみ)そんざいはん	scheduled extent	座標空間における位置及び大きさ。空間の各軸上の区間からなる。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11815	A		SDIF封入器	SDIFふうにゅうき	SDIF packer	SDIFデータ列を生成するプログラム(ISO 9069参照)。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11816	A		SDIF開封器	SDIFかいふうき	SDIF unpacker	SDIFデータ列をその構成要素実体に分解するプログラム。(備)SDIF開封器は、必要であれば、マーク宣言の引数であるシステム識別子を修飾して、その環境での記憶番地との一貫性を保ってよい(ISO 9069参照)。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11817	A		SGML文書交換様式	SGMLぶんしょこうかんようしき	SGML Document Interchange Format,SDIF	幾つかの実体の中に記憶されている主文書及びその関連文書を結合して、個々の実体を受信者が再構成できるように、交換用の単一データ列にすることを可能にするデータ構造。(備)SDIFをHyTime用のハイパ文書交換様式として使う場合、複数の文書があれば、主文書は中核文書である(ISO 9069参照)。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11818	A		SGML処理リンク	SGMLしょりりんく	SGML processing link	SGMLの"リンク処理"機能。これによって、表示指定及び処理指定の幾つもの文脈依存集合を、文書の要素と関係付けることを可能にする。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11819	A		SGML副文書実体	SGMLふくぶんしょじったい	SGML subdocument entity, SUBDOC	それ自体の文書型宣言及びリンク型宣言に適合するとともに、SGML文書実体のSGML宣言に適合するSGML実体。これは、少なくとも基本文書型宣言並びに基本文書要素の開始及び終了を含む(ISO 8879参照)。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11820	A		SMU名	SMUめい	SMU Name	記法宣言が宣言する名前であり、標準の計測単位を特定する。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11821	A		検証HyTime基本処理系	けんしょうHyTimeきほんしょりけい	validating HyTime engine	報告可能HyTime誤りが、もしあれば、それを発見して報告できる適合HyTime基本処理系。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11822	A		連結網表示	れんけつもうひょうじ	view	連結網とそれが結合している端点との表示。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11823	A		連結網	れんけつもう	web	一緒に用いる一つ以上のハイパリンクの集合。(備)ハイパリンクは、通常一つの共通の話題を扱い、共通の端点及び/又は同一オブジェクト中に出現する端点を通して連続的にたどることができる。	JIS X 4155	1999	ISO/IEC 10744	1997				1997	SC34
11824	A		ブラウザ、閲覧ソフトウェア	ぶらうざ、えつらんそふとうぇあ	Browser	主要機能が文書を利用者に表示することである利用者エージェント。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11825	A		文字	もじ	Character	情報の最小要素。例えば、字又は数字。図形文字は関連するグリフをもち、制御文字は関連する処理セマンティクスをもつ。RFC1866による。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11826	A		文字符号化方式	もじふごうかほうしき	Character encoding scheme	変域がオクテット列の集合で、値域が文字レパートリからの文字列の集合である関数。つまり、オクテット列及び文字列が文字符号化方式を決定する。RFC1866による	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11827	A		文字レパートリ	もじれぱーとり	Character repertoire	文字の有限集合。例えば、符号化文字集合の値域。RFC1866による。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11828	A		符号位置	ふごういち	Code position	符号化文字集合の変域の整数。符号化文字集合が符号位置を文字に写像する。RFC1866による。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11829	A		符号化文字集合	ふごうかもじしゅうごう	Coded character set	整数の部分集合を変域とし、文字レパートリを値域とする関数。つまり、整数の集合(通常は、0、1、2、…、N-1の形式)に関して、ある符号化文字集合及びその整数の集合内の一つの整数が、文字を決定する。逆に、ある文字及び符号化文字集合が、一つ(又は、まれに幾つか)の文字の符号位置を決める。RFC1866による。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11830	A		CRLF ISO 646	CRLF ISO 646	CRLF ISO 646	1991の2文字CR(13)及びLF(10)がこの順序に並んだ列で、改行を示す。RFC1521による。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11831	A		フォームデータ集合	ふぉーむでーたしゅうごう	Form data set	名前と値とからなる対の列。名前はHTML文書が与え、値は利用者が与える。RFC1866による。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11832	A		素片識別子	そへんしきべつし	Fragment identifier	HREF属性値の中で、'#'文字の後に続く部分。RFC1866による。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11833	A		HTMLブラウザ	HTMLぶらうざ	HTML browser	HTML文書を表示するブラウザ。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11834	A		HTML文書	HTMLぶんしょ	HTML document	この規格に従って構造化された文書。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11835	A		ハイパリンク	はいぱりんく	Hyperlink	ソース及びターゲットと呼ばれる二つのアンカの間の関係。リンクはソースからターゲットを向かう。ソースは尾(テイル)とも呼ばれ、ターゲットは飛び先(デスティネーション)又は頭(ヘッド)とも呼ばれる。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11836	A		(World Wide Webにおける)利用者エージェント	(わーるどわいどうぇぶにおける)りようしゃえーじぇんと	User Agent	利用者の入力を受け付け、その入力のWorld Wide Webの解釈を利用者に表示するソフトウェア又はハードウェア。	JIS X 4156	2000	ISO/IEC 15445	2000		2005/3	Corrected Version :2003/6	2000	SC34
11837	A		追加テーマ	ついかてーま	added themes	トピックがトピック特質をその内部でもつ有効範囲を構成するテーマの集合に追加されたトピック。追加テーマは、次の二つの方法で指定される。 a)その有効範囲が影響を受けるトピックマップ文書の内部では、文書要素の追加テーマ(addthemas)属性によって指定される。指定されたテーマは、文書に含まれるトピックリンク及び関連リンクによってトピックに割り当てられたすべてのトピック特質の有効範囲に追加される。 b)その有効範囲が影響を受けるトピックマップ文書の内側又は外側の場合、追加予定テーマ(addthmas)の体系形式に適合する要素によって指定される。指定されたテーマは、次に示すものによってトピックに割り当てられたトピック特質に追加される。 ・トピックマップ文書全体。これは、tmdocsによって指定される。 ・トピックリンク。すなわち、トピックリンクによってトピックに割り当てられた名前特質及び出現特質。これは、cassign属性によって指定される。 ・関連リンク。すなわち、関連リンクによってトピックに割り当てられるとおりの、トピックが関連において果たす役割。これは、cassign属性によって指定される。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11838	A		関連	かんれん	association	3.22(トピック関連)を参照。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11839	A		関連リンク	かんれんりんく	association link	この規格が定義する関連リンク体系形式に適合するハイパリンク要素。5.3を参照。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11840	A		関連役割	かんれんやくわり	association role	与えられたトピック関連でトピックが果たす役割の一つ。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11841	A		関連型	かんれんがた	association type	a)トピック関連のクラスとなる主題。 b)特定の関連リンクがインスタンスとなるトピック関連のクラスの一つ。与えられた関連リンクがインスタンスとなる関連型は、その任意選択のtypes属性によって指定できる。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11842	A		基底名	きていめい	base name	a)トピックリンクのtopname下位要素の下位要素(basename)。 b)basename要素の内容で指定されるトピックの名前特質。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11843	A		境界内オブジェクト集合	きょうかいないおぶじぇくとしゅうごう	bounded object set, BOS	そのすべてが処理応用に知られており、集合的に処理される、一つ以上の文書及び他の情報オブジェクトの集合。詳細は、JIS X 4155:1999を参照。3.13(ハブ文書)の定義も参照。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11844	A		表示名	ひょうじめい	display name	a)トピックリンクのtopname下位要素の下位要素(dispname)であって、トピックリンクの主題を表現する応用によって表示されることを意図した識別情報を含む。 b)dispname要素の内容で指定されるトピックの名前特質。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11845	A		ファセット	ふぁせっと	facet	a)外部的に適用される特性を共有する情報オブジェクトの部分集合。 b)情報オブジェクトの集合に外部的に適用される特性に与えられる値。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11846	A		ファセットリンク	ふぁせっとりんく	facet link	与えられた特性に対する値を一つ以上の情報オブジェクトに(その特性それ自体とともに)適用するハイパリンク。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11847	A		ファセット型	ふぁせっとがた	facet type	一つ以上のファセットリンクによって、一つ以上のオブジェクトに適用される特性。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11848	A		ファセット値	ふぁせっとち	facet value	特定のファセット型に属するすべての値の集合メンバ。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11849	A		ハブ文書	はぶぶんしょ	hub document	HyTimeハイパ文書を構成する情報資源の集合(境界内オブジェクト集合、BOS)を定義するために使用するHyTime。応用は、ハイパ文書内での閲覧セションの開始点として使用されるHyTime文書を、ハブ文書と見なしてもよい。詳細は、JIS X 4155:1999を参照。定義によって、トピックマップはHyTimeハイパ文書であって、いかなるトピックマップ文書も	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11850	A		出現役割	しゅつげんやくわり	occurence role	出現のある集合体が一つのトピックに意味を持つこと。トピックマップ体系では、出現役割は、トピックリンクの(HyTime体系で定義されるとおりの)アンカ役割(anchor role)として指定される。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11851	A		公開主題記述子	こうかいしゅだいきじゅつし	public subject descriptor	多くのトピックマップにおける多くのトピックリンクのidentity属性の共通参照元として使用される(又は使用するために特別に設計された)主題記述子(3.19を参照)。この主題記述子が示す主題は、それを参照するすべてのトピックリンクの共通結合点として容易に認識され、関連するトピックマップは併合される。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11852	A		有効範囲	ゆうこうはんい	scope	備考 ここで与えられる有効範囲の定義は、この規格の適用範囲(scope)を定義する1.の“適用範囲”と混同してはならない(1)。 注(1) この企画を含む一連のトピックマップの規格では、意味を混同しないために、トピックマップに限定した“scope”は、“有効範囲”と訳す。 トピックの特質割当て(3.24を参照。)の有効性の範囲。すなわち、与えられたトピックに名前又は出現が割り当てられる文脈、及びトピックが関連によって関連付けられる文脈。この規格は、有効範囲の明示的な指定を要求しない。トピック特質割当ての有効範囲が、一つ以上のscope属性を通じて明示的に指定されない場合、トピック特質がそのトピックに適用される有効範囲には、トピックマップ全体におけるすべてのトピックが含まれる。この特別な有効範囲を、“制約なしの有効範囲”と呼ぶ。有効範囲が指定された場合、その指定は、集合のメンバとしての役割の文脈において“テーマ”と呼ばれるトピックの集合から構成される。各テーマは、それらテーマが集合的に定義する有効範囲の範囲に寄与する。与えられた有効範囲は、その有効範囲を指定するために使用されるテーマの集合の主題の合併集合とする。 備考 二つのトピックの(合併集合ではなく)共通部分となる有効範囲を指定するのが望ましい場合、これは、主題がその共通部分であるトピックを作成し、そのトピックを一つの	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11853	A		整列名	せいれつめい	sort name	a)トピックリンクのtopname下位要素の下位要素(sortnaeme)であって、アルファベット順又は他の順序での順序付け使用されることを意図したトピック名の代替表現である文字列を含む。 b)sortname要素の内容で指定されるトピックの名前特質。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11854	A		主題	しゅだい	subject	最も一般的な意味において、“主題”は、存在しているかどうか、又は他の特定の特質を持っているかにかかわらず、それについていかなる手段で表明してもよいあらゆるものとする。 備考 すべてのトピックリンクの目には見えない核心は、その作者がそれを作成したときに考えていた主題とする。ある意味で、トピックリンクは、主題を具体化する。トピックリンクのidentity属性は、トピックリンクの作者が、考えた主題をトピックの構成原理のとおりに	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11855	A		主題記述子	しゅだいきじゅつし	subject descriptor	主題の識別性の明白なあいまい性のない指示を提供することを意図し、トピックリンクのidentity属性の参照元となる情報[3.15[公開主題記述子)を参照]。 備考1. 主題記述子は、主題を定義するテキストとすることができるが、テキストであることは要件ではない。例えば、主題は、美術館の収蔵品の資産の購入番号、商品カタログのカタログ番号、図書館の主題見出しカタログの主題見出しといった、主題のカタログの一覧であってもよい。偶然に定義となった主題記述子と通常の定義の出現との差異は、次による。すなわち、主題記述子の場合には、トピックリンクの作者が、その主題記述子をトピックリンクの構成原理の権威付けられた定義として見なすことが望ましいと(identity属性の値でそれを参照することによって)示したこととする。通常の定義の出現の場合には、作者は、定義的な出現として定義を特徴付けることによって、その定義の存在及びトピックリンクの主題への可能な関連性を認めているだけとする。 2. 主題記述子は、オフラインの資源であってもよい。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11856	A		テーマ	てーま	thema	トピック特質割当てが有効である有効範囲を構成するトピックの集合メンバ。3.16(有効範囲)及び3.21(トピック)の定義も参照。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11857	A		トピック	とぴっく	topic	a) 0個以上の名前、出現、及び他のトピックとの関連において果たされる役割を含んだ、その構成原理が一つの主題となる、トピック特質の集合体。 b) トピックリンク要素。5.2を参照。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11858	A		トピック関連	とぴっくかんれん	topic association	a) 関連リンク要素によって表明される特定のトピックの間の特定の関係。 b) 関連リンク要素。5.3を参照。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11859	A		トピック特質	とぴっくとくしつ	topic characteristic	トピックの特質を定義するもの。トピック特質は、次の3種類とする。 a) 名前 b) 出現	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:0	2002	SC34
11860	A		トピック特質割当て	とぴっくとくしつわりあて	topic characteristic assignment	a) トピック特質がトピックの特質になる機構。例えば、トピックリンク要素のtopname下位要素は、トピックに名前をトピック特質として割り当てるのに使用されるので、トピックマップ文書では、この要素は、トピック名前特質を割り当てる機能を実行する。 b) 特定のトピック特質が特定のトピック特質であるという事実。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11861	A		トピックリンク	とぴっくりんく	topic link	この規格の5.2で定義するトピックリンク体系形式に適合するハイパリンク要素。 備考 1.この規格では、この定義は、“topic link”という語句によって、又はトピックリンク体系形式のデフォルトのSGML名が“topic”なので、SGML名を識別するために使用される特別な文字列(すなわち、topic)によって呼び出される。 2. 3.21(トピック)の定義も参照すること。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11862	A		トピックマップ	とぴっくまっぷ	topic map	a) トピックマップ応用によって境界内オブジェクト集合と見なされる情報資源の集合。ただし、その境界内オブジェクト集合のハブ文書は、この規格が定義するSGML体系に適合するトピックマップ文書とする。 b) この規格が定義するSGML体系に適合するあらゆるトピックマップ文書、またはそれら文書の文書要素(topicmap)。 c) トピックマップ文書体系の文書要素型(topicmap)	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11863	A		トピック名	とぴっくめい	topic name	a) トピックの名前として指定された文字列。すなわち、トピックの名前特質。 b) この規格が定義するとおりの、トピック名(topicname)要素。 c) この規格が定義するとおりの、基底名(basename)要素、表示名(disname)要素若しくは整列キーとして使用される名前(sortname)要素のいずれか、及び/又はそれら要素が含む情報。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11864	A		トピック出現	とぴっくしゅつげん	topic occurrence	与えられた主題に関連するとして指定された情報。 備考 トピック出現は、オフラインの資源であってもよい。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11865	A		トピック型	とぴっくがた	topic type	a) トピックのクラスとなる主題。 b) 特定のトピックリンクがインスタンスとなるトピッククラスの一つ。与えられたトピックリンクがインスタンスとなるトピック型は、その任意選択のtypes属性を通じて指定できる。	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11866	A		制約なしの有効範囲	せいやくなしのゆうこうはんい	unconstrained scope	トピックマップにおけるトピックすべてから構成される有効範囲。いかなる適用可能なscope属性もトピック特質割当てを支配するとして明示的に指定されていない場合、トピック特質割当てが行われる有効範囲は、この制限なしの有効範囲とする。 備考 換言すると、制約なしの優位王範囲は、デフォルト有効範囲となる。したがって、例	JIS X 4157	2002	ISO/IEC 13250	2000		2003/11	ISO/IEC 13250:00/Cor.1:02 用語なし	2002	SC34
11867	A		関連	かんれん	association	一つ以上の主題間の関係の表現。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006	IDT			2006	SC34
11868	A		関連役割	かんれんやくわり	association role	関連によって表現された関係に主題が関与していることの表現。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11869	A		関連役割型	かんれんやくわりがた	association role type	関連における関連役割を演じるものの関与の性質を記述する主題。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11870	A		関連型	かんれんがた	association type	関連型は、その型の関連によって表現された関係の性質を記述する主題。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11871	A		情報資源	じょうほうしげん	information resource	バイト列としての資源の表現。したがって、潜在的にネットワーク上で検索できる。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11872	A		項目識別子	こうもくしきべつし	item identifier	参照可能にするために情報項目に割り当てられた位置指定子。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11873	A		位置指定子	いちしていし	locator	一つ以上の情報資源を参照する位置指定子記法に適合する文字列。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11874	A		併合	へいごう	merging	冗長なトピックマップ構成物を除去するためにトピックマップに適応される処理。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11875	A		出現	しゅつげん	occurrence	主題と情報資源との間の関係の表現。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11876	A		出現型	しゅつげんがた	occurrence type	出現型は、その型の出現によって結び付けられた主題と情報資源との間の関係の性質を記述する主題。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11877	A		具体化	ぐたいか	reification	同じトピックマップの中で他のトピックマップ構成物の主題を表現するトピックの生成。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11878	A		有効範囲	ゆうこうはんい	scope	ステートメントが有効な文脈	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11879	A		ステートメント	すてーとめんと	statement	主題について主張又は表明。ただし、主題は、トピックスマップの構成物であってもよい。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11880	A		主題	しゅだい	subject	存在しているかどうか、又は他の特定の特質をもっているかどうかにかかわらず、それについていかなる手段で表明してもよいあらゆるもの。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11881	A		主題識別子	しゅだいしきべつし	subject identifier	主題指示子を参照する位置指定子。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11882	A		主題指示子	しゅだいしじし	subject indicator	トピックが人に対して表現する主題を明確に識別するために、トピックマップから参照される情報資源。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11883	A		主題位置指定子	しゅだいいちしていし	subject locator	トピックの主題である情報資源を参照する位置指定子。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11884	A		トピック	とぴっく	topic	主題についてのステートメントを作成可能にするために、ただ一つだけの主題を表現するためにトピックマップの中で使用される記号。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11885	A		トピックマップ	とぴっくまっぷ	topic map	トピックと関連との集合。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11886	A		トピックマップ構成物	とぴっくまっぷこうせいぶつ	topic map construct	トピックマップの構成要素。それらは、トピックマップ、トピック、トピック名、異形名、出現、関連又は関連役割とする。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11887	A		トピックマップ技術	とぴっくまっぷぎじゅつ	Topic Maps	知識を記号化し、この記号化された知識を関連のある情報資源に結び付けるための技	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11888	A		トピック名	とぴっくめい	topic name	基底名として知られている基本形と、異形名として知られている基本形の異形とから成るトピックの名前。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11889	A		トピック名型	とぴっくめいがた	topic name type	トピック名型は、その型のトピック名の性質を記述する主題。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11890	A		トピック型	とぴっくがた	topic type	主題の集合において、ある共通性をとらえた主題。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11891	A		制約なしの有効範囲	せいやくなしのゆうこうはんい	unconstrained scope	ステートメントが無制限の有効性をもつと考えられることを指し示すために使用される有効範囲。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11892	A		異形名	いぎょうめい	variant name	ある文脈において対応する基底名よりも適切と思われるトピックの代替形。	JIS X 4157-2	2008	ISO/IEC 13250-2	2006				2006	SC34
11893	A		XTM	XTM	XTM	この規格で定められる構文。	JIS X 4157-3	2008	ISO/IEC 13250-3	2007	IDT			2007	SC34
11894	A		誤り	あやまり	error	この規格が規定する規則に対する違反。結果は定義しない。適合するソフトウェアは、誤りを検出して報告してもよく、誤りから回復してもよい。	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11895	A		致命的誤り	ちめいてきあやまり	fatal error	適合するXMLプロセサが検出し、応用プログラムに報告しなければならない誤り。プロセサは、致命的な誤りを発見したあとも、それ以降の誤りを探すためにデータ処理を続行し、見つかった誤りを応用プログラムに報告してもよい。誤り訂正をサポートするために、プロセサは、処理していないデータ(文字データ及びマーク付けの混在したもの。)を文書から取り出し、応用プログラムに渡してもよい。しかし、プロセサは、致命的な誤りを一度でも検出したならば、通常の処理を続行してはならない。つまり、プロセサは、文字データと文書の論理構造についての情報とを、通常の方法で応用プログラムに渡し続けてはな	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11896	A		利用者の任意選択によっては	りようしゃのにんいせんたくによっては	at user option	適合するソフトウェアは、記述されたとおりに振る舞ってもよい(may)、又は振る舞わなくてはならない(must)(文中の助動詞による。)。そのとおりに振る舞う場合は、記述された振舞いを選択又は拒否する手段を利用者に提供しなければならない。	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11897	A		妥当性制約	だとうせいせいやく	validity constraint	すべての妥当なXML文書に適用する規則。妥当性制約への違反は、誤りとする。利用者の任意選択によっては、検証を行うXMLプロセサは、この誤りを報告しなければならな	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11898	A		整形式制約	せいけいしきせいやく	well-farmedness	すべての整形式のXML文書に適用する規則。整形式制約への違反は致命的な誤りとす	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11899	A		マッチする	まっちする	match	(文字列又は名前がマッチする)比較する二つ文字列又は名前は、同一でなければならない。JIS X 0221-1において、複数の表現が可能な文字[例えば、合成形式及び基底文字+ダイアクリティカルマーク(ダイアクリティカルマーク)形式]は、いずれの文字列も同じ表現のときに限り、マッチする。比較のとき、大文字と小文字との区別をする。(文字列と文法中の規則とがマッチする]ある生成規則から生成する言語に、ある文字列が属するとき、この文字列は、この生成規則にマッチするという。(内容と内容モデルとがマッチする)ある要素が、制約[妥当性制約:要素の妥当性]に示す意味で宣言に適合するとき、こ	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11900	A		互換性のためには	ごかんせいのためには	for compatibility	XMLの機能であって、XMLがSGMLと互換であることを保証するためだけに導入されるものについて記述する文を示す。	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11901	A		相互運用性のためには	そうごうんようせいのためには	for interoperability	拘束力はもたない推奨事項について記述する文を示す。ISO 8879へのWebSGML適用附属書以前から存在するSGMLプロセサが、XML文書を処理できる可能性を高めるために、これらの推奨事項を取り入れる。	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11902	A		してもよい	してもよい	may	適合する文書又はXMLプロセサは、記述されたとおりに動作してもよいが、そのとおりにする必要はない。	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11903	A		しなければならない	しなければならない	must	適合する文書又はXMLプロセサは、記述されたとおりに動作することが要求される。そうでなければ、誤りとする。	JIS X 4159	2002				2005/3	XML1.0	2004	W3C
11904	A		並び線	ならびせん	alignment line	一つのフォントのほとんどのグリフ像がその上に並んでいるように見える仮想的な線。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11905	A		現位置	げんいち	current position	次のグリフ表現を可視化する位置を示す表示面上の点。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11906	A		デザイン寸法	でざいんすんぽう	design size	その大きさでの使用を考えて設計した、フォントの絶対的な寸法。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11907	A		送り	おくり	escapement	グリフ表現を可視化した結果生じる、表示面上の現位置の移動。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11908	A		送り点	おくりてん	escapement point	グリフ表現を可視化した結果、表示面上で現位置が移る先を示す、グリフ座標系内の点であるグリフ配置量。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11909	A		フォント	ふぉんと	font	基本デザインが同一であるグリフ像の集合。例えば、クーリエ ボールド オブリク(Courier Bold Oblique)。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11910	A		フォントファミリ	ふぉんとふぁみり	font family	クーリエ、クーリエ ボールド、クーリエ ボールド オブリク(Courier、Courier Bold、Courier Bold Oblique)のように、共通するデザインのフォントの集合。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11911	A		フォント配置量	ふぉんとはいちりょう	font metrics	当該フォント資源に含まれるすべてのグリフ表現に共通する、フォント資源中の寸法と位置決め情報の集合。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11912	A		フォント参照	ふぉんとさんしょう	font reference	電子文書表現で用いるフォント資源について、そのフォントを識別したり、記述したりする情報。この情報に対する手続きや操作もフォント参照に含めてよい。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11913	A		フォント資源	ふぉんとしげん	font resource	グリフ表現の集合に、フォント配置量情報とその集合全体に関係する記述情報とを加えたもの。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11914	A		フォント寸法	ふぉんとすんぽう	font size	ほとんどの場合、フォント配置量、グリフ形状及びグリフ配置量を相対的に指定する基準寸法(スカラ量)。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11915	A		グリフ	ぐりふ	glyph	個々のデザインの違いを除去した認知可能な抽象的図記号。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11916	A		グリフ集合	ぐりふしゅうごう	glyph collection	識別対象となるグリフの集合。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11917	A		グリフ座標系	ぐりふざひょうけい	glyph coordinate system	グリフ形状、グリフ配置量及びフォント配置量を定義するのに用いる2次元デカルト座標系。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11918	A		グリフ像	ぐりふぞう	glyph image	表示面上にグリフ表現を表示することによって得られる、グリフの可視化結果。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11919	A		グリフ配置量	ぐりふはいちりょう	glyph metrics	グリフ形状の寸法と位置決めを規定する、グリフ表現の中の一群の情報。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11920	A		グリフ表現	ぐりふひょうげん	glyph representation	フォント資源の中の個々のグリフに関するグリフ形状とグリフ配置量。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11921	A		グリフ形状	ぐりふけいじょう	glyph shape	グリフを表現する形を規定する、グリフ表現の中の一群の情報。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11922	A		カーン	かーん	kern	位置決め点又は送り点からはみ出たグリフ形状のはみ出し部分。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11923	A		位置決め点	いちぎめてん	position point	通常はグリフ形状を可視化する前に表示面の現位置に対応させる、グリフ座標系の点であるグリフ配置量。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11924	A		姿勢	しせい	posture	グリフの形状又はグリフの集合の形状が傾斜して見える定性的な程度。傾斜によってデザインが変化したり字体が変化したりする。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11925	A		表示面	ひょうじめん	presentation surface	表現処理が管理する表示媒体(紙、図形表示装置など)の仮想表現。その上ですべてのグリフ形状を可視化する。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11926	A		プロポーション	ぷろぽーしょん	proportionate width	一つのグリフ又はグリフ集合についての送りのフォント高に対する比。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11927	A		ステム	すてむ	stem	グリフ形状の主要ストローク。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11928	A		ウェイト	うぇいと	weight	一つのグリフ又はグリフ集合についての、ステム幅のフォント高に対する比。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11929	A		表記方向	ひょうきほうこう	writing mode	組版システムなどの表記系でテキストを組んでいく方向。通常はその際のグリフの公称送り方向を示す。例えば、右向き、左向き、下向きなど。	JIS X 4161	1993	ISO/IEC 9541-1	1991		2002/10	Amd.1:01 Amd.2:98 Amd.3:00	1991	SC34
11930	A		(フォント)部分集合	(ふぉんと)ぶぶんしゅうごう	(font)subset	応用での使用法及び機能によって定まるフォント属性の集合。	JIS X 4162	1993	ISO/IEC 9541-2	1991		2002/10	Amd.1:00	1991	SC34
11931	A		暗号文	あんごうぶん	ciphertext	暗号化した情報。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11932	A		現在点	げんざいてん	current point	グリフ記述言語のパス構成演算子が参照した最後の点。この点は、最後に描いた直線若しくは曲線の終点、又はrmoveto演算子若しくはsetcurrentpoint演算子が最後に置いた点のいずれかとなる。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11933	A		暗号キー	あんごうきー	encryption key	グリフ手続きの暗号化又は非暗号化に必要な整数。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11934	A		フォントプログラム	ふぉんとぷろぐらむ	font program	グリフ手続き及びグリフ記述データの構造化集合を組み込んだ計算機プログラム。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11935	A		仮想ステム	かそうすてむ	ghost stem	グリフ範囲のMax-y及びMin-yだけに適用する仮想の水平ステム。もし正確な垂直そろえが必要であれば、hstemヒント演算子をこの仮想ステムに対して指定しなければならな	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11936	A		グリフ手続き	ぐりふてつづき	glyph procedure	標準グリフ形状記述演算子を使って書き、交換様式で表現した計算機プログラム。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11937	A		グリフ手続きインタプリタ	ぐりふてつづきいんたぷりた	glyph procedure interpreter	グリフの輪郭線表現と、走査変換に必要な関連データ構造とを構成するための、グリフ手続きを解釈できる計算機処理。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11938	A		ヒント	ひんと	hint	ラスタ装置上での表示のためのラスタ化に際して、グリフの均整及び特徴を保存するのに有効な、グリフの幾何形状に付加する手続き指定情報又は宣言的な指定情報。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11939	A		オーバーシュート	おーばーしゅーと	overshoot	平たん(担)な先端位置をわずかに越えて伸びた、丸い又はとが(尖)ったグリフ先端の部分。これを用いて水平の表記方向で視覚的に正確なグリフの垂直並びを表現する。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11940	A		パス	ぱす	path	一つ以上のパス構成演算子が構成する、サブパス及び領域の分離可能な集合。一つのグリフの中のすべてのサブパスの集合が一つのパスとなる。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11941	A		平文	ひらぶん	plaintext	暗号化していない情報。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11942	A		ラスタ化	らすたか	rasterization	塗りつぶさなければならないグリフ範囲の決定と、それらの範囲を表現するためのビットマップの生成とからなる2段階の処理。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11943	A		領域	りょういき	region	幾何的に定められた範囲。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11944	A		区間	くかん	segment	単一の描画命令で生成した曲線又は直線。すなわち、グリフ形状を定義するパスの上の連続する点の間の曲線又は直線。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11945	A		ステム幅整合	すてむはばせいごう	snap	装置独立の輪郭線表現における公称幅の異なるグリフステムの集合を、ビットマップ表現へ変換するに際して、強制的に同じ幅にするための機構。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11946	A		サブパス	さぶぱす	subpath	一つ以上のパス構成演算子が構成する、連結した直線区間又は曲線区間の列。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11947	A		組上り濃度	くみあがりのうど	typographic color	表示するフォントの相対的な太さ。フォントの中の主要ステムの相対的幅に基づく。表示面の範囲に対する、表示グリフ形状の面積の相対量でもある。	JIS X 4163	1994	ISO/IEC 9541-3	1994				1994	SC34
11948	A		申請者	しんせいしゃ	applicant	フォント関連オブジェクトの登録を要求する個人又は組織。	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11949	A		フォント関連オブジェクト	ふぉんとかんれんおぶじぇくと	font-related object	広域交換におけるフォント情報又はグリフ情報の識別のために、JIS X 4161～4163又は他のJIS若しくはISO/IECの規格が既定する実体。	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11950	A		登録簿	とうろくぼ	register	項目、名前又は動作の形式的記録又は公式記録。	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11951	A		登録者	とうろくしゃ	registrar	登録簿を作成し保守する責任のある、登録機関が指名する個人又は組織。	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11952	A		登録機関	とうろくきかん	Registration Authority	技術規格が必要とする実態を登録するために、ISO/IEC理事会が推薦し、指名する組	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11953	A		責任団体	せきにんだんたい	resonsible body	通常は、技術規格を作成したJTC1の分科会。その団体がなくなった後は、その技術規格を支援する現在の団体。	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11954	A		音節表	おんせつひょう	syllabary	音節を表すグリフのリスト。	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11955	A		技術規格	ぎじゅつきかく	technical standard	登録対象の実体(名前及び値)を必要とする項目を含む規格。	JIS X 4165	2002	ISO/IEC 10036	1996				1996	SC34
11956	A		管理者、システム管理者	かんりしゃ、しすてむかんりしゃ	administrator, system administrator		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11957	A		確実な再現領域	かくじつなさいげんりょういき	assured reproduction area		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11958	A		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11959	A		属性型	ぞくせいかた	attribute type		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11960	A		利用可能	りようかのう	available		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11961	A		ビジー状態	びじーじょうたい	busy state		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11962	A		組版割付けプロセス	くみはんわりつけぷろせす	composition and layout process		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11963	A		必す(須)属性	ひっすぞくせい	compulsory attribute		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11964	A		制御属性パッケージ(CAP)	せいぎょぞくせいぱっけーじ(CAP)	Control-Attribute-Package (CAP)		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11965	A		文書	ぶんしょ	document		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11966	A		文書複写	ぶんしょふくしゃ	document copy		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11967	A		文書様式	ぶんしょようしき	document-format		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11968	A		文書作製命令	ぶんしょさくせいめいれい	document production instruction		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11969	A		文書集合	ぶんしょしゅうごう	document set		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11970	A		最終形式文書	さいしゅうけいしきぶんしょ	final form document		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11971	A		面付け	めんつけ	imposition		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11972	A		初期値ジョブ	しょきちじょぶ	initial-value-job		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11973	A		ジョブコピー	じょぶこぴー	job copy		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11974	A		ジョブ結果集合	じょぶけっかしゅうごう	job result set		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11975	A		論理媒体	ろんりばいたい	logical medium		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11976	A		論理プリンタ	ろんりぷりんた	logical printer		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11977	A		論理資源	ろんりしげん	logical resource		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11978	A		媒体	ばいたい	medium		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11979	A		非必す(須)属性	ひひっすぞくせい	non-compulsory attribute		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11980	A		オブジェクト状態	おぶじぇくとじょうたい	object status		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
11981	A		非要求状態	ひようきゅうじょうたい	non-request state		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11982	A		出力装置	しゅつりょくそうち	output device		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11983	A		ページ	ぺーじ	page		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11984	A		ページ像	ぺーじぞう	page image		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11985	A		ページ記述言語	ぺーじきじゅつげんご	page description language		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11986	A		物理媒体	ぶつりばいたい	physical medium		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11987	A		物理ページ	ぶつりぺーじ	physical page		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11988	A		物理プリンタ	ぶつりぷりんた	physical printer		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11989	A		物理資源	ぶつりしげん	physical resource		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11990	A		提示	ていじ	presentation		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11991	A		印刷アクセスプロトコル	いんさつあくせすぷろとこ	print-access-protocol		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11992	A		印刷クライアント	いんさつくらいあんと	print-client		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11993	A		印刷ジョブ	いんさつじょぶ	print-job		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11994	A		印刷操作管理命令 (PMI)	いんさつそうさかんりめいれい (PMI)	print operation management instruction		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11995	A		印刷操作パラメタ(POP)	いんさつそうさぱらめた	printoperation parameters (POP)		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11996	A		印刷要求	いんさつようきゅう	print-request		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11997	A		印刷サーバ	いんさつさーば	print-server		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11998	A		印刷サービス	いんさつさーびす	print-service		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
11999	A		印刷システム	いんさつしすてむ	print-system		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12000	A		印刷	いんさつ	printing		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12001	A		特権属性証明書(PAC)	とっけんぞくせいしょうめいしょ(PAC)	privilege-attribute-certificate (PAC)		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12002	A		レディー状態	れでぃーじょうたい	ready-state		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12003	A		参照座標系	さんしょうざひょうけい	Reference Coordinate Sysytem		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12004	A		資源	しげん	resource		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12005	A		編集可能(形式)文書	へんしゅうかのう(けいしき)ぶんしょ	revisable (form) document		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12006	A		サービス要求	さーびすようきゅう	service request		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12007	A		シート	しーと	sheet		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12008	A		署名	しょめい	signature		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12009	A		SPDL文書	SPDLぶんしょ	SPDL document		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12010	A		支援された	しえんされた	supported		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12011	A		利用不可能状態	りようふかのうじょうたい	unavailable state		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12012	A		利用者	りようしゃ	user		JIS X 4167-1	2003	ISO/IEC 10175-1	1996				1996	SC6
12013	A		管理者、システム管理者	かんりしゃ、しすてむかんりしゃ	administrator, system administrator		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12014	A		確実な再現領域	かくじつなさいげんりょういき	assured reproduction area		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12015	A		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12016	A		属性型	ぞくせいかた	attribute type		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12017	A		利用可能	りようかのう	available		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12018	A		ビジー状態	びじーじょうたい	busy state		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12019	A		組版割付けプロセス	くみはんわりつけぷろせす	composition and layout process		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12020	A		必す(須)属性	ひっすぞくせい	compulsory attribute		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12021	A		制御属性パッケージ(CAP)	せいぎょぞくせいぱっけーじ(CAP)	Control-Attribute-Package (CAP)		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12022	A		文書	ぶんしょ	document		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12023	A		文書複写	ぶんしょふくしゃ	document copy		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12024	A		文書様式	ぶんしょようしき	document-format		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12025	A		文書作製命令	ぶんしょさくせいめいれい	document production instruction		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12026	A		文書集合	ぶんしょしゅうごう	document set		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12027	A		最終形式文書	さいしゅうけいしきぶんしょ	final form document		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12028	A		面付け	めんつけ	imposition		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12029	A		初期値ジョブ	しょきちじょぶ	initial-value-job		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12030	A		ジョブコピー	じょぶこぴー	job copy		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12031	A		ジョブ結果集合	じょぶけっかしゅうごう	job result set		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12032	A		論理媒体	ろんりばいたい	logical medium		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12033	A		論理プリンタ	ろんりぷりんた	logical printer		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12034	A		論理資源	ろんりしげん	logical resource		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12035	A		媒体	ばいたい	medium		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12036	A		非必す(須)属性	ひひっすぞくせい	non-compulsory attribute		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12037	A		オブジェクト状態	おぶじぇくとじょうたい	object status		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12038	A		非要求状態	ひようきゅうじょうたい	non-request state		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12039	A		出力装置	しゅつりょくそうち	output device		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12040	A		ページ	ぺーじ	page		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12041	A		ページ像	ぺーじぞう	page image		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12042	A		ページ記述言語	ぺーじきじゅつげんご	page description language		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12043	A		物理媒体	ぶつりばいたい	physical medium		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12044	A		物理ページ	ぶつりぺーじ	physical page		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12045	A		物理プリンタ	ぶつりぷりんた	physical printer		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12046	A		物理資源	ぶつりしげん	physical resource		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12047	A		提示	ていじ	presentation		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12048	A		印刷アクセスプロトコル	いんさつあくせすぷろとこ	print-access-protocol		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12049	A		印刷クライアント	いんさつくらいあんと	print-client		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12050	A		印刷ジョブ	いんさつじょぶ	print-job		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12051	A		印刷操作管理命令 (PMI)	いんさつそうさかんりめいれい (PMI)	print operation management instruction		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12052	A		印刷操作パラメタ (POP)	いんさつそうさぱらめた (POP)	printoperation parameters (POP)		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12053	A		印刷要求	いんさつようきゅう	print-request		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12054	A		印刷サーバ	いんさつさーば	print-server		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12055	A		印刷サービス	いんさつさーびす	print-service		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12056	A		印刷システム	いんさつしすてむ	print-system		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12057	A		印刷	いんさつ	printing		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12058	A		特権属性証明書(PAC)	とっけんぞくせいしょうめいしょ(PAC)	privilege-attribute-certificate (PAC)		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12059	A		レディー状態	れでぃーじょうたい	ready-state		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12060	A		参照座標系	さんしょうざひょうけい	Reference Coordinate Sysytem		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12061	A		資源	しげん	resource		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12062	A		編集可能(形式)文書	へんしゅうかのう(けいしき)ぶんしょ	revisable (form) document		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12063	A		サービス要求	さーびすようきゅう	service request		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12064	A		シート	しーと	sheet		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12065	A		署名	しょめい	signature		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12066	A		SPDL文書	SPDLぶんしょ	SPDL document		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12067	A		支援された	しえんされた	supported		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12068	A		利用不可能状態	りようふかのうじょうたい	unavailable state		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12069	A		利用者	りようしゃ	user		JIS X 4167-2	2003	ISO/IEC 10175-2	1996				1996	SC6
12070	A		管理者、システム管理者	かんりしゃ、しすてむかんりしゃ	administrator, system administrator		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12071	A		確実な再現領域	かくじつなさいげんりょういき	assured reproduction area		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12072	A		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12073	A		属性型	ぞくせいかた	attribute type		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12074	A		利用可能	りようかのう	available		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12075	A		ビジー状態	びじーじょうたい	busy state		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12076	A		組版割付けプロセス	くみはんわりつけぷろせす	composition and layout process		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12077	A		必す(須)属性	ひっすぞくせい	compulsory attribute		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12078	A		制御属性パッケージ(CAP)	せいぎょぞくせいぱっけーじ(CAP)	Control-Attribute-Package (CAP)		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12079	A		文書	ぶんしょ	document		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12080	A		文書複写	ぶんしょふくしゃ	document copy		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12081	A		文書様式	ぶんしょようしき	document-format		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12082	A		文書作製命令	ぶんしょさくせいめいれい	document production instruction		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12083	A		文書集合	ぶんしょしゅうごう	document set		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12084	A		最終形式文書	さいしゅうけいしきぶんしょ	final form document		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12085	A		面付け	めんつけ	imposition		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12086	A		初期値ジョブ	しょきちじょぶ	initial-value-job		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12087	A		ジョブコピー	じょぶこぴー	job copy		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12088	A		ジョブ結果集合	じょぶけっかしゅうごう	job result set		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12089	A		論理媒体	ろんりばいたい	logical medium		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12090	A		論理プリンタ	ろんりぷりんた	logical printer		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12091	A		論理資源	ろんりしげん	logical resource		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12092	A		媒体	ばいたい	medium		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12093	A		非必す(須)属性	ひひっすぞくせい	non-compulsory attribute		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12094	A		オブジェクト状態	おぶじぇくとじょうたい	object status		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12095	A		非要求状態	ひようきゅうじょうたい	non-request state		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12096	A		出力装置	しゅつりょくそうち	output device		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12097	A		ページ	ぺーじ	page		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12098	A		ページ像	ぺーじぞう	page image		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12099	A		ページ記述言語	ぺーじきじゅつげんご	page description language		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12100	A		物理媒体	ぶつりばいたい	physical medium		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12101	A		物理ページ	ぶつりぺーじ	physical page		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12102	A		物理プリンタ	ぶつりぷりんた	physical printer		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12103	A		物理資源	ぶつりしげん	physical resource		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12104	A		提示	ていじ	presentation		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12105	A		印刷アクセスプロトコル	いんさつあくせすぷろとこ	print-access-protocol		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12106	A		印刷クライアント	いんさつくらいあんと	print-client		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12107	A		印刷ジョブ	いんさつじょぶ	print-job		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12108	A		印刷操作管理命令 (PMI)	いんさつそうさかんりめいれい (PMI)	print operation management instruction		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12109	A		印刷操作パラメタ (POP)	いんさつそうさぱらめた (POP)	printoperation parameters (POP)		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12110	A		印刷要求	いんさつようきゅう	print-request		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12111	A		印刷サーバ	いんさつさーば	print-server		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12112	A		印刷サービス	いんさつさーびす	print-service		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12113	A		印刷システム	いんさつしすてむ	print-system		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12114	A		印刷	いんさつ	printing		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12115	A		特権属性証明書(PAC)	とっけんぞくせいしょうめいしょ(PAC)	privilege-attribute-certificate (PAC)		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12116	A		レディー状態	れでぃーじょうたい	ready-state		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12117	A		参照座標系	さんしょうざひょうけい	Reference Coordinate Sysytem		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12118	A		資源	しげん	resource		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12119	A		編集可能(形式)文書	へんしゅうかのう(けいしき)ぶんしょ	revisable (form) document		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12120	A		サービス要求	さーびすようきゅう	service request		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12121	A		シート	しーと	sheet		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12122	A		署名	しょめい	signature		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12123	A		SPDL文書	SPDLぶんしょ	SPDL document		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12124	A		支援された	しえんされた	supported		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12125	A		利用不可能状態	りようふかのうじょうたい	unavailable state		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12126	A		利用者	りようしゃ	user		JIS X 4167-3	2003	ISO/IEC 10175-3	2000				2000	SC6
12127	A		属性	ぞくせい	attribute	HTMLの属性を示す。	JIS X 4168	2004							
12128	A		文書作成者	ぶんしょさくせいしゃ	author	HTML文書を作成する人。	JIS X 4168	2004							
12129	A		ブロックレベル要素	ぶろっくれべるようそ	block-level element	前後に改行をもつ要素。例えば、HTMLにおける'H1'。	JIS X 4168	2004							
12130	A		キャンバス	きゃんばす	canvas	UA(利用者エージェント)が描画する面のその部分であって、そこに文書を可視化する。	JIS X 4168	2004							
12131	A		子要素	こようそ	child element	SGML(8.の[5]を参照)用語における下位要素。	JIS X 4168	2004							
12132	A		文脈依存選択子	ぶんみゃくいぞんせんたくし	contextual selector	文書構造の中での位置に基づいて要素との一致をとる選択子。文脈依存選択子は、幾つもの単純選択子からなる。例えば、文脈依存選択子'H1.initialB'は、二つの単純選択子'H1.initial及び'B'からなる。	JIS X 4168	2004							
12133	A		CSS段階スタイルジート	CSSだんかいすたいる	CSS cascading style	(Cascading Style Sheets)の短縮形。	JIS X 4168	2004							
12134	A		CSS1段階スタイルシート水準1	CSS1だんかいすたいるしーとすいじゅん1	Cascading Style Sheets, level 1	(Cascading Style Sheets、level 1)の短縮形。この規格は、ウェブ用の簡単なスタイルシート機構であるCSS1を規定する。	JIS X 4168	2004							
12135	A		CSS1上位機能	CSS1じょういきのう	CSS1 advanced features	この規格には規定されるが、CSS1コア機能には分類されない機能。	JIS X 4168	2004							
12136	A		CSS1コア機能	CSS1こあきのう	CSS1core features	すべてのCSS1適合のUA(利用者エージェント)に必要とされるCSS1の部分。	JIS X 4168	2004							
12137	A		CSS1パーサ	CSS1ぱーさ	CSS1 parser	CSS1スタイルシートを読むUA(利用者エージェント)。	JIS X 4168	2004							
12138	A		宣言	せんげん	declaration	特性(例えば'font-size')及び対応する値(例えば、12pt')。	JIS X 4168	2004							
12139	A		設計者	せっけいしゃ	designer	スタイルシートを設計する者。	JIS X 4168	2004							
12140	A		文書	ぶんしょ	document	HTML文書を示す。	JIS X 4168	2004							
12141	A		要素	ようそ	element	HTMLの要素を示す。	JIS X 4168	2004							
12142	A		要素型	ようそがた	element type	SGML(8.の[5]を参照)用語における共通識別子(generic identifier)。	JIS X 4168	2004							
12143	A		仮想タグ列	かそうたぐれつ	functional tag sequence	擬似クラス及び擬似要素の振舞いを記述するツール。	JIS X 4168	2004							
12144	A		フォントサイズ	ふぉんとさいず	font size	フォントの設計寸法。通常は、フォントのサイズは、ディセンダをもつ最も高さの低い字の下部から、アセンダをもち(オプションと、して)ダイアクリティカルマークをもつ最も高さの高い字の上部までの距離に近似的に等しい。	JIS X 4168	2004							
12145	A		HTML、ハイパテキストマーク付け言語	HTML、はいぱてきすとまーくづけげんご	Hyper text Markup Language	(Hyper text Markup Language)(8.の[2]を参照)の短縮形であって、SGMLの応用。	JIS X 4168	2004							
12146	A		HTML拡張	HTMLかくちょう	HTML extension	多くの場合ある可視的効果をサポートするために、UAベンダが導入するマーク付け。HTML拡張の例として、"BGCOLOR"属性と同様に、"FONT"要素、"CENTER"要素及び、"BLINK"要素がある。CSSの目的の一つは、別のHTML拡張を提供することにある。	JIS X 4168	2004							
12147	A		行内要素	ぎょうないようそ	inline element	前後に改行をもたない要素。例えば、HTMLにおける'STRONG'。	JIS X 4168	2004							
12148	A		固有寸法	こゆうすんぽう	intrinsic dimensions	周囲に無関係に要素そのものによって定義される幅及び高さ。この規格は、すべての置換要素が(置換要素だけが)固有寸法となることを前提とする。	JIS X 4168	2004							
12149	A		親要素	おやようそ	parent element	SGML(8.の[5]を参照)用語における親要素(containing element)。	JIS X 4168	2004							
12150	A		擬似要素	ぎじようそ	pseudo-element	構造的な要素ではなく表示上の項目(例えば、要素の最初の行)を指定するために、CSS選択子の中で用いる記述単位。	JIS X 4168	2004							
12151	A		擬似クラス	ぎじくらす	pseudo-class	HTMLソースに対する外部情報(例えば、アンカをたどったか否かという事実)で要素を分類することを可能にするために、CSS選択子の中で用いる記述単位。	JIS X 4168	2004							
12152	A		特性	とくせい	property	CSSによって影響を与えることができるスタイル上のパラメタ。この規格は、特性及び対応する値のリストを定義する。	JIS X 4168	2004							
12153	A		読者	どくしゃ	reader	文書可視化の対象となる人。	JIS X 4168	2004							
12154	A		置換要素	ちかんようそ	replaced element	CSSフォーマタだけが固有寸法を知る要素。HTMLにおいては、'IMG'、'INPUT'、'TEXTAREA'、'SELECT'及び'OBJECT'の各要素が、置換要素の例になり得る。例えば、'IMG'要素の内容は、SRC属性が指定する画像によって置換されることが多い。CSS1は、固有寸法を知る方法については規定しない。	JIS X 4168	2004							
12155	A		規則	きそく	rule	宣言(例えば'font-family:helvetica')及びその選択子(例えば'H1')。	JIS X 4168	2004							
12156	A		選択子	せんたくし	selector	対応する規則をどの要素に適用するかを特定する文字列。選択子は、単純選択子(例えば'H1')であるか、複数の単純選択子からなる文脈依存選択子(例えば'H1 B')であるかのどちらかとする。	JIS X 4168	2004							
12157	A		SGML標準一般化マーク付け言語	SGMLひょうじゅんいっぱんかまーくづけげんご	Standard Generalized Markup Language	(8の[5]を参照)の短縮形のことであって、HTMLはその応用。	JIS X 4168	2004							
12158	A		単純選択子	たんじゅんせんたくし	simple selector	要素型及びノ又は属性に基づいて要素との一致をとる選択子であって、文書構造における要素の位置に基づくものではない。単純選択子の1例に、'HLinitial'がある。	JIS X 4168	2004							
12159	A		スタイルシート	すたいるしーと	stylesheet	規則の集まり。	JIS X 4168	2004							
12160	A		UA利用者エージェント	UAりようしゃえーじぇんと	User Agent	(UserAgent)の短縮形であって、ウェブブラウザ又はウェブクライアントであることが多	JIS X 4168	2004							
12161	A		利用者	りようしゃ	user	文書可視化の対象となる人。読者(0.2.27)と同義。	JIS X 4168	2004							
12162	A		重み	おもみ	weight	規則の優先度。	JIS X 4168	2004							
12163	A		抽象クラス	ちゅうしょうくらす	abstract class	直接インスタンス化できないクラス。対比語:具象クラス(concrete class)	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12164	A		抽象化	ちゅうしょうか	abstraction	ある実体を他のすべての種類の実体から区別する本質的な特徴。 抽象化は、観察者の観点に対し、相対的な境界を定義する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12165	A		動作	どうさ	action	コンピュータ的な処理を抽象化した実行可能な仕様。動作は、一般的には、システムの状態を変え、そして、オブジェクトにメッセージを送ることによって、又は(オブジェクトの)連結若しくは属性の値を変更することによって実現することができる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12166	A		動作系列	どうさけいれつ	action sequence	動作列を決定する式。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12167	A		動作状態	どうさじょうたい	action state	原子的動作の実行を表現する状態であり、一般的には、操作の呼出しを表現する状態。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12168	A		活性化	かっせいか	activation	動作の実行。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12169	A		能動クラス	のうどうくらす	active class	そのインスタンスが能動オブジェクトであるクラス。参照語:能動オブジェクト(active	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12170	A		能動オブジェクト	のうどうおぶじぇくと	active object	スレッドをもち、制御活動を開始できるオブジェクト。能動クラスのインスタンス。参照語:能動クラス(active class)、スレッド(thread)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12171	A		アクティビティグラフ	あくてぃびてぃぐらふ	activity graph	複数の分類子を含んだプロセスをモデル化するために用いられる状態機械の特別な場合。対比語:ステートチャート図(statechart diagram)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12172	A		アクタ [class]	あくた [class]	actor [class]	ユースケースの利用者が、そのユースケースと相互作用を行うときに果たす一貫した役割の集合。一つのアクタは、そのアクタが交信する各ユースケースに対し一つの役割を	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12173	A		実パラメタ	じつぱらめた	actual parameter	同義語:引数(argument)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12174	A		集約 [class]	しゅうやく [class]	aggregate [class]	集約(全体-部分)関係において、"全体"を表現するクラス。参照語:集約(aggregation)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12175	A		集約	しゅうやく	aggregation	集約(全体)とその構成要素間の"全体-部分"関係を規定する関連の特別な形式。参照語:合成体(composition)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12176	A		分析	ぶんせき	analysis	ソフトウェア開発プロセスの一部であり、その主目的が問題領域のモデルを作ることにある過程のこと。分析は何をするかに焦点をあて、設計ではどのようにそれを行うかに焦点を当てる。対比語:設計(design)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12177	A		分析時	ぶんせきじ	analysis time	ソフトウェア開発プロセスの分析段階の間に起こることを指す。参照語:設計時(design time)、モデル化時(modeling time)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12178	A		アーキテクチャ	あーきてくちゃ	architecture	システムの組織的構造及び関連する振る舞い。アーキテクチャは、インタフェースを使って相互作用したりする部品。部品を結合する関係、及び構成している複数の部品に対する制約に再帰的に分解できる。インタフェースを使って相互作用する部品は、クラス、コンポーネント及びサブシステムとする。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12179	A		引数	ひきすう	argument	実行時のインスタンスを決定するパラメタの束縛。同義語:実パラメタ(actual parameter)。対比語:パラメタ(parameter)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12180	A		成果物	せいかぶつ	artifact	ソフトウェア開発プロセスにおいて利用する、又は作成する情報の物理的な構成要素。成果物の例としては、モデル、ソースファイル、記述及びバイナリの実行可能形式のファイルを含む。成果物は配置可能なコンポーネントの実装としてもよい。同義語:成果物(product)。対比語:コンポーネント(component)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12181	A		関連	かんれん	association	二つ以上の分類子間の意味的な関係であり、それらの間の結合を規定する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12182	A		関連クラス	かんれんくらす	association class	関連とクラスの特性を両方もつモデル要素。関連クラスはクラスの特性をもつ関連か、関連の特性をもつクラスとみなすことができる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12183	A		関連端	かんれんたん	association end	関連の端点であり、関連が分類子と結合する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12184	A		属性	ぞくせい	attribute	分類子のインスタンスが保持する値域を記述する分類子における素性。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12185	A		補助クラス	ほじょくらす	auxiliary class	一般的には副次的な論理又は制御の流れを実装することによって、別の中心的なクラス又は基礎的なクラスを提供するステレオタイプ付けされたクラス。補助クラスは、一般的にfocusクラスを伴って用いられるものであり、設計においてコンポーネントの副次的業務論理又は制御の流れを指定するために局所的に有効なものでなければならない。参照	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12186	A		振る舞い	ふるまい	behavior	結果を含む、操作又はイベントの識別可能な効果。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12187	A		振る舞い素性	ふるまいすじょう	behavioral feature	操作又はメソッドのようなモデル要素の動的な素性。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12188	A		振る舞いモデルの側面	ふるまいもでるのそくめん	behavioral model aspect	システムのインスタンスの振る舞いを強調するモデルの側面で、インスタンスのメソッド、協調及び状態履歴を含む。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12189	A		二項関連	にこうかんれん	binary association	二つのクラス間の関連。n項目関係の特殊な場合。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12190	A		束縛	そくばく	binding	テンプレートのパラメタに引数を与え、テンプレートからモデル要素を生成すること。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12191	A		論理	ろんり	boolean	値が真及び偽からなる列挙。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12192	A		論理式	ろんりしき	boolean expression	論理値に評価される式。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12193	A		基数	きすう	cardinality	集合の要素数。対比語:多重度(multiplicity)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12194	A		子	こ	child	はん(汎)化関係において、その対になる要素(親)を特化したもの。参照語:下位クラス(subclass)、下位型(subtype)。対比語:親(parent)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12195	A		呼出し	よびだし	call	分類子の操作を起動する動作状態。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12196	A		クラス	くらす	class	同じ属性、操作、メソッド、関係及び意味をもつオブジェクトの集合の記述。クラスは、自分の外に対し提供する操作の集合を規定するインタフェースの集合を使うこともある。参照語:インタフェース(interface)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12197	A		分類子	ぶんるいし	classifier	振る舞い素性及び構造素性を記述する機構。分類子はインタフェース、クラス、データ型、コンポーネントを含む。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12198	A		分類	ぶんるい	classification	オブジェクトを分類子に割り当てること。参照語:動的分類(dynamic classification)、多重分類(multiple classification)、静的分類(static classification)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12199	A		クラス図	くらすず	class diagram	宣言的(静的)なモデル要素の集まりを示す図。例えば、クラス、型、その内容及び関係。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12200	A		クライアント	くらいあんと	client	他の分類子からサービスを受ける分類子。対比語:供給者(supplier)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12201	A		協調	きょうちょう	collaboration	ユースケースのように、固有の方法で使われる固有の役割を果たす分類子及び関連の集合によって、実現される操作又は分類子が実現される方法の仕様。協調は、相互作用を定義する。参照語:相互作用(interaction)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12202	A		コラボレーション図	こらぼれーしょんず	collaboration diagram	分類子及び関連、又はインスタンス及びリンクを使ってモデルの構造を構造に基づいて編成した相互作用を示す図。シーケンス図とは異なり、コラボレーション図は、インスタンス間の関連を示す。シーケンス図及びコラボレーション図は、同様な情報を表すが、しかし、異なる方法で表す。参照語:シーケンス図(sequence diagram)	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12203	A		注釈	ちゅうしゃく	comment	要素又は要素の集まりに対して付与した注記。注は、意味論をもたない。対比語:制約(constraint)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12204	A		コンパイル時	こんぱいるじ	compile time	ソフトウェアモジュールのコンパイルするときに起こることを指す。参照語:モデル化時(modeling time)、実行時(run time)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12205	A		コンポーネント	こんぽーねんと	component	実装を隠ぺい(蔽)し、インタフェースの集合を開示したシステムのモジュール化した配置可能で置換え可能な部分。コンポーネントは一般的に、一つ以上のその上に存在する分類子(例えば、実装クラス)によって規定されたり、一つ以上の成果物(バイナリであったり、実行可能であったり、スクリプトファイルなど)によって実装されることもある。対比語:	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12206	A		コンポーネント図	こんぽーねんとず	component diagram	コンポーネント間の構造及び依存関係を示した図。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12207	A		合成 [クラス]	ごうせい [くらす]	composite [class]	合成関係によって一つ以上のクラスに関係付けられたクラス。参照語:合成体	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12208	A		合成集約	ごうせいしゅうやく	composite aggregation	同義語:合成体(composition)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12209	A		合成状態	ごうせいじょうたい	composite state	並行(直交する)下位状態又は逐次的(互いに素な)下位状態からなる状態から構成される状態。参照語:下位状態(substate)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12210	A		合成体	ごうせいたい	composition	その構成要素となるインスタンスがある時点で一つの合成対に含まれ、その合成オブジェクトは、自分の構成要素の生成及び解体の責任をもつことが要求される集約の一つの形態。合成体は、再帰的となることもある。同義語:合成集約(composite	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12211	A		具象クラス	ぐしょうくらす	concrete class	直接的にインスタンス化できるクラス。対比語:抽象クラス(abstract class)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12212	A		並行性	へいこうせい	concurrency	同じ時間内に二つ以上の活動発生すること。並行性は、複数のスレッドをインターリーブしたり、同時に実行することによって行われる。参照語:スレッド(thread)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12213	A		並行下位状態	へいこうかいじょうたい	concurrent substate	同一の合成状態で、同時に異なる複数の下位状態が発生させることのできる下位状態。参照語:合成状態(composite state)。対比語:互いに素な下位状態(disjoint substate)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12214	A		制約	せいやく	constraint	意味論的な条件、又は制限。特定の制約は、UMLで既定儀であり、他の制約は利用者が定義する。制約はUMLの三つの拡張機能の一つとなる。参照語:タグ付き値(tagged value)、ステレオタイプ(stereotype)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12215	A		コンテナ	こんてな	container	1. 他のインスタンスを含み、内包する要素(例えば、配列、リスト)のアクセス又は反復の操作を提供するインスタンス。 2. 他のコンポーネントを含むコンポーネント。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12216	A		包含階層	ほうがんかいそう	containment hierarchy	モデル要素から構成される名前空間の階層であり、それらのモデル要素間に存在する包含関係。包含階層はグラフを形成する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12217	A		文脈	ぶんみゃく	context	操作を指定するような特定の目的のための関係するモデル化要素集合の見え方。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12218	A		データ型	でーたがた	datatype	識別性がなく、その操作は副作用をもたない値の集合の記述子。データ型は、あらかじめ定義された基本型及び利用者定義が可能な型がある。あらかじめ定義された型は、数字、文字列及び時間とする。利用者定義が可能な型は列挙型とする。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12219	A		定義モデル [MOF]	ていぎもでる [MOF]	defining model [MOF]	リポジトリが基となるモデル。任意個のリポジトリが同じ定義モデルをもつことができる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12220	A		委譲	いじょう	delegation	メッセージに応じて、他のオブジェクトにメッセージを発行するオブジェクトの能力。委譲は、継承の代替として用いることができる。対比語:継承(inheritance)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12221	A		依存性	いぞんせい	dependency	二つのモデル化要素間の関係であり、ある一つのモデル化要素(独立要素)の変更が、他のモデル化要素(依存した要素)に影響を与える。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12222	A		配置図	はいちず	deployment diagram	実行時の処理ノード、及びそのノード上でのコンポーネント、プロセス、オブジェクトの構成を示した図。コンポーネントは、コード単位の出現を表現する。参照語:コンポーネント図(component diagram)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12223	A		派生要素	はせいようそ	derived element	他のモデル要素から計算可能なモデル要素。たとえ意味論的な情報は何も加えなくとも、明確性又は、設計目的のために示されるモデル要素。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12224	A		設計	せっけい	design	主たる目的が、システムがどのように実装されるかを決定することであるソフトウェア開発プロセスの一部。必要となる機能及び品質要件に適するように、設計戦略及び戦術的決定がなされる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12225	A		設計時	せっけいじ	design time	ソフトウェア開発プロセスの設計段階で発生することを指す。参照語:モデル化時(modeling time)。対比語:分析時(analysis time)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12226	A		開発プロセス	かいはつぷろせす	development process	例えば、モデル構築又はモデル実装のような、ソフトウェア開発において、与えられた目的に対して行われる部分的に順序付けられたステップの集合。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12227	A		図	ず	diagram	モデル要素の集合の図式表現。通常、線(関係)及び頂点(他のモデル要素)を連結した図式として描かれる。UMLは、次の図を提供する:クラス図、オブジェクト図、ユースケース図、シーケンス図、コラボレーション図、状態図、アクティビティ図、コンポーネント図、	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12228	A		互いに素な下位状態	たがいにすなかいじょうたい	disjoint substate	同じ合成状態に含まれ、他の異なる下位状態と同時には存在できない下位状態。参照語:合成状態(composite state)。対比語:並行下位状態(concurrent substate)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12229	A		分散単位	ぶんさんたんい	distribution unit	プロセス又はプロセサに割り当てられるオブジェクト又はコンポーネントの集合。分散単位は、実行時の合成又は集約として表現することができる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12230	A		値域	ちいき	domain	その分野の実践者によって理解される概念及び用語の集合によって特殊付けられる知識又は活動の分野。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12231	A		動的分類	どうてきぶんるい	dynamic classification	意味論的はん(汎)化の一種で、オブジェクトは、オブジェクトの分類子を変えることもあり得るもの。対比語:静的分類(static classification)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12232	A		要素	ようそ	element	モデルの原子的構成物。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12233	A		入場動作	にゅうじょうどうさ	entry action	状態機械において、その状態へ至る遷移に関係なく、状態に入るときに実行される動	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12234	A		列挙	れっきょ	enumeration	特別な属性型の値域として使われる名前付き値の並び。例えばRGBColor={赤、緑、青}。Booleanは、集合{真、偽}の値域であらかじめ定義された列挙である。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12235	A		イベント	いべんと	event	時空間での位置を特定できる特筆すべき出来事の仕様。状態図の文脈において、イベントは遷移を引き起こすことのできる出来事である。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12236	A		退場動作	たいじょうどうさ	exit action	状態機械において、その状態を出る遷移のいずれかであっても状態を出るときに実行される動作。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12237	A		移出	いしゅつ	export	パッケージで包含している名前空間の要素を外部に見えるようにすること。参照語:可視性(visibility)。対比語:移出(export[OMA])、移入(import)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12238	A		式	しき	expression	特別な型の値へと評価される文字列。例えば、(7+5*3)という式は、数型の値として評価	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12239	A		拡張	かくちょう	extend	拡張ユースケースから基底ユースケースへの関係。(拡張で規定された条件によるが)拡張ユースケースに定義された振る舞いが基底ユースケースに定義された振る舞いをいかに強化するかを記述する。振る舞いは、基底ユースケースの拡張点として定義された位置に挿入される。基底ユースケースは、拡張ユースケースの振る舞いに存在しない。参照語:拡張点(expression point)、包含(include)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12240	A		ファサード	ふぁさーど	facade	他のパッケージによって所有されているモデル要素への参照以外何も含まないパッケージに対するステレオタイプ。これを使って、あるパッケージのないように関する"公開された視点"を提供できる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12241	A		素性	すじょう	feature	操作又は属性のような特性。インタフェース、クラス、又はデータ型のような分類子中にカプセル化されている。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12242	A		最終状態	さいしゅうじょうたい	final state	取り囲んでいる合成状態の終了、又は状態機械全体としての終了を意味する特別な状	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12243	A		発火	はっか	fire	状態遷移を実行すること。参照語:遷移(transition)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12244	A		焦点クラス	しょうてんくらす	focus class	ステレオタイプ化されたクラスであって、そのクラスを補助する一つ以上の補助クラスのための制御フロー及び中心的ロジックを定義している。焦点クラスは、一つ以上の補助クラスとともに使われ、設計期間中に核心となるビジネスロジック、又は制御フローを指定するために有用である。参照語:補助クラス(auxiliary class)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12245	A		制御焦点	せいぎょしょうてん	focus of control	オブジェクトが直接、又は下位の手順を通じて動作を行う時間を表す、シーケンス図でのシンボル。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12246	A		仮パラメタ	かりぱらめた	formal parameter	同義語:パラメタ(parameter)	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12247	A		フレームワーク	ふれーむわーく	framework	システムの一部又は全体の再利用可能なアーキテクチャを規定するモデル要素を含むパッケージに付けられるステレオタイプ。フレームワークは、一般的にはクラス、パターン、又はテンプレートを含んでいる。フレームワークがアプリケーション領域に特化しているとき、それらは、アプリケーションフレームワークとして参照される。参照語:パターン	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12248	A		汎化可能要素	はんかかのうようそ	generalizable element	はん(汎)化関係に関与するモデル要素。参照語:はん(汎)化(generalization)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12249	A		はん(汎)化	はんか	generalization	一般要素と特化要素の間の分類上の関係。特化要素は一般要素と一致し、付加的な情報をもつ。一般要素が許されるところでは、特定要素に置き換えてもよい。参照語:継承	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12250	A		ガード条件	がーどじょうけん	guard condition	ガード条件が添付されている遷移が発火するために満たさなければならない条件。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12251	A		実装	じっそう	implementation	どのように構成するか、又は計算するかの定義。例えば、クラスは型の実装であり、メソッドは操作の実装である。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12252	A		実装クラス	じっそうくらす	implementation class	C++、Smalltalk、Javaなど、いずれかのプログラム言語による実装を規定するステレオタイプ化されたクラスで、そのインスタンスは一つである。実装クラスが型の操作と同じ振る舞いの操作を提供するときに、実装クラスは型を実現しているといわれる。参照語:型	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12253	A		実装継承	じっそうけいしょう	implementation inheritance	より一般な要素の実装の継承。インタフェースの継承を含む。対比語:インタフェース継承(interface inheritance)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12254	A		移入	いにゅう	import	複数のパッケージにおいて、あるパッケージのクラスが別のパッケージ内で参照されるという依存性を示す(内部でパッケージが再帰的に含まれている場合も含む。)。対比語:	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12255	A		包含	ほうがん	include	基底ユースケースから包含ユースケースへの関係。基底ユースケースの振る舞いが包含ユースケースの振る舞いをどう含むか規定する。振る舞いは、基底ユースケースで定義された位置に包含される。基底ユースケースは、包含ユースケースの構造(属性や操作)ではなく、振る舞いに依存する。参照語:extend(拡張)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12256	A		継承	けいしょう	inheritance	特化要素が、その振る舞いに関係する一般要素の構造と振る舞いを取り込む仕組み。参照語:はん(汎)化(generalization)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12257	A		初期状態	しょきじょうたい	initial state	複合状態中にあるデフォルト状態への一意な遷移のための元を示す特別な状態。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12258	A		インスタンス	いんすたんす	instance	固有な識別子をもち、自らに適用できる操作の集合をもち、操作の効果を保存するところとしての状態をもつ実体。参照語:オブジェクト(object)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12259	A		相互作用	そうごさよう	interaction	具体的なタスクを実行するために、インスタンス間で刺激をどのように伝え合うかの仕様。相互作用は、協調の文脈で定義される。参照語:協調(collaboration)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12260	A		相互作用図	そうごさようず	interaction diagram	オブジェクトの相互作用を強調する数種類の図に対する一般用語。コラボレーション図をシーケンス図を含む。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12261	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	要素の振る舞いを特徴付ける名前付き操作集合。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12262	A		インタフェース継承	いんたふぇーすけいしょう	interface inheritance	より一般な要素にあるインタフェース継承。実装の継承は含まない。対比語:実装継承(implementation inheritance)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12263	A		内部遷移	ないぶせんい	internal transition	あるイベントに対してオブジェクトの状態を変更しないような反応をする遷移。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12264	A		層	そう	layer	同じ抽象化水準での分類子、又はパッケージの組織体。アーキテクチャを通じ、区分が垂直断面を表現するのに対し、層は水平断面を表現する。対比語:区分(partition)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12265	A		リンク	りんく	link	オブジェクトの組の意味的な接続。関連インスタンス。参照語:関連(association)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12266	A		リンク端	りんくたん	link end	関連端のインスタンス。参照語:関連端(association end)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12267	A		メッセージ	めっせーじ	message	一つのインスタンスから活動が期待できる他のインスタンスに対する情報運搬の仕様。メッセージは、シグナルの発生、又は操作の呼出しを規定する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12268	A		メタクラス	めたくらす	metaclass	クラスをインスタンスとするクラス。一般的にはメタクラスは、メタモデル機構に使われる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12269	A		メタメタモデル	めためたもでる	meta-metamodel	メタモデルを表現するための言語を定義したモデル。メタメタモデルとメタモデルの関係は、メタモデルとモデルとの関係に類似している。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12270	A		メタモデル	めたもでる	metamodel	モデルを表現する言語を定義したモデル。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12271	A		メタオブジェクト	めたおぶじぇくと	metaobject	メタモデル化言語のすべてのメタ実体を指す一般用語。例えば、メタ型、メタクラス、メタ属性、及びメタ関連。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12272	A		メソッド	めそっど	method	操作の実装。操作に関連したアルゴリズム、又は手続を定義する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12273	A		モデル [MOF]	もでる [MOF]	model [MOF]	目的をもった物理システムの抽象化。参照語:物理システム(physical system)。 利用上の注意:MOF仕様では、メタメタモデルを意味する。簡潔化のため、メタメタモデルをしばしばモデルと省略する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12274	A		モデル側面	もでるそくめん	model aspect	メタモデルの特定品質を協調するモデル化の次元。例えば、構造モデル側面は、メタモデルの構造品質を強調する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12275	A		モデル推敲	もでるすいこう	model elaboration	発行済みのモデルから、リポジトリ型を生成するプロセス。インタフェース及び実装の生成を含む工程のこと。この工程によって推こう(敲)モデルを基に適合したリポジトリからの型を生成し、インスタンス化を行う。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12276	A		モデル要素 [MOF]	もでるようそ [MOF]	model element [MOF]	モデル化の対象となっているシステムから抽象された要素。対比語:ビュー要素(view element)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12277	A		モデルライブラリ	もでるらいぶらり	model library	ステレオタイプ化されたパッケージで、他のパッケージで再利用されることを意図したモデルを含む。モデルライブラリは、ステレオタイプ及びタグ定義を用いてメタモデルを拡張しない点においてプロファイルと異なる。モデルライブラリは、プログラム言語におけるクラスライブラリに酷似している。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12278	A		モデル化時	もでるかじ	modeling time	ソフトウエア開発プロセスのモデル化段階で起こることを示す。分析時及び設計時を含む。 利用上の注意:オブジェクトシステムの議論では、モデル化時と実行時の課題を分けることが重要であることが多い。参照語:分析時(analysis time)、設計時(design time)。対比	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12279	A		モジュール	もじゅーる	module	格納及び取扱いのソフトウエア単位。モジュールは、ソースコードモジュール、バイナリモジュール、及び、実行コードモジュールを含む。参照語:コンポーネント(component)	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12280	A		多重分類	たじゅうぶんるい	multiple classification	オブジェクトが直接的に二つ以上のクラスに属するはん(汎)化の一種。参照語:静的分類(static classification)、動的分類(dynamic classification)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12281	A		多重継承	たじゅうけいしょう	multiple inheritance	型が二つ以上の上位型をもつはん(汎)化の一種。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12282	A		多重度	たじゅうど	multiplicity	集合の許容基数の範囲の仕様。多重度そのものは、関連の役割、合成の部品、反復、その他の目的のために定められる。本質的に多重度は、非負整数の(無限を含めた)部分集合になる。対比語:基数(cardinality)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12283	A		多重値 [MOF]	たじゅうち [MOF]	multi-valued [MOF]	多重度を定義したモデル要素で上位属性のMultiplicity Type::が2以上に設定されているもの。多重値という用語は、一つの属性、一つのパラメタなどがそれぞれもつ値の個数と、いかなるときも適合しない。対比語:単一値(single valued)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12284	A		n項関連	nこうかんれん	n-ary association	三つ以上のクラス間の関連。関連のインスタンスは、個々のクラスからの値をnタプルとする。対比語:二項関連(binary association)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12285	A		名前	なまえ	name	モデル要素を識別するために使われる文字列。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12286	A		名前空間	なまえくうかん	namespace	名前が定義され用いられるモデルの一部。名前空間内では、個々の名前は唯一の意味をもつ。参照語:名前(name)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12287	A		ノード	のーど	node	実行時計算資源を示す分類子。これは、一般的に少なくとも記憶と大方は処理機能をもつ。実行時オブジェクトとコンポーネントは、ノードに存在する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12288	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	適切に定義された境界と識別性をもつ実体で、状態と振る舞いをカプセル化するもの。状態は、属性と関係で示され、振る舞いは、操作、メソッド、及び状態機械で示される。オブジェクトは、クラスのインスタンスである。参照語:クラス(class)、インスタンス	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12289	A		オブジェクト図	おぶじぇくとず	object diagram	ある時点でオブジェクトとそれらの関係をまとめた図式。オブジェクト図は、クラス図又はコラボレーション図の特別の場合と考えられる。参照語:クラス図(class diagram)、コラボレーション図(collaboration diagram)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12290	A		オブジェクトフロー状態	おぶじぇくとふろーじょうたい	object flow state	ある状態での動作の出力から、他の状態の動作の入力へとオブジェクト渡しを表すアクティビティ図における状態。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12291	A		オブジェクト生存線	おぶじぇくとせいぞんせん	object lifeline	シーケンス図において、一定時間のオブジェクト存在を表す線。参照語:シーケンス図(sequence diagram)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12292	A		操作	そうさ	operation	振る舞いを実行するために、オブジェクトから要求できるサービス。操作は、可能な実パラメタを制限するシグニチャをもつ。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12293	A		パッケージ	ぱっけーじ	package	要素をグループ化するはん(汎)用機構。パッケージは、他のパッケージの中に入れ子になってよい。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12294	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	変更される、引き渡される、又は返却される変数の仕様。パラメタは、名前、型及び方向を含む。パラメタは、操作、メッセージ及びイベントに用いられる。同義語:仮パラメタ(formal parameter)。対比語:引用(argument)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12295	A		パラメタ化要素	ぱらめたかようそ	parameterized element	一つ以上の未束縛パラメタをもつクラス記述子。同義語:テンプレート(template)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12296	A		親	おや	parent	はん(汎)化関係において、他の要素、子を一般化したもの。参照語:上位クラス(superclass)、上位型(supertype)。対比語:子(child)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12297	A		参加	さんか	participate	関係、又は具体化関係に対するモデル要素の接続。例えば、クラスは関連に参加し、アクタはユースケースに参加する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12298	A		区分	くぶん	partition	1. アクティビティ図においては、動作の責務をまとめるアクティビティ図の一部。参照語:レーン(swimlane)。 2. アーキテクチャにおいては、同じ抽象化レベル又は層化アーキテクチャにおける複数の層にまたがる関連する分類子及びパッケージの集合。区分は、アーキテクチャに対して垂直断面で表現される。しかし、層は、水平断面で表現される。対比語:layer(層)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12299	A		パターン	ぱたーん	pattern	協調テンプレート。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12300	A		永続オブジェクト	えいぞくおぶじぇくと	persistent object	生成したプロセスやスレッドが終了しても存在するオブジェクト。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12301	A		事後条件	じごじょうけん	postcondition	操作の終了時に真でなければならない制約。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12302	A		事前条件	じぜんじょうけん	precondition	操作が起動されたときに、真でなければならない制約。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12303	A		プリミティブ型	ぷりみていぶがた	primitive type	整数や文字列のように、下位構造をもたない定義済み基本データ型。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12304	A		プロセス	ぷろせす	process	1. オペレーティングシステムでの並行性及び実行上の重量の単位。対比語:スレッド(thread)。これは重量級のプロセスと軽量なプロセスを含む。必要ならば、ステレオタイプを用いて実装区別ができる。 2. ソフトウエア開発プロセス。システム開発のステップ及びガイドライン。 3. アルゴリズムの実行、又は何かを動的に扱うこと。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12305	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	特定のドメインや目的のために拡張メカニズムを用いてカスタマイズされているモデル要素を含んだステレオタイプのパッケージ。その要素カスタマイズには、ステレオタイプ、タグ付け定義、制約などがある。プロファイルは、依存する先のモデルライブラリ及び拡張するためのメタモデル部分集合をも規定することもある。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12306	A		射影	しゃえい	projection	集合からその部分集合への写像。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12307	A		特性	とくせい	property	要素の特徴を表示する名前付き値。特性は、意味的影響がある。UMLで事前定義されている特性とユーザ定義特性とがある。参照語:タグ付き値(tagged value)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12308	A		擬似状態	ぎじじょうたい	pseudo-state	状態の形式を備えているが状態として振る舞わない状態機械の節点。擬似状態には、初期節点と履歴節点を含む。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12309	A		物理システム	ぶつりしすてむ	physical system	1. モデルの主題。 2. 特定の目的を達成するために組織された、ソフトウェア、ハードウェア、及び人を含む接続された物理単位の集まり。物理システムは、異なる視点から、一つ以上のモデルによって記述できる。対比語:システム(system)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12310	A		発行モデル [MOF]	はっこうもでる [MOF]	published model [MOF]	確定したモデル。リポジトリを作成したり、他のモデル定義を支援するのに用いられる。確定モデルの要素は、変更できない。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12311	A		限定子	げんていし	qualifier	関連属性又は属性の組で、値が、関連の逆側のオブジェクトと関係するオブジェクト集合を区分するもの。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12312	A		[メッセージを] 受信	[めっせーじを] じゅしん	receive [a message]	送信側インスタンスから渡された刺激の扱い。参照語:送信側(sender)、受信側	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12313	A		受信側 [オブジェクト]	じゅしんがわ [おぶじぇく	receiver [object]	送信側オブジェクトから渡された刺激を扱うオブジェクト。対比語:送信側(sender)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12314	A		受信	じゅしん	reception	分類子がシグナルを受け付ける反応の準備ができた宣言。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12315	A		参照	さんしょう	reference	1. モデル要素の表示。 2. 分類子中の名前付きスロットで、他の分類子への誘導を容易にするもの。同義語:ポインタ(pointer)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12316	A		洗練	せんれん	refinement	既にあるレベルまで詳細に明記したものより十分な規定を表現する関係。例えば、設計クラスは、分析クラスの洗練である。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12317	A		関係	かんけい	relationship	モデル要素間の意味的な接続。関係の例には、関連とはん(汎)化を含む。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12318	A		リポジトリ	りぽじとり	repository	オブジェクトモデル、インタフェース、及び実装を格納するファシリティを備えたもの。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12319	A		要件	ようけん	requirement	システムに望まれる素性、特性、又は振る舞い。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12320	A		責務	せきむ	responsibility	分類子の約束事又は義務。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12321	A		再利用	さいりよう	reuse	既に存在している成果物の利用。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12322	A		役割	やくわり	role	特定の文脈に参加する実体の特定の名前付き振る舞い。役割は、静的(例えば関連端)であったり、動的(例えばコラボレーション役割)であってもよい。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12323	A		実行時	じっこうじ	run time	コンピュータプログラムが実行されている期間。対比語:モデル化時(modeling time)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12324	A		シナリオ	しなりお	scenario	振る舞いを説明する特定の動作例。シナリオは、ユースケースインスタンスの実行や相互作用を説明するのに用いてもよい。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12325	A		スキーマ	すきーま	schema [MOF]	MOF文脈では、モデル要素のコンテナであるパッケージに類似する。MOFパッケージに相当する。対比語:メタモデル(metamodel)、パッケージ(package)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12326	A		意味的な多様性	いみてきなたようせい	semantic variation point	メタモデルの意味の多様性。これは、メタモデルの意味の解釈に対して、意図的に自由度をもたせる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12327	A		[メッセージを] 送信	[めっせーじを] そうしん	send [a message]	送信側インスタンスから受信側インスタンスへの刺激渡し。参照語:送信側(sender)、受信側(receiver)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12328	A		送信側 [オブジェクト]	そうしんがわ [おぶじぇく	sender [object]	受信側オブジェクトへ刺激を渡すオブジェクト。対比語:受信側(receiver)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12329	A		シーケンス図	しーけんすず	sequence diagram	時系列に配置したオブジェクトの相互作用を示す図。特に、相互作用参加オブジェクト及びメッセージ交換列を示す。コラボレーション図と異なり、シーケンス図は、時系列を含むが、オブジェクト関係を含まない。シーケンス図は、総称形式(すべての可能なシナリオを記述)及びインスタンス形式(一つの実シナリオ記述)のものが存在する。シーケンス図をコラボレーション図は、同様の情報を異なる方法で表す。参照語:コラボレーション図	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12330	A		シグナル	しぐなる	signal	インスタンス間で通信される非同期刺激の規定。シグナルはパラメタをもってよい。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12331	A		呼出し仕様	よびだししよう	signature	振る舞い素性の名前とパラメタ。呼出し仕様は、選択可能な返却パラメタを含んでもよ	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12332	A		単一継承	たんいつけいしょう	single inheritance	型がただ一つの上位型をもつはん(汎)化の意味的な変種。同意語:多重継承(multiple inheritance [OMA])。対義語:多重継承(multiple inheritance)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12333	A		単一値	たんいつち	single valued [MOF]	上位属性のMultiplicity Type::が1に設定された場合に、一つの値をもつと多重度が定義されたモデル要素。単一値という用語は、単一値属性(例えば、多重度の下限値が0)が値をもたないことがあるため、いかなるときも、属性、パラメタなどによって保持されている値の個数と適合しない。対比語:多重値(multi-valued)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12334	A		仕様	しよう	specification	あるものが何か又はどうするかの宣言的記述。対比語:実装(implementation)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12335	A		状態	じょうたい	state	その間に、ある条件を満たす、ある活動をする、又はあるイベントを待つオブジェクトの生存期間の条件又は状況。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12336	A		ステートチャート図	すてーとちゃーとず	statechart diagram	状態機械を示す図。参照語:状態機械(state machine)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12337	A		状態機械	じょうたいきかい	state machine	状態列を規定する振る舞い。その振る舞いとは、オブジェクト又は相互作用がその生存期間を通じて、イベントに反応して行うものであり、応答や動作を伴う。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12338	A		静的分類	せいてきぶんるい	static classification	オブジェクトの分類子を変更しない、はん(汎)化の意味的な変種。対比語:動的分類(dynamic classification)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12339	A		ステレオタイプ	すてれおたいぷ	stereotype	メタモデルの意味を拡張するモデル化要素の新しい型。ステレオタイプは、メタモデルに存在する型又はクラスに基づく。ステレオタイプは意味を拡張するが、既に存在する型及びクラスの構造は拡張しない。幾つかのステレオタイプはUMLであらかじめ定義されており、その他は利用者定義しても差し支えない。ステレオタイプは、UMLでの三つの拡張機構の一つである。参照語:制約(constraint)、タグ付き値(tagged value)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12340	A		刺激	しげき	stimulus	シグナル発生又は操作起動のような、あるインスタンスから他のインスタンスへの情報渡し。シグナル受信は、イベントと通常考えられる。参照語:メッセージ(message)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12341	A		文字列	もじれつ	string	文字の列。文字列表現の詳細は実装に依存する。そして、国際化文字や記号をサポートする文字集合を含んでよい。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12342	A		構造素性	こうぞうすじょう	structural feature	属性などのモデル要素の静的な素性。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12343	A		構造モデルの側面	こうぞうもでるのそくめん	structural model aspect	型、クラス、関係、属性及び操作を含むシステムでのオブジェクト構造を強調するモデル	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12344	A		下位活動状態	かいかつどうじょうたい	subactivity state	一定持続時間をもつ非原子的ステップ列の実行を表現する、アクティビティグラフの中の	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12345	A		下位クラス	かいくらす	subclass	はん(汎)化関係における上位クラスの特化。参照語:はん(汎)化(generalization)。対比語:上位クラス(superclass)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12346	A		下位機械状態	かいきかいじょうたい	submachine state	内容が他の状態機械で記述される、合成状態と等価な状態機械中の状態。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12347	A		下位状態	かいじょうたい	substate	合成状態の部分である状態。参照語:並行下位状態(concurrent substate)、互いに素な化状態(disjoint substate)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12348	A		下位パッケージ	かいぱっけーじ	subpackage	他のパッケージに含まれるパッケージ。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12349	A		サブシステム	さぶしすてむ	subsystem	物理システムの振る舞い単位を表現するモデル要素のグループ化。サブシステムはインタフェースを提供し、操作をもつ。さらに、サブシステムのモデル要素は、実現化要素と仕様要素とに区別できる。参照語:パッケージ(package)、物理システム(physical	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12350	A		下位型	かいがた	subtype	はん(汎)化関係で、上位型の特化。参照語:はん(汎)化(generalization)。対比語:supertype(上位型)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12351	A		上位クラス	じょういくらす	superclass	はん(汎)化関係で、下位クラスのはん(汎)化。参照語:はん(汎)化(generalization)。対比語:下位クラス(subclass)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12352	A		上位型	じょういがた	supertype	はん(汎)化関係で、下位型のはん(汎)化。参照語:はん(汎)化(generalization)。対比語:下位型(subtype)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12353	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	他から起動できるサービスを提供する分類子。対比語:クライアント(client)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12354	A		レーン	れーん	swimlane	動作の責務を組織化するアクティビティ図の区分。レーンは、おおむねビジネスモデルでの組織単位に対応する。参照語:区分(partition)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12355	A		同期状態	どうきじょうたい	synch state	状態機械の並行領域の同期に使われる状態機械の頂点。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12356	A		システム	しすてむ	system	モデル内の最上位レベルのサブシステム。対比語:物理システム(physical system)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12357	A		タグ付き値	たぐつきち	tagged value	名前と値の対としての特性の明示的な定義。タグ付き値で名前はタグとして参照される。幾つかのタグはUMLであらかじめ定義されており、他のタグは利用者定義となる。タグ付き値は、UMLで三つの拡張機構の一つである。参照語:制約(constraint)、ステレオタイ	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12358	A		テンプレート	てんぷれーと	template	同義語:パラメタ化要素(parameterized element)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12359	A		[制御の] スレッド	[せいぎょの] すれっど	thread [of control]	プログラム、動的モデル、又は他の制御フローによる単一実行経路。また、能動オブジェクトを軽量プロセスとして実装するステレオタイプでもある。参照語:プロセス(process)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12360	A		時間イベント	じかんいべんと	time event	現在の状態に入ってからの時間経過を意味するイベント。参照語:イベント(event)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12361	A		時間式	じかんしき	time expression	時間を絶対値又は相対値で決定する式。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12362	A		最上位レベル	さいじょういれべる	top level	包含階層における最上位パッケージを表示するパッケージのステレオタイプ。topLevelステレオタイプは、名前空間を外側へ向けて見ながら名前を探すときの外縁限界を定義する。例えば、topLevelサブシステムは、サブシステム包含階層の最上位を表現する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12363	A		トレース	とれーす	trace	一方の要素が他の要素から派生する規制なしに、同じ概念を表現する二つの要素間の履歴又はプロセス関係を表現する依存関係。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12364	A		一時オブジェクト	いちじおぶじぇくと	transient object	生成したプロセス又はスレッドが実行している間だけ存在するオブジェクト。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12365	A		遷移	せんい	transition	規定イベント及び規定状態が満足されたときに、最初の状態にあるオブジェクトが、ある動作を行い次の状態に入ることを示す、二つの状態の関係。このような状態変化である遷移は、発火と呼ばれる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12366	A		型	かた	type	オブジェクトの物理的な実装を定義することなく、適用可能な一連の操作を伴って、オブジェクトの定義域を規定するクラスのステレオタイプ。型はメソッドをもたないでもよく、それ自身の制御のスレッドを保持しなくてよく、また、入れ子になっていてもよい。しかし、それは属性と関係をもってもよい。オブジェクトには多くても一つの実装クラスがあるが、それは複数の異なる型に適合してもよい。参照語:実装クラス(implementation class)。対	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12367	A		型の式	かたのしき	type expression	一つ以上の型への参照と評価される式。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12368	A		解釈なし	かいしゃくなし	uninterpreted	UMLによって規定されていない実装をもつ型に対する置換子。すべての解釈なしの値は対応する文字列表現をもつ。参照語:any [CORBA]。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12369	A		使用法	しようほう	usage	ある要素(クライアント)が正当な機能又は実装のために他の要素(供給者)の存在を必要とする依存関係。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12370	A		ユースケース [クラス]	ゆーすけーす [くらす]	use case [class]	システム(又は他の実体)が実行でき、システムのアクタと相互作用できるような変種を含む、動作列仕様。参照語:ユースケースインスタンス(use case instance)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12371	A		ユースケース図	ゆーすけーすず	use case diagram	システム内のアクタとユースケース間の関係を示した図。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12372	A		ユースケースインスタンス	ゆーすけーすいんすたんす	use case instance	ユースケースで指定された動作列の実行。ユースケースのインスタンス。参照語:ユースケース クラス(use case class)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12373	A		ユースケースモデル	ゆーすけーすもでる	use case model	ユースケースによって表現されたシステムの機能要件を記述したモデル。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12374	A		ユティリティ	ゆていりてい	utility	クラス宣言の形式で、大域変数と手続をグループ化したステレオタイプ。ユティリティの属性と操作は、大域変数と大域手続になる。ユティリティは、基本的なモデル構成要素ではなく、プログラミングの便宜上の手段とする。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12375	A		値	あたい	value	型定義域の要素。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12376	A		頂点	ちょうてん	vertex	状態機械の遷移に対する起点又は終点。頂点は、状態又は擬似状態とする。参照語:状態(state)、擬似状態(pseudo-state)。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12377	A		ビュー	びゅー	view	与えられた観点又は見晴らしの利く位置からのモデルの射影で、この視点に関係しない実体を無視したものになる。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12378	A		ビュー要素	びゅーようそ	view element	ビュー要素は、モデル要素の集まりの文章及び/又は図的射影とする。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12379	A		ビュー射影	びゅーしゃえい	view projection	ビュー要素上へのモデル要素の射影。ビュー射影は、ビュー要素ごとの位置とスタイルを提供する。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12380	A		可視性	かしせい	visibility	モデル要素が含まれている名前空間の外からどのように参照できるかを意味する値(public、protected、private)の列挙。	JIS X 4170	2009	ISO/IEC 19501	2005				2005	SC7
12381	A		データ列文字集合	でーたれつもじしゅうごう	data stream character set	SDIFデータ列中のすべての文書マーク付け、すべてのSDIF名及びすべてのSDIF識別子に用いる文字集合。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12382	A		文書記述子	ぶんしょきじゅつし	document descriptor	一つのSGML文書実体及びそれから直接的又は間接的に参照されるすべての外部実体の実体記述子を含むSDIFデータ列の要素。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12383	A		文書プロファイル	ぶんしょぷろふぁいる	document profile	文書体系又は応用が定義する送り状であって、適合文書の管理又は交換に関連するその文書の特性を記述する。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12384	A		実体記述子	じったいきじゅつし	entity descriptor	外部実体を表現するSDIFデータ列の要素。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12385	A		主文書	しゅぶんしょ	main document	交換の対象であるSGML文書。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12386	A		省略済み公開テキスト	しょうりゃくずみこうかいてきすと	omitted public text	テキストを全くもたない実体記述子。文書の一部ではあるが、受け手が複写をもっていることを期待して、交換の対象にしない公開テキストを表す。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12387	A		関連文書	かんれんぶんしょ	related document	主文書に関連して用いるが、主文書の内容の一部としては参照しないSGML文書。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12388	A		SDIF	SDIF	Document Interchange Format	SGML文書交換様式。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12389	A		SDIF識別子	SDIFしきべつし	SDIF identifier	SDIFデータ列中の実体記述子に割り当てた一意識別用順序番号。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12390	A		SDIF識別子参照	SDIFしきべつしさんしょう	SDIF identifier reference	自己のテキストをもたずに、別の実体記述子のSDIF識別子を参照する実体記述子。データ列中に既に現れた実体又は省略済み公開テキストである実体のいずれかの宣言の控	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12391	A		SDIF名	SDIFめい	SDIF name	SDIFデータ列中で文書又はデータ列全体に割り当てたSGML名。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12392	A		SDIF封入器	SDIFふうにゅうき	SDIF packer	SDIFデータ列を生成するプログラム。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12393	A		SDIF開封器	SDIFかいふうき	SDIF unpacker	SDIFデータ列をその構成要素実体に分解するプログラム。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12394	A		SGML文書交換様式	SGMLぶんしょこうかんようしき	SGML Document Interchange Format	幾つかの実体の中に記憶している主文書及びその関連文書を結合して、交換用の単一データ列にすることを可能にするデータ構造であって、それを用いて受け手は、個々の実体を再構成できる。	JIS X 4171	1996	ISO 9069	1988				1988	SC34
12395	A		ISBN接頭部	ISBNせっとうぶ	ISBN prefix	国際規格書籍番号の要素によって構成する登録済み所有者接頭部。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12396	A		ISO 2375接頭部	ISO 2375せっとうぶ	ISO 2375 prefix	ISO 2375に従って登録した文字集合を識別するために用いる、登録済み所有者接頭部。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12397	A		ISO 9070接頭部	ISO 9070せっとうぶ	ISO 9070 prefix	この規格のために指定された登録主体が割り当てる、登録済み所有者接頭部。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12398	A		ISO共同出版者	ISOきょうどうしゅっぱんしゃ	ISO co-publisher	ISOが、規格及びほかの出版物の出版を合同して行う組織。その名前又は短縮形を出版物番号に示す。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12399	A		ISO認定組織主体	ISOにんていそしきしゅたい	ISO identified organization authority	組織コード(Organization Codes)を発行する命名主体として機能する、ISO 6523に従って割り当てられた国際コード指示子(International Code Designator)をもつ組織。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12400	A		ISO会員団体主体	ISOかいいんだんたいしゅたい	ISO member body authority	国内で登録されるオブジェクト及び組織に関する命名主体であり、発行組織であるISO会員団体。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12401	A		ISO登録主体	ISOとうろくしゅたい	ISO registration authority	実行すべき手続を規定する国際規格によって確立された命名主体。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12402	A		ISO出版物主体	ISOしゅっぱんぶつしゅたい	ISO publication authority	規格の中で定義された公開テキスト、又はほかの公開オブジェクトに関する命名主体として機能するISO/IEC規格又は規格の部。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12403	A		命名主体	めいめいしゅたい	naming authority	公開テキスト又はほかの公開オブジェクトのクラスに関する登録済み所有者接頭部の発	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12404	A		所有者名	しょゆうしゃめい	owner name	所有者を指名する公開識別子の部分。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12405	A		公開識別子	こうかいしきべつし	public identifier	公開テキスト又は他の共有情報オブジェクトの識別子。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12406	A		公開テキスト	こうかいてきすと	public text	単一文書の文脈又はシステム環境が違っても読め、公開識別子を用いて取得できるテ	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12407	A		登録済み所有者名	とうろくずみしょゆうしゃめ	registered owner name	この規格に従って構成される一意な所有者名。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12408	A		登録済み所有者接頭部	とうろくずみしょゆうしゃせっとうぶ	registered owner prefix	命名主体を識別する登録済み所有者名の一部。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12409	A		SGML公式公開識別子	SGMLこうしきこうかいしきべつし	SGML formal public identifier		JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12410	A		構造化名(公開識別子)	こうぞうかめい(こうかいしきべつし)	structured name(public identifier)	この規格に従って構成され、データ構造として表現される公開識別子。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12411	A		オブジェクト名	おぶじぇくとめい	Object Name	同一所有者名をもつほかのすべてのオブジェクトとの区別ができる、オブジェクト識別のための公開識別子の一部。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12412	A		未登録所有者名	みとうろくしょゆうしゃめい	unregistered owner name	登録済み所有者接頭部をもたない所有者名。	JIS X 4172	1998	ISO/IEC 9070	1991				1991	SC34
12413	A		変則試験項目	へんそくしけんこうもく	anomalous test case	通常試験の要求から逸脱した試験項目。これは、試験対象のSGML構成子がその要求に一致しないことによる。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12414	A		アプリケーションモジュー	あぷりけーしょんもじゅー	application module	パーサでも実体マネージャでもない、SGMLシステムの構成要素。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12415	A		最新版	さいしんばん	effective edition	修正、補遺及びその他の訂正を含む規格の現在の版。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12416	A		要素構造情報集合	ようそこうぞうじょうほうしゅうごう	Element Structure Information Set	SMGLマーク付けによって記述される要素構造を構成する情報(附属書Aが定義する)。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12417	A		ESIS	ESIS	ESIS	要素構造情報集合(Element Structure Information Set)の短縮形。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12418	A		等価SGML文書	とうかSGMLぶんしょ	equivalent SGML document	同一のDTD[文書型定義(document typedefinition)]及びLPD[連結処理定義(link process definition)]を用いて解析される際に、同一のESISをもつSGM文書。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12419	A		内部実体	ないぶじったい	interal entity	実体宣言に置換テキストが現れる実体。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12420	A		辞書順	じしょじゅん	lexicographic order	当該文字列は、次のa)又はb)の場合に、第二の文字列の前に置く。 a) 当該文字列が、第二の文字列の接頭辞である場合。 b) 当該文字列と第二の文字列とが相違する最初の位置で、次の規則に従って、当該文字列の相違文字が、第二の文字列の相違文字に先行する場合。 1)印刷可能文字の先行　印刷可能文字は印刷不能文字に先行する。 2)印刷可能文字間の先行　ISO 646 の文字番号が小さい方の印刷可能文字は、それが大きい方の印刷可能文字に先行する。つまり、スペース文字は、それ以外のすべての印刷可能文字に先行し、4.14に示す印刷可能文字のリストの中で、前にあるスペース文字以外の文字は、後にある文字に先行する。 3)印刷不能文字間の先行　文書文字集合中における文字番号が小さい方の印刷不能文字は、それが大きい方の印刷不能文字に先行する。 備考 印刷可能文字だけからなる文字列に関しては、この順序は見象構文に無関係とす	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12421	A		主SOO	しゅSOO	major SOO	試験文書集合中の関連する複数の試験に関する目的記述。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12422	A		マーク依存SGMLアプリケーション	まーくいぞんSGMLあぷりけーしょん	markup-sensitive SGML application	SGMLマーク付け及び要素構造の両方を操作することのできるSGMLアプリケーション。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12423	A		副SOO	ふくSOO	minor SOO	関連する試験グループの個々のメンバを区別するSGMLの特定規則を記述する目的記	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12424	A		印刷不能文字	いんさつふのうもじ	nonprintable character	印刷可能文字(4.14を参照)でない文字。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12425	A		通常試験	つうじょうしけん	ordinary test	この規格において項目立てられ、通常の試験に関する要求として識別される、命名規則、構成規則及びフォーマット付け規則に従った試験項目(変則試験を参照)。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12426	A		印刷可能文字	いんさつかのうもじ	printable character	32から126までのISO 646の文字番号をもつ文字。これらの文字は、スペース文字及び次の文字とする。 ！″＃＄％＆′（）＊＋，－．／０１２３４５６７８９：；＜＝＞？＠ＡＢＣＤ ＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ［￥］＾＿｀ａｂｃｄｅｆｇｈ ｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ｛｜｝～	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12427	A		RACT	RACT	RACT	容量試験用基準アプリケーション(Reference Application for Capacity Testing)の短縮	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12428	A		RAST	RAST	RAST	SMGL試験用基準アプリケーション(Reference Application for SGML Testing)の短縮	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12429	A		容量試験用基準アプリケーション	ようりょうしけんようきじゅんあぷりけーしょん	Reference Application for Capacity Testing	容量計算を報告するSGMLアプリケーション(15.に定義する)。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12430	A		SGML試験用基準アプリケーション	SGMLしけんようきじゅんあぷりけーしょん	Reference Appication for SGML Testing	ESIS情報を報告するSGMLアプリケーション(14.に定義する)。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12431	A		SOO	SOO	SOO	目的記述(statement of objective)の短縮形。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12432	A		目的記述	もくてききじゅつ	statement of objective	個々の試験項目又は関連する試験のグループによって調べられるSGML言語の機能の簡単な記述。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12433	A		構造制御形SGMLアプリケーション	こうぞうせいぎょがたSGMLあぷりけーしょん	structure-contorolled SGML application	ESIS情報及びSGML宣言のAPPINFOパラメタだけを操作するSGMLアプリケーション。構造制御形アプリケーションは、SGMLマーク付けによって記述される要素構造を操作するが、マーク付け自体は操作しない。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12434	A		試験項目(又は試験)	しけんこうもく(またはしけ	test case(or test)	試験文書集合に含まれるSGML文書。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12435	A		試験対象システム	しけんたいしょうしすてむ	tested system	試験文書集合の試験項目に関して生成される結果の検査によって評価されるSGMLシス	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12436	A		試験文書集合	しけんぶんしょしゅうごう	test suite	システムがISO 8879の基底に適合するかどうかを表す為に、SGMLシステムを実行することを意図したSGML文書の集合で、この規格に従って文書化した集合。	JIS X 4173	2002	ISO/IEC 13673	2000				2000	SC34
12437	A		応用	おうよう	application		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12438	A		振る舞い構成部品	ふるまいこうせいぶひん	behavior component		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12439	A		コンテナオブジェクト	こんてなおぶじぇくと	container object		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12440	A		制御オブジェクト	せいぎょおぶじぇくと	control object		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12441	A		文書	ぶんしょ	document		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12442	A		外部オブジェクト	がいぶおぶじぇくと	external objects		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12443	A		ハイパ文書	はいぱぶんしょ	hyperdocument		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12444	A		ハイパリンク	はいぱりんく	hyperlink		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12445	A		インタフェースオブジェクト	いんたふぇーすおぶじぇく	interface objects		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12446	A		対話型文書	たいわがたぶんしょ	interactive document		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12447	A		対話型文書配布システム	たいわがたぶんしょはいふしすてむ	interactive document delivery system		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12448	A		対話型文書開発システム	たいわがたぶんしょかいはつしすてむ	interactive document development system		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12449	A		対話型表示	たいわがたひょうじ	interactive presentation		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12450	A		内容オブジェクト	ないようおぶじぇくと	content object		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12451	A		応答	おうとう	response		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12452	A		応答連鎖	おうとうれんさ	response chain		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12453	A		静的文書	せいてきぶんしょ	static document		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12454	A		静的表示	せいてきひょうじ	static presentation		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12455	A		刺激	しげき	stimulus		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12456	A		刺激駆動	しげきくどう	stimulus-driven		JIS X 4175	2003	ISO/IEC 13240	2001				2001	SC34
12457	A		資源	しげん	resource	識別可能なもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003	IDT	2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12458	A		統一資源識別子	とういつしげんしきべつし	URI	簡潔な文字列であって、IETF RFC2396定義されている構文を用いて、抽象的又は具体的な資源を参照するもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12459	A		URI参照	URIさんしょう	URI reference	素片識別子がつくこともあるURI又は相対URI。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12460	A		相対URI	そうたいURI	relative URI	URI参照の形式であって、基底URIに基づいて解決すると別のURIを生成するもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12461	A		基底URI	きていURI	base URI	相対URIを解決するために用いられるURI。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12462	A		素片識別子	そへんしきぶつし	fragment identifier	URI参照に含まれる付加的な情報であって、URIに基づく取出し動作が成功した後で利用者エージェントが利用するもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12463	A		インスタンス	いんすたんす	instance	RELAX NGスキーマに照らして妥当かどうか検証中のXML文書。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12464	A		スペース文字	すぺーすもじ	space character	#x20の符号位置をもつ文字。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12465	A		空白文字	くうはくもじ	whitespace character	#x20、#x9、#xA又は#xDの符号位置をもつ文字。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12466	A		名前	なまえ	name	URIと局所名との対。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12467	A		名前空間	なまえくうかん	namespace URI	名前の一部であるURI。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12468	A		局所名	きょくしょめい	local name	名前の一部であるNCName。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12469	A		NCName	NCねーむ	NCName	W3C XML-NamesにあるNCName生成規則とマッチする文字。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12470	A		名前クラス	なまえくらす	name class	スキーマの一部であって、名前にマッチするもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12471	A		パターン	ぱたーん	pattern	スキーマの一部であって、属性の集合並びに要素及び文字列からなる列とマッチするもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12472	A		外来の属性	がいらいのぞくせい	foreign attribute	名前空間URIが空文字列でもRELAX NG名前空間URIでもない属性。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12473	A		外来の要素	がいらいのようそ	foreign element	名前空間URIがRELAX NG名前空間URIではない要素。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12474	A		完全な構文	かんぜんなこうぶん	full syntax	単純化の前のRELAX NG文法の構文。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12475	A		単純な構文	たんじゅんなこうぶん	simple syntax	単純化の後のRELAX NG文法の構文。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12476	A		単純化	たんじゅんか	simplification	完全な構文のRELAX NGスキーマを単純な構文のスキーマに変換すること。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12477	A		データ型ライブラリ	でーたがたらいぶらり	datatype library	局所名からデータ型への対応付け。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12478	A		データ型	でーたがた	datatype	文字列の集合であって、同値関係をもつもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12479	A		公理	こうり	axiom	無条件に証明可能とみなす命題。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12480	A		推論規則	すいろんきそく	inference rule	一つ以上の肯定的又は否定的な前提条件と、必ず一つの結論とをもつ規則であって、すべての肯定的な前提条件が証明可能で、かつ、どの否定的な前提条件も証明可能でない場合、結論を証明可能とするもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12481	A		スキーマに照らして妥当	すきーまにてらしてだとう	valid with respect to a schema	スキーマによって記述される XML文書の集合に属すること。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12482	A		スキーマ	すきーま	schema	XML文書集合の指定。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12483	A		文法	ぶんぽう	grammar	NCNameからパターンへの対応付けを伴う開始パターン。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12484	A		正しいスキーマ	ただしいすきーま	correct schema	この規格の要求をすべて満たすスキーマ。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12485	A		妥当性検証器	だとうせいけんしょうき	validator	スキーマが正しいかどうか決定し、インスタンスがスキーマに照らして妥当であるかどうか決定するソフトウェアモジュール。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12486	A		パス	ぱす	path	/又は//で区切られたNCNameのリスト。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12487	A		情報集合	じょうほうしゅうごう	infoset	W3C XML-Infosetによって定義されたXML文書の抽象化。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12488	A		情報項目	じょうほうこうもく	information item	情報集合の構成要素。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12489	A		データモデル	でーたもでる	data model	この規格によって定義されるXML文書の抽象表現。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12490	A		XML文書	XMLぶんしょ	XML document	JIS X 4159によって定義される整形式XML文書である文字列。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12491	A		拡張BNF	かくちょうBNF	EBNF, Extended BNF	文脈自由文法を記述すために用いられる表記。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12492	A		弱い意味でのマッチ	よわいいみでのまっち	weak matching	マッチの種類の一つで、9.3.7に規定するもの。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12493	A		直上の文法	ちょくじょうのぶんぽう	in-scope grammar	最も近い祖先であるような文法要素。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12494	A		内容種別	ないようしゅべつ	content-type	三つの値empty、complex、又はsimpleのうちの一つ。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12495	A		混在列	こんざいれつ	mixed sequence	要素及び文字列のどちらも含んでよい列。	JIS X 4177-2	2005	ISO/IEC 19757-2	2003		2007	ISO/IEC 19757-2 Amd	2006	SC34
12496	A		抽象パターン	ちゅうしょうぱたーん	abstract pattern	規則中のパターンであって、再利用を可能にするためパラメタ化されたもの。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006	IDT			2006	SC34
12497	A		抽象的な規則	ちゅうしょうてきなきそく	abstract rule	他の規則に含めることができるが、それ自身が起動されることはない表明の集まり。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12498	A		活性パターン	かっせいぱたーん	active pattern	活性フェーズに属するパターン。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12499	A		活性フェーズ	かっせいふぇーず	active phase	一つのフェーズであり、それに属するパターンが検証に用いられているもの。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12500	A		表明	ひょうめい	assertion	自然言語により表明であり、対応する表明試験及び補助属性を持つ。表明は、assert要素及びreport要素によってマーク付けされる。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006					2006	SC34
12501	A		表明試験	ひょうめいしけん	assertion test	ブール値を返す検索によってモデル化され、実装される表明。表明試験は、成功又は失敗のいずれかに分けられる。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006					2006	SC34
12502	A		正しいスキーマ	ただしいすきーま	correct schema	この規格に規定する要件をすべて満たすスキーマ。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006					2006	SC34
12503	A		診断	しんだん	diagnostic	名前をもち、自然言語で書かれた文であって、期待される値及び実際の値に関する情報を検証器の末端利用者に与え、更にどう規定すべきか示唆するもの。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006					2006	SC34
12504	A		精密規則文脈式	せいみつきそくぶんみゃくしき	elaborated rule context expression	単一の規則文脈式であり、同一のパターン内の先行する規則文脈によって選択されるアイテムを、明示的に禁止するもの。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006					2006	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12505	A		良好なスキーマ	りょうこうなすきーま	good schema	正しいスキーマであって、その検索が常に終了し、自然言語による表明による制約以上のものを付け加えていないもの。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12506	A		実装	じっそう	implementation	Schematron検証器の実装。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12507	A		名前	なまえ	name	空白文字を含まない名前トークン。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12508	A		自然言語による表明	しぜんげんごによるひょうめい	natural-language assertion	パターンのある部分を表現する自然言語文。自然言語による表明は、“満たされる(met)”又は“満たされない(unmet)”のいずれかになる。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12509	A		パターン	ぱたーん	pattern	インスタンスの中の名前付けられた構造であり、スキーマ中では、順序付けられた規則の集まりによって指定されるもの。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12510	A		フェーズ	ふぇーず	phase	パターンの集まりであって名前をもち、順序をもたないもの。パターンは一つ以上のフェーズに属してもよい。二つの名前#ALL及び#DEFAULTは、特別の意味で予約されて	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12511	A		段階的検証	だんかいてきけんしょう	progressive validation	段階的に行われる制約検証。段階は、ある程度スキーマの作成者が決定しグループ化するものであって、文書構造内の順序などによって完全に定まるものではない。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12512	A		検索言語結合	けんさくげんごけつごう	query language binding	特別のSchematron実装が表明試験、規則文脈式などにおいて使用する言語及び取決めの名前付けられた集まりであって、“検索言語結合”と呼ばれる文書中で指定されるも	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12513	A		規則	きそく	rule	規則文脈式及び付随的な属性を備えた表明の順序をもたない集まり。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12514	A		規則文脈	きそくぶんみゃく	rule context	要素又は他の情報アイテムであって、表明試験に使用されるもの。規則は、情報アイテムが規則文脈と合致するときに発火する。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12515	A		規則文脈式	きそくぶんみゃくしき	rule-context expression	主題を指定する検索式。規則文脈が情報アイテムと合致するのは、同じパターン中の先行する規則文脈式とその情報アイテムとが合致せず、検索式が指定する情報アイテムの一つがその情報アイテムであるときとする。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12516	A		スキーマ	すきーま	schema	XML文書の集合の記述。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12517	A		主題	しゅだい	subject	自然言語による表明が扱う対象に対応する特定の情報アイテムであり、通常は規則の文脈式と合致する。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12518	A		スキーマに照らして妥当	すきーまにてらしてだとう	valid with respect to a schema	スキーマによって記述されるXML文書集合に属すること。すなわち、活性パターンの規則のうち発火したものいずれかについても、その表明試験が失敗しない場合とする。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12519	A		変数	へんすう	variable	固定された値であって、親スキーマ、親フェーズ、親パターン又は新規則内で評価され、親スキーマ、親フェーズ、親パターン又は親規則を有効範囲とするもの。	JIS X 4177-3	2008	ISO/IEC 19757-3	2006				2006	SC34
12520	A		アクション	あくしょん	action	NVDLスクリプト中のvalidate要素、reject要素、unwrap要素、cancelNestedActions要素、又はattachPlaceholder要素。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006	IDT			2006	SC34
12521	A		属性セクション	ぞくせいせくしょん	attribute section	同じ名前空間名をもつ属性からなる空でない集合。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12522	A		属性スロットノード	ぞくせいすろっとのーど	attribute slot node	属性セクションのためのスロット。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12523	A		NVDL検証委譲器	NVDLけんしょういじょうき	NVDL dispatcher	NVDLスクリプトが正しいかどうかを決定し、インスタンスから検証候補を作り、これらの検証候補に対して検証器を呼び出すソフトウェアモジュール。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12524	A		要素セクション	ようそせくしょん	element section	要素であって、それ自身及びすべての子孫要素が単一の名前空間名に属するもの。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12525	A		要素スロットノード	ようそすろっとのーど	element slot node	要素セクションのためのスロット。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12526	A		完全な構文	かんぜんなこうぶん	full syntax	単純化の前のNVDLスクリプトの構文。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12527	A		インスタンス	いんすたんす	instance	検証候補を作成する元となるXML文書。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12528	A		メディア型	めでぃあがた	media type	参照されるデータの性質を指定するための二つの部分からなる識別子。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12529	A		モード	もーど	mode	名前空間からアクションへの対応付け。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12530	A		NVDLデータモデル	NVDLでーたもでる	NVDL data model	この規格によって定義されるXML文書の抽象的な表現。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12531	A		NVDLスクリプト	NVDLすくりぷと	NVDL script	名前空間に基づいて検証をどう委譲するかの指定。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12532	A		要素親セクション	ようそおやせくしょん	parent element section	別のセクションのためのスロットノードを含んでいる要素セクション。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12533	A		パス表現	ぱすひょうげん	path expression	|で区切られた一つ以上の選択のリストであって、各選択は/で区切られたNCNameのリストであり、先頭に/があってもなくてもよいもの。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12534	A		RELAX NGデータモデル	りらくしんぐでーたもでる	RELAX NG data model	JIS X 4177-2によって定義されるXML文書の抽象的な表現。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12535	A		セクション	せくしょん	section	属性セクション又は要素セクション。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12536	A		単純な構文	たんじゅんなこうぶん	simple syntax	単純化の後のNVDLスクリプトの構文。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12537	A		単純化	たんじゅんか	simplification	完全な構文のNVDLスクリプトから単純な構文のスクリプトへの変換。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12538	A		スロットノード	すろっとのーど	slot node	属性スロットノード又は要素スロットノード	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12539	A		検証候補	けんしょうこうほ	validation candidate	スロットノードを子孫としてもたない要素。	JIS X 4177-4	2008	ISO/IEC 19757-4	2006				2006	SC34
12540	B		管理構成要素	かんりこうせいようそ	administrered component	管理的な属性が集められる構成要素。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12541	B		管理状況	かんりじょうきょう	administrative status	登録機関が登録用性に従って取り扱う処理ライフサイクルにおける段階の名称。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12542	B		属性	ぞくせい	attribute	オブジェクト又は実体の特性。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12543	B		属性値	ぞくせいち	attribute value	属性の実現値の表現。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12544	B		認定データ要素	にんていでーたようそ	certified data element	JIS X 4181規格群で規定された品質要素に合致している記録データ要素。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12545	B		分類体系	ぶんるいたいけい	classification scheme	オブジェクトが共通に持つ特性、例えば、発生源、構成、適用、機能などに基づきグループ化するためのオブジェクトの分割又は編成。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12546	B		分類体系項目	ぶんるいたいけいこうもく	classification scheme item	分類体系における内容の構成要素。これは、分類法又はオントロジにおける節点、シソーラスにおける用語などにしてもよい。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12547	B		分類構成要素	ぶんるいこうせいようそ	classified component	一つ以上の分類体系によって分類されてもよいデータ要素のすべての構成要素。それらの構成要素は、オブジェクトクラス、特性、表現形式クラス、データ要素概念、値域及びデータ要素を含む。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12548	B		注釈	ちゅうしゃく	comments	データ要素に関する注釈。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12549	B		概念	がいねん	concept	オブジェクトの集合に共通な特性に基づく抽象化を通じて気負う精される思考の単位。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12550	B		文脈	ぶんみゃく	context	名前が適用又は引き起こされる適用業務環境又は分類の名称又は記述。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12551	B		データ	でーた	data	情報の表現であって伝達、解釈又は処理に適するように形式化され、再度情報として解釈できるもの。データに関する処理は、人間が行ってもよいし、自動的手段で行ってもよ	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12552	B		データ辞書	でーたじしょ	data dictionary	他のデータの使用法及び構造を照会するデータに使用されるデータベース。すなわち、メタデータを格納するデータベース。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12553	B		データ要素	でーたようそ	data element	定義、識別、表現形式及び許容値が属性の集合によって規定されるデータの単位。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12554	B		データ要素概念	でーたようそがいねん	data element concept	データ要素の形式で表現でき、特定の表現形式とは独立に記述される概念。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12555	B		データ要素辞書	でーたようそじしょ	data element dictionary	すべての関連するデータ要素を列挙及び定義する情報資源。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12556	B		データ要素側面	でーたようそそくめん	data element facet	分類の対象となるデータ要素のある様相。これは、オブジェクトクラス、特性、表現形式及びデータ要素概念を含む。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12557	B		データ要素名	でーたようそめい	data element name	人がデータ要素を識別する際の基本手段として一つ又は複数の単語からなる名称。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12558	B		データ要素登録簿内容	でーたようそとうろくぼないよう	data element registry	登録識別子、定義、名前、値域、メタデータ、監査属性などを含めてデータ要素の意味及び表現形式を記述する、登録機関によって保持される情報資源。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12559	B		データ要素値	でーたようそち	data element value	一つのデータ要素に属する許容値の集合中の一つの値。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12560	B		データ識別子(DI)	でーたしきべつし(DI)	data identifier, DI	登録機関によって割り当てられたデータ要素の識別子(文字列又は他の図形)。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12561	B		データ項目	でーたこうもく	data item	データ要素の一つの発生。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12562	B		データモデル	でーたもでる	data model	情報構造を表現する方法でデータの組織化を記述したもの。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12563	B		データ幹事	でーたかんじ	data steward	データ資源の特別な組合せを管理する責任を委任された人又は組織。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12564	B		データ型	でーたがた	datatype	個別のデータ要素で行われる操作によって決まる、データ要素の値を表現する文字、数字及び/又は記号の集合に使用される特有の形式。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12565	B		データ要素値のデータ型	でーたようそちのでーたがた	datatype of data element values	個別のデータ要素値を表現する異なった値の集合。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12566	B		データ値	でーたち	data value	値域の一つの要素。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12567	B		定義	ていぎ	definition	個人又は単体物、若しくは人間又は物の集合のクラスの本来的性質を表現する語句。すなわち、“xは何?”とか“xというのは何?”という質問の答えで、一つの語又は語集団の意味の声明(Webster's Third International Dictionary of the English Language Unabridged、1986)。データ要素の本来的性質を表現する声明、およびその他のデータ要素との差別	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12568	B		定義域	ていぎいき	domain	一つの属性の許容可能なデータ値の集合。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12569	B		実体	じったい	entity	物の間の関連を含めて関心の対象となる具体的又は抽象的な物。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12570	B		列挙型定義域	れっきょがたていぎいき	enumerated domain	すべての許容値のリストによって指定される値域。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12571	B		表現形式の種類	ひょうげんけいしきのしゅるい	form of representation	データ要素に対する表現形式の種類の名前又は記述。例えば、“量的な値”、“コード”、“テキスト”、“アイコン”。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12572	B		識別子	しきべつし	identifier	登録期間内でデータ要素の言語独立な一意識別子。与えられたコンテキスト内のオブジェクトに対するあいまいさのない名前。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12573	B		情報	じょうほう	information	(情報処理において)オブジェクトに関する知識、例えば、特定の意味を持つあるコンテキスト内にある事実、事象、物、処理又は概念を含む観念。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12574	B		情報交換	じょうほうこうかん	information interchange	データに割り当てられた情報の内容又は意味が伝送の間に変えられないような方法でデータを送受信する処理。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12575	B		国際登録データ識別子(IRDI)	こくさいとうろくでーたしきべつし(IRDI)	international registration data identifier : IRDI	データ要素に対する国際的な一意識別子。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12576	B		キーワード	きーわーど	keyword	データ要素の検索に使用される一つ以上の意味ある語。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12577	B		表現形式の配置	ひょうげんけいしきのはい	layout of representation	文字列表現形式によって表されるデータ要素中の文字の配置。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12578	B		語い(彙)的	ごいてき	lexical	ある言語の語又は語い(彙)に関することであって、その言語の文法及び構文とは区別するもの。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12579	B		データ要素値の最大サイズ	でーたようそちのさいだいさいず	maximum size of data element values	データ要素値を表現する(データ型に対応した)記憶装置の最大数。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12580	B		メタデータ	めたでーた	metadata	他のデータを定義及び記述するデータ。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12581	B		データ要素値の最小サイズ	でーたようそちのさいしょうさいず	minimum size of data element value	データ要素値を表現する(データ型に対応した)記憶装置の最小数。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12582	B		名前	なまえ	name	人間のためのオブジェクト及び概念の識別の主要な手段。データ要素に割り当てられた単一又は複数の語からなる名称。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12583	B		オブジェクト	おぶじぇくと	object	考えられる又は知覚できる世界の部分(JIS X 0032:1999)。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12584	B		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	objectclass	オブジェクトの集合。明示的な境界及び意味、並びに同じ規則に従う特性及び振舞いによって識別できる実世界の観念、抽象概念又は物の集合。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12585	B		オブジェクトクラス用語	おぶじぇくとくらすようご	object class term	データ要素が所属するオブジェクトクラスを表現するデータ要素の名前の構成要素。例、“従業員”。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12586	B		許容データ要素値	きょようでーたようそち	permissible data element value	対応する属性において指定された表現形式、割付け、データ型、最大サイズ及び最小サイズに従って、データ要素の供される実現値の集合。この集合は、名前、情報源への参照、実現値の表現の列挙、又は実現地を生成するための規則によって指定することがで	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12587	B		特性	とくせい	property	一つのオブジェクトクラスのすべてのメンバに共通な特質。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12588	B		特性用語	とくせいようご	property term	オブジェクトクラスの特性を表現するデータ要素名の構成要素(データ要素が所属する区分を表現するデータ要素の名前の構成要素)。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12589	B		修飾子	しゅうしょくし	qualifier	概念の唯一性を定義及び表現するのに用いる用語。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12590	B		修飾用語	しゅうしょくようご	qualifier term	データベース内で、名前を定義及び区別するために用いる単語又は単語群。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12591	B		記録データ要素	きろくでーたようそ	recorded data element	すべての必す(須)属性を含み、記録されているが、その内容がJIS X 4181規格群の別の部で指定された品質要求を満たしていない可能性のあるデータ要素。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12592	B		登録簿	とうろくぼ	register	割当済のデータ要素及び関連した情報を含むファイル(紙、電子媒体又は両方)の集合。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12593	B		登録	とうろく	registration	データ要素のメタデータが、それに関心をもつ団体によって使用できるような方法で、データ要素にあいまいでない識別子を割り当てること。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12594	B		登録申請者	とうろくしんせいしゃ	registration applicant	登録機関から識別氏の割り当てを要求する組織、個人など。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12595	B		登録機関(RA)	とうろくきかん(RA)	registration authority, RA	データ要素又は他のオブジェクトの登録を委任された組織。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12596	B		登録機関識別子(RAI)	とうろくきかんしきべつし(RAI)	registration authority identifier, RAI	登録機関に割当てられた識別子。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12597	B		登録状態	とうろくじょうたい	registration status	データ要素の登録ライフサイクルにおける段階の名称。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12598	B		関連データ参照	かんれんでーたさんしょう	related data reference	データ要素と任意の関連するデータとの間の参照。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12599	B		表現形式	ひょうげんけいしき	representation	域値、データ型及び必要ならば計量単位又は文字集合の組合せ。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12600	B		表現形式種別	ひょうげんけいしきしゅべ	representation category	データ要素を表すために使用する記号、文字、又は他の称号。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12601	B		表現形式用語	ひょうげんけいしきようご	representationterm	データ要素の表現形式の種類を記述するデータ要素名の構成要素。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12602	B		責任部門	せきにんぶもん	responsible organization	データ要素を指定する必す属性の内容に責任を負う組織又は組織内の部署。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12603	B		意味論	いみろん	semantics	言葉の意味を扱う言語学の部門。(Webster辞書による)	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12604	B		分離子	ぶんりし	separator	名前の中の構成要素を取り囲む又は分離する記号または空白、すなわち区切記号。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12605	B		標準データ要素	ひょうじゅんでーたようそ	standardized data element	使用のために選択されるデータ要素登録簿内容の認定データ要素。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12606	B		構造集合	こうぞうしゅうごう	structure set	他のオブジェクトとの関係を明らかにするコンテキストにオブジェクトをおく方法。例えば、実態関連モデル、分類法及び存在論。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12607	B		提出部門	ていしゅつぶもん	submitting organization, SO	データ要素登録簿内容への追加、変更、取消し又は撤回のデータ要素を提出した組織又は組織内の部署。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12608	B		同義名	どうぎめい	synonymous name	与えられた名前と異なるが、同じデータ要素概念を表す一つ又は複数の単語からなる名	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12609	B		構文	こうぶん	syntax	言語における表現の構造及び言語の構造を支配する規則。文字群又は文字群の集合との間の関連で、それらの意味または解釈方法及び用法から独立とする。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12610	B		分類法	ぶんるいほう	taxonomy	複数の型とそれらの下位型との間に推定される自然な関連に基づく分類方式。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12611	B		用語	ようご	term	特定の言語において言語表現によって定義される概念の名称。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12612	B		シソーラス	しそーらす	thesaurus	擁護官の関連が表示され、識別されるように、所定の順で整えられている統制語い。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12613	B		関連の型	かんれんのかた	type of relationship	データ要素とその関連データとの間の関連を特徴づける表現。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12614	B		値域	ちいき	value domain	許容される値の集合。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12615	B		版	はん	version	登録機関内でのデータ要素仕様の一連の改定において、データ要素仕様の発行を識別するもの。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12616	B		版別識別子(VI)	はんべつしきべつし(VI)	version identifier, VI	データ要素の登録を行うとき又は更新するときに、版に割り当てられる一意識別子。	JIS X 4181-1	2002	ISO/IEC 11179-1	1999		廃2008/3		2004	SC32
12617	B		属性	ぞくせい	attribute	オブジェクト又は実体の特性。	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12618	B		分類体系	ぶんるいたいけい	classification scheme	オブジェクトが共通に持つ特性、例えば、発生源、構成、適用及び機能に基づきグループ化するためのオブジェクトの分割又は編成。	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12619	B		分類体系項目	ぶんるいたいけいこうもく	classification scheme item	分類体系における内容の構成要素(1)。 注(1)これは、分類法またはオントロジにおける節点、シソーラスにおける用語などにして	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12620	B		分類構成要素	ぶんるいこうせいようそ	classified component	一つ以上の分類体系によって分類されてもよいデータ要素のすべての構成要素(2)。 注(2)構成要素は、オブジェクトクラス、特性、表現形式クラス、データ要素概念値域及びデータ要素を含む。	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12621	B		データ	でーた	data	情報の表現であって伝達、解釈又は処理に適するように形式化され、再度情報として解釈できるもの。データに関する処理は、人間が行ってもよいし、自動的手段で行ってもよい。	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12622	B		データ要素	でーたようそ	data element	定義、識別、表現形式及び許容値が属性の集合によって規定されるデータの単位。	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12623	B		データ要素概念	でーたようそがいねん	data element concept	データ要素の形式で表現でき、特定の表現形式とは独立に記述される概念。	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12624	B		名前	なまえ	name	人間のためのオブジェクト及び概念の識別の主要な手段。	JIS X 4181-2	2002	ISO/IEC 11179-2	1999		廃2008/3		2005	SC32
12625	A		相互関係	そうごかんけい	association	<メタモデル>二つのクラス間における意味上の関連。 備考 相互関係は関連の型と弧(ISO/IECI9501-1:2001の2.5.23を変更)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12626	A		相互関係クラス	そうごかんけいくらす	association class	<メタモデル>クラスでもある相互関係。 備考 クラスの集合を結合するだけでなく、その関連自身に属する特徴の集合を定義する。(ISO/IEC 19501-1:2001の2.5.2.4を変更)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12627	A		属性	ぞくせい	attribute	<メタモデル>オブジェクト又は実体の性質。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12628	A		クラス	くらす	class	<メタモデル>同じ属性、操作、メソッド、関連及び意味を共有するオブジェクトの集合の記述。(ISO/IEC 19501-1:2001の2.5.2.9)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12629	A		合成属性	ごうせいぞくせい	composite attribute	<メタモデル>データ型が非原子的である属性。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12630	A		合成データ型	ごうせいでーたがた	composite data type	<メタモデル>クラスでもあるデータ型。 備考 合成データ型は、合成属性に対するデータ型として使用する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12631	A		はん(汎)化	はんか	generalization	<メタモデル>より一般的なクラス(親)と、より特化したクラス(子)との間の関連。ここで、クラス(子)は、クラス(親)(すなわち、それはその全属性及び関連をもつ。)と完全に一致し、付加的情報を加えている。 備考 はん(汎)化は、関連の型とする。(ISO/IEC 19501-1:2001の2.5.2.24を変更)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12632	A		(メタデータ登録簿における)識別子	(めたでーたとうろくぼにおける)しきべつし	identifier (in Metadata Registry)	<メタモデル>特定の文脈内で、その文字列で関連づけられるものを、一意に識別することができる文字列。 備考 名前は、言語学上、中立でないので識別子として使用すべきでない。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12633	A		(登録簿メタモデルにおける)関連	(とうろくぼめたもでるにおける)かんれん	relationship (in registry metamodel)	<メタモデル>モデル要素間の関係。、 備考 この規格では、関連は、相互関係又ははん(汎)化のいずれかとする。(ISO/IEC 19501-1:2001の2.5.2.36)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12634	A		属性実現値	ぞくせいじつげんち	attribute instance	属性の特定の実現値。 備考 属性の実現値とその属性の値とを区別するため、ISO 2382-17:1993の17.02.13を修	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12635	A		属性値	ぞくせいち	attribute value	属性実現値と関連をもつ値。 備考 属性の実現値とその属性の値とを区別するため、ISO 238247:1993の17.02.13を修	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12636	A		基本属性	きほんぞくせい	basic attribute	メタデータの仕様で共通に必要なメタデータ項目の属性。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12637	A		結合	けつごう	binding	一つの枠組み又は仕様から他のものへの写像。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12638	A		性質	せいしつ	characteristic	オブジェクト又はオブジェクトの集合がもつ特性の抽象化したもの。 備考 性質は、概念を記述するために使用する。(ISO 10874の3.2.4)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12639	A		共通属性	きょうつうぞくせい	common attrbute	メタデータ項目のすべての型に適用可能である基本属性。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12640	A		(メタデータ登録簿の)共通機能	(めたでーたとうろくぼの)きょうつうきのう	common facility (of Metadata Registry)	登録簿の管理項目のすべての型へ適用可能なメタデータ登録簿によって提供される機能。 備考 この規格のこの版で定義される共通機能は、次のとおりとする。 - 管理及び識別(4.8参照) - 名前付け及び定義(4.9参照)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12641	A		概念データモデル	がいねんでーたもでる	conceptual data model	現実世界の抽象的な見方を表現するデータモデル。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12642	A		条件付き	じょうけんつき	conditional	ある特定の条件の下で必要とされること。 備考1. メタデータ項目の属性に適用される三つの義務状態の一つで、その属性を必要とする条件を示す。必す(須)(3.2.17)及び任意選択(32.28)も参照。 2. 義務状態は、“記録済み”又はより高位の登録状態をもつメタデータ項目に適用す	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12643	A		データ	でーた	data	情報の表現であって、伝達、解釈又は処理に適するように形式化され、再度情報として解釈できるもの。 備考 データに対する処理は、人間が行ってもよいし、自動的手段で行ってもよい。(JIS X0001の01.01.02)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12644	A		データモデル	でーたもでる	data model	特性、構造及び相互関係を規定するデータの図式的及び/又は文章的な表現。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12645	A		定義	ていぎ	definition	関連した概念からそれを区別するのに役に立つ記述的文による概念の表現。(ISO 1087-1の3.3.1) 備考(管理項目の)定義(3.3.53)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12646	A		指定	してい	(designation)	それを表記する記号による概念の表現。(ISO 1087-1の3.4.1) 備考(管理項目の)指定(3.3.61)及び名前(3.2.26)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12647	A		実体	じったい	entity	物の間の関連を含めて、存在するか、存在したか、又は存在するかもしれない任意の具体的又は抽象的なもの。 例 人間、オブジェクト、事象、観念、処理など。 備考 実体についてのデータが入手可能かどうかにかかわらず実体は、存在することに注意する。(ISO/IEC 2382-17の17.02.05)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12648	A		拡張	かくちょう	extension	<JIS X 4181-3>この規格で定義しない特徴。<登録簿メタモデル>この規格で定義しない、メタデータ登録簿の実装が提供するクラス、属性又は関連。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12649	A		言語	げんご	language	通常は語い(彙)及び規則からなる伝達のための記号体系。(ISO 5127の1.1.2.01)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12650	A		必す(須)	ひっす	mandatory	常に必要とされること。 備考1. メタデータ項目の属性に適用される三つの義務状態の一つで、その属性を必要とする条件を示す。条件付き(3.2.9)及び任意選択(3.2.28)も参照。 2. 義務状態は、"記録済み"又はより高位の登録状態をもつメタデータ項目に適用す	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12651	A		メタデータ	めたでーた	meta data	他のデータを定義し記述するデータ。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12652	A		メタデータ項目	めたでーたこうもく	meta data item	メタデータオブジェクトの実現値。 備考1. この規格群において、この用語は、この規格の4.のメタモデルで記述されるメタオブジェクトの実現値にだけ適用する。例は、データ要素、データ要素概念、許可値などの実現値を含む。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12653	A		メタデータオブジェクト	めたでーたおぶじぇくと	meta data object	メタモデルによって定義されるオブジェクト型。 備考 この規格群において、この用語は、この規格の4.のメタモデルで記述されるメタデータオブジェクトにだけ適用する。例は、データ要素、データ要素概念、許可値などを含む。完全な表は、3.3を参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12654	A		メタデータ登録簿内容	めたでーたとうろくぼない	meta data register	メタデータ登録簿によって保守される情報蓄積又はデータベース。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12655	A		メタデータ登録簿	めたでーたとうろくぼ	Meta data Registry, MDR	メタデータを登録するための情報システム。 備考 関連した情報蓄積又はデータベースは、メタデータ登録簿として知られる。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12656	A		メタデータ集合	めたでーたしゅうごう	meta data set	メタデータの収集。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12657	A		メタモデル	めたもでる	meta model	一つ以上の他のデータモデルを規定するデータモデル。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12658	A		メタモデル構成要素	めたもでるこうせいようそ	meta model construct	モデル化のための表記単位。 備考 この規格で使用するメタモデル構成要素は、3.1で定義する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12659	A		名前	なまえ	name	言語表現によるオブジェクトの指定。 備考 (管理項目の)名前(33.77)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12660	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	認知できる又は考えられるすべてのもの。 備考 オブジェクトは、物質的なもの(例えば、エンジン、一枚め紙、ダイアモンド)、非物質的なもの(例えば、変換率、プロジェクト計画)又は想像上のもの(例えば、一角獣)であってもよい。(ISO 1087-1の3.1.1を変更)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12661	A		任意選択	にんいせんたく	optional	許されるが必要とされないこと。 備考1. メタデータ項目の属性に適用される三っの義務状態の一つで、その属性を必要とする条件を示す。条件付き(3.2.9)及び必す(須)(3.2.17)も参照。 2. 義務状態は、"記録済み"文はより高位の登録状態をもつメタデータ項目に適用す	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12662	A		登録簿項目	とうろくぼこうもく	registry item	メタデータ登録簿に記録されるメタデータ項目。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12663	A		登録簿メタモデル	とうろくぼめたもでる	registry meta model	メタデータ登録簿を指定するメタモデル。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12664	A		関連メタモデル参照	かんれんめたもでるさんしょう	related meta data reference	あるメタデータ項目から他への参照。 備考 登録機関は、関連メタモデル参照を記録するために、参照文書、管理記録、又は注釈を使用すること力できる。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12665	A		(メタデータの)幹事職	(めたでーたの)かんじしょく	stewardship (of meta data)	一つ以上の管理項目に適用できる管理レコードを維持するための責務。 備考1. メタデータの登録の責務は、メタデータの幹事職の責務とは異なってもよい。 2. (管理項目の)幹事職(3.3.120)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12666	A		管理項目	かんりこうもく	Administered item	管理情報が管理レコードに記録されるための登録簿項目。 備考1. メタモデル構成要素:クラス 2. この規格によって規定した管理項目の型は、4.7.2で規定する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12667	A		管理項目分類	かんりこうもくぶんるい	administered item classification	管理項目が指定した分類体系に基づいて分類された場合の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12668	A		管理項目文脈	かんりこうもくぶんみゃく	administered item context	管理項目のための文脈を与える関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12669	A		管理項目識別子	かんりこうもくしきべつし	administered item identifier	関連項目のための識別子。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12670	A		管理レコード	かんりれこーど	Administration Record	管理項目のための管理情報の収集。 備考 メタモデル構成要素:合成データ型	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12671	A		管理記録	かんりきろく	administrative note	管理項目についての一般的な記録。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12672	A		管理状態	かんりじょうたい	administrative status	登録要求を取り扱うための登録機関の管理処理における状態の指定。 備考1. メタモデル構成要素:管理レコードの属性。 2. "管理状態"の値及び関係する意味は、登録機関によって決定される。"登録状態"を参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12673	A		変更記述	へんこうきじゅつ	change description	管理項目における、前の版からの変更点に関する記述。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12674	A		分類体系	ぶんるいたいけい	Classification Scheme	共通にもつ性質に基づいてオブジェクトをグループに配置又は分割するための記述情報。 例 源、合成、構造、応用、関数など。JIS X 4181-2を参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12675	A		分類体系項目、CSI	ぶんるいたいけいこうもく、しーえすあい	classification scheme item	分類体系の内容の項目。 備考1. メタモデル構成要素:クラス 2. これは分類学又はオントロジの節、シソーラスの用語などとしてもよい。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12676	A		分類体系項目関連	ぶんるいたいけいこうもくかんれん	Classification Scheme Item Relationship	分類体系における項目間の関連。 備考 メタモデル構成要素:相互関連クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12677	A		分類体系項目関連型記述	ぶんるいたいけいこうもくかんれんがたきじゅつ	classification scheme item relationship type description	分類体系項目と、ある分類体系における一つ以上の他の分類体系項目との間における関連の型の記述。 備考 メタモデル構成要素:分類体系項目関連の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12678	A		分類体系項目型名	ぶんるいたいけいこうもくかためい	classification scheme item type name	分類体系項目の型の名前。 備考 メタモデル構成要素:分類体系項目の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12679	A		分類体系項目値	ぶんるいたいけいこうもくち	classification scheme item value	分類体系項目の実現値。 備考 メタモデル構成要素:分類体系項目の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12680	A		分類体系所属	ぶんるいたいけいしょぞく	classification scheme membership	項目をもった分類体系の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12681	A		分類体系型名	ぶんるいたいけいかためい	classification scheme type name	分類体系の型の名前。 備考 メタモデル構成要素:分類体系の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12682	A		概念	がいねん	concept	性質の固有な組合せによってつくられる知識の単位。 備考 メタモデル構成要素:クラス (ISO 1087-1の3.2.1)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12683	A		概念関連	がいねんかんれん	Concept Relationship, concept relationship	二つ以上の概念の間の意味連結。 備考1. メタモデル構成要素:相互関連クテス 2. 相互関係クラスは、相互関係及びクラスの両方とする。相互関係の名前は、英小文字を使用する。クラスの名前は、頭文字を英大文字で書く。 参考 頭文字を英大文字で書く用語に対する日本語の用語は、太字で表示する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12684	A		概念関連型記述	がいねんかんれんがたきじゅつ	concept relationship type description	二つ以上の概念の間における関連の型の記述。 備考 メタモデル構成要素:概念関連の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12685	A		概念定義域、CD	がいねんていぎいき、CD	Conceptual Domain	有効な値意味の集合。 備考1. メタモデル構成要素:クラス 2. 値意味は、記述によって列挙又は表現されてもよい。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12686	A		概念定義域関連	がいねんていぎいきかんれん	Conceptual Domain Relationship, conceptual domain relationship	二つ以上の概念定義域の関連。 備考1. メタモデル構成要素:相互関連クラス 2. 相互関係クラスは、相互関係及びクラスの両方とする。相互関係の名前は、英小文字を使用する。クラスの名前は、頭文字を英大文字で書く。 参考 頭文字を英大文字で書く用語に対する日本語の用語は、太字で表示する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12687	A		概念定義域関連型記述	がいねんていぎいきかんれんがたきじゅつ	conceptual domain relationship type	二つ以上の概念定義域の間において関連の型の記述。 備考 メタモデル構成要素:概念定義域関連の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12688	A		概念定義域表現形式	がいねんていぎいきひょうげんけいしき	conceptual domain representation	概念定義域と値域との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12689	A		連絡先	れんらくさき	Contact	指定された文脈の中で、情報項目、資料オブジェクト及び/又は人が送受信できる個人又は組織(又は組織の一部若しくは組織の人)の役割の実現値。 備考 メタモデル構成要素:複合データタイプ	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12690	A		連絡先情報	れんらくさきじょうほう	contact information	場所を示したり、伝達したりするための連絡先を与える情報。 備考 メタモデル構成要素:連絡先の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12691	A		連絡先名	れんらくさきめい	contact name	連絡先の名前。 備考 メタモデル構成要素:連絡先の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12692	A		連絡先肩書	れんらくさきかたがき	contact title	連絡先の地位の名前。 備考 メタモデル構成要素:連絡先の属性。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12693	A		(管理項目のための)文脈	(かんりこうもくのための)ぶんみゃく	context (for administered item)	名前又は定義が使用される論議領域(universe of discourse)。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12694	A		文脈記述	ぶんみゃくきじゅつ	context description	文脈の原文の記述。 備考 メタモデル構成要素:文脈の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12695	A		文脈記述言語識別子	ぶんみゃくきじゅつげんごしきべつし	context description language identifier	文脈記述で使用する言語の識別子。 備考 メタモデル構成要素:文脈の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12696	A		国識別子	くにしきべつし	country identifier	<言語識別>言語に関連づけられる地理的な領域を詳細に特定する識別子。 備考1. メタモデル構成要素:言語識別の属性 2. 必要ならば拡張付きで、JIS X 0304から、3けた(桁)の数値コードを使用する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12697	A		生成日	せいせいび	creation date	管理項目を生成した日付。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12698	A		データ要素、DE	でーたようそ、でーいー	Data Element	定義、識別、表現形式及び許容値が属性の集合によって指定されるためのデータの単位。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12699	A		データ要素概念、DEC	でーたようそがいねん、DEC	Data Element Concept	特定の表現形式から独立に記述されるデータ要素の形式で表現できる概念。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12700	A		データ要素概念概念定義域関連	でーたようそがいねんがいねんていぎいきかんれん	data element concept conceptual domain relationship	データ要素概念とその概念定義域との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12701	A		データ要素概念表現	でーたようそがいねんひょうげん	data element concept expression	データ要素とデータ要素概念との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12702	A		データ要素概念オブジェクトクラス	でーたようそがいねんおぶじぇくとくらす	data element concept object class	データ要素概念のためのオブジェクトクラスの指定。 備考 メタモデル構成要素:データ要素概念の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12703	A		データ要素概念特性	でーたようそがいねんとくせい	data element concept property	データ要素概念のための特性の指定。 備考 メタモデル構成要素:データ要素概念の関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12704	A		データ要素概念関連	でーたようそがいねんかんれん	Data Element Concept Relationship, data element concept relationship	二つ以上のデータ要素概念間の関連。 備考1. メタモデル構成要素:相互関係クラス 2. 相互関係クラスは、相互関係及びクラスの両方とする。相互関係の名前は、英小文字を使用する。クラスの名前は、頭文字を英大文字で書く。 参考 頭文字を英大文字で書く用語に対する日本語の用語は、太字で表示する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12705	A		データ要素概念関連型記述	でーたようそがいねんかんれんがたきじゅつ	data element concept relationship type	二つ以上のデータ要素概念間の関連の型の記述。 備考 メタモデル構成要素:データ要素概念関連の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12706	A		データ要素導出	でーたようそどうしゅつ	Data Element Derivation	導出を制御する規則に基づき導出される一つのデータ要素と、それを導出するデータ要素(群)との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:相互関連クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12707	A		データ要素実例	でーたようそじつれい	Data Element Example	データ要素の典型的な例。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12708	A		データ要素実例項目	でーたようそじつれいこうもく	data element example item	データ要素の実例となる場合。 備考 メタモデル構成要素:テータ要素実例の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12709	A		データ要素精度	でーたようそせいど	data element precision	データ要素に対する特殊性の程度。 備考1. メタモデル構成要素:データ要素の属性 2. 関連するデータ要素値で使用するために十進小数けた(桁)数で表示。指定されないときは、既定値の精度が関連する値域の測定の単位精度から取られてもよい。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12710	A		データ要素表現形式	でーたようそひょうげんけいしき	data element representation	データ要素とその値域との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12711	A		データ要素表現形式クラス	でーたようそひょうげんけいしきくらす	data element representation class	データ要素を表現するクラス。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12712	A		データ識別子	でーたしきべつし	data identifier	登録機関内における管理項目のための一意識別子。 備考 メタモデル構成要素:項目識別子の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12713	A		データ型	でーたがた	Data type	異なる値の集合。それらの値の特性及びそれらの値に関する操作によって特徴づけられる。 備考 メタモデル構成要素:合成属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12714	A		データ型注記	でーたかたちゅうき	data type annotation	データ型を詳細に定義するために指定する情報。 備考 メタモデル構成要素:データ型の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12715	A		データ型記述	でーたかたきじゅつ	data type description	データ型を詳しく説明するための記述的情報。 備考 メタモデル構成要素:データ型の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12716	A		データ型名	でーたかためい	data type name	データ型の指定。 備考 メタモデル構成要素:データ型の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12717	A		データ型体系参照	でーたがたたいけいさんしょう	data type scheme reference	データ型の仕様元を特定する参照。 備考1. この規格では、参照方法は登録機関によって特定される 2. メタモデル構成要素:データ型の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12718	A		(管理項目の)定義	(かんりこうもくの)ていぎ	Definition (of Administered Item)	文脈における管理項目の定義。 備考1. メタモデル構成要素:クラス 2. 定義(3.2.12)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12719	A		定義元参照	ていぎもとさんしょう	definition source reference	定義元の参照。 備考 メタモデル構成要素:定義の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12720	A		定義テキスト	ていぎてきすと	definition text	定義のテキスト。 備考 メタモデル構成要素:定義の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12721	A		導出入力	どうしゅつにゅうりょく	derivation input	データ要素導出の元のデータ要素を指定する関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12722	A		導出出力	どうしゅつしゅつりょく	derivation output	データ要素導出の結果を表示する関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12723	A		導出規則	どうしゅつきそく	Derivation Rule	導出を指定する論理的、数学的、その他の操作。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12724	A		導出規則適用	どうしゅつきそくてきよう	derivation rule application	データ要素導出のための導出規則を指定する関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12725	A		導出規則仕様	どうしゅつきそくしよう	derivation rule specification	データ要素導出の仕様に関するテキスト。 備考 メタモデル構成要素:導出規則の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12726	A		(管理項目の)指定	(かんりこうもくの)してい	Designation (of Administered Item)	文脈における管理項目の指定。 備考1. メタモデル構成要素:クラス 2. 指定(3.2.13)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12727	A		次元性	じげんせい	dimensionality	<概念定義域>単位のない測定の表現。 備考1. メタモデル構成要素:概念定義の属性 2. JIS Z 8202-0は、物理的次元(例えば、長さ、質量、速度)を規定する。この規格、すなわちJIS X 4181-3は、非物理的次元(例えば、通貨、質の指標のような値次元)も許す。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12728	A		文書言語識別子	ぶんしょげんごしきべつし	documentation language identifier	文書作成に対して、登録機関で用いられる言語の識別子。 備考 メタモデル構成要素:概念定義域の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12729	A		発効日	はっこうび	effective date	登録簿の利用者に対して管理項目が利用可能になる日付。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12730	A		列挙型概念定義域	れっきょかたがいねんていぎいき	Enumerated Conceptual Domain	値意味の全部の一覧表によって指定される概念定義域。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12731	A		列挙型値域	れっきょかたちいき	Enumerated Vialue Domain	許容値の全部の一覧表によって指定される概念定義域。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12732	A		例証	れいしょう	exemplification	データ要素実例項目とそのデータ要素との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12733	A		注釈	ちゅうしゃく	explanatory comment	管理項目に関する記述的注釈。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12734	A		国際コード指定子	こくさいこーどしていし	intgmational code designator	組織識別体系の識別子。 備考1. メタモデル構成要素:登録機関識別子の属性 2. ISO/IEC 6523-1の3.8に基づく。 3. ISO/IEC 11179-6も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12735	A		項目識別子	こうもくしきべつし	Item Identifier	項目の識別子。 備考 メタモデル構成要素:合成データ型	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12736	A		項目登録機関識別子	こうもくとうろくきかんしきべつし	item registration authority identifier	項目を登録する登録機関の識別子。 備考1. メタモデル構成要素:項目識別子の属性 2. ISO/IEC 11179-6も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12737	A		言語識別	げんごしきべつ	Language Identification	特定の目的のための言語又は言語変種を識別するために要求される識別子の収集。 備考 メタモデル構成要素:合成データ型	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12738	A		言語識別子	げんごしきべつし	language identifier	言語の名前を示す用語見出し語の中の情報。 備考1. 必要なら拡張して、ISO 639-2/Terminologyの3文字アルファベットコード及び名前を使用する。 2. メタモデル構成要素:言語識別の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12739	A		言語区分	げんごくぶん	Language Section	一つの言語に関する情報を含む用語見出し語の一部。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12740	A		言語区分言語識別子	げんごくぶんげんごしきべつし	language section language identifier	指定及び定義の集合をグループ化するために用いられる言語の識別子。 備考 メタモデル構成要素:言語区分の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12741	A		最終変更日	さいしゅうへんこうび	last change date	管理項目が最後に変更された日付。 備考 メタモデル構成要素::管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12742	A		(管理項目の)名前	(かんりこうもくの)なまえ	name (of Administered Item)	(管理項目)特定の文脈の中で管理項目を指定するための名前。 備考1. メタモデル構成要素:指定の属性 2. 名前(3.2.26)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12743	A		非列挙型概念定義域	ひれっきょかたがいねんていぎいき	Non-enumerated Conceptual Domain	有効な値意味の全部の一覧表によっては指定できない概念定義域。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12744	A		非列挙型概念定義域記述	ひれっきょかたがいねんていぎいききじゅつ	non-enumerated conceptual domain	概念定義域に対するすべての値意味の集合に対する規則、参照又は範囲の記述又は仕様。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12745	A		非列挙型値域	ひれっきょかたちいき	non-enumerated value domain	許容値のリストではなく、記述で指定される一つの値域。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12746	A		非列挙型値域記述	ひれっきょかたちいききじゅつ	non-enumerated value domain description	値域に対するすべての許容値の集合のための規則、参照又は範囲の記述若しくは指定。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12747	A		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	Object Class	現実世界において、明確な境界及び意味をもって識別され、その特性及び振る舞いが同じ規則に従う観念、抽象又はものの集合。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12748	A		オブジェクトクラス修飾子	おぶじぇくとくらすしゅうしょくし	object class qualifier	データ要素概念オブジェクトクラスの修飾子。 備考 メタモデル構成要素:データ要素概念の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12749	A		組織	そしき	Organization	ある目的に向かって、人若しくは人びとが行動する又は行動を指名される職権の固有な枠組み。 備考1. メタモデル構成要素: クラス 2. 組織の種類は、次のような例をもつISO/IEC 6523-1に含まれる。 a)法人化した組織。 b)次のことを含む物及び/又はサービスを提供する法人化しない組織又は活動。 1)共同経営(partnership) 2)所有又は制御が個人のグループに与えられている社会的若しくは非営利的な組織、又はそれに準ずる団体 3)単独の経営者 4)政府組織 c)上記a)又はb)の2種の組織を含む集団(情報交換において、このような集団を識	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12750	A		組織識別子	そしきしきべつし	organization identifier	組織識別体系内の組織に割当てる識別子であり、その体系内で一意。 備考 メタモデル構成要素::登録機関識別子の属性 (ISO/IEC 6523-1の3.10)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12751	A		組織住所	そしきじゅうしょ	organization mail address	組織の物理的住所、郵便住所又は送付先住所。 備考1. メタモデル構成要素:組織の属性 2. 市街住所ばかりでなく"私書箱"型の郵便番号も含む。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12752	A		組織名	そしきめい	organization name	組織の指定。 備考1. メタモデル構成要素:組織の属性 2. 組織が登録権限者によって知られている名前。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12753	A		組織部署	そしきぶしょ	organization part	情報交換のために識別されなければならない組織内の部門、サービス又は他の実体。(ISO/IEC 6523-1の3.2)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12754	A		組織部署識別子、opi	そしきぶしょしきべつし、opi	organization part identifier	特定な組織部署に割り当てた識別子。. 備考1. 1メタモデル構成要素:登録機関識別子の属性 2. ISO/IEC 11179-6も参照。(ISO/IEC 6523-1の3.11)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12755	A		組織部署識別子元	そしきぶしょしきべつしもと	organization part identifier source	組織部署識別子の源泉。 備考1. メタモデル構成要素:登録機関識別子の属性 2. ISO/IEC 11179-6も参照。(ISO/IEC 6523-1の3.12)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12756	A		源	げん	origin	<管理項目>管理項目のための源泉(文書、プロジェクト、規律又はモデル)。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12757	A		許容値	きょようち	permissible value	値及びその対応する値意味からなる順序対。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12758	A		許容値開始日	きょようちかいしび	permissible value begin date	この値が値域で許された又は許される日付。 備考1. メタモデル構成要素:許容値の属性 2. この日付は、その値が登録簿で有効となる日付か、その値が元の定義域の部分、その他の日付の部分となる日付かどうかを、登録機関が決定してもよい。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12759	A		許容値終了日	きょようちしゅうりょうび	permissible value end date	この値が値域でもはや許されなかった又は許されなくなる日付。 備考1. メタモデル構成要素:許容値の属性 2. この日付は、その値が登録簿でもはや有効でなくなる日付か、その値がもはや元の定義域の部分、他の日付の部分でなくなる日付かどうかを、登録機関が決定してもよ	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12760	A		許容値意味	きょようちいみ	permissible value meaning	列挙型概念定義域からの値意味と、列挙型値域の許容値との関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12761	A		許容値集合	きょようちしゅうごう	permissible value set	列挙型値域のための許容値の集合。 備考 メタモデル構成要素関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12762	A		許可値	きょかち	permtted value	列挙型概念定義域の許容値としての値の使用。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12763	A		優先定義	ゆうせんていぎ	preferred definition	定義テキストが一つの言語内で管理項目のための優先された定義であることを示すもの。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12764	A		優先指定	ゆうせんしてい	preferred designation	名前が一つの言語内で管理項目のための優先された用語であることを示すもの。 備考1. メタモデル構成要素:指示の属性 2. ISO 12620の"主エントリ名"参照	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12765	A		特性	とくせい	property	オブジェクトクラスのすべてのメンバに共通する性質。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12766	A		特性修飾子	とくせいしゅうしょくし	property qualifier	データ要素概念特性の修飾子。 備考 メタモデル構成要素:データ要素概念特性の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12767	A		参照	さんしょう	reference	参照文書と管理項目との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12768	A		参照文書	さんしょうぶんしょ	reference document	主題について参考のために関連する詳細を提供する文書。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12769	A		参照文書識別子	さんしょうぶんしょしきべつし	reference document identifier	参照文書のための識別子。 備考 メタモデル構成要素:参照文書の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12770	A		参照文書言語識別子	さんしょうぶんしょげんごしきべつし	reference document language identifier	参照文書の中で使用される自然又は特別の言語の識別子。 備考 メタモデル構成要素:参照文書の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12771	A		参照文書題名	さんしょうぶんしょだいめい	reference document title	参照文書の表題。 備考 メタモデル構成要素:参照文書の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12772	A		参照文書型記述	さんしょうぶんしょかたきじゅつ	reference document type description	参照文書の型の記述。 備考 メタモデル構成要素:参照文書の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12773	A		参照組織	さんしょうそしき	reference organization	参照文書と組織との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12774	A		登録係	とうろくがかり	Registrar	登録機関の代表者。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12775	A		登録係連絡先	とうろくがかりれんらくさき	registrar contact	登録係に関連した連絡先情報。 備考 メタモデル構成要素:登録係の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12776	A		登録係識別子	とうろくがかりしきべつし	registrar identifier	登録係のための識別子。 備考 メタモデル構成要素:登録孫の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12777	A		登録	とうろく	registration	管理項目と登録機関との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12778	A		登録機関、RA	とうろくきかん、RA	Registration Authority	登録の維持責任をもつ組織。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12779	A		登録機関識別子	とうろくきかんしきべつし	registration authority identifier	登録機関に割り当てられた識別子。. 備考1. メタモデル構成要素:登録機関の属性 2. ISO/IEC 11179-6及びISO/IEC 6523-2を参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12780	A		登録機関識別子	とうろくきかんしきべつし	Registration Authority Identfier	登録機関に割り当てられた識別子。 備考1. メタモデル構成要素:合成データ型 2. ISO/IEC 11179-6及びISO/IEC 6523-2を参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12781	A		登録機関登録係	とうろくきかんとうろくがかり	registration authority registrar	登録機関と登録係との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12782	A		登録状態	とうろくじょうたい	registration status	管理項目の登録期間中の状態指定。 備考1. メタモデル構成要素:管理レコードの属性 2. ISO/IEC 11179-6で記述されている指定値。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12783	A		表現形式クラス	ひょうげんけいしきくらす	Representation Class	表現形式の型の分類。 備考 メタモデル構成要素:クラス。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12784	A		表現形式クラス修飾子	ひょうげんけいしきくらすしゅうしょくし	representation class qualifier	データ要素及び値域を名前付けするのに使用した表現形式クラスに対する修飾子。 備考 メタモデル構成要素:データ要素の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12785	A		(管理項目の)幹事職	(かんりこうもくの)かんじしょく	Stewardship (of Administered Item)	メタデータの幹事職に含まれる管理項目、連絡先及び組織の関連。 備考1. メタモデル構成要素:相互関係クラス 2. (メタデータの)幹事職(3.2.32)も参照。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12786	A		幹事職連絡先	かんじしょくれんらくさき	stewardship contact	幹事職に関連する連絡先情報。 備考 メタモデル構成要素:幹事職の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12787	A		(管理項目の)依頼	(かんりこうもくの)いらい	Submission (of Administered Item)	メタデータの申請に含まれる管理項目、連絡先及び組織の関連。 備考 メタモデル構成要素:相互関係クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12788	A		依頼連絡先	いらいれんらくさき	submission contact	依頼に関連する連絡先情報。 備考 メタモデル構成要素:依頼の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12789	A		用語見出し語	ようごみだしご	Terminological Entry	文脈(主題部分)内で、特定の管理項目用の用語単位上での情報を含んでいる見出し。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12790	A		測定の単位	そくていのたんい	Unit of Measure	<値域>測定された関連した値の実際の単位。 備考1. メタモデル構成要素:合成データ型 2. JIS Z 8202-0は、物理的測定システムを規定する(国際単位システム、略称SI)。物理的測定は、ただ一つの測定方法とする。値測定は、測定の別の型とする。この規格JIS X 4181-3は、適正な測定システムの使用を許容する。 3. 関連した概念定義域(33.20)の次元性(33.62)は、特定の測定の単位のために、適切でなければならない。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12791	A		測定の単位名	そくていのたんいめい	unit of measure name	測定の単位の名前。 備考 メタモデル構成要素:測定単位の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12792	A		測定の単位精度	そくていのたんいせいど	unit of measure precision	測定の単位のための特異性の程度。 備考1. メタモデル構成要素:測定単位の属性 2. 関連したデータ要素値で使用されるために小数けた(桁)数で表現される。いかなる精度もデータ要素それ自身に指定されないとき、既定値として使用される。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12793	A		未解決課題	みかいけつかだい	unresolved issue	管理項目の適切な文書作成に関して未解決で残された問題。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12794	A		失効日	しっこうび	until date	管理項目が登録簿上で有効でなくなる日付。 備考 メタモデル構成要素:管理レコードの属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12795	A		値	あたい	value	データ値。 備考 メタモデル構成要素:クラス	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12796	A		値域、VD	ちいき、VD	Value Domain	許容値の集合。 備考1. メタモデル構成要素:クラス 2. 値域は、表現形式を提供するが、その値がどのデータ要素概念と関連づけてもよいのか、又はその値が何を意味するのかについていかなる意味ももたない。 3. 許容値は、記述によって列挙又は表現してもよい。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12797	A		値域データ型	ちいきでーたがた	value domain data type	値域内で用いるデータ型。 備考 メタモデル構成要素:値域の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12798	A		値域書式	ちいきしょしき	value domain format	値の表現形式の構造のためのテンプレート。 例 日付に対するYYYY-MM-DD 備考 メタモデル構成要素:値域の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12799	A		値域最大文字数	ちいきさいだいもじすう	value domain maximum character quantity	データ要素値を表す最大文字数。 備考1. メタモデル構成要素:値域の属性 2. 文字データ型に対してだけ適用可能。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12800	A		値域関連	ちいきかんれん	Vialue Domain Relationship, value domain relationship	二つ以上の値域間の関連。 備考1. メタモデル構成要素:値域の属性 2. 相互関係クラスは、相互関係及びクラスの両方とする。相互関係の名前は、英小文字を用いる。クラスの名前は、頭文字を英大文字で書く。参考頭文字を英大文字で書く用語に対する日本語の用語は、太字で表示する。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12801	A		値域関連型記述	ちいきかんれんがたきじゅつ	value domain relationship type description	二つ以上の値域間の関連の型の記述。 備考 メタモデル構成要素:値域関連の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12802	A		値域表現形式クラス	ちいきひょうげんけいしきくらす	value domain representation class	値域の表現形式のクラス。 備考 メタモデル構成要素:関連(Relationship)	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12803	A		値域測定の単位	ちいきそくていのたんい	value domain unit of measure	値域内で使用する測定の単位。 備考 メタモデル構成要素:値域の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12804	A		値項目	あたいこうもく	value item	特定の値域内、すなわち実際の値内の値意味の表現形式。 備考 メタモデル構成要素:値の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12805	A		値意味	あたいいみ	Value Meaning	値の意味又は意味内容。 備考1. メタモデル構成要素:クラス 2. レジストリ内の値意味の表現形式は、それに対応するいかなる値域内の表現形式からも独立しなければならない(及び制約してはならない。)。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12806	A		値意味開始日付	あたいいみかいしひづけ	value meaning begin date	概念定義域の値意味が有効となる日付。 備考1. メタモデル構成要素:値意味の属性 2. この日付は、その値意味が登録簿で有効となる日付か、その値意味が元の定義域の部分、その他の日付の部分となる日付かどうかを、登録機関が決定してもよい。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12807	A		値意味記述	あたいいみきじゅつ	value meaning description	値意味の記述。 備考 メタモデル構成要素:値意味の属性.	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12808	A		値意味終了日付	あたいいみしゅうりょうひづけ	value meaning end date	この値意味が無効となった又は無効となる日付。 備考1. メタモデル構成要素:値意味の属性 2. この日付は、その値意味が登録簿でもはや有効ではなくなる日付か、その値意味がもはや元の定義域の部分、その他の日付の部分ではなくなる日付かどうかを、登録機関が決定してもよい。	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12809	A		値意味識別子	あたいいみしきべつし	value meaning identifier	値意味の一意識別子。 備考 メタモデル構成要素:値意味の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12810	A		値意味集合	あたいいみしゅうごう	value meaning set	概念定義域と値意味の集合との間の関連。 備考 メタモデル構成要素:関連	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12811	A		版	はん	version	管理項目の一意版識別子。 備考 メタモデル構成要素:項目識別子の属性	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12812	A		CD	CD	Conceptual Domain	概念定義域	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12813	A		CSI	CSI	Classification Scheme	分類体系項目	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12814	A		DE	DE	Data Element	データ要素	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12815	A		DEC	DEC	Data Element Concept	データ要素概念	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12816	A		MR	MR	Meta data Registry	メタデータ登録簿	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12817	A		OPI	OPI	organization part identifier	組織要素識別子	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12818	A		RA	RA	Registration Authority	登録機関	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12819	A		VD	VD	Value Domain	値域	JIS X 4181-3	2004	ISO/IEC 11179-3	2003				2003	SC32
12820	A		一般化作画基本要素	いっぱんかさくがきほんようそ	generalized drawing primitive, GDP	曲線描画などワークステーションの特別な幾何的機能を用いるための出力基本要素。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12821	A		入力受理	にゅうりょくじゅり	acknowledgment	トリガに有意の瞬間が生じたこと(これを"発火"するという。)を論理入力装置の操作者に知らせる出力。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12822	A		縦横比	じゅうおうひ、たてよこひ	aspect ratio	特定の座標系において、長方形の形状、例えば、ワークステーションウィンドウ又はワークステーションビューポートを、記述するための縦対横の比。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12823	A		基本要素の表示様相	きほんようそのひょうじようそう	aspects of primitives	基本要素の多様な見え方。様相は、基本要素属性によって直接制御される場合もあり、束表を通して間接的に制御される場合もある。セグメント内部の基本要素は、そのセグメントの様相に支配される。顕示性はその例である。セグメント外部の基本要素は、そのよ	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12824	A		属性	ぞくせい	attribute	表示要素(出力基本要素)又はセグメントに当てはまる特定の特性。例えば、顕示性、字高。GKSでは、ワークステーションの特性の幾つかは、ワークステーション属性と呼ばれ	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12825	A		ベースライン	べーすらいん	baseline	多くの文字定義において、字体の下限である文字枠内の水平線(図3参照)	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12826	A		束指標	たばしひょう	bundle index	特定の出力基本要素に対する束表への指標。これは、基本要素のワークステーション依存表示様相を定める。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12827	A		束表	たばひょう	bundle table	特定の出力基本要素に付随するワークステーション依存の表。この表の項目は、すべての基本要素のワークステーション依存表示様相を指定する。GKSでは束表は、折れ線、マーカ列、文字列及び領域の各出力基本要素に対して存在する。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12828	A		キャップライン	きゃっぷらいん	capline	多くの文字定義において、字体の上限である文字枠内の水平線(図3参照)。文字の突出部は、この線の上に出る。ある言語におけるアクセント記号のような付加記号は、この線から上に定義される。同一のフォントにおいては、すべてのキャップラインは、文字枠内	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12829	A		セル配列	せるはいれつ	cell array	同じ大きさをもつ長方形セルの長方形格子からなるGKSの出力基本要素。個々の長方形セルは、単一の色をもつ。(備)セルは、必ずしも画素に1対1には写像されない。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12830	A		センタライン	せんたらいん	center line	文字枠を左右に二分する垂直線(図3参照)。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12831	A		文字枠	もじわく	character body	フォント設計者が字体を定義するために用いる長方形(図3参照)。一つのフォントのすべての文字枠は、同じ高さをもっている。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12832	A		選択値入力装置	せんたくちにゅうりょくそうち	choice device	選択肢の中の一つを指定する非負の整数を与えるGKS論理入力装置。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12833	A		クリッピング	くりっぴんぐ	clipping	ウィンドウ、ビューポートなどの定められた境界の外部となる表示要素の除去。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12834	A		色定義表	いろていぎひょう	colour table	特定の色を指定するためのワークステーション依存の表。その表の項目は、赤、緑及び青の輝度の値とする。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12835	A		座標方式グラフィクス	ざひょうほうしきぐらふぃくす	coordinate graphics, line graphics	表示命令と座標データから表示画像が生成されるコンピュータグラフィクス。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12836	A		装置座標	そうちざひょう	device coordinate, DC	装置依存の座標系で表現された座標。GKSでは、DCの単位は、正確な実寸出力ができる装置ではメートルとし、そうでない装置では適当なワークステーション依存の単位とす	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12837	A		装置ドライバ	そうちどらいば	device driver	グラフィクス装置に対するGKS実現の装置依存の部分。装置ドライバは、装置に依存した出力を行い、装置に依存した対話を取り扱う。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12838	A		装置空間	そうちくうかん	device space	表示装置のアドレス指定可能な点で定義される空間。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12839	A		表示装置	ひょうじそうち	display device, graphics device	表示画像が表現される装置。再生形表示装置、蓄積形表示装置、プロッタなど。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12840	A		表示画像	ひょうじがぞう	display image, picture	表示面上に同時に表現される出力基本要素及びセグメントの集まり。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12841	A		表示空間	ひょうじくうかん	display space	表示空間は、次の二つの意味をもつ。(a)画像の表示が可能な領域に対応する装置空間の部分。(b)デジタイザのような入力装置の作業空間。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12842	A		表示面	ひょうじめん	display surface, view surface	表示装置において、表示画像が表示される媒体。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12843	A		エコー	えこー	echo	表示卓にいる操作者に入力装置で与えられた現在値を直ちに知らせる通報。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12844	A		エスケープ	えすけーぷ	escape	グラフィック出力の生成以外で、GKSの規定外である実現依存・装置依存の機能を用いるGKSの機能。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12845	A		フィードバック	ふぃーどばっく	feedback	論理入力値の解釈を操作者に示す応用プログラムの出力。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12846	A		領域	りょういき	fill area	中空、一様な色、柄又はハッチのいずれかの様式をもつ多角形(閉じた境界)からなるGKSの出力基本要素。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12847	A		領域束表	りょういきたばひょう	fill area bundle table	領域基本要素の様相のうち、ワークステーション依存であるすべての様相の特定の値と領域束指標とを結び付ける表。GKSでは、この表は内部様式、様式指標及び色指標の項	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12848	A		GKS水準	GKSすいじゅん	GKS level	GKS機能能力の集合を定義するための0～2及びa～cの範囲をもつ二つの値の組。GKSの個々の実現では、正確に一つの水準の機能を提供する。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12849	A		GKSメタファイル	GKSめたふぁいる	GKS metafile, GKSM	GKSが読み書きできる逐次ファイル。グラフィック情報の長期的格納、伝送及び転送のために用いる(単にメタファイルと呼ぶことがある。)。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12850	A		ハーフライン	はーふらいん	halfline	文字枠中で、キャップラインとベースラインの間の水平線(図3参照)。同一フォントで水平方向に描かれる文字列中の各文字は、ハーフラインの付近で枠の中心部に垂直におかれる。同一のフォントにおいては、すべてのハーフラインは、文字枠内の同じ位置にあ	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12851	A		ハッチ	はっち	hatch	領域基本要素で指定される多角形の内部を満たす一つの方法。内部を、一つ以上の平行線の組で満たす。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12852	A		顕示性	けんじせい	highlighting	視覚属性を変更してセグメントを強調する装置独立な方法。例えば、明滅がある。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12853	A		実現必す(須)要項	じつげんひっすようこう	implementation mandatory	GKSのすべての実現において、すべてのワークステーションに等しく実現されることが要求される特性を記述したもの。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12854	A		入力類	にゅうりょくるい	input class	論理的に機能が等価な入力装置の集合。GKSでの入力類には、LOCATOR、STROKE、VALUATOR、CHOICE、PICK及びSTRINGがある。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12855	A		問合せ機能	といあわせきのう	inquiry function	GKSの現在の状態及びGKS実現によって固定された幾つかの特性に依存した値を返すためのGKSの機能。GKSの状態及び表示画像には、影響を及ぼさない。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12856	A		位置入力装置	いちにゅうりょくそうち	locator device	世界座標での位置及び正規化変換番号を与えるGKSの論理入力装置。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12857	A		論理入力装置	ろんりにゅうりょくそうち	logical input value	論理入力値をプログラムに知らせる一つ以上の物理装置を抽象化したもの。GKSでの論理入力装置には、LOCATOR、STROKE、VALUATOR、CHOICE、PICK及びSTRINGの種	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12858	A		入力値	にゅうりょくち	logical input value	論理入力装置によって得られる値。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12859	A		マーカ	まーか	marker	特定の位置を示すために用いる規定された形をもつ小図形。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12860	A		メジャー	めじゃー	measure	論理入力装置に関係する値であって、一つ以上の物理入力装置及びそれぞれの物理装置で得られる値に対する写像によって決定されるもの。論理入力装置によって得られる論理入力値は、メジャーの現在値とする。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12861	A		MI	MI		GKSのメタファイル入力の省略形であって、ワークステーションの一つの種別を表す。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12862	A		MO	MO		GKSのメタファイル出力の省略形であって、ワークステーションの一つの種別を表す。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12863	A		正規化変換、ビューイング変換、ウィンドウビューポート変換	せいきかへんかん、びゅーいんぐへんかん、ういんどうびゅーぽーとへんかん	normalization transformation, Viewing transformation, window-to-viewport	ウィンドウの境界及び内部をビューポートの境界及び内部に写像する変換。GKSでは、この変換は、世界座標における位置を正規化装置座標に写像する。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12864	A		正規化装置座標	せいきかそうちざひょう	normalized device coordinates, NDC	ある範囲(典型的には[0, 1])に正規化された装置独立な中間座標系で指定された座標。GKSでは、中間状態では座標値は定義された範囲の外にあるかもしれないが、付随するクリッピング情報によって出力が [0, 1]×[0, 1]の範囲を超えないことを保証する。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12865	A		操作者	そうさしゃ	operator	論理入力装置のメジャーを変化させ、トリガの発火を生じさせるために物理入力装置を操作する人。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12866	A		出力基本要素	しゅつりょくきほんようそ	output primitive, graphic primitive, display element	表示画像を構成するために用いる基本的なグラフィック要素。GKSの出力基本要素は、折れ線、マーカ列、文字列、領域、セル配列及び一般化作画基本要素(GDP)とする。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12867	A		ピック入力装置	ぴっくにゅうりょくそうち	pick device	出力基本要素に付けたピック識別子及びそれに付随するセグメント名を得るためのGKS論理入力装置。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12868	A		ピック識別子	ぴっくしきべつし	pick identifier	セグメント内の個々の出力基本要素に付け、ピック入力装置によって得られる名前。異なった出力基本要素に対して同じピック識別子を割り当ててもよい。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12869	A		画素	がそ	pixel, picture element	色又は輝度を個別に定義できる表示面上での最小要素。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12870	A		折れ線	おれせん	polyline	つながった線の集合からなるGKSの出力基本要素。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12871	A		折れ線束表	おれせんたばひょう	polyline bundle table	折れ線基本要素の様相のうち、ワークステーション依存であるすべての様相の特定の値の組と折れ線束指標とを結び付ける表。GKSでは、この表は、線種、線幅倍率及び色指標の項目からなる。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12872	A		マーカ列	まーかれつ	polymarker	マーカによって示されるべき位置の集合からなるGKSの出力基本要素。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12873	A		マーカ列束表	まーかれつたばひょう	polymarker bundle table	マーカ列基本要素の様相のうち、ワークステーション依存であるすべての様相の特定の値の組とマーカ列束指標とを結び付ける表。GKSでは、この表は、マーカ種別、マーカ倍率及び色指標の項目からなる。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12874	A		基本要素属性	きほんようそぞくせい	primitive attribute	出力基本要素に対する属性。基本要素属性の値は、応用プログラムがワークステーションに独立な方法で選択するが、ワークステーションに依存した効果がありうる。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12875	A		入力要求	にゅうりょくようきゅう	prompt	特定の論理入力装置が利用可能であることを操作者に示す出力。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12876	A		ラスタ方式グラフィクス	らすたほうしきぐらふぃくす	raster graphics	行と列に配置された画素配列によって表示画像を構成するコンピュータグラフィクス。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12877	A		回転	かいてん	rotation	表示画像の全部又は一部をある軸の周りに回すこと。GKSでは、この機能はセグメントだけを対象とする。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12878	A		拡大縮小	かくだいしゅくしょう	scaling, zooming	表示要素の座標に定数をかけることによって、表示画像の全部又は一部を拡大又は縮小すること。GKSでは、この機能はセグメントだけを対象とする。(備)直交する2方向に異なる倍率で拡大縮小するときには、二つの定数が必要である。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12879	A		セグメント	せぐめんと	segment	一まとめにして操作できるような表示要素の集まり。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12880	A		セグメント属性	せぐめんとぞくせい	segment attributes	セグメントだけに適用される属性。GKSでは、セグメント属性は、可視性、顕示性、検知性、セグメント優先度及びセグメント変換とする。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12881	A		セグメント優先度	せぐめんとゆうせんど	segment priority	グラフィック入出力で、幾つかのセグメントが重なったときに、どのセグメントを用いるかを決定するセグメント属性。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12882	A		セグメント変換	せぐめんとへんかん	segment transformation	セグメントで定義されている表示要素の表示面での位置、大きさ及び方向を、移動、拡大縮小及び回転させる変換。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12883	A		文字列入力装置	もじれつにゅうりょくそうち	string device	結果として文字列を入力するGKSの論理入力装置。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12884	A		点列入力装置	てんれつにゅうりょくそうち	stroke device	世界座標での点列及び正規化変換番号を入力するGKSの論理入力装置。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12885	A		文字列	もじれつ	text	文字の列からなるGKSの出力基本要素。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12886	A		文字列束表	もじれつたばひょう	text bundle table	文字基本要素の様相のうち、ワークステーション依存であるすべての様相の特定の値の組と文字列束指標とを結び付ける表。GKSでは、この表は、文字列のフォントと表示精度、文字倍率、字間及び色指標の項目からなる。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12887	A		文字列のフォントと表示精度	もじれつのふぉんととひょうじせいど	text font and precision	特定のワークステーション上に出力される文字列の形状を決定するGKSの文字列の表示様相であって、フォント及び表示精度の二つの要素をもつ。表示精度は、他の文字列表示様相が応用プログラムでの要求にどの程度適合するかの忠実度を記述する。表示精度は、STRING、CHAR、STROKEの順に忠実度が増す。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12888	A		平行移動	へいこういどう	translation, shift	表示画像の全部又は一部を一定距離移動させること。GKSでは、この機能はセグメントだけを対象とする。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12889	A		トリガ	とりが	trigger	操作者が有意の瞬間を示すために用いることができる物理入力装置又はその集合。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12890	A		実数値入力装置	じっすうちにゅうりょくそうち	valuator device	実数を入力するGKSの論理入力装置。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12891	A		ビューポート	びゅーぽーと	viewport	応用プログラムが指定する正規化装置座標空間の一部。GKSでは、正規化変換の定義で用いる正規化装置座標空間の長方形領域に限る。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12892	A		ウィンドウ	ういんどう	window	仮想空間上のあらかじめ定められた部分。GKSでは、この定義は、正規化変換の定義で用いる世界座標空間の長方形領域に限る。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12893	A		ワークステーション	わーくすてーしょん	workstation	複数の入力装置と一つの出力装置から構成される装置。GKSは、抽象化したグラフィックワークステーションの概念に基づいている。この概念は、応用プログラムが物理装置を制御するための論理インタフェースを与える。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12894	A		ワークステーション依存セグメント記憶域	わーくすてーしょんいぞんせぐめんときおくいき	workstation dependent segment storage, WDSS	グラフィック表示のために用いるワークステーション上のセグメント記憶域。セグメントは、WDSSからほかのワークステーションに転送することはできない。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12895	A		ワークステーション独立セグメント記憶域	わーくすてーしょんどくりつせぐめんときおくいき	workstation independent segment storage, WISS	セグメントを格納し、後でそれをほかのワークステーションに転送することのできるワークステーションの特別な種別。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12896	A		ワークステーション必須(須)要項	わーくすてーしょんひっすようこう	workstation mandatory	ある一つのGKS実現において、すべてのワークステーションに等しく実現されることが要求される特性を記述したもの。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12897	A		ワークステーション変換	わーくすてーしょんへんかん	workstation transformation	ワークステーションウィンドウの境界及び内部をワークステーションビューポート(表示空間の一部)の境界及び内部に、縦横比を保持して写像する変換。GKSでは、この変換は、正規化装置座標を装置座標に変換する。縦横比を保持するためにワークステーションウィンドウの内部は、ワークステーションビューポート全体に写像されないこともある。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12898	A		ワークステーションビューポート	わーくすてーしょんびゅーぽーと	workstation viewport	図形出力のために現在選択されている表示空間の部分。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12899	A		ワークステーションウィンドウ	わーくすてーしょんういんどう	workstation window	表示空間で表現されている正規化装置座標内の長方形領域。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12900	A		世界座標	せかいざひょう	world coordinate, WC	グラフィック入出力のために応用プログラムが用いる装置独立な直交座標系。	JIS X 4201	1990	ISO 7942	1985				7942-1:1994	SC24
12901	B		非等方写像	ひとうほうしゃぞう	anisotropic mapping	各座標軸方向で、倍率が異なる写像。VDCから物理表面上での座標への変換等で使用する。非等方写像では、一般に、平行でない直線の間の角度は保存されず、また、円は長円となる。3.1.63参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12902	B		縦横比	じゅうおうひ、たてよこひ	aspect ratio	ウィンドウ、ビューポートなどの長方形の領域と幅と高さの比。例えば、縦横比2.0は、幅の高さが2倍である領域を意味する。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12903	B		表示様相源フラグ、ASF	ひょうじようそうげんふらぐ、ASF	aspect source flag, ASF	属性選択が個別であるか束であるかを示す指示子。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12904	B		グラフィック基本要素の表示要相	ぐらふぃっくきほんようそのひょうじようそう	aspects of primitives	グラフック基本要素のさまざまな見え方。表示様相の中には、グラフィック基本要素の属性によって直接制御されるものと、束表(3.1.7)を通じて間接的に制御されるものとがあ	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12905	B		属性要素	ぞくせいようそ	attribute elements	グラフィック基本要素の見え方を記述するメタファイル要素。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12906	B		境界	きょうかい	boundary	領域及び閉図形に対して、充てん(填)を行う部分の限界を定めるために、VDC空間上で抽象的に考えた数学的な線。内部様式"hollow"に対して、切取りを行った後の境界を表	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12907	B		明るさ	あかるさ	brightness	領域の明暗に関する視知覚の属性。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12908	B		束	たば	bundle	線、点、文字列及び領域のいずれか一つのグラフィック基本要素に付随する属性の集	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12909	B		束指標	たばしひょう	bundle index	特定のグラフィック基本要素の束表内の欄を指す指標。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12910	B		束表	たばひょう	bundle table	各指標値に対応する属性の集合を要素とする指標付きの表。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12911	B		文字集合	もじしゅうごう	character set	TEXT要素、APPEND TEXT要素又はRESTRICTED TEXT要素の文字列を構成する個々の文字に対応する表示可能な記号の集合。JIS X 0202で定義された"G集合"に対応する。文字集合は、フォント又は活字の字面とは別個のものである。ASCII(X3.4)、ドイツ文	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12912	B		彩度	さいど	chroma	同一条件で証明された白色面の明るさとの比で表した色みの強さ。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12913	B		色度	しきど	chromaticity	三刺激値の各成分値と、各成分値の合計との比。三つの色度座標値の合計は1であるので、色度を定めるためにはそのうちの二つの座標を定めれば十分である。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12914	B		CIELAB色空間	CIELABいろくうかん	CIELAB colour space	CIE勧告である色空間の一つで、L*、a*及びb*の直交座標系で表したおおむね均等な色空間。L*は明度に相当する値であり、a*及びb*は色相と彩度に相当する値の計算に用いる。CIELABは、X/Xn、Y/Yn及びZ/Znの三刺激比を用いて表現する。Xn、Yn及びZnは、標準白色に対するX、Y及びZの値とする。暗くなるにつれ、ある一定の色度の差に対する知覚性が低くなることは、三刺激比を用いることで反映している。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12915	B		CIELUV色空間	CIELUVいろくうかん	CIELUV colour space	CIE勧告である色空間の一つで、L*、u*及びv*の直交座標系で表したおおむね均等な色空間。L*は明度に相当する値であり、u*及びv*は色相と彩度に相当する値の計算に用いる。色刺激は、Y、u'及びv'を用いる。標準白色面は、Yn、un'及びvn'を用いる。暗くなるにつれ、ある一定の色度の差に対する知覚性は、L*倍低くなる。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12916	B		CIE三刺激値	CIEさんしげきち	CIE tristimulus values	三色表色系において、ある色刺激値に等色するのに必要な三つの原刺激の量。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12917	B		CIE均等色空間	CIEきんとうしょくうかん	CIE uniform colour spaces	CIE勧告であるおおむね均等な色空間の総称。この規格では、二つの色空間、CIELAB及びCIELUVを用いる。これらの色空間は、CIE 1931 XYZ三刺激空間を非線形変換したもので、色相及び彩度の知覚的に相当する値を用いる。これらは、局所的に均等色空間をかなりよく近似しており、知覚された色差のおおむね均等な尺度となっている。どちらの空間においても、ある一定の色度の差は、明度が低くなるにつれ、より小さな色差に対応するという知覚効果を反映している。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12918	B		切取り指示子	きりとりしじし	clip indicator	メタファイルのグラフィック基本要素が、切取り枠の境界で切り取られるかどうかを示す指	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12919	B		切取りモード	きりとりもーど	clipping mode	線切取りモード、マーカ切取りモード又は辺切取りモードのいずれかを示す用語。オブジェクト切取りは、"locus"、"shape"又は"locus then shape"のいずれかである。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12920	B		切取り枠	きりとりわく	clip rectangle	メタファイルのグラフィック基本要素を切り取るとき切取り境界として使用するVDC空間内に定義する長方形。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12921	B		切取り	きりとり	clipping	グラフィック基本要素の表示に際して、与えられた境界の外部にある部分を除去するこ	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12922	B		閉図形	へいずけい	closed figure	複合グラフィック基本要素で、より一般的な形状を持つ領域要素として振る舞うもの。線要素又は領域要素、辺属性並びに一部の制御要素の列をBEGIN FIGURE要素及びEND FIGURE要素でくくって作成する。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12923	B		CMYK色空間	CMYKいろくうかん	CMYK colour space	減法混色による色空間の一つで、シアン(C)、マゼンタ(M)及び黄(Y)の原色に黒(K)を含めたもの。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12924	B		色成分	いろせいぶん	colour component	色空間の一つの次元。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12925	B		表色系	ひょうしょくけい	colour model	3次元色座標及びその座標系内の部分空間の指定。表示可能な色は、この部分空間の点として表現される。表色系によっては、黒を独立表現するために冗長な第4次元を含むことがある。この規格では、RGB、CIELAB、CIELUV、CMYK又はRGB関連のいずれかの	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12926	B		色選択モード	いろせんたくもーど	colour selection mode	色選択が直接色指定(色値を指定)か、指標付き指定(色定義表に対する指標を指定)かを示す指示子。3.1.30参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12927	B		色空間	いろくうかん	colour space	3.1.25参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12928	B		色刺激	いろしげき	colour stimulus	目に入って色の感覚を生じる可視放射。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12929	B		色定義表	いろていぎひょう	colour table	色指標から対応する色への写像に使用する表。3.1.41及び3.1.62参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12930	B		色値	しきち	colour value	使用する表色系にしたがって色を記述するn個の成分の値。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12931	B		複合グラフィック基本要素	ふくごうぐらふぃっくきほんようそ	compound primitive	グラフィック基本要素は一つのメタファイル要素からなるが、複合グラフィック基本要素はメタファイル要素の列で構成する。複合テキスト及び閉図形は、複合グラフィック基本要	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12932	B		コンピュータグラフィクスインタフェース、CGI	こんぴゅーたぐらふぃくすいんたふぇーす、CGI	Computer Graphics Interface, CGI	グラフィクス装置と対話するためのインタフェース仕様。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12933	B		コンピュータグラフィクスメタファイル、CGM	こんぴゅーたぐらふぃくすめたふぁいる、CGM	Computer Graphics Metafile, CGM	図形記述情報を格納し、転送するための仕様。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12934	B		共役直径対、CDP	きょうえきちょっけいつい	conjugate diameter pair, CDP	長円の一組の直径であって、一方の直径の各終端点における長円の接線が、他方の直径と平行になるもの。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12935	B		制御要素	せいぎょようそ	control elements	アドレス空間、切取り境界、図形の区切り、及びメタファイル要素の書式記述を規定するメタファイル要素。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12936	B		データインタフェース	でーたいんたふぇーす	data interface	命令コード及びデータを含んだ一つ以上のパケットによる、ソフトウェアモジュール間又は装置間のインタフェース(サブルーチン呼出しインタフェースと対照をなす概念)。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12937	B		記述子要素	きじゅつしようそ	descriptor elements	メタファイルの機能内容、書式、省略時条件、識別及び特性を記述するメフタファイル要	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12938	B		装置座標	そうちざひょう	device coordinates	装置固有、すなわち、装置依存の座標。物理装置座標に対応する。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12939	B		装置ドライバ	そうちどらいば	device driver	グラフィックス実現の一部であって、物理装置を支援する装置依存部分。装置ドライバは、装置に依存した出力を行う。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12940	B		装置ビューポート	そうちびゅーぽーと	device viewport	物理表示面の一部であって、VDC区域を写像する長方形領域。3.1.44参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12941	B		直接色指定	ちょくせついろしてい	direct colour	色定義表を用いた写像を行わずに、色値を直接指定する色選択方式。3.1.29及び3.1.62	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12942	B		表示面	ひょうじめん	display surface	可視画像が表示されるグラフィクス装置の部分(例えば、ディスプレイ装置の画面、プロッタの用紙)。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12943	B		辺	へん	edge	領域の周回の描画。辺属性値で制御する。内部様式が"hollow"のとき、切取りによって新しく作られた境界は描画するが、切り取られた辺は描画しない。3.1.6参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12944	B		有効ビューポート	ゆうこうびゅーぽーと	effective viewport	VDC区域を装置ビューポートへ等方写像した結果生じる実際のビューポート。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12945	B		エスケープ要素	えすけーぷようそ	escape elements	図形の作成に使用するメタファイル要素であって、装置又はシステムに依存する非標準機能を記述するために用いる。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12946	B		外部要素	がいぶようそ	external elements	グラフィック画像の生成に直接関連しない情報を伝えるメタファイル要素。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12947	B		送り	おくり	escapement	文字列の表示において、グリフを描いた後に表示面上の現位置を送り点へ移す動き。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12948	B		送り点	おくりてん	escapement point	グリフを描いた後に表示面上の現位置を移すグリフ座標系上の位置。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12949	B		フォント	ふぉんと	font	同一の視覚的特徴をもつグリフ像の集合。例えば、クーリエ・ボールド・オブリク。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12950	B		フォントファミリ	ふぉんとふぁみり	font family	共通の概念で設計されたフォントの集合。例えば、クーリエ、クーリエ・ボールド、クーリエ・ボールド・オブリクは同じフォントファミリに属する。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12951	B		フォント配置量	ふぉんとはいちりょう	font metrics	あるフォント資源のすべてのグリフ表現に共通な、フォント資源中の寸法及び位置決め情報の集合。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12952	B		フォント資源	ふぉんとしげん	font resource	グリフ表現の集合及びグリフ表現全体にかかわる情報。グリフ表現全体にかかわる情報は、記述情報及びフォント配置量情報とする。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12953	B		前景色	まえけしき	foreground colour	グラフィック基本要素を表示面に描写する過程で用いる色。BACKGROUND COLOUR要素又はAUXILIARY COLOUR要素の色と対比する用語。前景色は、グラフィック基本要素のクラスごとに設定する。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12954	B		グリフ	ぐりふ	glyph	どのような特定のデザインにも依存しない、認知可能な抽象的図記号。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12955	B		大域セグメント	たいいきせぐめんと	global segment	メタファイル記述子で定義するセグメント。どの図形からも参照され得る。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12956	B		グラフィック基本要素	ぐらふぃっくきほんようそ	graphical primitive	メタファイル内の画像を記述するメタファイル要素。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12957	B		グラフィクス中核系、GKS	ぐらふぃくすちゅうかくけい、GKS	Graphical Kernel System, GKS	グラフィクスと応用プログラムとの間のインタフェース規格の一つ(JIS X 4201参照)。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12958	B		グラフィクス装置	ぐらふぃくすそうち	graphics device	表示画像を表現する装置(例えば、再生型表示装置、蓄積型表示装置又はプロッタ)。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12959	B		グラフィックオブジェクト	ぐらふぃっくおぶじぇくと	graphic object	属性を加味したグラフィック基本要素又は複合グラフィック基本要素。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12960	B		ハッチ様式	はっちようしき	hatch style	閉じた図形をハッチ(平行線群)で塗りつぶす様式。ハッチ様式は、当該図形の内部を表現する線の集合で構成する。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12961	B		色相	しきそう	hue	ある領域が赤、黄、緑、青、紫又はこれらの中の2色の混合色のいずれと同じ色に見えるかに関する視知覚的属性。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12962	B		指標付き色指定	しひょうつきいろしてい	indexed colour	色指標によって色定義表から色値を検索する色選択方式。3.1.29及び3.1.41参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12963	B		等方写像	とうほうしゃぞう	isotropic mapping	各座標軸方向で倍率が等しい写像。VDCから物理表示面上での座標への変換等で使用する。等方写像では、平行でない直線の間の角度は保存され、また、円は円のままであ	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12964	B		局所セグメント	きょくしょせぐめんと	local segment	図形記述子又は図形本体で定義され、その図形だけで有効なセグメント。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12965	B		メッセージ	めっせーじ	message	メタファイルの解釈時に操作者に情報を伝えるために使用する文字列。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12966	B		メタファイル	めたふぁいる	metafile	図形データ及び制御情報を格納し、転送するための機構。メタファイルは、図形の装置独立な記述を含む。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12967	B		メタファイル記述子	めたふぁいるきじゅつし	Metafile Descriptor: MD	メタファイルの書式(符号化方法ではない。)及びメタファイル解釈系に期待する機能を記述するメタファイル要素。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12968	B		メタファイル要素	めたふぁいるようそ	metafile element	図形を構成したり、情報を伝えたりするのに使用する機能単位。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12969	B		メタファイル生成系	めたふぁいるせいせいけ	metafile generator	CGMを生成するプログラム又は装置。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12970	B		メタファイル解釈系	めたふぁいるかいしゃくけい	metafile interpreter	CGMを読み取り、内容を解釈するプログラム又は装置。メタファイル解釈系は、意図する図形をできるだけ忠実に再現するために、CGI又はほかの装置インターフェースを駆動する際に必要となる。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12971	B		正規化装置座標	せいきかそうちざひょう	normalized device coordinates, NDC	ある範囲(通常は0～1)に正規化された装置独立座標系における座標。3.1.94、3.1.95、3.1.96及び3.1.97参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12972	B		オブジェクト切取り	おぶじぇくときりとり	object clipping	グラフィックに適する切取り。例えば、線については、幅の属性を適用した後で切取りを	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12973	B		パターン様式	ぱたーんようしき	pattern style	閉図形をパターンで充てん(填)する様式。パターン様式は、色付けしたセルの配列で構	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12974	B		図形記述子	ずけいきじゅつし	Picture Descriptor: PD	ある図形についての属性要素の解釈モードを設定するために使用するメタファイル要素	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12975	B		画素	がそ	pixel	個別に色を指定できる表示面での最小要素。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12976	B		姿勢	しせい	posture	グリフの形状又はグリフ集合の形状の傾きの程度を示す定性的な値。傾けることによってデザイン上又は形状の上での変化がありうる。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12977	B		三原色刺激	さんげんしょくしげき	primary colour stimuli	任意に与えられた光に色を表現するのに用いる3色の光。与えられた光は、この3色の光を適当に加法混色することによって得られる。ある一つの色が他の2色の混色で表されない限り、任意の3色を三原色刺激として使用できる。加法混色で表現できる色の範囲を最大にするために、一般的には飽和度が最大の赤、緑及び青の3色を使用する。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12978	B		原色材	げんしょくざい	primary colorants	いくつかの色の染料又は顔料で、これらを減法混色して表現できる色の範囲が大きいもの。最も一般的な原色材の色は、シアン(青緑)、マゼンタ(赤紫)及び黄である。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12979	B		実現された辺	じつげんされたへん	realized edge	辺が可視の場合は、領域の有限幅の表示線。辺が不可視の場合は、領域の幅0の理想境界線。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12980	B		実現された内部	じつげんされたないぶ	realized interior	領域の理想内部のうち、実現された辺で囲まれた部分。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
12981	B		部分領域	ぶぶんりょういき	region	閉図形及びPOLYGON SET要素において、陽又は陰に閉じた部分。充てん(填)する全領域の一部。部分領域は、入れ子、分離、又は重なりがあってもよい。閉図形及びPOLYGON SET要素を充てん(填)する際の内部判定では、すべての部分領域をまとめて	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12982	B		RGB色空間	RGBいろくうかん	RGB colour space	赤、緑及び青を用いた三原色刺激に基づく色彩座標で表される色空間。色値が負になることもある。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12983	B		RGB関連色空間	RGBかんれんいろくうかん	RGB-related colour space	RGB色空間から、3×3行列による線形変換で得られる色空間。PAL及びSECAMで使用するYUV色空間、NTSCで使用するYIQ色空間、CCITTビデオ符号化方式及びCCIR601スタジオ標準で使用するYCRCB色空間などがその例である。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12984	B		基準表色系	きじゅんひょうしょくけい	reference colour model	CGMで指定できる種々の表色系(RGB、CYMK、CIELUV、CIELAB及びRGB関連)を規定するときの基準となる表色系。CIE1931表色系(XYZ)を用いる。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12985	B		彩度	さいど	saturation	それ自身の明るさとの比において判断される、領域の鮮やかさ。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12986	B		セグメント	せぐめんと	segment	基本要素、基本要素属性及びセグメント属性の集まり。3.1.87参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12987	B		セグメント属性	せぐめんとぞくせい	segment attribute	個々の基本要素ではなく、セグメント全体に対する属性。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12988	B		寸法指定モード	すんぽうしていもーど	size specification mode	線幅指定モード、辺線指定モード又はマーカ寸法指定モードのいずれかを示す用語。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12989	B		斜交	しゃこう	skewed	次のいずれかの場合に斜交しているという。ストローク精度の文字列においてCHARACTER ORIENTATION要素で指定する二つのベクトルが直交していない場合、CELL ARRAY要素において長方形ではない平行四辺形の形の場合又はセグメント変換において長方形ではない平行四辺形に写像する場合。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12990	B		シンボル	しんぼる	symbol	参照によってメタファイル内に引用される図形記号。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12991	B		三色表色系	さんしょくひょうしょくけい	trichromatic system	適当に選んだ三つの原刺激の加法混色によって等色できるという原理に基づいて、色刺激を表現する体系。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12992	B		表示面	ひょうじめん	view surface	3.1.42参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12993	B		仮想装置	かそうそうち	virtual device	CGIを介して、グラフィクスソフトウェア又はグラフィクスシステムに対してグラフィクス機能の集号を提供する、理想化されたグラフィクス装置。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12994	B		仮想装置座標、VDC	かそうそうちざひょう、VDC	virtual device coordinates, VDC	VDC空間での位置を指定するために使用する座標。これは、2次元絶対座標である。3.1.97参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12995	B		VDC区域	VDCくいき	VDC extent	VDC範囲内の、着目している長方形領域。3.1.96及び3.1.97参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12996	B		VDC範囲	VDCはんい	VDC range	メタファイルで宣言された座標の型、精度及び符号化方式で表現可能なすべての座標の集合からなる、VDC空間内の長方型領域。3.1.95及び3.1.97参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12997	B		VDC空間	VDCくうかん	VDC space	無限精度の2次元直交座標で表現され、無限の広さをもつ空間。VDC空間の部分集合であるVDC範囲だけを、メタファイルで表現可能とする。3.1.94、3.1.95及び3.1.96参照。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12998	B		ウェイト	うぇいと	weight	一つのグリフ又はグリフの集合についての、ステムの幅とフォントの高さとの比。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
12999	B		カラー装置	からーそうち	colour device	3色以上の色を表示できる装置。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
13000	B		濃淡装置	のうたんそうち	grey-scale device	カラー装置の特別の場合で、特定の色相及び彩度をもつ色の濃淡しか表示できない装置。通常、彩度はゼロ。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
13001	B		幾何学的縮退	きかがくてきしゅくたい	geometric degeneracy	機か情報のパラメタ化によって生じる縮退で、基本要素を意図したとおりに描くための情報の一部が失われること。一般に、要素をパラメタ化すると縮退を生じる場合がある。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
13002	B		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability	メタファイルの符号化、文法及び意味に関して、メタファイル生成及びメタファイル解釈系が同一の理解をしていること。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
13003	B		白黒装置	しろくろそうち	monochrome device	前景色及び背景色の2色しか表示できない装置。背景色は、表示面を消去したときの表示面の色とする。	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
13004	B		プロファイル様式、PPF	ぷろふぁいるようしき、PPF	Profile Proforma, PPF	プロファイル仕様で構成するひな型で、プロファイルを書く人がプロファイルの実体を作るために使用する。記入済みのPPFは、CGMの規格群のプロファイルの規則及び選択事	JIS X 4211	1995	ISO/IEC 8632-1	1992		2002/8	1999	1999	SC24
13005	A		非等方写像	ひとうほうしゃぞう	anisotropic mapping	各座標軸方向で、倍率が異なる写像。VDCから物理表面上での座標への変換等で使用する。非等方写像では、一般に、平行でない直線の間の角度は保存されず、また、円は長円となる。4.1.63参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13006	A		縦横比	じゅうおうひ、たてよこひ	aspect ratio	ウィンドウ、ビューポートなどの長方形の領域と幅と高さの比。例えば、縦横比2.0は、幅の高さが2倍である領域を意味する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13007	A		表示様相源フラグ、ASF	ひょうじようそうげんふらぐ、ASF	aspect source flag, ASF	属性選択が個別であるか束であるかを示す指示子。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13008	A		グラフィック基本要素の表示要相	ぐらふぃっくきほんようそのひょうじようそう	aspects of primitives	グラフック基本要素のさまざまな見え方。表示様相の中には、グラフィック基本要素の属性によって直接制御されるものと、束表を通じて間接的に制御されるものとがある。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13009	A		属性要素	ぞくせいようそ	attribute elements	グラフィック基本要素の見え方を記述するメタファイル要素。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13010	A		境界	きょうかい	boundary	領域及び閉図形に対して、充てん(填)を行う部分の限界を定めるために、VDC空間上で抽象的に考えた数学的な線。内部様式"hollow"に対して、切取りを行った後の境界を表	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13011	A		明るさ	あかるさ	brightness	領域の明暗に関する視知覚の属性。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13012	A		束	たば	bundle	線、点、文字列及び領域のいずれか一つのグラフィック基本要素に付随する属性の集	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13013	A		束指標	たばしひょう	bundle index	特定のグラフィック基本要素の束表内の欄を指す指標。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13014	A		束表	たばひょう	bundle table	各指標値に対応する属性の集合を要素とする指標付きの表。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13015	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	TEXT要素、APPEND TEXT要素又はRESTRICTED TEXT要素の文字列を構成する個々の文字に対応する表示可能な記号の集合。JIS X 0202で定義された"G集合"に対応する。文字集合は、フォント又は活字の字面とは別個のものである。ASCII(X3.4)、ドイツ文	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13016	A		彩度	さいど	chroma	同一条件で証明された白色面の明るさとの比で表した色みの強さ。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13017	A		色度	しきど	chromaticity	三刺激値の各成分値と、各成分値の合計との比。三つの色度座標値の合計は1であるので、色度を定めるためにはそのうちの二つの座標を定めれば十分である。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13018	A		CIELAB色空間	CIELABいろくうかん	CIELAB colour space	CIE勧告である色空間の一つで、L*、a*及びb*の直交座標系で表したおおむね均等な色空間。L*は明度に相当する値であり、a*及びb*は色相と彩度に相当する値の計算に用いる。CIELABは、X/Xn、Y/Yn及びZ/Znの三刺激比を用いて表現する。Xn、Yn及びZnは、標準白色に対するX、Y及びZの値とする。暗くなるにつれ、ある一定の色度の差に対する知覚性が低くなることは、三刺激比を用いることで反映している。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13019	A		CIELUV色空間	CIELUVいろくうかん	CIELUV colour space	CIE勧告である色空間の一つで、L*、u*及びv*の直交座標系で表したおおむね均等な色空間。L*は明度に相当する値であり、u*及びv*は色相と彩度に相当する値の計算に用いる。色刺激は、Y、u'及びv'を用いる。標準白色面は、Yn、un'及びvn'を用いる。暗くなるにつれ、ある一定の色度の差に対する知覚性は、L*倍低くなる。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13020	A		CIE三刺激値	CIEさんしげきち	CIE tristimulus values	三色表色系において、ある色刺激値に等色するのに必要な三つの原刺激の量。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13021	A		CIE均等色空間	CIEきんとうしょくうかん	CIE uniform colour spaces	CIE勧告であるおおむね均等な色空間の総称。この規格では、二つの色空間、CIELAB及びCIELUVを用いる。これらの色空間は、CIE 1931 XYZ三刺激空間を非線形変換したもので、色相及び彩度の知覚的に相当する値を用いる。これらは、局所的に均等色空間をかなりよく近似しており、知覚された色差のおおむね均等な尺度となっている。どちらの空間においても、ある一定の色度の差は、明度が低くなるにつれ、より小さな色差に対応するという知覚効果を反映している。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13022	A		切取り指示子	きりとりししじ	clip indicator	メタファイルのグラフィック基本要素が、切取り枠の境界で切り取られるかどうかを示す指	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13023	A		切取りモード	きりとりもーど	clipping mode	線切取りモード、マーカ切取りモード又は辺切取りモードのいずれかを示す用語。オブジェクト切取りは、“locus”、“shape”又は“locus then shape”のいずれかである。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13024	A		切取り枠	きりとりわく	clip rectangle	メタファイルのグラフィック基本要素を切り取るとき切取り境界として使用するVDC空間内に定義する長方形。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13025	A		切取り	きりとり	clipping	グラフィック基本要素の表示に際して、与えられた境界の外部にある部分を除去するこ	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13026	A		閉図形	へいずけい	closed figure	複合グラフィック基本要素で、より一般的な形状を持つ領域要素として振る舞うもの。線要素又は領域要素、辺属性並びに一部の制御要素の列をBEGIN FIGURE要素及びEND FIGURE要素でくくって作成する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13027	A		CMYK色空間	CMYKいろくうかん	CMYK colour space	減法混色による色空間の一つで、シアン(C)、マゼンタ(M)及び黄(Y)の原色に黒(K)を含めたもの。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13028	A		色成分	いろせいぶん	colour component	色空間の一つの次元。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13029	A		表色系	ひょうしょくけい	colour model	3次元色座標及びその座標系内の部分空間の指定。表示可能な色は、この部分空間の点として表現される。表色系によっては、黒を独立表現するために冗長な第4次元を含むことがある。この規格では、メタファイル内容に対する色空間としては、RGB色空間、CIELAB色空間、CIELUV色空間、CMYK色空間又はRGB関連色空間のいずれかの表色系を用い、色変換を定義する基準としてはCIEXYZ表色系を用いる。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13030	A		色選択モード	いろせんたくもーど	colour selection mode	色選択が直接色指定(色値を指定)か、指標付き指定(色定義表に対する指標を指定)かを示す指示子。4.1.30参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13031	A		色空間	いろくうかん	colour space	4.1.25参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13032	A		色刺激	いろしげき	colour stimulus	目に入って色の感覚を生じる可視放射。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13033	A		色定義表	いろていぎひょう	colour table	色指標から対応する色への写像に使用する表。4.1.41及び4.1.62参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13034	A		色値	しきち	colour value	使用する表色系にしたがって色を記述するn個の成分の値。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13035	A		複合グラフィック基本要素	ふくごうぐらふぃっくきほんようそ	compound primitive	グラフィック基本要素は一つのメタファイル要素から成るが、複合グラフィック基本要素はメタファイル要素の列で構成する。CGM中の複合テキスト及び閉図形は、複合グラフィック基本要素の例である。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13036	A		コンピュータグラフィクスインタフェース、CGI	こんぴゅーたぐらふぃくすいんたふぇーす、CGI	Computer Graphics Interface, CGI	グラフィクス装置と対話するためのインタフェース仕様。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13037	A		コンピュータグラフィクスメタファイル、CGM	こんぴゅーたぐらふぃくすめたふぁいる、CGM	Computer Graphics Metafile, CGM	図形記述情報を格納し、転送するための仕様。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13038	A		共役直径対、CDP	きょうえきちょっけいつい	conjugate diameter pair, CDP	長円の一組の直径であって、一方の直径の各終端点における長円の接線が、他方の直径と平行になるもの。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13039	A		制御要素	せいぎょようそ	control elements	アドレス空間、切取り境界、図形の区切り及びメタファイル要素の書式記述を規定するメタファイル要素。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13040	A		データインタフェース	でーたいんたふぇーす	data interface	命令コード及びデータを含んだ一つ以上のパケットによる、ソフトウェアモジュール間又は装置間のインタフェース(サブルーチン呼出しインタフェースと対照をなす概念)。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13041	A		記述子要素	きじゅつしようそ	descriptor elements	メタファイルの機能内容、書式、省略時条件、識別及び特性を記述するメフタファイル要	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13042	A		装置座標	そうちざひょう	device coordinates	装置固有、すなわち、装置依存の座標。物理装置座標に対応する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13043	A		装置ドライバ	そうちどらいば	device driver	グラフィックス実現の一部であって、物理装置を支援する装置依存部分。装置ドライバは、装置に依存した出力を行う。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13044	A		装置ビューポート	そうちびゅーぽーと	device viewport	物理表示面の一部であって、VDC区域を写像する長方形領域。4.1.44参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13045	A		直接色指定	ちょくせついろしてい	direct colour	色定義表を用いた写像を行わずに、色値を直接指定する色選択方式。4.1.29及び4.1.62	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13046	A		表示面	ひょうじめん	display surface	可視画像が表示されるグラフィクス装置の部分(例えば、ディスプレイ装置の画面、プロッタの用紙)。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13047	A		辺	へん	edge	領域の周回の描画。辺属性値で制御する。内部様式が“hollow”のとき、切取りによって新しく作られた境界は描画するが、切り取られた辺は描画しない。4.1.6参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13048	A		有効ビューポート	ゆうこうびゅーぽーと	effective viewport	VDC区域を装置ビューポートへ等方写像した結果生じる実際のビューポート。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13049	A		エスケープ要素	えすけーぷようそ	escape elements	図形の作成に使用するメタファイル要素であって、装置又はシステムに依存する非標準機能を記述するために用いる。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13050	A		外部要素	がいぶようそ	external elements	グラフィック画像の生成に直接関連しない情報を伝えるメタファイル要素。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13051	A		送り	おくり	escapement	文字列の表示において、グリフを描いた後に表示面上の現位置を送り点へ移す動き。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13052	A		送り点	おくりてん	escapement point	グリフを描いた後に表示面上の現位置を移すグリフ座標系上の位置。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13053	A		フォント	ふぉんと	font	同一の視覚的特徴をもつグリフ像の集合。例えば、Courier Bold Oblique。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13054	A		フォントファミリ	ふぉんとふぁみり	font family	共通の概念で設計されたフォントの集合。例えば、Courier、Courier Bold、Courier Bold Oblique.は同じフォントファミリに属する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13055	A		フォント配置量	ふぉんとはいちりょう	font metrics	あるフォント資源のすべてのグリフ表現に共通な、フォント資源中の寸法及び位置決め情報の集合。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13056	A		フォント資源	ふぉんとしげん	font resource	グリフ表現の集合及びグリフ表現全体にかかわる情報。グリフ表現全体にかかわる情報は、記述情報及びフォント配置量情報とする。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13057	A		前景色	まえけしき	foreground colour	グラフィック基本要素を表示面に描写する過程で用いる色。BACKGROUND COLOUR要素又はAUXILIARY COLOUR要素の色と対比する用語。前景色は、グラフィック基本要素のクラスごとに設定する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13058	A		グリフ	ぐりふ	glyph	どのような特定のデザインにも依存しない、認知可能な抽象的図記号。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13059	A		大域セグメント	たいいきせぐめんと	global segment	メタファイル記述子で定義するセグメント。どの図形からも参照できる。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13060	A		グラフィック基本要素	ぐらふぃっくきほんようそ	graphical primitive	メタファイル内の画像を記述するメタファイル要素。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13061	A		グラフィクス中核系、GKS	ぐらふぃくすちゅうかくけい、GKS	Graphical Kernel System, GKS	グラフィクスと応用プログラムとの間のインタフェース規格の一つ(JIS X 4201参照)。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13062	A		グラフィクス装置	ぐらふぃくすそうち	graphics device	表示画像を表現する装置(例えば、再生型表示装置、蓄積型表示装置又はプロッタ)。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13063	A		グラフィックオブジェクト	ぐらふぃっくおぶじぇくと	graphic object	属性を加味したグラフィック基本要素又は複合グラフィック基本要素。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13064	A		ハッチ様式	はっちようしき	hatch style	閉図形をハッチ(平行線群)で充てん(填)する様式。ハッチ様式は、図形の内部を表現する何組かの平行線群で構成する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13065	A		色相	しきそう	hue	ある領域が赤、黄、緑、青、紫又はこれらの中の2色の混合色のいずれと同じ色に見えるかに関する視知覚的属性。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13066	A		指標付き色指定	しひょうつきいろしてい	indexed colour	色指標によって色定義表から色値を検索する色選択方式。4.1.29及び4.1.41参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13067	A		等方写像	とうほうしゃぞう	isotropic mapping	各座標軸方向で倍率が等しい写像。VDCから物理表示面上での座標への変換等で使用する。等方写像では、平行でない直線の間の角度は保存され、また、円は円のままであ	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13068	A		局所セグメント	きょくしょせぐめんと	local segment	図形記述子又は図形本体で定義され、その図形だけで有効なセグメント。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13069	A		メッセージ	めっせーじ	message	メタファイルの解釈時に操作者に情報を伝えるために使用する文字列。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13070	A		メタファイル	めたふぁいる	metafile	図形データ及び制御情報を格納し、転送するための機構。メタファイルは、図形の装置独立な記述を含む。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13071	A		メタファイル記述子	めたふぁいるきじゅつし	Metafile Descriptor: MD	メタファイルの書式(符号化方法ではない。)及びメタファイル解釈系に期待する機能を記述するメタファイル要素。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13072	A		メタファイル要素	めたふぁいるようそ	metafile element	図形を構成したり、情報を伝えたりするのに使用する機能単位。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13073	A		メタファイル生成系	めたふぁいるせいせいけ	metafile generator	CGMを生成するプログラム又は装置。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13074	A		メタファイル解釈系	めたふぁいるかいしゃくけい	metafile interpreter	CGMを読み取り、内容を解釈するプログラム又は装置。メタファイル解釈系は、意図する図形をできるだけ忠実に再現するために、CGI又はほかの装置インターフェースを駆動する際に必要となる。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13075	A		正規化装置座標	せいきかそうちざひょう	normalized device coordinates, NDC	ある範囲(通常は0~1)に正規化された装置独立座標系における座標。4.1.94、4.1.95、4.1.96及び4.1.97参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13076	A		オブジェクト切取り	おぶじぇくときりとり	object clipping	グラフィックに適用する切取り。例えば、線については、幅の属性を適用した後で切取り	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13077	A		パターン様式	ぱたーんようしき	pattern style	閉図形をパターンで充てん(填)する様式。パターン様式は、色付け又は影付けしたセルの配列で構成する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13078	A		図形記述子	ずけいきじゅつし	Picture Descriptor: PD	ある図形についての属性要素の解釈モードを設定するために使用するメタファイル要素	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13079	A		画素	がそ	pixel	個別に色を指定できる表示面での最小要素。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13080	A		姿勢	しせい	posture	グリフの形状又はグリフ集合の形状の傾きの程度を示す定性的な値。傾けることによってデザイン上又は形状の上での変化することがある。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13081	A		三原色刺激	さんげんしょくしげき	primary colour stimuli	任意に与えられた光に色を表現するのに用いる3色の光。与えられた光は、この3色の光を適当に加法混色することによって得られる。あるーつの色が他の2色の混色で表されない限り、任意の3色を三原色刺激として使用できる。加法混色で表現できる色の範囲を最大にするために、一般的には飽和度が最大の赤、緑及び青の3色を使用する。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13082	A		原色材	げんしょくざい	primary colorants	幾つかの色の染料又は顔料で、これらを減法混色して表現できる色の範囲が大きいもの。最も一般的な原色材の色は、シアン(青緑)、マゼンタ(赤紫)及び黄である。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13083	A		実現された辺	じつげんされたへん	realized edge	辺が可視の場合は、領域の有限幅の表示線。辺が不可視の場合は、領域の幅0の理想境界線。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13084	A		実現された内部	じつげんされたないぶ	realized interior	領域の理想内部のうち、実現された辺で囲まれた部分。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13085	A		部分領域	ぶぶんりょういき	region	閉図形及びPOLYGON SET要素において、陽又は陰に閉じた部分。充てん(填)する全領域の一部。部分領域は、入れ子、分離、又は重なりがあってもよい。閉図形及びPOLYGON SET要素を充てん(填)する際の内部判定では、すべての部分領域をまとめて	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13086	A		RGB色空間	RGBいろくうかん	RGB colour space	赤、緑及び青を用いた三原色刺激に基づく色彩座標で表される色空間。色値が負になることもある。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13087	A		RGB関連色空間	RGBかんれんいろくうかん	RGB-related colour space	RGB色空間から、3×3行列による線形変換で得られる色空間。PAL及びSECAMで使用するYUV色空間、NTSCで使用するYIQ色空間、CCITTビデオ符号化方式及びCCIR601スタジオ標準で使用するYCRCB色空間などがその例である。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13088	A		基準表色系	きじゅんひょうしょくけい	reference colour model	CGMで指定できる種々の表色系(RGB色空間、CYMK色空間、CIELUV色空間、CIELAB色空間及びRGB関連色空間)を規定するときの基準となる表色系。CIE1931表色系	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13089	A		彩度	さいど	saturation	それ自身の明るさとの比において判断される、領域の鮮やかさ。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13090	A		セグメント	せぐめんと	segment	基本要素、基本要素属性及びセグメント属性の集まり。4.1.87参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13091	A		セグメント属性	せぐめんとぞくせい	segment attribute	個々の基本要素ではなく、セグメント全体に対する属性。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13092	A		寸法指定モード	すんぽうしていもーど	size specification mode	線幅指定モード、辺線指定モード又はマーカ寸法指定モードのいずれかを示す用語。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13093	A		斜交	しゃこう	skewed	次のいずれかの場合に斜交しているという。ストローク精度の文字列においてCHARACTER ORIENTATION要素で指定する二つのベクトルが直交していない場合、CELL ARRAY要素において長方形ではない平行四辺形の形の場合又はセグメント変換において長方形ではない平行四辺形に写像する場合。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13094	A		シンボル	しんぼる	symbol	参照によってメタファイル内に引用される図形記号。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13095	A		三色表色系	さんしょくひょうしょくけい	trichromatic system	適当に選んだ三つの原刺激の加法混色によって等色できるという原理に基づいて、色刺激を表現する体系。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13096	A		表示面	ひょうじめん	view surface	4.1.42参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13097	A		仮想装置	かそうそうち	virtual device	CGIを介して、グラフィクスソフトウェア又はグラフィクスシステムに対してグラフィクス機能の集号を提供する、理想化されたグラフィクス装置。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13098	A		仮想装置座標、VDC	かそうそうちざひょう、VDC	virtual device coordinates, VDC	VDC空間での位置を指定するために使用する座標。これは、2次元絶対座標である。4.1.97参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13099	A		VDC区域	VDCくいき	VDC extent	VDC範囲内の、着目している長方形領域。4.1.96及び4.1.97参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13100	A		VDC範囲	VDCはんい	VDC range	メタファイルで宣言された座標の型、精度及び符号化方式で表現可能なすべての座標の集合からなる、VDC空間内の長方型領域。4.1.95及び4.1.97参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13101	A		VDC空間	VDCくうかん	VDC space	無限精度の2次元直交座標で表現され、無限の広さをもつ空間。VDC空間の部分集合であるVDC範囲だけを、メタファイルで表現可能とする。4.1.94、4.1.95及び4.1.96参照。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13102	A		ウェイト	うぇいと	weight	ーつのグリフ又はグリフの集合についての、ステム(グリフ形状の主要ストローク)の幅とフォントの高さとの比。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13103	A		カラー装置	からーそうち	colour device	3色以上の色を表示できる装置。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13104	A		濃淡装置	のうたんそうち	grey-scale device	カラー装置の特別の場合で、特定の色相及び彩度をもつ色の濃淡しか表示できない装置。通常、彩度はゼロ。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13105	A		幾何学的縮退	きかがくてきしゅくたい	geometric degeneracy	幾何情報のパラメタ化によって生じる縮退で、基本要素を意図したとおりに描くための情報の一部が失われること。一般に、要素をパラメタ化すると縮退を生じる場合がある。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13106	A		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability	メタファイルの符号化、文法及び意味に関して、メタファイル生成及びメタファイル解釈系が同一の理解をしていること。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13107	A		白黒装置	しろくろそうち	monochrome device	前景色及び背景色の2色しか表示できない装置。背景色は、表示面を消去したときの表示面の色とする。	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13108	A		プロファイル様式、PPF	ぷろふぁいるようしき、PPF	Profile Proforma, PPF	プロファイル仕様で構成するひな型で、プロファイルを書く人がプロファイルの実体を作るために使用する。記入済みのPPFは、CGMの規格群のプロファイルの規則及び選択事	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13109	A		応用構造	おうようこうぞう	application structure	BIGIN APPLICATION STRUCTURE要素及びEND APPLICATION STRUCTURE要素を境界として区切られるメタファイル要素の列であって、BEGIN APPLICATION STRUCTURE BODY要素を一つ含むもの。APPLICATION STRUCTURE ATTRIBUTE要素を一つ以上	JIS X 4211	2002	ISO/IEC 8632-1	1999				1999	SC24
13110	A		活性化	かっせいか	activate	センサノードに"isActive"イベントを発生させること。センサノードは、利用者の操作、時間の経過またはその他のイベントによって活性化される。活性化されたセンサだけが利用者に影響を与える。スクリプトノードは、イベントを受け取ったとき活性化される。マウスなどのポインティング装置は、利用者によってボタンが押されたときに活性化される。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13111	A		先祖	せんぞ	ancestor	変換階層構造において他のノードに先行するノード。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13112	A		作者	さくしゃ	author	VRMLファイルを作成した個人または組織。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13113	A		オーサリングツール、作者用ツール	おーさりんぐつーる、さくしゃようつーる	authoring tool	(3.34参照)	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13114	A		化身	けしん	avatar	VRML世界で利用者を抽象的に表現したもの。化身の寸法は、衝突検出及び地形への追従に使用する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13115	A		方向線	ほうこうせん	bearing	ポインタの位置を通り、ポインタの方向に一致する直線。複数のセンサがこの直線と交差する場合には、ビューアにもっとも近いセンサだけが、材質及びテクスチャ特性(例えば透明)にかかわらず、イベントを発生することができる。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13116	A		結合的ノード	けつごうてきのーど	bindable node	シーングラフ中に多くのインスタンスが存在可能だが、同時には一つのインスタンスだけが有効となり得るノード。ノードの方は、Background、Fog、NavigationInfo又はViewpointと	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13117	A		ブラウザ	ぶらうざ	browser	VRMLファイルを解釈し、その内容を表示し、VRMLで定義された世界と利用者とが相互作用することを可能にする計算機プログラム。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13118	A		ブラウザ拡張	ぶらうざかくちょう	browser extension	プロトタイピング機構を使用して定義され、特定のブラウザによってだけ解釈されるノー	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13119	A		組込みノード	くみこみのーど	build-in node	この規格で明示的に定義するノード。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13120	A		呼出し関数、コールバック	よびだしかんすう、こーるばっく	callback	スクリプト言語で記述され、イベントが渡される方法。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13121	A		候補	こうほ	candidate	潜在的にいくつか存在する選択肢の一つ。利用者又はブラウザは、すべての候補が確定したとき、一つを選ぶか又は何も選ばない。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13122	A		子	こ	child	子ノードのインスタンス。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13123	A		子ノード	このーど	children node	そのインスタンスを、グループノードの型に依存する特定の属性を共有するグループとしてまとめることができるノード型。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13124	A		クライアントシステム	くらいあんとしすてむ	client system	ネットワークに接続され、基本的機能の実行を別の計算機(サーバ)に依存する計算機システム。多くのクライアントシステムは、独立の計算機としても機能する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13125	A		衝突プロキシ、衝突用代用物	しょうとつぷろきし、しょうとつようだいようぶつ	collision proxy	衝突検出中にCollisionノードの子ノード全体の代用物として使用するノード。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13126	A		色モデル	いろもでる	colour model	色空間の特徴をパラメタで表すモデル。この規格は、RGB色モデルを使用する。ただし、色補間は、HSV色空間で実行する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13127	A		刈取り	かりとり	culling	VRMLの世界を表示する場合に、ブラウザが処理する必要がないオブジェクト又はオブジェクトの一部を同定する処理。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13128	A		子孫	しそん	decendant	変換階層構造の中で他のノードの下に来るノード。子ノード。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13129	A		表示装置	ひょうじそうち	display device	VRMLの世界を表示するグラフィックス装置。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13130	A		ドラッグセンサ	どらっぐせんさ	drag sensor	ドラッグ動作によって、イベントを生成するポインティング装置センサ。例えば、SphereSensorは、球を回転するイベントを生成する。ノードの型は、CylinderSensor、PlaneSensor又はSphereSensorとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13131	A		環境センサ	かんきょうせんさ	environmental sensor	VRMLの世界の視点の位置に基づくイベント、又はVRMLの世界のオブジェクトに関係するイベントを生成するノード。TimeSensorノードは、一定時間間隔でイベントを生成する。ノードの型は、Cllision、ProximitySensor、TimeSensor又はVisibilitySensorとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13132	A		イベント、事象	いべんと、じしょう	event	経路で定義するノード間の送受信メッセージ。イベントは、外部刺激、フィールド値の変更及びノード間の相互作用を通知する。イベントは、時刻印及びフィールド値で構成する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13133	A		イベントカスケード、事象伝搬	いべんとかすけーど、じしょうでんぱん	event cascade	スクリプト又はセンサイベントで始まり、次に一つ以上の経路に沿ってノードからノードに伝搬するイベントの列。一つのイベントカスケード内にあるすべてのイベントは、同時に発生したものとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13134	A		イベント入力、事象入力	いべんとにゅうりょく、じしょうにゅうりょく	eventIn	ノードがイベントを受信するフィールド。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13135	A		イベント出力、事象出力	いべんとしゅつりょく、じしょうしゅつりょく	eventOut	ノードがイベントを送信するフィールドであり、最後に送信したイベントを記憶する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13136	A		実行モデル	じっこうもでる	execution model	ブラウザ及びスクリプトがイベントを処理する方法。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13137	A		開示フィールド	かいじふぃーるど	exposed field	イベントを受信してフィールド値を変更でき、かつフィールド値が変化するとイベントを送信できるフィールド。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13138	A		外部プロトタイプ	がいぶぷろとたいぷ	external prototype	外部ファイルで定義され、URLで参照されるプロトタイプ。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13139	A		フィールド	ふぃーるど	field	ノードの特性又は属性。ノード型にはそれぞれ固定的な一そろいのフィールドがある。フィールドは、種々のデータをもつことが可能で、ひとつまたは複数の値をもつことができる。フィールドは、省略時値をもつ。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13140	A		フィールド名	ふぃーるどめい	field name	フィールドの識別子。各ノードにおいては、フィールド名は、重複してはならない。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13141	A		ファイル	ふぁいる	file	データの集まり。ファイルは、物理的な媒体に格納されたり、データストリーム又はプログラム内のデータとして存在したりする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13142	A		フレーム、こま	ふれーむ、こま	frame	表示装置上での世界の1回の描画又はシミュレーションにおける一時刻ステップ。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13143	A		生成プログラム	せいせいぷろぐらむ	generator	VRMLファイルを生成する計算機プログラム。オーサリングツールと同義語。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13144	A		幾何特性ノード	きかとくせいのーど	geometric property node	幾何ノードの特性を定義するノード。ノードの型は、Color、Coordinate、Normal又はTextureCoodinateとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13145	A		幾何センサノード	きかせんさのーど	geometric sensor node	利用者の操作に基づくイベントを生成するノード。利用者の操作にはマウスにy9折るクリック又はオブジェクトへの接近などがある。ノードの型は、CylinderSensor、PlaneSensor、ProximitySensor、SphereSensor、TouchSensor、VisibilitySensor又は	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13146	A		幾何ノード	きかのーど	geometory node	3次元の点、線、画、文字列及び立体の記述をもつノード。ノードの型は、Box、Cone、Cylinder、ElevationGrid、Extrusion、InedexedFaceSet、IndexedLineSet、PointSet、Sphere及びTextとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13147	A		受け手	うけて	grab	活性化されているポインティング装置(マウス、指揮棒など)からイベントを受け取ること。複数個のポインティング装置センサが同時に活性化しているときには、どれか一つのポインティング装置センサがイベント唯一の受け取り手となる。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13148	A		重力	じゅうりょく	gravity	この規格では、重力は、視点の移動を最も高さの低いパスに限定して通らせることによってシミュレートすることができる。これによって、出会ったオブジェクトの表面をなぞること	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13149	A		グループノード	ぐるーぷのーど	grouping node	子ノードと呼ばれるノードの並びを含むノード型。子ノードは、ぐるぷノードの種類に依存する特定の属性を共有する。子ノードの座標系は、グループノードの座標系に対して相対的に定義する。グループノードのインスタンスになることもあるので、変換階層構造を	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13150	A		HSV	HSV	HSV	色相(Hue)、彩度(Saturation)及び明度(Value)を用いる色モデル。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13151	A		HTML、ハイパテキストマーク付け言語	HTML、はいぱてきすとまーくづけげんご	HTML, Hyper Text Language		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13152	A		ハイパリンク	はいぱりんく	hyperlink	アンカノードに結び付けられたURLへの参照。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13153	A		VRMLの理想的な実装	VRMLのりそうてきなじっそう	ideal VRML Electrotechnical	すべてのオブジェクトを表現でき、近似なしに動きをシミュレーションすることのできる実装。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13154	A		IEC、国際電気標準会議	IEC、こくさいでんきひょうじゅんかいぎ	IEC, Interational Electrotechnical		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13155	A		IETF、インターネット技術標準化委員会	IETF、いんたーねっとぎじゅつひょうじゅんかいい	IETF, Internet Engineering Task Force		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13156	A		画像	がぞう	image	2次元長方形状の画素値配列。画素値は、1要素、2要素、3要素又は4要素のいずれの形式でもよい。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13157	A		インライン化、埋込み	いんらいんか、うめこみ	in-lining	一つのVRMLファイルを、階層的にほかのVRMLファイルに埋め込む機構。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13158	A		インターネット	いんたーねっと	Internet	TCP/IPを共通のプロトコルとして互いに通信を行う世界規模のコンピュータネットワーク。ワールドワイドウェブ(WWW)は、インターネット上に実現されている。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13159	A		インスタンス	いんすたんす	instance	既に定義され、名前が付けられているノードの参照。ノードは、DEF構文を使用して名前をつけ、USE構文によって参照する。ノードのインスタンスは、定義したノードが使用できる任意の文脈において使用することができる。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13160	A		補間ノード	ほかんのーど	interpolator node	区分線形補間を定義するノード。ノードの型は、ColorInterpolator、CoodinateInterpolator、OrientationInterpolator、PositionInterpolator又はScleInterpolator	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13161	A		イントラネット	いんとらねっと	intranet	インターネットと同じプロトコル及び標準を使用している私的なネットワーク。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13162	A		ISO、国際標準化機構	ISO、こくさいひょうじゅんかきこう	ISO, International Organization for Standardization		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13163	A		JPEG、カラー静止画像符号化方式	じぇいぺぐ、からーせいしがぞうふごうかほうしき	JPEG, Joint Photographic Experts Group		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13164	A		JTC 1、ISO/IEC第1合同専門委員会	JTC 1、ISO/IECだいいちごうどうせんもんいいんかい	JTC 1, ISO/IEC Joint Technical Committee 1		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13165	A		詳細度	しょうさいど	level of ditail	ある時間において、あるオブジェクトをどれだけ詳細に又はどこまで複雑に表示するかの程度。各オブジェクトの詳細度は、ビューアからの距離の関数として制御できる。LODと	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13166	A		行末	ぎょうまつ	line terminator	改行文字(0x0A)又は復帰文字(0x0D)。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13167	A		ループ	るーぷ	loop	あるイベント出力に対して同じ時刻印を持つ複数のイベントを発生させる原因となるようなイベントの列。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13168	A		メッセージ	めっせーじ	message	イベントが生起したときにノード間で送られるデータ列。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13169	A		MIDI、音楽装置用デジタルインターフェース	MIDI、おんがくそうちようでじたるいんたーふぇーす	MIDI, Musical Instrument Digital Interface	音楽のデジタル表現の規格。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13170	A		MIME、インターネットメール多目的拡張	まいむ、いんたーねっとめーるたもくてきかくちょう	MIME, Multipurpose Internet Mail Extension	ブラウザなどのインターネット用応用プログラムのための、ファイルの型を示す規則。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13171	A		マウス	まうす	mouse	2次元的に動くポインティング装置。利用者は、それを使って表示装置上のカーソルを動かし、表示されているオブジェクトを指示する。付属するいくつかの押ボタンによってプログラムにしかるべき動作を指示できる。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13172	A		MPEG、動画像符号化方式	えむぺぐ、どうがぞうふごうかほうしき	MPEG, Moving Picture Experts Group	動画像のデジタル表現の規格。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13173	A		マルチメディア	まるちめでぃあ	multimedia	主として計算機上における、種々の型のコンテンツの統合的な表現。コンピュータグラフィクス、音、ビデオデータなどを含む。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13174	A		ネットワーク	ねっとわーく	network	相互接続された計算機群。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13175	A		ノード	のーど	node	この規格におけるシーングラフの基本要素。実世界のオブジェクト又は概念に従って、ノード間でやり取りされる。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13176	A		ノード型	のーどがた	node type	ノードの意味を示す型。Box、Group、Sound、SpotLightなど。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13177	A		現在時間	げんざいじかん	now	利用者が現在と認識する時間。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13178	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	この規格が定める規則と構文とに従って一まとめにした、データ及び手続きの集まり。通常、ノードと同義。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13179	A		オブジェクト空間	おぶじぇくとくうかん	object space	オブジェクトを定義する座標系。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13180	A		パノラマ	ぱのらま	panorama	背景となるテクスチャ。シーンに含まれるすべての物体の後にあり、地面及び天空の手前に置かれる。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13181	A		親	おや	parent	グループノードのインスタンスであるノード。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13182	A		PNG	PNG	PNG	ネットワーク可搬グラフィクス。2次元画像をファイルに格納する表現仕様の一つ。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13183	A		ポインタ	ぽいんた	pointer	仮想世界の中の位置及び方向。ポインティング装置によって指定する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13184	A		ポインティング装置	ぽいんてぃんぐそうち	pointing device	利用者のコンピュータに接続され、ポインタの位置及び方向を利用者が直接制御する装置。ポインティング装置は、2次元又は3次元のものがあり、制御ボタンをもつものがあ	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13185	A		ポインティング装置センサ	ぽいんてぃんぐそうちせんさ	pointing device sensor	ポインティング装置の移動又はボタンの操作のどの利用者の行動に基づいてイベントを生成するセンサノード。ノードの型は、Anchor、CylinderSensor、PlaneSensor、SphereSensor又はTouchSensorとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13186	A		折れ線	おれせん	polyline	線分がつながったもの。最初の線分の終点が2番目の線分の始点となり、2番目の線分の終点が3番目の線分の始点となり、以降これが繰り返される。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13187	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	機能及び適合性基準の集合に名前を付けたもの。規格のうち実装可能なサブセットを定義する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13188	A		プロトタイプ	ぷろとたいぷ	prototype	この規格で定めるノードを使った新しいノード型の定義。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13189	A		プロトタイピング	ぷろとたいぴんぐ	prototyping	VRMLファイルの中でノード型の集合を拡張するための機構。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13190	A		公開インタフェース	こうかいいんたふぇーす	public interface	この規格で定めるノードのインタフェース。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13191	A		RGB	RGB	RGB	赤(Red)・緑(Green)・青(Blue)の三原色の組合せによって表現する色モデル。この規格で色の指定に使用する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13192	A		経路	けいろ	route	イベントを生成するノードとイベントを受信するノードとの間の接続。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13193	A		経路グラフ	けいろぐらふ	route graph	ROUTE文又はaddRouteメソッド呼出しによって形成されるイベント出力とイベント入力との間の接続の集合。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13194	A		実行時名前有効範囲	じっこうじなまえゆうこうはんい	run-time name scope	VRMLファイル内で定義された名前が可視となる範囲	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13195	A		RURL、相対一様資源アドレス	RURL、そうたいいちようしげんあどれす	RURL, Relative Uniform Resource Locator		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13196	A		シーングラフ	しーんぐらふ	scene graph	グループノード及びほかのノードの順序つき集合。グループノード(LOD、Switch、Transformノードなど)は、子ノードをもつことができる。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13197	A		スクリプト	すくりぷと	script	通jy9欧はイベントカスケードの一部として実行される、手続きの集合。スクリプトは、非同期的に実行されることもある。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13198	A		スクリプティング	すくりぷてぃんぐ	scripting	スクリプトを作成又は参照すること。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13199	A		スクリプト言語	すくりぷとげんご	scripting language	コンピュータ上の手続き及び処理を定義及び自動化するために使用する言語。通常、プログラム言語が実行前に翻訳されるのに対し、スクリプト言語は、文単位で順番に解釈及び実行される。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13200	A		センサノード	せんさのーど	sensor node	シーングラフ階層内で、利用者がVRMLの世界と対話できるようにするノード。センサノードは、世界内での幾何オブジェクトと利用者の対話、世界の中での利用者の移動又は時間の経過に応答する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13201	A		区切り文字	くぎりもじ	separator character	VRMLファイル内で構文を区切るために使用するUTF-8文字。文字列フィールド外に現れるコンマ、空白、タブ、改行及び復帰は、すべて区切り文字とする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13202	A		兄弟	きょうだい	sibling	ほかのノードと親を共有するノード。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13203	A		シミュレーション時間単位	しみゅれーしょんじかんたんい	simulation tick	時間のデジタルシミュレーションを行う中で識別可能な最小単位。この規格における時間は、概念的には連続量であるが、デジタルシミュレーションとして実装する。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13204	A		特殊グループノード	とくしゅぐるーぷのーど	special group node	特殊な振舞いを示すグループノード。特殊な振舞いの例としては、動的に変化するパラメタ値をもとに描画されべき子ノードを選択すること及び動的に外部ファイルから子ノードをロードすることなどがある。ノードの型は、Inline、LOD又はSwitchとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13205	A		テクスチャ、きめ(肌理)	てくすちゃ、きめ	texture	幾何ノードに適用され視覚的効果を生成するテクスチャマップに用いる画像。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13206	A		テクスチャ座標、きめ(肌理)座標	てくすちゃざひょう、きめざひょう	texture coordunates	頂点をもつ幾何ノード(例えば、IndexedFaceSet及びElevationGrid)によって利用される2次元座標地の集合。テクスチャを頂点に割付けるためにTextureCoodinateノードの中で指定される。テクスチャ座標は、各軸にそって0から1の範囲にある。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13207	A		テクスチャマップ、きめ(肌理)マップ	てくすちゃまっぷ、きめまっぷ	texture map	テクスチャを幾何ノードに割付けるために必要となるテクスチャ及び一般的なパラメタ。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13208	A		時間	じかん	time	タイムセンサノードによって生成される単調増加する値。時間は00:00:00 GMT January 1、1970から開始される。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13209	A		時刻印	じこくいん	timestamp	メッセージの一部であり、イベントが生成された時間を示す印。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13210	A		変換階層構造	へんかんかいそうこうぞう	transforrmation hierarchy	シーングラフの中で、座標系が定義されているノードからなる部分集合。変換階層構造には、シーングラフの経路ノードの子孫でないノード及びスクリプトノードのSFNode又はMFNodeフィールドに現れるノードは含まれない。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13211	A		透過性情報部分	とうかせいじょうほうぶぶ	transparency chunk	PNGファイルの中の、透過性に関する情報を収めた一部。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13212	A		走査	そうさ	traverce	適切な順番にシーングラフの中のノードを処理すること。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13213	A		UCS、国際符号化文字集合	UCS、こくさいふごうかもじしゅうごう	UCS, Universal Multiple-Octet Coded Character	世界中の言語(用字)の符号化文字集合。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13214	A		URL、一様資源アドレス	URL、いちようしげんあどれす	URL, Uniform Resource Locator		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13215	A		URN、はん(汎)資源名称	URN、はんしげんめいしょう	URN, Universal Resource Name		JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13216	A		UTF-8	UTF-8	UTF-8, 8-bit UCS Transformation Format	VRMLファイルを符号化するために用いる文字集合。8-bit UCS変換方式。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13217	A		利用者	りようしゃ	user	ブラウザによってVRMLファイルを操作する人。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13218	A		ビューア	びゅーあ	viewer	仮想世界における、位置、方向及び視野角。これによって、ブラウザが利用者に示す仮想世界の範囲が決定される。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13219	A		仮想世界	かそうせかい	virtual world	(3.116参照)	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13220	A		VRMLブラウザ	VRMLぶらうざ	VRML browser	(3.8参照)	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13221	A		VRML文書サーバ	VRMLぶんしょさーば	VRML document server	ブラウザの要求に応じて、VRMLファイル及びサポートファイルを検索及び送信する計算機プログラム。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13222	A		VRMLファイル	VRMLふぁいる	VRML file	この規格で規定するVRMLのノード及び文の集合。VRMLのノード及び文の集合は、特定のVRML符号化によって定義されたファイル、データ列及びインラインシーケンスのいずれかである。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13223	A		指揮棒	しきぼう	wand	3次元空間内で動くポインティング装置。利用者は、それを使い、表示されているオブジェクトを指示する。付属する幾つかの押ボタンによってプログラムにしかるべき動作を指示	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13224	A		空白	くうはく	white space	区切り文字が一つ以上連続したもの。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13225	A		世界	せかい	world	一つ以上のVRMLファイル及びほかのマルチメディアコンテンツの集合が表現する対話的仮想世界。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13226	A		世界座標空間	せかいざひょうくうかん	world coordinate space	VRMLの世界が定義される座標系。世界座標空間は右手直交座標系とし、長さの単位はメートルとする。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13227	A		ワールドワイドウェブ	わーるどわいどうぇぶ	World Wide Web	HTTPプロトコルを使用してインターネットを通してアクセス可能な文書、データ及びコンテンツの集合。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13228	A		XY平面	XYへいめん	XY plane	原点を通りZ軸に垂直な平面。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13229	A		YZ平面	YZへいめん	YZ plane	原点を通りX軸に垂直な平面。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13230	A		ZX平面	ZXへいめん	ZX plane	原点を通りY軸に垂直な平面。	JIS X 4215-1	1998	ISO/IEC 14772-1	1997				1997	SC24
13231	B		入力応答	にゅうりょくおうとう	acknowledgment	トリガを使った入力指示が受け付けられたことを論理入力装置の操作者に知らせる出力。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13232	B		指定可能点	していかのうてん	addressable point	番地による指定が可能な、表示装置の点。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13233	B		先祖構造体	せんぞこうぞうたい	ancestor structure	親構造体又は親構造体の先祖構造体。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13234	B		注記	ちゅうき	annotation	正規化投影座標で定義する出力基本要素の総称。注記は、モデリング座標空間で指定する基準点に関連付けた位置に表示する。基準点は通常の変換を受けるが、注記自体は常に表示空間のXY平面と平行な平面上に位置付け、モデリング変換及びビュー変換	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13235	B		注記様式	ちゅうきようしき	annotation style	注記の表示様相の一つ。注記基本要素とその基準点との対応の表示方法を指示する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13236	B		注記テキスト	ちゅうきてきすと	annotation text relative	出力基本要素の一つ。文字列で構成し、常に表示空間のXY平面と平行な平面上に描く。その位置は、モデリング座標空間の中の基準点と、正規化投影座標における変位とによって決める。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13237	B		応用データ	おうようでーた	application data	応用プログラムが使用するデータ。その内容は、この規格では規定しない。応用データは、“応用データ”構造体要素として構造体の中に挿入する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13238	B		保管ファイル	ほかんふぁいる	archive file	グラフィックデータの格納及び転送のための機構。PHIGSの構造体で表現する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13239	B		出力基本要素の表示様相	しゅつりょくきほんようそのひょうじようそう	aspects of output primitives	出力基本要素の見え方を制御するもの。文字の高さや折れ線の線種がその例である。表示様相には幾何様相と非幾何様相とがある。幾何様相はワークステーション独立であり、対応する属性で制御する。非幾何様相の制御は、対応する表示様相源フラグ(ASF)に依存する。ASFの値がBUNDLEDの場合、表示様相は、ワークステーション依存であり、束指標属性で制御する。ASFの値がINDIVIDUALの場合、表示様相は、ワークステーション独立であり、対応する属性で制御する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13240	B		縦横比	じゅうおうひ、たてよこひ	aspect ratio	座標軸に沿って測った形状の長さの比。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13241	B		表示様相源フラグ(ASF)	ひょうじようそうげんふらぐ(ASF)	aspect source flag	出力基本要素の表示様相のうち非幾何様相を制御する属性を、束から選択するか個別に指定するかを指示するフラグ。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13242	B		属性	ぞくせい	attribute	出力基本要素の性質を制御するもの。幾何属性、非幾何属性、ビュー属性及び識別子の4種の属性がある。幾何属性及び非幾何属性は、出力基本要素の表示様相を制御する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13243	B		後方境界面	こうほうきょうかいめん	back plane	ビュー基準座標系においてビュー平面に平行な平面。その位置は、ビュー基準座標系のN座標値で指定する。後方境界面より後にある出力基本要素は、ビュー立体の外となる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13244	B		入力中止動作	にゅうりょくちゅうしどうさ	break action	操作者が入力操作を中止するための、実現依存で、かつワークステーション依存の機構。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13245	B		束指標	たばしひょう	bundle index	出力基本要素の属性の一つ。束表への指標。束表は、出力基本要素の表示様相のうち、ワークステーション依存のものを定義する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13246	B		束表	たばひょう	bundle table	出力基本要素の表示様相を束ねて定義する、ワークステーション依存の表。PHIGSには折れ線束表、マーカ列束表、テキスト束表、内部束表及び辺束表がある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13247	B		束表項目	たばひょうこうもく	bundle table entry	束表の一つの項目。各項目は、当該出力基本要素の各々の表示様相に対応した欄をもつ。各欄は、一つの値をもつ。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13248	B		セル配列	せるはいれつ	cell array	出力基本要素の一つ。同じ大きさのセルで構成される平行四辺形。各々のセルは、平行四辺形であり、単一の色をもつ。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13249	B		構造体中央記憶(CSS)	こうぞうたいちゅうおうきおく(CSS)	centralized structure store	構造体ネットワークを格納するための概念的な記憶領域。ワークステーション独立である。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13250	B		文字基準方向	もじきじゅんほうこう	character base vector	テキストの表示様相の一つ。テキスト平面内で文字の基底線の方向を指定する2次元ベクトル。“テキスト”構造体要素で指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13251	B		文字枠	もじわく	character body	フォント設計者が字体を定義するために用いる長方形。一つのフォントのすべての文字枠は、同じ高さをもっている。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13252	B		文字幅拡大率	もじはばかくだいりつ	character expansion factor	テキストの表示様相の一つ。文字の幅の拡大(縮小)率。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13253	B		文字高さ	もじたかさ	character height	テキストの表示様相の一つ。一般的には大文字の高さに相当する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13254	B		文字集合	もじしゅうごう	character set	文字符号表の各欄に対応付けた文字の集まり。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13255	B		文字間隔	もじかんかく	character spacing	テキストの表示様相の一つ。文字列の中の隣接する文字枠の間に挿入する付加的な間隔。文字高さを単位として指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13256	B		文字立ち上がり方向	もじたちあがりほうこう	character up vector	テキストの表示様相の一つ。文字の基底線の方向を定義する。テキスト平面内の2次元ベクトルとし、“テキスト”構造体要素で指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13257	B		文字幅	もじはば	character width	テキストの表示様相の一つ。文字高さから一意的に定まる文字の幅。各々の文字の幅は、フォント設計者によって文字ごとに指定される幅と高さとの比に依存する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13258	B		子構造体	ここうぞうたい	child structure	構造体参照で指定する構造体。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13259	B		選択値入力装置	せんたくちにゅうりょくそうち	choice device	論理入力装置の一つ。入力値は、選択肢の一つを指定する非負の整数値。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13260	B		CIE	CIE	CIE	国際照明委員会(Commission Internationale de l'Eclairage)の省略名。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13261	B		CIELUV	CIELUV	CIELUV	CIE1976(L*u*v*)色空間の省略名。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13262	B		切取り	きりとり	clipping	出力基本要素又はその一部分のうち、指定した空間領域の外に位置するものを取り去る処理。ある種の出力基本要素については、その切取りの正確な効果は、実現依存又はワークステーション依存となることがある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13263	B		色指標	いろしひょう	color index	色定義表の欄を指定する指標。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13264	B		色モデル	いろもでる	colour model	色座標系による色空間の表現方法。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13265	B		色空間	いろくうかん	colour space	色を表現した空間。通常は3次元である。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13266	B		色座標系	いろざひょうけい	colour system	色を記述する座標系。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13267	B		色定義表	いろていぎひょう	colour table	色を定義する、ワークステーション依存の表。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13268	B		合成モデリング変換	ごうせいもでりんぐへんかん	composite modelling transformation	構造体走査時に出力基本要素に適用する変換。局所モデリング変換及び大域モデリング変換の合成。最初に局所モデリング変換、次に大域モデリング変換の順に適用するように合成する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13269	B		重複名解決フラグ	ちょうふくめいかいけつふらぐ	conflict resolution flag	構造体名の重複の解決方法を指示するフラグ。構造体名の重複は、CSSからの構造体保管及び構造体保管ファイルからの構造体取出しにおいて、保管ファイルの中の構造体とCSSの中の構造体との間で起こり得る。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13270	B		接続識別子	せつぞくしきべつし	connection identifier	ワークステーションと物理装置とを対応付ける識別子。実現ごとに異なり得る。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13271	B		データレコード	でーたれこーど	data record	複合データ型。その構成は、使用される文脈に応じて定義される。例えば、入力装置の初期化機能のデータレコードの構成は、その初期化機能の呼出し時に指定する個々の入力促進・エコー種別に応じて異なる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13272	B		遅延モード	ちえんもーど	deferral mode	ワークステーションの表示更新モードの一様相。表示指定されている構造体ネットワークの変更及びワークステーション状態リストの変更を描画像に反映させる時期を示す。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13273	B		子孫構造体	しそんこうぞうたい	descendant structure	子構造体又は子構造体の子孫構造体。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13274	B		装置座標系(DC)	そうちざひょうけい(DC)	device coordinates	装置依存の座標系。装置座標の単位は、正確な実寸出力ができる装置ではメートルとし、そうでない装置では適当なワークステーション依存の単位とする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13275	B		装置ドライバ	そうちどらいば	device driver	PHIGS実現のうち、物理装置を制御する装置依存の部分。装置ドライバは、装置に依存した出力を行い、装置に依存した対話を取り扱う。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13276	B		装置空間	そうちくうかん	device space	表示装置の指定可能点で定義される空間。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13277	B		表示装置	ひょうじそうち	display device	描画像を表示できるグラフィクス装置。表示装置は、ワークステーションの構成要素の一つ。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13278	B		表示優先度	ひょうじゆうせんど	display priority	構造体ネットワークを表示指定するときに与える優先度。複数の出力基本要素が表示空間内の同じ位置に写像されたときの制御に用いる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13279	B		表示空間	ひょうじくうかん	display space	表示空間は、次の二つの意味をもつ。(a)装置空間のうち、描画像を表示できる部分。(b)入力装置の入力可能な空間。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13280	B		表示面	ひょうじめん	display surface	表示装置上で描画像を表示できる物理的領域。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13281	B		表示更新モード	ひょうじこうしんもーど	display update state	表示指定されている構造体ネットワークの変更及びワークステーション状態リストの変更を反映するために表示面を修正する時期と方法を示すモード。応用は、ワークステーションの能力、応用プログラムの要求などを勘案してこのモードを使い分ける。表示更新モードは、遅延モード及び修正モードの二つのワークステーション依存様相からなる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13282	B		エコー	えこー	echo	論理入力装置の現在の計測値を操作者に知らせる出力。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13283	B		エコー領域、エコー立体	えこーりょういき、えこーりったい	echo area, echo volume	入力促進又はエコーを表示するために装置座標上に定義した領域又は立体。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13284	B		エコー領域	えこーりょういき	echo area	入力促進又はエコーを表示するために装置座標上に定義した領域又は立体。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13285	B		エコー立体	えこーりったい	echo volume	入力促進又はエコーを表示するために装置座標上に定義した領域又は立体。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13286	B		入力促進・エコー種別	にゅうりょくそくしん・えこーしゅべつ	prompt and echo type	装置初期化パラメタの一つ。個々の論理入力装置に対する入力促進・エコー方式を選択する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13287	B		辺	へん	edge	領域集合出力基本要素で定義する多角形の境界の集合。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13288	B		辺フラグ	へんふらぐ	edge flag	領域集合出力基本要素の様相の一つ。辺の表示の可否。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13289	B		辺線種	へんせんしゅ	edgetype	領域集合出力基本要素の様相の一つ。辺の線種。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13290	B		辺線幅倍率	へんせんぷくばいりつ	edgewidth scale factor	領域集合出力基本要素の様相の一つ。辺の描画像の相対的線幅。ワークステーション依存の基準値に対する比で示す。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13291	B		編集モード	へんしゅうもーど	edit mode	新しい構造体要素を定義したとき、オープン中の構造体の中で、要素ポインタの指す構造体要素を置換するのか、要素ポインタの指す後に挿入するのかを示すモード。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13292	B		要素ポインタ	ようそぽいんた	element pointer	構造体編集中に使うポインタ。オープン中の構造体で要素の置換、挿入、削除などが起こる場所を示す。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13293	B		要素位置	ようそいち	element position	構造体内で、構造体要素の要素位置を示す番号。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13294	B		要素参照リスト	ようそさんしょうりすと	element reference list	構造体ネットワークのある枝での階層関係を示すデータの列。各々のデータは、構造体識別子及びその構造体内の要素位置の組からなる。データがN組ある場合、最初のN−1組は、“構造体実行”構造体要素を示す。そのi組目に記された構造体要素は、i＋1組目に記された構造体を参照してる。最後のデータに記された構造体要素は、任意のもので	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13295	B		要素種別	ようそしゅべつ	element type	構造体要素の種類。例えば、領域、ラベル、応用データ及び線幅倍率。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13296	B		空内部様式	くうないぶようしき	empty interior style	領域出力基本要素及び領域集合出力基本要素の内部表現の一つ。領域集合出力基本要素の内部様式が空の場合、辺を表示しなければその描画像は、不可視となる。領域出力基本要素の内部様式が空の場合、その描画像は、常に不可視となる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13297	B		エラー状態リスト	えらーじょうたいりすと	error state list	最新のエラーの情報を保持している状態リスト。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13298	B		エスケープ	えすけーぷ	escape	グラフィック出力の生成以外で、実現依存・装置依存の機構を用いるための機能。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13299	B		事象モード	じしょうもーど	event mode	論理入力装置の動作モードの一つ。このモードでは、操作者がトリガを使って入力指示したとき、該当する論理入力装置の計測値が事象待ち行列に事象報告として記録される。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13300	B		事象待ち行列	じしょうまちぎょうれつ	event queue	応用プログラムの処理を待っている事象報告を時刻順に並べたもの。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13301	B		事象報告	じしょうほうこく	event report	事象待ち行列の要素。論理入力値、論理入力装置の識別名(ワークステーション識別子及び入力装置番号)などからなる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13302	B		操作除外集合	そうさじょがいしゅうごう	exclusion set	フィルタの構成要素の一つ。名前集合の名前要素を用いて、操作の対象外となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13303	B		領域	りょういき	fill area	出力基本要素の一つ。一つの多角形。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13304	B		領域集合	りょういきしゅうごう	fill area set	出力基本要素の一つ。領域の集合で、辺の表示の可否を辺グラフによって指定できる。領域集合で用いるすべての頂点は、同一平面上にあるものとする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13305	B		フィルタ	ふぃるた	filter	操作対象集合及び操作除外集合の組。操作の対象又は対象外となる出力基本要素を指示する。ピック、強調表示、不可視及び逐次空間探索においてフィルタを用いる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13306	B		フォント	ふぉんと	font	文字表現の集合。あるフォントに属するすべての文字表現には共通した視覚的特徴がある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13307	B		前方境界面	ぜんぽうきょうかいめん	front plane	ビュー基準座標系において、ビュー平面に平行な面。その位置はビュー基準座標系のN座標値で指定する。前方境界面より手前にある出力基本要素は、ビュー立体の外となる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13308	B		一般化作画基本要素(GDP)	いっぱんかさくがきほんようそ(GDP)	generalized drawing primitive	出力基本要素の一つ。曲線描画など実現依存・ワークステーション依存の作画機能を用いるためのもの。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13309	B		一般化構造体要素(GSE)	いっぱんかこうぞうたいようそ(GSE)	generalized structure element	構造体要素の一つ。構造体の走査時に実現依存・ワークステーション依存又は装置依存の機構を用いるためのもの。属性又は制御機能に関するものとし、出力基本要素は生成しないものとする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13310	B		GKS	GKS	GKS	グラフィクス中核系(Graphical Kernel System)。JIS X 4201の規格。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13311	B		大域モデリング変換	たいいきもでりんぐへんかん	global modelling transformation	合成モデリング変換の一成分。各構造体の走査の開始時には、子構造体の場合、親構造体の合成モデリング変換と同じものとし、表示指定された構造体の場合、PHIGS記述表に示す変換とする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13312	B		ハッチ内部様式	はっちないぶようしき	hatch interior style	領域出力基本要素及び領域集合出力基本要素の内部表現の一つ。ワークステーションのハッチ定義表から選んだ平行ハッチ又は交差ハッチで内部を充てんする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13313	B		ハッチ定義表	はっちていぎひょう	hatch table	ハッチを定義する、ワークステーション依存の表。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13314	B		隠線隠面消法(HLHSR)	いんせんいんめんしょうきょ(HLHSR)	hidden line/hidden surface removal	出力基本要素のうち、他の出力基本要素で隠された部分を表示しないようにする処理。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13315	B		強調表示	きょうちょうひょうじ	highlighting	視覚的な属性を変更することによって出力基本要素を強調すること。その方法は、ワークステーションに依存する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13316	B		強調表示フィルタ	きょうちょうひょうじふぃるた	highlighting filter	フィルタの一つ。強調表示操作対象集合及び強調表示操作除外集合の二つの名前集合からなる。強調表示の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13317	B		HLS	HLS	HLS	色相(Hue)、明度(Lightness)及び彩度(Saturation)を用いる色モデルの省略名。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13318	B		中空内部様式	ちゅうくうないぶようしき	hollow interior style	領域出力基本要素及び領域集合出力基本要素の内部表現の一つ。描画像は、切取りによって生成される境界も含め、境界の線だけとする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13319	B		HSV	HSV	HSV	色相(Hue)、彩度(Saturation)及び明度(Value)を用いる色モデルの省略名。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13320	B		描画像	びょうがぞう	image	物体を描画処理した後の見え方。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13321	B		自動再表示	じどうさいひょうじ	implicit regeneration	適正表示状態を保つために行う、表示内容の完全再表示。表示指定された構造体ネットワークに対する変更又はワークステーション状態リストの変更によって、表示されている描画像が無効にされた場合に起こり得る。応用プログラムは、自動再表示を直接要求す	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13322	B		操作対象集合	そうさたいしょうしゅうごう	inclusion set	フィルタの構成要素の一つ。名前集合の名前要素を用いて、操作の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13323	B		継承	けいしょう	inheritance	先祖構造体の属性を受け継いで、子構造体が属性の初期設定をするための機構。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13324	B		入力クラス	にゅうりょくくらす	input class	論理入力装置の機能による分類。位置入力、点列入力、実数値入力、選択値入力、ピック入力及び文字列入力の六つの入力クラスがある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13325	B		入力モード	にゅうりょくもーど	input mode	論理入力装置からデータを得るための方法。要求モード、抽出モード及び事象モードがある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13326	B		問合せ機能	といあわせきのう	inquiry function	状態リスト又は記述表の内容を応用プログラムに伝えるための機能。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13327	B		内部	ないぶ	interior	領域出力基本要素又は領域集合出力基本要素の内側に存在する点の集合。ある点がその内側に存在するか否かの判定規則は、この規格で規定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13328	B		内部様式	ないぶようしき	interior style	表示様相の一つ。領域出力基本要素又は領域集合出力基本要素の内部を充てんする様式。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13329	B		不可視	ふかし	invisibility	表示面の範囲内にあり、他の出力基本要素に隠されていない場合でも、出力基本要素を描画しないこと。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13330	B		不可視フィルタ	ふかしふぃるた	invisibility filter	フィルタの一つ。不可視操作対象集合及び不可視操作除外集合の二つの名前集合からなる。不可視の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13331	B		等方写像	とうほうしゃぞう	isotropic mapping	縦横比を保存する変換。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13332	B		ラベル	らべる	label	構造体要素の一つ。構造体編集において、構造体要素の位置を示す目印として使用する識別子。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13333	B		言語結合	げんごけつごう	language binding	あるプログラム言語を用いた、機能仕様の表現。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13334	B		線種	せんしゅ	linetype	折れ線出力基本要素の表示様相の一つ。例えば、実線、破線及び点線。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13335	B		線幅倍率	せんぷくばいりつ	linewidth scale factor	折れ線出力基本要素の表示様相の一つ。描画像の相対的線幅。ワークステーション依存の基準値に対する比で示す。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13336	B		局所モデリング変換	きょくしょもでりんぐへんかん	local modelling transformation	合成モデリング変換の一成分。各構造体の走査の開始時には、恒等変換とする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13337	B		位置入力装置	いちにゅうりょくそうち	locator device	論理入力装置の一つ。入力値は、世界座標系における位置及びビュー指標。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13338	B		論理入力装置	ろんりにゅうりょくそうち	logical input device	物理入力装置を抽象化したもの。一つの論理入力装置は、複数の物理入力装置から構成されていてもよい。論理入力装置の計測値が論理入力値となる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13339	B		マーカ	まーか	marker	表示面上で位置を示すために使用する記号。マーカの位置は変換を受けるが、マーカの形状は変換を受けない。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13340	B		マーカ倍率	まーかばいりつ	marker size scale factor	マーカ列出力基本要素の表示様相の一つ。描画像の相対的寸法。ワークステーション依存の基準値に対する比で示す。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13341	B		マーカ種	まーかしゅ	marker type	マーカ列出力基本要素の表示様相の一つ。マーカの形状の種類。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13342	B		計測値	けいそくち	measure	物理入力装置の値を論理入力値に変換した値。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13343	B		計測プロセス	けいそくぷろせす	measure process	論理入力装置で入力操作が可能な間実行されるプロセス。計測プロセスで計測される現在の値が計測値となる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13344	B		メッセージ	めっせーじ	message	応用プログラムからワークステーションに送られる文字列。主として応用プラグラムと操作者との通信のために使用する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13345	B		メタファイル	めたふぁいる	metafile	図形データ及び制御情報を格納し、転送するための機構。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13346	B		最小動作	さいしょうどうさ	minimal simulation	ワークステーションが応用プログラムの指定どおりに出力基本要素を描画する能力をもたない場合、そのワークステーションが実行しなければならない最低限の描画動作。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13347	B		モード方式	もーどほうしき	modal	一度指定すると次に指定するまで有効となる指定方式。例えば、属性設定は、ある構造体及びその子孫構造体においてモード方式である。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13348	B		モデリング座標系(MC)	もでりんぐざひょうけい(MC)	modelling coordinates	応用プログラムが出力基本要素を使用して図形を定義するために用いる装置独立な3次元直交座標系。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13349	B		モデリング変換	もでりんぐへんかん	modelling transformation	局所モデリング変換、大域モデリング変換及び合成モデリング変換の総称。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13350	B		修正モード	しゅうせいもーど	modification mode	ワークステーションの表示更新モードの一様相。ワークステーションにおいて表示面を適正表示状態に保つ動作が遅延されている場合、その期間中に行われた、表示指定されている構造体ネットワークの変更及びワークステーション状態リストの変更を、どのような方法でいつ暫定表示するのかを指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13351	B		名前集合	なまえしゅうごう	name set	出力基本要素属性の一つ。名前集合は、強調表示、不可視、ピック及び逐次空間探索において、出力基本要素が操作の対象となるか否かの決定に用いる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13352	B		基準値	きじゅんち	nominal value	出力基本要素をワークステーション上で実際に表示するとき、表示様相の基準として使用する値。ワークステーションごとに定義される。例えば、線幅の表示様相は、ワークステーション上で表示可能な線幅のうち、線幅倍率とワークステーション記述表の線幅の基準値欄の値との積に最も近いものとなる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13353	B		正規化投影座標系(NPC)	せいきかとうえいざひょうけい(NPC)	normalized projection coordinates	描画像の生成を行う装置独立な3次元直交座標系。ビュー切取り枠及びワークステーションウィンドウは、この座標系で指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13354	B		操作者	そうさしゃ	operator	論理入力装置の計測値を変化させ、入力契機を指示するために物理入力装置を操作する人。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13355	B		出力基本要素	しゅつりょくきほんようそ	output primitive	幾何学的な形状を表現するために用いる基本的なグラフィック要素。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13356	B		平行変換	へいこうへんかん	parallel transformation	物体を空間内の無限遠点からビュー平面に投影した像を与えるような変換。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13357	B		親構造体	おやこうぞうたい	parent structure	構造体呼出しを含む構造体。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13358	B		パターン内部様式	ぱたーんないぶようしき	pattern interior style	領域出力基本要素又は領域集合出力基本要素の内部表現の一つ。ワークステーションのパターン定義表から選んだ2次元の画素パターンで内部を充てんする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13359	B		パターン定義表	ぱたーんていぎひょう	pattern table	パターンを定義する、ワークステーション依存の表。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13360	B		透視変換	とうしへんかん	perspective transformation	物体を空間内の有限な位置からビュー平面に投影した像を与えるような変換。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13361	B		PHIGS	PHIGS	PHIGS	対話型グラフィクスシステムPHIGS(Programmer's Hierarchical Interactive Graphics System)。この規格。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13362	B		PHIGS記述表	PHIGSきじゅつひょう	PHIGS description table	PHIGSシステムにおいて、静的でワークステーション独立なパラメタを記述した表。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13363	B		PHIGS状態リスト	PHIGSじょうたいりすと	PHIGS state list	PHIGSシステムにおいて、動的に変化するワークステーション独立なパラメタの現在の状態を表現したリスト。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13364	B		PHIGS走査状態リスト	PHIGSそうさじょうたいりすと	PHIGS traversal state list	PHIGSシステムにおいて、構造体ネットワークの走査中に動的に変化するワークステーション独立なパラメタの現在の状態を表現したリスト。走査の開始時には、PHIGS記述表に記述された値とする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13365	B		物理入力装置	ぶつりにゅうりょくそうち	physical input device	入力を行うためのハードウェア。物理入力装置は、表示装置の一部又は表示装置とは別の装置である。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13366	B		ピック	ぴっく	picking	ピック入力装置を使用して、出力基本要素を指示する操作者の操作。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13367	B		ピック入力装置	ぴっくにゅうりょくそうち	pick device	論理入力装置の一つ。入力値は、ピック経路。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13368	B		ピックフィルタ	ぴっくふぃるた	pick filter	フィルタの一つ。ピック操作対象集合及びピック操作除外集合の二つの名前集合からなる。ピック入力操作の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13369	B		ピック識別子	ぴっくしきべつし	pick identifier	出力基本要素属性の一つ。個々の出力基本要素に付けられる名前。ピック経路の一つの成分としてピック入力装置によって返される。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13370	B		ピック経路	ぴっくけいろ	pick path	表示指定された構造体からピックによって指示された出力基本要素までの構造体参照経路を表すデータ列。各階層における、構造体識別子、ピック識別子及び要素位置からなる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13371	B		折れ線	おれせん	polyline	出力基本要素の一つ。指定された点を順次接続した直線列。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13372	B		マーカ列	まーかれつ	polymarker	出力基本要素の一つ。同じ種類のマーカが表示される位置の集合。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13373	B		表示指定	ひょうじしてい	post	指示されたワークステーションにおいて、表示の対象となる構造体ネットワークを指定すること。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13374	B		投影基準点(PRP)	とうえいきじゅんてん(PRP)	projection reference point	ビュー基準座標空間内の点。投影方法が平行投影のとき、この点とビューウィンドウの中心点とで投影線の方向を決める。投影方法が透視投影のとき、この点がすべての投影線の放射の中心となる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13375	B		投影方法	とうえいほうほう	projection type	ビュー写像に使われる変換の方法。平行変換及び透視変換がある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13376	B		投影ビューポート	とうえいびゅーぽーと	projection viewport	正規化投影座標空間の各座標軸に平行な直方体。ビュー立体内のグラフィック出力がビュー写像変換行列によって投影ビューポートへ写像される。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13377	B		投影線	とうえいせん	projector	物体上の点を通ってビュー平面と交差する概念的な直線(3.142参照)。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13378	B		入力促進	にゅうりょくそくしん	prompt	論理入力装置が利用可能であることを操作者に示す出力。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13379	B		要求モード	ようきゅうもーど	request mode	論理入力装置の動作モードの一つ。このモードでは、PHIGSは、操作者がトリガを使って入力指示するまで待ち、その時点での計測値を返す。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13380	B		RGB	RGB	RGB	赤(Red)、緑(Green)及び青(Blue)を用いる色モデルの省略名。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13381	B		抽出モード	ちゅうしゅつもーど	sample mode	論理入力装置の動作モードの一つ。このモードでは、PHIGSは、トリガを使った入力指示を待つことなく、応用プログラムが要求した時点での計測値を返す。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13382	B		べた塗り内部様式	べたぬりないぶようしき	solid interior style	領域出力基本要素及び領域集合出力基本要素の内部表現の一つ。単一の色で内部を充てんする。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13383	B		文字列	もじれつ	string	文字符号の順序付けられた並び。文字符号は、JIS X 0202による。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13384	B		文字列入力装置	もじれつにゅうりょくそうち	string device	論理入力装置の一つ。入力値は、文字列。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13385	B		点列入力装置	てんれつにゅうりょくそうち	stroke device	論理入力装置の一つ。入力値は、世界座標系における点の並び及びビュー指標。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13386	B		構造体	こうぞうたい	structure	構造体要素の並び。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13387	B		構造体保管	こうぞうたいほかん	structure archiving	構造体取出しのために、保管ファイルに構造体及び構造体ネットワークを複写する処理。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13388	B		構造体編集	こうぞうたいへんしゅう	structure editing	構造体の生成及び構造体の変更。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13389	B		構造体要素	こうぞうたいようそ	structure element	構造体中央記憶内のデータの基本単位。この並びが構造体を形成する。構造体要素には、出力基本要素、属性、ラベル、応用データ、モデリング変換、構造体参照などがある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13390	B		構造体識別子	こうぞうたいしきべつし	structure identifier	応用プログラムが構造体につけた一意な名前。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13391	B		構造体ネットワーク	こうぞうたいねっとわーく	structure network	ループをもたない有向グラフの概念で表せる構造体の集まり。構造体が節点に相当し、“構造体実行”構造体要素が親構造体節点から子構造体節点への接続関係に相当する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13392	B		構造体参照	こうぞうたいさんしょう	structure reference	“構造体実行”構造体要素による他の構造体の参照又は表示指定による構造体の参照。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13393	B		構造体取出し	こうぞうたいとりだし	structure retrieval	保管ファイルから構造体中央記憶へ構造体及び構造体ネットワークを複写する処理。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13394	B		構造体状態リスト	こうぞうたいじょうたいりすと	structure state list	構造体中央記憶内の各構造体についての情報を表現したリスト。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13395	B		テキスト	てきすと	text	出力基本要素の一つ。描画すべきテキスト平面及び位置を指定された文字列。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13396	B		テキスト配置	てきすとはいち	text alignment	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。文字そろえの方法。水平成分及び垂直成分からなる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13397	B		テキスト平面定義ベクトル	てきすとへいめんていぎべくとる	text direction vectors	“テキスト”構造体要素の一部として指定される二つのベクトル。このベクトル及びテキスト位置で、テキスト平面を決める。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13398	B		テキスト区域	てきすとくいき	text extent	文字列の文字枠全体を包含する最小の平行四辺形。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13399	B		テキストフォント	てきすとふぉんと	text font	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。文字の描画に使用するフォントを指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13400	B		テキスト局所座標系	てきすときょくしょざひょうけい	text local coordinate system	テキスト出力基本要素のための局所座標系。テキスト出力基本要素のすべての幾何属性は、この座標系で記述する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13401	B		テキスト方向	てきすとほうこう	text path	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。文字列内のある文字が、直前の文字のどの方向に位置するかを指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13402	B		テキスト平面	てきすとへいめん	text plane	テキスト出力基本要素が生成される平面。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13403	B		テキスト位置	てきすといち	text position	“テキスト”構造体要素の一部として指定される点。この点及びテキスト平面定義ベクトルで、テキスト平面を決める。この点及びテキスト配置で、文字列の位置を決める。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13404	B		テキスト表示精度	てきすとひょうじせいど	text precision	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。テキスト出力基本要素の描画が、テキスト出力基本要素の他の表示様相の指定にどの程度従うべきかを指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13405	B		変換パイプライン	へんかんぱいぷらいん	transformation pipeline	モデリング座標系から装置座標系に変換する、座標変換及び切取りの順序付けられた並び。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13406	B		走査	そうさ	traversal	構造体ネットワークをたどって、各構造体要素を解釈し、その結果、出力基本要素の生成又は状態リストの変更を行う処理。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13407	B		走査状態リスト	そうさじょうたいりすと	traversal state list	3.132参照。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13408	B		トリガ	とりが	trigger	操作者が入力の契機を示すための物理入力装置。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13409	B		トリガプロセス	とりがぷろせす	trigger process	トリガを使った入力指示が行われたとき、対応する論理入力装置を計測プロセスに知らせるプロセス。トリガプロセスは、装置が事象モードのとき又は装置が要求モードで入力待ちのときにだけ存在する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13410	B		表示取消し	ひょうじとりけし	unpost	指示されたワークステーションにおいて、表示の対象から外す構造体ネットワークを指定すること。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13411	B		実数値入力装置	じっすうちにゅうりょくそうち	valuator device	論理入力装置の一つ。入力値は、実数値。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13412	B		ビュー指標	びゅーしひょう	view index	出力基本要素属性の一つ。出力基本要素及び幾何属性に対して、構造体走査時に適用されるビュー表現を選択する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13413	B		ビュー写像変換行列	びゅーしゃぞうへんかんぎょうれつ	view mapping matrix	ビュー基準座標系から正規化投影座標系への座標値の変換に用いる4×4行列。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13414	B		ビュー方向変換行列	びゅーほうこうへんかんぎょうれつ	view orientation matrix	世界座標系からビュー基準座標系への座標値の変換に用いる4×4行列。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13415	B		ビュー平面	びゅーへいめん	view plane	ビュー基準座標系においてU-V平面に平行な平面。ビュー基準座標系のN座標値で指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13416	B		ビュー平面法線	びゅーへいめんほうせん	view plane normal	ビュー基準座標系のN座標軸の方向を決めるベクトル。世界座標系で指定する。ビュー基準座標系のN座標軸は、ビュー平面法線に平行で、ビュー基準点を通る直線である。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13417	B		ビュー基準座標系(VRC)	びゅーきじゅんざひょうけい(VRC)	view reference coordinates	応用プログラムがビュー写像変換パラメタを指定する装置独立な3次元直交座標系。ビュー基準座標系の各座標軸は、それぞれU軸、V軸及びN軸と呼ぶ。ビュー基準座標系は、ビュー基準点、ビュー平面法線及びビュー上方向定義ベクトルで決める。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13418	B		ビュー基準点	びゅーきじゅんてん	view reference point	ビュー基準座標系の原点。世界座標系で指定する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13419	B		ビュー表現	びゅーひょうげん	view representation	ビュー定義表を構成する項目。ビュー表現は、ビュー方向変換行列、ビュー写像変換行列、ビュー切取り枠及び切取り指示子からなる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13420	B		ビュー定義表	びゅーていぎひょう	view table	ビュー表現で構成するワークステーション依存の表。ビュー定義表の各項目は、ビュー指標で参照する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13421	B		ビュー変換入力優先度	びゅーへんかんにゅうりょくゆうせんど	view transformation input priority	位置入力及び点列入力に適用されるビュー逆変換を選択するための、ビュー表現の優先度。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13422	B		ビュー上方向定義ベクトル	びゅーじょうほうこうていぎべくとる	view up vector	ビュー基準座標系のV座標軸の方向を決めるベクトル。世界座標系で指定する。ビュー基準座標系のV座標軸は、ビュー上方向定義ベクトルをビュー平面法線に垂直な平面へ正射影したベクトルに平行で、ビュー基準点を通る直線である。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13423	B		ビュー立体	びゅーりったい	view volume	ビューウィンドウの各角を通る投影線、前方境界面及び後方境界面で決定する立体。透視投影の場合、投影線はすべて投影基準点を通り、ビュー立体は四角すい(錐)台となる。平行投影の場合、投影線はすべて投影基準点とビューウィンドウの中心とを結ぶベクトルに平行となり、ビュー立体は平行六面体となる。2次元だけを扱う応用プログラムでは、ビュー立体は、ビューウィンドウと一致する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13424	B		ビューウィンドウ	びゅーういんどう	view window	ビュー平面上の長方形。ビューウィンドウの各角を通る投影線によって、ビュー立体の上下左右の四つの側面が決まる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13425	B		適正表示状態	てきせいひょうじじょうたい	visually correct	ワークステーション上の表示が、構造体中央記憶及びワークステーション状態リストに正確に対応している状態。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13426	B		ワークステーション	わーくすてーしょん	workstation	幾つかの論理入力装置及び0個又は1個の表示空間から構成される装置。PHIGSは、抽象化したグラフィック資源の概念に基づいている。この概念は、応用プログラムが物理装置を制御するための論理インターフェイスを与える。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13427	B		ワークステーション種別	わーくすてーしょんしゅべつ	workstation category	ワークステーションの入出力機能による分類。出力、入力、入出力、メタファイル出力及びメタファイル入力の五つのワークステーション種別がある。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13428	B		ワークステーション記述表	わーくすてーしょんきじゅつひょう	workstation description table	ワークステーション型式の特性を記述した表。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13429	B		ワークステーション識別子	わーくすてーしょんしきべつし	workstation identifier	応用プログラムがワークステーションに付けた一意な名前。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13430	B		ワークステーション状態リスト	わーくすてーしょんじょうたいりすと	workstation state list	ワークステーションにおいて、動的に変化する情報の現在の状態を表現したリスト。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13431	B		ワークステーション変換	わーくすてーしょんへんかん	workstation transformation	ワークステーションウィンドウ内のグラフィック出力をワークステーションビューポート内へ写像する変換。XY平面での縦横比は保持するが、YZ平面及びZX平面での縦横比は保持する必要はない。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13432	B		ワークステーション型式	わーくすてーしょんけいしき	workstation type	ワークステーションの特性による分類。同じ型式のワークステーションは、同じワークステーション記述表を共有する。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13433	B		ワークステーションビューポート	わーくすてーしょんびゅーぽーと	workstation viewport	装置座標空間の各座標軸に平行な直方体。ワークステーションウィンドウ内のグラフィック出力がワークステーション変換によってこの立体内に写像される。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13434	B		ワークステーションウィンドウ	わーくすてーしょんういんどう	workstation window	正規化投影座標空間の各座標軸に平行な直方体。この立体内のグラフィック出力がワークステーション変換によってワークステーションビューポートに写像される。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13435	B		世界座標系(WC)	せかいざひょうけい(WC)	world coordinates	モデリング座標系で定義された図形を組み立てるために用いる装置独立な3次元直交座標系。世界座標は、モデリング座標に合成モデリング変換を施すことによって得られる。	JIS X 4221	1993	ISO/IEC 9592-1	1989		廃→ X 4221-1 2001/1	1997	1997	SC24
13436	A		入力応答	にゅうりょくおうとう	acknowledgement	トリガを使った入力指示の成否を論理入力装置の操作者に知らせる出力。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13437	A		入力応答プロセス	にゅうりょくおうとうぷろせす	acknowledgement process	入力報告の状態を操作者に知らせるプロセス。入力報告は、トリガを使った入力指示が行われたときに生成される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13438	A		指定可能点	していかのうてん	addressable point	番地による指定が可能な、表示装置の点。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13439	A		アルファ	あるふぁ	alpha	ある物体が自分よりも後方にある他の物体を見えなくする比率を指定する値。透明効果を達成するために使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13440	A		アルファ混合	あるふぁこんごう	alpha blending	描画パイプラインの処理の一つ。描画する出力基本要素の色と既に描画されている図形の色とを、アルファデータを使用して混合する処理。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13441	A		アルファ写像	あるふぁしゃぞう	alpha mapping	アルファ源において得られるアルファ情報を、描画する出力基本要素に対応させる処理。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13442	A		アルファ源	あるふぁげん	alpha source	アルファ値が得られる場所。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13443	A		環境光源	かんきょうこうげん	ambient light source	反射計算の結果が、照射される小面の向き又は位置には依存しない光源。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13444	A		環境光反射係数	かんきょうひかりはんしゃけいすう	ambient reflection coefficient	反射特性を決めるパラメタの一つ。小面の環境光源からの光の反射の強さを具合に寄与する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13445	A		先祖構造体	せんぞこうぞうたい	ancestor structure	親構造体又は親構造体の先祖構造体。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13446	A		注記様式	ちゅうきようしき	annotation style	注記の表示様相の一つ。注記基本要素とその基準点との対応の表示方法を指示する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13447	A		注記テキスト	ちゅうきてきすと	annotation text	出力基本要素の一つ。文字列で構成し、常に表示空間のXY平面と平行な平面上に描く。モデリング変換及びビュー変換の影響を受けない。その位置は、モデリング座標空間の中の基準点と、正規化投影座標における変位とによって決める。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13448	A		応用データ構造体要素	おうようでーたこうぞうたいようそ	application data structure element	応用プログラムが使用するデータを格納する構造体要素。その内容は、この規格では規定しない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13449	A		保管ファイル	ほかんふぁいる	archive file	グラフィックデータの格納及び転送のための機構。PHIGSの構造体で表現する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13450	A		縦横比	じゅうおうひ、たてよこひ	aspect ratio	座標軸に沿って測った形状の長さの比。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13451	A		表示様相源フラグ、ASF	ひょうじようそうげんふらぐ、ASF	aspect source flag	出力基本要素の表示様相のうち非幾何様相を制御する属性を、束から選択するか個別に指定するかを指示するフラグ。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13452	A		出力基本要素の表示様相	しゅつりょくきほんようそのひょうじようそう	aspects of output primitives	出力基本要素の見え方を制御するもの。文字の高さ、折れ線の線種などがその例である。表示様相には幾何様相と非幾何様相とがある。幾何様相はワークステーション独立であり、対応する属性で制御する。非幾何様相の制御は、対応する表示様相源フラグ(ASF)に依存する。ASFの値がBUNDLEDの場合、表示様相は、ワークステーション依存であり、束指標属性で制御する。ASFの値がINDIVIDUALの場合、表示様相は、ワークステーション独立であり、対応する属性で制御する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13453	A		原子入力装置	げんしにゅうりょくそうち	atomic device	論理入力装置の一つ。原子入力装置は、一つ又は複数の物理入力装置に対応する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13454	A		原子入力クラス	げんしにゅうりょくくらす	atomic input class	原子入力装置の機能による分類。原子入力クラスは、位置入力、点列入力、実数値入力、選択値入力、ピック入力及び文字列入力とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13455	A		減衰係数	げんすいけいすう	attenuation coefficient	点光源及びスポット光源のパラメタの一つ。光源からの距離によって光の強さが減衰する程度で表す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13456	A		属性構造体要素	ぞくせいこうぞうたいようそ	attribute structure	構造体の走査時に、走査状態リストの中の関連する属性項目を更新する構造体要素。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13457	A		属性	ぞくせい	attributes	出力基本要素の様相及び性質を制御するもの。幾何属性、非幾何属性、ビュー属性、描写属性及び識別子の5種の属性がある。幾何属性及び非幾何属性は、出力基本要素の表示様相を制御する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13458	A		後向き	うしろむき	back facing	小面法線が正規化投影座標系に変換されたとき、そのZ成分が負となる小面の向き。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13459	A		後方境界面	こうほうきょうかいめん	back plane	ビュー基準座標系においてビュー平面に平行な平面。その位置は、ビュー基準座標系のN座標値で指定する。後方境界面より後にある出力基本要素は、ビュー立体の外となる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13460	A		基準ターゲット	きじゅんたーげっと	base target	固定されたターゲット。他のターゲットに絶対番地を与えるための規準として使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13461	A		入力中止動作	にゅうりょくちゅうしどうさ	break action	操作者が入力操作を中止するための、実現依存で、かつワークステーション依存の機	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13462	A		束指標	たばしひょう	bundle index	出力基本要素の属性の一つ。束表への指標。束表は、出力基本要素の表示様相のうち、ワークステーション依存のものを定義する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13463	A		束表	たばひょう	bundle table	出力基本要素の表示様相を束ねて定義する、ワークステーション依存の表。PHIGSには、折れ線束表、マーカ列束表、テキスト束表、内部束表、反射束表、パラメタ局面束表、データ写像束表及び辺束表がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13464	A		束表項目	たばひょうこうもく	bundle table entry	束表の一つの項目。各項目は、当該出力基本要素の各々の表示様相に対応した欄をもつ。各欄は、一つの値をもつ。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13465	A		セル配列	せるはいれつ	cell array	出力基本要素の一つ。同じ大きさのセルで構成される平行四辺形。各々のセルは、平行四辺形であり、単一の色をもつ。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13466	A		構造体中央記憶、CSS	こうぞうたいちゅうおうきおく、CSS	centralized structure store	構造体を格納するための概念的な記憶領域。ワークステーション独立である。構造体は、他の構造体を参照していてもよく、これによって構造体中央記憶内にネットワークが形成される。構造体は、ワークステーションに表示指定することによって表示することが	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13467	A		文字	もじ	character	認知可能な抽象的図形記号。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13468	A		文字基準方向	もじきじゅんほうこう	character base vector	テキストの表示様相の一つ。テキスト平面内で文字の基底線の方向を指定する2次元ベクトル。"テキスト"構造体要素で指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13469	A		文字枠	もじわく	character body	フォント設計者が字体を定義するために用いる長方形。一つのフォントのすべての文字枠は、同じ高さをもっている。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13470	A		文字幅拡大率	もじはばかくだいりつ	character expansion	テキストの表示様相の一つ。文字の幅の拡大(縮小)率。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13471	A		文字高さ	もじたかさ	character height	テキストの表示様相の一つ。大文字の高さに相当する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13472	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	文字符号表の各欄に対応付けた文字の集まり。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13473	A		文字間隔	もじかんかく	character spacing	テキストの表示様相の一つ。文字列の中の隣接する文字枠の間に挿入する付加的な間隔。文字高さを単位として指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13474	A		文字立ち上がり方向	もじたちあがりほうこう	character up vector	テキストの表示様相の一つ。文字の基底線の方向を定義する。テキスト平面内の2次元ベクトルとし、"テキスト"構造体要素で指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13475	A		文字幅	もじはば	character width	テキストの表示様相の一つ。文字高さから一意的に定まる文字の幅。各々の文字の幅は、フォント設計者によって文字ごとに指定される幅と高さとの比に依存する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13476	A		子構造体	ここうぞうたい	child structure	構造体参照で指定する構造体。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13477	A		選択値入力装置	せんたくちにゅうりょくそう	choice device	論理入力装置の一つ。入力値は、選択肢の一つを指定する非負の整数値。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13478	A		CIE	CIE	CIE	国際照明委員会(Commission Internationale de l'Eclairage)の省略名。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13479	A		CIELUV	CIELUV	CIELUV	CIE1976(L*u*v*)色空間の省略名。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13480	A		閉円弧	へいえんこ	circular arc close	出力基本要素の一つ。扇形の境界又は円弧の両端を弦で結んだ境界で区切られる単一の領域からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13481	A		切取り	きりとり	clipping	出力基本要素又はその一部分のうち、指定した空間領域の外に位置するものを取り去る処理。ある種の出力基本要素については、その切取りの正確な効果は、実現依存又はワークステーション依存となることがある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13482	A		色指標	いろしひょう	colour index	色定義表の欄を指定する指標。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13483	A		色写像	いろしゃぞう	colour mapping	描画パイプラインの最終処理。この処理までに計算された色をワークステーション依存の色に変換する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13484	A		色モデル	いろもでる	colour model	色座標系による色空間の表現方法。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13485	A		色空間	いろくうかん	colour space	色を表現した空間。通常は3次元である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13486	A		色定義スプライン	いろていぎすぷらいん	colour spline	パラメタ式出力基本要素への色の分配を決定する、色空間におけるパラメタ曲線又はパラメタ曲面。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13487	A		色座標系	いろざひょうけい	colour system	色を記述する座標系。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13488	A		色定義表	いろていぎひょう	colour table	色を定義する、ワークステーション依存の表。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13489	A		複合入力装置	ふくごうにゅうりょくそうち	composite device	論理入力装置の一つ。その計測値は、一つ以上の関連する計測プロセスから渡された値のリストである。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13490	A		合成モデリング変換	ごうせいもでりんぐへんかん	composite modelling transformation	構造体走査時に出力基本要素に適用する変換。局所モデリング変換及び大域モデリング変換の合成。最初に局所モデリング変換、次に大域モデリング変換の順に適用するよ	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13491	A		光集中指数	ひかりしゅうちゅうしすう	concentration exponent	スポット光源のパラメタの一つ。光源の影響円すい(錐)の中心線からの角度によって光の強さが減少する程度を表す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13492	A		条件付き走査	じょうけんつきそうさ	conditional traversal	指定条件に従って、構造体ネットワークの中の一部分を走査すること。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13493	A		影響円すい(錐)	えいきょうえんすい	cone of influence	スポット光源からの光の影響範囲を表す円すい(錐)。影響円すい(錐)は、光源の位置、方向及び拡がり角によって決まる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13494	A		重複名解決フラグ	ちょうふくめいかいけつふらぐ	conflict resolution flag	構造体名の重複の解決方法を指示するフラグ。構造体名の重複は、構造体中央記憶からの構造体保管及び構造体保管ファイルからの構造体取出しにおいて、保管ファイルの中の構造体と構造体中央記憶の中の構造体との間で起こり得る。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13495	A		接続識別子	せつぞくしきべつし	connection identifier	ワークステーションと物理装置とを対応付ける識別子。実現ごとに異なり得る。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13496	A		制御構造体要素	せいぎょこうぞうたいようそ	control structure element	構造体要素の一つ。他の構造体を参照し又は親の構造体への戻りを定義することによって、構造体ネットワークを形成する。制御構造体要素は、“構造体実行”構造体要素、“状態退避”構造体要素、“状態復帰”構造体要素、“構造体取組み”、構造体要素及び“戻り”構造体要素とする。条件付き制御構造体要素を使用すれば、構造体要素又は構造体の走査を省略することができる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13497	A		座標系	ざひょうけい	coordinate system	グラフィックの出力及び位置の入力を指定するために使用する計量。座標系は、モデリング座標系、世界座標系、ビュー基準座標系、正規化投影座標系及び装置座標系とする。すべての座標系は、直交座標系とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13498	A		曲線	きょくせん	curve	曲線群を生成する出力基本要素のクラス。このクラスに属する出力基本要素は、折れ線、色付き折れ線集合及び非均一Bスプライン曲線とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13499	A		データ写像	でーたしゃぞう	data mapping	描画パイプラインの処理の一つ。応用プログラム特有のデータ又は色を固有色に変換す	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13500	A		データレコード	でーたれこーど	data record	複合データ型。その構成は、使用される文脈に応じて定義される。例えば、入力装置の初期化機能のデータレコードの構成は、その初期化機能の呼出し時に指定する個々の入力促進・エコー種別に応じて異なる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13501	A		遅延モード	ちえんもーど	deferral mode	ワークステーションの表示更新モードの一様相。表示指定されている構造体ネットワークの更新及びワークステーションの状態リストの変更を描画像に反映させる時期を示す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13502	A		奥行き表現定義表	おくゆきひょうげんていぎひょう	depth cue table	奥行き表現をどのように行うか又は行わないかを指示する表。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13503	A		奥行き表現	おくゆきひょうげん	depth cueing	描画パイプラインの処理の一つ。この処理までに計算された出力基本要素の色を、奥行き(正規化投影座標系でのZ値)に応じて、奥行き表現のために指定した色に近づける。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13504	A		子孫構造体	しそんこうぞうたい	descendant structure	子構造体又は子構造体の子孫構造体。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13505	A		記述表	きじゅつひょう	description table	PHIGS記述表及びワークステーション記述表の総称。PHIGS記述表は、PHIGSの実現の能力を記述するものであり、ワークステーション記述表は、ワークステーション型の共通特性及び固有特性を記述する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13506	A		装置座標系、DC	そうちざひょうけい、DC	device coordinates	装置依存の座標系。装置座標の単位は、正確な実寸出力ができる装置ではメートルとし、そうでない装置では適当なワークステーション依存の単位とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13507	A		装置ドライバ	そうちどらいば	device driver	PHIGS実現のうち、物理装置を制御する装置依存の部分。装置ドライバは、装置に依存した出力を行い、装置に依存した対話を取り扱う。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13508	A		装置空間	そうちくうかん	device space	表示装置の指定可能点で定義される空間。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13509	A		拡散反射	かくさんはんしゃ	diffuse reflection	反射方向に依存しない、光の反射。拡散反射による輝度は、光源の方向に依存するが視線の方向には依存しない。環境光源からの光に対しては、拡散反射は起こらない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13510	A		拡散反射係数	かくさんはんしゃけいすう	diffuse reflection	反射特性のパラメタの一つ。小面の拡散反射の強さ具合に寄与する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13511	A		直接色指定	ちょくせついろしてい	direct colour specification	指標を使用しない、色の指定方法。色モデル及び色成分を指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13512	A		直接解釈ピック	ちょくせつかいしゃくぴっく	direct interpretation pick	入力操作の一つ。直接解釈構造体に送られた出力基本要素のピックを可能とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13513	A		直接解釈	ちょくせつかいしゃく	direct interpretation	構造体要素の解釈方法の一つ。その構造体要素は、応用プログラムが管理し、構造体中央記憶に格納しない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13514	A		直接解釈構造体	ちょくせつかいしゃくこうぞうたい	direct interpretation structure	概念的でワークステーション独立の構造体。この構造体は、直接解釈したすべての構造体要素を受け取る。挿入された構造体要素は、この構造体を解釈するときに表示指定されたワークステーションに影響を与える。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13515	A		平行光源	へいこうこうげん	directional light source	反射計算の結果が、照射される小面の向きに依存するが、小面の位置には依存しない	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13516	A		直接解釈構造体要素	ちょくせつかいしゃくこうぞうたいようそ	directly interpreted structure element	直接解釈構造体に送られる構造体要素。表示指定されたワークステーションが表示する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13517	A		表示装置	ひょうじそうち	display device	描画像を表示できるグラフィクス装置。表示装置は、ワークステーションの構成要素の一	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13518	A		表示優先度	ひょうじゆうせんど	display priority	構造体ネットワークを表示指定するときに与える優先度。同じ表示指定グループに属する複数の出力基本要素が表示空間内に同じ位置に写像されたときの制御に用いる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13519	A		表示空間	ひょうじくうかん	display space	表示空間は、次の二つの意味をもつ。a)装置空間のうち、描画像を表示できる部分。b)入力装置の入力可能な空間。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13520	A		表示面	ひょうじめん	display surface	表示装置上で描画像を表示できる物理的領域。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13521	A		表示ターゲット	ひょうじたーげっと	display target	表示面とされたターゲット。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13522	A		表示更新モード	ひょうじこうしんもーど	display update state	表示指定されている構造体ネットワークの変更及びワークステーション状態リストの変更を反映するために表示面を修正する時期と方法とを示すモード。応用は、ワークステーションの能力、応用プログラムの要求などを勘案してこのモードを使い分ける。表示更新モードは、遅延モード及び修正モードの二つのワークステーション依存様相からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13523	A		エコー	えこー	echo	論理入力装置の現在の計測値を操作者に知らせる出力。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13524	A		エコー領域、エコー立体	えこーりょういき、えこーりったい	echo area, echo volume	入力促進又はエコーを表示するために装置座標上に定義した領域又は立体。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13525	A		入力促進・エコー種別	にゅうりょくそくしん・えこーしゅべつ	prompt and echo type	装置初期化パラメタの一つ。個々の論理入力装置に対する入力促進・エコー方式を選択する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13526	A		辺フラグ	へんふらぐ	edge flag	面出力基本要素の様相の一つ。辺の表示の可否。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13527	A		辺可視フラグ	へんかしふらぐ	edge visibility flag	データ付き出力基本要素(データ付き非均一Bスプライン曲面を除く。)の個々の辺の表示の可否を示すフラグ。出力基本要素のパラメタの一つとして指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13528	A		辺	へん	edge	面クラス出力基本要素で定義する閉領域の境界又は表示指定グループの境界。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13529	A		辺線種	へんせんしゅ	edgetype	面出力基本要素の様相の一つ。辺の線種。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13530	A		辺線幅倍率	へんせんはばばいりつ	edgewidth scale factor	面出力基本要素の様相の一つ。辺の描画像の相対面線幅。ワークステーション依存の基準値に対する比で示す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13531	A		編集モード	へんしゅうもーど	edit mode	新しい構造体要素を定義したとき、オープン中の構造体の中で、要素ポインタの指す構造体要素を置換するのか、要素ポインタの指す後に挿入するのかを示すモード。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13532	A		構造体編集要素	こうぞうたいへんしゅうよう	editing structure element	構造体要素の一つ。構造体編集に使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13533	A		要素ポインタ	ようそぽいんた	element pointer	構造体編集中に使うポインタ。オープン中の構造体で要素の置換、挿入、削除などが起こる場所を示す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13534	A		要素位置	ようそいち	element position	構造体内で、構造体要素の要素位置を示す番号。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13535	A		要素参照リスト	ようそさんしょうりすと	element reference list	構造体ネットワークのある枝での階層関係を示すデータの列。各々のデータは、構造体識別子及びその構造体内の要素位置の組からなる。データがn組みある場合、最初のn-1組は、構造体を参照する構造体要素を示す。そのj組目に記された構造体要素は、j+1組目に記された構造体を参照している。最後のデータに記された構造体要素は、任意の	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13536	A		要素種別	ようそしゅべつ	element type	構造体要素の種類。要素種別は、出力基本要素、属性、制御、編集、応用データ及び一般化構造体要素とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13537	A		閉楕円弧	へいだえんこ	elliptical arc close	出力基本要素の一つ。扇形の境界又は楕円弧の両端を弦で結んだ境界で区切られる、塗りつぶされた単一の領域からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13538	A		空内部様式	くうないぶようしき	empty interior style	面出力基本要素の内部表現の一つ。領域集合出力基本要素の内部様式が空の場合、辺を表示しなければその描画像は、不可視となる。領域出力基本要素の内部様式が空の場合、その描画像は、常に不可視となる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13539	A		エラー状態リスト	えらーじょうたいりすと	error state list	最新のエラーの情報を保持している状態リスト。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13540	A		エスケープ	えすけーぷ	escape	グラフィック出力の生成以外で、実現依存・装置依存の機構を用いるための機能。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13541	A		事象モード	じしょうもーど	event mode	論理入力装置の動作モードの一つ。このモードでは、操作者がトリガを使って入力指示したとき、該当する論理入力装置の計測値が事象待ち行列に事象報告として記録される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13542	A		事象待ち行列	じしょうまちぎょうれつ	event queue	応用プログラムの処理を待っている事象報告を時刻順に並べたもの。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13543	A		事象報告	じしょうほうこく	event report	事象待ち行列の要素。論理入力値、論理入力装置の識別名(ワークステーション識別子及び入力装置番号)などからなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13544	A		操作除外集合	そうさじょがいしゅうごう	exclusion set	フィルタの構成要素の一つ。名前集合の名前要素を用いて、操作の対象外となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13545	A		構造体実行	こうぞうたいじっこう	execute structure	現在の構造体走査を中断して、指定された構造体を走査すること。中断したときの状態は、そのまま保持する。指定された構造体の実行が完了したならば、現在の構造体走査	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13546	A		視点	してん	eye point	正規化投影座標系におけるZ正方向の無限遠点に対応する世界座標系での点。視点の位置に依存した照射の効果を決定するための反射計算で使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13547	A		小面	しょうめん	facet	面出力基本要素を分割した平面。その分割法は、出力基本要素の種類又はパラメタ曲面の近似法に依存する。小面は、後ろ向き又は前向きの向きをもつ。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13548	A		小面除去	しょうめんじょきょ	facet culling	面出力基本要素の後ろ向き小面又は前向き小面をすべて除去する処理。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13549	A		小面データ	しょうめんでーた	facet data	面出力基本要素のパラメタとして指定される小面の固有色データ及び小面法線。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13550	A		小面法線	しょうめんほうせん	facet normal	小面ごとに定まる法線。小面法線は、小面の向きを決定する。更に、反射法線としても使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13551	A		領域	りょういき	fill area	出力基本要素の一つ。一つの多角形。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13552	A		領域集合	りょういきしゅうごう	fill area set	出力基本要素の一つ。同一平面上にある多角形の集合で、辺の表示の可否を辺フラグによって指定できる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13553	A		データ付き領域集合	でーたつきりょういきしゅうごう	fill area set with data	出力基本要素の一つ。同一平面上にある多角形の集合からなる。出力基本要素の色付け処理、照射処理及び陰付け処理を行うために、色、法線などの情報を含むことができ	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13554	A		塗りつぶし円	ぬりつぶしえん	fill circle	出力基本要素の一つ。塗りつぶされた円形の領域からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13555	A		塗りつぶし楕円	ぬりつぶしだえん	fill ellipse	出力基本要素の一つ。塗りつぶされた楕円形の領域からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13556	A		フィルタ	ふぃるた	filter	操作対象集合及び操作除外集合の組。操作の対象又は対象外となる出力基本要素を指示する。ピック、強調表示、不可視及び逐次空間探索においてフィルタを用いる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13557	A		フォント	ふぉんと	font	文字表現の集合。あるフォントに属するすべての文字表現には、共通した視覚的特徴が	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13558	A		前向き	まえむき	front facing	小面法線が正規化投影座標系に変換されたとき、そのZ成分が正又は0となる小面の向	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13559	A		前方境界面	ぜんぽうきょうかいめん	front plane	ビュー基準座標系において、ビュー平面に平行な面。その位置は、ビュー基準座標系のN座標値で指定する。前方境界面より手前にある出力基本要素は、ビュー立体の外とな	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13560	A		一般色	いっぱんしょく	general colour	色を表現するデータ型。色種及び色値からなる。直接色指定による色表現及び間接色指定による色表現ができる。直接色指定の場合は色種は色モデル、色値は色成分とする。間接色指定の場合は、色種は間接色指定を示すデータ、色値は色定義表への指標とす	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13561	A		一般化作画基本要素、GDP	いっぱんかさくがきほんようそ、GDP	generalized drawing primitive	出力基本要素の一つ。実現依存・ワークステーション依存の作画機能を用いるためのもの。他の出力基本要素クラスのために用意されている属性及び様相を使用してもよい。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13562	A		一般化構造体要素、GSE	いっぱんかこうぞうたいようそ、GSE	generalized structure element	構造体要素の一つ。構造体の走査時に実現依存、ワークステーション依存又は装置依存の機構を用いるためのもの。属性又は制御機能に関するものとし、出力基本要素は、	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13563	A		幾何属性	きかぞくせい	geometric attributes	出力基本要素の幾何学的形状を決定する属性。出力基本要素の生成時に、その出力基本要素に結合される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13564	A		形状定義スプライン	けいじょうていぎすぷらい	geometry spline	パラメタ式出力基本要素の形状を決定するパラメタ曲線又はパラメタ曲面。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13565	A		大域モデリング変換	たいいきもでりんぐへんかん	global modelling transformation	合成モデリング変換の一成分。各構造体の走査の開始時には、子構造体の場合、親構造体の合成モデリング変換と同じものとし、表示指定された構造体の場合、PHIGS記述表に示す変換とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13566	A		ハッチ内部様式	はっちないぶようしき	hatch interior style	面出力基本要素の内部表現の一つ。ワークステーションのハッチ定義表から選んだ平行ハッチ又は交差ハッチ若しくはその両方で内部を充てんする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13567	A		ハッチ定義表	はっちていぎひょう	hatch table	ハッチを定義する、ワークステーション依存の表。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13568	A		陰線陰面消去、HLHSR	いんせんいんめんしょうきょ、HLHSR	hidden line/hidden surface removal	出力基本要素のうち、他の出力基本要素で隠された部分を表示しないようにする処理。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13569	A		強調表示	きょうちょうひょうじ	highlighting	視覚的な属性を変更することによって出力基本要素を強調すること。その方法は、ワークステーションに依存する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13570	A		強調表示フィルタ	きょうちょうひょうじふぃるた	highlighting filter	フィルタの一つ。強調表示操作対象集合及び強調表示操作除外集合の二つの名前集合からなる。強調表示の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13571	A		HLS	HLS	HLS	色相(Hue)、明度(Lightness)及び彩度(Saturation)を用いる色モデルの省略名。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13572	A		中空内部様式	ちゅうくうないぶようしき	hollow interior style	面出力基本要素の内部表現の一つ。描画像は、切り取りによって生成される境界も含め、境界の線だけとする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13573	A		HSV	HSV	HSV	色相(Hue)、彩度(Saturation)及び明度(Value)を用いる色モデルの省略名。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13574	A		識別子属性	しきべつしぞくせい	identification attributes	出力基本要素に名前を付け、出力基本要素の可視性、ピック可能性及び強調表示を決定し、ピックされたときに出力基本要素又は出力基本要素群を識別するための属性。識別子属性は、すべての出力基本要素に適用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13575	A		描画像	びょうがぞう	image	物体を描画処理した後の見え方。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13576	A		描画像資源	びょうがぞうしげん	image resource	色定義配列を表現する外部の抽象データ構造。データ構造の形式は、応用プログラムに知らされる必要はないが、PHIGSからは実現依存の方式で参照する。ウィンドウシステムビットマップ、ビデオ信号、スキャンイメージなどがこれに該当する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13577	A		自動再表示	じどうさいひょうじ	implicit regeneration	適正表示状態を保つために行う、表示内容の完全再表示。表示指定された構造体ネットワークに対する変更又はワークステーション状態リストの表示指定グループ優先度、表示優先度などの項目の変更によって、表示されている描画像が無効にされた場合に起こり得る。応用プログラムは、自動再表示を直接要求することはできない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13578	A		操作対象集合	そうさたいしょうしゅうごう	inclusion set	フィルタの構成要素の一つ。名前集合の名前要素を用いて、操作の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13579	A		間接色指定	かんせついろしてい	indirect colour	指標を使用する、色の指定方法。色定義表への指標を指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13580	A		継承	けいしょう	inheritance	先祖構造体の属性を受け継いで、子構造体が属性の初期設定をするための機構。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13581	A		入力クラス	にゅうりょくくらす	input class	論理入力装置の入力値型による分類。入力クラスは、位置入力、点列入力、実数値入力、選択値入力、ピック入力、文字列入力、多値入力及び複合入力とする。最初の六つのクラスは、原子入力クラスである。多値入力クラス及び複合入力クラスは、原子入力クラスから導き出されるクラスである。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13582	A		入力モード	にゅうりょくもーど	input mode	論理入力装置からデータを得るための方法。要求モード、抽出モード及び事象モードが	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13583	A		入力報告	にゅうりょくほうこく	input report	トリガを使った入力指示が行われたとき、論理入力装置が返すデータ。事象報告及び要求報告の2種の入力報告がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13584	A		問合せ機能	といあわせきのう	inquiry function	状態リスト又は記述表の内容を応用プログラムに伝えるための機能。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13585	A		構造体取込み	こうぞうたいとりこみ	instance structure	指定された構造体の要素を、現在走査している構造体の一部として取り込むこと。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13586	A		内部	ないぶ	interior	領域の内側に存在する点の集合。ある点がその内側に存在するか否かの判定規則は、この規格で定める。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13587	A		内部様式	ないぶようしき	interior style	表示様相の一つ。小面の内部を充てんする様式。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13588	A		解釈	かいしゃく	interpretation	構造体走査の第2フェーズ。ステッピングに引き続いて実行する。ステッピングは、構造体中央記憶内の構造体に対してはPHIGSが行い、直接解釈構造体に対しては応用が行う。解釈フェーズは、常にPHIGSが行う。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13589	A		固有アルファ	こゆうあるふぁ	intrinsic alpha	アルファ写像において、描画パイプライン処理の始めにアルファ情報源から得られるアルファ値。アルファ値は、固有アルファを初期値とし、アルファ混合において描画パイプライン処理が進むに従って変化してもよい。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13590	A		固有色データ	こゆうしょくでーた	intrinsic colour data	データ付き出力基本要素、色付き折線集合及び色付き非均一Bスプライン曲線のパラメタとして指定する、色又は(応用プログラム特有の)データ。出力基本要素の固有色を決定するために使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13591	A		固有色	こゆうしょく	intrinsic colour	照射処理、奥行き表現又は色写像を適用する前の出力基本要素の色。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13592	A		不可視	ふかし	invisibility	表示面の範囲内にあり、他の出力基本要素に隠されていない場合でも、出力基本要素を描画しないこと。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13593	A		不可視フィルタ	ふかしふぃるた	invisibility filter	フィルタの一つ。不可視操作対象集合及び不可視操作除外集合の二つの名前集合からなる。不可視の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13594	A		等パラメタ曲線	とうぱらめたきょくせん	isoparametric curve	パラメタ曲面上の曲線。パラメタ曲線の一方の独立変数を一定にし、他方の独立変数を変化させることによって作られる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13595	A		等方写像	とうほうしゃぞう	isotropic mapping	縦横比を保存する変換。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13596	A		節点ベクトル	せつてんべくとる	knot vector	Bスプライン基底関数の計算に使用する非減少の実数列。独立変数の値からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13597	A		ラベル	らべる	label	構造体要素の一つ。構造体編集において、構造体要素の位置を示す目印として使用する識別子。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13598	A		言語結合	げんごけつごう	language binding	あるプログラム言語を用いた、機能仕様の表現。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13599	A		光源	こうげん	light source	反射計算に使用する光の発生源。光源は、点光源、平行光源及びスポット光源である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13600	A		照射方向	しょうしゃほうこう	light source direction	方向性をもつ光源の向きを決める単位ベクトル。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13601	A		光源状態	こうげんじょうたい	light source state	走査状態リストの一つの項目。光源定義表の光源のうち有効なものを指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13602	A		光源定義表	こうげんていぎひょう	light source table	ワークステーション状態リストで定義されている光源の表。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13603	A		照射処理	しょうしゃしょり	lighting	出力基本要素の見え方についての光源の効果。反射計算によって実現する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13604	A		線種	せんしゅ	line type	曲線の表示様相の一つ。例えば、実線、破線及び点線。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13605	A		線幅倍率	せんはばばいりつ	linewidth scale factor	曲線の表示様相の一つ。描画像の相対的線幅。ワークステーション依存の基準値に対する比で示す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13606	A		内部入力処理	ないぶにゅうりょくしょり	local input operation	入力生成において、PHIGSが自動的に実行する処理。この処理は、ワークステーション状態リストの項目値を更新することがある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13607	A		局所モデリング変換	きょくしょもでりんぐへんかん	local modelling transformation	合成モデリング変換の一成分。各構造体の走査の開始時には、恒等変換とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13608	A		内部ビュー操作	ないぶびゅーそうさ	local viewing operation	ワークステーションビュー定義表の項目値を更新する内部入力処理。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13609	A		位置入力装置	いちにゅうりょくそうち	locator device	論理入力装置の一つ。入力値は、世界座標系における位置及びビュー指標。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13610	A		論理入力装置	ろんりにゅうりょくそうち	logical input device	原子入力装置、多値入力装置及び複合入力装置。論理入力装置から応用プログラムに渡される値が論理入力値である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13611	A		論理入力値	ろんりにゅうりょくち	logical input value	論理入力装置が渡す計測値。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13612	A		マーカ	まーか	marker	表示面上で位置を示すために使用する記号。マーカの位置は変換を受けるが、マーカの形状は変換を受けない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13613	A		マーカ出力基本要素クラス	まーかしゅつりょくきほんようそくらす	marker primitive class	出力基本要素クラスの一つ。一連のシンボルを生成する。マーカ列出力基本要素だけからなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13614	A		マーカ倍率	まーかばいりつ	marker size scale factor	マーカ列出力基本要素の表示様相の一つ。描画像の相対的寸法。ワークステーション依存の基準値に対する比で示す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13615	A		マーカ種	まーかしゅ	marker type	マーカ列出力基本要素の表示様相の一つ。マーカの形状の種類。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13616	A		計測値	けいそくち	measure	物理入力装置の値を論理入力値に変換した値。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13617	A		計測プロセス	けいそくぷろせす	measure process	論理入力装置で入力操作が可能な間実行されるプロセス。計測プロセスで計測される現在の値が計測値となる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13618	A		メッセージ	めっせーじ	message	応用プログラムからワークステーションに送られる文字列。主として応用プログラムと操作者との通信のために使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13619	A		メタファイル	めたふぁいる	metafile	図形データ及び制御情報を格納し、転送するための機構。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13620	A		最小動作	さいしょうどうさ	minimal simulation	ワークステーションが応用プログラムの指定どおりに出力基本要素を描画する能力をもたない場合、そのワークステーションが実行しなければならない最低限の描画動作。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13621	A		ミップマップ、多段階解像度形式	みっぷまっぷ、ただんかいかいぞうどけいしき	mipmap	平均テクスチャ色の近似計算に使用する階層形式。画素に写像されるテクスチャ色に対応する値をあらかじめ計算して格納する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13622	A		モード方式	もーどほうしき	modal	一度指定すると次に指定するまで有効となる指定方式。例えば、属性設定は、ある構造体及びその子孫構造体においてモード方式である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13623	A		モデリング座標系、MC	もでりんぐざひょうけい、MC	modelling coordinates	応用プログラムが出力基本要素を使用して図形を定義するために用いる装置独立な3次元直交座標系。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13624	A		修正モード	しゅうせいもーど	modification mode	ワークステーションの表示更新モードの一様相。ワークステーションにおいて表示面を適正表示状態に保つ動作が遅延されている場合、その期間中に行われた、表示指定されている構造体ネットワークの変更及びワークステーション状態リストの変更を、どのような方法でいつ暫定表示するのかを指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13625	A		名前集合	なまえしゅうごう	name set	出力基本要素属性の一つ。名前集合は、強調表示、不可視、ピック及び逐次空間探索において、出力基本要素が操作の対象となるか否かの決定に用いる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13626	A		基準値	きじゅんち	nominal value	出力基本要素をワークステーション上で実際に表示するとき、表示様相の基準として使用する値。ワークステーションごとに定義される。例えば、線幅の表示様相は、ワークステーション上で表示可能な線幅のうち、線幅倍率とワークステーション記述表の線幅の基準値欄の値との積に最も近いものとなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13627	A		非幾何属性	ひきかぞくせい	non-geometric attributes	属性の一種。出力基本要素が生成されたときにその出力基本要素に結合される。ワークステーションレベルで出力基本要素に適用する値を決めるために使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13628	A		非保持型画像	ひほじかたがぞう	non-retained picture	直接解釈構造体に挿入された構造体要素を解釈した結果として得られる画像。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13629	A		非均一Bスプライン曲線	ひきんいつBすぷらいんきょくせん	non-uniform B-spline curve	出力基本要素の一つ。非均一Bスプライン曲線を生成する。この出力基本要素は、一連の制御点及びBスプライン表現の観点から非均一Bスプライン曲線を定義するパラメタ値によって指定する。有理型又は非有理型のいずれでもよい。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13630	A		データ付き非均一Bスプライン曲面	でーたつきひきんいつBすぷらいんきょくめん	non-uniform B-spline surface with data	出力基本要素の一つ。非均一Bスプラインパラメタ曲面を生成する。この出力基本要素は、曲面上の固有色の分布を指定することができる。有理型又は非有理型のいずれでも	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13631	A		非均一Bスプライン曲面	ひきんいつBすぷらいんきょくめん	non-uniform B-spline surface	出力基本要素の一つ。非均一Bスプラインパラメタ曲面を生成する。この出力基本要素は、一連の制御点及びBスプライン表現の観点から非均一Bスプライン曲面を定義するパラメタ値によって指定する。有理型又は非有理型のいずれでもよい。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13632	A		法線ベクトル	ほうせんべくとる	normal vector	単位ベクトル。小面又は物体の向きを示す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13633	A		正規化投影座標系、NPC	せいきかとうえいざひょうけい、NPC	normalized projection coordinates	描画像の生成を行う装置独立な3次元直交座標系。ビュー切取り枠及びワークステーションウィンドウは、この座標系で指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13634	A		操作者	そうさしゃ	operator	論理入力装置の計測値を変化させ、入力契機を指示するために物理入力装置を操作す	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13635	A		出力基本要素	しゅつりょくきほんようそ	output primitive	幾何学的な形状を表現するために用いる基本的なグラフィック要素。出力基本要素は、出力基本要素クラスに属する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13636	A		出力基本要素クラス	しゅつりょくきほんようそくらす	output primitive classes	出力基本要素に適用する分類。各クラスは、すべての出力基本要素を論理属性ごとに種類分けしたものである。出力基本要素クラスは、マーカ、曲線、テキスト及び曲面からなる。出力基本要素のうち、一般化作画基本要素は、どのクラスにも属さない。幾つかの面出力基本要素は、データ付きの基本要素である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13637	A		出力基本要素構造体要素	しゅつりょくきほんようそこうぞうたいようそ	output primitive structure element	構造体要素の一つ。構造体の走査時に、走査状態リストから出力基本要素を関連属性とともに生成する構造体要素。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13638	A		平行変換	へいこうへんかん	parallel transformation	物体を空間内の無限遠点からビュー平面に投影した像を与えるような変換。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13639	A		パラメタ限界値	ぱらめたげんかいち	parameter range limits	パラメタ範囲内の部分区間の最大値及び最小値。この部分区間内で、パラメタ曲線又はパラメタ曲面が生成される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13640	A		パラメタ空間	ぱらめたくうかん	parameter space	パラメタ曲線又はパラメタ曲面を記述する座標系。パラメタ曲線の場合は1次元、パラメタ曲面の場合は2次元とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13641	A		パラメタ方式出力基本要素	ぱらめたほうしきしゅつりょくきほんようそ	parametric output primitive	媒介変数を用いた出力基本要素の総称。パラメタ空間からモデリング座標系への変換によって、幾何学的な形状が決まる。非均一Bスプライン曲線、非均一Bスプライン曲面及びデータ付き非均一Bスプライン曲面がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13642	A		親構造体	おやこうぞうたい	parent structure	構造体呼出しを含む構造体。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13643	A		パターン内部様式	ぱたーんないぶようしき	pattern interior style	領域出力基本要素又は領域集合出力基本要素の内部表現の一つ。ワークステーションのパターン定義表から選んだ2次元の画素パターンで内部を充てんする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13644	A		パターン定義表	ぱたーんていぎひょう	pattern table	パターンを定義する、ワークステーション依存の表。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13645	A		透視変換	とうしへんかん	perspective transformation	物体を空間内の有限な位置からビュー平面に投影した像を与えるような変換。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13646	A		PHIGS記述表	PHIGSきじゅつひょう	PHIGS description table	PHIGSシステムにおいて、静的でワークステーション独立なパラメタを記述した表。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13647	A		PHIGS状態リスト	PHIGSじょうたいりすと	PHIGS state list	PHIGSシステムにおいて、動的に変化するワークステーション独立なパラメタの現状の状態を表現したリスト。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13648	A		PHIGS走査状態リスト	PHIGSそうさじょうたいりすと	PHIGS traversal state list	PHIGSシステムにおいて、構造体ネットワークの走査中に動的に変化するワークステーション独立なパラメタの現在の状態を表現したリスト。走査の開始時には、PHIGS記述表に記述された値とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13649	A		物理入力装置	ぶつりにゅうりょくそうち	physical input device	入力を行うためのハードウェア。物理入力装置は、表示装置の一部又は表示装置とは別の装置である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13650	A		ピック相関点	ぴっくそうかんてん	pick correlation point	装置座標上の点。直接解釈ピックの解釈時において、出力基本要素の近接テストに使用する表示面上の位置を指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13651	A		ピック入力装置	ぴっくにゅうりょくそうち	pick device	論理入力装置の一つ。入力値は、ピック経路。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13652	A		ピックフィルタ	ぴっくふぃるた	pick filter	フィルタの一つ。ピック操作対象集合及びピック操作除外集合の二つの名前集合からなる。ピック入力操作の対象となる出力基本要素を指示する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13653	A		ピック識別子	ぴっくしきべつし	pick identifier	出力基本要素属性の一つ。個々の出力基本要素に付けられる名前。ピック経路の一つの成分としてピック入力装置によって返される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13654	A		ピック経路	ぴっくけいろ	pick path	表示指定された構造体からピックによって指示された出力基本要素までの構造体参照経路を表すデータ列。各階層における、構造体識別子、ピック識別子及び要素位置からな	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13655	A		ピックタイプ	ぴっくたいぷ	pick type	出力基本要素を直接解釈ピック計測値に含むか否かの判断基準。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13656	A		ピック	ぴっく	picking	ピック入力装置を使用して、出力基本要素を指示する操作者の操作。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13657	A		図形	ずけい	picture	一連の描画操作の結果として生成される概念的描画像。図形は、非保持型図形と保持型図形とで構成される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13658	A		折れ線	おれせん	polyline	出力基本要素の一つ。指定された点を順次接続した直線列。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13659	A		色付き折れ線集合	いろつきおれせんしゅうごう	polyline set with colour	出力基本要素の一つ。色情報を含むことができる折れ線の集合。色情報は、陰付け処理に用いる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13660	A		マーカ列	まーかれつ	poly marker	出力基本要素の一つ。同じ種類のマーカが表示される位置の集合。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13661	A		点光源	てんこうげん	positional light source	光源の一つ。反射計算の結果が、照射される領域の向き及び光源との距離に依存する	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13662	A		表示指定	ひょうじしてい	post	指示されたワークステーションにおいて、表示の対象となる構造体ネットワークを表示指定グループの一部として指定すること。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13663	A		表示指定グループ	ひょうじしていぐるーぷ	posting group	構造体ネットワークの集合。表示指示グループの視覚効果及び表示優先度は、他の表示指定グループとの相対値で定義することもできる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13664	A		表示指定グループ背景	ひょうじしていぐるーぷはいけい	posting group background	表示指定グループに結合する背景。表示指定グループ背景は、透明又は不透明の様式をもつ。その様式が不透明の場合、背景の見え方として幾つかの方式が用意されている。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13665	A		表示指定グループ境界	ひょうじしていぐるーぷきょうかい	posting group border	表示指定グループ背景に結合する境界。表示指定グループ境界指示子がONの場合、表示指定グループ境界は、表示指定グループ境界指標で指定した辺様相により描画する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13666	A		表示指定グループ優先度	ひょうじしていぐるーぷゆうせんど	posting group priority	表示指定グループを定義又は変更するとき、それに与える優先度。表示指定グループ優先度は、複数の表示指定グループが同じ表示空間位置に写像される際の識別に使用す	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13667	A		表示指定グループ状態	ひょうじしていぐるーぷじょうたい	posting group status	表示指定グループを走査するか否かを決定する状態指示子。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13668	A		表示指定グループ立体	ひょうじしていぐるーぷりったい	posting group volume	正規化投影座標系内に定義する空間領域。その空間領域は、0から1のZ値並びに表示指定グループに結合したビュー規定値のビュー切取り境界によって定義されたX値及びY値をもつ。表示指定グループを構成する構造体を表示指定したとき、その解釈結果として生成されるすべての出力は、表示指定グループ立体で切り取られる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13669	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	PHIGS機能の部分集合。基本(Basic)、拡張(Plus)、及び安全(Full)が定義されている。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13670	A		投影基準点、PRP	とうえいきじゅんてん、PRP	projection reference point	ビュー基準座標空間内の点。投影方法が平行投影のとき、この点とビューウィンドウの中心点とで投影線の方向を決める。投影方法が透視投影のとき、この点がすべての投影線の放射の中心となる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13671	A		投影方法	とうえいほうほう	projection type	ビュー写像に使われる変換の方法。平行変換及び透視変換がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13672	A		投影ビューポート	とうえいびゅーぽーと	projection viewport	正規化投影座標空間の各座標軸に平行な直方体。ビュー立体内のグラフィック出力がビュー写像変換行列によって投影ビューポートへ写像される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13673	A		投影線	とうえいせん	projector	物体上の点を通ってビュー平面と交差する概念的な直線。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13674	A		入力促進	にゅうりょくそくしん	prompt	論理入力装置が利用可能であることを操作者に示す出力。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13675	A		データ付き四辺形格子	でーたつきしへんけいこう	quadrilateral mesh with	出力基本要素の一つ。四辺形の集合。頂点集合を2次元配列で指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13676	A		反射計算	はんしゃけいさん	reflectance calculation	光源の影響に基づき小面の色の計算。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13677	A		反射公式	はんしゃこうしき	reflectance formulae	小面における光の反射を決める公式。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13678	A		反射モデル	はんしゃもでる	reflectance model	領域型出力基本要素の表示様相の一つ。反射計算の方法を選択する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13679	A		反射法線	はんしゃほうせん	reflectance normal	領域型出力基本要素上で、反射計算を行う点における向きを示すベクトル。その向きは、頂点法線又は小面法線から導かれる。反射法線は、必ずしも小面に垂直とは限らな	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13680	A		反射特性	はんしゃとくせい	reflectance properties	領域型出力基本要素の表示様相の一つ。光の反射具合。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13681	A		描画	びょうが	render	出力基本要素を合併して図形を作成するために行うグラフィック出力変換の過程。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13682	A		描画属性	びょうがぞくせい	rendering attributes	属性の一種。描画パイプラインを制御する属性。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13683	A		描画色モデル	びょうがいろもでる	rendering colour model	色補間を行うための色モデル。色補間は、陰付け処理及び奥行き表現において行われ	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13684	A		描画パイプライン	びょうがぱいぷらいん	rendering pipeline	出力基本要素を描画する一連の処理。描画パイプラインは、データ写像、照射処理、テクスチャ写像、陰付け処理、奥行き表現、アルファ混合及び色写像からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13685	A		描画ターゲット	びょうがたーげっと	rendering target	構造体走査による描画動作結果を受け取るターゲット。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13686	A		要求モード	ようきゅうもーど	request mode	論理入力装置の動作モードの一つ。このモードでは、PHIGSは、操作者がトリガを使って入力指示するまで待ち、その時点での計測値を返す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13687	A		要求報告	ようきゅうほうこく	request report	要求モードにおいて、論理入力装置操作を契機として生成される入力報告。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13688	A		保持型図形	ほじがたずけい	retained picture	表示指定された構造体中央記憶上の構造体ネットワーク走査の結果として得られる図	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13689	A		RGB	RGB	RGB	赤(Red)、緑(Green)及び青(Blue)を用いる色モデルの省略名。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13690	A		形状保存変換	けいじょうほぞんへんかん	rigid-body transformation	平行移動、回転、拡大縮小又はそれらの組合せによるモデリング変換。拡大縮小の倍率は、すべての方向に等しいものとする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13691	A		抽出モード	ちゅうしゅつもーど	sample mode	論理入力装置の動作モードの一つ。このモードでは、PHIGSは、トリガを使った入力指示を待つことなく、応用プログラムが要求した時点での計測値を返す。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13692	A		多値入力装置	たちにゅうりょくそうち	set device	論理入力装置の一つ。その計測値は、関連する単一計測プロセスから渡された一つ以上の入力値である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13693	A		データ付き領域集合群	でーたつきりょういきしゅうごうぐん	set of fill area sets with data	出力基本要素の一つ。複数の領域集合。各々の領域集合は、共通の頂点データ列から頂点を組み合わせて生成する。領域集合ごとに、異なった平面上にあってもよい。データ付き領域集合群は、閉じた面を構成したり、連結した面を構成したりする必要もない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13694	A		陰付き処理	かげつきしょり	shading	描画パイプラインの処理の一つ。色補間などを実行する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13695	A		べた塗り内部様式	べたぬりないぶようしき	solid interior style	領域出力基本要素及び領域集合出力基本要素の内部表現の一つ。単一の色で内部を充てんする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13696	A		鏡面反射色	きょうめんはんしゃいろ	specular colour	反射特性を決めるパラメタの一つ。領域型出力基本要素の鏡面反射の色具合に寄与す	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13697	A		鏡面反射指数	きょうめんはんしゃしすう	specular exponent	反射特性を決めるパラメタの一つ。領域型出力基本要素の輝き具合に寄与する。非負の数。鏡面反射指数が高いほど、輝き具合が増す。鏡面反射指数が0の場合、輝き具合は	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13698	A		鏡面反射	きょうめんはんしゃ	specular reflection	反射方向に依存する、光の反射。鏡面反射による輝度は、反射法線、視線の方向及び光源の方向に依存する。環境光源からの光に対しては、鏡面反射は起こらない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13699	A		鏡面反射係数	きょうめんはんしゃけいすう	specular reflection coefficient	反射特性を決めるパラメタの一つ。領域型出力基本要素の鏡面反射の強さ具合に寄与する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13700	A		スポット光源	すぽっとこうげん	spot light source	光源の一つ。反射計算の結果が、照射される領域の向き、光源との距離及び影響円すい(錘)との位置関係に依存する光源。スポット光源から照射される光は、半無限の影響円すい(錘)内でだけ有効となり、円すい(錘)の中心線から外れるに従って弱くなる(光集中指数及び拡がり角参照)	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13701	A		拡がり角	ひろがりかく	spread angle	影響円すい(錘)の形を決める角度。影響円すい(錘)の中心線と母線とのなす角度。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13702	A		状態リスト	じょうたいりすと	state list	PHIGS全般に関連する状態、ワークステーションに関連する状態などを管理するデータ	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13703	A		ステッピング、構造体要素選択	すてっぴんぐ、こうぞうたいようそせんたく	stepping	構造体走査の第一フェーズ。第二フェーズに当たるのは解釈。解釈の結果を受け、次に解釈すべき構造体要素を決定する。構造体中央記憶の走査では、ステッピングと解釈の両フェーズをPHIGSが実行する。直接解釈構造体の走査では、解釈フェーズだけをPHIGSが実行する。すなわち、応用は、ステッピングフェーズを実行するか又は図形データの内容によっては、直接解釈構造体を定義する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13704	A		文字列	もじれつ	string	文字符号の順序付けられた並び。文字符号は、JIS X 0202による。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13705	A		文字列入力装置	もじれつにゅうりょくそうち	string device	論理入力装置の一つ。入力値は、文字列。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13706	A		点列入力装置	てんれつにゅうりょくそうち	stroke device	論理入力装置の一つ。入力値は、世界座標系における点の並び及びビュー指標。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13707	A		構造体	こうぞうたい	structure	構造体要素の並び。構造体中央記憶に保存される構造体及び直接解釈される構造体の2種類がある。構造体は、互いに階層的に関係し、構造体ネットワークを構成してもよい。ワークステーションに対する表示指定は、走査処理を開始する。構造体の走査によって出力基本要素が表示される。構造体は、構造体編集によって変更される。構造体保管は、構造体の長期保存及び構造体の再利用のために用意されている。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13708	A		構造体保管	こうぞうたいほかん	structure archiving	構造体取出しのために、保管ファイルに構造体及び構造体ネットワークを複写する処	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13709	A		構造体編集	こうぞうたいへんしゅう	structure editing	構造体の生成及び構造体の変更。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13710	A		構造体要素	こうぞうたいようそ	structure element	構造体を形成するデータの基本単位。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13711	A		構造体識別子	こうぞうたいしきべつし	structure identifier	応用プログラムが構造体につけた一意な名前。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13712	A		構造体ネットワーク	こうぞうたいねっとわーく	structure network	ループをもたない有向グラフの概念で表せる構造体の集まり。構造体が節点に相当し、“構造体実行”構造体要素が親構造体節点から子構造体節点への接続関係に相当す	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13713	A		構造体参照	こうぞうたいさんしょう	structure reference	“構造体実行”構造体要素による他の構造体の参照又は表示指定による構造体の参	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13714	A		構造体取出し	こうぞうたいとりだし	structure retrieval	保管ファイルから構造体中央記憶へ構造体及び構造体ネットワークを複写する処理。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13715	A		構造体状態リスト	こうぞうたいじょうたいりすと	structure state list	構造体中央記憶内の各構造体についての情報を表現したリスト。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13716	A		面	めん	surface	出力基本要素のクラスの一つ。領域、領域集合、データ付き領域集合、データ付き領域集合群、データ付き三角形集合、データ付き帯状連結三角形、データ付き四辺形格子、塗りつぶし円、閉円弧、塗りつぶし楕円、閉楕円弧、非均一Bスプライン曲面、データ付き非均一Bスプライン曲面及びセル配列がこのクラスに属する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13717	A		ターゲット	たーげっと	target	抽象的な表示面。ターゲットは、複数もてる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13718	A		テクセル、きめ(肌理)要素	てくせる、きめようそ	texel	テクスチャをラスタ的に定義する際のセル又はそのセルがもつ色値及び(又は)アルファ値。この用語は、“ピクセル”との類似に由来する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13719	A		テキスト	てきすと	text	出力基本要素の一つ。描画すべきテキスト平面及び位置を指定された文字列。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13720	A		テキスト配置	てきすとはいち	text alignment	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。文字そろえの文法。水平成分及び垂直成分からなる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13721	A		テキスト平面定義ベクトル	てきすとへいめんていぎべくとる	text direction vectors	“テキスト”構造体要素の一部として指定される二つのベクトル。このベクトル及びテキスト位置で、テキスト平面を決める。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13722	A		テキスト区域	てきすとくいき	text extent	文字列の文字枠全体を包含する最小の平行四辺形。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13723	A		テキストフォント	てきすとふぉんと	text font	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。文字の描画に使用するフォントを指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13724	A		テキスト局所座標系	てきすときょくしょざひょうけい	text local coordinate system	テキスト出力基本要素のための局所座標系。テキスト出力基本要素のすべての幾何属性は、この座標系で記述する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13725	A		テキスト方向	てきすとほうこう	text path	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。文字列内のある文字が、直前の文字のどの方向に位置するかを指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13726	A		テキスト平面	てきすとへいめん	text plane	テキスト出力基本要素が生成される平面。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13727	A		テキスト位置	てきすといち	text position	“テキスト”構造体要素の一部として指定される点。この点及びテキスト平面定義ベクトルで、テキスト平面を決める。この点及びテキスト配置で、文字列の位置を決める。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13728	A		テキスト表示精度	てきすとひょうじせいど	text precision	テキスト出力基本要素の表示様相の一つ。テキスト出力基本要素の描画が、テキスト出力基本要素の他の表示様相の指定にどの程度従うべきかを指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13729	A		テキスト出力基本要素クラス	てきすとしゅつりょくきほんようそくらす	text primitive class	一連の文字を生成する出力基本要素クラス。このクラスの出力基本要素には、テキスト及び注記テキストがある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13730	A		テクスチャ、きめ(肌理)	てくすちゃ、きめ	texture	面出力基本要素の内部に適用するデザイン。手続き的に生成するか又は2次元カラー画像で指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13731	A		テクスチャ混合、きめ(肌理)混合	てくすちゃこんごう、きめこんごう	texture composition	描画パイプラインにおいて、面内部に適用する色をテクスチャが変更する方式。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13732	A		テクスチャ座標源、きめ(肌理)座標源	てくすちゃざひょうげん、きめざひょうげん	texture coordinate source	テクスチャ座標情報の源を指定する値。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13733	A		テクスチャ座標、きめ(肌理)座標	てくすちゃざひょう、きめざひょう	texture coordinates	出力基本要素の位置をテクスチャ上の位置へ写像する際に使用するデータ値。そのデータ値は、出力基本要素の定義又は出力基本要素の処理中の計算から得られる。テクスチャ座標の取得には、三つの段階がある。a)初期座標値を選択するためにテクスチャ座標源(頂点データ値、世界座標上の頂点位置など)を使用する。b)初期座標値に反射写像又は他の非線形投影を適用する。c)向き及び位置に従って、座標値をテクスチャ標本化座標値に変換する。実行時の状況によって、これらの三つの段階をどう実行	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13734	A		テクスチャ内部様式、きめ(肌理)内部様式	てくすちゃないぶようしき、きめないぶようしき	texture interior style	面出力基本要素の内部表現の一つ。テクスチャを面内部に適用したもの。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13735	A		テクスチャ拡大化、きめ(肌理)拡大化	てくすちゃかくだいか、きめかくだいか	texture magnification	一つのテクセルが複数の画素に対応しているときに使用するテクスチャ標本化の方式。すなわち、出力基本要素に対してテクスチャ画像を拡大して適用する場合に用いられる方式である。各画素に対する標本値を求めるには、いろいろな方法がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13736	A		テクスチャ写像、きめ(肌理)写像	てくすちゃしゃぞう、きめしゃぞう	texture mapping	テクスチャを面内部に適用するときの処理全体。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13737	A		テクスチャ縮小化、きめ(肌理)縮小化	てくすちゃしゅくしょうか、きめしゅくしょうか	texture minification	複数のテクセルが一つの画素に対応しているときに使用するテクスチャ標本化の方式。すなわち、出力基本要素に対してテクスチャ画像を縮小して適用する場合に用いられる方式である。各画素に対する標本値を求めるには、いろいろな方法がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13738	A		テクスチャパラメタ、きめ(肌理)パラメタ	てくすちゃぱらめた、きめぱらめた	texture parameterization	テクスチャを小面にどのように写像するかを指定する情報。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13739	A		テクスチャ標本化、きめ(肌理)標本化	てくすちゃひょうほんか、きめひょうほんか	texture sampling	テクスチャ座標を用いて、テクスチャ値を決める処理。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13740	A		テクスチャ値、きめ(肌理)値	てくすちゃち、きめち	texture value	テクスチャ標本化によって得られる色値。この色値は、テクスチャ混合における描画パイプラインにおいて使用する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13741	A		変換パイプライン	へんかんぱいぷらいん	transformation pipeline	モデリング座標系から装置座標系に変換する、座標変換及び切取りの順序付けられた	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13742	A		透過性	とうかせい	transparency	出力基本要素を通して見える背景画像の比率を指定する属性。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13743	A		走査	そうさ	traversal	構造体要素のネットワークをたどって、各構造体要素を解釈する処理。構造体要素を解釈すると、出力基本要素を生成したり、状態リストを変更したりすることがある。構造体中央記憶内の構造体に対しては、ステッピングフェーズ及び解釈フェーズは、両方ともPHIGSによって実行される。直接解釈構造体に対しては、解釈フェーズは、PHIGSによって実行されるが、ステッピングフェーズは、応用によって実行される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13744	A		走査資源	そうさしげん	traversal resource	ターゲット又はピック計測値の情報生成を支援するための機構。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13745	A		走査状態リスト	そうさじょうたいりすと	traversal state list	PHIGS走査状態リスト参照。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13746	A		データ付き三角形集合	でーたつきさんかっけいしゅうごう	triangle set with data	出力基本要素の一つ。複数の三角形。各々の三角形は、共通の頂点データ列から頂点を組み合わせて生成する。三角形集合は、閉じた面を構成したり、連結した面を構成したりする必要はない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13747	A		データ付き帯状連結三角形	でーたつきおびじょうれんけつさんかっけい	triangle strip with data	出力基本要素の一つ。帯状に連結された三角形の集合。ある三角形の第2及び第3の頂点は、それぞれ次の三角形の第1及び第2の頂点とする。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13748	A		トリガ	とりが	trigger	操作者が入力の契機を示すための物理入力装置。トリガは、入力報告を生成するか、中断を示すか、計測値の一部を選択するか又はその計算中に計測値を編集するために使	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13749	A		トリガプロセス	とりがぷろせす	trigger process	トリガを使った入力指示が行われたとき、対応する論理入力装置を計測プロセスに知らせるプロセス。トリガプロセスは、装置が事象モードのとき又は装置が要求モードで入力待ちのときにだけ存在する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13750	A		輪郭線要素	りんかくせんようそ	trimming curve	曲面を記述するパラメタが属するパラメタ空間上のパラメタ曲線。輪郭線要素は、輪郭線の一部となる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13751	A		輪郭線	りんかくせん	trimming loop	輪郭線要素を同じ向きに連結した閉曲線。輪郭線は、パラメタ曲面を生成するパラメタ範囲を限定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13752	A		表示取消し	ひょうじとりけし	unpost	指定されたワークステーションにおいて、表示の対象から外す構造体ネットワークを指定すること。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13753	A		実数値入力装置	じっすうちにゅうりょくそう	valuator device	論理入力装置の一つ。入力値は、実数値。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13754	A		頂点色	ちょうてんしょく	vertex colour	データ付き出力基本要素のパラメタとして指定する各頂点の一般色。描画パイプラインの中で、陰付け処理などに用いる。頂点色は、色付き折れ線集合でも指定できる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13755	A		頂点データ	ちょうてんでーた	vertex data	データ付き出力基本要素のパラメタとして指定する各頂点のデータ。座標値、固有色データ及び頂点法線がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13756	A		頂点法線	ちょうてんほうせん	vertex normal	頂点データの一つ。データ付き出力基本要素のパラメタとして指定する各頂点の法線ベ	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13757	A		ビュー構成パラメタ	びゅーこうせいぱらめた	view construction parameters	ビュー表現を形成するためのパラメタ。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13758	A		ビュー指標	びゅーしひょう	view index	出力基本要素属性の一つ。出力基本要素及び幾何属性に対して、構造体走査時に適用されるビュー表現を選択する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13759	A		ビュー写像変換行列	びゅーしゃぞうへんかんぎょうれつ	view mapping matrix	ビュー基準座標系から正規化投影座標系への座標値の変換に用いる4×4行列。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13760	A		ビュー方向変換行列	びゅーほうこうへんかんぎょうれつ	view orientation matrix	世界座標系からビュー基準座標系への座標値の変換に用いる4×4行列。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13761	A		ビュー平面	びゅーへいめん	view plane	ビュー基準座標系においてU-V平面に平行な平面。ビュー基準座標系のN座標値で指定	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13762	A		ビュー平面法線	びゅーへいめんほうせん	view plane normal	ビュー基準座標系のN座標軸の方向を決めるベクトル。世界座標系で指定する。ビュー基準座標系のN座標軸は、ビュー平面法線に平行で、ビュー基準点を通る直線である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13763	A		ビュー基準座標系、VRC	びゅーきじゅんざひょうけい、VRC	view reference coordinates	応用プログラムがビュー写像変換パラメタを指定する装置独立な3次元直交座標系。ビュー基準座標系の各座標軸は、それぞれU軸、V軸及びN軸と呼ぶ。ビュー基準座標系は、ビュー基準点、ビュー平面法線及びビュー上方向定義ベクトルで決める。これらはビュー方向変換行列を定義する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13764	A		ビュー基準点	びゅーきじゅんてん	view reference point	ビュー基準座標系の原点。世界座標系で指定する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13765	A		ビュー表現	びゅーひょうげん	view representation	ビュー定義表を構成する項目。ビュー表現は、ビュー方向変換行列、ビュー写像変換行列、ビュー切取り枠及び切取り指示子からなる複合データ形式で構成する。ビュー切取り枠は、表示指定グループ立体を決めるためにも使われる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13766	A		ビュー定義表	びゅーていぎひょう	view table	ビュー表現で構成するワークステーション依存の表。ビュー定義表の各項目は、ビュー指標で参照する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13767	A		ビュー変換入力優先度	びゅーへんかんにゅうりょくゆうせんど	view transformation input priority	位置入力及び点列入力に適用されるビュー逆変換を選択するための、ビュー表現の優先度。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13768	A		ビュー上方向定義ベクトル	びゅーうえほうこうていぎべくとる	view up vector	ビュー基準座標系のV座標軸の方向を決めるベクトル。世界座標系で指定する。ビュー基準座標系のV座標軸は、ビュー上方向定義ベクトルをビュー平面法線に垂直な平面へ正射影したベクトルに平行で、ビュー基準点を通る直線である。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13769	A		ビュー更新方式	びゅーこうしんほうしき	view updata method	ビュー構成パラメタによるビュー表現の更新を決定する方式。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13770	A		ビュー立体	びゅーりったい	view volume	ビューウインドウの各角を通る投影線、前方境界面及び後方境界面で決定する立体。透視投影の場合、投影線はすべて投影基準点を通り、ビュー立体は四角すい(錐)台となる。平行投影の場合、投影線はすべて投影基準点とビューウィンドウの中心とを結ぶベクトルに平行となり、ビュー立体は平行六面体となる。2次元だけを扱う応用プログラムでは、ビュー立体は、ビューウィンドウと一致する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13771	A		ビューウィンドウ	びゅーういんどう	view window	ビュー平面上の長方形。ビューウィンドウの各角を通る投影線によって、ビュー立体の上下左右の四つの側面が決まる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13772	A		ビュー属性	びゅーぞくせい	viewing attributes	属性の一種。レンダリングパイプライン内で、ワークステーション依存のパラメタであるビュー処理及び隠線隠面消去に関するパラメタを選択するための属性。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13773	A		適正表示状態	てきせいひょうじじょうたい	visually correct	ワークステーション上の表示が、構造体中央記憶及びワークステーション状態リストに正確に対応している状態。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13774	A		データ付き出力基本要素	でーたつきしゅつりょくきほんようそ	with-data primitives	データをもつ出力基本要素の総称。データ付き領域集合、データ付き領域集合群、データ付き三角形集合、データ付き帯状連結三角形、データ付き四辺形格子及びデータ付き非均一Bスプライン曲面がある。更に、データをもつ一般化作画基本要素も含まれる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13775	A		ワークステーション	わーくすてーしょん	workstation	幾つかの論理入力装置及び0個又は1個の表示空間から構成される装置。PHIGSは、抽象化したグラフィック資源の概念に基づいている。この概念は、応用プログラムが物理装置を制御するための論理インタフェースを与える。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13776	A		ワークステーション種別	わーくすてーしょんしゅべつ	workstation category	ワークステーションの入出力機能による分類。出力、入力、入出力、メタファイル出力及びメタファイル入力の五つのワークステーション種別がある。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13777	A		ワークステーション記述表	わーくすてーしょんきじゅつひょう	workstation description table	ワークステーション型式の特性を記述した表。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13778	A		ワークステーション識別子	わーくすてーしょんしきべ	workstation identifier	応用プログラムがワークステーションに付けた一意な名前。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13779	A		ワークステーション状態リスト	わーくすてーしょんじょうたいりすと	workstation state list	ワークステーションにおいて、動的に変化する情報の現在の状態を表現したリスト。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13780	A		ワークステーション表	わーくすてーしょんひょう	workstation table	個々のワークステーションに関する表で、ワークステーション依存の方式に関して出力を制御するための表。各々のワークステーション表は、一対の束表及び出力基本要素の描画を支援するための追加表をもつ。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13781	A		ワークステーション変換	わーくすてーしょんへんかん	workstation transformation	ワークステーションウィンドウ内のグラフィック出力をワークステーションビューポート内へ写像する変換。XY平面での縦横比は保持するが、YZ平面及びZX平面での縦横比は保持する必要はない。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13782	A		ワークステーション型式	わーくすてーしょんけいしき	workstation type	ワークステーションの特性による分類。同じ型式のワークステーションは、同じワークステーション記述表を共有する。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13783	A		ワークステーションビューポート	わーくすてーしょんびゅーぽーと	workstation viewport	装置座標空間の各座標軸に平行な直方体。ワークステーションウィンドウ内のグラフィック出力がワークステーション変換によってこの立体内に写像される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13784	A		ワークステーションウィンドウ	わーくすてーしょんういんどう	workstation window	正規化投影座標空間の各座標軸に平行な直方体。この立体内のグラフィック出力がワークステーション変換によってワークステーションビューポートに写像される。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13785	A		世界座標系、WC	せかいざひょうけい、WC	world coordinates	モデリング座標系で定義された図形を組み立てるために用いる装置独立な3次元直交座標系。世界座標は、モデリング座標に合成モデリング変換を施すことによって得られる。	JIS X 4221-1	2001	ISO/IEC 9592-1	1997				1997	SC24
13786	B		環境光源	かんきょうこうげん	ambient light source	反射計算の結果が、照射される領域の向き又は位置には依存しない光源。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13787	B		環境光反射係数	かんきょうこうはんしゃけいすう	ambient reflection coefficient	反射特性を決めるパラメタの一つ。領域型出力基本要素の環境光源からの光の反射の強さ具合に寄与する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13788	B		領域型出力基本要素	りょういきがたしゅつりょくきほんようそ	area primitive	面をもつ出力基本要素の総称。領域、領域集合、セル配列、データ付き領域集合、拡張セル配列、データ付き領域集合群、データ付き三角形集合、データ付き帯状連結三角形、データ付き四辺形格子、非均一Bスプライン曲面及びデータ付き非均一Bスプライン曲面がある。更に、面をもつ一般化作画基本要素も含まれる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13789	B		減衰係数	げんすいけいすう	attenuation coefficient	点光源及びスポット光源のパラメタの一つ。光源からの距離によって光の強さが減衰する程度を表す。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13790	B		後向き	うしろむき	back facing	小面法線が正規化投影座標系に変換されたとき、そのZ成分が負となる小面の向き。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13791	B		色写像	いろしゃぞう	colour mapping	描画パイプラインの最終処理。この処理までに計算された色をワークステーション依存の色に変換する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13792	B		色定義スプライン	いろていぎすぷらいん	colour spline	パラメタ式出力基本要素への色の分配を決定する、色空間におけるパラメタ曲線又はパラメタ曲面。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13793	B		光集中指数	ひかりしゅうちゅうしすう	concentration exponent	スポット光源のパラメタの一つ。光源の影響円すい(錐)の中心線からの角度によって光の強さが減少する程度を表す。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13794	B		影響円すい(錐)	えいきょうえんすい	cone of influence	スポット光源からの光の影響範囲を表す円すい(錐)。影響円すい(錐)は、光源の位置、方向及び拡がり角によって決まる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13795	B		データ写像	でーたしゃぞう	data mapping	描画パイプラインの処理の一つ。応用プログラム特有のデータ又は色を固有色に変換する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13796	B		奥行き表現	おくゆきひょうげん	depth cueing	描画パイプラインの処理の一つ。この処理までに計算された出力基本要素の色を、奥行き(正規化投影座標系でのZ値)に応じて、奥行き表現のために指定した色に近づける。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13797	B		奥行き表現モード	おくゆきひょうげんもーど	depth cue mode	奥行き表現を実行するかどうかを示すモード。奥行き表現定義表で指定する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13798	B		奥行き表現定義表	おくゆきひょうげんていぎひょう	depth cue table	奥行き表現を定義する、ワークステーション依存の表。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13799	B		拡散反射	かくさんはんしゃ	diffuse reflection	反射方向に依存しない、光の反射。拡散反射による輝度は、光源の方向に依存するが視線の方向には依存しない。環境光源からの光に対しては、拡散反射は起こらない。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13800	B		拡散反射係数	かくさんはんしゃけいすう	diffuse reflection coefficient	反射特性のパラメタの一つ。領域型出力基本要素の拡散反射の強さ具合に寄与する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13801	B		直接色指定	ちょくせついろしてい	direct colour specification	指標を使用しない、色の指定方法。色モデル及び色成分を指定する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13802	B		平行光源	へいこうこうげん	directional light source	反射計算の結果が、照射される領域の向きに依存するが、領域の位置には依存しない光源。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13803	B		辺可視フラグ	へんかしふらぐ	edge visibility flag	データ付き出力基本要素(データ付き非均一Bスプライン曲面を除く。)の個々の辺の表示の可否を示すフラグ。出力基本要素のパラメタの一つとして指定する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13804	B		視点	してん	eye point	正規化投影座標系におけるZ正方向の無限遠点に対応する世界座標系での点。視点の位置に存在した照射の効果を決定するための反射計算で使用する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13805	B		小面	しょうめん	facet	領域型出力基本要素を分割した面。その分割法は、出力基本要素の種類又はパラメタ曲面の近似法に依存する。小面は、後ろ向き又は前向きの向きをもつ。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13806	B		小面除去	しょうめんじょきょ	facet culling	領域型出力基本要素の後ろ向き小面又は前向き小面をすべて除去する処理。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13807	B		小面データ	しょうめんでーた	facet data	領域型出力基本要素のパラメタとして指定される小面の固有色データ及び小面法線。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13808	B		小面法線	しょうめんほうせん	facet normal	小面ごとに定まる法線。小面法線は、小面の向きを決定する。更に、反射法線としても使用する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13809	B		データ付き領域集合	でーたつきりょういきしゅうごう	fill area set with data	出力基本要素の一つ。同一平面上にある多角形の集合からなる。出力基本要素の色付け処理、照射処理及び陰付け処理を行うために、色、法線などの情報を含むことができる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13810	B		前向き	まえむき	front facing	小面法線が正規化投影座標系に変換されたとき、そのZ成分が正又は0となる小面の向き。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13811	B		一般色	いっぱんしょく	general colour	色を表現するデータ型。色種と色値からなる。直接色指定による色表現及び間接色指定による色表現ができる。直接色指定の場合は、色種は色モデル、色値は色成分とする。間接色指定の場合は、色種は間接色指定を示すデータ、色値は色定義表への指標とす	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13812	B		形状定義スプライン	けいじょうていぎすぷらいん	geometry spline	パラメタ式出力基本要素の形状を決定するパラメタ曲線又はパラメタ曲面。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13813	B		間接色指定	かんせついろしてい	indirect colour specification	指標を使用する、色の指定方法。色定義表への指標を指定する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13814	B		固有色	こゆうしょく	intrinsic colour	照射処理、奥行き表現又は色写像を適用する前の出力基本要素の色。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13815	B		固有色データ	こゆうしょくでーた	intrinsic colour data	データ付き出力基本要素、色付き折線集合及び色付き非均一Bスプライン曲線のパラメタとして指定する、色又は(応用プログラム特有の)データ。出力基本要素の固有色を決定するために使用する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13816	B		等パラメタ曲線	とうぱらめたきょくせん	isoparametric curve	パラメタ曲面上の曲線。パラメタ曲線の一方の独立変数を一定にし、他方の独立変数を変化させることによって作られる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13817	B		節点ベクトル	せつてんべくとる	knot vector	Bスプライン基底関数の計算に使用する非減少の実数例。独立変数の値からなる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13818	B		光源	こうげん	light source	反射計算に使用する光の発生源。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13819	B		照射方向	しょうしゃほうこう	light source direction	方向性をもつ光源の向きを決める単位ベクトル。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13820	B		光源状態	こうげんじょうたい	light source state	走査状態リストの一つの項目。光源定義表の光源のうち有効なものを指定する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13821	B		照射処理	しょうしゃしょり	lighting	3.46参照。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13822	B		法線ベクトル	ほうせんべくとる	normal vector	単位ベクトル。小面又は物体の向きを示す。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13823	B		パラメタ範囲	ぱらめたはんい	parameter range	パラメタ曲線又はパラメタ曲面のパラメタが存在するパラメタ空間。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13824	B		パラメタ限界値	ぱらめたげんかいち	parameter range limits	パラメタ範囲内の部分区間の最大値及び最小値。この部分区間内で、パラメタ曲線又はパラメタ曲面が生成される。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13825	B		パラメタ方式出力基本要素	ぱらめたほうしきしゅつりょくきほんようそ	parametric output primitive	媒介変数を用いた出力基本要素の総称。パラメタ空間からモデリング座標系への変換によって、幾何学的な形状が決まる。非均一Bスプライン曲線、色付き非均一Bスプライン曲線、非均一Bスプライン曲面及びデータ付き非均一Bスプライン曲面がある。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13826	B		パラメタ空間	ぱらめたくうかん	parameter space	パラメタ曲線又はパラメタ曲面を記述する座標系。パラメタ曲線の場合は1次元、パラメタ曲面の場合は2次元とする。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13827	B		色付き折れ線集合	いろつきおれせんしゅうごう	polyline set with colour	出力基本要素の一つ。色情報を含むことができる折れ線の集合。色情報は、陰付け処理に用いる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13828	B		部分領域	ぶぶんりょういき	portion	領域型出力基本要素の一部で、ある性質をもつ小面の集合。例えば、同じ向きをもつ小面の集合、輪郭線内の小面の集合。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13829	B		点光源	てんこうげん	positional light source	光源の一つ。反射計算の結果が、照射される領域の向き及び光源との距離に依存する光源。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13830	B		四辺形格子	しへんけいこうし	quadrilateral mesh	出力基本要素の一つ。四辺形の集合。頂点集合を2次元配列で指定する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13831	B		反射計算	はんしゃけいさん	reflectance calculation	光源の影響に基づく小面の色の計算。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13832	B		反射モデル	はんしゃもでる	reflectance model	領域型出力基本要素の表示様相の一つ。反射計算の方法を選択する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13833	B		反射公式	はんしゃこうしき	reflectance formulae	小面における光の反射を決める公式。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13834	B		反射法線	はんしゃほうせん	reflectance normal	領域型出力基本要素上で、反射計算を行う点における向きを示すベクトル。その向きは、頂点法線又は小面法線から導かれる。反射法線は、必ずしも小面に垂直とは限らない。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13835	B		反射特性	はんしゃとくせい	reflectance properties	領域型出力基本要素の表示様相の一つ。光の反射具合。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13836	B		描画色モデル	びょうがいろもでる	rendering colour model	色補間を行うための色モデル。色補間は、陰付け処理及び奥行き表現において行われる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13837	B		描画パイプライン	びょうがぱいぷらいん	rendering pipeline	出力基本要素を描画する一連の処理。描画パイプラインは、データ写像、照射処理、陰付け処理、奥行き表現及び色写像からなる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13838	B		形状保存変換	けいじょうほぞんへんかん	rigid-body transformation	平行移動、回転、拡大縮小又はそれらの組合せによるモデリング変換。拡大縮小の倍率は、すべての方向に等しいものとする。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13839	B		データ付き領域集合群	でーたつきりょういきしゅうごうぐん	set of fill area sets with data	出力基本要素の一つ。複数の領域集合。各々の領域集合は、共通の頂点データ列から頂点を組み合わせて生成する。領域集合ごとに、異なった平面上にあってもよい。データ付き領域集合群は、閉じた面を構成したり、連結した面を構成したりする必要はない。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13840	B		陰付け処理	かげつけしょり	shading	描画パイプラインの処理の一つ。色補間などを実行する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13841	B		鏡面反射色	きょうめんはんしゃしょく	specular colour	反射特性を決めるパラメタの一つ。領域型出力基本要素の鏡面反射の色具合に寄与する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13842	B		鏡面反射指数	きょうめんはんしゃしすう	specular exponent	反射特性を決めるパラメタの一つ。領域型出力基本要素の輝き具合に寄与する。非負の数。鏡面反射指数が高いほど、輝き具合が増す。鏡面反射指数が0の場合、輝き具合は最小となる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13843	B		鏡面反射	きょうめんはんしゃ	specular reflection	反射方向に依存する、光の反射。鏡面反射による輝度は、反射法線、視線の方向及び光源の方向に依存する。環境光源からの光に対しては、鏡面反射は起こらない。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13844	B		鏡面反射係数	きょうめんはんしゃけいすう	specular reflection coefficient	反射特性を決めるパラメタの一つ。領域型出力基本要素の鏡面反射の強さ具合に寄与する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13845	B		スポット光源	すぽっとこうげん	spot light source	光源の一つ。反射計算の結果が、照射される領域の向き、光源との距離及び影響円すい(錐)との位置関係に依存する光源。スポット光源から照射される光は、半無限の影響円すい(錐)内でだけ有効となり、円すい(錐)の中心線から外れるに従って弱くなる(3.8及	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13846	B		拡がり角	ひろがりかく	spread angle	影響円すい(錐)の形を決める角度。影響円すい(錐)の中心線と母線とのなす角度。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13847	B		三角形集合	さんかくけいしゅうごう	triangle set	出力基本要素の一つ。複数の三角形。各々の三角形は、共通の頂点データ列から頂点を組み合わせて生成する。三角形集合は、閉じた面を構成したり、連結した面を構成したりする必要はない。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13848	B		帯状連結三角形	おびじょうれんけつさんかくけい	triangle strip	出力基本要素の一つ。帯状に連結された三角形の集合。ある三角形の第2及び第3の頂点は、それぞれ次の三角形の第1及び第2の頂点とする。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13849	B		輪郭線要素	りんかくせんようそ	trimming curve	曲面を記述するパラメタが属するパラメタ空間上のパラメタ曲線。輪郭線要素は、輪郭線の一部となる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13850	B		輪郭線	りんかくせん	trimming loop	輪郭線要素を同じ向きに連結した閉曲線。輪郭線は、パラメタ曲面を生成するパラメタ範囲を限定する。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13851	B		頂点色	ちょうてんしょく	vertex colour	データ付き出力基本要素のパラメタとして指定する各頂点の一般色。描画パイプラインの中で、陰付け処理などに用いる。頂点色は、色付き折れ線集合でも指定できる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13852	B		頂点データ	ちょうてんでーた	vertex data	データ付き出力基本要素のパラメタとして指定する各頂点のデータ。座標値、固有色データ及び頂点法線がある。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13853	B		頂点法線	ちょうてんほうせん	vertex normal	頂点データの一つ。データ付き出力基本要素のパラメタとして指定する各頂点の法線ベクトル。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13854	B		データ付き出力基本要素	でーたつきしゅつりょくきほんようそ	with-data primitives	データをもつ出力基本要素の総称。データ付き領域集合、データ付き領域集合群、データ付き三角形集合、データ付き帯状連結三角形、データ付き四辺形格子及びデータ付き非均一Bスプライン曲面がある。更に、データをもつ一般化作画基本要素も含まれる。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13855	B		ワークステーション光源	わーくすてーしょんこうげん	workstation light source	ワークステーション光源表の一つの項目。	JIS X 4224	1993	ISO/IEC 9592-4	1992		廃→ X 4221-1 2001/1		IS無い	SC24
13856	A		ディジタル画像	でぃじたるがぞう	digital image		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13857	A		機能要素	きのうようそ	element		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13858	A		画像	がぞう	image		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13859	A		画像データ	がぞうでーた	image data		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13860	A		画像関連データ	がぞうかんれんでーた	image-related data		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13861	A		管理機能	かんりきのう	mechanism		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13862	A		演算	えんざん	operator		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13863	A		基本演算	きほんえんざん	primitive operator		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13864	A		画素	がそ	pixel		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13865	A		画素	がそ	picture element		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13866	A		道具機能	どうぐきのう	tool		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13867	A		共用機能	きょうようきのう	utility		JIS X 4241-1	1998	ISO/IEC 12087-1	1995				1995	SC24
13868	A		取付け先レベル	とりつけさきれべる	Attachment Level		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13869	A		注記テキスト	ちゅうきてきすと	Annotational Text		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13870	A		バンド	ばんど	Band		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13871	A		基本文字集合	きほんもじしゅうごう	Basic Character Set(BCS)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13872	A		基本英数文字集合	きほんえいすうもじしゅうごう	Basic Character Set-Alphanumeric(BCS-A)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13873	A		基本数字集合	きほんすうじしゅうごう	Basic Character Set-Numeric(BCS-N)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13874	A		基本多言語面、BMP	きほんたげんごめん、	Basic Multilingual Plane		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13875	A		ブロック	ぶろっく	Block		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13876	A		バイト	ばいと	Byte		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13877	A		共通座標系	きょうつうざひょうけい	Common Coordinate System		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13878	A		条件付き	じょうけんつき	Conditional		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13879	A		協定世界時	きょうていせかいじ	Coordinated Universal Time(UTC)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13880	A		DES、データ拡張セグメント	DES、でーたかくちょうせぐめんと	DES (Data Extension Segment)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13881	A		表示可能情報	ひょうじかのうじょうほう	Displayable		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13882	A		表示レベル	ひょうじれべる	Display Level		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13883	A		フィールド	ふぃーるど	Field		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13884	A		画像	がぞう	Image		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13885	A		国際標準プロファイル	こくさいひょうじゅんぷろふぁいる	International Standardized Profile		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13886	A		ルックアップテーブル	るっくあっぷてーぶる	Look-Up-Table		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13887	A		禁空白	きんくうはく	Non-blank		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13888	A		オクテット	おくてっと	Octet		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13889	A		埋め草画素	うめくさがそ	Pad Pixel		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13890	A		埋め草画素マスク	うめくさがそますく	Pad Pixel Mask		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13891	A		画素	がそ	Pixel		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13892	A		プロファイル	ぷろふぁいる	Profile		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13893	A		プロファイル依存	ぷろふぁいるいぞん	Profile Variant		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13894	A		必す(須)	ひっす	Required		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13895	A		RES、予約拡張セグメント	RES、よやくかくちょうせぐめんと	RES (Reserved Extension Segment)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13896	A		画素値	がそち	Sample		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13897	A		SAR、合成開口レーダー画像	SAR、ごうせいかいこうれーだーがぞう	SAR		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13898	A		SARIQ、合成開口レーダーホログラム	SARIQ、ごうせいかいこうれーだーほろぐらむ			JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13899	A		セグメント	せぐめんと	Segment		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13900	A		記号	きごう	Symbol		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13901	A		記号テキスト	きごうてきすと	Symbol Text		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13902	A		TRE、タグ付きレコード拡張	TRE、たぐつきれこーどかくちょう	Tagged Record Extension (TRE)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13903	A		TFS、可搬ファイル構造	TFS、かはんふぁいるこうぞう	TFS (transportable File Structure)		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13904	A		透明画素	とうめいがそ	Transparent Pixel		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24
13905	A		YGbCr	YGbCr	YGbCr		JIS X 4241-5	1999	ISO/IEC 12087-5	1998				1998	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13906	A		アルファ、不透明度	あるふぁ、ふとうめいど	alpha		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13907	A		アルファ簡約	あるふぁかんやく	alpha compaction		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13908	A		アルファ分離	あるふぁぶんり	alpha separation		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13909	A		アルファ表	あるふぁひょう	alpha table		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13910	A		補助データ塊	ほじょでーたかたまり	ancillary chunk		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13911	A		ビット幅	びっとはば	bit depth		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13912	A		バイト	ばいと	byte		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13913	A		バイト順序	ばいとじゅんじょ	byte order		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13914	A		チャネル	ちゃねる	channel		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13915	A		色度	しきど	chromaticity (CIE)		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13916	A		データ塊	でーたかたまり	chunk		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13917	A		色種別	いろしゅべつ	colour type		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13918	A		合成する	ごうせいする	composite (verb)		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13919	A		必す(須)データ塊	ひっすでーたかたまり	critical chunk		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13920	A		データ流	でーたりゅう	datastream		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13921	A		デフレート	でふれーと	deflate		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13922	A		引渡し画像	ひきわたしがぞう	delivered image		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13923	A		フィルタ	ふぃるた	filter		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13924	A		フレームバッファ	ふれーむばっふぁ	frame buffer		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13925	A		ガンマ特性	がんまとくせい	gamma		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13926	A		濃淡階調	のうたんかいちょう	greyscale		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13927	A		画像データ	がぞうでーた	image data		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13928	A		指標付き色指定	しひょうつきいろしてい	indexed-colour		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13929	A		指標表現	しひょうひょうげん	indexing		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13930	A		飛越し操作PNG画像	とびこしそうさPNGがぞう	interlaced PNG image		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13931	A		可逆圧縮	かぎゃくあっしゅく	lossless compression		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13932	A		非可逆圧縮	ひかぎゃくあっしゅく	lossy compression		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13933	A		輝度	きど	luminance		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13934	A		LZ77	LZ77	LZ77		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13935	A		バイト降順	ばいとこうじゅん	network byte order		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13936	A		パレット	ぱれっと	palette		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13937	A		階段抽出	かいだんちゅうしゅつ	pass extraction		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13938	A		画素	がそ	pixel		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13939	A		PNG データ流	PNG でーたりゅう	PNG datastream		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13940	A		PNG 復号処理、PNG 復号器	PNG ふくごうしょり、PNG ふくごうき	PNG decoder		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13941	A		PNG 編集処理、PNG 編集器	PNG へんしゅうしょり、PNG へんしゅうき	PNG editor		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13942	A		PNG 符号化処理、PNG 符号化器	PNG ふごうかしょり、PNG ふごうかき	PNG encoder		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13943	A		PNG ファイル	PNG ふぁいる	PNG file		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13944	A		PNG 4 バイト符号付き整数	PNG 4 ばいとふごうつきせいすう	PNG four-byte signed integer		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13945	A		PNG 4 バイト符号なし整数	PNG 4 ばいとふごうなしせいすう	PNG four-byte unsigned integer		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13946	A		PNG 画像	PNG がぞう	PNG image		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13947	A		PNG 署名	PNG しょめい	PNG signature		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13948	A		間引き画像	まびきがぞう	reduced image		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13949	A		基準化画像	きじゅんかがぞう	reference image		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13950	A		RGB併合	PGBへいごう	RGB merging		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13951	A		標本(値)	ひょうほん(ち)	sample		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13952	A		標本(値)幅	ひょうほん(ち)はば	sample depth		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13953	A		標本(値)幅変換	ひょうほん(ち)はばへんか	sample depth scaling		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13954	A		走査線	そうさせん	scanline		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13955	A		原画像	げんがぞう	source image		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13956	A		直接色指定	ちょくせついろしてい	truecolour		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13957	A		白色点	しろいろてん	white point		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13958	A		zlib	zlib	zlib		JIS X 4242	2002	ISO/IEC 15948	2004				2004	SC24
13959	A		簡易様式	かんいようしき	abbreviated format	復号時に必要な表の一部若しくはすべてを含まない圧縮画像データ表現、又はフレームヘッダ、走査ヘッダ及びエントロピー符号化された部分列を含まない表指定データの表	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13960	A		交流係数	こうりゅうけいすう	AC coefficient	最低1次元において、周波数がゼロでないDCT係数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13961	A		(適応)(2値)算術復号	(てきおう)(2ち)さんじゅつふくごう	(adaptive)(binary)arithmetic decoding	算術符号器によって生成されるビットの連続からシンボルの連続を復元するエントロピー復号処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13962	A		(適応)(2値)算術符号化	(てきおう)(2ち)さんじゅつふごうか	(adaptive)(binary)arithmetic encoding	その時点までに符号化されたシンボルの連続に対する確率の再帰的な部分分割を用いて、符号化を行うエントロピー符号化処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13963	A		応用環境	おうようかんきょう	application enviroment	その特定の応用のために設定されたデータの表現、転送及び格納の形式の規定。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13964	A		算術復号器	さんじゅつふくごうき	arithmetic decoder	算術復号処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13965	A		算術符号器	さんじゅつふごうき	arithmetic encoder	算術符号化処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13966	A		基本処理(順次)	きほんしょり(じゅんじ)	baseline(sequential)	この規格で規定している特定の順次DCT利用型の符号化処理及び復号処理。これは、すべてのDCT利用型の復号処理で必要となる。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13967	A		2値判定	2ちはんてい	binary decision	二者択一の選択。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13968	A		ビット系列	びっとけいれつ	bit stream	エントロピー符号化された部分列を含むビットの列であって、部分的に符号化又は復号されたもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13969	A		ブロック	ぶろっく	block	8×8の標本の配列又は一つの成分のDCT係数値の8×8の配列。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13970	A		ブロック行	ぶろっくぎょう	block-row	8×8ブロックに区切られる、八つの連続する成分行の連続。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13971	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの一塊。オクテット。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
13972	A		バイト挿入	ばいとそうにゅう	byte stuffing	ハフマン符号器又は算術符号器において、エントロピー符号化された部分列に16進で0XFFバイトが発生したとき、その直後にゼロを示すバイトを挿入する処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13973	A		けた上げビット	けたあげびっと	carry bit	算術符号器のレジスタ内のビットであって、符号レジスタのけた上げあふれが出力バイト用の8ビットを超えてあふれた場合に1となるもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13974	A		天井関数	てんじょうかんすう	ceiling function	実数値に対して、その値以上の最小の整数を設定することで、その最大の整数部分を取り出す数学処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13975	A		(符号処理の)種別	(ふごうしょりの)しゅべつ	class(of coding process)	非可逆及び可逆の一群の符号処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13976	A		符号レジスタ	ふごうれじすた	code register	部分的に完結したエントロピー符号化された部分列の最下位ビットを保持する算術符号器レジスタ、又は部分的に復号されたエントロピー符号部分列の最上位ビットを保持する算術復号器レジスタ。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13977	A		符号処理器	ふごうしょりき	coder	符号処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13978	A		符号処理	ふごうしょり	coding	符号化及び復号。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13979	A		符号処理モデル	ふごうしょりもでる	coding model	入力データを符号処理してシンボルに変換する処理手順。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13980	A		(符号)処理	(ふごう)しょり	(coding)process	符号化、復号又はその両者を指す一般的な用語。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13981	A		カラー画像	からーがぞう	colour image	複数の成分をもつ連続階調画像。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13982	A		列	れつ	columns	一つの成分における行に並んだ標本。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13983	A		成分	せいぶん	component	画像を構成する2次元配列の一つ。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13984	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	compressed data	圧縮画像データ、表指定データ又はその両者。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13985	A		圧縮画像データ	あっしゅくがぞうでーた	compressed image data	この規格に従った、画像の符号化表現。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13986	A		圧縮	あっしゅく	compression	原画像データを表現するために必要なビット数を低減すること。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13987	A		条件付き交換	じょうけんつきこうかん	conditional exchange	(算術符号処理において、)LPS確立間隔の大きさがMPS確率間隔より大きい場合に、MPSとLPSとの確立間隔を交換すること。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13988	A		(条件付き)確立推定	(じょうけんつき)かくりつすいてい	(conditional)probability estimate	(算術符号処理において、)確立予測状態遷移図によってLPSに割り当てられる確立値。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13989	A		条件表	じょうけんひょう	conditioning table	算術符号処理において、それまでの符号処理判定と条件付き確立推定値との関係を指定する引数の集合。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13990	A		文脈	ぶんみゃく	context	(算術復号において、)既に符号処理された2値判定の集合。これは、確立推定状態遷移図へのインデックスを作成する際に用いる。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13991	A		連続階調画像	れんぞくかいちょうがぞう	continuous-tone image	成分が各標本ごとに2ビット以上ある画像。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13992	A		データ単位	でーたたんい	data unit	DCT利用型処理における1ブロック。可逆処理における1標本。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13993	A		直流係数	ちょくりゅうけいすう	DC coefficient	二つの次元のどちらについてもその周波数がゼロであるDCT係数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13994	A		直流係数予測	ちょくりゅうけいすうよそく	DC prediction	DCT利用型の符号器で用いられる処理で、着目する量子化された直流係数から、同じ成分の中で直前に符号化した8×8ブロックの量子化された直流係数を引く処理手順。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13995	A		(DCT)係数	(DCT)けいすう	(DCT) coefficient	それぞれの余弦基底関数の振幅。元のDCT係数、量子化されたDCT係数又は逆量子化されたDCT係数を示す。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13996	A		復号器	ふくごうき	decoder	復号処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13997	A		復号処理	ふくごうしょり	decoding process	圧縮画像データを入力として受け取り、連続階調画像を出力する処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13998	A		既定値	きていち	default conditioning	画像の符号処理を開始する際に、算術符号処理の条件表用の値として設定されている	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
13999	A		逆量子化	ぎゃくりょうしか	dequantization	復号器においてDCT係数を復元するために用いる量子化の逆の処理手順。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14000	A		成分差分	せいぶんさぶん	differential component	(階層型符号処理において、)原画から得られた入力成分と前のフレームから得られた対応する参照成分との差。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14001	A		差分フレーム	さぶんふれーむ	differential frame	階層型処理において、成分差分の符号化又は復号を行うフレーム。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14002	A		(ディジタル)再生画像(データ)	(でぃじたる)さいせいがぞう(でーた)	(digital) reconstructed image (data)	この規格で規定するすべての復号器の出力として得られる連続階調画像。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14003	A		(ディジタル)原画像(データ)	(でぃじたる)げんがぞう(でーた)	(digital) source image (data)	この規格で規定するすべての符号器への入力となる連続階調画像。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14004	A		(ディジタル)(静止)画像	(でぃじたる)(せいし)がぞう	(digital) (still) image	整数データの2次元配列からなる集合。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14005	A		離散余弦変換、DCT	りさんよげんへんかん、DCT	discrete cosine transform, DCT	順方向離散余弦変換又は逆離散余弦変換。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14006	A		標本減少(フィルタ)	ひょうほんげんしょう(ふぃるた)	downsampling(filter)	(階層型符号処理において、)画像の空間解像度を削減する処理手順。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14007	A		符号器	ふごうき	encoder	符号化処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14008	A		符号化処理	ふごうかしょり	encoding process	連続階調画像を入力として、圧縮画像データを出力する処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14009	A		エントロピー符号化(データ)部分列	えんとろぴーふごうか(でーた)ぶぶんれつ	entropy-coded (data) segment	独立に復号できる、圧縮画像データのエントロピー符号化されたバイトの列。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14010	A		(エントロピー符号化部分列)指標	(えんとろぴーふごうかぶぶんれつ)しひょう	(entropy-coded segment) pointer	エントロピー符号化部分列における、最も新しく挿入された又は取り出されたバイトを示す変数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14011	A		エントロピー復号器	えんとろぴーふくごうき	entropy decoder	エントロピー復号処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14012	A		エントロピー復号	えんとろぴーふくごう	entropy decoding	エントロピー復号器で生成されたビットの連続からシンボルの連続を復元する可逆処理	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14013	A		エントロピー符号器	えんとろぴーふごうき	entropy encoder	エントロピー符号化処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14014	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy encoding	シンボルごとの平均ビット数が入力シンボルのエントロピーに近づくように、入力シンボルの連続をビットの連続に変換する可逆処理手順。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14015	A		拡張(DCT利用型の)処理	かくちょう(DCTりようがたの)しょり	extended (DCT-based) process	基本順次処理に対して追加機能をもつDCT利用型の符号化処理及び復号処理を表す用語。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14016	A		正離散余弦変換、FDCT	せいりさんよげんへんかん、FDCT	forward discrete cosine transform, FDCT	1ブロックの標本を元のDCT係数の対応する1ブロックに変換する、余弦基底関数を用いた数学的な変換。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14017	A		フレーム	ふれーむ	frame	画像の一つ以上の成分のデータにおける、(いずれも同一のDCT型又は可逆処理を用いた、)一つ以上の走査からなる集合。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14018	A		フレームヘッダ	ふれーむへっだ	frame header	フレーム開始マーカ及び関連するフレーム引数を含み、フレームの先頭で符号化されるマーカ部分列。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14019	A		周波数	しゅうはすう	frequency	DCT係数の2次元配列に対する2次元インデックス。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14020	A		(周波数)帯域	(しゅうはすう)たいいき	(frequency) band	(段階モードの符号処理において、)ジグザグ順序での一連の係数列。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14021	A		完全段階処理	かんぜんだんかいしょり	full progression	(段階モードの符号処理において、)周波数選択と逐次近似との両方を用いた処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14022	A		単色階調画像	たんしょくかいちょうがぞう	grayscale image	1成分しかもたない連続階調画像。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14023	A		階層型	かいそうがた	hierarchical	与えられた成分に対する最初のフレームに続けて、元のデータと、その成分に対する直前のフレームから復元したデータとの差分を符号化したフレームが続く、画像の符号処理モードの一つ。フレーム間で解像度を変更することも可能である。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14024	A		階層型復号器	かいそうがたふくごうき	hierarchical decoder	それぞれの成分に対して最初のフレームの後に、各成分に対する差分配列を復号し、直前のフレームから復元したデータに付け加えるフレームが続く一連の復号器処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14025	A		階層型符号器	かいそうがたふごうき	hierarchical enoder	各成分について最初のフレームの後に、元のデータと、その成分について一つ前のフレームから復元したデータとの差分配列を符号化したフレームが続く符号処理モード。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14026	A		水平抽出比率	すいへいちゅうしゅつひり	horizontal sampling factor	ある特定成分の水平データ単位の、他の成分における水平データ単位数に対する比。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14027	A		ハフマン復号器	はふまんふくごうき	Huffman decoder	ハフマン復号処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14028	A		ハフマン復号	はふまんふくごう	Huffman decoding	ハフマン符号器で生成された各可変長符号からシンボルを復元するエントロピー復号処	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14029	A		ハフマン符号器	はふまんふごうき	Huffman encoder	ハフマン符号化処理を実際に行うもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14030	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman encoding	入力シンボルのそれぞれに可変長符号を割り当てるエントロピー符号化処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14031	A		ハフマン符号表	はふまんふごうひょう	Huffman table	ハフマン符号器及びハフマン復号器に必要な可変長符号の集合。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14032	A		画像データ	がぞうでーた	image data	原画像データ又は再生画像データ。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14033	A		交換様式	こうかんようしき	interchange format	応用環境間での交換用圧縮画像データの様式。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14034	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaved	1走査内において各成分のデータ単位を特定の順序で重畳させることを繰り返す手法。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14035	A		逆離散余弦変換、IDCT	ぎゃくりさんよげんへんかん、IDCT	inverse discrete cosine transform, IDCT	逆量子化されたDCT係数の1ブロックを対応する標本のブロックに変換する余弦型関数を用いる数学上の変換。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14036	A		ジョイントフォトグラフィックエキスパートグループ、JPEG	じょいんとふぉとぐらふぃっくえきすぱーとぐるーぷ、じぇいぺぐ	Joint Photographic Experts Group, JPEG	この規格の原国際規格を作成した協議会の非公式な名称。"ジョイント"は、CCITTとISO/IECとの協力関係に由来している。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14037	A		潜伏出力	せんぷくしゅつりょく	latent output	(算術符号処理において、)けた上げあふれの決定を保留している算術符号器の出力。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14038	A		劣勢シンボル	れっせいしんぼる	less probable symbol, LPS	2値判定において、確立の低い判定値。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14039	A		レベルシフト	れべるしふと	level shift	DCT利用型の符号器及び復号器で用いられる処理で、各入力標本は、符合なし表現から2の補数表現に変換されるか、2の補数表現から符号なし表現に変換される。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14040	A		可逆	かぎゃく	lossless	復号処理の出力が符号化処理への入力に等しいことを示す符号化処理、復号処理及び処理手順に用いられる表現。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14041	A		可逆符号処理	かぎゃくふごうしょり	lossless coding	この規格で定義される、すべての処理が可逆である符号化処理のどれか一つに従った符号処理モード。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14042	A		不可逆	ふかぎゃく	lossy	可逆でない符号化処理及び復号処理を示す表現。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14043	A		マーカ	まーか	marker	最初のバイトが16進のFF(X'FF')で、2番目のバイトが1と16進のFE(X'FE')との間の値である2バイトコード。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14044	A		マーカ部分列	まーかぶぶんれつ	marker segment	一つのマーカ及びそれに付随する引数の集合。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14045	A		MCU行	MCUぎょう	MCU-raw	MCUの集合としてもっとも小さいもので、走査における各成分の少なくとも1行分の標本又は一つのブロック行を含んでいる。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14046	A		最小符号化単位、MCU	さいしょうふごうかたんい、MCU	minimum coded unit, MCU	符号化されるもっとも小さいデータ単位の集合。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14047	A		(符号処)モード	(ふごうしょり)もーど	modes (of operation)	この規格に定められた、画像符号処理の四つの主な種類。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14048	A		優勢シンボル、MPS	ゆうせいしんぼる、MPS	more probable	2値判定における、より大きな確率をもつ判定値。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14049	A		非差分フレーム	ひさぶんふれーむ	non-differential frame	階層型符号器又は復号器におけるすべての成分についての最初のフレーム。各成分は、参照成分との差分をとることなく符号化又は復号される。この用語は、階層型以外のモードにおけるフレームのことも示す。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14050	A		非インタリーブ	ひいんたりーぶ	non-interleaved	走査が一つの成分しかもたないときのデータ単位を生成する処理を行う手法。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14051	A		引数	ひきすう	parameters	圧縮データ形式で用いられる固定長の4、8及び16のビット長の整数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14052	A		小数点移動	しょうすうてんいどう	point transform	標本又はDCT係数を定数倍する変換。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14053	A		精度	せいど	precision	ある特定の標本又はDCT係数に割り当てられるビット数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14054	A		予測器	よそくき	predictor	(可逆モードの符号処理において、)先に符号化され、復元された値の線形の組合せ。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14055	A		確率推定状態表	かくりつすいていじょうたいひょう	probability estimation state machine	(算術符号処理において)確率値とインデックスとの相互の関連を示す表で、LPSの確率の予測に用いられる。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14056	A		確率間隔	かくりつかんかく	probability interval	(算術符号処理において、)順序づけられたすべての起こり得る2値判定の組合せのうちの、特定の組合せの確率。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14057	A		(確率)部分間隔	(かくりつ)ぶぶんかんかく	(probability) sub-interval	(算術符号処理において、)二つの起こり得る2値判定値のいずれかに割り当てられる確率間隔の一部。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14058	A		処理手順	しょりてじゅん	procedure	符号化処理又は復号処理を構成する処理の一つを実現する手段の集合。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14059	A		処理	しょり	process	符号処理を参照。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14060	A		段階(符号処理)	だんかい(ふごうしょり)	progressive (coding)	復元された画像の質が各走査によって改善されるDCT利用型処理の一つであって、この規格で定義されているもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14061	A		DCT利用型の段階	DCTりようがたのだんかい	progressive DCT-based	この規格の附属書Gで定義されているDCT利用型処理の一つを示す符号処理モード。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14062	A		量子化表	りょうしかひょう	quantization table	DCT係数を量子化するために用いられる64個の量子化幅。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14063	A		量子化幅	りょうしかはば	quantization value	量子化処理で用いられる整数値。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14064	A		量子化	りょうしか	quantize	DCT係数を量子化する処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14065	A		参照(再生)成分	さんしょう(さいせい)せいぶん	reference (reconstructed) component	階層型の符号化又は復号処理の次のフレームで用いられる、復元された成分データ。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14066	A		再生規化	さいせいきか	renormalization	(算術復号処理において、)確率間隔及び符号レジスタ値を確率間隔が定められた最小値を超えるまで続けて2倍すること。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14067	A		符号化再初期化間隔	ふごうかさいしょきかかんかく	restart interval	1走査において独立して処理されるMCUの数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14068	A		符号化再初期化マーカ	ふごうかさいしょきかまー	restart marker	1走査における二つの符号化再初期化間隔を分離するマーカ。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14069	A		連(の長さ)	れん(のながさ)	run (length)	同じ値のシンボルが連続する数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14070	A		標本	ひょうほん	sample	1成分を構成する2次元配列における1要素。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14071	A		標本インタリーブ	ひょうほんいんたりーぶ	sample-interleaved	1走査において、各成分からなる標本の小さな集合を、ある特定の順に繰り返し多重することを示す用語。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14072	A		走査	そうさ	scan	一つの画像において、一つ以上の成分のデータを通る単一の経路。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14073	A		走査ヘッダ	そうさへっだ	scan header	1走査の最初で符号化される、走査開始マーカ及び関連する走査引数。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14074	A		順次(符号処理)	じゅんじ(ふごうしょり)	sequential (coding)	画像の各成分が単一走査内で符号化される可逆又はDCT利用型の符号処理の一つであって、この規格で定められたもの。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14075	A		DCT利用型の順次処理	DCTりようがたのじゅんじしょり	sequential DCT-based	この規格の附属書Fで定められて処理の一つを示す符号処理モード。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14076	A		周波数選択	しゅうはすうせんたく	spectral selection	ジグザグ順序を一つ以上の連続した係数の帯域に分け、各帯域が1走査で符号化される段階符号処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14077	A		スタックカウンタ	すたっくかうんた	stack counter	算術符号におけるけた上げあふれの決定を保留しているX'FF'バイトの総計。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14078	A		統計的条件付け	とうけいてきじょうけんづけ	statistical conditioning	前の符号処理の決定に基づいて、条件付き確率推定の1セットから一つの予測値を選択すること。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14079	A		統計的モデル	とうけいてきもでる	statistical model	ある特定の条件付き確率推定の、2値算術符号化決定値のそれぞれへの割当て。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14080	A		統計的領域	とうけいてきりょういき	statistic area	算術符号処理を使用する符号処理に必要な統計器の配列。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14081	A		統計器	とうけいき	statistic bin	ある特定の算術符号処理の2値判定に用いられる条件付き確率推定値を認識するインデックスが記録されている記憶領域の場所。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14082	A		逐次近似	ちくじきんじ	successive approximation	係数が最初の操作で制度を落として符号化され、それに続く各捜査後とに精度が1ビットずつ増えていく段階符号処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14083	A		表指定データ	ひょうしていでーた	table specification data	符号器及び復号器で用いられる表が生成され、そのデスティネーションが示される符号化表現形式。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14084	A		符号変換	ふごうへんかん	transcoder	一つの符号化処理の圧縮画像データを、他の符号化処理の圧縮画像データに変換する	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14085	A		(一様)量子化	(いちよう)りょうしか	(uniform) quantization	圧縮を行うために、DCT係数が線形に縮小される処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14086	A		標本増加(フィルタ)	ひょうほんぞうか(ふいる	upsampling (filter)	(階層型の符号処理において、)画像の空間解像度が増加する処理。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14087	A		垂直抽出比率	すいちょくちゅうしゅつひりつ	vertical sampling factor	ある特定成分の垂直データ単位の、他の成分における垂直データ単位数に対する比。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14088	A		ゼロを示すバイト	ぜろをしめすばいと	zero byte	X'00'バイト。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14089	A		ジクザグ順序	じくざぐじゅんじょ	zig-zag sequence	最も低い空間周波数から最大値までのDCT係数のある特定の並びを示す順序。	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14090	A		3点予測器	3てんよそくき	3-sample predictor	(可逆モードの符号化において、)三つの近傍の復元した標本の、左及び上への線形組	JIS X 4301	1995	ISO/IEC 10918-1	1994				1994	SC29
14091	A		(符号)処理1	(ふごう)しょり1	(coding)process1	DCT利用型の基本処理順次符号処理、8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14092	A		(符号)処理2	(ふごう)しょり2	(coding)process2	DCT利用型の拡張順次符号処理、ハフマン符号処理、8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14093	A		(符号)処理3	(ふごう)しょり3	(coding)process3	DCT利用型の拡張順次符号処理、算術符号処理、8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14094	A		(符号)処理4	(ふごう)しょり4	(coding)process4	DCT利用型の拡張順次符号処理、ハフマン符号処理、12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14095	A		(符号)処理5	(ふごう)しょり5	(coding)process5	DCT利用型の拡張順次符号処理、算術符号処理、12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14096	A		(符号)処理6	(ふごう)しょり6	(coding)process6	周波数選択だけの符号処理、ハフマン符号処理、8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14097	A		(符号)処理7	(ふごう)しょり7	(coding)process7	周波数選択だけの符号処理、算術符号処理、8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14098	A		(符号)処理8	(ふごう)しょり8	(coding)process8	周波数選択だけの符号処理、ハフマン符号処理、12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14099	A		(符号)処理9	(ふごう)しょり9	(coding)process9	周波数選択だけの符号処理、算術符号処理、12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14100	A		(符号)処理10	(ふごう)しょり10	(coding)process10	完全段階処理の符号処理、ハフマン符号処理、8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14101	A		(符号)処理11	(ふごう)しょり11	(coding)process11	完全段階処理の符号処理、算術符号処理、8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14102	A		(符号)処理12	(ふごう)しょり12	(coding)process12	完全段階処理の符号処理、ハフマン符号処理、12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14103	A		(符号)処理13	(ふごう)しょり13	(coding)process13	完全段階処理の符号処理、算術符号処理、12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14104	A		(符号)処理14	(ふごう)しょり14	(coding)process14	可逆符号処理、ハフマン符号処理、2～16ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14105	A		(符号)処理15	(ふごう)しょり15	(coding)process15	可逆符号処理、算術符号処理、2～16ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14106	A		(符号)処理16	(ふごう)しょり16	(coding)process16	DCT利用型の拡張順次符号処理、ハフマン符号処理、階層型モードにおける8ビット標本	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14107	A		(符号)処理17	(ふごう)しょり17	(coding)process17	DCT利用型の拡張順次符号処理、算術符号処理、階層型モードにおける8ビット標本精	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14108	A		(符号)処理18	(ふごう)しょり18	(coding)process18	DCT利用型の拡張順次符号処理、ハフマン符号処理、階層型モードにおける12ビット標	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14109	A		(符号)処理19	(ふごう)しょり19	(coding)process19	DCT利用型の拡張順次符号処理、算術符号処理、階層型モードにおける12ビット標本精	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14110	A		(符号)処理20	(ふごう)しょり20	(coding)process20	周波数選択だけの符号処理、ハフマン符号処理、階層型モードにおける8ビット標本精	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14111	A		(符号)処理21	(ふごう)しょり21	(coding)process21	周波数選択だけの符号処理、算術符号処理、階層型モードにおける8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14112	A		(符号)処理22	(ふごう)しょり22	(coding)process22	周波数選択だけの符号処理、ハフマン符号処理、階層型モードにおける12ビット標本精	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14113	A		(符号)処理23	(ふごう)しょり23	(coding)process23	周波数選択だけの符号処理、算術符号処理、階層型モードにおける12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14114	A		(符号)処理24	(ふごう)しょり24	(coding)process24	完全段階処理の符号処理、ハフマン符号処理、階層型モードにおける8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14115	A		(符号)処理25	(ふごう)しょり25	(coding)process25	完全段階処理の符号処理、算術符号処理、階層型モードにおける8ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14116	A		(符号)処理26	(ふごう)しょり26	(coding)process26	完全段階処理の符号処理、ハフマン符号処理、階層型モードにおける12ビット標本精	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14117	A		(符号)処理27	(ふごう)しょり27	(coding)process27	完全段階処理の符号処理、算術符号処理、階層型モードにおける12ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14118	A		(符号)処理28	(ふごう)しょり28	(coding)process28	可逆符号処理、ハフマン符号処理、階層型モードにおける2から16ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14119	A		(符号)処理29	(ふごう)しょり29	(coding)process29	可逆符号処理、算術符号処理、階層型モードにおける2～16ビット標本精度。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14120	A		適合性試験	てきごうせいしけん	compliance test	符号化処理、圧縮データ列又は復号処理を具体化したものが、JIS X 4301に適合するか否かを決定するために用いる、この規格で規定する処理手順。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14121	A		圧縮画像試験データ(ストリーム)	あっしゅくがぞうしけんでーた(すとりーむ)	compressed image test data(stream)	特定の符号処理を試験するために生成した圧縮画像データ(適合性試験データの一部として配布される。)。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14122	A		圧縮画像妥当性確認データ(ストリーム)	あっしゅくがぞうだとうせいかくにんでーた(すとりー	compressed image validation data(stream)	特定の符号処理の妥当性確認のために生成した圧縮画像データ(適合性試験データの一部として配布される。)。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14123	A		圧縮試験データ(ストリーム)	あっしゅくしけんでーた(すとりーむ)	compressed test data(stream)	圧縮画像試験データ若しくは表指定試験データのいずれか、又は両方。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14124	A		復号器基準試験データ	ふくごうききじゅんしけんでーた	decoder reference test data	DCT利用型の復号器適合性試験で使用する圧縮画像試験データを入力とした基準復号器の再生画像データ出力から基準FDCT及び基準量子化器を用いて生成した量子化DCT係数データ。量子化DCT係数データの形式は、各成分ごとのファイルである。各成分は、左から右、上から下の順序で格	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14125	A		符号器基準試験データ	ふごうききじゅんしけんでーた	encoder reference test data	DCT利用型の符号器適合性試験で使用する原画像試験データから基準FDCT及び基準量子化器を用いて生成した量子化DCT係数データ(適合性試験データの一部として配布	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14126	A		はん(汎)用	はんよう	generic	広範囲な応用に使用可能、つまり応用に依存しない。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14127	A		直交表現	ちょっこうひょうげん	orthogonal representation	JIS X 4301の図A5に図示された2次元行列形式。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14128	A		量子化係数妥当性確認データ	りょうしかけいすうだとうせいかくにんでーた	quantized coefficient validation data	DCT利用型の符号器妥当性試験で使用する原画像妥当性確認試験データから生成された量子化されたDCT係数データ(適合性試験データの一部として配布される。)。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14129	A		DCT利用型の基準復号器	DCTりようがたのきじゅんふくごうき	reference DCT-based decoder	復号器基準試験データを生成するDCT利用型の復号処理を具体化したもの。エントロピー復号器、逆量子化器及び基準IDCTで構成する。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14130	A		DCT利用型の基準符号器	DCTりようがたのきじゅんふごうき	reference DCT-based encoder	DCT利用型の圧縮画像試験データストリームを生成するDCT利用型の符号化処理を具体化したもの。基準FDCT、基準量子化器及びエントロピー符号器で構成する。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14131	A		基準正離散余弦変換、基準FDCT	きじゅんせいりさんよげんへんかん、きじゅんFDCT	reference forward discrete cosine transform, reference FDCT	JIS X 4301のA.3.3に示すFDCTを倍精度(64ビット)浮動小数点で具体化したもの。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14132	A		基準逆離散余弦変換、基準IDCT	きじゅんぎゃくりさんよげんへんかん、きじゅんIDCT	reference inverse discrete cosine transform, reference IDCT	JIS X 4301のA.3.3に示すIDCTを倍精度(64ビット)浮動小数点で具体化したもの。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14133	A		基準量子化器	きじゅんりょうしかき	reference quantizer	JIS X 4301のA.3.4に示す量子化を具体化したもの。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14134	A		原画像試験データ	げんがぞうしけんでーた	source image test data	符号器適合性試験の入力として使用するデータ集合。このデータは、0～255の範囲にわたり均一に分布するように生成した一連の疑似乱数である。このデータを生成するために使用するアルゴリズムは、CCITT勧告H.261の附属書1に示されている(このデータは、適合性試験データの一部	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14135	A		表指定試験データ(ストリーム)	ひょうしていしけんでーた(すとりーむ)	table specification test data(stream)	簡易様式圧縮データにおける復号器の適合性試験のために生成した表指定データ(適合性試験データの一部として配布される。)。	JIS X 4302	1996	ISO/IEC 10918-2	1995				1995	SC29
14136	A		機能指示子	きのうしじし	capability indicator		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14137	A		成分登録	せいぶんとうろく	component registration		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14138	A		成分選択詳細化	せいぶんせんたくしょうさいか	component selective refinement		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14139	A		複合タイリング	ふくごうたいりんぐ	composite tiling		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14140	A		グリッド	ぐりっど	grid		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14141	A		階層型選択詳細化	かいそうがたせんたくしょうさいか	hierarchical selective refinement		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14142	A		階層型シーケンス	かいそうがたしーけんす	hierarchical sequence		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14143	A		画像グリッド	がぞうぐりっど	image grid		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14144	A		パラメタ	ぱらめた	parameters		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14145	A		段階選択詳細化	だんかいせんたくしょうさいか	progressive selective refinement		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14146	A		ピラミッドタイリング	ぴらみっどたいりんぐ	pyramidal tiling		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14147	A		参照グリッド	さんしょうぐりっど	reference grid		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14148	A		解像度	かいぞうど	resolution		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14149	A		選択詳細化	せんたくしょうさいか	selective refinement		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14150	A		単純タイリング	たんじゅんたいりんぐ	simple tiling		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14151	A		タイル	たいる	tile		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14152	A		タイル画像	たいるがぞう	tiled image		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14153	A		タイルグリッド	たいるぐりっど	tile grid		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14154	A		可変量子化	かへんりょうしか	variable quantization		JIS X 4303	1998	ISO/IEC 10918-3	1997				1997	SC29
14155	A		⌊i⌋, floor (注 関数名)	⌊i⌋, floor	⌊i⌋, floor		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14156	A		⌈i⌉, ceiling (注 関数名)	⌈i⌉, ceiling	⌈i⌉, ceiling		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14157	A		abs(i) (注 関数名)	abs(i)	abs(i)		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14158	A		簡易様式	かんいようしき	abbreviated format		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14159	A		応用環境	おうようかんきょう	application environment		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14160	A		偏り	かたより	bias		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14161	A		ビット系列	びっとけいれつ	bit stream		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14162	A		因果的テンプレート	いんがてきてんぷれーと	causal template		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14163	A		符号化画像データ部分列	ふごうかがぞうでーたぶぶんれつ	coded image data segment		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14164	A		符号処理	ふごうしょり	coding		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14165	A		符号処理引数	ふごうしょりひきすう	coding parameters		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14166	A		(符号)処理	(ふごう)しょり	(coding)process		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14167	A		カラー画像	からーがぞう	colour image		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14168	A		列	れつ	columns		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14169	A		成分	せいぶん	component		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14170	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	compressed data		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14171	A		圧縮画像(データ)	あっしゅくがぞう(でーた)	compressed image(data)		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14172	A		圧縮	あっしゅく	compression		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14173	A		文脈	ぶんみゃく	context		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14174	A		文脈モデリング	ぶんみゃくもでりんぐ	context modelling		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14175	A		連続階調画像	れんぞくかいちょうがぞう	continuous-tone image		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14176	A		復号器	ふくごうき	decoder		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14177	A		復号処理	ふくごうしょり	decoding process		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14178	A		符号器	ふごうき	encoder		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14179	A		符号化処理	ふごうかしょり	encoding process		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14180	A		フレーム	ふれーむ	frame		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14181	A		フレームヘッダ	ふれーむへっだ	frame header		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14182	A		ゴロム符号化	ごろむふごうか	Golomb coding		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14183	A		(局所的)こう配	(きょくしょてき)こうばい	(local)gradient		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14184	A		単色階調画像	たんしょくかいちょうがぞう	gray-scale image		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14185	A		水平標本化比率	すいへいひょうほんかひりつ	horizontal sampling factor		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14186	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman encoding		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14187	A		画像	がぞう	image		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14188	A		画像データ	がぞうでーた	image data		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14189	A		交換様式	こうかんようしき	interchange format		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14190	A		インタリーブ(された)	いんたりーぶ(された)	interleaved		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14191	A		JPEG-LS	じぇいぺぐえるえす	JPEG-LS		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14192	A		JPEG-LS事前設定符号処理引数	じぇいぺぐえるえすじぜんせっていふごうしょりひきすう	JPEG-LS preset coding parameters		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14193	A		JPEG-LS事前設定引数	じぇいぺぐえるえすじぜんせっていひきすう	JPEG-LS preset parameters		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14194	A		ラインインタリーブ	らいんいんたりーぶ	line interleaved		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14195	A		可逆	かぎゃく	lossless		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14196	A		可逆符号処理	かぎゃくふごうしょり	lossless coding		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14197	A		不可逆	ふかぎゃく	lossy		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14198	A		写像表	しゃぞうひょう	mapping table		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14199	A		マーカ	まーか	marker		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14200	A		マーカ部分列	まーかぶぶんれつ	marker segment		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14201	A		max(i,j) (注 関数名)	max(i,j)	max(i,j)		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14202	A		min(i,j) (注 関数名)	min(i,j)	min(i,j)		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14203	A		最小符号化単位	さいしょうふごうかたんい	minimum coded unit		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14204	A		準可逆	じゅんかぎゃく	near-lossless		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14205	A		準可逆符号処理	じゅんかぎゃくふごうしょり	near-lossless coding		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14206	A		非インタリーブ(インタリーブされていない)	ひいんたりーぶ(いんたりーぶされていない)	non-interleaved		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14207	A		符号化引数記述データ	ふごうかひきすうきじゅつでーた	parameter specification data		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14208	A		小数点移動	しょうすうてんいどう	point transform		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14209	A		精度	せいど	precision		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14210	A		標本予測値	ひょうほんよそくち	predicted sample value		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14211	A		予測修正	よそくしゅうせい	prediction correction		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14212	A		予測誤差	よそくごさ	prediction error		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14213	A		予測器	よそくき	predictor		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14214	A		手順	てじゅん	procedure		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14215	A		再生画像(データ)	さいせいがぞう(でーた)	reconstructed image(data)		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14216	A		再生画素値	さいせいがそち	reconstructed sample		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14217	A		通常モード	つうじょうもーど	regular mode		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14218	A		符号化再開区間(符号化再開間隔)	ふごうかさいかいくかん(ふごうかさいかいかんか	restart interval		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14219	A		符号化再開マーカ	ふごうかさいかいまーか	restart marker		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14220	A		連	れん	run		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14221	A		連の長さ	れんのながさ	run length		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14222	A		連モード	れんもーど	run mode		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14223	A		連終端標本	れんしゅうたんひょうほん	run interruption sample		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14224	A		標本	ひょうほん	sample		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14225	A		標本インタリーブ	ひょうほんいんたりーぶ	sample interleaved		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14226	A		標本写像手順	ひょうほんしゃぞうてじゅ	sample mapping procedure		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14227	A		標本変換処理	ひょうほんへんかんしょり	sample transformation process		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14228	A		標本値	ひょうほんち	sample value		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14229	A		走査	そうさ	scan		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14230	A		走査ヘッダ	そうさへっだ	scan header		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14231	A		原画像(データ)	げんがぞう(でーた)	source image(data)		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14232	A		一元符号	いちげんふごう	unary code		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14233	A		垂直標本化比率	すいちょくひょうほんかひ	vertical sampling factor		JIS X 4304-1	2000	ISO/IEC 14495-1	1999				1999	SC29
14234	B		算術符号器	さんじゅつふごうき	arithmetic encoder		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14235	B		算術符号化	さんじゅつふごうか	arithmetic encoding		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14236	B		算術復号器	さんじゅつふくごうき	arithmetic decoder		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14237	B		算術復号	さんじゅつふくごう	arithmetic decoding		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14238	B		2値文脈、2値コンテキスト	2ちぶんみゃく、2ちこんてきすと	binary context		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14239	B		2値判定	2ちはんてい	binary decision		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14240	B		色変換	いろへんかん	colour transform		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14241	B		正負反転	せいふはんてん	sign flipping		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14242	B		シンボルパッキング	しんぼるぱっきんぐ	symbol padking		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14243	B		視覚量子化	しかくりょうしか	visual quantization		JIS X 4304-2	2002	ISO/IEC 14495-2	2002		廃2008/3		2003	SC29
14244	A		適応算術符号処理器	てきおうさんじゅつふごうしょりき	adaptive arithmetic coder	本来のデータシンボルを予測し、符号化するために観察されたデータ特性を使うことによって、適応的に圧縮又は伸長を行う装置。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14245	A		適応テンプレート、AT	てきおうてんぷれーと、AT	adaptive templates	画像の処理中に、画像内で観察されたパターンを利用するために、AT画素を移動することによって変更することができるモデルテンプレート。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14246	A		AT距離	ATきょり	AT lag	符号化されている画素と AT 画素との間の距離。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14247	A		AT画素	ATがそ	AT pixel	画像の処理中に、その位置を適応的に変更できるモデルテンプレート内の特別な画素。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14248	A		ビット平面	びっとがそ	bit-plane	画素の特定のビットを選ぶことによって、画像から構成される2値シンボルの配列(又は	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14249	A		ビット平面インタリービング	びっとへいめんいんたりーびんぐ	bit-plane interleaving	データの二つ以上のビット平面を、単一の系列に一緒に混在させるために使用する方法。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14250	A		バイト	ばいと	byte	ビットのデータ。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14251	A		バイト挿入	ばいとそうにゅう	byte stuffing	マーカセグメントの開始を示す定義済みエスケープバイトと、同じ値の圧縮データ列内に通常発生するエスケープバイトとを明確に区別するための機能。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14252	A		文脈	ぶんみゃく	context	現在の画素の符号化に使用する適応算術符号の状態を示す指標に使用するテンプレートの特定のパターンと、空間的な位相関係(存在する場合)に対応する整数。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14253	A		決定論的予測、DP	けっていろんてきよそく、DP	deterministic prediction	ある画像内の個々の画素を正確に予測(したがって、符号化をしない。)する方法。これには、同じ画像の低解像度画像とともに、使われる低解像度化の方法についての特別な知識を利用する。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14254	A		差分層符号処理器	さぶんそうふごうしょりき	differential layer coder	差分層画像を符号化又は復号する装置。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14255	A		差分層画像	さぶんそうがぞう	differential-layer image	低解像度画像内の画素を参照することによって表現される、与えられた解像度の画像。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14256	A		エントロピ符号処理器	えんとろぴふごうしょりき	entropy coder	データを無損失で圧縮又は伸長するための方式。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14257	A		エスケープバイト	えすけーぷばいと	escape byte	後に続く情報が特別なマーカコードの意味をもつことを示すデータ列内のバイト。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14258	A		高解像度画素	こうかいぞうどがそ	high-resolution pixel	対象とする二つの解像度層のうち、高い方の解像度画像の画素。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14259	A		非典型的行、LNTP	ひてんけいてきぎょう、LNTP	line not typical	典型的予測を行っている場合に、与えられた低解像度行に関連する一つ以上の画素の予測が正しくないときに発生する状態。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14260	A		最低解像度層符号処理器	さいていかいぞうどそうふごうしょりき	lowest-resolution-layer coder	最低解像度層を符号化又は復号する装置。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14261	A		最低解像度層画像	さいていかいぞうどそうがぞう	lowest-resolution-layer image	どの低解像度画像も参照しないで記述される、与えられた解像度の画像。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14262	A		低解像度画素	ていかいぞうどがそ	low-resolution pixel	対象とする二つの解像度層のうち、低い方の解像度の画像の画素。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14263	A		マーカ	まーか	marker	1個のエスケープバイトとマーカバイトとの組合せ。これによって新たに制御情報を定義す	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14264	A		マーカバイト	まーかばいと	marker byte	あるエスケープバイトに続くバイトであって、新たに導かれる制御情報の型を定義するも	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14265	A		マーカセグメント	まーかせぐめんと	marker segment	マーカ及びそれに対応する制御情報の追加バイトの組合せ。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14266	A		モデルテンプレート、MT	もでるてんぷれーと、MT	model template	符号化される画素を基準にして画素の位置を記述する幾何学パターン。画像の局所的な特徴のモデル化に使われる。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14267	A		画素	がそ	pixel	画像の一つの要素を指す。画像は、その要素の長方形配列によって記述される。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14268	A		段階動作	だんかいどうさ	progressive behavior	ある画像が最初に最低解像度層画像で符号化された後、差分層画像を使ってその解像度が段階的に増大されるときに符号化手法が示す動作。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14269	A		段階符号処理	だんかいふごうしょり	progressive coding	ある画像がストライプに分割された後、画像全体がまず最低解像度層画像として符号化され、更に差分層画像を使って引き続き解像度が拡大される符号処理方式。この方式は、ストライプ又は層のデータの並べ替えによって段階互換順次符号処理と互換性があ	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14270	A		段階互換順次符号処理	だんかいごかんじゅんじふごうしょり	progressive-compatible sequential coding	画像をストライプに分割し、ストライプが順次符号化され、各ストライプ内で画像が最大解像度まで段階的に符号化される符号処理方式。この方式は、ストライプ又は層データの並べ替えによって段階符号処理と互換性がある。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14271	A		保護ストライプ符号化データ、PSCD	ほごすとらいぷふごうかでーた、PSCD	protected stripe coded data	特別なマーカセグメント(圧縮データ列の一部ではない)を知らせる定義済みエスケープバイトと、通常は圧縮データ列内で発生するエスケープバイトとを区別するために、バイトを2922入することで変更されている圧縮画像データ列。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14272	A		低解像度化方法、RR	ていかいぞうどかほうほう、RR	resolution reduction method	特定の解像度の画像を、同一画像でより低い解像度に変換する方式。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14273	A		順次動作	じゅんじどうさ	sequential behavior	下方部の画像が何ら記述されない前に画像の上方部が完全に記述される符号化手法。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14274	A		単一段階順次符号処理	たんいつだんかいじゅんじふごうしょり	single-progression sequential coding	より低い解像度画像を参照することなく、行単位で左から右、上から下に単一解像度層で完全に符号化される画像符号化方式。差分層の数がゼロである段階符号処理及び段階互換順次符号処理と互換性がある。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14275	A		空間位相	くうかんいそう	spatial phase	差分層画像内のある画素の属性を示し、対応する低解像度画素に対する方向を記述す	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14276	A		空間解像度	くうかんかいぞうど	spatial resolution	決められた空間的大きさの画像領域を記述するのに使われる画素の数。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14277	A		ストライプ	すとらいぷ	stripe	画像の垂直方向の固定サイズの領域。その画像の全水平方向幅を含む。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14278	A		着目画素	ちゃくもくがそ	target pixel	処理される画素。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14279	A		典型的予測、TP	てんけいてきよそく、TP	typical prediction	同一色調の大きな領域の予測の成功を先行して調べる方法。その予測が対応する行全体に対して成功するときだけ、その予測結果が用いられる。	JIS X 4311	1996	ISO/IEC 11544	1993				1993	SC29
14280	A		適応テンプレート画素	てきおうてんぷれーとがそ	adaptive template pixel(s)		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14281	A		結合	けつごう	aggregation		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14282	A		2値画素	2ちがそ	bi-level image		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14283	A		ビット	びっと	bit		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14284	A		ビットマップ	びっとまっぷ	bitmap		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14285	A		バッファ	ばっふぁ	buffer		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14286	A		バイト	ばいと	byte		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14287	A		組合せ演算子	くみあわせえんざんし	combination operator		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14288	A		座標系	ざひょうけい	coordinate system		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14289	A		S差分	s-さぶん	delta S		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14290	A		T差分	Tさぶん	delta T		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14291	A		復号手順	ふくごうてじゅん	decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14292	A		整数復号手順	せいすうふくごうてじゅん	integer decoding		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14293	A		算術整数復号手順	さんじゅつせいすうふくごうてじゅん	arithmetic integer decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14294	A		領域復号手順	りょういきふくごうてじゅん	region decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14295	A		はん用領域復号手順	はんようりょういきふくごうてじゅん	generic region decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14296	A		はん用精細化領域復号手順	はんようせいさいかりょういきふくごうてじゅん	generic refinement region decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14297	A		濃淡階調復号手順	のうたんかいちょうふくごうてじゅん	gray-scale decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14298	A		パターン辞書復号手順	ぱたーんじしょふくごうてじゅん	pattern dictionary decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14299	A		ハーフトーン領域復号手順	はーふとーんりょういきふくごうてじゅん	halftone region decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14300	A		ハフマン表復号手順	はふまんひょうふくごうてじゅん	Huffman table decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14301	A		文字領域復号手順	もじりょういきふくごうてじゅん	text region decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14302	A		シンボル辞書復号手順	しんぼるじしょふくごうてじゅん	symbol dictionary decoding procedure		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14303	A		復号器	ふくごうき	decoder		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14304	A		辞書	じしょ	dictionary		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14305	A		パターン辞書	ぱたーんじしょ	pattern dictionary		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14306	A		シンボル辞書	しんぼるじしょ	symbol dictionary		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14307	A		移出フラグ	いしゅつふらぐ	export flag		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14308	A		移出リスト	いしゅつりすと	export list		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14309	A		濃淡階調画像	のうたんかいちょうがぞう	gray-scale image		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14310	A		濃淡階調画素	のうたんかいちょうがそ	gray-scale pixel		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14311	A		ハーフトーン格子点	はーふとーんこうしてん	halftone grid		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14312	A		高さクラス	たかさくらす	height class		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14313	A		高さクラス差分高さ	たかさくらすさぶんたかさ	height class delta height		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14314	A		高さクラス差分幅	たかさくらすさぶんはば	height class delta width		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14315	A		ハフマン表	はふまんひょう	Huffman table		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14316	A		可逆符号処理	かぎゃくふごうしょり	lossless coding		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14317	A		非可逆符号処理	ひかぎゃくふごうしょり	lossy coding		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14318	A		序数	じょすう	ordinal		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14319	A		脱範囲値	だつはんいち	out-of-band value		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14320	A		パターン	ぱたーん	pattern		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14321	A		画素	がそ	pixel		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14322	A		接頭語長	せっとうごちょう	prefix length		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14323	A		範囲の長さ	はんいのながさ	range length		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14324	A		参照ビットマップ	さんしょうびっとまっぷ	reference bitmap		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14325	A		被参照区分	ひさんしょうくぶん	referred-to segment		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14326	A		領域	りょういき	region		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14327	A		区分	くぶん	segment		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14328	A		帯	おび	strip		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14329	A		空の帯	くうのおび	empty strip		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14330	A		空でない帯	くうでないおび	non-empty strip		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14331	A		帯サイズ	おびさいず	strip size		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14332	A		シンボル	しんぼる	symbol		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14333	A		シンボルID	しんぼるID	symbol ID		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14334	A		シンボル実体	しんぼるじったい	symbol instance		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14335	A		シンボル実体精細化差分高さ	しんぼるじったいせいさいかさぶんたかさ	symbol instance refinement delta height		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14336	A		シンボル実体精細化差分幅	しんぼるじったいせいさいかさぶんはば	symbol instance refinement delta width		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14337	A		シンボル実体精細化差分X	しんぼるじったいせいさいかさぶんX	symbol instance refinement delta X		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14338	A		シンボル実体精細化差分Y	しんぼるじったいせいさいかさぶんY	symbol instance refinement delta Y		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14339	A		表要素(行)	ひょうようそ(ぎょう)	table line		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14340	A		典型的予測	てんけいてきよそく	typical prediction		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14341	A		値	あたい	value		JIS X 4312	2001	ISO/IEC 14492	2001				2001	SC29
14342	A		交流係数[動画]	こうりゅうけいすう[どうが]	AC coefficient [video]	一つ又は二つの次元の周波数が0でないDCT係数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14343	A		アクセス単位	あくせすたんい	access unit	圧縮音響データの場合は、1アクセス単位は一つの音響アクセス単位(一つの音響フレーム)。圧縮動画の場合は、一つの画像の符号化表現。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14344	A		適応分割[音響]	てきおうぶんかつ[おんきょう]	adaptive segmentation [audio]	ディジタル表現された音響記号の時間方向に可変な分割。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14345	A		適応ビット割当て[音響]	てきおうびっとわりあて[おんきょう]	adaptive bit allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間と周波数において適応的な、周波数帯域に対するビット割当て。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14346	A		適応雑音割当て[音響]	てきおうざつおんわりあて[おんきょう]	adaptive noise allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対する符号化雑音割当て。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14347	A		折返しひずみ[音響]	おりかえしひずみ[おんきょう]	alias[audio]	ナイキスト周波数未満による標本化で発生する折返し信号成分。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14348	A		分析フィルタバンク[音響]	ぶんせきふぃるたばんく[おんきょう]	analysis filterbank[audio]	符号器における、広帯域PCM音響信号を、間引かれた帯域分割標本へ変換するフィルタの群。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14349	A		音響アクセス単位[音響]	おんきょうあくせすたんい[おんきょう]	audio access unit[audio]	レイヤI及びレイヤIIの場合、それ自身復号可能な、符号化されたビット流の最小部分。ここでの復号とは、完全な音響信号が再構成されることを意味する。レイヤIIIの場合、前もって得たJIS X 4323に規定する特定の情報を用いて復号可能なビット流の部分。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14350	A		音響バッファ[音響]	おんきょうばっふぁ[おんきょう]	audio buffer[audio]	同期多重仮想復号器における、圧縮音響データを記憶するためのバッファ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14351	A		音響系列[音響]	おんきょうけいれつ[おんきょう]	audio sequence[audio]	次に示す、パラメタが等しい連続する音響フレーム。1)ID 2)レイヤ 3)標本化周波数 4)レイヤI及びレイヤIIにおけるビット速度指標	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14352	A		逆方向動きベクトル[動画]	ぎゃくほうこううごきべくとる[どうが]	backward motion vector[video]	表示順序で後の時刻の参照画像から動き補償をするとき使用する動きベクトル。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14353	A		バーク[音響]	ばーく[おんきょう]	Bark[audio]	臨界帯域尺度の単位。バーク尺度は、非線形に伸縮された可聴帯域全体の周波数尺度とする。聴覚の周波数分解能に密接に対応付けられている。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14354	A		双方向予測符号化画像、B画像[動画]	そうほうこうよそくふごうかがぞう、Bがぞう[どうが]	bidirectionally predictive-coded picture, B-picture[video]	過去参照画像及び/又は未来参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14355	A		ビット速度、ビットレート	びっとそくど、びっとれーと	bitrate	圧縮したビット流を蓄積媒体から復号器の入力に送るときの1秒当たりのビット数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14356	A		ブロック圧伸[音響]	ぶろっくあっしん[おんきょ	block companding[audio]	ある時間間隔における音響信号のディジタル表現の正規化。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14357	A		ブロック[動画]	ぶろっく[どうが]	block[video]	8画素8行からなる正方画素配列。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14358	A		境界[音響]	きょうかい[おんきょう]	bound[audio]	共包絡ステレオを適用する最も低い分割帯域。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14359	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned	符号化ビット流の中のあるビットの位置が、ビット流の初めのビットから8ビットの倍数の位置にあること。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14360	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの並び。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14361	A		チャネル	ちゃねる	channel	多重化ビット流を記録又は伝送するディジタル媒体。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14362	A		チャネル[音響]	ちゃねる[おんきょう]	channel[audio]	ステレオ信号の左右チャネル。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14363	A		色度(成分)[動画]	しきど(せいぶん)[どうが]	chrominance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2に規定するとおり、ガンマ補正済み三原色に関係する二つの色差信号の一つを表現する配列、ブロック又は単一の画素。色差信号には記号Cb及びCrを用いる。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14364	A		符号化音響ビット流[音響]	ふごうかおんきょうびっとりゅう[おんきょう]	coded audio bitstream[audio]	JIS X 4323に規定する音響記号の符号化表現。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14365	A		符号化動画ビット流[動画]	ふごうかどうがびっとりゅう[どうが]	coded video bitstream[video]	JIS X 4322に規定する一つ以上の画像の列の符号化表現。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14366	A		符号化順序[動画]	ふごうかじゅんじょ[どうが]	coded order[video]	画像を記録し復号する順序。この順序は、画像の表示順序と必ずしも同一ではない。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14367	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	データ要素の符号化した形の中の表現。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14368	A		符号化パラメタ	ふごうかぱらめた	coding parameters	符号化動画ビット流を特徴付ける、利用者が定義可能なパラメタの集合。符号化パラメタがビット流を特徴付け、復号可能なビット流の集合が復号器を特徴付ける。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14369	A		成分[動画]	せいぶん[どうが]	component[video]	画像を構成する三つの配列(輝度と二つの色度)の一つからなる配列、ブロック又は単一	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14370	A		圧縮	あっしゅく	compression	データの一項目を表現するために使うビット数の削減。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14371	A		一定ビット速度符号化動画[動画]	いっていびっとそくどふごうかどうが[どうが]	constant bitrate coded video[video]	一定の平均ビット速度をもつ圧縮動画ビット流。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14372	A		一定ビット速度、一定ビットレート	いっていびっとそくど、いっていびっとれーと	constant bitrate	圧縮ビット流の最初から最後までビット速度が一定である動作。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14373	A		制約パラメタ[動画]	せいやくぱらめた[どうが]	constrained parameter[video]	JIS X 4322の2.4.3.2に規定する符号化パラメタ集合の値。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14374	A		制約同期多重パラメタビット流、CSPS[同期多重]	せいやくどうきたじゅうばらめたびっとりゅう、CSPS[どうきたじゅう]	constrained system parameter stream (CSPS)[system]	この規格の2.4.6に規定する制限を満たす多重化ビット流。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14375	A		巡回冗長符号、CRC	じゅんかいじょうちょうふごう、CRC	CRC		JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14376	A		臨界帯域尺度[音響]	りんかいたいいきしゃくど[おんきょう]	critical band rate[audio]	周波数の聴覚心理関数。ある可聴周波数における臨界帯域尺度は、その周波数以下での臨界帯域数に比例する。臨界帯域尺度の単位をバークという。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14377	A		臨界帯域[音響]	りんかいたいいき[おんきょう]	critical band[audio]	聴覚の周波数分解能に対応したスペクトル領域における聴覚心理尺度。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14378	A		データ要素	でーたようそ	data element	データの一項目の符号化前及び復号後の表現。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14379	A		直流係数[動画]	ちょくりゅうけいすう[どう	dc-coefficient [video]	両次元ともに周波数が0であるDCT係数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14380	A		直流符号化画像、D画像[動画]	ちょくりゅうふごうかがぞう、Dがぞう[どうが]	dc-coded picture, D-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。符号化表現のDCT係数の中で、直流係数だけが存在する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14381	A		DCT係数	DCTけいすう	DCT coefficient	ある特定の余弦基底関数の振幅。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14382	A		復号ビット流	ふくごうびっとりゅう	decoded stream	圧縮ビット流を復号し再構成したもの。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14383	A		復号器入力バッファ[動画]	ふくごうきにゅうりょくばっふぁ[どうが]	decoder input buffer[video]	動画バッファ検証器で定める先入れ先出し(FIFO)バッファ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14384	A		復号器入力速度、復号器入力レート[動画]	ふくごうきにゅうりょくそくど、ふくごうきにゅうりょくれーと[どうが]	decoder input rate[video]	動画バッファ検証器で規定し、符号化動画ビット流中に符号化される毎秒のデータ量。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14385	A		復号器	ふくごうき	decoder	復号処理を行う実体。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14386	A		復号(処理)	ふくごう(しょり)	decoding(process)	入力符号化ビット流を読み込み、復号画像列又は復号音響標本列を生成する、この規格群で規定する処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14387	A		復号時刻スタンプ、DTS[同期多重]	ふくごうじこくすたんぷ、DTS[どうきたじゅう]	decoding time-stamp[system]	一つのアクセス単位が同期多重仮想復号器内で復号される時刻を示す内包ヘッダ内の項目。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14388	A		ディエンファシス[音響]	でぃえんふぁしす[おんきょう]	de-emphasis[audio]	エンファシスによる線形ひずみを元に戻すための、記録又は伝送後の音響信号に適用されるフィルタ処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14389	A		逆量子化[動画]	ぎゃくりょうしか[どうが]	dequantization[video]	量子化されたDCT係数を再倍率変換する処理。ビット流中のそれらの符号化表現を復号した後、かつ、逆DCT係数を行う前に行う。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14390	A		ディジタル記録媒体、DSM	でぃじたるきろくばいたい、DSM	digital storage media	ディジタルの、記録又は伝送を行う装置又はシステム。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14391	A		離散余弦変換、DCT[動画]	りさんよげんへんかん、DCT[どうが]	discrete cosine transform, DCT[video]	順離散余弦変換又は逆離散余弦変換。DCTは、逆変換可能な離散直交交換である。逆DCTは、JIS X 4322の附属書A(規定)に規定する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14392	A		表示順序[動画]	ひょうじじゅんじょ[どうが]	display order[video]	復号した画像列を画面表示する順序。一般に、この順序は、符号器に入力する画像列の順序と同じである。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14393	A		双チャネルモード[音響]	そうちゃねるもーど[おんきょう]	dual channel mode[audio]	一つのビット流中に、2か国語のような独立したプログラム内容を伴った2音響チャンネルのモード。符号化処理は、ステレオモードと同一とする。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14394	A		編集	へんしゅう	editing	一つ以上の圧縮ビット流を操作して、新しい圧縮ビット流を作る処理。編集されたビット流は、この規格の規定を満足しなければならない。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14395	A		信号要素ビット流[同期多重]	しんごうようそびっとりゅう[どうきたじゅう]	elementary stream[system]	符号化動画信号、符号化音響信号又はほかの符号化ビット流のいずれかを示す同期多重ビット流の総称。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14396	A		エンファシス[音響]	えんふぁしす[おんきょう]	emphasis [audio]	高音域において、信号対雑音比改善を目的として、記録又は伝送の前に音響信号に対し適用するフィルタ処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14397	A		符号器	ふごうき	encoder	符号化処理を行う実体。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14398	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding(process)	この規格群では規定しないが、入力画像列又は入力音響信号標本列を読み込み、この規格群の規定する正当な符号化ビット流を生成する処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14399	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding	冗長度削減を目的とした、信号のディジタル表現の可変長可逆符号化。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14400	A		高速順方向再生[動画]	こうそくじゅんほうこうさいせい[どうが]	fast forward playback[video]	動画系列の全体又はその一部を、その表示順序で実時間よりも速く再生する処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14401	A		高速フーリエ変換、FFT	こうそくふーりえへんかん、FFT	FFT	離散フーリエ変換(直交変換の一種)を実行する高速なアルゴリズム。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14402	A		フィルタバンク[音響]	ふぃるたばんく[おんきょう]	filterbank[audio]	可聴周波数帯域全体を覆う、一組の帯域通過フィルタ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14403	A		固定分割[音響]	こていぶんかつ[おんきょ	fixed segmentation[audio]	音響信号のディジタル表現を一定時間間隔で区切る分割方法。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14404	A		禁止	きんし	forbidden	符号化ビット流を規定する箇条において、使ってはならない値を示す記号。通常、開始符号への混合を避ける目的で使う。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14405	A		強制更新[動画]	きょうせいこうしん[どうが]	forced updating[video]	符号器及び復号器の逆DCT処理の間の数値の不一致が大きくなることを防ぐために、ときどきマクロブロックを画像内符号化して伝送する処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14406	A		順方向動きベクトル[動画]	じゅんほうこううごきべくとる[どうが]	forward motion vector[video]	表示順序で前の時間の参照画像から動き補償をするときに使用する動きベクトル。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14407	A		フレーム[音響]	ふれーむ[おんきょう]	frame[audio]	1音響アクセス単位から得る音響PCM標本に対応する音響信号の1区画。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14408	A		自由形式[音響]	じゆうけいしき[おんきょう]	free format[audio]	それぞれのレイヤで有効な最大のビット速度より低い範囲で、あらかじめ定義されていないすべてのビット速度を許容する形式。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14409	A		未来参照画像[動画]	みらいさんしょうがぞう[どうが]	future reference picture[video]	表示順序で現在の画像よりも後の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14410	A		グラニュール[レイヤII][音響]	ぐらにゅーる[れいやII][おんきょう]	granules [Layer II][audio]	32サブバンド各々の三つの連続するサブバンド標本値。96PCM標本値に相当し、各サブバンドの3標本値はまとめて量子化する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14411	A		グラニュール[レイヤIII][音響]	ぐらにゅーる[れいやIII][おんきょう]	granules [Layer III][audio]	固有の付加情報を伝送する576周波数成分。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14412	A		画像群[動画]	がぞうぐん[どうが]	group of pictures[video]	ランダムアクセスの手助けとすることを意図した、1枚以上の符号化画像からなる系列。JIS X 4322で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14413	A		ハン窓[音響]	はんまど[おんきょう]	Hann window[audio]	フーリエ変換の前に音響標本の1ブロックごとに各標本値に適用する時間関数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14414	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding	エントロピー符号化のある特定の方式。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14415	A		混成フィルタバンク[音響]	こんせいふぃるたばんく[おんきょう]	hybrid filterbank[audio]	帯域分割フィルタバンクとMDCTとを直列に組み合わせたもの。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14416	A		IMDCT[音響]	IMDCT[おんきょう]	IMDCT [audio]	逆変形離散余弦変換。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14417	A		共包絡ステレオ[音響]	きょうほうらくすてれお[おんきょう]	intensity stereo[audio]	高音域において左右チャネルのエネルギー包絡線だけを記録することによって、ステレオ音響信号のステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14418	A		飛越し走査[動画]	とびこしそうさ[どうが]	interlace[video]	画像内の交互の走査線が異なる時刻に表示される、伝統的なテレビジョン画像の特性。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14419	A		画像内符号化[動画]	がぞうないふごうか[どう	intra coding[video]	自らのマクロブロック又は画像の情報だけを使用する、マイクロブロック又は画像の符号	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14420	A		画像内符号化画像、I画像[動画]	がぞうないふごうかがぞう、Iがぞう[どうが]	intra-coded picture, I-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14421	A		(多重化)ビット流[同期多重]	(たじゅうか)びっとりゅう[どうきたじゅう]	ISO/IEC 11172(multiplexed)	この規格で規定する方式を用いて0個以上の信号要素ビット流を組み合わせて作る一つのビット流。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14422	A		ステレオ相関符号化[音響]	すてれおそうかんふごうか[おんきょう]	joint stereo coding[audio]	ステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14423	A		ステレオ相関モード[音響]	すてれおそうかんもーど[おんきょう]	joint stereo mode[audio]	ステレオ相関符号化を使った音響符号化アルゴリズムのモード。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14424	A		レイヤ[動画、同期多重]	れいや[どうが、どうきたじゅう]	layer[video and systems]	JIS X 4323に規定する音響システムの符号化階層の一つのアルゴリズム。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14425	A		レイヤ[音響]	れいや[おんきょう]	layer[audio]	この規格及びJIS X 4322に規定する同期多重及び動画における、データ階層化表現の一つの水準。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14426	A		輝度(成分)[動画]	きど(せいぶん)[どうが]	luminance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2で規定するとおりガンマ補正済み三原色に関係する信号の明るさを表現する配列、ブロック又は単一画素。輝度には記号Yを用いる。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14427	A		マクロブロック[動画]	まくろぶろっく[どうが]	macroblock[video]	画像の輝度成分の16×16画素領域からくる、4個の輝度データの8×8画素ブロック、及び対応する2個の色度データの8×8画素ブロック。あるときは画素データを参照する場合に用い、あるときはこの規格で規定する構文のマクロブロックレイヤの画素値及びほかのデータ要素の符号化表現を参照する場合に用いる。そのどちらであるかは、文脈から	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14428	A		写像[音響]	しゃぞう[おんきょう]	mapping[audio]	帯域分割フィルタ処理及び/又はMDCTによる時間領域から周波数領域への音響信号の	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14429	A		マスキング[音響]	ますきんぐ[おんきょう]	masking[audio]	ある音響信号の存在によって別の音響信号が知覚できなくなるような人間の聴覚の性	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14430	A		マスキングしきい値[音響]	ますきんぐしきいち[おんきょう]	masking threshold[audio]	聴覚によって知覚できる音響信号のレベルの最小値。周波数及び時間の関数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14431	A		MDCT[音響]	MDCT[おんきょう]	MDCT [audio]	変形離散余弦変換。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14432	A		動き補償[動画]	うごきほしょう[どうが]	motion compensation[video]	画素値の予測効率を高めるための動きベクトルの使用。予測誤差信号を形成するために、前に復号された画素値を保持する過去参照画像及び/又は未来参照画像に対する変位を与える動きベクトルを予測に使用する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14433	A		動き推定[動画]	うごきすいてい[どうが]	motion estimation[video]	符号化処理中、動きベクトルを推定する処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14434	A		動きベクトル[動画]	うごきべくとる[どうが]	motion vector[video]	現在の画像の座標から参照画像の座標への変位を与える動き補償用2次元ベクトル。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14435	A		和差ステレオ[音響]	わさすてれお[おんきょう]	MS stereo[audio]	左右チャネルの代わりに和及び差分による符号化に基づいたステレオ相関性及びステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14436	A		非画像内符号化[動画]	ひがぞうないふごうか[どうが]	non-intra coding[video]	自らの情報並びにほかの時刻に現れるマクロブロック及び画像から得る情報の両方を用いる、マクロブロック又は画像の符号化。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14437	A		非純音成分[音響]	ひじゅんおんせいぶん[おんきょう]	non-tonal component[audio]	音響信号の雑音的成分。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14438	A		ナイキスト標本化	ないきすとひょうほんか	Nyquist sampling	信号の最大帯域幅の2倍以上に相当する周波数(ナイキスト周波数)で行う標本化。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14439	A		外包[同期多重]	がいほう[どうきたじゅう]	pack[system]	一つの外包ヘッダ及びそれに続く一つ以上の内包。この規格で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14440	A		内包データ[同期多重]	ないほうでーた[どうきたじゅう]	packet data[system]	一つの内包内の一つの信号要素ビット流からの一連のバイトデータ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14441	A		内包ヘッダ[同期多重]	ないほうへっだ[どうきたじゅう]	packet header[system]	該当の内包データに含まれている信号要素ビット流の情報を与えるデータ構造。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14442	A		内包[同期多重]	ないほう[どうきたじゅう]	packet [system]	ヘッダに続き、信号要素データ流からの一連のバイト列。この規格で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14443	A		補充[音響]	ほじゅう[おんきょう]	padding[audio]	音響フレームの平均時間間隔を、それに対応するPCM標本化周期と調整するための方法であって、音響フレームのスロットを適宜挿入することによって行う。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14444	A		過去参照画像[動画]	かこさんしょうがぞう[どうが]	past reference picture [video]	表示順序で現在の画像よりも前の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14445	A		画素縦横比、画素アスペクト比[動画]	がそたてよこひ、がそあすぺくとひ[どうが]	pel aspect ratio[video]	表示面上の画素の垂直方向の公称寸法の、水平方向の公称寸法に対する比率。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14446	A		画素[動画]	がそ[どうが]	pel[video]	画素の要素。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14447	A		画像周期	がぞうしゅうき	picture period	画像速度の逆数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14448	A		画像速度、画像レート[動画]	がぞうそくど、がぞうれーと[どうが]	picture rate[video]	復号処理から出力すべき公称の毎秒画像数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14449	A		画像[動画]	がぞう[どうが]	picture[video]	原画像データ、符号化した画像データ又は再生した画像データ。原画像又は再生画像は、輝度信号及び2種類の色度信号を表す8ビットの三つの方形配列で構成する。画像レイヤは、JIS X 4322に規定する符号化構文中の一つのレイヤ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14450	A		多重位相フィルタバンク[音響]	たじゅういそうふぃるたばんく[おんきょう]	polyphase filterbank[audio]	フィルタバンクの効率的な実現を可能とする特別な位相関係をもった等しい帯域幅のフィルタの集まり。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14451	A		予測[動画]	よそく[どうが]	prediction[video]	現在復号している画素値又はデータ要素の推定値を与える予測器の使用。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14452	A		予測符号化画像、P画像[動画]	よそくふごうかがぞう、Pがぞう[どうが]	predictive-coded picture, P-picture[video]	過去参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14453	A		予測誤差[動画]	よそくごさ[どうが]	prediction error[video]	画素又はデータ要素の実際の値とその予測値との差。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14454	A		予測値[動画]	よそくち[どうが]	predictor[video]	前に復号した画素又はデータ要素の線形結合。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14455	A		再現時刻スタンプ、PTS[同期多重]	さいげんじこくすたんぷ、PTS[どうきたじゅう]	presentation time-stamp [system]	同期多重仮想復号器で再現単位を表現する時刻を示す内包ヘッダ内の項目。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14456	A		再現単位、PU[同期多重]	さいげんたんい、PU[どうきたじゅう]	presentation unit[system]	復号された音響アクセス単位又は復号した画像。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14457	A		聴覚心理モデル[音響]	ちょうかくしんりもでる[おんきょう]	psychoacoustic model[audio]	聴覚におけるマスキング特性の数学的モデル。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14458	A		量子化行列[動画]	りょうしかぎょうれつ[どう	quantization matrix[video]	逆量子化に使用する64個の8ビット値の集合。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14459	A		量子化DCT係数[動画]	りょうしかDCTけいすう[どうが]	quantized DCT coefficients[video]	逆量子化する前のDCT係数。量子化DCT係数の可変長符号化表現は、圧縮動画ビット流の一部として記録する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14460	A		量子化倍率[動画]	りょうしかばいりつ[どうが]	quantizer	復号処理での逆量子化の倍率変換に使う、ビット流中のデータ要素。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14461	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	任意の位置で符号化ビット流を読み込み、復号を開始する処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14462	A		参照画像[動画]	さんしょうがぞう[どうが]	reference picture[video]	表示順序で現在の画像に最も近いI画像又はP画像(一つ又は二つ)。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14463	A		並び替えバッファ[動画]	ならびかえばっふぁ[どう	reorder buffer[video]	再生されたI画像又はP画像を記憶するための同期多重仮想復号器のバッファ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14464	A		逆量子化[音響]	ぎゃくりょうしか[おんきょ	requantization[audio]	元の量子化値を得るために帯域分割標本を復号すること。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14465	A		予約	よやく	reserved	符号化ビット流を規定する箇条において、将来ISO/IECが規定する拡張で使われ得ることを示す記号。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14466	A		逆方向再生[動画]	ぎゃくほうこうさいせい[どうが]	reverse playback[video]	逆の表示順序で画像系列を表示する処理。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14467	A		同倍率群[音響]	どうばいりつぐん[おんきょ	scalefactor band [audio]	レイヤIIIにおいて一つの倍率で倍率変換する周波数成分の組	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14468	A		倍率指標[音響]	ばいりつしひょう[おんきょ	scalefactor index[audio]	倍率を指定する番号。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14469	A		倍率[音響]	ばいりつ[おんきょう]	scalefactor[audio]	一連の値を量子化の前に倍率変換するために用いる係数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14470	A		系列ヘッダ[動画]	けいれつへっだ[どうが]	sequence header[video]	符号化ビット流の中で、多くのデータ要素の符号化表現を含んでいるデータの集まり。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14471	A		付加情報	ふかじょうほう	side information	復号器を制御するために必要なビット流の中の情報。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14472	A		飛越しマクロブロック[動	とびこしまくろぶろっく[どう	skipped macroblock[video]	データを記録する必要のないマクロブロック。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14473	A		スライス[動画]	すらいす[どうが]	slice[video]	一連のマクロブロック。JIS X 4322に規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14474	A		スロット[音響]	すろっと[おんきょう]	slot[audio]	ビット流の基本要素の一つ。レイヤIは4バイト、レイヤIIでは1バイトとする。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14475	A		原始ビット流	げんしびっとりゅう	source stream	圧縮符号化の前の、単一の非多重化ビット流。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14476	A		広がり関数[音響]	ひろがりかんすう[おんきょ	spreading function[audio]	マスキングの周波数広がりを記述する関数。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14477	A		開始符号[同期多重、動画]	かいしふごう[どうきたじゅう、どうが]	start codes [system and video]	符号化ビット流の中に埋め込む、一意的に復号可能な32ビット符号。これらは符号化構文の幾つかのレイヤを同定することを含め、幾つかの目的のために使用する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14478	A		STD入力バッファ[同期多重]	STDにゅうりょくばっふぁ[どうきたじゅう]	STD input buffer [system]	復号直前に複数の信号要素ビット流からの圧縮データを記憶するために、同期多重仮想復号器の入力に設定される一つの先入れ先出しバッファ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14479	A		ステレオモード[音響]	すてれおもーど[おんきょう]	stereo mode[audio]	一つのビット流に一組のステレオ(左右)音響チャネルを符号化するモード。符号化手順は双チャネルモードと同じとする。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14480	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing (bits), stuffing (bytes)	ビット流のビット速度を増加するために、圧縮ビット流に挿入し、復号処理で破棄する符号。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14481	A		分割帯域[音響]	ぶんかつたいいき[おんきょう]	subband[audio]	音響周波数帯域の1区画。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14482	A		帯域分割フィルタバンク[音響]	たいいきぶんかつふぃるたばんく[おんきょう]	subband filter bank[audio]	全音響周波数帯域を変換する帯域フィルタの一組。JIS X 4323においては、帯域分割フィルタバンクは多重位相フィルタバンクとする。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14483	A		帯域分割標本[音響]	たいいきぶんかつひょうほん[おんきょう]	subband samples[audio]	音響符号器の帯域分割フィルタバンクによって、入力音響ビット流をフィルタ処理した後、再標本化した標本値。384の連続する音響標本から、12の連続した帯域分割標本値を32の分割帯域のそれぞれについて生成する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14484	A		同期語[音響]	どうきご[おんきょう]	syncword[audio]	音響ビット流に挿入するフレームの開始を示す12ビットの符号。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14485	A		合成フィルタバンク[音響]	ごうせいふぃるたばんく[おんきょう]	synthesis filterbank[audio]	帯域分割標本からPCM音響	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14486	A		同期多重ヘッダ[同期多重]	どうきたじゅうへっだ[どうきたじゅう]	system header[system]	多重化ビット流の同期多重特性をまとめた情報を運ぶ、この規格で規定するデータ要素の構造。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14487	A		同期多重仮想復号器、STD[同期多重]	どうきたじゅうかそうふくごうき、STD[どうきたじゅう]	system target decoder, STD[system]	多重化ビット流の意味付けを記述するための仮想的な復号処理の参照モデル。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14488	A		時刻スタンプ[同期多重]	じこくすたんぷ[どうきたじゅう]	time-stamp[system]	ある事象の時刻を示す項目。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14489	A		三つ組[音響]	みつぐみ[おんきょう]	triplet[audio]	同一の分割帯域内の三つの連続する帯域分割標本値。32分割帯域分の三つ組で1グラニュールとする。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14490	A		純音成分[音響]	じゅんおんせいぶん[おんきょう]	tonal component[audio]	音響信号における正弦波的成分。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14491	A		可変ビット速度、可変ビットレート	かへんびっとそくど、かへんびっとれーと	variable bitrate	圧縮ビット流の復号中にビット速度が時間とともに変化する動作。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14492	A		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、VLC	variable length coding	頻度の高い事象に短い符号を割り付け、頻度の低い事象に長い符号を割り付ける可逆符号化手順。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14493	A		動画バッファ検証器、VBV[動画]	どうがばっふぁけんしょうき、VBV[どうが]	video buffering verifier, VBV[video]	符号器の出力に概念的に接続する仮想的な復号器。符号器又は編集の結果として出てくるビット速度が満たさなければならない条件を、これで規定する。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14494	A		動画系列[動画]	どうがけいれつ[どうが]	video sequence[video]	一つ以上の画像群からなる符号列。この規格で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14495	A		ジクザク走査順序[動画]	じくざくそうさじゅんじょ[どうが]	zig-zag scanning order [video]	低周波から高周波の変換係数に向かって走査されるDCT係数の走査順序の一つ。	JIS X 4321	1998	ISO/IEC 11172-1	1993				1993	SC29
14496	A		交流係数[動画]	こうりゅうけいすう[どうが]	AC coefficient [video]	一つ又は二つの次元の周波数が0でないDCT係数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14497	A		アクセス単位[同期多重]	あくせすたんい[どうきたじゅう]	access unit [system]	圧縮音響データの場合は、一つの音響アクセス単位（一つの音響フレーム）。圧縮動画の場合は、一つの画像の符号化表現。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14498	A		適応分割[音響]	てきおうぶんかつ[おんきょう]	adaptive segmentation [audio]	ディジタル表現された音響信号の時間方向に可変かな分割。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14499	A		適応ビット割当て[音響]	てきおうびっとわりあて[おんきょう]	adaptive bit allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対するビット割当て。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14500	A		適応雑音割当て[音響]	てきおうざつおんわりあて[おんきょう]	adaptive noise allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対する符号化雑音割当て。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14501	A		折返しひずみ[音響]	おりかえしひずみ[おんきょう]	alias[audio]	ナイキスト周波数未満による標本化で発生する折返し信号成分。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14502	A		分析フィルタバンク[音響]	ぶんせきふぃるたばんく[おんきょう]	analysis filterbank[audio]	符号器において、広帯域PCM音響信号を、間引かれた帯域分割標本へ変換するフィルタの群。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14503	A		音響アクセス単位[音響]	おんきょうあくせすたんい[おんきょう]	audio access unit[audio]	レイヤI及びレイヤIIの場合、それ自身復号可能な、符号化されたビット流の最小部分。ここでの復号とは、完全な音響信号を再構成することを意味する。レイヤIIIの場合、前もって得た、JIS X 4323に規定する特定の情報を用いて復号可能なビット流の部分。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14504	A		音響バッファ[音響]	おんきょうばっふぁ[おんきょう]	audio buffer[audio]	同期多重仮想復号器における、圧縮音響データを記憶するためのバッファ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14505	A		音響系列[音響]	おんきょうけいれつ[おんきょう]	audio sequence[audio]	次に示すパラメタが等しい連続する音響フレーム。(1)ID(2)レイヤ(3)標本化周波数(4)レイヤI及びレイヤIIにおけるビット速度指標	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14506	A		逆方向動きベクトル[動画]	ぎゃくほうこううごきべくとる[どうが]	backward motion vector[video]	表示順序で後の時刻の参照画像から動き補償をするときに使用する動きベクトル。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14507	A		バーク[音響]	ばーく[おんきょう]	Bark[audio]	臨界帯域尺度の単位。バーク尺度は、非線形に伸縮された可聴帯域全体の周波数尺度とする。聴覚の周波数分解能に密接に対応づけられている。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14508	A		双方向予測符号化画像、B画像[動画]	そうほうこうよそくふごうかがぞう、Bがぞう[どうが]	bidirectionally predictive-coded picture, B-picture[video]	過去参照画像及び/又は未来参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14509	A		ビット速度、ビットレート	びっとそくど、びっとれーと	bitrate	圧縮したビット流を記録媒体から復号器の入力に送るときの1秒当たりのビット数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14510	A		ブロック圧伸[音響]	ぶろっくあっしん[おんきょ	block companding[audio]	ある時間間隔における音響信号のディジタル表現の正規化。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14511	A		ブロック[動画]	ぶろっく[どうが]	block[video]	8画素8行からなる正方画素配列。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14512	A		境界[音響]	きょうかい[おんきょう]	bound[audio]	共包絡ステレオを適用する最も低い分割帯域。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14513	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned	符号化ビット流の中のあるビットの位置が、ビット流の初めのビットから8ビットの倍数の位置にあること。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14514	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの並び。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14515	A		チャネル	ちゃねる	channel	多重化ビット流を記録又は伝送するディジタル媒体。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14516	A		チャネル[音響]	ちゃねる[おんきょう]	channel[audio]	ステレオ信号の左右チャネル。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14517	A		色度(成分)[動画]	しきど(せいぶん)[どうが]	chrominance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2に規定するとおり、ガンマ補正済み3原色に関係する二つの色差信号の一つを表現する配列、ブロック又は単一画素。色差信号には記号Cb及び	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14518	A		符号化音響ビット流[音響]	ふごうかおんきょうびっとりゅう[おんきょう]	coded audio bitstream[audio]	JIS X 4323に規定する音響信号の符号化表現。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14519	A		符号化動画ビット流[動画]	ふごうかどうがびっとりゅう[どうが]	coded video bitstream[video]	この規格に規定する一つ以上の画像の列の符号化表現。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14520	A		符号化順序[動画]	ふごうかじゅんじょ[どうが]	coded order[video]	画像を記録し復号する順序。この順序は、画像の表示順序と必ずしも同一ではない。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14521	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	データ要素の符号化した形の中の表現。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14522	A		符号化パラメタ[動画]	ふごうかぱらめた[どうが]	coding parameter[video]	符号化動画ビット流を特徴づける、利用者が定義可能なパラメタの集合。符号化パラメタがビット流を特徴づけ、復号可能なビット流の集合が復号器を特徴づける。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14523	A		成分[動画]	せいぶん[どうが]	component[video]	画像を構成する三つの配列（輝度及び二つの色度）の一つからなる配列、ブロック又は単一画素。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14524	A		圧縮	あっしゅく	compression	データの一項目を表現するために使うビット数の削減。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14525	A		一定ビット速度符号化動画[動画]	いっていびっとそくどふごうかどうが[どうが]	constant bitrate coded video[video]	一定平均ビット速度をもつ圧縮動画ビット流。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14526	A		一定ビット速度、一定ビットレート	いっていびっとそくど、いっていびっとれーと	constant bitrate	圧縮ビット流の最初から最後までビット速度が一定である動作。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14527	A		制約パラメタ[動画]	せいやくぱらめた[どうが]	constrained parameter[video]	2.4.3.2に規定する符号化パラメタ集合の値。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14528	A		制約同期多重パラメタビット流、CSPS[同期多重]	せいやくどうきたじゅうばらめたびっとりゅう、CSPS[どうきたじゅう]	constrained system parameter stream (CSPS) [system]	JIS X 4321の2.4.6に規定する制限を満たす多重化ビット流。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14529	A		巡回冗長符号、CRC	じゅんかいじょうちょうふごう、CRC	CRC		JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14530	A		臨界帯域尺度[音響]	りんかいたいいきしゃくど[おんきょう]	critical band rate[audio]	周波数の聴覚心理関数。ある可聴周波数における臨界帯域尺度は、その周波数以下での臨界帯域数に比例する。臨界帯域尺度の単位をバークという。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14531	A		臨界帯域[音響]	りんかいたいいき[おんきょう]	critical band[audio]	聴覚の周波数分解能に対応したスペクトル領域における聴覚心理尺度。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14532	A		データ要素	でーたようそ	data element	データの一項目の符号化前及び復号後の表現。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14533	A		直流係数[動画]	ちょくりゅうけいすう[どうが]	dc-coefficient [video]	両次元ともに周波数が0であるDCT係数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14534	A		直流符号化画像、D画像[動画]	ちょくりゅうふごうかがぞう、Dがぞう[どうが]	dc-coded picture, D-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。符号化表現のDCT係数の中で、直流係数だけが存在する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14535	A		DCT係数	DCTけいすう	DCT coefficient	ある特定の余弦基底関数の振幅。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14536	A		復号ビット流	ふくごうびっとりゅう	decoded stream	圧縮ビット流を復号し再構成したもの。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14537	A		復号器入力バッファ[動画]	ふくごうきにゅうりょくばっふぁ[どうが]	decoder input buffer[video]	動画バッファ検証器で定める先入れ先出し(FIFO)バッファ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14538	A		復号器入力速度、復号器入力レート[動画]	ふくごうきにゅうりょくそくど、ふくごうきにゅうりょくれーと[どうが]	decoder input rate[video]	動画バッファ検証器で規定し、符号化動画ビット流中に符号化される毎秒のデータ量。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14539	A		復号器	ふくごうき	decoder	復号処理を行う実体。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14540	A		復号(処理)	ふくごう(しょり)	decoding(process)	入力符号化ビット流を読み込み、復号画像列又は復号音響標本列を生成する、この規格群で規定する処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14541	A		復号時刻スタンプ、DTS[同期多重]	ふくごうじこくすたんぷ、DTS[どうきたじゅう]	decoding time-stamp[system]	一つのアクセス単位が同期多重仮想復号器内で復号される時刻を示す内包ヘッダ内の項目。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14542	A		ディエンファシス[音響]	でぃえんふぁしす[おんきょう]	de-emphasis[audio]	エンファシスによる線形ひずみを元に戻すための、記録又は伝送後の音響信号に適用されるフィルタ処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14543	A		逆量子化[動画]	ぎゃくりょうしか[どうが]	dequantization[video]	量子化されたDCT係数を再倍率変換する処理。ビット流中のそれらの符号化表現を復号した後、かつ逆DCTを行う前に行う。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14544	A		ディジタル記録媒体、DSM	でぃじたるきろくばいたい、DSM	digital storage media	ディジタルの、記録又は伝送を行う装置又はシステム。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14545	A		離散余弦変換、DCT[動画]	りさんよげんへんかん、DCT[どうが]	discrete cosine transform, DCT[video]	順離散余弦変換又は逆離散余弦変換。DCTは、逆変換可能な離散直交変換である。逆DCTは附属書A(規定)に規定する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14546	A		表示順序[動画]	ひょうじじゅんじょ[どうが]	display order[video]	復号した画像列を画面表示する順序。一般に、この順序は、符号器に入力する画像列の順序と同じである。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14547	A		双チャネルモード[音響]	そうちゃねるもーど[おんきょう]	dual channel mode[audio]	一つのビット流中に、2か国語のような独立したプログラム内容を伴った2音響チャネルのモード。符号化処理は、ステレオモードと同一とする。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14548	A		編集	へんしゅう	editing	一つ以上の圧縮ビット流を操作して、新しい圧縮ビット流を作成する処理。編集されたビット流は、この規格の規定を満足しなければならない。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14549	A		信号要素ビット流[同期多重]	しんごうようそびっとりゅう[どうきたじゅう]	elementary stream[system]	符号化動画信号、符号化音響信号又は他の符号化ビット流のいずれかを示す同期多重ビット流の総称。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14550	A		エンファシス[音響]	えんふぁしす[おんきょう]	emphasis [audio]	高音域において、信号対雑音比改善を目的として、記録又は伝送の前に音響信号に対し適用するフィルタ処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14551	A		符号器	ふごうき	encoder	符号化処理を行う実体。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14552	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding(process)	この規格群では規定しないが、入力画像列又は入力音響信号標本列を読み込み、この規格群の規定する正当な符号化ビット流を生成する処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14553	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding	冗長度削減を目的とした、信号のディジタル表現の可変長可逆符号化。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14554	A		高速順方向再生[動画]	こうそくじゅんほうこうさいせい[どうが]	fast forward playback[video]	動画系列の全体又はその一部を、その表示順序で実時間よりも速く再生する処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14555	A		高速フーリエ変換、FFT	こうそくふーりえへんかん、FFT	FFT	離散フーリエ変換(直交変換の一種)を実行する高速なアルゴリズム。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14556	A		フィルタバンク[音響]	ふぃるたばんく[おんきょう]	filterbank[audio]	可聴周波数帯域全体をおおう、一組の帯域通過フィルタ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14557	A		固定分割[音響]	こていぶんかつ[おんきょ	fixed segmentation[audio]	音響信号のディジタル表現を一定時間間隔で区切る分割方法。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14558	A		禁止	きんし	forbidden	符号化ビット流を規定する箇条において、使ってはならない値を示す記号。通常、開始符号への混同を避ける目的で使う。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14559	A		強制更新[動画]	きょうせいこうしん[どうが]	forced updating[video]	符号器及び復号器の逆DCT処理の間の数値の不一致が大きくなることを防ぐために、ときどきマクロブロックを画像内符号化して伝送する処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14560	A		順方向動きベクトル[動画]	じゅんほうこううごきべくとる[どうが]	forward motion vector[video]	表示順序で前の時刻の参照画像から動き補償をするときに使用する動きベクトル。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14561	A		フレーム[音響]	ふれーむ[おんきょう]	frame[audio]	1音響アクセス単位から得る音響PCM標本に対応する音響信号の1区画。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14562	A		自由形式[音響]	じゆうけいしき[おんきょう]	free format[audio]	それぞれのレイヤで有効な最大のビット速度より低い範囲で、あらかじめ定義されていないすべてのビット速度を許容する形式。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14563	A		未来参照画像[動画]	みらいさんしょうがぞう[どうが]	future reference picture[video]	表示順序で現在の画像よりも後の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14564	A		グラニュール[レイヤII][音響]	ぐらにゅーる[れいやII][おんきょう]	granules [Layer II][audio]	32サブバンド各々の三つの連続するサブバンド標本値。96PCM標本値に相当し、各サブバンドの3標本値はまとめて量子化する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14565	A		グラニュール[レイヤIII][音響]	ぐらにゅーる[れいやIII][おんきょう]	granules [Layer III][audio]	固有の付加情報を伝送する576周波数成分。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14566	A		画像群[動画]	がぞうぐん[どうが]	group of pictures[video]	ランダムアクセスの手助けとすることを意図した、1枚以上の符号化画像からなる系列。この規格で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14567	A		ハン窓[音響]	はんまど[おんきょう]	Hann window[audio]	フーリエ変換の前に音響標本の1ブロックごとに各標本値に適用する時間関数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14568	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding	エントロピー符号化のある特定の方式。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14569	A		混成フィルタバンク[音響]	こんせいふぃるたばんく[おんきょう]	hybrid filterbank[audio]	帯域分割フィルタバンクとMDCTとを直列に組み合わせたもの。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14570	A		IMDCT[音響]	IMDCT[おんきょう]	IMDCT [audio]	逆変形離散余弦変換。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14571	A		共包絡ステレオ[音響]	きょうほうらくすてれお[おんきょう]	intensity stereo[audio]	高音域において左右チャネルのエネルギー包絡線だけを記録することによって、ステレオ音響信号のステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14572	A		飛越し走査[動画]	とびこしそうさ[どうが]	interlace[video]	画像内の交互の走査線が異なる時刻に表示される、伝統的なテレビジョン画像の特性。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14573	A		画像内符号化[動画]	がぞうないふごうか[どう	intra coding[video]	自らのマクロブロック又は画像の情報だけを使用する、マクロブロック又は画像の符号	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14574	A		画像内符号化画像、I画像[動画]	がぞうないふごうかがぞう、Iがぞう[どうが]	intra-coded picture, I-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14575	A		(多重化)ビット流[同期多重]	(たじゅうか)びっとりゅう[どうきたじゅう]	ISO/IEC 11172(multiplexed)	JIS X 4321で規定された方式を用いて0個以上の信号要素ビット流を組み合わせて作る一つのビット流。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14576	A		ステレオ相関符号化[音響]	すてれおそうかんふごうか[おんきょう]	joint stereo coding[audio]	ステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14577	A		ステレオ相関モード[音響]	すてれおそうかんもーど[おんきょう]	joint stereo mode[audio]	ステレオ相関符号化を使った音響符号化アルゴリズムのモード。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14578	A		レイヤ[音響]	れいや[おんきょう]	layer[audio]	JIS X 4323で規定する音響システムの符号化階層の一つのアルゴリズム。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14579	A		レイヤ[動画、同期多重]	れいや[どうが、どうきたじゅう]	layer[video and systems]	JIS X 4321及びこの規格に規定する同期多重及び動画における、データ階層化表現の一つの水準。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14580	A		輝度(成分)[動画]	きど(せいぶん)[どうが]	luminance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2で規定するとおりガンマ補正済み3原色に関係する信号の明るさを表現する配列、ブロック又は単一画素。輝度には記号Yを用いる。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14581	A		マクロブロック[動画]	まくろぶろっく[どうが]	macroblock[video]	画像の輝度成分の16×16画素領域からくる、4個の輝度データの8×8画素ブロック及び対応する2個の色度データの8×8画素ブロック。あるときは画素データを参照する場合に用い、あるときはこの規格で規定する構文のマクロブロックレイヤの画素値及び他の	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14582	A		写像[音響]	しゃぞう[おんきょう]	mapping[audio]	帯域分割フィルタ処理及び/又はMDCTによる時間領域から周波数領域への音響信号の	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14583	A		マスキング[音響]	ますきんぐ[おんきょう]	masking[audio]	ある音響信号の存在によって別の音響信号が知覚できなくなるような人間の聴覚の性	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14584	A		マスキングしきい値[音響]	ますきんぐしきいち[おんきょう]	masking threshold[audio]	聴覚によって知覚できる音響信号のレベルの最小値。周波数及び時間の関数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14585	A		MDCT[音響]	MDCT[おんきょう]	MDCT [audio]	変形離散余弦変換。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14586	A		動き補償[動画]	うごきほしょう[どうが]	motion compensation[video]	画素値の予測効率を高めるための動きベクトルの使用。予測誤差信号を形成するために、前に復号された画素値を保持する過去参照画像及び/又は未来参照画像に対する変位を与える動きベクトルを予測に使用する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14587	A		動き推定[動画]	うごきすいてい[どうが]	motion estimation[video]	符号化処理中に、動きベクトルを推定する処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14588	A		動きベクトル[動画]	うごきべくとる[どうが]	motion vector[video]	現在の画像の座標から参照画像の座標への変位を与える動き補償用2次元ベクトル。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14589	A		和差ステレオ[音響]	わさすてれお[おんきょう]	MS stereo[audio]	左右チャネルの代わりに和及び差分による符号化に基づいたステレオ相関性及びステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14590	A		非画像内符号化[動画]	ひがぞうないふごうか[どうが]	non-intra coding[video]	自らの情報並びに他の時刻に現れるマクロブロック及び画像から得る情報の両方を用いる、マクロブロック又は画像の符号化。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14591	A		非純音成分[音響]	ひじゅんおんせいぶん[おんきょう]	non-tonal component[audio]	音響信号の雑音的成分。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14592	A		ナイキスト標本化	ないきすとひょうほんか	Nyquist sampling	信号の最大帯域幅の2倍以上に相当する周波数(ナイキスト周波数)で行う標本化。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14593	A		外包[同期多重]	がいほう[どうきたじゅう]	pack[system]	一つの外包ヘッダ及びそれに続く一つ以上の内包。JIS X 4321で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14594	A		内包データ[同期多重]	ないほうでーた[どうきたじゅう]	packet data[system]	一つの内包内の一つの信号要素ビット流からの一連のバイトデータ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14595	A		内包ヘッダ[同期多重]	ないほうへっだ[どうきたじゅう]	packet header[system]	該当の内包データに含まれている信号要素ビット流の情報を与えるデータ構造。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14596	A		内包[同期多重]	ないほう[どうきたじゅう]	packet [system]	ヘッダに続き、信号要素データ流からの一連のバイト列。JIS X 4321で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14597	A		補充[音響]	ほじゅう[おんきょう]	padding[audio]	音響フレームの平均時間間隔を、それに対応するPCM標本化周期と調整するための方法であって、音響フレームのスロットを適宜挿入することによって行う。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14598	A		過去参照画像[動画]	かこさんしょうがぞう[どうが]	past reference picture [video]	表示順序で現在の画像よりも前の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14599	A		画素縦横比、画素アスペクト比[動画]	がそたてよこひ、がそあすぺくとひ[どうが]	pel aspect ratio[video]	表示面上の画素の垂直方向の公称寸法の、水平方向の公称寸法に対する比率。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14600	A		画素[動画]	がそ[どうが]	pel[video]	画像の要素。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14601	A		画像周期[動画]	がぞうしゅうき[どうが]	picture period[video]	画像速度の逆数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14602	A		画像速度、画像レート[動画]	がぞうそくど、がぞうれーと[どうが]	picture rate[video]	復号処理から出力すべき公称の毎秒画像数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14603	A		画像[動画]	がぞう[どうが]	picture[video]	原画像データ、符号化した画像データ又は再生した画像データ。原画像又は再生画像は、輝度信号及び2種類の色度信号を表す8ビットの三つの方形配列で構成する。画像レイヤは、この規格に規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14604	A		多重位相フィルタバンク[音響]	たじゅういそうふぃるたばんく[おんきょう]	polyphase filterbank[audio]	フィルタバンクの効率的な実現を可能とする特別な位相関係をもった等しい帯域幅のフィルタの集まり。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14605	A		予測[動画]	よそく[どうが]	prediction[video]	現在復号している画素値又はデータ要素の推定値を与える予測器の使用。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14606	A		予測符号化画像、P画像[動画]	よそくふごうかがぞう、Pがぞう[どうが]	predictive-coded picture, P-picture[video]	過去参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14607	A		予測誤差[動画]	よそくごさ[どうが]	prediction error[video]	画素又はデータ要素の実際の値とその予測値との差。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14608	A		予測値[動画]	よそくち[どうが]	predictor[video]	前に復号した画素又はデータ要素の線形結合。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14609	A		再現時刻スタンプ、PTS[同期多重]	さいげんじこくすたんぷ、PTS[どうきたじゅう]	presentation time-stamp [system]	同期多重仮想復号器で再現単位を表現する時刻を示す内包ヘッダ内の項目。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14610	A		再現単位、PU[同期多重]	さいげんたんい、PU[どうきたじゅう]	presentation unit[system]	復号された音響アクセス単位又は復号した画像。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14611	A		聴覚心理モデル[音響]	ちょうかくしんりもでる[おんきょう]	psychoacoustic model[audio]	聴覚におけるマスキング特性の数学的モデル。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14612	A		量子化行列[動画]	りょうしかぎょうれつ[どう	quantization matrix[video]	逆量子化に使用する64個の8ビット値の集合。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14613	A		量子化DCT係数[動画]	りょうしかDCTけいすう[どうが]	quantized DCT coefficients[video]	逆量子化する前のDCT係数。量子化DCT係数の可変長符号化表現は、圧縮動画ビット流の一部として記録する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14614	A		量子化倍率[動画]	りょうしかばいりつ[どうが]	quantizer	復号処理での逆量子化の倍率変換に使う、ビット流中のデータ要素。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14615	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	任意の位置で符号化ビット流を読み込み、復号を開始する処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14616	A		参照画像[動画]	さんしょうがぞう[どうが]	reference picture[video]	表示順序で現在の画像に最も近いI画像又はP画像(一つ又は二つ)。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14617	A		並べ替えバッファ[動画]	ならべかえばっふぁ[どう	reorder buffer[video]	再生されたI画像又はP画像を記憶するための同期多重仮想復号器のバッファ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14618	A		逆量子化[音響]	ぎゃくりょうしか[おんきょ	requantization[audio]	元の量子化値を得るために帯域分割標本を復号すること。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14619	A		予約	よやく	reserved	符号化ビット流を規定する箇条において、将来のISO/IECが規定する拡張で使われ得ることを示す記号。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14620	A		逆方向再生[動画]	ぎゃくほうこうさいせい[どうが]	reverse playback[video]	逆の表示順序で画像系列を表示する処理。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14621	A		同倍率群[音響]	どうばいりつぐん[おんきょ	scalefactor band [audio]	レイヤIIIにおいて一つの倍率で倍率変換する周波数成分の組。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14622	A		倍率指標[音響]	ばいりつしひょう[おんきょ	scalefactor index[audio]	倍率を指定する番号。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14623	A		倍率[音響]	ばいりつ[おんきょう]	scalefactor[audio]	一連の値を量子化の前に倍率変換するために用いる係数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14624	A		系列ヘッダ[動画]	けいれつへっだ[どうが]	sequence header[video]	符号化ビット流の中で、多くのデータ要素の符号化表現を含んでいるデータの集まり。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14625	A		付加情報	ふかじょうほう	side information	復号器を制御するのに必要なビット流の中の情報。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14626	A		飛越しマクロブロック[動画]	とびこしまくろぶろっく[どうが]	skipped macroblock[video]	データを記録する必要のないマクロブロック。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14627	A		スライス[動画]	すらいす[どうが]	slice[video]	一連のマクロブロック。この規格に規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14628	A		スロット[音響]	すろっと[おんきょう]	slot[audio]	ビット流の基本要素の一つ。レイヤIでは4バイト、レイヤIIでは1バイトとする。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14629	A		原始ビット流	げんしびっとりゅう	source stream	圧縮符号化の前の、単一の非多重化ビット流。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14630	A		広がり関数[音響]	ひろがりかんすう[おんきょ	spreading function[audio]	マスキングの周波数広がりを記述する関数。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14631	A		開始符号[同期多重、動画]	かいしふごう[どうきたじゅう、どうが]	start codes [system and video]	符号化ビット流の中に埋め込む、一意的に復号可能な32ビット符号。これらは符号化構文の幾つかのレイヤを同定することを含め、幾つかの目的のために使用する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14632	A		STD入力バッファ[同期多重]	STDにゅうりょくばっふぁ[どうきたじゅう]	STD input buffer [system]	復号直前に複数の信号要素ビット流からの圧縮データを記憶するために、同期多重仮想復号器の入力に設定される一つの先入れ先出しバッファ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14633	A		ステレオモード[音響]	すてれおもーど[おんきょう]	stereo mode[audio]	一つのビット流にステレオ(左右)一組の音響チャネルを符号化するモード。符号化手順は双チャネルモードと同じとする。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14634	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing (bits), stuffing (bytes)	ビット流のビット速度を増加するために、圧縮ビット流に挿入し、復号処理で廃棄する符号。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14635	A		分割帯域[音響]	ぶんかつたいいき[おんきょう]	subband[audio]	音響周波数帯域の1区画。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14636	A		帯域分割フィルタバンク[音響]	たいいきぶんかつふぃるたばんく[おんきょう]	subband filter bank[audio]	全音響周波数帯域を変換する帯域フィルタの一組。JIS X 4323においては、帯域分割フィルタバンクは多重位相フィルタバンクとする。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14637	A		帯域分割標本[音響]	たいいきぶんかつひょうほん[おんきょう]	subband samples[audio]	音響符号器の帯域分割フィルタバンクによって、入力音響ビット流をフィルタ処理した後、再標本化した標本値。384の連続する音響標本値から、12の連続した帯域分割標本値を32の分割帯域のそれぞれについて生成する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14638	A		同期語[音響]	どうきご[おんきょう]	syncword[audio]	音響ビット流に挿入するフレームの開始を示す12ビットの符号。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14639	A		合成フィルタバンク[音響]	ごうせいふぃるたばんく[おんきょう]	synthesis filterbank[audio]	帯域分割標本からPCM音響信号を再生する復号器内のフィルタバンク。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14640	A		同期多重ヘッダ[同期多重]	どうきたじゅうへっだ[どうきたじゅう]	system header[system]	多重化ビット流の同期多重特性をまとめた情報を選ぶ、JIS X 4321で規定するデータ要素の構造。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14641	A		同期多重仮想復号器、STD[同期多重]	どうきたじゅうかそうふくごうき、STD[どうきたじゅう]	system target decoder, STD[system]	多重化ビット流の意味付けを記述するための仮想的な復号処理の参照モデル。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14642	A		時刻スタンプ[同期多重]	じこくすたんぷ[どうきたじゅう]	time-stamp[system]	ある事象の時刻を示す項目。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14643	A		三つ組[音響]	みつぐみ[おんきょう]	triplet[audio]	同一の分割帯域内の三つの連続する帯域分割標本値。32分割帯域分の三つ組で1グラニュールとする。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14644	A		純音成分[音響]	じゅんおんせいぶん[おんきょう]	tonal component[audio]	音響信号における正弦波的成分。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14645	A		可変ビット速度、可変ビットレート	かへんびっとそくど、かへんびっとれーと	variable bitrate	圧縮ビット流の復号中にビット速度が時間とともに変化する動作。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14646	A		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、VLC	variable length coding	頻度の高い事象に短い符号を割り付け、頻度の低い事象に長い符号を割り付ける可逆符号化手順。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14647	A		動画バッファ検証器、VBV[動画]	どうがばっふぁけんしょうき、VBV[どうが]	video buffering verifier, VBV[video]	符号器の出力に概念的に接続する仮想的な復号器。符号器又は編集の結果として出てくるビット速度が満たさなければならない条件を、これで規定する。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14648	A		動画系列[動画]	どうがけいれつ[どうが]	video sequence[video]	一つ以上の画像群からなる符号列。この規格で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14649	A		ジグザグ走査順序[動画]	じぐざぐそうさじゅんじょ[どうが]	zig-zag scanning order [video]	低周波から高周波の変換係数に向かって走査されるDCT係数の走査順序の一つ。	JIS X 4322	1996	ISO/IEC 11172-2	1993				1993	SC29
14650	A		交流係数[動画]	こうりゅうけいすう[どうが]	AC coefficient [video]	一つ又は二つの次元の周波数が0でないDCT係数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14651	A		アクセス単位[同期多重]	あくせすたんい[どうきたじゅう]	access unit [system]	圧縮音響データの場合は、一つの音響アクセス単位(一つの音響フレーム)。圧縮動画の場合は、一つの画像の符号化表現。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14652	A		適応分割[音響]	てきおうぶんかつ[おんきょう]	adaptive segmentation [audio]	ディジタル表現された音響信号の時間方向に可変かな分割。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14653	A		適応ビット割当て[音響]	てきおうびっとわりあて[おんきょう]	adaptive bit allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対するビット割当て。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14654	A		適応雑音割当て[音響]	てきおうざつおんわりあて[おんきょう]	adaptive noise allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対する符号化雑音割当て。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14655	A		折返しひずみ[音響]	おりかえしひずみ[おんきょう]	alias[audio]	ナイキスト周波数未満による標本化で発生する折返し信号成分。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14656	A		分析フィルタバンク[音響]	ぶんせきふぃるたばんく[おんきょう]	analysis filterbank[audio]	符号器において、広帯域PCM音響信号を、間引かれた帯域分割標本へ変換するフィルタの群。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14657	A		音響アクセス単位[音響]	おんきょうあくせすたんい[おんきょう]	audio access unit[audio]	レイヤI及びレイヤIIの場合、それ自身復号可能な、符号化されたビット流の最小部分。ここでの復号とは、完全な音響信号を再構成することを意味する。レイヤIIIの場合、前もって得た、JIS X 4323に規定する特定の情報を用いて復号可能なビット流の部分。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14658	A		音響バッファ[音響]	おんきょうばっふぁ[おんきょう]	audio buffer[audio]	同期多重仮想復号器における、圧縮音響データを記憶するためのバッファ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14659	A		音響系列[音響]	おんきょうけいれつ[おんきょう]	audio sequence[audio]	次に示すパラメタが等しい連続する音響フレーム。(1)ID(2)レイヤ(3)標本化周波数(4)レイヤI及びレイヤIIにおけるビット速度指標	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14660	A		逆方向動きベクトル[動画]	ぎゃくほうこうむきべくとる[どうが]	backward motion vector[video]	表示順序で後の時刻の参照画像から動き補償をするときに使用する動きベクトル。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14661	A		バーク[音響]	ばーく[おんきょう]	Bark[audio]	臨界帯域尺度の単位。バーク尺度は、非線形に伸縮された可聴帯域全体の周波数尺度とする。聴覚の周波数分解能に密接に対応づけられている。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14662	A		双方向予測符号化画像、B画像[動画]	そうほうこうよそくふごうかがぞう、Bがぞう[どうが]	bidirectionally predictive-coded picture, B-picture[video]	過去参照画像及び/又は未来参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14663	A		ビット速度、ビットレート	びっとそくど、びっとれーと	bitrate	圧縮したビット流を記録媒体から復号器の入力に送るときの1秒当たりのビット数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14664	A		ブロック圧伸[音響]	ぶろっくあっしん[おんきょ	block companding[audio]	ある時間間隔における音響信号のディジタル表現の正規化。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14665	A		ブロック[動画]	ぶろっく[どうが]	block[video]	8画素8行からなる正方画素配列。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14666	A		境界[音響]	きょうかい[おんきょう]	bound[audio]	共包絡ステレオを適用する最も低い分割帯域。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14667	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned	符号化ビット流の中のあるビットの位置が、ビット流の初めのビットから8ビットの倍数の位置にあること。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14668	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの並び。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14669	A		チャネル	ちゃねる	channel	多重化ビット流を記録又は伝送するディジタル媒体。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14670	A		チャネル[音響]	ちゃねる[おんきょう]	channel[audio]	ステレオ信号の左右チャネル。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14671	A		色度(成分)[動画]	しきど(せいぶん)[どうが]	chrominance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2に規定するとおり、ガンマ補正済み3原色に関係する二つの色差信号の一つを表現する配列、ブロック又は単一画素。色差信号には記号Cb及び	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14672	A		符号化音響ビット流[音響]	ふごうかおんきょうびっとりゅう[おんきょう]	coded audio bitstream[audio]	JIS X 4323に規定する音響信号の符号化表現。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14673	A		符号化動画ビット流[動画]	ふごうかどうがびっとりゅう[どうが]	coded video bitstream[video]	この規格に規定する一つ以上の画像の列の符号化表現。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14674	A		符号化順序[動画]	ふごうかじゅんじょ[どうが]	coded order[video]	画像を記録し復号する順序。この順序は、画像の表示順序と必ずしも同一ではない。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14675	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	データ要素の符号化した形の中の表現。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14676	A		符号化パラメタ[動画]	ふごうかぱらめた[どうが]	coding parameter[video]	符号化動画ビット流を特徴づける、利用者が定義可能なパラメタの集合。符号化パラメタがビット流を特徴づけ、復号可能なビット流の集合が復号器を特徴づける。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14677	A		成分[動画]	せいぶん[どうが]	component[video]	画像を構成する三つの配列(輝度及び二つの色度)の一つからなる配列、ブロック又は単一画素。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14678	A		圧縮	あっしゅく	compression	データの一項目を表現するために使うビット数の削減。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14679	A		一定ビット速度符号化動画[動画]	いっていびっとそくどふごうかどうが[どうが]	constant bitrate coded video[video]	一定平均ビット速度をもつ圧縮動画ビット流。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14680	A		一定ビット速度、一定ビットレート	いっていびっとそくど、いっていびっとれーと	constant bitrate	圧縮ビット流の最初から最後までビット速度が一定である動作。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14681	A		制約パラメタ[動画]	せいやくぱらめた[どうが]	constrained parameter[video]	2.4.3.2に規定する符号化パラメタ集合の値。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14682	A		制約同期多重パラメタビット流、CSPS[同期多重]	せいやくどうきたじゅうぱらめたびっとりゅう、CSPS[どうきたじゅう]	constrained system parameter stream (CSPS)[system]	JIS X 4321の2.4.6に規定する制限を満たす多重化ビット流。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14683	A		巡回冗長符号、CRC	じゅんかいじょうちょうふごう、CRC	CRC		JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14684	A		臨界帯域尺度[音響]	りんかいたいいきしゃくど[おんきょう]	critical band rate[audio]	周波数の聴覚心理関数。ある可聴周波数における臨界帯域尺度は、その周波数以下での臨界帯域数に比例する。臨界帯域尺度の単位をバークという。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14685	A		臨界帯域[音響]	りんかいたいいき[おんきょう]	critical band[audio]	聴覚の周波数分解能に対応したスペクトル領域における聴覚心理尺度。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14686	A		データ要素	でーたようそ	data element	データの一項目の符号化前及び復号後の表現。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14687	A		直流係数[動画]	ちょくりゅうけいすう[どう	dc-coefficient [video]	両次元ともに周波数が0であるDCT係数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14688	A		直流符号化画像、D画像[動画]	ちょくりゅうふごうかがぞう、Dがぞう[どうが]	dc-coded picture, D-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。符号化表現のDCT係数の中で、直流係数だけが存在する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14689	A		DCT係数	DCTけいすう	DCT coefficient	ある特定の余弦基底関数の振幅。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14690	A		復号ビット流	ふくごうびっとりゅう	decoded stream	圧縮ビット流を復号し再構成したもの。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14691	A		復号器入力バッファ[動画]	ふくごうきにゅうりょくばっふぁ[どうが]	decoder input buffer[video]	動画バッファ検証器で定める先入れ先出し(FIFO)バッファ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14692	A		復号器入力速度、復号器入力レート[動画]	ふくごうきにゅうりょくそくど、ふくごうきにゅうりょくれーと[どうが]	decoder input rate[video]	動画バッファ検証器で規定し、符号化動画ビット流中に符号化される毎秒のデータ量。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14693	A		復号器	ふくごうき	decoder	復号処理を行う実体。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14694	A		復号(処理)	ふくごう(しょり)	decoding(process)	入力符号化ビット流を読み込み、復号画像列又は復号音響標本列を生成する、この規格群で規定する処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14695	A		復号時刻スタンプ、DTS[同期多重]	ふくごうじこくすたんぷ、DTS[どうきたじゅう]	decoding time-stamp[system]	一つのアクセス単位が同期多重仮想復号器内で復号される時刻を示す内包ヘッダ内の項目。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14696	A		ディエンファシス[音響]	でぃえんふぁしす[おんきょう]	de-emphasis[audio]	エンファシスによる線形ひずみを元に戻すための、記録又は伝送後の音響信号に適用されるフィルタ処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14697	A		逆量子化[動画]	ぎゃくりょうしか[どうが]	dequantization[video]	量子化されたDCT係数を再倍率変換する処理。ビット流中のそれらの符号化表現を復号した後、かつ逆DCTを行う前に行う。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14698	A		ディジタル記録媒体、DSM	でぃじたるきろくばいたい、DSM	digital storage media	ディジタルの、記録又は伝送を行う装置又はシステム。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14699	A		離散余弦変換、DCT[動画]	りさんよげんへんかん、DCT[どうが]	discrete cosine transform, DCT[video]	順離散余弦変換又は逆離散余弦変換。DCTは、逆変換可能な離散直交変換である。逆DCTは附属書A(規定)に規定する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14700	A		表示順序[動画]	ひょうじじゅんじょ[どうが]	display order[video]	復号した画像列を画面表示する順序。一般に、この順序は、符号器に入力する画像列の順序と同じである。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14701	A		双チャネルモード[音響]	そうちゃねるもーど[おんきょう]	dual channel mode[audio]	一つのビット流中に、2か国語のような独立したプログラム内容を伴った2音響チャネルのモード。符号化処理は、ステレオモードと同一とする。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14702	A		編集	へんしゅう	editing	一つ以上の圧縮ビット流を操作して、新しい圧縮ビット流を作成する処理。編集されたビット流は、この規格の規定を満足しなければならない。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14703	A		信号要素ビット流[同期多重]	しんごうようそびっとりゅう[どうきたじゅう]	elementary stream[system]	符号化動画信号、符号化音響信号又は他の符号化ビット流のいずれかを示す同期多重ビット流の総称。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14704	A		エンファシス[音響]	えんふぁしす[おんきょう]	emphasis [audio]	高音域において、信号対雑音比改善を目的として、記録又は伝送の前に音響信号に対し適用するフィルタ処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14705	A		符号器	ふごうき	encoder	符号化処理を行う実体。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14706	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding(process)	この規格群では規定しないが、入力画像列又は入力音響信号標本列を読み込み、この規格群の規定する正当な符号化ビット流を生成する処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14707	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding	冗長度削減を目的とした、信号のディジタル表現の可変長可逆符号化。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14708	A		高速順方向再生[動画]	こうそくじゅんほうこうさいせい[どうが]	fast forward playback[video]	動画系列の全体又はその一部を、その表示順序で実時間よりも速く再生する処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14709	A		高速フーリエ変換、FFT	こうそくふーりえへんかん、FFT	FFT	離散フーリエ変換(直交変換の一種)を実行する高速なアルゴリズム。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14710	A		フィルタバンク[音響]	ふぃるたばんく[おんきょう]	filterbank[audio]	可聴周波数帯域全体をおおう、一組の帯域通過フィルタ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14711	A		固定分割[音響]	こていぶんかつ[おんきょ	fixed segmentation[audio]	音響信号のディジタル表現を一定時間間隔で区切る分割方法。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14712	A		禁止	きんし	forbidden	符号化ビット流を規定する箇条において、使ってはならない値を示す記号。通常、開始符号への混同を避ける目的で使う。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14713	A		強制更新[動画]	きょうせいこうしん[どうが]	forced updating[video]	符号器及び復号器の逆DCT処理の間の数値の不一致が大きくなることを防ぐために、ときどきマクロブロックを画像内符号化して伝送する処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14714	A		順方向動きベクトル[動画]	じゅんほうこううごきべくとる[どうが]	forward motion vector[video]	表示順序で前の時刻の参照画像から動き補償をするときに使用する動きベクトル。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14715	A		フレーム[音響]	ふれーむ[おんきょう]	frame[audio]	1音響アクセス単位から得る音響PCM標本に対応する音響信号の1区画。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14716	A		自由形式[音響]	じゆうけいしき[おんきょう]	free format[audio]	それぞれのレイヤで有効な最大のビット速度より低い範囲で、あらかじめ定義されていないすべてのビット速度を許容する形式。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14717	A		未来参照画像[動画]	みらいさんしょうがぞう[どうが]	future reference picture[video]	表示順序で現在の画像よりも後の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14718	A		グラニュール[レイヤII][音響]	ぐらにゅーる[れいやII][おんきょう]	granules [Layer II][audio]	32サブバンド各々の三つの連続するサブバンド標本値。96PCM標本値に相当し、各サブバンドの3標本値はまとめて量子化する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14719	A		グラニュール[レイヤIII][音響]	ぐらにゅーる[れいやIII][おんきょう]	granules [Layer III][audio]	固有の付加情報を伝送する576周波数成分。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14720	A		画像群[動画]	がぞうぐん[どうが]	group of pictures[video]	ランダムアクセスの手助けとすることを意図した、1枚以上の符号化画像からなる系列。この規格で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14721	A		ハン窓[音響]	はんまど[おんきょう]	Hann window[audio]	フーリエ変換の前に音響標本の1ブロックごとに各標本値に適用する時間関数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14722	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding	エントロピー符号化のある特定の方式。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14723	A		混成フィルタバンク[音響]	こんせいふぃるたばんく[おんきょう]	hybrid filterbank[audio]	帯域分割フィルタバンクとMDCTとを直列に組み合わせたもの。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14724	A		IMDCT[音響]	IMDCT[おんきょう]	IMDCT [audio]	逆変形離散余弦変換。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14725	A		共包絡ステレオ[音響]	きょうほうらくすてれお[おんきょう]	intensity stereo[audio]	高音域において左右チャネルのエネルギー包絡線だけを記録することによって、ステレオ音響信号のステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14726	A		飛越し走査[動画]	とびこしそうさ[どうが]	interlace[video]	画像内の交互の走査線が異なる時刻に表示される、伝統的なテレビジョン画像の特性。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14727	A		画像内符号化[動画]	がぞうないふごうか[どう	intra coding[video]	自らのマクロブロック又は画像の情報だけを使用する、マクロブロック又は画像の符号	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14728	A		画像内符号化画像、I画像[動画]	がぞうないふごうかがぞう、Iがぞう[どうが]	intra-coded picture, I-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14729	A		(多重化)ビット流[同期多重]	(たじゅうか)びっとりゅう[どうきたじゅう]	ISO/IEC 11172(multiplexed)	JIS X 4321で規定された方式を用いて0個以上の信号要素ビット流を組み合わせて作る一つのビット流。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14730	A		ステレオ相関符号化[音響]	すてれおそうかんふごうか[おんきょう]	joint stereo coding[audio]	ステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14731	A		ステレオ相関モード[音響]	すてれおそうかんもーど[おんきょう]	joint stereo mode[audio]	ステレオ相関符号化を使った音響符号化アルゴリズムのモード。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14732	A		レイヤ[音響]	れいや[おんきょう]	layer[audio]	JIS X 4323で規定する音響システムの符号化階層の一つのアルゴリズム。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14733	A		レイヤ[動画、同期多重]	れいや[どうが、どうきたじゅう]	layer[video and systems]	JIS X 4321及びこの規格に規定する同期多重及び動画における、データ階層化表現の一つの水準。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14734	A		輝度(成分)[動画]	きど(せいぶん)[どうが]	luminance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2で規定するとおりガンマ補正済み3原色に関係する信号の明るさを表現する配列、ブロック又は単一画素。輝度には記号Yを用いる。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14735	A		マクロブロック[動画]	まくろぶろっく[どうが]	macroblock[video]	画像の輝度成分の16×16画素領域からくる、4個の輝度データの8×8画素ブロック及び対応する2個の色度データの8×8画素ブロック。あるときは画素データを参照する場合に用い、あるときはこの規格で規定する構文のマクロブロックレイヤの画素値及び他のデータ要素の符号化表現を参照する場合に用いる。そのどちらかであるかは、文脈から	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14736	A		写像[音響]	しゃぞう[おんきょう]	mapping[audio]	帯域分割フィルタ処理及び/又はMDCTによる時間領域から周波数領域への音響信号の	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14737	A		マスキング[音響]	ますきんぐ[おんきょう]	masking[audio]	ある音響信号の存在によって別の音響信号が知覚できなくなるような人間の聴覚の性	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14738	A		マスキングしきい値[音響]	ますきんぐしきいち[おんきょう]	masking threshold[audio]	聴覚によって知覚できる音響信号のレベルの最小値。周波数及び時間の関数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14739	A		MDCT[音響]	MDCT[おんきょう]	MDCT [audio]	変形離散余弦変換。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14740	A		動き補償[動画]	うごきほしょう[どうが]	motion compensation[video]	画素値の予測効率を高めるための動きベクトルの使用。予測誤差信号を形成するために、前に復号された画素値を保持する過去参照画像及び/又は未来参照画像に対する変位を与える動きベクトルを予測に使用する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14741	A		動き推定[動画]	うごきすいてい[どうが]	motion estimation[video]	符号化処理中に、動きベクトルを推定する処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14742	A		動きベクトル[動画]	うごきべくとる[どうが]	motion vector[video]	現在の画像の座標から参照画像の座標への変位を与える動き補償用2次元ベクトル。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14743	A		和差ステレオ[音響]	わさすてれお[おんきょう]	MS stereo[audio]	左右チャネルの代わりに和及び差分による符号化に基づいたステレオ相関性及びステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14744	A		非画像内符号化[動画]	ひがぞうないふごうか[どうが]	non-intra coding[video]	自らの情報並びに他の時刻に現れるマクロブロック及び画像から得る情報の両方を用いる、マクロブロック又は画像の符号化。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14745	A		非純音成分[音響]	ひじゅんおんせいぶん[おんきょう]	non-tonal component[audio]	音響信号の雑音的成分。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14746	A		ナイキスト標本化	ないきすとひょうほんか	Nyquist sampling	信号の最大帯域幅の2倍以上に相当する周波数(ナイキスト周波数)で行う標本化。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14747	A		外包[同期多重]	がいほう[どうきたじゅう]	pack[system]	一つの外包ヘッダ及びそれに続く一つ以上の内包。JIS X 4321で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14748	A		内包データ[同期多重]	ないほうでーた[どうきたじゅう]	packet data[system]	一つの内包内の一つの信号要素ビット流からの一連のバイトデータ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14749	A		内包ヘッダ[同期多重]	ないほうへっだ[どうきたじゅう]	packet header[system]	該当の内包データに含まれている信号要素ビット流の情報を与えるデータ構造。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14750	A		内包[同期多重]	ないほう[どうきたじゅう]	packet [system]	ヘッダに続き、信号要素データ流からの一連のバイト列。JIS X 4321で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14751	A		補充[音響]	ほじゅう[おんきょう]	padding[audio]	音響フレームの平均時間間隔を、それに対応するPCM標本化周期と調整するための方法であって、音響フレームのスロットを適宜挿入することによって行う。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14752	A		過去参照画像[動画]	かこさんしょうがぞう[どうが]	past reference picture [video]	表示順序で現在の画像よりも前の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14753	A		画素縦横比、画素アスペクト比[動画]	がそたてよこひ、がそあすぺくとひ[どうが]	pel aspect ratio[video]	表示面上の画素の垂直方向の公称寸法の、水平方向の公称寸法に対する比率。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14754	A		画素[動画]	がそ[どうが]	pel[video]	画像の要素。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14755	A		画像周期[動画]	がぞうしゅうき[どうが]	picture period[video]	画像速度の逆数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14756	A		画像速度、画像レート[動画]	がぞうそくど、がぞうれーと[どうが]	picture rate[video]	復号処理から出力すべき公称の毎秒画像数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14757	A		画像[動画]	がぞう[どうが]	picture[video]	原画像データ、符号化した画像データ又は再生した画像データ。原画像又は再生画像は、輝度信号及び2種類の色度信号を表す8ビットの三つの方形配列で構成する。画像レイヤは、この規格に規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14758	A		多重位相フィルタバンク[音響]	たじゅういそうふぃるたばんく[おんきょう]	polyphase filterbank[audio]	フィルタバンクの効率的な実現を可能とする特別な位相関係をもった等しい帯域幅のフィルタの集まり。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14759	A		予測[動画]	よそく[どうが]	prediction[video]	現在復号している画素値又はデータ要素の推定値を与える予測器の使用。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14760	A		予測符号化画像、P画像[動画]	よそくふごうかがぞう、Pがぞう[どうが]	predictive-coded picture, P-picture[video]	過去参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14761	A		予測誤差[動画]	よそくごさ[どうが]	prediction error[video]	画素又はデータ要素の実際の値とその予測値との差。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14762	A		予測値[動画]	よそくち[どうが]	predictor[video]	前に復号した画素又はデータ要素の線形結合。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14763	A		再現時刻スタンプ、PTS[同期多重]	さいげんじこくすたんぷ、PTS[どうきたじゅう]	presentation time-stamp [system]	同期多重仮想復号器で再現単位を表現する時刻を示す内包ヘッダ内の項目。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14764	A		再現単位、PU[同期多重]	さいげんたんい、PU[どうきたじゅう]	presentation unit[system]	復号された音響アクセス単位又は復号した画像。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14765	A		聴覚心理モデル[音響]	ちょうかくしんりもでる[おんきょう]	psychoacoustic model[audio]	聴覚におけるマスキング特性の数学的モデル。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14766	A		量子化行列[動画]	りょうしかぎょうれつ[どう	quantization matrix[video]	逆量子化に使用する64個の8ビット値の集合。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14767	A		量子化DCT係数[動画]	りょうしかDCTけいすう[どうが]	quantized DCT coefficients[video]	逆量子化する前のDCT係数。量子化DCT係数の可変長符号化表現は、圧縮動画ビット流の一部として記録する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14768	A		量子化倍率[動画]	りょうしかばいりつ[どうが]	quantizer	復号処理での逆量子化の倍率変換に使う、ビット流中のデータ要素。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14769	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	任意の位置で符号化ビット流を読み込み、復号を開始する処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14770	A		参照画像[動画]	さんしょうがぞう[どうが]	reference picture[video]	表示順序で現在の画像に最も近いI画像又はP画像(一つ又は二つ)。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14771	A		並べ替えバッファ[動画]	ならべかえばっふぁ[どう	reorder buffer[video]	再生されたI画像又はP画像を記憶するための同期多重仮想復号器のバッファ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14772	A		逆量子化[音響]	ぎゃくりょうしか[おんきょ	requantization[audio]	元の量子化値を得るために帯域分割標本を復号すること。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14773	A		予約	よやく	reserved	符号化ビット流を規定する箇条において、将来のISO/IECが規定する拡張で使われ得ることを示す記号。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14774	A		逆方向再生[動画]	ぎゃくほうこうさいせい[どうが]	reverse playback[video]	逆の表示順序で画像系列を表示する処理。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14775	A		同倍率群[音響]	どうばいりつぐん[おんきょ	scalefactor band [audio]	レイヤIIIにおいて一つの倍率で倍率変換する周波数成分の組。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14776	A		倍率指標[音響]	ばいりつしひょう[おんきょ	scalefactor index[audio]	倍率を指定する番号。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14777	A		倍率[音響]	ばいりつ[おんきょう]	scalefactor[audio]	一連の値を量子化の前に倍率変換するために用いる係数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14778	A		系列ヘッダ[動画]	けいれつへっだ[どうが]	sequence header[video]	符号化ビット流の中で、多くのデータ要素の符号化表現を含んでいるデータの集まり。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14779	A		付加情報	ふかじょうほう	side information	復号器を制御するのに必要なビット流の中の情報。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14780	A		飛越しマクロブロック[動	とびこしまくろぶろっく[どう	skipped macroblock[video]	データを記録する必要のないマクロブロック。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14781	A		スライス[動画]	すらいす[どうが]	slice[video]	一連のマクロブロック。この規格に規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14782	A		スロット[音響]	すろっと[おんきょう]	slot[audio]	ビット流の基本要素の一つ。レイヤIでは4バイト、レイヤIIでは1バイトとする。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14783	A		原始ビット流	げんしびっとりゅう	source stream	圧縮符号化の前の、単一の非多重化ビット流。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14784	A		広がり関数[音響]	ひろがりかんすう[おんきょ	spreading function[audio]	マスキングの周波数広がりを記述する関数。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14785	A		開始符号[同期多重、動画]	かいしふごう[どうきたじゅう、どうが]	start codes [system and video]	符号化ビット流の中に埋め込む、一意的に復号可能な32ビット符号。これらは符号化構文の幾つかのレイヤを同定することを含め、幾つかの目的のために使用する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14786	A		STD入力バッファ[同期多重]	STDにゅうりょくばっふぁ[どうきたじゅう]	STD input buffer [system]	復号直前に複数の信号要素ビット流からの圧縮データを記憶するために、同期多重仮想復号器の入力に設定される一つの先入れ先出しバッファ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14787	A		ステレオモード[音響]	すてれおもーど[おんきょう]	stereo mode[audio]	一つのビット流にステレオ(左右)一組の音響チャネルを符号化するモード。符号化手順は双チャネルモードと同じとする。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14788	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing (bits), stuffing (bytes)	ビット流のビット速度を増加するために、圧縮ビット流に挿入し、復号処理で廃棄する符号。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14789	A		分割帯域[音響]	ぶんかつたいいき[おんきょう]	subband[audio]	音響周波数帯域の1区画。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14790	A		帯域分割フィルタバンク[音響]	たいいきぶんかつふぃるたばんく[おんきょう]	subband filter bank[audio]	全音響周波数帯域を変換する帯域フィルタの一組。JIS X 4323においては、帯域分割フィルタバンクは多重位相フィルタバンクとする。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14791	A		帯域分割標本[音響]	たいいきぶんかつひょうほん[おんきょう]	subband samples[audio]	音響符号器の帯域分割フィルタバンクによって、入力音響ビット流をフィルタ処理した後、再標本化した標本値。384の連続する音響標本値から、12の連続した帯域分割標本値を32の分割帯域のそれぞれについて生成する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14792	A		同期語[音響]	どうきご[おんきょう]	syncword[audio]	音響ビット流に挿入するフレームの開始を示す12ビットの符号。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14793	A		合成フィルタバンク[音響]	ごうせいふぃるたばんく[おんきょう]	synthesis filterbank[audio]	帯域分割標本からPCM音響信号を再生する復号器内のフィルタバンク。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14794	A		同期多重ヘッダ[同期多重]	どうきたじゅうへっだ[どうきたじゅう]	system header[system]	多重化ビット流の同期多重特性をまとめた情報を選ぶ、JIS X 4321で規定するデータ要素の構造。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14795	A		同期多重仮想復号器、STD[同期多重]	どうきたじゅうかそうふくごうき、STD[どうきたじゅう]	system target decoder, STD[system]	多重化ビット流の意味付けを記述するための仮想的な復号処理の参照モデル。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14796	A		時刻スタンプ[同期多重]	じこくすたんぷ[どうきたじゅう]	time-stamp[system]	ある事象の時刻を示す項目。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14797	A		三つ組[音響]	みつぐみ[おんきょう]	triplet[audio]	同一の分割帯域内の三つの連続する帯域分割標本値。32分割帯域分の三つ組で1グラニュールとする。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14798	A		純音成分[音響]	じゅんおんせいぶん[おんきょう]	tonal component[audio]	音響信号における正弦波的成分。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14799	A		可変ビット速度、可変ビットレート	かへんびっとそくど、かへんびっとれーと	variable bitrate	圧縮ビット流の復号中にビット速度が時間とともに変化する動作。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14800	A		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、VLC	variable length coding	頻度の高い事象に短い符号を割り付け、頻度の低い事象に長い符号を割り付ける可逆符号化手順。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14801	A		動画バッファ検証器、VBV[動画]	どうがばっふぁけんしょうき、VBV[どうが]	video buffering verifier, VBV[video]	符号器の出力に概念的に接続する仮想的な復号器。符号器又は編集の結果として出てくるビット速度が満たさなければならない条件を、これで規定する。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14802	A		動画系列[動画]	どうがけいれつ[どうが]	video sequence[video]	一つ以上の画像群からなる符号列。この規格で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14803	A		ジグザグ走査順序[動画]	じぐざぐそうさじゅんじょ[どうが]	zig-zag scanning order [video]	低周波から高周波の変換係数に向かって走査されるDCT係数の走査順序の一つ。	JIS X 4323	1996	ISO/IEC 11172-3	1993				1993	SC29
14804	A		交流係数[動画]	こうりゅうけいすう[どうが]	AC coefficient [video]	一つ又は二つの次元の周波数が0でないDCT係数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14805	A		アクセス単位[同期多重]	あくせすたんい[どうきたじゅう]	access unit [system]	圧縮音響データの場合は、一つの音響アクセス単位（一つの音響フレーム）。圧縮動画の場合は、一つの画像の符号化表現。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14806	A		適応分割[音響]	てきおうぶんかつ[おんきょう]	adaptive segmentation [audio]	ディジタル表現された音響信号の時間方向に可変な分割。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14807	A		適応ビット割当て[音響]	てきおうびっとわりあて[おんきょう]	adaptive bit allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対するビット割当て。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14808	A		適応雑音割当て[音響]	てきおうざつおんわりあて[おんきょう]	adaptive noise allocation [audio]	聴覚心理モデルに従った、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対する符号化雑音割当て。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14809	A		折返しひずみ[音響]	おりかえしひずみ[おんきょう]	alias[audio]	ナイキスト周波数未満による標本化で発生する折返し信号成分。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14810	A		分析フィルタバンク[音響]	ぶんせきふぃるたばんく[おんきょう]	analysis filterbank[audio]	符号器において、広帯域PCM音響信号を、間引かれた帯域分割標本へ変換するフィルタの群。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14811	A		音響アクセス単位[音響]	おんきょうあくせすたんい[おんきょう]	audio access unit[audio]	レイヤI及びレイヤIIの場合、それ自身復号可能な、符号化されたビット流の最小部分。ここでの復号とは、完全な音響信号を再構成することを意味する。レイヤIIIの場合、前もって得た、JIS X 4323に規定する特定の情報を用いて復号可能なビット流の部分。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14812	A		音響バッファ[音響]	おんきょうばっふぁ[おんきょう]	audio buffer[audio]	同期多重仮想復号器における、圧縮音響データを記憶するためのバッファ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14813	A		音響系列[音響]	おんきょうけいれつ[おんきょう]	audio sequence[audio]	次に示すパラメタが等しい連続する音響フレーム。1)ID 2)レイヤ 3)標本化周波数 4)レイヤI及びレイヤIIにおけるビット速度指標	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14814	A		逆方向動きベクトル[動画]	ぎゃくほうこううごきべくとる[どうが]	backward motion vector[video]	表示順序で後の時刻の参照画像から動き補償するときに使用する動きベクトル。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14815	A		バーク[音響]	ばーく[おんきょう]	Bark[audio]	臨界帯域尺度の単位。バーク尺度は、非線形に伸縮された可聴帯域全体の周波数尺度とする。聴覚の周波数分解能に密接に対応付けられている。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14816	A		双方向予測符号化画像、B画像[動画]	そうほうこうよそくふごうかがぞう、Bがぞう[どうが]	bidirectionally predictive-coded picture, B-picture[video]	過去参照画像及び/又は未来参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14817	A		ビット速度、ビットレート	びっとそくど、びっとれーと	bitrate	圧縮したビット竜を記録媒体から復号器の入力に送るときの1秒当たりのビット数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14818	A		ビット流特性[適合性試験]	びっとりゅうとくせい[てきごうせいしけん]	bitstream characteristics[compliance]	符号器がビット流を生成するときに使用するこの規格の部分集合。例えば、JIS X 4321～4323が許容する能力の部分集合を使用するビット流を生成するために、符号器はパラメタの範囲制限のような構文上及び意味上の制約を適用してもよい。ビット流特性の例として、動画ビット流の中の画像の大きさ及びビット速度のパラメタの適用値又は適用範囲	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14819	A		ビット流適合性[適合性試験]	びっとりゅうてきごうせい[てきごうせいしけん]	bitstream compliance[compliance]	ビット流が、JIS X 4321～4323に規定する構文上及び意味上のビット流要件を満足すること。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14820	A		ビット流要件[適合性試験]	びっとりゅうようけん[てきごうせいしけん]	bitstream requirements[compliance]	JIS X 4321～4323に規定するビット流に対する要件。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14821	A		ブロック圧伸[音響]	ぶろっくあっしん[おんきょ	block companding[audio]	ある時間間隔における音響信号のディジタル表現の正規化。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14822	A		ブロック[動画]	ぶろっく[どうが]	block[video]	8画素8行からなる正方画素配列。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14823	A		境界[音響]	きょうかい[おんきょう]	bound[audio]	共包絡ステレオを適用する最も低い分割帯域。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14824	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned	符号化ビット流の中のあるビットの位置が、ビット流の初めのビットから8ビットの倍数の位置にあること。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14825	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの並び。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14826	A		チャネル	ちゃねる	channel	多重化ビット流（多重化ビット流参照）を記録又は伝送するディジタル媒体。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14827	A		チャネル[音響]	ちゃねる[おんきょう]	channel[audio]	ステレオ信号の左右チャネル。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14828	A		色度(成分)[動画]	しきど(せいぶん)[どうが]	chrominance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2に規定するとおり、ガンマ補正済み3原色に関係する二つの色差信号の一つを表現する配列、ブロック又は単一画素。色差信号には記号Cb及び	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14829	A		符号化音響ビット流[音響]	ふごうかおんきょうびっとりゅう[おんきょう]	coded audio bitstream[audio]	JIS X 4323に規定する音響信号の符号化表現。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14830	A		符号化動画ビット流[動画]	ふごうかどうがびっとりゅう[どうが]	coded video bitstream[video]	JIS X 4322に規定する一つ以上の画像の列の符号化表現。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14831	A		符号化順序[動画]	ふごうかじゅんじょ[どうが]	coded order[video]	画像を記録し復号する順序。この順序は、画像の表示順序と必ずしも同一ではない。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14832	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	データ要素の符号化した形の中の表現。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14833	A		符号化パラメタ[動画]	ふごうかぱらめた[どうが]	coding parameter[video]	符号化動画ビット流を特徴付ける、利用者が定義可能なパラメタの集合。符号化パラメタがビット流を特徴付け、復号可能なビット流の集合が復号器を特徴付ける。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14834	A		成分[動画]	せいぶん[どうが]	component[video]	画像を構成する三つの配列(輝度及び二つの色度)の一つからなる配列、ブロック又は単一画素。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14835	A		圧縮	あっしゅく	compression	データの一項目を表現するために使うビット数の削減。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14836	A		一定ビット速度符号化動画[動画]	いっていびっとそくどふごうかどうが[どうが]	constant bitrate coded video[video]	一定平均ビット速度をもつ圧縮動画ビット流。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14837	A		一定ビット速度、一定ビットレート	いっていびっとそくど、いっていびっとれーと	constant bitrate	圧縮ビット流の最初から最後までビット速度が一定である動作。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14838	A		制約パラメタ[動画]	せいやくぱらめた[どうが]	constrained parameter[video]	JIS X 4322の2.4.3.2に規定する符号化パラメタ集合の値。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14839	A		制約同期多重パラメタビット流、CSPS[同期多重]	せいやくどうきたじゅうぱらめたびっとりゅう、CSPS[どうきたじゅう]	constrained system parameter stream (CSPS) [system]	JIS X 4321の2.4.6に規定する制限を満たす多重化ビット流。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14840	A		巡回冗長符号、CRC	じゅんかいじょうちょうふごう、CRC	CRC		JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14841	A		臨界帯域尺度[音響]	りんかいたいいきしゃくど[おんきょう]	critical band rate[audio]	周波数の聴覚心理関数。ある可聴周波数における臨界帯域尺度は、その周波数以下での臨界帯域数に比例する。臨界帯域尺度の単位をバークという。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14842	A		臨界帯域[音響]	りんかいたいいき[おんきょう]	critical band[audio]	聴覚の周波数分解能に対応したスペクトル領域における聴覚心理尺度。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14843	A		データ要素	でーたようそ	data element	データの一項目の符号化前及び復号後の表現。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14844	A		直流係数[動画]	ちょくりゅうけいすう[どう	dc-coefficient [video]	両次元共に周波数が0であるDCT係数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14845	A		直流符号化画像、D画像[動画]	ちょくりゅうふごうかがぞう、Dがぞう[どうが]	dc-coded picture, D-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。符号化表現のDCT係数の中で、直流係数だけが存在する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14846	A		DCT係数	DCTけいすう	DCT coefficient	ある特定の余弦基底関数の振幅。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14847	A		復号ビット流	ふくごうびっとりゅう	decoded stream	圧縮ビット流を復号し再構成したもの。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14848	A		復号器特性[適合性試験]	ふくごうきとくせい	decoder characteristics	復号器に適用する復号処理の特性及び能力。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14849	A		復号器適合性[適合性試験]	ふくごうきてきごうせい	decoder compliance	復号器の能力によって決まる規格の部分集合の範囲にあるビット流を復号するために、復号器が、JIS X 4321～4323に規定する復号器要件を満足すること。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14850	A		復号器入力バッファ[動画]	ふくごうきにゅうりょくばっふぁ[どうが]	decoder input buffer[video]	動画バッファ検証器で定める先入れ先出し(FIFO)バッファ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14851	A		復号器入力速度、復号器入力レート[動画]	ふくごうきにゅうりょくそくど、ふくごうきにゅうりょくれーと[どうが]	decoder input rate[video]	動画バッファ検証器で規定し、符号化動画ビット流中に符号化される毎秒のデータ量。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14852	A		復号器	ふくごうき	decoder	復号処理を行う実体。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14853	A		復号(処理)	ふくごう(しょり)	decoding(process)	入力符号化ビット流を読み込み、復号画像列又は復号音響標本列を生成する、この規格群で規定する処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14854	A		復号器要件[適合性試験]	ふくごうきようけん[てきごうせいしけん]	decoder requirements[compliance]	JIS X 4321～4323が規定する復号器に対する要件。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14855	A		復号時刻スタンプ、DTS[同期多重]	ふくごうじこくすたんぷ、DTS[どうきたじゅう]	decoding time-stamp[system]	一つのアクセス単位が同期多重仮想復号器内で復号される時刻を示すパケットヘッダ内の項目。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14856	A		ディエンファシス[音響]	でぃえんふぁしす[おんきょう]	de-emphasis[audio]	エンファシスによる線形ひずみを元に戻すために、記録又は伝送後の音響信号に適用するフィルタ処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14857	A		逆量子化[動画]	ぎゃくりょうしか[どうが]	dequantization[video]	量子化されたDCT係数を再倍率変換する処理。ビット流中のそれらの符号化表現を復号した後、かつ逆DCTを行う前に行う。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14858	A		ディジタル記録媒体、DSM	でぃじたるきろくばいたい、DSM	digital storage media	ディジタルの、記録又は伝送を行う装置又はシステム。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14859	A		離散余弦変換、DCT[動画]	りさんよげんへんかん、DCT[どうが]	discrete cosine transform, DCT[video]	順離散余弦変換又は逆離散余弦変換。DCTは、逆変換可能な離散直交交換である。逆DCTは、JIS X 4322の附属書A(規定)に規定する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14860	A		表示順序[動画]	ひょうじじゅんじょ[どうが]	display order[video]	復号した画像列を画面表示する順序。一般に、この順序は、復号器に入力する画像列の順序と同じである。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14861	A		双チャネルモード[音響]	そうちゃねるもーど[おんきょう]	dual channel mode[audio]	一つのビット流中に、2か国語のような独立したプログラム内容を伴った2音響チャネルのモード。符号化処理は、ステレオモードと同一とする。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14862	A		編集	へんしゅう	editing	一つ以上の圧縮ビット流を操作して、新しい圧縮ビット流を生成する処理。編集されたビット流の要求は、この規格群の規定を満足しなければならない。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14863	A		信号要素ビット流[同期多重]	しんごうようそびっとりゅう[どうきたじゅう]	elementary stream[system]	符号化動画信号、符号化音響信号又は他の符号化ビット流のいずれかを示す同期多重ビット流の総称。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14864	A		エンファシス[音響]	えんふぁしす[おんきょう]	emphasis [audio]	高音域において、信号対雑音比改善を目的として、記録又は伝送の前に音響信号に対し適用するフィルタ処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14865	A		符号器	ふごうき	encoder	符号化処理を行う実体。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14866	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding(process)	この規格群では規定しないが、入力画像列又は入力音響信号標本列を読み込み、この規格群の規定する正当な符号化ビット流を生成する処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14867	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding	冗長度削減を目的とした、信号のディジタル表現の可変長可逆符号化。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14868	A		高速順方向再生[動画]	こうそくじゅんほうこうさいせい[どうが]	fast forward playback[video]	動画系列の全体又はその一部を、その表示順序で実時間よりも速く再生する処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14869	A		高速フーリエ変換、FFT	こうそくふーりえへんかん、FFT	FFT	離散フーリエ変換(直交変換の一種)を実行する高速なアルゴリズム。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14870	A		フィルタバンク[音響]	ふぃるたばんく[おんきょう]	filterbank[audio]	可聴周波数帯域全体をおおう、一組の帯域通過フィルタ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14871	A		固定分割[音響]	こていぶんかつ[おんきょ	fixed segmentation[audio]	音響信号のディジタル表現を一定時間間隔で区切る分割方法。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14872	A		禁止	きんし	forbidden	符号化ビット流を規定する箇条において、使ってはならない値を示す記号。通常、開始符号への混同を避ける目的で使う。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14873	A		強制更新[動画]	きょうせいこうしん[どうが]	forced updating[video]	符号器及び復号器の逆DCT処理の間の数値の不一致が大きくなることを防ぐために、ときどきマクロブロックを画像内符号化して伝送する処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14874	A		順方向動きベクトル[動画]	じゅんほうこううごきべくとる[どうが]	forward motion vector[video]	表示順序で前の時刻の参照画像から動き補償をするときに使用する動きベクトル。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14875	A		フレーム[音響]	ふれーむ[おんきょう]	frame[audio]	1音響アクセス単位から得る音響PCM標本に対応する音響信号の1区画。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14876	A		自由形式[音響]	じゆうけいしき[おんきょう]	free format[audio]	それぞれのレイヤで有効な最大のビット速度より低い範囲で、あらかじめ定義されていないすべてのビット速度を許容する形式。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14877	A		未来参照画像[動画]	みらいさんしょうがぞう[どうが]	future reference picture[video]	表示順序で現在の画像よりも後の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14878	A		グラニュール[レイヤII]	ぐらにゅーる[れいやII]	granules [Layer II][audio]	32サブバンド各々の三つの連続するサブバンド標本値。96PCM標本値に相当し、各サブバンドの3標本値はまとめて量子化する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14879	A		グラニュール[レイヤIII]	ぐらにゅーる[れいやIII]	granules [Layer III][audio]	国有の付加情報を伝送する576周波数成分。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14880	A		画像群[動画]	がぞうぐん[どうが]	group of pictures[video]	ランダムアクセスの手助けとすることを意図した、1枚以上の符号化画像からなる系列。JIS X 4322で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14881	A		ハン窓[音響]	はんまど[おんきょう]	Hann window[audio]	フーリエ交換の前に音響標本の1ブロックごとに各標本値に適用する時間関数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14882	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding	エントロピー符号化のある特定の方式。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14883	A		混成フィルタバンク[音響]	こんせいふぃるたばんく[おんきょう]	hybrid filterbank[audio]	帯域分割フィルタバンクとMDCTとを直列に組み合わせたもの。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14884	A		IMDCT[音響]	IMDCT[おんきょう]	IMDCT [audio]	逆変形離散余弦変換。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14885	A		共包絡ステレオ[音響]	きょうほうらくすてれお[おんきょう]	intensity stereo[audio]	高音域において左右チャネルのエネルギー包絡線だけを記録することによって、ステレオ音響信号のステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14886	A		飛越し走査[動画]	とびこしそうさ[どうが]	interlace[video]	画像内の交互の走査線が異なる時刻に表示される、伝統的なテレビジョン画像の特性。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14887	A		画像内符号化[動画]	がぞうないふごうか[どう	intra coding[video]	自らのマクロブロック又は画像の情報だけを使用する、マクロブロック又は画像の符号	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14888	A		画像内符号化画像、I画像[動画]	がぞうないふごうかがぞう、Iがぞう[どうが]	intra-coded picture, I-picture[video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14889	A		同期多重復号器[適合性試験]	どうきたじゅうふくごうき[てきごうせいしけん]	ISO/IEC 11172-1 decoder[compliance]	JIS X 4321によるビット流の復号処理を行う実体。MPEG同期多重復号器は同義語。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14890	A		動画復号器[適合性試験]	どうがふくごうき[てきごうせいしけん]	ISO/IEC 11172-2 decoder[compliance]	JIS X 4322によるビット流の復号処理を行う実体。MPEG動画復号器は同義語。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14891	A		音響復号器[適合性試験]	おんきょうふくごうき[てきごうせいしけん]	ISO/IEC 11172-3 decoder[compliance]	JIS X 4323によるビット流の復号処理を行う実体。MPEG音響復号器は同義語。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14892	A		(多重化)ビット流[同期多重]	(たじゅうか)びっとりゅう[どうきたじゅう]	ISO/IEC 11172(multiplexed)	JIS X 4321で規定された方式を用いて0個以上の信号要素ビット流を組み合わせて作る一つのビット流。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14893	A		ステレオ相関符号化[音響]	すてれおそうかんふごうか[おんきょう]	joint stereo coding[audio]	ステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14894	A		ステレオ相関モード[音響]	すてれおそうかんもーど[おんきょう]	joint stereo mode[audio]	ステレオ相関符号化を使った音響符号化アルゴリズムのモード。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14895	A		レイヤ[音響]	れいや[おんきょう]	layer[audio]	JIS X 4323で規定する音響システムの符号化階層の一つのアルゴリズム。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14896	A		レイヤ[動画、同期多重]	れいや[どうが、どうきたじゅう]	layer[video and systems]	JIS X 4321及びJIS X 4322に規定する同期多重及び動画における、データ階層化表現の一つの水準。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14897	A		輝度(成分)[動画]	きど(せいぶん)[どうが]	luminance(component)[video]	ITU-R Recommendation 601-2で規定するとおりガンマ補正済み3原色に関係する信号の明るさを表現する配列、ブロック又は単一画素。輝度には記号Yを用いる。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14898	A		マクロブロック[動画]	まくろぶろっく[どうが]	macroblock[video]	画像の輝度成分の16×16画素領域からくる、4個の輝度データの8×8画素ブロック及び対応する2個の色度データの8×8画素ブロック。あるときは画素データを参照する場合に用い、あるときはJIS X 4322で規定する構文のマクロブロックレイヤの画素値及び他のデータ要素の符号化表現を参照する場合に用いる。そのどちらであるかは、文脈から明	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14899	A		写像[音響]	しゃぞう[おんきょう]	mapping[audio]	帯域分割フィルタ処理及び/又はMDCTによる時間領域から周波数領域への音響信号の	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14900	A		マスキング[音響]	ますきんぐ[おんきょう]	masking[audio]	ある音響信号の存在によって別の音響信号が知覚できなくなるような人間の聴覚の性	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14901	A		マスキングしきい値[音響]	ますきんぐしきいち[おんきょう]	masking threshold[audio]	聴覚によって知覚できる音響信号レベルの最小値。周波数及び時間の関数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14902	A		MDCT[音響]	MDCT[おんきょう]	MDCT [audio]	変形離散余弦変換。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14903	A		動き補償[動画]	うごきほしょう[どうが]	motion compensation[video]	画素値の予測効率を高めるための動きベクトルの使用。予測誤差信号を形成するために、前に復号された画素値を保持する過去参照画素及び/又は未来参照画像に対する変位を与える動きベクトルを予測に使用する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14904	A		動き推定[動画]	うごきすいてい[どうが]	motion estimation[video]	符号化処理中に、動きベクトルを推定する処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14905	A		動きベクトル[動画]	うごきべくとる[どうが]	motion vector[video]	現在の画像の座標から参照画像の座標への変位を与える動き補償用2次元ベクトル。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14906	A		和差ステレオ[音響]	わさすてれお[おんきょう]	MS stereo[audio]	左右チャネルの代わりに和及び差分による符号化に基づいたステレオ相関性及びステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14907	A		非画像内符号化[動画]	ひがぞうないふごうか[どうが]	non-intra coding[video]	自らの情報並びに他の時刻に現れるマクロブック及び画像から得る情報の両方を用いる、マクロブック又は画像の符号化。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14908	A		非純音成分[音響]	ひじゅんおんせいぶん[おんきょう]	non-tonal component[audio]	音響信号の雑音的成分。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14909	A		ナイキスト標本化	ないきすとひょうほんか	Nyquist sampling	信号の最大帯域幅の2倍以上に相当する周波数(ナイキスト周波数)で行う標本化。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14910	A		パック、外包[同期多重]	ぱっく、がいほう[どうきたじゅう]	pack[system]	一つのパックヘッダ及びそれに続く一つ以上のパケット。JIS X 4321で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14911	A		パケットデータ[同期多重]	ぱけっとでーた[どうきたじゅう]	packet data[system]	一つのパケット内の一つの信号要素ビット流から一連のバイトデータ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14912	A		パケットヘッダ[同期多重]	ぱけっとへっだ[どうきたじゅう]	packet header[system]	該当のパケットデータに含まれている信号要素ビット流の情報を与えるデータ構造。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14913	A		パケット、内包[同期多重]	ぱけっと、ないほう[どうきたじゅう]	packet[system]	ヘッダに続き、信号要素データ流からの複数の一連のバイト列。JIS X 4321で規定する同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14914	A		補充[音響]	ほじゅう[おんきょう]	padding[audio]	音響フレームの平均時間間隔を、それに対応するPCM標本化周期と調整するための方法であって、音響フレームのスロットを適宜挿入することによって行う。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14915	A		過去参照画像[動画]	かこさんしょうがぞう[どうが]	past reference picture [video]	表示順序で現在の画像よりも前の時刻に現れる参照画像。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14916	A		画素縦横比、画素アスペクト比[動画]	がそたてよこひ、がそあすぺくとひ[どうが]	pel aspect ratio[video]	表示面上の画素の垂直方向の公称寸法の、水平方向の公称寸法に対する比率。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14917	A		画素[動画]	がそ[どうが]	pel[video]	画像の要素。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14918	A		画像周期[動画]	がぞうしゅうき[どうが]	picture period[video]	画像速度の逆数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14919	A		画像速度、画像レート[動画]	がぞうそくど、がぞうれーと[どうが]	picture rate[video]	復号処理から出力すべき公称の毎秒画像数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14920	A		画像[動画]	がぞう[どうが]	picture[video]	原画像データ、符号化した画像データ又は再生した再像データ。原画像又は再生画像は、輝度信号及び2種類の色度信号を表す8ビットの三つの方形配列で構成する。画像レイヤは、この規格に規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14921	A		多重位相フィルタバンク[音響]	たじゅういそうふぃるたばんく[おんきょう]	polyphase filterbank[audio]	フィルタバンクの効率的な実現を可能とする特別な位相関係をもった等しい帯域幅のフィルタの集まり。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14922	A		予測[動画]	よそく[どうが]	prediction[video]	現在復号している画素値又はデータ要素の推定値を与える予測器の使用。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14923	A		予測符号化画像、P画像[動画]	よそくふごうかがぞう、Pがぞう[どうが]	predictive-coded picture, P-picture[video]	過去参照画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14924	A		予測誤差[動画]	よそくごさ[どうが]	prediction error[video]	画素又はデータ要素の実際の値とその予測値との差。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14925	A		予測値[動画]	よそくち[どうが]	predictor[video]	前に復号した画素又はデータ要素の線形結合。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14926	A		再現時刻スタンプ、PTS[同期多重]	さいげんじこくすたんぷ、PTS[どうきたじゅう]	presentation time-stamp [system]	同期多重仮想復号器で再現単位を表現する時刻を示すパケットヘッダ内の項目。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14927	A		再現単位、PU[同期多重]	さいげんたんい、PU[どうきたじゅう]	presentation unit[system]	復号した音響アクセス単位又は復号した画像。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14928	A		聴覚心理モデル[音響]	ちょうかくしんりもでる[おんきょう]	psychoacoustic model[audio]	聴覚におけるマスキング特性の数学的モデル。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14929	A		量子化行列[動画]	りょうしかぎょうれつ[どう	quantization matrix[video]	逆量子化に使用する64個の8ビット値の集合。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14930	A		量子化DCT係数[動画]	りょうしかDCTけいすう[どうが]	quantized DCT coefficients[video]	逆量子化する前のDCT係数。量子化DCT係数の可変長符号化表現は、圧縮動画ビット流の一部として記録する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14931	A		量子化倍率[動画]	りょうしかばいりつ[どうが]	quantizer	復号処理での逆量子化の倍率変換に使う、ビット流中のデータ要素。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14932	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	任意の位置で符号化ビット流を読み込み、復号を開始する処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14933	A		参照画像[動画]	さんしょうがぞう[どうが]	reference picture[video]	表示順序で現在の画像に最も近いI画像又はP画像(一つ又は二つ)。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14934	A		並べ換えバッファ[動画]	ならべかえばっふぁ[どう	reorder buffer[video]	再生されたI画像又はP画像を記憶するための同期多重仮想復号器のバッファ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14935	A		逆量子化[音響]	ぎゃくりょうしか[おんきょ	requantization[audio]	元の量子化値を得るために帯域分割標本を復号すること。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14936	A		予約	よやく	reserved	符号化ビット流を規定する箇条において、将来のISO/IECが規定する拡張で使われ得ることを示す記号。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14937	A		逆方向再生[動画]	ぎゃくほうこうさいせい[どうが]	reverse playback[video]	逆の表示順序で画像系列を表示する処理。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14938	A		同倍率群[音響]	どうばいりつぐん[おんきょ	scalefactor band [audio]	レイヤIIIにおいて一つの倍率で倍率変換する周波数成分の組。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14939	A		倍率指標[音響]	ばいりつしひょう[おんきょ	scalefactor index[audio]	倍率を指定する番号。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14940	A		倍率[音響]	ばいりつ[おんきょう]	scalefactor[audio]	一連の値を量子化の前に倍率変換するために用いる係数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14941	A		系列ヘッダ[動画]	けいれつへっだ[どうが]	sequence header[video]	符号化ビット流の中で、多くのデータ要素の符号化表現を含んでいるデータの集まり。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14942	A		付加情報	ふかじょうほう	side information	復号器を制御するのに必要なビット流の中の情報。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14943	A		飛越しマクロブロック[動	とびこしまくろぶろっく[どう	skipped macroblock[video]	データを記録する必要のないマクロブロック。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14944	A		スライス[動画]	すらいす[どうが]	slice[video]	一連のマクロブロック。この規格に規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14945	A		スロット[音響]	すろっと[おんきょう]	slot[audio]	ビット流の基本要素の一つ。レイヤIでは4バイト、レイヤIIでは1バイトとする。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14946	A		原始ビット流	げんしびっとりゅう	source stream	圧縮符号化の前の、単一の非多重化ビット流。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14947	A		広がり関数[音響]	ひろがりかんすう[おんきょ	spreading function[audio]	マスキングの周波数広がりを記述する関数。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14948	A		開始符号[同期多重、動画]	かいしふごう[どうきたじゅう、どうが]	start codes [system and video]	符号化ビット流の中に埋め込む、一意的に復号可能な32ビット符号。これらは符号化構文の幾つかのレイヤを同定することを含め、幾つかの目的のために使用する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14949	A		STD入力バッファ[同期多重]	STDにゅうりょくばっふぁ[どうきたじゅう]	STD input buffer	復号直前に複数の信号要素ビット流からの圧縮データを記憶するために、同期多重仮想復号器の入力に設定される一つの先入れ先出しバッファ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14950	A		ステレオモード[音響]	すてれおもーど[おんきょう]	stereo mode[audio]	一つのビット流に一組のステレオ(左右)音響チャネルを符号化するモード。符号化手順は双チャネルモードと同じとする。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14951	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing (bits), stuffing (bytes)	ビット流のビット速度を増加するために、圧縮ビット流に挿入し、復号処理で破棄する符号。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14952	A		分割帯域[音響]	ぶんかつたいいき[おんきょう]	subband[audio]	音響周波数帯域の1区画。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14953	A		帯域分割フィルタバンク[音響]	たいいきぶんかつふぃるたばんく[おんきょう]	subband filter bank[audio]	全音響周波数帯域を変換する帯域フィルタの一組。JIS X 4323においては、帯域分割フィルタバンクは多重位相フィルタバンクとする。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14954	A		帯域分割標本[音響]	たいいきぶんかつひょうほん[おんきょう]	subband samples[audio]	音響符号器の帯域分割フィルタバンクによって、入力音響ビット流をフィルタ処理した後、再標本化した標本値。384の連続する音響標本値から、12の連続した帯域分割標本値を32の分割帯域のそれぞれについて生成する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14955	A		同期語[音響]	どうきご[おんきょう]	syncword[audio]	音響ビット流に挿入するフレームの開始から示す12ビットの符号。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14956	A		合成フィルタバンク[音響]	ごうせいふぃるたばんく[おんきょう]	synthesis filterbank[audio]	帯域分割標本からPCM音響信号を再生する復号器内のフィルタバンク。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14957	A		同期多重ヘッダ[同期多重]	どうきたじゅうへっだ[どうきたじゅう]	system header[system]	多重化ビット流の同期多重特性をまとめた情報を運ぶ、JIS X 4321で規定するデータ要素の構造。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14958	A		同期多重仮想復号器、STD[同期多重]	どうきたじゅうかそうふくごうき、STD[どうきたじゅう]	system target decoder, STD[system]	多重化ビット流の意味付けを記述するための仮想的な復号処理の参照モデル。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14959	A		試験手順[適合性試験]	しけんてじゅん	test procedure	ビット流適合性又は復号器適合性を検証するための方法。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14960	A		時刻スタンプ[同期多重]	じこくすたんぷ[どうきたじゅう]	time-stamp[system]	ある事象の時刻を示す項目。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14961	A		三つ組[音響]	みつぐみ[おんきょう]	triplet[audio]	同一の分割帯域内の三つの連続する帯域分割標本値。32分割帯域分の三つ組で1グラニュールとする。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14962	A		純音成分[音響]	じゅんおんせいぶん[おんきょう]	tonal component[audio]	音響信号における正弦波的成分。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
14963	A		可変ビット速度、可変ビットレート	かへんびっとそくど、かへんびっとれーと	variable bitrate	圧縮ビット流の復号中にビット速度が時間とともに変化する動作。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14964	A		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、VLC	variable length coding	頻度の高い事象に短い符号を割り付け、頻度の低い事象に長い符号を割り付ける可逆符号化手順。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14965	A		動画バッファ検証器、VBV[動画]	どうがばっふぁけんしょうき、VBV[どうが]	video buffering verifier, VBV[video]	符号器の出力に概念的に接続する仮想的な復号器。符号器又は編集の結果として出てくるビット速度が満たさなければならない条件を、これで規定する。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14966	A		動画系列[動画]	どうがけいれつ[どうが]	video sequence[video]	一つ以上の画像群からなる符号列。この規格で規定する符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14967	A		ジグザグ走査順序[動画]	じぐざぐそうさじゅんじょ[どうが]	zig-zag scanning order [video]	低周波から高周波の変換係数に向かって走査されるDCT係数の走査順序の一つ。	JIS X 4324	1999	ISO/IEC 11172-4	1995				1995	SC29
14968	A		アクセス単位	あくせすたんい	access unit		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14969	A		音響	おんきょう	audio		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14970	A		ビット速度	びっとそくど	bitrate		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14971	A		ビット流	びっとりゅう	bitstream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14972	A		制約同期多重パラメタビット流	せいやくどうきたじゅうぱらめたびっとりゅう	constrained system parameter stream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14973	A		復号時刻スタンプ	ふくごうじこくすたんぷ	decoding time stamp		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14974	A		信号要素ビット流	しんごうようそびっとりゅう	elementary stream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14975	A		多重ビット流	たじゅうびっとりゅう	multiplexed stream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14976	A		外包	がいほう	pack		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14977	A		内包	ないほう	packet		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14978	A		内包識別子	ないほうしきべつし	packet identifier		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14979	A		内包化信号要素ビット流	ないほうかしんごうようそびっとりゅう	packetized elementary stream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14980	A		表示時刻スタンプ	ひょうじじこくすたんぷ	presentation time stamp		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14981	A		表示単位	ひょうじたんい	presentation unit		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14982	A		番組基準時刻	ばんぐみきじゅんじこく	program clock reference		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14983	A		番組特定情報	ばんぐみとくていじょうほう	program specific		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14984	A		プログラム流	ぷろぐらむりゅう	program stream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14985	A		標本、標本値	ひょうほん、ひょうほんち	sample		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14986	A		系列	けいれつ	sequence		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14987	A		ビット流	びっとりゅう	stream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14988	A		同期多重	どうきたじゅう	system		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14989	A		同期多重ヘッダ	どうきたじゅうへっだ	system header		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14990	A		同期多重基準時刻	どうきたじゅうきじゅんじこ	system clock reference		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14991	A		同期多重仮想復号器	どうきたじゅうかそうふくごうき	system target decoder		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14992	A		時刻スタンプ	じこくすたんぷ	time stamp		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14993	A		トランスポート流	とらんすぽーとりゅう	transport stream		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14994	A		動画	どうが	video		JIS X 4325	1998	ISO/IEC 13818-1	1996				2007	SC29
14995	A		音響	おんきょう	audio		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
14996	A		基底レイヤ	きていれいや	base layer		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
14997	A		大画像	だいがぞう	big picture		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
14998	A		ビット速度	びっとそくど	bitrate		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
14999	A		ビット流	びっとりゅう	bitstream		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15000	A		下フィールド	したふぃーるど	bottom field		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15001	A		色度	しきど	chroma		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15002	A		色度形式	しきどけいしき	chroma format		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15003	A		色度同報	しきどどうほう	chroma simulcast		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15004	A		色度成分	しきどせいぶん	chrominance component		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15005	A		余弦	よげん	cosine		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15006	A		増強レイヤ	ぞうきょうれいや	enhancement layer		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15007	A		強制更新	きょうせいこうしん	forced updating		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15008	A		画像群	がぞうぐん	group of pictures(GOP)		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15009	A		混成	こんせい	hybrid		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15010	A		混成可変性	こんせいかへんせい	hybrid scalability		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15011	A		飛越し走査	とびこしそうさ	interlace		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15012	A		画像内符号化	がぞうないふごうか	intra coding		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15013	A		画像	がぞう	picture		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15014	A		画像速度	がぞうそくど	picture rate		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15015	A		順次走査	じゅんじそうさ	progressive		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15016	A		標本(値)	ひょうほん(ち)	sample		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15017	A		走査	そうさ	scan		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15018	A		可変性	かへんせい	scalability		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15019	A		系列	けいれつ	sequence		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15020	A		同報	どうほう	simulcast		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15021	A		飛越し	とびこし	skipped		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15022	A		飛越しマクロブロック	とびこしまくろぶろっく	skipped macroblock		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15023	A		空間予測	くうかんよそく	spatial prediction		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15024	A		空間可変性	くうかんかへんせい	spatial scalability		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15025	A		開始符号	かいしふごう	start codes		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15026	A		ビット流	びっとりゅう	stream		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15027	A		同期多重	どうきたじゅう	system		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15028	A		時間予測	じかんよそく	temporal prediction		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15029	A		時間可変性	じかんかへんせい	temporal scalability		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15030	A		上フィールド	うえふぃーるど	top field		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15031	A		最上位レイヤ	さいじょういれいや	top layer		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15032	A		動画	どうが	video		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15033	A		ジグザグ走査順序	じぐざぐそうさじゅんじょ	zigzag scan order		JIS X 4326	1998	ISO/IEC 13818-2	1996				2000	SC29
15034	A		アクセス単位	あくせすたんい	access unit		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15035	A		音響	おんきょう	audio		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15036	A		ビット速度	びっとそくど	bitrate		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15037	A		ビット流	びっとりゅう	bitstream		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15038	A		制約同期多重パラメタビット流	せいやくどうきたじゅうばらめたびっとりゅう	constrained system parameter stream		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15039	A		余弦	よげん	cosine		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15040	A		復号時刻スタンプ	ふくごうじこくすたんぷ	decoding time stamp		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15041	A		双チャネル	そうちゃねる	dual channel		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15042	A		信号要素ビット流	しんごうようそびっとりゅう	elementary stream		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15043	A		高速再生	こうそくさいせい	fast search		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15044	A		画像群	がぞうぐん	group of pictures(GOP)		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15045	A		混成	こんせい	hybrid		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15046	A		共包絡ステレオ	きょうほうらくすてれお	intensity stereo		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15047	A		画像内符号化	がぞうないふごうか	intra coding		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15048	A		ステレオ相関符号化	すてれおそうかんふごうか	joint stereo coding		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15049	A		和差ステレオ	わさすてれお	MS stereo		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15050	A		外包[同期多重]	がいほう[どうきたじゅう]	pack[system]		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15051	A		内包	ないほう	packet		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15052	A		画像	がぞう	picture		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15053	A		画像速度	がぞうそくど	picture rate		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15054	A		多重位相フィルタバンク	たじゅういそうふぃるたばんく	polyphase filterbank		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15055	A		表示時刻スタンプ	ひょうじじこくすたんぷ	presentation time stamp		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15056	A		表示単位	ひょうじたんい	presentation unit		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15057	A		標本、標本値	ひょうほん、ひょうほんち	sample		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15058	A		標本化	ひょうほんか	sampling		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15059	A		同倍率群	どうばいりつぐん	scalefactor band		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15060	A		系列	けいれつ	sequence		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15061	A		ビット流	びっとりゅう	stream		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15062	A		分割帯域	ぶんかつたいいき	subband		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15063	A		帯域分割フィルタ	たいいきぶんかつふぃる	subband filter		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15064	A		同期多重	どうきたじゅう	system		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15065	A		同期多重ヘッダ	どうきたじゅうへっだ	system header		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15066	A		同期多重仮想復号器	どうきたじゅうかそうふくごうき	system target decoder		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15067	A		望遠探索	ぼうえんたんさく	telescopic search		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15068	A		時刻スタンプ	じこくすたんぷ	time stamp		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15069	A		動画	どうが	video		JIS X 4327	1998	ISO/IEC 13818-3	1996				1998	SC29
15070	A		16×8予測[動画]	16かける8よそく[どうが]	16×8 prediction [video]	予測ブロックの大きさを16×8輝度標本とするフィールド予測に類似した予測モード。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15071	A		交流係数[動画]	こうりゅうけいすう[どうが]	AC coefficient [video]	一つ又は二つの次元の周波数が0でないDCT係数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15072	A		アクセス単位[同期多重]	あくせすたんい[どうきたじゅう]	access unit [system]	表示単位の符号化表現。音響の場合は、一つの音響フレームの符号化表現。動画の場合は、アクセス単位は、画像のすべての符号化データ及びそれに続く次のアクセス単位の開始の直前までの挿入ビット(バイト)を含む。group_start_code又はsequence_start_codeが画像に先行しないとき、アクセス単位は、その画像開始符号からとする。group_start_code及び/又はsequence_star_codeに先行するとき、アクセス単位は、これらの開始符号の最初の開始符号の最初のバイトからとする。sequence_end_codeに先行するビット流中の最後の画像の場合、符号化画像の最後のバイトとsequence_end_codeとの間の(sequence_end_codeを含めた)すべてのバイトもそのアクセ	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15073	A		適応ビット割当て[音響]	てきおうびっとわりあて[おんきょう]	adaptive bit allocation[audio]	聴覚心理モデルによった、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対するビット割当て。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15074	A		適応多チャネル予測[音響]	てきおうたちゃねるよそく[おんきょう]	adaptive multichannel prediction[audio]	統計的チャネル間依存性を利用した多チャネルデータ圧縮方法。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15075	A		適応雑音割当て[音響]	てきおうざつおんわりあて[おんきょう]	adaptive noise allocation[audio]	聴覚心理モデルによった、時間及び周波数において適応的な、周波数帯域に対する符号化雑音割当て。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15076	A		適応分割[音響]	てきおうぶんかつ[おんきょう]	adaptive segmentation[audio]	ディジタル表現された音響信号の時間方向に可変な分割。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15077	A		折返しひずみ[音響]	おりかえしひずみ[おんきょう]	alias[audio]	ナイキスト周波数未満によるひょうほんかで発生する折返し信号成分。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15078	A		分析フィルタバンク[音響]	ぶんせきふぃるたばんく[おんきょう]	analysis filterbank[audio]	符号器において、広域帯PCM音響信号を、間引かれた帯域分割標本へ変換するフィルタの群。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15079	A		アンシラリデータ[音響]	あんしらりでーた[おんきょ	ancillary data [audio]	補助データを伝送するために用いる可能性のあるビット流の一部分。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15080	A		音響アクセス単位[音響]	おんきょうあくせすたんい[おんきょう]	audio access unit[audio]	レイヤI及びレイヤIIの場合、それ自身復号可能な、符号化されたビット流の最小部分。ここでの復号とは、完全な音響信号を再構成することを意味する。レイヤIIIの場合、前もって得た、JIS X 4327に規定する特定の情報を用いて複合可能なビット流の部分。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15081	A		音響バッファ[音響]	おんきょうばっふぁ[おんきょう]	audio buffer[audio]	同期多重仮想復号器における、圧縮音響データを記憶するためのバッファ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15082	A		音響系列[音響]	おんきょうけいれつ[おんきょう]	audio sequence[audio]	次に示すパラメタが等しい連続する(基本フレームに任意選択的な拡張フレームを加えた)音響フレーム。 a) ID b) レイヤ c) 標本化周波数 レイヤI及びレイヤIIでは、復号器は、連続的にビット速度が変化する可変性ビット速度(ビット速度インデックスの変化)である基本ビット流を復号しなくてよい。拡張ビット流は、可変ビット速度を用いてもよい。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15083	A		Bフィールド画像[動画]	Bふぃーるどがぞう[どうが]	B-field picture [video]	フィールド構造のB画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15084	A		Bフレーム画像[動画]	Bふれーむがぞう[どうが]	B-frame picture [video]	フレーム構造のB画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15085	A		B画像、双方向予測符号化画像[動画]	Bがぞう、そうほうこうよそくふごうかがぞう[どうが]	B-picture, bidirectionally predictive-coded picture [video]	過去参照フィールド又は過去参照フレームの画像及び/若しくは未来参照フィールド又は未来参照フレームの画像から動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15086	A		逆方向互換性	ぎゃくほうこうこうかんせい	backward compatibility	古い符号化規格に適合して動作するように設計された復号器が新しい符号化規格に適合するビット流のすべて又は一部分を引き続き復号できるとき、この新しい符号化規格が古い符号化規格に対して持つ特性。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15087	A		逆方向動きベクトル[動画]	ぎゃくほうこううごきべくとる[どうが]	backward motion vector[video]	表示順序で後の時刻の参照フレーム又は参照フィールドから動きを補償するときに用いるベクトル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15088	A		逆方向予測[動画]	ぎゃくほうこうよそく[どう	backward	未来参照フレーム又は未来参照フィールドからの予測。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15089	A		バーク[音響]	ばーく[おんきょう]	Bark[audio]	臨界帯域尺度の単位。バーク尺度は、非線形に伸縮された可聴帯域全体の周波数尺度とする。著区画の周波数分解能に密接に対応づけられている。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15090	A		基底レイヤ[動画]	きていれいや[どうが]	base layer[video]	可変性階層において独立に復号できる最初のレイヤ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15091	A		大画像[動画]	だいがぞう[どうが]	big picture[video]	JIS X 4326の附属書C(規定)のC.7による動画バッファ検証器のバッファ不足を起こしうる符号化画像。大画像は、low_delayが1である系列だけに発生する。“飛越し画像(skipped picture)”という用語もしばしば同じ概念を表すのに使われる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15092	A		ビット速度、ビットレート	びっとそくど、びっとれーと	bitrate	符号化ビット流を復号器の入力に送るときの1秒当たりのビット数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15093	A		ビット流	びっとりゅう	bitstream, streamr	データの符号化表現を構成するビットの順序だった並び。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15094	A		ビット流検証器[動画]	びっとりゅうけんしょうき[どうが]	bitstream, verifier[video]	ビット流がJIS X 4326に規定するすべての要件に合致するかどうかを検査及び検証することを可能にする一つの処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15095	A		ブロック[動画]	ぶろっく[どうが]	block[video]	8行8列からなる正方標本配列又は(入力、量子化又は逆量子化された)64個のDCT係	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15096	A		ブロック圧伸[音響]	ぶろっくあつしん[おんきょ	block companding[audio]	ある時間間隔における音響信号のディジタル表現の正規化。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15097	A		下フィールド[動画]	したふぃーるど[どうが]	bottom field[video]	フレームを構成する二つのフィールドのうちの一つ。下フィールドの各走査線は、上フィールドの対応する走査線の空間的直下に位置する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15098	A		境界[音響]	きょうかい[おんきょう]	bound[audio]	共包絡ステレオを適用する最も低い分割帯域。ステレオを適用する最も低い分割帯域。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15099	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned	符号化ビット流の中のあるビットの位置が、ビット流のはじめのビットから8ビットの倍数の位置にあること。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15100	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの並び。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15101	A		中央チャネル[音響]	ちゅうおうちゃねる[おんきょう]	centre channel[audio]	前方ステレオ像の中央成分を安定させるために使用する音響表現チャネル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15102	A		チャネル[音響]	ちゃねる[おんきょう]	channel[audio]	伝送する音響信号を表現するデータの並び。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15103	A		色度同報[動画]	しきどどうほう[どうが]	chroma simulcast[video]	増強レイヤが色度成分のDCT係数からなり、直流係数に対しては符号化された増強データだけを含み、交流係数に対してはすべてのデータを含むという、(SNR可変性の部分集合の)可変性の一つ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15104	A		色度形式[動画]	しきどけいしき[どうが]	chrominance format[video]	マクロブロック中の色度ブロックの個数を決定するもの。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15105	A		色度成分[動画]	しきどせいぶん[どうが]	chrominance component[video]	ビット流に規定するとおり、ガンマ補正済み3原色に関係する二つの色差信号の一つを表現する配列、ブロック又は単一標本。色差信号には記号Cb及びCrを用いる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15106	A		符号化音響ビット流[音響]	ふごうかおんきょうびっとりゅう[おんきょう]	coded audio bitstream[audio]	JIS X 4327に規定する音響信号の符号化表現。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15107	A		符号化Bフレーム[動画]	ふごうかBふれーむ[どう	coded B-frame[video]	Bフレーム画像又は二つのBフィールド画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15108	A		符号化Iフレーム[動画]	ふごうかふれーむ[どうが]	coded frame[video]	符号化Iフレーム、符号化Pフレーム又は符号化Bフレーム。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15109	A		符号化Iフレーム[動画]	ふごうかIふれーむ[どうが]	coded I-frame[video]	Iフレーム画像又は二つのフィールド画像。フィールド画像のときは、最初のフィールド画像をI画像とし、次のフィールド画像をI画像又はP画像とする。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15110	A		符号化順序[動画]	ふごうかじゅんじょ[どうが]	coded order[video]	画像を伝送し復号する順序。この順序は、画像の表示順序と必ずしも同一ではない。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15111	A		符号化Pフレーム[動画]	ふごうかPふれーむ[どう	coded P-frame[video]	Pフレーム画像又は二つのPフィールド画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15112	A		符号化画像[動画]	ふごうかがぞう[どうが]	coded picture[video]	画像ヘッダ、それにすぐ続く任意選択可能な拡張及びそれに続く画像データによって構成する符号化フレーム又は符号化フィールド。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15113	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	データの要素の符号化した形の中の表現。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15114	A		符号化動画ビット流[動画]	ふごうかどうがびっとりゅう[どうが]	coded video stream[video]	JIS X 4326に規定する一つ以上の画像の列の符号化表現。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15115	A		符号化パラメタ[動画]	ふごうかぱらめた[どうが]	coded parameters[video]	符号化ビット流を特徴づける、利用者が定義可能なパラメタの集合。符号化パラメタがビット流を特徴づけ、複合可能なビット流の集合が復号器を特徴づける。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15116	A		成分[動画]	せいぶん[どうが]	component[video]	画像を構成する三つの配列(輝度及び二つの色度)の一つからなる配列、ブロック又は単一標本。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15117	A		圧縮	あっしゅく	compression	データの一項目を表現するために使うビット数の削減。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15118	A		一定ビット速度、一定ビットレート	いっていびっとそくど、いっていびっとれーと	constant bitrate	圧縮ビット流の最初から最後までビット速度が一定である動作。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15119	A		制約パラメタ[動画]	せいやくぱらめた[どうが]	constrained parameters[video]	JIS X 4322の2.4.3.2に規定する符号化パラメタ集合の値。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15120	A		制約同期多重パラメタビット流、CSPS[同期多重]	せいやくどうきたじゅうぱらめたびっとりゅう、CSPS[どうきたじゅう]	constrained system parameter stream, CSPS [systems]	JIS X 4325の2.7.9に規定する制約を満たすプログラム流。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15121	A		巡回冗長符号	じゅんかいじょうちょうふごう	CRC, cyclic redundancy chedk	データの正しさを検証するための巡回冗長検査符号。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15122	A		臨界帯域[音響]	りんかいたいいき[おんきょう]	critical band[audio]	聴覚の周波数分解能に対応したスペクトル領域における聴覚心理尺度。この周波数分解能は、バークで表現する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15123	A		臨界帯域尺度[音響]	りんかいたいいきしゃくど[おんきょう]	criticaln band rate[audio]	周波数の聴覚心理関数。ある可聴周波数における臨界帯域尺度は、その周波数池での臨界帯域に比例する。臨界帯域尺度の単位をバークという。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15124	A		データ要素	でーたようそ	data element	データの一項目の符号化前及び符号化後の表現。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15125	A		データ分割[動画]	でーたぶんかつ[どうが]	data partitioning[video]	エラー耐性を目的として一つのビット流を二つの別のビット流に分割する方法。二つのビット流は、複合前に再合成する必要がある。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15126	A		直流係数[動画]	ちょくりゅうけいすう[どう	DC coefficient[video]	両次元ともに周波数が0であるDCT係数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15127	A		DCT係数[動画]	DCTけいすう[どうが]	DCT coefficient [video]	ある特定の余弦基底関数の振幅。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15128	A		ディエンファシス[音響]	でぃえんふぁしす[おんきょう]	de-emphasis[audio]	エンファシスによる線形ひずみを元に戻すために、記録又は伝送の後に音響信号に適合するフィルタ処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15129	A		復号ビット流	ふくごうびっとりゅう	decoded stream	圧縮ビット流を復号し再構成したもの。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15130	A		復号器入力バッファ[動画]	ふくごうきにゅうりょくばっふぁ[どうが]	decorder input buffer[video]	動画バッファ検証器で定める先入れ先出し(FIFO)バッファ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15131	A		復号器	ふくごうき	decorder	復号処理を行う実体。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15132	A		復号器部分ループ[動画]	ふくごうきぶぶんるーぷ[どうが]	decoder sub-loop[video]	JIS X 4326の7.に規定する復号処理に一致する数字結果を生む符合器中の処理段階。I画像以外でも生成できる符号器は、時間方向の予測を行い、復号器の動作を模擬する部分ループを内蔵する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15133	A		復号	ふくごう	decording (process)	入力符号化ビット流を読み込み、復号画像列又は復号音響標本列を生成する、JIS X 4325～JIS X 4327で規定する処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15134	A		復号時刻スタンプ、DTS[同期多重]	ふくごうじこくすたんぷ、DTS[どうきたじゅう]	decording time-stamp[systems]	一つのアクセス単位が同期多重仮想復号器内で復号される時刻を示すPESパケットヘッダ内の項目。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15135	A		逆量子化	ぎゃくりょうしか	dequantisation	量子化されたDCT係数を再倍率変換する処理。ビット流中のそれらの符号化表現を復号した後、かつ、逆DCTを行う前に行う。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15136	A		ディジタル記録媒体、DSM[動画]	でぃじたるきろくばいたい、DSM[どうが]	digital storage media[video]	ディジタルの、記録又は伝送を行う装置又はシステム。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15137	A		離散余弦変換、DCT[動画]	りさんよげんへんかん、DCT[どうが]	discrete cosine transform[video]	順離散余弦変換又は逆離散余弦変換。DCTは、逆変換可能な離散直交変換である。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15138	A		表示縦横比、表示アスペクト比[動画]	ひょうじじゅうおうひ、ひょうじあすぺくとひ[どうが]	display aspect ratio[video]	意図した表示面の(SI単位における)高さを幅で除した比率。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15139	A		表示順序[動画]	ひょうじじゅんじょ[どうが]	display order[video]	復号した画像列を画面表示する順序。一般に、この順序は、符号器に入力する画像列の順序と同じである。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15140	A		表示処理[動画]	ひょうじしょり[どうが]	display process[video]	再構成フレームを表示する処理(この処理は規定しない。)。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15141	A		チャネル数削減操作[音響]	ちゃねるすうさくげんそうさ[おんきょう]	downmix[audio]	チャネル数を削減するための行列変換。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15142	A		ドリフト[動画]	どりふと[どうが]	drift[video]	符号器に内蔵する仮想的な復号器部分ループ(6.63参照)の生成する再構成出力と復号器の再構成出力との間の不一致の累積。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15143	A		DSM-CC	DSM-CC	digital strage media command and control	ディジタル記録媒体の命令及び制御。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15144	A		双チャネルモード[音響]	そうちゃねるもーど[おんきょう]	dual channeln mode	一つのビット流中に、2か国語のような独立したプログラム内容を伴った2音響チャネルのモード。符号化処理は、ステレオモードと同一とする。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15145	A		双素フィールド予測[動画]	そうそふぃーるどよそく[どうが]	dual prime prediction[video]	二つの順方向フィールド予測を平均する予測モード。予測するブロックの大きさは、16×16輝度標本とする。飛越し走査のP画像にだけ使用する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15146	A		動的クロストーク法[音響]	どうてきくろすとーくほう[おんきょう]	dynamic crosstalk[audio]	非ステレオ信号成分がもう一つのチャネルに複写される多チャネルデータの削減方法。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15147	A		動的伝送チャネル切替え[音響]	どうてきでんそうちゃねるきりかえ[おんきょう]	dynamic transmission channel switching[audio]	最も相互相関の少ない信号成分伝送チャネルに割当てる多チャネルデータの削減方法。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15148	A		編集	へんしゅう	editing	一つ以上の圧縮ビット流を操作して、新しい圧縮ビット流を生成する処理。編集されたビット流の要求は、JIS X 4325～JUS X 4327の規定を満足しなければならない。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15149	A		信号要素ビット流基準時刻、ESCR[同期多重]	しんごうようそびっとりゅうきじゅんじこく、ESCR[どうきたじゅう]	elementary stream clock reference, ESCR [systems]	PESビット流の復号器において同期再生を可能とするために、PESビット流中に存在する時刻スタンプ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15150	A		信号要素ビット流、ES[同期多重]	しんごうようそびっとりゅう、ES[どうきたじゅう]	elementary stream, ES [systems]	符号化動画信号、符号化音響信号又はほかの符号化ビット流のいずれかを示すビット流の総称。一つの信号要素ビット流は、ただ一つのstream idをもつPESパケット列の中で伝	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15151	A		エンファシス[音響]	えんふぁしす[おんきょう]	emphasis [audio]	高音域において、信号対雑音比改善を目的として、記録又は伝送の前に音響信号に対し適用するフィルタ処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15152	A		符号器	ふごうき	encoder	符号化処理を行う実体。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15153	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding (process)	この規格群では規定しないが、入力画像列又はにゅうりょ音響信号標本列を読み込み、JIS X 4325～JIS X 4327で規定する正当な符号化ビット流を生成する処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15154	A		増強レイヤ[動画]	ぞうきょうれいや[どうが]	enhancement layer[video]	可変階層における(基底レイヤよりも上の)レイヤを相対的に指すもの。可変性のすべての形態において、その復号処理は、下位レイヤの復号処理の参照及び自らの増強レイヤの適切な追加的復号処理によって記述することができる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15155	A		資格制御メッセージ、ECM[同期多重]	しかくせいぎょめっせーじ、ECM[どうきたじゅう]	entitlement control message, ECM [systems]	処理系定義の条件つきアクセス情報であり、制御符号又は(特にビット流に特有な)スクランブリングパラメタ及び/又は制御パラメタを指定するもの。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15156	A		資格管理メッセージ、EMM[同期多重]	しかくかんりめっせーじ、EMM[どうきたじゅう]	entitlement management message, EMM [systems]	処理系定義の条件付アクセス情報であり、特定の復号器の許可レベル又はサービスを指定するもの。それらは、一つの復号器又は一群の復号器を対象とすることができる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15157	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding	冗長度削減を目的とした、信号のディジタル表現の可変長可逆符号化。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15158	A		イベント[同期多重]	いべんと[どうきたじゅう]	event [systems]	共通の基準時刻、関連付けられている開始時刻、及び関連付けられている終了時刻をもつ信号要素ビット流の集合。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15159	A		限界検査ビット流	げんかいけんさびっとりゅう	evil bitstream	現実とは対極にあるビット流。復号器が規格に合致するかどうかを検査するための限界的条件を与えるビット流。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15160	A		拡張ビット流[音響]	かくちょうびっとりゅう[おんきょう]	extension bitstream[audio]	JIS X 4323によるビット速度以上を使用するための、同期多重レイヤにおける基本音響ビット流に関連する付加的なビット流に含まれる情報。付加的な拡張ビット流は、基本音響ビット流に含めることのできない残りの多チャネルデータ及び多言語データを含む。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15161	A		高速逆方向再生[動画]	こうそくぎゃくほうこうさいせい[どうが]	fast reverse playback [video]	画像系列を、逆の表示順序で実時間よりも速く表示する処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15162	A		高速順方向再生[動画]	こうそくじゅんほうこうさいせい[どうが]	fast forward playback[video]	画像系列の全体又はその一部を、その表示順序で実時間よりも速く再生する処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15163	A		高速フーリエ変換、FFT	こうそくふーりえへんかん、FFT	FFT, fast Fourier transformation	離散フーリエ変換(直交変換の一種)を実行する高速なアルゴリズム。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15164	A		フィールド[動画]	ふぃーるど[どうが]	field[video]	飛越し走査された動画信号において、フレームを構成する一つおきの走査線の集まり。したがって、飛越し走査のフレームは、上フィールドと下フィールドの二つのフィールドか	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15165	A		フィールド周期[動画]	ふぃーるどしゅうき[どうが]	field period	フレーム速度の2倍の逆数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15166	A		フィールド画像、フィールド構造画像[動画]	ふぃーるどがぞう、ふぃーるどこうぞうがぞう[どうが]	field picture, field structure picture[video]	picture_structureが上フィールド又は下フィールドを指す符号化画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15167	A		フィールド予測	ふぃーるどよそく	field-based prediction	参照フレームの一方のフィールドだけを使用する予測モード。予測するブロックの大きさは16×16輝度標本とする。順次走査のフレーム中では使用しない。 参考 最後の文は、ISO/IEC 13818-2のTechnicaln Corrigendum 1によって誤りとなる。“順次走査の系列では使用しない。”が正しい。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15168	A		フィルタバンク[音響]	ふぃるたばんく[おんきょう]	filterbank[audio]	可聴周波数帯域全体を覆う、一組の帯域通過フィルタ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15169	A		固定分割[音響]	こていぶんかつ[おんきょ	fixed segmentation [audio]	音響信号のディジタル表現を一定時間間隔で区切る分割方法。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15170	A		フラグ	ふらぐ	flag	この規格で規定する二つの値のいずれかの値だけをとる1ビットの整数変数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15171	A		固定長符号、FLC	こていちょうふごう、FLC	FLC		JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15172	A		禁止	きんし	forbidden	符号化ビット流を規定する箇条において、使ってはならない値を示す記号。通常、開始符号への混同を避ける目的で使う。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15173	A		強制更新[動画]	きょうせいこうしん[どうが]	forced updating[video]	符号器及び復号器の逆DCT処理の間の数値の不一致が大きくなることを防ぐために、時々マクロブロックを画像内符号化して伝送する処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15174	A		順方向互換性	じゅんほうこうごかんせい	forward compatibility	新しい符号化規格に適合して動作するように設計された復号器が古い符号化規格に適合したビット流を復号可能であるとき、この新しい符号化規格が古い符号化規格に対して	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15175	A		順方向動きベクトル[動画]	じゅんほうこうごきべくとる[どうが]	formawd motion vector[video]	表示順序で前の時刻の参照画像から動き保障をするときに使用する動きベクトル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15176	A		順方向予測[動画]	じゅんほうこうよそく[どう	forward prediction[video]	過去参照フレーム又は過去参照フィールドからの予測。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15177	A		フレーム[音響]	ふれーむ[おんきょう]	frame[audio]	1音響アクセス単位から得る音響PCM標本群対応する音響信号の1区画。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15178	A		フレーム[動画]	ふれーむ[どうが]	frame[video]	動画信号の空間情報をもつ走査線を含むもの。順次走査の動画では、これらの走査線は、ある時刻で始まりフレームの最下部まで連続した走査線上に続く標本からなる。飛越し走査の動画では、フレームは、上フィールドと下フィールドの二つのフィールドからなる。一方のフィールドは、他方のフィールドよりも1フィールド周期後に始まる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15179	A		フレーム周期[動画]	ふれーむしゅうき[どうが]	frame period[video]	フレーム速度の逆数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15180	A		フレーム画像、フレーム構造画像[動画]	ふれーむがぞう、ふれーむこうぞうがぞう[どうが]	frame picture, frame structure picture[video]	picture_structureがフレームを指す符号化画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15181	A		フレーム速度、フレームレート[動画]	ふれーむそくど、ふれーむれーと[どうが]	frame rate[video]	復号処理から出力される1秒当たりのフレーム数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15182	A		フレーム並べ替え[動画]	ふれーむならべかえ[どうが]	frame reordering[video]	符号化順序が表示順序と異なるときに、再構成画像列の順序を並べ替える処理。ビット流の中にBフレームが存在するときに起こる。低遅延ビット流を復号するときには、フレーム並べ替えはない。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15183	A		フレーム予測[動画]	ふれーむよそく[どうが]	frame-based prediction[video]	参照フレームの両方のフィールドを使用する予測モード。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15184	A		自由形式[音響]	じゆうけいしき[おんきょう]	free format[audio]	それぞれのレイヤで有効な最大ビット速度より低い範囲で、あらかじめ定義されていないすべてのビット速度を許容する形式。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15185	A		未来参照フレーム(フィールド)[動画]	みらいさんしょうふれーむ(ふぃーるど)[どうが]	future reference frame (field) [video]	表示順序で現在のフレーム(フィールド)よりも後の時刻に現れる参照フレーム(又は参照フィールド)。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15186	A		グラニュール[レイヤII][音響]	ぐらにゅーる[れいやII][おんきょう]	granule [Layer II] [audio]	32サブバンド各々の三つの連続するサブバンド標本値。96PCM標本値に相当し、各サブバンドの3標本値はまとめて量子化する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15187	A		グラニュール[レイヤIII][音響]	ぐらにゅーる[れいやIII][おんきょう]	granule [Layer III] [audio]	固有の付加情報を伝送する576周波数成分。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15188	A		画像群[動画]	がぞうぐん[どうが]	group of pictures[video]	JIS X 4322においてだけ定義されている概念。JIS X 4326では、同様の機能を画像群ヘッダを挿入する方法によって達成することができる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15189	A		ハン窓[音響]	はんまど[おんきょう]	Hann window[audio]	フーリエ変換の前に音響標本の1ブロックごとに各標本値に適用する時間関数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15190	A		ヘッダ	へっだ	header	符号化ビット流中、後に続く符号化データに関係する多くのデータ要素の符号化表現を含んでいるデータの集まり。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15191	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding	エントロピー符号化のある特定の方式。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15192	A		混成フィルタバンク[音響]	こんせいふぃるたばんく[おんきょう]	hybrid filterbank[audio]	帯域分割フィルタバンク及びMDCTを直列に組み合わせたもの。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15193	A		混成可変性、混成スケーラビリティ[動向]	こんせいかへんせい、こんせいすけーらびりてい[どう	hybrid scalability[video]	二つ(又はそれ以上)の種類の可変性の組合せ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15194	A		Iフィールド画像[動画]	Iふぃーるどがぞう[どうが]	I-field picture [video]	フィールド構造のI画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15195	A		Iフレーム画像[動画]	Iふれーむがぞう[どうが]	I-frame picture [video]	フレーム構造のI画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15196	A		I画像、画像内符号化画像[動画]	Iがぞう、がぞうないふごうかがぞう[どうが]	I-pichture, intra-coded picture [video]	自らの画像の情報だけを使用して符号化する画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15197	A		逆離散余弦変換、IDCT	ぎゃくりさんよげんへんかん、IDCT	inverse discrete csine transform, IDCT		JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15198	A		逆変形離散余弦変換、IMDCT[音響]	ぎゃくへんけいりさんよげんへんかん、IMDCT[おんきょう]	inverse modifield discrete cosine transform, IMDCT [audio]		JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15199	A		共包絡ステレオ[音響]	きょうほうらくすてれお[おんきょう]	intensity stereo[audio]	高音域において左右チャネルのエネルギー包絡線だけを記録することによって、ステレオ音響信号のステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15200	A		飛越し走査[動画]	とびこしそうさ[どうが]	interlace[video]	フレーム内の交互の走査線が異なる時刻に表示される、伝統的なテレビジョン画像の特性。飛越し走査では、フレーム中、片方のフィールドが先に表示される。このフィールドを第1フィールドと呼ぶ。第1フィールドは、上フィールド又は下フィールドのどちらであっても	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15201	A		画像内符号化[動画]	がぞうないふごうか[どうが]	intra coding[video]	自らのマクロブロック又は画像の情報だけを使用する、マクロブロック又は画像の符号化。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15202	A		ITU-T Rec. H.222.0 | ISO/IEC 13818 (多重)ビット流[同期多重]	ITU-T Rec. H.222.0 | ISO/IEC 13818 (たじゅう)びっとりゅう[どうきたじゅ	ITU-T Rec. H.222.0 | ISO/IEC 13818 (multiplexed) stream	JIS X 4325で規定された方式を用いて0個以上の信号要素ビット流を組み合わせて作る一つのビット流。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15203	A		ステレオ相関符号化[音響]	すてれおそうかんふごうか[おんきょう]	joint stereo coding[audio]	ステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方式。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15204	A		ステレオ相関モード[音響]	すてれおそうかんもーど[おんきょう]	joint stereo mode[audio]	ステレオ相関符号化を使った音響符号化アルゴリズムのモード。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15205	A		レイヤ[音響]	れいや[おんきょう]	layer[audio]	JIS X 4327で規定する音響システムの符号化階層の一つのアルゴリズム。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15206	A		レイヤ[同期多重]	れいや[どうきたじゅう]	layer[systems]	JIS X 4325に規定する同期多重における、データ階層化表現の一つの水準。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15207	A		レイヤ[動画]	れいや[どうが]	layer[video]	可変性階層において、順序付けた一連のピット流集合から取り出した一つのピット流及び付随する(暗にこのレイヤ以外のすべてのレイヤの復号を含んだ)復号処理(結果) を	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15208	A		レイヤビット流[動画]	れいやびっとりゅう[どうが]	layer bitstream[video]	特定の零夜に付随する単一のビット流(常にレイヤの修飾語とともに用いる。例えば、増強レイヤビット流。)。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15209	A		レベル、性能水準[動画]	れべる、せいのうすいじゅん[どうが]	level[video]	ここのプロファイル(機能仕様)内で、この規格のパラメタが取り得る値について定義された一連の制約。プロファイルは、一つ以上のレベルを含んでいてもよい。別の文脈において、"レベル"は、非零係数の絶対値を意味する("ラン"参照)。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15210	A		低周波数強調チャネル[音響]	ていしゅうはすうきょうちょうちゃねる[おんきょう]	LFE[audio]	多チャネルシステムにおける低周波数音響効果のための帯域制御チャネル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15211	A		低周波数強調チャネル、LFE[音響]	ていしゅうはすうきょうちょうちゃねる、LFE[おんきょ	low frequency enhancement	多チャネルシステムにおける低周波数音響効果のための帯域制御チャネル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15212	A		下位レイヤ[動画]	かいれいや[どうが]	lower layer[video]	ある増強レイヤのすぐ下のレイヤ(暗にこのレイヤ以下のすべてのレイヤの復号を含む。)を相対的に指示するもの。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15213	A		輝度成分[動画]	きどせいぶん[どうが]	luminance component[video]	ピット流に規定するとおり、ガンマ補正済み3原色に関係する、信号の明るさを表現する配列、ブロック、又は単一標本。輝度信号には記号Yを用いる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15214	A		マクロブロック[動画]	まくろぶろっく[どうが]	macroblock[video]	画像の輝度成分の16×16標本領域から来る、4個の輝度データの8×8標本ブロック、及び対応する2個(4:3:0色度形式のとき)、又は8個(4:4:4色度形式のとき)の色度データの8×8標本ブロック。あるときは標本データを参照するときに用い、あるときは標本値の符号化表現、及びこの規格で規定する構文のマクロブロックヘッダ内のほかのデータ要素の符号化表現を参照するときに用いる。そのどちらであるかは、文脈から明らかであ	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15215	A		写像[音響]	しゃぞう[おんきょう]	mapping[audio]	帯域分割フィルタ処理及び/又はMDCTによる時間領域から周波数領域への音響信号の	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15216	A		マスキング[音響]	ますきんぐ[おんきょう]	masking[audio]	ある音響信号の存在によって別の音響信号が知覚できなくなるような人間の聴覚の性	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15217	A		マスキングしきい値[音響]	ますきんぐしきいち[おんきょう]	masking threshold[audio]	聴覚によって知覚できる音響信号レベルの最小値。周波数及び時間の関数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15218	A		Mbit[動画]	Mbit[どうが]	Mbit [video]	1000000ビット。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15219	A		動き補償予測器、MCP[動画]	うごきほしょうよそくき、MCP[どうが]	motion compensated predictor, MCP [video]		JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15220	A		変形離散余弦変換、MDCT[音響]	へんけいりさんよげんへんかん、MDCT[おんきょ	modifield discrete cosine transform, MDCT [audio]	時間領域折返しひずみ相殺フィルタバンクに対応する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15221	A		不一致[動画]	ふいっち[どうが]	mismatch[video]	二つの復号処理によって同一の符号化ビット流から再現されたデータ間の数値の不一致。JIS X 4326は、逆離散余弦変換(IDCT)を除いては、完全に復号処理を規定する。したがって、JIS X 4326によって復号処理を実装すれば、不一致は、異なったIDCTの実装	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15222	A		動き補償[動画]	うごきほしょう[どうが]	motion compensation[video]	標本値の予測効率を高めるための動きベクトルの使用。予測誤差を形成するために、以前に復号された標本値を保持する、過去参照フレーム又は過去参照フィールド、及び/若しくは未来参照フレーム又は未来参照フィールドに対する変位を与えるべきベクトルを予	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15223	A		動き推定[動画]	うごきすいてい[どうが]	motion estimation[video]	符号化処理中に、動きベクトルを推定する処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15224	A		動きベクトル[動画]	うごきべくとる[どうが]	motion vector[video]	現在のフレーム又はフィールドの座標位置から参照フレーム又は参照フィールドの座標までの変位を与える動き補償用2次ベクトル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15225	A		和差ステレオ[音響]	わさすてれお[おんきょう]	MS stereo[audio]	左右チャネルの代わりに和及び差分による符号化に基づいたステレオ相関性及びステレオ冗長性を利用する符号化方法。 参考 M:和(middle)チャネル、S差(side)チャネル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15226	A		多チャネル[音響]	たちゃねる[おんきょう]	multichannel[audio]	空間的な音場を生成するために使用する音響チャネルの組合せ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15227	A		多言語[音響]	たげんご[おんきょう]	multilingual[audio]	1言語以上を使用した会話の1表現。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15228	A		ネットワーク情報表、NIT[同期多重]	ねっとわーくじょうほうひょう、NIT[どうきたじゅう]	NIT[systems]	JIS X 4325の附属書1(参考)Table 2-23に示すネットワーク情報表。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15229	A		非画像内符号化[動画]	ひがぞうないふごうか[どうが]	non-intra coding[video]	自らのマクロブロック又は画像の情報、並びに他の時刻に現れるマクロブロック及び画像の情報の両方を使用する、マクロブロック又は画像の符号化。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15230	A		非純音成分[音響]	ひじゅんおんせいぶん[おんきょう]	non-tonal component[audio]	音響信号の雑音的成分。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15231	A		ナイキスト標本化	ないきすとひょうほんか	Nyquist sampling	信号の最大帯域幅の2倍以上に相当する周波数(ナイキスト周波数)で行う標本化。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15232	A		反対パリティ[動画]	はんたいぱりてい[どうが]	opposite parity[video]	上フィールドに対しては、したフィールド。下フィールドに対しては上フィールド。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15233	A		Pフィールド画像[動画]	Pふぃーるどがぞう[どうが]	P-field picture [video]	フィールド構造のP画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15234	A		Pフレーム画像[動画]	Pふれーむがぞう[どうが]	P-frame picture [video]	フレーム構造のP画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15235	A		P画像、予測符号化画像[動画]	Pがぞう、よそくふごうかがぞう[どうが]	P-picture, predictive-coded picture[video]	過去参照フィールド又は過去参照フレームから動き補償予測を用いて符号化する画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15236	A		パック、外包[同期多重]	ぱっく、がいほう[どうきたじゅう]	pack[systems]	一つのパックヘッダ及びそれに続く0個以上のパケット。JIS X 4325の附属書1(参考)の2.5.3.3に示す同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15237	A		パケット、内包[同期多重]	ぱけっと、ないほう[どうきたじゅう]	packet[systems]	一つのヘッダ及びそれに続く信号よそビット流からの複数の一連のバイト列。JIS X 4325の附属書1(参考)の2.4.3に示す同期多重符号化構文の一つのレイヤ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15238	A		パケットデータ[同期多重]	ぱけっとでーた[どうきたじゅう]	packet data[systems]	一つのパケット内の一つの信号要素ビット流からの一連のバイト列。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15239	A		パケット識別子、PID[同期多重]	ぱけっとしきべつし、PID[どうきたじゅう]	packet indentifier, PID[systems]	JIS X 4325の附属書1(参考)の2.4.3に示す識別子。単一番組トランスポート流又は複数番組トランスポート流の中に存在する信号要素ビット流を関連付けるために使用される	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15240	A		補充[音響]	ほじゅう[おんきょう]	padding[audio]	音響フレームの平均時間間隔を、それに対応するPCM標本化周期と調整するための方法。音響フレームのスロットを適宜挿入することによって行う。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15241	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	この規格の構文中で、ある範囲の値をとる変数。二つの値だけをとる変数をフラグ又はインディケータと呼び、パラメタと区別する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15242	A		フィールドパリティ[動画]	ふぃーるどぱりてい[どう	parity (of field) [video]	フィールドパリティには、上と下とがある。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15243	A		解析器	かいせきき	parser	符号化ビット流から符号化要素(FLC又はVLC)を再現すつ一連のビット列を抽出する復号器の機能的段階。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15244	A		過去参照フレーム(フィールド)[動画]	かこさんしょうふれーむ(ふぃーるど)[どうが]	past reference frame (field) [video]	表示順序での現在のフレーム(フィールド)より前の時刻に現れる参照フレーム(又は参照フィールド)。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15245	A		プログラム関連表、PAT[同期多重]	ぷろぐらむかんれんひょう、PAT[どうきたじゅう]	PAT[systems]	JIS X 4325の附属書1(参考)の2.4.3に示すプログラム関連表。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15246	A		ペイロード[同期多重]	ぺいろーど[どうきたじゅう]	payload[systems]	パケット内のヘッダバイトに続くバイト列。例えば、トランスポート流パケットのペイロードは、PESパケットヘッダ及びPESパケットデータバイト、ポインタフィールド及びPSIセクション、又はプライベートデータである。しかし、PESパケットのペイロードは、PESパケット	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15247	A		パケット化信号要素ビット流、PES[同期多重]	ぱけっとかしんごうようそびっとりゅう、PES[どうきた	packetized elementary, PES[systems]	信号要素ビット流をパケットにしたもの。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15248	A		PESパケット[同期多重]	PESぱけっと[どうきたじゅう]	PES packet [systems]	信号要素ビット流データを伝送するために使用されるデータ構造。PESパケットヘッダとそれに続くPESパケットペイロードから構成され、JIS X 4325の附属書1(参考)の2.4.3.6及びビ	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15249	A		PESパケットヘッダ[同期多重]	PESぱけっとへっだ[どうきたじゅう]	PES packet header [systems]	ビット流が補充ビット流でない場合には、PES_packet_data_byteを含まずその直前までのPESパケットの先頭のフィールド。ビット流が補充ビット流である場合には、padding_byteフィールドを含まずその直前までのPESパケットの先頭フィールド。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15250	A		PESビット流[同期多重]	PESびっとりゅう[どうきたじゅう]	PES Stream [systems]	すべてのペイロードが一つの信号要素ビット流からのデータで構成され、かつ、すべての同一のstream idをもつPESパケットで構成されるビット流。特別な意味上の制約が適用さ	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15251	A		画像[動画]	がぞう[どうが]	picture[video]	原画像データ、符号化した画像データ又は再構成した画像データ。原画像又は再構成画像は、輝度信号及び2種類の色度信号を表す8ビットの三つの方形配列で構成する。"符号化画像"は、6.43による。順次走査動画では、画像はフレームと同一であるが、飛越し走査動画では、画像は文脈によって、フレーム又は上フィールド若しくは下フィールドを指	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15252	A		画像データ[動画]	がぞうでーた[どうが]	picture data[video]	動画バッファ検証器(VBV)動作の中で、次のとおりに定義するもの。符号化画像のすべてのビット、もしあるならその直前のすべてのヘッダ及び利用者データ(それらの間の挿入ビットを含む。)並びに符号化画像のビットに続く次の開始符号の直前までのすべての挿入ビット。ただし、次の開始符号が系列終了符号であるとき、その系列終了符号を含	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15253	A		多重位相フィルタバンク[音響]	たじゅういそうふぃるたばんく[おんきょう]	polyphase filterbank[audio]	フィルタバンクの効率的な実現を可能とする特別な位相関係をもった等しい帯域幅のフィルタの集まり。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15254	A		予測[音響]	よそく[おんきょう]	prediction[audio]	他のチャネルの帯域分割標本値からあるチャネルの帯域分割標本値の推定値を与える予測器の使用。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15255	A		予測誤差	よそくござ	prediction error	標本又はデータ要素の実際の値とその予測値との差。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15256	A		予測	よそく	prediction	現在復号している標本値又はデータ要素の推定値を与えうる予測器の使用。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15257	A		予測値	よそくち	predictor	前に復号した標本値又はデータ要素の線形結合。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15258	A		再生チャネル[音響]	さいせいちゃねる[おんきょう]	presentation channel[audio]	左、中央、右、左サラウンド及び右サラウンドで表されるスピーカに対応した、復号器出力における音響チャネル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15259	A		表示時刻スタンプ、PTS[同期多重]	ひょうじじこくすたんぷ、PTS[どうきたじゅう]	presentation time-stamp; PTS [systems]	同期多重仮想復号器で表示単位を表現する時刻を示すパケットヘッダ内のフィールド。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15260	A		表示単位、PU[同期多重]	ひょうじたんい、PU[どうきたじゅう]	presentation unit, PU [systems]	復号した音響アクセス単位又は復号した画像。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15261	A		プロファイル、機能仕様[動画]	ぷろふぁいる、きのうしよう[どうが]	profile[video]	この規格の構文の規定された部分集合。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15262	A		プロファイルレベル組合せ[動画]	ぷろふぁいるれべるくみあわせ[どうが]	profile-and-level combination[video]	動画ビット流及び動画復号器のための適合点。JIS X 4326の8.で規定する。ビット流の場合、プロファイルレベル組合せは、profile_level_indicationから解釈する。復号器は、複数のプロファイルレベル組合せに適合してもよい。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15263	A		番組[同期多重]	ばんぐみ[どうきたじゅう]	program[systems]	番組要素の集まり。信号要素ビット流を番組要素にすることができる。番号要素は、定義された基準時刻をもっている必要はない。定義された基準時刻を必要とする番組要素は、共通の基準時刻をもっていて、同期した表示を目的としている。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15264	A		番組基準時刻、PCR[同期多重]	ばんぐみきじゅんじこく、PCR[どうきたじゅう]	program clock reference, PCR [systems]	トランスポート流において、復号器の同期をとる時刻スタンプ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15265	A		番組要素[同期多重]	ばんぐみようそ[どうきたじゅう]	program element[systems]	一つの番組に含むことができる信号要素ビット流又は他のデータビット流の総称。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15266	A		番組特定情報、PSI[同期多重]	ばんぐみとくていじょうほう、PSI[どうきたじゅう]	program specific information, PSI [systems]	JIS X 4325の附属書1(参考)の2.4.4.によるトランスポート流の多重分離及び番組の再生を行うために必要なデータ。PSIの一つであるネットワーク情報表は、処理系が定義す	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15267	A		順次走査[動画]	じゅんじそうさ[どうが]	progressive[video]	フレームのすべての標本が同じ時刻に表示される、映画のフレームの特性。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15268	A		聴覚心理モデル[音響]	ちょうかくしんりもでる[おんきょう]	psychoacoustic model[audio]	聴覚におけるマスキング特性の数学的モデル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15269	A		量子化行列[動画]	りょうしかぎょうれつ[どう	pquantisation	逆量子化器に用いる64個の8ビットの値の集合。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15270	A		量子化DCT係数[動画]	りょうしかDCTけいすう[どうが]	pwuntised DCT coefficients [video]	逆量子化する前のDCT係数。量子化DCT係数の可変長符号化表現は、圧縮動画ビット流の一部として伝送される。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15271	A		量子化倍率[動画]	りょうしかばいりつ[どうが]	quantiser scale[video]	復号処理での逆量子化の倍率変換に使う、ビット流中の符号化した倍率変換要素。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15272	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	符号化ビット流の任意の位置での読み込み及び復号の開始処理。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15273	A		再構成フレーム[動画]	さいこうせいふれーむ[どうが]	reconstructed frame[video]	符号化フレームを復号して得られるフレーム。再構成フレームは、輝度信号及び2種類の色度信号を表す8ビットの三つの方形配列で構成する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15274	A		再構成画像[動画]	さいこうせいがぞう[どうが]	reconstructed picture[video]	符号化画像を復号して得られる画像。再構成画像は、再構成フレーム(フレーム画像を複合するとき)又は再構成フレームの一つのフィールド(フィールド画像を復号するとき)のどちらかである。もし符号化画像がフィールド画像なら、再構成画像は再構成フレームの上フィールド又は下フィールドである。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15275	A		基準復号器[動画]	きじゅんふくごうき[どうが]	reference decorder[video]	JIS X 4326で規定する復号処理を性格に実装し、かつ、基準IDCTを用いた復号器。基準復号器は、任意のプロファイルレベル組合せの適合ビット流を復号する能力をもつ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15276	A		基準逆離散余弦変換、基準IDCT[動画]	きじゅんぎゃくりさんよげんへんかん、きじゅんIDCT[どうが]	reference IDCT[video]	JIS X 4326の附属書A(規定)で規定する飽和処理を含む数学的整数IDCTの実体。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15277	A		参照フィールド[動画]	さんしょうふぃーるど[どうが]	reference field[video]	再構成フレームの一つのフィールドであって、P画像及びB画像が復号されるとき、順方向予測及び逆方向予測に利用されるフレーム。 備考 Pフィールド画像を復号するとき、符号化フレームの第2Pフィールド画像の予測は、参照フィールドとして、同一の符号化フレームの第1再構成フィールドを用いる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15278	A		参照フレーム[動画]	さんしょうふれーむ[どうが]	reference frame[video]	符号化Iフレーム又は符号化Pフレームの形式で符号化された再構成フレームであって、P画像及びB画像が復号されるとき、順方向予測及び逆方向予測に利用されるフレー	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15279	A		並べ替え遅延[動画]	ならべかえちえん[どうが]	reordering delay[video]	フレームを並べ替える時に要する復号処理における遅延。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15280	A		逆量子化[音響]	ぎゃくりょうしか[おんきょ	requantisation[audio]	元の量子化値を得るために帯域分割標本を復号すること。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15281	A		予約	よやく	reserved	符号化ビット流を規定する箇条において、将来のISO/IECが規定する拡張で使われ得る値であることを示す用語。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15282	A		ラン[動画]	らん[どうが]	run[video]	走査順序で非零係数に先行する零係数の個数。非零係数の絶対値を“レベル”と呼ぶ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15283	A		標本縦横比、標本アスペクト比、SAR[動画]	ひょうほんじゅうおうひ、ひょうほんあすぺくとひ、SAR[どうが]	sample aspect ratio[video]	標本間の相対的距離を指定するもの。フレーム中の輝度標本の走査線間垂直距離を輝度標本間水平距離によって除算した比率として(この規格の目的のために)定義する。したがって、その単位は、(メートル/走査線)/(メートル/標本)である。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15284	A		飽和[動画]	ほうわ[どうが]	saturation[video]	規定した範囲を超えた値を、その範囲の最大又は最小の値に設定することによって、適切に制限すること。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15285	A		可変性、スケーラビリティ[動画]	かへんせい、すけーらびりてぃ[どうが]	scalability[video]	再構成系列を作成するために、順序付けたビット流の集合を復号するための復号器の能力。更に、その部分集合が復号されても、有意な動画を出力できる。このように、複合可能な最小限の部分集合である最初のビット流を、基底レイヤと呼ぶ。集合の中のその他のビット流を、増強レイヤと呼ぶ。特定の増強レイヤに対して、“下位レイヤ”とは、増強レイヤに先行するビット流を指す。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15286	A		可変性階層、スケーラブル階層[動画]	かへんせいかいそう、すけーらぶるかいそう[どう	scalable hierarchy[video]	順序付けた二つ以上の動画ビット流の集合から構成する符号化動画データ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15287	A		倍率[音響]	ばいりつ[おんきょう]	scalefactor[audio]	一連の値を量子化の前に倍率変換するために用いる係数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15288	A		同倍率群[音響]	どうばいりつぐん[おんきょ	scalefactor band[audio]	レイヤIIIにおいて一つの倍率で倍率変換する周波数成分の組。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15289	A		倍率指標[音響]	ばいりつしひょう[おんきょ	scalefactor index[audio]	倍率を指定する番号。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15290	A		スクランブリング[同期多重]	すくらんぶりんぐ[どうきたじゅう]	scrambling[systems]	許可されていない情報の受信を平文で行えないようにするために、動画、音響又は符号化データの特性を変更すること。この変更は、条件付アクセスでの制御により指定される	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15291	A		付加情報	ふかじょうほう	side information	復号器を制御するために必要なビット流中の情報。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15292	A		飛越しマクロブロック[動	とびこしまくろぶろっく[どう	skipped macroblock[video]	データを符号化しないマクロブロック。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15293	A		スライス[動画]	すらいす[どうが]	slice[video]	符号化ビット流の中のslice_start_codeで始まり、次の開始符号(又は挿入バイトが次の開始符号に先行するときは、最初の挿入バイト等)まで続く、一連のマクロブロック列。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15294	A		スロット[音響]	すろっと[おんきょう]	slot[audio]	音響ビット流の基本要素の一つ。レイヤIでは4バイト、レイヤII及びレイヤIIIでは1バイトと	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15295	A		SNR可変性、SNRスケーラビリティ[動画]	SNRかへんせい、SNRすけーらびりてぃ[どうが]	SNR scalability [video]	増強レイヤが下位レイヤのDCT係数を増強する符号化データだけを含む可変性の型。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15296	A		原始ビット流	げんしびっとりゅう	source stream	圧縮符号化前の、単一の非多重化ビット流。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15297	A		原情報、入力[動画]	げんじょうほう、にゅうりょく[どうが]	source, input [video]	符号化前の動画素材又はその属性の記述に使用する用語。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15298	A		空間予測[動画]	くうかんよそく[どうが]	spatial prediction[video]	空間化編成で用いる、下位レイヤ復号器の復号フレームから得る予測。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15299	A		空間可変性、空間スケーラビリティ[動画]	くうかんかへんせい、くうかんすけーらびりてぃ[どう	spatial scalability[video]	増強レイヤが下位レイヤの標本データからの動きベクトルを用いない予測も用いる可変性の型。各レイヤは、異なったフレームの大きさ、フレーム速度又は色度形式をもつこと	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15300	A		接続[同期多重]	せつぞく[どうきたじゅう]	splicting[systems]	同期多重レベルで行われる二つの異なる信号要素ビット流の接続。接続の結果として得られる同期多重ビット流は、全体としてJIS X 4325に適合する。接続することによって、基準時刻、連続性指標、PSI及び複合において不連続性を生じてもよい。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15301	A		広がり関数[音響]	ひろがりかんすう[おんきょ	spreading function [audio]	マスキングの周波数広がりを記述する関数。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15302	A		開始符号[同期多重]	かいしふごう[どうきたじゅう]	start codes [systems]	符号化ビット流の中に埋め込む固有の32ビット符号。これらは符号化構文の幾つかのレイヤを同定することを含め、幾つかの目的のために使用する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15303	A		STD入力バッファ[同期多重]	STDにゅうりょくばっふぁ[どうきたじゅう]	STD input buffer [system]	復号前に信号要素ビット流からの圧縮データを記憶するために、同期多重仮想復号器の入力に設定される一つの先入れ先出しバッファ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15304	A		ステレオモード[音響]	すてれおもーど[おんきょう]	stereo mode[audio]	一つのビット流に一組のステレオ(左右)音響チャネルを符号化するモード。符号化手順は双チャネルモードと同じとする。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15305	A		非ステレオ[音響]	ひすてれお[おんきょう]	stereo-irrelevant[audio]	空間知覚に貢献しないステレオ音響信号の成分。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15306	A		静止画[同期多重]	せいしが[どうきたじゅう]	still picture[systems]	符号化された静止画は、画像内符号化された一つの符号化画像を含む動画系列から構成される。この画像は、関連付けられたPTSをもつ。次に表示すべき画像列が存在する場合、その表示時刻は、前の静止画の表示時刻の2画像周期以降とする。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15307	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing bits, stuffing bytes	これを用いないと所望のビット速度を下回るビット流のビット速度を増加するために、ビット流の特定の位置に挿入し、複合処理で廃棄する符号。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15308	A		分割帯域[音響]	ぶんかつたいいき[おんきょう]	subband[audio]	音響周波数帯域の1区画。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15309	A		帯域分割フィルタバンク[音響]	たいいきぶんかつふぃるたばんく[おんきょう]	subband filter bank [audio]	全音響帯域を変換する帯域フィルタの一組。JIS X 4327においては、帯域分割フィルタバンクは多重位相フィルタバンクとする。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15310	A		帯域分割標本[音響]	たいいきぶんかつひょうほん[おんきょう]	subband samples[audio]	音響符号器の帯域分割フィルタバンクによって、入力音響ビット流をフィルタ処理した後、最標本化した標本値。32個の連続する音響標本から、一つの帯域分割標本値を32の分割帯域のそれぞれについて生成する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15311	A		サラウンドチャネル[音響]	さらうんどちゃねる[おんきょう]	surround channel[audio]	空間的知覚を増すために前方チャネル(L及びR、又はL、R及びC)に付加する音響再生チャネルの一つ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15312	A		同期語[音響]	どうきご[おんきょう]	syncword[audio]	音響ビット流に挿入する基本フレーム又は拡張フレームの開始を示す12ビットの符号。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15313	A		合成フィルタバンク[音響]	ごうせいふぃるたばんく[おんきょう]	synthesis filterbank[audio]	帯域分割標本からPCM音響信号を再生する復号器内の同期を得ることのできる時刻スタンプ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15314	A		同期多重基準時刻、SCR[同期多重]	どうきたじゅうきじゅんじこく、SCR[どうきたじゅう]	system clock reference, SCR [systems]	プログラム流において、復号器の同期を得ることのできる時刻スタンプ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15315	A		同期多重ヘッダ[同期多重]	どうきたじゅうへっだ[どうきたじゅう]	system header[systems]	ITU-T Rec. H222.0 | ISO/IEC 13818多重ビット流の同期多重特性をまとめた情報を運ぶ、JIS X 4325の附属書1(参考)の2.5.3.5に示すデータ要素の構造。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15316	A		同期多重仮想復号器、STD[同期多重]	どうきたじゅうかそうふくごうき、STD[どうきたじゅう]	system target decoder, STD[systems]	ITU-T Rec. H222.0 | ISO/IEC 13818多重ビット流の意味を記述するために用いる仮想的な復号処理のモデル。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15317	A		時間予測[動画]	じかんよそく[どうが]	temporal prediction[video]	参照フレーム又は参照フィールドから得る予測のうち、空間予測として定義するもの以	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15318	A		時間可変性、時間スケーラビリティ[動画]	じかんかへんせい、じかんすけーらびりてぃ[どうが]	temporal scalability[video]	増強レイヤが下位レイヤの標本データからの動きベクトルを用いる可変性の型。各レイヤは、同一のフレームの大きさ及び色度形式をもつが、異なるフレーム速度であってもよ	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15319	A		時刻スタンプ[同期多重]	じこくすたんぷ[どうきたじゅう]	time-stamp[systems]	データバイトの到着、表示単位の表示など、ある特定の事象の時刻を示す用語。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15320	A		純音成分[音響]	じゅんおんせいぶん[おんきょう]	total-component[audio]	音響信号における正弦波的成分。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15321	A		上フィールド[動画]	うえふぃーるど[どうが]	top field[video]	フレームを構成する二つのフィールドの一つ。上フィールドの各走査線は、下フィールドの対応する走査線の空間的直上に位置する。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15322	A		最上位レイヤ[動画]	さいじょういれいや[どうが]	top layer[video]	可変性階層の(最も高いlayer idをもつ)最上位のレイヤ。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15323	A		トランスポート流パケットヘッダ[同期多重]	とらんすぽーとりゅうぱけっとへっだ[どうきたじゅ	transport stream packet header[systems]	トランスポート流パケットにおいて、連続性指標フィールドを含むそれまでの先頭フィールド。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15324	A		三つ組[音響]	みつぐみ[おんきょう]	triplet[audio]	同一の分割帯域内の三つの連続する帯域分割標本値。32分割帯域の三つ組で1グラニュールとする。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15325	A		可変ビット速度、可変ビットレート	かへんびっとそくど、かへんびっとれーと	variable bitrate	符号化ビット流の復号中にビット速度が時間とともに変化する動作。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15326	A		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、VLC	variable length coding	頻度の高い事象に短い符号を割り付け、頻度の低い事象に長い符号を割り付ける可逆符号化手順。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15327	A		可変長符号化	かへんちょうふごうか	VLC		JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15328	A		可変長復号器、VLD	かへんちょうふくごうき、VLD	variable length decorder, VLD		JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15329	A		動画バッファ検証器、VBV[動画]	どうがばっふぁけんしょうき、VBV[どうが]	vide buffering verifier, VBV [video]	符号器の出力に概念的に接続する仮想的な復号器。符号器又は編集処理によって得られるデータのビット速度の変動に対する制約はこれによる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15330	A		動画系列[動画]	どうがけいれつ[どうが]	video sequence[video]	符号化動画ビット流の最上位の構文構造。一つ以上の一連の符号化フレームからなる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15331	A		xxxプロファイルビット流[動画]	xxxぷろふぁいるびっとりゅう[どうが]	xxx profile bitstream [video]	xxxに対応するプロファイル表示をもつ可変性階層内のビット流。 備考 このビット流は、(基底レイヤビット流以外は、)その下位レイヤのすべてのビット流があるときに限り、復号できる。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15332	A		xxxプロファイル復号器[動画]	xxxぷろふぁいるふくごうき[どうが]	xxx profile decorder [video]	最上位レイヤがxxxプロファイル(xxxは規定したプロファイル名のどれか)の規定による一つのビット流又は一つの可変性階層ビット流を復号できる復号器。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15333	A		xxxプロファイル可変性階層、xxxプロファイルスケーラブル階層	xxxぷろふぁいるかへんせいかいそう、xxxぷろふぁいるすけーらぶるかいそう	xxx profile scalable hierarchy	最上位レイヤがxxxプロファイルの規定に適合するビット流の集合。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15334	A		ジグザグ走査順序[動画]	じぐざぐそうさじゅんじょ[どうが]	zig-zag scanning order [video]	空間周波数が(近似的に)低い係数から高い係数に向かって走査するDCT係数の特定の走査順序。	JIS X 4328	1999	ISO/IEC 13818-4	1998				2004	SC29
15335	A		アプリケーション、応用プログラム	あぷりけーしょん、おうようぷろぐらむ	application	クライアント環境で動作するソフトウェア。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15336	A		アソシエーションタグ	あそしえーしょんたぐ	association tag	コネクション資源の場合、利用者対利用者コネクションを形成する資源又は共有の資源の群を指定する識別子。アソシエーションタグは、一つのセション内で固有とし、両端点間で識別可能とする。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15337	A		クライアント	くらいあんと	client	一つ以上のサーバからのサービスの利用者。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15338	A		コネクション、接続	こねくしょん、せつぞく	connection	二つ以上の端点間で情報を伝送する能力を提供するトランスポートリンク。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15339	A		下り転送	くだりてんそう	downstream	サーバからクライアントへのデータの配信。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15340	A		エンティティ	えんていてい	entity	サブシステム内の機能モジュール。例えば、クライアントサブシステムは、U-Nエンティティ及びU-Uエンティティをもつ。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15341	A		エンティティ間インタフェース	えんていてぃかんいんたふぇーす	inter-entity interface	異なるサブシステムに存在する二つのエンティティ間のインタフェース。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15342	A		エンティティ内インタフェース	えんていていないいんたふぇーす	intra-entity interface	同じエンティティ内に存在する二つの部分エンティティ間のインタフェース。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15343	A		サブシステム内インタフェース	さぶしすてむないいんたふぇーす	intra-subsystem interface	同じサブシステム内に存在する二つのエンティティ間のインタフェース。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15344	A		初期常駐アプリケーション	しょきじょうちゅうあぷりけーしょん	main resident application	すべてのDSM-CCプロトコルを実行する前にクライアント上に存在するアプリケーション(又はプロセス)。最初のDSM-CCプロトコル交換、すなわちU-N構成を起動する。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15345	A		ネットワーク、網	ねっとわーく、もう	network	コネクションを提供し、セション制御及び/又は利用者へのコネクション制御を提供する通信要素の集合。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15346	A		初期サービス	しょきさーびす	primary service	関連するサービスの集合のうち、クライアントが対話する最初のサービス。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15347	A		常駐ダウンロード	じょうちゅうだうんろーど	resident download	DSM-CCダウンロードプロトコルを実行することのできる常駐ライブラリ。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15348	A		資源記述子、リソース記述子	しげんきじゅつし、りそーすきじゅつし	resource descriptor	一つのセションに付随する特定の資源を示す情報を保持するデータ。ネットワークが資源を割り当て、一度割り当てた資源を追跡し、不要になった場合には解放するために使用	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15349	A		資源共有、リソース共有	しげんきょうゆう、りそーすきょうゆう	resource sharing	二つ以上の資源が他の一つの資源に含まれる状態。資源共有は、共有する資源の資源番号を特定する共有資源記述子によって明示する。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15350	A		サーバ	さーば	server	一つ以上のクライアントへのサービスの提供者。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15351	A		サービス	さーびす	service	一つ以上のアプリケーションを実現するために機能及びインタフェースを提供するシステムの中の論理エンティティ。サービスと他のオブジェクトとは、サービスへの末端利用者のアクセスがサービスゲートウェイによって制御される点で異なる。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15352	A		サービスゲートウェイ	さーびすげーとうぇい	service gateway	サービスのディレクトリを提供しクライアントがサービス領域へ接続することを可能とするインタフェース。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15353	A		セション	せしょん	session	あるサービスの実例に必要となる資源をひとまとめにする2利用者間のアソシェーション。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15354	A		セション資源マネージャ	せしょんしげんまねーじゃ	session and resource manager	一つ以上のネットワーク技術を下位にもつDSM-CCのセション及び資源を論理的に集中管理するDSM-CCのサブシステム。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15355	A		部分エンティティ	ぶぶんえんていてい	sub-entity	エンティティを内部で機能的に分割したもの。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15356	A		サブシステム	さぶしすてむ	subsystem	DSM-CCシステムの中の論理的な設備の単位。例えば、クライアント、サーバ又はセション資源マネージャがこれにあたる。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15357	A		システム	しすてむ	system	DSM-CCの全範囲を具体化したもので、サブシステム及びそれらのインタフェースを含	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15358	A		タップ	たっぷ	tap	アプリケーションから見える、下位レイヤの通信チャネルに結合したオブジェクト。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15359	A		上り転送	のぼりてんそう	upstream	クライアントからサーバへのデータの配信。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15360	A		利用者	りようしゃ	user	ネットワークを通して、別の末端システムへ情報を送信できる、又は別の末端システムから情報を受信できる、ネットワークに接続した末端システム。利用者は、クライアント、サーバ又はその両方として機能してよい。	JIS X 4329	2000	ISO/IEC 13818-6	1998				1998	SC29
15361	A		折返し	おりかえし	alias	標本化によって生じる、信号の鏡像成分。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15362	A		分析フィルタバンク	ぶんせきふぃるたばんく	analysis filterbank	符号器における、広域帯PCM音響信号を一組のスペクトル係数に変換するためのフィルタバンク。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15363	A		アンシラリデータ	あんしらりでーた	anacilary data	補助データを伝送するために用いる可能性のあるビット流の一部分。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15364	A		音響バッファ	おんきょうばっふぁ	audio buffer	同期多重仮想復号器(JIS X 4325)における、圧縮音響データを記憶するためのバッ	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15365	A		バーク	ばーく	Bark	1臨海帯域幅に対応する聴覚の基準単位。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15366	A		逆方向互換性	ぎゃくほうこうごかんせい	backward compatibility	既存の符号化規格に合致した復号器が、新しい符号化規格によって生成されたビット流の全部又は一部を復号できること。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15367	A		ビット速度、ビットレート	びっとそくど、びっとれーと	bitrate	圧縮したビット流を復号器の入力に供給するときの速度。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15368	A		ビット流、流	びっとりゅう、りゅう	bitstream, stream	データの符号化された表現を形成する順序づけられた一連のビット。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15369	A		ビット流検証器	びっとりゅうけんしょうき	bitstream verefier	この規格が規定するすべての要求条件をビット流が満たすことを試験・検証することの可能な処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15370	A		ブロック圧伸	ぶろっくあつしん	block companding	ある時間間隔におけるディジタル表現した音響信号の正規化。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15371	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned	符号化ビット流の中にあるビットの位置が、Audio_Data_Interchange_Format(6.1)に対してはビット流の初めのビットから、Audio_Data_Transport_Stream(6.2)に対しては同期後の初めのビットから、8ビットの倍数であること。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15372	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの並び。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15373	A		中央チャネル	ちゅうおうちゃねる	centra channel	前方ステレオ像の中央成分を安定させるために使用する音響表現チャネル。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15374	A		チャネル	ちゃねる	channel	一つの聴取位置において再生するための音響信号を表現する一連のデータ。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15375	A		符号化音響ビット流	ふごうかおんきょうびっとりゅう	coded audio bitstream	音響信号の符号化表現。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15376	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	符号化した形で表現したデータ要素。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15377	A		圧縮	あっしゅく	compression	データの1項目を表現するために用いるビット数の削減。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15378	A		一定ビット速度、一定ビットレート	いっていびっとそくど、いっていびっとれーと	constant bitrate	圧縮ビットの最初から最後までビット速度が一定である動作。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15379	A		巡回冗長検査	じゅんかいじょうちょうけん	CRC	データの正しさを検証するための巡回冗長検査。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15380	A		臨界帯域	りんかいたいいき	critical band	人間の聴覚に関する用語で表した、か(蝸)牛殻の固定長に対応する帯域の基準単位。低周波領域では約100Hzとし、約700Hz以上の周波数領域では約1/3オクターブとする。参考 蝸牛殻は、外リンパ液で満たされた内耳の器官で、かたつむりの殻に似た形を持つ骨性の管。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15381	A		データ要素	でーたようそ	data element	データの1項目の符号化前及び復号後の表現。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15382	A		ディエンファシス	でぃえんふぁしす	de-emphasis	エンファシスによる線形ひずみを元に戻すために、記録又は伝送の後に音響信号に適合するフィルタ処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15383	A		復号ビット流	ふくごうびっとりゅう	decorded stream	圧縮ビット流を復号し再構成したもの。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15384	A		復号器	ふくごうき	decorder	復号処理を行う実体。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15385	A		復号(処理)	ふくごう(しょり)	decoding (process)	入力符号化ビット流を読み込み、復号音響標本列を生成する、この規格による処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15386	A		ディジタル記録媒体、DSM	でぃじたるきろくばいたい、DSM	digital storage media, DSM	ディジタルの、記録又は伝送を行う装置又はシステム。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15387	A		離散余弦変換、DCT	りさんよげんへんかん、DCT	discrete cosine transform, DCT	順離散余弦変換又は逆離散余弦変換。DCTは、逆変換可能な離散直交変換である。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15388	A		チャネル数削減操作	ちゃねるすうさくげんそうさ	downmix	*n*より少ないチャネル数とするために*n*チャネルに適用する行列操作。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15389	A		編集	へんしゅう	editing	一つ以上の圧縮ビット流を操作して、新しい圧縮ビット流を作成する処理。編集されたビット流は、この規に定めた要求条件を満足しなければならない。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15390	A		エンファシス	えんふぁしす	emphasis	高音域において、信号帯雑音費の改善を目的として、記録又は伝送の前に音響信号に対し適用するフィルタ処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15391	A		符号器	ふごうき	encoder	符号化処理を行う実体。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15392	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding (process)	この規格では規定しないが、入力音響信号標本列を読み込み、この規格による正当な符号化ビット流を生成する処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15393	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding	統計的冗長度削減を目的とした、ディジタル表現した信号の可変長可逆符号化。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15394	A		高速フーリエ変換、FFT	こうそくふーりえへんかん、FFT	fast Fourier transformation, FFT	高速フーリエ変換。離散フーリエ変換(直交変換の1種)を実行する高速なアルゴリズム。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15395	A		フィルタバンク	ふぃるたばんく	filterbank	可聴周波数帯域全体をおおう、一組の帯域通過フィルタ。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15396	A		フラグ	ふらぐ	flag	この規格で定める二つの値のいずれかを表現することのできる変数。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15397	A		順方向互換性	じゅんほうこうごかんせい	forward compatibility	新しい符号化規格に合致した復号器が、既存の符号化規格によって生成されたビット流を復号することができるとき、この新しい符号化規格を既存の符号化規格と順方向互換	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15398	A		Fs	Fs	Fs	標本化周波数。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15399	A		ハン窓	はんまど	Hann window	フーリエ変換の前に音響標本の1ブロックごとに各標本値に適用する時間関数。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15400	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding	エントロピー符号化のある特定の方式。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15401	A		混成フィルタバンク	こんせいふぃるたばんく	hybrid filterbank	帯域分割フィルタバンクとMDCTとを直列に組み合わせたもの。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15402	A		IDCT	IDCT	IDCT	逆離散余弦変数。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15403	A		IMDCT	IMDCT	inverse modifield discrete cosine transform, IMDCT	逆変形離散余弦変換。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15404	A		共包絡ステレオ	きょうほうらくすてれお	intensity stereo	高音域において左右チャネルのエネルギー包絡線だけを記録することによって、ステレオ音響信号のステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方法。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15405	A		ステレオ相関符号化	すてれおそうかんふごうか	joint stereo coding	ステレオ相関性又はステレオ冗長性を利用する符号化方式。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15406	A		ステレオ相関モード	すてれおそうかんもーど	joint stereo mode	ステレオ相関符号化を使った音響符号化アルゴリズムのモード。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15407	A		低周波強調チャネル	ていしゅうはきょうちょうちゃねる	low frequency enhancement (LFE)	多チャネルシステムにおける低周波音響効果のための帯域制限チャネル。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15408	A		主音響チャネル	しゅおんきょうちゃねる	main audio channels	同一プログラムに含まれるすべてのsingle_channel_elements(8.2.1)又はchanne_pair_slsments(8.2.1)。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15409	A		写像[音響]	しゃぞう[おんきょう]	mapping	帯域分割フィルタ処理及び/又はMDCTによる時間領域から周波数領域への音響信号の	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15410	A		マスキング	ますきんぐ	masking	ある音響信号の存在によって、別の音響信号が知覚できなくなるような人間の聴覚の性	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15411	A		マスキングしきい値	ますきんぐしきいち	masking threshold	聴覚によって知覚できる音響信号レベルの最小値。周波数及び時間の関数。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15412	A		変形離散余弦変換	へんけいりさんよげんへんかん	modifield discrete cosine transform(MDCT)	時間領域折返し相殺の性質を持つ変換。MDCTの解析表現を附属書B2.3.1.2に示す。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15413	A		和差ステレオ	わさすてれお	M/S stereo	左右チャネルの代わりに和と差を用いた符号化に基づいた、ステレオ相関性及びステレオ冗長性を利用して鏡像現象を除去する符号化方法。 参考 M:和(middle)チャネル S:差(side)チャネル。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15414	A		多チャネル	たちゃねる	multichannel	空間的な音場を生成するために使用する音響チャネルの組合せ。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15415	A		多言語	たげんご	multilingual	2言語以上を使用した会話の1表現。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15416	A		非純音成分	ひじゅんおんせいぶん	non-tonal component	音響信号の雑音的成分。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15417	A		ナイキスト標本化	ないきすとひょうほんか	Nyquist sampling	信号の最大帯域幅の2倍以上に相当する周波数(ナイキスト周波数)で行う標本化。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15418	A		補充	ほじゅう	padding	スロットの適宜挿入によって、音響フレームの平均時間長を対応する複数のPCM標本から構成される時間間隔に調整する方法。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15419	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	この規格の文法が定める変数であり、ある範囲の値を表すもの。二つの値のうち、いずれかを表すことのできる変数はフラグ又は標識とし、パラメタとはしない。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15420	A		分析部	ぶんせきぶ	parser	符号化ビット流から符号化要素を再現すつ一連のビットを抽出する復号器の機能。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15421	A		多重位相フィルタバンク	たじゅういそうふぃるたばんく	polyphase filterbank	フィルタバンクの効率的な実現を可能とする特別な位相関係をもった等しい帯域幅のフィルタの集まり。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15422	A		予測誤差	よそくごさ	prediction error	標本値又はデータ要素の実際の値と予測値との差。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15423	A		予測	よそく	prediction	現在復号中の標本値又はデータ要素の推定値を与える予測器の使用。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15424	A		予測値	よそくち	predictor	前に復号した標本値又はデータ要素の線形結合。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15425	A		再生チャネル	さいせいちゃねる	presentation channel	復号器出力における音響チャネル。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15426	A		プログラム関連表、PAT[同期多重]	ぷろぐらむかんれんひょう、PAT[どうきたじゅう]	program	同時に復号・再生することを想定したcoupling_channer_elements(8.2.1)、lfe_channel_elements(8.2.1)、及び関連するデータから構成される一組の主音響チャネル。既定値(8.5.1)によって規定するか、又はprogram_configuration_element(8.2.1)によって特別に規定することができる。与えられたsingle_channel_element(8.2.1)、cannel_pair_element(8.2.1)、coupling_channel_element、lfe_channel_element、又はdata_channelは、与えられたいかなるビット流においても、一つ以上のプログラムを伴うこ	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15427	A		聴覚心理モデル	ちょうかくしんりもでる	psychoacoustic model	聴覚におけるマスキング特性の数学的モデル。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15428	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	符号化ビット流の任意の位置における読込み及び復号の開始処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15429	A		予約	よやく	reserved	符号化ビット流を規定する箇条において、将来のISO/IECが規定する拡張で使われ得る値であることを示す用語。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15430	A		標本化周波数	ひょうほんかしゅうはすう	Sampling Frepuency (Fs)	標本化処理において音響信号をディジタル化する際に用いるヘルツで表した速度。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15431	A		倍率	ばいりつ	scalefactor	一組の値を、量子化前に倍率変換するために用いる係数。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15432	A		同倍率群	どうばいりつぐん	scalefactor band	一つの倍率で倍率変換する周波数成分の組。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15433	A		倍率指標	ばいりつしひょう	scalefactor index	倍率を指定する番号。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15434	A		付加情報	ふかじょうほう	side information	復号器を制御するために必要なビット流中の情報。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15435	A		スペクトル係数	すぺくとるけいすう	spectral coefficients	分析フィルタバンクから出力される離散的な周波数領域データ。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15436	A		広がり関数	ひろがりかんすう	spreading function	マスキングの周波数広がりを記述する関数。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15437	A		非ステレオ	ひすてれお	stereo-irrelevant	空間的知覚に貢献しないステレオ音響信号の成分。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15438	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing (bits); stuffing (bytes)	ビット流中のビット速度が希望する値より低い際に、ビット速度を増加するために、圧縮ビット流の特定の位置に挿入し、復号処理で廃棄する符号後。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15439	A		サラウンドチャネル	さらうんどちゃねる	surround channel	空間的知覚を増すために前方チャネル(L及びR、又はL、R及びC)に付加する音響再生チャネルの一つ。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15440	A		同期語	どうきご	syncword	音響ビット流に挿入するadts_frame()(6.2、8.1.1)の開始を示す12ビットの符号。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15441	A		合成フィルタバンク	ごうせいふぃるたばんく	synthesis filterbank	帯域分割標本からPCM音響信号を復元する復号器内のフィルタバンク。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15442	A		純音成分	じゅんおんせいぶん	tonal component	音響信号における正弦波的成分。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15443	A		可変ビット速度、可変ビットレート	かへんびっとそくど、かへんびっとれーと	variable bitrate	圧縮ビット流の復号中にビット速度が時間とともに変化する処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15444	A		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、VLC	variable length coding	頻度の高い事象に短い符号を割り付け、頻度の低い事象に長い符号を割り付ける可逆符号化手順。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15445	A		可変長符号、VLC	かへんちょうふごう、VLC	variable length code (VLC)	可変長符号器が割り当てる符号語(可変長符号化参照)。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15446	A		可変長復号器	かへんちょうふくごうき	variable length decoder	可変長符号化技術を用いて符号化した圧縮データを元に戻す処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15447	A		可変長符号器	かへんちょうふごうき	variable length encoder	非圧縮データに可変長符号語を割り当てる処理。	JIS X 4330	2002	ISO/IEC 13818-7	1997				2006	SC29
15448	B		アクセス単位	あくせすたんい	access unit (AU)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15449	B		アルファマップ、不透明度マップ	あるふぁまっぷ、ふとうめいどまっぷ	alpha map		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15450	B		アトム	あとむ	atom		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15451	B		音響映像オブジェクト	おんきょうえいぞうおぶじぇくと	audio-visual object		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15452	B		音響映像シーン(AVシーン)	おんきょうえいぞうしーん(AVしーん)	audio-visual scene(AV scene)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15453	B		シーン2値符号化形式(BIFS)	しーん2ちふごうかけいしき(BIFS)	binary format for scene(BIFS)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15454	B		バッファモデル	ばっふぁもでる	buffer model		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15455	B		バイト配置	ばいとはいち	byte aliged		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15456	B		データ塊	でーたかたまり	chunk		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15457	B		基準時刻	きじゅんじこく	clock reference		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15458	B		合成	ごうせい	composition		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15459	B		合成メモリ(CM)	ごうせいめもり(CM)	composition memory (CM)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15460	B		合成時刻スタンプ(CTS)	ごうせいじこくすたんぷ(CTS)	composition time stamp(CTS)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15461	B		合成単位(CU)	ごうせいたんい(CU)	composition unit(CU)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15462	B		圧縮レイヤ	あっしゅくれいや	compression layer		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15463	B		格納アトム	かくのうあとむ	container atom		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15464	B		復号器	ふくごうき	decoder		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15465	B		復号バッファ(DB)	ふくごうばっふぁ(DB)	decoding buffer(DB)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15466	B		復号器構成	ふくごうきこうせい	decoder configuration		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15467	B		復号時刻スタンプ	ふくごうじこくすたんぷ	decoding time stamp(DTS)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15468	B		配信レイヤ	はいしんれいや	delivery layer		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15469	B		記述子	きじゅつし	descriptor		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15470	B		DMIF応用インターフェイス(DAI)	DMIFおうよういんたーふぇいす(DAI)	DMIF application interface(DAI)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15471	B		基本ストリーム	きほんすとりーむ	elementary stream(ES)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15472	B		基本ストリーム記述子	きほんすとりーむきじゅつし	elementary stream descriptor		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15473	B		基本ストリームインターフェイス	きほんすとりーむいんたーふぇいす	elementary stream interface(ESI)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15474	B		フレックスマックスチャネル	ふれっくすまっくすちゃね	Flexmux channel(FMC)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15475	B		フレックスマックスパケット	ふれっくすまっくすぱけっ	Flexmux packet		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15476	B		フレックスマックスストリー	ふれっくすまっくすすとりー	Flexmux stream		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15477	B		フレックスマックスツール	ふれっくすまっくすつーる	Flexmux tool		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15478	B		グラフィックスプロファイル	ぐらふぃっくすぷろふぁい	graphics profile		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15479	B		ヒントトラック	ひんととらっく	hint track		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15480	B		ヒンタ	ひんた	hinter		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15481	B		画像間	がぞうかん	intrer		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15482	B		画像内	がぞうない	intra coding		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15483	B		初期オブジェクト記述子	しょきおぶじぇくときじゅつ	initial object descriptor		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15484	B		知的財産権識別	ちてきざいさんけんしきべつ	intellectual property identification(IPI)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15485	B		知的財産権管理保護システム	ちてきざいさんけんかんりほごしすてむ	intellectual property management and protection(IPMP) system		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15486	B		動画アトム	どうがあとむ	movie atom		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15487	B		動画データアトム	どうがでーたあとむ	movie data atom		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15488	B		MP4ファイル	MP4ふぁいる	MP4 file		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15489	B		オブジェクト基準時刻	おぶじぇくときじゅんじこく	object clock		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15490	B		オブジェクト内容情報	おぶじぇくとないようじょうほう	object content information(OCI)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15491	B		オブジェクト記述子 (OD)	おぶじぇくときじゅつし	object descriptor (OD)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15492	B		オブジェクト記述子コマンド	おぶじぇくときじゅつしこまんど	object descriptor command		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15493	B		オブジェクト記述子プロファイル	おぶじぇくときじゅつしぷろふぁいる	object descriptor profile		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15494	B		オブジェクト記述子ストリーム	おぶじぇくときじゅつしすとりーむ	object descriptor stream		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15495	B		オブジェクト時間基底	おぶじぇくとじかんきてい	object time base(OTB)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15496	B		パラメトリック音響復号器	ぱらめとりっくおんきょうふくごうき	parametric audio decoder		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15497	B		サービス品質	さーびすひんしつ	quality of service(QoS)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15498	B		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15499	B		参照点	さんしょうてん	reference point		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15500	B		描画	びょうが	redering		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15501	B		描画領域	びょうがりょういき	redering area		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15502	B		標本	ひょうほん	sample		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15503	B		標本表	ひょうほんひょう	sample table		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15504	B		シーン記述	しーんきじゅつ	scene description		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15505	B		シーン記述ストリーム	しーんきじゅつすとりーむ	Scene Description Stream		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15506	B		シーングラフ要素	しーんぐらふようそ	scene graph elements		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15507	B		シーングラフプロファイル	しーんぐらふぷろふぁいる	scene graph profile		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15508	B		SLパケット化ストリーム(SPS)	SLぱけっとかすとりーむ(SPS)	SL-packetized stream (SPS)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15509	B		合成音響	ごうせいおんきょう	structured audio		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15510	B		同期レイヤ	どうきれいや	sync layer(SL)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15511	B		同期レイヤ構成	どうきれいやこうせい	sync layer cnfiguration		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15512	B		同期レイヤパケット	どうきれいやぱけっと	sync layer packet(SL-packet)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15513	B		構文記述言語	こうぶんきじゅつげんご	syntacic description language(SDL)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15514	B		同期多重復号器モデル	どうきたじゅうふくごうきもでる	systems decoder model(SDM)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15515	B		同期多重時間基底	どうきたじゅうじかんきて	system time base(STB)		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15516	B		端末	たんまつ	terminal		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15517	B		時間基底	じかんきてい	time base		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15518	B		タイミングモデル	たいみんぐもでる	timing model		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15519	B		時刻スタンプ	じこくすたんぷ	time stamp		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15520	B		トラック	とらっく	track		JIS X 4332-1	2002	ISO/IEC 14496-1	2001		廃2008/3		2004	SC29
15521	A		三次元格子	さんじげんこうし	3D mesh		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15522	A		三次元格子接続性	さんじげんこうしせつぞく	3D mesh connectivity		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15523	A		三次元格子形状	さんじげんこうしけいじょう	3D mesh geometry		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15524	A		三次元格子属性	さんじげんこうしぞくせい	3D mesh preperties		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15525	A		交流係数	こうりゅうけいすう	AC coefficient		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15526	A		B-VOP、双方向予測符号化VOP	B-VOP、そうほうこうよそくふごうかVOP	B-VOP, bidirectionally predictive-coded video object plane (VOP)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15527	A		逆方向動きベクトル	ぎゃくほうこううごきべくと	backward motion vector		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15528	A		逆方向予測	ぎゃくほうこうよそく	backward prediction		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15529	A		基底レイヤ	きていれいや	base layer		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15530	A		2値アルファブロック、2値不透明度ブロック	2ちあるふぁぶろっく、2ちふとうめいどぶろっく	binary alpha block		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15531	A		2値アルファマップ、2値不透明度マップ	2ちあるふぁまっぷ、2ちふとうめいどまっぷ	binary alpha map		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15532	A		ビットストリーム、ビット流	びっとすとりーむ、びっとりゅう	bitstream; stream		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15533	A		ビット速度、ビットレート	びっとそくど、びっとれーと	bitrate		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15534	A		ブロック	ぶろっく	block		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15535	A		身体アニメーションパラメタ、BAP	しんたいあにめーしょんぱらめた、BAP	body animation parameters, BAP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15536	A		身体定義パラメタ、BDP	しんたいていぎぱらめた、BDP	body definition parameters, BDP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15537	A		身体変形テーブル、BodyDefTable	しんたいへんけいてーぶる、BodyDefTable	body deformation table, BodyDefTable		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15538	A		(三次元格子の)境界	(さんじげんこうしの)きょうかい	boundary (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15539	A		(三次元格子の)境界辺	(さんじげんこうしの)きょうかいへん	boundary edge (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15540	A		境界ループ	きょうかいるーぷ	bounding loop		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15541	A		境界ループインデックス	きょうかいるーぷいんでっくす	bounding loop index		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15542	A		(三角形木の)枝分かれ三角形	(さんかっけいぎの)えだわかれさんかっけい	branching tiangle (of a triangle tree)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15543	A		(頂点グラフの頂点木の)枝分かれ頂点	(ちょうてんぐらふのちょうてんぎの)えだわかれちょうてん	branching vertex (of a vertex tree of a vertex graph)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15544	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15545	A		バイト	ばいと	byte		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15546	A		文脈依存算術符号化	ぶんみゃくいぞんさんじゅつふごうか	context based arithmetic encodeing		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15547	A		チャネル	ちゃねる	channel		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15548	A		色度フォーマット	しきどふぉーまっと	chrominance format		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15549	A		色度成分	しきどせいぶん	chrominance component		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15550	A		符号化B-VOP	ふごうかB-VOP	coded B-VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15551	A		符号化VOP	ふごうかVOP	coded VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15552	A		符号化I-VOP	ふごうかI-VOP	coded I-VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15553	A		符号化P-VOP	ふごうかP-VOP	coded P-VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15554	A		符号化S(GMC)-VOP	ふごうかS(GMC)-VOP	coded S(GMC)-VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15555	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15556	A		符号化パラメタ	ふごうかぱらめた	coded parameters		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15557	A		成分	せいぶん	component		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15558	A		合成処理	ごうせいしょり	composition process		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15559	A		圧縮	あっしゅく	compression		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15560	A		(三次元格子の)接続された部分	(さんじげんこうしの)せつぞくされたぶぶん	connected component (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15561	A		一定ビット速度符号化動画、一定ビットレート符号化動画	いっていびっとそくどふごうかどうが、いっていびっとれーとふごうかどうが	constant bitrate coded video		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15562	A		一定ビット速度、一定ビットレート	いっていびっとそくど、いっていびっとれーと	constant bitrate		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15563	A		変換比	へんかんひ	conbersion ratio		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15564	A		(三次元格子の)角	(さんじげんこうしの)かく	corner (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15565	A		データ要素	でーたようそ	data element		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15566	A		直流係数	ちょくりゅうけいすう	DC coefficient		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15567	A		DCT係数	DCTけいすう	DCT coefficient		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15568	A		復号器入力バッファ	ふくごうきにゅうりょくばっふぁ	decoder input buffer		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15569	A		復号器	ふくごうき	decoder		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15570	A		復号順序	ふくごうじゅんじょ	decoding order		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15571	A		復号(処理)	ふくごう(しょり)	decoding (process)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15572	A		逆量子化	ぎゃくりょうしか	dequantisation		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15573	A		ディジタル記録媒体、DSM	でぃじたるきろくばいたい、DSM	digital storage media, DSM		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15574	A		離散コサイン変換、離散余弦変換、DCT	りさんこさいんへんかん、りさんよげんへんかん、	discrete cosine transform, DCT		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15575	A		表示順序	ひょうじじゅんじょ	display order		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15576	A		(三次元格子の)双対グラフ	(さんじげんこうしの)そうたいぐらふ	dual graph (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15577	A		(三次元格子の)辺	(さんじげんこうしの)へん	edge (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15578	A		編集	へんしゅう	editing		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15579	A		符号器	ふごうき	encoder		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15580	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding (process)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15581	A		拡張レイヤ	かくちょうれいや	enhancement layer		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15582	A		(三次元格子の)面	(さんじげんこうしの)めん	face (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15583	A		大域動き補償、GMC	たいいきうごきほしょう、GMC	global motion compensation, GMC		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15584	A		顔アニメーションパラメタ要素、FAPU	かおあにめーしょんぱらめたようそ、FAPU	face animation parameter units, FAPU		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15585	A		顔アニメーションパラメタ、FAP	かおあにめーしょんぱらめた、FAP	face animation parameters, FAP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15586	A		顔アニメーション表、FAT	かおあにめーしょんひょう、FAT	face animation table, FAT		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15587	A		顔校正格子	かおこうせいこうし	face calibration mesh		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15588	A		顔定義パラメタ、FDP	かおていぎぱらめた、FDP	face definition parameters, FDP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15589	A		顔特徴制御点	かおとくちょうせいぎょてん	face feature control point		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15590	A		(三次元格子の)面の木集合	(さんじげんこうしの)めんのきしゅうごう	face forest (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15591	A		顔補間変換、FIT	かおほかんへんかん、FIT	face interpolation transform, FIT		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15592	A		顔モデル格子	かおもでるこうし	face model mesh		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15593	A		(三次元格子の)面の木	(さんじげんこうしの)めんのき	face tree (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15594	A		ぼかし	ぼかし	feathering		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15595	A		フラグ	ふらぐ	flag		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15596	A		禁止	きんし	forbidden		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15597	A		強制更新	きょうせいこうしん	forced updating		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15598	A		順方向互換性	じゅんほうこうごかんせい	forward compatibility		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15599	A		順方向動きベクトル	じゅんほうこううごきべくと	forward motion vector		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15600	A		順方向予測	じゅんほうこうよそく	forward prediction		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15601	A		フレーム	ふれーむ	frame		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15602	A		フレーム周期	ふれーむしゅうき	frame period		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15603	A		フレーム速度、フレームレート	ふれーむそくど、ふれーむれーと	frame rate		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15604	A		未来参照VOP	みらいさんしょうVOP	frame reference VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15605	A		階層三次元格子	かいそうさんじげんこうし	hierarchical 3D mesh		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15606	A		(三次元格子の)階層表現	(さんじげんこうしの)かいそうひょうげん	hierarchical representation (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15607	A		混成スケーラビリティ、混成可変性	こんせいすけーらびりてぃ、こんせいかへんせい	hybrid scalability		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15608	A		仮想辺	かそうへん	imaginary edge		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15609	A		(三次元格子の)増分表現	(さんじげんこうしの)ぞうぶんひょうげん	incremental representation (of a 3D		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15610	A		検索つき面集合	けんさくつきめんしゅうごう	IndexedFaceSet		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15611	A		インターレース、飛越し走査	いんたーれーす、とびこしそうさ	interlace		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15612	A		(三次元格子の)内部辺	(さんじげんこうしの)ないぶへん	internal edge (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15613	A		I-VOP、画像内符号化VOP、イントラ符号化VOP	I-VOP、がぞうないふごうかVOP、いんとらふごうか	I-VOP, intra-coded VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15614	A		画像内符号化、イントラ符号化	がぞうないふごうか、いんとらふごうか	intra coding		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15615	A		画像内形状符号化、イントラ形状符号化	がぞうないけいじょうふごうか、いんとらけいじょうふごうか	intra shape coding		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15616	A		画像間形状符号化	がぞうかんけいじょうふごうか	inter shape coding		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15617	A		(三次元格子の)飛越し辺	(さんじげんこうしの)とびこしへん	jump edge (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15618	A		レベル	れべる	level		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15619	A		レイヤ	れいや	layer		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15620	A		階層化ビットストリーム	かいそうかびっとすとりー	layered bitstream		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15621	A		(三次元格子の)最下位三角形	(さんじげんこうしの)さいかいさんかっけい	leaf triangle (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15622	A		(三次元格子の)最下位頂点	(さんじげんこうしの)さいかいちょうてん	leaf vertex (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15623	A		下位レイヤ	かいれいや	lower layer		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15624	A		輝度成分	きどせいぶん	luminance component		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15625	A		メガビット	めがびっと	Mbit		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15626	A		マクロブロック	まくろぶろっく	macroblock		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15627	A		マニホールド(三次元格子)	まにほーるど(さんじげんこうし)	manifold (3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15628	A		(三次元格子の)行進辺	(さんじげんこうしの)ぎょうしんへん	marching edge (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15629	A		(二次元)格子	(にじげん)こうし	mesh (2D)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15630	A		格子形状	こうしけいじょう	mesh geometry		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15631	A		格子移動	こうしいどう	mesh motion		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15632	A		格子物体平面、MOP	こうしぶったいへいめん、MOP	mesh object plane, MOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15633	A		動き補償	うごきほしょう	motion compentsation		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15634	A		動き推定	うごきすいてい	motion estimation		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15635	A		動きベクトル	うごきべくとる	motion vector		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15636	A		形状動きベクトル	けいじょううごきべくとる	motion vector for shape		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15637	A		複数補助成分	ふくすうほじょせいぶん	multiple auxiliary components		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15638	A		非画像内符号化、非イントラ符号化	ひがぞうないふごうか、ひいんとらふごうか	non-intra coding		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15639	A		非多様体(三次元格子)	ひたようたい(さんじげんこうし)	non-manifold (3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15640	A		無方向(三次元格子)	むほうこう(さんじげんこう	non-orientable (3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15641	A		不透過マクロブロック	ふとうかまくろぶろっく	opaque macroblock		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15642	A		有方向(三次元格子)	ゆうほうこう(さんじげんこうし)	arientable (3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15643	A		(三次元格子の面の)向き	(さんじげんこうしのめんの)むき	orientation (of a face of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15644	A		(三次元格子の辺の)向き	(さんじげんこうしのへんの)むき	orientation (of a edge of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15645	A		有方向(多様体三次元格子)	ゆうほうこう(たようたいさんじげんこうし)	oriented (manifold 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15646	A		P-VOP、予測符号化VOP	P-VOP、よそくふごうかVOP	P-VOP, predictive-coded VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15647	A		パラメタ	ぱらめた	parameter		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15648	A		分割	ぶんかつ	partition		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15649	A		過去参照画像	かこさんしょうがぞう	past reference picture		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15650	A		画像	がぞう	picture		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15651	A		予測	よそく	prediction		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15652	A		予測誤差	よそくござ	prediction error		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15653	A		予測値	よそくち	predictor		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15654	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15655	A		順次走査	じゅんじそうさ	progressive		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15656	A		量子化行列	りょうしかぎょうれつ	quantisation matrix		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15657	A		量子化DCT係数	りょうしかDCTけいすう	quantised DCT		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15658	A		量子化倍率	りょうしかばいりつ	quantiser scale		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15659	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15660	A		再構成VOP	さいこうせいVOP	reconstructed VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15661	A		参照VOP	さんしょうVOP	reference VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15662	A		(三角形木の)通常三角形	(さんかっけいぎの)つうじょうさんかっけい	regular triangle (of a triangle tree)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15663	A		(三次元格子の)通常頂点	(さんじげんこうしの)つうじょうちょうてん	regular vertex (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15664	A		(頂点木の)通常頂点	(ちょうてんぎの)つうじょうちょうてん	regular vertex (of a vertex tree)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15665	A		並べ替え遅延	ならべかえちえん	reordering delay		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15666	A		予約	よやく	reserved		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15667	A		スケーラブル階層	すけーらぶるかいそう	scalable hierarchy		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15668	A		スケーラビリティ	すけーらびりてい	scalability		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15669	A		付加情報	ふかじょうほう	side information		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15670	A		ラン、連	らん、れん	run		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15671	A		S-VOP、スプライトVOP	S-VOP、すぷらいとVOP	S-VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15672	A		S(GMC)-VOP、スプライト(大域動き補償)VOP	S(GMC)-VOP、すぷらいと(たいいきうごきほしょ	S(GMC)-VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15673	A		飽和	ほうわ	saturation		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15674	A		(三次元格子の)単純多角形	(さんじげんこうしの)たんじゅんたかっけい	simple polygon (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15675	A		(三次元格子の)特異辺	(さんじげんこうしの)とくいへん	singular edge (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15676	A		(三次元格子の)特異頂点	(さんじげんこうしの)とくいちょうてん	singular vertex (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15677	A		原情報、入力	げんじょうほう、にゅうりょく	source, input		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15678	A		(グラフの)全域木集合	(ぐらふの)ぜんいきしゅうごう	spanning forest (of a graph)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15679	A		空間予測	くうかんよそく	spatial prediction		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15680	A		空間スケーラビリティ、空間可変性	くうかんすけーらびりてぃ、くうかんかへんせい	spatial scalability		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15681	A		静的スプライト	せいてきすぷらいと	static sprite		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15682	A		開始符号	かいしふごう	start codes		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15683	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing (bits); stuffing (bytes)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15684	A		時間予測	じかんよそく	temporal prediction		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15685	A		時間スケーラビリティ、時間可変性	じかんすけーらびりてぃ、じかんかへんせい	temporal scalability		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15686	A		最上位レイヤ	さいじょういれいや	top layer		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15687	A		透明マクロブロック	とうめいまくろぶろっく	transparent macroblock		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15688	A		木走査順序	きそうさじゅんじょ	traversal order		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15689	A		(三次元格子の)木ループ	(さんじげんこうしの)きるーぷ	tree loop (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15690	A		木ループ面	きるーぷめん	tree loop face		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15691	A		木ループ隅	きるーぷすみ	tree loop corner		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15692	A		(三次元格子の)三角形木	(さんじげんこうしの)さんかっけいぎ	triangle tree (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15693	A		三角形系列	さんかっけいけいれつ	triangle run		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15694	A		三角形三次元格子	さんかっけいさんじげんこ	triangular 3D mesh		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15695	A		可変ビットレート	かへんびっとれーと	variable bitrate		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15696	A		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、	variable length coding;		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15697	A		(三次元格子の)頂点グラフ	(さんじげんこうしの)ちょうてんぐらふ	vetex graph (of a 3D mesh)		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15698	A		頂点系列	ちょうてんけいれつ	vertex run		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15699	A		頂点木	ちょうてんぎ	vertex tree		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15700	A		動画バッファ検証器、VBV	どうがばっふぁけんしょうき、VBV	video buffering verifier; VBV		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15701	A		動画複雑性検証器、VCV	どうがふくざつせいけんしょうき、VCV	video complexity verifier, VCV		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15702	A		動画メモリ検証器、VMV	どうがめもりけんしょうき、VMV	video memory verifier, VMV		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15703	A		動画オブジェクト面、VOP	どうがおぶじぇくとめん、	video object plane, VOP		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15704	A		動画表示検証器、VPV	どうがひょうじけんしょうき、VPV	video presentation verifier, VPV		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15705	A		動画セション	どうがせしょん	video session		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15706	A		口形	こうけい	viseme		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15707	A		仮想三角形	かそうさんかっけい	virtual triangle		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15708	A		VOP並べ替え	VOPならべかえ	VOP reordering		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15709	A		ワーピング、変形	わーぴんぐ、へんけい	warping		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15710	A		Y頂点	Yちょうてん	Y-vertex		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15711	A		ジグザグ走査順序	じぐざぐそうさじゅんじょ	zigzag scanning order		JIS X 4332-2	2002	ISO/IEC 14496-2	1999				2004	SC29
15712	A		AAC	AAC	AAC	参考 AAC:先進的音響符号化(Advanced Audio Coding)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15713	A		API	API	API	参考 API:応用プログラム・インターフェース(Application Program Interface)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15714	A		音響BIFS	おんきょうBIFS	AudioBIFS		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15715	A		音響バッファ	おんきょうばっふぁ	audio buffer		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15716	A		逆方向互換性	ぎゃくほうこうこかんせい	backward compatibility		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15717	A		ビットレート	びっとれーと	bitrate	参考 JIS X 4323、JIS X 4327及びJIS X 4330における"ビット速度"に対応する。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15718	A		ビットストリーム、ビット流、ストリーム	びっとすとりーむ、びっとりゅう、すとりーむ	bitstream ; stream	参考 JIS X 4323、JIS X 4327及びJIS X 4330における"ビット流"に対応する。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15719	A		ビットストリーム検証器、ビット流検証器	びっとすとりーむけんしょうき、びっとりゅうけんしょうき	bitstream verifier		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15720	A		バイト配置	ばいとはいち	byte aligned		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15721	A		バイト	ばいと	byte		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15722	A		CELP	CELP	CELP	参考 CELP:セルプ、ケルプ、符号励振線形予測(Code Excited Linear Prediction)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15723	A		チャネル	ちゃねる	channel		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15724	A		符号化音響ビットストリーム、符号化音響ビット流	ふごうかおんきょうびっとすとりーむ、ふごうかおんきょうびっとりゅう	coded audio bitstream		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15725	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15726	A		構成	こうせい	composition (compositing)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15727	A		圧縮	あっしゅく	compression		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15728	A		一定ビットレート	いっていびっとれーと	constant bitrate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15729	A		CRC、巡回冗長検査	CRC、じゅんかいじょうちょうけんさ	CRC		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15730	A		データ要素	でーたようそ	data element		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15731	A		ディエンファシス	でぃえんふぁしす	de-emphasis		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15732	A		復号ストリーム	ふくごうすとりーむ	decoded stream		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15733	A		復号器	ふくごうき	decoder		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15734	A		復号(処理)	ふくごう(しょり)	decoding (process)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15735	A		DSM、ディジタル記録媒体	DSM、でぃじたるきろくばいたい	digital storage media, DSM		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15736	A		チャネル数削減操作、ダウンミクス	ちゃねるすうさくげんそうさ、だうんみくす	downmix		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15737	A		編集	へんしゅう	editing		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15738	A		エンファシス	えんふぁしす	emphasis		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15739	A		符号器	ふごうき	encoder		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15740	A		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding (process)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15741	A		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15742	A		基本ストリーム	きほんすとりーむ	elementary stream (ES)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15743	A		FFT、高速フーリエ変換	FFT、こうそくふーりえへんかん	FFT		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15744	A		フラグ	ふらぐ	flag		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15745	A		順方向互換性	じゅんほうこうごかんせい	forward compatibility		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15746	A		Fs	Fs	Fs	参考 Fs:標本化周波数	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15747	A		ハン窓	はんまど	Hann window		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15748	A		HVXC	HVXC	HVXC	参考 HVXC倍音ベクトル励振符号化(Harmonic Vector eXcitation Coding)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15749	A		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15750	A		LPC	LPC	LPC	参考 LPC:線形予測符号化(Linear predictive Codeing)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15751	A		LSP	LSP	LSP	参考 LSP:線スペクトル対(Line Spectrum Pair)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15752	A		LTP	LTP	LTP	参考 LTP:長時間予測(Long Time Prediction)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15753	A		低周波強調チャネル	ていしゅうはきょうちょうちゃねる	low frequency enhancement (LFE)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15754	A		MATS	MATS	MATS	参考 MATS:MPEG-4音響伝送ビットストリーム(MPEG-4 Aoudio Transport Stream)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15755	A		MIDI	MIDI	MIDI	参考 MIDI:楽器ディジタルインターフェース規格(The Musical Instrument Digital Interface standards)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15756	A		多チャネル	たちゃねる	multichannel		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15757	A		多言語	たげんご	multilingual		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15758	A		ナイキスト標本化	ないきすとひょうほんか	Nyquist sampling		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15759	A		OD	OD	OD	参考 OD:オブジェクト記述子(Object Descriptor)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15760	A		補充	ほじゅう	padding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15761	A		パラメタ	ぱらめた	parameter		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15762	A		分析処理、パーサー	ぶんせきしょり、ぱーさー	parser		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15763	A		PNS	PNS	PNS	参考 PNS:聴覚ノイズ置換え(Perceptual Noise Substitiution)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15764	A		予測誤差	よそくごさ	prediction error		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15765	A		予測	よそく	prediction		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15766	A		予測値	よそくち	predictor		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15767	A		再生チャネル	さいせいちゃねる	presentation channel		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15768	A		PSNR	PSNR	PSNR	参考 PSNR:信号対雑音比の最大値(Peak Signal to Noise Ratio)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15769	A		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15770	A		予約	よやく	reserved	参考 Reserved:符号化ビットストリームを規定する箇条において、将来のISO/IECが規定する拡張で使われ得ることを示す記号	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15771	A		標本化周波数	ひょうほんかしゅうはすう	Sampling Frepuency (Fs)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15772	A		SAOL	SAOL	SAOL	参考 SAOL:MPEG-4構造化音響オーケストラ言語(The MPEG-4 Structured Audio Orchestra Language)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15773	A		SASBF	SASBF	SASBF	参考 SASBL:MPEG-4構造化音響標本バンク形式(The MPEG-4 Structured Audio Sample Bank Format)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15774	A		SASL	SASL	SASL	参考 SASBL:MPEG-4構造化音響楽器言語(The MPEG-4 Structured Audio Score	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15775	A		付加情報	ふかじょうほう	side information		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15776	A		合成音響	ごうせいおんきょう	structured audio		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15777	A		挿入ビット、挿入バイト	そうにゅうびっと、そうにゅうばいと	stuffing (bits); stuffing (bytes)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15778	A		サラウンドチャネル	さらうんどちゃねる	surround channel		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15779	A		同期語	どうきご	syncword		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15780	A		TLSS	TLSS	TLSS	参考 TLSS:大ステップスケーラビリティツール、大ステップ可変性ツール(Tools for Large Step Scalability)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15781	A		TLSI	TLSI	TTSI	参考 TTSI:テキストから音声への変換インターフェース(Text to Speech Interface)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15782	A		TwinVQ	TwinVQ	TwinVQ	参考 TwinVQ:変換領域重み付きインタリーブベクトル量子化(Transform domain Weighted Interleave Vector Quantization)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15783	A		可変ビットレート	かへんびっとれーと	variable bitrate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15784	A		可変長符号化	かへんちょうふごうか	variable length coding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15785	A		可変長符号	かへんちょうふごう	variable length code (VLC)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15786	A		可変長復号器	かへんちょうふくごうき	variable length decoder		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15787	A		可変長符号器	かへんちょうふごうき	vaeiable length encoder		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15788	A		DFT、離散フーリエ変換	DFT、りさんふーりえへんかん	DFT		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15789	A		次元変換	じげんへんかん	dimension conversion		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15790	A		励振	れいしん	excitation		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15791	A		FFT、高速フーリエ変換	FFT、こうそくふーりえへんかん	FFT		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15792	A		基本周波数	きほんしゅうはすう	fundamental frequency		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15793	A		倍音	ばいおん	harmonics		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15794	A		倍音振幅	ばいおんしんぷく	harmonics magnitude		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15795	A		倍音合成	ばいおんごうせい	harmonics synthesis		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15796	A		HVXC	HVXC	HVXC	参考 HVXC：倍音ベクトル励振符号化（Harmonic Vector eXcitation Coding）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15797	A		IFFT、高速逆フーリエ変換	IFFT、こうそくぎゃくふーりえへんかん	IFFT		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15798	A		初期位相	しょきいそう	initial phase		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15799	A		フレーム間予測	ふれーむかんよそく	interframe prediction		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15800	A		LPC	LPC	LPC	参考 LPC：線形予測符号化（Linear Predictive Coding）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15801	A		LPC合成フィルタ	LPCごうせいふぃるた	LPC synthesis filter		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15802	A		LPC残差フィルタ	LPCざんさふぃるた	LPC residual signal		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15803	A		LSP	LSP	LSP	参考 LSP：線スペクトル対（Line Spectrum Pair）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15804	A		有声無声混合フレーム	ゆうせいむせいこんごうふれーむ	mixed voiced frame	参考 有声及び無声は直接的に音声の有無を表すのではなく、周期的記号としてのモデル化可否を意味する。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15805	A		ピッチ	ぴっち	pitch		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15806	A		ピッチ制御	ぴっちせいぎょ	pitchi control		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15807	A		ポストフィルタ、後処理フィルタ	ぽすとふぃるた、あとしょりふぃるた	post filter		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15808	A		正弦波合成	せいげんはごうせい	sinusoidal synthesis		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15809	A		スペクトル包絡	すぺくとるほうらく	spectral envelope		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15810	A		速度制御	そくどせいぎょ	speed control		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15811	A		SQ	SQ	SQ	参考 SQ：スカラ量子化（Scalar Quantization）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15812	A		無声フレーム	むせいふれーむ	unvoiced frame		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15813	A		可変ビットレート	かへんびっとれーと	variable bitrate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15814	A		有声フレーム	ゆうせいふれーむ	voiced frame		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15815	A		VQ	VQ	VQ	参考 VQ：ベクトル量子化（Vector Quantization）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15816	A		V/UV判定	V/UVはんてい	V/UV decision	参考 V/UV：有声/無声（Voiced/Unvoiced）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15817	A		VXC	VXC	VXC	参考 VXC：ベクトル励振符号化（vector eXcitation Coding）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15818	A		白色ガウス雑音	はくしょくがうすざつおん	white Gaussian noise		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15819	A		適応コードブック	てきおうこーどぶっく	adaptive codebook		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15820	A		帯域幅スケーラビリティ、大域幅可変性	たいいきはばすけーらびりてぃ、たいいきはばかへんせい	bandwidth scalability		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15821	A		ビットレートスケーラビリティ、ビットレート可変性	びっとれーとすけーらびりてぃ、びっとれーとかへんせい	bitrate scalability		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15822	A		セルプ、ケルプ	せるぷ、けるぷ	CELP	参考 CELP：符号励振線形予測（Code Excited Linear Prediction）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15823	A		逆多重化	ぎゃくたりょうか	demultiplexing		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15824	A		励振	れいしん	excitation		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15825	A		強調レイヤ	きょうちょうれいや	enhancement layer		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15826	A		微細速度制御	びさいそくどせいぎょ	fine rate control		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15827	A		固定コードブック	こていこーどぶっく	fixed codebool		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15828	A		インデックス、指標	いんでっくす、しひょう	index		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15829	A		LPC	LPC	LPC	参考 LPC：線形予測符号化（linear Predictive Coding）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15830	A		LSP	LSP	LSP	参考 LSP：線スペクトル対（Line Spectrum Pair）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15831	A		MPE	MPE	MPE	参考 MPE：マルチパルス励振（Multi Pulse Excitation）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15832	A		多重化	たじゅうか	multiplexing		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15833	A		ポストフィルタ、後処理フィルタ	ぽすとふぃるた、あとしょりふぃるた	post-filter		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15834	A		RPE	RPE	RPE	参考 RPE：レギュラーパルス励振（Regular Palse Excitation）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15835	A		無声フレーム	むせいふれーむ	unvoiced frame		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15836	A		可変ビットレート	かへんびっとれーと	variable bitrate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15837	A		ベクトル量子化器	べくとるりょうしかき	vector quantizer		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15838	A		有声フレーム	ゆうせいふれーむ	voiced frame		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15839	A		折返し	おりかえし	alias		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15840	A		分析フィルタバンク	ぶんせきふぃるたばんく	analysis filterbank		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15841	A		アンシラリデータ	あんしらりでーた	anacillary data		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15842	A		バーク	ばーく	Bark		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15843	A		ブロック圧伸	ぶろっくあつしん	block companding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15844	A		中央チャネル	ちゅうおうちゃねる	centre channel		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15845	A		コア符号器	こあふごうき	core coder		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15846	A		臨界帯域	りんかいたいいき	critical band		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15847	A		離散コサイン変換、離散余弦変換、DCT	りさんこさいんへんかん、りさんよげんへんかん、	discrete cosine transform, DCT		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15848	A		フィルタバンク	ふぃるたばんく	filterbank		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15849	A		FSS	FSS	FSS	参考 FSS：周波数選択スイッチ（Frequency Selective Switch）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15850	A		混成フィルタバンク	こんせいふぃるたばんく	hybrid filterbank		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15851	A		IDCT	IDCT	IDCT	参考 IDCT：逆離散余弦変換（Inverse Discrete Cosine Transform）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15852	A		IMDCT	IMDCT	IMDCT	参考 IMDCT：逆変形離散余弦変換（Inverse Modified Discrete Cosine Transform）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15853	A		インテンシティステレオ、共包絡ステレオ	いんてんしていすてれお、きょうほうらくすてれお	intensity stereo	参考 JIS X 4323、JIS X 4327及びJIS X 4330における"共包絡ステレオ"に対応する。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15854	A		ステレオ相関符号化	すてれおそうかんふごうか	joint stereo coding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15855	A		ステレオ相関モード	すてれおそうかんもーど	joint stereo mode		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15856	A		主音響チャネル	しゅおんきょうちゃねる	main audio channels		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15857	A		写像	しゃぞう	mapping		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15858	A		マスキング	ますきんぐ	masking		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15859	A		マスキングしきい値	ますきんぐしきいち	masking threshold		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15860	A		変形離散コサイン変換、変形離散余弦変換	へんけいりさんこさいんへんかん、へんけいりさんよげんへんかん	modified discrete cosine transform (MDCT)		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15861	A		和差ステレオ	わさすてれお	M/S stereo	参考 M:和(middle)チャネル S:(side)チャネル	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15862	A		非純音成分	ひじゅんおんせいぶん	non-tonal component		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15863	A		PNS	PNS	PNS	参考 PNS:聴覚ノイズ置換え(Perceptual Noise Substitution)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15864	A		多重位相フィルタバンク	たじゅういそうふぃるたば	polyphase filterbank		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15865	A		プログラム	ぷろぐらむ	program		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15866	A		聴覚心理モデル	ちょうかくしんりもでる	psychoacoustic model		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15867	A		スケールファクタ、倍率	すけーるふぁくた、ばいり	scalefactor		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15868	A		スケールファクタ帯域、倍率帯域	すけーるふぁくたたいいき、ばいりつたいいき	scalefactor band		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15869	A		スケールファクタインデックス、スケールファクタ指標、倍率指標	すけーるふぁくたいんでっくす、すけーるふぁくたしひょう、ばいりつしひょう	scalefactor index		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15870	A		スペクトル係数	すぺくとるけいすう	spectral coefficience		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15871	A		広がり関数	ひろがりかんすう	spreading function		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15872	A		非ステレオ	ひすてれお	stereo-irrelevant		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15873	A		合成フィルタバンク	ごうせいふぃるたばんく	synthesis filterbank		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15874	A		TNS	TNS	TNS	参考 TNS:時間領域雑音整形(Temporal Noise Shaping)	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15875	A		純音成分	じゅんおんせいぶん	tonal component		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15876	A		絶対時間	ぜったいじかん	Absolute time		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15877	A		実パラメタ	じつぱらめた	Actual parameter		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15878	A		A周期、音響周期	Aしゅうき、おんきょうしゅう	A-cycle		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15879	A		Aレート、音響レート	Aれーと、おんきょうれーと	A-rate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15880	A		asig	asig	asig	参考 asig:Aレート変数を表す付せん。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15881	A		音響周期	おんきょうしゅうき	Audio cycle		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15882	A		音響レート	おんきょうれーと	Audio rate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15883	A		音響標本	おんきょうひょうほん	Audio sample		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15884	A		オーサリング	おーさりんぐ	Authering		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15885	A		バッカス-ナウア形式	ばっかす-なうあけいしき	Backus-Naur Format		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15886	A		バンク	ばんく	Bank		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15887	A		ビート	びーと	Beat		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15888	A		BNF、バッカス-ナウア形式	BNF、ばっかす-なうあけいしき	BNF		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15889	A		バス(メモリの)	ばす(めもりの)	Bus		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15890	A		文脈、コンテキスト	ぶんみゃく、こんてきすと	Context		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15891	A		制御	せいぎょ	Control		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15892	A		制御周期	せいぎょしゅうき	Control cycle		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15893	A		制御間隔	せいぎょかんかく	Control period		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15894	A		制御レート	せいぎょれーと	Control rate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15895	A		復号	ふくごう	Decoding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15896	A		継続時間	けいぞくじかん	Duration		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15897	A		符号化	ふごうか	Encoding		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15898	A		包絡線	ほうらくせん	Envelope		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15899	A		事象	じしょう	Event		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15900	A		式	しき	Expression		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15901	A		形式的パラメタ	けいしきてきぱらめた	Formal parameter		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15902	A		未来の波形表	みらいのはけいひょう	Future wavetable		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15903	A		大域ブロック	たいいきぶろっく	Global block		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15904	A		大域コンテクスト	たいいきこんてくすと	Global context		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15905	A		大域パラメタ	たいいきぱらめた	Global parameters		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15906	A		大域変数	たいいきへんすう	Global variable		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15907	A		文法	ぶんぽう	Grammar		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15908	A		監視式	かんししき	Guard expression		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15909	A		I-cycle、初期サイクル	I-cycle、しょきさいくる	I-cycle		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15910	A		識別子	しきべつし	Identifier		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15911	A		参考	さんこう	Informative		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15912	A		I-pass、初期化パス	I-pass、しょきかぱす	I-pass		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15913	A		I-rate、初期化レート	I-rate、しょきかれーと	I-rate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15914	A		I-cycle、初期サイクル	I-cycle、しょきさいくる	I-cycle		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15915	A		初期化レート	しょきかれーと	Initialisation rate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15916	A		初期化パス	しょきかぱす	Initialisation pass		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15917	A		実現値	じつげんち	Instance		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15918	A		実現	じつげん	Instantiation		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15919	A		楽器	がっき	Instrument	備考 この規格における合成音響の手段は、必ずしも実世界の楽器とは対応しない。一つの楽器は、バイオリンの部全体の音を発生するために使われるかもしれないし、風のような周囲の音を発生するために使われるかもしれない。反対に、様々な異なった音色を作り出す実世界の一楽器に代えて、複数のSAOL楽器を用いることもできる。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15920	A		楽器実現値	がっきじつげんち	Inutrument instantiation		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15921	A		ivar	ivar	ivar	参考 ivar:iレート変数を表す付せん。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15922	A		Kサイクル	Kさいくる	K-cycle		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15923	A		Kレート	Kれーと	K-rate		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15924	A		ksig	ksig	ksig	参考 ksig:kレート変数を表す付せん。	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15925	A		語彙要素	ごいようそ	Lexical element		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15926	A		ルーピング、巡回	るーぴんぐ、じゅんかい	looping		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15927	A		MIDI	MIDI	MIDI	参考 MIDI：楽器ディジタルインターフェース規格（The Musical Instrument Digital Interface standards）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15928	A		自然音	しぜんおん	Natural Sound		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15929	A		規定	きてい	Normative		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15930	A		オプコード	おぷこーど	Opcode		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15931	A		オーケストラ	おーけすとら	Orchestra		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15932	A		オーケストラサイクル	おーけすとらさいくる	Orchestra Cycle		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15933	A		パラメタ場	ぱらめたば	Parameter fields		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15934	A		p場、パラメタ場	pば、ぱらめたば	P-fields		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15935	A		生成規則	せいせいきそく	Production rule		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15936	A		レート不一致誤り	れーとふいっちあやまり	Rate-mismatch error		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15937	A		レートの意味	れーとのいみ	Rate semantics		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15938	A		レート型	れーとがた	Rate type		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15939	A		経路文	けいろぶん	Route statement		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15940	A		演奏時間誤り	えんそうじかんあやまり	Run-time-error		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15941	A		SASBF、サンプルバンク形式	SASBF、さんぷるばんくけいしき	SASBF		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15942	A		SAOL	SAOL	SAOL	参考 SAOL：合成音響オーケストラ言語（The Structured Audio Orchestra Language）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15943	A		SAOLオーケストラ	SAOLおーけすとら	SAOL orchestra		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15944	A		SASL	SASL	SASL	参考 SASL：合成音響楽譜言語（The Structured Audio Score Language）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15945	A		標本、音響標本	ひょうほん、おんきょうひょうほん	Sample		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15946	A		標本バンク形式	ひょうほんばんくけいしき	Sample Bank format		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15947	A		予定作成器、スケジューラ	よていさくせいき、すけじゅーら	Scheduler		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15948	A		スコープ	すこーぷ	Scope		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15949	A		楽譜	がくふ	Score		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15950	A		楽譜時間	がくふじかん	Score time		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15951	A		送付文	そうふぶん	Send statement		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15952	A		意味	いみ	Semantics		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15953	A		順序規則	じゅんじょきそく	Sequence rules		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15954	A		信号変数	しんごうへんすう	Signal variable		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15955	A		方向付け	ほうこうづけ	Spatialisation		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15956	A		状態空間、コンテクスト	じょうたいくうかん、こんてくすと	State space		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15957	A		文	ぶん	Statement		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15958	A		合成音響	ごうせいおんきょう	structured audio		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15959	A		記号	きごう	Symbol		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15960	A		シンボル表	しんぼるひょう	Symbol table		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15961	A		シンボル定数	しんぼるていすう	Symbolic constant		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15962	A		構文	こうぶん	Syntax		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15963	A		構文誤り	こうぶんあやまり	Syntax error		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15964	A		合成	ごうせい	Syntheses		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15965	A		合成音	ごうせいおん	Synthetic Sound		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15966	A		テンポ、速度	てんぽ、そくど	Tempo		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15967	A		端末	たんまつ	terminal		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15968	A		終結	しゅうけつ	Termination		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15969	A		音色	ねいろ	Timbre		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15970	A		トークン	とーくん	Token		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15971	A		トークン化	とーくんか	Tokenisation		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15972	A		変数	へんすう	Variable		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15973	A		波形表合成	はけいひょうごうせい	Wavetable synthesis		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15974	A		幅	はば	Width		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15975	A		国際発音記号	こくさいはつおんきごう	International Phonetic Alphabet, IPA		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15976	A		口唇形状パターン	こうしんけいじょうぱたーん	lip shape pattern		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15977	A		口唇同期	こうしんどうき	lip synchronization		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15978	A		MPEG-4音響が規定する、文章から音声への復号器	MPEG-4おんきょうがきていする、ぶんしょうからおんせいへのふくごうき	MPEG-4 Audio Text-to-Speech, Decoder		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15979	A		動画追加録音	どうがついかろくおん	moving picture dubbing		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15980	A		M-TTS文	M-TTSぶん	M-TTS sentence	参考 M-TTS：MPEG-4音響が規定する、文章から音声への変換（MPEG-4 Aidop Text-to-Speech）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15981	A		M-TTS系列	M-TTSけいれつ	M-TTS sequence		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15982	A		音素/しおりからFAPへの変換器	おんそ/しおりからFAPへのへんかんき	phoneme/bookmark-to-FAP converter	参考 FAP：顔アニメーションパターン（Facial Animation Pattern）	JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15983	A		文章から音声への合成器	ぶんしょうからおんせいへのごうせいき	text-to-speech synthesizer		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15984	A		トリックモード	とりっくもーど	trick mode		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15985	A		仮想コードブック	かそうこーどぶっく	virtual codebook		JIS X 4332-3	2002	ISO/IEC 14496-3	1999				2005	SC29
15986	A		抽象クラス	ちゅうしょうくらす	abstract class	インスタンスを生成することができないMHEGオブジェクトのクラス、つまり交換されないオブジェクトのクラスの意。このクラスは情報のカプセル化、サブクラスへ属性の継承、を提供する。また、どのMHEG操作がどのMHEGクラスに適用されるかを特定する機構として	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15987	A		操作	そうさ	action	基本の操作、又は取得操作。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
15988	A		操作効果	そうさこうか	action effect	すべての基本操作に対するMHEG効果とユーザに見える効果を合わせたもの。(get action)についてはそのMHEG効果のこと。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15989	A		操作オブジェクト	そうさおぶじぇくと	action object	基本操作の組織化された集合を定義するMHEGクラスのインスタンス。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15990	A		活性化、"active"	かっせいか、"あくていぶ"	activate, active	リンクオブジェクトを活性化する基本操作。つまり、活性リンクだけが発火される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15991	A		別名	べつめい	alias	MHEG実体、データ、ストリームに関連づけを行う属性。オブジェクトの特定をするための別の手段として利用される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15992	A		アンカ	あんか	anchor	メディア・データではなく、アンカ情報を含む内容オブジェクト。アンカ情報は、中心の文書に対するアンカの位置指定をするのに使われる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15993	A		属性	ぞくせい	attribute	交換するMHEGオブジェクト、rt-オブジェクト、出力系統の特徴を表す型指定された値。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15994	A		著者	ちょしゃ	author, object designer	オブジェクトが機械的又は電子的手段で生成されるときのコンピュータ・プログラムかその他の装置。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15995	A		出力系統	しゅつりょくけいとう	channel	rt-コンポーネントを最終出力する論理デバイス。出力系統はMHEGエンジンによってウィンドウやスピーカのような物理デバイスに対応づけられ、その物理デバイス中でrt-オブジェクトがユーザに可視化される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15996	A		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	オブジェクト・インスタンス中の構造とデータのバイナリ表現。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15997	A		コンポーネント・オブジェク	こんぽーねんと・おぶじぇく	component object	内容オブジェクト、多重オブジェクト又は複合オブジェクトを表現するMHEGクラスのインス	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15998	A		複合オブジェクト	ふくごうおぶじぇくと	composite object	出力のためにグループ化された構成要素のリストを定義するMHEGクラスのインスタンス。複合オブジェクトの出力は、その構成要素の出力からなる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
15999	A		構成要素	こうせいようそ	composition elements	MHEG複合クラスの出力と下位階層を定義する属性。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16000	A		制約条件	せいやくじょうけん	constraint condition	属性と状態値を記述するリンク条件の一部。あるリンク中でトリガ条件が満たされたとき、追加案件として参照される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16001	A		格納オブジェクト	かくのうおぶじぇくと	container object	交換のためにグループ化されたオブジェクトのリストを定義するMHEGクラスのインスタン	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16002	A		内容オブジェクト	ないようおぶじぇくと	content object	符号化された一般値や表示データの交換のための一定の構造を提供するMHEGクラスのインスタンス。多重化されない内容でも多重化された内容でもよい。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16003	A		データ	でーた	data	内容オブジェクトとスクリプト・オブジェクトの属性。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16004	A		省略時出力系統	しょうりゃくじしゅつりょくけいとう	default channel	予約済みの"default channel"と呼ばれる識別子を使うことで常にMHEGエンジンに対してアクセス可能な出力系統。この省略時出力系統に対する"New Channel"と"Delete Channel"の基本操作は無視される。ルートのrt-コンポーネントが特定の出力系統に割り当てられていなければ、それは、省略時出力系統に割り当てられる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16005	A		消去、出力系統の消去、"not available"	しょうきょ、しゅつりょくけいとうのしょうきょ、"のっとあべいらぶる"	delete, delete channel, not available	rt-オブジェクトや出力系統をMHEGエンジンから削除するときの基本操作。この削除されたrt-オブジェクトや出力系統は"not available"と呼ばれる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16006	A		分離	ぶんり	demultiplex	一つの多重化されたデータから二つ以上のストリームを抽出し、個別に出力・交換する手	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16007	A		下位要素	かいようそ	descendant	初期オブジェクトがルート・オブジェクトとする下位の階層に含まれるMHEG実体。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16008	A		記述オブジェクト	きじゅつおぶじぇくと	descriptor object	あるオブジェクトに関連する情報を定義するMHEGクラスのインスタンス。利用アプリケーションはこのオブジェクトを使ってMHEGエンジンの特性を調整することができる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16009	A		廃棄、"not ready"、"not available"	はいき、"のっと れでぃ"、"のっと あべいらぶる"	destroy, not ready, not available	MHEGオブジェクトをMHEGエンジンから取り除く基本操作。このオブジェクトは"not ready"、"not available"と呼ばれる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16010	A		基本操作	きほんそうさ	elementary action	MHEGエンジン内でMHEG実体の振る舞いを変更するのに使うもの。基本操作は操作オブジェクト中で交換される。典型的な基本操作は、目標集合、各基本操作ごとに定義される固有なパラメタ、そして任意の遷移期間からなる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16011	A		空ソケット	くうそけっと	empty socket	rt-コンポーネントが接続されていないソケット。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16012	A		事象	じしょう	event	あるシステム・コンポーネントかMHEGエンジンによって生成される信号。例えば、キー押下、マウス移動がある。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16013	A		最終形式	さいしゅうけいしき	final form	オブジェクトの構造を変更することなく表示を可能とするデータ交換形式。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16014	A		リンクの発火	りんくのはっか	fire a link	活性化されているリンクのリンク条件が満足されるとき、"リンクを発火させる'と呼ぶ。つまり、リンク効果が実行される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16015	A		世代	せだい	generation	複合オブジェクトはコンポーネントオブジェクトが接続される幾つかのソケットをもっている。これらのコンポーネントオブジェクトは兄弟関係にある。したがって、複合オブジェクトはコンポーネントオブジェクトの一世代を定義しているといえる。別の複合オブジェクトがソケットに接続された場合は複数世代ができることになる。rt-複合オブジェクトは複合オブジェクトから生成されるので、rt-複合は、また、ある世代を定義している。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16016	A		一般値	いっぱんち	generic value	一般論理値、一般数値、一般整数、一般比率、一般文字列、一般参照及び一般リストの一つ。定数又は評価された値。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16017	A		取得操作	しゅとくそうさ	get action	MHEG実体を目標にして、評価するための属性や状態値を指定する。取得操作の結果、一般値が与えられる。この一般値は評価の状況で利用され、局所値である。同一取得操作が二つの異なるリンクで並行して処理された場合は二つの評価の結果、二つの一般値ができる。これらは通常異なる。取得操作は、値が基本操作又は取得操作のパラメタとしてリンクオブジェクトの中のソース値、又は比較値として許可された場合に利用され	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16018	A		フック	ふっく	hook	データを利用可能にするための符号化及び複合化情報を保持している内容クラスとスクリプトクラスの属性。これらのパラメータの意味はこの規格では定義しないが符号化標準及び推薦の意味は与えられる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16019	A		ハイパメディア	はいぱめでぃあ	hypermedia	リンク間のナビゲートによって単一メディア及びマルチメディアにアクセスする能力。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16020	A		交換属性	こうかんぞくせい	interchange attribute	交換されるMHEGオブジェクトの属性。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16021	A		交換メディア	こうかんめでぃあ	interchange medium	交換されるデータのメディア。記憶メディア、伝送メディア又はその複合したもの。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16022	A		交換値	こうかんち	interchange value	交換属性の値	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16023	A		ラベル	らべる	label	ある複合オブジェクトの要素に付随した一般文字列。rt-複合体がこの複合オブジェクトから生成されるとき、rt-内容部はこのラベルから生成され、自動的に対応するソケットに	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16024	A		リンク条件	りんくじょうけん	link condition	リンクを発火するために満足すべき条件。トリが条件、制約条件及びそれらの間の論理的演算子からなる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16025	A		リンク効果	りんくこうか	link effect	リンクが発火したときの効果。基本操作とアクションオブジェクトの両方又はその一方か	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16026	A		リンクオブジェクト	りんくおぶじぇくと	link object	MHEG実体間の空間/時間又は条件関係を定義したMHEGクラスのインスタンス。リンクオブジェクトはリンク条件とリンク効果からなる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16027	A		マクロ操作	まくろそうさ	macro action	頻繁に使用される複数のアクションオブジェクトのパラメタ群を置換した機能を提供する一つのアクションオブジェクト。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16028	A		マクロリンク	まくろりんく	macro link	頻繁に使用される複数のアクションオブジェクトのパラメタ群を置換した機能を提供する一つのリンクオブジェクト。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16029	A		マクロパラメタ	まくろぱらめた	macro parameter	マクロ定義識別子と省略マクロ慣用値の情報によって交換されるアクションのパラメータ及びアクションクラスの属性。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16030	A		マクロ慣用値	まくろかんようち	macro usage value	リンクオブジェクトのリンク効果においてリンク効果中に用いられている各マクロパラメータのために提供されている慣用値。この設定はリンクが発火したときに行われる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16031	A		媒体	ばいたい	medium (plural media)	情報を知覚し表現し記憶し伝送するための手段。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16032	A		MHオブジェクトクラス	MHおぶじぇくとくらす	MH object class	MHEGクラス階層の最上位のMHEGオブジェクトクラス。すべての他のMHEGクラスで共通な属性を定義する。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16033	A		MHEGクラス	えむへぐくらす	MHEG class	この規格で定義されたMHEGオブジェクトクラス。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16034	A		MHEG効果	えむへぐこうか	MHEG effect	内部状態を変更又は取得するための基本操作/取得操作の処理によって生じる効果。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16035	A		MHEGエンジン	えむへぐえんじん	MHEG engine	この規格の符号化仕様に従って符号化されたMHEGオブジェクトを解釈する処理、又は処理の集合からなるメカニズム。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16036	A		MHEG実体、実体	えむへぐじったい、じった	MHEG entity, entity	MHEGオブジェクト、rt-オブジェクト、出力系統。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16037	A		MHEGオブジェクト	えむへぐおぶじぇくと	MHEG object	この規格に準拠したマルチメディア・ハイパメディアオブジェクトの符号表現。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16038	A		最小資源	さいしょうしげん	minimal resources	必要最小限の記憶容量、通信容量、計算能力からなるシステム。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16039	A		モデルオブジェクト	もでるおぶじぇくと	model object	スクリプト又はコンポーネントオブジェクトを表現しているMHEGクラスのインスタンス。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16040	A		マルチメディア表現	まるちめでぃあひょうげん	multimedia representation	複数の種類の表現メディアを操作するための性質。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16041	A		多重化	たじゅうか	multiplex	同時出力や交換を達成するために二つ以上の情報のストリームを単一の符号化ストリームに複合するための手段。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16042	A		多重化内容オブジェクト	たじゅうかないようおぶじぇくと	multiplexed content object	多重化出力データを交換するための単一で一定の構造を提供するMHEGクラスのインスタンス。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16043	A		生成、出力系統の生成、"available"	せいせい、しゅつりょくけいとうのせいせい、"あべいらぶる"	new, new channel, available	rt-オブジェクトや出力系統をMHEGエンジンで更に先の処理(例:出力)ができるようにする基本操作。このオブジェクトや出力系統は "available"と呼ばれる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16044	A		非多重化内容オブジェクト	ひたじゅうかないようおぶじぇくと	non-mux content object	多重化内容オブジェクトでない純粋な内容オブジェクト。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16045	A		ヌル	ぬる	null	何も指していないことを示す特別な値。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16046	A		ヌルデータ	ぬるでーた	null data	ヌルデータは、予約済の"Null-Data"と呼ばれる識別子を使い参照されるときにMHEGエンジンによって生成される。ヌルデータは、どのような種類のデータも代用できる。ヌルデータのスクリプトオブジェクトや内容オブジェクトから作られるrt-スクリプトやrt-内容部で実行される操作は無視されない。そのような操作でユーザに見える効果は、モデルオブジェクト内で提供されるフックとクラスの情報で定義される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16047	A		ヌルMHEGオブジェクト	ぬるえむへぐおぶじぇくと	null MHEG object	ヌルオブジェクトは、予約済の"Null-MH"と呼ばれる識別子を使い参照されるときにMHEGエンジンによって生成される。ヌルオブジェクトは、どのようなMHEGクラスのどのようなオブジェクトも代用できる。ヌルMHEGオブジェクトで実行される操作は何も効果をもたらさない。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16048	A		ヌルルート rt-オブジェクト	ぬるるーと rt-おぶじぇくと	null root rt-object	ヌルルートrt-オブジェクトは、予約済の"Null-Root-Rt"と呼ばれる識別子を使い参照されるときにMHEGエンジンによって生成される。ヌルルートrt-オブジェクトは、どのようなルートrt-オブジェクトも代用できる。ヌルルートrt-オブジェクトで実行される操作は何も効	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16049	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	MHEGエンジンで一つのまとまりとして操作でき、一つの単位として交換できる有限独立で自己定義的な情報の一片。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16050	A		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class	特有で同質なテンプレート(つまり、オブジェクトに内包される情報とオブジェクトの振る舞いを変更する操作とに関係するような特性と振る舞い)をもつオブジェクトの範ちゅう	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16051	A		親子関係	おやこかんけい	parent-child relationship	親オブジェクトが子のオブジェクトを含むか又は参照する複合オブジェクトであるときに存在する関係。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16052	A		知覚メディア	ちかくめでぃあ	perception medium	人間に知覚されるような情報の性質(例:音声、雑音、音楽、テキスト、絵、動画、風景)。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16053	A		接続	せつぞく	plug	rt-コンポーネントをソケットに接続する基本操作。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16054	A		準備、"prepared"、"ready"	じゅんび、"ぷりぺあーど"、"れでぃ"	prepare, prepared, ready	オブジェクトをMHEGエンジンで更に先の処理(例:出力)ができるようにする基本操作。このオブジェクトは、"prepared"、"ready"と呼ばれる。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16055	A		出力	しゅつりょく	presentation	利用者に知覚させるために行うrt-コンポーネントの描出。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16056	A		出力メディア	しゅつりょくめでぃあ	presentation media	出力デバイス(例:スクリーン、紙、プリンタ、スピーカ)上で利用者に対して情報を再生してみせるため、又は入力デバイス(例:キーボード、マウス、マイク、カメラ)で利用者から情報を獲得する際に補助的に使われる手段(例:キーボードエコーバック、マウスカーソル、マイクモニタ、カメラモニタ映像)。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16057	A		出力空間	しゅつりょくうかん	presentation space	利用者に対してrt-コンポーネントを提示するために使われる空間。時間軸と三次元の空間軸、音量域で構成される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16058	A		投影	とうえい	projection	ソケットの出力空間は、時間位置や大きさ、音量を変えて親の出力空間や出力系統の出力空間に対応させることができる。そのような対応付けは投影と呼ばれる。ルートrt-コンポーネントは、常に出力系統の出力空間に投影される。投影は幾つもの基本操作によっ	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16059	A		実時間交換	じつじかんこうかん	real-time Interchange	出力スケジュールを満足させるのに必要な時間制限内で、システム間のオブジェクト交換ができること。これは、一定限度内の遅延がある場合を含む。特に、時間依存メディアと時間的同期関係のあるオブジェクトは、バッファリンクでは満足させられないような出力	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16060	A		実時間出力及び対話型動作	じつじかんしゅつりょくおよびたいわがたどうさ	real-time presentation and interaction	一定の遅延でオブジェクトを出力できること。本質的に時間依存(例:オーディオ、ビデオ)のオブジェクトや時間的な振る舞いや時的制約(例:同期)のあるオブジェクトに関係す	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16061	A		実時間システム	じつじかんしすてむ	real-time system	利用者に即時に起きている印象を与える方法で作業を実行すること。実時間システムは、一定の遅延だけで動作するシステムを意味する。広い意味では、限られた遅延と揺らぎを認めることもできる。あるメディア(例:オーディオ、ビデオ)では、実時間はデータに備わる時間的な要求条件を満たす出力を意味する。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16062	A		描出	ちゅうしゅつ	render	あるオブジェクトを特定の方法で利用者に示すことができること。描出は、幾つもの基本操作によって実行される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16063	A		表現メディア	ひょうげんめでぃあ	representation medium	符号化様式で記述されるような情報の性質を定義する交換データの型。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16064	A		オブジェクトの表現	おぶじぇくとのひょうげん	representation of an	オブジェクトの構造と内容の記述。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16065	A		ルートrt-コンポーネント	るーとrt-こんぽーねんと	root rt-component	接続されていないrt-コンポーネント。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16066	A		ルートrt-複合体	るーとrt-ふくごうたい	root rt-composite	接続されていないrt-複合体。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16067	A		ルートrt-内容部	るーとrt-ないようぶ	root rt-content	接続されていないrt-内容部。ルートrt-内容部は、ルートrt-複合体又はルートrt-内容部のいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16068	A		ルートrt-多重化内容部	るーとrt-たじゅうかないようぶ	root rt-mux	接続されていないrt-多重化内容部。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16069	A		ルートrt-非多重化内容部	るーとrt-ひたじゅうかないようぶ	root rt-non-mux	接続されていないrt-非多重化内容部。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16070	A		rt-コンポーネント	rt-こんぽーねんと	rt-component	rt-コンポーネントは、ルートrt-複合体又はルートrt-内容部のいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16071	A		rt-コンポーネントソケット	rt-こんぽーねんとそけっと	rt-component socket	rt-コンポーネントが接続されているソケット。rt-コンポーネントソケットはrt-複合体ソケット又はrt-内容部ソケットのいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16072	A		rt-複合体	rt-ふくごうたい	rt-composite	モデル複合オブジェクトから生成されるrt-オブジェクト。rt-複合体の要素はソケットと呼ばれる。rt-複合体はルートrt-複合体又はrt-複合体ソケットのいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16073	A		rt-複合体ソケット	rt-ふくごうたいそけっと	rt-composite socket	接続されているrt-複合体。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16074	A		rt-内容部	rt-ないようぶ	rt-content	モデル内容オブジェクトから生成されるrt-オブジェクト。rt-内容部はルートrt-内容部又はrt-内容部ソケットのいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16075	A		rt-内容部ソケット	rt-ないようぶそけっと	rt-content socket	接続されているrt-内容部。rt-内容部ソケットはrt-非多重化内容部ソケット又はrt-多重化内容部ソケットのいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16076	A		rt-多重化内容部	rt-たじゅうかないようぶ	rt-mux	モデル多重化内容オブジェクトから生成されるrt-オブジェクト。rt-多重化内容部はルートrt-多重化内容部又はrt-多重化内容部ソケットのいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16077	A		rt-多重化内容部ソケット	rt-たじゅうかないようぶそけっと	rt-mux socket	接続されているrt-多重化内容部。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16078	A		rt-非多重化内容部	rt-ひたじゅうかないようぶ	rt-non-mux	多重化内容オブジェクトではなく純粋な内容オブジェクトから生成されるrt-内容部。rt-非多重化内容部はルートrt-非多重化内容部又はrt-非多重化内容部ソケットのいずれかを	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16079	A		rt-非多重化内容部ソケット	rt-ひたじゅうかないようぶそけっと	rt-non-mux socket	接続されているrt-非多重化内容部。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16080	A		rt-オブジェクト、run-timeオブジェクト	rt-おぶじぇくと、らんたいむおぶじぇくと	rt-object, run-time object	モデルオブジェクトから生成されるrun-timeオブジェクト。異なった動作状況でモデルオブジェクトを再利用する目的のため、オリジナルの定義を含むMHEGモデル交換オブジェクトとそのモデルの特定の用法に従うrt-オブジェクトとは、明確に区別されている。このことによって、異なるrt-オブジェクトにおいて同じモデルオブジェクトの再利用が可能となる。任意の数のrt-オブジェクトが著者によって与えられる命令、すなわち操作Newに基づいて生成され得る。この規格は各rt-オブジェクトの初期振る舞いとそれを変更及び取得する操作を定義する。rt-オブジェクトの内部表現はこの規格では定義されない。各MHEGエンジンはそれ自身の内部表現をもつことができる。しかしながら、この規格はrt-オブジェクトの振る舞いを変更及び取得するために、それらを参照するための識別方法を定義している。rt-オブジェクトはrt-スクリプト又はrt-コンポーネントいずれかを指す。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16081	A		rt-スクリプト	rt-すくりぷと	rt-script	モデルスクリプトオブジェクトから生成されるrt-オブジェクト。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16082	A		run-timeプロセス	らんたいむぷろせす		MHEGエンジンて解釈された符号を処理する能力。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16083	A		スクリプトオブジェクト	すくりぷとおぶじぇくと	script object	特定の符号化法でのスクリプトデータを交換するための構造を定義したMHEGクラスのインスタンス。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16084	A		スクリプトウェア、スクリプトソフトウェア	すくりぷとうぇあ、すくりぷとそふとうぇあ		スクリプトを取り扱うプロセス又はその集合。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16085	A		順序づけ	じゅんじょづけ	sequencing	著者によって特定される、利用可能な資源を最大限に利用し受理される出力を生成するためのオブジェクトの準備の順序。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16086	A		兄弟関係	きょうだいかんけい	sibling relationship	あるrt-複合体内の世代のソケット間の関係。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16087	A		ソケット	そけっと	socket	rt-コンポーネントが接続されているという意味で、rt-複合体の要素はソケットと呼ばれる。したがって、ソケットは接続されているrt-コンポーネントと等価である。rt-コンポーネントは一度接続されると、ソケット識別子だけによって参照され得る。異なるタイプのソケットは、そのソケットに接続されているrt-コンポーネントに基づいて定義される。すなわち、空ソケット、rt-内容部ソケット(rt-非多重化内容部ソケット及びrt-多重化内容部ソ	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16088	A		状態	じょうたい	status	MHEGエンジン内のオブジェクトの現在の状態を表現する値。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16089	A		記憶媒体	きおくばいたい	storage media	情報を記憶するために用いられる手段(例えば、電子メモリ、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、磁気テープ)。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16090	A		オブジェクトの構造、MHEGオブジェクト構造	おぶじぇくとのこうぞう、えむへぐおぶじぇくとこうぞう	structure of an object, MHEG object structure	あるオブジェクトにおいて情報がどのように組織化されるかの記述。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16091	A		同期	どうき	synchronization	複数のrt-コンポーネント間で定義された制限と関係に従った時間と空間におけるそれらの出力。それらの制限と関係はリンク、複合、スクリプトオブジェクトによって明示的に定義されてもよいし、アプリケーションの性質に従って暗示的に定義されてもよい。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16092	A		時間位置	じかんいち	temporal position	rt-コンポーネント又は出力系統の時間軸上の特定の位置。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16093	A		タイムストーン	たいむすとーん	timestone	時間位置を示すための識別可能な印。この印はリンク条件として使われてもよい。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16094	A		遷移期間	せんいきかん	transition duration	例えば、Set Current Volume(target set、 audible volume、 transition duration)のような、ある基本操作に与えられてもよい自由選択のパラメータ。遷移期日はGTU単位で表される。遷移期間が特定されると、対応する基本操作はその特定の期間中に処理されることができる。例えば、音量は以前の値から特定の値に特定の遷移期間中に徐々に変化す	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16095	A		伝送メディア	でんそうめでぃあ	transmission media	情報を伝送するための手段(例えば、ツイストペアケーブル、同軸ケーブル、光ファイバー、無線回線)。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16096	A		トリガ条件	とりがじょうけん	trigger condition	属性値や状態値の変化を記述するリンク条件の一部。もし、記述された変化が起これば、"トリガ条件は満たされた"と表現される。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16097	A		利用者効果	りようしゃこうか	user effect	基本操作の処理から生じる効果で、利用者によって知覚されるもの。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16098	A		利用アプリケーション	りようあぷりけーしょん	using application	この規格を含むMHEGオブジェクトを利用したアプリケーション。	JIS X 4341	1997	ISO/IEC 13522-1	1997				1997	SC29
16099	A		抽象クラス	ちゅうしょうくらす	Abstract Class	インスタンスを生成することができないMHEG-5オブジェクトのクラス、つまり交換されないオブジェクトの属するクラスの意。このクラスは情報のカプセル化及びサブクラスへ属性の継承機構を提供する。また、どの操作がどのクラスに適用されるかを特定する機構とし	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16100	A		操作	そうさ	Action	基本の操作、又は取得操作。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16101	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	Application	MHEG-5オブジェクトで構成される応用を担うオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16102	A		音響	おんきょう	Audio	音響情報を表現するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16103	A		基底クラス	きていくらす	Base Class	あるクラスがもつ幾つかの属性、振舞、及び操作の意味を定義しているほかのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16104	A		ビットマップ	びっとまっぷ	Bitmap	画素の集合として表現された静止画像オブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16105	A		ボタン	ぼたん	Button	押しボタンなどを模擬したユーザ対話用オブジェクトの一般的な振舞を規定する抽象クラ	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16106	A		具象クラス	ぐしょうくらす	Concrete Class	符号化され、交換されるMHEG-5オブジェクトのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16107	A		カーソル形状	かーそるけいじょう	CursorShape	アプリケーションが、自由に動くカーソルを描画するために必要な、ビットマップ、マスク情報などの符号化データをカプセル化するためのオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16108	A		動的ラインアート	どうてきらいんあーと	DynamicLineArt	基本操作によって動的に生成される図形オブジェクト、又はそのクフス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16109	A		基本操作	きほんそうさ	Elementary Action	MHEG-5オブジェクトの状態を変化させるために送られる基本的な操作の総称。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16110	A		入力フィールド	にゅうりょくふぃーるど	EntryField	文字の入力が可能な領域を提供するユーザ対話用オブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16111	A		フォント	ふぉんと	Font	文字形状情報を表現するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16112	A		グループ	ぐるーぷ	Group	MHEG-5エンジンとほかの実体との間で交換されるオブジェクトをまとめる機能を提供する抽象クラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16113	A		ホットスポット	ほっとすぽっと	Hotspot	ユーザ対話用に用意されるスクリーン上の不可視く(矩)形領域オブジェクト、又はそのク	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16114	A		ハイパテキスト	はいぱてきすと	HyperText	文章の一部をアンカとし、それによって文章間に様々な関係付けをして関連情報を参照できるようにした文章オブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16115	A		インタラクティブル (対話…)	いんたらくていぶる (たいわ…)	Interactible	ボタン、スライダ、入力フィールドなどGUIを表現するための抽象クラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16116	A		ラインアート	らいんあーと	LineArt	多角形、だ(楕)円、円などを表現する図形オブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16117	A		リンク	りんく	Link	ある事象が生じた際に、実行される操作を記述するためのオブジェクト、又はそのクラ	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16118	A		リストグループ	りすとぐるーぷ	ListGroup	選択メニューなどを表現するためのオブジェクト、又はそのクラス。リストグループクラスはトークングループのサブクラスてあり、トークンによって制御されるアイテムのスクロール、選択、挿入、削除などの機能が付加されている。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16119	A		ミックスインクラス	みっくすいんくらす	Mix-in Class	ルートクラス(Root Class)から継承していない抽象クラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16120	A		パレット	ぱれっと	Palette	色一覧表(colour look-up table)を表現するためのオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16121	A		プレゼンタブル(出力…)	ぷれぜんたぶる(しゅつりょく…)	Presentable	MHEG-5の音響、ビジブル、トークングループ、ストリームクラスの抽象クラスてあり、これによって、ユーザが見る、又は聞くことができる情報を表現する。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16122	A		プログラム	ぷろぐらむ	Program	外部手続コードの実行を処理するための手段を定義するためのオブジェクト、又はその	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16123	A		押ボタン	おしぼたん	PushButton	押ボタンを表現するためのく(矩)形領域を定義するオブジュクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16124	A		レクトアングル[く(矩)形…]	れくとあんぐる[くけい…]	Rectangle	く(矩)形を表現する図形オブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16125	A		ルート	るーと	Root	ミックスインクラス及び操作クラスを除いて、MHEG-5で用いるすべてのクラスの基となる抽象クラスであり、MHEG-5の一般的な振舞(activation、deactivation、preparation、destruction)の意味付け、及びオブジェクト識別の手段を提供する。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16126	A		実時間グラフィックス	じつじかんぐらふぃっくす	RTGraphics	時間に依存した表示制御がなされるグラフィックスのストリームを表現するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16127	A		シーン	しーん	Scene	表示制御される要素オブジェクトの時間・空間上の位置関係を統合するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16128	A		スライダ	すらいだ	Slider	音量調節ツマミ等の2次元のスライダを模倣するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16129	A		ストリーム	すとりーむ	Stream	多重化された連続メディア(音響、動画及び実時間グラフィックス)を表現するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16130	A		サブクラス	さぶくらす	Subclass	別のMHEG-5クラスと同じ属性、振舞、及び操作の意味を共有するMHEG-5クラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16131	A		スイッチボタン	すいっちぼたん	SwitchButton	ユーザの操作で選択状態が切り替わるボタンを模擬したユーザ対話用オブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16132	A		トークングループ	とーくんぐるーぷ	TokenGroup	トークン管理の機能を継承し、一群の可視オブジェクト間のナビゲーション操作機能を提供するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16133	A		トークン管理	とーくんかんり	TokenManager	一群の要素間での論理トークンのナビゲーション操作を管理する機能を提供するミックスインクラス。トークンは、それをもつ要素を強調表示するなど、ある要素に特別な振舞を与える目的に使用できるもの。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16134	A		変数	へんすう	Variable	ある値を格納し、又は取り出すための環境を提供するオブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16135	A		動画	どうが	Video	一連の時系列画像群からなる画像オブジェクト、又はそのクラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16136	A		ビジブル(可視…)	びじぶる(かし・・・)	Visible	視覚的に検知できるオブジェクトの一般的な振舞を規定する抽象クラス。	JIS X 4345	2000	ISO/IEC 13522-5	1997				1997	SC29
16137	A		アプレット	あぷれっと	applet	ホストの枠組みの中だけ実行することができる自律したプログラム。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16138	A		アプリケーションクラス	あぷりけーしょんくらす	application class	JVM命令語で書かれ、MHEG-6応用の一部として交換対象となるJavaのクラス。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16139	A		API	API	application programming interface(API)	応用ソフトウェアからプログラム言語の機能を通してソフトウェアサービスを利用するためのインタフェース。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16140	A		属性	ぞくせい	attribute	オブジェクトと値との対応。名前と型とが付与され、クラスのインタフェースの一部として宣言される。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16141	A		クラス	くらす	class	交換対象となる一群の情報オブジェクトに共通するデータ(属性)及び振る舞いを抽象化した定義。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16142	A		例外	れいがい	exception	演算要求の実行中に例外的な条件が生じた場合に発生する信号。特に、JVM例外があ	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16143	A		ハイパメディア	はいぱめでぃあ	hypermedia	明示的なリンクを介しての、モノメディア及びマルチメディアの情報へのアクセスを伴う場合の形容詞。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16144	A		実体	じったい	instance	指示されたクラスの属性及び振る舞いをもつオブジェクト。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16145	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	クライアントがオブジェクトに対して要求できる一群の演算の記述。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16146	A		JVM	JVM	Java Virtual Machine	Lindholm, Tim and Yellin, Frank (September 1996), The Java Virtual machine specification.ISBN:0-201-63452-X, Addison-Wesley Publishing Co.:Reading, Massachusetts.の参照仕様で定義された抽象機械。MHEG-6交換プログラムオブジェクトのOriginalContent属性に対して、その交換用表現及び実行モデルとして用いる。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16147	A		メソッド	めそっど	method	クラスで定義されている演算。特に、JVMメソッドがある。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16148	A		MHEG-5 API	MHEG-5 API	MHEG-5 API	MHEG-6交換プログラムオブジェクトのOriginalContentに使う命令バイト語から、MHEG-5オブジェクトの属性にアクセスしたりその振る舞いを制御したりするためのAPI。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16149	A		MHEG-5交換プログラムオブジェクト	MHEG-5こうかんぷろぐらむおぶじぇくと	MHEG-5 InterchangedProgram	命令列をなす解釈実行語又は機械語として表現された処理単位を駆動する手段を与えるMHEG-5オブジェクト。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16150	A		MHEG-5オブジェクト	MHEG-5おぶじぇくと	MHEG-5 object	MHEG-5クラスの実体の命令語表現。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16151	A		MHEG-6	MHEG-6	MHEG-6	この規格に適していることを示す形容詞。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16152	A		MHEG-6アプレットオブジェクト	MHEG-6あぷれっとおぶじぇくと	MHEG-6 Applet object	8.に規定するアプレットクラスの実体。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16153	A		MHEG-6応用	MHEG-6おうよう	MHEG-6 application	MHEG-5交換プログラムオブジェクトのOriginalContent属性となっているプログラム及びMHEG-5オブジェクトの交換を含んだ応用。単独の応用のこともあれば、他の応用の一部となっていることもあり、この規格での規定に従った表現をもつ。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16154	A		MHEG-6エンジン	MHEG-6えんじん	MHEG-6 engine	この規格の規格に従って、MHEG-6オブジェクト(JVMプログラムを含む。)を解釈実行するプロセス又はプロセス群。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16155	A		MHEG-6交換プログラムオブジェクト	MHEG-6こうかんぷろぐらむおぶじぇくと	MHEG-6 Interchanged Program object	この規格に適合するMHEG-5交換プログラムオブジェクト。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16156	A		MHEG-6オブジェクト	MHEG-6おぶじぇくと	MHEG-6 object	7.に規定する意味拡張に適合したMHEG-5オブジェクト、又は8.に規定するアブレットクラスのオブジェクト。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16157	A		MHEG-6プロファイル	MHEG-6ぷろふぁいる	MHEG-6 profile	この規格に対するプロファイル。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16158	A		MHEG-6プログラム	MHEG-6ぷろぐらむ	MHEG-6 program	MHEG-6交換プログラムオブジェクトのOriginalContent属性に直接書かれるか、そこから参照されるかしているJVMクラスの一覧。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16159	A		マルチメディア	まるちめでぃあ	multimedia	複数の表現媒体を扱う場合の形容詞。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16160	A		マルチメディア・ハイパメディア応用	まるちめでぃあ・はいぱめでぃあおうよう	multimedia and hypermedia application	マルチメディア情報を表現し、利用者がその上を対話的に行き来できる機能を備えた応用。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16161	A		マルチメディア応用	まるちめでぃあおうよう	multimedia application	利用者にマルチメディア情報の表現を供する応用。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16162	A		演算	えんざん	operation	オブジェクトが提供し、オブジェクトに対して要求することのできるサービス。インターフェースの中で、その名前、引数及び返却値の型を指定するシグネチャ、並びにその駆動中に発生し得る例外の一覧が宣言してある。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16163	A		プログラム	ぷろぐらむ	Program	計算機での振る舞いを表現した2進命令語列。適切な計算機環境下で走らせることによって、その振る舞いが実現する。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16164	A		プログラム交換様式	ぷろぐらむこうかんようしき	program content interchange format	MHEG-6交換プログラムオブジェクトのOriginalContent属性(IncludedContent型である場合)に対する構文及び符号化様式。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16165	A		スクリプト言語	すくりぷとげんご	script language	応用プログラムが非専門プログラマによって簡単かつ迅速に設計できるようにしたプログラム言語。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16166	A		スタック	すたっく	stack	後入れ先出し(LIFO、last-in-first-out)で要素を追加(プッシュ)し削除(ポップ)することができる情報蓄積機構。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16167	A		システムクラス	しすてむくらす	system class	JVMクラスのうち、その実装が(少なくとも部分的に)システム依存になって(したがって、機械語で作られて)いることから、VMから使えるように実行時環境に備わっていなければならないクラス。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16168	A		仮想機械、VM	かそうきかい、VM	virtual machine	マイクロプロセッサ及びその振る舞いに対する抽象的な仕様。	JIS X 4346	1999	ISO/IEC 13522-6	1998				1998	SC29
16169	A		床関数	ゆかかんすう	floor function		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16170	A		天井関数	てんじょうかんすう	celling function		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16171	A		5-3 可逆フィルタ	5-3 かぎゃくふぃるた	5-3 reversible filter		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16172	A		9-7 非可逆フィルタ	9-7 ひかぎゃくふぃるた	9-7 irreversible filter		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16173	A		AND	AND	AND		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16174	A		算術符号器	さんじゅつふごうき	arithmetic coder		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16175	A		補助チャネル	ほじょちゃねる	auxiliary channel		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16176	A		ビット	びっと	bit		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16177	A		ビット面	びっとめん	bit-plane		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16178	A		ビット列	びっとれつ	bit stream		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16179	A		バイト降順	ばいとこうじゅん	big endian		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16180	A		ボックス	ぼっくす	box		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16181	A		ボックス内容	ぼっくすないよう	box contents		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16182	A		ボックスの型	ぼっくすのかた	box type		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16183	A		バイト	ばいと	byte		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16184	A		チャネル	ちゃねる	channel		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16185	A		一掃手順	いっそうてじゅん	cleanup pass		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16186	A		符号列	ふごうれつ	codestream		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16187	A		符号ブロック	ふごうぶろっく	code-block		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16188	A		符号ブロック走査	ふごうぶろっくそうさ	code-block scan		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16189	A		符号処理器	ふごうしょりき	coder		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16190	A		符号処理手順	ふごうしょりてじゅん	coding pass		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16191	A		係数	けいすう	coefficient		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16192	A		色チャネル	いろちゃねる	colour channel		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16193	A		成分	せいぶん	component		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16194	A		圧縮画像データ	あっしゅくがぞうでーた	compressed image data		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16195	A		適合読取装置	てきごうよみとりそうち	conforming reader		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16196	A		コンテキスト、文脈	こんてきすと、ぶんみゃく	context		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16197	A		コンテキストラベル、文脈ラベル	こんてきすとらべる、ぶんみゃくらべる	context label		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16198	A		コンテキストベクトル、文脈ベクトル	こんてきすとべくとる、ぶんみゃくべくとる	context vector		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16199	A		復号器	ふくごうき	decoder		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16200	A		復号処理	ふくごうしょり	decoding process		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16201	A		分解レベル	ぶんかいれべる	decomposision level		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16202	A		区切りマーカ及びマーカ部分列	くぎりまーかおよびまーかぶぶんれつ	delimiting markers and marker segments		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16203	A		離散ウェーブレット変換(DWT)	りさんうぇーぶれっとへんかん(DWT)	discrete wavelet transformation (DWT)		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16204	A		符号器	ふごうき	encoder		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16205	A		符号化処理	ふごうかしょり	encoding process		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16206	A		ファイル形式	ふぁいるけいしき	file format		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16207	A		固定情報マーカ及び固定情報マーカ部分列	こていじょうほうまーかおよびこていじょうほうまーかぶぶんれつ	fixed information markers and fixed information marker segments		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16208	A		機能マーカ及び機能マーカ部分列	きのうまーかおよびきのうまーかぶぶんれつ	functional markers and functional marker		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16209	A		グリッド解像度	ぐりっどかいぞうど	grid resolution		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16210	A		保護ビット	ほごびっと	guard bits		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16211	A		ヘッダ	へっだ	header		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16212	A		HHサブバンド	HHさぶばんど	HH subband		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16213	A		HLサブバンド	HLさぶばんど	HL subband		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16214	A		画像	がぞう	image		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16215	A		画像領域	がぞうりょういき	image area		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16216	A		画像領域オフセット	がぞうりょういきおふせっ	image area offset		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16217	A		画像データ	がぞうでーた	image data		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16218	A		ビット列内マーカ及びビット列内マーカ部分列	びっとれつないまーかおよびびっとれつないまーかぶぶんれつ	in bit stream markers and in bit stream marker segments		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16219	A		情報マーカ及び情報マーカ部分列	じょうほうまーかおよびじょうほうまーかぶぶんれつ	informational markers and informational marker segments		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16220	A		非可逆	ひかぎゃく	irreversible		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16221	A		JP2ファイル	JP2ふぁいる	JP2 file		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16222	A		JPEG	じぇいぺぐ	JPEG		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16223	A		JPEG 2000	じぇいぺぐにせん	JPEG 2000		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16224	A		LHサブバンド	LHさぶばんど	LH subband		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16225	A		LLサブバンド	LLさぶばんど	LL subband		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16226	A		レイヤ	れいや	layer		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16227	A		可逆	かぎゃく	lossless		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16228	A		非可逆	ひかぎゃく	lossy		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16229	A		絶対値詳細化手順	ぜったいちしょうさいかてじゅん	magnitude refinement pass		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16230	A		主ヘッダ	しゅへっだ	main header		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16231	A		マーカ	まーか	marker		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16232	A		マーカ部分列	まーかぶぶんれつ	marker segment		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16233	A		mod	mod	mod		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16234	A		パケット	ぱけっと	packet		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16235	A		パケットヘッダ	ぱけっとへっだ	packet header		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16236	A		ポインタマーカ及びポインタマーカ部分列	ぽいんたまーかおよびぽいんたまーかぶぶんれつ	pointer markers and pointer marker segments		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16237	A		区画	くかく	precinct		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16238	A		精度	せいど	precision		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16239	A		段階処理	だんかいしょり	progression		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16240	A		量子化	りょうしか	quantization		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16241	A		ラスタ順序	らすたじゅんじょ	raster order		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16242	A		復元画像	ふくげんがぞう	reconstructed image		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16243	A		復元標本	ふくげんひょうほん	reconstructed sample		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16244	A		参照グリッド	さんしょうぐりっど	reference grid		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16245	A		参照タイル	さんしょうたいる	reference tile		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16246	A		関心領域	かんしんりょういき	region of interest (ROI)		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16247	A		解像度レベル	かいぞうどれべる	resolution level		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16248	A		可逆	かぎゃく	reversible		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16249	A		標本	ひょうほん	sample		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16250	A		区分記号	くぶんきごう	segmentation symbol		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16251	A		算術符号化の選択的回避	さんじゅつふごうかのせんたくてきかいひ	selective arithmetic coding bypass		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16252	A		シフト	しふと	shift		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16253	A		正負ビット	せいふびっと	sign bit		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16254	A		正負絶対値表記法	せいふぜったいちひょうきほう	sign-magnitude notation		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16255	A		有意伝搬手順	ゆういでんぱんてじゅん	significance propagation pass		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16256	A		有意状態	ゆういじょうたい	significance state		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16257	A		原画像	げんがぞう	source image		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16258	A		サブバンド	さぶばんど	subband		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16259	A		サブバンド係数	さぶばんどけいすう	subband coefficient		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16260	A		サブバンド分解	さぶばんどぶんかい	subband decomposition		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16261	A		上位ボックス	じょういぼっくす	superbox		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16262	A		タイル	たいる	tile		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16263	A		タイル成分	たいるせいぶん	tile-component		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16264	A		タイルインデックス	たいるいんでっくす	tile index		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16265	A		タイル部分	たいるぶぶん	tile-part		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16266	A		タイル部分ヘッダ	たいるぶぶんへっだ	tailr-part header		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16267	A		タイル部分インデックス	たいるぶぶんいんでっくす	tile-part index		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16268	A		変換	へんかん	transformation		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16269	A		変換係数	へんかんけいすう	transuform coefficient		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16270	A		XOR	XOR	XOR		JIS X 4350-1	2002	ISO/IEC 15444-1	2000				2004	SC29
16271	B		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16272	B		セル	せる	cell		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16273	B		成分	せいぶん	component		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16274	B		成分集合	せいぶんしゅうごう	component collection		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16275	B		成分復元配列	せいぶんふくげんはいれつ	component reconstruction arrays		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16276	B		合成	ごうせい	compositing		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16277	B		合成レイヤ	ごうせいれいや	compositing layer		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16278	B		不感帯	ふかんたい	deadzone		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16279	B		分解レベル	ぶんかいれべる	decomposition level		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16280	B		分解サブレベル	ぶんかいさぶれべる	decomposition sub-level		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16281	B		相関除去変換配列	そうかんじょきょへんかんはいれつ	decorrelation transformation array		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16282	B		従属変換配列	じゅうぞくへんかんはいれつ	dependency transformation array		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16283	B		要素	ようそ	element		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16284	B		HXサブバンド	HXさぶばんど	HX subband		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16285	B		中間成分	ちゅうかんせいぶん	intermediate component		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16286	B		JPX基本部	JPXきほんぶ	JPX baseline		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16287	B		JPX基本部読取り器	JPXきほんぶよみとりき	JPX baseline reader		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16288	B		JPXファイル	JPXふぁいる	JPX file		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16289	B		LXサブバンド	LXさぶばんど	LX subband		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16290	B		メタデータ	めたでーた	metadata		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16291	B		名前空間	なまえくうかん	namespace		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16292	B		オフセット配列	おふせっとはいれつ	offset array		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16293	B		復元画像成分	ふくげんがぞうせいぶん	reconstructed image component		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16294	B		描画結果	びょうがけっか	rendered result		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16295	B		解像度	かいぞうど	resolution		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16296	B		サブバンド	さぶばんど	subband		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16297	B		空間的復元成分	くうかんてきふくげんせいぶん	spatially reconstructed component		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16298	B		変換段階	へんかんだんかい	transformation stage		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16299	B		視覚的マスキング	しかくてきますきんぐ	visual masking		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16300	B		XHサブバンド	XHさぶばんど	XH subband		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16301	B		XLサブバンド	XLさぶばんど	XL subband		JIS X 4350-2	2003	ISO/IEC 15444-2	2002				2004	SC29
16302	A		ボックス	ぼっくす	Box		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16303	A		データ塊	でーたかたまり	Chunk		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16304	A		格納ボックス	かくのうぼっくす	Container Box		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16305	A		ヒントトラック	ひんととらっく	Hint Track		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16306	A		ヒンタ、ヒント付与	ひんた、ひんとふよ	Hinter		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16307	A		ムービーボックス	むーびーぼっくす	Movie Box		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16308	A		メディアデータボックス	めでぃあでーたぼっくす	Media Data Box		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16309	A		動画像系列	どうがぞうけいれつ	Motion sequence		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16310	A		MJ2ファイル	MJ2ふぁいる	MJ2 File		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16311	A		表示物	ひょうじぶつ	Presentation		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16312	A		標本	ひょうほん	Sample		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16313	A		標本表	ひょうほんひょう	Sample Table		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16314	A		トラック	とらっく	Track		JIS X 4350-3	2003	ISO/IEC 15444-3	2003				2007	SC29
16315	A		データ伝送回線	でーたでんそうかいせん		データを伝送するために送信及び受信のデータ伝送通信路で構成される回線。	JIS X 5001	1982							
16316	A		キャラクタ	きゃらくた		データの構成、制御又は表現に用いる要素となるもので、文字、数字、記号及び機能を表現するものからなる。	JIS X 5001	1982							
16317	A		7単位符号	7たんいふごう		キャラクタをコード化するために7ビットを用いて文字、数字、記号及び制御機能を表現する符号。	JIS X 5001	1982							
16318	A		ディジタル2進直列	でぃじたる2しんちょくれつ		1と0の2元状態のデータを伝送するときに、それを時間的な系列として一つの回線に順次伝送する形式。例えば、キャラクタを伝送するときに、b1から順次b2、b3…の時間的な系列として伝送する方法である。	JIS X 5001	1982							
16319	A		調歩式	ちょうほしき		字信号に対応する個々の符号(エレメント群)に対して、スタート信号(エレメント)及びストップ信号(エレメント)をそれぞれ先行及び後続させるような同期の一形式。	JIS X 5001	1982							
16320	A		同期式	どうきしき		どの二つの有意瞬間をとっても間隔が単位間隔の整数倍である同期の一形式。	JIS X 5001	1982							
16321	A		データ信号速度	でーたしんごうそくど		相対する端末装置間における情報を伝送する速度をいい、ビット/秒の単位で表す。ディジタル2進直列伝送の場合は、秒で表した最小有意間隔長の逆数がデータ信号速度に	JIS X 5001	1982							
16322	A		状態Aと状態Z	じょうたいAとじょうたいZ		信号極性には状態Aと状態Zの二つの状態があり、0と1の2元状態との対応は、表1のとおりである。(#表有り)	JIS X 5001	1982							
16323	A		1単位長	1たんいちょう		符号単位の長さで、ディジタル2進直列伝送においては、データ信号速度の逆数が1単位長となる。例えば、200ビット/秒における1単位長は、5ミリ秒(1/200秒)である。	JIS X 5001	1982							
16324	A		水平パリティチェック	すいへいぱりていちぇっく		媒体に記録された2進符号において、媒体の運動方向に対し水平方向のビットについて奇偶検査を行うこと。	JIS X 5001	1982							
16325	A		情報トラック	じょうほうとらっく		ビットb1、b2、…、bpで構成されるキャラクタの列において、あるビット番号に着目したときの列。例えば、紙テープに情報を記録するためにあけられる孔の長手方向の列をいう。	JIS X 5001	1982							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16326	A		SOH	SOH		ヘッディング開始(Start of Heading)符号で、情報電文のヘッディングの最初の符号として使用する伝送制御キャラクタ。	JIS X 5001	1982							
16327	A		STX	STX		テキスト開始(Start of Text)符号で、テキストに先行し、かつ、ヘッディングの終結にも使用する伝送制御キャラクタ。	JIS X 5001	1982							
16328	A		ETB	ETB		伝送ブロック終結(End of Transmission Block)符号で、伝送上の理由で分割されたデータブロックの終結を示す伝送制御キャラクタ。	JIS X 5001	1982							
16329	A		ETX	ETX		テキスト終結(End of Text)符号で、一つのテキストの終結を示す伝送制御キャラクタ。	JIS X 5001	1982							
16330	A		SYN	SYN		同期信号(Synchronous Idle)符号で、同期信号方式で他の信号を伝送しない状態において同期をとり、又は同期を維持するための信号として使用する伝送制御キャラクタ。	JIS X 5001	1982							
16331	A		監視用キャラクタ	かんしようきゃらくた		データ伝送において、送受信状態の監視を行うために相互に伝送されるキャラクタ。例えば、伝送の順方向には、ポーリング、セレクション、状態識別、放棄、終結、中断などのキャラクタがあり、伝送の逆方向には、応答、中断、切断などのキャラクタがある。	JIS X 5001	1982							
16332	A		メッセージ	めっせーじ		始めと終わりが明確に規定された情報伝送を目的としたデータであり、少なくとも1個の伝送制御キャラクタを含むキャラクタ又はキャラクタシーケンス。	JIS X 5002	1975							
16333	A		情報メッセージ	じょうほうめっせーじ		データ伝送の主対象となるデータで、一つのテキストから構成され、テキストの前に一つのヘッディングが先行することがある。	JIS X 5002	1975							
16334	A		局	きょく		データ通信網に接続されて、データの送信、受信又は処理を行う装置とそれが置かれている場所の総称。	JIS X 5002	1975							
16335	A		主局	しゅきょく		ある時点において、従局に情報メッセージを送信する権利を有し、情報の転送を確実に遂行する責任をもつ局。	JIS X 5002	1975							
16336	A		従局	じゅうきょく		ある時点において、主局から情報メッセージを受信できる状態にある局。	JIS X 5002	1975							
16337	A		制御局	せいぎょきょく		システムに接続されているすべての局のメッセージの伝送状態を制御し、監視し、又は異常状態からの回復制御を行う局。	JIS X 5002	1975							
16338	A		従属局	じゅうぞくきょく		制御局以外の局。	JIS X 5002	1975							
16339	A		順方向	じゅんほうこう		データリンク確立前に制御局から従属局へ向かうメッセージの伝送方向、及びデータリンク確立後に主局から従局へ向かうメッセージの伝送方向。	JIS X 5002	1975							
16340	A		逆方向	ぎゃくほうこう		順方向と反対の方向。	JIS X 5002	1975							
16341	A		ポイントツーポイントシステム	ぽいんとつーぽいんとしすてむ		通信回線によって二つの局が接続されその間に他の局が分岐接続されることのないデータ通信システムであって、制御局のないもの。この規格では、一つのデータ処理センタを中心とするいわゆる放射形網構成のシステムを含む。	JIS X 5002	1975							
16342	A		ブロック	ぶろっく		情報メッセージを分割し、始めと終わりに少なくとも1個の伝送制御キャラクタを含む一群のキャラクタシーケンス。	JIS X 5002	1975							
16343	A		ブロックチェック	ぶろっくちぇっく		データ伝送の過程で発生する誤りを、伝送する情報ブロックごとに検査する方式。	JIS X 5002	1975							
16344	A		初期状態	しょきじょうたい		ポイントツーポイントシステムにおいて、データリンクが確立される以前の状態。	JIS X 5002	1975							
16345	A		制御状態	せいぎょじょうたい		制御局を有する網構成のデータ通信システムにおいて、データリンクが確立される以前	JIS X 5002	1975							
16346	A		データリンク	でーたりんく		送信装置からデータ伝送回線を介して、受信装置に至る物理的な伝送路と論理的に設定されたデータの転送経路の総称。	JIS X 5002	1975							
16347	A		コードインデペンデント	こーどいんでぺんでんと		情報メッセージとして伝送される符号が回線の種別、伝送制御手順などからの制限を受けないこと。	JIS X 5002	1975							
16348	A		交互監視	こうごかんし		ブロック又は順方向監視シーケンスが連続して伝送されることなく、応答などの逆方向監視シーケンスと交互に伝送される方式。	JIS X 5002	1975							
16349	A		タイムフィル	たいむふぃる		ブロックとブロックとの間又はキャラクタとキャラクタの間にそう入され、同期の維持又は若干の遅延時間を作るために使用されるアイドル符号。	JIS X 5002	1975							
16350	A		回復	かいふく		送信装置、受信装置又は回線などの異常に起因して発生するこう着状態から抜け出すこ	JIS X 5002	1975							
16351	A		オクテット	おくてっと		8ビットのビットシーケンスから成る情報転送単位。	JIS X 5002	1975							
16352	A		実システム	じつしすてむ	real system	情報処理と情報転送の両方又は一方を実行でき、独立した統一体を構成する要素の集合であって、その要素には、電子計算機、関連ソフトウェア、周辺装置、端末、操作員、物理的なプロセス、情報転送手段などがある。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16353	A		実開放型システム	じつかいほうがたしすてむ	real open system	他の実システムとの通信においてOSI規格の要求条件に従う実システム。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16354	A		開放型システム	かいほうがたしすてむ	open system	実開放型システムのうちOSIに関係する側面を表現したもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16355	A		応用プロセス	おうようぷろせす	application-process	特定の応用のための情報処理を実行する実開放型システム内の要素。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16356	A		<N>サブシステム	<N>さぶしすてむ	(N)-subsystem	開放型システム内を階層に区分した場合の一要素であって、その開放型システムにおけるすぐ上の区分又はすぐ下の区分の要素とだけ直接に作用し合うもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16357	A		<N>層	<N>そう	(N)-layer	OSIアーキテクチャの中で、同位のすべての<N>サブシステムを集めたもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16358	A		<N>エンティティ	<N>えんていてい	(N)-entity	<N>サブシステム内の能動的要素。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16359	A		同位エンティティ	どういえんていてい	peer-entities	同一層内のエンティティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16360	A		副層	ふくそう	sublayer	層を更に細分したもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16361	A		<N>サービス	<N>さーびす	(N) -service	<N>層及びそれより下の層の能力であって、<N>層と<N+1>層との境界において<N+1>エンティティに提供されるもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16362	A		<N>ファシリティ	<N>ふぁしりてい	(N)-facility	<N>サービスの一部。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16363	A		<N>機能	<N>きのう	(N)-function	<N>エンティティの活動の一部。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16364	A		<N>サービスアクセス点	<N>さーびすあくせすてん	(N)-service-access-point	<N>エンティティが<N>サービスを<N+1>エンティティに提供する点。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16365	A		<N>プロトコル	<N>ぷろとこる	(N)-protocol	<N>機能を実行するときの<N>エンティティの通信動作を規定する規則及び形式(意味及び構文)の集合。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16366	A		<N>コネクション	<N>こねくしょん	(N)-connection	複数の<N+1>エンティティ間に、データ転送を目的として、<N>層によって確立される関連。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16367	A		<N>コネクション端点	<N>こねくしょんたんてん	(N)-connection-endpoint	<N>サービスアクセス点内における<N>コネクション片側の終端。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16368	A		<N>多端点コネクション	<N>たたんてんこねくしょん	(N)-multi-endpoint-connection	三つ以上の<N>コネクション端点をもつ<N>コネクション。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16369	A		接続関係にある<N>エンティティ	せつぞくかんけいにある<N>えんてぃてぃ	correspondent (N)-entities	一つの<N-1>コネクションを共有するすべての<N>エンティティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16370	A		<N>中継	<N>ちゅうけい	(N)-relay	<N>エンティティが、ある接続関係にある<N>エンティティから受け取ったデータを他の接続関係にある<N>エンティティに送り出す<N>機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16371	A		<N>データ送信側	<N>でーたそうしんがわ	(N)-data source	<N-1>サービスデータ単位[5.6.1(7)参照]を<N-1>コネクション上に送信する<N>エンティティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16372	A		<N>データ受信側	<N>でーたじゅしんがわ	(N)-data sink	<N-1>コネクション上の<N-1>サービスデータ単位を受信する<N>エンティティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16373	A		<N>データ伝送	<N>でーたでんそう	(N)-data transmission	<N+1>エンティティから一つ以上の<N+1>エンティティに向けて<N>サービスデータ単位を運ぶ<N>ファシリティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16374	A		<N>全二重伝送	<N>ぜんにじゅうでんそう	(N)-duplex transmission	両方向同時の<N>データ伝送。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16375	A		<N>半二重伝送	<N>はんにじゅうでんそう	(N)-half-duplex transmission	両方向に行うが、一度には一方向に限る<N>データ伝送。方向の選択は<N+1>エンティティが制御する。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16376	A		<N>単向伝送	<N>たんこうでんそう	(N)-simplex transmission	前もって定めた一方向への<N>データ伝送。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16377	A		<N>データ通信	<N>でーたつうしん	(N)-data communication	一つ以上の<N-1>コネクション上で、<N>プロトコルに従って<N>プロトコルデータ単位(5.6.1.3参照)を転送する<N>機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16378	A		<N>両方向同時通信	<N>りょうほうこうどうじつうしん	(N)-two-way simultaneous communication	両方向同時の<N>データ通信。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16379	A		<N>片方向通信	<N>かたほうこうつうしん	(N)-one-way communication	前もって定めた一方向への<N>データ通信。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16380	A		名称	めいしょう	title	エンティティの永続的な識別子。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16381	A		名称領域	めいしょうりょういき	title-domain	OSI環境の名称空間の部分集号。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16382	A		名称領域名	めいしょうりょういきめい	title-domain-name	OSI環境内の名称領域を一意に識別する識別子。(備)最も重要な名称領域は、それぞれの層である。この場合、名称領域は、<N>層を識別する。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16383	A		ローカル名称	ろーかるめいしょう	local-title	名称領域内で一意である名称。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16384	A		グローバル名称	ぐろーばるめいしょう	global-title	OSI環境内で一意であり、名称領域名とローカル名称の二つの部分から成る名称。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16385	A		<N>アドレス又は<N>サービスアクセス点アドレス	<N>あどれすまたは<N>さーびすあくせすてんあど	(N)-address, (N)-service-access-point-address	<N>サービスアクセス点の場所を識別する識別子。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16386	A		<N>ディレクトリ	<N>でぃれくとり	(N)-directory	<N>エンティティのグローバル名称を、<N>エンティティが結び付いている<N-1>サービスアクセス点の<N-1>アドレスに変換する<N>機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16387	A		<N>アドレス写象	<N>あどれすしゃぞう	(N)-address-mapping	一つの<N>エンティティに関連する<N>アドレスと<N-1>アドレスとの間の写象を提供する<N>機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16388	A		経路選択	けいろせんたく	routing	<N+1>エンティティの名称又は<N+1>エンティティが結び付いている<N>サービスアクセス点アドレスを解釈し、そこへ到達する経路を求める<N>層内の機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16389	A		<N>コネクション端点識別子	<N>こねくしょんたんてんしきべつし	(N)-connection-endpoint-identifier	<N>コネクション端点の識別子であって、<N>サービスアクセス点において、対応する<N>コネクションを識別するために使用できるもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16390	A		<N>コネクション端点添字	<N>こねくしょんたんてんそえじ	(N)-connection-endpoint-suffix	<N>コネクション端点識別子の一部分であって、<N>サービスアクセス点内で一意にある添字。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16391	A		<N>コネクション多端点識別子	<N>こねくしょんたたんてんしきべつし	(N)-multi-connection-endpoint-identifier	<N>多端点コネクション上で転送するデータを受け取るべき<N>コネクション端点を指定する識別子。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16392	A		<N>サービスコネクション識別子	<N>さーびすこねくしょんしきべつし	(N)-service-connection-identifier	<N>コネクションの識別子であって、複数の接続関係にある<N+1>エンティティの間で一意のもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16393	A		<N>プロトコルコネクション識別子	<N>ぷろとこるこねくしょんしきべつし	(N)-protocol-connection-identifier	<N>コネクションの識別子であって、複数の<N>コネクションを多重化した<N-1>コネクションの間で一意のもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16394	A		<N>添字	<N>そえじ	(N)-suffix	<N>サービスアクセス点内で一意である<N>アドレスの一部分。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16395	A		<N>プロトコル制御情報	<N>ぷろとこるせいぎょじょうほう	(N)-protocol-control-information	<N-1>コネクションを使用し協同動作を行うために<N>エンティティ間で交換する情報。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16396	A		<N>利用者データ	<N>りようしゃでーた	(N)-user-data	<N+1>エンティティに対してサービスを提供する<N>エンティティが、これらの<N+1>エンティティのために<N>エンティティ間で転送するデータ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16397	A		<N>プロトコルデータ単位	<N>ぷろとこるでーたたんい	(N)-protocol-data-unit	<N>プロトコル中で指定するデータの単位であり、<N>プロトコル制御情報、又は<N>プロトコル制御情報と<N>利用者データから成る。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16398	A		<N>インタフェース制御情報	<N>いんたふぇーすせいぎょじょうほう	(N)-interface-control-information	<N+1>エンティティと<N>エンティティとの間で協同動作を行うために引き渡す情報。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16399	A		<N>インタフェースデータ	<N>いんたふぇーすでーた	(N)-interface-data	<N>コネクション上の接続関係にある<N+1>エンティティに向けて伝送を行うために、<N+1>エンティティから<N>エンティティに引き渡す情報、又は逆に、接続関係にある<N+1>エンティティから<N>コネクション上で受信した後、<N>エンティティから<N+1>エン	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16400	A		<N>インタフェースデータ単位	<N>いんたふぇーすでーたたんい	(N)-interface-data-unit	<N+1>エンティティと<N>エンティティとの間でサービスアクセス点を通して1回の相互動作で引き渡す情報の単位。各々の<N>インタフェースデータ単位は、<N>インタフェース制御情報を含み、かつ<N>サービスデータ単位の全部又は一部を含むこともできる。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16401	A		<N>サービスデータ単位	<N>さーびすでーたたんい	(N)-service-data-unit	<N>コネクションの一方の終端から他の終端に転送されてもその同一性を保持する、ひとかたまりの<N>インタフェースデータ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16402	A		優先<N>サービスデータ単位又は<N>優先データ単位	ゆうせん<N>さーびすでーたたんいまたは<N>ゆうせんでーたたんい	expedited (N)-service-data-unit, (N)-expedited-data-unit	優先して転送する、短い<N>サービスデータ単位。<N>層は、優先データ単位が、同じ<N>コネクション上で送信される後続のサービスデータ単位又は優先データ単位よりも後に届けられることがないようにする。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16403	A		<N>プロトコル識別子	<N>ぷろとこるしきべつし	(N)-protocol-identifier	ある<N-1>コネクション上で使用すべき<N>プロトコルを選択するために、接続関係にある<N>エンティティ間で使用する識別子。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16404	A		集中型<N>多端点コネクション	しゅうちゅうがた<N>たたんてんこねくしょん	centralized(N)-multi-endpoint-connection	<N>多端点コネクションであって、中央の<N>コネクション端点に結び付けられた<N+1>エンティティが送信するデータは、他のすべての<N+1>エンティティが受信するが、他の<N+1>エンティティが送信するデータは、中央の<N+1>エンティティだけが受信するもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16405	A		非集中型<N>多端点コネクション	ひしゅうちゅうがた<N>たたんてんこねくしょん	decentralized (N)-multi-endpoint-connection	<N>多端点コネクションであって、任意の<N>コネクション端点に結び付けられた<N+1>エンティティが送るデータを他のすべての<N+1>エンティティが受信するもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16406	A		多重化	たじゅうか	multiplexing	複数の<N>コネクションを支援するために、一つの<N-1>コネクションを使用する<N>層内の機能。(備)多重化という用語は、狭い意味では、送信側のエンティティによって行われる機能を指すために使用し、その反対に、受信側のエンティティによって行われる機能を指すためには、逆多重化という用語を使用する。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16407	A		逆多重化	ぎゃくたじゅうか	demultiplexing	一つの<N-1>コネクション上で受信した<N-1>サービスデータ単位が、複数の<N>コネクションのどの<N>プロトコルデータ単位に相当するかを識別する<N>エンティティの機能。<N-1>サービスデータ単位を送信する<N>エンティティによって行われる多重機能の逆の	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16408	A		分流	ぶんりゅう	splitting	一つの<N>コネクションを支援するために、複数の<N-1>コネクションを使用する<N>層の機能。(備)分流という用語は、狭い意味では、送信側のエンティティによって行われる機能を指すために使用し、その反対に、受信側のエンティティによって行われる機能を指すためには、合流という用語を使用する。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16409	A		合流	ごうりゅう	recombining	<N>エンティティの機能であって、複数の<N-1>コネクション上で受信した<N-1>サービスデータ単位を一つの<N>コネクションに対する<N>プロトコルデータ単位としてまとめて取り扱う機能。<N-1>サービスデータ単位を送信する<N>エンティティが実行する分流機能	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16410	A		フロー制御	ふろーせいぎょ	flow control	層内又は隣接する層間のデータの流量を制御する機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16411	A		分割	ぶんかつ	segmenting	一つの<N>サービスデータ単位を複数の<N>プロトコルデータ単位に写象するために、送信側<N>エンティティが実行する機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16412	A		組立て	くみたて	reassembling	複数の<N>プロトコルデータ単位を一つの<N>サービスデータ単位に写象するために、受信側<N>エンティティが実行する機能。分割の逆の機能である。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16413	A		結合	けつごう	blocking	複数の<N>サービスデータ単位を一つの<N>プロトコルデータ単位に写象するために、送信側<N>エンティティが実行する機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16414	A		分解	ぶんかい	deblocking	一つの<N>プロトコルデータ単位に含まれる複数の<N>サービスデータ単位を識別するために、受信側<N>エンティティが実行する機能。結合の逆の機能である。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16415	A		連結	れんけつ	concatenation	複数の<N>プロトコルデータ単位を一つの<N-1>サービスデータ単位に写象するために、送信側<N>エンティティが実行する機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16416	A		分離	ぶんり	separation	一つの<N-1>サービスデータ単位に含まれる複数の<N>プロトコルデータ単位を識別するために、受信側<N>エンティティが実行する機能。連結の逆の機能である。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16417	A		順序制御	じゅんじょせいぎょ	sequencing	<N+1>層から<N>層に引き渡された<N>サービスデータ単位の順序を保証するために、<N>層が実行する機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16418	A		受信通知	じゅしんつうち	acknowledgement	受信側の<N>エンティティが送信側の<N>エンティティに<N>プロトコルデータ単位の受信を知らせるための<N>層の機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16419	A		リセット	りせっと	reset	接続関係にある<N>エンティティをあらかじめ定義された状態に設定する機能。リセットの結果、データの紛失又は重複が発生する可能性がある。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16420	A		応用管理	おうようかんり	application-management	OSI応用プロセスの管理に関係して応用層(6.1参照)に置かれる機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16421	A		応用管理応用エンティティ	おうようかんりおうようえんていてい	application-management-application-entity	応用管理機能を実行する応用エンティティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16422	A		OSI資源	OSIしげん	OSI resources	データ処理とデータ通信のための資源であって、OSIに関係するもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16423	A		システム管理	しすてむかんり	systems—management	OSIアーキテクチャの全層にまたがる種々のOSI資源及びその状態の管理に関係して応用層に置かれる機能。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16424	A		システム管理応用エンティティ	しすてむかんりおうようえんていてい	systems—management—application—entity	システム管理機能を実行する応用エンティティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16425	A		層管理	そうかんり	layer-management	<N>層の管理に関係する機能であり、その一部(活性化、誤り制御などの動作)は、<N>層の<N>プロトコルに従って<N>層で実行し、一部は、システム管理の部分集合として実	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16426	A		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity	応用プロセスのOSIに関係する側面。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16427	A		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application-service-element	応用エンティティの一部であり、必要な場合には下位サービスを利用して、一つのOSI環境能力を提供するもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16428	A		利用者要素	りようしゃようそ	user-element	応用エンティティの一部であり、応要プロセスの通信目的を達成するために応用サービス要素を利用する応用プロセスの部分を表したもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16429	A		具象構文	ぐしょうこうぶん	concrete syntax	特定の表現を具体的に表す規則であって、データを形式的に規定するときに使用される。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16430	A		転送構文	てんそうこうぶん	transfer syntax	開放型システム間でデータを転送するときに用いられる具象構文。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16431	A		カランティンサービス	からんてぃんさーびす	quarantine service	セションサービスのファシリティであって、一つのセションコネクション上で送られた複数個のセッションサービスデータ単位を留め置き、送信側プレゼンテーションエンティティが明示的に解除するまで、受信側のプレゼンテーションに渡さないファシリティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16432	A		相互動作管理	そうごどうさかんり	interaction management	セションサービスのファシリティであって、一つの制御機能に着目したとき、接続関係にあるプレゼンテーションエンティティのどちらかがそれを実行する順番であるかを明示的に制御するためのファシリティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16433	A		両方向同時相互動作	りょうほうこうどうじそうごどうさ	two-way-simultaneous interaction	両方のプレゼンテーションエンティティが同時に送信及び受信することができる相互動作のモード。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1
16434	A		両方向交互相互動作	りょうほうこうこうごそうごどうさ	two-way- alternate interaction	送信の順番になっているプレゼンテーションエンティティが送信し、相手側は受信だけが許される相互動作のモード。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1:1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16435	A		片方向相互動作	かたほうこうそうごどうさ	one-way interaction	送信の順番を変えることができない両方向交互相互動作の形態。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1 :1994	JTC1
16436	A		セションコネクション同期	せしょんこねくしょんどうき	session-connection synchronization	セションサービスのファシリティであって、プレゼンテーションエンティティ間で、同期点を定義・識別し、また、セションコネクションをあらかじめ定められた状態にリセットし、更に、一つの再同期点について合意するためのファシリティ。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1 :1994	JTC1
16437	A		サブネットワーク	さぶねっとわーく	subnetwork	中継機能を提供する一つ又は複数の中間の開放型システムの集合。終端の開放型システムは、中間の開放型システムを用いてネットワークコネクションを確立することができる。(備)サブネットワークは、公衆網、私設網、ローカルエリアネットワークなどの現実のネットワークを表現するためのOSI参照モデルでの用語である。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1 :1994	JTC1
16438	A		サブネットワークコネクション	さぶねっとわーくこねくしょん	subnetwork-connection	一つのサブネックワークを貫く通信路であり、ネットワーク層のエンティティが、ネットワークコネクションを提供するために使用する。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1 :1994	JTC1
16439	A		データ回路	でーたかいろ	data—circuit	二つの物理エンティティ間を結ぶOSIの物理媒体中の通信路と、その上でビットを伝送するために物理層で必要なファシリティから成るもの。	JIS X 5003	1987	ISO 7498 & Add	1984				7498-1 :1994	JTC1
16440	A		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control	許可されていない資源の使用を防止すること。許可されていない方法での資源の使用を防止することもこれに含む。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16441	A		アクセス制御一覧	あくせすせいぎょいちらん	access control list	ある資源に対するアクセスが認められるエンティティ及びそのアクセス権の一覧。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16442	A		責任追跡	せきにんついせき	accountability	あるエンティティの動作が、そのエンティティに対して一意に追跡できることを保証する特	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16443	A		能動的脅威	のうどうてききょうい	active threat	システムの状態に対し、許可されていない変更が意図的に加えられる脅威。(備)安全保護に関連する能動的脅威の例としては、次のものがある。すなわち、メッセージの改変、メッセージの再使用、偽のメッセージの挿入、許可されたエンティティとしての偽装及び	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16444	A		監査	かんさ	audit	安全保護監査(3.3.47)参照。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16445	A		監査証跡	かんさしょうせき	audit trail	安全保護監査証跡(3.3.48)参照。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16446	A		認証	にんしょう	authentication	データ発信元認証(5.2.1.2)及び同位エンティティ認証(5.2.1.1)参照。(備)この規格では、データの完全性に関して"認証"という用語は使用しない。"データ完全性"という用語を	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16447	A		認証情報	にんしょうじょうほう	authentication information	提示された識別情報の正当性を確立するために使用する情報。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16448	A		認証交換	にんしょうこうかん	authentication exchange	情報交換によってエンティティの識別情報を保証するための機構。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16449	A		許可	きょか	authorization	アクセス権に基づくアクセスの許可。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16450	A		使用可能性	しようかのうせい	availability	許可されたエンティティから要求があったときに、アクセス及び使用が可能な特性。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16451	A		資格	しかく	capability	そのトークンの所有権をもっていれば資源に対するアクセス権が与えられる、資源の識別子として使用されるトークン。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16452	A		通信路	つうしんろ	channel	情報を伝送する経路。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16453	A		暗号文	あんごうぶん	ciphertext	暗号化を利用して作成されたデータ。作成されたデータの意味内容は隠されている。(備)暗号文を、再び暗号化機構に入力して、多重暗号化出力を生成することがある。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16454	A		平文	ひらぶん	cleartext	意味内容が隠されていないデータ。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16455	A		機密性	きみつせい	confidentiality	情報が、許可されていない個人、エンティティ又はプロセスに利用可能になったり、開示されたりすることのない特性。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16456	A		証明書	しょうめいしょ	credentials	提示されたエンティティの識別情報を保証するために転送されるデータ。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16457	A		暗号解読	あんごうかいどく	cryptanalysis	暗号システム及び/又はその入出力情報を解析して、機密の変数及び/又は平文を含む目的のデータを導出すること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16458	A		暗号検査値	あんごうけんさち	cryptographic checkvalue	データ単位に対する暗号変換〔暗号技術(3.3.20)参照〕を実行することによって導出される情報。(備)暗号検査値の導出は、一つ以上のステップで行われる。導出された値は、かぎ(鍵)とデータ単位の数学的関数の演算結果である。通常は、データ単位の完全性を検査するために使用する。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16459	A		暗号技術	あんごうぎじゅつ	cryptography	情報内容を隠べいすること、気付かれないうちに情報が改変されるのを防止すること、及び/又は情報が許可されていない方法で使用されるのを防止することを目的とした、データの変換の原理、手段及び方法を体系化した法則。(備)暗号技術は、暗号化及び復号の際に使用する方法を決定するものである。暗号化の原理、手段又は方法に対して加え	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16460	A		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity	データが許可されていない方法で改変又は破壊されていない特性。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16461	A		データ発信元認証	でーたはっしんもとにん	data origin authentication	受信したデータの発信元が提示されたとおりである確認。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16462	A		復号	ふくごう	decipherment	対応する可逆な暗号化の逆変換。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16463	A		サービスの妨害	さーびすのぼうがい	denial of service	資源に対する許可されたアクセスを妨害すること、又は時間的に余裕のない操作を遅延すること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16464	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	受信側でデータ単位の発信元及び完全性を保証し、受信側などの偽造から保護するためにデータ単位に付加されるデータ又はデータ単位の暗号変換〔暗号技術(3.3.20)参	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16465	A		暗号化	あんごうか	encipherment	暗号文を作成するためのデータの暗号変換〔暗号技術(3.3.20)参照〕。(備)暗号化は非可逆のことがあり、その場合には暗号化に対応する復号の処理が実行できない。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16466	A		終端間暗号化	しゅうたんかんあんごうか	end-to-end encipherment	発信元終端システムにおけるデータの暗号化と、これに対応してあて先終端システムにおいてだけ発生する復号を併せたもの〔リンク暗号化(3.3.34)参照〕。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16467	A		識別情報に基づく安全保護方針	しきべつじょうほうにもとづくあんぜんほごほうしん	identity-based security policy	安全保護方針の一つは、次の3項の一部又は全部に基づく。これを識別情報に基づく安全保護方針と略称する。(1)識別情報(2)利用者、利用者グループ又は利用者に代わって動作するエンティティの属性(3)アクセスされる資源又は対象。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16468	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号化及び復号の操作を制御する記号の列。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16469	A		かぎ管理	かぎかんり	key management	安全保護方針に基づくかぎの生成、記憶、配送、削除、保管及び応用。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16470	A		リンク暗号化	りんくあんごうか	link-by-link encipherment	通信システムの各リンク上のデータに個別に暗号化を適用すること(3.3.29参照)。(備)リンク暗号化は、データが中継エンティティで平文形式となることを意味する。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16471	A		改ざん検出	かいざんけんしゅつ	manipulation detection	偶然又は故意を問わず、データ単位が改変されているかどうかを検出するために使用する機構。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16472	A		偽装	ぎそう	masquerade	あるエンティティが別のエンティティであるかのように見せ掛けること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16473	A		公証	こうしょう	notarization	内容、発信元、時刻及びあて先といった特性の正確さを、後で確認できるようにするために信頼できる第三者にデータを登録すること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16474	A		受動的脅威	じゅどうてききょうい	passive threat	システムの状態を変えないで許可なく情報を取得される脅威。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16475	A		パスワード	ぱすわーど	password	機密の認証情報。通常は一連の文字列から成る。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16476	A		同位エンティティ認証	どういえんていていにん	peer-entity authentication	関連する同位エンティティが提示されたとおりであることの確認。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16477	A		物理的安全保護	ぶつりてきあんぜんほご	physical security	故意及び偶然の脅威から資源を物理的に保護するために施す措置。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16478	A		プライバシ	ぷらいばし	privacy	各個人に関係のあるどのような情報を収集及び記憶されるか、並びにだれがだれにその情報を開示するかを制御又は支配する各個人の権利。(備)この用語は、個人の権利に関係するため、あまり正確な定義を与えることはできない。安全保護の必要性を動機付ける場合を除いて、その使用を避けることが望ましい。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16479	A		否認	ひにん	repudiation	ある通信に関連するエンティティの一つが、その通信の全部又は一部に関与していることを否認すること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16480	A		経路制御	けいろせいぎょ	routing control	経路選択の過程で、特定のネットワーク、リンク又は中継を、選択又は回避するように、規則を適用すること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16481	A		運用規則に基づく安全保護方針	うんようきそくにもとづくあんぜんほごほうしん	rule-based security policy	すべての利用者を対象とした規則に基づく安全保護方針。これらの規則は、通常、アクセスしようとする資源の重要性と、利用者、利用者グループ又は利用者に代わる役割を果たすエンティティがもっている属性及び状況とを比較して決められる。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16482	A		安全保護監査	あんぜんほごかんさ	security audit	システム制御の妥当性に関する試験を行うために、システムの記録及び動作について独自の検討及び検査を行うこと。こうした検討及び検査の目的は、確立された方針及び操作手順に従っているかどうかの確認、安全保護に関する違反の検出、並びに制御、方針及び手順に関する変更事項の勧告とする。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16483	A		安全保護監査証跡	あんぜんほごかんさしょうせき	security audit trail	安全保護監査を容易にするために収集され、使用される可能性のあるデータ。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16484	A		安全保護ラベル	あんぜんほごらべる	security label	自己の安全保護属性を指名又は指定する資源(データ単位)に付ける指標。(備)指標付けは、明示的に行われる場合も暗黙的に行われる場合もある。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16485	A		安全保護方針	あんぜんほごほうしん	security policy	安全保護サービスを提供するための基準[識別情報に基づく安全保護方針(3.3.30)及び運用規則に基づく安全保護方針(3.3.46)参照]。(備)安全保護方針の全体は、OSIの適用範囲外にある数多くの事柄を必然的に含む。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16486	A		安全保護サービス	あんぜんほござーびす	security service	通信している開放型システムの層によって提供され、システム又はデータ転送のための十分な安全保護を確保するサービス。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16487	A		選択フィールド保護	せんたくふぃーるどほご	selective field protection	送信しようとするメッセージの中で個々のフィールドを保護すること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16488	A		感受性	かんじゅせい	sensitivity	ある資源について、その価値又は重要性を決定付ける特性で、ぜい(脆)弱性もこれに含めてよい。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16489	A		脅威	きょうい	threat	安全保護が侵犯される可能性。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16490	A		トラフィック解析	とらふぃっくかいせき	traffic analysis	トラフィックフロー(通信の有無、量、方向及び頻度)の観測によって情報を推論すること。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16491	A		トラフィックフロー機密性	とらふぃっくふろーきみつせい	traffic flow confidentiality	トラフィック解析からデータを守るための機密性サービス。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16492	A		トラフィックパディング	とらふぃっくぱでぃんぐ	traffic padding	偽の通信インスタンスの生成、偽のデータ単位の生成、及び/又はデータ単位内における偽のデータの生成。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16493	A		信頼できる機能	しんらいできるきのう	trusted functionality	例えば、安全保護方針によって設定されるような、幾つかの基準に基づいて正しとみなされる機能。	JIS X 5004	1991	ISO 7498-2	1989				1989	JTC1
16494	A		<N>アドレス	<N>あどれす	(N)-address	同じ開放型システムに属する<N>サブシステムと<N+1>サブシステムとの境界に位置する<N>サービスアクセス点の集合を識別するのに用いるOSI環境(OSIE)において一意の名前。(備)1.<N>アドレスについてのこの定義はJIS X 5003のものと異なる。この規格で定義するものが最新のものであって、JIS X 5003の改正のときにはこの定義に置き換えられる予定である。2.ある名前がある与えられた範囲内において、特定の唯一のオブジェクトを識別できるとき、その名前は一意であるという。名前の一意性は、同義名の存在を禁	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16495	A		<N>アドレス選択子、<N>選択子	<N>あどれすせんたくし、<N>せんたくし	(N)-address-selector, (N)-selector	同じ<N>サブシステムに属するすべての<N>サービスアクセス点の集合を識別するアドレス指定情報の一つの要素。<N>選択子の値は、その局所的な管理主体が定める。(備)<N>アドレス選択子の概念は、トランスポート層以上の層だけに適用する。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16496	A		<N>アソシエーション	<N>あそしえーしょん	(N)-association	<N>エンティティインボケーション間の協同関係。(備)<N>アソシエーションは、<N>プロトコル制御情報の交換によって確立されてもよい。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16497	A		発呼側<N>アドレス	はっこがわ<N>あどれす	calling-(N)-address	<N>サービス要求プリミティブ又は<N>サービス指示プリミティブ内のパラメタの一つであって、<N>起動側における<N>アドレスを識別するもの。(備)層によってはそのサービス定義の中で、"発呼側<N>アドレス"又は"送信元<N>アドレス"と呼ぶ場合があるが、この規格では、"発呼側<N>アドレス"という用語を用いる。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16498	A		着呼側<N>アドレス	ちゃっこがわ<N>あどれす	called-(N)-address	<N>サービス要求プリミティブ又は<N>サービス指示プリミティブ内のパラメタの一つであって、<N>受信側における<N>アドレスを識別するもの。(備)層によってはそのサービス定義の中で、"着呼側<N>アドレス"又は"あて先<N>アドレス"と呼ぶ場合があるが、この規格では、"着呼側<N>アドレス"という用語を用いる。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16499	A		記述名	きじゅつめい	descriptive name	一つ以上のオブジェクトからなる集合を識別するとき、その集合の特性を表すために付与した名前。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16500	A		<N>ディレクトリ機能	<N>でぃれくとりきのう	(N)-directory-function	<N>アドレス、<N-1>アドレス、<N>エンティティ名称、及び<N>プロトコルアドレス指定情報から、これらの情報種別間の対応付けを行う<N>機能。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16501	A		<N>エンティティ	<N>えんてぃてぃ	(N)-entity	特定の<N>エンティティ型に対応する<N>層に対して定義された能力の集合を具体化する<N>サブシステム内の能動的な要素(具体化のときに余分な能力は付け加えない。)。(備)この定義はJIS X 5003に規定する<N>エンティティと異なる。この規格で定義するものが最新のものであって、JIS X 5003の改正のときにはこの定義に置き換えられる予定	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16502	A		<N>エンティティインボケーション	<N>えんてぃてぃいんぼけーしょん	(N)-entity-invocation	ある与えられた<N>エンティティの一部又はすべての能力の特定の使用(他の余分な能力は、用いない。)。(備)この定義は、JIS X 5003の改正のときにはこの定義に置き換えられる予定である。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16503	A		<N>エンティティ名称	<N>えんてぃてぃめいしょう	(N)-entity-title	一つの<N>エンティティを一意に識別するための名前。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16504	A		<N>エンティティ型	<N>えんてぃてぃがた	(N)-entity-type	<N>層で定義された能力の集合によって、<N>エンティティのクラスを表したもの。(備)この定義は、JIS X 5003の改正のときにはこの定義に置き換えられる予定である。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16505	A		統括名	とうかつめい	generic name	オブジェクトの集合の名前。(備)統括名のある特定の形式が総称名称である。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16506	A		<N>起動側	<N>きどうがわ	(N)-initiator	<N-1>サービス要求プリミティブを発行する<N>エンティティインボケーション。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16507	A		名前	なまえ	name	対象としている領域において、あるオブジェクトに対応する言語上の構築物。(備)名前を付与することを命名という。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16508	A		命名機関	めいめいきかん	naming-authority	定められた規則に従って名前を割り当てる登録機関。命名機関が名称の割当てを行う場合、名称付与機関と呼び、アドレスの割当てを行う場合、アドレス付与機関と呼ぶ。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16509	A		命名領域	めいめいりょういき	naming-domain	ある特定の型をもつオブジェクトに割り当てることができる名前の集合。名前が名称である場合には、この集合を名称領域と呼び、名前がアドレスである場合には、この集合をアドレス領域と呼ぶ。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16510	A		命名副領域	めいめいふくりょういき	naming-subdomain	一つの命名領域から、互いに他のいずれとも重ならないようにとられた命名領域の部分	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16511	A		基本名	きほんめい	primitive name	指定された命名機関によって与えられ、一つのオブジェクトを識別する名前。この名前の内部構造は、利用者が知る必要もなく、意味ももたない。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16512	A		<N>受信側	<N>じゅしんがわ	(N)-recipient	<N-1>サービス指示プリミティブを受ける<N>エンティティインボケーション。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16513	A		<N>プロトコルアドレス指定情報、<N>PAI	<N>ぷろとこるあどれすしていじょうほう、<N>PAI	(N)-protocol-addressing-information, (N)-PAI	<N>プロトコル制御情報の一要素。内容としてアドレス指定情報を含む。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16514	A		応答側<N>アドレス	おうとうがわ<N>あどれす	responding-(N)-address	<N>サービス応答プリミティブ又は<N>サービス確認プリミティブのパラメタの一つ。<N>受信側における<N>アドレスを識別するもの。(備)層によってはそのサービス定義の中で、このパラメタを“着呼側<N>アドレス”又は“応答側アドレス”と呼ぶ場合があるが、この規格では“応答側<N>アドレス”という用語を用いる。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16515	A		<N>サービスアクセス点アドレス、<N>SAPアドレス	<N>さーびすあくせすてんあどれす、<N>SAPあどれす	(N)-service-access-point-address, (N)-SAP-address	一つの<N>SAPを識別するために用いる<N>アドレス。(備)1.この定義は、JIS X 5003で規定する<N>サービスアクセス点アドレスと異なる。この規格で定義するものが最新であって、JIS X 5003の改正のときにはこの定義に置き換えられる予定である。2.<N>アドレスは、すべての<N>SAPの集合にも適用する一般的な用語であるが、ただ一つの<N>SAPからなる集合にも使用できる。<N>SAPアドレスは、そのアドレスがただ一つの<N>SAPを識別することを一意に指定する必要がある場合にだけ使用する。<N>アドレスが<N>SAPアドレスであるかどうかは、<N>サブシステム内部の問題であり、他の開放型システムには分からない。しかし、層によっては後続の通信を可能にするため、発呼側<N>アドレス及び応答側<N>アドレスが一つの<N>SAPを識別するように制限することがある(8.4.4及び8.5.5参照)。この制限を適用するかどうかは、層ごと及びプロトコルごとに決	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16516	A		サブネットワークアドレス	さぶねっとわーくあどれす	subnetwork-address	サブネットワークの登録機関によって、サブネットワーク接続点に与えられる識別子。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16517	A		同義名	どうぎめい	synonymous name,synonym	一つのオブジェクトがある名前で識別されている場合に、そのオブジェクトを識別する別の名前。同義統括名は、同じオブジェクト群を指す別の統括名とする。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16518	A		システム名称	しすてむめいしょう	system-title	OSI環境において、一つの実開放型システムを識別するのに用いられる唯一の名前。	JIS X 5005	1990	ISO 7498-3	1989				1997	JTC1
16519	A		システム管理応用エンティティ	しすてむかんりおうようえんていてい	Systems management application-entity	システム管理の通信のための応用エンティティ。	JIS X 5006	1991	ISO/IEC 7498-4	1989				1989	JTC1
16520	A		OSI管理	OSIかんり	OSI Management	OSI環境において通信を可能にする資源を制御、調整及び監視するためのファシリティ。	JIS X 5006	1991	ISO/IEC 7498-4	1989				1989	JTC1
16521	A		(N)層操作	(N)そうそうさ	(N)-layer operation	通信の単一インスタンスの監視及び制御。	JIS X 5006	1991	ISO/IEC 7498-4	1989				1989	JTC1
16522	A		管理対象	かんりたいしょう	Managed object	OSI管理プロトコルの使用を通して管理されるOSI環境内の資源のOSI管理の側面。	JIS X 5006	1991	ISO/IEC 7498-4	1989				1989	JTC1
16523	A		管理情報ベース	かんりじょうほうべーす	Management Information Base	開放型システム内の管理情報の概念的な格納庫。	JIS X 5006	1991	ISO/IEC 7498-4	1989				1989	JTC1
16524	A		国内登録機関	こくないとうろくきかん		日本工業標準調査会(以下、JISCという。)、又はJISCから登録にかかわる業務を移管された機関(1)。(注)(1)日本における国内登録機関は、JISCから財団法人日本情報処理開発協会に移管されている。	JIS X 5007	1990	ISO 3166 ISO 8824 ISO 9834		MOD		3166 8824-1 9834-1	2006 2002 2005	TC46 SC6 SC6
16525	A		国内支援機関	こくないしえんきかん		申請者からの申請の受付及び国内登録機関への転送、並びに国内登録機関からの結果の受信及び申請者への結果の通知を国内登録機関に代わって行う機関。	JIS X 5007	1990	ISO 3166 ISO 8824 ISO 9834		MOD		3166 8824-1 9834-1	2006 2002 2005	TC46 SC6 SC6
16526	A		国内標準	こくないひょうじゅん		日本国内で共通に使用できるOSI関連の標準的な情報オブジェクト(国際規格で規定されているものを除く。)。	JIS X 5007	1990	ISO 3166 ISO 8824 ISO 9834		MOD		3166 8824-1 9834-1	2006 2002 2005	TC46 SC6 SC6
16527	A		組織	そしき		法規[商業登記法及び民法(法人登記規則及び特殊法人登記令)]による法人、及び同一の目的をもつ法人又は個人の集まりである団体。なお、国の機関、地方公共団体なども含む。	JIS X 5007	1990	ISO 3166 ISO 8824 ISO 9834		MOD		3166 8824-1 9834-1	2006 2002 2005	TC46 SC6 SC6
16528	A		登録	とうろく		情報オブジェクトのインスタンスに値を割り当てること。	JIS X 5007	1990	ISO 3166 ISO 8824 ISO 9834		MOD		3166 8824-1 9834-1	2006 2002 2005	TC46 SC6 SC6
16529	B		試験対象	しけんたいしょう	IUT: implementation under test	試験で検証する実開放型システムの対象。隣接する利用者/提供者の関係にある一つ又は複数のOSI*プロトコルの実装からなる。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16530	B		試験対象システム	しけんたいしょうしすてむ	SUT: system under test	IUTを含む実開放型システム。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16531	B		動的適合性要件	どうてきてきごうせいようけん	dynamic conformance requirements	通信を行う場合に関連するOSI*規格*で許容される観測可能な振舞いのすべての要件(任意選択を含む。)。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16532	B		静的適合性要件	せいてきてきごうせいようけん	static conformance requirements	実装している機能要件を定義することによって相互動作を容易にするための、OSI*規格*で規定された制約。(備)静的適合性要件は、大きくは、例えば機能単位及び任意選択をプロトコルクラスに分類分けするなどであり、細かくは、提供される特定のパラメタ又はタイマの数値の範囲などである。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16533	B		IUTの機能	IUTのきのう	capabilities of an IUT	IUTが提供するプロトコルの機能及び任意選択の集合。場合によっては、サービス定義の機能及び任意選択の集合。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16534	B		プロトコル実装適合性宣言	ぷろとこるじっそうてきごうせいせんげん	PICS: protocol implementation conformance statement	OSI*実装又はシステムの供給者が記述した宣言。与えられたOSI*プロトコルの実装した機能及び任意選択を宣言する。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16535	B		PICS様式	PICSようしき	PICS proforma	プロトコル規定者又は適合性試験項目群規定者によって作成される質問書形式の記述書。OSIの実装又はシステムに関し記入するとプロトコル実装適合性宣言(PICS)となる。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16536	B		試験用プロトコル実装補助情報	しけんようぷろとこるじっそうほじょじょうほう	PIXIT: protocol implementation extra information for testing	IUT及びその試験環境に関する(PICSの記述内容のほかに追加される)すべての情報を含むか又は参照するIUTの供給者又は実装者が記述する情報。これによって試験機関は、IUTに対して適切な試験項目群を実行可能となる。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16537	B		PIXIT様式	PIXITようしき	PIXIT proforma	試験機関によって用意される質問書形式の記述書。試験の準備の段階で記入が完了するとPIXITになる。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16538	B		適合する実装	てきごうするじっそう	conforming implementation	PICSに記述されている機能範囲どおりに、静的適合性要件及び動的適合性要件を満た	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16539	B		システム適合性宣言	しすてむてきごうせいせんげん	system conformance statement	実装しているOSI*規格*及びそれに対する適合性の要約を記述した宣言書。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16540	B		(試験機関の)利用者	(しけんきかんの)りようしゃ	client (of a test	適合性試験を受けるシステム又は実装の供給者。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			
16541	B		試験機関	しけんきかん	test laboratory	適合性試験の実施者。これは第三者、利用者組織、主管機関*又はこのようなサービスを提供する組織の特定部門であってもよい。	JIS X 5020	1991					廃1997/3			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16542	B		静的適合性審査	せいてきてきごうせいしんさ	static conformance review	静的適合性要件がIUTによってどの程度満たされているかの審査。対応する規格*のPICSに記された静的適合性要件と、機能試験の結果を比較して行う。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16543	B		基本相互接続試験	きほんそうごせつぞくしけん	basic interconnection tests	対応するプロトコルに対する十分な適合性があるかどうかを判定し、IUTの相互接続の可能性をみるために、範囲を限定して実施する試験。本格的な試験は実施しない。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16544	B		機能試験	きのうしけん	capability tests	IUTの機能を判定する試験。(備)IUTが実装しているとPICSに記されたすべての必須(須)機能と任意選択機能の試験を含むが、PICSに実装しないと記された任意選択機能の試験は行わない。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16545	B		振舞い試験	ふるまいしけん	behaviour tests	動的適合性要件がIUTによってどの程度満たされているかを調べる試験	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16546	B		適合性解決試験	てきごうせいかいけつしけん	conformance resolution tests	限られた数の特定の要件に実装が適合するかどうかを詳しく調べる試験。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16547	B		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance testing	IUTがどの程度適合性のある実装であるかを調べる試験。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16548	B		適合性評価過程	てきごうせいひょうかかてい	conformance assessment process	評価の対象となる一つ以上のOSI*規格*に対し、実装又はシステムがどの程度適合するかを評価するために必要なすべての適合性試験を実施する全過程。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16549	B		試験実所過程	しけんじっしかてい	test campaign	特定のIUTのためにパラメタ化された実行可能な試験項目群を実行し、適合性ログを作り出す過程。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16550	B		複数層試験	ふくすうそうしけん	multi-layer testing	複数層IUTに対して、層ごとではなく全体をまとめて実施する振舞い試験。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16551	B		単層埋込み試験	たんそううめこみしけん	embedded testing	複数層IUT内の単一層に対する試験であり、IUT内の該当の層の層境界にアクセスせず実施する振舞い試験。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16552	B		(抽象的)試験法	(ちゅうしょうてき)しけんほう	(abstract) test method	IUTをどのように試験するのかの記述であり、試験装置の固有の実現方法に依存しない程度の、しかし、試験法が規定できる程度には詳細な抽象化された記述。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16553	B		抽象的試験方法論	ちゅうしょうてきしけんほうほうろん	abstract testing methodology	抽象的試験法を記述し分類する方法論。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16554	B		抽象的試験項目	ちゅうしょうてきしけんこうもく	abstract test case	特定の試験目的(又は複数の試験目的の特定の組合せ)を達成するために必要な動作の完全で独立した仕様であり、特定の抽象的試験方法の抽象化の水準によって定義される。この項目は、安定状態(すなわち、“アイドル”状態とか“データ転送”状態などのように簡単に到達できて、維持できる状態)での開始及び終了を含み、導入部及び終端部を含んでよい。単一又は複数の逐次的又は同時的なコネクションを伴ってもよい。(備)1.試験仕様は、それぞれの結果(すなわち一連の試験事象)に対し、明確に判定を与えることができるように記述されなければならない。2.試験仕様は、それから導かれた実行可能試験項目を他の同様な試験項目と切り離して実行できるという意味で独立であることが望ましい(すなわち永久的なコネクションを除き、常に、“アイドル”状態で開始し、終了できるようになっていなければならない。)。試験項目によっては、その試験項目の実施のためにIUTのある幾つかの機能を実施する必要があり、以前に実施した試験項目の結	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16555	B		実行可能試験項目	じっこうかのうしけんこうもく	executable test case	抽象的試験項目を具体化した試験項目。(備)この規格は、用語“試験”を一般的な普通の意味で使う。しかし、ときには抽象的試験項目又は実行可能な試験項目の略称として使うこともある。その使い方は、文脈によって決まる。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16556	B		試験目的	しけんもくてき	test purpose	試験目標を厳密に定義した文章的な記述。単一の適合性要件に焦点を当てたもの(例えば、特定パラメタの特定値の実装の検証、又は特定パラメタの特定値の組合せについて実装を検証することなど)。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16557	B		試験群目標	しけんぐんもくひょう	test group objective	特定の試験群内の試験目的が達成できるように作られた共通目標の文章的な記述。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16558	B		はん(汎)用的試験項目	はんようてきしけんこうもく	generic test case	特定の試験目的を達成するために必要な動作仕様であって、試験体及び試験体に与えられる初期状態によって定義される項目。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16559	B		(試験)導入部	(しけん)どうにゅうぶ	(test) preamble	試験項目の始めの安定状態から試験体が動作を開始する状態に至るまでの経路を定義するために必要な試験段階。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16560	B		試験体	しけんたい	test body	試験目的を達成し、結果を判定するために必要な一連の試験段階。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16561	B		(試験)終端部	(しけん)しゅうたんぶ	(test) postamble	試験項目において試験体の動作終了から終わりの安定状態に至るまでの経路を定義するために必要な一連の試験段階。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16562	B		試験段階	しけんだんかい	test step	試験項目を分割し、名前を付けたもので、試験事象及び/又は他の試験段階からなるもの。抽象的試験項目をモジュール化するために使う。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16563	B		試験事象	しけんじしょう	test event	仕様の抽象化において、これ以上分割できない試験仕様の最小単位(例えば、一つのPDUの送信又は受信)。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16564	B		(適合性)試験項目群	(てきごうせい)しけんこうもくぐん	(conformance) test suite	一つ以上のOSI*プロトコルに対する適合性試験を行うために必要な、すべての試験項目の完全な集合体。試験項目は、階層化された試験群を構成することもある。(備)試験項目群は、機能試験及び振舞い試験の両方を含むのが望ましい。それは、抽象的試験項目群、はん用的試験項目群又は実行可能試験項目群のいずれかとする。特に指定がない部分は、“抽象的試験項目群”を意味する。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16565	B		試験項目	しけんこうもく	test case	はん用的、抽象的又は実行可能な試験の項目。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16566	B		試験群	しけんぐん	test group	関係する試験項目の組合せであって、名前が付けられたもの。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16567	B		はん用的試験項目群	はんようてきしけんこうもくぐん	generic test suite	はん用的な試験項目からなる試験項目群。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16568	B		抽象的試験項目群	ちゅうしょうてきしけんこうもくぐん	abstract test suite	抽象的な試験項目からなる試験項目群。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16569	B		実行可能試験項目群	じっこうかのうしけんこうもくぐん	executable test suite	実行可能な試験項目からなる試験項目群。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16570	B		選択された抽象的試験項目群	せんたくされたちゅうしょうてきしけんこうもくぐん	selected abstract test suite	PICSに基づいて選択された抽象的試験項目群の部分集合。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16571	B		選択された実行可能試験項目群	せんたくされたじっこうかのうしけんこうもくぐん	selected executable test suite	PICSに基づいて選択された実行可能試験項目群の部分集合。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16572	B		パラメタ化された抽象的試験項目	ぱらめたかされたちゅうしょうてきしけんこうもく	parameterized abstract test case	PICS及びPIXITに応じ、パラメタに適切な値を与えた抽象的試験項目。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16573	B		パラメタ化された実行可能試験項目	ぱらめたかされたじっこうかのうしけんこうもく	parameterized executable test case	適切なパラメタにPICS及びPIXITに応じた値を与えた実行可能試験項目。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16574	B		パラメタ化された抽象的試験項目群	ぱらめたかされたちゅうしょうてきしけんこうもくぐ	parameterized abstract test suite	パラメタにPICS及びPIXITに応じた適切な値を与えて選択された抽象的試験項目群。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16575	B		パラメタ化された実行可能試験項目群	ぱらめたかされたじっこうかのうしけんこうもくぐん	parameterized executable test suite	パラメタにPICS及びPIXITに応じた適切な値を与えて選択された実行可能試験項目群。パラメタ化された抽象的試験項目群に対応する。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16576	B		(結果の)再現性	(けっかの)さいげんせい	repeatability (of results)	ある試験項目について、同一のIUTで繰り返し実行したときに同一の結果となる性質。広義には試験項目群についてもいう。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16577	B		(結果の)比較可能性	(けっかの)ひかくかのうせい	comparability (of results)	適合性評価過程について、同一のIUTを異なる試験環境で実行しても、大枠として、それが同一の結果となる性質。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16578	B		試験結果	しけんけっか	test outcome	データ及び/又はパラメタ値を伴った一組の試験事象であって、抽象的試験項目の規定者によって識別されるもの、実行中に観測されるもの、又はその両者。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16579	B		予見試験結果	よけんしけんけっか	foreseen test outcome	抽象的試験項目の仕様によって、規定又は分類してある試験結果。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16580	B		予見外試験結果	よけんがいしけんけっか	unforeseen test outcome	抽象的試験項目の仕様によって、規定又は分類していない試験結果。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16581	B		(試験)判定	(しけん)はんてい	(test) verdict	IUTに対して、抽象的試験項目群に指定されている試験項目を実行したあとのその規格適合性に関する“通過”、“失敗”又は“不確定”の表明。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16582	B		システム適合性試験報告書	しすてむてきごうせいしけんほうこくしょ	SCTR: system conformance test report	適合性評価過程の最後に書かれる報告書であって、適合性試験を実施したプロトコルの集合に対するシステムの適合性について全体的な概要を記述するもの。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16583	B		プロトコル適合性試験報告書	ぷろとこるてきごうせいしけんほうこくしょ	PCTR: protocol conformance test report	適合性評価過程の最後に書かれる報告書であって、特定のプロトコルに対して行われた試験の詳細を記述するもの。それは使用した実行可能試験項目に対応する抽象的試験項目の識別を含み、またそれぞれの試験項目についての試験目的及びその判定も含	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16584	B		有効試験事象	ゆうこうしけんじしょう	valid test event	プロトコル規格*によって許される試験事象であって、構文的に正しく、かつ、観測された試験結果のコンテキストで許容される範囲内で発生又は到達するもの。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16585	B		構文的に無効な試験事象	こうぶんてきにむこうなしけんじしょう	syntactically invalid test event	プロトコル規格によって構文的に許されない試験事象。(備)“無効な試験事象”という用語は使わないほうがよい。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16586	B		不正タイミングの試験事象	ふせいたいみんぐのしけんじしょう	inopportune test event	観測された試験結果において、構文的には正しくても、プロトコル規格*によって許されていない時点で発生又は到達する。タイミングの悪い試験事象。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16587	B		通過(判定)	つうか(はんてい)	pass (verdict)	試験項目が目的とする適合性要件に対して、観測された試験結果が適合するという証拠を示し、かつ、すべての試験事象が該当する規格*及びPICSに対して有効であるときに与えられる試験の判定。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16588	B		失敗(判定)	しっぱい(はんてい)	fail (verdict)	試験項目が目的とする適合性要件(の少なくとも一つ)に対して観測された試験結果が不適合であることを示すか、又は該当する規格*PICS若しくはその両方に対して、少なくとも一つの構文的に無効な試験事象若しくは不正タイミングの試験事象を含むときに与	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16589	B		不確定(判定)	ふかくてい(はんてい)	inconclusive (verdict)	観測された試験結果が、通過又は失敗のいずれの判定も与えられないときに下される試験の判定。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16590	B		試験項目誤り	しけんこうもくあやまり	test case error	試験項目自身の誤りを発見したときに、抽象的試験項目に対して行う記述。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16591	B		(試験項目の)異常終了	(しけんこうもくの)いじょうしゅうりょう	abnormal (test case) termination	試験項目の実行が実試験手段によって未完のままで終了したときに、抽象的試験項目に対して行う記述。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16592	B		適合性ログ	てきごうせいろぐ	conformance log	試験実施過程の結果として作り出された情報の記録。観測された試験結果を記録し、試験の判定を証明するのに十分なもの。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16593	B		制御観測点	せいぎょかんそくてん	PCO: point of control and observation	抽象的試験法のために定義された点であって、その試験法のための試験項目に規定されたように試験事象を制御し、観測する点。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16594	B		下位試験手段	かいしけんしゅだん	lower tester	選ばれた抽象的試験法によって定義されたように、試験の実行中に、IUTの下側又はIUTから遠隔のいずれかで、適切なPCOにおける制御及び観測を提供する手段。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16595	B		上位試験手段	じょういしけんしゅだん	upper tester	試験の実行中に、IUTの上位サービス境界の制御及び観測を提供する手段。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16596	B		抽象的<N>サービスプリミティブ	ちゅうしょうてき<N>さーびすぷりみていぶ	(N)-ASP, abstract (N)-service-primitive	OSI*サービス定義規格*で定義した<N>サービス境界におけるサービス利用者とサービス提供者との間の相互動作の記述。実装には依存しない。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16597	B		試験協調手続	しけんきょうちょうてつづき	test coordination procedures	上位試験手段と下位試験手段との間の試験中の協調動作の規則。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16598	B		試験管理プロトコル	しけんかんりぷろとこる	test management protocol	特定の試験項目群のための試験協調手続として使われるプロトコル。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16599	B		局所的試験法	きょくしょてきしけんほう	local test methods	PCOがIUTの層の境界に直接置かれる抽象的試験法。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16600	B		外部試験法	がいぶしけんほう	external test method	下位試験手段がSUTとは別にあり、適切な下位層サービス提供者を経由して通信して行う抽象的試験法。(備)サービス提供者は、試験の対象となっている最下位層の(プロトコルの)直下にあり複数のOSI層からなってもよい。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16601	B		分散試験法	ぶんさんしけんほう	distributed test method	IUTの上部の層境界にPCOがある外部試験法の一つ。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16602	B		協調試験法	きょうちょうしけんほう	coordinated test method	規格化された試験管理プロトコルが試験協調手段として定義されており、制御及び観測は、試験管理PDUの制御及び観測を含め、下位試験手段だけで実施することができる外部試験法の一つ。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16603	B		遠隔試験法	えんかくしけんほう	remote test method	IUTの上部のPCO及び規格化された試験管理プロトコルはなく、試験協調手続の要件の幾つかは、抽象的試験項目群の中に非公式に表現され、又は暗示されることがあるが、それらの可能性又は実現については特に規定のない外部試験法の一つ。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16604	B		実試験手段	じつしけんしゅだん	real tester	与えられたある試験法のために適切に実現された下位試験手段。これに上位試験手段又はその定義が加わり、更に試験協調手続の定義が加わることもある。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16605	B		試験実現者	しけんじつげんしゃ	test realizer	試験機関の利用者及びそのIUTから独立した形で、抽象的試験項目群に基づいてIUTを試験する手段を責任をもって提供する組織。	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16606	B		包括的試験サービス	ほうかつてきしけんさーびす	comprehensive testing service	試験機関が利用者に提供するサービス。一つ以上のOSI*プロトコルの適合性評価過程を実施するためのものである。指定されたプロトコルを用いて試験機関のシステムと通信できるすべての実システムに対して適用可能なサービスを行うように、試験法を選択して	JIS X 5020	1991				廃1997/3			
16607	B		平文	ひらぶん	plaintext	暗号化されていない情報。	JIS X 5052	1990	ISO 8372	1987		廃2008/9		1987	SC24
16608	B		暗号文	あんごうぶん	cipher text	暗号化された情報。	JIS X 5052	1990	ISO 8372	1987		廃2008/9		1987	SC24
16609	B		ブロック連鎖	ぶろっくれんさ	block chaining	暗号文の各ブロックが、直前の暗号文のブロックに暗号として依存するような、情報の暗	JIS X 5052	1990	ISO 8372	1987		廃2008/9		1987	SC24
16610	B		初期値	しょきち	initializing value (IV)	暗号化の処理を開始するときに用いる値。	JIS X 5052	1990	ISO 8372	1987		廃2008/9		1987	SC24
16611	B		開始変数(SV)	かいしへんすう(SV)	starting variable (SV)	利用モードを開始するときに、初期値から生成して用いる変数。(備)この規格では、初期値から開始変数を生成する方法については規定しない。その方法は、利用モードのいずれかを適用するときに定めなければならない。	JIS X 5052	1990	ISO 8372	1987		廃2008/9		1987	SC24
16612	B		暗号同期	あんごうどうき	cryptographic synchronization	暗号化と復号の処理の時間関係の一致。	JIS X 5052	1990	ISO 8372	1987		廃2008/9		1987	SC24
16613	A		平文	ひらぶん	plaintext	暗号化していない情報。	JIS X 5053	1998	ISO/IEC 10116	1997				2006	SC27
16614	A		暗号文	あんごうぶん	ciphertext	暗号化した情報	JIS X 5053	1998	ISO/IEC 10116	1997				2006	SC27
16615	A		ビットブロック暗号アルゴリズム	びっとぶろっくあんごうあるごりずむ	n-bit block cipher algorithm	平文ブロック及び暗号文ブロックがnビット長であるブロック暗号アルゴリズム。	JIS X 5053	1998	ISO/IEC 10116	1997				2006	SC27
16616	A		ブロック連鎖	ぶろっくれんさ	block chaining	暗号文の各ブロックが、直前の暗号文のブロックに暗号的に依存するような情報の暗号	JIS X 5053	1998	ISO/IEC 10116	1997				2006	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16617	A		初期値	しょきち	initializing value (IV)	暗号化の処理を開始するときに用いる値。	JIS X 5053	1998	ISO/IEC 10116	1997				2006	SC27
16618	A		開始変数	かいしへんすう	starting variable (SV)	利用モードを開始するときに、初期値から生成して用いる変数。	JIS X 5053	1998	ISO/IEC 10116	1997				2006	SC27
16619	A		暗号同期	あんごうどうき	cryptographic synchronization	暗号化と復号の処理の時間関係の一致。	JIS X 5053	1998	ISO/IEC 10116	1997				2006	SC27
16620	B		メッセージ	めっせーじ	message	限定された長さのビット列。	JIS X 5054	1996	ISO/IEC 9796	1991		廃2000/6		パート移行	SC27
16621	B		署名	しょめい	signature	署名処理の結果のビット列。	JIS X 5054	1996	ISO/IEC 9796	1991		廃2000/6		パート移行	SC27
16622	B		暗号検査値	あんごうけんさち	cryptographic check value	データ単位の暗号変換を実行することによって派生する情報。	JIS X 5055	1996	ISO/IEC 9797	1994		廃→ X 5055-1or2		パート移行	SC27
16623	B		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity	データが許可されていない方法で改変又は破壊されていない特性。	JIS X 5055	1996	ISO/IEC 9797	1994		廃→ X 5055-1or2		パート移行	SC27
16624	B		nビットブロック暗号アルゴリズム	Nびっとぶろっくあんごうあるごりずむ	n-bit block cipher algorithm	平文ブロック及び暗号文ブロックがnビット長である特性をもつブロック暗号アルゴリズム。	JIS X 5055	1996	ISO/IEC 9797	1994		廃→ X 5055-1or2		パート移行	SC27
16625	A		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity	データが許可されていない方法で変更又は破壊されていない特性。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16626	A		ブロック	ぶろっく	block	長さnのビット列。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16627	A		ブロック暗号かぎ	ぶろっくあんごうかぎ	block cipher key	ブロック暗号の動作を制御するかぎ。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16628	A		初期変換	しょきへんかん	initial transformation	MACアルゴリズムの最初に適用される関数。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16629	A		MACアルゴリズムかぎ	MACあるごりずむかぎ	MAC algorithm key	MACアルゴリズムの動作を制御するかぎ。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16630	A		メッセージ認証符号	めっせーじにんしょうふごう	Message Authentication Code (MAC)	MACアルゴリズムの出力となるビット列。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16631	A		メッセージ認証符号(MAC)アルゴリズム	めっせーじにんしょうふごう(MAC)あるごりずむ	Message Authentication Code (MAC) algorithm	次の二つの特性を満たす、ビット列及び秘密かぎを固定長のビット列に写像する関数を計算するアルゴリズム。 － いかなるかぎ及び入力ビット列に対してもこの関数は効率的に計算できる。 － 任意の固定かぎに対して、たとえ複数の入力ビット列と対応する関数値との対を知っていても、かぎに関する予備知識なしに、新たな入力ビット列に対する関数値を計算することは計算量的に困難でなければならない。ここで、i番目の入力ビット列は、i-1番目までの対を入手したあとに選ばれることも許される。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16632	A		出力変換	しゅつりょくへんかん	output transformation	メッセージ認証符号アルゴリズムの最後で、切出し処理の前に用いる関数。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16633	A		暗号文	あんごうぶん	ciphertext	情報内容を隠すために変換されたデータ。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16634	A		復号	ふくごう	decipherment	対応する暗号化の逆変数。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16635	A		暗号化	あんごうか	encipherment	暗号文を生成する暗号アルゴリズムによるデータの(可逆な)変換。これによって、データの情報内容を隠すことができる。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16636	A		かぎ	かぎ	key	暗号変換の動作を制御する記号の列(暗号変換とは、例えば、暗号化、復号、暗号検査関数の計算、署名の生成、署名の検証など)。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16637	A		平文	ひらぶん	plaintext	暗号化していない情報。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16638	A		n-ビットブロック暗号	n-びっとぶろっくあんごう	n-bit block cipher	平文ブロック及び暗号文ブロックnビット長であるブロック暗号。	JIS X 5055-1	2003	ISO/IEC 9797-1	1999				1999	SC27
16639	A		MACアルゴリズムかぎ	MACあるごりずむかぎ	MAC algorithm key	MACアルゴリズムの動作を制御するかぎ。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16640	A		メッセージ認証符号	めっせーじにんしょうふごう	Message Authentication Code (MAC)	MACアルゴリズムの出力となるビット列。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16641	A		メッセージ認証符号(MAC)アルゴリズム	めっせーじにんしょうふごう(MAC)あるごりずむ	Message Authentication Code (MAC) algorithm	次の二つの特性を満たす、ビット列及び秘密かぎを固定長のビット列に写像する関数を計算するアルゴリズム。 － いかなるかぎ及び入力ビット列に対してもこの関数は効率的に計算できる。 － 任意の固定かぎに対して、たとえ複数の入力ビット列と対応する関数値との対を知っていても、かぎに関する予備知識なしに、新たな入力ビット列に対する関数値を計算することは計算量的に困難でなければならない。ここで、i番目の入力ビット列は、i-1番目までの対を入手したあとに選ばれることも許される。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16642	A		出力変換	しゅつりょくへんかん	output transformation	メッセージ認証符号アルゴリズムの最後で、切出し処理の前に用いる関数。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16643	A		衝突困難ハッシュ関数	しょうとつこんなんはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function	次の特性を満足するハッシュ関数。 － 同じ出力に写像する二つの異なった入力を見つけることが、計算量的に困難な性質をもつ。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16644	A		データ列	でーたれつ	data string (data)	ハッシュ関数への入力であるビット列。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16645	A		ハッシュ符号	はっしゅふごう	hash-code	ハッシュ関数の出力であるビット列。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16646	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function	次の二つの特性を満足して、ビット列を固定長ビット列へ写像する関数。 － 与えられた出力に対して、この出力へ写像する入力を見つけることが計算量的に困難である。 － 与えられた入力に対して、同じ出力へ写像する二つ目の入力を見つけることが計算量的に困難である。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16647	A		初期値	しょきち	initializing value	ハッシュ関数の処理を開始するときに用いる値。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16648	A		パディング	ぱでぃんぐ	padding	データ列へ余分ビットを付加すること。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16649	A		ブロック	ぶろっく	block	長さL_1のビット列。ここでL_1は、ラウンド関数の第1入力の長さを指す。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16650	A		ラウンド関数	らうんどかんすう	round-function	長さがL_1及びL_2の二つのビット列を長さL_2のビット列に変換する関数$\phi(.,.)$	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16651	A		ワード	わーど	word	長さ32ビットのビット列。	JIS X 5055-2	2003	ISO/IEC 9797-2	2002				2002	SC27
16652	B		証明書	しょうめいしょ	credentials		JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16653	B		かぎ(鍵)	かぎ	key		JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16654	B		署名	しょめい	signature		JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16655	B		利用者証明証	りようしゃしょうめいしょ	user certificate, certificate		JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16656	B		認証起動者	にんしょうきどうしゃ	authentication intiator	認証交換を起動するエンティティ。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16657	B		認証応答者	にんしょうおうとうしゃ	authentication responder	認証交換の起動側に対して応答するエンティティ。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16658	B		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier	認証処理の中で、エンティティを明確に区別する情報。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16659	B		エンティティ認証	えんてぃてぃにんしょう	entity authentication	エンティティが、主張されたエンティティであることを確認すること。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16660	B		時間的に変化するパラメタ	じかんてきにへんかするぱらめた	time variant parameter	メッセージが再使用されたものでないことを検証するために、エンティティによって使用されるデータ項目。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16661	B		トークン(交換認証情報)	とーくん(こうかんにんしょうじょうほう)	token (exchange AI)	認証交換中に伝達される交換認証情報。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16662	B		要求者	ようきゅうしゃ	claimant	認証の目的で、本人自身又は本人の振りをしているエンティティで、そのエンティティのために認証交換を行う必要な機能をもつ者。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16663	B		交換認証情報	こうかんにんしょうじょうほう	exchange authentication information (exchange AI)	本人の認証の処理中に、要求者と検証者の間で交換される情報。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16664	B		本人	ほんにん	principal	その識別情報が認証できるエンティティ。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16665	B		第三者認定機関	だいさんしゃにんていきかん	trusted third party	セキュリティ関連の活動に関して、他のエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者。この規格では、信頼できる第三者は、認証の目的のために、要求者及び/又は検証者によって信頼される。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16666	B		検証認証情報(検証AI)	けんしょうにんしょうじょうほう(けんしょうAI)	verification authentication information(verification AI)	交換認証情報を通じて要求された識別情報を検証するために、検証者によって使用される情報。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16667	B		検証者	けんしょうしゃ	verifier	認証されるべき識別情報を要求するエンティティ又は当該エンティティになりすますエンティティ。検証者は、認証交換に従事するための必要な機能を有する。	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16668	B		暗号検査値	あんごうけんさち	cryptographic check value	データ単位に暗号変換を実行することによって得られた情報。[ISO 7498-2]	JIS X 5056	1996				2002/8	ISO/IEC 9798-1-6	1997からパート制	SC27
16669	A		暗号検査値	あんごうけんさち	cryptographic check value	データ単位に暗号変換を施すことによって得られる情報。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16670	A		なりすまし	なりすまし	masquerade	あるエンティティが異なるエンティティの振りをすること。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16671	A		ディジタル署名、署名	でぃじたるしょめい、しょめい	digital signature, signature	データ単位に付加されるされるデータ、又はデータ単位に暗号変換を施したデータ。これによって、受信者に対してデータ単位の発信元及び完全性を保証し、かつ(例えば受信者による)データの偽装を防止する。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16672	A		要求者	ようきゅうしゃ	claimant	認証の目的で、本人自身又は本人の振りをしているエンティティ。その本人として認証交換を行うのに必要な機能をもつ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16673	A		本人	ほんにん	principal	その識別情報が認証できるエンティティ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16674	A		信頼できる第三者機関	しんらいできるだいさんしゃきかん	trusted third party	セキュリティ関連の活動に関して、他のエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者。この規格では、信頼できる第三者は、認証の目的のために、要求者又は検証者並びにその両者によって信頼される。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16675	A		検証者	けんしょうしゃ	verifier	認証されるべき識別情報を要求するエンティティ又は当該エンティティになりすますエンティティ。検証者は、認証交換に従事するための必要な機能を有する。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16676	A		非対称暗号技術	ひたいしょうあんごうぎじゅつ	asymmetric cryptographic technique	(公開かぎによって定まる)公開変換及び(プライベートかぎによってさだまる)プライベート変換の二つの関連した変換を使用する暗号技術。この二つの変換は、公開変換が与えられても、そこからプライベート変換を導き出すことが計算量的に困難という特性があ	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16677	A		非対称暗号システム	ひたいしょうあんごうしすてむ	asymmetric encipherment system	非対称暗号技術に基づくシステム。公開変換が暗号化に使用され、プライベート変換が復号に使用される。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16678	A		非対称かぎの一対	ひたいしょうかぎのいっつい	asymmetric key pair	相互関係のあるかぎの一対。プライベートかぎがプライベート変換を定め、公開かぎが公開変換を定める。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16679	A		非対称署名システム	ひたいしょうしょめいしすてむ	asymmetric signature system	非対称暗号技術に基づくシステム。プライベート変換が署名に使用され、公開変換が検証に使用される。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16680	A		チャレンジ	ちゃれんじ	challenge	検証者によって無作為に選ばれ、要求者に送付されるデータ項目。要求者は、それと自身のもつ秘密の情報とを使用し、検証者に送るレスポンスを生成する。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16681	A		暗号文	あんごうぶん	ciphertext	情報内容を隠すために変換されたデータ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16682	A		暗号検査関数	あんごうけんさかんすう	cryptographic check function	秘密かぎ及び任意のデータ列を入力として、暗号検査値を出力とする暗号変換。秘密かぎを知らずに正しい暗号検査値を計算することは、困難でなければならない。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16683	A		復号	ふくごう	decipherment	対応する暗号化の逆変換。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16684	A		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier	エンティティを明確に見分ける情報。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16685	A		暗号化	あんごうか	encipherment	暗号文を生成する暗号アルゴリズムによるデータの(可逆な)変換。これによって、データの情報内容を隠すことが出来る。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16686	A		エンティティ認証	えんてぃてぃにんしょう	entity authentication	エンティティが本人であることを確認すること。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16687	A		差込攻撃、インタリーブ攻撃	さしこみこうげき、いんたりーぶこうげき	interleaving attack	過去又は進行中の認証交換から得られる情報を利用するなりすまし。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16688	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号変換の動作を制御する一連の記号(暗号変換には、暗号化、復号、暗号検査関数による計算、署名の生成、署名の検証などがある。)。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16689	A		相互認証	そうごにんしょう	mutual authentication	両エンティティに対して、互いに相手の身元を確保するエンティティ認証。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16690	A		平文	ひらぶん、へいぶん	plaintext	暗号化していない情報。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16691	A		プライベート復号かぎ(鍵)	ぷらいべーとふくごうかぎ	private decipherment key	プライベート復号変換を定めるプライベートかぎ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16692	A		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、そのエンティティだけが使用するかぎ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16693	A		プライベート署名かぎ(鍵)	ぷらいべーとしょめいかぎ	private signature key	プライベート署名変換を定めるプライベートかぎ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16694	A		公開暗号化かぎ(鍵)	こうかいあんごうかかぎ	public encipherment key	公開暗号化変換を定める公開かぎ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16695	A		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、公開されるかぎ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16696	A		公開かぎ(鍵)証明書、証明書	こうかいかぎしょうめいしょ、しょうめいしょ	public key certificate, certificate	あるエンティティの公開かぎの情報で、証明機関によって署名され、それによって偽造できないようにしたもの(附属書C参照)。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16697	A		公開かぎ(鍵)情報	こうかいかぎじょうほう	public key information	単一のエンティティに特有の情報。少なくともそのエンティティの区別識別子及び一つの公開かぎを含む。その他に、証明機関の情報、そのエンティティの情報及び公開かぎに関する情報を含んでもよい。例えば、公開かぎの有効期間、その公開かぎに関係するプライベートかぎの有効期間、使用されるアルゴリズムの識別子などがある(附属書C参	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16698	A		公開検証かぎ(鍵)	こうかいけんしょうかぎ	public verification key	公開認証変換を定める公開かぎ。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16699	A		乱数	らんすう	random number	時間的に変化するパラメタであって、その値が推測できないもの(附属書B参照)。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16700	A		反射攻撃	はんしゃこうげき	reflection attack	過去に送信されたメッセージをその発信者に送り返す手法を用いるなりすまし攻撃。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16701	A		再使用攻撃	さいしようこうげき	replay attack	過去に送信されたメッセージを用いるなりすまし攻撃。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16702	A		シーケンス数	しーけんすすう	sequence number	時間的に変化するパラメタで、一定時間内では繰り返さない特定のシーケンスから採取されたもの(附属書B参照)。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16703	A		対称暗号技術	たいしょうあんごうぎじゅつ	symmetric cryptographic technique	発信者及び受信者の双方の変換において、同じ秘密かぎを用いる暗号技術。秘密かぎを知らずに、発信者又は受信者の変換を算出することは、計算量的に困難である。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16704	A		対称暗号アルゴリズム	たいしょうあんごうあるごりずむ	symmetric encipherment algorithm	発信者及び受信者の双方の変換において、同じ秘密かぎを用いる暗号アルゴリズム。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16705	A		タイムスタンプ	たいぶすたんぷ	time stamp	共通の参照時刻に関して、時間軸上の一点を示す、時間的に変化するパラメタ(附属書B参照)。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16706	A		時間的に変化するパラメタ	じかんてきにへんかするぱらめた	time variant parameter	メッセージが再使用されたものでないことを検証するために使用されるデータで、例えば、乱数、シーケンス数又はタイムスタンプである(付属書B参照)。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16707	A		トークン	とーくん	token	特定の通信に関するデータフィールドからなるメッセージ。暗号技術を用いて変換された情報を含む。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16708	A		片方向認証	かたほうこうにんしょう	unilateral authentication	一方のエンティティに他方のエンティティの識別情報を保証するが、逆には保証しないエンティティ認証。	JIS X 5056-1	2002	ISO/IEC 9798-1	1997				1997	SC27
16709	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function	次の2つの特性を満足して、ビット列を固定長ビット列へ写像する関数。 - 与えられた出力に対して、この出力へ写像される入力を見つけることが、計算量的に困難なこと。 - 与えられた入力に対して、同じ出力へ写像される二つ目の入力を見つけることが、計算量的に困難なこと。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16710	A		認定機関	にんていきかん	accreditation authority	プライベート認定情報を生成する目的において、エンティティのグループの全メンバに信頼されるエンティティ。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16711	A		認定項目数パラメタ	にんていこうもくすうぱらめた	accreditation multiplicity parameter	認定機関によってエンティティに与えられる秘密の認定情報の項目数。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16712	A		交換回数パラメタ	こうかんかいすうぱらめた	exchange multiplicity parameter	1回の認証メカニズムでエンティティ認証メッセージを交換する回数を決定する正の整数。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16713	A		識別データ	しきべつでーた	identification data	エンティティに割り当てられ識別するために使用される、エンティティのための区別識別子を含む一連のデータ項目。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16714	A		プライベート認定べき指数	ぷらいべーとにんていべきしすう	private accreditation exponent	認定機関だけが知っている値で、要求者のプライベート認定情報の生成に使用されるもの。この値は、秘密に保たれなければならない。この値は、公開認定検証べき指数に関	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16715	A		プライベート認定情報	ぷらいべーとにんていじょうほう	private accreditation information	認定機関によって要求者に付与されるプライベート情報であって、要求者がこの情報を知っていることを証明することによって要求者の識別情報を確立するもの。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16716	A		プライベート復号変換	ぷらいべーとふくごうへんかん	private decipherment transformation	非対称暗号システム及び非対称かぎ一対のプライベートかぎによって決定される復号変換。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16717	A		公開認定検証べき指数	こうかいにんていけんしょうべきしすう	public accreditation verification exponent	エンティティのグループの全メンバが同意した値で、法(モジュラス)と共に、プライベート認定べき指数を決定する値。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16718	A		公開暗号化変換	こうかいあんごうかへんかん	public encipherment transformation	非対称暗号システム及び非対称かぎ一対の公開かぎによって決定される暗号化変換。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16719	A		冗長な識別情報	じょうちょうなしきべつじょうほう	redundant identity	JIS X 5054(ISO/IEC 9796)で規定されている技術を用いて、エンティティの識別情報データに冗長を加えることにより得られる一連のデータ項目。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16720	A		レスポンス	れすぽんす	response	要求者から検証者に送られるデータ項目であって、それによって要求者の識別情報を検証者が検証することができるもの。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16721	A		証拠データ	しょうこでーた	witness	要求者の識別情報の証拠を検証者に与えるデータ項目。	JIS X 5056-5	2002	ISO/IEC 9798-5	1999				2004	SC27
16722	B		衝突回避ハッシュ関数	しょうとつかいひはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function	次の特性を満足するハッシュ関数。—同じ出力に写像する2つの異なった入力を見つけることが、計算量的に十分困難である。	JIS X 5057	1996				2003/2	ISO/IEC 10118-1-4	1998からパート制	SC27
16723	B		データ列	でーたれつ	data string (data)	ハッシュ関数への入力であるビット列。	JIS X 5057	1996				2003/2	ISO/IEC 10118-1-4	1998からパート制	SC27
16724	B		ハッシュ符号	はっしゅふごう	hash-code	ハッシュ関数の出力であるビット列。	JIS X 5057	1996				2003/2	ISO/IEC 10118-1-4	1998からパート制	SC27
16725	B		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function	次の2つの特性を満足して、ビット列を固定長ビット列へ写像する関数。	JIS X 5057	1996				2003/2	ISO/IEC 10118-1-4	1998からパート制	SC27
16726	B		初期値	しょきち	initializing value	ハッシュ関数の処理を開始するときに用いる値。	JIS X 5057	1996				2003/2	ISO/IEC 10118-1-4	1998からパート制	SC27
16727	B		パディング	ぱでぃんぐ	padding	データ列へビットを付加すること。	JIS X 5057	1996				2003/2	ISO/IEC 10118-1-4	1998からパート制	SC27
16728	B		nビットブロック暗号アルゴリズム	Nびっとぶろっくあんごうあるごりずむ	n-bit block cipher algorithm	平文ブロック及び暗号文ブロックがnビット長であるブロック暗号アルゴリズム。[ISO/IEC 10116]	JIS X 5057	1996				2003/2	ISO/IEC 10118-1-4	1998からパート制	SC27
16729	A		バイト降順	ばいとこうじゅん	big-endian	多バイト数を格納する方法で、最上位バイトを最小のメモリアドレスに割り当てる方法。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16730	A		衝突困難ハッシュ関数	しょうとつこんなんはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function	次の特性を満足するハッシュ関数。同じ出力に写像する2つの異なった入力を見つけることが、計算量的に困難な性質をもつ。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16731	A		データ列	でーたれつ	data string (data)	ハッシュ関数への入力であるビット列。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16732	A		ハッシュ符号	はっしゅふごう	hash-code	ハッシュ関数の出力であるビット列。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16733	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function	次の2つの特性を満足して、ビット列を固定長ビット列へ写像する関数。 - 与えられた出力に対して、この出力へ写像される入力を見つけることが、計算量的に困難なこと。 - 与えられた入力に対して、同じ出力へ写像される二つ目の入力を見つけることが、計算量的に困難なこと。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16734	A		ハッシュ関数識別子	はっしゅかんすうしきべつ	hash-function identifier	特定のハッシュ関数を識別するバイト。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16735	A		初期値	しょきち	initializing value	ハッシュ関数の処理を開始するときに用いる値。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16736	A		出力変換	しゅつりょくへんかん	output transformation	ハッシュ符号を得るため、繰返し処理の最終出力を変換又は写像すること。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16737	A		パディング	ぱでぃんぐ	padding	データ列へ余分ビットを付加すること。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16738	A		ラウンド関数	らうんどかんすう	round-function	長さがL1及びL2の二つのビット列を長さL2のビット列に変換する関数φ(…)。ラウンド関数は、ハッシュ関数の一部として繰り返し使用される関数で、長さL1のデータ列と長さL2の前回のラウンド関数の出力データ列とから長さL2のデータ列を出力する。	JIS X 5057-1	2003	ISO/IEC 10118-1	2000				2000	SC27
16739	A		nビットブロック暗号	nびっとぶろっくあんごう	n-bit block cipher	平文ブロック及び暗号文ブロックが、nビット長であるブロック暗号。(JIS X 5053参照)。	JIS X 5057-2	2003	ISO/IEC 10118-2	2000				2000	SC27
16740	A		ブロック	ぶろっく	block	長さL1のビット列。ここでL1は、ラウンド関数の第1入力の長さを指す。	JIS X 5057-3	2005	ISO/IEC 10118-3	2001				2004	SC27
16741	A		ハッシュ関数識別子	はっしゅかんすうしきべつ	hash-function identifier	特定のハッシュ関数を識別するバイト。	JIS X 5057-3	2005	ISO/IEC 10118-3	2001				2004	SC27
16742	A		ラウンド関数	らうんどかんすう	round-function	長さがL1及びL2の二つのビット列を長さL2のビット列に変換する関数φ(…)。ラウンド関数は、ハッシュ関数の一部として繰り返し使用される関数で、長さL1のデータ列と長さL2の前回のラウンド関数の出力データ列とから長さL2のデータ列を出力する。	JIS X 5057-3	2005	ISO/IEC 10118-3	2001				2004	SC27
16743	A		ワード	わーど	word	長さ32ビットのビット列。	JIS X 5057-3	2005	ISO/IEC 10118-3	2001				2004	SC27
16744	A		非対称暗号技術	ひたいしょうあんごうぎじゅつ	asymmetric cryptographic technique	公開かぎを使用する変換及びプライベートかぎを使用する変換の二つの関連した変換を使用する暗号技術。この二つの変換は、公開かぎによる変換が与えられても、そこからプライベートかぎによる変換を導き出すことが計算量的に実現が困難という特性がある。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16745	A		証明機関(CA)	しょうめいきかん(CA)	certification authority(CA)	公開かぎ証明証の作成及び割当てを信託されたセンター。オプションとして、証明機関はエンティティに対してかぎを作成し、割り当てることもできる。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16746	A		復号	ふくごう	decipherment	暗号化に対応する逆変換。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16747	A		暗号化	あんごうか	encipherment	暗号文を生成するアルゴリズムによるデータの(可逆な)変換。これによって、データの情報内容を隠すことができる。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16748	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号変換の動作を制御する記号の列(暗号変換とは、例えば、暗号化、復号、暗号検査関数による計算、署名の生成又は署名の検証。)。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16749	A		かぎ(鍵)共有	かぎきょうゆう	key agreement	両エンティティ共にそのかぎの値を前もって決定できないような方法で、エンティティ間で共通の秘密のかぎを確立するプロセス。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16750	A		かぎ(鍵)確認	かぎかくにん	key confirmation	一方の識別されたエンティティが正しいかぎを所有していることを、他方のエンティティが確認すること。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16751	A		かぎ(鍵)制御	かぎせいぎょ	key control	かぎ又はかぎの計算に使用されるパラメタを選択する能力。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16752	A		かぎ(鍵)配送センター(KDC)	かぎはいそうせんたー(KDC)	key distribution centre(KDC)	かぎを生成又は取得して、ほかのエンティティに配送することを信託されたエンティティ。それぞれのエンティティはKDCとかぎを共有する。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16753	A		かぎ(鍵)関連情報	かぎかんれんじょうほう	keying material	暗号かぎに関する種々の関係を確立し、維持するのに必要なデータ。例えば、かぎ、初期値など。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16754	A		かぎ(鍵)管理	かぎかんり	key management	セキュリティ方針に基づくかぎ関連情報の生成。登録、証明、登録解除、配送、導入、格納、保存、取消し、派生及び破壊のサービスの運用・利用。 備考 原国際規格の定義の原文は、次の< >で囲んだ部分が抜けている。 The administration and use of the <sevices of> generation . .	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16755	A		かぎ(鍵)変換センター(KTC)	かぎへんかんせんたー(KTC)	key translation centre(KTC)	エンティティ間のかぎを変換することを信託されたエンティティ。それぞれのエンティティはKTCとかぎを共有する。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16756	A		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、エンティティによってだけ使用されるかぎ。プライベートかぎは、通常開示してはならない。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16757	A		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、公開されるかぎ。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16758	A		公開かぎ(鍵)証明証	こうかいかぎしょうめいしょう	public key certificate	あるエンティティの公開かぎの情報で、証明機関によって署名され、それによって偽造できないようにしたもの。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16759	A		公開かぎ(鍵)情報	こうかいかぎじょうほう	public key information	単一のエンティティに特有の情報で、少なくともそのエンティティの区別識別子及び一つの公開かぎを含む。公開かぎ情報に、その他の情報として、証明機関の情報、そのエンティティの情報及び公開かぎに関する情報を含めてもよい。それらは例えば、公開かぎの有効期間、その公開かぎに関係するプライベートかぎの有効期間、使用されるアルゴ	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16760	A		乱数	らんすう	random number	時間的に変化するパラメタで、その値が推測できないもの。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16761	A		秘密かぎ(鍵)	ひみつかぎ	secret key	対象暗号技術に用いられ、特定のエンティティ間でだけ使用可能なかぎ。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16762	A		シーケンス数	しーけんすすう	sequence number	時間的に変化するパラメタで、その値は特定の順序となっていて、一定時間内に繰り返さないもの。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16763	A		対称暗号技術	たいしょうあんごうぎじゅつ	symmetric cryptographic technique	発信者及び受信者の双方の変換において、同じ秘密かぎを用いる暗号技術。秘密かぎを知らずに、発信者又は受信者の変換を算出することは、計算量的に実現が困難であ	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16764	A		タイムスタンプ	たいむすたんぷ	time stamp	共通の参照時刻に関して、時間軸上の一点を示す、時間的に変化するパラメタ。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16765	A		時間的に変化するパラメタ	じかんてきにへんかするぱらめた	time variant parameter	メッセージが再使用されたものでないことを検証するために使用されるデータで、例えば、乱数、シーケンス数又はタイムスタンプである。	JIS X 5058-1	1998	ISO/IEC 11770-1	1996				1996	SC27
16766	A		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier	エンティティを明確に見分ける情報。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16767	A		エンティティ認証	えんていていにんしょう	entity authentication	エンティティが、主張されたエンティティであることを確認すること。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16768	A		かぎ(鍵)確認	かぎかくにん	key confirmation	一方の識別されたエンティティが、正しいかぎを所有していることを、他方のエンティティが確認すること。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16769	A		かぎ(鍵)制御	かぎせいぎょ	key control	かぎ又はかぎの計算に使用されるパラメタを選択する能力。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16770	A		かぎ(鍵)生成関数	かぎせいせいかんすう	key generating function	少なくとも一つが秘密である幾つかのパラメタを入力として、目的とするアルゴリズム及びアプリケーションに適切なかぎを出力する関数。この関数は、秘密の入力を事前に知らずに出力を推論することが、計算量的に実現が困難な特性を備えなければならない。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16771	A		ポイントツーポイントかぎ(鍵)確立	ぽいんとつーぽいんとかぎかくりつ	point-to-point key establishment	第三者機関の介在なしに、エンティティ間でかぎを直接確立すること。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16772	A		乱数	らんすう	random number	時間的に変化するパラメタで、その値が推測できないもの。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16773	A		冗長	じょうちょう	redundancy	知られていて、検査できる情報。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16774	A		シーケンス数	しーけんすすう	sequence number	時間的に変化するパラメタで、その値は特定の順序となっていて、一定時間内に繰り返さないもの。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16775	A		時間的に変化するパラメタ	じかんてきにへんかするぱらめた	time variant parameter	メッセージが再使用されたものでないことを検証するために使用されるデータで、例えば、乱数、シーケンス数又はタイムスタンプである。	JIS X 5058-2	1998	ISO/IEC 11770-2	1996				2008	SC27
16776	A		非対称暗号技術	ひたいしょうあんごうぎじゅつ	asymmetric cryptographic techniques	公開かぎを使用する変換及びプライベートかぎを使用する変換の二つの関連した変換を使用する暗号技術。この二つの変換は、公開かぎによる変換が与えられても、そこからプライベートかぎによる変換を導き出すことが計算量的に実現が困難という特性がある。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16777	A		非対称暗号システム	ひたいしょうあんごうしすてむ	asymmetric encipherment system	非対称暗号技術に基づくシステムで、公開かぎを使用する変換が暗号化に使用され、プライベートかぎを使用する変換が復号に使用される。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16778	A		非対称かぎの一対	ひたいしょうかぎのいっつい	asymmetric key pair	相互に関係するかぎの一対で、プライベートかぎがプライベートかぎを使用する変換を定義し、公開かぎが公開かぎを使用する変換を定義する。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16779	A		証明機関(CA)	しょうめいきかん(CA)	certification authority(CA)	公開かぎ証明書の作成及び割当てを信託されたセンター。オプションとして、証明機関は、エンティティに対してかぎを作成し、割り当てることもできる。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16780	A		暗号検査関数	あんごうけんさかんすう	cryptographic check function	秘密かぎ及び任意のデータ列を入力として、暗号検査値を出力とする暗号変換。秘密かぎを知らずに正しい暗号検査値を計算することは、実現が困難でなければならない[JIS X 5056-1(セキュリティ技術-エンティティ認証機構-第1部 一般モデル)参照]。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16781	A		暗号検査値	あんごうけんさち	cryptographic check value	データ単位の完全性を検査するための情報で、データ単位に暗号変換を実行することによって得られる値[JIS X 5056-4(セキュリティ技術-エンティティ認証機構-第4部 暗号検	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16782	A		復号	ふくごう	decipherment	暗号化に対応する逆変換(JIS X 5058-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16783	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	データ単位に付加されるデータ又はデータ単位の暗号変換で、受信者に対してデータ単位の発信元及び完全性を保証し、送信者及び受信者に対して第三者による偽造からデータ単位を保護し、送信者に対して受信者による偽造から保護するためのもの。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16784	A		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier	エンティティを一意に見分ける情報(JIS X 5058-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16785	A		暗号化	あんごうか	encipherment	暗号文を生成する暗号アルゴリズムによるデータの(可逆な)変換。これによって、データの情報内容を隠すことができる(JIS X 5058-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16786	A		エンティティ認証	えんていていにんしょう	entity authentication	エンティティが、主張されたエンティティであることを確認すること(JIS X 5056-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16787	A		AからBへのエンティティ認証	AからBへのえんていていにんしょう	entity authentication of A to B	エンティティBに対して、エンティティAの身元を保証すること。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16788	A		AからBへの明白なかぎ認証	AからBへのめいはくなかぎにんしょう	explicit key authentication from A to B	エンティティBに対して、Aが正しいかぎを所有している他の唯一のエンティティであることを保証すること。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16789	A		AからBへの暗黙のかぎ認証	AからBへのあんもくのかぎにんしょう	implicit key authentication from A to B	エンティティBに対して、Aが正しいかぎを所有している唯一のエンティティの可能性があることを保証すること。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16790	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号変換の動作を制御する記号の列(暗号変換とは、例えば、暗号化、復号、暗号検査関数による計算、署名の生成又は署名の検証。)(JIS X 5058-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16791	A		かぎ(鍵)共有	かぎきょうゆう	key agreement	両エンティティ共にそのかぎの値を前もって決定できないような方法で、エンティティ間で共通の秘密のかぎを確立するプロセス。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16792	A		AからBへのかぎ(鍵)確認	AからBへのかぎかくにん	key confirmation from A to B	エンティティBに対して、エンティティAが正しいかぎを所有していることを保証すること。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16793	A		かぎ(鍵)制御	かぎせいぎょ	key control	かぎ又はかぎの計算に使用されるパラメタを選択する能力。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16794	A		かぎ確立	かぎかくりつ	key establishment	一つ以上のエンティティに対して、共通の秘密のかぎを利用可能にするプロセス。かぎ確立は、かぎ共通及びかぎ輸送を含む。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16795	A		かぎトークン	かぎとーくん	key token	かぎ管理機構の中で、一方のエンティティから他方のエンティティに送られるかぎ管理メッセージ。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16796	A		かぎ輸送	かぎゆそう	key transport	適切に保護されて、一方のエンティティから他方のエンティティにかぎを移送するプロセ	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16797	A		相互エンティティ認証	そうごえんていていにん	mutual entity	両エンティティに対して、互いに相手の身元を保証するエンティティ認証。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16798	A		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function	与えられた入力から出力を計算するのは容易だが、与えられた出力から対応する入力を見つけることが計算量的に実現が困難な特性をもつ関数。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16799	A		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、そのエンティティによってだけ使用されるか	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16800	A		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key	あるエンティティの非対称鍵の一対のうち、公開されるかぎ。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16801	A		公開かぎ(鍵)証明書	こうかいかぎしょうめいしょ	public key certificate	あるエンティティの公開かぎの情報で、証明機関によって署名され、それによって偽造できないようにしたもの。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16802	A		公開かぎ(鍵)情報	こうかいかぎじょうほう	public key information	少なくともそのエンティティの区別識別子及び公開かぎを含む情報。公開かぎ情報は、一つのエンティティに関するデータに限られ、そのエンティティの一つの公開かぎに限られる。その他の情報として、証明機関の情報、そのエンティティの情報、公開かぎの情報、かぎの使用の制限、有効期間、使用されるアルゴリズムなどが公開かぎ情報に含まれる	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16803	A		秘密かぎ(鍵)	ひみつかぎ	secret key	特定のエンティティ間で使用される対称暗号技術によるかぎ。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16804	A		シーケンス数	しーけんすすう	sequence number	時間的に変化するパラメタで、その値は特定の順序となっていて、一定時間内に繰り返さないもの(JIS X 5058-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16805	A		署名システム	しょめいしすてむ	signature system	非対称暗号技術に基づくシステムで、プライベートかぎ変換が署名に利用され、公開かぎ交換が検証に利用される、	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16806	A		タイムスタンプ	たいむすたんぷ	time stamp	共通の参照時刻に関して、時間軸上の一点を示すデータ。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16807	A		タイムスタンプ機関	たいむすたんぷきかん	time stamping authority	安全なタイムスタンプが生成される時の時刻を含む証拠を提供することを信託される、信頼できる第三者機関(ISO/IEC 13888-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16808	A		時間的に変化するパラメタ	じかんてきにへんかするぱらめた	time variant parameter	メッセージが再使用されたものでないことを検証するために使用されるデータ。例えば、乱数、シーケンス数又はタイムスタンプがある。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16809	A		信頼できる第三者機関	しんらいできるだいさんしゃきかん	trusted third party	セキュリティ関連の活動に関して、他のエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者(ISO/IEC 10181-1参照)。	JIS X 5058-3	2000	ISO/IEC 11770-3	1999				2008	SC27
16810	A		責任追跡性、説明責任	せきにんついせきせい、せつめいせきにん	accountability	あるエンティティの動作が、そのエンティティに対して一意に追跡できることを保証する特性。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16811	A		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity	データが、許可されていない方法で、変更又は破壊されていない特性。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16812	A		データ発信元の認証	でーたはっしんもとのにんしょう	data origin authentication	受信したデータの発信元が、指示されたとおりである確認。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16813	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signiture	受信側でデータ単位の発信元及び完全性を保証し、受信側などの偽造から保護するためにデータ単位に付加されるデータ又はデータ単位の暗号変換。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16814	A		安全保護法真	あんぜんほごほうしん	security policy	安全保護サービスを提供するための基準。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16815	A		証明機関	しょうめいきかん	certification authority	複数の利用者によって証明証の作成及び割当てを委託されている機関。証明機関は、利用者のかぎを生成することもできる。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16816	A		ハッシュ符号	はっしゅふごう	hash-code	ハッシュ関数の出力であるビット列。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16817	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function	次の二つの特性を満足して、ビット列を固定長ビット列へ写像する関数。 —与えられた出力に対して、この出力へ写像する入力を見つけ出すことが計算量的に実行不可能である。 —与えられた入力に対して、同じ出力へ写像するふっ詰めの入力を見つけることが計算量的に実行不可能である。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16818	A		セキュリティ証明証	せきゅりていしょうめいしょう	security certificate	完全性及びデータの発信元を認証するために使用されるセキュリティ情報と一緒に、セキュリティ機関又は信頼できる第三者機関によって発行されるセキュリティ関連データの	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16819	A		セキュリティトークン	せきゅりていとーくん	security token	セキュリティ機関とは考えられない発信元からの、データ発信元認証及び完全性によって保護されている、セキュリティ関連データのセット。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16820	A		信頼	しんらい	trust	行動のセット及びセキュリティ方針の面から見た要素X及び要素Yの関係で、要素Xが要素Yを信頼するということは、要素Yが与えられたセキュリティ方針に違反しない(行動に関する)規定された方法で振る舞うという確信を要素Xがもつときだけをいう。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16821	A		信頼できる第三者機関	しんらいできるだいさんしゃきかん	trusted third party	セキュリティ関連の活動に関して、ほかのエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16822	A		証拠生成者	しょうこせいせいしゃ	evidence generator	否認防止の証拠を生成するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16823	A		証拠対象者	しょうこたいしょうしゃ	evidence subject	事象又は行動への関与を証拠によって立証されるエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16824	A		証拠利用者	しょうこりようしゃ	evidence user	否認防止の証拠を利用するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16825	A		証拠検証者	しょうこけんしょうしゃ	evidence verifier	否認防止の証拠を検証するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16826	A		否認証サービスの要求者	ひにんしょうさーびすのようきゅうしゃ	non-repudiation service requester	ある特定の事象又は行動のために、否認防止の証拠を生成することを要求するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16827	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号変換の動作を制御する記号の列。(暗号機関とは、例えば、暗号化、復号、暗号検査関数による計算、署名の生成又は署名の検証。)	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16828	A		証明証	しょうめいしょう	certificate	証明機関のプライベートかぎ又は秘密かぎによって偽造できなくしたエンティティのデー	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16829	A		データ格納庫	でーたかくのうこ	data storge	配達のためのデータが差し出され、または配達機関がデータを投入するための情報の保管手段。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16830	A		配達機関	はいたつきかん	delivery authority	データを送信者から受信者へ配達すること、及び要求に応じてデータの差出し及び輸送の証拠を送信者に提供することを、送信者から信託される機関。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16831	A		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier	否認防止のプロセスの中で、エンティティを明確に区別する情報。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16832	A		証拠	しょうこ	evidence	それ自身又は他の情報と共に使用されて、事象または行動について立証するために使用さえる情報。 備考 証拠とは、必ずしも真実又は何かの存在を証明する必要はないが(確証を参照)、立証に貢献するもの。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16833	A		証拠要求者	しょうこようきゅうしゃ	evidence requester	他のエンティティ又は信頼できる第三者機関のいずれかに、証拠を生成するように要求するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16834	A		証拠対象者	しょうこたいしょうしゃ	evidence subject	ある行為又は事象に対して証拠が生成されていて、その行為に責任のあるエンティティ、又はその事象に関係するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16835	A		押印	おういん	imprent	データ列のハッシュ符号又はそのデータ列自身のいずれかのビットの列。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16836	A		メッセージ認証符号(MAC)	めっせーじにんしょうふごう(MAC)	message authentication code	対象暗号技術及び秘密かぎを使用してメッセージから導出されるデータ項目で、秘密かぎを所有しているエンティティによって、メッセージの完全性及び発信元を検査するため	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16837	A		監視者、監視機関	かんししゃ、かんしきかん	monitor, monitoring authority	行動及事象を監視し、監視したことについて証拠を提供することを信託される、信頼できる第三者機関。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16838	A		否認証防止交換	ひにんしょうぼうしこうかん	non-repudiation exchange	否認防止の目的で、否認防止情報(NRI)を1回以上にわたって伝送するシーケンス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16839	A		否認証防止情報(NRI)	ひにんしょうぼうしじょうほう(NRI)	non-repudiation information	証拠が生成され確認されるべき事象又は行動の情報、その証拠自身の情報、及び有効な否認防止方針の情報から構成される情報一式。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16840	A		創作の否認防止	そうさくのひにんぼうし	non-repudiation of creation	メッセージの内容を創作したこと(例えば、メッセージのないように責任があること)を、エンティティが偽って否定するのを防止するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16841	A		配達の否認防止	はいたつのひにんぼうし	non-repudiation of delivery	メッセージを受信してその内容を一見したことを、受信者が偽って否定するのを防止するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16842	A		閲読の否認防止	えつどくのひにんぼうし	non-repudiation of knowledge	受信したメッセージの内容を読んだことを、受信者が偽って否定するのを防止するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16843	A		発信元の否認防止	はっしんもとのひにんぼうし	non-repudiation of origin	メッセージの内容を創作しそれを送信したことを、発信者が偽って否定するのを防止するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16844	A		受信の否認防止	じゅしんのひにんぼうし	non-repudiation of receipt	メッセージを受信したことを、受信者が偽って否定するのを防止するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16845	A		送信の否認防止	そうしんのひにんぼうし	non-repudiation of	メッセージを送信したことを、送信者が偽って否定するのを防止するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16846	A		差出しの否認防止	さしだしのひにんぼうし	non-repudiation of submission	配達機関が発送するためのメッセージを受け付けた証拠を提供するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16847	A		輸送の否認防止	ゆそうのひにんぼうし	non-repudiation of transport	配達機関が意図した受信者にメッセージを配達したことの証拠を、メッセージの発信者に提供するためのサービス。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16848	A		否認防止方針	ひにんぼうしほうしん	non-repudiation policy	否認防止サービスのための基準。より明確には、証拠の生成、証拠の検証及び最低に適用される規則のセット。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16849	A		否認防止トークン	ひにんぼうしとーくん	non-repudiation token	ISO/IEC 10181で既定されるセキュリティトークンの特別な形式で、証拠と必要に応じて追加のデータとから構成される。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16850	A		公証	こうしょう	notarization	行動又は事象に関与したエンティティの特性、および格納又は通信したデータの特性に関して公証者が証拠を提供すること。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16851	A		公証トークン	こうしょうとーくん	notarization token	公証者によって生成される否認防止トークン。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16852	A		公証者、公証機関	こうしょうしゃ、こうしょうきかん	notary, notary authority	関与したエンティティの特性、および格納または通信したデータの特性に関して証拠を提供すること、又は現存のトークンが満期になった後又は取り消されたあとのトークンの生存期間を延長することを信託される信頼できる第三者機関。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16853	A		NRDトークン	NRDとーくん	NRD token	配達の否認防止(NRD)トークン。メッセージに対する配達の否認防止を発信者が設定することを可能にするデータ項目。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16854	A		NROトークン	NROとーくん	NRO token	発信者の否認防止(NRS)トークン。メッセージに対する発信元の否認防止を受信者が設定することを可能にするデータ項目。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16855	A		NRSトークン	NRSとーくん	NRS token	差出の否認防止(NRS)トークン。メッセージに対する発信元の否認防止を発信者が設定することを可能にするデータ項目	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16856	A		NRTトークン	NRTとーくん	NRT token	輸送の否認防止(NRT)トークン。メッセージに対して、発信者又は配達機関のいずれかが輸送の否認防止を設定することを可能にするデータ項目。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16857	A		発信者	はっしんしゃ	originator	受信者へメッセージを送るエンティティ、または否認防止サービスが提供されるようにメッセージを設定できるエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16858	A		プライベートかぎ	ぷらいべーとかぎ	private key	エンティティの1対の非対称かぎのうち、そのエンティティだけが使用できるかぎ。非対称署名システムでは、プライベートかぎと関連するアルゴリズムとで、署名変換をする。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16859	A		確証	かくしょう	proof	実行中の否認防止方針に従って、証拠が有効であることの裏付け。 備考 確証とは、真実又は何かの存在を証明するのに役立つ証拠である。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16860	A		公開かぎ	こうかいかぎ	public key	エンティティの1対の非対称かぎのうち、公開されるかぎ。非対称署名システムでは、公開かぎと関連するアルゴリズムとで、検証変換をする。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16861	A		公開かぎ証明証	こうかいかぎしょうめいしょう	public key certificate	あるエンティティの公開かぎをそのエンティティの区別識別子に、偽造できないように結びつけて、対応するプライベートかぎの有効性を示す、セキュリティ証明証。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16862	A		受信者	じゅしんしゃ	recipient	否認防止サービスが提供されるメッセージを入手する(受信する、又は取り込む)えんティ	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16863	A		冗長	じょうちょう	redundancy	知られていて検査できる情報。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16864	A		秘密かぎ	ひみつかぎ	secret key	対象暗号技術で使用され、特定の一組のエンティティでだけ使用されるかぎ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16865	A		安全な封筒(SENV)	あんぜんなふうとう(SENV)	secure envelope (SENV)	あるエンティティが構築したデータ項目のセットで、それによって、秘密かぎを所有するエンティティのだれもが、完全性及び発信元を検証できる。証拠を生成するために、TTPは、そのTTPだけが知っている秘密かぎで、安全な封筒(SENV)を構築し、検証する。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16866	A		署名者	しょめいしゃ	signer	ディジタル署名を生成するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16867	A		信頼できる第三者機関(TTP)	しんらいできるだいさんしゃきかん(TTP)	trusted third party	セキュリティに関係する行動に関して、ほかのエンティティから信託されるセキュリティ機関、またはその代理者。この規格では、信頼できる第三者機関は、否認防止の目的で発信者、受信者、及び/又は、配達機関によって信託され、さらに他の組織、例えば裁定者	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16868	A		信頼できるタイムスタンプ	しんらいできるたいむすたんぷ	trusted time stamp	信頼できるタイムスタンプ機関によって保証される時刻及び日付情報のデータ項目。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16869	A		信頼できるタイムスタンプ機関	しんらいできるたいむすたんぷきかん	trusted time stamping authority	信頼できるタイムスタンプが生成されるときの自国を含む証拠を提供することを信託される、信頼できる第三者機関。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16870	A		検証かぎ	けんしょうかぎ	verification key	暗号検査値を検証するのに必要な値。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16871	A		検証者	けんしょうしゃ	verifier	証拠を検証するエンティティ。	JIS X 5059-1	1999	ISO/IEC 13888-1	1997				2004	SC27
16872	A		添付データ	てんぷでーた	appendix	署名(Σ)及びオプションのテキスト領域によって形成されるビット列。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16873	A		アサインメント(T)	あさいんめんと(T)	assignment	証拠データ及び、場合によっては、メッセージ(M)の一部から計算されるデータ項目で、署名関数への入力の一部を形成する。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16874	A		衝突困難ハッシュ関数	しょうとつこんなんはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function	次の特性を満足するハッシュ関数。一同じ出力へ写像される二つの異なった入力を見つけることが、計算量的に困難なこと。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16875	A		確定的	かくていてき	deterministic	ランダマイザ(K)とは独立し、ランダム化されていないこと。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16876	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	署名(Σ)参照。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16877	A		ドメインパラメタ	どめいんぱらめた	domain parameter	ドメイン内のすべてのエンティティに対して共通に既知であるか、又は入手可能なデータ	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16878	A		ハッシュ符号	はっしゅふごう	hash-code	ハッシュ関数の出力であるビット列。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16879	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function	次の二つの特性を満足して、ビット列を固定長ビット列へ写像する関数。 —与えられた出力に対して、この出力へ写像される入力を見つけることが、計算量的に困難なこと。 —与えられた入力に対して、同じ出力へ写像される二つ目の入力を見つけることが、計算量的に困難なこと。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16880	A		ハッシュトークン(H)	はっしゅとーくん(H)	hash-token	ハッシュ関数識別子と呼ばれるオプションの制御フィールドとハッシュ符号とを連結したデータ。ハッシュ関数識別子は、ハッシュ関数及びパディング方式を識別するために用い	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16881	A		識別データ	しきべつでーた	identification data	エンティティに割り付けられ識別するために使用される、エンティティのための区別識別子を含む一連のデータ項目。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16882	A		メッセージ(M)	めっせーじ(M)	message	任意の長さのビット列。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16883	A		事前署名(Π)	じぜんしょめい(Π)	pre-signature	署名処理において、ランダマイザ(K)を入力して計算され、メッセージ(M)とは独立した	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16884	A		ランダム化	らんだむか	randomized	ランダマイザ(K)に依存すること。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16885	A		ランダマイザ(K)	らんだまいざ(K)	randomizer	事前署名の生成処理において署名するエンティティによって生成され、ほかのエンティティによって推測できない秘密のデータ項目。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16886	A		署名(Σ)	しょめい(Σ)	signature	署名処理の結果のビット列。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16887	A		署名式	しょめいしき	signature equation	署名関数を定義する式。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16888	A		署名関数	しょめいかんすう	signature function	署名処理の中の関数で、署名かぎ(X)及びドメインパラメタ(Z)によって決まる。署名関数は、アサインメント値(T)及び、場合によってはランダマイザ(K)を入力として、署名の第2部分(S)を出力する。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16889	A		署名かぎ(鍵)(X)	しょめいかぎ(X)	signature key	あるエンティティに特有の秘密のデータ項目で、署名処理においてそのエンティティだけが使用できる。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16890	A		署名処理	しょめいしょり	signature process	メッセージ(M)、署名かぎ(X)、及びドメインパラメタ(Z)を入力として、署名(Σ)を出力する処理。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16891	A		署名されたメッセージ	しょめいされためっせーじ	signed message	署名(Σ)、署名から復元できないメッセージ(M)の部分、及びオプションとして付加されるテキストフィールドから構成されるデータ項目一式。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16892	A		検証関数	けんしょうかんすう	verification function	検証処理において、検証かぎ(Y)によって決まる関数で、再計算した証拠データ(RはH)を出力する。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16893	A		検証かぎ(鍵)(Y)	けんしょうかぎ(Y)	verification key	エンティティの署名かぎ(X)に数学的に関係付けられたデータ項目で、検証処理で検証者が使用する。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16894	A		検証処理	けんしょうしょり	verification process	署名されたメッセージ、検証かぎ(Y)、及びドメインパラメタ(Z)を入力とし、署名検証の結果として有効か無効かを出力する処理。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16895	A		証拠データ(R又はH)	しょうこでーた(RまたはH)	witness	検証者に証拠を与えるデータ項目。	JIS X 5061-1	2001	ISO/IEC 14888-1	1999				2008	SC27
16896	A		ドメインの法(モジュラス)(N)	どめいんのほう(もじゅらす)(N)	domain modulus	ドメインパラメタの一つである正の整数。その整数は、信頼できる第三者機関だけが知っている二つの異なる素数の積からなる。	JIS X 5061-2	2001	ISO/IEC 14888-2	1999				2008	SC27
16897	A		ドメインの検証べき指数(V)	どめいんのけんしょうべきしすう(V)	domain verification exponent	ドメインパラメタの一つである正の整数。	JIS X 5061-2	2001	ISO/IEC 14888-2	1999				2008	SC27
16898	A		かぎ(鍵)生成べき指数(D)	かぎせいせいべきしすう	key generation exponent	信頼できる第三者機関だけが知っている正の整数。	JIS X 5061-2	2001	ISO/IEC 14888-2	1999				2008	SC27
16899	A		公開かぎ(鍵)導出関数(y)	こうかいかぎどうしゅつかんすう(Y)	public key derivation function	ドメインパラメタの一つで、ビット列を正の整数に写像するための関数。	JIS X 5061-2	2001	ISO/IEC 14888-2	1999				2008	SC27
16900	A		信頼できる第三者機関	しんらいできるだいさんしゃきかん	trusted third party	セキュリティに関する活動において、ほかのエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者。	JIS X 5061-2	2001	ISO/IEC 14888-2	1999				2008	SC27
16901	A		証明書管理サービス	しょうめいしょかんりさーびす	certificate management services	登録(registration)、証明(certification)、配送(distribution)、及び失効(revocation)を含む、証明書のライフサイクルの維持のために必要な全サービス。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16902	A		証明サービス	しょうめいさーびす	certification service	CAによって実行される、ISO/IEC 9594-8に規定されている、証明書を創作(creating)及び割当て(assigning)するサービス。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16903	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	データの受信者にデータ発信元(origin)及び完全性(integrity)を保証する(prove)こと、第三者によるデータの偽造(forgery)から発信者及び受信者を保護すること、及び受信者による偽造から発信者を保護することを可能にする、データ単位の暗号変換。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16904	A		直接に信頼できる証明機関	ちょくせつにしんらいできるしょうめいきかん	directly trusted CA	その公開かぎ(鍵)(public key)が、エンドエンティティによって安全で信頼できる方法で取得されて格納させており、そのエンドエンティティが、その公開かぎ(鍵)を一つ以上の業務(applications)の関係から受け入れている証明機関。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16905	A		直接に信頼できる証明機関のかぎ(鍵)	ちょくせつにしんらいできるしょうめいきかんのかぎ	directly trusted CA key	直接に信頼できる証明機関の公開かぎ(鍵)。このかぎ(鍵)は、エンドエンティティによって安全で信頼できる方法で取得され格納される。そのかぎ(鍵)は、他のCAで発行された証明書によって自らを検証されていない証明書を検証する(verify)ことに使われる。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16906	A		ディレクトリサービス	でぃれくとりさーびす	directory service	定義されたオブジェクトの一覧からの情報を検索及び引き出すためのサービス。そのオブジェクトには、証明書、電話番号、アクセス条件、住所などが含まれていてもよい。その一例は、JIS X 5737-1に適合するディレクトリサービスである。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16907	A		かぎ(鍵)配送サービス	かぎはいそうさーびす	key distribution service	かぎ(鍵)配送センター(Key Distribution Center)によって実行される、認定された(authorized)エンティティに対して安全かぎ(鍵)を配送するサービスで、JIS X 5058-1に	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16908	A		創作の否認防止	そうさくのひにんぼうし	non-repudiation of creation	メッセージの内容を創作したこと(メッセージの内容に責任があること)をエンティティが偽って否定することに対する防止。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16909	A		個人セキュリティ環境	こじんせきゅりてぃかんきょう	personal security environment (PSE)	あるエンティティのプライベートかぎ(鍵)(private key)、直接に信頼できる証明機関のかぎ(鍵)、及びその他のデータのためのこともある、安全な格納のためのそれぞれの環境(local storage)。エンティティのセキュリティ方針、又はシステムの要求条件によって、これは、例えば、暗号化して保護されたファイル又は耐タンパー性のあるトークンなどで	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16910	A		パーソナル化サービス	ぱーそなるかさーびす	personalization service	ある個人セキュリティ環境に、暗号化情報[特に秘密かぎ(鍵)]を格納するサービス。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16911	A		公開かぎ(鍵)ディレクトリ	こうかいかぎでぃれくとり	public key directory (PKD)	定義された公開かぎ(鍵)証明書のセット(又はサブセット)を含むディレクトリ。このディレクトリは、異なった証明機関からの証明書も含むことができる。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16912	A		公開かぎ(鍵)基盤	こうかいかぎきばん	public key infrastructure (PKI)	ディジタル署名技術の応用[生成(generation)]及び有効性確認(validation)を含む]を支援するために利用可能なサービスを伴うTTP、及びそのサービスを使う個人又は技術的要素(technical components)とによって構成されるシステム。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16913	A		登録機関	とうろくきかん	registration authority (RA)	次に記述する登録サービスを実行する権限及び信頼を与えられた期間。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16914	A		登録サービス	とうろくさーびす	registration service	エンティティに証明書の安全な割当て(assignment)を可能とする方法で、そのエンティティを識別し、それを登録するサービス。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16915	A		タイムスタンプサービス	たいむすたんぷさーびす	time stamping service	正確なある時刻における電子データの存在を証明する(attest)サービス。	JIS X 5062	2003	ISO/IEC 15945	2002				2002	SC28
16916	A		データ項目の表現	でーたこうもくのひょうげん	data items' representation	暗号ハッシュ値のような、データ項目又はその表現。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16917	A		タイムスタンピング機関、TSA	たいむすたんぴんぐきかん、TSA	time-stamping authority, TSA	タイムスタンピングサービスを提供することを信託された信頼できる第三者機関。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16918	A		タイムスタンピングサービス	たいむすたんぴんぐさーびす	time-stamping service	あるデータ項目が時間軸上のある点より前に存在していた証拠を提供するサービス。備考 データ項目の表現にタイムズタンプを追加し、その結果に署名することが、一つの例で	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16919	A		タイムスタンプ要求者	たいむすたんぷようきゅうしゃ	time-stamp requester	タイムスタンピングされることを求めるデータを所有するエンティティ。 備考 要求者は、また、タイムスタンピング機関を含む信頼できる第三者機関であってもよ	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16920	A		タイムスタンプトークン	たいむすたんぷとーくん	time-stamp token	データ項目の表現と時刻の値との間の、検証可能な暗号化された結合を含むデータ構造。タイムスタンプトークンは、その結合の中に追加のデータ項目を含んでもよい。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16921	A		タイムスタンプ検証者	たいむすたんぷけんしょうしゃ	time-stamp verifier	データを所有し、そのデータに結合された有効なタイムスタンプをもっていることの検証を要求するエンティティ。検証者自身又は信頼できる第三者機関が、検証処理を行ってもよい。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16922	A		エンティティ認証	えんてぃてぃにんしょう	entity authentication	(ISO/IEC 9798-1で定義されたもの)あるエンティティが主張されたエンティティであることを確認すること。参考この定義は、ISO/IEC 97984を要約して作成したJIS X 5056-1の解説に記載している定義に一致している。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16923	A		衝突回避ハッシュ関数	しょうとつかいひはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function	次の特性を満足するハッシュ関数。同一の出力を写像する二つの異なる入力を見付けることが計算量的に実行不可能である。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16924	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function	あるビット列を、次の二つの重要な特性を満足する有限長のビット列に写像する関数。第1の特性は、所定の出力のためにその出力に写像する入力を見付けることが計算量的に実行不可能であること。第2の特性は、所定の出力のために同じ出力に写像する別の入力を見付けることが計算量的に実行不可能であること。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16925	A		ハッシュ値	はっしゅち	hash value	ハッシュ関数の出力であるビット列。参考これらの定義は、ISO/IEC 10118-1を要約して作成したJIS X 5057-1の解説に記載している定義。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16926	A		証明機関	しょうめいきかん	certification authority, CA	公開かぎ証明書の作成及び割当てを信託されたセンタ。任意選択として、証明機関は、エンティティに対してかぎを作成し、割り当てることもできる。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16927	A		プライベートかぎ	ぷらいべーとかぎ	pdvate key	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、そのエンティティによってだけ使用されるか	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16928	A		公開かぎ	こうかいかぎ	public key	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、公開されるかぎ。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16929	A		公開かぎ証明書	こうかいかぎしょうめいしょ	public key certificate	あるエンティティの公開かぎの情報で・証明機関によって署名され、それによって偽造できないようにしたもの。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16930	A		シーケンス数	しーけんすすう	sequence number	時間的に変化するパラメタで、その値は、特定の順序となっていて、一定時間内に繰り返さないもの。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16931	A		タイムスタンプ	たいむすたんぷ	time-stamp	共通の参照時刻に関して、.時間軸上の一点を示す、時間的に変化するパラメタ。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16932	A		時間的に変化するパラメタ	じかんてきにへんかするぱらめた	time-variiant parameter	乱数、.シーケンス数又はタイムスタンプのように、メッセージが再使用攻撃(replay)ではないことを検証するために使用されるデータ。 参考 これらの定義は、ISO/IEC 11770-1を要約して作成したJIS X 5058-1の解説に記載している定義に一致している。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16933	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	データ単位に付加されるデータ又はデータ単位の暗号変換を施したデータ。これによって、受信者に対してデータ単位の発信元及び完全性を保証し、送信者及び受信者に対して第三者による偽造からデータ単位を保護し、送信者に対して受信者による偽造から保	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16934	A		信頼できる第三者機関、TTP	しんらいできるだいさんしゃきかん、TTP	trusted third party, TTP	セキュリティ関連の活動に関して、他のエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者。 参考 これらの定義は、ISO/IEC 11770-3を要約して作成したJIS X 5058-3の解説に記載している定義に一致している。	JIS X 5063-1	2005	ISO/IEC 18014-1	2002				2002	SC27
16935	A		資産	しさん	asset	TOEの対抗策が保護すべき情報又は資源。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16936	A		パラメタ指定	ぱらめたしてい	assignment	コンポーネント内の、識別されたパラメタの仕様。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16937	A		保証	ほしょう	assurance	エンティティがそのセキュリティ対策方針を満たしていることへの信頼の根拠。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16938	A		攻撃能力	こうげきのうりょく	attack potential	攻撃が開始された場合に、攻撃が成功すると認められる可能性を、攻撃者の技能、資源及び動機の点から表現したもの。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16939	A		要件追加	ようけんついか	augmentation	この規格群の第3部に示す一つ以上の保証コンポーネントをEAL又は保証パッケージに追加すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16940	A		認証データ	にんしょうでーた	authentication data	使用者の認証に用いられる情報。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16941	A		正当な使用者	せいとうなしようしゃ	authorised user	TSPの下で使用が許可されている者。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16942	A		クラス	くらす	class	共通の目的をもつファミリのグループ。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16943	A		コンポーネント	こんぽーねんと	component	選択可能なエレメントのセット。PP、ST又はパッケージの中に含まれる。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16944	A		接続性	せつぞくせい	connectivity	TOEと外部のITエンティティとの対話を可能にするTOEの特性。これには、有線手段又は無線手段によって行われるデータ交換が含まれる。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16945	A		依存性	いぞんせい	dependency	ある要件が満たされるためには他のある要件が満たされなければならない、という要件間の関係。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16946	A		エレメント	えれめんと	element	最小単位のセキュリティ要件。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16947	A		評価	ひょうか	evaluation	定義された基準に基づき、PP、ST又はTOEを評価すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16948	A		評価保証レベル、EAL	ひょうかほしょうれべる、EAL	evaluation assurance level, EAL	この規格群の第3部に示す保証コンポーネントからなるパッケージ。CCからあらかじめ定義した尺度によって保証の程度を表す。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16949	A		評価監督機関	ひょうかかんとくきかん	evaluation authority	特定のコミュニティにおいて、評価制度に基づきCCを適用し、標準を定め、評価の品質を監視する機関。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16950	A		評価制度	ひょうかせいど	evaluation scheme	評価監督機関が特定のコミュニティにおいてCCを適用する際の管理及び規制の枠組	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16951	A		要件拡張	ようけんかくちょう	extension	この規格群の第2部に含まれていない機能要件及び/又はこの規格群の第3部に含まれていない保証要件を、ST又はPPに追加すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16952	A		評価対象外の情報技術製品・システム、評価対象外のIT製品・システム	ひょうかたいしょうがいのじょうほうぎじゅつせいひん・しすてむ、ひょうかたいしょうがいのITせいひん・	external IT entity	信頼のいかんに関わらず、TOEの外部にあってTOEと対話する任意のITの製品又はシステム。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16953	A		ファミリ	ふぁみり	family	セキュリティ対策方針を共有するが、対象分野又は保証の程度が異なるコンポーネントのグループ。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16954	A		形式的	けいしきてき	formal	確立した数学上の概念に基づいて、意味が定義された制限付き構文言語で表現されていることを表す形容詞。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16955	A		人間の使用者	にんげんのしようしゃ	human user	TOEと対話する人。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16956	A		識別情報	しきべつじょうほう	identity	正当な使用者を一意に識別する表現(例えば、文字列)。その使用者の名称若しくは略称又は俗称であってもよい。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16957	A		非形式的	ひけいしきてき	informal	自然言語で表現されていることを表す形容詞。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16958	A		内部通信チャネル	ないぶつうしんちゃねる	internal communication channel	TOE内部の別々の部分間の通信チャネル。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16959	A		評価対象内転送、TOE内転送	ひょうかたいしょうないてんそう、TOEないてんそう	internal TOE transfer	TOE内部の別々の部分間でデータを通信すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16960	A		セキュリティ機能間転送	せきゅりていきのうかんてんそう	inter-TSF transfers	TOEと、他の信頼できるIT製品のセキュリティ機能との間で、データを通信すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16961	A		繰返し	くりかえし	iteration	様々な操作で2回以上コンポーネントを使用すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16962	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	情報を内蔵又は受信し、サブジェクトによる操作の実行対象となるTSC内のエンティティ。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16963	A		組織のセキュリティ方針	そしきのせきゅりていほうしん	organisational security policies	組織がその業務に対して課す一つ以上のセキュリティ規則、手順、慣行又は指針。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16964	A		パッケージ	ぱっけーじ	package	再利用可能な機能コンポーネント又は保証コンポーネントの集合(例えば、EAL)。識別されたセキュリティ対策方針を満たすために相互に組み合わされている。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16965	A		製品	せいひん	product	単独での使用又は様々なシステム内への組込みを目的に設計された機能性を提供するITのソフトウェア、ファームウェア及び/又はハードウェアの集まり。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16966	A		プロテクションプロファイル、PP、セキュリティ要求仕様書	ぷろてくしょんぷろふぁいる、PP、せきゅりていようきゅうしようしょ	protection profile, PP	あるTOEの分野に関して利用者の要求を満たす、実装に依存しないセキュリティ要件を記述した文書。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16967	A		リファレンスモニタ	りふぁれんすもにた	reference monitor	TOEのアクセス制御方針を実現する機構の概念。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16968	A		リファレンス検証機構	りふぁれんすけんしょうきこう	reference validation mechanism	耐タンパ性をもつ、いつでも呼び出せる、並びに容易に十分な分析及び試験ができるという特性をもつリファレンスモニタの概念を実装する仕組み。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16969	A		詳細化	しょうさいか	refinement	コンポーネントに詳細な内容を追加すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16970	A		役割	やくわり	role	使用者とTOEとの間の利用を許可するためにあらかじめ規定された規則のセット。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16971	A		秘密	ひみつ	secret	特定のSFPを実施するために、正当な使用者及び/又はTSFにしか知らせてはならない	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16972	A		セキュリティ属性	せきゅりていぞくせい	security attribute	TSFの実施を目的として用いられるサブジェクト、使用者、及び/又はオブジェクトに関連する情報。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16973	A		セキュリティ機能、SF	せきゅりていきのう、SF	security function, SF	TSPが規定する、密接にかかわり合う規則を遵守するために必要となるTOEの一部分又は複数の部分。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16974	A		セキュリティ機能方針、SFP	せきゅりていきのうほうしん、SFP	security function policy, SFP	SFによって実現されるセキュリティ方針。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16975	A		セキュリティ対策方針	せきゅりていたいさくほうしん	security objective	識別された脅威への対抗及び/又は識別された組織のセキュリティ方針・前提の充足に関する方針。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16976	A		セキュリティターゲット、ST、セキュリティ設計仕様書	せきゅりていたーげっと、ST、せきゅりていせっけいしようしょ	security target, ST	識別されたTOEの評価に用いられるセキュリティ要件及び仕様を記述した文書。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16977	A		選択	せんたく	selection	コンポーネント内のリストから一つ以上の項目を指定すること。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16978	A		準形式的	じゅんけいしきてき	semiformal	意味が定義された制限付き構文言語で表現されていることを表す形容詞。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16979	A		機能強度、SOF	きのうきょうど、SOF	strength of function, SOF	セキュリティ機構を直接攻撃することによってそのセキュリティを破ることができる最小の攻撃力で表すTOEのセキュリティ機能のレベル付け。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16980	A		基本機能強度	きほんきのうきょうど	SOF-basic	低い攻撃力をもつ攻撃者による一般的なTOEへのセキュリティ侵害に対して、その機能が十分な抵抗力を備えていると認められた、TOEの機能強度のレベル。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16981	A		中位機能強度	ちゅういきのうきょうど	SOF-medium	中程度の攻撃力をもつ攻撃者による直接的又は意図的なTOEへのセキュリティ侵害に対して、その機能が十分な抵抗力を備えていると認められた、TOEの機能強度のレベ	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
16982	A		高位機能強度	こういきのうきょうど	SOF-high	高い攻撃力をもつ攻撃者による計画的又は組織的なTOEへのセキュリティ侵害に対して、その機能が十分な抵抗力を備えていると認められた、TOEの機能強度のレベル。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16983	A		サブジェクト	さぶじぇくと	subject	操作を行うTSC内のエンティティ。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16984	A		システム	しすてむ	system	特定の目的及び運用環境を伴う特定のIT設備。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16985	A		評価対象、TOE	ひょうかたいしょう、TOE	target of evaluation,TOE	評価の対象となるITの製品又はシステム、並びにそれに関連する管理者及び使用者の	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16986	A		評価対象資源、TOE資源	ひょうかたいしょうしげん、TOEしげん	TOE resource	TOE内において使用可能又は利用可能なもの。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16987	A		評価対象のセキュリティ機能、TOEのセキュリティ機能、TSF	ひょうかたいしょうのせきゅりていきのう、TOEのせきゅりていきのう、TSF	TOE security functions, TSF	TOEのセキュリティ方針を正しく実現するために必要となるTOEのすべてのハードウェア、ソフトウェア及びファームウェアからなるセット。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16988	A		評価対象のセキュリティ機能インタフェース、TSFI	ひょうかたいしょうのせきゅりていきのういんたふぇーす、TSFI	TOE security functions interface,TSFI	対話(マンマシンインタフェース)又はプログラミング(アプリケーションプログラミングインタフェース)のいかんにかかわらず、それを介してTOE資源にアクセスしたり、TSFによって仲介されたり、TSFから情報を取得したりするインタフェースのセット。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16989	A		評価対象のセキュリティ方針、TOEのセキュリティ方針、TSP	ひょうかたいしょうのせきゅりていほうしん、TOEのせきゅりていほうしん、	TOE security policy, TSP	TOE内での資源の管理方法、保護方法及び配布方法を規定する規則集。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16990	A		評価対象のセキュリティ方針モデル、TOEのセキュリティ方針モデル	ひょうかたいしょうのせきゅりていほうしんもでる、TOEのせきゅりていほうし	TOE security policy model	TOEが実施すべきセキュリティ方針を構造化して表現したもの。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16991	A		評価対象のセキュリティ機能制御範囲外への転送、TSC外への転送	ひょうかたいしょうのせきゅりていきのうせいぎょはんいがいへのてんそう、TSCがいへのてんそう	transfers outside TSF control	TSFの制御下にないエンティティとデータを通信し合うこと。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16992	A		高信頼チャネル	こうしんらいちゃねる	trusted channel	TSFと相手側の信頼できるIT製品とが、TOEのセキュリティ方針を実現するのに必要な信頼度を確保するための通信手段。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16993	A		高信頼パス	こうしんらいぱす	trusted path	使用者とTSFとが、TOEのセキュリティ方針を実現するのに必要な信頼度を確保するための通信手段。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16994	A		評価対象のセキュリティ機能データ、TSFデータ	ひょうかたいしょうのせきゅりていきのうでーた、TSFでーた	TSF data	TOEによって作成されたデータ及びTOEに関して作成されたデータであり、TOEの動作に影響を与える可能性のあるもの。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16995	A		評価対象のセキュリティ機能制御範囲、TSC	ひょうかたいしょうのせきゅりていきのうせいぎょはんい、TSC	TSF scope of control, TSC	TOEのセキュリティ方針の下で、TOEに対して又はTOE内において発生する制御のセット。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16996	A		使用者	しようしゃ	user	TOEの外部にあってTOEと対話する任意のエンティティ(人間又は外部ITエンティティ)。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16997	A		使用者データ	しようしゃでーた	user data	使用者が作成したデータ及び使用者に関して作成されたデータであり、TSFの動作に影響を与えないもの。	JIS X 5070-1	2000	ISO/IEC 15408-1	1999				2005	SC27
16998	B		情報セキュリティ	じょうほうせきゅりてい	information security	情報の機密性、完全性及び可用性の維持。	JIS X 5080	2002	ISO/IEC 17799	2000		廃→Q 27002: 2006/5	2005	2005	SC27
16999	B		機密性	きみつせい	confidentiality	アクセスを許可された(authorized)者だけが情報にアクセスできることを確実にすること。	JIS X 5080	2002	ISO/IEC 17799	2000		廃→Q 27002: 2006/5	2005	2005	SC27
17000	B		完全性	かんぜんせい	integrity	情報及び処理方法が、正確であること及び完全であることを保護すること。	JIS X 5080	2002	ISO/IEC 17799	2000		廃→Q 27002: 2006/5	2005	2005	SC27
17001	B		可用性	かようせい	availability	許可された利用者が、必要なときに、情報及び関連する資産にアクセスできることを確実にすること。	JIS X 5080	2002	ISO/IEC 17799	2000		廃→Q 27002: 2006/5	2005	2005	SC27
17002	B		リスクアセスメント	りすくあせすめんと	risk assessment	情報及び情報処理施設・設備に対する脅威、影響及びぜい(脆)弱性の評価、並びにそれらが起こる可能性の評価。	JIS X 5080	2002	ISO/IEC 17799	2000		廃→Q 27002: 2006/5	2005	2005	SC27
17003	B		リスクマネジメント	りすくまねじめんと	risk management	許容されるコストで、情報システムに影響をおよぼす可能性があるセキュリティリスクを識別し、管理し、及び最小限に抑え又は除去する過程。	JIS X 5080	2002	ISO/IEC 17799	2000		廃→Q 27002: 2006/5	2005	2005	SC27
17004	A		長期署名	ちょうきしょめい	long term signature	署名時刻の特定を可能とし、かつ、署名対象及び検証情報を含む署名に関する情報の改ざん(竄)検知を可能とする措置を実施し、署名を長期にわたって検証可能にした署	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17005	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	参照する仕様の選択要素、値の範囲などに関する相互運用性を満たすための規約。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17006	A		要求レベル	ようきゅうれべる	required level	プロファイルを構成する各要素の実装に対する要求の程度。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17007	A		CMS、暗号メッセージ構文	CMS、あんごうめっせーじこうぶん	CMS, cryptographic message syntax	任意のメッセージ内容に対する、署名、ダイジェスト、認証及び暗号化に関する構文の規定。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17008	A		CMS利用電子署名、CAdES	CMSりようでんししょめい、CAdES	CMS advanced electronic signature	ETSI TS 101 733で定義された、署名者の認識及びデータ改ざん(竄)検知が可能な、CMSに基づく電子署名。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17009	A		CAdES-T	CAdES-T	CAdES with time	ETSI TS 101 733で定義された、署名時刻を確定する情報(例えば、署名タイムスタンプ)をもつ、CMSに基づく電子署名。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17010	A		CAdES-A	CAdES-A	archival CAdES	ETSI TS 101 733で定義された、署名対象及び検証情報を含む署名に関する情報の改ざん検知を可能とする情報(例えばアーカイブタイムスタンプ)をもつ、CMSに基づく電子署	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17011	A		コンテント情報	こんてんとじょうほう	content information	CMSにおけるコンテントを定義するデータ構造。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17012	A		署名付きデータ	しょめいつきでーた	signed data	CMSにおける署名データを定義するデータ構造、又はそのデータ。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17013	A		署名者情報	しょめいしゃじょうほう	signerInfo	署名者ごとの署名情報を定義するデータ構造、又はそのデータ。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17014	A		署名属性	しょめいぞくせい	signed attribute	署名の対象となる署名情報。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17015	A		非署名属性	ひしょめいぞくせい	unsigned attribute	署名対象外の署名情報。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17016	A		検証情報	けんしょうじょうほう	validation data	署名及びタイムスタンプの検証に用いる証明書及び失効情報。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17017	A		タイムスタンピング機関、TSA	たいむすたんぴんぐきかん、TSA	time-stamping authority	あるデータが、時間軸上のある点より前に存在していた証拠を提供することを信託された、信頼できる第三者機関。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17018	A		タイムスタンプトークン	たいむすたんぷとーくん	time-stamp token	データの表現が、ある時刻に存在したことを証明するデータ。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17019	A		署名タイムスタンプ	しょめいたいむすたんぷ	signature timestamp	署名が存在した時刻を特定可能にするために、署名値(signature value)に付されるタイムスタンプ。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17020	A		アーカイブタイムスタンプ	あーかいぶたいむすたんぷ	archive timestamp	改ざんを検知可能にするために、署名対象及び検証情報を含む署名に関する情報に付されるタイムスタンプ。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17021	A		信頼点	しんらいてん	trust anchor	電子署名の検証を行うときの、検証者によって信頼された信用の起点。公開かぎ(鍵)証明書又は公開かぎの形式で提供され、一般的には、信頼する最上位の証明機関の公開かぎ証明書である。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17022	A		信頼できる第三者機関、TTP	しんらいできるだいさんしゃきかん、TTP	trusted third party	セキュリティ関連の活動に関して、他のエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17023	A		証明機関、CA	しょうめいきかん、CA	certificate authority	公開かぎ証明書の作成及び割当てを信託されたセンタ。任意選択として、証明機関は、エンティティに対してかぎを作成し、割り当てることもできる。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17024	A		証明書	しょうめいしょ	certificate	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、公開されるかぎの情報で、証明機関によって署名され、それによって偽造できないようにしたもの。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17025	A		属性証明書	ぞくせいしょうめいしょ	attribute certificate	職責、資格、地位などの属性及び属性値を記載した証明書。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17026	A		失効情報	しっこうじょうほう	revocation information	有効期限内に失効した証明書に関して証明書機関が発行する情報。この情報と照合することによって、証明書が現在も有効であるか否かを検証できる。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17027	A		拡張セキュリティサービス、ESS	かくちょうせきゅりていさーびす、ESS	enhanced security service	署名者証明書を特定する情報、署名の種類を表す情報など署名に対する任意の拡張サービス。	JIS X 5092	2008	ETSI TS 101 733 V.1.7.3						
17028	A		長期署名	ちょうきしょめい	long term signature	署名時刻の特定を可能とし、かつ、署名対象及び検証情報を含む署名に関する情報の改ざん(窟)検知を可能とする措置を実施し、署名を長期にわたって検証可能にした署	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17029	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	参照する仕様の選択要素、値の範囲などに関する相互運用性を満たすための規約。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17030	A		要求レベル	ようきゅうれべる	required level	プロファイルを構成する各要素の実装に対する要求の程度。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17031	A		XML署名	XMLしょめい	XML signature	任意のメッセージ内容が真正で改ざんされていないことを証明するXML形式のデータ。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17032	A		XML署名利用電子署名、XAdES	XMLしょめいりようでんししょめい、XAdES	XML advanced electronic signatures	ETSI TS 101 903で定義された、署名者の識別及びデータの改ざん検知が可能な、XML署名に基づく電子書名の総称。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17033	A		XAdES-T	XAdES-T	XAdES with time	ETSI TS 101 903で定義された、署名時刻を確定する情報(例えば、署名タイムスタンプ)をもつ、XML署名に基づく電子書名。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17034	A		XAdES-A	XAdES-A	archival XAdES	ETSI TS 101 903で定義された、署名対象及び検証情報を含む署名に関する情報の改ざん検知を可能とする情報(例えば、アーカイブタイムスタンプ)をもつ、XML署名に基づく	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17035	A		署名要素	しょめいようそ	signature element	XML署名を構成する要素の中の最上位の要素。一つの署名対象に対して複数の署名要素をもつことができる。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17036	A		検証情報	けんしょうじょうほう	validation data	署名及びタイムスタンプの検証に用いる証明書及び失効情報。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17037	A		タイムスタンピング機関、TSA	たいむすたんぴんぐきかん、TSA	time-stamping authority	あるデータが、時間軸上のある点より前に存在していた証拠を提供することを信託された、信頼できる第三者機関。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17038	A		タイムスタンプトークン	たいむすたんぷとーくん	time-stamp token	データの表現が、ある時刻に存在したことを証明するデータ。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17039	A		署名タイムスタンプ	しょめいたいむすたんぷ	signature timestamp	署名が存在した時刻を特定可能にするために、署名値(signature value)に付されるタイムスタンプ。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17040	A		アーカイブタイムスタンプ	あーかいぶたいむすたんぷ	archive timestamp	改ざんを検知可能にするために、署名対象及び検証情報を含む署名に関する情報に付されるタイムスタンプ。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17041	A		信頼点	しんらいてん	trust anchor	電子署名の検証を行うときの、検証者によって信頼された信用の起点。公開かぎ(鍵)証明書又は公開かぎの形式で提供され、一般的には、信頼する最上位の証明機関の公開かぎ証明書である。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2, V.1.3.2						
17042	A		信頼できる第三者機関、TTP	しんらいできるだいさんしゃきかん、TTP	trusted third party	セキュリティ関連の活動に関して、他のエンティティから信頼されるセキュリティ機関又はその代理者。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17043	A		証明機関、CA	しょうめいきかん、CA	certificate authority	公開かぎ証明書の作成及び割当てを信託されたセンタ。任意選択として、証明機関は、エンティティに対してかぎを作成し、割当てることもできる。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17044	A		証明書	しょうめいしょ	certificate	あるエンティティの非対称かぎの一対のうち、公開されるかぎの情報で、証明機関によって署名され、それによって偽造できないようにしたもの。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17045	A		属性証明書	ぞくせいしょうめいしょ	attribute certificate	職責、資格、地位などの属性及び属性値を記載した証明書。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17046	A		失効情報	しっこうじょうほう	revocation information	有効期限内に失効した証明書に関して証明書機関が発行する情報。この情報と照合することによって、証明書が現在も有効であるか否かを検証できる。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17047	A		拡張セキュリティサービス、ESS	かくちょうせきゅりていさーびす、ESS	enhanced security service	署名者証明書を特定する情報、署名の種類を表す情報など署名に対する任意の拡張サービス。	JIS X 5093	2008	ETSI TS 101 903 V.1.1.1, V.2.2,						
17048	B		アボート	あぼーと	abort	送信中の一次局、二次局又は複合局が直前のフラグシーケンス以降に送信したすべてのビット列を受信側に廃棄(及び無視)させるために使用する機能。	JIS X 5105	1991				廃→X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17049	B		受入れ	うけいれ	accept	局(一次局、二次局又は複合局)が正常に受信したフレームを受け入れて処理できる状態。	JIS X 5105	1991				廃→X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17050	B		アドレス部	あどれすぶ	address field	フレームを送信した(又は、受信すべき)二次局又は複合局識別するための開始フラグの直後8ビット(拡張アドレスの場合は、8の整数倍のビット数)のビット列。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17051	B		アドレス部拡張	あどれすぶかくちょう	address field extension	より多くのアドレス情報をもつために行うアドレス部の拡張。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17052	B		基本状態	きほんじょうたい	basic status	情報部をもつフレームを送受信できる二次局又は複合局の状態。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17053	B		集中制御	しゅうちゅうせいぎょ	centralized control	データリンクの一次局のすべての機能が、一つの局に集中している制御。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17054	B		複合	ふくごう	combined	データリンクの複合局の制御機能をもつ局の役割。(備)複合局は、送信するコマンド及びレスポンスを作成し、受信したコマンド及びレスポンスの解釈を行う。複合局に特別に割り当てられた責任を次に示す。(a)制御信号交換の初期化。(b)データフローの組立て。(c)受信したコマンドの解釈及び適切なレスポンスの作成。(d)データリンクレベルの障害制御及び障害回復機能に関する動作。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17055	B		コマンド	こまんど	command	データ通信において、フレーム内の制御部によって表現する指示であって、一次局又は複合局が送信し、あて先の二次局又は複合局に特定のデータリンク制御機能を実行させるもの。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17056	B		コマンドフレーム	こまんどふれーむ	command frame	コマンドフレームは、次のいずれかとする。(a)一次局が送信するすべてのフレーム。(b)複合局が送信するフレームのうち、他の複合局のアドレスをもつもの。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17057	B		コンテンションモード	こんてんしょんもーど	contention mode	送信側が自分の主導で送信できる伝送のモード。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17058	B		制御	せいぎょ	control field	フレームのアドレス部の直後8ビット(拡張モードの場合は、16ビット)のビット列。(備)制御部の内容を解釈するのは、次に示す局とする。(a)アドレス部によって示され、コマンドによって特定の機能の動作を指示された二次局又は複合局。(b)一つ以上のコマンドに対する応答のフレームをアドレス部で示される二次局又は複合局から受信した一次局又	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17059	B		制御部拡張	せいぎょぶかくちょう	control field extension	制御情報を追加するための制御部の拡張。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17060	B		データ通信	でーたつうしん	data communication	JIS X 0009の09.01.03による。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17061	B		データリンク	でーたりんく	data link	相互に結合された二つ以上の端末装置及びそれらの端末装置を結合し、情報の交換が可能な特定の方法で動作する回線の集り。(備)この場合、“端末装置”という言葉は、データ送信側及びデータ受信側の意味合いを含まない。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17062	B		データリンクレベル	でーたりんくれべる	data link level	データリンク制御を行う局(1次局、二次局及び複合局)の階層構造内の制御及び処理の概念的レベル。(備)データリンクレベルの機能は、高位レベルとデータリンクとのインタフェースを提供する。これには、次のものを含む。(a)(送信時の)ビット“0”の挿入及び(受信時の)ビット“0”の削除。(b)アドレス部及び制御部の解釈。(c)コマンドフレーム及びレスポンスフレームの生成、転送及び解釈。(d)フレーム検査シーケンスの計算及び	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17063	B		データ伝送	でーたでんそう	data transmission	JIS X 0009の09.01.02による。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17064	B		全二重伝送	ぜんにじゅうでんそう	duplex transmission	JIS X 0009の09.03.01による。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17065	B		例外状態	れいがいじょうたい	exception condition	フレームを受信したとき、伝送誤り又は内部処理の異状によって処理が不可能な二次局又は複合局の状態。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17066	B		フラグシーケンス	ふらぐしーけんす	flag sequence	フレームの開始及び終了を示す特別な8ビットのビット列“01111110”。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17067	B		フレーム	ふれーむ	frame	開始フラグシーケンスと終了フラグシーケンスの間にある連続したビット列。(備)有効なフレームは、最低32ビットの長さとし、アドレス部、制御部及びフレーム検査シーケンスをもつ。フレームには、情報部をもたなくてもよい。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17068	B		フレーム検査シーケンス(FCS)	ふれーむけんさしーけんす	frame check sequence	フレームの終了フラグシーケンスの直前にあって、受信側で伝送誤りを検出するためのビット列。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17069	B		半二重伝送	はんにじゅうでんそう	half-duplex transmission	JIS X 0009の09.03.02による。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17070	B		高位レベル	こういれべる	higher level	局の階層構造において、データリンクレベルの上位に存在する制御及び処理の概念的レベル。データリンクが動作するために必要な装置の制御、バッファの割付け、局管理などの機能は、高位レベルに依存する。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17071	B		情報部	じょうほうぶ	information field	制御部の最後のビットとフレーム検査シーケンスの最初のビットの間にあるビット列。(備)データリンクレベルでは、Iフレーム及びUIフレームの情報部の内容を解釈しない(6.1参照)。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17072	B		フレーム間タイルフィル	ふれーむかんたいるふぃる	information time fill	フレームとフレームの間に送出するフラグシーケンス。(備)この規格では、フレーム内のタイルフィルについては、規定しない。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17073	B		無効フレーム	むこうふれーむ	invalid frame	開始フラグシーケンス受信後のビット列であって次のいずれかのもの。(a)アボートシーケンスで終結するもの。(b)終了フラグシーケンスまでが32ビット以下のもの。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17074	B		一次局	いちじきょく	primary station	データリンクの一次局の機能、すなわち送信するコマンドを作成し、受信したレスポンスを解釈する機能をもつ局。(備)一次局に割り当てられた機能を次に示す。(a)制御信号交換の初期化。(b)データフローの組立て。(c)データリンクレベルの障害制御及び障害回復機能に関する動作。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17075	B		一次又は二次局	いちじまたはにじきょく	primary/secondary	一次局でも二次局でもどちらでもよい場合。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17076	B		レスポンス	れすぽんす	response	データ通信においてフレーム内の制御部で表現する応答であって、二次的局又は複合局が一つ以上のコマンドに対して実行した動作に関し、一次局又は複合局に伝えるもの。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17077	B		レスポンスフレーム	れすぽんすふれーむ	response frame	レスポンスフレームは、次のいずれかとする。(a)二次局が送信するすべてのフレーム。(b)複合局が送信するフレームのうち、送信を行った複合局のアドレスをもつもの。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17078	B		二次局	にじきょく	secondary station	一次局の指示によってデータリンク制御機能を実行する局。(備)二次局は、受信したコマンドを解釈し、レスポンスを生成して送信する。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17079	B		二次局状態	にじきょくじょうたい	secondary station status	一次局から受信した一連のコマンド処理に関わる二次局の状態。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17080	B		両方向交互データ通信	りょうほうこうこうごでーたつうしん	two-way alternate data communication	JIS X 0009の09.05.03による。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17081	B		両方向同時データ通信	りょうほうこうどうじでーたつうしん	two-way simultaneous data communication	JIS X 0009の09.05.02による。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17082	B		非番号制コマンド	ひばんごうせいこまんど	unnumbered commands	制御に順序番号を含まないコマンド。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17083	B		非番号制レスポンス	ひばんごうせいれすぽんす	unnumbered responses	制御部に順序番号を含まないレスポンス。	JIS X 5105	1991				廃→ X 5203 1998/1	ISO/IEC 13239 :1997		
17084	A		マルチリンクフレーム	まるちりんくふれーむ		マルチリンク手順における転送単位。マルチリンク制御フィールド及びデータユニットからなるビットの列である。	JIS X 5107	1985	ISO/DIS 7478	1984				1987	SC6
17085	A		シングルリンク手順	しんぐるりんくてじゅん	single link procedures(SLP)	単一のデータ通信回線を通してデータリンクの設定、維持、切断及びデータ伝送を行うデータリンクプロトコル。	JIS X 5107	1985	ISO/DIS 7478	1984				1987	SC6
17086	A		ウィンドウ	ういんどう		マルチリンクフレームのフロー制御を行うための制御方式。送信ウィンドウ及び受信ウィンドウの2種類があり、連続して送受信するマルチリンクフレームの数の制限や紛失したマルチリンクフレームの検出などを行う。	JIS X 5107	1985	ISO/DIS 7478	1984				1987	SC6
17087	A		トランスポートコネクション	とらんすぽーとこねくしょん	transport connection	データ転送のためにトランスポート層が確立する二つのTS利用者間の関係。この関係は、一連のトランスポートデータ転送の明示的な識別と、それらに対し提供されるべきサービスに関する合意を提供する。	JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17088	A		発呼側TS利用者	はっこがわTSりようしゃ	calling TS user	トランスポートコネクション確立要求を起動するトランスポートサービス利用者。	JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17089	A		着呼側TS利用者	ちゃっこがわTSりようしゃ	called TS user	発呼側利用者からトランスポートコネクションの確立を要求される利用者。(備考)発呼側TS利用者と着呼側TS利用者は、個々のコネクションに関して定義される。トランスポートサービス利用者は、同時に、発呼側及び着呼側の両方になることができる。	JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17090	A		トランスポートコネクション型データ転送	とらんすぽーとこねくしょんがたでーたてんそう	transport connection-mode data transmission	前もって確立したTCコネクション内での、送信元TSAPからあて先TSAPへのTSDUの転送。	JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17091	A		トランスポートコネクションレス型データ転送	とらんすぽーとこねくしょんれすがたでーたてんそう	transport connectionless-mode data transmission	TCコンテキスト外での、送信元TSAPからあて先TSAPへの」TSDUの転送。このとき、複数のTSDU間のいかなる関係も維持する必要がない。	JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17092	A		送信側TS利用者	そうしんがわTSりようしゃ	sending TS user	トランスポートコネクションのデータ転送フェーズ(12.参照)中、データの送信側として動作するトランスポートサービス利用者。	JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17093	A		受信側TS利用者	じゅしんがわTSりようしゃ	receiving TS user	トランスポートコネクションのデータ転送フェーズ中、データの受信側として動作するトランスポートサービス利用者。(備考)トランスポートサービス利用者は、同時に、送信側及び受信側の両方になることができる。	JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17094	A		グループトランスポートアドレス	ぐるーぷとらんすぽーとあどれす	group transport address		JIS X 5108	2000	ISO/IEC 8072	1996				1996	SC6
17095	A		装置	そうち	equipment	ハードウェア、ソフトウェア又はそれらの組合せ。電子計算機システム内で物理的に明確に分離されている必要はない。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17096	A		トランスポートサービス利用者	とらんすぽーとさーびすりようしゃ	transport service user	単一システム内でトランスポートサービスを利用する複数エンティティ全体を表す抽象的表現。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17097	A		ネットワークサービス提供者	ねっとわーくさーびすていきょうしゃ	network service provider	トランスポートエンティティから見た場合に、ネットワークサービスを提供する複数エンティティ全体をモデル化した抽象機械。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17098	A		実装上の事項	じっそうじょうのじこう	local matter	このプロトコル規定外のトランスポート層内の動作に関し、それぞれのシステムによってなされる決定事項。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17099	A		起動側	きどうがわ	initiator	CR TPDUを起動するトランスポートエンティティ。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17100	A		応答側	おうとうがわ	responder	起動側が、トランスポートコネクションを確立したいと望むトランスポートエンティティ。(備)起動側及び応答側は、一つのトランスポートコネクションに関して定義される。トランスポートエンティティは、同時に、起動側と応答側の両方になり得る。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17101	A		送信側トランスポートエンティティ	そうしんがわとらんすぽーとえんていてい	sending transport entity	TPDUを送信するトランスポートエンティティ。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17102	A		受信側トランスポートエンティティ	じゅしんがわとらんすぽーとえんていてい	receiving transport entity	TPDUを受信するトランスポートエンティティ。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17103	A		要望クラス	ようぼうくらす	preferred class	トランスポートコネクション上で使用するために、起動側が最初の選択として、CR TPDU中に指定するプロトコルクラス。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17104	A		代替クラス	だいたいくらす	alternative class	トランスポートコネクション上で使用するために、起動側が代替選択として、CR TPDU中に指定するプロトコルクラス。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17105	A		提案クラス	ていあんくらす	proposed class	要望クラス又は代替クラス。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17106	A		選択クラス	せんたくくらす	selected class	トランスポートコネクション上で使用するために、応答側が選択し、CC TPDU中に指定するプロトコルクラス。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17107	A		提案パラメタ	ていあんぱらめた	proposed parameter	トランスポートコネクション上で起動側が使用したいと望み、CR TPDU中に指定するパラメタの値。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17108	A		選択パラメタ	せんたくぱらめた	selected parameter	トランスポートコネクション上で使用するために応答側が選択し、CC TPDU中に指定するパラメタの値。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17109	A		誤り通知	あやまりつうち	error indication	トランスポートエンティティが、ネットワークサービス提供者から受信する誤りを示す原因コードつきのN-RESET指示、又はN-DISCONNECT指示。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17110	A		無効TPDU	むこうTPDU	invalid TPDU	構造及び符号化が、この規格の要求条件に合致しないTPDU。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17111	A		プロトコル誤り	ぷろとこるあやまり	protocol error	使用法が、そのクラスの手順に従わないTPDU。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17112	A		シーケンス番号	しーけんすばんごう	sequence number	(a)DT TPDUのTPDU-NRフィールド中にあり、そのDT TPDUをトランスポートエンティティが転送した順序を示す番号。(b)AK TPDU又はRJ TPDUのYR-TU-NRフィールド中にあり、トランスポートエンティティが次に受信を期待するDT TPDUのシーケンス番号を示す	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17113	A		送信ウィンドウ	そうしんういんどう	transmit window	トランスポートエンティティが、ある時点で、あるトランスポートコネクション上で送信するために、その同位エンティティによって認可された連続したシーケンス番号列。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17114	A		ウィンドウ下限	ういんどうかげん	lower window edge	(この定義は1994年版より引用)送信ウィンドウ中の最も小さなシーケンス番号。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17115	A		ウィンドウ上限	ういんどうじょうげん	upper window edge	送信ウィンドウの中の最も大きなシーケンス番号より1だけ大きいシーケンス番号。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17116	A		同位エンティティに割り当てられるウィンドウ上限	どういえんてぃていにわりあてられるういんどうじょう	upper window edge allocated to the peer	トランスポートエンティティが、新しいウィンドウ上限として解釈するよう、その同位エンティティに通知する値。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17117	A		閉そくウィンドウ	へいそくういんどう	closed window	シーケンス番号を全くもっていない送信ウィンドウ。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17118	A		ウィンドウ情報	ういんどうじょうほう	window information	TPDU中にあるウィンドウ上限と下限に関する情報。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17119	A		凍結識別子	とうけつしきべつし	frozen reference	6.18に示す条件によって、コネクションに割り当てることができない識別子。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17120	A		未割当て識別子	みわりあてしきべつし	unassigned reference	トランスポートコネクションを識別するために使用中でなく、また、凍結状態でもない識別	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17121	A		透過的(データ)	とうかてき(でーた)	transparent (data)	トランスポートエンティティ間でそのまま転送され、トランスポートエンティティでは利用できないトランスポートサービス利用者データ。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17122	A		(ネットワークコネクションの)所有者	(ねっとわーくこねくしょんの)しょゆうしゃ	owner (of a network connection)	ネットワークコネクションの生成を導くN-CONNECT要求を出したトランスポートエンティティ。コネクション型ネットワークサービス上で動作するときだけ適用する。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17123	A		保持TPDU	ほじTPDU	retained TPDU	再送手順又は確認までの保持手順に従っていて、かつ、再送が可能なTPDU。	JIS X 5109	2000	ISO/IEC 8073	1992				1997	SC6
17124	A		極	きょく	pole	コンタクトの位置。	JIS X 5110	1996	ISO/IEC 8877	1992				1992	SC6
17125	A		コンタクト	こんたくと	contact	多くのコネクタでは“ピン”と呼ばれる電気的接触子。	JIS X 5110	1996	ISO/IEC 8877	1992				1992	SC6
17126	A		プラグ及びジャック	ぷらぐおよびじゃっく	plug and jack	それぞれおす(雄)形コネクタ及びめす(雌)形コネクタ。(備)CCITT勧告1.430の4.でいうsocketという用語は、めす(雌)形コネクタ、すなわちジャックを指す。インタフェースケーブル接続構成例を附属書1(参考)に示す。	JIS X 5110	1996	ISO/IEC 8877	1992				1992	SC6
17127	A		コネクタハウジング	こねくたはうじんぐ	connector housing	挿入部及び接点が組み込まれるコネクタの部分。	JIS X 5111	1995	ISO/IEC 11569	1993				1993	SC6
17128	A		接点配置	せってんはいち	contact arrangement	部品中の接点の番号、間隔及び構成。	JIS X 5111	1995	ISO/IEC 11569	1993				1993	SC6
17129	A		雌形接点	めすがたせってん	female contact	内面で電気的導通をとるようにした接点。	JIS X 5111	1995	ISO/IEC 11569	1993				1993	SC6
17130	A		適合コネクタ	てきごうこねくた	intermateable connectors	性能上問題無く電気的にも機能的にも相互に接続できる2個のコネクタ。	JIS X 5111	1995	ISO/IEC 11569	1993				1993	SC6
17131	A		止め具	とめぐ	latching device	かん(嵌)合する部分との間に機構的保持性を持つように作られた部品。	JIS X 5111	1995	ISO/IEC 11569	1993				1993	SC6
17132	A		雄形接点	おすがたせってん	male contact	外面で電気的導通をとるようにした接点。	JIS X 5111	1995	ISO/IEC 11569	1993				1993	SC6
17133	A		接触底面	せっしょくていめん	seating plane	完全にかん(嵌)合させたときにコネクタの底面が当たる部分。	JIS X 5111	1995	ISO/IEC 11569	1993				1993	SC6
17134	A		コネクタハウジング	こねくたはうじんぐ	connector housing		JIS X 5112	1999	ISO/IEC 13575	1995				1995	SC6
17135	A		接点配置	せってんはいち	contact arrangement		JIS X 5112	1999	ISO/IEC 13575	1995				1995	SC6
17136	A		雌形接点	めすがたせってん	female contact		JIS X 5112	1999	ISO/IEC 13575	1995				1995	SC6
17137	A		適合コネクタ	てきごうこねくた	intermateable connectors		JIS X 5112	1999	ISO/IEC 13575	1995				1995	SC6
17138	A		止め具	とめぐ	latching device		JIS X 5112	1999	ISO/IEC 13575	1995				1995	SC6
17139	A		雄形接点	おすがたせってん	male contact		JIS X 5112	1999	ISO/IEC 13575	1995				1995	SC6
17140	A		接触底面	せっしょくていめん	seating plane		JIS X 5112	1999	ISO/IEC 13575	1995				1995	SC6
17141	A		コンタクト	こんたくと	contact		JIS X 5113	2000	ISO/IEC 10173	1998				1998	SC6
17142	A		プラグ	ぷらぐ	plug		JIS X 5113	2000	ISO/IEC 10173	1998				1998	SC6
17143	A		ジャック	じゃっく	jack		JIS X 5113	2000	ISO/IEC 10173	1998				1998	SC6
17144	B		応用システム	おうようしすてむ	application	通信配線による伝送方式をもつシステム	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17145	B		平衡ケーブル	へいこうけーぶる	balanced cable	一つ以上の対称形のケーブル要素[よ(撚)り対線又はカッド]から構成される銅ケーブ	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17146	B		ビル内幹線ケーブル	びるないかんせんけーぶる	building backbone cable	ビル内配線盤とフロア配線盤とを接続するケーブル。ビル内幹線ケーブルは、同一ビル内のフロア配線盤同士の接続に使用してもよい。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17147	B		ビル内配線盤	びるないはいせんばん	building distributor	ビル内幹線ケーブルと構内幹線ケーブルとを接続する配線盤。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17148	B		ビル内引込み設備	びるないひきこみせつび	building entrance facility	ビル内への通信ケーブルの入口として、必要なすべての機械的サービス及び電気的サービスを提供し、関連規則に適合する設備。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17149	B		ケーブル	けーぶる	cable	シース内にあって、同一の種類、かつ同一カテゴリの一つ以上のケーブルユニットで構成されているもの。一括シールドを含めてもよい。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17150	B		ケーブル要素	けーぶるようそ	cable element	ケーブル内の最小構成単位[例えばより(撚り)対線、カッド又は単一ファイバ]。ケーブル要素にはシールドを含めてもよい。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17151	B		ケーブルユニット	けーぶるゆにっと	cable unit	同一種類又は、同一カテゴリの一つ以上のケーブル要素から構成されているもの。ケーブルユニットにはシールドを含めてもよい。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17152	B		配線	はいせん	cabling	情報技術関連機器の接続を可能にする通信ケーブル、コード及び接続機器のシステム。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17153	B		構内	こうない	campus	一つ以上のビル及びそれを収容している敷地。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17154	B		構内幹線ケーブル	こうないかんせんけーぶる	campus backbone cable	構内配線盤とビル内配線盤とを接続するケーブル。構内幹線ケーブルは、ビル内配線盤同士を直接接続してもよい。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17155	B		構内配線盤	こうないはいせんばん	campus distributor	構内幹線ケーブルを放射状に接続する配線盤。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17156	B		チャネル	ちゃねる	channel	応用システムの2台の特定機器同士を接続する伝送路。機器ケーブル及び端末接続ケーブルは、チャネルに含める。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17157	B		クロスコネクト	くろすこねくと	cross connect	ケーブル要素を成端し、それらを主にパッチコード又はジャンパによって接続する設備。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17158	B		配線盤	はいせんばん	distributor	ケーブルを接続するために使用する部品(例えば、パッチパネル、パッチコード)の集ま	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17159	B		機器ケーブル	ききけーぶる	equipment cable	機器を配線盤に接続するケーブル。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17160	B		機器室	ききしつ	equipment room	配線盤及び応用システムの特定機器を収容する専用の部屋。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17161	B		フロア配線盤	ふろあはいせんばん	floor distributor	水平ケーブルと他の配線サブシステムとの間又は水平ケーブルと機器との間を接続するために使用する配線盤。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17162	B		情報配線システム	じょうほうはいせんしすてむ	generic cabling	広範囲な応用システムに使用できる構造化された通信用配線システム。情報配線システムは、対象となる応用システムに関する予備知識がなくても設置することができる。応用システムに特有なハードウェアは、情報配線システムの対象外とする。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17163	B		水平ケーブル	すいへいけーぶる	horizontal cable	フロア配線盤を通信アウトレットに接続するケーブル。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17164	B		複合ケーブル	ふくごうけーぶる	hybrid cable	全体を一つのシースで覆われた二つ以上の異なる種類又は異なるカテゴリのケーブルユニット又はケーブルからなる構成品。複合ケーブルは、一括シールドで覆われてもよ	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17165	B		個別ワークエリア	こべつわーくえりあ	individual work area	1人の利用者に対して割り当てられたビル内の最小領域。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17166	B		直接接続	ちょくせつせつぞく	interconnect	パッチコード又はジャンパを使用せずに、機器ケーブルを成端し、配線サブシステムに接続する点。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17167	B		インタフェース	いんたふぇーす	interface	情報配線システムに接続する点。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17168	B		ジャンパ	じゃんぱ	jumper	クロスコネクト上でコネクタなしで接続するためのケーブルユニット又はケーブル要素。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17169	B		キー	きー	keying	接続するときに、正しい向きを保証するためのコネクタの機械的な構造。これは、他の目的に使用する同じ種類のジャック又は光ファイバアダプタとの誤接続を防止する。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17170	B		リンク	りんく	link	情報配線システムの二つのインタフェース間の伝送路。機器ケーブル及び端末接続ケーブルは、含まない。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17171	B		光ファイバケーブル(光ケーブル)	ひかりふぁいばけーぶる(ひかりけーぶる)	optical fibre cable(or optical cable)	一つ以上の光ケーブル要素から構成されるケーブル。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17172	B		光ファイバ2心アダプタ	ひかりふぁいば2しんあだぷた	optical fibre duplex adapter	二つの2心コネクタ同士を、軸を合わせて接合するために設計された機械的部品。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17173	B		光ファイバ2心コネクタ	ひかりふぁいば2しんこねくた	optical fibre duplex connector	2本の光ファイバ間で光信号を送受するために設計された機械的成端部品。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17174	B		対	つい	pair	よ(撚)り対線又は星形カッド内の側回路(対角線上に位置する2導体)。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17175	B		パッチコード	ぱっちこーど	patch cord	コネクタ付きの可とう(撓)ケーブルユニット又はケーブル要素。パッチパネル上の接続に使用する。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17176	B		パッチパネル	ぱっちぱねる	patch panel	パッチコードを使用できるように設計されたクロスコネクト。移動及び変更の管理を容易	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17177	B		公衆網インタフェース	こうしゅうもういんたふぇーす	public network interface	公衆網と私設網との境界。多くの場合、公衆網インタフェースは、電気通信事業者の設備と利用者構内配線との間の相互接続の点となる。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17178	B		カッド	かっど	quad	星形カッド参照。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17179	B		側回路	そくかいろ	side circuit	対参照。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17180	B		一括シールドケーブル	いっかつしーるどけーぶる	shielded cables	シース又はチューブ内に内蔵され、シールドで覆われた平衡形よ(撚)り対ケーブル要素、又はカッドケーブル要素からなる構成品。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17181	B		個別シールドよ(撚)り対ケーブル	こべつしーるどよりついけーぶる	shielded twisted pair cables	それぞれ個別にシールドされた要素から構成されたケーブル。一括シールドを施してもよく、その場合のケーブルは、一括シールド付き個別シールドよ(撚)り対ケーブルと呼ばれ	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17182	B		接続	せつぞく	splice	一般的に異なるシースからなる導体又はファイバ同士を接合すること。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17183	B		星形カッド	ほしがたかっど	star quad	1束によ(撚)った四つの絶縁導体から構成されるケーブル要素。対角線上に位置する導体が対を形成する。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17184	B		電気通信	でんきつうしん	telecommunications	符号、信号、文書、イメージ及び音声の伝送並びに送受信に関する技術。すなわち、ケーブルシステム、無線システム、光システムをいう。この規格で用いる用語“電気通信”は、法的な意味をもたない。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17185	B		配線室	はいせんしつ	telecommunications closet	通信機器、ケーブル成端及びクロスコネクト配線を収納する閉ざされた空間。配線室は、幹線配線サブシステムと水平配線サブシステムとの間のクロスコネクト点となる。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17186	B		通信アウトレット	つうしんあうとれっと	telecommunications outlet	水平ケーブルを成端し、端末接続配線へのインタフェースを提供する接続器具。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17187	B		変換点	へんかんてん	transition point	水平配線の中で、例えば、平形ケーブルと丸形ケーブルとの接続、異なる要素数のケーブル同士の接続など、ケーブル形状の変更を行うところ。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17188	B		よ(撚)り対線	よりせんつい	twisted pair	平衡形伝送線路を形成するために、1束によ(撚)った二つの絶縁導体で構成するケーブル要素。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17189	B		非シールドよ(撚)り対ケーブル	ひしーるどよりついけーぶる	unshielded twisted pair cable	シールドされていない1対以上の対からなるケーブル。一括シールドを施してもよく、その場合のケーブルは、一括シールド付き非シールドよ(撚)り対ケーブルと呼ばれる。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17190	B		ワークエリア	わーくえりあ	work area	利用者が通信端末機器を扱うビル内の領域。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17191	B		ワークエリアケーブル	わーくえりあけーぶる	work area cable	端末機器を通信アウトレットに接続するケーブル。	JIS X 5150	2000	ISO/IEC 11801	1995		2004/6	2002	2002	SC25
17192	A		管理	かんり	administration	配線システム及びその内容の文書化要件、機能要素の表示方式、及び機能要素の移動・追加・変更の記録手順を規定する方法。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17193	A		応用システム	おうようしすてむ	application	通信配線による伝送方式を含むシステム。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17194	A		減衰量	げんすいりょう	attenuation	ポイント間で伝送する信号電力の減少量。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17195	A		平衡ケーブル	へいこうけーぶる	balanced cable	一つ以上の対称形のメタルケーブル要素[よ(撚)り対線又はカッド]から構成されるケー	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17196	A		ビル内幹線ケーブル	びるないかんせんけーぶ	building backbone cable	ビル内配線盤とフロア配線盤とを接続するケーブル。ビル内幹線ケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17197	A		ビル内配線盤	びるないはいせんばん	building distributor	ビル内幹線ケーブルを終端し、構内幹線ケーブルを接続する配線盤。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17198	A		ビル内引込み設備	びるないひきこみせつび	building entrance facility	ビル内への通信ケーブルの入口として、必要なすべての機械的サービス及び電気的サービスを提供し、関連規則に適合する設備。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17199	A		ケーブル	けーぶる	cable	シース内にあって種類及びカテゴリが同一の一つ以上のケーブルユニットで構成されているもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17200	A		ケーブル要素	けーぶるようそ	cable element	ケーブル内の最小構成単位[例えば、より(撚り)対線、カッド又は単一ファイバ]。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17201	A		ケーブルユニット	けーぶるゆにっと	cable unit	同一種類又は同一カテゴリの一つ以上のケーブル要素から構成されているもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17202	A		配線	はいせん	cabling	情報技術関連機器の接続を可能にする通信ケーブル、コード及び接続器具のシステム。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17203	A		構内	こうない	campus	一つ以上のビル及びそれを収容している敷地。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17204	A		構内幹線ケーブル	こうないかんせんけーぶる	campus backbone cable	構内配線盤とビル内配線盤とを接続するケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17205	A		構内配線盤	こうないはいせんばん	campus distributor	構内幹線ケーブルを放射状に接続する配線盤。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17206	A		チャネル	ちゃねる	channel	応用システムの2台の特定機器同士を接続する伝送路。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17207	A		集中式光ファイバ配線	しゅうちゅうしきひかりふぁいばはいせん	centralized optical fibre cabling	幹線系と水平系とを結合したチャネルで構築された光ファイバの配線方式。このチャネルは、ワークエリアから集中式クロスコネクト又はインタコネクトまでを、引通りケーブル又はスプライスの使用を認めて提供される。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17208	A		接続器具	せつぞくきぐ	connecting hardware	部品、ケーブル又はケーブル要素を接続するために使われた部品を組み合わせたもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17209	A		接続	せつぞく	connection	かん合部品又は終端を含めた機器の組合わせ。ケーブル又はケーブル要素をその他のケーブル、ケーブル要素又は応用システムの特別な装置に接続しているもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17210	A		分岐点(CP)	ぶんきてん(CP)	consolidation point	フロア配線盤から通信アウトレットまでの水平配線サブシステムにある接続点。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17211	A		コード	こーど	cord	最低一つの終端をもったケーブル、ケーブルユニットケーブル又はケーブル要素。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17212	A		結合減衰量	けつごうげんすいりょう	coupling attenuation	導体を通じて伝送さえた電力と、励起されたコモンコード電流によって伝導され生じた最大放射ピーク電力との関係。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17213	A		CPケーブル	CPけーぶる	CP cable	分岐点を通信アウトレットに接続するケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17214	A		CPリンク	CPりんく	CP link	両端に接続器具を含めた、フロア配線盤と分岐点との間のパーマネントリンクの一部。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17215	A		クロスコネクト	くろすこねくと	cross-connect	ケーブル要素を成端し、それらを主にパッチコード又はジャンパによって接続する設備。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17216	A		配線盤	はいせんばん	distributor	ケーブルを接続するために使用する部品（例えば、パッチパネル、パッチコード）の集ま	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17217	A		機器コード	ききこーど	equipment cord	機器を配線盤に接続するケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17218	A		機器室	ききしつ	equipment room	配線盤及び応用システムの特定機器を収容する専用の部屋。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17219	A		外部網インタフェース	がいぶもういんたふぇーす	external network interface	公共網と私設網との間の境界点。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17220	A		固定水平ケーブル	こていすいへいけーぶる	fixed horizontal cable	分岐点が存在しているときにフロア配線盤から分岐点までを接続するケーブル、又は分岐点が存在しないときに通信アウトレットまでを接続するケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17221	A		フロア配線盤	ふろあはいせんばん	floor distributor	水平ケーブルと他の配線サブシステムと又は機器との間を接続するために使用する配	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17222	A		情報配線システム	じょうほうはいせんしすて	generic cabling	広範囲な応用システムに使用できる構造化された通信用配線システム。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17223	A		水平ケーブル	すいへいけーぶる	horizontal cable	フロア配線盤を通信アウトレットに接続するケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17224	A		複合ケーブル	ふくごうけーぶる	hybrid cable	異なった種類又はカテゴリの二つ以上のケーブルユニット及び/又は、異なった種類又はカテゴリのケーブルの集合を一つの一括シースで覆ったもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17225	A		個別ワークエリア	こべつわーくえりあ	individual work area	1人の利用者に対して割り当てられたビル内の最小領域。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17226	A		挿入損失	そうにゅうそんしつ	insertion loss, dB	伝送システムに部品を挿入することで生じる損失。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17227	A		挿入損失偏差	そうにゅうそんしつへんさ	insertion loss deviation	カスケード接続された構成要素の測定された挿入損失と、個々の構成要素の損失の和で決定した挿入損失との差。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17228	A		インタコネクト	いんたこねくと	interconnect	機器コード（又は配線サブシステム）を終端し、配線サブシステムにパッチコード又はジャンパを使用することなく接続できるようにする技法。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17229	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	情報配線システムに接続する点。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17230	A		ジャンパ	じゃんぱ	jumper	クロスコネクト上でコネクタなしで接続するためのケーブル、ケーブルユニット又はケーブル要素。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17231	A		キー	きー	keying	コネクタシステムの機械的特徴。極性を保証し、互換性のないソケット又は光ファイバアダプタの誤接続を防ぐ。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17232	A		リンク	りんく	link	CPリンク又はパーマネントリンク。CPリンク(3.1.22参照)及びパーマネントリンク(3.1.52参	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17233	A		縦方向変換損	たてほうこうへんかんそん	longitudinal conversion loss	平衡対の近端での生起した差動モード信号に対する、近端での同相モード入力信号の対数比をデシベルで表したもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17234	A		縦方向伝達変換損	たてほうこうでんたつへんかんそん	longitudinal conversion transfer loss	平衡対の遠端での生起した差動モード信号に対する、近端での同相モード入力信号の対数比をデシベルで表したもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17235	A		複数利用者通信アウトレット	ふくすうりようしゃつうしんあうとれっと	multi-user telecommunications outlet assembly	幾つかの通信アウトレットを1か所にグループ化したもの。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17236	A		光ファイバケーブル、光ケーブル	ひかりふぁいばけーぶる、ひかりけーぶる	optical fibre cable(or optical cable)	一つ以上の光ケーブル要素から構成されるケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17237	A		光ファイバ2心アダプタ	ひかりふぁいば2しんあだぷた	optical fibre duplex adapter	二つの2心コネクタ同士を、軸を合わせて接合するために設計された機械的部品。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17238	A		光ファイバ2心コネクタ	ひかりふぁいば2しんこねくた	optical fibre duplex connector	2対の光ファイバ間で光信号を送受するために設計された機械的成端部品。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17239	A		全モード励振	ぜんもーどれいしん	overfilled launch	LED光源のように、試験ファイバに対して放射された光が、角度及び位置に関して、十分に満たされるように放射されている状態。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17240	A		対	つい	pair	平衡伝送線路の2導体。一般的には、よ(撚)り対線又は星形カッド内の側回路。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17241	A		パッチコード	ぱっちこーど	patch cord	パッチパネル上の接続に使用するコネクタ付きのケーブル、ケーブルユニット又はケーブル要素。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17242	A		パッチパネル	ぱっちぱねる	patch panel	パッチコードの使用に対応した複数コネクタのアセンブリ。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17243	A		パーマネントリンク、常設リンク	ぱーまねんとりんく、じょうせつりんく	permanent link	通信アウトレットとフロア配線盤との間の伝送路。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17244	A		カッド	かっど	quad	共に撚られた四つの絶縁導体からなるケーブル要素。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17245	A		シールド平衡ケーブル	しーるどへいこうけーぶる	screened balanced cable	一括シールド及び/又は個別シールドをもつ平衡ケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17246	A		側回路	そくかいろ	side circuit	カッド内の対を形成している対角線上に位置する二つの導体。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17247	A		小形コネクタ	こがたこねくた	small from connector	平衡配線で使えるコネクタとして、少なくとも同じ実装密度で2本以上の光ファイバを収容するように設計された光ファイバコネクタ。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17248	A		スプライス	すぷらいす	splice	一般的に異なるシースからなる導体又はファイバ同士を接合すること。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17249	A		電気通信	でんきつうしん	telecommunications	符号、信号、文書、イメージ及び音声の伝送並びに送受信に関する技術。すなわち、有線、無線、光などの電磁気のシステムの特性に関する知識。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17250	A		配線室	はいせんしつ	telecommunications room	通信機器、ケーブル終端、インタコネクト及びクロスコネクトを収納する閉ざされた空間。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17251	A		通信アウトレット	つうしんあうとれっと	telecommunications outlet	水平ケーブルを終端する接続器具。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17252	A		横方向変換損	よこほうこうへんかんそん	transverse conversion	コモンモード信号電力と注入された差動モード信号電力との比。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17253	A		よ(撚)り対線	よりついせん	twisted pair	平衡形伝送線路を形成するために、規定の形態によ(撚)った二つの絶縁導体で構成するケーブル要素。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17254	A		非シールド平衡ケーブル	ひしーるどへいこうけーぶ	unscreened balanced	シールドがない平衡ケーブル。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17255	A		ワークエリア	わーくえりあ	work area	利用者が通信端末機器を扱うビル内の領域。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17256	A		ワークエリアコード	わーくえりあこーど	work area cord	端末機器を通信アウトレットに接続するコード。	JIS X 5150	2004	ISO/IEC 11801	2002				2002	SC25
17257	A		発呼側SS利用者	はっこがわSSりようしゃ	calling SS-user	セションコネクション確立要求を起動するSS利用者。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17258	A		着呼側SS利用者	ちゃっこがわSSりようしゃ	called SS-user	発呼側SS利用者がセションコネクションの確立を要求する相手のSS利用者。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17259	A		応答側SS利用者	おうとうがわSSりようしゃ	responding SS-user	発呼側SS利用者から要求されたセションコネクションの確立を受諾するSS利用者。(備)発呼側SS利用者、着呼側SS利用者及び応答側SS利用者は、個々のコネクションに関して定義される。SS利用者は、同時に、発呼側、着呼側及び応答側のSS利用者のいずれ	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17260	A		送信側SS利用者	そうしんがわSSりようしゃ	sending SS-user	セションコネクションのデータ転送フェーズ(12.参照)中、データの送信側として動作するSS利用者。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17261	A		受信側SS利用者	じゅしんがわSSりようしゃ	receiving SS-user	セションコネクションのデータ転送フェーズ中、データの受信側として動作するSS利用者。(備)SS利用者は、同時に、送信側及び受信側のSSの利用者の両方になることができ	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17262	A		要求側、要求側SS利用者	ようきゅうがわ、ようきゅうがわSSりようしゃ	requester, requesting SS-user	ある特定の動作を起動するSS利用者。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17263	A		受諾側、受諾側セションサービス利用者	じゅだくがわ、じゅだくがわせしょんさーびすりようしゃ	acceptor, accepting SS-user	ある特定の動作を受諾するSS利用者。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17264	A		トークン	とーくん	token	ある時点であるサービスの起動を許すために、一方のSS利用者に動的に割り当てられるセションコネクションの属性。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17265	A		条件付き(パラメタ)	じょうけんつき(ぱらめた)	conditional (parameter)	要求又は応答では、その存在がこの規定で定義した条件によって変わるパラメタ。指示又は確認では、その存在が先行のセションサービスプリミティブ中と同じになるパラメタ。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17266	A		提案パラメタ	ていあんぱらめた	proposed parameter	セションコネクション上で使用するため、S-CONNECT要求又はS-CONNECT応答でSS利用者が提案したパラメタ値。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17267	A		選択パラメタ	せんたくぱらめた	selected parameter	セションコネクション上でそのパラメタを使用するために選択されたパラメタ値。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17268	A		セションコネクションレス型転送、セションコネクションレス転送	せしょんこねくしょんれすがたてんそう、せしょんこねくしょんれすてんそう	session-connectionless-mode transmission, session-connectionless	セションコネクションを設立することのない、単一自己包含セションサービスにおけるデータ単位の転送。	JIS X 5201	1997	ISO/IEC 8326	1996				1996	JTC1
17269	A		セションプロトコル機械、SPM	せしょんぷろとこるきかい、SPM	session protocol machine, SPM	このプロトコルで規定した手順を実行する抽象機械。(備)セションエンティティは、一つ以上のSPMから構成される。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17270	A		セションサービス利用者、SS利用者	せしょんさーびすりようしゃ、SSりようしゃ	session service user, SS-user	単一システム内の、セションサービスを使用するエンティティ全体の抽象表現。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17271	A		トランスポートサービス提供者、TS提供者	とらんすぽーとさーびすていきょうしゃ、TSていきょう	transport service provider, TS-provider	セションエンティティから見て、トランスポートサービスを提供するエンティティの全体をモデル化した抽象機械。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17272	A		実装上の事項	じっそうじょうのじこう	local matter	この規格の対象ではなく、したがってシステムの判断によってなされるセション層の動作に関する決定。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17273	A		起動側	きどうがわ	initiator	CONNECT SPDUを送信するSPM。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17274	A		応答側	おうとうがわ	responder	起動側がセションコネクションを確立したい相手SPM。(備)起動側と応答側を単一のセションコネクションに関して定義する。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17275	A		送信側SPM	そうしんがわSPM	sending SPM	対象とするSPDUを送信するSPM。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17276	A		受信側SPM	じゅしんがわSPM	receiving SPM	対象とするSPDUを受信するSPM。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17277	A		(トークンの)所有者	(とーくんの)しょゆうしゃ	owner (of a token)	トークンが割り当てられているSPM。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17278	A		提案パラメタ	ていあんぱらめた	proposed parameter	セションコネクション上で使用するために、SPMがCONNECT SPDU又はACCEPT SPDUで提案したパラメタ値。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17279	A		折衝	せっしょう	negotiation	使用する機能単位、プロトコル値及び使用可能なトークンの初期設定について、二つのSPMが合意するための手続き。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17280	A		選択パラメタ	せんたくぱらめた	selected parameter	セションコネクション上でそのパラメタを使用するために選択されたパラメタ値。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17281	A		有効SPDU	ゆうこうSPDU	valid SPDU	構造と符号化に関して、この規格の要求に合ったSPDU。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17282	A		無効SPDU	むこうSPDU	invalid SPDU	構造と符号化に関して、この規格の要求に合わないSPDU。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17283	A		プロトコル誤り	ぷろとこるあやまり	protocol error	セションコネクションに関して合意された手順に合わないSPDUの使用。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17284	A		透過な(データ)	とうかな(でーた)	transparent (data)	SPMの間でそのまま転送され、SPMが使用しないSS利用者データ。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17285	A		SPDU識別子 (SI)	SPDUしきべつし (SI)	SPDU identifier (SI)	各SPDUを識別するために、SPDUの先頭にある情報。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17286	A		長さ指示子(LI)	ながさしじし(LI)	length indicator, (LI)	パラメタフィールドの長さを表す指示子。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17287	A		パラメタフィールド	ぱらめたふぃーるど	parameter field	特定の情報を示すために使用する一つ以上のオクテット。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17288	A		パラメタ識別子(PI)	ぱらめたしきべつし(PI)	parameter identifier, (PI)	この規格で規定するパラメタフィールドに含まれる情報の種別を示す識別子。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17289	A		PI単位	PIたんい	PI unit	PIフィールド、それに関連するLIフィールド及びパラメタフィールドを含むSPDUの要素。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17290	A		パラメタグループ識別子(PGI)	ぱらめたぐるーぷしきべつし(PGI)	parameter group identifier, (PGI)	この規格で規定するパラメタフィールドに含まれる情報の種別を示す識別子。このパラメタフィールドは、PI単位の集合から構成してもよい。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17291	A		PGI単位	PGIたんい	PGI unit	PGIフィールド、それに関連するLIフィールド及びパラメタフィールドを含むSPDUの要素。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17292	A		パラメタ値(PV)	ぱらめたち(PV)	parameter value, (PV)	PI又はPGIによって識別されるパラメタの値を示す情報。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17293	A		内部変数	ないぶへんすう	local variable	ある特定の動作の効果を明らかにし、かつ、ある特定の動作の実行が許される条件を明らかにするためにSPMが使用する変数。	JIS X 5202	1997	ISO/IEC 8327-1	1996				1996	JTC1
17294	A		アボート、放棄	あぼーと、ほうき	abort	送信中の一次局、二次局、複合局、制御局、従属局又は同位局が直前のフラグシーケンス以降に送信したすべてのビット列を受信側に廃棄(及び無視)させるために使用する機	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17295	A		受入れ	うけいれ	accept	局(一次局、二次局、複合局、制御局、従属局又は同位局)が正常に受信したフレームを受け入れて処理できる状態。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17296	A		アドレス部	あどれすぶ	address field(A)	フレームを送信した(又は、受信すべき)二次局・複合局又は従属局・同位局を識別するために開始フラグの直後8ビット(拡張アドレスの場合は、8の整数倍のビット数)のビット	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17297	A		アドレス部拡張	あどれすぶかくちょう	address field extension	より多くのアドレス情報をもつために行うアドレス部の拡張。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17298	A		アドレス解決/交渉方法	あどれすかいけつ/こうしょうほうほう	address resolution/negotiation	各データリンク層エンティティのアドレスの交換・決定のための手順	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17299	A		基本状態	きほんじょうたい	basic status	情報部をもつフレームを送受信できる二次局・複合局又は従属局・同位局の状態	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17300	A		集中制御	しゅうちゅうせいぎょ	centralized control	データリンクの一次局又は制御局のすべての機能が、一つの局に集中している制御	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17301	A		複合局	ふくごうきょく	combined station	データリンクの複合局の制御機能をもつ局。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17302	A		コマンド	こまんど	command	データ通信において、フレーム内の制御部によって表現する指示であって、一次局・複合局・制御局・同位局が送信し、あて先の二次局・複合局・従属局・同位局に特定のデータリンク制御機能を実行させるもの	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17303	A		コマンドフレーム	こまんどふれーむ	command frame	コマンドフレームは、次のいずれかとするa)一次局・制御局が送信するすべてのフレーム。b)複合局・同位局が送信するフレームのうち、他の複合局・同位局のアドレスをもつ	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17304	A		コンテンションモード	こんてんしょんもーど	contention mode	送信側が自分の主導で送信できる伝送のモード	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17305	A		拡張制御	かくちょうせいぎょ	control escape (CE)	調歩式伝送環境において、透過性アルゴリズムに従って修飾された直後のオクテットを示す特別な8ビットのビット列"10111110"	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17306	A		制御部	せいぎょぶ	control field (C)	フレームのアドレス部の直後8ビット(拡張モードの場合は、16、32又は64ビット)のビット	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17307	A		制御部拡張	せいぎょぶかくちょう	control field extension	制御情報を追加するための制御部の拡張	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17308	A		制御局	せいぎょきょく	control station	データリンクの制御局の制御機能をもつ局	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17309	A		データ通信	でーたつうしん	data communication	JIS X 0009[情報処理用語(データ通信)]の09.01.01による	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17310	A		データリンク	でーたりんく	data link	JIS X0009の09.06.01による	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17311	A		データリンクコネクション	でーたりんくこねくしょん	data link connection	JIS X5003(開放型システム間相互接続の基本参照モデル)による。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17312	A		データリンク層	でーたりんくそう	data link layer	データリンクの制御を行う局(一次局、二次局、複合局、制御局、従属局又は同位局)の階層構造内の制御及び処理の概念的層。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17313	A		データ伝送	でーたでんそう	data transmission	JIS X 0009の09.01.02による。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17314	A		全二重伝送	ぜんにじゅうでんそう	duplex transmission	JIS X 0009の09.03.07による。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17315	A		例外状態	れいがいじょうたい	exception condition	フレームを受信したとき、伝送誤り又は内部処理の異常によって処理が不可能な二次局・複合局の状態。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17316	A		フラグシーケンス	ふらぐしーけんす	flag sequence (F)	フレームの開始及び終了を示す特別な8ビットのビット列"01111110"	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17317	A		形式識別子	けいしきしきべつし	format identifier	XIDフレームの情報部における128種の標準形式のうちの一つ又は128種の使用者定義形式のうちの一つを示す識別子。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17318	A		フレーム	ふれーむ	frame	開始フラグシーケンスと終了フラグシーケンスの間にある連続したビット列。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17319	A		フレーム検査シーケンス	ふれーむけんさしーけんす	frame check sequence (FCS)	フレームの終了フラグシーケンスの直前にあって、受信側で伝送誤りを検出するためのビット列。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17320	A		グループ識別子	ぐるーぷしきべつし	group identifier	機能(例、アドレス解決、パラメタ交渉、使用者データ。)によるデータリンク層の特性又はパラメタを分類する識別子。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17321	A		半二重伝送	はんにじゅうでんそう	half-duplex transmission	JIS X 0009の09.03.06による。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17322	A		HDLC準拠プロトコル	HDLCじゅんきょぷろとこる	HDLC-based protocol	この規格で規定された手順要素と手順クラス及び付加機能のサブセット、並びにISO又は承認された国際標準団体(例、ITU-T。)によって標準として採用されたプロトコル。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17323	A		高位層	こういそう	higher layer	局の階層構造において、データリンク層の上位に存在する制御及び処理の概念的層レベル。データリンクが動作するために必要な装置の制御、バッファの割付け、局管理などの機能は、高位層に依存する。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17324	A		情報部	じょうほうぶ	information field (INFO)	制御部の最後のビットとフレーム検査シーケンスの最初のビットの間にあるビット列。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17325	A		起動側複合局	きどうがわふくごうきょく	initiating combined station	アドレス解決処理の一部として最初のXIDコマンドフレームを送信する局。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17326	A		フレーム間タイムフィル	ふれーむかんたいむふぃる	interframe time fill	フレームとフレームの間に送出するシーケンス又は状態。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17327	A		フレーム内タイムフィル	ふれーむないたいむふぃる	intraframe time fill	調歩式伝送において、フレーム内で先行したオクテットに引き続いて次のオクテットを連続して送出できないときに送出するシーケンス又は状態。同期式伝送では、フレーム内タイムフィルは規定しない。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17328	A		無効フレーム	むこうふれーむ	invalid frame	開始フラグシーケンス受信後のビット列であって次のいずれかのもの。a)アボートシーケンスで終結するもの。b)終了フラグシーケンスまでが32ビット以下のもの。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17329	A		層パラメタ	そうぱらめた	layer parameter	適用可能な又は選択されたデータリンク層の特性とパラメタを値で定義したもの。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17330	A		非起動側複合局	ひきどうがわふくごうきょく	non-initiating combined station	アドレス解決処理の一部として同位が最初のXIDコマンドフレームを送信するのを待つ局。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17331	A		同位局	どういきょく	peer station	データリンクの同位局の制御機能をもつ局。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17332	A		一次局	いちじきょく	primary station	データリンクの一次局の制御機能をもつ局。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17333	A		一次局・二次局	いちじきょく・にじきょく	primary/secondary station	一次局でも二次局でもどちらでもよい場合。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17334	A		私設パラメタ	しせつぱらめた	private parameter	この規格では規定しない特定の実装のデータリンク層パラメタ。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17335	A		レスポンス、応答	れすぽんす、おうとう	Response	データ通信においてフレーム内の制御部で表現する応答であって、二次局・複合局・従属局・同位局が一つ以上のコマンドに対して実行した動作に関し、一次局・複合局・制御局・同位局に伝えるもの。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17336	A		レスポンスフレーム	れすぽんすふれーむ	response frame	レスポンスフレームは、次のいずれかとする。a)二次局・従属局が送信するすべてのフレーム。b)複合局・同位局が送信するフレームのうち、送信を行った複合局・同位局のアドレスをもつもの。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17337	A		二次局	にじきょく	secondary station	一次局の指示によってデータリンク制御機能を実行する局。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17338	A		二次局状態	にじきょくじょうたい	secondary station status	一次局から受信した一連のコマンド処理にかかわる二次局の状態。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17339	A		単一交換交渉手順	たんいつこうかんこうしょうてじゅん	single-exchange negotiation procedure	起動側の局がコマンドフレームで自らの能力の"メニュ"を示し、応答側の局がレスポンスフレームでそのメニュから選択した結果を示す手順。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17340	A		従属局	じゅうぞくきょく	tributary station	制御局の指示によってデータリンク制御機能を実行する局。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17341	A		両方向交互データ通信	りょうほうこうこうごでーたつうしん	two-way alternate data communication	データは両方向に転送されるが、一度には片方向にしか転送されないデータ通信。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17342	A		両方向同時データ通信	りょうほうこうどうじでーたつうしん	two-way simultaneous data communication	同時に両方向にデータが転送されるデータ通信。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17343	A		特有識別子	とくゆうしきべつし	unique identifier	各局に関連する特有なビット列又は文字列(例、電話番号、局識別子、又はそれらと同等のもの。)	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17344	A		非番号制コマンド	ひばんごうせいこまんど	unnumbered commands	制御部に順序番号を含まないコマンド。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17345	A		非番号制レスポンス	ひばんごうせいれすぽん	unnumbered responses	制御部に順序番号を含まないレスポンス。	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17346	A		使用者データ	しようしゃでーた	user data	データリンク層の使用者から得るか又は使用者に引き渡す情報	JIS X 5203	1998	ISO/IEC 13239	1997				2002	SC6
17347	A		データリンクエンティティ	でーたりんくえんてぃてぃ	data link entity		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17348	A		データリンク層	でーたりんくそう	data link layer		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17349	A		データリンクサービス	でーたりんくさーびす	data link service		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17350	A		データリンクサービスアクセス点	でーたりんくさーびすあくせすてん	data-link-service-access-point		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17351	A		データリンクサービスアクセス点アドレス	でーたりんくさーびすあくせすてんあどれす	data-link-service-access-point-address		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17352	A		データリンクサービスデータ単位	でーたりんくさーびすでーたたんい	data-link-service-data-unit		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17353	A		リセット	りせっと	reset		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17354	A		データリンクサービス利用者	でーたりんくさーびすりようしゃ	data link service user		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17355	A		データリンクサービス提供者	でーたりんくさーびすていきょうしゃ	data link service provider		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17356	A		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17357	A		要求	ようきゅう	request		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17358	A		指示	しじ	indication		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17359	A		応答	おうとう	response		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17360	A		確認	かくにん	confirm		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17361	A		データリンクコネクション	でーたりんくこねくしょん	data-link-connection		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17362	A		データリンクコネクション型データ転送	でーたりんくこねくしょんがたでーたてんそう	data-link-connection-mode data transmission		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17363	A		データリンクコネクションレス型データ転送	でーたりんくこねくしょんれすがたでーたてんそう	data-link-connectionless-mode data transmission		JIS X 5205	1999	ISO/IEC 8886	1996				1996	SC6
17364	B		アドレス部[あて先サービスアクセス点(DSAP)及び送信元サービスアクセス点(SSAP)]	あどれすぶ[あてさきさーびすあくせすてん(DSAP)およびそうしんもとさーびすあくせすてん(SSAP)]	address fields (DSAP and SSAP)	LLCのPDUの先頭にあるサービスアクセス点の対。このアドレス部は、PDUを受け取るLLC及びPDUを送ったLLCとを識別するために用いる。それぞれのアドレス部は、1オクテット長とする。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17365	B		グローバル(一斉同報)DSAPアドレス	ぐろーばる(いっせいどうほう)DSAPあどれす	global (broadcasting) DSAP address	一斉同報を表すLLCのDSAPアドレス(すべてのビットが1)。データリンク上の特定のLLCのアドレスとして使用してはならない。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17366	B		グループ(グループ同報)DSAPアドレス	ぐるーぷ(ぐるーぷどうほう)DSAPあどれす	group (multicast) DSAP address	幾つかのLLCのグループ化を容易にするために割り当てたあて先アドレス。最低位ビットを“1”にする。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17367	B		コマンド	こまんど	command	データ通信において、PDUの制御部の中で示し、LLCが伝送する命令。この命令によって相手局LLCは、指定されたデータリンク制御機能を実行する。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17368	B		コマンドPDU	こまんどPDU	command PDU	LLCが伝送するC/Rビットが“0”のすべてのPDU。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17369	B		制御部	せいぎょぶ	control field	PDUのDSAPとSSAPアドレス部の次にくるオクテット。制御部の内容は、DSAPアドレス部で示されたあて先LLCによって次のとおりに解釈される。(a)コマンドとして、SSAPアドレス部によって示される送信元LLCからある決められた機能を果たすことを命令する。(b)レスポンスとして、SSAPアドレス部によって示される送信元LLCから返される。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17370	B		情報部	じょうほうぶ	information field	制御部からPDUの最後までにあるオクテット列。LLC副層では、IPDU、TEST PDU及びUI PDUに含まれる情報部の内容を解釈しない。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17371	B		媒体アクセス制御(MAC)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)	MAC	LLC副層の下位にあり、媒体アクセス制御機能をサポートする局の一部。このMACは、データ単位のフレーム作成、分解、誤り検出及び物理媒体の監視を行う。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17372	B		プロトコルデータ単位(PDU)	ぷろとこるでーたたんい(PDU)	protocol data unit (PDU)	MAC副層から送られる、又はMAC副層に届けられる連続したオクテット列の単位。正規のPDUは、最小3オクテット長で二つのアドレス部と一つの制御部を含む。PDUは、情報部を含んでも含まなくてもよい。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17373	B		レスポンス	れすぽんす	response	データ通信において、レスポンスPDUの制御部の中で表現される応答。一つ以上のコマンドPDUに対してLLCが行った動作について応答する。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17374	B		レスポンスPDU	れすぽんすPDU	response PDU	LLCが伝送するC/Rビットが“1”のすべてのPDU。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17375	B		論理リンク制御(LLC)	ろんりりんくせいぎょ(LLC)	LLC	一つ以上の論理リンクの論理リンク制御機能をサポートする局の一部。LLCは、伝送のためにコマンドPDU及びレスポンスPDUを生成し、受信したコマンドPDUとレスポンスPDUとを解釈する。LLCは、次の機能をもつ。(a)PDUの送受信の初期化。(b)データのフロー制御。(c)受信したコマンドPDUの解釈及び適切なレスポンスPDUの生成。(d)LLC副層での誤り制御及びその回復機能。(備)ハイレベルデータリンク制御手順に関連する略語及び用語の意味は、JIS X 5105による。	JIS X 5251	1989	ISO/IEC 8802-2	1989		2002/8要	1998	1998	SC6
17376	B		接続ユニットインタフェース、AUI	せつぞくゆにっとえいんたふぇーす、AUI	attachment unit interface	LANにおける、自局内のMAUとDTEとの間のインタフェース。(備)このAUIは、DTEのPLS副層とMAUのPMA副層との間で符号化された制御信号及びデータ信号を運び、全二重データ伝送機能を提供する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17377	B		ビット伝送速度(BR)	びっとでんそうそくど	BR	媒体上に1秒間当たり伝送されるデータのビット数。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17378	B		ビット時間	びっとじかん	bit time	1単位ビットの持続時間。1/BRとする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17379	B		回路	かいろ	circuit	AUIを通して信号を伝送する媒体。データ及び制御信号を伝送する回路は、平衡伝送形のA回路及びB回路から構成され、B回路上を伝送されてくる信号の極性は、A回路上の信号とは反対とする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17380	B		クロック動作データ1、CD1	くろっくどうさでーたわん、CD1	clocked data one, CD1	マンチェスタ符号化方式によるデータ“1”を表す信号。CD1信号は、1単位ビットセルの前の1/2ビットを低レベルとし、後の1/2ビットを高レベルに符号化する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17381	B		クロック動作データ0、CD0	くろっくどうさでーたぜろ、CD0	clocked data zero, CD0	マンチェスタ符号化方式によるデータ“0”を表す信号。CD0信号は、1単位ビットセル前の1/2ビットを高レベルとし、後の1/2ビットを低レベルに符号化する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17382	B		制御信号0、CS0	せいぎょしんごうぜろ、CS0	control signal zero, CS0	制御入力回路及び制御出力回路で用いる符号化された制御信号。CS0信号は、ビット伝送速度BRと同じ伝送速度の信号とする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17383	B		アイドル、IDL	あいどる、IDL	idle, IDL	AUI伝送路上に遷移の起きていない信号の状態。IDL信号は、フレームの終わりを表すのに用い、低レベルから高レベルへの遷移の後、徐々に0レベルに近づく。駆動回路はIDL信号として少なくとも2ビット時間高レベルを送出することとし、受信回路は1.6ビット時間以内にIDL信号を検出しなければならない。詳細は、7.3による。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17384	B		ベースバンド同軸システム	べーすばんどどうじくしすてむ	baseband coaxial system	同軸ケーブルを用いた幹線媒体に情報を直接符号化して出力するシステム。伝送媒体上のいかなる点においても、衝突時以外に同時に存在できる情報信号は、一つとする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17385	B		ビット伝送速度	びっとでんそうそくど	BR	幹線媒体上に1秒当たりに伝送されるデータのビット数。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17386	B		BR/2	BR/2		BRの1/2。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17387	B		分岐ケーブル	ぶんきけーぶる	branch cable	DTEとMAUとを相互接続するための分岐用ケーブル。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17388	B		キャリア検出	きゃりあけんしゅつ	carrier sense	他の局が送信しているかどうかを検出するための動作。(備)一つ以上の局が幹線同軸ケーブルに送信を行っていることを示すために、PLS副層は、衝突存在信号をPMA副層	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17389	B		同軸ケーブル	どうじくけーぶる	coaxial cable	ベースバンド同軸システムで、幹線媒体として使用される同心円筒状の2導体(中心導体及びシールド系)の定インピーダンス伝送線。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17390	B		同軸ケーブルインタフェース	どうじくけーぶるいんたふぇーす	coaxial cable interface	同軸ケーブルとの電気的及び機械的なインタフェース。MAUに内蔵又は接続される。MDIともいう。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17391	B		同軸ケーブルセグメント	どうじくけーぶるせぐめんと	coaxial cable segment	1本の同軸ケーブル又は複数の同軸ケーブルを拡張用同軸コネクタで接続した1本の同軸ケーブルで、両端がその特性インピーダンスで終端されたもの。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17392	B		衝突	しょうとつ	collision	同時複数伝送によって生じた望ましくない状況。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17393	B		衝突存在信号	しょうとつそんざいしんごう	collision presence	物理層内のPLS副層からMAC層内のPMA副層に通知する信号であって、複数の局が幹線媒体に対して競合していることを示す信号。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17394	B		互換性インタフェース	ごかんせいいんたふぇーす	compatibility interfaces	同軸ケーブルのインタフェースであるMID、及び分岐ケーブルとのインタフェースであるAUIの二つの点でハードウェアの互換性を定義したインタフェース。別々に設計され生産された機器を同一のベースバンド同軸システムに接続することを目的とする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17395	B		媒体接続ユニット、MAU	ばいたいせつぞくゆにっと、MAU	medium attachment unit, MAU	DTEを幹線媒体に接続するための機器。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17396	B		媒体依存インタフェース、MDI	ばいたいいぞんいんたふぇーす、MDI	medium dependent interface, MDI	幹線媒体とMAUとの間の機械的及び電気的インタフェース。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17397	B		物理媒体接続部、PMA	ぶつりばいたいせつぞくぶ、PMA	physical medium attachment, PMA	MAUの一部であって、機能的な回路をもつ部分。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17398	B		物理信号制御副層、PLS	ぶつりしんごうせいぎょふくそう、PLS	physical signaling, PLS	MAUとデータリンク層との間を論理的及び機能的に結合し、DTE内にある物理層の一部。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17399	B		リピータ、中継器	りぴーた、ちゅうけいき	repeater	1本のセグメントで達成できない物理的な距離又はシステム形状を端末間の最大許容線路長まで拡張するために使用する装置。正常データの信号増幅、波形再生及びタイミング再生並びに衝突信号の再生を行う。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17400	B		幹線ケーブル	かんせんけーぶる	trunk cable	ベースバンド同軸システムを構成する同軸ケーブルの幹線媒体。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17401	B		データフレーム	でーたふれーむ	data frame	あて先アドレス部、発信元アドレス部、長さ部、LLCデータ部、パッド部及びフレーム検査シーケンス部から構成されるもの。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17402	B		光媒体接続ユニット、FOMAU	ひかりばいたいせつぞくゆにっと、FOMAU	fiber optic medium attachment unit, FOMAU	FOMDIとAUI(AUIが実装されないときは、中継器のPLS部)との間に位置する物理レイヤ部で、光ファイバケーブルリンクセグメント及び入出力する符号化信号を送受又は管理す	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17403	B		光媒体依存インタフェース、FOMDI	ひかりばいたいいぞんいんたふぇーす、FOMDI	fiber optic medium-dependent interface,	光ファイバケーブルリンクセグメントとFOMAUとの間の機械的及び光学的なインタフェース。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17404	B		光物理媒体接続部、FOPMA	ひかりぶつりばいたいせつぞくぶ、FOPMA	fiber optic physical medium attachment,	FOMAUの一部であって、機能的な回路をもつ部分。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17405	B		FOIRL BER	FOIRL BER		FOIRLの平均ビットエラー率	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17406	B		FOIRL衝突	FOIRLしょうとつ	FOIRL collision	複数のFOMAUが同時に伝送することによって発生する衝突。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17407	B		FOIRL互換性インタフェース	FOIRLごかんせいいんたふぇーす	FOIRL compatibility interfaces	FOMDI及びAUI(任意選択)の2点で、ハードウェアの互換性を定義したインタフェース。別々に設計され生産された機器を同一のベースバンド光ファイバケーブルリンクセグメントに接続することを目的とする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17408	B		FOMAUの送信光ファイバ	FOMAUのそうしんひかりふぁいば	FOMAU's transmit optical fiber	FOMAUが信号を送信する光ファイバ。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17409	B		中継器間リンク	ちゅうけいきかんりんく	IRL, inter-repeater link	2台の中継器を接続するための機構。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17410	B		光ファイバケーブルインタフェース	ひかりふぁいばけーぶるいんたふぇーす	optical fiber cable interface	FOMDI参照	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17411	B		光ファイバケーブルリンクセグメント	ひかりふぁいばけーぶるりんくせぐめんと	optical fiber cable link segment	2本の光ファイバから構成される1本の光ファイバケーブル。9.9.5で規定する光ファイバ2本からなる1本の光ファイバケーブル又は相互に接続された複数の光ファイバケーブルで、両端に9.9.5に規定する光コネクタプラグが取り付けられたもの。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17412	B		光アイドル信号	ひかりあいどるしんごう	optical idle signal	FOMAUのDO回路がアイドル状態を検出しているとき、FOMAUが送信光ファイバに出力する信号。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17413	B		パケット	ぱけっと	packet	プリアンブル部及びフレーム開始デリミタ部以降のデータフレーム部。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17414	B		ポート	ぽーと	port	中継器ユニットの一つのセグメント又はIRLインタフェース。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17415	B		中継器ユニット	ちゅうけいきゆにっと	repeater unit	中継器セットの一部で、PMA/PLSインタフェース内にある部分。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17416	B		中継器セット	ちゅうけいきせっと	repeater set	中継器ユニットとMAUとから構成されるもの。AUIがある場合、AUIを含む。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17417	B		接続ユニットインタフェース、AUI	せつぞくゆにっといんたふぇーす、AUI	attachment unit interface	CSMA/CD LANにおける、媒体接続ユニット(MAU)とDTEとの間のインタフェース。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17418	B		ベースバンド同軸システム	べーすばんどどうじくしすてむ	baseband coaxial system	同軸ケーブルを用いた媒体に情報を直接符号化して出力するシステム。媒体上のいかなる点においても、衝突時以外に同時に存在できる情報信号は、一つとする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17419	B		キャリア検出	きゃりあけんしゅつ	carrier sense	他の局が送信しているかどうかを検出する動作。(備)一つ以上の局が幹線同軸ケーブルに送信を行っていることを示すために、PLS副層は衝突存在信号をPMA副層に出力す	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17420	B		同軸ケーブルセクション	どうじくけーぶるせくしょん	coaxial cable section	両端がBNC雄型コネクタで終端されている1本の同軸ケーブル。BNCプラグとレセプタクル又はT型アダプタとによってセクションを接続する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17421	B		同軸ケーブルセグメント	どうじくけーぶるせぐめんと	coaxial cable segment	1本の同軸ケーブル又は複数の同軸ケーブルを拡張用同軸コネクタで接続した一本の同軸ケーブルで、両端がその特性インピーダンスで終端されたもの。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17422	B		衝突	しょうとつ	collision	同時複数伝送によって生じた望ましくない状況。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17423	B		衝突存在信号	しょうとつそんざいしんごう	collision presence	物理層内のPLS副層からMAC層のPMA副層に通知する信号で、複数の局が媒体に対して競合していることを示す信号。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17424	B		媒体接続ユニット、MAU	ばいたいせつぞくゆにっと、MAU	medium attachment unit, MAU	DTEを幹線媒体に接続するための機器。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17425	B		媒体依存インタフェース、MDI	ばいたいいぞんいんたふぇーす、MDI	medium dependent interface, MDI	幹線媒体とMAUとの間の機械的及び電気的なインタフェース。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17426	B		物理媒体接続部、PMA	ぶつりばいたいせつぞくぶ、PMA	physical medium attachment, PMA	MAUの一部であって、機能的な回路をもつ部分。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17427	B		物理信号制御副層、PLS	ぶつりしんごうせいぎょふくそう、PLS	physical signaling sublayer, PLS	MAUとデータリンク層との間を論理的及び機能的に結合し、DTE内にある物理層の一部。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17428	B		リピータ、中継器	りぴーた、ちゅうけいき	repeater	1本のセグメントで達成できない物理的な距離又はシステム形状を端末間の最大許容線路長まで拡張するために使用する装置。正常データの信号増幅、派形再生及びタイミング再生並びに衝突信号の再生を行う。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17429	B		幹線ケーブル	かんせんけーぶる	trunk cable	ベースバンド同軸システムを構成する同軸ケーブルで幹線媒体である。(備)他の定義については8.1.2を参照のこと。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17430	B		接続ユニットインタフェース、AUI	せつぞくゆにっといんたふぇーす、AUI	attachment unit interface	自局内のMAUとDTEとの間のインタフェース。(備)AUIは、DTEのPLS副層とMAUのPMA副層との間で符号化された制御信号及びデータ信号を運び、全二重データ伝送機能を	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17431	B		2相位相偏移変調(2相PSK又はBPSK)	2そういそうへんいへんちょう(2そうPSKまたは	binary phase shift keying	搬送波の位相を180度変化させることによって2値データを送信する変調方式。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17432	B		ブロードバンドLAN	ぶろーどばんどらん	broadband LAN	搬送波を変調することによって情報を転送するCSMA/CD LANで、周波数多重技術によって、1本の物理伝送媒体によって複数のサービスを同時に提供することができるシス	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17433	B		CATV形ブロードバンド媒体	CATVがたぶろーどばんどばいたい	CATV-type broadband medium	CATV及びケーブルTVで使用されているものと同じスプリッタ、増幅器及びコネクタからなるブロードバンドシステム。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17434	B		チャネル	ちゃねる	channel	ブロードバンド媒体によって提供するサービスごとの周波数バンド。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17435	B		同軸ケーブル	どうじくけーぶる	coaxial cable	中心導体とシールドからなる同心円筒状の定インピーダンス伝送線。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17436	B		連続波、CW	れんぞくは、CW	continuous wave, CW	変調又はスイッチングされていない搬送波。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17437	B		dBmV	dBmV	dBmV	CATV形ブロードバンドシステムで信号レベルを規定するために使用され、75Ωで1.0mVが基準となるデシベル値。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17438	B		分岐ケーブル	ぶんきけーぶる	drop cable	ブロードバンドシステムでMAUに接続する小径の曲がりやすい同軸ケーブル。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17439	B		群遅延	ぐんちえん	group delay	部品及びシステムを通過することによって変化する位相シフトの変化率。群遅延ばらつきは、最大群遅延差である。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17440	B		ヘッドエンド	へっどえんど	headend	ブロードバンドシステムにおいて、上り信号を受信し、下り信号を送信する位置であり、分岐木の根となる位置。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17441	B		ジャバ	じゃば	jabber	通常故障のために、規定された最大パケット長より長い間、信号を局が送信する状態。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17442	B		ポストアンブル	ぽすとあんぶる	postamble	この章で規定されているブロードバンドMAUにおいて、フレーム検査シーケンス部以降に追加した信号で、BEOFD(ブロードバンドフレーム終了デリミタ部)と呼ぶ。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17443	B		反射減衰量	はんしゃげんすいりょう	return loss	あるポートに入力した信号とそのポートから反射した信号のパワー比をデシベルで表したもの。ブルードバンドシステムにおいてインピーダンス整合度を表す。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17444	B		種、シード	たね、しーど	seed	パケット送信前に設定されるスクランブル用シフトレジスタの23ビット初期値。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17445	B		スペクトラムマスク	すぺくとらむますく	spectrum mask	変調信号に対して要求するパワー周波数分布を図表現したもの。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17446	B		変換処理	へんかんしょり	translation	単一ケーブルシステムでのヘッドエンドで実行される処理で、ある周波数で入力される信号を他の周波数に変換する処理。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17447	B		切捨て損失	きりすてそんしつ	truncation loss	変調信号をある定められた周波数帯域に圧縮するためのフィルタ処理において、その処理前後の信号のパワー差を表したもの。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17448	B		幹線ケーブル	かんせんけーぶる	trunk cable	大口径ブロードバンド同軸ケーブルの主ケーブル。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17449	B		ビットセル	びっとせる	bit cell	情報データ(CD0又はCD1)又は制御シンボル(CVH又はCVL)の転送のために必要とされる時間幅。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17450	B		ビット伝送速度、BR	びっとでんそうそくど、BR	bit rate, BR	媒体上に1秒間当たりに伝送されるデータのビット数。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17451	B		ビット時間、BT	びっとじかん、BT	bit time, BT	1単位ビット持続時間。1/BRとする。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17452	B		キャリア検出	きゃりあけんしゅつ	carrier sense	他の局が送信しているかどうかを検出するための動作。一つ以上の動作。一つ以上の局が同時に送信を行っていることを示すために、PLS副層は、衝突存在信号をPMA副層に出力することに注意すること。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17453	B		クロック動作データ1、CD1	くろっくどうさでーた1、CD1	clocked data one, CD1	マンチェスタ符号化方式によるデータ"1"を表す信号。CD1信号は、1単位ビットセルの前の1/2ビットを低レベルとし、後の1/2ビットを高レベルに符号化する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17454	B		クロック動作高レベル符号則違反、CVH	くろっくどうさこうれべるふごうそくいはん、CVH	clocked violation HI, CVH	マンチェスタ符号化規則を意図的に違反したシンボルで、衝突存在信号の一つとして用いる。CVHは、ビットセルの先頭で低レベルから高レベルに遷移し、ビットセル中は高レベルを維持し、ビットセルの末端で高レベルから低レベルに遷移するものである。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17455	B		クロック動作低レベル符号則違反、CVL	くろっくどうさていれべるふごうそくいはん、CVL	clocked violation LO, CVL	マンチェスタ符号化規則を意図的に違反したシンボルで、衝突存在信号の一つとして用いる。CVLは、ビットセルの先頭で高レベルから低レベルに遷移し、ビットセル中は低レベルを維持し、ビットセルの末端で低レベルから高レベルに遷移するものである。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17456	B		衝突	しょうとつ	collision	同時複数伝送によって生じた望ましくない状況。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17457	B		衝突存在信号、CP	しょうとつそんざいしんごう、CP	collision presence, CP	ハブによって生成される非マンチェスタ符号で衝突又は誤り状態を報告する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17458	B		ヘッダハブ、HH	へっだはぶ、HH	header hub, HH	ハブ階層の最上位ハブ。HHは、低レベルのハブ又はDTEからの信号を同報する。その結果、HHから直接又は中間のハブを介してすべてのDTEが信号を受信する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17459	B		ハブ	はぶ	hub	DTEを相互接続するための装置。ハブは、信号の振幅とタイミングの再生、衝突の検出と通知及び低レベルのハブとDTEへの信号の同報を実行する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17460	B		アイドル、IDL	あいどる、IDL	idle, IDL	伝送線上で遷移のない状態で、パケット間の時間を定義するために使用する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17461	B		中間ハブ、IH	ちゅうかんはぶ、IH	intermediate hub, IH	ハブ階層のヘッダハブより低位のハブ。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17462	B		ジャバ機能	じゃばきのう	jabber function	異常に長い送信を抑制する機構。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17463	B		特殊リンク、SL	とくしゅりんく、SL	special link, SL	通常の伝送媒体に置き換える伝送システム。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17464	B		衝突ドメイン	しょうとつどめいん	collision domain	単一のCSMA/CDネットワーク。同一の衝突ドメインに二つ以上のMAC副層が存在し、二つのMAC副層が同時に送信した場合、衝突が発生する。衝突ドメインは中継器によって分割されないが、ブリッジによって分割される。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17465	B		リンクセグメント	りんくせぐめんと	link segment	二つのMDI間のポイント―ポイント全二重媒体コネクション	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17466	B		セグメント	せぐめんと	segment	コネクタを含めた一つのCSMA/CD LANにおけるMDI間の媒体コネクション。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17467	B		ビット時間	びっとじかん	bit time, BT	1ビットのシンボル時間幅。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17468	B		衝突	しょうとつ	collision	同時複数伝送によって生じた望ましくない状況。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17469	B		共通モード電圧	きょうつうもーどでんあつ	common-mode voltage	平衡回路に供給した二つの信号について、ある電位を基準として二つの信号の平均を表す瞬時電圧で、縦電圧とも呼ばれる。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17470	B		クロスコネクト	くろすこねくと	cross connect	配線室内の壁又は棚に搭載される接続点の集合。より対線を機械的に終端したり、ビル内配線を相互接続する。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17471	B		差動モード電圧	さどうもーどでんあつ	differential-mode voltage	平衡回路に供給した二つの信号について、ある電位を基準として二つの信号の差を表す瞬時電圧で、横電圧とも呼ばれる。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17472	B		MDI	MDI	medium-dependent interface	より対線リンクセグメントとMAUとの間の機械的及び電気的なインタフェース。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17473	B		PMA	PMA	physical medium attachment (PMA)	MAUの一部であって、機能的な回路をもつ部分。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17474	B		物理信号制御副層、PLS	ぶつりしんごうせいぎょふくそう、PLS	physical signaling (PLS) sublayer	MAUとデータリンク層との間を論理的及び機能的に結合し、DTE内にある物理層の一部。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17475	B		単方向リンクセグメント	たんほうこうりんくせぐめんと	simplex link segment	終端コネクタを含む二つのMAU間の2本一対のより対線であり、パッチパネル、壁面アウトレットなどの適当な接続方法で縦続に接続される一対以上より対線から構成される。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17476	B		より対線	よりついせん	twisted pair	2本の連続した絶縁導体で、他の1本に対してらせん状にひねられたもの。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17477	B		より対線ケーブル	よりついせんけーぶる	twisted-pair cable	保護されたかい(鎧)装内のより対線の集合。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17478	B		より対線ケーブルの結束集合	よりついせんけーぶるのけっそくしゅうごう	twisted-pair cable binder group	互いに結束されたケーブル内のより対線の集合。太い電話用ケーブルは、結束集合間近端漏話性能が優れた結束集合を複数本集めたものからなる。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17479	B		より対線リンク	よりついせんりんく	twisted-pair link	1本のより対線リンクセグメント及びそれに接続された2個のMAU。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17480	B		より対線リンクセグメント(全二重リンクセグメント)	よりついせんりんくせぐめんと(ぜんにじゅうりんくせぐめんと	twisted-pair link segment (duplex link segment)	2個のMAUの接続のための2本の単方向リンクセグメント。	JIS X 5252	1995	ISO/IEC 8802-3	1993		2003/12	2000	2000	SC6
17481	A		10BASE2	10BASE2	10BASE2		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17482	A		10BASE5	10BASE5	10BASE5		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17483	A		10BASE-F	10BASE-F	10BASE-F		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17484	A		10BASE-FB ポート	10BASE-FB ぽーと	10BASE-FB port		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17485	A		10BASE-FB セグメント	10BASE-FB せぐめんと	10BASE-FB segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17486	A		10BASE-FL セグメント	10BASE-FL せぐめんと	10BASE-FL segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17487	A		10BASE-FP セグメント	10BASE-FP せぐめんと	10BASE-FP segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17488	A		10BASE-FP スター	10BASE-FP すたー	10BASE-FP Star		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17489	A		10BASE-T	10BASE-T	10BASE-T		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17490	A		100BASE-FX	100BASE-FX	100BASE-FX		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17491	A		100BASE-T	100BASE-T	100BASE-T		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17492	A		100BASE-T2	100BASE-T2	100BASE-T2		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17493	A		100BASE-T4	100BASE-T4	100BASE-T4		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17494	A		100BASE-TX	100BASE-TX	100BASE-TX		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17495	A		100BASE-X	100BASE-X	100BASE-X		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17496	A		1000BASE-CX	1000BASE-CX	1000BASE-CX		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17497	A		1000BASE-LX	1000BASE-LX	1000BASE-LX		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17498	A		1000BASE-SX	1000BASE-SX	1000BASE-SX		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17499	A		1000BASE-T	1000BASE-T	1000BASE-T		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17500	A		1000BASE-X	1000BASE-X	1000BASE-X		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17501	A		10BROAD36	10BROAD36	10BROAD36		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17502	A		1BASE5	1BASE5	1BASE5		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17503	A		4D-PAM5	4D-PAM5	4D-PAM5		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17504	A		8B/10B 伝送符号	8B/10B でんそうふごう	8B/10B transmission code		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17505	A		8B1Q4	8B1Q4	8B1Q4		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17506	A		能力	のうりょく	ability		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17507	A		肯定応答ビット	こうていおうとうびっと	Acknowledge Bit		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17508	A		アクタ	あくた	Actor		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17509	A		公表能力	こうひょうのうりょく	advertised ability		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17510	A		エージェント	えーじぇんと	agent		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17511	A		エージェントコード	えーじぇんとこーど	agent code		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17512	A		アグリゲーションキー、集成キー	あぐりげーしょんきー、しゅうせいきー	Aggregation Key		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17513	A		アグリゲーションリンク、集成リンク	あぐりげーしょんりんく、しゅうせいりんく	Aggregation Link		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17514	A		アグリゲーションポート、集成ポート	あぐりげーしょんぽーと、しゅうせいぽーと	Aggregation Port		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17515	A		アグリゲーションシステム、集成システム	あぐりげーしょんしすてむ、しゅうせいしすてむ	Aggregation System		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17516	A		アジャイル装置	あじゃいるそうち	agile device		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17517	A		調整	ちょうせい	arbitration		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17518	A		接続ユニットインタフェース	せつぞくゆにっといんたふぇーす	Attachment Unit Interface (AUI)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17519	A		オートネゴシエーション、自動ネゴシエーション	おーとねごしえーしょん、じどうねごしえーしょん	Auto-Negotiation		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17520	A		平衡ケーブル	へいこうけーぶる	balanced cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17521	A		ベースバンド同軸システム	べーすばんどどうじくしすてむ	baseband coaxial system		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17522	A		ベースリンクコードワード	べーすりんくこーどわーど	Base Link Code Word		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17523	A		ベースページ	べーすぺーじ	Base Page		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17524	A		ボー	ぼー	baud		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17525	A		2相位相変調	2そういそうへんちょう	Binary Phase Shift Keying (Binary PSK or BPSK)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17526	A		ビットセル	びっとせる	bit cell		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17527	A		ビットエラー率	びっとえらーりつ	bit error ratio (BER)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17528	A		ビット伝送速度	びっとでんそうそくど	bit rate (BR)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17529	A		ビット伝送速度の二分の一	びっとでんそうそくどのにぶんのいち	bit rate (BR)/2		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17530	A		ビット時間	びっとじかん	bit time (BT)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17531	A		ビット伝送速度の二分の一	びっとでんそうそくどのにぶんのいち	BR/2		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17532	A		分岐ケーブル	ぶんきけーぶる	branch cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17533	A		ブリッジ	ぶりっじ	bridge		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17534	A		ブロードバンドローカルエリアネットワーク	ぶろーどばんどろーかるえりあねっとわーく	broadband local area network (LAN)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17535	A		束	たば	bundle		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17536	A		キャリア延長	きゃりあえんちょう	carrier extension		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17537	A		キャリア検出	きゃりあけんしゅつ	carrier sense		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17538	A		カテゴリ3平衡ケーブルリング	かてごり3へいこうけーぶるりんぐ	Category 3 balanced cabling		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17539	A		カテゴリ4平衡ケーブルリング	かてごり4へいこうけーぶるりんぐ	Category 4 balanced cabling		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17540	A		カテゴリ5平衡ケーブルリング	かてごり5へいこうけーぶるりんぐ	Category 5 balanced cabling		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17541	A		CATV型ブロードバンド媒体	CATVがたぶろーどばんどばいたい	CATV-type broadband medium		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17542	A		中心波長	ちゅうしんはちょう	center wavelength		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17543	A		チャネル	ちゃねる	channel		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17544	A		光チャネル損失	ひかりちゃねるそんしつ	channel insertion loss		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17545	A		回路	かいろ	circuit		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17546	A		クラスIリピータ	くらすIりぴーた	Class I repeater		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17547	A		クラスIIリピータ	くらすIIりぴーた	Class II repeater		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17548	A		クロック動作データ1(CD1)	くろっくどうさでーたわん(CD1)	Clocked Data One (CD1)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17549	A		クロック動作データ0	くろっくどうさでーた0	Clocked Data Zero (CD0)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17550	A		クロック動作高レベル符号則違反	くろっくどうさこうれべるふごうそくいはん	Clocked Violation HI (CVH)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17551	A		クロック動作低レベル不語句則違反	くろっくどうさていれべるふごくそくいはん	Clocked Violation LO (CVL)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17552	A		同軸ケーブル	どうじくけーぶる	coaxial cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17553	A		同軸ケーブルインタフェース	どうじくけーぶるいんたふぇーす	coaxial cable interface		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17554	A		同軸ケーブルセクション	どうじくけーぶるせくしょん	coaxial cable section		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17555	A		同軸ケーブルセグメント	どうじくけーぶるせぐめん	coaxial cable segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17556	A		コードビット	こーどびっと	code-bit		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17557	A		コードグループ	こーどぐるーぷ	code-group		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17558	A		コードグループアライメント	こーどぐるーぷあらいめん	code-group alignment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17559	A		コードグループスリッピン	こーどぐるーぷすりっぴん	code-group slipping		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17560	A		符号規則違反	ふごうきそくいはん	Code Rule Violation (CRV)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17561	A		衝突	しょうとつ	collision		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17562	A		衝突ドメイン	しょうとつどめいん	collision domain		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17563	A		衝突存在信号	しょうとつそんざいしんごう	collision presence		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17564	A		コンマ	こんま	comma		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17565	A		コンマ-	こんま-	comma-		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17566	A		コンマ+	こんま+	comma+		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17567	A		コモンモード電圧	こもんもーどでんあつ	common-mode voltage		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17568	A		CATV	CATV	Community Antenna Television (CATV)-type broadband medium		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17569	A		互換性インタフェース	ごかんせいいんたふぇー	compatibility interfaces		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17570	A		連続波	れんぞくは	continuous wave (CW)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17571	A		コントロールモード	こんとろーるもーど	Control mode		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17572	A		制御信号1	せいぎょしんごうわん	Control Signal One (CS1)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17573	A		制御信号0	せいぎょしんごうぜろ	Control Signal Zero (CS0)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17574	A		カンバセーション	かんばせーしょん	Conversation		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17575	A		クロスコネクト	くろすこねくと	cross connect		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17576	A		データフレーム	でーたふれーむ	data frame		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17577	A		データモード	でーたもーど	Data mode		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17578	A		データ端末装置	でーたたんまつそうち	data terminal equipment (DTE)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17579	A		dBmV	dBmV	dBmV		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17580	A		専用サービス	せんようさーびす	dedicated service		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17581	A		差動モード電圧	さどうもーどでんあつ	differential-mode voltage		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17582	A		差動スキュー	さどうすきゅー	differential skew		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17583	A		分散スロープ	ぶんさんすろーぷ	dispersion slope		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17584	A		分岐ケーブル	ぶんきけーぶる	drop cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17585	A		二対ケーブル全二重	についけーぶるぜんにじゅう	dual duplex		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17586	A		全二重チャネル	ぜんにじゅうちゃねる	duplex channel		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17587	A		8ピンモジュラ	8ぴんもじゅら	eight-pin modular		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17588	A		カプセル化	かぷせるか	encapsulation		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17589	A		End_of_Packetデリミタ(EPD)	End_of_Packetでりみた(EPD)	End_of_Packet Delimiter (EPD)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17590	A		End-of-Streamデリミタ(ESD)	End-of-Streamでりみた(ESD)	End-of-Stream Delimiter (ESD)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17591	A		終端局	しゅうたんきょく	end station		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17592	A		例外期間	れいがいきかん	Exception Window		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17593	A		拡張ビット	かくちょうびっと	extension bit		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17594	A		消光比	しょうこうひ	Extinction Ratio		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17595	A		アイ開口度劣化	あいかいこうどれっか	eye-opening penalty		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17596	A		高速リンクパルスバースト	こうそくりんくぱるすばーす	Fast Link Pulse (FLP)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17597	A		高速リンクパルスバーストシーケンス	こうそくりんくぱるすばーすとしーけんす	Fast Link Pulse (FLP) Burst Sequence		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17598	A		光ファイバケーブル	ひかりふぁいばけーぶる	fiber optic cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17599	A		光ファイバリピータ間リンク	ひかりふぁいばりぴーたかんりんく	Fiber Optic Inter-Repeater Link (FOIRL)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17600	A		FOIRLのビットエラー率	FOIRLのびっとえらーりつ	Fiber Optic Inter-Repeater Link (FOIRL) bit error rate (BER)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17601	A		FOIRL衝突	FOIRLしょうとつ	Fiber Optic Inter-Repeater Link (FOIRL)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17602	A		FOIRL互換性インタフェース	FOIRLごかんせいいんたふぇーす	Fiber Optic Inter-Repeater Link (FOIRL) Compatibility Interface		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17603	A		FOIRLセグメント	FOIRLせぐめんと	Fiber Optic Inter-Repeater Link (FOIRL)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17604	A		光媒体接続ユニット	ひかりばいたいせつぞくゆにっと	Fiber Optic Medium Attachment Unit (FOMAU)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17605	A		FOMAUの受信光ファイバ	FOMAUのじゅしんひかりふぁいば	Fiber Optic Medium Attachment Unit's (FOMAU's) Receive Optical Fiber		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17606	A		FOMAUの送信光ファイバ	FOMAUのそうしんひかりふぁいば	Fiber Optic Medium Attachment Unit's (FOMAU's) Transmit Optical Fiber		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17607	A		光媒体依存インタフェース	ひかりばいたいいぞんいんたふぇーす	Fiber Optic Medium Dependent Interface (FOMDI)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17608	A		光物理媒体接続	ひかりぶつりばいたいせつぞく	Fiber Optic Physical Medium Attachment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17609	A		ファイバペア	ふぁいばぺあ	fiber pair		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17610	A		ファイバチャネル	ふぁいばちゃねる	Fibre Channel (FC-PH)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17611	A		光ファイバ分散データインタフェース	ひかりふぁいばぶんさんでーたいんたふぇーす	Fibre Distributed Data Interface (FDDI)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17612	A		高速リンクパルスバースト	こうそくりんくぱるすばーす	FLP Burst		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17613	A		光ファイバリピータ間リンク	ひかりふぁいばりぴーたかんりんく	FOIRL		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17614	A		光媒体接続ユニット	ひかりばいたいせつぞくゆにっと	FOMAU		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17615	A		全二重	ぜんにじゅう	full duplex		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17616	A		ギガビット媒体非依存インタフェース (GMII)	ぎがびっとばいたいひいぞんいんたふぇーす	Gigabit Media Independent Interface (GMII)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17617	A		郡	ぐん	group		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17618	A		郡遅延	ぐんちえん	group delay		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17619	A		半二重	はんにじゅう	half duplex		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17620	A		ヘッドエンド	へっどえんど	headend		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17621	A		ヘッダハブ	へっだはぶ	header hub (HH)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17622	A		ハブ	はぶ	hub		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17623	A		アイドル	あいどる	idle (IDL)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17624	A		アイドルモード	あいどるもーど	Idle mode		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17625	A		インバンドシグナリング	いんばんどしぐなりんぐ	in-band signaling		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17626	A		中間ハブ	ちゅうかんはぶ	intermediate hub (IH)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17627	A		パケット間ギャップ	ぱけっとかんぎゃっぷ	Inter-Packet Gap (IPG)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17628	A		リピータ間リンク	りぴーたかんりんく	Inter-Repeater Link (IRL)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17629	A		符号間干渉変化	ふごうかんかんしょうへんか	intersymbol interference penalty		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17630	A		ジャバ	じゃば	jabber		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17631	A		ジャバ機能	じゃばきのう	Jabber function		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17632	A		ジャンパーケーブル組立	じゃんぱーけーぶるくみたて	Jumper Cable Assembly		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17633	A		リンク	りんく	link		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17634	A		リンクアグリゲーション郡、リンク集成郡	りんくあぐりげーしょんぐん、りんくしゅうせいぐん	Link Aggregation Group		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17635	A		リンクコードワード	りんくこーどわーど	Link Code Word		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17636	A		リンクパートナ	りんくぱーとな	link partner		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17637	A		リンクペナルティ	りんくぺなるてぃ	link penalties		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17638	A		リンクパルス	りんくぱるす	link pulse		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17639	A		リンクセグメント	りんくせぐめんと	link segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17640	A		リンクセグメント遅延値	りんくせぐめんとちえんち	Link Segment Delay Value (LSDV)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17641	A		ローカルデバイス能力	ろーかるでばいすのうりょく	local ability		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17642	A		ローカルデバイス	ろーかるでばいす	local device		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17643	A		管理情報ベース	かんりじょうほうべーす	Management Information Base (MIB)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17644	A		管理インタフェース	かんりいんたふぇーす	management interface		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17645	A		マスタPHY	ますたPHY	master Physical Layer (PHY)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17646	A		最大差動入力	さいだいさどうにゅうりょく	maximum differential input		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17647	A		媒体アクセス制御	ばいたいあくせすせいぎょ	Media Access Control (MAC)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17648	A		媒体非依存インタフェース	ばいたいひいぞんいんたふぇーす	Media Independent Interface (MII)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17649	A		媒体接続ユニット	ばいたいせつぞくゆにっと	Medium Attachment Unit (MAU)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17650	A		媒体依存インタフェース	ばいたいいぞんいんたふぇーす	Medium Dependent Interface (MDI)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17651	A		メッセージコード	めっせーじこーど	Message Code (MC)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17652	A		メッセージページ	めっせーじぺーじ	Message Page (MP)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17653	A		最低差動受信感度	さいていさどうじゅしんかんど	minimum differential sensitivity		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17654	A		複合セグメント	ふくごうせぐめんと	mixing segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17655	A		マルチポートデバイス	まるちぽーとでばいす	multiport device		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17656	A		ネットワーク管理センタ	ねっとわーくかんりせんた	network control host		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17657	A		ネクストページ	ねくすとぺーじ	Next Page		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17658	A		ネクストページアルゴリズ	ねくすとぺーじあるごりず	Next Page Algorithm		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17659	A		ネクストページビット	ねくすとぺーじびっと	Next Page Bit		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17660	A		ニブル	にぶる	nibble		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17661	A		ノーマルリンクパルス	のーまるりんくぱるす	NLP		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17662	A		NRZI	NRZI	Non-Return-to-Zero, Invert on Ones (NRZI)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17663	A		NRZIビット	NRZIびっと	Non-Return-to-Zero, Invert on Ones (NRZI)-bit		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17664	A		正規化振幅	せいきかしんぷく	normalized amplitude		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17665	A		ノーマルリンクパルス	のーまるりんくぱるす	Normal Link Pulse (NLP)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17666	A		NLP受信リンク完全性テスト機能	NLPじゅしんりんくかんぜんせいてすときのう	Normal Link Pulse (NLP) Receive Link Integrity Test function		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17667	A		NLPシーケンス	NLPしーけんす	Normal Link Pulse (NLP) sequence		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17668	A		NRZI	NRZI	NRZI		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17669	A		オフライン	おふらいん	offline		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17670	A		光ファイバ	ひかりふぁいば	optical fiber		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17671	A		光ファイバケーブルインタフェース	ひかりふぁいばけーぶるいんたふぇーす	Optical Fiber Cable Interface		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17672	A		光ファイバケーブルリンクセグメント	ひかりふぁいばけーぶるりんくせぐめんと	Optical Fiber Cable Link Segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17673	A		光アイドル信号	ひかりあいどるしんごう	Optical Idle Signal		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17674	A		光インタフェース	ひかりいんたふぇーす	Optical Interface		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17675	A		命令セット	めいれいせっと	ordered set		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17676	A		アウトバンドシグナリング	あうとばんどしぐなりんぐ	out-of-band signaling		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17677	A		全モード励振	ぜんもーどれいしん	overfilled launch		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17678	A		パケット	ぱけっと	packet		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17679	A		ページ	ぺーじ	page		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17680	A		PAM5×5	PAM5×5	PAM5×5		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17681	A		並行探知	へいこうたんち	parallel detection		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17682	A		パートナ	ぱーとな	Partner		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17683	A		受動型スターカップラ	じゅどうがたすたーかっぷ	Passive-Star Coupler		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17684	A		パッチコード	ぱっちこーど	patch cord		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17685	A		パッチパネル	ぱっちぱねる	patch panel		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17686	A		経路	けいろ	path		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17687	A		パス遅延値	ぱすちえんち	Path Delay Value (PDV)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17688	A		パスIPG変動値	ぱすIPGへんどうち	Path Variability Value		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17689	A		ポーズ	ぽーず	pause		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17690	A		物理符号化副層	ぶつりふごうかふくそう	Physical Coding Sublayer (PCS)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17691	A		物理層エンティティ	ぶつりそうえんていてい	Physical Layer entity		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17692	A		物理媒体接続副層	ぶつりばいたいせつぞくふくそう	Physical Medium Attachment (PMA)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17693	A		物理媒体依存副層	ぶつりばいたいいぞんふくそう	Physical Medium Dependent (PMD)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17694	A		物理信号制御副層	ぶつりしんごうせいぎょふくそう	Physical Signaling Sublayer (PLS)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17695	A		ポート	ぽーと	port		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17696	A		ポストアンブル	ぽすとあんぶる	postamble		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17697	A		光パワーバジェット	ひかりぱわーばじぇっと	power budget		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17698	A		接頭	せっとう	prepend		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17699	A		優先度解決	ゆうせんどかいけつ	priority resolution		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17700	A		優先度解決表	ゆうせんどかいけつひょう	Priority Resolution Table		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17701	A		Q値	Qち	Q		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17702	A		Qタグ接頭部	Qたぐせっとうぶ	QTag Prefix		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17703	A		カッド	かっど	quad		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17704	A		5値	5ち	quinary		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17705	A		5値信号	5ちしんごう	quinary symbol		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17706	A		放射状全モード励振	ほうしゃじょうぜんもーどれいしん	radial overfilled launch		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17707	A		受信機トレーニング	じゅしんきとれーにんぐ	receiver training		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17708	A		リコンシリエーション副層、調停副層	りこんしりえーしょんふくそう、ちょうていふくそう	Reconciliation Sublayer (RS)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17709	A		相対強度ノイズ	そうたいきょうどのいず	relative intensity noise		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17710	A		リモートフォールト	りもーとふぉーると	remote fault		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17711	A		再ネゴシエーション	さいねごしえーしょん	renegotiation		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17712	A		リピータ	りぴーた	repeater		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17713	A		リピータポート	りぴーたぽーと	repeater port		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17714	A		リピータセット	りぴーたせっと	repeater set		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17715	A		リピータユニット	りぴーたゆにっと	repeater unit		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17716	A		再トレーニング	さいとれーにんぐ	retraining		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17717	A		反射減衰量	はんしゃげんすいりょう	Return Loss		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17718	A		二乗平均平方根スペクトル幅	にじょうへいきんへいほうこんすぺくとるはば	rms Spectral Width		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17719	A		ルータ	るーた	router		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17720	A		同一符号連続長	どういつふごうれんぞく	run length		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17721	A		同一符号連続長制限コード	どういつふごうれんぞくちょうせいげんこーど	run-length-limited code		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17722	A		ランニングディスパリティ	らんにんぐでぃすぱりてぃ	running disparity		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17723	A		シード	しーど	Seed		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17724	A		セグメント	せぐめんと	segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17725	A		セグメント遅延値	せぐめんとちえんち	Segment Delay Value		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17726	A		セグメントIPG変動値	せぐめんとIPGへんどうち	Segment Variability Value (SVV)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17727	A		セレクタフィールド	せれくたふぃーるど	Selector field		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17728	A		共有サービス	きょうゆうさーびす	shared service		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17729	A		シールド付きより対線	しーるどつきよりついせん	shielded twisted-pair (STP) cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17730	A		サイドストリームスクランブ	さいどすとりーむすくらん	side stream scrambling		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17731	A		単方向光ファイバリンクセグメント	たんほうこうひかりふぁいばりんくせぐめんと	Simplex Fiber Optic Link Segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17732	A		単方向リンクセグメント	たんほうこうりんくせぐめ	simplex link segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17733	A		シングルポートデバイス	しんぐるぽーとでばいす	single-port device		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17734	A		ペア線間スキュー	ぺあせんかんすきゅー	skew between pairs		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17735	A		スレーブPHY	すれーぶPHY	slave Physical Layer		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17736	A		狭巾パルス	せまはばるす	sliver		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17737	A		特殊リンク	とくしゅりんく	special link (SL)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17738	A		半値全巾	はんねぜんはば	Spectral Width, Full-Width Half Maximum (FWHM)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17739	A		スペクトラムマスク	すぺくとらむますく	spectrum mask		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17740	A		星型カッド	ほしがたかっど	star quad		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17741	A		Start_of_Packetデリミタ	Start_of_Packetでりみた	Start_of_Packet Delimiter (SPD)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17742	A		Start-of-Streamデリミタ	Start-of-Streamでりみた	Start-of-Stream Delimiter (SSD)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17743	A		ストリーム	すとりーむ	stream		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17744	A		レイヤ2スイッチ	れいやにすいっち	switch		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17745	A		シンボル	しんぼる	symbol		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17746	A		シンボル間隔	しんぼるかんかく	symbol period		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17747	A		シンボル速度	しんぼるそくど	symbol rate (SR)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17748	A		シンボル時間	しんぼるじかん	symbol time (ST)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17749	A		タグ付きMACフレーム	たぐつきMACふれーむ	tagged MAC frame		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17750	A		テクノロジ能力フィールド	てくのろじのうりょくふぃーるど	Technology Ability Field		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17751	A		3値信号	3ちしんごう	ternary symbol		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17752	A		レベル変化頻度	れべるへんかひんど	transition density		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17753	A		周波数変換	しゅうはすうへんかん	translation		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17754	A		帯域外損失	たいいきがいそんしつ	truncation loss		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17755	A		幹線ケーブル	かんせんけーぶる	trunk cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17756	A		より対線	よりついせん	twisted pair		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17757	A		より対線	よりついせん	twisted-pair cable		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17758	A		より対線の結束集合	よりついせんのけっそくしゅうごう	twisted-pair cable binder group		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17759	A		より対線リンク	よりついせんりんく	twisted-pair link		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17760	A		より対線リンクセグメント	よりついせんりんくせぐめんと	twisted-pair link segment		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17761	A		未フォーマットページ	みふぉーまっとぺーじ	Unformatted Page (UP)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17762	A		非シールドより対線	ひしーるどよりついせん	unshielded twisted-pair cable (UTP)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17763	A		6T符号重み	6Tふごうおもみ	weight of 6T code group		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17764	A		最悪モード帯域幅	さいあくもーどたいいきはば	worst-case modal bandwidth (WCMB)		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17765	A		ゼロ分散波長	ぜろぶんさんはちょう	zero dispersion		JIS X 5252	2003	ISO/IEC 8802-3	2000				2000	SC6
17766	A		放棄シーケンス	ほうきしーけんす	abort sequence	フレームの伝送を途中で終了させるシーケンス。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17767	A		同報伝送	どうほうでんそう	broadcast transmission	すべての局にあてた伝送。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17768	A		ディファレンシャルマンチェスタ符号化方式	でぃふぁれんしゃるまんちぇすたふごうかほうしき	differential Manchester encoding	クロック情報及びデータビット情報をビットシンボルに符号化するために使用する方式。各ビットシンボルは、後半が前半の逆シンボルとなる二つの部分に分かれる。2進数値“0”は、ビット時間の初めのところで極性が変わることによって表す。2進数値“1”は、ビット時間の初めのところで極性が変わらないことによって表す。ディファレンシャルマンチェスタ符号化方式は、極性そのものとは無関係とする。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17769	A		フィル	ふぃる	fill	2進数値“0”、2進数値“1”又はそれらを任意に組み合わせたビットシーケンス。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17770	A		フレーム	ふれーむ	frame	リング上でプロトコルデータ単位(PDU)を運ぶ伝送単位。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17771	A		論理リンク制御	ろんりりんくせいぎょ	logical link control, (LLC)	媒体から独立したデータリンク機能を提供し、またネットワーク層にサービスを提供するために媒体アクセス制御副層のサービスを使用するデータリンク層の部分。以下、LLCと	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17772	A		媒体	ばいたい	medium	データを運ぶためのもの。媒体の例としては、より対線、同軸ケーブル及び光ファイバが	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17773	A		媒体アクセス制御	ばいたいあくせすせいぎょ	medium access control, (MAC)	リングへのアクセスを制御及び仲介するデータ局の部分。以下MACという。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17774	A		媒体インタフェースコネクタ	ばいたいいんたふぇーすこねくた	medium interface connector, (MIC)	すべての送信信号及び受信信号を規定する局と幹線結合器(TCU)間とのコネクタ。以下MICという。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17775	A		監視局	かんしきょく	monitor	各種の誤り状態を回復する局の機能。リングの各局に存在するが、一時点ではリングのただ一つの局の監視機能が動作する。リングの他の局の監視機能は、待機モードにあ	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17776	A		複数フレーム伝送	ふくすうふれーむでんそう	multiple frame	トークンを獲得したときに複数のフレームを伝送すること。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17777	A		物理層	ぶつりそう	physical (PHY) layer	媒体とのインタフェース、媒体上の信号の検出及び媒体上への信号の生成、並びに媒体及び媒体アクセス制御副層から受け取った信号の変換・処理に責任をもつ層。以下PHY	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17778	A		プロトコルデータ単位	ぷろとこるでーたたんい	protocol data unit, (PDU)	<N>プロトコル中で指定するデータの単位であり、<N>プロトコル制御情報、又は<N>プロトコル制御情報と<N>利用者データからなる。以下、PDUという。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17779	A		リピート	りぴーと	repeat	先行局からビットストリーム(例えば、フレーム、トークン又はフィル)を受信し、それを次局あてに媒体上に送出する局の動作。ビットストリームをリピートする局は、ビットストリームをバッファにコピーするか又は適切に制御ビットを修正することができる。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17780	A		リピータ	りぴーた	repeater	単一の伝送セグメント以上に伝送媒体の長さ、形態又は相互接続性を拡張するために使用する装置。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17781	A		リング遅延	りんぐちえん	ring latency	トークンリング媒体アクセス制御システムで、信号がリングを一周するために要する時間(データ伝送速度のビット時間で測る。)。リング遅延時間は、リング媒体上の信号伝ぱ(播)遅延と信号がトークンリングに接続されたすべての局を通過するための遅延時間と	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17782	A		サービスデータ単位	さーびすでーたたんい	service data unit (SDU)	<N>コネクションの一方の終端から他の終端に転送されても、その同一性を保持する一塊りの<N>インタフェースデータ。以下SDUという。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17783	A		局(又はデータ局)	きょく(またはでーたきょく)	station (or data station)	共用媒体上で情報を送受信するために、共用媒体LANに接続される物理装置。データ局は、あて先アドレスで識別する。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17784	A		局管理	きょくかんり	station management (SMT)	局のすべての層とインタフェースをもち、制御パラメタのセット、リセット、誤り状態の報告の入手及び局の媒体との接続。切離しの決定に責任をもつ局の概念上の制御エレメント。以下SMTという。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17785	A		トークン	とーくん	token	どの局が現在媒体へのアクセス権を制御しているかを示す制御権のシンボルであって、トークンアクセス方式を使用している局間で受け渡されるもの。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17786	A		伝送	でんそう	transmit	フレーム、トークン、放棄シーケンス又はフィルを生成し、それらを次局あてに伝送するために媒体上へ送出する局の動作。これは、リピートとは異なる。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17787	A		幹線ケーブル	かんせんけーぶる	trunk cable	二つの幹線結合器を接続する伝送ケーブル。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17788	A		幹線結合器	かんせんけつごうき	trunk coupling unit, (TCU)	局を幹線ケーブルに接続及び幹線ケーブルから切り離すための物理装置。幹線結合器は、局をリングに挿入するための手段、又は逆に局をバイパスさせるための手段をもつ。以下TCUという。	JIS X 5254	1999	ISO/IEC 8802-5	1995				1998	SC6
17789	A		ブリッジ接続ローカルエリアネットワーク	ぶりっじせつぞくろーかるえりあねっとわーく	Bridged Local Area Network	MACブリッジによって相互接続された個々のLANの連結	JIS X 5255	1994	ISO/IEC 10038	1993		2002/8要	ISO/IEC 15802-3 :1998	1998	SC6
17790	A		コードビット	こーどびっと	code-bit	物理層が媒体に伝送する最小信号単位。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17791	A		コードグループ	こーどぐるーぷ	code-group	DLLシンボルを表す5個のコードビットからなる特定コードビットシーケンス。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17792	A		コンセントレータ	こんせんとれーた	concentrator	FDDIに従う付加的な局がFDDIリング上の他の装置と通信できるようにコネクションを提供するFDDIリング上のノード。コンセントレータは、二つの物理層エンティティをもち、データリンク層はもたなくてもよい。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17793	A		コネクション管理	こねくしょんかんり	CMT, Connection Management	局内のPHYエンティティ及びMACエンティティのネットワークに対する挿入、除去及び接続を制御する局管理(SMT)機能の一部分。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17794	A		エンティティ	えんてぃてぃ	entity	開放型システム間相互接続(OSI)の層若しくは副層内の活動要素又は特定局のSMT。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17795	A		光ファイバ伝送技術	ひかりふぁいばでんそうぎじゅつ	fibre optics	発光器及び受光器を使用し光導波路を通じて信号を伝送する技術。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17796	A		フレーム	ふれーむ	frame	リング上のMACエンティティ間で伝送されるプロトコルデータ単位。可変個のオクテットか	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17797	A		NRZ	NRZ	nonreturn to zero (NRZ)	極性レベルの高位状態で論理"1"を、極性レベルの低位状態で論理"0"を表す符号化	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17798	A		NRZ-1	NRZ-1	non return to zero change on ones	極性遷移で論理"1"を、極性遷移なしで論理"0"を表す符号化法。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17799	A		物理コネクション	ぶつりこねくしょん	physical connection	FDDIリング上の隣接するPHYエンティティ(これらは、コンセントレータ、リピータ又は局の中にある。)間の全二重物理層結合。すなわち、一対の物理リンク。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17800	A		物理リンク	ぶつりりんく	physical link	FDDIリング上のPHYエンティティの送信機能から隣接するPHYエンティティの受信機能までの(PMD及び媒体を介しての)単方向パス。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17801	A		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive	あるエンティティから他のエンティティに提供するサービス要素。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17802	A		プロトコルデータ単位	ぷろとこるでーたたんい	PDU,Protocol Data Unit	同位エンティティ間で受け渡され、制御情報、アドレス情報及びデータ(例えば、上位層からのサービスデータ単位)を含む情報単位。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17803	A		受信	じゅしん	receive	局が媒体からフレーム、トークン又は制御シーケンスを受け取る動作。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17804	A		リピート	りぴーと	repeat	局が上流の局からのコードビットストリーム(例えば、フレーム又はトークン)を受け取り、次の局への媒体にそのコードビットストリームを送出する動作。コードビットストリームをリピートする局は、コードビットストリームを検査しなければならない。この場合、リピートする局は、コードビットストリームをバッファにコピーしても、制御指示子を修正してもよい。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17805	A		リング	りんぐ	ring	情報を活性局間で順次受け渡し、各局でその情報をリピートし、最終的にその情報を発生元の局に戻すような2台以上の局。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17806	A		サービスデータ単位	さーびすでーたたんい	SDU, Service Data Unit	サービス利用者とサービス提供者との間のデータ転送の単位。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17807	A		サービス	さーびす	service	あるエンティティから、より高位のエンティティ又はSMTに提供される機能。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17808	A		局	きょく	station	リング上のアドレス指定が可能な論理ノード及び物理ノード。局は、情報の送信、リピート及び受信を可能とする。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17809	A		局管理	きょくかんり	SMT, Station Management	リング上の局内のエンティティの一つ。局管理は、局の活動を監視し、局の活動の全体にわたる制御を行う。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17810	A		シンボル	しんぼる	symbol	データリンク層(DLL)で使用する最小信号要素。シンボル集合は、16個のデータシンボル及び8個の制御シンボルからなる。各シンボルは、物理層が伝送するコードビットの特定のシーケンス(コードグループ)に対応する。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17811	A		送信	そうしん	transmit	局が、フレーム、トークン又は制御シーケンスを生成し、次の局に伝えるために媒体上に出力する動作。	JIS X 5261	1991	ISO 9314-1	1989				1989	SC25
17812	A		非同期	ひどうき	asynchronous	すべてのサービス要求が、帯域幅及び応答時間を動的に調整し合うデータ伝送のサービスクラス。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17813	A		補そく	ほそく	capture	フレーム送信のために、リングからトークンを取り除く動作。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17814	A		クレームトークン	くれーむとーくん	claim token	一つ以上の局がリングを初期化するための権利を要求する処理。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17815	A		エンティティ	えんていてい	entity	開放型システム間相互接続(OSI)の層若しくは副層内の活動要素又は特定局のSMT。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17816	A		光ファイバ伝送技術	ひかりふぁいばでんそうぎじゅつ	fibre optics	発光器及び受光器を使用し光導波路を通じて信号を伝送する技術。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17817	A		フレーム	ふれーむ	frame	リング上のMACエンティティ間で伝送されるプロトコルデータ単位。可変個のオクテットか	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17818	A		媒体アクセス制御	ばいたいあくせすせいぎょ	MAC, Media Access Control	媒体を共有するローカルエリアネットワーク(例えば、FDDIリング)上の、データ伝送のスケジューリング及びルーティングのためのデータリンク層。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17819	A		制限なしトークン	せいげんなしとーくん	nonrestricted token	非同期帯域幅の割付けが通常モードであることを示すトークン。このモードでは、使用できる帯域幅は、すべての要求者間で時間分割される。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17820	A		オクテット	おくてっと	octet	8個の順序付けられたビット(1対のデータシンボル)からなるデータ単位。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17821	A		PHY	PHY	Physical	FDDIリング内で、上流局のMAC送信器によって作られたシンボルシーケンスを、論理的に隣接した下流局のMAC受信器に送るための物理層。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17822	A		物理コネクション	ぶつりこねくしょん	physical connection	FDDIリング上の隣接するPHYエンティティ(これらは、コンセントレータ、リピータ又は局の中にある。)間の全二重物理層結合。すなわち、一対の物理リンク。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17823	A		プリミティブ	ぷりみていぶ	primitive	あるエンティティから他のエンティティに提供するサービス要素。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17824	A		プロトコルデータ単位	ぷろとこるでーたたんい	PDU,Protocol Data Unit	同位エンティティ間で受け渡され、制御情報、アドレス情報及びデータ(例えば、上位層からのサービスデータ単位)を含む情報単位。MAC PDUは、トークン及びフレームとする。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17825	A		受信	じゅしん	receive	局が媒体からフレーム、トークン又は制御シーケンスを受け取る動作。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17826	A		リピート	りぴーと	repeat	隣接上流局からトークン又はフレームを受信し、同時にそれを隣接下流局に送る局の動作。MACは、受信PDU(トークン及びフレーム)をリピートするが、PDU間の受信シンボルシーケンスはリピートしない。フレームをリピートしているときに、MACは、必要に応じてそのデータ内容をコピーしても、制御指示子を修正してもよい。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17827	A		制限付きトークン	せいげんつきとーくん	restricted token	非同期帯域幅の割付けが特殊モードであることを示すトークン。このモードでは、非同期サービスクラスで利用できる全帯域幅が特定の要求者間の交信に占有される。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17828	A		リング	りんぐ	ring	物理媒体で接続された2台以上の局。リングでは、情報が活性局間で順次受け渡され、最終的には送信元局に戻る。各局ではその情報を検査及びリピートし、必要に応じてコ	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17829	A		サービスデータ単位	さーびすでーたたんい	SDU, Service Data Unit	サービス利用者とサービス提供者との間のデータ転送の単位。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17830	A		サービス	さーびす	service	あるエンティティから、より高位のエンティティ又はSMTに提供される機能。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17831	A		局	きょく	station	リング上のアドレス指定が可能な論理ノード及び物理ノード。局は、情報の送信、リピート及び受信を可能とする。一つのFDDI局は、一つ又は二つのPHYエンティティ、一つ以上のMACエンティティ及び一つのSMTエンティティをもつ。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17832	A		局管理	きょくかんり	SMT, Station Management	リング上の局内のエンティティの一つ。局管理は、局の活動を監視し、局の活動の全体にわたる制御を行う。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17833	A		シンボル	しんぼる	symbol	MACが使用する最小の信号要素。シンボルはPHYのSDUに当たる。シンボル集合は、16個のデータシンボル及び8個の制御シンボルからなる。それぞれのシンボルは、PHYによって転送される5ビットの特定のコードビットシーケンスに対応する。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17834	A		同期	どうき	synchronous	データ伝送のサービスクラス。このクラスでは、各要求者にあらかじめ最大帯域幅を割り付け、応答時間が特定の遅延時間を超えないことを保証する。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17835	A		トークン	とーくん	token	共有している媒体上で、送信できる権利を明示するもの。トークンは、リング上の局を順次巡回する。どの時点でも、複数の局が同時にトークンを保持することはない。FDDIでは、制限付きトークン及び制限なしトークンの二つのモードをもつ。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17836	A		送信	そうしん	transmit	局が、フレーム、トークン又は制御シーケンスを生成し、次の局に伝えるために媒体上に出力する動作。	JIS X 5262	1991	ISO 9314-2	1989				1989	SC25
17837	A		減衰	げんすい	Attenuation	dBで表した光パワーの損失量。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17838	A		平均光パワー	へいきんひかりぱわー	average power	FDDI局がHシンボルストリームを送信しているときに、平均値読取り式の出力計を用いて測定した光パワー。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17839	A		バイパス	ばいぱす	bypass	光ファイバケーブル設備を接続したままで、自局をネットワークから光学的に分離するための局の機能。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17840	A		中心波長	ちゅうしんはちょう	centre wavelength	光パワーがパワースペクトルのピーク値の50%となる二つの波長の平均値。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17841	A		コードビット	こーどびっと	code bit	物理層が媒体に伝送する最小信号単位。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17842	A		コンセントレータ	こんせんとれーた	concentrator	FDDIネットワークに自局を接続するためのPHYエンティティ及びPMDエンティティのほかに、別のPHYエンティティ及びPMDエンティティをもつFDDIノード。後者のPHYエンティティ及びPMDエンティティは、他のFDDIノード(他のコンセントレータを含む。)を木構成で接続	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17843	A		プラグ	ぷらぐ	connector plug	光ファイバケーブルを接続するために用いる雄形コネクタ。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17844	A		レセプタクル	れせぷたくる	connector receptacle	光ファイバケーブルを接続するために用いる雌形コネクタ。レセプタクルは、壁面に固定されるか又は据付けされ、プラグとかん合する。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17845	A		対向循環	たいこうじゅんかん	counter-rotating	リング構成で二つの信号パスが対向方向に循環する配置。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17846	A		二重接続コンセントレータ	にじゅうせつぞくこんせんとれーた	dual attachment concentrator	二重リングに接続するための二つの接続装置をもつコンセントレータ。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17847	A		二重接続局	にじゅうせつぞくきょく	dual attachment station	二重リングに接続するための二つの接続装置をもつ局。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17848	A		二重リング	にじゅうりんぐ	dual ring	一対の対向循環した論理リング。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17849	A		エンティティ	えんていてい	entity	開放型システム間相互接続(OSI)の層内又は副層内の活性のサービス要素又は管理	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17850	A		消光比	しょうこうひ	extinction ratio	局がHシンボルストリームを送信しているときの、低位状態(オフ状態)の光パワー(PL)と高位状態(オン状態)の光パワー(PH)との比。消光比(%)=(PL/PH)×100	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17851	A		ファイバ	ふぁいば	fibre	光を導く絶縁体の伝送媒体(導波路)。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17852	A		光ファイバケーブル	ひかりふぁいばけーぶる	fibre optic cable	一つ以上の光ファイバを束にして被覆したケーブル。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17853	A		チャネル間分離	ちゃねるかんぶんり	interchannel isolation	他の信号パスからの結合によって信号パスに現れる不要な光エネルギー(漏話)を防ぐ	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17854	A		データ依存ジッタ	でーたいぞんじった	DDJ,data dependent jitter	伝送するシンボルの順序に関係するジッタ。DDJは、光チャネルの構成要素の帯域制限特性及び不完全性に起因する。DDJは、符号化パルス列の平均値の変動及び理想的でない個々のパルス応答によって起こり、基準線の変動を発生させたり、受信器のサンプリングしきい値を変化させたりすることがある。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17855	A		デューティサイクルひずみジッタ	でゅーていさいくるひずみじった	DCD,duty cycle distortion jitter	低位状態から高位状態への遷移と高位状態から低位状態への遷移との間の伝ぱ(播)遅延の違いによって起こるひずみ。DCDは、公称ボー時間のパルス幅ひずみとして表	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17856	A		ランダムジッタ	らんだむじった	RJ,random jitter	RJは熱雑音に起因し、ガウス過程でモデル化できる。RJのピークツーピーク値は、確率的特性をもつ。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17857	A		論理リング	ろんりりんぐ	logical ring	単一リングを構成するために直列に接続したMAC群。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17858	A		媒体インタフェースコネクタ	ばいたいいんたふぇーすこねくた	MIC, media interface connector	FDDIノードと光ファイバケーブル設備との間の接続を提供する一対のコネクタ。MICは、MICプラグ及びMICレセプタクルの二つの部分からなる。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17859	A		MICプラグ	MICぷらぐ	MIC plug	光ファイバケーブルの端にあるMICの雄端。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17860	A		MICレセプタクル	MICれせぷたくる	MIC receptacle	FDDIノードに含まれるMICの雌端。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17861	A		(FDDI)ネットワーク	(FDDI)ねっとわーく	(FDDI) network	幹線、木又は複数の木を含む幹線を構成するように相互接続したFDDIノードの集合。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17862	A		ノード	のーど	node	FDDIリングの接続装置(局又はコンセントレータ)の総称。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17863	A		開口数	かいこうすう	NA, numerical aperture	光ファイバの放射角又は入射角の正弦値に、放射面又は入射面に接触する材質の屈折率を掛けた値。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17864	A		光立ち下がり時間	ひかりたちさがりじかん	optical fall time	光パルスの立ち下がり部分でパルスの振幅の90%から10%まで遷移する時間。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17865	A		光基準面	ひかりきじゅんめん	optical reference plane	MICプラグとMICレセプタクルとの間の光境界を定義する面。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17866	A		光立ち上がり時間	ひかりたちあがりじかん	optical rise time	光パルスの立ち上がりエッジがパルスの振幅の10%から90%まで遷移する時間。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17867	A		物理コネクション	ぶつりこねくしょん	physical connection	FDDIネットワーク上の隣接するPHYエンティティ(これらは、コンセントレータ又は局の中にある。)間の全二重物理層結合。すなわち、一対の物理リンク。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17868	A		物理リンク	ぶつりりんく	physical link	FDDIネットワーク上のPHYエンティティの送信機能から隣接するPHYエンティティの受信機能までの(PMD及び媒体を介しての)単方向パス。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17869	A		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive	あるエンティティから他のエンティティに提供するサービス要素。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17870	A		(光)受信器	(ひかり)じゅしんき	receiver (optical)	光信号を電気的論理信号に変換する光電変換回路。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17871	A		リング	りんぐ	ring	情報を局間で順次受け渡し、各局でその情報を試験し又はコピーし、最終的に情報を発生元の局に戻す局群。FDDIでは、"リング"又は"FDDIリング"の用語は、(対向循環の)二重リングを示す。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17872	A		サービス	さーびす	services	あるエンティティから他のエンティティに提供する機能。データサービスは、上位層のエンティティに提供する。管理サービスは、同位層又は他の層の管理エンティティに提供す	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17873	A		単一接続コンセントレータ	たんいつせつぞくこんせんとれーた	single attachment concentrator	FDDIネットワークに接続するための一つの接続装置をもつコンセントレータ。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17874	A		単一接続局	たんいつせつぞくきょく	single attachment station	FDDIネットワークに接続するための一つの接続装置をもつ局。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17875	A		スペクトル半値幅、スペクトル幅	すぺくとるはんちはば、すぺくとるはば	FWHM, full width half maximum, spectral width	スペクトル発光強度が最大光パワーの50.0%となる二つの波長の差の絶対値。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17876	A		局	きょく	station	情報の送信、リピート及び受信が可能でFDDIリング上のアドレス指定可能な論理ノード及び物理ノード。局は、一つのSMT並びに一つ以上のMAC、PHY及びPMDをもつ。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17877	A		(光)送信器	(ひかり)そうしんき	transmitter (optical)	電気的論理信号を光信号に変換する光電変換回路。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17878	A		幹線	かんせん	trunk	各方向に一つずつの(すなわち、対向循環の)二つの光ファイバ信号パスを使い、FDDIノード間の同位コネクションのシーケンスを形成する開ループ又は閉ループの物理ループ構成。幹線が閉ループを形成する場合、幹線リングと呼ぶことがある。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17879	A		木	き	tree	コンセントレータと他のFDDIノード(下位のコンセントレータを含む。)との間の主従接続の階層からなる物理構成。	JIS X 5263	1993	ISO/IEC 9314-3	1990				1990	SC25
17880	A		バースト	ばーすと	burst	隣接するCLOCK期間中に送信される語の一群。バーストは、受信側から受け取ったREADY指示ごとに、送信側が送信する。バーストは、1～256語からなる。256語未満のバーストを短バーストという。パケットは、短バーストをもたないか、又はただ1個の短バー	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17881	A		接続状態	せつぞくじょうたい	connection	送信側から受信側にデータ転送が可能になったときの、この規格によるインタフェースの	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17882	A		受信側	じゅしんがわ	destination	データを受信する機器。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17883	A		Iフィールド	Iふぃーるど	I-field	送信側から受信側への接続を確立する操作シーケンスの一部として送られる32ビット情報フィールド。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17884	A		長手方向冗長検査語	ながてほうこうじょうちょうけんさご	length(longitudinal) redundancy check-word (LLRC)	DATA BUSで、各バーストの後で送られる単一の語。送信側から受信側に送られる。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17885	A		任意選択機能	にんいせんたくきのう	optional	この規格では、要求されない機能。しかし、この規格で定義される任意選択機能を実装する場合は、この規格に従って実装しなければならない。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17886	A		パケット	ぱけっと	packet	送信側から受信側に送られるデータの集合。パケットは、一つ以上のバーストからなる。パケットの最大長は、この規格では規定しないが、実装又は上位層プロトコルで決められ	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17887	A		サービスインタフェース	さーびすいんたふぇーす	service interface(SI)	この規格によるインタフェースが上位層プロトコルにサービスを提供するもの。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17888	A		送信側	そうしんがわ	source	データを送信する機器。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17889	A		状態	じょうたい	state	遷移時を除いて、制御信号で示される、この規格によるインタフェースの現在の状況。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17890	A		局管理	きょくかんり	station management	この規格によるインタフェースを監視し、制御する管理エンティティ。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17891	A		上位層プロトコル	じょういそうぷろとこる	upper-layer protocol (ULP)	サービスインタフェースより上位のプロトコル。これらは、ハードウェア又はソフトウェアのいずれで実現してもよく、更にその両者に分散して存在してもよい。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17892	A		待機	たいき	wait	DATA BUS上に有効なデータがないときに待つ期間(CLOCK単位)。一部の待機時間は、この規格の信号プロトコルによって要求される。その他の待機時間は、流れ制御又は上位層プロトコルの操作の結果として生じてよい。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17893	A		語	ご	word	DATA BUSの幅に関係して、32ビット又は64ビットからなる情報の単位。1CLOCK期間に送信側から受信側に転送される。	JIS X 5270-1	1996	ISO/IEC 11518-1	1995				1995	SC25
17894	A		バースト	ばーすと	burst	送信側から受信側に送られる1群の語。バーストの語数は、1～256とする。256語未満のバーストを短バーストという。32ビットのHIPPI-PHの場合、バーストは、偶数個の32ビット	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17895	A		バイト	ばいと	byte	8ビットの集まり。32ビット語は4バイトからなり、64ビット語は8バイトからなる。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17896	A		接続状態	せつぞくじょうたい	connection	送信側から受信側にデータ転送が可能になったときの、この規格によるインタフェースの	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17897	A		接続制御情報	せつぞくせいぎょじょうほう	connection control information (CCI)	接続を確立する一連の操作の一部として、送信側から受信側に送られるパラメタ。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17898	A		受信側	じゅしんがわ	Destination	データを受信する機器。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17899	A		任意選択機能	にんいせんたくきのう	optional	この規格では、要求されない機能。しかし、この規格で定義される任意選択機能を実装する場合は、この規格に従って実装しなければならない。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17900	A		パケット	ぱけっと	packet	送信側から受信側に送られるデータの集合。パケットは、一つ以上のバーストからなる。パケットの最大長は、この規格では規定しないが、実装又は上位層プロトコルで決められる。パケットは、見出し、1個又は2個の上位層プロトコル(ULP)のデータ集合(任意選択機能)及び埋め草(任意選択機能)からなる。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17901	A		サービスインタフェース	さーびすいんたふぇーす	service interface (SI)	上位層プロトコル(ULP)との接続点。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17902	A		送信側	そうしんがわ	Source	データを送信する機器。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17903	A		状態	じょうたい	state	遷移時を除いて、制御プリミティブで示される、この規格によるインタフェースの現在の状	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17904	A		局管理	きょくかんり	station management	この規格によるインタフェースを監視し、制御する管理エンティティ。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17905	A		上位層プロトコルデータ集合	じょういそうぷろとこるでーたしゅうごう	ULP data set	上位層プロトコル(ULP)とHIPPI-FPとの間で転送されるデータ。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17906	A		上位層プロトコル	じょういそうぷろとこる	upper-layer protocol	HIPPI-FPサービスインタフェースのすぐ上位のプロトコル。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17907	A		語	ご	word	HIPPI-PHの語の幅に適合する、32ビット又は64ビットからなる情報の単位。語は、4バイト又は8バイトの順序付き集合からなる。	JIS X 5270-2	1997	ISO/IEC 11518-2	1996				2000	SC25
17908	A		ISO/IEC 8802-2 論理リンク制御プロトコルデータ単位	ISO/IEC 8802-2 ろんりりんくせいぎょぷろとこるでーたたんい	ISO/IEC 8802-2 LLC PDU	ISO/IEC 8802-2(ローカルエリアネットワークの論理リンク制御)の形式に従ったプロトコルデータ単位(PDU)。	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17909	A		アドレス解決	あどれすかいけつ	Address Resolution	特定の遠隔エンティティの既知の高位アドレスに対応する、低位(又はスイッチ)のアドレスを見つける一般的な処理過程。これは、既知の高位アドレスを含む問合せメッセージを公知のスイッチアドレスに送ることを含む。問合せ側は、対応するスイッチアドレスを含む	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17910	A		アドレス解決プロトコル	あどれすかいけつぷろとこる	Address Resolution Protocol (ARP)	インターネットで、アドレスを見つけるために用いるプロトコル	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17911	A		HIPPI-LEプロトコルデータ単位	HIPPI-LEぷろとこるでーたたんい	HIPPI-LE PDU	HIPPI-LEの見出し及びISO/IEC 8802-2 LLCPDUを含み、6.の形式に従ったプロトコルデータ単位(PDU)。	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17912	A		任意選択機能	にんいせんたくきのう	optional	この規格では、要求されない機能。しかし、この規格で定義される任意選択機能を実装する場合は、この規格に従って実装しなければならない。	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17913	A		プロトコルデータ単位	ぷろとこるでーたたんい	protocol data unit (PDU)	エンティティ間で取り交わされる論理単位であって、形式に従ったデータの集合。	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17914	A		サービスデータ単位	さーびすでーたたんい	service data unit (SDU)	プロトコルデータ単位と、実装者に都合のよいような任意選択情報とを含む、形式に従ったデータの集合。	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17915	A		局管理	きょくかんり	station management	この規格によるインタフェースを監視し、制御する管理エンティティ。	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17916	A		スイッチアドレス	すいっちあどれす	Switch Address	HIPPI接続の経路又は端点を選択するスイッチハードウェア領域の値。値の範囲及び形式は、スイッチのハードウェアによる。JIS X5270-6(HIPP1-SC)は、論理アドレス(12ビット)及び送信経路(24ビット)の二つの形式を定めている。	JIS X 5270-3	1997	ISO/IEC 11518-3	1996				1996	SC25
17917	A		接続状態	せつぞくじょうたい	connection	送信側から受信側にデータ転送が可能になったときの、この規格によるインタフェースの	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17918	A		接続制御情報	せつぞくせいぎょじょうほう	connection control information (CCI)	接続を確立する一連の操作の一部として、送信側から受信個に送られるパラメタ。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17919	A		端点	たんてん	end-point	特定な接続において、スイッチ網の端にある機器。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17920	A		受信側	じゅしんがわ	Destination	データを受信する機器。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17921	A		受信側端点	じゅしんがわたんてん	Destination end-point	スイッチ網の端点にあって、データを受信する機器。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17922	A		スイッチ網、ファブリック	すいっちもう、ふぁぶりっく	fabric	一つのIフィールドを用いて到達可能な一つ以上の物理層スイッチ群。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17923	A		Iフィールド	Iふぃーるど	I-Field	接続を確立する物理層スイッチの一連の操作の一部として、送信側から受信側に送られる32ビットのフィールド。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17924	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	HIPPIにおいて、送信側と受信側とを接続するのに用いるプロトコル及び制御信号の集	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17925	A		論理アドレス	ろんりあどれす	Logical Address	Iフィールドに記憶されて、受信側の端点又は端点集合を一意に識別するアドレス。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17926	A		任意選択機能	にんいせんたくきのう	optional	この規格では、要求されない機能。しかし、この規格で定義される任意選択機能を実装する場合は、この規格に従って実装しなければならない。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17927	A		パケット	ぱけっと	packet	JIS X 5270-1(HIPPI-PH)で規定される送信側から受信側に送られるデータの集合。パケットは、一つ以上のバーストからなる。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17928	A		物理層スイッチ	ぶつりそうすいっち	physical layer switch	JIS X 5270-1(HIPPI-PH)のプロトコル範囲内で、複数のHIPPI-PHインタフェースの間におけるスイッチ機能のあるHIPPI物理層インタフェースをもつ装置。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17929	A		送信側	そうしんがわ	Source	データを送信する機器。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17930	A		送信側アドレス	そうしんがわあどれす	Source Address	Iフィールドに記憶されて、送信側の端点又は端点集合を一意に識別するアドレス。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17931	A		送信側端点	そうしんがわたんてん	Source end-point	スイッチ網の端点にあって、データを送信する機器。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17932	A		送信側経路選択	そうしんがわけいろせんたく	source routeing	受信側端点に至るまでの交換経路を、送信側端点で指定するパケット経路選択の手法。	JIS X 5270-6	1997	ISO/IEC 11518-6	1996				2000	SC25
17933	A		発呼側NS利用者	はっこがわNSりようしゃ	calling NS user	(この定義は1991年版より引用)NC確立要求を起動するNS利用者。	JIS X 5301	2000	ISO/IEC 8348	1996				2002	SC6
17934	A		着呼側NS利用者	ちゃっこがわNSりようしゃ	called NS user	(この定義は1991年版より引用)発呼側NS利用者からNC確立を要求される利用者。(備)発呼側NS利用者及び着呼側NS利用者は、単一のNCに関して定義される。NS利用者は、同時に発呼側及び着呼側の両方になることができる。	JIS X 5301	2000	ISO/IEC 8348	1996				2002	SC6
17935	A		総称アドレス	そうしょうあどれす	generic address	(この定義は1991年版より引用)個々の特定のNSAPではなく、NSAPの集合を識別するアドレス。	JIS X 5301	2000	ISO/IEC 8348	1996				2002	SC6
17936	A		ネットワークコネクション	ねっとわーくこねくしょん	Network Connection		JIS X 5301	2000	ISO/IEC 8348	1996				2002	SC6
17937	A		ネットワークコネクション型データ転送	ねっとわーくこねくしょんがたでーたてんそう	Network Connection-mode Data Transmission		JIS X 5301	2000	ISO/IEC 8348	1996				2002	SC6
17938	A		ネットワークコネクションレス型データ転送	ねっとわーくこねくしょんれすがたでーたてんそう	Network Connectionless-mode Data Transmission		JIS X 5301	2000	ISO/IEC 8348	1996				2002	SC6
17939	A		ネットワークコネクションレス型マルチキャスト転送	ねっとわーくこねくしょんれすがたまるちきゃすとてん	Network Connectionless-mode Multicast		JIS X 5301	2000	ISO/IEC 8348	1996				2002	SC6
17940	B		コネクションレス型ネットワーク伝送(ネットワークコネクションレス伝送)	こねくしょんれすがたねっとわーくでんそう(ねっとわーくこねくしょんれすで	Network connectionless-mode Data Transmission	ネットワークコネクションを使用せず、複数の起動されたものの間での論理的関係を確保するための要求なしに、送信側ネットワークサービスアクセス点からあて先ネットワークサービスアクセス点へのネットワークサービスデータ単位の伝送。	JIS X 5302	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17941	B		送信側ネットワークサービス利用者	そうしんがわねっとわーくさーびすりようしゃ		コネクションレス型ネットワーク伝送のあるインスタンスの期間に、データの送信側として動作するネットワークサービス利用者。	JIS X 5302	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17942	B		受信側ネットワークサービス利用者	じゅしんがわねっとわーくさーびすりようしゃ		コネクションレス型ネットワーク伝送のあるインスタンスの期間に、データの受信側として動作するネットワークサービス利用者。	JIS X 5302	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17943	B		DTEアドレス	DTEあどれす	DTE address	DTEの公衆データ網への接続点を識別するために使用する情報。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17944	B		サブネットワーク接続点	さぶねっとわーくせつぞくてん	subnetwork point of attachment	実終端システム、相互接続機構又は実サブネットワークを実サブネットワークへ接続する点。この点は、サブネットワークサービスを終端又は中間のシステムに提供する概念的な点でもある。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17945	B		サブネットワーク接続点アドレス、サブネットワークアドレス	さぶねっとわーくせつぞくてんあどれす、さぶねっとわーくあどれす	subnetwork point of attachment address, subnetwork address	サブネットワーク接続点を識別するために、特定の実サブネットワークのコンテキスト内で使用する情報。この用語は、サブネットワークサービスが提供される終端又は中間のシステム内の概念的な点を識別するために、特定のサブネットワークのコンテキスト内で	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17946	B		ネットワークプロトコルアドレス指定情報	ねっとわーくぷろとこるあどれすしていじょうほう	network protocol address information	ネットワークサービスアクセス点アドレスの意味を運ぶために、ネットワークプロトコルデータ単位の中の符号化された情報(これを公衆データ網環境における“アドレス信号”又は“アドレス信号の符号化”と呼ぶ。)。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17947	B		命名領域	めいめいりょういき	naming domain	命名機関によって付与される名前が一意である領域。名前がアドレスの場合には、この領域をアドレス領域と呼ぶ。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17948	B		グローバルネットワークアドレス領域	ぐろーばるねっとわーくあどれすりょういき	global network addressing domain	OSI環境内のすべてのネットワークサービスアクセス点アドレスから構成するアドレス領域。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17949	B		ネットワークアドレス領域	ねっとわーくあどれすりょういき	network addressing domain	一つ以上のアドレス付与機関が付与するすべてのネットワークサービスアクセス点アドレスから構成するグローバルネットワークアドレス領域の部分集合。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17950	B		命名機関	めいめいきかん	naming authority	指定された命名領域の中で、名前を付与する機関。付与する名前は、一意でなければならない。アドレスを付与する命名機関をアドレス付与機関と呼ぶ。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17951	B		ネットワークアドレス付与機関	ねっとわーくあどれすふよきかん	network addressing authority	一つ以上のネットワークアドレス領域内のネットワークサービスアクセス点アドレスの割当て及び管理を行うアドレス付与機関。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17952	B		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax	データ型を定義し、データ型の値を規定する表記法。ただし、プロトコルによる転送のための表示(符号化)の方法は規定しない。	JIS X 5303	1991	ISO 8348	1987		廃→ X 5301 2000/10	ISO/IEC 8348 :1996	2002	SC6
17953	A		導出PDU	どうしゅつPDU	derived PDU		JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17954	A		初期PDU	しょきPDU	initial PDU		JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17955	A		局所的事項	きょくしょてきじこう	local matter		JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17956	A		ネットワークエンティティ名称	ねっとわーくえんていていめいしょう	Network entity title		JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17957	A		組立	くみたて	reassembly		JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17958	A		セグメント	せぐめんと	segment		JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17959	A		分割	ぶんかつ	segmentation		JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17960	A		マルチキャスト	まるちきゃすと	multicast	一つのサービスの生起による、選択されたグループ内の一つもしくは複数のあて先へのデータ転送。	JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17961	A		マルチキャスト可能中間システム	まるちきゃすとかのうちゅうかんしすてむ	multicast capable intermediate system	ネットワーク層のマルチキャスト機能を実現する中間システム	JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17962	A		強い回送	つよいかいそう	"strong" forwarding	サービス品質の基準を満たすことのできるプロトコルデータ単位だけへの回送	JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17963	A		弱い回送	よわいかいそう	"weak" forwarding	サービス品質の基準を満たせるか否かを問わないプロトコルデータ単位への回送	JIS X 5304-1	1998	ISO/IEC 8473-1	1994				1998	SC6
17964	A		ネットワークエンティティ	ねっとわーくえんていてい	Network entity		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17965	A		ネットワーク層	ねっとわーくそう	Network layer		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17966	A		サービス	さーびす	service		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17967	A		サービスデータ単位	さーびすでーたたんい	service data unit		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17968	A		プロトコル制御情報	ぷろとこるせいぎょじょうほ	protocol control		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17969	A		サブネットワーク	さぶねっとわーく	subnetwork		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17970	A		サブネットワーク依存収束プロトコル	さぶねっとわーくいぞんしゅうそくぷろとこる	subnetwork dependent convergence protocol		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17971	A		サブネットワーク依存収束機能	さぶねっとわーくいぞんしゅうそくきのう	subnetwork dependent convergence function		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17972	A		サブネットワークアクセスプロトコル	さぶねっとわーくあくせすぷろとこる	subnetwork access protocol		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17973	A		サブネットワーク接続点	さぶねっとわーくせつぞくてん	subnetwork point of attachment		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17974	A		ローカルエリアネットワーク、LAN	ろーかるえりあねっとわーく、らん	local link control		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17975	A		論理リンク制御	ろんりりんくせいぎょ	logical link control		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17976	A		論理リンク制御副層	ろんりりんくせいぎょふくそ	logical link control		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17977	A		媒体アクセス制御、MAC	ばいたいあくせすせいぎょ、MAC	media access control		JIS X 5304-2	1998	ISO/IEC 8473-2	1996				1996	SC6
17978	A		ネットワークエンティティ	ねっとわーくえんていてい	Network entity		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17979	A		ネットワーク層	ねっとわーくそう	Network layer		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17980	A		サービス	さーびす	service		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17981	A		サービスデータ単位	さーびすでーたたんい	service data unit		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17982	A		プロトコル制御情報	ぷろとこるせいぎょじょうほ	protocol control		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17983	A		サブネットワーク	さぶねっとわーく	subnetwork		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17984	A		サブネットワーク依存収束プロトコル	さぶねっとわーくいぞんしゅうそくぷろとこる	subnetwork dependent convergence protocol		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
17985	A		サブネットワーク依存収束機能	さぶねっとわーくいぞんしゅうそくきのう	subnetwork dependent convergence function		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17986	A		サブネットワークアクセスプロトコル	さぶねっとわーくあくせすぷろとこる	subnetwork access protocol		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17987	A		サブネットワーク接続点	さぶねっとわーくせつぞくてん	subnetwork point of attachment		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17988	A		データ回線終端装置	でーたかいせんしゅうたんそうち	data circuit-terminating equipment		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17989	A		データ端末装置	でーたたんまつそうち	data terminal equipment		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17990	A		論理チャンネル	ろんりちゃんねる	logical channel		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17991	A		固定仮想回線	こていかそうかいせん	permanent virtual circuit		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17992	A		仮想回線	かそうかいせん	virtual circuit		JIS X 5304-3	1998	ISO/IEC 8473-3	1995				1995	SC6
17993	A		ネットワークエンティティ	ねっとわーくえんていてい	Network entity		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
17994	A		ネットワーク層	ねっとわーくそう	Network layer		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
17995	A		データリンク層	でーたりんくそう	Data ilnk layer		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
17996	A		サービス	さーびす	service		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
17997	A		サービスデータ単位	さーびすでーたたんい	service data unit		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
17998	A		プロトコル制御情報	ぷろとこるせいぎょじょうほ	protocol control		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
17999	A		サブネットワーク	さぶねっとわーく	subnetwork		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18000	A		サブネットワーク依存収束プロトコル	さぶねっとわーくいぞんしゅうそくぷろとこる	subnetwork dependent convergence protocol		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18001	A		サブネットワーク依存収束機能	さぶねっとわーくいぞんしゅうそくきのう	subnetwork dependent convergence function		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18002	A		サブネットワークアクセスプロトコル	さぶねっとわーくあくせすぷろとこる	subnetwork access protocol		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18003	A		サブネットワーク接続点	さぶねっとわーくせつぞくてん	subnetwork point of attachment		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18004	A		データリンクサービスアクセス点アドレス	でーたりんくさーびすあくせすてんあどれす	data link service access point address		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18005	A		データリンクコネクション	でーたりんくこねくしょん	data link connection		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18006	A		抽象文字	ちゅうしょうもじ	abstract character		JIS X 5304-4	1998	ISO/IEC 8473-4	1995				1995	SC6
18007	A		構成	こうせい	Configuration	一つのサブネットワークに接続された終端システム及び中間システムの集合であり、システムの型、NSAPアドレスの存在、ネットワークエンティティの存在及びシステムとSNPAアドレスとの対応に関して定義したもの。	JIS X 5305	1994	ISO 9542	1988				1988	SC6
18008	A		開放型システム	かいほうがたしすてむ	open system		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18009	A		<N>サービスアクセス点	<N>さーびすあくせすてん	(N)-Service Access Point		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18010	A		ネットワーク層	ねっとわーくそう	network layer		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18011	A		ネットワークプロトコル	ねっとわーくぷろとこる	network protocol		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18012	A		層管理	そうかんり	layer management		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18013	A		システム管理	しすてむかんり	system management		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18014	A		属性	ぞくせい	attributes		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18015	A		属性型	ぞくせいがた	attibute type		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18016	A		包含	ほうがん	containment		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18017	A		識別名	しきべつめい	distinguished name		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18018	A		継承	けいしょう	inheritance		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18019	A		管理オブジェクト	かんりおぶじぇくと	managed object		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18020	A		管理操作	かんりそうさ	management operations		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18021	A		通知	つうち	notifications		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18022	A		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18023	A		相対識別名	そうたいしきべつめい	relative ddistinguished		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18024	A		サブクラス	さぶくらす	subclass		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18025	A		スーパクラス	すーぱくらす	superclass		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18026	A		管理オブジェクトクラス定義	かんりおぶじぇくとくらすていぎ	managed object class definition		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18027	A		テンプレート	てんぷれーと	template		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18028	A		パラメタ	ぱらめた	parameter		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18029	A		管理情報	かんりじょうほう	namanagement		JIS X 5306	1994	ISO/IEC 10733	1993				1998	SC6
18030	A		開放型システム	かいほうがたしすてむ	Open system		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18031	A		<N>サービスアクセス点	<N>さーびすあくせすてん	(N)-service-access-point		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18032	A		トランスポート層	とらんすぽーとそう	Transport Layer		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18033	A		トランスポートプロトコル	とらんすぽーとぷろとこる	Transport Protocol		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18034	A		層管理	そうかんり	Layer Management		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18035	A		システム管理	しすてむかんり	System Management		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18036	A		属性	ぞくせい	Attributes		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18037	A		属性型	ぞくせいがた	Attribute type		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18038	A		包含	ほうがん	Containment		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18039	A		識別名	しきべつめい	Distinguished Name		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18040	A		継承	けいしょう	Inheritance		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18041	A		管理オブジェクト	かんりおぶじぇくと	Managed Object		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18042	A		管理操作	かんりそうさ	Management Operations		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18043	A		通知	つうち	Notifications		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18044	A		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	Object Class		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18045	A		相対識別名	そうたいしきべつめい	Relative Distinguished		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18046	A		サブクラス	さぶくらす	Subclass		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18047	A		スーパークラス	すーぱーくらす	Superclass		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18048	A		管理オブジェクトクラス定義	かんりおぶじぇくとくらすていぎ	Managed Object Class Definition		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18049	A		テンプレート	てんぷれーと	Template		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18050	A		パラメータ	ぱらめーた	Parameter		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18051	A		管理情報	かんりじょうほう	Management Information		JIS X 5307	1995	ISO/IEC 10737	1994				1998	SC6
18052	A		区域	くいき	area	内部構成の詳細な経路選択情報と他の経路選択副領域へ到着するために必要な経路選択情報とを維持・管理する副領域。レベル1の副領域に対応する。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18053	A		隣接システム	りんせつしすてむ	neighbour	一つのサブネットワークを介して一つのPDUの転送によって到達可能な隣接のシステ	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18054	A		隣接情報	りんせつじょうほう	adjacency	一つの回線上にある隣接システムの終端システム(ES)又は中間システム(IS)への到達可能性に関する局所的な経路選択情報。隣接情報は、経路選択領域上の経路を形成するために、決定プロセスへの入力として使用される。経路情報は、回線上の各隣接システムにおいて生成され、一斉同報回線上では各経路選択レベル(すなわち、レベル1及びレベル2)において生成される。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18055	A		回線	かいせん	circuit	自局のSNPAの局所経路選択情報ベースの部分集合。システム管理は、この回線を結合管理オブジェクトとして見る。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18056	A		リンク	りんく	link	二つの隣接システム間の通信経路。二つのSNPA間で通信が可能なとき、"リンクがアップ(up)である"という。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18057	A		指定中間システム	していちゅうかんしすてむ	designed IS	付加的な処理を実行するように指定されたLAN上の中間システム。指定ISは、LANを疑似ノードとして扱い、LANを代表してリンク状態PDUを生成する。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18058	A		疑似ノード	ぎじのーど	pseudonode	複数の中間システムから構成される一斉同報サブネットワーク自身を仮想的なノードととらえたときのそのノード。n個の中間システムと終端システムとが同一の一斉同報サブネットワークに収容されているとき、疑似ノードは、中間システム及び終端システムのそれぞれに対してリンクをもつ。ただし、各中間システムは、疑似ノードに対してだけリンクをもち、他のn-1個の中間システムに対してはリンクをもたない。指定ISは、疑似ノードの	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18059	A		一斉同報サブネットワーク	いっせいどうほうさぶねっとわーく	broadcast subnetwork	任意の数の終端システム及び中間システムを収容し、SN_UNITDATA要求の応答として一つのSNPDUをこれらのシステムの部分集合に対して転送可能なサブネットワーク。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18060	A		一般形態サブネットワーク	いっぱんけいたいさぶねっとわーく	general topology subnetwork	任意の数の終端システム及び中間システムを収容するが、一斉同報サブネットワークのようにコネクションレスで複数のあて先に対して転送する機能をもたないサブネットワー	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18061	A		経路選択副領域	けいろせんたくふくりょういき	routeing subdomain	同一経路選択領域に位置する中間システム及び終端システムの集合。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18062	A		レベル2副領域	れべる2ふくりょういき	level 2 subdomain	経路選択領域内に位置するすべてのレベル2中間システムの集合。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18063	A		ジッタ	じった	jitter	異なるシステム内のタイマ満了を同期化しないようタイマ値に導入される小さなゆらぎ。	JIS X 5308	1995	ISO/IEC 10589	1992				2002	SC6
18064	A		参照構成	さんしょうこうせい	reference configuration	公衆ISDN、私設総合サービス網又は公衆ISDNと私設総合サービス網との間での機能的配置を表す概念的な構成。参照構成は、機能的分類と参照点との関係を表す規約とする。機能的配置は、装置の物理的な配置と一致しなくてよい。	JIS X 5401	1995	ISO/IEC 11579-1	1994				1994	SC6
18065	A		機能群	きのうぐん	functional grouping	機能的配置を表すのに必要な機能群。機能的分類は、物理的な装置に必ずしも一致しなくてよい。実装によっては、幾つかの機能的分類は存在しなくてもよい。	JIS X 5401	1995	ISO/IEC 11579-1	1994				1994	SC6
18066	A		参照点	さんしょうてん	Reference point, RP	二つの機能的分類の概念的な結合点。特定の機能的配置において、参照点は、装置の物理的なインタフェースに必ずしも対応しなくてよい。	JIS X 5401	1995	ISO/IEC 11579-1	1994				1994	SC6
18067	A		私設総合サービス網	しせつそうごうさーびすもう	Private Integrated Service Network, PISN	特定の利用者に対してサービスを提供する網(一般公衆にサービスを提供する公衆網とは異なる。)。備考1.この規定には、法的又は所有権に関する観点を含まない。2.私設統合サービス網は、private ISDNを含み、これより広い意味をもつ。	JIS X 5401	1995	ISO/IEC 11579-1	1994				1994	SC6
18068	A		私設総合サービス網交換機	しせつそうごうさーびすもうこうかんき	Private Integrated service Network eXchange, PINX	通信サービスを提供する機能を扱い、自動接続を提供する私設統合サービス網のノードエンティティは、一つ以上のノードから構成される。備考 私設総合サービス網交換機は、次の通信サービスを自又は他の私設総合サービス網交換機の利用者に提供する。・自区域内での通信サービス・公衆ISDNからの通信サービス・他の公衆網からの通信サービス・私設総合サービス網内における他の私設総合サービス網交換機からの通信サー	JIS X 5401	1995	ISO/IEC 11579-1	1994				1994	SC6
18069	A		私設総合サービス網交換機間接続	しせつそうごうさーびすもうこうかんきかんせつぞく	Inter-PINX Connection, IPC	二つの私設総合サービス網交換機間の接続。私設総合サービス網交換機間接続は、介在する網の特性又は利用者の要求によって固定的又は要求に応じて確立される。	JIS X 5401	1995	ISO/IEC 11579-1	1994				1994	SC6
18070	A		介在する網	かいざいするもう	Inter Vening Network, IVN	私設総合サービス網交換機間接続を提供する網を表す一般的用語。	JIS X 5401	1995	ISO/IEC 11579-1	1994				1994	SC6
18071	A		私設総合サービス網	しせつそうごうさーびすもう	PISN	一般の公衆網ではなく、特定のユーザ群にサービスを提供するISDNであり、私設ISDNともいわれる。	JIS X 5402	1998	ISO/IEC 11572	1997				2000	SC6
18072	A		私設総合サービス網交換機	しせつそうごうさーびすもうこうかんき	PINX	PISNを構成する交換ノードであり、公衆ISDNとほぼ同様の機能を私設網において提供する。我が国ではISDN対応PBXと考えて良い。	JIS X 5402	1998	ISO/IEC 11572	1997				2000	SC6
18073	A		PINX間リンク	PINXかんりんく	Inter-PINX link	二つのPINX間を接続する1個の信号チャネルと、その制御下のユーザ情報チャネルを合わせたもの。	JIS X 5402	1998	ISO/IEC 11572	1997				2000	SC6
18074	A		私設第一信号方式	しせつだいいちしんごうほうしき	PSS1	公衆ISDNにおいては、DSS1:デジタル第一信号方式と対比して使用され、PINX間リンクに適用される信号方式の標準群。	JIS X 5402	1998	ISO/IEC 11572	1997				2000	SC6
18075	A		Q点	Qてん		PINX間リンク上で定義され、物理的構成に依存しない第3層プロトコルの規定点。	JIS X 5402	1998	ISO/IEC 11572	1997				2000	SC6
18076	A		C点	Cてん		Q点とは逆に、PINX間リンクが接続される伝送路の物理的な位置に対応する。PSS1は、C点における物理的構成に依存しない(シナリオ非依存)Q点上で定義される。	JIS X 5402	1998	ISO/IEC 11572	1997				2000	SC6
18077	A		アプリケーションプロトコルデータユニット	あぷりけーしょんぷろとこるでーたゆにっと	Application Protocol Data Unit (APDU)		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18078	A		基本サービス	きほんさーびす	Basic Service		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18079	A		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, Basic Call		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18080	A		コーディネーション機能	こーでぃねーしょんきのう	Coordination Function		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18081	A		終端PINX	しゅうたんPINX	End PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18082	A		入りゲートウェイPINX	いりげーとうぇいPINX	Incoming Getaway PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18083	A		インタプリテーションAPDU	いんたぷりてーしょんAPDU	Interpretation APDU		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18084	A		網が決定したユーザビジー	あみがけっていしたゆーざびじー	Network determined user Busy		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18085	A		通知	つうち	Notification		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18086	A		発PINX	はつPINX	Outgoing PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18087	A		発ゲートウェイPINX	はつげーとうぇいPINX	Outgoing Getaway PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18088	A		一次PINX	いちじPINX	Primary PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18089	A		私設総合サービス網	しせつそうごうさーびすもう	Private Integrated Services Network		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18090	A		私設総合サービス網交換機	しせつそうごうさーびすもうこうかんき	Private Integrated Services Network		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18091	A		二次PINX	にじPINX	Secondary PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18092	A		信号	しんごう	Signalling		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18093	A		付加サービス	ふかさーびす	Supplementary Service		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18094	A		付加サービス制御エンティティ	ふかさーびすせいぎょえんていてい	Supplementary Service Control Entity		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18095	A		着PINX	ちゃくPINX	Terminating PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18096	A		転送PINX	てんそうPINX	Transferring PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18097	A		中継PINX	ちゅうけいPINX	Transit PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18098	A		ユーザ	ゆーざ	User		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18099	A		ユーザが決定したユーザビジー	ゆーざがけっていしたゆーざびじー	User determined user busy		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18100	A		活性化PINX	かっせいかPINX	Activating PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18101	A		ビジー、話中	びじー、はなしちゅう	Busy		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18102	A		接続先番号	せつぞくさきばんごう	Connected number		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18103	A		非活性化PINX	ひかっせいかPINX	Deactivating PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18104	A		着信転送	ちゃくしんてんそう	Diversion		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18105	A		着信転送先番号	ちゃくしんてんそうさきばんごう	Diverted-to number		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18106	A		着信転送先PINX	ちゃくしんてんそうさき	Diverted-to PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18107	A		着信転送先ユーザ	ちゃくしんてんそうさき	Diverted-to user		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18108	A		着信転送理由	ちゃくしんてんそうりゆう	Diverting cause		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18109	A		着信転送先番号	ちゃくしんてんそうさきばんごう	Diverting number		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18110	A		(自動着信)転送	(じどうちゃくしん)てんそう	Forwarding		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18111	A		中継形着信転送	ちゅうけいがたちゃくしんてんそう	Forward switching		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18112	A		問合せPINX	といあわせPINX	Interrogating PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18113	A		最終着信転送先ユーザ	さいしゅうちゃくしんてんそうさきゆーざ	Last diverting user		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18114	A		オリジナル着番号	おりじなるちゃくばんごう	Original called number		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18115	A		オリジナル着ユーザ	おりじなるちゃくゆーざ	Original called user		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18116	A		部分ルーティング	ぶぶんるーていんぐ	Partial rerouteing		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18117	A		表示識別子	ひょうじしきべつし	Presentation indicator		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18118	A		リルーティング	りるーていんぐ	Rerouteing		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18119	A		リルーティングPINX	りるーていんぐPINX	Rerouteing PINX		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18120	A		サービス対象ユーザ	さーびすたいしょうゆーざ	Served user		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18121	A		ユーザA	ゆーざA	User A		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18122	A		ユーザB	ゆーざB	User B		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18123	A		ユーザB1、ユーザB2、ユーザB3、など	ゆーざB1、ゆーざB2、ゆーざB3、など	User B1, User B2, User B3,etc		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18124	A		ユーザC	ゆーざC	User C		JIS X 5403	2000	ISO/IEC 13873	1995				2003	SC6
18125	A		破壊的	はかいてき	destructive	あるサービスを起動したとき、他のサービスプリミティブの未送達のデータが失われる可能性がある場合、そのサービスは破壊的であるという。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18126	A		非破壊的	ひはかいてき	non-destructive	あるサービスを起動しても、それによってデータが失われない場合、そのサービスは非破壊的であるという。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18127	A		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax	符号化技法に依存しない記法による応用層データ又は応用プロトコル制御情報の仕様。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18128	A		抽象構文名	ちゅうしょうこうぶんめい	abstract syntax name	抽象構文を一意に識別する名前。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18129	A		転送構文名	てんそうこうぶんめい	transfer syntax name	転送構文か又は与えられた抽象構文から転送構文を生成するための規則の集合のいずれかを一意に識別する名前。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18130	A		プレゼンテーションデータ値	ぷれぜんてーしょんでーたち	presentation data value	プレゼンテーションサービスによって転送される情報の単位であって、抽象構文で規定されるもの。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18131	A		プレゼンテーションコンテキスト	ぷれぜんてーしょんこんてきすと	presentation context	抽象構文と転送構文との関連。(備考)1.プレゼンテーションサービス利用者からみると、プレゼンテーションコンテキストは、抽象構文のプレゼンテーションデータ値があいまいさを排除してビット列として転送できる環境を表す。2.抽象構文によっては、プレゼンテーションデータ値に、更に別の抽象構文のプレゼンテーションデータ値を埋め込むことができる。3.プレゼンテーションサービス利用者から見ると、抽象構文の特定の利用法を表す。複数のプレゼンテーションコンテキストを、同じ又は異なる転送構文をもった同一の抽象構文に対して定義してもよい。これら別のプレゼンテーションコンテキストで転送されるプレゼンテーションデータ値は、それぞれ別々のプレゼンテーションコンテキストで引き	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18132	A		コンテキスト定義集合	こんてきすとていぎしゅうごう	defined context set	通信にかかわる三者間、すなわち、プレゼンテーションサービス提供者と双方のプレゼンテーションサービス利用者との間の合意によって定義されたプレゼンテーションコンテキストの集合。(備考)コンテキスト定義集合の中にプレゼンテーションコンテキストが含まれていれば、その抽象構文を双方のプレゼンテーションサービス利用者が受諾できること、及び協同動作するプレゼンテーションエンティティがそのプレゼンテーションコンテキストに対する転送構文を相互に受諾したことを意味する。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18133	A		アクティビティ間コンテキスト定義集合	あくていびていかんこんてきすとていぎしゅうごう	inter-activity defined context set	セションアクティビティ管理機能単位が選択される場合、プレゼンテーションコネクションに対して定義されるプレゼンテーションコンテキストの集合。プレゼンテーションコネクション確立時のコンテキスト定義集合が初期値となり、その後、アクティビティ外において発行されるP-ALTER-CONTEXTサービスプリミティブによってだけ変更される。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18134	A		省略時コンテキスト	しょうりゃくじこんてきすと	default context	与えられたプレゼンテーションコネクションに対するプレゼンテーションサービス提供者と双方のプレゼンテーションサービス利用者に常に知られているプレゼンテーションコンテキスト。これは、P-EXPEDITED-DATAサービスプリミティブの利用者データパラメタに適用されるプレゼンテーションコンテキストであり、コンテキスト定義集合が空の場合にだけ、他のサービスプリミティブの利用者データパラメタに適用される。(備考)省略時コンテキストの名前が指定されないとき、暗黙の省略時コンテキストが使用される。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18135	A		機能単位	きのうたんい	functional unit	次の目的のためにこの規格で定義するサービスの論理的集合。(1)プレゼンテーションコネクション上での使用法をプレゼンテーションコネクション確立時に折衝するため。(2)他の規格による参照のため。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18136	A		破壊する	はかいする	disrupt	あるサービス手順を使用した場合に、先行のサービスプリミティブが、その手順で指定するとおりに使用できなくなったとき、先行のサービスは、後続のサービスによって破壊され	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18137	A		X.400-1984モード	X.400-1984もーど	X.400-1984 mode	ITU-T勧告X.400(1984)に従うシステムとの相互接続を可能にするために使用されるプレゼンテーション層の動作に対する制限モード。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18138	A		通常モード	つうじょうもーど	normal mode	プレゼンテーションサービスの完全な機能を提供するプレゼンテーション層の動作モー	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18139	A		起動側	きどうがわ	initiator	プレゼンテーションコネクションの確立を行おうとするプレゼンテーションエンティティ又はプレゼンテーションサービス利用者。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18140	A		応答側	おうとうがわ	responder	プレゼンテーションコネクションの確立の提案に対して応答するべきプレゼンテーションエンティティ又はプレゼンテーションサービス利用者。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18141	A		要求側	ようきゅうがわ	requestor	特定の動作を起動するプレゼンテーションエンティティ又はプレゼンテーションサービス利	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18142	A		受諾側	じゅだくがわ	acceptor	特定の動作を受諾するプレゼンテーションエンティティ又はプレゼンテーションサービス利	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18143	A		プレゼンテーションコンテキスト識別	ぷれぜんてーしょんこんてきすとしきべつ	presentation context identification	概念上のサービス境界における、特定のプレゼンテーションコンテキストの識別。	JIS X 5601	1995	ISO/IEC 8822	1994				1994	JTC1
18144	A		実装上の事項	じっそうじょうのじこう	local matter	この規格で規定していないが、そのシステムが実装時に定めるプレゼンテーション層のシステム動作。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18145	A		有効PPDU	ゆうこうPPDU	valid presentation-protocol data-unit	この規格における構造及び符号化の要求事項に適合するPPDU(4.1参照)。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18146	A		無効PPDU	むこうPPDU	invalid presentation-protocol data-unit	この規格における構造及び符号化の要求事項に適合しないPPDU。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18147	A		プロトコル誤り	ぷろとこるあやまり	protocol error	この規格で規定する手順に適合しない方法でプレゼンテーションプロトコルデータ単位(PPDU)が使用されるときに起きる状態。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18148	A		最初のアクティビティ識別子	さいしょのあくていびてぃしきべつし	original activity identifier	進行中のアクティビティの属性。アクティビティをP-ACTIVITY-STARTサービスによって開始した場合は、要求及び指示のアクティビティ識別子パラメタ値。アクティビティがP-ACTIVITY-RESUMEサービスによって再開した場合は、要求及び指示の旧アクティビティ	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18149	A		区切り判別性	くぎりはんべつせい	self-delimiting	転送構文の属性で、その構文の中のそれぞれの値の最後が、その構文によって与えられた手段で決定できること。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18150	A		プレゼンテーションコンテキスト識別子	ぷれぜんてーしょんこんてきすとしきべつし	presentation context identifier	プレゼンテーションコンテキストに対する識別子。この識別子は、プレゼンテーションコネクション内で一意とし、双方のプレゼンテーションプロトコル機械が認識しているものとする。省略時コンテキストは、プレゼンテーションコンテキスト識別子をもたない。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18151	A		同期点識別子	どうきてんしきべつし	syncpoint identifier	セションアクティビティ管理機能単位が選択されていない場合は、同期点通し番号。セションアクティビティ管理機能単位が選択されている場合は、同期点通し番号と実行中のアクティビティの最初のアクティビティ識別子の組。同期点識別子の順序は、その同期点	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18152	A		起動側	きどうがわ	initiator	プレゼンテーションコネクションの確立を起動するプレゼンテーションプロトコル機械。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18153	A		応答側	おうとうがわ	responder	プレゼンテーションコネクション確立の提案に応答するプレゼンテーションプロトコル機	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18154	A		要求側	ようきゅうがわ	requestor	ある動作を起動するプレゼンテーションプロトコル機械。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18155	A		受諾側	じゅだくがわ	acceptor	ある動作を受諾するプレゼンテーションプロトコル機械。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18156	A		オクテットそろえ転送構文	おくてっとそろえてんそうこうぶん	octet-aligened transfer syntax	プレゼンテーションデータ値を表現するために使用されるビットパターンのすべてが複数の8ビットの列である転送構文。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18157	A		区切り判別性転送構文	くぎりはんべつせいてんそうこうぶん	self-delimiting transfer syntax	プレゼンテーションデータ値を表現するために使用されるビットパターンを形成するための規則が、ビットパターンを運ぶ方法に依存しないで、ビットパターンの終了を(すべての場合において)デコードが決定できる転送構文。	JIS X 5602	1995	ISO/IEC 8823-1	1994				1994	JTC1
18158	A		値	あたい	value	値集合の個別要素。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18159	A		型	かた	type	値の名前付き集合。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18160	A		単純型	たんじゅんがた	simple type	その値の集合を直接指定して定義する型。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18161	A		構造型	こうぞうがた	structured type	他の型を一つ以上参照することによって定義する型。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18162	A		構成要素型	こうせいようそがた	component type	構造型を定義する場合、参照する型の一つ。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18163	A		タグ	たぐ	tag	ASN.1のすべての型に伴う型表示。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18164	A		タグ付け	たぐつけ	tagging	型の既存のタグを指定のタグと置き換えること。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18165	A		ASN.1文字集合	ASN.1もじしゅうごう	ASN.1 character set	ASN.1記法で使用する文字の集合(7.参照)。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18166	A		項目	こうもく	items	ASN.1文字集合の文字からなる名前付き順序列(8.参照)。ASN.1記法を作るために使用	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18167	A		型(又は値)参照名	かた(またはあたい)さんしょうめい	type (or value) reference name	あるコンテキストにおいて、型(又は値)と一意に関連した名前。(備)型に割り当てた参照名のうち、この規格で定義したものははん用的に使用できる。他の規格で定義した参照名は、その規格の定義が適用されるコンテキストでだけ使用できる。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18168	A		ASN.1符号化規則	ASN.1ふごうかきそく	ASN.1 encoding rules	転送中におけるASN.1の型の値の表現を規定する規則。ASN.1符号化規則によって、受信者は転送される情報をASN.1の型の特定の値として識別することができる。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18169	A		文字列型	もじれつがた	character string type	定義した文字集合の文字の列を値としてもつ型。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18170	A		論理型	ろんりがた	boolean type	二つの別の値をもつ単純型。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18171	A		真	しん	TRUE	論理型の値の一つ。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18172	A		偽	ぎ	FALSE	論理型の真でないもう一つの値。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18173	A		整数型	せいすうがた	integer type	0を含む正及び負の完全数(整数)を値としてもつ単純型。(備)特定の符号化規則は、整数の範囲を限定するが、この場合、ASN.1の利用者に影響しないように選択する。しかし、ASN.1の利用者は、注釈によって更に限定した範囲を指定してもよい。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18174	A		ビット列型	びっとれつがた	bitstring type	0個以上のビットの順序列を値としてもつ単純型。(備)ASN.1符号化規則は、ビット列におけるビット数を限定しない。しかし、ASN.1の利用者は、注釈によって更にビット数の最小又は最大を指定してもよい。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18175	A		オクテット列型	おくてっとれつがた	octetstring type	0個以上のオクテットの順序列を値としてもつ単純型。各オクテットは、8ビットの順序列とする。(備)ASN.1符号化規則は、オクテット列におけるオクテット数を限定しない。しかし、ASN.1の利用者は、注釈によって更にオクテットの数の最小又は最大を指定してもよい。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18176	A		ヌル型	ぬるがた	null type	ヌルという単一の値からなる単純型。(備)幾つかの代替値が可能であるが、そのどれもが適用されない場合、通常、ヌル値を使用する。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18177	A		順序列型	じゅんじょれつがた	sequence type	要素が固定した順序付きの型のリストを参照して定義する構造型。ある要素を任意選択として宣言してもよい。新しい型の値は、各構成要素型から一つの値をとった値の順序付きリストとする。(備)構成要素型を任意選択として宣言した場合には、新しい型の値は、その構成要素型の値を含んでいなくてもよい。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18178	A		単一型順序列型	たんいつがたじゅんじょれつがた	sequence-of type	単一の既存の型を参照して定義する構造型。新しい型の値は、既存の型の値の0個以上の順序付きリストとする。(備)ASN.1符号化規則は、単一型順序列値における値の個数を限定しない。しかし、ASN.1の利用者は、注釈によって更に値の個数の最小又は最大を	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18179	A		集合型	しゅうごうがた	set type	要素が固定した順序付けのない型のリストを参照して定義する構造型。ある要素を任意選択として宣言してもよい。新しい型の値は、各構成要素型から一つの値をとった、異なった型の値の順序付けのないリストとする。(備)構成要素型を任意選択として宣言した場合には、新しい型は、その構成要素型の値を含んでいなくてもよい。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18180	A		単一型集合型	たんいつがたしゅうごうがた	set-of type	単一の既存の型を参照して定義する構造型。新しい型の値は、既存の型の値の0個以上の順序付けのないリストとする。(備)ASN.1符号化規則は、単一型集合値における値の個数を限定しない。しかし、ASN.1の利用者は、注釈によって更に値の個数の最小又は最大を指定してもよいし、それぞれの値が異なることを要求してもよい。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18181	A		タグ付き型	たぐつきがた	tagged type	単一の既存の型及びタグを参照して定義する型。新しい型は、既存の型と同じ構造及び性質をもつが、既存の型とは区別する。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18182	A		選択型	せんたくがた	choice type	固定した順序付けのない異なる型のリストを参照して定義する構造型。新しい型の値は、一つの構成要素型の値とする。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18183	A		参照選択型	さんしょうせんたくがた	selection type	選択型の構成要素型を参照して定義する型。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18184	A		任意型	にんいがた	any type	構成要素型を指定しないが、ASN.1を使用して定義できる型の集合に限定される選択	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18185	A		外部型	がいぶがた	external type	外部型の特質からは値を予測できないが、符号化された値から予測が可能となる型。その値は、ASN.1を用いて記述しなくてもよい。その符号化は、ASN.1符号化規則に従っていなくてもよい。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18186	A		情報オブジェクト	じょうほうおぶじぇくと	information object	通信インスタンスでその使用を識別するために名前を必要とする定義、情報中の明確に定義された部分又は仕様。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18187	A		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	object identifier	情報オブジェクトに関連付けられた値(他のこのような値のすべてと区別できるもの)。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18188	A		オブジェクト識別子型	おぶじぇくとしきべつしがた	object identifier type	値がこの規格の規則に従って割り当てられたすべてのオブジェクト識別子の集合である型。(備)この規格の規制では、種々の機関が独立してオブジェクト識別子を情報オブジェクトに関連付けることを認めている。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18189	A		オブジェクト記述子型	おぶじぇくときじゅつしがた	object descriptor type	その値として、可読文字列形式で情報オブジェクトの簡潔な記述を提供する型。(備)オブジェクト記述子の値は、通常は、単一の情報オブジェクトに関連する。オブジェクト識別子の値だけが、情報オブジェクトを明確に識別する。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18190	A		再帰的定義	さいきてきていぎ	recursive definitions	構造を定義する前に、その構造で使用するすべての型を定義するように順序付けることができないASN.1定義の集合。(備)ASN.1においては再帰的定義を行ってもよい。再帰的定義の結果としての型の値を有限の表現とすることは、記法の利用者の責任とする。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18191	A		モジュール	もじゅーる	module	型及び値定義のためにASN.1記法を使用している一つ以上のインスタンスであって、ASN.1のモジュール記法(9.参照)を使用してまとめたもの。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18192	A		生成規則	せいせいきそく	production	ASN.1を規定するために使用する形式記述の一部であって、許容される項目の順序列に名前を割り当てられたもの。その名前は、許容される新しい順序列の集合を定義する場合に、その名前付けられた順序列を参照するために使用できる。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18193	A		協定世界時	きょうていせかいじ	Coordinated Universal Time, UTC	標準周波数及び時報の協定普及の基礎となる、国際時報局が維持している時間尺度。UTC時ともいう。	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18194	A		(ASN.1の)利用者	(ASN.1の)りようしゃ	user (of ASN.1)	ASN.1を用いて特定の情報の抽象構文を定義する個人又は組織。(備)この定義は、国際無線諮問委員会(CCIR)の勧告460-2による。CCIRは、協定世界時の頭文字をUTCと	JIS X 5603	1990	ISO/IEC 8824	1987			パート移行	2002	SC6
18195	A		動的適合性	どうてきてきごうせい	dynamic conformance	通信インスタンスにおいて、この規格に規定した動作を実装が満たすために必要な要件の記述。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18196	A		静的適合性	せいてきてきごうせい	static conformance	この規格で定義されたものの中から、実装時に選択が許される機能集合に関する要件	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18197	A		データ値	でーたち	data value	型の値として規定する情報。型及び値は、ASN.1を使用して定義する。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18198	A		(データ値の)符号化	(でーたちの)ふごうか	encoding (of a data value)	データ値を表現するために使用するオクテットの完全な順序列。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18199	A		識別子オクテット	しきべつしおくてっと	identifier octets	値の型を識別するために使用するデータ値を符号化したもののの一部。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18200	A		長さオクテット	ながさおくてっと	length indicator octets	符号化の終わりを決定するために使用するデータ値を符号化したもののの一部であって、識別子オクテットに続くもの。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18201	A		内容終了オクテット	ないようしゅうりょうおくてっと	end-of-contents octets	符号化の終わりを決定するために使用するデータ値を符号化したもののの一部であって、その終わりにあるもの。(備)すべての符号化が、内容終了オクテットを必要とするとは限らない。また、内容終了オクテットをこの規格の例の中ではEOCと表記する。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18202	A		内容オクテット	ないようおくてっと	contents octets	特定の値を表現するデータ値を符号化したもののの一部であって、同じ型の他の値と区別するためのもの。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18203	A		基本型符号化	きほんがたふごうか	primitive encoding	データを符号化したものであって、内容オクテットが、直接、値を表現するもの。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18204	A		構造型符号化	こうぞうがたふごうか	constructed encoding	データを符号化したものであって、内容オクテットが一つ以上の他のデータ値を完全に符号化したもの。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18205	A		送信側	そうしんがわ	sender	転送のためデータ値を符号化するための実装。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18206	A		受信側	じゅしんがわ	receiver	符号化されたデータ値を識別するために、送信側が作成したオクテットを復号化するための実装。	JIS X 5604	1990	ISO 8825	1987			パート移行	2002	SC6
18207	A		抽象値	ちゅうしょうち	abstract value		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18208	A		ASN.1文字集合	ASN.1もじしゅうごう	ASN.1 character set		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18209	A		ASN.1仕様	ASN.1しよう	ASN.1 specification		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18210	A		関連型	かんれんがた	associated type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18211	A		ビット列型	びっとれつがた	bitstring type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18212	A		論理型	ろんりがた	boolean type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18213	A		文字	もじ	character		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18214	A		文字抽象構文	もじちゅうしょうこうぶん	character abstract syntax		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18215	A		文字レパートリ	もじれぱーとり	character repertoire, repertoire		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18216	A		文字列型	もじれつがた	character string types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18217	A		文字転送構文	もじてんそうこうぶん	character transfer syntax		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18218	A		選択型	せんたくがた	choice types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18219	A		構成要素型	こうせいようそがた	component type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18220	A		制約	せいやく	constraint		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18221	A		制御文字	せいぎょもじ	control characters		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18222	A		協定世界時	きょうていせかいじ	Coordinated Universal Time(UTC)		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18223	A		要素	ようそ	element		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18224	A		要素クラス	ようそくらす	element class		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18225	A		要素集合	ようそしゅうごう	element set		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18226	A		埋込みPDV型	うめこみPDVがた	embedded-pdv type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18227	A		符号化	ふごうか	encoding		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18228	A		(ASN.1)符号化規則	(ASN.1)ふごうかきそく	(ASN.1) encoding rules		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18229	A		列挙型	れっきょがた	enumerated types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18230	A		外部型	がいぶがた	external type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18231	A		外部参照	がいぶさんしょう	external reference		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18232	A		偽	ぎ	false		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18233	A		調整、調整側	ちょうせい、ちょうせいが	governing, governor		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18234	A		整数型	せいすうがた	integer type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18235	A		項目	こうもく	items		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18236	A		モジュール	もじゅーる	module		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18237	A		ヌル型	ぬるがた	null type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18238	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18239	A		オブジェクト記述子	おぶじぇくときじゅつし	object descriptor type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18240	A		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	object indentifier		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18241	A		オブジェクト識別子型	おぶじぇくとしきべつしが	object identifier type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18242	A		オクテット列型	おくてっとれつがた	octetstring type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18243	A		開放型記法	かいほうがたきほう	open type notation		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18244	A		(部分型の)親型	(ぶぶんかたの)おやがた	parent type(of a subtype)		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18245	A		生成規則	せいせいきそく	production		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18246	A		実数型	じっすうがた	real type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18247	A		再帰的定義	さいきてきていぎ	recursive definitions		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18248	A		制限付き文字列型	せいげんつきもじれつがた	restricted character string type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18249	A		参照選択型	さんしょうせんたくがた	selection types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18250	A		順序列型	じゅんじょれつがた	sequence types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18251	A		単一順序列型	たんいつじゅんじょれつが	sequence-of types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18252	A		集合型	しゅうごうがた	set types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18253	A		単一集合型	たんいつしゅうごうがた	set-of types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18254	A		単純型	たんじゅんがた	simple types		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18255	A		間隔文字	かんかくもじ	spacing charcter		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18256	A		(親型の)部分型	(おやかたの)ぶぶんがた	subtype(of a parent type)		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18257	A		タグ	たぐ	tag		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18258	A		タグ付き型	たぐつきがた	tagged thpes		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18259	A		タグ付け	たぐつけ	tagging		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18260	A		真	しん	TRUE		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18261	A		型	かた	type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18262	A		型参照名	かたさんしょうめい	type reference name		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18263	A		制限なし文字列型	せいげんなしもじれつがた	unrestricted character string type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18264	A		(ASN.1の)利用者	(ASN.1の)りようしゃ	user (of ASN.1)		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18265	A		値	あたい	value		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18266	A		値参照名	あたいさんしょうめい	value reference name		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18267	A		値集合	あたいしゅうごう	value set		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18268	A		空白	くうはく	white-space		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18269	A		拡張シリーズ	かくちょうしりーず	extension series		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18270	A		拡張マーカ	かくちょうまーか	extension marker		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18271	A		拡張根	かくちょうこん	extension root		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18272	A		拡張追加	かくちょうついか	extension addition		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18273	A		拡張関係	かくちょうかんけい	extension-related		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18274	A		拡張可能型	かくちょうかのうがた	extensibile type		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18275	A		拡張可能制約	かくちょうかのうせいやく	extensible constraint		JIS X 5605-1	1998	ISO/IEC 8824-1	1995				2002	SC6
18276	A		関連表	かんれんひょう	associated table		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18277	A		省略時構文	しょうりゃくじこうぶん	default syntax		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18278	A		利用者定義構文	りようしゃていぎこうぶん	defined syntax		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18279	A		フィールド	ふぃーるど	field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18280	A		フィールド名	ふぃーるどめい	field name		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18281	A		識別子フィールド	しきべつしふぃーるど	identifier field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18282	A		情報オブジェクト	じょうほうおぶじぇくと	information object		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18283	A		情報オブジェクトクラス(クラス)	じょうほうおぶじぇくとくらす(くらす)	information object class(class)		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18284	A		情報オブジェクトフィールド	じょうほうおぶじぇくとふぃーるど	information object field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18285	A		情報オブジェクト集合	じょうほうおぶじぇくとしゅうごう	information object set		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18286	A		情報オブジェクト集合フィールド	じょうほうおぶじぇくとしゅうごうふぃーるど	information object set field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18287	A		インスタンス型	いんすたんすがた	instance-of type		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18288	A		連結フィールド	れんけつふぃーるど	link field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18289	A		オブジェクトクラスフィールド型	おぶじぇくとくらすふぃーるどがた	object class field type		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18290	A		プリミティブフィールド型	ぷりみていぶふぃーるどがた	primitive field name		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18291	A		型フィールド	かたふぃーるど	type field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18292	A		値フィールド	あたいふぃーるど	value field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18293	A		値集合フィールド	あたいしゅうごうふぃーる	value set field		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18294	A		拡張可能オブジェクト集合	かくちょうかのうおぶじぇくとしゅうごう	extensible object set		JIS X 5605-2	1998	ISO/IEC 8824-2	1995				2002	SC6
18295	A		構成要素関係制約	こうせいようそかんけいせいやく	component relation constraint		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18296	A		制約型	せいやくがた	constrained type		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18297	A		制約集合	せいやくしゅうごう	constraining set		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18298	A		制約表	せいやくひょう	constraining table		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18299	A		被参照構成要素	ひさんしょうこうせいようそ	referenced component		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18300	A		参照構成要素	さんしょうこうせいようそ	referencing component		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18301	A		選択列	せんたくれつ	selected rows		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18302	A		表制約	ひょうせいやく	table constraint		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18303	A		利用者定義制約	りようしゃていぎせいやく	user-defined constraint		JIS X 5605-3	1998	ISO/IEC 8824-3	1995				2002	SC6
18304	A		正規参照名	せいきさんしょうめい	normal reference name		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18305	A		パラメータ化参照名	ぱらめーたかさんしょうめい	parameterized reference name		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18306	A		パラメータ化型	ぱらめーたかがた	parameterized type		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18307	A		パラメータ化値	ぱらめーたかち	parameterized value		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18308	A		パラメータ化値集合	ぱらめーたかちしゅうごう	parameterized value set		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18309	A		パラメータ化オブジェクトクラス	ぱらめーたかおぶじぇくとくらす	parameterized object class		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18310	A		パラメータ化オブジェクト	ぱらめーたかおぶじぇくと	parameterized object		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18311	A		パラメータ化オブジェクト集合	ぱらめーたかおぶじぇくとしゅうごう	parameterized object set		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18312	A		変数制約	へんすうせいやく	variable constraint		JIS X 5605-4	1998	ISO/IEC 8824-4	1995				2002	SC6
18313	A		動的適合性	どうてきてきごうせい	dynamic conformance		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18314	A		静的適合性	せいてきてきごうせい	static conformance		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18315	A		データ値	でーたち	data value		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18316	A		(データ値の)符号化	(でーたちの)ふごうか	encoding (of a data value)		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18317	A		識別子オクテット	しきべつしおくてっと	identifier octets		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18318	A		長さオクテット	ながさおくてっと	length octets		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18319	A		内容オクテット	ないようおくてっと	contents octets		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18320	A		内容終了オクテット	ないようしゅうりょうおく	end-of-contents octets		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18321	A		基本型符号化	きほんがたふごうか	primitive encoding		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18322	A		構造型符号化	こうぞうがたふごうか	constructed encoding		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18323	A		受信側	じゅしんがわ	receiver		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18324	A		送信側	そうしんがわ	sender		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18325	A		後方0ビット	こうほう0びっと	trailing 0 bit		JIS X 5606-1	1998	ISO/IEC 8825-1	1995				2002	SC6
18326	A		2の補数による2進整数符号化	2のほすうによる2しんせいすうふごうか	2's-complement-binary-integer encoding		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18327	A		抽象構文値	ちゅうしょうこうぶんち	abstract syntax value		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18328	A		ビットフィールド	びっとふぃーるど	bit-field		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18329	A		標準符号化	ひょうじゅんふごうか	canonical encoding		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18330	A		複合型	ふくごうがた	composite type		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18331	A		複合値	ふくごうち	composite value		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18332	A		制約実世界整数	せいやくじっせかいせいすう	constrained whole number		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18333	A		実行サイズ制約(制約された文字列型に関する)	じっこうさいずせいやく(せいやくされたもじれつがたにかんする)	effective size constraint (for a constrained string type)		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18334	A		実効許容アルファベット制約(制約された制限付き文字列型に関する)	じっこうきょようあるふぁべっとせいやく(せいやくされたせいげんつきもじれつかたにかんする)	effective PermittedAlphabet constraint (for a constrained restricted character string type)		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18335	A		列挙インデックス	れっきょいんでっくす	enumeration index		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18336	A		PER符号化拡張可能	PERふごうかかくちょうか	extensible for PER		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18337	A		フィールドリスト	ふぃーるどりすと	field-list		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18338	A		不定長	ふていちょう	indefinite-length		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18339	A		定長型	ていちょうがた	fixed-length type		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18340	A		固定値	こていち	fixed value		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18341	A		既知倍数個文字列型	きちばいすうこもじれつがた	known-multiplier character string type		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18342	A		長さ決定子	ながさけっていし	length determinant		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18343	A		正規小非負完全整数	せいきしょうひふかんぜんせいすう	normally small non-negative whole number		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18344	A		正規少数長	せいきしょうすうちょう	normally small length		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18345	A		オクテット整列ビットフィールド	おくてっとせいれつびっとふぃーるど	octet-aligned-bit-field		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18346	A		非負2進整数符号化	ひふ2しんせいすうふごうか	non-negative-binary-integer encoding		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18347	A		PER可視制約	PERかしせいやく	PER-visible constraint		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18348	A		中継安全符号化	ちゅうけいあんぜんふごう	relay-safe encoding:		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18349	A		半制約完全整数	はんせいやくかんぜんせいすう	semi-constrained whole number		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18350	A		単純型	たんじゅんがた	simple type:		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18351	A		テキスト依存	てきすといぞん	textually dependent		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18352	A		非制約完全整数	ひせいやくかんぜんせい	unconstrained whole		JIS X 5606-2	1998	ISO/IEC 8825-2	1996				2002	SC6
18353	A		応用アソシエーション、アソシエーション	おうようあそしえーしょん、あそしえーしょん	application-association, association	プレゼンテーションサービスを使用して、応用プロトコル制御情報を交換することによって形成される二つの応用エンティティ間の協同関係。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18354	A		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application context	応用アソシエーション上での応用エンティティの相互動作のために必要な、応用サービス要素、それに関連する任意選択機能及びその他の情報の明示的に識別された集合。(備)この定義は、応用層構造の分野での標準化作業の結果によって変更されることが	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18355	A		アソシエーション制御サービス要素	あそしえーしょんせいぎょさーびすようそ	Association Control Service Element	この規格で規定する特定の応用サービス要素。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18356	A		ACSEサービス利用者	ACSEさーびすりようしゃ	ACSE service-user	応用エンティティのうちACSEサービスを使用する部分。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18357	A		ACSEサービス提供者	ACSEさーびすていきょう	ACSE service-provider	同位ACSEサービス利用者にACSEサービスを提供するエンティティ全体の抽象概念。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18358	A		要求側	ようきゅうがわ	requestor	ACSEサービスの要求プリミティブを発行するACSEサービス利用者。確認型サービスの場合は、確認プリミティブを受け取る。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18359	A		受諾側	じゅだくがわ	acceptor	ACSEサービスの指示プリミティブを受け取るACSEサービス利用者。確認型サービスの場合は、応答プリミティブを発行する。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18360	A		アソシエーション起動側	あそしえーしょんきどうがわ	association-initiator	アソシエーションを起動するACSEサービス利用者。すなわち、アソシエーションを確立するA-ASSOCIATEサービスの要求側。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18361	A		アソシエーション応答側	あそしえーしょんおうとうがわ	association-responder	アソシエーションの起動側でないACSEサービス利用者。すなわち、アソシエーションを確立するA-ASSOCIATEサービスの応答側。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18362	A		通常モード	つうじょうもーど	normal mode	ACSEの動作モードのうち、プレゼンテーションサービスを使用してACSEの意味(semantics)を転送するモード。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18363	A		X.410-1984モード	X.410-1984もーど	X.410-1984 mode	ACSE動作モードのうち、ACSEサービス利用者がCCITT勧告X.410-1984で定義するプロトコルを使用して相互動作するモード。このモードを使うとACSEの意味の転送はない。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18364	A		破壊する	はかいする	disrupt	後続のサービスを実行した結果、あるサービスが定義されたとおりに作動しない場合、そのサービスは後続のサービスによって破壊されたという。	JIS X 5701	1991	ISO 8649	1988				1996	JTC1
18365	A		アソシエーション制御プロトコル機械	あそしえーしょんせいぎょぷろとこるきかい	Association Control Protocol Machine	この規格で規定するアソシエーション制御サービス要素のためのプロトコル機械。	JIS X 5702	1991	ISO 8650	1988				ISO/IEC 8650-	JTC1
18366	A		要求側アソシエーション制御プロトコル機械	ようきゅうがわあそしえーしょんせいぎょぷろとこる	requesting Association Control Protocol Machine	あるアソシエーション制御サービスの要求側をサービス利用者とするアソシエーション制御プロトコル機械。	JIS X 5702	1991	ISO 8650	1988				ISO/IEC 8650-	JTC1
18367	A		受諾側アソシエーション制御プロトコル機械	じゅだくがわあそしえーしょんせいぎょぷろとこる	accepting Association Control Protocol Machine	あるアソシエーション制御サービスの受諾側をサービス利用者とするアソシエーション制御プロトコル機械。	JIS X 5702	1991	ISO 8650	1988				ISO/IEC 8650-	JTC1
18368	A		受諾側	じゅだくがわ	acceptor	CCRサービスの指示プリミティブを受けるCCRサービス利用者で、確認型サービスの場合、応答プリミティブを出す。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18369	A		応用障害	おうようしょうがい	application failure	正常仕様を満たす応用エンティティ起動の障害。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18370	A		原子動作	げんしどうさ	atomic action	原子性、一貫性、独立性及び耐久性の特性によって特徴づけられた分散型適用業務の特定な操作群。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18371	A		原子動作分枝、分枝	げんしどうさぶんし、ぶんし	atomic action branch, branch	原子動作の主要部分を表す二つのCCRサービス利用者の間の関係。この関係は、通信障害又は応用障害を乗り切るかもしれない。この関係は、CCRサービスの仕様で始まり、CCRサービスの仕様又は通信障害、若くは応用障害で完了する。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18372	A		原子動作分枝識別子、分枝識別子	げんしどうさぶんししきべつし、ぶんししきべつし	atomic action branch identifier, branch identifier	原子動作の適用範囲内で分枝を一意に識別するために上位が割り当てた値。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18373	A		原子動作データ	げんしどうさでーた	atomic action data	原子動作及びその分枝の状態及び制御情報。応用障害又は通信障害が起きた場合、回復される原子動作データは、保管される。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18374	A		原子動作識別子	げんしどうさしきべつし	atomic action identifier	OSI環境内で原子動作を一意に識別するために最上位が割り当てた値。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18375	A		原子動作木	げんしどうさき	atomic action tree	原子動作の操作に関するCCRサービス利用者間の階層的な関係。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18376	A		原子性	げんしせい	atomicity	その操作群がすべて実行されるか又は何も実行されないという特性。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18377	A		制御対象データ	せいぎょたいしょうでーた	bound data	原子動作の一部としてCCRサービス利用者がアクセス及び処理するデータ。制御対象データは、応用障害及び通信障害を乗り切ることができ原子動作分枝を超えて存在す	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18378	A		CCRサービス提供者	CCRさーびすていきょう	CCR service-provider	同じ原子分枝に関係する二つの同位CCR応用サービス要素。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18379	A		CCRサービス利用者	CCRさーびすりようしゃ	CCR service-user	応用エンティティ起動の一部で、原子動作木の一つ以上の分枝の調整をするためにCCRサービスを使用する。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18380	A		原子動作分枝のコミットメント、コミットメント	げんしどうさぶんしのこみっとめんと、こみっとめ	commitment of an atomic action branch,	最終状態で制御対象データを開放した原子動作分枝の完了。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18381	A		通信障害	つうしんしょうがい	communication failure	支援しているアソシエーションの予期しない解放。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18382	A		保証動作	ほしょうどうさ	compensating action	自発的判断と最上位の判断の間の不一致によって起きた不整合判明状態から初期状態又は最終状態に再確立するために使用する操作。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18383	A		並列処理制御	へいれつしょりせいぎょ	concurrency control	原子動作の独立性特性が保証されている並列処理原子動作によって使用される制御対象データの変更を調整する実開放型システム機構。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18384	A		コミットメントの確認	こみっとめんとのかくにん	conformation of commitment	下位が自局コミットメント手順を完了したという下位から上位への声明文。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18385	A		一貫性	いっかんせい	consistency	操作群の結果は、適用業務の意味に関して間違いなく、正確に及び有効に実行されるという特性。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18386	A		組込み側サービス	くみこみがわさーびす	cooperating main service	CCRの意味を自身のサービスプリミティブに組み込み、CCRの転送構文を自身のプロトコルデータ単位で運ぶ上位参照仕様。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18387	A		分散型適用業務	ぶんさんがたてきようぎょうむ	distributed application	OSI環境で相互接続する複数の応用エンティティ起動を使って成し遂げる情報処理業務。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18388	A		不確定期間	ふかくていきかん	doubt period	CCRサービス利用者(最上位を除く)のための期間で、その上位にコミットメント可能通知することを決めたときに始まり、コミット又はロールバックの命令を受けたときに終わる原子動作のある期間。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18389	A		耐久性	たいきゅうせい	durability	完了したすべての操作群の結果は、いかなる障害によっても変わらないという特性。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18390	A		最終状態	さいしゅうじょうたい	final state	原子動作の完了した応用操作の結果によっても変わらないという特性。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18391	A		自発的判断	じはつてきはんだん	heuristic decision	CCRサービス利用者の判断で、上位によってコミット又はロールバックを命令される前に、上位にコミットメント可能通知し、制御対象データのすべて又は一部を解放すること。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18392	A		初期状態	しょきじょうたい	initial state	原子動作を最初に使用したときの制御対象データの状態。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18393	A		中間CCRサービス利用者、中間	ちゅうかんCCRさーびすりようしゃ、ちゅうかん	intermediate CCR service-user, intermediate	下位及び上位の両方の役割をもつCCRサービス利用者で、最上位CCRサービス利用者又はその他の中間CCRサービス利用者の下位となり、一つ以上のほかの中間及び/又は最下位CCRサービス利用者の上位となる。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18394	A		中間状態	ちゅうかんじょうたい	intermediate state	制御対象データを処理している間の状態で、初期状態でも最終状態でもない状態。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18395	A		割込み分枝	わりこみぶんし	interrupted branch	応用障害又は通信障害によって解放されたアソシエーションを支援していた原子動作分	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18396	A		独立性	どくりつせい	isolation	ある操作群の部分的な結果は、現在行われている操作群の操作以外はアクセスできないという特性。この定義は、この特性をもち、制御対象データを共有する異なる操作群が、連続して行われることを意味する。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18397	A		最下位CCRサービス利用者、最下位	さいかいCCRさーびすりようしゃ、さいかい	leaf CCR service-user, leaf	下位の役割だけをもつCCRサービス利用者で、最上位CCRサービス利用者又は中間CCRサービス利用者の下位となる。最下位CCRサービス利用者の下位はない。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18398	A		局所的コミットメント手順	きょくしょてきこみっとめんとてじゅん	local communication procedures	すべての制御対象データを最終状態に確立し、平行処理制御を除去し、原子動作の実行で使用中のすべての資源を解放すること。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18399	A		局所的ロールバック手順	きょくしょてきろーるばっくてじゅん	local rollback procedure	すべての制御対象データを初期状態に最確立し、平行処理制御を除去し、原子動作の実行で使用中のすべての資源を解放すること。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18400	A		最上位CCRサービス利用者、最上位	さいじょういCCRさーびすりようしゃ、さいじょうい	master CCR service-user, master	上位の役割をもつCCRサービス利用者で、原子動作木の生成において、その上位はない。しかし、最上位CCRサービス利用者は、一つ以上の中間及び/又は最下位CCRサービス利用者の上位となる。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18401	A		自発的不整合判明状態、不整合判明状態	じはつてきふせいごうはんめいじょうたい、ふせいごうはんめいじょうたい	mixed heuristic situation, mixed situation	CCRサービス利用者が、最上位と異なる状態で制御対象データを解放したときの自発的判断の結果によって生じた制御対象データの状態。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18402	A		原子動作分枝のコミットメント可能通知、コミットメント可能通知	げんしどうさぶんしのこみっとめんとかのうつうち、こみっとめんとかのう	offer of commitment of an atomic action branch, offer of commitment	下位がコミットメント又はロールバックの準備ができたという下位から上位への声明文。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18403	A		原子動作文枝のコミットメント命令	げんしどうさぶんしのこみっとめんとめいれい	order of commitment of an atomic action; order of commitment	原子動作文枝のコミットメントを始めるための上位から下位への声明文。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18404	A		第1フェーズ	だい1ふぇーず	phase I	最上位でないCCRサービス利用者の場合、上位にコミットメント可能通知することを決めるまでの原子動作の期間で、最上位CCRサービス利用者の場合、原子動作をコミットすることを決めるまでの期間とする。この規格は、第1フェーズの始まりは規定しない。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18405	A		第2フェーズ	だい2ふぇーず	phase II	最上位でないCCRサービス利用者の場合、上位にコミットメント可能通知することを決めたときに始まる原子動作の期間で、最上位CCRサービス利用者の場合、原子動作をコミットすることを決めたときに始まる期間とする。第2フェーズは、いかなるCCRサービス利用者も、分枝がすべて終了し、更に原子動作の終了との関わりがすべて完了したときに	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18406	A		強制ロールバック	きょうせいろーるばっく	presumed rollback	CCRが使用する回復機能。強制ロールバックは、CCRサービス利用者が応用障害又は通信障害をロールバックとして扱うことを条件付きで許す。強制ロールバックは、分枝の原子動作データが記録されていないときに起こる。さらに、下位として動作しているCCRサービス利用者は、分枝の原子動作データを記録していたが、回復の間に上位が記録してないことが分かった場合、ロールバックを仮定してもよい。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18407	A		原子動作分枝の回復、回復	げんしどうさぶんしのかいふく、かいふく	recovery of an atomic action branch, recovery	CCRサービス利用者が責任をもつ割込み原子動作分枝を完了するためにCCRサービス利用者が利用する手順。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18408	A		原子動作分枝の回復責任、回復責任	げんしどうさぶんしのかいふくせきにん、かいふくせきにん	recovery responsibility for an atomic action branch, recovery responsibility	回復を行うかを決定するCCRサービス利用者の特性。CCRサービス利用者は、CCRサービスを使用する結果としてこの特性を取得し、電子動作分枝の完了までこの特性を保持する。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18409	A		上位参照仕様	じょういさんしょうしよう	referencing specification	CCRサービスの使用を規定している応用層の規格又はその他の仕様。CCRサービスは、常に上位参照仕様と一緒に使用される。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18410	A		要求側	ようきゅうがわ	requestor	CCRサービスの要求プリミティブを出すCCRサービス利用者で、確認型サービスの場合、確認プリミティブを受ける。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18411	A		原子動作分枝のロールバック、ロールバック	げんしどうさぶんしのろーるばっく、ろーるばっく	rollback of an atomic action branch, rollback	初期状態で制御対象データを解放した原子動作分枝の完了。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18412	A		原子動作分枝の下位、下位	げんしどうさぶんしのかい、かい	subordinate of an atomic action branch, subordinate	分枝の開始要求を受け、コミットメント可能通知し、コミットメントの命令を受けるCCRサービス利用者。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18413	A		原子動作分枝の上位、上位	げんしどうさぶんしのじょうい、じょうい	superior of an atomic action branch, superior	分枝の開始を要求し、コミットメント可能通知を受け、コミットメントを命令するCCRサービス利用者。	JIS X 5704	1995	ISO/IEC 9804	1994				1998	JTC1
18414	A		応用層	おうようそう	application layer		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18415	A		応用アソシエーション、アソシエーション	おうようあそしえーしょん、あそしえーしょん	application association, association		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18416	A		応用プロセス	おうようぷろせす	application process		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18417	A		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18418	A		プレゼンテーションサービ	ぷれぜんてーしょんさーび	aresentation-service		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18419	A		プレゼンテーションコネクション	ぷれぜんてーしょんこねくしょん	aresentation-connection		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18420	A		セションサービス	せしょんさーびす	session-service		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18421	A		セションコネクション	せしょんこねくしょん	session-connection		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18422	A		応用プロセス名称	おうようぷろせすめいしょ	application-process title		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18423	A		応用エンティティ修飾子	おうようえんていていしゅうしょくし	application-entity qualifier		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18424	A		応用エンティティ名称	おうようえんていていめいしょう	application-entity title		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18425	A		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	service-provider		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18426	A		サービス利用者	さーびすりようしゃ	service-user		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18427	A		確認型サービス	かくにんがたさーびす	confirmed service		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18428	A		非確認型サービス	ひかくにんがたさーびす	non-confirmed service		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18429	A		プリミティブ	ぷりみていぶ	primitive		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18430	A		要求<プリミティブ>	ようきゅう<ぷりみていぶ	request (primitive)		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18431	A		指示(プリミティブ)	しじ(ぷりみていぶ)	indication (primitive)		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18432	A		応答(プリミティブ)	おうとう(ぷりみていぶ)	response (primitive)		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18433	A		確認(プリミティブ)	かくにん(ぷりみていぶ)	confirm (primitive)		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18434	A		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18435	A		抽象構文名	ちゅうしょうこうぶんめい	abstract syntax name		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18436	A		コンテキスト定義集合	こんてきすとていぎしゅう	defined context set		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18437	A		プレゼンテーションコンテキスト	ぷれぜんてーしょんこんてきすと	presentation context		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18438	A		プレゼンテーションデータ	ぷれぜんてーしょんでーた	presentation data value		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18439	A		アソシエーション起動側	あそしえーしょんきどうが	association-initiator		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18440	A		アソシエーション応答側	あそしえーしょんおうとう	association-responder		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18441	A		応用エンティティ起動	おうようえんていていきどう	application-entity-invocation		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18442	A		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application-service-		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18443	A		複合アソシエーション制御機能	ふくごうあそしえーしょんせいぎょきのう	multiple association control function		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18444	A		単一アソシエーション制御機能	たんいつあそしえーしょんせいぎょきのう	single association control function		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18445	A		単一アソシエーションオブジェクト	たんいつあそしえーしょんおぶじぇくと	single association object		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18446	A		受託側	じゅたくがわ	acceptor		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18447	A		応用障害	おうようしょうがい	application failure		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18448	A		原子動作	げんしどうさ	atomic action		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18449	A		原子動作分枝、分枝	げんしどうさぶんし、ぶんし	atomic action branch, branch		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18450	A		原子動作分枝識別子、分枝識別子	げんしどうさぶんししきべつし、ぶんししきべつし	atomic action branch identifier, branch identifier		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18451	A		原子動作データ	げんしどうさでーた	atomic action data		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18452	A		原子動作識別子	げんしどうさしきべつし	atomic action identifier		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18453	A		原子動作木	げんしどうさき	atomic action tree		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18454	A		原子性	げんしせい	atomicity		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18455	A		制御対象データ	せいぎょたいしょうでーた	bound data		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18456	A		CCRサービス提供者	CCRさーびすていきょう	CCR service-provider		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18457	A		CCRサービス利用者	CCRさーびすりようしゃ	CCR service-user		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18458	A		原子動作分枝のコミットメント、コミットメント	げんしどうさぶんしのこみっとめんと、こみっとめ	commitment of an atomic branch, commitment		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18459	A		通信障害	つうしんしょうがい	communication failure		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18460	A		並列処理制御	へいれつしょりせいぎょ	concurrency control		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18461	A		組込み側サービス	くみこみがわさーびす	cooperationg main service		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18462	A		分散型適用業務	ぶんさんがたてきようぎょうむ	distributed application		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18463	A		不確定機関	ふかくていきかん	doubt period		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18464	A		耐久性	たいきゅうせい	durability		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18465	A		最終状態	さいしゅうじょうたい	final state		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18466	A		自発的判断	じはつてきはんだん	heuristic decision		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18467	A		初期状態	しょきじょうたい	initial state		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18468	A		中間CCRサービス利用者、中間	ちゅうかんCCRさーびすりようしゃ、ちゅうかん	intermediate CCR service-use ; intermediate		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18469	A		中間状態	ちゅうかんじょうたい	intermediate state		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18470	A		割込み分岐	わりこみぶんき	interrupted branch		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18471	A		独立性	どくりつせい	isolation		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18472	A		最下位CCRサービス利用者、最下位	さいかいCCRさーびすりようしゃ、さいかい	leaf CCR service-user, leaf		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18473	A		ローカルコミットメント手順	ろーかるこみっとめんとてじゅん	local commitment procedures		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18474	A		ローカルロールバック手順	ろーかるろーるばっくてじゅん	local rollback procedures		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18475	A		最上位CCRサービス利用者、最上位	さいじょういCCRさーびすりようしゃ、さいじょうい	master CCR service-user, master		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18476	A		原子動作分枝のコミットメント可能通知	げんしどうさぶんしのこみっとめんとかのうつうち	offer of commitment fo an atomic action branch		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18477	A		原子動作分枝のコミットメント命令	げんしどうさぶんしのこみっとめんとめいれい	order of ommitment of an atomic action branch		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18478	A		第1フェーズ	だい1ふぇーず	phase I		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18479	A		第2フェーズ	だい2ふぇーず	phase II		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18480	A		ロールバック仮定	ろーるばっくかてい	presumed rollback		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18481	A		回復制御	かいふくせいぎょ	recovery control		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18482	A		原子動作分枝の回復責任、回復責任	げんしどうさぶんしのかいふくせきにん、かいふくせきにん	recovery responsibility for an atomic action branch, recovery responsibility		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18483	A		基準仕様	きじゅんしよう	referencing specification		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18484	A		要求側	ようきゅうがわ	requester		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18485	A		原子動作分枝のロールバック、ロールバック	げんしどうさぶんしのろーるばっく、ろーるばっく	rollback of an atomic action abranch, rollback		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18486	A		原子動作分枝の下位、下位	げんしどうさぶんしのかい、かい	subordinate of an atomic action branch, subordinate		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18487	A		原子動作分枝の上位、上位	げんしどうさぶんしのじょうい、じょうい	superior of an atomic action branch, superior		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18488	A		受託側CCRプロトコル機械	じゅたくがわCCRぷろとこるきかい	accepting CCR protocol machine		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18489	A		CCRプロトコル機械	CCRぷろとこるきかい	CCR protocol machine		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18490	A		要求側CCRプロトコル機械	ようきゅうがわCCRぷろとこるきかい	requesting CCR protocol machine		JIS X 5705	1995	ISO/IEC 9805-1	1994				1998	JTC1
18491	A		アソシエーション起動側応用エンティティ、アソシエーション起動側	あそしえーしょんきどうがわおうようえんていてい、あそしえーしょんきどうが	association-initiating-application-entity, association-initiator	応用アソシエーションを起動する応用エンティティ。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18492	A		アソシエーション応答側応用エンティティ、アソシエーション応答側	あそしえーしょんおうとうがわおうようえんていてい、あそしえーしょんおう	association-responding-application-entity, association-responder	他の応用エンティティによる応用アソシエーションの起動に対して応答する応用エンティティ。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18493	A		起動側応用エンティティ、起動者	きどうがわおうようえんていてい、きどうしゃ	invoking-application-entity, invoker	遠隔操作を起動する応用エンティティ。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18494	A		実行側応用エンティティ、実行者	じっこうがわおうようえんていてい、じっこうしゃ	performing-application-entity, performer	他の応用エンティティによって起動された遠隔操作を実行する応用エンティティ。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18495	A		要求者	ようきゅうしゃ	requester	ROSEサービスの要求プリミティブを発行する応用エンティティ。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18496	A		受諾者	じゅだくしゃ	acceptor	ROSEサービスの指示プリミティブを受信する応用エンティティ。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18497	A		連結操作	れんけつそうさ	linked-operations	一つの親操作及び一つ以上の子操作からなる一連の操作。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18498	A		親操作	おやそうさ	parent-operation	親操作の起動者が起動し、親操作の実行者が実行する操作。この操作の実行中に、親操作の実行者は、親操作の起動者が実行する連結された子操作を起動できる。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18499	A		子操作	こそうさ	child-operation	親操作の実行時に、その実行者が関連して起動する操作。この操作は、親操作の起動側が実行する。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18500	A		遠隔操作	えんかくそうさ	Remote Operations	この用語は、次の二つの意味に用いる。(1)応用エンティティ間の対話型通信の仕様を規定する概念及び記法。これには、遠隔操作サービス要素及び使用する応用サービス要素のサービスプリミティブと記法との対応付けを含む。(2)結合操作、結合解放操作及	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18501	A		RO記法	ROきほう	RO-notation	この規格で定義する遠隔操作の仕様記述のために用いる記法。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18502	A		ACSE利用者	ACSEりようしゃ	ACSE-user	ACSEに対してRO記法の結合操作及び結合解放操作を対応付ける応用機能。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18503	A		遠隔操作サービス要素	えんかくそうささーびすようそ	Remote Operation Service Element	この規格で定義する応用サービス要素。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18504	A		ROSE提供者	ROSEていきょうしゃ	ROSE-provider	ROSEサービスの提供者。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18505	A		ROSE利用者	ROSEりようしゃ	ROSE-user	ROSEに対してRO記法の操作及び誤りを対応付ける応用機能。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18506	A		RTSE利用者	RTSEりようしゃ	RTSE-user	RTSEに対してRO記法の結合及び結合解放操作を対応付ける応用機能。	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18507	A		操作インタフェース	そうさいんたふぇーす	operation-interface	応用エンティティ内における利用者要素と応用サービス要素との間のインタフェース。これは、利用者要素が使用できる応用サービスの集合(遠隔操作)としてRO記法を用いて	JIS X 5708	1991	ISO/IEC 9072-1	1989				1989	JTC1
18508	A		遠隔操作プロトコル機械	えんかくそうさぷろとこるきかい	remote-operation-protocol-machine	この規格で規定する遠隔操作サービス要素のプロトコル機械。	JIS X 5709	1991	ISO/IEC 9072-2	1989				1989	JTC1
18509	A		要求側遠隔操作プロトコル機械	ようきゅうがわえんかくそうさぷろとこるきかい	requesting-remote-operation-protocol-	サービス利用者がある遠隔操作サービス要素の要求側である遠隔操作プロトコル機械。	JIS X 5709	1991	ISO/IEC 9072-2	1989				1989	JTC1
18510	A		受諾側遠隔操作プロトコル機械	じゅだくがわえんかくそうさぷろとこるきかい	accepting-remote-operation-protocol-	サービス利用者がある遠隔操作サービス要素の受諾側である遠隔操作プロトコル機械。	JIS X 5709	1991	ISO/IEC 9072-2	1989				1989	JTC1
18511	A		適用業務責任分散型トランザクション	てきようぎょうむせきにんぶんさんがたとらんざく	application-supported distributed transaction	OSI TPサービスの利用者がACID特性の維持の責任をもつトランザクション。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18512	A		連鎖シーケンス	れんさしーけんす	chained sequence	同一ダイアログ上で、共通の目的を達成するために、提供者が支援する連続したトランザクション分枝のシーケンス。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18513	A		チャネルプロトコル機械	ちゃねるぷろとこるきかい	channel protocol machine, CPM	OSI TPに関係するAEIでTPチャネルの確立と解放を行う部分。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18514	A		コミットメント調整者	こみっとめんとちょうせいしゃ	commitment coordinator	トランザクションの最終結果を決定するトランザクション処理プロトコル機械(TPPM)及びそれに関係するTPSU起動(TPSUI)。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18515	A		制御	せいぎょ	control	特定のダイアログ上で、TPSUIが相手のTPSUIと通信するための許可。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18516	A		調整水準	ちょうせいすいじゅん	coordination level	トランザクションの四つの特性を保証するためにどの機構を使用するかに関する二つのTSPUI間の合意。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18517	A		ダイアログ	だいあろぐ	dialogue	相互に通信する二つのTPSUI間の関係。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18518	A		ダイアログ回復	だいあろぐかいふく	dialogue recovery	ダイアログの使用を再開するために、障害の後で行われる動作。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18519	A		分散型トランザクション	ぶんさんがたとらんざく	distributed transaction	二つ以上の開放型システムで実行されるトランザクション。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18520	A		自発的判断による不整合見込み状態	じはつてきはんだんによるふせいごうみこみじょうた	heuristic-hazard	トランザクション木の下位ノードとの通信障害の結果、下位にある部分木の制御対象データが不明なときに発生する状態。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18521	A		自発的判断による不整合判明状態	じはつてきはんだんによるふせいごうはんめいじょう	heuristic-mix	一つ以上の自発的判断を行った結果、トランザクションの制御対象データが矛盾したときに発生する状態。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18522	A		自己資源	じこしげん	local resource	資源の要求を行う実開放型システムと同じ実開放型システムに存在する資源、又は資源の要求を行う実開放型システムと同じ実開放型システムに存在するエンティティが管理	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18523	A		コミットログ記録	こみっとろぐきろく	log-commit record	トランザクションがコミットと判断した記録で、回復ログに書き込まれる。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18524	A		損傷ログ記録	そんしょうろぐきろく	log-damage record	部分木内の制御対象データの矛盾を示す記録で、回復ログに書き込まれる記録。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18525	A		自発的判断ログ記録	じはつてきはんだんろぐきろく	log-heuristic record	ノードの自発的判断を示す記録で回復ログに書き込まれる記録。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18526	A		準備完了ログ記録	じゅんびかんりょうろぐきろく	log-ready record	トランザクションがコミット又はロールバックになる部分木の状態を示す記録で、回復ログに書き込まれる。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18527	A		ノード	のーど	node	TPSUI、TPPM、又はTPSUI及びそのTPPMのいずれかとする。ノードがいずれを指すかは、そのときの文脈から決定することができる。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18528	A		片側制御モード	かたがわせいぎょもーど	polarized control mode	ある特定の時点では、片側のTPSUIだけが制御権をもつダイアログに関する通信のモー	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18529	A		プロトコル機械	ぷろとこるきかい	Protocol Machine,PM	トランザクション処理プロトコル機械、又はチャネルプロトコル機械を指す一般用語。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18530	A		提供者責任分散型トランザクション	ていきょうしゃせきにんぶんさんがたとらんざくしょん	provider-supported distributed transaction	OSI TPサービスの提供者がACID特性の維持の責任をもつトランザクション。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18531	A		コミット準備完了状態	こみっとじゅんびかんりょうじょうたい	ready-to-commit state	トランザクションがコミットメント又はロールバックで完了する前の制御対象データの状態で、制御対象データがトランザクションの初期状態、又は最終状態のいずれにおいても	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18532	A		回復	かいふく	recovery	障害の後で望ましくない結果を取り除く動作。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18533	A		回復ログ	かいふくろぐ	recovery log	再開及び回復のためにデータ及び状態情報を記録するのに使用される保証格納域。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18534	A		遠隔資源	えんかくしげん	remote resource	資源の要求を行う実開放型システムとは別の実開放型システム上に存在する資源。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18535	A		資源	しげん	resource	TPSUIが責任をもつトランザクションを実行するためにTPSUIが必要とするデータ及び処	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18536	A		保証格納域	ほしょうかくのういき	secure storage	実開放型システムの回復可能な障害から復帰するための情報を記憶する信頼性の高い不揮発性の記憶場所。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18537	A		両側制御モード	りょうがわせいぎょもーど	shared control mode	両側のTPSUIが制御権をもつダイアログに関する通信のモード。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18538	A		下位部分木	かいぶぶんき	subordinate subtree	下位ノードの部分木。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18539	A		部分木	ぶぶんき	subtree	木の部分集合。ある特定のノードの部分木は、次のものを含む。(a)特定のノード自信。これを部分木の最上位ノードとする。(b)その最上位ノードに属する下位ノードの部分木。最下位ノードは、それ自身を部分木とする。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18540	A		トランザクション	とらんざくしょん	transaction	原子性、一貫性、独立性及び耐久性の四つの特性をもつ一連の操作。トランザクションは、トランザクション識別子によって一意に識別される。(備)7.6以降では、“トランザクション”の用語を“提供者支援分散型トランザクション”の同義語として使用する。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18541	A		トランザクション分枝	とらんざくしょんぶんき	transaction branch	ダイアログを共用する一対のTPSUIが実行する分散型トランザクションの一部。(備)簡潔にするため、7.6以降では、“トランザクション分枝”という用語を“提供者支援トランザクション分枝”の同義語として使用する。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18542	A		トランザクション分枝識別子	とらんざくしょんぶんきしきべつし	transaction branch identifier	特定のトランザクションに属する特定の分枝を明確にするための識別子。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18543	A		トランザクションコミットメント、コミットメント	とらんざくしょんこみっとめんと、こみっとめんと	transaction commitment, commitment	制御対象データをトランザクションの最終状態で解放するトランザクションの完了。(注)(1)“コミットメント”及び“ロールバック”の用語の適用範囲は、ISO/IEC 9804で定義された適用範囲とは異なる。この規格群は完全なトランザクションのコミットメント及びロールバックに関係するのに対し、ISO/IEC 9804は、単一原子動作分枝のコミットメント及び	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18544	A		トランザクション識別子	とらんざくしょんしきべつし	transaction identifier	特定のトランザクションを大域的に明確にする識別子。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18545	A		トランザクション記録動作	とらんざくしょんきろくどう	transaction logging	回復ログにトランザクション状態情報及びデータを記録すること。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18546	A		トランザクション処理応用サービス要素	とらんざくしょんしょりおうようさーびすようそ	Transaction Processing Application Service Element, TPASE	単一応用アソシエーションに関連するOSI TPプロトコルを処理するトランザクション処理プロトコル機械(TPPM)の一要素。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18547	A		トランザクション処理チャネル、チャネル	とらんざくしょんしょりちゃねる、ちゃねる	Transaction Processing channel, channel	トランザクション処理サービス提供者(TPSP)の回復活動を容易に行うための二つのAEI間のアソシエーションに関する関係。チャネルは、TPSUIには見えない。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18548	A		トランザクション処理プロトコル機械	とらんざくしょんしょりぷろとこるきかい	Transaction Processing Protocol Machine, TPPM	ただ一つのTPSUIのためのOSI TPサービス提供者。TPPMは、そのTPSUIの活動で使用するすべてのアソシエーションに関連するTPプロトコルを処理する。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18549	A		トランザクション処理サービス提供者	とらんざくしょんしょりさーびすていきょうしゃ	Transaction Processing Service Provider, TPSP	OSI TPサービスの提供者。TPSPは、特定のダイアログ木に関係するすべてのTPSUIに対してOSI TPサービスを提供する。TPSPは、幾つかの応用プロセス起動(API)に関連し、全体としてOSI TPサービスを概念的に見たものとする。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18550	A		トランザクション処理サービス利用者	とらんざくしょんしょりさーびすりようしゃ	Transaction Processing Service User, TPSU	OSI TPサービスの利用者。TPSUIは、応用プロセス内の処理能力の特定の集合に関連する。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18551	A		TPSU起動	TPSUきどう	TPSU Invocation, TPSUI	特定の場合の情報処理のための機能を実行するTPSUの特定のインスタンス。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18552	A		トランザクション回復	とらんざくしょんかいふく	transaction recovery	そのトランザクションのすべての制御対象データを一貫した状態にするために障害の後で行われる動作。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18553	A		トランザクションロールバック、ロールバック	とらんざくしょんろーるばっく、ろーるばっく	transaction rollback, rollback	制御対象データをトランザクションの初期状態で解放するトランザクションの完了。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18554	A		TPSU名称	TPSUめいしょう	TPSU-title	応用プロセスの適用範囲内で特定のTPSUを示す明確な名前。TPSU名称は、このTPSUの処理(能力)を意味する。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18555	A		木	き	tree	ノードを階層構造に配列したグラフ。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18556	A		非連鎖シーケンス	ひれんさしーけんす	unchained sequence	同一ダイアログ上で共通の目的を達成するため、提供者が支援する連続しないトランザクション分枝のシーケンス。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1
18557	A		利用者ASE	りようしゃASE	user-ASE	特定の応用に固有なASE。	JIS X 5710	1994	ISO/IEC 10026-1	1992				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18558	A		ダイアログ確立指示未完了	だいあろぐかくりつしじみかんりょう	dialogue establishment indication outstanding	確認パラメタ="確認必す(須)"のTP-BEGIN-DIALOGUE指示を受信したが、これに対する応答として、TP-BEGIN-DIALOGUE応答をまだ発行していないダイアログ状態。	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18559	A		ダイアログ確立要求未完了	だいあろぐかくりつようきゅうみかんりょう	dialogue establishment request outstanding	確認パラメタ="確認必す(須)"のTP-BEGIN-DIALOGUE要求を発行したが、これに対する応答として、TP-BEGIN-DIALOGUE確認をまだ受信していないダイアログ状態。	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18560	A		ダイアログ終了指示未完了	だいあろぐしゅうりょうしじみかんりょう	dialogue termination indication outstanding	利用者誤り要求未完了(3.16参照)でないとき、確認パラメタ="真"のTP-END-DIALOGUE指示を受信したが、これに対する応答として、TP-END-DIALOGUE応答又はTP-U-ERROR要求をまだ発行していないダイアログ状態。	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18561	A		ダイアログ終了要求未完了	だいあろぐしゅうりょうようきゅうみかんりょう	dialogue termination request outstanding	確認パラメタ="真"のTP-END-DIALOGUE要求を発行したが、これに対する応答として、TP-END-DIALOGUE確認又はTP-U-ERROR指示をまだ受信していないダイアログ状	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18562	A		ハンドシェーク指示未完了	はんどしぇーくしじみかんりょう	handshake indication outstanding	ダイアログ状態の一種。この状態は、次のいずれかとする。(1)利用者誤り要求未完了(3.16参照)でないとき、TP-HANDSHAKE指示を受信したが、これに対する応答として、TP-HANDSHAKE応答、TP-U-ERROR要求又はロールバック起動サービスプリミティブ(3.9参照)をまだ発行していないダイアログ状態。(2)利用者誤り要求未完了(3.16参照)でないとき、TP-HANDSHAKE-AND-GRANT-CONTROL指示を受信したが、これに対する応答として、TP-HANDSHAKE-AND-GRANT-CONTROL応答、TP-U-ERROR要求又はロールバック起動サービスプリミティブ(3.9参照)をまだ発行していないダイアログ状	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18563	A		ハンドシェーク要求未完了	はんどしぇーくようきゅうみかんりょう	handshake request outstanding	ダイアログ状態の一種。この状態は、次のいずれかとする。(1)TP-HANDSHAKE要求を発行したが、これに対する応答として、TP-HANDSHAKE確認、TP-U-ERROR指示又はロールバック起動サービスプリミティブ(3.9参照)をまだ受信していないダイアログ状態。(2)TP-HANDSHAKE-AND-GRANT-CONTROL要求を発行したが、これに対する応答として、TP-HANDSHAKE-AND-GRANT-CONTROL確認、TP-U-ERROR指示又はロールバック起動サービスプリミティブ(3.9参照)をまだ受信していないダイアログ状態。	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18564	A		ロールバック起動指示	ろーるばっくきどうしじ	rollback-initiating indication	ロールバックを起動する指示又は確認。次のサービスプリミティブのうちのいずれか一つ。(1)TP-ROLLBACK指示 (2)ロールバックパラメタ="真"のTP-U-ABORT指示 (3)ロールバックパラメタ="真"のTP-P-ABORT指示 (4)ロールバックパラメタ="真"のTP-	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18565	A		ロールバック起動要求	ろーるばっくきどうようきゅう	rollback-initiating request	ロールバックを起動する要求。次のサービスプリミティブのうちのいずれか一つ。(1)TP-ROLLBACK要求 (2)調整水準="コミットメントあり"のダイアログにおいて、トランザクション終了フェーズ(3.13参照)でないときに発行するTP-U-ABORT要求	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18566	A		ロールバック起動サービスプリミティブ	ろーるばっくきどうさーびすぷりみていぶ	Rollback-initiating service primitive	ロールバックを起動するサービスプリミティブ。ロールバック起動要求、ロールバック起動指示のいずれか一つ。	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18567	A		下位ダイアログ	かいだいあろぐ	subordinate dialogue	下位TPSUIとのダイアログ。	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18568	A		下位部分木	かいぶぶんき	subordinate subtree	下位の部分木	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18569	A		上位ダイアログ	じょういだいあろぐ	superior dialogue	上位TPSUIとのダイアログ	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18570	A		トランザクション終了フェーズ	とらんざくしょんしゅうりょうふぇーず	termination phase of a transaction	コミットメント若しくはロールバックを起動してから、又はコミットメント若しくはロールバックが起動されてから、トランザクションが終了するまでの間。TPSUIは、TP-COMMIT要求を発行後、又はロールバック起動サービスプリミティブを発行後若しくは受信後、このフェーズに入る。ダイアログ確立指示未完了でないTPSUIは、TP-COMMIT-COMPLETE指示又はTP-ROLLBACK-COMPLETE指示を受信後、このフェーズから出る。ダイアログ確立指示未完了であるTPSUIは、TP-ROLLBACK指示を受信したときにだけ、終了フェーズに入る。結果パラメタ="拒否(利用者)"のTP-BEGIN-DIALOGUE応答又はTP-P-ABORT指示を受信したとき、このフェーズを出る。もし、トランザクション終了フェーズ中にTP-BEGIN-DIALOGUE確認を受信したならば、TP-ROLLBACK-COMPLETE指示を受信後、	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18571	A		トランザクション木の制約条件	とらんざくしょんもくのせいやくじょうけん	transaction tree constraint	一つのノードだけでは検査できない制約条件。	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18572	A		利用者誤り指示未完了	りようしゃあやまりししじみかんりょう	user error indication outstanding	このダイアログ状態は、片側制御機能単位を選択したときにだけ定義する。ダイアログの制御権をもっているとき、かつ、ハンドシェーク要求未完了又はダイアログ終了要求未完了のいずれでもないとき、受信したTP-U-ERROR指示の応答として、次のいずれか一つをまだ発行していないダイアログ状態。(1)TP-GRANT-CONTROL要求 (2)ロールバック	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18573	A		利用者誤り要求未完了	りようしゃあやまりようきゅうみかんりょう	User error request outstanding	このダイアログ状態は、片側制御機能単位を選択したときにだけ定義する。ダイアログの制御権をもっていないとき、かつ、ハンドシェーク指示未完了又はダイアログ終了指示未完了のいずれでもないとき、発行したTP-U-ERROR要求の応答として、次のいずれか一つをまだ受信していないダイアログ状態。(1)TP-GRANT-CONTROL指示 (2)TP-HANDSHAKE指示 (3)TP-HANDSHAKE-AND-GRANT-CONTROL指示 (4)確認パラメタ="真"のTP-END-DIALOGUE指示 (5)ロールバック起動サービスプリミティブ	JIS X 5711	1994	ISO/IEC 10026-2	1992				1998	JTC1
18574	A		非OSI規格	ひOSIきかく	non-OSI-standard	開放型システム間相互接続を目的とする国際的な標準化機関から、公式に承認されていない仕様。	JIS X 5715	1996	ISO/IEC 10026-6	1995				1995	JTC1
18575	A		応用層	おうようそう	application layer		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18576	A		応用プロセス	おうようぷろせす	application-process		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18577	A		応用エンティティ	おうようえんてぃてぃ	application-entity		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18578	A		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application-service-element		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18579	A		応用プロトコルデータ単位	おうようぷろとこるでーたたんい	application-protocol-data-unit		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18580	A		プレゼンテーション接続	ぷれぜんてーしょんせつ	presentation-connection		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18581	A		プレゼンテーションコンテキスト	ぷれぜんてーしょんこんてきすと	presentation context		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18582	A		実開放型システム	じつかいほうがたしすてむ	real open system		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18583	A		応用アソシエーション	おうようあそしえーしょん	application-association		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18584	A		応用エンティティインボケーション	おうようえんてぃていんぼけーしょん	application-entity-invocation		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18585	A		応用プロセスインボケーション	おうようぷろせすいんぼけーしょん	application-process-invocation		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18586	A		応用サービス要素インボケーション	おうようさーびすようそいんぼけーしょん	application-service-element-invocation		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18587	A		応用サービスオブジェクト	おうようさーびすおぶじぇくと	applidtion-service-object-invocation		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18588	A		ASOアソシエーション	ASOあそしえーしょん	ASO-association		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18589	A		ASOコンテキスト	ASOこんてきすと	ASO-context		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18590	A		応用サービスオブジェクトインボケーション	おうようさーびすおぶじぇくといんぼけーしょん	application-service-object-invocation		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18591	A		制御機能	せいぎょきのう	control function		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18592	A		OSIサービス	OSIさーびす	OSI service		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18593	A		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	service-provider		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18594	A		サービス使用者	さーびすしようしゃ	service-user		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18595	A		要求	ようきゅう	request		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18596	A		指示	しじ	indication		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18597	A		応答	おうとう	response		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18598	A		確認	かくにん	confirm		JIS X 5718	1998	ISO/IEC 11578	1996				1996	JTC1
18599	A		AE起動	AEきどう	AE-invocation	応用プロセス起動の通信要求を満足するための、ある与えられた応用エンティティの一部又はすべての能力の特定の使用。(備)これは、ASO起動という概念の一つの使用例	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18600	A		AE型	AEがた	AE-type	応用層でで定義される一連の能力によって記述される応用エンティティのクラス。(備)これは、ASO型という概念の一つの使用例である。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18601	A		応用アソシエーション、アソシエーション	おうようあそしえーしょん、あそしえーしょん	application-association, association	情報の通信及び共同動作の調整のために、プレゼンテーションサービスの使用を制御する二つのASO起動間の協同関係。(備)これは、ASOアソシエーションという概念の一つの使用例である。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18602	A		応用アソシエーション識別子	おうようあそしえーしょんしきべつし	application-association-identifier	その応用アソシエーションの端点のASO起動の範囲内で応用アソシエーションを一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18603	A		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application-context	応用アソシエーション上でASO起動間で共有される一連の規則。(備)これは、ASOコンテキストという概念の一つの使用例である。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18604	A		応用コンテキスト定義	おうようこんてきすとていぎ	application-context-definition	応用テキストの仕様。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18605	A		応用コンテキスト名	おうようこんてきすとめい	application-context-name	応用コンテキスト定義を一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18606	A		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application-service-element	特定の目的をもった応用エンティティ起動の相互接続のための能力を提供する一連の応用機能。応用サービス要素は、応用サービスオブジェクトの構成要素である。(備)この定義は、ISO/IEC 7498-1での応用サービス要素の定義の詳細化である。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18607	A		応用サービスオブジェクト	おうようさーびすおぶじぇくと	application-service-object	応用層で定義され、特定のASO型に対応する一連の能力を実現する応用エンティティ内の能動的な要素(応用エンティティも全体で一つの応用サービスオブジェクトである。)。(備)これは、ISO/IEC 7498-1で定義された(N)エンティティという概念の一つの使用例で	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18608	A		ASE起動	ASEきどう	ASE-invocation	ある与えられた応用サービス要素の一部又はすべての能力の特定の使用。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18609	A		ASE型	ASEがた	ASE-type	応用層で定義される一連の能力によって記述される応用サービス要素のクラス。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18610	A		ASOアソシエーション	ASOあそしえーしょん	ASO-association	情報の通信及び共同動作の調整のための、二つ以上のASO起動間の協同関係。(備)これは、(N)アソシエーションという概念の一つの使用例である。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18611	A		ASOアソシエーション識別子	ASOあそしえーしょんしきべつし	ASO-association-identifier	そのASOアソシエーションの端点のASO起動の範囲内でASOアソシエーションを一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18612	A		ASOコンテキスト	ASOこんてきすと	ASO-context	ASOアソシエーション上でASO起動間で共有される一連の規則。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18613	A		ASOコンテキスト	ASOこんてきすと	ASO-context-definition	ASOコンテキストの仕様。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18614	A		ASO起動	ASOきどう	ASO-invocation	ある与えられたASOの一部又はすべての能力の特定の使用。(備)これは、ISO/IEC 7498-1で定義された(N)エンティティ起動という概念の一つの使用例である。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18615	A		ASOI識別子	ASOIしきべつし	ASOI-identifier	親起動とそのASOとの対の範囲内でASOIを一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18616	A		ASOIタグ	ASOIたぐ	ASOI-tag	APIの範囲内でASOIを一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18617	A		ASO名	ASOめい	ASO-name	APの範囲内でASOを一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18618	A		ASO修飾子	ASOしゅうしょくし	ASO-qualifier	そのASOの親の範囲内でASOを一意に識別する名前。(備)ASOがAEの場合、そのASOの親は、AEである。その他のすべての場合、そのASOの親は、親ASOである。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18619	A		ASO名称	ASOめいしょう	ASO-title	OSI環境でASOを一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18620	A		ASO型	ASOがた	ASO-type	応用層で定義される一連の能力によって記述されるASOのクラス。(備)これは、ISO/IEC 7498-1で定義された(N)エンティティ型という概念の一つの使用例である。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18621	A		ASO型名称	ASOがためいしょう	ASO-type-title	OSI環境でASO型を一意に識別する名前。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18622	A		アソシエーション制御サービス要素	あそしえーしょんせいぎょさーびすようそ	association control service element	すべての応用アソシエーションの確立及び解放のための手段を提供することができる唯一のASE。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18623	A		子ASO	こASO	child ASO	ASOは、それを直接含むASOの子ASOとする。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18624	A		制御機能	せいぎょきのう	control function	そのASO内に含まれるASE及びASO間の相互作用を制御するASOの構成要素。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18625	A		親ASO	おやASO	parent ASO	ASOは、それに直接含まれるASO及びASEの親ASOとする。	JIS X 5720	1995	ISO/IEC 9545	1994				1994	JTC1
18626	A		空きファイル	あきふぁいる	empty file	ファイルコンテンツがデータ単位も節点名ももたない根節点だけで構成されるファイル。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18627	A		ファイルアクセス	ふぁいるあくせす	file access	ファイルコンテンツの一部の検索、変更、置換又は消去。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18628	A		ファイルコンテンツ	ふぁいるこんてんつ	file contents	ファイル中に含まれ、ファイルオープン動作有効期間において操作できるデータ単位、節点名及び構造を規定する情報。ファイル属性は、ファイルコンテンツを構成する要素とは	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18629	A		ファイル管理	ふぁいるかんり	file management	ファイルの生成及び削除、並びにファイル属性の検索又は操作。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18630	A		ファイル転送	ふぁいるてんそう	file transfer	ファイルの内容の一部又は全部を開放型システム間で移動する機能。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18631	A		階層ファイルモデル	かいそうふぁいるもでる	hierarchical file model	名前を付けることができるファイルアクセスデータ単位からなる木の形態をとる、ファイルの内部構造を表すモデル。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18632	A		実ファイル	じつふぁいる	real file	実システムに存在し、開放型システム間相互接続(OSI)環境における仮想ファイルに対応付けられる名前をもった情報の集合及びその属性。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18633	A		実ファイルストア	じつふぁいるすとあ	real filestore	ファイルの属性及び名前も含めてファイル群を系統立てて集めたもの。ファイルは実システムに存在し、OSI環境における仮想ファイル参照に対応付ける。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18634	A		仮想ファイル、ファイル	かそうふぁいる、ふぁいる	virtual file, file	共通の属性をもつ構造化された情報の集まりであって、明確な名前をもつもの。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18635	A		仮想ファイルストア	かそうふぁいるすとあ	virtual filestore	ファイル群及びファイルストア群並びにそれらに対する動作を記述するための抽象モデル。あいまいにならない限り、この規格群では単に“ファイルストア”という。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18636	A		課金動作有効期間	かきんどうさゆうこうきか	accounting regime	課金情報の集合が適用される期間。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18637	A		コミットメント単位	こみっとめんとたんい	commitment unit	ファイルストア動作の集まり。成功した場合、その作用が他のプロセスに見えるようになり、完全に失敗した場合、他のプロセスに見える作用を伴わない。(備)コミットメント単位における動作は、コミットメント単位の完了時まで随時無効にできる。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18638	A		回復用情報	かいふくようじょうほう	docket	ファイルサービス動作有効期間に関係するものであって、誤り回復のために保持しなければならない情報の集まり。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18639	A		外部ファイルサービス	がいぶふぁいるさーびす	external file service	ファイルサービス利用者から見えるファイルのアクセス、転送及び管理。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18640	A		ファイルサービス利用者	ふぁいるさーびすりよう	file service user	FTAMサービスを概念的に起動する応用エンティティの部分。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18641	A		起動側	きどうがわ	initiator	FTAM動作有効期間の確立を要求するファイルサービス利用者。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18642	A		内部ファイルサービス	ないぶふぁいるさーびす	internal file service	ファイル誤り回復プロトコル機械がファイル誤り回復プロトコル制御情報及び通常のファイルプロトコル制御情報の両方を転送するために使用するサービス。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18643	A		開放型システム間相互接続環境	かいほうがたしすてむかんそうごせつぞくかんきょう	open systems interconnection	システム間の相互接続を可能とする規格化されたサービス、プロトコル及びデータ構造の定義の集合。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18644	A		フェーズ	ふぇーず	phase	プロトコル交換が応用コンテキストの確立、解放などの特定の目的をもつ期間。各フェーズで有効なメッセージの集まりは、状態遷移によって定義する。(備)エンティティは、いつでもいずれか一つのフェーズにある。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18645	A		プレゼンテーションデータ	ぷれぜんてーしょんでーた	presentation data value	抽象構文によって記述し、プレゼンテーションサービスによって転送する情報の単位。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18646	A		実システム環境	じつしすてむかんきょう	real system environment	実システム内における応用プロセスを支援する実装の側面。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18647	A		受信側エンティティ、受信側	じゅしんがわえんていてぃ、じゅしんがわ	receiving entity, receiver	ファイルデータ転送動作有効期間においてファイルコンテンツの一部又は全部を受信するエンティティ。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18648	A		動作有効期間	どうさゆうこうきかん	regime	エンティティが、そのとり得る状態のうちのある部分集合状態にあり、特定の動作が許される期間。(備)動作有効期間は、入れ子にすることができる。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18649	A		応答側	おうとうがわ	responder	起動側から要求したFTAM動作有効期間確立を受け入れる側のファイルサービス利用	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18650	A		ロールバック	ろーるばっく	rollback	完結していない動作を無効にすること。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18651	A		送信側エンティティ、送信側	そうしんがわえんていてぃ、そうしんがわ	sending entity, sender	ファイルデータ転送動作有効期間においてファイルコンテンツの一部又は全部を送信するエンティティ。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18652	A		サービス要素	さーびすようそ	service element	まとまった機能を有する標準化の単位。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18653	A		サービスプリミティブ	さーびすぷりみていぶ	service primitive	通信サービスの利用者と提供者との間の相互作用のうち、最小の定義単位。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18654	A		共存するサービス要素	きょうぞんするさーびすようそ	symbiotic service element	1番目のサービスのプロトコル制御情報の抽象構文中で、定義した位置に2番目のサービスの抽象構文の部分を内包し、そのサービスの意味を取り入れることによって2番目のサービスの操作を支援するサービス。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18655	A		アクティビティ属性	あくていびてぃぞくせい	activity attributes	ファイルサービスを使用する活動を記述する属性。この属性は、一つのFTAM動作有効期間(その中に入れ子にした動作有効期間を含む。)に適用する。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18656	A		属性	ぞくせい	attribute	各々の値が定義した意味をもつ値集合から一つの値をとることによって何らかの性質を表す情報。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18657	A		ファイル属性	ふぁいるぞくせい	file attributes	ファイルの名前及びその他の識別可能な性質。(備)複数の利用者が同時に活動する場合でも、ファイルサービスの利用者には、ファイル属性は同一の値とする。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18658	A		アクセスコンテキスト	あくせすこんてきすと	access context	転送又はアクセスのためにファイルを読み出すときに、ファイルコンテンツにおける構造を規定する情報及び利用者情報の部分集合を定義するアルゴリズム。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18659	A		データ要素	でーたようそ	data element	プレゼンテーションサービスによって転送する場合、識別情報を保持する必要がある最小データの定義。一つのデータ要素でファイルコンテンツ情報、ファイル構造情報又はプロトコル制御情報を運ぶことができる。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18660	A		データ単位	でーたたんい	data unit	ファイルストア動作が操作できるファイルコンテンツの最小単位。各データ単位は、ファイルアクセス構造の節点に関係付ける。データ単位は一連のデータ要素からなる。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18661	A		ファイルアクセスデータ単位	ふぁいるあくせすでーたたんい	file access data unit	転送、削除、拡張、置換又は挿入動作を行うことができるファイルアクセス構造の単位。ファイルアクセスデータ単位は、0個以上のデータ単位で構成する。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18662	A		ファイルストア動作	ふぁいるすとあどうさ	filestore action	仮想ファイルストアの定義の一部として規定した動作の一つ。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18663	A		ファイルアクセス構造	ふぁいるあくせすこうぞう	file access structure	ファイルアクセスデータ単位を関係付けて、ファイルアクセスデータ単位の識別、記述及び操作を可能にするファイルのデータ構造。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18664	A		弧	こ	arc	二つの節点間の方向性のあるつながり。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18665	A		弧長	こちょう	arc length	子節点と親節点の間の水準の差。正の整数で表す。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18666	A		(節点の)子	(せってんの)こ	child (of a node)	ある節点の出弧の終点となる節点。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18667	A		葉	は	leaf	出弧がない木の節点。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18668	A		(節点の)水準	(せってんの)すいじゅん	level (of a node)	根からその節点までの弧長の和。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18669	A		長弧	ちょうこ	long arc	弧長が1よりも大きい弧。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18670	A		節点	せってん	node	木を構成する基本要素。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18671	A		順序木	じゅんじょぎ	ordered tree	木の各節点の子の順序付けを定義した木。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18672	A		(節点の)親	(せってんの)おや	parent (of a node)	ある節点の入弧の始点となる節点。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18673	A		経路	けいろ	path	弧の定義された方向に沿って各々の弧を通過するように、ある節点と他の節点を結ぶ弧のつながり。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18674	A		根	ね	root	ある木において、入弧のない唯一の節点。根の水準は0とする。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18675	A		(節点の)兄弟	(せってんの)きょうだい	sister (of a node)	ある節点と同じ親節点を共有する節点。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18676	A		部分木	ぶぶんぎ	sub tree	部分木根節点としての任意の節点、及びその部分木根節点からの経路で到達することができる他のすべての節点で構成する木の部分。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18677	A		トラバーサル順序	とらばーさるじゅんじょ	traversal sequence	木において、各節点が1回だけ現れるような節点の順序付け。その順序は、すべての木に適用するアルゴリズムによって決定する。(備)一般に、幾つかの異なる木から同じトラバーサル順序を生成できることがある。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18678	A		木	き	tree	ただ一つの節点だけが入弧をもたず、他のすべての節点が一つの入弧をもつように、すべての節点を方向性のある弧で結んだ接続構造。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18679	A		制約集合	せいやくしゅうごう	constraint set	はん(汎)用ファイルモデルへの制約及び詳細化の集合。これによって、特定の応用部類にも適合するように、はん(汎)用性の低いモデルを規定する。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18680	A		ファイルモデル	ふぁいるもでる	file model	ファイルコンテンツのアクセス構造のモデル。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18681	A		フラット(制約集号)	ふらっと(せいやくしゅうごう)	flat (constraint set)	はん(汎)用階層ファイルモデルに適用した場合、水準0及び水準1の二つの水準で構成し、葉節点だけにデータ単位をもち、根節点にはデータ単位をもたないアクセス構造を生成する制約集合。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18682	A		はん(汎)用階層ファイルモデル	はんようかいそうふぁいるもでる	general hierarchical model	ファイルアクセスデータ単位が階層木を構成するモデル。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18683	A		階層(制約集合)	かいそう(せいやくしゅうごう)	hierarchical (constraint set)	はん(汎)用階層ファイルモデルに適用した場合、階層的であるが、節点記述及びデータ単位の形式が制約されたアクセス構造を生成する制約集合。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18684	A		非構造(制約集合)	ひこうぞう(せいやくしゅうごう)	unstructured (constraint set)	はん(汎)用階層ファイルモデルに適用した場合、一つのデータ単位をもつ根節点だけで構成するアクセス構造を生成する制約集合。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18685	A		(ドキュメントの)連結	(どきゅめんとの)れんけつ	concatenation (of documents)	二つのドキュメントを組み合わせて、一つのドキュメントを作ること。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18686	A		ドキュメント	どきゅめんと	document	適用可能な転送構文の集合、抽象構文及び部分的意味(semantics)が分かっている情報の集まり。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18687	A		ドキュメント型	どきゅめんとがた	document type	ドキュメントに必要な意味、抽象構文、転送構文及び動的特性を示すドキュメントのクラスの仕様。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18688	A		(ドキュメントの)動的特性	(どきゅめんとの)どうてきとくせい	dynamics (of a document)	ドキュメントの連結及び単純化の特性。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18689	A		(ドキュメントの)緩和	(どきゅめんとの)かんわ	relaxation (of a document)	ドキュメントのパラメタをより少ない制約にすることによって、あるドキュメントから異なるドキュメントを抽出作成する過程。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18690	A		(ドキュメントの)単純化	(どきゅめんとの)たんじゅんか	simplification (of a document)	あるドキュメントから構造情報を捨てることによって、異なるドキュメントを抽出作成する過程。	JIS X 5721	1991	ISO 8571-1	1988				1988	JTC1
18691	B		ディレクトリ	でぃれくとり	the Directory	ディレクトリサービスを提供するために協同して動作を行う開放型システムの集合体。	JIS X 5731	1990				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
18692	B		ディレクトリ情報ベース	でぃれくとりじょうほうべーす	Directory Information Base,(DIB)	ディレクトリによって管理される情報の集合。	JIS X 5731	1990				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
18693	B		(ディレクトリ)利用者	(でぃれくとり)りようしゃ	(Directory) user	ディレクトリの末端利用者。すなわちディレクトリをアクセスするエンティティ又は人。	JIS X 5731	1990				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
18694	B		ディレクトリ	でぃれくとり	the Directory	ディレクトリサービスを提供するために協同して動作を行う開放型システムの集合体。	JIS X 5731-1	1997	ISO/IEC 9594-1	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18695	B		ディレクトリ情報ベース	でぃれくとりじょうほうべーす	directory information base (DIB)	ディレクトリによって管理される情報の集合。	JIS X 5731-1	1997	ISO/IEC 9594-1	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18696	B		(ディレクトリ)利用者	(でぃれくとり)りようしゃ	(directory) user	ディレクトリの末端利用者。すなわち、ディレクトリをアクセスするエンティティ又は人。	JIS X 5731-1	1997	ISO/IEC 9594-1	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18697	B		応用エンティテイ	おうようえんていてい	application-entity		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18698	B		応用層	おうようそう	application-layer		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18699	B		応用プロセス	おうようぷろせす	application-process		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18700	B		応用層プロトコルデータユニット	おうようそうぷろとこるでーたゆにっと	application protocol data unit		JIS X 5731-10	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18701	B		管理情報ベース	かんりじょうほうべーす	management information base		JIS X 5731-10	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18702	B		管理対象	かんりたいしょう	managed object		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18703	B		エージェント	えーじぇんと	agent		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18704	B		マネージャ	まねーじゃ	manager		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18705	B		通知	つうち	notification		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18706	B		管理オブジェクトクラス	かんりおぶじぇくとくらす	managed object class		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18707	B		振る舞い	ふるまい	behaviour		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18708	B		条件付きパッケージ	じょうけんつきぱっけーじ	conditional package		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18709	B		継承	けいしょう	inheritance		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18710	B		命名木	めいめいき	naming tree		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18711	B		パッケージ	ぱっけーじ	package		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18712	B		サブクラス	さぶくらす	subclass		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18713	B		スーパクラス	すーぱくらす	superclass		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18714	B		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18715	B		主管機関ディレクトリ管理領域	しゅかんきかんでぃれくとりかんりりょういき	Administration Directory Management Domain		JIS X 5731-10	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18716	B		別名	べつめい	alias		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18717	B		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18718	B		属性型	ぞくせいかた	attribute type		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18719	B		属性値	ぞくせいち	attribute value		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18720	B		ディレクトリ管理領域	でぃれくとりかんりりょういき	Directory Management Domain		JIS X 5731-10	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18721	B		ディレクトリシステム領域	でぃれくとりしすてむりょういき	Directory System Domain		JIS X 5731-10	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18722	B		DSA特有エントリ	DSAとくゆうえんとり	DSA Specific Entry		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18723	B		ディレクトリ利用者エージェント、ディレクトリユーザエージェント	でぃれくとりりようしゃえーじぇんと、でぃれくとりゆーざえーじぇんと	Directory User Agent (DUA)		JIS X 5731-10	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18724	B		識別名	しきべつめい	distinguished name		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18725	B		エントリ	えんとり	Entry		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18726	B		名前	なまえ	Name		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18727	B		オブジェクト	おぶじぇくと	object (of interest)		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18728	B		私設ディレクトリ管理領域	しせつでぃれくとりかんりりょういき	Private Directory Management Domain		JIS X 5731-10	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18729	B		相対識別名	そうたいしきべつめい	relative distinguished		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18730	B		根	ね	Root		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18731	B		スキーマ	すきーま	Schema		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18732	B		セキュリティ方針	せきゅりていほうしん	security policy		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18733	B		下位オブジェクト	かいおぶじぇくと	subordinate object		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18734	B		上位オブジェクト	じょういおぶじぇくと	superior object		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18735	B		上位エントリ	じょういえんとり	superior entry		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18736	B		木	き	Tree		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18737	B		利用者、ユーザ	りようしゃ、ゆーざ	(Directory) user		JIS X 5731-	2004	ISO/IEC 9594-10	2001		廃2009/3		2005	SC6
18738	B		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	appication-context		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18739	B		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18740	B		応用プロセス	おうようぷろせす	application-process		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18741	B		ディレクトリ	でぃれくとり	Directory		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18742	B		ディレクトリアクセスプロトコル	でぃれくとりあくせすぷろとこる	Directory Access Protocol		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18743	B		ディレクトリ情報ベース	でぃれくとりじょうほうべー	Directory Information		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18744	B		ディレクトリ運用結合管理プロトコル	でぃれくとりうんようけつごうかんりぷろとこる	Directory Operational Binding Management Protocol		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18745	B		ディレクトリシステムプロトコル	でぃれくとりしすてむぷろとこる	Directory System Protocol		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18746	B		(ディレクトリ)ユーザ	(でぃれくとり)ゆーざ	(Directory) user		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18747	B		アクセス点	あくせすてん	access point		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18748	B		階層型運用結合	かいそうがたうんようけつごう	hierarchical operational binding		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18749	B		名前解析	なまえかいせき	name resolution		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18750	B		不特定階層的運用結合	ふとくていかいそうてきうんようけつごう	non-specific hierarchical operarional binding		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18751	B		関連のある階層的運用結合	かんれんのあるかいそうてきうんようけつごう	relevant hierarchical pperational binding		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18752	B		キャッシュ化エントリの写	きゃっしゅかえんとりのう	cache-copy		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18753	B		消費側参照	しょうひがわさんしょう	consumer reference		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18754	B		エントリの写し	えんとりのうつし	entry-copy		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18755	B		マスタDSA	ますたDSA	master DSA		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18756	B		一次シャドウ化	いちじしゃどうか	primary shadowing		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18757	B		複製領域	ふくせいりょういき	replidated area		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18758	B		複製	ふくせい	replication		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18759	B		二次シャドウ化	にじしゃどうか	secondary shadowing		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18760	B		シャドウ消費側	しゃどうしょうひがわ	shadow consumer		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18761	B		シャドウ提供側	しゃどうていきょうがわ	shadow supplier		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18762	B		シャドウされたDSA特有エントリ	しゃどうされたDSAとくゆうえんとり	Shadowed DSA-Specific Entry		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18763	B		シャドウ化	しゃどうか	shadowing		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18764	B		提供側参照	ていきょうがわさんしょう	supplier reference		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18765	B		管理権限	かんりけんげん	administrative authority	ディレクトリ管理の様々な側面にかかわる領域管理組織の代理人。用語“管理権限(administratibe authority)”(小文字)は、ポリシーを実行するために、領域管理組織によって管理機関(Administrative Authority)に与えられた権限を表す。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18766	B		主官機関ディレクトリ管理領域	しゅかんきかんでぃれくとりかんりりょういき	administrative directry management domain (ADDMD)	主管機関によって運用されるDMD。 備考 用語“主管機関”は、公衆電気通信管理機関又は公衆電気通信サービスを提供する他の組織を示す。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18767	B		ディレクトリ管理及び運用情報	でぃれくとりかんりおよびうんようじょうほう	directory administrative and operational	管理及び運用の目的のためにディレクトリによって使われる情報。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18768	B		DIT領域	DITりょういき	DIT domain	グローバルDITの中で、DMDを形成するDSA群によって保持される部分。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18769	B		ディレクトリ管理領域	でぃれくとりかんりりょういき	directory management domain (DMD)	一つの組織によって管理される一つ以上のDSAと0個以上のDUAとの集合。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18770	B		領域管理組織	りょういきかんりそしき	domain management organization	DMD(及び関連するDIT領域)を管理する組織。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18771	B		ディレクトリユーザ情報	でぃれくとりゆーざじょうほ	directory user information	ユーザ及びアプリケーションにかかわる情報。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18772	B		ディレクトリシステムエージェント	でぃれくとりしすてむえーじぇんと	Directory System Agent (DSA)	ディレクトリを構成するOSI応用プロセス。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18773	B		(ディレクトリ)ユーザ	(でぃれくとり)ゆーざ	(Directory) user	ディレクトリのエンドユーザ。すなわち、ディレクトリにアクセスするエンティティ又は人。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18774	B		ディレクトリユーザエージェント	でぃれくとりゆーざえーじぇんと	directory user agent (DUA)	ディレクトリにアクセスする際にユーザを代行するOSI応用プロセス。 備考 DUAは、ユーザが問合せを組み立てること、および応答を翻訳することを支援する局所的な機能までも提供する場合がある。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18775	B		私設ディレクトリ管理領域	しせつでぃれくとりかんりりょういき	private directory management domain (PRDMD)	主管機関以外の組織によって管理されるDMD。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18776	B		別名エントリ	べつめいえんとり	alias entry	オブジェクトエントリ又は別名エントリのための代替名を提供するための情報を含む“別名”クラスのエントリ。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18777	B		直接スーパークラス	ちょくせつすーぱーくらす	direct superclass	サブクラスに関連するもので、そのサブクラスを直接導出するオブジェクトクラス。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18778	B		ディレクトリ情報ベース	でぃれくとりじょうほうべーす	directory information base (DIB)	ディレクトリがアクセスを提供する完全な情報の集合であって、ディレクトリの操作を利用して読出し又は操作可能なすべての情報。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18779	B		ディレクトリ情報木	でぃれくとりじょうほうき	directory information tree (DIT)	木構造としてみたDIBであって、その木構造の節点(根以外)がディレクトリエントリであるもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18780	B		(ディレクトリ)エントリ	(でぃれくとり)えんとり	(directory) entry	DIB内の名前付けされた情報の集合。そのDIBは、エントリから構成される。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18781	B		直接上位(名詞)	ちょくせつじょうい	immediate superior (noun)	特定のエントリ又はオブジェクト(どちらが意図されているかは、文脈から明らかでなければならない)に関するもので、その直接上位のエントリ又はオブジェクト。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18782	B		直接上位の	ちょくせつじょういの	immediately superior	7.1.8及び7.1.9参照。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18783	B		直接上位(エントリ)	ちょくせつじょうい(えんとり)	immediately superior (entry)	特定のエントリに関連するもので、DITの最後の節点がその特定のエントリの節点であるDIT内で、弧の最初の節点に位置するエントリ。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18784	B		直接上位(オブジェクト)	ちょくせつじょうい(おぶじぇくと)	immediately superior (object)	特定のオブジェクトに関するものであって、そのオブジェクトのオブジェクトエントリが2番目のオブジェクトに対するいかなるエントリ(オブジェクト又は別名)の直接上位となるよう	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18785	B		(着目する)オブジェクト	(ちゃくもくする)おぶじぇくと	object (of interest)	一般的に電気通信及び情報処理又はそれらの一部であるようなある“世界”のいかなるものであって、同定可能(名前付け可能)であり、かつDIBの中に情報を保持する関心の対象。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18786	B		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class	ある特徴を共有しているオブジェクト(又は、そう見なせるオブジェクト)の同定された集ま	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18787	B		オブジェクトエントリ	おぶじぇくとえんとり	object entry	DIB内であるオブジェクトに関する情報を集めたエントリであり、それゆえに、DIB内でそのオブジェクトを表現できるもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18788	B		サブクラス	さぶくらす	subclass	一つ以上のスーパークラスに関連するもので、一つ以上のスーパークラスから導出されるオブジェクトクラス。サブクラスのメンバは、スーパークラスのすべての特徴とそれらのスーパークラスのどのメンバも保持しない追加された特徴とを共有する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18789	B		下位	かい	subordinate	上位の反対。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18790	B		スーパークラス	すーぱーくらす	superclass	サブクラスに関連するもので、直接スーパークラス又は直接スーパークラスのオブジェクトクラスに対するスーパークラス(再帰的に)。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18791	B		上位	じょうい	superior	(エントリ、またはオブジェクトに適用し)直接上位のものの上位(再帰的に)。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18792	B		属性	ぞくせい	attribute	ある特定の型の情報。エントリは属性によって構成される。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18793	B		ユーザ属性	ゆーざぞくせい	user attribute	ユーザ情報を表す属性。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18794	B		属性階層	ぞくせいかいそう	attribute hierarchy	あるユーザ属性型を、それより一般的なユーザ属性型から導出されるようにする属性の側面。このように、二つの属性型定義[これは、これらの属性型に対応する属性の振舞いを必ず(須)とする。]は、階層的である。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18795	B		属性サブタイプ(サブタイプ)	ぞくせいさぶたいぷ(さぶたいぷ)	attribute subtype (subtype)	ある属性型Aは、他の属性型Bに対して、AがBから導出されて、AはBの直接サブタイプとなるか、又はAがBのサブタイプである属性から導出されて、AはBの間接サブタイプとなるという事実によって関連付けられる。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18796	B		属性スーパータイプ(スーパータイプ)	ぞくせいすーぱーたいぷ(すーぱーたいぷ)	attribute supertype (supertype)	ある属性型Bは、他の属性型Aに対して、AがBから導出されて、BはAの直接スーパータイプとなるか、又はAがBのサブタイプである属性から導出されて、BはAの間接スーパータイプとなるという事実によって関連付けられる。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18797	B		属性型	ぞくせいがた	attribute type	ある属性の構成要素で、その属性が与える情報のクラス。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18798	B		属性値	ぞくせいち	attribute value	ある属性型が示す情報クラスの特定の実体。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18799	B		属性値表明	ぞくせいちひょうめい	attribute value assertion	あるエントリにおいて、ある属性型の属性値の存在性に関して、その型に対して指定された照合規則に従って、真、偽、又は未定義のいずれかの値をとる表明。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18800	B		補助オブジェクトクラス	ほじょおぶじぇくとくらす	auxiliary object class	エントリ又はエントリクラスを記述するオブジェクトクラスであり、DITの構造仕様には使われない。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18801	B		集合属性	しゅうごうぞくせい	collective attribute	あるエントリ集合の各メンバに同じ値をもつようなユーザ属性。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18802	B		直接属性参照	ちょくせつぞくせいさんしょう	direct attribute reference	属性型の識別子を使った一つ以上の属性値への(ディレクトリ又はDSA抽象サービスにおける)参照。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18803	B		識別値	しきべつち	distinguished value	あるエントリの相対識別名に現れるよう指定されたエントリ内の属性値。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18804	B		エントリ集合	えんとりしゅうごう	entry collection	DITの明示的に指示されたサブツリー、又はサブツリー精細化に属するエントリの集合。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18805	B		間接属性参照	かんせつぞくせいさんしょう	indirect attribute reference	属性型のスーパータイプの識別子を使った一つ以上の属性値への(ディレクトリ又はDSA抽象サービスにおける)参照。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18806	B		照合規則	しょうごうきそく	matching rule	ディレクトリスキーマーの一部を形成する規則であり、属性値に関する特別な記述(照合規則表明)を行うことによって、エントリの選択を可能とするもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18807	B		照合規則表明	しょうごうきそくひょうめい	matching rule assertion	あるエントリにおいて、照合規則によって定義された条件に合致する属性値の存在性に関して、真、偽又は未定義のいずれかの値をとる表明。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18808	B		運用属性	うんようぞくせい	poperational attribute	運用情報、及び/又は管理情報を表す属性。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18809	B		構造オブジェクトクラス	こうぞうおぶじぇくとくらす	structural object class	DITの構造仕様のために使われるオブジェクトクラス。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18810	B		エントリの構造オブジェクトクラス	えんとりのこうぞうおぶじぇくとくらす	structural object class of an entry	あるエントリに関して、そのエントリに適用されるDIT内容規則及びDIT構造規則を決定するために使われるただ一つのオブジェクトクラス。このオブジェクトクラスは、“構造オブジェクトクラス”運用属性によって示される。このオブジェクトクラスは、そのエントリの構造オブジェクトクラススーパークラスチェインのうち、最も下位のオブジェクトクラスであ	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18811	B		別名	べつめい	alias, alias name	オブジェクトの代替名であり、別名エントリの使用によって提供される。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18812	B		別名展開	べつめいてんかい	(alias) distinguished name (of an entry)	オブジェクトの代替名をその識別名に変換する過程。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18813	B		(エントリの)識別名	(えんとりの)しきべつめい	distinguished name (of an entry)	エントリの名前であり、そのエントリ及び上位エントリの相対識別名の列によって形成される。すべてのオブジェクトエントリ、別名エントリ及びサブエントリは、正確にただ一つのある特定のエントリを、すべての他のオブジェクトから選別する構成物。名前は、明確でなければならないが(すなわち、名前は、ただ一つのオブジェクトを示す。)、一意(すなわち、そのオブジェクトを明確に示す唯一の名前。)である必要はない。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18814	B		(ディレクトリでの)名前	(でぃれくとりでの)なまえ	(directory) name		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18815	B		(エントリの)名前	(えんとりの)なまえ	(entry) name	ある特定のエントリを、すべての他のオブジェクトから選別する構成物。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18816	B		指示名	ししめい	purported name	構文上は名前ではあるが、有効な名前であることが(まだ)示されていない構成物。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18817	B		命名機関	めいめいきかん	naming authority	DITのある領域において、名前の割当てに責任を持つ機関。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18818	B		相対識別名	そうたいしきべつめい	relative distinguished name (RDN)	一つ以上の属性型と属性値の対との集合であり、各々は、区別されたエントリの識別属性値と照合する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18819	B		管理領域	かんりりょういき	administrative area	管理の観点からみたDITのサブツリー。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18820	B		管理エントリ	かんりえんとり	administrative entory	管理ポイントに置かれたエントリ。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18821	B		管理ポイント	かんりぽいんと	administrative point	管理領域のルートの節点。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18822	B		管理ユーザ	かんりゆーざ	administrative user	管理機関の代表者。管理ユーザという概念の完全な定義は、このディレクトリ仕様の適用範囲外である。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18823	B		自治管理領域	じちかんりりょういき	autonomous adminisrative area	DITのサブツリーであり、そのエントリがすべて同じ管理機関によって管理されている。自治管理領域は、互いに重複することはない。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18824	B		DIT領域管理機関	DITりょういきかんりきかん	DIT domain adminitraive authority	DITのある一部の管理に責任をもつエンティティとしての役割からみた管理機関。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18825	B		DIT領域ポリシー	DITりょういきぽりしー	DIT domain policy	一つのDIT領域に関する総括的目標及び許容される手順を表現したもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18826	B		DMD管理機関	DMDかんりきかん	DMD administraive	一つのDMDの管理に責任をもつエンティティとしての役割からみた管理機関。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18827	B		DMDポリシー	DMDぽりしー	DMD policy	一つのDMDの中のDSAの運用を支配するポリシー。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18828	B		DMOポリシー	DMOぽりしー	DMO policy	DMOによって定義されたポリシーであり、DMDポリシー及びDI領域ポリシーによって表現	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18829	B		内部管理領域	ないぶかんりりょういき	inner administraive area	特定管理領域であり、その適用範囲が同種の他の特定管理領域の適用範囲に完全に含まれているもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18830	B		ポリシー	ぽりしー	policy	総括的目標及び許容される手順を、管理機関が表現したもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18831	B		ポリシー属性	ぽりしーぞくせい	policy attribute	ポリシーを表すディレクトリ運用属性のための一般用語。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18832	B		ポリシーオブジェクト	ぽりしーおぶじぇくと	policy object	ポリシーがかかわっているエンティティ。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18833	B		ポリシー手順	ぽりしーてじゅん	policy procedure	ポリシーオブジェクトの集合がどのように考慮されるべきで、その考慮した結果に基づいて取るべき行動は何かを定義した規則。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18834	B		ポリシーパラメタ	ぽりしーぱらめた	policy parameter	ポリシー手順は、ある管理機関の構成仕様(すなわち、選択)の影響を受けるポリシーパラメタによって特徴づけられる。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18835	B		特定管理領域	とくていかんりりょういき	specific administrative area	ある特定の管理側面、すなわち、アクセス制御管理、スキーマ管理、又はエントリ集合管理のために定義される自治管理領域の(サブツリー形式の)部分集合。定義された場合、自治管理領域の特有の種類の部分の特定管理領域。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18836	B		特定管理ポイント	とくていかんりぽいんと	specific administrative	特定管理領域のルート節点。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18837	B		基底	きてい	base	サブツリー仕様の評価によって作られるサブツリー又はサブツリーの精細化のルート節	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18838	B		切断条件	せつだんじょうけん	chop	基底の下位の名前に関する集合。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18839	B		ディレクトリ運用属性	でぃれくとりうんようぞくせい	directory operational attribute	ディレクトリ管理及び運用情報モデルにおいて定義され、現れる運用属性。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18840	B		ディレクトリシステムス	でぃれくとりしすてむす	directory system schema	運用属性及びサブエントリに関する規則と制約の集合。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18841	B		エントリ	えんとり	entry	ディレクトリエントリ又は拡張されたディレクトリエントリであり、この用語が使われる文脈(ユーザとユーザの適用業務又はディレクトリの管理及び運用)に依存する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18842	B		サブエントリ	さぶえんとり	subentry	ディレクトリによって知られ、サブツリー又はサブツリー精細化に関連する情報を保持するために使われる、特別な種類のオブジェクトエントリ又は別名エントリ。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18843	B		サブツリー	さぶつりー	subtree	ツリーの節点に置かれたオブジェクトエントリ及び別名エントリの集合。接頭語の“サブ”は、このツリーの基底(ルート)節点が、通常、DITのルートの下位であることを強調してい	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18844	B		サブツリー精細化	さぶつりーせいさいか	subtree refinement	明示的に指定されたサブツリー内のエントリの部分集合であり、ここでは、エントリは、単一のサブツリーの節点に置かれない。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18845	B		サブツリー仕様	さぶつりーしよう	subtree specification	サブツリー精細化の明示的な仕様。サブツリー仕様は、0以上の仕様要素、基底、切断条件、及び仕様フィルターから構成される。その定義は、サブツリー又はサブツリー精細化に含まれる基底の下位のDITの部分を明示的に規定するため、明示的であるといわれ	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18846	B		属性構文	ぞくせいこうぶん	attribute syntax	属性の値を表現するために使われるASN.1データ型。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18847	B		ディレクトリスキーマ	でぃれくとりすきーま	directory schema	DIBを特徴づける、DIT構造、DIT内容、オブジェクトクラスと属性型、及び構文と照合規則に関する規則及び制約との集合。ディレクトリスキーマは、各々が一つの自治管理領域(又はそのサブスキーマ特有部分)を支配する重複しないサブスキーマの集合として現れる。ディレクトリスキーマは、ディレクトリユーザ情報にだけ関連している。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18848	B		(ディレクトリ)サブスキーマ	(でぃれくとり)さぶすきーま	(directory) subschema	一つの自治管理領域内(又はそのサブスキーマ特有部分)のDIBエントリを特徴づける、DIT構造、DIT内容、オブジェクトクラスと属性型、及び構文と照合規則に関する規則及び制約との集合。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18849	B		DIT内容規則	DITないようきそく	DIT content rule	ある特定の構造型オブジェクトクラスのエントリの内容を支配する規則。この規則は、補助型オブジェクトクラス、指定された構造型オブジェクトクラスのエントリに現れることが許される追加の属性型、又は現れることから除外される属性型を規定する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18850	B		DIT構造規則	DITこうぞうきそく	DIT structure rule	下位エントリに対して許容される上位を規定することによって、DITの構造を支配する規則。構造規則は、名前形式を、したがって、構造型オブジェクトクラスを上位構造規則に関連づける。この規則は、名前形式で同定された構造型オブジェクトクラスのエントリが、指定された上位構造規則によって支配されるエントリの下位としてDIT内に存在すること	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18851	B		(エントリの)支配的構造規則	(えんとりの)しはいてきこうぞうきそく	governing structure rule (of an entry)	ある特定のエントリに関して、そのエントリに適用する一つのDIT構造規則。この規則は、“支配的構造規則”運用属性によって示される。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18852	B		名前形式	なまえけいしき	object entry	名前形式は、ある特定の構造型オブジェクトクラスのエントリに対して、許容されるRDNを規定する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18853	B		上位構造規則	じょういこうぞうきそく	superior structure rule	ある特定のエントリに関して、そのエントリの上位を支配するDIT構造規則。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18854	B		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18855	B		認証	にんしょう	authentication		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18856	B		安全保護方針	あんぜんほごほうしん	security policy		JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18857	B		アクセス制御機構	あくせすせいぎょきこう	access control scheme	ディレクトリ情報、及び場合によっては、アクセス権自身へのアクセスを制御する方法。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18858	B		被保護項目	ひほごこうもく	protect item	アクセスが別々に分けて制御できるディレクトリ情報の要素。ディレクトリの被保護項目は、エントリ、属性、属性値、及び名前である。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18859	B		コンテキスト接頭部	こんてきすとせっとうぶ	context prefix	DITの根から始まり名前コンテキストの最初の節点に至るRDNの列で、これは、その節点の識別名に対応する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18860	B		DIB部分	DIBぶぶん	DIB fragment	一つのマスタDSAによって保持されるDIBの部分であり、一つ以上の名前コンテキストを構成する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18861	B		名前付けコンテキスト	なまえづけこんてきすと	naming context	一つのマスタDSAに保持されるエントリのサブツリー。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18862	B		カテゴリ	かてごり	category	マスタDSA又はDSAと同定する資格を持つ知識参照の特徴。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18863	B		一般利用可能な	いっぱんりようかのうな	commonly usable	複製領域の特徴であり、その領域を保持するDSAのアクセス点の一般的な分配を許容する特徴。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18864	B		横断参照	おうだんさんしょう	cross reference	エントリ又はエントリの写しを保持するDSAに関する情報を含む知識参照。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18865	B		直接上位参照	ちょくせつじょういさんしょう	immediate superior reference	名前コンテキスト(又はそれから導出された共通的利用可能)を保持するDSAに関する情報を含む知識参照であり、その名前コンテキストは、その知識参照が関連するDSAによって保持される名前コンテキストの直接上位である。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18866	B		知識(情報)	ちしき(じょうほう)	knowledge (information)	遠隔のエントリ又はエントリの写しの情報を位置づけるために使用するもので、DSAによって保持されるDSA運用情報。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18867	B		知識参照	ちしきさんしょう	knowledge reference	DITエントリ又はエントリの写しを、それがおかれているDSA戸、直接的又は間接的に関連づける知識。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18868	B		マスタ知識	ますたちしき	master knowledge	名前コンテキストに対するマスタDSAに関する知識。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18869	B		不特定下位参照	ふとくていかいさんしょう	non-specific subordinate referencce	一つ以上の不特定の下位エントリ又はエントリの写しを保持するDSAに関する情報を含む知識参照。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18870	B		参照経路	さんしょうけいろ	reference path	知識参照の連続した列。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18871	B		シャドウ知識	しゃどうちしき	shadow knowledge	名前コンテキスト(知識が特定の場合)又はコンテキスト(不特定の場合)に対する一つ以上のシャドウDSAに関する知識。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18872	B		下位参照	かいさんしょう	subordinate reference	特定の下位エントリ又はエントリの写しを保持するDSAに関する情報を含む知識参照。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18873	B		上位参照	じょういさんしょう	superior reference	DIT全体を解析できる(すなわち、その中のどんなエントリでも見つけることができる)とみなされるDSAに関するDSAを含む知識参照。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18874	B		DSA情報木	DSAじょうほうき	DSA information tree	DSAが保持するすべてのDSEの集合であり、名前の観点からみたもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18875	B		DSA共有属性	DSAきょうゆうぞくせい	DSA-shared attribute	DSA情報モデル内で、ある特定の名前に関連づけられた運用属性であり、幾つかのDSAによって保持された場合、値が同じであるもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18876	B		DSA特有属性	DSAとくゆうぞくせい	DSA-specific attribute	DSA情報モデル内で、ある特定の名前に関連づけられた運用属性であり、幾つかのDSAによって保持された場合、値が同じである必要がないもの。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18877	B		DSA特有エントリ (DSE)	DSAとくゆうえんとり (DSE)	DSA-specific entry (DSE)	DSAに保持され、ある特定の名前に関連づけられた情報。DSEは、対応するディレクトリエントリに関連する情報を含むことがある(が、含む必要はない。)。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18878	B		DSE種別	DSEしゅべつ	DSE type	DSEの特定の目的を示すもの。DSEは、複数の目的を提供してもよい野で、複数の種別をもつ場合がある。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18879	B		ディレクトリ運用の枠組み	でぃれくとりうんようのわくぐみ	directory operational framework	ディレクトリの構成要素(DSA)の運用の特定の側面(例えば、シャドウ化又は名前付けコンテキストの生成)に関連する特定の運用モデルが、その枠組みを適用することによって導くことができるような枠組みを提供する。この枠組みは、ディレクトリの構成要素間のすべての相互作用に存在する共通要素を提供する。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18880	B		運用結合	うんようけつごう	operational binding	二つのDSA間の相互理解であり、一度確立されると、引き続き、ある種の相互作用に従事するための"合意"を表す。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18881	B		運用結合種別	うんようけつごうしゅべつ	operational binding type	ある個別の目的のために規定された運用結合の特定の種別であり、特定の種別の相互作用(例えば、シャドウ化)に従事する二つのDSA間の"合意"を表す。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18882	B		運用結合インスタンス	うんようけつごういんすたんす	operational binding instance	二つのDSA間の特定種類の運用結合。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18883	B		運用結合の確立	うんようけつごうのかくりつ	operational binding establishment	運用結合インスタンスを確立する過程。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18884	B		運用結合の変更	うんようけつごうのへんこう	operational binding modification	運用結合インスタンスを修正する過程。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18885	B		運用結合の終結	うんようけつごうのしゅうけつ	operational binding termination	運用結合インスタンスを終結する過程。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18886	B		運用結合の管理	うんようけつごうのかんり	operational binding management	運用結合インスタンスを確立、終結又は修正する過程。この管理は、ディレクトリ仕様によって定義された情報交換、他の仕様によって定義された交換、またはその他の方法によって達成することができる。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18887	B		協調状態	きょうちょうじょうたい	cooperative state	2番目のDSAに関して、運用結合インスタンスが確立され、終結されていないDSAの状	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18888	B		非協調状態	ひきょうちょうじょうたい	non-cooperative state	2番目のDSAに関して、運用結合インスタンスが確立前又は終結後のDSAの状態。	JIS X 5731-2	1997	ISO/IEC 9594-2	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18889	B		フィルタ	ふぃるた	filter	検索範囲を制限するためのエントリ属性の有無又は値の提示。	JIS X 5731-3	1997	ISO/IEC 9594-3	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18890	B		発信元	はっしんもと	originator	ある操作を起動した利用者。	JIS X 5731-3	1997	ISO/IEC 9594-3	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18891	B		サービス制御群	さーびすせいぎょぐん	service controls	抽象操作の一部として指定され、操作実行の種々の面を制限するパラメタ群。	JIS X 5731-3	1997	ISO/IEC 9594-3	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18892	B		基底オブジェクト	きていおぶじぇくと	base object	起動者が操作対象として指定したオブジェクトエントリ又は別名エントリ。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18893	B		連鎖	れんさ	chaining	単一連鎖又は多重連鎖のための総称的用語。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18894	B		コンテキスト接頭部情報	こんてきすとせっとうぶじょうほう	context prefix information	あるRHOBにおける上位DSAが、下位コンテキスト接頭部の上位にあるDIT節点に関して、下位DSAに提供した運用情報とユーザ情報。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18895	B		分散名前解析	ぶんさんなまえかいせき	distributed name	名前解析を複数のDSAで実行する際の手順。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18896	B		誤り	あやまり	error	実行者が要求者に送る情報で、以前に受け取った要求の結果として拒否することを伝え	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18897	B		固定誤り	こていあやまり	hard error	現在はその操作を外部的な介在なしには実行できないことを示す、確定的な誤り。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18898	B		階層的運用結合	かいそうてきうんようけつごう	hierarchical operational binding (HOB)	一方が他方の直接下位であるような名前付けコンテキストを持つ二つのマスタDSA間の関係で、この関係では上位DSAが下位DSAへの下位参照を持つ。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18899	B		更新系操作	こうしんけいそうさ	modification operations	ディレクトリ更新系操作のこと。すなわち、エントリ変更、エントリ追加、エントリ削除及び識別名変更。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18900	B		多重連鎖	たじゅうれんさ	multi-chaining	相互動作モードの一種。このモードでは、要求そのものを処理するDSAが他の複数のDSAに対して、並列的又は逐次的に多重化した要求を送る。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18901	B		複数エントリ問合せ系操作	ふくすうえんとりといあわせけいそうさ	multiple entry interrogation operations	ディレクトリ検索系操作のこと。すなわち、リスト及び検索。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18902	B		名前解析	なまえかいせき	name resolution	提示された名前に含まれる各RDNを、DITの節点に対して逐次的に照合することで、エントリの位置を突き止める手順。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18903	B		不特定階層的運用結合	ふとくていかいそうてきうんようけつごう	non-specific hierarchical operational binding	一方が他方の直接下位であるような名前付けコンテキストを持つ二つのマスタDSA間の関係で、この関係では上位DSAが下位DSAへの不特定下位参照を持つ。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18904	B		NSSR分解	NSSRぶんかい	NSSR decomposition	不特定知識参照に関わる要求を、他のDSAが継続できるような副要求に分解すること。分解を実行するDSAがこれらの副要求を他のDSAに連鎖してもよいし、要求者が継続できるようにDSAを識別する継続参照を要求者に返してもよいし、分解するDSAが副要求のうちの幾つかを継続し、残	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18905	B		操作進行状況	そうさしんこうじょうきょう	operation progress	名前解析の進行の程度を示す値の集合。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18906	B		起動者	きどうしゃ	originator	ある(分散)操作を起動したDUA。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18907	B		実行者	じっこうしゃ	performer	要求を受け取った(すなわち操作を実行する)DSA。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18908	B		手順	てじゅん	procedure	DSAが与えられた入力引数とDSA情報木の集合を、ある結果に写像する方法についての(略式の)規定。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18909	B		関連のある階層的運用結合	かんれんのあるかいそうてきうんようけつごう	relevant hierarchical operational binding	HOB又はNHOBのどちらかで、それは文脈に依存する。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18910	B		紹介	しょうかい	referral	操作そのものを実行することはできないDSAが返す可能性のある結果であって、その操作を実行できる可能性がより高い他のDSAを識別するもの。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18911	B		返答	へんとう	reply	結果又は誤り。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18912	B		要求	ようきゅう	request	ディレクトリ操作を要求者から実行者へ伝えるための情報で、操作コードと関連する引数からなる。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18913	B		要求分解	ようきゅうぶんかい	request decomposition	要求を、他のDSAが継続できるような副要求に分解すること。分解を実行するDSAがこれらの副要求を他のDSAに連鎖してもよいし、要求者が継続できるようにDSAを識別する継続参照を要求者に返してもよいし、分解するDSAが副要求のうちの幾つかを継続し、残りの副要求は要求者が継続す	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18914	B		要求者	ようきゅうしゃ	requestor	操作を実行する(起動する)ように要求しているDUA又はDSA。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18915	B		単一エントリ問合せ系操作	たんいつえんとりといあわせけいそうさ	single entry interrogation operations	ディレクトリ読出し系操作のこと。すなわち、読出し及び比較。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18916	B		一時誤り	いちじあやまり	soft error	一時的なものかも知れない、又は局所的な問題を示しているのかも知れない誤り。この場合に別の知識参照やアクセス点を利用すると、結果又は固定誤りを得ることができる	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18917	B		下位DSA	かいDSA	subordinate DSA	HOB又はNHOBを分かち合う二つのDSAのうち、下位名前付けコンテキストを保持している方のDSA。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18918	B		副要求	ふくようきゅう	subrequest	要求分解によって生成される要求。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18919	B		上位DSA	じょういDSA	superior DSA	HOB又はNHOBを分かち合う二つのDSAのうち、上位名前付けコンテキストを保持している方のDSA。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18920	B		上位DSA、下位DSA	じょういDSA、かいDSA	superior, subordinate DSA	一方が他方の直接下位であるような、名前付けコンテキストを持つ二つのマスタDSAのこと。これら二つのマスタDSA間の関係は、HOB(又はNHOB)によって明示的に管理されるか、又は上位DSAが下位DSAへの下位(又は不特定下位)参照を保持することによって	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18921	B		対象オブジェクト名	たいしょうおぶじぇくとめい	target object name	名前解析のある段階で操作が向けられることになっているエントリの名前、又は操作の評価に関係するエントリの名前。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18922	B		単一連鎖	たんいつれんさ	uni-chaining	操作そのものを実行することはできないDSAが任意に選択して用いる相互動作モードの一つ。DSAは、別のDSAの操作を起動して、その結果を元の要求者に中継することによって、連鎖する。	JIS X 5731-4	1997	ISO/IEC 9594-4	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18923	B		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract-syntax		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18924	B		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application context		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18925	B		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18926	B		応用プロセス	おうようぷろせす	application process		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18927	B		応用プロトコルデータ制御情報	おうようぷろとこるせいぎょでーたじょうほう	application-protocol-control-information		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18928	B		応用プロトコルデータ単位	おうようぷろとこるでーたたんい	application protocol-data-unit		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18929	B		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application-service-		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18930	B		接続パッケージ	せつぞくぱっけーじ	connection package		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18931	B		契約、アソシエーション契約	けいやく、あそしえーしょんけいやく	contact, association contact		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18932	B		誤り	あやまり	error		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18933	B		操作	そうさ	operation		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18934	B		操作パッケージ	そうさぱっけーじ	operation package		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18935	B		ROSオブジェクト	ROSおぶじぇくと	ROS-object		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18936	B		ディレクトリ	でぃれくとり	the Directory		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18937	B		ディレクトリ利用者	でぃれくとりりようしゃ	(Directory) user		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18938	B		ディレクトリシステムエージェント	でぃれくとりしすてむえーじぇんと	Directory System Agent (DSA)		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18939	B		ディレクトリ利用者エージェント	でぃれくとりりようしゃえーじぇんと	directory user agent (DUA)		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18940	B		連鎖	れんさ	chaining		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18941	B		紹介	しょうかい	referral		JIS X 5731-5	1997	ISO/IEC 9594-5	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18942	B		属性型	ぞくせいがた	attribute type		JIS X 5731-6	1997	ISO/IEC 9594-6	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18943	B		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class		JIS X 5731-6	1997	ISO/IEC 9594-6	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18944	B		照合規則	しょうごうきそく	matching rule		JIS X 5731-6	1997	ISO/IEC 9594-6	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18945	B		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18946	B		応用プロセス	おうようぷろせす	application process		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18947	B		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18948	B		属性型	ぞくせいがた	attribute type		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18949	B		ディレクトリ情報木	でぃれくとりじょうほうき	Directory Information Tree (DIT)		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18950	B		ディレクトリシステムエージェント	でぃれくとりしすてむえーじぇんと	Directory System Agent (DSA)		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18951	B		属性集合	ぞくせいしゅうごう	attribute set		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18952	B		エントリ	えんとり	entry		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18953	B		名前	なまえ	name		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18954	B		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18955	B		サブクラス	さぶくらす	subclass		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18956	B		名前形式	なまえけいしき	name form		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18957	B		構造規則	こうぞうきそく	structure rule		JIS X 5731-7	1997	ISO/IEC 9594-7	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
18958	B		認証トークン、トークン	にんしょうとーくん、とーく	authentication token	厳密認証交換中に伝達される情報。送信者を認証するために使用できる。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18959	B		利用者証明証、証明証	りようしゃしょうめいしょう、しょうめいしょう	user certificate, certificate	利用者の公開かぎを、他の幾つかの情報とともに、それを発行した証明機関の秘密かぎによって暗号化したもの。これによって証明証は、ねつ造できないようになる。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18960	B		証明機関	しょうめいきかん	certification authority	1人以上の利用者によって証明証の作成及び割当てを委託されている機関。証明機関は、利用者のかぎを生成することもできる。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18961	B		証明証経路	しょうめいしょうけいろ	certification path	DIT中のオブジェクトに対する証明証の順序つけられた列。経路の中の最初のオブジェクトの公開かぎとともに処理され、経路の最後のオブジェクトの証明証を取得できる。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18962	B		暗号システム	あんごうしすてむ	cryptographic system, cryptosystem	平文と暗号文との変換の集まり。使用する変換は、かぎによって選択する。変換は、通常、数学的アルゴリズムによって定義する。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
18963	B		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function	大きな(場合によっては非常に大きな)定義域から小さな値域に値を写像する(数学的)関数。よいハッシュ関数とは、定義域上の値の(大きな)集合にこの関数を適用したとき、結果が値域全体に均等に(無作為的に)分散するものを指す。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18964	B		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function	数学的関数fで、計算は容易だが、域値内の一般的な値yに対して、f(x)=yになるような定義域内の値xを見つけることが計算機上困難であるもの。幾つかの値yに対しては、値xを見つけるのが計算上困難でない場合もある。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18965	B		公開かぎ	こうかいかぎ	public key	(公開かぎ暗号システムの中で)利用者のかぎ対の片方であって、一般に公開されてい	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18966	B		私用かぎ	しようかぎ	private key, secret key (deprecated)	(公開かぎ暗号システムの中で)利用者のかぎ対の片方であって、利用者だけが知っているかぎ。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18967	B		簡易認証	かんいにんしょう	simple authentication	単純なパスワードの組合せによる認証。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18968	B		安全保護方針	あんぜんほごほうしん	security policy	安全保護機関によって設定された規則の集まりであって、その領域内の安全保護サービス及び機能の使用及び提供を規制する。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18969	B		厳密認証	げんみつにんしょう	strong authentication	暗号化によって得られる資格証明による認証。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18970	B		信頼	しんらい	trust	一般的に、エンティティは、2番目のエンティティが1番目のエンティティの期待するとおりに動作するとみなせる場合に(1番目のエンティティが)2番目のエンティティを信頼するという。この信頼は、一部の特定の機能にだけ適用してもよい。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18971	B		証明証通し番号	しょうめいしょうとうしばんごう	certificate serial number	発行元であるCA(証明機関)において一意な整数値。証明証通し番号は、CAによって発行された証明証と1対1に対応する。	JIS X 5731-8	1997	ISO/IEC 9594-8	1995		2003/10	2001	2005	SC6
18972	A		属性証明書	ぞくせいしょうめいしょ	attribute certificate		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18973	A		属性機関	ぞくせいきかん	Attribute Authority (AA)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18974	A		属性機関失効リスト、AARL	ぞくせいきかんしっこうりすと、AARL	Attribute Authority Revocation List (AARL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18975	A		属性証明書失効リスト、ACRL	ぞくせいしょうめいしょしっこうりすと、ACRL	Attribute Certificate Revocation List (ACRL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18976	A		認証トークン、トークン	にんしょうとーくん、とーく	authentication token,		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18977	A		機関	きかん	authority		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18978	A		機関証明書	きかんしょうめいしょ	authority certificate		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18979	A		ベースCRL	べーすCRL	base CRL		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18980	A		CA証明書	CAしょうめいしょ	CA-certificate		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18981	A		証明書方針	しょうめいしょほうしん	certificate policy		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18982	A		証明書失効リスト、CRL	しょうめいしょしっこうりすと、CRL	Certificate Revocation List (CRL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18983	A		証明書利用者	しょうめいしょりようしゃ	certificate user		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18984	A		証明書通し番号	しょうめいしょとおしばんご	certificate serial number		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18985	A		証明書利用システム	しょうめいしょりようしすて	certificate-using system		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18986	A		証明書検証	しょうめいしょけんしょう	certificate validation		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18987	A		証明機関、CA	しょうめいきかん、CA	Certification		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18988	A		証明機関失効リスト、CARL	しょうめいきかんしっこうりすと、CARL	Certification Authority Revocation List (CARL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18989	A		証明経路	しょうめいけいろ	certification path		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18990	A		CRL配布点	CRLはいふてん	CRL distribution point		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18991	A		暗号システム	あんごうしすてむ	cryptographic system, cryptosystem		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18992	A		データ機密性	でーたきみつせい	data confidentiality		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18993	A		委譲	いじょう	delegation		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18994	A		委譲経路	いじょうけいろ	delegation path		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18995	A		デルタCRL、dCRL	でるたCRL、dCRL	delta-CRL (dCRL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18996	A		エンドエンティティ	えんどえんていてい	end entity		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18997	A		エンドエンティティ属性証明書失効リスト、EARL	えんどえんていていぞくせいしょうめいしょしっこうりすと、EARL	End-entity Attribute Certificate Revocation List (EARL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18998	A		エンドエンティティ公開かぎ証明書失効リスト、EPRL	えんどえんていていこうかいかぎしょうめいしょしっこうりすと、EPRL	End-entity Public-key Certificate Revocation List (EPRL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
18999	A		環境変数	かんきょうへんすう	environmental variables		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19000	A		完全CRL	かんぜんCRL	full CRL		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19001	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19002	A		所有者	しょゆうしゃ	holder		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19003	A		代行発行CRL、iCRL	だいこうはっこうCRL、	indirect CRL (iCRL)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19004	A		かぎ共有	かぎきょうゆう	key agreement		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19005	A		オブジェクト手法	おぶじぇくとしゅほう	object method		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19006	A		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19007	A		方針写像	ほうしんしゃぞう	policy mapping		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19008	A		プライベートかぎ、秘密かぎ	ぷらいべーとかぎ、ひみつかぎ	private key, secret key (deprecated)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19009	A		権限	けんげん	privilege		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19010	A		権限主張者	けんげんしゅちょうしゃ	privilege asserter		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19011	A		権限管理基盤、PMI	けんげんかんりきばん、PMI	Privilege Management Infrastructure (PMI)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19012	A		権限方針	けんげんほうしん	privilege policy		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19013	A		権限検証者	けんげんけんしょうしゃ	privilege verifier		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19014	A		公開かぎ	こうかいかぎ	public-key		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19015	A		公開かぎ証明書	こうかいかぎしょうめいしょ	public-key certificate		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19016	A		公開かぎ基盤、PKI	こうかいかぎきばん、PKI	Public Key Infrastructure (PKI)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19017	A		関連者	かんれんしゃ	relying party		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19018	A		役割割当証明書	やくわりわりあてしょうめいしょ	role assignment certificate		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19019	A		役割仕様証明書	やくわりしようしょうめい	role specification		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19020	A		重要度	じゅうようど	sensitivity		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19021	A		簡易認証	かんいにんしょう	simple authentication		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19022	A		セキュリティ方針	せきゅりていほうしん	security policy		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19023	A		属性機関源、SOA	ぞくせいせきげん、SOA	Source of Authority (SOA)		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19024	A		厳密認証	げんみつにんしょう	strong authentication		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19025	A		信頼	しんらい	trust		JIS X 5731-8	2003	ISO/IEC 9594-8	2001				2005	SC6
19026	B		ディレクトリ	でぃれくとり	(the) directory		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19027	B		識別名	しきべつめい	distinguished name		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19028	B		ディレクトリ情報木	でぃれくとりじょうほうき	directory information tree		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19029	B		DSA特有エントリ	DSAとくゆうえんとり	DSA specific entry		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19030	B		DSA情報モデル	DSAじょうほうもでる	DSA information model		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19031	B		DSA情報木	DSAじょうほうき	DSA information tree		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19032	B		ディレクトリシステムエージェント	でぃれくとりしすてむえーじぇんと	directory system agent		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19033	B		アクセス点	あくせすてん	access point		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19034	B		知識情報	ちしきじょうほう	knowledge information		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19035	B		名前解決	なまえかいけつ	name resolution		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19036	B		名前コンテキスト	なまえこんてきすと	naming context		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19037	B		不特定下位参照	ふとくていかいさんしょう	non-specific subordinate references		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19038	B		下位参照	かいさんしょう	subordinate references		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19039	B		領域接頭部	りょういきせっとうぶ	area prefix		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19040	B		属性完全性	ぞくせいかんぜんせい	attribute completeness		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19041	B		キャッシュ化エントリの写	きゃっしゅかえんとりのう	cache-copy		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19042	B		キャッシュ化	きゃっしゅか	caching		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19043	B		消費側参照	しょうひがわさんしょう	consumer reference		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19044	B		エントリの写し	えんとりのうつし	entry-copy		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19045	B		拡張知識	かくちょうちしき	extended knowledge		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19046	B		マスタDSA	ますたDSA	master DSA		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19047	B		一次シャドウ化	いちじしゃどうか	primary shadowing		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19048	B		複製領域	ふくせいりょういき	replicated area		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19049	B		複製	ふくせい	replication		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19050	B		複製基底エントリ	ふくせいきていえんとり	replication base entry		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19051	B		二次シャドウ化	にじしゃどうか	secondary shadowing		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19052	B		シャドウ消費側	しゃどうしょうひがわ	shadow consumer		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19053	B		シャドウ運用結合	しゃどううんようけつごう	shadow operational		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19054	B		シャドウサービス	しゃどうさーびす	shadow service		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19055	B		シャドウ提供側	しゃどうていきょうがわ	shadow supplier		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19056	B		シャドウDSA特定エントリ	しゃどうDSAとくていえんとり	shadowed DSA specific entry (SDSE)		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19057	B		シャドウ情報	しゃどうじょうほう	shadowed information		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19058	B		シャドウ化	しゃどうか	shadowing		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19059	B		シャドウ化合意	しゃどうかごうい	shadowing agreement		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19060	B		位完全性	くらいかんぜんせい	subordinate completeness		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19061	B		提供側参照	ていきょうがわさんしょう	supplier reference		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19062	B		複製単位	ふくせいたんい	unit of replication		JIS X 5731-9	1997	ISO/IEC 9594-9	1995		廃2009/3	2001	2005	SC6
19063	B		アクセス点	あくせすてん	access point	抽象サービスを得する点。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19064	B		主管機関ディレクトリ管理領域	しゅかんきかんでぃれくとりかんりりょういき	Administration Directory Management Domain (ADDMD)	主管機関が管理するDMD。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19065	B		管理機関	かんりきかん	administrative authority	単一のディレクトリシステムエージェントに蓄積されているすべてのエントリに対して管理責任をもつ機関。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19066	B		ディレクトリ	でぃれくとり	the Directory	オブジェクトについての情報の貯蔵庫であり、情報をアクセスする利用者にディレクトリサービスを提供するもの。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19067	B		ディレクトリ管理領域	でぃれくとりかんりりょういき	Directory Management Domain (DMD)	単一の組織が管理する1個以上のDSA及び0個以上のDUAからなる集合。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19068	B		ディレクトリシステムエージェント	でぃれくとりしすてむえーじぇんと	Directory System Agent (DSA)	ディレクトリの一部であるOSI応用プロセス。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19069	B		(ディレクトリ)利用者	(でぃれくとり)りようしゃ	(Directory) user	ディレクトリの末端利用者。すなわち、ディレクトリにアクセスするエンティティ又は個人。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19070	B		ディレクトリ利用者エージェント	でぃれくとりりようしゃえーじぇんと	Directory User Agent (DUA)	ディレクトリをアクセスするにあたって利用者を代表するOSI応用プロセス。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19071	B		私設ディレクトリ管理領域	しせつでぃれくとりかんりりょういき	Private Directory Management Domain (PRDMD)	主管機関以外の組織が管理するDMD。	JIS X 5732	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19072	B		フィルタ	ふぃるた	filter	検索範囲を制限するためのエントリの属性の有無又は値の提示。	JIS X 5733	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19073	B		サービス制御群	さーびすせいぎょぐん	service controls	抽象操作の一部として指定され、操作実行の種々の面を制御するパラメタ群。	JIS X 5733	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19074	B		発信元	はっしんもと	originator	ある操作を起動した利用者。	JIS X 5733	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19075	B		連鎖	れんさ	chaining	操作を実行できないDSAが任意選択的に利用する相互動作のモード。DSAは、他のDSAの操作を呼び出し、その後、その結果を元の要求者に引き渡すことによって操作を連鎖する。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19076	B		コンテキスト接頭部	こんてきすとせっとうぶ	context prefix	DITの根から名前コンテキストの最初の接点まで続くRDNの列で、その節点の識別名に対応する。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19077	B		相互参照	そうごさんしょう	cross reference	エントリを所有するDSAについての情報を含む知識参照。これは、最適化のために利用する。そのエントリは、上位又は下位の関係をもつ必要はない。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19078	B		DIB部分	DIBぶぶん	DIB fragment	一つのDSAが保持するDIBの一部分で、一つ以上の名前コンテキストを形成する。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19079	B		分散名前解析	ぶんさんなまえかいせき	distributed name resolution	複数のDSAで名前解析を実行する処理。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19080	B		内部参照	ないぶさんしょう	internal reference	同一のDSA中にあるエントリへの内部ポインタを含む知識参照。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19081	B		知識情報	ちしきじょうほう	knowledge information	特定のDSAがエントリに関してもっている情報であって、そのDSA中にあるエントリに関する情報及びディレクトリの中の他のエントリの位置を見つけるための情報。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19082	B		知識参照	ちしきさんしょう	knowledge reference	DITエントリと、それが配置されているDSAとを直接的又は間接的に関連付ける情報。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19083	B		知識木	ちしきぎ	knowledge tree	DSAが分散名前解析を実行するために保持する知識情報の概念上のモデル。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19084	B		多方向展開	たほうこうてんかい	multicasting	操作を実行できないDSAが任意選択的に使用できる相互動作のモード。DSAが操作を多方向展開するとは、あるDSAが他の幾つかのDSAに(直列又は並列に)同じ操作を発行し、適切な結果を元の要求者に渡すことを意味する。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19085	B		名前解析	なまえかいせき	name resolution	提示名の各RDNをDITの節点に順次突き合わせて、エントリを位置付ける処理。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19086	B		名前コンテキスト	なまえこんてきすと	naming context	一つのDSA中にあるDITの部分木であって、節点で始まり、下方に拡張して葉及び/又は葉でない節点に至るもの。これらの節点は、名前コンテキストの境界となる。名前コンテキストの始まりの節点の上位は、そのDSA中にない。境界の葉でない節点の下位は、そのDSA中にない他の名前コンテキストの始まりを示す。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19087	B		不特定下位参照	ふとくていかいさんしょう	non-specific subordinate reference	一つ以上の不特定な下位エントリをもつDSAに関する情報を保持する知識参照。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19088	B		操作進行状況	そうさしんこうじょうきょう	operation progress	名前解析の進行の程度を示す値の集合。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19089	B		参照経路	さんしょうけいろ	reference path	知識参照の一連の経路。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19090	B		紹介	しょうかい	referral	操作を実行できないDSAが返す結果であって、操作をより適切に実行できる一つ以上の他DSAを指示したもの。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19091	B		要求分解	ようきゅうぶんかい	request decomposition	一つの要求を分解して、分散操作の一部分を各々実行する副要求にすること。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19092	B		根コンテキスト	ねこんてきすと	root context	その名前がRDNの空列からなる節点に対する名前コンテキスト。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19093	B		下位参照	かいさんしょう	subordinate reference	特定の下位エントリを保持するDSAに関する情報を含む知識参照。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19094	B		副要求	ふくようきゅう	subrequest	要求分解によって生じた要求。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19095	B		上位参照	じょういさんしょう	superior reference	上位エントリを保持するDSAに関する情報を含む知識参照。	JIS X 5734	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19096	B		認証トークン、トークン	にんしょうとーくん、とーくん	authentication token, token	厳密認証交換中に伝達される情報。送信者を認証するために使用できる。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19097	B		認証トークン	にんしょうとーくん	authentication token		JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19098	B		トークン	とーくん	token	厳密交換中に伝達される情報。送信者を認証するために使用できる。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19099	B		利用者証明証、証明証	りようしゃしょうめいしょう、しょうめいしょう	user certificate,certificate	利用者の公開かぎを、他の幾つかの情報とともに、それを発行した証明機関の秘密かぎによって暗号化したもの。これによって証明証は、ねつ造できないようになる。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19100	B		利用者証明証	りようしゃしょうめいしょう	user certificate	利用者の公開かぎを、他の幾つかの情報とともに、それを発行した証明機関の秘密かぎによって暗号化したもの。これによって証明証は、ねつ造できないようになる	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19101	B		証明証	しょうめいしょう	certificate	利用者の公開かぎを、他の幾つかの情報とともに、それを発行した証明機関の秘密かぎによって暗号化したもの。これによって証明証は、ねつ造できないようになる。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19102	B		証明機関	しょうめいきかん	certification authority	一人以上の利用者によって証明証の作成及び割当てを委託されている機関。証明機関は、利用者のかぎを作成することもできる。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19103	B		証明証経路	しょうめいしょうけいろ	certification path	DIT中のオブジェクトに対する証明証の順序付けられた列。経路の中の最初のオブジェクトの公開かぎとともに処理され、経路の最後のオブジェクトを取得できる。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6
19104	B		暗号システム	あんごうしすてむ	cryptographic system, cryptosystem	平文と暗号文との間の変換の集まり。使用する変換は、かぎによって選択する。変換は、通常、数学的アルゴリズムによって定義する。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 ～-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 ～-8 :2001	2001	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19105	B		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function	大きな(場合によっては非常に大きな)定義域から小さな値域に値を写像する(数学的)関数。よいハッシュ関数とは、定義域上の値の(大きな)集合にこの関数を適用したとき、結果が値域全体に均等に(無作為的に)分散するものを指す。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19106	B		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function	数学的関数fで、計算は容易だが、値域内の一般的な値yに対して、f(x)=yになるような定義域内の値xを見つけることが計算上困難であるもの。幾つかの値yに対しては、値xを見つけるのが計算上困難でない場合もある。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19107	B		公開かぎ	こうかいかぎ	public key	(公開かぎ暗号システムの中で)利用者のかぎ対の片方であって、一般に公開されているかぎ。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19108	B		私用かぎ	しようかぎ	private key	(公開かぎ暗号システムの中で)利用者のかぎ対の片方であって、利用者だけが知っているかぎ。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19109	B		簡易認証	かんいにんしょう	simple authentication	単純なパスワードの組合せによる認証。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19110	B		安全保護方針	あんぜんほごほうしん	security policy	安全保護機関によって設定された規則の集まりであって、その領域内の安全保護サービス及び機能の使用及び提供を規制する。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19111	B		厳密認証	げんみつにんしょう	strong authentication	暗号化によって得られる資格証明による認証。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19112	B		信頼	しんらい	trust	一般的に、エンティティは、2番目のエンティティが1番目のエンティティの期待するとおりに動作するとみなせる場合に、(1番目のエンティティが)2番目のエンティティを信頼するという。この信頼は、一部の特定の機能だけに適用してもよい。認証の枠組みの中で、信頼の主要な役割は、認証エンティティと証明機関の関係とを記述することである。認証エンティティは、証明機関が有効かつ確実な証明証だけを作成すると信頼することができ	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19113	B		証明証通し番号	しょうめいしょうとうしばんごう	certificate serial number	発行元であるCA(証明機関)において一意な整数値。証明証通し番号は、CAによって発行された証明証と1対1に対応する。	JIS X 5738	1993				廃→ X 5731-1 〜-8 1997/10	ISO/IEC 9594-1 〜-8 :2001	2001	SC6
19114	A		分散処理	ぶんさんしょり	distributed processing		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19115	A		ODP規格	ODPきかく	ODP standards		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19116	A		開放型分散処理	かいほうがたぶんさんしょ	open distributed		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19117	A		ODPシステム	ODPしすてむ	ODP system		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19118	A		情報	じょうほう	information		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19119	A		データ	でーた	data		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19120	A		観点	かんてん	viewpoint		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19121	A		実体	じったい	entity		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19122	A		命題	めいだい	proposition		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19123	A		抽象	ちゅうしょう	abstraction		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19124	A		原子性	げんしせい	atomicity		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19125	A		システム	しすてむ	system		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19126	A		アーキテクチャ	あーきてくちゃ	architecture		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19127	A		語	ご	term		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19128	A		完結文	かんけつぶん	sentence		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19129	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19130	A		環境	かんきょう	environment		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19131	A		動作	どうさ	action		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19132	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19133	A		活動	かつどう	activity		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19134	A		振る舞い	ふるまい	behaviour		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19135	A		状態	じょうたい	state		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19136	A		通信	つうしん	communication		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19137	A		空間における位置	くうかんにおけるいち	location in space		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19138	A		時間における位置	じかんにおけるいち	location in time		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19139	A		相互作用点	そうごさようてん	interaction point		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19140	A		合成	ごうせい	composition		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19141	A		合成オブジェクト	ごうせいおぶじぇくと	composite object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19142	A		分解	ぶんかい	decomposition		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19143	A		振る舞い互換性	ふるまいごかんせい	behavioural compatibility		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19144	A		詳細化	しょうさいか	refinement		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19145	A		トレース	とれーす	trace		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19146	A		型	かた	type		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19147	A		クラス	くらす	class		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19148	A		下位型/上位型	かいがた/じょういがた	subtype / supertype		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19149	A		下位クラス/上位クラス	かいくらす/じょういくらす	subclass / superclass		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19150	A		<X>テンプレート	<X>てんぷれーと	<X> template		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19151	A		インターフェースシグニチャ、インターフェース呼出し情報	いんたーふぇーすしぐにちゃ、いんたーふぇーすよびだしじょうほう	interface signature		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19152	A		インスタンス化	いんすたんすか	instantiation		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19153	A		役割	やくわり	role		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19154	A		生成	せいせい	creation		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19155	A		導入	どうにゅう	introduction		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19156	A		削除	さくじょ	deletion		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19157	A		インスタンス	いんすたんす	instance		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19158	A		テンプレート型	てんぷれーとがた	template type		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19159	A		テンプレートクラス	てんぷれーとくらす	template class		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19160	A		導出クラス/基底クラス	どうしゅつくらす/きていく	derived class/base class		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19161	A		不変性	ふへんせい	invariant		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19162	A		事前条件	じぜんじょうけん	precondition		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19163	A		事後条件	じごじょうけん	postcondition		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19164	A		<X>グループ	<X>ぐるーぷ	<X> group		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19165	A		構成	こうせい	configuration		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19166	A		<X>領域	<X>りょういき	<X> domain		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19167	A		部分領域	ぶぶんりょういき	subdomain		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19168	A		振る舞い期間	ふるまいきかん	epoch		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19169	A		参照点	さんしょうてん	reference point		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19170	A		適合性点	てきごうせいてん	conformance point		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19171	A		分散透過性	ぶんさんとうかせい	distribution transparency		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19172	A		契約	けいやく	contract		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19173	A		サービス品質	さーびすひんしつ	quality of service		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19174	A		環境契約	かんきょうけいやく	environment contract		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19175	A		義務	ぎむ	obligation		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19176	A		許可	きょか	permission		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19177	A		禁止	きんし	prohibition		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19178	A		方針	ほうしん	policy		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19179	A		永続性	えいぞくせい	persistence		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19180	A		等時性	とうじせい	isochronicity		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19181	A		名前	なまえ	name		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19182	A		識別子	しきべつし	idenfirier		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19183	A		名前空間	なまえくうかん	name space		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19184	A		命名コンテキスト	めいめいこんてきすと	naming context		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19185	A		命名動作	めいめいどうさ	naming action		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19186	A		命名領域	めいめいりょういき	naming domain		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19187	A		命名グラフ	めいめいぐらふ	naming graph		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19188	A		名前解析	なまえかいせき	name resolution		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19189	A		連鎖	れんさ	chain		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19190	A		スレッド	すれっど	thread		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19191	A		合流動作	ごうりゅうどうさ	joining action		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19192	A		分割動作	ぶんかつどうさ	dividing action		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19193	A		分岐動作	ぶんきどうさ	forking action		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19194	A		分離動作	ぶんりどうさ	spawn action		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19195	A		先頭動作	せんとうどうさ	head action		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19196	A		部分活動	ぶぶんかつどう	subactivity		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19197	A		確立振る舞い	かくりつふるまい	Establishing behaviour		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19198	A		実現可能振る舞い	じつげんかのうふるまい	enabled behaviour		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19199	A		契約的コンテキスト	けいやくてきこんてきすと	contractual context		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19200	A		リエゾン、契約関係	りえぞん、けいやくかんけ	liaison		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19201	A		終了振る舞い	しゅうりょうふるまい	Terminating behaviour		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19202	A		起動側オブジェクト	きどうがわおぶじぇくと	initiating object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19203	A		応答側オブジェクト	おうとうがわおぶじぇくと	responding object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19204	A		生産者オブジェクト	せいさんしゃおぶじぇくと	producer object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19205	A		消費者オブジェクト	しょうひしゃおぶじぇくと	consumer object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19206	A		クライアントオブジェクト	くらいあんとおぶじぇくと	client object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19207	A		サーバオブジェクト	さーばおぶじぇくと	server object		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19208	A		結合振る舞い	けつごうふるまい	binding behaviour		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19209	A		結合	けつごう	binding		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19210	A		結合事前条件	けつごうじぜんじょうけん	binding precondition		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19211	A		開放振る舞い	かいほうふるまい	unbinding behaviour		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19212	A		トレーディング	とれーでぃんぐ	trading		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19213	A		故障	こしょう	failure		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19214	A		誤り	あやまり	error		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19215	A		障害	しょうがい	fault		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19216	A		安定性	あんていせい	stability		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19217	A		応用管理	おうようかんり	application management		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19218	A		通信管理	つうしんかんり	communication		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19219	A		管理情報	かんりじょうほう	management information		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19220	A		管理対象役割	かんりたいしょうやくわり	managed role		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19221	A		管理者役割	かんりしゃやくわり	managing role		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19222	A		通知	つうち	notification		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19223	A		プログラム的参照点	ぷろぐらむてきさんしょうてん	programmatic reference point		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19224	A		知覚性参照点	ちかくせいさんしょうてん	perceptual reference point		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19225	A		相互作業性参照点	そうごさぎょうせいさんしょうてん	interworking reference point		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19226	A		相互交換性参照点	そうごこうかんせいさんしょうてん	interchange reference point		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19227	A		移植性	いしょくせい	portability		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19228	A		移送性	いそうせい	migratability		JIS X 5740-2	1998	ISO/IEC 10746-2	1996				1996	SC7
19229	A		企業的観点	きぎょうてきかんてん	enterprise viewpoint		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19230	A		情報的観点	じょうほうてきかんてん	information viewpoint		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19231	A		計算的観点	けいさんてきかんてん	computational viewpoint		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19232	A		工学的観点	こうがくてきかんてん	engineering viewpoint		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19233	A		技術的観点	ぎじゅつてきかんてん	technology viewpoint		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19234	A		<観点>言語	<かんてん>げんご	<viewpoint> language		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19235	A		ODP機能	ODPきのう	ODP function		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19236	A		アクセス透過性	あくせすとうかせい	access transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19237	A		故障透過性	こしょうとうかせい	failure transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19238	A		位置透過性	いちとうかせい	location transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19239	A		移送透過性	いそうとうかせい	migration transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19240	A		再配置透過性	さいはいちとうかせい	relocation transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19241	A		複製透過性	ふくせいとうかせい	replication transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19242	A		永続透過性	えいぞくとうかせい	persistence transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19243	A		トランザクション透過性	とらんざくしょんとうかせい	transaction transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19244	A		コミュニティ	こみゅにてぃ	community		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19245	A		<X>連合	<X>れんごう	<X> federation		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19246	A		不変スキーマ	ふへんすきーま	invariant schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19247	A		静的スキーマ	せいてきすきーま	satic schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19248	A		動的スキーマ	どうてきすきーま	dynamic schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19249	A		信号	しんごう	signal		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19250	A		操作	そうさ	operation		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19251	A		告知	こくち	announcement		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19252	A		質問	しつもん	interrogation		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19253	A		フロー	ふろー	flow		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19254	A		信号インターフェイス	しんごういんたーふぇーす	signal interface		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19255	A		操作インターフェース	そうさいんたーふぇーす	operation interface		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19256	A		ストリームインターフェー	すとりーむいんたーふぇー	stream interface		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19257	A		計算的オブジェクトテンプレート	けいさんてきおぶじぇくとてんぷれーと	computational object template		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19258	A		計算的インタフェーステンプレート信号インタフェースシグニチャ、信号インタフェース呼出し情報	けいさんてきいんたふぇーすてんぷれーとしんごういんたふぇーすしぐにちゃ、しんごういんたふぇーすよびだしじょうほう	computational interface template		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19259	A		操作インタフェースシグニチャ、操作インタフェース呼出し情報	そうさいんたふぇーすしぐにちゃ、そうさいんたふぇーすよびだしじょうほ	signal interface signiture		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19260	A		操作インタフェースシグニチャ、操作インタフェース呼出し情報	そうさいんたーふぇーすしぐにちゃ、そうさいんたーふぇーすよびだしじょうほ	oparetion interface signiture		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19261	A		ストリームインターフェースシグニチャ、ストリームインターフェース呼出し情	すとりーむいんたふぇーすしぐにちゃ、すとりーむいんたふぇーすよびだしじょ	stream interface signiture		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19262	A		結合オブジェクト	けつごうおぶじぇくと	binding object		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19263	A		基本工学的オブジェクト	きほんこうがくてきおぶじぇくと	basic engineering object		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19264	A		クラスタ	くらすた	cluster		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19265	A		クラスタ管理系	くらすたかんりけい	cluster manager		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19266	A		カプセル	かぷせる	capsule		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19267	A		カプセル管理系	かぷせるかんりけい	capsule manager		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19268	A		中核	ちゅうかく	nucleus		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19269	A		ノード	のーど	Node		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19270	A		通信路	つうしんろ	channel		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19271	A		スタブ	すたぶ	stub		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19272	A		結合子	けつごうし	binder		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19273	A		<x>インタセプタ	<x>いんたせぷた	<x> interceptor		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19274	A		プロトコルオブジェクト	ぷろとこるおぶじぇくと	protocol object		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19275	A		通信領域	つうしんりょういき	communications domain		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19276	A		通信インターフェース	つうしんいんたーふぇーす	communication interface		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19277	A		結合端点識別子	けつごうたんてんしきべつ	binding endpoint identifier		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19278	A		工学的インターフェース参照	こうがくてきいんたーふぇーすさんしょう	engineering interface reference		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19279	A		工学的インターフェース参照管理領域	こうがくてきいんたーふぇーすさんしょうかんりりょういき	engineering interface reference management domain		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19280	A		工学的インターフェース参照管理方針	こうがくてきいんたーふぇーすさんしょうかんりほうしん	engineering interface reference management policy		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19281	A		クラスタテンプレート	くらすたてんぷれーと	cluster template		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19282	A		チェックポイント	ちぇっくぽいんと	checkpoint		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19283	A		チェックポイント採取	ちぇっくぽいんとさいしゅ	checkpointing		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19284	A		クラスタチェックポイント	くらすたちぇっくぽいんと	cluster checkpoint		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19285	A		非活性化	ひかっせいか	deactivation		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19286	A		クローン生成	くろーんせいせい	cloning		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19287	A		回復	かいふく	recovery		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19288	A		再活性化	さいかっせいか	reactivation		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19289	A		移送	いそう	migration transparency		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19290	A		実装可能標準	じっそうかのうひょうじゅん	implementable standard		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19291	A		実装	じっそう	implementation		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19292	A		試験用実装補助情報	しけんようじっそうほじょじょうほう	IXIT		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19293	A		事象履歴	じしょうりれき	event history		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19294	A		相互作用グループ	そうごさようぐるーぷ	interaction group		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19295	A		トランザクション	とらんざくしょん	transaction		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19296	A		関心ある動作	かんしんあるどうさ	action of interest		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19297	A		可視性	かしせい	visibility		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19298	A		回復製	かいふくせい	recoverability		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19299	A		永久性	えいきゅうせい	permanence		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19300	A		データ格納庫、データリポジトリ	でーたかくのうこ、でーたりぽじとり	data repository		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19301	A		コンテナインタフェース	こんてないんたふぇーす	container interface		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19302	A		再配置オブジェクト	さいはいちおぶじぇくと	relocator		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19303	A		提供可能サービス	ていきょうかのうさーびす	service offer		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19304	A		サービス移出	さーびすいしゅつ	service export		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19305	A		サービス移入	さーびすいにゅう	service import		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19306	A		安全保護方針	あんぜんほごほうしん	security policy		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19307	A		安全保護機関	あんぜんほごきかん	security authority		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19308	A		安全保護領域	あんぜんほごりょういき	security domain		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19309	A		安全保護相互作用方針	あんぜんほごそうごさようほうしん	security interaction policy		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19310	A		安定性スキーマ	あんていせいすきーま	stability schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19311	A		移動性スキーマ	いどうせいすきーま	mobility schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19312	A		永続性スキーマ	えいぞくせいすきーま	persistence schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19313	A		複製スキーマ	ふくせいすきーま	replication schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19314	A		トランザクションスキーマ	とらんざくしょんすきーま	transaction schema		JIS X 5740-3	1998	ISO/IEC 10746-3	1996				1996	SC7
19315	A		VT利用者	VTりようしゃ	VT-user	仮想端末サービスの利用者。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19316	A		応用型VT利用者	おうようがたVTりようしゃ	application VT-user	フィールド定義制御オブジェクトの更新を行うことができる唯一のVT利用者。両方のVT利用者がこの制御オブジェクトを更新できる場合には、いずれのVT利用者にもこの呼称	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19317	A		端末側VT利用者	たんまつがわVTりようしゃ	terminal VT-user	片側のVT利用者が応用側VT利用者であった場合に、その相手VT利用者を端末側VT利用者と呼ぶ。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19318	A		文字レパートリ	もじれぱーとり	character-repertoire	一次属性値によって表現できるオブジェクトの集号。その一次属性値によって表現される一つのオブジェクトは、配列要素のためにその文字レパートリが使用されるとき表示オブジェクトの中で配列要素を一つ占有する。文字列の分類の制御オブジェクトも、また関連	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19319	A		文字図形要素	もじずけいようそ	character-box graphic element	VT利用者が折衝によって合意した文字レパートリの最小要素。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19320	A		一次属性	いちじぞくせい	primary attribute	表示オブジェクトの配列要素の属性。その配列要素に割り当てられた文字図形要素の符号化表現である。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19321	A		二次属性	にじぞくせい	secondary attribute	文字レパートリ(3.3.4参照)を構成する配列要素の二次属性値及び表示属性。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19322	A		表示属性	ひょうじぞくせい	rendition attributes	文字図形要素を修飾し、それがどのように表現されることを意図しているかを指定する情報を提供する二次属性値。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19323	A		明示的モード省略時値	めいじてきもーどしょうりゃくじち	explicit modal defauls	VT環境の中で定義される二次属性値。他の値が提供されないか又は、既に存在する値がない場合に、配列要素を更新するテキスト操作及び削除操作によって使用される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19324	A		表示オブジェクト	ひょうじおぶじぇくと	display object	図形情報の交換をモデル化するためにこの規格で定義される抽象的なオブジェクト。複数の構成要素からなる(13.参照)	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19325	A		配列要素	はいれつようそ	array element	一次属性値及び二次属性値を含む一つの文字図形要素を保持する表示オブジェクトの	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19326	A		初期表示ポインタ	しょきひょうじぽいんた	primitive display pointer	表示オブジェクトの中で特定の要素を識別する1から3までの座標値の集号。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19327	A		拡張表示ポインタ	かくちょうひょうじぽいんた	extended display pointer	表示オブジェクト上に定義されたブロックの中で特定の配列要素を識別する2から4までの座標値。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19328	A		表示ポインタ	ひょうじぽいんた	display pointer	初期表示ポインタ又は拡張表示ポインタのいずれかを参照するために使用される。ブロックが使用されるかどうかによってどちらを参照するかが決まる。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19329	A		論理ポインタ	ろんりぽいんた	logical pointer	表示オブジェクト上に定義されたフィールドの中で特定の配列要素を識別する2から3までの座標値。(備)初期表示ポインタと拡張表示ポインタとはどちらも同時には存在し得ない。しかし、論理ポインタは、表示ポインタ又は拡張表示ポインタに追加して存在すること	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19330	A		制御オブジェクト	せいぎょおぶじぇくと	control object	単一の型の構造をもたない情報交換をモデル化するために、この規格の中ではん(汎)用的な形式で定義された型である抽象的なオブジェクト。(備)制御オブジェクトは、主にVT利用者によって認識される制御の特質を表す情報の交換をモデル化することに適用される。VTサービスは、この情報の翻訳を含まない。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19331	A		装備オブジェクト	そうびおぶじぇくと	device object	実装置の論理的な特質をモデル化するために使用される抽象的なオブジェクト。仮想端末環境の様々なオブジェクトを実装置に結び付ける。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19332	A		オブジェクト更新装置	おぶじぇくとこうしんそうち	object updating device	相手VT利用者によって表示オブジェクトか又は制御オブジェクトを更新するために使用される値を生成することのできる実装置。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19333	A		VTアソシエーション	VTあそしえーしょん	VT-association	二つの等位VT利用者間の応用アソシエーション。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19334	A		VT環境	VTかんきょう	VT-environment, VTE	特定のVTアソシエーションのためのデータ構造と操作上の特質とを定義するパラメタの集合。VTEは、VTアソシエーションの存続期間中存在する。集合中のパラメタは、方向をもったグラフ構造によって緊密に関連している。VTEは、折衝によってVTアソシエーションが存在している間に変更されてもよい。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19335	A		現VTE	げんVTE	current-VTE	データ操作段階又は折衝静止段階で存在する単一のVTE。データ操作段階では完全VTEであるが、折衝静止フェーズでは完全VTEではない。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19336	A		折衝中VTE	せっしょうちゅうVTE	draft-VTE	折衝中のVTE。折衝中では、折衝中VTEは、完全VTEである必要はない。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19337	A		VTEパラメタ	VTEぱらめた	VTE-parameter	VTEの個々のパラメタ。サービスの中で、VTEパラメタは、それぞれ一意の名前を与えられる。その名前は、VTEパラメタの識別子として使用される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19338	A		完全VTE	かんぜんVTE	full-VTE	VTEパラメタの完全な方向付きグラフ。木の根からの節点に含まれる節点パラメタ及び葉パラメタは、すべて値をもつ。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19339	A		VT文脈値	VTぶんみゃくち	VT-context-value	特定のVTアソシエーションのためのオブジェクトのインスタンス及びそれらに割り当てられた値並びに現VTEの集合のための集合的な用語。VT文脈値は、VTアソシエーションの存続期間中存在し、その間連続的に変更される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19340	A		リセット文脈	りせっとぶんみゃく	reset-context	VT-BREAKサービスの後のVT文脈値。この文脈値は最後に成功した現VTEの後の文脈であり、すべてのオブジェクトは初期化をもつ。完全VTEが確立されていない場合には、リセット文脈は、存在しない。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19341	A		WAVARアクセス権	WAVARあくせすけん	WAVAR access-right	一時に一つのVT利用者だけが保持できるアクセス権。制御及び表示オブジェクトが同時に両方のVT利用者から更新されないことを保証するために使用される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19342	A		アクセス規則	あくせすきそく	access-rule	VTEの中で一つのオブジェクトのために定義される特性であり、どちらのVT利用者がある時点でオブジェクトを更新できるかを決定する規則。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19343	A		網効果	もうこうか	net-effecting	一つ以上の更新操作(24.参照)の内容を表現する項目の列を、更新されたオブジェクトの最終の状態が変わらないように通常より短い別の列にすること。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19344	A		連結	れんけつ	concatenation	一つの新しい更新項目(24.参照)を作るために、並べられた更新項目の列をつなぐこと。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19345	A		分割	ぶんかつ	segmentation	一つのキューイングされた更新項目(24.参照)を新しい更新項目の列に分けること。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19346	A		Aモード、非同期モード	Aもーど、ひどうきもーど	A-mode, asynchronous mode	二つの表示オブジェクトを使用する操作モード。一つの表示オブジェクトはVTアソシエーションを開始したVT利用者によって更新され、他の一つは相手VT利用者によって更新される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19347	A		Sモード、同期モード	Sもーど、どうきもーど	S-mode, synchronous mode	一つの表示オブジェクトを使用し、両方向交互の会話を使用する操作モード。WAVARアクセス権をもつ一つのVT利用者によってだけ表示オブジェクトは、更新される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19348	A		サービス	さーびす	service	要求プリミティブ、指示プリミティブ、応答プリミティブ又は確認プリミティブからなるプリミティブの列によって構成され、VTサービス全体の中で明確に区別される部分。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19349	A		順序付きサービス	じゅんじょつきさーびす	sequenced service	要求(又は応答)プリミティブの結果として発行される指示(又は確認)プリミティブが、以前に発行された指示(又は確認)とそれらに対応する要求(又は応答)との間で順序を保って発行されるサービス。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19350	A		順序なしサービス	じゅんじょなしさーびす	non—sequenced service	要求(又は応答)プリミティブの結果として発行される指示(又は確認)とそれらに対応する要求(又は応答)との間で順番を保って発行される必要のないサービス。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19351	A		条件付きで順序付きサービス	じょうけんつきでじゅんじょつきさーびす	conditionally sequenced service	パラメタの値によって、順序付きサービスとなるか順序なしサービスのいずれかに変化するサービス。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19352	A		破壊的サービス	はかいてきさーびす	destructive service	以前に発行されたサービスによって伝達される情報が、いずれのVT利用者にも通知されずに、粉失を引き起こす恐れのあるサービス。順序なしサービスだけが破壊的サービスであり得るが、すべての順序なしサービスが破壊的であるわけでない。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19353	A		非破壊的サービス	ひはかいてきさーびす	non-destructive service	以前に発行されたサービスによって伝達された情報が、いずれのVT利用者にも通知されずに、粉失を引き起こす恐れのないサービス。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19354	A		サービスパラメタ	さーびすぱらめた	service parameter	VTサービスの中でプリミティブの一部として定義されるパラメタ。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19355	A		更新ウィンドウ	こうしんういんどう	update-window	座標値の範囲を定義する表示オブジェクトの位置付けに関連する機構。これ以降の配列に対する更新操作は、実行されない。範囲内の絶対座標値は、操作中に増加してもよいが、減少してはならない。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19356	A		更新ウィンドウサイズ	こうしんういんどうさいず	update-window size	ゼロを含まない正の整数値であって、更新ウィンドウ内で隣接する配列要素の数を定義	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19357	A		トリガ	とりが	trigger	制御オブジェクトがこの特質をもつ場合、その制御オブジェクトに対して更新が行われるとキューイングされた更新の配信が引き起こされ、Sモードにおいては相手VT利用者に対しWAVARアクセス権が譲渡される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19358	A		VTEプロファイル	VTEぷろふぁいる	VTE-profile	VTEを作成するVTEパラメタ値の先に定義された集合。(備)幾つかのVTEプロファイルは、そのプロファイル引数がVT利用者によって提供される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19359	A		省略時VTEプロファイル	しょうりゃくじVTEぷろふぁいる	default VTE-profile	附属書A(規定)で定義するVTEプロファイルであり、VTアソシエーション確立時にVT利用者がVTEを指定しない場合に使用される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19360	A		登録されたVTEプロファイル	とうろくされたVTEぷろふぁいる	registered VTE-profile	ISO 9834-4の中で定義されているように確立された登録機関によって認定されたVTオブジェクトの中で登録されたVTEプロファイル。ASN.1オブジェクト識別子の一意の値が割り	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19361	A		登録された制御オブジェクト	とうろくされたせいぎょおぶじぇくと	registered control object	ISO 9834-5の中で定義されているように確立された登録機関によって認定されたVTオブジェクトの中で登録された制御オブジェクト。ASN.1オブジェクト識別子の一意の値が割り	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19362	A		私的に定義されたVTEプロファイル	してきにていぎされたVTEぷろふぁいる	privately defined VTE—profile	この規格の範囲外の手段で、私的にその使用が合意されたVTEプロファイル。既定のVTEプロファイルでも登録されたVTEプロファイルでもない。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19363	A		VTEプロファイル引数	VTEぷろふぁいるひきすう	VTE-profile argument	VTEプロファイルから生成されるべき完全VTEを確立するための値が与えられるVTEプロファイルの引数。基本VTEプロファイル引数か又は特別VTEプロファイル引数である。登録されたVTEプロファイルごとに適用される引数及びその意味が定義される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19364	A		基本VTEプロファイル引数	きほんVTEぷろふぁいるひきすう	normal VTE-profile argument	VTEパラメタに対応し、同一の識別子を想定するVTEプロファイル引数。一つのVTEプロファイルは、このような引数の値によって他のVTEのパラメタが定義されることを規定して	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19365	A		特別VTEプロファイル引数	とくべつVTEぷろふぁいるひきすう	special VTE-profile argument	VTEパラメタには対応付けられない(すなわち、方向付けられたグラフの中にはなく、識別子も割り当てられていない)VTEプロファイルの引数。VTEプロファイル定義中の規定に従い使用される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19366	A		多重相互作用折衝、MIN	たじゅうそうごさようせっしょう、MIN	multiple interaction negotiation, MIN	両方のVT利用者及びサービス提供者に受け入れ可能な新しい完全VTEを生成するときに折衝中VTEを修正又は拡張する処理。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19367	A		MIN起動側	MINきどうがわ	MIN-initiator	折衝活性段階に利行するサービスであるVT-START-NEGサービスを起動したVT利用	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19368	A		MIN受諾側	MINじゅだくがわ	MIN-acceptor	折衝活性段階に移行するサービスであるVT-START-NEGサービスを受諾したVT利用	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19369	A		ブロック	ぶろっく	block	表示オブジェクトの構成要素。ブロックは、Y配列内の副領域のための相対アドレス(ブロックの開始点からの相対)を使用可能にする長方形領域。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19370	A		フィールド	ふぃーるど	field	表示オブジェクトの構成要素。フィールドは、表示オブジェクトのY配列の配列要素の指示された一部の一次元の論理アドレス付けを提供する。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19371	A		フィールド要素	ふぃーるどようそ	field-element	フィールドの一部を形成する表示オブジェクトのY配列の長方形領域。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19372	A		フィールド定義制御オブジェクト、FDCO	ふぃーるどていぎせいぎょおぶじぇくと、FDCO	field definition control object, FDCO	表示オブジェクトのフィールドの定義記録として保持する制御オブジェクトの型。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19373	A		フィールド定義記録、FDR	ふぃーるどていぎきろく、FDR	field definition record, FDR	一つのフィールドの状態及び定義の記録。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19374	A		フィールド入力命令制御オブジェクト、FEICO	ふぃーるどにゅうりょくめいれいせいぎょおぶじぇくと、FEICO	field entry instruction control object, FEICO	データ入力の命令をフィールド入力命令記録として保持する制御オブジェクトの型。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19375	A		フィールド入力指示制御オブジェクト、FEPCO	ふぃーるどにゅうりょくしじおぶじぇくと、FEPCO	field entry pilot control object, FEPCO	データ入力指示をフィールド入力指示記録として保持する制御オブジェクトの型。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19376	A		フィールド入力命令記録、FEIR	ふぃーるどにゅうりょくめいれいきろく、FEIR	field entry instruction record, FEIR	データ入力規則の集合をフィールド入力命令(field entry instructions、FEIs)として保持する記録。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19377	A		フィールド入力指示記録、FEPR	ふぃーるどにゅうりょくしじきろく、FEPR	field entry pilot record, FEPR	フィールド入力事象、フィールド入力条件及びフィールド入力動作の列を構成するデータ入力指示の記録。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19378	A		フィールド入力指示、FEI	ふぃーるどにゅうりょくしじ、FEI	field entry instruction, FEI	フィールド内への制御されたデータ入力のための規則の適用。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19379	A		フィールド入力事象、FEE	ふぃーるどにゅうりょくじしょう、FEE	field entry event, FEE	制御されたデータ入力の間に起こる事象であり、入力動作を引き起こす。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19380	A		フィールド入力条件、FEC	ふぃーるどにゅうりょくじょうけん、FEC	field entry condition, FEC	入力動作を起こす入力事象に課せられるデータ入力の条件。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19381	A		フィールド入力動作、FER	ふぃーるどにゅうりょくどうさ、FER	field entry reaction, FER	仮想端末サービスの中で他のオブジェクトの操作によって定義される入力事象と入力条件とに対する動作。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19382	A		伝送方針制御オブジェクト、TPCO	でんそうほうしんせいぎょおぶじぇくと、TPCO	transmission policy control object, TPCO	制御されたデータ入力の後に、どのようにフィールドの内容が伝送されるかを決定する値を保持する制御オブジェクトの型。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19383	A		文脈制御オブジェクト、CCO	ぶんみゃくせいぎょおぶじぇくと、CCO	context control object, CCO	データ入力の会話においてある時点におけるVT利用者の論理文脈を提供する制御オブジェクトの型。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19384	A		参照情報オブジェクト、RIO	さんしょうじょうほうおぶじぇくと、RIO	reference information object, RIO	どの表示オブジェクトからも独立した、情報を保持する領域であり、通信の間参照される。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19385	A		終了条件制御オブジェクト、TCCO	しゅうりょうじょうけんせいぎょおぶじぇくと、TCCO	termination conditions control, TCCO	装置オブジェクトの操作に影響を与える終了条件を保持する制御オブジェクトの型。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19386	A		終了事象	しゅうりょうじしょう	termination-event	オブジェクト更新装置からの入力に関連付けられる局所的に定義された細分できない事象(例えば文字の入力、機能キーの押下、旗の設定)であり、VT利用者は、等位VT利用者に配信すべき入力データを引き起こすことを(折衝を通して)合意する。	JIS X 5745	1995	ISO 9040	1990				1997	JTC1
19387	A		プロトコル要素	ぷろとこるようそ	protocol element	双方のVTPM間で通信する6.で定義する情報の抽象的単位。これは、次のように写像される。(1)直接ACSE及び/又はプレゼンテーションサービスへ。(2)ACSEの利用者情報パラメタ又はプレゼンテーションサービスの利用者データパラメタでで運ばれるPDUタイプ	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19388	A		起動側VTPM	きどうがわVTPM	initiating VTPM	各手順での起動側VTPM	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19389	A		応答側VTPM	おうとうがわVTPM	target VTPM	起動側VTPMに対する相手側VTPM	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19390	A		送信側VTPM	そうしんがわVTPM	sending VTPM	データ転送実行時の起動側VTPM	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19391	A		受信側VTPM	じゅしんがわVTPM	receiving VTPM	データ転送実行時の応答側VTPM	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19392	A		動的適合性要件	どうてきてきごうせいようけん	dynamic conformance requirements	通信状況下でどのような観測可能な振舞いを許すかを決めるすべての要件(及び任意選択機能)	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19393	A		静的適合性要件	せいてきてきごうせいようけん	static conformance requirements	実装上の基本機能の要件を定義して相互接続を容易にするための制約	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19394	A		プロトコル実装適合性申告書、実装申告書	ぷろとこるじっそうてきごうせいしんこくしょ、じっそうしんこくしょ	protocol implementation conformance statement (PICS)	実装している機能及び任意選択機能、並びに実装を省略した機能を、供給者が作成する申告書	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19395	A		VTトークン	VTとーくん	VT-token	プレゼンテーション層を通して、すべてのセショントークンに写像するエンティティ。セショントークンがない場合は、両側でこのトークンを保有すると考える	JIS X 5746	1995	ISO 9041-1	1990				1997	JTC1
19396	A		上位グループ	じょういぐるーぷ	ancestor	DFRオブジェクトの親及びDFR経路名を形成する親以上、DFR根グループ以下の上位グループのいずれか。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19397	A		属性型	ぞくせいがた	attribute-type	属性の構成要素。これは、その属性によって与えられる情報のクラスを表す。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19398	A		属性値	ぞくせいち	attribute-value	属性型が示す情報のクラスの一つの実現値。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19399	A		属性値アサーション	ぞくせいちあさーしょん	attribute-value-assertion	あるエントリに特定の型の属性値(又は識別値)が存在するか否かを、その型の照合規則に従って決定する命題。命題は、真、偽、又は未定義のいずれかとする。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19400	A		概念文書	がいねんぶんしょ	conceptual-document	同一文書の異なる版とみなされるDFR文書の集合。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19401	A		制御属性パッケージ	せいぎょぞくせいぱっけー	Control-Attribute-	DFRオブジェクトのアクロス制御に用いる属性の集まり。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19402	A		下位グループ	かいぐるーぷ	descendant	当該DFRグループを構成するDFRグループメンバ及びそれらを構成する最下位までのDFRグループメンバのいずれか。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19403	A		DFR属性	DFRぞくせい	DFR-attribute	DFRオブジェクトの識別、DFR内容の説明、DFRオブジェクトへのアクセスの補助などでDFRオブジェクトと結び付いているデータ項目。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19404	A		DFR基本属性集合	DFRきほんぞくせいしゅう	DFR-basic-attribute-set	すべてのDFRサーバで必ずもつDFR属性の集合。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19405	A		DFR内容	DFRないよう	DFR-content	DFRオブジェクトに入る情報の実体。DFRの性質は、DFRオブジェクトのDFRオブジェクトクラスに依存する。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19406	A		DFR文書	DFRぶんしょ	DFR-document	DFR文書内容及びDFR属性からなり、格納及び検索が可能な構造化された情報の集	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19407	A		DFR文書内容	DFRぶんしょないよう	DFR-document-content	文書の中に存在する情報の実体(例えば、事務文書)。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19408	A		DFR文書保管物	DFRぶんしょほかんぶつ	DFR-document-store	論理的に階層構造化されたDFRオブジェクトの集まりに名前をつけたもの。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19409	A		DFRエントリ	DFRえんとり	DFR-entry	DFRオブジェクトにDFR文書保管物内の階層的位置を示すDFR属性を付加したもの。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19410	A		DFR拡張属性集合	DFRかくちょうぞくせいしゅうごう	DFR-extension-attribute-set	DFRサーバが任意選択でもつ(DFR基本属性集合以外の)DFR属性の集合。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19411	A		DFRグループ	DFRぐるーぷ	DFR-group	DFR文書保管物に存在するDFRオブジェクトの集合。各DFRオブジェクトを、DFRグループのDFRグループメンバと呼ぶ。DFRグループは、DFR属性及びDFRグループ内容から	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19412	A		DFRグループ内容	DFRぐるーぷないよう	DFR-group-content	すべてのDFRグループメンバを識別するDFR一意永続識別子(UPI)の並び。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19413	A		DFRグループメンバ	DFRぐるーぷめんば	DFR-group-member	親のDFRグループに属するDFRオブジェクト。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19414	A		DFR所属基準	DFRしょぞくきじゅん	DFR-membership-criteria	DFRグループへの所属を制約するDFRグループのDFR属性。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19415	A		DFRオブジェクト	DFRおぶじぇくと	DFR-object	DFRサーバが管理する情報の集合の一つ。DFRオブジェクトには、DFR文書、DFRグループ、DFR参照及びDFR探索結果一覧がある。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19416	A		DFRオブジェクトクラス	DFRおぶじぇくとくらす	DFR-object-class	DFRオブジェクト(DFR文書、DFRグループ、DFR参照及びDFR探索結果一覧)のクラスを示すDFR属性。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19417	A		DFRオブジェクト木	DFRおぶじぇくとき	DFR-object-tree	あるDFRグループ及びそのすべての下位グループによって構成される木。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19418	A		DFR経路名	DFRけいろめい	DFR-pathname	DFR文書保管物の中でDFRオブジェクトを識別するためのDFR属性。DFR経路名は、すべての上位グループのDFRオブジェクトのDFR表題の属性値を並べた順序列からなり、識別するオブジェクトのDFR表題の値を最後尾にもつ。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19419	A		DFRプロパーグループ	DFRぷろぱーぐるーぷ	DFR-proper-group	DFR根グループ以外のDFRグループ。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19420	A		DFR参照	DFRさんしょう	DFR-reference	参照先のDFRオブジェクトに結び付けるDFRオブジェクト。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19421	A		DFR参照内容	DFRさんしょうないよう	DFR-reference-content	参照先を識別するための情報で、DFR参照に保管される。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19422	A		DFR根グループ	DFRこんぐるーぷ	DFR-root-group	DFR文書保管物に存在する最上位のDFRグループ。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19423	A		DFR探索基準	DFRたんさくきじゅん	DFR-search-criteria	DFR探索基準の実体は、フィルタである。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19424	A		DFR探索結果一覧	DFRたんさくけっかいちら	DFR-search-result-list	指定された条件を満たした結果の情報の集合。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19425	A		DFR探索結果一覧内容	DFRたんさくけっかいちらんないよう	DFR-search-result-list-content	探索の結果の情報の実体。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19426	A		DFRサーバ	DFRさーば	DFR-server	DFRで文書の格納・探索などのサービスを提供する部分。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19427	A		DFR一意永続識別子	DFRいちいえいぞくしきべつし	DFR-Unique-Permanent-Identifier	DFR文書保管物の中のDFRオブジェクトを確実に識別するために、DFRサーバによってすべてのDFRオブジェクトに割り付けられるDFR属性。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19428	A		DFR利用者	DFRりようしゃ	DFR-user	DFRサーバへサービスを要求する部分。DFR利用者は、常に安全保護主体のために作業を行い、この安全保護主体のもつ特権を利用する。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19429	A		フィルタ	ふぃるた	filter	DFR属性の有無又は値のアサーションを提示する機構。ディレクトリ(JIS X 5731～5733参照)と同じ意図で使用する。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19430	A		メンバ	めんば	member	DFRグループメンバを参照。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19431	A		所有者	しょゆうしゃ	owner	特定のDFRオブジェクトに対し、所有者アクセス権をもつ安全保護主体。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19432	A		親	おや	parent	DFR根グループ以外のDFRオブジェクトに対する一つ上位のDFRグループ。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19433	A		特権属性証明	とっけんぞくせいしょうめい	Privilege-Attribute-Certificate	DFR利用者がアクセス権を確立するときに提示するアクセス特権の集合。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19434	A		参照先	さんしょうさき	referent	DFR参照が参照するDFRオブジェクト。	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19435	A		版	はん	version	特定のDFR属性によって利用者が一つ以上のDFR文書の派生物とみなして規定する	JIS X 5755	1993	ISO/IEC 10166-1	1991				1991	SC6
19436	A		放棄	ほうき	Abandon		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19437	A		抽象誤り	ちゅうしょうあやまり	abstract errors		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19438	A		抽象操作	ちゅうしょうそうさ	abstract operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19439	A		抽象結合	ちゅうしょうけつごう	Abstract-bind		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19440	A		抽象結合開放	ちゅうしょうけつごうかい	Abstract-unbind		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19441	A		アクセス許可	あくせすきょか	access authorization		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19442	A		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control (Security)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19443	A		アクセス権	あくせすけん	access right		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19444	A		被アクセス権	ひあくせすけん	accessee		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19445	A		アクセス側	あくせすがわ	accessor		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19446	A		上位グループ	じょういぐるーぷ	Ancestor		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19447	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	application		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19448	A		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application context		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19449	A		応用エンティティ	おうようえんてぃてぃ	application-entity (=基本参照モデル)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19450	A		応用層	おうようそう	Application Layer (=基本参照モデル)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19451	A		アサーション	あさーしょん	assertion		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19452	A		アソシエーション制御サービス要素	あそしえーしょんせいぎょさーびすようそ	Asociation Control Service Element		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19453	A		属性構文	ぞくせいこうぶん	attribute syntax		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19454	A		属性型	ぞくせいがた	Attribute-Type		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19455	A		属性値	ぞくせいち	attribute-value		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19456	A		属性値アサーション	ぞくせいちあさーしょん	attribute-value-assertion		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19457	A		認証	にんしょう	authentication		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19458	A		著者	ちょしゃ	Authors		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19459	A		許可	きょか	authorization		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19460	A		結合操作	けつごうそうさ	bind-operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19461	A		結合時間	けつごうじかん	bind time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19462	A		結合	けつごう	binding		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19463	A		上下段無効一覧	じょうげだんむこういちら	Case Ignore List		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19464	A		上下段無効文字列	じょうげだんむこうもじれ	Case Ignore String		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19465	A		身分証明	みぶんしょうめい	certified identity		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19466	A		順序規則	じゅんじょきそく	dollating sequences		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19467	A		コミット予約	こみっとよやく	commited reservation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19468	A		概念文書	がいねんぶんしょ	Conceprual-Document		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19469	A		消費操作	しょうひそうさ	consume-operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19470	A		継続	けいぞく	continuation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19471	A		制御属性パッケージ(CAP)	せいぎょぞくせいぱっけーじ(CAP)	Control-Attribute-Package (CAP)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19472	A		複写	ふくしゃ	Copy		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19473	A		作成	さくせい	Create		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19474	A		作成日時	さくせいにちじ	Creation-Data-And-Time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19475	A		証明書	しょうめいしょ	credentials		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19476	A		データオブジェクト値	でーたおぶじぇくとち	data-object-value		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19477	A		削除	さくじょ	Delete		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19478	A		展開	てんかい	dereferencing		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19479	A		下位グループ	かいぐるーぷ	descendant		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19480	A		あて先	あてさき	destination		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19481	A		DER抽象サービス	DERちゅうしょうさーびす	DFR Abstract Service		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19482	A		DFRアクセス一覧	DFRあくせすいちらん	DFR-Access-List		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19483	A		DFR属性	DFRぞくせい	DFR-Attribute		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19484	A		DFR属性作成日時	DFRぞくせいさくせいにちじ	DFR-Attributes-Create-Date-And-Time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19485	A		DFR属性変更者	DFRぞくせいへんこうしゃ	DFR-Attributes-Modified-By		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19486	A		DFR属性変更日時	DFRぞくせいへんこうにちじ	DFR-Attributes-Modify-Date-And-Time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19487	A		DFR属性集合	DFRぞくせいしゅうごう	DFR-Basic-Attribute-Set		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19488	A		DFR内容	DFRないよう	DFR-Content		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19489	A		DFR内容作成日時	DFRないようさくせいにちじ	DFR-Content-Create-Date-And-Time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19490	A		DFR内容変更者	DFRないようへんこうしゃ	DFR-Content-Modified-		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19491	A		DFR内容変更日時	DFRないようへんこうにちじ	DFR-Content-Modify-Date-And-Time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19492	A		DFR内容作成者	DFRないようさくせいしゃ	DFR-Created-By		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19493	A		DFR文書	DFRぶんしょ	DFR-Document		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19494	A		DFR文書内容	DFRぶんしょないよう	DFR-Document-Content		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19495	A		DFR文書保管物	DFRぶんしょほかんぶつ	DFR-Document-Store		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19496	A		DFR文書種別	DFRぶんしょしゅべつ	DFR-Document-Type		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19497	A		DFRエントリ	DFRえんとり	DFR-Entry		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19498	A		DFR拡張属性集合	DFRかくちょうぞくせいしゅうごう	DFR-Extension-Attribute-Set		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19499	A		DFR外部位置	DFRがいぶいち	DFR-External-Location		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19500	A		DFRグループ	DFRぐるーぷ	DFR-Group		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19501	A		DFRグループ内容	DFRぐるーぷないよう	DFR-Group-Content		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19502	A		DFRグループメンバ	DFRぐるーぷめんば	DFR-Group-Member		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19503	A		DFR所属基準	DFRしょぞくきじゅん	DFR-Membership-Criteria		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19504	A		DFR次版	DFRじはん	DFR-Next-Versions		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19505	A		DFRグループメンバ数	DFRぐるーぷめんばすう	DFR-Number-Of-Group-Member		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19506	A		DFRオブジェクト	DFRおぶじぇくと	DFR-Object		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19507	A		DFRオブジェクトクラス	DFRおぶじぇくとくらす	DFR-Object-Class		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19508	A		DFRオブジェクト木	DFRおぶじぇくとき	DFR-Object-Tree		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19509	A		DFR順序	DFRじゅんじょ	DFR-Ordering		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19510	A		DFR親識別	DFRおやしきべつ	DFR-Parent-Identification		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19511	A		DFR経路名	DFRけいろめい	DFR-Pathname		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19512	A		DFR前版	DFRぜんはん	DFR-Previous-Versions		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19513	A		DFR一般グループ	DFRいっぱんぐるーぷ	DFR-Proper-Group		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19514	A		DFR参照	DFRさんしょう	DFR-Reference		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19515	A		DFR参照内容	DFRさんしょうないよう	DFR-reference-content		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19516	A		DFR参照先削除	DFRさんしょうさきさくじょ	DFR-Refernt-Deleted		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19517	A		DFR予約	DFRよやく	DFR-Reservation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19518	A		DFR予約者	DFRよやくしゃ	DFR-Reserved-By		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19519	A		DFR資源限界	DFRしげんげんかい	DFR-Resource-Limit		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19520	A		DFR使用資源	DFRしようしげん	DFR-Resource-Used		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19521	A		DFR根グループ	DFRこんぐるーぷ	DFR-Root-Group		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19522	A		DFR探索基準	DFRたんさくきじゅん	DFR-Search-Criterra		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19523	A		DFR探索結果一覧	DFRたんさくけっかいちら	DFR-Search-Result-List		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19524	A		DFR探索結果一覧内容	DFRたんさくけっかいちらんないよう	DFR-Search-Result-List-Content		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19525	A		DFRサーバ	DFRさーば	DFR-Server		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19526	A		DFRサービス要素(DFRSE)	DFRさーびすようそ(DFRSE)	DFR Service Element (DFESE)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19527	A		DFR表題	DFRひょうだい	DFR-Title		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19528	A		DFR一意永続識別子	DFRいちいえいぞくしきべつし	DFR-Unique-Permanent-Identifier (UPI), DFR-UPI		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19529	A		DFR利用者	DFRりようしゃ	DFR-User		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19530	A		DFR版根	DFRはんこん	DFR-Version-Root		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19531	A		ディレクトリ	でぃれくとり	Directory		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19532	A		特定オブジェクト参照	とくていおぶじぇくとさんしょう	distinguished-object-reference (DOR)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19533	A		分散事務応用	ぶんさんじむおうよう	distributed-office-application		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19534	A		文書	ぶんしょ	document		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19535	A		文書体系クラス	ぶんしょたいけいくらす	Document-Architecture-Class		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19536	A		文書日時	ぶんしょにちじ	Document-Data-And-		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19537	A		文書種別	ぶんしょしゅべつ	Document-type		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19538	A		エンティティ	えんていてい	entity		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19539	A		エントリ	えんとり	entry		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19540	A		フィルタ	ふぃるた	Filter		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19541	A		フィルタ機能	ふぃるたきのう	filtering		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19542	A		フラット格納セット	ふらっとかくのうせっと	Flat Store Set		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19543	A		完全セット	かんぜんせっと	Full Set		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19544	A		機能セット	きのうせっと	function-sets		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19545	A		キーワード	きーわーど	Keywords		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19546	A		言語	げんご	Languages		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19547	A		列挙する、一覧	れっきょする、いちらん	List		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19548	A		一覧抽象操作	いちらんちゅうしょうそうさ	List abstract operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19549	A		マクロ	まくろ	macro		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19550	A		メンバ	めんば	Member		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19551	A		変更	へんこう	Modify		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19552	A		移動性スキーマ	いどうせいすきーま	Move		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19553	A		グループメンバ数	ぐるーぷめんばすう	Number-Of-Group-		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19554	A		ページ数	ぺーじすう	Number-Of-Pages		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19555	A		ODA文書概要	ODAぶんしょがいよう	ODA Document Profile		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19556	A		操作	そうさ	operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19557	A		操作-PAC	そうさ-PAC	operation-pac		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19558	A		順序	じゅんじょ	ordering		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19559	A		組織	そしき	Organizations		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19560	A		その他の表題	そのたのひょうだい	Other-Titles		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19561	A		所有者	しょゆうしゃ	Owner		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19562	A		親	おや	Parent		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19563	A		親グループ	おやぐるーぷ	parent group		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19564	A		許可	きょか	aermission		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19565	A		規定格納構造セット	きていかくのうこうぞうせっと	Pre-defined Store Structure Set		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19566	A		作成者	さくせいしゃ	Preparers		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19567	A		プレゼンテーション層	ぷれぜんてーしょんそう	Presentation Layer (=基本参照モデル)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19568	A		優先度	ゆうせんど	Priority		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19569	A		特権	とっけん	Privilege		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19570	A		特権属性	とっけんぞくせい	privilege-attributes		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19571	A		特権属性証明(PAC)	とっけんぞくせいしょうめい(PAC)	Privilege-Attribute-Certificate (PAC)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19572	A		生成操作	せいせいそうさ	produce-operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19573	A		生成時刻	せいせいじこく	produce-time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19574	A		プロトコル	ぷろとこる	protocol (=基本参照モデ		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19575	A		代理-PAC	だいり-PAC	proxy-pac		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19576	A		除去日時	じょきょにちじ	Purge-Date-And-Time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19577	A		サービス品質	さーびすひんしつ	Quarity-fo-Service (QoS)		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19578	A		読取り	よみとり	Read		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19579	A		読取りアクセス	よみとりあくせす	read access		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19580	A		参照オブジェクトアクセス	さんしょうおぶじぇくとあくせす	referenced-object-access		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19581	A		参照のサービス品質	さんしょうのさーびすひん	reference-gos		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19582	A		参照先	さんしょうさき	Referent		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19583	A		高信頼性転送サービス要素	こうしんらいせいてんそうさーびすようそ	Reliable Transfer Service Element		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19584	A		遠隔操作サービス要素	えんかくそうささーびすようそ	Remote Operation Service Element		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19585	A		遠隔操作	えんかくそうさ	Remote Operations		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19586	A		予約	よやく	Reservation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19587	A		予約	よやく	Reserve		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19588	A		改版日時	かいはんにちじ	Revision-Date-And-Time		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19589	A		ROAモデル	ROAもでる	ROA-model		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19590	A		ROA操作	ROAそうさ	ROA-operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19591	A		ROAプロトコル	ROAぷろとこる	ROA-protocol		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19592	A		探索	たんさく	Serch		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19593	A		安全保護属性	あんぜんほごぞくせい	security-attributes		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19594	A		安全保護方針	あんぜんほごほうしん	security-policy		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19595	A		安全保護主体	あんぜんほごしゅたい	security-subject		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19596	A		安全保護オブジェクト	あんぜんほごおぶじぇくと	security-object		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19597	A		選択	せんたく	Selection		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19598	A		サービス定義	さーびすていぎ	Service definition		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19599	A		状態	じょうたい	Status		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19600	A		主題	しゅだい	Subject		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19601	A		旧版文書	きゅうはんぶんしょ	Superseded-Documents		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19602	A		結合開放操作	けつごうかいほうそうさ	unbind-operation		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19603	A		利用者	りようしゃ	user		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19604	A		利用者参照	りようしゃさんしょう	User-Reference		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19605	A		その他のオブジェクト利用者参照	そのたのおぶじぇくとりようしゃさんしょう	User-Reference-To-Other-Objects		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19606	A		利用者特定符号	りようしゃとくていふごう	User-Specific-Codes		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19607	A		版	はん	Version		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19608	A		版名	はんめい	Version-Name		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19609	A		警告	けいこく	warnings		JIS X 5756	1993	ISO/IEC 10166-2	1991				1991	SC6
19610	A		属性	ぞくせい	attribute	管理オブジェクトの特性。属性は、値をもつ。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19611	A		共通管理情報サービス要素	きょうつうかんりじょうほうさーびすようそ	Common Management Information Service Element, CMISE	この規格で定義する応用サービス要素。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19612	A		共通管理情報サービス	きょうつうかんりじょうほうさーびす	Common Management Information Services,	共通管理情報サービス要素が提供するサービスの集合。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19613	A		CMISEサービス提供者	CMISEさーびすていきょうしゃ	CMISE-service-provider	同位のCMISEサービス利用者に対してCMISEサービスを提供するエンティティ全体の抽象概念。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19614	A		CMISEサービス利用者	CMISEさーびすりようしゃ	CMISE-service-user	共通管理情報サービス要素を利用する応用プロセスの一部。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19615	A		機能単位	きのうたんい	functional unit	選択可能なサービスの折衝に用いるサービスの単位。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19616	A		起動側CMISEサービス利用者	きどうがわCMISEさーびすりようしゃ	invoking CMISE-service-user	管理操作又は管理通知を起動するCMISEサービス利用者。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19617	A		実行側CMISEサービス利用者	じっこうがわCMISEさーびすりようしゃ	performing CMISE-service-user	同位のCMISEサービス利用者が起動する管理操作又は管理通知を実行するCMISEサービス利用者。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19618	A		集合値属性	しゅうごうちぞくせい	set-valued attribute	その値が、同じ型の値の数学的な集合である属性。集合内の値は、繰り返すことができず、順序性はない。	JIS X 5761	1992	ISO/IEC 9595	1991				1998	JTC1
19619	A		エージェント	えーじぇんと	agent	個々のシステムの管理相互動作 に対してエージェントの役割を果たすMIS利用者。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19620	A		エージェントの役割	えーじぇんとのやくわり	agent role	管理オブジェクトの管理操作を行うことができ、かつ管理オブジェクトに代わって通知を出すことが できるMIS利用者が果たす役割。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19621	A		依存適合性	いぞんてきごうせい	dependent conformance	システム 適合性宣言で指定されたサービスの集合に関連するプロトコル要素をに対する適合 性。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19622	A		一般適合性	いっぱんてきごうせい	general conformance	この規格 で規定された、サービスのカーネル集合及び付加機能単位に関連するプロトコル要素 に対する適合性。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19623	A		はん(汎)用定義	はんようていぎ	generic definitions	管理 オブジェクトクラス、属性型、通知型又は管理操作型の定義。一般的に使用でき	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19624	A		(管理)相互動作	(かんり)そうごどうさ	(management) interaction	マネージャ及びエージェントの役割が変更されるまでの間における、一つの管理操作 、一つの通知、又は管理操作及び通知の一つの集合。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19625	A		管理オブジェクトクラス	かんりおぶじぇくとくらす	managed object class	管理オブジェクトの命名された集合であって、それらのオブジェクトは属性、通知及び管理操作の同じ(命名された)集合(パッケージ)を共有し、それぞれのパッケージを実装条件についても同じ条件を共有する。(備)次の二つの定義は、JIS X 5020のPICS及びPICS様式に対する定義と同じ位置付けにある。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19626	A		管理オブジェクト適合性宣言(MOCS)	かんりおぶじぇくとてきごうせいせんげん(MOCS)	managed object conformance statement (MOCS)	管理オブジェクトの実装提供者によって作成された宣言。実装された機能及び任意選 択機能並びに非実装の項目を宣言する。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19627	A		MOCS様式	MOCSようしき	MOCS proforma	管理オブジェクト定 義者又は適合性試験スイートの指定者が作成する質問表の形式。管理オブジェクト実 装に対する質問表を完成させたとき、MOCSになる文書。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19628	A		被管理(開放型)システム	ひかんり(かいほうがた)しすてむ	managed (open) system	エージェントの役割を果たすことができるMIS利用者を 含む実開放型システム。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19629	A		管理領域	かんりりょういき	management domain	共通システム管理方 針が適用される管理オブジェクトの集合。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19630	A		管理情報	かんりじょうほう	management information	OSI管理プロトコルで転送してもよい開放型システム内の情報。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19631	A		管理提供オブジェクト	かんりていきょうおぶじぇくと	management support object	システム管理機能を提供するために特別に定義され たシステム管理オブジェクト(例えば、ログ、選別器)。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19632	A		マネージャ	まねーじゃ	manager	個々のシステム管理相互動作に 対してマネージャの役割を果たすMIS利用者。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19633	A		マネージャの役割	まねーじゃのやくわり	manager role	管理操作 を発行することができ、かつ通知を受信することができるMIS利用者が果たす	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19634	A		管理(開放型)システム	かんり(かいほうがた)しすてむ	managing (open) system	マネージャの役割を果たすことができるMIS利用者を含む実開放型 システム。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19635	A		MIS利用者	MISりようしゃ	MIS-User	システム管理サービスを 使用する適用業務	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19636	A		通知	つうち	notification	管理オブジェクトが送出するその管理オブ ジェクト内で発生した事象に関連する情報。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19637	A		通知型	つうちがた	notification type	特定の通知を定義する命名されたデータ型。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19638	A		(N)層管理オブジェクト	(N)そうかんりおぶじぇくと	(N)-layer managed object	(N)層に固有の管理オブジェクト。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19639	A		(N)層管理プロトコル	(N)そうかんりぷろとこる	(N)-layer management protocol	(N-1)層以下のプロトコルで運ばれる(N)層管理情報の 交換用(N)層プロトコル。(備)この規格では、(N)層管理プロトコルの使用を 規定しない。この定義は、形式を整えるためのものである。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19640	A		(システム管理)操作	(しすてむかんり)そうさ	(systems management) operation	システム管理のために管理オブジェクトに対して行う操作 。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19641	A		システム管理オブジェクト	しすてむかんりおぶじぇく	systems managed object	一つ以上の層、システム全体又は特定の管理機能に関連する管理オブ ジェクト。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19642	A		システム管理応用プロセス	しすてむかんりおうようぷろせす	systems management application process	システム管理に加わる応用プロセス。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19643	A		システム管理応用サービス要素	しすてむかんりおうようさーびすようそ	systems management application service	システム管理サービスを提供する応用サービス要素。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19644	A		システム管理機能	しすてむかんりきのう	systems management function	論理的に関連した利用者用件の集合を満足するシステム管理活動の一部。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19645	A		システム管理機能領域	しすてむかんりきのうりょういき	systems management functional area	システム管理利用者要件の範ちゅう(疇)。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19646	A		システム管理機能単位	しすてむかんりきのうたんい	systems management functional unit	終端システム間での機能の使用を確立若しくは折衝に必要な特定の機能集合を識別するために、又は他の規格から参照するために定義されたシステム管理サービスの命名された空でない集合。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19647	A		システム管理機能単位パッケージ	しすてむかんりきのうたんいぱっけーじ	systems management functional unit package	アソシエーションにおける機能単位を折衝するために定義されたシステム管理機能単位の命名された空でない集合。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19648	A		システム管理(応用)プロトコル	しすてむかんり(おうよう)ぷろとこる	systems management (application) protocol	システム管理サービスを提供する応 用層プロトコル。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19649	A		システム管理サービス	しすてむかんりさーびす	systems management service	システム管理で使用するためのサービスを提供するサービスプリミティブ の命名された集合。	JIS X 5763	1994	ISO/IEC 10040	1992				1998	JTC1
19650	A		動作	どうさ	action	管理オブジェクトに対する操作。その意味は、管理オブジェクトクラス定義の一部として定義される。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19651	A		実クラス	じつくらす	actual class	管理オブジェクトインスタンスの管理オブジェクトクラスで、同質異形クラスでないもの。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19652	A		(管理オブジェクトの)同質異形クラス	(かんりおぶじぇくとの)どうしついぎょうくらす	allomorphic class (of a managed object)	管理オブジェクトの実クラスでないクラスで、その管理オブジェクトは、同質異形を用いて管理する。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19653	A		同質異形	どうしついぎょう	allomorphism	ある管理オブジェクトクラスのインスタンスが、それとは別の一つ以上の管理オブジェクトクラスのインスタンスとしても管理され得る能力。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19654	A		属性グループ	ぞくせいぐるーぷ	attribute group	アクセスを容易にするために、一つの識別子を割り当てられた属性のグループ。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19655	A		属性識別子	ぞくせいしきべつし	attribute identifier	管理オブジェクトクラスのある属性を他のすべての属性と識別するために使う識別子。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19656	A		属性型	ぞくせいがた	attribute type	ある属性の構文(型)及び意味の定義を含む命名された定義。属性は、属性型のインスタンスである。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19657	A		属性値表明	ぞくせいちひょうめい	attribute value assertion	属性の値に応じて真又は偽となる記述。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19658	A		属性値集合	ぞくせいちしゅうごう	attribute value set	属性の値として有効な値の集合。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19659	A		振舞い	ふるまい	behavior	管理オブジェクト、名前結合、属性、通知及び動作が、それら相互間及びモデル化した実資源との間で作用する様子。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19660	A		特性	とくせい	characteristic	管理オブジェクトクラス定義の要素の一つ、すなわち、属性定義、属性グループ定義、通知定義、振舞い定義、パラメタ定義又はパッケージ定義。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19661	A		条件付きパッケージ	じょうけんつきぱっけーじ	conditional package	管理オブジェクトクラス定義で与えられた条件が満たされたときだけ、管理オブジェクトに存在するパッケージ。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19662	A		包含	ほうがん	containment	ある管理オブジェクトが存在するには、それを包含している管理オブジェクトが存在しなければならない管理オブジェクト間の構造的関係。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19663	A		識別名	しきべつめい	distinguished name	オブジェクト及びその上位のオブジェクトの相対識別名(RDN)の順序列で、オブジェクト	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19664	A		カプセル化	かぷせるか	encapsulation	管理オブジェクトとその属性及び振舞いとの間の関係、属性及び振舞いは、管理オブジェクトに対する管理操作又は管理オブジェクトが発行する通知によってだけ知ることが	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19665	A		継承	けいしょう	inheritance	サブクラスがその属性、通知、操作及び振舞いをスーパクラスから受け継ぐ概念的機	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19666	A		継承階層	けいしょうかいそう	inheritance hierarchy	管理オブジェクトクラスの階層的な配置。この階層は、クラスの特化に基づいて構成す	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19667	A		初期値管理オブジェクト	しょきちかんりおぶじぇくと	initial value managed	他の管理オブジェクトの初期値を与えるための元となる管理オブジェクト。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19668	A		インスタンス生成	いんすたんすせいせい	instantiation	管理オブジェクトクラス定義に基づいて管理オブジェクトを生成する処理。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19669	A		管理オブジェクト境界	かんりおぶじぇくときょうか	managed object boundary	資源を管理できるようになる概念上の境界。管理オブジェクト定義の適用範囲を示す。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19670	A		必す(須)パッケージ	ひっすぱっけーじ	mandatory package	ある管理オブジェクトクラスのすべてのインスタンスにおいて存在しなければならないパッ	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19671	A		多重継承	たじゅうけいしょう	multiple inheritance	一つのサブクラスがその属性、通知、操作及び振舞いを複数のスーパクラスから受け継ぐことを許す概念的機構。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19672	A		名前結合	なまえけつごう	name binding	オブジェクトクラス間の関係。一つの識別されたクラスのオブジェクトが他の命名されたクラスのオブジェクトの上位になることを規定する。名前結合の定義は、そのオブジェクトクラス間の関係に関する他の情報を含み、上位又は下位のクラスのサブクラス若しくはその双方のサブクラスに適用するように定義できる。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19673	A		命名スキーマ	めいめいすきーま	naming schema	名前結合の集まり。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19674	A		命名木	めいめいき	naming tree	名前結合関係に基づいたオブジェクトの階層的な配置。他の管理オブジェクトを命名する立場のオブジェクトは、命名されるオブジェクトよりも階層的に高い位置にある。命名するオブジェクトは、命名されるオブジェクトの上位として参照され、一方、命名されるオブジェクトは命名するオブジェクトの下位として参照される。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19675	A		パッケージ	ぱっけーじ	package	管理オブジェクトクラス定義において一つのモジュールとして扱われる属性、通知、操作及び/又は振舞いの集まり。管理オブジェクトクラス定義において参照さるとき、パッケージは、必す(須)又は条件付きとして規定する。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19676	A		パラメタ	ぱらめた	parameter	ある意味をもつ型。型の値は、オブジェクト識別子及びその他の情報を含み、プロトコルで伝送することもある。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19677	A		許可値集合	きょかちしゅうごう	permitted value set	ある特定の属性型の属性がとることを許されるすべての属性値の集合。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19678	A		相対識別名	そうたいしきべつめい	relative distinguished name	あるオブジェクトの直接下位にあるオブジェクト中の一つのオブジェクトを他のオブジェクトと識別するために、ある属性が特定の値をもつ属性値表明。オブジェクトの相対識別名は、識別名の構成要素となる。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19679	A		要求値集合	ようきゅうちしゅうごう	required value set	ある特定の属性型の属性がとらなければならないすべての属性値の集合。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19680	A		特化	とっか	specialization	一つ以上の既存の管理オブジェクトクラスから継承及び新しい特性の追加によって新しい管理オブジェクトクラスを導出する技法。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19681	A		サブクラス	さぶくらす	subclass	特化によって他のクラスから導出されたクラス。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19682	A		スーパクラス	すーぱくらす	superclass	特化によって他のクラスを導出するときに使用するクラス。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19683	A		上位オブジェクト	じょういおぶじぇくと	superior object	3.8.25参照	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19684	A		下位オブジェクト	かいおぶじぇくと	subordinate object	3.8.25参照。	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19685	A		インスタンス生成不可能管理オブジェクトクラス	いんすたんすせいせいふかのうかんりおぶじぇくとくらす	uninstantiable managed object class	システム管理操作によっても開放型システムによおける局所的操作によっても、インスタンスを 生成できないクラス。(備)次の用語は、JIS X 5731～JIS X 5738(ディレクトリ)においても使用されており、ディレクトリモデルと管理情報モデルとの類似性をもたせるために意図的に同じ意味合いで用いている。しかし、二つのモデルにおけるこれらの用語の使い方は厳密には同じではない。-属性、-属性値表明、-相対識別名、-識別名	JIS X 5764	1994	ISO/IEC 10165-1	1993				1993	JTC1
19686	A		管理オブジェクトクラス定義	かんりおぶじぇくとくらすていぎ	managed object class definition	属性、操作、通知及び振舞い定義の集合。この集合には管理オブジェクトクラス名が割り振られ、管理オブジェクトクラステンプレート及び一つ以上の他のテンプレートを用いて記述される。それらのテンプレートはこの規格で定義する形式をもち、管理オブジェクトクラステンプレートから直接又は間接的に参照される。管理オブジェクトクラスの定義は、その管理オブジェクトのスーパクラスから継承したすべての定義要素及びスーパクラスを特	JIS X 5767	1994	ISO/IEC 10165-4	1992				1992	JTC1
19687	A		テンプレート	てんぷれーと	template	名前結合及び管理オブジェクトクラス並びにそれらの構成要素であるパッケージ、パラメタ、属性、属性グループ、振舞い定義、動作、通知などを記述するために標準化した書	JIS X 5767	1994	ISO/IEC 10165-4	1992				1992	JTC1
19688	A		ディレクトリオブジェクトク	でぃれくとりおぶじぇくとくら	directory object class	JIS X 5732に定義されたオブジェクトクラス。	JIS X 5767	1994	ISO/IEC 10165-4	1992				1992	JTC1
19689	A		開放型システム	かいほうがたしすてむ	open system		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19690	A		システム管理	しすてむかんり	system management		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19691	A		管理オブジェクト	かんりおぶじぇくと	managed object		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19692	A		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19693	A		エージェント	えーじぇんと	agent		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19694	A		エージェントの役割	えーじぇんとのやくわり	agent role		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19695	A		依存適合性	いぞんてきごうせい	dependent conformance		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19696	A		一般適合性	いっぱんてきごうせい	general conformance		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19697	A		はん(汎)用定義	はんようていぎ	generic definitions		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19698	A		管理オブジェクトクラス	かんりおぶじぇくとくらす	managed object class		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19699	A		マネージャ	まねーじゃ	manager		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19700	A		マネージャの役割	まねーじゃのやくわり	manager role		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19701	A		通知	つうち	nitification		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19702	A		システム管理機能単位	しすてむかんりきのうたんい	system management functional unit		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19703	A		システム管理機能	しすてむかんりきのう	system management function		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19704	A		システム管理応用プロトコル	しすてむかんりおうようぷろとこる	system management application protocol		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19705	A		(システム管理)操作	(しすてむかんり)そうさ	(systems management) operation		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19706	A		管理オブジェクト境界	かんりおぶじぇくときょうか	managed object boundary		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19707	A		確認(プリミティブ)	かくにん(ぷりみていぶ)	confirm (primitive)		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19708	A		確認型サービス	かくにんがたさーびす	confirmed-service		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19709	A		指示(プリミティブ)	しじ(ぷりみていぶ)	indication (primitive)		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19710	A		非確認型サービス	ひかくにんがたさーびす	non-confirmed-service		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19711	A		要求(プリミティブ)	ようきゅう(ぷりみていぶ)	request (primitive)		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19712	A		応答(プリミティブ)	おうとう(ぷりみていぶ)	response (primitive)		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19713	A		システム適合性宣言	しすてむてきごうせいせんげん	system conformance statement		JIS X 5772	1994	ISO/IEC 10164-2	1993				1993	JTC1
19714	A		サービス関係	さーびすかんけい	service relationships	第1の管理オブジェクトが第2の管理オブジェクトへの(サービスを提供する)提供者オブジェクトであり、第2の管理オブジェクトは第1の管理オブジェクトへの(サービスを利用する)利用者オブジェクトであることを示す非対称関係。	JIS X 5773	1994	ISO/IEC 10164-3	1993				1993	JTC1
19715	A		同位関係	どういかんけい	peer relationships	同位関係は、同等の管理オブジェクトの対が通信する規則を記述する対称関係。	JIS X 5773	1994	ISO/IEC 10164-3	1993				1993	JTC1
19716	A		フォールバック関係	ふぉーるばっくかんけい	fallback relationships	フォールバック関係は、管理オブジェクトの対の第2の管理オブジェクト(2次オブジェクト)が第1の管理オブジェクト(1次オブジェクト)のフォールバックすなわち“次候補”となる能力をもつことを示す。非対称関係。	JIS X 5773	1994	ISO/IEC 10164-3	1993				1993	JTC1
19717	A		バックアップ関係	ばっくあっぷかんけい	back-up relationships	バックアップ関係は、管理オブジェクトの対の第2の管理オブジェクト(バックアップオブジェクト)が第1の管理オブジェクト(被バックアップオブジェクト)の代わりに現在バックアップ機能を実行中で活動中であることを示す、非対称関係。	JIS X 5773	1994	ISO/IEC 10164-3	1993				1993	JTC1
19718	A		グループ関係	ぐるーぷかんけい	group relationships	グループ関係は、一方であるメンバオブジェクトが、他方であるオーナオブジェクトによって表現されるグループに属す、二つの管理オブジェクト間の関係。	JIS X 5773	1994	ISO/IEC 10164-3	1993				1993	JTC1
19719	A		誤り	あやまり	Error	システムの正常操作からの偏り。	JIS X 5774	1994	ISO/IEC 10164-4	1992				1992	JTC1
19720	A		障害	しょうがい	Fault	物理的又は論理的機能不全の原因。誤りで障害を示す。	JIS X 5774	1994	ISO/IEC 10164-4	1992				1992	JTC1
19721	A		警報	けいほう	Alarm	この機能が形式を特定する特定の事象通知。警報は誤りを示す場合があり得る。	JIS X 5774	1994	ISO/IEC 10164-4	1992				1992	JTC1
19722	A		警報報告	けいほうほうこく	Alarm report	警報情報を運ぶための特定の事象報告型。	JIS X 5774	1994	ISO/IEC 10164-4	1992				1992	JTC1
19723	A		選別器	せんべつき	discriminator	管理操作及び他の管理オブジェクトと関連する事象報告を選別する管理支援オブジェク	JIS X 5775	1994	ISO/IEC 10164-5	1993				1993	JTC1
19724	A		選別器入力オブジェクト	せんべつきにゅうりょくおぶじぇくと	discriminator input object	操作又は通知のパラメータとしての属性をもつ概念上のオブジェクト。選別器入力オブジェクトは選別を目的として定義され、選別器入力オブジェクトのインスタンスは選別の期間だけ存在している。もし、選別器入力オブジェクト属性がオブジェクト識別子をもっていたとしても選別のためだけに使われる。照合規則をもたない属性では、存在の確認だけ	JIS X 5775	1994	ISO/IEC 10164-5	1993				1993	JTC1
19725	A		事象転送選別器	じしょうてんそうせんべつき	event forwarding discriminator	潜在事象報告で動作する選別器。	JIS X 5775	1994	ISO/IEC 10164-5	1993				1993	JTC1
19726	A		事象報告管理機能	じしょうほうこくかんりきのう	event report management function	管理支援オブジェクトクラスの定義を含み、管理オブジェクト定義から独立して管理オブジェクトからの事象報告の転送を制御するためのマネージャの機能。	JIS X 5775	1994	ISO/IEC 10164-5	1993				1993	JTC1
19727	A		潜在事象報告	せんざいじしょうほうこく	potential event report	事象転送選別器のために定義された選別器入力オブジェクトの型。潜在事象報告は、事象報告中で転送に必要なすべての情報からなっている。情報は、通知に含まれた情報及び通知の処理からでてくる情報からなる。	JIS X 5775	1994	ISO/IEC 10164-5	1993				1993	JTC1
19728	A		ログ	ろぐ	log	ログレコードの入れ物として使用する資源をモデル化した管理支援オブジェクトクラス	JIS X 5776	1994	ISO/IEC 10164-6	1993				1993	JTC1
19729	A		ログレコード	ろぐれこーど	log record	ログに蓄積する情報単位をモデル化した管理支援オブジェクトクラス	JIS X 5776	1994	ISO/IEC 10164-6	1993				1993	JTC1
19730	A		潜在ログレコード	せんざいろぐれこーど	potential log record	選別した情報をログに取り込むことを目的として定義した一種の選別器入力オブジェクト。当該ログへのログレコード取り込みに必要なすべての情報からなる。	JIS X 5776	1994	ISO/IEC 10164-6	1993				1993	JTC1
19731	A		安全保護警報	あんぜんほごけいほう	security alarm	安全保護方針によって潜在的な安全保護侵害と確認された安全保護関連事象	JIS X 5777	1994	ISO/IEC 10164-7	1992	MOD			1992	JTC1
19732	A		安全保護関連事象	あんぜんほごかんれんじしょう	security-related event	安全保護に関連していると考えられる事象	JIS X 5777	1994	ISO/IEC 10164-7	1992	MOD			1992	JTC1
19733	A		開放型システム	かいほうがたしすてむ	open system		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19734	A		安全保護監査証跡	あんぜんほごかんさしょうせき	security audit trail		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19735	A		安全保護方針	あんぜんほごほうしん	security policy		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19736	A		管理オブジェクト	かんりおぶじぇくと	managed object		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19737	A		エージェントの役割	えーじぇんとのやくわり	agent role		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19738	A		依存適合性	いぞんてきごうせい	dependent conformance		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19739	A		一般適合性	いっぱんてきごうせい	general conformance		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19740	A		管理領域	かんりりょういき	management domain		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19741	A		マネージャの役割	まねーじゃのやくわり	manager role		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19742	A		通知	つうち	notification		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19743	A		システム管理機能単位	しすてむかんりきのうたんい	system management function unit		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19744	A		選別器	せんべつき	discriminator		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19745	A		安全保護関連事象	あんぜんほごかんれんじしょう	security-related event		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19746	A		ログ	ろぐ	log		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19747	A		ログレコード	ろぐれこーど	log record		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19748	A		PICS様式	PICSようしき	PICS proforma		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19749	A		プロトコル実装適合性申請書	ぷろとこるじっそうてきごうせいしんせいしょ	protocol implementation conformance statement		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19750	A		システム適合性申請書	しすてむてきごうせいしんせいしょ	system conformance statement		JIS X 5778	1995	ISO/IEC 10164-8	1993				1993	JTC1
19751	A		安全保護領域機関	あんぜんほごりょういききかん	security domain authority		JIS X 5779	1996	ISO/IEC 10164-9	1995				1995	JTC1
19752	A		操作型	そうさかた	operation type		JIS X 5779	1996	ISO/IEC 10164-9	1995				1995	JTC1
19753	A		サービス申込者	さーびすもうしこみしゃ	service subscriber		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19754	A		サービス業務記録	さーびすぎょうむきろく	service transaction record		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19755	A		利用計測	りようけいそく	usage metering		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19756	A		利用計測制御	りようけいそくせいぎょ	usage metering control		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19757	A		利用計測データ	りようけいそくでーた	usage metering data		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19758	A		課金可能オブジェクト	かきんかのうおぶじぇくと	accountable object		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19759	A		利用記録	りようきろく	usage metering record		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19760	A		利用単位	りようたんい	unit of usage		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19761	A		利用	りよう	usage		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19762	A		利用者	りようしゃ	user		JIS X 5780	1997	ISO/IEC 10164-10	1995				1995	JTC1
19763	A		容量	ようりょう	capacity	既に使用されている分も含め、利用者に提供可能な資源の現在量。1秒当たりのオク	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19764	A		走査間隔	そうさかんかく	granularity period	連続する二つ以上の走査(scan)の起動間隔。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19765	A		計量	けいりょう	metric	観測した属性値から計算した値。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19766	A		計量属性	けいりょうぞくせい	metric attribute	一つ以上の計量アルゴリズムのパラメタとして使用する属性、又はそうしたアルゴリズムの出力を表す計量オブジェクトの属性。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19767	A		計量アルゴリズム	けいりょうあるごりずむ	metric algorithm	指定した結果を計算するために、形式化した処理をモデル化した計量オブジェクトの振舞	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19768	A		計量オブジェクト	けいりょうおぶじぇくと	metric object	管理オブジェクト又は集計	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19769	A		被観測属性	ひかんそくぞくせい	observed attribute	計量オブジェクト又は集計(summarization)オブジェクトによって走査される値をもつ管理オブジェクトの属性	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19770	A		被観測オブジェクト	ひかんそくおぶじぇくと	observed object	一つ以上の被観測属性をもつ管理オブジェクト	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19771	A		百分位数	ひゃくぶんいすう	percentile	確率分布又は相対度数分布をもつ分位を100倍した値。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19772	A		期間開始同期時刻	きかんかいしどうきじこく	period synchronization	走査間隔などの繰返し時間間隔の各開始時点の同期をとる時刻。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19773	A		変化率	へんかりつ	rate	指定期間中の値の変化。 備考 時間の変化率は、時間に関する導関数であり、一般に計測不能である。指定時間間隔が0に近づけば、計測した変化率は、瞬間の変化率に近	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19774	A		拒否率	きょひりつ	rejection rate	容量不足によって、要求を拒否する比率又は要求を拒否された資源の量的比率。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19775	A		資源要求率	しげんようきゅうりつ	resource request rate	要求の比率、又は要求された資源の量的比率。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19776	A		資源使用量	しげんしようりょう	resource utilization	利用されている全容量。資源使用量は瞬間的な値として、又はある期間に渡る平均値(期待値)の予測として計量することができる。瞬間の資源使用量は、与えられたちょうどその時刻に使用中の全容量とする。予測平均使用量は、ある期間に渡る平均資源使用	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19777	A		走査	そうさ	scan	指定時刻の属性値を観測するサンプリング処理。	JIS X 5781	1995	ISO/IEC 10164-11	1994				1994	JTC1
19778	A		関連オブジェクト	かんれんおぶじぇくと	associated objects, AOs	MORT(s)、TO(s)又はTARR機能をもつ管理オブジェクト以外の、試験に用いるオブジェ	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19779	A		制御可能な試験	せいぎょかのうなしけん	controlled test	同一試験起動識別子をもち、監視又は制御を行う一つ以上の試験オブジェクトをもつ試験。試験結果は、試験オブジェクトからの通知又は試験オブジェクトの属性値として提供	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19780	A		中断を伴う試験	ちゅうだんをともなうしけん	intrusive test	試験を行うことによって、サービス利用者の動作が中断されてもよい試験実施命令。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19781	A		試験時参照管理オブジェクト	しけんじさんしょうかんりおぶじぇくと	managed object referring to test, MORT, plural MORTs, one or more	試験機能を参照するための管理オブジェクト	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19782	A		中断を伴わない試験	ちゅうだんをともなわないしけん	non-intrusive test	試験を行うことによって、サービス利用者の動作が中断されないような試験実施命令。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19783	A		要求に基づく報告	ようきゅうにもとづくほうこ	solicited reporting	TO属性を用いた試験結果報告。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19784	A		試験操作要求受信者	しけんそうさようきゅうじゅしんしゃ	test action request receiver; TARR	試験要求を受けて動作する管理オブジェクトの能力を識別するための用語。TARRとして必要な機能に加え、試験オブジェクトは、更に属性、操作及び通知をもってもよい。TARR機能をもつ管理オブジェクトは、(制御試験要求を受けた結果として)特定試験実施を表す、試験クラス実現値を生成(又は後で削除)してもよい。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19785	A		試験種別	しけんしゅべつ	test category	共通の目的と同様の特性をもつ一つ以上の試験。試験種別ごとに、試験を認識するために必要となる、追加の振舞い定義及びテンプレートを文書化する。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19786	A		試験管理者	しけんかんりしゃ	test conductor	試験操作をするマネージャ。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19787	A		試験実行	しけんじっこう	test execution	試験結果を測定している期間を表す試験段階。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19788	A		試験実施	しけんじっし	test invocation	試験開始から終了までの間存在している試験のインスタンス。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19789	A		試験オブジェクト	しけんおぶじぇくと	test object; TO	制御試験実施にだけ存在するオブジェクトであって、試験の実現値の関する属性、操作又は通知をもつもの。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19790	A		試験オブジェクト実行	しけんおぶじぇくとじっこう	test object execution	"試験中"状態に遷移したときから、他状態に遷移するまでの期間を表す試験段階。一つの試験オブジェクトは、1回の試験要求によって、1回以上の実行を表してもよい。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19791	A		試験操作	しけんそうさ	test operation	試験で用いられる管理操作。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19792	A		試験実行者	しけんじっこうしゃ	test performer	試験操作を受けるエージェント。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19793	A		試験要求	しけんようきゅう	test request	試験実施をするために、試験管理者から試験実行者に出される個々の要求。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19794	A		試験結果	しけんけっか	test results	開放型システムで入手でき、試験実施期間中に得られる情報。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19795	A		試験セション	しけんせしょん	test session	試験実施集合。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19796	A		制御不可の試験	せいぎょふかのしけん	uncontrolled test	監視・制御を行わない試験。一つの試験要求に対して一つ以上の試験結果が返される。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19797	A		要求に基づかない報告	ようきゅうにもとづかないほうこく	unsolicited reporting	TOからの試験結果通知による試験結果報告。	JIS X 5782	1995	ISO/IEC 10164-12	1994				1994	JTC1
19798	A		集合	しゅうごう	aggregation	被観測属性値を組み合わせる処理。	JIS X 5783	1996	ISO/IEC 10164-13	1995				1995	JTC1
19799	A		総合統計量	そうごうとうけいりょう	ensemble statistic	ある特定な時点で、複数の管理オブジェクトの被観測属性から得た統計量。	JIS X 5783	1996	ISO/IEC 10164-13	1995				1995	JTC1
19800	A		数属性	すうぞくせい	numeric attribute	実数又は整数の値をもつ属性。	JIS X 5783	1996	ISO/IEC 10164-13	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19801	A		報告間隔	ほうこくかんかく	report period	収集した集合値又は統計情報の報告を含む通知を出す時間間隔。	JIS X 5783	1996	ISO/IEC 10164-13	1995				1995	JTC1
19802	A		集計	しゅうけい	summarization	集計情報を作成するために、取得した被観測属性値を収集する処理及びアルゴリスムを適用する処理(任意選択)。	JIS X 5783	1996	ISO/IEC 10164-13	1995				1995	JTC1
19803	A		集計オブジェクト	しゅうけいおぶじぇくと	summarization object	多くの管理オブジェクトの属性値を複数観測し、集計報告を提供する管理オブジェクト。	JIS X 5783	1996	ISO/IEC 10164-13	1995				1995	JTC1
19804	A		集計報告	しゅうけいほうこく	summary report	被観測属性値の集合の結果を含む通知又は動作応答。	JIS X 5783	1996	ISO/IEC 10164-13	1995				1995	JTC1
19805	A		確立時間	かくりつじかん	establishment time		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19806	A		明示的終了	めいじてきしゅうりょう	explicit termination		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19807	A		暗黙的報告	あんもくてきほうこく	implicit reporting		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19808	A		暗黙的終了	あんもくてきしゅうりょう	implicit termination		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19809	A		折返し時間	おりかえしじかん	loopback timeout		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19810	A		折返し伝送遅延時間	おりかえしでんそうちえんじかん	loopback transmission delay time		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19811	A		パターン期間時間	ぱたーんきかんじかん	pattern period time		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19812	A		開始時間	かいしじかん	start time		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19813	A		試験間隔時間	しけんかんかくじかん	test interval time		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19814	A		試験パターン	しけんぱたーん	test pattern		JIS X 5784	1997	ISO/IEC 10164-14	1996				1996	JTC1
19815	A		周期的スケジューリング	しゅうきてきすけじゅーり	aperiodic scheduling		JIS X 5785	1996	ISO/IEC 10164-15	1995				2002	JTC1
19816	A		期間スケジューリング	きかんすけじゅーりんぐ	interval scheduling		JIS X 5785	1996	ISO/IEC 10164-15	1995				2002	JTC1
19817	A		非周期的スケジューリング	ひしゅうきてきすけじゅーりんぐ	periodic scheduling		JIS X 5785	1996	ISO/IEC 10164-15	1995				2002	JTC1
19818	A		スケジューリング	すけじゅーりんぐ	scheduling		JIS X 5785	1996	ISO/IEC 10164-15	1995				2002	JTC1
19819	A		スケジュール管理オブジェクト	すけじゅーるかんりおぶじぇくと	Scheduled Managed Object (SMO)		JIS X 5785	1996	ISO/IEC 10164-15	1995				2002	JTC1
19820	A		スケジューラオブジェクト	すけじゅーらおぶじぇくと	Scheduler Object(SO)		JIS X 5785	1996	ISO/IEC 10164-15	1995				2002	JTC1
19821	A		トリガスケジューリング	とりがすけじゅーりんぐ	trigger scheduling		JIS X 5785	1996	ISO/IEC 10164-15	1995				2002	JTC1
19822	A		切替関係	きりかえかんけい	change over relationship		JIS X 5787	1997	ISO/IEC 10164-17	1996				1996	JTC1
19823	A		切替開始動作	きりかえかいしどうさ	change over action		JIS X 5787	1997	ISO/IEC 10164-17	1996				1996	JTC1
19824	A		切替復帰動作	きりかえふっきどうさ	change back action		JIS X 5787	1997	ISO/IEC 10164-17	1996				1996	JTC1
19825	A		非対称型認証方法	ひたいしょうがたにんしょうほうほう	asymmetric authentication method		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19826	A		認証された身元	にんしょうされたみもと	authenticated identity		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19827	A		認証	にんしょう	authentication		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19828	A		認証用証明証	にんしょうようしょうめい	authentication certificate		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19829	A		認証交換	にんしょうこうかん	authentication exchange		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19830	A		認証情報	にんしょうじょうほう	authentication information		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19831	A		認証起動者	にんしょうきどうしゃ	authentication initiator		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19832	A		証拠要求	しょうこようきゅう	challenge		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19833	A		要求認証情報(要求AI)	ようきゅうにんしょうじょうほう(ようきゅうAI)	claim authentication information (claim AI)		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19834	A		認証要求者	にんしょうようきゅうしゃ	claimant		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19835	A		識別用識別子	しきべつようしきべつし	distinguishing identifier		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19836	A		交換認証情報(交換AI)	こうかんにんしょうじょうほう(こうかんAI)	exchange authentication information (exchange AI)		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19837	A		オフライン認証用証明証	おふらいんにんしょうようしょうめいしょう	off-line authentication certificate		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19838	A		オンライン認証用証明証	おんらいんにんしょうようしょうめいしょう	on-line authentication certificate		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19839	A		当事者	とうじしゃ	principal		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19840	A		対称型認証方法	たいしょうがたにんしょうほうほう	symmetric authentication method		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19841	A		時間ごとに相異なる引数	じかんごとにあいことなるひきすう	time variant parameter		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19842	A		個別番号	こべつばんごう	unique number		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19843	A		確認認証情報(確認AI)	かくにんにんしょうじょうほう(かくにんAI)	verification authentication information(verification AI)		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19844	A		認証確認者	にんしょうかくにんしゃ	verifier		JIS X 5792	1996	ISO/IEC 10181-2	1996				1996	JTC1
19845	B		アクセス単位	あくせすたんい	Access Unit, AU	メッセージ通信処理におけるMHSの構成要素であって、他の通信システム(例えば、物理的配達システム又はテレックス網)とMTSとを結合し、これを通じて利用者が間接利用者としてメッセージ通信処理を行う機能オブジェクト。メッセージ通信処理サービスにおいて、利用者がIPMサービスのようなメッセージ通信処理サービスと相互通信することを可	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19846	B		実受信者	じつじゅしんしゃ	actual recipient	メッセージ通信処理において、配信又は確認の潜在受信者。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19847	B		主管機関	しゅかんきかん	administration	CCITTにおける主管庁(ITUの構成員)又は通信事業者として認められた私企業。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19848	B		主管機関領域名	しゅかんきかんりょういきめい	administration domain name	メッセージ通信処理において、その国に関するADMDを識別する名前形式の標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19849	B		主管機関管理領域	しゅかんきかんかんりりょういき	Administration Management Domain,	主管機関が管理するメッセージ通信システムのMD。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19850	B		代行受信者	だいこうじゅしんしゃ	alternate recipient	メッセージ通信処理において、メッセージ又は打診を特定の受信者に運ぶことができない場合に、発信者が送付を要求できる利用者又はDL。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19851	B		属性	ぞくせい	attribute	メッセージ通信処理において、利用者又はDLの特徴を示し、MHS(又はその下位の網)の物理構成又は組織構成と関連して、その位置を判別することを可能とする情報の項目であって、属性表の構成要素。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19852	B		属性表	ぞくせいひょう	attribute list	メッセージ通信処理において、O/Rアドレスを構成する属性の集合。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19853	B		属性型	ぞくせいがた	attribute type	属性の一部分であって、情報の種別を示す識別子(例えば、個人名)。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19854	B		属性値	ぞくせいち	attribute value	属性の一部分であって、属性型が示す情報の種別のインスタンス(例えば、特定の個人	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19855	B		基本サービス	きほんさーびす	basic service	メッセージ通信処理において、各サービスに固有な機能。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19856	B		本体	ほんたい	body	メッセージの構成要素。他の構成要素に見出し及び封筒がある。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19857	B		本体部	ほんたいぶ	body part	メッセージの本体の構成要素。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19858	B		一般名	いっぱんめい	common name	メッセージ通信処理において、他の属性(例えば、組織上の名前)によって示されるエンティティに関連して、利用者又はDLを識別するO/Rアドレス形式の標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19859	B		内容	ないよう	content	メッセージ通信処理において、変換の場合を除いて、MTSの検査や修正を受けないメッセージの部分である情報オブジェクト。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19860	B		内容種別	ないようしゅべつ	content type	メッセージ通信処理において、メッセージの内容(構文規則及び意味)を識別するメッセージの封筒上の識別子。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19861	B		変換	へんかん	conversion	メッセージ通信処理において、MATがメッセージの本体部を他の符号化情報種別に変換し、又は打診の変更を示すメッセージの修正部分を識別できるようにする転送処理。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19862	B		国名	こくめい	country name	メッセージ通信処理において、国を識別する名前形式の標準属性であって、メッセージの送受信のときに国を一意に特定するもの。(備)物理的配達においては、付加規則を適用	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19863	B		配信	はいしん	delivery	メッセージ通信処理において、メッセージの潜在受信者のMS若しくはUAに、又は報告対象メッセージ・報告対象打診の受信者のMS若しくはUAに、MTAがメッセージ又は報告を伝達する転送処理。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19864	B		配信報告	はいしんほうこく	delivery report	メッセージ通信処理において、報告対象のメッセージ・打診の配信・配信不能・送出・確認の報告又はDL展開の報告。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19865	B		直接発信	ちょくせつはっしん	direct submission	メッセージ通信処理において、発信者のUA又はMSがメッセージ又は打診をMTAに伝達する転送処理。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19866	B		ディレクトリ	でぃれくとり	directory	ディレクトリサービスと協同動作する解放型システムの集合。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19867	B		ディレクトリ名	でぃれくとりめい	directory name	ディレクトリ内のエントリの名前。(参)メッセージ通信処理において、ディレクトリ内のエントリによってメッセージ発信のためのO/Rアドレスを取り出すことが可能となる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19868	B		ディレクトリシステム機能体	でぃれくとりしすてむきのうたい	Directory System Agent, DSA	ディレクトリサービスを提供するOSI応用プロセス。その役割は、ディレクトリ情報ベースへのアクセスをDUA又は他のDSAに与えることである。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19869	B		ディレクトリ利用者機能体	でぃれくとりりようしゃきのうたい	Directory User Agent, DUA	ディレクトリにアクセス中の利用者を表すOSI応用プロセス。一つのDUAは一つの利用者に使用されるため、ディレクトリは、ディレクトリ情報の利用をDUA名によって提供することができる。更に、DUAは、利用者が要求照会を組み立て、その応答の解釈の助けとなる一連の機能(この規格では規定しない。)を提供することもできる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19870	B		直接利用者	ちょくせつりようしゃ	direct user	メッセージ通信処理において、MTSを直接利用するメッセージ通信処理の利用者。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19871	B		配布先表	はいふさきひょう	Distribution List, DL	メッセージ通信処理における環境の構成要素であって、あらかじめ定めた利用者グループ及び他のDLを表し、MHSが運ぶ情報オブジェクトの潜在的な目的地である機能オブジェクト。DLは、構成要素として利用者又は他のDLを識別するO/R名を含むことができ	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19872	B		配布先表展開	はいふさきひょうてんかい	distribution list expansion	メッセージ通信処理において、MTAがDLをメッセージの対象受信者に分解する転送処	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19873	B		配布先表名	はいふさきひょうめい	distribution list name	O/Rアドレス及びディレクトリ名の集合に割り当てられるO/R名。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19874	B		領域	りょういき	domain	A.48管理領域(Management Domain、MD)参照。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19875	B		領域定義属性	りょういきていぎぞくせい	domain defined attributes	MDの責任で名前に割り当てられるO/Rアドレスの任意選択属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19876	B		サービス要素	さーびすようそ	element of service	メッセージ通信処理の機能を分類表現するための機能単位。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19877	B		符号化情報種別	ふごうかじょうほうしゅべつ	Encoded Information Type, EIT	メッセージ通信処理において、メッセージの内容中で表現される符号化情報の種別を識別するメッセージの封筒上の識別子。内容の個々の媒体及び形式(例えば、IA5テキスト、G3ファクシミリなど)を識別する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19878	B		封筒	ふうとう	envelope	メッセージ通信処理におけるメッセージの一部分であって、メッセージの発信者及び潜在受信者を識別し、メッセージの履歴を記録し、MTSで行われる次の伝達先を定め、内容の特徴を表す情報オブジェクト。その構成は、転送処理段階ごとに変化する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19879	B		明示変換	めいじへんかん	explicit conversion	メッセージ通信処理において、発信時及び配信時の符号化情報種別を発信者が選択す	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19880	B		拡張物理的配達アドレス構成要素	かくちょうぶつりてきはいたつあどれすこうせいようそ	extension of physical delivery address components	郵便アドレス内の物理的配達地点(例えば、村落名、大規模な建物内の階番号、部屋番号など)に関する詳細な情報を与える郵便O/Rアドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19881	B		拡張郵便O/Rアドレス構成要素	かくちょうゆうびんO/Rあどれすこうせいようそ	extension of postal O/R address components	郵便アドレス内の受信者を特定するための詳細な情報(例えば、部門)を与える郵便O/Rアドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19882	B		定形郵便O/Rアドレス	ていけいゆうびんO/Rあどれす	formatted postal O/R address	定形の属性をもった郵便アドレスに基づいたO/Rアドレス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19883	B		見出し	みだし	heading	IPメッセージの構成要素。他の構成要素は、封筒及び本体とする。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19884	B		対象受信者	たいしょうじゅしんしゃ	immediate recipient	メッセージ通信処理において、メッセージ又は打診の特定のインスタンス(例えば、分配によって生じたインスタンス)に割り当てられる潜在受信者の一つ。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19885	B		暗黙変換	あんもくへんかん	implicit conversion	メッセージ通信処理において、発信時及び配信時の符号化情報種別をMTAが選択する	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19886	B		間接発信	かんせつはっしん	indirect submission	メッセージ通信処理において、MHSの外で発信されたメッセージ又は打診をAUがMTAに伝達する転送処理。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19887	B		間接利用者	かんせつりようしゃ	indirect user	メッセージ通信処理において、MHSを間接的に利用するメッセージ通信処理の利用者。すなわち、他の通信システム(例えば、物理的配達システム又はテレックス網)を通してMHSに接続される利用者。(備)間接利用者は、AUを経由してMHSの直接利用者と通信	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19888	B		相互通信	そうごつうしん	intercommunication	メッセージ通信処理における、メッセージ通信処理サービスと他のサービスとの関係。これによって、メッセージ通信処理サービスの利用者は、他のサービスの利用者と通信することができる。(例1)IPMサービスとテレックスサービスとの間の相互通信(例2)メッセージ通信処理サービスと物理的配達サービスとの間の相互通信	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19889	B		個人間メッセージ通信サービス	こじんかんめっせーじつうしんさーびす	interpersonal messaging service	MTサービスに基づくメッセージ通信処理によって、同一のMD又は異なるMDに属する利用者間で行われるメッセージ通信サービス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19890	B		IPメッセージ	IPめっせーじ	IP-message	IPMサービスにおけるメッセージの内容。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19891	B		地域郵便属性	ちいきゆうびんぞくせい	local postal attributes	郵便アドレス内で一つの地名で表される地域(例えば、県名、郡名又は地理上の属性によって)を区別する郵便O/Rアドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19892	B		管理領域	かんりりょういき	Management Domain, MD	メッセージ通信処理におけるメッセージ通信システムの集合(その中に一つ以上のMTAを含む。)。MDは、単一組織によって管理されるMHSの主要な構成要素であって、サービスを提供する組織上の領域。(備)MDは、地理上の地域と異なっていてもよい。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19893	B		管理領域名	かんりりょういきめい	management domain name	メッセージの送信及び受信を目的とするMDの一意な名前。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19894	B		構成員	こうせいいん	members	メッセージ通信処理において、DL名に含まれる利用者及びDLの集合。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19895	B		メッセージ	めっせーじ	message	封筒及び内容から成り、MTによって伝達される情報オブジェクトのインスタンス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19896	B		メッセージ通信処理	めっせーじつうしんしょり	Message Handling, MH	分散された情報処理タスクであって、MT及びメッセージ格納域を統合するもの。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19897	B		メッセージ通信処理環境	めっせーじつうしんしょりかんきょう	message handling environment	メッセージ通信処理が実行される環境。この環境は、MHS、利用者及びDLから成り、MHSの構成要素の集まりとする。(参)メッセージ通信処理環境の構成要素の例 メッセージ転送機能体(MTA) 利用者機能体(UA) メッセージ格納(MS) アクセス単位(AU) 利用	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19898	B		メッセージ通信処理サービス	めっせーじつうしんしょりさーびす	message handling service	MHSが提供するサービス。(備)サービスは、ADMD又はPRMDを通して提供される。(参)メッセージ通信処理サービスの例 個人間メッセージ通信サービス(IPMサービス) メッセージ転送サービス(MTサービス)	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19899	B		メッセージ通信処理システム	めっせーじつうしんしょりしすてむ	Message Handling System, MHS	メッセージ通信処理環境の構成要素で、情報オブジェクトを一方から他方に伝達する機能オブジェクト。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19900	B		メッセージ格納域	めっせーじかくのういき	message storage	メッセージ転送によって伝達される情報オブジェクトを後で検索するための格納域。メッセージ通信処理の構成要素。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19901	B		メッセージ格納	めっせーじかくのう	Message Store, MS	MHSの構成要素で、メッセージ格納域を一つの直接利用者に提供する機能オブジェク	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19902	B		メッセージ転送	めっせーじてんそう	Message Transfer, MT	コンピュータを仲介とした情報オブジェクトの非即時転送であってメッセージ通信処理の構成要素。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19903	B		メッセージ転送機能体	めっせーじてんそうきのうたい	Message Transfer Agent, MTA	MTSの構成要素で、情報オブジェクトを利用者及びDLに伝達する機能オブジェクト。MHSの中軸となる蓄積交換通信システムである。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19904	B		メッセージ転送サービス	めっせーじてんそうさーびす	message transfer service	他のメッセージ通信サービスへのメッセージの発信、転送及び配信を取り扱うサービス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19905	B		メッセージ転送システム	めっせーじてんそうしすてむ	Message Transfer System, MTS	MHSの構成要素で、MTA間の転送を行う機能オブジェクト。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19906	B		メッセージ通信システム	めっせーじつうしんしすてむ	messaging system	一つ以上の機能オブジェクトをもつコンピュータシステム(一般には開放型システムであるが、必ずしもその必要はない。)。MHSの物理的構築における構成要素である。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19907	B		簡略記述O/Rアドレス	かんりゃくきじゅつO/Rあどれす	mnemonic O/R address	利用者に接続する過程又はDLを展開する過程でADMDと関連する利用者又はDLを簡略記述で識別するO/Rアドレス。ADMDを識別し、そのADMDに関連する利用者又はDLを	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19908	B		命名機関	めいめいきかん	naming authority	名前の割当てについて責任をもつ機関。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19909	B		ネットワークアドレス	ねっとわーくあどれす	network address	メッセージ通信処理において、端末のネットワークアドレスを与えるO/Rアドレスの標準属性。国際電話番号計画による網接続の番号から成る。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19910	B		配信不能	はいしんふのう	non-delivery	メッセージ通信処理において、MTAが一つ以上の対象受信者にメッセージを配信できない場合、又は報告対象メッセージ若しくは報告対象打診の発信者への報告を配信できない場合の転送処理事象。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19911	B		未登録アクセス	みとうろくあくせす	non-registered access	メッセージ通信処理サービスにおいて、サービス提供者から明示的に登録されていない利用者又はO/Rアドレスを割り当てられていない利用者が、公開されている通信手段によって、メッセージ通信処理サービスを利用すること。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19912	B		数字O/Rアドレス	すうじO/Rあどれす	numeric O/R address	メッセージ通信処理において、利用者及びそれが加入するADMDを数字によって識別するO/Rアドレス。数字けん盤によってメッセージ通信処理サービスの利用者を識別する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19913	B		数字利用者識別子	すうじりようしゃしきべつし	numeric user identifier	一意な数字の並びによって利用者を識別するO/Rアドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19914	B		O/Rアドレス	O/Rあどれす	O/R address	メッセージ通信処理において、利用者又はDLを他から区別し、MHSへの利用者のアクセス点又はDL展開点を識別する属性表。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19915	B		O/R名	O/Rめい	O/R name	メッセージ通信処理において、利用者を発信者として又は利用者及びDLをメッセージ若しくは打診の潜在受信者として指定することが可能な情報オブジェクト。O/R名は、利用者又はDLを他から区別し、更にMHSへのアクセス点を識別する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19916	B		任意選択利用者ファシリティ	にんいせんたくりようしゃふぁしりてぃ	optional user facilities	メッセージ通信処理サービスにおいて、契約機関単位又はメッセージ単位に利用者が任意選択可能なサービス要素。(備)1.任意選択利用者ファシリティは、提供者が必ず提供しなければならない提供不可欠ファシリティと提供しなくてもよい付加ファシリティに分類する。2.提供不可欠任意選択利用者ファシリティは、メッセージ通信処理の全利用者が利用可能とする。3.付加任意選択利用者ファシリティは、国内及び国際間でサービス提供者間の双方の合意に基づいて利用可能とする。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19917	B		組織名	そしきめい	organization name	メッセージの送信又は受信のために組織を一意に指定するO/Rアドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19918	B		部門名	ぶもんめい	organizational unit name	メッセージの送信又は受信のために組織の部門を一意に指定するO/Rアドレスの標準属	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19919	B		発信者	はっしんしゃ	originator	メッセージ通信処理において、メッセージ又は打診を発生した利用者。ただし、DLは除く。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19920	B		個人名	こじんめい	personal name	メッセージ通信処理において、他の属性によって表されたエンティティ(例えば、組織)の中で人を識別するO/Rアドレスの標準属性。(参)個人名の構成要素の例 姓 名 姓名の頭文字 世代識別(例えば、Jr.)	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19921	B		物理的配達	ぶつりてきはいたつ	Physical Delivery, PD	PDSを経由して物理的形式でメッセージ(例えば、手紙)の配信をすること。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19922	B		物理的配達アクセス単位	ぶつりてきはいたつあくせすたんい	Physical Delivery Access Unit, PDAU	メッセージを物理表現に変換するAU。ただし、打診及び報告は、変換しない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19923	B		物理的配達アドレス構成要素	ぶつりてきはいたつあどれすこうせいようそ	physical delivery address components	郵便アドレスにおいて、物理的配達郵便局の配達領域内での物理的配達に必要な情報。(備)一般に情報長は、1行以内で、かつ印字可能図形文字30字以内に制限される。それ以上の情報は、拡張物理的配達アドレス構成要素と呼ぶ属性型を使用して提供してもよい。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19924	B		物理的配達国名	ぶつりてきはいたつこくめい	physical delivery country name	物理的配達において、一意に指定される最終目的の国の名前。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19925	B		物理的配達領域	ぶつりてきはいたつりょういき	physical delivery domain	PDS及び任意選択的にMTA又はPDAUを提供する組織が責任をもつ領域。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19926	B		物理的配達郵便局アドレス構成要素	ぶつりてきはいたつゆうびんきょくあどれすこうせいようそ	physical delivery office address components	郵便アドレスにおいて、地域の物理的配達に責任をもつ郵便局を指定する情報。(備)一般に情報長は、1行以内で、かつ印字可能図形文字30字以内に制限される。国によっては物理的配達郵便局アドレス構成要素の後に、郵便番号が別の行として続くことがある。この場合、通常は国名を付加する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19927	B		物理的配達郵便局名	ぶつりてきはいたつゆうびんきょくめい	physical delivery office name	物理的配達において、物理的配達郵便局が存在する市、町、村などの名前を示す郵便O/Rアドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19928	B		物理的配達郵便局番号	ぶつりてきはいたつゆうびんきょくばんごう	physical delivery office number	郵便O/Rアドレス内で、一つの市などの中の複数の物理的配達郵便局を識別する標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19929	B		物理的配達組織名	ぶつりてきはいたつそしきめい	physical delivery organization name	郵便アドレス内で、指定する長さの最大値を考慮してアドレス付けされたエンティティの自由形式名。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19930	B		物理的配達個人名	ぶつりてきはいたつこじんめい	physical delivery personal name	郵便アドレス内で、指定する長さの最大値を考慮してアドレス付けされた個人の自由形式名。姓、並びに任意選択の名、姓名の頭文字、肩書及び世代識別を含む。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19931	B		物理的配達サービス	ぶつりてきはいたつさーび	physical delivery service	PDSが提供するサービス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19932	B		物理的配達サービス名	ぶつりてきはいたつさーびすめい	physical delivery service name	物理的配達サービスのために電子的にメッセージを受信する国におけるサービス名を示す郵便O/Rアドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19933	B		物理的配達システム	ぶつりてきはいたつしすてむ	Physical Delivery System, PDS	物理的配達を実行するシステム。(例)郵便システム。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19934	B		物理メッセージ	ぶつりめっせーじ	physical message	封筒及びその内容から成る物理オブジェクト。(例)手紙	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19935	B		物理表現	ぶつりひょうげん	physical rendition	MHSメッセージの物理メッセージへの変換。(例)紙にメッセージを印刷して紙製の封筒に入れる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19936	B		郵便番号	ゆうびんばんごう	postal code	地理的な地域を特定する郵便O/Rアドレスの標準属性。MHSにおいては、メッセージの経路選択に使用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19937	B		郵便O/Rアドレス	ゆうびんO/Rあどれす	postal O/R address	メッセージ通信処理において、郵便アドレスによって利用者を識別するO/Rアドレス。これは、利用者と接続するためのPDSを識別し、利用者の郵便アドレスを与える。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19938	B		郵便O/Rアドレス構成要素	ゆうびんO/Rあどれすこうせいようそ	postal O/R address components	郵便アドレスの中で発信者又は受取人を名前(個人名及び組織名)によって示す情報。(備)一般に郵便アドレス内では、1行以内で、かつ印字可能文字30字以内に制限される。それ以上の情報は、拡張郵便O/Rアドレス構成要素という属性型を使用して提供し	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19939	B		私書箱番号	ししょばこばんごう	Post Office box address, P.O.box address	私書箱経由による物理的配達の要求を示す郵便アドレスの標準属性。該当する私書箱への配布のための私書箱番号を含む。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19940	B		局留めアドレス	きょくどめあどれす	poste restante address	郵便局の窓口への物理的配達を要求していることを示す郵便アドレスの標準属性。符号を含むことがある。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19941	B		潜在受信者	せんざいじゅしんしゃ	potential recipient	メッセージ通信処理において、メッセージ又は打診の転送中にあて先になり得る利用者又はDL。本来受信者、代行受信者及び代理受信者から成る。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19942	B		本来受信者	ほんらいじゅしんしゃ	preferred recipient	メッセージ通信処理において、発信者がメッセージ又は打診の本来の目標として選択した利用者及びDL。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19943	B		私設領域名	しせつりょういきめい	private domain name	メッセージ通信処理において、主管機関領域名で表すADMDの中でPRMDを識別するO/Rアドレスの標準属性。(備)私設領域名は、そのPRMDが属するADMDが管理する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19944	B		私設管理領域	しせつかんりりょういき	Private Management Domain, PRMD	メッセージ通信処理において、主管機関以外の組織が管理する一つ以上のメッセージ通信システムから成るMD。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19945	B		打診	だしん	probe	メッセージ通信処理において、MTによって伝達する情報オブジェクトの副次的なクラスのインスタンス。メッセージの種別を記述し、そのメッセージの配信可能性を決定するため	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19946	B		公衆メッセージ通信処理サービス	こうしゅうめっせーじつうしんしょりさーびす	public message handling service	主管機関が提供するメッセージ通信処理サービス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19947	B		公衆サービス	こうしゅうさーびす	public services	電気通信分野で、主管機関が提供するサービス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19948	B		受信	じゅしん	receipt	メッセージ通信処理において、UAがメッセージ若しくは報告を直接利用者に伝達又は間接利用者に使用される通信システムが情報オブジェクトをその利用者に伝達する転送処	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19949	B		受信者	じゅしんしゃ	recipient	2.実受信者(actual recipient)参照。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19950	B		再帰	さいき	recursion	メッセージ通信処理において、メッセージが起点と同一のDLに戻って永久に循環を行う可能性のある状態。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19951	B		あて先変更	あてさきへんこう	redirection	メッセージ通信処理において、MTAがあるメッセージの対象受信者を、その利用者が事前に指定した他の利用者に置き換える転送処理事象。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19952	B		登録済みアクセス	とうろくずみあくせす	registered access	メッセージ通信処理においてサービス提供者に事前に登録され、O/Rアドレスを割り当てられている加入者によるサービスの利用。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19953	B		報告	ほうこく	report	メッセージ通信処理において、MTによって伝達される情報オブジェクトの副次的なクラスのインスタンス。MTSが生成し、メッセージ又は打診の潜在受信者への転送の結果又は経過を報告する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19954	B		検索	けんさく	retrieval	メッセージ通信処理において、利用者のMSが利用者のUAにメッセージ又は報告を伝達する転送処理。利用者は、メッセージの実受信者であるか又は報告対象メッセージ若しくは報告対象打診の発進者である。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19955	B		安全保護能力	あんぜんほごのうりょく	security capabilities	メッセージ通信処理において、安全保護への各種の脅威から防護を行う機構。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19956	B		特殊アクセス	とくしゅあくせす	specialized access	メッセージ通信処理において、特殊AUによってメッセージ通信処理サービスと他の電気通信サービスとの間の相互通信を提供すること。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19957	B		標準属性	ひょうじゅんぞくせい	standard attribute	ある種の情報に対応した属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19958	B		街路アドレス	がいろあどれす	street address	地域配布及び物理的配達のための情報を示す郵便アドレスの標準属性。街路名、街路識別(例えば、丁目、通りなど)及び家屋番号。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19959	B		主題	しゅだい	subject	メッセージ通信処理における見出しの情報。発信者が指定し、メッセージの内容を要約したもの。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19960	B		報告対象メッセージ	ほうこくたいしょうめっせーじ	subject message	報告の対象となるメッセージ。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19961	B		報告対象打診	ほうこくたいしょうだしん	subject probe	報告の対象となる打診。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19962	B		発信	はっしん	submission	直接発信又は間接発信。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19963	B		代理受信者	だいりじゅしんしゃ	substitute recipient	メッセージ通信処理において、打診を除くメッセージについて、本来受信者、代行受信者、又はDLの構成員を代理受信先として指定可能な利用者又はDL。ただし、再度の代	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19964	B		端末識別子	たんまつしきべつし	terminal identifier	多くの端末の中から一つの端末を識別するための情報を提供するO/Rアドレスの標準属性。(例)テレックスのアンサバック、テレテックスの端末識別子など	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19965	B		端末O/Rアドレス	たんまつO/Rあどれす	terminal O/R address	メッセージ通信処理において、端末のネットワークアドレスによって利用者を識別し、その端末への接続経路となるADMDを識別するO/Rアドレス。識別される端末は、異なる網に属していてもよい。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19966	B		端末種別	たんまつしゅべつ	terminal type	端末の種類を表すO/Rアドレスの標準属性。(例)テレックス、テレテックス、G3ファクシミリ、G4ファクシミリ、IA5、ビデオテックス端末など	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19967	B		転送	てんそう	transfer	メッセージ通信処理において、MTAから他のMTAにメッセージ、打診又は報告を伝達する転送処理の段階。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19968	B		転送システム	てんそうしすてむ	transfer system	MTA及び任意選択の一つ以上のAUをもち、UA及びMSをもたないメッセージ通信システ	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19969	B		転送処理	てんそうしょり	transmittal	発信者から潜在受信者へのメッセージの伝達若しくは伝達の試み、又は発信者から潜在受信者へのメッセージの配信可能性についての確認が可能なMTAへの打診の伝達若しくは伝達の試み。メッセージ若しくは打診、又はそれが引き起こした報告の発信者への伝達又は伝達の試みも含む。転送処理は、一連の転送処理の段階及び事象とする。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19970	B		自由形式郵便O/Rアドレス	じゆうけいしきゆうびんO/Rあどれす	unformatted postal O/R address	自由形式郵便アドレスに基づくO/Rアドレス。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19971	B		一意郵便名	いちいゆうびんめい	unique postal name	一意な名前(例えば、建物の名前)によって物理的配達の地点を決定する郵便アドレスの標準属性。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19972	B		利用者	りようしゃ	user	メッセージ通信処理において、メッセージ通信処理環境の構成要素であって、メッセージ通信処理のサービスを受け、MHSが伝達する情報オブジェクトの潜在的な出発点又は到着点となる機能オブジェクト。(例)人間	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19973	B		利用者機能体	りようしゃきのうたい	User Agent, UA	メッセージ通信処理において、MHSの構成要素であって、一つの直接利用者がメッセージ通信処理に従事するための機能オブジェクト。利用者と相互に作用するMHSの構成要	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19974	B		アクセス管理	あくせすかんり	access management, MT	このサービス要素によって、UA及びMTAは、相互の接続を確立し、接続確立に関する情報を管理する。このサービス要素は、UA及びMTAが互いに相手を認識し、その正当性を検査するためのものとする。これによって、UAは、そのO/RアドレスをMTAに通知し、アクセス安全保護を維持管理できる。アクセス安全保護がパスワードによって実現される場合、パスワードは定期的に変更してもよい。(備)安全保護付きアクセス管理サービス要素は、より安全なアクセス管理を提供する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19975	B		付加物理表現	ふかぶつりひょうげん	additional physical rendition, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、PDAUに対し、要求する表現ファシリティ(例えば、紙の寸法、カラー印刷など)を提供するように指示できる。このサービス要素の利用は、MD双方の合意を必要とする。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19976	B		代行受信者許可	だいこうじゅしんしゃきょか	alternate recipient allowed, MT	このサービス要素によって、発信UAは、MTSに対し、発信するメッセージを代行受信者に配信してもよいことを指示する。あて先MDは、受信UAを決定するために、利用者のすべての属性を調べる。その結果、次の3種類の場合を識別して処理を行う。(1)すべての属性が一つの加入者UAの属性に正確に一致する。この場合、そのUAに配信を試みる。(2)十分な属性が与えられていないか又は複数の加入者UAの属性に一致する。この場合、メッセージを配信しない。(3)あて先MDが要求する属性の最小集合は指定されているが、全体の属性を考慮するとそれらの属性と一致するUAが存在しない。この場合、代行受信者登録サービス要素を提供しているMDは、このメッセージを受信するために登録されているUAに、そのメッセージを配信する。このUAには、発信者のUAが指定した目的受信者のO/Rアドレスを通知する。発信者の要求がある場合には、このUAに配信された	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19977	B		代行受信者登録	だいこうじゅしんしゃとうろく	alternate recipient assignment, MT	このサービス要素によって、MDの管理者は、指定された受信者属性が示す利用者の名前とMDに登録された利用者の名前とが一致しないメッセージを配信できるUAを定義する。このUAは、正確に一致しなければならない一つ以上の属性及び任意の値であってよい一つ以上の属性によって指定する。例えば、国名、主管機関管理領域名及び組織名(例えば、会社名)は一致するが、受信者の個人名がその組織に登録されていない場合、そのメッセージを受信するUAを設けることができる。このサービスは、こうして配信されたメッセージを手作業で振り分けることを想定している。代行受信者にメッセージを配信させるために、発信者は、代行受信者許可サービス要素を要求していなければならな	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19978	B		承認者表示	しょうにんしゃひょうじ	authorizing users indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、メッセージを送ることを承認した一人以上の承認者を受信者に対して示すことができる。例えば、秘書を通して行った処置の承認を示すことができる。この場合、秘書が発信者である。このサービス要素は、署名と同等の承認を	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19979	B		自動回送表示	じどうかいそうひょうじ	auto-forwarded indication, IPM	このサービス要素は、配信されたメッセージの本体が自動回送されたIPメッセージを含むことを受信者に示す。これによって、31.で定義するサービス要素が示すように、受信者は、配信されたメッセージ本体のどこに回送メッセージが含まれているかを識別できる。自動回送IPメッセージには、回送IPメッセージと同じく、最初の配信に関する時刻、変換済み表示などの情報が付随してもよい。(備)IPメッセージの自動回送表示は、受信IPM-UAが、更にそれを自動回送することを避けること、すなわちループ発生防止に利用できる。受信IPM-UAは、他の基準(例えば、秘密度の分類)によって、自動回送するかどうかを選択してもよい。IPM-UAがIPメッセージを自動回送するときは、それが自動回送されていることを表示する。自動回送されるメッセージに受信通知が要求されているときは、IPM-UAは、発信者にIPメッセージの自動回送を知らせる受信不能通知を生成する。この通知は、目的受信者が提供する注釈を含んでもよい。その後は、IPM-UAは、自動回送	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19980	B		基本物理表現	きほんぶつりひょうげん	basic physical rendition, PD PR	このサービス要素によって、PDAUは、MHSのメッセージを物理メッセージに変換するための基本表現機能を提供する。これは、PDAUが行う省略時動作である。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19981	B		非公開受信者表示	ひこうかいじゅしんしゃひょうじ	blind copy recipient indication, IPM PR	このサービス要素によって、発信者は、IPメッセージの受信者又はDLとして、一つ以上のO/R名を付加的に指定できる。非公開受信者は、正受信者又は写し受信者のいずれにも公開されない。非公開受信者どうしが互いの名前を知ることができるか否かは、この規	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19982	B		本体部暗号化表示	ほんたいぶあんごうかひょうじ	body part encryption indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、受信するIPメッセージの特定の本体部が暗号化されていることを受信者に示す。暗号化は、本体部が不正に調べられたり、変更されたりすることを防止するために使用できる。受信者は、このサービス要素によって本体部を復合する必要があるか否かを判断することができる。ただし、このサービス要素自体は、本体部の暗号化及び復合を行うわけではない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19983	B		内容機密性	ないようきみつせい	content confidentiality, MT	このサービス要素によって、メッセージの発信者は、内容が目的受信者以外に公開されることを防止するように指定できる。内容機密性は、メッセージごとに指定し、非対称暗号化技術又は対称暗号化技術のいずれかが利用できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19984	B		内容完全性	ないようかんぜんせい	content integrity, MT PR	このサービス要素によって、発信者は、受信者にメッセージの内容が変更されていないことを確認するための手段を提供できる。内容完全性は、受信者ごとに適用することができ、非対称暗号化技術又は対称暗号化技術のいずれかが利用できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19985	B		内容種別表示	ないようしゅべつひょうじ	content type indication, MT	このサービス要素によって、発信UAは、各発信メッセージの内容種別を表示することができる。受信UAは、一つ以上の内容種別を受信できる。例として、協同IPM-UAが生成する内容種別がある。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19986	B		変換禁止	へんかんきんし	conversion prohibition, MT	このサービス要素によって、発信UAは、MTSに対し、特定の発信メッセージについて符号化情報種別の変換を行わないように指示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19987	B		情報損失を伴う変換の禁止	じょうほうそんしつをともなうへんかんのきんし	conversion prohibition in case of loss of information, MT	このサービス要素によって、発信UAは、MSTに対し、特定の発信メッセージについて符号化情報種別の変換が情報の損失を伴う場合、変換を行わないように指示できる。情報の損失についての詳細は、CCITT勧告X.408による。このサービス要素及び変換禁止サービス要素の両方を選択した場合、後者が優先される。(備)このサービス要素は、受信者の使用する入出力装置の能力をMTAが知らない場合に発生する情報の損失を防止	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19988	B		変換済み表示	へんかんずみひょうじ	converted indication, MT PR	このサービス要素によって、MTSは、受信UAに、配信メッセージの符号化情報種別の変換を行ったことを示す。受信UAは変換後の符号化情報種別を通知する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
19989	B		局留め	きょくどめ	counter collection, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、PDSに対し、物理メッセージの保管を、指定した郵便局又は受信者の住所に最も近くの局留めサービスを扱っている郵便局で行い、後で受信者が窓口で受け取れるように指示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19990	B		通知付き局留め	つうちつききょくどめ	counter collection with advice, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、PDSに対し、物理メッセージの保管を、指定した郵便局又は受信者の住所に最も近くの局留めサービスを扱っている郵便局で行い、後で受信者が窓口で受け取れるように指示するとともに、発信者が指定した番号の電話、テレックス又はテレテックスによってメッセージの到着を受信者に通知することを指示でき	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19991	B		相互参照表示	そうごさんしょうひょうじ	cross-referencing indication, IPM	このサービス要素によって、送信するIPメッセージと、一つ以上の他のIPメッセージの一意な識別子とを関係付けることができる。例えば、これによって受信IPM-UAは、参照されたメッセージの写しを記憶装置から取り出すことができる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19992	B		遅延配信	ちえんはいしん	deferred delivery, MT	このサービス要素によって、発信UAは、MTSに、発信するメッセージを指定した日時以前に配信しないように指示できる。メッセージの配信は、指定日時に達した後できるだけ速やかに行うが、指定日時以前に行うことはない。遅延配信のための日時の指定に関する制限は、発信者の属するMDが決定する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19993	B		遅延配信取消し	ちえんはいしんとりけし	deferred delivery cancellation, MT	このサービス要素によって、発信UAは、MTSに、遅延配信指定で発信済みのメッセージの取消しを指示できる。取消しは、必ず成功するとは限らない。失敗の原因として、遅延配信時刻を過ぎている場合、メッセージがMTS内で転送開始されてしまった場合などが	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19994	B		配信通知	はいしんつうち	delivery notification, MT PR	このサービス要素によって、発信UAは、発信メッセージが正常に受信UA又はAUに配信されたときに、明示的な通知が行われるよう要求できる。この通知は、メッセージ識別子によって発信メッセージと対応付けられ、配信日時を含む。同報メッセージの場合、発信UAは、このサービス要素を受信者ごとに要求できる。メッセージの配信がDLの展開後に行われた場合、通知は、そのDLの処理方法に従い、DLの所有者、メッセージの発信者又はその両方に対して行われる。配信通知は、UA又は利用者がメッセージの内容を確	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19995	B		配信時刻表示	はいしんじこくひょうじ	delivery time stamp indication, MT PR	このサービス要素によって、MTSは、受信UAにメッセージを配信した日時を示す。物理的配達の場合、PDAUが物理メッセージの印刷及び配達を引き受けた日時を示す。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19996	B		ビューロファックスサービスによる配達	びゅーろふぁっくすさーびすによるはいたつ	delivery via bureaufax service, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、PDAUと関連するPDSに、ビューロファックスサービスを用いてメッセージを転送し、配信するように指示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19997	B		ディレクトリ名による受信者指定	でぃれくとりめいによるじゅしんしゃしてい	designation of recipient by directory name, MTPR	このサービス要素によって、発信UAは、個々の受信者のO/Rアドレスの代わりにディレクトリ名を使用できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19998	B		他受信者名表示	たじゅしんしゃめいひょうじ	disclosure of other recipients, MT	このサービス要素によって、発信UAは、同報メッセージを発信する場合、MTSに、各受信UAへの配信時に自分以外のすべての受信者のO/R名を公開するように指示できる。公開されるO/R名は、発信UAが提供する。DL展開が行われた場合、発信者の指定したDL名だけが公開され、その構成員の名前は公開されない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
19999	B		配布先表展開履歴表示	はいふさきひょうてんかいりれきひょうじ	DL expansion history indication, MT	このサービス要素によって、受信者は、メッセージ配信時にそれがどのようなDLによって届けられたかを知ることができる。この情報をどの程度受信者に提供するかは、この規格では規定しない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20000	B		配布先表展開禁止	はいふさきひょうてんかいきんし	DL expansion prohibited, MT	このサービス要素によって、発信者は、いずれの受信者も直接的又は間接的にDLを参照できるが、展開しないように指定できる。この場合、配信不能通知の抑止が指定されていなければ、配信不能通知が発行される。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20001	B		速達郵便サービス	そくたつゆうびんさーびす	express mail service, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、PDSに対し、MHSのメッセージから作成された手紙を相手国内において速達又はそれに準じた国内サービスによって配達するように指示	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20002	B		失効日時表示	しっこうにちじひょうじ	expiry date indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、受信者に、IPメッセージが無効となる日時を示す。このサービス要素の目的は、発信者IPメッセージの有効期間を示すことにある。受信側でIPM-UA又は受信者自身が行うべき特定の動作は、この規格では規定しない。動作の例としては、失効日時が過ぎた時点でIPメッセージを退避したり、削除したりすることが	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20003	B		明示変換	めいじへんかん	explicit conversion, MT PR	異なったテレマティークサービスがMHSを介して相互動作するような場合、発信UAは、このサービス要素によって、指定した変換の実施をMTSに要求する。変換が行われたメッセージを配信する場合、受信UAにはメッセージ中の変換後の符号化情報種別とともに、原符号化情報種別も通知する。(備)1.このサービス要素は、MHSとテレマティーク端末又はテレマティークサービスとの相互接続を意図している。2.このサービス要素の対象にDL名があるときは、変換は、DLのすべての構成員に適用される。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20004	B		回送IPメッセージ表示	かいそうIPめっせーじひょうじ	forwarded IP-message indication, IPM	このサービス要素によって、回送IPメッセージ又は配信情報をもつ回送IPメッセージを、IPメッセージの本体又は一つの本体部として送信できる。本体部が回送されたものであるという表示は、本体部とともに伝達する。複式本体では、回送本体部は、他の種別の本体部と混在してもよい。配信情報とは、IPメッセージが配信されたとき、MTSから渡される情報とする(例えば、時刻表示、変換表示など)。しかし、MTSは、回送IPメッセージ中に含まれる配信情報の正当性を保証しない。受信通知サービス要素及び受信不能通知サービス要素は、IPメッセージの回送には影響されない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20005	B		配信優先度選択	はいしんゆうせんどせんたく	grade of delivery selection, MT	このサービス要素によって、発信UAは、MTSに“普通”、“不急”又は“緊急”の転送を要求できる。普通の転送時間に比べ、不急の転送時間は長く、緊急の転送時間は短い。この表示は、メッセージとともに受信者に送られる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20006	B		配信保留	はいしんほりゅう	hold for delivery, MT	このサービス要素によって、受信UAは、MTSにメッセージ及び通知の配信を保留することを要求できる。UAは、MTSから配信されるメッセージ又は通知を受理できないとき、及び再び受理できるようになったときにそのことをMTSに指示できる。MTSは、UAが配信保留要求時に指定した条件に従ってメッセージが待たされていることをUAに表示することができる。このサービス要素の管理責任は、受信者MTAにある。メッセージの配信保留を要求する基準は、符号化情報種別、内容種別、最大内容長及び優先度とする。受信者が配信保留を解除しない限り、そのメッセージは、配信期限切れとなる時刻まで保留される。(備)配信保留サービス要素は、メッセージ格納ファシリティとは異なる。このサービスは、配信のために一時的な格納を行い、受信UAにメッセージが転送さた後で配信通知を返送する。メッセージ格納ファシリティは、UAの格納領域を拡張するもので、長期間メッセージを格納するために使用する。配信保留サービス要素と異なり、メッセージがメッ	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20007	B		暗黙変換	あんもくへんかん	implicit conversion, MT	このサービス要素によって、UAは、MTSに、ある期間、メッセージの配信に先立って、必要なすべての変換を行うように指示できる。発信UA及び受信UAは、個々のIPメッセージに対し明示的にこのサービス要素を要求することはない。受信UAが扱える符号化情報種別への変換方法が複数存在する場合は、最適な変換を実施する。変換が行われたメッセージを配信する場合、受信UAには変換後の符号化情報種別とともに原符号化情	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20008	B		重要度表示	じゅうようどひょうじ	importance indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、受信者に対し、送信するIPメッセージの重要度を示すことができる。重要度は、"低"、"普通"及び"高"の3段階とする。このサービス要素は、MTSが提供する配信優先度選択サービス要素には関係しない。重要度について受信者又はそのIPM-UAがとるべき動作は規定しないが、受信IPM-UAが重要度順にメッセージを表示したり、重要度の高いメッセージの到着の受信者への警報を行ったりするこ	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20009	B		内容脱落表示	ないようだつらくひょうじ	incomplete copy indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、発信するIPメッセージが、同一のIPメッセージ識別子をもつ元のIPメッセージに対し、本体部や見出しが欠けた写しであることを示すこと	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20010	B		IPメッセージ識別	IPめっせーじしきべつ	IP-message identification, IPM	このサービス要素によって、協同IPM-UAが送信又は受信するIPメッセージの、一意な識別子を伝達できる。このIPメッセージ識別子は、発信者のO/R名及びそれと組み合わせて一意となる識別子で構成する。IPM-UA及び利用者は、例えば、受信通知などで以前に送信又は受信したIPメッセージを参照するためにこの識別子を使用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20011	B		言語表示	げんごひょうじ	language indication, IPM	このサービス要素によって、発信UAは、発信するIPメッセージの言語種別を表示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20012	B		配信期限指定	はいしんきげんしてい	latest delivery designation, MT	このサービス要素によって、発信UAは、メッセージ配信の最終期限日時を指定できる。MTSが配信期限までに配信できないときは、配信は行わず、メッセージを取り消す。同報メッセージの場合、すべての受信者に配信する前に配信期限が切れることもあり得るが、配信済みのメッセージは有効とする。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20013	B		メッセージ流れ機密性	めっせーじながれきみつせい	message flow confidentiality, MT	このサービス要素によって、発信者は、第三者がメッセージの流れを観察することによって不当に情報を得ることを防止できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20014	B		メッセージ識別	めっせーじしきべつ	message identification, MT	このサービス要素によって、MTSは、MTSに発信されたメッセージ若しくは打診、又はMTSから配信されたメッセージ若しくは打診に対して、一意な識別子を付与する。UA及びMTSは、この識別子を配信通知、配信不能通知などのサービス要素において、以前に発信したメッセージを参照するために利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20015	B		メッセージ発生源認証	めっせーじはっせいげんにんしょう	message origin authentication, MT PR	このサービス要素によって、メッセージの発信者は、受信者及びそのメッセージの転送を中継するすべてのMTAに対してメッセージの発生源を認証するための手段(例えば、署名)を提供できる。メッセージ発生源認証は、非対称暗号化技術又は対称暗号化技術を利用してメッセージの受信者だけに対して受信者ごとに提供してもよい。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20016	B		メッセージ安全保護ラベル	めっせーじあんぜんほごらべる	message security labelling, MT	このサービス要素によって、メッセージ又は打診の発信者は、メッセージ及びそのメッセージに対するすべての報告又は打診について、秘密度(安全保護ラベル)を表示できる。MTSおよびメッセージの受信者は、メッセージ安全保護ラベルを利用して実施中の安全保護の方針に一致するメッセージの扱いを決めることができる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20017	B		メッセージ順序完全性	めっせーじじゅんじょかんぜんせい	message sequence integrity, MT PR	このサービス要素によって、メッセージの発信者は、発信者と受信者との間でメッセージの順序が保存されていること、すなわちメッセージの消失、順序変更又は重複がないことを受信者が検証する方法を提供する。メッセージ順序完全性は、受信者ごとに提供し、非対称暗号化技術又は対称暗号化技術のいずれかを利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20018	B		同報	どうほう	multi-destination delivery, MT PR	このサービス要素によって、発信UAは、一つのメッセージを複数の受信UAに配信することをMTSに指示できる。ただし、指定されたすべてのUAに同時に配信されるとは限らな	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20019	B		複式本体	ふくしきほんたい	multi-part body, IPM	このサービス要素によって、本体がいくつかの部分(本体部)に区分されたIPメッセージを送信できる。本体部の属性又は種別は、本体部とともに転送する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20020	B		配信不能通知	はいしんふのうつうち	non-delivery notification, MT PR	発信されたメッセージを指定された受信UAに配信できなかった場合に、このサービス要素によって、そのことをMTSが発信UAに通知する。メッセージが配信されなかった理由を通知の一部に含む。(例)受信UAがMTSにとって未知である。同報メッセージの場合、発信UAは、そのメッセージが配信できなかったすべての受信UAを、一つの配信不能通知によって通知される場合もあるし、複数の配信不能通知に分けて通知される場合もある。DL展開を行った後にメッセージが配信できなかった場合、そのDLの処理方法に従って、DLの所有者、メッセージの発信者又はその両方に通知する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20021	B		受信不能通知要求表示	じゅしんふのうつうちようきゅうひょうじ	non-receipt notification request indication, IPM PR	発信者は、IPメッセージが受信できなかった場合に、このサービス要素によって、それを通知することを要求できる。同報IPメッセージの場合は、これを受信者ごとに指定できる。発信UAは、発信者の要求を受信UAに伝える。受信UAは、次の事象のいずれかが発生した場合、自動的に受信不能通知を発行する。(1)受信UAがそのIPメッセージを他の受信者に自動回送した。(2)受信UAがそのIPメッセージを利用者の受信前に廃棄した。(3)そのIPメッセージを受信前に受信者の加入契約が取り消された。例えば、受信者が長期出張のため長期間IPメッセージの受信をしなかった場合のように、配信から受信まで長時間かかっても、受信不能通知は発行されない。(備)このサービスは、法的な目的には	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20022	B		配信の否認不能	はいしんのひにんふのう	non-repudiation of delivery, MT PR	このサービス要素によって、発信者は、メッセージが受信者に配信されたことを示す改ざんできない証明を得ることができる。このサービスは、後で受信者がメッセージ又はその内容を受信したことを否認できないようにする。このサービスは、受信者ごとに指定でき、非対称暗号化技術を利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20023	B		発生源の否認不能	はっせいげんのひにんふのう	non-repudiation of origin, MT PR	このサービス要素によって、発信者は、受信者に対して改ざんできないメッセージの発生源証明を提供できる。このサービスは、後で発信者がメッセージ又は内容を撤回できないようにする。このサービスは、メッセージごとに指定でき、非対称暗号化技術を利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20024	B		発信の否認不能	はっしんのひにんふのう	non-repudiation of submission, MT	このサービス要素によって、発信者は、指定した受信者に配信するためにMTSにメッセージを発信したことを示す改ざんできない証明をMTSから得ることができる。このサービスは、後でMTSがそのメッセージが発信されたことを否認できないようにする。このサービスは、メッセージごとに指定でき、非対称暗号化技術を利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20025	B		差し替え表示	さしかえひょうじ	obsoleting indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、受信者に対して一つ以上の送信済みのメッセージを差し替えることを指示できる。このとき、差し替え表示のあるIPメッセージは、送信済みのメッセージを置き換える。受信者又は受信者のIPM-UAの動作については、この規格では規定しない。しかし、例えば、差し替えられたIPメッセージを削除したり、廃棄メッセージとして保管できるようにすることが望ましい。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20026	B		通常郵便	つうじょうゆうびん	ordinary mail, PD PR	このサービス要素によって、PDSは、MHSのメッセージから作成された手紙をあて先国内において通常の郵便サービスによって転送し、配達できる。このサービスは、物理メッセージの転送及び配信に関して、特に指定がない場合に行われる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20027	B		原符号化情報種別表示	げんふごうかじょうほうしゅべつひょうじ	original encoded information types indication, MT	このサービス要素によって、発信UAは、MTSに発信しようとしているメッセージの符号化情報種別を通知できる。MTSは、メッセージを配信するときに、発信UAが指定した符号化情報種別を受信UAに表示する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20028	B		発信者表示	はっしんしゃひょうじ	originator indication, IPM	このサービス要素によって、発信者の識別情報を受信者に伝達する。このIPMサービス要素の目的は、利用者に親しみやすい方法で発信者を識別することにある。DL名を発信者表示に使ってはならない。(参)MTSは、受信者に対して発信者のO/R名およびそのディレクトリ名(存在する場合には)を提供する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20029	B		発信者要求代行受信者	はっしんしゃようきゅうだいこうじゅしんしゃ	originator requested alternate recipient, MT PR	このサービス要素によって、発信UAは、配信が不能な場合に、MTSがメッセージを配信する代行受信者を目的受信者ごとに一つ指定できる。代行受信者は、DLであってもよい。配信通知又は配信不能通知では、発信者要求代行受信者への配信は、目的受信者への配信と同等に扱う。目的受信者が受信者指定あて先変更を指定し、かつ発信UAがあて先変更の発信者による禁止を指定していない場合、MTSは、まず受信者指定あて先変更で指定された受信者へのメッセージ転送を試みる。この転送が失敗した場合、MTSは、発信者要求代行受信者にメッセージを配信する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20030	B		MHSによる物理的配達通知	MHSによるぶつりてきはいたつつうち	physical delivery notification by MHS, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、物理メッセージの配達が成功か不成功かの通知をMHSが生成し、MHSのメッセージとして返送することを要求できる。この通知は、配達の結果を報告するが、PDSによる物理的な記録は残らない。(備)1.この通知は、配達人、受取人又は認められた人が確認した配達の日時を含む。これは、あて先国の国内規定及び要求された配達の種別に依存する。例えば、親展書留の場合は、受取人が確認を行う。2.この通知は、受信者側の行為(例えば、メッセージ内容を読んだかどうかなど)を示すものではない。3.このサービス要素が要求され、かつ物理メッセージが配達できなかった場合、メッセージを返送するか廃棄するかは、あて先国の国内規定に従う。これ	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20031	B		PDSによる物理的配達通知	PDSによるぶつりてきはいたつつうち	physical delivery notification by PDS, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、物理メッセージの配達が成功か不成功かの通知をPDSが生成し返送することを要求できる。この通知は、発信者が配達記録として依存できる。(備)1.この通知は、配達人、受取人又は認められた人が確認した配達の日時を含む。これは、あて先国の国内規定及び要求された配達の種別に保存する。例えば、親展書留の場合は、受取人が確認を行う。2.この通知は、受信者側の行為(例えば、メッセージ内容を読んだかどうかなど)を示すものではない。3.このサービス要素が要求され、かつ物理メッセージが配達できなかった場合、メッセージを返送するか廃棄するかは、あて先国の国内規定に従う。これは、91で規定するこのサービスの省略時動作に優先する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20032	B		物理的回送許可	ぶつりてきかいそうきょか	physical forwarding allowed, PD PR	このサービス要素によって、PDSは、受信者が転居し、かつそのことをPDSに通知している場合、物理メッセージを転居先に回送する。PDSは、特別の指定がなくてもこのサービ	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20033	B		物理的回送禁止	ぶつりてきかいそうきんし	physical forwarding prohibited, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、転居先に物理メッセージを回送しないようにPDSに指示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20034	B		配信不能通知の抑止	はいしんふのうつうちのよくし	prevention of non-delivery notification, MT PR	このサービス要素によって、発信UAは、発信したメッセージが配信不能と判断された場合でも、配信不能通知を返送しないことをMTSに対して指示できる。同報メッセージの場合、受信者ごとに要求できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20035	B		正・写し受信者表示	せいうつしじゅしんしゃひょうじ	primary and copy recipients indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、IPメッセージの正受信者として0以上の利用者又はDLの名前、及び写し受信者として0以上の利用者又はDLの名前を提供できる。このサービスによって、受信者は、自分自身を含めて各受信者がいずれの範ちゅうに属するかを判断できる。受信者に関するこの二つの範ちゅうの明確な違いは、この規格では規定しない。しかし、例えば、正受信者にはIPメッセージに対しての処置が期待され、写し受信者は単にIPメッセージを情報として受信するものと考えられる。(参)例えば、典型的な事務文書では、正受信者は"配布先"として指定されるあて先に相当し、写し受信者は	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20036	B		打診	だしん	probe, MT	このサービス要素によって、UAは、メッセージを発信する前にそのメッセージが配信可能か否かを判断できる。MTSは、打診情報を発信し、それと同じ条件のメッセージが指定された受信UAに配信可能か否かを示す配信通知又は配信不能通知を生成する。このサービス要素は、メッセージの大きさ、内容種別及び/又は符号化情報種別に基づいて、このメッセージが配信可能か否かを調べる能力をもつ。打診の結果は、受信UAがMTSに登録している受信可能な符号化情報種別、内容種別及びメッセージの大きさの最大値に依存する。このサービス要素は、緊急の配信優先度と同じ扱いを受ける。DLを利用する場合、このサービスは、発信者がそのDLに対して発信する資格をもつかどうかだけを示し、DLの加入者に対する配信の可能性については示さない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20037	B		打診発生源認証	だしんはっせいげんにんしょう	probe origin authentication, MT	このサービス要素によって、打診の発信者は、打診を中継するすべてのMTAに対して打診の発信元を認証するための手段(例えば、署名)を提供できる。打診発生源認証サービス要素は打診ごとに指定でき、非対称暗号化技術を利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20038	B		配信証明	はいしんしょうめい	proof of delivery, MT PR	このサービス要素によって、発信者は、受信者の識別、配信メッセージ及び内容の認証手段を受信者から得ることができる。配信証明は、受信者ごとに行い、対称暗号化技術又は非対称暗号化技術を利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20039	B		発信証明	はっしんしょうめい	proof of submission, MT	このサービス要素によって、発信者は、指定した受信者にメッセージを発信したことを認証する手段をMTSから得ることができる。発信証明は、メッセージごとに行い、対称暗号化技術又は非対称暗号化技術を利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20040	B		受信通知要求表示	じゅしんつうちようきゅうひょうじ	receipt notification request indication, IPM PR	このサービス要素によって、発信者は、送信したIPメッセージが受信されたときに、そのことを通知するよう要求できる。同報メッセージの場合は、受信者ごとに要求できる。このサービス要素は、暗黙的に受信不能通知要求表示も要求する。発信UAは、この要求を受信UAに伝える。受信者は、この要求に答えることをUAに指示できる。この指示は、自動的に(例えば、端末にIPメッセージが最初に表示された時)又は受信者が明示的な指示を与えることによって行われる。さらに、受信者は、この要求をすべて無視したり、条件	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20041	B		あて先変更の発信者による禁止	あてさきへんこうのはっしんしゃによるきんし	redirection disallowed originator, MT	このサービス要素によって、発信UAは、特定の発信メッセージについて、受信者が受信者指定あて先変更サービス要素を要求している場合であっても、それを実施してはならないことをMTSに指示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20042	B		受信者指定あて先変更	じゅしんしゃしていあてさきへんこう	redirection of incoming messages, MT	このサービス要素によって、UAは、特定の期間又は解除するまでの期間、そのUAあてのメッセージを他のUA又はDLに配信することをMTSに指示できる。(備)1.このMTサービス要素は、目的受信者に配信せずに、直接あて先変更処理を行う。これがIPMの自動回送表示サービス要素と異なる点である。2.安全保護規定が効力をもっている場合、受信メッセージは、その安全保護ラベルに応じて、別のあて先に受信されたり、誰にも配信さ	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20043	B		書留郵便	かきとめゆうびん	registered mail, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、物理メッセージを書留郵便として扱うことをPDSに指示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20044	B		親展書留郵便	しんてんかきとめゆうびん	registered mail to addressee in person, PD	このサービス要素によって、発信者は、物理メッセージを受取人だけに配達する書留郵便として扱うことをPDSに指示できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20045	B		返信要求表示	へんしんようきゅうひょうじ	reply request indication, IPM PR	このサービス要素によって、発信者は、この要求を運ぶIPメッセージに対して返信することを受信者に要求できる。発信者は、返信の期限、並びに返信先として一つ以上の利用者及びDLを指定してもよい。受信者は、この日時及び名前を知らされるが、返信するかどうか、及び返信する場合、返信先を誰にするかの決定は受信者の判断に任される。(備)非公開受信者は、非公開受信者指定サービス要素の意図を尊重するために、誰に返信するか十分に注意しなければならない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20046	B		返信IPメッセージ表示	へんしんIPめっせーじひょうじ	replying IP-message indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、受信者に対して、そのIPメッセージが他のIPメッセージの返信であることを示すことができる。返信は、返信対象メッセージの発信者の意思及び返信の発信者の最終決定に基づいて、次のあて先に送られる。(1)返信対象メッセージの返信要求表示に示された受信者(2)返信対象メッセージの発信者(3)発信者及び他の受信者(4)返信対象メッセージの発信者が受信メンバに含まれるDL(5)返信の発信者が選んだ他の受信者 返信メッセージの受信は、それがどのIPメッセージに対する返信であるか表示されることを除いて、通常のIPメッセージの受信と同じとする。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20047	B		報告発生源認証	ほうこくはっせいげんにんしょう	report origin authentication, MT	このサービス要素によって、メッセージ又は打診の発信者は、そのメッセージ又は打診に対する配信通知又は配信不能通知の発生源の認証(署名)を行うことができる。このサービスは、報告ごとに指定でき、非対称暗号化技術を利用する。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20048	B		回送先住所要求	かいそうさきじゅうしょようきゅう	request for forwarding address, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、受信者が転居し転居先の住所をPDSに通知している場合、回送先住所を通知するようにPDSに要求できる。このサービス要素は、物理的回送許可又は物理的回送禁止と一緒に利用する。PDSによる回送先住所の発信者への提供は、あて先国の国内規定上の問題とする。特に指定がないときは、回送先住所は	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20049	B		要求配信方法	ようきゅうはいしんほうほう	requested preferred delivery method, MT PR	このサービス要素によって、発信者は、受信者ごとに一つ以上の望ましいメッセージ配信方法(例えば、AUを通した配信)を要求できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20050	B		制限配信	せいげんはいしん	restricted delivery, MT	このサービス要素によって、受信UAは、特定の発信UA又はDLからのメッセージの配信を受け付けないことをMTSに示すことができる。(備)このサービス要素は、次の二つの方法のいずれかで要求できる。(1)配信を受け付けない発信者を指定。この場合、その他のすべての発信者からのメッセージの配信を受け付ける。(2)配信を受け付ける発信者を指定。この場合、その他のすべての発信者からのメッセージの配信を受け付けない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20051	B		内容の返送	ないようのへんそう	return of content, MT	このサービス要素によって、発信UAは、発信したメッセージの内容が配信不能通知と共に返送されることを要求できる。ただし、メッセージの内容に符号化情報種別変換が行われた場合、このサービスは、行われない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20052	B		安全保護付きアクセス管理	あんぜんほごつきあくせすかんり	secure access management, MT	このサービス要素によって、MTS利用者からMTSに、MTSからMTS利用者に、又はMTAから他のMTAにアソシエーションを確立できる。さらに、協同動作するオブジェクトの厳重な資格証明、並びにアソシエーションのコンテキスト及び安全保護のコンテキストを確立する。安全保護付きアクセス管理は、非対称暗号化技術又は対称暗号化技術のいずれかを利用する。厳重な資格証明によって、アクセス安全保護が実現されている場合、資	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20053	B		秘密度表示	ひみつどひょうじ	sensitivity indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、IPメッセージの受信時にメッセージの秘密度を指定できる。秘密度表示は、次の項目を制御する。(1)受信者がIPメッセージを受信するために身分を証明する必要があるかどうか(2)共用印字装置でIPメッセージの印刷をしてよいかどうか(3)受信したIPメッセージを受信者が回送してよいかどうか(4)IPメッセージを自動回送してよいかどうか　秘密度表示は、受信者に表示してもよいし、又は受信IPM-UAによって直接解釈してもよい。秘密度が指定されない場合、受信したIPメッセージに対する受信者の処理方法について発信者が制限を与えていないとみなす。したがって、受信者は、回送、印刷又は任意の処理を行ってよい。秘密度として、次の3種類を定義する。(1)個人あて　受信者の役務に対してではなく、受信者個人に送られるIPメッセージ。IPメッセージが私的なものであるという意味ではない。(2)親展　受信者だけが読め、他者に読まれてはならない情報を含むIPメッセージ。(3)社外秘　会社固有の手続に従って	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20054	B		特殊配達	とくしゅはいたつ	special delivery, PD PR	このサービス要素によって、発信者は、MHSのメッセージから作成された手紙を通常の郵便配達システムによって転送し、特別な配達人によって配達することをPDSに指示でき	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20055	B		格納メッセージ警報	かくのうめっせーじけいほう	stored message alert, MS	このサービス要素によって、MSの利用者は、判断基準の集合を登録し、それを満たすメッセージがMSに到着したとき、警報を受けることを指示できる。警報は、次のとおり生成される。(1)UAがMSに接続状態の場合は、登録された判断基準を満たすメッセージがMSに到着すると、警報メッセージがUAに送られる。UAが接続されていない状態で、登録された判断基準を満たすメッセージがMSに到着した後でMSに接続された場合は、利用者は1回以上の警報事例があったことを知らされ、その詳細は格納メッセージ該当数を実行することによって知ることができる。(2)(1)に加えて、又は代替として、MSは、利用者	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20056	B		格納メッセージ自動回送	かくのうめっせーじじどうかいそう	stored message auto-forward, MS	このサービス要素によって、MSの利用者は、配信された特定のメッセージの自動回送要求をMSに登録できる。MSの利用者は、MSにおいて利用可能な属性から判断基準の一つ以上の集合を選択し、登録できる。判断基準のいずれかの集合を満たすメッセージは、一つ以上の利用者又はDLに自動回送される。選択基準ごとに一つの文書が指定でき、それが自動回送メッセージに付加される。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20057	B		格納メッセージ削除	かくのうめっせーじさくじょ	stored message deletion, MS	このサービス要素によって、受信UAは、MSからメッセージを削除できる。ただし、事前に一覧表示されていないメッセージは、削除できない。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20058	B		格納メッセージ取出し	かくのうめっせーじとりだし	stored message fetching, MS	このサービス要素によって、受信UAは、格納メッセージ一覧で使用されている同じ検索条件を基にして、一つのメッセージ又はメッセージの一部を取り出すことができる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20059	B		格納メッセージ一覧	かくのうめっせーじいちらん	stored message listing, MS	このサービス要素によって、受信UAは、MSに格納されているメッセージの情報の一覧表を得ることができる。その情報は、メッセージの封筒、内容及びMSが加えた属性から選択したものとする。UAは、一覧表示するメッセージの数を制限できる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20060	B		格納メッセージ該当数	かくのうめっせーじがいとうすう	stored message summary, MS	このサービス要素によって、受信UAは、MSに格納されたメッセージの一つ以上の属性を基にして指定した判断基準を満たすメッセージの数を得ることができる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20061	B		主題表示	しゅだいひょうじ	subject indication, IPM	このサービス要素によって、発信者は、送信したIPメッセージの主題を受信者に示すことができる。主題情報は、受信者に公開される。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20062	B		発信時刻表示	はっしんじこくひょうじ	submission time stamp indication, MS	このサービス要素によって、MTSは、発信UA及び受信UAにメッセージが発信された時刻を示すことができる。物理的配達の場合は、PDAUが物理メッセージの発信時刻を示す。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20063	B		本体種別表示	ほんたいしゅべつひょうじ	typed body, IPM	このサービス要素によって、IPメッセージ本体の特性及び属性を本体と共に伝達できる。本体が変換された場合は、本体種別も変更される。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20064	B		配達不能郵便の物理的返送	はいたつふのうゆうびんのぶつりてきへんそう	undeliverable mail with return of physical message, PD PR	PDSは、物理メッセージをあて先に配達できない場合、このサービス要素によって、配達不能理由を付け直ちにそれを発信者に返送できる。これは、省略時動作とする。(備)"局留め"の場合、物理メッセージの返送は、ある時間経過後に行われる。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20065	B		配布先表の使用	はいふさきひょうのしよう	use of distribution list, MT PR	このサービス要素によって、発信UAは、すべての受信者(利用者又は入れ子になっているDL)を個々に指定する代わりにDLを指定できる。MTSは、DLの構成員をメッセージの受信者に付け加えて各々にメッセージを送信する。DLがDLで構成されていてもよい。この場合、受信者の一覧は、MTS内の幾つかの場所で順次展開される。	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20066	B		利用者/UA能力の登録	りようしゃ/UAのうりょくのとうろく	user / UA capabilities registration, MT	このサービス要素によって、UAは、受信メッセージについて次の能力内であれば自由に利用できることをMTAに登録できる。(1)配信を希望するメッセージの内容種別(2)配信を希望するメッセージの最大内容長(3)配信を希望するメッセージの符号化情報種別 MTAは、登録された能力を超えたり、又は能力に適合しないメッセージをUAに配信しな	JIS X 5801	1991	ISO/IEC 10021-1	1990		廃2008/3		2003	SC6
20067	B		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20068	B		応用エンティティ	おうようえんていてぃ	AE		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20069	B		応用プロセス	おうようぷろせす	application process		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20070	B		応用プロトコルデータ単位	おうようぷろとこるでーたたんい	APDU		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20071	B		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	ASE		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20072	B		分散処理業務	ぶんさんしょりぎょうむ	distributed information processing task		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20073	B		層	そう	layer		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20074	B		開放型システム	かいほうがたしすてむ	open system		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20075	B		開放型システム間互換接続	かいほうがたしすてむかんごかんせつぞく	OSI		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20076	B		同位	どうい	peer		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20077	B		プレゼンテーションコンテキスト	ぷれぜんてーしょんこんてきすと	presentation context		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20078	B		プロトコル	ぷろとこる	protocol		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20079	B		参照モデル	さんしょうもでる	reference model		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20080	B		転送構文	てんそうこうぶん	transfer syntax		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20081	B		利用者要素	りようしゃようそ	UE		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20082	B		抽象構文記法	ちゅうしょうこうぶんきほう	ASN.1		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20083	B		基本符号化規則	きほんふごうかきそく	basic encoding rules		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20084	B		明示	めいじ	explicit		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20085	B		移出	いしゅつ	export		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20086	B		暗黙	あんもく	implicit		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20087	B		移入	いにゅう	import		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20088	B		マクロ	まくろ	macro		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20089	B		モジュール	もじゅーる	module		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20090	B		タグ	たぐ	tag		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20091	B		型	かた	type		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20092	B		値	あたい	value		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20093	B		応用アソシエーション、アソシエーション	おうようあそしえーしょん、あそしえーしょん	aplication association, association		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20094	B		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	AC		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20095	B		アソシエーション制御サービス要素	あそしえーしょんせいぎょさーびすようそ	ACSE		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20096	B		起動側	きどうがわ	initiator		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20097	B		応答側	おうとうがわ	responder		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20098	B		高信頼転送	こうしんらいてんそう	RT		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20099	B		高信頼転送サービス要素	こうしんらいてんそうさーびすようそ	RTSE		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20100	B		引数	ひきすう	argument		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20101	B		非同期	ひどうき	asynchronous		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20102	B		結合	けつごう	bind		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20103	B		パラメタ	ぱらめた	parameter		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20104	B		遠隔誤り	えんかくあやまり	remote error		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20105	B		遠隔操作	えんかくそうさ	remote operation, RO		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20106	B		遠隔操作サービス要素	えんかくそうささーびすよ	ROSE		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20107	B		結果	けっか	result		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20108	B		同期	どうき	synchronous		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20109	B		結合開放操作	けつごうかいほうそうさ	unbind		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20110	B		属性	ぞくせい	attribute		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20111	B		検証	けんしょう	certificate		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20112	B		検証機関	けんしょうきかん	certirication authority		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20113	B		検証パス	けんしょうぱす	certification path		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20114	B		ディレクトリエントリ、エントリ	でぃれくとりえんとり、えんとり	directory entry, entry		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20115	B		ディレクトリシステムエージェント(ディレクトリシステム機能体)	でぃれくとりしすてむえーじぇんと(でぃれくとりしすてむきのうたい)	DSA		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20116	B		ディレクトリ	でぃれくとり	directory		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20117	B		ハッシュ機能	はっしゅきのう	hash function		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20118	B		名前	なまえ	name		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20119	B		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20120	B		オブジェクト	おぶじぇくと	object		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20121	B		簡易認証	かんいにんしょう	simple authentication		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20122	B		厳密認証	げんみつにんしょう	strong authentication		JIS X 5802	1994	ISO/IEC 10021-2	1990		廃2008/3		2003	SC6
20123	B		抽象構文規則	ちゅうしょうこうぶんきそく	abstract syntax		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20124	B		応用層	おうようそう	application layer		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20125	B		応用プロトコルデータ単位	おうようぷろとこるでーたたんい	application protocol data unit, APDU		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20126	B		応用プロトコル	おうようぷろとこる	application protocol		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20127	B		応用サービス要素	おうようさーびすようそ	application service element, ASE		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20128	B		具象転送構文規則	ぐしょうてんそうこうぶんきそく	concrete transfer syntax		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20129	B		分散情報処理業務	ぶんさんじょうほうしょりぎょうむ	distributed information processing task		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20130	B		層サービス	そうさーびす	layer service		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20131	B		層	そう	layer		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20132	B		開放型システム	かいほうがたしすてむ	open system		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20133	B		開放型システム間互換接続	かいほうがたしすてむかんごかんせつぞく	open system interconnection, OSI		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20134	B		実開放型システム	じつかいほうがたしすてむ	real open system		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20135	B		抽象構文記法	ちゅうしょうこうぶんきほう	abstract syntax notation one, ASN.1		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20136	B		基本符号化規則	きほんふごうかきそく	basic encoding rules		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20137	B		型	かた	type		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20138	B		値	あたい	value		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20139	B		移入	いにゅう	import		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20140	B		整数	せいすう	integer		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20141	B		マクロ	まくろ	macro		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20142	B		モジュール	もじゅーる	module		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20143	B		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	object identifier		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20144	B		タグ	たぐ	tag		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20145	B		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application context, AC		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20146	B		結合操作	けつごうそうさ	bind operation		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20147	B		誤り	あやまり	error		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20148	B		連結	れんけつ	linked		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20149	B		操作パッケージ	そうさぱっけーじ	operation		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20150	B		遠隔操作サービス要素	えんかくそうささーびすようそ	remote operation service element, ROSE		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20151	B		遠隔操作	えんかくそうさ	remote operations, RO		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20152	B		結合開放操作	けつごうかいほうそうさ	unbind operation		JIS X 5803	1994	ISO/IEC 10021-3	1990		廃2008/3		無い	SC6
20153	B		抽象アソシエーション	ちゅうしょうあそしえーしょん	abstract-association	二つの通信相手間の抽象的な結合関係。この規格では、MS抽 象サービスを提供するためのUAとMSとの間の結合及びMTS抽象サービスを提供 するためのMSとMTAとの間の	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20154	B		抽象結合パラメタ	ちゅうしょうけつごうぱらめ	abstract-bind-parameters	この規格で定義する抽象結合操作のパラメタ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20155	B		抽象結合解放パラメタ	ちゅうしょうけつごうかいほうぱらめた	abstract-unbind-parameters	この規格で定義する抽象結合解放操作のパラメタ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20156	B		管轄ポート	かんかつぽーと	administration port	MS抽象サービ スの中で、MTSの管轄に関する抽象サービスの集合を提供するポート。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20157	B		警報抽象操作	けいほうちゅうしょうそうさ	alert abstract-operation	選択の判断基準に基づいて、メッセージ又は報告がMS中に蓄積されていることを、MSがUAに対して通知する抽象操作。抽象アソシエーションが存在する場合にだけ、発行することができる。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20158	B		属性	ぞくせい	attribute	情報ベース中のエントリ内に現れる特定の型に 関する情報。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20159	B		属性型	ぞくせいがた	attribute-type	属性の構成要素。その属性が与 える情報の種別を示す。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20160	B		属性値	ぞくせいち	attribute-value	属性型で示された情報の種別に ついての特定のインスタンス。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20161	B		属性値選択節	ぞくせいちせんたくせつ	attribute-value-assertion	エントリ中の属性の値に関して提示する条件。真、偽又は未定義のいずれかの値をと	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20162	B		自動動作	じどうどうさ	auto-action	MSが自動的に実行することが できる動作。MS所有者がUAを介して事前に登録した情報に基づいて実行される。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20163	B		自動動作種別	じどうどうさしゅべつ	auto-action-type	自動動作 の種別。例えば、警報。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20164	B		自動警報	じどうけいほう	auto-alert	MSの自動動作の一つ。この動 作は、MSによる警報抽象操作、その他の動作を起動す	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20165	B		自動回送	じどうかいそう	auto-forward	MSの自動動作の一つ。この動作は、MSが、メッセージを他の一人以上の受信者に対する自動回送を起動す る。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20166	B		子エントリ	こえんとり	child-entry	情報ベースの中の主エント リ以外のエントリ。子エントリに対する親エントリは、親エントリの段階に応じて 主エントリ又は他の子エントリとなることができる。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20167	B		子順序番号	こじゅんじょばんごう	child-sequence-number	親エントリに属する子エントリの順序番号。親エントリは、子エントリの数に応じて二つ 以上の子順序番号の値をもつことができる。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20168	B		条件付き構成要素	じょうけんつきこうせいようそ	conditional (C) component	この規格に従って、そのクラスのインスタンス中に存在しなければな らないASN.1の要素[JIS X 5802の等級(grade)参照]。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20169	B		内容長	ないようちょう	content-length	配信メッセージ又は返送 内容の内容の長さを与える属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20170	B		内容返送あり	ないようへんそうあり	content-returned	配信報告 又は配信メッセージが、返送内容を含むことを通知する属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20171	B		変換後EIT	へんかんごEIT	converted EITs	変換後のメッセージ 内容の符号化情報種別(EIT)を識別する属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20172	B		作成日時	さくせいにちじ	creation-time	MSがエントリを作成し た日時を示す属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20173	B		削除抽象操作	さくじょちゅうしょうそうさ	delete abstract-operation	情報ベースから一つ以上のエントリを削除する抽象操作。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20174	B		配信EIT	はいしんEIT	delivered-EITs	配信メッセージ中の EITに関する情報を与える多値属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20175	B		配信メッセージエントリ	はいしんめっせーじえんと	delivered-message entry	配信メッセージによって生じる格納メッセージ情報ベース のエントリ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20176	B		配信報告エントリ	はいしんほうこくえんとり	delivered-report entry	配信報告によって生じる格納メッセージ情報ベースのエントリ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20177	B		エントリ	えんとり	entry	情報ベースの情報の集合[エントリの分類 は、主エントリ(main-entry)、親エントリ(parent-entry)及び子エントリ(child-entry)を参照]。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20178	B		エントリ情報	えんとりじょうほう	entry-information	抽象操作で用いるパラメタの一つ。エントリから選択された情報を運ぶ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20179	B		エントリ情報選択	えんとりじょうほうせんたく	entry-information-	抽象操作で用いるパラメタの一つ。エントリ中の要求されている情報を示す。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20180	B		エントリ状況	えんとりじょうきょう	entry-status	エントリの処理状況に関する情報を与える属性。とり得る値は、未処理、一覧済み又は処理済みとする。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20181	B		エントリ種別	えんとりしゅべつ	entry-type	エントリが配信メッ セージ又は配信報告のいずれに関連するかを通知する属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20182	B		取り出し抽象操作	とりだしちゅうしょうそうさ	fetch abstract-operation	格納メッセージ情報ベースから一つのエントリを取り出す抽象 操作。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20183	B		取り出し制限	とりだしせいげん	fetch-restrictions	UAが設定する制限の一つ。取り出しの結果としてUAが受け取るメッセージの種別を制限する。制限として設定可能なものは、メッセージ長、内容種別及びEITとする。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20184	B		フィルタ	ふぃるた	filter	抽象操作で用いるパラメタ。情報ベース中 の特定のエントリを調べる。そのエントリは、パラメタを満たす場合又は満たさない 場合のいずれかとする。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20185	B		フィルタ項目	ふぃるたこうもく	filter-item	調べているエントリ中での特定の型の属性の有無又は特定の型の属性の値に関する選択節。それぞれの選 択節は、真又は偽とする。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20186	B		回送要求	かいそうようきゅう	forwarding-request	MSからメッセージ の回送を要求するパラメタ。UAが起動するメッセージ発進抽象操作に指定してもよ い。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20187	B		一般属性	いっぱんぞくせい	general-attribute	内容種別にかかわり なく、すべての種別のメッセージ及び報告に有効なMS属性の集合。この規格では、これらのMS属性だけを明示的に定義する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20188	B		一般自動動作	いっぱんじどうどうさ	general-auto-action	内容種別 にかかわりなく、すべての種別のメッセージ及び報告に有効な自動動作。この規格で は、これらの自動動作だけを明示的に定義する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20189	B		等級	とうきゅう	grade	JIS X 5802による。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20190	B		間接発進ポート	かんせつはっしんぽーと	indirect-submission port	MS抽象サービスの中で、間接発進抽象サービスを提供するポート。間接発進抽象サ ービスは、MTS抽象サービスのメッセージ発進抽象サービスと同じサービスのほかに、MS内のメッセージの回送機能も提供する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20191	B		情報ベース	じょうほうべーす	information-base	MS内のオブジ ェクト。MS抽象サービスに関連する情報を格納する。例えば、格納メッセージ情報 ベースは、MSに配信されたメッセージ及び報告を格納する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20192	B		情報ベース種別	じょうほうべーすしゅべつ	information-base-type	情報ベースの種別。例えば、格納メッセージ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20193	B		最大数	さいだいすう	limit	選択子パラメタの構成要素。抽象操作の結 果として返送される選択エントリの最大数を識別する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20194	B		一覧抽象操作	いちらんちゅうしょうそうさ	list abstract-operation	情報ベースからエントリを選択し、これらのエントリについて要求された属性情報を 返送する抽象操作。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20195	B		一覧済み	いちらんずみ	listed	エントリ状況の値の一つ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20196	B		マクロ	まくろ	macro	JIS X 5603による。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20197	B		主エントリ	しゅえんとり	main-entry	情報ベースにエントリを 作成する抽象操作が成功した場合に作成されるエントリ。主エントリは、一つ存在する。さらに、同じ抽象操作によって生じた情報は、子エントリに格納することができ る。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20198	B		必す(須)構成要素	ひっすこうせいようそ	mandatory (M) component	そのクラスのインスタンスの中に常に存在しなければならないASN .1の要素[JIS X 5802の等級(grade)参照]。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20199	B		一致判定	いっちはんてい	matching	属性値選択節で与えられた値と MSに格納されている指定された属性型の値とを比較したり、又は指定された属性型 が存在するか否かを調べる処理。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20200	B		メッセージ検索サービス要素、MRSE	めっせーじけんさくさーびすようそ、MRSE	message retrieval service element, MRSE	受信UAがMS中の メッセージを検索したり、又は関連するすべての作業を行うことを可能にする応用サ ービス要素。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20201	B		MS	MS	MS	メッセージ格納。"MS抽象サービス提供側"の短縮形としても使用する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20202	B		MS抽象サービス	MSちゅうしょうさーびす	MS abstract-service	MSがポートを用いて利用者に提供する能力の集合。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20203	B		MS抽象サービス利用者	MSちゅうしょうさーびすりようしゃ	MS abstract-service-user	MS抽象サービスの利用者。これがUAとなる。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20204	B		MS抽象サービス提供側	MSちゅうしょうさーびすていきょうがわ	MS abstract-service-provider	MS抽象サービスを提供するMS。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20205	B		MS利用者	MSりようしゃ	MS-user	"MS抽象サービス利用者"の短縮形。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20206	B		メッセージ発信抽象操作	めっせーじはっしんちゅうしょうそうさ	message-submission abstract-operation	UAがMSを介してメッセージをMTSに 発信したり、メッセージをMSからMTSに回送したりする抽象操作。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20207	B		多値属性	たちそくせい	multi-valued attribute	関連する値を複数も つことができる属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20208	B		未処理	みしょり	new	エントリ状況の値の一つ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20209	B		任意選択構成要素	にんいせんたくこうせいようそ	optional (O) component	そのクラスのインスタンスに存在させるか否かを、そのインスタンス を供給するオブジェクト(例えば、利用者)が自由に決めることができるASN.1の要素[JIS X 5802の等級	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20210	B		原EIT	げんEIT	original-EITs	メッセージ内容の原符号化情報 種別を識別する属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20211	B		上書き	うわがき	override	選択子パラメタの構成要素の一つ。以前に 登録された抽象サービスに対する制限を、この抽象操作のインスタンスについては適 用しないことを表示する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20212	B		親エントリ	おやえんとり	parent-entry	抽象操作の結果として、 一つ以上の子エントリを作成したエントリ。親エントリが他の親エントリの子エント リでない場合、そのエントリは、主エントリとする。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20213	B		親順序番号	おやじゅんじょばんごう	parent-sequence-number	子エ ントリ中にあって親エントリを示す順序番号。子エントリは、親順序番号を一つだけもつことができる。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20214	B		部分属性要求	ぶぶんぞくせいようきゅう	partial-attribute-request	エントリ情報選択の構成要素。多値属性の選択された値だけを返送することができる 。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20215	B		位置	いち	position	範囲の境界を特定するパラメタ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20216	B		処理済み	しょりずみ	processed	エントリ状況の値の一つ。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20217	B		範囲	はんい	range	抽象操作で用いるパラメタの一つ。情報ベース から一連のエントリを選択するために使	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20218	B		MS登録抽象操作	MSとうろくちゅうしょうそうさ	register-MS abstract-operation	UAとMSとの相互作用に関連する情報を、UAがMSに登録する抽象操作。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20219	B		登録	とうろく	registration	MSに登録され、MS登録抽象操作で変更 されるまで抽象アソシエーション間に保存される情報(3.2.66参照)。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20220	B		登録識別子	とうろくしきべつし	registration-identifier	自動動作種別の登録パラメタの特定の集合の識別子。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20221	B		検索ポート	けんさくぽーと	retrieval port	MS抽象サービスの 中で、検索に関する抽象サービスの集合を提供するポート。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20222	B		返送内容エントリ	へんそうないようえんとり	returned-content entry	以前に発信したメッセージの返送内容を含む格納メッセージ情報ベースの エントリ種別。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20223	B		選択子	せんたくし	selector	抽象操作で用いるパラメタの一つ。情報ベースからエントリを選択するために使用する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20224	B		順序番号	じゅんじょばんごう	sequence-number	エントリを一意に識 別する属性。順序番号は、昇順に割り当てる。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20225	B		単一値属性	たんいつちぞくせい	single-valued attribute	関連する 値を一つだけもつことができる属性。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20226	B		広がり	ひろがり	span	許数抽象操作の構成要素。選択の判断基準に一 致するエントリの最大及び最小の順序番号を示す。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20227	B		格納メッセージ	かくのうめっせーじ	stored-messages	この規格 で最も重要な情報ベース。MTSからMSに配信するメッセージ及び報告を含むエン トリを格納する。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20228	B		加入	かにゅう	subscription	MS及び任意選択MS機能(任意選択のサ ービス及び属性)の利用について、MS供給側又は主管機関とMS消費側(MS所有 者)との間で取り交わす長期間の合意。この規格は、これらの合意についての規則を 規定しない。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20229	B		部分文字列	ぶぶんもじれつ	substring	属性の値中に、与えられ た順序どおりの文字列を特定するために用いるフィルタ項目。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20230	B		計数抽象操作	けいすうちゅうしょうそうさ	Summarize abstract-operation	情報ベースに格納されているエントリの種類及び数を調べる抽 象操作。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20231	B		概要	がいよう	synopsis	内容特定(content-specific)属性の一つ。内容の一部をもつ子エントリが、子エントリ相互の関連及び子エント リと親エントリとの関連を示すために用いてもよい。この属性は、内容種別に関する 規格で規定する。例えば、個人間メッセージ通信(interpersonal messaging、IPM)の概要は、JIS X 5807による。	JIS X 5805	1994	ISO/IEC 10021-5	1990		廃2008/3		1999	SC6
20232	B		EDI回送	EDIかいそう	EDI forwarding	回送を行うEDI利用者機能体又はEDIメッセージ格納によって決定される一つ以上の受信EDIMの転送。EDI回送は、EDI利用者機能体又はEDIメッセージ格納に配信されたEDIメッセージが、別のEDI利用者機能体又はEDIメッセージ格納に向けて回送されるときに発生	JIS X 5808	1997	ISO/IEC 10021-8	1995		廃2008/3		1999	SC6
20233	B		EDIメッセージ	EDIめっせーじ	EDI message	EDIメッセージ通信利用者で転送される電子的な形式の情報。EDIメッセージは、EDIメッセージ通信利用者間で伝達される情報オブジェクトの第1クラスの構成要素である。JIS X 5809の8.(EDIメッセージ)を参照のこと。	JIS X 5808	1997	ISO/IEC 10021-8	1995		廃2008/3		1999	SC6
20234	B		EDIメッセージ通信利用者	EDIめっせーじつうしんりようしゃ	EDI messaging users	EDIメッセージ通信に契約している利用者。EDIメッセージ通信利用者は、EDIメッセージの発信、受信又は両方を行う。EDIメッセージ通信環境は、多くのEDIメッセージ通信利用者を含む。EDIメッセージ通信利用者は、人又は計算機プロセスである。EDIメッセージ通信利用者は、アクセス単位を通してEDIメッセージ通信システムを利用してもよい。	JIS X 5808	1997	ISO/IEC 10021-8	1995		廃2008/3		1999	SC6
20235	B		EDI通知	EDIつうち	EDI notification	EDIメッセージに対するEDIメッセージ責任の取扱いをEDIメッセージの発信者に示す情報オブジェクトの第2のクラスの構成要素。	JIS X 5808	1997	ISO/IEC 10021-8	1995		廃2008/3		1999	SC6
20236	B		EDIメッセージ責任	EDIめっせーじせきにん	EDI message responsibility	EDIメッセージ責任は、対象のEDIメッセージがEDI利用者機能体又はEDIメッセージ格納によって特定の利用者に対して利用可能とされたか否かを示す。EDIメッセージ責任は、この規格及びJIS X 5809の範囲内で法的な意味をもたない。	JIS X 5808	1997	ISO/IEC 10021-8	1995		廃2008/3		1999	SC6
20237	B		アクセス単位	あくせすたんい	access unit		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20238	B		本体	ほんたい	body		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20239	B		内容	ないよう	content		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20240	B		配布先表	はいふさきひょう	distribution list		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20241	B		符号化情報種別	ふごうかじょうほうしゅべ	encoded information type		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20242	B		封筒	ふうとう	envelope		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20243	B		メッセージ通信処理システム	めっせーじつうしんしょりしすてむ	message handling system		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20244	B		メッセージ指向型テキスト交換システム	めっせーじしこうがたてきすとこうかんしすてむ	message-oriented text interchange system	備考 1993年以前に定義された範囲・領域で使用される。	JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20245	B		メッセージ格納	めっせーじかくのう	message store		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20246	B		メッセージ転送機能体	めっせーじてんそうきのうたい	message transfer agent		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20247	B		メッセージ転送システム	めっせーじてんそうしすてむ	message transfer system		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20248	B		物理的配達アクセス単位	ぶつりてきはいたつあくせすたんい	physical delvery access unit		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20249	B		受信者	じゅしんしゃ	recipient		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20250	B		発信識別子	はっしんしきべつし	submission identifier		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20251	B		発信時刻	はっしんじこく	submission time		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20252	B		こう概	こうがい	synopsis		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20253	B		テレマティーク機能体	てれまてぃーくきのうたい	telematic agent		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20254	B		テレックスアクセス単位	てれっくすあくせすたんい	telex access unit		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20255	B		利用者	りようしゃ	user		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20256	B		利用者機能体	りようしゃきのうたい	user agent		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20257	B		EDI回送	EDIかいそう	EDI forwarding		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20258	B		EDIメッセージ	EDIめっせーじ	EDI message		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20259	B		EDI通知	EDIつうち	EDI notification		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20260	B		EDI利用者	EDIりようしゃ	EDI user	備考 JIS X 5808の用語では、EDIメッセージ通信利用者(EDI message user)であるが、定義内容は同じである。	JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20261	B		EDIM責任	EDIMせきにん	EDIM responsibility	備考 JIS X 5808の用語では、EDIメッセージ責任(EDI message responsibility)であるが、定義内容は同じである。	JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20262	B		受信確認要求	じゅしんかくにんようきゅう	acknowledgement request		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20263	B		逆経路選択用アドレス	ぎゃくけいろせんたくようあどれす	address for reverse routing		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20264	B		応用参照	おうようさんしょう	application reference		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20265	B		通信合意	つうしんごうい	communication agreement		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20266	B		構成データ要素分離子	こうせいでーたようそぶんりし	component data element separator		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20267	B		データ要素分離子	でーたようそぶんりし	data element separator		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20268	B		準備日時	じゅんびにちじ	date/time fo preparation		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20269	B		10進法表記法	10しんほうひょうきほう	decimal natation		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20270	B		機能グループ見出し	きのうぐるーぷみだし	function group header		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20271	B		識別符号	しきべつふごう	identification code		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20272	B		識別符号子	しきべつふごうし	identification code		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20273	B		交換制御参照	こうかんせいぎょさんしょう	interchange control reference		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20274	B		交換制御見出し	こうかんせいぎょみだし	interchange control		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20275	B		交換受信者	こうかんじゅしんしゃ	interchange recipient		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20276	B		交換送信者	こうかんそうしんしゃ	interchange sender		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20277	B		メッセージ見出し	めっせーじみだし	Message header		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20278	B		処理優先度符号	しょりゆうせんどふごう	processing priority code		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20279	B		受信者識別符号	じゅしんしゃしきべつふご	recipient identification		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20280	B		受信者参照子	じゅしんしゃさんしょうし	recipient reference		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20281	B		受信者参照又はパスワード	じゅしんしゃさんしょうまたはぱすわーど	recipience reference, password		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20282	B		解放指示子	かいほうしじし	release indicator		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20283	B		経路選択アドレス	けいろせんたくあどれす	routing address		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20284	B		セグメント終了子	せぐめんとしゅうりょうし	segment terminator		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20285	B		送信者指示子	そうしんしゃしじし	sender indication		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20286	B		サービス文字列助言	さーびすもじれつじょげん	servise string advice		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20287	B		構文識別子	こうぶんしきべつし	syntax idenrifier		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20288	B		構文版数	こうぶんはんすう	syntax version		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20289	B		試験指示子	しけんしじし	test indicator		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20290	B		UNAセグメント	UNAせぐめんと	UNA segment		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20291	B		UNBセグメント	UNBせぐめんと	UNB segment		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20292	B		UNHセグメント	UNHせぐめんと	UNH segment		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20293	B		応用参照	おうようさんしょう	application reference		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20294	B		伝送日時	でんそうにちじ	date and time of transmission		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20295	B		メッセージ見出し	めっせーじみだし	message header		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20296	B		MHDセグメント	MHDせぐめんと	mhd segment		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20297	B		受信者参照又はパスワード	じゅしんしゃさんしょうまたはぱすわーど	recipients reference/password		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20298	B		伝送開始	でんそうかいし	start of transmission		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20299	B		伝送優先符号	でんそうゆうせんふごう	transmission priority code		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20300	B		伝送受信者	でんそうじゅしんしゃ	transmission recipient		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20301	B		伝送送信者	でんそうそうしんしゃ	transmission sender		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20302	B		承認情報子	しょうにんじょうほうし	authorization information qualifier		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20303	B		承認情報	しょうにんじょうほう	authorization information		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20304	B		機能グループ見出し	きのうぐるーぷみだし	functional group header		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20305	B		交換符号	こうかんふごう	interchange data		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20306	B		交換見出し	こうかんみだし	interchange header		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20307	B		交換受信者ID	こうかんじゅしんしゃID	interchange receiver id		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20308	B		交換送信者ID	こうかんそうしんしゃID	interchange sender id		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20309	B		交換時刻	こうかんじこく	interchange time		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20310	B		ISAセグメント	ISAせぐめんと	isa segment		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20311	B		試験指示子	しけんしじし	test indicator		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20312	B		トランザクション集合見出し、STセグメント	とらんざくしょんしゅうごうみだし、STせぐめんと	transaction set header, st segment		JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20313	B		EDIメッセージ格納	EDIめっせーじかくのう	EDI message store	EDIメッセージ格納は、EDIメッセージ通信用の特別なメッセージ格納である。	JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20314	B		EDIメッセージ通信システム	EDIめっせーじつうしんしすてむ	EDI message system	EDIメッセージ通信システムは、EDIメッセージ通信において、すべての利用者が互いに通信を行えるようにする機能オブジェクトである。	JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20315	B		EDI利用者機能体	EDIりようしゃきのうたい	EDI user agent	EDI利用者機能体は、EDIメッセージ通信用の特別な利用者機能体である。	JIS X 5809	1997	ISO/IEC 10021-9	1995		廃2008/3		1999	SC6
20316	A		CRLF(復帰改行)	CRLF(ふっきかいぎょう)	CRLF	用語“CRLF”は、JIS X 5810規格群ではCR(10進数の値が13)及びLF(10進数の値が10)の二つのUS-ASCII文字に対応し、この順番で一緒に用いられ、REF822メールでは行区切りを示している、オクテット列とする。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20317	A		文字集合	もじしゅうごう	character set	用語“文字集合”は、MINEでは、オクテット列を文字列に変換する方法とする。無条件であいまい性のない逆方向への変換は要求されないことに注意する。すなわち、一つの与えられた文字集合において、それで表現できない文字があってもよいし、二つ以上のオクテット列が、同じ文字列を表現していてもよい。 この定義は、US-ASCIIなどの単純な単一の表による対応付けから、JIS X 0202の技法を使う複雑な表切換え方法まで、多くの種類の文字符号化を、文字集合としてしようするために許すことが意図されている。しかし、MIME文字集合の名前に関連する定義は、実行される対応付けを完全に規定しなければならない。特に、正確な対応付けを決定する外部プロファイル情報を用いてはならない。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20318	A		メッセージ	めっせーじ	message	用語“メッセージ”は、何も修飾句が付かない場合には、ネットワークに転送される(完全又は最上位の)RFC822メッセージを意味するか、又は“massage/rfc822”若しくは“massage/partial”の型で本体にカプセル化されたメッセージを意味する。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20319	A		実体	じったい	entity	用語“実体”は、特に、MIMEで定義されたヘッダフィールド及び内容とする。ここで、内容とは、メッセージか、又はマルチパート実体の本体における複数の部分の一つか、それらのいずれかとなる。これらの実体の規定が、MIMEの本質になっている。実態の内容は“本体”と呼ばれることが多いので、実体の本体について語ることは意味がある。実体のヘッダには、どのような種類のフィールドも存在してよいが、実際には、“content-”で始まるフィールドだけがMIMEに関係する意味をもつ。このことは、“content-”で始まらないフィールドが全く意味をもたないことを意味する訳ではない。RFC822で意味が定義されている非MIMEヘッダフィールドをもつメッセージも実体である。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20320	A		本体部分	ほんたいぶぶん	body part	用語“本体部分”は、マルチパート実体の内部の実体とする。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					

	ﾚﾍﾞﾙ		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20321	A		本体	ほんたい	body	用語“本体”は、更に限定されない場合には、実体の本体の意味とする。すなわち、メッセージ又は本体部分の本体とする。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20322	A		7 bit データ	7びっとでーた	7 bit data	“7bit データ”は、CRLF行分離シーケンスの間の、998オクテット以下の相対的に短い行として表現されるデータとする[RFC 821]。10進の値が127より大きいオクテットがあってはならず、NUL(10進の値が0のオクテット)があってはならない。CR(10進の値が13)及びLF(10進の値が10)は、CRLF行分離シーケンスの一部としてだけ現れる。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20323	A		8 bit データ	8びっとでーた	8 bit data	“8bit データ”は、CRLF行分離シーケンスの間の、998オクテット以下の相対的に短い行として表現されるデータとする[RFC 821]。10進の値が127より大きいオクテットを用いてもよい。7bitデータと同様に、NULがあってはならず、CR(10進の値が13)及びLF(10進の値が10)は、CRLF行分離シーケンスとしてだけ現れる。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20324	A		binaryデータ	ばいなりでーた	binary data	“binaryデータ”は、どのようなオクテットの列も含むことができるデータとする。	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20325	A		行	ぎょう	lines	“行”は、CRLFシーケンスによって分離された、オクテットの列として定義される。この定義は、RFC821及びRFC822の両方と整合している。“行”は、メッセージの中のデータの単位としてだけ参照され、UAが実際に表示するものと対応していてもよいし、対応しなくても	JIS X 5810-1	2008	IETF/RFC2045	1996					
20326	A		サーバ	さーば	server	処理系が他の処理系に対してサービスを提供する場合、その処理系が果たす役割。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20327	A		サービス	さーびす	service	処理系が他の処理系に提供する能力。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20328	A		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control	データをアクセスするサービスの利用を、あらかじめ認証された利用者だけに限定する	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20329	A		応用水準	おうようすいじゅん	application level	応用データの実現値が記録されているデータの水準。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20330	A		応用水準対	おうようすいじゅんつい	application level pair	応用水準及びそのIRD水準におけるスキーマの両方を表現する用語。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20331	A		応用スキーマ	おうようすきーま	application schema	応用において、任意の時点で存在してよいものを制御する定義の集合。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20332	A		監査	かんさ	auditing	データの集合に対する変更が正しく、かつ、適切に認証された利用者によって、適切な時点で行われたことを検査する課程。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20333	A		クライアント	くらいあんと	client	サーバのインタフェースにおいて、提供されるサービスを要求する利用者。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20334	A		制約	せいやく	constraint	データベースのある部分に関する、1個以上の正当な状態の宣言文。制約は、データベース内の値が、常に満足しなければならない条件に基づく。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20335	A		データ格納庫	でーたかくのうこ	data container	データの実現値が記録されている、記憶装置の概念的領域。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20336	A		データ水準	でーたすいじゅん	data level	すぐ高位のデータ水準に存在する型定義に従って、オブジェクトが記録される多水準のデータ方式における層。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20337	A		データモデル機能	でーたもでるきのう	data modelling facility	データ構造化規則及びそれに付随するデータ操作規則。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20338	A		データベース	でーたべーす	database	相互に関係するデータの集まり。データベースは、スキーマに従って制御された冗長度をもって格納され、1個以上の応用に提供される。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20339	A		データベース整合性	でーたべーすせいごうせ	data base integrity	データベースにおけるデータの集まりの一貫性。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20340	A		移出	いしゅつ	export	情報資源辞書システムから情報を抽出し、移出入ファイルにひとまとめする機能。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20341	A		移出入ファイル	いしゅつにゅうふぁいる	export/import file	移出機能によって生成され、移入機能によって受理されるファイル。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20342	A		移入	いにゅう	import	移出入ファイルから情報資源辞書システムへのデータを受理する機能。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20343	A		情報資源辞書	じょうほうしげんじしょ	Information Resource Dictionary, IRD	情報資源辞書システムによって管理される格納庫の一部。企業の情報資源が記録されてもよい。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20344	A		情報資源辞書システム	じょうほうしげんじしょしすてむ	Information Resource Dictionary System, IRDS	複数の情報資源辞書及び情報資源辞書定義を保持するソフトウェア生産物。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20345	A		情報資源管理	じょうほうしげんかんり	information resource management	情報処理システムを保持及び制御するタスク。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20346	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	処理系によって提供可能なサービスの定義された集合。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20347	A		IRD定義	IRDていぎ	IRD definition	情報資源辞書内に保持してもよいデータを、ひとまとめにして定義するオブジェクトの集	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20348	A		IRD定義水準	IRDていぎすいじゅん	IRD definition level	情報資源辞書システム内容が定義されるデータ水準。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20349	A		IRD定義水準対	IRDていぎすいじゅんつい	IRD definition level pair	IRD定義スキーマ水準において、IRD定義水準及びそのスキーマの両方を表現する用	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20350	A		IRD定義スキーマ	IRDていぎすきーま	IRD definition schema	IRD定義内において、任意の時点で存在してよいものを制御する定義の集合。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20351	A		IRD定義スキーマ水準	IRDていぎすきーますいじゅん	IRD definition schema level	IRD定義内に記録されてよいオブジェクトの型を規定するデータ水準。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20352	A		IRD水準	IRDすいじゅん	IRD level	企業の情報資源が定義されるデータ水準。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20353	A		IRD水準対	IRDすいじゅんつい	IRD level pair	IRD定義水準において、IRD水準及びそのスキーマの両方を表現する用語。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20354	A		IRDスキーマ	IRDすきーま	IRD schema	情報資源辞書に任意の時点で存在してよいものを制御する定義の集合。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20355	A		水準対	すいじゅんつい	level pair	隣接する二つのデータ水準。上位水準は、常に、下位水準の実現値に関連する型情報	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20356	A		ライフサイクル	らいふさいくる	life cycle	オブジェクトの時間軸上の変化を追跡するのに用いる概念的枠組み。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20357	A		ライフサイクルフェーズ	らいふさいくるふぇーず	life cycle phase	ライフサイクルの分割部分。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20358	A		分割	ぶんかつ	partition	情報資源辞書又は情報資源辞書定義のいずれかにおけるオブジェクトの論理的な部分	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20359	A		処理系	しょりけい	processor	実行可能なひとまとまりの命令列の抽象概念化。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20360	A		辞書内容状態	じしょないようじょうたい	status of dictionary content	辞書内のデータの集まりの状態。データが自由に変更可能か、変更不可能か又は現在使用されていないものと見なすのかのいずれかを示す。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20361	A		記録媒体	きろくばいたい	storage medium	任意の種類のデータを記録してよい装置。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20362	A		利用者	りようしゃ	user	データ管理のサービスを要求する人又は応用プログラム。	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20363	A		値	あたい	value	一つの特性の抽象概念。他の値との比較が可能。値の符号コード化によって表現され	JIS X 5901	1994	ISO/IEC 10027	1990				1990	SC32
20364	A		活性状態	かっせいじょうたい	active	関連するすべてのIRDSサービスからアクセスが可能な辞書の状態。IRDが活性状態でないときは、Reactivate IRDサービスだけが適用可能になる。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20365	A		保管状態	ほかんじょうたい	archived	現状では、データは、もはや活用されていないことを示す内容状態クラス。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20366	A		属性	ぞくせい	attribute	オブジェクトの特性。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20367	A		共通表	きょうつうひょう	common table	IRD定義及びIRDのそれぞれの水準対について1個ずつ存在し、双方の水準で利用する表。関連するIRD間では共用されない。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20368	A		内容モジュール	ないようもじゅーる	content module	オブジェクトの集合。IRD定義又はIRDの中に同時に、かつ同じ導入元から導入される。導入元は、そのモジュールの導入源を示すモジュール名によって識別される。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20369	A		文脈	ぶんみゃく	context	省略時値指定又は利用者要求によって確定するワーキングセット。その中でIRDSサービスが実行される。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20370	A		管理状態	かんりじょうたい	controlled	データが安定であることを示す内容状態クラス。その中ではデータの変更はできない。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20371	A		定義オブジェクト	ていぎおぶじぇくと	definition object	IRD水準に存在する可能性のあるデータを管理するために、IRD定義水準に記録するオブジェクト。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20372	A		辞書	じしょ	dictionary	1個のIRD定義又はIRD。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20373	A		環境表	かんきょうひょう	environment table	それぞれのIRD定義について、1個だけ存在する表。そのIRD定義及びそれに関連するIRDに対する提供されるサービスを管理する。関連するIRD間で共用される。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20374	A		実装定義	じっそうていぎ	implementation-defined	この規格では定義しない動作。しかし、この動作は、すべての実装において、正確に定義されなければならない。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20375	A		実装依存	じっそういぞん	implementation-dependent	この規格で定義されず、かつ実装での定義の必要がない動作。さらに、その動作は、各動作間での一貫性を保障する必要がない。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20376	A		内部表	ないぶひょう	internal table	IRD定義及びIRDのそれぞれの水準対について1個ずつ存在する表。それ自体は、オブジェクトの表現を行わず、オブジェクトの管理及び版制御を行う。これらの表は、オブジェクトに関連したサービス(9.参照)ではアクセスできない。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20377	A		IRD特定表	IRDとくていひょう	IRD-specific table	IRD定義にだけ又は1個の特定のIRDにだけ存在する表。この表は、定義されるデータモデル機能のデータ構造規則の表現の一部となる。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20378	A		IRD内容状態	IRDないようじょうたい	IRD content status	ワーキングセットの利用者定義の1個の属性。IRD内容状態の値は、事前に定義されている三つのIRD内容状態クラスの一つに属する。オブジェクト版は、オブジェクト版が含まれるワーキングセットのIRD内容状態を採用する。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20379	A		IRD内容状態クラス	IRDないようじょうたいくらす	IRD content status class	事前に定義される3個のIRD内容状態集合(すなわち、非管理状態、管理状態又は保管状態)の一つ。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20380	A		IRDオブジェクト	IRDおぶじぇくと	IRD object	IRD水準に記録されているオブジェクト。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20381	A		IRDスキーマグループ	IRDすきーまぐるーぷ	IRD Schema Group	IRDに存在できるものを完全に定義する1個以上のIRDスキーマの集合。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20382	A		IRDSデータベース	IRDSでーたべーす	IRDS database	1個のIRD定義及び0個以上のIRD。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20383	A		IRDS環境	IRDSかんきょう	IRDS environment	1個のIRDSデータベースを管理するIRDSサービスインターフェース実現の運用具体。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20384	A		IRDS名	IRDSめい	IRDS name	オブジェクトがIRDに追加されるとき、又は定義オブジェクトがIRD定義に追加されるとき、任意選択として割り当てられる名前。指定された場合には、IRDS名、変種名、ワーキングセット名及びワーキングセット版名の組合せを一意とする。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20385	A		IRDSセション	IRDSせしょん	IRDS session	1個のIRDS利用者と1個のIRDS環境との間の一時的結合。その期間において、前者はサービスを要求し、後者はそれを実行する。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20386	A		IRDS利用者	IRDSりようしゃ	IRDS user	IRDSを利用する権限をもつ個人又は集団。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20387	A		水準独立サービス	すいじゅんどくりつさーび	level independent service	IRD定義水準及びIRD水準に対して、同等に適用できるサービス。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20388	A		水準特定サービス	すいじゅんとくていさーび	level specific service	IRD定義水準又はIRD水準のどちらか一方にだけ適用可能なサービス。双方には適用で	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20389	A		具現化	ぐげんか	materialization	1個のワーキングセット上に開いていて、カーソルで作業中の表内のオブジェクト版の集	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20390	A		名前	なまえ	name	オブジェクトを識別するために、単独又は他の名前との組合せで使用される文字列。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20391	A		版付け不可	はんつけふか	non-versionable	オブジェクト型に対して指定される場合、その型のオブジェクトは、1個の版付け不可ワーキングセットに属し、常に版がただ一つだけ存在することができることを示す。ワーキングセットに対して指定される場合は、そのワーキングセットは、他のワーキングセットを基底としない又は他のワーキングセットの基底とならないことを示す。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20392	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	企業にとって重要な概念又は物。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20393	A		オブジェクト型	おぶじぇくとがた	object type	オブジェクトのすべての属性が属性の型の共通集合に属するようなオブジェクトのクラ	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20394	A		オブジェクト版	おぶじぇくとばん	object version	ある情報処理コンテキストにおいてある期間、作業中となっているオブジェクトについての情報の記録。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20395	A		参照経路	さんしょうけいろ	reference path	あるワーキングセットから別のワーキングセットへの有向結合。その結合は、第一のワーキングセットにあるオブジェクト版が第2のワーキングセットにあるオブジェクト版を参照することを許す。一つの参照経路は、定義された方向にだけ参照を許す。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20396	A		被参照表	ひさんしょうひょう	referenced table	参照制約において参照を受ける表。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20397	A		参照表	さんしょうひょう	referencing table	参照制約において参照を行う表。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20398	A		副表	ふくひょう	subtable	次の定義に該当する表。SUBT及びSUPERTの二つの表を仮定したときSUBTの各行がSUPERTのただ一つの行に必ず対応し、SUPERTの各行がSUBTのたかだか1行に対応する(すなわち、対応する行が1行あるか又はないかのいずれかとなる。)場合、SUBTは、SUPERTの副表であると定義する。SUPERTは、SUBTのはん(汎)表であると定義す	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20399	A		はん(汎)表	はんひょう	supertable	少なくとも一つの副表をもつ表(3.2.35参照)。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20400	A		非管理状態	ひかんりじょうたい	uncontrolled	データが安定でないことを示す内容状態クラス。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20401	A		変種名	へんしゅめい	variation name	同じIRDS名をもつオブジェクトどうしを、大きく異なる変種として識別する場合に使用する	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20402	A		版付け可能	はんつけかのう	versionable	オブジェクト型に対して指定する場合、その型のオブジェクトは、複数の異なるワーキングセットに属し、かつ同時に複数の版に存在できることを示す。ワーキングセットに対して指定する場合、そのワーキングセットは、版付け不可オブジェクト型のオブジェクトを含むことができず、更に他のワーキングセットを基底としてもよく、かつ他のワーキングセットの基底となってもよいことを示す。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20403	A		ワーキングセット	わーきんぐせっと	working set	定義 オブジェクト又はIRDオブジェクトのいずれか一方の版の集合。変更管理。内容状態指定及びアクセス制御のためにIRDS利用者が定義する。	JIS X 5902	1994	ISO/IEC 10728	1994				1993	SC32
20404	A		データベース言語	でーたべーすげんご	database language	データベースに関する処理(operation)の構文及び意味の定義。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20405	A		データベース言語コマンド	でーたべーすげんごこまんど	database language command	データベースを検索又は更新するための要求を表すRDA操作の一種。データベース言語コマンドは、コマンドハンドルをもってもよいし、常にデータベース言語文をもち、引数及び結果仕様をもってもよい。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20406	A		データベース言語文	でーたべーすげんごぶん	database language statement	データベース言語中でのデータベースに関する処理の定義。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20407	A		データベースサーバ	でーたべーすさーば	database server	RDAクライアントと呼ぶ他の応用プロセスへのデータベース保管機能を備えるとともに、OSI通信を介してデータベースサービスを提供する応用プロセス。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20408	A		データ資源	でーたしげん	data resource	RDAクライアント及びRDAサーバの両方に既知のデータベースサーバに関するデータ及び/又は機能(capability)の名前の付けられた集まり。RDAクライアントは、データ内容又は機能に接近するためにデータ資源を開く。(備)これ以上の機能は、RDA特殊化によっ	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20409	A		RDAクライアント	RDAくらいあんと	RDA client	RDAダイアログを開始し、遠隔のデータベースサーバにデータベースアクセスを要求するRDAサービス利用者。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20410	A		RDA制御サービス	RDAせいぎょさーびす	RDA control service	RDAクライアントに未完了のRDA操作を制御させるRDA操作の一種。RDAサービスは、クライアントが未完了のRDA操作を取り消したり、未完了のRDA操作の状態をサーバに問い合わせたりすることを可能にする。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20411	A		RDAダイアログ	RDAだいあろぐ	RDA dialogue	すべての相互作用が生じるRDAクライアントとRDAサーバとの間の関係。RDAダイアログは、RDAクライアントによって初期化され、RDAダイアログが最初に初期化されたとき、RDA応用エンティティ起動によって割り当てられる一意識別子をもつ。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20412	A		RDAダイアログ状態モデル	RDAだいあろぐじょうたいもでる	RDA dialogue-state model	エンティティ型及び属性の集まりによって定義されるRDAダイアログの状態のモデル。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20413	A		RDAはん(汎)用規格	RDAはん(はん)ようきかく	RDA generic standard	RDAサービスのはん(汎)用的な機能を規定する規格。RDAはん(汎)用規格は、特定のRDAサービスの完全な仕様を形成するためにRDA特殊化規格によって補完される。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20414	A		RDA操作	RDAそうさ	RDA operation	RDAクライアントによって開始され、処理するためにRDAサーバに転送される要求。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20415	A		RDAプロトコル機械	RDAぷろとこるきかい	RDA protocol machine	RDA応用サービス要素のプロトコル機械。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20416	A		RDAサーバ	RDAさーば	RDA server	遠隔のRDAクライアントにデータベースアクセスを提供するデータベースサーバ内のRDAサービス利用者。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20417	A		RDAサービス	RDAさーびす	RDA service	遠隔データベースアクセスの目的のためにRDAサービス利用者(RDAクライアント及びRDAサーバ)に提供される通信機能の集まり。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20418	A		RDA特殊化規格、RDA特殊化	RDAとくしゅかきかく、RDAとくしゅか	RDA specialization standard, RDA	どのように特定のデータベース言語のためにRDAのはん(汎)用的な機能を特殊化するかを規定することによって、RDAはん(汎)用規格を補完する規格。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20419	A		RDAトランザクション	RDAとらんざくしょん	RDA transaction	RDAクライアントによって決定される処理の論理上の完了単位。RDAトランザクションは、遠隔のデータベース処理の一貫性を保証するために使用される。	JIS X 5911	1995	ISO/IEC 9579-1	1993				無い	SC32
20420	A		SQLデータベース資源	SQLでーたべーすしげん	SQL database resource	JIS X 3005で定義されたSQLデータ及びそれを記述するスキーマ。	JIS X 5912	1995	ISO/IEC 9579-2	1993				無い	SC32
20421	A		RDA　SQL文	RDASQLぶん	RDA SQL statement	JIS X 3005で定義される非終端記号<スキーマ定義>、<表定義>、<ビュー定義>、<GRANT文>、<SQLデータ文>、<COMMIT文>及び<カーソル宣言>の一つ。	JIS X 5912	1995	ISO/IEC 9579-2	1993				無い	SC32
20422	B		文字盤型入力装置	もじばんがたにゅうりょくそうち		タブレット、キーボード等に文字を配列した文字盤を有する入力装置。	JIS X 6003	1984				廃1994/6			
20423	B		文字	もじ		国語の文章の表記に使用する図形文字。(備)1.文字の種類は、次のとおりとする。平仮名、片仮名、数字、ローマ字、特殊文字、漢字　2.漢字以外の文字を非漢字文字と呼ぶ。	JIS X 6003	1984				廃1994/6			
20424	B		仮名漢字変換形日本文入力装置	かなかんじへんかんがたにほんぶんにゅうりょくそうち		入力は仮名表記で行い、漢字表記が必要な部分をソフトウェアによって漢字表記に変える日本文入力装置。	JIS X 6004	1986				廃1999/6			
20425	B		プレフィックス形シフトキー	ぷれふぃっくすがたしふときー		シフトキーが押されているか押し終わったかにかかわらず、それに続く最初の図形文字キーに対して、その機能が作用するシフトキー。	JIS X 6004	1986				廃1999/6			
20426	B		同時押下形シフトキー	どうじおしさげがたしふと		シフトキーが押されている間に押される図形文字キーに対して、その機能が作用するシ	JIS X 6004	1986				廃1999/6			
20427	B		文字高・文字幅・文字間余白・行間余白の寸法	もじだか・もじはば・もじかんよはく・ぎょうかんよはくのすんぽう		文字を構成するドット枠の最外側ドットの中心間距離(図1及び図2参照)。ただし、英数仮名専用表示の場合には、英大文字の最外側ドットの中心間距離とし、ディセンダ及びアセンダを除く(#図有り)。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20428	B		発光輝度	はっこうきど		照明などで与えられる外光反射輝度を含まず、螢光体から発せられ、陰極線管ガラスなどを透過したネガティブ表示の文字発光輝度及びポジティブ表示の背景発光輝度の総称。ただし、画面フィルタなどを装着している場合には、画面フィルタを透過した光を対象	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20429	B		ネガティブ表示	ねがていぶひょうじ		暗い背景に明るい文字を表示する表示形態。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20430	B		ポジティブ表示	ぽじていぶひょうじ		明るい背景に暗い文字を表示する表示形態。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20431	B		背景発光輝度	はいけいはっこうきど		背景を構成する部分の発光輝度(Lb)。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20432	B		背景輝度	はいけいきど		ネガティブ表示の場合には、暗地発光輝度と外光反射輝度との和(Li)。ポジティブ表示の場合には、発光輝度と外光反射輝度との和(Lh)。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20433	B		文字発光輝度	もじはっこうきど		文字を構成するドットの部分の発光輝度(Ls)。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20434	B		文字輝度	もじきど		ネガティブ表示の場合には、発光輝度と外光反射輝度との和(Lh)。ポジティブ表示の場合には、暗地発光輝度と外光反射輝度との和(Li)。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20435	B		暗地発光輝度	あんちはっこうきど		ネガティブ表示の背景発光輝度又はポジティブ表示の文字発光輝度。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20436	B		拡散反射輝度	かくさんはんしゃきど		拡散性の反射面において、巨視的に見て反射の法則と無関係に、多くの方向に光を拡散する場合の反射輝度。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20437	B		鏡面反射輝度	きょうめんはんしゃきど		拡散性の反射面において、巨視的に見て反射の法則に従う光の反射輝度。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20438	B		外光反射輝度	がいこうはんしゃきど		観測位置から見て、外光による拡散反射輝度と鏡面反射輝度との和。(備)輝度の相互関係[2.(2)～(12)参照]を表に示す。(#表有り)	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20439	B		表示面照度	ひょうじめんしょうど		表示面の中心で管面の法線方向の照度。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20440	B		表示面拡散反射率	ひょうじめんかくさんはんしゃりつ		表示面の中心で管面の法線と45度の方向に点光源を置き、法線方向から測定した拡散反射輝度をLdとし、表示面の中心に完全反射拡散反射面を置き、その拡散反射輝度をL0としたとき、次の式によって算出される(ρd)。(#数式有り)	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20441	B		コントラスト	こんとらすと		ネガティブ表示の場合には、文字輝度と背景輝度の比(Lh/Li)。ポジティブ表示の場合には、背景輝度と文字輝度の比(Lh/Li)。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20442	B		解像度	かいぞうど		像が分離して見える度合。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20443	B		可視域両端領域	かしいきりょうたんりょうい		可視光線で450nm以下又は650nm以上の領域。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20444	B		フリッカ	ふりっか		同一空間位置で、異なった光又は断続した光が比較的短い周期で目に入る場合、定常的な刺激として感じられない現象。ちらつきともいう。	JIS X 6041	1987				廃2009/3			
20445	B		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device	SCSIバスに接続可能な計算機、アダプタ、周辺制御装置及びインテリジェント周辺装置。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20446	B		周辺装置	しゅうへんそうち	peripheral device	SCSIバスに接続可能な周辺機器(例えば、磁気ディスク、磁気テープ、プリンタ、光ディスクなど)。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20447	B		SCSIアドレス	SCSIあどれす	SCSI address	SCSI装置に割り当てられた固有アドレス(0～7)の8進表現。このアドレスは、通常システム設定時に割り当てられる。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20448	B		SCSI ID	SCSI ID		データバス(DB7～DB0)の8本の信号線の1本に対応して表現するSCSIアドレス。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20449	B		イニシエータ	いにしえーた	initiator	他のSCSI装置に操作の実行を指示するSCSI装置(通常、計算機システム)。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20450	B		ターゲット	たーげっと	target	イニシエータから指示された操作を実行するSCSI装置。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20451	B		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit	ターゲットを通じてアドレス指定可能な物理的又は仮想的な装置。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20452	B		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number	論理ユニットを識別するための3ビット符号化識別子。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20453	B		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	イニシエータからアクセス可能な論理ユニット上のデータブロック。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20454	B		論理ブロックアドレス	ろんりぶろっくあどれす	logical block address	論理ユニット上の論理ブロック0から始まる連続した論理ブロックの論理アドレス。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20455	B		メッセージ	めっせーじ	message	SCSIバスの物理的経路管理のために、イニシエータとターゲットとで交信する情報。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20456	B		コマンド	こまんど	command	イニシエータが、ターゲットに対して操作を指定するために転送する情報。コマンドは、操作コード、論理ユニット番号、転送長などからなり、コマンド記述ブロックで転送される。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20457	B		コマンド記述ブロック	こまんどきじゅつぶろっく	command descriptor block	イニシエータからターゲットに操作要求を伝えるためのコマンド情報の形成。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20458	B		パラメタ	ぱらめた	parameter	コマンドの内容を記述するために、イニシエータからターゲットに転送される情報。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20459	B		ステータス	すてーたす	status	各コマンドの操作が完了したときに、ターゲットからイニシエータに転送される1バイトの状態情報。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20460	B		センスデータ	せんすでーた	sense data	コマンドが異常終了したときに、ターゲットからイニシエータに転送される情報。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20461	B		接続	せつぞく	connect	イニシエータが、操作を指示するために、ターゲットを選択して接続すること。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20462	B		切断	せつだん	disconnect	ターゲットが、SCSIバスを一時解放して、BUS FREEフェーズにすること。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20463	B		再接続	さいせつぞく	reconnect	ターゲットが、切断を行った後、操作を続けるために、再びイニシエータを選択して接続す	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20464	B		バイト	ばいと	byte	8ビットバイト。	JIS X 6051	1990				廃1999/12			
20465	B		アクティブフィルタ	あくていぶふぃるた	active filter	読取り信号の互換性を保つために、フレキシブルディスクの読取り時補正に用いる回路	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20466	B		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	ジャケットとディスクからなる構造体。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20467	B		シリンダ	しりんだ	cylinder	特定位置に位置決めされた読取り書込みヘッドに対応するすべてのトラック。(備)両面フレキシブルディスクの場合は、各シリンダに2本のトラックが対応する。片面フレキシブルディスクの場合は、シリンダとトラックは同じ意味をもつ。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20468	B		ディスク	でぃすく	disk	少なくとも片面に、磁気記録によってデータを記憶できる磁性層をもつ平面円板。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20469	B		ディスク駆動機構	でぃすくどうきこう	disk drive	フレキシブルディスクを電気的及び機械的に駆動する機構。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20470	B		フォーマット	ふぉーまっと	format	フレキシブルディスクのトラック上におけるデータの様式。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20471	B		ハードセクタ方式	はーどせくたほうしき	hard sectoring	フレキシブルディスクで一定角度のセクタを規定するのに、インデックストラックに複数の孔をあけるなどの物理的な方法。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20472	B		インデックストラック	いんでっくすとらっく	index track	少なくとも1個の丸孔(インデックス孔)をあけたディスク上のトラック。その孔によって光電的な手法でディスクの角度位置を定める。(備)90mm以下のフレキシブルディスク装置では、この機能を他の方法で実現してもよい。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20473	B		レベル	れべる	level	この規格では、レベルを次の意味で用いる。(a)電圧レベル。(b)高と低の二つの論理レベルの一つ。(c)装置選択、方向選択、レディなどのように、一つの論理シーケンスの間、高と低のどちらかに固定される信号。パルスの対語。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20474	B		偽	ぎ	logical false	制御信号の非有意又は無効な状態。この規格では、信号の高レベル(2.4～5.25V)とす	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20475	B		真	しん	logical true	制御信号の有意又は有効な状態。この規格では、信号の低レベル(0～0.4V)とする。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20476	B		必す(須)信号	ひっすしんごう	mandatory	送信側では必す(須)であるインタフェース信号。受信側では必要に応じて使用すればよ	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20477	B		任意信号	にんいしんごう	optional	構成によって必要に応じ使用してもよいインタフェース信号。使用する場合は、3.で規定する用法とピン配列による。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20478	B		パルス	ぱるす	pulse	考慮の対象とする時間(例えば、論理シーケンス)に比べて短い時間の振幅の変化であって、その変化後の値が最初の値と同じになる信号。レベルの対語として用いる。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20479	B		読取り書込みヘッド	よみとりかきこみへっど	read/write head	磁気的に書込み及び読取りが可能な磁気ヘッド。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20480	B		ステップ	すてっぷ	step	読取り書込みヘッドを1シリンダごとに移動すること。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20481	B		トラック	とらっく	track	ディスクの磁性面上で、データの書込み及び読取りが可能な同心円状の径路。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20482	B		製造者規定信号	せいぞうしゃきていしんご	vender unique	機能の使用法を、製造者が規定するインタフェース信号。	JIS X 6052	1990				廃1999/12			
20483	A		実行中入出力プロセス	じっこうちゅうにゅうしゅつりょくぷろせす	active I/O process	実行中のプロセス(待ち行列中のプロセスを除く。)	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20484	A		バイト	ばいと	byte	8ビットバイト。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20485	A		コマンド記述ブロック	こまんどきじゅつぶろっく	command descriptor block, CDB	イニシエータからターゲットに操作要求を伝えるためのコマンド情報の形式。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20486	A		コマンド待ち行列	こまんどまちぎょうれつ	command queue	入出力プロセスのための待ち行列。この中に入出力プロセスを記憶する(7・8参照)。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20487	A		接続する	せつぞくする	connect	結合を確立するためにターゲットを選択し、入出力プロセスを開始させるイニシエータの動作。接続動作によって初期接続を行う。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20488	A		接続	せつぞく	connection	初期接続又は再接続。接続は、1台のイニシエータと1台のターゲットとの間でだけ可能と	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20489	A		接点	せってん	contact	ケーブル中の1本の導体に対応するコネクタの電気的接点部分。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20490	A		誤り情報保持状態	あやまりじょうほうほじじょうたい	contingent allegiance, CA	CHECK CONDITION状態によって生成され、ターゲットがそのセンスデータを保持している状態(7.6参照)。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20491	A		接続中入出力プロセス	せつぞくちゅうにゅうしゅつりょくぷろせす	current I/O process	SCSIバスに接続中の入出力プロセス。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20492	A		切断	せつだん	disconnect	BUSFREEフェーズに移ることを許すために、装置(ターゲット)がSCSIバスの制御を開放したときに起こる動作。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20493	A		拡張誤り情報保持状態	かくちょうあやまりじょうほうほじじょうたい	extended contingent allegiance, ECA	複数イニシエータシステムにおいて、拡張誤り回復手続きを補助するためにINITIATERECOVERYメッセージによって生成される状態(7.7参照)。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20494	A		フィールド	ふぃーるど	field	1ビット又は連続したビット群。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20495	A		ホストアダプタ	ほすとあだぷた	host adapter	ホストシステムとSCSIバスとの間にある装置。この装置は、SCSIの下位層のプロトコルとして働き、通常、イニシエータの役割を受け持つ。この機能は、ホストシステム内部に組み込んでもよい。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20496	A		初期接続	しょきせつぞく	initial connection	接続動作の結果。初期接続は、SELECTIONフェーズでBUSYを真にしてから次のBUSFREEフェーズに入るまで継続する。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20497	A		イニシエータ、起動装置	いにしえーた、きどうそうち	initiator	他のSCSI装置(ターゲット)に入出力プロセスの操作の実行を指示するSCSI装置。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20498	A		無効	むこう	invalid	(保留などによって)使用してはならない又は組み込まれていないフィールド又はコード	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20499	A		入出力プロセス	にゅうしゅつりょくぷろせす	I/O process	一つのコマンド又はリンクされたコマンド群に関連する1回の初期接続及び0回以上の再接続からなるプロセス。正確には、接続は、0個以上のコマンド記述ブロックで転送された一つの結合に属する。入出力プロセスは、結合の確立から始まる。入出力プロセスは、通常、COMMAND COMPLETEメッセージ又はRELEASE RECOVERYメッセージが正常に転送された後のBUS FREEフェーズで終了する。入出力プロセスは、ABORT、ABORT TAG、BUS DEVICE RESET若しくはCLEAR QUEUEのメッセージの受信、ハードリセット状態又は予想外切断の後のBUS FREEフェーズでも終了する。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20500	A		I T 結合	I T けつごう	I T nexus	イニシエータとターゲットとの間の結合。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20501	A		I_T_L 結合	I_T_L けつごう	I_T_L nexus	イニシエータ、ターゲット及び論理ユニットの間における結合。この関係は、先行するI_T結合を置き換える。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20502	A		I_T_R 結合	I_T_R けつごう	I_T_R nexus	イニシエータ、ターゲット及びターゲットルーチンの間における結合。この関係は、先行するI_T結合を置き換える。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20503	A		I T x 結合	I T x けつごう	I T x nexus	I T L結合及びI T R結合の総称。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20504	A		I_T_L_Q 結合	I_T_L_Q けつごう	I_T_L_Q nexus	待ち行列タグメッセージを受信した後のイニシエータ、ターゲット、論理ユニット及び待ち行列タグの間の結合。この関係は、先行するI T L結合を置き換える。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20505	A		I_T_x_y 結合	I_T_x_y けつごう	I_T_x_y nexus	I T xL結合及びI T L Q結合の総称。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20506	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	イニシエータから供給され、又はイニシエータが要求するデータの単位。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20507	A		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit	ターゲットを通じてアドレス指定可能な物理的又は仮想的な装置。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20508	A		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number, LUN	論理ユニットを識別するための3ビットで符号化された識別子。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20509	A		必す(須)	ひっす	mandatory	この規格に適合するために備えなければならない項目。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20510	A		結合	けつごう	nexus	初期接続から始まって、入出力プロセスが終了するまでの間の関係。この関係は、IDENTIFYメッセージで指定された一つの論理ユニット又は一つのターゲットルーチンだけに限定してもよい。さらに、待ち行列タグメッセージを転送することによって限定してもよ	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20511	A		1	いち	one	信号の真又は状態の真を表す値。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20512	A		任意	にんい	optional	この規格に適合するためには備えなくてもよい項目。任意とされている項目を組み込む場合は、この規格の規定に従わなければならない。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20513	A		ページ	ぺーじ	page	一部のコマンドで使用するパラメタ構造。ページは、ページコードで識別する。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20514	A		周辺装置	しゅうへんそうち	peripheral device	SCSIバスに接続するSCSI装置に接続可能な物理的周辺機器(例えば、磁気ディスク装置、磁気テープ装置、印字装置、光ディスク装置など)。周辺装置とSCSI装置(入出力制御装置)とが一体化していてもよい。通常、周辺装置とSCSI装置とを1対1に対応させるが、これは必す(須)条件ではない。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20515	A		待ち行列タグ	まちぎょうれつたぐ	queue tag	論理ユニットの待ち行列に入っている同一イニシエータからの入出力プロセスを一意に識別するために、入出力プロセスに付ける値。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20516	A		待ち行列入出力プロセス	まちぎょうれつにゅうしゅつりょくぷろせす	queued I/O process	コマンド待ち行列に入っている入出力プロセス。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20517	A		再接続する	さいせつぞくする	reconnect	入出力プロセスを継続するために結合を復活する動作。ターゲットは、バスの使用権を獲得した後で、RESELECTIONフェーズ及びMESSAGEフェーズを用いて、イニシエータを再接続する。イニシエータは、SELECTIONフェーズ及びMESSAGEフェーズを用いて、	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20518	A		再接続	さいせつぞく	reconnection	再接続動作の結果。再接続は、RESELECTIONフェーズでBUSYを真にしてから次のBUSFREEフェーズに入るまで継続する。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20519	A		保留	ほりゅう	reserved	将来の標準化のために、使用が許されていないビット、フィールド及びコード値。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20520	A		SCSIアドレス	SCSIあどれす	SCSI address	SCSI装置に割り当てた固有アドレス(0～7)の8進表現。このアドレスは、通常、システム設定時に割り当てられる。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20521	A		SCSI ID	SCSI ID	SCSI ID	データバスの8本の信号線を用いた、ビット指定によるSCSIアドレス。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20522	A		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device	SCSIバスに接続可能なホストアダプタ(イニシエータ)及び周辺制御装置(ターゲット)。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20523	A		信号を真にすること	しんごうをしんにすること	signal assertion	真の状態に信号を駆動すること。単に真にすることともいう。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20524	A		信号を偽にすること	しんごうをぎにすること	signal negation	偽の状態に信号を駆動すること又は終端電源にバイアスして(駆動回路の出力を高インピーダンス状態にして)、偽の状態にすること。単に偽にすることともいう。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20525	A		信号の開放	しんごうのかいほう	signal release	終端電源にバイアスして(駆動回路の出力を高インピーダンス状態にして)、偽の状態にすること。単に開放ともいう。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20526	A		状態バイト	じょうたいばいと	status	コマンドが終了したときに、ターゲットからイニシエータに転送される1バイトの状態情報。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20527	A		ターゲット、実行装置	たーげっと、じっこうそうち	target	イニシエータから指示された操作を実行するSCSI装置。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20528	A		ターゲットルーチン	たーげっとるーちん	target routine	論理ユニットに対してではなく、ターゲットに指示される入出力プロセスの一種(6.6.7参	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20529	A		第三者	だいさんしゃ	third-party	COPYコマンドの場合は、自分以外の二つの装置の間で行うコピーのためのCOPYコマンドを受け取って、これを管理する装置。RESERVEコマンド又はRELEASEコマンドの場合は、他の装置に代わって予約を行う装置(例えば、処理装置が直接アクセス装置の排他的使用のために順次アクセス装置を予約すること)。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20530	A		予定外切断	よていがいせつだん	unexpected disconnect	例外状態の結果として発生する切断(6.1.1参照)。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20531	A		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor specific	この規格で規定せず、製造者が定義して使用してもよいビット、フィールド、コード値、機	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20532	A		0	ぜろ	zero	偽の信号又は偽の状態を表す値。	JIS X 6053	1996	ISO/IEC 9316	1995				1995	SC25
20533	A		LSB	LSB	Least Significant Byte	14ビットのデータを1バイト(8ビット)のデータ幅フォーマットで取り扱うために2分割したときの下位ビットを扱うバイト。	JIS X 6054-1	1999							
20534	A		LSB	LSB	Least Significant Bit	1バイトのビット表現で最下位ビットのこと。	JIS X 6054-1	1999							
20535	A		MSB	MSB	Most Significant Byte	14ビットのデータを1バイト(8ビット)のデータ幅フォーマットで取り扱うために2分割したときの上位ビットを扱うバイト。	JIS X 6054-1	1999							
20536	A		MSB	MSB	Most Significant Bit	1バイトのビット表現で最上位ビットのこと。	JIS X 6054-1	1999							
20537	A		ノート	のーと		けん(鍵)盤の鍵の意。	JIS X 6054-2	1999							
20538	A		アフタータッチ	あふたーたっち		一度鍵が押された状態で、更に鍵が押し込まれたときの強さの度合い。	JIS X 6054-2	1999							
20539	A		ベロシティ	べろしてぃ		鍵を押したときの強さの度合い。鍵を離すときの速さの度合い。	JIS X 6054-2	1999							
20540	A		エンベロープ	えんべろーぷ		発音を開始してからの、時間経過に伴う各変調レベルを自動的に変化させるもの。	JIS X 6054-2	1999							
20541	A		イネーブル	いねーぶる		作動状態。	JIS X 6054-2	1999							
20542	A		ディスエーブル	でぃすえーぶる		停止状態。	JIS X 6054-2	1999							
20543	A		オムニ	おむに		楽器を一つのMIDIチャンネルに反応させるか、複数のMIDIチャンネルに反応させるかを定めるもの。	JIS X 6054-2	1999							
20544	A		巻取り余裕	まきとりよゆう		テープの巻上がり半径とリール半径との差。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20545	A		セルフローディングカートリッジ	せるふろーでぃんぐかーとりっじ		磁気テープリールの外周に着脱可能な環状のカートリッジ。自動装てん機構付きの磁気テープ駆動装置にテープと組み合わせて使用することによって自動装てんがより容易になり、併せてテープの保管・保護に役立つ。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20546	A		テープの始端及び終端	てーぷのしたんおよびしゅうたん		テープの巻心より遠い末端及び巻心に近い末端。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20547	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	テープの電磁変換特性の標準として用いられ、その特性値が国際標準化機構(ISO)によって規定されるテープ。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20548	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの電磁変換特性を標準テープのそれと比較するために用いられ、その特性と標準テープの特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20549	A		基準ピーク出力電圧	きじゅんぴーくしゅつりょくでんあつ		標準テープに表12に定める記録電流及び記録密度によって、連続する磁束反転を記録し、これを再生する(1)ときに得られるピーク出力電圧(P-P)の平均値。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20550	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field	標準テープに相連続する磁束反転を規定された記録密度で記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の95%となるような最小印加磁界。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20551	A		基準縁	きじゅんえん	reference edge	テープの磁性面に鉛直にして、これに面して、正常の走行方向が左から右に向かうように見たとき、上の方にある縁。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20552	A		磁束反転	じそくはんてん		テープの1トラックに一連の2進符号を逐時記録する場合、記録電流の方向反転に対応したテープ磁性面上の磁化の極性反転による磁束反転。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20553	A		列	れつ	row	テープの幅方向に配列され、記録又は再生が同時に行われるべきビットの一組。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20554	A		ドロップアウト	どろっぷあうと		テープの全トラックに表12に定める記録電流によって相連続する磁束反転を記録し、これを再生する(1)とき、個々のパルスの出力振幅に表1に示す状態の箇所が存在する場合	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20555	A		ドロップイン	どろっぷいん		テープの全トラックに表12に定める記録電流によって相連続する磁束反転を記録し、このテープの長手方向に直流磁界を加え、信号を十分に消去した後、これを再生する(1)場合、その出力振幅が密度での基準ピーク出力電圧の1/2の10%を超える箇所が存在する	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20556	A		欠陥箇所	けっかんかしょ		相連続する3回の試験で、8列/mm、32列/mm及び128列/mmの場合には1トラック以上、356列/mmの場合には2トラック以上にまたがるドロップアウト又はドロップインの発生を示した箇所を含み、テープの全幅にわたり、かつ、長手方向に10mmにわたる範囲。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20557	A		ARA信号	ARAしんごう		テープに書き込まれた情報の再生に際して信号の出力レベルによって再生増幅器の利得を調整する目的で磁気テープのBOTの後に、一定の長さで、かつ、規定された内容で書き込まれた信号。	JIS X 6101	1991	ISO 1864	1985				1992	SC23
20558	A		リールの表面と裏面	りーるのひょうめんとうらめん		リールをテープの駆動装置に取り付けたとき、外から見える面を表面、装置のパネルに対する面を裏面という。なお、裏面は書込み許可リングを取り付けるための溝をもつ。	JIS X 6102	1993	ISO 1864 ISO 8064	1985 1985				1992 1985	SC23
20559	A		書込み許可リング	かきこみきょかりんぐ		テープに情報を記録する回路を動作状態にするとき、リールに取り付けるリング。	JIS X 6102	1993	ISO 1864 ISO 8064	1985 1985				1992 1985	SC23
20560	A		リールの基準面	りーるのきじゅんめん		リールの裏面側で、ハブの内側貫通部円筒面と書込み許可リング取付用溝の内側面との間に挟まれた環状の面を含む平面。	JIS X 6102	1993	ISO 1864 ISO 8064	1985 1985				1992 1985	SC23
20561	A		フランジ	ふらんじ		ハブ両端に、基準面と平行に設けられた2枚の環状の盤。	JIS X 6102	1993	ISO 1864 ISO 8064	1985 1985				1992 1985	SC23
20562	A		NRZ-1方式	NRZ-1ほうしき		テープの1トラックに一連の2進符号を逐次記録する場合、符号“1”に対しては磁束を反転し、符号“0”に対しては磁束を反転しない記録方式。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20563	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	テープの電磁変換特性の標準として用いられ、その特性値が国際標準化機構(ISO)によって規定されるテープ。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20564	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの電磁変換特性を標準テープのそれと比較するために用いられ、その特性と標準テープの特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするようなテープ。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20565	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field	標準テープに記録密度31.5ftpmmで相連続する磁束反転を記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の95%となるような最小印加磁界。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20566	A		基準せん(尖)頭出力電圧	きじゅんせんとうしゅつりょくでんあつ		標準テープに記録密度31.5ftpmm、基準磁界を生じさせる電流の2.1倍の記録電流によって、相連続する磁束反転を記録し、これを再生するときに得られる平均せん頭(P-P)出	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20567	A		基準縁	きじゅんえん	reference edge	テープの磁性面を上側にして水平に置き、記録時のテープの進行方向が左から右方向になるように見たときの奥側の縁。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20568	A		トラック	とらっく	track	磁気テープの表面に一連の情報を蓄え、1個のヘッドで読出し又は書込みができる線状	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20569	A		列	れつ	row	1組の9ビットがテープ幅方向に記録されている部分。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20570	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録された磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20571	A		データ密度	でーたみつど	data density	テープの長さ1mm当たりに記録されたデータキャラクタ数(cpmm)。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20572	A		静的スキュー	せいてきすきゅー		同一の列に属し、かつ、異なるトラックに属するビットのうち、テープの長手方向の距離が最大である2ビットについて、その距離を列に関して平均した値。	JIS X 6103	1988	ISO/DIS 1863	1987				1990	SC23
20573	A		PE方式	PEほうしき		正走行方向にあるテープ上のトラックに一連の2進符号を逐次記録する場合、符号“1”を記録するときには、飽和磁化の極性をブロック間隔部と逆の極性から同じ極性に、符号“0”を記録するときには、ブロック間隔部と同じ極性から逆の極性にそれぞれ反転させ、かつ、隣り合う2符号が同じときには、その中間で更に極性を反転させる記録方式。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20574	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	テープの電磁変換特性の標準として用いられ、その特性値が国際標準化機構(ISO)によって規定されるテープ。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20575	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの電磁変換特性を標準テープのそれと比較するために用いられ、その特性と標準テープの特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするようなテープ。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20576	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field	標準テープに記録密度126ftpmmで相連続する磁束反転を記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の95%となるような最小印加磁界。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20577	A		基準せん(尖)頭出力電圧	きじゅんせんとうしゅつりょくでんあつ		標準テープに記録密度126ftpmm、基準磁界を生じさせる電流の1.8倍の記録電流によって、相連続する磁束反転を記録し、これを再生するときに得られる平均せん頭(P-P)出	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20578	A		基準縁	きじゅんえん	reference edge	テープの磁性面を上側にして水平に置き、記録時のテープの進行方向が左から右向きになるように見たときの奥側の縁。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20579	A		トラック	とらっく	track	磁気テープの表面に一連の情報を蓄え、1個のヘッドで読出し又は書込みができる線状	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20580	A		列	れつ	row	1組の9ビットがテープ幅方向に記録されている部分。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20581	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録された磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20582	A		データ密度	でーたみつど	data density	テープの長さ1mm当たりに記録されたデータキャラクタ数(cpmm)。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20583	A		スキュー	すきゅー	skew	1列内のビットの長手方向の最大位置ずれ量。	JIS X 6104	1988	ISO/DIS 3788	1987				1990	SC23
20584	A		GCR方式	GCRほうしき		テープ上に一連の2進符号を逐次記録する場合、7データバイトごとにECCキャラクタを挿入し、4ビットから5ビットに変換し、更に158個のデータ記録群ごとに制御用の信号を挿入する記録方式。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20585	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	計数形電子計算機及び類似の機械において、情報を入力、出力又は記録するための磁気的信号を記録保持するテープ。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20586	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	reference tape	テープの電磁変換特性の標準として用いられ、その特性値が国際標準化機構(ISO)によって規定されるテープ。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20587	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	secondary reference tape	テープの電磁変換特性を標準テープのそれと比較するために用いられ、その特性と標準テープの特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性との比較を行うことを可能にするようなテープ。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20588	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	標準テープに記録密度356ftpmmで相連続する磁束反転を記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の95%となるような最小印加磁界。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20589	A		基準せん(尖)頭出力電圧	きじゅんせんとうしゅつりょくでんあつ		標準テープに記録密度356ftpmm、基準磁界を生じさせる電流の1.3～1.5倍の記録電流によって、相連続する磁束反転を記録し、これを再生するときに得られる平均せん(尖)頭(P-P)出力電圧。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20590	A		基準縁	きじゅんえん	reference edge	テープの磁性面を上側にして水平に置き、記録時のテープの進行方向が左から右方向になるように見たときの奥側の縁。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20591	A		トラック	とらっく	track	磁気テープの表面に一連の情報を蓄え、1個のヘッドで読出し又は書込みができる部	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20592	A		列	れつ	row	1組の9ビットがテープ幅方向に記録されている部分。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20593	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録された磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20594	A		データ密度	でーたみつど	data density	テープの長さ1mm当たりに記録されたデータキャラクタ数(cpmm)。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20595	A		スキュー	すきゅー	skew	1列内のビットの長手方向の最大位置ずれ量。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20596	A		ECCキャラクタ	ECCきゃらくた	ECC character	データ群の中で誤りの検出及び訂正に用いるキャラクタ。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20597	A		補助CRCキャラクタ	ほじょCRCきゃらくた	auxiliary CRC character	ブロックのデータ部分内の誤り検出に用いるキャラクタ。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20598	A		CRCキャラクタ	CRCきゃらくた	CRC character	ブロック全体にわたっての誤り検出に用いるキャラクタ。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20599	A		プリアンブル	ぷりあんぶる	preamble	各記録ブロックの先端を示す信号パターン。主として電子回路の同期に用いる。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20600	A		ポストアンブル	ぽすとあんぶる	postamble	各記録ブロックの終端を示す信号パターン。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20601	A		記録密度識別バースト	きろくみつどしきべつばーすと	density identification area (ID burst)	GCR方式で使用している記録密度を識別するために記録したテープ先端部の信号。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20602	A		ARA領域	ARAりょういき		テープ先端部において読取り増幅器の利得設定に用いるための信号を記録した領域。	JIS X 6105	1988	ISO 5652	1984				1984	SC23
20603	A		セルフローディングカートリッジ	せるふろーでぃんぐかーとりっじ		テープを巻いた27形磁気テープリールの外周部に付け、保管又は使用に際してちり、汚れからテープを保護する機能をもち、かつ、機械的に開閉して、空気圧によってテープ走行系への自動装着を可能とする輪状のもの。	JIS X 6106	1991	ISO 6098	1984				1984	SC23
20604	A		ラッチ	らっち		カートリッジの開閉動作を行い、開いた状態ではテープの出し入れが可能となり、閉じた状態ではリールの外周部を固定する開閉機構。	JIS X 6106	1991	ISO 6098	1984				1984	SC23
20605	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	磁気テープ(以下、テープと呼ぶ。)の電磁変換特性の標準として用いられ、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定するテープ。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20606	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの電磁変換特性を標準テープのそれと比較するために用い、その特性と標準テープの特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするようなテープ。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20607	A		基準せん(尖)頭出力電圧	きじゅんせんとうしゅつりょくでんあつ		標準テープに記録密度972ftpmm、基準磁界を生じさせる電流の1.5倍の記録電流によって、相連続する磁束反転を記録し、これを再生するときに得られる平均せん頭(P-P)出	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20608	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference field	標準テープに記録密度972ftpmmで相連続する磁束反転を記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の85%%なるような最小印加磁界。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20609	A		基準縁	きじゅんえん		テープの記録面を上側にして水平に置き、ハブエンドが右側になるように見たときの手前	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20610	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average signal amplitude	テープ上のミッシングパルスのない部分の長さ25.4mm以上にわたって測定した読出しヘッドの平均せん頭(P-P)出力電圧。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20611	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	Flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20612	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	Flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20613	A		記録密度	きろくみつど	Physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録された磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20614	A		データ密度	でーたみつど	Data density	テープの長さ1mm当たりに記録されたデータキャラクタ数(cpmm)。	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20615	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test recording current	標準テープに基準磁界を生じさせる記録電流の1.5倍の電流。注(1)JIS X 0004、JIS X 0008、JIS X 0012	JIS X 6123	1996	ISO 9661	1994				1994	SC23
20616	A		AFN	AFN	absolute frame number	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20617	A		ATF	ATF	automatic track finding	トラックに記録した制御信号によってテープのトラック位置と磁気ヘッドとの相対位置を検出すること。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20618	A		ID領域	IDりょういき	area ID	テープの領域の定義及びフレームの形式を記述する識別子。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20619	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	規定の記録密度で記録したテープ上のミッシングパルスのない部分を7.8mm以上にわたって測定した読出しヘッドの平均せん頭(P-P)出力電圧。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20620	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20621	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20622	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20623	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のハブに巻かれた磁気テープを収容したケース。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20624	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	8-10変換後のビット。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20625	A		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	data format ID	データフォーマットの識別子。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20626	A		EWP	EWP	early warning point	パーティションの境界又はPEOTに近づいたことを示す箇所。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20627	A		EOD	EOD	end of data	最後のユーザデータが含まれるグループの終端。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20628	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code	誤りを自動訂正できるように設計された誤り訂正符号。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20629	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20630	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20631	A		フレーム	ふれーむ	frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20632	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	housekeeping frame	ユーザデータを含まないフレーム。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20633	A		LBOT	LBOT	logical beginning of tape	パーティションで始端での記録開始位置。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20634	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記憶できる磁性表面層をもつテープ(以下、テープという。)。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20635	A		信号振幅基準テープ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷ	master standard amplitude calibration tape	交流消去されたテープ上に正アジマス、23.0μmのトラック幅、公称トラック間隔で標準信号振幅を記録し、信号振幅の校正の基準として用いるテープ。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20636	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き、信号対雑音比などの磁気特性のテープの標準として用いるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定するテープ。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20637	A		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	optimum recording field	記録密度3002ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値を示す印加	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20638	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	partition boundary	パーティション1が終わりパーティション0が始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20639	A		PBOT	PBOT	physical beginning of tape	テープ始端でのリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20640	A		PEOT	PEOT	physical end of tape	テープ終端でのリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20641	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録された磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20642	A		削除	さくじょ			JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20643	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20644	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference recording field	標準テープの最適印加磁界。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20645	A		信号振幅副基準テープ	しんごうしんぷくふくきじゅんてーぷ	secondary standard amplitude calibration tape	信号振幅基準テープと同じ種類の信号が記録され、そのテープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれと比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープと信号振幅基準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20646	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、オーバーライト及び信号対雑音比を標準テープのそれと比較するために用い、その特性と標準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20647	A		セパレータ	せぱれーた	separator	データの区切りに使用するユーザデータを記録しないレコード。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20648	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude	標準信号振幅基準テープに記録された標準信号の平均信号振幅。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20649	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	PEOTが右側となるようにテープの記録面を見たときのテープの下縁。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20650	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	標準テープに基準磁界を生じさせる記録電流。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20651	A		トラック	とらっく	track	磁気信号が直列に記録されるテープ上の斜めの領域。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20652	A		VEOT	VEOT	virtual end of tape	パーティション1の終端。	JIS X 6127	1992	ISO/IEC 10777	1991				無い	不明
20653	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	1890ftpmmの記録密度で記録し、連続する48000磁束反転以上にわたって測定したピーク出力電圧(P-P)の平均値。	JIS X 6128	1994							
20654	A		BOTマーカ	BOTまーか	beginning of tape marker	磁気テープの始端の標準位置を示すために設けた孔。	JIS X 6128	1994							
20655	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録するデータの1ビットの領域。	JIS X 6128	1994							
20656	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundancy check character	誤り検出及び誤り訂正のために巡回符号として用いる文字。	JIS X 6128	1994							
20657	A		EOTマーカ	EOTまーか	end of tape marker	磁気テープの終端の基準位置を示すために設けた孔。	JIS X 6128	1994							
20658	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code	誤りを自動訂正できるように設計された符号。	JIS X 6128	1994							
20659	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に対して垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6128	1994							
20660	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	テープ上の磁束反転位置間の距離。	JIS X 6128	1994							
20661	A		ハブ	はぶ	hub	テープの巻きしん(芯)。	JIS X 6128	1994							
20662	A		リーダテープ	りーだてーぷ	leader tape	磁気テープの両端に接合した非磁性の透明なテープ。	JIS X 6128	1994							
20663	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6128	1994							
20664	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	master standard reference tape	テープの磁気的特性の標準として用いるもので、その特性値を規定したテープ。	JIS X 6128	1994							
20665	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録した磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6128	1994							
20666	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	標準テープに1890ftpmmの記録密度で記録して、これを再生したとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の95%となる最小印加磁界。	JIS X 6128	1994							
20667	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの磁気的特性を、標準テープの磁気的特性と比較するために用い、その特性と標準テープの特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことができるテープ。	JIS X 6128	1994							
20668	A		スプライシングテープ	すぷらいしんぐてーぷ	splicing tape	磁気テープとリーダテープとの接合に用いるテープ。	JIS X 6128	1994							
20669	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard signal amplitude	標準テープに1890ftpmmの記録密度の試験記録電流で記録し、これを再生したときに得られる48000磁束反転にわたるピーク出力電圧(P-P)の平均値。	JIS X 6128	1994							
20670	A		テープ	てーぷ	tape	両端にリーダテープを接合した磁気テープ。	JIS X 6128	1994							
20671	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	標準テープに基準磁界を生じさせる記録電流の130%の電流。	JIS X 6128	1994							
20672	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field	記録密度1890ftpmmの連続する磁束反転の信号を記録して、これを再生したとき、平均信号振幅がその最大値(飽和値)の95%となる最小印加磁界。	JIS X 6128	1994							
20673	A		書き込み禁止孔	かきこみきんしこう	write inhibit hole	閉じた状態のときだけ記録を可能とするためカセットに設けた孔。	JIS X 6128	1994							
20674	A		絶対フレーム番号	ぜったいふれーむばんごう	Absolute Frame Number (AFN)	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20675	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a. c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20676	A		アクセスポイント	あくせすぽいんと	Access Point	コードワードの復元用アルゴリズムを開始する点で、圧縮した一連のレコードの始まりの位置。復元操作の対象となるデータは、アクセスポイント又は後の箇所から開始してよ	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20677	A		アルゴリズム	あるごりずむ	Algorithm	論理的に表現したデータに変換する現制。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20678	A		エリアID	えりあID	Area ID	磁気テープ領域の定義及びフレームの形式を記述する識別子。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20679	A		ATF	ATF	Automatic Track Finding (ATF)	トラックに記録した制御信号によって磁気テープのトラック位置と磁気ヘッドとの相対位置の検出。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20680	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	規定の記録密度で、記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を長さ7.8mm以上にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20681	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20682	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20683	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビト列。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20684	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のハブに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20685	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	8ビットから10ビットに変換後のビット。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20686	A		コードワード	こーどわーど	Codeword	圧縮アルゴリズムによって生成したワード。コードワードのビット数は、可変であり、この規格では、規定しない。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20687	A		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID	データフォーマットの識別子。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20688	A		EWP	EWP	Early Warning Point (EWP)	パーティションの境界又はPEOTに近付いたことを示す箇所。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20689	A		EOD	EOD	End of Data (EOD)	最後のユーザデータを含むグループの終端。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20690	A		エンティティ	えんていてい	Entity	識別情報とそれに続く圧縮レコード列によって構成する記録データの集合。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20691	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code (ECC)	誤りを自動訂正できるように設計された誤り訂正符号。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20692	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20693	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20694	A		フレーム	ふれーむ	Frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20695	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	Housekeeping Frame	ユーザデータを含まないフレーム。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20696	A		LBOT	LBOT	Logical Beginning of Tape (LBOT)	テープ上でデータの記録開始位置。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20697	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20698	A		信号振幅基準テープ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration	交流消去したテープ上に正アジマス、21μmのドラッグ幅、公称ドラッグ間隔で標準信号振幅を記録し、信号振幅の校正の基準として用いるテープ。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20699	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比の標準として用い、その特性値を日本工業標準調査会(JISC)が規定するテープ。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20700	A		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	Optimum Recording Field	記録密度2999.9ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値を示す印	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20701	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition Boundary	パーティション1が終わりパーティション0が始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20702	A		PBOT	PBOT	Physical Beginning of Tape (PBOT)	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20703	A		PEOT	PEOT	Physical End of Tape (PEOT)	テープ終端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20704	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20705	A		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition (see annex F)	互換性維持のために許容する記録レベル。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20706	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	ホストからのデータを圧縮アルゴリズムによって、コードワードに変換する処理。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20707	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	圧縮処理したコードワードの列。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20708	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	Processed Record	未圧縮レコードを圧縮処理することによって生成するレコード。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20709	A		圧縮レコード列	あっしゅくれこーどれつ	Processed Record Sequence	8ビット単位の境界で始まり、次の8ビット単位の境界で終わる一つ以上のコードワードの列。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20710	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20711	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field	標準テープの最適印加磁界。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20712	A		復元処理	ふくげんしょり	reprocessing	コードワードを元のデータに復元する処理	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20713	A		信号振幅副基準テープ	しんごうしんぷくふくきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration Tape	信号振幅基準テープと同じ種類の信号が記録され、そのテープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれと比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20714	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比を標準テープのそれと比較するために用い、その特性値と標準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20715	A		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark	データの区切りに使用するユーザデータを含まないレコード。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20716	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude	信号振幅基準テープに記録した標準信号の平均信号振幅。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20717	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge	PEOTが右端となるようにテープの記録面から見たときのテープの下端。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20718	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current	標準テープに基準磁界を生じさせる記録電流。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20719	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20720	A		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed data	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20721	A		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	Unprocessed Record	バイト単位で構成する未圧縮データのレコード。	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20722	A		VEOT	VEOT	Virtual End of Tape	記録データの区分に用いるパーティション1の終端を定義した磁気テープの長手方向の	JIS X 6129	1997	ISO/IEC 13923	1996				1996	SC23
20723	A		絶対フレーム番号	ぜったいふれーむばんごう	Absolute Frame Number, AFN	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20724	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a. c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20725	A		アクセスポイント	あくせすぽいんと	Access Point	コードワードの復元用アルゴリズムを開始する点で、圧縮した一連のレコードの始まりの位置。復元操作の対象となるデータは、アクセスポイント又は後の箇所から開始してよ	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20726	A		アルゴリズム	あるごりずむ	Algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20727	A		エリアID	えりあID	Area ID	磁気テープ領域の定義及びフレームの形式を記述する識別子。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20728	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシング・パルスのない部分を長さ7.8mm以上にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20729	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20730	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20731	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20732	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のハブに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20733	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	8ビットから10ビットに変換後のビット。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20734	A		コードワード	こーどわーど	Codeword	圧縮アルゴリズムによって生成したワード。コードワードのビット数は、可変であり、この規定では、規定しない。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20735	A		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID	データフォーマットの識別子。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20736	A		EWP	EWP	Early Warning Point	パーティションの境界又はPEOTに近付いたことを示す箇所。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20737	A		EOD	EOD	End of Data	最後のユーザデータを含むグループの終端。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20738	A		エンティティ	えんていてい	Entity	エンティティヘッダ及び圧縮レコード列によって構成する記録データの集合。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20739	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code	誤りを自動訂正できるように設計された誤り訂正符号。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20740	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20741	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20742	A		フラグメント	ふらぐめんと	Fragment	記録、再生及び誤り訂正符号の単位として取り扱うバイトの集合。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20743	A		フレーム	ふれーむ	Frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20744	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	House keeping Frame	ユーザデータを含まないフレーム。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20745	A		LBOT	LBOT	Logical Beginning of Tape	テープ上でデータの記録開始位置。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20746	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ(以下、テープという。)。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20747	A		信号振幅基準テープ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration	交流消去したテープ上に正アジマス、21.0 μmのトラック幅、27.2 μmのトラック間隔で標準信号振幅を交流消去されたテープ上に記録し、信号振幅の校正の基準として用いる	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20748	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比の標準として用い、その特性値を日本工業標準調査会(JISC)が規定するテープ。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20749	A		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	Optimum Recording Field	記録密度2999.9ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値を示す印	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20750	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition Boundary	パーティション1が終わりパーティション0が始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20751	A		PBOT	PBOT	Physical Beginning of	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20752	A		PEOT	PEOT	Physical End of Tape	テープ終端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20753	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20754	A		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition	互換性維持のために許容される記録レベル。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20755	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	ホストからのデータを圧縮アルゴリズムによって、コードワードに変換する処理。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20756	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed date	圧縮処理したコードワードの列。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20757	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	Processed Record	未圧縮レコードを圧縮処理することによって生成するレコード。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20758	A		圧縮レコード列	あっしゅくれこーどれつ	Processed Record Sequence	8ビット単位の境界で始まり、次の8ビット単位の境界で終わる一つ以上のコードワードの列。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20759	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20760	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field	標準テープの最適印加磁界。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20761	A		復元処理	ふくげんしょり	reprocessing	コードワードを元のデータに復元する処理。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20762	A		信号振幅副基準テープ	しんごうしんぷくふくきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration Tape	信号振副基準テープと同じ種類の信号が記録され、そのテープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれと比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20763	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比を標準テープのそれと比較するために用い、その特性値と標準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20764	A		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark	データの区切りに使用するユーザデータを含まないレコード。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20765	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude	信号振幅基準テープに記録した標準信号の平均信号振幅。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20766	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge	PEOTが右端となるようにテープの記録面から見たときのテープの下端。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20767	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current	標準テープに基準磁界を生じさせる記録電流。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20768	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20769	A		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed date	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20770	A		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	Unprocessed Record	バイト単位で構成する未圧縮データのレコード。	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20771	A		VEOT	VEOT	Virtual End of Tape	記録データの区分に用いるパーティション1の終端を定義した磁気テープの長手方向の	JIS X 6130	1999	ISO/IEC 15521	1998				1998	SC23
20772	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20773	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	テープ上のミッシングパルスがない部分を長さ25.4mm以上にわたって測定した読取ヘッドの出力電圧の平均ピーク値(P-P)。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20774	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20775	A		テープの始端	てーぷのしたん	beginning of tape, BOT	磁気テープの長手方向に沿って、記録密度識別バーストを書き始める点。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20776	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われる8ビットの列。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20777	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	リーダブロック付きの磁気テープを収納したケース。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20778	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundacy check(CRC) character	誤り検出及び誤り訂正のための巡回符号として用いる文字。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20779	A		データブロック	でーたぶろっく	data block	一つ以上の連鎖したパケット及び付加情報からなるデータ。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20780	A		データレコード	でーたれこーど	data records		JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20781	A		圧縮データレコード	あっしゅくでーたれこーど	processed data record,	論理データレコード(LDR)にアルゴリズムを適用して、生成したデータ列。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20782	A		ホストデータレコード	ほすとでーたれこーど	host data record,HDR	ホストで最初に集められるデータ列。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20783	A		論理データレコード	ろんりでーたれこーど	logical data record,LDR	サブシステムがホストから受領するデータ列。ホストで拡張ブロック処理にまとめた1個以上のホストデータレコード(HDR)からなる。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20784	A		ユーザデータレコード	ゆーざでーたれこーど	user data record,UDR	パケット生成に有効なデータ列。データが圧縮処理されている場合には、圧縮データレコード(PDR)とし、非圧縮データの場合には、論理データレコード(LDR)とする。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20785	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code, ECC	誤りを自動訂正できるように設計された符号。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20786	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープの表面に垂直な方向で磁束密度が最大となる点。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20787	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転の長さ。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20788	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20789	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能及び重ね書き特性の標準として用いるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定するテープ。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20790	A		パケット	ぱけっと	packet	パケット識別子とパレットトレーラを付加したユーザデータレコード(UDR)。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20791	A		パケット識別子	ぱけっとしきべつし	packet identifier	パケット生成時、UDRの先頭に付加した32バイトの集まり。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20792	A		パケットトレーラ	ぱけっととれーら	packet trailer	パケット生成時、UDRの末尾に付加した可変なバイトの集まり。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20793	A		パッドバイト	ぱっどばいと	pad byte	8個のビット"0"で構成するバイト。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20794	A		記録密度	きろくみつど	pysical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20795	A		ポストアンブル	ぽすとあんぶる	postamble	逆方向にデータを読み取るとき、同期をとるためにデータブロックの終端に書き込む9ビットの繰返しパターン。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20796	A		プリアンブル	ぷりあんぶる	preamble	正方向にデータを読み取るとき、同期を取るためにデータブロックの始端に書き込む9ビットの繰返しパターン。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20797	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	アルゴリズムによって圧縮処理したデータ。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20798	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	アルゴリズムを用いてデータを変換する処理。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20799	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	標準テープのティピカル磁界。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20800	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの特性が既知であり、標準テープとの偏差が明示されているテープ。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20801	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude, SRA	NISTの計測システムで、標準テープに記録密度972ftpmmで試験記録電流で記録し、これを再生したときの出力電圧の平均ピーク値(P-P)。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20802	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生する電流。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20803	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20804	A		トラック	とらっく	track	磁気テープの長手方向に、連続して磁気信号が記録できる部分。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20805	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field	試験テープに記録密度927ftpmmで連続する磁束反転を記録し、これを再生したとき、再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の85%となる最小印加磁界。	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20806	A		変換	へんかん	transformation	フォーマットする前のホストデータレコードの圧縮処理、パケット生成及びパケット連鎖の	JIS X 6132	1995	ISO/IEC 11559	1993				1993	SC23
20807	A		符号値	ふごうち	Code Value	圧縮アルゴリズムによって生成した0～4095の整数。	JIS X 6133	1997	ISO/IEC 11558	1992				1992	SC23
20808	A		符号語	ふごうご	Codeword	2進数で符号値を表現する連続する9、10、11又は12ビットの出力列。	JIS X 6133	1997	ISO/IEC 11558	1992				1992	SC23
20809	A		圧縮比	あっしゅくひ	compression ratio	圧縮アルゴリズムの入力列のビット数を圧縮アルゴリズムの出力列のビット数で除した数	JIS X 6133	1997	ISO/IEC 11558	1992				1992	SC23
20810	A		辞書	じしょ	dictionary	入力列から選択したバイト列の保持に使用する3832個の登録から成る表。各登録は、264以上で重複がない符号値で識別される。	JIS X 6133	1997	ISO/IEC 11558	1992				1992	SC23
20811	A		空状態	くうじょうたい	empty state	辞書にデータがない状態。	JIS X 6133	1997	ISO/IEC 11558	1992				1992	SC23
20812	A		凍結状態	とうけつじょうたい	frozen state	辞書にデータが追加できない状態。	JIS X 6133	1997	ISO/IEC 11558	1992				1992	SC23
20813	A		ブロック	ぶろっく	block	通常512バイト長をもつ論理データレコード(LDR)の一部。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23
20814	A		符号化ブロック	ふごうかぶろっく	Code Block	圧縮後トレーラを付加したブロック。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20815	A		符号列	ふごうれつ	Code String	符号化済みの論理データレコード。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23
20816	A		符号化	ふごうか	encoding	ブロック符号から符号化ブロックを生成する方法。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23
20817	A		入力事象	にゅうりょくじしょう	input event	検索中の符号生成器への入力。ランモードではバイト単位、ノーマルモードではビット単位とする。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23
20818	A		論理データレコード	ろんりでーたれこーど	Logical Data Record	データ圧縮器への入力データ。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23
20819	A		トレーラ	とれーら	trailer	圧縮及びパッドビットを付加後のブロックへの追加データ。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23
20820	A		固有テーブルペア	こゆうてーぶるぺあ	Unique Table Pair	ランモードだけに使用する256個のテーブルペアの最後。	JIS X 6134	1997	ISO/IEC 12042	1993				1993	SC23
20821	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規制。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20822	A		アルゴリズム圧縮データ	あるごりずむあっしゅくでーた	algorithmically Processed Data	定義されたアルゴリズムによって圧縮処理したデータ。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20823	A		テープの始端	てーぷのしたん	Beginning of Tape (BOT)	磁気テープの長子方向に沿って、情報を書き始める点。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20824	A		バイト	ばいと	byte	1単位として取り扱われる8ビット(変換した9ビット)の列。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20825	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) character	誤り検査のための巡回符号として用いる2バイトの文字。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20826	A		圧縮データレコード	あっしゅくでーたれこーど	Processed Data Record (PDR)	論理データレコード(LDR)にアルゴリズムを通用して生成したデータ列。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20827	A		ホストデータレコード	ほすとでーたれこーど	Host Data Record	ホストで最初に集められるデータ列。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20828	A		論理データレコード	ろんりでーたれこーど	Logical Data Record (LDR)	サブシステムがホストから受領するデータ列。ホストで拡張ブロック処理にまとめた1個以上のホストデータレコード(HDR)からなる。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20829	A		ユーザデータレコード	ゆーざでーたれこーど	User Data Record (UDR)	パケット生成に有効なデータ列。データが圧縮処理されている場合には、圧縮データレコード(PDR)とし、非圧縮データの場合には、論理データレコード(LDR)とする。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20830	A		テープの終端	てーぷのしゅうたん	End of Tape (EOP)	記録できるBOTから最も遠い点。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20831	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error correcting code	誤りを自動訂正できるように設計された符号。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20832	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープの表面に垂直な方向で磁束密度が最大となる点。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20833	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転の長さ。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20834	A		フレーム	ふれーむ	Frame	論理的に関連するバイトを含むハーフラップ内のすべての18トラックにまたがる箇所。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20835	A		論理バックワード	ろんりばっくわーど	logical backwards	降べき順にLDRを検出するテープ走行方向。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20836	A		論理フォワード	ろんりふぉわーど	logical forwards	昇べき順にLDRを検出するテープ走行方向。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20837	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20838	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	基準磁界、信号振幅、分解能及び重ね書き特性の標準として用いるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定するテープ。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20839	A		パケット	ぱけっと	packet	パケット識別子とパケットトレーラを付加したユーザデータレコード(UDR)。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20840	A		パッドバイト	ぱっどばいと	Pad byte	8個のビット"0"で構成するバイト。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20841	A		物理バックワード	ぶつりばっくわーど	physical backward	EOTからBOTへのテープ走行方向。ハーフラップ2の論理フォワードになる。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20842	A		物理フォワード	ぶつりふぉわーど	physical forward	BOTからEOTへのテープ走行方向。ハーフラップ1の論理フォワードになる。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20843	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20844	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	Processed Data	アルゴリズムによって圧縮処理したデータ。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20845	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの特性が既知であり、標準テープとの偏差が明示されているテープ。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20846	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	NISTの計測システムで、標準テープに記録密度972ftpmmで試験記録電流で記録し、これを再生したときの出力電圧の平均ピーク値(P-P)。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20847	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	STANDARD REFERENCE CURRENT	基準磁界を発生する電流。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20848	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge	ハブ終端(EOT側)を右側に置きテープの記録面を見たときのテープ下端。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20849	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current	基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20850	A		トラック	とらっく	track	磁気テープの長手方向に、連続して磁気信号が記録できる部分。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20851	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field	試験テープに記録密度972ftpmmで連続する磁束反転を記録し、これを再生したとき、再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の85%となる最小印加磁界。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20852	A		変換	へんかん	transformation	フォーマットする前のホストデータレコードの圧縮処理、パケット生成及びパケット連鎖の	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20853	A		ラップ	らっぷ	Wrap	36トラックの集まり。18トラックは、BOTからEOT方向に連続記録し、残り18トラックは、EOTからBOT方向に連続に記録する。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20854	A		ハーフラップ	はーふらっぷ	Half-Wrap	同一方向に連続記録した18トラックの集まり。BOTからEOT方向に記録するハーフラップ1とEOTからボリューム終端方向へ記録するハーフラップ2の2種類がある。	JIS X 6135	1997	ISO/IEC 14251	1995				1995	SC23
20855	A		圧縮データ列	あっしゅくでーたれつ	Compressed Data Stream	圧縮後の出力データ列。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20856	A		コピーポインタ	こぴーぽいんた	Copy Pointer	圧縮データ列の一部。履歴バッファに同一グループが存在することを示す二つ以上の連続するバイトのグループを表し、レングスコード領域と変位領域からなる。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20857	A		カレントアドレス	かれんとあどれす	Current Address	データバイトを書き込む履歴バッファの位置。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20858	A		データバイト	でーたばいと	Data Byte	履歴バッファに以前に記録したすべてのデータと比較し、履歴バッファに記録する入力データの現在のバイト。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20859	A		変位領域	へんいりょういき	Displacement Field	履歴バッファ内の一致データ列の最初のバイト。位置を示すコピーポインタの一部。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20860	A		終了マーカ	しゅうりょうまーか	End Marker	圧縮データ列の終了を示す12個の"1"の連続列。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20861	A		履歴バッファ	りれきばっふぁ	History Buffer	データの圧縮及び復元に使用する入力データを貯える段階構造。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20862	A		生データ	なまでーた	Literal	履歴バッファ内に一致するバイトが存在しないデータバイト。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20863	A		一致文字列	いっちもじれつ	Matching String	履歴バッファ内の連続するバイトと一致する入力データの連続するバイト。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20864	A		一致数	いっちすう	Match Count	一致文字列のバイト数	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20865	A		一致数領域	いっちすうりょういき	Match Count Field	履歴バッファ内で一致した連続するバイトの数を示すコピーポインタの一部。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20866	A		パッドビット	ぱっどびっと	Pad Bits	8ビットバイトを構成するために、必要に応じて圧縮データ列に挿入する"0"のビット。	JIS X 6136	1999	ISO/IEC 15200	1996				1996	SC23
20867	A		絶対フレーム番号	ぜったいふれーむばんごう	Absolute Frame Number, AFN	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6137	1999							
20868	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c.erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6137	1999							
20869	A		アクセスポイント	あくせすぽいんと	Access Point	コードワードの復元用アルゴリズムを開始する点で、圧縮した一連のレコードの始まりの位置。復元操作の対象となるデータは、アクセスポイント又は後の箇所から開始してよ	JIS X 6137	1999							
20870	A		アルゴリズム	あるごりずむ	Algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6137	1999							
20871	A		エリアID	えりあID	Area ID	磁気テープ領域の定義及びフレームの形式を記述する識別子。	JIS X 6137	1999							
20872	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を長さ7.8mm以上にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6137	1999							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20873	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6137	1999							
20874	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6137	1999							
20875	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。	JIS X 6137	1999							
20876	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のハブに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6137	1999							
20877	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	8ビットから10ビットに変換後のビット。	JIS X 6137	1999							
20878	A		コードワード	こーどわーど	Codeword	圧縮アルゴリズムによって生成したワード。	JIS X 6137	1999							
20879	A		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID	データフォーマットの識別子。	JIS X 6137	1999							
20880	A		EWP	EWP	Early Warning Point	パーティションの境界又はPEOTに近付いたことを示す箇所。	JIS X 6137	1999							
20881	A		EOD	EOD	End Of Data	最後のユーザデータを含むグループの終端。	JIS X 6137	1999							
20882	A		エンティティ	えんていてい	Entity	エンティティヘッダ及び圧縮レコード列によって構成する記録データの集合。	JIS X 6137	1999							
20883	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code	誤りを自動訂正できるように設計された誤り訂正符号。	JIS X 6137	1999							
20884	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6137	1999							
20885	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6137	1999							
20886	A		フラグメント	ふらぐめんと	Fragment	記録、再生及び誤り訂正符号の単位として取り扱うバイトの集合。	JIS X 6137	1999							
20887	A		フレーム	ふれーむ	Frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6137	1999							
20888	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	House keeping Frame	ユーザデータを含まないフレーム。	JIS X 6137	1999							
20889	A		LBOT	LBOT	Logical Beginning Of Tape	テープ上でデータの記録開始位置。	JIS X 6137	1999							
20890	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ(以下、テープという。)。	JIS X 6137	1999							
20891	A		信号振幅基準テープ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration	交流消去したテープ上に正アジマス、21.0μmのトラック幅、27.2μmのトラック間隔で標準信号振幅を交流消去されたテープ上に記録し、信号振幅の校正の基準として用いる	JIS X 6137	1999							
20892	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比の標準として用い、その特性値を日本工業標準調査会(JISC)が規定するテープ。	JIS X 6137	1999							
20893	A		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	Optimum Recording Field	記録密度2999.9ftpmmで記録し、再生したとき、その平均信号振幅が最大値を示す印加	JIS X 6137	1999							
20894	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition Boundary	パーティション1が終わりパーティション0が始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6137	1999							
20895	A		PBOT	PBOT	Physical Beginning Of	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6137	1999							
20896	A		PEOT	PEOT	Physical End Of Tape	テープ終端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6137	1999							
20897	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6137	1999							
20898	A		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition	互換性維持のために許容される記録レベル。	JIS X 6137	1999							
20899	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	ホストからのデータを圧縮アルゴリズムによって、コードワードに変換する処理。	JIS X 6137	1999							
20900	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	圧縮処理したコードワードの列。	JIS X 6137	1999							
20901	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	Processed Record	未圧縮レコードを圧縮処理することによって生成するレコード。	JIS X 6137	1999							
20902	A		圧縮レコード列	あっしゅくれこーどれつ	Processed Record Sequence	8ビット単位の境界で始まり、次の8ビット単位の境界で終わる一つ以上のコードワードの列。	JIS X 6137	1999							
20903	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6137	1999							
20904	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field	標準テープの最適印加磁界。	JIS X 6137	1999							
20905	A		復元処理	ふくげんしょり	reprocessing	コードワードを元のデータに復元する処理。	JIS X 6137	1999							
20906	A		信号振幅副基準テープ	しんごうしんぷくふくきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration Tape	信号振幅基準テープと同じ種類の信号が記録され、そのテープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれと比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープとの特性の比較を行うことを可能にする。	JIS X 6137	1999							
20907	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比を標準テープのそれと比較するために用い、その特性値と標準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの比較を行うことを	JIS X 6137	1999							
20908	A		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark	データの区切りに使用するユーザデータを含まないレコード。	JIS X 6137	1999							
20909	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude	信号振幅基準テープに記録した標準信号の平均信号振幅。	JIS X 6137	1999							
20910	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge	PEOTが右端となるようにテープの記録面から見たときのテープの下端。	JIS X 6137	1999							
20911	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current	標準テープに基準磁界を生じさせる記録電流。	JIS X 6137	1999							
20912	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6137	1999							
20913	A		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed data	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6137	1999							
20914	A		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	Unprocessed Record	バイト単位で構成する未圧縮データのレコード。	JIS X 6137	1999							
20915	A		VEOT	VEOT	Virtual End Of Tape	記録データの区分に用いるパーティション1の終端を定義した磁気テープの長手方向の	JIS X 6137	1999							
20916	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	AC erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20917	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	規定の記録密度で記録したテープ上のミッシングパルスがない部分の長さ1.40mm以上にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク出力電圧(P-P)。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20918	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転のトラックの中心線に垂直な直線に対する角度の偏差。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20919	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20920	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録するデータの1ビットの領域。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20921	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20922	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻かれた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20923	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundacy check(CRC) character	誤り検出及び誤り訂正のために巡回符号として用いる文字。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20924	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code,	誤りを自動訂正できるように設計された符号。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20925	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20926	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転の長さ。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20927	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20928	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	master standard reference tape	平均信号振幅、ティピカル磁界及び分解能の標準として用いるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定したテープ。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20929	A		PBOT	PBOT	physical beginning of tape	磁気テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20930	A		PEOT	PEOT	physical end of tape	磁気テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合箇所。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20931	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録される磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20932	A		副標準信号振幅	ふくひょうじゅんしんごうしんぷく	secondary reference amplitude	副標準テープに記録密度2126ftpmmの信号を試験記録電流で記録したときの平均信号振幅。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20933	A		副基準磁界	ふくきじゅんじかい	secondary reference field	副標準テープのティピカル磁界。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20934	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの平均信号振幅、ティピカル磁界及び分解能を標準テープのそれと比較するために用い、その特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能とするテープ。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20935	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	副基準磁界を生じさせる記録電流。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20936	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	テープの記録面を上側にして水平に置き、繰出しリールが右側となるように見たときの手前の縁。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20937	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	基準電流の1.5倍。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20938	A		トーン	とーん	tone	98ftpmmの信号。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20939	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20940	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field	記録密度2126ftpmmで連続する磁束反転を記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の90%となる最小印加磁界。	JIS X 6141	1993	ISO/IEC 11319	1993				1993	SC23
20941	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c.erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20942	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20943	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	規定の記録密度で記録したテープ上のミッシングパルスがない部分の長さ1.40mm以上にわたって測定した読取りヘッドの出力電圧の平均ピーク値(P-P)。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20944	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転のトラックの中心線に垂直な直線に対する角度の偏差。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20945	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20946	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録するデータの1ビットの領域。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20947	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20948	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻かれた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20949	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	compressed data	データ圧縮アルゴリズムによって変換処理したデータ。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20950	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	Cyclic Redundancy Check(CRC) Character	誤り検出及び誤り訂正のために巡回符号として用いる文字。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20951	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code (ECC)	誤りを自動訂正できるように設計された符号。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20952	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となる点。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20953	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転の長さ。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20954	A		論理レコード	ろんりれこーど	logical record	ホストから送られて、情報の単位として取り扱うデータ。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20955	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20956	A		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	平均信号振幅、ティピカル磁界及び分解能の標準として用いるテープ。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20957	A		PBOT	PBOT	Physical Beginning of	磁気テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20958	A		PEOT	PEOT	Physical End of Tape	磁気テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合箇所。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20959	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録される磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20960	A		副標準信号振幅	ふくひょうじゅんしんごうしんぷく	Secondary Reference Amplitude	副標準テープに記録密度2236ftpmmの信号を試験記録電流で記録したときの平均信号振幅。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20961	A		副基準磁界	ふくきじゅんじかい	Secondary Reference	副標準テープのティピカル磁界。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20962	A		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの平均信号振幅、ティピカル磁界及び分解能を標準テープのそれらと比較するために用い、その特性と標準テープの特性との偏差が明示されて、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能とす	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20963	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current	副基準磁界を生じさせる記録電流。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20964	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge	テープの記録面を上側にして水平に置き、繰出しリールが右側となるように見たときのテープの下端。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20965	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current	基準電流の1.5倍。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20966	A		トラック	とらっく	track	磁気反転を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20967	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field	記録密度2236ftpmmで連続する磁束反転を記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧(飽和値)の90%となる最小印加磁界。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20968	A		非圧縮データ	ひあっしゅくでーた	uncompressed data	データ圧縮アルゴリズムによって変換処理されていないホストからのデータ。	JIS X 6142	1995	ISO/IEC 12246	1993				1993	SC23
20969	B		絶対フレームアドレス	ぜったいふれーむあどれ	Absolute Frame Address	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20970	B		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c.erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20971	B		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20972	B		エリアID	えりあID	Area ID	磁気テープ領域の識別子。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20973	B		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を長さ20.7mm以上にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20974	B		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20975	B		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20976	B		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録するデータの1ビットの領域。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20977	B		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20978	B		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20979	B		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	8ビットから10ビットに変換後のビット。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20980	B		圧縮データ	あっしゅくでーた	compressed data	データ圧縮アルゴリズムによって変換処理したデータ。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20981	B		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	Cyclic Redundancy Check (CEC) Character	誤り検出のために巡回符号として用いる16ビットの文字。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20982	B		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID	データフォーマットの識別子。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20983	B		EOD	EOD	End of Data	最後のユーザデータを含むグループの終端。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20984	B		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code,	誤りを自動訂正できるように設計した誤り訂正符号。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20985	B		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となるテープ上の点。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20986	B		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20987	B		フレーム	ふれーむ	Frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20988	B		LBOT	LBOT	Logical Beginning of Tape	テープ上でのデータの記録開始位置。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20989	B		論理レコード	ろんりれこーど	Logical Record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20990	B		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20991	B		標準テープ	ひょうじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比の標準として用い、その特性値を日本工業標準調査会(JISC)が規定するテープ。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20992	B		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition Boundary	パーティション1が終わりパーティション0が始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
20993	B		PBOT	PBOT	Physical Beginning of	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20994	B		PEOT	PEOT	Physical End of Tape	テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合箇所。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20995	B		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20996	B		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field	標準テープのティピカル磁界。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20997	B		副標準テープ	ふくひょうじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比を標準テープのそれと比較するために用い、その特性値と標準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと標準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20998	B		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude	記録密度3658.1ftpmmの信号を試験記録電流で記録したときの標準テープの平均信号振幅。標準信号振幅の特性値は、副標準テープの校正値を用いて代えることができる。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
20999	B		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current	基準磁界を発生させる記録電流。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
21000	B		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge	BOTのテープ接合箇所が左側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
21001	B		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current	基準電流の1.3倍の電流。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
21002	B		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
21003	B		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	Typical Field	記録密度3658.1ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
21004	B		非圧縮データ	ひあっしゅくでーた	uncompressed data	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6143	1997				廃2002/7			
21005	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c.erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21006	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21007	A		追記録点	ついきろくてん	append point	ロングファイルマーク、セットマーク又はデータの終端、EODに先行し、論理ブロックを含む最後のトラック対と2個のギャップストライブに続く最初のトラックにある最初の物理ブ	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21008	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を3000回以上の磁束反転にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21009	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21010	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21011	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録するデータの1ビットの領域。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21012	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱われるビット列。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21013	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21014	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	8ビットから10ビットに変換後のビット。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21015	A		クラスタ	くらすた	cluster	同種のブロックで連続するブロック群。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21016	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundancy check (CRC) character	誤り検出のために巡回符号として用いる16ビットの文字。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21017	A		ディジタルサムバリエーション	でぃじたるさむばりえーしょん	digital sum variation(DSV)	各トラックの最初からチャネルビット"1"を+1として"0"を-1とした総和。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21018	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code	誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21019	A		ファイルマーク	ふぁいるまーく	file mark	ファイルを分離するため、又はスプライスポイントを示すためテープ上に記録するマーク。ロングファイルマーク及びショートファイルマークがある。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21020	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21021	A		LBOP	LBOP	logical beginning of	パーティション内でのデータの記録開始位置。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21022	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	情報の単位として扱うデータ、ファイルマーク又はセットマーク。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21023	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21024	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能及び重ね書きの標準として用いるテープ。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21025	A		パーティション	ぱーていしょん	partition	データを記録するためのテープの長さ方向の分割。テープを短い領域に分割するために	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21026	A		PBOP	PBOP	physical beginning of partition	パーティションのテープの長さ方向の始端。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21027	A		PBOT	PBOT	physical beginning of tape	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21028	A		PEOP	PEOP	physical end of partition	パーティションのテープの長さ方向の終端。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21029	A		PEOT	PEOT	physical end of tape	テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合箇所。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21030	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21031	A		リードバックチェック	りーどばっくちぇっく	read back check (RBC)	書込み中にデータの読取り誤りの有無の検査。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21032	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21033	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape (SSRT)	テープの基準磁界、信号振幅、分解能及び重ね書きを主基準テープのそれと比較するために用い、その特性値と主基準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと主基準テープとの特性の比較を行うことを可能	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21034	A		セットマーク	せっとまーく	set mark	データセットを分離するため、又はスプライスポイントを示すためテープ上に記録する	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21035	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	記録密度3819ftpmmの信号を試験記録電流で記録したときの主基準テープの平均信号振幅。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21036	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference current (Ir)	基準磁界を発生させる記録電流。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21037	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	リールが左側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下端。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21038	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current (TRC)	基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21039	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21040	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	記録密度3819ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6144	2000	ISO/IEC 15757	1998				1998	SC23
21041	A		絶対フレーム番号	ぜったいふれーむばんごう	Absolute frame number (AFN)	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21042	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c.erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21043	A		アクセス	あくせす	access	パーティションの記録又は再生。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21044	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	データの論理的表現を交換する規則の集合。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21045	A		エリアID	えりあID	area ID	磁気テープ領域及び記録したフレームタイプの識別子。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21046	A		自動トラックファインディング	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ	automatic track finding(ATF)	トラッキング方法。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21047	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスがない部分を長さ20.0mm以上にわたって測定した再生ヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21048	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21049	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21050	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビット列。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21051	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21052	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	8ビットから10ビットに変換後のビット。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21053	A		コードワード	こーどわーど	codeword	データ圧縮アルゴリズムによって変換処理したワード。コードワードのビット数は、可変であり、この規格では規定しない。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21054	A		EWP	EWP	early warning point	パーティションの境界又はPEOTに近付いたことを示す箇所。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21055	A		EOD	EOD	end of data	最後の利用者データを含むグループの終端。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21056	A		エンティティ	えんていてい	entity	エンティティヘッダ及びレコードによって構成する記録データの集合。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21057	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code	誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21058	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となるテープ上の点。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21059	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21060	A		フレーム	ふれーむ	frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21061	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	housekeeping frame	利用者データを含まないフレーム。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21062	A		LBOT	LBOT	logical beginnung of tape	テープ上でのデータの記録開始位置。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21063	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21064	A		信号振幅基準テープ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷ	master standard amplitude calibration tape	交流消去したテープ上に正アジマス及び負アジマス、35.0μmのトラック幅ヘッド、11.0μmのトラック間隔で主基準信号を記録し、信号振幅の校正の基準として用いるテープ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21065	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比の主基準として用いるテープ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21066	A		MIC	MIC	memory in cartridge	ケース内にあり、テープの記録に関する情報を保持する半導体メモリ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21067	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	partition boundary	パーティションが終わり次のパーティションが始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21068	A		PBOT	PBOT	physical beginning of tape	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21069	A		PEOT	PEOT	physical end of tape	テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合箇所。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21070	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21071	A		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition	互換性維持のために許容する記録レベル。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21072	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	ホストからのデータを圧縮アルゴリズムによって、コードワードに変換する処理。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21073	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	圧縮処理したコードワードの列。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21074	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	processed record	未圧縮レコードを圧縮処理することによって生成するレコード。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21075	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21076	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21077	A		復元処理	ふくげんしょり	reprocessing	コードワードを元のデータに復元する処理。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21078	A		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	secondary standard amplitude calibration tape	信号振幅基準テープと同じ種類の信号を記録し、そのテープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅基準テープのそれとを比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21079	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比を主基準テープのそれと比較するために用い、その特性値と主基準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと主基準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21080	A		セパレータマーク	せぱれーたまーく	separator mark	データの区切りに使用する利用者データを含まないレコード。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21081	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude(SRA)	信号振幅基準テープの正アジマストラックに記録した主基準信号の平均信号振幅。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21082	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生させる記録電流。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21083	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	BOTのテープ接合箇所が左側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21084	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	SRAを記録した電流で、基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21085	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21086	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field	記録密度2857.1ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21087	A		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed data	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21088	A		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	unprocessed record	バイト単位で構成する未圧縮データのレコード。	JIS X 6145	2000	ISO/IEC 15780	1998				1998	SC23
21089	A		絶対フレーム番号	ぜったいふれーむばんごう	absolute frame number (AFN)	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21090	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21091	A		アクセス	あくせす	access	パーティションの記録又は再生。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21092	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21093	A		エリアID	えりあID	area ID	磁気テープ領域及び記録したフレームタイプの識別子。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21094	A		自動トラックファインディング	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ	automatic track finding(ATF)	トラッキング方法。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21095	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスがない部分を長さ20.0mm以上にわたって測定した再生ヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21096	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21097	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21098	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビット列。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21099	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21100	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	8-10変換後のビット。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21101	A		コードワード	こーどわーど	codeword	データ圧縮アルゴリズムによって変換処理したワード。コードワードのビット数は、可変であり、この規格では規定しない。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21102	A		EWP	EWP	early warning point	パーティションの境界又はPEOTに近付いたことを示す箇所。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21103	A		EOD	EOD	end of data	最後の利用者データを含むグループの終端。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21104	A		エンティティ	えんていてい	entity	エンティティヘッダ及びレコードによって構成する記録データの集合。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21105	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code	誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21106	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となるテープ上の点。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21107	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21108	A		フレーム	ふれーむ	frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21109	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	housekeeping frame	利用者データを含まないフレーム。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21110	A		LBOT	LBOT	logical beginning of tape	テープ上でのデータの記録開始位置。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21111	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21112	A		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	master standard amplitude calibration tape	交流消去したテープ上に正アジマス及び負アジマス、11.0μmのトラック間隔で標準信号を記録し、信号振幅の校正の基準として用いるテープ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21113	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比の基準として用いるテープ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21114	A		MIC	MIC	memory in cartridge	ケース内にあり、テープの記録に関する情報を保持する半導体メモリ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21115	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	partition boundary	パーティションが終わり次のパーティションが始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21116	A		PBOT	PBOT	physical beginning of tape	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合か所。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21117	A		PEOT	PEOT	physical end of tape	テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合か所。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21118	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21119	A		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition	互換性維持のために許容される記録レベル。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21120	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	ホストからのデータを圧縮アルゴリズムによって、コードワードに変換する処理。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21121	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	圧縮処理したコードワードの列。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21122	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	processed record	未圧縮レコードを圧縮処理することによって生成するレコード。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21123	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21124	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21125	A		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	secondary standard amplitude calibration tape	信号振幅主基準テープと同じ種類の信号を記録し、そのテープの信号振幅と信号振幅主基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅主基準テープのそれとを比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21126	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比を主基準テープのそれと比較するために用い、その特性値と主基準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと主基準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21127	A		セパレータマーク	せぱれーたまーく	separator mark	データの区切りに使用する利用者データを含まないレコード。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21128	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	信号振幅主基準テープの正アジマストラックに記録した標準信号の平均信号振幅。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21129	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生させる記録電流。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21130	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	BOTのテープ接合か所が左側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21131	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	SRAを記録した電流で、基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21132	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21133	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	記録密度2857.1ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21134	A		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed data	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21135	A		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	unprocessed record	バイト単位で構成する未圧縮データのレコード。	JIS X 6146	2001	ISO/IEC 18809	2000				2000	SC23
21136	A		絶対フレーム番号	ぜったいふれーむばんごう	absolute frame number (AFN)	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21137	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21138	A		アクセス	あくせす	access	パーティションの記録又は再生。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21139	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21140	A		エリアID	えりあID	area ID	磁気テープ領域及び記録したフレームタイプの識別子。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21141	A		自動トラックファインディング	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ	automatic track finding (ATF)	トラッキング方法。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21142	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスがない部分を長さ20.0mm以上にわたって測定した再生ヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21143	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21144	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21145	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビット列。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21146	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21147	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	変調後に2進数0及び2進数1を異なった残留磁化でテープに記録するビット。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21148	A		コードワード	こーどわーど	codeword	データ圧縮アルゴリズムによって変換処理したワード。コードワードのビット数は、可変であり、この規格では規定しない。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21149	A		EWP	EWP	early warning point	パーティションの境界又はPEOTに近付いたことを示す箇所。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21150	A		EOD	EOD	end of data	最後の利用者データを含むグループの終端。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21151	A		エンティティ	えんていてい	entity	エンティティヘッダ及びレコードによって構成する記録データの集合。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21152	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code	誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21153	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となるテープ上の点。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21154	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21155	A		フレーム	ふれーむ	frame	正のアジマスとこれに続く負のアジマスからなる一対のトラック。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21156	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	housekeeping frame	利用者データを含まないフレーム。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21157	A		LBOT	LBOT	logical beginning of tape	テープ上でのデータの記録開始位置。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21158	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21159	A		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	master standard amplitude calibration tape	交流消去したテープ上に正アジマス及び負アジマス、11.0μmのトラック間隔で基準信号を記録し、信号振幅の校正の基準として用いるテープ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21160	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比の基準として用いるテープ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21161	A		MIC	MIC	memory in cartridge	ケース内にあり、テープの記録に関する情報を保持する半導体メモリ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21162	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	partition boundary	パーティションが終わり次のパーティションが始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21163	A		PBOT	PBOT	physical beginning of tape	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合か所。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21164	A		PEOT	PEOT	physical end of tape	テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合か所。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21165	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21166	A		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition	互換性維持のために許容される記録レベル。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21167	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	ホストからのデータを圧縮アルゴリズムによって、コードワードに変換する処理。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21168	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	圧縮処理したコードワードの列。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21169	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	processed record	未圧縮レコードを圧縮処理することによって生成するレコード。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21170	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21171	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21172	A		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	secondary standard amplitude calibration tape	信号振幅主基準テープと同じ種類の信号を記録し、そのテープの信号振幅と信号振幅主基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅主基準テープのそれとを比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21173	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号雑音比を主基準テープのそれと比較するために用い、その特性値と主基準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと主基準テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21174	A		セパレータマーク	せぱれーたまーく	separator mark	データの区切りに使用する利用者データを含まないレコード。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21175	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	信号振幅主基準テープの正アジマストラックに記録した標準信号の平均信号振幅。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21176	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生させる記録電流。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21177	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	BOTのテープ接合か所が左側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21178	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	SRAを記録した電流で、基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21179	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21180	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	記録密度4107.1ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21181	A		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed data	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21182	A		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	unprocessed record	バイト単位で構成する未圧縮データのレコード。	JIS X 6147	2001	ISO/IEC 18810	2001				2001	SC23
21183	A		絶対フレーム番号	ぜったいふれーむばんごう	absolute frame number (AFN)	フレームに付けた連続番号。	JIS X 6148	2004							
21184	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6148	2004							
21185	A		アクセス	あくせす	access	パーティションの記録又は再生。	JIS X 6148	2004							
21186	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6148	2004							
21187	A		エリアID	えりあID	area ID	磁気テープ領域及び記録したフレームタイプの識別子。	JIS X 6148	2004							
21188	A		自動トラックファインディング	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ	automatic track finding (ATF)	トラッキング方法。	JIS X 6148	2004							
21189	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	averaged signal amphtude	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスがない部分を長さ20.0mm以上にわたって測定した再生ベッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6148	2004							
21190	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転線とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6148	2004							
21191	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6148	2004							
21192	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビット列。	JIS X 6148	2004							
21193	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6148	2004							
21194	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	変調後に2進数0及び2進数1を異なった残留磁化でテープに記録するビット。	JIS X 6148	2004							
21195	A		コードワード	こーどわーど	code word	データ圧縮アルゴリズムによって変換処理したワード。コードワードのビット数は、可変であり、この規格では規定しない。	JIS X 6148	2004							
21196	A		EWP	EWP	early warning point	パーティションの境界又はPEOTに近付いたことを示す箇所。	JIS X 6148	2004							
21197	A		EOD	EOD	end of data	最後の利用者データを含むグループの終端。	JIS X 6148	2004							
21198	A		エンティティ	えんていてい	entity	エンティティヘッダ及びレコードによって構成する記録データの集合。	JIS X 6148	2004							
21199	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting code	検出した誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6148	2004							
21200	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となるテープ上の点。	JIS X 6148	2004							
21201	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長さ。	JIS X 6148	2004							
21202	A		フレーム	ふれーむ	frame	正のアジマスをもつトラックとこれに続く負のアジマスをもつトラックの対。	JIS X 6148	2004							
21203	A		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	house keeping frame	利用者データを含まないフレーム。	JIS X 6148	2004							
21204	A		LBOT	LBOT	logical beginning of tape	テープ上でのデータの記録開始位置。	JIS X 6148	2004							
21205	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6148	2004							
21206	A		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	master standard amplitude calibration tape	交流消去したテープ上に正アジマス及び負アジマスを5.5 μmのトラック間隔で基準信号を記録し、信号振幅の校正の基準として用いるテープ。 参考1. この主基準テープは、1718.2ftpmm及び3436.4ftpmmの信号を記録している。 2. この主基準テープは、ソニー株式会社によって管理されている。..	JIS X 6148	2004							
21207	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き特性及び信号対雑音比の基準として用いるテープ。	JIS X 6148	2004							
21208	A		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	partition boundary	パーティションが終わり次のパーティションが始まる磁気テープの長さ方向に沿った点。	JIS X 6148	2004							
21209	A		PBOT	PBOT	physical beginning of tape	テープ始端での磁気テープとリーダテープとの接合個所。	JIS X 6148	2004							
21210	A		PEOT	PEOT	physical end of tape	テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合個所。	JIS X 6148	2004							
21211	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6148	2004							
21212	A		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition	互換性維持のために許容される記録レベル。	JIS X 6148	2004							
21213	A		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing	ホストからのデータを圧縮アルゴリズムによって、コードワードに変換する処理。	JIS X 6148	2004							
21214	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	圧縮処理したコードワードの列。	JIS X 6148	2004							
21215	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	processed record	未圧縮レコードを圧縮処理することによって生成するレコード。	JIS X 6148	2004							
21216	A		レコード	れこーど	record	情報の単位として扱うデータ。	JIS X 6148	2004							
21217	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6148	2004							
21218	A		RMIC	RMIC	advanced intelligent tape remote memory in	ケース内にあり、テープに関する情報を保持し、その記録情報を無線通信によってアクセスする半導体メモリ。	JIS X 6148	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21219	A		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	secondary standard amplitude calibrationtape	信号振幅主基準テープと同じ種類の信号を記録し、そのテープの信号振幅と信号振幅主基準テープのそれとの偏差を明示したテープ。供試テープの信号振幅と信号振幅主基準テープのそれとを比較するために用い、供試テープの実測値を補正することによって、間接的に供試テープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。 参考 信号振幅二次基準テープは、〒141-8680東京都品川区北品川6-7-35ソニー株式会社CNCRMカンパニーが部品番号SSCT-AIT.3で原則として2011年まで供給する。	JIS X 6148	2004							
21220	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの基準磁界、信号振幅、分解能、重ね書き及び信号対雑音比を主基準テープのそれと比較するために用い、その特性値と主基準テープの特性との偏差を明示して、実測値の偏差を補正することによって、間接的に供試テープと主基準テ?ープとの特性の比較を行うことを可能にするテープ。 参考 二次基準テープは、〒141-8686 東京都品川区北品川6-7-35 ソニー株式会社CNCRMカンパニーが部品番号SSRT-AIT-3で原則として2011年まで供給する。	JIS X 6148	2004							
21221	A		セパレータマーク	せぱれーたまーく	separator mark	データの区切りに使用する利用者データを含まないレコード。	JIS X 6148	2004							
21222	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	信号振幅主基準テープの正アジマストラックに記録した標準信号の平均信号振幅。	JIS X 6148	2004							
21223	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生する記録電流。	JIS X 6148	2004							
21224	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	BOTのテープ接合個所が左側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下	JIS X 6148	2004							
21225	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6148	2004							
21226	A		トラック	とらっく	track.	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めめ領域。	JIS X 6148	2004							
21227	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field	記録密度3436.4ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6148	2004							
21228	A		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed data	圧縮処理をしていないデータの列。	JIS X 6148	2004							
21229	A		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	unproessed record	バイト単位で構成する未圧縮データのレコード。	JIS X 6148	2004							
21230	A		AEWP	AEWP	after early warning point	終端予告点後	JIS X 6148	2004							
21231	A		AFN	AFN	absolute frame number	絶対フレーム番号	JIS X 6148	2004							
21232	A		ATF	ATF	automatic track finding	自動トラックファインディング	JIS X 6148	2004							
21233	A		BAT	BAT	block access table	ブロックアクセステーブル	JIS X 6148	2004							
21234	A		BCD	BCD	binary ooded decimal	2進化10進数	JIS X 6148	2004							
21235	A		ECC	ECC	error correcting code	誤り訂正符号	JIS X 6148	2004							
21236	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21237	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	論理的に表現したデータに変換する規則。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21238	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	記録密度3704ftpmmで記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を3000mm以上にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21239	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転線とトラックの中心点に垂直な直線との角度。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21240	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21241	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録する1チャネルビットの領域。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21242	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビット列。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21243	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21244	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	8ビットから10ビットに変換後のビット。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21245	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) character	誤り検出のために用いる文字。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21246	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code (ECC)	検出した誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21247	A		ファイルマーク	ふぁいるまーく	File Mark	ファイルを分離するため、又は追記録点を示すためテープ上に記録するマーク。ロングファイルマーク及びショートファイルマークがある。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21248	A		LBOP	LBOP	Logical Beginning of Partition (LBOP)	パーティション内でのデータの記録開始位置。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21249	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	Logical Block	情報の単位として扱うデータ、ファイルマーク又はセットマーク。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21250	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21251	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape	基準磁界、信号振幅、分解能及び重ね書き特性の基準として用いるテープ。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21252	A		パーティション	ぱーていしょん	Partition	データを記録するためのテープの長さの方向の分解。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21253	A		PBOP	PBOP	Physical Beginning of Partition (PBOP)	パーティションのテープの長さ方向の始端。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21254	A		PBOT	PBOT	Physical Beginning of Tape (PBOT)	テープ始端で磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21255	A		PEOP	PEOP	Physical End of Partition (PEOP)	パーティションのテープの長さ方向の終端。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21256	A		PEOT	PEOT	Physical End of Tape (PEOT)	テープ終端での磁気テープとトレーラテープとの接合箇所。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21257	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21258	A		リードバック検査	りーどばっくけんさ	Read Back Check (RBC)	書込み中に行うデータの読取り誤りの有無の検査。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21259	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21260	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape (SSRT)	テープの特性が既知であり、主基準テープとの偏差を明示しているテープ。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21261	A		セットマーク	せっとまーく	Set Mark	データセットを分離するため、又は追記録点を示すためテープ上に記録するマーク。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21262	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude (SRA)	主基準テープに記録密度3704ftpmmの信号を記録試験電流で記録し、これを再生したときの出力が電圧の平均値。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21263	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current (Ir)	基準磁界を発生する記録電流。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21264	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge	供給リールが右側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下端。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21265	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current (TRC)	基準電流の1.5倍の電流。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21266	A		トラック	とらっく	Track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11
21267	A		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field	記録密度3704ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6149	2003	ISO/IEC 18836	2001				2001	SC11

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21268	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	2142ftpmmの記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を長さ25.4mm以上にわたって測定した再生ヘッドからのピーク出力電圧の(P-P)平均値。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21269	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とテープ基準縁に垂直な直線との角度。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21270	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21271	A		テープの始端マーカ	てーぷのしたんまーか	beginning-of-tape marker (BOT)	テープ始端でリーダテープ最近傍のテープの中心線上にあけた孔。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21272	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビットの一組。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21273	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	単一のリールに巻いた再外周にリーダテープの付いた12.7mm幅の磁気テープを収納するケース。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21274	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundancy check (CRC) character	誤り検出のための巡回符号として用いる64ビットの文字。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21275	A		終端予告	しゅうたんよこく	early warning (EW)	駆動装置が記録するテープの終端に近づいたことを示す信号。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21276	A		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	error-detecting code	誤りを検出するために使用する数学的に計算して生成する検査用バイト。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21277	A		テープの終端マーカ	てーぷのしゅうたんまーか	end-of-tape marker (EOT)	リーダテープから最も離れたテープ終端付近傍のテープ中心線上にあけた孔。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21278	A		実体	じったい	entity	論理単位として取り扱う論理トラックに記録した10論理ブロックの集合。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21279	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error-correcting code	CRC及びEDCによって検出した誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21280	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープの表面には垂直な方向で磁束密度が最大となる点。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21281	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転の長さ。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21282	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	同時に書き込み又は読み取る論理トラックの2物理トラックの2物理ブロック。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21283	A		論理トラック	ろんりとらっく	logical track	同時に書き込み又は読み取る一対の物理トラック。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21284	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録する磁性層をもつテープ。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21285	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書き特性の標準として選定したテープ。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21286	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	1レコード又は1テープマークのブロック。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21287	A		ページ	ぺーじ	page	物理ブロックの1論理区分。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21288	A		物理ブロック	ぶつりぶろっく	physical block	物理トラックに記録し、1単位とするバイトの集合。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21289	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21290	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	磁気テープの長手方向に連続して記録できる部分。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21291	A		レコード	れこーど	record	ホストが決める数で、利用者バイトの集合。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21292	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	reference edge	磁性面を手前にし、BOTほ左にEOTを右に見たときのテープの下端。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21293	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21294	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの特性が既知であり、主基準テープとの偏差を明示しているテープ。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21295	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	主基準テープに記録密度2142ftpmmで試験記録電流で記録し、これを再生したときの出力電圧の平均値。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21296	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生する電流。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21297	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	基準電流の1.1倍。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21298	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	試験テープに記録密度2142ftpmmで連続する磁束反転を記録し、これを再生したとき、再生出力電圧が最大出力電圧の95%となる最小印加磁界。	JIS X 6171	2000	ISO/IEC 15307	1997				1997	SC23
21299	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	2254ftpmmの記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を長さ25.4mm以上にわたって測定した再生ヘッドからのピーク出力電圧の(P-P)平均値。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21300	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とテープ基準縁に垂直な直線との角度。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21301	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21302	A		テープの始端マーカ	てーぷのしたんまーか	beginning-of-tape marker (BOT)	リーダテープに最も近いテープ始端近傍のテープの中心線上にあけた孔。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21303	A		物理ブロック	ぶつりぶろっく	block	物理トラックに記録し1単位とみなされる一連のバイトの一組。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21304	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビットの一組。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21305	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	単一のリールに巻いた最外周にリーダテープの付いた12.7mm幅の磁気テープを収納するケース。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21306	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundancy check (CRC) character	誤り検出のための巡回符号として用いる64ビットの文字。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21307	A		終端予告	しゅうたんよこく	early warning (EW)	駆動装置が記録するテープの終端に近づいたことを示す信号。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21308	A		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	error-detecting code	誤りを検出するために使用する数学的に計算して生成する検査用バイト。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21309	A		テープの終端マーカ	てーぷのしゅうたんまーか	end-of-tape marker (EOT)	リーダテープから最も離れたテープ終端近傍のテープ中心線上にあけた孔。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21310	A		実体	じったい	entity	論理単位として取り扱う論理トラックに記録したフィラーブロックを除く20ブロックの集合。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21311	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error-correcting code	CRC及びEDCによって検出した誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21312	A		実体集合	じったいしゅうごう	envelope	実体の集合。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21313	A		実体個数	じったいこすう	envelope size	1実体集合の中の実体の数。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21314	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープの表面に垂直な方向で磁束密度が最大となる点。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21315	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	1トラックに沿って連続する磁束反転の長さ。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21316	A		論理トラック	ろんりとらっく	logical track	同時に書き込み又は読み取る4本の物理トラック。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21317	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性層をもつテープ。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21318	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書き特性の標準として選定したテープ。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21319	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	1レコード又はタイプテープマークの1ページ。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21320	A		ページ	ぺーじ	page	物理ブロックの1論理区分。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21321	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21322	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	磁気テープの長手方向に連続して記録できる部分。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21323	A		レコード	れこーど	record	ホストが決める数で、利用者バイトの集合。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21324	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	reference edge	磁性面を手前にし、BOTを左にEOTを右に見たときのテープの下端。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21325	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21326	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの特性が既知であり、主基準テープとの偏差を明示しているテープ。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21327	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	主基準テープに記録密度2254ftpmmで試験記録電流で記録し、これを再生したときの出力電圧の平均値。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21328	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生する電流。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21329	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	基準電流の1.1倍。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21330	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	試験テープに記録密度2254ftpmmで連続する磁束反転を記録し、これを再生したとき、再生出力電圧が最大出力電圧の95%となる最小印加磁界。	JIS X 6172	2000	ISO/IEC 15896	1999				1999	SC23
21331	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorythm	データの論理的表現を変換する一連の規則。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21332	A		非ヒステリシス消去	ひひすてりしすしょうきょ	anhysteretic erase	交流磁界強度を減衰させて行う消去。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21333	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	ミッシングパルスを除き、テープ長25.4mm以上にわたって測定した出力信号(p-p)平均	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21334	A		アジマス	あじます	azimuth	テープの基準縁への垂線及びトラックの平均磁化反転線との角度。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21335	A		裏面	うらめん	back surface	テープの記録表面の反対側表面。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21336	A		パーティションの始端	ぱーてぃしょんのしたん	beginning of	テープの長さに沿って任意のパーティションでの記録が開始する場所。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21337	A		テープの始端	てーぷのしたん	beginning of tape(BOT)	磁気テープの長さに沿って情報記録の開始を示す点。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21338	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	磁気テープのBOT端にリーダブロックを取り付け、供給リールを保持する容器。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21339	A		巡回冗長検査(CRC)キャラクタ	じゅんかいじょうちょうけんさ(CRC)きゃらくた	cyclic redundancy check (CRC) character	誤り検出に用いる4バイトの符号。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21340	A		テープの終端	てーぷのしゅうたん	end of tape(EOT)	BOTから最も遠く記録ができるトラック上の点。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21341	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correcting	誤り検出及び訂正に用いる自動生成バイト。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21342	A		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	error detecting code	誤り検出に用いる自動生成バイト。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21343	A		ファイルマーク	ふぁいるまーく	file mark	ホストの要求によって記録する要素。データファイル又はその集合の終わりを示す。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21344	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直な方向に自由空間磁束密度が最大となる磁気テープ上の点。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21345	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	トラックに沿って連続する磁束反転間の距離。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21346	A		ハーフラップ	はーふらっぷ	half wrap	物理的な順方向又は逆方向に記録したトラックグループ。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21347	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	システムから受信又はシステムへ送信した利用者データ又はファイルマーク。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21348	A		論理順方向	ろんりじゅんほうこう	logical forward	昇順にデバイスブロック識別子を見つけるテープの走行方向。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21349	A		論理逆方向	ろんりぎゃくほうこう	logical reverse	降順にデバイスブロック識別子を見つけるテープの走行方向。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21350	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	情報処理用データの入力、出力及び保存を目的として磁気信号を受信し保持するテー	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21351	A		マーク回転カウント	まーくかいてんかうんと	mark tach count	最初のマークデバイスブロック前のブロック間隔始点での回転カウント値。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21352	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能及び広帯域信号対雑音特性の基準として選択したテープ。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21353	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの単位長当たりに記録する磁化反転の数(ftpmm)。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21354	A		記録前の状態	きろくまえのじょうたい	pre-recording condition	非ヒステリシス消去後にサーボの書込みを行い、データ記録の準備済みテープ。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21355	A		記録エレメント	きろくえれめんと	recorded element	ファイルマーク又は論理ブロック。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21356	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21357	A		同期キャラクタ	どうききゃらくた	resync character	トラック内のフォーマット同期点を識別する制御用文字。この文字を検出時、リードバック回路が同期操作を可能にする。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21358	A		SDMセット	SDMせっと	SDM set	ゼロミドルSDMマークを含む任意の数のミドルSDMマークを含んだSDMマークの開始と終了とで挟まれたSDMマークのグループ。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21359	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	特性が既知であり、主基準テープとの偏差を明示しているテープ。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21360	A		サーボトラック	さーぼとらっく	servo track	データ記録ヘッドが正確にデータを記録する位置にあることを検出するためにドライブが使用する記録済み非データトラック。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21361	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude(SRA)	主基準テープに記録密度2550ftpmmを試験記録電流で記録し、これを再生したときの信号振幅の平均値。基準信号振幅に対する校正を可能とするため、二次基準テープに校正値を添付する。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21362	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference current, Ir	基準磁界を発生する電流。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21363	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current, Im	基準電流の1.5倍(Im=1.5×Ir)	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21364	A		トラック	とらっく	track	テープに沿って一連の磁気信号が記録できる長手方向の領域。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21365	A		トラックグループ	とらっくぐるーぷ	track group	同時に記録するトラックのセット。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21366	A		トレーラ	とれーら	trailer	データエンティティに追加する識別用及び検査用データ。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21367	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	2550ftpmmの記録密度で最大平均信号振幅の85%となる平均信号振幅を発生する最小記録磁界。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21368	A		書込み等価	かきこみとうか	write equalisation	2値入力シーケンスを別の2値シーケンスに線形変換するアルゴリズム。	JIS X 6173	2001	ISO/IEC 17913	2000				2000	SC23
21369	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	記録密度2578ftpmmで記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を25.4mm以上にわたって測定した再生ヘッドからの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21370	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転線及びテープ基準縁に垂直な直線との角度。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21371	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21372	A		テープの始端マーカ	てーぷのしたんまーか	beginning-of-tapemarker (BOT)	リーダテープに最も近いテープ始端近傍のテープの中心線上にあけた孔。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21373	A		物理ブロック	ぶつりぶろっく	block	物理トラックに記録し1単位とみなされる一連のバイトの列。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21374	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビットの列。 備考 この規格のバイトは、8ビットとする。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21375	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	単一のリールに巻いた最外周にリーダテープの付いた12.7mm幅の磁気テープを収納するケース。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21376	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redunduncy check (CRC) character	誤り検出のために用いる64ビット、トの文字。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21377	A		終端予告	しゅうたんよこく	early warning (EW)	駆動装置が記録するテープの終端に近づいたことを示す信号。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21378	A		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	error detecting code	誤りを検出するために用いる数学的に計算して生成する検査用バイト。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21379	A		テープの終端マーカ	てーぷのしゅうたんまーか	end-of-tape marker (EOT)	リーダテープから最も離れたテープ終端近傍のテープ中心線上にあけた孔。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21380	A		エンティティ	えんていてい	entity	論理トラックに記録した論理単位として取り扱うフィラーブロックを除く20ブロックの集合。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21381	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error-correcting code	検出した誤りを自動訂正できるように設計した符号。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21382	A		実体集合	じったいしゅうごう	envelope	実体の集合	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21383	A		実体個数	じったいこすう	envelope size	実体集合の中の実体の数	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21384	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition posltion	テープ表面に垂直の方向に磁束密度が最大となるテープ上の点。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21385	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置の長ざ。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21386	A		グループレコード	ぐるーぷれこーど	group record	同一サイズのレコード群からなるレコード。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21387	A		論理トラック	ろんりとらっく	logical track	同時に書き込み又は読み取る4本の物理トラック。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21388	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21389	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書き特性の基準として用いるテープ。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21390	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	1レコード又はタイプテープマークの1ページ。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21391	A		ページ	ぺーじ	page	物理ブロックの1論理区分。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21392	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21393	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	磁気テープの長手方向に連続して記録できる部分。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21394	A		レコード	れこーど	record	ホストが決める数で、利用者バイトの集合。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21395	A		基準縁	きじゅんえん	reference edge	磁性面を手前にし、BOTを左にEOTを右に見たときのテープの下端。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21396	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21397	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	テープの特性が既知であり、主基準テープとの偏差を明示しているテープ。 備考 二次基準テープは、Quantum Corporation、333 Southstreet、shrewsbury; Mass. 01545-4195 USAが部品番号"SSRT/DLT4"で通常2010年まで供給する。ただし、入手可能期間は、二次基準テープの需要によってISO/IECとQuantum社との合意に基づいて変更することがある。このテープは、定期校正用の三次基準テープとの偏差を補正するた	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21398	A		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	主基準テープに記録密度2578ftpmmの信号を試験記録電流で記録し、これを再生したときの出力電圧の平均値。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21399	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生する記録電流。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21400	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	基準電流の1.1倍。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21401	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	記録密度2578ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の95%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6174	2004	ISO/IEC 16382	2000				2000	SC23
21402	A		アクセスポイント	あくせすぽいんと	access point	一連の圧縮記録及び復元アルゴリズムを開始する箇所。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002	IDT			2002	SC23
21403	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	データの論理的表現を変換する一連の規則。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21404	A		アルゴリズム処理データ	あるごりずむしょりでーた	algorithmically processed data	定義された処理アルゴリズムで処理したデータ。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21405	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase	減衰レベルの交流磁界を用いた消去。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21406	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	ミッシングパルスを除いて、最低25.4mmの1トラック長で規定した物理記録密度の基本周波数で、読取りヘッドからの出力信号のピークツーピークの平均値。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21407	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21408	A		テープの始端	てーぷのしたん	beginning of tape (BOT)	リーダピンに最も近いテープ基準点。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21409	A		ラップの始端	らっぷのしたん	beginning of wrap (BOW)	ラップの開始を示す論理箇所。LP3は、順方向ラップ、LP4は逆方向ラップを示す。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21410	A		ビット	びっと	bit	"0"又は"1"で表す2進法の一けた。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21411	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	隣接するRLL符合化ビット間のトラックに沿った距離。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21412	A		広帯域信号対雑音比	こうたいいきしんごうついざつおんひ	broad band signal-to-noise ratio (BBSNR)	平均読取り信号出力を平均積算広帯域(フロア)RMS雑音出力で除いたdB値。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21413	A		バイト	ばいと	byte	単位として取り扱う8ビット(12チャネルビット)の集合。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21414	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	リーダピンアッセンブリが付いたリーダテープと磁気テープが巻かれたシングル供給リールを収納したケース。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21415	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	RLLチャネル符合化から出力した1ビット。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21416	A		コードワード	こーどわーど	codeword	データ及びデータについて計算したECCバイトを含むバイトの集合。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21417	A		コードワード対	こーどわーどつい	codeword pair	コードワードの一つのインタリーブ対。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21418	A		コードワードクワッド	こーどわーどくわっど	codeword quad (CQ)	二つのコードワード対の一組。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21419	A		CQセット	CQせっと	CQ set	動作中の各トラックに同時に書き込むCQの一群。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21420	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundancy check (CRC) character	誤り検出用の検査バイトを生成するために数学的に計算した符号。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21421	A		データセット	でーたせっと	data set	テープに書き込み又はテープから読み取った完全な情報の最小単位。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21422	A		データセット情報表	でーたせっとじょうほうひょう	data set information table (DSIT)	データセットの内容を記述するデータセットの表。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21423	A		データの終端	でーたのしゅうたん	end of data (EOD)	テープに記録した最終有効データセットの終端にあるテープ上の箇所。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21424	A		テープの終端	てーぷのしゅうたん	end of tape (EOT)	記録が可能なテープ始端から最も遠いトラック上の箇所。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21425	A		ラップの終端	らっぷのしゅうたん	end of wrap (EOW)	ラップの終了を示す論理箇所。LP4は、順方向ラップ、LP3は、逆方向ラップを示す。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21426	A		誤り訂正符合	あやまりていせいふごう	error correcting code	誤り検出用及び誤り修正用に検査バイト生成するために数学的に計算した符号。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21427	A		ファイルマーク	ふぁいるまーく	file mark	ディレクトリ境界のような逐次ファイル構造の組織境界のマークに使用するホストによって書き込み、(又は読み取り)が要求された記録要素。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21428	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面に垂直方向の最大自由空間磁束密度を示す磁気テープ上の箇所。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21429	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	連続する磁束反転間のトラックに沿った距離。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21430	A		順方向テープ走行動作	じゅんほうこうてーぷそうこうどうさ	forward tape motion	テープをカートリッジリールからマシンリールに巻きとる方向の動作。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21431	A		ヘッダ	へっだ	header	識別及び検査のためデータ実態に前置するデータ。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21432	A		ハウスキーピングデータセット	はうすきーぴんぐでーたせっと	housekeeping data set	ユーザデータを含まないデータ領域の値によって識別できるデータセット。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21433	A		論理順方向	ろんりじゅんほうこう	logical forward	ラップの終端へのテープ動作の方向。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21434	A		論理逆方向	ろんりぎゃくほうこう	logical reverse	ラップの終端から遠ざかるテープ動作の方向。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21435	A		論理箇所	ろんりかしょ	logical point	テープ領域の開始又は終了の限界。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21436	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	情報処理用の入力、出力及び保存を目的とした磁気信号を受領し、保持するテープ。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21437	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape (MSRT)	基準記録電流、信号振幅、分解能、BBSNR、重ね書き比、サーボ信号振幅及びサーボ信号極性の基準として選定したテープ。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21438	A		LTOカートリッジメモリ	LTOかーとりっじめもり	LTO cartridge memory (LTO CM)	カートリッジ、カートリッジ内のテープ及びテープ上のデータについての情報を保持するのに使用するケースに内蔵した非接触保存デバイス。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21439	A		最適記録電流	さいてききろくでんりゅう	optimum recording current	密度TRD1で記録したとき、最大平均信号振幅の95%の平均信号振幅が生じる最小電流の1.15倍の電流。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21440	A		テープの物理的終端	てーぷのぶつりてきしゅうたん	physical end of tape	リーダピンアセンブリから最も離れたテープの位置。これは、テープの製造時にテープを切断し、ハブに巻き付けたテープの位置である。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21441	A		物理的順方向	ぶつりてきじゅんほうこう	physical forward	BOTからEOTへのテープ動作の方向。偶数ラップは、論理順方向となる。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21442	A		物理的逆方向	ぶつりてきぎゃくほうこう	physical reverse	EOTからBOTへのテープ動作の方向。奇数ラップは、論理順方向となる。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21443	A		プリレコード状態	ぷりれこーどじょうたい	pre-record condition	データ記録前に交流消去し、サーボ信号を記録してある状態。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21444	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data	アルゴリズムによってデータを圧縮したシンボルの列。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21445	A		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	processed record	レコードを圧縮したシンボルの列。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21446	A		圧縮	あっしゅく	Processing (Compression)	アルゴリズムを用いてホストデータをシンボルに変換する。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21447	A		保護レコード	ほごれこーど	protected record	4バイトのCRCを終端に加えた1レコード。CRCは、フォーマット処理間にレコードが壊れていないことを検査する。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21448	A		レコード	れこーど	record	テープ装置システムとホストとの間でのデータを授受する最小のデータバイトの集合。テープ装置システムは、処理、記録、再生及び復元処理をレコードで行う。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21449	A		レコード要素	れこーどようそ	record element	ファイルマーク又はレコード。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21450	A		基準記録電流	きじゅんきろくでんりゅう	Reference Recording Current	主基準テープの最適記録電流。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21451	A		復元	ふくげん	reprocessing (decompression)	アルゴリズムを用いてホストの要求するとおりシンボルをデータに変換する。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21452	A		逆方向テープ走行動作	ぎゃくほうこうてーぷそうこうどうさ	reverse tape motion	テープをマシンリールからカートリッジリールに巻きとる方向の動作。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21453	A		ランレングスリミテッド符合化	らんれんぐすりみてっどふごうか	run length limited encoding (RLL)	“1”の間の“0”を特定の最小数及び最大数で2進数列出力を生成する任意の2進数列入力に適応するアルゴリズム処理。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21454	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape (SSRT)	テープの特性が既知であり主基準テープとの偏差を明示しているテープ。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21455	A		サーボ取得領域	さーぼしゅとくりょういき	servo acquisition region	サーボ信号記録に使用するテープ上の領域。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21456	A		基準振幅	きじゅんしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	主基準テープに密度TRD1で記録し、これを再生したときの出力電圧の平均値。基準振幅との偏差は、二基準テープとともに供給する構成値表による。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21457	A		シンボル	しんぼる	symbol	データの1バイト、データバイトの1列又は制御情報を圧縮アルゴリズムによって生成するビットの列。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21458	A		同期コードワードクワッド	どうきこーどわーどくわっど	Synchronised Codeword Quad (SCQ)	RLLで符合化するコードワードクワッドへ同期パターンを挿入することによって形成する直列ビットストリーム。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21459	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Density (TRD)	特定の試験で実施する記録密度。試験記録密度は、TRD1、TRD2及びTRD3の3種類がある。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21460	A		ラップ	らっぷ	wrap	物理的順方向又は物理的逆方向に記録した一つのトラック群。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21461	A		書込み等価	かきこみとうか	write equalisation	入力2進数の順序を別の2進数順序に線形変換するアルゴリズム処理。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21462	A		(1,7)RLL符号	(1,7)RLLふごう	(1,7) RLL code	“1”の間の“0”を1個以上7個以下で出力するランレングスリミテッド(RLL)符合化手法。	JIS X 6175	2006	ISO/IEC 22050	2002				2002	SC23
21463	A		絶対ブロック番号	ぜったいぶろっくばんごう	absolute block number	論理ボリュームの先頭からN番目のブロックを表す各ブロックに付与した番号。最初のブロックは、1である。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001	IDT			2001	SC23
21464	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21465	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	データの論理的表現を変換する一連の規則。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21466	A		アペンドファイル	あぺんどふぁいる	append file	論理ボリュームのデータの最後(EOD)から付加した新しいファイル。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21467	A		アペンドボリューム	あぺんどぼりゅーむ	append volume	カセットに記録した最後の論理ボリュームの後ろに付加した論理ボリューム。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21468	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude (ASA)	規定の記録密度で記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を長さ1.40mm以上にわたって測定した再生ヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21469	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21470	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープの面。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21471	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録する1チャネルビットの領域。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21472	A		ブロック	ぶろっく	block	単独の書込み命令を実行したときにテープ制御装置に送るデータの集合。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21473	A		ブロック管理テーブル	ぶろっくかんりてーぶる	block management table (BMT)	トラックセットのブロックを管理するトラックセット内のテーブル。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21474	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビット列。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21475	A		カセット	かせっと	cassette	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21476	A		圧縮データ	あっしゅくでーた	compressed data	データ圧縮アルゴリズムによって変換後ホストシステムに送り出すデータの表現。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21477	A		コントロールトラック	こんとろーるとらっく	control track	制御信号を記録するために使用するトラック。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21478	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープ表面サーボに垂直な方向の磁束密度が最大となる点。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21479	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する磁束反転位置間の長さ。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21480	A		論理トラックセット識別子	ろんりとらっくせっとしきべつし	logical track set ID	ホストシステムからのデータを含むトラックセットに付与する識別子。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21481	A		論理ボリューム	ろんりぼりゅーむ	logical volume	書込み装置がホストシステムから受けとるデータの実体。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21482	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21483	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	信号振幅、基準磁界、分解能及び信号対雑音比(S/N)の標準として用いるテープ。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21484	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数(ftpmm)	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21485	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field (RF)	主基準テープのティピカル磁界。基準磁界は、次の二つがある。 RF1：ヘリカル走査記録トラック用 RF2：長手方向記録トラック用	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21486	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape (SSRT)	テープの特性が既知であり、主基準テープとの偏差を明示しているテープ。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21487	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	主基準テープに特定の試験記録密度の信号を試験記録電流で記録し、これを再生したときの平均信号振幅。標準信号振幅は、次の三つがある。 SRA1：TRC1で3201ftpmmで記録したヘリカル走査記録トラックの再生信号振幅の平均値 SRA2：TRC2で20.75ftpmmで記録した長手方向記録トラックの再生信号振幅の平均値	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21488	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference current	基準磁界を発生する記録電流。基準電流は、次の二つがある。 Ir1：ヘリカル走査記録トラックにRF1を発生する電流 Ir2：長手方向記録トラックにRF2を発生する電流	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21489	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	供給リールが右側になるようにテープの記録面から見たときのテープの下端。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21490	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current (TRC)	SRAの記録するための電流。試験記録電流は、次の二つがある。 TRC1：Ir1の1.1倍 TRC2：Ir2の1.0倍	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21491	A		トラック	とらっく	track	磁気変化の連続を記録するテープ上の狭い規定領域。トラックは、テープ基準縁に平行又は角度をもつ。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21492	A		トラック角度	とらっくかくど	track angle	ヘリカル走査記録トラックの中心線とテープ基準縁との間の角度。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21493	A		トラックセット	とらっくせっと	track set	トラックセット識別子によって一意に識別する4本の連続したヘリカルトラックのセット。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21494	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field (TF)	記録領域での記録磁界。ティピカル磁界は、ASAを測定し、次の二つがある。 TF1：ヘリカル走査記録トラックに物理記録密度3201ftpmmの最大ASAの90%と同じASAを発生する最小記録磁界 TF2：長手方向記録トラックに物理記録密度20.75ftpmmで記録領域の1dB増加によるASAの増加が0.5dB落ちる記録領域の値	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21495	A		ワード	わーど	word	0～3に番号付けし、バイト3を最上位とする4個の8ビットバイトのグループ（又は、セット）。	JIS X 6176	2006	ISO/IEC 20061	2001				2001	SC23
21496	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に用いる磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002	IDT			2002	SC23
21497	A		テープの始端マーカ	てーぷのしたんまーか	beginning-of-tape marker (BOT)	テープの始端で、リーダテープ最近傍のテープ中心線上にあけた孔。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21498	A		ブロック	ぶろっく	block	物理トラックに記録し、一単位とするバイトの集合。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21499	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビットの一組。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21500	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	単一のリールに巻いた最外周に、リーダテープの付いた12.7mm幅の磁気テープを収納するケース。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21501	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundancy check (CRC) character	誤り検出のための巡回符号として用いる64ビットの文字。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21502	A		誤り検出符合	あやまりけんしゅつふごう	error-detecting code	誤りを検出するために用いる、数学的に計算して生成する検査用バイト。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21503	A		テープの終端マーカ	てーぷのしゅうたんまーか	end-of-tape marker (EOT)	テープ終端で、リーダテープ最遠のテープ中心線上にあけた孔。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21504	A		実体	じったい	entity	論理単位として取り扱う、論理トラックに記録した20論理ブロックの集合。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21505	A		誤り訂正符合	あやまりていせいふごう	error-correcting code	数学的処理によって生成し、誤りの検出及び訂正のために用いるバイト。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21506	A		実体集合	じったいしゅうごう	envelope	実体の集合。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21507	A		実体集合個数	じったいしゅうごうこすう	envelope size	実体集合中の実体の数。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21508	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position	テープの表面に垂直な方向の、磁束密度が最大となる点。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21509	A		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing	一つのトラックに沿って連続する、磁束反転間の長さ。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21510	A		論理トラック	ろんりとらっく	logical track	同時に書き込み又は読み取る8本の物理トラックの集合。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21511	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録する磁性層をもつテープ。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21512	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	基準磁界、信号振幅、分解能及び重ね書き特性の標準として選定したテープ。主基準テープはQuantum Corporationによって管理されている。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21513	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	1レコード又は1テープマークのページ。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21514	A		ページ	ぺーじ	page	論理ブロックの1論理区分。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21515	A		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数（ftpmm）	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21516	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	磁気テープの長手方向に連続して記録できる領域。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21517	A		レコード	れこーど	record	12.に規定する利用者データ。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21518	A		基準縁	きじゅんえん	reference edge	磁性面を手前にし、BOTを左にEOTを右に見たときのテープの下端。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21519	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21520	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape	主基準テープとの偏差を明示したテープ。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21521	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	主基準テープに記録密度2700ftpmmの信号を試験記録電流で記録し、これを再生したときの平均信号振幅。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21522	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference	基準磁界を発生させる記録電流。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21523	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	基準電流の1.1倍の電流。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21524	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	試験テープに記録密度2700ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の95%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6177	2006	ISO/IEC 22051	2002				2002	SC23
21525	A		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase	減衰する交流磁界を用いた消去。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001	IDT			2001	SC23
21526	A		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	データの論理的表現を変換する一連の規則。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21527	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	記録密度2740ftpmmで記録した磁気テープ上のミッシングパルスのない部分を100mm以上にわたって測定した読取りヘッドの平均ピーク(P-P)出力電圧。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21528	A		アジマス	あじます	azimuth	磁束反転とトラックの中心線に垂直な直線との角度。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21529	A		裏面	うらめん	back surface	データの記録に使う磁性面の反対側のテープ面。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21530	A		データの始端	でーたのしたん	beginning of data (BOD)	パーティション内でのデータの記録開始位置。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21531	A		テープの始端	てーぷのしたん	beginning of tape (BOT)	磁気テープとリーダテープとの接合箇所。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21532	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	トラックに記録する1チャネルビットの領域。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21533	A		バイト	ばいと	byte	一単位として取り扱うビット列。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21534	A		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge	一組のリールに巻いた磁気テープを収納したケース。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21535	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	8ビットから14ビットに変換後のビット。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21536	A		巡回冗長検査文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ	cyclic redundancy check (CRC) character	誤り検出のために巡回符号として用いる16ビットの文字。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21537	A		データの終端	でーたのしゅうたん	end of data (EOD)	パーティション内でのデータの記録終了位置。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21538	A		パーティションの終端	ぱーてぃしょんのしゅうたん	end of partition (EOP)	仮想的な箇所でパーティションのテープの長さ方向の終端。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21539	A		テープの終端	てーぷのしゅうたん	end of tape (EOT)	磁気テープとトレーラテープとの接合箇所。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21540	A		誤り訂正符合	あやまりていせいふごう	error correcting code	数学的処理によって生成し、誤りの検出及び訂正のために用いるバイト。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21541	A		ファイルマーク	ふぁいるまーく	file mark	ファイルを分離するため、又は追記録点を示すためテープ上に記録するマーク。ロングファイルマーク及びショートファイルマークがある。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21542	A		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block	テープ装置に記録する情報（データ）。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21543	A		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape	磁気記録によってデータを記録できる磁性表面層をもつテープ。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21544	A		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	master standard reference tape	信号振幅、基準磁界、重ね書き及び分解能の標準として用いるテープ。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21545	A		パーティション	ぱーてぃしょん	partition	データを記録するためのテープの長さ方向の分割。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21546	A		記録密度	きろくみつど	physical recording density	トラックの長さ1mm当たりに記録する磁束反転数（ftpmm）	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21547	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	主基準テープのティピカル磁界。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21548	A		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary standard reference tape (SSRT)	主基準テープの特性との偏差を明示したテープ。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21549	A		セットマーク	せっとまーく	Set Mark	データセットを分離するため、又は追記録点を示すためテープ上に記録するマーク。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21550	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude (SRA)	記録密度2740ftpmmの信号を試験記録電流で記録したときの主基準テープの平均信号振幅。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21551	A		基準電流	きじゅんでんりゅう	standard reference current (Ir)	基準磁界を発生させる記録電流。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21552	A		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	tape reference edge	供給リールが右側になるようにしてテープの記録面から見たときのテープの下端。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21553	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current (TRC)	SRAの記録に用い基準電流の1.4倍の電流。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21554	A		トラック	とらっく	track	磁気信号を直列に記録するテープ上の斜めの領域。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21555	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	typical field	記録密度2740ftpmmで記録して、再生したとき、その平均信号振幅が最大値の90%を示す最小の印加磁界。	JIS X 6178	2006	ISO/IEC 20062	2001				2001	SC23
21556	A		繰出し孔	くりだしこう		紙テープの繰出し用などのために長手方向に連続してあけられる孔をいう。	JIS X 6192	1971	ISO/R 1154	1969	MOD			ISO 1154 :1975	SC2
21557	A		情報孔	じょうほうこう		紙テープに情報を記録するためにあけられる孔をいう。	JIS X 6192	1971	ISO/R 1154	1969				ISO 1154 :1975	SC2
21558	A		情報孔トラック	じょうほうこうとらっく		紙テープの長手方向にあけられる情報孔の列をいう。	JIS X 6192	1971	ISO/R 1154	1969				ISO 1154 :1975	SC2
21559	A		基準縁	きじゅんえん		第1トラックのある側の縁をいう。	JIS X 6192	1971	ISO/R 1154	1969				ISO 1154 :1975	SC2
21560	A		情報孔の列の並び	じょうほうこうのれつのならび		紙テープの幅方向に並んだ1列の情報孔について、繰出し孔の中心を通り基準縁に垂直な直線に対する各情報孔の中心位置の偏差をいう。	JIS X 6192	1971	ISO/R 1154	1969				ISO 1154 :1975	SC2
21561	A		連続伝票	れんぞくでんぴょう		送り孔及び横ミシンを有する連続した伝票。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784		MOD			1974	JTC1
21562	A		パーツ数	ぱーつすう		一組に重ね合わされた連続伝票の用紙枚数。ただし、1枚のものは1パーツという。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21563	A		送り孔	おくりこう		連続伝票を送り出すことを目的として、その両側に一定のピッチであけた孔。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21564	A		横ミシン	よこみしん		連続伝票の送り方向に対し直角に入れたミシン目。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21565	A		縦ミシン	たてみしん		連続伝票の送り方向に対し平行に入れたミシン目。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21566	A		横寸法	よこすんぽう		連続伝票において、送り孔部分を含む左右の両端辺間の寸法。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21567	A		縦寸法	たてすんぽう		連続伝票において、繰り返される1単位の伝票の上下横ミシン間の寸法。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21568	A		折りたたみ寸法	おりたたみすんぽう		連続伝票を折りたたんだときの折りたたみ間の寸法。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21569	A		折り数	おりすう		連続伝票をジグザグに折りたたんだとき、両側に現れる折り目の数に1を加えた数。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21570	A		セット数	せっとすう		一折り中に印刷されている伝票の単位数に、折り数を乗じた数。	JIS X 6195	1994	ISO/DIS 2784					1974	JTC1
21571	A		フレキシブルディスクカートリッジ	ふれきしぶるでぃすくかーとりっじ		ジャケットにディスクを内蔵し、片面又は両面の記録面に情報処理システム及びそれに関連するシステムの情報を、磁気的に記録保持する可とう(撓)形情報記録媒体(以下、フレキシブルディスクという。)。	JIS X 6201	1991	ISO 5654-1 ISO 7065-1	1984 1985	MOD			1984 1985	SC23
21572	A		標準フレキシブルディスク	ひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		記録磁界、信号振幅、分解能及び重ね書きの標準として用いられるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定したフレキシブルディスク。	JIS X 6201	1991	ISO 5654-1 ISO 7065-1	1984 1985				1984 1985	SC23
21573	A		副標準フレキシブルディスク	ふくひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		標準フレキシブルディスクとの電磁変換特性の偏差が明示され、供試フレキシブルディスクと標準フレキシブルディスクとの電磁変換特性の比較ができるフレキシブルディスク。	JIS X 6201	1991	ISO 5654-1 ISO 7065-1	1984 1985				1984 1985	SC23
21574	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	標準フレキシブルディスクの特性トラックに規定の試験周波数で記録し、これを再生したとき、その平均信号振幅が、その最大出力値(飽和値)の95%となる最小記録磁界。	JIS X 6201	1991	ISO 5654-1 ISO 7065-1	1984 1985				1984 1985	SC23
21575	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	当該トラックの1周を再生したときの、ピーク出力電圧(P-P)の平均値。	JIS X 6201	1991	ISO 5654-1 ISO 7065-1	1984 1985				1984 1985	SC23
21576	A		ピーク値	ぴーくち		再生された出力電圧の0Vを基準にした波高値。	JIS X 6201	1991	ISO 5654-1 ISO 7065-1	1984 1985				1984 1985	SC23
21577	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitudes	標準フレキシブルディスクの特定トラックについて、規定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したときの平均信号振幅(SRAS)。なお、トラック00の1fの標準信号振幅をSRA1fとし、トラック76の2fの標準信号振幅をSRA2fとする。	JIS X 6201	1991	ISO 5654-1 ISO 7065-1	1984 1985				1984 1985	SC23
21578	A		FM記録方式(2周波数記録方式)	FMきろくほうしき(にしゅうはすうきろくほうしき)		情報を記録する際、各ビットセルの初めでクロック磁束を反転し、データ"1"の場合には、クロック磁束反転の中間でデータ磁束を反転する方式。	JIS X 6202	1991	ISO 5654-2 ISO 7065-2	1985 1985	MOD			1985 1985	SC23
21579	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録する際、データ"1"の場合には、ビットセルの中心で磁束を反転し、データ"0"が連続した場合には、データ"0"のビットセルの境界で磁束を反転する方式。	JIS X 6202	1991	ISO 5654-2 ISO 7065-2	1985 1985				1985 1985	SC23
21580	A		FM記録トラック(2周波数記録トラック)	FMきろくとらっく(にしゅうはすうきろくとらっく)		FM記録方式での記録が規定され、その方式によって記録する片面単密度フレキシブルディスクの全トラック及び両面倍密度フレキシブルディスクの0面のトラック00のトラック。	JIS X 6202	1991	ISO 5654-2 ISO 7065-2	1985 1985				1985 1985	SC23
21581	A		MFM記録トラック	MFMきろくとらっく		MFM記録方式での記録が規定され、その方式によって記録する両面倍密度フレキシブルディスクの0面のトラック00を除く全トラック。	JIS X 6202	1991	ISO 5654-2 ISO 7065-2	1985 1985				1985 1985	SC23
21582	A		片面形	かためんけい		JIS X 6201に規定された13262磁束反転/radの単密度で記録するフレキシブルディスク。	JIS X 6202	1991	ISO 5654-2 ISO 7065-2	1985 1985				1985 1985	SC23
21583	A		両面形	りょうめんけい		JIS X 6201に規定された13262磁束反転/radの倍密度で記録するフレキシブルディスク。	JIS X 6202	1991	ISO 5654-2 ISO 7065-2	1985 1985				1985 1985	SC23
21584	A		フレキシブルディスク	ふれきしぶるでぃすく	flexible disk	ジャケットにディスクを内蔵し、片面又は両面の記録面に情報処理及びそれに関連するシステムの情報を、磁気的に記録保持する可とう(撓)形情報記録媒体。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1		MOD			1985 1993 1986 1987	SC23
21585	A		標準フレキシブルディスク	ひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		記録磁界及び信号振幅の標準として用いられるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定したフレキシブルディスク。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1					1985 1993 1986 1987	SC23
21586	A		副標準フレキシブルディスク	ふくひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		標準フレキシブルディスクとの電磁変換特性の偏差が明示され、供試フレキシブルディスクと標準フレキシブルディスクとの電磁変換特性の比較を可能にするようなフレキシブルディスク。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1					1985 1993 1986 1987	SC23
21587	A		FM記録方式(2周波数記録方式)	FMきろくほうしき(にしゅうはすうきろくほうしき)		情報を記録する際、各ビットセルの始めでクロック磁束反転し、データ"1"の場合には、クロック磁束反転の中間で磁束反転する方式。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1					1985 1993 1986 1987	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21588	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録する際、データ“1”の場合は、ビットセルの中心で磁束反転し、データ“0”が連続した場合には、データ“0”のビットセルの境界で磁束反転する方式。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1					1985 1993 1986 1987	SC23
21589	A		基準磁界	きじゅんじかい	reference field	標準フレキシブルディスクの特定トラックにおいて規定の試験周波数で記録し、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧（飽和値）の95%となるような最小記録磁界。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1					1985 1993 1986 1987	SC23
21590	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	当該トラック1周の再生出力電圧（P-P）の平均値。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1					1985 1993 1986 1987	SC23
21591	A		最内周トラック	さいないしゅうとらっく		トラック半径の最も小さいトラックであって、35トラックのフレキシブルディスクの場合にはトラック34、40トラックのフレキシブルディスクの場合にはトラック39、77トラックのフレキシブルディスクの場合にはトラック76、80トラックのフレキシブルディスクの場合にはトラック79。	JIS X 6211	1986	ISO 6596-1 ISO 7487-1 ISO/DIS 8378-1 ISO 8630-1					1985 1993 1986 1987	SC23
21592	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録する場合、データ“1”の場合には、ビットセルの中心で磁束を反転し、データ“0”が連続したときは、データ“0”のビットセルの境界で磁束を反転する方式。	JIS X 6212	1990	ISO 7487-3 ISO 8378-3	1986 1986	MOD			1986 1986	SC23
21593	A		片面形	かためんけい		JIS X 6211に規定された7958磁束反転/radのMFM記録方式で、片面に記録したフレキシブルディスク。	JIS X 6212	1990	ISO 7487-3 ISO 8378-3	1986 1986				1986 1986	SC23
21594	A		両面形	りょうめんけい		JIS X 6211に規定された7958磁束反転/radのMFM記録方式で、両面に記録したフレキシブルディスク。	JIS X 6212	1990	ISO 7487-3 ISO 8378-3	1986 1986				1986 1986	SC23
21595	A		トラックフォーマットA	とらっくふぉーまっとA		JIS X 0603に適合するフレキシブルディスクのトラックフォーマット。	JIS X 6213	1990	ISO 8630-2 ISO 8630-3	1987 1987	MOD			1987 1987	SC23
21596	A		トラックフォーマットB	とらっくふぉーまっとB		JIS X 0605に適合するフレキシブルディスクのトラックフォーマット。	JIS X 6213	1990	ISO 8630-2 ISO 8630-3	1987 1987				1987 1987	SC23
21597	A		FM記録方式(2周波数記録方式)	FMきろくほうしき(にしゅうはすうきろくほうしき)		情報を記録する場合、各ビットセルの始めで、クロック磁束を反転し、データ“1”のときはクロック磁束反転の中間でデータ磁束を反転する方式。	JIS X 6213	1990	ISO 8630-2 ISO 8630-3	1987 1987				1987 1987	SC23
21598	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録する場合、データ“1”のときは、ビットセルの中心で磁束を反転し、データ“0”が連続したときはデータ“0”のビットセルの境界で磁束を反転する方式。	JIS X 6213	1990	ISO 8630-2 ISO 8630-3	1987 1987				1987 1987	SC23
21599	A		フレキシブルディスク	ふれきしぶるでぃすく		ケースにディスクを内蔵し、両面の記録面に情報処理システム及びそれに関連するシステムの情報を、磁気的に記録保持する可とう(撓)形情報記録媒体。	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1		MOD			1987	SC23
21600	A		ハブ	はぶ	hub	ディスクの中心に取り付けられたディスク駆動用円板。ハブは、特定の角度の孔に駆動軸をはめこむことによって、ディスクの同心回転を確実にする。	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21601	A		シャッタ	しゃった	shutter	フレキシブルディスクをドライブに着脱するときに、自動的にヘッドウィンドウ部を開閉する	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21602	A		ライナ	らいな	liner	ディスクの清掃と摩耗防止のために、ディスクとケースの間に設ける保護用シート。	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21603	A		ケース	けーす	case	シャッタ機構と書込み禁止孔を有するディスク保護用封入箱。	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21604	A		標準フレキシブルディスク	ひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		基準磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書きの標準として用いられるもので、その特性値を国際標準化機構（ISO）が規定したフレキシブルディスク。両面のトラック00と79を基準トラックとする。基準トラックは、600rpmで校正されているが、300rpmでも	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21605	A		副標準フレキシブルディスク	ふくひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		標準フレキシブルディスクとの電磁変換特性の偏差が明示され、供試フレキシブルディスクと標準フレキシブルディスクとの電磁変換特性の比較を可能にするフレキシブルディスク。副標準フレキシブルディスクは、参考1に示す機関及び内容によって提供される。	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21606	A		基準磁界	きじゅんじかい	Referent e Field	標準フレキシブルディスクの特定トラックにおいて、規定の試験周波数で記録し、これを再生するとき、その再生出力電圧が最大出力電圧（飽和値）の95%となる最小記録磁界。	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21607	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	当該トラック1周の再生出力電圧（P-P）の平均値。	JIS X 6221	1987	ISO/DIS 8860-1					1987	SC23
21608	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録するとき、データ“1”のときには、ビットセルの中心で磁束反転し、データ“0”が連続したときには、データ“0”のビットセルの境界で磁束反転する方式。	JIS X 6222	1990	ISO 8860-2	1987	MOD			1987	SC23
21609	A		フレキシブルディスクカートリッジ	ふれきしぶるでぃすくかーとりっじ		ケースにディスクを内蔵し、両面の記録面に情報処理システム及びそれに関連するシステムの情報を、磁気的に記録保持する可とう(撓)形情報記録媒体。以下、フレキシブル	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1		MOD			1989	SC23
21610	A		ハブ	はぶ	hub	ディスクの中心に取り付けられたディスク駆動用円板。ハブは、特定の角度の孔に、駆動軸をはめこむことによって、ディスクの同心回転を確実にする。	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1					1989	SC23
21611	A		シャッタ	しゃった	shutter	フレキシブルディスクをディスク装置に着脱するときに、自動的ヘッドウィンド部を開閉す	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1					1989	SC23
21612	A		ライナ	らいな	liner	ディスクの清掃と摩耗防止のために、ディスクとケースの間に設ける保護用シート。	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1					1989	SC23
21613	A		ケース	けーす	case	シャッタ機構、書込み禁止孔及び識別孔をもつディスク保護用封入箱。	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1					1989	SC23
21614	A		書込み禁止孔	かきこみきんしこう		閉じた状態のときだけディスクへの記録を可能とするため、ケースに設けた貫通孔。	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1					1989	SC23
21615	A		識別孔	しきべつこう		この規格で規定されるフレキシブルディスクを識別するため、ケースに設けた貫通孔。	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1					1989	SC23
21616	A		標準フレキシブルディスク	ひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		記録磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書きの標準として用いられるもので、その特性値を国際標準化機構（ISO）が規定したフレキシブルディスク。両面のトラック00と79を基準トラックとする。基準トラックは、磁束反転密度15916磁束反転/radで校正	JIS X 6223	1987	ISO/DP 9529-1					1989	SC23
21617	A		FM記録方式(2周波数記録方式)	FMきろくほうしき(にしゅうはすうきろくほうしき)		情報を記録する際、各ビットセルの始めで、クロック磁束を反転し、データ“1”の場合には、クロック磁束反転の中間でデータ磁束を反転する方式。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987	MOD			1987	SC23
21618	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録する際、データ“1”の場合には、ビットセルの中心で磁束を反転し、データ“0”が連続した場合には、データ“0”のビットセルの境界で磁束を反転する方式。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21619	A		FM記録トラック(2周波数記録トラック)	FMきろくとらっく(にしゅうはすうきろくとらっく)		FM記録方式での記録を規定し、その方式によって記録するフレキシブルディスクの0面のトラック00。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21620	A		MFM記録トラック	MFMきろくとらっく		MFM記録方式での記録を規定し、その方式によって記録するフレキシブルディスクのト	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21621	A		ヘッドアクセス線	へっどあくせすせん		磁気ヘッドのギャップの中心線が全トラックを移動するときに描く直線。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21622	A		誤り検出符号(EDC)	あやまりけんしゅつふごう(EDC)		データの中の誤りのビットを検出するために、特定の生成規則に従って符号化した冗長な符号（JIS X 0008参照）。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21623	A		インデックス	いんでっくす		駆動軸の1回転ごとに発生する信号。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21624	A		トラックフォーマットA	とらっくふぉーまっとA		JIS X 0603に適合するフレキシブルディスクのトラックフォーマット。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21625	A		トラックフォーマットB	とらっくふぉーまっとB		JIS X 0605に適合するフレキシブルディスクのトラックフォーマット。	JIS X 6224	1995	ISO 8630-2	1987				1987	SC23
21626	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録する際、データ“1”の場合には、ビットセルの中心で磁束を反転し、データ“0”が連続した場合には、データ“0”のビットセルの境界で磁束を反転する方式。	JIS X 6225	1995	ISO/DIS 9529-2	1989	MOD			1989	SC23
21627	A		ヘッドアクセス線	へっどあくせすせん		磁気ヘッドのギャップの中心線が全トラックを移動するときに描く直線。	JIS X 6225	1995	ISO/DIS 9529-2	1989				1989	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21628	A		誤り検出符号(EDC)	あやまりけんしゅつふごう(EDC)		データの中の誤りのビットを検出するために、特定の生成規則に従って符号化した冗長な符号(JIS X 0008参照)。	JIS X 6225	1995	ISO/DIS 9529-2	1989				1989	SC23
21629	A		インデックス	いんでっくす		駆動軸の1回転ごとに発生する信号。	JIS X 6225	1995	ISO/DIS 9529-2	1989				1989	SC23
21630	B		フレキシブルディスクカートリッジ	ふれきしぶるでぃすくかーとりっじ		ケースにディスクを内蔵し、両面の記録面に情報処理システム及びそれに関連するシステムの情報を、磁気的に記録保持する可とう(撓)形情報記録媒体(以下、フレキシブルディスクという。)。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21631	B		ハブ	はぶ		ディスクの中心に取り付けたディスク駆動用円板。ハブは、特定の角度の孔に、駆動軸をはめこむことによって、ディスクの同心回転を確実にする。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21632	B		シャッタ	しゃった		フレキシブルディスクを装置に着脱するときに、自動的にヘッドウィンド部を開閉する機	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21633	B		ライナ	らいな		ディスクの清掃と摩耗防止のために、ディスクとケースの間に設けた保護用シート。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21634	B		ケース・シャッタ機構	けーす・しゃったきこう		書込み禁止孔及び識別孔をもつディスクの保護用封入箱。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21635	B		書込み禁止孔	かきこみきんしこう		開いた状態のときにディスクへの記録を禁止するためにケースに設けた貫通孔。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21636	B		識別孔	しきべつこう		この規格のフレキシブルディスクを識別するため、ケースに設けた貫通孔。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21637	B		標準フレキシブルディスク	ひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		記録磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び消去率の標準として用いるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定したフレキシブルディスク。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21638	B		副標準フレキシブルディスク	ふくひょうじゅんふれきしぶるでぃすく		標準フレキシブルディスクとの電気的特性・磁気的特性の偏差が明示され、供試フレキシブルディスクと標準フレキシブルディスクとの電気的特性・磁気的特性の比較ができるフレキシブルディスク。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21639	B		基準磁界	きじゅんじかい		標準フレキシブルディスクの特性トラックについて、規定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したとき、平均信号振幅がその最大出力値(飽和値)の95%となる最小記録磁	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21640	B		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく		該当トラックの1周を再生したとき、ピーク間の出力電圧(P-P)の平均値。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21641	B		ピーク値	ぴーくち		再生した出力電圧の0Vを基準にした波高値(0-P)。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21642	B		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく		標準フレキシブルディスクの特定トラックについて、規定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したときの平均信号振幅(SRA)。なお、トラック00の1fの標準信号振幅をSRA1fとし、トラック79の2fの標準信号振幅をSRA2fとする。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21643	B		消去率	しょうきょりつ		特定トラックについて、規定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したときの平均信号振幅と、消去した後の残留平均信号振幅との比。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21644	B		基準消去磁界	きじゅんしょうきょじかい		標準フレキシブルディスクの消去率が5%となる直流磁界。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21645	B		MFM記録方式	MFMきろくほうしき		情報を記録する際、データ"1"の場合には、ビットセルの中心で磁束を反転し、データ"0"が連続した場合には、データ"0"のビットセルの境界で磁束を反転する方式。	JIS X 6226	1992				廃2002/7			
21646	A		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	該当トラックの1周を再生したとき、ピーク出力電圧(P-P)の平均値。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21647	A		ケース	けーす	case	シャッタ機構、書込み禁止孔、第1識別孔及び第2識別孔をもつディスクの保護用封入	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21648	A		データトラック	でーたとらっく	data track	データ情報を記録・再生するために設けたトラック。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21649	A		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	Error Detecting Code	データ中の誤りのビットを検出するために、特定の生成規則に従って符号化した冗長な	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21650	A		フレキシブルディスクカートリッジ	ふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	Flexible Disk Cartridge	ケースにディスクを内蔵し、両面の記録面に情報処理システム及びそれに関連するシステムの情報を、磁気的に記録保持する可とう(撓)形情報記録媒体。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21651	A		磁束反転周波数	じそくはんてんしゅうはすう	flux transition frequency	特定の速度で回転するディスクを試験するための1秒当たりの磁束反転数(ftps)。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21652	A		ハブ	はぶ	hub	ディスクの中心に取り付けたディスク駆動用円板。ハブは、特定の角度の孔に、駆動軸をはめこむことによって、ディスクの同心回転を確実にする。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21653	A		ライナ	らいな	liner	ディスクの清掃と摩耗防止のために、ディスクとケースの間に設けた保護用シート。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21654	A		MFM記録方式	MFMきろくほうしき	MFM recording mode	情報を記録する際、データ"1"の場合には、ビットセルの中心で磁束反転し、データ"0"が連続した場合には、データ"0"のビットセルの境界で磁束を反転する方式。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21655	A		標準フレキシブルディスク	ひょうじゅんふれきしぶるでぃすく	Master Standard Reference Flexible Disk Cartridge	基準磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書きの標準として用いるもので、その特性値を規定したフレキシブルディスク。両面のトラック000及びトラック254は、基準トラックで定義され、回転数360rpmで校正されている。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21656	A		ピーク値	ぴーくち	peak value	再生した出力電圧の0Vを基準にした波高値(0-P)。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21657	A		第1識別孔	だい1しきべつこう	primary identification hole	この規格のフレキシブルディスクを識別するために、ケースに設けた貫通孔。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21658	A		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field	標準フレキシブルディスクのティピカル磁界。基準磁界は、ディスクの各面にそれぞれ1	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21659	A		副標準フレキシブルディスク	ふくひょうじゅんふれきしぶるでぃすく	Secondary Standard Reference Flexible Disk Cartridge	標準フレキシブルディスクとの特性の偏差が明示され、試供フレキシブルディスクと標準フレキシブルディスクとの特性の比較ができるフレキシブルディスク。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21660	A		第2識別孔	だい2しきべつこう	secondary identification	この規格のフレキシブルディスクを識別するために、ケースの0面に設けた孔。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21661	A		セクタサーボ	せくたさーぼ	sector servo	データ情報を記録するセクタとセクタとの間に、磁気ヘッドの位置決めの情報を記録したサーボセクタを形成する方式。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21662	A		サーボトラック	さーぼとらっく	servo track	サーボ情報を記録・再生するために設けたトラック。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21663	A		シャッタ	しゃった	shutter	フレキシブルディスクを装置に着脱するときに、自動的にヘッドウィンド部を開閉する機	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21664	A		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude	標準フレキシブルディスクの特定トラックについて、試験記録電流を用い、規定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したときの平均信号振幅(SRAS)。 トラック000のf1の標準信号振幅をSRAf1とし、トラック254のf2の標準信号振幅をSRAf2と	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21665	A		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	Typical Field	フレキシブルディスクの特定トラックについて、特定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したとき、平均信号振幅がその最大出力値(飽和値)の95%となる最小記録磁界。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21666	A		書込み禁止孔	かきこみきんしこう	write-inhibit hole	開いた状態のときにディスクへの記録を禁止するために、ケースに設けた貫通孔。	JIS X 6227	1997	ISO/IEC 13422	1994				1994	SC23
21667	B		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude	該当トラックの1周を再生したとき、ピーク出力電圧(P-P)の平均値。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21668	B		ケース	けーす	case	シャッタ機構、書込み禁止孔、第1識別孔及び第2識別孔をもつディスクの保護用封入	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21669	B		データセクタ	でーたせくた	Data Sector	セクタ識別子及びデータブロックで構成するセクタ。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21670	B		データトラック	でーたとらっく	Data Track	データセクタにデータ情報を記録・再生するために設けたトラック。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21671	B		回転方向	かいてんほうこう	direction of rotation	フレキシブルディスクの0面から見て反時計の方向。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21672	B		ディスク	でぃすく	disk	磁気記録によってデータを記憶できる磁性表面層をもつ柔軟な回転盤。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21673	B		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code (ECC)	データ中の誤りのビットを訂正するために、特定の生成規則に従って符号化した冗長な符号。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21674	B		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	Error Detecting Code	データ中の誤りのビットを検出するために、特定の生成規則に従って符号化した冗長な	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21675	B		磁束反転周波数	じそくはんてんしゅうはすう	flux transition frequency	1秒当たりの磁束反転数(ftps)。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21676	B		ハブ	はぶ	hub	ディスクの中心に取り付けたディスク駆動用円板。ハブは、特定の角度の孔に、駆動軸をはめこむことによって、ディスクの同心回転を確実にする。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21677	B		インデックス	いんでっくす	index	駆動軸の1回転ごとに発生する信号。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21678	B		内周帯域	ないしゅうたいいき	Inner Zone	ディスク面の内周側の記録帯域。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21679	B		入力ビット	にゅうりょくびっと	input bit	情報の入力データ系列のビット。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21680	B		ヘッドアクセス線	へっどあくせすせん	Line of Access of the	磁気ヘッドのギャップの中心線が全トラックを移動するときに描く直線。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21681	B		ライナ	らいな	liner	ディスクの清掃と摩耗防止のために、ディスクとケースの間に設けた保護用シート。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21682	B		標準フレキシブルディスク	ひょうじゅんふれきしぶるでぃすく	Master Standard Reference Flexible Disk Cartridge	基準磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書きの標準として用いるもので、その特性値を規定したフレキシブルディスク。両面のトラック000及び325は、基準トラックと定義し、回転数600rpmで校正されている。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21683	B		外周帯域	がいしゅうたいいき	Outer Zone	ディスク面の外周側の記録帯域。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21684	B		ピーク値	ぴーくち	peak value	再生した出力電圧の0Vを基準にした波高値(0-P)。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21685	B		第1識別孔	だい1しきべつこう	Primary Identification hole	この規格のフレキシブルディスクを識別するために、ケースに設けた貫通孔。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21686	B		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field	標準フレキシブルディスクのティピカル磁界。基準磁界は、ディスクの各面にそれぞれ1	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21687	B		第2識別孔	だい2しきべつこう	Secondary Identification hole	この規格のフレキシブルディスクを識別するために、ケースの0面に設けた孔。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21688	B		副標準フレキシブルディスク	ふくひょうじゅんふれきしぶるでぃすく	Secondary Standard Reference Flexible Disk Cartridge	標準フレキシブルディスクとの特性の偏差が明示され、試供フレキシブルディスクと標準フレキシブルディスクとの特性の比較ができるフレキシブルディスク。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21689	B		セクタブロック	せくたぶろっく	Sector Block	サーボセクタ及びこれに続く2個又は3個の連続したデータセクタ並びにセクタブロックギャップをもつ領域。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21690	B		セクタサーボ	せくたさーぼ	sector servo	セクタブロックの先頭に、磁気ヘッドの位置決めの情報を記録したサーボセクタを形成する方式。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21691	B		サーボセクタ	さーぼせくた	Servo Sector	サーボ識別子及びサーボデータの部分をもつ領域。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21692	B		サーボトラック	さーぼとらっく	Servo Track	サーボセクタに恒久的に記録したトラック。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21693	B		シャッタ	しゃった	shutter	フレキシブルディスクを装置に着脱するときに、自動的にヘッドウィンド部を開閉する機	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21694	B		面	めん	Side	ディスクの表面。駆動軸にかみ合う側の面を0面、反対側を1面とする。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21695	B		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude	標準フレキシブルディスクの特定トラックについて、試験記録電流を用いて規定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したときの平均信号振幅(SRA)。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21696	B		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current	基準磁界が生じる電流。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21697	B		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current	各帯域と各磁束反転周波数ごとに基準電流との比率を規定した電流。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21698	B		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	Typical Field	フレキシブルディスクの特定トラックについて、特定の磁束反転周波数で記録し、これを再生したとき、平均信号振幅がその最大出力値(飽和値)の95%となる最小記録磁界。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21699	B		書込み禁止孔	かきこみきんしこう	write-inhibit hole	開いた状態のときにディスクへの記録を禁止するために、ケースに設けた貫通孔。	JIS X 6228	1997	ISO/IEC 14169	1995		廃2008/9		1995	SC23
21700	A		ICB	ICB	information control block	JIS X 0607における制御ノード	JIS X 6235	2009							
21701	A		論理ブロック番地	ろんりぶろっくばんち	logical block address	論理ブロック番号[3/8.8.1]。	JIS X 6235	2009							
21702	A		媒体ブロック番地	ばいたいぶろっくばんち	media block address	記録のための関連規格[1/5.10]で示される、一意のセクタ番地から導かれるセクタ番号[3/8.1.1]。この規格では、セクタ番号[3/8.1.1]は論理セクタ番号[3/8.1.2]に等しい。	JIS X 6235	2009							
21703	A		パケット	ぱけっと	packet	隣接するセクタ[1/5.9]の整数倍である記録可能単位。利用者データセクタから構成される。パケットライト動作のオーバーヘッドとして記録される追加セクタ[1/5.9]を含むことがあり、記録のための関連規格[1/5.10]に従って指し示すことができる。	JIS X 6235	2009							
21704	A		仮想番地	かそうばんち	virtual address	仮想区画における論理ブロック[3/8.8.1]の論理ブロック番号[3/8.8.1]。このような論理ブロック[3/8.8.1]は、対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。VATのN番目のUnit32は、対応する仮想区画の論理ブロック番号Nを記録するために使われる、非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]を表す。最初の仮想番地は0とする。	JIS X 6235	2009							
21705	A		仮想区画	かそうくが	virtual partition	第2種の区画マップ[3/10.7.3]によって、論理ボリューム記述子[3/10.6]で識別される論理ボリューム[3/8.8]の区画。仮想区画マップには、区画番号が含まれるが、これは、同一の論理ボリューム記述子[3/10.6]における第1種の区画マップ[3/10.7.2]の区画番号[3/10.7.2.4]と同じとする。仮想区画の各論理ブロック[3/8.8.1]は、その対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。VATには、その対応する仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]を記録するために使われている、非仮想区画の論理ブロック	JIS X 6235	2009							
21706	A		仮想セクタ	かそうせくた	virtual sector	仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]。このような論理ブロック[3/8.8.1]は、対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。仮想セクタを、セクタ[1/5.9]又は論理セクタ[3/8.1.2]と混同しないほうがよい。	JIS X 6235	2009							
21707	A		VAT	VAT	virtual allocation table	非仮想区画の空間に記録されるファイル[4/8.8]。対応する仮想区画をもち、そのデータ空間[4/8.8.2]はJIS X 0609の3.5.7(区画マップ)に従って構成される。このファイルでは、Unit32の配列リストを備えている。N番目のUnit32は、対応する仮想区画の論理ブロック番号Nを記録するために使う、非仮想区画の論理ブロック番号[3/8.8.1]を表す。このファイル[4/8.8]は、論理ボリューム[3/8.8]のファイル集合[4/8.5]におけるディレクトリ[4/8.6]のファイル識別記述子[4/14.4]で、必ずしも参照されるわけではない。	JIS X 6235	2009							
21708	A		VAT ICB	VAT ICB	virtual allocation table ICB	VATを含むファイルを記述する、ファイルエントリICB。	JIS X 6235	2009							
21709	A		ICB	ICB	information control block	JIS X 0607における制御ノード	JIS X 6236	2009							
21710	A		論理ブロック番地	ろんりぶろっくばんち	logical block address	論理ブロック番号[3/8.8.1]。	JIS X 6236	2009							
21711	A		媒体ブロック番地	ばいたいぶろっくばんち	media block address	記録のための関連規格[1/5.10]で示される、一意のセクタ番地から導かれるセクタ番号[3/8.1.1]。この規格では、セクタ番号[3/8.1.1]は論理セクタ番号[3/8.1.2]に等しい。	JIS X 6236	2009							
21712	A		パケット	ぱけっと	packet	隣接するセクタ[1/5.9]の整数倍である記録可能単位。利用者データセクタから構成される。パケットライト動作のオーバーヘッドとして記録される追加セクタ[1/5.9]を含むことがあり、記録のための関連規格[1/5.10]に従って指し示すことができる。	JIS X 6236	2009							
21713	A		仮想番地	かそうばんち	virtual address	仮想区画における論理ブロック[3/8.8.1]の論理ブロック番号[3/8.8.1]。このような論理ブロック[3/8.8.1]は、対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。最初の仮想番地は0とする。	JIS X 6236	2009							
21714	A		仮想区画	かそうくが	virtual partition	第2種の区画マップ[3/10.7.3]によって、論理ボリューム記述子[3/10.6]で識別される論理ボリューム[3/8.8]の区画。仮想区画マップには、区画番号を含むが、これは、同一の論理ボリューム記述子[3/10.6]における第1種の区画マップ[3/10.7.2]の区画番号[3/10.7.2.4]と同じとする。仮想区画の各論理ブロック[3/8.8.1]は、その対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。VATには、その対応する仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]を記録するために使われている、非仮想区画の論理ブロック	JIS X 6236	2009							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21715	A		仮想セクタ	かそうせくた	virtual sector	仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]。このような論理ブロック[3/8.8.1]は、対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。仮想セクタを、セクタ[1/5.9]又は論理セクタ[3/8.1.2]と混同しないほうがよい。	JIS X 6236	2009							
21716	A		VAT	VAT	virtual allocation table	非仮想区画の空間に記録されるファイル[4/8.8]。対応する仮想区画をもち、そのデータ空間[4/8.8.2]はJIS X 0609の3.5.7(区画マップ)に従って構成される。このファイルではUnit32の配列リストを備えている。N番目のUnit32は、対応する仮想区画の論理ブロック番号Nを記録するために使う、非仮想区画の論理ブロック番号[3/8.8.1]を表す。このファイル[4/8.8]は、論理ボリューム[3/8.8]のファイル集合[4/8.5]におけるディレクトリ[4/8.6]のファイル識別記述子[4/14.4]で、必ずしも参照されるわけではない。	JIS X 6236	2009							
21717	A		VAT ICB	VAT ICB	virtual allocation table ICB	VATを含むファイルを記述する、ファイルエントリICB。	JIS X 6236	2009							
21718	A		ICB	ICB	information control block	JIS X 0607における制御ノード	JIS X 6237	2009							
21719	A		論理ブロック番地	ろんりぶろっくばんち	logical block address	論理ブロック番号[3/8.8.1]。	JIS X 6237	2009							
21720	A		媒体ブロック番地	ばいたいぶろっくばんち	media block address	記録のための関連規格[1/5.10]で示される、一意のセクタ番地から導かれるセクタ番号[3/8.1.1]。この規格では、セクタ番号[3/8.1.1]は論理セクタ番号[3/8.1.2]に等しい。	JIS X 6237	2009							
21721	A		パケット	ぱけっと	packet	隣接するセクタ[1/5.9]の整数倍である記録可能単位。利用者データセクタから構成される。パケットライト動作のオーバーヘッドとして記録される追加セクタ[1/5.9]を含むことがあり、記録のための関連規格[1/5.10]に従って指し示すことができる。	JIS X 6237	2009							
21722	A		仮想番地	かそうばんち	virtual address	仮想区画における論理ブロック[3/8.8.1]の論理ブロック番号[3/8.8.1]。このような論理ブロック[3/8.8.1]は、対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。VATのN番目のUnit32は、対応する仮想区画の論理ブロック番号Nを記録するために使われる、非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]を表す。最初の仮想番地は0とする。	JIS X 6237	2009							
21723	A		仮想区画	かそうくが	virtual partition	第2種の区画マップ[3/10.7.3]によって、論理ボリューム記述子[3/10.6]で識別される論理ボリューム[3/8.8]の区画。仮想区画マップには、区画番号が含まれるが、これは、同一の論理ボリューム記述子[3/10.6]における第1種の区画マップ[3/10.7.2]の区画番号[3/10.7.2.4]と同じとする。仮想区画の各論理ブロック[3/8.8.1]は、その対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。VATには、その対応する仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]を記録するために使われている、非仮想区画の論理ブロック	JIS X 6237	2009							
21724	A		仮想セクタ	かそうせくた	virtual sector	仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]。このような論理ブロック[3/8.8.1]は、対応する非仮想区画の論理ブロック[3/8.8.1]の空間を使って記録される。仮想セクタを、セクタ[1/5.9]又は論理セクタ[3/8.1.2]と混同しないほうがよい。	JIS X 6237	2009							
21725	A		VAT	VAT	virtual allocation table	非仮想区画の空間に記録されるファイル[4/8.8]。このファイルではUnit32の配列リストを備えている。N番目のUnit32は、対応する仮想区画の論理ブロック番号Nを記録するために使う、非仮想区画の論理ブロック番号[3/8.8.1]を表す。このファイル[4/8.8]は、論理ボリューム[3/8.8]のファイル集合[4/8.5]におけるディレクトリ[4/8.6]のファイル識別記述子[4/14.4]で、必ずしも参照されるわけではない。	JIS X 6237	2009							
21726	A		VAT ICB	VAT ICB	virtual allocation table ICB	VATを含むファイルを記述する、ファイルエントリICB。	JIS X 6237	2009							
21727	B		接着層	せっちゃくそう	adhesive layer	ディスクの二つの部分を一つに結合する接着物質の層	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21728	B		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	変調後の2値の“0”及び“1”をディスク上のビットで表す要素。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21729	B		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置機構によってクランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21730	B		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	digital sum value	10進数の数値1をビット“1”及び10進数の数値-1をビット “0”に割り当てることによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21731	B		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane	ディスクのクランプゾーンをクランプし、理想スピンドルの完全に平らな環状表面で定義される回転軸に対して垂直な面。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21732	B		2層ディスク	にそうでぃすく	dual layer disk	各々の入射面が異なる一対の記録層にアクセスできる一つ又は二つの入射面をもつディスク。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21733	B		ダミー基板	だみーきばん	dummy substrate	ディスク及び/又は記録層を機械的に支持するために用意した透明又は不透明な層。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21734	B		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に当たるディスクの表面。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21735	B		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	光ビームによって読み取ることのできる記録画にビット形態で情報を受容し保持するディスク。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21736	B		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	physical sector number	ディスクの物理セクタに割り当てた連続番号。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21737	B		再生専用ディスク	さいせいせんようでぃすく	read-only disk	ディスクの製造時に情報を記録したディスク。情報は、修正できずディスクから読み取ることだけができる。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21738	B		記録層	きろくそう	recorded layer	データを記録したディスク上、又はディスク内の層。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21739	B		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	read-Solomon code	誤りの訂正のための誤り検出及び/又は誤り訂正符号。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21740	B		予備フィールド	よびふぃーるど	reserved field	特に規定のない限りすべて“0”に設定し、将来の標準化のために予備とするフィールド。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21741	B		セクタ	せくた	sector	他のアドレスできる部分とは独立してアクセスできる情報ゾーンのトラックの一番小さい部分。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21742	B		単層ディスク	たんそうでぃすく	single layer disk	各々の入射面が異なる一つの記録層にアクセスできる一つ又は二つの入射面をもつディスク。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21743	B		スペーサ	すぺーさ	spacer	2層ディスクで、同じ入射面からアクセスできる二つの記録層間にある透明な層。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21744	B		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持する透明なディスクの層。これを通して光ビームが記録層にアクセスできる。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21745	B		トラック	とらっく	track	360度回転の連続スパイラル。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21746	B		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	半径方向に測定される一対の隣接する物理トラック中心線間の距離。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21747	B		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6241	1997				2004/12	ISO/IEC 16448	2002	SC23
21748	A		接着層	せっちゃくそう	adhesive layer	ディスクの二つの部分を一つに結合する接着物質の層。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21749	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	変調後の2値の“0”及び“1”をディスク上のピットで表す要素。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21750	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置機構によってクランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21751	A		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	digital sum value	10進数の数値1をビット“1”及び10進数の数値-1をビット “0”に割り当てることによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21752	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane	ディスクのクランプゾーンをクランプし、理想スピンドルの完全に平らな環状表面で定義される回転軸に対して垂直な面。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21753	A		2層ディスク	にそうでぃすく	dual layer disk	一つ又は二つの入射面をもち、各々の入射面が異なる一対の記録層にアクセスできる	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21754	A		ダミー基板	だみーきばん	dummy substrate	ディスク及び/又は記録層を機械的に支持するために用意した透明又は不透明な層。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21755	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に当たるディスクの表面。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21756	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	光ビームによって読み取ることのできる記録層にピット形態で情報を受容し保持するディ	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21757	A		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	physical sector number	ディスクの物理セクタに割り当てた連続番号。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21758	A		再生専用ディスク	さいせいせんようでぃすく	read-only disk	ディスクの製造時に情報を記録したディスク。情報は、修正できずディスクから読み取ることだけができる。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21759	A		記録層	きろくそう	recorded layer	層の上又は層の内のデータを記録したディスクの層。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21760	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	read-Solomon code	誤りの訂正のための誤り検出及び/又は誤り訂正符号。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21761	A		予備フィールド	よびふぃーるど	reserved field	特に規定のない限りすべて“0”に設定し、将来の標準化のために予備とするフィールド。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21762	A		セクタ	せくた	sector	他のアドレスできる部分とは独立してアクセスできる情報ゾーンのトラックの一番小さい	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21763	A		単層ディスク	たんそうでぃすく	single layer disk	一つ又は二つの入射面をもち、各々の入射面から異なる一つの記録層にアクセスできるディスク。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21764	A		スペーサ	すぺーさ	spacer	2層ディスクで、同じ入射面からアクセスできる二つの記録層間にある透明な層。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21765	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持する透明なディスクの層。これを通して光ビームが記録層にアクセスできる。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21766	A		トラック	とらっく	track	360° 回転の連続スパイラル。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21767	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	半径方向に測定される一対の隣接する物理トラック中心線間の距離。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21768	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6241	2004	ISO/IEC 16448	2002				2002	SC23
21769	B		接着層	せっちゃくそう	Adhesive layer	ディスクの二つの部分を一つに結合する接着物質の層	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21770	B		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	変調後の2値の“0”及び“1”をディスク上のピットで表す要素。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21771	B		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping zone	クランプ装置機構によってクランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21772	B		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	Digital Sum Value	10進数の数値1をビット“1”及び10進数の数値-1をビット “0”に割り当てることによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21773	B		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane	ディスクのクランプゾーンをクランプし、理想スピンドルの完全に平らな環状表面で定義される回転軸に対して垂直な面。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21774	B		2層ディスク	にそうでぃすく	Dual Layer disk	各々の入射面が異なる一対の記録層にアクセスできる一つ又は二つの入射面をもつディスク。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21775	B		ダミー基板	だみーきばん	Dummy substrate	ディスク及び/又は記録層を機械的に支持するために用意した透明又は不透明な層。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21776	B		入射面	にゅうしゃめん	Entrance surface	光ビームが最初に当たるディスクの表面。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21777	B		光ディスク	ひかりでぃすく	Optical disk	光ビームによって読み取ることのできる記録画にピット形態で情報を受容し保持するディスク。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21778	B		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	Physical sector number	ディスクの物理セクタに割り当てた連続番号。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21779	B		再生専用ディスク	さいせいせんようでぃすく	Read-only disk	ディスクの製造時に情報を記録したディスク。情報は、修正できずディスクから読み取ることだけができる。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21780	B		記録層	きろくそう	Recorded layer	データを記録したディスク上、又はディスク内の層。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21781	B		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Read-Solomon code	誤りの訂正のための誤り検出及び/又は誤り訂正符号。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21782	B		予備フィールド	よびふぃーるど	Reserved field	特に規定のない限りすべて“0”に設定し、将来の標準化のために予備とするフィールド。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21783	B		セクタ	せくた	Sector	他のアドレスできる部分とは独立してアクセスできる情報ゾーンのトラックの一番小さい部分。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21784	B		単層ディスク	たんそうでぃすく	Single Layer disk	各々の入射面が異なる一つの記録層にアクセスできる一つ又は二つの入射面をもつディスク。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21785	B		スペーサ	すぺーさ	Spacer	2層ディスクで、同じ入射面からアクセスできる二つの記録層間にある透明な層。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21786	B		基板	きばん	Substrate	記録層を機械的に支持する透明なディスクの層。これを通して光ビームが記録層にアクセスできる。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21787	B		トラック	とらっく	Track	360度回転の連続スパイラル。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21788	B		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch	半径方向に測定される一対の隣接する物理トラック中心線間の距離。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21789	B		ゾーン	ぞーん	Zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6242	1998				2004/12	ISO/IEC 16449	2002	SC23
21790	A		接着層	せっちゃくそう	Adhesive layer	ディスクの二つの部分を一つに結合する接着物質の層	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21791	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	変調後の2値の“0”及び“1”をディスク上のピットで表す要素。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21792	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping zone	クランプ装置機構によってクランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21793	A		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	Digital Sum Value	10進数の数値1をビット“1”及び10進数の数値-1をビット“0”に割り当てることによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21794	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane	ディスクのクランプゾーンをクランプし、理想スピンドルの完全に平らな環状表面で定義される回転軸に対して垂直な面。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21795	A		2層ディスク	にそうでぃすく	Dual Layer disk	一つ又は二つの入射面をもち、各々の入射面が異なる一対の記録層にアクセスできる	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21796	A		ダミー基板	だみーきばん	Dummy substrate	ディスク及び/又は記録層を機械的に支持するために用意した透明又は不透明な層。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21797	A		入射面	にゅうしゃめん	Entrance surface	光ビームが最初に当たるディスクの表面。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21798	A		光ディスク	ひかりでぃすく	Optical disk	光ビームによって読み取ることのできる記録層にピット形態で情報を受容し保持するディ	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21799	A		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	Physical sector number	ディスクの物理セクタに割り当てた連続番号。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21800	A		再生専用ディスク	さいせいせんようでぃすく	Read-only disk	ディスクの製造時に情報を記録したディスク。情報は、修正できずディスクから読み取ることだけができる。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21801	A		記録層	きろくそう	Recorded layer	層の上又は層の内のデータを記録したディスクの層。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21802	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Read-Solomon code	誤りの訂正のための誤り検出及び/又は誤り訂正符号。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21803	A		予備フィールド	よびふぃーるど	Reserved field	特に規定のない限りすべて“0”に設定し、将来の標準化のために予備とするフィールド。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21804	A		セクタ	せくた	Sector	他のアドレスできる部分とは独立してアクセスできる情報ゾーンのトラックの一番小さい	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21805	A		単層ディスク	たんそうでぃすく	Single Layer disk	一つ又は二つの入射面をもち、各々の入射面から異なる一つの記録層にアクセスできるディスク。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21806	A		スペーサ	すぺーさ	Spacer	2層ディスクで、同じ入射面からアクセスできる二つの記録層間にある透明な層。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21807	A		基板	きばん	Substrate	記録層を機械的に支持する透明なディスクの層。これを通して光ビームが記録層にアクセスできる。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21808	A		トラック	とらっく	Track	360° 回転の連続スパイラル。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21809	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch	半径方向に測定される一対の隣接する物理トラック中心線間の距離。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21810	A		ゾーン	ぞーん	Zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6242	2004	ISO/IEC 16449	2002				2002	SC23
21811	A		ケース	けーす	Case	ディスクを保護するための入れ物	JIS X 6243	1998							
21812	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	変調後の2値の“0”及び“1”をディスク上のピット又はマークで表す要素	JIS X 6243	1998							
21813	A		ディジタル総計値、DSV	でぃじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value(DSV)	10進数の数値1をビット“1”及び10進数の数値−1をビット“0”に割り当てることによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6243	1998							
21814	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk reference plane	ディスクをクランプするための基準となる、ディスク表面にある環状の平面であって、理想的なスピンドルの同転軸に対して垂直に位置する面。	JIS X 6243	1998							
21815	A		ダミー基板	だみーきばん	Dummy substrate	ディスク及び/又は記録層を機械的に支持するために用意した透明又は不透明な基体。	JIS X 6243	1998							
21816	A		エンボスマーク	えんぼすまーく	Embossed mark	光学的方法で変更できないように形成したマーク	JIS X 6243	1998							
21817	A		入射面	にゅうしゃめん	Entrance surface	光ビームが最初に当たるディスクの表面。	JIS X 6243	1998							
21818	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	Land and Groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に位置する。グルーブの中心及びランドの中心の両方に記録を行う。	JIS X 6243	1998							
21819	A		マーク	まーく	Mark	ピット、非晶質の形態又は光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マーク及びスペースのパターンがディスクのテークを表す。	JIS X 6243	1998							
21820	A		相変化	そうへんか	Phase change	記録膜に光ビームを照射して加熱することによって、可逆的に非晶質状から結晶状態、又はその逆方向に変化する物理的効果。	JIS X 6243	1998							
21821	A		偏光	へんこう	Polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向。	JIS X 6243	1998							
21822	A		記録層	きろくそう	Recording layer	製造反び/又は使用時にデータを書き込むディスク上又はディスク内の層。	JIS X 6243	1998							
21823	A		セクタ	せくた	Sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6243	1998							
21824	A		スペース	すぺーす	Space	非ピット、結晶の形態又は光学的に検出できる形盤をもった記録層の造作。マーク及びスペースのパターンがディスクのデータを表す。	JIS X 6243	1998							
21825	A		基板	きばん	Substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。これを通して光ビームで記録層にアクセスする。	JIS X 6243	1998							
21826	A		トラック	とらっく	Track	360度回転の連続スパイラル。	JIS X 6243	1998							
21827	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch	隣接するトラック(グルーブ及びランド)中心線間の半径方向の距離	JIS X 6243	1998							
21828	A		ZCLV	ZCLV	ZCLV	ゾーン間で定線速度動作に必要なディスクフォーマット	JIS X 6243	1998							
21829	A		ゾーン	ぞーん	Zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6243	1998							
21830	A		カートリッジ	かーとりっじ	Cartridge	書換形ディスクが収納されているケースからなるデバイス。	JIS X 6244	1998							
21831	A		ケース	けーす	Case	ディスクを保護するための入れ物。	JIS X 6244	1998							
21832	A		接着層	せっちゃくそう	adhesive layer	ディスクの二つの部分を一つに結合する接着物資の層。	JIS X 6245	1999							
21833	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	変調後の2値の“0”及び“1”をディスク上のピットで表す要素。	JIS X 6245	1999							
21834	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置機構によってクランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6245	1999							
21835	A		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	digital sum value	10進数の数値1をビット“1”及び10進数の−1をビット“0”に割り当てることによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6245	1999							
21836	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane	ディスクのクランプゾーンをクランプし、理想スピンドルの完全に平らな環状表面で定義される回転軸に対して垂直な面。	JIS X 6245	1999							
21837	A		ダミー基板	だみーきばん	Dummy substrate	ディスク及び/又は記録層を機械的に支持するために用意した透明又は不透明な層。	JIS X 6245	1999							
21838	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に当たるディスクの表面。	JIS X 6245	1999							
21839	A		グルーブ	ぐるーぶ	groove	情報を記録する前に形成され、トラックの位置決めに用いられるディスクの溝。グルーブは、ランドよりも入射面に近く位置する。グルーブの中心に記録を行う。	JIS X 6245	1999							
21840	A		ランド	らんど	land	グルーブ間の領域(半径方向信号に関して)。ビット間の領域(HF信号に関して)。	JIS X 6245	1999							
21841	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	光ビームによって読み取ることができ、記録層に記録マークで情報を受容し保持するディ	JIS X 6245	1999							
21842	A		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	physical sector number	ディスクの物理セクタに割り当てた連続番号。	JIS X 6245	1999							
21843	A		再生専用ディスク	さいせいせんようでぃすく	Read-only disk	ディスクの製造時に情報を記録したディスク。情報は、修正できずディスクから読み取ることだけができる。	JIS X 6245	1999							
21844	A		記録層	きろくそう	Recorded layer	その上又は中にデータを記録したディスクの層。	JIS X 6245	1999							
21845	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	誤り訂正のため、誤りの検出及び/又は誤り訂正符号。	JIS X 6245	1999							
21846	A		予備フィールド	よびふぃーるど	Reserved field	特に規定のない限りすべて“0”に設定し、将来の標準化のために予備とするフィールド。	JIS X 6245	1999							
21847	A		セクタ	せくた	sector	他のアドレスできる部分とは独立してアクセスできる情報ゾーンのトラックの一番小さい	JIS X 6245	1999							
21848	A		基板	きばん	Substrate	記録する又は記録された層を機械的に支持する透明なディスクの層。これを通して光ビームが記録する又は記録された層にアクセスできる。	JIS X 6245	1999							
21849	A		トラック	とらっく	track	連続スパイラルの360° 、1回転。	JIS X 6245	1999							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21850	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch	半径方向に測定される、未記録ディスクに対しては1対の隣接するウォブルグルーブ(半径方向にわずかに蛇行したグルーブ)の平均中心線間の距離で、記録済みディスクに対しては1対の隣接する連なった記録マークの物理トラックの中心線間の距離。	JIS X 6245	1999							
21851	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6245	1999							
21852	A		ケース	けーす	Case	ディスクを保護するための入れ物。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004	IDT			2004	SC23
21853	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	変調後の2値の"0"及び"1"をディスク上のピット又はマークで表す要素。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21854	A		ディジタル総計値、DSV	でぃじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value (DSV)	10進数の値1をビット"1"及び10進数の数値-1をビット"0"に割り当てることによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21855	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk reference plane	ディスクをクランプするための基準と成る、ディスク表面にある環状の平面であって、理想的なスピンドルの回転軸に対して垂直に位置する面。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21856	A		ダミー基板	だみーきばん	Dummy substrate	ディスク及び/又は記録層を機械的に支持するために用意した透明又は不透明な基体。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21857	A		エンボスマーク	えんぼすまーく	Embossed mark	光学的方法で変更できないように形成したマーク。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21858	A		入射面	にゅうしゃめん	Entrance surface	光ビームが最初に当たるディスクの表面。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21859	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	Land and Groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に位置する。グルーブの中心及びランドの中心の両方に記録を行う。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21860	A		マーク	まーく	Mark	ピット、非晶質の状態又は光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マーク及びスペースのパターンがディスクのデータを表す。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21861	A		相変化	そうへんか	Phase change	記録膜に光ビームを照射して加熱することによって、可逆的に非晶質状態から結晶状態、又はその逆方向に変化する物理的効果。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21862	A		偏光	へんこう	Polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21863	A		記録層	きろくそう	Recording layer	製造及び/又は使用時にデータを書き込むディスク上又はディスク内の層。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21864	A		セクタ	せくた	Sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21865	A		スペース	すぺーす	Space	非ピット、結晶の形態又は光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マーク及びスペースのパターンがディスクのデータを表す。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21866	A		基板	きばん	Substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。これを通して光ビームで記録層にアクセスする。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21867	A		トラック	とらっく	Track	360° 回転の連続スパイラル。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21868	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch	隣接するトラック(グルーブ及びランド)中心線間の半径方向の距離。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21869	A		ZCLV	ZCLV	ZCLV	ゾーン間で定線速度動作に必要なディスクフォーマット。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21870	A		ゾーン	ぞーん	Zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6246	2005	ISO/IEC 17592	2004				2004	SC23
21871	A		カートリッジ	かーとりっじ	Cartridge	書換形ディスクが収納されているケースからなるデバイス。	JIS X 6247	2005	ISO/IEC 17594	2004	IDT			2004	SC23
21872	A		ケース	けーす	Case	ディスクを保護するための入れ物。	JIS X 6247	2005	ISO/IEC 17594	2004				2004	SC23
21873	A		ブロック同期ガード領域	ぶろっくどうきがーどりょういき	block sync guard area	未記録領域において32Kリンクを用いて記録が開始された連続領域の最初のECCブロック。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004	IDT			2004	SC23
21874	A		ボーダゾーン	ぼーだぞーん	border zone	部分的に記録された状態のディスクを再生するときに、ピックアップの暴走を防止するための領域。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21875	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	変調後の2値の"0"及び"1"をディスク上のピットで表す要素。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21876	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置機構によってクランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21877	A		データゾーン	でーたぞーん	data zone	リードインゾーンとリードアウトゾーンとに挟まれたユーザデータが記録された領域。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21878	A		データレコーダブルゾーン	でーたれこーだぶるぞーん	data recordable zone	ユーザデータが記録可能なゾーン。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21879	A		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	digital sum value	10進数の数値1をビット"1"に割り当て、10進数の-1をビット"0"に割り当てて加算することによってビットストリームから得た算術和。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21880	A		ディスクアットワンス記録	でぃすくあっとわんすきろく	disk at once recording	リードインゾーン、ユーザデータ及びリードアウトゾーンを連続的に記録する記録モード。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21881	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane	ディスクのクランプゾーンをクランプし、理想スピンドルの完全に平らな環状表面で定義される回転軸に対して垂直な面。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21882	A		ECCブロックアドレス	ECCぶろっくあどれす	ECC block address	ランドプリピットとして配置され、ディスク上の各領域への記録位置を決定するために用いられるトラックの絶対物理番地。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21883	A		消去	しょうきょ	Erase	直流レーザパワーを記録層に照射し、動作記号を記録前の状態にすること。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21884	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correction code, ECC	データの誤りを検出、訂正するために用いられる照射バイトを生成するための数学的計算。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21885	A		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	error detection code	データの誤りを検出するために生成されたコード。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21886	A		ファイナライゼーション	ふぁいならいぜーしょん	finalization	リードインゾーン及びリードアウトゾーンを記録する動作。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21887	A		グルーブ	ぐるーぶ	groove	トラックの位置決めに用いられるディスクの溝。グルーブは、ランドよりも入射面に近く位置する。グルーブの中心に記録を行う。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21888	A		インクリメンタル記録	いんくりめんたるきろく	incremental recording	リンキング形式を用いてディスクが複数回に分けて記録される際に用いられる記録モー	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21889	A		情報ゾーン	じょうほうぞーん	information zone	リードインゾーン、データゾーン及びリードアウトゾーンで構成されるゾーン。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21890	A		ランド	らんど	land	グルーブ間の領域。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21891	A		ランドプリピット	らんどぷりぴっと	land pre-pit	ディスク基板構造工程において、ランド上に形成された番地情報を含むエンボスピット。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21892	A		リードインゾーン	りーどいんぞーん	lead in zone	データゾーンより内側、かつ、隣接した物理セクタで構成されるゾーン。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21893	A		リードアウトゾーン	りーどあうとぞーん	lead out zone	データゾーンより外側、かつ、隣接した物理セクタで構成されるゾーン。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21894	A		記録管理領域、RMA	きろくかんりりょういき、RMA	recording management area, RMA	リードインゾーンより内側、かつ、隣接した記録管理データで構成される領域。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21895	A		記録管理データ、RMD	きろくかんりでーた、RMD	recording management data, RMD	ディスク上の記録モードを含む記録に関する情報。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21896	A		リストリクテッドオーバライト	りすとりくてっどおーばらいと	restricted overwrite	記録済み領域上の任意の場所にECCブロックを記録する記録モード。又は、記録済みECCブロックの最外周にリンキング方式を用いてECCブロックを追加する記録モード。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21897	A		R情報ゾーン	Rじょうほうぞーん	R-information zone	パワー校正領域(PCA)と記録管理領域(RMA)とで構成される領域。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21898	A		Rゾーン	Rぞーん	R zone	インクリメンタル記録モード及びリストリクテッドオーバライトモードの場合に、ユーザデータ記録用に予約される連続したECCブロック。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21899	A		セクタ	せくた	sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21900	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。これを通して光ビームで記録層にアクセスする。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21901	A		トラック	とらっく	track	連続スパイラルの360° 、1回転分。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21902	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	半径方向に測定される、未記録ディスクに対しては1対の隣接するウォブルグルーブ(半径方向にわずかに蛇行したグルーブ)の平均中心線間の距離で、記録済みディスクに対しては1対の隣接する連なった記録マークの物理トラックの中心線間の距離。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21903	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6248	2007	ISO/IEC 17342	2004				2004	SC23
21904	A		ブロック同期ガード領域	ぶろっくどうきがーどりょういき	Block SYNC Guard Area	未記録領域において、32Kリンクを用いて記録が開始された連続領域の最初のECCブロック。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005	IDT			2005	SC23
21905	A		ボーダーゾーン	ぼーだーぞーん	Border Zone	部分的に記録された状態のディスクを再生するときに、ピックアップの暴走を防止するための領域。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21906	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	変調後の2値の"0"及び"1"を、ディスク上のピットで表す要素。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21907	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone	クランプ装置機構によってクランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21908	A		データゾーン	でーたぞーん	Data Zone	リードインゾーンとリードアウトゾーンとに挟まれたユーザデータが記録された領域。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21909	A		データレコーダブルゾーン	でーたれこーだぶるぞー	Data Recordable Zone	ユーザデータが記録可能なゾーン。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21910	A		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	Digital Sum Value (DSV)	10進数の1をビット"1"及び10進数の-1をビット"0"に割り当てることによって、ビットストリームから得た算術和。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21911	A		ディスクアットワンス記録	でぃすくあっとわんすきろく	Disk at once recording	リードインゾーン、ユーザデータ及びリードアウトゾーンを連続的に記録する記録モード。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21912	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane	ディスクのすくランプゾーンをクランプし、理想スピンドルの完全に平らな環状表面で定義される回転軸に対して垂直な面。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21913	A		ECCブロックアドレス	ECCぶろっくあどれす	ECC Block address	ランドプリピットとして配置され、ディスク上の各領域への記録位置を決定するために用いるトラックの絶対物理番地。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21914	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)	データの誤りを検出、訂正するために用いる照合バイトを生成するための数学的計算。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21915	A		誤り検出符号	あやまりけんしゅつふごう	Error Detection Code	データの誤りを検出するために生成されたコード。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21916	A		ファイナライゼーション	ふぁいならいぜーしょん	Finalization	リードインゾーン及びリードアウトゾーンを記録する動作。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21917	A		グルーブ	ぐるーぶ	Groove	トラックの位置決めに用いるディスクの溝。グルーブは、ランドよりも入射面に近く位置する。グルーブの中心に記録を行う。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21918	A		インクリメンタル記録	いんくりめんたるきろく	Incremental recording	リンキング方式を用いてディスクが複数回に分けて記録されるときに用いる記録モード。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21919	A		情報ゾーン	じょうほうぞーん	Information Zone	リードインゾーン、データゾーン及びリードアウトゾーンで構成されるゾーン。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21920	A		ランド	らんど	Land	グルーブ間の領域。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21921	A		ランドプリピット	らんどぷりぴっと	Land Pre-Pit (LPP)	ディスク基板製造工程において、ランド上に形成された番地情報を含むエンボスピット。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21922	A		リードインゾーン	りーどいんぞーん	Lead-in Zone	データゾーンより内側、かつ、隣接した物理セクタで構成されるゾーン。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21923	A		リードアウトゾーン	りーどあうとぞーん	Lead-out Zone	データゾーンより外側、かつ、隣接した物理セクタで構成されるゾーン。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21924	A		記録管理領域	きろくかんりりょういき	Recording Management Area (RMA)	リードインゾーンより内側、かつ、隣接した記録管理ゾーンで構成される領域。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21925	A		記録管理データ	きろくかんりでーた	Recording Management Data (RMD)	ディスク上の記録モードを含む記録に関する情報。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21926	A		R情報ゾーン	Rじょうほうぞーん	R-Information Zone	パワー校正領域(PCA)と記録管理領域(RMA)とで構成される領域。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21927	A		Rゾーン	Rぞーん	RZone	インクリメンタル記録及びリストリクテッドオーバライトモードの場合に、ユーザデータ記録用に予約される連続したECCブロック。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21928	A		セクタ	せくた	Sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21929	A		基板	きばん	Substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。これを通して光ビームで記録層にアクセスする。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21930	A		トラック	とらっく	Track	連続スパイラルの360°、1回転。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21931	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch	半径方向に測定される、未記録ディスクに対しては一対の隣接するウォブルグルーブ(半径方向にわずかに蛇行したグルーブ)の平均中心線間の距離で、記録済みディスクに対しては一対の隣接する連なった記録マークの物理トラックの中心線間の距離。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21932	A		ゾーン	ぞーん	Zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6249	2009	ISO/IEC 23912	2005				2005	SC23
21933	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	2進数の値"0"及び"1"を、ディスク上のピット及びマークで表す要素。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006	IDT			2006	SC23
21934	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ構造によって、クランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21935	A		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	Digital Sum Value, DSV	10進数の+1をビット"1"及び10進数の-1をビット"0"に割り当てることによって、ビットストリームから得た算術和。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21936	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane	ディスクをクランプするための基準となる、ディスク表面にある理想の平面であって、理想的なスピンドルの回転軸に対して垂直に位置する面。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21937	A		ダミー基盤	だみーきばん	dummy substrate	透明又は不透明であって、ディスクを、(場合によっては記録面も)機械的に支持する層。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21938	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	最初に光ビームがディスクに入射する面。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21939	A		フィールド	ふぃーるど	field	セクタの一部分。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21940	A		グルーブ	ぐるーぶ	groove	情報を記録する前に使用され、トラックの位置決めに用いるディスクの溝。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21941	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	データをバーストエラーの影響がないようにするため、データの最小単位の物理的な並びを再配置するプロセス。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21942	A		マーク	まーく	mark	ピット、非晶質、その他の形態、又は光学的に検出できる形態をもった記録層の特性部	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21943	A		相変化	そうへんか	phase change	記録膜に光ビームを照射して加熱することによって、可逆的に非晶質状態から結晶状態、又はその逆方向に変化する物理現象。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21944	A		物理セクタ	ぶつりせくた	physical sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21945	A		記録層	きろくそう	recording layer	製造時及び/又は使用時にデータを記録したディスクの層。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21946	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code, RS	エラー検出又は訂正符号。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21947	A		基準速度	きじゅんそくど	reference velocity	26.15625Mbit/sの公称チャネルビットレートの線速度。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21948	A		スペース	すぺーす	space	結晶、非ピット、その他の形態、又は光学的に検出できる形態をもった記録層の特性部	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21949	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。これを通して光ビームで記録層にアクセスする。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21950	A		トラック	とらっく	track	連続スパイラルの360°、1回転。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21951	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	隣接したトラックの中心線間を半径方向で測定した距離。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21952	A		ビデオコンテンツプロテクションシステム	びでおこんてんつぷろてくしょんしすてむ	Video Content Protection System, VCPS	+R又は+RWのビデオフォーマットで記録されているビデオデータを承認なくコピー及び/又は再配布することを禁止する方法。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21953	A		ウォブル	うぉぶる	wobble	トラックの平均中心線からの連続的な正弦波状の偏位。そのウォブルの位相変調データは位置情報を含んでいる。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21954	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6250	2009	ISO/IEC 17341	2006				2006	SC23
21955	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit	2進数の値"0"及び"1"を、ディスク上のピット及びマークで表す要素。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006	IDT			2006	SC23

	ﾚﾍﾞﾙ		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21956	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ構造によって、クランプ力が加わるディスクの環状の部分。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21957	A		ディジタル総計値	でぃじたるそうけいち	digital sum value	10進数の+1をビット“1”及び10進数の-1をビット“0”に割り当てることによって、ビットストリームから得た算術和。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21958	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane	ディスクをクランプするための基準となる、ディスク表面にある理想の平面であって、理想的なスピンドルの回転軸に対して垂直に位置する面。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21959	A		ダミー基盤	だみーきばん	dummy substrate	透明又は不透明であって、ディスクを、(場合によっては記録面も)機械的に支持する層。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21960	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	最初に光ビームがディスクに入射する面。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21961	A		フィールド	ふぃーるど	field	セクタの一部分。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21962	A		グルーブ	ぐるーぶ	groove	情報を記録する前に使用され、トラックの位置決めに用いるディスクの溝。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21963	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	データをバーストエラーの影響がないようにするため、データの最小単位の物理的な並びを再配置するプロセス。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21964	A		マーク	まーく	mark	ピット、非晶質、その他の形態、又は光学的に検出できる形態をもった記録層の特性部	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21965	A		マルチセションディスク	まるちせしょんでぃすく	multi-session disk	次の三つのゾーンを1単位とし、複数の単位で構成されるディスク。 a) 一つのリードイン又はイントロ b) 一つのデータ c) 一つのクロージャ又はリードアウト	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21966	A		物理セクタ	ぶつりせくた	physical sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21967	A		記録層	きろくそう	recording layer	製造時及び/又は使用時にデータを記録したディスクの層。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21968	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code, RS	エラー検出又は訂正符号。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21969	A		基準速度	きじゅんそくど	reference velocity	26.15625Mbit/sの公称チャネルビットレートの線速度。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21970	A		シングルセションディスク	しんぐるせしょんでぃすく	single-session disk	次の三つのゾーンで構成されるディスク。 a) 一つのリードイン b) 一つのデータ c) 一つのリードアウト	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21971	A		セション	せしょん	session	次の三つのゾーンで構成される領域。 a) 一つのリードイン又はイントロ b) 一つのデータ c) 一つのクロージャ又はリードアウト	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21972	A		スペース	すぺーす	space	結晶、非ピット、その他の形態、又は光学的に検出できる形態をもった記録層の特性部	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21973	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。これを通して光ビームで記録層にアクセスする。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21974	A		トラック	とらっく	track	連続スパイラルの360°、1回転。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21975	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	隣接したトラックの中心線間を半径方向で測定した距離。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21976	A		ビデオコンテンツプロテクションシステム	びでおこんてんつぷろてくしょんしすてむ	VCPS, Video Content Protection System	+R又は+RWのビデオフォーマットで記録されているビデオデータを承認なくコピー及び/又は再配布することを禁止する方法。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21977	A		ウォブル	うぉぶる	wobble	トラックの平均中心線からの連続的な正弦波状の偏位。そのウォブルの位相変調データは位置情報を含んでいる。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21978	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6251	2009	ISO/IEC 17344	2006				2006	SC23
21979	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge (ODC)	光ディスクとそれを保護するケースからなるデバイス(以下、ディスクという。)。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990	MOD			1990 1990	SC23
21980	A		ケース	けーす	case	シャッタ機構、書込み禁止孔及び媒体識別孔をもつ保護用封入箱。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21981	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	光ビームによってデータを記録できる記録層をもつ平らな回転盤(以下、ディスクという。)。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21982	A		基板	きばん	substrate	光ビームが透過して記録層に入射するディスク構成層。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21983	A		ハブ	はぶ	hub	ディスクの中心に取り付けられた駆動用円盤。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21984	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	ディスク駆動装置(以下、駆動装置という。)に内蔵されたディスク駆動軸。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21985	A		クランプ領域	くらんぷりょういき	Clamping Zone	駆動装置にディスクを固定するとき、力が加わるディスク上の環状の部分。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21986	A		記録層	きろくそう	recording layer	光ビームによってデータを記録する層。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21987	A		ベースライン反射率	べーすらいんはんしゃりつ		ディスクの基板を通してみた、記録層の平らな部分の反射率。基板表面の反射率を除く。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21988	A		マーク	まーく	mark	穴、へこみ、膨らみ、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークは、ディスク上のデータを表す。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21989	A		再生パワー	さいせいぱわー		記録層を損傷することなくディスク上のデータを読み取るための入射光パワー。入射面で規定する。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21990	A		記録パワー	きろくぱわー		マーク形成のための入射光パワー。入射面で規定する。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21991	A		狭帯域信号対雑音比(C/N)	きょうたいいきしんごうついざつおんひ		規定の周波数での信号の自乗平均パワーを、規定の帯域の雑音の自乗平均パワーで除した値。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21992	A		トラック	とらっく	track	ディスク円周上のデータが記録される360度分の経路。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21993	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	半径方向に隣り合ったトラックの中心線間の距離。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21994	A		グルーブ	ぐるーぶ	groove	トラック位置決め用の溝のうち、入射面に近い方の溝。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21995	A		ランド	らんど		トラック位置決め用の溝のうち、入射面から遠い方の溝。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21996	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	Control Track	ディスクの記録、再生条件を与えるトラック。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21997	A		ユーザゾーン	ゆーざぞーん		ユーザが使用できる領域。この規格では、ディスクの半径30～60mmの部分で、番号0～Nのトラックの領域である。このうち、番号0、1、2、N-2、N-1、Nのトラックを欠陥管理に使	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23

	ﾚﾍﾞﾙ		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
21998	A		ユーザエリア	ゆーざえりあ		ユーザゾーンのうち、ユーザが実際にデータを記録できる領域。この規格では、番号3～(N-3)のトラックの領域である。	JIS X 6261	1991	ISO/IEC 9171-1 ISO/IEC 9171-2	1990 1990				1990 1990	SC23
21999	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	光ディスク及びそれを保護するケースからなるデバイス(以下、カートリッジという。)。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991	MOD			1991	SC23
22000	A		ケース	けーす	case	シャッタ機構、書込み禁止孔及び媒体識別孔をもつ保護用封入箱。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22001	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	光ビームによってデータを記録できる記録層をもつ、平らな回転円盤(以下、ディスクとい	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22002	A		基板	きばん	substrate	光ビームが透過して記録層に入射するディスク構成層。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22003	A		ハブ	はぶ	hub	ディスクの中心に取り付けられた駆動用円盤。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22004	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	ディスク駆動装置(以下、駆動装置という。)に内蔵されたディスク駆動軸。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22005	A		クランプ領域	くらんぷりょういき	Clamping Zone	駆動装置にディスクを固定するとき、力が加わるディスク上の環状の部分。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22006	A		記録層	きろくそう	recording layer	光ビームによってデータを記録する層。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22007	A		ベースライン反射率	べーすらいんはんしゃりつ		ディスクの基板を通してみた記録層の平らな部分の反射率。基板表面の反射率を除く。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22008	A		マーク	まーく	mark	磁区、穴、へこみ、膨らみ、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークは、ディスクのデータを表す。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22009	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	記録層を損傷することなくディスク上のデータを読み取るための入射光パワー入射面で規定する。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22010	A		記録パワー	きろくぱわー		マーク形成のための入射光パワー。入射面で規定する。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22011	A		狭帯域信号対雑音比(C/N)	きょうたいいきしんごうついざつおんひ		規定の周波数での信号の自乗平均パワーを、規定の帯域の雑音の自乗平均パワーで除した値。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22012	A		トラック	とらっく	track	ディスク円周上のデータが記録される360度分の経路。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22013	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	半径方向に隣り合ったトラックの中心線間の距離。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22014	A		グルーブ	ぐるーぶ		トラック位置決め用の溝のうち、入射面に近い方の溝。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22015	A		ランド	らんど		トラック位置決め用の溝のうち、入射面から遠い方の溝。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22016	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	Control Track	ディスクの記録及び再生の条件を与えるトラック。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22017	A		ユーザゾーン	ゆーざぞーん		ユーザが使用できる領域。この規格では、ディスクの半径30～60mmの部分で番号0～Nのトラックの領域である。このうち、番号0、1、2、N-2、N-1及びNのトラックを欠陥管理に	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22018	A		ユーザエリア	ゆーざえりあ		ユーザゾーンのうち、ユーザが実際にデータを記録できる領域。この規格では、番号3～(N-3)のトラックの領域である。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22019	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスクの欠陥領域の取扱い方法。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22020	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気カー効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22021	A		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark	光磁気の技法では記録内容を変更することができないマーク。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22022	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon Code	バースト又はバーストと強い相関をもつエラーの訂正に適しているエラー検出符号及びエラー訂正符号。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22023	A		書換形光ディスク	かきかえがたひかりでぃす	rewritable optical disk	光ビームでデータを書き換えることができる領域をもっている光ディスク。	JIS X 6271	1991	ISO/IEC 10089	1991				1991	SC23
22024	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護する封入箱。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992	MOD			1992	SC23
22025	A		CRC	CRC	cyclic redundancy check (CRC)	データの誤り検出方法。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22026	A		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark	光磁気の技法では記録内容を変更することができないマーク。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22027	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射する光ディスクの表面。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22028	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correction code (ECC)	データを構成するビットの中に誤りがあったとき、それを検出できるような規則で構成された冗長符号。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22029	A		フィールド	ふぃーるど	field	セクタの中の指定された領域。特定の種類に属するデータのために用いる。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22030	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上の情報の配置又は並び。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22031	A		グルーブ	ぐるーぶ	groove	トラック位置決め用の溝のうち、入射面に近い方の溝。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22032	A		インターリーブ	いんたーりーぶ	interleaving	バースト誤りによって影響を受けないように、データの単位に物理的な不連続を与えるプ	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22033	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22034	A		ランド	らんど		トラック位置決め用の溝のうち、入射面から遠い方の溝。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22035	A		マーク	まーく	mark	磁区、穴、へこみ、膨らみ、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークは、ディスクのデータを表す。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22036	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	光ビームによってデータを記録できる記録層をもつ平らな回転円盤(以下、ディスクとい	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22037	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	ディスク及びそれを保護するケースからなるデバイス(以下、カートリッジという。)。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22038	A		偏光	へんこう	polarization	光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向と一致していること。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22039	A		記録層	きろくそう	recording layer	光ビームによってデータを記録する層。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22040	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バースト又はバーストと強い相関をもつエラーの訂正に適しているエラー検出符号及びエラー訂正符号。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22041	A		書換形光ディスク	かきかえがたひかりでぃす	rewritable optical disk	光ビームでデータを書き換えることができる領域をもつディスク。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22042	A		セクタ	せくた	sector	アクセスできるアドレス指定の最小単位の情報トラックの部分。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22043	A		基板	きばん	substrate	光ビームが透過して記録層に入射するディスク構成層。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22044	A		トラック	とらっく	track	ディスク円周上のデータが記録できる360度分の経路。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22045	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6272	1992	ISO/IEC 10090	1992				1992	SC23
22046	A		バンド	ばんど	band	データゾーンの一部。エンボス又は記録された一定周波数の信号をもつ、所定数の連続するフィジカルトラックから成る。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993	MOD			1993	SC23
22047	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの交換を容易にするための入れ物。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22048	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	ディスク上のデータの最小要素。それはスペース又はマークで記録される。2チャネルビットで1ユーザビットを表す。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22049	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone	クランプ装置からの吸着力が印加されるディスクの環状部分。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22050	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録、再生及び消去するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むトラック。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22051	A		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにビット列を2進数とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方式。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22052	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方法。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22053	A		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane	回転軸に対して垂直で、かつ、理想スピンドルによってクランプされる完全にフラットな環境表面によって規定される面。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22054	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22055	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22056	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上のデータの配置又はレイアウト。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22057	A		全面再生専用形光ディスク	ぜんめんさいせいせんようがたひかりでぃすく	fully embossed disk	データゾーンの中のすべてのデータフィールドがエンボスデータである光ディスクカートリッジ。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22058	A		全面書換形光ディスク	ぜんめんかきかえがたひかりでぃすく	fully rewritable disk	特定の領域でのデータが、光ビームによって書換え可能である光ディスクカートリッジ。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22059	A		ハブ	はぶ	hub	駆動装置のスピンドルよって心出しを行い、かつ、クランプ力を与えるためのディスクの中心部分にある構造体。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22060	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22061	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気カー効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22062	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22063	A		ロジカルトラック	ろじかるとらっく	logical track	512バイト/セクタのディスクでは連続する31セクタ。1024バイト/セクタのディスクでは連続する17セクタ。各々のロジカルトラックの最初のセクタを第0セクタとする。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22064	A		ロジカルZCAV	ろじかるZCAV	Logical ZCAV	ゾーン化された角速度一定方式の操作を前提とし、データゾーンのトラックすべてをロジカルトラックとするディスクフォーマット。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22065	A		マーク	まーく	mark	磁区、ピット、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22066	A		追記形光ディスクカートリッジ	ついきがたひかりでぃすくかーとりっじ	ODC with write once,read multiple functionarity	一度だけ初期化ができ、初期化後特定の領域に一度だけデータを記録できる光ディスクカートリッジ。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22067	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録し、かつ、保持する、又はあらかじめ記録されたマークをもつ、光ビームで再生可能なディスク。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22068	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22069	A		部分再生専用形光ディスク	ぶぶんさいせいせんようがたひかりでぃすく	partially embossed disk	データゾーンに書換可能フィールド及びエンボスデータフィールドの両方をもつ光ディスクカートリッジ。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22070	A		フィジカルトラック	ふぃじかるとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22071	A		フィジカルトラックグループ	ふぃじかるとらっくぐるーぷ	physical track group	データゾーンでの一定数の連続するフィジカルトラック。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22072	A		ピッチ	ぴっち	pitch	隣接するフィジカルトラックの中心線の半径方向の間隔。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22073	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22074	A		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark	光磁気的な方法では変更できないように形成されたマーク。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22075	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時のディスクの入射面での光パワー。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22076	A		記録層	きろくそう	recording layer	製造時及び/又は使用時にデータが記録される、ディスク上又はディスク中の層。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22077	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、エラー検出符号及び/又はエラー訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22078	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	駆動装置の一部で、ディスク及び/又はハブと接合する部分。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22079	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支える透明なディスク構成層。光ビームはこの層を通して記録層に入	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22080	A		書込禁止穴	かきこみきんしあな	write-inhibit hole	ケースに付いている書込禁止を表す穴。この穴が開いていることを駆動装置が検出すると、記録も消去も禁止される。	JIS X 6273	1996	ISO/IEC 13549	1993				1993	SC23
22081	A		バンド	ばんど	band	データゾーンの一部で、一定のクロック周波数で、記録された信号をもち、所定数の連続するフィジカルトラックからなる環状の領域。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22082	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの互換を容易にするための入れ物。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22083	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置からの吸着力が印加されるディスクの環状部分。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22084	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録、再生及び消去するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むトラック。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22085	A		巡回冗長検査	じゅんかいじょうちょうけんさ	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにビット列を2進数とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方式。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22086	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方法。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22087	A		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane	理想スピンドルにおいて、回転軸に垂直で、かつ、ディスクのクランプゾーンに対応する、完全にフラットな環状表面として規定される面。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22088	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22089	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22090	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上の情報の配置又はレイアウト。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22091	A		ハブ	はぶ	hub	駆動装置のスピンドルによって心出しを行い、かつ、吸着力を与えるためのディスクの中心部分にある構造体。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22092	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22093	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気カー効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22094	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22095	A		ロジカルトラック	ろじかるとらっく	logical track	512バイト/セクタのディスクでは連続する31セクタ。1024バイト/セクタのディスクでは連続する17セクタ。各々のロジカルトラックの最初のセクタを第0セクタとする。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22096	A		マーク	まーく	mark	磁区、ピット、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22097	A		マークエッジ	まーくえっじ	mark edge	トラックに沿ったマーク領域から非マーク領域への遷移部又はその逆の遷移部。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22098	A		マークエッジ記録	まーくえっじきろく	mark edge recording	マークエッジを用いてチャネルビットを表す記録方法。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22099	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録し、かつ、保持する、又はあらかじめ記録されたマークをもつ、光ビームで再生可能なディスク。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22100	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22101	A		フィジカルトラック	ふぃじかるとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22102	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22103	A		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark	光磁気的な方法では変更できないように形成されたマーク。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22104	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時のディスクの入射面での光パワー。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22105	A		記録層	きろくそう	recording layer	ディスクを構成する層の一つ。製造時及び/又は使用時に、層の上又は中にデータが記録される。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22106	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、誤り検出符号及び/又は誤り訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22107	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	駆動装置の一部で、ディスク及び/又はハブと接合する部分。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22108	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支える透明なディスク構成層。光ビームはこの層を通して記録層に入	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22109	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	隣接するフィジカルトラックの中心線の半径方向の間隔。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22110	A		書込禁止穴	かきこみきんしあな	write-inhibit hole	ケースに付いている書込禁止を表す穴。この穴が開いていることを駆動装置が検出すると、記録も消去も禁止される。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22111	A		追記機能	ついききのう	write once functionality	書換形光磁気ディスクの初期化と書き込みを一度だけに制限し、消去を許容しないとす	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22112	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6274	1997	ISO/IEC 13842	1995				1995	SC23
22113	A		バンド	ばんど	band	所定数の連続するフィジカルトラックからなるデータゾーンの一部。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22114	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの互換を容易にするための入れ物。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22115	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	ディスク上のデータの最小要素。それはスペース又はマークで記録される。2チャネルビットで1ユーザビットを表す。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22116	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置からの吸着力が印加されるディスクの環状部分。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22117	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録、再生及び消去するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むトラック。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22118	A		巡回冗長検査	じゅんかいじょうちょうけんさ	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにビット列を2進数とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方式。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22119	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方法。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22120	A		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane	理想スピンドルにおいて、回転軸に垂直で、かつ、ディスクのクランプゾーンに対応する、完全にフラットな環状表面として規定される面。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22121	A		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark	光磁気的手段によって変更できないように形成されたマーク。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22122	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22123	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22124	A		フィールド	ふぃーるど	field	セクタの下位区分を表す領域。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22125	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上の情報の配置又はレイアウト。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22126	A		全面再生専用形光ディスク	ぜんめんさいせいせんようがたひかりでぃすく	fully embossed disk	データゾーンの中のすべてのデータフィールドがエンボスデータである光ディスクカートリッジ。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22127	A		全面書換形光ディスク	ぜんめんかきかえがたひかりでぃすく	fully rewritable disk	規定された領域のデータが、光ビームによって書換え可能である光ディスクカートリッジ。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22128	A		ハブ	はぶ	hub	駆動装置のスピンドルによって心出しを行い、かつ、吸着力を与えるためのディスクの中心部分にある構造体。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22129	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22130	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気カー効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22131	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22132	A		ロジカルトラック	ろじかるとらっく	logical track	連続する25セクタ。光ディスクの一周分に満たないことがあり、各々のロジカルトラックの最初のセクタを第0セクタとする。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22133	A		マーク	まーく	mark	磁区、ピット、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22134	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録し、かつ、保持する、又はあらかじめ記録されたマークをもつ、光ビームで再生可能なディスク。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22135	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22136	A		部分再生専用形光ディスク	ぶぶんさいせいせんようがたひかりでぃすく	partially embossed disk	データゾーンに書換え可能フィールド及びエンボスデータフィールドの両方をもつ光ディスクカートリッジ。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22137	A		フィジカルトラック	ふぃじかるとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22138	A		フィジカルトラックグループ	ふぃじかるとらっくぐるーぷ	physical track group	データゾーンでの一定数の連続するフィジカルトラック。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22139	A		ピッチ	ぴっち	pitch	隣接するフィジカルトラックの中心線の半径方向の間隔。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22140	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22141	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時のディスクの入射面での光パワー。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22142	A		記録層	きろくそう	recording layer	ディスクを構成する層の一つ。製造時及び/又は使用時に、層の上又は中にデータが記録される。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22143	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、誤り検出符号及び/又は誤り訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22144	A		セクタ	せくた	sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22145	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	駆動装置の一部で、ディスク及び/又はハブと接合する部分。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22146	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支える透明なディスク構成層。光ビームはこの層を通して記録層に入	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22147	A		ZCAV	ZCAV	ZCAV	ゾーン化された角速度一定方式として使用するためのディスクフォーマット。データゾーンにおいてはすべてのトラックをロジカルトラックとして扱う。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22148	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6275	1997	ISO/IEC 13963	1995				1995	SC23
22149	A		バンド	ばんど	band	ユーザゾーンの一部で、一定のクロック周波数で記録された信号をもち、所定数の連続する物理トラックからなる環状の領域	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22150	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの互換を容易にするための入れ物	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22151	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置からの吸着力が印加されるディスクの環状部分	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22152	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録、再生及び消去するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むトラック	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22153	A		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにビット列を2進数の多項式とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22154	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方式	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22155	A		ダイレクトオーバライト	だいれくとおーばらいと	direct overwrite	消去のための別な過程を必要としない特別な構造のディスクを用いた熱磁気記録法。磁界反転によらず、レーザ強度変調によって古いデータを上に新しいデータを直接記録可能な熱磁気記録方法	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22156	A		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane	理想スピンドルにおいて、回転軸に垂直で、かつ、ディスクのクランプゾーンに対応する、完全にフラットな環状表面として規定される面	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22157	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22158	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22159	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上の情報の配置又はレイアウト	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22160	A		ハブ	はぶ	hub	駆動装置のスピンドルによって芯出しを行い、かつ、吸着力を与えるためのディスクの中心部分にある構造体	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22161	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22162	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気カー効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22163	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22164	A		論理トラック	ろんりとらっく	logical track	512バイト/セクタのディスクでは連続する31セクタ。1024バイト/セクタのディスクでは連続する17セクタ。各々の論理トラックの最初のセクタを第0セクタとする	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22165	A		マーク	まーく	mark	磁区、ピット、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22166	A		マークエッジ	まーくえっじ	mark edge	トラックに沿ったマーク領域から非マーク領域への遷移部又はその逆の遷移部	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22167	A		マークエッジ記録	まーくえっじきろく	mark edge recording	マークエッジを用いてチャネルビットを表す記録方法	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22168	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録し、かつ、保持する、光ビームで再生可能なディスク	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22169	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22170	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路。この経路は、直接アドレスされ	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22171	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22172	A		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark	光磁気的な方法では変更できないように形成されたマーク	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22173	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時に使用される、ディスクの入射面での光パワー	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22174	A		記録層	きろくそう	recording layer	ディスクを構成する層の一つ。製造時及び/又は使用時に、層の上又は中にデータが記	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22175	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、誤り検出符号及び/又は誤り訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22176	A		スペース	すぺーす	space	トラック上のマークとマークの間の領域	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22177	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	ディスク及び/又はハブと接触する駆動装置の部分	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22178	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持し、光ビームがこの層を通して記録層に入射する透明なディスク	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22179	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	隣接する物理トラックの中心線の半径方向の間隔	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22180	A		書込禁止あな(孔)	かきこみきんしあな	write-inhibit hole	ケースに付いている書込禁止を表すあな。このあなが開いていることを駆動装置が検出すると、記録も消去も禁止される	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22181	A		追記機能	ついききのう	write-once functionality	書換形光磁気ディスクの初期化と書込みを一度だけに制限し、消去を許容しないとする	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22182	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域	JIS X 6276	1998	ISO/IEC 14517	1996				1996	SC23
22183	A		バンド	ばんど	band	所定数の連続する物理トラックからなるデータゾーンの一部	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22184	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの互換を容易にするための入れ物	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22185	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	ディスク上のデータを表す最小要素。それはスペース又はマークで記録される。12チャネルビットで8入力ビットを表す	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22186	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置からの吸着力が印加されるディスクの環状部分	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22187	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録、再生及び消去するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むトラック	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22188	A		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにビット列を2進数の多項式とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22189	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方式	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22190	A		DOWディスク	DOWでぃすく	DOW disk	磁界反転によらず、レーザ強度変調によって古いデータ上に新しいデータを直接記録可能な光磁気ディスク	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22191	A		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane	理想スピンドルにおいて、回転軸に垂直で、かつ、ディスクのクランプゾーンに対応する、完全にフラットな環状表面として規定される面	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22192	A		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark	光磁気的手段によって変更できないように形成されたマーク	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22193	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22194	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22195	A		フィールド	ふぃーるど	field	セクタの下位区分を表す領域	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22196	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上のデータの配置又はレイアウト	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22197	A		全面再生専用形光ディスク	ぜんめんさいせいせんようがたひかりでぃすく	fully embossed disk	データゾーンの中のすべてのデータフィールドがエンボスデータである光ディスクカートリッジ。	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22198	A		全面書換形光ディスク	ぜんめんかきかえがたひかりでぃすく	fully rewritable disk	規定された領域のデータが、光ビームによって書換え可能である光ディスクカートリッジ。	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22199	A		ハブ	はぶ	hub	駆動装置のスピンドルによって芯出しを行い、かつ、クランプ力を与えるためのディスクの中心部分にある構造体	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22200	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22201	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気カー効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22202	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22203	A		論理トラック	ろんりとらっく	logical track	512バイト/セクタのディスクでは連続する25セクタ。2048バイト/セクタのディスクでは連続する17セクタ。各々の論理トラックの最初のセクタを第0セクタとする	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22204	A		論理ZCAV	ろんりZCAV	logical ZCAV	ゾーン化された角速度一定方式として使用するためのディスクフォーマット。データゾーンにおいてはすべてのトラックが論理トラックとなる	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22205	A		マーク	まーく	mark	磁区、ピット、その他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22206	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録し、かつ、保持する、光ビームで再生可能なディスク	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22207	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22208	A		部分再生専用形光ディスク	ぶぶんさいせいせんようがたひかりでぃすく	partially embossed disk	データゾーンに書換え可能フィールド及びエンボスデータフィールドの両方をもつ光ディスクカートリッジ。	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22209	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路。	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22210	A		物理トラックグループ	ぶつりとらっくぐるーぷ	physical track group	データゾーンでの一定数の連続する物理トラック	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22211	A		ピッチ	ぴっち	pitch	隣接する物理トラックの中心線の半径方向の間隔	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22212	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22213	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時に使用される、ディスクの入射面での光パワー	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22214	A		記録層	きろくそう	recording layer	ディスクを構成する層の一つ。製造時及び/又は使用時に、層の上又は中にデータが記	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22215	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、誤り検出符号及び/又は誤り訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22216	A		セクタ	せくた	Sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、そのゾーンの他のアドレス可能部分とは独立してアドレスできる、アドレス指定可能な最小領域。	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22217	A		スペース	すぺーす	space	トラック上のマークとマークの間の領域	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22218	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	ディスク及び/又はハブと接触する駆動装置の部分	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22219	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持し、光ビームがこの層を通して記録層に入射する透明なディスク	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22220	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域	JIS X 6277	1998	ISO/IEC 15041	1997				1997	SC23
22221	A		アシンメトリ	あしんめとり	asymmentry	最大振幅の信号中心と最小振幅の信号中心とのレベル差。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22222	A		バンド	ばんど	band	ユーザゾーンの一部で、一定のクロック周波数で記録された信号をもち、所定数の連続するフィジカルトラックから成る環状の領域。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22223	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの互換を容易にするための入れ物。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22224	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone	クランプ装置からの吸着力が印加されるディスクの環状部分。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22225	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録、再生及び消去するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むトラック。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22226	A		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにビット列を2進数とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方式。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22227	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方法。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22228	A		ダイレクトオーバライト	だいれくとおーばらいと	direct overwrite	消去のための別な過程を必要としない特別な構造のディスクを用いた熱磁気記録法。磁界反転によらず、レーザ強度変調によって古いデータ上に新しいデータを直接記録可能な熱磁気記録方法。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22229	A		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane	理想スピンドルにおいて、回転軸に垂直で、かつ、ディスクのクランプゾーン対応する、完全にフラットな環状表面として規定される面。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22230	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22231	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22232	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上の情報の配置又はレイアウト。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22233	A		ハブ	はぶ	hub	駆動装置のスピンドルよって心出しを行い、かつ、吸着力を与えるためのディスクの中心部分にある構造体。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22234	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22235	A		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation	光磁気カー効果による記録層からの反射光ビームの偏光面の回転。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22236	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22237	A		ロジカルトラック	ろじかるとらっく	logical track	512バイト/セクタのディスクでは連続する31セクタ。1024バイト/セクタのディスクでは連続する17セクタ。2048バイト/セクタのディスクでは連続する7セクタ。各々のロジカルトラックの最初のセクタを第0セクタとする。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22238	A		マーク	まーく	mark	磁区、ピット、その他の光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22239	A		マークエッジ	まーくえっじ	mark edge	トラックに沿ったマーク領域から非マーク領域への遷移部又はその逆の遷移部。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22240	A		マークエッジ記録	まーくえっじきろく	mark edge recording	マークエッジを用いてチャネルビットを表す記録方法。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22241	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録、かつ、保持する、光ビームで再生可能なディスク。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22242	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22243	A		フィジカルトラック	ふぃじかるとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22244	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22245	A		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark	光磁気的な方法では変更できないように形成されたマーク。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22246	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時に使用される、ディスクの入射面での光パワー	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22247	A		記録層	きろくそう	recording layer	ディスクを構成する層の一つ。製造時及び/又は使用時に、層の上又は中にデータが記録される。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22248	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、誤り検出符号及び/又は誤り訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22249	A		スペース	すぺーす	space	トラック上のマークとマークの間の領域。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22250	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	ディスク及び/又はハブと接触する駆動装置の部分。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22251	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持し、光ビームがこの層を通して記録層に入射する透明なディスク	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22252	A		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch	隣接するフィジカルトラックの中心線の半径方向の間隔。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22253	A		書込禁止あな(孔)	かきこみきんしあな	write-inhibit hole	ケースに付いている書込禁止を表すあな(孔)。このあな(孔)が開いていることを駆動装置が検出すると、記録も消去も禁止される。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22254	A		追記機能	ついききのう	write-once functionality	書換形光磁気ディスクの初期化書き込みを一度だけに制限し、消去を許容しないとする	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22255	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域。	JIS X 6278	2001	ISO/IEC 15286	1999				1999	SC23
22256	B		オーディオトラック	おーでぃおとらっく	audio track	ディジタルコード化した音声情報を含む情報トラック。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149	1995	SC23
22257	B		同心度	どうしんど	concentricity	二つの円の中心が必ず存在する円形公差領域の直径。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22258	B		制御バイト	せいぎょばいと	control byte	F2フレームに加える、アドレス情報を含む98バイトのテーブルの中の8ビットバイト。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22259	B		ディジタルデータトラック	でぃじたるでーたとらっく	digital data track	セクタに分割したディジタルユーザデータを含む情報トラック。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22260	B		F1フレーム	F1ふれーむ	F1 frame	スクランブラの出力でCIRCエンコーダの入力となる24個の8ビットバイト。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22261	B		F2フレーム	F2ふれーむ	F2 frame	CIRCエンコーダの出力となる32個の8ビットバイト。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22262	B		F3フレーム	F3ふれーむ	F3 frame	F2フレームに制御バイトを付加して8-14エンコーダの入力となる33個の8ビットバイト。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22263	B		情報領域	じょうほうりょういき	information area	リードイン領域、ユーザデータ領域及びリードアウト領域からなる物理トラック領域。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22264	B		情報トラック	じょうほうとらっく	information track	ユーザ情報を含むディスクの領域。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22265	B		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	ディスク円周上の連続したら(螺)旋トラックの360度分の経路。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22266	B		半径方向加速度	はんけいほうこうかそくど	radial acceleration	規定の回転速度での物理トラックの半径方向の加速度。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22267	B		半径方向振れ	はんけいほうこうふれ	radial runout	1回転中に生じる一つの物理トラックの半径方向の振れ。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22268	B		セクション	せくしょん	section	一つの完全なテーブルとなる98個のF3フレーム。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22269	B		セクタ	せくた	secter	情報領域内のディジタルデータトラックの最小のアドレス可能な部分。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22270	B		ユーザデータ領域	ゆーざでーたりょういき	user data area	情報領域のうち、ユーザデータを記録する部分。	JIS X 6281	1992	ISO/IEC 10149	1989		2006/1	ISO/IEC 10149 :1995	1995	SC23
22271	A		オーディオトラック	おーでぃおとらっく	audio track	ディジタル符号化した音声情報を含む情報トラック。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22272	A		同心度	どうしんど	concentricity	二つの円形のものの中心が存在しなければならない円形公差区域の直径。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22273	A		制御バイト	せいぎょばいと	control byte	F2フレームに加える、アドレス情報を含む98バイトのテーブルの中の8ビットバイト。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22274	A		ディジタルデータトラック	でぃじたるでーたとらっく	digital data track	セクタの中に構成され、ディジタル利用者データを含む情報トラック。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22275	A		F_1フレーム	F_1ふれーむ	F_1 frame	スクランブラの出力であって、CIRC符号化器の入力となる24個の8ビットバイト。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22276	A		F_2フレーム	F_2ふれーむ	F_2 frame	CIRC符号化器の出力となる32個の8ビットバイトのグループ。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22277	A		F_3フレーム	F_3ふれーむ	F_3 frame	制御バイトをもつF2フレームであって、EFM符号化器の入力となる33個の8ビットバイトのグループ。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22278	A		情報領域	じょうほうりょういき	information area	リードイン領域、利用者データ領域及びリードアウト領域からなる、物理トラックをもつディスクの領域。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22279	A		情報トラック	じょうほうとらっく	information track	利用者情報の集まりを含むディスクの領域。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22280	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	光学ヘッドが追従する、ディスク上の連続したら(螺)旋状の線の360度分の経路。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22281	A		半径方向加速度	はんけいほうこうかそくど	radial acceleration	指定の回転速度でのディスクの回転軸に向う物理トラックの半径方向の加速度。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22282	A		半径方向振れ	はんけいほうこうふれ	radial runout	1回転にわたって測定される、物理トラックの回転軸への最大変位と最小変位との差。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22283	A		セクション	せくしょん	section	制御バイトの一つの完全な表を含む98個のF_3フレームのグループ。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22284	A		セクタ	せくた	secter	情報領域におけるディジタルデータトラックの番地付け可能な最小部分。その領域の他の番地付け可能部分とは独立にアクセスできる。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22285	A		利用者データ領域	りようしゃでーたりょういき	user data area	利用者データを含む情報領域の部分。	JIS X 6281	2005	ISO/IEC 10149	1995				1995	SC23
22286	A		Δx	Δx	Δx	x-<x>で示されるxの平均値からの差分	JIS X 6282	2009							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22287	A		ブロック	ぶろっく	block	2352バイトの大きさをもつデータを記録する最小の単位。	JIS X 6282	2009							
22288	A		セクタ	せくた	sector	情報領域におけるディジタルデータトラックの番地付け可能な最小部分。その領域の他の番地付け可能部分とは独立にアクセスできる(JIS X 6281参照)。	JIS X 6282	2009							
22289	A		データディスク	でーたでぃすく	data disc	各セションが1個以上のデータトラックを含むディスク。	JIS X 6282	2009							
22290	A		データセション	でーたせしょん	data session	1個以上のデータトラックを含むセション。	JIS X 6282	2009							
22291	A		データトラック	でーたとらっく	data track	サブコードQチャネルのCONTROLに"Data Track"と指定されたトラック。	JIS X 6282	2009							
22292	A		EFM	EFM	Eight to Fourteen Modulation	8ビットのユーザデータを光ディスク記録に都合のよい特性をもつ17チャネルビットへ変換する変調方式(箇条8参照)。	JIS X 6282	2009							
22293	A		EFMフレーム	EFMふれーむ	EFM frame	1個のEFM同期パターン、1バイトのサブコード情報、24バイトの利用者データ及び8バイトのCIRCを表す合計588チャネルビットの1個のグループ。公称CD速度での継続時間は、約136 μsに等しい。	JIS X 6282	2009							
22294	A		ファイナライゼーション	ふぁいならいぜーしょん	finalization	データの記録を終了し、リードイン領域及びリードアウト領域を記録する動作。	JIS X 6282	2009							
22295	A		最終セション	さいしゅうせしょん	final session	CD-Rディスク上で最も外周側に位置し、最後のセションとして指定したセション。最終セションから後にセションを加えることはできない。	JIS X 6282	2009							
22296	A		ジッタ	じった	jitter	時間間隔分析によって測定した、特定の(I_3～I_{11})マーク又はスペースの前縁と後縁との間の時間変化量の1σの値。	JIS X 6282	2009							
22297	A		ランド	らんど	land	グループ間の領域。	JIS X 6282	2009							
22298	A		レーザ変調	れーざへんちょう	laser modulation	記録の場合に、レーザが"記録ストラテジ"に従って、オン・オフするパターン。	JIS X 6282	2009							
22299	A		マーク	まーく	mark	光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マーク及びスペース(マーク以外の部分)のパターンがディスクのデータを表す。	JIS X 6282	2009							
22300	A		複セションディスク	ふくせしょんでぃすく	multisession disc	(サブコードQチャネルのモード5において最初のリードイン領域に表示する)二つ以上のセションを含む又は含むことができるディスク。	JIS X 6282	2009							
22301	A		m_{11}	えむじゅういち		変調度I_{11}/I_{top}を示す。3.3に示すテスト条件で測定する。	JIS X 6282	2009							
22302	A		公称CD速度	こうしょうCDそくど	nominal CD speed	平均EFMビットクロック周波数4.3218MHz、又は平均案内溝ウォブル周波数22.05kHzが得られるCLV回転状態。	JIS X 6282	2009							
22303	A		Nx公称CD速度	NxこうしょうCDそくど	Nx nominal CD speed	公称CD速度のN倍のCLV回転状態。	JIS X 6282	2009							
22304	A		正規化プッシュプル比	せいきかぷっしゅぷるひ	normalized push-pull ratio, NPPR	記録前の正規化プッシュプル量を、記録後の正規化プッシュプル量で除したときの結果の値(附属書G参照)。	JIS X 6282	2009							
22305	A		案内溝	あんないみぞ	pre-groove	システムクロック及び時間コードの情報をFM変調して記録した、蛇行したグルーブをもつ案内トラック。	JIS X 6282	2009							
22306	A		P_{wo}	ぴーだぶりゅおー	P_{wo}	OPCによって決定する記録動作における、"マーク"生成のための最適記録パワー(附属書E参照)。	JIS X 6282	2009							
22307	A		ランダムEFM	らんだむEFM	random EFM	次の特徴をもつランダムなEFMデータ。 a) 主チャネルでは、ランダムデータ記号(例えば、記録済み白色ノイズオーディオ信号)。 b) サブコードチャネルでは、sync及びCRCを除くすべてのサブコードのバイトは、サブコードフレームごとに固定値に設定されなければならない。固定値は、"FF"又は"00"であることが望ましい。	JIS X 6282	2009							
22308	A		記録済み領域	きろくずみりょういき	recorded area	利用者データ及びサブコードQ情報を含んだEFM信号を記録した領域又はトラック。	JIS X 6282	2009							
22309	A		予備	よび	reserved	将来の使用に備えて、この規格では特定の値に設定されている状態。将来の標準化のために予備とする。	JIS X 6282	2009							
22310	A		セション	せしょん	session	リードイン領域、プログラム領域及びリードアウト領域からなるディスクの領域。	JIS X 6282	2009							
22311	A		単セションディスク	たんせしょんでぃすく	single session disc	セションを一つだけもつディスク。	JIS X 6282	2009							
22312	A		ディスクのインバランスU_d	でぃすくのいんばらんすU_d	unbalance of disc U_d	ディスクの不均衡量。ディスクのインバランスは、次の式によって算出する。 $U_d = m_d \times r$ ここに、U_d: ディスクのインバランス(g·mm) m_d: ディスクの質量(g) r: ディスクの幾何学的な中心と重心との差の距離(mm) ディスクが回転するときのディスクインバランスによる力は、次の式によって算出する。 $F_u = U_d \times \omega^2 \times 10^{-6}$ ここに、F_u: ディスクのインバランスによる力(N) ω: $2\pi \times f_{rot}$ f_{not}: ディスクの回転数(Hz)	JIS X 6282	2009							
22313	A		未記録領域	みきろくりょういき	unrecorded area	信号を全く記録していない領域。	JIS X 6282	2009							
22314	A		ウォブル	うぉぶる	wobble	ディスクの中の案内溝は、完全なら(螺)旋ではなく、蛇行している状態。次の仕様をもつ。 a) 30mmの基準振幅	JIS X 6282	2009							
22315	A		記録ストラテジ	きろくすとらてじ	write strategy	レーザパワーを変調するために使用するHF記録信号の形状。ディスクの測定に必要な記録に使用しなければならない記録ストラテジを、A.1に示す。	JIS X 6282	2009							
22316	A		Δx	Δx	Δx	x-⟨x⟩で示されるxの平均値からの差分	JIS X 6282	2009							
22317	A		ブロック	ぶろっく	block	2352バイトの大きさをもつデータを記録する最小の単位。	JIS X 6283	2009							
22318	A		セクタ	せくた	sector	情報領域におけるディジタルデータトラックの番地付け可能な最小部分。その領域の他の番地付け可能部分とは独立にアクセスできる(JIS X 6281参照)。	JIS X 6283	2009							
22319	A		データディスク	でーたでぃすく	data disc	各セションが1個以上のデータトラックを含むディスク。	JIS X 6283	2009							
22320	A		データセション	でーたせしょん	data session	1個以上のデータトラックを含むセション。	JIS X 6283	2009							
22321	A		データトラック	でーたとらっく	data track	サブコードQチャネルのCONTROLに"Data Track"と指定されたトラック。	JIS X 6283	2009							
22322	A		DOW(n)	DOW(n)	DOW(n)	n番目の重ね書きサイクル。	JIS X 6283	2009							
22323	A		EFM	EFM	Eight to Fourteen Modulation	8ビットのユーザデータを光ディスク記録に都合のよい特性をもつ17チャネルビットへ変換する変調方式(箇条8参照)。	JIS X 6283	2009							
22324	A		EFMフレーム	EFMふれーむ	EFM frame	1個のEFM同期パターン、1バイトのサブコード情報、24バイトの利用者データ及び8バイトのCIRCを表す合計588チャネルビットの1個のグループ。公称CD速度での継続時間は、約136 μsに等しい。	JIS X 6283	2009							
22325	A		ファイナライゼーション	ふぁいならいぜーしょん	finalization	(部分的に)未記録又は論理消去したトラックを終了し、リードイン領域及びリードアウト領域を、適切なTOCサブコードで記録又は重ね書きする動作。	JIS X 6283	2009							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22326	A		最終セション	さいしゅうせしょん	final session	CD-RWディスク上に記録されたセションの中で最も外周側に位置し、最後のセションとして指定したセション。最終セションから後へのセション追加はできない。	JIS X 6283	2009							
22327	A		ジッタ	じった	jitter	時間間隔分析によって測定した、特定の(I_3～I_{11})マーク又はスペースの前縁と後縁との間の時間変化量の1σの値。	JIS X 6283	2009							
22328	A		ランド	らんど	land	グループ間の領域。	JIS X 6283	2009							
22329	A		レーザ変調	れーざへんちょう	laser modulation	記録の場合に、レーザが"記録ストラテジ"に従って、オン・オフするパターン。	JIS X 6283	2009							
22330	A		論理消去	ろんりしょうきょ	logical erase	9.4.3.1、9.5.2.1又は9.6.3.2に従って、モード0のサブコードを含むEFM信号でディスクを重ね書きすることによって、ディスク領域から情報を削除する方法。論理消去された領域は、未記録領域と等価であって、同じ方法で扱われなければならない。	JIS X 6283	2009							
22331	A		マーク	まーく	mark	非晶質の形式又は光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マーク及びスペース(マーク以外の部分)のパターンがディスクのデータを表す。	JIS X 6283	2009							
22332	A		複セションディスク	ふくせしょんでぃすく	multisession disc	(サブコードQチャネルのモード5において最初のリードイン領域に表示する)二つ以上のセションを含む又は含むことができるディスク。	JIS X 6283	2009							
22333	A		m_{11}	えむじゅういち	m_{11}	変調度I_{11}/I_{top}を示す。3.3に示すテスト条件下で測定する。	JIS X 6283	2009							
22334	A		公称CD速度	こうしょうCDそくど	nominal CD speed	平均EFMビットクロック周波数4.3218MHz、又は平均案内溝ウォブル周波数22.05kHzが得られるCLV回転状態。	JIS X 6283	2009							
22335	A		Nx公称CD速度	NxこうしょうCDそくど	Nx nominal CD speed	公称CD速度のN倍のCLV回転状態。	JIS X 6283	2009							
22336	A		正規化プッシュプル比	せいきかぷっしゅぷるひ	normalized push-pull ratio, NPPR	記録前の正規化プッシュプル量を、記録後の正規化プッシュプル量で除したときの結果の値[3.1 b)の"記録後の信号"参照]。 a) 記録前のプッシュプル量は、記録前の溝レベルI_gに正規化する(3.1参照)。 b) 記録後のプッシュプル量は、記録後の平均溝レベルI_{ga}(3.1参照)に正規化する。	JIS X 6283	2009							
22337	A		重ね書き	かさねがき	overwrite	以前に記録した情報の上に新しい情報を記録する動作。	JIS X 6283	2009							
22338	A		P_{BO}	ぴーびーおー	P_{BO}	最適バイアスパワー。	JIS X 6283	2009							
22339	A		P_{ECW}	ぴーいーしーだぶりゅ	P_{ECW}	物理消去の動作のためのパワー。	JIS X 6283	2009							
22340	A		P_{EO}	ぴーいーおー	P_{EO}	記録又は重ね書きの動作における、"ランド"の生成のための最適消去パワー(図A.1参	JIS X 6283	2009							
22341	A		P_{wo}	ぴーだぶりゅおー	P_{wo}	OPC手続きによって決定する記録又は重ね書きの動作における、"マーク"生成のための最適記録パワー(図A.1参照)。	JIS X 6283	2009							
22342	A		物理消去	ぶつりしょうきょ	physical erase	以前に記録した情報を、CWレーザ出力を用いて重ね書きすることよって消去する動作。物理消去の動作後は、CD-RWディスク上の消去した領域は、再び未記録状態になる。	JIS X 6283	2009							
22343	A		案内溝	あんないみぞ	pre-groove	システムクロック及び時間コードの情報をFM変調して記録した、蛇行したグルーブをもつ案内トラック。	JIS X 6283	2009							
22344	A		ランダムEFM	らんだむEFM	random EFM	次の特徴をもつランダムなEFMデータ。 a) 主チャネルでは、ランダムデータ記号(例えば、記録済み白色ノイズオーディオ信号)。 b) サブコードチャネルでは、sync及びCRCを除くすべてのサブコードのバイトは、サブコードフレームごとに固定値に設定されなければならない。固定値は、"FF"又は"00"であることが望ましい。	JIS X 6283	2009							
22345	A		予備	よび	reserved	将来の使用に備えて、この規格では特定の値に設定されている状態。将来の標準化のために予備とする。	JIS X 6283	2009							
22346	A		セション	せしょん	session	リードイン領域、プログラム領域及びリードアウト領域からなるディスクの領域。	JIS X 6283	2009							
22347	A		単セションディスク	たんせしょんでぃすく	single session disc	セションを一つだけもつディスク。	JIS X 6283	2009							
22348	A		ディスクのインバランスU_d	でぃすくのいんばらんすU_d	unbalance of disc U_d	ディスクの不均衡量。ディスクのインバランスは、次の式によって算出する。 $U_d = m_d \times r$ ここに、U_d: ディスクのインバランス(g·mm) m_d: ディスクの質量(g) r: ディスクの幾何学的な中心と重心との差の距離(mm) ディスクが回転するときのディスクインバランスによる力は、次の式によって算出する。 $F_u = U_d \times \omega^2 \times 10^{-6}$ ここに、F_u: ディスクのインバランスによる力(N) ω: $2\pi \times f_{rot}$ f_{rot}: ディスクの回転数(Hz)	JIS X 6283	2009							
22349	A		未記録領域	みきろくりょういき	unrecorded area	信号を全く記録していないか又は以前に記録した情報を物理消去した領域。トラック(溝)は、高反射状態になっている。	JIS X 6283	2009							
22350	A		利用者記録領域	りようしゃきろくりょういき	user-recorded area	利用者データ及び通常のサブコードQ(モード0ではない。)を含むEFM信号を用いて記録した領域(又はトラック)。	JIS X 6283	2009							
22351	A		ウォブル	うぉぶる	wobble	CD-RWディスクの中の案内溝は、完全なら(螺)旋ではなく、蛇行している状態。次の仕様をもつ。 a) 30mmの基準振幅 b) 54μm～60μmの空間的周期(箇条4参照)	JIS X 6283	2009							
22352	A		記録ストラテジ	きろくすとらてじ	write strategy	レーザパワーを変調するために使用するHF記録信号の形状。ディスクの測定に必要な記録に使用しなければならない記録ストラテジを、A.1に示す。	JIS X 6283	2009							
22353	A		バンド	ばんど	band	所定数の連続する物理トラックからなるデータゾーンの一部	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22354	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの互換を容易にするための入れ物	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22355	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	2値の"0"及び"1"をディスク上のピット又はマークで表す要素	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22356	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置からの保持力が印加されるディスクの環状部分	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22357	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録及び再生するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むト	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22358	A		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにピット列を2進数の多項式とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22359	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方式	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22360	A		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane	回転軸に対して垂直で、かつ、理想スピンドルによってクランプされる完全にフラットな環状表面として規定される面	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22361	A		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark	光学的手段によって変更できないように形成されたマーク	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22362	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22363	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22364	A		フィールド	ふぃーるど	field	1セクタの中で分割したまとまった区分を表す領域	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22365	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上の情報の配置又はレイアウト	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22366	A		全面再生専用形光ディスク	ぜんめんさいせいせんようがたひかりでぃすく	fully embossed disk	データゾーンの中のすべてのデータフィールドがエンボスデータである光ディスク	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22367	A		全面書換形光ディスク	ぜんめんかきかえがたひかりでぃすく	fully overwritable disk	規定された領域のデータが、光ビームによって書換え可能である光ディスク	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22368	A		ハブ	はぶ	hub	駆動装置のスピンドルによって芯出しを行い、かつ、クランプ力を与えるためのディスクの中心部分にある構造体	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22369	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22370	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22371	A		論理トラック	ろんりとらっく	logical track	512バイト/セクタのディスクでは連続する16セクタ。2048バイト/セクタのディスクでは連続する4セクタ。各々の論理トラックの最初のセクタを第0セクタとする	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22372	A		マーク	まーく	mark	非晶質の形態、ピット、又はその他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22373	A		ワンビームオーバライト	わんびーむおーばらいと	one-beam overwrite	事前に消去することなく1個のレーザビームを使ってオーバライトすることで情報を記録す	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22374	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録し、かつ、保持する、又はあらかじめ記録されたマークをもつ、光ビームで再生可能なディスク	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22375	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22376	A		部分再生専用形光ディスク	ぶぶんさいせいせんようがたひかりでぃすく	partially embossed disk	データゾーンに書換可能フィールド及びエンボスデータフィールドの両方をもつ光ディスク	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22377	A		相変化(PC)	そうへんか(PC)	phase change (PC)	記録フィルムのレーザビームが照射された領域が熱せられて非晶質状態から結晶状態、又はその逆に可逆的に変化する物理的効果	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22378	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22379	A		物理トラックグループ	ぶつりとらっくぐるーぷ	physical track group	データゾーンでの一定数の連続する物理トラック	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22380	A		ピッチ	ぴっち	pitch	隣接する物理トラックの中心線の半径方向の間隔	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22381	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22382	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時のディスクの入射面での光パワー	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22383	A		記録層	きろくそう	recording layer	ディスクを構成する層の一つ。製造時及び/又は使用時にデータを書き込むディスク上又はディスク内の層	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22384	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、誤り検出符号及び/又は誤り訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22385	A		セクタ	せくた	sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22386	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	駆動装置の一部で、ディスク及び/又はハブと接合し回転する部分	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22387	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。光ビームはこの基体を通して記録層に入射する	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22388	A		ZCAV	ZCAV	ZCAV	角速度一定方式として使用するためのゾーン化されたディスクフォーマット。データゾーンにおいてはすべてのトラックを論理トラックとして扱う	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22389	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域	JIS X 6291	1998	ISO/IEC 14760	1997				1997	SC23
22390	A		アドレッサブルトラック	あどれっさぶるとらっく	addressable track	セクタ番号0から始まりそれぞれのセクタがリニアにアドレスされた64セクタの連続したグ	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22391	A		バンド	ばんど	band	所定数の連続する物理トラックからなるデータゾーンの一部	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22392	A		ケース	けーす	case	光ディスクを保護するとともに、ディスクの互換を容易にするための入れ物	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22393	A		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit	2値の"0"及び"1"をディスク上のピット又はマークで表す要素	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22394	A		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone	クランプ装置からの保持力が印加されるディスクの環状部分	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22395	A		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track	光ディスクに記録及び再生するために必要なフォーマット並びに媒体パラメータを含むト	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22396	A		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)	データの誤り検出方法の一つ。伝送単位ごとにビット列を2進数の多項式とみなし、あらかじめ定めた多項式で除算した余りをチェックビットとして伝送単位の最後に付加する方	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22397	A		欠陥管理	けっかんかんり	defect management	ディスク上の欠陥領域を取り扱う方式	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22398	A		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane	回転軸に対して垂直で、かつ、理想スピンドルによってクランプされる完全にフラットな環状表面として規定される面	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22399	A		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark	光学的手段によって変更できないように形成されたマーク	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22400	A		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface	光ビームが最初に入射するディスクの表面	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22401	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう	Error Correction Code (ECC)	データ中のある種の誤りを訂正するように設計された、誤り検出符号の一つ	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22402	A		フィールド	ふぃーるど	field	1セクタの中で分割したまとまった区分を表す領域	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22403	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディスク上の情報の配置又はレイアウト	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22404	A		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving	バーストエラーによって影響を受けないように、連続するデータ群を物理的に分散して配置するプロセス	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22405	A		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove	情報が記録される前に形成されるディスクの溝状構造。トラック位置を明らかにするために用いられ、グルーブは、それと一対でトラックを構成するランドよりも入射面に近い方に	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22406	A		マーク	まーく	mark	非晶質の形態、ピット、又はその他光学的に検出できる形態をもった記録層の造作。マークのパターンが、ディスクのデータを表す	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22407	A		ワンビームオーバライト	わんびーむおーばらいと	one-beam overwrite	事前に消去することなく1個のレーザビームを使ってオーバライトすることで情報を記録す	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22408	A		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk	記録層にマークの形で情報を記録し、かつ、保持する、又はあらかじめ記録されたマークをもつ、光ビームで再生可能なディスク	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22409	A		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge	光ディスクが収納されたケースからなるデバイス	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22410	A		相変化(PC)	そうへんか(PC)	phase change (PC)	記録フィルムのレーザビームが照射された領域が熱せられて非晶質状態から結晶状態、又はその逆に可逆的に変化する物理的効果	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22411	A		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track	ディスクが1回転する間に光ビームの焦点がたどる経路	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22412	A		ピッチ	ぴっち	pitch	隣接する物理トラックの中心線の半径方向の間隔	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22413	A		偏光	へんこう	polarization	光波の振動ベクトルの振動方向が規則的なもの及びその状態。光ビームの偏光方向は、光ビームの電気ベクトルの方向である	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22414	A		再生パワー	さいせいぱわー	read power	再生時のディスクの入射面での光パワー	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22415	A		記録層	きろくそう	recording layer	ディスクを構成する層の一つ。製造時及び/又は使用時にデータを書き込むディスク上又はディスク内の層	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22416	A		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code	バーストエラー又は高い相関をもつ誤りの訂正に適している、誤り検出符号及び/又は誤り訂正符号。符号系列を一定長のブロックに分割したとき、このバイト単位で発生する誤りに対する代表的な訂正符号	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22417	A		書換形光ディスク	かきかえがたひかりでぃすく	rewritable disk	規定された領域のデータが、光ビームによって書換え可能である光ディスク	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22418	A		セクタ	せくた	sector	ディスクの情報ゾーンに存在するトラックの中で、アドレス指定可能な最小領域	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22419	A		スピンドル	すぴんどる	spindle	駆動装置の一部で、ディスク及び/又はハブと接合し回転する部分	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22420	A		基板	きばん	substrate	記録層を機械的に支持する透明な円盤状の基体。光ビームはこの基体を通して記録層に入射する	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22421	A		追記形光ディスク	ついきがたひかりでぃすく	write once disk	決められた領域にデータが非可逆的に記録され、かつ、そのデータは光ビームで多数回読み取ることができる光ディスク	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22422	A		ZCAV	ZCAV	ZCAV	角速度一定方式として使用するためのゾーン化されたディスクフォーマット。データゾーンにおいてはすべてのトラックを論理トラックとして扱う	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22423	A		ゾーン	ぞーん	zone	ディスクの環状領域	JIS X 6292	1998	ISO/IEC 15485	1997				1997	SC23
22424	B		認証局、CA	にんしょうきょく、CA	Certification Authority	公開かぎ(鍵)、その他の関係情報をその所有者に結び付ける証拠を立証する信頼できる第三者機関。	JIS X 6300-8	2001	ISO/IEC 7816-8	1999		廃→X 6320-8:2006/8	ISO/IEC 7816-8:2004	2004	SC17
22425	B		暗号機構	あんごうきこう	cryptographic mechanisms	特定の操作用パラメタセット、例えば、利用モード及びデータ又はキーの大きさを用いる暗号アルゴリズムをカードに導入した結果としてカードから提供される機能。	JIS X 6300-8	2001	ISO/IEC 7816-8	1999		廃→X 6320-8:2006/8	ISO/IEC 7816-8:2004	2004	SC17
22426	B		セキュアメッセージング	せきゅあめっせーじんぐ	secure messaging	コマンドの実行中に交換されるデータの暗号による保護手段を提供するもの。	JIS X 6300-8	2001	ISO/IEC 7816-8	1999		廃→X 6320-8:2006/8	ISO/IEC 7816-8:2004	2004	SC17
22427	B		セキュリティ環境	せきゅりてぃかんきょう	security environment	カードシステムに対して、カードの特定アプリケーション向けコマンドに保護を提供するためのセキュリティ機能を提供する機構。	JIS X 6300-8	2001	ISO/IEC 7816-8	1999		廃→X 6320-8:2006/8	ISO/IEC 7816-8:2004	2004	SC17
22428	B		ANDテンプレート	ANDてんぷれーと	AND Template	満足すべきすべてのセキュリティ条件を内容とするテンプレート。	JIS X 6300-9	2001	ISO/IEC 7816-9	2000		廃→X 6320-9:2006/8	ISO/IEC 7816-9:2004	2004	SC17
22429	B		アクセス規則	あくせすきそく	access rule	アクセスモードを含むデータ要素(処置への参照)及び(処置が実行できる前に満たされるべき)セキュリティ条件。	JIS X 6300-9	2001	ISO/IEC 7816-9	2000		廃→X 6320-9:2006/8	ISO/IEC 7816-9:2004	2004	SC17
22430	B		応用システム	おうようしすてむ	application	特定機能を満たすために必要なデータ構造、データ要素及びプログラムモジュール。	JIS X 6300-9	2001	ISO/IEC 7816-9	2000		廃→X 6320-9:2006/8	ISO/IEC 7816-9:2004	2004	SC17
22431	B		ORテンプレート	ORてんぷれーと	OR Template	満足すべき少なくとも一つのセキュリティ条件を内容とするテンプレート。	JIS X 6300-9	2001	ISO/IEC 7816-9	2000		廃→X 6320-9:2006/8	ISO/IEC 7816-9:2004	2004	SC17
22432	B		セキュリティ属性	せきゅりてぃぞくせい	security attributes	一つ以上のアクセス規則を内容とするデータ要素として表現される、保存データ及びデータ処理機能を含むカード内の各種資源の使用条件。	JIS X 6300-9	2001	ISO/IEC 7816-9	2000		廃→X 6320-9:2006/8	ISO/IEC 7816-9:2004	2004	SC17
22433	B		IDカード	IDかーど	identification card	カードを使用するに当たって、取引処理のために必要な入力データを記録することが可能な、カードの保有者及び発行者を識別するカード。	JIS X 6301	1998	ISO/IEC 7810	1995		2005/3	2003	2003	SC17
22434	B		磁気ストライプ	じきすとらいぷ		JIS X 6302の6.に規定されたカード上に設けられた磁気記録可能な部分。	JIS X 6301	1998	ISO/IEC 7810	1995		2005/3	2003	2003	SC17
22435	B		カードの表	かーどのおもて		エンボス文字及びICカード端子がある面。	JIS X 6301	1998	ISO/IEC 7810	1995		2005/3	2003	2003	SC17
22436	B		カードの裏	かーどのうら		磁気ストライプのある面。	JIS X 6301	1998	ISO/IEC 7810	1995		2005/3	2003	2003	SC17
22437	B		カードの上(下)端辺	かーどのじょう(か)たんへん		エンボス文字を正しく読む位置に置いたとき、これに正対する観察者からみて上(下)に位置するカードの縁。	JIS X 6301	1998	ISO/IEC 7810	1995		2005/3	2003	2003	SC17
22438	B		署名部領域	しょめいぶりょういき		カードの表又は裏の面に、カード保有者が署名を行うことができるように表面加工を施し	JIS X 6301	1998	ISO/IEC 7810	1995		2005/3	2003	2003	SC17
22439	A		IDカード	IDかーど	identification card	カードを使用するに当たって、取引処理のために必要な入力データを記録することが可能な、カードの保有者及び発行者を識別するカード。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22440	A		署名部領域	しょめいぶりょういき	signature panel	カード保有者の署名ができるように表面加工を施した部分。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22441	A		反り	そり	warpage	カード平面性におけるゆがみ。カードが平面から逸脱している度合いをいう。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22442	A		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use	カード技術及び個人情報の記録媒体に適したカードリーダライタ側の処理を含むIDカード(4.1参照)としての使用。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22443	A		ID-1	ID-1	ID-1	公称値が幅85.60mm、高さ53.98mm及び厚さ0.76mmの寸法。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22444	A		ID-2	ID-2	ID-2	公称値が幅105mm、高さ74mm及び厚さ0.76mmの寸法。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22445	A		ID-3	ID-3	ID-3	公称値が幅125mm、高さ88mm及び厚さ0.76mmの寸法。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22446	A		盛り上がり領域	もりあがりりょういき	raised area	ホログラム、署名部領域、磁気ストライプ、写真、IC外部端子及びエンボスのような幾つかの素材を付加した箇所でカード面が周囲より盛り上がっている領域。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22447	A		未使用カード	みしようかーど	unused card	個人情報の記録又は試験作業に使用されていないが、使用目的のために要求されたすべての構成要素を備えたカード。このカードは温度衝撃なしで、温度5℃～30℃、湿度10%～90%の清浄な環境で、48時間以上日光に当てないように保管する。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22448	A		返却カード	へんきゃくかーど	returned card	カード保有者に発行され、試験のために返却された後に4.9に規定した環境に保管された	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17
22449	A		ID-000	ID-000	ID-000	公称値が、幅25mm、高さ15mm及び厚さ0.76mmの寸法。	JIS X 6301	2005	ISO/IEC 7810	2003				2003	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22450	B		エンボス加工、浮き出し加工	えんぼすかこう、うきだしかこう	embossing	カードの表面から凸状に文字を浮き上がらせること。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→　X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 ～-5 :2001 ～8	2:2002 1:2001	SC17
22451	B		未使用カード	みしようかーど	unused card	使用目的のために必要とするすべての文字をエンボスしたカードであって、未発行のもの。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→　X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22452	B		返却カード	へんきゃくかーど	returned card	エンボス加工及び/又は記録されたカードであって、カード保有者に発行された後に、試験のために返却されたもの。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→　X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22453	B		インプリント、転写	いんぷりんと、てんしゃ	imprinting	エンボス加工したカードに帳票を押し付けて、エンボス加工した文字を帳票に写し取ること。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→　X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22454	B		インプリンタ、転写機器	いんぷりんた、てんしゃき	imprinter	インプリントする機器。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→　X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22455	B		ボイド	ぼいど	void	インプリントされた文字線の最大寸法内にあって、インプリントされた帳票の平均反射率の60%を超える文字欠けの部分。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→　X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22456	B		スポット	すぽっと	spot	印字帯又は空き領域のいずれか一方の領域内にあって、インプリントした文字以外の反射率の低い部分。その内部の反射率は、インプリントされた帳票の平均反射率の60%未満とする。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→　X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22457	B		1次標準	1じひょうじゅん	primary standard	NIST(米国National Institute of Standards and Technology)によって定義された原基準テープ。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22458	B		2次標準(基準カード)	2じひょうじゅん(きじゅんかーど)	secondary standard (reference card)	規定の特性をもち、かつ、1次標準との関係が定められた特性であるSRM3200、又はそれと等価なテープを使用したIDカード。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22459	B		未使用未記録カード	みしようみきろくかーど	unused un-encoded card	使用目的のためのすべての機能を備え、磁気記録も試験操作も行われていないカード。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22460	B		未使用記録済みカード	みしようきろくずみかーど	unused encoded card	4.8で定義された未使用未記録カードに、使用目的のためのデータが記録(例えば、磁気記録、エンボス加工、電気的記録)されただけのもの。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22461	B		トラック	とらっく	track	情報が直列に記録される磁気ストライプの長手方向に沿った帯状の部分。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22462	B		記録角度	きろくかくど	angle of recording	磁気ストライプ面上の磁束反転位置をトラック幅方向に連続的に結ぶことによって得られる線と磁気カードの上端辺の縁部に垂直な線とのなす角度。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22463	B		始め符号	はじめふごう	start sentinel, SS	データの開始を検出するために設けられる符号。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22464	B		終わり符号	おわりふごう	end sentinel, ES	データの終了を検出するために設けられる符号。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22465	B		水平冗長検査文字、LRC文字	すいへいじょうちょうけんさもじ、LRCもじ	longitudinal redundancy check	情報の水平奇偶検査のために付加される符号。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22466	B		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition	磁気ストライプ面の法線方向の磁束が最大となる位置。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22467	B		基準電流(Ir)	きじゅんでんりゅう(Ir)	reference current	基準カードに8磁束反転/mm(200ftpi)の密度で記録して再生したときに、基準せん頭電圧(Ur)の80%と等しい出力電圧が得られる最小記録電流。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22468	B		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording currents	基準電流(Ir)の350%(Imin)又は500%(Imax)の2種類の試験記録電流。Imin=3.5Ir、Imax=5.0Ir	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22469	B		個別信号振幅(Ui)	こべつしんごうしんぷく(Ui)	individual signal amplitude	一つの出力信号の基準値からせん頭値までの信号振幅。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22470	B		平均信号振幅(Ua)	へいきんしんごうしんぷく(Ua)	average signal amplitude	各々の個別信号振幅(Ui)の絶対値の総和を頭信号の数(n)で割ったもの。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22471	B		基準信号振幅(Ur)	きじゅんしんごうしんぷく(Ur)	reference signal amplitude	1次標準に一致している基準カードの最大平均信号振幅。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22472	B		磁束反転密度	じそくはんてんみつど	physical recording density	一つのトラックに記録される単位長さ当たりの磁束反転の数。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22473	B		記録密度	きろくみつど	bit density	単位長さ当たりに記録されるデータビットの数(ビット/mm)。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22474	B		ビットセル	びっとせる	bit cell	隣接する刻時信号の磁束反転間の距離。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22475	B		サブインターバル	さぶいんたーばる	sub interval	ビット"1"のときの磁束反転間隔。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22476	B		識別番号	しきべつばんごう	identification number	カード保有者を識別する番号。	JIS X 6302	1998	ADP ISO/IEC 7811-1 ADP ISO/IEC 7811-2 ADP ISO/IEC 7811-3 ADP ISO/IEC 7811-4 ADP ISO/IEC 7811-5	1995 1995 1995 1995 1995		廃→ X 6302-1 -2,-6 2005/7	ISO/IEC 7811-1 -2,-6 :2001,2	2:2002 1:2001	SC17
22477	A		エンボス	えんぼす	embossing	カードの表面から凸状に文字を浮き上がらせたもの。	JIS X 6302-1	2005	ISO/IEC 7811-1	2002	IDT			2002	SC17
22478	A		未使用カード	みしようかーど	unused card	使用目的のために必要とするすべての文字をエンボス加工したカードであって、発行前	JIS X 6302-1	2005	ISO/IEC 7811-1	2002				2002	SC17
22479	A		返却カード	へんきゃくかーど	returned card	エンボス加工したカードであって、カード保有者に発行された後に、試験のために返却されたもの。	JIS X 6302-1	2005	ISO/IEC 7811-1	2002				2002	SC17
22480	A		識別番号	しきべつばんごう	identification number	カード保有者を識別するための番号。	JIS X 6302-1	2005	ISO/IEC 7811-1	2002				2002	SC17
22481	A		一次標準	いちじひょうじゅん	primary standard	ドイツ連邦国立度量衡研究所[Physikalisch-Technische Bundesanstalt(PTB)]によって作成され、管理されているRM7811-2の中からU_R及びI_Rの値を規定するために選定された1組の基準カード。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001	IDT			2001	SC17
22482	A		二次標準	にじひょうじゅん	secondary standard	RM7811-2の中から一次標準との関係を校正証明された基準カード。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22483	A		未使用未記録カード	みしようみきろくかーど	unused un-encoded card	使用目的のためのすべての機能を備え、磁気記録も試験操作も行われていないカード。カードは、湿度衝撃なしで、湿度が0℃～30℃で、湿度が10%～90%の清浄な環境で、48時間以上日光に当てないように保管する。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22484	A		未使用未記録済みカード	みしようみきろくすみかーど	unused encoded card	未使用未記録カードに、使用目的のためのデータが記録(例えば、磁気記録、エンボス加工、電気的記録)されただけのカード。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22485	A		返却カード	へんきゃくかーど	returned card	未使用未記録カードで、カード保有者に発行した後に試験のために返却されたカード。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22486	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition	磁気ストライプ面の法線方向の磁束が最大となる位置。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22487	A		基準電流(IR)	きじゅんでんりゅう	reference current	基準カードに8磁束反転/mmの密度で記録して再生したときに、基準せん頭電圧(UR)の80%と等しい出力電圧が得られる最小記録電流。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22488	A		基準磁束レベル(FR)	きじゅんじそくれべる	reference flux level	基準電流(IR)に相当した試験ベットでの磁束の強さ。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22489	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current	次に定義する2種類の電流。I_{min}=3.5F_R 相当する記録電流。I_{min}=5.0F_R 相当する記録電	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22490	A		個別信号振幅(Ui)	こべつしんごうしんぷく	individual signal amplitude	一つの出力信号の基準値(電圧OV)からせん頭値までの信号振幅。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22491	A		平均信号振幅(UA)	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	磁気ストライプ領域の全長にわたって、それぞれのトラックに対して、各々の個別信号振幅(Ui)の絶対値の総和をせん頭信号の数(n)で除したもの。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22492	A		基準信号振幅(UR)	きじゅんしんごうしんぷく	reference signal amplitude	基準カードの最大平均信号振幅を一次標準によって校正補正した値。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22493	A		磁束反転密度	じそくはんてんみつど	physical recording density	一つのトラックに記録される単位長さ当たりの磁束反転の数。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22494	A		記録密度	きろくみつど	bit density	単位長さ当たりに記録されるデータビットの数(ビット/mm)。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22495	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	隣接する刻時信号の磁束反転間の距離。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22496	A		サブインターバル	さぶいんたーばる	sub interval	ビット"1"のときの磁束反転間隔。	JIS X 6302-2	2005	ISO/IEC 7811-2	2001				2001	SC17
22497	A		一次標準	いちじひょうじゅん	primary standard	ドイツ連邦国立度量衡研究所[Physikalisch-Technische Bundesanstalt(PTB)]によって作成され、管理されているRM7811-6の中からU_R及びI_Rの値を規定するために選定された1組の基準カード。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001	IDT			2008	SC17
22498	A		二次標準	にじひょうじゅん	secondary standard	RM7811-6の中から一次標準との関係を校正証明された基準カード。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22499	A		未使用未記録カード	みしようみきろくかーど	unused un-encoded card	使用目的のためのすべての機能を備え、磁気記録も試験操作も行われていないカード。カードは、湿度衝撃なしで、湿度が0℃～30℃で、湿度が10%～90%の清浄な環境で、48時間以上日光に当てないように保管する。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22500	A		未使用未記録済みカード	みしようみきろくすみかーど	unused encoded card	未使用未記録カードに、使用目的のためのデータが記録(例えば、磁気記録、エンボス加工、電気的記録)されただけのカード。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22501	A		返却カード	へんきゃくかーど	returned card	未使用未記録カードで、カード保有者に発行した後に試験のために返却されたカード。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22502	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition	磁気ストライプ面の法線方向の磁束が最大となる位置。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22503	A		基準電流(IR)	きじゅんでんりゅう	reference current	基準カードに8磁束反転/mmの密度で記録して再生したときに、基準せん頭電圧(UR)の80%と等しい出力電圧が得られる最小記録電流。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22504	A		基準磁束レベル(FR)	きじゅんじそくれべる	reference flux level	基準電流(IR)に相当した試験ベットでの磁束の強さ。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22505	A		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording currents	次に定義する2種類の電流。I_{min}=2.8F_R 相当する記録電流。I_{min}=3.5F_R 相当する記録電	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22506	A		個別信号振幅(Ui)	こべつしんごうしんぷく	individual signal amplitude	一つの出力信号の基準値(電圧OV)からせん頭値までの信号振幅。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22507	A		平均信号振幅(UA)	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude	磁気ストライプ領域の全長にわたって、それぞれのトラックに対して、各々の個別信号振幅(Ui)の絶対値の総和をせん頭信号の数(n)で除したもの。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22508	A		基準信号振幅(UR)	きじゅんしんごうしんぷく	reference signal amplitude	基準カードの最大平均信号振幅を一次標準によって校正補正した値。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22509	A		磁束反転密度	じそくはんてんみつど	physical recording density	一つのトラックに記録される単位長さ当たりの磁束反転の数。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22510	A		記録密度	きろくみつど	bit density	単位長さ当たりに記録されるデータビットの数(ビット/mm)。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22511	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	隣接する刻時信号の磁束反転間の距離。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22512	A		サブインターバル	さぶいんたーばる	sub interval	ビット"1"のときの磁束反転間隔。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22513	A		減磁電流 (ID)	げんじでんりゅう (ID)	demagnetisation current	Imin電流で20磁束反転/mmの密度で記録された二次標準カードにおいて平均信号振幅が基準信号(UR)の80%となる減磁が起きる直流電流。	JIS X 6302-6	2005	ISO/IEC 7811-6	2001				2008	SC17
22514	B		IC	IC	integrated circuit(s) (IC)	処理又は記録機能を行うために設計された集積回路。	JIS X 6303	2000	ISO/IEC 7816-1 ISO/IEC 7816-2 ISO/IEC 7816-3	1998 1999 1997		廃2009/10	1998 2007 2006	1998 2007 2006	SC17
22515	B		ICカード	ICかーど	integrated circuit(s) card	1個以上のICを内蔵するJIS X 6301に規定されたID-1型カード。	JIS X 6303	2000	ISO/IEC 7816-1 ISO/IEC 7816-2 ISO/IEC 7816-3	1998 1999 1997		廃2009/10	1998 2007 2006	1998 2007 2006	SC17
22516	B		外部端子	がいぶたんし	contacts	ICと外部機器との間を電気的に接続する伝導素子。	JIS X 6303	2000	ISO/IEC 7816-1 ISO/IEC 7816-2 ISO/IEC 7816-3	1998 1999 1997		廃2009/10	1998 2007 2006	1998 2007 2006	SC17
22517	B		接続装置	せつぞくそうち	interface device	ICカードが動作時に電気的に接続されている端末機、通信装置又は機器。	JIS X 6304	2000	ISO/IEC 7816-3	1997	MOD	廃2009/6		2006	SC17
22518	B		動作カード	どうさかーど	operating card	すべての機能を正しく実行できるICカード。	JIS X 6304	2000	ISO/IEC 7816-3	1997		廃2009/6		2006	SC17
22519	B		etu	etu	elementary time unit	I/O端子上の1ビットの伝送時間。	JIS X 6304	2000	ISO/IEC 7816-3	1997		廃2009/6		2006	SC17
22520	B		リセット	りせっと	reset		JIS X 6304	2000	ISO/IEC 7816-3	1997		廃2009/6		2006	SC17
22521	B		コールドリセット	こーるどりせっと	cold reset	活性化後最初に発生するリセット。	JIS X 6304	2000	ISO/IEC 7816-3	1997		廃2009/6		2006	SC17
22522	B		ウォームリセット	うぉーむりせっと	warm reset	コールドリセット以外のすべてのリセット。	JIS X 6304	2000	ISO/IEC 7816-3	1997		廃2009/6		2006	SC17
22523	B		試験方法	しけんほうほう	test method	JIS又は国際規格に準拠することを確認するために、IDカードの特性を試験する方法。	JIS X 6305	1995				廃→X 6305-1-2,-3,-5 2003/2	ISO/IEC 10373-1-2,-6:1998,2001		
22524	B		カードの表裏	かーどのひょうり		エンボス面をカードの表、ISO磁気ストライプ(JIS X 6301に規定するI型)面をカードの裏とする。	JIS X 6305	1995				廃→X 6305-1-2,-3,-5 2003/2	ISO/IEC 10373-1-2,-6:1998,2001		
22525	B		試験方法	しけんほうほう	test method	規格に適合していることを確認するために、カードの特性を試験する方法。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22526	B		機能残存	きのうざんぞん	testably functional	破壊を招く危険性がある幾つかの試験に対して、試験後に残存すべき機能。 a) 磁気ストライプでは、試験の前後に計測される信号振幅の関係が基本規格に従っている(JIS X 6302及びISO/IEC 7813参照)。 b) ICでは、初期応答が基本規格に従っている。 c) 外部端子では、電気抵抗及びインピーダンスが基本規格に従ってる。 d) 光メモリでは、光学特性が基本規格に従っている。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22527	B		反り	そり	warpage	カード平面性におけるゆがみ。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22528	B		エンボス文字の凸部の高さ	えんぼすもじのとつぶのたかさ	embossing relief height (of a character)	エンボス加工によって発生する、カード表面からのエンボス凸部の高さ。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22529	B		はく離強度	はくりきょうど	peel strength	カードの構造を形成する素材について、隣接層間を分離させる力に抵抗する粘着の程	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22530	B		耐化学薬品性	たいかがくやくひんせい	resistance to chemicals	通常の化学製品にさらされたために生じるカードの性能、及び外観の変化に対するカードの抵抗力。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22531	B		寸法安定性	すんぽうあんていせい	dimensional stability	規定の湿度及び湿度にさらされたために生じる、寸法変化に対するカードの抵抗力。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22532	B		粘着性又は接着性	ねんちゃくせいまたはせっちゃくせい	abhesion or blocking	新しいカードが積み重ねられて固着する度合い。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22533	B		静的曲げ強さ	せいてきまげつよさ	bending stiffness	静的な曲げに対するカードの抵抗力。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22534	B		動的曲げ力	どうてきまげりょく	dynamic bending stress	カードに対して、規定の強さ及び方向で周期的に加える曲げ力。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22535	B		動的ねじり力	どうてきねじりりょく	dynamic torsional stress	カードに対して、規定の強さ及び方向で周期的に加えるねじり力。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22536	B		可燃性	かねんせい	flammability	着火後に炎が燃え続けること、又は広がることに対するカードの能力。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22537	B		光透過係数	ひかりとうかけいすう	<optical> transmittance factor, T	試料を透過した測定光束と、測定装置のサンプリング開口部から試料を除去したときの測定光束との比率。次の式で表される(ISO 5-2)。 $T = \phi_\tau / \phi_j$ ここに、 T : 透過係数 ϕ_τ : 透過した光束 ϕ_j : 開口部光束	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22538	B		不透過度(光透過濃度)	ふとうかど(ひかりとうかのうど)	opacity, <optical> transmission density, D_T	透過係数の逆数の10を底とする対数演算。次の式で表される(ISO 5-2)。 $D_T = \log_{10} 1/T = \log_{10} \phi_j/\phi_t$ ここに、 T : 透過係数 ϕ_τ : 透過した光束 ϕ_j : 開口部光束	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22539	B		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use	カード技術及び個人情報の記憶媒体に適したカードリーダライタ側の処理を含むIDカード[JIS X 6301の4.(定義)参照]としての使用。	JIS X 6305-1	2003	ISO/IEC 10373-1	1998				2006	SC17
22540	A		試験方法	しけんほうほう	test method	規格に適合していることを確認するために、カードの特性を試験する方法。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22541	A		機能残存	きのうざんぞん	testably functional	破壊を招く危険性がある幾つかの試験に対して、次に示す機能が試験後に残存していること。 a) 磁気ストライプでは、試験の前後に計測される信号振幅の関係が基本規格に従っている。 b) ICでは、初期応答が基本規格に従っている。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22542	A		反り	そり	warpage	カード平面性におけるゆがみ。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22543	A		エンボス文字の凸部の高さ	えんぼすもじのとつぶのたかさ	embossing relief height (of a character)	エンボス加工によって発生する、カード表面からのエンボス凸部の高さ。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22544	A		はく離強度	はくりきょうど	peel strength	カードの構造を形成する素材について、隣接層間を分離させる力に抵抗する接着の程	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22545	A		耐化学薬品性	たいかがくやくひんせい	resistance to chemicals	通常の化学製品にさらされたために生じるカードの性能、及び外観の変化に対するカードの抵抗力。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22546	A		寸法安定性	すんぽうあんていせい	dimensional stability	規定の湿度及び湿度にさらされたために生じる、寸法変化に対するカードの抵抗力。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22547	A		粘着性又は接着性	ねんちゃくせいまたはせっちゃくせい	abhesion or blocking	新しいカードが積み重ねられて固着する度合い。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22548	A		静的曲げ強さ	せいてきまげつよさ	bending stiffness	静的な曲げに対するカードの抵抗力。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22549	A		動的曲げ力	どうてきまげりょく	dynamic bending stress	カードに対して、規定の強さ及び方向で周期的に加える曲げ力。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22550	A		動的ねじり力	どうてきねじりりょく	dynamic torsional stress	カードに対して、規定の強さ及び方向で周期的に加えるねじり力。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22551	A		光透過係数	ひかりとうかけいすう	<optical> transmittance factor, T	試料を透過した測定光束と、測定装置のサンプリング開口部から試料を除去したときの測定光束との比率。次の式で表される。 $T = \phi_\tau / \phi_j$ ここに、 T : 光透過係数 ϕ_τ : 透過した光束 ϕ_j : 開口部光束	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22552	A		不透過度(光透過濃度)	ふとうかど(ひかりとうかのうど)	opacity, <optical> transmission density, D_T	透過係数の逆数の常用対数。次の式で表される。 $D_T = \log_{10} 1/T = \log_{10} \phi_j/\phi_t$ ここに、 T : 光透過係数 ϕ_τ : 透過した光束 ϕ_j : 開口部光束	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22553	A		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use	カード技術及び個人情報の記憶媒体に適したカードリーダライタ側の処理を含むIDカード(JIS X 6301参照)としての使用。	JIS X 6305-1	2010	ISO/IEC 10373-1	2006				2006	SC17
22554	B		試験方法	しけんほうほう	test method	規格に適合していることを確認するために、IDカードの特性を試験する方法。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22555	B		機能残存	きのうざんぞん	testably functional	破壊を招く危険性がある幾つかの試験に対して、試験後に残存すべき機能。 a) 磁気ストライプでは、試験の前後に計測される信号振幅の関係が基本規格に従っている。 b) ICでは、初期応答が基本規格に従っている。 c) 外部端子では、電気抵抗及びインピーダンスが基本規格に従っている。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22556	B		反り	そり	warpage	カード平面性におけるゆがみ。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22557	B		磁束反転密度(磁束反転/mm)	じそくはんてんみつど(じそくはんてん/mm)	flux transitions per millimetre, ft/mm	磁気ストライプ上のトラックに記録された長さ1mm当たりの磁束反転の数。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22558	B		記録	きろく	recording	この規格の試験方法及び試験パラメタに従った、磁束反転をもつトラックの形成。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22559	B		符号化	ふごうか	encoding	データを表現するためにF/2F符号形式に従って、間隔を変えた磁束反転をもつトラック	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22560	B		表面粗さ	ひょうめんあらさ	surface roughness	様々な決定因子及び計算方法を参照して、国際規格で認定された表面領域の表面トポロジー(形態)。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22561	B		(磁気ストライプの)振幅測定	(じきすとらいぷの)しんぷくそくてい	amplitude measurements (of a magnetic stripe)	この規格の試験方法及び試験パラメタに従った読取り信号振幅、分解能及び消去効果の測定。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22562	B		ビットセルの変動	びっとせるのへんどう	flux transition spacing variation	符号化されたトラックの中心線に沿って、トラック上に隣接する磁化反転間隔の公称値との偏差。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22563	B		磁気ストライプとカードとの接着性	じきすとらいぷとかーどとのせっちゃくせい	magnetic stripe adhesion	磁気ストライプとカードとの接着の程度。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22564	B		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use	カード技術及び個人情報の記憶媒体に適したカードリーダライタ側の処理を含むIDカード[JIS X 6301の4.(定義)参照]としての使用。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22565	B		静的飽和磁化$M(H)$曲線	せいてきほうわじか$M(H)$きょくせん	static saturation M(H) loop	磁化曲線が影響を受けない程度の低い掃引速度で、磁界強度を$-H_{max}$から$+H_{max}$までの間を周期的に変化させて得られるヒステリシス曲線[IEC 50(221)参照]。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22566	B		保持力	ほじりょく	coercivity, $H'_{cM} = H'_{cJ}$	飽和状態から、飽和磁化状態とは反対方向に連続的に磁界を印加したとき磁化量が"0"になる磁界強度[IEC 50(221)参照]。測定は、磁気ストライプの長辺方向に行う。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22567	B		残留保持力	ざんりゅうほじりょく	remanent coercivity, (H_r)	飽和状態から、飽和磁化状態とは反対方向に連続的に磁界を印加し、その後この磁界を"0"まで戻したときに、残留磁化量が"0"になる磁界強度。測定は、磁気ストライプの長	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22568	B		エルステッド(Oe)	えるすてっど(Oe)	oersted, Oe	磁界強度のガウスcgs単位系。磁気記録業界で一般的に用いられる。もはや基準となる関係はないが、1Oeは79.578A/mに相当する(ISO 31-5:1992の附属書A参照)。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22569	B		静的減磁(S_{160})	せいてきげんじ(S_{160})	static demagnetisation, S_{160}	反対方向磁界の影響による磁性の減少。$[M_r - M'(-160)] \div M_r$で表される。静的飽和磁化$M(H)$曲線の"減磁"部分の象限において、磁界強度が$H = 0$と$H = -160$kA/mとの間で得られる磁化曲線の平均な傾きを示す。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22570	B		角形比(SQ)	かくがたひ(SQ)	squareness, SQ	ゼロ磁界強度($H = 0$)での磁性値(M_r)と静的飽和磁化$M(H)$曲線から得られたH_{max}での磁性値$[M(H_{max})]$との比率$[M_r / M(H_{max})]$。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22571	B		水平角形比($SQ_{\parallel}$)	すいへいかくがたひ($SQ_{\parallel}$)	longitudinal squareness, $SQ_{\parallel}$	磁気ストライプの長辺方向と平行に測定された媒体の角形比。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22572	B		垂直角形比($SQ_{\perp}$)	すいちょくかくがたひ($SQ_{\perp}$)	perpendicular squareness, $SQ_{\perp}$	磁気ストライプの平面と垂直に測定された媒体の角形比。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22573	B		スイッチングフィールドディストリビューション(SFD)	すいっちんぐふぃーるどでぃすとりびゅーしょん(SFD)	switching field distribution, SFD	静的飽和磁化M(H)曲線において、$M(H) = +0.5\ M_r$及び$M(H) = -0{,}5M_r$からなる2種類の磁界強度Hの差を保持力H'_{cM}で除した値。次の式で表す。 $SFD = (\lvert H_2\rvert - \lvert H_1\rvert) / H'_{cM}$ ここで、|H1|及び|H2|は、次の式を満たす磁界強度である。 $M(-\lvert H_1\rvert) = +0.5M_r$ $M(-\lvert H_2\rvert) = -0.5M_r$	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22574	B		最大角形比の角度[$\theta(SQ_{max})$]	さいだいかくがたひのかくど[$\theta(SQ_{max})$]	angle of maximum squareness, $\theta(SQ_{max})$	角形比の最大値が見いだされた方向と、磁気ストライプの長辺方向軸との角度。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22575	B		分解能	ぶんかいのう	resolution	20磁束反転/mmの平均信号振幅を8磁束反転/mmの平均信号振幅で除した数に100を乗じた値(%)。	JIS X 6305-2	2003	ISO/IEC 10373-2	1998				2006	SC17
22576	A		試験方法	しけんほうほう	test method	規格に適合していることを確認するために、カードの特性を試験する方法。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22577	A		機能残存	きのうざんぞん	testably functional	破壊を招く危険性がある幾つかの試験に対して、試験後に残存すべき機能を次に示す。 a) 磁気ストライプでは、試験の前後に計測される信号振幅の関係が基本規格に従っている。 b) ICでは、初期応答が基本規格に従っている。 c) 外部端子では、電気抵抗及びインピーダンスが基本規格に従っている。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22578	A		反り	そり	warpage	カード平面性におけるゆが(歪)み。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22579	A		磁束反転密度(磁束反転/mm)	じそくはんてんみつど(じそくはんてん/mm)	flux transitions per millimetre, ft/mm	磁気ストライプ上のトラックに記録された長さ1mm当たりの磁束反転の数。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22580	A		記録	きろく	recording	この規格の試験方法及び試験パラメタに従った、磁束反転をもつトラックの形成。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22581	A		符号化	ふごうか	encoding	データを表現するためにF/2F符号形式に従って、間隔を変えた磁束反転をもつトラック	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22582	A		表面粗さ	ひょうめんあらさ	surface roughness	様々な決定因子及び計算方法を参照して、国際規格で認定された表面領域の表面トポロジー(形態)。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22583	A		(磁気ストライプの)振幅測定	(じきすとらいぷの)しんぷくそくてい	amplitude measurements (of a magnetic stripe)	この規格の試験方法及び試験パラメタに従った読取り信号振幅、分解能及び消去効果の測定。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22584	A		ビットセルの変動	びっとせるのへんどう	flux transition spacing variation	符号化されたトラックの中心線に沿って、トラック上に隣接する磁化反転間隔の公称値との偏差。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22585	A		磁気ストライプとカードとの接着性	じきすとらいぷとかーどとのせっちゃくせい	magnetic stripe adhesion	磁気ストライプとカードとの接着の程度。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22586	A		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use	カード技術及び個人情報の記憶媒体に適したカードリーダライタ側の処理を含むIDカード[JIS X 6301の4.(定義)参照]としての使用。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22587	A		静的飽和磁化$M(H)$曲線	せいてきほうわじか$M(H)$きょくせん	static saturation M(H) loop	磁化曲線が影響を受けない程度の低い掃引速度で、磁界強度を$-H_{max}$から$+H_{max}$までの間を周期的に変化させて得られるヒステリシス曲線[IEC 60050(221)参照]。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22588	A		保持力	ほじりょく	coercivity, $H'_{cM} = H'_{cJ}$	飽和状態から、飽和磁化状態とは反対方向に連続的に磁界を印加したとき磁化量が"0"になる磁界強度[IEC 60050(221)参照]。測定は、磁気ストライプの長辺方向に行う。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22589	A		残留保持力	ざんりゅうほじりょく	remanent coercivity, (H_r)	飽和状態から、飽和磁化状態とは反対方向に連続的に磁界を印加し、その後この磁界を"0"まで戻したときに、残留磁化量が"0"になる磁界強度。測定は、磁気ストライプの長	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22590	A		エルステッド(Oe)	えるすてっど(Oe)	oersted, Oe	磁界強度のガウスcgs単位系。磁気記録業界で一般的に用いられてきた。1Oeは79.578A/mに相当する(JIS Z 8202-5:2000参照)。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22591	A		静的減磁(S_{160})	せいてきげんじ(S_{160})	static demagnetisation, S_{160}	反対方向磁界の影響による磁性の減少。$[M_r - M'(-160)] \div M_r$で表される。静的飽和磁化$M(H)$曲線の"減磁"部分の象限において、磁界強度が$H = 0$と$H = -160$kA/mとの間で得られる磁化曲線の平均な傾きを示す。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22592	A		角形比(SQ)	かくがたひ(SQ)	squareness, SQ	ゼロ磁界強度($H = 0$)での磁性値(M_r)と静的飽和磁化$M(H)$曲線から得られたH_{max}での磁性値$[M(H_{max})]$との比率$[M_r / M(H_{max})]$。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22593	A		水平角形比($SQ_{\parallel}$)	すいへいかくがたひ($SQ_{\parallel}$)	longitudinal squareness, $SQ_{\parallel}$	磁気ストライプの長辺方向と平行に測定された媒体の角形比。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22594	A		垂直角形比($SQ_{\perp}$)	すいちょくかくがたひ($SQ_{\perp}$)	perpendicular squareness, $SQ_{\perp}$	磁気ストライプの平面と垂直に測定された媒体の角形比。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22595	A		微分係数(derivative)によるスイッチングフィールド、SF$_D$	びぶんけいすうによるすいっちんぐふぃーるど、SF$_D$	switching field by derivative, SF$_D$	微分(differentiated)された静的飽和磁化$M(H)$曲線を同じカーブの保持力で除した半値幅。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22596	A		スロープによるスイッチングフィールド、SF_S	すろーぷによるすいっちんぐふぃーるど、SF_S	switching field by slope, SF_S	静的飽和磁化M(H)曲線において、$M(H) = +0.5\ M_r$及び$M(H) = -0{,}5M_r$からなる2種類の磁界強度Hの差を保持力H'_{cM}で除した値。次の式で表す。 $SFD = (\lvert H_2\rvert - \lvert H_1\rvert) / H'_{cM}$ ここで、|H1|及び|H2|は、次の式を満たす磁界強度である。 $M(-\lvert H_1\rvert) = +0.5M_r$ $M(-\lvert H_2\rvert) = -0.5M_r$	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22597	A		最大角形比の角度[$\theta(SQ_{max})$]	さいだいかくがたひのかくど[$\theta(SQ_{max})$]	angle of maximum squareness, $\theta(SQ_{max})$	角形比の最大値が見いだされた方向と、磁気ストライプの長辺方向軸との角度。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22598	A		分解能	ぶんかいのう	resolution	20磁束反転/mmの平均信号振幅を8磁束反転/mmの平均信号振幅で除した数に100を乗じた値(%)。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22599	A		U_{Fi}	U_{Fi}	U_{Fi}	磁気ストライプのすべての波形のフーリエスペクトルの指定周波数における個々の要素の大きさ。	JIS X 6305-2	2010	ISO/IEC 10373-2	2006				2006	SC17
22600	A		試験方法	しけんほうほう	test method	基本規格を満たしていることを確認するために、識別カードと関連する接続装置の特性を試験するための方法。	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22601	A		機能残存	きのうざんぞん	testably functional	許容値を超えて破壊させるような影響を与えても、次に示すような動作を検出して、まだ正常に動作することを確認。 a)カード上の磁気ストライプが試験の前後で基本企画にあった信号振幅を示す。 b)カード中の集積回路が基本規格に一致するリセット応答(1)を示し続ける。 c)カード中の集積回路に関連付けられた接点が基本規格に一致する電気抵抗を示し続ける。	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22602	A		通常使用	つうじょうしよう	normal use	装置処理間で個人情報の媒体として扱われるカードの技術及び記録に適した装置処理を含む識別カード(JIS X 6301参照)としての使用。	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22603	A		ICC	ICC	integrated circuit(s) cards with contacts	JIS X 6303、JIS X 6304及びJIS X 6306で規定する外部端子つきICカード。	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22604	A		IFD	IFD	interface devices	JIS X 6304及びJIS X 6306で規定する外部端子つきICカードに関連する接続装置。	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22605	A		DUT	DUT	device under test	試験対象品(この規格の範囲内で試験されるICC又はIFD)。	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22606	A		代表的プロトコル及びアプリケーション固有通信	だいひょうてきぷろとこるおよびあぷりけーしょんこゆうつうしん	typical protocol and application specific communication	プロトコル及びDUTに実装された応用業務に基づく、DUTと対応する試験装置の間のあらゆる通信。通常使用を意味する。	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22607	A		試験シナリオ	しけんしなりお	test scenario	この規格で規定する試験方法で使用される代表的なプロトコル及びアプリケーション固	JIS X 6305-3	2002	ISO/IEC 10373-3	2001				2001	SC17
22608	A		試験方法	しけんほうほう	test method	規格に適合していることを確認するために、カードの特性を試験する方法。	JIS X 6305-5	2003	ISO/IEC 11694-5	1998				2006	SC17
22609	A		機能残存	きのうざんぞん	testably functional	破壊を招く危険性がある幾つかの試験に対して、試験後に残存すべき機能。 a) 磁気ストライプでは、試験の前後に計測される信号振幅の関係が基本規格に従っている。 b) ICでは、リセット応答が基本規格に従っている。 c) 外部端子では、電気抵抗及びインピーダンスが基本規格に従っている。	JIS X 6305-5	2003	ISO/IEC 11694-5	1998				2006	SC17
22610	A		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use	カード技術及び個人情報の記憶媒体に適した、カードリーダライタ側の処理を含むIDカード[JIS X 6301の4.(定義)参照]としての使用。	JIS X 6305-5	2003	ISO/IEC 11694-5	1998				2006	SC17
22611	A		基本規格	きほんきかく	base standard	この試験方法を実施するに当たって、参照として使用される他の規格。	JIS X 6305-6	2001	ISO/IEC 10373-6	2001				2001	SC17
22612	A		機能残存	きのうざんぞん	testably functional	例えば、許容値を超えて破壊させるような影響を与えても、カードの中の集積回路が、JIS X 6322-3に規定する応答信号を発生し続けていることを検出して、まだ正常に動作していることを確認すること。	JIS X 6305-6	2001	ISO/IEC 10373-6	2001				2001	SC17
22613	A		試験方法	しけんほうほう	test method	規格を満たしていることを確認するために、識別カードの特性を試験する方法。	JIS X 6305-6	2001	ISO/IEC 10373-6	2001				2001	SC17
22614	A		基本規格	きほんきかく	base standard	この試験方法を実施するに当たって、参照として使用されるほかの規格。	JIS X 6305-7	2001	ISO/IEC 10373-7	2001				2008	SC17
22615	A		機能残存	きのうざんぞん		例えば、許容値を超えて破壊させるような影響を与えても、カードの中の集積回路が、JIS X 6323-3に規定する応答信号を発生し続けていることを検出して、まだ正常に動作していることを確認すること。	JIS X 6305-7	2001	ISO/IEC 10373-7	2001				2008	SC17
22616	A		試験方法	しけんほうほう	test method	規格を満たしていることを確認するために、識別カードの特性を試験する方法。	JIS X 6305-7	2001	ISO/IEC 10373-7	2001				2008	SC17
22617	B		初期応答ファイル	しょきおうとうふぁいる	Answer-to-Reset file	ICカードの動作特性を示す基礎ファイル	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994	MOD	廃2009/6		2005	SC17
22618	B		コマンドレスポンス対	こまんどれすぽんすつい	command-response pair	コマンドとそれに接続するレスポンスとの二つのメッセージの場合。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22619	B		データ単位	でーたたんい	data unit	参照可能なビットの最小集合。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22620	B		データ要素	でーたようそ	data element	名前、論理的内容の識別子、構成及び符号化方法が定義された、インタフェース上に現れる情報項目。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22621	B		データ対象	でーたたいしょう	data object	見出し、長さ及び値(例えば、データ要素)からなり、インタフェース上に現れる情報。この規格では、データ対象は、基本符号化TLV、圧縮符号化TLV及び簡易符号化TLVで参照	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22622	B		専用ファイル	せんようふぁいる	dedicated file	ファイル制御情報及び任意選択の割付け可能メモリを含むファイル。基礎ファイル及び/又は専用ファイルの親ファイルとなってもよい。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22623	B		DF名	DFめい	DF name	ICカード内の専用ファイルを、一義的に識別するバイト列。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22624	B		ディレクトリファイル	でぃれくとりふぁいる	directory file	ISO/IEC 7816-5で規定される基礎ファイル。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22625	B		基礎ファイル	きそふぁいる	elementary file	同一のファイル識別子を共有している、データ単位又はレコードの集合。他のファイルの親ファイルとなることはできない。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22626	B		ファイル制御パラメタ	ふぁいるせいぎょぱらめた	file control parameters	ファイルの論理属性、構造属性及びセキュリティ属性。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22627	B		ファイル識別子	ふぁいるしきべつし	file identifier	ファイルを指定するために使われる2バイトの2進値。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22628	B		ファイル管理データ	ふぁいるかんりでーた	file management data	ファイルについての情報(例えば、有効期限、応用ラベル)。ファイル制御パラメタを除く。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22629	B		内部基礎ファイル	ないぶきそふぁいる	internal elementary file	ICカードが解釈するデータを格納する基礎ファイル。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22630	B		主ファイル	しゅふぁいる	master file	ファイル構成の根幹となる、唯一の必す(須)専用ファイル。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22631	B		メッセージ	めっせーじ	message	接続装置からICカードへの方向、又はその逆方向に伝送されるバイト列。ただし、JIS X 6304で規定された伝送用キャラクタは含まない。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22632	B		親ファイル	おやふぁいる	parent file	階層構造中で、該当ファイルのすぐ上位にある専用ファイル。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22633	B		パスワード	ぱすわーど	password	応用システムが利用者に対し、ICカードへの提示を要求することがあるデータ。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22634	B		経路	けいろ	path	区切りがないファイル識別子の連鎖。特に、主ファイルから始まる経路のことを、絶対経路と呼ぶ。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22635	B		提供者	ていきょうしゃ	provider	ICカードに専用ファイルを生成する権利をもつ機関。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22636	B		レコード	れこーど	record	ICカードが一括して扱うバイト列。レコード番号又はレコード識別子によって参照される。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22637	B		レコード識別子	れこーどしきべつし	record identifier	レコードを参照する際に使用できる、レコードに付加された値。一つの基礎ファイル内で、同一のレコード識別子をもつレコードが複数存在してもよい。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22638	B		レコード番号	れこーどばんごう	record number	基礎ファイル内のレコードを一義的に指定するために、各レコードに割り振られる連続し	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22639	B		作業用基礎ファイル	さぎょうようきそふぁいる	working elementary file	ICカードが解釈実行しないデータを格納する基礎ファイル。	JIS X 6306	1995	ISO/IEC DIS 7816-4	1994		廃2009/6		2005	SC17
22640	B		合成データ要素	ごうせいでーたようそ	composite data element	ゼロ個以上のデータ要素の連鎖から構成するデータ要素	JIS X 6307	1998	ISO/IEC 7816-6	1996		廃→ X 6320-6 2006/8	ISO/IEC 7816-6 :2004	2004	SC17
22641	B		要素リスト	ようそりすと	element list	データ要素に関する情報の項目	JIS X 6307	1998	ISO/IEC 7816-6	1996		廃→ X 6320-6 2006/8	ISO/IEC 7816-6 :2004	2004	SC17
22642	B		ヘッダリスト	へったりすと	header list	区切り符号を伴わない、タグ/長さの連鎖	JIS X 6307	1998	ISO/IEC 7816-6	1996		廃→ X 6320-6 2006/8	ISO/IEC 7816-6 :2004	2004	SC17
22643	B		共通データ要素	きょうつうでーたようそ	interindustry data element	業種間で共通に交換されるデータ要素	JIS X 6307	1998	ISO/IEC 7816-6	1996		廃→ X 6320-6 2006/8	ISO/IEC 7816-6 :2004	2004	SC17
22644	B		共通データ対象	きょうつうでーたたいしょう	interindustry data object	業種間で共通に交換されるデータ対象	JIS X 6307	1998	ISO/IEC 7816-6	1996		廃→ X 6320-6 2006/8	ISO/IEC 7816-6 :2004	2004	SC17
22645	B		タグリスト	たぐりすと	taglist	区切り符号を伴わないタグの連鎖	JIS X 6307	1998	ISO/IEC 7816-6	1996		廃→ X 6320-6 2006/8	ISO/IEC 7816-6 :2004	2004	SC17
22646	B		テンプレート	てんぷれーと	template	構造化されたデータ対象の値フィールド。これはデータ対象を論理的にグループ化するために定義する	JIS X 6307	1998	ISO/IEC 7816-6	1996		廃→ X 6320-6 2006/8	ISO/IEC 7816-6 :2004	2004	SC17
22647	B		アプリケーション識別子	あぷりけーしょんしきべつし	application identifier	カード内のアプリケーションを識別するデータの一種。アプリケーション識別子は、登録アプリケーション提供者識別子を含んでもよい。アプリケーション識別子に、登録アプリケーション提供者識別子、又は発行者識別番号が含まれていれば、識別子が一意になる。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994	MOD	廃2009/6		2004	SC17
22648	B		アプリケーション提供者	あぷりけーしょんていきょうしゃ	application provider	各アプリケーションを実行するために必要な、カード上のアプリケーションの構成要素を提供する実体。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22649	B		アプリケーションラベル	あぷりけーしょんらべる	application label	マン-マシンインターフェースに使用するデータの一種。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22650	B		アプリケーションテンプレート	あぷりけーしょんてんぷれーと	application template	例えば、DIRファイルに存在し、アプリケーションに関連する一つ以上のASN.1オブジェクトを含むデータの一種。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22651	B		ASN.1オブジェクト	ASN.1おぶじぇくと	ASN.1 object	JIS X 5603で定義されるオブジェクト。符号化の方法は、JIS X 5604による。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22652	B		ATRファイル	ATRふぁいる	ATR File	初期応答ファイル[Answer-to-Reset(ATR)ファイル]の略で、任意の基本ファイル。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22653	B		データ要素	でーたようそ	date element	JIS X 6306の定義による。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22654	B		ディレクトリ-(DIR)ファイル	でぃれくとり-(DIR)ふぁいる	directory (DIR) file	カードによって使用可能なアプリケーションのリスト、又はこの規格で規定された任意の関連データを含む任意の基本ファイル。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22655	B		主ファイル	しゅふぁいる	master file	JIS X 6306の定義による。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22656	B		経路	けいろ	path	JIS X 6306の定義による。この規格では、すべての経路は、主ファイルから始まる。	JIS X 6308	1999	ISO/IEC 7816-5	1994		廃2009/6		2004	SC17
22657	A		磁気記録部	じききろくぶ		カードに設けられた磁気記録を行う部分。	JIS X 6310	1996							
22658	A		カードの表	かーどのおもて		磁気記録部がある面と反対側の面。	JIS X 6310	1996							
22659	A		カードの裏	かーどのうら		カードの表と反対側の面。	JIS X 6310	1996							
22660	A		カードの上端	かーどのじょうたん		カードを表にしてカードの挿入方向が左向きとなる位置において、これに正対して見たとき上に位置するカードの縁。これに対して、下に位置するカードの縁を、カードの下端とい	JIS X 6310	1996							
22661	A		カードの左端	かーどのさたん		カードの表に正対して見たとき、カードの上端を上にして左側にくる縁。これに対して、右側にくる縁を、カードの右端という。	JIS X 6310	1996							
22662	A		磁性基準カード	じせいきじゅんかーど		磁気記録部の電磁変換特性の基準として用いるカード。	JIS X 6313	1996							
22663	A		基準せん(尖)頭出力電圧	きじゅんせんとうしゅつりょくでんあつ		磁性基準カードの磁気記録部にその磁性基準カードについて定めた記録密度によって方形波信号を記録し、これを再生して得られる最大出力電圧。	JIS X 6313	1996							
22664	A		基準電流	きじゅんでんりゅう		磁性基準カードの磁気記録部にその磁性基準カードについて定めた記録密度によって方形波信号を記録して、これを再生するとき、その再生出力電圧が基準せん頭出力電圧の80%となるような最小記録電流(図3参照)。	JIS X 6313	1996							
22665	A		トラック	とらっく		情報が記録される磁気記録部で、カードの長辺方向に沿った帯状の部分。	JIS X 6313	1996							
22666	A		刻時信号	こくじしんごう		動作の歩調を合わせるために用意された周期的な信号。	JIS X 6313	1996							
22667	A		周波数変調記録方式	しゅうはすうへんちょうきろくほうしき		情報を記録する際、各ビットセルの始めでクロック磁束反転し(a)、更にデータ"1"の場合にだけクロック磁束反転の中間でデータ磁束反転する方式(b)(図1参照)。F2F方式とも	JIS X 6313	1996							
22668	A		事象	じしょう		カードに対して起きた伝送プロトコル上の変化。	JIS X 6319-1	2005							
22669	A		状態	じょうたい		カードがどのような手順で伝送上の信号を待機しているのがを示すもの。	JIS X 6319-1	2005							
22670	A		伝送制御マトリクス	でんそうせいぎょまとりくす		伝送上のある状態における事象の発生によるカードの反応を説明する図表。	JIS X 6319-1	2005							
22671	A		非接触インターフェース	ひせっしょくいんたーふぇーす	contactless interface	信号の送受信及びカードへの電力供給に導通接点を用いないで(すなわち、外部機器とカードに組み込まれたICとを直接接触することなしに)行うもの。	JIS X 6319-2	2005							
22672	A		密着運用	みっちゃくうんよう		PCDのアンテナ表面にPICCを置くように近づけて動作させる運用。	JIS X 6319-2	2005							
22673	A		複合カード	ふくごうかーど		非接触インターフェースと外部端子付きICとを複合したICカードの形態。	JIS X 6319-2	2005							
22674	A		電力負荷	でんりょくふか		動作磁界のエネルギを、基準PICC又は試験対象品PICCに消費させる負荷。	JIS X 6319-2	2005							
22675	A		一枚運用	いちまいうんよう		PCDの動作磁界範囲に、PICCが1枚だけ入り、そのPICCが処理することを前提とした運	JIS X 6319-2	2005							
22676	A		複数枚運用	ふくすうまいうんよう		PCDの動作磁界範囲に、複数のPICCが入り、それらを処理する場合には、又は密着運用で複数のPICCを同時に置いて、例えば、1枚目をアプリケーション用、2枚目を決済用として役割を分担させて処理する運用。	JIS X 6319-2	2005							
22677	A		ANDテンプレート	ANDてんぷれーと	AVD Template	満足すべきすべてのセキュリティ条件を内容とするテンプレート。	JIS X 6319-3	2005							
22678	A		アクセス規則	あくせすきそく	access rule	アクセスモードを含むデータ要素(処置への参照)及び(処置が実行できる前に満たされるべき)セキュリティ条件。	JIS X 6319-3	2005							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22679	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	application	特定機能を満たすために必要なデータ構造、データ要素及びプログラムモジュール。アプリケーションのうち、特にプラットフォーム形ICカードにおいてカード内に搭載されるアプリケーションを意味する場合には、カードアプリケーションという。	JIS X 6319-3	2005							
22680	A		OS	OS	Operating System	基本ソフトウェア。	JIS X 6319-3	2005							
22681	A		コマンド レスポンス対	こまんど れすぽんすたい	command-response pair	コマンドとその結果のレスポンスからなる二つのメッセージの集合。	JIS X 6319-3	2005							
22682	A		セションかぎ(鍵)	せしょんかぎ	session key	セキュアメッセージングを行う際に使用するかぎ(鍵)。共通かぎ(鍵)又は公開かぎ(鍵)を用いて生成される。	JIS X 6319-3	2005							
22683	A		認証局、CA	にんしょうきょく、CA	Certification Authority, CA	公開かぎ(鍵)、その他の関係情報をその所有者に結びつける証拠を立証できる第三者	JIS X 6319-3	2005							
22684	A		暗号機構	あんごうきこう	cryptographic mechanisms	特定の操作用パラメタセット、例えば、利用モード及びデータ又はキーの大きさを用いる暗号アルゴリズムをカードに導入した結果としてカードから提供される機能。	JIS X 6319-3	2005							
22685	A		データ要素	でーたようそ	data element	カードと接続装置の境界で見える情報の項目。データ要素名、論理内容の記述、フォーマット及びコーディングが定着される。	JIS X 6319-3	2005							
22686	A		データオブジェクト	でーたおぶじぇくと	data object	カードと接続装置の境界で見える情報。その構成は、タグ(識別子)、長さ及び値(すなはち、データ要素)から構成される。	JIS X 6319-3	2005							
22687	A		専用ファイル	せんようふぁいる	dedicated file	ファイル制御情報と、そしてオプションで、すべての割当て可能なメモリがはいっているファイル。このファイルは、EF及び/又はDFの親ファイルである。	JIS X 6319-3	2005							
22688	A		DF名	DFめい	DF name	カード内の専用ファイルを固有に識別するバイトの文字列。	JIS X 6319-3	2005							
22689	A		基礎ファイル	きそふぁいる	elementary file	同じ識別子(EFID)を共有するレコードの集合。このファイルは、別のファイルの親ファイルにはなれない。	JIS X 6319-3	2005							
22690	A		テンプレート	てんぷれーと	template	構造化されたデータオブジェクトの値フィールド。データオブジェクトを論理的にグループ化するために定義する。	JIS X 6319-3	2005							
22691	A		ネイティブ形ICカード	ねいてぃぶがたICかーど	native type IC card	ICカード内のすべてのソフトウェアがICチップに依存するプログラムコードで構成されるOSをもつICカード。	JIS X 6319-3	2005							
22692	A		ファイル制御パラメタ	ふぁいるせいぎょぱらめた	file control parameters	ファイルの論理、構造及びセキュリティ属性を示す。	JIS X 6319-3	2005							
22693	A		ファイル識別子	ふぁいるしきべつし	file identifier	2バイトの2進値で、ファイルをアドレス指定するために用いる。	JIS X 6319-3	2005							
22694	A		プラットフォーム形ICカード	ぷらっとふぉーむがたあいしーかーど	platform type IC card	外部からカードアプリケーションをダウンロードすることが可能なOSをもつICカード。代表的なものとして、JavaCardTM、MULTOSTMがある。	JIS X 6319-3	2005							
22695	A		内部基礎ファイル	ないぶきそふぁいる	internal elementary file	カードによって解釈されるべきデータが記憶される基礎ファイル。	JIS X 6319-3	2005							
22696	A		主ファイル	しゅふぁいる	master file	ファイル構造のルートを表す必す(須)で唯一無二の専用ファイル。	JIS X 6319-3	2005							
22697	A		メッセージ	めっせーじ	message	接触装置とカード間で転送されるバイトの文字列。	JIS X 6319-3	2005							
22698	A		ORテンプレート	ORてんぷれーと	OR Template	満足すべき少なくとも一つのセキュリティ条件を内容とするテンプレート。	JIS X 6319-3	2005							
22699	A		親ファイル	おやふぁいる	parent file	階層内の任意のファイル直上にある専用ファイル(DF)。	JIS X 6319-3	2005							
22700	A		パスワード	ぱすわーど	password	接続装置のアプリケーションによって要求される照合用データで、カードに対し提示され	JIS X 6319-3	2005							
22701	A		経路	けいろ	path	区切り符号のないファイル識別子の連結。経路が主ファイルの識別子から開始されている場合には、その経路が絶対経路である。	JIS X 6319-3	2005							
22702	A		提供者	ていきょうしゃ	provider	カード内で専用ファイルを作成する権利を有する、又は、その権利を取得している機関。	JIS X 6319-3	2005							
22703	A		レコード	れこーど	record	レコード番号又はレコード識別子によって参照されるバイトの文字列。	JIS X 6319-3	2005							
22704	A		レコード識別子	れこーどしきべつし	record identifier	レコードに関連した値で、そのレコードを識別するために用いられる。基礎ファイル内では、複数のレコードが同じ識別子を使用することがある。	JIS X 6319-3	2005							
22705	A		レコード番号	れこーどばんごう	record number	格レコードに割り当てられた連続番号で、その番号によって基礎ファイル内のレコードが識別される。	JIS X 6319-3	2005							
22706	A		作業用基礎ファイル	さぎょうようきそふぁいる	working elementary file	カードによって解釈されるべきデータが記憶される基礎ファイル。	JIS X 6319-3	2005							
22707	A		セキュアメッセージング	せきゅあめっせーじんぐ	SM(secure messaging)	コマンドの実行中に交換されるデータの暗号よる保護手段を提供するもの。	JIS X 6319-3	2005							
22708	A		SM化	SMか		APDUをセキュリティメッセージ化すること。	JIS X 6319-3	2005							
22709	A		セキュリティ属性	せきゅりてぃぞくせい	security attributes	一つ以上のアクセス規則を内容とするデータ要素として表現される、保存データ及びデータ処理機能を含むカード内の各種資源の使用条件。	JIS X 6319-3	2005							
22710	A		セキュリティ環境	せきゅりてぃかんきょう	security enviornment	カードシステムに対して、カードの特定アプリケーション向けコマンドに保護を提供するためのセキュリティ機能を提供する機構。	JIS X 6319-3	2005							
22711	A		アクセスかぎ(鍵)	あくせすかぎ	access key	相互認証で用いるかぎ(鍵)。	JIS X 6319-4	2005							
22712	A		エリアかぎ(鍵)	えりあかぎ	area key	エリアの使用権を認証するかぎ(鍵)。	JIS X 6319-4	2005							
22713	A		エリア定義ブロック	えりあていぎぶろっく	area definition block	カードの運用者が使用可能なサービス識別子の範囲。使用可能な利用者ブロック数、その運用者に与えられる権限などを定義するブロック。	JIS X 6319-4	2005							
22714	A		払戻しアクセス	はらいもどしあくせす	decrement cash back access	加減算ブロックにおいて、直前に減産した値内で加算できるアクセス。	JIS X 6319-4	2005							
22715	A		サービス	さーびす	service	外部装置からカードにアクセスするときのアクセス単位とし、カード内のメモリ領域において、同一のアクセス属性をもつように定義する領域。	JIS X 6319-4	2005							
22716	A		サービスコードリスト	さーびすこーどりすと	service code list	サービスの使用を宣言したリスト。	JIS X 6319-4	2005							
22717	A		エリアコードリスト	えりあこーどりすと	area code list	エリアの使用権を宣言したリスト。	JIS X 6319-4	2005							
22718	A		サービスかぎ(鍵)	さーびすかぎ	service key	サービスの使用権を認証するかぎ(鍵)。	JIS X 6319-4	2005							
22719	A		サービス定義ブロック	さーびすていぎぶろっく	service definition block	該当サービスのアクセス属性、アクセス可能な利用者ブロックの位置及び範囲などを定義するブロック。	JIS X 6319-4	2005							
22720	A		システムブロック	しすてむぶろっく	system block	主として、カードの内部制御に必要な情報を記録するブロック。製造識別子ブロック、発行識別子ブロック、システム定義ブロック、エリア定義ブロック及びサービス定義ブロックを総称してシステムブロックと呼ぶ。	JIS X 6319-4	2005							
22721	A		ステータスフラグ	すてーたすふらぐ	status flag	カードの処理結果を示すフラグ。ステータスフラグ1は処理結果を示し、ステータスフラグ2はその詳細情報を示す。	JIS X 6319-4	2005							
22722	A		製造識別子、IDm	せいぞうしきべつし、Idm	manufacture ID	カードを一意に識別するための情報をいい、カード製造時に書き込まれる。	JIS X 6319-4	2005							
22723	A		製造識別子ブロック	せいぞうしきべつしぶろっ	manufacture ID block	カード製造時に記録するブロック。製造識別子(*IDm*)及び製造パラメタ(*PMm*)で構成す	JIS X 6319-4	2005							
22724	A		製造パラメタ、PMm	せいぞうぱらめた、PMm	manufacture parameter	カードの機能的な特性及び伝送制御上の特性を示す情報をいい、カード製造時い書き込	JIS X 6319-4	2005							
22725	A		相互認証	そうごにんしょう	authentication	PCDとPICCとの間において同一のアクセスキーを保持していることを認証すること。	JIS X 6319-4	2005							
22726	A		直接アクセス	ちょくせつあくせす	direct access	加減算ブロックにおいて、16バイトのデータをそのまま上書きするアクセス。	JIS X 6319-4	2005							
22727	A		減算アクセス	げんさんあくせす	decrement access	加減算ブロックにおいて、減算するアクセス。	JIS X 6319-4	2005							
22728	A		電力負荷	でんりょくふか	power load	動作磁界のエネルギーを基準PICC又は試験対象品PICCに消費させる負荷。	JIS X 6319-4	2005							
22729	A		発行識別子IDi	はっこうしきべつしIDi	issuer ID	カード発行時に書き込まれる情報。	JIS X 6319-4	2005							
22730	A		発行識別子ブロック	はっこうしきべつしぶろっく	issuer ID block	カード発行時に記録されるブロック。発行識別子(*IDi*)及び発行パラメタ(*PMi*)で構成す	JIS X 6319-4	2005							
22731	A		発行パラメタ、PMi	はっこうぱらめた、PMi	issuer parameter	カード発行時に書き込む補足情報。	JIS X 6319-4	2005							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22732	A		ブロック	ぶろっく	block	メモリに対する書込み及び消去の最小単位。	JIS X 6319-4	2005							
22733	A		ブロック番号	ぶろっくばんごう	block number	特定のサービスに属する利用者ブロックの論理的な位置を管理するための番号。外部装置からカード内のメモリにアクセスする場合には、このブロック番号を用いる。	JIS X 6319-4	2005							
22734	A		ブロックリスト	ぶろっくりすと	block list	ブロックのアクセス属性、ブロック番号、及び相互認証で用いたキーとの関連を表したリ	JIS X 6319-4	2005							
22735	A		非接触インターフェース	ひせっしょくいんたーふぇーす	contactless interface	信号の送受信及びカードへの電力供給に導通接点を用いないで(すなわち、外部機器とカードに組み込まれたICとを直接接触することなしに)、行うもの。	JIS X 6319-4	2005							
22736	A		利用者ブロック	りようしゃぶろっく	user block	特定のサービスによってメモリ上に割り付けられたブロック。	JIS X 6319-4	2005							
22737	A		アクセス属性	あくせすぞくせい	access attribute	アクセスのときに事前に認証を必要とするか否かの情報。	JIS X 6319-4	2005							
22738	A		IC	IC	integrated circuit(s)	処理及び/又は記録機能を行うために設計された集積回路。	JIS X 6320-1	2009	ISO/IEC 7816-1 Amd.1:03	1998				1998	SC17
22739	A		ICカード	ICかーど	integrated circuit(s) card	1個以上のICを内蔵するJIS X 6301に規定されたID-1カード。	JIS X 6320-1	2009	ISO/IEC 7816-1 Amd.1:03	1998				1998	SC17
22740	A		外部端子、端子	がいぶたんし、たんし	contact	ICと外部接続との間を直流的に接続するICカード上の伝道素子。	JIS X 6320-1	2009	ISO/IEC 7816-1 Amd.1:03	1998				1998	SC17
22741	A		ブロック	ぶろっく	block	先頭フィールド、情報フィールド及び最終フィールドで定義された、二つ又は三つのフィールドからなるバイト列。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006	IDT			2006	SC17
22742	A		動作クラス	どうさくらす	class of operating	電圧及び電流の組合せからなるクラス。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22743	A		コールドリセット	こーるどりせっと	cold reset	活性化後、最初に発生するリセット。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22744	A		あて先ノードアドレス	あてさきのーどあどれす	destination node address	ブロックの受信者を識別するために使われるノードアドレスの一部。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22745	A		基礎時間単位	きそじかんたんい	elementary time unit	非同期キャラクタにおける1ビットの伝送時間。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22746	A		最終フィールド	さいしゅうふぃーるど	epilogue field	誤り検出符号からなるブロックの最終のフィールド。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22747	A		識別カード	しきべつかーど	identification card	カードを使用するに当たって、取引処理のために必要な入力データを記録することが可能な、カード所持者及び発行者を識別するカード。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22748	A		情報ブロック	じょうほうぶろっく	information block	アプリケーション層の情報を伝達することを基本的な目的とするブロック。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22749	A		情報フィールド	じょうほうふぃーるど	information field	データ(一般にアプリケーションデータ)からなるブロック中のフィールド。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22750	A		接続装置	せつぞくそうち	interface device	ICカードが動作時に電気的に接続されている端末機、通信装置又は機器。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22751	A		長さバイト	ながさばいと	length byte	先頭フィールドのサブフィールドであり、ブロックの情報フィールドで伝送されるバイト数を符号化したもの。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22752	A		ノードアドレスバイト	のーどあどれすばいと	node address byte	先頭フィールドのサブフィールド。ブロックのあて先アドレス及び送信元アドレスを示す。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22753	A		動作カード	どうさかーど	operating card	すべての機能を正しく実現できるカード。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22754	A		手順バイト	てじゅんばいと	procedure byte	半二重キャラクタ伝送(T=0)の実行中を表し、データバイトの交換を制御するためにICカードから送信されるバイト。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22755	A		先頭フィールド	せんとうふぃーるど	prologue field	ブロック最初のフィールド。ノードアドレス、プロトコル制御及び長さの3バイトで構成する。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22756	A		プロトコル制御バイト	ぷろとこるせいぎょばいと	protocol control byte	先頭フィールドのサブフィールド。伝送制御情報を含む。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22757	A		受信準備完了ブロック	じゅしんじゅんびかんりょうぶろっく	receive ready block	肯定又は否定の受信通知を行うブロックで、I-blockの送信シーケンス番号を含む。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22758	A		冗長コード	じょうちょうこーど	redundancy code	最終フィールドの内容で、先頭フィールド及び情報フィールドのすべてのバイトを用いて計算したコード。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22759	A		送信元ノードアドレス	そうしんもとのーどあどれ	source node address	ブロックの送信者を識別するために使われるノードアドレスバイトの一部分。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22760	A		管理ブロック	かんりぶろっく	supervisory block	通信制御情報を表すブロック。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22761	A		伝送制御	でんそうせいぎょ	transmission control	接続装置とICカードとの間のデータ伝送を制御するために使われる機能。シーケンス制御、同期処理及び伝送誤り回復をもつブロック伝送を含む。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22762	A		ウォームリセット	うぉーむりせっと	warm reset	コールドリセット以外のすべてのリセット。	JIS X 6320-3	2009	ISO/IEC 7816-3	2006				2006	SC17
22763	A		アクセス規則	あくせすきそく	access rule	実行に関連するアクセスモード及び実行前に満足すべきセキュリティ条件を含むデータ	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005	IDT			2005	SC17
22764	A		リセット応答ファイル	りせっとおうとうふぁいる	Answer-to-Reset file	カードの動作特性を示す任意選択のEF	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22765	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	application	特定の機能実行のために必要な構造、データ要素及びプログラムモジュール	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22766	A		アプリケーションDF	あぷりけーしょんDF	application DF	カードのアプリケーションを収める構造	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22767	A		アプリケーション識別子	あぷりけーしょんしきべつ	application identifier	アプリケーションを識別する16バイト以内のデータ要素	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22768	A		アプリケーションラベル	あぷりけーしょんらべる	application label	マンマシンインターフェースで使用するデータ要素	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22769	A		アプリケーション提供者	あぷりけーしょんていきょうしゃ	application provider	カード内アプリケーションの構成要素を提供するエンティティ	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22770	A		アプリケーションテンプレート	あぷりけーしょんてんぷれーと	application template	一つのアプリケーション識別子データオブジェクトを含む、アプリケーションに関連するデータオブジェクトの集合	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22771	A		非対称暗号技術	ひたいしょうあんごうぎじゅつ	asymmetric cryptographic technique	二つの関連する処理を用いる暗号技術。公開された数値又は公開かぎ(鍵)で定義された公開処理、及び秘密にされた数値又は秘密かぎ(鍵)で定義された秘密処理。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22772	A		証明書	しょうめいしょ	certificate	特別の人又はオブジェクト、及びその関連する公開かぎ(鍵)を結びつけるディジタル署名が付いた文書(証明書)。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22773	A		コマンド レスポンス対	こまんど れすぽんすつい	command-response pair	カードのインタフェースに現れる二つのメッセージの対。コマンドAPDU及びこれに続く逆方向からのレスポンスAPDU。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22774	A		データ要素	でーたようそ	data element	名前、論理的内容の識別子、構成及び符号化方法が特定された、インタフェース上に現れる情報項目。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22775	A		データオブジェクト	でーたおぶじぇくと	data object	カードのインタフェース上に現れる、必す(須)のタグフィールド、必す(須)の長さフィールド及び条件付きの値フィールドの連結からなる情報。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22776	A		データ単位	でーたたんい	data unit	データ単位を採用する基礎ファイル(EF)内で明示的に参照することができるビットの最も小さな集合。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22777	A		専用ファイル	せんようふぁいる	dedicated file	ファイル制御情報と任意選択として割付け利用可能なメモリとを含んでいる構造。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22778	A		DF名	DFめい	DF name	カードのDFを一意に識別する16バイト以内のデータ要素。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22779	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	対象とするデータ列の原本性及び完全性を証明し、(例えば、データ受領者による)偽造に対して保護するために、そのデータ列に追加されるデータ、又はそのデータ列を暗号によって変換したもの。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22780	A		ディレクトリファイル	でぃれくとりふぁいる	directory file	カードが提供するアプリケーションと任意選択として関連するデータ要素とのリストを含んでいる任意選択であるEF。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22781	A		基礎ファイル	きそふぁいる	elementary file	同一ファイル識別子と同一セキュリティ属性とを共有するデータオブジェクト、レコード、又はデータ単位の集合。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22782	A		ファイル	ふぁいる	file	コマンドを処理するときに、カードのインタフェース上に現れる、カード内のアプリケーション及び/又はデータのための構造。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22783	A		ファイル識別子	ふぁいるしきべつし	file identifier	ファイルを指定するために使用される2バイトのデータ要素。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22784	A		ヘッダリスト	へっだりすと	header list	タグフィールド及び長さフィールドの対を連結して区切りなく配列したもの。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22785	A		識別カード	しきべつかーど	identification card	カードを使用するに当たって、取引処理のために必要な入力データを記録することが可能な、カードの所持者及び発行者を識別するカード。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22786	A		内部基礎ファイル	ないぶきそふぁいる	internal elementary file	カードが解釈実行するデータを格納するEF。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22787	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号の処理(例えば、署名生成、署名検証、及び動的認証における秘密又は公開操作、暗号化、復号など)を制御するシンボルの列。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22788	A		主ファイル	しゅふぁいる	master file	DFの階層構造を用いているカードでファイル構成の根幹となる唯一のDF。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22789	A		オフセット	おふせっと	offset	データ単位を提供するEFでデータ単位の相対位置を示す数値、又はレコードでバイトの相対位置を示す数値。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22790	A		親ファイル	おやふぁいる	parent file	DF階層構造において、そのファイルの直上にあるDF。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22791	A		パスワード	ぱすわーど	password	アプリケーションが必要とすることのある、認証目的で利用者がカードに提示するデー	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22792	A		パス	ぱす	path	区切りのないファイル識別子の連結、	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22793	A		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key	エンティティの非対称かぎ(鍵)対のうち、そのエンティティだけによって利用されるのが望ましいかぎ(鍵)	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22794	A		提供者	ていきょうしゃ	provider	カードDFを作成する権限をもつか、又はその権限を与えられた者。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22795	A		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key	エンティティの非対称かぎ(鍵)対のうち、公にされて使用されるかぎ(鍵)。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22796	A		レコード	れこーど	record	レコード形式のEFで、カードによって参照され取り扱われるバイト列。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22797	A		レコード識別子	れこーどしきべつし	record identifier	レコード形式のEFで、一つ以上のレコードを参照するために使用される数値。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22798	A		レコード番号	れこーどばんごう	record number	レコード形式のEFで、一意に各レコードを識別する連続する数。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22799	A		アプリケーション提供者識別子	あぷりけーしょんていきょうしゃしきべつし	registered application provider identifier	一意にアプリケーション提供者を識別する5バイトのデータ要素。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22800	A		秘密かぎ(鍵)	ひみつかぎ	secret key	対象暗号技術を用いて、指定された一組のエンティティによって使用されるかぎ(鍵)。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22801	A		セキュアメッセージング	せきゅあめっせーじんぐ	secure messaging	コマンド及びその応答に対してその一部又は全体を暗号によって保護するための方法。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22802	A		セキュリティ属性	せきゅりていぞくせい	security attribute	格納されたデータ及びデータ処理機能を含むカードのオブジェクトの使用条件であって、一つ以上のアクセス規則を含むデータ要素として表されるもの。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22803	A		セキュリティ環境	せきゅりていかんきょう	security environment	セキュアメッセージング又はセキュリティ操作のために、カードのアプリケーションが要求する構成要素の集合。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22804	A		対称暗号技術	たいしょうあんごうぎじゅつ	symmetric cryptographic technique	発信者及び受信者の双方の操作で同じ秘密かぎ(鍵)を使用する暗号技術[秘密かぎ(鍵)なしで、一方の操作を計算することは実行困難である方法]。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22805	A		タグリスト	たぐりすと	tag list	区切りのないタグフィールドの連結。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22806	A		テンプレート	てんぷれーと	template	構造化BER-TLVデータオブジェクトの値フィールドを形成するBER-TLVデータオブジェクトの集合。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22807	A		作業用基礎ファイル	さぎょうようきそふぁいる	working elementary file	カードが解釈しないデータを格納するEF。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22808	A		共通利用	きょうつうりよう	interindustry	産業間で共通に使用可能であること。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22809	A		カレント	かれんと	current	実行可能を示す状態。	JIS X 6320-4	2009	ISO/IEC 7816-4	2005				2005	SC17
22810	A		アプリケーション提供者	あぷりけーしょんていきょうしゃ	application provider	カード内のアプリケーションを構成する要素を提供するエンティティ。	JIS X 6320-5	2006	ISO/IEC 7816-5	2004	IDT			2004	SC17
22811	A		アプリケーション提供者登録識別子	あぷりけーしょんていきょうしゃとうろくしきべつし	registered application provider identifier	アプリケーション提供者を唯一に識別するデータ要素(5バイト)。	JIS X 6320-5	2006	ISO/IEC 7816-5	2004				2004	SC17
22812	A		データ要素	でーたようそ	data element	インタフェース上に現れる情報項目。名称、論理的な内容の記述、形式及び符号化を定	JIS X 6320-6	2006	ISO/IEC 7816-6	2004	IDT			2004	SC17
22813	A		データオブジェクト	でーたおぶじぇくと	data object	インタフェース上に現れ情報。必す(須)のタグフィールド、必す(須)の長さフィールド及び条件付きの値フィールドの連結から構成する。	JIS X 6320-6	2006	ISO/IEC 7816-6	2004				2004	SC17
22814	A		テンプレート	てんぷれーと	template	BER-TLVデータオブジェクトの値フィールドを形成する様式。複数のBER-TLVデータオブジェクトで値フィールドを構築してもよい。	JIS X 6320-6	2006	ISO/IEC 7816-6	2004				2004	SC17
22815	A		非対称暗号技術	ひたいしょうあんごうぎじゅつ	asymmetric cryptographic technique	二つの関連する処理を用いる暗号技術。関連する処理とは、公開された数値又は公開かぎ(鍵)で定義された公開変換処理及びプライベートにされた数値又はプライベートかぎ(鍵)で定義されたプライベート変換処理である。	JIS X 6320-8	2006	ISO/IEC 7816-8	2004	IDT			2004	SC17
22816	A		証明書	しょうめいしょ	certificate	特別の人又はオブジェクトと、その関連する公開かぎ(鍵)とを結び付けるディジタル署名が付いた文書。	JIS X 6320-8	2006	ISO/IEC 7816-8	2004				2004	SC17
22817	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	対象とするデータ列の原本性及び完全性を証明し、偽造に対して保護するために追加されるデータ、又はデータ列の暗号による変換。データ受領者によって原本性及び完全性が判断できる。	JIS X 6320-8	2006	ISO/IEC 7816-8	2004				2004	SC17
22818	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号の処理(例えば、署名生成、署名検証、動的認証でのプライベート又は公開変換操作、暗号化、復号など)を制御するシンボルの列。	JIS X 6320-8	2006	ISO/IEC 7816-8	2004				2004	SC17
22819	A		セキュアメッセージング	せきゅあめっせーじんぐ	secure messaging	コマンド及びその応答に対してその一部又は全体を暗号によって保護するための方法	JIS X 6320-8	2006	ISO/IEC 7816-8	2004				2004	SC17
22820	A		セキュアメッセージング	せきゅあめっせーじんぐ	secure messaging	コマンド及びその応答に対してその一部又は全体を暗号によって保護するための方法	JIS X 6320-9	2006	ISO/IEC 7816-9	2004	IDT			2004	SC17
22821	A		バイオメトリックデータ	ばいおめとりっくでーた	biometric data	バイオメトリック照合に使われる特徴を符号化したデータ。	JIS X 6320-	2007	ISO/IEC 7816-11	2004	IDT			2004	SC17
22822	A		バイオメトリック情報	ばいおめとりっくじょうほう	biometric information	バイオメトリック照合データを作成するためにICカードの外界で必要となる情報。	JIS X 6320-	2007	ISO/IEC 7816-11	2004				2004	SC17
22823	A		バイオメトリック参照データ	ばいおめとりっくさんしょうでーた	biometric reference data	バイオメトリック照合データと比較するためにカードに記録するデータ。	JIS X 6320-11	2007	ISO/IEC 7816-11	2004				2004	SC17
22824	A		バイオメトリック照合	ばいおめとりっくしょうごう	biometric verification	バイオメトリック参照データに対して、バイオメトリック照合データを1対1で比較することで、本人確認を行う処理。	JIS X 6320-11	2007	ISO/IEC 7816-11	2004				2004	SC17
22825	A		バイオメトリック照合データ	ばいおめとりっくしょうごうでーた	biometric verification data	バイオメトリック参照データと比較するため、本人確認処理中に採取するデータ。	JIS X 6320-11	2007	ISO/IEC 7816-11	2004				2004	SC17
22826	A		テンプレート	てんぷれーと	template	この定義はISO/IEC 7816-4による。	JIS X 6320-	2007	ISO/IEC 7816-11	2004				2004	SC17
22827	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	application	特定の機能実行のために必要な構造、データ要素及びプログラムモジュール(JIS X 6320-4参照)。	JIS X 6320-13	2009	ISO/IEC 7816-13	2007				2007	SC17
22828	A		アプリケーション提供者	あぷりけーしょんていきょうしゃ	application provider	ICカード内アプリケーションの構成要素を提供するエンティティ(JIS X 6320-4参照)。	JIS X 6320-13	2009	ISO/IEC 7816-13	2007				2007	SC17
22829	A		ICカードプラットフォーム	ICかーどぷらっとふぉーむ	card platform	基本的なICカード機能の役割を担うICカード上の構成要素。	JIS X 6320-	2009	ISO/IEC 7816-13	2007				2007	SC17
22830	A		ICカード管理アプリケーション	ICかーどかんりあぷりけーしょん	card manager application	ICカードアプリケーションのライフサイクルの管理及びICカード資源の割当て管理を行うアプリケーション。	JIS X 6320-13	2009	ISO/IEC 7816-13	2007				2007	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22831	A		絶対パス	ぜったいぱす	absolute path	ファイル識別子 '3F00' から始まるパス。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004	IDT			2004	SC17
22832	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	application	特定機能の実行に必要な構造、データ要素及びプログラムモジュール。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22833	A		アプリケーション識別子	あぷりけーしょんしきべつ	application identifier	カード内アプリケーションを識別するデータ要素	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22834	A		アプリケーション提供者	あぷりけーしょんていきょうしゃ	application provider	カード内アプリケーションを実行するために必要な構成要素を提供するエンティティ	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22835	A		認証情報オブジェクト	にんしょうじょうほうおぶじぇくと	authentication information object	認証関係データについての情報を提供する暗号情報オブジェクト(例えば、パスワード)。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22836	A		認証情報オブジェクトディレクトリファイル	にんしょうじょうほうおぶじぇくとでぃれくとりふぁいる	authentication object directory file	認証情報オブジェクトを含む基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22837	A		2進化10進数	2しんか10しんすう	binary coded decimal	数値が一連の10進数として表現され、各10進数字が4ビットの2進数として符合化される数値表現。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22838	A		カード保有者	かーどほゆうしゃ	card holder	カードを発行された人。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22839	A		カード発行者	かーどはっこうしゃ	card issuer	カードを発行する組織又はエンティティ。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22840	A		証明書ディレクトリファイル	しょうめいしょでぃれくとりふぁいる	certificate directory file	証明書情報オブジェクトを含む基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22841	A		証明書情報オブジェクト	しょうめいしょじょうほうおぶじぇくと	certificate information object	証明書についての情報を提供する暗号情報オブジェクト。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22842	A		コマンド	こまんど	command	カードに対して動作を開始、応答を求めるメッセージ。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22843	A		暗号情報アプリケーション	あんごうじょうほうあぷりけーしょん	cryptographic information application	暗号情報オブジェクト、暗号以外のセキュリティデータ要素及びそれらの用途に関する情報を含むカード内のアプリケーション。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22844	A		暗号情報オブジェクト	あんごうじょうほうおぶじぇくと	cryptographic information object	暗号データ要素。例えば、公開かぎ又は証明書を記述するCIA(Cryptographic information Application)に含まれている構造化された情報。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22845	A		データコンテナ情報オブジェクト	でーたこんてなじょうほうおぶじぇくと	data container information object	データコンテナ(例えば、ファイル)についての情報を提供する暗号情報オブジェクト。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22846	A		データコンテナオブジェクトディレクトリファイル	でーたこんてなおぶじぇくとでぃれくとりふぁいる	data container object directory file	データコンテナ情報オブジェクトを含む基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22847	A		専用ファイル	せんようふぁいる	dedicated file	ファイル制御情報及び任意選択で割当てに使用可能なメモリを含む構造体。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22848	A		ディレクトリファイル	でぃれくとりふぁいる	directory (DIR) file	カードによって支援されているアプリケーションのリスト及び付加的な関連データ要素を含むオプションの基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22849	A		基礎ファイル	きそふぁいる	elementary file	同じファイル識別子と同じセキュリティ属性を共有するデータユニット、レコード又はデータオブジェクトのセット。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22850	A		ファイル識別子	ふぁいるしきべつし	file identifier	ファイルに位置づけるために用いられるデータ要素(2バイト)	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22851	A		機能	きのう	function	一つ以上のコマンド及び実行結果に伴う動作によって達成されるプロセス。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22852	A		マスタファイル	ますたふぁいる	master file, MF	専用ファイルの階層に用いるカード内のルートを表す唯一の専用ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22853	A		メッセージ	めっせーじ	message	伝送用文字を除いた、接続装置からカードに、又はその反対に送られるバイト列。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22854	A		オブジェクトディレクトリファイル	おぶじぇくとでぃれくとりふぁいる	object directory file	他のCIAディレクトリファイルについての情報を含む必す基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22855	A		パスワード	ぱすわーど	password	アプリケーションによって要求する認証のために利用者が提示する情報。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22856	A		パス	ぱす	path	区切りのないファイル識別子の連結。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22857	A		プライベートかぎ(鍵)ディレクトリファイル	ぷらいべーとかぎでぃれくとりふぁいる	private key directory file	プライベートかぎ情報オブジェクトを含む基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22858	A		プライベートかぎ(鍵)情報オブジェクト	ぷらいべーとかぎじょうほうおぶじぇくと	private key information object	プライベートかぎについての情報を提供する暗号情報オブジェクト。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22859	A		プロバイダ	ぷろばいだ	provider	カード内に専用ファイルを作成する権利を取得した機関。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22860	A		公開かぎ(鍵)ディレクトリファイル	こうかいかぎでぃれくとりふぁいる	public key directory file	公開かぎ情報オブジェクトを含む基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22861	A		公開かぎ(鍵)情報オブジェクト	こうかいかぎじょうほうおぶじぇくと	public key information object	公開かぎについての情報を提供する暗号情報オブジェクト。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22862	A		レコード	れこーど	record	レコード構造の基礎ファイル内にあり、カードによって参照処理されるバイト列。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22863	A		相対パス	そうたいぱす	relative path	カレントのDFのファイル識別子で始まるパス	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22864	A		秘密かぎ(鍵)ディレクトリファイル	ひみつかぎでぃれくとりふぁいる	secret key directory file	秘密かぎ情報オブジェクトを含む基礎ファイル。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22865	A		秘密かぎ(鍵)情報オブジェクト	ひみつかぎじょうほうおぶじぇくと	secret key information object	秘密かぎについての情報を提供する暗号情報オブジェクト。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22866	A		テンプレート	てんぷれーと	template	構造化データオブジェクトの値フィールドを構成するデータオブジェクトのセット。	JIS X 6320-15	2006	ISO/IEC 7816-15	2004				2004	SC17
22867	B		集積回路、IC	しゅうせきかいろ、IC	integrated circuit(s) (IC)	処理機能、記憶機能及び入出力制御機能を実行するように設計された電子部品。	JIS X 6321-1	1998	ISO/IEC 10536-1	1992		2002/7	2000	2000	SC17
22868	B		外部端子なし	がいぶたんしなし	contactless	導通接点を用いないで信号の送受とともに、カードへの電力供給を行うもの(すなわち、外部機器とカードに組み込まれたICとを直接接触することなしに)。	JIS X 6321-1	1998	ISO/IEC 10536-1	1992		2002/7	2000	2000	SC17
22869	B		外部端子なしICカード、CICC	がいぶたんしなしICかーど、CICC	contactless integrated circuit(s) card (CICC)	外部端子なしで接続されるICが組み込まれた密着型のID-1型(ISO 7810、ISO 7811-1～-5、ISO 7812及びISO 7813に規定される)識別カード。	JIS X 6321-1	1998	ISO/IEC 10536-1	1992		2002/7	2000	2000	SC17
22870	B		カード接合装置、CCD	かーどせつごうそうち、CCD	card coupling device (CCD)	外部端子なしICカードに電力及びクロック信号を供給し、かつ、そのカードとデータ交換を行う装置。	JIS X 6321-1	1998	ISO/IEC 10536-1	1992		2002/7	2000	2000	SC17
22871	A		集積回路、IC	しゅうせきかいろ、IC	integrated circuit(s), IC	処理機能、記憶機能及び入出力制御機能を実行するように設計された電子部品。	JIS X 6321-1	2007	ISO/IEC 10536-1	2000				2000	SC17
22872	A		外部端子なし	がいぶたんしなし	contactless	信号の送受及びカードへの電力供給に導通接点を用いないで(すなわち、外部機器とカードに組み込まれたICとを直接接触することなしに)行うもの。	JIS X 6321-1	2007	ISO/IEC 10536-1	2000				2000	SC17
22873	A		外部端子なしICカード	がいぶたんしなしICかーど	contactless integrated circuit(s) card	外部端子なしで接続されるICが組み込まれたID-1型の識別カード。	JIS X 6321-1	2007	ISO/IEC 10536-1	2000				2000	SC17
22874	A		密着型ICカード	みっちゃくがたICかーど	close-coupled card	外部端子なしで接続されるIC及びそれと通信する手段が組み込まれた密着型ID-1型識別カードで、密着型結合装置の表面に置くか又はスロットに挿入して誘導結合又は静電結合によって密着型結合装置と通信する。	JIS X 6321-1	2007	ISO/IEC 10536-1	2000				2000	SC17
22875	A		密着型結合装置、CCD	みっちゃくがたけつごうそうち、CCD	close-coupled card, CCD	CICCに電力を誘導結合で供給し、かつ、誘導結合又は静電結合によって、そのCICCデータ交換を行う読み書き装置。	JIS X 6321-1	2007	ISO/IEC 10536-1	2000				2000	SC17
22876	A		電磁結合領域	でんじけつごうりょういき	inductive coupling area	結合要素を動作させるために必要な規定の磁束量が通過する領域。	JIS X 6321-2	1998	ISO/IEC 10536-2	1995				1995	SC17
22877	A		静電結合領域	せいでんけつごうりょういき	capacitive coupling area	CICCとCCDとの間で静電結合する領域。	JIS X 6321-2	1998	ISO/IEC 10536-2	1995				1995	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22878	A		初期応答	しょきおうとう	answer to reset	CICCが最初に活性化されて（又は何らかの手段によってリセットされて）から、CCDによるリセット又は電力供給に対してCICCが最初の応答を送り終わるまでの時間を初期応答と呼ぶ。この初期応答時の情報を初期応答情報と呼ぶ。また、どちらもATR(answer to	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22879	A		データ遷移時間	でーたせんいじかん	data transition period	データ遷移の開始から次のデータ遷移の開始までの時間	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22880	A		差動NRZ	さどうNRZ	differential non-return to zero	負の差動電圧を論理レベル0、正の差動電圧を論理レベル1として使用するビット符号化方式。	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22881	A		非ゼロ復帰、NRZ	ひぜろふっき、NRZ	non-return to zero	負の電位を論理レベル0、正の電位を論理レベル1として使用するビット符号化方式。	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22882	A		論理レベル0	ろんりれべる0	logic level 0	スペース(ISO 1177による)。	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22883	A		論理レベル1	ろんりれべる1	logic level 1	マーク(ISO 1177による)。	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22884	A		位相偏移キーイング	いそうへんいきーいんぐ	phase shift keying	CCDが発生する励起誘導磁界によってCICCが受信する限定された周波数の位相を、規定された方法で変化させることによって変調する方法。	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22885	A		位相遷移時間	いそうせんいじかん	phase transition period	位相φからφ'への位相遷移の中央から次の位相遷移の中央までの時間。	JIS X 6321-3	1998	ISO/IEC 10536-3	1996				1996	SC17
22886	A		集積回路、IC	しゅうせきかいろ、IC	integrated circuit(s)	処理機能、記憶機能及び入出力制御機能を実行するように設計された電子部品。	JIS X 6322-1	2001	ISO/IEC 14443-1	2000				2008	SC17
22887	A		外部端子なし	がいぶたんしなし	contactless	信号の送受信及びカードへの電力供給に導通接点を用いないで(すなわち、外部機器とカードに組み込まれたICとを直接接触することなしに、)行うもの。	JIS X 6322-1	2001	ISO/IEC 14443-1	2000				2008	SC17
22888	A		外部端子なしICカード	がいぶたんしなしICかーど	contactless integrated circuit(s) card	外部端子なしで接続されるICが組み込まれたID-1型の識別カード。	JIS X 6322-1	2001	ISO/IEC 14443-1	2000				2008	SC17
22889	A		近接型ICカード、PICC	きんせつがたICかーど、PICC	proximity card(PICC)	近接磁界で結合装置と結合して通信する外部端子なしICカード。	JIS X 6322-1	2001	ISO/IEC 14443-1	2000				2008	SC17
22890	A		近接型結合装置、PCD	きんせつがたけつごうそうち、PCD	proximity coupling device(PCD)	PICCに電力を誘導結合で供給し、かつ、そのPICCとデータ交換を行う読み書き装置。	JIS X 6322-1	2001	ISO/IEC 14443-1	2000				2008	SC17
22891	A		ビット持続時間	びっとじぞくじかん	bit duration	論理状態を決定するための1ビットの時間。	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22892	A		2相位相偏移キーイング	2そういそうへんいきーいんぐ	binary phase shift keying	180° 異なる二つの位相状態を論理的に対応させる位相変調方式。	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22893	A		変調度	へんちょうど	modulation index	変調された信号波形の振幅の最大値をa、最小値をbとしたとき、変調度を(a-b)/(a+b)	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22894	A		非ゼロ復帰	ひぜろふっき	NRZ-L	あるビット持続時間の間、搬送波(fc)の二つの物理的状態を、信号の論理状態に対応させて表現する符号化方式。	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22895	A		副搬送波	ふくはんそうは	subcarrier	搬送波(fc)を変調する周波数(fs)。	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22896	A		マンチェスタ符号化方式	まんちぇすたふごうかほうしき	manchester	ビット持続時間を中間点における遷移で半分に分割し、その遷移の方向を二つの論理値に対応させる符号化方式。	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22897	A		TR0	TR0	TR0	PCDの伝送の終わりからPICCが副搬送波を発生するまでの保護時間。	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22898	A		TR1	TR1	TR1	PICCが副搬送波を発生してから、PICCが変調を開始するまでの同期時間。	JIS X 6322-2	2001	ISO/IEC 14443-2	2001				2001	SC17
22899	A		衝突防止ループ	しょうとつぼうしるーぷ	anticollision loop	PCDの発生する動作磁界にあり、リクエストコマンドに応答した複数のPICCの中から、一つ以上のPICCを選択し、PICCとPCDとが通信できるようにするための処理手順。	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22900	A		ビット衝突検出プロトコル	びっとしょうとつけんしゅつぷろとこる	bit collision detection protocol	フレーム内のビット単位での衝突を検出するA型PICCの衝突防止方法。	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22901	A		バイト	ばいと	byte	バイトは、b1～b8と表記された8ビットのデータで構成される。b8を最上位ビット(MSB)、b1を最下位ビット(LSB)とする。	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22902	A		衝突	しょうとつ	collision	PCDの発生する動作磁界の中において、同時に二つ以上のPICCが送信することであり、このときPCDは、同時にPICCが発生するデータを識別できない。	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22903	A		etu	etu	elementary time unit	この規格における1 etuは、次の値とする。1 etu=128/fc(通常、9.4μs)	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22904	A		フレーム	ふれーむ	frame	フレームは、データビット列と任意選択の誤り検出ビット列とから構成され、フレームの開始と終了の識別子で囲まれる。	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22905	A		上位階層プロトコル	じょういかいそうぷろとこる	higher layer protocol	この規格に規定されていないが、上位階層及び応用層に属するプロトコル層。	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22906	A		タイムスロットプロトコル	たいむすろっとぷろとこる	timeslot protocol	B型PICCの応答する場合に時間窓を設け、複数の論理チャネルを割り当てて識別する	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22907	A		リクエストコマンド	りくえすとこまんど	request command	PICCが初期化可能な場合に、対応する型のPICCの応答を要求するコマンド。	JIS X 6322-3	2001	ISO/IEC 14443-3	2001				2001	SC17
22908	A		ビット持続時間	びっとじぞくじかん	bit duration	単位ビット長(時間)は、etuで定義し、1etuは、次の式で計算する。 1 etu = 128 / (D x fc) 除数Dの初期値は1とし、初期のetuは、次のようになる。 1 etu = 128 / fc fcは、搬送波周波数で、JIS X 6322-2に定義されている。	JIS X 6322-4	2002	ISO/IEC 14443-4	2001				2008	SC17
22909	A		ブロック	ぶろっく	block	有効なプロトコルデータ形式を含む特別な形のフレーム 備考 有効なプロトコルデータ形式には、Iブロック、Rブロック、Sブロックがある。	JIS X 6322-4	2002	ISO/IEC 14443-4	2001				2008	SC17
22910	A		無効ブロック	むこうぶろっく	invalid block	無効なプロトコル形式のフレーム 備考 フレームが検出できなかった場合のタイムアウトは、無効ブロックとして解釈されな	JIS X 6322-4	2002	ISO/IEC 14443-4	2001				2008	SC17
22911	A		フレーム	ふれーむ	frame	フレームは、JIS X 6322-3に定義するビット列とする。 備考 A型PICCは、A型として定義された標準フレームを用い、B型PICCは、B型として定義された標準フレームを用いる。	JIS X 6322-4	2002	ISO/IEC 14443-4	2001				2008	SC17
22912	A		集積回路、IC	しゅうせきかいろ、IC	integrated circuit(s)	処理機能、記憶機能及び入出力制御機能を実行するように設計された電子部品。	JIS X 6323-1	2001	ISO/IEC 15693-1	2000				2000	SC17
22913	A		外部端子なし	がいぶたんしなし	contactless	信号の送受信及びカードへの電力供給に導通接点を用いないで(すなわち、外部機器とカードに組み込まれたICとを直接接触することなしに、)行うもの。	JIS X 6323-1	2001	ISO/IEC 15693-1	2000				2000	SC17
22914	A		外部端子なしICカード	がいぶたんしなしICかーど	contactless integrated circuit(s) card	外部端子なしで接続されるICが組み込まれたID-1型の識別カード。	JIS X 6323-1	2001	ISO/IEC 15693-1	2000				2000	SC17
22915	A		近傍型ICカード、VICC	きんぼうがたICかーど、VICC	vicinity card(VICC)	近傍磁界で結合装置結合して通信する外部端子なしICカード。	JIS X 6323-1	2001	ISO/IEC 15693-1	2000				2000	SC17
22916	A		近傍型結合装置、VCD	きんぼうがたけつごうそうち、VCD	vicinity coupling device(VCD)	VICCに電力を誘導結合で供給し、かつ、そのVICCとデータ交換を行う読み書き装置。	JIS X 6323-1	2001	ISO/IEC 15693-1	2000				2000	SC17
22917	A		変調度	へんちょうど	modulation index	変調された信号波形の振幅の最大値をa、最小値をbとしたとき、変調度を(a-b)/(a+b)	JIS X 6323-2	2001	ISO/IEC 15693-2	2000				2006	SC17
22918	A		副搬送波	ふくはんそうは	subcarrier	搬送波信号(fc)を変調する周波数(fs)の信号。	JIS X 6323-2	2001	ISO/IEC 15693-2	2000				2006	SC17
22919	A		バイト	ばいと	byte	1バイトのデータは、b1～b8の8ビットで構成され、最上位ビット(MSB)をb8、最下位ビット(LSB)をb1とする。	JIS X 6323-2	2001	ISO/IEC 15693-2	2000				2006	SC17
22920	A		衝突防止処理	しょうとつぼうししょり	Anticollision loop	VCDと動作磁界内に存在する一つ以上のVICCとの間で扱うアルゴリズム。	JIS X 6323-3	2001	ISO/IEC 15693-3	2001				2001	SC17
22921	A		バイト	ばいと	Byte	バイトデータは、b1～b8の8ビットで構成され、最上位ビット(MSB)をb8、最下位ビット(LSB)をb1とする。	JIS X 6323-3	2001	ISO/IEC 15693-3	2001				2001	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22922	A		光記録領域	ひかりきろくりょういき	accessible optical area	記録ビーム又は再生ビームによってアクセスされるカード上の領域。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001	MOD			2005 2005 2005 2008	SC17
22923	A		光記録層	ひかりきろくそう	optical layer	光学的手段によってディジタル情報を記録及び/又は再生できる特定の材料を含み、透明層と裏打ち層との間に設けられるカードの中の特定の層。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22924	A		裏打ち層	うらうちそう	protective layer	光記録層を挟んで透明層の裏にある、カードの中の特定の層。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22925	A		透明層	とうめいそう	transparent layer	記録ビーム又は再生ビームが通過する、カードの中の特定の層。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22926	A		未記録部の反射率	みきろくぶのはんしゃりつ	background reflectivity	隣接するトラックガイドの中間で透明層を通して規定の波長で測定した、未記録の光記録領域の反射率。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22927	A		ビーム径	びーむけい	beam diameter	光記録層の表面において円形の光照射領域として観測したとき、その円周上の光強度がピーク光強度の1/e2に等しい円の直径。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22928	A		入射(表)面	にゅうしゃ(ひょう)めん	entry face	記録ビーム又は再生ビームが最初に入射するカードの面。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22929	A		光路長	こうろちょう	optical path length	カードの入射表面から光記録層までの往復距離に、透明層の屈折率を乗じた値。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22930	A		パルス幅	ぱるすはば	pulse width	記録のためにレーザが動作している時間。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22931	A		再生光出力	さいせいひかりしゅつりょく	read power	光記録領域からデータを再生するときのレーザ光の出力。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22932	A		反射率	はんしゃりつ	reflectivity	規定の波長の光をカードの透明層に垂直に入射したときの、入射光強度に対する反射光強度の比率。通常、%で表す。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22933	A		屈折率	くっせつりつ	refractivity	真空中の光の位相速度と媒質中の光の位相速度との比。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22934	A		マーク	まーく	marker	記録ビームによって光学的に変化した光記録層上の領域。一般には棒状の線になる。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22935	A		直線記録方式	ちょくせんきろくほうしき	linear recording method	カード上に、直線X-Yフォーマットによってディジタルデータを記録又はプリフォーマットする方法。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22936	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	ディジタルを記録する様式、及び使用に先立ってカードにあらかじめ付与される情報の様式。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22937	A		プリフォーマットデータ	ぷりふぉーまっとでーた	preformatted data	カードの製造工程において、あらかじめ付与されたデータ。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22938	A		トラックガイド	とらっくがいど	track guide	データの記録時及び再生時に基準とする、カード長辺に平行にプリフォーマットした直線。データは、隣接するトラックガイド間に、トラックガイドに平行に記録される。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22939	A		カードドライブ	かーどどらいぶ	card drive	カードに情報を記録及び再生する装置。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22940	A		P.P.M.	P.P.M.	pulse position modulation, PPM	スポット上のマークの有無によって2値信号の1及び0を表す変調方式(パルス位置変調)。Pulse Position Modulationの略。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22941	A		P.W.M.	P.W.M.	pulse width modulation, PWM	棒状のマークの端(前端及び後端)が2値信号の1及び0の信号遷移を表す変調方式(パルス幅変調)。Pulse Width Modulationの略。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22942	A		基準縁	きじゅんえん	reference edges	カードの光記録領域が正面下方に位置するようにカードを置いたときのカードの下辺及び左辺。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22943	A		基準トラック	きじゅんとらっく	reference track	長手方向の基準縁に最も近いトラック。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22944	A		ドロップイン	どろっぷいん	drop in	カードの再生時に、記録していない2値信号が再生されることによるデータ誤り。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22945	A		ドロップアウト	どろっぷあうと	drop out	カードの再生時に、記録した2値信号が再生されないことによるデータ誤り。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22946	A		スキュー	すきゅー	skew	基準トラックが長手方向の基準縁となす角度。	JIS X 6330	2001	ISO/IEC 11693 ISO/IEC 11694-1 ISO/IEC 11694-2 ISO/IEC 11694-3	2000 2000 2000 2001				2005 2005 2005 2008	SC17
22947	A		データビット	でーたびっと	data bit	光メモリカード上でデータが存在する領域。未記録部の反射率とは異なる反射率及び/又は位相差をもつマーク。一つのマークは、選択した変調方式によって、一つ又は二つのデータ遷移を定義する	JIS X 6331	1998	ISO/IEC 11694-4	1996				2008	SC17
22948	A		データトラック	でーたとらっく	data track	隣接するトラックガイドに挟まれた領域で、データの読出し及び/又は書込みを行う領域	JIS X 6331	1998	ISO/IEC 11694-4	1996				2008	SC17
22949	A		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	error correction code,	データの中の特定の誤りを訂正できるように設定された符号	JIS X 6331	1998	ISO/IEC 11694-4	1996				2008	SC17
22950	A		誤り検出訂正	あやまりけんしゅつていせい	error detection and correction : EDAC	メッセージブロックを記録する際、メッセージブロックに周知の方式で冗長語を付け加える方式の総称。読出しの際に、復号器が冗長語を取り去り、誤りのチャンネルシンボルを検出して訂正するために、冗長情報を使用する	JIS X 6331	1998	ISO/IEC 11694-4	1996				2008	SC17
22951	A		変調符号	へんちょうふごう	modulation code	光メモリカードに記録するときに、情報ビットをある物理的表現に変換する符号化方式	JIS X 6331	1998	ISO/IEC 11694-4	1996				2008	SC17
22952	A		ピッチ	ぴっち	pitch	隣接するデータスポット、パターン、トラックガイド及びデータトラックの対応する点の間の	JIS X 6331	1998	ISO/IEC 11694-4	1996				2008	SC17
22953	A		セクタ	せくた	sector	読出し及び/又は書込みによって、カード上でアクセスできるデータの最小単位	JIS X 6331	1998	ISO/IEC 11694-4	1996				2008	SC17
22954	A		アドレス	あどれす	address	データトラック又はセクタを指定するための番地。	JIS X 6332	1999							
22955	A		応用ソフトウエア	おうようそふとうえあ	application software	コンピュータの実務処理、業務処理などのように利用目的を特定して作成されたアプリケーションソフトウエアの別称。	JIS X 6332	1999							
22956	A		エンボス、浮出文字	えんぼす、うきだしもじ	emboss	プラスチックカードなどに型押しして文字を浮き出させる加工処理の結果。	JIS X 6332	1999							
22957	A		安全保護	あんぜんほご	security	システム利用者の機密保護。	JIS X 6332	1999							
22958	A		セクタ	せくた	sector	カード上に情報を書込み又は読出しをするための情報の最小単位。	JIS X 6332	1999							
22959	A		セクタ種別	せくたしゅべつ	sector type	収納バイト数で分けたセクタの種類。	JIS X 6332	1999							
22960	A		データトラック	でーたとらっく	data track	隣接したトラックガイドの間にあり、情報の書込み又は読出しが可能な直線状の領域。	JIS X 6332	1999							
22961	A		トラックガイド	とらっくがいど	track guide	カード長辺に平行に配置され、データ記録時及び再生時に利用される基準線。	JIS X 6332	1999							
22962	A		区画	くかく	partition	データ記録領域を複数に分割し、書込み又は読出し資格、文字集合、符号などの属性で対応付けられる領域。	JIS X 6332	1999							
22963	A		機械可読領域、MRZ	きかいかどくりょういき、MRZ	machine readable zone, MRZ	機械読取りが可能なOCR-Bフォントで印字された情報(機械可読文書)を配置するカード上の領域。	JIS X 6332	1999							
22964	A		ミラーファイル	みらーふぁいる	mirror file	同一カード上に転写されたデータファイル。転写する領域をミラー領域と称する。	JIS X 6332	1999							
22965	A		利用者データトラック	りようしゃでーたとらっく	user data track	利用者が書込み又は読出しのために使用可能なトラック。	JIS X 6332	1999							
22966	A		記録様式、記録フォーマット	きろくようしき、きろくふぉーまっと	recording format	記録すべき項目のデータ配列、バイト構成などの仕様。	JIS X 6332	1999							
22967	A		光メモリカード	ひかりめもりかーど	optical memory card	半導体レーザなどを用いて、ディジタル情報の書込み又は読出しが可能な光記録領域をもつカード。	JIS X 6332	1999							
22968	A		直線記録方式	ちょくせんきろくほうしき	linear recording method	カードの長辺方向に情報を記録する直線上のトラックを配し、カード短辺方向に複数のトラックを並列に形成する記録方式。	JIS X 6332	1999							
22969	A		(規格化された)MODES	(きかくかされた)MODES	MODES (standardized)	同じ周波数帯域内において動作する物品識別のための、規格化されたRFIDシステムの集合[個々のシステムを、(規格化された)MODEと呼ぶ。]。それらのシステムは互換性がある場合とない場合とがあるが、相互に重大な干渉を起こしてはならない。特定の周波数帯域のためのパラメタ定義を規定する国際規格が、幾つかのMODESを含むことがあ	JIS X 6351-1	2010	ISO/IEC 18000-1	2004				2008	SC31
22970	A		重大な干渉	じゅうだいなかんしょう	significant interference	想定され得る動作状況において、一つの(規格化された)MODE(最高出力の範囲内で稼働中)のシステムが、他の後続規格化されたMODE(最高出力の範囲内で稼働中)のシステムの正常な動作を妨害するような状況。	JIS X 6351-1	2010	ISO/IEC 18000-1	2004				2008	SC31
22971	A		重要でない(予測可能)干渉	じゅうようでない(よそくかのう)かんしょう	marginal measurable interference	想定し得る動作状況において動作妨害を起こさず、又は単純かつ安価な設計の改良によって回避でき、MODEを排除することを考慮する必要のない干渉。	JIS X 6351-1	2010	ISO/IEC 18000-1	2004				2008	SC31
22972	A		衝突防止ループ	しょうとつぼうしるーぷ	anti-collision sequence	リーダライタと、その活性化フィールド内の多数のタグの中から1個以上との間での対話を準備し、操作するために使われるアルゴリズム。	JIS X 6351-2	2010	ISO/IEC 18000-2	2004				2009	SC31
22973	A		バイト	ばいと	byte	8ビットのデータで、b1～b8を最上位ビット(MSB、b8)～最下位ビット(LSB、b1)と指定されているもの。	JIS X 6351-2	2010	ISO/IEC 18000-2	2004				2009	SC31
22974	A		位相ジッター変調	いそうじったーへんちょう	Phase Jitter Modulation, PJM	電源供給フィールドでの極めて小さな位相変化によってデータを伝送する変調技術。	JIS X 6351-3	2010	ISO/IEC 18000-3	2004				2008	SC31
22975	A		機能ユニット	きのうゆにっと		バスに接続され、バスインタフェース制御機構をもつ各機能単位をさす。通常、1機能ユニットが1ボードで構成される。	JIS X 6801	1998							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
22976	A		バスマスタ	ばすますた		バス使用権を得て(バス使用許可信号がアサートされて)、バスに情報を転送中である送信元の機能ユニットをいう。	JIS X 6801	1998							
22977	A		バススレーブ	ばすすれーぶ		バスマスタから情報を転送される受信側の機能ユニットをいう。	JIS X 6801	1998							
22978	A		オーダ転送	おーだてんそう		コマンドを送出して相手機能ユニットに対し、処理要求を行うための一連の情報転送をい	JIS X 6801	1998							
22979	A		アンサ転送	あんさてんそう		コマンドを受け付けた機能ユニットが、コマンドを送出した機能ユニットに対して、コマンドの終結状態(及び要求されたデータが付随している場合もある)及び受信状態情報をアンサ情報として通知するための一連の転送をいう。	JIS X 6801	1998							
22980	A		SUT (Source Unit)	SUT(そーす ゆにっと)		オーダ転送を行う機能ユニットをさす。	JIS X 6801	1998							
22981	A		DUT (Destination Unit)	DUT (ですてぃねーしょん ゆにっと)		アンサ転送を行う機能ユニットをさす。	JIS X 6801	1998							
22982	A		バスハンドラ(BH)	ばすはんどら(BH)		各機能ユニットからのバス使用要求の競合を整理して複数の要求から一つの要求を選択し、機能ユニットに対してバス使用許可を与える集中形バス制御機構である。	JIS X 6801	1998							
22983	A		基本信号	きほんしんごう		バスインタフェース信号のうち、システムインプリメント時に使用が義務付けられる信号であり信号の範囲で、異なるシステム間での互換性が保証される。	JIS X 6801	1998							
22984	A		オプション信号	おぷしょんしんごう		バスインタフェース信号のうち、システムインプリメント時のユーザ選択信号であり、採否はユーザ依存である。	JIS X 6801	1998							
22985	A		CPU	CPU		命令の解読や命令実行機能をもつ演算素子のことを示し、マイクロプロセッサ又はマイクロプロセッサ+キャッシュのことを示す。	JIS X 6801	1998							
22986	A		I/Oアダプタ	I/Oあだぷた		プロセッサの制御下で入出力機器の制御を行う機能ユニットをいう。	JIS X 6801	1998							
22987	A		コピーバック方式	こぴーばっくほうしき		プロセッサ又は命令実行部からの書き込みデータを、直接外部メモリに反映せずキャッシュ内だけを更新しておく方式。STbusのコピーバックキャッシュでは、内部3状態のキャッシュをサポートする。内部状態は以下の三つの異なる状態からなる。無効状態(I)、共有	JIS X 6801	1998								
22988	A		ライトスルー方式	らいとするーほうしき		プロセッサ又は命令実行部からの書き込みデータを、直接メモリに反映する方式。内部状態は、無効状態(I)と共有未変更状態(SU)からなる。	JIS X 6801	1998							
22989	A		バス・スヌープ	ばす・すぬーぷ		システムバス上の、外部メモリからの読み出し、外部メモリへの書き込みを監視すること。	JIS X 6801	1998							
22990	A		ブロック	ぶろっく		キャッシュメモリに登録される最小の単位。STbusでは32バイトに限定している。	JIS X 6801	1998							
22991	A		リトライ指示動作	りとらいししどうさ		コピーバックキャッシュ内で変更済となり主記憶に反映していない領域に対して、外部のデバイスがアクセスした場合に、そのアクセスを一時中断させ、再送の指示を行う動作の	JIS X 6801	1998							
22992	A		キャッシュ無効化指示動作	きゃっしゅむこうかししどうさ		キャッシュ内のあるブロックの無効化を要求すること。共有未変更状態(SU)の領域に対する書き込み動作時に、他のキャッシュ内の同一領域を無効化する場合などに使用す	JIS X 6801	1998							
22993	A		リードヒット/リードミス	りーどひっと/りーどみす		プロセッサからの命令又はオペランドの読み出し対象がキャッシュに登録されている場合にリードヒット、登録されていない場合にリードミスという。リードミスの場合、読み出し対象がキャッシュ可能な領域であれば、対象を含む1ブロックがキャッシュに新規登録され	JIS X 6801	1998							
22994	A		ライトヒット/ライトミス	らいとひっと/らいとみす		プロセッサからの書き込み領域がキャッシュに登録されている場合にライトヒット、登録されていない場合にライトミスという。ライトスルーキャッシュの場合には書き込みデータを即座に共有メモリへ反映する。コピーバックキャッシュの場合、ライトヒット時は書き込みデータをキャッシュ内にだけ反映し、ライトミス時には書き込み領域の1ブロックを共有メモリから読み込んで新規登録し、その上で書き込みデータをキャッシュ内にだけ反映する。	JIS X 6801	1998							
22995	A		無効状態	むこうじょうたい	I, Invalid	プロセッサからのアクセス領域がキャッシュ上に登録されていない状態。	JIS X 6801	1998							
22996	A		共有未変更状態	きょうゆうみへんこうじょうたい	SU, Shared Unmodified	ライトスルーキャッシュ又はコピーバックキャッシュの内部状態名で、アクセス領域が登録されていて、共有メモリと内容が一致している状態。複数のキャッシュで共有している可	JIS X 6801	1998							
22997	A		非共有変更状態	ひきょうゆうへんこうじょうたい	EM, Exclusive Modified	コピーバックキャッシュの内部状態名で、共有メモリと内容が一致していない状態。すなわち、キャッシュ内だけ更新されている状態。	JIS X 6801	1998							
22998	A		モディファイ付きリードコマンド	もでぃふぁいつきりーどこまんど		コピーバックキャッシュに対してプロセッサからの書き込みアクセスがライトミスした場合に、キャッシュからシステムバスに出されるコマンドである。	JIS X 6801	1998							
22999	A		パリティ	ぱりてぃ		この規格に表記しているパリティは特に明記していない場合、すべて奇数パリティを示す。ここで奇数パリティとは、対象としている信号線(例えば、8bit単位)とそのparity-bitを含めたbit(例では8+1=9bit)において論理的に1のビットの数が偶数個(0個を含む)のときにエラーとなることを意味する。	JIS X 6801	1998							
23000	A		プロセッサ	ぷろせっさ		命令の解読や命令実行機能をもつ機能ユニットをいう。プロセッサではプログラムが動作し、各種I/Oアダプタ(I/O Adapter)の制御を行う。通常、プロセッサはCPUとメモリで構成	JIS X 6801	1998							
23001	A		カードシステム	かーどしすてむ	card(oriented) system	カードを使用して、必要な各種情報を取り扱うために構成された機器、方法及び手順。	JIS X 6901	2003							
23002	A		カード発行者	かーどはっこうしゃ	card issuer	識別カードをカード保有者のために発行する組織。	JIS X 6901	2003							
23003	A		カード保有者、カード所持者	かーどほゆうしゃ、かーどしょじしゃ	card holder	主口座番号によって識別される顧客。	JIS X 6901	2003							
23004	A		カード受容者	かーどじゅようしゃ	card acceptor	取引データをアクワイアラに呈示することを目的に、識別カードの呈示を受け付ける者。	JIS X 6901	2003							
23005	A		アクワイアラ	あくわいあら	acquirer	(金融カード取引において、)カード受容者から取引データを受信し、業者間システムに送信する金融機関など。	JIS X 6901	2003							
23006	A		発行者識別番号、IIN	はっこうしゃしきべつばんごう、IIN	issuer identification number, IIN	主口座番号の前半部に位置し、カード発行者とその業種とを特定する番号。	JIS X 6901	2003							
23007	A		主口座番号、代表口座番号、PAN	しゅこうざばんごう、だいひょうこうざばんごう、PAN	primary account number, PAN	最大19けたの数字からなりカード発行者とカード保有者とを特定する番号。	JIS X 6901	2003							
23008	A		サービスコード	さーびすこーど	service code	カード発行者が当該識別カードに指定する取引処理条件を示すカード。	JIS X 6901	2003							
23009	A		カード	かーど	cards	識別情報、数値情報など各種の情報を蓄積する媒体で、紙、プラスチックなどの小型定形サイズのシート状又は薄い板状のもの。	JIS X 6901	2003							
23010	A		カード素材、カード材質	かーどそざい、かーどざいしつ	card materials	カードを構成するカード基板の材料。カード基板は、ポリ塩化ビニル(PVC)と同等か、又はそれ以上の特性をもつ材質[ポリカーボネイト(PC)、アクリロニトリブタジエンスチレン樹脂(ABS)、ポリエチレンテレフタレート(PET)など]が使われる。カードは、カード基板を単層、積層、又ははり合わせた構造をもつ。カード素材は、使用されるアプリケーションに	JIS X 6901	2003							
23011	A		カードのおもて	かーどのおもて	front of cards	エンボス文字及びICカード端子がある面。	JIS X 6901	2003							
23012	A		カードの上(下)端辺	かーどのじょう(げ)たんへん	top (bottom) edge	エンボス文字を正しく読む位置に置いたとき、これに正対する観察者からみて上(下)に位置するカードの縁。	JIS X 6901	2003							
23013	A		カードの切り欠き	かーどのきりかき	tactile identifier	カードに挿入方向、用途の種類などを判別するために設けた切り込み。判別は、円弧、くさび形、角形などの切り欠き形状、数及び切り欠き位置などによって行う。	JIS X 6901	2003							
23014	A		署名部領域	しょめいぶりょういき	signature panel	カードのおもて又は裏の面に、カード保有者が署名を行うことができるように表面加工を施した部分。	JIS X 6901	2003							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23015	A		識別カード、IDカード	しきべつかーど、IDかーど	identification card	カードを使用する当たって、取引処理のために必要な入力データを記憶することが可能な、カードの保有者及び発行者を識別するカード。	JIS X 6901	2003							
23016	A		ID-1型カード	ID-1がたかーど	ID-1	JIS X 6301に規定する公称寸法値幅85.60mm、高さ53.98mm及び厚さ0.76mmのカード。	JIS X 6901	2003							
23017	A		ID-2型カード	ID-2がたかーど	ID-2	JIS X 6301に規定する公称寸法値幅105.00mm、高さ74.00mm及び厚さ0.76mmのカード。	JIS X 6901	2003							
23018	A		ID-3型カード	ID-3がたかーど	ID-3	JIS X 6301に規定する公称寸法値幅125.00mm、高さ88.00mm及び厚さ0.76mmのカード。	JIS X 6901	2003							
23019	A		印刷カード	いんさつかーど	printed cards	カードに印刷だけを施したカード。	JIS X 6901	2003							
23020	A		エンボスカード	えんぼすかーど	embossed cards	プラスチック基板で構成されたカードに発行体名、会員番号、氏名、有効期限などがエンボス文字(凸文字)で加工されたカード。	JIS X 6901	2003							
23021	A		エンボス加工、浮き出し加工	えんぼすかこう、うきだしかこう	embossing	カードの表面から凸状に文字を浮き上がらせること。	JIS X 6901	2003							
23022	A		磁気カード	じきかーど	magnetic cards	JIS X 6301又はJIS X 6311で規定されたカード形状に磁気記録部をもつカード。また、高保磁力磁気カード、磁気ストライプカード及び全面磁気カードの総称である。	JIS X 6901	2003							
23023	A		高保磁力磁気カード	こうほじりょくじきかーど	high coercive magnetic cards	外部磁界による消磁を防止するため、高保磁力の磁気特性をもった磁気カード。	JIS X 6901	2003							
23024	A		磁気ストライプカード	じきすとらいぷかーど	magnetic stripe cards	磁気的な記録部がストライプ状に加工されたカード。	JIS X 6901	2003							
23025	A		(裏面)磁気ストライプカード	(うらめん)じきすとらいぷかーど	magnetic stripe cards	磁気的な記録部が、カード裏面(エンボス文字と反対面)にストライプ状に加工されたISO規格準拠のカード。	JIS X 6901	2003							
23026	A		おもて面磁気ストライプカード	おもてめんじきすとらいぷかーど	magnetic stripe cards (JIS2)	磁気記録部が、カードのおもてにある日本独自のカード。	JIS X 6901	2003							
23027	A		全面磁気カード	ぜんめんじきかーど	full magnetic coated cards	カードの片面に磁性材料を全面塗布したカード。	JIS X 6901	2003							
23028	A		光学読取カード	こうがくよみとりかーど	optical readable cards	JIS X 6301又はJIS X 6311で規定されたカード形状にOCR文字、バーコード又はパンチ穴などを加工して光学的に情報を識別するカード。また、OCR文字カード及びパンチカー	JIS X 6901	2003							
23029	A		OCR文字カード	OCRもじかーど	OCR cards	カードにOCR文字を印刷又は印字したカード。情報は、光学的に読み取られた文字パターンによって識別される。	JIS X 6901	2003							
23030	A		バーコードカード	ばーこーどかーど	bar code cards	バーコードを印刷又は印字したカード。情報は、光学的に読み取られた、黒と白とのバーの組合せによって識別される。	JIS X 6901	2003							
23031	A		ICカード	ICかーど	integrated circuit(s) cards, smart cards	1個以上のICを内蔵するJIS X 6301に規定されたID-1型カード。また、外部端子付きICカード、外部端子なしICカード、ISO型ICメモリカード、表示付きICカード及びこれら組み合わせたカードの総称である。	JIS X 6901	2003							
23032	A		外部端子付きICカード、ICC	がいぶたんしつきICかーど、ICC	IC cards with contacts, ICC	演算及びメモリ機能をもったICと、電力の供給と信号の入出力を行う8端子以内の電気接点(コンタクト)をもったICカード。単にICカードと省略することもある。	JIS X 6901	2003							
23033	A		ISO型ICメモリカード	ISOがたICめもりかーど	ISO type IC memory cards	ISO規格の外部端子付きICカードと同一物理形状で、マイクロプロセッサをもたないICメモリカード。	JIS X 6901	2003							
23034	A		表示付きICカード	ひょうじつきICかーど	IC cards with display	ICカードにキーボード、表示素子などの入出力機能を備えることによって、ICカードの機能に加えて、カード単体での操作によって、メモリ内容の確認ができるなどの機能も兼ね備えているカード。	JIS X 6901	2003							
23035	A		外部端子なしICカード、非接触ICカード	がいぶたんしなしICかーど、ひせっしょくICかーど	contactless integrated circuit(s) cards	外部端子なしで接続されるICが組み込まれたID-1型の識別カード。	JIS X 6901	2003							
23036	A		密着型ICカード、CICC	みっちゃくがたICかーど、CICC	close-coupled cards, CICC	外部端子なしで接続されるIC及び、それと通信する手段が組み込まれたID-1型の識別カード。密着型結合装置の表面に置くか又はスロットに挿入して誘導結合若しくは静電結合によって通信する。	JIS X 6901	2003							
23037	A		近接型ICカード、PICC	きんせつがたICかーど、PICC	proximity cards, PICC	近接磁界で結合装置と結合して通信する外部端子なしICカード。	JIS X 6901	2003							
23038	A		近傍型ICカード、VICC	きんぼうがたICかーど、VICC	vicinity cards, VICC	近傍磁界で結合装置と結合して通信する外部端子なしICカード。	JIS X 6901	2003							
23039	A		ICメモリカード	ICめもりかーど	IC memory cards	主としてICメモリを小型定型サイズのカード内にもち、コネクタ経由又は外部端子なしで、外部装置とインタフェースして情報の書込み又は読取りを行うカード。	JIS X 6901	2003							
23040	A		SIM、SIMカード	SIM、SIMかーど	subscriber identification module	携帯電話(移動通信端末)の加入者番号などを登録するICモジュール。モジュールの寸法は、約15×25×0.76mm(ISO/IEC 7810 ID-000型)と約54×86×0.76mm(JIS C 6301 ID-1型)との2種類が欧州の標準化組織ETSIで標準化されている。	JIS X 6901	2003							
23041	A		USIM、UIM	USIM、UIM	universal subscriber identity module, USIM	電話番号、個人情報などが入った電話加入者用のICモジュール。モジュールの寸法は、約15×25×0.75mm(ISO/IEC 7810 ID-000型)である。	JIS X 6901	2003							
23042	A		光メモリカード	ひかりめもりかーど	optical memory cards	半導体レーザなどを用いて、ディジタル情報の書込み又は読出しが可能な光記録領域をもつカード。	JIS X 6901	2003							
23043	A		複合カード	ふくごうかーど	hybrid cards	主たる機能素子を複数備えたカード。	JIS X 6901	2003							
23044	A		リライタブルカード	りらいたぶるかーど	rewritable cards	カード上の文字などを書き換えられるカード。	JIS X 6901	2003							
23045	A		カード機器	かーどきき	apparatus for a card	カードシステムで使用される機器。	JIS X 6901	2003							
23046	A		(カード)リーダライタ	(かーど)りーだらいた	reader-writer	カードの記録媒体に対し、情報の読取り又は書込みを行うカード機器。	JIS X 6901	2003							
23047	A		接続装置、IFD	せつぞくそうち、IFD	interface device	外部端子付きICカードが動作中に、電気的に接続されている端末、通信装置又は機器。	JIS X 6901	2003							
23048	A		密着型結合装置、CCD	みっちゃくがたけつごうそうち、CCD	close-coupled coupling device, CCD	密着型ICカードに電力を誘導結合で供給し、誘導結合又は静電結合によって、カードとデータ交換とを行う読み書き装置。	JIS X 6901	2003							
23049	A		近接型結合装置、PCD	きんせつがたけつごうそうち、PCD	proximity coupling device, PCD	近接型ICカードに電力を誘導結合で供給し、かつ、そのカードとデータ効果とを行う読み書き装置。	JIS X 6901	2003							
23050	A		近傍型結合装置、VCD	きんぼうがたけつごうそうち、VCD	vicinity coupling device, VCD	近傍型ICカードに電力を誘導結合で供給し、かつ、そのカードとデータ効果とを行う読み書き装置。	JIS X 6901	2003							
23051	A		インプリンタ、転写機器	いんぷりんた、てんしゃき	imprinter	エンボス加工したカードに帳票を押し付けて、エンボス加工した文字を帳票に写し取る機	JIS X 6901	2003							
23052	A		現金自動預払機、ATM	げんきんじどうあずけばらいき、ATM	automated teller machine, ATM	銀行取引(預金、出金、振込、ローン支払、残高照会など)を提供する無人端末。認証のためカード呈示、暗証番号入力などを要求する。	JIS X 6901	2003							
23053	A		現金自動支払機、CD	げんきんじどうしはらいき、CD	cash dispenser, CD	カードの呈示などに応じて現金支払いを行う機器。	JIS X 6901	2003							
23054	A		PINパッド	PINパッド	PIN pad	カード保有者が暗証番号を入力するための機器。	JIS X 6901	2003							
23055	A		POSターミナル	POSたーみなる	POS terminal	スキャナなどをもち、ストアプロセッサなどど接続して単品情報管理を行うための端末	JIS X 6901	2003							
23056	A		(1)POS	(1)POS	point of sale(s), POS	販売時点情報管理装置、又はそのシステム。マスタ(又は、ストアプロセッサ)と複数のサテライトがインライン接続されてシステムを構成する場合が多い。主として、スキャナを装備して単品情報管理などを行う。	JIS X 6901	2003							
23057	A		(2)POS	(2)POS	point of service, POS	カード受容者の存在場所で、カード保有者が取引実行に合意する場所。	JIS X 6901	2003							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23058	A		カードセキュリティ	かーどせきゅりてぃ	card security	カードの偽造、改ざんなどによる不正使用を防止すること、又はその方法。また、情報交換において盗聴防止、なりすまし防止及び否認防止などができるようにカードに付加した	JIS X 6901	2003							
23059	A		セキュリティ環境、SE	せきゅりていかんきょう、SE	security environment	カードシステムに対して、カードの特定アプリケーション向けコマンドに保護を提供するためのセキュリティ機能を提供する機構。例えば、カードアクセスのときに利用する暗号アルゴリズム、利用モード、ファイルアクセス用のかぎ、及びセキュリティデータのメモリ保存方法などを参照できる機構である。	JIS X 6901	2003							
23060	A		セキュアメッセージング	せきゅあめっせーじんぐ	secure messaging	コマンドの実行中に交換される、データの暗号による保護手段を提供するもの。	JIS X 6901	2003							
23061	A		暗号機構	あんごうきこう	cryptographic mechanisms	特定の操作用パラメタセット、例えば、利用モード及びデータ又はキーの大きさを用いる暗号アルゴリズムをカードに導入した結果として、カードから提供される機能。	JIS X 6901	2003							
23062	A		認証局、CA	にんしょうきょく、CA	certification authority	公開かぎ、その他の関係情報をその所有者に結び付ける証拠を立証する信頼できる第三者機関。	JIS X 6901	2003							
23063	A		(カード)オーソリゼーション	(かーど)おーそりぜーしょん	authorization	カードに対して、サービスを提供してもよいかどうかを判断すること。カードの正当性(偽造、盗難カードなど不正なカードの排除を含む。)、資金残高、与信限度額などをチェック	JIS X 6901	2003							
23064	A		(カード保有者)本人照合	(かーどほゆうしゃ)ほんにんしょうごう	card holder verification	個人識別情報(暗証番号、署名、指紋など)を用いて、カードの不正な利用者であることを照合すること。	JIS X 6901	2003							
23065	A		パスワード	ぱすわーど	password	応用システムが利用者に対し、ICカードへの提示を要求することがあるデータ。 なお、番号及び文字列を用いた秘密データを、パスワードと呼ぶこともある。	JIS X 6901	2003							
23066	A		暗証番号、PIN	あんしょうばんごう、PIN	personal identification number, PIN	カード保有者が認証用に備える番号又は文字列。	JIS X 6901	2003							
23067	A		(カード)端末照合	(かーど)たんまつしょうごう	terminal verification	端末識別情報を用いて、正当な端末であることを照合する方法。	JIS X 6901	2003							
23068	A		役割識別子	やくわりしきべつし	role identifier	証明書所持者許可の一つとして符号化したもの。データ又は機能にアクセスするためのセキュリティ条件として用いられる。	JIS X 6901	2003							
23069	A		アプレット	あぷれっと	applet	JAVA言語で作成された、ICカード内部で動作する小さな応用プログラム。	JIS X 6901	2003							
23070	A		金融取引カード	きんゆうとりひきかーど	financial transaction card	カード発行者及びカード保有者に関する情報をもち、金融取引に当たって必要なデータを提供するために利用されるカード。	JIS X 6901	2003							
23071	A		ポストペイドカード	ぽすとぺいどかーど	post-paid card	物品購入又はサービス代金の決済を後に行うカード。	JIS X 6901	2003							
23072	A		クレジットカード	くれじっとかーど	credit card	カード発行者の与信に基づき発行される識別カード。利用者が物品購入又はサービスを受けた場合に、代金の決済を事後に行うもの。	JIS X 6901	2003							
23073	A		デビットカード	でびっとかーど	debit card	カード保有者が現金自動預払機又は現金自動支払機から現金を引き出したり、小売店の専用端末機を使って預金取引金融機関の預金口座から買物代金を直接引き落として支払ったりすることができるカード。	JIS X 6901	2003							
23074	A		キャッシュカード	きゃっしゅかーど	cash card	現金自動預払機又は現金自動支払機において、現金の入出金などの取引を行うために使われるカード。	JIS X 6901	2003							
23075	A		プリペイドカード	ぷりぺいどかーど	prepaid card	代金前納によって、物品購入又はサービス提供を受けることができるカード。	JIS X 6901	2003							
23076	A		電子財布カード	でんしさいふかーど	electronic purse card	主として、小額取引を目的とした電子通貨を格納するカード。ICカードなどを使い、増額可能なものが多い。	JIS X 6901	2003							
23077	A		ポイントカード	ぽいんとかーど	point card	主に、流通業などの販売促進のために始まったスタンプ又はシールはり台帳に代わって、購入金額などに応じた点数を記録するためのカード。	JIS X 6901	2003							
23078	A		多機能カード	たきのうかーど	multi-function cards	1枚のカードで複数の利用業務に対応可能としてカード。発行者の要求するセキュリティ及び記憶容量を、利用業務ごとに設定できるICカードが一般的に使われている。	JIS X 6901	2003							
23079	A		磁気ストライプ	じきすとらいぷ	magnetic stripe	JIS X 6302の6.(磁気ストライプ)に規定するカード上に設けられた磁気記録可能な部分。	JIS X 6901	2003							
23080	A		基準カード	きじゅんかーど	reference card for magnetic recording	磁気記録部の電磁変換特性の基準として用いるカード。1次標準を原基準テープ、2次標準を基準カードという。	JIS X 6901	2003							
23081	A		基準せん(尖)頭出力電圧	きじゅんせんとうしゅつりょくでんあつ	reference signal amplitude	磁性基準カードの磁気記録部に当該磁性基準カードについて定めた記録密度によって方形派信号を記録して、これを再生して得られる最大出力電圧。	JIS X 6901	2003							
23082	A		トラック	とらっく	track	情報が直列に記録される、磁気ストライプの長手方向に沿った帯状の部分。	JIS X 6901	2003							
23083	A		F2Fエンコード	F2Fえんこーど	two-frequency encoding	磁気媒体への信号記録に際し、刻時信号と2進符号"1"において磁束反転を2周波エンコード方式与える方式。	JIS X 6901	2003							
23084	A		磁束反転密度	じそくはんてんみつど	physical recording density	一つのトラックに記録される、単位長さ当たりの磁束反転の数。	JIS X 6901	2003							
23085	A		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition	磁気ストライプ面の法線方向の磁束が最大となる位置。	JIS X 6901	2003							
23086	A		記録角度	きろくかくど	angle of recording	磁気ストライプ面上の磁束反転位置をトラック幅方向に連続的に結ぶことによって得られる線と磁気カードの上端辺の縁部に垂直な線とのなす角度。	JIS X 6901	2003							
23087	A		(1)データビット	(1)でーたびっと	data bit	周派数変調方式において、2進符号"1"及び"0"を記録するために磁気記録部の磁化に与える極性の反転又は継続によって示される最小単位。	JIS X 6901	2003							
23088	A		第1データビット	だい1でーたびっと	first data bit	磁気記録部内における最初のデータビット。	JIS X 6901	2003							
23089	A		最終データビット	さいしゅうでーたびっと	last data bit	磁気記録部内における最後のデータビット。	JIS X 6901	2003							
23090	A		始め符号、SS	はじめふごう、SS	start sentinel, SS	データの開始を検出するために設けられる符号。	JIS X 6901	2003							
23091	A		終わり符号、ES	おわりふごう、ES	end sentinel, ES	データの終了を検出するために設けられる符号。	JIS X 6901	2003							
23092	A		記録密度	きろくみつど	bit density	単位長さ当たりに記録されるデータビットの数(ビット/mm)。	JIS X 6901	2003							
23093	A		ビットセル	びっとせる	bit cell	隣接する刻時信号の磁束反転間の距離。	JIS X 6901	2003							
23094	A		サブインターバル	さぶいんたーばる	sub interval	ビット"1"のときの磁束反転間隔。	JIS X 6901	2003							
23095	A		保磁力	ほじりょく	coercivity	飽和状態から、飽和磁化状態とは反対方向に磁界印加したとき磁化量が"0"になる磁界強度。測定は、磁気ストライプの水平軸方向に行う。	JIS X 6901	2003							
23096	A		残留保磁力	ざんりゅうほじりょく	remanent coercivity	飽和状態から、飽和磁化状態とは反対方向に磁界を印加し、その後この磁界を"0"まで戻したときに、残留磁化量が"0"になる磁界強度。測定は、磁気ストライプの水平軸方向	JIS X 6901	2003							
23097	A		角形比	かくがたひ	squareness ratio	磁化曲線$M(H)$曲線において磁界強度がH_{max}のときの磁化量[$M(H_{max})$]に対する、磁界強度が"0"(H=0)のときの磁化量(Mr)の比。$M_r/M(H_{max})$から求める。	JIS X 6901	2003							
23098	A		水平冗長検査文字、LRC文字	すいへいじょうちょうけんさもじ、LRCもじ	longitudinal redundancy check, LRC	情報の水平奇遇検査のために付加される符号。	JIS X 6901	2003							
23099	A		IC	IC	integrated circuit(s)	処理又は記録機能を行うために設計された、電子集積回路部品。	JIS X 6901	2003							
23100	A		外部端子、端子	がいぶたんし、たんし	contacts	ICとインタフェースをなす外部機器とを、電気的に接続するための端子。	JIS X 6901	2003							
23101	A		VCC、回路電圧	VCC、かいろでんあつ	supply voltage	カード内に実装された論理素子の動作に、必要な供給電圧。	JIS X 6901	2003							
23102	A		RST、リセット	RST、りせっと	reset	カード内ICを、初期状態にすること。	JIS X 6901	2003							
23103	A		コールドリセット	こーるどりせっと	cold reset	ICカードを活性化した直後に、実行されるリセット。	JIS X 6901	2003							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23104	A		ウォームリセット	うぉーむりせっと	warm reset	コールドリセット以外の、すべてのリセット。つまり、VCC及びクロックが安定状態にあるときに、実行されるリセットである。	JIS X 6901	2003							
23105	A		CLK、クロック	CLK、くろっく	clock	カード内ICを動作させるための、同期用の周期的信号。	JIS X 6901	2003							
23106	A		GND、グランド	GND、ぐらんど	ground	信号用(保安用)接地。	JIS X 6901	2003							
23107	A		VPP、プログラム供給電圧	VPP、ぷろぐらむきょうきゅうでんあつ	programming voltage	カード内に実装されたメモリへの情報の書込みに、必要な供給電圧。	JIS X 6901	2003							
23108	A		RFU	RFU	reserved for future use	将来使用する目的で、予備として残しておくこと。	JIS X 6901	2003							
23109	A		etu	etu	elementary time unit	1ビットの伝送時間を表す単位。 なお、初期応答動作期間中のetuを初期etu、後続の情報交換期間中のetuを作業etuと	JIS X 6901	2003							
23110	A		伝送プロトコル	でんそうぷろとこる	transmission protocol	データの送受信を行うための規約。	JIS X 6901	2003							
23111	A		キャラクタ伝送	きゃらくたでんそう	character transmission	通信路上の伝送をキャラクタ単位で行う方式。	JIS X 6901	2003							
23112	A		ブロック伝送	ぶろっくでんそう	block transmission	通信路上の伝送をブロック単位で行う方式。	JIS X 6901	2003							
23113	A		初期応答、アンサートゥリセット、ATR	しょきおうとう、あんさーとぅりせっと、ATR	answer to reset	ICカードが最初に活性化されて(又は何らかの手段によってリセットされて)から、リーダライタによるリセット又は電力供給に対して、ICカードが最初の応答を送り終わるまでの一連の動作。この初期応答時の情報を、初期応答情報と呼ぶ。また、どちらもATRと略称	JIS X 6901	2003							
23114	A		初期応答ファイル	しょきおうとうふぁいる	answer-to-reset file	初期応答情報を格納した基礎ファイル。	JIS X 6901	2003							
23115	A		PPS、プロトコル及びパラメタの選択	PPS、ぷろとこるおよびぱらめたのせんたく	protocol and parameters selection	初期応答以後の、結合装置とICカード間とのデータ伝送を、どのプロトコル及びパラメタで行うかの選択。初期応答で、カードから返されたプロトコル情報に基づいて選択が行わ	JIS X 6901	2003							
23116	A		親ファイル	おやふぁいる	parent file	階層構造中で、該当ファイルのすぐ上位にある専用ファイル。	JIS X 6901	2003							
23117	A		主ファイル、MF	しゅふぁいる、MF	master file	ICカード内のファイル構成の根幹となる、必ずかつ唯一の専用ファイル。ファイル制御情報及び割付可能メモリを含むことができる。すべてのDF及びEFはMFの配下に構成され	JIS X 6901	2003							
23118	A		専用ファイル、DF	せんようふぁいる、DF	dedicated file	ICカード内のファイルの一つで、ファイル制御情報及び任意選択の割付可能メモリを含むファイル。EF又は他のDFの、親ファイルとなることができる。主に業態ごとに作成し、選択して用いられる。	JIS X 6901	2003							
23119	A		専用ファイル名、DF名	せんようふぁいるめい、DFめい	DF name	ICカード内の専用ファイルを、一義的に識別するバイト列。	JIS X 6901	2003							
23120	A		基礎ファイル、EF	きそふぁいる、EF	elementary file	同一のファイル識別子を共有している、データ単位又はレコードの集合。他のファイルの親ファイルとなることはできない。	JIS X 6901	2003							
23121	A		レコード	れこーど	record	ICカードが一括して扱うバイト列。レコード番号又はレコード識別子によって参照される。	JIS X 6901	2003							
23122	A		レコード識別子	れこーどしきべつし	record identifier	レコードを参照する際に使用できる、レコードに付加された値。一つの基礎ファイル内で、同一のレコード識別子をもつレコードが複数存在してもよい。	JIS X 6901	2003							
23123	A		レコード番号	れこーどばんごう	record number	基礎ファイル内のレコードを一義的に指定するために、各レコードに割り振られる連続し	JIS X 6901	2003							
23124	A		内部基礎ファイル	ないぶきそふぁいる	internal elementary file	ICカードが解釈実行するデータを、格納する基礎ファイル。	JIS X 6901	2003							
23125	A		作業用基礎ファイル	さぎょうようきそふぁいる	working elementary file	ICカードが解釈実行しないデータを、格納する基礎ファイル。	JIS X 6901	2003							
23126	A		ファイル識別子	ふぁいるしきべつし	file identifier	ファイルを指定するために使われる、2バイトの2進数。	JIS X 6901	2003							
23127	A		ファイル管理データ	ふぁいるかんりでーた	file management data	ファイルについての情報(例えば、有効期限及び応用ラベル)。ファイル制御パラメタを除	JIS X 6901	2003							
23128	A		ロジカルチャネル、論理チャネル	ろじかるちゃねる、ろんりちゃねる	logical channel	接続装置とICカード内のMF、DF、EFとの間でのデータの送受信を行うために設定される論理的なリンク。	JIS X 6901	2003							
23129	A		経路	けいろ	path	区切りがないファイル識別子の連鎖。特に、主ファイルから始まる経路のことを、絶対経路と呼ぶ。また、現時点のDFのファイル識別子から始まる経路のことを、相対経路と呼	JIS X 6901	2003							
23130	A		コマンドレスポンス対	こまんどれすぽんすつい	command-response pair	コマンドとそれに後続するレスポンスとの、二つのメッセージの集合。	JIS X 6901	2003							
23131	A		APDU、応答プロトコルデータ単位	APDU、おうとうぷろとこるでーたたんい	application protocol data unit	応用プロトコルは、コマンドを送信し、受取り側でそれを処理し、レスポンスを送り返す動作。APDUは、接続装置からICカードへ、又はその逆に送られるコマンドメッセージ又はレスポンスメッセージであり、それぞれコマンドAPDU及びレスポンスAPDUと呼ばれる。	JIS X 6901	2003							
23132	A		TPDU、伝送プロトコルデータ単位	TPDU、でんそうぷろとこるでーたたんい	transmission protocol data unit	伝送上で使用されるもので、共通に規定するAPDUを、伝送プロトコルに従った形式で記述したもの。	JIS X 6901	2003							
23133	A		TLV(タグ・長さ・値)	TLV(たぐ・ながさ・あたい)	tag-length-value	データ対象を計算機が扱えるようにタグ・長さ・値の順に構成した情報。	JIS X 6901	2003							
23134	A		データ単位	でーたたんい	data unit	参照可能なビットの最小集合。	JIS X 6901	2003							
23135	A		データ要素	でーたようそ	data element	名前、論理的内容の識別子、構成及び符号化方法が定義された、インタフェース上に現れる情報項目。	JIS X 6901	2003							
23136	A		共通データ要素	きょうつうでーたようそ	interindustry data element	業種間で共通に交換されるデータ要素。	JIS X 6901	2003							
23137	A		合成データ要素	ごうせいでーたようそ	composite data element	ゼロ個以上のデータ要素の連鎖から構成する、データ要素。	JIS X 6901	2003							
23138	A		要素リスト	ようそりすと	element list	データ要素に関する情報の項目。	JIS X 6901	2003							
23139	A		データ対象、データオブジェクト	でーたたいしょう、でーたおぶじぇくと	data object	タグ、長さ及び値(例えば、データ要素)からなり、インタフェース上に現れる情報。JIS X 6306では、データ対象は、基本符号化TLV、圧縮符号化TLV、及び簡易符号化TLVとし	JIS X 6901	2003							
23140	A		共通データ対象	きょうつうでーたたいしょう	interindustry data object	業種間で共通に交換されるデータ対象。	JIS X 6901	2003							
23141	A		ヘッダリスト	へったりすと	headerlist	区切り符号を伴わない、タグ/長さの連鎖。	JIS X 6901	2003							
23142	A		タグリスト	たぐりすと	taglist	区切り符号を伴わないタグの連鎖。	JIS X 6901	2003							
23143	A		テンプレート	てんぷれーと	template	構造化されたデータ対象の値フィールド。これはデータ対象を、論理的にグループ化するために定義する。	JIS X 6901	2003							
23144	A		アプリケーションテンプレート	あぷりけーしょんてんぷれーと	application template	例えば、ディレクトリーファイルに存在し、アプリケーションに関連する一つ以上のASN.1オブジェクトを含むデータの一種。	JIS X 6901	2003							
23145	A		ANDテンプレート	ANDてんぷれーと	AND template	すべてを満足しなければならない、セキュリティ条件を含んでいるテンプレート。	JIS X 6901	2003							
23146	A		ORテンプレート	ORてんぷれーと	OR template	少なくとも一つを満足しなければならない、セキュリティ条件を含んでいるテンプレート。	JIS X 6901	2003							
23147	A		メッセージ	めっせーじ	message	接続装置からICカードへの方向、又はその逆方向に伝送されるバイト列。ただし、JIS X 6304で規定する、伝送用キャラクタは含まない。	JIS X 6901	2003							
23148	A		アプリケーション識別子、適用業務識別子、AID	あぷりけーしょんしきべつし、てきようぎょうむしきべつし、AID	application identifier	カード内のアプリケーションを、識別するデータの一種。アプリケーション識別子は、登録アプリケーション提供識別子(RID)を含んでもよい。アプリケーション識別子に、登録アプリケーション提供識別子、又は発行者識別番号(IIN)が含まれていれば、識別が一意に	JIS X 6901	2003							
23149	A		アプリケーション提供者	あぷりけーしょんていきょうしゃ	application provider	ICカードに専用ファイルを生成する権利をもつ期間、又は各アプリケーションを実行するために必要な、カード上のアプリケーションの構成要素を提供する実体。	JIS X 6901	2003							
23150	A		アプリケーションラベル、適用業務ラベル	あぷりけーしょんらべる、てきようぎょうむらべる	application label	マン-マシンインターフェースに使用するデータの一種。	JIS X 6901	2003							
23151	A		アクセス規制	あくせすきせい	access rule	動作を指示するアクセスモード及び動作許可の前に満足しなければならない、セキュリティ条件を含んでいるデータ要素。	JIS X 6901	2003							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23152	A		セキュリティ属性	せきゅりてぃぞくせい	security attributes	一つ又は複数の実行規則を含んでいるデータ要素として明示されている、カード内蓄積データ、データ処理機能などの、カード内部の様々な資源を利用するための条件。	JIS X 6901	2003							
23153	A		ASN.1オブジェクト	ASN.1おぶじぇくと	ASN.1 object	JIS X 5603で定義されるオブジェクト。符号化の方法は、JIS X 5604による。	JIS X 6901	2003							
23154	A		ディレクトリーファイル、DIR	でぃれくとりーふぁいる、DIR	directory file, DIR	カードによって使用可能なアプリケーションのリスト、又は、JIS X 6308で規定する任意の関連データを含む任意の基礎ファイル。	JIS X 6901	2003							
23155	A		ビット送信順序	びっとそうしんじゅんじょ	bit order for transmission	データビットの送信順序。1～8(又は7)ビット目を送信するLSB(Least Significant Bit)ファースト及び、8(又は7)～1ビット目の順で送信するMSB(Most Significant Bit)ファース	JIS X 6901	2003							
23156	A		ノードアドレス、NAD	のーどあどれす、NAD	node address	構成及び異なる論理接続アドレス。	JIS X 6901	2003							
23157	A		外部端子なし、非接触	がいぶたんしなし、ひせっしょく	contactless	信号の送受及びカードへの電力供給に、導通節点を用いないで行うもの。	JIS X 6901	2003							
23158	A		電波インタフェース	でんぱいんたふぇーす	air interface	外部端子なしICカードとその結合装置との間の電力伝送及び通信に必要なインタフェー	JIS X 6901	2003							
23159	A		静電結合領域	せいでんけつごうりょういき	capacitive coupling area	密着型ICカードと密着型結合装置との間で静電結合する領域。	JIS X 6901	2003							
23160	A		電磁結合領域	でんじけつごうりょういき	inductive coupling area	密着型ICカードと密着型結合装置とのインタフェースにおいて、結合要素を動作させるために必要な規定の磁束量が通過する領域。	JIS X 6901	2003							
23161	A		RF動作磁界	RFどうさじかい	RF operating field	近接型又は近傍型結合装置が発生する、無線周波数の磁界。それによって近接型又は近傍型ICカードへ電力を伝送し、それを変調することによって通信を行う。	JIS X 6901	2003							
23162	A		動作空間	どうさくうかん	operating volume	近接型又は近傍型ICカードが、正常に通信可能な磁界強度の空間的範囲。	JIS X 6901	2003							
23163	A		搬送波	はんそうは	carrier	電力と信号とを伝達するための基本となる周波数の正弦波又は周期的なパルスなどの	JIS X 6901	2003							
23164	A		副搬送波	ふくはんそうは	subcarrier	搬送波信号(fc)を変調する周波数(fs)の信号。	JIS X 6901	2003							
23165	A		変調度	へんちょうど	modulation index	変調された信号波形の振幅の最大値をa、最小値をbとしたとき、$(a-b)$と$(a+b)$との比。通常、%で表す。	JIS X 6901	2003							
23166	A		振幅変位キーイング、ASK	しんぷくへんいきーいんぐ、ASK	amplitude shift keying, ASK	搬送振幅幅を切り替える変調方式。	JIS X 6901	2003							
23167	A		負荷変調	ふかへんちょう	load modulation	搬送波を副搬送波の周波数(fs)で負荷をオン・オフすることによって、副搬送波を発生する変調方式。	JIS X 6901	2003							
23168	A		ポーズ	ぽーず	pause	搬送波をパルス信号によって、振幅変異(ASK)している時間。	JIS X 6901	2003							
23169	A		位相偏移キーイング、PSK	いそうへんいきーいんぐ、PSK	phase shift keying, PSK	密着型結合装置が発生する誘導磁界の周波数の位相状態を、論理値に対応させる位相変調方式。	JIS X 6901	2003							
23170	A		2相位相偏移キーイング、BPSK	2そういそうへんいきーいんぐ、BPSK	binary phase shift keying, BPSK	180° 異なる二つの位相状態を論理値に対応させる位相変調方式。	JIS X 6901	2003							
23171	A		オンオフキーイング、OOK	おんおふきーいんぐ、OOK	on/off keying, OOK	搬送波を副搬送波の周波数(fs)で負荷変調によって発生した副搬送波を、ビットの符号化方式でオン・オフする変調方式。	JIS X 6901	2003							
23172	A		差動NRZ	さどうNRZ	differential non-return to zero	負の差動電圧を論理レベル0、正の差動電圧を論理レベル1として使用するビット符号化方式。	JIS X 6901	2003							
23173	A		非ゼロ復帰、NRZ-L	ひぜろふっき、NRZ-L	NRZ-L [non-return to zero, (L for label)]	ビット持続時間の間、二つの物理状態を、信号の論理状態に対応させて表現する符号化方式。	JIS X 6901	2003							
23174	A		変形ミラー符号化、変形ミラー符号化方式	へんけいみらーふごうか、へんけいみらーふごうかほうしき	modified Miller	ミラー符号化信号の立ち上がりおよび立ち下がりを微分し、負のパルスに成形する符号化方式。	JIS X 6901	2003							
23175	A		マンチェスタ符号化、マンチェスタ符号化方式	まんちぇすたふごうか、まんちぇすたふごうかほうし	manchester coding	ビット持続時間の中間における遷移点で半分に分割し、その遷移の方向を二つの論理値に対応させる符号化方式。	JIS X 6901	2003							
23176	A		(1)パルス位置変調、PPM	(1)ぱるすいちへんちょう、PPM	pulse position modulation, PPM	パイト又は複数ビットの組合せに相当する値を、一つのパルスポーズの位置で表す変調方式。	JIS X 6901	2003							
23177	A		256中1符号化方式	256ちゅう1ふごうかほうしき	1 out of 256 coding mode	順に並んでいる256か所の中の一つをパイト値によって選び、パルスポーズを発生する符号化方式。	JIS X 6901	2003							
23178	A		4中1符号化方式	4ちゅう1ふごうかほうしき	1 out of 4 coding mode	同時に2ビットの値によって、4相の位置の一つにパルスポーズを発生させ、それぞれの副搬送波を割り当てる伝送方式。	JIS X 6901	2003							
23179	A		双副搬送波	そうふくはんそうは	two subcarriers	二つの副搬送波を用い、論理値の符号化信号レベルに対応させ、それぞれの副搬送波を割り当てる伝送方式。	JIS X 6901	2003							
23180	A		単一副搬送波	たんいつふくはんそうは	one subcarrier	一つの副搬送波を用い、論理値の符号化の信号レベルに対応させ、副搬送波をオン・オフする伝送方式。	JIS X 6901	2003							
23181	A		データ遷移時間	でーたせんいじかん	data transition period	データ遷移の開始から、次のデータ遷移の開始までの時間。	JIS X 6901	2003							
23182	A		位相偏移時間	いそうへんいじかん	phase transition period	位相ϕからϕ'への位相遷移の中央から、次の位相遷移の中央までの時間。	JIS X 6901	2003							
23183	A		同期時間	どうきじかん	synchronization time	近接型B方式カードが副搬送波を発生してから、最初に位相偏移を開始するまでの時	JIS X 6901	2003							
23184	A		保護時間	ほごじかん	guard time	近接型B方式結合装置の伝送の終わりから、近接型B方式カードが副搬送波を発生するまでの時間。	JIS X 6901	2003							
23185	A		ビット持続時間	びっとじぞくじかん	bit duration	論理状態を決定するための1ビットの時間。	JIS X 6901	2003							
23186	A		ポーリング	ぽーりんぐ	polling	動作磁界内にある外部端子なしICカードを検出するために、その結合装置は、リクエストコマンドを繰り返し送出しカードからの応答を検出する伝送方式。	JIS X 6901	2003							
23187	A		衝突	しょうとつ	collision	結合装置の発生する動作磁界の中において、同時に複数の外部端子なしICカードが送信し、混信してこのとき結合装置がカードの発生するデータを識別できない状態。	JIS X 6901	2003							
23188	A		衝突防止処理	しょうとつぼうししょり	anticollision loop	結合装置の発生する動作磁界にある複数のICカードの中から、要求コマンドに応答した一つ以上のICカードを選択し、通信できるようにするための処理手順。	JIS X 6901	2003							
23189	A		ビット衝突検出プロトコル	びっとしょうとつけんしゅつぷろとこる	bit collision detection protocol	フレーム内のビット単位での衝突を検出する、近接型カードA方式の衝突防止方法。	JIS X 6901	2003							
23190	A		スロットマーカ	すろっとまーか	slot MARKER	近接型結合装置がカードの衝突を回避するために指定した、スロット番号を提示する伝	JIS X 6901	2003							
23191	A		タイムスロットプロトコル	たいむすろっとぷろとこる	timeslot protocol	近接型カードの応答に、時間窓を設け、複数の論理チャンネルを割り当てて識別する方	JIS X 6901	2003							
23192	A		カスケードタグ	かすけーどたぐ	cascade tag, CT	より低いカスケードレベルの固有番号識別子長をもつ、近接型A方式のカードとの衝突を起こさせるタグ。	JIS X 6901	2003							
23193	A		カスケードレベル	かすけーどれべる	cascade level, CL	固有番号識別子を階層に分割した、従属関係を示す機能。	JIS X 6901	2003							
23194	A		仮決定的処理	かりけっていてきしょり	pseudo-deterministic	衝突防止手順中に、すべての近接型カードが応答する最大確率をもつような複数スロットを掃引する方法。	JIS X 6901	2003							
23195	A		仮固有PICC識別子	かりこゆうPICCしきべつし	pseudo-unique PICC identifier	衝突防止のとき、近接型カードを識別するのに使われる4バイトの数値で、動的に発生された乱数又は固定値の一部。	JIS X 6901	2003							
23196	A		POWER_OFF状態	POWER_OFFじょうたい	POWER_OFF state	近接型カードの電源オフの状態。	JIS X 6901	2003							
23197	A		IDLE状態	IDLEじょうたい	IDLE state	近接型カードが、電源オンで待機している状態。	JIS X 6901	2003							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23198	A		READY状態	READYじょうたい	READY state	近接型カードは、ビット対応衝突防止又は個別の衝突防止が適用可能にある状態。	JIS X 6901	2003							
23199	A		ACTIVE状態	ACTIVEじょうたい	ACTIVE state	近接型カードが、上位階層のメッセージを傾聴する状態。	JIS X 6901	2003							
23200	A		HALT状態	HALTじょうたい	Halt state	近接型カードが電源オンで一時停止している状態。	JIS X 6901	2003							
23201	A		選択了解信号、SAK	せんたくりょうかいしんごう、SAK	select acknowledge	近接型カードが選択されたことを確認。	JIS X 6901	2003							
23202	A		フレーム	ふれーむ	frame	データビット列と任意選択の誤り検出ビット列とから構成され、フレームの開始と終了の識別子で囲まれる情報を伝送するための形式。	JIS X 6901	2003							
23203	A		開始フレーム保護時間、FGT	かいしふれーむほごじかん、FGT	start-up frame guard time, FGT	近接型カードが応答フレームを送った後、次のフレームの受信を準備するまでに必要な保護時間。	JIS X 6901	2003							
23204	A		開始フレーム保護時間整数値、FGI	かいしふれーむほごじかんせいすうち、FGI	start-up frame guard time integer, FGI	開始フレーム保護時間を設定するために使う整数値。	JIS X 6901	2003							
23205	A		フレーム待ち時間、FWT	ふれーむまちじかん、FWT	frame waiting time, FWT	近接型結合装置のフレームの最後から、近接型カードが応答を開始しなければならない間の最大時間。	JIS X 6901	2003							
23206	A		フレーム待ち時間整数値、FWI	ふれーむまちじかんせいすうち、FWI	frame waiting time integer, FWI	フレーム待ち時間を設定するために使う整数値。	JIS X 6901	2003							
23207	A		ブロック	ぶろっく	block	有効なプロトコルデータ形式を含む、特別な形のフレーム。	JIS X 6901	2003							
23208	A		情報フィールド	じょうほうふぃーるど	information field	情報ブロックの応用データ又は管理ブロックの状態情報を伝送するフィールド。	JIS X 6901	2003							
23209	A		情報ブロック、Iブロック	じょうほうぶろっく、Iぶろっく	information block	応用層で使う情報の伝送に使用するブロック。	JIS X 6901	2003							
23210	A		管理ブロック、Sブロック	かんりぶろっく、Sぶろっく	supervisory block	近接型結合装置と同カードとの間で、制御情報を交換するために使用するブロック。	JIS X 6901	2003							
23211	A		受信準備完了ブロック、Rブロック	じゅしんじゅんびかんりょうぶろっく、Rぶろっく	receive ready block	肯定応答又は否定応答の伝送に使用するブロック。	JIS X 6901	2003							
23212	A		無効ブロック	むこうぶろっく	invalid block	無効なプロトコル形式のフレーム。	JIS X 6901	2003							
23213	A		誤り検出符号、EDC	あやまりけんしゅつふごう、EDC	error detection code	ブロックデータの伝送誤りを検出する符号。	JIS X 6901	2003							
23214	A		カード識別子、CID	かーどしきべつし、CID	card identifier	同時にACTIVE状態にあるすべての近接型カードを識別するための固有値で、論理アドレスとして使用する符号。	JIS X 6901	2003							
23215	A		プロトコル制御バイト	ぷろとこるせいぎょばいと	protocol control byte	データ伝送の制御に必要な情報を伝達する伝送形式。	JIS X 6901	2003							
23216	A		肯定応答、ACK	こうていおうとう、ACK	positive acknowledgement	要求コマンドに対し、肯定する応答。	JIS X 6901	2003							
23217	A		否定応答、NAK	ひていおうとう、NAK	negative acknowledgement	要求コマンドに対し、否定する応答。	JIS X 6901	2003							
23218	A		選択応答、ATS	せんたくおうとう、ATS	answer to select	構成バイト、接続情報バイト及び管理情報バイトから成る伝送形式。	JIS X 6901	2003							
23219	A		受信除数、DR	じゅしんじょすう、DR	divisor receive	許容ビット伝送速度を決定する除数。	JIS X 6901	2003							
23220	A		受信除数、DS	じゅしんじょすう、DS	divisor send	許容ビット伝送速度を決定する除数。	JIS X 6901	2003							
23221	A		受信除数整数値、DRI	じゅしんじょすうせいすうち、DRI	divisor receive integer	受信除数を設定する整数値。	JIS X 6901	2003							
23222	A		送信除数整数値、DSI	そうしんじょすうせいすうち、DSI	devisor send integer	送信除数を設定する整数値。	JIS X 6901	2003							
23223	A		スロット穴	すろっとあな	hole slot	名札カードにベルトを通す穴。伝送機能を妨害しないように、穴の大きさ及び位置を規定している。	JIS X 6901	2003							
23224	A		フレーム開始信号、SOF	ふれーむかいししんごう、SOF	start of frame, SOF	フレームの同期を簡単に取れるように、フレーム開始を示す信号。	JIS X 6901	2003							
23225	A		フレーム終了信号、EOF	ふれーむしゅうりょうしんごう、EOF	end of frame, EOF	フレームの終了を示す信号。	JIS X 6901	2003							
23226	A		固有番号識別子、ユニークID、UID	こゆうばんごうしきべつし、ゆにーくID、UID	unique identifier, UID	近傍型カード個々に認識するID。	JIS X 6901	2003							
23227	A		応用分野識別子、AFI	おうようぶんやしきべつし、AFI	application family identifier, AFI	外部端子なし結合装置が、動作磁界内にある複数のカードの中から、応用分野の目的のカードを選ぶために使う符号。	JIS X 6901	2003							
23228	A		データ記憶形式識別子、DSFID	でーたきおくけいしきしきべつし、DSFID	data storage format identifier	近傍型カードのメモリのデータ構成を示す符号。	JIS X 6901	2003							
23229	A		仮コード	かりこーど	pseudo-code	近傍型結合装置の衝突防止の方法を示す符号。	JIS X 6901	2003							
23230	A		リーダトークファースト	りーだとーくふぁーすと	reader talks first	最初に結合装置がコマンドを送出し、それに対してカードが応答する伝送制御方式。	JIS X 6901	2003							
23231	A		ブロックセキュリティ状態	ぶろっくせきゅりていじょうたい	block security status	施錠フラグの設定状況を示す情報を認識できる状態。	JIS X 6901	2003							
23232	A		基準PICC	きじゅんPICC	reference PICC	結合装置が発生する磁界、カードへの電力供給能力及びカードが発生する最小負荷変調信号の検出などの試験に使用する基準近接型カード。	JIS X 6901	2003							
23233	A		基準VICC	きじゅんVICC	reference VICC	結合装置が発生する磁界、カードへの電力供給能力及びカードが発生する最小負荷変調信号の検出などの試験に使用する基準近傍型カード。	JIS X 6901	2003							
23234	A		光記録領域	ひかりきろくりょういき	accessible optical area	記録ビーム又は再生ビームによって、アクセスされるカード上の領域。	JIS X 6901	2003							
23235	A		光記録層	ひかりきろくそう	optical recording layer	光学的手段によってディジタル情報を記録及び/又は再生できる特定の取材を含み、透明層と裏打ち層との間に設けられるカードの中の特定の層。	JIS X 6901	2003							
23236	A		裏打ち層	うらうちそう	protective layer	光記録層を挟んで透明層の裏にある、カードの中の特定の層。	JIS X 6901	2003							
23237	A		基準縁	きじゅんえん	reference edges	カードの光記録領域が正面下方に位置するように、カードを置いたときのカードの下辺及び左辺。	JIS X 6901	2003							
23238	A		入射表面、入射面	にゅうしゃひょうめん、にゅうしゃめん	entry face	記録ビーム又は再生ビームが最初に入射する、カードの面。	JIS X 6901	2003							
23239	A		透明層	とうめいそう	transparent layer	記録ビーム又は再生ビームが通過する、カードの中の特定の層。	JIS X 6901	2003							
23240	A		屈折率	くっせつりつ	refractivity	真空中の光の位相速度と媒質中の光の位相速度との比。	JIS X 6901	2003							
23241	A		光路長	こうろちょう	optical path length	カードの入射表面から光記録層までの往復距離に、透明層の屈折率を乗じた値。	JIS X 6901	2003							
23242	A		反射率	はんしゃりつ	reflectivity	規定の波長の光をカードの透明層に垂直に入射したときの、入射光強度に対する反射光強度の比率。通常、%で表す。	JIS X 6901	2003							
23243	A		直線記録方式	ちょくせんきろくほうしき	linear recording method	カードの長辺方向に情報を記録する直線上のトラックを配し、カード短辺方向に複数のトラックを並列に形成する記録方式。	JIS X 6901	2003							
23244	A		データトラック	でーたとらっく	data track	隣接するトラックガイドに挟まれた領域で、データの読出し及び/又は書込みを行う領域。	JIS X 6901	2003							
23245	A		基準トラック	きじゅんとらっく	reference track	長手方向の基準縁に最も近いトラック。	JIS X 6901	2003							
23246	A		トラックガイド	とらっくがいど	track guide	データの記録時及び再生時に基準とする、カード長辺に平行にプリフォーマットした直線。データは、隣接するトラックガイド間に、トラックガイドに平行に記録される。	JIS X 6901	2003							
23247	A		トラックスキュー	とらっくすきゅー	track skew	カードの基準縁に対する記録トラックの傾き。	JIS X 6901	2003							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23248	A		ピッチ	ぴっち	pitch	隣接するデータスポット、パターン、トラックガイド及びデータトラックの対応する点の間の	JIS X 6901	2003							
23249	A		(2)データビット	(2)でーたびっと	data bit	未記録部の反射率とは異なる反射率及び/又は位相差をもちデータの存在を表すマーク。一つのマークは、選択した変調方式によって、一つ又は二つのデータ遷移を定義す	JIS X 6901	2003							
23250	A		マーク	まーく	marker	記録ビームによって光学的に変化した光記録層上の領域。一般には棒状の線になる。	JIS X 6901	2003							
23251	A		プリフォーマットデータ	ぷりふぉーまっとでーた	preformatted data	カード製造過程において、あらかじめ付与されたデータ。	JIS X 6901	2003							
23252	A		ビーム径	びーむけい	beam diameter	光記録層の表面において円形の光照射領域として観測したとき、その円周上の光強度がピーク光強度の$1/e^2$に等しい円の直径。	JIS X 6901	2003							
23253	A		パルス幅	ぱるすはば	pulse width	記録のためにレーザが動作している時間。	JIS X 6901	2003							
23254	A		記録波長	きろくはちょう	recording wave length	半導体レーザを記録に用いる時の発振波長。	JIS X 6901	2003							
23255	A		再生波長	さいせいはちょう	read out wave length	再生に際しての半導体レーザ、又はLEDの光学的な発振波長。	JIS X 6901	2003							
23256	A		再生光出力	さいせいひかりしゅつりょく	read power	光記録領域からデータを再生するときのレーザ光、又はLED光の出力。	JIS X 6901	2003							
23257	A		ドロップイン	どろっぷいん	drop in	カードの再生時に、記録していない2値信号が再生されることによるデータ誤り。	JIS X 6901	2003							
23258	A		ドロップアウト	どろっぷあうと	drop out	カードの再生時に、記録した2値信号が再生されないことによるデータ誤り。	JIS X 6901	2003							
23259	A		記録様式、記録フォーマット	きろくようしき、きろくふぉーまっと	recording format	記録すべき項目のデータ配列、バイト構成などの仕様。	JIS X 6901	2003							
23260	A		セクタ	せくた	sector	読出し及び/又は書込みによって、カード上でアクセスできるデータの最小単位。	JIS X 6901	2003							
23261	A		セクタ種別	せくたしゅべつ	sector type	収納バイト数で分けたセクタの種類。	JIS X 6901	2003							
23262	A		区画	くかく	partition	データ記録領域を複数に分割し、書込み又は読出し資格、文字集合、符号などの属性で対応づけられる領域。	JIS X 6901	2003							
23263	A		変調符号	へんちょうふごう	modulation code	光メモリカードに記録するときに、情報ビットをある物理的表現に変換する符号化方式。	JIS X 6901	2003							
23264	A		(2)パルス位置変調、PPM	(2)ぱるすいちへんちょう、PPM	pulse position modulation, PPM	スポット上のマークの有無によって、2値信号の1及び0を表す変調方式。	JIS X 6901	2003							
23265	A		パルス幅変調、PWM	ぱるすはばへんちょう、	pulse width modulation,	棒状のマークの端(前端及び後端)が2値信号の1及び0の信号遷移を表す変調方式。	JIS X 6901	2003							
23266	A		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correction code, ECC	データの中の特定の誤りを訂正できるように設定された符号。	JIS X 6901	2003							
23267	A		誤り検出訂正、EDAC	あやまりけんしゅつていせい、EDAC	error detection and correction, EDAC	メッセージブロックを記録する際、メッセージブロックに周知の方式で冗長語を付け加える方式の総称。読出しの際に、復号器が冗長語を取り去り、誤りのチャンネルシンボルを検出して訂正するために、冗長情報を使用する。	JIS X 6901	2003							
23268	A		機械可読領域、MRZ	きかいかどくりょういき、MRZ	machine readable zone, MRZ	機械読取りが可能なOCR-Bフォントで印字された情報(機械可読文書)を配置するカード上の領域。	JIS X 6901	2003							
23269	A		ディジタル複写機	でぃじたるふくしゃき	digital copier	画像を電気信号に変換した後、この電気信号によって再び苛視像を形成する複写機。	JIS X 6910	2004							
23270	A		複合機	ふくごうき	multifunction device/peripheral (MED/MFP)	複写機にスキャナ機能、プリンタ機能、ファクシミリ機能などを付加した機器。また、プリンタに複写機機能をもたせたものも複合機の範囲に含める(複写機機能をもつとは、市場にてオプションなどの付加によって、その機能をもつものも含める。さらに、拡張機能付複写機も複合機の節ちゅう(驫)に含む)。	JIS X 6910	2004							
23271	A		主走査	しゅそうさ	main scaning	読込み系では、光学系の走査方向に対し直角の方向のこと。書込み系では、感光体の	JIS X 6910	2004							
23272	A		副走査	ふくそうさ	subscaning	読込み系では、光学系の走査方向のこと。書込み系では、感光体の回転方向。	JIS X 6910	2004							
23273	A		フィニッシャー	ふぃにっしゃー	finisher	複数原稿を1部ずつ仕上げて排出し、積載する装置。	JIS X 6910	2004							
23274	A		ステープル	すてーぷる	staple	ピンやトレイに収納した用紙を自動的に針でとじる機能又は装置。	JIS X 6910	2004							
23275	A		パンチ	ぱんち	punch	コピー用紙にファイルのための穴をあける機能又は装置。	JIS X 6910	2004							
23276	A		中とじ	なかとじ	saddle stitch	複写された用紙の中央部に自動的にステープルを行い、二つ折に製本する機能。	JIS X 6910	2004							
23277	A		Z折り	Zおり	z-fold	折様式の一つで、二つ折りされた用紙の一方を更に二つ折りして、断面がZ形状になるように折ること。	JIS X 6910	2004							
23278	A		ライトバブル	らいとばぶる		画像表示素子に電気的に作られた画像を、別に設けた光源からの光で光学的に結像表示させる方式。	JIS X 6911	2003							
23279	A		テレ端	てれたん		ズームレンズの最長焦点距離が得られる状態。	JIS X 6911	2003							
23280	A		ワイド端	わいどたん		ズームレンズの最短焦点距離が得られる状態。	JIS X 6911	2003							
23281	A		リサイズ	りさいず		入力映像信号の解像度及び画素数を特定の解像度並びに画素数への変換処理。	JIS X 6911	2003							
23282	A		レンズシフト	れんずしふと		投写映像を光学的台形ひずみを生じることなく、上下左右に移動させるために行う投写レンズの移動動作又は状態。	JIS X 6911	2003							
23283	A		シフト量	しふとりょう		上下シフト量及び左右シフト量があり、投写レンズの光軸に対し垂直な平面内において投写レンズの光軸が交差する点を基準とし、投写映像の上端から基準までの距離と投写映像の下端から基準までの距離との比及び投写映像の左端から基準までの距離と投写映像の右端から基準までの距離との比を表した値。	JIS X 6911	2003							
23284	A		フロント投写方式	ふろんととうしゃほうしき		フロント投写方式(プロジェクタの)とは、プロジェクタから投写光をスクリーン面上に結像させ、プロジェクタの使用者はスクリーンから反射した光を映像として利用する方式。	JIS X 6911	2003							
23285	A		リア投写方式	りあとうしゃほうしき		リア投写方式(プロジェクタの)とは、プロジェクタから投写光をスクリーン面上に結像させ、プロジェクタの使用者はスクリーンから透過した光を映像として利用する方式。	JIS X 6911	2003							
23286	A		適合性評価	てきごうせいひょうか	Conformity assessment	関連するよう要求事項を満たしことを、直接又は間接に確定するための活動。	JIS X 6912	2007	ISO/IEC 24700	2005	IDT			2005	SC28
23287	A		供給者宣言	きょうきゅうしゃせんげん	Supplier's declaration	製品、プロセス又はサービスが規定の要求事項に適合することを、供給者が文書で保証するための行為。	JIS X 6912	2007	ISO/IEC 24700	2005				2005	SC28
23288	A		事務機器	じむきき	Office equipment	プリンタ、複写機、デジダルスキャナ、ファクシミリ機器及びこれらの機器を組み合わせたシステム。	JIS X 6912	2007	ISO/IEC 24700	2005				2005	SC28
23289	A		標準速度	ひょうじゅんそくど		設定可能な上限と下限との中間の速度。中間の速度を二つもつ機器は、そのどちらか一方を標準速度とする。2段階速度をもつ機器は、そのどちらか一方を標準速度とする。	JIS X 6913	2008							
23290	A		最高速度	さいこうそくど		その機器の機能上の設定可能な上限の速度(用紙サイズなどに条件を付けてもよ	JIS X 6913	2008							
23291	A		マスター	ますたー		製版が施される版。	JIS X 6913	2008							
23292	A		給版	きゅうはん		セットされたマスターを製版工程を経て印刷部に供給すること。	JIS X 6913	2008							
23293	A		排版	はいはん		使用済みのマスターを印刷部から除去すること。	JIS X 6913	2008							
23294	A		標準用紙	ひょうじゅんようし		坪量64g/㎡の上質紙。	JIS X 6913	2008							
23295	A		標準装備	ひょうじゅんそうび		実使用上最低限必要なものを装備した状態。	JIS X 6913	2008							
23296	A		2値	2ち	binary phase shift keying	0及び1又は白及び黒のように二つの値のどちらかをとる系。	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001	MOD			2001	SC28
23297	A		2値画像	2ちがぞう	binary image	支持体(0)と色材(1)のように2階調で構成される画像。	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001				2001	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23298	A		画像エッジしきい値	がぞうえっじしきいち	edge threshold	エッジ位置を定義するエッジこう配上の60%の位置(R60)。R60は、支持体及び画像の反射率Rs及びRiから次の式によって定義される。 R60=Rs-0.6(Rs-Ri)	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001				2001	SC28
23299	A		内側境界エッジ	うちがわきょうかいえっじ	inner boundary edge	支持体及び画像の間の反射率こう配上の90%の位置(R90)。R90は、支持体及び画像の反射率Rs及びRiから次の式によって定義される。 R90=Rs-0.9(Rs-Ri)	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001				2001	SC28
23300	A		外側境界エッジ	そとがわきょうかいえっじ	outer boundary edge	支持体及び画像の間の反射率こう配上の10%の位置(R10)。R10は、支持体及び画像の反射率Rs及びRiから次の式によって定義される。 R10=Rs-0.1(Rs-Ri)	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001				2001	SC28
23301	A		標準観察距離	ひょうじゅんかんさつきょり	standard viewing distance	300mm(標準視力を仮定。	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001				2001	SC28
23302	A		しきい値等高線	しきいちとうこうせん	threshould contour	画像及び支持体の間の反射率こう配上のp%の位置(Rp)。Rpは、支持体及び画像の反射率Rs及びRiから次の式によって定義される。 Rp=Rs-0.01(Rs-Ri)	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001				2001	SC28
23303	A		spi	spi	spi, spots or samples per inchi	25.4mm当たりの画素数又はサンプリング数。	JIS X 6930	2002	ISO/IEC 13660	2001				2001	SC28
23304	A		かすれ	かすれ	fade	印字したページ上に部分的な濃度均一性の低下が目立つ現象。	JIS X 6931	2005	ISO/IEC 19752	2004	IDT			2004	SC28
23305	A		カートリッジの振り方	かーとりっじのふりかた	shake procedure	製造業者が、トナーカートリッジ使用説明書などにトナーカートリッジを振ることと、トナーカートリッジを振る方法とを記載している場合に限り、その方法に従って実施される作業。	JIS X 6931	2005	ISO/IEC 19752	2004				2004	SC28
23306	A		トナー少量	となーしょうりょう	toner low	トナー交換がすぐに必要になるようなトナーの量になっていることを検出したときに、プリンタが発する信号。	JIS X 6931	2005	ISO/IEC 19752	2004				2004	SC28
23307	A		トナーなし	となーなし	toner out	プリンタのトナーが使い果たされ、使用者の介在なしには、正常な印字を続行することができないときに発生する信号。	JIS X 6931	2005	ISO/IEC 19752	2004				2004	SC28
23308	A		寿命	じゅみょう	end of life	プリンタがトナーなし信号を発した時点。	JIS X 6931	2005	ISO/IEC 19752	2004				2004	SC28
23309	A		個別印字可能枚数	こべついんじまいすう	individual page yield	個々のトナーカートリッジの設置から寿命(2.5参照)までの間に、実際に印字することができる"標準テストページ"の印字枚数となる。	JIS X 6931	2005	ISO/IEC 19752	2004				2004	SC28
23310	A		印字可能枚数公表値	いんじかのうまいすうこうひょうち	declared page yield	(5.参照)	JIS X 6931	2005	ISO/IEC 19752	2004				2004	SC28
23311	A		かすれ	かすれ	fade	画像濃度均一性の著しい低減(明度の増加)が、診断ページの周囲にある帯の部分に発生する現象。	JIS X 6932	2008	ISO/IEC 19798	2006	IDT			2006	SC28
23312	A		トナーカートリッジ振り	となーかーとりっじふり	shake procedure	製造業者が、トナーカートリッジ取扱説明書などにトナーカートリッジを振る方法を記載している場合に限り、その方法に従って実施する作業。	JIS X 6932	2008	ISO/IEC 19798	2006				2006	SC28
23313	A		トナー少量	となーしょうりょう	toner low	トナーカートリッジ交換がまもなく必要になるようなトナーの量になっていることを検出したときに、プリンタが発生する警告。	JIS X 6932	2008	ISO/IEC 19798	2006				2006	SC28
23314	A		トナーなし	となーなし	toner out	トナーカートリッジのトナーが使い果たされ、使用者の介在なしには、正常な印刷を続行することができないときにプリンタが発生する警告。	JIS X 6932	2008	ISO/IEC 19798	2006				2006	SC28
23315	A		寿命	じゅみょう	end of life	プリンタがトナーなし警告を発生した時点、又は、次に示す条件(省略)でかすれが発生した時点。	JIS X 6932	2008	ISO/IEC 19798	2006				2006	SC28
23316	A		個別印刷枚数	こべついんさつまいすう	individual cartridge yield	トナーカートリッジ装着から寿命までに印刷した診断ページ(標準テストページセットの5ページ目)の枚数を5倍した値。	JIS X 6932	2008	ISO/IEC 19798	2006				2006	SC28
23317	A		印刷可能枚数公表値	いんさつかのうまいすうこうひょうち	declared cartridge yield	JIS X 6937の6.1及び6.2に定める計算式に基づき算出した、信頼水準90%の下限推定値(LCB)以下の値。	JIS X 6932	2008	ISO/IEC 19798	2006				2006	SC28
23318	A		標準三刺激値(*X, Y, Z*)	ひょうじゅんさんしげきち(*X, Y, Z*)	standard tristimulus values *X, Y, Z*	心理物理量としての色を表現する値。	JIS X 6933	2003	ISO/IEC 15775	1999				1999	SC28
23319	A		色差(ΔE^*_{ab})	しきさ(ΔE^*_{ab})	colour difference ΔE^*_{ab}	JIS Z 8730で定義する$L^*a^*b^*$表色系による色差。	JIS X 6933	2003	ISO/IEC 15775	1999				1999	SC28
23320	A		明度(L^*)	めいど(L^*)	lightness L^*	JIS X 8729で定義するCIE 1976明度。	JIS X 6933	2003	ISO/IEC 15775	1999				1999	SC28
23321	A		ISO図形文字、ISO図形言語	ISOずけいもじ、ISOずけいげんご	ISO character, ISO word	ISO 446:1991で定義する標準絵文字記号。	JIS X 6933	2003	ISO/IEC 15775	1999				1999	SC28
23322	A		片面複写	かためんふくしゃ	Simplex copying	片面から片面への複写。b)に示す"両面複写"と対になる言葉で、モードとしては、次の一つだけがある。 1:1モード　片面から片面へ、すなわち、原稿の片面から複写用紙の片面へコピーす	JIS X 6934	2002	ISO/IEC 14545	1998				1998	SC28
23323	A		両面複写	りょうめんふくしゃ	Duplexing	"片面複写"以外の、原稿の片面又は両面の情報を、複写用紙の片面又は両面に複写する。 1:2モード　片面から両面へ、すなわち、原稿の片面から複写用紙の両面へコピーする。	JIS X 6934	2002	ISO/IEC 14545	1998				1998	SC28
23324	A		放散化学物質測定室	ほうさんかがくぶっしつそくていしつ	emission test chamber	(以下、測定室という。)被測定機からのVOC、オゾン及び粉じん(以下、化学物質という。)を測定するために、空気の流量などの室内条件を制御することができる密閉された	JIS X 6936	2005							
23325	A		調整段階	ちょうせいだんかい	conditioning phase	消耗品が補給された被測定機を測定室内に設置し、あらかじめ決めた条件に、測定室内及び被測定機をなじませる段階。	JIS X 6936	2005							
23326	A		待機段階	たいきだんかい	standby phase	被測定機が複写又は印刷をすぎにできる状態で、測定室内に設置されている段階。待機段階は、測定室を一度も開けることなく、調整段階の後に続く段階である。	JIS X 6936	2005							
23327	A		プリント段階	ぷりんとだんかい	printing phase	被測定機が複写中又は印刷中である状態。プリント段階は測定室を一度も開けることなく、待機段階の後に続く段階である。	JIS X 6936	2005							
23328	A		プリント終了段階	ぷりんとしゅうりょうだんかい	secondary phase	被測定機が、プリント段階と同じ換気回数の下で測定室内にあり、複写又は印刷が終了した後の停止した段階。プリント終了段階は、測定室を一度も開けることなく、プリント段階に続く段階である。	JIS X 6936	2005							
23329	A		放散速度(E)	ほうさんそくど(E)	emission rate	被測定機が単位時間当たり、1台当たりに放散する化学物質の質量。製品に特有の(又はシステムに特有の)速度(μg/h)。	JIS X 6936	2005							
23330	A		揮発性有機化合物(VOC)	きはつせいゆうきかごうぶつ(VOC)	volatile organic compounds	測定室内の空気中からガスクロマトグラフにおける分析において、非極性カラム上でn-ヘキサンからn-ヘキサデカンを含む間で検出される揮発性有機化合物。	JIS X 6936	2005							
23331	A		換気回数(n)	かんきかいすう(n)	air exchange rate	測定室内に1時間に送り込まれる清浄空気体積を放散化学物質測定室内体積で除した値。1時間当たりの空気交換の回数(回/h)で表現する。	JIS X 6936	2005							
23332	A		換気量	かんきりょう	air flow rate	測定室に送り込まれる、単位時間当たりの空気の体積(m^3/h)。	JIS X 6936	2005							
23333	A		オゾン半減時間	おぞんはんげんじかん	ozone half-life	オゾンの濃度が、半分に低下するまでに経過する時間。	JIS X 6936	2005							
23334	A		総揮発性有機化合物	そうきはつせいゆうきかごうぶつ	Total Volatile Organic Compounds	測定室内の空気中からガスクロマトグラフにおける分析において、非極性カラム上でn-ヘキサンからn-ヘキサデカンを含む間で検出されるVOCの総量。	JIS X 6936	2005							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23335	A		複合機	ふくごうき	multifunction device/peripheral (MFD/MFP)	複写機にスキャナ機能、プリンタ機能、ファクシミリ機能などを付加した機器。また、プリンタに複写機機能をもたせたものを複合機の範囲に含める[複写機機能をもつとは、市場にて付加機器(オプション)などの付加によって、その機能をもつものを含める。さらに、拡張機能付複写機も複合機の範(疇)に含む。]。	JIS X 6936	2005							
23336	A		かすれ	かすれ	fade	インクを吐出するノズルへのインク供給が不足することによって印刷色の均一性が著しく低下している現象。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006	IDT			2007	SC28
23337	A		すじ	すじ	streaks	標準テストページセットの診断ページの周辺にある帯部分に、地色と異なる意図しない非常に細い線が生じる現象。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23338	A		すじの除去操作	すじのじょきょそうさ	streak removal operation	すじを除去し、印刷機能を回復させるための行為。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23339	A		プリントヘッドアライメント操作	ぷりんとへっどあらいめんとそうさ	print head alignment operation	新規に取り付けたプリントヘッドの位置合せを行う行為。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23340	A		インク少量	いんくしょうりょう	ink low	インク残量が少なくなり、インクカートリッジの交換時期が近づいたときにプリンタが出す	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23341	A		インクなし	いんくなし	ink out	インクカートリッジ内の使用可能なインクが使い果たされたときにプリンタが出す警告。この警告によって印刷動作が停止する。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23342	A		寿命	じゅみょう	end of life	次のいずれかで判定された状態。 －JIS X 6937の3.1で定めるかすれ －JIS X 6937の3.6で定めるかインクなし	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23343	A		標準テストページセット	ひょうじゅんてすとぺーじせっと	test page suite	JIS X 6938に規定する5ページが一組のテストページ	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23344	A		個別印刷枚数	こべついんさつまいすう	individual cartridge yield	新品インクカートリッジの装着から寿命までに印刷した診断ページ(標準テストページセットの最終ページ)の枚数を5倍した値。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23345	A		印刷可能枚数公表値	いんさつかのうまいすうこうひょうち	declared cartridge yield	JIS X 6937の6.1及び6.2に定める計算式に基づき算出した、個別印刷枚数平均値の信頼水準90%の下限推定値以下の値。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23346	A		主要カートリッジ	しゅようかーとりっじ	primary cartridge	最新インク濃度の、黒、シアン、マゼンダ及びイエローのタンクを収容したインクカートリッジ。各色が個別のインクカートリッジである場合、又は、複数色が一つのインクカートリッジである場合がある。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23347	A		補助カートリッジ	ほじょかーとりっじ	supplemental cartridge	最新インク濃度の、黒、シアン、マゼンダ及びイエローのインクカートリッジ以外のインクカートリッジ。	JIS X 6937	2008	ISO/IEC 24711	2006				2007	SC28
23348	A		標準テストページセット	ひょうじゅんてすとぺーじせっと	test page suite	この規格で定義する、5ページからなるドキュメントファイル。	JIS X 6938	2008	ISO/IEC 24712	2006	IDT			2007	SC28
23349	A		応用プログラムインターフェース、API	おうようぷろぐらむいんたーふぇーす、API	Application Program Interface(API)	応用ソフトウェアがプログラム言語機能を使ってサービスを呼び出すときの境界。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC28
23350	A		事業	じぎょう	business	複数の組織間で、明確な目的をもった処理の流れ。これは、一定の期間にわたって互いに同意した目標を目指し、情報の交換を通して実現される。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23351	A		事業運用のビューBOV	じぎょううんようのびゅーBOV	Business Operational View(BOV)	事業取引の説明に必要な意志決定及び組織間の約束事の観点に限定した、事業取引のとらえ方。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23352	A		事業取引	じぎょうとりひき	business transaction	組織の活動及び/又は処理に関する所定の集合。これは明示的に共有する事業目的を達成するために、一つの組織が開始し、すべての関係組織間で合意された結論のいずれか一つを認識(暗黙によるものを含む。)した時点で終了する。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23353	A		電子データ交換、EDI	でんしでーたこうかん、EDI	Electronic Data Interchange(EDI)	複数の組織の情報システム間で、事業の目的のためにあらかじめ決められ、構造化されたデータの自動交換。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23354	A		形式記述技法、FDT	けいしききじゅつぎほう、FDT	Formal Description Technique	言語での表現法の開発(公式の構文)とそれらの表現の意味の解釈(公式の意味)との両面について、厳密であいまいさのない規則を用いた記述言語による仕様手法。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23355	A		機能サービスのビュー、FSV	きのうさーびすのびゅー、FSV	Functional Service View (FSV)	標準電子取引の実行支援に必要な情報技術システムの、特に情報技術面での相互運用性の観点に限定した事業取引のとらえ方。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23356	A		情報技術システム、ITシステム	じょうほうぎじゅつしすてむ、ITしすてむ	Information Technology	一つ以上のコンピュータ、ソフトウェア、周辺装置、端末、人手操作、物理的な処理、及び情報転送手段から成る集合体であって、情報の処理及び/又は転送を可能とする自律的	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23357	A		標準電子取引	ひょうじゅんでんしとりひき	Open-edi	自律的な複数の組織間で明示的に共有される事業目標を達成するために、標準電子取引規格に従って実現される電子データ交換。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23358	A		標準電子取引対応規格	ひょうじゅんでんしとりひきたいおうきかく	Open-edi Standard	標準電子取引参照モデルに従った諸規格。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23359	A		標準電子取引参加主体、Oep	ひょうじゅんでんしとりひきさんかしゅたい、Oep	Open-edi Party(Oep)	標準電子取引に参加する組織。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23360	A		標準電子取引シナリオ	ひょうじゅんでんしとりひきしなりお	Open-edi scenario	同一の事業目標をもつ事業取引のクラス(集まり)についての形式仕様。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23361	A		標準電子取引トランザクション	ひょうじゅんでんしとりひきとらんざくしょん	Open-edi transaction	標準電子取引シナリオに従って実行する事業取引。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23362	A		組織	そしき	organisation	特定の目的のために人若しくは人の集団が行動するか、又は行動を指示される権限をもった固有の枠組み。	JIS X 7001	1999	ISO/IEC 14662	1997				2004	SC32
23363	A		和欧文字集合	わおうもじしゅうごう	alphabetic character set	欧字及び/又は表意文字を含む文字の集合。この文字の集合には数字を除く他の図形文字を含んでもよい。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23364	A		和欧文数字集合	わおうぶんすうじしゅうごう	alphanumeric character set	欧字、数字及び/又は表意文字を含む文字の集合。この文字の集合には他の図形文字を含んでもよい。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23365	A		属性	ぞくせい	attribute	エンティティの特質。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23366	A		バッチEDI	ばっちEDI	batch EDI	受渡当事者間で、照会及び応答を用いて形式化されたデータの交換を行う強い要求が存在しない場合の、電子データ交換。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23367	A		事業	じぎょう	business	複数の組織間で、明確な目的をもった処理の一連の流れ。これは、一定の期間にわたって互いに同意した目標を目指し、情報の交換を通して実現される。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23368	A		文字	もじ	character	データの構成、制御又は表現に用いる要素の集合の構成単位(JIS X 0221)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23369	A		文字レパートリ	もじれぱーとり	character repertoire	符号化文字集合のうち図形文字の集合。その符号化とは無関係とみなされる。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23370	A		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension	特定の符号化文字集合の中の、文字レパートリに含まれない文字を符号化する手法。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23371	A		コード表	こーどひょう	code list	コード化単純データ要素のデータ要素値の全集合。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23372	A		コード表ディレクトリ	こーどひょうでぃれくとり	code list directory	識別され定められたコード表の一覧。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23373	A		符号化文字集合	ふごうかもじしゅうごう	coded character set	文字集合を定め、かつ、その集合内の文字とビット組合せとを1対1に関係付ける、あいまいでない規則の集合(JIS X 0211)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23374	A		部品データ要素	ぶひんでーたようそ	component data element	複合データ要素の中で使用される単純データ要素。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23375	A		部品データ要素分離記号	ぶひんでーたようそぶんりきごう	component data element separator	複合データ要素の中の、部品データ要素を分離するために使われる構文文字。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23376	A		複合データ要素	ふくごうでーたようそ	composite data element	複合データ要素仕様の記述のとおりに、機械的に関連する部品データ要素の、識別され名前を付けられ、かつ構造化された集合。転送では、複合データ要素は、複合データ要素仕様に適合した部品のデータ要素の、特定の順序付けられた集合からなる。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23377	A		複合データ要素ディレクトリ	ふくごうでーたようそでぃれくとり	composite data element directory	複合データ要素仕様をもった、識別され名前を付けられた複合データ要素の一覧。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23378	A		複合データ要素仕様	ふくごうでーたようそしよう	composite data element specification	複合データ要素ディレクトリの複合データ要素の記述。複合データ要素を構成する部品データ要素の位置及び状態の仕様を含む。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23379	A		条件付き	じょうけんつき	conditional	メッセージ仕様、セグメント仕様又は複合データ要素仕様の中で、セグメントグループ、複合データ要素、独立データ要素又は部品データ要素を、随意に使用するか又は特定の状態が発生したときに使用するかを指定するために用いる状態の種類。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23380	A		制御文字	せいぎょもじ	control character	特定の文脈中にあって、制御機能を指定する文字(JIS X 0004)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23381	A		データ	でーた	data	情報の表現であって、伝達、解釈又は処理に適するように形式化され、再度情報として解釈できるもの(JIS X 0001)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23382	A		データ要素	でーたようそ	data element	データ要素仕様に記述されたデータの単位。データ要素には単純データ要素及び複合データ要素の、二つの種類がある。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23383	A		データ要素ディレクトリ	でーたようそでぃれくとり	data element directory	識別され、名前を付けられ、かつ指定された単純データ要素(単純データ要素ディレクトリ)又は複合データ要素(複合データ要素ディレクトリ)の一覧表。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23384	A		データ要素分離記号	でーたようそぶんりきごう	data element separator	次のそれぞれを区切るために用いる構文文字。 －非繰返し独立データ要素 －セグメント内の複合データ要素 －繰返しデータ要素の繰返しの組 －繰返しデータ要素の中身が空の繰返しの組 ここで、繰返しデータ要素の繰返しの組とは、転送のなかに繰返しデータ要素が一つ以上(指定された最大数まで)繰返すことがある。さらに、繰返しデータ要素の中身が空の繰返しの組とは、転送の中に繰返しデータ要素の指定された繰返しがないことがある。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23385	A		データ要素仕様	でーたようそしよう	data element specification	一つの複合データ要素ディレクトリ(複合データ要素仕様)内の複合データ要素の仕様、又は単純データ要素ディレクトリ(単純データ要素仕様)内の単純データ要素の仕様。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23386	A		データ要素値	でーたようそち	data element value	単純データ要素の具体的な値。単純データ要素の仕様に記述されているとおりに表現される。単純データ要素がコード化されている場合、コード表に記述されているとおりに表	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23387	A		データ値表現	でーたちひょうげん	data value representation	単純データ要素のデータ要素値として、許容される文字の種類(和欧文字、数字など)及び長さの規定。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23388	A		小数点記号	しょうすうてんきごう	decimal mark	整数部分と小数部分とを分離するための記号(ISO 6093)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23389	A		省略時構文文字	しょうりゃくじこうぶんもじ	default service characters	構文文字指定中に異なる集合が定義されていない環境で、構文文字として使用される文字の集合。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23390	A		依存性識別子	いぞんせいしきべつし	dependency identifier	依存性注釈の中に記述されたエンティティ(実態)間の依存性の種類を規定するために依存性注釈の中で使用される識別子。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23391	A		依存性注釈	いぞんせいちゅうしゃく	dependency note	次の中で使用する注釈。 i セグメントグループ間又はセグメント間の関係を表すためのメッセージ仕様。 ii データ要素間の関係を表すためのセグメント仕様。 iii 部品データ要素間の関係を表すためのセグメント仕様。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23392	A		ダイアログ	だいあろぐ	dialogue	I-EDIのトランザクションにおける起動側と応答側との双方向の会話。それは、一対の交換単位で構成される。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23393	A		EDI, 電子データ交換	EDI、でんしでーたこうかん	EDI (Electronic Data Interchange)	トランザクション又はメッセージデータを構成することを目的に合意された規格を用いた、商業上又は行政上のトランザクションの電子計算機適用業務から電子計算機適用業務への電子的な転送。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23394	A		符号化	ふごうか	encoding	ビット組合せで表した文字表現。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23395	A		指数記号	しすうきごう	exponent mark	この記号の後にある文字(列)を指数として解釈することを指すために使用される制御文字。E又はeが指数記号である。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23396	A		図形文字	ずけいもじ	graphic character	制御文字以外の文字であって、通常、手書き、印字又は表示によって生成される視覚的表現をもつもの(JIS X 0004)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23397	A		グループ	ぐるーぷ	group	(一つ以上のメッセージ種別からなる)メッセージ又は(それぞれがオブジェクトを包含する。)パッケージのいずれか一方又は両方からなるグループ。グループ見出しで始まり、グループ後書きで終了する。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23398	A		グループ見出し	ぐるーぷみだし	group header	一つのグループの先頭にあって、それを識別するための構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23399	A		グループ後書き	ぐるーぷあとがき	group trailer	一つのグループを終了させる構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23400	A		I-EDI、対話形EDI	I-EDI、たいわがたEDI	I-EDI (Interactive EDI)	互いに共同した一対の業務用処理手順間で、あらかじめ定義され構造化されたデータを、ダイアログ中で適時に行う交換。ダイアログは、JIS X 7011-1及びJIS X 7011-3の特定の事業目的の構文規則に適合する。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23401	A		I-EDIトランザクション	I-EDIとらんざくしょん	I-EDI transaction	具現化されたシナリオ。一つ以上のダイアログからなる。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23402	A		識別子	しきべつし	identifier	データ要素を識別し又は名付けし、必要に応じてデータ要素の性質を示すために使用される一つ以上の文字の集まり。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23403	A		表意文字	ひょういもじ	ideogram	自然言語において、概念及びそれに対応した発音要素を表す図形文字。例えば、感じ。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23404	A		起動側	きどうがわ	initiator	ダイアログ及び又はI-EDIトランザクションを起動する適用業務。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23405	A		交換単位	こうかんたんい	interchange	交換見出し(又は使用しているならば構文文字指定)で始まり、交換後書きで終了する同種又は異種の一連のメッセージ。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23406	A		交換見出し	こうかんみだし	interchange header	交換単位を開始し、交換単位を一意に識別する構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23407	A		交換後書き	こうかんあとがき	interchange trailer	交換単位を終了させる構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23408	A		必す	ひっす	mandatory	メッセージ仕様、セグメント仕様又は複合データ仕様の中で、セグメントグループ、セグメント、複合データ要素、独立データ要素又は部品データ要素、必ず一度は使わなければならないことを指示するために用いる状態の種類。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23409	A		メッセージ	めっせーじ	message	メッセージ仕様に記述されているとおりに、機能的に関連するセグメントの、識別され名前を付けられ、かつ構造化された集合。特定の種類のトランザクション(例えば、インボイス)に対する要件を含む。メッセージは、メッセージ見出しで始まりメッセージ後書きで終わる。転送では、メッセージは、メッセージ仕様に適合したセグメントの特定の順序付けら	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23410	A		メッセージ本体	めっせーじほんたい	message body	メッセージ仕様に記述されているとおりに、機能的に関連するセグメントの、識別され名前を付けられ、かつ、構造化された集合。特定の種類のトランザクション(例えば、インボイス)に対する要件を含む。ただし、メッセージ見出し及びメッセージ後書きは、含まれな	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23411	A		メッセージディレクトリ	めっせーじでぃれくとり	message directory	識別され名前と付けられたメッセージの一覧。個々のメッセージには、そのメッセージ仕様が付けられている。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23412	A		メッセージ見出し	めっせーじみだし	message header	メッセージを開始し、メッセージを一意に識別する構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23413	A		メッセージ仕様	めっせーじしよう	message specification	メッセージディレクトリにあるメッセージの記述。そのメッセージを構成するセグメント及びセグメントグループの位置、状態の種類及び最大繰返し数の仕様を含む。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23414	A		メッセージ後書き	めっせーじあとがき	message trailer	メッセージを終了させる構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23415	A		メッセージ種別	めっせーじしゅべつ	message type	メッセージの種別を識別するコード。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23416	A		数字集合	すうじしゅうごう	numeric character set	数字を必ず含み、制御文字、特殊文字も含むが、欧字、漢字、仮名は含まない文字集合(JIS X 0004)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23417	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	8ビット単位のビット例(EDIFACTメッセージに関連付けられることがある)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23418	A		オブジェクト見出し	おぶじぇくとみだし	object header	オブジェクトを開始し、オブジェクトを一意に識別する構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23419	A		オブジェクト後書き	おぶじぇくとあとがき	object trailer	オブジェクトを終了させる構文用セグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23420	A		組織	そしき	organization	特定の目的のために、人又は人の集団が行動するか又は行動を支持される、権限をもった固有の枠組み(ISO 6523)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23421	A		パッケージ	ぱっけーじ	package	オブジェクトに、それに関連する見出しセグメント及び後書きセグメントを加えたもの。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23422	A		親子関係	おやこかんけい	parent-child relationship	一方(子)が他方(親)の内に含まれ、直接従属している二つのエンティティの間の関係。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23423	A		位置識別子	いちしきべつし	position identifier	親エンティティ内の位置によって、該当エンティティ(セグメントグループ、セグメント及びデータ要素)を識別するために相関性注釈で使われる位置識別子。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23424	A		修飾子	しゅうしょくし	qualifier	データ要素値が、他のデータ要素又はセグメントの機能に対して特定の意味を与える単純データ要素。それはコード表に定義されている。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23425	A		解除記号	かいじょきごう	release character	この記号の直後の文字は、受信したままの形で適用業務に渡さなければならないことを示す文字。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23426	A		繰返しデータ要素	くりかえしでーたようそ	repeating data element	セグメント仕様の中で、2回以上の最大繰返し数をもつ、複合データ要素又は独立データ	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23427	A		繰返し分離記号	くりかえしぶんりきごう	repetition separator	反復する繰返しデータ要素を区切るために使われる構文文字。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23428	A		応答側	おうとうがわ	responder	起動側に応答する適用業務。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23429	A		シナリオ	しなりお	scenario	同一の事業目的をもつ、事業活動の種類に対する規定された仕様。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23430	A		セグメント	せぐめんと	segment	セグメント仕様に記述されているとおりに、機能的に関連する複合データ要素及び/又は独立データ要素の、識別され、名前を付けられ、かつ、構造化されたデータ要素の集合。セグメントは、セグメントタグで始まりセグメント終了記号で終わる。転送中では、セグメントは、セグメント仕様及び転送のための構文規則に適合した、一つ以上の複合データ要素及び/又は独立データ要素が特定の順序付けられた集合からなる。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23431	A		セグメントディレクトリ	せぐめんとでぃれくとり	segment directory	識別され名前を付けられ、セグメント仕様が吹かされたセグメントの一覧表。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23432	A		セグメントグループ	せぐめんとぐるーぷ	segment group	メッセージの中で、セグメント及び/又はセグメントグループの識別された階層化集合。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23433	A		セグメント仕様	せぐめんとしよう	segment specification	セグメントディレクトリ内のセグメントの記述。この記述には、セグメントの位置、状態、及びセグメントを構成するデータ要素の繰返しの最大回数を含む。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23434	A		セグメントタグ	せぐめんとたぐ	segment tag	セグメントディレクトリを参照する際に、そのセグメントを一意に識別するための単純デー	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23435	A		セグメント終了記号	せぐめんとしゅうりょうきご	segment terminator	セグメントの終わりを指定するための構文文字。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23436	A		構文文字	こうぶんもじ	service character	構文に使用するために予約された文字。すなわち部品データ要素分離記号、データ要素分離記号、解除記号、繰返し分離記号、セグメント終了記号からなる。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23437	A		構文用複合データ要素	こうぶんようふくごうでーたようそ	service composite data element	構文用セグメントの中で使用する複合データ要素。構文用複合データ要素の仕様では、構文用単純データ要素だけを含む。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23438	A		構文用データ要素	こうぶんようでーたようそ	service data element	構文用単純データ要素又は構文用複合データ要素。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23439	A		運用メッセージ	うんようめっせーじ	service message	EDIFACTの構文規則又は安全保護を使用するうえで、関連する運用情報を交換する目的で使われるメッセージ。運用メッセージの仕様には、構文用セグメントだけを含む。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23440	A		構文用セグメント	こうぶんようせぐめんと	service segment	運用メッセージの中及び/又はデータの転送を制御するために使われるセグメント。構文用セグメント仕様では、構文用複合データ要素及び/又は構文用単純データ要素だけを	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23441	A		構文用単純データ要素	こうぶんようたんじゅんでーたようそ	service simple data element	構文用セグメント及び/又は構文用複合データ要素だけで使用される単純データ要素。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23442	A		構文文字指定	こうぶんもじしてい	service string advice	交換単位の始めに、その中で使用される構文文字を指定するために用いる任意使用の文字列。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23443	A		単純データ要素	たんじゅんでーたようそ	simple data element	データ要素値を一つだけもつデータ要素。単純データ要素の使用方法は、二通りある。 - 複合データ要素の中で使用する場合(部品データ要素)。 - セグメントの中で、複合データ要素に含まれずに使用する場合(独立データ要素)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23444	A		単純データ要素ディレクトリ	たんじゅんでーたようそでぃれくとり	simple data element directory	識別され名前を付けられた単純データ要素仕様を付加された一覧表。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23445	A		単純データ要素仕様	たんじゅんでーたようそしよう	simple data element specification	単純データ要素ディレクトリに記載されている単純データ要素を特徴付ける属性の集合。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23446	A		特殊文字	とくしゅもじ	special character	欧字、数字、仮名又は空白文字ではなく、また通常、表意文字でもない図形文字(JIS X	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23447	A		独立データ要素	どくりつでーたようそ	stand-alone data element	セグメント内にあり、複合データ要素内に含まれない単純データ要素。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23448	A		状態	じょうたい	status	セグメント、複合データ要素又は単純データ要素の属性であって、メッセージの中でセグメント及びデータ要素が、必要であるかないかを定める規則を識別するもの。状態の種類には条件付きと必す(須)との二つがある。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23449	A		列	れつ	string	全体として見たとき同じ性質をもつ要素の並び。例えば、文字の並び(JIS X 0004)。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23450	A		転送	てんそう	transfer	ある相手からもう一方の相手への情報の伝達。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154
23451	A		トリガセグメント	とりがせぐめんと	trigger segment	セグメントグループを開始するセグメント。	JIS X 7011-1	1999	ISO 9735-1	1998				2002	ISO/TC154

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23452	A		受信確認	じゅしんかくにん	Acknowledgement	受信確認は、当該交換の受信者が、次の状態にあることを示す。－当該交換の受信確認検査対象レベルを受信した －受信確認した検査対象レベルの中に、処理を継続できない程の致命的な構文上の誤りがないことを確認した －受信確認した構文用セグメントのすべて(一部)が意味的に正しい(誤りの報告がない場合) －受信確認した構文用セグメント(の検査対象レベル)の要求する処理に適合した －次の場合には、CONTRLメッセージを送信する替わりに、他の方法で送信者に通知する責任を負う ・もし、上記に記述されているような構文誤りや意味的な誤りが、後になって関係部分で検出された場合 又は、・既にCONTRLメッセージを送信し、その中で当該部分を受信確認しているが、後になって何か他の理由で当該部分が処理できなくなった場合 －このような誤りを検出し、それを送信者に通知することについて保証するために、適切な予防措置を取っている	JIS X 7011-4	2000	ISO 9735-4	1998				2002	ISO/TC154
23453	A		交換受取りの表示	こうかんうけとりのひょうじ	Indication of interchange receipt	交換受取りの表示は当該交換の受信者が、次の状態を満たしていることを示す。－当該交換を受信し、－当該交換の中のある部分に関し、報告用UCIセグメントに転記されたデータ要素が文法的に正しいことを保証する検査を実施したことを確認し、－当該交換の受信確認、又は当該交換の中の他の部分についての拒絶を送信者に通知する責任を負い、－送信者がそのように通知されることが保証されるように、適切な予防措置を取っ	JIS X 7011-4	2000	ISO 9735-4	1998				2002	ISO/TC154
23454	A		拒絶	きょぜつ	Rejection	拒絶は、当該交換の受信者が、次の状態にあることを示す。－当該交換又はそれに関連する部分が、CONTRLメッセージに示されているような理由のために、受信確認することができなく、かつ、－当該交換の中の拒絶された部分に含まれるビジネス情報に対して、これ以上何も処理しない	JIS X 7011-4	2000	ISO 9735-4	1998				2002	ISO/TC154
23455	A		報告	ほうこく	Report	当該交換、又はその中のある部分に対して行った処理(受信確認又は拒絶)を示す。	JIS X 7011-4	2000	ISO 9735-4	1998				2002	ISO/TC154
23456	A		報告レベル	ほうこくれべる	Reporting-level	報告レベルはCONTRLメッセージの中のセグメントであり、そのセグメントの中で対応する検査対象レベルの報告が行われる。報告レベルにはUCI、UCF、UCM、UCS、UCDがあ	JIS X 7011-4	2000	ISO 9735-4	1998				2002	ISO/TC154
23457	A		検査対象レベル	けんさたいしょうれべる	Reference-level	CONTRLメッセージの構造は、当該交換中のそれぞれの部分を検査対象とする五つのセグメント(UCI、UCF、UCM、UCS及びUCD)からなっている。当該交換の部分とは、－UNA、UNB、UNZセグメント及び当該交換の安全を保証するためのすべてのセキュリティセグメントに関する情報がUCIセグメントの中で示される －UNG、UNE、セグメント及びグループの安全を保証するためのすべてのセキュリティセグメントに関する情報がUCFセグメントの中に示される －一つの完結しているメッセージ、又は一つの完結しているパッケージ及びメッセージ又はパッケージの安全を保証するためのすべてのセキュリティセグメントに関する情報がUCMセグメントの中に示される －メッセージ本体の中の一つのセグメントに関する情報がUCSセグメントの中に示される －一つの独立データ要素、複合データ要素又は部品データ要素に関する情報がUCDセグメントの中に示される当該交換	JIS X 7011-4	2000	ISO 9735-4	1998				2002	ISO/TC154
23458	A		当該交換	とうがいこうかん	Subject interchange	当該CONTRLメッセージの返信の対象となった交換。	JIS X 7011-4	2000	ISO 9735-4	1998				2002	ISO/TC154
23459	A		非対称アルゴリズム	ひたいしょうあるごりずむ	asymmetric algorithm	公開かぎ(鍵)及びプライベートかぎ(鍵)を用いる暗号化技術のアルゴリズム。この暗号化によって、異なるかぎ(鍵)の組を生成する。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23460	A		認証	にんしょう	authentication	データ発信元認証を参照。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23461	A		証明証	しょうめいしょう	certificate	利用者の公開かぎ(鍵)を、他の幾つかの情報とともに、それを発行した証明機関の秘密かぎ(鍵)によって暗号化したもの。これによって証明証は、ねつ造できないようになる。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23462	A		証明機関	しょうめいきかん	certification authority	一人以上の利用者によって、証明証の作成及び割当てを委託されている機関。証明機関は、利用者のかぎ(鍵)を生成することもできる。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23463	A		機密性	きみつせい	confidentiality	情報が、許可されていない個人、エンティティ又はプロセスに利用可能になったり、開示させられたりすることのない特性。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23464	A		証明証	しょうめいしょう	credential	提示されたエンティティの識別情報を、保証するために転送されるデータ。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23465	A		暗号技術	あんごうぎじゅつ	cryptography	情報内容を隠べいすること、気づかれないうちに情報が改変されるのを防止すること、及び/又は情報が許可されていない方法で使用されるのを防止することを目的としたデータの変換の原理、手段及び方法を体系化した法則。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23466	A		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity	データが許可されていない方法で改変又は破壊されていない特性。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23467	A		データ発信元認証	でーたはっしんもとにん	data origin authentication	受信したデータの発信元が指示どおりである確認。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23468	A		復号	ふくごう	decryption	対応する可逆な暗号化の逆変換。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23469	A		復号	ふくごう	decipherment	復号と同義。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23470	A		デジタル署名	でじたるしょめい	digital signature	受信側でデータ単位の発信元及び完全性を保証し、受信側などの偽造から保護するためにデータ単位に付加されるデータ又はデータ単位の暗号変換。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23471	A		暗号化	あんごうか	encipherment	暗号分を作成するためのデータ暗号変換。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23472	A		暗号化	あんごうか	encryption	暗号化と同義。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23473	A		フィルタリング	ふぃるたりんぐ	filtering	不規則なビットパターンを含むオクテットを、基礎となる構文規則がサポートする文字集合に属するオクテットへ、変換するプロセス。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23474	A		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function	大きな(場合によっては非常に大きな)定義域から小さな値域に値を写像する(数学的)関数。よいハッシュ関数とは、定義域上の値の(大きさ)集合にこの関数を適用したとき、結果が値域全体に均等に(無作為的に)分散するものを指す。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23475	A		完全性	かんぜんせい	integrity	データ完全性を参照。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23476	A		かぎ(鍵)	かぎ	key	暗号化及び復号の操作を制御する記号の列。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23477	A		否認防止	ひにんぼうし	non-repudiation	否認[ある通信に関連するエンティティの一つが、その通信の全体又は一部に関与していることを否認すること。]を防止すること。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23478	A		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key	[公開かぎ(鍵)暗号システムの中で]利用者のかぎ(鍵)対の片方であって、利用者だけが知っているかぎ(鍵)。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23479	A		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key	[公開かぎ(鍵)暗号システムの中で]利用者のかぎ(鍵)対の片方であって、一般に公開されているかぎ(鍵)。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23480	A		秘密かぎ(鍵)	ひみつかぎ	secret key	対称暗号技術に用いられ、特定のエンティティ間でだけ使用可能なかぎ(鍵)。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23481	A		対称アルゴリズム	たいしょうあるごりずむ	symmetric algorithm	認証及び妥当性検査の両方のため、又は暗号化及び復号の両方のために、同じかぎ(鍵)の値を用いる暗号化アルゴリズム。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23482	A		脅威	きょうい	threat	セキュリティが侵犯される可能性。	JIS X 7011-5	2001	ISO 9735-5	1999				2002	ISO/TC154
23483	A		運用電文	うんようでんぶん		特殊メッセージで構成される一つのメッセージグループ。	JIS X 7012-1	1999							
23484	A		格納構造	かくのうこうぞう		メッセージグループのファイルへの格納方法。論理レコードは、構造化ファイルに格納するときに、物理レコードへマッピングされる。論理レコードは、非構造化ファイルに格納するときには、非構造化ファイルを、251バイトの長さの固定長レコードで構成される構造化ファイルと見なして、論理レコードが物理レコードへマッピングされる。	JIS X 7012-1	1999							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23485	A		格納モード	かくのうもーど		メッセージグループのファイルへの格納構造を示す識別子。	JIS X 7012-1	1999							
23486	A		可変長物理レコード	かへんちょうぶつりれこー		長さが可変の物理レコード。	JIS X 7012-1	1999							
23487	A		可変長分割モード	かへんちょうぶんかつもー		可変長レコードファイルへ、メッセージグループを格納するモード。	JIS X 7012-1	1999							
23488	A		可変長レコードファイル	かへんちょうれこーどふぁいる		複数の可変長物理レコードで構成されるファイル。	JIS X 7012-1	1999							
23489	A		構造化ファイル	こうぞうかふぁいる		複数の物理レコードで構成されるファイル。可変長レコードファイルと固定長レコードファイルとがある。	JIS X 7012-1	1999							
23490	A		固定長物理レコード	こていちょうぶつりれこー		長さが固定の物理レコード。	JIS X 7012-1	1999							
23491	A		固定長分割モード	こていちょうぶんかつもー		固定長レコードファイル又は非構造化ファイルへ、メッセージグループを格納するモード。	JIS X 7012-1	1999							
23492	A		固定長レコードファイル	こていちょうれこーどふぁいる		複数の固定長物理レコードで構成されるファイル。	JIS X 7012-1	1999							
23493	A		業務処理電文	ぎょうむしょりでんぶん		(一つ以上のメッセージ種別からなる)業務メッセージ又はバイナリデータのいずれか一方又は両方からなる、一つのメッセージグループ。	JIS X 7012-1	1999							
23494	A		交換単位	こうかんたんい		一つ以上のメッセージグループで構成する通信システム上の伝送単位。一つの交換単位に含まれるすべてのメッセージグループは、通信システム上の同一の発信地から別の同一の着信地に伝送される。	JIS X 7012-1	1999							
23495	A		短縮型メッセージグループ	たんしゅくがためっせーじぐるーぷ		特別な条件のもとに、メッセージグループ後書きを省略したメッセージグループ。	JIS X 7012-1	1999							
23496	A		同報電文	どうほうでんぶん		メッセージグループ見出しの前に、同報見出しを追加して構成した特別な交換単位。同報見出しに連続する一つのメッセージグループを、同報見出し内で指定された複数の場所へ伝送することを意味する。	JIS X 7012-1	1999							
23497	A		交換プログラム	こうかんぷろぐらむ		EDI利用者のシステム内にあるデータ群から、この規格に基づくメッセージグループの生成、及び、その逆の処理を行うEDI専用ツール。	JIS X 7012-1	1999							
23498	A		非構造化ファイル	ひこうぞうかふぁいる		長さが不定の一つのレコードで構成されるファイル。	JIS X 7012-1	1999							
23499	A		ファイル	ふぁいる		コンピュータシステムにおける補助記憶装置などの論理的管理単位。ファイルには、構造化ファイルと非構造化ファイルとがある。	JIS X 7012-1	1999							
23500	A		メッセージグループ	めっせーじぐるーぷ		(一つ以上のメッセージ種別からなる)メッセージ又はバイナリデータのいずれか一方又は両方からなるグループ。メッセージグループ見出しで始まり、メッセージグループ後書きで終了する。メッセージ及びバイナリデータを一つも含まない、メッセージグループ見出しとメッセージグループ後書きだけで構成されるメッセージグループもある。	JIS X 7012-1	1999							
23501	A		論理レコード	ろんりれこーど		メッセージグループを構成する基本構成要素。論理レコードはデータ要素の集合で、固定長(251バイト長)又は可変長のデータ列であり、12種類ある。附属書1に、論理レコードの種類並びに分割区分及びレコード区分の値を示す。	JIS X 7012-1	1999							
23502	A		安全保護後書きメッセージ	あんぜんほごあとがきめっせーじ		メッセージグループ全体の安全保護機能を用いるために、メッセージグループ後書きの直前に置かれ、そのメッセージグループに適用された安全保護に必要な情報を保持した論理レコード。安全保護後書きメッセージは、安全保護見出しメッセージと対で使用し、短縮形メッセージグループに使用することはできない。	JIS X 7012-1	1999							
23503	A		安全保護見出しメッセージ	あんぜんほごみだしめっせーじ		メッセージグループ全体の安全保護機能を用いるために、メッセージグループ見出しの次に置かれ、そのメッセージグループに適用されている安全保護機能を示す論理レコード。安全保護見出しメッセージは、安全保護後書きメッセージと対で使用し、短縮形メッセージグループに使用することはできない。	JIS X 7012-1	1999							
23504	A		誤り情報メッセージ	あやまりじょうほうめっせーじ		エラー情報電文に用いる251バイト固定長の論理レコード。誤り情報メッセージは、固定長データ要素で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23505	A		業務メッセージ	ぎょうむめっせーじ		業務の遂行に必要な情報を交換するために用いる論理レコード。可変長データ要素で構成される可変長の論理レコードで、業務処理電文の構成要素である。	JIS X 7012-1	1999							
23506	A		受信確認メッセージ	じゅしんかくにんめっせーじ		受信確認電文に用いる251バイト固定長の論理レコード。受信確認メッセージは、固定長データ要素で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23507	A		同報見出し	どうほうみだし		メッセージグループ又は短縮形メッセージグループが、同報電文であることを表すために、メッセージグループ見出しの直前に付加する251バイト固定長の特別な論理レコード。同報見出しは、固定長データ要素で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23508	A		特殊メッセージ	とくしゅめっせーじ		EDIシステムの運用上必要な情報を格納した論理レコード。251バイト固定長のデータ列であり、メッセージの一種である。受信確認メッセージ及び誤り情報メッセージがある。	JIS X 7012-1	1999							
23509	A		バイナリ単位	ばいなりたんい		EDI利用者の長大ビット列データを、バイト単位に格納した論理レコード。	JIS X 7012-1	1999							
23510	A		バイナリデータ	ばいなりでーた		バイナリデータ見出し、バイナリ単位及びバイナリデータ後書きの3種の論理レコードで構成される論理レコード群。	JIS X 7012-1	1999							
23511	A		バイナリデータ後書き	ばいなりでーたあとがき		一つのバイナリデータを終了させる251バイト固定長の論理レコード。バイナリデータ後書きは、固定長データ要素で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23512	A		バイナリデータ見出し	ばいなりでーたみだし		一つのバイナリデータの先頭にあって、それを開始し、識別するための251バイト固定長の論理レコード。バイナリデータ見出しは、固定長データ要素で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23513	A		部分安全保護メッセージ	ぶぶんあんぜんほごめっせーじ		メッセージグループの一部又は短縮形メッセージグループの安全保護機能を用いるために使用する論理レコード。	JIS X 7012-1	1999							
23514	A		メッセージ	めっせーじ		メッセージ仕様に記述されているとおりに、機能的に関連するデータ要素を、識別可能なように名前を付け、構造化した集合を収容した論理レコード。	JIS X 7012-1	1999							
23515	A		メッセージグループ後書き	めっせーじぐるーぷあとがき		一つのメッセージグループを終了させる251バイト固定長の論理レコード。メッセージグループ後書きは、固定長データ要素で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23516	A		メッセージグループ見出し	めっせーじぐるーぷみだし		一つのメッセージグループの先頭にあって、それを開始し、識別するための251バイト固定長の論理レコード。メッセージグループ見出しは、固定長データ要素で構成され、メッセージグループの発信元、送信先及び種類なども示す。	JIS X 7012-1	1999							
23517	A		暗示的繰返し利用者TFD集合	あんじてきくりかえしりようしゃTFDしゅうごう		二つ以上の、同一データタグ番号をもつ利用者TFDの集合。	JIS X 7012-1	1999							
23518	A		可変長データ要素	かへんちょうでーたようそ		データ長の最大値が決められているデータ要素。可変長データ要素を識別するために、データ要素名及び/又は記号名を用いる。記号名にはデータタグ番号を用いる。	JIS X 7012-1	1999							
23519	A		繰返し要素	くりかえしようそ		マルチ明細の繰返しの単位で、単純明細及び/又はマルチ明細で構成される集合。	JIS X 7012-1	1999							
23520	A		固定長データ要素	こていちょうでーたようそ		データ長が一義に決められているデータ要素。固定長データ要素を識別するために、データ要素名及び/又は記号名を用いる。記号名は、先1文字をA～Zの英字とし、それに2文字の数字を組み合わせて構成する3文字の文字列を用いる。	JIS X 7012-1	1999							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23521	A		制御TFD	せいぎょTFD		データタグが制御データタグのTFD。TFD領域に置かれ、TFD領域の状態を制御する。	JIS X 7012-1	1999							
23522	A		伝送形式データ要素(TFD)	でんそうけいしきでーたようそ(TFD)		可変長データ要素を扱う形式。データタグ、長さタグ及び可変長データ要素でTFDを構成する。TFDには、制御TFD(データタグが制御データタグのとき)と利用者TFD(データタグが利用者データタグのとき)との2種類がある。	JIS X 7012-1	1999							
23523	A		伝送形式データ要素領域(TFD領域)	でんそうけいしきでーたようそりょういき(TFDりょうい		TFDが置かれるメッセージ内の特定の領域。メッセージは、メッセージ見出しとTFD領域で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23524	A		データタグ	でーたたぐ		TFDを構成する可変長データ要素の種類及び意味を識別する1～3バイトのビット列。データタグには、制御データタグと利用者データタグとの2種類があり、左側先頭1バイトの値で識別する。制御データタグはTFD領域の状態制御を行う。利用者データタグには、値としてデータタグ番号を割り当て、可変長データ要素の意味、データ型及び最大データ	JIS X 7012-1	1999							
23525	A		データタグ番号	でーたたぐばんごう		この規格で用いる可変長データ要素を識別するために、ユニークに割り当てた524287以下(61440～65535を除く)の番号。この番号を符号無2進数で表現し、データタグの値として使用する。この番号を割り当てる可変長データ要素については、データ要素の意味、データ型及び最大データ長が定義されていなければならない。1～61000及び65535～524287の番号を割り当てるデータ要素はEDI利用者が定義する。0及び61001～61439の番号は、この規格自身で使用するデータ要素を割り当てるために、予約する。EDI利用者は、誤解や混乱を避けるために、データタグ番号と可変長データ要素の対照表(データ要素ディレクトリ)を整備する必要がある。データタグ番号は、データ要素の記号名としても	JIS X 7012-1	1999							
23526	A		長さタグ	ながさたぐ		TFDを構成する可変長データ要素の長さを表すバイナリ数値。1バイト又は3バイトのビット列である。	JIS X 7012-1	1999							
23527	A		分割区分	ぶんかつくぶん		すべての論理レコードの左端にあって、論理レコードの種類の識別に用いる長さ1バイトの固定長データ要素。論理レコードの種類の識別は、この分割区分とレコード区分を組み合わせて行う。附属書1に論理レコードの種類及び分割区分並びにレコード区分の値	JIS X 7012-1	1999							
23528	A		マルチ明細	まるちめいさい		繰返し要素を繰返しの単位とし、値が異なる一つ以上の繰返し要素からなる集合。繰返し要素が一つもない空のマルチ明細もある。マルチ明細はマルチ明細見出し、一つ以上の繰り返し要素(繰返し要素がない場合は空のマルチ明細)、改行指示子及びマルチ明	JIS X 7012-1	1999							
23529	A		メッセージ見出し	めっせーじみだし		メッセージを開始し、メッセージを一意に識別する複数の固定長データ要素からなるメッセージ内の特定の領域。メッセージは、メッセージ見出しとTFD領域で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23530	A		利用者TFD	りようしゃTFD		データタグが利用者データタグのTFD。TFD領域に置かれ、EDI利用者のデータを格納す	JIS X 7012-1	1999							
23531	A		レコード区分	れこーどくぶん		バイナリ単位を除く論理レコードの分割区分の右側にあって、論理レコードの種類の識別に用いる長さ1バイトの固定長データ要素。論理レコードの種類の識別は、分割区分とこのレコード区分を組み合わせて行う。附属書1に論理レコードの種類及び分割区分並びにレコード区分の値の関係を示す。	JIS X 7012-1	1999							
23532	A		1バイト標準文字集合	1ばいとひょうじゅんもじしゅうごう		JIS X 0201のローマ文字・片仮名用8単位符号で、集合と符号化とが規定されている、1バイトの図形キャラクタの集合。ただし、未定義のキャラクタを除く。	JIS X 7012-1	1999							
23533	A		1バイト標準文字	1ばいとひょうじゅんもじ		1バイト標準文字集合に含まれる1バイト文字。	JIS X 7012-1	1999							
23534	A		2バイト標準文字集合	2ばいとひょうじゅんもじしゅうごう		JIS X 0208又はJIS X 0221で集合と符号化とが規定されている2バイト文字集合。JIS X 0208については、JIS X 0201で定める8単位符号系とし、各バイトともX"21"～X"7E"の94の符号の位置を使用する。JIS X 0221については、UCS2(16ビット)BMP形式の基本多言語面を使用する。2バイト標準文字集合の符号化と文字の種類は、メッセージグループ見出しの"2バイト文字集合"で識別する。したがって、情報交換用符号の拡張法(JIS X 0202)は、使用しない。また、JIS X 0208及びJIS X 0221を同一のメッセージグループ内	JIS X 7012-1	1999							
23535	A		2バイト標準文字	2ばいとひょうじゅんもじ		2バイト標準文字集合に含まれる2バイト文字。	JIS X 7012-1	1999							
23536	A		標準制限文字	ひょうじゅんせいげんもじ		標準制限文字集合に含まれる文字。メッセージグループ見出し、メッセージグループ後書き及び同報見出しは、標準制限文字で構成される。	JIS X 7012-1	1999							
23537	A		標準制限文字集合	ひょうじゅんせいげんもじしゅうごう		1バイト標準文字集合に含まれる間隔文字、数字文字の0～9、英文字の@及び英文字のA～Zの38種類の文字から成る集合。	JIS X 7012-1	1999							
23538	A		標準数字文字	ひょうじゅんすうじもじ		標準数字文字集合に含まれる文字。	JIS X 7012-1	1999							
23539	A		標準数字文字集合	ひょうじゅんすうじもじしゅうごう		1バイト数字文字の0～9の10種類の文字からなる集合。符号化はJIS X 0201に従わなければならない。	JIS X 7012-1	1999							
23540	A		文字集合	もじしゅうごう		EDI利用者が使用可能な文字の集合。1バイト文字集合と2バイト文字集合とがある。	JIS X 7012-1	1999							
23541	A		抽象試験項目	ちゅうしょうしけんこうもく	abstract test case	特定の要件のために作成された試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23542	A		抽象試験方法	ちゅうしょうしけんほうほう	abstract test method	特定の試験手続から独立した実装の試験の方法。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23543	A		抽象試験モジュール	ちゅうしょうしけんもじゅー	abstract test module	関係する抽象試験項目の集合。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23544	A		抽象試験項目群、ATS	ちゅうしょうしけんこうもくぐん、ATS	abstract test suite	満たされなければならないすべての要件を規定する抽象試験モジュール。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23545	A		受入試験	うけいれしけん	acceptance testing	ある実装が利用者の受入基準を満たすかどうかを決定し、利用者がそれを受け入れるかどうかを判断するための試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23546	A		基本試験	きほんしけん	basic test	明らかな不適合のケースを識別するために実施する最初の機能試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23547	A		機能試験	きのうしけん	capability test	試験対象(IUT:implementation under test)が試験目的の記述どおりに規格の特定の性質に適合するかどうかを決定するための試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23548	A		適合、適合性	てきごう、てきごうせい	conformance	規定された要件をすべて満足すること。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23549	A		適合性評価過程	てきごうせいひょうかかてい	conformance assessment process	ある規格への実装の適合性を評価する過程。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23550	A		適合性の箇条	てきごうせいのかじょう	conformance clause	規格の要件を満たすために必要なことを示した箇条。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23551	A		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance testing	製品の実装の適合の度合を決めるために、その製品に対して行う試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23552	A		適合性試験報告書	てきごうせいしけんほうこくしょ	conformance test report	規格への適合の全体概要報告及びその全体概要の基となる試験結果の詳細報告。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23553	A		適合実装	てきごうじっそう	conforming implementation	適合性要件を満たしている実装。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23554	A		実行可能試験項目	じっこうかのうしけんこうもく	executable test case	特定の要件を満たす実装に固有の試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23555	A		実行可能試験項目群、ETS	じっこうかのうしけんこうもくぐん、ETS	executable test suite	実行可能試験項目の集合。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23556	A		不合格判定	ふごうかくはんてい	fail verdict	不適合と報告された試験判定。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23557	A		不具合試験	ふぐあいしけん	falsification test	実装の誤りを見つけるための試験方法。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23558	A		実装	じっそう	implementation	仕様を具現化したもの。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23559	A		実装適合性宣言、ICS	じっそうてきごうせいせんげん、ICS	implementation conformance statement	実装された仕様の任意選択要件について記述したもの。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23560	A		試験用実装補助情報、IXIT	しけんようじっそうほじょじょうほう、IXIT	implementation extra information for testing	試験機関が、ある試験対象(IUT)に対して適切な試験項目群を実施するのに必要とするIUT及びそのIUTに対応する試験対象システム(SUT)に関係するすべての情報を記述し	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23561	A		不確定判定	ふかくていはんてい	inconclusive verdict	観測された試験結果では合格とも不合格とも判定できない場合に与えられる試験の判	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23562	A		不適合、不適合性	ふてきごう、ふてきごうせ	non-conformance	規定された要件に、一つ以上適合しないこと。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23563	A		合格判定	ごうかくはんてい	pass verdict	適合と報告された試験判定。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23564	A		性能試験	せいのうしけん	performance testing	処理能力、応答性など、種々の条件下での試験対象(IUT)の性能上の特性を測定する	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23565	A		頑健性試験	がんけんせいしけん	robustness testing	試験対象(IUT)が、誤りを含むデータをいかに適切に処理するかを決める試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23566	A		試験対象システム、SUT	しけんたいしょうしすてむ、SUT	system under test	試験対象(IUT)を支援するために必要な計算機のハードウェア、ソフトウェア及び通信網。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23567	A		試験機関	しけんきかん	testing laboratory	適合性評価過程を実施する組織。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23568	A		検証試験	けんしょうしけん	verification test	試験対象(IUT)が正しいかどうかを証明するために開発された試験。	JIS X 7105	2001	ISO 19105	2000				2000	ISO/TC211
23569	A		応用	おうよう	application	利用者の要求に応えるために行われるデータの操作及び処理(ISO 19101)。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23570	A		応用スキーマ	おうようすきーま	application schema	一つ以上の応用システムによって要求されるデータのための概念スキーマ(ISO	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23571	A		多重集合	たじゅうしゅうごう	bag	繰返しのある、関連する項目(オブジェクト又は値)の、有限非順序な集まり。 備考 論理的には、多重集合は、<項目、項数>の対の集合である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23572	A		境界	きょうかい	boundary	実体の広がりの限界を示す集合。 備考 境界が最もよく使用されるのは、集合が点の集まり又はこれらの点を表すオブジェクトの集まりであるような幾何に関する記述においてである。他の分野では、この用語を、実体とその論議領域での余事象との遷移領域を比ゆ(喩)的に記述するために使用	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23573	A		バッファ	ばっふぁ	buffer	指定された幾何オブジェクトから与えられた距離以内のすべての直接位置を含む幾何オブジェクト。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23574	A		環状列	かんじょうれつ	circular sequence	論理的な開始点をもたないために、それ自身のどのような循環的なシフトとも同一になり、結果として最後の項目が順列の最初の項目に先行するとみなされる列。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23575	A		クラス	くらす	class	同じ属性、操作、メソッド、関係及び意味を共有するオブジェクトの集合の記述[ISO TS 19103(2)]。 注(2) 未発行 備考 クラスは、その環境に対して提供する操作の集まりを規定するために、インタフェースの集合を使用してもよい。この用語は、最初にオブジェクト指向プログラミングの一般的な理論の中でこの用法で使用され、後にUMLにおいても同じ意味で使用するものとし	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23576	A		閉包	へいほう	closure	位相オブジェクト又は幾何オブジェクトの内部と境界との和集合。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23577	A		双対境界	そうたいきょうかい	coboundary	ある位相オブジェクトに対応して、その位相オブジェクトを境界としてもつ、より高い位相次元の位相プリミティブの集合。 備考 ノードがエッジの境界に存在する場合、このエッジは、そのノードの双対境界上にある。この二つの関係のいずれか一つに関連付けられた任意の方向パラメタは、もう一方の関係に対しても関連付けられる。これは、ノードがエッジの終点ノードである(正の有向エッジの終端として定義される)場合、そのノードの正の方向(正の有向ノードとして定義される)が双対境界上にエッジをもうようにするためである(JIS X 7107:2005の図35参	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23578	A		合成曲線	ごうせいきょくせん	composite curve	列の各曲線が(最初のものを除き)直前の曲線の終点から開始するような曲線の列。 備考 合成曲線は、直接位置の集合として、曲線のすべての性質をもつ。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23579	A		合成立体	ごうせいりったい	composite solid	共有された境界曲面に沿って互いに隣接する立体の連結した集合。 備考 合成立体は、直接位置の集合として、立体のすべての性質をもつ。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23580	A		応用	おうよう	application	利用者の要求に応えるために行われるデータの操作及び処理(ISO 19101)。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23581	A		応用スキーマ	おうようすきーま	application schema	一つ以上の応用システムによって要求されるデータのための概念スキーマ(ISO	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23582	A		多重集合	たじゅうしゅうごう	bag	繰返しのある、関連する項目(オブジェクト又は値)の、有限非順序な集まり。 備考 論理的には、多重集合は、<項目、項数>の対の集合である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23583	A		境界	きょうかい	boundary	実体の広がりの限界を示す集合。 備考 境界が最もよく使用されるのは、集合が点の集まり又はこれらの点を表すオブジェクトの集まりであるような幾何に関する記述においてである。他の分野では、この用語を、実体とその論議領域での余事象との遷移領域を比ゆ(喩)的に記述するために使用	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23584	A		バッファ	ばっふぁ	buffer	指定された幾何オブジェクトから与えられた距離以内のすべての直接位置を含む幾何オブジェクト。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23585	A		環状列	かんじょうれつ	circular sequence	論理的な開始点をもたないために、それ自身のどのような循環的なシフトとも同一になり、結果として最後の項目が順列の最初の項目に先行するとみなされる列。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23586	A		クラス	くらす	class	同じ属性、操作、メソッド、関係及び意味を共有するオブジェクトの集合の記述[ISO TS 19103(2)]。 注(2) 未発行 備考 クラスは、その環境に対して提供する操作の集まりを規定するために、インタフェースの集合を使用してもよい。この用語は、最初にオブジェクト指向プログラミングの一般的な理論の中でこの用法で使用され、後にUMLにおいても同じ意味で使用するものとし	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23587	A		閉包	へいほう	closure	位相オブジェクト又は幾何オブジェクトの内部と境界との和集合。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23588	A		双対境界	そうたいきょうかい	coboundary	ある位相オブジェクトに対応して、その位相オブジェクトを境界としてもつ、より高い位相次元の位相プリミティブの集合。 備考 ノードがエッジの境界に存在する場合、このエッジは、そのノードの双対境界上にある。この二つの関係のいずれか一つに関連付けられた任意の方向パラメタは、もう一方の関係に対しても関連付けられる。これは、ノードがエッジの終点ノードである(正の有向エッジの終端として定義される)場合、そのノードの正の方向(正の有向ノードとして定義される)が双対境界上にエッジをもうようにするためである(図35参照)。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211

	ﾚﾍﾞﾙ		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23589	A		合成曲線	ごうせいきょくせん	composite curve	列の各曲線が(最初のものを除き)直前の曲線の終点から開始するような曲線の列。 備考 合成曲線は、直接位置の集合として、曲線のすべての性質をもつ。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23590	A		合成立体	ごうせいりったい	composite solid	共有された境界曲面に沿って互いに隣接する立体の連結した集合。 備考 合成立体は、直接位置の集合として、立体のすべての性質をもつ。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23591	A		合成曲面	ごうせいきょくめん	composite surface	共有された境界曲線に沿って互いに隣接する曲面の連結な集合。 備考 合成曲面は、直接位置の集合として、曲面のすべての性質をもつ。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23592	A		計算幾何	けいさんきか	computational geometry	幾何演算を実装するための、幾何表現に関する操作及び計算。 例 計算幾何演算は、幾何包含若しくは交差の試験、凸包若しくはバッファ領域の計算又は幾何オブジェクト間の最短経路探索を含む。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23593	A		計算位相幾何	けいさんいそうきか	computational topology	通常、計算幾何において実行される位相オブジェクトの演算の支援、拡張又は定義を行う位相的な概念、構造及び代数。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23594	A		連結	れんけつ	connected	オブジェクトの任意の二つの直接位置がそのオブジェクト内に完全に含まれる曲線上に配置できることを意味する幾何オブジェクトの性質。 備考 位相オブジェクトは、幾何実現が連結である場合にだけ、連結である。これは、位相幾何学の定理から導かれるので、定義には含まない。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23595	A		連結ノード	れんけつのーど	connected node	一つ以上のエッジが開始又は終了するノード。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23596	A		凸包	とつほう	cpnvex hul	与えられた幾何オブジェクトを含む最小の凸集合[Dictionary of Computing(7)]。 備考 "最小"とは集合論的に最小のことであり、計量的な意味をもつものではない。この定義は"その幾何オブジェクトを含むすべての凸集合の積集合"と言い換えることもでき	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23597	A		凸集合	とつしゅうごう	convex set	自分自身が含む任意の二つの直接位置について、それらを結ぶ直線分上の任意の直接位置をも含むような幾何集合[Dictionary of Computing(7)]。 備考 凸集合は、"単連結"である。すなわち内部に穴をもたない。通常は、適切な次元のユークリッド球と位相同形とみなしてよい。また、球の表面は、測地的には測地線を直線とみなせば凸と考えることができる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23598	A		座標	ざひょう	coordinate	n次元空間内の点の位置を示すn個の数値の列(JIS X 7111)。 備考 座標参照系では、それらの数値には単位を付与しなければならない。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23599	A		座標次元	ざひょうじげん	coordinate dimension	ある座標系における位置を記述するために必要な計測値又は座標軸の数。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23600	A		座標参照系	ざひょうさんしょうけい	coordinate reference system	原子(datum)によって地球に関連付けられた座標系(JIS X 7111)。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23601	A		座標系	ざひょうけい	coordinate system	点にどのように座標を割り当てるかを規定するための数学的規則の集合(JIS X 7111)。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23602	A		曲線	きょくせん	curve	直線の連続な像を表現する一次元の幾何プリミティブ。 備考 曲線の境界は、その両端の点の集合である。曲線が閉路の場合、二つの端は同一であり、その曲線は(位相的に閉じている場合には)、境界をもたないとみなす。最初の点を始点、最後のものを終点と呼ぶ。"直線の連続的な像"という定義文の語句によって、曲線の連結性が保証される。位相幾何学の定理は、連続している集合の連続的な像は連結であることを規定している。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23603	A		曲線分	きょくせんぶん	curve segment	一定の内挿及び定義の方法を用いて曲線の連続した部分を表現するために用いる一次元の幾何オブジェクト。 備考 単一の曲線分によって表現される幾何集合は、一つの曲線と等しい。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23604	A		輪体	りんたい	cycle	境界をもたない空間オブジェクト。 備考 輪体は境界の構成要素[殻(shell)及び輪(ring)を参照]を記述するために使用する。輪体は、それ自身の上で閉じているため境界をもたないが、有界である(すなわち、範囲は無限ではない)。例えば、円周又は球面は、境界をもたないが有界である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23605	A		直接位置	ちょくせついち	direct position	座標参照系の中で一つの座標によって記述された位置。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23606	A		有向エッジ	ゆうこうえっじ	directed edge	エッジとその向きの一つとの間の関連を表す有向位相オブジェクト。 備考 有向エッジは、そのエッジと向きが一致しているものは+という向きを、そうでなければ-という向きをもつとする。有向エッジは、位相幾何においては同一のエッジの右側(-)と左側(+)とを区別する場合、同一のエッジの始点ノード(-)と終点ノード(+)とを区別するために、そして計算位相幾何においてはこれらの概念を表現するために用いる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23607	A		有向フェイス	ゆうこうふぇいす	directed face	フェイスとその向きの一つとの間の関連を表す有向位相オブジェクト。 備考 有向フェイスの外部境界を構成する有向エッジの向きは、この有向フェイスの正の側からみて、正の向きが決まる。位相立体の境界を示す有向フェイスの向きは、この位相立体から離れる方向を指す。隣接する位相立体では、それらが共有する境界には異なる向きを付けることになるが、これは、隣接するフェイスとそれらが共有するエッジとの間の同種の関連と整合している。有向フェイスは、双対境界関係においてフェイスとエッジとの間の空間的な関係を保持するために用いる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23608	A		有向ノード	ゆうこうのーど	directed node	ノードとその向きの一つとの間の関連を表す有向位相オブジェクト。 備考 有向ノードは、双対境界関係においてエッジとノードとの間の空間的な関連を保持するために用いる。一つのエッジに関するノードの向きは、そのエッジの終点ノードでは"+"、始点ノードでは"-"になる。これは、"ベクトル=終点-始点"というベクトルの概念と整	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23609	A		有向位相立体	ゆうこういそうりったい	directed solid	位相立体とその向きの一つとの間の関連を表す有向位相オブジェクト。 備考 有向位相立体は、双対境界関係においてフェイスと位相立体との間の空間的な関係を保持するために用いる。一つのフェイスに関する位相立体の向きは、そのフェイスの上方法線が位相立体の外側へ向く場合には"+"、内側に向く場合は"-"である。これは、立体の境界となる曲面に対して"上方=外側"という概念と整合する。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23610	A		有向位相オブジェクト	ゆうこういそうおぶじぇくと	directed topological object	位相プリミティブとその向きの一つとの間の論理的な関連を表す位相オブジェクト。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23611	A		領域、定義域	りょういき、ていぎいき	domain	明確に定義された集合(ISO TS19103)。 備考 領域は、演算子及び関数の定義域と値域とを定義するのに用いる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23612	A		エッジ	えっじ	edge	一次元の位相プリミティブ。 備考 エッジの幾何実現は曲線である。エッジの境界は、位相複体の中でこのエッジと関連付けられた一つ又は二つのノードの集合である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23613	A		エッジノードグラフ	えっじのーどぐらふ	edge-node graph	ある位相複体内に埋め込まれているグラフで、その複体内のすべてのエッジとそれに連結したノードからなるもの。 備考 エッジノードグラフは、それが埋め込まれている複体の部分複体である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23614	A		終点ノード	しゅうてんのーど	end node	エッジを含む位相複体の有効な幾何実現において、そのエッジを実現する曲線の終点に対応する、このエッジの境界のノード。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23615	A		終点	しゅうてん	end point	曲線の最後の点。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23616	A		外部	がいぶ	exterior	全体集合とある集合の閉包との差集合。 備考 外部の概念は、位相複体及び幾何複体の両方に適用できる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23617	A		フェイス	ふぇいす	face	二次元の位相プリミティブ。 備考 フェイスの幾何実現は曲面である。フェイスの境界は、境界関係をとおしてフェイスに関連付けられる同じ位相複体内の有向エッジの集合である。これらは、輪の形にそろ(揃)えることができる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23618	A		地物	ちぶつ	feature	実世界の現象の抽象概念(ISO 19101)。 備考 地物は、型又はインスタンスとして現れる。型又はインスタンスの一方だけを意味するときには、地物型又は地物インスタンスという用語を使うことが望ましい。 参考 地物は元来地上の自然物及び人工物の概念を指す用語であるが、この規格では、それ以外の実世界に現れる物事を抽象化した概念も指す。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23619	A		地物属性	ちぶつぞくせい	feature attribute	地物の特性(ISO 19101)。 備考 地物属性は、それに関連付けられた名前、データ型及び値の定義域をもつ。地物インスタンスの地物属性は、加えてその定義域から選ばれた属性値をもつ。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23620	A		関数	かんすう	function	ある領域[この関数の定義域(source、domain)]の各要素を、別の領域[この関数の値域(target、co-domain、range)]の一意な要素に関連付ける規則。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23621	A		地理情報	ちりじょうほう	geographic information	地球に関係した場所と暗示的又は明示的に関連付けられた現象に関する情報。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23622	A		幾何集成	きかしゅうせい	geometric aggregate	内部構造をもたない幾何オブジェクトの集まり。 備考 要素間の空間関係に関する推定は、行えない。 参考 UMLにおけるaggregateには、“縮める”という概念は含まず、“集めて一つにまとめる”という意味なので、ここでは集約ではなく集成とする。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23623	A		幾何境界	きかきょうかい	geometric boundary	幾何オブジェクトの範囲を限定する、より低い幾何次元の幾何プリミティブの集合によって表現される境界。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23624	A		幾何複体	きかふくたい	geometric complex	互いに素な幾何プリミティブの集合で、各幾何プリミティブの境界を、その集合の中の、より低い次元の幾何プリミティブの和集合として表すことができるようなもの。 備考 集合の中の幾何プリミティブは、複数の幾何プリミティブの内部に存在するような直接位置がないという意味で互いに素である。集合は、境界演算のもとで閉じているが、これは、幾何複体の各要素について、その要素の境界を表す幾何プリミティブの集まり(これも幾何複体となる。)が存在することを意味する。既に述べたように、点(幾何の唯一の零次元プリミティブオブジェクト型)の境界は空集合である。したがって、最も高い次元の幾何プリミティブが立体(三次元)の場合、この定義の境界演算を次々と適用していくと、高々3ステップ後には終結する。また、任意のオブジェクトの境界は輪体となる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23625	A		幾何次元	きかじげん	geometric dimension	幾何集合の中のどの直接位置も、その直接位置を内部に含みn次元ユークリッド空間Rηと相似(同形)な部分集合と関連付けることができるような数nの最大値。 備考 曲線は、実数直線の一部の連続写像であるので、1の幾何次元をもつ。曲面は、その全体をR2に写像することはできないが、各点位置の周りに.は微小な近傍があってそれがR2の単位円の内部に(連続関数によって)写像されることがわかることから、二次元である。この規格では、主要な曲面分(GM Surface patchのインスタンス)のほとんどは、それを定義する内挿の方法によってR2の一部に写像される。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23626	A		幾何オブジェクト	きかおぶじぇくと	geometric object	幾何集合を表す空間オブジェクト。 備考 幾何オブジェクトは、幾何プリミティブ、幾何プリミティブの集まり又は単一の実体として扱われる幾何複体からなる。幾何オブジェクトは、地物又は地物の重要な部分の空間表現に用いてよい。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23627	A		幾何プリミティブ	きかぷりみていぶ	geometric primitive	単一の連結で均質な空間の要素を表す幾何オブジェクト。 備考 幾何プリミティブは、幾何構成についての情報を表す不可分なオブジェクトである。点、曲線、曲面及び立体は幾何プリミティブである。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23628	A		幾何実現	きかじつげん	geometric realization	位相複体の位相プリミティブに一対一対応した幾何プリミティブをもつ幾何複体。そのニつの複体の境界関係は一致する。 備考 この実現では、位相プリミティブは、対応する幾何プリミティブの内部を表現するものとみなす。合成したものは閉じている。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23629	A		幾何集合	きかしゅうごう	geometric set	直接位置の集合。 備考 この集合は、ほとんどの場合無限集合である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23630	A		グラフ	ぐらふ	graph	一部がエッジによって結合されているノードの集合。 備考 地理情報システムでは、グラフは、二つのノードに結合するエッジを複数もつことができ、同じノードを両端にもつエッジをもつこともできる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23631	A		準同形	じゅんどうけい	homomorphism	一方から他方への構造を保存する関数をもつ二つの領域(二つの複体のような)の間の関係。 備考 準同形は逆関数を必要としない点で同形と異なる。同形には、本質的には互いに逆関数の関係にあたる二つの準同形がある。連続関数は、“位相的な特性”を保存するので位相準同形である。位相複体の幾何実現への写像は、境界の概念を保存する。しクラスを実現するオブジェクト。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23632	A		インスタンス	いんすたんす	instance		JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23633	A		内部	ないぶ	interior	幾何オブジェクト上にありその境界上にはないすべての直接位置の集合。 備考 位相オブジェクトの内部は、その任意の幾何実現の内部の準同形の像である。これは、位相幾何学の定理から導かれるので、ここでの定義には含めない。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23634	A		孤立ノード	こりつのーど	isolated node	どのエッジとも関係しないノード。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23635	A		同形	どうけい	isomorphism	二つの領域の一方から他方への一対一で構造を保存する関数が存在して、それら二つの関数をどの順序で合成しても恒等関数に一致するような、二っの領域(二つの複体のような)の間の関係。 備考 要素が一対一に対応し、その対応で次元及び境界が保存される場合、幾何複体は、位相複体に同形である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23636	A		近傍	きんぼう	neighbourhood	指定された直接位置を内部に含み、その直接位置から指定された距離以内のすべての直接位置を含む幾何集合。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23637	A		ノード	のーど	node	零次元の位相プリミティブ。 備考 ノードの境界は、空集合である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23638	A		オブジェクト	おぶじぇくと	object	状態と振る舞いとをカプセル化した、明確に定義された境界及び識別をもつ実体(UML Semantics[19])。 備考 この用語は、最初にオブジェクト指向プログラミングの一般理論の中でこの用法で使用され、後にUMLの中で同じ意味で使用するものとして採用された。オブジェクトはクラスのインスタンスである。属性と関係とが状態を表す。操作、メソッド及び状態機構は、振	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23639	A		平面位相複体	へいめんいそうふくたい	planar topological complex	二次元ユークリッド空間に埋め込むことができる幾何実現をもつ位相複体。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23640	A		点	てん	point	位置を表現する零次元の幾何プリミティブ。 備考 点の境界は、空集合である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23641	A		レコード	れこーど	record	有限の、名前をもつ、相互に関連性のある項目(オブジェクト又は値)の集まり。 備考 論理的に、レコードは<名称、項目>の対の集合となる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23642	A		輪	わ	ring	輪体である単純曲線。 備考 輪は二次元及び三次元座標系における曲面の境界の要素を記述するために用い	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23643	A		列	れつ	sequence	繰返しを許した、関連する項目(オブジェクト又は値)の、有限で順序をもつ集まり。 備考 論理的には、列は<項目、相対位置>の対の集合である。この規格では、括弧で列を区切り、列の要素をコンマで分けるLISP構文を用いる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23644	A		集合	しゅうごう	set	繰返しを許さない、関連する項目(オブジェクト又は値)の、有限で順序をもたない集ま	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23645	A		殻	から	shell	輪体である単純曲面。 備考 殻は、三次元座標系における立体の境界の要素を記述するために用いる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23646	A		単純	たんじゅんせんたくし	simple	内部が等方的(すべての点が同形な近傍をもつ。)で、したがって、至るところ適切な次元のユークリッド座標空間の開部分集合に局所的に同形である、という幾何オブジェクトの特性。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23647	A		立体	りったい	solid	三次元ユークリッド空間のある領域の連続な像を表す三次元の幾何プリミティブ。 備考 立体は、直接位置の三つのパラメタをもつ集合によって局所的に実現することができる。立体の境界は、その立体の限界を包含する、向きをもつ閉曲面の集合である。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23648	A		空間オブジェクト	くうかんおぶじぇくと	spatial object	地物の空間特性を表現するために用いるオブジェクト。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23649	A		空間演算子	くうかんえんざんし	spatial operator	その定義域又は値域に最低一つの空間パラメタをもつ関数又は手続。 備考 空間オブジェクトに対するすべてのUML操作は、この規格の8.の問合せ演算子もそうであるように、空間演算子として分類することができる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23650	A		始点ノード	してんのーど	start node	エッジを含む位相複体の有効な幾何実現において、そのエッジを実現する曲線の始点に対応する、このエッジの境界のノード。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23651	A		始点	してん	start point	曲線の最初の点。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23652	A		強代替性	きょうだいたいせい	strong substitutability	あるクラス、型又はインタフェースを継承又は実現した下位クラスの任意のインスタンスを、その原型のインスタンスの代わりとして任意の状況において用いることのできる能力。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23653	A		部分複体	ぶぶんふくたい	snbcomplex	すべての要素がより大きな倹体の一部でもあるような複体。 備考 幾何複体及び位相複体の定義が要求するのは、境界演算について閉じることだけであるこぐとから、特定の次元又はそれ以下の任意のプリミティブの集合は、常に元のより大きな複体の部分複体になる。'したがって、任意の完全平面位相複体は、部分複体であるエッジノードグラフを含む。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23654	A		曲面	きょくめん	surface	局所的に平面領域の連続な像を表す二次元の幾何プリミティブ。 備考 曲面の境界は、曲面の限界の輪郭を描く向きをもつ閉曲線である。球面又はn次元トーラス(n次元"把"をもつ位相球面)乏同形である曲面は、境界をもたない。このような曲面を輪体と呼ぶ。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23655	A		曲面分	きょくめんぶん	surface patch	一定の内挿及び定義方法を用いて曲面の連続した部分を表す二次元の連結な幾何オブジェクト。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23656	A		位相境界	いそうきょうかい	topological boundary	位相オブジェクトの範囲を制限する、より低い位相次元の向きをもった位相プリミティブの集合で表される境界。 備考 位相複体の境界は、この位相複体め幾何実現の境界と整合する。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23657	A		位相複体	いそうふくたい	topological complex	境界演算について閉じている位相プリミティブの集まり。 備考 境界演算について閉じているとは、位相プリミティブが位相複体に含まれる場合には、その境界オブジェクトもまたこの位相複体に含まれることを意味する。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23658	A		位相次元	いそうじげん	topological dimension	幾何オブジェクト内の直接位置を他の位置と区別するのに必要な自由変数の最小の数。 備考 上の自由変数は、多くの場合局地座標系として考えることができる。三次元座標空間において、uとvとを実数、Aを平面上の任意の点、xおよびyを平面の二つの接ベクトルとすると、平面はP(u, ν)=A+ux+νyと書き表すことができる。この平面の位置はuとvとによって(ここでは至る所を)識別できるので、平面は二次元であり、(u, ν)はこの平面上の点の座標となる。一般の曲面では、通常は、至る所を普遍的に識別するのは不可能である。曲面上の点を曲面の接平面上へ射影すると、接点の微小近傍の局所同形を通常得ることができる。曲面に対するこの"局所座標"系は、曲面が二次元位相オブジェクトであるための要件を満たす。 この規格は空間座標だけを取り扱うので、任意の三次元オブジェクトは座標に依存してその位相次元を定めることができる。四次元モデル(時空間)では、接空間が三次元まで	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23659	A		位相式	いそうしき	topological expression	多変量多項式のように演算される、向きをもつ位相プリミティブの集まり。 備考 位相式は、計算位相幾何の多くの計算で使用する。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23660	A		位相オブジェクト	いそうおぶじぇくと	topological object	連続した変換のもとでも変わらない空間特性を表す空間オブジェクト。 備考 位相オブジェクトは、位相プリミティブ、位相プリミティブの集まり又は位相複体であ	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23661	A		位相プリミティブ	いそうぷりみていぶ	topological primitive	単独の不可分な要素を表す位相オブジェクト。 備考 位相プリミティブは幾何実現における同じ次元の幾何プリミティブの内部に相当す	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23662	A		位相立体	いそうりったい	topological solid	三次元の位相プリミティブ。 備考 位相立体の境界は有向フェイスの集合からなる。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23663	A		全域フェイス	ぜんいきふぇいす	universal face	二次元複体中の非有界フェイス。 備考 全域フェイスは、通常どのような地物の一部でもなく、データ集合の非有界の部分を表すために用いる。通常、この内部境界(それは外部境界をもたない。)をデータ集合によって表された地図の外部境界とみなす。この規格は、全域フェイスを特別扱いしないが、応用スキーマではそうすることが有効な場合もある。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23664	A		全域位相立体	ぜんいきいそうりったい	universal solid	三次元複体中の非有界位相立体。 備考 全域位相立体は、三次元において全域フェイスに相当するものであり、通常はどのような地物の一部でもない。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23665	A		ベクトル幾何	べくとるきか	vector geometry	構成的な幾何プリミティブの使用による幾何の表現。	JIS X 7107	2005	ISO 19107	2003				2003	ISO/TC211
23666	A		暦	こよみ	calendar	一日をその分解能とする時間位置を定義するための基礎となる離散的な時間参照系の	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23667	A		暦年代	れきねんだい	calendar era	暦の中で使用する型の一つとなり、ある特定の事象からその長さを数える期間。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23668	A		協定世界時、UTC	きょうていせかいじ、UTC	Coordinated Universal Time	国際度量衡局 (International Bureau of Weights and Measures) 及び国際地球回転観測事業 (International Earth Rotation Service) によって維持管理されている時間尺度。標準周波数及び時刻信号に関する標準電波の基礎となるもの[ITU-R Rec. TF. 686-1	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23669	A		日	ひ	day	地球の自転周期にほぼ等しい持続時間をもつ期間。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23670	A		エッジ	えっじ	edge	一次元の位相プリミティブ (ISO 19107)。 備考 エッジは、幾何学的には曲線となる。エッジの境界は、位相複体中でこのエッジと関連付けられた一つ又は二つのノードの集合となる。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23671	A		事象	じしょう	event	ある瞬間に起こる動作。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23672	A		地物	ちぶつ	feature	実世界の現象の抽象概念(ISO 19101)。 備考 地物は、型又はインスタンスとして現れる。型又はインスタンスの一方だけを意味するときには、地物型又は地物インスタンスという用語を使うのが望ましい。 参考 地物は元来地上の自然物及び人工物の概念を指す用語であるが、この規格では、それ以外の実世界に現れる物事を抽象化した概念も指す。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23673	A		地物関連	ちぶつかんれん	feature association	地物同士の関係(ISO 19109)。 備考1. 地物関連は、型又はインスタンスとして現れる。地物関連型又は地物関連インスタンスは、いずれかを意味するときに使う。 2. 地物関連は複数の地物の集成(agregate)を含む。 参考 UMLにおけるaggregateには、"縮める"という概念は含まず、"集めて一つにまとめる"という意味なので、ここでは集約ではなく集成とする。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23674	A		地物属性	ちぶつぞくせい	feature attribute	地物の特性(ISO 19110変更)。 備考 地物属性型は、名前、データ型及び地物属性に関連する値の定義域をもつ。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23675	A		地物分裂	ちぶつぶんれつ	feature division	直前に存在した地物が、同じ型をとる二つ以上の別の地物インスタンスに置き換わる地物継起。 例 地物型"土地区画"のあるインスタンスが、法律的に分割されて同じ地物型の二つの	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23676	A		地物融合	ちぶつゆうごう	feature fusion	直前に存在した、同じ地物型の二つ以上のインスタンスが、同じ地物型の一つのインスタンスに置き換わる地物継起。 例 地物型"牧場"の二つのインスタンスは、各々を隔てるフェンスが取り除かれたときに一つのインスタンスに置き換わる。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23677	A		地物操作	ちぶつそうさ	feature operation	ある地物型のすべてのインスタンスが実行できる操作(ISO 19110)。 例 地物型"せき(堰)"め地物操作は"水門を高める"である。この操作によって、"せき(堰)"の高さが上がり、"貯水池"の水位が上がる。 備考 地物操作は、地物型の定義をするうえで重要な役割を果たす。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23678	A		地物置換	ちぶつちかん	feature substitution	一つの地物インスタンスが同じ又は異なる型の別の地物インスタンスへ置き換わる地物継起。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23679	A		地物継起	ちぶつけいき	feature succession	一つ以上の地物インスタンスが存在しなくなって、別の一つ以上の地物インスタンスに置き換わること。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23680	A		幾何プリミティブ	きかぷりみていぶ	geometric primitive	空間における単一で連結した均質な要素を表すオブジェクト(ISO 19107)。 備考 幾何プリミティブは、幾何構成についての情報を表す不可分なオブジェクトである。これには点、曲線、曲面及び立体を含む。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23681	A		グレゴリオ暦	ぐれごりおれき	Gregorian calendar	ユリウス暦よりも一年の長さが太陽年によって近くなるよう定義するため、1582年に最初に導入された、はん用的な暦(JIS X 0301参照)。 備考 グレゴリオ暦の導入には、ユリウス暦で積み重なってきた誤差を解消するという意味も含まれていた。グレゴリオ暦の暦年は、平年又はうるう年となうており、一年は、12に分割された月の列からなる。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23682	A		瞬間	しゅんかん	instant	時間における位置を表現する零次元の幾何プリミティブ。 備考 時間の幾何については、5.2で取り上げる。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23683	A		間隔尺度	かんかくしゃくど	interval scale	二値間の順序付けと距離との両方を記述するために使用するし(恣)意的に定められた原点をもつ尺度。 備考 ある間隔尺度で測定した値の比は、意味をもたない。これに対し、比率尺度(ratlo scale)では、値の比が意味をもつ。例えば、温度の場合、絶対温度2度が絶対温度1度の2倍であるということには一定の意味があるので、絶対温度は比率尺度であるが5°摂氏2度は摂氏1度の2倍とはいえないので、摂氏は間隔尺度である。質量及び金額は一般に比率尺度で表現する。時間については、実用上意味のあるような比率尺度は定められて	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23684	A		ユリウス日	ゆりうすび	Julian date	直前の正午からの経過を表す10進小数の日数を伴ったユリウス日数。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23685	A		ユリウス日数	ゆりうすにっすう	Julian day number	ユリウス暦における紀元前4713年1月1日のグリニッジ標準時正午を原点として数えた日	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23686	A		存続期間	そんぞくきかん	life span	物が存在し続けている期間。 備考 有効時間による存続期間は、物体をモデル化した現実において存在している期間を表す。トランザクション時間による存続期間は、データベース上の物体がデータベース内に存在している期間を表す。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23687	A		月	つき	month	月の循環周期の持続時間とほぼ等しい期間。 備考 1か月の持続時間は整数で表す日数である。1か月の日数は個々の暦の規則で定められている。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23688	A		ノード	のーど	node	零次元の位相プリミティブ(ISO 19107)。 備考 ノードの境界は空集合とする。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23689	A		順序年代	じゅんじょねんだい	ordinal era	時間的に順序付けられた、名前をもつ期間。 備考 下位階層として順序年代の集合を含むことがある。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23690	A		順序尺度	じゅんじょしゃくど	ordinal scale	オブジェクトの相対的な位置関係だけを測定するための基礎を示す尺度。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23691	A		順序時間参照系	じゅんじょじかんさんしょうけい	ordinal temporal reference system	順序年代の集合からなる時間参照系の一つ。順序尺度を基礎とする。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23692	A		期間	きかん	period	時間の範囲を表現する一次元の幾何プリミティブ。 備考 二つの異なる時間位置が期間の境界となる。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23693	A		周期長	しゅうきちょう	periodic time	一周期の持続時間 (JIS Z 8202-1を変更)。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23694	A		点	てん	point	位置を表現する零次元の幾何プリミティブ(ISO 19107)。 備考 点の境界は、空集合とする。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23695	A		時間座標	じかんざひょう	temporal coordinate	時間座標系の基礎として使用する間隔尺度の原点からの距離。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23696	A		時間座標系	じかんざひょうけい	temporal coordinate	単一の時間単位の倍数として距離を測定する間隔尺度を基礎とする時間参照系。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23697	A		時間地物関連	じかんちぶつかんれん	temporal feature	時間又は時間的な制約条件の参照で特徴付ける地物関連。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23698	A		時間地物操作	じかんちぶつそうさ	temporal feature operation	時間の関数として定義する地物操作。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23699	A		時間位置	じかんいち	temporal position	時間参照系に関係する位置。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23700	A		時間参照系	じかんさんしょうけい	temporal reference	時間の測定に対応する参照系。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23701	A		位相複体	いそうふくたい	topological complex	境界操作のもとで閉じる位相プリミティブの集まり(ISO 19107)。 備考 境界操作のもとで閉じるとは、位相複体に含まれる位相プリミティブの境界オブジェクトもまたこの位相複体に含まれることを意味する。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23702	A		位相プリミティブ	いそうぷりみていぶ	topological primitive	単独の不可分な要素を表す位相オブジェクト(ISO 19107)。 備考 位相プリミティブは、幾何実現. (ISO 19107参照) によって同じ次元の幾何プリミティブの境界の内側に対応する。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23703	A		トランザクション時間	とらんざくしょんじかん	transaction time	ある事実がデータベース内に存続し、検索が可能になっている時間[Jensenなど	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23704	A		有効時間	ゆうこうじかん	valid time	ある事実が抽象化した現実の中で真となづている時間[Jensenなど(1994)]。	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23705	A		AD	AD	Anno Domini	西暦紀元	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23706	A		BC	BC	Before Christ	西暦紀元前	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23707	A		GPS	GPS	Grobal Positioning System	全地球測位システム	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23708	A		TOW	TOW	(TimeofWeek)	週単位の時刻	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23709	A		UML	UML	Unified Modeling Language	UML	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23710	A		UTC	UTC	Coordinated Universal	協定世界時	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23711	A		WN	WN	Week Number	週数	JIS X 7108	2004	ISO 19108	2002				2002	ISO/TC211
23712	A		応用(システム)	おうよう(しすてむ)	application	利用者の要求にこたえるために行われるデータの操作及び処理	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005	IDT			2005	ISO/TC211
23713	A		応用スキーマ	おうようすきーま	application schema	一つ以上の応用システムによって要求されるデータのための概念スキーマ	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23714	A		複合地物	ふくごうちぶつ	complex feature	他の諸々の地物から構成される地物	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23715	A		概念モデル	がいねんもでる	conceptual model	論議領域の概念を定義するモデル	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23716	A		概念スキーマ	がいねんすきーま	conceptual schema	概念モデルの形式記述	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23717	A		データ集合	でーたしゅうごう	dataset	他と識別可能なデータの集まり	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23718	A		定義域	ていぎいき	domain	明確に定義された集合	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23719	A		地物	ちぶつ	feature	実世界の現象の抽象概念	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23720	A		地物関連	ちぶつかんれん	feature association	ある地物型のインスタンスを、地物型が同じ又は異なるインスタンスに関連付ける関係。	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23721	A		地物属性	ちぶつぞくせい	feature attribute	地物の特性。	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23722	A		地物操作	ちぶつそうさ	feature operation	ある地物型のすべてのインスタンスが実行できる操作。	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23723	A		地理データ	ちりでーた	geographic data	地球に関係した場所への暗示的又は明示的に関連する情報を意味する用語として、“地理情報”も使用する。	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23724	A		メタデータ	めたでーた	metadata	データに関するデータ	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23725	A		モデル	もでる	model	現実の幾つかの側面の抽象概念	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23726	A		描画法	びょうがほう	portrayal	人間に対する情報の表示	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23727	A		品質	ひんしつ	quality	明示的又は暗示的に述べられた要求を満たす能力に関する製品特性の総体	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23728	A		論議領域	ろんぎりょういき	universe of discourse	関心あるものすべてを含んだ、実世界又は仮想世界の範囲	JIS X 7109	2009	ISO 19109	2005				2005	ISO/TC211
23729	A		地物	ちぶつ	feature	実世界の現象の抽象概念	JIS X 7110	2009	ISO 19110	2005	MOD			2005	ISO/TC211
23730	A		地物関連	ちぶつかんれん	feature association	ある地物型のインスタンスを同じ又は異なる地物型のインスタンスを関連付ける関係。	JIS X 7110	2009	ISO 19110	2005				2005	ISO/TC211
23731	A		地物属性	ちぶつぞくせい	feature attribute	地物の特性。	JIS X 7110	2009	ISO 19110	2005				2005	ISO/TC211
23732	A		地物カタログ	ちぶつかたろぐ	feature catalogue	1以上の地理データ集合において出現する地物型、地物属性及び地物関連の定義及び記述を、それに適応してもよい地物操作とともに含むカタログ。	JIS X 7110	2009	ISO 19110	2005				2005	ISO/TC211
23733	A		地物操作	ちぶつそうさ	feature operation	ある地物型のすべてのインスタンスが実行できる操作。	JIS X 7110	2009	ISO 19110	2005				2005	ISO/TC211
23734	A		操作定義言語	そうさていぎげんご	functional language	地物操作が形式的に記述される言語。	JIS X 7110	2009	ISO 19110	2005				2005	ISO/TC211
23735	A		直交座標系	ちょっこうざひょうけい	Cartesian coordinate system	点の位置を、n本の相互に直交する軸との関係として与える座標系。 備考 この規定ではnは1、2又は3とする。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23736	A		複合座標参照系	ふくごうざひょうさんしょうけい	compound coordinate reference system	独立した二つの座標参照系を用いて位置を示す座標参照系。 例 二次元又は三次元の座標系に基づく座標参照級び標高系に基づく別の座標参照	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23737	A		座標	ざひょう	coordinate	n次元空間内の点の位置を示すためのn個の数値の列。 備考1. 座標参照系は、数値に単位を付けなければならない。 2. 座標演算は、座標演算元の系の座標に対して行い、座標演算先の系での座標値を得る。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23738	A		座標換算	ざひょうかんさん	coordinate conversion	ある座標系から、それと同一の原子をもつ別の座標系への1対1の関係に基づく座標の変更。 例 測地座標系と直交座標系との間の変更、測地座標と投影座標との間の変更、又はラジアンから度華若しくはフィートからメートルのような単位の変更。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23739	A		座標演算	ざひょうえんざん	coordinate operation	ある座標参照系から他の座標参照系への1対1の関係に基づく、座標の変更。備考座標変換及び座標換算の上位型。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23740	A		座標参照系	ざひょうさんしょうけい	coordinate reference system	原子によって実世界に関連付けた座標系。 備考 測地原子及び鉛直原子は、地球に関鮒けられる。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23741	A		座標系	ざひょうけい	coordinate system	点にどのように座標を割り当てるかを規定する数学的規則の集合。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23742	A		座標変換	ざひょうへんかん	coordinate transformation	ある座標参照系から、それと異なる原子をもつ別の座標参照系への、1対1の関係による座標の変更。 備考 座標変換は、両方の座標参照系での座標が知られている点の集合によって経験的に導出されたパラメタを使用する。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23743	A		原子	げんし	datum	別のパラメタの計算のために参照として、又は基礎として使用するパラメタ又はパラメタの集合。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23744	A		東距	とうきょ	easting	ある座標系上で、南北基準線から東向きを正、西向きを負とした距離。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23745	A		だ(楕)円体	だえんたい	elipsoid	だ円を主軸の周りに回転して形成される面。 備考 この規格では、だ円体は常にへん(扁)平とする。すなわち、回転の軸は常に短軸であることを意味する。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23746	A		だ(楕)円体高	だえんたいこう	ellipsoidal height, geodetic height	だ円体面に垂直な線に沿って測ったある地点までの距離で、だ(楕)円体の上側又は外側に向かう場合を正とするもの。 備考 三次元測地座標系の一部として使用するだけでそれ単独では使用しない。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23747	A		施工基準原子	せこうきじゅんげんし	engineering datum	局所原子(local datum)座標系の局所的な空間参照に対する関連付けを記述する原子。 備考 施工基準原子は、測地原子及び鉛直原子を含まない。 例 基準点から数キロメートル以内の相対位置を識別する系で使用される。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23748	A		へん(扁)平率	へんぺいりつ	flattening	だ円体の長半径(a)と短半径(b)との差と、そのだ円体の長半径との比f=(a-b)/a。 備考 時には、へん平率の逆数1/f=a/(a-b)を与えることもある。1/fは、逆へん平率とも呼ばれる。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23749	A		測地座標系	そくちざひょうけい	geodetic coordinate system	だ(楕)円体座標系(ellipsoidal coordinate system)位置を測地経緯度及び(三次元の場合は)だ円体高によって指定する座標系。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23750	A		測地原子	そくちげんし	geodetic datum	座標系と地球との関係を記述する原子。 備考 測地原子は、だ円体の定義を含むことが多い。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23751	A		測地緯度	そくちいど	geodetic latitude	牟(楕)円体緯度(ellpsoidal latitude)赤道面とある地点を通るだ円体への垂線との間の、北向きを正とする角度。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23752	A		測地経度	そくちけいど	geodetic longitude	だ(楕)円体経度(ellipsoidal longitude)本初子午線面とある地点の子午線面との間の、'東向きを正とする角度。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23753	A		ジオイド	じおいど	geoid	局所的又偉全地球的に平均海面と最もよく一致する水準面。 備考 "水準面"とは、あらゆる場所で重力の方向に垂直な、地球重力場の等ポテンシャル面を意味する。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23754	A		標高	ひょうこう	gravity related height	地球の重力場に依存する高さ。 備考 特に正標高又は正規高のことを指し、これらはいずれもある地点の平均海面からの距離の近似である。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23755	A		グリニッジ子午線	ぐりにっじしごせん	Greenwich meridian	英国グリニッジ王立天文台のエアリ子午環(Airy Transit Circle)の位置を通る子午線。 備考 ほとんどの測地原子では、本初子午線としてグリニッジ子午線を使用する。グリニッジ子午線の正確な位置は、原子が異なれば少し異なる。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23756	A		高さ	たかさ	height	ある選択した基準面からその面に垂直な線に沿ったある地点までの距離。 備考1. だ円体高及び標高の箇条を参照。 2. 基準面の外側地点の高さは、正として扱う。負の高さは、深さとも呼ぶ。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23757	A		地図投影	ちずとうえい	map projection	測地座標系から平面への座標換算。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23758	A		平均海面	へいきんかいめん	mean sea level	あらゆる段階の潮位及び季節的変動に対する海面の平均面。 備考 局所的な文脈では、平均海面は、通常、1か所以上の地点で、一定の期間にわたって観測した結果から計算した、その領域に対する平均海面を意味する。全地球的な状況では、平均海面と全地球的なジオイドとの差は2m以下。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23759	A		子午線	しごせん	meridian	だ(楕)円体面とそのだ円体の短半径を含む平面との交線。 備考 子午線という用語は、完全な閉曲線としてではなく、両極を結ぶ弧線を表すことが	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23760	A		北距	ほっきょ	northing	ある座標系上で、東西基準線から北向きを正、南向きを負とした距離。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23761	A		極座標系	きょくざひょうけい	polar coordinate system	位置を原点からの距離と方向によって指定する座標系。 備考 三次元では、球座標系ともよぶ。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23762	A		本初子午線	ほんしょしごせん	prime meridian	零子午線(zero meridian)他の子午線の経度を測る基となる子午線。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23763	A		投影座標系	とうえいざひょうけい	projected coordinate	地図投影の結果として生じる二次元座標系。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23764	A		長半径	ちょうはんけい	semi-major axis	だ(楕)円体の最長半径。 備考 地球を表すだ円体では、長半径とは赤道半径。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23765	A		短半径	たんはんけい	semi-minor axis	だ(楕)円体の最短半径。 備考 地球を表すだ円体では、短半径とはそのだ円体の中心からいずれかの極までの距	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23766	A		空間参照	くうかんさんしょう	spatial reference	実世界における位置の記述。 備考 これは、ラベル、コード又は座標の形態をとってもよい。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23767	A		鉛直原子	えんちょくげんし	vertical datum	標高と地球との関係を記述する原子。 備考 鉛直原子は、長期間にわたる水位の観測に基づいて定義した平均海面と関連付けられることが多い。だ(楕)円体高は、測地原子に基づく三次元だ円体座標系に関連付けるものとして扱う。鉛直原子には、水深測量のための原子(水路測量目的で利用する)を含む。この場合、高さは負の高さ又は深さであってもよい。	JIS X 7111	2004	ISO 19111	2003				2007	ISO/TC211
23768	A		地物	ちぶつ	feature	実世界の現象の抽象概念	JIS X 7112	2006	ISO 19112	2003	IDT			2003	ISO/TC211
23769	A		地物辞典	ちぶつじてん	gazetteer	位置に関する何らかの情報を含む地物のクラスのインスタンスの要覧。	JIS X 7112	2006	ISO 19112	2003				2003	ISO/TC211
23770	A		地物識別子	ちぶつしきべつし	geographic identifier	場所の認識のための、ラベル又はコードの形式による空間参照。	JIS X 7112	2006	ISO 19112	2003				2003	ISO/TC211
23771	A		場所	ばしょ	location	識別可能な地理的な所。	JIS X 7112	2006	ISO 19112	2003				2003	ISO/TC211
23772	A		空間参照	くうかんさんしょう	spatial reference	実世界における位置の記述。	JIS X 7112	2006	ISO 19112	2003				2003	ISO/TC211
23773	A		空間参照系	くうかんさんしょうけい	spatial reference system	実世界における位置を識別するための体系。	JIS X 7112	2006	ISO 19112	2003				2003	ISO/TC211
23774	A		正確度	せいかくど	accuracy	品質評価の試験結果得られた値と参照値との近さ。 備考1. 試験結果は、観測値又は測定値として得ることができる。 2. 参照値は、論議領域を実現するものとして採択された値である。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23775	A		適合、適合性	てきごう、てきごうせい	conformance	規定された要件をすべて満たすこと(JIS X 7105)。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23776	A		適合品質水準	てきごうひんしつすいじゅん	conformance quality level	データ集合が、その製晶仕様又は使用者要件に示されている基準をどれだけ満足するかを判断するために使用するデータ品質評価結果のしきい値又はしきい値の集合(ISO	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23777	A		データ品質評価日付	でーたひんしつひょうかひづけ	data quality date	あるデータ品質評価尺度を適用した日付又は期間。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23778	A		データ品質要素	でーたひんしつようそ	data quality element	データ集合の品質を記録する定量的な構成要素(ISO 19101)。 備考 あるデータ集合に対して、どのデータ品質要素を使うかは、データ集合の内容及び製品仕様の一両者に依存する。したがって、すべてのデータ品質要素がすべてのデータ集合には適用できない場合もある。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23779	A		データ品質評価手順	でーたひんしつひょうかてじゅん	data quality evaluation procedure	品質評価手法を適用し、その結果を報告するときの作業工程。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23780	A		データ品質評価尺度	でーたひんしつひょうかしゃくど	data quality measure	データ品質副要素の評価尺度。例属性値が正しいものの百分率。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23781	A		データ品質概観要素	でーたひんしつがいかんようそ	data quality overview element	非定量的品質情報を記録するデータ集合の品質の構成要素。 備考 データ集合の作成目的、用法及び系譜に関する情報が非定量的品質情報である。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23782	A		データ品質評価結果	でーたひんしつひょうかけっか	data quality result	データ品質評価尺度を適用した結果の値若しくは値の集合、又は規定された適合品質水準を満たすか否かを、取得した値又は値の集合を用いて評価した結果。 例 データ品質要素及びその副要素"完全性、過剰"を報告する場合、"百分率"をデータ品質評価値型とする"90"というデータ品質評価結果は、データ品質適用範囲で定めるデータ品質評価尺度を適用した結果の値の一例である。"ブール変数"をデータ品質評価値型とする"真"というデータ品質評価結果は、取得した値(90)を規定された合格適合品質水準(85)と比較した結果の例であり、また、合否の評価報告の一例でもある。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23783	A		データ品質適用範囲	でーたひんしつてきようはんい	data quality scope	品質情報を報告するデータの範囲又は特性。 備考 データ集合のデータ品質適用範囲は、データ集合が属するデータ集合群、そのデータ集合、又はそのデータ集合に物理的に含まれる共通の特性をもつ、より小さいグループのデータとすることができる。他と識別できる共通の特性とは、地物型、地物属性若しくは地物関係、データ収集の基準、原資料、又は特定の空間的若しくは時間的範囲	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23784	A		データ品質副要素	でーたひんしつふくようそ	data quality subelement	データ品質要素のある側面を記述するデータ品質要素の構成要素。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23785	A		データ品質評価値型	でーたひんしつひょうかちがた	data quality value type	データ品質評価結果を報告するための値の型。 例 "ブール変数"、"百分率"、"比率"。 備考 データ品質評価値型は、常にデータ品質評価結果に対して定める。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23786	A		データ品質評価値単位	でーたひんしつひょうかちたんい	data quality value unit	データ品質評価結果を報告するための値の単位。 例 "メートル" 備考 データ品質評価値単位は、データ品質評価結果に適用できるときだけ規定する。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23787	A		データ集合	でーたしゅうごう	dataset	他と識別可能なデータの集まり(ISO 19115)。 備考 データ集合は、空間的範囲、地物型のような幾つかの制約によって限定されるが、より大きいデータ集合の中に物理的に含まれる、より小さいデータのグループであってもよい。理論的には、データ集合はデータ集合に含まれる一つの地物又は一つの地物属性のように小さなものでもよい。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23788	A		データ集合群	でーたしゅうごうぐん	dataset series	同じ製品仕様を使用して作成されたデータ集合の集まり(ISO 19115)。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23789	A		地物	ちぶつ	feature	実世界の現象の抽象概念(ISO 19101)。 備考 地物は、型又はインスタンスとして現れる。地物型又は地物インスタンスという用語は、いずれかを意味するときに使うことが望ましい。 参考 地物は元来地上の自然物及び人工物を指す用語であるが、この規格では、それ以外の実世界に現れる物事を抽象化した概念も指す。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23790	A		地物属性	ちぶつぞくせい	feature attribute	地物の特性(ISO 19110)。 備考 地物属性型は、名前、データ型及び地物属性に関連する値の定義域をもつ。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23791	A		地物操作	ちぶつそうさ	feature operation	ある地物型のすべてのインスタンスが実行できる操作(ISO 19110)。 例1. 地物型"せき(堰)"の地物操作は"せき(堰)のかさ(嵩)を上げる"である。この操作によって、"せき(堰)"の高さが上がり、"貯水池"の水位が上がる。例2.地物型"せき(堰)"の地物操作は"水路を航行する船を遮る"ことである。 備考 地物操作は、地物型の定義をする上で重要な役割を果たす。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23792	A		メタデータ	めたでーた	metadata	データに関するデータ(ISO 19115)。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23793	A		製品仕様	せいひんしよう	product specification	論議領域の記述、及び論議領域をデータ集合へ写像するための仕様。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23794	A		品質	ひんしつ	quality	明示的又は暗示的に述べられた要求を満たす能力に関する製品特性の総体。(ISO	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23795	A		論議領域	ろんぎりょういき	universe of discourse	関心あるものすべてを含んだ、実世界又は仮想世界の範囲(ISO 19101)。	JIS X 7113	2004	ISO 19113	2002				2002	ISO/TC211
23796	A		適合品質水準	てきごうひんしつすいじゅん	conformance quality lavel	データ集合が、製品仕様又は使用者要件に明らかにする基準をどのくらい満たすかを判断するために用いるデータ品質評価結果のしきい値又はしきい値の集合。	JIS X 7114	2009							
23797	A		データ集合	でーたしゅうごう	dataset	他と識別可能なデータの集まり(JIS X 7115)。	JIS X 7114	2009							
23798	A		データ集合系列	でーたしゅうごうけいれつ	dataset series	同じ製品仕様書を使って作成したデータ集合の集まり(JIS X 7115)。	JIS X 7114	2009							
23799	A		直接評価法	ちょくせつひょうかほう	direct evaliation method	データ集合中のアイテムの検査に基づいてデータ集合の品質を評価する方法。	JIS X 7114	2009							
23800	A		全数検査	ぜんすうけんさ	full inspection	データ集合中の、すべてのアイテムに対して行う検査。	JIS X 7114	2009							
23801	A		間接評価法	かんせつひょうかほう	indirect evaliation method	外部知識に基づいてデータ集合の品質を評価する方法。	JIS X 7114	2009							
23802	A		アイテム	あいてむ	item	個々に記述し、考察することができるもの(JIS X 9015-1)。	JIS X 7114	2009							
23803	A		母集団	ぼしゅうだん	population	考察の対象となる特性をもつすべてのものの集団(ISO 3534-2)。	JIS X 7114	2009							
23804	A		参照データ	さんしょうでーた	reference data	直接外部品質評価法において比較対象として使用する、論議領域を代表すると認められたデータ。	JIS X 7114	2009							
23805	A		データ品質要素	でーたひんしつようそ	data quality element	データ集合の品質を記録する定量的な構成要素(ISO 19101)。	JIS X 7114	2009							
23806	A		データ品質適用範囲	でーたひんしつてきようはんい	data quality scope	品質情報を報告するデータの範囲又は特性(JIS X 7113)。	JIS X 7114	2009							
23807	A		データ型	でーたがた	datatype	定義域中の値に許す操作を伴う、値の定義域の仕様。 例 Integer、Real、Boolean、String、Date及びGM_Point 参考 データ型は、例えば、Integerのように、用語によって識別する。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003	MOD			2003	ISO/TC211
23808	A		データ集合	でーたしゅうごう	dataset	他と識別可能なデータの集まり。 備考 空間範囲又は地物型のような制約によって区切るとしても、データ集合は、より大きいデータ集合の中に位置する、より小さいデータのグループであってもよい。理論的には、データ集合は、より大きなデータ集合に含まれる一つの地物又は地物属性のように小さくてもよい。ハードコピーの地図又は図表は、データ集合と考えてよい。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23809	A		データ集合系列	でーたしゅうごうけいれつ	data set series	同じ製品仕様書を使って作成したデータ集合の集まり。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23810	A		グリッド	ぐりっど	grid	複数のモデル曲線からなる集合二つ以上で構成するネットワークで、各集合の要素となる曲線が、他の集合の要素となる曲線とアルゴリズム的な方法によって交差するもの。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23811	A		メタデータ	めたでーた	metadata	データに関するデータ。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23812	A		メタデータ要素	めたでーたようそ	metadata element	メタデータの個々の構成単位。 備考1. メタデータ要素は、メタデータ要素体の中で一意とする。 2. UMLの専門用語集における属性と同等のものとする。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23813	A		メタデータ要素体	めたでーたようそたい	metadata entity	データの同じ側面を記述するメタデータ要素の集合。 備考1. 一つ以上のメタデータ要素体を含んでもよい。 2. UMLの専門用語集におけるクラスと同等のものとする。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23814	A		メタデータ構成集合	めたでーたこうせいしゅうごう	metadata section	関係するメタデータ要素体及びメタデータ要素の集まりからなるメタデータの部分集合。 備考 UMLの専門用語集におけるパッケージと同等のものとする。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23815	A		モデル	もでる	model	論議領域を幾つかの側面から解釈した抽象概念。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23816	A		資源	しげん	resource	要求を満たすための手段又は資産。 例 データ集合、サービス、文書、個人又は組織。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23817	A		時間参照系	じかんさんしょうけい	temporal reference	時間の測定に対応する参照系。	JIS X 7115	2005	ISO 19115	2003				2003	ISO/TC211
23818	A		クライアント	くらいあんと	client	発信元を含む応用。すなわちデータベース利用者をいう(JIS X 0806参照)。	JIS X 7198	2004							
23819	A		電子的情報源	でんしてきじょうほうげん	electronic information resource	電子的に、デジタル形式で保持され、電子的ネットワーク、その他の電子的データ処理技術(例、CD-ROM)を介してアクセス、検索、及び出力のできる可能性のある情報源。	JIS X 7198	2004							
23820	A		広さ	ひろさ	extent	あるデータ集合に対して対象となる平方数を値として導き出されたGEO-Jプロファイル要素の一つ。これは、(北境界座標ー南境界座標)*(東境界座標ー西境界座標)として計算される。広さによって、地域的、大陸的及び全世界的なデータ集合の位置を探すことが	JIS X 7198	2004							
23821	A		(GEO-J)エントリ	(GEO-J)えんとり	entry	一つの地理空間データオブジェクト又は成果物に関係した関連メタデータ要素の集合。概念的に、これは主題となるデータ層又は地図と等しいが、一方で関連する主題の収集全体を示し、その対極では貯水池のような空間データオブジェクトの小さい集合も表せる。一つのエントリには、ある要素に対して複数値が含まれる可能性もある。	JIS X 7198	2004							
23822	A		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability	情報システム間の相違が、複数のシステムをまたぐタスクを完了することに障害にならないときに存在する状態。	JIS X 7198	2004							
23823	A		必す(須)要素	ひっすようそ	mandatory	レコード源によって提供される値をもつ必要があるGEO-Jエントリに含まれる要素。GEO-Jプロファイルは、どの要素がGEO-Jサーバの観点から存在する必要があるかを指定す	JIS X 7198	2004							
23824	A		発信元	はっしんもと	origin	(Z39.50)アソシエーションを起動し、(Z39.50)アソシエーション中で操作を起動する実体(JIS X 0806参照)。	JIS X 7198	2004							
23825	A		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	一つ以上の規格に関して、それが使われる環境又は機能の記述、及び適用箇所でこれらの規格の選択された種類、部分集合、選択肢及びパラメータを同定したもの。特定した限定的状況で標準的相互運用を適用するうえでの手引きを提供する履行者合意事項集	JIS X 7198	2004							
23826	A		登録オブジェクト	とうろくおぶじぇくと	registered object	名称と物との関係で同定されその関係において名称が、疑わしい意味をもたずに使用されることを保証する登録局で記録されるオブジェクト。	JIS X 7198	2004							
23827	A		サーバ	さーば	server	受信側を含む応用。すなわちデータベース供給側(JIS X 0806参照)。	JIS X 7198	2004							
23828	A		ターゲット	たーげっと	target	(Z39.50)アソシエーションを受け入れるエンティティ(JIS X 0806参照)。	JIS X 7198	2004							
23829	A		統一資源識別子	とういつしげんしきべつし	uniform resource identifier, URI	資源を、その属性、アクセス機構などによって識別するための文字列。その部分集合として、統一資源位置指定子[Uniform Resource Locators (URLs)]及び統一資源名[Uniform Resource Names (URNs)]がある。	JIS X 7198	2004							
23830	A		位相	いそう	topology	連続的な変形の下で、不変な性質。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23831	A		位相空間	いそうくうかん	topological space	位相の与えられた空間。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23832	A		位相地理空間	いそうちりくうかん	topological geospace	位相の与えられた地理空間。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23833	A		一点鎖線	いってんさせん	dashdot line	長短2種類の長さの要素が交互に繰り返される線。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23834	A		インスタンス	いんすたんす	instance	文書型定義に従って記述されたXML文書。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23835	A		XML	XML	XML	文書記述言語の一つ。拡張可能なマーク付け言語。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23836	A		XML問合せ言語、XQL	XMLといあわせげんご、	XML query language, XQL	XML文書内のデータ検索に用いる言語。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23837	A		XML文書	XMLぶんしょ	XML document	拡張可能なマーク付け言語(XML)の定めに従った文書。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23838	A		エッジ	えっじ	edge	ノードとノードとを結ぶ、位相情報をもつ線。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23839	A		鉛直方向	えんちょくほうこう	plumb direction	地球の重力の方向。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23840	A		親要素	おやようそ	parent element	直接に従属する要素を少なくとも一つもつ要素。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23841	A		拡張ポインタ	かくちょうぽいんた	extended pointer,	XML文書で計算的に参照する資源を特定する指定法。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23842	A		確度	かくど	certainty	正確さ、正確度。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23843	A		環	わ	linear ring	三つ以上の点を、並び順に線分でつないだ環状の幾何形状。ただし、各線分は互いに交差しない。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23844	A		関心地点、POI	かんしんちてん、POI	point of interest, POI	実世界における関心のある位置。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23845	A		経緯度座標系	けいいどざひょうけい	geodetic coordinate	緯度・経度及び楕円体高(三次元の場合)によって位置が指定される座標系。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23846	A		幾何形状	きかけいじょう	geometry	幾何学的に表現される形。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23847	A		幾何地物	きかちぶつ	geometric feature	幾何学形状が与えられた実世界の地理的事象。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23848	A		境界	きょうかい	boundary	領域の範囲を示す線。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23849	A		記録	きろく	record	履歴を構成する一つ一つの情報。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23850	A		空間参照系	くうかんさんしょうけい	spatial reference system	実世界での位置を識別するための体系。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23851	A		空間データ	くうかんでーた	spatial data	空間内に位置付けることが可能なデータ。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23852	A		計量地理空間	けいりょうちりくうかん	metric geospace	地球上の位置に数値的に関連付けることができる空間。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23853	A		子要素	こようそ	child element	親要素に従属する要素。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23854	A		座標	ざひょう	coordinates	N次元空間の点の位置を示した、ある順序付けられたN個以上の実数の集合体。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23855	A		座標系	ざひょうけい	coordinate system	座標による位置への割当てを明確にするための数学的な規則の集合体。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23856	A		G-XML文書	G-XMLぶんしょ	G-XML document	地理空間データを記述するために、この規格で規定するXML文書。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23857	A		事象	じしょう	phenomenon	認識され得るできごと又は対象物。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23858	A		実世界	じっせかい	real world	仮想ではない現実の世界。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23859	A		水平方向	すいへいほうこう	horizontal direction	地球の重力方向と垂直な方向。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23860	A		スタイル	すたいる	style	表示するための幾何学的構成、色などの特徴をもつ表記の様式。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23861	A		精度	せいど	precision	観測・測定にかかわる分解能。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23862	A		線分列	せんぶんれつ	line string	二つ以上の点を、並び順に線分でつないだ幾何形状。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23863	A		装置座標系	そうちざひょうけい	device coordinate system	装置依存の座標系。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23864	A		地理空間	ちりくうかん	geospace	地球上の位置に関連付けることができる空間。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23865	A		地理空間データ	ちりくうかんでーた	geospatial data	地球上の位置に関連付けることができる空間的属性をもつデータ。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23866	A		地理参照名称	ちりさんしょうめいしょう	georeference name	地球上の特定位置を表現したコード又は名前。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23867	A		投影座標系	とうえいざひょうけい	projected coordinate	地図投影の結果としての二次元の直交座標系。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23868	A		日本測地系	にほんそくちけい	Tokyo Datum	日本における地球上の位置を経度・緯度によって表示するための測地基準系。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23869	A		根要素	ねようそ	root element	親要素をもたない要素。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23870	A		ノード	のーど	node	分岐点又は端点。ノードとノードとは、エッジによって結ばれる。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23871	A		描画	びょうが	rendering	事象を、スタイルを用いて表示すること。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23872	A		文書型定義	ぶんしょかたていぎ	document type definition	応用によって定義される特定の型の文書に対するマーク付けの規則。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23873	A		平面直角座標系	へいめんちょっかくざひょうけい	plane rectangular coordinate system	地図の投影座標系の一つ。日本で用いられる平面直角座標系における位置は、日本全国を19の座標系に区分し、それぞれの二次元直交座標系における距離座標で示され	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23874	A		方位	ほうい	bearings	その方向と一定の基準方向との関係。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23875	A		メタデータ	めたでーた	metadata	データの意味、性質、品質、状態、その他の特徴を記述するデータ。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23876	A		UML	UML	UML	オブジェクト指向のソフトウェア開発における、プログラム設計図の統一表記言語。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23877	A		履歴	りれき	history	ある事象の情報を時系列で並べた集合。	JIS X 7199	2001	DPC			2002/10追			
23878	A		補完	ほかん	complements	それぞれは、必要とされる全体情報の一部しか提供しないので、一緒にすることが望ましいニュースオブジェクト。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23879	A		統制語い(彙)	とうせいごい	controlled vocabulary	定義された用語及びその意味の一覧。正式な変更管理処理(3.1.8参照)に従って保守さ	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23880	A		既定語い(彙)	きていごい	default vocabulary	他の個別に参照される統制語い(彙)によって上書きされるまで、又は上書きされない場合に、既定の意味及び許可された値を与える統制語い(彙)。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23881	A		等価	とうか	equivalents	含まれる情報が等しいために、その中で選択が行われることが望ましいニュースオブジェ	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23882	A		フォーマット	ふぉーまっと	format	データオブジェクト(テキストの記事、写真及びそのキャプション、ベクトル図形など各種データで構成さえるオブジェクト)内の情報を運ぶために使われるファイルの様式。フォーマットが、オブジェクトを処理、解釈、又はレンダリングすることが可能なアプリケーションを決定する。フォーマットの例として、GIF、JPEG、WAV及びXMLがある。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23883	A		メディア型	めでぃあかた	media type	データオブジェクトに含まれる情報を人に示す媒体の型。メディア型の例として、映像、音声、ラスタ画像、ベクトル図形及びテキストがある。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23884	A		メタデータ	めたでーた	metadata	システムがデータオブジェクトを適切に扱うことを可能にする目的で、データオブジェクトと関連付けられたデータ。システムは、コンピュータアプリケーション、人が扱う業務処理、又はそれら二つの組合せであってよい。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23885	A		命名方式	めいめいほうしき	naming scheme	既知の意味をもつ名前又は符号の集合。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23886	A		ニュースオブジェクト	にゅーすおぶじぇくと	news object	NewsML文書の主な構成物の一つ。ニュースオブジェクトの種類には、NewsEnvelope、NewsItem、NewsComponent及びContentItemがある。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23887	A		ポインタ	ぽいんた	pointer	データオブジェクトを識別することを目的とする文字列。そのオブジェクトにリンクを生成するか、又は文書を送信するたびにそのオブジェクトそれ自体を送る必要なしに文書内にオブジェクトそれ自体を含めるかのいずれかのために用いる。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23888	A		生データ	なまでーた	raw data	NewsMLによって定義されない構造をもつデータ。したがって、NewsMLアプリケーションによって、別のアプリケーションへ転送されるか、解釈又は処理のために利用者へ転送されなければならない。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23889	A		スキーマ	すきーま	schema	XML文書クラスの構造の形式的定義。スキーマは、それ自体がXML文書であって、W3CのXMLスキーマ規定に適合する。DTDにおいて表現可能なものより、もっと充実した制約及び構造規則の集合を規定できる。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23890	A		トピック	とぴっく	topic	一つのニュースの中で参照されることが可能なあらゆる実世界のもの又は概念。トピックの例として、“イラン・イラク戦争”、“トニー・ブレア”、“パキスタンの首相”、“○○株式会社”、“国連”、“○○電気掃除機”、“中国”、“パリ”、“クレムリン”などがある。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23891	A		トピック参照	とぴっくさんしょう	topic reference	ディレクトリ内でトピックへのポインタの役割を果たす要素。	JIS X 7201	2005	IPTC NewsML 1.2	2003					
23892	B		抽象要素	ちゅうしょうようそ	abstract element	XMLスキーマ宣言では、abstract属性が“true”の値をとり、その結果として、XMLインスタンス文書では用いることができない要素。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23893	B		別名概念	べつめいがいねん	alias concept	アークロールがhttp://www.xbrl.org/2003/arcrole/essence-aliasである定義アークの“to” 側の概念。essence-alias関係によって関係付ける別名概念における妥当な値は、常に、本質概念においても妥当な値であるという意味において、別名概念と本質概念と	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23894	B		別名項目	べつめいこうもく	alias item	要素が別名概念であるインスタンス文書内の項目。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23895	B		アーク	あーく	arc	位置指定子を結び付けることによって、概念同士を関連付ける要素。アークは、概念の位置指定子を資源自体に結び付けることによって、概念と資源を関連付ける。アークは、事実の位置指定子を脚注拡張リンク内の脚注資源に関連付けるためにも用いる。 アークは、拡張リンク中で表現する関連の性質を記述する一連の属性をもつ。すべてのアークは、xlink:arcrole属性をもつ。この属性が、記述している関連付けの意味を決定す	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23896	B		c-同等	c-どうとう	c-equal	文脈同等。s-同等である文脈に属する、同じ項目型をもつ複数の項目、項目の集合又は項目の順。定義は、4.10による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23897	B		先祖	せんぞ	ancestor	6.に示す [XPATH] の用語を用いて表すXBRLインスタンス内の要素間の関係。要素Fが要素Eの先祖の関係にあるとは、FがEの先祖要素の軸に現れる関係とし、かつ、その場	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23898	B		子	こ	child	6.に示す [XPATH] の用語を用いて表すXBRLインスタンス内の要素間の関係。要素Fが要素Eの子の関係にあるとは、FがEの子要素の軸に現れる関係とし、かつ、その場合に	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23899	B		子孫	しそん	descendant	6.に示す [XPATH] の用語を用いて表すXBRLインスタンス内の要素間の関係。要素Fが要素Eの子孫の関係にあるとは、FがEの子孫要素の軸に現れる関係とし、かつ、その場	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23900	B		祖父	そふ	grandparent	6. に示す [XPATH] の用語を用いて表すXBRLインスタンス内の要素間の関係。要素Fが要素Eの祖父の関係にあるとは、FがEの親要素の親要素である関係とし、かつ、その場	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23901	B		親	おや	parent	6.に示す [XPATH] の用語を用いて表すXBRLインスタンス内の要素間の関係。要素Fが要素Eの親の関係にあるとは、FがEの親要素にあたる親子関係の軸に現れる関係とし、かつ、その場合に限る。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23902	B		兄弟	きょうだい	sibling	6.に示す[XPATH]の用語を用いて表すXBRLインスタンス内の要素間の関係。要素Fが要素Eの兄弟の関係にあるとは、FがEの親の子要素にあたる親子関係の軸に現れ、かつ、E自身ではない関係とし、かつその場合に限る。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23903	B		伯父	おじ	uncle	6.に示す[XPATH]の用語を用いて表すXBRLインスタンス内の要素間の関係。要素Fが要素Eの伯父の関係にあるとは、FがEの親の兄弟である関係とし、かつ、その場合に限	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23904	B		概念	がいねん	concept	構文的には、item要素の代替グループ又はtuple要素の代替グループに含まれるように定義するXMLスキーマ要素定義。意味論的には、事業活動又は事業活動の性質について報告可能な事実の定義。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23905	B		具象要素	ぐしょうようそ	concrete element	XMLスキーマ宣言では、abstract属性が“false”の値をとり、その結果として、XMLインスタンス文書中に現れてよい要素。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23906	B		文脈	ぶんみゃく	context	XBRLインスタンス文書のなかで、ルート要素の子として出現する要素。事業体、報告期間及びシナリオを記述する要素。これらが集まって、項目の値を理解するために必要な、適切な文脈を与える。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23907	B		発見可能なタクソノミ集合、DTS	はっけんかのうなたくそのみしゅうごう、DTS	Discoverable Taxonomy Set	DTSは、タクソノミ スキーマ及びリンクベースの集合体。DTSの範囲は、DTSに含まれるタクソノミ スキーマ並びにリンクベースのリンク又は参照をたどることで発見できるすべてのタクソノミ スキーマ及びリンクベースを含む。最低限、DTS内のタクソノミ スキーマの一つは、xbrl-instance-2003-12-31.xsdをインポートしなくてはならない。発見の詳細な手順	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23908	B		重複項目	ちょうふくこうもく	duplicate item	同じ文脈に属し、かつ、親を同じくする、二つの同一概念の項目。正式な定義は、4.10に	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23909	B		重複タプル	ちょうふくたぷる	duplicate tuple	その子孫がすべて同じ内容をもつ二つのタプル。より正確には、二つのタプルが、p-同等であり、かつ、その子タプルすべてが、もう一方のタプルの子タプルとp-同等であることを除き重複し、かつ、その子項目すべてが、もう一方のタプルの子項目とp-同等であることを除き重複する。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23910	B		要素	ようそ	element	XMLスキーマを用いて定義するXML要素。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23911	B		事業体	じぎょうたい	entity	XBRL項目が対象とするビジネス実体。6.に示す [XML] 又は [SGML] 概念における構文上の “entity” を意味する場合には、その旨指摘する。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23912	B		本質概念	ほんしつがいねん	essence concept	アークロールがhttp://www.xbrl.org/2003/arcrole/essence aliasである定義アークの “from” 側の概念。essence-alias関係によって関連付ける別名概念における妥当な値は、常に、本質概念においても妥当な値であるという意味において、別名概念と本質概	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23913	B		本質項目	ほんしつこうもく	essence item	要素が本質概念であるインスタンス文書内の項目。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23914	B		拡張リンク	かくちょうりんく	extended link	6.に示す [XLINK] で定義された構文を用いて拡張リンクとして認識される要素。拡張リンクは、拡張リンクが含む情報と第三の文書が含む情報との一連の関係を表す。詳細は、	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23915	B		事実	じじつ	fact	事業報告の対象となる事実。単純な事実の場合、比率で表す値をとる単一の事実であるときを除き、その値を単純な内容として表さなければならない。複合的な事実の場合、他	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23916	B		インスタンス文書名前空間	いんすたんすぶんしょなまえくうかん	instance namespace	この規格で用いるXBRL 2.1インスタンスの次に示す名前空間。 http://www.xbrl.org/2003/instance	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23917	B		項目	こうもく	item	XBRL item要素の代替グループに属する要素。項目は、事実の単一の値をもち、事実を正確に解釈するために必要なcontext要素（及び数値的項目の場合にはunit要素）への参照を含む。項目が、あるタプルの子として出現する場合、それと同じタプルの子である他の項目及びタプルに照らして解釈する必要がある。項目には、数値項目及び非数値項目がある。数値項目では、計量の精度及び計量単位を記述しなければならない。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23918	B		最も近い共通先祖要素	もっともちかいきょうつうせんぞようそ	least common ancestor	インスタンス文書において、二つの要素の共通の先祖であり、かつ、これら二つの要素の6. に示す [XPATH] で定義する先祖の軸にこの先祖要素の子が現れない要素。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23919	B		リンクベース	りんくべーす	linkbase	6.に示す [XLINK] の拡張リンクの集合体。リンクベースは、タクソノミ中の概念の意味を記述する。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23920	B		リンクベース名前空間	りんくべーすなまえくうかん	linkbase namespace	この規格で用いるXBRL 2.1リンクベースの次に示す名前空間。 http://www.xbrl.org/2003/linkbase	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23921	B		位置指定子	いちしていし	locator	概念をそれぞれ個別に識別するタクソノミ スキーマ要素定義へのXPointer(6. に示す [XPTR] 参照）による位置指定子は、拡張リンクアークに対して指し示す場所を固定する。詳細は、3.5.3.7による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23922	B		非数値項目	ひすうちこうもく	non-numeric item	数値項目ではない項目。特に、日付は、数値ではない。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23923	B		数値項目	すうちこうもく	numeric item	単純な内容の項目の場合、decimal（10進小数）、float（4byteの浮動小数）又はdouble（8byteの浮動小数）といったXMLスキーマの原始型から制限（restriction）によって派生させた項目。複合的な内容の項目の場合、XBRLで定義する型である分数型（fractionItemType）を制限によって派生させた項目。項目型の詳細は、5.1.1.3による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23924	B		報告期間	ほうこくきかん	period	時点又は期間。事業報告では、財務数値及びその他の事実を、ある時点又は一定の報告期間の“その時現在の状況（as of）”に関して報告する。通常事実は、時点及び期間に関するものとする。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23925	B		p-同等	p-どうとう	p-equal	親同等。同じ親をもつインスタンス内の項目又はタプルを、p-同等とする。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23926	B		資源	しげん	resource	概念又は項目についての追加情報を提供する拡張リンクに含まれるXML素片。詳細は、3.5.3.8による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23927	B		XBRLインスタンス文書のルート	XBRLいんすたんすぶんしょのるーと	root of an XBRL instance	xbrl要素。通常、どのXML文書にも、XBRLインスタンスを埋め込むことが可能である。このとき、xbrl要素は、XBRLインスタンスのコンテナである。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23928	B		s-同等	えすどうとう	s-equal	構造同等。XML値空間において等しい又はそのXMLノードのXBRL関連の下位要素及び属性がs-同等である項目をs-同等とする。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23929	B		タクソノミ	たくそのみ	taxonomy	XMLスキーマ及びそのスキーマからlinkbaseRef要素を用いて参照するXBRLリンクベースの集合及びそのリンクベースに入れ子にされて含まれるリンクベースの集合。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23930	B		タクソノミ スキーマ	たくそのみすきーま	taxonomy schema	XMLスキーマ（6.に示す[SCHEMA-1]参照）。タクソノミスキーマの大部分がタクソノミ中の概念構文の定義に当てられることが多い。3.1、5.及び5.1で詳細に規定する。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23931	B		タプル	たぷる	tuple	XBRL tuple要素の代替グループに属する要素。タプルは、複合的な事実において部分を束ねるために用いる。タプルの構成要素は、それぞれが事実であるが、お互いを参照して解釈しなければならない。例えば、正確に理解されるためには、会社の取締役の氏名、年齢及び報酬は、一緒に記述される必要がある。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23932	B		単位	たんい	unit	XBRLインスタンスのルート要素の子として出現するXML素片。単位は、数値項目の計量単位を示す。それぞれのunit要素は、一つの計量単位だけを記述することができる。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23933	B		u-同等	u-どうとう	u-equal	単位同等。同じ計量単位をもつ数値項目は、u-同等とする。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23934	B		v-同等	v-どうとう	v-equal	値同等。同じ値をもつc-同等な非数値項目、又はそれぞれの精度、推定した精度若しくはdecimals属性の小さい値で定義する許容値の範囲内で等しい数値をもつc-同等な数値項目。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23935	B		XBRLインスタンス文書	XBRLいんすたんすぶんしょ	XBRL instance	xbrl要素をルート要素とするXML素片。XBRLインスタンス文書は、それらを支持するDTSで定義する概念に対応する事実報告の事実を含む。XBRLインスタンス文書は、インスタンスの事実を解釈するために必要な追加情報を提供する文脈及び単位を含む。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23936	B		x-同等	x-どうとう	x-equal	Xパス同等。Xパスの“=” 演算子がtrue値を返す。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2005	XBRL2.1	2003					
23937	A		抽象要素	ちゅうしょうようそ	abstract element	XMLスキーマ宣言では、abstract属性が“true”の値をとり、その結果として、XMLインスタンス文書では用いることができない要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23938	A		別名概念	べつめいがいねん	alias concept	アークロールがhttp://www.xbrl.org/2003/arcrole/essence-aliasである定義アークの“to” 側の概念。essence-alias関係によって関係付ける別名概念における妥当な値は、常に、本質概念においても妥当な値であるという意味において、別名概念と本質概念とは、定義的に同値とする。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23939	A		別名項目	べつめいこうもく	alias item	要素が別名概念であるインスタンス文書内の項目。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23940	A		アーク	あーく	arc	位置指定子を結び付けることによって、概念同士を関連付ける要素。アークは、概念の位置指定子を資源自体に結び付けることによって、概念と資源を関連付ける。アークは、事実の位置指定子を脚注拡張リンク内の脚注資源に関連付けるためにも用いる。 アークは、拡張リンク中で表現する関連の性質を記述する一連の属性をもつ。すべてのアークは、xlink:arcrole属性をもつ。この属性が、記述している関連付けの意味を決定す	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23941	A		c-同等	c-どうとう	c-equal	文脈同等。c-同等である文脈に属する、同じ項目型をもつ複数の項目、項目の集合又は項目の順。定義は、4.10による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23942	A		先祖	せんぞ	ancestor	[XPATH]の用語を用いて表されるインスタンス内の要素間の関係を用いて定義される。ある要素に対して、その要素のancestor軸に現れる要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23943	A		子	こ	child	[XPATH]の用語を用いて表されるインスタンス内の要素間の関係を用いて定義される。ある要素に対し、その要素のchild軸に現れる要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23944	A		子孫	しそん	descendant	[XPATH]の用語を用いて表されるインスタンス内の要素間の関係を用いて定義される。ある要素に対し、その要素のdescendant軸に現れる要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23945	A		祖父	そふ	grandparent	[XPATH]の用語を用いて表されるインスタンス内の要素間の関係を用いて定義される。ある要素に対し、その親要素の親要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23946	A		親	おや	parent	[XPATH]の用語を用いて表されるインスタンス内の要素間の関係を用いて定義される。ある要素に対し、その要素のparent軸に現れる要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23947	A		兄弟	きょうだい	sibling	[XPATH]の用語を用いて表されるインスタンス内の要素間の関係を用いて定義される。ある要素に対し、その要素の親要素のchild軸に現れ、かつ、その要素自身ではない要	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23948	A		伯父	おじ	uncle	[XPATH]の用語を用いて表されるインスタンス内の要素間の関係を用いて定義される。ある要素に対し、その要素の親要素の兄弟要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23949	A		概念	がいねん	concept	構文的には、item要素の代替グループ又はtuple要素の代替グループに含まれるように定義するXMLスキーマ要素定義。意味論的には、事業活動又は事業活動の性質について報告可能な事実の定義。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23950	A		具象要素	ぐしょうようそ	concrete element	XMLスキーマ宣言では、abstract属性が“false”の値をとり、その結果として、XMLインスタンス文書中に現れてよい要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23951	A		文脈	ぶんみゃく	context	XBRLインスタンス文書のなかで、ルート要素の子として出現する要素。事業体、報告期間及びシナリオを記述する要素。これらが集まって、項目の値を理解するために必要な、適切な文脈を与える。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23952	A		カスタムの（標準で提供されず、利用者が個別に定義して使用する。）アーク要素	かすたむの（ひょうじゅんでていきょうされず、りようしゃがこべつにていぎしてしようする。）あーくようそ	custom arc element	xl:arcから派生（derive）させた、この規格で規定していないアーク要素。カスタムのアーク要素は、link:presentationArc要素、link:calculationArc要素、link:labelArc要素、link:referenceArc要素又はlink:definitionArc要素のいずれでもない。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23953	A		カスタムの拡張リンク要素	かすたむのかくちょうりんくようそ	custom extended link element	xl:linkから派生させた、この規格で規定していない拡張リンク要素。カスタムの拡張リンク要素は、link:presentationLink要素、link:calculationLink要素、link:labelLink要素、link:referenceLink要素又はlink:definitionLink要素のいずれでもない。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23954	A		カスタムの資源要素	かすたむのしげんようそ	custom resource element	xl:resourceから派生させた、この規格で定義していないし資源要素。カスタムの資源要素は、link:label要素、link:reference要素又はlink:footnote要素のいずれでもない。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23955	A		発見可能なタクソノミ集合、DTS	はっけんかのうなたくそのみしゅうごう、DTS	Discoverable Taxonomy Set	DTSは、タクソノミ スキーマ及びリンクベースの集合体。DTSの範囲は、DTSに含まれるタクソノミ スキーマ並びにリンクベースのリンク又は参照をたどることで発見できるすべてのタクソノミ スキーマ及びリンクベースを含む。最低限、DTS内のタクソノミ スキーマの一つは、xbrl-instance-2003-12-31.xsdをインポートしなくてはならない。発見の詳細な手順	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23956	A		重複項目	ちょうふくこうもく	duplicate item	同じ文脈に属し、かつ、親を同じくする、二つの同一概念の項目。正式な定義は、4.10に	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23957	A		重複タプル	ちょうふくたぷる	duplicate tuple	その子孫がすべて同じ内容をもつ二つのタプル。より正確には、二つのタプルが、p-同等であり、かつ、その子タプルすべてが、もう一方のタプルの子タプルとp-同等であることを除き重複し、かつ、その子項目すべてが、もう一方のタプルの子項目とp-同等であることを除き重複する。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23958	A		要素	ようそ	element	XMLスキーマを用いて定義するXML要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23959	A		事業体	じぎょうたい	entity	XBRL項目が対象とするビジネス実体。箇条6.に示す [XML] 又は [SGML] 概念における構文上の “entity” を意味する場合には、その旨指摘する。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23960	A		本質概念	ほんしつがいねん	essence concept	アークロールがhttp://www.xbrl.org/2003/arcrole/essence aliasである定義アークの“from” 側の概念。essence-alias関係によって関連付ける別名概念における妥当な値は、常に、本質概念においても妥当な値であるという意味において、別名概念と本質概	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23961	A		本質項目	ほんしつこうもく	essence item	要素が本質概念であるインスタンス文書内の項目。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23962	A		拡張リンク	かくちょうりんく	extended link	箇条6.に示す [XLINK] で定義された構文を用いて拡張リンクとして認識される要素。拡張リンクは、拡張リンクが含む情報と第三の文書が含む情報との一連の関係を表す。詳細は、3.5.2.4による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23963	A		事実	じじつ	fact	事業報告の対象となる事実。単純な事実の場合、比率で表す値をとる単一の事実であるときを除き、その値を単純な内容として表さなければならない。複合的な事実の場合、他の単純な事実及び/又は複合的な事実によって値を形成する。単純な事実は、項目を用いて表現し、この規格では、項目 (item) と呼ぶ。複合的な事実は、タプルを用いて表現し、この規格では、タプル (tuple) と呼ぶ。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23964	A		インスタンス文書名前空間	いんすたんすぶんしょなまえくうかん	instance namespace	この規格で用いるXBRL 2.1インスタンスの次に示す名前空間。 http://www.xbrl.org/2003/instance	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23965	A		項目	こうもく	item	XBRL item要素の代替グループに属する要素。項目は、事実の単一の値をもち、事実を正確に解釈するために必要なcontext要素（及び数値的項目の場合にはunit要素）への参照を含む。項目が、あるタプルの子として出現する場合、それと同じタプルの子である他の項目及びタプルに照らして解釈する必要がある。項目には、数値項目及び非数値項目がある。数値項目では、計量の精度及び計量単位を記述しなければならない。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
23966	A		最も近い共通先祖要素	もっともちかいきょうつうせんぞようそ	least common ancestor	インスタンス文書において、二つの要素の共通の先祖であり、かつ、これら二つの要素の箇条6. に示す [XPATH] で定義する先祖の軸にこの先祖要素の子が現れない要素。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23967	A		リンクベース	りんくべーす	linkbase	箇条6.に示す [XLINK] の拡張リンクの集合体。リンクベースは、タクソノミ中の概念の意味を記述する。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23968	A		リンクベース名前空間	りんくべーすなまえくうかん	linkbase namespace	この規格で用いるXBRL 2.1リンクベースの次に示す名前空間。 http://www.xbrl.org/2003/linkbase	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23969	A		位置指定子	いちしていし	locator	概念をそれぞれ個別に識別するタクソノミ スキーマ要素定義へのXPointer(箇条6. に示す [XPTR] 参照)による位置指定子は、拡張リンクアークに対して指し示す場所を固定する。詳細は、3.5.3.7による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23970	A		非数値項目	ひすうちこうもく	non-numeric item	数値項目ではない項目。特に、日付は、数値ではない。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23971	A		数値項目	すうちこうもく	numeric item	単純な内容の項目の場合、decimal(10進小数)、float(4byteの浮動小数)又はdouble(8byteの浮動小数)といったXMLスキーマの原始型から制限 (restriction) によって派生させた項目。複合的な内容の項目の場合、XBRLで定義する型である分数型(fractionItemType) を制限によって派生させた項目。項目型の詳細は、5.1.1.3による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23972	A		報告期間	ほうこくきかん	period	時点又は期間。事業報告では、財務数値及びその他の事実を、ある時点又は一定の報告期間の“その時現在の状況 (as of)”に関して報告する。通常事実は、時点及び期間	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23973	A		p-同等	p-どうとう	p-equal	親同等。同じ親をもつインスタンス内の項目又はタプルを、p-同等とする。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23974	A		資源	しげん	resource	概念又は項目についての追加情報を提供する拡張リンクに含まれるXML素片。詳細は、3.5.3.8による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23975	A		XBRLインスタンス文書のルート	XBRLいんすたんすぶんしょのるーと	root of an XBRL instance	xbrl要素。通常、どのXML文書にも、XBRLインスタンスを埋め込むことが可能である。このとき、xbrl要素は、XBRLインスタンスのコンテナである。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23976	A		s-同等	s-どうとう	s-equal	構造同等。XML値空間において等しい又はそのXMLノードのXBRL関連の下位要素及び属性がs-同等である項目をs-同等とする。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23977	A		標準のアーク要素	ひょうじゅんのあーくようそ	standard arc element	xl:arcから派生させた、この規格で定義しているアーク要素。標準のアーク要素は、link:presentationArc要素、link:calculationArc要素、link:labelArc要素、link:referenceArc要素又はlink:definitionArc要素のうちのいずれかである。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23978	A		標準の拡張リンク要素	ひょうじゅんのかくちょうりんくようそ	standard extended link element	xl:linkから派生させた、この規格で定義している拡張リンク要素。標準の拡張リンク要素は、link:presentationLink要素、link:calculationLink要素、link:labelLink要素、link:referenceLink要素又はlink:definitionLink要素のうちのいずれかである。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23979	A		標準の資源要素	ひょうじゅんのしげんようそ	standard resource element	xl:resourceから派生させた、この規格で定義している資源要素。標準の資源要素は、link:label要素、link:refernce要素又はlink:footnote要素のうちのいずれかである。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23980	A		タクソノミ	たくそのみ	taxonomy	XMLスキーマ及びそのスキーマからlinkbaseRef要素を用いて参照するXBRLリンクベースの集合及びそのリンクベースに入れ子にされて含まれるリンクベースの集合。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23981	A		タクソノミ スキーマ	たくそのみすきーま	taxonomy schema	XMLスキーマ(箇条6.に示す[SCHEMA-1]参照)。タクソノミスキーマの大部分がタクソノミ中の概念構文の定義に当てられることが多い。3.1、箇条5.及び5.1で詳細に規定する。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23982	A		タプル	たぷる	tuple	XBRL tuple要素の代替グループに属する要素。タプルは、複合的な事実において部分を束ねるために用いる。タプルの構成要素は、それぞれが事実であるが、お互いを参照して解釈しなければならない。例えば、正確に理解されるためには、会社の取締役の氏名、年齢及び報酬は、一緒に記述される必要がある。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23983	A		単位	たんい	unit	XBRLインスタンスのルート要素の子として出現するXML素片。単位は、数値項目の計量単位を示す。それぞれのunit要素は、一つの計量単位だけを記述することができる。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23984	A		u-同等	u-どうとう	u-equal	単位同等。同じ計量単位をもつ数値項目は、u-同等とする。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23985	A		v-同等	v-どうとう	v-equal	値同等。同じ値をもつc-同等な非数値項目、又はそれぞれの精度、推定した精度若しくはdecimals属性の小さい値で定義する許容値の範囲内で等しい数値をもつc-同等な数値項目。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23986	A		XBRLインスタンス文書	XBRLいんすたんすぶんしょ	XBRL instance	xbrl要素をルート要素とするXML素片。XBRLインスタンス文書は、それらを支持するDTSで定義する概念に対応する事業報告の事実を含む。XBRLインスタンス文書は、インスタンスの事実を解釈するために必要な追加情報を提供する文脈及び単位を含む。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23987	A		x-同等	x-どうとう	x-equal	Xパス同等。Xパスの“=” 演算子がtrue値を返す。正式な定義は、4.10による。	JIS X 7206	2010	XBRL2.1	2003					
23988	A		グリッドシステム	ぐりっどしすてむ	grid sysem	コンピュータ、ストレージ及びネットワークといった資源の物理的位置やハードウェアを意識することなく、必要な資源を必要な時に必要なだけ利用可能なシステムであり、異機種及び/又は地理的に分散した、複数のコンピュータ資源を仮想化技術を用いて統合した	JIS X 7301	2010							
23989	A		提供物	ていきょうぶつ	service	提供者が、利用者に便宜を与えるために提供するシステム。	JIS X 7301	2010							
23990	A		提供者	ていきょうしゃ	supplier	グリッドシステムの全部又は一部を提供物として提供する人。	JIS X 7301	2010							
23991	A		利用者	りようしゃ	user	提供者が提供する提供物を利用する人又はシステム。	JIS X 7301	2010							
23992	A		アクセス	あくせす	access	利用者が自身の権限に従って、提供物を直接利用する操作。	JIS X 7301	2010							
23993	A		ネゴシエーション	ねごしえーしょん	negotiation	利用者の権限では取得できない情報の参照、設定の変更など、利用者が自身の権限によっては実施できない処理を、提供者に依頼することによって間接的に提供物を利用す	JIS X 7301	2010							
23994	A		コントロール	こんとろーる	control	提供者が提供物を管理・運用するための操作。	JIS X 7301	2010							
23995	A		サービス能力	さーびすのうりょく	service capability	提供物が示す能力に関する項目。	JIS X 7301	2010							
23996	A		サポート	さぽーと	support	利用者が提供物を利用するに当たって提供者支援することに関する項目。	JIS X 7301	2010							
23997	A		機密性	きみつせい	confidentiality	情報そのものを、又は情報を処刑し格納する情報システムを、認可されていない利用者に対して、使用不可または非公開にする特性。	JIS X 7301	2010							
23998	A		完全性	かんぜいせい	integrity	情報そのもの、又は情報を処理し格納する情報システムの、正確さ及び完全さを保護す	JIS X 7301	2010							
23999	A		可用性	かようせい	availability	認可された利用者が要求したときに、情報そのもの、又は情報を処理し格納する情報システムに対して、アクセス及び使用が可能である特性。	JIS X 7301	2010							
24000	A		資源	しげん	resource	提供物の構成要素。	JIS X 7301	2010							
24001	A		サービスレベル合意書	さーびすれべるごういしょ	SLA, Service Lavel Agreement	書面にした提供者と利用者との合意書であって、サービス及び合意したサービスレベルを記述したもの。	JIS X 7301	2010							
24002	A		運用ポリシ	うんようぽりし		提供者が、事前に提供物の割当て方法、及びアクセス制限を規定した内容。	JIS X 7301	2010							
24003	A		利用ポリシ	りようぽりし		利用者が、事前に提供物の割当て方法を要求する内容。利用者と提供者とが、事前に提供物の割当て方法を合意した内容。	JIS X 7301	2010							
24004	A		情報技術装置	じょうほうぎじゅつそうち	computer and business equipment	家庭、オフィス、コンピュータ室、通信機器の設置場所又は同様の設置環境において、情報処理に使われる機器及びその構成要素。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24005	A		機械のロット	きかいのろっと	batch(lot) of machine(s)	同じ機能を果たすよう、同じ技術仕様で量産され、同じ表示騒音放射値で特性付けられる情報技術装置の一群。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24006	A		アイドルモード	あいどるもーど	idling mode	必要なウォームアップ後、機器に通電はしているが作動していない状態として、JIS X 7779に規定する条件。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24007	A		作動モード	さどうもーど	operating mode	機器が目的とする機能を果たしている状態として、JIS X 7779に規定する条件。複数の作動条件が適用可能な場合は、その機器の利用形態の多くを代表するような条件を用いなければならない。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24008	A		デシベル単位のA特性音響パワーレベル	でしべるたんいのAとくせいおんきょうぱわーれべる	A-weighted sound power level in decibels), LWA	JIS X 7779に従い、周波数重みAを使って算出した機器の音響パワーレベル。基準音響パワーは1pW。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24009	A		デシベル単位のA特性放射音圧レベル	でしべるたんいのAとくせいほうしゃおんあつれべる	A-weighted emission sound pressure level in decibels), LPA	JIS X 7779に従い、オペレータ位置において、又はオペレータ位置が定義されていない場合、バイスタンダ位置において、周波数重みAを使って算出した機器の放射音圧レベル。基準音圧は20μPa。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24010	A		実測値	じっそくち	measured value	JIS X 7779に従い、個々の機械における測定から算出したA特性音響パワーレベルLWAの値及びA特性放射音圧レベルLPAの値。実測値を丸めてはならない。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24011	A		表示騒音放射値	ひょうじそうおんほうしゃち	declared noise emission values	表示A特性音響パワーレベルLWAdの値又は表示A特性放射音圧レベルLPAmの値、若しくは両方。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24012	A		ベル単位の表示A特性音響パワーレベル	べるたんいのひょうじAとくせいおんきょうぱわーれべる	declared A-weighted sound power level in bels, LWAd	デシベル単位のA特性音響パワーレベルLWAの10分の1であって、個々の機械又はあるロット内のすべての機械に対して表示した値。この表示した値とは、機械が新品であるとき、個々の機械のA特性音響パワーレベルLWAの10分の1の値、及び/又はロット内のある規定されたかなりの比率の部分のA特性音響パワーレベルLWAの10分の1の値が、それ未満であることを示す限度のことである。6.の検証方法は、表示騒音放射値LWAdよりも大きなA特性音響パワーレベルLWAをもつ機器がロット内の6.5%を超えない確率が95%になるように設定されている。LWAdの値は、最も近い0.1ベル(B)に丸める。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24013	A		デシベル単位の表示A特性放射音圧レベル	でしべるたんいのひょうじAとくせいほうしゃおんあつれべる	declared A-weighted emission sound pressure level in decibels, LpAm	機械が新品のとき、個々の機械に対して表示されるA特性放射音圧レベルLpAの値、又は機械のロットに対して表示されるA特性放射音圧レベルLpAの算術平均の値。LpAの測定位置とは、JIS X 7779で定義するオペレータ位置、又はオペレータ位置が定義されていない場合、バイスタング位置である。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24014	A		繰返し性の標準偏差	くりかえしせいのひょうじゅんへんさ	standard deviation of repeatability, σr	繰返し性条件、すなわち、同じ条件(同じ実験室、同じ測定者、同じ測定器)の下で、比較的短い時間間隔で、同じ機械に、同じ騒音放射測定方法(JIS X 7779)を繰返し適用して得られた実測値の標準偏差。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24015	A		再現性の標準偏差	さいげんせいのひょうじゅんへんさ	standard deviation of reproducibility, σR	再現性条件、すなわち、異なる時間に、異なる条件(異なる実験室、異なる測定者、異なる測定器)の下で、同じ機械に、同じ騒音放射測定方法(JIS X 7779)を繰返し適用して得られた実測値の標準偏差。したがって、再現性の標準偏差には、繰返し性の標準偏差	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24016	A		生産の標準偏差	せいさんのひょうじゅんへんさ	standard deviation of production, σp	同じファミリーに属する機器のロットの異なる個体に対し、繰返し性条件(同じ実験室、同じ測定者、同じ測定器)の下で、同じ騒音放射測定方法(JIS X 7779)を適用して得られた実測値の標準偏差。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24017	A		全標準偏差	ぜんひょうじゅんへんさ	total standard deviation,	再現性の標準偏差と生産の標準偏差の二乗和の平方根として、次の式で与えられるも	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24018	A		基準標準偏差	きじゅんひょうじゅんへんさ	reference standard deviation, σM	情報技術装置専用に規定された全標準偏差であって、この種の機器のロットに対して代表的と考えられる値。LWAの基準標準偏差は、σM=2.0dBとする。	JIS X 7778	2001	ISO 9296	1988				1988	ISO/TC43
24019	A		騒音放射通則規格、B-タイプ規格	そうおんほうしゃつうそくきかく、B-たいぷきかく	basic noise emission standard, B-type standard	機器の種類を問わず、それから発生する騒音のレベルの算出手順を規定した規格であって、得られる結果に対する信頼性と再現性に対し、一定の精度のグレードをもつも	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24020	A		騒音試験規定(個別規格)、C-タイプ規格	そうおんしけんきてい(こべつきかく)、C-たいぷきかく	noise test code, C-type standard	ある特定のクラス、種類(ファミリー)又は型番(タイプ)の機器に適用される規格であって、標準化された条件の下、その騒音放射特性の算出、表示及び検証を効率的に行うために必要なあらゆる事項を規定したもの。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24021	A		情報技術装置	じょうほうぎじゅつそうち	information technology and telecommunications equipment	家庭、オフィス、コンピュータ室、通信機器の設置場所、又は同様の設置環境において、情報処理に使われる機器及びその構成要素。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24022	A		ファンクショナルユニット	ふぁんくしょなるゆにっと	functional unit	識別番号をもち、所定の仕事を行う能力をもつ物理的な装置(ハードウェア)の総称。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24023	A		作業位置	さぎょういち	work station	作業環境内においてオペレータが作業を行うところ。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24024	A		作動モード	さどうもーど	operating mode	試験中の機器が、その目的とする機能を果たしている状態。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24025	A		アイドルモード	あいどるもーど	idle mode	機器に通電してはいるが、作動はしていない定常な状態。そのような状態は、一つとは限らず、複数存在することがある。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24026	A		床置き機器	ゆかおききき	floor-standing equipment	床の上に設置するように設計されたファンクショナルユニット。それ自身のスタンドをもつことも、もたないこともある。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24027	A		卓上機器	たくじょうきき	table-top equipment	専用の筐体をもつファンクショナルユニットであって、テーブル、机又は独立したスタンド上に設置されるか、若しくはそこで使用するように設計されたもの。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24028	A		壁付け機器	かべつけきき	wall-mounted equipment	通常、壁面を背にするか、又は壁の中に据え付けられるファンクショナルユニットであり、それ自身のスタンドをもたないもの。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24029	A		サブアセンブリ	さぶあせんぶり	sub-assembly	他のユニット内に設置されるか、又はある筐体内に他のユニットとともに組み立てられるに設計されたファンクショナルユニット。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24030	A		ラック組込み機器	らっくくみこみきき	rack-mounted equipment	エンドユーザ用の筐体内に、サブアセンブリを一つ又は複数設置したもの。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24031	A		標準試験卓	ひょうじゅんしけんたく	standard test table	少なくとも0.5㎡の上面をもつ(上面の長さが0.7m以上)剛性の高いテーブル。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24032	A		音圧	おんあつ	sound pressure, p	測定時間中の時間平均二乗音圧の平方根。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24033	A		時間平均音圧レベル	じかんへいきんおんあつれべる	time-averaged sound pressure level, LpT	測定時間T内で、時間とともに変動する対象音と同じ平均二乗音圧をもつ、連続で定常な音の音圧レベル。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24034	A		放射音圧レベル	ほうしゃおんあつれべる	emission sound pressure level, Lp	対象とする音源が所定の設置条件で反射面上に据え付けられ、所定の作動をしているときに、音源近傍の指定位置において、ある特定の時間重み及びある特定の周波数重みを使って実測した音圧レベルから、暗騒音の影響を除外したもの。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24035	A		時間平均放射音圧レベル	じかんへいきんほうしゃおんあつれべる	time-averaged emission sound pressure level,	測定時間Tの間で、時間とともに変動する対象音と同じ平均二乗音圧をもつ、連続で定常な音の放射音圧レベル。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24036	A		A特性インパルス音圧レベル	Aとくせいいんぱるすおんあつれべる	A-weighted impulse sound pressure level, LpAI	騒音計(sound level meter)をIEC 60651に規定する時間重みI(Impulse)に設計して測定したA特性音圧レベル。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24037	A		C特性ピーク音圧レベル	Cとくせいぴーくおんあつれべる	C-weighted peak sound pressure level, Lpcpeak	一つの作動サイクルの中で発生するC特性瞬時音圧の絶対値の最大値を20μPaを基準としてレベル化したもの。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24038	A		音響パワー	おんきょうぱわー	sound power, W	一つの音源から単位時間当たりに放射される空気伝搬音のエネルギー。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24039	A		基準音源	きじゅんおんげん	reference sound source	安定な音源として利用することを目的とした装置であり、対象周波数範囲にわたり、あらかじめ校正された広帯域の音響パワースペクトル特性をもち、JIS Z 8739に適合したも	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24040	A		対象周波数範囲	たいしょうしゅうはすうはんい	frequency range of interest	オクターブバンドの中心周波数で125Hz～8000Hzの範囲(1/3オクターブバンドの場合、中心周波数で100Hz～10000Hzの範囲)。	JIS X 7779	2001	ISO 7779/Amd.1(DIS	1999/2001				1999	ISO/TC43
24041	A		サンプル	さんぷる	sample	データ取得サブシステムによる出力としての利用者のバイオメトリック測定値。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24042	A		特徴	とくちょう	features	登録テンプレートを構築又は比較するために使用する、(信号処理サブシステムによって)サンプルから抽出した情報のデジタル表現。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24043	A		テンプレート、モデル	てんぷれーと、もでる	template, model	登録サンプルから抽出した特徴と蓄積されたテンプレートから抽出した特徴との間の類似度、又はそれらの特徴がいかによく利用者の参照モデルに適合しているかの尺度。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24044	A		照合得点	しょうごうとくてん	matching score, similarity score	サンプルから抽出した特徴と蓄積されたテンプレートから抽出した特徴との間の類似度、又はそれらの特徴がいかによく利用者の参照モデルに適合しているかの尺度。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24045	A		照合判定	しょうごうはんてい	verification decision	システムにおいて利用者が行う認証要求の正当性を確度高く判定すること。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24046	A		候補リスト	こうほりすと	candidate list	識別入力試行[又は予備選択(プリセレクション)アルゴリズム]によって生成される、ある被験者に関する可能性のある登録者の集合。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24047	A		識別判定	しきべつはんてい	identification decision	システムにおいて利用者の身元を候補リストから確度高く判定すること。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24048	A		提示	ていじ	presentation	利用者の特定の身体部位についての単一のバイオメトリックサンプルが提出されること。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24049	A		入力試行	にゅうりょくしこう	attempt	システムに対する一つ(又は一連)のバイオメトリックサンプルの提示。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24050	A		トランザクション	とらんざくしょん	transaction	生態情報登録、照合又は識別を目的とした利用者による一連の入力試行。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24051	A		本人入力試行	ほんにんにゅうりょくしこう	genuine attempt	自分自身の登録テンプレートと合致させようとする利用者による使用法に忠実な単一の入力試行。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24052	A		意図的でない偽者入力試行	いとてきでないにせものにゅうりょくしこう	zero-effort impostor attempt	個人があたかも自分自身のテンプレートとの照合を成功させようとするように、自分自身の生体特徴を提示して、他の利用者のテンプレートと比較する入力試行。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24053	A		意図的な偽者入力試行	いとてきなにせものにゅうりょくしこう	active impostor attempt	個人が擬似又は複製バイオメトリックサンプルを提示するか、又は自分自身の生体特徴を意図的に部分修正することによって、他人の登録されたテンプレートと合致させようと	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24054	A		提示効果	ていじこうか	presentation effects	利用者固有の生体特徴をセンサが取得する仕方に影響を与える多数の変量の影響。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24055	A		チャネル効果	ちゃねるこうか	channel effects	センサ及び伝送チャネルのサンプリング、雑音及び周波数応答特性による、変換及び伝送処理中に提示された信号が受ける変化。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24056	A		利用者	りようしゃ	user	バイオメトリックサンプルをシステムに提示する者。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24057	A		被験者	ひけんしゃ	test subject	そのバイオメトリックデータが評価の一部として登録又は比較されることになる利用者。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24058	A		被験者集団	ひけんしゃしゅうだん	crew	評価のために集めた被験者の集団。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24059	A		対象母集団	たいしょうぼしゅうだん	target population	その性能を評価中であるアプリケーションの利用者の集団。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24060	A		運用責任者	うんようせきにんしゃ	administrator	試験又は生体情報登録を実施する者。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24061	A		オペレータ	おぺれーた	operator	システム操作者。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24062	A		観測者	かんそくしゃ	observer	試験データを記録するか又は被験者集団を監視する試験要員。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24063	A		試験責任者	しけんせきにんしゃ	experimenter	試験の定義、設計及び分析に対する責任者。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24064	A		試験機関	しけんきかん	test organization	試験を主催し、実施する主体。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24065	A		テクノロジ評価	てくのろじひょうか	technology evaluation	既存の又は特別に収集したサンプルのコーパスを用いた、同じバイオメトリックモダリティの一つ以上のアルゴリズムに対するオフライン評価。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24066	A		シナリオ評価	しなりおひょうか	scenario evaluation	包括的なシステム性能を判定するプロトタイプ又は模擬的なアプリケーションに対する評	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24067	A		運用評価	うんようひょうか	operational evaluation	バイオメトリックシステム全体の性能を判定する特定の対象母集団をもつ特定のアプリケーション環境に対する評価。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24068	A		オンライン(連体修飾)	おんらいん(れんたいしゅうしょく)	online	画像又は信号の提示時に実行される(連体修飾語で、登録、照合などに前置される。)。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24069	A		オフライン(連体修飾)	おふらいん(れんたいしゅうしょく)	offline	画像又は信号の提示とは切り離して実行される(連体修飾語で、登録、照合などに前置される。)。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24070	A		照合	しょうごう	verification	利用者による肯定的な身元確認要求に対して、提示されたサンプルバイオメトリック測定値から生成した特徴を要求身元の登録テンプレートと比較し、身元確認要求に関する諾否の決定を返すアプリケーション。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24071	A		識別	しきべつ	identification	登録データベースの検索を実行し、0個又は1個以上の身元情報からなる候補リストを返すアプリケーション。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24072	A		登録者限定識別	とうろくしゃげんていしきべ	closed-set identification	すべての潜在的利用者がシステムに登録されている識別。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24073	A		登録者非限定識別	とうろくしゃひげんていしきべつ	open-set identification	すべての製剤的利用者がシステムに登録されているとは限らない識別。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24074	A		生体情報登録失敗率、FTE	せいたいじょうほうとうろくしっぱいりつ、FTE	failure-to-enrol rate, FTE	ある集団に対して登録処理を行った場合に、システムが登録処理を完了できなかった人数の割合。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24075	A		取得失敗率、FTA	しゅとくしっぱいりつ、FTA	failure-to-acquire rate, FTA	システムが適切な品質の画像若しくは信号を取り込むか、又は位置を特定するすることができなかった照合若しくは識別入力試行の割合。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24076	A		誤非合致率、FNMR	ごひがっちりつ、FNMR	false non-match rate, FNMR	サンプルを供給した利用者から登録したある生体特徴のテンプレートに合致しないと誤判定された本人入力試行の割合。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24077	A		誤合致率、FMR	ごがっちりつ、FMR	false match rate, FMR	意図的でない偽者入力試行が、試行者本人以外のテンプレートに合致すると誤判定される割合。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24078	A		誤拒否率、FRR	ごきょひりつ、FRR	false reject rate, FRR	本人の身元確認要求の照合トランザクションにおいて、誤って拒否する率。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24079	A		誤受入率、FAR	ごうけいれりつ、FAR	false accept rate, FAR	他人の身元確認要求の照合トランザクションにおいて、誤って受理する率。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24080	A		(正受入)識別率	(せいうけいれ)しきべつりつ	(true-positive) identification rate,	システムに生体情報を登録した利用者による識別トランザクションにおいて、システムの出力が利用者の正しい身元情報を含む率。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24081	A		誤拒否識別率、FNIR	ごきょひしきべつりつ、FNIR	false-negative identification-error rate,	システムに生体情報を登録した利用者による識別トランザクションにおいて、システムの出力が利用者の正しい身元情報を含まない率。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24082	A		誤受入識別率、FPIR	ごうけいれしきべつりつ、FPIR	false-positive identification-error rate,	システムに生体情報を登録していない利用者による識別トランザクションにおいて、システムの出力がいずれかの身元情報を含む率。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24083	A		予備選択アルゴリズム	よびせんたくありごりずむ	pre-selection algorithm	登録データベースとの識別検索において、照合しなければならないテンプレートの数を減らすためのアルゴリズム。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24084	A		予備選択誤り	よびせんたくあやまり	pre-selection error	(予備選択アルゴリズムにおいて)同一利用者の同一生体特徴からサンプルが与えられたとき、対応する登録テンプレートが予備選択候補内に含まれない誤り。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24085	A		絞込み率	しぼりこみりつ	penetration rate	(予備選択アルゴリズムにおいて)予備選択されるテンプレート数の平均値とテンプレート総数との比。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24086	A		識別順位	しきべつじゅんい	identification rank	利用者の正しい身元が識別システムの出力した身元リストの中にある場合、その順位。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24087	A		検出エラートレードオフ曲線、DET曲線	けんしゅつえらーとれーどおふきょくせん、DETきょくせん	detection error trade-off curve, DET curve	2種の誤り率を両軸(第1種の誤りをx軸、第2種の誤りをy軸)にプロットするように、ROC曲線を変形したもの。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24088	A		照合精度特性曲線、ROC曲線	しょうごうせいどとくせいきょくせん、ROCきょくせん	receiver operating characteristic curve, ROC curve	判定いき(閾)値を媒介変数として、第2種の誤り率(例えば、受理された偽者入力試行率)をx軸に、“1から、対応する第1種の誤り率を引いたもの”(例えば、受理された本人入力試行率)をy軸にしてプロット曲線。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24089	A		累積識別精度特性曲線、CMC曲線	るいせきしきべつせいどとくせいきょくせん、CMCきょくせん	cumulative match characteristic curve, CMC curve	順位値をx軸に、その順位以内での正しい識別率をy軸に記入した、識別試験の結果のグラフ。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24090	A		分散, *V*	ぶんさん、*V*	variance, *V*	統計分布の広がりの尺度。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24091	A		信頼区間	しんらいくかん	confidence interval	下側推定値*L*、上側推定値*U*を端点とする区間であって、パラメタ*x*に対して、*x*の真の値が*L*と*U*との間にある確率が規定値(例えば、95%)であるもの。	JIS X 8101-1	2010	ISO/IEC 19795-1	2006				2006	SC37
24092	A		バイオメトリック参照データ(テンプレート、モデル)	ばいおめとりっくさんしょうでーた(てんぷれーと、もでる)	biometric reference (template model)	利用者ごとに格納された登録サンプルから抽出された特徴に基づく参照基準。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24093	A		特徴抽出器	とくちょうちゅうしゅつき	feature extractor	サンプルから特徴を抽出する機構。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24094	A		バイオメトリック参照データ生成器	ばいおめとりっくさんしょうでーたせいせいき	biometric reference generator	サンプルをバイオメトリック参照データに変換する機構。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24095	A		順化	じゅんか	acclimatization	評価の全過程を通して、サンプルを処理するセンサの能力に影響を及ぼす可能性のあるバイオメトリック特徴の時間的に変化し得る条件に適応が起きること。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24096	A		取組みレベル	とりくみれべる	effort level	バイオメトリックシステムに正しく登録、若しくはマッチングするために必要な提示、入力試行又はトランザクションの数。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24097	A		登録試行	とうろくしこう	enrolment attempt	バイオメトリックシステムにおいて、登録のための一人の被験者からの一つ以上のバイオメトリックサンプルの提出。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24098	A		登録試行の限度	とうろくしこうのげんど	enrolment attempt limit	一人の被験者が登録トランザクションの終了前に許可される最大入力試行数、又は最大所要期間。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24099	A		登録提示	とうろくていじ	enrolment presentation	登録のための一人の被験者におけるバイオメトリック特徴の実態の提出。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24100	A		登録提示の限度	とうろくていじのげんど	enrolment presentation	一人の被験者が登録トランザクションの終了前に許可される最大提示数、又は最大所要	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24101	A		ガイダンス	がいだんす	guidance	登録又は認識の過程で運用責任者から被験者に示される指示。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24102	A		習熟	しゅうじゅく	habituation	ある装置に対する被験者の精通度合い。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24103	A		比較試行	ひかくしこう	comparison attempt	バイオメトリックシステムにおいて、ある被験者に関する一つ以上のバイオメトリックサンプルを比較のために提出すること。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24104	A		比較試行の限度	ひかくしこうのげんど	comparison attempt limit	一人の被験者が比較処理の終了前に許可される最大入力試行数、又は最大所要期間。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24105	A		比較提示	ひかくていじ	comparison presentation	比較を目的とした、一被験者当たり一つの生体特徴の実態の提示。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24106	A		比較提示の限度	ひかくていじのげんど	comparison presentation limit	一人の被験者が比較試行の終了前に許可される最大提示数、又は最大所要時間。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24107	A		収集時不適合率	しゅうしゅうじふてきごうりつ	failure at source rate	テクノロジ評価に使用するために、手動又は自動でバイオメトリックデータを集めているときにコーパスから廃棄されるサンプルの割合。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24108	A		影響因子	えいきょういんし	influencing factors	性能に影響を与える要因	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24109	A		頑強性試験	がんきょうせいしけん	robustness test	影響因子がバイオメトリックシステムの性能に与える影響を評価する試験	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24110	A		意図的な偽造による入力試行	いとてきなぎぞうによるにゅうりょくしこう	active forgery attempt	似せたり複製したバイオメトリックサンプル又は故意に改変した自分のバイオメトリック特徴量を提示することによって、合致してはならないバイオメトリック参照データと合致させることを目的とした入力試行。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24111	A		偽造の種類	ぎぞうのしゅるい	forgery type	偽造方法の種類。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24112	A		偽造の程度	ぎぞうのていど	forgery level	偽造の入念さの程度。	JIS X 8101-2	2010	ISO/IEC 19795-2	2007				2007	SC37
24113	B		情報アクセシビリティ	じょうほうあくせしびりてい		高齢者・障害者が、情報通信機器、ソフトウェア及びサービスを支障なく操作又は利用できる機能。	JIS X 8341-1	2004							
24114	B		基本機能	きほんきのう		情報通信機器、ソフトウェア及びサービスが提供する主たる機能であって、製品カテゴリ茜一に共通する機能であり、付帯的な機能でないもの。	JIS X 8341-1	2004							
24115	B		アクセス可能な情報	あくせすかのうなじょうほう		通信機器ソフトウェア及びサービス高齢者・障害者が支障なく、操作又は利用できる、情報通信機器、ソフトウェア及びサービス。	JIS X 8341-1	2004							
24116	B		情報アクセシビリティ開発者	じょうほうあくせしびりていかいはつしゃ		アクセス可能な情報通信機器、ソフトウェア及びサービスを企画・開発・設計する個人、組織、及び企業。	JIS X 8341-1	2004							
24117	B		サービス	さーびす		情報通信機器の使用によって提供される便益。	JIS X 8341-1	2004							
24118	B		サポート	さぽーと		情報通信機器、ソフトウェア及びサービスの利用に関する支援又は情報の提供。	JIS X 8341-1	2004							
24119	B		高齢者・障害者支援技術	こうれいしゃ・しょうがいしゃしえんぎじゅつ		高齢者・障害者が、情報通信機器、ソフトウェア及びサービスを操作又は利用するときに、その操作又は利用を助ける技術。	JIS X 8341-1	2004							
24120	A		アクセシビリティ	あくせしびりてい	accessibility	様々な能力をもつ最も幅広い層の人々に対する製品、サービス、環境又は施設(のインタラクティブシステム)のユーザビリティ。	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4
24121	A		支援技術	しえんぎじゅつ	assistive technology	システムに追加又は内蔵されるハードウェア又はソフトウェアであって、個人のアクセシビリティを向上させるもの。	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4
24122	A		利用の状況	りようのじょうきょう	context of use	利用者、仕事、機器(ハードウェア、ソフトウェア及び資材)、並びに製品が利用される物理的環境及び社会的環境[JIS Z 8521:1999の定義3.5]。	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4
24123	A		情報通信技術	じょうほうつうしんぎじゅつ	information/communication technology	情報を収集、蓄積、検索、処理、分析及び送信する技術。	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4
24124	A		インタラクティブシステム	いんたらくていぶしすてむ	interactive system	利用者の仕事の達成をサポートするために、利用者から入力を受信し、出力を送信する、ハードウェア及びソフトウェアの構成要素によって結合されたもの[JIS Z 8530:2000の	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4
24125	A		スクリーンリーダ	すくりーんりーだ	screen reader	オペレーティングシステムを介して利用可能な情報と組み合わさる支援技術であって、これによって利用者は幾つかのウィンドウから選択し、コントロール(操作部、コントローラ)の状態を知り、テキストを点字又は音声に変換して読むことができるもの。	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24126	A		ユーザビリティ	ゆーざびりてい	usability	ある製品が、指定された利用者によって、指定された利用の状況下で、指定された目的を達成するために用いられる場合の、有効さ、効率及び利用者の満足度の度合い[JIS Z 8521:1999の定義3.1]。	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4
24127	A		利用者	りようしゃ	user	情報通信機器又はサービスのやり取りをする個人。	JIS X 8341-1	2010	ISO 9241-20	2008				2008	TC159/SC4
24128	A		非テキスト	ひてきすと		文字以外の画像、音声、動画などをいう。	JIS X 8341-3	2004							
24129	A		代替情報	だいたいじょうほう		非テキスト情報を表示・再生できない場合に、代わりに使用する主としてテキストを用い	JIS X 8341-3	2004							
24130	A		ウェブコンテンツ	うぇぶこんてんつ		利用者がウェブブラウザなどを用いてアクセスするあらゆる情報、サービス。	JIS X 8341-3	2004							
24131	A		表示スタイル	ひょうじすたいる		ウェブコンテンツを表示するときに用いる様式。	JIS X 8341-3	2004							
24132	A		電気通信機器	でんきつうしんきき		電気通信に関する設備の中において、電気通信サービスの利用者が直接操作する機	JIS X 8341-4	2005							
24133	A		電気通信アクセシビリティ	でんきつうしんあくせしびりてい		主に高齢者・障害者が電気通信機器及び電気通信サービスを支障なく操作又は利用することが可能であること。	JIS X 8341-4	2005							
24134	A		電気通信サービス	でんきつうしんさーびす		電気通信に関する設備を用いて利用者に提供される便益。	JIS X 8341-4	2005							
24135	A		電気通信アクセシビリティ開発者	でんきつうしんあくせしびりていかいはつしゃ		アクセス可能な電気通信機器、ソフトウェア及びサービスを、企画・開発・設計する個人、組織、及び企業。	JIS X 8341-4	2005							
24136	A		字	じ		情報を表記するための図形。英字、数字、記号などはすべてこれに含まれる。	JIS X 9001	1976							
24137	A		字形	じけい		個々の字の形状。	JIS X 9001	1976							
24138	A		字体	じたい		一群の字に対して統一的に定められた字形の一組。組全体に対する大きさ及び縦横比の変化にかかわらず字体は同一であるとみなす。	JIS X 9001	1976							
24139	A		OCR-A、OCR-B	OCR-A、OCR-B	OCR-A, OCR-B	この規格で定める字体の呼び(3.字体の種類と呼び参照)。	JIS X 9001	1976							
24140	A		心線字形	しんせんじけい		字の骨組みを表す線描きの字形。	JIS X 9001	1976							
24141	A		字枠	じわく		字形設計の基本的条件として、心線字形の存在範囲を限定した長方形。字体及びサイズにより異なる。(備)1.分離記号並びにOCR-Bの英小文字及び記号のうち幾つかの心線字形は、この長方形をはみ出す。2.字抹消記号と行抹消記号には、心線字形を定義し	JIS X 9001	1976							
24142	A		線幅	せんぷく		字形を構成する線素の幅。	JIS X 9001	1976							
24143	A		基底線	きていせん		同一行に印字した字の垂直相対位置を定めるための水平線。	JIS X 9001	1976							
24144	A		参照線	さんしょうせん		字の水平方向位置を定めるための基底線に垂直な直線。	JIS X 9001	1976							
24145	A		一定線幅字形	いっていせんぷくじけい		字の線幅が一定である字形。	JIS X 9001	1976							
24146	A		非定線幅字形	ひていせんぷくじけい		字の線幅が一定でない字形。(備)非定線幅字形は、線幅のわずかな変化によって美的効果を与えたものである。	JIS X 9001	1976							
24147	A		磁気インキ	じきいんき		磁化することができ、電気磁気的方法で感知することができるインキ。	JIS X 9002	1980							
24148	A		磁気インキ文字	じきいんきもじ		磁気インキで印字された文字。単に文字ともいう。	JIS X 9002	1980							
24149	A		ストローク	すとろーく		14種類の数字及び記号からなるE13B型の個々の文字の名称。	JIS X 9002	1980							
24150	A		水平基準線	すいへいきじゅんせん		文字の垂直方向の相対寸法を規定するための基準線。	JIS X 9002	1980							
24151	A		垂直基準線	すいちょくきじゅんせん		文字の水平方向の相対寸法を規定するための基準線。	JIS X 9002	1980							
24152	A		平均線ふち	へいきんせんふち		文字線のふちのおうとつを平均に2分する仮想的な線。	JIS X 9002	1980							
24153	A		公称寸法	こうしょうすんぽう		文字の水平基準線及び垂直基準線から線ふちまでの標準寸法。	JIS X 9002	1980							
24154	A		文字設計マトリックス	もじせっけいまとりっくす		文字の字形を設計するのに基準となる7×9個のます目。	JIS X 9002	1980							
24155	A		文字の線幅	もじのせんぷく		文字線の両側の平均線ふち間の距離。	JIS X 9002	1980							
24156	A		文字間隔	もじかんかく		隣接する文字の右端の平均線ふち間の距離。	JIS X 9002	1980							
24157	A		字並び	じならび		文字の上下の位置ずれ。	JIS X 9002	1980							
24158	A		ボイド	ぼいど		平均線ふちの内部において磁気インキが紙面に付着していないかけの部分。	JIS X 9002	1980							
24159	A		クリアバンド	くりあばんど		磁気インキ文字が印字される帯状の区域。このバンド内には、磁気インキ文字以外のどのような磁気インキも付着してはならない。	JIS X 9002	1980							
24160	A		スポット	すぽっと		クリアバンドの内部において、磁気インキが紙面に付着している余分な磁気インキの部	JIS X 9002	1980							
24161	A		印字欄	いんじらん		クリアバンド内で印字のためにあらかじめ定められた区域。	JIS X 9002	1980							
24162	A		共通印字欄	きょうつういんじらん		印字の内容が利用者に共通な一定の様式に従う印字欄。	JIS X 9002	1980							
24163	A		固定様式	こていようしき		印字の内容が利用者間で定められた約束に従う様式。	JIS X 9002	1980							
24164	A		可変様式	かへんようしき		印字の内容が個々の利用者の必要に応じて自由に変えられる様式。	JIS X 9002	1980							
24165	A		標準印字見本	ひょうじゅんいんじみほん		非常に精密に印刷されたE13B型字体の各文字からなり、各文字の公称信号レベルを設定するための一組の印字見本。	JIS X 9002	1980							
24166	A		補助印字見本	ほじょいんじみほん		できるだけ標準印字見本に近い相対信号レベルを持つ印字見本で、信号レベルの測定に使用する試験装置の目盛の校正に使用するためのもの。	JIS X 9002	1980							
24167	A		字	じ		情報を表記するための図形。片仮名及び記号などは、すべてこれに含まれる。	JIS X 9003	1980							
24168	A		字形	じけい		個々の字の形状。	JIS X 9003	1980							
24169	A		字体	じたい		一群の字に対して統一的に定められた字形の一組。	JIS X 9003	1980							
24170	A		心線字形	しんせんじけい		字の骨組みを表す線描きの字形。	JIS X 9003	1980							
24171	A		字枠	じわく		いずれの心線字形をも囲むことのできる最小の長方形。	JIS X 9003	1980							
24172	A		線幅	せんぷく		字形を構成する線素の幅。	JIS X 9003	1980							
24173	A		基底線	きていせん		同一行に印字した字の垂直相対位置を定めるための水平線。	JIS X 9003	1980							
24174	A		参照線	さんしょうせん		字の水平方向位置を定めるための基底線に垂直な直線。	JIS X 9003	1980							
24175	A		帳票	ちょうひょう		OCRへの入力媒体。	JIS X 9004	1983							
24176	A		スペクトルバンド	すぺくとるばんど		OCRに使用する用紙、インキ及び印字図形の光学的特性を規定するために設定した分光波長領域。近紫外から近赤外にわたる数種の区分がある。	JIS X 9004	1983							
24177	A		反射率	はんしゃりつ		光学的に同じ状態に置いた被測定物と完全拡散反射体(1)からの反射光量の比。(注)(1)測定では、白の標準と呼ぶ白色板を用いる。白の標準としては、硫酸バリウム(BaSO4)などを用いる。	JIS X 9004	1983							
24178	A		汚点	おてん		用紙上で周囲より明らかに反射率の低い部分。	JIS X 9004	1983							
24179	A		裏当て法	うらあてほう		反射率及び不透明度の測定時に使用する方法。十分な裏当て法とは、測定しようとする試料と同質の用紙を裏当てしたとき、その用紙の枚数を2倍にしても測定値の変化が認められないように裏当てする方法をいい、黒の裏当て法とは、反射率が0.5%以下の黒色板を試料の裏当てとする方法をいう。	JIS X 9004	1983							
24180	A		印字図形	いんじずけい		帳票上に印字した文字及びその周囲の余白部を含む図形。	JIS X 9004	1983							
24181	A		線素	せんそ		個々の文字を構成する幅をもった線分。	JIS X 9004	1983							
24182	A		心線	しんせん		標準字形の骨組みを表す線素の中心線。	JIS X 9004	1983							
24183	A		レンジ	れんじ		印字品質の許容限界の程度。X、Y及びZの3区分がある。	JIS X 9004	1983							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24184	A		COL	COL	Character Outline Limits	標準線幅からのずれに対し、許容できる限界を示す輪郭線。最大限界を示す最大COLと最小限界を示す最小COLとがある。	JIS X 9004	1983							
24185	A		COLゲージ	COLげーじ		印字図形の寸法上の特性を測定するためのゲージ。最大COL、最小COL及び心線字形が表示してある。	JIS X 9004	1983							
24186	A		カットオフ	かっとおふ		文字の片側で線素の一部が非対称に欠落した状態。高速印字装置などで起こりやすい	JIS X 9004	1983							
24187	A		カットオフ限界線	かっとおふげんかいせん		許容するカットオフの限界を示す境界線。レンジ2用のCOLゲージだけにある。	JIS X 9004	1983							
24188	A		カットオフ中心線	かっとおふちゅうしんせん		カットオフ限界線と最小COLの間に描く円の中心の軌跡がなす線分。カットオフを伴う印字図形の測定において心線に代えて用いる。	JIS X 9004	1983							
24189	A		最良一致	さいりょういっち		文字が最小COL内をできるだけ多く満たし、同時に最大COLからのはみ出しが最も少なくなるように合わせたCOLゲージと文字図形の相対位置。	JIS X 9004	1983							
24190	A		PCS	PCS	Print Contrast Signal	用紙と印字図形のコントラストを表す量。	JIS X 9004	1983							
24191	A		基本PCS	きほんPCS		一つの文字内でCOLの心線に沿って測定した一連のPCS。機器による印字図形の測定に用いる。	JIS X 9004	1983							
24192	A		PCS 80%	PCS 80%		COLの心線上で測定したPCS値のうち、大きい方から80%を選んだとき、その中で最も小	JIS X 9004	1983							
24193	A		コントラスト変動比	こんとらすとへんどうひ		文字内でインキの濃い部分と薄い部分のPCS値の比。COLの心線上で測定する。	JIS X 9004	1983							
24194	A		ボイド	ぼいど		最小COLの内側で文字の残りの部分より明らかに反射率の高い部分。	JIS X 9004	1983							
24195	A		線縁	せんえん		線素部と背景部との境界線。	JIS X 9004	1983							
24196	A		線縁の凹凸	せんえんのおうとつ		線縁が最小COLの内側又は最大COLの外側にはみ出している部分。	JIS X 9004	1983							
24197	A		スポット	すぽっと		最大COLの外側で背景より明らかに反射率の低い部分。	JIS X 9004	1983							
24198	A		検査対象領域	けんさたいしょうりょういき		印字図形の光学的特性を測定する範囲。文字とその周囲の余白部を含む長方形の領	JIS X 9004	1983							
24199	A		帳票基準辺	ちょうひょうきじゅんへん		印字位置の基準となる帳票の辺。	JIS X 9004	1983							
24200	A		文字境界	もじきょうかい		1辺が帳票基準辺に平行で、1文字のすべての線素をその内部に含む最小の長方形。	JIS X 9004	1983							
24201	A		行境界	ぎょうきょうかい		1辺が帳票基準辺に平行で、その行のすべての文字境界を含む最小の長方形。	JIS X 9004	1983							
24202	A		文字間余白	もじかんよはく		同一行境界内で相互に隣接する2文字の、文字境界間の水平距離。	JIS X 9004	1983							
24203	A		文字間隔	もじかんかく		同一行境界内で相互に隣接する2文字の、文字境界の垂直2等分線間の水平距離。	JIS X 9004	1983							
24204	A		字並び	じならび		同一行境界内にある二つの文字境界のおのおのの基底線間の垂直距離。	JIS X 9004	1983							
24205	A		印字領域	いんじりょういき		1辺が帳票辺に平行で、1行中の1組の認識対象文字を印字するために、あらかじめ定めた長方形の領域。	JIS X 9004	1983							
24206	A		クリアエリア	くりあえりあ		1辺が帳票基準辺に平行で、印字領域及びその周囲の余白部を含む長方形の領域。	JIS X 9004	1983							
24207	A		辺からの余裕	へんからのよゆう		各帳票辺から印字領域までの距離。	JIS X 9004	1983							
24208	A		行間余白	ぎょうかんよはく		連続する2行の行境界間の垂直距離。	JIS X 9004	1983							
24209	A		行間隔	ぎょうかんかく		連続する2行の行境界の水平2等分線間の垂直距離。	JIS X 9004	1983							
24210	A		片仮名	かたかな		アイウエオ カキクケコ サシスセソ タチツテト ナニヌネノ ハヒフヘホ マミムメモ ヤユヨ ラリルレロ ワヲン ゛(濁点)、゜(半濁点)、ー(長音記号)の49文字。	JIS X 9005	1979							
24211	A		字形	じけい		個々の片仮名の形状。	JIS X 9005	1979							
24212	A		字体	じたい		一群の片仮名に対し規範として定められた字形の一組。	JIS X 9005	1979							
24213	A		線素	せんそ		個々の字形を構成する幅を持った線。	JIS X 9005	1979							
24214	A		線幅	せんぷく		字形を構成する線素の幅。	JIS X 9005	1979							
24215	A		空げき(隙)	くうげき		字形で故意に保った線素間のすき間。	JIS X 9005	1979							
24216	A		突出し	つきだし		長い線素にほぼ直交して伸びている短い線素。これは、ア、ウ、オ、カ、キ、ケ、サ、セ、タ、ナ、ヌ、ヒ、ホ、マ、ム、メ、ヤの字に見られる(4.の各字形を参照)	JIS X 9005	1979							
24217	A		かぎ(鉤)	かぎ		長い線素の始め又は終わりに、その線素とほぼ直交するように付ける短い線素。これは、ウ、カ、シ、セ、ソ、ツ、ヤ、ワ、ンの字に見られる(4.の各字形を参照)。	JIS X 9005	1979							
24218	A		短線素	たんせんそ		複数個の線素で構成されている字形において、比較的短い線素。これは、シ、ソ、ツ、ネ、ホ、ン、゛の字形に見られる(4.の各字形を参照)。	JIS X 9005	1979							
24219	A		おう(凹)部の深さ	おうぶのふかさ		かぎ(鉤)のある線素などで保つべきおう(凹)部の水平又は垂直に測った深さ(付図1参	JIS X 9005	1979							
24220	A		帳票基準辺	ちょうひょうきじゅんへん		機械読取りの際に基準となる辺(付図2参照)。	JIS X 9005	1979							
24221	A		記入わく	きにゅうわく		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する、一つの片仮名を書く場所を示す長方形(内側)(付図2参照)。	JIS X 9005	1979							
24222	A		記入わくの幅	きにゅうわくのはば		記入わくを構成する垂直線間の水平距離(付図2参照)。	JIS X 9005	1979							
24223	A		記入わくの高さ	きにゅうわくのたかさ		記入わくを構成する水平線間の垂直距離(付図2参照)。	JIS X 9005	1979							
24224	A		記入帯	きにゅうたい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する、1行中の一組の連続した記入わくをすべて含む最小の長方形領域(付図3参照)。	JIS X 9005	1979							
24225	A		記入わく間隔	きにゅうわくかんかく		同一記入帯内の隣接する二つの記入わくの幅の垂直二等分線間の水平距離(付図2参	JIS X 9005	1979							
24226	A		行間隔	ぎょうかんかく		列方向に隣接する二つの記入わくの高さの垂直二等分線間の垂直距離(付図2参照)。	JIS X 9005	1979							
24227	A		記入わく間余白	きにゅうわくかんよはく		同一記入帯内で相互に隣接する二つの記入わくの水平距離(付図2参照)。	JIS X 9005	1979							
24228	A		文字境界	もじきょうかい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する、一つの字形のすべての線素をその内容に含む最小の長方形(付図2参照)。	JIS X 9005	1979							
24229	A		線素境界	せんそきょうかい		ある文字を構成する一つの線素を字形とみなしたときにできる文字境界。	JIS X 9005	1979							
24230	A		垂直線素の傾き	すいちょくせんそのかたむき		字形を構成する垂直線素の線素境界における水平の辺と垂直の辺との比(付図4参	JIS X 9005	1979							
24231	A		水平線素の傾き	すいへいせんそのかたむき		字形を構成する水平線素の線素境界における垂直の辺と水平の辺との比(付図4参	JIS X 9005	1979							
24232	A		クリアエリア	くりあえりあ		帳票基準辺に平行又は垂直な辺を有する記入帯及びその回りの余白部を含む長方形領域(付図3参照)。	JIS X 9005	1979							
24233	A		ドロップアウトカラー	どろっぷあうとからー		人間の眼には周囲の余白部とはっきり区別できるが、当該OCRにはほとんど感知し得ない色相と濃さを持った色。	JIS X 9005	1979							
24234	A		数字	すうじ		0、1、2、3、4、5、6、7、8、9のアラビア数字。	JIS X 9006	1979							
24235	A		字形	じけい		個々の数字の形状	JIS X 9006	1979							
24236	A		字体	じたい		一群の数字に対し、規範として定められた字形の一組。	JIS X 9006	1979							
24237	A		線素	せんそ		個々の字形を構成する幅を持った線。	JIS X 9006	1979							
24238	A		線幅	せんぷく		字形を形成する線素の幅。	JIS X 9006	1979							
24239	A		突出し	つきだし		長い線素にほぼ直交して伸びている短い線素。	JIS X 9006	1979							
24240	A		かぎ(鉤)	かぎ		長い線素の始め又は終わりに、その線素とほぼ直交するように付ける短い線素。	JIS X 9006	1979							
24241	A		帳票基準辺	ちょうひょうきじゅんへん		機械読取りの際に基準となる辺(付図1参照)。	JIS X 9006	1979							
24242	A		記入わく	きにゅうわく		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する、一つの数字を書く場所を示す長方形(内側)(付図1参照)。	JIS X 9006	1979							
24243	A		記入わくの幅	きにゅうわくのはば		記入枠を構成する垂直線間の水平距離(付図1参照)。	JIS X 9006	1979							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24244	A		記入わくの高さ	きにゅうわくのたかさ		記入枠を構成する水平線間の垂直距離(付図1参照)。	JIS X 9006	1979							
24245	A		記入帯	きにゅうたい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する、1行中の一組の記入わくをすべて含む最小の長方形領域(付図2参照)。	JIS X 9006	1979							
24246	A		記入わく間隔	きにゅうわくかんかく		同一記入帯内の隣接する二つの記入枠の幅の垂直二等分線間の水平距離(付図1参	JIS X 9006	1979							
24247	A		行間隔	ぎょうかんかく		列方向に隣接する二つの記入わくの高さの垂直二等分線間の垂直距離(付図1参照)。	JIS X 9006	1979							
24248	A		記入わく間余白	きにゅうわくかんよはく		同一記入帯内で相互に隣接する二つの記入わくの水平距離(付図1参照)。	JIS X 9006	1979							
24249	A		文字境界	もじきょうかい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する、一つの字形のすべての線素をその内部に含む最小の長方形(付図1参照)。	JIS X 9006	1979							
24250	A		線素境界	せんそきょうかい		ある文字を構成する一つの線素を字形とみなしたときにできる文字境界。	JIS X 9006	1979							
24251	A		垂直線素の傾き	すいちょくせんそのかたむ		字形を構成する垂直線素の線素境界における水平の辺と垂直の辺との比(付図3参	JIS X 9006	1979							
24252	A		水平線素の傾き	すいへいせんそのかたむ		字形を構成する水平線素の線素境界における垂直の辺と水平の辺との比(付図3参	JIS X 9006	1979							
24253	A		クリアエリア	くりあえりあ		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する、記入帯及びその回りの余白部を含む長方形領域(付図2参照)。	JIS X 9006	1979							
24254	A		ドロップアウトカラー	どろっぷあうとからー		人間の眼には周囲の余白部とはっきり区別できるが、当該OCRにはほとんど感知し得ない色相と濃さとを持った色。	JIS X 9006	1979							
24255	A		英字	えいじ		ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZの26文字。	JIS X 9007	1981							
24256	A		文字	もじ		情報を表記するためのまとまりを持ったパターン。	JIS X 9007	1981							
24257	A		字形	じけい		個々の英字。	JIS X 9007	1981							
24258	A		字体	じたい		一群の英字に対し規範として定められた字形の一組。	JIS X 9007	1981							
24259	A		線素	せんそ		個々の字形を構成する幅を持った線。	JIS X 9007	1981							
24260	A		線幅	せんぷく		字形を構成する線素の幅。	JIS X 9007	1981							
24261	A		空げき(隙)	くうげき		字形で故意に保った線素間のすき間。これは　　などに見られる(#図有り)。	JIS X 9007	1981							
24262	A		突出し	つきだし		長い線素にほぼ直交して伸びている短い線素。これは　　などに見られる(#図有り)。	JIS X 9007	1981							
24263	A		かぎ(鉤)	かぎ		長い線素の始め又は終わりに、その線素とほぼ直交するように付ける短い線素。これはなどに見られる(#図有り)。	JIS X 9007	1981							
24264	A		おう(凹)部の深さ	おうぶのふかさ		かぎ(鉤)のある線素などで保つべきおう(凹)部の水平又は垂直に測った深さ(付図1参	JIS X 9007	1981							
24265	A		帳票基準辺	ちょうひょうきじゅんへん		機械読取りの際に基準となる辺(付図2参照)。	JIS X 9007	1981							
24266	A		記入わく	きにゅうわく		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する一つの英字を書く場所を示す長方形(内側)(付図2参照)。	JIS X 9007	1981							
24267	A		記入わくの幅	きにゅうわくのはば		記入わくを構成する垂直線間の水平距離(付図2参照)。	JIS X 9007	1981							
24268	A		記入わくの高さ	きにゅうわくのたかさ		記入わくを構成する水平線間の垂直距離(付図2参照)。	JIS X 9007	1981							
24269	A		記入帯	きにゅうたい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する1行中の一組の連続した記入わくをすべて含む最小の長方形領域(付図3参照)。	JIS X 9007	1981							
24270	A		記入わく間隔	きにゅうわくかんかく		同一記入帯内の隣接する二つの記入わくの幅の垂直二等分線間の水平距離(付図2参	JIS X 9007	1981							
24271	A		行間隔	ぎょうかんかく		列方向に隣接する二つの記入わくの高さの垂直二等分線間の垂直距離(付図2参照)。	JIS X 9007	1981							
24272	A		記入わく間余白	きにゅうわくかんよはく		同一記入帯内で相互に隣接する二つの記入わくの水平距離(付図2参照)。	JIS X 9007	1981							
24273	A		文字境界	もじきょうかい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する一つの字形のすべての線素をその内部に含む最小の長方形(付図2参照)。	JIS X 9007	1981							
24274	A		線素境界	せんそきょうかい		ある文字を構成する一つの線素を字形とみなしたときにできる文字境界。	JIS X 9007	1981							
24275	A		垂直線素の傾き	すいちょくせんそのかたむ		字形を構成する垂直線素の線素境界における水平の辺と垂直の辺との比(付図4参	JIS X 9007	1981							
24276	A		水平線素の傾き	すいへいせんそのかたむ		字形を構成する水平線素の線素境界における垂直の辺と水平の辺との比(付図4参	JIS X 9007	1981							
24277	A		クリアエリア	くりあえりあ		帳票基準辺に平行又は垂直な辺を有する記入帯及びその周りの余白部を含む長方形領域(付図3参照)。	JIS X 9007	1981							
24278	A		ドロップアウトカラー	どろっぷあうとからー		人間の眼には周囲の余白部とはっきり区別できるが、当該OCR装置にはほとんど感知し得ない色相と濃さを持った色。	JIS X 9007	1981							
24279	A		記号	きごう		+−,#*:;<=>@!"$^()?□%「」(#図有り)の33種。	JIS X 9008	1981							
24280	A		文字	もじ		情報を表記するためのまとまりを持ったパターン。	JIS X 9008	1981							
24281	A		字形	じけい		個々の記号。	JIS X 9008	1981							
24282	A		字体	じたい		一群の記号に対し規範として定められた字形の一組。	JIS X 9008	1981							
24283	A		線素	せんそ		個々の字形を構成する幅を持った線。	JIS X 9008	1981							
24284	A		線幅	せんぷく		字形を構成する線素の幅。	JIS X 9008	1981							
24285	A		空げき(隙)	くうげき		字形で故意に保った線素間のすき間。これは　　などに見られる(#図有り)。	JIS X 9008	1981							
24286	A		突出し	つきだし		長い線素にほぼ直交して伸びている短い線素。これは　　などに見られる(#図有り)。	JIS X 9008	1981							
24287	A		かぎ(鉤)	かぎ		長い線素の始め又は終わりに、その線素とほぼ直交するように付ける短い線素。これはなどに見られる(#図有り)。	JIS X 9008	1981							
24288	A		点	てん		外周が円形となる線素。これは？！．、;などに見られる。	JIS X 9008	1981							
24289	A		おう(凹)部の深さ	おうぶのふかさ		かぎ(鉤)のある線素などで保つべきおう(凹)部の水平又は垂直に測った深さ(付図1参	JIS X 9008	1981							
24290	A		帳票基準辺	ちょうひょうきじゅんへん		機械読取りの際に基準となる辺(付図2参照)。	JIS X 9008	1981							
24291	A		記入わく	きにゅうわく		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する一つの記号を書く場所を示す長方形(内側)(付図2参照)。	JIS X 9008	1981							
24292	A		記入わくの幅	きにゅうわくのはば		記入わくを構成する垂直線間の水平距離(付図2参照)。	JIS X 9008	1981							
24293	A		記入わくの高さ	きにゅうわくのたかさ		記入わくを構成する水平線間の垂直距離(付図2参照)。	JIS X 9008	1981							
24294	A		記入帯	きにゅうたい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する1行中の一組の連続した記入わくをすべて含む最小の長方形領域(付図3参照)。	JIS X 9008	1981							
24295	A		記入わく間隔	きにゅうわくかんかく		同一記入帯内の隣接する二つの記入わくの幅の垂直二等分線間の水平距離。	JIS X 9008	1981							
24296	A		行間隔	ぎょうかんかく		列方向に隣接する二つの記入枠の高さの垂直二等分線間の垂直距離。	JIS X 9008	1981							
24297	A		記入わく間余白	きにゅうわくかんよはく		同一記入帯内で相互に隣接する二つの記入わくの水平距離。	JIS X 9008	1981							
24298	A		文字境界	もじきょうかい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する一つの字形のすべての線素をその内部に含む最小の長方形。	JIS X 9008	1981							
24299	A		線素境界	せんそきょうかい		ある字形を構成する一つの線素を字形とみなしたときにできる文字境界。	JIS X 9008	1981							
24300	A		垂直線素の傾き	すいちょくせんそのかたむ		字形を構成する垂直線素の線素境界における水平の辺と垂直の辺との比。	JIS X 9008	1981							
24301	A		水平線素の傾き	すいへいせんそのかたむ		字形を構成する水平線素の線素境界における垂直の辺と水平の辺との比。	JIS X 9008	1981							
24302	A		クリアエリア	くりあえりあ		帳票基準辺に平行又は垂直な辺を有する記入帯及びその周りの余白部を含む長方形	JIS X 9008	1981							
24303	A		ドロップアウトカラー	どろっぷあうとからー		人間の眼には周囲の余白部とはっきり区別できるが、当該OCR装置にはほとんど感知し得ない色相と濃さを持った色。	JIS X 9008	1981							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24304	A		平仮名	ひらがな		平仮名は、次の85個の文字及び記号とする。“あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの はひふへほ まみむめも やゆよ らりるれろ わゐゑをん がぎぐげご ざじずぜぞ だぢづでど ばびぶべぼ ぱぴぷぺぽ及びぁぃぅぇぉっゃゅょわ。(句点)、(読点)”| JIS X 9009	1991								
24305	A		字形	じけい		実際に書かれたり印刷されたりしたときに実現する図形。	JIS X 9009	1991							
24306	A		字体	じたい		表現された字形の基礎にある文字概念で、個々の文字を識別する要素としての点画、筆画の組合せ方をいう。すなわち、字体は抽象的なものであり、具体的には字形として表	JIS X 9009	1991							
24307	A		線素	せんそ		個々の字形を構成する一筆で書いた線。	JIS X 9009	1991							
24308	A		線幅	せんぷく		線素の幅。	JIS X 9009	1991							
24309	A		空げき(隙)	くうげき		字形を構成する線素の間に保たれるべき有意味の空白。	JIS X 9009	1991							
24310	A		突出し	つきだし		二つの線素が一点で交差又は接触しているとき、基準となる線素に対して交差部から出ている線素の一部。これは、“あ お か き け さ す せ た ち な ぬ ね は ま み む め も や ゆ よ れ わ をぁゃゅょわ”の字形に見られる。	JIS X 9009	1991							
24311	A		はね	はね		ある線素の終端部から他の線素への筆順上の移行を示す付加的部分。これは、“い か い”の字形に見られる。	JIS X 9009	1991							
24312	A		短線素	たんせんそ		複数個の線素で構成されている字形において、比較的短い線素。これは、“う え お そ な ふ む や ら、(読点)ぅぇぉゃ”の字形に見られる。	JIS X 9009	1991							
24313	A		微小ループ	びしょうるーぷ		同一線素の接続、交差により生じる微小な閉じた領域。これは、“お す な ぬ ね は ほ ま み む よ る 。(句点)ゐ ゑぉょ”の字形に見られる。	JIS X 9009	1991							
24314	A		帳票基準辺	ちょうひょうきじゅんへん		機械読取りの際に基準となる辺。横書きの場合は水平に、縦書きの場合は垂直に取る(付図1参照)。	JIS X 9009	1991							
24315	A		記入枠	きにゅうわく		帳票基準辺に平行及び垂直な線で囲まれた、一つの字形を書く場所を示す長方形の内側(付図1参照)。	JIS X 9009	1991							
24316	A		記入枠の幅	きにゅうわくのはば		一つの記入枠を構成する縦線間(内側)の距離(付図1参照)。	JIS X 9009	1991							
24317	A		記入枠の高さ	きにゅうわくのたかさ		一つの記入枠を構成する横線間(内側)の距離(付図1参照)。	JIS X 9009	1991							
24318	A		記入帯	きにゅうたい		帳票基準辺に平行及び垂直な辺を有する1行中の一組の連続した記入枠をすべて含む最小の長方形領域。ただし、1行とは、横書きの場合は横方向に、縦書きの場合は縦方向に取る(付図2参照)。	JIS X 9009	1991							
24319	A		行間隔	ぎょうかんかく		行方向と直交する方向に隣接する二つの記入枠の中心線の距離。ただし、中心線は、横書きの場合は記入枠の垂直辺の垂直二等分線、縦書きの場合は記入枠の水平辺の垂直二等分線とする(付図1参照)。	JIS X 9009	1991							
24320	A		記入枠間余白	きにゅうわくかんよはく		一つの記入帯におけるある記入枠の右端の縦線から次の記入枠の左端の縦線までの距離。縦書きの場合は下端の横線から次の記入枠の上端の横線までの距離(付図1参	JIS X 9009	1991							
24321	A		文字境界	もじきょうかい		帳票基準辺に平行又は垂直な辺を有する、一つの字形のすべての線素をその内部に含む最小の長方形(付図1参照)。	JIS X 9009	1991							
24322	A		クリアエリア	くりあえりあ		帳票基準辺に平行又は垂直な辺を有する記入帯及びその周りの余白部を含む長方形領域(付図2参照)。	JIS X 9009	1991							
24323	A		ドロップアウトカラー	どろっぷあうとからー		人間の眼には周囲の余白部と明確に区別できるが、当該OCRにはほとんど感知し得ない色相、彩度及び明度をもった色。	JIS X 9009	1991							
24324	A		ドット字形	どっとじけい		点の集まりで表現する図形文字の形。	JIS X 9051	1984							
24325	A		16ドット字形	16どっとじけい		横16ドット、縦16ドットで表現したドット字形。	JIS X 9051	1984							
24326	A		縦書き用字形	たてがきようじけい		各行の文字が縦読みになるような文字の並びにおいて使用する字形。	JIS X 9051	1984							
24327	A		マトリックスサイズ	まとりっくすさいず		字形の表現に使用するドット配列の大きさ。	JIS X 9051	1984							
24328	A		ドット字形	どっとじけい		点の集まりで表現する図形文字の形。	JIS X 9052	1983							
24329	A		24ドット字形	24どっとじけい		横24ドット、縦24ドットで表現したドット字形。	JIS X 9052	1983							
24330	A		縦書き用字形	たてがきようじけい		各行の文字が縦読みになるような文字の並びにおいて使用する文字。	JIS X 9052	1983							
24331	A		マトリックスサイズ	まとりっくすさいず		字形の表現に使用するドット配列の大きさ。	JIS X 9052	1983							
24332	B		ファンクションコード	ふぁんくしょんこーど		情報の内容及びけた数を示すための表示記号。ローマ字の英大文字及び特殊記号を用	JIS X 9101	1986				廃2008/9			
24333	B		ハンドスキャナ	はんどすきゃな		手に持って、値札上のシンボルなどをなでることで必要データが自動的に読み取れる装	JIS X 9101	1986				廃2008/9			
24334	B		ハンドラベラ	はんどらべら		手に持って、値札の印字とはり付けを行う機械。	JIS X 9101	1986				廃2008/9			
24335	B		共通商品コード	きょうつうしょうひんこーど		国際的に標準化された商品コード体系。 13けた(標準コード)と8けた(短縮コード)の2通りがある。	JIS X 9101	1986				廃2008/9			
24336	B		ソースマーキング	そーすまーきんぐ		共通商品コードの商品をメーカー又は発売元(ソース)で商品にあらかじめ印刷表示する	JIS X 9101	1986				廃2008/9			
24337	A		検査合計	けんさごうけい	check sum	データの中のある集まりの和であって、ファイルが正しく移ったかの検査の目的に使われるもの。この規格では和の下位8ビットを使用する。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24338	A		色順	しきじゅん	colour sequence	色を媒体上に印刷する順番又はファイル内に格納する数値データの順番。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24339	A		色値	しきち	colour value	画素の色を表現する一組の数値。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24340	A		データ範囲	でーたはんい	data range	データとして与えることのできる数値の範囲。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24341	A		網点面積率	もうてんめんせきりつ	dot percentage	0～100%の数値で表わされる、網点によって覆われる面積の百分率。最明画像部分は、0%又は0%に近い最小網点面積率で表し、最暗画像部分は100%又は100%に近い最大網点面積率で表す。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24342	A		全体的色変更	ぜんたいてきいろへんこう	global colour change	画像の中の色変更を、その画像のすべての部分に一貫して適用すること。他の色変更の方法として、画像の一部の領域を選択して、その他の画像領域とは独立に変更する局所的色変更がある。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24343	A		カラースキャナ	からーすきゃな	input colour scanner	写真又は印刷物の光の反射率又は透過率を電気信号に変換する装置。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24344	A		画像の向き	がぞうのむき	orientation	画像を記録する方向。画像の左上、左下、右上又は右下のいずれかの点から始めて垂直又は水平の向きとする。画像の向きを指定するために使われるコードは、JIS X 9205	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24345	A		画素	がそ	pixel	ディジタル画像を形成する最小の構成要素。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24346	A		点順次	てんじゅんじ	pixel interleaving	シアン、マゼンタ、イエロ(黄)、ブラック(墨)などのデータの順を各画素について色順を同一とし、次々の画素ごとに順次並べて表現するカラー画像データの表現方法。他のカラーデータ順次表現方法として、線順次及び面順次がある。色の特定の順序は、JIS X 9205の中で定義されるフィールド番号によって決定される。	JIS X 9201	2001	ISO 12640-1	1997				1997	ISO/TC130
24347	A		CIE3刺激値	CIE3しげきち	CIE tristimulus values	CIEで規定された3色表色系において、試料の色刺激に色合わせするために必要な原刺激の量。 備考 CIE1931標準表色系では、3刺激は、記号X、Y及びZで表す。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24348	A		CIELAB色差、CIE1976$L^*a^*b^*$色差、ΔE^*	CIELABしきさ、CIE1976$L^*a^*b^*$しきさ、ΔE^*	CIELAB colour difference, CIE1976L^*,a^*,b^* colour difference, ΔE^*_{ab}	L*、a*、b*色空間上でそれらが表される点と点との間の距離として定義される二つの色刺激値の差。 ⊿E*ab=[(⊿L*)2+(⊿a*)2+(⊿b*)2]1/2 ここで、⊿L*、⊿a*及び⊿b*は、二つの色刺激に対する刺激値の間の差を表す。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24349	A		CIELAB色空間、CIE1976$L^*a^*b^*$ colour space	CIELABいろくうかん、CIE1976$L^*a^*b^*$ からーすぺーす	CIELAB colour space, CIE1976$L^*a^*b^*$ colour sapace	3次元のほぼ均等な色空間であって、次式で表現される量、すなわちL*、a*及びb*を直交座標軸として描く色空間。 L*=116[f(Y/Yn)]-16 a*=500[f(X-Xn)-f(Y/Yn)] b*=200[f(Y/Yn)-f(Z/Zn)]	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24350	A		透過率係数	とうかりつけいすう	transmittance factor	測定装置の測定開口部に試料がない場合の測定光束に対する、資料がある場合の測定光束の比。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24351	A		透過濃度	とうかのうど	transmission density	透過率係数の逆数の常用対数。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24352	A		反射率係数	はんしゃりつけいすう	reflectance factor	完全拡散反射面が反射する測定光束に対する、試料が反射する測定光束の比。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24353	A		反射濃度	はんしゃのうど	reflection density	反射率係数の逆数の常用対数。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24354	A		色域	いろいき	colour gamut	装置又は媒体によって再現可能な知覚できる色の部分集合。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24355	A		染料セット	せんりょうせっと	dye set	入射光の選択的吸収(減法混色)によって目的の色を作り出す、個々の写真製品に用いる光を吸収する染料[通常はシアン、マゼンタ及びイエロ(黄)]の組合せ。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24356	A		染料スケール	せんりょうすけーる	dye scale	1種又は複数の染料[シアン、マゼンタ及びイエロ(黄)]の量を変化させた色票の配列。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24357	A		中性スケール	ちゅうせいすけーる	neutral scale	彩度がゼロ又はそれに近い染料の組合せをもつ色票の配列。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24358	A		条件等色の色刺激	じょうけんとうしょくのいろしげき	metameric colour stimuli	同じ3刺激値をもち、分光分布が異なる色刺激。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24359	A		最小濃度	さいしょうのうど	minimun density, D-min	写真製品が達成できる最大透過率係数(フィルムの場合)又は最大反射率係数(印画紙の場合)。 備考 色は必ずしも中性でなくてよい。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24360	A		最小中性濃度	さいしょうちゅうせいのうど	minimum neutral density	写真製品がC^*_{ab}=0で達成できる最小濃度。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24361	A		最大濃度	さいだいのうど	maximum density, D-max	写真製品が達成できる最小透過率係数又は最小反射率係数の濃度。 備考 色は必ずしも中性でなくてよい。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24362	A		最大中性濃度	さいだいちゅうせいのうど	maximum neutral density	写真製品がC*ab=0で達成できる最大濃度。 備考 必ずしも最大濃度でなくてよい。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24363	A		入力スキャナ	にゅうりょくすきゃな	input scanner	写真材料(又は他のハードコピー)の反射率係数又は透過率係数を電気信号に変換する装置。この装置は、評価対象の空間領域と電気信号との間に、組織的な関係を得る。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24364	A		製品固有領域	せいひんこゆうりょういき	product-specific target areas	用件が明確に定義されているが、それらの値が、ターゲットの作成に使用する特定の製品に固有である試験ターゲットの一部。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24365	A		製造業者自由使用領域	せいぞうぎょうしゃじゆうしようりょういき	vendor optional target areas	ターゲットの製造者が使用してよいターゲットの一部でその内容は規定されていない。	JIS X 9202	1999	ISO/IEC 12641	1997				1997	ISO/TC130
24366	A		CIE3刺激値	CIE3しげきち	CIE tristimulus values	CIEで規定された3色表色系において、試料の色刺激に色合わせするために必要な原刺激の量。 備考 CIE1931標準表色系では、3刺激は、記号X、Y及びZで表す。	JIS X 9203	1999	ISO/IEC 12642	1996				1996	ISC/TC130
24367	A		色域	いろいき	colour gamut	装置又は媒体によって再現可能な知覚できる色の部分集合。	JIS X 9203	1999	ISO/IEC 12642	1996				1996	ISC/TC130
24368	A		網点	もうてん	halftone dots	空間周波数又は大きさが変化することで、会長を持った画像を生成する点の集合。網点は、通常、それらがおおう面積の割合で定量的に表される。網点面積の測定は、通常、色分解されたフィルムの上で行われ、マレーデーヴィス(Murray-Davies)の式によって導	JIS X 9203	1999	ISO/IEC 12642	1996				1996	ISC/TC130
24369	A		キーワード値ファイル	きーわーどちふぁいる	keyword value file	自由に拡張できる方法でデータを交換するために、事前に定義されたキーワードとデータ表を使用するファイル。	JIS X 9203	1999	ISO/IEC 12642	1996				1996	ISC/TC130
24370	A		プロセスカラー印刷	ぷろせすからーいんさつ	process colour printing	3色以上の印刷用インキを使用してカラー画像を再現する方法。通常のプロセスインキは、シアン、マゼンタ、イエロ(黄)及びブラック(黒)からなる。	JIS X 9203	1999	ISO/IEC 12642	1996				1996	ISC/TC130
24371	A		インキ値	いんきち	ink value	印刷工程に必要な色材を表すディジタル値。網点印刷では、この値は、網点面積率と等	JIS X 9203	1999	ISO/IEC 12642	1996				1996	ISC/TC130
24372	A		空白文字	くうはくもじ	white space	印字されない文字によって、占有されたデータファイル中のスペース。代表的な例は、スペース(space)(JIS X 0201の位置2/0)、復帰(carriage return)(JIS X 0201の位置1/13)、改行(newline)(JIS X 0201の位置0/10)、タブ(tab)(JIS X 0201の位置0/9)であ	JIS X 9203	1999	ISO/IEC 12642	1996				1996	ISC/TC130
24373	B		検査合計	けんさごうけい	checksum	データの中にある集まりの和であって、検査の目的に使われるもの。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24374	B		色順	しきじゅん	colour sequence	色を媒体上に出力する順番又は数値データとしてファイル内に格納する順番。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24375	B		色値	しきち	colour value	画素の色を表現する一組の数値。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24376	B		全体的色変更	ぜんたいてきいろへんこう	global colour change	画像の中の色変更を、その画像のすべての部分に一貫して適用すること。他の色変更の方法として、一部の領域を選択して、その他の画像領域とは独立に変更する局所的色	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24377	B		画像の向き	がぞうのむき	orientation	画像を記録する方向。画像の左上、左下、右上又は右下のいずれかの点から始めて垂直又は水平の向きとする。画像の向きを指定するために使われるコードは、JIS X 9205	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24378	B		色空間	いろくうかん	colour space	色の幾何学的表示に用いる、通常3次元の空間。この用語は、CIEXYZ、CIELAB及びRGBを記述するために使われる。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24379	B		三刺激値	さんしげきち	tristimulus values	3色素色系において試料の色刺激に等色するために必要な3個の原刺激の量。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24380	B		画素	がそ	pixel	ディジタル画像を形成する最小の構成要素。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2	2004	ISO/TC130
24381	B		点順次	てんじゅんじ	pixel interleaving	(X、Y、Z)、(R、G、B)、又は(L*、a*、b*)のデータの順を各画素について色順を同一とし、次々の画素ごとに順次並べて表現するカラー画像データの表現方法。他のカラーデータ順次表現方法として、線順次及び面順次がある。色の特定の順序は、JIS X 9205の中で定義されるフィールド番号によって決定される。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2 :2004	2004	ISO/TC130
24382	B		イルミナントD65	いるみなんとD65	illuminant D65	相対分光分布で定義された放射のなかで、平均昼光を代表する光。相関色温度は、約6500Kである。CIEが、CIE測色用標準イルミナントD65を測色用標準イルミナントの一つとして規定している。	JIS X 9204	2000				2004/12	ISO 12640-2 :2004	2004	ISO/TC130
24383	A		検査合計	けんさごうけい	check sum	ファイル中の数値の合計であって、ファイルが適切に転送されたかどうかを検査するために使われるもの。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24384	A		色順	しきじゅん	colour sequence	色をデータファイル内に格納する順番。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24385	A		色空間	いろくうかん	colour space	色の幾何学的表示に用いる、通常3次元の空間。この用語は、XYZ及びSRGBを記述するために使われる。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24386	A		全体的色変更	ぜんたいてきいろへんこう	global colour change	画像の中の色変更を、その画像のすべての部分に一貫して適用すること。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24387	A		画像の向き	がぞうのむき	orientation	利用者が観察する画像内容を基準とした、データの原点及び最初の行の向き。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24388	A		画素	がそ	pixel	画像における処理可能な最小要素。その色値が特定の色空間の座標値として符号化されている。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24389	A		画素色値	がそしきち	colour value	画素の色を表現する一組の数値。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24390	A		点順次	てんじゅんじ	pixel interleaving	画素についてのXYZ色空間又はRGB色空間での色値を次々と順次並べたカラーデータの構成方法。色値の各座標値は、どの画素についても同じ順番に並べる。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24391	A		三刺激値	さんしげきち	tristimulus values	三色表色系において試料の色刺激に等色するために必要な3個の原刺激の量。	JIS X 9204	2004	ISO 12640-2	2004				2004	ISO/TC130
24392	B		バイト降順、ビッグエンディアン	ばいとこうじゅん、びっぐえんでぃあん	big-endian(byte-ordering)	バイトアドレスが増加するとともに、16ビットまたは32ビットの符合なし2進整数が最上位バイトから最下位バイトの順に並んでいる状態。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24393	B		バイト昇順、リトルエンディアン	ばいとしょうじゅん、りとるえんでぃあん	little-endian(byte-ordering)	バイトアドレスが増加するとともに、16ビット又は32ビットの符号なし2進整数が最下位バイトから最上位バイトの順に並んでいる状態。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24394	B		オフセット	おふせっと	offset	TIFF/ITファイルの先頭バイトに対する相対アドレス。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24395	B		オフセット値	おふせっとち	offset value	TIFF/ITフィールドの値、又はその値が入っている領域へのオフセットを示す2進整数値。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24396	B		画素	がそ	pixel	画像を形成する最小の構成要素。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24397	B		データセット用網値	でーたせっとようもうち	printing tone value;printing dot value(of a data set)	最終の用紙上に転写するインキ像を形成するための刷版又はフィルム上のパーセント面積値。計算機内のデータとして記録する。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24398	B		入力システム	にゅうりょくしすてむ	reader	入力としてファイルを受け入れ、そのファイルの処理を実行する応用プログラム、システム又はサブシステム。最少機能の入力システムは、あらかじめ定義された基準に基づいてファイルを受け入れるか又は拒絶するかを行い、受け入れた場合、次の処理システムにファイルを渡すものをいう。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24399	B		ランレングス符号化、連長符号化	らんれんぐすふごうか、れんちょうふごうか	run length encoding	同一色値の画素が連続する部分を多く含むデータ列を符号化する方法で、符号化結果は、カラー値とその繰返し回数とを対としたデータ列で表される。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24400	B		分解色版	ぶんかいしきばん	separations	レンダリング過程で用いられる単色版のそれぞれに対応する個々のデータの面。プロセスカラーに対しては、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、及びブラック(K)である。追加の色版は、スポットカラー若しくは特殊な色に対して、又は光沢をもたせるような画像の仕上げ処理に対してしばしば必要となる。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24401	B		列	れつ	string	文字、バイト、整数などの連続したもの。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24402	B		TIFF/ITフィールド、TIFFフィールド	TIFF/ITふぃーるど、TIFFふぃーるど	TIFF/IT field, TIFF field	IFDエントリ(12バイト領域で、画像の諸属性を定義する。)又はIFDエントリが指し示す実際値を含むデータ領域から構成されるデータ列。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24403	B		TIFF/ITタグ	TIFF/ITたぐ	TIFF/IT tag	TIFF/ITファイル内の各エントリに対して一義的な数字で表現した識別子。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24404	B		透明色	とうめいしょく	transparent colour	下層に画像があれば透けて見えることを示す属性。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24405	B		トラッピング	とらっぴんぐ	trapping	印刷工程での寸法変化を考慮した版の修正技法。印刷機の見当合わせ誤差のため、着色せずに残りそうな色と色との境界部で、指定の色が重なるように印刷する分解色版を	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24406	B		偶数境界そろえ	ぐうすうきょうかいそろえ	word-aligned	連続バイトが偶数オフセットで始まっている状態。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24407	B		出力システム	しゅつりょくしすてむ	writer	あらかじめ定義された基準に基づいてファイルを生成し、かつ、出力用にファイルを提供する応用プログラム、システム又はサブシステム。	JIS X 9205	1999	ISO 12639	1998		2005/11	2004	2004	ISO/TC130
24408	A		バイト降順、ビッグエンディアン	ばいとこうじゅん、びっぐえんでぃあん	big-endian(byte-ordering)	バイトアドレスが増加するとともに、16ビットまたは32ビットの符合なし2進整数が最上位バイトから最下位バイトの順に並んでいる状態。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24409	A		バイト昇順、リトルエンディアン	ばいとしょうじゅん、りとるえんでぃあん	little-endian(byte-ordering)	バイトアドレスが増加するとともに、16ビット又は32ビットの符号なし2進整数が最下位バイトから最上位バイトの順に並んでいる状態。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24410	A		オフセット	おふせっと	offset	TIFF/ITファイルの先頭バイトに対する相対アドレス。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24411	A		オフセット値	おふせっとち	offset value	TIFF/ITフィールドの値、又はその値が入っている領域へのオフセットを示す2進整数値。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24412	A		画素	がそ	pixel	画像を形成する最小の構成要素。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24413	A		データセット用網値	でーたせっとようもうち	printing tone value; printing dot value (of a	最終の用紙上に転写するインキ像を形成するための刷版又はフィルム上のパーセント面積値。計算機内のデータとして記録する。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24414	A		入力システム	にゅうりょくしすてむ	reader	入力としてファイルを受け入れ、そのファイルの処理を実行する応用プログラム、システム又はサブシステム。最少機能の入力システムは、あらかじめ定義された基準に基づいてファイルを受け入れるか又は拒絶するかを行い、受け入れた場合、次の処理システムにファイルを渡すものをいう。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24415	A		ランレングス符号化、連長符号化	らんれんぐすふごうか、れんちょうふごうか	run length encoding	同一色値の画素が連続する部分を多く含むデータ列を符号化する方法で、符号化結果は、カラー値とその繰返し回数とを対としたデータ列で表される。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24416	A		分解色版	ぶんかいしきばん	separations	レンダリング過程で用いられる単色版のそれぞれに対応する個々のデータの面。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24417	A		特色	とくしょく	spot colour	名前によって表記される独特のインキであって、プロセスカラーとは独立に表記される網値で表す。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24418	A		列	れつ	string	文字、バイト、整数などの連続したもの。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24419	A		TIFF/ITフィールド、TIFFフィールド	TIFF/ITふぃーるど、TIFFふぃーるど	TIFF/IT field, TIFF field	IDFエントリ(12バイト領域で、画像の諸属性を定義する。)又はIDFエントリが指し示す実際値を含むデータ領域から構成されるデータ列。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24420	A		TIFF/ITタグ	TIFF/ITたぐ	TIFF/IT tag	TIFF/ITファイル内の各エントリに対して一義的な数字で表現した識別子。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24421	A		透明色	とうめいしょく	transparent colour	下層に画像があれば、透けて見えることを示す属性。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24422	A		トラッピング	とらっぴんぐ	trapping	印刷工程での寸法変化を考慮した版の修正技法。印刷機の見当合わせ誤差のため、着色せずに残りそうな色と色との境界部で、指定の色が重なるように印刷する分解色版を	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24423	A		偶数境界そろえ	ぐうすうきょうかいそろえ	word-aligned	連続バイトが偶数オフセットで始まっている状態。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24424	A		出力システム	しゅつりょくしすてむ	writer	あらかじめ定義された基準に基づいてファイルを生成し、かつ、出力用にファイルを提供する応用プログラム、システム又はサブシステム。	JIS X 9205	2005	ISO 12639	2004				2004	ISO/TC130
24425	A		設計	せっけい	design	最終製品の仕様決定にかかわる一連の作業。印刷関連産業においては、編集内容の企画、レイアウトの作成、原稿要素の決定、受発注(校正形態、印刷数量、加工方法、納入要件など)の指示などを示す。	JIS X 9206-1	2000	ISO/WD 16044-1	1999				無い	ISO/TC130
24426	A		ワークフロー	わーくふろー	workflow	従業員、材料及び設備について、予定及び関係を関連付けた仕事の流れ及び/又は仕事の組合せ。	JIS X 9206-1	2000	ISO/WD 16044-1	1999				無い	ISO/TC130

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24427	A		制御パラメタ	せいぎょぱらめた	control parameter	オブジェクトの状態及び各種の値を定義する変数。制御パラメタを用途別に分類すると、製品の設計仕様を表す指示パラメタ、製造工程における機械制御のための設定値を表す設定パラメタ、材料及び機械の特性を表す特性パラメタがある。また、この規格は、物理パラメタ及び非物理パラメタの二種類の制御パラメタを使用する。物理パラメタは、MKSA系で与えられる物理的な単位をもった数値で表す変数である。非物理パラメタは、条件又は記号の一覧から選ばれる非数値を使って、オブジェクトの状態を特定する変数	JIS X 9206-1	2000	ISO/WD 16044-1	1999				無い	ISO/TC130
24428	A		制御セット	せいぎょせっと	control subset	この規格群が定義するすべての制御パラメタから抽出した制御パラメタの部分集合。印刷関連の生産工程の中で、設計、製造、材料、機械などを具体的に表現するための制御パラメタの組合せ。	JIS X 9206-1	2000	ISO/WD 16044-1	1999				無い	ISO/TC130
24429	A		関連パラメタ	かんれんぱらめた	related pardmeter	指定された制御パラメタの値を決定するに際して、影響を及ぼすパラメタ。	JIS X 9206-1	2000	ISO/WD 16044-1	1999				無い	ISO/TC130
24430	A		整配置	せいはいち	aligned		JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24431	A		ASCII文字列	ASCIIもじれつ	ASCII text string	一連のバイトの並びで、それぞれのバイトは、ISO/IEC 646に規定された国際基準版(International Reference Version, IRV)の図形文字とその制御機能文字とからなる(以下、ASCIIと呼ぶ。)。ASCII文字列の最後の文字は、ヌル(文字 0/0)である。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24432	A		バイト降順	ばいとこうじゅん	big-endian	16、32又は64ビットで数を表す場合に、バイトアドレスが最大有効バイトから最小有効バイトへの順にバイトの順番を設定する方法。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24433	A		ビット位置	びっといち	bit position	番号0が最小有効ビットを指すようにした、連続番号によるビットの指定。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24434	A		バイト	ばいと	byte	8ビットからなる符合なしの2進整数。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24435	A		バイトオフセット	ばいとおふせっと	byte offset	領域の開始から、情報の開始までのバイト数。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24436	A		色の数値化	いろのすうちか	colour encoding	(色空間の量子化ディジタル数値化において)色空間の数値化及び/又はカラー画像の数値化(ISO 22028-1[8]参照)。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24437	A		色管理(ディジタル画像分野)	いろかんり(でぃじたるがぞうぶんや)	colour management (digital imaging)	色表現データの正確な解釈のために必要な関連データの交換、及び必要ならば、意図した再現を行うために色表現に変換を適用すること。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24438	A		固定小数点	こていしょうすうてん	fixed point	固定されたビット位置に暗黙の2進数小数点を置くことによる、実数の2進数での表現。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24439	A		16進	16しん	hexadecimal	2進数4けた(桁)で(16を基数として)数の表記をする方法。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24440	A		ヌル	ぬる	NULL	ISO/IEC 646の0/0の位置を表現する文字コード。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24441	A		プロファイル結合空間	ぷろふぁいるけつごうくうかん	Profile Connection Space (PCS)	入力側プロファイル及び出力側プロファイルを結合するための抽象的色空間。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24442	A		表現様式	ひょうげんようしき	rendering intent	ある画像描写から、別の画像描写に色の値を変換する様式。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24443	A		特色	とくしょく	spot colour	単一の色材であり、その色名によって識別され、その印刷された階調値は、色座標系で指定された色値からは独立して指定される。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24444	A		識別記号	しきべつきごう	signature	ICCに登録された4バイトの英数字値。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24445	A		ビューイング フレア	びゅーいんぐ ふれあ	viewing flare	観察環境下では検知できるが、定められた測定幾何条件の下で行う放射測定では計測できないようなベイリング グレアをいう(ISO 22028-1[8])。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24446	A		ベイリング グレア	べいりんぐ ぐれあ	veilling glare	像を作るために使用される手段によって変調されることなく、可視化媒体から反射されてくる光(ISO 22028-1[8])。	JIS X 9207	2009	ISO 15076-1	2005				2005	ISO/TC130
24447	A		使用者へのフィードバック(失敗の場合)	しようしゃへのふぃーどばっく(しっぱいのばあい)	feedback to the user (failure)	MBTデータベース操作の実行が失敗した場合に、MBTデータベース操作に関する情報を表示するためのユーザインタフェースの機能。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002	IDT			2002	SC35
24448	A		使用者へのフィードバック(成功の場合)	しようしゃへのふぃーどばっく(せいこうのばあい)	feedback to the user (success)	MBTデータベース操作が成功した後に、MBTデータベース操作に関する情報を表示するためのユーザインタフェースの機能。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24449	A		固定領域	こていりょういき	consistent area	MBTの画面の一部として提供されるスクロールしない情報領域。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24450	A		携帯機器、MBT	けいたいき、MBT	MoBile Tool, MBT	“小さな表示画面”及び“他の機器又はサーバとデータ交換を行うことを目的としたデータベース”を備えた携帯型通信機器。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24451	A		携帯機器クライアント、MBTクライアント	けいたいききくらいあんと、MBTくらいあんと	MoBile Tool client, MBT client	使用者の指示を受けて、他の機器に対して通信による接続を介してクライアントとしての操作を行う、MBTのソフトウェア。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24452	A		携帯機器データベース操作、MBTデータベース操作	けいたいききでーたべーすそうさ、MBTでーたべーすそうさ	MoBile Tool database operation, MBT database operation	MBTサーバアプリケーションによって実行されるデータベース操作。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24453	A		携帯機器データベース操作パラメタ、MBTデータベース操作パラメタ	けいたいききでーたべーすそうさぱらめた、MBTでーたべーすそうさぱらめた	MoBile Tool database operation parameter, MBT database operation parameter	MBTデータベース操作を実行するために、MBTサーバアプリケーションによって使用されるパラメタ。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24454	A		携帯機器サーバ、MBTサーバ	けいたいききさーば、MBTさーば	MoBile Tool server, MBT server	通信による接続を介して、MBTクライアントと連携してサーバとして動作する機器のソフトウェア。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24455	A		携帯機器サーバアプリケーション、MBTサーバアプリケーション	けいたいききさーばあぷりけーしょん、MBTさーばあぷりけーしょん	MoBile Tool server application, MBT server application	MBTクライアントの要求に基づき、何らかのデータ交換を介して操作を実行し操作の結果をMBTクライアントへフィードバックする、MBTサーバのアプリケーションソフトウェア。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24456	A		画面内容	がめんないよう	screen content	MBTの物理的表示画面に表示される情報。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24457	A		使用者の承認	しようしゃのしょうにん	user approval	MBTクライアントのデータベースを更新する又はMBTクライアントのデータベースをMBTサーバへ送出するMBTサーバアプリケーションに、操作が実行される前に許可を与えるための、ユーザインタフェースの機能。	JIS X 9301	2005	ISO/IEC 18021	2002				2002	SC35
24458	A		作用点	さようてん	action point	ジェスチャ命令を実行する文字列上の点。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999	IDT			1999	SC35
24459	A		ディジタイザ	でぃじたいざ	digitizer	ペンによって触れられた位置を検出できる装置。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24460	A		終点	しゅうてん	end point	ペンによって描かれたストロークの最終点。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24461	A		ジェスチャ	じぇすちゃ	gesture	使用者がディジタイザ上でペンを用いて行う一つ又は一連の動作とストロークでジェスチャ命令を起動するもの。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24462	A		ジェスチャ命令	じぇすちゃめいれい	gesture command	使用者のジェスチャ入力によって起きるシステムへの命令。例えば、選択、移動、又は消	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24463	A		ペン上げ	ぺんあげ	lift-off	使用者が、動作中のディジタイザ表面からペン先を離してもち上げる動作。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24464	A		一時停止	いちじていし	pause	使用者がペン下げ後、一定時間ペンを静止して保持する動作。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24465	A		ペンベースシステム	ぺんべーすしすてむ	pen-based system	ペン及び使用者によって触れられた位置を検出できるディジタイザを含み、ペンを用いて使用者がデータ又は命令を入力できるシステム。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24466	A		線分	せんぶん	segment	ペンが方向を変えずにまっすぐな動きで描くストロークの部分。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24467	A		選択テキスト	せんたくてきすと	selected text	使用者が選択する連続的な文字列。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24468	A		始点	してん	start point	ペンによって描かれるストロークの最初の点。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24469	A		ストローク	すとろーく	stroke	ペン下げで始まり、ペン上げで終わるディジタイザ表面での連続的なペンの動き。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24470	A		たたく	たたく	tap	短時間、一般には1秒以下で、ペンをディジタイザに触れ、そしてほぼ同じ位置でペン上げする動作。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24471	A		テキスト領域	てきすとりょういき	text area	テキストが表示され、使用者がジェスチャを入力できる領域。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24472	A		ペン下げ	ぺんさげ	touchdown	使用者がペンで、動作中のディジタイザ表面に触れる動作。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24473	A		可視軌跡	かしきせき	visible trail	ストロークが終わるまで一時的にディジタイザによって表示されるペンの軌跡。	JIS X 9302	2005	ISO/IEC 14754	1999				1999	SC35
24474	A		動作アイコン	どうさあいこん	action icon	アイコンの一つ。選択された操作対象及び/又は操作目標に働きかけ、典型的にはメニューで与えられる機能群に一操作でアクセスできるようにする。	JIS X 9303-1	2006							
24475	A		アプリケーション	あぷりけーしょん	application	一群の機能。使用者はそれらを用いて作業を実行できる。	JIS X 9303-1	2006							
24476	A		分かりやすさ	わかりやすさ	comprehensibility	アイコンの意味の理解しやすさ。	JIS X 9303-1	2006							
24477	A		コントロールアイコン	こんとろーるあいこん	control icon	ダイヤル、ラジオボタンなどの物理的なコントロールに類似していることがあるグラフィック。使用者はそれを用いて、データ、他のオブジェクト又はそれらの属性を直接操作でき	JIS X 9303-1	2006							
24478	A		識別性	しきべつせい	discriminability	空間的、時間的又は文脈的に近くに表示された別のアイコンから、与えられたアイコンを区別するときの容易さ。	JIS X 9303-1	2006							
24479	A		グラフィック	ぐらふぃっく	graphic	総称オブジェクトの具体例の図式表現。	JIS X 9303-1	2006							
24480	A		アイコン	あいこん	icon	表示装置の画面上に表示されるグラフィック。コンピュータシステムの機能を表す。	JIS X 9303-1	2006							
24481	A		アイコンの機能	あいこんのきのう	icon function	アイコンが表現しているコンピュータシステムの能力。	JIS X 9303-1	2006							
24482	A		習得性	しゅうとくせい	learnability	アイコンによって表現されたシステム機能が、それが理解された後に、どれだけ容易に思い出すことができるかを示す。	JIS X 9303-1	2006							
24483	A		判読性	はんどくせい	legibility	アイコンの図柄の詳細を、どれだけ容易に区別できるかを示す。	JIS X 9303-1	2006							
24484	A		比ゆ(喩)	ひゆ	metaphor	使用者が既になじんでいる概念に関連付ける行為。使用者は、これによってコンピュータシステムの使い方及び振舞いを導き出せる。	JIS X 9303-1	2006							
24485	A		オブジェクトアイコン	おぶじぇくとあいこん	object icon	オブジェクトに関連付けて機能を表したアイコン。移動したり開いたりすることができる。	JIS X 9303-1	2006							
24486	A		開く	ひらく	open	オブジェクトのビューを表示して、その内容にアクセスできるようにする動作。	JIS X 9303-1	2006							
24487	A		ポインタアイコン	ぽいんたあいこん	pointer icon	物理的な入力装置に、論理的に結びついているアイコン。使用者は、他の画面構成要素と対話するためにこれを操作する。	JIS X 9303-1	2006							
24488	A		認識性	にんしきせい	recognisability	同じ又は類似したアイコンによる以前の経験に基づいて、アイコンを識別できる容易さ。	JIS X 9303-1	2006							
24489	A		感受領域	かんじゅりょういき	sensitive region	使用者入力に応答するアイコンの領域。	JIS X 9303-1	2006							
24490	A		状態標識	じょうたいひょうしき	status indicator	コンピュータシステムの機能又はコンピュータシステムダイアログの現在の状態を表示するアイコン。	JIS X 9303-1	2006							
24491	A		ツールアイコン	つーるあいこん	tool icon	アイコンの一種。選択するとポインタアイコンの機能及び形状が変わり、そのアイコングラフィックの体現しているツールに関連した作業が行えるようになる。	JIS X 9303-1	2006							
24492	A		カーソル	かーそる	cursor	有効な位置をしるすためにテキスト操作に用いられる特殊な標識。	JIS X 9303-3	2006							
24493	A		ゲイン	げいん	gain	画面上のポインタの絶対的な動きと使用者によって加えられる入力機器の絶対的動きとの比率。	JIS X 9303-3	2006							
24494	A		ホットスポット	ほっとすぽっと	hot spot	ポインタアイコンの一部。一般的には単一ピクセルでできている。使用者とシステムとの両方に次の動作が画面上のどこで起きるかを特定し、他のシステムオブジェクトとの対話を可能にするもの。	JIS X 9303-3	2006							
24495	A		ポインティングデバイス	ぽいんてぃんぐでばいす	pointing device	使用者によるポインタアイコンの制御を可能にする入力機器。	JIS X 9303-3	2006							
24496	A		動作アイコン	どうさあいこん	action icon	選択された対象(操作元)及び/または目標(操作先)に働きかけるアイコンで、通常はメニューから利用できる機能を一つの操作で使えるようにするアイコン。	JIS X 9303-6	2006							
24497	A		ファイルシステム	ふぁいるしすてむ	filing system	文書、フォルダ、ファイルキャビネットなどのオブジェクトを整理して収納する入れ物。	JIS X 9303-6	2006							
24498	A		承認機関	しょうにんきかん	approval authority	セキュリティ機能を承認、及び/又は評価する国内又は国際の組織・機関。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006	IDT			2006	SC27
24499	A		承認	しょうにん	approved	ISO/IEC承認又は承認機関による承認。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24500	A		承認された動作モード	しょうにんされたどうさもー	approved mode of	承認されたセキュリティ機能だけを採用した暗号モジュールの動作形態。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24501	A		承認されたオペレーティングシステム	しょうにんされたおぺれーていんぐしすてむ	approved operating system	承認機関によって評価され承認されたオペレーティングシステム。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24502	A		承認されたプロテクションプロファイル	しょうにんされたぷろてくしょんぷろふぁいる	approved protection profile	承認機関によって承認されたプロテクションプロファイル。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24503	A		ISO/IEC承認	ISO/IECしょうにん	ISO/IEC approved	次のいずれかのセキュリティ機能。 ・ISO/IEC規格の中で規定されているもの。 ・ISO/IEC規格の中で採用・推奨されており、そのISO/IEC規格の付属書又はISO/IEC規格が参照している文書に規定されているもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24504	A		非対称鍵暗号技術	ひたいしょうかぎあんごうぎじゅつ	asymmetric cryptographic technique	二つの関連による変換[公開変換(公開鍵によって定義される。)及びプライベート変換(プライベート鍵によって定義される。)]を使う暗号技術であって、公開変換が与えられたとしても、与えられた限られた時間及び計算能力内でプライベート変換を導出するのが計算的に不可能な特性をもつもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24505	A		認証符号	にんしょうふごう	authentication code	承認されたセキュリティ機能に基づく暗号チェックサム。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24506	A		証明書	しょうめいしょ	certificate	認証局のプライベート鍵又は秘密鍵で、偽造できないようにされたエンティティのデータ。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24507	A		危たい(殆)化	きたいか	compromise	CSPが認可なく開示、変更、置換、若しくは使用されること、又はPSPが認可なく変更、若しくは置換されること。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24508	A		機密性	きみつせい	confidentiality	重要な情報が、許可されていないエンティティに利用又は公開されない特性。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24509	A		制御情報	せいぎょじょうほう	control information	暗号モジュールの動作を指示するために暗号モジュールに入力される情報。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24510	A		クリティカルセキュリティパラメタ、CSP	くりていかるせきゅりていぱらめた、CSP	critical security parameter, CSP	秘密又はプライベートセキュリティに関する情報であって、その開示又は変更が、暗号モジュールのセキュリティを危たい(殆)化し得るもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24511	A		暗号境界	あんごうきょうかい	cryptographic boundary	暗号モジュールの物理的及び/又は論理的な領域を確立し、かつ、暗号モジュールのすべてのハードウェア、ソフトウェア、及び/又はファームウェアの構成要素をその内側に含む、明確に定義された連続する境界線。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24512	A		暗号鍵、鍵	あんごうかぎ、かぎ	cryptographic key, key	暗号変換の操作を制御する一連の記号。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24513	A		暗号鍵要素、鍵要素	あんごうかぎようそ、かぎようそ	cryptographic key component, key	暗号機能を実行するために、セキュリティ機能において使用されるパラメタ。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24514	A		暗号モジュール、モジュール	あんごうもじゅーる、もじゅーる	cryptographic module, module	セキュリティ機能を実装した、暗号境界内のハードウェア、ソフトウェア、及び/又はファームウェアの集合。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24515	A		暗号モジュールのセキュリティポリシ、セキュリティポリシ	あんごうもじゅーるのせきゅりていぽりし、せきゅりていぽりし	cryptographic module security policy, security policy	暗号モジュールが動作するうえでセキュリティルールの明確な仕様。これには、この規格の要求事項から導出されたルール及びモジュールによって課せられた付加的ルールも含まれる。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24516	A		クリプトオフィサ	くりぷとおふぃさ	crypto officer	暗号モジュールが機能するように、暗号関連の初期化又は管理機能を実行する個人又はその個人のために働くプロセス(すなわち、サブジェクト)によって担われる役割。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24517	A		データパス	でーたぱす	data path	データが通過する物理的又は論理的な経路。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24518	A		差分電力解析、DPA	さぶんでんりょくかいせき、DPA	differential power analysis, DPA	暗号操作に関連した情報を抽出するための、暗号モジュールの消費電力変動の解析手法の一つで、統計処理に基づく差分解析によって当該情報を推定するもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24519	A		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature	データユニットの受信者が、データユニットの出所及び完全性の証明、並びに(例えば、受信者による)偽造防止を可能にする、データ列に付加された又は暗号化変換された	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24520	A		電子的鍵入力	でんしてきかぎにゅうりょく	electronic key entry	鍵ローダ又はオンラインのような電子的手法を用いた、暗号モジュールへの暗号鍵入	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24521	A		電子的鍵配送	でんしてきかぎはいそう	electronic key transport	暗号鍵の移動であって、通常、暗号化された形で、コンピュータネットワークのような電子的手法を用いるもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24522	A		暗号化された鍵	あんごうかされたかぎ	encrypted key	承認されたセキュリティ機能を用いて、鍵を暗号化するための鍵で暗号化された暗号鍵。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24523	A		エンティティ	えんてぃてぃ	entity	人、グループ、デバイス又はプロセス。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24524	A		環境故障保護、EFP	かんきょうこしょうほご、EFP	environmental failure protection, EFP	暗号モジュールの正規の動作範囲外の環境条件又は環境変動によって、暗号モジュールのセキュリティが危たい(殆)化することを防止する特性を使用すること。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24525	A		環境故障試験、EFT	かんきょうこしょうしけん、EFT	environmental failure testing, EFT	暗号モジュールの正規の動作範囲外の環境条件又は環境変動によっても、暗号モジュールのセキュリティが危たい(殆)化しないという合理的保証を得るために特定の方法を使用すること。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24526	A		誤り検出符合、EDC	あやまりけんしゅつふごう、EDC	error detection code, EDC	データから計算され、冗長ビットで表現される値で、データの意図しない改変を検出するためのもの。データの訂正は行わない。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24527	A		有限状態モデル、FSM	ゆうげんじょうたいもでる、FSM	finite state model, FSM	入力イベントの有限集合、出力イベントの有限集合、状態の有限集合、状態及び入力を出力に写像する関数、状態及び入力を状態に写像する関数(状態遷移関数)、並びに初期状態について記述する仕様からなるシーケンシャルマシンの数学的モデル。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24528	A		ファームウェア	ふぁーむうぇあ	firmware	暗号境界内のハードウェアに保存され、実行している間は動的な書込みも変更もできない暗号モジュールのプログラム及びデータ構成要素。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24529	A		ハードウェア	はーどうぇあ	hardware	プログラム及びデータを処理するために使用される、暗号境界内の物理的な装置・コンポーネント。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24530	A		入力データ	にゅうりょくでーた	input data	暗号モジュールに入力され、承認されたセキュリティ機能を用いて変換又は計算を行うために使用される情報。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24531	A		完全性	かんぜんせい	integrity	取扱いに慎重さを要するデータが、権限なくかつ検出されない方法で、変更も消去もされなかったという特性。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24532	A		インタフェース	いんたふぇーす	interface	論理的な情報をフローに対して暗号モジュールへのアクセスを提供する、暗号モジュールの論理的な入出力点。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24533	A		鍵を暗号化するための鍵、KEK	かぎをあんごうかするためのかぎ、KEK	key encryption key, KEK	他の鍵を暗号化又は復号するために用いられる暗号鍵。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24534	A		鍵確立	かぎかくりつ	key establishment	一つ以上のエンティティに共有された秘密鍵を利用可能にするプロセス。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24535	A		鍵ローダ	かぎろーだ	key loader	平文のまま又は暗号化された、暗号鍵又は鍵要素の少なくとも一つを格納できる独立のデバイスであって、要求があったときは、それらを暗号モジュール内に転送できるもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24536	A		鍵管理	かぎかんり	key management	セキュリティポリシに従った鍵及び鍵関連情報の生成、登録、証明、登録抹消、配送、インストール、保存、保管、廃止、導出及び破壊の管理及び使用。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24537	A		鍵配送	かぎはいそう	key transport	あるエンティティから他のエンティティへ鍵を配送するプロセス。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24538	A		メンテナンス役割	めんてなんすやくわり	maintenance role	物理的メンテナンス及び/又は論理的メンテナンスのサービスを実行することを担う役	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24539	A		手動鍵入力	しゅどうかぎにゅうりょく	manual key entry	キーボードのようなデバイスを使用した、暗号モジュールへの暗号鍵の入力。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24540	A		手動鍵配送	しゅどうかぎはいそう	manual key transport	例えば鍵ローダのような、コンピュータネットワークによらない方法での暗号鍵の配送。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24541	A		マイクロコード	まいくろこーど	microcode	ある実行可能なプログラム命令に対応するプロセッサの一連の命令。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24542	A		オペレータ	おぺれーた	operator	一つ以上の役割を担うことを許可された人、又はその人のために暗号モジュールを操作するプロセス。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24543	A		出力データ	しゅつりょくでーた	output data	暗号モジュールから生成される情報。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24544	A		表面安定化処理	ひょうめんあんていかしょり	passivation	回路の振る舞いを変えるかもしれないものからの保護手段を、接点、コンポーネントの表面及び集積回路に与える、半導体デバイスの製造におけるプロセス。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24545	A		パスワード	ぱすわーど	password	本人認証を行うため又はアクセス権を検証したりするために用いる文字(例:英字、数字、記号)の列。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24546	A		個人識別番号、PIN	こじんしきべつばんごう、PIN	personal identification number, PIN	本人認証を行うために使用される数字コード。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24547	A		物理的保護	ぶつりてきほご	physical protection	物理的手段を用いた、暗号モジュール、CSP及びPSPの安全防護策。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24548	A		平文の鍵	ひらぶんのかぎ	plaintext key	暗号化されていない暗号鍵。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24549	A		ポート	ぽーと	port	暗号モジュールへのアクセスを提供する、暗号モジュールの物理的・論理的な入出力	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24550	A		プライベート鍵	ぷらいべーとかぎ	private key	エンティティが所有する非対称鍵ペアの鍵で、そのエンティティしか使えないもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24551	A		製品グレード	せいひんぐれーど	production-grade	操作仕様に合致することが試験によって確認されている製品、コンポーネント又はソフト	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24552	A		プロテクションプロファイル、PP	ぷろてくしょんぷろふぁいる、PP	protection profile, PP	TOEの分野に関して特定の利用者の要求を満たす、実装に依存しないセキュリティ要求事項の集合。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24553	A		公開鍵	こうかいかぎ	public key	エンティティが所有する非対称鍵のペアの鍵で、公開できるもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24554	A		公開鍵証明書	こうかいかぎしょうめいしょ	public key certificate	適切な認証局によって署名され、それゆえ偽造できないようにされた、エンティティの公開鍵情報。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24555	A		公開セキュリティパラメタ、PSP	こうかいせきゅりていぱらめた、PSP	public security parameter, PSP	セキュリティに関連する公開情報であって、その変更が、暗号モジュールのセキュリティを危たい(殆)化し得るもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24556	A		乱数生成器、RBG	らんすうせいせいき、RBG	random bit generator,	統計的に独立し、不偏であるように出現するビット列を出力するデバイス又はアルゴリズ	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24557	A		除去可能なカバー	じょきょかのうなかばー	removable cover	暗号モジュールの中にある物理的な物へのアクセスを許す物理的な手段。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24558	A		役割	やくわり	role	ユーザのアクセス権限又は暗号モジュールのサービスへの制限を定義している、ユーザと関連付けられているセキュリティ属性。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24559	A		秘密鍵	ひみつかぎ	secret key	一つ以上のエンティティに対して一意に対応し、公開されはならない、秘密鍵暗号アルゴリズムにおいて使用される暗号鍵。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24560	A		セキュリティ機能	せきゅりていきのう	security function	ブロック暗号、ストリーム暗号、非対称鍵暗号、メッセージ認証コード、ハッシュ関数又は他のセキュリティ機能、乱数生成器、エンティティ認証及び鍵確立のような、ISO/IEC又は承認機関によって認証されたすべての、動作モードを伴う暗号アルゴリズム。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24561	A		シード鍵	しーどかぎ	seed key	暗号機能又は暗号操作を初期化するために使用される秘密値。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24562	A		単純電力解析、SPA	たんじゅんでんりょくかいせき、SPA	simple power analysis, SPA	暗号アルゴリズムの特殊及びその実装内容を暴露し、その結果暗号鍵の値を暴露することを目的とした、暗号モジュールの消費電力の変動を観察することによって得られる命令実行(又は個別命令の実行)のパターンの、直接的な(主に視覚的な)解析。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24563	A		ソフトウェア	そふとうぇあ	software	暗号境界内のプログラム及びデータ構成要素であって、通常、消去可能なメディアに格納され、実行中に動的に書き込み及び変更が可能であるもの。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24564	A		知識分散	ちしきぶんさん	split knowledge	暗号鍵を、元の暗号鍵の知識を単独ではもたない複数の鍵要素に分割するプロセス。個々の鍵要素は、別々のエンティティによって暗号モジュールに入出力され、元の暗号鍵を再構成するために組み合わされる。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24565	A		状態情報	じょうたいじょうほう	status information	暗号モジュールのある動作の特徴又は状態を示すために、暗号モジュールから出力される情報。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24566	A		対称暗号技術	たいしょうあんごうぎじゅつ	symmetric cryptographic technique	暗号化変換及び復号変換の両方に同じ秘密鍵を利用する暗号技術。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24567	A		システムソフトウェア	しすてむそふとうぇあ	system software	暗号モジュールの操作を容易にするように設計された暗号境界内のはん用ソフトウェア。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24568	A		タンパー検出	たんぱーけんしゅつ	tamper detection	暗号モジュールのセキュリティを危たい(殆)化する試みがなされたことの、暗号モジュールによる自動的な判定。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24569	A		タンパー証跡	たんぱーしょうせき	tamper evidence	暗号モジュールのセキュリティを危たい(殆)化する試みがなされたことを示す、外観上の	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24570	A		タンパー応答	たんぱーおうとう	tamper response	暗号モジュールがタンパーを検出したときに取る自動的な動作。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24571	A		評価対象、TOE	ひょうかたいしょう、TOE	target of evaluation, TOE	ISO/IEC 15408に基づく評価の対象となる、情報技術(IT)製品又はシステム、並びに、それに関連する管理者及びユーザのガイダンス文書。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24572	A		TOEセキュリティ機能、TSF	TOEせきゅりていきのう、TSF	TOE security functions, TSF	TOEセキュリティ方針(TSP)を正しく実現するために必要となるすべてのハードウェア、ソフトウェア、及びファームウェアからなるTOEの部分集合。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24573	A		TOEセキュリティ方針、TSP	TOEせきゅりていほうしん、TSP	TOE security policy, TSP	TOE内での資産の管理方法、保護方法、及び配布方法を規定する規則の集合。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24574	A		トラストアンカ	とらすとあんか	trust anchor	公開鍵暗号アルゴリズム、公開鍵の値、発行者の名前、及び場合によって他のパラメタを含む、信頼される情報。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24575	A		高信頼パス	こうしんらいぱす	trusted path	ユーザとTSFとが、TSPを実現するのに必要な信頼度を確保するための通信手段。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24576	A		ユーザ	ゆーざ	user	暗号サービスを受けるために暗号モジュールにアクセスする人、又はその人のために働くプロセス(サブジェクト)。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24577	A		ゼロ化	ぜろか	zeroisation	データ復元及び再利用を防止するために、CSPを無効化する方法。	JIS X 19790	2007	ISO/IEC 19790	2006				2006	SC27
24578	A		承認機関	しょうにんきかん	approval authority	セキュリティ機能を承認、及び/又は評価する国内又は国際の組織・機関。[JIS X 19790	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24579	A		ISO/IEC承認	ISO/IECしょうにん	ISO/IEC approved	次のいずれかのセキュリティ機能。 － ISO/IEC規格の中で規定されているもの。 － ISO/IEC規格の中で採用・推奨されており、そのISO/IEC規格の附属書又はISO/IEC規格が規定として参照する文書の中に規定されているもの。	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24580	A		非対称鍵暗号技術	ひたいしょうかぎあんごうぎじゅつ	asymmetric cryptographic technique	二つの関連する変換[公開変換(公開鍵によって定義される。)及びプライベート変換(プライベート鍵によって定義される。)]を使う暗号技術。	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24581	A		危たい(殆)化	きたいか	compromise	CSP(クリティカルセキュリティパラメタ、critical security parameters。JIS X 19790参照)が認可なく開示、変更、置換、若しくは使用されること、又はPSP(公開セキュリティパラメタ、public security parameters。JIS X 19790参照)が認可なく変更、若しくは置換されるこ	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24582	A		暗号モジュールのセキュリティポリシ、セキュリティポリシ	あんごうもじゅーるのせきゅりていぽりし、せきゅりていぽりし	cryptographic module security policy, security policy	暗号モジュールが動作する上でのセキュリティルールの明確な仕様。これには、JIS X 19790の要求事項から導出されたルール及びモジュールによって課せられた付加的ルールも含まれる。[JIS X 19790の3.18]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24583	A		クリプトオフィサ	くりぷとおふぃさ	crypto officer	個人又はその個人の代わりに働くプロセス(すなわち、サブジェクト)によって担われるものであって、暗号関連の初期化又は暗号モジュールの管理を実行する役割。[JIS X	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24584	A		ファームウェア	ふぁーむうぇあ	firmware	暗号境界内のハードウェアに保存され、実行している間は動的な書込みも変更もできない暗号モジュールのプログラム及びデータ構成要素。[JIS X 19790の3.31]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24585	A		入力データ	にゅうりょくでーた	input data	暗号モジュールに入力され、承認されたセキュリティ機能を用いた変換又は計算のために使用できる情報。[JIS X 19790の3.33]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24586	A		メンテナンス役割	めんてなんすやくわり	maintenance role	物理的メンテナンス及び/又は論理的メンテナンスのサービスを実行することを担う役割。[JIS X 19790の3.41]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24587	A		表面安定化処理	ひょうめんあんていかしょり	passivation	検知及び保護の手段を含むように構成された、半導体の接合、表面又は構成要素、及び集積回路における反応的プロセス又はその結果。	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24588	A		公開鍵	こうかいかぎ	public key	エンティティが所有する非対称鍵ペアの鍵で、公開できるもの。[JIS X 19790の3.56]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24589	A		乱数生成器、RBG	らんすうせいせいき、RBG	random bit generator, RBG	統計的に独立で、偏りのないように見えるビット列を出力するデバイス又はアルゴリズム。[JIS X 19790の3.59]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24590	A		役割	やくわり	role	ユーザのアクセス権限又は暗号モジュールのサービスへの制限を定義している、ユーザと関連付けられているセキュリティ属性。	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24591	A		セキュリティ機能	せきゅりていきのう	security function	ブロック暗号、ストリーム暗号、非対称鍵暗号、メッセージ認証コード、ハッシュ関数又は他のセキュリティ機能、乱数生成器、エンティティ認証及び鍵確立のような、ISO/IEC又は承認機関によって承認されたすべての、動作モードを伴う暗号アルゴリズム。[JIS X	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24592	A		シードかぎ(鍵)	しーどかぎ	seed key	乱数生成器(RBG)の初期化に使用できる秘密値。	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24593	A		単純電力解析、SPA	たんじゅんでんりょくかいせき、SPA	simple power analysis, SPA	暗号アルゴリズムの動作に関連する情報の抽出を目的とした、暗号モジュールの消費電力に関連した、一連の命令実行(又は個々の命令実行)のパターンの、直接的な(主に視	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24594	A		ソフトウェア	そふとうぇあ	software	暗号境界内のプログラム及びデータ構成要素であって、通常、消去可能なメディアに格納され、実行中に動的に書き込み及び変更が可能であるもの。[JIS X 19790の3.66]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24595	A		知識分散	ちしきぶんさん	split knowledge	暗号鍵を、完全な暗号鍵の知識を単独ではもたない複数の鍵要素に分割するプロセス。個々の鍵要素は、別々のエンティティによって暗号モジュールに入出力され、元の暗号鍵を再構成するために組み合わされる。	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24596	A		システムソフトウェア	しすてむそふとうぇあ	system software	暗号モジュールの操作を容易にするように設計された暗号境界内のはん用ソフトウェア。[JIS X 19790の3.70]	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27
24597	A		タンパー証跡	たんぱーしょうせき	tamper evidence	暗号モジュールのセキュリティを危たい(殆)化する試みがなされたことを示す、観察でき	JIS X 24759	2009	ISO/IEC 24759	2008				2008	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24598	A		取得者	しゅとくしゃ	acquirer	供給者から、システム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを、取得又は調達する個人又は組織(JIS X 0160: 1996参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24599	A		分析モデル	ぶんせきもでる	analysis model	一つ以上の基本測定量及び/又は導出測定量を、関連する判断基準に結び付けるアルゴリズム又は計算。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24600	A		属性	ぞくせい	attribute	人手又は自動的な手段によって、定量的又は定性的に識別できる固有の特性又は特徴(JIS X 0141:2009参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24601	A		品質測定量のための属性	ひんしつそくていりょうのためのぞくせい	attribute for quality measure	ソフトウェア製品自体、ソフトウェア製品の使用又はソフトウェア製品の開発にかかわる属性。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24602	A		基本測定量	きほんそくていりょう	base measure	単一の属性とそれを定量化するための方法とで定義した測定量。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24603	A		商用既製ソフトウェア製品、COTSソフトウェア製品	しょうようきせいそふとうぇあせいひん、COTSそふとうぇあせいひん	commercial-off-the-shelf software product	市場からのニーズを取り入れ、商品として利用でき、広範囲で一般利用者によって利用のしやすさが実証されているソフトウェア製品。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24604	A		利用状況	りようじょうきょう	context of use	利用者、仕事、装置(ハードウェア、ソフトウェア及び資材)、並びに製品が使用される物理的及び社会的環境(JIS Z 8521:1999)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24605	A		カスタムソフトウェア	かすたむそふとうぇあ	custom software	利用者の要求定義に基づいて特定の用途のために開発されたソフトウェア製品。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24606	A		データ	でーた	data	基本測定量、導出測定量及び/又は指標に割り当てられた値の集合(JIS X	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24607	A		判断基準	はんだんきじゅん	decision criteria	アクション若しくは追加調査の必要性を決めるため又は与えられた結果の信頼度のレベルを記述するために使う、しきい(閾)値、目標又はパターン(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24608	A		導出測定量	どうしゅつそくていりょう	derived measure	複数の基本測定量の値の関数として定義した測定量(JIS X 0141:2009参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24609	A		開発者	かいはつしゃ	developer	ソフトウェアライフサイクルプロセスを通して、開発作業(要求分析、設計及び受入れテストを含む。)を遂行する組織(JIS X 0160:1996参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24610	A		規格の部門	きかくのぶもん	division of standards	規格の集合であって、他の規格集合とは補完的な目的にかなうもの。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24611	A		エンドユーザ	えんどゆーざ	end user	システムの結果から最終的な利益を得る人。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24612	A		実態	じったい	entity	その属性を測定することによって特徴付けが行われる対象。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24613	A		評価方法	ひょうかほうほう	evaluation method	特定の製品構成要素又は製品全体に対して、仕様化された測定の結果を得るために、評価者によって実行される行為を記述した手続。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24614	A		評価モジュール	ひょうかもじゅーる	evaluation module	ソフトウェア品質特性、品質副特性又は属性を測定するための評価技術の組。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24615	A		評価者	ひょうかしゃ	evaluator	評価を行う人又は組織。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24616	A		外部ソフトウェア品質	がいぶそふとうぇあひんしつ	external software quality	システムが特定の条件のもとで使用されときに、明示的ニーズ及び暗黙のニーズを満たすように、システムが行動できるようにするソフトウェア製品の能力。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24617	A		故障	こしょう	failure	要求された機能を遂行する製品の能力が尽きる状態、又は事前に仕様化された制限内で機能を遂行する製品の能力がない状態(IEEE610.12-1990参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24618	A		障害	しょうがい	fault	計算機プログラム内の不正確なステップ、プロセス又はデータの定義(IEEE 610.12-	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24619	A		機能要求	きのうようきゅう	functional requirement	システム又はシステムの構成要素が実行できなければならない機能を指定する要求(IEEE 610.12-1990)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24620	A		暗黙のニーズ	あんもくのにーず	implied needs	明示されていないが、事実上のニーズ。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24621	A		指標	しひょう	indicator	定義された情報ニーズに関するモデルから導出した特定の属性の見積り又は評価を示す測定量(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24622	A		情報ニーズ	じょうほうにーず	information need	目的、目標、リスク及び問題点を管理するために必要となる見解(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24623	A		情報成果物	じょうほうせいかぶつ	information product	ある情報ニーズに着目した一つ以上の指標及びそれに関連する解釈。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24624	A		情報システムニーズ	じょうほうしすてむにーず	information system needs	品質要求について外部測定法及び、ときには内部測定法によって規定できるニーズ。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24625	A		中間ソフトウェア製品	ちゅうかんそふとうぇあせいひん	intermediate software product	ソフトウェア開発プロセスの他の段階に入力として利用されるソフトウェア開発プロセスの製品。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24626	A		ソフトウェア中間製品へのニーズ	そふとうぇあちゅうかんせいひんへのにーず	intermediate software product needs	内部測定量によって品質要求として規定することができるニーズ。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24627	A		内部ソフトウェア品質	ないぶそふとうぇあひんしつ	internal software quality	ソフトウェア製品が特定の条件のもとで使用されたときに、明示的ニーズ及び暗黙のニーズを満たす能力をもたらすソフトウェア製品の静的な属性の集合の能力。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24628	A		保守者	ほしゅしゃ	maintainer	保守活動を実施する個人又は組織(JIS X 0160:1996参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24629	A		測定量(名詞)	そくていりょう	measure (noun)	測定の結果として値が割り当てられる変数。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24630	A		測定する(動詞)	そくていする	measure (verb)	測定を行う行為(JIS X 0133-1:1999)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24631	A		測定	そくてい	measurement	測定量の値を決定するという目的をもった操作の集合(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24632	A		測定の関数	そくていのかんすう	measurement function	複数の基本測定量を結合するために遂行するアルゴリズム又は計算(JIS X	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24633	A		測定方式	そくていほうしき	measurement method	特定の尺度に関して属性を定量化するために使う一連の操作の論理的な順序を一般的に記述したもの(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24634	A		測定手続	そくていてつづき	measurement procedure	与えられた方法に従って、ある特定の測定を遂行するときに使う具体的に記述した操作の集合(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24635	A		測定プロセス	そくていぷろせす	measurement process	プロジェクト全体又は組織における測定の仕組みの中でソフトウェアの測定を確率、計画、遂行及び評価するためのプロセス。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24636	A		観測	かんそく	observation	基本測定量に対する値を得るために測定手続を適用する実用例(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24637	A		運用者	うんようしゃ	operator	システムを運用する個人又は組織(JIS X 0160:1996参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24638	A		プロセス	ぷろせす	process	インプットをアウトプットに変換する相互に関連する又は相互に作用する一覧の活動(JIS Q 9000:2006)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24639	A		利用時の品質(測定量)	りようじのひんしつ(そくていりょう)	quality in use (measure)	特定の利用者の使用する製品が、特定の利用状況において、有効性、生産性、安全性及び満足度に関して特定の目標を達成するための利用者ニーズを満たす程度。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24640	A		品質測定量の要素	ひんしつそくていりょうのようそ	quality measure elements	ソフトウェア品質測定量を構成する測定量。基本測定量又は導出測定量のいずれかである。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24641	A		品質モデル	ひんしつもでる	quality model	品質要求の仕様化及び品質評価に対する枠組みを提供する特定の定義された集合及び特性間の関係の集合。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24642	A		評定	ひょうてい	rating	測定量を適切な評定水準に対応付ける行為。特定の品質特性に対して、ソフトウェア製品に関連する評定水準を決定するために使用される。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24643	A		評定水準	ひょうていすいじゅん	rating level	順序尺度上の点のことで、測定尺度を分類するために使用される。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24644	A		要求	ようきゅう	requirements	何かを達成して欲しい、又は何かを実現して欲しい、というはっきりしたニーズの表現。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24645	A		尺度	しゃくど	scale	連続的若しくは離散的な値の順序集合又は分類の集合で、それに属性を対応付けるもの(JIS X 0141:2004参照)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24646	A		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product	計算機プログラム、手続き並びにその関連する文書及びデータを含めたまとまり(JIS X 0160:1996)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24647	A		ソフトウェア製品評価	そふとうぇあせいひんひょうか	software product evaluation	特定の手続に従って、ソフトウェア製品の一つ以上の特性の総合評価を行うことによって構成される技術的操作。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24648	A		ソフトウェア品質	そふとうぇあひんしつ	software quality	特定の条件で利用する場合の、明示的ニーズ又は暗黙のニーズを満たすためのソフトウェア製品の能力。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24649	A		ソフトウェア品質特性	そふとうぇあひんしつとくせい	software quality characteristic	ソフトウェア製品に影響を及ぼすソフトウェア品質属性の分類。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24650	A		ソフトウェア品質評価	そふとうぇあひんしつひょうか	software quality evaluation	ソフトウェア製品が、明示的ニーズ又は暗黙のニーズをどれだけ満たすことができるかの程度を示すための体系的な審査。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24651	A		利用時のソフトウェア品質	りようじのそふとうぇあひんしつ	software quality in use	特定の利用者が、特定の利用状況において、有効性、生産性、安全性及び満足度に関する特定の目標を達成できるためのソフトウェア製品の能力。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24652	A		ソフトウェア品質測定	そふとうぇあひんしつそく	software quality measure	内部ソフトウェア品質、外部ソフトウェア品質又は利用時のソフトウェア品質の測定。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24653	A		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stakeholder	システムに、権利、持分又は請求権をもっている関係者。又は、関係者のニーズ及び期待に合う特性をシステムがもっていることに、権利、持分又は請求権をもっている関係者(JIS X 0170:2004)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24654	A		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier	取得者と契約を交わし、その条項に基づいてシステム、ソフトウェア製品又はソフトウェアサービスを提供する組織(JIS X 0160:1996)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24655	A		システム	しすてむ	system	一つ以上の明記された目的を達成するために編成された相互に影響する要素を組み合わせたもの。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24656	A		プロセス対象	ぷろせすたいしょう	target of process	測定プロセス又は評価プロセスが適用される、ソフトウェア製品、又はソフトウェア製品によって実行されるタスク。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24657	A		測定の単位	そくていのたんい	unit of measurement	取決め又は慣習に従って定義し採用した特別の量で、同じ種類の他の量をそれと比較することによって、その量の相対的な大きさを表現するためのもの(JIS X 0141:2009)。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24658	A		利用者	りようしゃ	user	ある機能を阿多巣システムを利用する個人又は組織。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24659	A		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation	客観的証拠を提示することによって、特定の意図された用途又は適用に関する要求事項がみたされていることを確認すること。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24660	A		値	あたい	value	測定することによって、ある実体がもつ属性へ割り付けられた数値又は分類。	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24661	A		検証	けんしょう	verification	客観的証拠を提示することによって、規定要求事項が満たされていることを確認するこ	JIS X 25000	2010	ISO/IEC 25000	2005				2005	SC7
24662	C		文字列	もじれつ	character string				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24663	C		照合記号	しょうごうきごう	collating symbol				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24664	C		照合(重み付け)表	しょうごう(おもみづけ)ひょ	collation (weighting) table				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24665	C		照合要素	しょうごうようそ	collating element				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24666	C		差分	さぶん	delta				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24667	C		(照合)レベル	(しょうごう)れべる	(collation) level				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24668	C		順番照合	じゅんばんしょうごう	ordering, collation				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24669	C		順番かぎ(鍵)	じゅんばんかぎ	ordering key				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24670	C		(照合)準備	(しょうごう)じゅんび	(collation) preparation				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24671	C		基準参照法	きじゅんさんしょうほう	reference comparison method				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24672	C		副かぎ(鍵)	ふくかぎ	subkey				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24673	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24674	C		(照合)重み	(しょうごう)おもみ	(collation) weight				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24675	C		重み付け要素	おもみづけようそ	weighting element				ISO/IEC 14651	2007				2007	SC2
24676	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24677	C		アクセスポイント (AP)	あくせすぽいんと (AP)	access point (AP)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24678	C		アドホックネットワーク	あどほっくねっとわーく	ad hoc network				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24679	C		関連付け	かんれんづけ	association				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24680	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24681	C		基本サービスエリア(BSA)	きほんさーびすえりあ	basic service area (BSA)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24682	C		基本サービスセット(BSS)	きほんさーびすせっと	basic service set (BSS)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24683	C		基本サービスセット(BSS)基本速度セット	きほんさーびすせっと(BSS)きほんそくどせっと	basic service set (BSS) basic rate set				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24684	C		同報アドレス	どうほうあどれす	broadcast address				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24685	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24686	C		クリアチャネル評価(CCA)機能	くりあちゃねるひょうか(CCA)きのう	clear channel assessment (CCA) function				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24687	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24688	C		調整機能	ちょうせいきのう	coordination function				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24689	C		調整機能ポーリング可能	ちょうせいきのうぽーりんぐかのう	coordination function pollable				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24690	C		認証解除	にんしょうかいじょ	deauthentication				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24691	C		有向アドレス、参照:ユニキャストフレーム	ゆうこうあどれす、さんしょう:ゆにきゃすとふれーむ	directed address, See: unicast frame.				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24692	C		分離	ぶんり	disassociation				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24693	C		分散型制御機能(DCF)	ぶんさんがたせいぎょきのう(DCF)	distributed coordination function (DCF)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24694	C		配布	はいふ	distribution				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24695	C		配布システム(DS)	はいふしすてむ(DS)	distribution system (DS)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24696	C		配布システム媒体(DSM)	はいふしすてむばいたい(DSM)	distribution system medium (DSM)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24697	C		配布システムサービス(DSS)	はいふしすてむさーびす(DSS)	distribution system service (DSS)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24698	C		拡張速度セット(ERS)	かくちょうそくどせっと	extended rate set (ERS)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24699	C		拡張サービス領域(ESA)	かくちょうさーびすりょういき(ESA)	extended service area (ESA)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24700	C		拡張サービスセット(ESS)	かくちょうさーびすせっと(ESS)	extended service set (ESS)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24701	C		ガウス周波数偏移変調(GFSK)	がうすしゅうはすうへんいへんちょう(GFSK)	Gaussian frequency shift keying (GFSK)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24702	C		独立基本サービスセット(IBSS)	どくりつきほんさーびすせっと(IBSS)	independent basic service set (IBSS)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24703	C		インフラストラクチャ	いんふらすとらくちゃ	infrastructure				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24704	C		統合	とうごう	integration				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24705	C		媒体アクセス制御(MAC)、管理プロトコルデータ単位(MMPDU)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)、かんりぷろとこるでーたたんい(MMPDU)	medium access control (MAC), management protocol data unit				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24706	C		媒体アクセス制御(MAC)、プロトコルデータ単位(MPDU)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)、ぷろとこるでーたたんい(MPDU)	medium access control (MAC), protocol data unit (MPDU)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24707	C		媒体アクセス制御(MAC)、サービスデータ単位(MSDU)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)、さーびすでーたたんい(MSDU)	medium access control (MAC), service data unit (MSDU)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24708	C		最低限適合ネットワーク	さいていげんてきごうねっとわーく	minimally conformant network				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24709	C		移動局	いどうきょく	mobile station				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24710	C		マルチキャスト	まるちきゃすと	multicast				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24711	C		ネットワーク割り当てベクトル(NAV)	ねっとわーくわりあてべくとる(NAV)	network allocation vector (NAV)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24712	C		ポイント制御機能(PCF)	ぽいんとせいぎょきのう(PCF)	point coordination function (PCF)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24713	C		携帯局	けいたいきょく	portable station				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24714	C		ポータル	ぽーたる	portal				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24715	C		プライバシー	ぷらいばしー	privacy				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24716	C		再関連付け	さいかんれんづけ	reassociation				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24717	C		局(STA)	きょく(STA)	station (STA)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24718	C		局基本速度	きょくきほんそくど	station basic rate				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24719	C		局サービス(SS)	きょくさーびす(SS)	station service (SS)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24720	C		時間単位(TU)	じかんたんい(TU)	time unit (TU)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24721	C		不正開示	ふせいかいじ	unauthorized disclosure				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24722	C		不正リソース使用	ふせいりそーすしよう	unauthorized resource use				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24723	C		ユニキャストフレーム	ゆにきゃすとふれーむ	unicast frame				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24724	C		有線同等プライバシー(WEP)	ゆうせんどうとうぷらいばしー(WEP)	wired equivalent privacy (WEP)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24725	C		無線媒体(WM)	むせんばいたい(WM)	wireless medium (WM)				ISO/IEC 8802-11	2005				2005	SC6
24726	C		(型のための)関連符号化指示	(かたのための)かんれんふごうかしじ	associated encoding instructions (for a type)				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24727	C		(型のための)最終符号化指示	(かたのための)さいしゅうふごうかしじ	final encoding instructions (for a type)				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24728	C		識別キーワード	しきべつきーわーど	identifying keyword				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24729	C		継承符号化指示	けいしょうふごうかしじ	inherited encoding instructions				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24730	C		ASN.1のためのITU-T｜ISO/IEC JTC 1合同協力チーム	ASN.1のためのITU-T｜ISO/IEC JTC 1ごうどうきょうりょくちーむ	Joint ITU-T｜ISO/IEC JTC 1 Collaborative Team for ASN.1				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24731	C		PER符号化指示 (PER EI)	PERふごうかしじ (PER EI)	PER encoding instructions (PER EIs)				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24732	C		PER EI提案	PER EIていあん	PER EI proposal				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24733	C		PER EI変更提案	PER EIへんこうていあん	PER EI change proposal				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24734	C		プレフィックス付き符号化指示	ぷれふぃっくすつきふごうかしじ	prefixed encoding instructions				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24735	C		関連研究グループ	かんれんけんきゅうぐるーぷ	relevant Study Group				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24736	C		関連分科委員会	かんれんぶんかいいんかい	relevant Sub-Committee				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24737	C		標的符号化指示	ひょうてきふごうかしじ	targeted encoding instructions				ISO/IEC 8825-6	2008				2008	SC6
24738	C		ディレクトリ	でぃれくとり	the Directory				ISO/IEC 9594-1	2008				2008	SC6
24739	C		ディレクトリ情報ベース(DIB)	でぃれくとりじょうほうべーす(DIB)	directory information base (DIB)				ISO/IEC 9594-1	2008				2008	SC6
24740	C		(ディレクトリ)利用者	(でぃれくとり)りようしゃ	(directory) user				ISO/IEC 9594-1	2008				2008	SC6
24741	C		管理機関	かんりきかん	administrative authority				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24742	C		主管機関ディレクトリ管理領域(ADDMD)	しゅかんきかんでぃれくとりかんりりょういき(ADDMD)	administration directory management domain (ADDMD)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24743	C		ディレクトリ管理運用情報	でぃれくとりかんりうんようじょうほう	directory administrative and operational				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24744	C		DIT領域	DITりょういき	DIT domain				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24745	C		ディレクトリ管理領域(DMD)	でぃれくとりかんりりょういき(DMD)	directory management domain (DMD)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24746	C		領域管理組織	りょういきかんりそしき	domain management organization				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24747	C		ディレクトリ利用者情報	でぃれくとりりようしゃじょうほう	directory user information				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24748	C		ディレクトリシステムエージェント、DSA	でぃれくとりしすてむえーじぇんと、DSA	directory system agent (DSA)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24749	C		(ディレクトリ)利用者	(でぃれくとり)りようしゃ	(directory) user				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24750	C		(ディレクトリ)利用者エージェント(DUA)	(でぃれくとり)りようしゃえーじぇんと(DUA)	directory user agent (DUA)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24751	C		LDAPクライアント	LDAPくらいあんと	LDAP client				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24752	C		LDAP要求者	LDAPようきゅうしゃ	LDAP requestor				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24753	C		LDAP応答者	LDAPおうとうしゃ	LDAP responder				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24754	C		LDAPサーバ	LDAPさーば	LDAP server				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24755	C		私設ディレクトリ管理領域(PRDMD)	しせつでぃれくとりかんりりょういき(PRDMD)	private directory management domain (PRDMD)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24756	C		別名エントリ	べつめいえんとり	alias entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24757	C		先祖	せんぞ	ancestor				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24758	C		複合エントリ	ふくごうえんとり	compound entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24759	C		導出エントリ	どうしゅつえんとり	derived entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24760	C		直接スーパークラス	ちょくせつすーぱーくらす	direct superclass				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24761	C		ディレクトリ情報ベース、DIB	でぃれくとりじょうほうべーす、DIB	directory information base (DIB)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24762	C		ディレクトリ情報ツリー木、DIT	でぃれくとりじょうほうつりーき、DIT	directory information tree (DIT)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24763	C		(ディレクトリ)エントリ	(でぃれくとり)えんとり	(directory) entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24764	C		ファミリ	ふぁみり	family				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24765	C		ファミリメンバ	ふぁみりめんば	family member				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24766	C		直属上位(名詞)	ちょくぞくじょうい(めいし)	immediate superior (noun)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24767	C		直属上位エントリ	ちょくぞくじょういえんとり	immediately superior entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24768	C		直属上位オブジェクト	ちょくぞくじょういおぶじぇく	immediately superior				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24769	C		(着目する)エントリ	(ちゃくもくする)えんとり	object (of interest)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24770	C		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24771	C		オブジェクトエントリ	おぶじぇくとえんとり	object entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24772	C		関連エントリ	かんれんえんとり	related entries				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24773	C		サブクラス	さぶくらす	subclass				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24774	C		下位	かい	subordinate				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24775	C		スーパークラス	すーぱーくらす	superclass				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24776	C		上位	じょうい	superior				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24777	C		アンカー属性	あんかーぞくせい	anchor attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24778	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24779	C		利用者属性	りようしゃぞくせい	user attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24780	C		属性階層	ぞくせいかいそう	attribute hierarchy				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24781	C		(属性)サブタイプ	(ぞくせい)さぶたいぷ	attribute subtype				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24782	C		(属性)スーパータイプ	(ぞくせい)すーぱーたいぷ	attribute supertype (supertype)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24783	C		属性型	ぞくせいかた	attribute type				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24784	C		属性値	ぞくせいち	attribute value				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24785	C		属性値表明	ぞくせいちひょうめい	attribute value assertion				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24786	C		補助オブジェクトクラス	ほじょおぶじぇくとくらす	auxiliary object class				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24787	C		集団属性	しゅうだんぞくせい	collective attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24788	C		文脈	ぶんみゃく	context				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24789	C		文脈表明	ぶんみゃくひょうめい	context assertion				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24790	C		文脈型	ぶんみゃくかた	context type				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24791	C		文脈リスト	ぶんみゃくりすと	context list				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24792	C		文脈値	ぶんみゃくち	context value				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24793	C		導出属性	どうしゅつぞくせい	derived attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24794	C		導出オブジェクトクラス値	どうしゅつおぶじぇくとくらすち	derived object class value				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24795	C		直接属性参照	ちょくせつぞくせいさんしょ	direct attribute reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24796	C		識別値	しきべつち	distinguished value				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24797	C		ダミー属性	だみーぞくせい	dummy attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24798	C		エントリ収集	えんとりしゅうしゅう	entry collection				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24799	C		友達属性	ともだちぞくせい	friend attributes				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24800	C		間接属性参照	かんせつぞくせいさんしょ	indirect attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24801	C		適合規則	てきごうきそく	matching rule				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24802	C		適合規則表明	てきごうきそくひょうめい	matching rule assertion				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24803	C		運用属性	うんようぞくせい	operational attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24804	C		構造オブジェクトクラス	こうぞうおぶじぇくとくらす	structural object class				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24805	C		エントリの構造オブジェクトクラス	えんとりのこうぞうおぶじぇくとくらす	structural object class of an entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24806	C		別名	べつめい	alias, alias name				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24807	C		別名展開	べつめいてんかい	(alias) dereferencing				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24808	C		(エントリの)識別名	(えんとりの)しきべつめい	distinguished name (of an entry)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24809	C		(ディレクトリ)名	(でぃれくとり)めい	(directory) name				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24810	C		(エントリ)名	(えんとり)めい	(entry) name				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24811	C		ローカルメンバ名	ろーかるめんばめい	local member name				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24812	C		命名機関	めいめいきかん	naming authority				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24813	C		提示名	ていじめい	purported name				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24814	C		相対識別名(RDN)	そうたいしきべつめい(RDN)	relative distinguished name (RDN)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24815	C		階層上の子	かいそうじょうのこ	hierarchical child				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24816	C		階層グループ	かいそうぐるーぷ	hierarchical group				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24817	C		階層上の葉	かいそうじょうのは	hierarchical leaf				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24818	C		階層レベル	かいそうれべる	hierarchical level				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24819	C		階層リンク	かいそうりんく	hierarchical link				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24820	C		階層上の親	かいそうじょうのおや	hierarchical parent				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24821	C		階層上の兄弟	かいそうじょうのきょうだい	hierarchical sibling				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24822	C		階層上の兄弟の子	かいそうじょうのきょうだいのこ	hierarchical sibling-child				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24823	C		階層上のトップ	かいそうじょうのとっぷ	hierarchical top				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24824	C		階層上の直接の子	かいそうじょうのちょくせつのこ	immediately hierarchical child				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24825	C		階層上の直接の親	かいそうじょうのちょくせつのおや	immediately hierarchical parent				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24826	C		管理領域	かんりりょういき	administrative area				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24827	C		管理エントリ	かんりえんとり	administrative entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24828	C		管理ポイント	かんりぽいんと	administrative point				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24829	C		管理利用者	かんりりようしゃ	administrative user				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24830	C		自治管理領域	じちかんりりょういき	autonomous administrative area				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24831	C		DIT領域管理機関	DITりょういきかんりきかん	DIT domain administrative authority				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24832	C		DIT領域管理ポリシー	DITりょういきかんりぽり	DIT domain policy				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24833	C		DMD管理機関	DMDかんりきかん	DMD administrative authority				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24834	C		DMDポリシー	DMDぽりしー	DMD policy				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24835	C		DMOポリシー	DMOぽりしー	DMO policy				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24836	C		内部管理領域	ないぶかんりりょういき	inner administrative area				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24837	C		ポリシー	ぽりしー	policy				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24838	C		ポリシー属性	ぽりしーぞくせい	policy attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24839	C		ポリシーオブジェクト	ぽりしーおぶじぇくと	policy object				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24840	C		ポリシー手順	ぽりしーてじゅん	policy procedure				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24841	C		ポリシーパラメータ	ぽりしーぱらめーた	policy parameter				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24842	C		特定管理領域	とくていかんりりょういき	specific administrative				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24843	C		特定管理ポイント	とくていかんりぽいんと	specific administrative				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24844	C		基底	きてい	base				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24845	C		切断条件	せつだんじょうけん	chop				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24846	C		ディレクトリ操作属性	でぃれくとりそうさぞくせい	directory operational attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24847	C		ディレクトリシステムス	でぃれくとりしすてむす	directory system schema				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24848	C		エントリ	えんとり	entry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24849	C		サブエントリ	さぶえんとり	subentry				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24850	C		サブツリー	さぶつりー	subtree				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24851	C		サブツリー精細化	さぶつりーせいさいか	subtree refinement				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24852	C		サブツリー仕様	さぶつりーしよう	subtree specification				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24853	C		属性構文	ぞくせいこうぶん	attribute syntax				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24854	C		ディレクトリスキーマ	でぃれくとりすきーま	directory schema				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24855	C		(ディレクトリ)サブスキーマ	(でぃれくとり)さぶすきーま	(directory) subschema				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24856	C		DIT内容規則	DITないようきそく	DIT content rule				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24857	C		DIT文脈用途	DITぶんみゃくようと	DIT context use				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24858	C		DIT構造規則	DITこうぞうきそく	DIT structure rule				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24859	C		(エントリの)支配構造規則	(えんとりの)しはいこうぞうきそく	governing structure rule (of an entry)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24860	C		名前形式	なまえけいしき	name form				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24861	C		上位構造規則	じょういこうぞうきそく	superior structure rule				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24862	C		有効的に存在する属性型	ゆうこうてきにそんざいするぞくせいがた	effectively present attribute type				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24863	C		支配的検索規則	しはいてきけんさくきそく	governing-search-rule				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24864	C		命名サービス	めいめいさーびす	named-service				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24865	C		要求された属性プロファイル	ようきゅうされたぞくせいぷろふぁいる	request-attribute-profile				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24866	C		要求された属性型	ようきゅうされたぞくせいがた	request-attribute-type				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24867	C		検索規則	けんさくきそく	Search-rule				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24868	C		サービス種別	さーびすしゅべつ	service-type				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24869	C		サブフィルタ	さぶふぃるた	subfilter				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24870	C		利用者クラス	りようしゃくらす	user-class				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24871	C		アクセス制御スキーマ	あくせすせいぎょすきーま	access control scheme				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24872	C		被保護項目	ひほごこうもく	protected item				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24873	C		DIB断片	DIBだんぺん	DIB fragment				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24874	C		コンテキスト接頭部	こんてきすとせっとうぶ	context prefix				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24875	C		名前付けコンテキスト	なまえつけこんてきすと	naming context				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24876	C		カテゴリ	かてごり	category				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24877	C		一般利用可能な	いっぱんりようかのうな	commonly usable				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24878	C		相互参照	そうごさんしょう	cross reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24879	C		DITブリッジ知識参照	DITぶりっじちしきさんしょう	DIT bridge knowledge reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24880	C		直接上位参照	ちょくせつじょういさんしょう	immediate superior reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24881	C		知識(情報)	ちしき(じょうほう)	knowledge (information)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24882	C		知識参照	ちしきさんしょう	knowledge reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24883	C		マスタ知識	ますたちしき	master knowledge				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24884	C		不特定下位参照	ふとくていかいさんしょう	non-specific subordinate reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24885	C		参照経路	さんしょうけいろ	reference path				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24886	C		シャドウ知識	しゃどうちしき	shadow knowledge				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24887	C		下位参照	かいさんしょう	subordinate reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24888	C		上位参照	じょういさんしょう	superior reference				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24889	C		DSA情報木	DSAじょうほうき	DSA information tree				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24890	C		DSA共有属性	DSAきょうゆうぞくせい	DSA-shared attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24891	C		DSA特有属性	DSAとくゆうぞくせい	DSA-specific attribute				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24892	C		DSA特有エントリ (DSE)	DSAとくゆうえんとり (DSE)	DSA-specific entry (DSE)				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24893	C		DSE種別	DSEしゅべつ	DSE type				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24894	C		協調状態	きょうちょうじょうたい	cooperative state				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24895	C		ディレクトリの運用の枠組み	でぃれくとりのうんようのわくぐみ	directory operational framework				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24896	C		非協調状態	ひきょうちょうじょうたい	non-cooperative state				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24897	C		運用結合	うんようけつごう	operational binding				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24898	C		運用結合の確立	うんようけつごうのかくりつ	operational binding establishment				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24899	C		運用結合インスタンス	うんようけつごういんすたんす	operational binding instance				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24900	C		運用結合の管理	うんようけつごうのかんり	operational binding management				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24901	C		運用結合の変更	うんようけつごうのへんこう	operational binding modification				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24902	C		運用結合の終結	うんようけつごうのしゅうけつ	operational binding termination				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24903	C		運用結合種別	うんようけつごうしゅべつ	operational binding type				ISO/IEC 9594-2	2008				2008	SC6
24904	C		追加検索	ついかけんさく	additional search				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24905	C		貢献メンバ	こうけんめんば	contributing member				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24906	C		陽にマークされないエント	ひにまーくされないえんと	explicitly unmarked entry				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24907	C		ファミリ グループ化	ふぁみりぐるーぷか	family grouping				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24908	C		フィルタ	ふぃるた	filter				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24909	C		発信元	はっしんもと	originator				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24910	C		参画メンバ	さんかくめんば	participation member				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24911	C		主検索	しゅけんさく	primary search				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24912	C		緩和	かんわ	relaxation				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24913	C		サービス制御群	さーびすせいぎょぐん	service controls				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24914	C		系統	けいとう	strand				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24915	C		ストリーム結果	すとりーむけっか	streamed result				ISO/IEC 9594-3	2008				2008	SC6
24916	C		基底オブジェクト	きていおぶじぇくと	base object				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24917	C		結合DSA	けつごうDSA	bound DSA				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24918	C		結合DSAページ化結果	けつごうDSAぺーじかけっ	bound-DSA paged results				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24919	C		連鎖	れんさ	chaining				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24920	C		コンテキスト接頭部	こんてきすとせっとうぶ	context prefix information				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24921	C		分散型名前解決	ぶんさんがたなまえかい	distributed name				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24922	C		DSAページ結果	DSAぺーじけっか	DSP paged results				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24923	C		誤り	あやまり	error				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24924	C		固定誤り	こていあやまり	hard error				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24925	C		階層型運用結合、HOB	かいそうがたうんようけつごう 、HOB	hierarchical operational binding (HOB)				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24926	C		初期実行者	しょきじっこうしゃ	initial performer				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24927	C		更新系操作	こうしんけいそうさ	modification operations				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24928	C		多重連鎖	たじゅうれんさ	multi-chaining				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24929	C		複数エントリ問い合わせ系操作	ふくすうえんとりといあわせけいそうさ	multiple entry interrogation operations				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24930	C		名前解決	なまえかいけつ	name resolution				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24931	C		不特定階層型運用結合、NHOB	ふとくていかいそうがたうんようけつごう、NHOB	non-specific hierarchical operational binding				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24932	C		NSSR分解	NSSRぶんかい	NSSR decomposition				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24933	C		操作進行状況	そうさしんこうじょうきょう	operation progress				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24934	C		起動者	きどうしゃ	originator				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24935	C		ページ化	ぺーじか	paging				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24936	C		実行者	じっこうしゃ	performer				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24937	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24938	C		関連のある階層型運用結合、RHOB	かんれんのあるかいそうがたうんようけつごう、	relevant hierarchical operational binding				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24939	C		紹介	しょうかい	referral				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24940	C		返答	へんとう	reply				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
24941	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24942	C		要求分解	ようきゅうぶんかい	request decomposition				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24943	C		要求者	ようきゅうしゃ	requester				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24944	C		単一エントリ問合せ系操作	たんいつえんとりといあわせけいそうさ	single entry interrogation operations				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24945	C		一時誤り	いちじあやまり	soft error				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24946	C		下位DSA	かいDSA	subordinate DSA				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24947	C		副要求	ふくようきゅう	subrequest				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24948	C		上位DSA	じょういDSA	superior DSA				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24949	C		上位DSA、下位DSA	じょういDSA、かいDSA	superior, subordinate DSA				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24950	C		対象オブジェクト名	たいしょうおぶじぇくとめい	target object name				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24951	C		単一連鎖	たんいつれんさ	uni-chaining				ISO/IEC 9594-4	2008				2008	SC6
24952	C		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24953	C		応用アソシエーション	おうようあそしえーしょん	application-association				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24954	C		応用コンテキスト	おうようこんてきすと	application-context				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24955	C		応用コンテキスト名	おうようこんてきすとめい	application-context-name				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24956	C		応用層	おうようそう	Application Layer				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24957	C		応用エンティティ	おうようえんていてい	application-entity				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24958	C		応用エンティティ名	おうようえんていていめい	application-entity title				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24959	C		応用プロセス	おうようぷろせす	application process				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24960	C		結合操作	けつごうそうさ	Bind operation				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24961	C		ディレクトリ操作	でぃれくとりそうさ	Directory operation				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24962	C		ディレクトリプロトコルデータ単位	でぃれくとりぷろとこるでーたたんい	directory protocol-data-unit				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24963	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24964	C		実装上の事項	じっそうじょうのじこう	local matter				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24965	C		操作	そうさ	operation				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24966	C		プロトコルデータ単位	ぷろとこるでーたたんい	protocol-data-unit				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24967	C		プレゼンテーション層	ぷれぜんてーしょんそう	Presentation Layer				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24968	C		プロトコル誤り	ぷろとこるあやまり	protocol error				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24969	C		レスポンダ	れすぽんだ	responder				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24970	C		セッション層	せっしょんそう	session layer				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24971	C		セッションプロトコルデータ単位	せっしょんぷろとこるでーたたんい	session-protocol-data-unit				ISO/IEC 9594-5	2008				2008	SC6
24972	C		属性証明書(AC)	ぞくせいしょうめいしょ(AC)	attribute certificate (AC)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24973	C		属性機関(AA)	ぞくせいきかん(AA)	Attribute Authority (AA)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24974	C		属性機関失効リスト、AARL	ぞくせいきかんしっこうりすと、AARL	attribute authority revocation list (AARL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24975	C		属性証明書失効リスト(ACRL)	ぞくせいしょうめいしょしっこうりすと(ACRL)	attribute certificate revocation list (ACRL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24976	C		認証トークン、トークン	にんしょうとーくん、とーく	authentication token,				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24977	C		機関	きかん	authority				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24978	C		機関証明書	きかんしょうめいしょ	authority certificate				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24979	C		ベースCRL	べーすCRL	base CRL				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24980	C		CA証明書	CAしょうめいしょ	CA-certificate				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24981	C		証明書方針	しょうめいしょほうしん	certificate policy				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24982	C		証明書運用規程(CPS)	しょうめいしょうんようきてい(CPS)	certification practice statement (CPS)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24983	C		証明書失効リスト(CRL)	しょうめいしょしっこうりすと(CRL)	certificate revocation list (CRL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24984	C		証明書利用者	しょうめいしょりようしゃ	certificate user				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24985	C		証明書通し番号	しょうめいしょとおしばんごう	certificate serial number				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24986	C		証明書利用システム	しょうめいしょりようしすてむ	certificate-using system				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24987	C		証明書検証	しょうめいしょけんしょう	certificate validation				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24988	C		証明機関(CA)	しょうめいきかん(CA)	certification authority(CA)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24989	C		証明機関失効リスト(CARL)	しょうめいきかんしっこうりすと(CARL)	certification authority revocation list (CARL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24990	C		証明経路	しょうめいけいろ	certification path				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24991	C		CRL配布点	CRLはいふてん	CRL distribution point				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24992	C		相互証明	そうごしょうめい	cross-certificate				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24993	C		暗号システム、暗号システム	あんごうしすてむ、あんごうしすてむ	cryptographic system, cryptosystem				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24994	C		データ機密性	でーたきみつせい	data confidentiality				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24995	C		委譲	いじょう	delegation				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24996	C		委譲経路	いじょうけいろ	delegation path				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24997	C		デルタCRL(dCRL)	でるたCRL(dCRL)	delta-CRL (dCRL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24998	C		エンドエンティティ	えんどえんていてい	end entity				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
24999	C		エンドエンティティ属性証明書失効リスト(EARL)	えんどえんていていぞくせいしょうめいしょしっこうりすと(EARL)	end-entity attribute certificate revocation list (EARL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25000	C		エンドエンティティ公開鍵証明書失効リスト(EPRL)	えんどえんていていこうかいかぎしょうめいしょしっこうりすと(EPRL)	end-entity public-key certificate revocation list (EPRL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25001	C		環境変数	かんきょうへんすう	environmental variables				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25002	C		完全CRL	かんぜんCRL	full CRL				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25003	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25004	C		所有者	しょゆうしゃ	holder				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25005	C		間接CRL(iCRL)	かんせつCRL(iCRL)	indirect CRL (iCRL)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25006	C		かぎ共有	かぎきょうゆう	key agreement				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25007	C		オブジェクト手法	おぶじぇくとしゅほう	object method				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25008	C		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25009	C		方針写像	ほうしんしゃぞう	policy mapping				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25010	C		プライベートかぎ、秘密かぎ	ぷらいべーとかぎ、ひみつかぎ	private key, secret key (deprecated)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25011	C		権限	けんげん	privilege				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25012	C		権限主張者	けんげんしゅちょうしゃ	privilege asserter				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25013	C		権限管理基盤、PMI	けんげんかんりきばん、PMI	privilege management infrastructure (PMI)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25014	C		権限方針	けんげんほうしん	privilege policy				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25015	C		権限検証者	けんげんけんしょうしゃ	privilege verifier				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25016	C		公開かぎ	こうかいかぎ	public-key				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25017	C		公開かぎ証明書、PKC	こうかいかぎしょうめいしょ、PKC	public-key certificate (PKC)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25018	C		公開かぎ基盤、PKI	こうかいかぎきばん、PKI	public key infrastructure (PKI)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25019	C		関連者	かんれんしゃ	relying party				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25020	C		役割割当証明書	やくわりわりあてしょうめいしょ	role assignment certificate				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25021	C		役割仕様証明書	やくわりしようしょうめい	role specification				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25022	C		重要度	じゅうようど	sensitivity				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25023	C		簡易認証	かんいにんしょう	simple authentication				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25024	C		セキュリティ方針	せきゅりていほうしん	security policy				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25025	C		自己発行AC	じこはっこうAC	self-issued AC				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25026	C		自己発行証明書	じこはっこうしょうめいしょ	self-issued certificate				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25027	C		自己署名証明書	じこしょめいしょうめいしょ	self-signed certificate				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25028	C		属性機関源、SOA	ぞくせいきかんげん、SOA	source of authority (SOA)				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25029	C		厳密認証	げんみつにんしょう	strong authentication				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25030	C		信頼	しんらい	trust				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25031	C		信頼保証情報	しんらいほしょうじょうほう	trust anchor				ISO/IEC 9594-8	2005				2005	SC6
25032	C		領域接頭部	りょういきせっとうぶ	area prefix				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25033	C		属性完全性	ぞくせいかんぜんせい	attribute completeness				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25034	C		キャッシュ化エントリの写	きゃっしゅかえんとりのう	cache-copy				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25035	C		キャッシング	きゃっしんぐ	caching				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25036	C		消費者側参照	しょうひしゃがわさんしょう	consumer reference				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25037	C		エントリの写し	えんとりのうつし	entry-copy				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25038	C		拡張知識	かくちょうちしき	extended knowledge				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25039	C		マスタDSA	ますたDSA	master DSA				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25040	C		一次シャドウ化	いちじしゃどうか	primary shadowing				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25041	C		複製領域	ふくせいりょういき	replicated area				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25042	C		複製	ふくせい	replication				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25043	C		複製基底エントリ	ふくせいきていえんとり	replication base entry				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25044	C		二次シャドウ化	にじしゃどうか	secondary shadowing				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25045	C		シャドウ消費側	しゃどうしょうひがわ	shadow consumer				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25046	C		シャドウ運用結合	しゃどううんようけつごう	shadow operational				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25047	C		シャドウサービス	しゃどうさーびす	shadow service				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25048	C		シャドウ提供側	しゃどうていきょうがわ	shadow supplier				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25049	C		シャドウされたDSA特有エントリ(SDSE)	しゃどうされたDSAとくゆうえんとり(SDSE)	shadowed DSA specific entry (SDSE)				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25050	C		シャドウ情報	しゃどうじょうほう	shadowed information				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25051	C		シャドウ化	しゃどうか	shadowing				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25052	C		シャドウ化合意	しゃどうかごうい	shadowing agreement				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25053	C		下位完全性	かいかんぜんせい	subordinate completeness				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25054	C		供給側参照	きょうきゅうがわさんしょう	supplier reference				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25055	C		複製単位	ふくせいたんい	unit of replication				ISO/IEC 9594-9	2005				2005	SC6
25056	C		追加的二次識別子	ついかてきにじしきべつし	additional secondary identifier				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25057	C		追加的ユニコードラベル	ついかてきゆにこーどらべ	additional Unicode label				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25058	C		(登録機関の)管理的役割	(とうろくきかんの)かんりてきやくわり	administrative role (of a registration authority)				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25059	C		整数値ユニコードラベル	せいすうちゆにこーどらべ	integer-valued Unicode				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25060	C		国際登録機関	こくさいとうろくきかん	international registration authority				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25061	C		国際オブジェクト識別子木	こくさいおぶじぇくとしきべつしき	International Object Identifier tree				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25062	C		IRI/URI値	IRI/URIち	IRI/URI value				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25063	C		オブジェクト識別子のための合同ITU-T | ISO/IEC JTC 1共同チーム	おぶじぇくとしきべつしのためのごうどうITU-T | ISO/IEC JTC 1きょうどう	Joint ITU-T | ISO/IEC JTC 1 Collaborative Team for object identifiers				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25064	C		ロングアーク	ろんぐあーく	long arc				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25065	C		(注目)オブジェクト	(ちゅうもく)おぶじぇくと	object (of interest)				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25066	C		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	object identifier				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25067	C		OID国際化資源識別子	OIDこくさいかしげんしきべつし	OID internationalized resource identifier				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25068	C		一次整数値	いちじせいすうち	primary integer value				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25069	C		一次値	いちじち	primary value				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25070	C		アークのプロパティ	あーくのぷろぱてぃ	properties of an arc				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25071	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25072	C		登録機関	とうろくきかん	registration authority				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25073	C		登録階層名	とうろくかいそうめい	registration-hierarchical-name				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25074	C		登録階層名木	とうろくかいそうめいき	registration-hierarchical-name-tree				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25075	C		登録手順	とうろくてじゅん	registration procedures				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25076	C		関連ITU-T研究会	かんれんITU-Tけんきゅうかい	relevant ITU-T study group				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25077	C		関連ISO/IEC JTC 1分化委員会	かんれんISO/IEC JTC 1ぶんかいいんかい	relevant ISO/IEC JTC 1 Sub-Committee				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25078	C		ルートアーク	るーとあーく	root arc				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25079	C		二次識別子	にじしきべつし	secondary identifier				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25080	C		二次値	にじち	secondary value				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25081	C		スポンサー機関	すぽんさーきかん	sponsoring authority				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25082	C		(登録機関の)専門的役割	(とうろくきかんの)せんもんてきやくわり	technical role (of a registration authority)				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25083	C		トップレベルアーク(トップアーク)	とっぷれべるあーく(とっぷあーく)	top-level arcs (top arcs)				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25084	C		ユニコード文字	ゆにこーどもじ	Unicode character				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25085	C		ユニコード文字集合	ゆにこーどもじしゅうごう	Unicode character set				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25086	C		ユニコードラベル	ゆにこーどらべる	Unicode label				ISO/IEC 9834-1	2008				2008	SC6
25087	C		アーク識別	あーくしきべつ	arc identifications				ISO/IEC 9834-7	2008				2008	SC6
25088	C		国際ADMD名	こくさいADMDめい	international ADMD name				ISO/IEC 9834-7	2008				2008	SC6
25089	C		国際名	こくさいめい	international name				ISO/IEC 9834-7	2008				2008	SC6
25090	C		国際PRMD名	こくさいPRMDめい	international PRMD name				ISO/IEC 9834-7	2008				2008	SC6
25091	C		国際組織名	こくさいそしきめい	international organization name				ISO/IEC 9834-7	2008				2008	SC6
25092	C		共同国際組織アーク	きょうどうこくさいそしきあーく	joint international organization arc				ISO/IEC 9834-7	2008				2008	SC6
25093	C		暗号品質乱数	あんごうひんしつらんすう	cryptographic-quality random-number				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25094	C		共同UUIDアーク	きょうどうUUIDあーく	Joint UUID arc				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25095	C		名前基盤バージョン	なまえきばんばーじょん	name-based version				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25096	C		名前空間	なまえくうかん	name space				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25097	C		乱数基盤バージョン	らんすうきばんばーじょん	random-number-based version				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25098	C		標準UUID変種	ひょうじゅんUUIDへんしゅ	standard UUID variant				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25099	C		時間基盤バージョン	じかんきばんばーじょん	time-based version				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25100	C		汎用一意識別子(UUID)	はんよういちいしきべつし(UUID)	Universally Unique Identifier (UUID)				ISO/IEC 9834-8	2008				2008	SC6
25101	C		マルチキャスト	まるちきゃすと	multicast				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25102	C		IPマルチキャスト	IPまるちきゃすと	IP multicast				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25103	C		中継マルチキャスト	ちゅうけいまるちきゃすと	relayed multicast				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25104	C		中継マルチキャストプロトコル(RMCP)	ちゅうけいまるちきゃすとぷろとこる(RMCP)	relayed multicast protocol (RMCP)				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25105	C		RMCPセッション	RMCPせっしょん	RMCP session				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25106	C		セッションID(SID)	せっしょんID(SID)	session ID (SID)				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25107	C		マルチキャストエージェント(MA)	まるちきゃすとえーじぇんと(MA)	multicast agent (MA)				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25108	C		送信者マルチキャストエージェント(SMA)	そうしんしゃまるちきゃすとえーじぇんと(SMA)	sender multicast agent (SMA)				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25109	C		受信者マルチキャストエージェント(RMA)	じゅしんしゃまるちきゃすとえーじぇんと(RMA)	receiver multicast agent (RMA)				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25110	C		セッションマネージャ(SM)	せっしょんまねーじゃ(SM)	session manager				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25111	C		親マルチキャストエージェント(PMA)	おやまるちきゃすとえーじぇんと(PMA)	parent multicast agent (PMA)				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25112	C		子マルチキャストエージェント(CMA)	こまるちきゃすとえーじぇんと(CMA)	child multicast agent (CMA)				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25113	C		単信	たんしん	simplex				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25114	C		N信	Nしん	N-plex				ISO/IEC 16512-1	2005				2005	SC6
25115	C		マルチキャスト	まるちきゃすと	multicast				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25116	C		IPマルチキャスト	IPまるちきゃすと	IP multicast				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25117	C		中継マルチキャスト	ちゅうけいまるちきゃすと	relayed multicast				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25118	C		中継マルチキャストプロトコル(RMCP)	ちゅうけいまるちきゃすとぷろとこる(RMCP)	relayed multicast protocol (RMCP)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25119	C		RMCP-2セッション	RMCP-2せっしょん	RMCP-2 session				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25120	C		マルチキャストエージェント(MA)	まるちきゃすとえーじぇんと(MA)	multicast agent (MA)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25121	C		送信者マルチキャストエージェント(SMA)	そうしんしゃまるちきゃすとえーじぇんと(SMA)	sender multicast agent (SMA)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25122	C		受信者マルチキャストエージェント(RMA)	じゅしんしゃまるちきゃすとえーじぇんと(RMA)	receiver multicast agent (RMA)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25123	C		ヘッドマルチキャストエージェント(HMA)	へっどまるちきゃすとえーじぇんと(HMA)	head multicast agent (HMA)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25124	C		セッションマネージャ(SM)	せっしょんまねーじゃ(SM)	session manager (SM)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25125	C		親マルチキャストエージェント(PMA)	おやまるちきゃすとえーじぇんと(PMA)	parent multicast agent (PMA)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25126	C		子マルチキャストエージェント(CMA)	こまるちきゃすとえーじぇんと(CMA)	child multicast agent (CMA)				ISO/IEC 16512-2	2008				2008	SC6
25127	C		GMPクライアント	GMPくらいあんと	GMP client				ISO/IEC 16513	2005				2005	SC6
25128	C		GMPサーバ	GMPさーば	GMP server				ISO/IEC 16513	2005				2005	SC6
25129	C		セション創設者	せしょんそうせつしゃ	session creator				ISO/IEC 16513	2005				2005	SC6
25130	C		セションクライアント	せしょんくらいあんと	session client				ISO/IEC 16513	2005				2005	SC6
25131	C		セション参加者	せしょんさんかしゃ	session participant				ISO/IEC 16513	2005				2005	SC6
25132	C		企業内電気通信ネットワーク(CN)	きぎょうないでんきつうしんねっとわーく(CN)	corporate telecommunication network, CN				ISO/IEC 17343	2007				2005	SC6
25133	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	gateway				ISO/IEC 17343	2007				2005	SC6
25134	C		IPネットワーク	IPねっとわーく	IP network				ISO/IEC 17343	2007				2005	SC6
25135	C		メディアストリーム	めでぃあすとりーむ	media stream				ISO/IEC 17343	2007				2005	SC6
25136	C		私設統合サービスネットワーク(PISN)	しせつとうごうさーびすねっとわーく(PISN)	private integrated services network, PISN				ISO/IEC 17343	2007				2005	SC6
25137	C		私設統合サービスネットワーク交換(PINX)	しせつとうごうさーびすねっとわーくこうかん	private integrated services network exchange, PINX				ISO/IEC 17343	2007				2005	SC6
25138	C		H閾値	Hしきいち	$H_{Threshold}$				ISO/IEC 21481	2005				2005	SC6
25139	C		NFCモード	NFCもーど	NFC MODE				ISO/IEC 21481	2005				2005	SC6
25140	C		動作周波数(fc)	どうさしゅうはすう(fc)	OPERATING FREQUENCY (fc)				ISO/IEC 21481	2005				2005	SC6
25141	C		PCD	PCD	PCD				ISO/IEC 21481	2005				2005	SC6
25142	C		PCDモード	PCDもーど	PCD MODE				ISO/IEC 21481	2005				2005	SC6
25143	C		VCD	VCD	VCD				ISO/IEC 21481	2005				2005	SC6
25144	C		VCDモード	VCDもーど	VCD MODE				ISO/IEC 21481	2005				2005	SC6
25145	C		コール転送	こーるてんそう	Call diversion				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25146	C		話中時コール転送(CFB)	はなしちゅうじこーるてんそう(CFB)	Call forwarding busy (CFB)				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25147	C		無応答時コール転送(CFNR)	むおうとうじこーるてんそう(CFNR)	Call forwarding no reply (CFNR)				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25148	C		無条件コール転送(CFU)	むじょうけんこーるてんそう(CFU)	Call forwarding unconditional (CFU)				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25149	C		企業内電気通信ネットワーク(CN)	きぎょうないでんきつうしんねっとわーく(CN)	Corporate telecommunication Network (CN)				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25150	C		実体A	じったいA	Entity A				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25151	C		実体B	じったいB	Entity B				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25152	C		実体C	じったいC	Entity C				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25153	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	Gateway				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25154	C		IPネットワーク	IPねっとわーく	IP network				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25155	C		レッグA	れっぐA	Leg A				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25156	C		レッグB	れっぐB	Leg B				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25157	C		レッグC	れっぐC	Leg C				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25158	C		私設統合サービスネットワーク(PISN)	しせつとうごうさーびすねっとわーく(PISN)	Private Integrated Services Network (PISN)				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25159	C		私設統合サービスネットワーク交換(PINX)	しせつとうごうさーびすねっとわーくこうかん	Private Integrated services Network				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25160	C		再ルーティング実体	さいるーてぃんぐじったい	Rerouting entity				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25161	C		利用者A	りようしゃA	User A				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25162	C		利用者B	りようしゃB	User B				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25163	C		利用者C	りようしゃC	User C				ISO/IEC 23915	2005				2005	SC6
25164	C		利用者A	りようしゃA	User A				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25165	C		利用者B	りようしゃB	User B				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25166	C		利用者C	りようしゃC	User C				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25167	C		コール転送	こーるてんそう	Call transfer				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25168	C		単一段階コール転送	たんいつだんかいこーるてんそう	Single step call transfer				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25169	C		参加によるコール転送	さんかによるこーるてんそ	Call transfer by join				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25170	C		再ルーティングによるコール転送	さいるーてぃんぐによるこーるてんそう	Call transfer by rerouteing				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25171	C		企業内電気通信ネットワーク(CN)	きぎょうないでんきつうしんねっとわーく(CN)	Corporate telecommunication Network (CN)				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25172	C		IPネットワーク	IPねっとわーく	IP network				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25173	C		私設統合サービスネットワーク(PISN)	しせつとうごうさーびすねっとわーく(PISN)	Private Integrated Services Network (PISN)				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6
25174	C		私設統合サービスネットワーク交換(PINX)	しせつとうごうさーびすねっとわーくこうかん	Private Integrated services Network				ISO/IEC 23916	2005				2005	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25175	C		能動通信モードでの起動	のうどうつうしんもーどでのきどう	Activation in Active communication Mode				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25176	C		受動通信モードでの起動	じゅどうつうしんもーどでのきどう	Activation in Passive communication Mode				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25177	C		能動通信モード	のうどうつうしんもーど	Active communication				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25178	C		動作空間	どうさくうかん	Operating volume				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25179	C		受動通信モード	じゅどうつうしんもーど	Passive communication Mode				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25180	C		単一装置検出(SDD)	たんいつそうちけんしゅつ(SDD)	Single Device Detection (SDD)				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25181	C		シナリオ	しなりお	Scenario				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25182	C		試験コマンド	しけんこまんど	Test commands				ISO/IEC 23917	2005				2005	SC6
25183	C		Base64	べーす64	Base64				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25184	C		文字列	もじれつ	character string				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25185	C		符号化アルゴリズム	ふごうかあるごりずむ	encoding algorithm				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25186	C		外部語い(彙)	がいぶごい	external vocabulary				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25187	C		ファストインフォセット文書	ふぁすといんふぉせっとぶんしょ	fast infoset document				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25188	C		最終語い(彙)	さいしゅうごい	final vocabulary				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25189	C		情報アイテム	じょうほうあいてむ	information item				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25190	C		初期語い(彙)	しょきごい	initial vocabulary				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25191	C		名前サロゲート	なまえさろげーと	name surrogate				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25192	C		名前空間適格XML文書	なまえくうかんてきかくXMLぶんしょ	namespace-well-formed XML document				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25193	C		修飾名	しゅうしょくめい	qualified name				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25194	C		制限アルファベット	せいげんあるふぁべっと	restricted alphabet				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25195	C		語い(彙)表インデックス	ごいひょういんでっくす	vocabulary table index				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25196	C		語い(彙)表	ごいひょう	vocabulary tables				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25197	C		XML宣言	XMLせんげん	XML declaration				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25198	C		XMLインフォセット	XMLいんふぉせっと	XML infoset				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25199	C		XMLホワイトスペース	XMLほわいとすぺーす	XML whitespace				ISO/IEC 24824-1	2007				2007	SC6
25200	C		ASN.1 SOAPインタフェース結合	ASN.1 SOAPいんたふぇーすけつごう	ASN.1 SOAP interface binding				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25201	C		ASN.1 SOAP終点	ASN.1 SOAPしゅうてん	ASN.1 SOAP endpoint				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25202	C		ASN.1 SOAPヘッダブロッ	ASN.1 SOAPへっだぶろっ	ASN.1 SOAP header block				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25203	C		ASN.1 SOAP HTTP結合	ASN.1 SOAP HTTPけつごう	ASN.1 SOAP HTTP				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25204	C		ASN.1 SOAPメッセージ	ASN.1 SOAPめっせーじ	ASN.1 SOAP message				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25205	C		埋め込みASN.1符号化値	うめこみASN.1ふごうかち	embedded ASN.1 encoded value				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25206	C		埋め込みファストインフォセット文書	うめこみふぁすといんふぉせっとぶんしょ	embedded fast infoset document				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25207	C		ファスト埋め込みウェブサービスクライアント	ふぁすとうめこみうぇぶさーびすくらいあんと	fast-enabled web service client				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25208	C		ファストインフォセットSOAPメッセージ	ふぁすといんふぉせっとSOAPめっせーじ	fast infoset SOAP message				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25209	C		ファストウェブサービス	ふぁすとうぇぶさーびす	fast web services				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25210	C		サービス記述	さーびすきじゅつ	service description				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25211	C		W3C SOAPヘッダブロック	W3C SOAPへっだぶろっく	W3C SOAP header block				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25212	C		W3C SOAPメッセージ	W3C SOAPめっせーじ	W3C SOAP message				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25213	C		W3C SOAP名前空間	W3C SOAPなまえくうかん	W3C SOAP namespace				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25214	C		XMLウェブサービス	XMLうぇぶさーびす	XML web services				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25215	C		XML SOAPメッセージ	XML SOAPめっせーじ	XML SOAP message				ISO/IEC 24824-2	2006				2006	SC6
25216	C		(W3C暗号化のための)アプリケーションレベル拡張	(W3Cあんごうかのための)あぷりけーしょんれべるかくちょう	application-level extensions (for W3C Encryption)				ISO/IEC 24824-3	2008				2008	SC6
25217	C		正準ファストインフォセットアルゴリズム	せいじゅんふぁすといんふぉせっとあるごりずむ	canonical Fast Infoset algorithm				ISO/IEC 24824-3	2008				2008	SC6
25218	C		正準ファストインフォセット文書	せいじゅんふぁすといんふぉせっとぶんしょ	canonical fast infoset document				ISO/IEC 24824-3	2008				2008	SC6
25219	C		正準XMLアルゴリズム	せいじゅんXMLあるごりず	canonical XML algorithm				ISO/IEC 24824-3	2008				2008	SC6
25220	C		正準XML文書	せいじゅんXMLぶんしょ	canonical XML document				ISO/IEC 24824-3	2008				2008	SC6
25221	C		(XMLインフォセットの)要素部	(XMLいんふぉせっとの)ようそぶ	element part (of an XML infoset)				ISO/IEC 24824-3	2008				2008	SC6
25222	C		(XMLインフォセットの)要素内容部	(XMLいんふぉせっとの)ようそないようぶ	element content part (of an XML infoset)				ISO/IEC 24824-3	2008				2008	SC6
25223	C		アクセスカテゴリ(AC)	あくせすかてごり(AC)	access category (AC)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25224	C		ビーコングループ(BG)	びーこんぐるーぷ(BG)	beacon group (BG)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25225	C		ビーコン期間(BP)	びーこんきかん(BP)	beacon period (BP)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25226	C		ビーコン期間開始時間(BPST)	びーこんきかんかいしじかん(BPST)	beacon period start time (BPST)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25227	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25228	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25229	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25230	C		分散型予約プロトコル(DRP)	ぶんさんがたよやくぷろとこる(DRP)	distributed reservation protocol (DRP)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25231	C		拡張ビーコングループ	かくちょうびーこんぐるー	extended beacon group				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25232	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25233	C		フレーム保護	ふれーむほご	frame protection				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25234	C		MACクライアント	MACくらいあんと	MAC client				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25235	C		MACコマンドデータ単位(MCDU)	MACこまんどでーたたんい(MCDU)	MAC command data unit (MCDU)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25236	C		MACプロトコルデータ単位(MPDU)	MACぷろとこるでーたたんい(MPDU)	MAC protocol data unit (MPDU)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25237	C		MACサービスデータ単位(MSDU)	MACさーびすでーたたんい(MSDU)	MAC service data unit (MSDU)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25238	C		メッセージ完全性コード(MIC)	めっせーじかんぜんせいこーど(MIC)	message integrity code (MIC)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25239	C		隣接装置、ネイバ	りんせつそうち、ねいば	neighbour				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25240	C		ネットワーク割り当てベクトル(NAV)	ねっとわーくわりあてべくとる(NAV)	network allocation vector (NAV)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25241	C		優先競合アクセス(PCA)	ゆうせんきょうごうあくせす(PCA)	prioritized contention access (PCA)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25242	C		擬乱数生成	ぎらんすうせいせい	pseudo-random number generation				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25243	C		乱数生成器	らんすうせいせいき	random number generator				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25244	C		予約	よやく	reservation				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25245	C		予約ブロック	よやくぶろっく	reservation block				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25246	C		安全フレーム	あんぜんふれーむ	secure frame				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25247	C		ストリーム	すとりーむ	stream				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25248	C		スーパーフレーム	すーぱーふれーむ	superframe				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25249	C		対称かぎ	たいしょうかぎ	symmetric key				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25250	C		送信機会(TXOP)	そうしんきかい(TXOP)	transmission opportunity (TXOP)				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25251	C		TXOP所有者	TXOPしょゆうしゃ	TXOP holder				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25252	C		利用者優先度	りようしゃゆうせんど	user priority				ISO/IEC 26907	2009				2009	SC6
25253	C		クロック	くろっく	Clock				ISO/IEC 28361	2007				2007	SC6
25254	C		情報	じょうほう	Information				ISO/IEC 28361	2007				2007	SC6
25255	C		フロントエンド	ふろんとえんど	Front-end				ISO/IEC 28361	2007				2007	SC6
25256	C		トランシーバ	とらんしーば	Transceiver				ISO/IEC 28361	2007				2007	SC6
25257	C		アクティビティ	アクティビティ	acquirer				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25258	C		取得	しゅとく	acquisition				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25259	C		活動	かつどう	activity				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25260	C		合意	ごうい	agreement				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25261	C		監査	かんさ	audit				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25262	C		基準線	きじゅんせん	baseline				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25263	C		構成品目	こうせいひんもく	configuration item				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25264	C		契約	けいやく	contract				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25265	C		顧客	こきゃく	customer				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25266	C		開発者	かいはつしゃ	developer				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25267	C		イネーブリングシステム	いねーぶりんぐしすてむ	enabling system				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25268	C		評価	ひょうか	evaluation				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25269	C		設備	せつび	facility				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25270	C		ファームウェア	ふぁーむうぇあ	firmware				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25271	C		実装者	じっそうしゃ	implementer				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25272	C		ライフサイクル	らいふさいくる	life cycle				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25273	C		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25274	C		保守者	ほしゅしゃ	maintainer				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25275	C		監視	かんし	monitoring				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25276	C		非納入品目	ひのうにゅうひんもく	non-deliverable item				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25277	C		既製品	きせいひん	off-the-shelf				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25278	C		運用者	うんようしゃ	operator				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25279	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25280	C		当事者	とうじしゃ	party				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25281	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25282	C		プロセス目的	ぷろせすもくてき	process purpose				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25283	C		プロセス成果	ぷろせすせいか	process outcome				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25284	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25285	C		プロジェクト	ぷろじぇくと	project				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25286	C		プロジェクトポートフォリオ	ぷろじぇくとぽーとふぉりお	project portfolio				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25287	C		適格性確認	てきかくせいかくにん	qualification				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25288	C		適格性確認の要求事項	てきかくせいかくにんのようきゅうじこう	qualification requirement				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25289	C		適格性確認テスト	てきかくせいかくにんてす	qualification testing				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25290	C		品質保証	ひんしつほしょう	quality assurance				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25291	C		資源	しげん	release				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25292	C		提案依頼書(見積依頼書)	ていあんいらいしょ(みつもりいらいしょ)	request for proposal, tender				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25293	C		資源	しげん	resource				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25294	C		廃棄	はいき	retirement				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25295	C		セキュリティ	せきゅりてい	security				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25296	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25297	C		ソフトウェア品目、品目	そふとうぇあひんもく、ひんもく	software item, item				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25298	C		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25299	C		ソフトウェアユニット	そふとうぇあゆにっと	software unit				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25300	C		段階	だんかい	stage				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25301	C		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stakeholder				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25302	C		作業記述書	さぎょうきじゅつしょ	statement of work				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25303	C		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25304	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25305	C		システム要素	しすてむようそ	system element				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25306	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25307	C		テスト網羅性	てすともうらせい	test coverage				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25308	C		テスト計画性	てすとけいかくせい	testability				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25309	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25310	C		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25311	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25312	C		版	はん	version				ISO/IEC 12207	2008				2008	SC7
25313	C		適応保守	てきおうほしゅ	adaptive maintenance				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25314	C		是正保守	ぜせいほしゅ	corrective maintenance				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25315	C		緊急保守	きんきゅうほしゅ	emergency maintenance				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25316	C		保守性	ほしゅせい	maintainability				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25317	C		改良保守	かいりょうほしゅ	maintenance enhancement				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25318	C		修正要求書(MR)	しゅうせいようきゅうしょ	Modification Request (MR)				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25319	C		完全化保守	かんぜんかほしゅ	perfective maintenance				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25320	C		予防保守	よぼうほしゅ	preventive maintenance				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25321	C		問題報告書	もんだいほうこくしょ	Problem Report (PR)				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25322	C		ソフトウェア保守	そふとうぇあほしゅ	software maintenance				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25323	C		ソフトウェアの引継ぎ	そふとうぇあのひきつぎ	software transition				ISO/IEC 14764	2006				2006	SC7
25324	C		取得者	しゅとくしゃ	acquirer				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25325	C		取得	しゅとく	acquisition				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25326	C		アクティビティ	あくてぃびてぃ	activity				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25327	C		合意	ごうい	agreement				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25328	C		アーキテクチャ	あーきてくちゃ	architecture				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25329	C		監査	かんさ	audit				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25330	C		基準線	きじゅんせん	baseline				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25331	C		顧客	こきゃく	customer				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25332	C		イネーブリングシステム	いねーぶりんぐしすてむ	enabling system				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25333	C		設備	せつび	facility				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25334	C		ライフサイクル	らいふさいくる	life cycle				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25335	C		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25336	C		運用者	うんようしゃ	operator				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25337	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25338	C		当事者	とうじしゃ	party				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25339	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25340	C		プロセス目的	ぷろせすもくてき	process purpose				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25341	C		プロセス成果	ぷろせすせいか	process outcome				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25342	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25343	C		プロジェクト	ぷろじぇくと	project				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25344	C		プロジェクトポートフォリオ	ぷろじぇくとぽーとふぉりお	project portfolio				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25345	C		適格性確認	てきかくせいかくにん	qualification				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25346	C		品質保証	ひんしつほしょう	quality assurance				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25347	C		提案依頼書(見積依頼書)	ていあんいらいしょ(みつもりいらいしょ)	request for tender, proposal				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25348	C		資源	しげん	resource				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25349	C		廃棄	はいき	retirement				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25350	C		セキュリティ	せきゅりてぃ	security				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25351	C		段階	だんかい	stage				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25352	C		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stakeholder				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25353	C		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25354	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25355	C		システム要素	しすてむようそ	system element				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25356	C		対象システム	たいしょうしすてむ	system-of-interest				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25357	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25358	C		トレードオフ	とれーどおふ	trade-off				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25359	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25360	C		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25361	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 15288	2008				2008	SC7
25362	C		承認	しょうにん	approval				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25363	C		COTS	COTS	COTS				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25364	C		基準	きじゅん	criteria				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25365	C		データベース	でーたべーす	database				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25366	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25367	C		ドキュメンテーション計画	どきゅめんてーしょんけいかく	documentation plan				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25368	C		情報アイテム	じょうほうあいてむ	information item				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25369	C		情報アイテム内容	じょうほうあいてむないよ	information item content				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25370	C		情報アイテム型	じょうほうあいてむかた	information item type				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25371	C		ソフトウェアアイテム	そふとうぇああいてむ	software item				ISO/IEC 15289	2006				2006	SC7
25372	C		取得者	しゅとくしゃ	acquirer				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25373	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25374	C		基礎測定値	きそそくていち	base measure				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25375	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25376	C		データ提供者	でーたていきょうしゃ	data provider				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25377	C		データストア	でーたすとあ	data store				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25378	C		決定基準	けっていきじゅん	decision criteria				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25379	C		導出測定値	どうしゅつそくていち	derived measure				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25380	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25381	C		指標	しひょう	indicator				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25382	C		指標値	しひょうち	indicator value				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25383	C		情報ニーズ	じょうほうにーず	information need				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25384	C		情報製品	じょうほうせいひん	information product				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25385	C		測定可能概念	そくていかのうがいねん	measurable concept				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25386	C		測定値、名詞	そくていち、めいし	measure, noun				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25387	C		測定する、動詞	そくていする、どうし	measure, verb				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25388	C		測定	そくてい	measurement				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25389	C		測定アナリスト	そくていあなりすと	measurement analyst				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25390	C		測定経験基礎	そくていけいけんきそ	measurement experience base				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25391	C		測定機能	そくていきのう	measurement function				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25392	C		測定ライブラリアン	そくていらいぶらりあん	measurement librarian				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25393	C		測定方法	そくていほうほう	measurement method				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25394	C		測定手順	そくていてじゅん	measurement procedure				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25395	C		測定プロセス	そくていぷろせす	measurement process				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25396	C		測定プロセス所有者	そくていぷろせすしょゆう	measurement process				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25397	C		測定スポンサ	そくていすぽんさ	measurement sponsor				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25398	C		測定利用者	そくていりようしゃ	measurement user				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25399	C		モデル	もでる	model				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25400	C		観測	かんそく	observation				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25401	C		オペレータ、運用者	おぺれーた、うんようしゃ	operator				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25402	C		組織単位	そしきたんい	organizational unit				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25403	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25404	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25405	C		プロジェクト	ぷろじぇくと	project				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25406	C		尺度	しゃくど	scale				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25407	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25408	C		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stakeholder				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25409	C		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25410	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25411	C		測定単位	そくていたんい	unit of measurement				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25412	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25413	C		値	あたい	value				ISO/IEC 15939	2007				2007	SC7
25414	C		基準線	きじゅんせん	baseline				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25415	C		構成実体要素、CI	こうせいじったいようそ、CI	configuration item, CI				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25416	C		取締役会又は同等の機関	とりしまりやくかいまたはどうとうのきかん	corporate board or equivalent body				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25417	C		限定的マスターバージョン	げんていてきますたーばーじょん	definitive master version				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25418	C		配布用コピー	はいふようこぴー	distribution copy				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25419	C		効果的完全ライセンス	こうかてきかんぜんらいせんす	effective full license				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25420	C		ローカルSAM所有者	ろーかるSAMしょゆうしゃ	local SAM owner				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25421	C		人員	じんいん	personnel				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25422	C		手続	てつづき	procedure				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25423	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25424	C		SAM所有者	SAMしょゆうしゃ	SAM owner				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25425	C		ソフトウェアアセットマネジメント、SAM	そふとうぇああせっとまねじめんと、SAM	software asset management, SAM				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25426	C		ソフトウェアヘッダ	そふとうぇあへっだ	software header				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25427	C		ソフトウェアタグ	そふとうぇあたぐ	software tag				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25428	C		基礎的ライセンス	きそてきらいせんす	underlying license				ISO/IEC 19770-1	2006				2006	SC7
25429	C		利用可能性	りようかのうせい	availability				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25430	C		基準	きじゅん	baseline				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25431	C		変更記録	へんこうきろく	change record				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25432	C		構成実体要素(CI)	こうせいじったいようそ(CI)	configuration item (CI)				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25433	C		構成管理データベース(CMDB)	こうせいかんりでーたべーす(CMDB)	configuration management database (CMDB)				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25434	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25435	C		事件	じけん	incident				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25436	C		問題	もんだい	problem				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25437	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25438	C		リリース	りりーす	release				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25439	C		変更要求	へんこうようきゅう	request for change				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25440	C		サービスデスク	さーびすですく	service desk				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25441	C		サービスレベル合意書(SLA)	さーびすれべるごういしょ(SLA)	service level agreement (SLA)				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25442	C		サービスマネジメント	さーびすまねじめんと	service management				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25443	C		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	service provider				ISO/IEC 20000-1	2005				2005	SC7
25444	C		アーカイバルページ	あーかいばるぺーじ	archival pages				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25445	C		本体メタベータ	ほんたいめたべーた	body metadata				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25446	C		クッキー	くっきー	cookie				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25447	C		拡大内部ネット、エクストラネット	かくだいないぶねっと、えくすとらねっと	Extranet				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25448	C		内部ネット、イントラネット	ないぶねっと、いんとらねっと	Intranet				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25449	C		マネージドネットワーク	まねーじどねっとわーく	managed network				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25450	C		マネージドウェブサイト	まねーじどうぇぶさいと	managed Web site				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25451	C		ミラーサイト	みらーさいと	mirror site				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25452	C		持続的URI	じぞくてきURI	persistent URI				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25453	C		下位ウェブサイト	かいうぇぶさいと	subordinate Web site				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25454	C		ウェブページ	うぇぶぺーじ	Web page				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25455	C		ウェブサイト	うぇぶさいと	Web site				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25456	C		適正実装ウェブサイト	てきせいじっそううぇぶさいと	well-engineered Web site				ISO/IEC 23026	2001-2002				2006	SC7
25457	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	Application				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25458	C		アプリケーション境界	あぷりけーしょんきょうか	Application boundary				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25459	C		アプリケーションファンクションポイント数	あぷりけーしょんふぁんくしょんぽいんとすう	Application function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25460	C		自動情報システム	じどうじょうほうしすてむ	Automated information system				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25461	C		基礎機能コンポーネント	きそきのうこんぽーねんと	Base Functional				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25462	C		機能の複雑度	きのうのふくざつど	Complexity of a function				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25463	C		複雑度行列	ふくざつどぎょうれつ	Complexity matrix				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25464	C		概念データモデル	がいねんでーたもでる	Conceptual data model				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25465	C		制御情報	せいぎょじょうほう	Control information				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25466	C		CPM	CPM	CPM				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25467	C		データ項目種別	でーたこうもくしゅべつ	Data element type				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25468	C		データ機能ファイル	でーたきのうふぁいる	Data function				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25469	C		データ機能種別	でーたきのうしゅべつ	Data function type				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25470	C		データ情報	でーたじょうほう	Data information				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25471	C		導出データ	どうしゅつでーた	Derived data				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25472	C		詳細ファンクションポイント数	しょうさいふぁんくしょんぽいんとすう	Detailed function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25473	C		開発プロジェクト	かいはつぷろじぇくと	Development project				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25474	C		開発プロジェクトファンクションポイント数	かいはつぷろじぇくとふぁんくしょんぽいんとすう	Development project, function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25475	C		ダイアログ	だいあろぐ	Dialog				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25476	C		EI	EI	EI				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25477	C		EIF	EIF	EIF				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25478	C		要素処理	ようそしょり	Elementary process				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25479	C		機能改良	きのうかいりょう	Enhancement				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25480	C		機能改良プロジェクト	きのうかいりょうぷろじぇくと	Enhancement project				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25481	C		機能改良プロジェクトファンクションポイント数	きのうかいりょうぷろじぇくとふぁんくしょんぽいんと	Enhancement project function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25482	C		EO	EO	EO				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25483	C		EQ	EQ	EQ				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25484	C		エラーメッセージ	えらーめっせーじ	Error message				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25485	C		予測ファンクションポイント数	よそくふぁんくしょんぽいんとすう	Estimated function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25486	C		外部入力	がいぶにゅうりょく	External input				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25487	C		外部インタフェースファイル	がいぶいんたふぇーすふぁいる	External interface file				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25488	C		外部参照	がいぶさんしょう	External inquiry				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25489	C		外部出力	がいぶしゅつりょく	External output				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25490	C		ファイル	ふぁいる	File				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25491	C		参照ファイル型	さんしょうふぁいるがた	File type referenced				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25492	C		最終ファンクションポイント数	さいしゅうふぁんくしょんぽいんとすう	Final function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25493	C		FPA	FPA	FPA				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25494	C		FPA表	FPAひょう	FPA table				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25495	C		FPA表EIF	FPAひょうEIF	FPA tables EIF				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25496	C		FPA表ILF	FPAひょうILF	FPA tables ILF				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25497	C		FTR	FTR	FTR				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25498	C		機能	きのう	Function				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25499	C		ファンクションポイント	ふぁんくしょんぽいんと	Function point				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25500	C		ファンクションポイント分析	ふぁんくしょんぽいんとぶんせき	Function point analysis				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25501	C		ファンクションポイント数	ふぁんくしょんぽいんとす	Function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25502	C		ファンクションポイント表	ふぁんくしょんぽいんと	Function point table				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25503	C		ファンクション型	ふぁんくしょんかた	Function type				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25504	C		ILF	ILF	ILF				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25505	C		指示的ファンクションポイント数	ししてきふぁんくしょんぽいんとすう	Indicative function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25506	C		(FPAのための)情報システム	(FPAのための)じょうほうしすてむ	Information system (for FPA)				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25507	C		初期ファンクションポイント数	しょきふぁんくしょんぽいんとすう	Initial function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25508	C		中間ファンクションポイント数	ちゅうかんふぁんくしょんぽいんとすう	Interim function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25509	C		内部論理ファイル	ないぶろんりふぁいる	Internal logical file				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25510	C		リスト機能	りすときのう	List function				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25511	C		論理ファイル	ろんりふぁいる	Logical file				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25512	C		論理レイアウト	ろんりれいあうと	Logical layout				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25513	C		メニュー	めにゅー	Menu				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25514	C		メニュー構造	めにゅーこうぞう	Menu structure				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25515	C		ファンクションポイント数	ふぁんくしょんぽいんとす	Number of function points				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25516	C		アウトプット製品	あうとぷっとせいひん	Output product				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25517	C		プロジェクトファンクションポイント数	ぷろじぇくとふぁんくしょんぽいんとすう	Project function point count				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25518	C		記録型	きろくがた	Record type				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25519	C		報告書	ほうこくしょ	Report				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25520	C		(FPAのための)システム	(FPAのための)しすてむ	System (for FPA)				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25521	C		システム表	しすてむひょう	System table				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25522	C		取引	とりひき	Transaction				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25523	C		取引ファイル	とりひきふぁいる	Transaction file				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25524	C		取引機能	とりひきのう	Transactional function				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25525	C		取引機能型	とりひきのうがた	Transactional function				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25526	C		固有機能	こゆうきのう	Unique function				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25527	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25528	C		利用者観点	りようしゃかんてん	User perspective				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25529	C		利用者要求記述	りようしゃようきゅうきじゅ	User view				ISO/IEC 24570	2005				2005	SC7
25530	C		情報基盤領域、IBD	じょうほうきばんりょういき、IBD	information-based domain, IBD				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25531	C		方法論	ほうほうろん	methodology				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25532	C		手法	しゅほう	method				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25533	C		メタモデル	めたもでる	metamodel				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25534	C		開発活動	かいはつかつどう	endeavour				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25535	C		方法論の要素	ほうほうろんのようそ	methodology element				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25536	C		開発活動要素	かいはつかつどうようそ	endeavour element				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25537	C		生成	せいせい	generation				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25538	C		実行	じっこう	enactment				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25539	C		手法エンジニア	しゅほうえんじにあ	method engineer				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25540	C		開発者	かいはつしゃ	developer				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25541	C		パワータイプ	ぱわーたいぷ	powertype				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25542	C		クラブジェクト	くらぶじぇくと	clabject				ISO/IEC 24744	2007				2007	SC7
25543	C		評価活動	ひょうかかつどう	evaluation activity				ISO/IEC 25001	2007				2007	SC7
25544	C		評価グループ	ひょうかぐるーぷ	evaluation group				ISO/IEC 25001	2007				2007	SC7
25545	C		評価に利用される技術	ひょうかにりようされるぎじゅつ	evaluation technology (technology used for evaluation)				ISO/IEC 25001	2007				2007	SC7
25546	C		技法	ぎほう	techniques				ISO/IEC 25001	2007				2007	SC7
25547	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25548	C		基本測定量	きほんそくていりょう	base measure				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25549	C		導出測定量	どうしゅつそくていりょう	derived measure				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25550	C		外部ソフトウェア品質	がいぶそふとうぇあひんし	external software quality				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25551	C		指標	しひょう	indicator				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25552	C		情報ニーズ	じょうほうにーず	information need				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25553	C		内部ソフトウェア品質	ないぶそふとうぇあひんし	internal software quality				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25554	C		測定量、名詞	そくていりょう、めいし	measure, noun				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25555	C		測定する、動詞	そくていする、どうし	measure, verb				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25556	C		測定	そくてい	measurement				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25557	C		測定の関数	そくていのかんすう	measurement function				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25558	C		測定方法	そくていほうほう	measurement method				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25559	C		利用時のソフトウェア品質	りようじのそふとうぇあひんしつ	quality in use (measure)				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25560	C		品質測定量の要素	ひんしつそくていりょうのようそ	quality measure element				ISO/IEC 25020	2007				2007	SC7
25561	C		取得者	しゅとくしゃ	acquirer				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25562	C		分析モデル	ぶんせきもでる	analysis model				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25563	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25564	C		品質測定量のための属性	ひんしつそくていりょうのためのぞくせい	attribute for quality measure				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25565	C		基本測定量	きほんそくていりょう	base measure				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25566	C		商用既製ソフトウェア製品、COTSソフトウェア製品	しょうようきせいそふとうぇあせいひん、COTSそふとうぇあせいひん	commercial-off-the-shelf software product				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25567	C		利用状況	りようじょうきょう	context of use				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25568	C		注文生産ソフトウェア	ちゅうもんせいさんそふとうぇあ	custom software				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25569	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25570	C		判断基準	はんだんきじゅん	decision criteria				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25571	C		導出測定量	どうしゅつそくていりょう	derived measure				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25572	C		開発者	かいはつしゃ	developer				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25573	C		規格の部門	きかくのぶもん	division of standards				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25574	C		エンドユーザ	えんどゆーざ	end user				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25575	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25576	C		評価方法	ひょうかほうほう	evaluation method				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25577	C		評価モジュール	ひょうかもじゅーる	evaluation module				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25578	C		評価者	ひょうかしゃ	evaluator				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25579	C		外部ソフトウェア品質	がいぶそふとうぇあひんし	external software quality				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25580	C		故障	こしょう	failure				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25581	C		障害	しょうがい	fault				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25582	C		機能要求	きのうようきゅう	functional requirement				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25583	C		暗黙のニーズ	あんもくのにーず	implied needs				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25584	C		指標	しひょう	indicator				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25585	C		情報ニーズ	じょうほうにーず	information need				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25586	C		情報成果物	じょうほうせいかぶつ	information product				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25587	C		情報システムニーズ	じょうほうしすてむにーず	information system needs				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25588	C		中間ソフトウェア製品	ちゅうかんそふとうぇあせいひん	intermediate software product				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25589	C		ソフトウェア中間製品へのニーズ	そふとうぇあちゅうかんせいひんへのにーず	intermediate software product needs				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25590	C		内部ソフトウェア品質	ないぶそふとうぇあひんし	internal software quality				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25591	C		保守者	ほしゅしゃ	maintainer				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25592	C		測定量、名詞	そくていりょう、めいし	measure (noun)				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25593	C		測定する、動詞	そくていする、どうし	measure (verb)				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25594	C		測定	そくてい	measurement				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25595	C		測定の関数	そくていのかんすう	measurement function				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25596	C		測定方法	そくていほうほう	measurement method				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25597	C		測定手続	そくていてつづき	measurement procedure				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25598	C		測定プロセス	そくていぷろせす	measurement process				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25599	C		観測	かんそく	observation				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25600	C		オペレータ、運用者	おぺれーた、うんようしゃ	operator				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25601	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25602	C		利用時の品質(測定量)	りようじのひんしつ(そくていりょう)	quality in use (measure)				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25603	C		品質測定量の要素	ひんしつそくていりょうのようそ	quality measure element				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25604	C		品質モデル	ひんしつもでる	quality model				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25605	C		評定	ひょうてい	rating				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25606	C		評定水準	ひょうていすいじゅん	rating level				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25607	C		要求	ようきゅう	requirements				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25608	C		尺度	しゃくど	scale				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25609	C		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25610	C		ソフトウェア製品評価	そふとうぇあせいひんひょうか	software product evaluation				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25611	C		ソフトウェア品質	そふとうぇあひんしつ	software quality				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25612	C		ソフトウェア品質特性	そふとうぇあひんしつとくせい	software quality characteristic				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25613	C		ソフトウェア品質評価	そふとうぇあひんしつひょう	software quality				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25614	C		利用時のソフトウェア品質	りようじのそふとうぇあひんしつ	software quality in use				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25615	C		ソフトウェア品質測定	そふとうぇあひんしつそく	Software quality measure				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25616	C		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stakeholder				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25617	C		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25618	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25619	C		プロセス対象	ぷろせすたいしょう	target of process				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25620	C		測定の単位	そくていのたんい	unit of measurement				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25621	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25622	C		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25623	C		値	あたい	value				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25624	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 25030	2007				2007	SC7
25625	C		アプリケーション管理機能	あぷりけーしょんかんりきのう	application administration function				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25626	C		適合性評価報告書	てきごうせいひょうかほうこくしょ	conformity evaluation report				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25627	C		商用既製ソフトウェア製品、COTSソフトウェア製品	しょうようきせいそふとうぇあせいひん、COTSそふとうぇあせいひん	COTS software product				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25628	C		機能	きのう	function				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25629	C		製品説明書	せいひんせつめいしょ	product description				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25630	C		要求文書	ようきゅうぶんしょ	requirements document				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25631	C		試験文書	しけんぶんしょ	test documentation				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25632	C		試験環境	しけんかんきょう	test environment				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25633	C		試験対象	しけんたいしょう	test objective				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25634	C		試験計画書	しけんけいかくしょ	test plan				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25635	C		試験説明	しけんせつめい	testing description				ISO/IEC 25051	2006				2006	SC7
25636	C		使用性	しようせい	usability				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25637	C		有効性	ゆうこうせい	effectiveness				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25638	C		効率性	こうりつせい	efficiency				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25639	C		満足度	まんぞくど	satisfaction				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25640	C		利用状況	りようじょうきょう	context of use				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25641	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25642	C		利用者グループ	りようしゃぐるーぷ	user group				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25643	C		目標	もくひょう	goal				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25644	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25645	C		アクセス容易性	あくせすようい せい	accessibility				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25646	C		援助技術	えんじょぎじゅつ	assistive technologies				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25647	C		援助	えんじょ	assist				ISO/IEC 25062	2006				2006	SC7
25648	C		アクセス性	あくせすせい	accessibility				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25649	C		アクション	あくしょん	action				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25650	C		入力可能領域	にゅうりょくかのうりょうい	active area				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25651	C		分析	ぶんせき	analysis				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25652	C		アプリケーションソフトウェア	あぷりけーしょんそふとうぇあ	application software				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25653	C		読者	どくしゃ	audience				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25654	C		注意	ちゅうい	caution				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25655	C		変更制御手順	へんこうせいぎょてじゅん	change control procedure				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25656	C		構成管理、CM	こうせいかんり、CM	configuration management, CM				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25657	C		文脈依存ヘルプ	ぶんみゃくいぞんへるぷ	context-sensitive help				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25658	C		重要情報	じゅうようじょうほう	critical information				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25659	C		顧客適応	こきゃくてきおう	customization				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25660	C		設計	せっけい	design				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25661	C		開発	かいはつ	development				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25662	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25663	C		取扱い説明	とりあつかいせつめい	documentation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25664	C		文書セット	ぶんしょせっと	document set				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25665	C		一体形取扱い説明	いったいがたとりあつかいせつめい	embedded documentation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25666	C		入力フィールド	にゅうりょくふぃーるど	entry field				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25667	C		第三者預託、エスクロー	だいさんしゃよたく、えすくろー	escrow				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25668	C		機能	きのう	function				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25669	C		アイコン	あいこん	icon				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25670	C		イラスト	いらすと	illustration				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25671	C		実装	じっそう	implementation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25672	C		教育モード	きょういくもーど	instructional mode				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25673	C		国際化	こくさいか	internationalization				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25674	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25675	C		ローカリゼーション	ろーかりぜーしょん	localization				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25676	C		メニュー	めにゅー	menu				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25677	C		ナビゲーション	なびげーしょん	navigation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25678	C		画面表示取扱い説明	がめんひょうじとりあつかいせつめい	on-screen documentation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25679	C		写真	しゃしん	picture				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25680	C		印刷版取扱い説明	いんさつばんとりあつかいせつめい	printed documentation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25681	C		手続	てつづき	procedure				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25682	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25683	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25684	C		製品責任者	せいひんせきにんしゃ	product authority				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25685	C		プロジェクト	ぷろじぇくと	project				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25686	C		プロジェクトマネージャ	ぷろじぇくとまねーじゃ	project manager				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25687	C		品質マネジメント	ひんしつまねじめんと	quality management				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25688	C		実世界オブジェクト	じつせかいおぶじぇくと	real-world object				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25689	C		参照モード	さんしょうもーど	reference mode				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25690	C		二次ウィンドウ	にじういんどう	secondary window				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25691	C		分離形取扱い説明	ぶんりがたとりあつかいせつめい	separate documentation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25692	C		道しるべ、サインポスト	みちしるべ、さいんぽすと	signpost				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25693	C		ソフトウェア	そふとうぇあ	software				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25694	C		段階	だんかい	step				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25695	C		スタイル	すたいる	style				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25696	C		技術担当者	ぎじゅつたんとうしゃ	technical contact				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25697	C		トピック	とぴっく	topic				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25698	C		チュートリアル	ちゅーとりある	tutorial				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25699	C		有用性	ゆうようせい	usability				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25700	C		使用モード	しようもーど	usage mode				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25701	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25702	C		利用者ドキュメンテーション	りようしゃどきゅめんてーしょん	user documentation				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25703	C		ユーザインタフェース	ゆーざいんたふぇーす	user interface				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25704	C		警告	けいこく	warning				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25705	C		ウィンドウ	ういんどう	window				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25706	C		ウィザード	ういざーど	wizard				ISO/IEC 26514	2008				2008	SC7
25707	C		取得者	しゅとくしゃ	acquirer				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25708	C		合意	ごうい	agreement				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25709	C		割り当て	わりあて	allocation				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25710	C		基準線	きじゅんせん	baseline				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25711	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25712	C		顧客	こきゃく	customer				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25713	C		設計アーキテクチャ	せっけいあーきてくちゃ	design architecture				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25714	C		設計特徴	せっけいとくちょう	design characteristic				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25715	C		コスト作りこみ設計	こすとつくりこみせっけい	design to cost				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25716	C		有効性分析	ゆうこうせいぶんせき	effectiveness analysis				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25717	C		有効性アセスメント	ゆうこうせいあせすめんと	effectiveness assessment				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25718	C		最終品目	さいしゅうひんもく	end item				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25719	C		企業	きぎょう	enterprise				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25720	C		設備	せつび	facility				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25721	C		性能アーキテクチャ	せいのうあーきてくちゃ	functional architecture				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25722	C		性能要求事項	せいのうようきゅうじこう	functional requirement				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25723	C		人間システム工学	にんげんしすてむこうがく	human systems				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25724	C		統合貯蔵庫、統合リポジトリ	とうごうちょぞうこ、とうごうりぽじとり	integrated repository				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25725	C		インタフェース仕様	いんたふぇーすしよう	interface specification				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25726	C		ライフサイクル	らいふさいくる	life cycle				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25727	C		ライフサイクルコスト	らいふさいくるこすと	life cycle cost				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25728	C		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25729	C		有効性の測定値(MOE)	ゆうこうせいのそくていち(MOE)	measure of effectiveness (MOE)				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25730	C		性能の測定値(MOP)	せいのうのそくていち(MOP)	measure of performance (MOP)				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25731	C		オペレータ、運用者	おぺれーた、うんようしゃ	operator				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25732	C		性能要求事項	せいのうようきゅうじこう	performance requirement				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25733	C		要求事項	ようきゅうじこう	requirement				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25734	C		仕様	しよう	specification				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25735	C		階層的仕様、系統的仕様	かいそうてきしよう、けいとうてきしよう	specification tree				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25736	C		段階	だんかい	stage				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25737	C		利害関係者	りがいかんけいしゃ	stakeholder				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25738	C		状態	じょうたい	state				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25739	C		供給者	きょうきゅうしゃ	supplier				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25740	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25741	C		システムアーキテクチャ	しすてむあーきてくちゃ	system architecture				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25742	C		システム細部化構造	しすてむさいぶかこうぞう	system breakdown structure (SBS)				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25743	C		システム有効性	しすてむゆうこうせい	system effectiveness				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25744	C		トレードオフ分析	とれーどおふぶんせき	trade-off analysis				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25745	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 26702	2007				2007	SC7
25746	C		BFC型	BFCかた	BFC class				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25747	C		境界	きょうかい	boundary				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25748	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25749	C		データストア	でーたすとあ	data store				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25750	C		末端利用者	まったんりようしゃ	end-user				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25751	C		機能サービス	きのうさーびす	Functional Services				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25752	C		演算	えんざん	operation				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25753	C		読み込み参照	よみこみさんしょう	reading reference				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25754	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25755	C		書き込み参照	かきこみさんしょう	writing reference				ISO/IEC 29881	2008				2008	SC7
25756	C		取得者	しゅとくしゃ	acquirer				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25757	C		アーキテクチャ責任者	あーきてくちゃせきにん	architec				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25758	C		アーキテクティング	あーきてくていんぐ	architecting				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25759	C		アーキテクチャ記述	あーきてくちゃきじゅつ	architectural description (AD)				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25760	C		アーキテクチャ	あーきてくちゃ	architecture				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25761	C		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25762	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25763	C		システム利害関係者	しすてむりがいかんけいしゃ	system stakeholder				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25764	C		見解	けんかい	view				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25765	C		観点	かんてん	viewpoint				ISO/IEC 42010	2007				2007	SC7
25766	C		カード	かーど	card				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25767	C		検査数字	けんさすうじ	check digit				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25768	C		サイクル期間	さいくるきかん	cycle period				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25769	C		発行者識別番号、IIN	はっこうしゃしきべつばんごう、IIN	issuer identification number, IIN				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25770	C		個人口座識別	こじんこうざしきべつ	individual account identification				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25771	C		個人識別番号、PIN	こじんしきべつばんごう、PIN	personal identification number, PIN				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25772	C		主要口座番号、PAN	しゅようこうざばんごう、PAN	primary account number, PAN				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25773	C		SAN-1	SAN-1	SAN-1				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25774	C		SAN-2	SAN-2	SAN-2				ISO/IEC 4909	2006				2006	SC17
25775	C		一次標準	いちじひょうじゅん	primary standard				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25776	C		二次標準	にじひょうじゅん	secondary standard				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25777	C		未使用未記録カード	みしようみきろくかーど	unused un-encoded card				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25778	C		未使用記録済みカード	みしようきろくずみかーど	unused encoded card				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25779	C		返却カード	へんきゃくかーど	returned card				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25780	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25781	C		基準電流、*I*R	きじゅんでんりゅう、*I*R	reference current, IR				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25782	C		基準磁束レベル、*F*R	きじゅんじそくれべる、*F*R	reference flux level, *F*R				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25783	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording currents				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25784	C		個別信号振幅、*U*i	こべつしんごうしんぷく、	individual signal amplitude,				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25785	C		平均信号振幅、UA	へいきんしんごうしんぷく、UA	average signal amplitude, UA				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25786	C		基準信号振幅、*U*R	きじゅんしんごうしんぷく、*U*R	reference signal amplitude, UR				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25787	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25788	C		ビット密度	びっとみつど	bit density				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25789	C		ビットセル	びっとせる	bit cell				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25790	C		サブインターバル	さぶいんたーばる	subinterval				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25791	C		消磁電流、*I*d	しょうじでんりゅう、*I*d	demagnetisation current,				ISO/IEC 7811-6	2008				2008	SC17
25792	C		一次標準	いちじひょうじゅん	primary standard				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25793	C		二次標準	にじひょうじゅん	secondary standard				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25794	C		未使用未記録カード	みしようみきろくかーど	unused un-encoded card				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25795	C		未使用記録済みカード	みしようきろくずみかーど	unused encoded card				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25796	C		返却カード	へんきゃくかーど	returned card				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25797	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25798	C		基準電流、*I*R	きじゅんでんりゅう、*I*R	reference current, IR				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25799	C		基準磁束レベル、*F*R	きじゅんじそくれべる、*F*R	reference flux level, *F*R				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25800	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording currents				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25801	C		個別信号振幅、*U*i	こべつしんごうしんぷく、	individual signal amplitude,				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25802	C		平均信号振幅、UA	へいきんしんごうしんぷく、UA	average signal amplitude, UA				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25803	C		基準信号振幅、*U*R	きじゅんしんごうしんぷく、*U*R	reference signal amplitude, UR				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25804	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25805	C		ビット密度	びっとみつど	bit density				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25806	C		ビットセル	びっとせる	bit cell				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25807	C		サブインターバル	さぶいんたーばる	sub interval				ISO/IEC 7811-8	2008				2008	SC17
25808	C		用語及び定義	ようごおよびていぎ	Terms and definitions				ISO/IEC 7811-9	2008				2008	SC17
25809	C		エンボス加工の	えんぼすかこうの	embossed				ISO/IEC 7811-9	2008				2008	SC17
25810	C		カード	かーど	card				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25811	C		カード所有者	かーどしょゆうしゃ	card holder				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25812	C		カード発行者	かーどはっこうしゃ	card issuer				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25813	C		個別口座識別	こべつこうざしきべつ	individual account identification				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25814	C		交換	こうかん	interchange				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25815	C		発行者識別番号、IIN	はっこうしゃしきべつばんごう、IIN	issuer identification number, IIN				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25816	C		主要産業識別子、MII	しゅようさんぎょうしきべつし、MII	major industry identifier, MII				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25817	C		主要口座番号、PAN	しゅようこうざばんごう、PAN	primary account number, PAN				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25818	C		登録機関	とうろくきかん	Registration Authority				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25819	C		登録管理グループ、RMG	とうろくかんりぐるーぷ、RMG	Registration Management Group, RMG				ISO/IEC 7812-1	2006				2006	SC17
25820	C		管理ブロックホルダ	かんりぶろっくほるだ	administrative blockholder				ISO/IEC 7812-2	2007				2007	SC17
25821	C		IINのブロック	IINのぶろっく	block of IINs				ISO/IEC 7812-2	2007				2007	SC17
25822	C		カード引受人	かーどひきうけにん	card acceptor				ISO/IEC 7812-2	2007				2007	SC17
25823	C		カードスキームブロックホルダ	かーどすきーむぶろっくほるだ	card scheme blockholder				ISO/IEC 7812-2	2007				2007	SC17
25824	C		スポンサー機関	すぽんさーきかん	Sponsoring Authority				ISO/IEC 7812-2	2007				2007	SC17
25825	C		自動現金預け払い機、ATM	じどうげんきんあずけばらいき、ATM	automated teller machine, ATM				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25826	C		現金支出	げんきんししゅつ	cash disbursement				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25827	C		金融取引カード	きんゆうとりひきかーど	financial transaction card				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25828	C		物品及びサービス	ぶっぴんおよびさーびす	goods and services				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25829	C		個人識別番号、PIN	こじんしきべつばんごう、PIN	personal identification number, PIN				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25830	C		PIN入力装置、PED	PINにゅうりょくそうち、PED	PIN Entry Device, PED				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25831	C		サービスコード	さーびすこーど	service code				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25832	C		トラックデータ	とらっくでーた	track data				ISO/IEC 7813	2006				2006	SC17
25833	C		インタフェース装置	いんたふぇーすそうち	interface device				ISO/IEC 7816-12	2005				2005	SC17
25834	C		USB接続装置	USBせつぞくそうち	USB connection device				ISO/IEC 7816-12	2005				2005	SC17
25835	C		一次標準	いちじひょうじゅん	primary standard				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25836	C		二次標準	にじひょうじゅん	secondary standard				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25837	C		未使用未記録貯金通帳	みしようみきろくちょきんつうちょう	unused unencoded savingsbook				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25838	C		未使用記録済み貯金通帳	みしようきろくずみちょきんつうちょう	unused encoded savingsbook				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25839	C		返却貯金通帳	へんきゃくちょきんつうちょ	returned savingsbook				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25840	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25841	C		基準電流、*IR*	きじゅんでんりゅう、*IR*	reference current, IR				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25842	C		基準磁束レベル、*FR*	きじゅんじそくれべる、*FR*	reference flux level, *FR*				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25843	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording currents				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25844	C		個別信号振幅、*Ui*	こべつしんごうしんぷく、	individual signal amplitude,				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25845	C		平均信号振幅、UA	へいきんしんごうしんぷく、UA	average signal amplitude, UA				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25846	C		基準信号振幅、*UR*	きじゅんしんごうしんぷく、*UR*	reference signal amplitude, UR				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25847	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25848	C		ビット密度	びっとみつど	bit density				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25849	C		ビットセル	びっとせる	bit cell				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25850	C		サブインターバル	さぶいんたーばる	subinterval				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25851	C		貯金通帳	ちょきんつうちょう	savingsbook				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25852	C		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use				ISO/IEC 8484	2007				2007	SC17
25853	C		試験方法	しけんほうほう	test method				ISO/IEC 10373-5	2006				2006	SC17
25854	C		機能残存	きのうざんぞん	testably functional				ISO/IEC 10373-5	2006				2006	SC17
25855	C		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use				ISO/IEC 10373-5	2006				2006	SC17
25856	C		基本規格	きほんきかく	base standard				ISO/IEC 10373-7	2008				2008	SC17
25857	C		意図されたように作動する	いとされたようにさどうす	operate as intended				ISO/IEC 10373-7	2008				2008	SC17
25858	C		試験方法	しけんほうほう	test method				ISO/IEC 10373-7	2008				2008	SC17
25859	C		アクセス可能光学領域	あくせすかのうこうがくりょういき	accessible optical area				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25860	C		背景反射率	はいけいはんしゃりつ	background reflectivity				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25861	C		背景透過率	はいけいとうかりつ	background transmissivity				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25862	C		ビーム径	びーむけい	beam diameter				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25863	C		複屈折性	ふくくっせつせい	birefringence				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25864	C		カードドライブ	かーどどらいぶ	card drive				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25865	C		ドロップイン	どろっぷいん	drop in				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25866	C		ドロップアウト	どろっぷあうと	drop out				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25867	C		入射面	にゅうしゃめん	entry face				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25868	C		透過面	とうかめん	exit face				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25869	C		暴露時間	ばくろじかん	exposure time				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25870	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25871	C		光記録層	ひかりきろくそう	optical layer				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25872	C		光メモリカード	ひかりめもりかーど	optical memory card				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25873	C		光路長(1)	こうろちょう(1)	optical path length(1)				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25874	C		光路長(2)	こうろちょう(2)	optical path length(2)				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25875	C		(光学的)位相差、(光学的)位相遅れ	(こうがくてき)いそうさ、(こうがくてき)いそうおくれ	optical retardation				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25876	C		二重光路位相差	にじゅうこうろいそうさ	double pass optical retardation				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25877	C		フォーマット済みデータ	ふぉーまっとずみでーた	preformatted data				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25878	C		裏打ち層	うらうちそう	protective layer				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25879	C		パルス幅	ぱるすはば	pulse width				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25880	C		再生光出力	さいせいひかりしゅつりょく	read power				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25881	C		最大再生光出力	さいだいさいせいひかりしゅつりょく	maximum read power				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25882	C		反射率	はんしゃりつ	reflectivity				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25883	C		トラックガイド	とらっくがいど	track guide				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25884	C		透過率	とうかりつ	transmissivity				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25885	C		透明層	とうめいそう	transparent layer				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25886	C		記録光出力	きろくひかりしゅつりょく	write power				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25887	C		書込済みデータスポットサイズ	かきこみずみでーたすぽっとさいず	written data spot size				ISO/IEC 11693	2005				2005	SC17
25888	C		直線記録方式	ちょくせんきろくほうしき	linear recording method				ISO/IEC 11694-1	2005				2005	SC17
25889	C		パルス位置変調、PPM	ぱるすいちへんちょう、PPM	pulse position modulation, PPM				ISO/IEC 11694-2	2005				2005	SC17
25890	C		パルス幅変調、PWM	ぱるすはばへんちょう、	pulse width modulation,				ISO/IEC 11694-2	2005				2005	SC17
25891	C		基準縁	きじゅんえん	reference edge				ISO/IEC 11694-2	2005				2005	SC17
25892	C		基準トラック	きじゅんとらっく	reference track				ISO/IEC 11694-2	2005				2005	SC17
25893	C		データビット	でーたびっと	data bit				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25894	C		データトラック	でーたとらっく	data track				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25895	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correction code, ECC				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25896	C		誤り検出訂正、EDAC	あやまりけんしゅつていせい、EDAC	error detection and correction, EDAC				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25897	C		変調符号	へんちょうふごう	modulation code				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25898	C		データピッチ	でーたぴっち	data pitch				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25899	C		セクター	せくたー	sector				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25900	C		アドレス	あどれす	address				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25901	C		BEST符号	BESTふごう	BEST code				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25902	C		符号語	ふごうご	code word				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25903	C		データ領域	でーたりょういき	data area				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25904	C		誤り検出符号、EDC	あやまりけんしゅつふごう、EDC	error detection code, EDC				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25905	C		エラーメッセージ	えらーめっせーじ	error message				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25906	C		情報	じょうほう	information				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25907	C		インターリービング	いんたーりーびんぐ	interleaving				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25908	C		メッセージブロック	めっせーじぶろっく	message block				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25909	C		MFM-RZ、修正周波数変調ゼロ復帰	MFM-RZ、しゅうせいしゅうはすうへんちょうぜろふっき	MFM-RZ, modified-frequency-modulation-return-to-zero				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25910	C		NRZI-RZ、逆非ゼロ復帰、ゼロ復帰	NRZI-RZ、ぎゃくひぜろふっき、ぜろふっき	NRZI-RZ, non-return-to-zero-inverted, return to zero				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25911	C		セクター符号語	せくたーふごうご	sector code word				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25912	C		セクターデータブロック	せくたーでーたぶろっく	sector data block				ISO/IEC 11694-4	2008				2008	SC17
25913	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25914	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25915	C		データファイル	でーたふぁいる	data file				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25916	C		データアイテム	でーたあいてむ	data item				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25917	C		データセクタ	でーたせくた	data sector				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25918	C		ディレクトリ	でぃれくとり	directory				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25919	C		ディレクトリセクタ	でぃれくとりせくた	directory sector				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25920	C		レイアウト	れいあうと	layout				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25921	C		バイト昇順	ばいとしょうじゅん	little-endian format				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25922	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25923	C		意味	いみ	meaning				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25924	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25925	C		パブリックゾーン	ぱぶりっくぞーん	public zone				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25926	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25927	C		タグ文書	たぐぶんしょ	tag document				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25928	C		タグ発行機関	たぐはっこうきかん	tag issuing body				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25929	C		タグ、長さ、値(TLV)データ流	たぐ、ながさ、あたい(TLV)でーたりゅう	tag, length, value (TLV) data stream				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25930	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25931	C		固有スタンプ	こゆうすたんぷ	unique stamp				ISO/IEC 11694-5	2006				2006	SC17
25932	C		生体認証データ	せいたいにんしょうでーた	biometric data				ISO/IEC 11694-6	2006				2006	SC17
25933	C		CBEFFファイル	CBEFFふぁいる	CBEFF file				ISO/IEC 11694-6	2006				2006	SC17
25934	C		符号化生体認証データ	ふごうかせいたいにんしょうでーた	encoded biometric data				ISO/IEC 11694-6	2006				2006	SC17
25935	C		生生体認証データ	なませいたいにんしょうでーた	raw biometric data				ISO/IEC 11694-6	2006				2006	SC17
25936	C		集積回路、IC	しゅうせきかいろ、IC	integrated circuit, IC				ISO/IEC 14443-1	2008				2008	SC17
25937	C		外部端子なし	がいぶたんしなし	contactless				ISO/IEC 14443-1	2008				2008	SC17
25938	C		外部端子なしICカード	がいぶたんしなしICかーど	contactless integrated circuit card				ISO/IEC 14443-1	2008				2008	SC17
25939	C		意図されたとおりに作動す	いとされたとおりにさどう	operate as intended				ISO/IEC 14443-1	2008				2008	SC17
25940	C		PICC	PICC	PICC				ISO/IEC 14443-1	2008				2008	SC17
25941	C		PICCクラス	PICCくらす	PICC class				ISO/IEC 14443-1	2008				2008	SC17
25942	C		ビット持続時間	びっとじぞくじかん	bit duration				ISO/IEC 14443-4	2008				2008	SC17
25943	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 14443-4	2008				2008	SC17
25944	C		無効ブロック	むこうぶろっく	invalid block				ISO/IEC 14443-4	2008				2008	SC17
25945	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 14443-4	2008				2008	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
25946	C		裏面	うらめん	back face				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25947	C		完成したカード	かんせいしたかーど	finished card				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25948	C		表面	おもてめん	front face				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25949	C		高さ	たかさ	height				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25950	C		印刷コントラスト信号、PCS	いんさつこんとらすとしんごう、PCS	print contrast signal, PCS				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25951	C		記録技術	きろくぎじゅつ	recording technique				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25952	C		基準縁	きじゅんえん	reference edges				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25953	C		通常のカード	つうじょうのかーど	regular card				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25954	C		触覚識別子	しょっかくしきべつし	tactile identifier				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25955	C		熱式カード	ねつしきかーど	thermal card				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25956	C		幅	はば	width				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25957	C		上質紙	じょうしつし	wood free				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25958	C		通常の使用	つうじょうのしよう	normal use				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25959	C		ねじれ	ねじれ	twist				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25960	C		にじみ止め及びペン書き因子	にじみどめおよびぺんがきいんし	sizing and pen writing factor				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25961	C		継ぎ目又は接合部	つぎめまたはせつごうぶ	join or splice				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25962	C		限定利用カード、LUC	げんていりようかーど、	Limited Use Card, LUC				ISO/IEC 15457-1	2008				2008	SC17
25963	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25964	C		中央ストライプ	ちゅうおうすとらいぷ	central stripe				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25965	C				lateral stripe				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25966	C		再利用可能カード	さいりようかのうかーど	re-usable card				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25967	C		未使用未記録カード	みしようみきろくかーど	unused unencoded card				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25968	C		未使用記録済みカード	みしようきろくずみかーど	unused encoded card				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25969	C		返却カード	へんきゃくかーど	returned card				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25970	C		*Ra' Rz*	*Ra' Rz*	*Ra' Rz*				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25971	C		最大磁界強度、Hmax	さいだいじかいきょうど、Hmax	maximum field, *H*max				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25972	C		保磁力、HcM = HcJ	ほじりょく、HcM = HcJ	coercivity, HcM = HcJ				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25973	C		水平角形比、SQ = Mr/M (at Hmax)	すいへいかくけいひ、SQ = Mr/M (at Hmax)	longitudinal squareness, SQ = Mr/M (at Hmax)				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25974	C		導関数によるスイッチング磁界強度、SFD	どうかんすうによるすいっちんぐじかいきょうど、SFD	switching field by derivative, SFD				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25975	C		こう配によるスイッチング磁界強度、*SF*s	こうばいによるすいっちんぐじかいきょうど、*SF*s	switching field by slope, SFS				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25976	C		記録技術	きろくぎじゅつ	recording technique				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25977	C		公称ビット密度、DR	こうしょうびっとみつど、DR	nominal bit density, DR				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25978	C		最大試験電流、Imax	さいだいしけんでんりゅう、Imax	maximum test current, Imax				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25979	C		最大試験密度、Dmax	さいだいしけんみつど、	maximum test density,				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25980	C		最小試験電流、Imin	さいしょうしけんでんりゅう、Imin	minimum test current, Imin				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25981	C		最小試験密度、Dmin	さいしょうしけんみつど、Dmin	minimum test density, Dmin				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25982	C		個別信号振幅、*Ui*	こべつしんごうしんぷく、	individual signal amplitude,				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25983	C		平均信号振幅、UA	へいきんしんごうしんぷく、UA	average signal amplitude, UA				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25984	C		変調、m	へんちょう、m	modulation, m				ISO/IEC 15457-2	2007				2007	SC17
25985	C		基材	きざい	substrate				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25986	C		複合材	ふくごうざい	composite				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25987	C		基準信号振幅、UR	きじゅんしんごうしんぷく、UR	reference signal amplitude, UR				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25988	C		基準書き込み電流、IR	きじゅんかきこみでんりゅう、IR	reference write current, IR				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25989	C		基準磁束、FR	きじゅんじそく、FR	reference flux, FR				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25990	C		試験片	しけんへん	test piece				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25991	C		測定の不確かさ	そくていのふたしかさ	uncertainty of				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25992	C		<光学>透過係数、T	<こうがく>とうかけいすう、T	<optical> transmittance factor, T				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25993	C		不透過度、<光学> 透過濃度、DT	ふとうかど、<こうがく>とうかのうど、DT	opacity, <optical> transmission density, DT				ISO/IEC 15457-3	2008				2008	SC17
25994	C		変調指数	へんちょうしすう	modulation index				ISO/IEC 15693-2	2006				2006	SC17
25995	C		副搬送波	ふくはんそうは	subcarrier				ISO/IEC 15693-2	2006				2006	SC17
25996	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 15693-2	2006				2006	SC17
25997	C		アルファベット文字、A	あるふぁべっともじ、A	alphabetic character, A				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
25998	C		国識別記号	くにしきべつきごう	country distinguishing sign				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
25999	C		カード	かーど	card				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26000	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26001	C		静的データ要素	せいてきでーたようそ	static data element				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26002	C		動的データ要素	どうてきでーたようそ	dynamic data element				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26003	C		文書認識	ぶんしょにんしき	document recognition				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26004	C		運転免許証、DL	うんてんめんきょしょう、	driving licence, DL				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26005	C		国内運転免許証、DDL	こくないうんてんめんきょしょう、DDL	domestic driving licence, DDL				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26006	C		国内運転許可証、DDP	こくないうんてんきょかしょう、DDP	domestic driving permit, DDP				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26007	C		ISO準拠運転免許証、IDL	ISOじゅんきょうんてんめんきょしょう、IDL	ISO compliant driving licence, IDL				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26008	C		国際運転許可証、IDP	こくさいうんてんきょかしょう、IDP	international driving permit, IDP				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26009	C		第一線検査	だいいっせんけんさ	first line inspection				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26010	C		人可読データ/情報	ひとかどくでーた/じょうほう	human-readable data / information				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26011	C		画像	がぞう	image				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26012	C		発行当局	はっこうとうきょく	issuing authority				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26013	C		発行国	はっこうこく	issuing country				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26014	C		管轄	かんかつ	jurisdiction				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26015	C		免許証所持者	めんきょしょうしょじしゃ	licence holder				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26016	C		認可当局	にんかとうきょく	licensing authority				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26017	C		機械可読データ/情報	きかいかどくでーた/じょうほう	machine-readable data / information				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26018	C		義務的要素	ぎむてきようそ	mandatory element				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26019	C		相互承認	そうごしょうにん	mutual recognition				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26020	C		カードの肖像写真裏面	かーどのしょうぞうしゃしんうらめん	non-portrait side of card				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26021	C		数字、N	すうじ、N	numeric character, N				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26022	C		選択的要素	せんたくてきようそ	optional element				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26023	C		絵文字	えもじ	pictograph				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26024	C		肖像写真	しょうぞうしゃしん	portrait				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26025	C		カードの肖像写真面	かーどのしょうぞうしゃしんめん	portrait side of card				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26026	C		第二線検査	だいにせんけんさ	second line inspection				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26027	C		セキュリティ要素	せきゅりてぃようそ	security element				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26028	C		セキュリティ特徴	せきゅりてぃとくちょう	security feature				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26029	C		特殊文字、S	とくしゅもじ、S	special character, S				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26030	C		超国家的	ちょうこっかてき	supranational				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26031	C		テキスト	てきすと	text				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26032	C		第三線検査	だいさんせんけんさ	third line inspection				ISO/IEC 18013-1	2005				2005	SC17
26033	C		基本アクセス保護、BAP	きほんあくせすほご、BAP	basic access protection, BAP				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26034	C		2進化10進数、BCD	2しんか10しんすう、BCD	binary coded decimal,				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26035	C		生体認証データブロック、BDB	せいたいにんしょうでーたぶろっく、BDB	Biometric Data Block, BDB				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26036	C		生体認証情報記録、BIR	せいたいにんしょうじょうほうきろく、BIR	Biometric Information Record, BIR				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26037	C		生体認証テンプレート	せいたいにんしょうてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26038	C		カード所有者	かーどしょゆうしゃ	card holder				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26039	C		共通生体認証交換ファイルフォーマット、CBEFF	きょうつうせいたいにんしょうこうかんふぁいるふぉーまっと、CBEFF	Common Biometric Exchange File Format, CBEFF				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26040	C		コンパクト符号化	こんぱくとふごうか	compact encoding				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26041	C		データ群、DG	でーたぐん、DG	Data Group, DG				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26042	C		専用ファイル、DF	せんようふぁいる、DF	dedicated file, DF				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26043	C		区切り文字	くぎりもじ	delimiter, D				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26044	C		データ群区切り文字	でーたぐんくぎりもじ	data group delimiter				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26045	C		フィールド区切り文字	ふぃーるどくぎりもじ	field delimiter				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26046	C		サブフィールド区切り文字、サブ区切り文字	さぶふぃーるどくぎりもじ、さぶくぎりもじ	sub-field delimiter, sub-delimiter				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26047	C		ファイル終了区切り文字	ふぁいるしゅうりょうくぎり	end of file delimiter				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26048	C		電子署名	でんししょめい	digital signature				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26049	C		基本ファイル、EF	きほんふぁいる、EF	elementary file, EF				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26050	C		集積回路、IC	しゅうせきかいろ、IC	integrated circuit, IC				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26051	C		ICカード、ICC	ICかーど、ICC	integrated circuit card,				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26052	C		論理データ構造、LDS	ろんりでーたこうぞう、LDS	logical data structure,				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26053	C		マスターファイル、MF	ますたーふぁいる、MF	master file, MF				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26054	C		近接型集積回路、PIC	きんせつがたしゅうせきかいろ、PIC	proximity integrated circuit, PIC				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26055	C		近接型集積回路カード、PICC	きんせつがたしゅうせきかいろかーど、PICC	proximity integrated circuit card, PICC				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26056	C		標準符号化	ひょうじゅんふごうか	standard encoding				ISO/IEC 18013-2	2008				2008	SC17
26057	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26058	C		認証プロトコル	にんしょうぷろとこる	authentication protocol				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26059	C		カード	かーど	card				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26060	C		カードアプリケーション	かーどあぷりけーしょん	card-application				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26061	C		顧客アプリケーション	こきゃくあぷりけーしょん	client-application				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26062	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26063	C		データセット	でーたせっと	data set				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26064	C		相互運用性のためのデータ構造	そうごうんようせいのためのでーたこうぞう	data structure for interoperability				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26065	C		弁別的身元	べんべつてきみもと	differential-identity				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26066	C		一般カードアクセス層	いっぱんかーどあくせすそ	generic card access layer				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26067	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26068	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26069	C		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26070	C		マーカー	まーかー	marker				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26071	C		ミドルウェア	みどるうぇあ	middleware				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26072	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26073	C		サービスアクセス層	さーびすあくせすそう	service access layer				ISO/IEC 24727-1	2007				2007	SC17
26074	C		(テンプレート)調節	(てんぷれーと)ちょうせつ	adaptation, template adaptation				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26075	C		アタッチセッション	あたっちせっしょん	attach session				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26076	C		BioAPIコンポーネント	BioAPIこんぽーねんと	BioAPI component				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26077	C		BioAPI機能管理部、BFP	BioAPIきのうかんりぶ、BFP	BioAPI Function Provider, BFP				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26078	C		BioAPIユニット	BioAPIゆにっと	BioAPI Unit				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26079	C		バイオメトリック、生体認証(形容詞句)	ばいおめとりっく、せいたいにんしょう(けいようし)	biometric (adj.)				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26080	C		バイオメトリックデータブロック、BDB	ばいおめとりっくでーたぶろっく、BDB	biometric data block, BDB				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26081	C		バイオメトリック情報記録、BIR	ばいおめとりっくじょうほうきろく、BIR	biometric information record, BIR				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26082	C		参照BIR	さんしょうBIR	reference BIR				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26083	C		サンプルBIR	さんぷるBIR	sample BIR				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26084	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26085	C		バイオメトリックテンプレート	ばいおめとりっくてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26086	C		中間バイオメトリックサンプル	ちゅうかんばいおめとりっくさんぷる	intermediate biometric sample				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26087	C		処理バイオメトリックサンプル	しょりばいおめとりっくさんぷる	processed biometric sample				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26088	C		生バイオメトリックサンプル	なまばいおめとりっくさんぷる	raw biometric sample				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26089	C		参照テンプレート	さんしょうてんぷれーと	reference template				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26090	C		バイオメトリックセンサ	ばいおめとりっくせんさ	biometric sensor				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26091	C		バイオメトリックサービス提供者、BSP	ばいおめとりっくさーびすていきょうしゃ、BSP	biometric service provider, BSP				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26092	C		バイオメトリックス、生体認証(名詞)	ばいおめとりっくす、せいたいにんしょう(めいし)	biometrics (noun)				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26093	C		コールバック	こーるばっく	callback				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26094	C		コンポーネントレジストリ	こんぽーねんとれじすとり	component registry				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26095	C		暗号化する、暗号化	あんごうかする、あんごう	encrypt, encryption				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26096	C		登録	とうろく	enrollment				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26097	C		誤合致率、FMR	ごがっちりつ、FMR	False Match Rate, FMR				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26098	C		ハンドル	はんどる	handle				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26099	C		識別する、識別	しきべつする、しきべつ	identify, identification				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26100	C		合致、マッチング	がっち、まっちんぐ	match, matching				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26101	C		回答用データ	かいとうようでーた	payload				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26102	C		得点、一致度	とくてん、いっちど	score, scoring				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26103	C		セキュリティブロック、SB	せきゅりてぃぶろっく、SB	security block, SB				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26104	C		自己完結型装置	じこかんけつがたそうち	self-contained device				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26105	C		署名、電子署名	しょめい、でんししょめい	signature, digital signature				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26106	C		いき(閾)値	いきち	threshold				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26107	C		汎用一意識別子、UUID	はんよういちいしきべつし、UUID	universally unique identifier, UUID				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26108	C		照合する、照合	しょうごうする、しょうごう	verify, verification				ISO/IEC 19784-1	2006				2006	SC37
26109	C		バイオメトリック データ管理機能部、BAFP	ばいおめとりっくでーたかんりきのうぶ、BAFP	biometric archive function provider, BAFP				ISO/IEC 19784-2	2007				2007	SC37
26110	C		バイオメトリック データ管理機能部インタフェース、BAFPI	ばいおめとりっくでーたかんりきのうぶいんたふぇーす、BAFPI	biometric archive function provider interface, BAFPI				ISO/IEC 19784-2	2007				2007	SC37
26111	C		BDBフォーマット	BDBふぉーまっと	BDB format				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26112	C		BDBフォーマット識別子	BDBふぉーまっとしきべつ	BDB format identifier				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26113	C		BDBフォーマット管理機関	BDBふぉーまっとかんりきかん	BDB format owner				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26114	C		バイオメトリック、生体認証(形容詞)	ばいおめとりっく、せいたいにんしょう(けいようし)	biometric (adj.)				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26115	C		バイオメトリックス、生体認証	ばいおめとりっくす、せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26116	C		バイオメトリックデータブロック、BDB	ばいおめとりっくでーたぶろっく、BDB	biometric data block, BDB				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26117	C		バイオメトリック情報記録、BIR	ばいおめとりっくじょうほうきろく、BIR	biometric information record, BIR				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26118	C		バイオメトリック製品	ばいおめとりっくせいひん	biometric product				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26119	C		バイオメトリック製品識別子	ばいおめとりっくせいひんしきべつし	biometric product identifier				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26120	C		バイオメトリック製品管理機関	ばいおめとりっくせいひんかんりきかん	biometric product owner				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26121	C				biometric sample				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26122	C		バイオメトリックテンプレート	ばいおめとりっくてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26123	C		バイオメトリック変換	ばいおめとりっくへんかん	biometric transformation				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26124	C		CBEFFバイオメトリック組織	CBEFFばいおめとりっくそしき	CBEFF biometric organization				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26125	C		CBEFFバイオメトリック組織識別子	CBEFFばいおめとりっくそしきしきべつし	CBEFF biometric organization identifier				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26126	C		CBEFFパトロン	CBEFFぱとろん	CBEFF patron				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26127	C		CBEFFパトロンフォーマット	CBEFFぱとろんふぉーまっと	CBEFF patron format				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26128	C		CBEFFパトロンフォーマット識別子	CBEFFぱとろんふぉーまっとしきべつし	CBEFF patron format identifier				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26129	C		CBEFFパトロン識別子	CBEFFぱとろんしきべつし	CBEFF patron identifier				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26130	C		CBEFFルートヘッダ	CBEFFるーとへっだ	CBEFF root header				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26131	C		CBEFFサブヘッダ	CBEFFさぶへっだ	CBEFF sub-header				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26132	C		コンプレックスCBEFF BIR構造	こんぷれっくすCBEFF BIRこうぞう	complex CBEFF BIR structure				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26133	C		使用領域	しようりょういき	domain of use				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26134	C		中間バイオメトリックサンプル	ちゅうかんばいおめとりっくさんぷる	intermediate biometric sample				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26135	C		処理バイオメトリックサンプル	しょりばいおめとりっくさんぷる	processed biometric sample				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26136	C		生バイオメトリックサンプル	なまばいおめとりっくさんぷる	raw biometric sample				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26137	C		セキュリティブロック、SB	せきゅりていぶろっく、SB	security block, SB				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26138	C		セキュリティブロックフォーマット	せきゅりていぶろっくふぉーまっと	security block format				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26139	C		セキュリティブロックフォーマット識別子	せきゅりていぶろっくふぉーまっとしきべつし	security block format identifier				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26140	C		セキュリティブロックフォーマット所有者	せきゅりていぶろっくふぉーまっとしょゆうしゃ	security block format owner				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26141	C		シンプルCBEFF BIR構造	しんぷるCBEFF BIRこうぞ	simple CBEFF BIR				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26142	C		ソースBIR	そーすBIR	source BIR				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26143	C		標準バイオメトリックヘッダ、SBH	ひょうじゅんばいおめとりっくへっだ、SBH	standard biometric header, SBH				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26144	C		ターゲットBIR	たーげっとBIR	target BIR				ISO/IEC 19785-1	2006				2006	SC37
26145	C		(登録)申請機関	(とうろく)しんせいきかん	applicant				ISO/IEC 19785-2	2006				2006	SC37
26146	C		登録簿	とうろくぼ	register				ISO/IEC 19785-2	2006				2006	SC37
26147	C		登録簿管理機関	とうろくぼかんりきかん	registrar				ISO/IEC 19785-2	2006				2006	SC37
26148	C		登録機関	とうろくきかん	registration authority				ISO/IEC 19785-2	2006				2006	SC37
26149	C		TLV(符号化)形式	TLV(ふごうか)けいしき	TLV encoding				ISO/IEC 19785-3	2007				2007	SC37
26150	C		バイオメトリック、生体認証(形容詞句)	ばいおめとりっく、せいたいにんしょう(けいようしく)	biometric				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26151	C		バイオメトリックス、生体認証	ばいおめとりっくす、せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26152	C		バイオメトリックアルゴリズム	ばいおめとりっくあるごりずむ	biometric algorithm				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26153	C		バイオメトリック行動データ	ばいおめとりっくこうどうでーた	biometric behavioural data				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26154	C		バイオメトリックデータ	ばいおめとりっくでーた	biometric data				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26155	C		バイオメトリック特徴	ばいおめとりっくとくちょう	biometric feature				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26156	C		バイオメトリック特徴データ単位	ばいおめとりっくとくちょうでーたたんい	biometric feature data unit				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26157	C		バイオメトリック特徴抽出	ばいおめとりっくとくちょうちゅうしゅつ	biometric feature extraction				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26158	C		バイオメトリック識別	ばいおめとりっくしきべつ	biometric identification				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26159	C		バイオメトリック識別データ	ばいおめとりっくしきべつでーた	biometric identification data				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26160	C		バイオメトリック画像データ	ばいおめとりっくがぞうでーた	biometric image data				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26161	C		バイオメトリック情報	ばいおめとりっくじょうほう	biometric information				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26162	C		バイオメトリックテンプレート	ばいおめとりっくてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26163	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26164	C		バイオメトリックシステム	ばいおめとりっくしすてむ	biometric system				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26165	C		バイオメトリックタイプ	ばいおめとりっくたいぷ	biometric type				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26166	C		バイオメトリック照合	ばいおめとりっくしょうごう	biometric verification				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26167	C		バイオメトリック照合データ	ばいおめとりっくしょうごうでーた	biometric verification data				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26168	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26169	C		中間バイオメトリックサンプル	ちゅうかんばいおめとりっくさんぷる	intermediate biometric sample				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26170	C		マッチング	まっちんぐ	matching				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26171	C		処理済みバイオメトリックデータ	しょりずみばいおめとりっくでーた	processed biometric sample				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26172	C		取得バイオメトリックサンプル	しゅとくばいおめとりっくさんぷる	acquired biometric sample				ISO/IEC 19794-1	2006				2006	SC37
26173	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26174	C		バイオメトリックス、生体認証	ばいおめとりっくす、せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26175	C		バイオメトリック、生体認証(形容詞)	ばいおめとりっく、せいたいにんしょう(けいようし)	biometric				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26176	C		バイオメトリックデータ	ばいおめとりっくでーた	biometric data				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26177	C		バイオメトリック情報テンプレート	ばいおめとりっくじょうほうてんぷれーと	biometric Information template				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26178	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26179	C		バイオメトリックシステム	ばいおめとりっくしすてむ	biometric system				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26180	C		取得	しゅとく	capture				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26181	C		セル	せる	cell				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26182	C		比較	ひかく	comparison				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26183	C		(登録)申請者	(とうろく)しんせいしゃ	claimant				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26184	C		コア	こあ	core				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26185	C		データベース	でーたべーす	database				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26186	C		デルタ	でるた	delta				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26187	C		末端利用者	まったんりようしゃ	end user				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26188	C		登録	とうろく	enrollment				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26189	C		抽出	ちゅうしゅつ	extraction				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26190	C		皮膚紋理	ひふもんり	friction ridge				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26191	C		識別、識別する	しきべつ、しきべつする	identification, identify				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26192	C		残留指紋	ざんりゅうしもん	latent				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26193	C		生取得	なましゅとく	live capture				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26194	C		生指紋画像	なましもんがぞう	live-scan print				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26195	C		合致、マッチング	がっち、まっちんぐ	match, matching				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26196	C		特徴点、マニューシャ	とくちょうてん、まにゅー	minutia (single) minutiae				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26197	C		母集団	ぼしゅうだん	population				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26198	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26199	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26200	C		隆線分岐点	りゅうせんぶんきてん	ridge bifurcation				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26201	C		隆線端点	りゅうせんたんてん	ridge bifurcation				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26202	C		隆線骨格終点	りゅうせんこっかくしゅうてん	ridge skeleton endpoint				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26203	C		骨格線	こっかくせん	skeleton				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26204	C		滑らせ入力	すべらせにゅうりょく	swipe				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26205	C		テンプレート/参照テンプレート	てんぷれーと/さんしょうてんぷれーと	template / reference template				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26206	C		特徴隆線	とくちょうりゅうせん	typeline				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26207	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26208	C		谷	たに	valley				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26209	C		谷分岐点	たにぶんきてん	valley bifurcation				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26210	C		照合/照合する	しょうごう/しょうごうする	verification / verify				ISO/IEC 19794-2	2005				2005	SC37
26211	C		バイオメトリックデータ	ばいおめとりっくでーた	biometric data				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26212	C		バイオメトリック特徴	ばいおめとりっくとくちょう	biometric feature				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26213	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26214	C		取得バイオメトリックサンプル	しゅとくばいおめとりっくさんぷる	acquired biometric sample				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26215	C		中間バイオメトリックサンプル	ちゅうかんばいおめとりっくさんぷる	intermediate biometric sample				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26216	C		バイオメトリックシステム	ばいおめとりっくしすてむ	biometric system				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26217	C		ビット幅	びっとはば	bit-depth				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26218	C		セル	せる	cell				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26219	C		セル構造	せるこうぞう	cell structure				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26220	C		セル品質グループ	せるひんしつぐるーぷ	cell quality group				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26221	C		比較	ひかく	comparison				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26222	C		コア	こあ	core				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26223	C		切り落とす	きりおとす	crop				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26224	C		デルタ	でるた	delta				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26225	C		寸法	すんぽう	dimension				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26226	C		ダウンサンプル	だうんさんぷる	down-sample				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26227	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26228	C		指紋パターン	しもんぱたーん	finger pattern				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26229	C		指紋パターンスペクトルデータ	しもんぱたーんすぺくとるでーた	finger pattern spectral data				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26230	C		最小空間波長	さいしょうくうかんはちょう	minimal spatial wavelength				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26231	C		埋め込む	うめこむ	pad				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26232	C		再サンプリング	さいさんぷりんぐ	re-sampling				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26233	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26234	C		特徴隆線	とくちょうりゅうせん	typeline				ISO/IEC 19794-3	2006				2006	SC37
26235	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26236	C		取得	しゅとく	capture				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26237	C		コア	こあ	core				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26238	C		指紋画像領域	しもんがぞうりょういき	fingerprint image area				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26239	C		皮膚紋理	ひふもんり	friction ridge				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26240	C		濃淡階調、グレースケール	のうたんかいちょう、ぐれーすけーる	grayscale				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26241	C		画像分解能	がぞうぶんかいのう	image resolution				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26242	C		残留指紋	ざんりゅうしもん	latent				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26243	C		生取得	なましゅとく	live capture				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26244	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26245	C		静止入力指紋画像	せいしにゅうりょくしもんがぞう	plain fingerprint image				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26246	C		転がし入力指紋画像	ころがしにゅうりょくしもんがぞう	rolled fingerprint image				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26247	C		走査分解能	そうさぶんかいのう	scan resolution				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26248	C		滑らせ入力指紋画像	すべらせにゅうりょくしもんがぞう	swipe fingerprint image				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26249	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26250	C		谷	たに	valley				ISO/IEC 19794-4	2005				2005	SC37
26251	C		顎	あご	chin				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26252	C		カラー画像	からーがぞう	colour image				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26253	C		色空間	いろくうかん	colour space				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26254	C		共通バイオメトリック交換フォーマットフレームワーク、CBEFF	きょうつうばいおめとりっくこうかんふぉーまっとふれーむわーく、CBEFF	common biometric exchange formats framework, CBEFF				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26255	C		連続階調画像	れんぞくかいちょうがぞう	continuous tone image				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26256	C		頭頂部	とうちょうぶ	crown				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26257	C		ドット/インチ、DPI	どっとぱーいんち、DPI	dots per inch DPI				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26258	C		顔画像	かおがぞう	facial image				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26259	C		顔画像タイプ	かおがぞうたいぷ	Face Image Type				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26260	C		顔の動きパラメタ、FAP	かおのうごきぱらめた、FAP	Facial Animation Parameter, FAP				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26261	C		広角ゆがみ、魚眼レンズゆがみ	こうかくゆがみ、ぎょがんれんずゆがみ	fish eye				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26262	C		濃淡画像	のうたんがぞう	greyscale image				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26263	C		目視検査	もくしけんさ	human examination				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26264	C		目視照合	もくししょうごう	human verification				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26265	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26266	C		画像	がぞう	image				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26267	C		JPEG	じぇいぺぐ	JPEG				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26268	C		JPEG 2000	じぇいぺぐにせん	JPEG 2000				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26269	C		特徴点	とくちょうてん	Feature Point				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26270	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26271	C		肖像写真	しょうぞうしゃしん	portrait				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26272	C		赤目	あかめ	red-eye				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26273	C		照合	しょうごう	verification				ISO/IEC 19794-5	2005				2005	SC37
26274	C		巨大2値ブロック	きょだい2ちぶろっく	binary large object BLOB				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26275	C		連続階調画像	れんぞくかいちょうがぞう	continuous tone image				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26276	C		切り落とす	きりおとす	crop				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26277	C		グレースケール	ぐれーすけーる	grey scale				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26278	C		こう(虹)彩	こうさい	iris				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26279	C		こう(虹)彩の外縁部	こうさいのがいえんぶ	limbus				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26280	C		線密度、lp	せんみつど、lp	line pair lp				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26281	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26282	C		どう(瞳)孔	どうこう	pupil				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26283	C		生データ形式	なまでーたせいせい	raw				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26284	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26285	C		強膜	きょうまく	sclera				ISO/IEC 19794-6	2005				2005	SC37
26286	C		署名/サイン	しょめい/さいん	signature/sign				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26287	C		時系列	じけいれつ	time series				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26288	C		バイオメトリックデータブロック、BDB	ばいおめとりっくでーたぶろっく、BDB	biometric data block BDB				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26289	C		チャンネル	ちゃんねる	channel				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26290	C		ペン方位	ぺんほうい	pen azimuth				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26291	C		ペン仰角	ぺんぎょうかく	pen elevation				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26292	C		x軸沿いのペン傾斜	xじくぞいのぺんけいしゃ	pen tilt along the x axis				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26293	C		y軸沿いのペン傾斜	yじくぞいのぺんけいしゃ	pen tilt along the y axis				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26294	C		ペン回転角	ぺんかいてんかく	pen rotation				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26295	C		Xゆらぎ、Xジッター	Xゆらぎ、Xじったー	X jitter				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26296	C		Yゆらぎ、Yジッター	Yゆらぎ、Yじったー	Y jitter				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26297	C		X分解能	Xぶんかいのう	X resolution				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26298	C		Y分解能	Yぶんかいのう	Y resolution				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26299	C		Z分解能	Zぶんかいのう	Z resolution				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26300	C		抽出率	ちゅうしゅつりつ	sampling rate				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26301	C		筆圧分解能、F分解能	ひつあつぶんかいのう、Fぶんかいのう	F resolution				ISO/IEC 19794-7	2007				2007	SC37
26302	C		バイオメトリックス、生体認証	ばいおめとりっくす、せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26303	C		バイオメトリックアルゴリズム	ばいおめとりっくあるごりずむ	biometric algorithm				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26304	C		バイオメトリックデータ	ばいおめとりっくでーた	biometric data				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26305	C		バイオメトリック情報テンプレート	ばいおめとりっくじょうほうてんぷれーと	biometric information template				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26306	C		バイオメトリック参照	ばいおめとりっくさんしょう	biometric reference				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26307	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26308	C		バイオメトリックシステム	ばいおめとりっくしすてむ	biometric system				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26309	C		バイオメトリックテンプレート	ばいおめとりっくてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26310	C		ビット幅	びっとはば	bit-depth				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26311	C		取得	しゅとく	capture				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26312	C		セル	せる	cell				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26313	C		登録者限定識別	とうろくしゃげんていしきべ	closed-set identification				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26314	C		比較	ひかく	comparison				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26315	C		コア	こあ	core				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26316	C		デルタ	でるた	delta				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26317	C		寸法	すんぽう	dimension				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26318	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26319	C		皮膚紋理	ひふもんり	friction ridge				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26320	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26321	C		残留指紋	ざんりゅうしもん	latent				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26322	C		生取得	なましゅとく	live capture				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26323	C		特徴点、マニューシャ	とくちょうてん、まにゅー	minutia				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26324	C		一対多検索	いちたいたけんさく	one-to-many search				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26325	C		登録者非限定識別	とうろくしゃひげんていしきべつ	open-set identification				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26326	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26327	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26328	C		隆線分岐点	りゅうせんぶんきてん	ridge bifurcation				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26329	C		隆線端点	りゅうせんたんてん	ridge ending				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26330	C		骨格線	こっかくせん	skeleton				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26331	C		滑らせ入力	すべらせにゅうりょく	swipe				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26332	C		汗孔	かんこう	sweat pore				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26333	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26334	C		谷	たに	valley				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26335	C		照合、照合する	しょうごう、しょうごうする	verification, verify				ISO/IEC 19794-8	2006				2006	SC37
26336	C		取得	しゅとく	capture				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26337	C		重心	じゅうしん	centroid				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26338	C		濃淡画像	のうたんがぞう	gray scale				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26339	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26340	C		生データ形成	なまでーたけいせい	raw				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26341	C		走査分解能、空間分解能	そうさぶんかいのう、くうかんぶんかいのう	scan resolution, spatial resolution				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26342	C		血管バイオメトリック画像	けっかんばいおめとりっくがぞう	vascular biometric image				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26343	C		血管画像ヘッダーレコード	けっかんがぞうへっだーれこーど	vascular image header record				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26344	C		腹側	ふくそく	ventral				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26345	C		背側	はいそく	dorsal				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26346	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 19794-9	2007				2007	SC37
26347	C		バイオメトリックデータブロック、BDB	ばいおめとりっくでーたぶろっく、BDB	biometric data block BDB				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26348	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26349	C		カメラ視点	かめらしてん	camera point of view				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26350	C		取得	しゅとく	capture				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26351	C		フリーマンチェーンコード、FCC	ふりーまんちぇーんこーど、FCC	Freeman Chain Code FCC				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26352	C		画像分解能	がぞうぶんかいのう	image resolution				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26353	C		生取得	なましゅとく	live capture				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26354	C		掌形ビューレコード、HGVR	しょうけいびゅーれこーど、HGVR	hand geometry view record, HGVR				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26355	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26356	C		プラテン	ぷらてん	platen				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26357	C		入力基準面、プラテン	にゅうりょくきじゅんめん、ぷらてん	side-view				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26358	C		側面図参照面	そくめんずさんしょうめん	side-view reference plane				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26359	C		指先	ゆびさき	tip				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26360	C		上面図	じょうめんず	top-view				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26361	C		指の股	ゆびのまた	web				ISO/IEC 19794-10	2007				2007	SC37
26362	C		基本相互運用性	きほんそうごうんようせい	basic interoperability				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26363	C		バイオメトリック取得装置、BCD	ばいおめとりっくしゅとくそうち、BCD	biometric capture device, BCD				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26364	C		バイオメトリックデータブロック、BDB	ばいおめとりっくでーたぶろっく、BDB	biometric data block BDB				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26365	C		取得バイオメトリックデータブロック、cBDB	しゅとくばいおめとりっくでーたぶろっく、cBDB	captured biometric data block, cBDB				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26366	C		比較サブシステム	ひかくさぶしすてむ	comparison subsystem				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26367	C		取得失敗率、ETA	しゅとくしっぱいりつ、FTA	failure to acquire rate,				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26368	C		登録失敗率、FTE	とうろくしっぱいりつ、FTE	failure to enrol rate, FTE				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26369	C		生成器	せいせいき	generator				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26370	C		相互運用性能	そうごうんようせいのう	interoperable performance				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26371	C		固有性能	こゆうせいのう	native performance				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26372	C		性能相互運用性	せいのうそうごうんようせ	performance				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26373	C		専有フォーマット、PF	せんゆうふぉーまっと、PF	proprietary format, PF				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26374	C		専有バイオメトリックデータブロック、pBDB	せんゆうばいおめとりっくでーたぶろっく、pBDB	proprietary biometric data block pBDB				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26375	C		専有性能	せんゆうせいのう	proprietary performance				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26376	C		標準バイオメトリックデータブロック、sBDB	ひょうじゅんばいおめとりっくでーたぶろっく、	standardized biometric data block, sBDB				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26377	C		標準交換フォーマット、SIF	ひょうじゅんこうかんふぉーまっと、SIF	standard interchange format SIF				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26378	C		十分性	じゅうぶんせい	sufficiency				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26379	C		サプライヤー	さぷらいやー	supplier				ISO/IEC 19795-4	2008				2008	SC37
26380	C		抽象的試験エンジン	ちゅうしょうてきしけんえんじん	abstract test engine				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26381	C		基本規格	きほんきかく	base standard				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26382	C		BioAPI適合性試験セット	BioAPIてきごうせいしけんせっと	BioAPI conformance test suite				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26383	C		BioAPI適合性表明	BioAPIてきごうせいひょうめい	BioAPI conformity statement				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26384	C		認証	にんしょう	certification				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26385	C		適合性	てきごうせい	conformance				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26386	C		適合性要求事項	てきごうせいようきゅうじこ	conformance requirement				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26387	C		適合性評価	てきごうせいひょうか	conformity assessment				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26388	C		試験対象の実装	しけんたいしょうのじっそう	implementation under test				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26389	C		標準BioAPIコンポーネント	ひょうじゅんBioAPIこんぽーねんと	standard BioAPI component				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26390	C		標準BioAPIインターフェース	ひょうじゅんBioAPIいんたーふぇーす	standard BioAPI interface				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26391	C		試験仕様記述	しけんしようきじゅつ	test assertion assertion				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26392	C		試験項目	しけんこうもく	test case				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26393	C		試験方法の実装	しけんほうほうのじっそう	test method				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26394	C		試験方法仕様	しけんほうほうしよう	test method specification				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26395	C		試験目的	しけんもくてき	test purpose				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26396	C		試験報告書	しけんほうこくしょ	test report				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26397	C		試験結果コード	しけんけっかこーど	test result code, test verdict				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26398	C		検証	けんしょう	validation				ISO/IEC 24709-1	2007				2007	SC37
26399	C		アプリケーションプログラミング インターフェース、	あぷりけーしょんぷろぐらみんぐいんたーふぇーす、	application programming interface, API				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26400	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26401	C		基本規格	きほんきかく	base standard				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26402	C		バイオメトリックス、生体認証	ばいおめとりっくす、せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26403	C		バイオメトリックデータ	ばいおめとりっくでーた	biometric data				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26404	C		バイオメトリック機能	ばいおめとりっくきのう	biometric functions				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26405	C		バイオメトリック交換データ、BID	ばいおめとりっくこうかんでーた、BID	biometric interchange data, BID				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26406	C		バイオメトリックプロファイル	ばいおめとりっくぷろふぁいる	biometric profile				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26407	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26408	C		バイオメトリックシステム	ばいおめとりっくしすてむ	biometric system				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26409	C		バイオメトリックシステムコンポーネント	ばいおめとりっくしすてむこんぽーねんと	biometric system components				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26410	C		バイオメトリックテンプレート	ばいおめとりっくてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26411	C		取得	しゅとく	capture				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26412	C		比較	ひかく	comparison				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26413	C		データベース	でーたべーす	database				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26414	C		判定	はんてい	decision				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26415	C		一般利用者	いっぱんりようしゃ	end-user				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26416	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26417	C		抽出	ちゅうしゅつ	extraction				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26418	C		誤受入	ごうけいれ	false acceptance				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26419	C		誤拒否	ごきょひ	false rejection				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26420	C		身元情報	みもとじょうほう	identifier				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26421	C		身元	みもと	identity				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26422	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26423	C		合致、マッチング	がっち、まっちんぐ	match, matching				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26424	C		複数バイオメトリック	ふくすうばいおめとりっく	multiple biometric				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26425	C		拒否識別	きょひしきべつ	negative identification				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26426	C		母集団	ぼしゅうだん	population				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26427	C		受入識別	うけいれしきべつ	positive Identification				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26428	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26429	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26430	C		得点	とくてん	score				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26431	C		規格	きかく	standard				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26432	C		被験者	ひけんしゃ	subject				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26433	C		トークン	とーくん	token				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26434	C		いき(閾)値	いきち	threshold				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26435	C		システム導入者	しすてむどうにゅうしゃ	user				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26436	C		検証	けんしょう	validation				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26437	C		照合	しょうごう	verification				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26438	C		バイオメトリック特徴	ばいおめとりっくとくちょう	biometric Features				ISO/IEC 24713-1	2008				2008	SC37
26439	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26440	C		基本規格	きほんきかく	base standard				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26441	C		バイオメトリック、生体認証(形容詞)	ばいおめとりっく、せいたいにんしょう(けいようし)	biometric				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26442	C		バイオメトリックス、生体認証	ばいおめとりっくす、せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26443	C		バイオメトリック特性	ばいおめとりっくとくせい	biometric characteristic				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26444	C		バイオメトリック特徴	ばいおめとりっくとくちょう	biometric feature				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26445	C		バイオメトリックプロファイル	ばいおめとりっくぷろふぁいる	biometric profile				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26446	C		バイオメトリック参照	ばいおめとりっくさんしょう	biometric reference				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26447	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26448	C		バイオメトリックシステム	ばいおめとりっくしすてむ	biometric system				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26449	C		バイオメトリックテンプレート	ばいおめとりっくてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26450	C		取得	しゅとく	capture				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26451	C		比較	ひかく	comparison				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26452	C		認証請求者	にんしょうせいきゅうしゃ	claimant				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26453	C		データベース	でーたべーす	database				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26454	C		一般利用者	いっぱんりようしゃ	end-user				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26455	C		被登録者	ひとうろくしゃ	enrolee				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26456	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26457	C		抽出	ちゅうしゅつ	extraction				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26458	C		誤受入	ごうけいれ	false acceptance				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26459	C		誤受入率、FAR	ごうけいれりつ、FAR	false acceptance rate,				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26460	C		誤拒否	ごきょひ	false rejection				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26461	C		誤拒否率、FRR	ごきょひりつ、FRR	false rejection rate, FRR				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26462	C		識別子	しきべつし	identifier				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26463	C		識別、識別する	しきべつ、しきべつする	identification, identify				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26464	C		合致、マッチング	がっち、まっちんぐ	match, matching				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26465	C		複数バイオメトリック	ふくすうばいおめとりっく	multiple biometric				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26466	C		母集団	ぼしゅうだん	population				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26467	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26468	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26469	C		トークン	とーくん	token				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26470	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26471	C		照合、照合する	しょうごう、しょうごうする	verification verify				ISO/IEC 24713-2	2008				2008	SC37
26472	C		正確度	せいかくど	accuracy				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26473	C		算術データ型	さんじゅつでーたかた	arithmetic datatype				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26474	C		結合	けつごう	binding				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26475	C		連続値	れんぞくち	continuation value				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26476	C		正規化限界損失	せいきかげんかいそんし	denormalisation loss				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26477	C		誤差	ごさ	error				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26478	C		エラー	えらー	error				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26479	C		例外	れいがい	exception				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26480	C		例外値	れいがいち	exceptional value				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26481	C		ヘルパー関数	へるぱーかんすう	helper function				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26482	C		(この部の)実装	(このぶの)じっそう	implementation (of this				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26483	C		リテラル	りてらる	literal				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26484	C		単調近似	たんちょうきんじ	monotonic approximation				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26485	C		単調非増加	たんちょうひぞうか	monotonic non-decreasing				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26486	C		単調非減少	たんちょうひげんしょう	monotonic non-increasing				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26487	C		正規化	せいきか	normalised				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26488	C		通知	つうち	notification				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26489	C		数値リテラル	すうちりてらる	numeral				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26490	C		数値関数	すうちかんすう	numerical function				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26491	C		演算	えんざん	operation				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26492	C		極	きょく	pole				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26493	C		精度	せいど	precision				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26494	C		丸め	まるめ	rounding				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26495	C		丸め関数	まるめかんすう	rounding function				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26496	C		最も近い整数値への丸め	もっともちかいせいすうちへのまるめ	round to nearest				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26497	C		負の無限大への丸め	ふのむげんだいへのまるめ	round toward minus infinity				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26498	C		正の無限大への丸め	せいのむげんだいへのまるめ	round toward plus infinity				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26499	C		しなければならない	しなければならない	shall				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26500	C		することがのぞましい	することがのぞましい	should				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26501	C		シグニチャ、概略仕様	しぐにちゃ、がいりゃくしよう	signature (of a function or operation)				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26502	C		サブノーマル、正規化未満	さぶのーまる、せいきかみまん	subnormal				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26503	C		ulp (最下位桁単位)	ulp (さいかいけたたんい)	ulp				ISO/IEC 10967-3	2006				2006	SC22
26504	C		実パラメータデータ型	じつぱらめーたでーたか	actual parametric				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26505	C		実パラメータ値	じつぱらめーたち	actual parametric value				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26506	C		集合データ型	しゅうごうでーたかた	aggregate datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26507	C		注釈	ちゅうしゃく	annotation				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26508	C		近似	きんじ	approximate				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26509	C		有界	ゆうかい	bounded				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26510	C		有界領域	ゆうかいりょういき	bounded above				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26511	C		下方有界	かほうゆうかい	bounded below				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26512	C		特徴記述オペレーション	とくちょうきじゅつおぺれーしょん	characterizing operations				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26513	C		特徴記述オペレーション	とくちょうきじゅつおぺれーしょん	characterizing operations				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26514	C		コンポーネントデータ型	こんぽーねんとでーたか	component datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26515	C		データ型	でーたかた	datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26516	C		データ型宣言	でーたかたせんげん	datatype declaration				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26517	C		データ型群	でーたかたぐん	datatype family				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26518	C		データ型生成元	でーたかたせいせいもと	datatype generator, generator				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26519	C		定義済みデータ型	ていぎずみでーたかた	defined datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26520	C		定義済み生成元	ていぎずみせいせいもと	defined generator				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26521	C		厳密	げんみつ	exact				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26522	C		仮パラメータ型	かりぱらめーたかた	formal-parametric-type				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26523	C		仮パラメータ値	かりぱらめーたち	formal-parametric-value				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26524	C		汎用データ型、GPD	はんようでーたかた、GPD	general-purpose datatype, GPD				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26525	C		GPD生成データ型、GPDデータ型	GPDせいせいでーたかた、GPDでーたかた	GPD-generated datatype, GPD datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26526	C		生成データ型	せいせいでーたかた	generated datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26527	C		生成内部データ型	せいせいないぶでーたか	generated internal				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26528	C		生成元宣言	せいせいもとせんげん	generator declaration				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26529	C		指示	しじ	instruction				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26530	C		内部データ型	ないぶでーたかた	internal datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26531	C		内向マッピング	ないこうまっぴんぐ	inward mapping				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26532	C		下界	げかい	lower bound				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26533	C		必す(須)要求事項	ひっすようきゅうじこう	mandatory requirement				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26534	C		マッピング	まっぴんぐ	mapping				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26535	C		マッピング	まっぴんぐ	mapping				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26536	C		メタ識別子	めたしきべつし	meta-identifier				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26537	C		非終端記号	ひしゅうたんきごう	non-terminal symbol				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26538	C		標準データ型	ひょうじゅんでーたかた	normative datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26539	C		規範文書	きはんぶんしょ	normative document				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26540	C		選択的要求事項	せんたくてきようきゅうじこ	optional requirement				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26541	C		順序	じゅんじょ	order				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26542	C		順序付けられた	じゅんじょづけられた	ordered				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26543	C		外向マッピング	がいこうまっぴんぐ	outward mapping				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26544	C		パラメータデータ型	ぱらめーたでーたかた	parametric datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26545	C		パラメータ値(1)	ぱらめーたち(1)	parametric value (1)				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26546	C		パラメータ値(2)	ぱらめーたち(2)	parametric value (2)				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26547	C		基本データ型	きほんでーたかた	primitive datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26548	C		基本内部データ型	きほんないぶでーたかた	primitive internal datatype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26549	C		規定	きてい	provision				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26550	C		推奨事項	すいしょうじこう	recommendation				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26551	C		正則値	せいそくち	regular value				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26552	C		表現	ひょうげん	representation				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26553	C		表現	ひょうげん	representation				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26554	C		要求事項	ようきゅうじこう	requirement				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26555	C		文	ぶん	sentence				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26556	C		センチネル値	せんちねるち	sentinel value				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26557	C		列	れつ	sequence				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26558	C		開始記号	かいしきごう	start symbol				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26559	C		記述	きじゅつ	statement				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26560	C		部分列	ぶぶんれつ	subsequence				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26561	C		部分型	ぶぶんがた	subtype				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26562	C		終端記号	しゅうたんきごう	terminal symbol				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26563	C		上界	じょうかい	upper bound				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26564	C		値空間	あたいくうかん	value space				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26565	C		変数	へんすう	variable				ISO/IEC 11404	2007				2007	SC22
26566	C		抽象クラス	ちゅうしょうくらす	abstract class				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26567	C		活動	かつどう	activation				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26568	C		アクセス関数	あくせすかんすう	accessor				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26569	C		引数位置	ひきすういち	argument position				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26570	C		束縛	そくばく	binding				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26571	C		クラス	くらす	class				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26572	C		例外状態	れいがいじょうたい	condition				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26573	C		定義位置	ていぎいち	definition point				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26574	C		直接インスタンス	ちょくせついんすたんす	direct instance				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26575	C		動的	どうてき	dynamic				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26576	C		動的変数	どうてきへんすう	dynamic variable				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26577	C		評価	ひょうか	evaluation				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26578	C		実行	じっこう	execution				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26579	C		拡張	かくちょう	extension				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26580	C		評価形式	ひょうかけいしき	form				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26581	C		関数	かんすう	function				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26582	C		包括関数	ほうかつかんすう	generic function				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26583	C		識別子	しきべつし	identifier				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26584	C		変更不可能な束縛	へんこうふかのうなそくばく	immutable binding				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26585	C		変更不可能なオブジェクト	へんこうふかのうなおぶじぇくと	immutable object				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26586	C		処理系定義	しょりけいていぎ	implementation defined				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26587	C		処理系依存	しょりけいいぞん	implementation dependent				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26588	C		継承	けいしょう	inheritance				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26589	C		インスタンス	いんすたんす	instance				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26590	C		リテラル	りてらる	literal				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26591	C		メタクラス	めたくらす	metaclass				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26592	C		メソッド	めそっど	method				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26593	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26594	C		演算子	えんざんし	operator				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26595	C		演算子位置	えんざんしいち	operator position				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26596	C		パラメタ記述	ぱらめたきじゅつ	parameter profile				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26597	C		場所	ばしょ	place				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26598	C		処理	しょり	process				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26599	C		プロセッサ	ぷろせっさ	processor				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26600	C		プログラム	ぷろぐらむ	program				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26601	C		範囲	はんい	scope				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26602	C		スロット	すろっと	slot				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26603	C		テキスト	てきすと	text				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26604	C		最上位形式	さいじょういけいしき	toplevel form				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26605	C		最上位有効範囲	さいじょういゆうこうはんい	toplevel scope				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26606	C		書込み関数	かきこみかんすう	writer				ISO/IEC 13816	2007				2007	SC22
26607	C		XML	XML	XML				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26608	C		マーク付け	まーくづけ	markup				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26609	C		文字データ	もじでーた	character data				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26610	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26611	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26612	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26613	C		名前空間	なまえくうかん	namespace				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26614	C		処理命令	しょりめいれい	processing-instruction				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26615	C		タイプ	たいぷ	type				ISO/IEC 22537	2006				2006	SC22
26616	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26617	C		アプリケーション領域	あぷりけーしょんりょういき	application domain				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26618	C		引数	ひきすう	argument				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26619	C		アセンブリ	あせんぶり	assembly				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26620	C		動作	どうさ	behavior				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26621	C		動作、実装時定義	どうさ、じっそうじていぎ	behavior, implementation-defined				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26622	C		動作、未定義	どうさ、みていぎ	behavior, undefined				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26623	C		動作、未規定	どうさ、みきてい	behavior, unspecified				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26624	C		クラスライブラリ	くらすらいぶらり	class library				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26625	C		診断メッセージ	しんだんめっせーじ	diagnostic message				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26626	C		エラー、コンパイル時間	えらー、こんぱいるじかん	error, compile-time				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26627	C		例外	れいがい	exception				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26628	C		実装	じっそう	implementation				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26629	C		名前空間	なまえくうかん	namespace				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26630	C		パラメータ	ぱらめーた	parameter				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26631	C		プログラム	ぷろぐらむ	program				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26632	C		プログラム、有効	ぷろぐらむ、ゆうこう	program, valid				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26633	C		プログラムインスタンス化	ぷろぐらむいんすたんす	program instantiation				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26634	C		推奨慣行	すいしょうかんこう	recommended practice				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26635	C		ソースファイル	そーすふぁいる	source file				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26636	C		不安全符号	ふあんぜんふごう	unsafe code				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26637	C		警告、コンパイル時間	けいこく、こんぱいるじか	warning, compile-time				ISO/IEC 23270	2006				2006	SC22
26638	C		ANSI文字	ANSIもじ	ANSI character				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26639	C		ANSI列	ANSIれつ	ANSI string				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26640	C		アセンブリ	あせんぶり	assembly				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26641	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26642	C		動作、実装時固有	どうさ、じっそうじこゆう	behavior, implementation-specific				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26643	C		動作、未規定	どうさ、みきてい	behavior, unspecified				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26644	C		動作、未定義	どうさ、みていぎ	behavior, undefined				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26645	C		ボクシング	ぼくしんぐ	boxing				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26646	C		共通中間言語、CIL	きょうつうちゅうかんげんご、CIL	Common Intermediate Language, CIL				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26647	C		共通言語インフラストラクチャ、CLI	きょうつうげんごいんふらすとらくちゃ、CLI	Common Language Infrastructure, CLI				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26648	C		共通言語仕様、CLS	きょうつうげんごしよう、CLS	Common Language Specification, CLS				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26649	C		共通型システム、CTS	きょうつうかたしすてむ、	Common Type System,				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26650	C		デリゲート	でりげーと	delegate				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26651	C		イベント	いべんと	event				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26652	C		実行エンジン	じっこうえんじん	Execution Engine				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26653	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26654	C		ガーベジコレクション	がーべじこれくしょん	garbage collection				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26655	C		ジェネリック引数	じぇねりっくひきすう	generic argument				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26656	C		ジェネリックパラメータ	じぇねりっくぱらめーた	generic parameter				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26657	C		ジェネリクス	じぇねりくす	generics				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26658	C		ライブラリ	らいぶらり	library				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26659	C		マネージドコード	まねーじどこーど	managed code				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26660	C		マネージドデータ	まねーじどでーた	managed data				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26661	C		マニフェスト	まにふぇすと	manifest				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26662	C		メンバ	めんば	member				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26663	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26664	C		メソッド	めそっど	method				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26665	C		メソッド、ジェネリック	めそっど、じぇねりっく	method, generic				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26666	C		メソッド、非ジェネリック	めそっど、ひじぇねりっく	method, non-generic				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26667	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26668	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26669	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26670	C		プロパティ	ぷろぱてい	property				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26671	C		署名	しょめい	signature				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26672	C		型、ジェネリック	かた、じぇねりっく	type, generic				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26673	C		型、参照	かた、さんしょう	type, reference				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26674	C		型、値	かた、あたい	type, value				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26675	C		アンボクシング	あんぼくしんぐ	unboxing				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26676	C		アンマネージドコード	あんまねーじどこーど	unmanaged code				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26677	C		アンマネージドデータ	あんまねーじどでーた	unmanaged data				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26678	C		値	あたい	value				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26679	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26680	C		仮想実行システム、VES	かそうじっこうしすてむ、VES	Virtual Execution System, VES				ISO/IEC 23271	2006				2006	SC22
26681	C		archLSB	あーちLSB	archLSB				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26682	C		バイナリ標準	ばいなりひょうじゅん	Binary Standard				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26683	C		gLSB	gLSB	gLSB				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26684	C		実装時定義	じっそうじていぎ	implementation-defined				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26685	C		シェルスクリプト	しぇるすくりぷと	Shell Script				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26686	C		ソース標準	そーすひょうじゅん	Source Standard				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26687	C		未定義	みていぎ	undefined				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26688	C		未規定	みきてい	unspecified				ISO/IEC 23360-1	2006				2006	SC22
26689	C		明確化	めいかくか	clarification				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26690	C		クラス	くらす	class				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26691	C		廃止候補項目	はいしこうほこうもく	deprecated item				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26692	C		一般化作画基本要素、GDP	いっぱんかさくがきほんようそ、GDP	Generalized Drawing Primitive, GDP				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26693	C		通知受信者	つうちじゅしんしゃ	notification recipients				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26694	C		登録簿	とうろくぼ	register				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26695	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26696	C		登録機関	とうろくきかん	registration authority				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26697	C		登録簿システム	とうろくぼしすてむ	registry				ISO/IEC 9973	2006				2006	SC24
26698	C		集成オブジェクト	しゅうせいおぶじぇくと	aggregating object				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26699	C		基本ラテン文字	きほんらてんもじ	Basic Latin character				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26700	C		構成要素オブジェクト	こうせいようそおぶじぇくと	component object				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26701	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26702	C		データモデル	でーたもでる	data model				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26703	C		列挙値	れっきょち	enumerant				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26704	C		環境データ	かんきょうでーた	environmental data				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26705	C		詳細度、LOD	しょうさいど、LOD	level of detail, LOD				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26706	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26707	C		MIPレベル	MIPれべる	MIP level				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26708	C		モデル	もでる	model				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26709	C		特性	とくせい	property				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26710	C		表現多様性	ひょうげんたようせい	representational polymorphism				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26711	C		SEDRIS抽象伝送フォーマット	SEDRISちゅうしょうでんそうふぉーまっと	SEDRIS abstract transmittal format				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26712	C		SEDRIS伝送フォーマット、STF	SEDRISでんそうふぉーまっと、STF	SEDRIS transmittal format, STF				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26713	C		選択値	せんたくち	selector				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26714	C		テクセル、テクスチャ要素	てくせる、てくすちゃようそ	texel				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26715	C		テクスチャ、きめ(肌理)	てくすちゃ、きめ	texture				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26716	C		目盛り	めもり	tick mark				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26717	C		タイル	たいる	tile				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26718	C		伝送対象	でんそうたいしょう	transmittal				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26719	C		走査	そうさ	traversal				ISO/IEC 18023-1	2006				2006	SC24
26720	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 18023-2	2006				2006	SC24
26721	C		符号化伝送対象	ふごうかでんそうたいしょ	encoded transmittal				ISO/IEC 18023-2	2006				2006	SC24
26722	C		伝送対象	でんそうたいしょう	transmittal				ISO/IEC 18023-2	2006				2006	SC24
26723	C		伝送対象ファイル	でんそうたいしょうふぁい	transmittal file				ISO/IEC 18023-2	2006				2006	SC24
26724	C		伝送対象フォーマット	でんそうたいしょうふぉーまっと	transmittal format				ISO/IEC 18023-2	2006				2006	SC24
26725	C		伝送対象間参照、ITR	でんそうたいしょうかんさんしょう、ITR	inter-transmittal referencing, ITR				ISO/IEC 18023-3	2006				2006	SC24
26726	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26727	C		基本量	きほんりょう	base quantity				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26728	C		基本単位	きほんたんい	base units				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26729	C		基本ラテン文字	きほんらてんもじ	Basic Latin character				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26730	C		基本ラテン文字列	きほんらてんもじれつ	Basic Latin string				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26731	C		分類	ぶんるい	classification				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26732	C		コード	こーど	code				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26733	C		一貫性のある単位系	いっかんせいのあるたんいけい	coherent system of units				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26734	C		一貫性のある単位	いっかんせいのあるたん	coherent unit				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26735	C		誘導単位	ゆうどうたんい	derived units				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26736	C		EDCS辞書	EDCSじしょ	EDCS dictionary				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26737	C		列挙値	れっきょち	enumerant				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26738	C		環境	かんきょう	environment				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26739	C		同一物理量単位群	どういつぶつりりょうたんいぐん	equivalent units				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26740	C		概念群	がいねんぐん	group				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26741	C		国際単位系、SI	こくさいたんいけい、SI	International System of Units, SI				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26742	C		ラベル	らべる	label				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26743	C		数値	すうち	numerical value				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26744	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26745	C		組織的スキーマ	そしきてきすきーま	organizational schema				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26746	C		物理量	ぶつりりょう	physical quantity				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26747	C		量	りょう	quantity				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26748	C		(オブジェクトの)状態	(おぶじぇくとの)じょうたい	state (of an object)				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26749	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26750	C		(オブジェクトの)種別	(おぶじぇくとの)しゅべつ	type (of an object)				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26751	C		測定単位	そくていたんい	unit of measure				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26752	C		(物理量の)値	(ぶつりりょうの)あたい	value (of a physical quantity)				ISO/IEC 18025	2005				2005	SC24
26753	C		地球重力モデル	ちきゅうじゅうりょくもでる	Earth gravitational model				ISO/IEC 18026	2009				2006	SC24
26754	C		黄道面	こうどうめん	ecliptic plane				ISO/IEC 18026	2009				2006	SC24
26755	C		赤道面	せきどうめん	equatorial plane				ISO/IEC 18026	2009				2006	SC24
26756	C		測地原子	そくちげんし	geodetic datum				ISO/IEC 18026	2009				2006	SC24
26757	C		北極点	ほっきょくてん	north pole				ISO/IEC 18026	2009				2006	SC24
26758	C		空間オブジェクト	くうかんおぶじぇくと	spatial object				ISO/IEC 18026	2009				2006	SC24
26759	C		座標系変換	ざひょうけいへんかん	spatial operation				ISO/IEC 18026	2009				2006	SC24
26760	C		アバタ、化身	あばた、けしん	avatar				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26761	C		個体	こたい	character				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26762	C		動作仕様	どうさしよう	displacer				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26763	C		動作注目部位	どうさちゅうもくぶい	end effector				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26764	C		H-Anim像	H-Animぞう	H-Anim figure				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26765	C		ヒューマノイド	ひゅーまのいど	humanoid				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26766	C		関節点	かんせつてん	joint				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26767	C		関節数	かんせつすう	level of articulation				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26768	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26769	C		表現システム	ひょうげんしすてむ	representation system				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26770	C		像要素	ぞうようそ	segment				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26771	C		注目部位	ちゅうもくぶい	site				ISO/IEC 19774	2006				2006	SC24
26772	C		活性化する	かっせいかする	activate				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26773	C		先祖	せんぞ	ancestor				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26774	C		作者	さくしゃ	author				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26775	C		オーサリングツール、作者用ツール	おーさりんぐつーる、さくしゃようつーる	authoring tool				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26776	C		アバタ、化身	あばた、けしん	avatar				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26777	C		方向線	ほうこうせん	bearing				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26778	C		結合的ノード	けつごうてきのーど	bindable node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26779	C		ブラウザ	ぶらうざ	browser				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26780	C		ブラウザ拡張	ぶらうざかくちょう	browser extension				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26781	C		組み込みノード	くみこみのーど	built-in node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26782	C		呼出し関数、コールバック	よびだしかんすう、こーるばっく	callback				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26783	C		子	こ	child				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26784	C		子ノード	このーど	children node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26785	C		クライアントシステム	くらいあんとしすてむ	client system				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26786	C		衝突プロキシ	しょうとつぷろきし	collision proxy				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26787	C		色モデル	いろもでる	colour model				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26788	C		刈取り	かりとり	culling				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26789	C		子孫	しそん	descendant				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26790	C		表示装置	ひょうじそうち	display device				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26791	C		ドラッグセンサ	どらっぐせんさ	drag sensor				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26792	C		環境センサ	かんきょうせんさ	environmental sensor				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26793	C		イベント、事象	いべんと、じしょう	event				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26794	C		イベントカスケード、事象伝搬	いべんとかすけーど、じしょうでんぱん	event cascade				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26795	C		実行モデル	じっこうもでる	execution model				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26796	C		外部プロトタイプ	がいぶぷろとたいぷ	external prototype				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26797	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26798	C		フィールド名	ふぃーるどめい	field name				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26799	C		フレーム、こま	ふれーむ、こま	frame				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26800	C		生成プログラム	せいせいぷろぐらむ	generator				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26801	C		幾何特性ノード	きかとくせいのーど	geometric property node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26802	C		幾何ノード	きかのーど	geometry node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26803	C		(事象)受取り	(じしょう)うけとり	grab				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26804	C		グループ化ノード	ぐるーぷかのーど	grouping node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26805	C		ホストアプリケーション	ほすとあぷりけーしょん	host application				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26806	C		画像	がぞう	image				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26807	C		没入型	ぼつにゅうがた	immersive				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26808	C		インライン化、埋込み	いんらいんか、うめこみ	in-lining				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26809	C		インスタンス	いんすたんす	instance				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26810	C		インスタンス化	いんすたんすか	instantiation				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26811	C		補間ノード	ほかんのーど	interpolator node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26812	C		イントラネット	いんとらねっと	intranet				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26813	C		詳細度	しょうさいど	level of detail				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26814	C		行末	ぎょうまつ	line terminator				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26815	C		ループ	るーぷ	loop				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26816	C		マルチメディア	まるちめでぃあ	multimedia				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26817	C		ネットワーク	ねっとわーく	network				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26818	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26819	C		ノード型	のーどかた	node type				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26820	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26821	C		優先順位	ゆうせんじゅんい	order of preference				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26822	C		パノラマ	ぱのらま	panorama				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26823	C		親	おや	parent				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26824	C		ピクセル	ぴくせる	pixel				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26825	C		ポインタ	ぽいんた	pointer				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26826	C		ポインティング装置	ぽいんてぃんぐそうち	pointing device				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26827	C		ポインティング装置センサ	ぽいんてぃんぐそうちせん	pointing device sensor				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26828	C		折れ線	おれせん	polyline				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26829	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26830	C		プロトタイプ	ぷろとたいぷ	prototype				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26831	C		プロトタイピング	ぷろとたいぴんぐ	prototyping				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26832	C		経路	けいろ	route				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26833	C		シーングラフ	しーんぐらふ	scene graph				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26834	C		スクリプト	すくりぷと	script				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26835	C		スクリプティング	すくりぷてぃんぐ	scripting				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26836	C		スクリプト言語	すくりぷとげんご	scripting language				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26837	C		センサノード	せんさのーど	sensor node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26838	C		区切り文字	くぎりもじ	separator character				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26839	C		兄弟	きょうだい	sibling				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26840	C		シミュレーション時間単位	しみゅれーしょんじかんたんい	simulation tick				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26841	C		特殊グループノード	とくしゅぐるーぷのーど	special group node				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26842	C		テクセル、テクスチャ要素	てくせる、てくすちゃようそ	texel				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26843	C		テクスチャ、きめ(肌理)	てくすちゃ、きめ	texture				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26844	C		テクスチャ座標	てくすちゃざひょう	texture coordinates				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26845	C		時間	じかん	time				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26846	C		時刻印	じこくいん	timestamp				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26847	C		変換階層	へんかんかいそう	transformation hierarchy				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26848	C		透過性情報部分	とうかせいじょうほうぶぶ	transparency chunk				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26849	C		走査	そうさ	traverse				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26850	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26851	C		ビューア	びゅーあ	viewer				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26852	C		仮想世界	かそうせかい	virtual world				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26853	C		空白	くうはく	white space				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26854	C		世界	せかい	world				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26855	C		世界座標空間	せかいざひょうくうかん	world coordinate space				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26856	C		X3Dブラウザ	X3Dぶらうざ	X3D browser				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26857	C		X3D文書サーバ	X3Dぶんしょさーば	X3D document server				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26858	C		X3Dファイル	X3Dふぁいる	X3D file				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26859	C		XY平面	XYへいめん	XY plane				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26860	C		YZ平面	YZへいめん	YZ plane				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26861	C		ZX平面	ZXへいめん	ZX plane				ISO/IEC 19775-1	2008				2008	SC24
26862	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26863	C		コンテナフィールド	こんてなふぃーるど	container field				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26864	C		内容モデル	ないようもでる	content model				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26865	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26866	C		文書型定義(DTD)	ぶんしょかたていぎ(DTD)	Document Type Definition (DTD)				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26867	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26868	C		ファイル拡張	ふぁいるかくちょう	file extension				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26869	C		ファイル名	ふぁいるめい	file name				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26870	C		ID	ID	ID				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26871	C		IDREF	IDREF	IDREF				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26872	C		MIME	まいむ	MIME				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26873	C		名前空間	なまえくうかん	namespace				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26874	C		NMTOKEN	NMTOKEN	NMTOKEN				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26875	C		スキーマ	すきーま	schema				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26876	C		タグ集合	たぐしゅうごう	tagset				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26877	C		妥当	だとう	valid				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26878	C		整形式	せいけいしき	well-formed				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26879	C		XML文書	XMLぶんしょ	XML document				ISO/IEC 19776-1	2009				2005	SC24
26880	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26881	C		正規化	せいきか	canonicalization				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26882	C		コンテナフィールド	こんてなふぃーるど	container field				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26883	C		内容モデル	ないようもでる	content model				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26884	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26885	C		文書型定義(DTD)	ぶんしょかたていぎ(DTD)	Document Type Definition (DTD)				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26886	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26887	C		ファイル拡張	ふぁいるかくちょう	file extension				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26888	C		ファイル名	ふぁいるめい	file name				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26889	C		ID	ID	ID				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26890	C		IDREF	IDREF	IDREF				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26891	C		MIME	まいむ	MIME				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26892	C		名前空間	なまえくうかん	namespace				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26893	C		NMTOKEN	NMTOKEN	NMTOKEN				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26894	C		スキーマ	すきーま	schema				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26895	C		タグ集合	たぐしゅうごう	tagset				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26896	C		妥当	だとう	valid				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26897	C		整形式	せいけいしき	well-formed				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26898	C		XML文書	XMLぶんしょ	XML document				ISO/IEC 19776-3	2007				2007	SC24
26899	C		補助オブジェクト	ほじょおぶじぇくと	auxiliary object				ISO/IEC 19777-1	2006				2006	SC24
26900	C		組込みオブジェクト	くみこみおぶじぇくと	built-in object				ISO/IEC 19777-1	2006				2006	SC24
26901	C		ホスト環境オブジェクト	ほすとかんきょうおぶじぇく	Host Object				ISO/IEC 19777-1	2006				2006	SC24
26902	C		スクリプト固有オブジェクト	すくりぷとこゆうおぶじぇく	Native Object				ISO/IEC 19777-1	2006				2006	SC24
26903	C		データ入力	でーたにゅうりょく	data input				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26904	C		ドメインパラメータ	どめいんぱらめーた	domain parameter				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26905	C		だ円曲線	だえんきょくせん	elliptic curve				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26906	C		明確に与えられた有限フィールド	めいかくにあたえられたゆうげんふぃーるど	explicitly given finite field				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26907	C		ハッシュコード	はっしゅこーど	hash-code				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26908	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26909	C		ハッシュトークン	はっしゅとーくん	hash-token				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26910	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26911	C		パラメータ生成プロセス	ぱらめーたせいせいぷろせす	parameter generation process				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26912	C		署名材料	しょめいざいりょう	pre-signature				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26913	C		私有署名かぎ	しゆうしょめいかぎ	private signature key				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26914	C		公開検証かぎ	こうかいけんしょうかぎ	public verification key				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26915	C		ランダム化	らんだむか	randomized				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26916	C		ランドマイザ	らんどまいざ	randomizer				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26917	C		署名	しょめい	signature				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26918	C		署名生成プロセス	しょめいせいせいぷろせす	signature generation				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26919	C		署名検証プロセス	しょめいけんしょうぷろせす	signature verification process				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26920	C		署名付きメッセージ	しょめいつきめっせーじ	signed message				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26921	C		利用者かぎ	りようしゃかぎ	user keys				ISO/IEC 9796-3	2006				2006	SC27
26922	C		チェック値	ちぇっくち	check-value				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26923	C		チェック値関数	ちぇっくちかんすう	check-value function				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26924	C		データ発信元認証	でーたはっしんげんにんしょう	data origin authentication				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26925	C		手動認証証明書	しゅどうにんしょうしょうめいしょ	manual authentication certificate				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26926	C		メッセージ認証コード、MAC	めっせーじにんしょうこーど、MAC	Message Authentication Code, MAC				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26927	C		メッセージ認証コードアルゴリズム、MACアルゴリズム	めっせーじにんしょうこーどあるごりずむ、MACあるごりずむ	Message Authentication Code algorithm, MAC algorithm				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26928	C		手動実体認証	しゅどうじったいにんしょう	manual entity				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26929	C		簡易入力インタフェース	かんいにゅうりょくいんたふぇーす	simple input interface				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26930	C		簡易出力インタフェース	かんいしゅつりょくいんたふぇーす	simple output interface				ISO/IEC 9798-6	2005				2005	SC27
26931	C		拡張パスワード認証かぎ合意	かくちょうぱすわーどにんしょうかぎごうい	augmented password-authenticated key agreement				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26932	C		均衡パスワード認証かぎ合意	きんこうぱすわーどにんしょうかぎごうい	balanced password-authenticated key agreement				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26933	C		総当たり攻撃	そうあたりこうげき	brute-force attack				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26934	C		衝突耐性ハッシュ関数	しょうとつたいせいはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26935	C		(パスワード基盤システムに対する)辞書攻撃	(ぱすわーどきばんしすてむにたいする)じしょこうげき	dictionary attack (on a password-based system)				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26936	C		領域パラメータ	りょういきぱらめーた	domain parameter				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26937	C		AからBへの明示的かぎ認証	AからBへのめいじてきかぎにんしょう	explicit key authentication from A to B				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26938	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26939	C		ハッシュ化パスワード	はっしゅかぱすわーど	hashed password				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26940	C		AからBへの暗黙のかぎ認証	AからBへのあんもくのかぎにんしょう	implicit key authentication from A to B				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26941	C		かぎ	かぎ	key				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26942	C		かぎ共有	かぎきょうゆう	key agreement				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26943	C		AからBへのかぎ確認	AからBへのかぎかくにん	key confirmation from A to B				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26944	C		かぎ制御	かぎせいぎょ	key control				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26945	C		かぎ導出関数	かぎどうしゅつかんすう	key derivation function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26946	C		かぎ確立	かぎかくりつ	key establishment				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26947	C		かぎ管理	かぎかんり	key management				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26948	C		かぎ回収	かぎかいしゅう	key retrieval				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26949	C		かぎトークン	かぎとーくん	key token				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26950	C		かぎトークン検査関数	かぎとーくんけんさかんすう	key token check function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26951	C		かぎトークン因数	かぎとーくんいんすう	key token factor				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26952	C		かぎトークン生成関数	かぎとーくんせいせいかんすう	key token generation function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26953	C		相互かぎ認証	そうごかぎにんしょう	mutual key authentication				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26954	C		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26955	C		パスワード	ぱすわーど	password				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26956	C		パスワード認証かぎ合意	ぱすわーどにんしょうかぎごうい	password-authenticated key agreement				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26957	C		パスワード認証かぎ回収	ぱすわーどにんしょうかぎかいしゅう	password-authenticated key retrieval				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26958	C		パスワード絡み合いかぎトークン	ぱすわーどからみあいかぎとーくん	password-entangled key token				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26959	C		パスワード検証データ	ぱすわーどけんしょうでーた	password verification data				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26960	C		ランダム要素導出関数	らんだむようそどうしゅつかんすう	random element derivation function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26961	C		ソルト	そると	salt				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26962	C		秘密	ひみつ	secret				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
26963	C		秘密値導出関数	ひみつちどうしゅつかんすう	secret value derivation function				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26964	C		秘密かぎ	ひみつかぎ	secret key				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26965	C		強秘密	きょうひみつ	strong secret				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26966	C		弱秘密	じゃくひみつ	weak secret				ISO/IEC 11770-4	2006				2006	SC27
26967	C		有限フィールド	ゆうげんふぃーるど	finite field				ISO/IEC 15946-1	2008				2008	SC27
26968	C		だ円カーブ	だえんかーぶ	elliptic curve				ISO/IEC 15946-1	2008				2008	SC27
26969	C		暗号双線マップ	あんごうそうせんまっぷ	cryptographic bilinear map				ISO/IEC 15946-1	2008				2008	SC27
26970	C		警告	けいこく	alert				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26971	C		攻撃者	こうげきしゃ	attacker				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26972	C		監査	かんさ	audit				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26973	C		監査ロギング	かんさろぎんぐ	audit logging				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26974	C		監査ツール	かんさつーる	audit tools				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26975	C		事業継続マネジメント	じぎょうけいぞくまねじめんと	business continuity management				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26976	C		Comp128-1	こんぷ128-1	Comp128-1				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26977	C		非武装地帯、DMZ	ひぶそうちたい、DMZ	demilitarized zone, DMZ				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26978	C		サービス拒否、DoS	さーびすきょひ、DoS	denial of service, DoS				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26979	C		エクストラネット	えくすとらねっと	extranet				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26980	C		フィルタリング	ふぃるたりんぐ	filtering				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26981	C		ファイアウォール	ふぁいあうぉーる	firewall				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26982	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26983	C		情報セキュリティイベント	じょうほうせきゅりてぃいべんと	information security event				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26984	C		情報セキュリティインシデント	じょうほうせきゅりてぃいんしでんと	information security incident				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26985	C		情報セキュリティインシデントマネジメント	じょうほうせきゅりてぃいんしでんとまねじめんと	information security incident management				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26986	C		インターネット	いんたーねっと	internet				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26987	C		イントラネット	いんとらねっと	intranet				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26988	C		侵入	しんにゅう	intrusion				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26989	C		侵入検出	しんにゅうけんしゅつ	intrusion detection				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26990	C		侵入検出システム、IDS	しんにゅうけんしゅつしすてむ、IDS	intrusion detection system, IDS				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26991	C		侵入防止システム、IPS	しんにゅうぼうししすてむ、IPS	intrusion prevention system, IPS				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26992	C		ジッター	じったー	jitter				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26993	C		マルウェア	まるうぇあ	malware				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26994	C		マルチプロトコルラベルスイッチング、MPLS	まるちぷろとこるらべるすいっちんぐ、MPLS	multi protocol label switching, MPLS				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26995	C		ネットワーク管理	ねっとわーくかんり	network administration				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26996	C		ネットワークアナライザ	ねっとわーくあならいざ	network analyzer				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26997	C		ネットワーク要素	ねっとわーくようそ	network element				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26998	C		ネットワークマネジメント	ねっとわーくまねじめんと	network management				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
26999	C		ネットワーク監視	ねっとわーくかんし	network monitoring				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27000	C		ネットワークセキュリティ方針	ねっとわーくせきゅりてぃほうしん	network security policy				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27001	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27002	C		プライバシー	ぷらいばしー	privacy				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27003	C		遠隔アクセス	えんかくあくせす	remote access				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27004	C		遠隔利用者	えんかくりようしゃ	remote user				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27005	C		ルータ	るーた	router				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27006	C		セキュリティ次元	せきゅりてぃじげん	security dimension				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27007	C		セキュリティ領域	せきゅりてぃりょういき	security domain				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27008	C		セキュリティゲートウェイ	せきゅりてぃげーとうぇい	security gateway				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27009	C		セキュリティ層	せきゅりてぃそう	security layers				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27010	C		セキュリティ面	せきゅりてぃめん	security plane				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27011	C		スパミング	すぱみんぐ	spamming				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27012	C		なりすまし	なりすまし	spoofing				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27013	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27014	C		トンネル	とんねる	tunnel				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27015	C		仮想私設ネットワーク	かそうしせつねっとわーく	virtual private network				ISO/IEC 18028-1	2006				2006	SC27
27016	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27017	C		データ発信元認証	でーたはっしんもとにん	data origin authentication				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27018	C		ピア実体認証	ぴあじったいにんしょう	peer-entity authentication				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27019	C		利用可能性	りようかのうせい	availability				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27020	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27021	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27022	C		発信元証明付き否認防止	はっしんもとしょうめいつきひにんぼうし	non-repudiation with proof of origin				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27023	C		配信証明付き否認防止	はいしんしょうめいつきひにんぼうし	non-repudiation with proof of delivery				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27024	C		プライバシー	ぷらいばしー	privacy				ISO/IEC 18028-2	2006				2006	SC27
27025	C		警告	けいこく	alert				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27026	C		攻撃者	こうげきしゃ	attacker				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27027	C		監査	かんさ	audit				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27028	C		監査ロギング	かんさろぎんぐ	audit logging				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27029	C		非武装地帯、DMZ	ひぶそうちたい、DMZ	Demilitarised Zone, DMZ				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27030	C		フィルタリング	ふぃるたりんぐ	filtering				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27031	C		ファイアウォール	ふぁいあうぉーる	firewall				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27032	C		情報セキュリティインシデント	じょうほうせきゅりていいんしでんと	Information Security Incident				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27033	C		情報セキュリティインシデントマネジメント	じょうほうせきゅりていいんしでんとまねじめんと	Information Security Incident Management				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27034	C		侵入	しんにゅう	Intrusion				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27035	C		侵入検出	しんにゅうけんしゅつ	Intrusion Detection				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27036	C		侵入検出システム、IDS	しんにゅうけんしゅつしすてむ、IDS	Intrusion Detection System, IDS				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27037	C		ポート(1)	ぽーと(1)	port(1)				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27038	C		ポート(2)	ぽーと(2)	port(2)				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27039	C		プライバシー	ぷらいばしー	privacy				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27040	C		遠隔アクセス	えんかくあくせす	remote access				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27041	C		ルータ	るーた	router				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27042	C		セキュリティ次元	せきゅりていじげん	security dimension				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27043	C		セキュリティ領域	せきゅりていりょういき	security domain				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27044	C		セキュリティゲートウェイ	せきゅりていげーとうぇい	security gateway				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27045	C		なりすまし	なりすまし	spoofing				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27046	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27047	C		仮想私設ネットワーク	かそうしせつねっとわーく	Virtual Private Network				ISO/IEC 18028-3	2005				2005	SC27
27048	C		アクセスポイント、AP	あくせすぽいんと、AP	Access Point, AP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27049	C		上級暗号化規格、AES	じょうきゅうあんごうかきかく、AES	Advanced Encryption Standard, AES				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27050	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27051	C		コールバック	こーるばっく	call-back				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27052	C		チャレンジハンドシェイク認証プロトコル、CHAP	ちゃれんじはんどしぇいくにんしょうぷろとこる、CHAP	Challenge-Handshake Authentication Protocol, CHAP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27053	C		データ暗号化規格、DES	でーたあんごうかきかく、DES	Data Encryption Standard, DES				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27054	C		非武装地帯、DMZ	ひぶそうちたい、DMZ	de-militarised zone, DMZ				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27055	C		サービス拒否、DoS	さーびすきょひ、DoS	Denial of Service, DoS				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27056	C		デジタル加入者回線、DSL	でじたるかにゅうしゃかいせん、DSL	Digital Subscriber Line, DSL				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27057	C		動的ホスト制御プロトコル、DHCP	どうてきほすとせいぎょぷろとこる、DHCP	Dynamic Host Control Protocol, DHCP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27058	C		カプセル化セキュリティペイロード、ESP	かぷせるかせきゅりていぺいろーど、ESP	Encapsulating Security Payload, ESP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27059	C		拡張可能認証プロトコル、EAP	かくちょうかのうにんしょうぷろとこる、EAP	Extensible Authentication Protocol, EAP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27060	C		ファイル転送プロトコル、FTP	ふぁいるてんそうぷろとこる、FTP	File Transfer Protocol, FTP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27061	C		インターネットエンジニアリングタスクフォース、IETF	いんたーねっとえんじにありんぐたすくふぉーす、	Internet Engineering Task Force, IETF				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27062	C		インターネットエンジニアリングアクセスプロトコルv4、IMAP4	いんたーねっとえんじにありんぐあくせすぷろとこるv4、IMAP4	Internet Message Access Protocol v4, IMAP4				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27063	C		ローカルエリアネットワーク、LAN	ろーかるえりあねっとわーく、らん	Local Area Network, LAN				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27064	C		モデム	もでむ	modem				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27065	C		多目的インターネットメール拡張、MIME	たもくてきいんたーねっとめーるかくちょう、まいむ	Multipurpose Internet Mail Extensions, MIME				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27066	C		ネットワークアクセスサーバ、NAS	ねっとわーくあくせすさーば、NAS	Network Access Server, NAS				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27067	C		使い捨てパスワード、OTP	つかいすてぱすわーど、	one-time password, OTP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27068	C		受動モード、PASVモード	じゅどうもーど、PASVもー	Passive mode, PASV				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27069	C		パスワード認証プロトコル、PAP	ぱすわーどにんしょうぷろとこる、PAP	Password Authentication Protocol, PAP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27070	C		個人情報端末、PDA	こじんじょうほうたんまつ、PDA	Personal Digital Assistant, PDA				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27071	C		ポイントツーポイントプロトコル、PPP	ぽいんとつーぽいんとぷろとこる、PPP	Point-to-Point Protocol, PPP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27072	C		ポストオフィスプロトコルv3、POP3	ぽすとおふぃすぷろとこるv3、POP3	Post Office Protocol v3, POP3				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27073	C		プリティグッドプライバシー、PGP	ぷりていぐっどぷらいばしー、PGP	Pretty Good Privacy, PGP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27074	C		プライベートブランチエクスチェンジ、PBX	ぷらいべーとぶらんちえくすちぇんじ、PBX	Private Branch Exchange, PBX				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27075	C		遠隔アクセスダイヤルインユーザサービス、RADIUS	えんかくあくせすだいやるいんゆーざさーびす、	Remote Access Dial-in User Service, RADIUS				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27076	C		遠隔アクセスサービス、RAS	えんかくあくせすさーびす、RAS	Remote Access Service, RAS				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27077	C		遠隔アクセス	えんかくあくせす	remote access				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27078	C		コメント要求、RFC	こめんとようきゅう、RFC	Request for Comment,				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27079	C		セキュアシェル、SSH	せきゅあしぇる、SSH	Secure Shell, SSH				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27080	C		セキュアソケットレイヤ、SSL	せきゅあそけっとれいや、SSL	Secure Sockets Layer, SSL				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27081	C		セキュリティ/多目的インターネットメール拡張、S/MIME	せきゅりてぃ/たもくてきいんたーねっとめーるかくちょう、S/MIME	Security/Multipurpose Internet Mail Extensions, S/MIME				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27082	C		シリアル回線インターネットプロトコル、SLIP	しりあるかいせんいんたーねっとぷろとこる、SLIP	Serial Line Internet Protocol, SLIP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27083	C		サービスセット識別子、SSID	さーびすせっとしきべつし、SSID	Service Set Identifier, SSID				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27084	C		簡易メール転送プロトコル、SMTP	かんいめーるてんそうぷろとこる、SMTP	Simple Mail Transfer Protocol, SMTP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27085	C		トランスポート層セキュリティプロトコル、TLS	とらんすぽーとそうせきゅりていぷろとこる、TLS	Transport Layer Security Protocol, TLS				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27086	C		ユニフォームリソースロケータ、URL	ゆにふぉーむりそーすろけーた、URL	Uniform Resource Locator, URL				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27087	C		無停電電源装置、UPS	むていでんでんげんそうち、UPS	Uninterruptible Power Supply, UPS				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27088	C		ユーザデータグラムプロトコル、UDP	ゆーざでーたぐらむぷろとこる、UDP	User Datagram Protocol, UDP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27089	C		仮想私設ネットワーク、VPN	かそうしせつねっとわーく、VPN	Virtual Private Network, VPN				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27090	C		WiFiプロテクテッドアクセス、WPA	WiFiぷろてくてっどあくせす、WPA	WiFi Protected Access, WPA				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27091	C		有線同等プライバシー、WEP	ゆうせんどうとうぷらいばしー	Wired Equivalent Privacy, WEP				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27092	C		ワイヤレスフィデリティ、WiFi	わいやれすふぃでりてぃ、WiFi	Wireless Fidelity, WiFi				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27093	C		無線LAN、WLAN	むせんらん、WLAN	Wireless LAN, WLAN				ISO/IEC 18028-4	2005				2005	SC27
27094	C		レイヤ2スイッチング	れいや2すいっちんぐ	layer 2 switching				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27095	C		レイヤ2VPN	れいや2VPN	layer 2 VPN				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27096	C		レイヤ3スイッチング	れいや3すいっちんぐ	layer 3 switching				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27097	C		レイヤ3VPN	れいや3VPN	layer 3 VPN				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27098	C		私設	しせつ	private				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27099	C		私設ネットワーク	しせつねっとわーく	private network				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27100	C		プロトコルカプセル化	ぷろとこるかぷせるか	protocol encapsulation				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27101	C		仮想回路	かそうかいろ	virtual circuit				ISO/IEC 18028-5	2006				2006	SC27
27102	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27103	C		バックワーソシークレシー	ばっくわーそしーくれしー	backward secrecy				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27104	C		バイアスソース	ばいあすそーす	biased source				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27105	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bit stream				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27106	C		ビット列	びっとれつ	bit string				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27107	C		ブラックボックス	ぶらっくぼっくす	black box				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27108	C		ブロック暗号	ぶろっくあんごう	block cipher				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27109	C		暗号境界	あんごうきょうかい	cryptographic boundary				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27110	C		決定論的アルゴリズム	けっていろんてきあるごりずむ	deterministic algorithm				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27111	C		決定論的ランダムビット生成器、DRBG	けっていろんてきらんだむびっとせいせいき、DRBG	deterministic random bit generator, DRBG				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27112	C		エントロピー	えんとろぴー	entropy				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27113	C		エントロピーソース	えんとろぴーそーす	entropy source				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27114	C		フォワードシークレシー	ふぉわーどしーくれしー	forward secrecy				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27115	C		ガラスボックス	がらすぼっくす	glass box				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27116	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27117	C		人間エントロピーソース	にんげんえんとろぴー	human entropy source				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27118	C		ハイブリッド決定論的ランダムビット生成器（ハイブリッドDRBG）	はいぶりっどけっていろんてきらんだむびっとせいせいき（はいぶりっどDRBG）	hybrid deterministic random bit generator (Hybrid DRBG)				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27119	C		ハイブリッド非決定論的ランダムビット生成器、ハイブリッドDRBG	はいぶりっどひけっていろんてきらんだむびっとせいせいき、はいぶりっど	hybrid non-deterministic random bit generator, Hybrid NRBG				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27120	C		初期化値	しょきかち	initialisation value				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27121	C		ケルクホフスボックス	けるくほふすぼっくす	Kerckhoffs box				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27122	C		既知回答試験	きちかいとうしけん	known-answer test				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27123	C		最小エントロピー	さいしょうえんとろぴー	min-entropy				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27124	C		非決定論的ランダムビット生成器、NRBG	ひけっていろんてきらんだむびっとせいせいき、	non-deterministic random bit generator, NRBG				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27125	C		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27126	C		出力生成関数	しゅつりょくせいせいかんすう	output generation function				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27127	C		疑似シーケンス	ぎじしーけんす	pseudorandom sequence				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27128	C		純決定論的ランダムビット生成器	じゅんけっていろんてきらんだむびっとせいせいき	pure deterministic random bit generator				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27129	C		純非決定論的ランダムビット生成器	じゅんひけっていろんてきらんだむびっとせいせいき	pure non-deterministic random bit generator				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27130	C		ランダムビット生成器、RBG	らんだむびっとせいせいき、RBG	random bit generator, RBG				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27131	C		リシーディング、種更新	りしーでぃんぐ、たねこうし	reseeding				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27132	C		秘密パラメータ	ひみつぱらめーた	secret parameter				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27133	C		シード、種	しーど、たね	seed				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27134	C		シードライフ、種寿命	しーどらいふ、たねじゅ	seedlife				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27135	C		状態	じょうたい	state				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27136	C		非バイアスソース	ひばいあすそーす	unbiased source				ISO/IEC 18031	2005				2005	SC27
27137	C		合成数	ごうせいすう	composite number, composite				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27138	C		エントロピー	えんとろぴー	entropy				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27139	C		ヤコビ記号	やこびきごう	Jacobi symbol				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27140	C		ルジャンドル記号	るじゃんどるきごう	Legendre symbol				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27141	C		素数性証明書	そすうせいしょうめいしょ	primality certificate				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27142	C		素数、素数	そすう、そすう	prime number, prime				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27143	C		疑似乱ビット生成器	ぎじらんびっとせいせいき	pseudo-random bit generator				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27144	C		試行除算	しこうじょざん	trial division				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27145	C		試行除数	しこうじょすう	trivial divisor				ISO/IEC 18032	2005				2005	SC27
27146	C		非対称暗号	ひたいしょうあんごう	asymmetric cipher				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27147	C		非対称暗号手法	ひたいしょうあんごうしゅほう	asymmetric cryptographic technique				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27148	C		非対称暗号化システム	ひたいしょうあんごうかしすてむ	asymmetric encipherment system				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27149	C		非対称暗号化システム	ひたいしょうあんごうかしすてむ	asymmetric encryption system				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27150	C		非対称かぎペア	ひたいしょうかぎぺあ	asymmetric key pair				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27151	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27152	C		ブロック暗号	ぶろっくあんごう	block cipher				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27153	C		暗号	あんごう	cipher				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27154	C		暗号文	あんごうぶん	ciphertext				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27155	C		クリアテキスト	くりあてきすと	cleartext				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27156	C		暗号解読	あんごうかいどく	decipherment				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27157	C		暗号解読アルゴリズム	あんごうかいどくあるごりずむ	decipherment algorithm				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27158	C		暗号解読	あんごうかいどく	decryption				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27159	C		暗号解読アルゴリズム	あんごうかいどくあるごりずむ	decryption algorithm				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27160	C		暗号化	あんごうか	encipherment				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27161	C		暗号化アルゴリズム	あんごうかあるごりずむ	encipherment algorithm				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27162	C		暗号化システム	あんごうかしすてむ	encipherment system				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27163	C		暗号化	あんごうか	encryption				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27164	C		暗号化アルゴリズム	あんごうかあるごりずむ	encryption algorithm				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27165	C		暗号化システム	あんごうかしすてむ	encryption system				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27166	C		かぎ	かぎ	key				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27167	C		キーストリーム	きーすとりーむ	keystream				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27168	C		nビットブロック暗号	nびっとぶろっくあんごう	*n-bit block cipher*				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27169	C		平文	ひらぶん	plaintext				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27170	C		私有かぎ	しゆうかぎ	private key				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27171	C		公開かぎ	こうかいかぎ	public key				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27172	C		秘密かぎ	ひみつかぎ	secret key				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27173	C		自己同期ストリーム暗号	じこどうきすとりーむあんごう	self-synchronous stream cipher				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27174	C		同期ストリーム暗号	どうきすとりーむあんごう	synchronous stream				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27175	C		ストリーム暗号	すとりーむあんごう	stream cipher				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27176	C		対称暗号	たいしょうあんごう	symmetric cipher				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27177	C		対称暗号手法	たいしょうあんごうしゅほう	symmetric cryptographic technique				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27178	C		対称暗号化システム	たいしょうあんごうかしすてむ	symmetric encipherment system				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27179	C		対称暗号化システム	たいしょうあんごうかしすてむ	symmetric encryption system				ISO/IEC 18033-1	2005				2005	SC27
27180	C		非対称暗号	ひたいしょうあんごう	asymmetric cipher				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27181	C		非対称暗号手法	ひたいしょうあんごうしゅほう	asymmetric cryptographic technique				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27182	C		非対称鍵ペア	ひたいしょうかぎぺあ	asymmetric key pair				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27183	C		ビット	びっと	bit				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27184	C		ビット列	びっとれつ	bit string				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27185	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27186	C		ブロック暗号	ぶろっくあんごう	block cipher				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27187	C		暗号	あんごう	cipher				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27188	C		暗号文	あんごうぶん	ciphertext				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27189	C		具体的群	ぐたいてきぐん	concrete group				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27190	C		暗号学的ハッシュ関数	あんごうがくてきはっしゅかんすう	cryptographic hash function				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27191	C		データカプセル化機構	でーたかぷせるかきこう	data encapsulation mechanism				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27192	C		暗号解読	あんごうかいどく	decryption				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27193	C		暗号解読アルゴリズム	あんごうかいどくあるごりずむ	decryption algorithm				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27194	C		暗号化	あんごうか	encryption				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27195	C		明確規定有限体	めいかくきていゆうげんたい	explicitly given finite field				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27196	C		暗号化アルゴリズム	あんごうかあるごりずむ	encryption algorithm				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27197	C		暗号化オプション	あんごうかおぷしょん	encryption option				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27198	C		体	たい	field				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27199	C		有限アーベル群	ゆうげんあーべるぐん	finite abelian group				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27200	C		有限体	ゆうげんたい	finite field				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27201	C		群	ぐん	group				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27202	C		混合暗号	こんごうあんごう	hybrid cipher				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27203	C		かぎ	かぎ	key				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27204	C		かぎ誘導機能	かぎゆうどうきのう	key derivation function				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27205	C		かぎカプセル化機構	かぎかぷせるかきこう	key encapsulation mechanism				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27206	C		かぎ生成アルゴリズム	かぎせいせいあるごりず	key generation algorithm				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27207	C		ラベル	らべる	label				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27208	C		長さ	ながさ	length				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27209	C		メッセージ認証コード(MAC)	めっせーじにんしょうこーど(MAC)	message authentication code (MAC)				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27210	C		MACアルゴリズム	MACあるごりずむ	MAC algorithm				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27211	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27212	C		オクテット列	おくてっとれつ	octet string				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27213	C		平文	ひらぶん	plaintext				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27214	C		接頭フリーセット	せっとうふりーせっと	prefix free set				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27215	C		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27216	C		私有かぎ	しゆうかぎ	private key				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27217	C		公開かぎ	こうかいかぎ	public key				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27218	C		秘密かぎ	ひみつかぎ	secret key				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27219	C		対称暗号	たいしょうあんごう	symmetric cipher				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27220	C		システムパラメータ	しすてむぱらめーた	system parameters				ISO/IEC 18033-2	2006				2006	SC27
27221	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 18033-3	2005				2005	SC27
27222	C		ブロック暗号	ぶろっくあんごう	block cipher				ISO/IEC 18033-3	2005				2005	SC27
27223	C		暗号文	あんごうぶん	ciphertext				ISO/IEC 18033-3	2005				2005	SC27
27224	C		かぎ	かぎ	key				ISO/IEC 18033-3	2005				2005	SC27
27225	C		nビットブロック暗号	nびっとぶろっくあんごう	*n-bit block cipher*				ISO/IEC 18033-3	2005				2005	SC27
27226	C		平文	ひらぶん	plaintext				ISO/IEC 18033-3	2005				2005	SC27
27227	C		バイト降順	ばいとこうじゅん	big-endian				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27228	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27229	C		ブロック暗号	ぶろっくあんごう	block cipher				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27230	C		暗号	あんごう	cipher				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27231	C		暗号文	あんごうぶん	ciphertext				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27232	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27233	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27234	C		暗号解読	あんごうかいどく	decipherment				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27235	C		暗号解読	あんごうかいどく	decryption				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27236	C		暗号化	あんごうか	encipherment				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27237	C		暗号化	あんごうか	encryption				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27238	C		初期化値	しょきかち	initialization value				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27239	C		かぎ	かぎ	key				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27240	C		キーストリーム	きーすとりーむ	keystream				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27241	C		キーストリーム関数	きーすとりーむかんすう	keystream function				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27242	C		キーストリーム生成器	きーすとりーむせいせいき	keystream generator				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27243	C		nビットブロック暗号	nびっとぶろっくあんごう	*n-bit block cipher*				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27244	C		次状態関数	じじょうたいかんすう	next-state function				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27245	C		出力関数	しゅつりょくかんすう	output function				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27246	C		詰め	つめ	padding				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27247	C		平文	ひらぶん	plaintext				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27248	C		秘密かぎ	ひみつかぎ	secret key				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27249	C		自己同期ストリーム暗号	じこどうきすとりーむあんごう	self-synchronizing stream cipher				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27250	C		状態	じょうたい	state				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27251	C		ストリーム暗号	すとりーむあんごう	stream cipher				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27252	C		同期ストリーム暗号	どうきすとりーむあんごう	synchronous stream				ISO/IEC 18033-4	2005				2005	SC27
27253	C		攻撃	こうげき	attack				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27254	C		攻撃署名	こうげきしょめい	attack signature				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27255	C		アテステーション	あてすてーしょん	attestation				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27256	C		ブリッジ	ぶりっじ	bridge				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27257	C		暗号ハッシュ値	あんごうはっしゅち	cryptographic hash value				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27258	C		DoS(サービス拒否)攻撃	DoS(さーびすきょひ)こうげき	DoS (Denial-of-Service) attack				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27259	C		非武装地帯、DMZ	ひぶそうちたい、DMZ	Demilitarized Zone, DMZ				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27260	C		エクスプロイト	えくすぷろいと	exploit				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27261	C		ファイアウォール	ふぁいあうぉーる	firewall				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27262	C		誤検出	ごけんしゅつ	false positive				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27263	C		検出漏れ	けんしゅつもれ	false negative				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27264	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27265	C		侵入者	しんにゅうしゃ	intruder				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27266	C		侵入	しんにゅう	intrusion				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27267	C		侵入検出	しんにゅうけんしゅつ	intrusion detection				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27268	C		侵入検出システム、IDS	しんにゅうけんしゅつしすてむ、IDS	intrusion detection system, IDS				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27269	C		侵入防止システム、IPS	しんにゅうぼうししすてむ、IPS	intrusion prevention system, IPS				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27270	C		ハニーポット	はにーぽっと	honeypot				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27271	C		ペネトレーション	ぺねとれーしょん	penetration				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27272	C		プロビジョニング	ぷろびじょにんぐ	provisioning				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27273	C		リモートアテステーション	りもーとあてすてーしょん	remote attestation				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27274	C		応答(インシデント応答又は侵入応答)	おうとう(いんしでんとおうとうまたはしんにゅうおうとう)	response (incident response or intrusion response)				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27275	C		ルータ	るーた	router				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27276	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27277	C		サービスレベル合意書	さーびすれべるごういしょ	Service Level Agreement				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27278	C		センサ	せんさ	sensor				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27279	C		サブネット	さぶねっと	subnet				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27280	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27281	C		試験アクセスポイント、TAP	しけんあくせすぽいんと、TAP	Test Access Points, TAP				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27282	C		トロイの木馬	とろいのもくば	trojan horse				ISO/IEC 18043	2006				2006	SC27
27283	C		動作	どうさ	action				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27284	C		アクティビティ	あくてぃびてぃ	activity				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27285	C		検査	けんさ	check				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27286	C		評価提出物	ひょうかていしゅつぶつ	evaluation deliverable				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27287	C		評価証拠	ひょうかしょうこ	evaluation evidence				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27288	C		評価技術報告書	ひょうかぎじゅつほうこく	evaluation technical report				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27289	C		検査	けんさ	examine				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27290	C		解釈	かいしゃく	interpretation				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27291	C		方法論	ほうほうろん	methodology				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27292	C		観察報告書	かんさつほうこくしょ	observation report				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27293	C		総合判定	そうごうはんてい	overall verdict				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27294	C		監督判定	かんとくはんてい	oversight verdict				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27295	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27296	C		報告	ほうこく	report				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27297	C		スキーム	すきーむ	scheme				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27298	C		サブアクティビティ	さぶあくてぃびてぃ	sub-activity				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27299	C		追跡	ついせき	tracing				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27300	C		判定	はんてい	verdict				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27301	C		作業単位	さぎょうたんい	work unit				ISO/IEC 18045	2005				2005	SC27
27302	C		コンピュータ及び関連機器	こんぴゅーたおよびかんれんきき	computing and related equipment				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27303	C		ICTシステム	ICTしすてむ	ICT systems				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27304	C		情報セキュリティ	じょうほうせきゅりてい	information security				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27305	C		インフラストラクチャ	いんふらすとらくちゃ	infrastructure				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27306	C		組織	そしき	organizations				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27307	C		外注サービス提供者	がいちゅうさーびすていきょうしゃ	outsourced service providers				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27308	C		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	service providers				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27309	C		サービスレベル合意書	さーびすれべるごういしょ	service level agreement				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27310	C		サービスレベルコミットメント	さーびすれべるこみっとめんと	service level commitment				ISO/IEC 24762	2008				2008	SC27
27311	C		衝撃	しょうげき	impact				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27312	C		情報セキュリティリスク	じょうほうせきゅりていりすく	information security risk				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27313	C		リスク回避	りすくかいひ	risk avoidance				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27314	C		リスク伝達	りすくでんたつ	risk communication				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27315	C		リスク推定	りすくすいてい	risk estimation				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27316	C		リスク識別	りすくしきべつ	risk identification				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27317	C		リスク削減	りすくさくげん	risk reduction				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27318	C		リスク保持	りすくほじ	risk retention				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27319	C		リスク移転	りすくいてん	risk transfer				ISO/IEC 27005	2008				2008	SC27
27320	C		証明書	しょうめいしょ	certificate				ISO/IEC 27006	2007				2007	SC27
27321	C		認証機関	にんしょうきかん	certification body				ISO/IEC 27006	2007				2007	SC27
27322	C		認証文書	にんしょうぶんしょ	certification document				ISO/IEC 27006	2007				2007	SC27
27323	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 27006	2007				2007	SC27
27324	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 27006	2007				2007	SC27
27325	C		広帯域	こうたいいき	broad-band				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27326	C		郵便物書式	ゆうびんぶつしょしき	mail format				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27327	C		狭帯域	きょうたいいき	narrow-band				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27328	C		総合的記号評点	そうごうてききごうひょうてん	overall symbol grade				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27329	C		読み取り速度	よみとりそくど	read rate				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27330	C		スキャン評点	すきゃんひょうてん	scan grade				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27331	C		分光感度特性	ぶんこうかんどとくせい	spectral response characteristic				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27332	C		妥当性確認、バリデーション	だとうせいかくにん、ばりでーしょん	validation				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27333	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27334	C		検証装置	けんしょうそうち	verifier				ISO/IEC 18050	2006				2006	SC28
27335	C		フェイド	ふぇいど	fade				ISO/IEC 19798	2007				2007	SC28
27336	C		シェイク手順	しぇいくてじゅん	shake procedure				ISO/IEC 19798	2007				2007	SC28
27337	C		トナー残低量	となーざんていりょう	toner low				ISO/IEC 19798	2007				2007	SC28
27338	C		トナー切れ	となーぎれ	toner out				ISO/IEC 19798	2007				2007	SC28
27339	C		寿命末期	じゅみょうまっき	end of life				ISO/IEC 19798	2007				2007	SC28
27340	C		個別カートリッジ印刷可能枚数	こべつかーとりっじいんさつかのうまいすう	individual cartridge yield				ISO/IEC 19798	2007				2007	SC28
27341	C		定格カートリッジ印刷可能枚数	ていかくかーとりっじいんさつかのうまいすう	declared cartridge yield				ISO/IEC 19798	2007				2007	SC28
27342	C		光沢値	こうたくち	gloss value				ISO/IEC 19799	2007				2007	SC28
27343	C		光沢変動	こうたくへんどう	differential gloss				ISO/IEC 19799	2007				2007	SC28
27344	C		ページ内(フラットフィールド)光沢変動性	ぺーじない(ふらっとふぃーるど)こうたくへんどうせい	within page (flat-field) gloss variability				ISO/IEC 19799	2007				2007	SC28
27345	C		ページ間(フラットフィールド)光沢変動性	ぺーじかん(ふらっとふぃーるど)こうたくへんどうせい	page-to-page (flat-field) gloss variability				ISO/IEC 19799	2007				2007	SC28
27346	C		実行内光沢一貫性	じっこうないこうたくいっかんせい	gloss consistency within a run				ISO/IEC 19799	2007				2007	SC28
27347	C		光沢特性	こうたくとくせい	gloss artefacts				ISO/IEC 19799	2007				2007	SC28
27348	C		平均光沢	へいきんこうたく	mean gloss				ISO/IEC 19799	2007				2007	SC28
27349	C		ライトバルブ	らいとばるぶ	light valve				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27350	C		望遠端、テレ端	ぼうえんたん、てれたん	telephoto end				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27351	C		広角端、ワイド端	こうかくたん、わいどたん	wide-angle end				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27352	C		サイズ変更、リサイズ	さいずへんこう、りさいず	resize				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27353	C		レンズシフト	れんずしふと	lens shift				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27354	C		画像位置(レンズシフトの影響の測定)	がぞういち(れんずしふとのえいきょうのそくてい)	image position(a measure of the affect of lens shift)				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27355	C		正面投影システム、フロント投写方式	しょうめんとうえいしすてむ、ふろんととうしゃほうしき	front projection system				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27356	C		背面投影システム、リア投写方式	はいめんとうえいしすてむ、りあとうしゃほうしき	rear projection system				ISO/IEC 21118	2005				2005	SC28
27357	C		フェイド	ふぇいど	fade				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27358	C		ストリーク	すとりーく	streaks				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27359	C		ストリーク除去操作	すとりーくじょきょそうさ	streak removal operation				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27360	C		印字ヘッド位置合わせ操作	いんじへっどいちあわせそうさ	print head alignment operation				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27361	C		インク残低量	いんくざんていりょう	ink low				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27362	C		インク切れ	いんくぎれ	ink out				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27363	C		寿命末期	じゅみょうまっき	end of life				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27364	C		テストページセット	てすとぺーじせっと	test page suite				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27365	C		個別カートリッジ印刷可能枚数	こべつかーとりっじいんさつかのうまいすう	individual cartridge yield				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27366	C		定格カートリッジ印刷可能枚数	ていかくかーとりっじいんさつかのうまいすう	declared cartridge yield				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27367	C		一次カートリッジ	いちじかーとりっじ	primary cartridge				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27368	C		補助カートリッジ	ほじょかーとりっじ	supplemental cartridge				ISO/IEC 24711	2007				2007	SC28
27369	C		空気交換速度、n	くうきこうかんそくど、n	air exchange rate, n				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27370	C		気流速度	きりゅうそくど	air velocity				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27371	C		検体	けんたい	analyte				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27372	C		消耗品	しょうもうひん	consumables				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27373	C		排出試験室、ETC	はいしゅつしけんしつ、ETC	Emission Test Chamber, ETC				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27374	C		被試験装置、EUT	ひしけんそうち、EUT	Equipment Under Test,				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27375	C		負荷係数	ふかけいすう	loading factor				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27376	C		ハードコピー装置	はーどこぴーそうち	Hard Copy Devices				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27377	C		動作フェーズ	どうさふぇーず	operating phase				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27378	C		粒子状物質	りゅうしじょうぶっしつ	particulate matter				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27379	C		動作前フェーズ	どうさまえふぇーず	pre-operating phase				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27380	C		動作後フェーズ	どうさごふぇーず	post-operating phase				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27381	C		揮発性有機化合物総量、TVOC	きはつせいゆうきかごうぶつそうりょう、TVOC	Total Volatile Organic Compounds, TVOC				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27382	C		ユニット固有排出率、SER	ゆにっとこゆうはいしゅつりつ、SER	unit specific emission rate, SER				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27383	C		揮発性有機化合物、VOC	きはつせいゆうきかごうぶつ、VOC	Volatile Organic Compounds, VOC				ISO/IEC 28360	2007				2007	SC28
27384	C		リターナブル輸送用品、RTI	りたーなぶるゆそうようひん、RTI	returnable transport item, RTI				ISO/IEC 15459-5	2007				2007	SC31
27385	C		MODES(標準化)	MODES(ひょうじゅんか)	MODES (standardized)				ISO/IEC 18000-1	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27386	C		重大干渉	じゅうだいかんしょう	significant interference				ISO/IEC 18000-1	2008				2008	SC31
27387	C		周縁測定可能干渉	しゅうえんそくていかのうかんしょう	marginal measurable interference				ISO/IEC 18000-1	2008				2008	SC31
27388	C		アンチコリジョンループ	あんちこりじょんるーぷ	anti-collision sequence				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27389	C		ビットレート	びっとれーと	bit rate				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27390	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27391	C		搬送波オフ時間	はんそうはおふじかん	carrier off time				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27392	C		充電時間	じゅうでんじかん	charge up time				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27393	C		コマンド	こまんど	commands				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27394	C		差分二位相符号化	さぶんにいそうふごうか	differential bi-phase encoding				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27395	C		ダウンリンク	だうんりんく	down-link				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27396	C		符号化	ふごうか	encoding				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27397	C		FDX	FDX	FDX				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27398	C		振幅偏移キーイング	しんぷくへんいきーいんぐ	frequency shift keying				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27399	C		全二重	ぜんにじゅう	full duplex				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27400	C		HDX	HDX	HDX				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27401	C		交信電磁界	こうしんでんじかい	interrogation field				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27402	C		交信周波数	こうしんしゅうはすう	interrogation frequency				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27403	C		交信期間	こうしんきかん	interrogation period				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27404	C		リーダライタの要求	りーだらいたのようきゅう	interrogator request				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27405	C		マンチェスタ符号化	まんちぇすたふごうか	manchester encoding				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27406	C		変調	へんちょう	modulation				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27407	C		非ゼロ復帰符号化	ひぜろふっきふごうか	non-return to zero				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27408	C		パルス間隔符号化	ぱるすかんかくふごうか	pulse interval encoding				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27409	C		リーダライタ	りーだらいた	interrogator				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27410	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27411	C		物品固有識別子	ぶっぴんこゆうしきべつし	unique item identifier				ISO/IEC 18000-2	2009				2009	SC31
27412	C		位相ジッター変調	いそうじったーへんちょう、PJM	Phase Jitter Modulation, PJM				ISO/IEC 18000-3	2008				2008	SC31
27413	C		衝突調停ループ	しょうとつちょうているーぷ	collision arbitration loop				ISO/IEC 18000-6	2004				2004	SC31
27414	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 18000-6	2004				2004	SC31
27415	C		識別範囲	しきべつはんい	identification range				ISO/IEC 18046	2006				2006	SC31
27416	C		識別速度	しきべつそくど	identification rate				ISO/IEC 18046	2006				2006	SC31
27417	C		読取範囲	よみとりはんい	read range				ISO/IEC 18046	2006				2006	SC31
27418	C		読取速度	よみとりそくど	read rate				ISO/IEC 18046	2006				2006	SC31
27419	C		書き込み範囲	かきこみはんい	write range				ISO/IEC 18046	2006				2006	SC31
27420	C		書き込み速度	かきこみそくど	write rate				ISO/IEC 18046	2006				2006	SC31
27421	C		データ	でーた	data	伝送、解析、及び処理に適するように形式化され、再度解釈できる情報表現。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27422	C		情報	じょうほう	information	情報処理における、ある文脈において特定の意味合いをもつオブジェクトに関しての知			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27423	C		ビット、2進数	びっと、2しんすう	bit, binary digit	2進法演算システムで使用される場合の単位であり、0又は1のいずれかの数字。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27424	C		情報ビット	じょうほうびっと	information bit	制御の目的ではなく、利用者データを表現することに使用されるビット。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27425	C		最下位ビット、LSB	さいかいびっと、LSB	least significant bit, LSB	ビットのグループにおける最も重み値の小さいバイナリ値をもつビット。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27426	C		最上位ビット、MSB	さいじょういびっと、MSB	most significant bit, MSB	ビットのグループにおける最も重み値の大きいバイナリ値をもつビット。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27427	C		バイト(1)	ばいと(1)	byte(1)	一つの単位として扱われる複数のビットから構成される列。通常は1文字又は文字の1部分を表す。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27428	C		バイト(2)	ばいと(2)	byte(2)	AIDCの分野では、一つの文字を構成し一つの単位として扱われる連続したビット。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27429	C		16進数、名詞、Hex	16しんすう、めいし、Hex	hexadecimal, noun, Hex	0～9までの数字、及びA～Fまでの文字を使用し、16を基数としてデータを表す方法。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27430	C		16進数の、形容詞	16しんすうの、けいようし	hexadecimal, adj	16進数値のように、16の取り得る異なった値又は状態をもつ選択又は条件によって特徴付けられていること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27431	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27432	C		データ文字	でーたもじ	data character				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27433	C		文字集合	もじしゅうごう	character set	所定の目的を満たす文字の有限集合。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27434	C		符号	ふごう	code				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27435	C		コード要素	こーどようそ	code element	コード化集合の一つの要素にコードを適用した結果。[JIS X 0004の04.02.04参照]			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27436	C		符号化文字セット	ふごうかもじせっと	coded character set				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27437	C		符号化セット	ふごうかせっと	coded set				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27438	C		数字	すうじ	numeric	(文字集合について)数値だけを含んでいる(形容詞)。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27439	C		英数字	えいすうじ	alphanumeric				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27440	C		デジタル	でじたる	digital	数字によって表現されるデータ並びにそのデータを利用するプロセス及び機能単位に関する(接頭語)。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27441	C		単語(1)	たんご(1)	word(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27442	C		単語(2)	たんご(2)	word(2)	ある目的のために一つの単位として扱われる文字列又はビット列。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27443	C		読み取る、読み込む	よみとる、よみこむ	read, verb	入力装置、記憶装置又はデータ媒体からデータを得ること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27444	C		読取り	よみとり	read, noun	機械可読媒体からデータを取得する処理(必要に応じ、発信元に入力されたデータの修復を行って交信するために必要な競合制御管理、エラー制御管理、チャンネル複合化及びソース復号化を含む。)。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27445	C		書き込む(2)	かきこむ(2)	write(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27446	C		符号化	ふごうか	encode, verb				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27447	C		復号化	ふくごうか	decode, verb	符号化された表現を元の形に戻して情報を再格納すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27448	C		復号	ふくごう	decoding				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27449	C		誤読(1)	ごどく(1)	incorrect read(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27450	C		誤読(2)	ごどく(2)	incorrect read(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27451	C		誤認	ごにん	misread				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27452	C		データ符号化	でーたふごうか	data coding	ベースバンドデータビット表現、又は論理データビットから物理信号へのマッピング。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27453	C		データ圧縮	でーたあっしゅく	data compaction				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27454	C		データ領域	でーたりょういき	data field	データの特定の項目又は複数の項目に割り当てられたメモリの領域。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27455	C		メッセージ(1)	めっせーじ(1)	message(1)	発信元から送信先へ伝送される情報の単位。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27456	C		メッセージ(2)	めっせーじ(2)	message(2)	情報理論及び通信理論における、情報を伝送するために順序付けられた文字列。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27457	C		レコード	れこーど	record	データの編成において、一つの単位として扱われるデータ要素の集合。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27458	C		ファイル	ふぁいる	file	一つの単位として取り扱われる名前を付けられた記録情報の集合体。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27459	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27460	C		意味論	いみろん	semantics				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27461	C		構文	こうぶん	syntax				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27462	C		2進化10進数、BCD、2進化10進数表示	2しんか10しんすう、BCD、2しんか10しんすうひょうじ	binary coded decimal, BCD, binary-coded decimal representation	0から9のそれぞれの数字を、4ビットの2進形式の集合で表す10進数の表現方法。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27463	C		拡張2進化10進表記法、EBCDIC	かくちょう2しんか10しんひょうきほう、EBCDIC	extended binary-coded decimal interchange code, EBCDIC	8ビット文字によって構成される標準コード。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27464	C		自動識別システム	じどうしきべつしすてむ	automatic identification system	対象物の正確、かつ、明確な識別を実現するためのシステム。対象物としては、データが記載されたラベル、タグ、電子タグ又はもともとの特性及び所定の特性、適切なシステム源によって問合わせが行われるデータ又は特性などである。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27465	C		機械可読媒体	きかいかどくばいたい	machine-readable medium	操作者の人的介在なしに、ある媒体から処理システムにデータの直接転送を可能にする特性をもつ自動データ取得媒体。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27466	C		目可読文字	めかどくもじ	eye-readable character				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27467	C		(人間)可読情報	(にんげん)かどくじょうほう	human-readable				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27468	C		(人間)可読表示	(にんげん)かどくひょうじ	human-readable interpretation				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27469	C		人向け説明	ひとむけせつめい	human translation	機械可読媒体の近くに提示され、シンボルの中に符号化されたデータの一部、及び符号化されていないデータフィールド記述を表現した可読情報。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27470	C		データエリアタイトル	でーたえりあたいとる	data area titles	機械可読又は(人間)可読な形式の情報からなるデータエリア。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27471	C		フリーテキスト	ふりーてきすと	free text	機械可読媒体に符号化された内容以外の可読情報。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27472	C		人間可読文字	にんげんかどくもじ	human-readable character				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27473	C		電子データ交換、EDI	でんしでーたこうかん、EDI	electronic data interchange, EDI	標準化されたルールに適合してコンピュータシステム間で行われるデータ及び文書の交換。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27474	C		アイテム(1)	あいてむ(1)	item(1)	アプリケーションにおける最小の認識可能な実体。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27475	C		アイテム(2)	あいてむ(2)	item(2)	データセットの要素。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27476	C		アイテム(3)	あいてむ(3)	item(3)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27477	C		固有アイテム識別子	こゆうあいてむしきべつし	unique item identifier				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27478	C		ライセンスプレート(固有識別子)の概念	らいせんすぷれーと(こゆうしきべつし)のがいねん	license plate concept	機械可読媒体に含まれる固定コードがデータベースへのポインタとして利用される概念。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27479	C		フォント	ふぉんと	font				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27480	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm	問題の解法のための、明確に定義された有限個の規則の順序付き集合。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27481	C		プログラマ	ぷろぐらま	programmer				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27482	C		プログラミング	ぷろぐらみんぐ	programming				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27483	C		抽象的、形容詞	ちゅうしょうてき、けいよう	abstract, adj	何かに依存しないこと。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27484	C		影響	えいきょう	impact	システム、環境、その他に対して、その動作性能に影響を与える作用。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27485	C		許容範囲	きょようはんい	tolerance	システム又は環境の、作用又は影響に起因するシステムパラメタ値の最大許容偏差。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27486	C		公称	こうしょう	nominal	最適な動作を保証するようにシステムが設計された場合の値。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27487	C		データキャリア	でーたきゃりあ	data carrier				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27488	C		リーディングゼロ	りーでぃんぐぜろ	leading zero				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27489	C		リーディングゼロ列	りーでぃんぐぜろれつ	leading zeros	数値の左に位置するすべてのゼロ。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27490	C		ひずみ(1)	ひずみ(1)	distortion(1)	イメージ又は波形における望ましくない変化。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27491	C		ひずみ(2)	ひずみ(2)	distortion(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27492	C		フィラー文字	ふぃらーもじ	filler character				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27493	C		I.D.フィルタ	I.D.ふぃるた	I.D. filter				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27494	C		公称範囲	こうしょうはんい	nominal range	そのシステムが使われる環境の通常の変動を考慮した場合、システムが信頼できる動作を保証できる能力の範囲。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27495	C		クエリー(1)	くえりー(1)	query(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27496	C		読取り能力	よみとりのうりょく	readability	一定の条件下でデータを読み取る能力。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27497	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27498	C		選択	せんたく	selection				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27499	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27500	C		ソフトウェア	そふとうぇあ	software	電気通信において、機器の操作、電気通信ネットワーク、又はその他のシステムに関連する、コンピュータプログラム、手順、ルール、及び文書。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27501	C		タイムスロット	たいむすろっと	time-slot				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27502	C		タイミング情報	たいみんぐじょうほう	timing information				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27503	C		検証(1)	けんしょう(1)	verification(1)	関連する要件又は仕様と、動作、処理又は結果とを比較すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27504	C		検証(2)	けんしょう(2)	verification(2)	特定の要件が満たされていることを、客観的証拠の調査と提出とによって確認すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27505	C		検証(3)	けんしょう(3)	verification(3)	調査、検査、試験、確認、監査又は他の方法によって製品、処理、サービス又は書類が特定の要件を満たしていることを確認すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27506	C		ゼロ消去(1)	ぜろしょうきょ(1)	zero-suppression(1)	ある数値から不要な0を削除すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27507	C		ゼロ消去(2)	ぜろしょうきょ(2)	zero-suppression(2)	印字出力又は画像表示される演算結果から不要な0を削除する機能。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27508	C		レンジ、距離	れんじ、きょり	range				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27509	C		公認標準化委員会、ASC	こうにんひょうじゅんかいいんかい、ASC	Accredited Standards Committee, ASC				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27510	C		米国規格協会、ANSI	べいこくきかくきょうかい、ANSI	American National Standards Institute, ANSI				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27511	C		ANSI	ANSI	ANS				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27512	C		MH10	MH10	MH10				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27513	C		情報技術規格国際委員会、INCITS	じょうほうぎじゅつきかくこくさいいいんかい、INCITS	International Committee for Information Technology Standards,	米国内において情報技術の開発に責任をもつ米国規格協会(ANSI)認可の標準開発組織。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27514	C		アプリケーション識別子、AI	あぷりけーしょんしきべつし、AI	application identifier, AI				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27515	C		データ識別子、DI	でーたしきべつし、DI	data identifier, DI	特定の文字又は文字列であって、それに続くデータ内容が意図する用途を定義する。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27516	C		パリティ	ぱりてぃ	parity				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27517	C		エラー訂正コード	えらーていせいこーど	error correcting code	検出されたエラーの幾つかに対し自動補正を可能にするエラー検出コード。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27518	C		エラー検出コード	えらーけんしゅつこーど	error detection code	構成規則(rules of construction)によって、情報の記録、処理又は伝送において発生したエラーが規則を逸脱した場合にその自動検出を可能にする冗長コード。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27519	C		パケット(1)	ぱけっと(1)	packet(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27520	C		パケット(2)	ぱけっと(2)	packet(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27521	C		全二重伝送	ぜんにじゅうでんそう	full-duplex transmission				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27522	C		半二重伝送(1)	はんにじゅうでんそう(1)	half-duplex				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27523	C		半二重伝送(2)	はんにじゅうでんそう(2)	half-duplex				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27524	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol	通信を行う場合に、機能装置の動作を決定する規約の集合。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27525	C		クエリー(2)	くえりー(2)	query(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27526	C		データ転送速度	でーたてんそうそくど	data transfer rate				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27527	C		論理リンク制御、LLC	ろんりりんくせいぎょ、LLC	logical link control, LLC				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27528	C		論理リンク制御プロトコル、LLCプロトコル	ろんりりんくせいぎょぷろとこる、LLCぷろとこる	logical link control protocol, LLC protocol				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27529	C		スペクトル	すぺくとる	spectrum				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27530	C		メモリパーティション	めもりぱーていしょん	memory partition	複数レベルの情報提供を可能とするための、電子メモリのセグメント化。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27531	C		データ伝送	でーたでんそう	data transmission	電信電話回線を介して、ある地点から他の一つ以上の地点に対して行われるデータの			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27532	C		同期化	どうきか	synchronization				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27533	C		スクランブリング	すくらんぶりんぐ	scrambling				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27534	C		読み込み角度	よみこみかくど	reading angle				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27535	C		反射係数	はんしゃけいすう	reflectance factor				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27536	C		アドレス指定能力 (1)	あどれすしていのうりょく	addressability (1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27537	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27538	C		ハンドシェイキング(1)	はんどしぇいきんぐ(1)	handshaking(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27539	C		ハンドシェイキング(2)	はんどしぇいきんぐ(2)	handshaking(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27540	C		多重化	たじゅうか	multiplexing				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27541	C		フレーム(1)	ふれーむ(1)	frame(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27542	C		フレーム(2)、伝送フレーム	ふれーむ(2)、でんそうふれーむ	frame(2), transmission frame				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27543	C		暗号化(1)	あんごうか(1)	encryption(1)	しばしば平文に対して用いられるデータ保護方法で、適切な解読キーがなければ理解できない形式に変換すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27544	C		暗号化(2)、暗号化	あんごうか(2)、あんごうか	encryption(2),	データを暗号変換すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27545	C		エラーバースト	えらーばーすと	error burst	エラービットを始端及び終端とするビット列であって、その中に含まれる正しいビットの長さが常に与えられた値より小さいもの。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27546	C		エラー制御(1)	えらーせいぎょ(1)	error control(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27547	C		エラー制御(2)	えらーせいぎょ(2)	error control(2)	データのやりとりにおいて、エラーの検出又は(可能な場合には)エラーの訂正を行うプロトコルの一部。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27548	C		チェックサム、CSUM	ちぇっくさむ、CSUM	check sum, CSUM	コードを生成するデータブロックの内容の操作であって、生成されたコードがそのブロックに追加され、伝送前と後とに検査することによって、データが壊れたり又は失われたりしていないかを判断するようになっているもの。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27549	C		データ検査文字/数字	でーたけんさもじ/すうじ	data check character/digit				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27550	C		ブロックチェック文字	ぶろっくちぇっくもじ	BCC, block check	伝送エラーを検出するために、データに追加されるパリティエラーチェック文字。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27551	C		ブロックコード	ぶろっくこーど	block code	固定長のコードフォーマットをもつエラー検出コードで、cパリティビットを伴うkメッセージビットは、nビットブロックコード(n = k + c)を構成するようになっているもの。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27552	C		巡回冗長検査(1)、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ(1)、CRC	cyclic redundancy check(1), CRC	パケットレベルでのエラー検出アルゴリズムで、モジュロ2の算術論理の属性を利用するもの。メッセージ多項式、パリティ多項式を構成するジェネレータ多項式及び伝送多項式			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27553	C		巡回冗長検査(2)、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ(2)、CRC	cyclic redundancy check(2), CRC	巡回アルゴリズムによって、余分の数字又は文字が作り出される冗長検査。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27554	C		ECI指示子	ECIしじし	ECI designator				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27555	C		書き込み保護	かきこみほご	write protection				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27556	C		BER、ビット誤り率、データ誤り率	BER、びっとあやまりりつ、でーたあやまりりつ	BER, bit error rate, data error rate	伝送されたすべてのビットに対し、エラーとして受信されるビットの割合。ある時間内に発生した誤りのビット数を、送信、受信又は処理したビットの総数で除して算出される。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27557	C		適合性	てきごうせい	conformity	製品、処理又はサービスが指定の要件を満たしていること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27558	C		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation	所定の用途に対応した特定の要件が満たされていることを、客観的証拠の調査と提出とによって確認すること。すなわち、すべての要件が正しく完全に実装され、システム要件にトレースできること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27559	C		実時間	じつじかん	real time				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27560	C		冗長性	じょうちょうせい	redundancy	ある要求された機能を果たす不可欠な手段に加え、信頼性を改善するための手段があ			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27561	C		環境パラメタ	かんきょうぱらめた	environmental parameter	システムの性能にかかわりをもっているか又は影響を与え得る外部パラメタ。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27562	C		エラー(1)	えらー(1)	error(1)	デジタルデータにおいて、情報の取得、保存、処理又は交信の結果、単一又は複数のビットが誤った値で取り扱われること、又はデータ列からビットが欠落していること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27563	C		エラー(2)	えらー(2)	error(2)	演算、検出又は計測された値及び条件と、その正しい、認定された又は理論的に正しいとされる値又は条件との不一致。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27564	C		エラー(3)	えらー(3)	error(3)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27565	C		透過	とうか	penetration				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27566	C		実施適合性宣言、ICS	じっしてきごうせいせんげん、ICS	implementation conformance statement,				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27567	C		アプリケーション標準	あぷりけーしょんひょうじゅん	application standard				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27568	C		ベクトル(1)	べくとる(1)	vector(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27569	C		ベクトル(2)	べくとる(2)	vector(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27570	C		マンチェスタ符号化	まんちぇすたふごうか	Manchester coding				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27571	C		マンチェスタ符号化	まんちぇすたふごうか	Manchester encoding				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27572	C		ミラー符号化	みらーふごうか	Miller coding				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27573	C		差分符号化(1)	さぶんふごうか(1)	differential encoding(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27574	C		差分符号化(2)	さぶんふごうか(2)	differential encoding(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27575	C		非ゼロ復帰(マーク)記録、NRZ-M	ひぜろふっき(まーく)きろく、NRZ-M	non-return-to-zero (mark) recording, NRZ-M				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27576	C		非ゼロ復帰符号、NRZ	ひぜろふっきふごう、NRZ	non-return-to-zero code, NRZ				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27577	C		非ゼロ復帰記録、NRZ	ひぜろふっききろく、NRZ	non-return-to-zero recording, NRZ				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27578	C		非ゼロ復帰1逆転、NRZ-I、NRZ-M	ひぜろふっきいちぎゃくてん、NRZ-I、NRZ-M	non-return to zero-Invert on ones, NRZ-I, NRZ-M				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27579	C		非ゼロ復帰レベル、NRZ-L	ひぜろふっきれべる、NRZ-L	non-return to zero-level, NRZ-L				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27580	C		非ゼロ復帰空間、NRZ空間	ひぜろふっきくうかん、NRZくうかん	non-return to zero-space, NRZ-Space				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27581	C		ゼロ復帰、RZ	ぜろふっき、RZ	return to zero, RZ				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27582	C		連結	れんけつ	concatenation	単一のファイル又はデータフィールドを形成するために、データキャリアのデータに含まれる所定の要素を連結する機能。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27583	C		アドレス指定能力 (2)	あどれすしていのうりょく	addressability (2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27584	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27585	C		シンボル識別子	しんぼるしきべつし	symbology identifier	復号器によって作りだされる文字列で、復号器から出力される復号済みデータの前に付けられるもの。復号化されたデータから、元のシンボルを認識するためのものである。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27586	C		集線装置(1)	しゅうせんそうち(1)	concentrator(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27587	C		集線装置(2)	しゅうせんそうち(2)	concentrator(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27588	C		制御装置	せいぎょそうち	controller				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27589	C		伝統的製版法	でんとうてきせいはんほう	conventional printing process	印刷方法の一つ。刷版(平面又は円筒形)及び液体インクを用い、被印刷物上に、あるイメージの複製を作り出す方法。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27590	C		カレントループ	かれんとるーぷ	current loop	テレタイプ(TTY)通信インタフェース。ノイズの多い環境においても比較的長距離のデータ通信が可能。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27591	C		復号器	ふくごうき	decoder				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27592	C		EEPROM	EEPROM	EEPROM				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27593	C		ホスト(1)	ほすと(1)	host(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27594	C		ホスト(2)	ほすと(2)	host(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27595	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface	二つの機能単位の間で共有される境界領域で、それぞれの機能に関する様々な特性、物理的相互接続特性、信号交換特性、その他の適正な特性によって定義される。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27596	C		発光ダイオード、LED	はっこうだいおーど、LED	light emitting diode, LED				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27597	C		メモリ	めもり	memory	処理装置及び他のすべての内部記憶装置において、命令を実行するために使用されるアドレスを付けることのできる記憶空間のすべて。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27598	C		ノード(1)	のーど(1)	node(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27599	C		ノード(2)	のーど(2)	node(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27600	C		ノード(3)	のーど(3)	node(3)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27601	C		マルチプレクサ	まるちぷれくさ	multiplexer				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27602	C		出力装置	しゅつりょくそうち	output device	印刷用図版処理において、印刷用図版を生成するために使用される、コンピュータが制御する末端装置。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27603	C		リーダ(1)	りーだ(1)	reader(1)	記憶装置、データ媒体又は他の媒体からのデータ読取り又は解釈のために用いられる			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27604	C		リーダ(2)	りーだ(2)	reader(2)	マイクログラフィクスにおける、マイクロイメージを拡大表示する装置。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27605	C		可視レーザダイオード、	かしれーざだいおーど、	visible laser diode, VLD				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27606	C		レーザ(1)	れーざ(1)	laser(1)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27607	C		レーザ(2)	れーざ(2)	laser(2)				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27608	C		RS232	RS232	RS232	米国電子工業会(EIA)によって規定された、装置の相互接続のための一般的な物理インタフェース標準。単一の装置のポイントツーポイント接続で9600bpsまでの通信速度及び15mまでの距離を許容範囲とする。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27609	C		RS422	RS422	RS422	RS232同様の平衡インタフェース標準であるが、ノイズに強く、より対線ケーブルで異なる電圧を取り扱うことによって、3000mまでの距離で単一又は複数のデバイスを主装置に接続することが可能。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27610	C		RS485	RS485	RS485	RS422の上位バージョン。複数のデバイス(通常は32まで)を2しん(芯)バス接続で1000m以上の距離で利用可能。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27611	C		拡張ポート	かくちょうぽーと	expansion port	コンピュータ又は周辺機器における追加入出力を可能とするための端子。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27612	C		ポート集線装置	ぽーとしゅうせんそうち	port concentrator				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27613	C		型式承認	かたしきしょうにん	type approval				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27614	C		平均故障間隔、MTBF	へいきんこしょうかんかく、MTBF	mean time between failures, MTBF	コンポーネント、アッセンブリ又はシステムに障害が発生するまでの時間。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27615	C		平均修復時間(1)、MTTR	へいきんしゅうふくじかん(1)、MTTR	mean time to repair(1), MTTR				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27616	C		平均修復時間(2)、MTTR	へいきんしゅうふくじかん(2)、MTTR	mean time to repair(2), MTTR				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27617	C		相互運用性テスト	そうごうんようせいてすと	interoperability testing	複数の製品、部品若しくは機器、又はサービスが、規格又は標準において定義された機能の集合を、共同で作動できるかどうかを検証すること。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27618	C		企業LAN	きぎょうらん	corporate LAN				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27619	C		単位荷重	たんいかじゅう	unit load				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27620	C		ユニタイズド	ゆにたいずど	unitized				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27621	C		返送可能輸送アイテム、RTI	へんそうかのうゆそうあいてむ、RTI	returnable transport item, RTI				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27622	C		輸送貨物	ゆそうかもつ	transport package				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27623	C		輸送単位	ゆそうたんい	transport unit				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27624	C		貨物コンテナ	かもつこんてな	freight containers				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27625	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27626	C		製品包装	せいひんほうそう	product packaging				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27627	C		運搬可能	うんぱんかのう	conveyable				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27628	C		運搬不能	うんぱんふのう	non-conveyable				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27629	C		出荷時目録	しゅっかじもくろく	manifest	出荷に関する情報項目の一覧。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27630	C		アイテムマネジメント	あいてむまねじめんと	item management				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27631	C		使用事例	しようじれい	use case				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27632	C		オープンアプリケーション環境	おーぷんあぷりけーしょんかんきょう	open application environment	第三者が自由に参加でき、かつ、相互間の取決めを必要としないアプリケーション。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27633	C		オープンシステム	おーぷんしすてむ	open system	異なった設計又は製造による他のシステムとの相互運用性を実現するため、公的に定義されたインタフェース及びプロトコルをもつシステム。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27634	C		クローズドアプリケーション環境、クローズドアプリケーション環境システム	くろーずどあぷりけーしょんかんきょう、くろーずどあぷりけーしょんかんきょうしすてむ	closed application environment, closed application environment system	クローズドグループのユーザによる使用を前提としたアプリケーション。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27635	C		クローズドシステム(1)	くろーずどしすてむ(1)	closed system(1)	独自開発の規格に従っているシステム。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27636	C		クローズドシステム(2)	くろーずどしすてむ(2)	closed system(2)	データの取得、格納及び通信を含むデータ処理が、システムが属する組織の制御下にあるシステム。			ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27637	C		種類	しゅるい	class				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27638	C		アイテムの種類	あいてむのしゅるい	class of items				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27639	C		同定識別子の種類	どうていしきべつしのしゅるい	class of unique identifiers				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27640	C		分類	ぶんるい	sortation				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27641	C		拡張チャネル解釈、ECI	かくちょうちゃねるかいしゃく、ECI	extended channel interpretation, ECI				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27642	C		拡張チャネルモデル	かくちょうちゃねるもでる	extended channel model				ISO/IEC 19762-1	2008				2008	SC31
27643	C		ピクセル	ぴくせる	pixel				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27644	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27645	C		分解能(1)	ぶんかいのう(1)	resolution(1)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27646	C		分解能(2)	ぶんかいのう(2)	resolution(2)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27647	C		X寸法	Xすんぽう	X dimension				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27648	C		Y寸法	Yすんぽう	Y dimension				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27649	C		復号化	ふくごうか	decoding				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27650	C		復号可能性	ふくごうかのうせい	decodability				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27651	C		有効開口	ゆうこうかいこう	effective aperture				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27652	C		読み取り距離	よみとりきょり	reading distance				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27653	C		被写界深度(1)	ひしゃかいしんど(1)	depth of field(1)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27654	C		被写界深度(2)	ひしゃかいしんど(2)	depth of field(2)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27655	C		最小読取距離	さいしょうよみとりきょり	optical throw				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27656	C		読み取り速度	よみとりそくど	read rate				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27657	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27658	C		補助文字/パターン	ほじょもじ/ぱたーん	auxiliary				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27659	C		データ文字	でーたもじ	data character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27660	C		フォント	ふぉんと	font				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27661	C		人間可読文字	にんげんかどくもじ	human readable character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27662	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27663	C		線形バーコード	せんけいばーこーど	linear bar code				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27664	C		伝送(1)	でんそう(1)	transmittance(1)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27665	C		伝送(2)	でんそう(2)	transmittance(2)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27666	C		記号文字	きごうもじ	symbol character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27667	C		反射率差	はんしゃりつさ	reflectance difference				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27668	C		反射率閾値	はんしゃりつしきいち	reference threshold				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27669	C		欠陥	けっかん	defect				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27670	C		不透明性	ふとうめいせい	opacity				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27671	C		光沢	こうたく	gloss				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27672	C				wide, narrow ratio				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27673	C		バー幅調節、BWA	ばーはばちょうせつ、BWA	bar width adjustment,				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27674	C		読み取り角度	よみとりかくど	reading angle				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27675	C		ピッチ	ぴっち	pitch				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27676	C		斜め	ななめ	skew				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27677	C		傾き	かたむき	tilt				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27678	C		検証装置	けんしょうそうち	verifier				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27679	C		バー	ばー	bar				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27680	C		バー幅	ばーはば	bar width				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27681	C		バー幅補正、BWC	ばーはばほせい、BWC	bar width compensation, BWC				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27682	C		バー高	ばーたか	bar height				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27683	C		シフト文字	しふともじ	shift character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27684	C		Z寸法(1)	Zすんぽう(1)	Z dimension (1)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27685	C		Z寸法(2)	Zすんぽう(2)	Z dimension (2)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27686	C		全方向性	ぜんほうこうせい	omnidirectional				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27687	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27688	C		参照復号アルゴリズム	さんしょうふくごうあるごりずむ	reference decode algorithm				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27689	C		開口	かいこう	aperture				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27690	C		可視レーザダイオード、	かしれーざだいおーど、	visible laser diode, VLD				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27691	C		ラスター	らすたー	raster				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27692	C		走査窓	そうさまど	scanning window				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27693	C		電荷結合素子、CCD	でんかけつごうそし、CCD	charge-coupled device,				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27694	C		復号器	ふくごうき	decoder				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27695	C		自動識別	じどうしきべつ	auto discrimination				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27696	C		オーバーヘッド	おーばーへっど	overhead				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27697	C		停止文字、停止パターン	ていしもじ、ていしぱたーん	stop character, stop				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27698	C		保護パターン	ほごぱたーん	guard pattern				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27699	C		置換エラー	ちかんえらー	substitution error				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27700	C		検査数字、検査文字	けんさすうじ、けんさもじ	check digit, check				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27701	C		記号検査文字	きごうけんさもじ	symbol check character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27702	C		データ検査文字、データ検査数字	でーたけんさもじ、でーたけんさすうじ	data check character, data check digit				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27703	C		垂直冗長	すいちょくじょうちょう	vertical redundancy				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27704	C		静穏帯	せいおんたい	quiet zone				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27705	C		記号幅	きごうはば	symbol width				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27706	C		印刷品質	いんさつひんしつ	print quality				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27707	C		スペクトラル感度	すぺくとらるかんど	spectral response				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27708	C		走査反射率プロファイル	そうさはんしゃりつぷろふぁいる	scan reflectance profile				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27709	C		反射率	はんしゃりつ	reflectance				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27710	C		反射係数	はんしゃけいすう	reflectance factor				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27711	C		拡散反射	かくさんはんしゃ	diffuse reflection				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27712	C		スポット、スペック	すぽっと、すぺっく	spot, speck				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27713	C				void				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27714	C		背景	はいけい	background				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27715	C		透き通し	すきとおし	show through				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27716	C		印刷適性ゲージ	いんさつてきせいげーじ	printability gauge				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27717	C		バーコードマスタ	ばーこーどますた	bar code master				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27718	C		記号アスペクト比	きごうあすぺくとひ	symbol aspect ratio				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27719	C		記号構造	きごうこうぞう	symbol architecture				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27720	C		モジュール(1)	もじゅーる(1)	module(1)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27721	C		モジュール(2)	もじゅーる(2)	module(2)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27722	C		モジュラー記号	もじゅらーきごう	modular symbology				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27723	C		(n, k)記号	(n, k)きごう	(n, k) symbology				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27724	C		統合アートワーク	とうごうあーとわーく	integrated artwork				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27725	C		複合記号	ふくごうきごう	composite symbol				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27726	C		ラベル印刷機	らべるいんさつき	label printing machine				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27727	C		レーザ彫刻機	れーざちょうこくき	laser engraver				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27728	C		発光ダイオード、LED	はっこうだいおーど、LED	light emitting diode, LED				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27729	C		通常反射、正反射	つうじょうはんしゃ、せいはんしゃ	regular reflection, specular reflection				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27730	C		ペン型スキャナ	ぺんがたすきゃな	wand				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27731	C		接触スキャナ	せっしょくすきゃな	contact scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27732	C		固定ビーム読み取り装置	こていびーむよみとりそうち	fixed beam scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27733	C		スロット読み取り装置	すろっとよみとりそうち	slot reader				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27734	C		レーザ(1)	れーざ(1)	laser(1)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27735	C		レーザ(2)	れーざ(2)	laser(2)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27736	C		ヘリウムネオンスキャナ	へりうむねおんすきゃな	helium-neon laser				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27737	C		単一線スキャナ、単一ビームスキャナ	たんいつせんすきゃな、たんいつびーむすきゃな	single line scanner, single beam scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27738	C		移動ビームスキャナ	いどうびーむすきゃな	moving beam scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27739	C		振動ミラースキャナ	しんどうみらーすきゃな	oscillating mirror scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27740	C		ラスタースキャナ	らすたーすきゃな	raster scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27741	C		平床式スキャナ	ひらゆかしきすきゃな	flat-bed scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27742	C		全方向性スキャナ	ぜんほうこうせいすきゃな	omnidirectional scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27743	C		短読み取り	たんよみとり	short read				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27744	C		密度計	みつどけい	densitometer				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27745	C		光度計	こうどけい	photometer				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27746	C		スキャナ	すきゃな	scanner				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27747	C		重ね刷り	かさねずり	overprinting				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27748	C		復号アルゴリズム	ふくごうあるごりずむ	decode algorithm				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27749	C		記号論	きごうろん	symbology				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27750	C		符号	ふごう	code				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27751	C		符号化セット	ふごうかせっと	coded set				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27752	C		符号化文字セット(1)	ふごうかもじせっと(1)	coded character set(1)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27753	C		符号化文字セット(2)	ふごうかもじせっと(2)	coded character set(2)				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27754	C		バーコード	ばーこーど	bar code				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27755	C		二次元記号	にじげんきごう	two-dimensional symbol				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27756	C		パリティ	ぱりてぃ	parity				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27757	C		変数パリティ符号化	へんすうぱりていふごうか	variable parity encodation				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27758	C		偶数パリティ	ぐうすうぱりてぃ	even parity				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27759	C		奇数パリティ	きすうぱりてぃ	odd parity				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27760	C		固定パリティ	こていぱりてぃ	fixed parity				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27761	C		印刷適性試験	いんさつてきせいしけん	printability test				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27762	C		基材	きざい	substrate				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27763	C		印刷コントラスト信号、PCS	いんさつこんとらすとしんごう、PCS	print contrast signal, PCS				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27764	C		アドオン記号	あどおんきごう	add-on symbol				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27765	C		双方向性	そうほうこうせい	bi-directional				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27766	C		拡大係数	かくだいけいすう	magnification factor				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27767	C		EAN/UPC番号セット	EAN/UPCばんごうせっと	EAN/UPC number set				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27768	C		ラダー配向	らだーはいこう	ladder orientation				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27769	C		ピケットフェンス配向	ぴけっとふぇんすはいこう	picket fence orientation				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27770	C		バー空間シーケンス	ばーくうかんしーけんす	bar-space sequence				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27771	C		文字間ギャップ	もじかんぎゃっぷ	intercharacter gap				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27772	C		バーコード密度、記号密度	ばーこーどみつど、きごうみつど	bar code density, symbol density				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27773	C		打ち切り	うちきり	truncation				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27774	C		デリニエータ	でりにえーた	delineator				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27775	C		ベアラバー	べあらばー	bearer bar				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27776	C		コーナーマーク	こーなーまーく	corner marks				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27777	C		二幅記号、二進数記号	にはばきごう、にしんすうきごう	two-width symbology, binary symbology				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27778	C		バーコード記号	ばーこーどきごう	bar code symbol				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27779	C		離散符号	りさんふごう	discrete code				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27780	C		連続符号	れんぞくふごう	continuous code				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27781	C		自己検査	じこけんさ	self-checking				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27782	C		バーコードリーダ	ばーこーどりーだ	bar code reader				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27783	C		フィルムマスタ	ふぃるむますた	film master				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27784	C		CPI、文字毎インチ	CPI、もじまいいんち	CPI, characters per inch				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27785	C		ドット符号	どっとふごう	dot code				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27786	C		フィラー文字、パッド文字	ふぃらーもじ、ぱっどもじ	filler character, pad character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27787	C		パッド符号語	ぱっどふごうご	pad codeword				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27788	C		ラッチ文字	らっちもじ	latch character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27789	C		抹消	まっしょう	erasure				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27790	C		列	れつ	column				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27791	C		行	ぎょう	row				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27792	C		データ領域	でーたりょういき	data region				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27793	C		データ符号語	でーたふごうご	data codeword				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27794	C		データ分離文字	でーたぶんりもじ	data separator character				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27795	C		整列パターン	せいれつぱたーん	alignment pattern				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27796	C		ファインダパターン	ふぁいんだぱたーん	finder pattern				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27797	C		配向パターン	はいこうぱたーん	orientation pattern				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27798	C		圧縮モード	あっしゅくもーど	compaction mode				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27799	C		エラー訂正符号語	えらーていせいふごうご	error correction codeword				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27800	C		固定パターン	こていぱたーん	fixed pattern				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27801	C		二次元記号、2D記号	にじげんきごう、2Dきごう	two-dimensional symbols, 2D symbols				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27802	C		複数行記号、積層記号	ふくすうぎょうきごう、せきそうきごう	multi-row symbology, stacked symbology				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27803	C		マトリクス記号	まとりくすきごう	matrix symbology				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27804	C		拡張チャネル解釈、ECI	かくちょうちゃねるかいしゃく、ECI	extended channel interpretation, ECI				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27805	C		拡張チャネルモデル	かくちょうちゃねるもでる	extended channel model				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27806	C		ECI指示子	ECIししし	ECI designator				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27807	C		エラー訂正レベル	えらーていせいれべる	error correction level				ISO/IEC 19762-2	2008				2008	SC31
27808	C		無線周波数識別、RFID	むせんしゅうはすうしきべつ、RFID	radio frequency identification, RFID				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27809	C		後方散乱(1)	こうほうさんらん(1)	backscatter(1)				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27810	C		後方散乱(2)	こうほうさんらん(2)	backscatter(2)				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27811	C		覚醒	かくせい	awake				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27812	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27813	C		虚偽活性化	きょぎかっせいか	false activation				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27814	C		タグ群	たぐぐん	family of tags				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27815	C		フィールド内報告	ふぃーるどないほうこく	in field reporting				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27816	C		フィールド外報告	ふぃーるどがいほうこく	out of field reporting				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27817	C		質問	しつもん	interrogation				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27818	C		質問ゾーン	しつもんぞーん	interrogation zone				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27819	C		タグID	たぐID	tag ID				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27820	C		ユーザタグID	ゆーざたぐID	user tag ID				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27821	C		製造業者タグID	せいぞうぎょうしゃたぐID	manufacturer tag ID				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27822	C		配向感度	はいこうかんど	orientation sensitivity				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27823	C		疑似トランザクション	ぎじとらんざくしょん	phantom transaction				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27824	C		INCITS T6	INCITS T6	INCITS T6				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27825	C		速度	そくど	rate				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27826	C		識別する	しきべつする	identify				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27827	C		識別範囲	しきべつはんい	identification range				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27828	C		識別速度	しきべつそくど	identification rate				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27829	C		読み取る	よみとる	read				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27830	C		読み取り範囲	よみとりはんい	read range				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27831	C		読み取り速度	よみとりそくど	read rate				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27832	C		書き込む(1)	かきこむ(1)	write(1)				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27833	C		書き込み範囲	かきこみはんい	write range				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27834	C		書き込み速度	かきこみそくど	write rate				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27835	C		ピック速度	ぴっくそくど	pick rate				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27836	C		使用中プログラミング	しようちゅうぷろぐらみんぐ	in-use programming				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27837	C		再プログラム可能性	さいぷろぐらむかのうせい	re-programmability				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27838	C		読み取り専用	よみとりせんよう	read only				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27839	C		フィールドプログラミング	ふぃーるどぷろぐらみんぐ	field programming				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27840	C		工場プログラミング	こうじょうぷろぐらみんぐ	factory programming				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27841	C		返信リンク(アップリンク)	へんしんりんく(あっぷりんく	return link (uplink)				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27842	C		ローミング	ろーみんぐ	roaming				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27843	C		選択	せんたく	selection				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27844	C		分離	ぶんり	separation				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27845	C		シャドーイング	しゃどーいんぐ	shadowing				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27846	C		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27847	C		インベントリフラグ	いんべんとりふらぐ	inventoried flag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27848	C		インベントリラウンド	いんべんとりらうんど	inventory round				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27849	C		パーマロック	ぱーまろっく	permalocked				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27850	C		持続メモリ	じぞくめもり	persistent memory				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27851	C		持続フラグ	じぞくふらぐ	persistent flag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27852	C		転送構文	てんそうこうぶん	transfer syntax				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27853	C		タイプ参照	たいぷさんしょう	type reference				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27854	C		アプリケーション群識別子、AFI	あぷりけーしょんぐんしきべつし、AFI	application family identifier, AFI				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27855	C		データフォーマット	でーたふぉーまっと	data format				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27856	C		追記型光ディスク、WORM	ついきがたひかりでぃすく、WORM	write once/read many, WORM				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27857	C		書き込み保護	かきこみほご	write protection				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27858	C		コマンド/反応単位	こまんど/はんのうたんい	command/response unit				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27859	C		データ圧縮	でーたあっしゅく	data compaction				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27860	C		データ圧縮機	でーたあっしゅくき	data compactor				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27861	C		データプロトコルプロセッ	でーたぷろとこるぷろせっ	data protocol processor				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27862	C		要素名	ようそめい	element name				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27863	C		フォーマッタ	ふぉーまった	formatter				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27864	C		シンギュレーション	しんぎゅれーしょん	singulation				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27865	C		スロット	すろっと	slot				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27866	C		タグ識別層	たぐしきべつそう	tag-identification layer				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27867	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27868	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27869	C		オブジェクト識別子、オブジェクトID、OID	おぶじぇくとしきべつし、おぶじぇくとID、OID	object identifier, objectID, OID				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27870	C		オブジェクト識別子タイプ	おぶじぇくとしきべつしたい	object identifier type				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27871	C		相対的-OID	そうたいてき-OID	relative-OID				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27872	C		ルート-OID	るーと-OID	root-OID				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27873	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27874	C		バッチ読み取り	ばっちよみとり	batch reading				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27875	C		複数読み取り	ふくすうよみとり	multiple readings				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27876	C		アドレス指定能力	あどれすしていのうりょく	addressability				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27877	C		連続報告	れんぞくほうこく	continuous reporting				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27878	C		データフィールド保護	でーたふぃーるどほご	data field protection				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27879	C		フィールド保護	ふぃーるどほご	field protection				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27880	C		相互運用性(1)	そうごうんようせい(1)	interoperability(1)				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27881	C		相互運用性(2)	そうごうんようせい(2)	Interoperability(2)				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27882	C		メモリ容量	めもりようりょう	memory capacity				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27883	C		信号伝達技術	しんごうでんたつぎじゅつ	signalling technique				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27884	C		ツリーアルゴリズム	つりーあるごりずむ	tree algorithm				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27885	C		アプリケーションコマンド	あぷりけーしょんこまんど	application command				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27886	C		アプリケーションメモリ	あぷりけーしょんめもり	application memory				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27887	C		アーク	あーく	arc				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27888	C		基本符号化規則、BER	きほんふごうかきそく、	basic encoding rules, BER				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27889	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27890	C		睡眠周期	すいみんしゅうき	sleep cycle				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27891	C		リーダトークファースト、	りーだとーくふぁーすと、	reader talks first, RTF				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27892	C		タグトークファースト、TTF	たぐとーくふぁーすと、TTF	tag talks first, TTF				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27893	C		タグ開始通信	たぐかいしつうしん	tag initiated				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27894	C		タグトゥタグ通信	たぐとぅたぐつうしん	tag-to-tag communication				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27895	C		双方向性	そうほうこうせい	bi-directional				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27896	C		近接	きんせつ	proximity				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27897	C		モノリシックメモリ構造	ものりしっくめもりこうぞう	monolithic memory structure				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27898	C		セグメント化メモリ構造	せぐめんとかめもりこうぞう	segmented memory structure				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27899	C		システム情報	しすてむじょうほう	system information				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27900	C		タグドライバ	たぐどらいば	tag driver				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27901	C		トレーニングシーケンス、TSC	とれーにんぐしーけんす、TSC	training sequence, TSC				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27902	C		ランダムスロッテド衝突仲裁	らんだむすろってどしょうとつちゅうさい	random-slotted collision arbitration				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27903	C		論理的メモリ	ろんりてきめもり	logical memory				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27904	C		論理的メモリマップ	ろんりてきめもりまっぷ	logical memory map				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27905	C		受動的タグ	じゅどうてきたぐ	passive tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27906	C		能動的タグ	のうどうてきたぐ	active tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27907	C		統合能動的タグ	とうごうのうどうてきたぐ	unitized active tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27908	C		非同期タグ	ひどうきたぐ	asynchronous tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27909	C		同期タグ	どうきたぐ	synchronous tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27910	C		アナンシエータ	あなんしえーた	annunciator				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27911	C		電子ラベル	でんしらべる	electronic label				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27912	C		固定RFID装置、FE	こていRFIDそうち、FE	fixed RFID equipment, FE				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27913	C		質問機	しつもんき	interrogator				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27914	C		読み取り機/質問機、読み取り機/書き込み機	よみとりき/しつもんき、よみとりき/かきこみき	reader/interrogator, reader/writer				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27915	C		メモリモジュール	めもりもじゅーる	memory modules				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27916	C		RFモジュール/ステージ	RFもじゅーる/すてーじ	RF module/stage				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27917	C		積載物自動認識、AEI	せきさいぶつじどうにんしき、AEI	automatic equipment identification, AEI				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27918	C		無線識別システム	むせんしきべつしすてむ	radio frequency identification system				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27919	C		AFIタグ	AFIたぐ	AFI tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27920	C		EPCタグ	EPCたぐ	EPC tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27921	C		近接センサ	きんせつせんさ	proximity sensor				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27922	C		高密度質問機環境	こうみつどしつもんきかんきょう	dense-interrogator environment				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27923	C		高密度質問機モード	こうみつどしつもんきもーど	dense-interrogator mode				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27924	C		単一質問機環境	たんいつしつもんきかんきょう	single-interrogator environment				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27925	C		多重質問機環境	たじゅうしつもんきかんきょう	multiple-interrogator environment				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27926	C		RFタグ、タグ	RFたぐ、たぐ	RF tag, tag				ISO/IEC 19762-3	2008				2008	SC31
27927	C		無線周波数	むせんしゅうはすう	radio frequency				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27928	C		無線周波数データ通信、RF/DC	むせんしゅうはすうでーたつうしん、RF/DC	radio frequency data communication, RF/DC				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27929	C		電磁場	でんじば	electromagnetic field				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27930	C		電波インタフェース	でんぱいんたふぇーす	air interface				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27931	C		電磁スペクトル	でんじすぺくとる	electromagnetic spectrum				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27932	C		電磁波	でんじは	electromagnetic wave				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27933	C		電界	でんかい	electric field				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27934	C		遠視野域	えんしやいき	far field region				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27935	C		磁界	じかい	magnetic field				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27936	C		誘導結合	ゆうどうけつごう	inductive coupling				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27937	C		電磁結合	でんじけつごう	electromagnetic coupling				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27938	C		電界強度	でんかいきょうど	field strength				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27939	C		等価等方放射電力、EIRP	とうかとうほうほうしゃでんりょく、EIRP	equivalent isotropically radiated power, EIRP				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27940	C		実効放射電力、ERP	じっこうほうしゃでんりょく、ERP	effective radiated power, ERP				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27941	C		周波数	しゅうはすう	frequency				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27942	C		周波数帯	しゅうはすうたい	frequency band				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27943	C		キロヘルツ、kHz	きろへるつ、kHz	kilohertz, kHz				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27944	C		メガヘルツ、MHz	めがへるつ、MHz	megahertz, MHz				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27945	C		ギガヘルツ、GHz	ぎがへるつ、GHz	gigahertz, GHz				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27946	C		連続波	れんぞくは	continuous wave				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27947	C		変調	へんちょう	modulation				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27948	C		振幅変調	しんぷくへんちょう	amplitude modulation				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27949	C		位相変調、PM	いそうへんちょう、PM	phase modulation, PM				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27950	C		パルス位置変調、PPM	ぱるすいちへんちょう、PPM	pulse position modulation, PPM				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27951	C		パルス幅変調(1)、PDM	ぱるすはばへんちょう(1)、PDM	pulse duration modulation(1), PDM				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27952	C		パルス幅変調(2)、PDM	ぱるすはばへんちょう(2)、PDM	pulse duration modulation(2), PDM				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27953	C		パルス位置変調、PPM	ぱるすいちへんちょう、PPM	pulse position modulation, PPM				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27954	C		パルス幅変調、PWM	ぱるすはばへんちょう、	pulse width modulation,				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27955	C		スペクトラム拡散変調	すぺくとらむかくさんへんちょう	spread spectrum modulation				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27956	C		拡散シーケンス	かくさんしーけんす	spreading sequence				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
27957	C		直接スペクトラム拡散、DSSS	ちょくせつすぺくとらむかくさん、DSSS	direct sequence spread spectrum modulation,				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27958	C		周波数ホッピングスペクトラム拡散、FHSS	しゅうはすうほっぴんぐすぺくとらむかくさん、FHSS	frequency hopping spread spectrum modulation,				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27959	C		周波数ホップ速度	しゅうはすうほっぷそくど	frequency hop rate				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27960	C		ホップ速度	ほっぷそくど	hop rate				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27961	C		周波数ホップシーケンス	しゅうはすうほっぷしーけんす	frequency hop sequence				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27962	C		ホップシーケンス	ほっぷしーけんす	hop sequence				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27963	C		チップ速度	ちっぷそくど	chip rate				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27964	C		チッピング	ちっぴんぐ	chipping				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27965	C		振幅偏移変調、ASK	しんぷくへんいへんちょう、ASK	amplitude shift keying, ASK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27966	C		周波数偏移変調(1)、FSK	しゅうはすうへんいへんちょう(1)、FSK	frequency shift keying(1), FSK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27967	C		周波数偏移変調(2)、FSK	しゅうはすうへんいへんちょう(2)、FSK	frequency shift keying(2), FSK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27968	C		ガウス最小偏移変調、GMSK	がうすさいしょうへんいへんちょう、GMSK	gaussian minimum shift keying, GMSK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27969	C		二位相偏移変調、BPSK	にいそうへんいへんちょう、BPSK	binary phase shift keying, BPSK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27970	C		差動二位相偏移変調、DBPSK	さどうにいそうへんいへんちょう、DBPSK	differential binary phase shift keying, DBPSK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27971	C		最小偏移変調、MSK	さいしょうへんいへんちょう、MSK	minimum shift keying, MSK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27972	C		位相偏移変調、PSK	いそうへんいへんちょう、PSK	phase shift keying, PSK				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27973	C		絶対利得、等方利得	ぜったいりとく、とうほうり	absolute gain, isotropic				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27974	C		確認応答信号	かくにんおうとうしんごう	acknowledgment signal				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27975	C		非同期伝送(1)	ひどうきでんそう(1)	asynchronous transmission(1)				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27976	C		非同期伝送(2)	ひどうきでんそう(2)	asynchronous transmission(2)				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27977	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27978	C		帯域幅時間積	たいいきはばじかんせき	bandwidth times time				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27979	C		キャリア	きゃりあ	carrier				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27980	C		キャリア周波数	きゃりあしゅうはすう	carrier frequency				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27981	C		キャリア信号	きゃりあしんごう	carrier signal				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27982	C		チャネル、伝送路	ちゃねる、でんそうろ	channel, transmission path				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27983	C		チャネル符号化	ちゃねるふごうか	channel encoding				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27984	C		チャネル復号化	ちゃねるふくごうか	channel decoding				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27985	C		ソース復号化	そーすふくごうか	source decoding				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27986	C		ソース符号化	そーすふごうか	source encoding				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27987	C		しょうとつかいひ	しょうとつかいひ	collision avoidance				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27988	C		衝突(1)	しょうとつ(1)	collision(1)				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27989	C		衝突(2)	しょうとつ(2)	collision(2)				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27990	C		キャリア探知多重アクセス(1)、CSMA	きゃりあたんちたじゅうあくせす(1)、CSMA	Carrier Sense Multiple Access(1), CSMA				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27991	C		キャリア探知多重アクセス(2)、CSMA	きゃりあたんちたじゅうあくせす(2)、CSMA	Carrier Sense Multiple Access(2), CSMA				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27992	C		衝突検知付きキャリア探知多重アクセス、CSMA/CD	しょうとつけんちつききゃりあたんちたじゅうあくせす、CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection, CSMA/CD				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27993	C		符号分割多重アクセス(1)、CDMA	ふごうぶんかつたじゅうあくせす(1)、CDMA	code division multiple access(1), CDMA				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27994	C		符号分割多重アクセス(2)、CDMA	ふごうぶんかつたじゅうあくせす(2)、CDMA	code division multiple access(2), CDMA				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27995	C		ALOHAランダム	ALOHAらんだむ	ALOHA random				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27996	C		ALOHAスロッテド	ALOHAすろってど	ALOHA slotted				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27997	C		指向性	しこうせい	directivity				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27998	C		ダウンリンク	だうんりんく	down-link				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
27999	C		二重伝送	にじゅうでんそう	duplex transmission				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28000	C		全二重伝送	ぜんにじゅうでんそう	full-duplex transmission(1)				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28001	C		インタレース半二重	いんたれーすはんにじゅう	interlaced half duplex				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28002	C		放出	ほうしゅつ	emission				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28003	C		電磁妨害、EMI	でんじぼうがい、EMI	electromagnetic interference, EMI				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28004	C		電磁雑音	でんじざつおん	electromagnetic noise				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28005	C		免疫	めんえき	immunity				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28006	C		無線障害	むせんしょうがい	radio frequency				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28007	C		無線周波妨害、RFI	むせんしゅうはぼうがい、RFI	radio frequency interference, RFI				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28008	C		無線周波雑音	むせんしゅうはざつおん	radio frequency noise				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28009	C		離調	りちょう	de-tuning				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28010	C		ETR、欧州通信レポート	ETR、おうしゅうつうしんれぽーと	ETR, European Telecommunications				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28011	C		ETS、欧州通信規格	ETS、おうしゅうつうしんきかく	ETS, European Telecommunications Standard				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28012	C		ETSI、欧州通信規格協会	ETSI、おうしゅうつうしんきかくきょうかい	ETSI, European Telecommunications Standards Institute				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28013	C		高調波	こうちょうは	harmonics				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28014	C		等方性放射体	とうほうせいほうしゃたい	isotropic radiator				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28015	C		非干渉	ひかんしょう	non interference				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28016	C		透過	とうか	penetration				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28017	C		偏波	へんぱ	polarization				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28018	C		偏波概要	へんぱがいよう	polarization summary				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28019	C		配列	はいれつ	alignment				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28020	C		アンテナ偏波	あんてなへんぱ	antenna polarization				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28021	C		ポーリング	ぽーりんぐ	polling				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28022	C		電力束密度	でんりょくそくみつど	power flux density				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28023	C		電力利得	でんりょくりとく	power gain				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28024	C		プログラム可能性	ぷろぐらむかのうせい	programmability				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28025	C		プログラミング	ぷろぐらみんぐ	programming				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28026	C		予測寿命	よそくじゅみょう	projected life				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28027	C		パルス分散	ぱるすぶんさん	pulse dispersion				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28028	C		Q係数、線質係数	Qけいすう、せんしつけい	Q factor, quality factor				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28029	C		放射近傍磁界	ほうしゃきんぼうじかい	radiating near field				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28030	C		放射	ほうしゃ	radiation				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28031	C		放射効率	ほうしゃこうりつ	radiation efficiency				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28032	C		アンテナ効率	あんてなこうりつ	antenna efficiency				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28033	C		放射パターン、放射ダイアグラム	ほうしゃぱたーん、ほうしゃだいあぐらむ	radiation pattern, radiation diagram				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28034	C		範囲	はんい	range				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28035	C		読み取り/書き込み	よみとり/かきこみ	read/write				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28036	C		受信信号強度表示、RSSI	じゅしんしんごうきょうどひょうじ、RSSI	receiving signal strength indicator, RSSI				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28037	C		スクリーニング	すくりーにんぐ	screening				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28038	C		信号素子	しんごうそし	signal element				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28039	C		信号/雑音+歪、SINAD	しんごう/ざつおん+ひずみ、SINAD	signal to noise & distortion, SINAD				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28040	C		信号雑音比、S/N	しんごうざつおんひ、S/N	signal/noise ratio, S/N				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28041	C		正弦波キャリア	せいげんはきゃりあ	sinusoidal carrier				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28042	C		スペクトラムマスク	すぺくとらむますく	spectrum-mask				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28043	C		時分割二重化、TDD	じぶんかつにじゅうか、	time division duplexing,				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28044	C		時分割多重化、TDM	じぶんかつたじゅうか、TDM	time division multiplexing, TDM				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28045	C		アップリンク	あっぷりんく	up-link				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28046	C		送信チャネル	そうしんちゃねる	transmission channel				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28047	C		開電場	かいでんば	open field				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28048	C		動作環境	どうさかんきょう	operating environment				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28049	C		動作手順	どうさてじゅん	operating procedure				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28050	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28051	C		コマンドセット	こまんどせっと	command set				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28052	C		自動反復要求、ARQ	じどうはんぷくようきゅう、ARQ	automatic repeat request, ARQ				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28053	C		互換性	ごかんせい	compatibility				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28054	C		周波数域	しゅうはすういき	frequency range				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28055	C		互換性	ごかんせい	interchangeability				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28056	C		SRD、短距離装置	SRD、たんきょりそうち	SRD, short range device				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28057	C		調和規格、TBR	ちょうわきかく、TBR	technical basis for regulation, TBR				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28058	C		チップ	ちっぷ	chip				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28059	C		取得フィールド/エリア/ゾーン	しゅとくふぃーるど/えりあ/ぞーん	capture field/area/zone				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28060	C		対クラッシュ	たいくらっしゅ	anti-clash				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28061	C		視野、FoV、取得フィールド/エリア/ゾーン	しや、FoV、しゅとくふぃーるど/えりあ/ぞーん	field of view, FoV, capture field/area/zone				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28062	C		送信リンク	そうしんりんく	forward link				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28063	C		アンテナ	あんてな	antenna				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28064	C		ダイポールアンテナ	だいぽーるあんてな	dipole antenna				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28065	C		励磁機	れいじき	exciter				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28066	C		メモリカード(1)	めもりかーど(1)	memory card(1)				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28067	C		メモリカード(2)	めもりかーど(2)	memory card(2)				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28068	C		トランスポンダー	とらんすぽんだー	transponder				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28069	C		オンボード機器、OBE、オンボードトランスポンダ	おんぼーどきき、OBE、おんぼーどとらんすぽんだ	on-board equipment, OBE, on-board transponders				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28070	C		平面アレイ、フラットパネルアンテナ	へいめんあれい、ふらっとぱねるあんてな	planar array, flat panel antenna				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28071	C		プログラマ	ぷろぐらま	programmer				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28072	C		センサ	せんさ	sensor				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28073	C		トランシーバ、送信機-受信機	とらんしーば、そうしんき-じゅしんき	transceiver, transmitter-receiver				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28074	C		送信機	そうしんき	transmitter				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28075	C		表面弾性波、SAW	ひょうめんだんせいは、	surface acoustic wave,				ISO/IEC 19762-4	2008				2008	SC31
28076	C		実時間位置決めシステム	じつじかんいちぎめしすてむ	real time locating system, RTLS				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28077	C		地理位置情報	ちりいちじょうほう	geolocation				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28078	C		ホーミング	ほーみんぐ	homing				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28079	C		イベントブリンク、EB	いべんとぶりんく、EB	event blink, EB				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28080	C		励磁機ブリンク、EXB	れいじきぶりんく、EXB	exciter blink, EXB				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28081	C		サブブリンク	さぶぶりんく	sub-blink				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28082	C		タグブリンク	たぐぶりんく	tag blink				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28083	C		時限間隔ブリンク、TIB	じげんかんかくぶりんく、	timed interval blink, TIB				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28084	C		インフラストラクチャー	いんふらすとらくちゃー	infrastructure				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28085	C		励磁機	れいじき	exciter				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28086	C		リーダ	りーだ	reader				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28087	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28088	C		トランスミッタ	とらんすみった	transmitter				ISO/IEC 19762-5	2008				2008	SC31
28089	C		2Dコンポーネント、CC	2Dこんぽーねんと、CC	2D component, CC				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28090	C		AI要素列	AIようそれつ	AI element string				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28091	C		CC-A	CC-A	CC-A				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28092	C		CC-B	CC-B	CC-B				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28093	C		CC-C	CC-C	CC-C				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28094	C		線形コンポーネント	せんけいこんぽーねんと	linear component				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28095	C		リンケージフラグ	りんけーじふらぐ	linkage flag				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28096	C		RAP回転	RAPかいてん	RAP Rotation				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28097	C		行アドレスパターン、RAP	ぎょうあどれすぱたーん、RAP	Row Address Pattern, RAP				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28098	C		分離パターン	ぶんりぱたーん	separator pattern				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28099	C		記号分離文字	きごうぶんりもじ	symbol separator				ISO/IEC 24723	2006				2006	SC31
28100	C		2Dコンポーネント	2Dこんぽーねんと	2D component				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28101	C		AI要素列	AIようそれつ	AI element string				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28102	C		EAN/UPC	EAN/UPC	EAN/UPC				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28103	C		符号化方式	ふごうかほうしき	encodation methods				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28104	C		指示桁	ししけた	Indicator digit				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28105	C		線形コンポーネント	せんけいこんぽーねんと	linear component				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28106	C		リンケージフラグ	りんけーじふらぐ	linkage flag				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28107	C		セグメント	せぐめんと	segment				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28108	C		UCC/EAN-128	UCC/EAN-128	UCC/EAN-128				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28109	C		投票	とうひょう	voting				ISO/IEC 24724	2006				2006	SC31
28110	C		アプリケーション識別子	あぷりけーしょんしきべつ	application identifier				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28111	C		バースペース列	ばーすぺーすれつ	bar-space sequence				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28112	C		基本的チャネルモデル	きほんてきちゃねるもでる	basic channel model				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28113	C		クラスター	くらすたー	cluster				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28114	C		圧縮モード	あっしゅくもーど	compaction mode				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28115	C		e距離	eきょり	e-distance				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28116	C		エラー訂正符号語	えらーていせいふごうご	error correction codeword				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28117	C		拡張チャネル解釈、ECI	かくちょうちゃねるかいしゃく、ECI	Extended Channel Interpretation, ECI				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28118	C		拡張チャネルモデル	かくちょうちゃねるもでる	extended channel model				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28119	C		群、ファミリー	ぐん、ふぁみりー	family				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28120	C		機能符号語	きのうふごうご	function codeword				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28121	C		グローバルラベル識別子、GLI	ぐろーばるらべるしきべつし、GLI	Global Label Identifier, GLI				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28122	C		マクロ文字	まくろもじ	macro character				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28123	C		モード切換えコード語	もーどきりかえこーどご	Mode Latch codeword				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28124	C		モード一語切換えコード語	もーどいちごきりかえこーどご	Mode Shift codeword				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28125	C		RAP回転	RAPかいてん	RAP rotation				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28126	C		行アドレスパターン	ぎょうあどれすぱたーん	Row Address Patterns				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28127	C		ストップバー	すとっぷばー	stop bar				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28128	C		構造化連接	こうぞうかれんせつ	Structured Append				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28129	C		UCC/EAN-128	UCC/EAN-128	UCC/EAN-128				ISO/IEC 24728	2006				2006	SC31
28130	C		RTLSトランスミッタ	RTLSとらんすみった	RTLS transmitters				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28131	C		タグブリンク	たぐぶりんく	tag blink				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28132	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28133	C		XMLタグ	XMLたぐ	XML tag				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28134	C		SOAP	SOAP	SOAP				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28135	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28136	C		持続接続	じぞくせつぞく	persistent connection				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28137	C		実時間	じつじかん	real-time				ISO/IEC 24730-1	2006				2006	SC31
28138	C		電波インタフェース	でんぱいんたふぇーす	air interface				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28139	C		企業LAN	きぎょうらん	corporate LAN				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28140	C		ホストアプリケーション	ほすとあぷりけーしょん	host applications				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28141	C		RTLS基盤ソフトウェア	RTLSきばんそふとうぇあ	RTLS infrastructure				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28142	C		実時間位置決めシステム	じつじかんいちぎめしすて	real-time locating system				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28143	C		RTLSサーバ	RTLSさーば	RTLS server				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28144	C		RTLSトランスミッタ	RTLSとらんすみった	RTLS transmitter				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28145	C		RTLSリーダ	RTLSりーだ	RTLS reader				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28146	C		オープンフィールド	おーぷんふぃーるど	open field				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28147	C		励磁機	れいじき	exciter				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28148	C		アップコンバート	あっぷこんばーと	upconvert				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28149	C		タグブリンク	たぐぶりんく	tag blink				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28150	C		サブブリンク	さぶぶりんく	sub-blink				ISO/IEC 24730-2	2006				2006	SC31
28151	C		ブルズアイ	ぶるずあい	bullseye				ISO/IEC 24778	2008				2008	SC31
28152	C		チェックワード	ちぇっくわーど	checkword				ISO/IEC 24778	2008				2008	SC31
28153	C		データワード	でーたわーど	dataword				ISO/IEC 24778	2008				2008	SC31
28154	C		ドミノ	どみの	domino				ISO/IEC 24778	2008				2008	SC31
28155	C		モードメッセージ	もーどめっせーじ	Mode Message				ISO/IEC 24778	2008				2008	SC31
28156	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28157	C		クラス	くらす	class				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28158	C		(メタデータレジストリにおける)識別子	(めたでーたれじすとりにおける)しきべつし	identifier (in Metadata Registry)				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28159	C		関係	かんけい	relationship				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28160	C		基本属性	きほんぞくせい	basic attribute				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28161	C		特徴	とくちょう	characteristic				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28162	C		概念	がいねん	concept				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28163	C		概念体系	がいねんたいけい	concept system				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28164	C		概念データモデル、概念モデル	がいねんでーたもでる、がいねんもでる	conceptual data model, conceptual model				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28165	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28166	C		データモデル	でーたもでる	data model				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28167	C		定義	ていぎ	definition				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28168	C		指定	してい	designation				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28169	C		エンティティ	えんてぃてぃ	entity				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28170	C		本質的特徴	ほんしつてきとくちょう	essential characteristic				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28171	C		拡張 <術語>	かくちょう <じゅつご>	extension <terminology>				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28172	C		一般概念	いっぱんがいねん	general concept				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28173	C		個別概念	こべつがいねん	individual concept				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28174	C		内包、<術語>	ないほう、<じゅつご>	intension, <terminology>				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28175	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28176	C		メタデータアイテム	めたでーたあいてむ	metadata item				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28177	C		メタデータオブジェクト	めたでーたおぶじぇくと	metadata object				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28178	C		メタデータレジストリ、MDR	めたでーたれじすとり、	metadata registry, MDR				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28179	C		メタモデル	めたもでる	metamodel				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28180	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28181	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28182	C		レジストリアイテム	れじすとりあいてむ	registry item				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28183	C		レジストリメタモデル	れじすとりめたもでる	registry metamodel				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28184	C		術語体系	じゅつごたいけい	terminological system				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28185	C		運用アイテム	うんようあいてむ	administered item				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28186	C		運用記録	うんようきろく	administration record				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28187	C		運用状態	うんようじょうたい	administrative status				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28188	C		分類体系	ぶんるいたいけい	classification scheme				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28189	C		分類体系アイテム、CSI	ぶんるいたいけいあいてむ、CSI	classification scheme item, CSI				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28190	C		概念領域、CD	がいねんりょういき、CD	conceptual domain, CD				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28191	C		コンテクスト	こんてくすと	context				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28192	C		データ要素、DE	でーたようそ、DE	data element, DE				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28193	C		データ要素概念、DEC	でーたようそがいねん、	data element concept,				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28194	C		データ識別子、DI	でーたしきべつし、DI	data identifier, DI				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28195	C		データタイプ	でーたたいぷ	datatype				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28196	C		次元性	じげんせい	dimensionality				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28197	C		列挙概念領域	れっきょがいねんりょういき	enumerated conceptual domain				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28198	C		列挙値領域	れっきょあたいりょういき	enumerated value domain				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28199	C		国際符号指定子、ICD	こくさいふごうしていし、ICD	international code designator, ICD				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28200	C		アイテム識別子	あいてむしきべつし	item identifier				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28201	C		アイテム登録機関識別子	あいてむとうろくきかんしきべつし	item registration authority identifier				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28202	C		非列挙概念領域	ひれっきょがいねんりょういき	non-enumerated conceptual domain				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28203	C		非列挙概念領域記述	ひれっきょがいねんりょういききじゅつ	non-enumerated conceptual domain				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28204	C		非列挙値領域	ひれっきょあたいりょういき	non-enumerated value domain				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28205	C		非列挙値領域記述	ひれっきょあたいりょういききじゅつ	non-enumerated value domain description				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28206	C		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28207	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28208	C		組織識別子	そしきしきべつし	organization identifier				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28209	C		組織部門	そしきぶもん	organization part				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28210	C		組織部門識別子、OPI	そしきぶもんしきべつし、OPI	organization part identifier, OPI				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28211	C		組織部門識別子ソース	そしきぶもんしきべつしそーす	organization part identifier source				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28212	C		許容レベル	きょようれべる	permissible value				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28213	C		プロパティ	ぷろぱてい	property				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28214	C		登録責任者	とうろくせきにんしゃ	registrar				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28215	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28216	C		登録機関、RA	とうろくきかん、RA	registration authority, RA				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28217	C		登録機関識別子	とうろくきかんしきべつし	registration authority identifier				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28218	C		登録状態	とうろくじょうたい	registration status				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28219	C		表現クラス	ひょうげんくらす	representation class				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28220	C		測定単位	そくていたんい	unit of measure				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28221	C		値	あたい	value				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28222	C		値領域、VD	あたいりょういき、VD	value domain, VD				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28223	C		値意味	あたいいみ	value meaning				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28224	C		値意味記述	あたいいみきじゅつ	value meaning description				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28225	C		バージョン	ばーじょん	version				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28226	C		データ制約	でーたせいやく	data construct				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28227	C		量	りょう	quantity				ISO/IEC 11179-1	2004				2004	SC32
28228	C		代理人	だいりにん	agent				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28229	C		アプリケーションプログラムインタフェース (API)	あぷりけーしょんぷろぐらむいんたふぇーす (API)	Application Program Interface (API)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28230	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28231	C		真正性	しんせいせい	authenticity				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28232	C		ビジネス	びじねす	business				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28233	C		ビジネス運営概念(BOV)	びじねすうんえいがいねん(BOV)	Business Operational View (BOV)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28234	C		ビジネス取引	びじねすとりひき	business transaction				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28235	C		買主	かいぬし	buyer				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28236	C		コミットメント	こみっとめんと	commitment				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28237	C		合意 (標準化の観点)	ごうい (ひょうじゅんかのかんてん)	consensus (standardization				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28238	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28239	C		消費者	しょうひしゃ	consumer				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28240	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28241	C		(ビジネス取引における)データ	(びじねすとりひきにおける)でーた	data (in a business transaction)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28242	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28243	C		(データの構成における)データ要素	(でーたのこうせいにおける)でーたようそ	data element (in organization of data)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28244	C		意思決定アプリケーション(DMA)	いしけっていあぷりけーしょん (DMA)	Decision Making Application (DMA)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28245	C		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28246	C		電子データ交換(EDI)	でんしでーたこうかん(EDI)	Electronic Data Interchange (EDI)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28247	C		エンティティ	えんていてい	entity				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28248	C		エンティティ認証	えんていていにんしょう	entity authentication				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28249	C		(エンティティ)識別	(えんていてい)しきべつ	(entity) identification				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28250	C		外的制約	がいてきせいやく	external constraint				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28251	C		形式的記述技法(FDT)	けいしきてききじゅつぎほう(FDT)	Formal Description Technique (FDT)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28252	C		機能サービスビュー(FSV)	きのうさーびすびゅー (FSV)	Functional Service View (FSV)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28253	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28254	C		(ビジネス取引における)識別子	(びじねすとりひきにおける)しきべつし	identifier (in business transaction)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28255	C		個人	こじん	individual				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28256	C		(情報処理における)情報	(じょうほうしょりにおける)じょうほう	information (in information processing)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28257	C		情報束(IB)	じょうほうそく(IB)	Information Bundle (IB)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28258	C		情報処理領域(IPD)	じょうほうしょりりょういき(IPD)	Information Processing Domain (IPD)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28259	C		情報処理システム(ITシステム)	じょうほうしょりしすてむ(ITしすてむ)	Information Technology System (IT System)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28260	C		内的制約	ないてきせいやく	internal constraint				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28261	C		媒体	ばいたい	medium				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28262	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28263	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28264	C		オープンEDI	おーぷんEDI	Open-edi				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28265	C		オープンEDI記述技法、OeDT	おーぷんEDIきじゅつぎほう、OeDT	Open-edi Description Technique (OeDT)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28266	C		オープンEDI当事者、OeP	おーぷんEDIとうじしゃ、	Open-edi Party (OeP)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28267	C		オープンEDIシナリオ	おーぷんEDIしなりお	Open-edi scenario				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28268	C		オープンEDI規格	おーぷんEDIきかく	Open-edi standard				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28269	C		オープンEDIシステム	おーぷんEDIしすてむ	Open-edi system				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28270	C		オープンEDI取引	おーぷんEDIとりひき	Open-edi transaction				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28271	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28272	C		組織部門	そしきぶもん	organization part				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28273	C		組織代表	そしきだいひょう	organization Person				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28274	C		法的主体、代表(者)	ほうてきしゅたい、だいひょう(しゃ)	Person				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28275	C		代表者識別	だいひょうしゃしきべつ	Person authentication				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28276	C		代表者識別情報	だいひょうしゃしきべつじょうほう	Person identity				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28277	C		代表者署名	だいひょうしゃしょめい	Person signature				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28278	C		代表人格	だいひょうじんかく	persona				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28279	C		代表人格登録スキーマ(pRS)	だいひょうじんかくとうろくすきーま(pRS)	persona Registration Schema (pRS)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28280	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28281	C		公的管理人	こうてきかんりにん	public administration				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28282	C		個人識別情報認証(rPI)	こじんしきべつじょうほうにんしょう(rPI)	recognized Person identity (rPi)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28283	C		記録情報	きろくじょうほう	recorded information				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28284	C		登録機関(RA)	とうろくきかん(RA)	Registration Authority				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28285	C		登録スキーマ(RS)	とうろくすきーま(RS)	Registration Schema (RS)				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28286	C		規制機関	きせいきかん	regulator				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28287	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28288	C		シナリオ属性	しなりおぞくせい	scenario attribute				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28289	C		販売者	はんばいしゃ	seller				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28290	C		意味コンポーネント、SC	いみこんぽーねんと、SC	Semantic Component, SC				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28291	C		規格	きかく	standards				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28292	C		第三者	だいさんしゃ	third party				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28293	C		一義的	いちぎてき	unambiguous				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28294	C		ベンダ	べんだ	vendor				ISO/IEC 15944-1	2002				2002	SC32
28295	C		アドレス	あどれす	address				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28296	C		管理ノート	かんりのーと	administrative note				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28297	C		(OeRIの)申請人	(OeRIの)しんせいにん	applicant (for an OeRI)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28298	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28299	C		ビジネス	びじねす	business				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28300	C		ビジネスオブジェクト	びじねすおぶじぇくと	business object				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28301	C		ビジネスオブジェクト識別子	びじねすおぶじぇくとしきべつし	business object identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28302	C		ビジネスオブジェクト状態	びじねすおぶじぇくとじょうたい	business object status				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28303	C		ビジネスオブジェクトタイプ	びじねすおぶじぇくとたい	business object type				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28304	C		ビジネス運営概念(BOV)	びじねすうんえいがいねん(BOV)	Business Operational View (BOV)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28305	C		ビジネス取引	びじねすとりひき	business transaction				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28306	C		変更記述	へんこうきじゅつ	change description				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28307	C		符号化領域	ふごうかりょういき	coded domain				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28308	C		符号化領域ソース機関(cdSA)	ふごうかりょういきそーすきかん(cdSA)	coded domain Source Authority (cdSA)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28309	C		コミットメント	こみっとめんと	commitment				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28310	C		複合識別子	ふくごうしきべつし	composite identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28311	C		計算整合性	けいさんせいごうせい	computational integrity				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28312	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28313	C		連絡先	れんらくさき	Contact				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28314	C		連絡先情報	れんらくさきじょうほう	Contact information				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28315	C		連絡先名	れんらくさきめい	Contact name				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28316	C		連絡先肩書	れんらくさきかたがき	Contact position title				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28317	C		制御集団	せいぎょしゅうだん	control body				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28318	C		作成日	さくせいび	creation date				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28319	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28320	C		日付	ひづけ	date				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28321	C		実効言語	じっこうげんご	de facto language				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28322	C		定義	ていぎ	definition				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28323	C		指定	してい	designation				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28324	C		ドキュメンテーション言語符号	どきゅめんてーしょんげんごふごう	documentation language code				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28325	C		有効日	ゆうこうび	effective date				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28326	C		電子アドレス	でんしあどれす	electronic address				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28327	C		エントリラベル	えんとりらべる	entry label				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28328	C		外的制約	がいてきせいやく	external constraint				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28329	C		ヒューマンインタフェース同等(HIE)	ひゅーまんいんたふぇーすどうとう(HIE)	Human Interface Equivalent (HIE)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28330	C		IB識別子	IBしきべつし	IB identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28331	C		ID符号	IDふごう	ID code				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28332	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28333	C		(ビジネス取引における)識別子	(びじねすとりひきにおける)しきべつし	identifier (in business transaction)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28334	C		情報束(IB)	じょうほうそく(IB)	Information Bundle (IB)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28335	C		内的制約	ないてきせいやく	internal constraint				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28336	C		国際登録ビジネスオブジェクト識別子(IRBOI)	こくさいとうろくびじねすおぶじぇくとしきべつし(IRBOI)	International Registration Business Object Identifier (IRBOI)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28337	C		国際規格識別子	こくさいきかくしきべつし	International Standard Identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28338	C		アイテムクラス	あいてむくらす	item class				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28339	C		IT インタフェース同等	IT いんたふぇーすどうとう	IT interface equivalent				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28340	C		管轄領域	かんかつりょういき	jurisdictional domain				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28341	C		管轄領域識別子	かんかつりょういきしきべつし	jurisdictional domain identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28342	C		言語	げんご	language				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28343	C		言語符号	げんごふごう	language code				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28344	C		位置	いち	location				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28345	C		名称	めいしょう	name				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28346	C		自然言語	しぜんげんご	natural language				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28347	C		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28348	C		OeRI追加	OeRIついか	OeRI addition				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28349	C		OeRI明確化	OeRIめいかくか	OeRI clarification				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28350	C		OeRI調和	OeRIちょうわ	OeRI harmonization				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28351	C		OeRI言語符号	OeRIげんごふごう	OeRI language code				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28352	C		OeRI引退	OeRIいんたい	OeRI retirement				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28353	C		OeRI置換	OeRIちかん	OeRI supersession				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28354	C		公用語	こうようご	official language				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28355	C		オープンEDI記述技法、OeDT	おーぷんEDIきじゅつぎほう、OeDT	Open-edi Description Technique (OeDT)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28356	C		オープンEDI登録簿	おーぷんEDIとうろくぼ	Open-edi register				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28357	C		オープンEDI登録管理属性	おーぷんEDIとうろくかんりぞくせい	Open-edi registration administration attribute				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28358	C		オープンEDI登録機関、OeRA	おーぷんEDIとうろくきかん、OeRA	Open-edi Registration Authority (OeRA)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28359	C		オープンEDI登録組織、OeRO	おーぷんEDIとうろくそしき、OeRO	Open-edi Registration Organization (OeRO)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28360	C		オープンEDI登録組織アドレス	おーぷんEDIとうろくそしきあどれす	Open-edi Registration Organization address				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28361	C		オープンEDI登録組織識別子、OeROI	おーぷんEDIとうろくそしきしきべつし、OeROI	Open-edi Registration Organization Identifier (OeROI)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28362	C		オープンEDI登録組織名	おーぷんEDIとうろくそしきめい	Open-edi Registration Organization name				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28363	C		オープンEDIレジストリ、	おーぷんEDIれじすとり、	Open-edi Registry (OeR)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28364	C		オープンEDIレジストリアイテム、OeRI	おーぷんEDIれじすとりあいてむ、OeRI	Open-edi Registry Item (OeRI)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28365	C		オープンEDIレジストリ記	おーぷんEDIれじすとりき	Open-edi registry record				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28366	C		オープンEDIシナリオ、	おーぷんEDIしなりお、	Open-edi Scenario (OeS)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28367	C		オープンEDIスポンサー機関	おーぷんEDIすぽんさーきかん	Open-edi sponsoring authority				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28368	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28369	C		組織アドレス	そしきあどれす	organization address				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28370	C		組織名	そしきめい	organization name				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28371	C		起源	きげん	origin				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28372	C		法的主体、代表(者)	ほうてきしゅたい、だいひょう(しゃ)	Person				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28373	C		代表人格	だいひょうじんかく	persona				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28374	C		物理アドレス	ぶつりあどれす	physical address				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28375	C		原理	げんり	principle				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28376	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28377	C		記録情報	きろくじょうほう	recorded information				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28378	C		参照文書	さんしょうぶんしょ	reference document				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28379	C		参照文書識別子	さんしょうぶんしょしきべつし	reference document identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28380	C		参照文書言語符号	さんしょうぶんしょげんごふごう	reference document language code				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28381	C		参照文書タイトル	さんしょうぶんしょたいとる	reference document title				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28382	C		参照文書タイプ記述	さんしょうぶんしょたいぷきじゅつ	reference document type description				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28383	C		参照組織	さんしょうそしき	reference organization				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28384	C		登録簿	とうろくぼ	register				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28385	C		登録簿管理者	とうろくぼかんりしゃ	register manager				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28386	C		登録簿所有者	とうろくぼしょゆうしゃ	register owner				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28387	C		登録責任者	とうろくせきにんしゃ	registrar				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28388	C		登録責任者連絡先	とうろくせきにんしゃれんらくさき	registrar Contact				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28389	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28390	C		登録機関(RA)	とうろくきかん(RA)	Registration Authority				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28391	C		登録スキーマ(RS)	とうろくすきーま(RS)	Registration Schema (RS)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28392	C		登録状態	とうろくじょうたい	registration status				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28393	C		登録簿システム	とうろくぼしすてむ	registry				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28394	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28395	C		規則	きそく	rule				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28396	C		規則ベース	きそくべーす	rulebase				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28397	C		シナリオ属性	しなりおぞくせい	scenario attribute				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28398	C		シナリオコンポーネント	しなりおこんぽーねんと	scenario component				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28399	C		シナリオ内容	しなりおないよう	scenario content				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28400	C		シナリオ仕様属性	しなりおしようぞくせい	scenario specification attribute				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28401	C		SC識別子	SCしきべつし	SC identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28402	C		意味コンポーネント、SC	いみこんぽーねんと、SC	Semantic Component, SC				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28403	C		規制源機関(SA)	きせいげんきかん(SA)	Source Authority (SA)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28404	C		規格	きかく	standard				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28405	C		(OeRIの)受託	(OeRIの)じゅたく	stewardship (of OeRI)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28406	C		受託組織	じゅたくそしき	stewardship organization				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28407	C		(OeRIの)提出	(OeRIの)ていしゅつ	submission (of OeRI)				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28408	C		提出組織	ていしゅつそしき	submitting organization				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28409	C		一義的	いちぎてき	unambiguous				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28410	C		期限日	きげんび	until date				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28411	C		バージョン識別子	ばーじょんしきべつし	version identifier				ISO/IEC 15944-2	2006				2006	SC32
28412	C		代理人	だいりにん	agent				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28413	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28414	C		オブジェクト又はエンティティの特徴	おぶじぇくとまたはえんていていのとくちょう	characteristic of an object or entity				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28415	C		ビジネス	びじねす	business				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28416	C		ビジネスイベント	びじねすいべんと	business event				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28417	C		ビジネス拠点	びじねすきょてん	business location				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28418	C		ビジネス運営概念	びじねすうんえいがいねん	Business Operational View, BOV				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28419	C		ビジネス取引	びじねすとりひき	business transaction				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28420	C		ビジネス取引エンティティ	びじねすとりひきえんていてい	business transaction entity				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28421	C		ビジネス取引エンティティタイプ	びじねすとりひきえんていていたいぷ	business transaction entity type				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28422	C		購入者	こうにゅうしゃ	buyer				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28423	C		協力空間	きょうりょくくうかん	collaboration space				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28424	C		コミットメント	こみっとめんと	commitment				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28425	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28426	C		保管	ほかん	custody				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28427	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28428	C		定義市場モデル	ていぎしじょうもでる	defined market model				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28429	C		二重性	にじゅうせい	duality				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28430	C		経済合意	けいざいごうい	economic agreement				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28431	C		経済束	けいざいそく	economic bundle				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28432	C		経済主張	けいざいしゅちょう	economic claim				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28433	C		経済コミットメント	けいざいこみっとめんと	economic commitment				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28434	C		経済契約	けいざいけいやく	economic contract				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28435	C		経済制御	けいざいせいぎょ	economic control				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28436	C		経済事象	けいざいじしょう	economic event				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28437	C		経済事象タイプ	けいざいじしょうたいぷ	economic event type				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28438	C		経済交換	けいざいこうかん	economic exchange				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28439	C		経済資源	けいざいしげん	economic resource				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28440	C		経済資源タイプ	けいざいしげんたいぷ	economic resource type				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28441	C		経済役割	けいざいやくわり	economic role				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28442	C		経済仕様	けいざいしよう	economic specification				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28443	C		エンティティ	えんていてい	entity				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28444	C		外的制約	がいてきせいやく	external constraint				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28445	C		履行	りこう	fulfillment				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28446	C		監督下	かんとくか	governed				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28447	C		個人	こじん	individual				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28448	C		情報束、IB	じょうほうそく、IB	information bundle, IB				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28449	C		内部制約	ないぶせいやく	internal constraint				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28450	C		ロケーションタイプ	ろけーしょんたいぷ	location type				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28451	C		実現	じつげん	materialized				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28452	C		媒介取引	ばいかいとりひき	mediated transaction				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28453	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28454	C		オープンEDI	おーぷんEDI	Open-edi				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28455	C		オープンEDIビジネス取引オントロジー	おーぷんEDIびじねすとりひきおんとろじー	Open-edi Business Transaction Ontology, OeBTO				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28456	C		オープンEDI当事者、OeP	おーぷんEDIとうじしゃ、	Open-edi Party, OeP				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28457	C		オープンEDIシナリオ、	おーぷんEDIしなりお、	Open-edi scenario, OeS				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28458	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28459	C		組織部門	そしきぶもん	organization part				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28460	C		組織代表	そしきだいひょう	organization Person				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28461	C		参加	さんか	participates				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28462	C		パートナー	ぱーとなー	partner				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28463	C		法的主体、代表(者)	ほうてきしゅたい、だいひょう(しゃ)	Person				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28464	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28465	C		公的管理人	こうてきかんりにん	public administration				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28466	C		互恵的	ごけいてき	reciprocal				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28467	C		記録情報	きろくじょうほう	recorded information				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28468	C		調整者	ちょうせいしゃ	regulator				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28469	C		資本フロー	しほんふろー	resource-flow				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28470	C		責任	せきにん	responsibility				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28471	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28472	C		販売者	はんばいしゃ	seller				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28473	C		意味コンポーネント、SC	いみこんぽーねんと、SC	Semantic Component, SC				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28474	C		決済	けっさい	settlement				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28475	C		サイト	さいと	site				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28476	C		第三者	だいさんしゃ	third party				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28477	C		典型	てんけい	typification				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28478	C		未定義市場モデル	みていぎしじょうもでる	undefined market model				ISO/IEC 15944-4	2007				2007	SC32
28479	C		アドレス	あどれす	address				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28480	C		代理人	だいりにん	agent				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28481	C		人工言語	じんこうげんご	artificial language				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28482	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28483	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28484	C		真正性	しんせいせい	authenticity				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28485	C		二国間条約	にこくかんじょうやく	bilateral treaty				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28486	C		ビジネス	びじねす	business				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28487	C		ビジネスオブジェクト	びじねすおぶじぇくと	business object				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28488	C		ビジネス運営概念、BOV	びじねすうんえいがいねん、BOV	Business Operational View, BOV				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28489	C		ビジネス取引	びじねすとりひき	business transaction				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28490	C		ビジネス取引識別子、BTI	びじねすとりひきしきべつし、BTI	business transaction identifier, BTI				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28491	C		購入者	こうにゅうしゃ	buyer				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28492	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28493	C		特徴	とくちょう	characteristic				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28494	C		文字セット	もじせっと	character set				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28495	C		分類体系	ぶんるいたいけい	classification system				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28496	C		符号	ふごう	code				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28497	C		(符号化領域における)符号	(ふごうかりょういきにおける)ふごう	code (in coded domain)				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28498	C		符号化領域	ふごうかりょういき	coded domain				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28499	C		符号化領域登録スキーマ、cdRS	ふごうかりょういきとうろくすきーま、cdRS	coded Domain Registration Schema,				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28500	C		符号化領域ソース機関、cdSA	ふごうかりょういきそーすきかん、cdSA	coded domain Source Authority, cdSA				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28501	C		協力空間	きょうりょくくうかん	collaboration space				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28502	C		コミットメント	こみっとめんと	commitment				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28503	C		合成識別子	ごうせいしきべつし	composite identifier				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28504	C		合成型	ごうせいがた	composite type				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28505	C		計算整合性	けいさんせいごうせい	computational integrity				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28506	C		コンピュータプログラム	こんぴゅーたぷろぐらむ	computer program				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28507	C		コンピュータサービス	こんぴゅーたさーびす	computer service				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28508	C		コンピュータシステム	こんぴゅーたしすてむ	computer system				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28509	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28510	C		消費者	しょうひしゃ	consumer				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28511	C		消費者保護	しょうひしゃほご	consumer protection				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28512	C		統制語い(彙)、CV	とうせいごい、CV	controlled vocabulary, CV				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28513	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28514	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28515	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28516	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28517	C		データセット	でーたせっと	dataset				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28518	C		データセットシリーズ	でーたせっとしりーず	dataset series				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28519	C		意思決定アプリケーション、DMA	いしけっていあぷりけーしょん、DMA	Decision Making Application, DMA				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28520	C		実効言語	じっこうげんご	de facto language				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28521	C		定義	ていぎ	definition				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28522	C		指定	してい	designation				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28523	C		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28524	C		電子データ交換(EDI)	でんしでーたこうかん(EDI)	Electronic Data Interchange, EDI				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28525	C		エンティティ	えんていてい	entity				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28526	C		エンティティ認証	えんていていにんしょう	entity authentication				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28527	C		交換符号セット	こうかんふごうせっと	exchange code set				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28528	C		外的制約	がいてきせいやく	external constraint				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28529	C		形式的記述技法(FDT)	けいしきてききじゅつぎほう(FDT)	Formal Description Technique, FDT				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28530	C		グリフ	ぐりふ	glyph				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28531	C		ヒューマンインタフェース同等物、HIE	ひゅーまんいんたふぇーすどうとうぶつ、HIE	Human Interface Equivalent, HIE				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28532	C		IB識別子	IBしきべつし	IB Identifier				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28533	C		ID符号	IDふごう	ID Code				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28534	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28535	C		識別子	しきべつし	identifier				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28536	C		インデックス言語	いんでっくすげんご	indexing language				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28537	C		個人	こじん	individual				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28538	C		個人的アクセス可能性	こじんてきあくせすかのうせい	individual accessibility				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28539	C		情報束、IB	じょうほうそく、IB	Information Bundle, IB				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28540	C		情報処理領域、IPD	じょうほうしょりりょういき、IPD	Information Processing Domain, IPD				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28541	C		情報技術システム、ITシステム	じょうほうぎじゅつしすてむ、ITしすてむ	Information Technology System, IT System				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28542	C		内的制約	ないてきせいやく	internal constraint				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28543	C		IT実施可能性	ITじっしかのうせい	IT-enablement				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28544	C		ITインタフェース同等物	ITいんたふぇーすどうとうぶつ	IT-interface equivalent				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28545	C		管轄領域	かんかつりょういき	jurisdictional domain				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28546	C		管轄領域識別子	かんかつりょういきしきべつし	jurisdictional domain identifier				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28547	C		言語	げんご	language				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28548	C		言語符号	げんごふごう	language code				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28549	C		法的認識言語、LRL	ほうてきにんしきげんご、LRL	legally recognized language, LRL				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28550	C		法的認識名、LRN	ほうてきにんしきめい、LRN	legally recognized name, LRN				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28551	C		リスト	りすと	list				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28552	C		ローカリゼーション	ろーかりぜーしょん	localization				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28553	C		ロケーション	ろけーしょん	location				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28554	C		媒体	ばいたい	medium				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28555	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28556	C		メタデータエンティティ	めたでーたえんていてい	metadata entity				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28557	C		メタデータセクション	めたでーたせくしょん	metadata section				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28558	C		モデル	もでる	model				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28559	C		多国間条約	たこくかんじょうやく	multilateral treaty				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28560	C		多言語使用	たげんごしよう	multilingualism				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28561	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28562	C		自然言語	しぜんげんご	natural language				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28563	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28564	C		オブジェクトクラス	おぶじぇくとくらす	object class				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28565	C		公用語	こうようご	official language				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28566	C		オープンEDI	おーぷんEDI	Open-edi				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28567	C		オープンEDI記述技法、OeDT	おーぷんEDIきじゅつぎほう、OeDT	Open-edi Description Technique, OeDT				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28568	C		オープンEDI処分	おーぷんEDIしょぶん	Open-edi disposition				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28569	C		オープンEDI当事者、OeP	おーぷんEDIとうじしゃ、	Open-edi Party, OeP				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28570	C		オープンEDI記録保存、OeRR	おーぷんEDIきろくほぞん、OeRR	Open-edi Record Retention, OeRR				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28571	C		オープンEDIレジストリアイテム、OeRI	おーぷんEDIれじすとりあいてむ、OeRI	Open-edi Registry Item, OeRI				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28572	C		オープンEDIシナリオ、	おーぷんEDIしなりお、	Open-edi scenario, OeS				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28573	C		オープンEDI支持基盤、OeSI	おーぷんEDIしじきばん、OeSI	Open-edi Support Infrastructure, OeSI				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28574	C		オープンEDIシステム	おーぷんEDIしすてむ	Open-edi system				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28575	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28576	C		組織部門	そしきぶもん	organization part				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28577	C		組織代表	そしきだいひょう	organization Person				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28578	C		法的主体、代表(者)	ほうてきしゅたい、だいひょう(しゃ)	Person				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28579	C		代表(者)認証	だいひょう(しゃ)にんしょう	Person authentication				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28580	C		代表人格	だいひょうじんかく	persona				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28581	C		個人情報	こじんじょうほう	personal information				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28582	C		ピボット符号セット	ぴぼっとふごうせっと	pivot code set				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28583	C		ピボットID符号	ぴぼっとIDふごう	pivot ID code				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28584	C		限定国間条約	げんていこくかんじょうやく	plurilateral treaty				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28585	C		優先使用語	ゆうせんしようご	preferred term				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28586	C		原理	げんり	principle				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28587	C		プライバシー保護	ぷらいばしーほご	privacy protection				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28588	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28589	C		プロパティ	ぷろぱてぃ	property				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28590	C		公的管理人	こうてきかんりにん	public administration				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28591	C		公共政策	こうきょうせいさく	public policy				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28592	C		個人名認証、RIN	こじんめいにんしょう、RIN	recognized individual name, RIN				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28593	C		個人識別情報認証、rPi	こじんしきべつじょうほうにんしょう、rPi	recognized Person identity, rPi				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28594	C		記録情報	きろくじょうほう	recorded information				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28595	C		登録簿	とうろくぼ	register				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28596	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28597	C		登録機関、RA	とうろくきかん、RA	Registration Authority, RA				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28598	C		登録機関識別子、RAI	とうろくきかんしきべつし、RAI	Registration Authority Identifier, RAI				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28599	C		登録スキーマ、RS	とうろくすきーま、RS	Registration Schema, RS				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28600	C		登録簿システム	とうろくぼしすてむ	registry				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28601	C		規制機関	きせいきかん	regulator				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28602	C		規制ビジネス取引、RBT	きせいびじねすとりひき、RBT	regulatory business transaction, RBT				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28603	C		レパートリ	れぱーとり	repertoire				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28604	C		保存期間	ほぞんきかん	retention period				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28605	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28606	C		規則	きそく	rule				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28607	C		規則ベース	きそくべーす	rulebase				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28608	C		シナリオ属性	しなりおぞくせい	scenario attribute				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28609	C		シナリオコンポーネント	しなりおこんぽーねんと	scenario component				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28610	C		シナリオ内容	しなりおないよう	scenario content				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28611	C		シナリオ仕様属性	しなりおしようぞくせい	scenario specification attribute				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28612	C		販売者	はんばいしゃ	seller				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28613	C		意味コンポーネント、SC	いみこんぽーねんと、SC	Semantic Component, SC				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28614	C		意味識別子、SI	いみしきべつし、SI	semantic identifier, SI				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28615	C		記録情報セット、SRI	きろくじょうほうせっと、SRI	set of recorded information, SRI				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28616	C		規制源機関、SA	きせいげんきかん、SA	Source Authority, SA				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28617	C		特殊言語、特殊目的のための言語、LSP	とくしゅげんご、とくしゅもくてきのためのげんご、LSP	special language, language for special purposes, LSP				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28618	C		規格	きかく	standard				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28619	C		用語	ようご	term				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28620	C		テキスト	てきすと	text				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28621	C		第三者	だいさんしゃ	third party				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28622	C		条約	じょうやく	treaty				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28623	C		打ち切り名	うちきりめい	truncated name				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28624	C		打ち切り認識名、TRN	うちきりにんしきめい、TRN	truncated recognized name, TRN				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28625	C		打ち切り	うちきり	truncation				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28626	C		一義的	いちぎてき	unambiguous				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28627	C		ベンダ	べんだ	vendor				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28628	C		語い(彙)	ごい	vocabulary				ISO/IEC 15944-5	2008				2008	SC32
28629	C		ドメインオブジェクト、領域オブジェクト	どめいんおぶじぇくと、りょういきおぶじぇくと	domain object				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28630	C		ドメインモデル、領域モデル	どめいんもでる、りょういきもでる	domain model				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28631	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28632	C		メタモデル	めたもでる	metamodel				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28633	C		メタモデル構築物	めたもでるこうちくぶつ	metamodel construct				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28634	C		メタモデル化機能	めたもでるかきのう	meta-modeling facility				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28635	C		モデル	もでる	model				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28636	C		モデル構築	もでるこうちく	model construct				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28637	C		モデル化機能	もでるかきのう	modeling facility				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28638	C		語い(彙)体系	ごいたいけい	ontology				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28639	C		上位モデル	じょういもでる	upper model				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28640	C		下位モデル	かいもでる	lower model				ISO/IEC 19763-1	2007				2007	SC32
28641	C		論議領域	ろんぎりょういき	universe of discourse				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28642	C		語い(彙)体系、オントロ	ごいたいけい、おんとろ	ontology				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28643	C		参照語い(彙)体系、参照オントロジー	さんしょうごいたいけい、さんしょうおんとろじー	reference ontology				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28644	C		ローカル語い(彙)体系、ローカルオントロジー	ろーかるごいたいけい、ろーかるおんとろじー	local ontology				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28645	C		真実文、センテンス	しんじつぶん、せんてんす	sentence				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28646	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28647	C		論理記号	ろんりきごう	logical symbol				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28648	C		非論理記号	ひろんりきごう	non-logical symbol				ISO/IEC 19763-3	2007				2007	SC32
28649	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28650	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28651	C		固定リンク	こていりんく	fixed link				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28652	C		一時的リンク	いちじてきりんく	temporal link				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28653	C		計算リンク	けいさんりんく	computed link				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28654	C		ユーザ定義リンク	ゆーざていぎりんく	user defined link				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28655	C		リンク属性	りんくぞくせい	link attribute				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28656	C		アイコン	あいこん	icon				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28657	C		対話型システム	たいわがたしすてむ	interactive system				ISO/IEC 24738	2006				2006	SC32
28658	C		原子的資源	げんしてきしげん	atomic resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28659	C		補足的原子的資源	ほそくてきげんしてきしげん	supplemental atomic resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28660	C		原子的対象資源	げんしてきたいしょうしげ	target atomic resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28661	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28662	C		コマンドパラメータ	こまんどぱらめーた	command parameter				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28663	C		入力パラメータ	にゅうりょくぱらめーた	input parameter				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28664	C		出力パラメータ、コマンド結果	しゅつりょくぱらめーた、こまんどけっか	output parameter, command result				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28665	C		入力-出力パラメータ	にゅうりょく-しゅつりょくぱらめーた	input-output parameter				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28666	C		グローバルパラメータ	ぐろーばるぱらめーた	global parameter				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28667	C		ローカルパラメータ	ろーかるぱらめーた	local parameter				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28668	C		定数	ていすう	constant				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28669	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28670	C		使用の文脈、使用文脈	しようのぶんみゃく、しようぶんみゃく	context of use, use context				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28671	C		制御位相	せいぎょいそう	control phase				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28672	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28673	C		発見	はっけん	discovery				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28674	C		発見位相	はっけんいそう	discovery phase				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28675	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28676	C		拡張マークアップ言語、XML	かくちょうまーくあっぷげんご、XML	extensible markup language, XML				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28677	C		グループ分け資源	ぐるーぷわけしげん	grouping resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28678	C		補足的グループ分け資源	ほそくてきぐるーぷわけしげん	supplemental grouping resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28679	C		インタフェース生成器	いんたふぇーすせいせい	interface generator				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28680	C		通知	つうち	notification				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28681	C		パーソナルデジタルアシスタント、PDA	ぱーそなるでじたるあしすたんと、PDA	personal digital assistant, PDA				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28682	C		表示テンプレート、PreT	ひょうじてんぷれーと、	presentation template,				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28683	C		表示テンプレートマークアップ言語、PreTML	ひょうじてんぷれーとまーくあっぷげんご、PreTML	presentation template markup language, PreTML				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28684	C		資源	しげん	resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28685	C		ターゲット資源	たーげっとしげん	target resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28686	C		補足的資源	ほそくてきしげん	supplemental resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28687	C		標準資源	ひょうじゅんしげん	standard resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28688	C		アクセスキー資源	あくせすきーしげん	access key resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28689	C		ヘルプ資源	へるぷしげん	help resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28690	C		キーワード資源	きーわーどしげん	keyword resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28691	C		ラベル資源	らべるしげん	label resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28692	C		補足的ラベル	ほそくてきらべる	supplemental label				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28693	C		資源記述	しげんきじゅつ	resource description				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28694	C		資源記述フレームワーク、RDF	しげんきじゅつふれーむわーく、RDF	Resource Description Framework, RDF				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28695	C		資源ディレクトリ	しげんでぃれくとり	resource directory				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28696	C		資源サービス	しげんさーびす	resource service				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28697	C		資源サービス記述	しげんさーびすきじゅつ	resource service				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28698	C		資源シート	しげんしーと	resource sheet				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28699	C		資源-URCネットワーク、RUN	しげん-URCねっとわーく、RUN	resource-URC network, RUN				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28700	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28701	C		セッション、制御セッション	せっしょん、せいぎょせっしょん	session, Control Session				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28702	C		共有セッション	きょうゆうせっしょん	shared sessions				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28703	C		ソケット、ユーザインタフェースソケット	そけっと、ゆーざいんたふぇーすそけっと	socket, user interface socket				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28704	C		ソケット記述、ユーザインタフェースソケット記述	そけっときじゅつ、ゆーざいんたふぇーすそけっときじゅつ	socket description, user interface socket description				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28705	C		ソケット要素	そけっとようそ	socket element				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28706	C		次元ソケット要素	じげんそけっとようそ	dimensional socket				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28707	C		ソケット要素コンポーネント、要素コンポーネント	そけっとようそこんぽーねんと、ようそこんぽーねん	socket element component, element				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28708	C		ソケットセット、セット	そけっとせっと、せっと	socket set, set				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28709	C		次元ソケットセット、繰り返しソケットセット	じげんそけっとせっと、くりかえしそけっとせっと	dimensional socket set, repeating socket set				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28710	C		(使用)対象	(しよう)たいしょう	target				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28711	C		(使用)対象記述、TD	(しよう)たいしょうきじゅつ、TD	target description, TD				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28712	C		(使用)対象インスタンス識別子	(しよう)たいしょういんすたんすしきべつし	target instance identifier				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28713	C		(使用)対象リソース	(しよう)たいしょうりそーす	target resource				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28714	C		(使用)対象－URCネットワーク、TUN	(しよう)たいしょう－URCねっとわーく、TUN	target-URC network, TUN				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28715	C		(使用)対象－URCネットワークリンク、TUNL	(しよう)たいしょう－URCねっとわーくりんく、TUNL	target-URC network link, TUNL				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28716	C		ユニバーサルリモートコンソール、URC	ゆにばーさるりもーとこんそーる、URC	universal remote console, URC				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28717	C		利用者インタフェース、UI	りようしゃいんたふぇー	user interface, UI				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28718	C		利用者インタフェース実施記述、UIID	りようしゃいんたふぇーすじっしきじゅつ、UIID	user interface implementation				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28719	C		変数	へんすう	variable				ISO/IEC 24752-1	2008				2008	SC35
28720	C		コンテキスト要素	こんてきすとようそ	context element				ISO/IEC 24752-2	2008				2008	SC35
28721	C		依存性	いぞんせい	dependency				ISO/IEC 24752-2	2008				2008	SC35
28722	C		通知する	つうちする	notify				ISO/IEC 24752-2	2008				2008	SC35
28723	C		統一資源識別子、URI	とういつしげんしきべつし、URI	uniform resource identifier, URI				ISO/IEC 24752-2	2008				2008	SC35
28724	C		対話(機能)(要素)	たいわ(きのう)(ようそ)	interactor				ISO/IEC 24752-3	2008				2008	SC35
28725	C		抽象的対話(機能)(要素)	ちゅうしょうてきたいわ(きのう)(ようそ)	abstract interactor				ISO/IEC 24752-3	2008				2008	SC35
28726	C		具体的対話(機能)(要素)	ぐたいてきたいわ(きのう)(ようそ)	concrete interactor				ISO/IEC 24752-3	2008				2008	SC35
28727	C		統一資源識別子、URI	とういつしげんしきべつし、URI	uniform resource identifier, URI				ISO/IEC 24752-3	2008				2008	SC35
28728	C		匿名原子的資源	とくめいげんしてきしげん	anonymous atomic				ISO/IEC 24752-5	2008				2008	SC35
28729	C		匿名資源	とくめいしげん	anonymous resource				ISO/IEC 24752-5	2008				2008	SC35
28730	C		原子的資源記述	げんしてきしげんきじゅつ	atomic resource				ISO/IEC 24752-5	2008				2008	SC35
28731	C		言語拡張	げんごかくちょう	language extension				ISO/IEC 24752-5	2008				2008	SC35
28732	C		ターゲットインスタンス識別子、対象インスタンス識別子	たーげっといんすたんすしきべつし、たいしょういんすたんすしきべつし	target instance identifier				ISO/IEC 24752-5	2008				2008	SC35
28733	C		UIID記述	UIIDきじゅつ	UIID description				ISO/IEC 24752-5	2008				2008	SC35
28734	C		識別子	しきべつし	identifier				ISO/IEC 24755	2007				2007	SC35
28735	C		ラベル	らべる	label				ISO/IEC 24755	2007				2007	SC35
28736	C		参照	さんしょう	reference				ISO/IEC 24755	2007				2007	SC35
28737	C		特定表示形	とくていひょうじかた	specific variations				ISO/IEC 24755	2007				2007	SC35
28738	C		状態表示子	じょうたいひょうじし	status indicator				ISO/IEC 24755	2007				2007	SC35
28739	C		状態的表示形	じょうたいてきひょうじかた	status variations				ISO/IEC 24755	2007				2007	SC35
28740	C		集約要素、AE	しゅうやくようそ、AE	Aggregating Element, AE				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28741	C		協調(学習)規格、CT規格	きょうちょう(がくしゅう)きかく、CTきかく	Collaborative Technology standards, CT standards				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28742	C		条件付必す(須)	じょうけんつきひっす	conditionally mandatory				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28743	C		条件付任意選択	じょうけんつきにんいせんたく	conditionally optional				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28744	C		データ要素、DE	でーたようそ、DE	Data Element, DE				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28745	C		データ要素データタイプ、DEデータタイプ	でーたようそでーたたいぷ、DEでーたたいぷ	Data Element datatype, DE datatype				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28746	C		データモデル、DM	でーたもでる、DM	Data Model, DM				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28747	C		データモデル要素、DME	でーたもでるようそ、DME	Data Model Element, DME				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28748	C		データモデル要素属性、DME属性	でーたもでるようそぞくせい、DMEぞくせい	Data Model Element attribute, DME attribute				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28749	C		データモデル要素定義、DME定義	でーたもでるようそていぎ、DMEていぎ	Data Model Element definition, DME definition				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28750	C		データモデル要素指定、DME指定	でーたもでるようそていし、DMEしてい	Data Model Element designation, DME				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28751	C		データモデル要素識別子、DME識別子	でーたもでるようそしきべつし、DMEしきべつし	Data Model Element identifier, DME identifier				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28752	C		データモデル要素インスタンス化、DMEインスタンス化	でーたもでるようそいんすたんすか、DMEいんすたんすか	Data Model Element instantiation, DME instantiation				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28753	C		データモデル要素多様性、DME多様性	でーたもでるようそたようせい、DMEたようせい	Data Model Element multiplicity, DME				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28754	C		データモデル要素義務状態、DME義務状態	でーたもでるようそぎむじょうたい、DMEぎむじょうたい	Data Model Element obligation status, DME obligation status				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28755	C		データモデルインスタンス化、DMインスタンス化	でーたもでるいんすたんすか、DMいんすたんすか	Data Model instantiation, DM instantiation				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28756	C		必す(須)	ひっす	mandatory				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28757	C		任意選択	にんいせんたく	optional				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28758	C		ルート要素、RE	るーとようそ、RE	Root Element, RE				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28759	C		協調活動	きょうちょうかつどう	collaborative activity				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28760	C		協調効果	きょうちょうこうか	collaborative effect				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28761	C		協調環境	きょうちょうかんきょう	collaborative environment				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28762	C		協調機能	きょうちょうきのう	collaborative function				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28763	C		協調グループ	きょうちょうぐるーぷ	collaborative group				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28764	C		協調サービス	きょうちょうさーびす	collaborative service				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28765	C		協調ツール	きょうちょうつーる	collaborative tool				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28766	C		協調職場	きょうちょうしょくば	collaborative workplace				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28767	C		参加者	さんかしゃ	participant				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28768	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 19778-1	2008				2008	SC36
28769	C		表現	ひょうげん	expression				ISO/IEC 19780-1	2008				2008	SC36
28770	C		表現添付	ひょうげんてんぷ	expression attachment				ISO/IEC 19780-1	2008				2008	SC36
28771	C		表現本体	ひょうげんほんたい	expression body				ISO/IEC 19780-1	2008				2008	SC36
28772	C		テキスト	てきすと	text				ISO/IEC 19780-1	2008				2008	SC36
28773	C		ASTD	ASTD	ASTD				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28774	C		CELTSC	CELTSC	CELTSC				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28775	C		CWA	CWA	CWA				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28776	C		顧客	こきゃく	customer				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28777	C		データ品質	でーたひんしつ	data quality				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28778	C		DIN e.V.	DIN e.V.	DIN e.V.				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28779	C		ECTS	ECTS	ECTS				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28780	C		EFQM	EFQM	EFQM				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28781	C		関係当事者	かんけいとうじしゃ	interested party				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28782	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28783	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28784	C		品質	ひんしつ	quality				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28785	C		品質評価	ひんしつひょうか	quality assessment				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28786	C		品質保証(QA)	ひんしつほしょう(QA)	quality assurance (QA)				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28787	C		品質管理	ひんしつかんり	quality control				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28788	C		品質改善	ひんしつかいぜん	quality improvement				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28789	C		品質管理(QM)	ひんしつかんり(QM)	quality management (QM)				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28790	C		品質目標	ひんしつもくひょう	quality objective				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28791	C		QoL	QoL	QoL				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28792	C		品質計画	ひんしつけいかく	quality planning				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28793	C		品質方針	ひんしつほうしん	quality policy				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28794	C		RFDQ	RFDQ	RFDQ				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28795	C		RQC	RQC	RQC				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28796	C		SCORM	SCORM	SCORM				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28797	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28798	C		サービス品質(SQ)	さーびすひんしつ(SQ)	service quality (SQ)				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28799	C		総合的品質管理(TQM)	そうごうてきひんしつかんり(TQM)	Total Quality Management (TQM)				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28800	C		W3C	W3C	W3C				ISO/IEC 19796-1	2005				2005	SC36
28801	C		診断、アセスメント	しんだん、あせすめんと	assessment				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28802	C		診断センター	しんだんせんたー	assessment centre				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28803	C		診断内容	しんだんないよう	assessment content				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28804	C		診断配布者	しんだんはいふしゃ	assessment distributor				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28805	C		診断書式	しんだんしょしき	assessment form				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28806	C		診断ソフトウェア	しんだんそふとうぇあ	assessment software				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28807	C		診断スポンサ	しんだんすぽんさ	assessment sponsor				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28808	C		支援技術	しえんぎじゅつ	assistive technology				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28809	C		候補者	こうほしゃ	candidate				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28810	C		正確回答	せいかくかいとう	correct response				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28811	C		配信プラットフォーム	はいしんぷらっとふぉーむ	delivery platform				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28812	C		公平性	こうへいせい	fairness				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28813	C		高利害診断	こうりがいしんだん	high-stakes assessment				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28814	C		ICT	ICT	ICT				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28815	C		IT	IT	IT				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28816	C		試験監督	しけんかんとく	invigilation				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28817	C		試験監督者	しけんかんとくしゃ	invigilator				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28818	C		アイテム	あいてむ	item				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28819	C		低利害診断	ていりがいしんだん	low-stakes assessment				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28820	C		自由回答	じゆうかいとう	open-ended response				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28821	C		信頼性	しんらいせい	reliability				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28822	C		回答	かいとう	response				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28823	C		結果	けっか	result				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28824	C		得点、スコア	とくてん、すこあ	score				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28825	C		妥当性	だとうせい	validity				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28826	C		ワークステーション	わーくすてーしょん	workstation				ISO/IEC 23988	2007				2007	SC36
28827	C		アクセス機能	あくせすきのう	access facility				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28828	C		関連性	かんれんせい	association				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28829	C		関連性マネジメント機能	かんれんせいまねじめんときのう	association management facility				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28830	C		基礎的相互作用機能	きそてきそうごさようきのう	basic interworking facility				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28831	C		クライアント側	くらいあんとがわ	client-side				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28832	C		応答プリミティブ	おうとうぷりみてぃぶ	deliver primitive				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28833	C		起動送信	きどうそうしん	invocation submit				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28834	C		起動応答	きどうおうとう	invocation deliver				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28835	C		受付確認機能	うけつけかくにんきのう	location facility				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28836	C		サーバ側	さーばがわ	server-side				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28837	C		サービスプリミティブ	さーびすぷりみていぶ	service primitive				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28838	C		送信プリミティブ	そうしんぷりみていぶ	submit primitive				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28839	C		終了応答	しゅうりょうおうとう	termination deliver				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28840	C		終了送信	しゅうりょうそうしん	termination submit				ISO/IEC 14752	2000				2000	SC7
28841	C		関係	かんけい	relationship				ISO/IEC 14769	2001				2001	SC7
28842	C		関係型	かんけいかた	relationship type				ISO/IEC 14769	2001				2001	SC7
28843	C		関係	かんけい	relation				ISO/IEC 14769	2001				2001	SC7
28844	C		アーク	あーく	Arc				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28845	C		(遷移の)入力アーク	(せんいの)にゅうりょくあー	Input Arc (of a transition)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28846	C		(遷移の)出力アーク	(せんいの)しゅつりょくあー	Output Arc (of a				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28847	C		アーク注釈	あーくちゅうしゃく	Arc Annotation				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28848	C		アリティ、入出力ソート(数)	ありてぃ、にゅうしゅつりょくそーと(すう)	Arity				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28849	C		割り当て	わりあて	Assignment				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28850	C		基底系	きていけい	Basis Set				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28851	C		結合	けつごう	Binding				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28852	C		台	だい	Carrier				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28853	C		完全並行	かんぜんへいこう	Concurrency				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28854	C		宣言	せんげん	Declaration				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28855	C		(遷移の)実行可能	(せんいの)じっこうかのう	Enabling (a transition)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28856	C		(遷移モードの)並行実行可能	(せんいもーどの)へいこうじっこうかのう	Concurrent Enabling (of transition modes)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28857	C		高レベルネット(高レベルペトリネット)	こうれべるねっと(こうれべるぺとりねっと)	High-level Net (High-level Petri Net)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28858	C		高レベルペトリネットグラフ	こうれべるぺとりねっとぐらふ	High-level Petri Net Graph				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28859	C		多ソート代数	たそーとだいすう	Many-sorted Algebra				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28860	C		(ネットの)マーキング	(ねっとの)まーきんぐ	Marking (of a net)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28861	C		(ネットの)初期マーキング	(ねっとの)しょきまーきんぐ	Initial Marking (of the net)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28862	C		プレースの初期マーキン	ぷれーすのしょきまーきん	Initial Marking of a place				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28863	C		プレースのマーキング	ぷれーすのまーきんぐ	Marking of a place				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28864	C		到達可能マーキング	とうたつかのうまーきんぐ	Reachable Marking				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28865	C		到達可能性セット	とうたつかのうせいせっと	Reachability Set				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28866	C		多重集合	たじゅうしゅうごう	Multiset				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28867	C		重複度	ちょうふくど	Multiplicity				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28868	C		多重集合(の)濃度、多重集合(の)基数	たじゅうしゅうごう(の)のうど、たじゅうしゅうごう(の)	Multiset Cardinality (cardinality of a multiset)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28869	C		ネット	ねっと	Net				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28870	C		ネットグラフ	ねっとぐらふ	Net Graph				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28871	C		(ネットの)ノード	(ねっとの)のーど	Node (of a net)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28872	C		ペトリネット	ぺとりねっと	Petri Net				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28873	C		プレース遷移ネット	ぷれーすせんいねっと	Place/Transition Net				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28874	C		オペレータ	おぺれーた	Operator				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28875	C		パラメータ	ぱらめーた	Parameter				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28876	C		パラメータ化高レベルネットグラフ	ぱらめーたかこうれべるねっとぐらふ	Parameterized High-level Net Graph				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28877	C		プレース	ぷれーす	Place				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28878	C		(遷移の)入力プレース	(せんいの)にゅうりょくぷれーす	Input Place (of a transition)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28879	C		(遷移の)出力プレース	(せんいの)しゅつりょくぷれーす	Output Place (of a transition)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28880	C		プレース型	ぷれーすかた	Place Type				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28881	C		到達可能性グラフ	とうたつかのうせいぐらふ	Reachability Graph				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28882	C		シグニチャ、多ソート シグニチャ	しぐにちゃ、たそーとしぐにちゃ	Signature/Many-sorted signature				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28883	C		ブールシグニチャ	ぶーるしぐにちゃ	Boolean signature				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28884	C		ソート	そーと	Sort				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28885	C		変域ソート	へんいきそーと	Argument Sort				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28886	C		入力ソート	にゅうりょくそーと	Input Sort				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28887	C		出力ソート	しゅつりょくそーと	Output Sort				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28888	C		値域ソート	ちいきそーと	Range Sort				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28889	C		項	こう	Term				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28890	C		閉項	へいこう	Closed Term				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28891	C		項評価	こうひょうか	Term Evaluation				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28892	C		トークン	とーくん	Token				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28893	C		許可トークン	きょかとーくん	Enabling Tokens				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28894	C		単純トークン	たんじゅんとーくん	Simple Token				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28895	C		遷移	せんい	Transition				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28896	C		遷移状態	せんいじょうたい	Transition Condition				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28897	C		遷移モード	せんいもーど	Transition Mode				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28898	C		モード	もーど	Mode				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28899	C		遷移発生(遷移規則)	せんいはっせい(せんいきそく)	Transition Occurrence (Transition Rule)				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28900	C		ステップ	すてっぷ	Step				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28901	C		遷移変数	せんいへんすう	Transition Variables				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28902	C		型	かた	Type				ISO/IEC 15909-1	2004				2004	SC7
28903	C		アクセシビリティ、アクセス可能性	あくせしびりてぃ、あくせすかのうせい	accessibility				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28904	C		アクティブ領域	あくていぶりょういき	active area				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28905	C		アクティブテキスト	あくていぶてきすと	active text				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28906	C		アルファ試験	あるふぁしけん	alpha testing				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28907	C		分析	ぶんせき	analysis				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28908	C		アプリケーションソフトウェア	あぷりけーしょんそふとうぇあ	application software				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28909	C		アプリケーションウィンドウ	あぷりけーしょんういんど	application window				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28910	C		認識情報、認知情報	にんしきじょうほう、にんちじょうほう	appreciation information, awareness information				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28911	C		読者	どくしゃ	audience				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28912	C		作者、オーサ	さくしゃ、おーさ	author				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28913	C		ベータ試験	べーたしけん	beta testing				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28914	C		吹き出しヒント、吹き出しヘルプ	ふきだしひんと、ふきだしへるぷ	bubble help, hover help, flyover help				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28915	C		変更制御手順	へんこうせいぎょてじゅん	change control procedures				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28916	C		クローム	くろーむ	chrome				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28917	C		構成管理	こうせいかんり	configuration management				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28918	C		文脈依存ヘルプ	ぶんみゃくいぞんへるぷ	context sensitive help				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28919	C		文脈依存性	ぶんみゃくいぞんせい	context sensitivity				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28920	C		調製、カスタマイズ	ちょうせい、かすたまいず	customisation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28921	C		設計	せっけい	design				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28922	C		開発	かいはつ	development				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28923	C		ディスプレイ	でぃすぷれい	display, noun				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28924	C		文書	ぶんしょ	document, noun				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28925	C		マニュアル(群)、取扱説明書(群)	まにゅある(ぐん)、とりあつかいせつめいしょ(ぐん)	documentation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28926	C		マニュアル(群)概要、取扱説明書(群)概要	まにゅある(ぐん)がいよう、とりあつかいせつめいしょ(ぐん)がいよう	documentation plan				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28927	C		マニュアル一式、取扱説明書一式	まにゅあるいっしき、とりあつかいせつめいしょいっし	documentation suite				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28928	C		組込マニュアル、組込取扱説明書	くみこみまにゅある、くみこみとりあつかいせつめい	embedded documentation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28929	C		入力フィールド	にゅうりょくふぃーるど	entry field				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28930	C		第三者預託物、エスクロー	だいさんしゃよたくぶつ、えすくろー	escrow				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28931	C		フラグメント	ふらぐめんと	fragment				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28932	C		機能	きのう	function				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28933	C		ハイパーテキスト	はいぱーてきすと	hypertext				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28934	C		アイコン	あいこん	icon				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28935	C		実装	じっそう	implementation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28936	C		国際化	こくさいか	internationalisation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28937	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28938	C		現地化、ローカライゼーション	げんちか、ろーからいぜーしょん	localisation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28939	C		メニュー	めにゅー	menu				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28940	C		ナビゲーション	なびげーしょん	navigation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28941	C		画面上文書	がめんじょうぶんしょ	on-screen documentation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28942	C		印刷マニュアル	いんさつまにゅある	printed documentation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28943	C		画像	がぞう	picture				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28944	C		プラットフォーム	ぷらっとふぉーむ	platform				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28945	C		ポップアップ	ぽっぷあっぷ	pop-up				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28946	C		主ウィンドウ	しゅういんどう	primary window				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28947	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28948	C		製品、ソフトウェア製品	せいひん、そふとうぇあせいひん	product, software product				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28949	C		製品責任者	せいひんせきにんしゃ	product authority				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28950	C		プロジェクト	ぷろじぇくと	project				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28951	C		プロジェクトマネージャ	ぷろじぇくとまねーじゃ	project manager				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28952	C		品質管理	ひんしつかんり	quality management				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28953	C		実世界オブジェクト	じつせかいおぶじぇくと	real world object				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28954	C		副ウィンドウ	ふくういんどう	secondary window				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28955	C		別文書	べつぶんしょ	separate documentation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28956	C		道案内、サインポスト	みちあんない、さいんぽす	signpost				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28957	C		ソフトウェア	そふとうぇあ	software				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28958	C		(技術的)問い合わせ先	(ぎじゅつてき)といあわせさき	technical contact				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28959	C		技術仕様	ぎじゅつしよう	technical specification				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28960	C		トピック	とぴっく	topic				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28961	C		有用性	ゆうようせい	usability				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28962	C		利用者、ユーザ	りようしゃ、ゆーざ	user				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
28963	C		ユーザ文書	ゆーざぶんしょ	user documentation				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28964	C		ユーザインタフェース	ゆーざいんたふぇーす	user interface				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28965	C		ウィンドウ、情報ウィンドウ	ういんどう、じょうほううぃんどう	window, information window				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28966	C		ウィザード	ういざーど	wizard				ISO/IEC 18019	2004				2004	SC7
28967	C		適応保守	てきおうほしゅ	adaptive maintenance				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28968	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28969	C		アプリケーション機能規模	あぷりけーしょんきのうき	application functional size				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28970	C		アプリケーションファンクションポイント計測	あぷりけーしょんふぁんくしょんぽいんとけいそく	application function point count				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28971	C		アレンジ	あれんじ	arranging				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28972	C		関係実体型	かんけいじったいがた	associative entity type				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28973	C		属性実体型	ぞくせいじったいがた	attributive entity type				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28974	C		基本機能構成要素、BFC	きほんきのうこうせいようそ、BFC	base functional component, BFC				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28975	C		境界	きょうかい	boundary				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28976	C		矛盾のない状態	むじゅんのないじょうたい	consistent state				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28977	C		制御情報	せいぎょじょうほう	control information				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28978	C		変換機能性	へんかんきのうせい	conversion functionality				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28979	C		修正保守	しゅうせいほしゅ	corrective maintenance				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28980	C		計測範囲	けいそくはんい	counting scope				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28981	C		データ項目数、DET	でーたこうもくすう、DET	Data Element Type, DET				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28982	C		データファンクション	でーたふぁんくしょん	data function				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28983	C		導出データ	どうしゅつでーた	derived data				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28984	C		開発プロジェクト	かいはつぷろじぇくと	development project				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28985	C		開発プロジェクト機能規模	かいはつぷろじぇくときのうきぼ	development project functional size				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28986	C		開発プロジェクトファンクションポイント計測	かいはつぷろじぇくとふぁんくしょんぽいんとけいそく	development project function point count				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28987	C		基本プロセス	きほんぷろせす	elementary process				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28988	C		強化プロジェクト	きょうかぷろじぇくと	enhancement project				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28989	C		強化プロジェクト機能規模	きょうかぷろじぇくときのうきぼ	enhancement project functional size				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28990	C		強化プロジェクトファンクションポイント計測	きょうかぷろじぇくとふぁんくしょんぽいんとけいそく	enhancement project function point count				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28991	C		実体依存	じったいいぞん	entity dependent				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28992	C		実体独立	じったいどくりつ	entity independent				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28993	C		外部入力、EI	がいぶにゅうりょく、EI	External Input, EI				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28994	C		外部問い合わせ、EQ	がいぶといあわせ、EQ	External Inquiry, EQ				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28995	C		外部インタフェースファイル、EIF	がいぶいんたふぇーすふぁいる、EIF	External Interface File, EIF				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28996	C		外部出力、EO	がいぶしゅつりょく、EO	External Output, EO				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28997	C		関連ファイル数、FTR	かんれんふぁいるすう、	File Type Referenced,				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28998	C		ファンクションの複雑さ	ふぁんくしょんのふくざつさ	functional complexity				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
28999	C		機能規模	きのうきぼ	functional size				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29000	C		利用者機能要件	りようしゃきのうようけん	Functional User Requirements				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29001	C		ファンクションポイント、FP	ファンクションポイント、FP	Function Point, FP				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29002	C		ファンクションポイント分析、FPA	きのうてんぶんせき、FPA	Function Point Analysis, FPA				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29003	C		ファンクションポイント計測	ふぁんくしょんぽいんとけいそく	function point count				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29004	C		ファンクション型	ふぁんくしょんがた	function type				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29005	C		内部論理ファイル、ILF	ないぶろんりふぁいる、ILF	Internal Logical File, ILF				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29006	C		維持管理	いじかんり	maintain				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29007	C		意味のある	いみのある	meaningful				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29008	C		完了保守	かんりょうほしゅ	perfective maintenance				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29009	C		一次意図	いちじいと	primary intent				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29010	C		処理論理	しょりろんり	processing logic				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29011	C		計測の目的	けいそくのもくてき	purpose of the count				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29012	C		記録要素型、RET	きろくようそかた、RET	Record Element Type,				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29013	C		自己完結型	じこかんけつかた	self-contained				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29014	C		ソーティング	そーていんぐ	sorting				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29015	C		トランザクション機能	とあんざくしょんきのう	transactional function				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29016	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29017	C		利用者理解可能	りようしゃりかいかのう	user recognizable				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29018	C		利用者視点	りようしゃしてん	user view				ISO/IEC 20926	2009				2009	SC7
29019	C		調整済み規模	ちょうせいずみきぼ	Adjusted Size				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29020	C		アルブレヒト1984	あるぶれひと1984	Albrecht 1984				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29021	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	Application				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29022	C		アプリケーション機能ポイント	あぷりけーしょんきのうぽいんと	Application Function Point Count				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29023	C		属性	ぞくせい	Attribute				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29024	C		ベースライン機能ポイント	べーすらいんきのうぽいんと	Baseline Function Point Count				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29025	C		境界	きょうかい	Boundary				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29026	C		変更	へんこう	Change				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29027	C		変更プロジェクト機能ポイント	へんこうぷろじぇくときのうぽいんと	Change Project Function Point Count				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29028	C		データ要素型(DET)	でーたようそかた(DET)	Data Element Type (DET)				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29029	C		影響度 (DI)	えいきょうど (DI)	Degree of Influence (DI)				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29030	C		開発	かいはつ	Development				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29031	C		開発プロジェクト機能ポイント	かいはつぷろじぇくときのうぽいんと	Development Project, Function Point Count				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29032	C		機能改良	きのうかいりょう	Enhancement				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29033	C		実体(又はデータ実体型)	じったい(またはでーたじったいかた)	Entity (or Data Entity Type)				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29034	C		実体下位型	じったいかいがた	Entity Subtype				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29035	C		機能ポイント分析(FPA)	きのうぽいんとぶんせき(FPA)	Function Point Analysis (FPA)				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29036	C		機能規模	きのうきぼ	Functional Size				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29037	C		機能規模測定(FSM)	きのうきぼそくてい(FSM)	Functional Size Measurement (FSM)				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29038	C		利用者機能要求事項	りようしゃきのうようきゅうじこう	Functional User Requirements				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29039	C		一般システム性能	いっぱんしすてむせいのう	General System Characteristics				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29040	C		実装機能ポイント	じっそうきのうぽいんと	Installed Function Point Count				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29041	C		IFPUG	IFPUG	IFPUG				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29042	C		対話(形)	たいわ(かた)	Interactive				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29043	C		論理トランザクション	ろんりとらんざくしょん	Logical Transaction				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29044	C		ナビゲーション支援	なびげーしょんしえん	Navigational Aids				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29045	C		非一次実体	ひいちじじったい	Non-Primary Entity				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29046	C		一次実体型	いちじじったいかた	Primary Entity-Type				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29047	C		品質要求事項	ひんしつようきゅうじこう	Quality Requirements				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29048	C		要求のなし崩し的増加	ようきゅうのなしくずしてきぞうか	Scope Creep				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29049	C		SLOC	SLOC	SLOC				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29050	C		システム	しすてむ	System				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29051	C		システム実体	しすてむじったい	System Entity				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29052	C		技術的複雑度調整	ぎじゅつてきふくざつどちょうせい	Technical Complexity Adjustment				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29053	C		技術的複雑度調整因子	ぎじゅつてきふくざつどちょうせいいんし	Technical Complexity Adjustment Factors				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29054	C		技術的要求事項	ぎじゅつてきようきゅうじこ	Technical Requirements				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29055	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 20968	2002				2002	SC7
29056	C		活動	かつどう	activity				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29057	C		ベースライン	べーすらいん	baseline				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29058	C		構成アイテム	こうせいあいてむ	configuration item				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29059	C		COTS、市販品	COTS、しはんひん	COTS, Commercial-Off-The-Shelf (acronym)				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29060	C		開発	かいはつ	development				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29061	C		ライフサイクルモデル	らいふさいくるもでる	life cycle model				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29062	C		測定する	そくていする	measure, verb				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29063	C		測定値	そくていち	measure, noun				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29064	C		測定	そくてい	measurement				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29065	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29066	C		退行テスト	たいこうてすと	regression testing				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29067	C		リリース	りりーす	release				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29068	C		複製	ふくせい	replication				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29069	C		ソフトウェアアイテム	そふとうぇあああいてむ	software item				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29070	C		ソフトウェア製品	そふとうぇあせいひん	software product				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29071	C		ソフトウェアサービス	そふとうぇあさーびす	software service				ISO/IEC 90003	2004				2004	SC7
29072	C		一次標準	いちじひょうじゅん	primary standard				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29073	C		二次標準	にじひょうじゅん	secondary standard				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29074	C		未使用未記録カード	みしようみきろくかーど	unused un-encoded card				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29075	C		未使用記録済みカード	みしようきろくずみかーど	unused encoded card				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29076	C		返却カード	へんきゃくかーど	returned card				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29077	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29078	C		基準電流、I_R	きじゅんでんりゅう、I_R	reference current, I_R				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29079	C		基準磁束レベル、F_R	きじゅんじそくれべる、F_R	reference flux level, F_R				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29080	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording currents				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29081	C		個別信号振幅、U_i	こべつしんごうしんぷく、U_i	individual signal amplitude, U_i				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29082	C		平均信号振幅、U_A	へいきんしんごうしんぷく、U_A	average signal amplitude, U_A				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29083	C		基準信号振幅、U_R	きじゅんしんごうしんぷく、U_R	reference signal amplitude, U_R				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29084	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29085	C		ビット密度	びっとみつど	bit density				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29086	C		ビットセル	びっとせる	bit cell				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29087	C		平均ビットセル、Ba	へいきんびっとせる、Ba	average bit cell, Ba				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29088	C		局所平均ビットセル、B_{a6}	きょくしょへいきんびっとせる、B_{a6}	local average bit cell, B_{a6}				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29089	C		消磁電流、I_d	しょうじでんりゅう、I_d	demagnetization current, I_d				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29090	C		L_1	L_1	L_1				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29091	C		L_2	L_2	L_2				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29092	C		L_3	L_3	L_3				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29093	C		FSC	FSC	FSC				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29094	C		CRC	CRC	CRC				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29095	C		CP	CP	CP				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29096	C		U_F	U_F	U_F				ISO/IEC 7811-7	2004				2004	SC17
29097	C		整列アドレス	せいれつあどれす	Aligned address				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29098	C		ANS Forth	ANS Forth	ANS Forth				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29099	C		バイト降順	ばいとこうじゅん	Big-endian				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29100	C		バイナリ	ばいなり	Binary				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29101	C		C	C	C				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29102	C		カード選択サービス(CCS)	かーどせんたくさーびす(CCS)	Card Selected Services (CSS)				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29103	C		セル	せる	Cell				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29104	C		コンパイル	こんぱいる	Compile				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29105	C		圧縮数値	あっしゅくすうち	Compressed numeric				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29106	C		長さ付き文字列	ながさつきもじれつ	Counted string				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29107	C		データ領域	でーたりょういき	Data space				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29108	C		データスタック	でーたすたっく	Data stack				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29109	C		EMV	EMV	EMV				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29110	C		EMV 4.0	EMV 4.0	EMV 4.0				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29111	C		例外フレーム	れいがいふれーむ	Exception frame				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29112	C		例外スタック	れいがいすたっく	Exception stack				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29113	C		実行ポインタ	じっこうぽいんた	Execution pointer				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29114	C		実装適合性宣言	じっそうてきごうせいせんげん	Implementation Conformance Statement				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29115	C		インスタンスを作成する	いんすたんすをさくせいす	Instantiate				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29116	C		解釈する	かいしゃくする	Interpret				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29117	C		カーネル	かーねる	Kernel				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29118	C		ライブラリモジュール	らいぶらりもじゅーる	Library Module				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29119	C		LISP	LISP	LISP				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29120	C		モジュール	もじゅーる	Module				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29121	C		モジュールリポジトリ	もじゅーるりぽじとり	Module Repository				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29122	C		不揮発性	ふきはつせい	Non-volatile				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29123	C		数値	すうち	Numeric				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29124	C		戻りスタック	もどりすたっく	Return stack				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29125	C		スタック	すたっく	Stack				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29126	C		端末	たんまつ	Terminal				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29127	C		端末プログラム	たんまつぷろぐらむ	Terminal Program				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29128	C		端末常駐サービス(TRS)	たんまつじょうちゅうさーびす(TRS)	Terminal Resident Services (TRS)				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29129	C		端末選択サービス(TSS)	たんまつせんたくさーびす(TSS)	Terminal Selected Services (TSS)				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29130	C		トークン	とーくん	Token				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29131	C		トークンコンパイラ	とーくんこんぱいら	Token Compiler				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29132	C		トークンローダ/インタープリタ	とーくんろーだ/いんたーぷりた	Token Loader/Interpreter				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29133	C		仮想機械	かそうきかい	Virtual Machine				ISO/IEC 20060	2001				2001	SC17
29134	C		絶対フレーム番号(AFN)	ぜったいふれーむばんごう(AFN)	Absolute Frame Number (AFN)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29135	C		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29136	C		アクセスポイント	あくせすぽいんと	Access Point				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29137	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29138	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29139	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29140	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29141	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29142	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29143	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29144	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29145	C		コードワード、符号語	こーどわーど、ふごうご	Codeword				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29146	C		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29147	C		早期警告点、EWP	そうきけいこくてん、EWP	Early Warning Point (EWP)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29148	C		データの終端、EOD	でーたのしゅうたん、EOD	End of Data (EOD)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29149	C		エンティティ、実体	えんていてい、じったい	Entity				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29150	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29151	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29152	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29153	C		フラグメント	ふらぐめんと	Fragment				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29154	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29155	C		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	Housekeeping Frame				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29156	C		テープの論理的始端、LBOT	てーぷのろんりてきしたん、LBOT	Logical Beginning of Tape (LBOT)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29157	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29158	C		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29159	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29160	C		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	Optimum Recording Field				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29161	C		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition Boundary				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29162	C		テープの物理的始端、PBOT	てーぷのぶつりてきしたん、PBOT	Physical Beginning of Tape (PBOT)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29163	C		テープの物理的終端、PEOT	てーぷのぶつりてきしゅうたん、PEOT	Physical End of Tape (PEOT)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29164	C		物理的記録密度	ぶつりてききろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29165	C		記録前条件	きろくまえじょうけん	pre-recording condition				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29166	C		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29167	C		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29168	C		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	Processed Record				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29169	C		圧縮レコード列	あっしゅくれこーどれつ	Processed Record Sequence				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29170	C		レコード	れこーど	record				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29171	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29172	C		復元処理	ふくげんしょり	reprocessing				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29173	C		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29174	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29175	C		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29176	C		基準振幅	きじゅんしんぷく	Standard Reference Amplitude				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29177	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29178	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29179	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29180	C		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	Unprocessed Record				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29181	C		テープの仮想終端、VEOT	てーぷのかそうしゅうたん、VEOT	Virtual End of Tape (VEOT)				ISO/IEC 17462	2000				2000	SC23
29182	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29183	C		クランプ基準領域	くらんぷきじゅんりょういき	Clamping Reference Area				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29184	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29185	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29186	C		データゾーン	でーたぞーん	Data Zone				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29187	C		欠陥マネジメント	けっかんまねじめんと	defect management				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29188	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29189	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29190	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29191	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29192	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29193	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29194	C		論理セクタ	ろんりせくた	Logical Sector				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29195	C		論理ブロックアドレス	ろんりぶろっくあどれす	Logical Block Address				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29196	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29197	C		マーク縁	まーくえん	mark edge				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29198	C		マーク縁記録	まーくえんきろく	mark edge recording				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29199	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29200	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29201	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29202	C		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	prerecorded mark				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29203	C		再生パワー	さいせいぱわー	read power				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29204	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29205	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29206	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29207	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29208	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29209	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29210	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29211	C		書込み禁止あな(孔)	かきこみきんしあな	write-inhibit hole				ISO/IEC 20162	2001				2001	SC23
29212	C		接着層	せっちゃくそう	Adhesive layer				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29213	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29214	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29215	C		デジタル総計値、DSV	でじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value (DSV)				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29216	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29217	C		ダミー基板	だみーきばん	Dummy substrate				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29218	C		入射面	にゅうしゃめん	Entrance surface				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29219	C		グルーブ	ぐるーぶ	Groove				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29220	C		ランド	らんど	Land				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29221	C		光ディスク	ひかりでぃすく	Optical disk				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29222	C		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	Physical sector number				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29223	C		再生専用ディスク	さいせいせんようでぃすく	Read-only disk				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29224	C		記録層	きろくそう	Recording layer				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29225	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29226	C		予備フィールド	よびふぃーるど	Reserved field				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29227	C		セクタ	せくた	Sector				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29228	C		スペース	すぺーす	Space				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29229	C		基板	きばん	Substrate				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29230	C		トラック	とらっく	Track				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29231	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29232	C		ゾーン	ぞーん	Zone				ISO/IEC 20563	2001				2001	SC23
29233	C		アクセスポイント	あくせすぽいんと	Access Point				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29234	C		制御システム	せいぎょしすてむ	Control Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29235	C		コピーポインタ	こぴーぽいんた	Copy Pointer				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29236	C		データバイト	でーたばいと	data byte				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29237	C		データ記号	でーたきごう	Data Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29238	C		偏位フィールド、相対位置フィールド	へんいふぃーるど、そうたいいちふぃーるど	Displacement Field				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29239	C		符号化データストリーム	ふごうかでーたすとりーむ	Encoded Data Stream				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29240	C		符号化記録	ふごうかきろく	Encoded Record				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29241	C		終端マーカ	しゅうたんまーか	End Marker				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29242	C		記録終端記号(EOR記号)	きろくしゅうたんきごう(EORきごう)	End Of Record Symbol (EOR Symbol)				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29243	C		ファイルマーク	ふぁいるまーく	File Mark				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29244	C		ファイルマーク記号	ふぁいるまーくきごう	File Mark Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29245	C		フラッシュ記号	ふらっしゅきごう	Flush Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29246	C		履歴バッファ	りれきばっふぁ	History Buffer				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29247	C		リテラル1	りてらる1	Literal 1				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29248	C		リテラル2	りてらる2	Literal 2				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29249	C		一致バイト列	いっちばいとれつ	Matching String				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29250	C		一致バイト列長	いっちばいとれつちょう	Match Count				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29251	C		一致バイト列長フィールド	いっちばいとれつちょうふぃーるど	Match Count Field				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29252	C		パッド	ぱっど	Pad				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29253	C		記録	きろく	Record				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29254	C		記録セグメント	きろくせぐめんと	Record Segment				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29255	C		リセットX記号	りせっとXきごう	Reset X Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29256	C		リセット1記号	りせっと1きごう	Reset 1 Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29257	C		リセット2記号	りせっと2きごう	Reset 2 Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29258	C		スキーム1	すきーむ1	scheme 1				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29259	C		スキーム1記号	すきーむ1きごう	Scheme 1 Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29260	C		スキーム2	すきーむ2	scheme 2				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29261	C		スキーム2記号	すきーむ2きごう	Scheme 2 Symbol				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29262	C		利用者データ	りようしゃでーた	user data				ISO/IEC 22091	2002				2002	SC23
29263	C		アシンメトリ	あしんめとり	asymmetry				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29264	C		バンド	ばんど	band				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29265	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29266	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29267	C		制御情報トラック	せいぎょじょうほうとらっく	control track				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29268	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29269	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29270	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29271	C		エミュレーション	えみゅれーしょん	emulation				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29272	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29273	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29274	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29275	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29276	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29277	C		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29278	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29279	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29280	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29281	C		マークエッジ	まーくえっじ	mark edge				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29282	C		マークエッジ記録	まーくえっじきろく	mark edge recording				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29283	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29284	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29285	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29286	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29287	C		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29288	C		再生パワー	さいせいぱわー	read power				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29289	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29290	C		記録トラック	きろくとらっく	recording track				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29291	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29292	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29293	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29294	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29295	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29296	C		書込み禁止あな(孔)	かきこみきんしあな	write-inhibit hole				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29297	C		追記機能	ついききのう	write-once functionality				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29298	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 22092	2002				2002	SC23
29299	C		絶対フレーム番号(AFN)	ぜったいふれーむばんごう(AFN)	Absolute Frame Number (AFN)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29300	C		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29301	C		アクセス	あくせす	Access				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29302	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29303	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29304	C		自動トラック探知(ATF)	じどうとらっくたんち(ATF)	Automatic Track Finding (ATF)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29305	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29306	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29307	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29308	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29309	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29310	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29311	C		コードワード、符号語	こーどわーど、ふごうご	Codeword				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29312	C		早期警告点(EWP)	そうきけいこくてん(EWP)	EarlyWarning Point (EWP)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29313	C		データの終端(EOD)	でーたのしゅうたん(EOD)	End of Data (EOD)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29314	C		エンティティ、実体	えんていてい、じったい	Entity				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29315	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29316	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29317	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29318	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29319	C		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	Housekeeping Frame				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29320	C		テープの論理的始端	てーぷのろんりてきしたん	Logical Beginning of Tape (LBOT)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29321	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29322	C		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29323	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29324	C		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition Boundary				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29325	C		テープの物理的始端(PBOT)	てーぷのぶつりてきしたん(PBOT)	Physical Beginning of Tape (PBOT)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29326	C		テープの物理的終端(PEOT)	てーぷのぶつりてきしゅうたん(PEOT)	Physical End of Tape (PEOT)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29327	C		物理的記録密度	ぶつりてききろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29328	C		記録前条件	きろくまえじょうけん	pre-recording condition				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29329	C		圧縮処理	あっしゅくしょり	processing				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29330	C		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29331	C		圧縮レコード	あっしゅくれこーど	Processed Record				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29332	C		レコード	れこーど	record				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29333	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29334	C		RMIC	RMIC	Remote Memory In Cartridge (RMIC)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29335	C		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29336	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29337	C		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29338	C		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29339	C		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29340	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29341	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29342	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29343	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29344	C		未圧縮データ	みあっしゅくでーた	unprocessed data				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23
29345	C		未圧縮レコード	みあっしゅくれこーど	Unprocessed Record				ISO/IEC 23651	2003				2003	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29346	C		記録保存	きろくほぞん	archival				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29347	C		アレニウス法	あれにうすほう	Arrhenius method				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29348	C		基線	きせん	baseline				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29349	C		ブートストラップ法	ぶーとすとらっぷほう	bootstrap method				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29350	C		アイリング法	あいりんぐほう	Eyring Method				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29351	C		エラー率	えらーりつ	error rate				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29352	C		培養	ばいよう	incubation				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29353	C		平均余命、LE	へいきんよめい、LE	life expectancy, LE				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29354	C		最大エラー率	さいだいえらーりつ	maximum error rate				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29355	C		回収可能性	かいしゅうかのうせい	retrievability				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29356	C		ストレス	すとれす	stress				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29357	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29358	C		修復不可能エラー	しゅうふくふかのうえらー	uncorrectable error				ISO/IEC 10995	2008				2008	SC23
29359	C		アシンメトリ	あしんめとり	asymmetry				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29360	C		バンド	ばんど	band				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29361	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29362	C		ケース基準面	けーすきじゅんめん	Case Reference Plane				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29363	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29364	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29365	C		カバー層	かばーそう	cover layer				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29366	C		巡回冗長符号、CRC	じゅんかいじょうちょうふごう、CRC	Cyclic Redundancy Code, CRC				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29367	C		データフィールド	でーたふぃーるど	data field				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29368	C		欠陥管理	けっかんかんり	Defect Management				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29369	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29370	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29371	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code, ECC				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29372	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29373	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29374	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29375	C		インターリーピング	いんたーりーぴんぐ	interleaving				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29376	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29377	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29378	C		ミラーエリア	みらーえりあ	Mirror Area				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29379	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29380	C		光ディスクカートリッジ、ODC	ひかりでぃすくかーとりっじ、ODC	optical disk cartridge, ODC				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29381	C		相変化	そうへんか	Phase Change				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29382	C		物理ブロックアドレス、PBA	ぶつりぶろっくあどれす、PBA	Physical Block Address, PBA				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29383	C		物理トラック	ぶつりとらっく	Physical Track				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29384	C		再生パワー	さいせいぱわー	read power				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29385	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29386	C		記録トラック	きろくとらっく	Recording Track				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29387	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29388	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29389	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29390	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29391	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29392	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29393	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29394	C		利用者領域	りようしゃりょういき	User Area				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29395	C		ウォブル	うぉぶる	wobble				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29396	C		書込み禁止あな(孔)	かきこみきんしあな	write-inhibit hole				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29397	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 17345	2006				2006	SC23
29398	C		バンド	ばんど	band				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29399	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29400	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29401	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29402	C		制御トラック	せいぎょとらっく	control track				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29403	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29404	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29405	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29406	C		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29407	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29408	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29409	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29410	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29411	C		完全書き換え可能ディスク	かんぜんかきかえかのうでぃすく	fully rewritable disk				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29412	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29413	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29414	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29415	C		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29416	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29417	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29418	C		論理ZCAV	ろんりZCAV	logical ZCAV				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29419	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29420	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29421	C		光ディスクカートリッジ、ODC	ひかりでぃすくかーとりっじ、ODC	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29422	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29423	C		物理トラックグループ	ぶつりとらっくぐるーぷ	physical track group				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29424	C		ピッチ	ぴっち	pitch				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29425	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29426	C		再生パワー	さいせいぱわー	read power				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29427	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29428	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29429	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29430	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29431	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29432	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29433	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 17346	2005				2005	SC23
29434	C		バンド	ばんど	band				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29435	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29436	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29437	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29438	C		制御トラック	せいぎょとらっく	control track				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29439	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29440	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29441	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29442	C		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29443	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29444	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29445	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29446	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29447	C		完全書き換え可能ディスク	かんぜんかきかえかのうでぃすく	fully rewritable disk				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29448	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29449	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29450	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29451	C		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29452	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29453	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29454	C		論理ZCAV	ろんりZCAV	logical ZCAV				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29455	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29456	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29457	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29458	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29459	C		物理トラックグループ	ぶつりとらっくぐるーぷ	physical track group				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29460	C		ピッチ	ぴっち	pitch				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29461	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29462	C		再生パワー	さいせいぱわー	read power				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29463	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29464	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29465	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29466	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29467	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29468	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29469	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 22533	2005				2005	SC23
29470	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29471	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29472	C		デジタル総計値、DSV	でじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value (DSV)				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29473	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29474	C		ダミー基板	だみーきばん	dummy substrate				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29475	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29476	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29477	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29478	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29479	C		層構造	そうこうぞう	layer structure				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29480	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29481	C		マルチセッションディスク	まるちせっしょんでぃすく	Multi-session disk				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29482	C		物理セクタ	ぶつりせくた	Physical Sector				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29483	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29484	C		リードソロモン符号 (RS)	りーどそろもんふごう (RS)	Reed-Solomon code (RS)				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29485	C		基準速度	きじゅんそくど	Reference velocity				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29486	C		シングルセッションディス	しんぐるせっしょんでぃすく	Single-session disk				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29487	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29488	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29489	C		スペーサ	すぺーさ	spacer				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29490	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29491	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29492	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29493	C		VCPS	VCPS	VCPS				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29494	C		ウォブル	うぉぶる	wobble				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29495	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 25434	2007				2007	SC23
29496	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29497	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29498	C		デジタル総計値、DSV	でじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value, DSV				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29499	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29500	C		2層ディスク	にそうでぃすく	Dual Layer disk				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29501	C		ダミー層	だみーそう	dummy layer				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29502	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29503	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29504	C		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	physical sector number				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29505	C		ピット	ぴっと	pit				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29506	C		再生専用ディスク	さいせいせんようでぃすく	read-only disk				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29507	C		記録層	きろくそう	recorded layer				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29508	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29509	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29510	C		単層ディスク	たんそうでぃすく	Single Layer disk				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29511	C		スペーサ	すぺーさ	spacer				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29512	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29513	C		基板0	きばん0	substrate 0				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29514	C		基板1	きばん1	substrate 1				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29515	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29516	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29517	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 25435	2006				2006	SC23
29518	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29519	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29520	C		デジタル総計値、DSV	でじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value, DSV				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29521	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29522	C		ダミー基板	だみーきばん	dummy substrate				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29523	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29524	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29525	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29526	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29527	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29528	C		相変化	そうへんか	phase change				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29529	C		物理セクタ	ぶつりせくた	Physical Sector				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29530	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29531	C		リードソロモン符号、RS	りーどそろもんふごう、RS	Reed-Solomon code, RS				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29532	C		基準速度	きじゅんそくど	Reference velocity				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29533	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29534	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29535	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29536	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29537	C		ビデオコンテンツ保護システム、VCPS	びでおこんてんつほごしすてむ、VCPS	Video Content Protection System, VCPS				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29538	C		ウォブル	うぉぶる	wobble				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29539	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 26925	2006				2006	SC23
29540	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29541	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29542	C		デジタル総計値、DSV	でじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value (DSV)				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29543	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29544	C		ダミー基板	だみーきばん	dummy substrate				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29545	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29546	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29547	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29548	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29549	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29550	C		相変化	そうへんか	phase change				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29551	C		物理セクタ	ぶつりせくた	Physical Sector				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29552	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29553	C		リードソロモン符号 (RS)	りーどそろもんふごう (RS)	Reed-Solomon code (RS)				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29554	C		基準速度	きじゅんそくど	Reference velocity				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29555	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29556	C		スペーサ	すぺーさ	spacer				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29557	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29558	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29559	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29560	C		VCPS	VCPS	VCPS				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29561	C		ウォブル	うぉぶる	wobble				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29562	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 29642	2007				2007	SC23
29563	C		ブラウザ	ぶらうざ	browser				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29564	C		イベント、事象	いべんと、じしょう	event				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29565	C		eventIn	eventIn	eventIn				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29566	C		eventOut	eventOut	eventOut				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29567	C		開示フィールド	かいじふぃーるど	exposedfield				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29568	C		外部	がいぶ	external				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29569	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29570	C		フィールド名	ふぃーるどめい	field name				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29571	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29572	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29573	C		ノード型	のーどかた	node type				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29574	C		経路	けいろ	route				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29575	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29576	C		トークン	とーくん	token				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29577	C		URL	URL	URL				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29578	C		URN	URN	URN				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29579	C		VRMLブラウザ	VRMLぶらうざ	VRML browser				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29580	C		VRMLファイル	VRMLふぁいる	VRML file				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29581	C		ウェブブラウザ	うぇぶぶらうざ	Web Browser				ISO/IEC 14772-2	2004				2004	SC24
29582	C		エラー	えらー	errors				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29583	C		ファイル	ふぁいる	file				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29584	C		初期化専用フィールド	しょきかせんようふぃーる	initializeOnly field				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29585	C		入力可能フィールド	にゅうりょくかのうふぃーる	input-capable field				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29586	C		入力専用フィールド	にゅうりょくせんようふぃーるど	inputOnly field				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29587	C		入力出力フィールド	にゅうりょくしゅつりょくふぃーるど	inputOuput field				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29588	C		現在時刻	げんざいじこく	now				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29589	C		出力可能フィールド	しゅつりょくかのうふぃーる	output-capable field				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29590	C		出力専用フィールド	しゅつりょくせんようふぃーるど	outputOnly field				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29591	C		パラメータ	ぱらめーた	parameters				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29592	C		公開インタフェース	こうかいいんたふぇーす	public interface				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29593	C		返却値	へんきゃくち	returns				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29594	C		(実行時)名前有効範囲	(じっこうじ)なまえゆうこうはんい	run-time name scope				ISO/IEC 19775-2	2004				2004	SC24
29595	C		減衰	げんすい	attenuation				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29596	C		平均(光)出力	へいきん(ひかり)しゅつ	average power				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29597	C		バイパス	ばいぱす	bypass				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29598	C		中心波長	ちゅうしんはちょう	centre wavelength				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29599	C		符号ビット、コードビット	ふごうびっと、こーどびっと	code bit				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29600	C		コンセントレータ	こんせんとれーた	concentrator				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29601	C		(コネクタ)プラグ	(こねくた)ぷらぐ	connector plug				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29602	C		(コネクタ)レセプタクル	(こねくた)れせぷたくる	connector receptacle				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29603	C		対向循環	たいこうじゅんかん	counter-rotating				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29604	C		二重接続コンセントレータ	にじゅうせつぞくこんせんとれーた	dual attachment concentrator				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29605	C		二重接続局	にじゅうせつぞくきょく	dual attachment station				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29606	C		二重リング(FDDI二重リング)	にじゅうりんぐ(FDDIにじゅうりんぐ)	dual ring (FDDI dual ring)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29607	C		実体、エンティティ	じったい、えんていてい	entity				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29608	C		消光比	しょうこうひ	extinction ratio				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29609	C		ファイバ	ふぁいば	fibre				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29610	C		光ファイバケーブル	ひかりふぁいばけーぶる	fibre optic cable				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29611	C		チャネル間分離	ちゃねるかんぶんり	interchannel isolation				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29612	C		ジッタ	じった	jitter				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29613	C		データ依存ジッタ(DDJ)	でーたいぞんじった(DDJ)	jitter, data dependent				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29614	C		デューティサイクルひずみジッタ(DCD)	でゅーていさいくるひずみじった(DCD)	jitter, duty cycle distortion (DCD)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29615	C		ランダムジッタ(RJ)	らんだむじった(RJ)	jitter, random (RJ)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29616	C		LCF-MICプラグ	LCF-MICぷらぐ	LCF-MIC plug				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29617	C		LCF-MICレセプタクル	LCF-MICれせぷたくる	LCF-MIC receptacle				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29618	C		論理リング	ろんりりんぐ	logical ring				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29619	C		媒体インタフェースコネクタ(MIC)	ばいたいいんたふぇーすこねくた(MIC)	media interface connector (MIC)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29620	C		ネットワーク(FDDIネットワーク)	ねっとわーく(FDDIねっとわーく)	network (FDDI network)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29621	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29622	C		開口数(NA)	かいこうすう(NA)	numerical aperture (NA)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29623	C		光立ち下り時間	ひかりたちさがりじかん	optical fall time				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29624	C		光基準面	ひかりきじゅんめん	optical reference plane				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29625	C		光立ち上がり時間	ひかりたちあがりじかん	optical rise time				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29626	C		基本PMD、基本媒体依存部	きほんPMD、きほんばいたいいぞんぶ	original PMD				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29627	C		物理接続	ぶつりせつぞく	physical connection				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29628	C		物理リンク	ぶつりりんく	physical link				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29629	C		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29630	C		(光)受信器	(ひかり)じゅしんき	receiver (optical)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29631	C		リング	りんぐ	ring				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29632	C		サービス	さーびす	services				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29633	C		単一接続コンセントレータ	たんいつせつぞくこんせんとれーた	single attachment concentrator				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29634	C		単一接続局	たんいつせつぞくきょく	single attachment station				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29635	C		スペクトル幅、スペクトル半値幅(FWHM)	すぺくとるはば、すぺくとるはんねはば(FWHM)	spectral width, full width half maximum (FWHM)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29636	C		局	きょく	station				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29637	C		(光)送信器	(ひかり)そうしんき	transmitter (optical)				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29638	C		幹線	かんせん	trunk				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29639	C		木、ツリー	き、つりー	tree				ISO/IEC 9314-9	2000				2000	SC25
29640	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29641	C		(CAM制御ブロック)CCB	(CAMせいぎょぶろっ	(CAM control block) CCB				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29642	C		即時CCB	そくじCCB	immediate CCB				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29643	C		待ち行列型CCB	まちぎょうれつがたCCB	queued CCB				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29644	C		CDB(コマンド記述子ブロック)	CDB(こまんどきじゅつしぶろっく)	CDB (command descriptor block)				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29645	C		DMA(ダイレクトメモリアクセス)	DMA(だいれくとめもりあくせす)	DMA (direct memory access)				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29646	C		フリーズ	ふりーず	freeze				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29647	C		HBA(ホストバスアダプタ)	HBA(ほすとばすあだぷた)	HBA (host bus adapter)				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29648	C		空値	くうち	null				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29649	C		任意(選択)	にんい(せんたく)	optional				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29650	C		OSD (オペレーティングシステム依存)	OSD (おぺれーていんぐしすてむいぞん)	OSD (Operating System Dependent)				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29651	C		パス	ぱす	path				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29652	C		予約済み	よやくずみ	reserved				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29653	C		SIM (SCSIインタフェースモジュール)	SIM (SCSIいんたふぇーすもじゅーる)	SIM (SCSI interface module)				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29654	C		VU (ベンダ固有)	VU (べんだこゆう)	VU (vendor unique)				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29655	C		XPT (輸送)	XPT (ゆそう)	XPT (transport)				ISO/IEC 9316-2	2000				2000	SC25
29656	C		ネットワーク給電装置、NPD	ねっとわーくきゅうでんそうち、NPD	network powered device, NPD				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29657	C		自己給電装置、SPD	じこきゅうでんそうち、SPD	self-powered device, SPD				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29658	C		UI適応	UIてきおう	UI adaptation				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29659	C		UIケーブル	UIけーぶる	UI cable				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29660	C		UIケーブルコネクタ	UIけーぶるこねくた	UI cable connector				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29661	C		UIケーブルプラグハウジング、UI CPH	UIけーぶるぷらぐはうじんぐ、UI CPH	UI cable plug housing, UI CPH				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29662	C		UIコネクタ、UIC	UIこねくた、UIC	UI connector, UIC				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29663	C		UI装置、UID	UIそうち、UID	UI device, UID				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29664	C		UI装置コネクタ	UIそうちこねくた	UI device connector				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29665	C		UIネットワークアクセスユニット、UI NAU	UIねっとわーくあくせすゆにっと、UI NAU	UI network access unit, UI NAU				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29666	C		汎用インタフェース、UI	はんようういんたふぇーす、	universal interface, UI				ISO/IEC 10192-1	2002				2002	SC25
29667	C		肯定応答(ACK)	こうていおうとう(ACK)	acknowledge (ACK)				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29668	C		管理者	かんりしゃ	administrator				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29669	C		クレジット	くれじっと	credit				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29670	C		あて先	あてさき	destination				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29671	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29672	C		最終あて先	さいしゅうあてさき	final destination				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29673	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29674	C		ログ	ろぐ	log				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29675	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29676	C		マイクロパケット	まいくろぱけっと	micropacket				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29677	C		次層	じそう	next-layer				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29678	C		任意(選択)	にんい(せんたく)	optional				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29679	C		発信ソース	はっしんそーす	originating source				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29680	C		ソース	そーす	source				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29681	C		局管理(SMT)	きょくかんり(SMT)	station management				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29682	C		シンドローム	しんどろーむ	syndrome				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29683	C		はん(汎)用LAN MACアドレス、ULA	はんようLAN MACあどれす、ULA	Universal LAN MAC Address (ULA)				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29684	C		仮想チャネル、VC	かそうちゃねる、VC	Virtual Channel (VC)				ISO/IEC 11518-10	2001				2001	SC25
29685	C		エージェント	えーじぇんと	agent				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29686	C		割り当てプロトコル	わりあてぷろとこる	allocation protocols				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29687	C		バックプレーン	ばっくぷれーん	backplane				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29688	C		帯域幅割り当てプロトコル	たいいきはばわりあてぷろとこる	bandwidth allocation protocols				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29689	C		ボード	ぼーど	board				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29690	C		ブリッジ	ぶりっじ	bridge				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29691	C		ブロードキャストトランザクション	ぶろーどきゃすととらんざくしょん	broadcast transaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29692	C		ビジー	びじー	busied				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29693	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29694	C		キャッシュ行	きゃっしゅぎょう	cache line				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29695	C		浄化指示	じょうかしじ	cleanse instruction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29696	C		クリアパケット	くりあぱけっと	clear packet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29697	C		クロックストローブ信号	くろっくすとろーぶしんごう	clockStrobe signal				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29698	C		消費者	しょうひしゃ	consumer				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29699	C		アイドル記号整理	あいどるきごうせいり	consumption of idles				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29700	C		CRC	CRC	CRC				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29701	C		CSRアーキテクチャ	CSRあーきてくちゃ	CSR Architecture				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29702	C		有向トランザクション	ゆうこうとらんざくしょん	directed transaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29703	C		ダブレット	だぶれっと	doublet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29704	C		エコー	えこー	echo				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29705	C		エンペラー、全域主権プロセッサ	えんぺらー、ぜんいきしゅけんぷろせっさ	emperor				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29706	C		フラグ	ふらぐ	flag				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29707	C		フラッシュ指示	ふらっしゅしじ	flush instruction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29708	C		フューチャバス+	ふゅーちゃばす+	Futurebus+				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29709	C		グローバルシステムタイム	ぐろーばるしすてむたいむ	global system time				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29710	C		ゴー記号	ごーきごう	go symbol				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29711	C		ハイ記号	はいきごう	high symbol				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29712	C		アイドル記号	あいどるきごう	idle symbol				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29713	C		リンク	りんく	linc				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29714	C		行	ぎょう	line				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29715	C		ロー記号	ろーきごう	low symbol				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29716	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29717	C		モナーク、部分主権プロセッサ	もなーく、ぶぶんしゅけんぷろせっさ	monarch				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29718	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29719	C		ノードID	のーどID	nodeId				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29720	C		非コヒーレント	ひこひーれんと	noncoherent				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29721	C		NuBus®*	NuBus®*	NuBus®*				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29722	C		NVM (不揮発性メモリ)	NVM (ふきはつせいめも	NVM (nonvolatile memory)				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29723	C		オクトレット	おくとれっと	octlet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29724	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29725	C		パケット記号	ぱけっときごう	packet symbol				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29726	C		物理インタフェース	ぶつりいんたふぇーす	physical interface				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29727	C		生産者	せいさんしゃ	producer				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29728	C		消去指示	しょうきょしじ	purge instruction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29729	C		QOLB (キューオンロックビット)	QOLB (きゅーおんろっくびっと)	QOLB (queue on lock bit)				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29730	C		クアドレット	くあどれっと	quadlet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29731	C		キュー割り当てプロトコル	きゅーわりあてぷろとこる	queue allocation protocols				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29732	C		リクエスタ	りくえすた	requester				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29733	C		要求エコー	ようきゅうえこー	request echo				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29734	C		要求送信	ようきゅうそうしん	request send				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29735	C		要求サブアクション	ようきゅうさぶあくしょん	request subaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29736	C		リセットパケット	りせっとぱけっと	reset packet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29737	C		レスポンダ	れすぽんだ	responder				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29738	C		応答エコー	おうとうえこー	response echo				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29739	C		応答期待要求	おうとうきたいようきゅう	response-expected				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29740	C		応答期待トランザクション	おうとうきたいとらんざくしょん	response-expected transaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29741	C		無応答要求	むおうとうようきゅう	responseless request				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29742	C		無応答トランザクション	むおうとうとらんざくしょん	responseless transaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29743	C		応答送信	おうとうそうしん	response send				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29744	C		応答サブアクション	おうとうさぶあくしょん	response subaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29745	C		リングレット	りんぐれっと	ringlet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29746	C		ROM (読み出し専用メモリ)	ROM (よみだしせんようめもり)	ROM (read-only memory)				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29747	C		SCI	SCI	SCI				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29748	C		SCI規格	SCIきかく	SCI standard				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29749	C		スクラバ	すくらば	scrubber				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29750	C		セグメント	せぐめんと	segment				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29751	C		送信	そうしん	send				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29752	C		シリアルバス	しりあるばす	Serial Bus				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29753	C		信号線	しんごうせん	signal line				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29754	C		スロット	すろっと	slot				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29755	C		ソース	そーす	source				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29756	C		特殊ID	とくしゅID	specialId				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29757	C		特殊送信	とくしゅそうしん	special send				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29758	C		分割トランザクション	ぶんかつとらんざくしょん	split transaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29759	C		ストリップ	すとりっぷ	strip				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29760	C		サブアクション	さぶあくしょん	subaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29761	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29762	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29763	C		同期パケット	どうきぱけっと	sync packet				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29764	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29765	C		失効時間	しっこうじかん	time of death				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29766	C		同期化	どうきか	training				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29767	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29768	C		統一トランザクション	とういつとらんざくしょん	unified transaction				ISO/IEC 13961	2000				2000	SC25
29769	C		アドレス割り当て	あどれすわりあて	address assignment				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29770	C		アドレス識別子	あどれすしきべつし	address identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29771	C		アドレスマネージャ	あどれすまねーじゃ	address Manager				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29772	C		エリア	えりあ	area				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29773	C		エリア識別子	えりあしきべつし	area Identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29774	C		クラスFサービス	くらすFさーびす	class F service				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29775	C		クラスNサービス	くらすNさーびす	class N service				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29776	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29777	C		ドメインアドレスマネージャ	どめいんあどれすまねー	domain Address Manager				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29778	C		ドメイン識別子	どめいんしきべつし	domain Identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29779	C		ドメインIDリスト	どめいんIDりすと	domain_ID_List				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29780	C		ドメインストリーム主要ISL	どめいんすとりーむしゅようISL	downstream Principal ISL				ISO/IEC 14165-131	2000				2000	SC25
29781	C		Eポート	Eぽーと	E_Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29782	C		Eポート識別子	Eぽーとしきべつし	E_Port Identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29783	C		Eポート名	Eぽーとめい	E_Port Name				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29784	C		エラー検出タイムアウト値	えらーけんしゅつたいむあうとち	Error_Detect_Timeout value				ISO/IEC 14165-131	2000				2000	SC25
29785	C		Fポート	Fぽーと	F_Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29786	C		ファブリック	ふぁぶりっく	Fabric				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29787	C		ファブリック制御装置	ふぁぶりっくせいぎょそうち	Fabric Controller				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29788	C		ファブリック要素	ふぁぶりっくようそ	Fabric Element				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29789	C		ファブリックFポート	ふぁぶりっくFぽーと	Fabric F_Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29790	C		FLポート	FLぽーと	FL Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29791	C		Fxポート	Fxぽーと	Fx Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29792	C		ファブリック安定タイムアウト値	ふぁぶりっくあんていたいむあうとち	Fabric_Stability_Timeout value				ISO/IEC 14165-131	2000				2000	SC25
29793	C		インタージェクト	いんたーじぇくと	Interject				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29794	C		インターミックス	いんたーみっくす	intermix				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29795	C		スイッチ間リンク	すいっちかんりんく	Inter-Switch Link				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29796	C		孤立	こりつ	Isolated				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29797	C		Lポート	Lぽーと	L_Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29798	C		リンク	りんく	Link				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29799	C		ローカルスイッチ	ろーかるすいっち	local Switch				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29800	C		ループファブリックアドレス	るーぷふぁぶりっくあどれ	loop Fabric Address				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29801	C		Nポート	Nぽーと	N Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29802	C		Nポート識別子	Nぽーとしきべつし	N Port Identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29803	C		名前識別子	なまえしきべつし	Name_Identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29804	C		NLポート	NLぽーと	NL_Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29805	C		非ゼロドメインIDリスト	ひぜろどめいんIDりすと	non-zero Domain ID List				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29806	C		Nxポート	Nxぽーと	Nx Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29807	C		パス	ぱす	path				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29808	C		パス選択	ぱすせんたく	path selection				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29809	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29810	C		ポート識別子	ぽーとしきべつし	Port Identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29811	C		ポートモード	ぽーともーど	port Mode				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29812	C		推奨ドメインID	すいしょうどめいんID	preferred Domain_ID				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29813	C		主要ISL	しゅようISL	principal ISL				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29814	C		主要スイッチ	しゅようすいっち	principal Switch				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29815	C		遠隔スイッチ	えんかくすいっち	remote Switch				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29816	C		リソース割り当てタイムアウト値	りそーすわりあてたいむあうとち	Resource_Allocation_Time out value				ISO/IEC 14165-131	2000				2000	SC25
29817	C		ルータ	るーた	router				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29818	C		ルーティング	るーていんぐ	routing				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29819	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29820	C		スイッチ構築	すいっちこうちく	switch Construct				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29821	C		スイッチ名	すいっちめい	Switch Name				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29822	C		スイッチポート	すいっちぽーと	switch Port				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29823	C		スイッチ優先度	すいっちゆうせんど	Switch_Priority				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29824	C		アップストリーム主要ISL	あっぷすとりーむしゅよう	upstream Principal ISL				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29825	C		ゼロドメインIDリスト	ぜろどめいんIDりすと	zero Domain ID List				ISO/IEC 14165-[1]	2000				2000	SC25
29826	C		アドレス識別子	あどれすしきべつし	address identifier				ISO/IEC 14165-[1]	2001				2001	SC25
29827	C		エイリアスアドレス識別子、別名アドレス識別子、Alias	えいりあすあどれすしきべつし、べつめいあどれすしきべつし、Alias	alias address identifier (Alias)				ISO/IEC 14165-141	2001				2001	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29828	C		アービトレイテッドループトポロジ、調停ループトポロジ	あーびとれいてっどるーぷとぽろじ、ちょうているーぷとぽろじ	Arbitrated Loop topology				ISO/IEC 14165-141	2001				2001	SC25
29829	C		エリア	えりあ	Area				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29830	C		帯域幅	たいいきはば	bandwidth				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29831	C		ブロードキャスト	ぶろーどきゃすと	Broadcast				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29832	C		ブロードキャストエイリアスID	ぶろーどきゃすとえいりあすID	Broadcast Alias_ID				ISO/IEC 14165-141	2001				2001	SC25
29833	C		回路	かいろ	circuit				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29834	C		クラス1サービス	くらす1さーびす	Class 1 service				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29835	C		クラス2サービス	くらす2さーびす	Class 2 service				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29836	C		クラス3サービス	くらす3さーびす	Class 3 service				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29837	C		クラス4サービス	くらす4さーびす	Class 4 service				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29838	C		クラスFサービス	くらすFさーびす	Class F service				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29839	C		サービスのクラス	さーびすのくらす	Classes of service				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29840	C		コネクション イニシエータ	こねくしょん いにしえーた	Connection Initiator				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29841	C		コネクション受信者	こねくしょんじゅしんしゃ	Connection Recipient				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29842	C		コネクションレスサービス	こねくしょんれすさーびす	Connectionless service				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29843	C		専用コネクション	せんようこねくしょん	Dedicated Connection				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29844	C		あて先Fポート	あてさきFぽーと	destination F_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29845	C		あて先識別子 (D_ID)	あてさきしきべつし (D_ID)	Destination Identifier				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29846	C		あて先Nポート	あてさきNぽーと	destination N_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29847	C		切断	せつだん	disconnection				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29848	C		分散型ファブリック要素(DFE)	ぶんさんがたふぁぶりっくようそ(DFE)	Distributed_Fabric_Element (DFE)				ISO/IEC 14165-141	2001				2001	SC25
29849	C		ドメイン	どめいん	Domain				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29850	C		Eポート	Eぽーと	E_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29851	C		要素制御装置	ようそせいぎょそうち	Element Controller				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29852	C		要素名	ようそめい	Element Name				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29853	C		排他的コネクション	はいたてきこねくしょん	Exclusive Connection				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29854	C		拡張領域	かくちょうりょういき	Extended Region				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29855	C		Fポート	Fぽーと	F_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29856	C		Fポート名	Fぽーとめい	F_Port Name				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29857	C		ファブリック	ふぁぶりっく	Fabric				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29858	C		ファブリック制御装置	ふぁぶりっくせいぎょそうち	Fabric Controller				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29859	C		ファブリック要素	ふぁぶりっくようそ	Fabric Element				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29860	C		ファブリックフレーム	ふぁぶりっくふれーむ	Fabric frame				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29861	C		ファブリック名	ふぁぶりっくめい	Fabric Name				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29862	C		ファブリックポート	ふぁぶりっくぽーと	Fabric_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29863	C		ファブリックトポロジ	ふぁぶりっくとぽろじ	Fabric topology				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29864	C		FLポート	FLぽーと	FL_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29865	C		フレームデリミタ	ふれーむでりみた	Frame delimiter				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29866	C		Gポート	Gぽーと	G_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29867	C		GLポート	GLぽーと	GL_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29868	C		識別Nポート	しきべつNぽーと	Identified N_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29869	C		要素間リンク(IEL)	ようそかんりんく(IEL)	Inter-Element Link (IEL)				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29870	C		インタジェクト	いんたじぇくと	Interject				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29871	C		インタミックス	いんたみっくす	Intermix				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29872	C		Lポート	Lぽーと	L_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29873	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29874	C		リンク制御機能	りんくせいぎょきのう	Link_Control_Facility				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29875	C		ローカルFポート	ろーかるFぽーと	local F_Port:				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29876	C		論理ノード	ろんりのーど	Logical node				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29877	C		ログイン	ろぐいん	Login				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29878	C		ログインサーバ	ろぐいんさーば	Login server				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29879	C		Nポート	Nぽーと	N_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29880	C		Nポート識別子	Nぽーとしきべつし	N_Port Identifier				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29881	C		名前識別子	なまえしきべつし	Name Identifier				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29882	C		ネットワークアドレス権限(NAA)	ねっとわーくあどれすけんげん(NAA)	Network_Address_Authority (NAA)				ISO/IEC 14165-141	2001				2001	SC25
29883	C		ネットワークアドレス権限識別子	ねっとわーくあどれすけんげんしきべつし	Network_Address_Authority Identifier				ISO/IEC 14165-141	2001				2001	SC25
29884	C		NLポート	NLぽーと	NL_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29885	C		ノード	のーど	Node				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29886	C		オリジネータ	おりじねーた	Originator				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29887	C		ペイロード	ぺいろーど	Payload				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29888	C		ポート	ぽーと	Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29889	C		ポート名	ぽーとめい	Port_Name				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29890	C		プリミティブ信号	ぷりみていぶしんごう	Primitive signal				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29891	C		サービス品質ファシリテータ(QoSF)	さーびすひんしつふぁしりてーた(QoSF)	Quality of Service Facilitator (QoSF)				ISO/IEC 14165-141	2001				2001	SC25
29892	C		領域	りょういき	Region				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29893	C		遠隔Fポート	えんかくFぽーと	remote F_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29894	C		レスポンダ	れすぽんだ	Responder				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29895	C		Sポート	Sぽーと	S_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29896	C		サービスパラメータ	さーびすぱらめーた	Service parameters				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29897	C		ソースFポート	そーすFぽーと	source F_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29898	C		ソース識別子(S_ID)	そーすしきべつし(S_ID)	Source Identifier (S_ID)				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29899	C		ソースNポート	そーすNぽーと	source N_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29900	C		サブファブリック	さぶふぁぶりっく	Sub-Fabric				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29901	C		スイッチトポロジ	すいっちとぽろじ	Switch topology				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29902	C		トランスレータ	とらんすれーた	Translator				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29903	C		未識別Nポート	みしきべつNぽーと	Unidentified N_Port				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29904	C		仮想接続(VC)	かそうせつぞく(VC)	Virtual Connection (VC)				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29905	C		既知アドレス	きちあどれす	well-known addresses				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29906	C		ゾーン	ぞーん	Zone				ISO/IEC 14165-	2001				2001	SC25
29907	C		ビットエラー率(BER)	びっとえらーりつ(BER)	bit error rate (BER)				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29908	C		ボックス	ぼっくす	box				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29909	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29910	C		文字層	もじそう	character layer				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29911	C		符号化	ふごうか	coding				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29912	C		制御文字	せいぎょもじ	control character				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29913	C		データ文字	でーたもじ	data character				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29914	C		復号	ふくごう	decoding				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29915	C		直列転送(データ)受け取り	ちょくれつてんそう(でーた)うけとり	deserialization				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29916	C		あて先	あてさき	destination				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29917	C		あて先識別子 (dest_id)	あてさきしきべつし(dest_id)	destination_identifier (dest_id)				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29918	C		あて先ノード	あてさきのーど	destination node				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29919	C		(0と1との)リンク出力不均衡度	(0と1との)りんくしゅつりょくふきんこうど	digital sum variation				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29920	C		(0と1との)文字内不均衡度	(0と1との)もじないふきんこうど	disparity				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29921	C		パケット終端マーカ	ぱけっとしゅうたんまーか	end of packet marker				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29922	C		交換層	こうかんそう	exchange layer				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29923	C		ファブリック	ふぁぶりっく	fabric				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29924	C		フロー制御文字(FCC)	ふろーせいぎょもじ(FCC)	flow control character (FCC)				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29925	C		機能可能	きのうかのう	functional				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29926	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29927	C		リンクケーブル	りんくけーぶる	link cable				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29928	C		リンク文字(又はL文字)	りんくもじ(またはLもじ)	link character (or L_char)				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29929	C		リンク入力	りんくにゅうりょく	link input				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29930	C		リンクインタフェース(又はポート)	りんくいんたふぇーす(またはぽーと)	link interface (or port)				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29931	C		リンク出力	りんくしゅつりょく	link output				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29932	C		ネットワーク	ねっとわーく	network				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29933	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29934	C		ノードインタフェース	のーどいんたふぇーす	node interface				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29935	C		通常文字(又はN文字)	つうじょうもじ(またはNもじ)	normal character (or N_char)				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29936	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29937	C		パケット層	ぱけっとそう	packet layer				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29938	C		ペイロード	ぺいろーど	payload				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29939	C		物理媒体	ぶつりばいたい	physical medium				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29940	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29941	C		ルーティング機能	るーてぃんぐきのう	routing function				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29942	C		連長、ラン長	れんちょう、らんちょう	run length				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29943	C		(0と1との)リンク転送不均衡度	(0と1との)りんくてんそうふきんこうど	running disparity				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29944	C		直列転送	ちょくれつてんそう	serialization				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29945	C		信号	しんごう	signal				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29946	C		信号層	しんごうそう	signal layer				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29947	C		シンク	しんく	sink				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29948	C		ソース	そーす	source				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29949	C		ソースノード	そーすのーど	source node				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29950	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29951	C		スイッチチップ	すいっちちっぷ	switch chip				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29952	C		終端ノード	しゅうたんのーど	terminal node				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29953	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29954	C		トランザクション層	とらんざくしょんそう	transaction layer				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29955	C		伝送媒体	でんそうばいたい	transmission medium				ISO/IEC 14575	2000				2000	SC25
29956	C		Aケーブル	Aけーぶる	A cable				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29957	C		ACKx	ACKx	ACKx				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29958	C		エージェント	えーじぇんと	agent				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29959	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
29960	C		非同期イベント通知	ひどうきいべんとつうち	asynchronous event notification				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
29961	C		非同期転送	ひどうきてんそう	asynchronous transfer				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
29962	C		自動誤り情報保持状態、ACA	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい、ACA	auto-contingent allegiance				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
29963	C		バス経路	ばすけいろ	bus path				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29964	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29965	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29966	C		確認済みプロトコルサービス	かくにんずみぷろとこるさーびす	confirmed protocol service				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
29967	C		接点	せってん	contact				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29968	C		誤り情報保持状態、CA	あやまりじょうほうほじじょうたい、CA	contingent allegiance				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
29969	C		現在タスク	げんざいたすく	current task				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29970	C		データバス	でーたばす	data bus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29971	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29972	C		差動	さどう	differential				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29973	C		切断	せつだん	disconnect				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29974	C		ドライバ	どらいば	driver				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29975	C		例外条件	れいがいじょうけん	exception condition				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29976	C		高速5	こうそく5	fast-5				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29977	C		高速10	こうそく10	fast-10				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29978	C		高速20	こうそく20	fast-20				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29979	C		高速40	こうそく40	fast-40				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29980	C		フラグ	ふらぐ	flag				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29981	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29982	C		指示	しじ	indication				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29983	C		初期接続	しょきせつぞく	initial connection				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29984	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29985	C		I T 結合	I T けつごう	I T nexus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29986	C		I T L 結合	I T L けつごう	I T L nexus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29987	C		I T L Q 結合	I T L Q けつごう	I T L Q nexus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29988	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29989	C		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29990	C		I/Oプロセス	I/Oぷろせす	I/O process				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29991	C		絶対値	ぜったいち	magnitude				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29992	C		必す(須)	ひっす	mandatory				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29993	C		メガ転送毎秒	めがてんそうまいびょう	megatransfers per second				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29994	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29995	C		多重モードシングルエンド(MSE)	たじゅうもーどしんぐるえんど(MSE)	multimode single-ended (MSE)				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
29996	C		結合、ネクサス	けつごう、ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29997	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29998	C		奇数パリティ	きすうぱりてぃ	odd parity				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
29999	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30000	C		Pケーブル	Pけーぶる	P cable				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30001	C		パリティビット	ぱりてぃびっと	parity bit				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30002	C		パス	ぱす	path				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30003	C		保留タスク	ほりゅうたすく	pending task				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30004	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30005	C		一次バス	いちじばす	primary bus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30006	C		Qケーブル	Qけーぶる	Q cable				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30007	C		待ち行列	まちぎょうれつ	queue				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30008	C		待ち行列タグ	まちぎょうれつたぐ	queue tag				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30009	C		レシーバ	れしーば	receiver				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30010	C		再接続する	さいせつぞくする	reconnect				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30011	C		再接続	さいせつぞく	reconnection				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30012	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30013	C		REQx	REQx	REQx				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30014	C		再選択ID	さいせんたくID	reselection ID				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30015	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30016	C		SCSIアドレス	SCSIあどれす	SCSI address				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30017	C		SCSIバス	SCSIばす	SCSI bus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30018	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30019	C		SCSI ID	SCSI ID	SCSI ID				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30020	C		二次バス	にじばす	secondary bus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30021	C		信号を真にすること	しんごうをしんにすること	signal assertion				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30022	C		信号を偽にすること	しんごうをぎにすること	signal negation				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30023	C		信号の開放	しんごうのかいほう	signal release				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30024	C		シングルエンド(SE)	しんぐるえんど(SE)	single-ended (SE)				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30025	C		ソース(信号)	そーす(しんごう)	source (a signal)				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30026	C		スタブ	すたぶ	stub				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30027	C		スタブ付きパス	すたぶつきぱす	stubbed path				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30028	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30029	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30030	C		タスクマネージャ	たすくまねーじゃ	task manager				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30031	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30032	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30033	C		トランシーバ	とらんしーば	transceiver				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30034	C		上位プロトコル	じょういぷろとこる	upper level protocol				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
30035	C		未確認プロトコルサービス	みかくにんぷろとこるさーびす	unconfirmed protocol service				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
30036	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
30037	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
30038	C		Aケーブル	Aけーぶる	A cable				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
30039	C		エージェント	えーじぇんと	agent				ISO/IEC 14776-112	2002				2002	SC25
30040	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30041	C		非同期イベント通知	ひどうきいべんとつうち	asynchronous event notification				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30042	C		非同期転送	ひどうきてんそう	asynchronous transfer				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30043	C		自動誤り情報保持状態、ACA	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい、ACA	auto-contingent allegiance				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30044	C		バス経路	ばすけいろ	bus path				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30045	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30046	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30047	C		確認済みサービス	かくにんずみさーびす	confirmed service				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30048	C		接触	せっしょく	contact				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30049	C		誤り情報保持状態、CA	あやまりじょうほうほじじょうたい、CA	contingent allegiance				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30050	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	cyclic redundancy check (CRC)				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30051	C		現在タスク	げんざいたすく	current task				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30052	C		データバス	でーたばす	DATA BUS				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30053	C		データフィールド	でーたふぃーるど	data field				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30054	C		データグループ	でーたぐるーぷ	data group				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30055	C		データグループ転送	でーたぐるーぷてんそう	data group transfer				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30056	C		装置サーバ	そうちさーば	device serve				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30057	C		差動	さどう	differential				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30058	C		ダブルトランジション、両側ラッチ、DT	だぶるとらんじしょん、りょうがわらっち、DT	double transition (DT)				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30059	C		ドライバ	どらいば	driver				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30060	C		例外条件	れいがいじょうけん	exception condition				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30061	C		エキスパンダ	えきすぱんだ	expander				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30062	C		高速5	こうそく5	fast-5				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30063	C		高速10	こうそく10	fast-10				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30064	C		高速20	こうそく20	fast-20				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30065	C		高速40	こうそく40	fast-40				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30066	C		高速80	こうそく80	fast-80				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30067	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30068	C		指示	しじ	indication				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30069	C		情報ユニット転送	じょうほうゆにっとてんそう	information unit transfer				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30070	C		初期接続	しょきせつぞく	initial connection				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30071	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30072	C		I/Oプロセス	I/Oぷろせす	I/O process				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30073	C		相互接続	そうごせつぞく	interconnect				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30074	C		I T 結合	I T けつごう	I T nexus				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30075	C		I T L 結合	I T L けつごう	I T L nexus				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30076	C		I T L Q 結合	I T L Q けつごう	I T L Q nexus				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30077	C		記号間干渉(ISI)	きごうかんかんしょう(ISI)	intersymbol interference (ISI)				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30078	C		iuCRC保護	iuCRCほご	iuCRC protection				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30079	C		論理的接続	ろんりてきせつぞく	logical connect				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30080	C		論理的切断	ろんりてきせつだん	logical disconnect				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30081	C		論理的再接続	ろんりてきさいせつぞく	logical reconnect				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30082	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30083	C		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30084	C		絶対値	ぜったいち	magnitude				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30085	C		最高転送速度	さいこうてんそうそくど	maximum transfer rate				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30086	C		メガ転送毎秒	めがてんそうまいびょう	megatransfers per second				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30087	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30088	C		マルチドロップ	まるちどろっぷ	multidrop				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30089	C		多重モードシングルエンド(MSE)	たじゅうもーどしんぐるえんど(MSE)	multimode single-ended (MSE)				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30090	C		結合、ネクサス	けつごう、ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30091	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30092	C		奇数パリティ	きすうぱりてぃ	odd parity				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30093	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30094	C		Pケーブル	Pけーぶる	P cable				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30095	C		パケット化	ぱけっとか	packetized				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30096	C		パッドフィールド	ぱっどふぃーるど	pad field				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30097	C		パリティビット	ぱりてぃびっと	parity bit				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30098	C		パラレル転送	ぱられるてんそう	parallel transfer				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30099	C		パス	ぱす	path				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30100	C		pCRCフィールド	pCRCふぃーるど	pCRC field				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30101	C		pCRC保護	pCRCほご	pCRC protection				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30102	C		保留タスク	ほりゅうたすく	pending task				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30103	C		物理的接続	ぶつりてきせつぞく	physical connect				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30104	C		物理的切断	ぶつりてきせつだん	physical disconnection				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30105	C		物理的再接続する	ぶつりてきさいせつぞくする	physical reconnect				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30106	C		物理的再接続	ぶつりてきさいせつぞく	physical reconnection				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30107	C		平面	へいめん	planar				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30108	C		2点間	2てんかん	point-to-point				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30109	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30110	C		待ち行列	まちぎょうれつ	queue				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30111	C		待ち行列タグ	まちぎょうれつたぐ	queue tag				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30112	C		レシーバ	れしーば	receiver				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30113	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30114	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30115	C		SCSIアドレス	SCSIあどれす	SCSI address				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30116	C		SCSIバス	SCSIばす	SCSI bus				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30117	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30118	C		SCSI ID	SCSI ID	SCSI ID				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30119	C		信号を真にすること	しんごうをしんにすること	signal assertion				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30120	C		信号を偽にすること	しんごうをぎにすること	signal negation				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30121	C		信号の開放	しんごうのかいほう	signal release				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30122	C		シングルエンド(SE)	しんぐるえんど(SE)	single-ended (SE)				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30123	C		シングルトランジション、片側ラッチ、ST	しんぐるとらんじしょん、かたがわらっち、ST	single transition (ST)				ISO/IEC 14776-113	2002				2002	SC25
30124	C		ソース(信号)	そーす(しんごう)	source (a signal)				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30125	C		SPI情報ユニット	SPIじょうほうゆにっと	SPI information unit				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30126	C		スタブ	すたぶ	stub				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30127	C		スタブ付きパス	すたぶつきぱす	stubbed path				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30128	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30129	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30130	C		タスクマネージャ	たすくまねーじゃ	task manager				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30131	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30132	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30133	C		トランシーバ	とらんしーば	transceiver				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30134	C		転送期間	てんそうきかん	transfer period				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30135	C		転送速度	てんそうそくど	transfer rate				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30136	C		上位プロトコル	じょういぷろとこる	upper level protocol				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30137	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30138	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30139	C		Aケーブル	Aけーぶる	A cable				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30140	C		エージェント	えーじぇんと	agent				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30141	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30142	C		非同期イベント通知	ひどうきいべんとつうち	asynchronous event notification				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30143	C		非同期転送	ひどうきてんそう	asynchronous transfer				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30144	C		自動誤り情報保持状態(ACA)	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい(ACA)	auto-contingent allegiance (ACA)				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30145	C		バックプレーン	ばっくぷれーん	backplane				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30146	C		バルクケーブル	ばるくけーぶる	bulk cable				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30147	C		バスセグメントパス	ばすせぐめんとぱす	Bus segment path				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30148	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30149	C		ケーブルアセンブリ	けーぶるあせんぶり	cable assembly				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30150	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30151	C		確認済みサービス	かくにんずみさーびす	confirmed service				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30152	C		接点	せってん	contact				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30153	C		誤り情報保持状態(CA)	あやまりじょうほうほじじょうたい(CA)	contingent allegiance (CA)				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30154	C		現在タスク	げんざいたすく	current task				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30155	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ(CRC)	cyclic redundancy check (CRC)				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30156	C		データバス	でーたばす	DATA BUS				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30157	C		データフィールド	でーたふぃーるど	data field				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30158	C		データグループ	でーたぐるーぷ	data group				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30159	C		データグループ転送	でーたぐるーぷてんそう	data group transfer				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30160	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30161	C		差動	さどう	differential				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30162	C		ダブルトランジション、両側ラッチ、DT	だぶるとらんじしょん、りょうがわらっち、DT	double transition (DT)				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30163	C		ドライバ	どらいば	driver				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30164	C		例外条件	れいがいじょうけん	exception condition				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30165	C		エキスパンダ	えきすぱんだ	expander				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30166	C		高速5	こうそく5	fast-5				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30167	C		高速10	こうそく10	fast-10				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30168	C		高速20	こうそく20	fast-20				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30169	C		高速40	こうそく40	fast-40				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30170	C		高速80	こうそく80	fast-80				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30171	C		高速160	こうそく160	fast-160				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30172	C		高速320	こうそく320	fast-320				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30173	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30174	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30175	C		指示	しじ	indication				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30176	C		情報ユニット転送	じょうほうゆにっとてんそう	information unit transfer				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30177	C		初期接続	しょきせつぞく	initial connection				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30178	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30179	C		I/Oプロセス	I/Oぷろせす	I/O process				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30180	C		相互接続	そうごせつぞく	interconnect				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30181	C		I T 結合	I T けつごう	I T nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30182	C		I T L 結合	I T L けつごう	I T L nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30183	C		I T L Q 結合	I T L Q けつごう	I T L Q nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30184	C		記号間干渉(ISI)	きごうかんかんしょう(ISI)	intersymbol interference (ISI)				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30185	C		iuCRC保護	iuCRCほご	iuCRC protection				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30186	C		論理的接続	ろんりてきせつぞく	logical connect				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30187	C		論理的切断	ろんりてきせつだん	logical disconnect				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30188	C		論理的再接続	ろんりてきさいせつぞく	logical reconnect				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30189	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30190	C		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30191	C		論理ユニットリセット	ろんりゆにっとりせっと	logical unit reset				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30192	C		論理ユニットリセットイベント	ろんりゆにっとりせっといべんと	logical unit reset event				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30193	C		絶対値	ぜったいち	magnitude				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30194	C		最高転送速度	さいこうてんそうそくど	maximum transfer rate				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30195	C		メガ転送毎秒	めがてんそうまいびょう	megatransfers per second				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30196	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30197	C		分岐	ぶんき	multidrop				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30198	C		交渉要求フラグ	こうしょうようきゅうふらぐ	negotiation required flag				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30199	C		結合、ネクサス	けつごう、ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30200	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30201	C		奇数パリティ	きすうぱりてぃ	odd parity				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30202	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30203	C		Pケーブル	Pけーぶる	P cable				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30204	C		ペース転送	ぺーすてんそう	paced transfer				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30205	C		ペーシング	ぺーしんぐ	pacing				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30206	C		パケット化	ぱけっとか	packetized				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30207	C		パッドフィールド	ぱっどふぃーるど	pad field				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30208	C		パリティビット	ぱりてぃびっと	parity bit				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30209	C		パリティエラー	ぱりていえらー	parity error				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30210	C		パラレル転送	ぱられるてんそう	parallel transfer				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30211	C		パス	ぱす	path				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30212	C		pCRCフィールド	pCRCふぃーるど	pCRC field				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30213	C		pCRC保護	pCRCほご	pCRC protection				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30214	C		保留タスク	ほりゅうたすく	pending task				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30215	C		物理的接続	ぶつりてきせつぞく	physical connect				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30216	C		物理的切断	ぶつりてきせつだん	physical disconnection				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30217	C		物理的再接続する	ぶつりてきさいせつぞくす	physical reconnect				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30218	C		物理的再接続	ぶつりてきさいせつぞく	physical reconnection				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30219	C		平面	へいめん	planar				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30220	C		2点間	2てんかん	point-to-point				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30221	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30222	C		電源オン	でんげんおん	power on				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30223	C		キュー	きゅー	queue				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30224	C		キュータグ	きゅーたぐ	queue tag				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30225	C		レシーバ	れしーば	receiver				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30226	C		要求	ようきゅう	request:				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30227	C		応答	おうとう	response:				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30228	C		リセットイベント	りせっといべんと	reset event:				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30229	C		SCSIアドレス	SCSIあどれす	SCSI address				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30230	C		SCSIバス	SCSIばす	SCSI bus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30231	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30232	C		SCSI装置ポート	SCSIそうちぽーと	SCSI device port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30233	C		SCSI ID	SCSI ID	SCSI ID				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30234	C		SCSIイニシエータ装置	SCSIいにしえーたそうち	SCSI initiator device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30235	C		SCSIイニシエータポート	SCSIいにしえーたぽーと	SCSI initiator port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30236	C		SCSIターゲット装置	SCSIたーげっとそうち	SCSI target device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30237	C		SCSIターゲットポート	SCSIたーげっとぽーと	SCSI target port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30238	C		SCSIターミネータ	SCSIたーみねーた	SCSI terminator				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30239	C		信号を真にすること	しんごうをしんにすること	signal assertion				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30240	C		信号を偽にすること	しんごうをぎにすること	signal negation				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30241	C		信号の開放	しんごうのかいほう	signal release				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30242	C		シングルトランジション、片側ラッチ、ST	しんぐるとらんじしょん、かたがわらっち、ST	single transition (ST)				ISO/IEC 14776-115	2004				2004	SC25
30243	C		スキュー	すきゅー	skew				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30244	C		ソース(信号)	そーす(しんごう)	source (a signal)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30245	C		SPI情報ユニット	SPIじょうほうゆにっと	SPI information unit				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30246	C		スタブ	すたぶ	stub				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30247	C		同期転送	どうきてんそう	synchronous transfer				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30248	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30249	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30250	C		タスクマネージャ	たすくまねーじゃ	task manager				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30251	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30252	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30253	C		トランシーバ	とらんしーば	transceiver				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30254	C		転送期間	てんそうきかん	transfer period				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30255	C		転送速度	てんそうそくど	transfer rate				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30256	C		上位プロトコル	じょういぷろとこる	upper level protocol				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30257	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30258	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30259	C		8b10b 符号化	8b10bふごうか	8b10b coding				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30260	C		アフィリエーション	あふぃりえーしょん	affiliation				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30261	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30262	C		ATアタッチメント(ATA)	ATあたっちめんと(ATA)	AT Attachment (ATA)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30263	C		ATA装置	ATAそうち	ATA device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30264	C		ATAドメイン	ATAどめいん	ATA domain				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30265	C		ATAホスト	ATAほすと	ATA host				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30266	C		バイト降順	ばいとこうじゅん	big-endian				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30267	C		ブロードキャストプリミティブプロセッサ(BPP)	ぶろーどきゃすとぷりみてぃぶぷろせっさ(BPP)	broadcast primitive processor (BPP)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30268	C		バースト時間	ばーすとじかん	burst time				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30269	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30270	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30271	C		コマンド記述子ブロック(CDB)	こまんどきじゅつしぶろっく(CDB)	command descriptor block (CDB)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30272	C		準拠ジッタ試験パターン(CJTPAT)	じゅんきょじったしけんぱたーん(CJTPAT)	compliant jitter test pattern (CJTPAT)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30273	C		設定可能エキスパンダ装置	せっていかのうえきすぱんだそうち	configurable expander device				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30274	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30275	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30276	C		接続速度	せつぞくそくど	connection rate				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30277	C		制御文字 (Kxx.y)	せいぎょもじ (Kxx.y)	control character (Kxx.y)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30278	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	cyclic redundancy check (CRC)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30279	C		D.C. アイドル	D.C. あいどる	D.C. idle				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30280	C		データ文字 (Dxx.y)	でーたもじ (Dxx.y)	data character (Dxx.y)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30281	C		データDワード	でーたDわーど	data dword				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30282	C		デッドロック	でっどろっく	deadlock				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30283	C		確定ジッタ	かくていじった	deterministic jitter				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30284	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30285	C		直流(D.C.)	ちょくりゅう (D.C.)	direct current (D.C.)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30286	C		直接ルーティング属性	ちょくせつるーていんぐぞくせい	direct routing attribute				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30287	C		直接ルーティング法	ちょくせつるーていんぐほ	direct routing method				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30288	C		発見プロセス	はっけんぷろせす	discover process				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30289	C		ディスパリティ	でぃすぱりてぃ	disparity				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30290	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30291	C		Dワード	Dわーど	dword				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30292	C		Dワード同期化	Dわーどどうきか	dword synchronization				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30293	C		エッジエキスパンダ装置	えっじえきすぱんだそうち	edge expander device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30294	C		エッジエキスパンダ装置セット	えっじえきすぱんだそうちせっと	edge expander device set				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30295	C		端末装置	たんまつそうち	end device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30296	C		イベント通知	いべんとつうち	event notification				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30297	C		エキスパンダ接続マネージャ (ECM)	えきすぱんだせつぞくまねーじゃ (ECM)	expander connection manager (ECM)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30298	C		エキスパンダ接続ルータ (ECR)	えきすぱんだせつぞくるーた (ECR)	expander connection router (ECR)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30299	C		エキスパンダ装置	えきすぱんだそうち	expander device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30300	C		エキスパンダ機能	えきすぱんだきのう	expander function				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30301	C		エキスパンダ物理層	えきすぱんだぶつりそう	expander phy				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30302	C		エキスパンダポート	えきすぱんだぽーと	expander port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30303	C		エキスパンダルートエント	えきすぱんだるーとえんと	expander route entry				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30304	C		エキスパンダルートインデックス	えきすぱんだるーといんでっくす	expander route index				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30305	C		エキスパンダルート表	えきすぱんだるーとひょう	expander route table				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30306	C		ファンアウトエキスパンダ装置	ふぁんあうとえきすぱんだそうち	fanout expander device				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30307	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30308	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30309	C		フレーム情報構造(FIS)	ふれーむじょうほうこうぞう(FIS)	frame information structure (FIS)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30310	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30311	C		ハードリセットシーケンス	はーどりせっとしーけんす	hard reset sequence				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30312	C		ハードウェア最高物理リンク速度	はーどうぇあさいこうぶつりりんくそくど	hardware maximum physical link rate				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30313	C		ハードウェア最低物理リンク速度	はーどうぇあさいていぶつりりんくそくど	hardware minimum physical link rate				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30314	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function:				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30315	C		I T 結合	I T けつごう	I T nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30316	C		I T 結合ロス	I T けつごうろす	I T nexus loss				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30317	C		I T L 結合	I T L けつごう	I T L nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30318	C		I T L Q 結合	I T L Q けつごう	I T L Q nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30319	C		識別シーケンス	しきべつしーけんす	identification sequence				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30320	C		アイドルDワード	あいどるDわーど	idle dword				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30321	C		アイドル時間	あいどるじかん	idle time				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30322	C		指示	しじ	indication				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30323	C		情報ユニット(IU)	じょうほうゆにっと(IU)	information unit (IU)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30324	C		無効Dワード	むこうDわーど	invalid dword				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30325	C		ジッタ	じった	jitter				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30326	C		最下位ビット、LSB	さいかいびっと、LSB	least significant bit (LSB)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30327	C		リンクリセット	りんくりせっと	link reset				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30328	C		リンクリセットシーケンス	りんくりせっとしーけんす	link reset sequence				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30329	C		バイト昇順	ばいとしょうじゅん	little-endian				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30330	C		ライブロック	らいぶろっく	livelock				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30331	C		媒体	ばいたい	media				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30332	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30333	C		最上位ビット、MSB	さいじょういびっと、MSB	most significant bit (MSB)				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30334	C		ナローリンク	なろーりんく	narrow link				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30335	C		ナローポート	なろーぽーと	narrow port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30336	C		交渉物理リンク速度	こうしょうぶつりりんくそく	negotiated physical link				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30337	C		結合、ネクサス	けつごう、ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30338	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30339	C		OOBシーケンス	OOBしーけんす	OOB sequence				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30340	C		OOB信号	OOBしんごう	OOB signal				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30341	C		部分的パスウェイ	ぶぶんてきぱすうぇい	partial pathway				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30342	C		パスウェイ	ぱすうぇい	pathway				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30343	C		パスウェイブロック回数	ぱすうぇいぶろっくかいす	pathway blocked count				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30344	C		phy	phy	phy				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30345	C		phyリセットシーケンス	phyりせっとしーけんす	phy reset sequence				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30346	C		物理リンク	ぶつりりんく	physical link				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30347	C		物理的phy	ぶつりてきphy	physical phy				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30348	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30349	C		潜在的パスウェイ	せんざいてきぱすうぇい	potential pathway				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30350	C		電源オン	でんげんおん	power on				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30351	C		プリミティブ	ぷりみていぶ	primitive				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30352	C		プリミティブシーケンス	ぷりみていぶしーけんす	primitive sequence				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30353	C		プログラム最高物理リンク速度	ぷろぐらむさいこうぶつりりんくそくど	programmed maximum physical link rate				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30354	C		プログラム最低物理リンク速度	ぷろぐらむさいていぶつりりんくそくど	programmed minimum physical link rate				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30355	C		ランダムジッタ	らんだむじった	random jitter				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30356	C		速度	そくど	rate				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30357	C		速度変化遅延時間(RCDT)	そくどへんかちえんじかん(RCDT)	rate change delay time (RCDT)				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30358	C		レシーバ	れしーば	receiver				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30359	C		反射係数（ρ）	はんしゃけいすう（ρ）	reflection coefficient（ρ）				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30360	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30361	C		リセットイベント	りせっといべんと	reset event				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30362	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30363	C		(0と1との)累計不均衡度	(0と1との)るいけいふきんこうど	running disparity				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30364	C		SASアドレス	SASあどれす	SAS address				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30365	C		SAS装置	SASそうち	SAS device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30366	C		SASドメイン	SASどめいん	SAS domain				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30367	C		SASイニシエータ装置	SASいにしえーたそうち	SAS initiator device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30368	C		SASイニシエータ物理層	SASいにしえーたぶつりそ	SAS initiator phy				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30369	C		SASイニシエータポート	SASいにしえーたぽーと	SAS initiator port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30370	C		SAS物理層	SASぶつりそう	SAS phy				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30371	C		SASポート	SASぽーと	SAS port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30372	C		SASターゲット装置	SASたーげっとそうち	SAS target device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30373	C		SASターゲット物理層	SASたーげっとぶつりそう	SAS target phy				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30374	C		SASターゲットポート	SASたーげっとぽーと	SAS target port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30375	C		SASターゲット/イニシエータ装置	SASたーげっと/いにしえーたそうち	SAS target/initiator device				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30376	C		SASターゲット/イニシエータポート	SASたーげっと/いにしえーたぽーと	SAS target/initiator port				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30377	C		SATA装置	SATAそうち	SATA device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30378	C		SATA装置ポート	SATAそうちぽーと	SATA device port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30379	C		SATAホスト	SATAほすと	SATA host				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30380	C		SATAホストポート	SATAほすとぽーと	SATA host port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30381	C		SATA物理層	SATAぶつりそう	SATA phy				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30382	C		スクランブル	すくらんぶる	scrambling				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30383	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30384	C		SCSIドメイン	SCSIどめいん	SCSI domain				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30385	C		SCSIイニシエータ装置	SCSIいにしえーたそうち	SCSI initiator device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30386	C		SCSIイニシエータポート	SCSIいにしえーたぽーと	SCSI initiator port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30387	C		SCSIポート	SCSIぽーと	SCSI port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30388	C		SCSIターゲット装置	SCSIたーげっとそうち	SCSI target device				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30389	C		SCSIターゲットポート	SCSIたーげっとぽーと	SCSI target port				ISO/IEC 14776-	2004				2004	SC25
30390	C		SCSIターゲット/イニシエータ装置	SCSIたーげっと/いにしえーたそうち	SCSI target/initiator device				ISO/IEC 14776-150	2004				2004	SC25
30391	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30392	C		コマンドブロック	こまんどぶろっく	command block				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30393	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30394	C		初期ノード空間	しょきのーどくうかん	initial node space				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30395	C		初期レジスタ空間	しょきれじすたくうかん	initial register space				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30396	C		初期ユニット空間	しょきゆにっとくうかん	initial units space				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30397	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30398	C		キロバイト	きろばいと	kilobyte				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30399	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30400	C		ログイン	ろぐいん	login				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30401	C		ログインID	ろぐいんID	login ID				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30402	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30403	C		ノードID	のーどID	node ID				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30404	C		オクトレット	おくとれっと	octlet				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30405	C		操作要求ブロック	そうさようきゅうぶろっく	operation request block				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30406	C		クアドレット	くあどれっと	quadlet				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30407	C		受信	じゅしん	receive				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30408	C		レジスタ	れじすた	register				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30409	C		要求サブアクション	ようきゅうさぶあくしょん	request subaction				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30410	C		応答サブアクション	おうとうさぶあくしょん	response subaction				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30411	C		分割トランザクション	ぶんかつとらんざくしょん	split transaction				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30412	C		状態ブロック	じょうたいぶろっく	status block				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30413	C		保存する	ほぞんする	store				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30414	C		システムメモリ	しすてむめもり	system memory				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30415	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30416	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30417	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30418	C		テラバイト	てらばいと	terabyte				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30419	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30420	C		ユニット	ゆにっと	unit				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30421	C		ユニットアーキテクチャ	ゆにっとあーきてくちゃ	unit architecture				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30422	C		ユニットアテンション	ゆにっとあてんしょん	unit attention				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30423	C		作業セット	さぎょうせっと	working set				ISO/IEC 14776-	2001				2001	SC25
30424	C		ブロック装置	ぶろっくそうち	block device				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30425	C		キャッシュメモリ	きゃっしゅめもり	cache memory				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30426	C		チェックデータ	ちぇっくでーた	check data				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30427	C		入力データバッファ	にゅうりょくでーたばっふぁ	data-in buffer				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30428	C		出力データバッファ	しゅつりょくでーたばっふぁ	data-out buffer				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30429	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30430	C		排他的論理和	はいたてきろんりわ	exclusive-or				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30431	C		エクステント	えくすてんと	extent				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30432	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30433	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30434	C		非揮発性媒体	ひきはつせいばいたい	non-volatile medium				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30435	C		ノッチ	のっち	notch				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30436	C		冗長グループ	じょうちょうぐるーぷ	redundancy group				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30437	C		ストレージ配列制御装置	すとれーじはいれつせいぎょそうち	storage array controller				ISO/IEC 14776-321	2002				2002	SC25
30438	C		ストレージ配列変換層(SACL)	すとれーじはいれつへんかんそう(SACL)	storage array conversion layer (SACL)				ISO/IEC 14776-321	2002				2002	SC25
30439	C		第三者	だいさんしゃ	third party				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30440	C		利用者アクセス可能	りようしゃあくせすかのう	user-accessible				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30441	C		利用者データ	りようしゃでーた	user data				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30442	C		揮発性媒体	きはつせいばいたい	volatile medium				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30443	C		空白	くうはく	blank				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30444	C		世代	せだい	generation				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30445	C		読み出し専用媒体	よみだしせんようばいたい	read-only medium				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30446	C		アップデート	あっぷでーと	update				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30447	C		追記型媒体	ついきがたばいたい	write-once medium				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30448	C		追加的センス符号	ついかてきせんすふごう	additional sense code				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30449	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30450	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30451	C		キャッシュ	きゃっしゅ	cache				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30452	C		チェックデータ	ちぇっくでーた	check data				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30453	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30454	C		コマンド記述子ブロック(CDB)	こまんどきじゅつしぶろっく(CDB)	command descriptor block (CDB)				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30455	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	cyclic redundancy check (CRC)				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30456	C		データ欠陥リスト(DLIST)	でーたけっかんりすと(DLIST)	data defect list (DLIST)				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30457	C		入力データバッファ	にゅうりょくでーたばっふぁ	data-in buffer				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30458	C		出力データバッファ	しゅつりょくでーたばっふぁ	data-out buffer				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30459	C		デフォルト保護情報	でふぉるとほごじょうほう	default protection information				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30460	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30461	C		装置型	そうちかた	device type				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30462	C		直接アクセスブロック装置	ちょくせつあくせすぶろっくそうち	direct-access block device				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30463	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30464	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correcting code (ECC)				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30465	C		排他的論理和、XOR	はいたてきろんりわ、XOR	exclusive-or (XOR)				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30466	C		エクステント	えくすてんと	extent				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30467	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30468	C		フォーマット破損	ふぉーまっとはそん	format corrupt				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30469	C		成長欠陥リスト、GLIST	せいちょうけっかんりすと、GLIST	grown defect list (GLIST)				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30470	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30471	C		I_T 結合ロス	I_T けつごうろす	I_T nexus loss				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30472	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30473	C		論理ブロックアドレス(LBA)	ろんりぶろっくあどれす	logical block address				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30474	C		論理ユニット証明リスト(CLIST)	ろんりゆにっとしょうめいりすと(CLIST)	logical unit certification list (CLIST)				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30475	C		論理ユニットリセット	ろんりゆにっとりせっと	logical unit reset				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30476	C		媒体	ばいたい	media				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30477	C		媒体	ばいたい	medium				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30478	C		非揮発性キャッシュ	ひきはつせいきゃっしゅ	non-volatile cache				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30479	C		非揮発性媒体	ひきはつせいばいたい	non-volatile medium				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30480	C		電源再投入	でんげんさいとうにゅう	power cycle				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30481	C		電源オン	でんげんおん	power on				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30482	C		一次欠陥リスト、PLIST	いちじけっかんりすと、	primary defect list (PLIST)				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30483	C		保護情報	ほごじょうほう	protection information				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30484	C		冗長グループ	じょうちょうぐるーぷ	redundancy group				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30485	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30486	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30487	C		状態	じょうたい	status				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30488	C		ストレージ配列コントローラ	すとれーじはいれつこんとろーら	storage array controller				ISO/IEC 14776-322	2007				2007	SC25
30489	C		利用者データ	りようしゃでーた	user data				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30490	C		揮発性キャッシュ	きはつせいきゃっしゅ	volatile cache				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30491	C		揮発性媒体	きはつせいばいたい	volatile medium				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30492	C		XORオペレーション	XORおぺれーしょん	XOR operation				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30493	C		XOR保護データ	XORほごでーた	XOR-protected data				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
30494	C		追加的センス符号	ついかてきせんすふごう	additional sense code				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30495	C		追加的センス符号限定子	ついかてきせんすふごうげんていし	additional sense code qualifier				ISO/IEC 14776-326	2002				2002	SC25
30496	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30497	C		コマンド記述子ブロック	こまんどきじゅつしぶろっく	command descriptor block				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30498	C		イベントフィールド	いべんとふぃーるど	event field				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30499	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30500	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30501	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30502	C		ステータス	すてーたす	status				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30503	C		ユニットアテンション状態	ゆにっとあてんしょんじょうたい	unit attention condition				ISO/IEC 14776-326	2002				2002	SC25
30504	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30505	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-331	2002				2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30506	C		補助メモリ	ほじょめもり	auxiliary memory				ISO/IEC 14776-331	2002				2002	SC25
30507	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30508	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30509	C		コマンド記述子ブロック、CDB	こまんどきじゅつしぶろっく、CDB	command descriptor block (CDB)				ISO/IEC 14776-331	2002				2002	SC25
30510	C		装置センサ	そうちせんさ	device server				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30511	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30512	C		情報フィールド	じょうほうふぃーるど	information field				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30513	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30514	C		媒体補助メモリ、MAM	ばいたいほじょめもり、MAM	medium auxiliary memory (MAM)				ISO/IEC 14776-331	2002				2002	SC25
30515	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30516	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30517	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30518	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30519	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30520	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30521	C		テープアラート	てーぷあらーと	TapeAlert				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30522	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-	2002				2002	SC25
30523	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-341	2000				2000	SC25
30524	C		アソシエーション	あそしえーしょん	association				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30525	C		付属	ふぞく	attachment				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30526	C		基準アドレス	きじゅんあどれす	base address				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30527	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30528	C		チェックデータ	ちぇっくでーた	check data				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30529	C		チェックデータマッピング	ちぇっくでーたまっぴんぐ	check data mapping				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30530	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30531	C		コマンド記述子ブロック	こまんどきじゅつしぶろっく	command descriptor block				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30532	C		コンポーネント装置	こんぽーねんとそうち	component device				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30533	C		コンフィギュレーション	こんふぃぎゅれーしょん	configuration				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30534	C		カバリング	かばりんぐ	covering				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30535	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30536	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30537	C		無効	むこう	invalid				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30538	C		グループ	ぐるーぷ	groups				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30539	C		論理ブロックアドレス	ろんりぶろっくあどれす	logical block address				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30540	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30541	C		論理ユニット識別子	ろんりゆにっとしきべつし	logical unit identifier				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30542	C		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30543	C		必す(須)	ひっす	mandatory				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30544	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30545	C		任意(選択)	にんい(せんたく)	optional				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30546	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30547	C		p_エクステント	p_えくすてんと	p_extent				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30548	C		周辺装置	しゅうへんそうち	peripheral device				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30549	C		保護空間	ほごくうかん	protected space				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30550	C		ps_エクステント	ps_えくすてんと	ps_extent				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30551	C		再構築オペレーション	さいこうちくおぺれーしょん	rebuild operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30552	C		再計算オペレーション	さいけいさんおぺれーしょ	recalculate operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30553	C		冗長グループ	じょうちょうぐるーぷ	redundancy group				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30554	C		再生成オペレーション	さいせいせいおぺれーしょ	regenerate operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30555	C		予約済み	よやくずみ	reserved				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30556	C		SCSI-3ストレージ配列	SCSI-3すとれーじはいれ	SCSI-3 storage array				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30557	C		サービスアクション	さーびすあくしょん	service action				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30558	C		セット	せっと	set				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30559	C		スペア	すぺあ	spare				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30560	C		ストレージ配列変換層(SACL)	すとれーじはいれつへんかんそう(SACL)	storage array conversion layer (SACL)				ISO/IEC 14776-341	2000				2000	SC25
30561	C		ストライプ	すとらいぷ	stripe				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30562	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30563	C		基礎的冗長グループ	きそてきじょうちょうぐるー	underlying redundancy				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30564	C		ユニット	ゆにっと	unit				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30565	C		利用者データ	りようしゃでーた	user data				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30566	C		利用者データマッピング	りようしゃでーたまっぴん	user data mapping				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30567	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30568	C		検証	けんしょう	verify operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30569	C		ボリュームセット	ぼりゅーむせっと	volume set				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30570	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30571	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-342	2000				2000	SC25
30572	C		割り当て	わりあて	assignment				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30573	C		アソシエーション	あそしえーしょん	association				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30574	C		付属	ふぞく	attachment				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30575	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30576	C		チェックデータ	ちぇっくでーた	check data				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30577	C		チェックデータマッピング	ちぇっくでーたまっぴんぐ	check data mapping				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30578	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30579	C		コマンド記述子ブロック	こまんどきじゅつしぶろっく	command descriptor block				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30580	C		コンポーネント装置	こんぽーねんとそうち	component device				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30581	C		コンフィギュレーション	こんふぃぎゅれーしょん	configuration				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30582	C		カバリング	かばりんぐ	covering				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30583	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30584	C		交換	こうかん	exchange				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30585	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30586	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30587	C		無効	むこう	invalid				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30588	C		グループ	ぐるーぷ	groups				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30589	C		論理ブロックアドレス	ろんりぶろっくあどれす	logical block address				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30590	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30591	C		論理ユニット番号0、LUN Z	ろんりゆにっとばんごうぜろ、LUN Z	logical unit number zero (LUN Z)				ISO/IEC 14776-342	2000				2000	SC25
30592	C		論理ユニット識別子	ろんりゆにっとしきべつし	logical unit identifier				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30593	C		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30594	C		義務的	ぎむてき	mandatory				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30595	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30596	C		選択的	せんたくてき	optional				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30597	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30598	C		p_エクステント	p えくすてんと	p extent				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30599	C		周辺装置	しゅうへんそうち	peripheral device				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30600	C		保護空間	ほごくうかん	protected space				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30601	C		ps_エクステント	ps えくすてんと	ps extent				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30602	C		再構築オペレーション	さいこうちくおぺれーしょん	rebuild operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30603	C		再計算オペレーション	さいけいさんおぺれーしょ	recalculate operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30604	C		冗長グループ	じょうちょうぐるーぷ	redundancy group				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30605	C		再生成オペレーション	さいせいせいおぺれーしょ	regenerate operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30606	C		予約済み	よやくずみ	reserved				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30607	C		SCSIストレージ配列	SCSIすとれーじはいれつ	SCSI storage array				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30608	C		サービスアクション	さーびすあくしょん	service action				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30609	C		セット	せっと	set				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30610	C		スペア	すぺあ	spare				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30611	C		ストレージ配列変換層、SACL	すとれーじはいれつへんかんそう、SACL	storage array conversion layer (SACL)				ISO/IEC 14776-342	2000				2000	SC25
30612	C		ストライプ	すとらいぷ	stripe				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30613	C		対象	たいしょう	target				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30614	C		基礎的冗長グループ	きそてきじょうちょうぐるー	underlying redundancy				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30615	C		ユニット	ゆにっと	unit				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30616	C		利用者データ	りようしゃでーた	user data				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30617	C		利用者データマッピング	りようしゃでーたまっぴん	user data mapping				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30618	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30619	C		検証	けんしょう	verify operation				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30620	C		ボリュームセット	ぼりゅーむせっと	volume set				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30621	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30622	C		アドレス型	あどれすかた	address type				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30623	C		装置固有	そうちこゆう	device-specific				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30624	C		ID-1カード	ID-1かーど	ID-1 card				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30625	C		無効	むこう	invalid				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30626	C		必す(須)	ひっす	mandatory				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30627	C		廃止	はいし	obsolete				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30628	C		任意(選択)	にんい(せんたく)	optional				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30629	C		パーティション	ぱーていしょん	partition				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30630	C		予約済み	よやくずみ	reserved				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30631	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30632	C		セクタ型	せくたがた	type of sector				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30633	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	2000				2000	SC25
30634	C		配線システム、アプリケーション	はいせんしすてむ、あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30635	C		機器接続点	ききせつぞくてん	application outlet				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30636	C		外部接続点、ACP	がいぶせつぞくてん、ACP	area connection point				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30637	C		平衡ケーブル	へいこうけーぶる	balanced cable				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30638	C		ブロードキャスト及び通信技術、BCT	ぶろーどきゃすとおよびつうしんぎじゅつ、BCT	broadcast and communications technologies (BCT)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30639	C		ビル内引き込み設備、BEF	びるないひきこみせつび、BEF	building entrance facility (BEF)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30640	C		ケーブル要素	けーぶるようそ	cable element				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30641	C		ケーブルユニット	けーぶるゆにっと	cable unit				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30642	C		配線	はいせん	cabling				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30643	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30644	C		同軸ペア	どうじくぺあ	coaxial pair				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30645	C		建物におけるコマンド、制御及び通信、CCCB	たてものにおけるこまんど、せいぎょおよびつうしん、CCCB	commands, controls and communications in buildings (CCCB)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30646	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30647	C		コネクタ共有	こねくたきょうゆう	connector sharing				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30648	C		利用可能区域	りようかのうくいき	coverage area				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30649	C		クロスコネクト	くろすこねくと	cross-connect				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30650	C		配線盤	はいせんばん	distributor				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30651	C		機器コード	ききこーど	equipment cord				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30652	C		機器インタフェース、EI	ききいんたふぇーす、EI	equipment interface (EI)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30653	C		家庭	かてい	home				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30654	C		家庭用電子システム、HES	かていようでんししすてむ、HES	home electronic system (HES)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30655	C		情報通信技術、ICT	じょうほうつうしんぎじゅつ、ICT	information and communications technologies (ICT)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30656	C		インターコム	いんたーこむ	intercom				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30657	C		相互接続	そうごせつぞく	interconnect				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30658	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30659	C		ネットワークアクセス配線	ねっとわーくあくせすはいせん	network access cabling				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30660	C		光ファイバケーブル(又は光ケーブル)	ひかりふぁいばけーぶる(またはひかりけーぶる)	optical fibre cable (or optical cable)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30661	C		パスウェイ	ぱすうぇい	pathway				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30662	C		永久リンク	えいきゅうりんく	permanent link				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30663	C		家庭用一次配線器、PHD	かていよういちじはいせんき、PHD	primary home distributor (PHD)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30664	C		遠隔給電	えんかくきゅうでん	remote power feeding				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30665	C		設計によって満たすべき要求事項	せっけいによってみたすべきようきゅうじこう	requirement to be met by design				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30666	C		シールド平衡ケーブル	しーるどへいこうけーぶる	screened balanced cable				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30667	C		家庭用二次配線器、SHD	かていようにじはいせんき、SHD	secondary home distributor (SHD)				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30668	C		スペース、取付け場所	すぺーす、とりつけばしょ	space				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30669	C		末端機器	まったんきき	terminal equipment				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30670	C		伝送機器	でんそうきき	transmission equipment				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30671	C		ツイストペア	ついすとぺあ	twisted pair				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30672	C		非シールド平衡ケーブル	ひしーるどへいこうけーぶ	unscreened balanced				ISO/IEC 15018	2004				2004	SC25
30673	C		共存	きょうぞん	co-existence				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30674	C		説明書群	せつめいしょぐん	documentation				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30675	C		ファイル転送プロトコル、FTP	ふぁいるてんそうぷろとこる、FTP	file transfer protocol, FTP				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30676	C		ホームアドレスネットワーク、HAN	ほーむあどれすねっとわーく、HAN	home area network, HAN				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30677	C		HANゲートウェイインタフェース、HGI	HANげーとうぇいいんたふぇーす、HGI	HAN to gateway interface, HGI				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30678	C		IPSec	IPSec	IPSec				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30679	C		ローカルエリアネットワーク、LAN	ろーかるえりあねっとわーく、らん	local area network, LAN				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30680	C		マネジメント情報ベース	まねじめんとじょうほうべーす	management information base				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30681	C		ネットワークアドレス変換、NAT	ねっとわーくあどれすへんかん、NAT	network address translation, NAT				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30682	C		パーソナルエリアネットワーク	ぱーそなるえりあねっとわーく	personal area network				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30683	C		処理及びプロトコル変換	しょりおよびぷろとこるへんかん	processing and protocol conversion				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30684	C		住宅ゲートウェイ、レジデンシャルゲートウェイ	じゅうたくげーとうぇい、れじでんしゃるげーとうぇい	residential gateway				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30685	C		住宅ゲートウェイ内部処理、レジデンシャルゲートウェイ内部処理	じゅうたくげーとうぇいないぶしょり、れじでんしゃるげーとうぇいないぶしょり	residential gateway internal processes				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30686	C		ルート	るーと	route				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30687	C		スパイウェア	すぱいうぇあ	spyware				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30688	C		セキュア多目的インターネットメール拡張	せきゅあたもくてきいんたーねっとめーるかくちょ	secure/multi purpose internet mail extensions				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30689	C		セキュア ソケットレイヤ・トランスポートレイヤ セキュリティ、SSL	せきゅあ そけっとれいや・とらんすぽーとれいや せきゅりてい、SSL	secure sockets layer/transport layer security (SSL)				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30690	C		固有WANインタフェース	こゆうわんいんたふぇーす	specific WAN interface				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30691	C		テルネット	てるねっと	telnet				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30692	C		トロイの木馬ウィルス	とろいのもくばういるす	trojan horse virus				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30693	C		利用者データグラムプロトコル	りようしゃでーたぐらむぷろとこる	user datagram protocol				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30694	C		仮想プライベートネットワーク	かそうぷらいべーとねっとわーく	virtual private network				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30695	C		広域ネットワーク、WAN	こういきねっとわーく、わん	wide area network, WAN				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30696	C		WANゲートウェイインタフェース、WGI	わんげーとうぇいいんたふぇーす、WGI	WAN to gateway interface, WGI				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30697	C		"x"デジタル加入者回線、xDSL	"x"でじたるかにゅうしゃかいせん、xDSL	"x" digital subscriber line, xDSL				ISO/IEC 15045-1	2004				2004	SC25
30698	C		肯定値化	こうていちか	assert				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30699	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30700	C		バイトスレーブ	ばいとすれーぶ	byte Slave				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30701	C		バスサイジング	ばすさいじんぐ	Bus Sizing				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30702	C		CLK	CLK	CLK				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30703	C		クロック周期	くろっくしゅうき	clock cycle				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30704	C		制御装置	せいぎょそうち	Controller				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30705	C		中央処理装置、CPU	ちゅうおうしょりそうち、CPU	central processing unit (CPU)				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30706	C		ダブルワード	だぶるわーど	double-word				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30707	C		ハーフワード	はーふわーど	half-word				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30708	C		ハーフワードスレーブ	はーふわーどすれーぶ	half-word Slave				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30709	C		高レベル、Hレベル	こうれべる、Hれべる	high (H) level				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30710	C		保持増幅器	ほじぞうふくき	holding amplifier				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30711	C		論理状態	ろんりじょうたい	logic state				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30712	C		論理レベル	ろんりれべる	logic level				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30713	C		低レベル、Lレベル	ていれべる、Lれべる	low (L) level				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30714	C		必す(須)	ひっす	mandatory				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30715	C		マスタ	ますた	Master				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30716	C		マザーボード	まざーぼーど	motherboard				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30717	C		否定値化	ひていちか	negate				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30718	C		奇数パリティ	きすうぱりてぃ	odd parity				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30719	C		いち("1")	いち	one ("1")				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30720	C		任意(選択)	にんい(せんたく)	optional				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30721	C		予約済み	よやくずみ	reserved				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30722	C		SBus	SBus	SBus				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30723	C		SBusカード	SBusかーど	SBus Card				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30724	C		SBus制御装置	SBusせいぎょそうち	SBus Controller				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30725	C		SBus周期	SBusしゅうき	SBus cycle				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30726	C		SBus装置	SBusそうち	SBus Device				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30727	C		SBusマスタ	SBusますた	SBus Master				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30728	C		SBusマスタポート	SBusますたぽーと	SBus Master port				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30729	C		SBusスレーブ	SBusすれーぶ	SBus Slave				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30730	C		SBusスレーブポート	SBusすれーぶぽーと	SBus Slave port				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30731	C		SBusスロット	SBusすろっと	SBus Slot				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30732	C		SBus仕様	SBusしよう	SBus Specification				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30733	C		SBus規格	SBusきかく	SBus standard				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30734	C		SBusシステム	SBusしすてむ	SBus System				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30735	C		信号の肯定値化	しんごうのこうていちか	signal assertion				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30736	C		信号の否定値化	しんごうのひていちか	signal negation				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30737	C		信号線の開放	しんごうせんのかいほう	signal release				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30738	C		信号状態	しんごうじょうたい	signal state				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30739	C		スレーブ	すれーぶ	Slave				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30740	C		語	ご	word				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30741	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 15205	2000				2000	SC25
30742	C		アービトレーション	あーびとれーしょん	ARBITRATION				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30743	C		アドレスオンリーサイクル	あどれすおんりーさいくる	ADDRESS-ONLY CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30744	C		アドレスオンリーウィズハンドシェイクサイクル	あどれすおんりーういずはんどしぇいくさいくる	ADDRESS-ONLY-WITH-HANDSHAKE CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30745	C		アービター	あーびたー	ARBITER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30746	C		アービトレーションバス	あーびとれーしょんばす	ARBITRATION BUS				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30747	C		アービトレーションサイク	あーびとれーしょんさいく	ARBITRATION CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30748	C		バックプレーン(VMEバス)	ばっくぷれーん(VMEばす)	BACKPLANE (VMEbus)				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30749	C		バックプレーンインタフェース論理	ばっくぷれーんいんたふぇーすろんり	BACKPLANE INTERFACE LOGIC				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30750	C		ブロック読み出しサイクル	ぶろっくよみだしさいくる	BLOCK READ CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30751	C		ブロック書き込みサイクル	ぶろっくかきこみさいくる	BLOCK WRITE CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30752	C		基板	きばん	BOARD				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30753	C		バスタイマ	ばすたいま	BUS TIMER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30754	C		デイジーチェーン	でいじーちぇーん	DAISY-CHAIN				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30755	C		データ転送バス	でーたてんそうばす	DATA TRANSFER BUS				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30756	C		データ転送バスサイクル	でーたてんそうばすさいくる	DATA TRANSFER BUS CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30757	C		機能モジュール	きのうもじゅーる	FUNCTIONAL MODULE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30758	C		IACKデイジーチェーンドライバ	IACKでいじーちぇーんどらいば	IACK DAISY-CHAIN DRIVER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30759	C		割り込み応答サイクル	わりこみおうとうさいくる	INTERRUPT ACKNOWLEDGE CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30760	C		優先割り込みバス	ゆうせんわりこみばす	PRIORITY INTERRUPT				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30761	C		割り込み装置	わりこみそうち	INTERRUPTER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30762	C		割り込みハンドラ	わりこみはんどら	INTERRUPT HANDLER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30763	C		位置モニタ	いちもにた	LOCATION MONITOR				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30764	C		マスタ	ますた	MASTER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30765	C		MD32	MD32	MD32				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30766	C		モナーク	もなーく	MONARCH				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30767	C		多重アドレスサイクル	たじゅうあどれすさいくる	MULTIPLEXED ADDRESS CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30768	C		多重データサイクル	たじゅうでーたさいくる	MULTIPLEXED DATA CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30769	C		電力モニタモジュール	でんりょくもにたもじゅーる	POWER MONITOR				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30770	C		読み出しサイクル	よみだしさいくる	READ CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30771	C		読み出し/修正/書き込みサイクル	よみだし/しゅうせい/かきこみさいくる	READ-MODIFY-WRITE CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30772	C		リクエスタ	りくえすた	REQUESTER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30773	C		直列バス	ちょくれつばす	SERIAL BUS				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30774	C		スレーブ	すれーぶ	SLAVE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30775	C		スロット	すろっと	SLOT				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30776	C		状態/ID	じょうたい/ID	STATUS/ID				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30777	C		サブラック	さぶらっく	SUBRACK				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30778	C		システムクロックドライバ	しすてむくろっくどらいば	SYSTEM CLOCK DRIVER				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30779	C		システム制御装置基板	しすてむせいぎょそうちきばん	SYSTEM CONTROLLER BOARD				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30780	C		非整列転送(UAT)	ひせいれつてんそう(UAT)	UNALIGNED TRANSFER (UAT)				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30781	C		ユーティリティバス	ゆーていりていばす	UTILITY BUS				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30782	C		書き込みサイクル	かきこみさいくる	WRITE CYCLE				ISO/IEC 15776	2001				2001	SC25
30783	C		フリーアクセスフロア、OAフロア	ふりーあくせすふろあ、OAふろあ	access floor				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30784	C		架空(配線)設備	かくう(はいせん)せつび	aerial facility				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30785	C		代替出入口、代替引込み口	だいたいしゅつにゅうぐち、だいたいひきこみぐち	alternate entrance				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30786	C		アンテナ引込み口	あんてなひきこみぐち	antenna entrance				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30787	C		建物経路	たてものけいろ	building pathway				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30788	C		ダクト式ケーブル配線システム	だくとしきけーぶるはいせんしすてむ	cable ducting system				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30789	C		ケーブル管理システム	けーぶるかんりしすてむ	cable management system				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30790	C		ケーブルトランクシステム	けーぶるとらんくしすてむ	cable trunking system				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30791	C		キャンパス経路	きゃんぱすけいろ	campus pathway				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30792	C		顧客構内	こきゃくこうない	customer premises				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30793	C		(作業領域に関連する)装置	(さぎょうりょういきにかんれんする)そうち	device (as related to a work area)				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30794	C		直接埋設ケーブル	ちょくせつまいせつけーぶる	directly buried cable				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30795	C		進入口点	しんにゅうぐちてん	entrance point (telecommunications)				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30796	C		進入口部屋又は空間	しんにゅうぐちべやまたはくうかん	entrance room or space				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30797	C		ハンドホール	はんどほーる	handhole				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30798	C		ヘッダダクト	へっだだくと	header ducting				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30799	C		インフラストラクチャ(電気通信)	いんふらすとらくちゃ(でんきつうしん)	infrastructure (telecommunications)				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30800	C		ダクト内ダクト	だくとないだくと	inner duct				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30801	C		主要端子空間	しゅようたんしくうかん	main terminal space				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30802	C		保守口(電気通信)	ほしゅこう(でんきつうしん)	maintenance hole (telecommunications)				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30803	C		オープンオフィス家具システム	おーぷんおふぃすかぐしすてむ	open office furniture system				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30804	C		経路	けいろ	pathway				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30805	C		プレナム、チェンバ	ぷれなむ、ちぇんば	plenum				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30806	C		サービスポール	さーびすぽーる	service pole				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30807	C		空間(電気通信)	くうかん(でんきつうしん)	space				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30808	C		つり天井	つりてんじょう	suspended ceiling				ISO/IEC 18010	2002				2002	SC25
30809	C		検査文字	けんさもじ	check character				ISO/IEC 7064	2003				2003	SC27
30810	C		検査文字システム	けんさもじしすてむ	check character system				ISO/IEC 7064	2003				2003	SC27
30811	C		補助検査文字	ほじょけんさもじ	supplementary check character				ISO/IEC 7064	2003				2003	SC27
30812	C		法	ほう	modulus				ISO/IEC 7064	2003				2003	SC27
30813	C		合同	ごうどう	congruence				ISO/IEC 7064	2003				2003	SC27
30814	C		基数	きすう	radix				ISO/IEC 7064	2003				2003	SC27
30815	C		容量	ようりょう	capacity				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30816	C		証明領域	しょうめいりょういき	certificate domain				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30817	C		証明領域パラメータ	しょうめいりょういきぱらめーた	certificate domain parameters				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30818	C		衝突困難ハッシュ関数	しょうとつこんなんはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30819	C		ハッシュ符号	はっしゅふごう	hash-code				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30820	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30821	C		マスク生成関数	ますくせいせいかんすう	mask generation function				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30822	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30823	C		メッセージ表現	めっせーじひょうげん	message representative				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30824	C		ニブル	にぶる	nibble				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30825	C		回復不可能部分	かいふくふかのうぶぶん	non-recoverable part				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30826	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30827	C		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30828	C		プライベート署名かぎ(鍵)	ぷらいべーとしょめいかぎ	private signature key				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30829	C		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30830	C		(電子署名のための)公開かぎ(鍵)システム	(でんししょめいのための)こうかいかぎしすてむ	public key system (for digital signature)				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30831	C		公開検証かぎ(鍵)	こうかいけんしょうかぎ	public verification key				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30832	C		回復可能部分	かいふくかのうぶぶん	recoverable part				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30833	C		ソルト	そると	salt				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30834	C		署名	しょめい	signature				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30835	C		トレーラ	とれーら	trailer				ISO/IEC 9796-2	2002				2002	SC27
30836	C		申請者	しんせいしゃ	applicant				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30837	C		証明書	しょうめいしょ	certificate				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30838	C		エントリラベル	えんとりらべる	entry label				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30839	C		評価合格宣言	ひょうかごうかくせんげん	evaluation pass statement				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30840	C		JTC 1登録機関	JTC 1とうろくきかん	JTC 1 Registration Authority				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30841	C		パッケージ	ぱっけーじ	package				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30842	C		保護プロファイル、プロテクションプロファイル	ほごぷろふぁいる、ぷろてくしょんぷろふぁいる	Protection Profile				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30843	C		登録簿	とうろくぼ	register				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30844	C		登録項目	とうろくこうもく	register entry				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30845	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30846	C		セキュリティ目標	せきゅりていもくひょう	Security Target				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30847	C		スポンサ	すぽんさ	sponsor				ISO/IEC 15292	2001				2001	SC27
30848	C		区画化	くかくか	Compartmentalization				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30849	C		一般SIOクラス	いっぱんSIOくらす	Generic SIO Class				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30850	C		情報オブジェクト	じょうほうおぶじぇくと	Information Object				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30851	C		情報オブジェクトクラス	じょうほうおぶじぇくとくら	Information Object Class				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30852	C		オブジェクト識別子(OID)	おぶじぇくとしきべつし	Object Identifier (OID)				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30853	C		シール	しーる	Seal				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30854	C		セキュリティ機関	せきゅりていきかん	Security Authority				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30855	C		セキュリティ領域	せきゅりていりょういき	Security Domain				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30856	C		セキュリティ情報オブジェクト	せきゅりていじょうほうおぶじぇくと	Security Information Object				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30857	C		セキュリティ情報オブジェクトクラス	せきゅりていじょうほうおぶじぇくとくらす	Security Information Object Class				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30858	C		セキュリティラベル	せきゅりていらべる	Security Label				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30859	C		セキュリティ方針	せきゅりていほうしん	Security Policy				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30860	C		セキュリティ方針情報ファイル	せきゅりていほうしんじょうほうふぁいる	Security Policy Information File				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30861	C		特定SIOクラス	とくていSIOくらす	Specific SIO Class				ISO/IEC 15816	2002				2002	SC27
30862	C		集約	しゅうやく	aggregation				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30863	C		連鎖	れんさ	chain				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30864	C		衝突困難ハッシュ関数	しょうとつこんなんはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30865	C		データアイテム表現	でーたあいてむひょうげん	data items representation				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30866	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30867	C		ハッシュ値	はっしゅち	hash value				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30868	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30869	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30870	C		タイムスタンプ トークン	たいむすたんぷ とーくん	time-stamp token				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30871	C		タイムスタンピング機関、TSA	たいむすたんぴんぐきかん、TSA	time-stamping authority (TSA)				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30872	C		タイムスタンピングサービ	たいむすたんぴんぐさー	time-stamping service				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30873	C		信頼できる第三者機関(TTP)	しんらいできるだいさんしゃきかん(TTP)	trusted third party (TTP)				ISO/IEC 18014-3	2004				2004	SC27
30874	C		責任追跡性	せきにんついせきせい	accountability				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30875	C		認定	にんてい	accreditation				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30876	C		アセスメント	あせすめんと	assessment				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30877	C		資産	しさん	asset				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30878	C		保証	ほしょう	assurance				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30879	C		保証の論拠	ほしょうのろんきょ	assurance Argument				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30880	C		保証の主張	ほしょうのしゅちょう	assurance Claim				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30881	C		保証の証拠	ほしょうのしょうこ	assurance Evidence				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30882	C		真正性	しんせいせい	authenticity				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30883	C		可用性	かようせい	availability				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30884	C		ベースライン	べーすらいん	baseline				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30885	C		証明	しょうめい	certification				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30886	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30887	C		一貫性	いっかんせい	consistency				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30888	C		正確性	せいかくせい	correctness				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30889	C		顧客	こきゃく	customer				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30890	C		有効性	ゆうこうせい	effectiveness				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30891	C		技術的責任者グループ	ぎじゅつてきせきにんしゃぐるーぷ	engineering group				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30892	C		証拠	しょうこ	evidence				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30893	C		完全性	かんぜんせい	integrity				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30894	C		保守	ほしゅ	maintenance				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30895	C		方法論	ほうほうろん	methodology				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30896	C		侵入プロファイル	しんにゅうぷろふぁいる	penetration profile				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30897	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30898	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30899	C		信頼性	しんらいせい	reliability				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30900	C		残存リスク	ざんぞんりすく	residual risk				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30901	C		リスク	りすく	risk				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30902	C		リスク分析	りすくぶんせき	risk analysis				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30903	C		リスクマネジメント	りすくまねじめんと	risk management				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30904	C		セキュリティ方針	せきゅりてぃほうしん	security policy				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30905	C		セキュリティ関連要求事項	せきゅりてぃかんれんようきゅうじこう	security related requirements				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30906	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30907	C		脅威	きょうい	threat				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30908	C		脅威エージェント	きょういえーじぇんと	threat agent				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30909	C		適用検証	てきようけんしょう	validation				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30910	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30911	C		ぜい弱性	ぜいじゃくせい	vulnerability				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30912	C		作業生産物	さぎょうせいさんぶつ	work product				ISO/IEC 21827	2008				2008	SC27
30913	C		ギガバイト媒体独立インタフェース (GMII)	ぎがばいとばいたいどくりついんたふぇーす (GMII)	Gigabit Media Independent Interface (GMII)				ISO/IEC 14165-114	2005				2005	SC25
30914	C		媒体アクセス制御(MAC)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)	Media Access Control (MAC)				ISO/IEC 14165-114	2005				2005	SC25
30915	C		媒体依存インタフェース(MDI)	ばいたいいぞんいんたふぇーす(MDI)	Media-Dependent Interface (MDI)				ISO/IEC 14165-114	2005				2005	SC25
30916	C		媒体独立インタフェース(MII)	ばいたいどくりついんたふぇーす(MII)	Media-Independent Interface (MII)				ISO/IEC 14165-114	2005				2005	SC25
30917	C		物理符号化副層(PCS)	ぶつりふごうかふくそう(PCS)	Physical Coding Sublayer (PCS)				ISO/IEC 14165-114	2005				2005	SC25
30918	C		物理層実体(PHY)	ぶつりそうじったい(PHY)	Physical Layer entity				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
30919	C		物理媒体アタッチメント(PMA)副層	ぶつりばいたいあたっちめんと(PMA)ふくそう	Physical Medium Attachment (PMA)				ISO/IEC 14165-114	2005				2005	SC25
30920	C		物理媒体依存副層(PMD)	ぶつりばいたいいぞんふくそう(PMD)	Physical Medium Dependent sublayer				ISO/IEC 14165-114	2005				2005	SC25
30921	C		10ビットインタフェース	10びっといんたふぇーす	Ten Bit Interface (TBI)				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
30922	C		参照点αT、αR	さんしょうてんαT、αR	reference points αT, αR				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30923	C		相互運用性点βT、βR	そうごうんようせいてんβT、βR	interoperability points βT, βR				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30924	C		相互運用性点δT、δR	そうごうんようせいてんδT、δR	interoperability points δT, δR				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30925	C		相互運用性点γT、γR	そうごうんようせいてんγT、γR	interoperability points γT, γR				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30926	C		減衰	げんすい	attenuation				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30927	C		平均電力	へいきんでんりょく	average power				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30928	C		帯域幅	たいいきはば	bandwidth				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30929	C		ボー	ぼー	baud				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30930	C		ビットエラー率、BER	びっとえらーりつ、BER	bit error ratio (BER)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30931	C		ビット同期化	びっとどうきか	bit synchronization				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30932	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30933	C		ケーブル設備	けーぶるせつび	cable plant				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30934	C		中心波長(レーザ)	ちゅうしんはちょう(れーざ)	centre wavelength (laser)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30935	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30936	C		同軸ケーブル	どうじくけーぶる	coaxial cable				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30937	C		規格適合性判定点	きかくてきごうせいはんていてん	compliance point				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30938	C		分散	ぶんさん	dispersion				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30939	C		デューティサイクルひずみ、パルス幅ひずみ、	でゅーていさいくるひずみ、ぱるすはばひずみ、	duty cycle distortion (DCD)				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30940	C		電気的立下がり時間	でんきてきたちさがりじか	electrical fall time				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30941	C		電気的立上がり時間	でんきてきたちあがりじか	electrical rise time				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30942	C		エンクロージャ	えんくろーじゃ	enclosure				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30943	C		外部コネクタ	がいぶこねくた	external connector				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30944	C		アイオープニング (水平)	あいおーぷにんぐ (すいへい)	eye opening (horizontal)				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
30945	C		FC装置	FCそうち	FC device				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30946	C		FC装置コネクタ	FCそうちこねくた	FC device connector				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30947	C		ファイバ	ふぁいば	fibre				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30948	C		光ファイバケーブル	ひかりふぁいばけーぶる	fibre optic cable				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30949	C		インタフェースコネクタ	いんたふぇーすこねくた	interface connector				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30950	C		内部コネクタ	ないぶこねくた	internal connector				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30951	C		内部FC装置	ないぶFCそうち	internal FC device				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30952	C		相互運用性点	そうごうんようせいてん	interoperability point				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30953	C		記号間干渉	きごうかんかんしょう	intersymbol interference				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30954	C		ジッタ	じった	jitter				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30955	C		データ依存ジッタ	でーたいぞんじった	jitter, data dependent				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30956	C		決定論的ジッタ、DJ	けっていろんてきじった、	jitter, deterministic (DJ)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30957	C		ランダムジッタ、RJ	らんだむじった、RJ	jitter, random (RJ)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30958	C		ジッタ耐性	じったたいせい	jitter tolerance				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30959	C		レーザチャープ	れーざちゃーぷ	laser chirp				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30960	C		レベル	れべる	level				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30961	C		制限増幅器	せいげんぞうふくき	limiting amplifier				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30962	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30963	C		必す(須)	ひっす	mandatory				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30964	C		モード分配雑音、MPN	もーどぶんぱいざつおん、MPN	mode partition noise (MPN)				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30965	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30966	C		開口数	かいこうすう	numerical aperture				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30967	C		オープンファイバ制御、OFC	おーぷんふぁいばせいぎょ、OFC	Open Fibre Control (OFC)				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30968	C		光立下がり時間	ひかりたちさがりじかん	optical fall time				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30969	C		光ファイバ	ひかりふぁいば	optical fibre				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30970	C		光振幅変調	ひかりしんぷくへんちょう	optical modulation				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30971	C		受光過負荷	じゅこうかふか	optical receiver overload				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30972	C		受光感度	じゅこうかんど	optical receiver sensitivity				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30973	C		光路ペナルティ	こうろぺなるてぃ	optical path penalty				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30974	C		光基準面	ひかりきじゅんめん	optical reference plane				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30975	C		光立ち上がり時間	ひかりたちあがりじかん	optical rise time				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30976	C		光リターンロス、ORL	ひかりりたーんろす、ORL	optical return loss (ORL)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30977	C		選択的	せんたくてき	optional				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30978	C		プラグ	ぷらぐ	plug				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30979	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30980	C		レシーバ、受信回路	れしーば、じゅしんかいろ	receiver				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30981	C		レセプタクル	れせぷたくる	receptacle				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30982	C		リクロッカ	りくろっか	reclocker				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30983	C		基準点	きじゅんてん	reference points				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30984	C		反射(光の)	はんしゃ(ひかりの)	reflections (optical)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30985	C		リピータ	りぴーた	repeater				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30986	C		リタイマ	りたいま	retimer				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30987	C		リターンロス	りたーんろす	return loss				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30988	C		RIN12(OMA)	RIN12(OMA)	RIN12(OMA)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30989	C		ラン長	らんちょう	run length				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30990	C		ランニングディスパリティ	らんにんぐでぃすぱりてぃ	running disparity				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30991	C		特殊文字	とくしゅもじ	special character				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30992	C		分光幅、RMS	ぶんこうはば、RMS	spectral width (RMS)				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30993	C		ストレス下受信回路感度	すとれすかじゅしんかいろかんど	stressed receiver sensitivity				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30994	C		ストレス下受信回路垂直アイクロージャ出力ペナルティ	すとれすかじゅしんかいろすいちょくあいくろーじゃしゅつりょくぺなるてぃ	stressed receiver vertical eye closure power penalty				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30995	C		同期化	どうきか	synchronization				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30996	C		トランシーバ、送受信回路	とらんしーば、そうじゅしんかいろ	transceiver				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
30997	C		伝送文字	でんそうもじ	transmission character				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30998	C		伝送符号	でんそうふごう	transmission code				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
30999	C		伝送語	でんそうご	transmission word				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
31000	C		トランスミッタ、送信回路	とらんすみった、そうしんかいろ	transmitter				ISO/IEC 14165-115	2006				2006	SC25
31001	C		TxRx接続	TxRxせつぞく	TxRx Connection				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
31002	C		TxRx接続セグメント	TxRxせつぞくせぐめんと	TxRx Connection segment				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
31003	C		単位時間	たんいじかん	unit interval				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
31004	C		語	ご	word				ISO/IEC 14165-	2006				2006	SC25
31005	C		規格適合性判定点	きかくてきごうせいはんていてん	compliance point				ISO/IEC 14165-116	2005				2005	SC25
31006	C		アービトレーテッドループ、調停ループ	あーびとれーてっどるーぷ、ちょうているーぷ	Arbitrated Loop				ISO/IEC 14165-122	2005				2005	SC25
31007	C		アービトレーテッドループ物理アドレス、AL_PA	あーびとれーてっどるーぷぶつりあどれす、AL_PA	Arbitrated Loop Physical Address (AL_PA)				ISO/IEC 14165-122	2005				2005	SC25
31008	C		アービトレーテッドループあて先アドレス、AL_PD	あーびとれーてっどるーぷあてさきあどれす、AL_PD	Arbitrated Loop Destination Address				ISO/IEC 14165-122	2005				2005	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31009	C		アービトレーテッドループソースアドレス、AL_PS	あーびとれーてっどるーぷそーすあどれす、AL_PS	Arbitrated Loop Source Address (AL_PS)				ISO/IEC 14165-122	2005				2005	SC25
31010	C		クローズ	くろーず	close				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31011	C		カレントフィルワード	かれんとふぃるわーど	current Fill Word				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31012	C		動的半二重	どうてきはんにじゅう	Dynamic Half-Duplex				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31013	C		公平性ウィンドウ	こうへいせいうぃんどう	fairness window				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31014	C		フィルワード	ふぃるわーど	Fill Word				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31015	C		FLポート	FLぽーと	FL_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31016	C		F/NLポート	F/NLぽーと	F/NL_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31017	C		全二重	ぜんにじゅう	full-duplex				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31018	C		半二重	はんにじゅう	half-duplex				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31019	C		ハブ	はぶ	Hub				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31020	C		ループ	るーぷ	Loop				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31021	C		ループ回路	るーぷかいろ	Loop circuit				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31022	C		ループ障害	るーぷしょうがい	Loop Failure				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31023	C		Lポート	Lぽーと	L_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31024	C		NLポート	NLぽーと	NL_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31025	C		非Lポート	ひLぽーと	non-L_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31026	C		不参加モード	ふさんかもーど	Non-Participating mode				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31027	C		不参加バイパスモード	ふさんかばいぱすもーど	Non-Participating Bypassed mode				ISO/IEC 14165-122	2005				2005	SC25
31028	C		オープン	おーぷん	open				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31029	C		参加モード	さんかもーど	Participating mode				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31030	C		参加バイパスモード	さんかばいぱすもーど	Participating Bypassed mode				ISO/IEC 14165-122	2005				2005	SC25
31031	C		ポート名	ぽーとめい	Port Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31032	C		プリミティブシーケンス	ぷりみていぶしーけんす	Primitive Sequence				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31033	C		プライベートループ	ぷらいべーとるーぷ	Private Loop				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31034	C		プライベートNLポート	ぷらいべーとNLぽーと	Private NL_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31035	C		パブリックループ	ぱぶりっくるーぷ	Public Loop				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31036	C		パブリックNLポート	ぱぶりっくNLぽーと	Public NL_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31037	C		複製フレーム	ふくせいふれーむ	replicate frame				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31038	C		転送	てんそう	transfer				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31039	C		信頼AL_PA	しんらいAL_PA	trusted AL_PA				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31040	C		チャネラ	ちゃねら	channelor				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31041	C		チャネルコマンド語、CCW	ちゃねるこまんどご、CCW	channel-command word (CCW)				ISO/IEC 14165-222	2005				2005	SC25
31042	C		チャネル イメージ	ちゃねるいめーじ	Channel image				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31043	C		チャネルパス識別子、CHPID	ちゃねるぱすしきべつし、CHPID	Channel-path identifier (CHPID)				ISO/IEC 14165-222	2005				2005	SC25
31044	C		チャネルプログラム	ちゃねるぷろぐらむ	Channel program				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31045	C		チャネル間接続	ちゃねるかんせつぞく	Channel-to-channel connection				ISO/IEC 14165-222	2005				2005	SC25
31046	C		接続	せつぞく	Connection				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31047	C		制御ユニット	せいぎょゆにっと	Control unit				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31048	C		制御ユニット イメージ	せいぎょゆにっといめーじ	Control-unit image				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31049	C		装置	そうち	Device				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31050	C		装置情報ブロック、DIB	そうちじょうほうぶろっく、DIB	Device Information Block (DIB)				ISO/IEC 14165-222	2005				2005	SC25
31051	C		切断	せつだん	Disconnection				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31052	C		交換ペア	こうかんぺあ	Exchange pair				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31053	C		FC-SB-2チャネル間アダプタ	FC-SB-2ちゃねるかんあだぷた	FC-SB-2 Channel-to-channel adapter				ISO/IEC 14165-222	2005				2005	SC25
31054	C		イメージ	いめーじ	Image				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31055	C		着信交換	ちゃくしんこうかん	Inbound exchange				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31056	C		起動IU	きどうIU	Initiation IU				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31057	C		I/Oオペレーション	I/Oおぺれーしょん	I/O operation				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31058	C		発信交換	はっしんこうかん	Outbound exchange				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31059	C		SB-2オフライン状態	SB-2おふらいんじょうたい	SB-2 offline condition				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31060	C		ULPプロセス	ULPぷろせす	ULP process				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31061	C		BBW	BBW	BBW				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31062	C		Bポート	Bぽーと	B_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31063	C		Bポート名	Bぽーとめい	B_Port_Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31064	C		BSW	BSW	BSW				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31065	C		Eポート	Eぽーと	E_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31066	C		Eポート名	Eぽーとめい	E_Port_Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31067	C		ファブリック名	ふぁぶりっくめい	Fabric_Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31068	C		Fポート	Fぽーと	F_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31069	C		Fポート名	Fぽーとめい	F_Port_Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31070	C		ファブリック初期化	ふぁぶりっくしょきか	Fabric Initialization				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31071	C		FC-BB-2_ATM	FC-BB-2_ATM	FC-BB-2_ATM				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31072	C		FC-BB-2_SONET	FC-BB-2_SONET	FC-BB-2_SONET				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31073	C		FC-BB-2_IP	FC-BB-2_IP	FC-BB-2_IP				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31074	C		FCポート	FCぽーと	FC_Port				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31075	C		ファイバチャネルバックボーンリンク	ふぁいばちゃねるばっくぼーんりんく	Fibre Channel Backbone Link				ISO/IEC 14165-241	2005				2005	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31076	C		キープアライブタイムアウト値(K_A_TOV)	きーぷあらいぶたいむあうとち(K_A_TOV)	Keep Alive Timeout Value (K_A_TOV)				ISO/IEC 14165-241	2005				2005	SC25
31077	C		名前識別子	なまえしきべつし	Name Identifier				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31078	C		ノード名	のーどめい	Node Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31079	C		ポート名	ぽーとめい	Port Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31080	C		単純流れ制御(SFC)	たんじゅんながれせいぎょ(SFC)	Simple Flow Control (SFC)				ISO/IEC 14165-241	2005				2005	SC25
31081	C		選択的再送信(SR)流れ制御	せんたくてきさいそうしん(SR)ながれせいぎょ	Selective Retransmission (SR) Flow Control				ISO/IEC 14165-241	2005				2005	SC25
31082	C		スイッチ名	すいっちめい	Switch Name				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31083	C		WANインタフェース	わんいんたふぇーす	WAN Interface				ISO/IEC 14165-	2005				2005	SC25
31084	C		認知クラス	にんちくらす	acknowledged class				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31085	C		アクティブ	あくていぶ	Active				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31086	C		アドレス識別子	あどれすしきべつし	address identifier				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31087	C		エイリアスID、別名	えいりあすID、べつめい	Alias_ID				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31088	C		エイリアストークン、別名トークン	えいりあすとーくん、べつめいとーくん	Alias_Token				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31089	C		アービトレイテッドループトポロジ、調停ループトポロジ	あーびとれいてっどるーぷとぽろじ、ちょうているーぷとぽろじ	Arbitrated Loop topology				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31090	C		BBバッファ	BBばっふぁ	BB_Buffer				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31091	C		バッファ間クレジット、BBクレジット	ばっふぁかんくれじっと、BBくれじっと	buffer-to-buffer credit (BB_Credit)				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31092	C		Bポート	Bぽーと	B_Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31093	C		バッファ	ばっふぁ	buffer				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31094	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31095	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31096	C		回路	かいろ	circuit				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31097	C		回路指向フレーム	かいろしこうふれーむ	circuit-oriented frames				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31098	C		サービスのクラス	さーびすのくらす	classes of service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31099	C		クラス1サービス	くらす1さーびす	Class 1 service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31100	C		クラス2サービス	くらす2さーびす	Class 2 service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31101	C		クラス3サービス	くらす3さーびす	Class 3 service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31102	C		クラス4回路	くらす4かいろ	Class 4 circuit				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31103	C		クラス4回路サービス	くらす4かいろさーびす	Class 4 service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31104	C		クラス4回路イニシエータ	くらす4かいろいにしえー	Class 4 Circuit Initiator				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31105	C		クラス4回路受信者	くらす4かいろじゅしんしゃ	Class 4 Circuit Recipient				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31106	C		クラス6サービス	くらす6さーびす	Class 6 service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31107	C		クラスFサービス	くらすFさーびす	Class F service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31108	C		クラスNサービス	くらすNさーびす	Class N service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31109	C		符号違反	ふごういはん	code violation				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31110	C		コンマ	こんま	comma				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31111	C		共通制御実体	きょうつうせいぎょじったい	Common Controlling				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31112	C		連結	れんけつ	concatenation				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31113	C		接続イニシエータ	せつぞくいにしえーた	Connection Initiator				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31114	C		接続受信者	せつぞくじゅしんしゃ	Connection Recipient				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31115	C		コネクションレスバッファ	こねくしょんれすばっふぁ	connectionless buffers				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31116	C		コネクションレスフレーム	こねくしょんれすふれーむ	connectionless frames				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31117	C		コネクションレスサービス	こねくしょんれすさーびす	connectionless service				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31118	C		連続増加相対オフセット	れんぞくぞうかそうたいおふせっと	continuously increasing relative offset				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31119	C		クレジット	くれじっと	credit				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31120	C		現在ランニングディスパリティ	げんざいらんにんぐでぃすぱりてぃ	current running disparity				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31121	C		データブロック	でーたぶろっく	data block				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31122	C		データ文字	でーたもじ	data character				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31123	C		データフレーム	でーたふれーむ	data frame				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31124	C		復号	ふくごう	decoding				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31125	C		専用接続	せんようせつぞく	dedicated connection				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31126	C		デリミタ	でりみた	delimiter				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31127	C		あて先識別子、D_ID	あてさきしきべつし、D_ID	Destination Identifier				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31128	C		あて先Nxポート	あてさきNxぽーと	destination Nx Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31129	C		ディスカード方針、廃棄方針	でぃすかーどほうしん、はいきほうしん	discard policy				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31130	C		ディスパリティ、不均衡	でぃすぱりてぃ、ふきんこ	disparity				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31131	C		ドメインコントローラ	どめいんこんとろーら	Domain Controller				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31132	C		ドメインID	どめいんID	Domain_ID				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31133	C		EEバッファ	EEばっふぁ	EE_Buffer				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31134	C		符号化	ふごうか	encoding				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31135	C		Eポート	Eぽーと	E_Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31136	C		交換	こうかん	Exchange				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31137	C		交換識別子、X_ID	こうかんしきべつし、X_ID	Exchange Identifier (X_ID)				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31138	C		交換状態ブロック	こうかんじょうたいぶろっく	Exchange Status Block				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31139	C		排他的接続	はいたてきせつぞく	exclusive connection				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31140	C		Fポート	Fぽーと	F_Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31141	C		ファブリック	ふぁぶりっく	Fabric				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31142	C		ファブリック名	ふぁぶりっくめい	Fabric Name				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31143	C		FCポート	FCぽーと	FC Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31144	C		FLポート	FLぽーと	FL Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31145	C		比帯域	ひたいいき	fractional bandwidth				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31146	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31147	C		Fポート名	Fぽーとめい	F_Port_Name				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31148	C		フレームコンテンツ	ふれーむこんてんつ	frame content				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31149	C		フレーム型0	ふれーむかた0	Frame Type 0				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31150	C		フレーム型1	ふれーむかた1	Frame Type 1				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31151	C		Fxポート	Fxぽーと	Fx Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31152	C		ハントグループ	はんとぐるーぷ	Hunt Group				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31153	C		ハイパーテキスト転送プロトコル	はいぱーてきすとてんそうぷろとこる	Hypertext Transfer Protocol				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31154	C		アイドル	あいどる	Idle				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31155	C		無限バッファ	むげんばっふぁ	Infinite buffer				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31156	C		情報カテゴリ	じょうほうかてごり	Information Category				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31157	C		情報ユニット	じょうほうゆにっと	Information Unit				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31158	C		初期相対オフセット	しょきそうたいおふせっと	initial relative offset				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31159	C		インタミックス	いんたみっくす	Intermix				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31160	C		インターネットプロトコル	いんたーねっとぷろとこる	Internet Protocol				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31161	C		IPアドレス	IPあどれす	IP Address				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31162	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31163	C		リンク制御機能、LCF	りんくせいぎょきのう、LCF	Link Control Facility (LCF)				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31164	C		ローカルFxポート	ろーかるFxぽーと	local Fx Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31165	C		Lポート	Lぽーと	L Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31166	C		名前識別子	なまえしきべつし	Name Identifier				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31167	C		ネットワークアドレス権限、NAA	ねっとわーくあどれすけんげん、NAA	Network_Address_Authority (NAA)				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31168	C		ネットワークアドレス権限識別子、NAA識別子	ねっとわーくあどれすけんげんしきべつし、NAAしきべつし	Network_Address_Authority (NAA) identifier				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31169	C		NLポート	NLぽーと	NL Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31170	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31171	C		ノード名	のーどめい	Node Name				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31172	C		Nポート	Nぽーと	N Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31173	C		NポートID	NぽーとID	N Port ID				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31174	C		Nポート名	Nぽーとめい	N Port Name				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31175	C		Nxポート	Nxぽーと	Nx Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31176	C		オープン	おーぷん	open				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31177	C		順序セット	じゅんじょせっと	Ordered Set				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31178	C		オリジネータ	おりじねーた	Originator				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31179	C		オリジネータ交換ID、OX_ID	おりじねーたこうかんID、OX_ID	Originator Exchange_ID (OX_ID)				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31180	C		ペイロード	ぺいろーど	Payload				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31181	C		方針	ほうしん	Policy				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31182	C		プリミティブシーケンス	ぷりみていぶしーけんす	Primitive Sequence				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31183	C		プリミティブ信号	ぷりみていぶしんごう	Primitive Signal				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31184	C		プライベートNLポート	ぷらいべーとNLぽーと	Private NL Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31185	C		プロセスアソシエータ	ぷろせすあそしえーた	Process Associator				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31186	C		パブリックNLポート	ぱぶりっくNLぽーと	Public NL Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31187	C		ランダム相対オフセット	らんだむそうたいおふせっ	random relative offset				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31188	C		レシーバ	れしーば	receiver				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31189	C		相対オフセット	そうたいおふせっと	relative offset				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31190	C		相対オフセット空間	そうたいおふせっとくうか	relative offset space				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31191	C		遠隔Fxポート	えんかくFxぽーと	remote Fx_Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31192	C		レスポンダ	れすぽんだ	Responder				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31193	C		レスポンダ交換ID、RX_ID	れすぽんだこうかんID、RX_ID	Responder Exchange_ID (RX_ID)				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31194	C		連長	れんちょう	run length				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31195	C		ランニングディスパリティ、進行中の不平衡	らんにんぐでぃすぱりてぃ、しんこうちゅうのふへ	running disparity				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31196	C		セキュアハイパーテキスト転送プロトコル	せきゅあはいぱーてきすとてんそうぷろとこる	Secured Hypertext Transfer Protocol				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31197	C		シーケンス	しーけんす	Sequence				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31198	C		シーケンスID、SEQ_ID	しーけんすID、SEQ_ID	Sequence ID (SEQ_ID)				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31199	C		シーケンスイニシエータ	しーけんすいにしえーた	Sequence Initiator				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31200	C		シーケンス受信者	しーけんすじゅしんしゃ	Sequence Recipient				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31201	C		シーケンス状態ブロック	しーけんすじょうたいぶ	Sequence Status Block				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31202	C		信号故障	しんごうこしょう	Signal Failure				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31203	C		簡易ネットワークマネジメントプロトコル	かんいねっとわーくまねじめんとぷろとこる	Simple Network Management Protocol				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31204	C		ソース識別子、S_ID	そーすしきべつし、S_ID	Source_Identifier (S_ID)				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31205	C		ソースNxポート	そーすNxぽーと	source Nx_Port				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31206	C		特殊文字	とくしゅもじ	special character				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31207	C		特殊符号	とくしゅふごう	special code				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31208	C		ストリームドシーケンス	すとりーむどしーけんす	streamed Sequence				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31209	C		同期化	どうきか	synchronization				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31210	C		TCPポート番号	TCPぽーとばんごう	TCP Port Number				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31211	C		テルネット	てるねっと	Telnet				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31212	C		伝送文字	でんそうもじ	Transmission Character				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31213	C		伝送符号	でんそうふごう	transmission code				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31214	C		伝送制御プロトコル	でんそうせいぎょぷろとこる	Transmission Control Protocol				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31215	C		伝送語	でんそうご	Transmission Word				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31216	C		トランスミッタ	とらんすみった	transmitter				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31217	C		UDPポート番号	UDPぽーとばんごう	UDP Port Number				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31218	C		非認知順序セット	ひにんちじゅんじょせっと	Unrecognized Ordered Set				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31219	C		上位	じょうい	Upper Level				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31220	C		上位プロトコル、ULP	じょういぷろとこる、ULP	Upper Level Protocol				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31221	C		利用者データグラムプロトコル	りようしゃでーたぐらむぷろとこる	User Datagram Protocol				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31222	C		有効データバイト	ゆうこうでーたばいと	valid data byte				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31223	C		有効フレーム	ゆうこうふれーむ	valid frame				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31224	C		仮想回路、VC	かそうかいろ、VC	Virtual Circuit (VC)				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31225	C		仮想回路クレジット、VCクレジット	かそうかいろくれじっと、VCくれじっと	Virtual Circuit Credit (VC Credit)				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31226	C		仮想回路識別子、VC ID	かそうかいろしきべつし、VC ID	Virtual Circuit Identifier (VC ID)				ISO/IEC 14165-251	2008				2008	SC25
31227	C		仮想パス	かそうぱす	Virtual path				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31228	C		既知アドレス	きちあどれす	Well-known addresses				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31229	C		語	ご	word				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31230	C		ワールドワイドネーム	わーるどわいどねーむ	Worldwide Name				ISO/IEC 14165-	2008				2008	SC25
31231	C		記述子の完了	きじゅつしのかんりょう	completing a descriptor				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31232	C		FC-VI接続	FC-VIせつぞく	FC-VI connection				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31233	C		FC-VI接続点	FC-VIせつぞくてん	FC-VI connection point				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31234	C		FC-VI接続設定	FC-VIせつぞくせってい	FC-VI connection setup				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31235	C		FC-VI切断	FC-VIせつだん	FC-VI disconnect				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31236	C		FC-VI終点	FC-VIしゅうてん	FC-VI endpoint				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31237	C		FC-VIメッセージ転送	FC-VIめっせーじてんそう	FC-VI message transfer				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31238	C		FC-VIポート	FC-VIぽーと	FC-VI port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31239	C		FC-VIプロバイダ	FC-VIぷろばいだ	FC-VI provider				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31240	C		完全修飾メッセージID、FQMID	かんぜんしゅうしょくめっせーじID、FQMID	fully qualified message ID (FQMID)				ISO/IEC 14165-331	2007				2007	SC25
31241	C		ホスト名	ほすとめい	host name				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31242	C		インオーダーファブリック、順序保存ファブリック	いんおーだーふぁぶりっく、じゅんじょほぞんふぁぶりっく	in-order fabric				ISO/IEC 14165-331	2007				2007	SC25
31243	C		ローカル	ろーかる	local				ISO/IEC 14165-331	2007				2007	SC25
31244	C		アウトオブオーダーファブリック、順序非保存ファブリック	あうとおぶおーだーふぁぶりっく、じゅんじょひほぞんふぁぶりっく	out-of-order fabric				ISO/IEC 14165-331	2007				2007	SC25
31245	C		リモート	りもーと	remote				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31246	C		VI接続	VIせつぞく	VI connection				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31247	C		VI終点	VIしゅうてん	VI endpoint				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31248	C		VIメッセージ	VIめっせーじ	VI message				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31249	C		アドレス識別子	あどれすしきべつし	address identifier				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31250	C		エイリアスアドレス識別子、alias	えいりあすあどれすしきべつし、alias	alias address identifier (alias)				ISO/IEC 14165-414	2007				2007	SC25
31251	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31252	C		Bポート	Bぽーと	B_Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31253	C		ブリッジ	ぶりっじ	bridge				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31254	C		ブロードキャストゾーン	ぶろーどきゃすとぞーん	broadcast zone				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31255	C		ブロードキャストゾーニング実施	ぶろーどきゃすとぞーにんぐじっし	broadcast zoning enforcement				ISO/IEC 14165-414	2007				2007	SC25
31256	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31257	C		共通トランスポート、CT	きょうつうとらんすぽーと、	common transport (CT)				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31258	C		デフォルトゾーン	でふぉるとぞーん	default zone				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31259	C		ディレクトリ	でぃれくとり	directory				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31260	C		ドメインID	どめいんID	Domain_ID				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31261	C		Eポート	Eぽーと	E_Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31262	C		Fポート	Fぽーと	F_Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31263	C		FLポート	FLぽーと	FL_Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31264	C		Fxポート	Fxぽーと	Fx_Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31265	C		ファブリック	ふぁぶりっく	fabric				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31266	C		FC ポート	FC ぽーと	FC Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31267	C		F/NLポート	F/NLぽーと	F/NL_Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31268	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	gateway				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31269	C		一般サービス	いっぱんさーびす	generic services				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31270	C		ハードゾーン	はーどぞーん	hard zone				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31271	C		ハードゾーニング実施	はーどぞーにんぐじっし	hard zoning enforcement				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31272	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31273	C		ホストバスアダプタ	ほすとばすあだぷた	host bus adapter				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31274	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31275	C		相互接続要素	そうごせつぞくようそ	interconnect element				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31276	C		リンク制御機能	りんくせいぎょきのう	link control facility				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31277	C		リンクサービス	りんくさーびす	link service facilitator				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31278	C		多機能装置	たきのうそうち	multi-function device				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31279	C		NASサーバ	NASさーば	NAS server				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31280	C		Nポート	Nぽーと	N Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31281	C		NLポート	NLぽーと	NL Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31282	C		Nxポート	Nxぽーと	Nx Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31283	C		Nポート識別子	Nぽーとしきべつし	N Port identifier				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31284	C		Nポート名	Nぽーとめい	N Port Name				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31285	C		名前識別子	なまえしきべつし	Name Identifier				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31286	C		ネットワークアドレス権限、NAA	ねっとわーくあどれすけんげん、NAA	Network_Address_Authority (NAA)				ISO/IEC 14165-414	2007				2007	SC25
31287	C		ネットワークアドレス権限識別子	ねっとわーくあどれすけんげんしきべつし	Network_Address_Authority identifier				ISO/IEC 14165-414	2007				2007	SC25
31288	C		印刷可能ASCII文字	いんさつかのうASCIIもじ	printable ASCII characters				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31289	C		要求 CT	ようきゅう CT	Requesting CT				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31290	C		応答 CT	おうとう CT	Responding CT				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31291	C		安全アソシエーション識別子、SAID	あんぜんあそしえーしょんしきべつし、SAID	secured association identifier (SAID)				ISO/IEC 14165-414	2007				2007	SC25
31292	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31293	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31294	C		ソフトゾーン	そふとぞーん	soft zone				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31295	C		ソフトゾーニング実施	そふとぞーにんぐじっし	soft zoning enforcement				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31296	C		ストレージアクセス装置	すとれーじあくせすそうち	storage access device				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31297	C		ストレージ装置	すとれーじそうち	storage device				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31298	C		ストレージサブシステム	すとれーじさぶしすてむ	storage subsystem				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31299	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31300	C		スイッチ ファブリック	すいっちふぁぶりっく	switched fabric				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31301	C		記号名	きごうめい	symbolic name				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31302	C		未識別Nx Port	みしきべつNx Port	unidentified Nx Port				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31303	C		仮想化装置	かそうかそうち	virtualization device				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31304	C		波長分割多重化装置	はちょうぶんかつたじゅうかそうち	wavelength division multiplexer				ISO/IEC 14165-414	2007				2007	SC25
31305	C		有名アドレス	ゆうめいあどれす	well-known address				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31306	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31307	C		ゾーン定義	ぞーんていぎ	zone definition				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31308	C		ゾーンメンバ	ぞーんめんば	zone member				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31309	C		ゾーンメンバ定義	ぞーんめんばていぎ	zone member definition				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31310	C		ゾーン名	ぞーんめい	zone name				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31311	C		ゾーンセット	ぞーんせっと	zone set				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31312	C		ゾーンセット名	ぞーんせっとめい	zone set name				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31313	C		ゾーンセット状態	ぞーんせっとじょうたい	zone set state				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31314	C		アクティブゾーンセット	あくていぶぞーんせっと	active zone set				ISO/IEC 14165-	2007				2007	SC25
31315	C		アプリケーション実体	あぷりけーしょんじったい	application entity				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31316	C		アプリケーションプロセス	あぷりけーしょんぷろせす	application process				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31317	C		コネクション型伝送	こねくしょんがたでんそう	connection-mode transmission				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31318	C		コネクションレス型伝送	こねくしょんれすがたでんそう	connectionless-mode transmission				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31319	C		(N)サービスデータ単位、(N)-SDU	(N)さーびすでーたたんい、(N)-SDU	(N)-service-data-unit, (N)-SDU				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31320	C		フロー制御	ふろーせいぎょ	flow control				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31321	C		OSI環境、OSIE	OSIかんきょう、OSIE	OSI environment, OSIE				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31322	C		セグメント化	せぐめんとか	segmenting				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31323	C		(N)サービスアクセス点、(N)-SAP	(N)さーびすあくせすてん、(N)-SAP	(N)-service access point, (N)-SAP				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31324	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31325	C		アプリケーションオブジェ	あぷりけーしょんおぶじぇ	application object				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31326	C		アプリケーションプロセス	あぷりけーしょんぷろせす	application process				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31327	C		アプリケーションプロトコル	あぷりけーしょんぷろとこ	application protocol				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31328	C		コネクション、接続	こねくしょん、せつぞく	connection				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31329	C		制御チャネル	せいぎょちゃねる	control channel				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31330	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31331	C		装置アプリケーションプロセス	そうちあぷりけーしょんぷろせす	device application process				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31332	C		装置のモジュール性	そうちのもじゅーるせい	device modularity				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31333	C		領域	りょういき	domain				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31334	C		HESアプリケーション	HESあぷりけーしょん	HES-application				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31335	C		HESアプリケーションオブジェクト	HESあぷりけーしょんおぶじぇくと	HES application object				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31336	C		装置アプリケーションプロセス	そうちあぷりけーしょんぷろせす	device application process				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31337	C		HESクラス1	HESくらす1	HES class 1				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31338	C		HESクラス2	HESくらす2	HES class 2				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31339	C		HESクラス3	HESくらす3	HES class 3				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31340	C		HES装置アプリケーションプロセス	HESそうちあぷりけーしょんぷろせす	HES device application process				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31341	C		HESオブジェクト	HESおぶじぇくと	HES-object				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31342	C		HES利用者プロセス	HESりようしゃぷろせす	HES user process				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31343	C		家庭用電子システム、HES	かていようでんししすてむ、HES	home electronic system (HES)				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31344	C		ホームネットワーク	ほーむねっとわーく	home network				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31345	C		情報チャネル	じょうほうちゃねる	information channel				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31346	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31347	C		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31348	C		ローカルアプリケーションプロセス	ろーかるあぷりけーしょんぷろせす	local application process				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31349	C		ネットワークアクセスユニット、NAU	ねっとわーくあくせすゆにっと、NAU	network access unit (NAU)				ISO/IEC 14543-2-1	2006				2006	SC25
31350	C		ネットワークセグメント	ねっとわーくせぐめんと	network segment				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31351	C		参照モデル	さんしょうもでる	reference model				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31352	C		リピータ	りぴーた	repeater				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31353	C		トポロジ	とぽろじ	topology				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31354	C		利用者プロセス	りようしゃぷろせす	user process				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31355	C		伝送媒体	でんそうばいたい	transmission medium				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31356	C		ユニット	ゆにっと	unit				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31357	C		汎用インタフェース、UI	はんよういんたふぇーす、	universal interface (UI)				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31358	C		利用者領域	りようしゃりょういき	user domain				ISO/IEC 14543-2-	2006				2006	SC25
31359	C		(ネットワークアプリケーションの意味における)アプリケーション	(ねっとわーくあぷりけーしょんのいみにおける)あぷりけーしょん	application (in the sense of network application)				ISO/IEC 14543-3-1	2006				2006	SC25
31360	C		利用者アプリケーション	りようしゃあぷりけーしょん	user application				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31361	C		個別アドレス、IA	こべつあどれす、IA	individual address, IA				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31362	C		サブネットワークアドレス、SNA	さぶねっとわーくあどれす、SNA	subnetwork address, SNA				ISO/IEC 14543-3-2	2006				2006	SC25
31363	C		エリアアドレス	えりああどれす	area address				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31364	C		ラインアドレス	らいんあどれす	line address				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31365	C		装置アドレス	そうちあどれす	device address				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31366	C		グループアドレス	ぐるーぷあどれす	group address, GA				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31367	C		データグラム	でーたぐらむ	datagram				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31368	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 14543-3-	2006				2006	SC25
31369	C		ネットワーク	ねっとわーく	network				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31370	C		バスアクセスユニット	ばすあくせすゆにっと	bus access unit (BAU)				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31371	C		装置製品	そうちせいひん	device product				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31372	C		マネジメント手順	まねじめんとてじゅん	management procedures				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31373	C		マネジメントクライアント	まねじめんとくらいあんと	management client				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31374	C		マネジメントサーバ	まねじめんとさーば	management server				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31375	C		ネットワークマネジメント	ねっとわーくまねじめんと	network management				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31376	C		装置マネジメント	そうちまねじめんと	device management				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31377	C		通信形態	つうしんけいたい	communication mode				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31378	C		グループアドレス表(GrAT)	ぐるーぷあどれすひょう(GrAT)	Group Address Table (GrAT)				ISO/IEC 14543-3-4	2007				2007	SC25
31379	C		グループオブジェクト関連表	ぐるーぷおぶじぇくとかんれんひょう	group object association table				ISO/IEC 14543-3-4	2007				2007	SC25
31380	C		アプリケーションプログラ	あぷりけーしょんぷろぐら	application program				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31381	C		物理外部インタフェース(PEI)	ぶつりがいぶいんたふぇーす(PEI)	physical external interface (PEI)				ISO/IEC 14543-3-4	2007				2007	SC25
31382	C		PEI型	PEIかた	PEI type				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31383	C		外部メッセージインタフェース(EMI)	がいぶめっせーじいんたふぇーす(EMI)	external message interface (EMI)				ISO/IEC 14543-3-4	2007				2007	SC25
31384	C		差動モード	さどうもーど	differential mode				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31385	C		ルータ	るーた	router				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31386	C		PL110	PL110	PL110				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31387	C		PL132	PL132	PL132				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31388	C		HESクラス1ツイストペア型0	HESくらす1ついすとぺあがた0	HES Class 1 Twisted Pair Type 0				ISO/IEC 14543-3-6	2007				2007	SC25
31389	C		HESクラス1ツイストペア型1	HESくらす1ついすとぺあがた1	HES Class 1 Twisted Pair Type 1				ISO/IEC 14543-3-6	2007				2007	SC25
31390	C		分散給電	ぶんさんきゅうでん	distributed power supply				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31391	C		論理タグ拡張HEE	ろんりたぐかくちょうHEE	Logical Tag Extended HEE				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31392	C		ネットワーク電源使用装置	ねっとわーくでんげんしようそうち	Remote Powered Devices				ISO/IEC 14543-3-6	2007				2007	SC25
31393	C		TP0 C係数	TP0 Cけいすう	TP0 C Factor				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31394	C		TP0文字	TP0もじ	TP0 Character				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31395	C		TP0変形	TP0へんけい	TP0 Distortion				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31396	C		TP0フレーム間時間	TP0ふれーむかんじかん	TP0 Inter-Frame Time				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31397	C		TP0回線負荷	TP0かいせんふか	TP0 Line Load				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31398	C		TP0奇数パリティビット	TP0きすうぱりていびっと	TP0 Odd parity bit				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31399	C		TP0中継器	TP0ちゅうけいき	TP0 Repeater				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31400	C		TP1基幹結合器	TP1きかんけつごうき	TP1 Backbone Couplers				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31401	C		TP1基幹回線	TP1きかんかいせん	TP1 Backbone Line				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31402	C		TP1ブリッジ	TP1ぶりっじ	TP1 Bridge				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31403	C		TP1回線	TP1かいせん	TP1 Line				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31404	C		TP1回線結合器	TP1かいせんけつごうき	TP1 Line Couplers				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31405	C		TP1論理ユニット	TP1ろんりゆにっと	TP1 Logical Unit				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31406	C		TP1媒体アクセスユニット	TP1ばいたいあくせすゆにっと	TP1 Medium Access Unit				ISO/IEC 14543-3-6	2007				2007	SC25
31407	C		TP1主回線	TP1しゅかいせん	TP1 Main line				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31408	C		TP1物理セグメント	TP1ぶつりせぐめんと	TP1 Physical Segment				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31409	C		TP1ポーリングマスタ	TP1ぽーりんぐますた	TP1 Polling Master				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31410	C		TP1ポーリングスレーブ	TP1ぽーりんぐすれーぶ	TP1 Polling Slave				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31411	C		TP1ルータ	TP1るーた	TP1 Router				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31412	C		TP1副回線	TP1ふくかいせん	TP1 Sub-line				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31413	C		TP1ゾーン	TP1ぞーん	TP1 Zone				ISO/IEC 14543-3-	2007				2007	SC25
31414	C		アプリケーションデータ(ADATA)	あぷりけーしょんでーた(ADATA)	application data (ADATA)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31415	C		アプリケーションデータコンテナ(ADC)	あぷりけーしょんでーたこんてな(ADC)	application data counter (ADC)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31416	C		アプリケーションオブジェクト(AOJ)	あぷりけーしょんおぶじぇくと(AOJ)	application object (AOJ)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31417	C		アプリケーションプログラミングインタフェース(API)	あぷりけーしょんぷろぐらみんぐいんたふぇーす	application programming interface (API)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31418	C		アプリケーションプロパティ符号(APC)	あぷりけーしょんぷろぱていふごう(APC)	application property code (APC)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31419	C		アプリケーションプロパティ値データ(APD)	あぷりけーしょんぷろぱていちでーた(APD)	application property value data (APD)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31420	C		アプリケーションサービス符号(ASC)	あぷりけーしょんさーびすふごう(ASC)	application service code (ASC)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31421	C		通信ミドルウェアブロック	つうしんみどるうぇあぶろっく	communication middleware block				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31422	C		通信処理ブロック	つうしんしょりぶろっく	communication processing block				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31423	C		DAデータ	DAでーた	DA data				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31424	C		データリンクアドレス(DLA)	でーたりんくあどれす	data link address (DLA)				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31425	C		データリンクデータ	でーたりんくでーた	data link data				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31426	C		データリンクフレーム	でーたりんくふれーむ	data link frame				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31427	C		データリンクデータカウンタ(DDC)	でーたりんくでーたかうんた(DDC)	data link data counter (DDC)				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31428	C		データリンクヘッダ(DHD)	でーたりんくへっだ(DHD)	data link header (DHD)				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31429	C		データリンク分割フレーム	でーたりんくぶんかつふれーむ	data link split frame				ISO/IEC 14543-4-1	2008				2008	SC25
31430	C		装置ID	そうちID	device ID				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31431	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31432	C		ハードウェアアドレス	はーどうぇああどれす	hardware address				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31433	C		ネットID	ねっとID	NetID				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31434	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31435	C		ノードアドレス	のーどあどれす	node address				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31436	C		ノードID	のーどID	NodeID				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31437	C		SAデータ	SAでーた	SA data				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31438	C		サブネット	さぶねっと	SUBNET				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31439	C		アプリケーションデータ(ADATA)	あぷりけーしょんでーた(ADATA)	application data (ADATA)				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31440	C		アプリケーションデータカウンタ(ADC)	あぷりけーしょんでーたかうんた(ADC)	application data counter (ADC)				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31441	C		アプリケーションオブジェクト(AOJ)	あぷりけーしょんおぶじぇくと(AOJ)	application object (AOJ)				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31442	C		アプリケーションプログラミングインタフェース(API)	あぷりけーしょんぷろぐらみんぐいんたふぇーす	application programming interface (API)				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31443	C		アプリケーション属性値データ(APD)	あぷりけーしょんぞくせいちでーた(APD)	application property value data (APD)				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31444	C		通信ミドルウェアブロック	つうしんみどるうぇあぶろっく	communications middleware block				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31445	C		通信処理ブロック	つうしんしょりぶろっく	communications processing block				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31446	C		DAデータ	DAでーた	DA data				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31447	C		データリンクアドレス(DLA)	でーたりんくあどれす	data link address (DLA)				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31448	C		データリンクデータ	でーたりんくでーた	data link data				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31449	C		データリンクフレーム	でーたりんくふれーむ	data link frame				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31450	C		データリンクデータカウンタ(DDC)	でーたりんくでーたかうんた(DDC)	data link data counter (DDC)				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31451	C		データリンクヘッダ(DHD)	でーたりんくへっだ(DHD)	data link header (DHD)				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31452	C		データリンクルータ	でーたりんくるーた	data link router				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31453	C		データリンク分割フレーム	でーたりんくぶんかつふれーむ	data link split frame				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31454	C		ハードウェアアドレス	はーどうぇああどれす	hardware address				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31455	C		ネットID	ねっとID	NetID				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31456	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31457	C		ノードアドレス	のーどあどれす	node address				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31458	C		ノードID	のーどID	NodeID				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31459	C		プロトコル相違吸収処理ブロック	ぷろとこるそういきゅうしゅうしょりぶろっく	protocol difference absorption processing				ISO/IEC 14543-4-2	2008				2008	SC25
31460	C		SAデータ	SAでーた	SA data				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31461	C		サブネット	さぶねっと	SUBNET				ISO/IEC 14543-4-	2008				2008	SC25
31462	C		アダプタ	あだぷた	adapter				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31463	C		配線インタフェースアダプタ	はいせんいんたふぇーすあだぷた	cabling interface adapter				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31464	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31465	C		配電シース	はいでんしーす	cable sheath				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31466	C		結合電力比	けつごうでんりょくひ	coupled power ratio (CPR)				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31467	C		不合格結果	ふごうかくけっか	fail result				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31468	C		フィールド校正ケーブル	ふぃーるどこうせいけーぶ	field calibration cord				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31469	C		限界結果	げんかいけっか	marginal result				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31470	C		多モード光ファイバ、MMF	たもーどひかりふぁいば、MMF	multimode optical fibre (MMF)				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31471	C		光ファイバ	ひかりふぁいば	optical fibre				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31472	C		光学時間領域反射率計、OTDR	こうがくじかんりょういきはんしゃりつけい、OTDR	optical time domain reflectometer (OTDR)				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31473	C		合格結果	ごうかくけっか	pass result				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31474	C		基準コネクタ	きじゅんこねくた	reference connector				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31475	C		相対光分配出力	そうたいひかりぶんぱいしゅつりょく	relative power distribution				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31476	C		シース	しーす	sheath				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31477	C		単一モード光ファイバ、SMF	たんいつもーどひかりふぁいば、SMF	single-mode optical fibre (SMF)				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31478	C		試験ケーブル	しけんけーぶる	test cord				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31479	C		試験操作者	しけんそうさしゃ	test operator				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31480	C		試験システム	しけんしすてむ	test system				ISO/IEC 14763-3	2006				2006	SC25
31481	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access controls				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31482	C		アクセス制御データ	あくせすせいぎょでーた	access controls data				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31483	C		アクセス制御登録状態	あくせすせいぎょとうろくじょうたい	access controls enrollment state				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31484	C		応答確認クラス	おうとうかくにんくらす	acknowledged class				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31485	C		アドレス識別子	あどれすしきべつし	address identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31486	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31487	C		コマンド元バッファ オフセット	こまんどもとばっふぁ おふせっと	application client buffer offset				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31488	C		オートセンスデータ	おーとせんすでーた	autosense data				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31489	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31490	C		コマンド記述子ブロック	こまんどきじゅつしぶろっく	command descriptor block				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31491	C		データバッファ容量、データバッファサイズ	でーたばっふぁようりょう、でーたばっふぁさいず	data buffer size				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31492	C		データイン配信サービス	でーたいんはいしんさーびす	data in delivery service				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31493	C		データアウト配信サービス	でーたあうとはいしんさーびす	data out delivery service				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31494	C		データオーバーレイ	でーたおーばーれい	data overlay				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31495	C		あて先識別子	あてさきしきべつし	Destination Identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31496	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31497	C		ディスカード、廃棄	でぃすかーど、はいき	discard				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31498	C		交換	こうかん	Exchange				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31499	C		実行コマンドサービス	じっこうこまんどさーびす	Execute Command service				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31500	C		FCP交換	FCPこうかん	FCP Exchange				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31501	C		FCP I/Oオペレーション	FCP I/Oおぺれーしょん	FCP I/O operation				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31502	C		FCPポート	FCPぽーと	FCP Port				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31503	C		完全修飾交換識別子	かんぜんしゅうしょくこうかんしきべつし	fully qualified exchange identifier				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31504	C		イメージペア	いめーじぺあ	image pair				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31505	C		I T 結合ロス	I T けつごうろす	I T nexus loss				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31506	C		I T 結合ロス事象	I T けつごうろすじしょう	I T nexus loss event				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31507	C		情報ユニット	じょうほうゆにっと	Information Unit				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31508	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31509	C		イニシエータ識別子	いにしえーたしきべつし	initiator identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31510	C		相互接続テナンシ、相互接続期間	そうごせつぞくてなんし、そうごせつぞくきかん	interconnect tenancy				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31511	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31512	C		論理ユニット数	ろんりゆにっとすう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31513	C		ループ初期化プリミティブ	るーぷしょきかぷりみてぃ	loop initialization primitive				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31514	C		名前識別子	なまえしきべつし	Name Identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31515	C		名前サーバ	なまえさーば	Name Server				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31516	C		ノード名	のーどめい	Node Name				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31517	C		NLポート	NLぽーと	NL_Port				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31518	C		Nポート	Nぽーと	N_Port				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31519	C		オリジネータ	おりじねーた	Originator				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31520	C		オリジネータ交換識別子	おりじねーたこうかんしきべつし	Originator Exchange Identifier				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31521	C		ポート識別子	ぽーとしきべつし	Port Identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31522	C		ポート(Nポート)ログイン(PLOGI)	ぽーと(Nぽーと)ろぐいん(PLOGI)	Port (N_Port) Login (PLOGI)				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31523	C		ポート名	ぽーとめい	Port Name				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31524	C		プライベートループ	ぷらいべーとるーぷ	private loop				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31525	C		パブリックループ	ぱぶりっくるーぷ	public loop				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31526	C		ランダムバッファアクセス	らんだむばっふぁあくせす	random buffer access				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31527	C		回復アボート	かいふくあぼーと	recovery abort				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31528	C		要求バイト数	ようきゅうばいとすう	request byte count				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31529	C		レスポンダ	れすぽんだ	Responder				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31530	C		レスポンダ交換識別子	れすぽんだこうかんしきべつし	Responder Exchange Identifier				ISO/IEC 14776-222	2005				2005	SC25
31531	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31532	C		シーケンス	しーけんす	Sequence				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31533	C		ソース識別子	そーすしきべつし	Source_Identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31534	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31535	C		SCSI I/O操作	SCSI I/Oそうさ	SCSI I/O operation				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31536	C		状態	じょうたい	status				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31537	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31538	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31539	C		ターゲット識別子	たーげっとしきべつし	target identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31540	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31541	C		タスク属性	たすくぞくせい	task attribute				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31542	C		タスク識別子	たすくしきべつし	task identifier				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31543	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31544	C		ワールドワイドネーム	わーるどわいどねーむ	Worldwide_Name				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25
31545	C		応答確認クラス	おうとうかくにんくらす	acknowledged class				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31546	C		アドレス識別子	あどれすしきべつし	address identifier				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31547	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31548	C		コマンド元バッファ オフセット	こまんどもとばっふぁ おふせっと	application client buffer offset				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31549	C		オートセンスデータ	おーとせんすでーた	autosense data				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31550	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31551	C		コマンド記述子ブロック	こまんどきじゅつしぶろっく	command descriptor block				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31552	C		データバッファ容量、データバッファサイズ	でーたばっふぁようりょう、でーたばっふぁさいず	data buffer size				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31553	C		データイン配信サービス	でーたいんはいしんさーび	Data-In delivery service				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31554	C		データアウト配信サービス	でーたあうとはいしんさーびす	Data-Out delivery service				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31555	C		データフレーム	でーたふれーむ	Data frame				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31556	C		データオーバーレイ	でーたおーばーれい	data overlay				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31557	C		あて先識別子 (D_ID)	あてさきしきべつし (D_ID)	Destination_Identifier				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31558	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31559	C		ディスカード、廃棄	でぃすかーど、はいき	discard				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31560	C		交換	こうかん	Exchange				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31561	C		実行コマンドサービス	じっこうこまんどさーびす	Execute Command service				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31562	C		FCP交換	FCPこうかん	FCP Exchange				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31563	C		FCP I/Oオペレーション	FCP I/Oおぺれーしょん	FCP I/O operation				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31564	C		FCPポート	FCPぽーと	FCP_Port				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31565	C		完全修飾交換識別子	かんぜんしゅうしょくこうかんしきべつし	fully qualified exchange identifier				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31566	C		イメージペア	いめーじぺあ	image pair				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31567	C		I_T 結合ロス	I_T けつごうろす	I_T nexus loss				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31568	C		I_T 結合ロス事象	I_T けつごうろすじしょう	I_T nexus loss event				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31569	C		情報ユニット(IU)	じょうほうゆにっと(IU)	Information Unit (IU)				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31570	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31571	C		イニシエータポート識別子	いにしえーたぽーとしきべつし	initiator port identifier				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31572	C		イニシエータポート名	いにしえーたぽーとめい	initiator port name				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31573	C		相互接続テナンシ、相互接続期間	そうごせつぞくてなんし、そうごせつぞくきかん	interconnect tenancy				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31574	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31575	C		論理ユニット数	ろんりゆにっとすう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31576	C		ループ初期化プリミティブ	るーぷしょきかぷりみてぃ	loop initialization primitive				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31577	C		名前識別子	なまえしきべつし	Name_Identifier				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31578	C		名前サーバ	なまえさーば	Name Server				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31579	C		ノード名	のーどめい	Node_Name				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31580	C		NLポート	NLぽーと	NL_Port				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31581	C		Nポート	Nぽーと	N_Port				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31582	C		オリジネータ	おりじねーた	Originator				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31583	C		オリジネータ交換識別子	おりじねーたこうかんしきべつし	Originator Exchange Identifier				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31584	C		ポート識別子	ぽーとしきべつし	Port Identifier				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31585	C		ポート(Nポート)ログイン(PLOGI)	ぽーと(Nぽーと)ろぐいん(PLOGI)	Port (N_Port) Login (PLOGI)				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31586	C		ポート名	ぽーとめい	Port Name				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31587	C		プライベートループ	ぷらいべーとるーぷ	private loop				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31588	C		パブリックループ	ぱぶりっくるーぷ	public loop				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31589	C		ランダムバッファアクセス	らんだむばっふぁあくせす	random buffer access				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31590	C		読み出し操作	よみだしそうさ	read operation				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31591	C		回復アボート	かいふくあぼーと	recovery abort				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31592	C		要求バイト数	ようきゅうばいとすう	request byte count				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31593	C		レスポンダ	れすぽんだ	Responder				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31594	C		レスポンダ交換識別子	れすぽんだこうかんしきべつし	Responder Exchange Identifier				ISO/IEC 14776-223	2008				2008	SC25
31595	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31596	C		シーケンス	しーけんす	Sequence				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31597	C		ソース識別子(S_ID)	そーすしきべつし(S_ID)	Source Identifier (S_ID)				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31598	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31599	C		SCSI I/O操作	SCSI I/Oそうさ	SCSI I/O operation				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31600	C		SCSIイニシエータポート	SCSIいにしえーたぽーと	SCSI initiator port				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31601	C		SCSIターゲットポート	SCSIたーげっとぽーと	SCSI target port				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31602	C		状態	じょうたい	status				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31603	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31604	C		ターゲットポート識別子	たーげっとぽーとしきべつ	target port identifier				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31605	C		ターゲットポート名	たーげっとぽーとめい	target port name				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31606	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31607	C		タスク属性	たすくぞくせい	task attribute				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31608	C		タスク識別子	たすくしきべつし	task identifier				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31609	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31610	C		応答不確認クラス	おうとうふかくにんくらす	unacknowledged class				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31611	C		ワールドワイドネーム	わーるどわいどねーむ	Worldwide_Name				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31612	C		語	ご	word				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31613	C		書き込み操作	かきこみそうさ	write operation				ISO/IEC 14776-	2008				2008	SC25
31614	C		追加的センス符号	ついかてきせんすふごう	additional sense code				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31615	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-351	2007				2007	SC25
31616	C		付属媒体チェンジャ	ふぞくばいたいちぇんじゃ	attached medium changer				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31617	C		オートセンスデータ	おーとせんすでーた	autosense data				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31618	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31619	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31620	C		コマンド記述子ブロック(CDB)	こまんどきじゅつしぶろっく(CDB)	command descriptor block				ISO/IEC 14776-351	2007				2007	SC25
31621	C		データ転送要素	でーたてんそうようそ	data transfer element				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31622	C		装置サービス要求	そうちさーびすようきゅう	device service request				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31623	C		装置型	そうちかた	device type				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31624	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31625	C		エクステント	えくすてんと	extent				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31626	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31627	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31628	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31629	C		インポート/エクスポート要素	いんぽーと/えくすぽーとようそ	import/export element				ISO/IEC 14776-351	2007				2007	SC25
31630	C		独立媒体チェンジャ	どくりつばいたいちぇんじゃ	independent medium changer				ISO/IEC 14776-351	2007				2007	SC25
31631	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31632	C		連結コマンド	れんけつこまんど	linked command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31633	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31634	C		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31635	C		媒体	ばいたい	medium				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31636	C		媒体チェンジャ	ばいたいちぇんじゃ	medium changer				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31637	C		媒体輸送要素	ばいたいゆそうようそ	medium transport element				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31638	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31639	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31640	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31641	C		プライマリデバイス	ぷらいまりでばいす	primary device				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31642	C		プロトコル固有	ぷろとこるこゆう	protocol-specific				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31643	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31644	C		SCSIドメイン	SCSIどめいん	SCSI domain				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31645	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31646	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31647	C		サービス配信サブシステム	さーびすはいしんさぶしすてむ	service delivery subsystem				ISO/IEC 14776-351	2007				2007	SC25
31648	C		状態	じょうたい	status				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31649	C		ストレージ要素	すとれーじようそ	storage element				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31650	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31651	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31652	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31653	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31654	C		第三者	だいさんしゃ	third-party				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31655	C		ユニットアテンション状態	ゆにっとあてんしょんじょうたい	unit attention condition				ISO/IEC 14776-351	2007				2007	SC25
31656	C		製造者指定	せいぞうしゃしてい	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31657	C		ボリューム	ぼりゅーむ	volume				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31658	C		ボリューム回転	ぼりゅーむかいてん	volume rotation				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31659	C		ゼロ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31660	C		絶対MSFフィールド	ぜったいMSFふぃーるど	absolute MSF field				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31661	C		アルゴリズム型	あるごりずむかた	algorithm type				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31662	C		追加可能ディスク	ついかかのうでぃすく	appendable disc				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31663	C		ATA(ATアタッチメント)	ATA(ATあたっちめんと)	ATA (AT attachment)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31664	C		ATAPI(ATアタッチメントパケットインタフェース)	ATAPI(ATあたっちめんとぱけっといんたふぇーす)	ATAPI (AT attachment packet interface)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31665	C		ATIP	ATIP	ATIP				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31666	C		AGID(認証付与ID)	AGID(にんしょうふよID)	AGID (authentication grant ID)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31667	C		BCD、2進化10進数	BCD、2しんか10しんすう	bcd				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31668	C		ブータブルCD	ぶーたぶるCD	bootable CD				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31669	C		境界内領域	きょうかいないりょういき	bordered area				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31670	C		BCA(バーストカッティング領域)	BCA(ばーすとかってぃんぐりょういき)	BCA (burst cutting area)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31671	C		C/DVD媒体	C/DVDばいたい	C/DVD media				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31672	C		チャレンジ鍵	ちゃれんじかぎ	challenge key				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31673	C		CDB(コマンド記述子ブロック)	CDB(こまんどきじゅつしぶろっく)	CDB (command descriptor block)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31674	C		コマンドパケット	こまんどぱけっと	command packet				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31675	C		完了セッション	かんりょうせっしょん	complete session				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31676	C		CD-DA(コンパクトディスクデジタルオーディオンステ	CD-DA(こんぱくとでぃすくでじたるおーでぃおしすて	CD-DA (compact disc digital audio system)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31677	C		CD(コンパクトディスク)	CD(こんぱくとでぃすく)	CD (compact disc)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31678	C		CD-ROM (コンパクトディスクリードオンリメモリ)	CD-ROM (こんぱくとでぃすくりーどおんりめもり)	CD-ROM (compact disc read only memory)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31679	C		CD制御フィールド	CDせいぎょふぃーるど	CD control field				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31680	C		CDデータモード	CDでーたもーど	CD data mode				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31681	C		CD-RW (CDリライタブル)	CD-RW (CDりらいたぶる)	CD-RW (CD rewritable)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31682	C		CD-R(CDレコーダブル)	CD-R(CDれこーだぶる)	CD-R (CD recordable)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31683	C		CD R/RW	CD R/RW	CD R/RW				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31684	C		CD-テキスト	CD-てきすと	CD-text				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31685	C		CIRC (クロスインターリーブリードソロモン符号)	CIRC (くろすいんたーりーぶりーどそろもんふごう)	CIRC (cross interleaved reed-solomon code)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31686	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31687	C		直接重ね書き	ちょくせつかさねがき	direct-overwrite				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31688	C		ディスク鍵	でぃすくかぎ	disc key				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31689	C		両面	りょうめん	double sided				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31690	C		二層	にそう	dual layer				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31691	C		DVD	DVD	DVD				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31692	C		DVD制御領域	DVDせいぎょりょういき	DVD control area				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31693	C		DVDディスク製造情報	DVDでぃすくせいぞうじょうほう	DVD disc manufacturing information				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31694	C		DVD ECCブロック	DVD ECCぶろっく	DVD ECC-block				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31695	C		DVD-R (DVDレコーダブ	DVD-R (DVDれこーだぶ	DVD-R (DVD recordable)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31696	C		DVD-RAM (DVD-ランダムアクセスメモリ)	DVD-RAM (DVD-らんだむあくせすめもり)	DVD-RAM (DVD-random access memory)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31697	C		DVD-ROM (DVD-リードオンリメモリ)	DVD-ROM (DVD-りーどおんりめもり)	DVD-ROM (DVD-read only memory)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31698	C		DVD+RW (DVDリライタブ	DVD+RW (DVDりらいたぶ	DVD+RW (DVD rewritable)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31699	C		EAN(欧州統一商品番号)	EAN (おうしゅうとういつしょうひんばんごう)	EAN (European article number)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31700	C		ECC (エラー訂正符号)	ECC (えらーていせいふご	ECC (error correction				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31701	C		EDC (エラー検出符号)	EDC (えらーけんしゅつふごう)	EDC (error detection code)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31702	C		EFM	EFM	EFM				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31703	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31704	C		固定パケットトラック	こていぱけっととらっく	fixed packet track				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31705	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31706	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31707	C		16進数	16しんすう	hex				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31708	C		ホールドトラック状態	ほーるどとらっくじょうたい	hold track state				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31709	C		ID	ID	ID				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31710	C		IED (IDエラー検出)	IED (IDえらーけんしゅつ)	IED (ID error detection)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31711	C		不完全セッション	ふかんぜんせっしょん	incomplete session				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31712	C		インデックス	いんでっくす	index				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31713	C		層	そう	layer				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31714	C		リードイン	りーどいん	lead-in				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31715	C		リードアウト	りーどあうと	lead-out				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31716	C		L-EC (層状エラー訂正)	L-EC (そうじょうえらーていせい)	L-EC (layered error correction)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31717	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	logical block				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31718	C		LBA (論理ブロックアドレス)	LBA (ろんりぶろっくあどれす)	LBA (logical block address)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31719	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31720	C		LUN (論理ユニット番号)	LUN (ろんりゆにっとばんごう)	LUN (logical unit number)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31721	C		マガジン	まがじん	magazine				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31722	C		媒体	ばいたい	medium				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31723	C		中間領域	ちゅうかんりょういき	middle area				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31724	C		MSFアドレス(分秒フレーム)	MSFあどれす(ふんびょうふれーむ)	MSF address (minute/second/frame)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31725	C		OPC (最適電力較正)	OPC (さいてきでんりょくこうせい)	OPC (optimum power calibration)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31726	C		OTP (オポジトラックパ	OTP (おぽじととらっくぱ	OTP (opposite track path)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31727	C		出力ポート	しゅつりょくぽーと	output port				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31728	C		PTP (パラレルトラックパ	PTP (ぱられるとらっくぱ	PTP (parallel track path)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31729	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31730	C		パケットサイズ	ぱけっとさいず	packet size				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31731	C		パケットトラック	ぱけっととらっく	packet track				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31732	C		物理セクタ番号	ぶつりせくたばんごう	physical sector number				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31733	C		ポストギャップ	ぽすとぎゃっぷ	post-gap				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31734	C		プリギャップ	ぷりぎゃっぷ	pre-gap				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31735	C		プログラム領域	ぷろぐらむりょういき	program area(s)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31736	C		PMA (プログラム記憶領域)	PMA (ぷろぐらむきおくりょういき)	PMA (program memory area)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31737	C		地域コード	ちいきこーど	regional code				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31738	C		地域再生制御(RPC)	ちいきさいせいせいぎょ(RPC)	region playback control (RPC)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31739	C		相対MSFフィールド	そうたいMSFふぃーるど	relative MSF field				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31740	C		Rゾーン	Rぞーん	Rzone				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31741	C		スクランブルフィールド	すくらんぶるふぃーるど	scramble flag				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31742	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31743	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31744	C		片面	かためん	single sided				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31745	C		スモールフレーム	すもーるふれーむ	small frame				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31746	C		サブチャネル	さぶちゃねる	sub-channel				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31747	C		TOC (目次)	TOC (もくじ)	TOC (table of contents)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31748	C		タイトルキー	たいとるきー	title key				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31749	C		トラック記述子ブロック(TDB)	とらっくきじゅつしぶろっく(TDB)	track descriptor block (TDB)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31750	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31751	C		トラックアットワンス	とらっくあっとわんす	track at once				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31752	C		トラック相対論理アドレス	とらっくそうたいろんりあどれす	track relative logical address				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31753	C		遷移領域	せんいりょういき	transition area				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31754	C		UPC (統一製品コード)	UPC (とういつせいひんこーど)	UPC (uniform product code)				ISO/IEC 14776-362	2006				2006	SC25
31755	C		利用者パケット	りようしゃぱけっと	user packet				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31756	C		書き込み可能ディスク	かきこみかのうでぃすく	writable disc				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31757	C		イエローブック	いえろーぶっく	yellow book				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31758	C		ACAコマンド	ACAこまんど	ACA command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31759	C		追加的センス符号	ついかてきせんすふごう	additional sense code				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31760	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31761	C		自動誤り情報保持状態(ACA)	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい(ACA)	auto contingent allegiance (ACA)				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31762	C		ブロックタスク状態	ぶろっくたすくじょうたい	blocked task state				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31763	C		ブロック境界	ぶろっくきょうかい	blocking boundary				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31764	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31765	C		呼び出し	よびだし	call				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31766	C		クライアントサーバ	くらいあんとさーば	client-server				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31767	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31768	C		符号値	ふごうち	code value				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31769	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31770	C		コマンド記述子ブロック(CDB)	こまんどきじゅつしぶろっく(CDB)	command descriptor block (CDB)				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31771	C		完了コマンド	かんりょうこまんど	completed command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31772	C		完了タスク	かんりょうたすく	completed task				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31773	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31774	C		確認済みSCSI転送プロトコルサービス	かくにんずみSCSIてんそうぷろとこるさーびす	confirmed SCSI transport protocol service				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31775	C		誤り情報保持状態(CA)	あやまりじょうほうほじじょうたい(CA)	contingent allegiance (CA)				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31776	C		制御モードページ	せいぎょもーどぺーじ	control mode page				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31777	C		現在タスク	げんざいたすく	current task				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31778	C		依存論理ユニット	いぞんろんりゆにっと	dependent logical unit				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31779	C		装置識別子	そうちしきべつし	device identifier				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31780	C		装置モデル	そうちもでる	device model				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31781	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31782	C		装置サービス要求	そうちさーびすようきゅう	device service request				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31783	C		装置サービス応答	そうちさーびすおうとう	device service response				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31784	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31785	C		休眠タスク状態	きゅうみんたすくじょうたい	dormant task state				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31786	C		可能タスク状態	かのうたすくじょうたい	enabled task state				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31787	C		終了コマンド	しゅうりょうこまんど	ended command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31788	C		フォールトイニシエータポート	ふぉーるといにしえーたぽーと	faulted initiator port				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31789	C		フォールトタスクセット	ふぉーるとたすくせっと	faulted task set				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31790	C		フォールティングコマンド	ふぉーるていんぐこまんど	faulting command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31791	C		フォールティングタスク	ふぉーるていんぐたすく	faulting task				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31792	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31793	C		機能完了	きのうかんりょう	function complete				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31794	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31795	C		階層的論理ユニット	かいそうてきろんりゆにっ	hierarchical logical unit				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31796	C		I T 結合	I T けつごう	I T nexus				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31797	C		I T L 結合	I T L けつごう	I T L nexus				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31798	C		I T L Q 結合	I T L Q けつごう	I T L Q nexus				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31799	C		I T L x 結合	I T L x けつごう	I T L x nexus				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31800	C		I/Oオペレーション	I/Oおぺれーしょん	I/O operation				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31801	C		実装固有	じっそうこゆう	implementation specific				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31802	C		実装選択肢	じっそうせんたくし	implementation option				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31803	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31804	C		イニシエータ装置名	いにしえーたそうちめい	initiator device name				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31805	C		イニシエータ識別子	いにしえーたしきべつし	initiator identifier				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31806	C		イニシエータポート識別子	いにしえーたぽーとしきべつし	initiator port identifier				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31807	C		イニシエータポート名	いにしえーたぽーとめい	initiator port name				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31808	C		相互接続サブシステム	そうごせつぞくさぶしすて	interconnect subsystem				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31809	C		輸送中	ゆそうちゅう	in transit				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31810	C		層	そう	layer				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31811	C		連結CDB	れんけつCDB	linked CDB				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31812	C		連結コマンド	れんけつこまんど	linked command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31813	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31814	C		論理ユニットリセット	ろんりゆにっとりせっと	logical unit reset				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31815	C		論理ユニットリセットイベント	ろんりゆにっとりせっといべんと	logical unit reset event				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31816	C		論理ユニットインベントリ	ろんりゆにっといんべんと	logical unit inventory				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31817	C		論理ユニット番号(LUN)	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number (LUN)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31818	C		論理ユニット選択肢	ろんりゆにっとせんたくし	logical unit option				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31819	C		下位プロトコル(LLP)	かいぷろとこる(LLP)	lower level protocol (LLP)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31820	C		媒体情報	ばいたいじょうほう	media information				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31821	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31822	C		結合、ネクサス	けつごう、ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31823	C		非フォールトイニシエータポート	ひふぉーるといにしえーたぽーと	non-faulted initiator port				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31824	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31825	C		ピア間プロトコルサービス	ぴあかんぷろとこるさーびす	peer-to-peer protocol service				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31826	C		ピア実体	ぴあじったい	peer entities				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31827	C		保留コマンド	ほりゅうこまんど	pending command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31828	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31829	C		手続き	てつづき	procedure				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31830	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31831	C		プロトコル選択肢	ぷろとこるせんたくし	protocol option				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31832	C		待ち行列	まちぎょうれつ	queue				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31833	C		レシーバ	れしーば	receiver				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31834	C		参照モデル	さんしょうもでる	reference model				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31835	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31836	C		要求応答トランザクション	ようきゅうおうとうとらんざくしょん	request-response transaction				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31837	C		要求確認トランザクション	ようきゅうかくにんとらんざくしょん	request-confirmation transaction				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31838	C		リセットイベント	りせっといべんと	reset event				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31839	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31840	C		SCSIアプリケーション層	SCSIあぷりけーしょんそう	SCSI application layer				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31841	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31842	C		SCSI装置識別子	SCSIそうちしきべつし	SCSI device identifier				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31843	C		SCSI装置名	SCSIそうちめい	SCSI device name				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31844	C		SCSI I/Oシステム	SCSI I/Oしすてむ	SCSI I/O system				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31845	C		SCSI識別子	SCSIしきべつし	SCSI identifier				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31846	C		SCSIイニシエータ装置	SCSIいにしえーたそうち	SCSI initiator device				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31847	C		SCSIイニシエータポート	SCSIいにしえーたぽーと	SCSI initiator port				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31848	C		SCSIポート	SCSIぽーと	SCSI port				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31849	C		SCSIポート識別子	SCSIぽーとしきべつし	SCSI port identifier				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31850	C		SCSIポート名	SCSIぽーとめい	SCSI port name				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31851	C		SCSIターゲット装置	SCSIたーげっとそうち	SCSI target device				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31852	C		SCSIターゲットポート	SCSIたーげっとぽーと	SCSI target port				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31853	C		SCSIターゲット/イニシエータ装置	SCSIたーげっと/いにしえーたそうち	SCSI target/initiator device				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31854	C		SCSIターゲット/イニシエータポート	SCSIたーげっと/いにしえーたぽーと	SCSI target/initiator port				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31855	C		SCSI転送プロトコル層	SCSIてんそうぷろとこるそう	SCSI transport protocol layer				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31856	C		SCSI転送プロトコルサービス確認	SCSIてんそうぷろとこるさーびすかくにん	SCSI transport protocol service confirmation				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31857	C		SCSI転送プロトコルサービス指示	SCSIてんそうぷろとこるさーびすしじ	SCSI transport protocol service indication				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31858	C		SCSI転送プロトコルサービス要求	SCSIてんそうぷろとこるさーびすようきゅう	SCSI transport protocol service request				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31859	C		SCSI転送プロトコルサービス応答	SCSIてんそうぷろとこるさーびすおうとう	SCSI transport protocol service response				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31860	C		送信者	そうしんしゃ	sender				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31861	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31862	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31863	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31864	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31865	C		サービス配信失敗	さーびすはいしんしっぱい	service delivery failure				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31866	C		サービス配信サブシステム	さーびすはいしんさぶしすてむ	service delivery subsystem				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31867	C		サービス配信トランザクション	さーびすはいしんとらんざくしょん	service delivery transaction				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31868	C		信号(名詞)	しんごう(めいし)	signal (noun)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31869	C		信号を送る(動詞)	しんごうをおくる(どうし)	signal (verb)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31870	C		標準問い合わせデータ	ひょうじゅんといあわせでーた	standard INQUIRY data				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31871	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31872	C		ターゲット装置名	たーげっとそうちめい	target device name				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31873	C		ターゲット識別子	たーげっとしきべつし	target identifier				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31874	C		ターゲットポート識別子	たーげっとぽーとしきべつ	target port identifier				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31875	C		ターゲットポート名	たーげっとぽーとめい	target port name				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31876	C		ターゲット/イニシエータ装置名	たーげっと/いにしえーたそうちめい	target/initiator device name				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31877	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31878	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31879	C		タスク管理要求	たすくかんりようきゅう	task management request				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31880	C		タスク管理応答	たすくかんりおうとう	task management				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31881	C		タスクマネージャ	たすくまねーじゃ	task manager				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31882	C		タスクルータ	たすくるーた	task router				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31883	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31884	C		第三者コマンド	だいさんしゃこまんど	third-party command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31885	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31886	C		未確認SCSI転送プロトコルサービス	みかくにんSCSIてんそうぷろとこるさーびす	unconfirmed SCSI transport protocol service				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31887	C		非連結コマンド	ひれんけつこまんど	unlinked command				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31888	C		上位プロトコル(ULP)	じょういぷろとこる(ULP)	upper level protocol (ULP)				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31889	C		ウェイクアップ	うぇいくあっぷ	wakeup				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31890	C		ウェイクアップイベント	うぇいくあっぷいべんと	wakeup event				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31891	C		既知論理ユニット	きちろんりゆにっと	well known logical unit				ISO/IEC 14776-	2006				2006	SC25
31892	C		既知論理ユニット番号(W-LUN)	きちろんりゆにっとばんごう(W-LUN)	well known logical unit number (W-LUN)				ISO/IEC 14776-412	2006				2006	SC25
31893	C		ACAコマンド	ACAこまんど	ACA command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31894	C		追加的センス符号	ついかてきせんすふごう	additional sense code				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31895	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31896	C		引数	ひきすう	argument				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31897	C		自動誤り情報保持状態(ACA)	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい(ACA)	auto contingent allegiance (ACA)				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31898	C		バックグラウンド処理	ばっくぐらうんどしょり	background operation				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31899	C		基本タスク管理モデル	きほんたすくかんりもでる	basic task management model				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31900	C		ブロックタスク状態	ぶろっくたすくじょうたい	blocked task state				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31901	C		ブロック境界	ぶろっくきょうかい	blocking boundary				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31902	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31903	C		クライアントサーバ	くらいあんとさーば	client-server				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31904	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31905	C		符号値	ふごうち	code value				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31906	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31907	C		コマンド記述子ブロック(CDB)	こまんどきじゅつしぶろっく(CDB)	command descriptor block (CDB)				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31908	C		コマンド標準	こまんどひょうじゅん	command standard				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31909	C		完了コマンド	かんりょうこまんど	completed command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31910	C		完了タスク	かんりょうたすく	completed task				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31911	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31912	C		確認済みSCSI転送プロトコルサービス	かくにんずみSCSIてんそうぷろとこるさーびす	confirmed SCSI transport protocol service				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31913	C		現在タスク	げんざいたすく	current task				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31914	C		繰り延べエラー	くりのべえらー	deferred error				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31915	C		依存論理ユニット	いぞんろんりゆにっと	dependent logical unit				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31916	C		装置識別子	そうちしきべつし	device identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31917	C		装置モデル	そうちもでる	device model				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31918	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31919	C		装置サービス要求	そうちさーびすようきゅう	device service request				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31920	C		装置サービス応答	そうちさーびすおうとう	device service response				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31921	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31922	C		休眠タスク状態	きゅうみんたすくじょうたい	dormant task state				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31923	C		可能タスク状態	かのうたすくじょうたい	enabled task state				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31924	C		拡張論理ユニットアドレス指定	かくちょうろんりゆにっとあどれすしてい	extended logical unit addressing				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31925	C		欠陥I_T結合	けっかんI_Tけつごう	faulted I_T nexus				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31926	C		フォールトタスクセット	ふぉーるとたすくせっと	faulted task set				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31927	C		フォールティングコマンド	ふぉーるていんぐこまんど	faulting command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31928	C		フォールティングタスク	ふぉーるていんぐたすく	faulting task				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31929	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31930	C		完全タスク管理モデル	かんぜんたすくかんりもで	full task management				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31931	C		機能完了	きのうかんりょう	function complete				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31932	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31933	C		階層的論理ユニット	かいそうてきろんりゆにっ	hierarchical logical unit				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31934	C		I_T 結合	I_T けつごう	I_T nexus				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31935	C		I_T 結合ロス	I_T けつごうろす	I_T nexus loss				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31936	C		I_T 結合ロスイベント	I_T けつごうろすいべんと	I_T nexus loss event				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31937	C		I_T_L 結合	I_T_L けつごう	I_T_L nexus				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31938	C		I_T_L_Q 結合	I_T_L_Q けつごう	I_T_L_Q nexus				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31939	C		I_T_L_Q 結合トランザクション	I_T_L_Q けつごうとらんざくしょん	I_T_L_Q nexus transaction				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31940	C		I_T_L_x 結合	I_T_L_x けつごう	I_T_L_x nexus				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31941	C		I/Oオペレーション	I/Oおぺれーしょん	I/O operation				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31942	C		実装固有	じっそうこゆう	implementation specific				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31943	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31944	C		イニシエータ装置名	いにしえーたそうちめい	initiator device name				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31945	C		イニシエータ識別子	いにしえーたしきべつし	initiator identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31946	C		イニシエータポート識別子	いにしえーたぽーとしきべつし	initiator port identifier				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31947	C		イニシエータポート名	いにしえーたぽーとめい	initiator port name				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31948	C		輸送中	ゆそうちゅう	in transit				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31949	C		仮想的待ち行列先頭	かそうてきまちぎょうれつせんとう	implicit head of queue				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31950	C		層	そう	layer				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31951	C		連結コマンド	れんけつこまんど	linked command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31952	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31953	C		論理ユニットリセット	ろんりゆにっとりせっと	logical unit reset				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31954	C		論理ユニットリセットイベント	ろんりゆにっとりせっといべんと	logical unit reset event				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31955	C		論理ユニットインベントリ	ろんりゆにっといんべんと	logical unit inventory				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31956	C		論理ユニット番号(LUN)	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number (LUN)				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31957	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31958	C		結合、ネクサス	けつごう、ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31959	C		無欠陥I_T結合	むけっかんI_Tけつごう	non-faulted I_T nexus				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31960	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31961	C		ピア実体	ぴあじったい	peer entities				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31962	C		保留コマンド	ほりゅうこまんど	pending command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31963	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31964	C		電源再投入	でんげんさいとうにゅう	power cycle				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31965	C		電源オン	でんげんおん	power on				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31966	C		電源オンイベント	でんげんおんいべんと	power on event				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31967	C		手続き	てつづき	procedure				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31968	C		手続き呼び出し	てつづきよびだし	procedure call				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
31969	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31970	C		待ち行列	まちぎょうれつ	queue				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31971	C		レシーバ	れしーば	receiver				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31972	C		参照モデル	さんしょうもでる	reference model				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31973	C		相対ポート識別子	そうたいぽーとしきべつし	relative port identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31974	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31975	C		要求応答トランザクション	ようきゅうおうとうとらんざくしょん	request-response transaction				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31976	C		リセットイベント	りせっといべんと	reset event				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31977	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31978	C		SCSIアプリケーション層(SAL)	SCSIあぷりけーしょんそう(SAL)	SCSI application layer (SAL)				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31979	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31980	C		SCSI装置識別子	SCSIそうちしきべつし	SCSI device identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31981	C		SCSI装置名	SCSIそうちめい	SCSI device name				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31982	C		SCSIイベント	SCSIいべんと	SCSI event				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31983	C		SCSI I/Oシステム	SCSI I/Oしすてむ	SCSI I/O system				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31984	C		SCSI識別子	SCSIしきべつし	SCSI identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31985	C		SCSIイニシエータ装置	SCSIいにしえーたそうち	SCSI initiator device				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31986	C		SCSIイニシエータポート	SCSIいにしえーたぽーと	SCSI initiator port				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31987	C		SCSIポート	SCSIぽーと	SCSI port				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31988	C		SCSIポート識別子	SCSIぽーとしきべつし	SCSI port identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31989	C		SCSIポート名	SCSIぽーとめい	SCSI port name				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31990	C		SCSIターゲット装置	SCSIたーげっとそうち	SCSI target device				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31991	C		SCSIターゲットポート	SCSIたーげっとぽーと	SCSI target port				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
31992	C		SCSIターゲット/イニシエータ装置	SCSIたーげっと/いにしえーたそうち	SCSI target/initiator device				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31993	C		SCSIターゲット/イニシエータポート	SCSIたーげっと/いにしえーたぽーと	SCSI target/initiator port				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31994	C		SCSI転送プロトコル層(STPL)	SCSIてんそうぷろとこるそう(STPL)	SCSI transport protocol layer (STPL)				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31995	C		SCSI転送プロトコルサービス確認	SCSIてんそうぷろとこるさーびすかくにん	SCSI transport protocol service confirmation				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31996	C		SCSI転送プロトコルサービス指示	SCSIてんそうぷろとこるさーびすしじ	SCSI transport protocol service indication				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31997	C		SCSI転送プロトコルサービス要求	SCSIてんそうぷろとこるさーびすようきゅう	SCSI transport protocol service request				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31998	C		SCSI転送プロトコルサービス応答	SCSIてんそうぷろとこるさーびすおうとう	SCSI transport protocol service response				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
31999	C		送信者	そうしんしゃ	sender				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32000	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32001	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32002	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32003	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32004	C		サービス配信失敗	さーびすはいしんしっぱい	service delivery failure				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32005	C		サービス配信サブシステム	さーびすはいしんさぶしすてむ	service delivery subsystem				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
32006	C		サービス配信トランザクション	さーびすはいしんとらんざくしょん	service delivery transaction				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
32007	C		標準問い合わせデータ	ひょうじゅんといあわせでーた	standard INQUIRY data				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
32008	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32009	C		ターゲット装置名	たーげっとそうちめい	target device name				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32010	C		ターゲット識別子	たーげっとしきべつし	target identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32011	C		ターゲットポート識別子	たーげっとぽーとしきべつ	target port identifier				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32012	C		ターゲットポート名	たーげっとぽーとめい	target port name				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32013	C		ターゲット/イニシエータ装置名	たーげっと/いにしえーたそうちめい	target/initiator device name				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
32014	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32015	C		タスク優先順位	たすくゆうせんじゅんい	task priority				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32016	C		タスクタグ	たすくたぐ	task tag				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32017	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32018	C		タスク管理要求	たすくかんりようきゅう	task management request				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32019	C		タスク管理応答	たすくかんりおうとう	task management				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32020	C		タスクマネージャ	たすくまねーじゃ	task manager				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32021	C		タスクルータ	たすくるーた	task router				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32022	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32023	C		第三者コマンド	だいさんしゃこまんど	third-party command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32024	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32025	C		未確認SCSI転送プロトコルサービス	みかくにんSCSIてんそうぷろとこるさーびす	unconfirmed SCSI transport protocol service				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
32026	C		非連結コマンド	ひれんけつこまんど	unlinked command				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32027	C		既知論理ユニット	きちろんりゆにっと	well known logical unit				ISO/IEC 14776-	2007				2007	SC25
32028	C		既知論理ユニット番号(W-LUN)	きちろんりゆにっとばんごう(W-LUN)	well known logical unit number (W-LUN)				ISO/IEC 14776-413	2007				2007	SC25
32029	C		アクティブ状態	あくていぶじょうたい	active condition				ISO/IEC 14776-	2005				2005	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32030	C		追加的センス符号	ついかてきせんすふごう	additional sense code				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32031	C		コマンド元、アプリケーションクライアント	こまんどもと、あぷりけーしょんくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32032	C		付属媒体チェンジャ	ふぞくばいたいちぇんじゃ	attached medium changer				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32033	C		非同期イベント報告(AER)	ひどうきいべんとほうこく(AER)	asynchronous event reporting (AER)				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32034	C		自動誤り情報保持状態(ACA)	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい(ACA)	auto contingent allegiance (ACA)				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32035	C		オートセンスデータ	おーとせんすでーた	autosense data				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32036	C		ブロックタスク	ぶろっくたすく	blocked task				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32037	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32038	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32039	C		コマンド記述子ブロック(CDB)	こまんどきじゅつしぶろっく(CDB)	command descriptor block (CDB)				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32040	C		コマンド規格	こまんどきかく	command standard				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32041	C		誤り情報保持状態(CA)	あやまりじょうほうほじじょうたい(CA)	contingent allegiance (CA)				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32042	C		コピーマネージャ	こぴーまねーじゃ	copy manager				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32043	C		入力データバッファ	にゅうりょくでーたばっふぁ	data-in buffer				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32044	C		出力データバッファ	しゅつりょくでーたばっふぁ	data-out buffer				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32045	C		データパケット	でーたぱけっと	data packet				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32046	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32047	C		装置サービス要求	そうちさーびすようきゅう	device service request				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32048	C		装置サービス応答	そうちさーびすおうとう	device service response				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32049	C		装置型	そうちかた	device type				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32050	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32051	C		使用可能タスク状態	しようかのうたすくじょうた	enabled task state				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32052	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32053	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32054	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32055	C		遊休状態	ゆうきゅうじょうたい	idle condition				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32056	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32057	C		連結コマンド	れんけつこまんど	linked command				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32058	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32059	C		論理ユニット識別子	ろんりゆにっとしきべつし	logical unit identifier				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32060	C		論理ユニットインベントリ	ろんりゆにっといんべんと	logical unit inventory				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32061	C		論理ユニット番号(LUN)	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number (LUN)				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32062	C		媒体	ばいたい	medium				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32063	C		媒体補助メモリ(MAM)	ばいたいほじょめもり(MAM)	medium auxiliary memory (MAM)				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32064	C		媒体チェンジャ	ばいたいちぇんじゃ	medium changer				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32065	C		いち	いち	one				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32066	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32067	C		電力損失を通じて持続する	でんりょくそんしつをつうじてじぞくする	persist through power loss				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32068	C		プロトコル固有	ぷろとこるこゆう	protocol specific				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32069	C		プロトコル規格	ぷろとこるきかく	protocol standard				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32070	C		リソース	りそーす	resource				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32071	C		登録済み	とうろくずみ	registered				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32072	C		登録者	とうろくしゃ	registrant				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32073	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32074	C		SCSIドメイン	SCSIどめいん	SCSI domain				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32075	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32076	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32077	C		サービスアクション	さーびすあくしょん	service action				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32078	C		サービス配信サブシステム	さーびすはいしんさぶしすてむ	service delivery subsystem				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32079	C		待機状態	たいきじょうたい	standby condition				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32080	C		状態	じょうたい	status				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32081	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32082	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32083	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32084	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32085	C		第三者	だいさんしゃ	third-party				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32086	C		ユニットアテンション状態	ゆにっとあてんしょんじょうたい	unit attention condition				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32087	C		製造者指定(VS)	せいぞうしゃしてい(VS)	vendor specific (VS)				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32088	C		ぜろ	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-452	2005				2005	SC25
32089	C		アドレスマスキング	あどれすますきんぐ	Address masking				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32090	C		アドレス可能ユニット	あどれすかのうゆにっと	Addressable Unit				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32091	C		エージェント	えーじぇんと	Agent				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32092	C		集約	しゅうやく	Aggregation				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32093	C		ATM	ATM	ATM				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32094	C		属性	ぞくせい	Attributes				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32095	C		属性応答(AttrRply)	ぞくせいおうとう(AttrRply)	Attribute Reply (AttrRply)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32096	C		属性要求 (AttrRqst)	ぞくせいようきゅう(AttrRqst)	Attribute Request (AttrRqst)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32097	C		基数	きすう	Cardinality				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32098	C		CIM	CIM	CIM				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32099	C		クライアント	くらいあんと	Client				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32100	C		完備化意味論	かんびかいみろん	Completion Semantics				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32101	C		消費者	しょうひしゃ	Consumer				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32102	C		制御ソフトウェア	せいぎょそふとうぇあ	Control Software				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32103	C		並行処理制御プロトコル	へいこうしょりせいぎょぷろとこる	Concurrency Control Protocol				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32104	C		協力クライアント	きょうりょくくらいあんと	Cooperating Clients				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32105	C		DA広告(DAAdvert)	DAこうこく(DAAdvert)	DA Advertisements (DAAdvert)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32106	C		データ不変量	でーたふへんりょう	Data Invariant				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32107	C		装置	そうち	Device				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32108	C		DHCP	DHCP	DHCP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32109	C		ディレクトリ	でぃれくとり	Directory				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32110	C		ディレクトリエージェント	でぃれくとりえーじぇんと	Directory Agent (DA)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32111	C		発見	はっけん	Discovery				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32112	C		DLT	DLT	DLT				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32113	C		DRM	DRM	DRM				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32114	C		DMTF	DMTF	DMTF				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32115	C		エンクロージャ	えんくろーじゃ	Enclosure				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32116	C		列挙	れっきょ	Enumerate				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32117	C		範囲	はんい	Extent				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32118	C		外部メソッド	がいぶめそっど	Extrinsic Method				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32119	C		ファブリック	ふぁぶりっく	Fabric				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32120	C		FC-GS-3	FC-GS-3	FC-GS-3				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32121	C		FIP	FIP	FIP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32122	C		文法	ぶんぽう	Grammar				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32123	C		GS-3	GS-3	GS-3				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32124	C		HBA	HBA	HBA				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32125	C		ホスト	ほすと	Host				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32126	C		HTTP	HTTP	HTTP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32127	C		ハブ	はぶ	Hub				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32128	C		継承関係	けいしょうかんけい	Inheritance Relationship				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32129	C		相互接続要素	そうごせつぞくようそ	Interconnect Element				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32130	C		インタフェース定義言語(IDL)	いんたふぇーすていぎげんご(IDL)	Interface Definition Language (IDL)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32131	C		内部メソッド	ないぶめそっど	Intrinsic Method				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32132	C		言語結合	げんごけつごう	Language-Binding				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32133	C		ロックマネージャ	ろっくまねーじゃ	Lock Manager				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32134	C		論理ユニット番号(LUN)	ろんりゆにっとばんごう	Logical Unit Number				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32135	C		LTO	LTO	LTO				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32136	C		LUNマッピング	LUNまっぴんぐ	LUN Mapping				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32137	C		LUNマスキング	LUNますきんぐ	LUN Masking				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32138	C		MAN	MAN	MAN				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32139	C		マーシャリング、転送構文化	まーしゃりんぐ、てんそうこうぶんか	Marshalling				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32140	C		メソッド	めそっど	Method				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32141	C		モニタ、監視	もにた、かんし	Monitoring				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32142	C		NAA	NAA	NAA				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32143	C		NDMP	NDMP	NDMP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32144	C		Nポート	Nぽーと	N Port				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32145	C		非協力クライアント	ひきょうりょくくらいあんと	Non-cooperating clients				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32146	C		オペレーション	おぺれーしょん	Operation				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32147	C		帯域外	たいいきがい	Out-of-Band				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32148	C		PKI	PKI	PKI				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32149	C		プラットフォーム	ぷらっとふぉーむ	Platform				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32150	C		ポート	ぽーと	Port				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32151	C		ポートマッピング	ぽーとまっぴんぐ	Port Mapping				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32152	C		プロトコル	ぷろとこる	Protocol				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32153	C		提供者	ていきょうしゃ	Provider				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32154	C		関係	かんけい	Relationship				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32155	C		要求参照	ようきゅうさんしょう	Required Reference				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32156	C		SA広告 (SAAdvert)	SAこうこく (SAAdvert)	SA Advertisement (SAAdvert)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32157	C		SAN	SAN	SAN				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32158	C		範囲	はんい	Scope				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32159	C		意味論	いみろん	Semantics				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32160	C		サーバ	さーば	Server				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32161	C		サービスアクセスポイント	さーびすあくせすぽいんと	Service Access Point				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32162	C		サービス確認(SrvAck)	さーびすかくにん(SrvAck)	Service Acknowledgement (SrvAck)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32163	C		サービスエージェント(SA)	さーびすえーじぇんと(SA)	Service Agent (SA)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32164	C		サービスエージェントサーバ(SAServer)	さーびすえーじぇんとさーば(SAServer)	Service Agent Server (SAServer)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32165	C		サービス登録抹消(SrvDereg)	さーびすとうろくまっしょう(SrvDereg)	Service Deregister (SrvDereg)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32166	C		サービス登録(SrvReg)	さーびすとうろく(SrvReg)	Service Register (SrvReg)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32167	C		サービス応答(SrvRply)	さーびすおうとう(SrvRply)	Service Reply (SrvRply)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32168	C		サービス要求 (SrvRqst)	さーびすようきゅう	Service Request				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32169	C		SES	SES	SES				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32170	C		サービス型	さーびすかた	Service Type				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32171	C		サービス型応答(SrvTypeRply)	さーびすかたおうとう(SrvTypeRply)	Service Type Reply (SrvTypeRply)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32172	C		サービス型要求(SrvTypeRqst)	さーびすかたようきゅう(SrvTypeRqst)	Service Type Request (SrvTypeRqst)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32173	C		サービス型テンプレート	さーびすかたてんぷれーと	Service Type Template				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32174	C		サービスURL	さーびすURL	Service URL				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32175	C		SLP	SLP	SLP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32176	C		SNIA	SNIA	SNIA				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32177	C		SNMP	SNMP	SNMP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32178	C		SNMPトラップ	SNMPとらっぷ	SNMP Trap				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32179	C		ソフトゾーン	そふとぞーん	Soft Zone				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32180	C		SRM	SRM	SRM				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32181	C		SSL	SSL	SSL				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32182	C		SSP	SSP	SSP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32183	C		スイッチ	すいっち	Switch				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32184	C		対称的仮想アプライアンス	たいしょうてきかそうあぷらいあんす	Symmetric Virtualization Appliance				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32185	C		同期	どうき	Synchronous				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32186	C		構文	こうぶん	Syntax				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32187	C		TLS	TLS	TLS				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32188	C		転送構文	てんそうこうぶん	Transfer Syntax				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32189	C		UDP	UDP	UDP				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32190	C		UML規格	UMLきかく	UML Standards				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32191	C		汎用マークアップ言語(UML)	はんようまーくあっぷげんご(UML)	Universal Markup Language (UML)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32192	C		URL	URL	URL				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32193	C		利用者エージェント(UA)	りようしゃえーじぇんと(UA)	User Agent (UA)				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32194	C		VAR	VAR	VAR				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32195	C		ボリュームセット	ぼりゅーむせっと	Volume Set				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32196	C		VPD	VPD	VPD				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32197	C		WAN	わん	WAN				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32198	C		ウィーク参照	うぃーくさんしょう	Weak Reference				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32199	C		WBEM	WBEM	WBEM				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32200	C		W3C	W3C	W3C				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32201	C		XML	XML	XML				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32202	C		XML-CIMリスナ	XML-CIMりすな	XML-CIM Listener				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32203	C		XML-CIMサーバ	XML-CIMさーば	XML-CIM Server				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32204	C		ゾーン	ぞーん	Zone				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32205	C		ゾーン定義	ぞーんていぎ	Zone Definition				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32206	C		ゾーンメンバ	ぞーんめんば	Zone Member				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32207	C		ゾーンメンバ定義	ぞーんめんばていぎ	Zone Member Definition				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32208	C		ゾーンセット	ぞーんせっと	Zone Set				ISO/IEC 24775	2007				2007	SC25
32209	C		構内機器	こうないきき	apparatus				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32210	C		構内機器接続ケーブル	こうないききせつぞくけーぶる	apparatus attachment cord				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32211	C		オートメーションアイランド	おーとめーしょんあいらんど	automation island				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32212	C		隔壁	かくへき	bulkhead				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32213	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32214	C		フロアケーブル	ふろあけーぶる	floor cable				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32215	C		フロア配電器	ふろあはいでんき	floor distributor				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32216	C		機能的性能	きのうてきせいのう	functional performance				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32217	C		中間ケーブル	ちゅうかんけーぶる	intermediate cable				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32218	C		中間配電器	ちゅうかんはいでんき	intermediate distributor				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32219	C		MICE	MICE	MICE				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32220	C		ネットワークインタフェース	ねっとわーくいんたふぇーす	network interface				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32221	C		動作温度	どうさおんど	operating temperature				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32222	C		電気通信	でんきつうしん	telecommunications				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32223	C		電気通信コンセント(TO)	でんきつうしんこんせんと(TO)	telecommunications outlet (TO)				ISO/IEC 24702	2006				2006	SC25
32224	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32225	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32226	C		データリンク	でーたりんく	data link				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32227	C		データパケット	でーたぱけっと	data packet				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32228	C		あて先	あてさき	destination				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32229	C		イベントリンク	いべんとりんく	event link				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32230	C		イベント	いべんと	event				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32231	C		イベントパケット	いべんとぱけっと	event packet				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32232	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32233	C		優先度	ゆうせんど	priority				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32234	C		ソース	そーす	source				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32235	C		語、ワード	ご、わーど	word				ISO/IEC 24740	2008				2008	SC25
32236	C		アプリケーションプログラミングインタフェース、API	あぷりけーしょんぷろぐらみんぐいんたふぇーす、	API, application programming interface				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32237	C		共存	きょうぞん	co-existence				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32238	C		コンポーネント	こんぽーねんと	component				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32239	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32240	C		相互運用性	そうごうんようせい	interoperability				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32241	C		ネットワーク	ねっとわーく	network				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32242	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32243	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32244	C		単独実施	たんどくじっし	single implementation				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32245	C		複数実施	ふくすうじっし	multiple implementation				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32246	C		中間実施	ちゅうかんじっし	intermediate				ISO/IEC 18012-1	2004				2004	SC25
32247	C		アクセスユニット (AU)	あくせすゆにっと (AU)	Access Unit (AU)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32248	C		アルファマップ	あるふぁまっぷ	Alpha map				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32249	C		アトム	あとむ	atom				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32250	C		音響映像オブジェクト	おんきょうえいぞうおぶじぇくと	audio-visual object				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32251	C		音響映像シーン(AVシーン)	おんきょうえいぞうしーん(AVしーん)	audio-visual scene (AV scene)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32252	C		バイナリフォーマットフォアシーン(BIFC)	ばいなりふぉーまっとふぉあしーん(BIFC)	Binary Format for Scene (BIFS)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32253	C		バッファモデル	ばっふぁもでる	buffer model				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32254	C		バイト整合	ばいとせいごう	byte aligned				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32255	C		チャンク	ちゃんく	chunk				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32256	C		参照クロック	さんしょうくろっく	clock reference				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32257	C		合成	ごうせい	composition				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32258	C		合成メモリ(CM)	ごうせいめもり(CM)	Composition Memory (CM)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32259	C		合成タイムスタンプ(CTS)	ごうせいたいむすたんぷ(CTS)	Composition Time Stamp (CTS)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32260	C		合成ユニット(CU)	ごうせいゆにっと(CU)	Composition Unit (CU)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32261	C		圧縮層	あっしゅくそう	compression layer				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32262	C		コンテナアトム	こんてなあとむ	container atom				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32263	C		復号器	ふくごうき	decoder				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32264	C		復号バッファ(DB)	ふくごうばっふぁ(DB)	decoding buffer (DB)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32265	C		復号器構成	ふくごうきこうせい	decoder configuration				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32266	C		復号タイムスタンプ(DTS)	ふくごうたいむすたんぷ(DTS)	Decoding Time Stamp (DTS)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32267	C		配信層	はいしんそう	delivery layer				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32268	C		記述子	きじゅつし	descriptor				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32269	C		DMIFアプリケーションインタフェース(DAI)	DMIFあぷりけーしょんいんたふぇーす(DAI)	DMIF Application Interface (DAI)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32270	C		基本ストリーム (ES)	きほんすとりーむ(ES)	Elementary Stream (ES)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32271	C		基本ストリーム記述子(ESD)	きほんすとりーむきじゅつし(ESD)	Elementary Stream Descriptor (ESD)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32272	C		基本ストリームインターフェイス(ESI)	きほんすとりーむいんたーふぇいす(ESI)	Elementary Stream Interface (ESI)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32273	C		M4Muxチャネル (FMC)	M4Muxちゃねる (FMC)	M4Mux Channel (FMC)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32274	C		M4Muxパケット	M4Muxぱけっと	M4Mux packet				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32275	C		M4Muxストリーム	M4Muxすとりーむ	M4Mux stream				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32276	C		M4Muxツール	M4Muxつーる	M4Mux tool				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32277	C		グラフィックプロファイル	ぐらふぃっくぷろふぁいる	graphics profile				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32278	C		ヒントトラック	ひんととらっく	hint track				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32279	C		ヒンタ	ひんた	hinter				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32280	C		インタ	いんた	inter				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32281	C		相互作用ストリーム	そうごさようすとりーむ	interaction stream				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32282	C		イントラ	いんとら	intra				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32283	C		初期オブジェクト記述子	しょきおぶじぇくときじゅつ	initial object descriptor				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32284	C		知的財産識別(IPI)	ちてきざいさんしきべつ(IPI)	Intellectual Property Identification (IPI)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32285	C		知的財産管理及び保護システム(IPMP)	ちてきざいさんかんりおよびほごしすてむ(IPMP)	Intellectual Property Management and Protection System (IPMP)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32286	C		媒体ノード	ばいたいのーど	media node				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32287	C		媒体ストリーム	ばいたいすとりーむ	media stream				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32288	C		媒体時間軸	ばいたいじかんじく	media time line				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32289	C		ムービーアトム	むーびーあとむ	movie atom				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32290	C		ムービーデータアトム	むーびーでーたあとむ	movie data atom				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32291	C		MP4ファイル	MP4ふぁいる	MP4 file				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32292	C		オブジェクトクロック参照(OCR)	おぶじぇくとくろっくさんしょう(OCR)	Object Clock Reference (OCR)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32293	C		オブジェクトコンテンツ情報(OCI)	おぶじぇくとこんてんつじょうほう(OCI)	Object Content Information (OCI)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32294	C		オブジェクト記述子 (OD)	おぶじぇくときじゅつし	Object Descriptor (OD)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32295	C		オブジェクト記述子コマンド	おぶじぇくときじゅつしこまんど	Object Descriptor Command				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32296	C		オブジェクト記述プロファイル	おぶじぇくときじゅつぷろふぁいる	Object Descriptor Profile				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32297	C		オブジェクト記述ストリーム	おぶじぇくときじゅつすとりーむ	Object Descriptor Stream				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32298	C		オブジェクト時間基準(OTB)	おぶじぇくとじかんきじゅん(OTB)	Object Time Base (OTB)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32299	C		パラメトリック音響デコーダ	ぱらめとりっくおんきょうでこーだ	Parametric Audio Decoder				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32300	C		サービスの質(QoS)	さーびすのしつ(QoS)	Quality of Service (QoS)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32301	C		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32302	C		参照点	さんしょうてん	reference point				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32303	C		レンダリング	れんだりんぐ	rendering				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32304	C		レンダリング範囲	れんだりんぐはんい	rendering area				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32305	C		サンプル	さんぷる	sample				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32306	C		サンプル表	さんぷるひょう	sample table				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32307	C		シーン記述	しーんきじゅつ	scene description				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32308	C		シーン記述ストリーム	しーんきじゅつすとりーむ	scene description stream				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32309	C		シーングラフ要素	しーんぐらふようそ	scene graph elements				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32310	C		シーングラフプロファイル	しーんぐらふぷろふぁいる	scene graph profile				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32311	C		シーカブル、シーク可能	しーかぶる、しーくかのう	seekable				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32312	C		SLパケット化ストリーム(SPS)	SLぱけっとかすとりーむ(SPS)	SL-Packetized Stream (SPS)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32313	C		ストリームオブジェクト	すとりーむおぶじぇくと	stream object				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32314	C		構造化音響	こうぞうかおんきょう	structured audio				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32315	C		同期層(SL)	どうきそう(SL)	Sync Layer (SL)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32316	C		同期層コンフィギュレーション	どうきそうこんふぃぎゅれーしょん	Sync Layer Configuration				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32317	C		同期層パケット(SLパケット)	どうきそうぱけっと(SLぱけっと)	Sync Layer Packet (SL-Packet)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32318	C		構文記述言語(SDL)	こうぶんきじゅつげんご(SDL)	Syntactic Description Language (SDL)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32319	C		システムデコーダモデル(SDM)	しすてむでこーだもでる(SDM)	Systems Decoder Model (SDM)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32320	C		システム時間基準(STB)	しすてむじかんきじゅん(STB)	System Time Base (STB)				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32321	C		ターミナル	たーみなる	terminal				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32322	C		時間基準	じかんきじゅん	time base				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32323	C		タイミングモデル	たいみんぐもでる	timing model				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32324	C		タイムスタンプ	たいむすたんぷ	time stamp				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32325	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32326	C		相互作用ストリーム	そうごさようすとりーむ	interaction stream				ISO/IEC 14496-11	2005				2005	SC29
32327	C		テキストストリーム	てきすとすとりーむ	text stream				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32328	C		テキストアクセスユニット	てきすとあくせすゆにっと	text access unit				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32329	C		3GPPテキストストリーム	3GPPてきすとすとりーむ	3GPP text stream				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32330	C		3GPPテキストアクセスユニット	3GPPてきすとあくせすゆにっと	3GPP text access unit				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32331	C		テキストサンプル	てきすとさんぷる	text sample				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32332	C		テキストストリング	てきすとすとりんぐ	text string				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32333	C		テキスト修正子	てきすとしゅうせいし	text modifier				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32334	C		サンプル記述	さんぷるきじゅつ	sample description				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32335	C		時限テキストユニット、TTU	じげんてきすとゆにっと、TTU	Timed Text Unit, TTU				ISO/IEC 14496-17	2006				2006	SC29
32336	C		臨時記号	りんじきごう	accidental, alteration				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32337	C		小節	しょうせつ	bar				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32338	C		BIFS	BIFS	BIFS				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32339	C		ビットストリームストリーム	びっとすとりーむすとりー	bitstream stream				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32340	C		BNF、バッカスナウア記法	BNF、ばっかすなうあきほ	BNF, Backus-Naur form				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32341	C		音部記号	おんぶきごう	clef				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32342	C		CWMN	CWMN	CWMN				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32343	C		(音楽)記号	(おんがく)きごう	figure				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32344	C		音符	おんぷ	note				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32345	C		休符	きゅうふ	rest				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32346	C		SM-FLバイナリフォーマット	SM-FLばいなりふぉーまっと	SM-FL binary format				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32347	C		SMRデコーダ	SMRでこーだ	SMR decoder				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32348	C		SM-SIバイナリフォーマット	SM-SIばいなりふぉーまっと	SM-SI binary format				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32349	C		SM-XFバイナリフォーマット	SM-XFばいなりふぉーまっと	SM-XF binary format				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32350	C		五線	ごせん	staff				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32351	C		記号による音楽拡張可能フォーマット、SM-XF	きごうによるおんがくかくちょうかのうふぉーまっと、SM-XF	Symbolic Music eXtensible Format, SM-XF				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32352	C		記号による音楽フォーマット言語、SM-FL	きごうによるおんがくふぉーまっとげんご、SM-FL	Symbolic Music Formatting Language, SM-FL				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32353	C		記号による音楽同期化情報、SM-SI	きごうによるおんがくどうきかじょうほう、SM-SI	Symbolic Music Synchronization Information, SM-SI				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32354	C		XML	XML	XML				ISO/IEC 14496-23	2008				2008	SC29
32355	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32356	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32357	C		安全認証	あんぜんにんしょう	source authentication				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32358	C		非保護画像の認証	ひほごがぞうのにんしょう	fragile/semi-fragile image authentication				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32359	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32360	C		データ分割	でーたぶんかつ	data splitting				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32361	C		暗号解読、解読	あんごうかいどく、かいどく	decryption, deciphering				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32362	C		電子署名	でんししょめい	digital signature				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32363	C		暗号化	あんごうか	encryption				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32364	C		電子指紋	でんしもん	fingerprints				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32365	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32366	C		完全性	かんぜんせい	integrity				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32367	C		画像データ完全性	がぞうでーたかんぜんせ	image data integrity				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32368	C		画像コンテンツ完全性	がぞうこんてんつかんぜんせい	image content integrity				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32369	C		JPSECアプリケーション	JPSECあぷりけーしょん	JPSEC application				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32370	C		JPSEC符号ストリーム	JPSECふごうすとりーむ	JPSEC codestream				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32371	C		JPSEC作成者	JPSECさくせいしゃ	JPSEC creator				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32372	C		JPSEC消費者	JPSECしょうひしゃ	JPSEC consumer				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32373	C		JPSECサービス	JPSECさーびす	JPSEC service				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32374	C		JPSEC登録機関	JPSECとうろくきかん	JPSEC registration authority				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32375	C		JPSECツール	JPSECつーる	JPSEC tool				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32376	C		JPSEC規定ツール	JPSECきていつーる	JPSEC normative tool				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32377	C		JPSEC非規定ツール	JPSECひきていつーる	JPSEC non-normative				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32378	C		JPSEC利用者定義ツール	JPSECりようしゃていぎつーる	JPSEC user-defined tool				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32379	C		JPSEC登録機関ツール	JPSECとうろくきかんつーる	JPSEC registration authority tool				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32380	C		JPSECツール記述	JPSECつーるきじゅつ	JPSEC tool description				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32381	C		かぎ	かぎ	key				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32382	C		対称かぎ	たいしょうかぎ	symmetric keys				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32383	C		非対称かぎ	ひたいしょうかぎ	asymmetric key pair				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32384	C		プライベートかぎ	ぷらいべーとかぎ	private key				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32385	C		公開かぎ	こうかいかぎ	public key				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32386	C		かぎ生成(関数)	かぎせいせい(かんすう)	key generation, key generating function				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32387	C		かぎ管理	かぎかんり	key management				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32388	C		マーカエミュレーション	まーかえみゅれーしょん	marker emulation				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32389	C		メッセージ認証符号アルゴリズム、暗号チェック関数、暗号チェックサム関数	めっせーじにんしょうふごうあるごりずむ、あんごうちぇっくかんすう、あんごうちぇっくさむかんすう	message authentication code algorithm, cryptographic check function, cryptographic checksum function				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32390	C		メッセージ認証符号(MAC)	めっせーじにんしょうふごう(MAC)	message authentication code (MAC)				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32391	C		否認防止	ひにんぼうし	non-repudiation				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32392	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32393	C		保護	ほご	protection				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32394	C		保護テンプレート	ほごてんぷれーと	protection template				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32395	C		保護方法	ほごほうほう	protection method				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32396	C		セキュリティ	せきゅりてい	security				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32397	C		信号伝達構文	しんごうでんたつこうぶん	signalling syntax				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32398	C		トランスコーディング	とらんすこーでぃんぐ	transcoding				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32399	C		安全トランスコーディング	あんぜんとらんすこーでぃんぐ	secure transcoding				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32400	C		電子透かし	でんしすかし	watermark				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32401	C		電子透かし付加	でんしすかしふか	watermarking				ISO/IEC 15444-8	2007				2007	SC29
32402	C		属性	ぞくせい	Attribute				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32403	C		ベース型	べーすがた	Base type				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32404	C		データ型	でーたがた	Datatype				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32405	C		派生型	はせいがた	Derived type				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32406	C		記述	きじゅつ	Description				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32407	C		記述スキーマ	きじゅつすきーま	Description Scheme				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32408	C		記述ツール	きじゅつつーる	Description Tool				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32409	C		記述子	きじゅつし	Descriptor				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32410	C		インスタンス化	いんすたんすか	Instantiation				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32411	C		要素	ようそ	Element				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32412	C		スキーマ	すきーま	Schema				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32413	C		型	かた	Type				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32414	C		正準XML	せいじゅんXML	Canonical XML				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32415	C		XML正準化	XMLせいじゅんか	XML canonicalization				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32416	C		情報セット、又はインフォセット	じょうほうせっと、またはいんふぉせっと	Information set, or infoset				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32417	C		スキーマ後検証インフォセット、PSVI	すきーまごけんしょういんふぉせっと、PSVI	Post schema validation infoset (PSVI)				ISO/IEC 15938-10	2005				2005	SC29
32418	C		発想	はっそう	Abstraction				ISO/IEC 21000-2	2005				2005	SC29
32419	C		(表現)資産	(ひょうげん)しさん	Asset				ISO/IEC 21000-2	2005				2005	SC29
32420	C		デジタルアイテム	でじたるあいてむ	Digital Item				ISO/IEC 21000-2	2005				2005	SC29
32421	C		表現	ひょうげん	Expression				ISO/IEC 21000-2	2005				2005	SC29
32422	C		表現物	ひょうげんぶつ	Manifestation				ISO/IEC 21000-2	2005				2005	SC29
32423	C		記述	きじゅつ	description				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32424	C		デジタルアイテム	でじたるあいてむ	Digital Item				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32425	C		メディアリソース	めでぃありそーす	media resource				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32426	C		受信者	じゅしんしゃ	receiver				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32427	C		リソース	りそーす	resource				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32428	C		送信者	そうしんしゃ	sender				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32429	C		ツール	つーる	tool				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32430	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32431	C		適応ユニット	てきおうゆにっと	adaptation unit				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32432	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bitstream				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32433	C		ビットストリーム構文	びっとすとりーむこうぶん	bitstream syntax				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32434	C		ビットストリーム構文記述	びっとすとりーむこうぶんきじゅつ	Bitstream Syntax Description				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32435	C		ビットストリーム構文記述言語	びっとすとりーむこうぶんきじゅつげんご	Bitstream Syntax Description Language				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32436	C		ビットストリーム構文スキーマ	びっとすとりーむこうぶんすきーま	Bitstream Syntax Schema				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32437	C		ビットストリーム構文記述変換	びっとすとりーむこうぶんきじゅつへんかん	Bitstream Syntax Description transformation				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32438	C		デジタルアイテム適応	でじたるあいてむてきおう	Digital Item Adaptation				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32439	C		汎用ビットストリーム構文スキーマ	はんようびっとすとりーむこうぶんすきーま	generic Bitstream Syntax Schema				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32440	C		リソース適応	りそーすてきおう	resource adaptation				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32441	C		スケーラブルビットストリーム	すけーらぶるびっとすとりーむ	scalable bitstream				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32442	C		利用環境記述	りようかんきょうきじゅつ	usage environment description				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32443	C		変換	へんかん	conversion				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32444	C		変換動作	へんかんどうさ	conversion act				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32445	C		変換ツール	へんかんつーる	conversion tool				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32446	C		動的適応	どうてきてきおう	dynamic adaptation				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32447	C		分散型適応	ぶんさんがたてきおう	distributed adaptation				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32448	C		プロセスユニット	ぷろせすゆにっと	process unit				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32449	C		XMLフラグメンテーション	XMLふらぐめんてーしょん	XML fragmentation				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32450	C		処理時間	しょりじかん	processing time				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32451	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	access unit				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32452	C		符号化	ふごうか	encoding				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32453	C		ランダムアクセスポイント	らんだむあくせすぽいんと	random access point				ISO/IEC 21000-7	2007				2007	SC29
32454	C		引数型	ひきすうかた	Argument Type				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32455	C		デジタルアイテム、DI	でじたるあいてむ、DI	Digital Item, DI				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32456	C		DIA	DIA	DIA				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32457	C		デジタルアイテム基本オペレーション、DIBO	でじたるあいてむきほんおぺれーしょん、DIBO	Digital Item Base Operation, DIBO				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32458	C		デジタルアイテム基本オペレーション実行	でじたるあいてむきほんおぺれーしょんじっこう	Digital Item Base Operation implementation				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32459	C		デジタルアイテム宣言、DID	でじたるあいてむせんげん、DID	Digital Item Declaration, DID				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32460	C		デジタルアイテム宣言言語、DIDL	でじたるあいてむせんげんげんご、DIDL	Digital Item Declaration Language, DIDL				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32461	C		デジタルアイテム宣言言語文書	でじたるあいてむせんげんげんごぶんしょ	Digital Item Declaration Language document				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32462	C		デジタルアイテム宣言言語要素	でじたるあいてむせんげんげんごようそ	Digital Item Declaration Language element				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32463	C		デジタルアイテム宣言モデル	でじたるあいてむせんげんもでる	Digital Item Declaration Model				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32464	C		デジタルアイテム宣言モデル実体	でじたるあいてむせんげんもでるじったい	Digital Item Declaration Model entity				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32465	C		デジタルアイテム宣言オブジェクト、オブジェクト	でじたるあいてむせんげんおぶじぇくと、おぶじぇく	Digital Item Declaration Object, Object				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32466	C		デジタルアイテム拡張オペレーション、DIXO	でじたるあいてむかくちょうおぺれーしょん、DIXO	Digital Item eXtension Operation, DIXO				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32467	C		デジタルアイテム拡張オペレーション言語、DIXL	でじたるあいてむかくちょうおぺれーしょんげんご、	Digital Item eXtension Operation Language, DIXL				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32468	C		DII	DII	DII				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32469	C		デジタルアイテム方法、DIM	でじたるあいてむほうほう、DIM	Digital Item Method, DIM				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32470	C		デジタルアイテム方法引数	でじたるあいてむほうほうひきすう	Digital Item Method Argument				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32471	C		デジタルアイテム方法宣言	でじたるあいてむほうほうせんげん	Digital Item Method declaration				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32472	C		デジタルアイテム方法定義	でじたるあいてむほうほうていぎ	Digital Item Method definition				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32473	C		デジタルアイテム方法言語、DIML	でじたるあいてむほうほうげんご、DIML	Digital Item Method Language, DIML				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32474	C		デジタルアイテム処理エンジン	でじたるあいてむしょりえんじん	Digital Item Processing engine				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32475	C		DOM	DOM	DOM				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32476	C		末端利用者	まったんりようしゃ	End User				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32477	C		GUI	ぐーい	GUI				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32478	C		IPMP	IPMP	IPMP				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32479	C		JPEG	じぇいぺぐ	JPEG				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32480	C		MIME	まいむ	MIME				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32481	C		MP3	えむぴーすりー	MP3				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32482	C		MPEG	えむぺぐ	MPEG				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32483	C		オブジェクトマップ	おぶじぇくとまっぷ	Object Map				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32484	C		オブジェクト型	おぶじぇくとかた	Object Type				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32485	C		ピア	ぴあ	Peer				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32486	C		RDD	RDD	RDD				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32487	C		REL	REL	REL				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32488	C		URI	URI	URI				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32489	C		URL	URL	URL				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32490	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32491	C		W3C	W3C	W3C				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32492	C		XML	XML	XML				ISO/IEC 21000-10	2006				2006	SC29
32493	C		デジタルアイテム	でじたるあいてむ	Digital Item				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32494	C		デジタルアイテム宣言	でじたるあいてむせんげ	Digital Item Declaration				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32495	C		イベント	いべんと	Event				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32496	C		イベント報告	いべんとほうこく	Event Report				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32497	C		イベント報告	いべんとほうこく	Event Reporting				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32498	C		イベント報告要求	いべんとほうこくようきゅう	Event Report Request				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32499	C		ピア	ぴあ	Peer				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32500	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 21000-15	2006				2006	SC29
32501	C		バイナリ化	ばいなりか	binarization				ISO/IEC 21000-16	2005				2005	SC29
32502	C		現在記述	げんざいきじゅつ	current description				ISO/IEC 21000-16	2005				2005	SC29
32503	C		バイナリ現在記述木	ばいなりげんざいきじゅつき	binary current description tree				ISO/IEC 21000-16	2005				2005	SC29
32504	C		バイナリ記述ストリーム	ばいなりきじゅつすとりー	binary description stream				ISO/IEC 21000-16	2005				2005	SC29
32505	C		配信層	はいしんそう	delivery layer				ISO/IEC 21000-16	2005				2005	SC29
32506	C		ISO/IEC 21000記述（略記述又はMPEG-21記述）	ISO/IEC 21000きじゅつ（りゃくきじゅつまたはMPEG-21きじゅつ）	ISO/IEC 21000 description (abbreviated description or MPEG-21				ISO/IEC 21000-16	2005				2005	SC29
32507	C		軸	じく	axis				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32508	C		コンテクスト	こんてくすと	context				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32509	C		デフォルト名前空間	でふぉるとなまえくうかん	default namespace				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32510	C		フラグメント識別子	ふらぐめんとしきべつし	fragment identifier				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32511	C		関数	かんすう	function				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32512	C		位置	いち	location				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32513	C		位置パス	いちぱす	location path				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32514	C		位置集合	いちしゅうごう	location-set				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32515	C		位置ステップ	いちすてっぷ	location step				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32516	C		論理モデル	ろんりもでる	logical model				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32517	C		論理モデル記述	ろんりもでるきじゅつ	logical model description				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32518	C		論理モデルスキーマ	ろんりもでるすきーま	logical model schema				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32519	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32520	C		ノード試験	のーどしけん	node-test				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32521	C		ポインタ	ぽいんた	pointer				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32522	C		ポインタパート	ぽいんたぱーと	pointer part				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32523	C		述語	じゅつご	predicate				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32524	C		領域	りょういき	region				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32525	C		リソース	りそーす	resource				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32526	C		スキーム	すきーむ	scheme				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32527	C		時間的領域	じかんてきりょういき	temporal-region				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32528	C		時間	じかん	time				ISO/IEC 21000-17	2006				2006	SC29
32529	C		結合	けつごう	Binding				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32530	C		バイナリ文書	ばいなりぶんしょ	Binary Document				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32531	C		配信時間	はいしんじかん	Delivery Time				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32532	C		文書	ぶんしょ	Document				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32533	C		文書フラグメント	ぶんしょふらぐめんと	Document Fragment				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32534	C		持続時間	じぞくじかん	Duration				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32535	C		エンコーダ	えんこーだ	Encoder				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32536	C		要素	ようそ	Element				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32537	C		フラグメンテーション	ふらぐめんてーしょん	Fragmentation				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32538	C		フラグメンテーション制約	ふらぐめんてーしょんせいやく	Fragmentation Constraint				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32539	C		フラグメンテーション規則	ふらぐめんてーしょんきそ	Fragmentation Rule				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32540	C		ハンドラ	はんどら	Handler				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32541	C		インスタンス	いんすたんす	Instance				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32542	C		マップ	まっぷ	map				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32543	C		パケット	ぱけっと	Packet				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32544	C		パケットストリーム	ぱけっとすとりーむ	Packet Stream				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32545	C		プロセス可能	ぷろせすかのう	Processable				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32546	C		繰り返し時間	くりかえしじかん	Repetition Period				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32547	C		ソース文書	そーすぶんしょ	Source Document				ISO/IEC 21000-18	2007				2007	SC29
32548	C		JPEG	じぇいぺぐ	JPEG				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32549	C		MPEG-7	MPEG-7	MPEG-7				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32550	C		MPEG-7スキーマ	MPEG-7すきーま	MPEG-7 schema				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32551	C		コレクション	これくしょん	collection				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32552	C		ルートコレクション	るーとこれくしょん	root collection				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32553	C		RoleCS	RoleCS	RoleCS				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32554	C		リソース	りそーす	resource				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32555	C		一次リソース	いちじりそーす	primary resource				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32556	C		内部リソース	ないぶりそーす	internal resource				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32557	C		外部リソース	がいぶりそーす	external resource				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32558	C		符号ストリーム	ふごうすとりーむ	codestream				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32559	C		BiM	BiM	BiM				ISO/IEC 23000-3	2007				2007	SC29
32560	C		スライドショートラック	すらいどしょーとらっく	Slide show track				ISO/IEC 23000-4	2009				2008	SC29
32561	C		アニメーション効果	あにめーしょんこうか	Animation effect				ISO/IEC 23000-4	2009				2008	SC29
32562	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	access unit				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32563	C		追加的スキーマ	ついかてきすきーま	additional schema				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32564	C		先進最適化デコーダ	せんしんさいてきかでこーだ	advanced optimised decoder				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32565	C		先進最適化デコーダインスタンス	せんしんさいてきかでこーだいんすたんす	advanced optimised decoder instance				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32566	C		先進最適化デコーダインスタンス表	せんしんさいてきかでこーだいんすたんすひょう	advanced optimised decoder instances table				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32567	C		先進最適化デコーダパラメータ	せんしんさいてきかでこーだぱらめーた	advanced optimised decoder parameters				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32568	C		先進最適化デコーダ型	せんしんさいてきかでこーだかた	advanced optimised decoder type				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32569	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32570	C		バイナリアクセスユニット	ばいなりあくせすゆにっと	binary access unit				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32571	C		バイナリ文書ストリーム	ばいなりぶんしょすとりー	binary document stream				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32572	C		バイナリフォーマット文書ツリー	ばいなりふぉーまっとぶんしょつりー	binary format document tree				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32573	C		バイトアライン	ばいとあらいん	byte-aligned				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32574	C		合成時間	ごうせいじかん	composition time				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32575	C		コンテンツ粒子	こんてんつりゅうし	content particle				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32576	C		コンテクストモード	こんてくすともーど	context mode				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32577	C		コンテクストノード	こんてくすとのーど	context node				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32578	C		コンテクストパス	こんてくすとぱす	context path				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32579	C		コンテクスト最適化デコーダ	こんてくすとさいてきかでこーだ	contextual optimised decoder				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32580	C		コンテクスト最適化デコーダリセット	こんてくすとさいてきかでこーだりせっと	contextual optimised decoder reset				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32581	C		現在コンテクストノード	げんざいこんてくすとのー	current context node				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32582	C		現在文書	げんざいぶんしょ	current document				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32583	C		現在文書ツリー	げんざいぶんしょつりー	current document tree				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32584	C		遅延フラグメント参照	ちえんふらぐめんとさんしょう	deferred fragment reference				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32585	C		遅延ノード	ちえんのーど	deferred node				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32586	C		配信層	はいしんそう	delivery layer				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32587	C		派生型	はせいかた	derived type				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32588	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32589	C		文書コンポーザ	ぶんしょこんぽーざ	document composer				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32590	C		文書フラグメント	ぶんしょふらぐめんと	document fragment				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32591	C		文書フラグメント参照	ぶんしょふらぐめんとさんしょう	document fragment reference				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32592	C		文書ストリーム	ぶんしょすとりーむ	document stream				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32593	C		文書ツリー	ぶんしょつりー	document tree				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32594	C		効果的コンテンツ粒子	こうかてきこんてんつりゅ	effective content particle				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32595	C		固定最適化デコーダ	こていさいてきかでこーだ	fixed optimised decoder				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32596	C		フラグメント参照	ふらぐめんとさんしょう	fragment reference				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32597	C		フラグメント参照フォーマット	ふらぐめんとさんしょうふぉーまっと	fragment reference format				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32598	C		フラグメント参照マーカ	ふらぐめんとさんしょう	fragment reference				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32599	C		フラグメント参照リゾルバ	ふらぐめんとさんしょうりぞるば	fragment reference resolver				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32600	C		フラグメント更新コマンド	ふらぐめんとこうしんこま	fragment update command				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32601	C		フラグメント更新コンポーネントエクストラクタ	ふらぐめんとこうしんこんぽーねんとえくすとらくた	fragment update component extractor				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32602	C		フラグメント更新コンテクスト	ふらぐめんとこうしんこんてくすと	fragment update context				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32603	C		フラグメント更新デコーダパラメータ	ふらぐめんとこうしんでこーだぱらめーた	fragment update decoder parameters				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32604	C		フラグメント更新ペイロード	ふらぐめんとこうしんぺいろーど	fragment update payload				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32605	C		フラグメント更新ペイロードデコーダ	ふらぐめんとこうしんぺいろーどでこーだ	fragment update payload decoder				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32606	C		フラグメント更新ユニット	ふらぐめんとこうしんゆ	fragment update unit				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32607	C		初期文書	しょきぶんしょ	initial document				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32608	C		初期スキーマ	しょきすきーま	initial schema				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32609	C		初期化エクストラクタ	しょきかえくすとらくた	initialisation extractor				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32610	C		非遅延フラグメント参照	ひちえんふらぐめんとさんしょう	non-deferred fragment reference				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32611	C		オペランドノード	おぺらんどのーど	operand node				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32612	C		最適化デコーダ	さいてきかでこーだ	optimised decoder				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32613	C		最適化デコーダマッピング	さいてきかでこーだまっぴんぐ	optimised decoder mapping				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32614	C		スキーマ	すきーま	schema				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32615	C		スキーマリゾルバ	すきーまりぞるば	schema resolver				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32616	C		スキーマ更新ユニット	すきーまこうしんゆにっと	schema update unit				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32617	C		スキーマURI	すきーまURI	schema URI				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32618	C		スキーマ有効	すきーまゆうこう	schema valid				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32619	C		セレクタノード	せれくたのーど	selector node				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32620	C		省略可能サブツリー	しょうりゃくかのうさぶつ	skippable subtree				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32621	C		スーパータイプ	すーぱーたいぷ	super type				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32622	C		システム層	しすてむそう	systems layer				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32623	C		ターミナル	たーみなる	terminal				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32624	C		最上位ノード型	さいじょういのーどがた	topmost node				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32625	C		型コーデック	かたこーでっく	type codec				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32626	C		型階層	かたかいそう	type hierarchy				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32627	C		検証	けんしょう	validation				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32628	C		XMLスキーマパーサ	XMLすきーまぱーさ	XML Schema parser				ISO/IEC 23001-1	2006				2006	SC29
32629	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bitstream				ISO/IEC 23001-5	2008				2008	SC29
32630	C		ビットストリーム構文記述	びっとすとりーむこうぶんきじゅつ	Bitstream Syntax Description				ISO/IEC 23001-5	2008				2008	SC29
32631	C		ビットストリーム構文記述言語	びっとすとりーむこうぶんきじゅつげんご	Bitstream Syntax Description Language				ISO/IEC 23001-5	2008				2008	SC29
32632	C		ビットストリーム構文スキーマ	びっとすとりーむこうぶんすきーま	Bitstream Syntax Schema				ISO/IEC 23001-5	2008				2008	SC29
32633	C		アップストリーム	あっぷすとりーむ	upstream				ISO/IEC 23001-5	2008				2008	SC29
32634	C		ダウンストリーム	だうんすとりーむ	downstream				ISO/IEC 23001-5	2008				2008	SC29
32635	C		接続	せつぞく	Connection				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32636	C		実体	じったい	Entity				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32637	C		プロキシ	ぷろきし	Proxy				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32638	C		キャッシュ(クライアント側)	きゃっしゅ(くらいあんとがわ)	cache (client-side)				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32639	C		キャッシュ可能	きゃっしゅかのう	cacheable				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32640	C		キャッシュモデル(サーバ側)	きゃっしゅもでる(さーばがわ)	cache-model (server-side)				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32641	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32642	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32643	C		符号ストリーム画像領域	ふごうすとりーむがぞうりょういき	codestream image region				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32644	C		データ-ビン	でーた-びん	data-bin				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32645	C		増分-符号ストリーム	ぞうぶん-ふごうすとりー	incremental-codestream				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32646	C		JPIPインデックス表	JPIPいんでっくすひょう	JPIP index table				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32647	C		論理目標	ろんりもくひょう	logical target				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32648	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32649	C		生符号ストリーム	なまふごうすとりーむ	raw-codestream				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32650	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32651	C		リソース	りそーす	resource				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32652	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32653	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32654	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32655	C		セッション基盤	せっしょんきばん	session-based				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32656	C		状態なし	じょうたいなし	stateless				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32657	C		目標	もくひょう	target				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32658	C		タイルヘッダ	たいるへっだ	tile header				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32659	C		表示窓	ひょうじまど	view-window				ISO/IEC 15444-9	2005				2005	SC29
32660	C		配列	はいれつ	array	番号付けされた数値情報。			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32661	C		離散コサイン変換、DCT	りさんこさいんへんかん、DCT	discrete cosine transform, DCT	5.1項、5.2項で規定する入力画素値配列を変換係数値配列に変換する処理。			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32662	C		フォアワード離散コサイン変換	ふぉあわーどりさんこさいんへんかん	forward discrete cosine transform	離散コサイン変換			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32663	C		逆離散コサイン変換、IDCT	ぎゃくりさんこさいんへんかん、IDCT	inverse discrete cosine transform, IDCT	5.3項、5.4項で規定する入力変換係数値配列を画素値配列に変換する処理。			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32664	C		マトリクス	まとりくす	matrix	二次元配列。			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32665	C		サンプル	さんぷる	sample	DCT演算に入力する、もしくは、IDCT演算が出力する配列値。			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32666	C		スカラー値	すからーち	scalar value	整数、もしくは、浮動小数点の数値。			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32667	C		変換係数	へんかんけいすう	transform coefficient	DCT演算が出力する、もしくは、IDCT演算に入力する配列値。			ISO/IEC 23002-1	2006				2006	SC29
32668	C		配列	はいれつ	array	番号付けされた数値情報。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32669	C		離散コサイン変換、DCT	りさんこさいんへんかん、DCT	discrete cosine transform, DCT	Annex Aで規定する入力画素値配列を変換係数値配列に変換する処理。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32670	C		固定小数点	こていしょうすうてん	fixed-point	整数部と小数部の桁数を固定して表現する数値。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32671	C		(順方向)離散コサイン変換	(じゅんほうこう)りさんこさいんへんかん	forward discrete cosine transform, forward DCT, discrete cosine transform				ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32672	C		逆離散コサイン変換、IDCT	ぎゃくりさんこさいんへんかん、IDCT	inverse discrete cosine transform, IDCT	5項で規定する入力変換係数値配列を画素値配列に変換する処理。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32673	C		マトリクス	まとりくす	matrix	二次元配列。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32674	C		サンプル	さんぷる	sample	DCT演算に入力する、もしくは、IDCT演算が出力する配列値。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32675	C		スカラー値	すからーち	scalar value	整数、もしくは、浮動小数点の数値。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32676	C		変換係数	へんかんけいすう	transform coefficient	DCT演算が出力する、もしくは、IDCT演算に入力する配列値。			ISO/IEC 23002-2	2008				2008	SC29
32677	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32678	C		チャネルレベル差、CLD	ちゃねるれべるさ、CLD	Channel Level Difference, CLD				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32679	C		CLDバンド	CLDばんど	CLD band				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32680	C		チャネル予測係数、CPC	ちゃねるよそくけいすう、CPC	Channel Prediction Coefficient, CPC				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32681	C		CPCバンド	CPCばんど	CPC band				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32682	C		ハイブリッドフィルタバンク	はいぶりっどふぃるたばんく	hybrid filterbank				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32683	C		ハイブリッドフィルタリング	はいぶりっどふぃるたりんぐ	hybrid filtering				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32684	C		ハイブリッドサブバンド	はいぶりっどさぶばんど	hybrid subband				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32685	C		チャネル間相関、ICC	ちゃねるかんそうかん、ICC	Inter Channel Correlation, ICC				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32686	C		ICCバンド	ICCばんど	ICC band				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32687	C		非適用	ひてきよう	NA				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32688	C		M-N-Mコンフィギュレーション	M-N-Mこんふぃぎゅれーしょん	M-N-M configuration				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32689	C		OTTボックス	OTTぼっくす	OTT box				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32690	C		パラメータバンド	ぱらめーたばんど	parameter band				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32691	C		パラメータバンド境界	ぱらめーたばんどきょうか	parameter band border				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32692	C		パラメータタイムスロット	ぱらめーたたいむすろっと	parameter time slot				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32693	C		パラメータセット	ぱらめーたせっと	parameter set				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32694	C		パラメータサブセット	ぱらめーたさぶせっと	parameter subset				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32695	C		処理バンド	しょりばんど	processing band				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32696	C		QMFバンク	QMFばんく	QMF bank				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32697	C		QMFサブバンド	QMFさぶばんど	QMF subband				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32698	C		SAC	SAC	SAC				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32699	C		SACフレーム	SACふれーむ	SAC frame				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32700	C		タイムセグメント	たいむせぐめんと	time segment				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32701	C		タイムスロット	たいむすろっと	time slot				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32702	C		TTTボックス	TTTぼっくす	TTT box				ISO/IEC 23003-1	2007				2007	SC29
32703	C		API仕様	APIしよう	API specification				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32704	C		インタフェースセット	いんたふぇーすせっと	interface suite				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32705	C		論理コンポーネント	ろんりこんぽーねんと	logical component				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32706	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32707	C		役割インスタンス	やくわりいんすたんす	role instance				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32708	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32709	C		シグニチャ、形式仕様	しぐにちゃ、けいしきしよう	signature				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32710	C		仕様アイテム	しようあいてむ	specification item				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32711	C		IDL	IDL	IDL				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32712	C		限定子	げんていし	qualifier				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32713	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32714	C		実行制約	じっこうせいやく	execution constraint				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32715	C		モデル型	もでるかた	model type				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32716	C		モデル定数	もでるていすう	model constant				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32717	C		列挙要素型	れっきょようそかた	enum element type				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32718	C		列挙集合型	れっきょしゅうごうがた	enum set type				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32719	C		集合型	しゅうごうがた	set type				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32720	C		写像型	しゃぞうかた	map type				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32721	C		実体型	じったいかた	entity type				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32722	C		インタフェース役割モデル	いんたふぇーすやくわりもでる	interface-role model				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32723	C		論理コンポーネントインスタンス	ろんりこんぽーねんといんすたんす	logical component instance				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32724	C		提供インタフェース	ていきょういんたふぇーす	provides interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32725	C		要求インタフェース	ようきゅういんたふぇーす	requires interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32726	C		特化	とっか	specialization				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32727	C		多様性	たようせい	diversity				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32728	C		必す(須)インタフェース	ひっすいんたふぇーす	mandatory interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32729	C		任意選択インタフェース	にんいせんたくいんたふぇーす	optional interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32730	C		設定可能アイテム	せっていかのうあいてむ	configurable item				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32731	C		多様性属性	たようせいぞくせい	diversity attribute				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32732	C		インスタンス化	いんすたんすか	instantiation				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32733	C		初期状態	しょきじょうたい	initial state				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32734	C		観測可能振る舞い	かんそくかのうふるまい	observable behavior				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32735	C		関数の振る舞い	かんすうのふるまい	function behavior				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32736	C		ストリームの振る舞い	すとりーむのふるまい	streaming behavior				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32737	C		活動中の振る舞い	かつどうちゅうのふるまい	active behavior				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32738	C		インスタンス化振る舞い	いんすたんすかふるまい	instantiation behavior				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32739	C		独立属性	どくりつぞくせい	independent attribute				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32740	C		依存属性	いぞんぞくせい	dependent attribute				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32741	C		不変	ふへん	invariant				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32742	C		コールバックインタフェー	こーるばっくいんたふぇー	callback interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32743	C		コールバックコンプライアンス	こーるばっくこんぷらいあんす	callback-compliance				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32744	C		イベント通知	いべんとつうち	event notification				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32745	C		イベント設定	いべんとせってい	event subscription				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32746	C		クッキー	くっきー	cookie				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32747	C		イベント動作表	いべんとどうさひょう	event-action table				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32748	C		非標準イベント通知	ひひょうじゅんいべんとつうち	non-standard event notification				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32749	C		クライアント役割	くらいあんとやくわり	client role				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32750	C		動作主役割	どうさしゅやくわり	actor role				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32751	C		制御インタフェース	せいぎょいんたふぇーす	control interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32752	C		通知インタフェース	つうちいんたふぇーす	notification interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32753	C		特化インタフェース	とっかいんたふぇーす	specialized interface				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32754	C		前提条件	ぜんていじょうけん	precondition				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32755	C		アクション節	あくしょんせつ	action clause				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32756	C		アウトコール	あうとこーる	out-call				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32757	C		事後条件	じごじょうけん	postcondition				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32758	C		非同期関数	ひどうきかんすう	asynchronous function				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32759	C		アプライアンス	あぷらいあんす	appliance				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32760	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32761	C		コンポーネント	こんぽーねんと	component				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32762	C		コンポーネントモデル	こんぽーねんともでる	component model				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32763	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32764	C		実行可能コンポーネント	じっこうかのうこんぽーねんと	executable component				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32765	C		M3Wシステム	M3Wしすてむ	M3W system				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32766	C		動作中	どうさちゅう	operational				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32767	C		プラットフォーム	ぷらっとふぉーむ	platform				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32768	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 23004-1	2007				2007	SC29
32769	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	access unit				ISO/IEC 23004-2	2007				2007	SC29
32770	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	access unit				ISO/IEC 23004-2	2007				2007	SC29
32771	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	access unit				ISO/IEC 23004-2	2007				2007	SC29
32772	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 23004-2	2007				2007	SC29
32773	C		制御インタフェース	せいぎょいんたふぇーす	control interface				ISO/IEC 23004-2	2007				2007	SC29
32774	C		API仕様	APIしよう	API specification				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32775	C		インタフェースセット	いんたふぇーすせっと	interface suite				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32776	C		論理コンポーネント	ろんりこんぽーねんと	logical component				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32777	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32778	C		役割インスタンス	やくわりいんすたんす	role instance				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32779	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32780	C		シグニチャ、形式仕様	しぐにちゃ、けいしきしよう	signature				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32781	C		仕様アイテム	しようあいてむ	specification item				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32782	C		限定子	げんていし	qualifier				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32783	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32784	C		実行制約	じっこうせいやく	execution constraint				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32785	C		モデル型	もでるかた	model type				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32786	C		モデル定数	もでるていすう	model constant				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32787	C		列挙要素型	れっきょようそかた	enum element type				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32788	C		列挙集合型	れっきょしゅうごうがた	enum set type				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32789	C		集合型	しゅうごうがた	set type				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32790	C		写像型	しゃぞうかた	map type				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32791	C		実体型	じったいかた	entity type				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32792	C		インタフェース役割モデル	いんたふぇーすやくわりもでる	interface-role model				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32793	C		論理コンポーネントインスタンス	ろんりこんぽーねんといんすたんす	logical component instance				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32794	C		提供インタフェース	ていきょういんたふぇーす	provides interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32795	C		要求インタフェース	ようきゅういんたふぇーす	requires interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32796	C		特化	とっか	specialization				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32797	C		多様性	たようせい	diversity				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32798	C		必す(須)インタフェース	ひっすいんたふぇーす	mandatory interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32799	C		任意選択インタフェース	にんいせんたくいんたふぇーす	optional interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32800	C		設定可能アイテム	せっていかのうあいてむ	configurable item				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32801	C		多様性属性	たようせいぞくせい	diversity attribute				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32802	C		インスタンス化	いんすたんすか	instantiation				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32803	C		初期状態	しょきじょうたい	initial state				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32804	C		観測可能振る舞い	かんそくかのうふるまい	observable behavior				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32805	C		関数の振る舞い	かんすうのふるまい	function behavior				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32806	C		ストリームの振る舞い	すとりーむのふるまい	streaming behavior				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32807	C		活動中の振る舞い	かつどうちゅうのふるまい	active behavior				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32808	C		インスタンス化振る舞い	いんすたんすかふるまい	instantiation behavior				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32809	C		独立属性	どくりつぞくせい	independent attribute				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32810	C		依存属性	いぞんぞくせい	dependent attribute				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32811	C		不変	ふへん	invariant				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32812	C		コールバックインタフェー	こーるばっくいんたふぇー	callback interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32813	C		コールバックコンプライアンス	こーるばっくこんぷらいあんす	callback-compliance				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32814	C		イベント通知	いべんとつうち	event notification				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32815	C		イベント設定	いべんとせってい	event subscription				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32816	C		クッキー	くっきー	cookie				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32817	C		イベント動作表	いべんとどうさひょう	event-action table				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32818	C		非標準イベント通知	ひひょうじゅんいべんとつうち	non-standard event notification				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32819	C		クライアント役割	くらいあんとやくわり	client role				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32820	C		動作主役割	どうさしゅやくわり	actor role				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32821	C		制御インタフェース	せいぎょいんたふぇーす	control interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32822	C		通知インタフェース	つうちいんたふぇーす	notification interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32823	C		特化インタフェース	とっかいんたふぇーす	specialized interface				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32824	C		前提条件	ぜんていじょうけん	precondition				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32825	C		アクション節	あくしょんせつ	action clause				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32826	C		アウトコール	あうとこーる	out-call				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32827	C		事後条件	じごじょうけん	postcondition				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32828	C		非同期関数	ひどうきかんすう	asynchronous function				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32829	C		エラー	えらー	error				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32830	C		失敗	しっぱい	failure				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32831	C		故障	こしょう	fault				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32832	C		不具合のユニット	ふぐあいのゆにっと	unit of failure				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32833	C		故障マネジメントのユニット	こしょうまねじめんとのゆにっと	unit of fault management				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32834	C		ミドルマン	みどるまん	middleman				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32835	C		故障マネジメント	こしょうまねじめんと	fault manager				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32836	C		故障マネジメントインスタンス化方針	こしょうまねじめんといんすたんすかほうしん	fault management instantiation policy				ISO/IEC 23004-6	2008				2008	SC29
32837	C		後方互換性	こうほうごかんせい	backward compatible				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32838	C		拡張付き後方互換性	かくちょうつきこうほうごかんせい	backward compatible with extensions				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32839	C		ビット降順	びっとこうじゅん	big endian				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32840	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bitstream				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32841	C		ビットエラー率(BER)	びっとえらーりつ(BER)	Bit Error Rate (BER)				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32842	C		符号ブロック	ふごうぶろっく	code-block				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32843	C		符号ストリーム	ふごうすとりーむ	codestream				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32844	C		データ分割	でーたぶんかつ	data partitioning				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32845	C		デコーダ	でこーだ	decoder				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32846	C		復号プロセス	ふくごうぶろせす	decoding process				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32847	C		エンコーダ	えんこーだ	encoder				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32848	C		符号化プロセス	ふごうかぶろせす	encoding process				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32849	C		順方向エラー訂正(FEC)	じゅんほうこうえらーていせい(FEC)	Forward Error Correction (FEC)				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32850	C		インターリービング	いんたーりーびんぐ	interleaving				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32851	C		JPWL登録機関	JPWLとうろくきかん	JPWL Registration				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32852	C		層	そう	layer				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32853	C		ビット昇順	びっとしょうじゅん	little endian				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32854	C		マーカ	まーか	marker				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32855	C		マーカセグメント	まーかせぐめんと	marker segment				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32856	C		非後方互換性	ひこうほうごかんせい	non-backward compatible				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32857	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32858	C		パケットヘッダ	ぱけっとへっだ	packet header				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32859	C		パケット損失率(PLR)	ぱけっとそんしつりつ	Packet Loss Rate (PLR)				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32860	C		ポインタマーカ及びポインタマーカセグメント	ぽいんたまーかおよびぽいんたまーかせぐめんと	pointer markers and pointer marker segments				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32861	C		プレシンクト	ぷれしんくと	precinct				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32862	C		精度、ビット幅	せいど、びっとはば	precision				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32863	C		系統的符号	けいとうてきふごう	systematic codes				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32864	C		タイル	たいる	tile				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32865	C		タイルコンポーネント	たいるこんぽーねんと	tile-component				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32866	C		タイルインデックス	たいるいんでっくす	tile index				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32867	C		タイルパート	たいるぱーと	tile-part				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32868	C		タイルパートヘッダ	たいるぱーとへっだ	tile-part header				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32869	C		符号変換器、トランスコーダ	ふごうへんかんき、とらんすこーだ	transcoder				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32870	C		符号変換処理、トランスコーディング処理	ふごうへんかんしょり、とらんすこーでぃんぐしょり	transcoding process				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32871	C		エラーの不均一保護(UEP)	えらーのふきんいつほご(UEP)	Unequal Error Protection (UEP)				ISO/IEC 15444-11	2007				2007	SC29
32872	C		プロファイル	ぷろふぁいる	Profile				ISO/IEC 15938-9	2005				2005	SC29
32873	C		レベル	れべる	Level				ISO/IEC 15938-9	2005				2005	SC29
32874	C		MPEG-7スキーマ	MPEG-7すきーま	MPEG-7 Schema				ISO/IEC 15938-9	2005				2005	SC29
32875	C		記述プロファイル	きじゅつぷろふぁいる	Description profile				ISO/IEC 15938-9	2005				2005	SC29
32876	C		記述レベル	きじゅつれべる	Description level				ISO/IEC 15938-9	2005				2005	SC29
32877	C		プロファイルスキーマ	ぷろふぁいるすきーま	Profile schema				ISO/IEC 15938-9	2005				2005	SC29
32878	C		該当ラポータ、該当責任者	がいとうらぽーた、がいとうせきにんしゃ	relevant Rapporteur				ISO/IEC 9834-9	2008				2008	SC6
32879	C		タグ識別アプリケーション及びサービス	たぐしきべつあぷりけーしょんおよびさーびす	tag-based applications and services				ISO/IEC 9834-9	2008				2008	SC6
32880	C		タグ(に基づく)識別	たぐ(にもとづく)しきべつ	tag-based identification				ISO/IEC 9834-9	2008				2008	SC6
32881	C		知識体系	ちしきたいけい	body of knowledge				ISO/IEC 24773	2008				2008	SC7
32882	C		認証団体	にんしょうだんたい	certification body				ISO/IEC 24773	2008				2008	SC7
32883	C		認知レベル	にんちれべる	cognitive level				ISO/IEC 24773	2008				2008	SC7
32884	C		資格団体	しかくだんたい	qualification body				ISO/IEC 24773	2008				2008	SC7
32885	C		コンピュータシステム	こんぴゅーたしすてむ	computer system				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32886	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32887	C		データ品質	でーたひんしつ	data quality				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32888	C		データ品質特性	でーたひんしつとくせい	data quality characteristic				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32889	C		データ品質尺度	でーたひんしつしゃくど	data quality measure				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32890	C		データ品質モデル	でーたひんしつもでる	data quality model				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32891	C		データタイプ	でーたたいぷ	data type				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32892	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32893	C		実体インスタンス	じったいいんすたんす	entity instance				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32894	C		情報	じょうほう	information				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32895	C		情報システム	じょうほうしすてむ	information system				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32896	C		整合性	せいごうせい	integrity				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32897	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32898	C		品質尺度要素	ひんしつしゃくどようそ	quality measure element				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32899	C		基本尺度	きほんしゃくど	base measure				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32900	C		使用文脈	しようぶんみゃく	context of use				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32901	C		派生尺度	はせいしゃくど	derived measure				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32902	C		尺度(名詞)	しゃくど(めいし)	measure (noun)				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32903	C		測定	そくてい	measurement				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32904	C		測定関数	そくていかんすう	measurement function				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32905	C		要求事項	ようきゅうじこう	requirement				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32906	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 25012	2008				2008	SC7
32907	C		ホログラム記録方式	ほろぐらむきろくほうしき	holographic recording method				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32908	C		ホログラム	ほろぐらむ	hologram				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32909	C		振幅ホログラム	しんぷくほろぐらむ	amplitude hologram				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32910	C		位相ホログラム	いそうほろぐらむ	phase hologram				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32911	C		体積ホログラム	たいせきほろぐらむ	thick hologram				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32912	C		レリーフホログラム	れりーふほろぐらむ	thin hologram				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32913	C		ホログラムメモリーカード	ほろぐらむめもりーかーど	holographic memory card				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32914	C		光記録領域	ひかりきろくりょういき	accessible optical area				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32915	C		データ記録層	でーたきろくそう	storage layer				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32916	C		保護層	ほごそう	protective layer				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32917	C		反射層	はんしゃそう	reflective layer				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32918	C		基板層	きばんそう	substrate layer				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32919	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32920	C		複屈折	ふくくっせつ	birefringence				ISO/IEC 11695-1	2008				2008	SC17
32921	C		基準ホログラム	きじゅんほろぐらむ	reference hologram				ISO/IEC 11695-2	2008				2008	SC17
32922	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 11695-2	2008				2008	SC17
32923	C		基準トラック	きじゅんとらっく	reference track				ISO/IEC 11695-2	2008				2008	SC17
32924	C		反射率	はんしゃりつ	reflectivity				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32925	C		散乱	さんらん	scattering				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32926	C		空間分解能	くうかんぶんかいのう	spatial resolution				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32927	C		コントラスト伝達関数、CTF	こんとらすとでんたつかんすう、CTF	contrast transfer function, CTF				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32928	C		回折	かいせつ	diffraction				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32929	C		回折効率	かいせつこうりつ	diffraction efficiency				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32930	C		回折格子	かいせつごうし	diffraction grating				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32931	C		読取り出力	よみとりしゅつりょく	read power				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32932	C		書込み出力	かきこみしゅつりょく	write power				ISO/IEC 11695-3	2008				2008	SC17
32933	C		データオブジェクト	でーたおぶじぇくと	data object				ISO/IEC 24727-2	2008				2008	SC17
32934	C		ファイル	ふぁいる	file				ISO/IEC 24727-2	2008				2008	SC17
32935	C		変換プログラム	へんかんぷろぐらむ	translation code				ISO/IEC 24727-2	2008				2008	SC17
32936	C		チャンネル	ちゃんねる	channel				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32937	C		構成要素	こうせいようそ	component				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32938	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32939	C		疑わしいチャンネル	うたがわしいちゃんねる	dubious-channel				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32940	C		インスタンス化	いんすたんすか	instantiation				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32941	C		整合性	せいごうせい	integrity				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32942	C		ISO/IEC 24727プロトコルスタック	ISO/IEC 24727ぷろとこるすたっく	ISO/IEC 24727 protocol stack				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32943	C		忠実チャンネル	ちゅうじつちゃんねる	loyal-channel				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32944	C		忠実プラットフォーム	ちゅうじつぷらっとふぉーむ	loyal-platform				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32945	C		忠実スタック	ちゅうじつすたっく	loyal-stack				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32946	C		パス保護方針	ぱすほごほうしん	path-protection-policy				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32947	C		プロキシ	ぷろきし	proxy				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32948	C		TC API	TC API	TC API				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32949	C		高信頼チャンネル	こうしんらいちゃんねる	trusted-channel				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32950	C		高信頼パス	こうしんらいぱす	trusted-path				ISO/IEC 24727-4	2008				2008	SC17
32951	C		正確さ	せいかくさ	accuracy				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32952	C		演算データ型	えんざんでーたかた	arithmetic datatype				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32953	C		連続値	れんぞくち	continuation value				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32954	C		非正規化ロス	ひせいきかろす	denormalisation loss				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32955	C		エラー	えらー	error				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32956	C		例外	れいがい	exception				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32957	C		例外的値	れいがいてきあたい	exceptional value				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32958	C		ヘルパー機能	へるぱーきのう	helper function				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32959	C		(この部の)実装	(このぶの)じっそう	implementation (of this				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32960	C		直定数	ちょくていすう	literal				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32961	C		単調近似	たんちょうきんじ	monotonic approximation				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32962	C		単調非減少	たんちょうひげんしょう	monotonic non-decreasing				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32963	C		単調非増加	たんちょうひぞうか	monotonic non-increasing				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32964	C		正規化	せいきか	normalised				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32965	C		通知	つうち	notification				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32966	C		数値	すうち	numeral				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32967	C		数値関数	すうちかんすう	numerical function				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32968	C		演算	えんざん	operation				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32969	C		極	きょく	pole				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32970	C		精度	せいど	precision				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32971	C		丸め	まるめ	rounding				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32972	C		丸め機能	まるめきのう	rounding function				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32973	C		最近接丸め	さいきんせつまるめ	round to nearest				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32974	C		負方向丸め	ふほうこうまるめ	round toward minus				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32975	C		正方向丸め	せいほうこうまるめ	round toward plus infinity				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32976	C		しなければならない	しなければならない	shall				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32977	C		することが望ましい	することがのぞましい	should				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32978	C		(関数又は演算の)署名	(かんすうまたはえんざんの)しょめい	signature(of a function or operation)				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32979	C		サブノーマル	さぶのーまる	subnormal				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32980	C		最下位桁単位	さいかいけたたんい	ulp				ISO/IEC 10967-2	2001				2001	SC22
32981	C		アクセス可能手順	あくせすかのうてじゅん	accessible procedure				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32982	C		手続の起動	てつづきのきどう	activation, of a procedure				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32983	C		修飾付き引数	しゅうしょくつきひきすう	argument, qualified				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32984	C		呼び出し文脈	よびだしぶんみゃく	calling context				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32985	C		可視データベース	かしでーたべーす	database, visible				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32986	C		定義モジュール	ていぎもじゅーる	defining module				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32987	C		エクスポート	えくすぽーと	export				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32988	C		エクスポートされた手順	えくすぽーとされたてじゅ	exported procedure				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32989	C		インポート	いんぽーと	import				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32990	C		選択的インポート	せんたくてきいんぽーと	import, selective				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32991	C		(モジュールを)ロードする	(もじゅーるを)ろーどする	load (a module)				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32992	C		参照モジュール	さんしょうもじゅーる	lookup module				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32993	C		メタ引数	めたひきすう	meta-argument				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32994	C		メタ述語	めたじゅつご	metapredicate				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32995	C		メタ述語	めたじゅつご	metapredicate directive				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32996	C		メタ述語モード標識	めたじゅつごもーどひょうしき	metapredicate mode indicator				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32997	C		メタ手続	めたてつづき	metaprocedure				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
32998	C		メタ変数	めたへんすう	metavariable				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
32999	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33000	C		モジュール本文	もじゅーるほんぶん	module body				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33001	C		(手続の)呼出しモジュール	(てつづきの)よびだしもじゅーる	module, calling (of a *procedure*)				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33002	C		定義モジュール	ていぎもじゅーる	module, defining				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33003	C		モジュール指示文	もじゅーるしじぶん	module directive				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33004	C		既存モジュール	きぞんもじゅーる	module, existing				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33005	C		エクスポート モジュール	えくすぽーともじゅーる	module, exporting				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33006	C		モジュールインタフェース	もじゅーるいんたふぇーす	module interface				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33007	C		インポート モジュール	いんぽーともじゅーる	module, importing				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33008	C		参照モジュール	さんしょうもじゅーる	module, lookup				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33009	C		モジュール名	もじゅーるめい	module name				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33010	C		モジュール名修飾	もじゅーるめいしゅうしょく	module name qualification				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33011	C		修飾モジュール	しゅうしょくもじゅーる	module, qualifying				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33012	C		再エクスポート モジュール	さいえくすぽーともじゅー	module, re-exporting				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33013	C		モジュールテキスト	もじゅーるてきすと	module text				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33014	C		利用者モジュール	りようしゃもじゅーる	module, user				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33015	C		述語	じゅつご	predicate				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33016	C		修飾付き述語名	しゅうしょくつきじゅつごめ	predicate name, qualified				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33017	C		実行のための準備	じっこうのためのじゅんび	preparation for execution				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33018	C		アクセス可能手続	あくせすかのうてつづき	procedure, accessible				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33019	C		文脈依存手続	ぶんみゃくいぞんてつづき	procedure, context				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33020	C		エクスポートされた手続	えくすぽーとされたてつづ	procedure, exported				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33021	C		(モジュールMにおける)可視手続	(もじゅーるMにおける)かしてつづき	procedure, visible (in a module M)				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33022	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33023	C		プロトタイプ	ぷろとたいぷ	prototype				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33024	C		修飾付きプロトタイプ	しゅうしょくつきぷろとたい	prototype, qualified				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33025	C		修飾	しゅうしょく	qualification				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33026	C		修飾付き引数	しゅうしょくつきひきすう	qualified argument				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33027	C		修飾付き項	しゅうしょくつきこう	qualified term				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33028	C		再エクスポート	さいえくすぽーと	re-export				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33029	C		選択的再エクスポート	せんたくてきさいえくす	re-export, selective				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33030	C		修飾付き項	しゅうしょくつきこう	term, qualified				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33031	C		(モジュールMにおける)可視手順	(もじゅーるMにおける)かしてじゅん	visible procedure (in a *module* M)				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33032	C		(モジュールMの)可視データベース	(もじゅーるMの)かしでーたべーす	visible database (of a module M)				ISO/IEC 13211-2	2000				2000	SC22
33033	C		結合	けつごう	binding				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33034	C		キャプチャ	きゃぷちゃ	capture				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33035	C		値集合	あたいしゅうごう	carrier set				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33036	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33037	C		環境	かんきょう	environment				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33038	C		解釈	かいしゃく	interpretation				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33039	C		メタ言語	めたげんご	metalanguage				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33040	C		メタ変数	めたへんすう	metavariable				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33041	C		モデル	もでる	model				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33042	C		スキーマ	すきーま	schema				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33043	C		宣言の有効範囲	せんげんのゆうこうはんい	scope of a declaration				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33044	C		有効範囲規則	ゆうこうはんいきそく	scope rules				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33045	C		意味領域	いみりょういき	semantic universe				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33046	C		署名	しょめい	signature				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33047	C		型領域	かたりょういき	type universe				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33048	C		Zコア言語	Zこあげんご	Z core language				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33049	C		ZF集合論	ZFしゅうごうろん	ZF set theory				ISO/IEC 13568	2002				2002	SC22
33050	C		プログラム	ぷろぐらむ	Program				ISO/IEC 13751	2001				2001	SC22
33051	C		実装	じっそう	Implementation				ISO/IEC 13751	2001				2001	SC22
33052	C		(実装の)機能	(じっそうの)きのう	Facility (of an implementation)				ISO/IEC 13751	2001				2001	SC22
33053	C		定義設備	ていぎせつび	Defined-Facility				ISO/IEC 13751	2001				2001	SC22
33054	C		任意機能	にんいきのう	Optional-Facility				ISO/IEC 13751	2001				2001	SC22
33055	C		実装定義設備	じっそうていぎせつび	Implementation-Defined-Facility				ISO/IEC 13751	2001				2001	SC22
33056	C		一貫性拡張	いっかんせいかくちょう	Consistent-Extension				ISO/IEC 13751	2001				2001	SC22
33057	C		アサーション	あさーしょん	assertion				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33058	C		アサーション番号	あさーしょんばんごう	assertion number				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33059	C		アサーション試験	あさーしょんしけん	assertion test				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33060	C		基礎アサーション	きそあさーしょん	base assertion				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33061	C		条件特性	じょうけんとくせい	conditional feature				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33062	C		開発システム	かいはつしすてむ	development system				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33063	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33064	C		拡張アサーション	かくちょうあさーしょん	extended assertion				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33065	C		モデム制御	もでむせいぎょ	modem control				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33066	C		POSIX適合性文書 (PCD)	POSIXてきごうせいぶんしょ (PCD)	POSIX Conformance Document (PCD)				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33067	C		POSIX適合性試験手順(PCTP)	POSIXてきごうせいしけんてじゅん(PCTP)	POSIX Conformance Test Procedure (PCTP)				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33068	C		POSIX適合性試験セット(PCTS)	POSIXてきごうせいしけんせっと(PCTS)	POSIX Conformance Test Suite (PCTS)				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33069	C		要求特性	ようきゅうとくせい	required feature				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33070	C		ターゲットシステム	たーげっとしすてむ	target system				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33071	C		試験方法	しけんほうほう	test method				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33072	C		試験結果コード	しけんけっかこーど	test result code				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33073	C		達成不可能制限	たっせいふかのうせいげ	unattainable limit				ISO/IEC 14515-1	2000				2000	SC22
33074	C		異常終了繰り延べオペレーション	いじょうしゅうりょうくりのべおぺれーしょん	abort deferred operation				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33075	C		異常終了完了点	いじょうしゅうりょうかんりょうてん	abort completion point				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33076	C		異常終了リリース	いじょうしゅうりょうりりー	abortive release				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33077	C		絶対パス名	ぜったいぱすめい	absolute pathname				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33078	C		アクセスモード	あくせすもーど	access mode				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33079	C		Ada I/O	Ada I/O	Ada I/O				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33080	C		アドレス空間	あどれすくうかん	address space				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33081	C		補助データ	ほじょでーた	ancillary data				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33082	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33083	C		アプリケーション実体タイトル	あぷりけーしょんじったいたいとる	application entity title				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33084	C		アプリケーション実体識別子	あぷりけーしょんじったいしきべつし	application entity qualifier				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33085	C		アプリケーションプロセスタイトル	あぷりけーしょんぷろせすたいとる	application process title				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33086	C		適切特権	てきせつとっけん	appropriate privileges				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33087	C		タイマの設定	たいまのせってい	arm a timer				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33088	C		非同期イベント	ひどうきいべんと	asynchronous events				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33089	C		非同期I/O[AIO]オペレーション	ひどうきI/O[AIO]おぺれーしょん	asynchronous I/O [AIO] operation				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33090	C		非同期I/O[AIO]完了	ひどうきI/O[AIO]かんりょう	asynchronous I/O [AIO] completion				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33091	C		非同期生成信号	ひどうきせいせいしんごう	asynchronously generated signal				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33092	C		背景プロセス	はいけいぷろせす	background process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33093	C		背景プロセスグループ	はいけいぷろせすぐるーぷ	background process group				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33094	C		結合	けつごう	bind				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33095	C		ブロック特殊ファイル	ぶろっくとくしゅふぁいる	block special file				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33096	C		ブロッキング	ぶろっきんぐ	blocking				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33097	C		ブロッキング挙動	ぶろっきんぐきょどう	blocking behavior				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33098	C		ブロック化タスク	ぶろっくかたすく	blocked task				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33099	C		ブロードキャスト	ぶろーどきゃすと	broadcast				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33100	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33101	C		正準入力処理	せいじゅんにゅうりょくしょ	canonical input processing				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33102	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33103	C		文字特殊ファイル	もじとくしゅふぁいる	character special file				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33104	C		XTI呼び出しと共に使用する文字特殊ファイル	XTIよびだしとともにしようするもじとくしゅふぁいる	character special file for use with XTI calls				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33105	C		子プロセス	こぷろせす	child process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33106	C		クロック	くろっく	clock				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33107	C		通信提供者	つうしんていきょうしゃ	communication provider				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33108	C		通信終端点	つうしんしゅうたんてん	communications endpoint				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33109	C		通信利用者	つうしんりようしゃ	communications user				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33110	C		呼び出しの完了	よびだしのかんりょう	completion of a call				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33111	C		条件変数	じょうけんへんすう	condition variable				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33112	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33113	C		接続モード	せつぞくもーど	connection mode				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33114	C		非接続モード	ひせつぞくもーど	connectionless mode				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33115	C		制御プロセス	せいぎょぷろせす	controlling process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33116	C		制御端末	せいぎょたんまつ	controlling terminal				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33117	C		現在作業中ディレクトリ	げんざいさぎょうちゅうでぃれくとり	current working directory				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33118	C		データグラム	でーたぐらむ	datagram				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33119	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33120	C		ディレクトリ	でぃれくとり	directory				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33121	C		ディレクトリエントリ(リンク)	でぃれくとりえんとり(りん	directory entry [link]				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33122	C		タイマを解除する	たいまをかいじょする	disarm a timer				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33123	C		ドット	どっと	dot				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33124	C		ドットドット	どっとどっと	dot-dot				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33125	C		有効グループID	ゆうこうぐるーぷID	effective group ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33126	C		有効ユーザID	ゆうこうゆーざID	effective user ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33127	C		空ディレクトリ	からでぃれくとり	empty directory				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33128	C		空文字列(ナル文字列)	からもじれつ(なるもじれ	empty string [null string]				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33129	C		終端点	しゅうたんてん	endpoint				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33130	C		環境タスク	かんきょうたすく	environment task				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33131	C		エポック	えぽっく	Epoch				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33132	C		誤り実行	あやまりじっこう	erroneous execution				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33133	C		タスクのエラーコード	たすくのえらーこーど	error code of a task				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33134	C		イベントマネジメント	いべんとまねじめんと	event management				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33135	C		実行オペレーション群	じっこうおぺれーしょんぐ	Exec family of operations				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33136	C		FIFO特殊ファイル (FIFO)	FIFOとくしゅふぁいる	FIFO special file [FIFO]				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33137	C		ファイル	ふぁいる	file				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33138	C		ファイル記述	ふぁいるきじゅつ	file description				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33139	C		ファイル記述子	ふぁいるきじゅつし	file descriptor				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33140	C		ファイルグループクラス	ふぁいるぐるーぷくらす	file group class				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33141	C		ファイル名	ふぁいるめい	filename				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33142	C		ファイル動作開始点	ふぁいるどうさかいしてん	file offset				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33143	C		ファイル他者クラス	ふぁいるたしゃくらす	file other class				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33144	C		ファイル所有者クラス	ふぁいるしょゆうしゃくらす	file owner class				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33145	C		ファイル許可	ふぁいるきょか	file permission				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33146	C		ファイル通し番号	ふぁいるとおしばんごう	file serial number				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33147	C		ファイルシステム	ふぁいるしすてむ	file system				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33148	C		ファイルの初回オープン	ふぁいるのしょかいおーぷ	first open, of a file				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33149	C		流れ制御	ながれせいぎょ	flow control				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33150	C		フォアグラウンドプロセス	ふぉあぐらうんどぷろせす	foreground process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33151	C		フォアグラウンドプロセスグループ	ふぉあぐらうんどぷろせすぐるーぷ	foreground process group				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33152	C		フォアグラウンドプロセスグループID	ふぉあぐらうんどぷろせすぐるーぷID	foreground process group ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33153	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33154	C		グループID	ぐるーぷID	group ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33155	C		ホストバイト順序	ほすとばいとじゅんじょ	host byte order				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33156	C		ジョブ制御	じょぶせいぎょ	job control				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33157	C		最終クローズ	さいしゅうくろーず	last close				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33158	C		リンガ	りんが	linger				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33159	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33160	C		リンク数	りんくすう	link count				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33161	C		ローカルプロセス間通信 [ローカルIPC]	ろーかるぷろせすかんつうしん[ろーかるIPC]	local interprocess communication [local IPC]				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33162	C		ログイン	ろぐいん	login				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33163	C		ログイン名	ろぐいんめい	login name				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33164	C		アドレスの範囲をマッピングする	あどれすのはんいをまっぴんぐする	map a range of addresses				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33165	C		メモリオブジェクト	めもりおぶじぇくと	memory object				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33166	C		メモリ常駐	めもりじょうちゅう	memory-resident				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33167	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33168	C		メッセージ待ち行列	めっせーじまちぎょうれつ	message queue				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33169	C		メッセージ待ち行列記述子	めっせーじまちぎょうれつきじゅつし	message queue descriptor				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33170	C		モード	もーど	mode				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33171	C		ミューテックス	みゅーてっくす	mutex				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33172	C		ミューテックス所有者	みゅーてっくすしょゆうしゃ	mutex owner				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33173	C		ネットワークアドレス	ねっとわーくあどれす	network address				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33174	C		ネットワークバイト順序	ねっとわーくばいとじゅん	network byte order				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33175	C		非ブロッキング	ひぶろっきんぐ	nonblocking				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33176	C		非正準入力処理	ひせいじゅんにゅうりょくしょり	noncanonical input processing				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33177	C		空文字	からもじ	null character				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33178	C		空文字列	からもじれつ	null string				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33179	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33180	C		オープンファイル	おーぷんふぁいる	open file				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33181	C		オープンファイル記述	おーぷんふぁいるきじゅつ	open file description				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33182	C		正常解放	せいじょうかいほう	orderly release				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33183	C		オーファンプロセスグループ	おーふぁんぷろせすぐるーぷ	orphaned process group				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33184	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33185	C		ページサイズ	ぺーじさいず	page size				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33186	C		親ディレクトリ	おやでぃれくとり	parent directory				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33187	C		親プロセス	おやぷろせす	parent process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33188	C		親プロセスID	おやぷろせすID	parent process ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33189	C		パーティション	ぱーてぃしょん	partition				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33190	C		前付けパス	まえつけぱす	path prefix				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33191	C		パス名	ぱすめい	pathname				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33192	C		パス名要素	ぱすめいようそ	pathname component				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33193	C		許可	きょか	permission				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33194	C		持続	じぞく	persistence				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33195	C		パイプ	ぱいぷ	pipe				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33196	C		ポーリング	ぽーりんぐ	polling				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33197	C		可搬ファイル名文字セット	かはんふぁいるめいもじせっと	portable filename character set				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33198	C		可搬パス名文字セット	かはんぱすめいもじせっと	portable pathname character set				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33199	C		POSIX文字	POSIXもじ	POSIX character				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33200	C		POSIX I/O	POSIX I/O	POSIX I/O				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33201	C		POSIXプロセス	POSIXぷろせす	POSIX process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33202	C		潜在的ブロッキングオペレーション	せんざいてきぶろっきんぐおぺれーしょん	potentially blocking operation				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33203	C		優先度	ゆうせんど	priority				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33204	C		特権	とっけん	privilege				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33205	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33206	C		プロセスグループ	ぷろせすぐるーぷ	process group				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33207	C		プロセスグループID	ぷろせすぐるーぷID	process group ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33208	C		プロセスグループリーダ	ぷろせすぐるーぷりーだ	process group leader				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33209	C		プロセスグループ寿命	ぷろせすぐるーぷじゅみょ	process group lifetime				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33210	C		プロセスID	ぷろせすID	process ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33211	C		プロセス寿命	ぷろせすじゅみょう	process lifetime				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33212	C		プロセス間通信	ぷろせすかんつうしん	process-to-process communication				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33213	C		プログラム	ぷろぐらむ	program				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33214	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33215	C		プロトコル独立インタフェース	ぷろとこるどくりついんたふぇーす	protocol independent interface				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33216	C		プロトコルエンジン	ぷろとこるえんじん	protocol engine				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33217	C		プロトコルイベント	ぷろとこるいべんと	protocol event				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33218	C		プロトコルプロファイル	ぷろとこるぷろふぁいる	protocol profile				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33219	C		読み取り専用ファイルシステム	よみとりせんようふぁいるしすてむ	read-only file system				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33220	C		準備完了タスク	じゅんびかんりょうたすく	ready task				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33221	C		実グループID	じつぐるーぷID	real group ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33222	C		実ユーザID	じつゆーざID	real user ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33223	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33224	C		参照共有メモリオブジェクト	さんしょうきょうゆうめもりおぶじぇくと	referenced shared memory object				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33225	C		領域	りょういき	region				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33226	C		通常ファイル	つうじょうふぁいる	regular file				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33227	C		相対パス名	そうたいぱすめい	relative pathname				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33228	C		予約済み信号	よやくずみしんごう	reserved signal				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33229	C		(最小)時間単位	(さいしょう)じかんたんい	resolution [time]				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33230	C		ルートディレクトリ	るーとでぃれくとり	root directory				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33231	C		実行中タスク	じっこうちゅうたすく	running task				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33232	C		保存セットグループID	ほぞんせっとぐるーぷID	saved set-group-ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33233	C		保存セットユーザID	ほぞんせっとゆーざID	saved set-user-ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33234	C		セマフォ	せまふぉ	semaphore				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33235	C		セマフォ減算	せまふぉげんざん	semaphore decrement operation				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33236	C		セマフォ加算	せまふぉかさん	semaphore increment operation				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33237	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33238	C		セッションリーダ	せっしょんりーだ	session leader				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33239	C		セッション寿命	せっしょんじゅみょう	session lifetime				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33240	C		共有メモリオブジェクト	きょうゆうめもりおぶじぇく	shared memory object				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33241	C		信号	しんごう	signal				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33242	C		信号駆動モード	しんごうくどうもーど	signal-driven mode				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33243	C		信号待ち行列	しんごうまちぎょうれつ	signal queueing				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33244	C		スラッシュ	すらっしゅ	slash				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33245	C		ソケット	そけっと	socket				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33246	C		ソケットアドレス	そけっとあどれす	socket address				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33247	C		記憶装置	きおくそうち	storage unit				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33248	C		転送成功	てんそうせいこう	successfully transferred				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33249	C		補助グループID	ほじょぐるーぷID	supplementary group ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33250	C		同期I/O[AIO]完了	どうきI/O[AIO]かんりょう	synchronized I/O				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33251	C		同期I/O[AIO]データ整合性完了	どうきI/O[AIO]でーたせいごうせいかんりょう	synchronized I/O data integrity completion				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33252	C		同期I/Oファイル整合性完了	どうきI/Oふぁいるせいごうせいかんりょう	synchronized I/O file integrity completion				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33253	C		同期I/Oオペレーション	どうきI/Oおぺれーしょん	synchronized I/O				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33254	C		同期I/Oオペレーション	どうきI/Oおぺれーしょん	synchronous I/O				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33255	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33256	C		システムクラッシュ	しすてむくらっしゅ	system crash				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33257	C		システムプロセス	しすてむぷろせす	system process				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33258	C		システム再起動	しすてむさいきどう	system reboot				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33259	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33260	C		端末[端末装置]	たんまつ[たんまつそうち]	terminal [terminal device]				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33261	C		(接続を)終了する	(せつぞくを)しゅうりょうする	terminate (a connection)				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33262	C		スレッド	すれっど	thread of control				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33263	C		タイムアウト	たいむあうと	timeouts				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33264	C		タイマ	たいま	timer				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33265	C		タイマオーバーラン	たいまおーばーらん	timer overrun				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33266	C		結合解除	けつごうかいじょ	unbind				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33267	C		非ブロックモード(機能)	ひぶろっくもーど(きのう)	unblocked mode (function)				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33268	C		単位データ	たんいでーた	unit data				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33269	C		ユーザID	ゆーざID	user ID				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33270	C		ユーザ名	ゆーざめい	user name				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33271	C		作業中ディレクトリ、カレントディレクトリ	さぎょうちゅうでぃれくとり、かれんとでぃれくとり	working directory [current working directory]				ISO/IEC 14519	2001				2001	SC22
33272	C		クラス	くらす	Class				ISO/IEC 20970	2002				2002	SC22
33273	C		パッケージ	ぱっけーじ	Package				ISO/IEC 20970	2002				2002	SC22
33274	C		バイト符号	ばいとふごう	bytecode				ISO/IEC 20970	2002				2002	SC22
33275	C		セル	せる	cell				ISO/IEC 20970	2002				2002	SC22
33276	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 20970	2002				2002	SC22
33277	C		バンド	ばんど	band				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33278	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33279	C		ケース基準面	けーすきじゅんめん	case reference plane				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33280	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33281	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33282	C		被覆層	ひふくそう	cover layer				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33283	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Code, CRC				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33284	C		データフィールド	でーたふぃーるど	data field				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33285	C		欠陥マネジメント	けっかんまねじめんと	defect management				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33286	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33287	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33288	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code, ECC				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33289	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33290	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33291	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33292	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33293	C		インタリービング	いんたりーびんぐ	interleaving				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33294	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33295	C		ミラーエリア	みらーえりあ	mirror area				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33296	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33297	C		光ディスクカートリッジ、ODC	ひかりでぃすくかーとりっじ、ODC	Optical Disk Cartridge, ODC				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33298	C		相変化	そうへんか	phase change				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33299	C		物理ブロックアドレス、PBA	ぶつりぶろっくあどれす、PBA	Physical Block Address, PBA				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33300	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33301	C		読み出し能力	よみだしのうりょく	read power				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33302	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33303	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	reed-solomon code				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33304	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33305	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33306	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33307	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33308	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33309	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33310	C		使用者領域	しようしゃりょういき	user area				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33311	C		ウォブル	うぉぶる	wobble				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33312	C		書込み禁止ホール	かきこみきんしほーる	write-inhibit hole				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33313	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 11976	2008				2008	SC23
33314	C		アドレス衝突	あどれすしょうとつ	Address collision				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33315	C		エージェント	えーじぇんと	Agent				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33316	C		非同期転送モード、ATM	ひどうきてんそうもーど、ATM	Asychronous transfer mode (ATM)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33317	C		ビッグエンディアン	びっぐえんでぃあん	Big-endian				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33318	C		ブロックフラッシュ	ぶろっくふらっしゅ	Block flush				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33319	C		ブリッジ	ぶりっじ	Bridge				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33320	C		ブロードキャスト	ぶろーどきゃすと	Broadcast				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33321	C		バス基盤スヌーピープロトコル	ばすきばんすぬーぴーぷろとこる	Bus-based snoopy protocol				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33322	C		キャッシュ	きゃっしゅ	Cache				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33323	C		キャッシュコヒーレンス	きゃっしゅこひーれんす	Cache coherence				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33324	C		キャッシュコヒーレント不均等メモリアクセス、CC-NUMA	きゃっしゅこひーれんとふきんとうめもりあくせす、CC-NUMA	Cache coherent-non uniform memory access (CC-NUMA)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33325	C		キャッシュパラドクス	きゃっしゅぱらどくす	Cache paradox				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33326	C		機能レジスタ、CAR	きのうれじすた、CAR	Capability registers				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33327	C		キャストアウト操作	きゃすとあうとそうさ	Castout operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33328	C		コヒーレンスドメイン	こひーれんすどめいん	Coherence domain				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33329	C		コヒーレンスグラニュール	こひーれんすぐらにゅーる	Coherence granule				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33330	C		コマンド及び状態レジスタ(CSR)	こまんどおよびじょうたいれじすた	Command and status registers (CSRs)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33331	C		デッドロック	でっどろっく	Deadlock				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33332	C		あて先	あてさき	Destination				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33333	C		装置	そうち	Device				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33334	C		装置ID	そうちID	Device ID				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33335	C		直接メモリアクセス、DMA	ちょくせつめもりあくせす、DMA	Direct Memory Access (DMA)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33336	C		分散型メモリ	ぶんさんがためもり	Distributed memory				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33337	C		ドメイン	どめいん	Domain				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33338	C		倍長語	ばいちょうご	Double-word				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33339	C		終端点	しゅうたんてん	End point				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33340	C		イーサネット	いーさねっと	Ethernet				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33341	C		排他的	はいたてき	Exclusive				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33342	C		フィールド又はフィールド名	ふぃーるどまたはふぃーるどめい	Field or Field name				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33343	C		フラッシュ操作	ふらっしゅそうさ	Flush operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33344	C		グローバル共有メモリ、GSM	ぐろーばるきょうゆうめもり、GSM	Globally shared memory (GSM)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33345	C		半語	はんご	Half-word				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33346	C		ホームメモリ	ほーむめもり	Home memory				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33347	C		イニシエータ	いにしえーた	Initiator				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33348	C		命令キャッシュ	めいれいきゃっしゅ	Instruction cache				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33349	C		命令キャッシュ無効化操作	めいれいきゃっしゅむこうかそうさ	Instruction cache invalidate operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33350	C		命令読み出し操作	めいれいよみだしそうさ	Instruction read operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33351	C		命令セットアーキテクチャ、ISA	めいれいせっとあーきてくちゃ、ISA	Instruction set architecture (ISA)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33352	C		介入	かいにゅう	Intervention				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33353	C		無効化操作	むこうかそうさ	Invalidate operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33354	C		I/O	I/O	I/O				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33355	C		I/O読み出し操作	I/Oよみだしそうさ	I/O read operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33356	C		リトルエンディアン	りとるえんでぃあん	Little-endian				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33357	C		ローカルメモリ	ろーかるめもり	Local memory				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33358	C		LSB	LSB	LSB				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33359	C		メモリコヒーレンス	めもりこひーれんす	Memory coherence				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33360	C		メモリ制御装置	めもりせいぎょそうち	Memory controller				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33361	C		メモリディレクトリ	めもりでぃれくとり	Memory directory				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33362	C		メッセージパッシング	めっせーじぱっしんぐ	Message passing				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33363	C		修正	しゅうせい	Modified				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33364	C		修正排他共有無効、MESI	しゅうせいはいたきょうゆうむこう、MESI	Modified exclusive shared invalid (MESI)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33365	C		修正共有無効、MSI	しゅうせいきょうゆうむこう、MSI	Modified shared invalid (MSI)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33366	C		修正共有ローカル、MSL	しゅうせいきょうゆうろーかる、MSL	Modified shared local (MSL)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33367	C		MSB	MSB	MSB				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33368	C		マルチキャスト	まるちきゃすと	Multicast				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33369	C		非コヒーレント	ひこひーれんと	Non-coherent				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33370	C		操作	そうさ	Operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33371	C		所有権	しょゆうけん	Ownership				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33372	C		パケット	ぱけっと	Packet				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33373	C		周辺コンポーネントインタフェース、PCI	しゅうへんこんぽーねんといんたふぇーす、PCI	Peripheral component interface (PCI)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33374	C		優先順位	ゆうせんじゅんい	Priority				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33375	C		処理要素、PE	しょりようそ、PE	Processing Element (PE)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33376	C		プロセッサ	ぷろせっさ	Processor				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33377	C		読み出し操作	よみだしそうさ	Read operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33378	C		所有権読み出し操作	しょゆうけんよみだしそうさ	Read-for-ownership operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33379	C		遠隔アクセス	えんかくあくせす	Remote access				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33380	C		遠隔メモリ	えんかくめもり	Remote memory				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33381	C		共有	きょうゆう	Shared				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33382	C		共有マスク	きょうゆうますく	Sharing mask				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33383	C		ソース	そーす	Source				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33384	C		副倍長語	ふくばいちょうご	Sub-double-word				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33385	C		スイッチ	すいっち	Switch				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33386	C		ターゲット	たーげっと	Target				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33387	C		トランザクション	とらんざくしょん	Transaction				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33388	C		変換索引バッファ、TLB	へんかんさくいんばっふぁ、TLB	Translation look-aside buffer (TLB)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33389	C		ライトスルー	らいとするー	Write-through				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33390	C		語	ご	Word				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33391	C		交流結合	こうりゅうけつごう	AC Coupling				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33392	C		エージェント	えーじぇんと	Agent				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33393	C		ANSI	ANSI	ANSI				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33394	C		ビッグエンディアン	びっぐえんでぃあん	Big-endian				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33395	C		ブリッジ	ぶりっじ	Bridge				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33396	C		機能レジスタ、CAR	きのうれじすた、CAR	Capability registers				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33397	C		符号グループ	ふごうぐるーぷ	Code-group				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33398	C		コマンド及び状態レジスタ、CSR	こまんどおよびじょうたいれじすた、CSR	Command and status registers (CSRs)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33399	C		制御記号	せいぎょきごう	Control symbol				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33400	C		CRC	CRC	CRC				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33401	C		デッドロック	でっどろっく	Deadlock				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33402	C		延期又は遅延トランザクション	えんきまたはちえんとらんざくしょん	Deferred or delayed transaction				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33403	C		あて先	あてさき	Destination				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33404	C		装置	そうち	Device				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33405	C		装置ID	そうちID	Device ID				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33406	C		直接メモリアクセス、DMA	ちょくせつめもりあくせす、DMA	Direct Memory Access (DMA)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33407	C		分散型メモリ	ぶんさんがためもり	Distributed memory				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33408	C		倍長語	ばいちょうご	Double word				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33409	C		EMI	EMI	EMI				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33410	C		終端点	しゅうたんてん	End point				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33411	C		終端点装置	しゅうたんてんそうち	End point device				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33412	C		無終端点装置	むしゅうたんてんそうち	End point free device				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33413	C		イーサネット	いーさねっと	Ethernet				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33414	C		外部処理要素	がいぶしょりようそ	External processing				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33415	C		ファブリック	ふぁぶりっく	Fabric				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33416	C		フィールド又はフィールド名	ふぃーるどまたはふぃーるどめい	Field or Field name				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33417	C		FIFO	FIFO	FIFO				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33418	C		全二重	ぜんにじゅう	Full-duplex				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33419	C		グローバル共有メモリ、GSM	ぐろーばるきょうゆうめもり、GSM	Globally shared memory (GSM)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33420	C		半語	はんご	Half-word				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33421	C		ヘッダ	へっだ	Header				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33422	C		イニシエータ	いにしえーた	Initiator				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33423	C		I/O	I/O	I/O				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33424	C		IP	IP	IP				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33425	C		ITU	ITU	ITU				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33426	C		リトルエンディアン	りとるえんでぃあん	Little-endian				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33427	C		ローカルメモリ	ろーかるめもり	Local memory				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33428	C		LP	LP	LP				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33429	C		LSB	LSB	LSB				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33430	C		LVDS	LVDS	LVDS				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33431	C		メッセージパッシング	めっせーじぱっしんぐ	Message passing				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33432	C		MSB	MSB	MSB				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33433	C		非コヒーレント	ひこひーれんと	Non-coherent				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33434	C		操作	そうさ	Operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33435	C		パケット	ぱけっと	Packet				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33436	C		ペイロード	ぺいろーど	Payload				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33437	C		PCB	PCB	PCB				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33438	C		PCS	PCS	PCS				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33439	C		PMA	PMA	PMA				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33440	C		ポート書き込み	ぽーとかきこみ	Port-write				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33441	C		優先順位	ゆうせんじゅんい	Priority				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33442	C		処理要素(PE)	しょりようそ(PE)	Processing Element (PE)				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33443	C		プロセッサ	ぷろせっさ	Processor				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33444	C		レシーバ	れしーば	Receiver				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33445	C		センダ	せんだ	Sender				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33446	C		セマフォ	せまふぉ	Semaphore				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33447	C		シリアライザ	しりあらいざ	Serializer				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33448	C		ソース	そーす	Source				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33449	C		SRAM	SRAM	SRAM				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33450	C		スイッチ	すいっち	Switch				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33451	C		ターゲット	たーげっと	Target				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33452	C		トランザクション	とらんざくしょん	Transaction				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33453	C		トランザクション要求フロー	とらんざくしょんようきゅうふろー	Transaction request flow				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33454	C		語	ご	Word				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33455	C		書き込みポート	かきこみぽーと	Write port				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33456	C		劣化閾値	れっかしきいち	Degraded threshold				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33457	C		失敗閾値	しっぱいしきいち	Failed threshold				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33458	C		ホットインサーション、活線挿入	ほっといんさーしょん、かっせんそうにゅう	Hot-insertion				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33459	C		ホットエクストラクション、活線抜去	ほっとえくすとらくしょん、かっせんばっきょ	Hot-extraction				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33460	C		論理/輸送エラー	ろんり/ゆそうえらー	Logical/Transport error				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33461	C		不報告処理要素	ふほうこくしょりようそ	Non-reporting processing element				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33462	C		操作	そうさ	Operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33463	C		所有権	しょゆうけん	Ownership				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33464	C		物理エラー	ぶつりえらー	Physical error				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33465	C		ポートヒーリング	ぽーとひーりんぐ	Port healing				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33466	C		読み出し操作	よみだしそうさ	Read operation				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33467	C		報告処理要素	ほうこくしょりようそ	Reporting processing element				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33468	C		スイッチング処理要素	すいっちんぐしょりようそ	Switch processing				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33469	C		伝送エラー	でんそうえらー	Transmission error				ISO/IEC 18372	2004				2004	SC25
33470	C		認証暗号化	にんしょうあんごうか	authenticated encryption				ISO/IEC 9798-2	2008				2008	SC27
33471	C		暗号文	あんごうぶん	ciphertext				ISO/IEC 9798-2	2008				2008	SC27
33472	C		要求者	ようきゅうしゃ	claimant				ISO/IEC 9798-2	2008				2008	SC27
33473	C		メッセージ認証コード、MAC	めっせーじにんしょうこーど、MAC	message authentication code, MAC				ISO/IEC 9798-2	2008				2008	SC27
33474	C		メッセージ認証コード(MAC)アルゴリズム	めっせーじにんしょうこーど(MAC)あるごりずむ	message authentication code (MAC) algorithm				ISO/IEC 9798-2	2008				2008	SC27
33475	C		タイムスタンプ	たいむすたんぷ	time stamp				ISO/IEC 9798-2	2008				2008	SC27
33476	C		信頼できる第三者機関、TTP	しんらいできるだいさんしゃきかん、TTP	trusted third party, TTP				ISO/IEC 9798-2	2008				2008	SC27
33477	C		参照座標	さんしょうざひょう	reference coordinates				ISO/IEC 24757	2008				2008	SC35
33478	C		全員アクセス、AfA	ぜんいんあくせす、AfA	access for all, AfA				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33479	C		アクセス性	あくせすせい	accessibility				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33480	C		アクセスモード	あくせすもーど	access mode				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33481	C		適応性	てきおうせい	adaptability				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33482	C		適応	てきおう	adaptation				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33483	C		AfAエージェント	AfAえーじぇんと	AfA agent				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33484	C		AfA自動化	AfAじどうか	AfA automaton				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33485	C		支援技術	しえんぎじゅつ	assistive technology				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33486	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33487	C		データセット	でーたせっと	dataset				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33488	C		デジタルリソース、DR	でじたるりそーす、DR	digital resource, DR				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33489	C		デジタルリソース配布	でじたるりそーすはいふ	digital resource delivery				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33490	C		障害	しょうがい	disability				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33491	C		障害	しょうがい	disability				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33492	C		表示、ディスプレイ	ひょうじ、でぃすぷれい	display				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33493	C		表示変換可能性	ひょうじへんかんかのうせい	display transformability				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33494	C		表示変換、DT	ひょうじへんかん、DT	display transformation, DT				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33495	C		eラーニング	eらーにんぐ	e-learning				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33496	C		機能的障害	きのうてきしょうがい	impairment				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33497	C		個人	こじん	individual				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33498	C		個別化アクセス性	こべつかあくせすせい	individualized accessibility				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33499	C		情報技術システム、ITシステム	じょうほうぎじゅつしすてむ、ITしすてむ	information technology system, IT system				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33500	C		知的コンテンツ	ちてきこんてんつ	intellectual content				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33501	C		言語	げんご	language				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33502	C		オフラインラーニング	おふらいんらーにんぐ	off-line learning				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33503	C		有用性	ゆうようせい	usability				ISO/IEC 24751-1	2008				2008	SC36
33504	C		全員アクセス、AfA	ぜんいんあくせす、AfA	access for all, AfA				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33505	C		アクセス性	あくせすせい	accessibility				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33506	C		アクセスモード	あくせすもーど	access mode				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33507	C		適用	てきよう	adaptation				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33508	C		AfA文脈	AfAぶんみゃく	AfA context				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33509	C		AfA文脈的記述	AfAぶんみゃくてききじゅ	AfA contextual description				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33510	C		AfA危険	AfAきけん	AfA hazard				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33511	C		AfA選好	AfAせんこう	AfA preference				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33512	C		AfA選好セット	AfAせんこうせっと	AfA preference set				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33513	C		アプリケーションパラメータ	あぷりけーしょんぱらめー	application parameter				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33514	C		アプリケーション固有	あぷりけーしょんこゆう	application specific				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33515	C		支援技術	しえんぎじゅつ	assistive technology				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33516	C		デジタルリソース、DR	でじたるりそーす、DR	digital resource, DR				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33517	C		障害	しょうがい	disability				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33518	C		障害	しょうがい	disability				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33519	C		表示、ディスプレイ	ひょうじ、でぃすぷれい	display				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33520	C		表示変換可能性	ひょうじへんかんかのうせい	display transformability				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33521	C		表示変換、DT	ひょうじへんかん、DT	display transformation, DT				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33522	C		はん用支援技術構成	はんようしえんぎじゅつこうせい	generic assistive technology configuration				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33523	C		機能的障害	きのうてきしょうがい	impairment				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33524	C		個人	こじん	individual				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33525	C		個別化アクセス性	こべつかあくせすせい	individualized accessibility				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33526	C		情報技術システム、ITシステム	じょうほうぎじゅつしすてむ、ITしすてむ	information technology system, IT system				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33527	C		言語	げんご	language				ISO/IEC 24751-2	2008				2008	SC36
33528	C		全員アクセス、AfA	ぜんいんあくせす、AfA	access for all, AfA				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33529	C		アクセス性	あくせすせい	accessibility				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33530	C		アクセスモード	あくせすもーど	access mode				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33531	C		適応性	てきおうせい	adaptability				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33532	C		適用	てきよう	adaptation				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33533	C		適用範囲	てきようはんい	adaptation coverage				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33534	C		適用型	てきようかた	adaptation type				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33535	C		AfA制御柔軟性	AfAせいぎょじゅうなんせ	AfA control flexibility				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33536	C		AfA危険	AfAきけん	AfA hazard				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33537	C		支援技術	しえんぎじゅつ	assistive technology				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33538	C		デジタルリソース、DR	でじたるりそーす、DR	digital resource, DR				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33539	C		デジタルリソース構成要素	でじたるりそーすこうせいようそ	digital resource component				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33540	C		デジタルリソース配布	でじたるりそーすはいふ	digital resource delivery				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33541	C		障害	しょうがい	disability				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33542	C		障害	しょうがい	disability				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33543	C		表示、ディスプレイ	ひょうじ、でぃすぷれい	display				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33544	C		表示変換可能性	ひょうじへんかんかのうせ	display transformability				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33545	C		表示変換、DT	ひょうじへんかん、DT	display transformation, DT				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33546	C		eラーニング	eらーにんぐ	e-learning				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33547	C		機能的障害	きのうてきしょうがい	impairment				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33548	C		個人	こじん	individual				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33549	C		情報技術システム、ITシステム	じょうほうぎじゅつしすてむ、ITしすてむ	information technology system, IT system				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33550	C		知的コンテンツ	ちてきこんてんつ	intellectual content				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33551	C		言語	げんご	language				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33552	C		オリジナルアクセスモード	おりじなるあくせすもーど	original access mode				ISO/IEC 24751-3	2008				2008	SC36
33553	C		DSRLマップ	DSRLまっぷ	DSRL map				ISO/IEC 19757-8	2008				2008	SC34
33554	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 19757-8	2008				2008	SC34
33555	C		実体ノード	じったいのーど	entity node				ISO/IEC 19757-8	2008				2008	SC34
33556	C		IRI	IRI	IRI				ISO/IEC 19757-8	2008				2008	SC34
33557	C		SGML	SGML	SGML				ISO/IEC 19757-8	2008				2008	SC34
33558	C		DSDL-9を扱えるパーサ	DSDL-9をあつかえるぱーさ	DSDL-9-aware parser				ISO/IEC 19757-9	2008				2008	SC34
33559	C		外部宣言サブセット	がいぶせんげんさぶせっ	external declarations				ISO/IEC 19757-9	2008				2008	SC34
33560	C		古いパーサ	ふるいぱーさ	legacy parser				ISO/IEC 19757-9	2008				2008	SC34
33561	C		名前空間IRI	なまえくうかんIRI	namespace IRI				ISO/IEC 19757-9	2008				2008	SC34
33562	C		修飾されたデータ型名	しゅうしょくされたでーたかためい	qualified datatype name				ISO/IEC 19757-9	2008				2008	SC34
33563	C		修飾されてないデータ型名	しゅうしょくされてないでーたかためい	unqualified datatype name				ISO/IEC 19757-9	2008				2008	SC34
33564	C		文書レンダリングシステム	ぶんしょれんだりんぐしすてむ	document rendering system				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33565	C		レンダリング	れんだりんぐ	rendering				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33566	C		機能	きのう	feature				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33567	C		ページ媒体	ぺーじばいたい	paged media				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33568	C		区域	くいき	region				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33569	C		領域	りょういき	area				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33570	C		ヘッダ	へっだ	header				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33571	C		フッタ	ふった	footer				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33572	C		操作者	そうさしゃ	operator				ISO/IEC 24754	2008				2008	SC34
33573	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33574	C		振る舞い	ふるまい	behavior				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33575	C		実行時定義振る舞い	じっこうじていぎふるまい	behavior, implementation-defined				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33576	C		ロケール固有振る舞い	ろけーるこゆうふるまい	behavior, locale-specific				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33577	C		未規定振る舞い	みきていふるまい	behavior, unspecified				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33578	C		コメント	こめんと	comment				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33579	C		コンシューマ	こんしゅーま	consumer				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33580	C		コンテンツタイプ	こんてんつたいぷ	content type				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33581	C		文書カテゴリ	ぶんしょかてごり	document category				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33582	C		ドローイングML	どろーいんぐML	DrawingML				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33583	C		拡張	かくちょう	extension				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33584	C		Office Open XML文書	Office Open XMLぶんしょ	Office Open XML				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33585	C		パッケージ	ぱっけーじ	package				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33586	C		パッケージ、埋め込み	ぱっけーじ、うめこみ	package, embedded				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33587	C		プレゼンテーションML	ぷれぜんてーしょんML	PresentationML				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33588	C		プロデューサ	ぷろでゅーさ	producer				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33589	C		関係	かんけい	relationship				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33590	C		関係パーツ	かんけいぱーつ	relationships part				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33591	C		明示的関係	めいじてきかんけい	relationship, explicit				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33592	C		暗黙の関係	あんもくのかんけい	relationship, implicit				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33593	C		表計算ML	ひょうけいさんML	SpreadsheetML				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33594	C		ワードプロセッシングML	わーどぷろせっしんぐML	WordprocessingML				ISO/IEC 29500-1	2008				2008	SC34
33595	C		アクセススタイル	あくせすすたいる	access style				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33596	C		振る舞い	ふるまい	behavior				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33597	C		実行時定義振る舞い	じっこうじていぎふるまい	behavior, implementation-defined				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33598	C		未規定振る舞い	みきていふるまい	behavior, unspecified				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33599	C		通信スタイル	つうしんすたいる	communication style				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33600	C		コンシューマ	こんしゅーま	consumer				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33601	C		コンテンツタイプ	こんてんつたいぷ	content type				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33602	C		コンテンツタイプストリーム	こんてんつたいぷすとりー	Content Types stream				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33603	C		デバイス	でばいす	device				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33604	C		フォーマットコンシューマ	ふぉーまっとこんしゅーま	format consumer				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33605	C		フォーマットデザイナ	ふぉーまっとでざいな	format designer				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33606	C		フォーマットプロデューサ	ふぉーまっとぷろでゅーさ	format producer				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33607	C		成長ヒント	せいちょうひんと	growth hint				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33608	C		交互的順序付け	こうごてきじゅんじょづけ	interleaved ordering				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33609	C		レイアウトスタイル	れいあうとすたいる	layout style				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33610	C		ローカルアクセス	ろーかるあくせす	local access				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33611	C		論理的項目名	ろんりてきこうもくめい	logical item name				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33612	C		ネットワークアクセス	ねっとわーくあくせす	networked access				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33613	C		パックURI	ぱっくURI	pack URI				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33614	C		パッケージ	ぱっけーじ	package				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33615	C		パッケージインプリメンタ	ぱっけーじいんぷりめんた	package implementer				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33616	C		パッケージモデル	ぱっけーじもでる	package model				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33617	C		パッケージ関係	ぱっけーじかんけい	package relationship				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33618	C		パーツ	ぱーつ	part				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33619	C		パーツ名	ぱーつめい	part name				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33620	C		物理的モデル	ぶつりてきもでる	physical model				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33621	C		物理的パッケージフォーマット	ぶつりてきぱっけーじふぉーまっと	physical package format				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33622	C		素片	そへん	piece				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33623	C		パイプ	ぱいぷ	pipe				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33624	C		プロデューサ	ぷろでゅーさ	producer				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33625	C		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33626	C		関係	かんけい	relationship				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33627	C		関係パーツ	かんけいぱーつ	relationships part				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33628	C		順次配信	じゅんじはいしん	sequential delivery				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33629	C		署名方針	しょめいほうしん	signature policy				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33630	C		単純順序付け	たんじゅんじゅんじょづけ	simple ordering				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33631	C		同時創造消費	どうじそうぞうしょうひ	simultaneous creation and consumption				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33632	C		ストリーム	すとりーむ	stream				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33633	C		ストリーミング消費	すとりーみんぐしょうひ	streaming consumption				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33634	C		ストリーミング創造	すとりーみんぐそうぞう	streaming creation				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33635	C		サムネイル	さむねいる	thumbnail				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33636	C		周知パーツ	しゅうちぱーつ	well-known part				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33637	C		XSD	XSD	XSD				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33638	C		ZIPアーカイブ	ZIPあーかいぶ	ZIP archive				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33639	C		ZIP項目	ZIPこうもく	ZIP item				ISO/IEC 29500-2	2008				2008	SC34
33640	C		代替コンテンツ	だいたいこんてんつ	alternate content				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33641	C		両立性規則属性	りょうりつせいきそくぞくせ	compatibility-rule				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33642	C		無視する	むしする	ignore				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33643	C		マークアップコンシューマ	まーくあっぷこんしゅーま	markup consumer				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33644	C		マークアップ文書	まーくあっぷぶんしょ	markup document				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33645	C		マークアップエディタ	まーくあっぷえでぃた	markup editor				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33646	C		マークアッププリプロセッ	まーくあっぷぷりぷろせっ	markup preprocessor				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33647	C		マークアッププロデューサ	まーくあっぷぷろでゅーさ	markup producer				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33648	C		マークアップ仕様	まーくあっぷしよう	markup specification				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33649	C		無視できる名前空間	むしできるなまえくうかん	namespace, ignorable				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33650	C		理解される名前空間	りかいされるなまえくうか	namespace, understood				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33651	C		保存する	ほぞんする	preserve				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33652	C		修飾属性名	しゅうしょくぞくせいめい	qualified attribute name				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33653	C		修飾要素名	しゅうしょくようそめい	qualified element name				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33654	C		認識する	にんしきする	recognize				ISO/IEC 29500-3	2008				2008	SC34
33655	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33656	C		振る舞い	ふるまい	behavior				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33657	C		実行時定義振る舞い	じっこうじていぎふるまい	behavior, implementation-defined				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33658	C		ロケール固有振る舞い	ろけーるこゆうふるまい	behavior, locale-specific				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33659	C		未規定振る舞い	みきていふるまい	behavior, unspecified				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33660	C		コメント	こめんと	comment				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33661	C		コンシューマ	こんしゅーま	consumer				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33662	C		コンテンツタイプ	こんてんつたいぷ	content type				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33663	C		文書カテゴリ	ぶんしょかてごり	document category				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33664	C		ドローイングML	どろーいんぐML	DrawingML				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33665	C		拡張	かくちょう	extension				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33666	C		Office Open XML文書	Office Open XMLぶんしょ	Office Open XML				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33667	C		パッケージ	ぱっけーじ	package				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33668	C		パッケージ、埋め込み	ぱっけーじ、うめこみ	package, embedded				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33669	C		プレゼンテーションML	ぷれぜんてーしょんML	PresentationML				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33670	C		プロデューサ	ぷろでゅーさ	producer				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33671	C		関係	かんけい	relationship				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33672	C		関係パーツ	かんけいぱーつ	relationships part				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33673	C		明示的関係	めいじてきかんけい	relationship, explicit				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33674	C		黙示的関係	もくじてきかんけい	relationship, implicit				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33675	C		表計算ML	ひょうけいさんML	SpreadsheetML				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33676	C		ワードプロセッシングML	わーどぷろせっしんぐML	WordprocessingML				ISO/IEC 29500-4	2008				2008	SC34
33677	C		5-3 可逆フィルタ(5-3R)	5-3 かぎゃくふぃるた(5-	5-3 reversible filter (5-				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33678	C		9-7 不可逆フィルタ(9-7I)	9-7 ふかぎゃくふぃるた(9-7I)	9-7 irreversible filter (9-7I)				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33679	C		算術コーダ	さんじゅつこーだ	arithmetic coder				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33680	C		ビット面	びっとめん	bit-plane				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33681	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bit stream				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33682	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33683	C		クリーンアップパス	くりーんあっぷぱす	cleanup pass				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33684	C		符号ストリーム	ふごうすとりーむ	codestream				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33685	C		符号ブロック	ふごうぶろっく	code-block				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33686	C		コーダ	こーだ	coder				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33687	C		符号化パス	ふごうかぱす	coding pass				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33688	C		係数	けいすう	coefficient				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33689	C		コンポーネント	こんぽーねんと	component				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33690	C		文脈	ぶんみゃく	context				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33691	C		デコーダ	でこーだ	decoder				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33692	C		復号プロセス	ふくごうぷろせす	decoding process				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33693	C		分解レベル	ぶんかいれべる	decomposition level				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33694	C		離散ウェーブレット変換(DWT)	りさんうぇーぶれっとへんかん(DWT)	discrete wavelet transformation (DWT)				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33695	C		エンコーダ	えんこーだ	encoder				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33696	C		符号化プロセス	ふごうかぷろせす	encoding process				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33697	C		ファイルフォーマット	ふぁいるふぉーまっと	file format				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33698	C		保護ビット	ほごびっと	guard bits				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33699	C		ヘッダ	へっだ	header				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33700	C		画像領域	がぞうりょういき	image area				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33701	C		画像領域オフセット	がぞうりょういきおふせっ	image area offset				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33702	C		不可逆	ふかぎゃく	irreversible				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33703	C		JP2ファイル	JP2ふぁいる	JP2 file				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33704	C		JPEG	じぇいぺぐ	JPEG				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33705	C		JPEG 2000	じぇいぺぐにせん	JPEG 2000				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33706	C		JPXファイル	JPXふぁいる	JPX file				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33707	C		層	そう	layer				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33708	C		無損失	むそんしつ	lossless				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33709	C		損失	そんしつ	lossy				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33710	C		規模改善パス	きぼかいぜんぱす	magnitude refinement				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33711	C		主要ヘッダ	しゅようへっだ	main header				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33712	C		マーカ	まーか	marker				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33713	C		マーカセグメント	まーかせぐめんと	marker segment				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33714	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33715	C		パケットヘッダ	ぱけっとへっだ	packet header				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33716	C		プレシンクト	ぷれしんくと	precinct				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33717	C		精度	せいど	precision				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33718	C		進行	しんこう	progression				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33719	C		量子化	りょうしか	quantization				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33720	C		参照グリッド	さんしょうぐりっど	reference grid				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33721	C		関心領域(ROI)	かんしんりょういき(ROI)	region of interest (ROI)				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33722	C		分解レベル	ぶんかいれべる	resolution level				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33723	C		可逆	かぎゃく	reversible				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33724	C		セグメント化記号	せぐめんとかきごう	segmentation symbol				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33725	C		選択的算術符号化パス	せんたくてきさんじゅつふごうかぱす	selective arithmetic coding bypass				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33726	C		重要性伝搬パス	じゅうようせいでんぱんぱす	significance propagation pass				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33727	C		サブバンド	さぶばんど	sub-band				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33728	C		タイル	たいる	tile				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33729	C		タイルコンポーネント	たいるこんぽーねんと	tile-component				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33730	C		タイルインデックス	たいるいんでっくす	tile index				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33731	C		タイル部	たいるぶ	tile-part				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33732	C		タイル部ヘッダ	たいるぶへっだ	tile-part header				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33733	C		タイル部インデックス	たいるぶいんでっくす	tile-part index				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33734	C		変換	へんかん	transformation				ISO/IEC 15444-13	2008				2008	SC29
33735	C		コンテンツ	こんてんつ	contents				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33736	C		保護	ほご	protection				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33737	C		統治	とうち	governance				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33738	C		表現	ひょうげん	representation				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33739	C		ピア	ぴあ	peer				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33740	C		許諾権表現	きょだくけんひょうげん	license rights expression				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33741	C		原則	げんそく	principal				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33742	C		条件付きで	じょうけんつきで	conditionally				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33743	C		無条件に	むじょうけんに	unconditionally				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33744	C		クリア	くりあ	clear				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33745	C		統治された	とうちされた	governed				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33746	C		保護された	ほごされた	protected				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33747	C		統治されていない	とうちされていない	ungoverned				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33748	C		保護解除	ほごかいじょ	unprotect				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33749	C		保護されていない	ほごされていない	unprotected				ISO/IEC 21000-4	2006				2006	SC29
33750	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 21000-8	2008				2008	SC29
33751	C		参照ソフトウェア	さんしょうそふとうぇあ	reference software				ISO/IEC 21000-8	2008				2008	SC29
33752	C		ユーティリティソフトウェア	ゆーていりてぃそふとうぇ	utility software				ISO/IEC 21000-8	2008				2008	SC29
33753	C		コンテクストプロセッサ	こんてくすとぷろせっさ	context processor				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33754	C		フラグメント、XML文書フラグメント	ふらぐめんと、XMLぶんしょふらぐめんと	fragment, XML document fragment				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33755	C		FRUプロセッサ	FRUぷろせっさ	FRU processor				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33756	C		FRU要求	FRUようきゅう	FRU Request				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33757	C		FRU応答	FRUおうとう	FRU Response				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33758	C		FRU応答プロセッサ	FRUおうとうぷろせっさ	FRU response processor				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33759	C		ナビゲーション	なびげーしょん	Navigation				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33760	C		空FRU応答	からFRUおうとう	null FRU Response				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33761	C		要求ピア	ようきゅうぴあ	requesting peer				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33762	C		応答ピア	おうとうぴあ	responding peer				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33763	C		ソース文書、XMLソース文書	そーすぶんしょ、XMLそーすぶんしょ	source document, XML source document				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33764	C		クエリ	くえり	Query				ISO/IEC 23001-2	2008				2008	SC29
33765	C		補助画像	ほじょがぞう	auxiliary picture				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33766	C		補助ビデオシーケンス	ほじょびでおしーけんす	auxiliary video sequence				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33767	C		ビット深度	びっとしんど	bit depth				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33768	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bitstream				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33769	C		ボトムフィールド	ぼとむふぃーるど	bottom field				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33770	C		できる	できる	can				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33771	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33772	C		クロマ、色差	くろま、しきさ	chroma, adj.				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33773	C		深度	しんど	depth				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33774	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33775	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33776	C		ルーマ、明度	るーま、めいど	luma, adj				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33777	C		視差	しさ	parallax				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33778	C		画像	がぞう	picture				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33779	C		一次画像	いちじがぞう	primary picture				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33780	C		一次ビデオ	いちじびでお	primary video				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33781	C		ローバイトシーケンスペイロード、RBSP	ろーばいとしーけんすぺいろーど、RBSP	raw byte sequence payload, RBSP				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33782	C		予約済み	よやくずみ	reserved				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33783	C		立体画像	りったいがぞう	stereoscopic pictures				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33784	C		しなければならない	しなければならない	shall				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33785	C		することが望ましい	することがのぞましい	should				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33786	C		構文要素	こうぶんようそ	syntax element				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33787	C		トップフィールド	とっぷふぃーるど	top field				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33788	C		ビデオシーケンス	びでおしーけんす	video sequence				ISO/IEC 23002-3	2007				2007	SC29
33789	C		API仕様	APIしよう	API specification				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33790	C		インタフェースセット	いんたふぇーすせっと	interface suite				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33791	C		論理コンポーネント	ろんりこんぽーねんと	logical component				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33792	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33793	C		役割インスタンス	やくわりいんすたんす	role instance				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33794	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33795	C		署名	しょめい	signature				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33796	C		仕様アイテム	しようあいてむ	specification item				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33797	C		限定子	げんていし	qualifier				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33798	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33799	C		実行制約	じっこうせいやく	execution constraint				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33800	C		モデル型	もでるかた	model type				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33801	C		モデル定数	もでるていすう	model constant				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33802	C		列挙要素型	れっきょようそかた	enum element type				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33803	C		列挙セット型	れっきょせっとかた	enum set type				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33804	C		セット型	せっとかた	set type				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33805	C		マップ型	まっぷかた	map type				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33806	C		実体型	じったいかた	entity type				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33807	C		インタフェース役割モデル	いんたふぇーすやくわりもでる	interface-role model				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33808	C		論理コンポーネントインスタンス	ろんりこんぽーねんといんすたんす	logical component instance				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33809	C		提供インタフェース	ていきょういんたふぇーす	provides interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33810	C		要求インタフェース	ようきゅういんたふぇーす	requires interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33811	C		専門	せんもん	specialization				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33812	C		多様性	たようせい	diversity				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33813	C		必す(須)インタフェース	ひっすいんたふぇーす	mandatory interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33814	C		任意インタフェース	にんいいんたふぇーす	optional interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33815	C		設定可能アイテム	せっていかのうあいてむ	configurable item				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33816	C		多様性属性	たようせいぞくせい	diversity attribute				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33817	C		インスタンス化	いんすたんすか	instantiation				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33818	C		初期状態	しょきじょうたい	initial state				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33819	C		観測可能行動	かんそくかのうこうどう	observable behavior				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33820	C		機能的行動	きのうてきこうどう	function behavior				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33821	C		ストリーミング行動	すとりーみんぐこうどう	streaming behavior				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33822	C		アクティブ行動	あくてぃぶこうどう	active behavior				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33823	C		インスタンス化行動	いんすたんすかこうどう	instantiation behavior				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33824	C		独立属性	どくりつぞくせい	independent attribute				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33825	C		依存属性	いぞんぞくせい	dependent attribute				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33826	C		不変	ふへん	invariant				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33827	C		コールバックインタフェース	こーるばっくいんたふぇーす	callback interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33828	C		コールバックコンプライアンス	こーるばっくこんぷらいあんす	callback-compliance				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33829	C		イベント通知	いべんとつうち	event notification				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33830	C		イベント購読	いべんとこうどく	event subscription				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33831	C		クッキー	くっきー	cookie				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33832	C		イベント動作表	いべんとどうさひょう	event-action table				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33833	C		非標準イベント通知	ひひょうじゅんいべんとつうち	non-standard event notification				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33834	C		クライアント役割	くらいあんとやくわり	client role				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33835	C		動作主役割	どうさしゅやくわり	actor role				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33836	C		制御インタフェース	せいぎょいんたふぇーす	control interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33837	C		通知インタフェース	つうちいんたふぇーす	notification interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33838	C		特化インタフェース	とっかいんたふぇーす	specialized interface				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33839	C		前提条件	ぜんていじょうけん	precondition				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33840	C		アクション節	あくしょんせつ	action clause				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33841	C		アウトコール	あうとこーる	out-call				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33842	C		事後条件	じごじょうけん	postcondition				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33843	C		非同期関数	ひどうきかんすう	asynchronous function				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33844	C		アプライアンス	あぷらいあんす	appliance				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33845	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33846	C		コンポーネント	こんぽーねんと	component				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33847	C		コンポーネントモデル	こんぽーねんともでる	component model				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33848	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33849	C		実行可能コンポーネント	じっこうかのうこんぽーねんと	executable component				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33850	C		M3Wシステム	M3Wしすてむ	M3W system				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33851	C		動作中	どうさちゅう	operational				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33852	C		プラットフォーム	ぷらっとふぉーむ	platform				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33853	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 23004-5	2008				2008	SC29
33854	C		API仕様	APIしよう	API specification				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33855	C		インタフェースセット	いんたふぇーすせっと	interface suite				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33856	C		論理コンポーネント	ろんりこんぽーねんと	logical component				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33857	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33858	C		役割インスタンス	やくわりいんすたんす	role instance				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33859	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33860	C		署名	しょめい	signature				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33861	C		仕様アイテム	しようあいてむ	specification item				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33862	C		限定子	げんていし	qualifier				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33863	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33864	C		実行制約	じっこうせいやく	execution constraint				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33865	C		モデル型	もでるかた	model type				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33866	C		モデル定数	もでるていすう	model constant				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33867	C		列挙要素型	れっきょようそかた	enum element type				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33868	C		列挙セット型	れっきょせっとかた	enum set type				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33869	C		セット型	せっとかた	set type				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33870	C		マップ型	まっぷかた	map type				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33871	C		実体型	じったいかた	entity type				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33872	C		インタフェース役割モデル	いんたふぇーすやくわりもでる	interface-role model				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33873	C		論理コンポーネントインスタンス	ろんりこんぽーねんといんすたんす	logical component instance				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33874	C		提供インタフェース	ていきょういんたふぇーす	provides interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33875	C		要求インタフェース	ようきゅういんたふぇーす	requires interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33876	C		特化	とっか	specialization				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33877	C		多様性	たようせい	diversity				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33878	C		必す(須)インタフェース	ひっすいんたふぇーす	mandatory interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33879	C		任意インタフェース	にんいいんたふぇーす	optional interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33880	C		設定可能アイテム	せっていかのうあいてむ	configurable item				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33881	C		多様性属性	たようせいぞくせい	diversity attribute				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33882	C		インスタンス化	いんすたんすか	instantiation				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33883	C		初期状態	しょきじょうたい	initial state				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33884	C		観測可能行動	かんそくかのうこうどう	observable behavior				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33885	C		機能的行動	きのうてきこうどう	function behavior				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33886	C		ストリーミング行動	すとりーみんぐこうどう	streaming behavior				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33887	C		アクティブ行動	あくていぶこうどう	active behavior				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33888	C		インスタンス化行動	いんすたんすかこうどう	instantiation behavior				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33889	C		独立属性	どくりつぞくせい	independent attribute				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33890	C		依存属性	いぞんぞくせい	dependent attribute				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33891	C		不変	ふへん	invariant				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33892	C		コールバックインタフェー	こーるばっくいんたふぇー	callback interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33893	C		コールバックコンプライアンス	こーるばっくこんぷらいあんす	callback-compliance				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33894	C		イベント通知	いべんとつうち	event notification				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33895	C		イベント加入	いべんとかにゅう	event subscription				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33896	C		クッキー	くっきー	cookie				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33897	C		イベント動作表	いべんとどうさひょう	event-action table				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33898	C		非標準イベント通知	ひひょうじゅんいべんとつうち	non-standard event notification				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33899	C		クライアント役割	くらいあんとやくわり	client role				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33900	C		動作主役割	どうさしゅやくわり	actor role				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33901	C		制御インタフェース	せいぎょいんたふぇーす	control interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33902	C		通知インタフェース	つうちいんたふぇーす	notification interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33903	C		特化インタフェース	とっかいんたふぇーす	specialized interface				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33904	C		前提条件	ぜんていじょうけん	precondition				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33905	C		アクション節	あくしょんせつ	action clause				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33906	C		アウトコール	あうとこーる	out-call				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33907	C		事後条件	じごじょうけん	postcondition				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33908	C		非同期関数	ひどうきかんすう	asynchronous function				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33909	C		アプリケーション層	あぷりけーしょんそう	application layer				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33910	C		ミドルウェア層	みどるうぇあそう	middleware layer				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33911	C		プラットフォーム層	ぷらっとふぉーむそう	platform layer				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33912	C		エラー	えらー	error				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33913	C		不具合	ふぐあい	failure				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33914	C		故障	こしょう	fault				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33915	C		モニタリング	もにたりんぐ	monitoring				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33916	C		診断	しんだん	diagnosis				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33917	C		修理	しゅうり	repair				ISO/IEC 23004-7	2008				2008	SC29
33918	C		コンテンツプロバイダ装置	こんてんつぷろばいだそう	Content Provider Device				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33919	C		装置	そうち	Device				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33920	C		ドメイン管理者	どめいんかんりしゃ	Domain Administrator				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33921	C		ドメイン管理装置	どめいんかんりそうち	Domain Management				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33922	C		IPMPプロセッサ	IPMPぷろせっさ	IPMP Processor				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33923	C		IPMPツール	IPMPつーる	IPMP Tool				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33924	C		IPMPツールエージェント	IPMPつーるえーじぇんと	IPMP Tool Agent				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33925	C		IPMPツールボディ	IPMPつーるぼでぃ	IPMP Tool Body				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33926	C		IPMPツールグループ	IPMPつーるぐるーぷ	IPMP Tool Group				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33927	C		IPMPツールパック	IPMPつーるぱっく	IPMP Tool Pack				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33928	C		IPMPツールプロバイダ装置	IPMPつーるぷろばいだそうち	IPMP Tool Provider Device				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33929	C		ライセンスプロバイダ装置	らいせんすぷろばいだそう	Licence Provider Device				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33930	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 29116-1	2008				2008	SC29
33931	C		ボックス	ぼっくす	box	ユニークタイプとレングスで識別されるオブジェクト指向データブロック			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33932	C		チャンク	ちゃんく	chunk	1トラック中の連続するサンプルの組			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33933	C		コンテナボックス	こんてなぼっくす	container box	関連する複数のボックスをまとめたボックス			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33934	C		ヒントトラック	ひんととらっく	hint track	メディアデータを含まない特殊なトラック。1またはそれ以上のトラックをストリーミング伝送路に出力する方法を記述			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33935	C		ヒンタ	ひんた	hinter	メディアデータを含むトラックにヒントトラックを追加するためのツール			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33936	C		ムービーボックス	むーびーぼっくす	movie box	提示のためのメタデータを含むコンテナボックス			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33937	C		メディアデータボックス	めでぃあでーたぼっくす	media data box	提示する、メディアデータを含むボックス			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33938	C		ISOベースメディアファイル	ISOべーすめでぃあふぁいる	ISO Base Media File	ISO/IEC 14496-12 で規定するファイルフォーマット			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33939	C		提示	ていじ	presentation	1つまたは複数の動画とオーディオのシーケンス			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33940	C		サンプル	さんぷる	sample	ヒントトラック以外でのトラックにおいて、1つまたはデコード順で複数のビデオフレーム、デコード順で圧縮オーディオセクション。ヒントトラックでは、1つまたは複数のストリーミングパケットの構成。1つのトラック内では、異なるサンプルは同じタイムスタンプを取って			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33941	C		サンプル記述	さんぷるきじゅつ	sample description	トラック中のサンプルの構成を記述			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33942	C		トラック	とらっく	track	ISOベースメディアファイル中で、関連するサンプルの集まり。メディアデータ中では、ビデオまたはオーディオシーケンスに相当。ヒントトラックでは、ストリーミングチャンネルに相			ISO/IEC 14496-12	2008				2008	SC29
33943	C		アクセス単位	あくせすたんい	access unit				ISO/IEC 14496-20	2008				2008	SC29
33944	C		メディアタイムライン	めでぃあたいむらいん	media time line				ISO/IEC 14496-20	2008				2008	SC29
33945	C		通常再生時間	つうじょうさいせいじかん	normal play time				ISO/IEC 14496-20	2008				2008	SC29
33946	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 14496-20	2008				2008	SC29
33947	C		シーンセグメント	しーんせぐめんと	scene segment				ISO/IEC 14496-20	2008				2008	SC29
33948	C		シーンタイムライン	しーんたいむらいん	scene time line				ISO/IEC 14496-20	2008				2008	SC29
33949	C		待機ツリー	たいきつりー	waiting tree				ISO/IEC 14496-20	2008				2008	SC29
33950	C		3Dビットブロック	3Dびっとぶろっく	3D bit-block				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33951	C		3D符号ブロック	3Dふごうぶろっく	3D code-block				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
33952	C		3D符号ブロック走査	3Dふごうぶろっくそうさ	3D code-block scan				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33953	C		構成要素	こうせいようそ	component				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33954	C		適合リーダ	てきごうりーだ	conforming reader				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33955	C		分解レベル	ぶんかいれべる	decomposition level				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33956	C		[H|L|X][H|L|X][H|L|X]サブバンド	[H|L|X][H|L|X][H|L|X]さぶばんど	[H|L|X][H|L|X][H|L|X] sub-band				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33957	C		画像	がぞう	image				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33958	C		画像領域オフセット	がぞうりょういきおふせっ	image area offset				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33959	C		中間構成要素	ちゅうかんこうせいようそ	intermediate component				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33960	C		ラスタ順序	らすたじゅんじょ	raster order				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33961	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33962	C		分解能レベル	ぶんかいのうれべる	resolution level				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33963	C		サンプル	さんぷる	sample				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33964	C		スライス	すらいす	slice				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33965	C		空間的座標	くうかんてきざひょう	spatial coordinates				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33966	C		サブバンド	さぶばんど	sub-band				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33967	C		サブバンド順序	さぶばんどじゅんじょ	sub-band order				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33968	C		タイル	たいる	tile				ISO/IEC 15444-10	2008				2008	SC29
33969	C		ボックス	ぼっくす	box				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33970	C		チャンク	ちゃんく	chunk				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33971	C		コンテナボックス	こんてなぼっくす	container box				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33972	C		ヒントトラック	ひんととらっく	hint track				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33973	C		ヒンタ	ひんた	hinter				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33974	C		ムービーボックス	むーびーぼっくす	movie box				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33975	C		メディアデータボックス	めでぃあでーたぼっくす	media data box				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33976	C		ISOベースメディアファイル	ISOべーすめでぃあふぁい	ISO Base Media File				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33977	C		提示	ていじ	presentation				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33978	C		サンプル	さんぷる	sample				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33979	C		サンプル記述	さんぷるきじゅつ	sample description				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33980	C		サンプル表	さんぷるひょう	sample table				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33981	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 15444-12	2008				2008	SC29
33982	C		コンテンツ	こんてんつ	content				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33983	C		評価アイテム	ひょうかあいてむ	evaluation item, EI				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33984	C		入力クエリーフォーマット	にゅうりょくくえりーふぉーまっと	input query format				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33985	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33986	C		マルチメディアコンテンツ	まるちめでぃあこんてんつ	multimedia content				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33987	C		マルチメディアリソース	まるちめでぃありそーす	multimedia resource				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33988	C		出力クエリーフォーマット	しゅつりょくくえりーふぉーまっと	output query format				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33989	C		クエリーマネジメントツー	くえりーまねじめんとつー	query management tools				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33990	C		セグメント	せぐめんと	segment				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33991	C		Xパスアイテム	Xぱすあいてむ	XPath-item				ISO/IEC 15938-12	2008				2008	SC29
33992	C		コンテンツ供給デバイス	こんてんつきょうきゅうでばいす	content provider device				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
33993	C		デバイス	でばいす	device				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
33994	C		ドメイン管理デバイス	どめいんかんりでばいす	domain management				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
33995	C		IPMPプロセッサ	IPMPぷろせっさ	IPMP processor				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
33996	C		IPMPツール	IPMPつーる	IPMP tool				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
33997	C		IPMPツールエージェント	IPMPつーるえーじぇんと	IPMP tool agent				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
33998	C		IPMPツール本体	IPMPつーるほんたい	IPMP Tool Body				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
33999	C		IPMPツールグループ	IPMPつーるぐるーぷ	IPMP tool group				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
34000	C		IPMPツールパック	IPMPつーるぱっく	IPMP Tool Pack				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
34001	C		IPMPツール供給デバイス	IPMPつーるきょうきゅうでばいす	IPMP tool provider device				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
34002	C		ライセンス供給デバイス	らいせんすきょうきゅうでばいす	license provider device				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
34003	C		メディアストリーミングデバイス	めでぃあすとりーみんぐでばいす	media streaming device				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
34004	C		メディアストリーミングプレーヤ	めでぃあすとりーみんぐぷれーや	media streaming player				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
34005	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 23000-5	2008				2008	SC29
34006	C		メニューシーン記述	めにゅーしーんきじゅつ	menu scene description				ISO/IEC 23000-8	2008				2008	SC29
34007	C		デジタルマルチメディア放送	でじたるまるちめでぃあほうそう	digital multimedia broadcasting				ISO/IEC 23000-9	2008				2008	SC29
34008	C		デバイス	でばいす	device				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34009	C		IPMPプロセッサ	IPMPぷろせっさ	IPMP Processor				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34010	C		IPMPツール	IPMPつーる	IPMP Tool				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34011	C		IPMPツールエージェント	IPMPつーるえーじぇんと	IPMP Tool Agent				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34012	C		IPMPツール本体	IPMPつーるほんたい	IPMP Tool Body				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34013	C		IPMPツールグループ	IPMPつーるぐるーぷ	IPMP Tool Group				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34014	C		IPMPツールパック	IPMPつーるぱっく	IPMP Tool Pack				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34015	C		IPMPツール供給デバイス	IPMPつーるきょうきゅうでばいす	IPMP Tool Provider Device				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34016	C		リソースプロセッサ	りそーすぷろせっさ	Resource Processor				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34017	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 23001-3	2008				2008	SC29
34018	C		アクティブ化	あくていぶか	Activate				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34019	C		アプリケーションプログラミングインタフェース (API)	あぷりけーしょんぷろぐらみんぐいんたふぇーす	application programming interface (API)				ISO/IEC 14165-521	2009				2009	SC25
34020	C		非同期機能呼び出し	ひどうききのうよびだし	asynchronous function call				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34021	C		バックエンド	ばっくえんど	Back-end				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34022	C		BI	BI	BI				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34023	C		BIT	BIT	BIT				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34024	C		BITL	BITL	BITL				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34025	C		BITLセット	BITLせっと	BITLSet				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34026	C		連結	れんけつ	Concatenation				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34027	C		制御パスプロセッサ(CPP)	せいぎょぱすぷろせっさ(CPP)	Control Path Processor (CPP)				ISO/IEC 14165-521	2009				2009	SC25
34028	C		データパスコントローラ	でーたぱすこんとろーら(DPC)	Data Path Controller (DPC)				ISO/IEC 14165-521	2009				2009	SC25
34029	C		ドレイン	どれいん	Drain				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34030	C		FAIS API	FAIS API	FAIS API				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34031	C		FAIS クライアント	FAIS くらいあんと	FAIS Client				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34032	C		FAIS プラットフォーム	FAIS ぷらっとふぉーむ	FAIS Platform				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34033	C		FAISポータル	FAISぽーたる	FAIS Portal				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34034	C		FAISプロバイダ	FAISぷろばいだ	FAIS Provider				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34035	C		FAIS 領域	FAIS りょういき	FAIS Region				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34036	C		FAIS SCSI ぽーと	FAIS SCSI ぽーと	FAIS SCSI Port				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34037	C		フォールト	ふぉーると	Fault				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34038	C		FIT	FIT	FIT				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34039	C		FITL	FITL	FITL				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34040	C		フォワード	ふぉわーど	Forward				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34041	C		フロントエンド	ふろんとえんど	Front-end				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34042	C		FT	FT	FT				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34043	C		I T Lネクサス	I T Lねくさす	I T L Nexus				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34044	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	Logical Block				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34045	C		論理ブロックアドレス(LBA)	ろんりぶろっくあどれす	Logical Block Address				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34046	C		論理ユニット(LU)	ろんりゆにっと(LU)	Logical Unit (LU)				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34047	C		マッピング	まっぴんぐ	Mappings				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34048	C		メタデータ	めたでーた	Metadata				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34049	C		ミラーリング	みらーりんぐ	Mirroring				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34050	C		ネットワークバイト順	ねっとわーくばいとじゅん	network byte order				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34051	C		オフロード	おふろーど	Offload				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34052	C		オペレーション	おぺれーしょん	operation				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34053	C		無活動状態にする	むかつどうじょうたいにす	Quiesce				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34054	C		遠隔SCSIポート	えんかくSCSIぽーと	Remote SCSI Port				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34055	C		レジューム	れじゅーむ	Resume				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34056	C		SCSIポート	SCSIぽーと	SCSI Port				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34057	C		ストライピング	すとらいぴんぐ	Striping				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34058	C		同期機能呼び出し	どうききのうよびだし	synchronous function call				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34059	C		同期ミラーリング	どうきみらーりんぐ	Synchronous Mirroring				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34060	C		タスクマネジメント機能	たすくまねじめんときのう	Task Management				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34061	C		トランスポートプロトコル	とらんすぽーとぷろとこる	Transport Protocol				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34062	C		UTF-8	UTF-8	UTF-8				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34063	C		VDEV	VDEV	VDEV				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
34064	C		アーキテクチャ	あーきてくちゃ	architecture				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34065	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34066	C		権限付与	けんげんふよ	authorization				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34067	C		通信障害	つうしんしょうがい	disturbed communication				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34068	C		機能的安全性	きのうてきあんぜんせい	functional safety				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34069	C		ハミング距離	はみんぐきょり	hamming distance				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34070	C		危害	きがい	harm				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34071	C		危険	きけん	hazard				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34072	C		危険事象	きけんじしょう	hazardous event				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34073	C		住宅及びビルの電子システム、HBES	じゅうたくおよびびるのでんししすてむ、HBES	home and building electronic systems, HBES				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34074	C		HBES製品	HBESせいひん	HBES product				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34075	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34076	C		製品ドキュメンテーション	せいひんどきゅめんてーしょん	product documentation				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34077	C		安全性関連システム	あんぜんせいかんれんしすてむ	safety related system				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34078	C		リスク	りすく	risk				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34079	C		合理的に予見可能な誤用	ごうりてきによけんかのうなごよう	reasonably foreseeable misuse				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34080	C		安全性機能	あんぜんせいきのう	safety function				ISO/IEC 14762	2009				2009	SC25
34081	C		AV機器、娯楽家電	AVきき、ごらくかでん	brown goods				ISO/IEC 24767-1	2008				2008	SC25
34082	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 24767-1	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34083	C		データ認証	でーたにんしょう	data authentication				ISO/IEC 24767-1	2008				2008	SC25
34084	C		データ整合性	でーたせいごうせい	data integrity				ISO/IEC 24767-1	2008				2008	SC25
34085	C		使用者認証	しようしゃにんしょう	user authentication				ISO/IEC 24767-1	2008				2008	SC25
34086	C		白物家電、生活家電	しろものかでん、せいかつかでん	white goods				ISO/IEC 24767-1	2008				2008	SC25
34087	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34088	C		データ認証	でーたにんしょう	data authentication				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34089	C		データ整合性	でーたせいごうせい	data integrity				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34090	C		かぎ設定ノード	かぎせっていのーど	key setting node				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34091	C		MACアドレス	MACあどれす	MAC address				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34092	C		メッセージフレーム	めっせーじふれーむ	message frame				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34093	C		帯域外	たいいきがい	out of band				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34094	C		サービス対応ノード	さーびすたいおうのーど	requested service				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34095	C		サービス要求者	さーびすようきゅうしゃ	service requester				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34096	C		使用者認証	しようしゃにんしょう	user authentication				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34097	C		白物家電、生活家電	しろものかでん、せいかつかでん	white goods				ISO/IEC 24767-2	2009				2009	SC25
34098	C		動作	どうさ	action				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34099	C		引数	ひきすう	argument				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34100	C		制御点	せいぎょてん	control point				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34101	C		デバイス	でばいす	device				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34102	C		デバイス記述	でばいすきじゅつ	device description				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34103	C		デバイスタイプ	でばいすたいぷ	device type				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34104	C		イベント	いべんと	event				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34105	C		GENA	GENA	GENA				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34106	C		パブリッシャ	ぱぶりっしゃ	publisher				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34107	C		ルートデバイス	るーとでばいす	root device				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34108	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34109	C		サービス記述	さーびすきじゅつ	service description				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34110	C		サービスタイプ	さーびすたいぷ	service type				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34111	C		SOAP	SOAP	SOAP				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34112	C		SSDP	SSDP	SSDP				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34113	C		状態変数	じょうたいへんすう	state variable				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34114	C		サブスクライバ	さぶすくらいば	subscriber				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34115	C		UPnPテンプレート	UPnPてんぷれーと	UPnP Device Template				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34116	C		UPnPサービステンプレー	UPnPさーびすてんぷれー	UPnP Service Template				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34117	C		UPnPテンプレート言語	UPnPてんぷれーとげんご	UPnP Template Language				ISO/IEC 29341-1	2008				2008	SC25
34118	C		アクセス領域	あくせすりょういき	Access Domain				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34119	C		アクセス優先順位	あくせすゆうせんじゅんい	Access Priority				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34120	C		ベストエフォート	べすとえふぉーと	Best Effort				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34121	C		ブリッジ	ぶりっじ	Bridge				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34122	C		ハブ	はぶ	Hub				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34123	C		IGD	IGD	IGD				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34124	C		中間デバイス	ちゅうかんでばいす	Intermediate Device				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34125	C		パス	ぱす	Path				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34126	C		パケット優先順位	ぱけっとゆうせんじゅんい	Packet Priority				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34127	C		パラメータ化サービス	ぱらめーたかさーびす	Parameterized Services				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34128	C		ポリシーマネジメント	ぽりしーまねじめんと	Policy Management				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34129	C		優先サービス	ゆうせんさーびす	Prioritized Services				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34130	C		サービスの品質(QoS)	さーびすのひんしつ(QoS)	Quality of Service (QoS)				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34131	C		ルータ	るーた	Router				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34132	C		セグメント	せぐめんと	Segment				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34133	C		シンクデバイス	しんくでばいす	Sink Device				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34134	C		ソースデバイス	そーすでばいす	Source Device				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34135	C		サブネット	さぶねっと	Subnet				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34136	C		トラフィッククラス	とらふぃっくくらす	Traffic Class				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34137	C		トラフィック識別子(TID)	とらふぃっくしきべつし	Traffic Identifier (TID)				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34138	C		トラフィック仕様(TSPEC)	とらふぃっくしよう(TSPEC)	Traffic Specification (TSPEC)				ISO/IEC 29341-10-1	2008				2008	SC25
34139	C		トラフィックストリーム(TS)	とらふぃっくすとりーむ(TS)	Traffic Stream (TS)				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34140	C		アクセス領域	あくせすりょういき	Access Domain				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34141	C		アクセス優先順位	あくせすゆうせんじゅんい	Access Priority				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34142	C		AV制御点	AVせいぎょてん	AV Control Point				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34143	C		ベストエフォート	べすとえふぉーと	Best Effort				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34144	C		ブリッジ	ぶりっじ	Bridge				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34145	C		ハブ	はぶ	Hub				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34146	C		IGD	IGD	IGD				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34147	C		中間デバイス	ちゅうかんでばいす	Intermediate Device				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34148	C		パス	ぱす	Path				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34149	C		パケット優先順位	ぱけっとゆうせんじゅんい	Packet Priority				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34150	C		ポリシーマネジメント	ぽりしーまねじめんと	Policy Management				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34151	C		優先サービス	ゆうせんさーびす	Prioritized Services				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34152	C		サービス品質(QoS)	さーびすひんしつ(QoS)	Quality of Service (QoS)				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34153	C		ルータ	るーた	Router				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34154	C		セグメント	せぐめんと	Segment				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34155	C		シンクデバイス	しんくでばいす	Sink Device				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34156	C		ソースデバイス	そーすでばいす	Source Device				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34157	C		サブネット	さぶねっと	Subnet				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34158	C		トラフィッククラス	とらふぃっくくらす	Traffic Class				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34159	C		トラフィック識別子(TID)	とらふぃっくしきべつし	Traffic Identifier (TID)				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34160	C		トラフィック仕様(TSPEC)	とらふぃっくしよう(TSPEC)	Traffic Specification (TSPEC)				ISO/IEC 29341-11-1	2008				2008	SC25
34161	C		トラフィックストリーム(TS)	とらふぃっくすとりーむ(TS)	Traffic Stream (TS)				ISO/IEC 29341-	2008				2008	SC25
34162	C		メタ言語	めたげんご	metalanguage				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34163	C		アルゴリズム言語	あるごりずむげんご	algorithmic language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34164	C		プログラミング言語	ぷろぐらみんぐげんご	programming language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34165	C		機械語	きかいご	machine language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34166	C		機械用言語、コンピュータ用言語	きかいようげんご、こんぴゅーたようげんご	machine-oriented language, computer-				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34167	C		アセンブリ言語	あせんぶりげんご	assembly language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34168	C		第1世代言語、1GL(略語)	だい1せだいげんご、1GL	first-generation language, 1GL (abbreviation)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34169	C		高級言語、高水準言語	こうきゅうげんご、こうすいじゅんげんご	high-level language, high-order language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34170	C		記号言語	きごうげんご	symbolic language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34171	C		第2世代言語、2GL(略語)	だい2せだいげんご、2GL	second-generation language, 2GL				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34172	C		第3世代言語、3GL(略語)	だい3せだいげんご、3GL	third-generation language, 3GL (abbreviation)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34173	C		第4世代言語、4GL(略語)	だい4せだいげんご、4GL	fourth-generation language, 4GL (abbreviation)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34174	C		拡張可能言語	かくちょうかのうげんご	extensible language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34175	C		代数言語	だいすうげんご	algebraic language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34176	C		問題用言語、アプリケーション用言語	もんだいようげんご、あぷりけーしょんようげんご	problem-oriented language, application-oriented language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34177	C		オブジェクト指向言語	おぶじぇくとしこうげんご	object-oriented language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34178	C		命令型言語	めいれいがたげんご	imperative language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34179	C		手続き型言語、手続き志向言語	てつづきがたげんご、てつづきしこうげんご	procedural language, procedure-oriented				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34180	C		非手続き型言語	ひてつづきがたげんご	nonprocedural language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34181	C		関数型言語	かんすうがたげんご	functional language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34182	C		構造化プログラミング言語	こうぞうかぷろぐらみんぐげんご	structured programming language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34183	C		ブロック構造化言語	ぶろっくこうぞうかげんご	block-structured language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34184	C		汎用言語	はんようげんご	general-purpose language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34185	C		専用言語	せんようげんご	special-purpose language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34186	C		対話型言語、会話型言語	たいわがたげんご、かいわがたげんご	interactive language, conversational language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34187	C		リスト処理言語	りすとしょりげんご	list processing language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34188	C		式言語	しきげんご	expression language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34189	C		テストフォーマット言語	てすとふぉーまっとげんご	text-formatting language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34190	C		構成言語	こうせいげんご	markup language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34191	C		ページ記述言語、PDL(略語)	ぺーじきじゅつげんご、PDL	page description language, PDL (abbreviation)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34192	C		オーサリング言語	おーさりんぐげんご	authoring language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34193	C		マクロ言語(1)	まくろげんご(1)	macrolanguage (1)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34194	C		マクロ言語(2)	まくろげんご(2)	macrolanguage (2)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34195	C		仕様言語	しようげんご	specification language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34196	C		要件仕様言語	ようけんしようげんご	requirement specification language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34197	C		設計言語	せっけいげんご	design language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34198	C		ハードウェア設計言語、HDL(略語)	はーどうぇあせっけいげんご、HDL	hardware design language, HDL (abbreviation)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34199	C		プログラム設計言語	ぷろぐらむせっけいげんご	program design language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34200	C		擬似コード	ぎじこーど	pseudocode				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34201	C		コンパイラ仕様言語	こんぱいらしようげんご	compiler specification language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34202	C		試験言語	しけんげんご	test language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34203	C		構造化プログラミング(1)	こうぞうかぷろぐらみんぐ	structured programming				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34204	C		構造化プログラミング(2)	こうぞうかぷろぐらみんぐ	structured programming				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34205	C		構造化プログラム	こうぞうかぷろぐらむ	structured program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34206	C		構造化設計	こうぞうかせっけい	structured design				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34207	C		段階的自制	だんかいてきじせい	stepwise refinement				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34208	C		ネストさせる	ねすとさせる	to nest				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34209	C		関数型プログラミング	かんすうがたぷろぐらみん	functional programming				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34210	C		モジュール言語	もじゅーるげんご	modular programming				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34211	C		論理言語	ろんりげんご	logic programming				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34212	C		ジャンプ	じゃんぷ	jump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34213	C		ジャンプする	じゃんぷする	to jump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34214	C		インジケータ	いんじけーた	indicator				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34215	C		フラグ	ふらぐ	flag				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34216	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34217	C		作業空間、作業スペース、作業領域、作業域	さぎょうくうかん、さぎょうすぺーす、さぎょうりょういき、さぎょういき	working space, work space, working area, work area				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34218	C		相互排除	そうごはいじょ	mutual exclusion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34219	C		同期化	どうきか	synchronization				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34220	C		ハッシュ法、ハッシュアドレッシング	はっしゅほう、はっしゅあどれっしんぐ	hashing, hash addressing				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34221	C		ハッシュ関数(ハッシュ法)	はっしゅかんすう(はっしゅほう)	hash function (in hashing)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34222	C		ハッシュ値	はっしゅち	hash value				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34223	C		衝突(ハッシュ法)、ハッシュ衝突	しょうとつ(はっしゅほう)、はっしゅしょうとつ	collision (in hashing), hash clash				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34224	C		衝突解決	しょうとつかいけつ	collision resolution (in hashing)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34225	C		共用変数	きょうようへんすう	shared variable				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34226	C		結合する	けつごうする	to bind				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34227	C		結合	けつごう	binding				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34228	C		結合時間	けつごうじかん	binding time				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34229	C		静的結合	せいてきけつごう	static binding				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34230	C		動的結合	どうてきけつごう	dynamic binding				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34231	C		初期結合	しょきけつごう	early binding				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34232	C		遅延結合	ちえんけつごう	late binding				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34233	C		ヒープ	ひーぷ	heap				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34234	C		データフロー	でーたふろー	data flow				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34235	C		反復	はんぷく	iteration				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34236	C		反復段階	はんぷくだんかい	iteration step				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34237	C		ループ	るーぷ	loop				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34238	C		無限ループ、閉ループ	むげんるーぷ、へいるー	infinite loop, closed loop				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34239	C		ループアサーション	るーぷあさーしょん	loop assertion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34240	C		ループ本体	るーぷほんたい	loop body				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34241	C		ループ制御	るーぷせいぎょ	loop control				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34242	C		ループ制御変数、ループパラメータ	るーぷせいぎょへんすう、るーぷぱらめーた	loop-control variable, loop parameter				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34243	C		反復スキーム	はんぷくすきーむ	iteration scheme				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34244	C		固定計数反復	こていけいすうはんぷく	fixed-count iteration				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34245	C		終了試験	しゅうりょうしけん	termination test				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34246	C		継続試験	けいぞくしけん	continuation test				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34247	C		試験前ループ	しけんまえるーぷ	pretest loop				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34248	C		試験後ループ	しけんごるーぷ	posttest loop				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34249	C		試験中ループ	しけんちゅうるーぷ	in-test loop				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34250	C		再帰	さいき	recursion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34251	C		直接再帰の	ちょくせつさいきの	directly recursive				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34252	C		間接再帰の	かんせつさいきの	indirectly recursive				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34253	C		相互再帰	そうごさいき	mutual recursion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34254	C		リエントラント	りえんとらんと	reentrant				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34255	C		プログラマ	ぷろぐらま	programmer				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34256	C		環境	かんきょう	environment				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34257	C		プログラミング環境、プログラミングサポート環境	ぷろぐらみんぐかんきょう、ぷろぐらみんぐさぽーとかんきょう	programming environment, programming support environment				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34258	C		統合プログラミング環境、IPE(略語)	とうごうぷろぐらみんぐかんきょう、IPE	integrated programming environment, IPE (abbreviation)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34259	C		変換する	へんかんする	to translate				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34260	C		変換	へんかん	translation				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34261	C		変換装置、変換プログラム	へんかんそうち、へんかんぷろぐらむ	translator, translation program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34262	C		アセンブルする	あせんぶるする	to assemble				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34263	C		アセンブラ	あせんぶら	assembler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34264	C		絶対アセンブラ	ぜったいあせんぶら	absolute assembler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34265	C		コード(コンピュータ・プログラミング)	こーど(こんぴゅーたぷろぐらみんぐ)	code (in computer programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34266	C		コーディング(コンピュータ・プログラミング)	こーでぃんぐ(こんぴゅーたぷろぐらみんぐ)	coding (in computer programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34267	C		絶対コード	ぜったいこーど	absolute code				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34268	C		アセンブリコード	あせんぶりこーど	assembly code				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34269	C		アセンブル化原点	あせんぶるかげんてん	assembled origin				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34270	C		クロスアセンブラ	くろすあせんぶら	cross-assembler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34271	C		再配置アセンブラ	さいはいちあせんぶら	relocating assembler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34272	C		アセンブル・実行	あせんぶる・じっこう	assemble-and-go				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34273	C		コンパイルする	こんぱいるする	to compile				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34274	C		コンパイラ	こんぱいら	compiler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34275	C		コンパイル	こんぱいる	compilation				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34276	C		コンパイル・ユニット	こんぱいるゆにっと	compilation unit				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34277	C		コンパイラ・コード	こんぱいらこーど	compiler code				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34278	C		コンパイラ・ジェネレータ、コンパイラ・コンパイラ、メタコンパイラ	こんぱいらじぇねれーた、こんぱいらこんぱいら、めたこんぱいら	compiler generator, compiler compiler, metacompiler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34279	C		クロスコンパイラ	くろすこんぱいら	cross-compiler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34280	C		コンパイル・実行	こんぱいる・じっこう	compile-and-go				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34281	C		逆アセンブルする	ぎゃくあせんぶるする	to disassemble				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34282	C		逆コンパイルする	ぎゃくこんぱいるする	to decompile				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34283	C		逆コンパイラ	ぎゃくこんぱいら	decompiler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34284	C		解釈する	かいしゃくする	to interpret				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34285	C		インタープリタ、解釈プログラム	いんたーぷりた、かいしゃくぷろぐらむ	interpreter, interpretive program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34286	C		解釈コード	かいしゃくこーど	interpretive code				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34287	C		マシンコード	ましんこーど	machine code				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34288	C		起点言語	きてんげんご	source language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34289	C		マシン依存の	ましんいぞんの	machine-dependent				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34290	C		マシンに依存しない	ましんにいぞんしない	machine-independent				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34291	C		ソースプログラム	そーすぷろぐらむ	source program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34292	C		ソースコード	そーすこーど	source code				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34293	C		ソースモジュール、コンパイルユニット(この場合非推奨)	そーすもじゅーる、こんぱいるゆにっと	source module, compilation unit (deprecated in this sense)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34294	C		中間言語	ちゅうかんげんご	intermediate language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34295	C		ルートコンパイラ	るーとこんぱいら	root compiler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34296	C		コード生成プログラム	こーどせいせいぷろぐらむ	code generator				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34297	C		ソースコード生成プログラム	そーすこーどせいせいぷろぐらむ	source code generator				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34298	C		解析する	かいせきする	to parse				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34299	C		パーサ	ぱーさ	parser				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34300	C		アプリケーション生成プログラム	あぷりけーしょんせいせいぷろぐらむ	application generator				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34301	C		ソフトウェアツール	そふとうぇあつーる	software tool				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34302	C		目標言語	もくひょうげんご	target language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34303	C		ターゲットマシン(1)	たーげっとましん(1)	target machine (1)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34304	C		ターゲットマシン(2)	たーげっとましん(2)	target machine (2)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34305	C		目標プログラム	もくひょうぷろぐらむ	target program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34306	C		ホスト言語	ほすとげんご	host language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34307	C		ホストマシン(1)	ほすとましん(1)	host machine (1)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34308	C		ホストマシン(2)	ほすとましん(2)	host machine (2)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34309	C		ホストマシン(3)	ほすとましん(3)	host machine (3)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34310	C		対象言語	たいしょうげんご	object language				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34311	C		オブジェクトコード	おぶじぇくとこーど	object code				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34312	C		オブジェクトモジュール	おぶじぇくともじゅーる	object module				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34313	C		オブジェクトプログラム	おぶじぇくとぷろぐらむ	object program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34314	C		変換時間(1)	へんかんじかん(1)	translation time (1)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34315	C		コンパイル時間(1)	こんぱいるじかん(1)	compilation time (1)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34316	C		アセンブリ時間(1)	あせんぶりじかん(1)	assembly time (1)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34317	C		変換期間、変換時間(2)	へんかんきかん、へんかんじかん(2)	translation duration, translation time (2)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34318	C		コンパイル期間、コンパイル時間(2)	こんぱいるきかん、こんぱいるじかん(2)	compilation duration, compilation time (2)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34319	C		アセンブリ期間、アセンブリ時間(2)	あせんぶりきかん、あせんぶりじかん(2)	assembly duration, assembly time (2)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34320	C		翻訳装置命令	ほんやくそうちめいれい	translator directive				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34321	C		アセンブラ命令	あせんぶらめいれい	assembler directive				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34322	C		コンパイラ命令	こんぱいらめいれい	compiler directive				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34323	C		インタープリタ命令	いんたーぷりためいれい	interpreter directive				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34324	C		個別コンパイル、従属コンパイル	こべつこんぱいる、じゅうぞくこんぱいる	separate compilation, dependent compilation				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34325	C		独立コンパイル、個別コンパイル(この場合非推奨)	どくりつこんぱいる、こべつこんぱいる	independent compilation, separate compilation (deprecated in this sense)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34326	C		一般的ユニット	いっぱんてきゆにっと	generic unit				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34327	C		マクロ生成プログラム	まくろせいせいぷろぐらむ	macrogenerator				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34328	C		マクロプロセッサ	まくろぷろせっさ	macroprocessor				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34329	C		マクロプログラミング	まくろぷろぐらみんぐ	macroprogramming				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34330	C		マクロライブラリ	まくろらいぶらり	macro library				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34331	C		マクロアセンブラ	まくろあせんぶら	macroassembler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34332	C		プログラムジェネレータ	ぷろぐらむじぇねれーた	program generator				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34333	C		プリプロセッサ	ぷりぷろせっさ	preprocessor				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34334	C		前処理	まえしょり	preprocessing				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34335	C		言語プリプロセッサ	げんごぷりぷろせっさ	language preprocessor				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34336	C		リンクする	りんくする	to link				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34337	C		リンク、リンケージ	りんく、りんけーじ	link, linkage				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34338	C		リンケージエディタ、リンカ	りんけーじえでぃた、りん	linkage editor, linker				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34339	C		ローダ	ろーだ	loader				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34340	C		ロードする(コンピュータ・プログラミング)	ろーどする(こんぴゅーたぷろぐらみんぐ)	to load (in computer programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34341	C		絶対ローダ	ぜったいろーだ	absolute loader				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34342	C		リンキングローダ	りんきんぐろーだ	linking loader				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34343	C		ロードモジュール	ろーどもじゅーる	load module				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34344	C		ロード・実行	ろーど・じっこう	load-and-go				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34345	C		ロード起点	ろーどきてん	loaded origin				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34346	C		ロードマップ	ろーどまっぷ	load map				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34347	C		再配置する	さいはいちする	to relocate				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34348	C		再配置可能プログラム	さいはいちかのうぷろぐら	relocatable program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34349	C		再配置可能な	さいはいちかのうな	relocatable				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34350	C		再配置ローダ	さいはいちろーだ	relocating loader				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34351	C		再配置辞書	さいはいちじしょ	relocation dictionary				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34352	C		再配置オフセット	さいはいちおふせっと	relocation offset				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34353	C		アドレスオフセット	あどれすおふせっと	address offset				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34354	C		セグメンテーション	せぐめんてーしょん	segmentation				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34355	C		セグメント(コンピュータプログラミング)	せぐめんと(こんぴゅーたぷろぐらみんぐ)	segment (in computer programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34356	C		オーバーレイ・オフセット	おーばーれい・おふせっと	overlay segment				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34357	C		オーバーレイする	おーばーれいする	to overlay				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34358	C		オーバーレイ監視	おーばーれいかんし	overlay supervisor				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34359	C		常駐する(形容詞)	じょうちゅうする(けいよう	resident (adjective)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34360	C		常駐プログラム	じょうちゅうぷろぐらむ	resident program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34361	C		起動記録	きどうきろく	activation record				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34362	C		言語プロセッサ	げんごぷろせっさ	language processor				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34363	C		実行時間、ランタイム	じっこうじかん、らんたい	execution time, run time				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34364	C		実行期間、実行時間、実行時間	じっこうきかん、じっこうじかん、じっこうじかん	execution duration, run duration, running time				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34365	C		経過時間	けいかじかん	elapsed time				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34366	C		プロセッサ時間	ぷろせっさじかん	processor time				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34367	C		実行プロファイル	じっこうぷろふぁいる	execution profile				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34368	C		追跡	ついせき	trace				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34369	C		追跡する	ついせきする	to trace				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34370	C		実行追跡、制御流れ追跡、コード追跡US	じっこうついせき、せいぎょながれついせき、こーどついせきUS	execution trace, control-flow trace, code trace US				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34371	C		遡及追跡	そきゅうついせき	retrospective trace				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34372	C		副プログラム追跡	ふくぷろぐらむついせき	subprogram trace				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34373	C		記号追跡	きごうついせき	symbolic trace				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34374	C		記号実行	きごうじっこう	symbolic execution				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34375	C		可変追跡、データ流れ追跡、データ追跡	かへんついせき、でーたながれついせき、でーたつ	variable trace, data-flow trace, data trace				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34376	C		実行モニタ	じっこうもにた	execution monitor				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34377	C		終了する	しゅうりょうする	to exit				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34378	C		終了点	しゅうりょうてん	exit point				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34379	C		開始点、開始	かいしてん、かいし	entry point, entrance				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34380	C		再開点	さいかいてん	reentry point				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34381	C		切断点	せつだんてん	breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34382	C		セットする(切断点)	せっとする(せつだんてん)	to set (a breakpoint)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34383	C		開始する(切断点)	かいしする(せつだんてん)	to initiate (a breakpoint)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34384	C		コード切断点、制御切断点	こーどせつだんてん、せいぎょせつだんてん	code breakpoint, control breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34385	C		データ切断点	でーたせつだんてん	data breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34386	C		動的切断点	どうてきせつだんてん	dynamic breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34387	C		静的切断点	せいてきせつだんてん	static breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34388	C		プログラム可能切断点	ぷろぐらむかのうせつだんてん	programmable breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34389	C		前置き切断点	まえおきせつだんてん	preamble breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34390	C		後付切断点	あとづけせつだんてん	postamble breakpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34391	C		チェックポイント	ちぇっくぽいんと	checkpoint				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34392	C		再開する	さいかいする	to restart				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34393	C		再開点、再始動点	さいかいてん、さいしどう	restart point, rescue point				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34394	C		回復する	かいふくする	to recover				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34395	C		回復(コンピュータ・プログラミング)	かいふく(こんぴゅーた・ぷろぐらみんぐ)	recovery (in computer programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34396	C		前進回復	ぜんしんかいふく	forward recovery				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34397	C		後退回復	こうたいかいふく	backward recovery				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34398	C		インライン回復	いんらいんかいふく	inline recovery				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34399	C		欠乏	けつぼう	starvation				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34400	C		デッドロック	でっどろっく	deadlock				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34401	C		ロックアウト	ろっくあうと	lockout				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34402	C		ブートストラップ、初期プログラムロード、IPL(略語)	ぶーとすとらっぷ、しょきぷろぐらむろーど、IPL	bootstrap, initial program load, IPL (abbreviation)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34403	C		ブートする	ぶーとする	to bootstrap				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34404	C		ブートストラップ・ローダ	ぶーとすとらっぷ・ろーだ	bootstrap loader				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34405	C		起動する	きどうする	to boot				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34406	C		例外	れいがい	exception				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34407	C		発生する(例外)	はっせいする(れいがい)	to raise (an exception)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34408	C		例外ハンドラ	れいがいはんどら	exception handler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34409	C		扱う(例外)	あつかう(れいがい)	to handle (an exception)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34410	C		伝播する(例外)	でんぱする(れいがい)	to propagate (an				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34411	C		アドレス指定例外	あどれすしていれいがい	addressing exception				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34412	C		データ例外	でーたれいがい	data exception				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34413	C		オペレーション例外	おぺれーしょんれいがい	operation exception				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34414	C		保護例外	ほごれいがい	protection exception				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34415	C		オーバーフロー例外	おーばーふろーれいがい	overflow exception				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34416	C		アンダーフロー例外	あんだーふろーれいがい	underflow exception				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34417	C		デバッグする	でばっぐする	to debug				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34418	C		デバッガ	でばっが	debugger				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34419	C		ダンプ	だんぷ	to dump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34420	C		ダンプ(1)	だんぷ(1)	dump (1)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34421	C		ダンプ(2)、データダンプ	だんぷ(2)、でーただんぷ	dump (2), datadump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34422	C		選択ダンプ	せんたくだんぷ	selective dump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34423	C		変更ダンプ	へんこうだんぷ	change dump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34424	C		事後分析ダンプ	じごぶんせきだんぷ	postmortem dump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34425	C		スナップショットダンプ	すなっぷしょっとだんぷ	snapshot dump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34426	C		メモリダンプ	めもりだんぷ	memory dump				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34427	C		デスク確認	ですくかくにん	desk checking				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34428	C		再生	さいせい	playback				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34429	C		再生	さいせい	replay				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34430	C		単一段階オペレーション、単一段階実行、段階的オペレーション	たんいつだんかいおぺれーしょん、たんいつだんかいじっこう、だんかいてきおぺれーしょん	single-step operation, single-step execution, step-by-step operation				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34431	C		診断プログラム	しんだんぷろぐらむ	diagnostic program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34432	C		追跡プログラム	ついせきぷろぐらむ	trace program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34433	C		オペレーションコードトラップ	おぺれーしょんこーどとらっぷ	operation code trap				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34434	C		確認プログラム	かくにんぷろぐらむ	checking program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34435	C		パッチ	ぱっち	patch				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34436	C		パッチをあてる	ぱっちをあてる	to patch				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34437	C		アサーション	あさーしょん	assertion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34438	C		ループアサーション	るーぷあさーしょん	loop assertion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34439	C		不変条件	ふへんじょうけん	invariant (adjective)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34440	C		ループ不変	るーぷふへん	loop invariant				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34441	C		前提条件	ぜんていじょうけん	precondition				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34442	C		後付条件	あとづけじょうけん	postcondition				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34443	C		正当性証明	せいとうせいしょうめい	correctness proving				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34444	C		正当性の証明	せいとうせいのしょうめい	proof of correctness				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34445	C		形式仕様(コンピュータ・プログラミング)	けいしきしよう(こんぴゅーた・ぷろぐらみんぐ)	formal specification (in computer programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34446	C		部分的正当性	ぶぶんてきせいとうせい	partial correctness				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34447	C		全体的正当性	ぜんたいてきせいとうせい	total correctness				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34448	C		エラー播種、バグ播種、フォールト播種	えらーはしゅ、ばぐはしゅ、ふぉーるとはしゅ	error seeding, bug seeding, fault seeding				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34449	C		固有エラー、固有フォールト	こゆうえらー、こゆうふぉーると	indigenous error, indigenous fault				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34450	C		エラー制御ソフト	えらーせいぎょそふと	error control software				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34451	C		エラー予測	えらーよそく	error prediction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34452	C		回復不能エラー	かいふくふのうえらー	unrecoverable error				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34453	C		マイクロ命令	まいくろめいれい	microinstruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34454	C		マイクロプログラミング	まいくろぷろぐらみんぐ	microprogramming				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34455	C		マイクロプログラム	まいくろぷろぐらむ	microprogram				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34456	C		マイクロコード	まいくろこーど	microcode				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34457	C		マイクロコードアセンブラ	まいくろこーどあせんぶら	microcode assembler				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34458	C		マイクロオペレーション	まいくろおぺれーしょん	microoperation				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34459	C		マイクロプログラム可能コンピュータ	まいくろぷろぐらむかのうこんぴゅーた	microprogrammable computer				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34460	C		命令、命令文(この場合非推奨)	めいれい、めいれいぶん	instruction, statement (deprecated in this sense)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34461	C		マシン命令	ましんめいれい	machine instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34462	C		命令形式	めいれいけいしき	instruction format				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34463	C		命令セット、命令レパートリ	めいれいせっと、めいれいれぱーとり	instruction set, instruction repertoire				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34464	C		命令長さ	めいれいながさ	instruction length				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34465	C		オペレーション部分、オペレーション分野	おぺれーしょんぶぶん、おぺれーしょんぶんや	operation part, operation field				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34466	C		アドレス	あどれす	address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34467	C		アドレス部分	あどれすぶぶん	address part				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34468	C		アドレス形式	あどれすけいしき	address format				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34469	C		命令コード、コンピュータ命令コード、マシンコード(この場合非推奨)	めいれいこーど、こんぴゅーためいれいこーど、ましんこーど	instruction code, computer instruction code, machine code (deprecated in this sense)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34470	C		オペレーションコード、オペコード	おぺれーしょんこーど、おぺこーど	operation code, opcode				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34471	C		0アドレス命令	0あどれすめいれい	zero-address instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34472	C		1アドレス命令、単一アドレス命令	1あどれすめいれい、たんいつあどれすめいれい	one-address instruction, single-address instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34473	C		2アドレス命令	2あどれすめいれい	two-address instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34474	C		3アドレス命令	3あどれすめいれい	three-address instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34475	C		Nアドレス命令	Nあどれすめいれい	N-address instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34476	C		1＋1アドレス命令	1たす1あどれすめいれい	one-plus-one address instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34477	C		暗黙アドレス指定、暗示アドレス指定	あんもくあどれすしてい、あんじあどれすしてい	implicit addressing, implied addressing				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34478	C		1前進アドレス指定	1ぜんしんあどれすしてい	one-ahead addressing				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34479	C		反復アドレス指定	はんぷくあどれすしてい	repetitive addressing				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34480	C		直接命令、即値命令	ちょくせつめいれい、そくちめいれい	direct instruction, immediate instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34481	C		即値オペランド	そくちおぺらんど	immediate operand				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34482	C		即値データ	そくちでーた	immediate data				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34483	C		間接命令	かんせつめいれい	indirect instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34484	C		ノーオペ、ノーオペレーション命令	のーおぺ、のーおぺれーしょんめいれい	no-op, no-operation instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34485	C		特権命令	とっけんめいれい	privileged instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34486	C		飛び越し命令	とびこしめいれい	jump instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34487	C		無条件飛び越し命令	むじょうけんとびこしめいれい	unconditional jump instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34488	C		条件付き飛び越し命令	じょうけんつきとびこしめいれい	conditional jump instruction				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34489	C		呼び出し列	よびだしれつ	calling sequence				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34490	C		アドレス空間	あどれすくうかん	address space				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34491	C		記号アドレス	きごうあどれす	symbolic address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34492	C		直接アドレス	ちょくせつあどれす	direct address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34493	C		基準アドレス	きじゅんあどれす	base address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34494	C		絶対アドレス	ぜったいあどれす	absolute address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34495	C		相対アドレス	そうたいあどれす	relative address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34496	C		間接アドレス、マルチレベルアドレス	かんせつあどれす、まるちれべるあどれす	indirect address, multilevel address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34497	C		再配置可能アドレス	さいはいちかのうあどれす	relocatable address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34498	C		生成アドレス	せいせいあどれす	generated address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34499	C		アドレス変更	あどれすへんこう	address modification				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34500	C		実効アドレス	じっこうあどれす	effective address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34501	C		仮想アドレス	かそうあどれす	virtual address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34502	C		実アドレス	じつあどれす	real address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34503	C		インデックス (プログラミング)	いんでっくす (ぷろぐらみんぐ)	index (in programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34504	C		インデックス付きアドレス	いんでっくすつきあどれす	indexed address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34505	C		自己相対アドレス	じこそうたいあどれす	self-relative address				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34506	C		構造チャート、階層チャート	こうぞうちゃーと、かいそうちゃーと	structure chart, hierarchy chart				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34507	C		呼び出しグラフ、呼び出しツリー	よびだしぐらふ、よびだしつりー	call graph, call tree				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34508	C		制御流れ図、制御流れグラフ	せいぎょながれず、せいぎょながれぐらふ	control flow diagram, control flow graph				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34509	C		箱図表、チェーピン図、ナッシ・シュナイダーマン	はこずひょう、ちぇーぴんず、なっし・しゅないだーまん	box diagram, Chapin chart, Nassi-Shneiderman chart				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34510	C		データフロー図、データフローチャート、データフローグラフ	でーたふろーず、でーたふろーちゃーと、でーたふろーぐらふ	data flow diagram, data flowchart, data flow graph				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34511	C		バブルチャート	ばぶるちゃーと	bubble chart				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34512	C		入力・処理・出力図、IPO図	にゅうりょく・しょり・しゅつりょくず、IPOず	input-process-output chart, IPO chart				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34513	C		状態遷移図、状態図	じょうたいせんいず、じょうたいず	state transition diagram, state diagram				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34514	C		タスク状態	たすくじょうたい	task state				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34515	C		起動(コンピュータ・プログラミング)	きどう(こんぴゅーた・ぷろぐらみんぐ)	activation (in computer programming)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34516	C		精緻化	せいちか	elaboration				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34517	C		実行可能な(修飾語)	じっこうかのうな(しゅうしょくご)	executable (qualifier)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34518	C		ブロック化(修飾語)	ぶろっくか(しゅうしょくご)	blocked (qualifier)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34519	C		準備完了(修飾語)	じゅんびかんりょう(しゅうしょくご)	ready (qualifier)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34520	C		実行中(修飾語)	じっこうちゅう(しゅうしょく	running (qualifier)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34521	C		遅延(修飾語)	ちえん(しゅうしょくご)	delayed (qualifier)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34522	C		完了(修飾語)	かんりょう(しゅうしょくご)	completed (qualifier)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34523	C		終了(修飾語)	しゅうりょう(しゅうしょくご)	terminated (qualifier)				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34524	C		マスタータスク	ますたーたすく	master task				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34525	C		タスク入力	たすくにゅうりょく	task entry				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34526	C		ガード	がーど	guard				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34527	C		開ガード	かいがーど	open guard				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34528	C		閉ガード	へいがーど	closed guard				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34529	C		スレッド	すれっど	thread				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34530	C		スタブ	すたぶ	stub				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34531	C		足場	あしば	scaffolding				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34532	C		プログラミングシステム	ぷろぐらみんぐしすてむ	programming system				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34533	C		プログラムライブラリ	ぷろぐらむらいぶらり	program library				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34534	C		ソフトウェアライブラリ	そふとうぇあらいぶらり	software library				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34535	C		システムライブラリ	しすてむらいぶらり	system library				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34536	C		動作環境	どうさかんきょう	operating environment				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34537	C		バッチ処理環境	ばっちしょりかんきょう	batch-processing environment				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34538	C		対話環境	たいわかんきょう	interactive environment				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34539	C		リアルタイム環境	りあるたいむかんきょう	real-time environment				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34540	C		ユーティリティ・プログラム	ゆーていりてい・ぷろぐらむ	utility program				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34541	C		ユーティリティ・ルーチン	ゆーていりてい・るーちん	utility routine				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34542	C		更新性	こうしんせい	modifiability				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34543	C		理解性	りかいせい	understandability				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34544	C		モジュール方式	もじゅーるほうしき	modularity				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34545	C		結束性、モジュール強度	けっそくせい、もじゅーるきょうど	cohesion, module strength				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34546	C		機能的結束性	きのうてきけっそくせい	functional cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34547	C		情報結束性	じょうほうけっそくせい	informational cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34548	C		通信結束性	つうしんけっそくせい	communicational cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34549	C		時間的結束性	じかんてきけっそくせい	temporal cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34550	C		論理的結束性	ろんりてきけっそくせい	logical cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34551	C		同時結束性	どうじけっそくせい	coincidental cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34552	C		手続き結束性	てつづきけっそくせい	procedural cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34553	C		逐次結束性	ちくじけっそくせい	sequential cohesion				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34554	C		結合	けつごう	coupling				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34555	C		データ結合	でーたけつごう	data coupling				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34556	C		制御結合	せいぎょけつごう	control coupling				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34557	C		外部結合	がいぶけつごう	external coupling				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34558	C		共通環境結合、共通結合	きょうつうかんきょうけつごう、きょうつうけつごう	common-environment coupling., common				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34559	C		内容結合	ないようけつごう	content coupling				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34560	C		論理入力数	ろんりにゅうりょくすう	fan-in				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34561	C		論理出力数	ろんりしゅつりょくすう	fan-out				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34562	C		局在化	きょくざいか	localization				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34563	C		確認可能性	かくにんかのうせい	confirmability				ISO/IEC 2382-7	2000				2000	JTC1
34564	C		非周期的スケジューリング	ひしゅうきてきすけじゅーりんぐ	aperiodic scheduling				ISO/IEC 10164-15	2002				2002	JTC1
34565	C		間隔スケジューリング	かんかくすけじゅーりんぐ	interval scheduling				ISO/IEC 10164-15	2002				2002	JTC1
34566	C		周期的スケジューリング	しゅうきてきすけじゅーり	periodic scheduling				ISO/IEC 10164-15	2002				2002	JTC1
34567	C		スケジューリング	すけじゅーりんぐ	scheduling				ISO/IEC 10164-15	2002				2002	JTC1
34568	C		スケジュール化管理対象オブジェクト(SMO)	すけじゅーるかかんりたいしょうおぶじぇくと(SMO)	scheduled managed object (SMO)				ISO/IEC 10164-15	2002				2002	JTC1
34569	C		スケジューラオブジェクト(SO)	すけじゅーらおぶじぇくと(SO)	scheduler object (SO)				ISO/IEC 10164-15	2002				2002	JTC1
34570	C		トリガスケジューリング	とりがすけじゅーりんぐ	trigger scheduling				ISO/IEC 10164-15	2002				2002	JTC1
34571	C		片道反応時間	かたみちはんのうじかん	one way response time:				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34572	C		反応確認	はんのうかくにん	response confirmation				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34573	C		反応確認役割	はんのうかくにんやくわり	response confirmation role				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34574	C		反応モニタ	はんのうもにた	response monitor				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34575	C		反応モニタリング関係	はんのうもにたりんぐかんけい	response monitoring relationship				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34576	C		反応リクエスタ	はんのうりくえすた	response requester				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34577	C		反応リクエスタ役割	はんのうりくえすたやくわ	response requester role				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34578	C		反応時間	はんのうじかん	response time				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34579	C		往復反応時間	おうふくはんのうじかん	round trip response time				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34580	C		経路	けいろ	route				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34581	C		経路役割	けいろやくわり	route role				ISO/IEC 10164-22	2000				2000	JTC1
34582	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34583	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34584	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34585	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34586	C		符号位置	ふごういち	code position				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34587	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34588	C		結合文字	けつごうもじ	combining character				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34589	C		合成列	ごうせいれつ	combining sequence				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34590	C		制御機能	せいぎょきのう	control function				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34591	C		エスケープ シーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34592	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34593	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34594	C		レパートリ	れぱーとり	repertoire				ISO/IEC 2375	2003				2003	SC2
34595	C		動作位置	どうさいち	active position				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34596	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34597	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34598	C		文字位置	もじいち	character position				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34599	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34600	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34601	C		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34602	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34603	C		制御文字	せいぎょもじ	control character				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34604	C		制御機能	せいぎょきのう	control function				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34605	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34606	C		エスケープ シーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34607	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34608	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34609	C		レパートリ	れぱーとり	repertoire				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34610	C		テキスト	てきすと	text				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34611	C		テキスト通信	てきすとつうしん	text communication, communication of text				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34612	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 6937	2001				2001	SC2
34613	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34614	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34615	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34616	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34617	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34618	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34619	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34620	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34621	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-7	2003				2003	SC2
34622	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34623	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34624	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34625	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34626	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34627	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34628	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34629	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34630	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-11	2001				2001	SC2
34631	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34632	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34633	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34634	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34635	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34636	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34637	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34638	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34639	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-16	2001				2001	SC2
34640	C		データベース基本使用者	でーたべーすきほんしようしゃ	database basic user				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34641	C		データベースファイル	でーたべーすふぁいる	database file				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34642	C		データベースオブジェクト管理者	でーたべーすおぶじぇくとかんりしゃ	database object owner				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34643	C		データベース管理者	でーたべーすかんりしゃ	database owner				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34644	C		辞書	じしょ	dictionary				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34645	C		システム表	しすてむひょう	system table				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34646	C		表	ひょう	table				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34647	C		ビュー	びゅー	view				ISO/IEC 7816-7	1999				1999	SC17
34648	C		インタフェース装置	いんたふぇーすそうち	interface device				ISO/IEC 7816-10	1999				1999	SC17
34649	C		アクセス制御リスト	あくせすせいぎょりすと	access control list				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34650	C		アクセス許可	あくせすきょか	access permission				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34651	C		アクセス規則	あくせすきそく	access rule				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34652	C		アクション	あくしょん	action				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34653	C		アルファカードアプリケーション	あるふぁかーどあぷりけーしょん	alpha card-application				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34654	C		カードアプリケーションパ	かーどあぷりけーしょんぱ	card-application-path				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34655	C		カードアプリケーションサービス	かーどあぷりけーしょんさーびす	card-application-service				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34656	C		チャンネル	ちゃんねる	channel				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34657	C		顧客アプリケーション	こきゃくあぷりけーしょん	client-application				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34658	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34659	C		弁別的身元	べんべつてきみもと	global differential-identity				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34660	C		ローカル身元識別	ろーかるみもとしきべつ	local differential-identity				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34661	C		パラメータ	ぱらめーた	parameter				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34662	C		返却コード	へんきゃくこーど	return code				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34663	C		セキュリティ条件	せきゅりていじょうけん	security condition				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34664	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34665	C		標的	ひょうてき	target				ISO/IEC 24727-3	2008				2008	SC17
34666	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 19796-3	2009				2009	SC17
34667	C		測定	そくてい	measurement				ISO/IEC 19796-3	2009				2009	SC17
34668	C		方法	ほうほう	method				ISO/IEC 19796-3	2009				2009	SC17
34669	C		測定基準	そくていきじゅん	metric				ISO/IEC 19796-3	2009				2009	SC17
34670	C		尺度	しゃくど	scale				ISO/IEC 19796-3	2009				2009	SC17
34671	C		検証	けんしょう	validation				ISO/IEC 19796-3	2009				2009	SC17
34672	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 19796-3	2009				2009	SC17
34673	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34674	C		組織部署	そしきぶしょ	organization part				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34675	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34676	C		データ要素値	でーたようそち	data element value				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34677	C		識別子	しきべつし	identifier				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34678	C		識別体系	しきべつたいけい	identification scheme				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34679	C		組織識別体系	そしきしきべつたいけい	organization identification scheme				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34680	C		国際コード指定子、ICD	こくさいこーどしていし、ICD	International Code Designator, ICD				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34681	C		国際コード指定子値、ICD値	こくさいこーどしていしち、ICDち	International Code Designator value, ICD				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34682	C		組織識別子	そしきしきべつし	organization identifier				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34683	C		組織部署識別子、opi	そしきぶしょしきべつし、opi	organization part identifier (OPI)				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34684	C		OPI元指示子 (OPIS)	OPIもとししじ (OPIS)	OPI source indicator				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34685	C		OPIS値	OPISち	OPIS value				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34686	C		文字レパートリ	もじれぱーとり	character repertoire				ISO/IEC 6523-1	1998				1998	SC32
34687	C		発行組織(IO)	はっこうそしき(IO)	issuing organization (IO)				ISO/IEC 6523-2	1998				1998	SC32
34688	C		スポンサー機関(SA)	すぽんさーきかん(SA)	sponsoring authority (SA)				ISO/IEC 6523-2	1998				1998	SC32
34689	C		登録機関(RA)	とうろくきかん(RA)	registration authority (RA)				ISO/IEC 6523-2	1998				1998	SC32
34690	C		可読テキストファイル符号化	かどくてきすとふぁいるふごうか	Clear text file encoding				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34691	C		移出IRD	いしゅつIRD	Export IRD				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34692	C		移出プロセス	いしゅつぷろせす	Export process				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34693	C		移出者	いしゅつしゃ	Exporter				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34694	C		移入IRD	いにゅうIRD	Import IRD				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34695	C		移入プロセス	いにゅうぷろせす	Import process				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34696	C		移入者	いにゅうしゃ	Importer				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34697	C		IRDSデータ	IRDSでーた	IRDS-data				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34698	C		IRDS転送ファイル	IRDSてんそうふぁいる	IRDS Transfer File				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34699	C		転送ファイル	てんそうふぁいる	Transfer file				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34700	C		転送ファイルヘッダ	てんそうふぁいるへっだ	Transfer File Header				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34701	C		転送ファイルIRD定義	てんそうふぁいるIRDてい	Transfer File IRD				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34702	C		転送ファイルIRD内容	てんそうふぁいるIRDない	Transfer File IRD Content				ISO/IEC 13238-3	1998				1998	SC32
34703	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 14957	1996				1996	SC32
34704	C		文字集合	もじしゅうごう	character set				ISO/IEC 14957	1996				1996	SC32
34705	C		文字種別	もじしゅべつ	character type				ISO/IEC 14957	1996				1996	SC32
34706	C		(表現の)長さ	(ひょうげんの)ながさ	length (of representation)				ISO/IEC 14957	1996				1996	SC32
34707	C		保管ファイル記述子	ほかんふぁいるきじゅつし	archive file descriptor				ISO/IEC 9592-2	1997				1997	SC24
34708	C		保管ファイル生成	ほかんふぁいるせいせい	archive file generation				ISO/IEC 9592-2	1997				1997	SC24
34709	C		保管ファイル検索	ほかんふぁいるけんさく	archive file retrieval				ISO/IEC 9592-2	1997				1997	SC24
34710	C		保管ファイル記述子	ほかんふぁいるきじゅつし	archive file descriptor				ISO/IEC 9592-3	1997				1997	SC24
34711	C		保管ファイル生成	ほかんふぁいるせいせい	archive file generation				ISO/IEC 9592-3	1997				1997	SC24
34712	C		保管ファイル検索	ほかんふぁいるけんさく	archive file retrieval				ISO/IEC 9592-3	1997				1997	SC24
34713	C		マルチメディア	まるちめでぃあ	multimedia				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34714	C		マルチメディアオブジェクト	まるちめでぃあおぶじぇくと	multimedia object				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34715	C		メディア、媒体	めでぃあ、ばいたい	medium (plural media)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34716	C		動的対話型グラフィクス	どうてきたいわがたぐらふぃくす	dynamic interactive graphics				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34717	C		アニメーション	あにめーしょん	animation				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34718	C		テキスト	てきすと	text				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34719	C		音声	おんせい	audio				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34720	C		ビデオ	びでお	video				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34721	C		多形式表現	たけいしきひょうげん	co-representation				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34722	C		構成要素	こうせいようそ	component				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34723	C		標準構成要素	ひょうじゅんこうせいようそ	standard component				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34724	C		非標準構成要素	ひひょうじゅんこうせいよう	non-standard component				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34725	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34726	C		(構成要素の)基本プロファイル	(こうせいようその)きほんぷろふぁいる	basic profile (of a component)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34727	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34728	C		オブジェクト型	おぶじぇくとかた	object type				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34729	C		オブジェクト参照	おぶじぇくとさんしょう	object reference				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34730	C		状態	じょうたい	state				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34731	C		(オブジェクトの)身元	(おぶじぇくとの)みもと	identity (of objects)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34732	C		(オブジェクトの)属性	(おぶじぇくとの)ぞくせい	attribute (of objects)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34733	C		検索オンリー属性	けんさくおんりーぞくせい	retrieve only attribute				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34734	C		(操作の)署名	(そうさの)しょめい	signature (of operations)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34735	C		(オブジェクトの)インタフェース	(おぶじぇくとの)いんたふぇーす	interface (of objects)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34736	C		非オブジェクト型	ひおぶじぇくとかた	non-object types				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34737	C		操作	そうさ	operation				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34738	C		操作起動	そうさきどう	operation invocation				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34739	C		操作要求	そうさようきゅう	operation request				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34740	C		操作ディスパッチ	そうさでぃすぱっち	operation dispatching				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34741	C		操作オーバーロード、操作多重定義	そうさおーばーろーど、そうさたじゅうていぎ	operation overloading				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34742	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34743	C		例外	れいがい	exception				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34744	C		制御パラメタ	せいぎょぱらめた	controlling parameter				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34745	C		上位下位関係	じょういかいかんけい	subtyping				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34746	C		下位型	かいがた	subtype				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34747	C		直接下位型	ちょくせつかいかた	immediate subtype				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34748	C		上位型	じょういかた	supertype				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34749	C		多重上位型	たじゅうじょういがた	multiple supertype				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34750	C		直接上位型	ちょくせつじょういかた	immediate supertype				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34751	C		直接インスタンス	ちょくせついんすたんす	direct instance				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34752	C		直接型	ちょくせつかた	immediate type				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34753	C		(型の)型グラフ	(かたの)かたぐらふ	type graph (of a type)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34754	C		継承	けいしょう	inheritance				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34755	C		多重継承	たじゅうけいしょう	multiple inheritance				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34756	C		単一継承	たんいつけいしょう	single inheritance				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34757	C		派生インタフェース	はせいいんたふぇーす	derived interface				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34758	C		基本インタフェース	きほんいんたふぇーす	base interface				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34759	C		抽象オブジェクト型	ちゅうしょうおぶじぇくとか	abstract object type				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34760	C		操作要求意味論	そうさようきゅういみろん	operation request				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34761	C		操作レセプタ	そうされせぷた	operation receptor				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34762	C		操作レセプタモード	そうされせぷたもーど	operation receptor mode				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34763	C		同期操作レセプタモード	どうきそうされせぷたもーど	synchronous operation receptor mode				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34764	C		非同期操作レセプタ	ひどうきそうされせぷた	asynchronous operation receptor mode				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34765	C		抽出操作レセプタモード	ちゅうしゅつそうされせぷたもーど	sampled operation receptor mode				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34766	C		保護された操作	ほごされたそうさ	protected operation				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34767	C		(オブジェクト及び参照の)ライフサイクル	(おぶじぇくとおよびさんしょうの)らいふさいくる	life cycle (of objects and references)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34768	C		ライフサイクル機能	らいふさいくるきのう	life cycle facilities				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34769	C		作成機能	さくせいきのう	create facility				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34770	C		コピー機能	こぴーきのう	copy facility				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34771	C		浅いコピー	あさいこぴー	shallow copy				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34772	C		深いコピー	ふかいこぴー	deep copy				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34773	C		キャスト機能	きゃすときのう	cast facility				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34774	C		参照破壊機能	さんしょうはかいきのう	destroyReference facility				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34775	C		オブジェクト破壊機能	おぶじぇくとはかいきのう	destroyObject facility				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34776	C		型スキーマ	かたすきーま	type schema				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34777	C		操作スキーマ	そうさすきーま	operation schema				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34778	C		構成要素スキーマ	こうせいようそすきーま	component schema				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34779	C		プロファイルスキーマ	ぷろふぁいるすきーま	profile schema				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34780	C		共通型(スキーマ)	きょうつうかた(すきーま)	generic type (schema)				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34781	C		形式的型	けいしきてきかた	formal types				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34782	C		実現化	じつげんか	actualization				ISO/IEC 14478-1	1998				1998	SC24
34783	C		基本データ型	きほんでーたかた	basic data type				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34784	C		構造化データ型	こうぞうかでーたかた	constructed data type				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34785	C		時間	じかん	time				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34786	C		拡張座標	かくちょうざひょう	extended coordinates				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34787	C		キー値対	きーちつい	key-value pair				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34788	C		基礎オブジェクト型	きそおぶじぇくとかた	foundation object type				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34789	C		構造	こうぞう	structure				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34790	C		構造タグ	こうぞうたぐ	structure tag				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34791	C		プロパティ	ぷろぱてぃ	property				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34792	C		再生専用プロパティ	さいせいせんようぷろぱ	read-only property				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34793	C		基本オブジェクト振る舞い	きほんおぶじぇくとふるまい	fundamental object behaviour				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34794	C		有限状態機械	ゆうげんじょうたいきかい	finite state machine				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34795	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34796	C		事象	じしょう	event				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34797	C		事象源	じしょうげん	event source				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34798	C		事象クライアント	じしょうくらいあんと	event client				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34799	C		事象名	じしょうめい	event name				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34800	C		事象データ	じしょうでーた	event data				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34801	C		事象ハンドラ	じしょうはんどら	event handler				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34802	C		時間原点	じかんげんてん	era				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34803	C		参照点	さんしょうてん	reference point				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34804	C		同期要素	どうきようそ	synchronization element				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34805	C		能力	のうりょく	capability				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34806	C		固有プロパティ値	こゆうぷろぱていち	native property value				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34807	C		私的プロパティ	してきぷろぱてい	private properties				ISO/IEC 14478-2	1998				1998	SC24
34808	C		構成オブジェクト	こうせいおぶじぇくと	configuration objects				ISO/IEC 14478-3	1998				1998	SC24
34809	C		ジッタ	じった	jitter				ISO/IEC 14478-3	1998				1998	SC24
34810	C		(仮想装置のための)処理要素	(かそうそうちのための)しょりようそ	prosecing element(for virtual devices)				ISO/IEC 14478-3	1998				1998	SC24
34811	C		仮想接続アダプタ	かそうせつぞくあだぷた	virtual connection adapter				ISO/IEC 14478-3	1998				1998	SC24
34812	C		ユニキャスト接続	ゆにきゃすとせつぞく	unicast connection				ISO/IEC 14478-3	1998				1998	SC24
34813	C		マルチキャスト接続	まるちきゃすとせつぞく	multicast connection				ISO/IEC 14478-3	1998				1998	SC24
34814	C		モデラ	もでら	modeller				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34815	C		レンダラ	れんだら	renderer				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34816	C		メディア装置	めでぃあそうち	media engine				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34817	C		プレゼンテーション	ぷれぜんてーしょん	presentation				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34818	C		座標	ざひょう	coordinate				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34819	C		プリミティブ	ぷりみていぶ	primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34820	C		表出プリミティブ	ひょうしゅつぷりみていぶ	form primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34821	C		幾何プリミティブ	きかぷりみていぶ	geometric primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34822	C		保存プリミティブ	ほぞんぷりみていぶ	captured primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34823	C		構造化プリミティブ	こうぞうかぷりみていぶ	structured primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34824	C		変更子プリミティブ	へんこうしぷりみていぶ	modifier primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34825	C		聴覚変更子	ちょうかくへんこうし	acoustic modifier				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34826	C		構造変更子	こうぞうへんこうし	structural modifier				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34827	C		視覚変更子	しかくへんこうし	visual modifier				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34828	C		包装プリミティブ	ほうそうぷりみていぶ	wrapper primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34829	C		追跡プリミティブ	ついせきぷりみていぶ	tracer primitive				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34830	C		入力装置	にゅうりょくそうち	input device				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34831	C		グラフィックス	ぐらふぃっくす	graphics				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34832	C		場面	ばめん	scene				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34833	C		プリミティブ構造	ぷりみていぶこうぞう	primitive structure				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34834	C		調整者	ちょうせいしゃ	coordinator				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34835	C		ルータ	るーた	router				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34836	C		時間範囲	じかんはんい	temporal extent				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34837	C		操作者	そうさしゃ	operator				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34838	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 14478-4	1998				1998	SC24
34839	C		はん用分離モジュール	はんようぶんりもじゅーる	Generic separate module				ISO/IEC 10514-2	1998				1998	SC22
34840	C		リファイナ又は詳細化モジュール	りふぁいなまたはしょうさいかもじゅーる	Refiner or Refining module				ISO/IEC 10514-2	1998				1998	SC22
34841	C		詳細化	しょうさいか	Refinement				ISO/IEC 10514-2	1998				1998	SC22
34842	C		詳細化する	しょうさいかする	Refine				ISO/IEC 10514-2	1998				1998	SC22
34843	C		はん用	はんよう	Generic				ISO/IEC 10514-2	1998				1998	SC22
34844	C		してもよい	してもよい	may				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34845	C		しなければならない	しなければならない	must				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34846	C		しなければならない	しなければならない	shall				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34847	C		することが望ましい	することがのぞましい	should				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34848	C		表明	ひょうめい	assertion				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34849	C		表明識別子	ひょうめいしきべつし	assertion identifier				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34850	C		表明試験	ひょうめいしけん	assertion test				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34851	C		基本規格	きほんきかく	base standard				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34852	C		適合性	てきごうせい	conformance				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34853	C		適合性文書(CD)	てきごうせいぶんしょ(CD)	conformance document (CD)				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34854	C		適合性文書監査	てきごうせいぶんしょかんさ	Conformance Documentation Audit				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34855	C		適合性ログ	てきごうせいろぐ	conformance log				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34856	C		適合性要求事項	てきごうせいようきゅうじこ	conformance requirement				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34857	C		適合性試験手順(CTP)	てきごうせいしけんてじゅん(CTP)	Conformance Test Procedure (CTP)				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34858	C		適合性試験ソフトウェア(CTS)	てきごうせいしけんそふとうぇあ(CTS)	Conformance Test Software (CTS)				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34859	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance testing				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34860	C		適合実装	てきごうじっそう	conforming implementation				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34861	C		適合試験結果符合	てきごうしけんけっかふごう	conforming test result				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34862	C		CTS構築システム	CTSこうちくしすてむ	CTS build system				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34863	C		CTS実行システム	CTSじっこうしすてむ	CTS execution system				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34864	C		文書表明	ぶんしょひょうめい	documentation assertion				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34865	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34866	C		最終試験結果符合	さいしゅうしけんけっかふごう	final test result code				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34867	C		形式試験使用	けいしきしけんしよう	formal test specification				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34868	C		実装	じっそう	implementation				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34869	C		試験対象実装(IUT)	しけんたいしょうじっそう(IUT)	implementation under test (IUT)				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34870	C		中間試験結果符合	ちゅうかんしけんけっかふごう	intermediate test result code				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34871	C		論理表現	ろんりひょうげん	logical expression				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34872	C		任意選択	にんいせんたく	option				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34873	C		移植可能な識別子文字集合	いしょくかのうなしきべつしもじしゅうごう	portable identifier character set				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34874	C		試験対象システム	しけんたいしょうしすてむ	system under test				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34875	C		試験項目	しけんこうもく	test case				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34876	C		試験法実装	しけんほうじっそう	test method				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34877	C		試験法仕様	しけんほうしよう	test method specification				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34878	C		試験法標準	しけんほうひょうじゅん	test method standard				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34879	C		試験目的	しけんもくてき	test purpose				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34880	C		試験報告	しけんほうこく	test report				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34881	C		試験結果符合	しけんけっかふごう	test result code				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34882	C		試験ソフトウェア	しけんそふとうぇあ	test software				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34883	C		試験支援	しけんしえん	test support				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34884	C		試験定数	しけんていすう	testing constant				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34885	C		判定基準	はんていきじゅん	verdict criteria				ISO/IEC 13210	1999				1999	SC22
34886	C		処理系定義	しょりけいていぎ	implementation-defined				ISO/IEC 13719-1	1998				1998	SC22
34887	C		処理系依存	しょりけいいぞん	implementation-dependent				ISO/IEC 13719-1	1998				1998	SC22
34888	C		言語結合時定義	げんごけつごうじていぎ	binding-defined				ISO/IEC 13719-1	1998				1998	SC22
34889	C		データ型	でーたかた	datatype				ISO/IEC 13719-1	1998				1998	SC22
34890	C		操作	そうさ	operation				ISO/IEC 13719-1	1998				1998	SC22
34891	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface				ISO/IEC 13719-1	1998				1998	SC22
34892	C		手法	しゅほう	method				ISO/IEC 13719-1	1998				1998	SC22
34893	C		適合仕様	てきごうしよう	conforming specification				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34894	C		適合ツール	てきごうつーる	conforming tool				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34895	C		一貫性仕様	いっかんせいしよう	consistent specification				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34896	C		核抽象構文	かくちゅうしょうこうぶん	core abstract syntax				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34897	C		動的意味論	どうてきいみろん	dynamic semantics				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34898	C		エラー	えらー	error				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34899	C		拡張	かくちょう	extension				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34900	C		非一貫性仕様	ひいっかんせいしよう	inconsistent specification				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34901	C		交換具象構文	こうかんぐしょうこうぶん	interchange concrete				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34902	C		数学的具象構文	すうがくてきぐしょうこうぶん	mathematical concrete syntax				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34903	C		無意味仕様	むいみしよう	meaningless specification				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34904	C		モデル	もでる	model				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34905	C		外的抽象構文	がいてきちゅうしょうこうぶ	outer abstract syntax				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34906	C		証明義務	しょうめいぎむ	proof obligations				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34907	C		具象化規則	ぐしょうかきそく	reification rules				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34908	C		仕様	しよう	specification				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34909	C		静的意味論	せいてきいみろん	static semantics				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34910	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34911	C		構文適合	こうぶんてきごう	syntax-conformant				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34912	C		試験可能ツール	しけんかのうつーる	testable tool				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34913	C		ツール	つーる	tool				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34914	C		未規定仕様	みきていしよう	undefined specification				ISO/IEC 13817-1	1996				1996	SC22
34915	C		実パラメタ	じつぱらめた	actual parameter				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34916	C		アソシエーション	あそしえーしょん	association				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34917	C		ボックス	ぼっくす	box				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34918	C		クライアントインタフェース結合	くらいあんといんたふぇーすけつごう	client interface binding				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34919	C		クライアント手順	くらいあんとてじゅん	client procedure				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34920	C		完全手順閉包	かんぜんてじゅんへいほう	complete procedure				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34921	C		構成	こうせい	configuration				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34922	C		実行順序	じっこうじゅんじょ	execution sequence				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34923	C		形式的パラメタ	けいしきてきぱらめた	formal parameter				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34924	C		全域的状態	ぜんいきてきじょうたい	global state				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34925	C		全域的記号	ぜんいきてききごう	global symbol				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34926	C		実装定義	じっそうていぎ	implementation defined				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34927	C		実装依存	じっそういぞん	implementation dependent				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34928	C		入力パラメタ	にゅうりょくぱらめた	input parameter				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34929	C		入力/出力パラメタ	にゅうりょく/しゅつりょくぱらめた	input/output parameter				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34930	C		インタフェース閉包	いんたふぇーすへいほう	interface closure				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34931	C		インタフェース実行コンテキスト	いんたふぇーすじっこうこんてきすと	interface execution context				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34932	C		インタフェース参照	いんたふぇーすさんしょう	interface reference				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34933	C		インタフェース型	いんたふぇーすかた	interface type				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34934	C		インタフェース型識別子	いんたふぇーすかたしきべつし	interface type identifier				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34935	C		呼出アソシエーション	よびだしあそしえーしょん	invocation association				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34936	C		呼出コンテキスト	よびだしこんてきすと	invocation context				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34937	C		マーシャリング、転送パラメタこん(梱)包	まーしゃりんぐ、てんそうぱらめたこんぽう	marshalling				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34938	C		出力パラメタ	しゅつりょくぱらめた	output parameter				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34939	C		パラメタ	ぱらめた	parameter				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34940	C		部分的手順閉包	ぶぶんてきてじゅんへい	partial procedure closure				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34941	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34942	C		手順呼出	てじゅんよびだし	procedure call				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34943	C		手順閉包	てじゅんへいほう	procedure closure				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34944	C		手順実行コンテキスト	てじゅんじっこうこんてきす	procedure execution				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34945	C		手順イメージ	てじゅんいめーじ	procedure image				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34946	C		手順起動	てじゅんきどう	procedure invocation				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34947	C		手順名	てじゅんめい	procedure name				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34948	C		手順(からの)復帰	てじゅん(からの)ふっき	procedure return				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34949	C		手順型	てじゅんかた	procedure type				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34950	C		手順値	てじゅんち	procedure value				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34951	C		プロセッサ	ぷろせっさ	processor				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34952	C		サーバ手順	さーばてじゅん	server procedure				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34953	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34954	C		終了	しゅうりょう	termination				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34955	C		逆マーシャリング、転送パラメタ開こん(梱)	ぎゃくまーしゃりんぐ、てんそうぱらめたかいこん	unmarshalling				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34956	C		値	あたい	value				ISO/IEC 13886	1996				1996	SC22
34957	C		列	れつ	sequence				ISO/IEC 14977	1996				1996	SC22
34958	C		部分列	ぶぶんれつ	subsequence				ISO/IEC 14977	1996				1996	SC22
34959	C		非終端記号	ひしゅうたんきごう	non-terminal symbol				ISO/IEC 14977	1996				1996	SC22
34960	C		メタ識別子	めたしきべつし	meta-identifier				ISO/IEC 14977	1996				1996	SC22
34961	C		開始記号	かいしきごう	start symbol				ISO/IEC 14977	1996				1996	SC22
34962	C		文	ぶん	sentence				ISO/IEC 14977	1996				1996	SC22
34963	C		終端記号	しゅうたんきごう	terminal symbol				ISO/IEC 14977	1996				1996	SC22
34964	C		アドレス単位	あどれすたんい	address unit				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34965	C		整列アドレス	せいれつあどれす	aligned address				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34966	C		あいまい状態	あいまいじょうたい	ambiguous condition				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34967	C		セル	せる	cell				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34968	C		セル対	せるつい	cell pair				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34969	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34970	C		文字整列アドレス	もじせいれつあどれす	character-aligned address				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34971	C		文字列	もじれつ	character string				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34972	C		コード空間	こーどくうかん	code space				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34973	C		コンパイル	こんぱいる	compile				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34974	C		コンパイル意味論	こんぱいるいみろん	compilation semantics				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34975	C		長さ付きの列	ながさつきのれつ	counted string				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34976	C		クロスコンパイラ	くろすこんぱいら	cross compiler				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34977	C		現定義	げんていぎ	current definition				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34978	C		データフィールド	でーたふぃーるど	data field				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34979	C		データ空間	でーたくうかん	data space				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34980	C		データ空間ポインタ	でーたくうかんぽいんた	data-space pointer				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34981	C		データスタック	でーたすたっく	data stack				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34982	C		データ型	でーたかた	data type				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34983	C		定義用単語	ていぎようたんご	defining word				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34984	C		定義	ていぎ	definition				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34985	C		辞書	じしょ	dictionary				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34986	C		表示	ひょうじ	display				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34987	C		環境依存性	かんきょういぞんせい	environmental				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34988	C		実行意味論	じっこういみろん	execution semantics				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34989	C		実行トークン	じっこうとーくん	execution token				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34990	C		検索	けんさく	find				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34991	C		直接単語	ちょくせつたんご	immediate word				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34992	C		実装定義	じっそうていぎ	implementation defined				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34993	C		実装依存	じっそういぞん	implementation dependent				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34994	C		入力バッファ	にゅうりょくばっふぁ	input buffer				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34995	C		入力源	にゅうりょくげん	input source				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34996	C		入力源仕様	にゅうりょくげんしよう	input source specification				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34997	C		解釈意味論	かいしゃくいみろん	interpretation semantics				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
34998	C		キーボード事象	きーぼーどじしょう	keyboard event				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
34999	C		行	ぎょう	line				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35000	C		名前空間	なまえくうかん	name space				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35001	C		数	かず	number				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35002	C		構文解析	こうぶんかいせき	parse				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35003	C		構文解析領域	こうぶんかいせきりょうい	parse area				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35004	C		(PICTURE)数値表示様式	(PICTURE)すうちひょうじけいしき	pictured-numeric output				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35005	C		プログラム	ぷろぐらむ	program				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35006	C		受信	じゅしん	receive				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35007	C		返送スタック	へんそうすたっく	return stack				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35008	C		標準単語	ひょうじゅんたんご	standard word				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35009	C		使用者入力装置	しようしゃにゅうりょくそうち	user input device				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35010	C		使用者出力装置	しようしゃしゅつりょくそう	user output device				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35011	C		変数	へんすう	variable				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35012	C		単語	たんご	word				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35013	C		単語一覧	たんごいちらん	word list				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35014	C		単語集合	たんごしゅうごう	word set				ISO/IEC 15145	1997				1997	SC22
35015	C		MUMPS	まんぷす	MUMPS				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35016	C		OMI	OMI	OMI				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35017	C		OSI	OSI	OSI				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35018	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35019	C		回路	かいろ	circuit				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35020	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35021	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35022	C		トランザクション	とらんざくしょん	ransaction				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35023	C		エージェント	えーじぇんと	agent				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35024	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35025	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35026	C		使用者ID	しようしゃID	user ID				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35027	C		グループID	ぐるーぷID	group ID,				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35028	C		OMIノード	OMIのーど	OMI node				ISO/IEC 15851	1999				1999	SC22
35029	C		定義	ていぎ	Definition				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35030	C		領域	りょういき	Domain				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35031	C		アクセス	あくせす	Access				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35032	C		作成	さくせい	Create				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35033	C		変更	へんこう	Modify				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35034	C		参照	さんしょう	Reference				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35035	C		規定値、省略時値	きていち、しょうりゃくじち	Default				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35036	C		未定義	みていぎ	None				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35037	C		プラットフォーム	ぷらっとふぉーむ	Platform				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35038	C		非適用	ひてきよう	Not Applicable				ISO/IEC 15852	1999				1999	SC22
35039	C		データ交換	でーたこうかん	date exchange				ISO/IEC 16509	1999				1999	SC22
35040	C		データ処理	でーたしょり	date processing				ISO/IEC 16509	1999				1999	SC22
35041	C		技術	ぎじゅつ	technology				ISO/IEC 16509	1999				1999	SC22
35042	C		2000年問題対応	2000ねんもんだいたいお	Year 2000 compliant				ISO/IEC 16509	1999				1999	SC22
35043	C		合意	ごうい	consensus				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35044	C		目的適合性	もくてきてきごうせい	fitness for purpose				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35045	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35046	C		規範文書	きはんぶんしょ	normative document				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35047	C		規格	きかく	standard				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35048	C		国際規格	こくさいきかく	International Standard				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35049	C		技術仕様書	ぎじゅつしようしょ	technical specification				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35050	C		法規	ほうき	regulation				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35051	C		団体	だんたい	body				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35052	C		組織	そしき	organization				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35053	C		国際標準化組織	こくさいひょうじゅんかそしき	international standardizing organization				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35054	C		当局	とうきょく	authority				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35055	C		試験方法規格	しけんほうほうきかく	testing standard				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35056	C		製品規格	せいひんきかく	product standard				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35057	C		記述事項	きじゅつじこう	provision				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35058	C		説明事項	せつめいじこう	statement				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35059	C		指示事項	ししじこう	instruction				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35060	C		推奨事項	すいしょうじこう	recommendation				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35061	C		要求事項	ようきゅうじこう	requirement				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35062	C		必す(須)要求事項	ひっすようきゅうじこう	exclusive requirement				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35063	C		条件的要求事項	じょうけんてきようきゅうじこう	optional requirement				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35064	C		見なし記述事項	みなしきじゅつじこう	deemed-to-satisfy				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35065	C		特性記述事項	とくせいきじゅつじこう	descriptive provision				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35066	C		適合性	てきごうせい	conformity				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35067	C		適合性評価	てきごうせいひょうか	conformity assessment				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35068	C		適合性評価機関	てきごうせいひょうかきか	conformity assessment				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35069	C		適合性評価システム	てきごうせいひょうかしすてむ	conformity assessment system				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35070	C		適合性評価スキーム	てきごうせいひょうかすきーむ	conformity assessment scheme				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35071	C		適合性評価システムへのアクセス	てきごうせいひょうかしすてむへのあくせす	access to a conformity assessment system				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35072	C		適合性評価システムへの参加機関	てきごうせいひょうかしすてむへのさんかきかん	participant in a conformity assessment system				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35073	C		適合性評価システムの会員機関	てきごうせいひょうかしすてむのかいいんきかん	member of a conformity assessment system				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35074	C		第三者	だいさんしゃ	third party				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35075	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35076	C		認定	にんてい	accreditation				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35077	C		相互対等性	そうごたいとうせい	reciprocity				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35078	C		平等な取扱い	びょうどうなとりあつかい	equal treatment				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35079	C		試験	しけん	test				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35080	C		試験	しけん	testing				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35081	C		試験方法	しけんほうほう	test method				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35082	C		試験報告	しけんほうこく	test report				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35083	C		試験機関	しけんきかん	laboratory				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35084	C		試験機関	しけんきかん	testing laboratory				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35085	C		適合性評価	てきごうせいひょうか	conformity evaluation				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35086	C		検査	けんさ	inspection				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35087	C		検査団体	けんさだんたい	inspection body				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35088	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35089	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformity testing				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35090	C		型式試験	けいしきしけん	type testing				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35091	C		適合性の保証	てきごうせいのほしょう	assurance of conformity				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35092	C		供給者の宣言	きょうきゅうしゃのせんげ	supplier's declaration				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35093	C		認証	にんしょう	certification				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35094	C		認証団体	にんしょうだんたい	certification body				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35095	C		適合性の認証	てきごうせいのにんしょう	certificate of conformity				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35096	C		適合性マーク	てきごうせいまーく	mark of conformity				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35097	C		認可	にんか	approval				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35098	C		型式認可	けいしきにんか	type approval				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35099	C		承認の取り決め	しょうにんのとりきめ	recognition arrangement				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35100	C		多角的取り決め	たかくてきとりきめ	multilateral arrangement				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35101	C		認定システム	にんていしすてむ	accreditation system				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35102	C		認定機関	にんていきかん	accreditation body				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35103	C		被認定団体	ひにんていだんたい	accredited body				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35104	C		認定基準	にんていきじゅん	accreditation criteria				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35105	C		構成	こうせい	configuration				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35106	C		拡張	かくちょう	extension				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35107	C		実装定義	じっそうていぎ	implementation defined				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35108	C		プロセッサ	ぷろせっさ	processor				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35109	C		試験プログラム	しけんぷろぐらむ	test program				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35110	C		試験項目群	しけんこうもくぐん	test suite				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35111	C		試験ツール	しけんつーる	test tools				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35112	C		要求される文書	ようきゅうされるぶんしょ	required documents				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35113	C		部分集合	ぶぶんしゅうごう	subset				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35114	C		品質マニュアル	ひんしつまにゅある	quality manual				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35115	C		核言語	かくげんご	Core Language				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35116	C		特殊ニーズ附属書	とくしゅにーずふぞくしょ	Specialized Needs				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35117	C		Ada適合性評価プロセス	Adaてきごうせいひょうかぷろせす	Ada Conformity Assessment Process				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35118	C		Ada適合性評価手順(ACAP)	Adaてきごうせいひょうかてじゅん(ACAP)	Ada Conformity Assessment Procedure				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35119	C		Ada適合性評価プロセス試験所(ACAL)	Adaてきごうせいひょうかぷろせすしけんじょ(ACAL)	Ada Conformity Assessment Laboratory				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35120	C		Ada適合性評価機関(ACAA)	Adaてきごうせいひょうかきかん(ACAA)	Ada Conformity Assessment Authority				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35121	C		Ada適合性評価試験項目群 (ACATS)	Adaてきごうせいひょうかしけんこうもくぐん	Ada Conformity Assessment Test Suite				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35122	C		導出による認証	どうしゅつによるにんしょう	certification by derivation				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35123	C		拡張による認証	かくちょうによるにんしょう	certification by extension				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35124	C		適合性宣言	てきごうせいせんげん	Declaration of Conformity				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35125	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35126	C		製造者	せいぞうしゃ	manufacturer				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35127	C		自己試験	じこしけん	self-testing				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35128	C		試験の争点	しけんのそうてん	test issue				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35129	C		立会い試験	たちあいしけん	witness testing				ISO/IEC 18009	1999				1999	SC22
35130	C		AIFF	AIFF	AIFF				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35131	C		アプリケーションドメイン	あぷりけーしょんどめいん	application domain				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35132	C		認証	にんしょう	certification				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35133	C		適合性試験ケース	てきごうせいしけんけーす	conformance test case				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35134	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance testing				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35135	C		適合性試験ソフトウェア	てきごうせいしけんそふとうぇあ	conformance test suite				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35136	C		識別	しきべつ	identification				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35137	C		交換MHEG-5オブジェクト	こうかんMHEG-5おぶじぇくと	interchanged MHEG-5 object				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35138	C		MHEG-5アプリケーション	MHEG-5あぷりけーしょん	MHEG-5 application				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35139	C		MHEG-5エンジン	MHEG-5えんじん	MHEG-5 engine				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35140	C		MHEG-5シーン	MHEG-5しーん	MHEG-5 scene				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35141	C		PNG	PNG	PNG				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35142	C		プロファイル識別子	ぷろふぁいるしきべつし	Profile Identifier				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35143	C		RDM	RDM	RDM				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35144	C		シナリオ	しなりお	scenario				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35145	C		STU	STU	STU				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35146	C		被試験システム	ひしけんしすてむ	system under test				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35147	C		試験記述	しけんきじゅつ	test description				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35148	C		試験機関	しけんきかん	test laboratory				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35149	C		試験	しけん	Testing				ISO/IEC 13522-7	2001				2001	SC29
35150	C		16×8予測[動画]	16かける8よそく[どうが]	16×8 prediction [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35151	C		AC係数[動画]	ACけいすう[どうが]	AC coefficient [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35152	C		アクセスユニット[システ	あくせすゆにっと[しすて	access unit [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35153	C		適応ビット割当[音響]	てきおうびっとわりあて[おんきょう]	adaptive bit allocation [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35154	C		適応多重チャンネル予測[音響]	てきおうたじゅうちゃんねるよそく[おんきょう]	adaptive multichannel prediction [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35155	C		適応ノイズ割当[音響]	てきおうのいずわりあて[おんきょう]	adaptive noise allocation [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35156	C		適応分割[音響]	てきおうぶんかつ[おんきょう]	adaptive segmentation [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35157	C		エイリアス[音響]	えいりあす[おんきょう]	alias [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35158	C		分析フィルターバンク[音響]	ぶんせきふぃるたーばんく[おんきょう]	analysis filterbank [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35159	C		補助データ[音響]	ほじょでーた[おんきょう]	ancillary data [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35160	C		音響アクセスユニット[音響]	おんきょうあくせすゆにっと[おんきょう]	audio access unit [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35161	C		音響バッファ[音響]	おんきょうばっふぁ[おんきょう]	audio buffer[audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35162	C		音響シーケンス[音響]	おんきょうしーけんす[おんきょう]	audio sequence [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35163	C		Bフィールド画像[動画]	Bふぃーるどがぞう[どうが]	B-field picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35164	C		Bフレーム画像[動画]	Bふれーむがぞう[どうが]	B-frame picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35165	C		B画像、双方向予測符号化画像[動画]	Bがぞう、そうほうこうよそくふごうかがぞう[どうが]	B-picture, bidirectionally predictive-coded picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35166	C		下位互換	かいごかん	backward compatibility				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35167	C		後方運動ベクトル[動画]	こうほううんどうべくとる[どうが]	backward motion vector [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35168	C		後方予測[動画]	こうほうよそく[どうが]	backward prediction				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35169	C		バーク[音響]	ばーく[おんきょう]	Bark[audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35170	C		基準層[動画]	きじゅんそう[どうが]	base layer [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35171	C		全体像[動画]	ぜんたいぞう[どうが]	big picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35172	C		ビットレート[音響]	びっとれーと[おんきょう]	bitrate [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35173	C		ビットストリーム、ストリー	びっとすとりーむ、すとりー	bitstream, stream				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35174	C		ビットストリーム検証装置[動画]	びっとすとりーむけんしょうそうち[どうが]	bitstream verifier [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35175	C		ブロック[動画]	ぶろっく[どうが]	block [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35176	C		ブロック圧伸[音響]	ぶろっくあっしん[おんきょ	block companding [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35177	C		下部フィールド[動画]	かぶふぃーるど[どうが]	bottom field [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35178	C		境界[音響]	きょうかい[おんきょう]	bound [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35179	C		割当バイト	わりあてばいと	byte aligned				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35180	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35181	C		中央チャンネル[音響]	ちゅうおうちゃんねる[おんきょう]	centre channel [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35182	C		チャンネル[音響]	ちゃんねる[おんきょう]	channel [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35183	C		彩度同時放送[動画]	さいどどうじほうそう[どう	chroma simulcast [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35184	C		クロミナンス形式[動画]	くろみなんすけいしき[どう	chrominance format				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35185	C		クロミナンス成分[動画]	くろみなんすせいぶん[どうが]	chrominance component [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35186	C		符号化音響ビットストリーム[音響]	ふごうかおんきょうびっとすとりーむ[おんきょう]	coded audio bitstream [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35187	C		符号化Bフレーム[動画]	ふごうかBふれーむ[どう	coded B-frame[video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35188	C		符号化フレーム[動画]	ふごうかふれーむ[どうが]	coded frame[video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35189	C		符号化Iフレーム[動画]	ふごうかIふれーむ[どうが]	coded I-frame[video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35190	C		符号化順[動画]	ふごうかじゅん[どうが]	coded order [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35191	C		符号化Pフレーム[動画]	ふごうかPふれーむ[どう	coded P-frame [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35192	C		符号化画像[動画]	ふごうかがぞう[どうが]	coded picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35193	C		コード値	こーどち	coded representation				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35194	C		符号化動画ビットストリーム[動画]	ふごうかどうがびっとすとりーむ[どうが]	coded video bitstream [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35195	C		符号化パラメータ[動画]	ふごうかぱらめーた[どう	coding parameters [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35196	C		成分[動画]	せいぶん[どうが]	component[video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35197	C		圧縮	あっしゅく	compression				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35198	C		一定ビットレート	いっていびっとれーと	constant bitrate				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35199	C		拘束パラメータ[動画]	こうそくぱらめーた[どうが]	constrained parameters [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35200	C		拘束システムパラメータストリーム、CSPS[システム]	こうそくしすてむぱらめーたすとりーむ、CSPS[しすてむ]	constrained system parameter stream, CSPS [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35201	C		CRC	CRC	CRC				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35202	C		臨界帯域[音響]	りんかいたいいき[おんきょう]	critical band [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35203	C		臨界帯域尺度[音響]	りんかいたいいきしゃくど[おんきょう]	critical band rate [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35204	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35205	C		データ分割[動画]	でーたぶんかつ[どうが]	data partitioning [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35206	C		DC係数[動画]	DCけいすう[どうが]	DC coefficient [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35207	C		DCT係数[動画]	DCTけいすう[どうが]	DCT coefficient [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35208	C		ディエンファシス[音響]	でぃえんふぁしす[おんきょ	de-emphasis [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35209	C		復号ストリーム	ふくごうすとりーむ	decoded stream				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35210	C		デコーダ入力バッファ[動画]	でこーだにゅうりょくばっふぁ[どうが]	decoder input buffer [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35211	C		デコーダ	でこーだ	decoder				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35212	C		デコーダサブループ[動画]	でこーださぶるーぷ[どう	decoder sub-loop [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35213	C		復号(過程)	ふくごう(かてい)	decoding (process)				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35214	C		復号タイムスタンプ、DTS[システム]	ふくごうたいむすたんぷ、DTS[しすてむ]	decoding time-stamp, DTS [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35215	C		逆量子化	ぎゃくりょうしか	dequantisation				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35216	C		デジタル保存メディア、DSM	でじたるほぞんめでぃあ、DSM	digital storage media, DSM				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35217	C		離散コサイン変換、DCT	りさんこさいんへんかん、DCT	discrete cosine transform, DCT				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35218	C		ディスプレイのアスペクト比[動画]	でぃすぷれいのあすぺくとひ[どうが]	display aspect ratio [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35219	C		表示順[動画]	ひょうじじゅん[どうが]	display order [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35220	C		表示過程[動画]	ひょうじかてい[どうが]	display process [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35221	C		ダウンミックス[音響]	だうんみっくす[おんきょう]	downmix [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35222	C		ドリフト[動画]	どりふと[どうが]	drift [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35223	C		DSM-CC	DSM-CC	DSM-CC				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35224	C		二重チャンネルモード[音響]	にじゅうちゃんねるもーど[おんきょう]	dual channel mode [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35225	C		デュアルプライム予測[動画]	でゅあるぷらいむよそく[どうが]	dual-prime prediction [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35226	C		動的クロストーク[音響]	どうてきくろすとーく[おんきょう]	dynamic crosstalk [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35227	C		動的送信チャンネル切換[音響]	どうてきそうしんちゃんねるきりかえ[おんきょう]	dynamic transmission channel switching [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35228	C		編集	へんしゅう	editing				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35229	C		初期ストリームクロック基準、ESCR[システム]	しょきすとりーむくろっくきじゅん、ESCR[しすてむ]	Elementary Stream Clock Reference, ESCR				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35230	C		初期ストリーム、ES[システム]	しょきすとりーむ、ES[しすてむ]	elementary stream, ES [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35231	C		エンファシス[音響]	えんふぁしす[おんきょう]	emphasis [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35232	C		エンコーダ	えんこーだ	encoder				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35233	C		コード化(過程)	こーどか(かてい)	encoding (process)				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35234	C		強化層[動画]	きょうかそう[どうが]	enhancement layer [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35235	C		エンタイトルメント制御メッセージ、ECM[システム]	えんたいとるめんとせいぎょめっせーじ、ECM[しす	entitlement control message, ECM [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35236	C		エンタイトルメントマネジメントメッセージ、EMM[システム]	えんたいとるめんとまねじめんとめっせーじ、EMM[しすてむ]	entitlement management message, EMM [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35237	C		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	entropy coding				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35238	C		イベント[システム]	いべんと[しすてむ]	event [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35239	C		悪ビットストリーム	あくびっとすとりーむ	evil bitstreams				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35240	C		拡張ビットストリーム[音響]	かくちょうびっとすとりーむ[おんきょう]	extension bitstream [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35241	C		高速逆再生[動画]	こうそくぎゃくさいせい[どうが]	fast reverse playback [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35242	C		高速順再生[動画]	こうそくじゅんさいせい[どうが]	fast forward playback [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35243	C		FFT	FFT	FFT				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35244	C		フィールド[動画]	ふぃーるど[どうが]	field [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35245	C		フィールド周期[動画]	ふぃーるどしゅうき[どうが]	field period [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35246	C		フィールド画像、フィールド構造画像[動画]	ふぃーるどがぞう、ふぃーるどこうぞうがぞう[どうが]	field picture, field structure picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35247	C		フィールドベース予測[動画]	ふぃーるどべーすよそく[どうが]	field-based prediction [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35248	C		フィルターバンク[音響]	ふぃるたーばんく[おんきょ	filterbank [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35249	C		固定分割[音響]	こていぶんかつ[おんきょ	fixed segmentation [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35250	C		フラグ	ふらぐ	flag				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35251	C		FLC	FLC	FLC				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35252	C		禁止	きんし	forbidden				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35253	C		強制更新[動画]	きょうせいこうしん[どうが]	forced updating [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35254	C		上位互換	じょういごかん	forward compatibility				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35255	C		前方運動ベクトル[動画]	ぜんぽううんどうべくとる[どうが]	forward motion vector [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35256	C		前方予測[動画]	ぜんぽうよそく[どうが]	forward prediction [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35257	C		フレーム[音響]	ふれーむ[おんきょう]	frame [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35258	C		フレーム[動画]	ふれーむ[どうが]	frame [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35259	C		フレーム周期[動画]	ふれーむしゅうき[どうが]	frame period [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35260	C		フレーム画像、フレーム構造画像[動画]	ふれーむがぞう、ふれーむこうぞうがぞう[どうが]	frame picture, frame structure picture[video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35261	C		フレーム率[動画]	ふれーむりつ[どうが]	frame rate [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35262	C		フレーム記録[動画]	ふれーむきろく[どうが]	frame reordering [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35263	C		フレームベース予測[動画]	ふれーむべーすよそく[どうが]	frame-based prediction [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35264	C		フリーフォーマット[音響]	ふりーふぉーまっと[おんきょう]	free format [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35265	C		未来基準フレーム(フィールド)[動画]	みらいきじゅんふれーむ(ふぃーるど)[どうが]	future reference frame (field) [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35266	C		グラニュール[II層][音響]	ぐらにゅーる[IIそう][おんきょう]	granules [Layer II] [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35267	C		グラニュール[III層][音響]	ぐらにゅーる[IIIそう][おんきょう]	granules [Layer III] [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35268	C		画像の集まり[動画]	がぞうのあつまり[どうが]	group of pictures [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35269	C		ハン窓[音響]	はんまど[おんきょう]	Hann window [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35270	C		ヘッダ	へっだ	header				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35271	C		ハフマンコーディング	はふまんこーでぃんぐ	Huffman coding				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35272	C		ハイブリッドフィルターバンク[音響]	はいぶりっどふぃるたーばんく[おんきょう]	hybrid filterbank [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35273	C		ハイブリッドスケーラビリティ[動画]	はいぶりっどすけーらびりてぃ[どうが]	hybrid scalability [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35274	C		Iフィールド画像[動画]	Iふぃーるどがぞう[どうが]	I-field picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35275	C		Iフレーム画像[動画]	Iふれーむがぞう[どうが]	I-frame picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35276	C		I画像、イントラ符号化画像[動画]	Iがぞう、いんとらふごうかがぞう[どうが]	I-picture, intra-coded picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35277	C		IDCT	IDCT	IDCT				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35278	C		IMDCT[音響]	IMDCT[おんきょう]	IMDCT [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35279	C		強度ステレオ[音響]	きょうどすてれお[おんきょ	intensity stereo [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35280	C		インターレース、飛越し走査[動画]	いんたーれーす、とびこしそうさ[どうが]	interlace [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35281	C		画像内符号化[動画]	がぞうないふごうか[どう	intra coding[video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35282	C		ITU-T Rec. H.222.0 | ISO/IEC 13818 (多重送信)ストリーム[システム]	ITU-T Rec. H.222.0 | ISO/IEC 13818 (たじゅうそうしん)すとりーむ[しすて	ITU-T Rec. H.222.0 | ISO/IEC 13818 (multiplexed) stream				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35283	C		ステレオ相関符号化[音響]	すてれおそうかんふごうか[おんきょう]	joint stereo coding [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35284	C		ステレオ相関モード[音響]	すてれおそうかんもーど[おんきょう]	joint stereo mode[audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35285	C		層[音響]	そう[おんきょう]	layer [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35286	C		層[システム]	そう[しすてむ]	layer [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35287	C		層[動画]	そう[どうが]	layer [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35288	C		層ビットストリーム[動画]	そうびっとすとりーむ[どう	layer bitstream [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35289	C		レベル[動画]	れべる[どうが]	level [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35290	C		LFE[音響]	LFE[おんきょう]	LFE [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35291	C		低周波強化(LFE)チャンネル[音響]	ていしゅうはきょうか(LFE)ちゃんねる[おんきょう]	low frequency enhancement (LFE)				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35292	C		下層[動画]	かそう[どうが]	lower layer [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35293	C		輝度成分[動画]	きどせいぶん[どうが]	luminance component [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35294	C		マクロブロック[動画]	まくろぶろっく[どうが]	macroblock [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35295	C		主音声チャンネル	しゅおんせいちゃんねる	main audio channels				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35296	C		マッピング[音響]	まっぴんぐ[おんきょう]	mapping [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35297	C		マスキング[音響]	ますきんぐ[おんきょう]	masking [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35298	C		マスキング閾値[音響]	ますきんぐしきいち[おんきょう]	masking threshold [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35299	C		メガビット[動画]	めがびっと[どうが]	Mbit [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35300	C		MCP[動画]	MCP[どうが]	MCP [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35301	C		修正離散コサイン変換(MDCT)[音響]	しゅうせいりさんこさいんへんかん(MDCT)[おんきょ	modified discrete cosin transform (MDCT) [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35302	C		ミスマッチ[動画]	みすまっち[どうが]	mismatch [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35303	C		動き補正[動画]	うごきほせい[どうが]	motion compensation				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35304	C		動き検出[動画]	うごきけんしゅつ[どうが]	motion estimation [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35305	C		運動ベクトル[動画]	うんどうべくとる[どうが]	motion vector [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35306	C		MSステレオ[音響]	MSすてれお[おんきょう]	MS stereo [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35307	C		多重チャンネル[音響]	たじゅうちゃんねる[おんきょう]	multichannel [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35308	C		多言語[音響]	たげんご[おんきょう]	multilingual [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35309	C		NIT[システム]	NIT[しすてむ]	NIT [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35310	C		非画像内符号化[動画]	ひがぞうないふごうか[どうが]	non-intra coding [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35311	C		非純音成分[音響]	ひじゅんおんせいぶん[おんきょう]	non-tonal component [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35312	C		ナイキストサンプリング	ないきすとさんぷりんぐ	Nyquist sampling				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35313	C		(対の)逆側[動画]	(ついの)ぎゃくがわ[どう	opposite parity [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35314	C		Pフィールド画像[動画]	Pふぃーるどがぞう[どうが]	P-field picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35315	C		Pフレーム画像[動画]	Pふれーむがぞう[どうが]	P-frame picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35316	C		P画像、予測符号化画像[動画]	Pがぞう、よそくふごうかがぞう[どうが]	P-picture; predictive-coded picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35317	C		パック[システム]	ぱっく[しすてむ]	pack[systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35318	C		パケット[システム]	ぱけっと[しすてむ]	packet [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35319	C		パケットデータ[システム]	ぱけっとでーた[しすてむ]	packet data [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35320	C		パケット識別子、PID[システム]	ぱけっとしきべつし、PID[しすてむ]	packet identifier, PID [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35321	C		埋め込み[音響]	うめこみ[おんきょう]	padding [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35322	C		パラメータ	ぱらめーた	parameter				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35323	C		パリティ(フィールドの)[動画]	ぱりてぃ(ふぃーるどの)[どうが]	parity (of field) [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35324	C		パーサー	ぱーさー	parser				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35325	C		過去基準フレーム(フィールド)[動画]	かこきじゅんふれーむ(ふぃーるど)[どうが]	past reference frame (field) [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35326	C		PAT[システム]	PAT[しすてむ]	PAT [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35327	C		ペイロード[システム]	ぺいろーど[しすてむ]	payload [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35328	C		PES[システム]	PES[しすてむ]	PES [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35329	C		PESパケット[システム]	PESぱけっと[しすてむ]	PES packet [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35330	C		PESパケットヘッダ[システム]	PESぱけっとへっだ[しすてむ]	PES packet header [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35331	C		PESストリーム[システム]	PESすとりーむ[しすてむ]	PES Stream [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35332	C		画像[動画]	がぞう[どうが]	picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35333	C		画像データ[動画]	がぞうでーた[どうが]	picture data [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35334	C		多相フィルターバンク[音響]	たそうふぃるたーばんく[おんきょう]	polyphase filterbank [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35335	C		予測[音響]	よそく[おんきょう]	prediction[audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35336	C		予測エラー	よそくえらー	prediction error				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35337	C		予測	よそく	prediction				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35338	C		予測子	よそくし	predictor				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35339	C		表示チャンネル[音響]	ひょうじちゃんねる[おんきょう]	presentation channel [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35340	C		表示タイムスタンプ、PTS[システム]	ひょうじたいむすたんぷ、PTS[しすてむ]	presentation time-stamp, PTS [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35341	C		表示ユニット、PU[システム]	ひょうじゆにっと、PU[しすてむ]	presentation unit, PU [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35342	C		プロファイル[動画]	ぷろふぁいる[どうが]	profile [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35343	C		プロファイル及びレベル組み合わせ[動画]	ぷろふぁいるおよびれべるくみあわせ[どうが]	profile-and-level combination [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35344	C		プログラム[AAC]	ぷろぐらむ[AAC]	program [AAC]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35345	C		プログラム[システム]	ぷろぐらむ[しすてむ]	program [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35346	C		プログラムクロック基準、PCR[システム]	ぷろぐらむくろっくきじゅん、PCR[しすてむ]	Program Clock Reference, PCR [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35347	C		プログラム要素[システム]	ぷろぐらむようそ[しすて	program element[systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35348	C		プログラム固有情報、PSI[システム]	ぷろぐらむこゆうじょうほう、PSI[しすてむ]	Program Specific Information, PSI [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35349	C		進行[動画]	しんこう[どうが]	progressive [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35350	C		心理音響モデル[音響]	しんりおんきょうもでる[おんきょう]	psychoacoustic model [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35351	C		量子化マトリクス[動画]	りょうしかまとりくす[どう	quantisation matrix [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35352	C		量子化DCT係数[動画]	りょうしかDCTけいすう[どうが]	quantised DCT coefficients [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35353	C		量子化スケール[動画]	りょうしかすけーる[どうが]	quantiser scale [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35354	C		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35355	C		復元フレーム[動画]	ふくげんふれーむ[どうが]	reconstructed frame				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35356	C		復元画像[動画]	ふくげんがぞう[どうが]	reconstructed picture [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35357	C		基準デコーダ[動画]	きじゅんでこーだ[どうが]	reference decoder [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35358	C		基準IDCT[動画]	きじゅんIDCT[どうが]	reference IDCT [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35359	C		基準フィールド[動画]	きじゅんふぃーるど[どう	reference field [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35360	C		基準フレーム[動画]	きじゅんふれーむ[どうが]	reference frame [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35361	C		記録遅延[動画]	きろくちえん[どうが]	reordering delay [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35362	C		再量子化[音響]	さいりょうしか[おんきょう]	requantisation [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35363	C		反転	はんてん	reserved				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35364	C		実行[動画]	じっこう[どうが]	run [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35365	C		サンプルアスペクト比[動	さんぷるあすぺくとひ[どう	sample aspect ratio				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35366	C		サンプリング周波数(Fs)	さんぷりんぐしゅうはすう	Sampling Frequency (Fs)				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35367	C		飽和[動画]	ほうわ[どうが]	saturation [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35368	C		スケーラビリティ[動画]	すけーらびりてぃ[どうが]	scalability [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35369	C		スケーラブル階層[動画]	すけーらぶるかいそう[どうが]	scalable hierarchy [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35370	C		スケール係数[音響]	すけーるけいすう[おん	scalefactor [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35371	C		スケール係数帯域[音響]	すけーるけいすうたいいき[おんきょう]	scalefactor band [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35372	C		スケール係数指標[音響]	すけーるけいすうしひょう[おんきょう]	scalefactor index [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35373	C		スクランブル[システム]	すくらんぶる[しすてむ]	scrambling [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35374	C		サイド情報	さいどじょうほう	side information				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35375	C		省略マクロブロック[動画]	しょうりゃくまくろぶろっく[どうが]	skipped macroblock [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35376	C		スライス[動画]	すらいす[どうが]	slice [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35377	C		スロット[音響]	すろっと[おんきょう]	slot[audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35378	C		SNRスケーラビリティ[動画]	SNRすけーらびりてぃ[どうが]	SNR scalability [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35379	C		ソースストリーム	そーすすとりーむ	source stream				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35380	C		ソース、入力[動画]	そーす、にゅうりょく[どう	source, input [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35381	C		空間予測[動画]	くうかんよそく[どうが]	spatial prediction [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35382	C		空間スケーラビリティ[動画]	くうかんすけーらびりてぃ[どうが]	spatial scalability [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35383	C		スペクトル係数	すぺくとるけいすう	spectral coefficients				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35384	C		スプライシング[システム]	すぷらいしんぐ[しすてむ]	splicing[systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35385	C		拡散機能[音響]	かくさんきのう[おんきょう]	spreading function [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35386	C		開始符号[システム]	かいしふごう[しすてむ]	start codes [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35387	C		STD入力バッファ[システム]	STDにゅうりょくばっふぁ[しすてむ]	STD input buffer [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35388	C		ステレオモード[音響]	すてれおもーど[おんきょ	stereo mode [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35389	C		無関連ステレオ[音響]	むかんれんすてれお[おんきょう]	stereo-irrelevant [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35390	C		静止画像[システム]	せいしがぞう[しすてむ]	still picture [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35391	C		スタッフィング(ビット)、スタッフィング(バイト)	すたっふぃんぐ(びっと)、すたっふぃんぐ(ばいと)	stuffing (bits), stuffing (bytes)				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35392	C		サブバンド[音響]	さぶばんど[おんきょう]	subband [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35393	C		サブバンドフィルターバンク[音響]	さぶばんどふぃるたーばんく[おんきょう]	subband filterbank [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35394	C		サブバンドサンプル[音響]	さぶばんどさんぷる[おんきょう]	subband samples [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35395	C		サラウンドチャンネル[音響]	さらうんどちゃんねる[おんきょう]	surround channel [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35396	C		シンクワード[音響]	しんくわーど[おんきょう]	syncword [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35397	C		合成フィルターバンク[音響]	ごうせいふぃるたーばんく[おんきょう]	synthesis filterbank [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35398	C		システムクロック基準、SCR[システム]	しすてむくろっくきじゅん、SCR[しすてむ]	System Clock Reference, SCR [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35399	C		システムヘッダ[システム]	しすてむへっだ[しすてむ]	system header [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35400	C		システムターゲットデコーダ、STD[システム]	しすてむたーげっとでこーだ、STD[しすてむ]	system target decoder, STD [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35401	C		時間予測[動画]	じかんよそく[どうが]	temporal prediction				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35402	C		時間スケーラビリティ[動画]	じかんすけーらびりてぃ[どうが]	temporal scalability [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35403	C		タイムスタンプ[システム]	たいむすたんぷ[しすてむ]	time-stamp [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35404	C		音色成分[音響]	ねいろせいぶん[おんきょ	tonal component [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35405	C		上部フィールド[動画]	じょうぶふぃーるど[どうが]	top field [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35406	C		上層[動画]	じょうそう[どうが]	top layer [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35407	C		輸送ストリームパケットヘッダ[システム]	ゆそうすとりーむぱけっとへっだ[しすてむ]	Transport Stream packet header [systems]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35408	C		三重項[音響]	さんじゅうこう[おんきょう]	triplet [audio]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35409	C		可変ビットレート	かへんびっとれーと	variable bitrate				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35410	C		可変長符号化	かへんちょうふごうか	variable length coding				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35411	C		可変長符号(VLC)	かへんちょうふごう(VLC)	variable length code (VLC)				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35412	C		可変長デコーダ(VLD)	かへんちょうでこーだ(VLD)	variable length decoder (VLD)				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35413	C		可変長エンコーダ	かへんちょうえんこーだ	variable length encoder				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35414	C		動画バッファリング認証子、VBV[動画]	どうがばっふぁりんぐにんしょうし、VBV[どうが]	video buffering verifier, VBV [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35415	C		動画シーケンス[動画]	どうがしーけんす[どうが]	video sequence [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35416	C		xxxプロファイルビットストリーム[動画]	xxxぷろふぁいるびっとすとりーむ[どうが]	xxx profile bitstream [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35417	C		xxxプロファイルデコーダ[動画]	xxxぷろふぁいるでこーだ[どうが]	xxx profile decoder [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35418	C		xxxプロファイルスケーラブル階層[動画]	xxxぷろふぁいるすけーらぶるかいそう[どうが]	xxx profile scalable hierarchy [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35419	C		ジグザグスキャン順[動画]	じぐざぐすきゃんじゅん[どうが]	zig-zag scanning order [video]				ISO/IEC 13818-4	2004				2004	SC29
35420	C		2進法表示	2しんほうひょうじ	Binary Representation				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35421	C		内容	ないよう	Content				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35422	C		内容消費	ないようしょうひ	Content Consumption				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35423	C		内容ストリーム	ないようすとりーむ	Content Stream				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35424	C		IPMPデバイス	IPMPでばいす	IPMP Device				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35425	C		IPMP情報	IPMPじょうほう	IPMP Information				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35426	C		IPMPツール	IPMPつーる	IPMP Tool				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35427	C		IPMPツール識別子	IPMPつーるしきべつし	IPMP Tool Identifier				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35428	C		IPMPツール一覧	IPMPつーるいちらん	IPMP Tool List				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35429	C		IPMPツールマネジャー	IPMPつーるまねじゃー	IPMP Tool Manager				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35430	C		IPMPツールメッセージ	IPMPつーるめっせーじ	IPMP Tool Message				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35431	C		メッセージルータ	めっせーじるーた	Message Router				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35432	C		相互認証	そうごにんしょう	Mutual Authentication				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35433	C		パラメータ記述	ぱらめーたきじゅつ	Parametric Description				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35434	C		更新可能性	こうしんかのうせい	Renewability				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35435	C		表示フォーマット	ひょうじふぉーまっと	Representation Format				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35436	C		保護適用範囲	ほごてきようはんい	Scope of Protection				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35437	C		セキュリティが確保された通信	せきゅりていがかくほされたつうしん	Secure Communication				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35438	C		端末	たんまつ	Terminal				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35439	C		使用者	しようしゃ	User				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35440	C		認証	にんしょう	Verification				ISO/IEC 13818-11	2004				2004	SC29
35441	C		アクセスユニット (AU)	あくせすゆにっと (AU)	Access Unit (AU)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35442	C		アルファマップ	あるふぁまっぷ	Alpha Map				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35443	C		アトム	あとむ	Atom				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35444	C		視聴覚オブジェクト	しちょうかくおぶじぇくと	Audio-visual Object				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35445	C		視聴覚シーン(AVシーン)	しちょうかくしーん(AVしーん)	Audio-visual Scene (AV Scene)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35446	C		AVCパラメータセット	AVCぱらめーたせっと	AVC Parameter Set				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35447	C		AVCアクセスユニット	AVCあくせすゆにっと	AVC Access Unit				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35448	C		AVCパラメータセット・アクセスユニット	AVCぱらめーたせっと・あくせすゆにっと	AVC Parameter Set Access Unit				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35449	C		AVCパラメータセット・初期ストリーム	AVCぱらめーたせっと・しょきすとりーむ	AVC Parameter Set Elementary Stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35450	C		AVC映像初期ストリーム	AVCえいぞうしょきすとりーむ	AVC Video Elementary Stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35451	C		シーンのバイナリフォーマット(BIFS)	しーんのばいなりふぉーまっと(BIFS)	Binary Format for Scene (BIFS)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35452	C		バッファモデル	ばっふぁもでる	Buffer Model				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35453	C		割当バイト	わりあてばいと	Byte Aligned				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35454	C		チャンク	ちゃんく	Chunk				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35455	C		クロック基準	くろっくきじゅん	Clock Reference				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35456	C		構成	こうせい	Composition				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35457	C		構成メモリ(CM)	こうせいめもり(CM)	Composition Memory (CM)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35458	C		構成タイムスタンプ(CTS)	こうせいたいむすたんぷ(CTS)	Composition Time Stamp (CTS)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35459	C		構成ユニット(CU)	こうせいゆにっと(CU)	Composition Unit (CU)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35460	C		構成層	こうせいそう	Compression Layer				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35461	C		コンテナアトム	こんてなあとむ	Container Atom				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35462	C		制御点	せいぎょてん	Control Point				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35463	C		デコーダ	でこーだ	Decoder				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35464	C		復号バッファ(DB)	ふくごうばっふぁ(DB)	Decoding buffer (DB)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35465	C		デコーダ構成	でこーだこうせい	Decoder configuration				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35466	C		復号タイムスタンプ(DTS)	ふくごうたいむすたんぷ(DTS)	Decoding Time Stamp (DTS)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35467	C		配信層	はいしんそう	Delivery Layer				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35468	C		記述子	きじゅつし	Descriptor				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35469	C		DMIFアプリケーションインターフェース(DAI)	DMIFあぷりけーしょんいんたーふぇーす(DAI)	DMIF Application Interface (DAI)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35470	C		初期ストリーム (ES)	しょきすとりーむ (ES)	Elementary Stream (ES)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35471	C		初期ストリーム記述子	しょきすとりーむきじゅつし	Elementary Stream Descriptor				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35472	C		初期ストリームインターフェース(ESI)	しょきすとりーむいんたーふぇーす(ESI)	Elementary Stream Interface (ESI)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35473	C		M4Muxチャンネル (FMC)	M4Muxちゃんねる (FMC)	M4Mux Channel (FMC)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35474	C		M4Muxパケット	M4Muxぱけっと	M4Mux Packet				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35475	C		M4Muxストリーム	M4Muxすとりーむ	M4Mux Stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35476	C		M4Muxツール	M4Muxつーる	M4Mux tool				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35477	C		図形プロファイル	ずけいぷろふぁいる	Graphics Profile				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35478	C		ヒントトラック	ひんととらっく	Hint Track				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35479	C		ヒンタ	ひんた	Hinter				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35480	C		インター	いんたー	Inter				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35481	C		相互作用ストリーム	そうごさようすとりーむ	Interaction Stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35482	C		イントラ	いんとら	Intra				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35483	C		初期オブジェクト記述子	しょきおぶじぇくときじゅつ	Initial Object Descriptor				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35484	C		知的財産識別(IPI)	ちてきざいさんしきべつ(IPI)	Intellectual Property Identification (IPI)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35485	C		知的財産管理及び保護(IPMP)システム	ちてきざいさんかんりおよびほご(IPMP)しすてむ	Intellectual Property Management and Protection (IPMP) System				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35486	C		IPMP情報	IPMPじょうほう	IPMP Information				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35487	C		IPMPシステム	IPMPしすてむ	IPMP System				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35488	C		IPMPツール	IPMPつーる	IPMP Tool				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35489	C		IPMPツール識別子	IPMPつーるしきべつし	IPMP Tool Identifier				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35490	C		IPMPツール一覧	IPMPつーるいちらん	IPMP Tool List				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35491	C		メディアノード	めでぃあのーど	Media Node				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35492	C		メディアストリーム	めでぃあすとりーむ	Media stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35493	C		メディア時系列	めでぃあじけいれつ	Media time line				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35494	C		ムービーアトム	むーびーあとむ	Movie Atom				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35495	C		ムービーデータアトム	むーびーでーたあとむ	Movie Data Atom				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35496	C		MP4ファイル	MP4ふぁいる	MP4 File				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35497	C		オブジェクトクロック基準(OCR)	おぶじぇくとくろっくきじゅん(OCR)	Object Clock Reference (OCR)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35498	C		オブジェクト内容情報(OCI)	おぶじぇくとないようじょうほう(OCI)	Object Content Information (OCI)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35499	C		オブジェクト記述子 (OD)	おぶじぇくときじゅつし	Object Descriptor (OD)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35500	C		オブジェクト記述子コマンド	おぶじぇくときじゅつしこまんど	Object Descriptor Command				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35501	C		オブジェクト記述子プロファイル	おぶじぇくときじゅつしぷろふぁいる	Object Descriptor Profile				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35502	C		オブジェクト記述子ストリーム	おぶじぇくときじゅつしすとりーむ	Object Descriptor Stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35503	C		オブジェクトタイムベース(OTB)	おぶじぇくとたいむべーす(OTB)	Object Time Base (OTB)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35504	C		パラメータ音声デコーダ	ぱらめーたおんせいでこーだ	Parametric Audio Decoder				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35505	C		パラメータ記述	ぱらめーたきじゅつ	Parametric Description				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35506	C		サービス品質(QoS)	さーびすひんしつ(QoS)	Quality of Service (QoS)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35507	C		ランダムアクセス	らんだむあくせす	Random Access				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35508	C		基準点	きじゅんてん	Reference Point				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35509	C		レンダリング	れんだりんぐ	Rendering				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35510	C		レンダリング領域	れんだりんぐりょういき	Rendering Area				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35511	C		サンプル	さんぷる	Sample				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35512	C		サンプル表	さんぷるひょう	Sample Table				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35513	C		シーン記述	しーんきじゅつ	Scene Description				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35514	C		シーン記述ストリーム	しーんきじゅつすとりーむ	Scene Description Stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35515	C		シーン図形要素	しーんずけいようそ	Scene Graph Elements				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35516	C		シーン図形プロファイル	しーんずけいぷろふぁいる	Scene Graph Profile				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35517	C		検索可能	けんさくかのう	Seekable				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35518	C		SLパケット化ストリーム(SPS)	SLぱけっとかすとりーむ(SPS)	SL-Packetized Stream (SPS)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35519	C		ストリームオブジェクト	すとりーむおぶじぇくと	Stream object				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35520	C		構造化音声	こうぞうかおんせい	Structured Audio				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35521	C		同期化層(SL)	どうきかそう(SL)	Sync Layer (SL)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35522	C		同期化層設定	どうきかそうせってい	Sync Layer Configuration				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35523	C		同期化層パケット(SLパケット)	どうきかそうぱけっと(SLぱけっと)	Sync Layer Packet (SL-Packet)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35524	C		構文記述言語(SDL)	こうぶんきじゅつげんご(SDL)	Syntactic Description Language (SDL)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35525	C		システムデコーダモデル(SDM)	しすてむでこーだもでる(SDM)	Systems Decoder Model (SDM)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35526	C		システムタイムベース	しすてむたいむべーす	System Time Base (STB)				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35527	C		端末	たんまつ	Terminal				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35528	C		タイムベース	たいむべーす	Time Base				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35529	C		タイミングモデル	たいみんぐもでる	Timing Model				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35530	C		タイムスタンプ	たいむすたんぷ	Time Stamp				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35531	C		トラック	とらっく	Track				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29
35532	C		相互作用ストリーム	そうごさようすとりーむ	Interaction Stream				ISO/IEC 14496-1	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35533	C		3次元メッシュ	3じげんめっしゅ	3D mesh				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35534	C		3次元メッシュ接続関係	3じげんめっしゅせつぞくかんけい	3D mesh connectivity				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35535	C		3次元メッシュ形状	3じげんめっしゅけいじょう	3D mesh geometry				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35536	C		3次元メッシュ特性	3じげんめっしゅとくせい	3D mesh properties				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35537	C		AC係数	ACけいすう	AC coefficient	ひとつの次元、もしくは、ふたつの次元におけるDCT係数のうち周波数がゼロでない係			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35538	C		BフィールドVOP	BふぃーるどVOP	B-field VOP	フィールド構造のB-VOP			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35539	C		BフレームVOP	BふれーむVOP	B-frame VOP	フレーム構造のB-VOP			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35540	C		B-VOP、予測符号化映像オブジェクト面(VOP)	B-VOP、よそくふごうかえいぞうおぶじぇくとめん(VOP)	B-VOP, bidirectionally predictive-coded video object plane (VOP)	動き補償予測において表示順で過去と未来の参照VOPを用いて符号化するVOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35541	C		後方運動ベクトル	こうほううんどうべくとる	backward motion vector	表示順で遅い時刻(未来)の参照画像を用いて動き補償予測する際に用いる動きベクト			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35542	C		後方予測	こうほうよそく	backward prediction	表示順で遅い時刻(未来)の参照画像を用いた動き補償予測。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35543	C		基本階層	きほんかいそう	base layer	階層符号化において独立して復号可能な階層。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35544	C		二値アルファブロック	にちあるふぁぶろっく	binary alpha block	形状情報を表す二値アルファマップの16x16画素ブロック。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35545	C		二値アルファマップ	にちあるふぁまっぷ	binary alpha map	ビデオオブジェクトの形状を表すために用いる二次元の二値マスク情報。二値マスク情報は、背景の透過・非透過を示す。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35546	C		ビットストリーム、ストリー	びっとすとりーむ、すとりー	bitstream, stream	符号化データをビットの連なりとしもの。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35547	C		ビットレート	びっとれーと	bitrate	蓄積媒体やネットワークからデコーダに入力する符号化データの単位時間当たりのビット			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35548	C		ブロック	ぶろっく	block	8行8列(縮小VOPの場合は、16行16列)の画素、動き補償予測誤差、もしくは、それらに対応する64個のDCT係数。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35549	C		ブロックbp	ぶろっくbp	block-bp				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35550	C		ボディ動画パラメータ、BAP	ぼでぃどうがぱらめーた、BAP	body animation parameters, BAP				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35551	C		ボディ定義パラメータ、BDP	ぼでぃていぎぱらめーた、BDP	body definition parameters, BDP				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35552	C		ボディ変形表、BodyDefTable	ぼでぃへんけいひょう、BodyDefTable	body deformation table, BodyDefTable				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35553	C		下部フィールド	かぶふぃーるど	bottom field				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35554	C		境界(3次元メッシュの)	きょうかい(3じげんめっしゅの)	boundary (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35555	C		境界エッジ(3次元メッシュの)	きょうかいえっじ(3じげんめっしゅの)	boundary edge (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35556	C		境界ループ	きょうかいるーぷ	bounding loop				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35557	C		境界ループ指標	きょうかいるーぷしひょう	bounding loop index				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35558	C		分岐三角形(三角ツリーの)	ぶんきさんかくけい(さんかくつりーの)	branching triangle (of a triangle tree)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35559	C		分岐頂点(頂点ツリーまたは頂点グラフの)	ぶんきちょうてん(ちょうてんつりーまたはちょうてんぐらふの)	branching vertex (of a vertex tree or of a vertex graph)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35560	C		バイト整列	ばいとせいれつ	byte aligned	符号化ビットストリームのあるビットがバイト単位整列されているとは、そのビットが8ビットごとの区切りにおける先頭ビットに位置することをいう。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35561	C		バイト	ばいと	byte	8ビットの連なり。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35562	C		文脈依存算術符号化	ぶんみゃくいぞんさんじゅつふごうか	context based arithmetic encoding				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35563	C		チャンネル	ちゃんねる	channel	ISO/IEC 14496に準拠するビットストリームを蓄積や伝送するための媒体、もしくは、ネットワーク。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35564	C		クロミナンスフォーマット	くろみなんすふぉーまっと	chrominance format	マクロブロックにおける色差ブロック数を規定する情報。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35565	C		クロミナンス成分	くろみなんすせいぶん	chrominance component	配列、ブロック、もしくは、ひとつの画素に対する色表現に用いる二つの色差信号のうちの一方である。色差信号の記号としてはCrとCbである。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35566	C		符号化Bフレーム	ふごうかBふれーむ	coded B-frame	符号化されたフレーム構造B-VOP、もしくは、一対のフィールド構造B-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35567	C		符号化B-VOP	ふごうかB-VOP	coded B-VOP	符号化されたB-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35568	C		符号化フレーム	ふごうかふれーむ	coded frame	符号化I-frame、符号化P-frame、符号化B-frameの総称。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35569	C		符号化VOP	ふごうかVOP	coded VOP	符号化I-VOP、符号化P-VOP、符号化B-VOPの総称。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35570	C		符号化Iフレーム	ふごうかIふれーむ	coded I-frame	符号化されたフレーム構造I-VOP、もしくは、一対のフィールド構造I-VOP。一対のフィールド構造I-VOPの場合は、第1フィールドのVOPは、I-VOPであり、第2フィールドのVOPは、I-VOP、もしくは、P-VOPである。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35571	C		符号化I-VOP	ふごうかI-VOP	coded I-VOP	符号化されたI-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35572	C		符号化Pフレーム	ふごうかPふれーむ	coded P-frame	符号化されたフレーム構造P-VOP、もしくは、一対のフィールド構造P-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35573	C		符号化P-VOP	ふごうかP-VOP	coded P-VOP	符号化されたP-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35574	C		符号化S(GMC)-VOP	ふごうかS(GMC)-VOP	coded S(GMC)-VOP				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35575	C		符号化順	ふごうかじゅん	coded order	伝送やデコードにおける符号化画像の並び順である。必ずしも画像の表示順と同じにな			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35576	C		符号化映像ビットストリーム	ふごうかえいぞうびっとすとりーむ	coded video bitstream	ISO/IEC 14496-2が規定するよう符号化した一連の符号化VOPによる符号列。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35577	C		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	符号化により得られる符号体。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35578	C		符号化パラメータ	ふごうかぱらめーた	coding parameters	設定変更可能な符号化条件の仕様。ビットストリームは符号化パラメータ基づき分類される。デコーダは復号可能なビットストリームの仕様に基づき分類される。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35579	C		成分	せいぶん	component	画像の色を表現する3要素(輝度と二つの色差)のひとつで構成する配列、ブロック、画			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35580	C		構成プロセス	こうせいぷろせす	composition process	シーン生成や表示のために、単数、もしくは、複数VOPを合成する処理。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35581	C		圧縮	あっしゅく	compression	ある種のデータを表すために用いるビット数を削減すること。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35582	C		連結成分(3次元メッシュの)	れんけつせいぶん(3じげんめっしゅの)	connected component (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35583	C		一定ビットレート符号化映像	いっていびっとれーとふごうかえいぞう	constant bitrate coded video	ビットレートが一定の符号化ビデオビットストリーム。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35584	C		一定ビットレート	いっていびっとれーと	constant bitrate	符号化処理におけるビットレートが一定であること。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35585	C		変換率	へんかんりつ	conversion ratio				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35586	C		コーナー(3次元メッシュの)	こーなー(3じげんめっしゅ	corner (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35587	C		データ要素	でーたようそ	data element	エンコード前やデコード後のデータ項。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35588	C		DC係数	DCけいすう	DC coefficient	二次元の各周波数がゼロであるDCT係数。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35589	C		DCT係数	DCTけいすう	DCT coefficient	余弦基底関数の振幅として表現する直交変換係数。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35590	C		デコーダ入力バッファ	でこーだにゅうりょくばっ	decoder input buffer	ビデオバッファ検証として規定する符号を入力順に出力するバッファメモリ。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35591	C		デコーダ	でこーだ	decoder	デコード処理する実体。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35592	C		復号順	ふくごうじゅん	decoding order	VOPを符号化出力や復号する順序。必ずしも、表示順と同じでない。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35593	C		復号(プロセス)	ふくごう(ぷろせす)	decoding (process)	ISO/IEC 14496-2で規定するようにビットストリームを読み込んでVOP、オーディオ、3Dメッシュ等を復号する処理。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35594	C		デジタル蓄積媒体	でじたるちくせきばいたい	digital storage media, DSM	デジタルのデータを蓄積や伝送する装置、もしくは、システム。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35595	C		離散コサイン変換	りさんこさいんへんかん	discrete cosine transform, DCT	余弦関数を基底関数とする離散直交変換。 逆DCT演算の規定は、Annex Aに記述する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35596	C		ディスプレイのアスペクト	でぃすぷれいのあすぺくと	display aspect ratio	画像を表示する際の高さと幅の比率。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35597	C		表示順	ひょうじじゅん	display order	復号画像を表示する際の順序。符号化する際の画像入力順と同じ。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35598	C		表示過程	ひょうじかてい	display process	復号して得た画像を表示する過程。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35599	C		双対グラフ(3次元メッシュの)	そうついぐらふ(3じげんめっしゅの)	dual graph (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35600	C		エッジ(3次元メッシュの)	えっじ(3じげんめっしゅの)	edge (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35601	C		編集	へんしゅう	editing	いくつかのビットストリームを切り貼りして新たなビットストリームを生成する過程。編集によるビットストリームもISO/IEC 14496-2に準拠しなければならない。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35602	C		エンコーダ	えんこーだ	encoder	符号化処理する実体。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35603	C		符号化(処理)	ふごうか(しょり)	encoding (process)	入力する画像やオーディオサンプルからISO/IEC 14496に準拠する符号化ビットストリームを生成する過程。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35604	C		面の終わり、eop	めんのおわり、eop	end of plane, eop				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35605	C		拡張階層	かくちょうかいそう	enhancement layer	階層符号化において付加的に拡張する階層。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35606	C		フェース(3次元メッシュの)	ふぇーす(3じげんめっしゅ	face (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35607	C		大域的動き補償、GMC	たいいきてきうごきほしょう、GMC	global motion compensation, GMC	参照VOPの全体的な動きにより効率的に動き補償予測する技術。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35608	C		フェース動画パラメータユニット、FAPU	ふぇーすどうがぱらめーたゆにっと、FAPU	face animation parameter units, FAPU				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35609	C		フェース動画パラメータ、FAP	ふぇーすどうがぱらめーた、FAP	face animation parameters, FAP				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35610	C		フェース動画表、FAT	ふぇーすどうがひょう、	face animation table, FAT				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35611	C		フェース校正メッシュ	ふぇーすこうせいめっしゅ	face calibration mesh				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35612	C		フェース定義パラメータ、FDP	ふぇーすていぎぱらめーた、FDP	face definition parameters, FDP				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35613	C		フェース特徴制御点	ふぇーすとくちょうせいぎょてん	face feature control point				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35614	C		(三次元メッシュの)フェースツリー群	(さんじげんめっしゅの)ふぇーすつりーぐん	face forest (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35615	C		フェース補間変形、FIT	ふぇーすほかんへんけい、FIT	face interpolation transform, FIT				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35616	C		フェースモデルメッシュ	ふぇーすもでるめっしゅ	face model mesh				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35617	C		フェースツリー(3次元メッシュ)	ふぇーすつりー(3じげんめっしゅ)	face tree (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35618	C		早送り再生	はやおくりさいせい	fast forward playback	実時間より速いビデオの順方向再生表示。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35619	C		逆早送り再生	ぎゃくはやおくりさいせい	fast reverse playback	実時間より速いビデオの逆方向再生表示。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35620	C		フェザーリング	ふぇざーりんぐ	feathering				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35621	C		fgsブロック	fgsぶろっく	fgs block				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35622	C		fgsマクロブロック	fgsまくろぶろっく	fgs macroblock				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35623	C		fgsマクロブロック番号	fgsまくろぶろっくばんごう	fgs macroblock number				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35624	C		fgs実行	fgsじっこう	fgs run				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35625	C		fgs時間可変性、FGST	fgsじかんかへんせい、FGST	fgs temporal scalability, FGST				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35626	C		fgs vop	fgs vop	fgs vop				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35627	C		細密グラニュール可変性、FGS	さいみつぐらにゅーるかへんせい、FGS	fine granularity scalability; FGS				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35628	C		フィールド	ふぃーるど	field	インターレースビデオ信号においてライン交番により構成する画像単位。インターレースフレームは、トップフィールドとボトムフィールドの二つのフィールドからなる。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35629	C		フィールドベース予測	ふぃーるどべーすよそく	field-based prediction	参照フレームのうち片方のフィールドを用いる予測モード。予測ブロックサイズは16x16画素。プログレッシブフレームを予測する際には用いられない。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35630	C		フィールド周期	ふぃーるどしゅうき	field period	連続する二つのフィールドの時間間隔。フレームレートの2倍に対応する周期。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35631	C		フィールドVOP、フィールド構造VOP	ふぃーるどVOP、ふぃーるどこうぞうVOP	field VOP, field structure VOP	フィールド構造の符号化されたVOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35632	C		フラグ	ふらぐ	flag	二値(0と1)によりある状態や条件を示す1ビット整数値。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35633	C		禁止	きんし	forbidden	"forbidden"とは、符号化において、あるコードや値の使用が禁止されていること。偽スタートコードの発生防止等に用いられる。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35634	C		強制更新	きょうせいこうしん	forced updating	エンコーダとデコーダ間のIDCT演算誤差の蓄積による画質劣化を抑制するために、所定時間内ごとにマクロブロックをイントラ符号化する処理。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35635	C		前進的互換性	ぜんしんてきごかんせい	forward compatibility	旧来標準に準拠するビットストリームの全部、もしくは、一部が、新たな標準に準拠するデコーダで復号可能ならばその新たな標準を上位互換ありとする。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35636	C		前方動きベクトル	ぜんぽうごきべくとる	forward motion vector	表示順で早い時刻の参照フレームによる動き補償予測で用いる動きベクトル。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35637	C		前方予測	ぜんぽうよそく	forward prediction	過去の参照VOPからの予測。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35638	C		フレーム	ふれーむ	frame	ビデオ信号における複数ラインで構成されるひとつの画面。プログレッシブビデオは、ある瞬間から順次連続するラインでフレームを構成する。インターレースビデオは、トップフィールドとボトムフィールドの二つのフィールドでフレームを構成する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35639	C		フレームベース予測	ふれーむべーすよそく	frame-based prediction	参照フレームの両フィールドを用いる予測モード。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35640	C		フレーム周期	ふれーむしゅうき	frame period	フレームレートに対応する時間間隔。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35641	C		フレームレート	ふれーむれーと	frame rate	構成プロセスから出力する単位時間当たりのフレーム数。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35642	C		フレームVOP、フレーム構造VOP	ふれーむVOP、ふれーむこうぞうVOP	frame VOP, frame structure VOP	フレーム構造として符号化するVOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35643	C		未来参照フレーム(フィールド)	みらいさんしょうふれーむ(ふぃーるど)	future reference frame (field)	表示順で遅い時刻の参照フレーム(フィールド)。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35644	C		未来参照VOP	みらいさんしょうVOP	future reference VOP	表示順で遅い時刻の参照VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35645	C		階層3次元メッシュ	かいそう3じげんめっしゅ	hierarchical 3D mesh				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35646	C		(三次元メッシュの)階層表現	(さんじげんめっしゅの)かいそうひょうげん	hierarchical representation (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35647	C		混成可変性	こんせいかへんせい	hybrid scalability				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35648	C		Iフィールド VOP	IふぃーるどVOP	I-field VOP	フィールド構造のI-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35649	C		IフレームVOP	IふれーむVOP	I-frame VOP	フレーム構造のI-VOP			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35650	C		仮想エッジ	かそうえっじ	imaginary edge				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35651	C		(三次元メッシュの)漸進表現	(さんじげんめっしゅの)ざんしんひょうげん	incremental representation (of a 3D				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35652	C		IndexedFaceSet	IndexedFaceSet	IndexedFaceSet				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35653	C		インターレース、飛越し走査	いんたーれーす、とびこしそうさ	interlace				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35654	C		内部エッジ(3次元メッシュの)	ないぶえっじ(3じげんめっしゅの)	internal edge (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35655	C		I-VOP、イントラ符号化VOP	I-VOP、いんとらふごうかVOP	I-VOP, intra-coded VOP	画面内の情報のみで符号化するVOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35656	C		イントラ符号化	いんとらふごうか	intra coding	画面内の情報のみでマクロブロック、もしくは、VOPを符号化する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35657	C		イントラ形状符号化	いんとらけいじょうふごう	intra shape coding	画面間予測を用いずに画面内の情報のみで形状符号化。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35658	C		インター形状符号化	いんたーけいじょうふごう	inter shape coding	画面間予測を用いる形状符号化。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35659	C		逆量子化	ぎゃくりょうしか	inverse quantisation	ビットストリームから復号して得た量子化DCT係数を逆DCT変換するために規定尺度に戻す処理。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35660	C		ジャンプエッジ(3次元メッシュの)	じゃんぷえっじ(3じげんめっしゅの)	jump edge (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35661	C		レベル	れべる	level	特定プロファイルにおける制約符号化パラメータセットの規定。非ゼロの量子化DCT係数の絶対値を指す場合もある。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35662	C		階層	かいそう	layer	階層構造においてひとつの順に相当するビットストリーム、もしくは、デコード過程。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35663	C		階層状ビットストリーム	かいそうじょうびっとすとりーむ	layered bitstream	階層構造において特定の階層に相当するビットストリーム。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35664	C		リーフ三角形(3次元メッシュの)	りーふさんかくけい(3じげんめっしゅの)	leaf triangle (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35665	C		リーフ頂点(3次元メッシュの)	りーふちょうてん(3じげんめっしゅの)	leaf vertex (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35666	C		下層	かそう	lower layer	階層構造においてある拡張階層の直下に位置する階層。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35667	C		輝度成分	きどせいぶん	luminance component	ビデオ信号やビットストリームにおいてモノクロ表現に係る配列、ブロック、画素。輝度は、記号Yで標記する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35668	C		メガビット	めがびっと	Mbit	1,000,000ビットのこと。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35669	C		マクロブロック	まくろぶろっく	macroblock	輝度において四つの8x8画素ブロック(縮小VOPの動き補償予測では16x16画素ブロックに相当)で構成する。4:2:0色差フォーマットでは二つ、4:2:2色差フォーマットでは四つ、4:4:4色差フォーマットでは八つの対応する8x8画素色差ブロック(縮小VOPの動き補償予測では16x16画素ブロックに相当)を伴う。画像データや符号化データに対して用いられ			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35670	C		マニホールド(3次元メッシュ)	まにほーるど(3じげんめっしゅ)	manifold (3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35671	C		マーチングエッジ(3次元メッシュの)	まーちんぐえっじ(3じげんめっしゅの)	marching edge (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35672	C		メッシュ(2次元)	めっしゅ(2じげん)	mesh (2D)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35673	C		メッシュ形状	めっしゅけいじょう	mesh geometry				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35674	C		メッシュ運動	めっしゅうんどう	mesh motion				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35675	C		メッシュオブジェクト面、MOP	めっしゅおぶじぇくとめん、MOP	mesh object plane, MOP				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35676	C		動き補償	うごきほしょう	motion compensation	動きベクトルを用いて参照VOPを画素ずらしすることで効率的に予測する技術。既に符号化済みで局部復号した表示順で過去や未来、もしくは、両方の参照VOPを用いる。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35677	C		動き検出	うごきけんしゅつ	motion estimation	エンコード過程で動きベクトルを推定する過程。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35678	C		動きベクトル	うごきべくとる	motion vector	動き補償に用いる二次元ベクトルで、符号化対象画像のマクロブロック位置に対する参照VOPオフセットとして表現する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35679	C		形状動きベクトル	けいじょううごきべくとる	motion vector for shape	形状符号化における動きベクトル			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35680	C		多重補助成分	たじゅうほじょせいぶん	multiple auxiliary components				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35681	C		非イントラ符号化	ひいんとらふごうか	non-intra coding	画面内情報とともに、他時刻の画像情報を用いたマクロブロックやVOPの符号化。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35682	C		非マニホールド(3次元メッシュ)	ひまにほーるど(3じげんめっしゅ)	non-manifold (3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35683	C		方向付け不可能(3次元メッシュ)	ほうこうづけふかのう(3じげんめっしゅ)	non-orientable (3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35684	C		不透明マクロブロック	ふとうめいまくろぶろっく	opaque macroblock				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35685	C		方向付け可能(3次元メッシュ)	ほうこうづけかのう(3じげんめっしゅ)	orientable (3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35686	C		向き(3次元メッシュのフェースの)	むき(3じげんめっしゅのふぇーすの)	orientation (of a face of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35687	C		向き(3次元メッシュのエッジの)	むき(3じげんめっしゅのえっじの)	orientation (of an edge of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35688	C		有向(マニホールド3次元メッシュ)	ゆうこう(まにほーるど3じげんめっしゅ)	oriented (manifold 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35689	C		P-VOP、予測符号化VOP	P-VOP、よそくふごうかVOP	P-VOP, predictive-coded VOP				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35690	C		パラメータ	ぱらめーた	parameter				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35691	C		パーティション	ぱーていしょん	partition				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35692	C		過去の参照画像	かこのさんしょうがぞう	past reference picture	現VOPに対して表示順で早い時刻の参照VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35693	C		PフィールドVOP	PふぃーるどVOP	P-field VOP	フィールド構造のP-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35694	C		PフレームVOP	PふれーむVOP	P-frame VOP	フレーム構造のP-VOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35695	C		画像	がぞう	picture	原画、符号化、もしくは、復元画像データを指す。8ビットの輝度と二つの色差、もしくは、RGBカラー信号からなる。プログレッシブビデオにおけるピクチャはフレームに相当する。インターレースビデオにおけるピクチャはフィールドに相当する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35696	C		予測	よそく	prediction	予測器を用いて符号化対象の画素値やデータ要素値を推定すること。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35697	C		予測エラー	よそくえらー	prediction error	画素やデータ要素の値と予測値との差分。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35698	C		予測器	よそくし	predictor	符号化対象の画素値やデータ要素値を推定するために、局部復号した画素やデータ要素を用いる演算。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35699	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	ISO/IEC 14496で規定する複数符号化ツールからの選択的組合せによるサブセット定義。ビジュアルオブジェクトタイプに対応する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35700	C		順次画像	じゅんじがぞう	progressive	フィルム画像のように画面内をすべて同時刻の画素として扱う画像。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35701	C		量子化マトリクス	りょうしかまとりくす	quantisation matrix	逆量子化処理で用いる64個の8ビット値。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35702	C		量子化DCT係数	りょうしかDCTけいすう	quantised DCT	逆量子化する前のDCT係数。量子化DCT係数は可変長符号として符号化される。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35703	C		量子化スケール	りょうしかすけーる	quantiser scale	量子化尺度として符号化され、逆量子化に用いる。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35704	C		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	ビットストリーム上の任意位置から復号を開始すること。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35705	C		復元VOP	ふくげんVOP	reconstructed VOP	デコード処理によって符号化VOPから画像復元したVOP。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35706	C		参照階層	さんしょうかいそう	reference layer	階層構造において予測参照に用いる階層。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35707	C		参照VOP	さんしょうVOP	reference VOP	I-VOP、P-VOP、S-VOPの局部復号により、あとから符号化するP-VOP、B-VOP、S-VOPの予測の参照画像として用いる。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35708	C		(三角形ツリーの)正則三角形	(さんかくけいつりーの)せいそくさんかくけい	regular triangle (of a triangle tree)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35709	C		(三次元メッシュの)正則頂点	(さんじげんめっしゅの)せいそくちょうてん	regular vertex (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35710	C		(頂点ツリーの)正則頂点	(ちょうてんつりーの)せいそくちょうてん	regular vertex (of a vertex tree)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35711	C		並べ替え遅延	ならべかえちえん	reordering delay	デコード過程においてVOPを符号化順から表示順に並べ替えることで生じる遅延。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35712	C		予約済	よやくずみ	reserved	将来ISO/IECが拡張規定できるように押さえられた符号値に対して用いる用語。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35713	C		RGB成分	RGBせいぶん	RGB component	三原色の要素を用いて表現された配列、ブロック、画素。RGB信号は、記号Green、Blue、Redで標記する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35714	C		サンプルアスペクト比	さんぷるあすぺくとひ	sample aspect ratio	ディスプレイ上における画素間の垂直距離を水平距離で除算した値。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35715	C		階層構造	かいそうこうぞう	scalable hierarchy	複数ビットストリームにより符号化ビデオデータを構築すること。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35716	C		階層性	かいそうせい	scalability	順位付けされたビットストリーム群をデコードする能力、もしくは、デコーダのこと。ビットストリーム群のサブセットからビデオをデコードすることができる。最小構成のサブセットは、最初にデコードする基本階層である。拡張階層に先立つビットストリームを下位階層とし			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35717	C		サイド情報	さいどじょうほう	side information	デコーダ制御に必要なビットストリーム内の情報。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35718	C		省略マクロブロック	しょうりゃくまくろぶろっく	skipped macroblock	符号化情報をもたないマクロブロック。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35719	C		ラン	らん	run	規定する走査順で量子化DCT係数の非ゼロ値先立つゼロ係数の数。非ゼロ係数の絶対値は、レベルと呼ぶ。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35720	C		S-VOP	S-VOP	S-VOP	背景等をスプライト画像の幾何変換として符号化した画像。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35721	C		S(GMC)-VOP	S(GMC)-VOP	S(GMC)-VOP	表示順で過去のVOPからGMCにより予測して符号化した画像。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35722	C		飽和	ほうわ	saturation	所定範囲を超えた値を、その最小値、もしくは、最大値で制限すること。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35723	C		単純多角形(3次元メッシュの)	たんじゅんたかくけい(3じげんめっしゅの)	simple polygon (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35724	C		(三次元メッシュの)特異エッジ	(さんじげんめっしゅの)とくいえっじ	singular edge (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35725	C		(三次元メッシュの)特異頂点	(さんじげんめっしゅの)とくいちょうてん	singular vertex (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35726	C		ソース、入力	そーす、にゅうりょく	source, input				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35727	C		(グラフの)全域ツリー群	(ぐらふの)ぜんいきつりーぐん	spanning forest (of a graph)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35728	C		空間予測	くうかんよそく	spatial prediction	参照階層のデコード結果を用いた予測。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35729	C		空間可変性	くうかんかへんせい	spatial scalability	動き補償予測を用いることなく下位階層画像を参照して拡張階層を予測する階層符号			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35730	C		静的スプライト	せいてきすぷらいと	static sprite				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35731	C		開始符号	かいしふごう	start codes	ユニークな32ビットコードで、ビットストリームにおける構造特定などいつくかの目的に用			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35732	C		スタッフィング(ビット)、スタッフィング(バイト)	すたっふぃんぐ(びっと)、すたっふぃんぐ(ばいと)	stuffing (bits), stuffing (bytes)	デコーダで無視されるビットストリームに挿入可能な冗長符号。符号化において予定ビットレートより低い場合の合わせ込みに用いる。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35733	C		時間予測	じかんよそく	temporal prediction	空間予測と異なり、異なる時刻のVOPを参照して予測する。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35734	C		時間可変性	じかんかへんせい	temporal scalability	動き補償予測を用いて下位階層画像を参照して拡張階層を予測する階層符号化。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35735	C		上部フィールド	じょうぶふぃーるど	top field	フレームを構成する二つのフィールドのうちのひとつで、画面上で上側のフィールド。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35736	C		最上層	さいじょうそう	top layer	階層構造で最上位の階層。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35737	C		透明マクロブロック	とうめいまくろぶろっく	transparent macroblock				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35738	C		走査順	そうさじゅん	traversal order				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35739	C		ツリーループ(3次元メッシュの)	つりーるーぷ(3じげんめっしゅの)	tree loop (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35740	C		ツリーループフェース	つりーるーぷふぇーす	tree loop face				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35741	C		ツリーループコーナー	つりーるーぷこーなー	tree loop corner				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35742	C		三角ツリー(3次元メッシュの)	さんかくつりー(3じげんめっしゅの)	triangle tree (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35743	C		三角形連	さんかくけいれん	triangle run				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35744	C		三角形3次元メッシュ	さんかくけい3じげんめっ	triangular 3D mesh				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35745	C		可変ビットレート	かへんびっとれーと	variable bitrate	デコード最中にビットストリームが変化する操作。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35746	C		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、	variable length coding,	高頻度事象には短い符号を割当、低頻度事象には長い符号を割り当てる符号化。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35747	C		頂点グラフ(3次元メッシュの)	ちょうてんぐらふ(3じげんめっしゅの)	vertex graph (of a 3D mesh)				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35748	C		頂点連	ちょうてんれん	vertex run				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35749	C		頂点ツリー	ちょうてんつりー	vertex tree				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35750	C		ビデオバッファ検証器、VBV	びでおばっふぁけんしょうき、VBV	video buffering verifier, VBV	仮想デコーダの構成要素で、エンコーダや編集が出力するビットストリームのビットレート変化に制約条件を与える。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35751	C		ビデオ複雑度検証器、VCV	びでおふくざつどけんしょうき、VCV	video complexity verifier, VCV	仮想デコーダの構成要素で、エンコーダや編集が出力するビットストリームを復号する際に必要とする最大処理能力に制約条件を与える。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35752	C		ビデオメモリ検証器、VMV	びでおめもりけんしょうき、VMV	video memory verifier, VMV	仮想デコーダの構成要素で、エンコーダや編集が出力するビットストリームを復号する際に必要とする最大参照メモリに制約条件を与える。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35753	C		ビデオオブジェクト画像、VOP	びでおおぶじぇくとがぞう、VOP	video object plane, VOP	特定時刻におけるビデオオブジェクトの画像。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35754	C		ビデオ表示検証器、VPV	びでおひょうじけんしょうき、VPV	video presentation verifier, VPV	仮想デコーダの構成要素で、エンコーダや編集が出力するビットストリームを復号する際に必要とする最大表示メモリに制約条件を与える。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35755	C		映像セッション	えいぞうせっしょん	video session	ビットストリームにおける最上位構造で、一連のビデオオブジェクトからなる。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35756	C		口形素	こうけいもと	viseme				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35757	C		仮想三角形	かそうさんかくけい	virtual triangle				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35758	C		vop-bp	vop-bp	vop-bp				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35759	C		VOP順序並べ替え	VOPじゅんじょならびかえ	VOP reordering	表示順から符号化順へのVOP順序の並べ替え。符号化でB-VOPを用いる際に行われる。低遅延符号化では並べ替えは行わない。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35760	C		ワーピング	わーぴんぐ	warping	スプライト画像や参照VOPから僅かな動き情報を基に輝度、色差、形状情報を復元する幾何変換手法。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35761	C		Y頂点	Yちょうてん	Y-vertex				ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35762	C		ジグザグスキャン順	じぐざぐすきゃんじゅん	zigzag scanning order	DCT係数を概ね周波数の低い順に並べる順序。			ISO/IEC 14496-2	2004				2004	SC29
35763	C		関連タグ	かんれんたぐ	Association Tag				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35764	C		チャンネル	ちゃんねる	Channel				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35765	C		配信層	はいしんそう	Delivery layer				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35766	C		DMIFアプリケーションインターフェース	DMIFあぷりけーしょんいんたーふぇーす	DMIF-Application Interface				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35767	C		DMIFデフォルト信号プロトコル(DDSP)	DMIFでふぉるとしんごうぷろとこる(DDSP)	DMIF Default Signalling Protocol (DDSP)				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35768	C		DMIFインスタンス	DMIFいんすたんす	DMIF Instance				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35769	C		DMIFネットワークインターフェース	DMIFねっとわーくいんたーふぇーす	DMIF-Network Interface				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35770	C		DMIFピア	DMIFぴあ	DMIF peer				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35771	C		DMIF使用者	DMIFしようしゃ	DMIF User				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35772	C		異機種ネットワーク	いきしゅねっとわーく	Heterogeneous Network				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35773	C		同種ネットワーク	どうしゅねっとわーく	Homogeneous Network				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35774	C		ネットワークセッション	ねっとわーくせっしょん	Network Session				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35775	C		サービス	さーびす	Service				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35776	C		サービスセッション	さーびすせっしょん	Service Session				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35777	C		多重送信チャンネル	たじゅうそうしんちゃんね	Transmux Channel				ISO/IEC 14496-6	2000				2000	SC29
35778	C		MIME	まいむ	MIME				ISO/IEC 14496-8	2004				2004	SC29
35779	C		RTP	RTP	RTP				ISO/IEC 14496-8	2004				2004	SC29
35780	C		RTSP	RTSP	RTSP				ISO/IEC 14496-8	2004				2004	SC29
35781	C		RTCP	RTCP	RTCP				ISO/IEC 14496-8	2004				2004	SC29
35782	C		SDP	SDP	SDP				ISO/IEC 14496-8	2004				2004	SC29
35783	C		2値表現	2ちひょうげん	Binary Representation				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35784	C		内容	ないよう	Content				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35785	C		内容消費	ないようしょうひ	Content Consumption				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35786	C		内容ストリーム	ないようすとりーむ	Content Stream				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35787	C		IPMPデバイス	IPMPでばいす	IPMP Device				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35788	C		IPMP情報	IPMPじょうほう	IPMP Information				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35789	C		IPMPシステム	IPMPしすてむ	IPMP System				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35790	C		IPMPツール	IPMPつーる	IPMP Tool				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35791	C		IPMPツールマネジャー	IPMPつーるまねじゃー	IPMP Tool Manager				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35792	C		IPMPツールメッセージ	IPMPつーるめっせーじ	IPMP Tool Message				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35793	C		IPMPツールストリーム	IPMPつーるすとりーむ	IPMP Tool Stream				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35794	C		メッセージルータ	めっせーじるーた	Message Router				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35795	C		相互認証	そうごにんしょう	Mutual Authentication				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35796	C		パラメータ設定	ぱらめーたせってい	Parametric Configuration				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35797	C		表示フォーマット	ひょうじふぉーまっと	Representation Format				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35798	C		保護適用範囲	ほごてきようはんい	Scope of Protection				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35799	C		端末	たんまつ	Terminal				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35800	C		使用者	しようしゃ	User				ISO/IEC 14496-13	2004				2004	SC29
35801	C		パラメータセット	ぱらめーたせっと	parameter set				ISO/IEC 14496-15	2004				2004	SC29
35802	C		パラメータセット初期ストリーム	ぱらめーたせっとしょきすとりーむ	parameter set elementary stream				ISO/IEC 14496-15	2004				2004	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35803	C		映像初期ストリーム	えいぞうしょきすとりーむ	video elementary stream				ISO/IEC 14496-15	2004				2004	SC29
35804	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35805	C		セル	せる	cell				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35806	C		成分	せいぶん	component				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35807	C		成分コレクション、成分集合	せいぶんこれくしょん、せいぶんしゅうごう	component collection				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35808	C		成分復元配列	せいぶんふくげんはいれつ	component reconstruction arrays				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35809	C		合成	ごうせい	compositing				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35810	C		合成層	ごうせいそう	compositing layer				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35811	C		デッドゾーン	でっどぞーん	deadzone				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35812	C		分解レベル	ぶんかいれべる	decomposition level				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35813	C		分解サブレベル	ぶんかいさぶれべる	decomposition sub-level				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35814	C		非相関変換配列	ひそうかんへんかんはいれつ	decorrelation transformation array				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35815	C		依存変換配列	いぞんへんかんはいれつ	dependency transformation array				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35816	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35817	C		HXサブバンド	HXさぶばんど	HX sub-band				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35818	C		中間成分	ちゅうかんせいぶん	intermediate component				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35819	C		JPXベースライン	JPXべーすらいん	JPX baseline				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35820	C		JPXベースラインリーダ	JPXべーすらいんりーだ	JPX baseline reader				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35821	C		JPXファイル	JPXふぁいる	JPX file				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35822	C		LXサブバンド	LXさぶばんど	LX sub-band				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35823	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35824	C		名前空間	なまえくうかん	namespace				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35825	C		オフセット配列	おふせっとはいれつ	offset array				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35826	C		復元画像成分	ふくげんがぞうせいぶん	reconstructed image component				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35827	C		レンダリング結果	れんだりんぐけっか	rendered result				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35828	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35829	C		サブバンド	さぶばんど	sub-band				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35830	C		空間的復元成分	くうかんてきふくげんせいぶん	spatially reconstructed component				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35831	C		変換ステージ	へんかんすてーじ	transformation stage				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35832	C		視覚マスキング	しかくますきんぐ	visual masking				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35833	C		XHサブバンド	XHさぶばんど	XH sub-band				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35834	C		XLサブバンド	XLさぶばんど	XL sub-band				ISO/IEC 15444-2	2004				2004	SC29
35835	C		抽象的試験ソフトウェア	ちゅうしょうてきしけんそふとうぇあ	abstract test suite				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35836	C		算術符号器	さんじゅつふごうき	arithmetic coder				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35837	C		バイト降順	ばいとこうじゅん	big endian				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35838	C		ビット	びっと	bit				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35839	C		(必要)ビット数	(ひつよう)びっとすう	bit-depth				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35840	C		ビットプレーン	びっとぷれーん	bit-plane				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35841	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bitstream				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35842	C		ボックス	ぼっくす	box				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35843	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35844	C		Cクラス	Cくらす	Cclass				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35845	C		符号ブロック	ふごうぶろっく	code-block				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35846	C		符号器	ふごうき	coder				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35847	C		符号ストリーム	ふごうすとりーむ	codestream				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35848	C		符号化パス	ふごうかぱす	coding pass				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35849	C		係数	けいすう	coefficient				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35850	C		成分	せいぶん	component				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35851	C		圧縮画像データ	あっしゅくがぞうでーた	compressed image data				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35852	C		適合性	てきごうせい	compliance				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35853	C		適合性試験手順	てきごうせいしけんてじゅ	compliance test procedure				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35854	C		コンテクスト	こんてくすと	context				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35855	C		デコーダ	でこーだ	decoder				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35856	C		復号プロセス	ふくごうぷろせす	decoding process				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35857	C		分解レベル	ぶんかいれべる	decomposition level				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35858	C		離散ウェーブレット変換(DWT)	りさんうぇーぶれっとへんかん(DWT)	discrete wavelet transformation (DWT)				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35859	C		エンコーダ	えんこーだ	encoder				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35860	C		コード化プロセス	こーどかぷろせす	encoding process				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35861	C		実行可能試験ソフトウェア	じっこうかのうしけんそふとうぇあ	executable test suite				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35862	C		ファイルフォーマット	ふぁいるふぉーまっと	file format				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35863	C		完全復号	かんぜんふくごう	fully decode				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35864	C		保護ビット	ほごびっと	guard bits				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35865	C		ヘッダ	へっだ	header				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35866	C		画像	がぞう	image				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35867	C		画像データ	がぞうでーた	image data				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35868	C		実装	じっそう	implementation				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35869	C		実装適合性命令文(ICS)	じっそうてきごうせいめいれいぶん(ICS)	Implementation Compliance Statement				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35870	C		試験下での実装(IUT)	しけんかでのじっそう(IUT)	Implementation Under Test (IUT)				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35871	C		不可逆	ふかぎゃく	irreversible				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35872	C		JP2ファイル	JP2ふぁいる	JP2 file				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35873	C		JPEG	じぇいぺぐ	JPEG				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35874	C		LLサブバンド	LLさぶばんど	LL subband				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35875	C		層	そう	layer				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35876	C		無損失	むそんしつ	lossless				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35877	C		損失(型)	そんしつ(かた)	lossy				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35878	C		主要ヘッダ	しゅようへっだ	main header				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35879	C		マーカ	まーか	marker				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35880	C		マーカセグメント	まーかせぐめんと	marker segment				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35881	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35882	C		パケットヘッダ	ぱけっとへっだ	packet header				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35883	C		パーサ	ぱーさ	parser				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35884	C		部分復号	ぶぶんふくごう	partial decoding				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35885	C		境界	きょうかい	precinct				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35886	C		精度	せいど	precision				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35887	C		漸進(順序)	ざんしん(じゅんじょ)	progression				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35888	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35889	C		量子化	りょうしか	quantization				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35890	C		復元画像	ふくげんがぞう	reconstructed image				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35891	C		基準グリッド	きじゅんぐりっど	reference grid				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35892	C		関心領域(ROI)	かんしんりょういき(ROI)	region of interest (ROI)				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35893	C		可逆	かぎゃく	reversible				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35894	C		可逆フィルタ	かぎゃくふぃるた	reversible filter				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35895	C		サンプル	さんぷる	sample				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35896	C		選択算術符号化バイパス	せんたくさんじゅつふごうかばいぱす	selective arithmetic coding bypass				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35897	C		シフト	しふと	shift				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35898	C		符号ビット	ふごうびっと	sign bit				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35899	C		符号絶対値表記法	ふごうぜったいちひょうきほう	sign-magnitude notation				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35900	C		ソース画像	そーすがぞう	source image				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35901	C		サブバンド	さぶばんど	subband				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35902	C		試験	しけん	testing				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35903	C		タイル	たいる	tile				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35904	C		タイル成分	たいるせいぶん	tile-component				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35905	C		タイル部分	たいるぶぶん	tile-part				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35906	C		タイル部分ヘッダ	たいるぶぶんへっだ	tile-part header				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35907	C		変換	へんかん	transformation				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35908	C		変換係数	へんかんけいすう	transform coefficient				ISO/IEC 15444-4	2002				2002	SC29
35909	C		バイト降順	ばいとこうじゅん	big endian				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35910	C		ビット	びっと	bit				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35911	C		ビットプレーン	びっとぷれーん	bit-plane				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35912	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bit stream				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35913	C		ボックス	ぼっくす	box				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35914	C		ボックス内容	ぼっくすないよう	box contents				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35915	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35916	C		チャンネル	ちゃんねる	channel				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35917	C		符号ブロック	ふごうぶろっく	code-block				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35918	C		符号器	ふごうき	coder				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35919	C		符号ストリーム	ふごうすとりーむ	codestream				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35920	C		係数	けいすう	coefficient				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35921	C		成分	せいぶん	component				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35922	C		圧縮画像データ	あっしゅくがぞうでーた	compressed image data				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35923	C		デコーダ	でこーだ	decoder				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35924	C		復号プロセス	ふくごうぷろせす	decoding process				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35925	C		離散ウェーブレット変換(DWT)	りさんうぇーぶれっとへんかん(DWT)	discrete wavelet transformation (DWT)				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35926	C		エンコーダ	えんこーだ	encoder				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35927	C		コード化プロセス	こーどかぷろせす	encoding process				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35928	C		ファイルフォーマット	ふぁいるふぉーまっと	file format				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35929	C		ヘッダ	へっだ	header				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35930	C		画像	がぞう	image				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35931	C		画像領域	がぞうりょういき	image area				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35932	C		画像領域オフセット	がぞうりょういきおふせっ	image area offset				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35933	C		画像データ	がぞうでーた	image data				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35934	C		不可逆	ふかぎゃく	irreversible				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35935	C		JP2	JP2	JP2				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35936	C		JPEG	じぇいぺぐ	JPEG				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35937	C		JPEG 2000	じぇいぺぐにせん	JPEG 2000				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35938	C		層	そう	layer				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35939	C		可逆	かぎゃく	lossless				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
35940	C		不可逆	ふかぎゃく	lossy				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35941	C		マーカ	まーか	marker				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35942	C		マーカセグメント	まーかせぐめんと	marker segment				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35943	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35944	C		パケットヘッダ	ぱけっとへっだ	packet header				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35945	C		分区	ぶんく	precinct				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35946	C		精度	せいど	precision				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35947	C		漸進(順序)	ざんしん(じゅんじょ)	progression				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35948	C		量子化	りょうしか	quantization				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35949	C		ラスター順	らすたーじゅん	raster order				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35950	C		復元画像	ふくげんがぞう	reconstructed image				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35951	C		復元サンプル	ふくげんさんぷる	reconstructed sample				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35952	C		基準グリッド	きじゅんぐりっど	reference grid				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35953	C		基準タイル	きじゅんたいる	reference tile				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35954	C		関心領域(ROI)	かんしんりょういき(ROI)	region of interest (ROI)				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35955	C		分解能レベル	ぶんかいのうれべる	resolution level				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35956	C		可逆	かぎゃく	reversible				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35957	C		サンプル	さんぷる	sample				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35958	C		ソース画像	そーすがぞう	source image				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35959	C		サブバンド	さぶばんど	subband				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35960	C		サブバンド係数	さぶばんどけいすう	subband coefficient				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35961	C		タイル	たいる	tile				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35962	C		タイル成分	たいるせいぶん	tile-component				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35963	C		タイル指標	たいるしひょう	tile index				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35964	C		変換	へんかん	transformation				ISO/IEC 15444-5	2003				2003	SC29
35965	C		基調色	きちょうしょく	base colour				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35966	C		ベースページ	べーすぺーじ	BasePage				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35967	C		ボックス	ぼっくす	box				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35968	C		成分	せいぶん	component				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35969	C		複合画像	ふくごうがぞう	compound image				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35970	C		ファイルフォーマット	ふぁいるふぉーまっと	file format				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35971	C		フラグメント	ふらぐめんと	fragment				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35972	C		JP2ファイル	JP2ふぁいる	JP2 file				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35973	C		JPMファイル	JPMふぁいる	JPM file				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35974	C		JPXファイル	JPXふぁいる	JPX file				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35975	C		レイアウトオブジェクト	れいあうとおぶじぇくと	layout object				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35976	C		メインページ集合	めいんぺーじしゅうごう	main page collection				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35977	C		マスクオブジェクト	ますくおぶじぇくと	mask object				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35978	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35979	C		MRC	MRC	MRC				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35980	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35981	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35982	C		ページ集合	ぺーじしゅうごう	page collection				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35983	C		第1ページ集合	だい1ぺーじしゅうごう	primary page collection				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35984	C		ページ画像	ぺーじがぞう	PageImage				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35985	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35986	C		スーパーボックス	すーぱーぼっくす	superbox				ISO/IEC 15444-6	2003				2003	SC29
35987	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	access unit				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35988	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35989	C		バイナリアクセスユニット	ばいなりあくせすゆにっと	binary access unit				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35990	C		バイナリ記述ストリーム	ばいなりきじゅつすとりーむ	binary description stream				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35991	C		バイナリフォーマット記述ツリー	ばいなりふぉーまっときじゅつつりー	binary format description tree				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35992	C		バイトアライン	ばいとあらいん	byte-aligned				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35993	C		合成時間	ごうせいじかん	composition time				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35994	C		コンテンツ粒子	こんてんつりゅうし	content particle				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35995	C		コンテクストモード	こんてくすともーど	context mode				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35996	C		コンテクストノード	こんてくすとのーど	context node				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35997	C		コンテクストパス	こんてくすとぱす	context path				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35998	C		現在コンテクストノード	げんざいこんてくすとのー	current context node				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
35999	C		現在記述	げんざいきじゅつ	current description				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36000	C		現在記述ツリー	げんざいきじゅつつりー	current description tree				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36001	C		現在記述ツリー	げんざいきじゅつつりー	current description tree				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36002	C		DDLパーサー	DDLぱーさー	DDL parser				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36003	C		配信層	はいしんそう	delivery layer				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36004	C		派生型	はせいがた	derived type				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36005	C		記述時間	きじゅつじかん	described time				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36006	C		記述	きじゅつ	description				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36007	C		記述コンポーザ	きじゅつこんぽーざ	description composer				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36008	C		記述フラグメント	きじゅつふらぐめんと	description fragment				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36009	C		記述ストリーム	きじゅつすとりーむ	description stream				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36010	C		記述ツリー	きじゅつつりー	description tree				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36011	C		効果的コンテンツ粒子	こうかてきこんてんつりゅ	effective content particle				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36012	C		フラグメント更新コンポーネントエクストラクタ	ふらぐめんとこうしんこんぽーねんとえくすとらくた	fragment update command				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36013	C		フラグメント更新成分エクストラクタ	ふらぐめんとこうしんせいぶんえくすとらくた	fragment update component extractor				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36014	C		フラグメント更新コンテクスト	ふらぐめんとこうしんこんてくすと	fragment update context				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36015	C		フラグメント更新ペイロード	ふらぐめんとこうしんぺいろーど	fragment update payload				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36016	C		フラグメント更新ペイロードデコーダ	ふらぐめんとこうしんぺいろーどでこーだ	fragment update payload decoder				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36017	C		フラグメント更新ユニット	ふらぐめんとこうしんゆ	fragment update unit				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36018	C		フラグメント更新デコーダパラメータ	ふらぐめんとこうしんでこーだぱらめーた	fragment update decoder parameters				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36019	C		初期記述	しょききじゅつ	initial description				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36020	C		初期化エクストラクタ	しょきかえくすとらくた	initialisation extractor				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36021	C		マルチメディアコンテンツ記述	まるちめでぃあこんてんつきじゅつ	multimedia content description				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36022	C		オペランドノード	おぺらんどのーど	operand node				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36023	C		スキーマ	すきーま	schema				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36024	C		スキーマリゾルバ	すきーまりぞるば	schema resolver				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36025	C		スキーマURI	すきーまURI	schema URI				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36026	C		スキーマ有効	すきーまゆうこう	schema valid				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36027	C		セレクタノード	せれくたのーど	selector node				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36028	C		スーパータイプ	すーぱーたいぷ	super type				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36029	C		システム層	しすてむそう	systems layer				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36030	C		端末	たんまつ	terminal				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36031	C		テキストアクセスユニット	てきすとあくせすゆにっと	textual access unit				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36032	C		テキスト記述ストリーム	てきすときじゅつすとりーむ	textual description stream				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36033	C		最上位ノード	さいじょういのーど	topmost node				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36034	C		型階層	かたかいそう	type hierarchy				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36035	C		検証	けんしょう	validation				ISO/IEC 15938-1	2002				2002	SC29
36036	C		属性	ぞくせい	Attribute				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36037	C		基本型	きほんがた	Base type				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36038	C		複合型	ふくごうがた	Complex type				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36039	C		適合性	てきごうせい	Conformance				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36040	C		制約	せいやく	Constraint				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36041	C		コンテンツモデル	こんてんつもでる	Content Model				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36042	C		データ型	でーたがた	Datatype				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36043	C		定義	ていぎ	Definition				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36044	C		宣言	せんげん	Declaration				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36045	C		派生型	はせいがた	Derived type				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36046	C		記述	きじゅつ	Description				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36047	C		記述スキーム	きじゅつすきーむ	Description Scheme				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36048	C		記述ツール	きじゅつつーる	Description Tool				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36049	C		記述子	きじゅつし	Descriptor				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36050	C		要素	ようそ	Element				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36051	C		拡張	かくちょう	Extension				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36052	C		ファセット	ふぁせっと	Facet				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36053	C		例	れい	Instance				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36054	C		名前空間	なまえくうかん	Namespace				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36055	C		制限	せいげん	Restriction				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36056	C		スキーマ	すきーま	Schema				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36057	C		スキーマ成分	すきーませいぶん	Schema Component				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36058	C		有効範囲	ゆうこうはんい	Scope				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36059	C		単純型	たんじゅんがた	Simple Type				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36060	C		型	かた	Type				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36061	C		型参照	かたさんしょう	Type Reference				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36062	C		検証	けんしょう	Validation				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36063	C		整形式	せいけいしき	Well-formedness				ISO/IEC 15938-2	2002				2002	SC29
36064	C		既定基準軸	きていきじゅんじく	Default reference axis				ISO/IEC 15938-3	2002				2002	SC29
36065	C		DCT係数	DCTけいすう	DCT coefficient				ISO/IEC 15938-3	2002				2002	SC29
36066	C		AC係数	ACけいすう	AC coefficient				ISO/IEC 15938-3	2002				2002	SC29
36067	C		DC係数	DCけいすう	DC coefficient				ISO/IEC 15938-3	2002				2002	SC29
36068	C		データ要素	でーたようそ	Data element				ISO/IEC 15938-3	2002				2002	SC29
36069	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 15938-4	2002				2002	SC29
36070	C		ホップサイズ	ほっぷさいず	Hop size				ISO/IEC 15938-4	2002				2002	SC29
36071	C		移動ウィンドウ分析	いどういんどうぶんせき	Running window analysis				ISO/IEC 15938-4	2002				2002	SC29
36072	C		瞬時値	しゅんじち	Instantaneous values				ISO/IEC 15938-4	2002				2002	SC29
36073	C		属性	ぞくせい	Attribute				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36074	C		基本型	きほんがた	Base type				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36075	C		データ型	でーたがた	Datatype				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36076	C		派生型	はせいがた	Derived type				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36077	C		記述	きじゅつ	Description				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36078	C		記述スキーム	きじゅつすきーむ	Description Scheme				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36079	C		記述ツール	きじゅつつーる	Description Tool				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36080	C		記述子	きじゅつし	Descriptor				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36081	C		インスタンス化	いんすたんすか	Instantiation				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36082	C		要素	ようそ	Element				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36083	C		スキーマ	すきーま	Schema				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36084	C		型	かた	Type				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36085	C		抽象化	ちゅうしょうか	Abstraction				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36086	C		取得	しゅとく	Acquisition				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36087	C		動作	どうさ	Action				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36088	C		エージェント	えーじぇんと	Agent				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36089	C		音響	おんきょう	Audio				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36090	C		画像・音響	がぞう・おんきょう	Audio-visual				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36091	C		自動	じどう	Automatic				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36092	C		分類スキーム	ぶんるいすきーむ	Classification Scheme				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36093	C		コンテンツ、マルチメディアコンテンツ	こんてんつ、まるちめでぃあこんてんつ	Content, Multimedia content				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36094	C		著作権	ちょさくけん	Copyright				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36095	C		データ、エッセンス、マルチメディアデータ	でーた、えっせんす、まるちめでぃあでーた	Data, Essence, Multimedia Data				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36096	C		編集	へんしゅう	Editing				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36097	C		エンティティ	えんていてい	Entity				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36098	C		イベント	いべんと	Event				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36099	C		特徴	とくちょう	Feature				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36100	C		フィルタリング	ふぃるたりんぐ	Filtering				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36101	C		フォーマット	ふぉーまっと	Format				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36102	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36103	C		画像	がぞう	Image				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36104	C		キーフレーム	きーふれーむ	Key frame				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36105	C		ロケータ	ろけーた	Locator				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36106	C		モデル	もでる	Model				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36107	C		マニュアル	まにゅある	Manual				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36108	C		メタデータ	めたでーた	Metadata				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36109	C		マルチメディア	まるちめでぃあ	Multimedia				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36110	C		ナビゲーション	なびげーしょん	Navigation				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36111	C		オブジェクト	おぶじぇくと	Object				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36112	C		領域	りょういき	Region				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36113	C		関係	かんけい	Relation				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36114	C		権利	けんり	Rights				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36115	C		シーン	しーん	Scene				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36116	C		検索	けんさく	Search				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36117	C		セグメント	せぐめんと	Segment				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36118	C		意味	いみ	Semantics				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36119	C		要約	ようやく	Summary				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36120	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36121	C		利用者嗜好	りようしゃしこう	User Preferences				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36122	C		利用履歴	りようりれき	Usage History				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36123	C		バリエーション	ばりえーしょん	Variation				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36124	C		映像	えいぞう	Video				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36125	C		表示	ひょうじ	View				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36126	C		画像	がぞう	Visual				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36127	C		表示分解	ひょうじぶんかい	View Decomposition				ISO/IEC 15938-5	2003				2003	SC29
36128	C		MPEG-7端末	MPEG-7たんまつ	MPEG-7 Terminal				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36129	C		MPEG-7検証端末	MPEG-7けんしょうたんま	MPEG-7 validating				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36130	C		MPEG-7システム端末	MPEG-7しすてむたんまつ	MPEG-7 systems terminal				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36131	C		属性	ぞくせい	Attribute				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36132	C		基本型	きほんがた	Base type				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36133	C		データ型	でーたがた	Datatype				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36134	C		派生型	はせいがた	Derived type				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36135	C		記述	きじゅつ	Description				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36136	C		記述スキーム	きじゅつすきーむ	Description Scheme				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36137	C		記述ツール	きじゅつつーる	Description Tool				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36138	C		記述子	きじゅつし	Descriptor				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36139	C		インスタンス化	いんすたんすか	Instantiation				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36140	C		要素	ようそ	Element				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36141	C		スキーマ	すきーま	Schema				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36142	C		型	かた	Type				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36143	C		正準XML	せいじゅんXML	Canonical XML				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36144	C		XML正準化	XMLせいじゅんか	XML canonicalization				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36145	C		情報セット、またはインフォセット	じょうほうせっと、またはいんふぉせっと	Information set, or infoset				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36146	C		スキーマ後検証インフォセット(PSVI)	すきーまごけんしょういんふぉせっと(PSVI)	Post schema validation infoset (PSVI)				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36147	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	Access Unit				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36148	C		現在記述ツリー	げんざいきじゅつつりー	Current description tree				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36149	C		記述ストリーム	きじゅつすとりーむ	Description stream				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36150	C		記述ツリー	きじゅつつりー	Description tree				ISO/IEC 15938-7	2003				2003	SC29
36151	C		成分	せいぶん	Component				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36152	C		記述子	きじゅつし	Descriptor				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36153	C		デジタル項目	でじたるこうもく	Digital item				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36154	C		電子メディア	でんしめでぃあ	Electronic Media				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36155	C		エンティティ	えんていてぃ	Entity				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36156	C		識別計画	しきべつけいかく	Identification Scheme				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36157	C		識別子	しきべつし	Identifier				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36158	C		項目	こうもく	Item				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36159	C		メディアリソース	めでぃありそーす	Media Resource				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36160	C		物理メディア	ぶつりめでぃあ	Physical Media				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36161	C		解像度	かいぞうど	Resolution				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36162	C		リソース	りそーす	Resource				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36163	C		説明(事項)	せつめい(じこう)	Statement				ISO/IEC 21000-3	2003				2003	SC29
36164	C		RDD	RDD	RDD				ISO/IEC 21000-6	2004				2004	SC29
36165	C		RDDデータベース	RDDでーたべーす	RDD Database				ISO/IEC 21000-6	2004				2004	SC29
36166	C		RDD辞書	RDDじしょ	RDD Dictionary				ISO/IEC 21000-6	2004				2004	SC29
36167	C		RDDシステム	RDDしすてむ	RDD System				ISO/IEC 21000-6	2004				2004	SC29
36168	C		RDD登録管理機関	RDDとうろくかんりきかん	RDD Registration				ISO/IEC 21000-6	2004				2004	SC29
36169	C		REL	REL	REL				ISO/IEC 21000-6	2004				2004	SC29
36170	C		打切り、放棄	うちきり、ほうき	abort				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36171	C		受入れ	うけいれ	accept				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36172	C		アドレスフィールド(A)	あどれすふぃーるど(A)	address field (A)				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36173	C		アドレスフィールド拡張子	あどれすふぃーるどかくちょうし	address field extension				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36174	C		アドレス解決/ネゴシエーション	あどれすかいけつ/ねごしえーしょん	address resolution/negotiation				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36175	C		基本状態	きほんじょうたい	basic status				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36176	C		集中管理	しゅうちゅうかんり	centralized control				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36177	C		複合局	ふくごうきょく	combined station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36178	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36179	C		コマンドフレーム	こまんどふれーむ	command frame				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36180	C		制御拡張(CE)	せいぎょかくちょう(CE)	control escape (CE)				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36181	C		制御フィールド(C)	せいぎょふぃーるど(C)	control field ©				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36182	C		制御フィールド拡張子	せいぎょふぃーるどかくちょうし	control field extension				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36183	C		制御局	せいぎょきょく	control station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36184	C		データ通信	でーたつうしん	data communication				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36185	C		データリンク	でーたりんく	data link				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36186	C		データリンク接続	でーたりんくせつぞく	data link connection				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36187	C		データリンク層	でーたりんくそう	data link layer				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36188	C		データ送信	でーたそうしん	data transmission				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36189	C		全二重送信	ぜんにじゅうそうしん	duplex transmission				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36190	C		例外状況	れいがいじょうきょう	exception condition				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36191	C		フラグシーケンス(F)	ふらぐしーけんす(F)	flag sequence (F)				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36192	C		フォーマット識別子	ふぉーまっとしきべつし	format identifier				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36193	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36194	C		フレーム検査シーケンス	ふれーむけんさしーけんす	frame check sequence (FCS)				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36195	C		フレームフォーマット識別子	ふれーむふぉーまっとしきべつし	frame format identifier				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36196	C		グループ識別子	ぐるーぷしきべつし	group identifier				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36197	C		半二重送信	はんにじゅうそうしん	half-duplex transmission				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36198	C		ヘッダ検査シーケンス(HCS)	へっだけんさしーけんす(HCS)	header check sequence (HCS)				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36199	C		HDLCベースのプロトコル	HDLCべーすのぷろとこる	HDLC-based protocol				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36200	C		上位層	じょういそう	higher layer				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36201	C		情報フィールド(INFO)	じょうほうふぃーるど	information field (INFO)				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36202	C		開始複合局	かいしふくごうきょく	initiating combined station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36203	C		フレーム間タイムフィル	ふれーむかんたいむふぃる	interframe time fill				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36204	C		フレーム内タイムフィル	ふれーむないたいむふぃる	intraframe time fill				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36205	C		無効フレーム	むこうふれーむ	invalid frame				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36206	C		層パラメータ	そうぱらめーた	layer parameter				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36207	C		非開始複合局	ひかいしふくごうきょく	non-initiating combined station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36208	C		ピア局	ぴあきょく	peer station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36209	C		第1次局	だい1じきょく	primary station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36210	C		第1次/第2次局	だい1じ/だい2じきょく	primary/secondary station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36211	C		プライベートパラメータ	ぷらいべーとぱらめーた	private parameter				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36212	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36213	C		応答フレーム	おうとうふれーむ	response frame				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36214	C		第2次局	だい2じきょく	secondary station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36215	C		第2次局状態	だい2じきょくじょうたい	secondary station status				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36216	C		単一交換ネゴシエーション手順	たんいつこうかんねごしえーしょんてじゅん	single-exchange negotiation procedure				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36217	C		従属局	じゅうぞくきょく	tributary station				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36218	C		両方向交互データ通信	りょうほうこうごうごでーたつうしん	two-way alternate data communication				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36219	C		両方向同時データ通信	りょうほうこうどうじでーたつうしん	two-way simultaneous data communication				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36220	C		一意識別子	いちいしきべつし	unique identifier				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36221	C		非番号制コマンド	ひばんごうせいこまんど	unnumbered commands				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36222	C		非番号制レスポンス	ひばんごうせいれすぽん	unnumbered responses				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36223	C		使用者データ	しようしゃでーた	user data				ISO/IEC 13239	2002				2002	SC6
36224	C		ケーブルアダプタ	けーぶるあだぷた	cable adaptor				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36225	C		コネクタハウジング	こねくたはうじんぐ	connector housing				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36226	C		接点配置	せってんはいち	contact arrangement				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36227	C		雌形接点	めすがたせってん	female contact				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36228	C		適合コネクタ	てきごうこねくた	intermateable connectors				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36229	C		ねじ止めシステム	ねじどめしすてむ	jack-screw system				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36230	C		止め具	とめぐ	locking device				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36231	C		雄形接点	おすがたせってん	male contact				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36232	C		取付フランジ	とりつけふらんじ	mounting flange				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36233	C		(n極)コネクタ	(nきょく)こねくた	(n-pole-)connector				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36234	C		誤接続防止処置	ごせつぞくぼうししょち	polarization				ISO/IEC 2593	2000				2000	SC6
36235	C		発呼側NS利用者	はっこがわNSりようしゃ	calling NS user				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36236	C		着呼側NS利用者	ちゃっこがわNSりようしゃ	called NS user				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36237	C		総称アドレス	そうしょうあどれす	generic address				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36238	C		ネットワーク接続	ねっとわーくせつぞく	network connection				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36239	C		ネットワーク接続モードでのデータ伝送	ねっとわーくせつぞくもーどでのでーたでんそう	network connection-mode data transmission				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36240	C		コネクションレス型ネットワーク伝送	こねくしょんれすがたねっとわーくでんそう	network connectionless-mode data transmission				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36241	C		コネクションレス型マルチキャストネットワーク伝送	こねくしょんれすがたまるちきゃすとねっとわーくで	network connectionless-mode multicast				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36242	C		DTEアドレス	DTEあどれす	DTE address				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36243	C		サブネットワーク接続点	さぶねっとわーくせつぞくてん	subnetwork point of attachment				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36244	C		サブネットワーク接続点アドレス、サブネットワークアドレス	さぶねっとわーくせつぞくてんあどれす、さぶねっとわーくあどれす	subnetwork point of attachment address				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36245	C		ネットワークプロトコルアドレス指定情報	ねっとわーくぷろとこるあどれすしていじょうほう	network protocol address information				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36246	C		命名領域	めいめいりょういき	naming domain				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36247	C		グローバルネットワークアドレス領域	ぐろーばるねっとわーくあどれすりょういき	global network addressing domain				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36248	C		ネットワークアドレス領域	ねっとわーくあどれすりょういき	network addressing domain				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36249	C		命名機関	めいめいきかん	naming authority				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36250	C		ネットワークアドレス付与機関	ねっとわーくあどれすふよきかん	network addressing authority				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36251	C		抽象構文	ちゅうしょうこうぶん	abstract syntax				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36252	C		グループネットワークアドレス	ぐるーぷねっとわーくあどれす	group Network address				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36253	C		個別ネットワークアドレス	こべつねっとわーくあどれ	individual Network address				ISO/IEC 8348	2002				2002	SC6
36254	C		抽象文字	ちゅうしょうもじ	abstract character				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36255	C		抽象値	ちゅうしょうち	abstract value				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36256	C		ASN.1文字セット	ASN.1もじせっと	ASN.1 character set				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36257	C		ASN.1(による)仕様	ASN.1(による)しよう	ASN.1 specification				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36258	C		関連型	かんれんがた	associated type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36259	C		ビット列型	びっとれつがた	bitstring type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36260	C		ブール型	ぶーるがた	boolean type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36261	C		文字特性	もじとくせい	character property				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36262	C		文字抽象構文	もじちゅうしょうこうぶん	character abstract syntax				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36263	C		文字レパートリ	もじれぱーとり	character repertoire				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36264	C		文字列型	もじれつがた	character string types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36265	C		文字転送構文	もじてんそうこうぶん	character transfer syntax				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36266	C		選択型	せんたくがた	choice types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36267	C		成分型	せいぶんがた	component type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36268	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36269	C		内容制約	ないようせいやく	contents constraint				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36270	C		制御文字	せいぎょもじ	control characters				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36271	C		協定世界時(UTC)	きょうていせかいじ(UTC)	Coordinated Universal Time (UTC)				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36272	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36273	C		要素セット	ようそせっと	element set				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36274	C		埋め込みpdv型	うめこみpdvがた	embedded-pdv type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36275	C		符号化	ふごうか	encoding				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36276	C		(ASN.1)符号化規則	(ASN.1)ふごうかきそく	(ASN.1) encoding rules				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36277	C		列挙型	れっきょがた	enumerated types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36278	C		拡張定義追加	かくちょうていぎついか	extension addition				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36279	C		拡張定義追加グループ	かくちょうていぎついかぐるーぷ	extension addition group				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36280	C		拡張定義追加型	かくちょうていぎついかが	extension addition type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36281	C		拡張可能制約	かくちょうかのうせいやく	extensible constraint				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36282	C		拡張定義挿入点(または挿入点)	かくちょうていぎそうにゅうてん(またはそうにゅうて	extension insertion point (or insertion point)				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36283	C		拡張定義マーカ	かくちょうていぎまーか	extension marker				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36284	C		拡張定義マーカ対	かくちょうていぎまーかつ	extension marker pair				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36285	C		拡張定義関係	かくちょうていぎかんけい	extension-related				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36286	C		拡張定義ルート	かくちょうていぎるーと	extension root				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36287	C		拡張定義シリーズ	かくちょうていぎしりーず	extension series				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36288	C		拡張可能型	かくちょうかのうがた	extensible type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36289	C		外部参照	がいぶさんしょう	external reference				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36290	C		外部型	がいぶがた	external type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36291	C		偽	ぎ	FALSE				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36292	C		制御型	せいぎょがた	governing (type), governor				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36293	C		同一型定義	どういつがたていぎ	identical type definitions				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36294	C		整数型	せいすうがた	integer type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36295	C		字句項目、構文項目	じくこうもく、こうぶんこうも	lexical item				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36296	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36297	C		ヌル型	ぬるがた	null type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36298	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36299	C		オブジェクト記述子型	おぶじぇくときじゅつしがた	object descriptor type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36300	C		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	object identifier				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36301	C		オブジェクト識別子型	おぶじぇくとしきべつしが	object identifier type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36302	C		オクテット列型	おくてっとれつがた	octetstring type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36303	C		開放システム相互接続	かいほうしすてむそうごせつぞく	open systems interconnection				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36304	C		開放型表記法	かいほうがたひょうきほう	open type notation				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36305	C		親型、上位型	おやがた、じょういがた	parent type (of a subtype)				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36306	C		生成規則	せいせいきそく	production				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36307	C		実数型	じっすうがた	real type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36308	C		(型の)再帰的定義	(かたの)さいきてきていぎ	recursive definition (of a type)				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36309	C		相対的オブジェクト識別子	そうたいてきおぶじぇくとしきべつし	relative object identifier				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36310	C		相対的オブジェクト識別子型	そうたいてきおぶじぇくとしきべつしがた	relative object identifier type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36311	C		制限文字列型	せいげんもじれつがた	restricted character string type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36312	C		参照選択型	さんしょうせんたくがた	selection types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36313	C		順序列型	じゅんじょれつがた	sequence types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36314	C		単一型順序列型	たんいつがたじゅんじょれつがた	sequence-of types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36315	C		(制約の)逐次適用	(せいやくの)ちくじてきよう	serial application (of constraints)				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36316	C		集合算術	しゅうごうさんじゅつ	set arithmetic				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36317	C		集合型	しゅうごうがた	set types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36318	C		単一型集合型	たんいつがたしゅうごうが	set-of types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36319	C		単純型	たんじゅんがた	simple types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36320	C		間隔文字	かんかくもじ	spacing character				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36321	C		子型、下位型	こがた、かいがた	subtype (of a parent type)				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36322	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36323	C		タグ付き型	たぐつきがた	tagged types				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36324	C		タグ付け	たぐつけ	tagging				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36325	C		転送構文	てんそうこうぶん	transfer syntax				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36326	C		真	しん	TRUE				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36327	C		型	かた	type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36328	C		型参照名	かたさんしょうめい	type reference name				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36329	C		非制限文字列型	ひせいげんもじれつがた	unrestricted character string type				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36330	C		使用者(ASN.1の)	しようしゃ(ASN.1の)	user (of ASN.1)				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36331	C		値マッピング	あたいまっぴんぐ	value mapping				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36332	C		値参照名	あたいさんしょうめい	value reference name				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36333	C		値セット	あたいせっと	value set				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36334	C		バージョン用括弧	ばーじょんようかっこ	version brackets				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36335	C		バージョン番号	ばーじょんばんごう	version number				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36336	C		文字送り	もじおくり	white-space				ISO/IEC 8824-1	2002				2002	SC6
36337	C		関連表	かんれんひょう	associated table				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36338	C		デフォルト構文	でふぉるとこうぶん	default syntax				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36339	C		定義構文	ていぎこうぶん	defined syntax				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36340	C		拡張可能オブジェクトセット	かくちょうかのうおぶじぇくとせっと	extensible object set				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36341	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36342	C		フィールド名	ふぃーるどめい	field name				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36343	C		支配(クラス)、ガバナ	しはい(くらす)、がばな	governing (class),				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36344	C		識別子フィールド	しきべつしふぃーるど	identifier field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36345	C		情報オブジェクト	じょうほうおぶじぇくと	information object				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36346	C		情報オブジェクトクラス(クラス)	じょうほうおぶじぇくとくらす(くらす)	information object class (class)				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36347	C		情報オブジェクトフィールド	じょうほうおぶじぇくとふぃーるど	information object field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36348	C		情報オブジェクトセット	じょうほうおぶじぇくとせっ	information object set				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36349	C		情報オブジェクトセットフィールド	じょうほうおぶじぇくとせっとふぃーるど	information object set field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36350	C		型のインスタンス	かたのいんすたんす	instance-of type				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36351	C		リンクフィールド	りんくふぃーるど	link field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36352	C		オブジェクトクラスフィールド型	おぶじぇくとくらすふぃーるどがた	object class field type				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36353	C		プリミティブフィールド名	ぷりみていぶふぃーるどめ	primitive field name				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36354	C		再帰的定義(参照名の)	さいきてきていぎ(さんしょうめいの)	recursive definition (of a reference name)				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36355	C		再帰的定義(パラメータ化参照名の)	さいきてきていぎ(ぱらめーたかさんしょうめいの)	recursive instantiation (of a parameterized reference name)				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36356	C		型フィールド	かたふぃーるど	type field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36357	C		値フィールド	あたいふぃーるど	value field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36358	C		値セットフィールド	あたいせっとふぃーるど	value set field				ISO/IEC 8824-2	2008				2008	SC6
36359	C		成分関係制約	せいぶんかんけいせいやく	component relation constraint				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36360	C		制約付き型	せいやくつきがた	constrained type				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36361	C		制約セット	せいやくせっと	constraining set				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36362	C		制約表	せいやくひょう	constraining table				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36363	C		参照先成分	さんしょうさきせいぶん	referenced component				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36364	C		参照元成分	さんしょうもとせいぶん	referencing component				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36365	C		選択された行	せんたくされたぎょう	selected rows				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36366	C		表制約	ひょうせいやく	table constraint				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36367	C		使用者定義制約	しようしゃていぎせいやく	user-defined constraint				ISO/IEC 8824-3	2008				2008	SC6
36368	C		通常参照名	つうじょうさんしょうめい	normal reference name				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36369	C		パラメータ化参照名	ぱらめーたかさんしょうめい	parameterized reference name				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36370	C		パラメータ化型	ぱらめーたかがた	parameterized type				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36371	C		パラメータ化された値	ぱらめーたかされたあた	parameterized value				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36372	C		パラメータ化された値セット	ぱらめーたかされたあたいせっと	parameterized value set				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36373	C		パラメータ化オブジェクトクラス	ぱらめーたかおぶじぇくとくらす	parameterized object class				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36374	C		パラメータ化オブジェクト	ぱらめーたかおぶじぇくと	parameterized object				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36375	C		パラメータ化オブジェクトセット	ぱらめーたかおぶじぇくとせっと	parameterized object set				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36376	C		可変制約	かへんせいやく	variable constraint				ISO/IEC 8824-4	2008				2008	SC6
36377	C		正則コード化	せいそくこーどか	canonical encoding				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36378	C		構築コード化	こうちくこーどか	constructed encoding				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36379	C		内容オクテット	ないようおくてっと	contents octets				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36380	C		データ値	でーたち	data value				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36381	C		動的適合性	どうてきてきごうせい	dynamic conformance				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36382	C		符号化	ふごうか	encoding (of a data value)				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36383	C		内容終了オクテット	ないようしゅうりょうおく	end-of-contents octets				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36384	C		識別子オクテット	しきべつしおくてっと	identifier octets				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36385	C		長さオクテット	ながさおくてっと	length octets				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36386	C		基本符号化	きほんふごうか	primitive encoding				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36387	C		受信側	じゅしんがわ	receiver				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36388	C		送信側	そうしんがわ	sender				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36389	C		静的適合性	せいてきてきごうせい	static conformance				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36390	C		末尾の0ビット	まつびの0びっと	trailing 0 bit				ISO/IEC 8825-1	2008				2008	SC6
36391	C		2の補数式2進整数符号化	2のほすうしき2しんせいすうふごうか	2's-complement-binary-integer encoding				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36392	C		抽象構文値	ちゅうしょうこうぶんち	abstract syntax value				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36393	C		ビットフィールド	びっとふぃーるど	bit-field				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36394	C		正則コード化	せいそくこーどか	canonical encoding				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36395	C		合成型	ごうせいがた	composite type				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36396	C		合成値	ごうせいち	composite value				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36397	C		制約整数	せいやくせいすう	constrained whole number				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36398	C		(制約付き文字列型用)有効サイズ制約	(せいやくつきもじれつがたよう)ゆうこうさいずせい	effective size constraint (for a constrained string				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36399	C		(制約制限文字列型用)有効許可アルファベット制約	(せいやくせいげんもじれつがたよう)ゆうこうきょかあるふぁべっとせいやく	effective permitted-alphabet constraint (for a constrained restricted character string type)				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36400	C		列挙指標	れっきょしひょう	enumeration index				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36401	C		PERコード化に対して拡張可能	PERこーどかにたいしてかくちょうかのう	extensible for PER encoding				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36402	C		フィールドリスト	ふぃーるどりすと	field-list				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36403	C		不定長さ	ふていながさ	indefinite-length				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36404	C		固定長さ型	こていながさがた	fixed-length type				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36405	C		固定値	こていち	fixed value				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36406	C		既知乗数文字列型	きちじょうすうもじれつがた	known-multiplier character string type				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36407	C		長さ指定	ながさしてい	length determinant				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36408	C		通常小さな非負整数(の処理)	つうじょうちいさなひふせいすう(のしょり)	normally small non-negative whole number				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36409	C		通常小さな長さ(の符号化)	つうじょうちいさなながさ(のふごうか)	normally small length				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36410	C		非負2進整数符号化	ひふ2しんせいすうふごうか	non-negative-binary-integer encoding				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36411	C		最外型	さいがいがた	outermost type				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36412	C		PER可視制約	PERかしせいやく	PER-visible constraint				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36413	C		中継時安全保障符号化	ちゅうけいじあんぜんほしょうふごうか	relay-safe encoding				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36414	C		半制約整数	はんせいやくせいすう	semi-constrained whole number				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36415	C		単純型	たんじゅんがた	simple type				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36416	C		原文依存	げんぶんいぞん	textually dependent				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36417	C		非制約整数	ひせいやくせいすう	unconstrained whole				ISO/IEC 8825-2	2008				2008	SC6
36418	C		アラインメント点、位置決め点	あらいんめんとてん、いちきめてん	alignment point				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36419	C		補助フィールド	ほじょふぃーるど	auxiliary field				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36420	C		ビットフィールド	びっとふぃーるど	bit-field				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36421	C		ビットフィールドクラス	びっとふぃーるどくらす	bit-field class				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36422	C		上限下限条件	じょうげんかげんじょうけ	bounds condition				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36423	C		選択限定子	せんたくげんていし	choice determinant				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36424	C		符号化オブジェクト結合セット	ふごうかおぶじぇくとけつごうせっと	combined encoding object set				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36425	C		条件付符号化	じょうけんつきふごうか	conditional encoding				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36426	C		封じ込め型	ふうじこめがた	containing type				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36427	C		現在適用点	げんざいてきようてん	current application point				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36428	C		特異符号化の復号(規則)	とくいふごうかのふくごう(きそく)	differential encoding-decoding				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36429	C		符号化クラス	ふごうかくらす	encoding class				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36430	C		符号化クラスカテゴリ	ふごうかくらすかてごり	encoding class category				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36431	C		符号化コンストラクタ	ふごうかこんすとらくた	encoding constructor				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36432	C		符号化定義モジュール(EDM)	ふごうかていぎもじゅーる(EDM)	Encoding Definition Modules (EDM)				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36433	C		符号化リンクモジュール(ELM)	ふごうかりんくもじゅーる(ELM)	Encoding Link Module (ELM)				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36434	C		符号化オブジェクト	ふごうかおぶじぇくと	encoding object				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36435	C		符号化オブジェクトセット	ふごうかおぶじぇくとせっと	encoding object set				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36436	C		符号化特性	ふごうかとくせい	encoding property				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36437	C		符号化空間	ふごうかくうかん	encoding space				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36438	C		符号化構造	ふごうかこうぞう	encoding structure				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36439	C		明確に生成された符号化構造	めいかくにせいせいされたふごうかこうぞう	explicitly generated encoding structure				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36440	C		拡張可能性	かくちょうかのうせい	extensibility				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36441	C		完全記述名	かんぜんきじゅつめい	fully-qualified name				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36442	C		生成符号化構造	せいせいふごうかこうぞう	generated encoding structure				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36443	C		ガバナ	がばな	governor				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36444	C		ハンドル値集合	はんどるちしゅうごう	handle value set				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36445	C		識別ハンドル	しきべつはんどる	identification handle				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36446	C		暗黙に生成された符号化構造	あんもくにせいせいされたふごうかこうぞう	implicitly generated encoding structure				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36447	C		初期アプリケーション点	しょきあぷりけーしょんて	initial application point				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36448	C		長さ指定子	ながさしていし	length determinant				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36449	C		負の整数値	ふのせいすうち	negative integer value				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36450	C		非負整数値	ひふせいすうち	non-negative integer value				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36451	C		正でない整数値	せいでないせいすうち	non-positive integer value				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36452	C		任意選択ビットフィールド	にんいせんたくびっとふぃーるど	optional bit-field				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36453	C		正の整数値	せいのせいすうち	positive integer value				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36454	C		存在選択限定子	そんざいせんたくげんてい	presence determinant				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36455	C		プリミティブクラス	ぷりみてぃぶくらす	primitive class				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36456	C		再帰的定義(参照名の)	さいきてきていぎ(さんしょうめいの)	recursive definition (of a reference name)				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36457	C		再帰的定義(パラメータ化参照名の)	さいきてきていぎ(ぱらめーたかさんしょうめいの)	recursive instantiation (of a parameterized reference name)				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36458	C		置換構造	ちかんこうぞう	replacement structure				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36459	C		自己区切り符号化	じこくぎりふごうか	self-delimiting encoding				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36460	C		単純参照名	たんじゅんさんしょうめい	simple reference name				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36461	C		サイズ範囲条件	さいずはんいじょうけん	size range condition				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36462	C		起点ガバナ(起点クラスの)	きてんがばな(きてんくらすの)	source governor (or source class)				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36463	C		開始ポインタ	かいしぽいんた	start pointer				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36464	C		目標ガバナ(目標クラスの)	もくひょうがばな(もくひょうくらすの)	target governor (or target class)				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36465	C		最上位型	さいじょういがた	top-level type(s)				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36466	C		変換	へんかん	transforms				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36467	C		変換合成	へんかんごうせい	transform composites				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36468	C		数値の符号化	すうちのふごうか	value encoding				ISO/IEC 8825-3	2008				2008	SC6
36469	C		ASN.1スキーマ	ASN.1すきーま	ASN.1 schema				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36470	C		関連空要素タグ	かんれんくうようそたぐ	associated empty-element tag				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36471	C		(型用)関連符号化指示	(かたよう)かんれんふごうかしじ	associated encoding instructions (for a type)				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36472	C		関連後続タグ	かんれんこうぞくたぐ	associated following tag				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36473	C		関連先行タグ	かんれんせんこうたぐ	associated preceding tag				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36474	C		正則符号化	せいそくふごうか	canonical encoding				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36475	C		(ASN.1スキーマ用)正準有効XML文書	(ASN.1すきーまよう)せいじゅんゆうこうえっくすえむえるぶんしょ	canonical valid XML document (for an ASN.1 schema)				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36476	C		文字符号化可能型	もじふごうかかのうかた	character-encodable type				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36477	C		制御名前空間	せいぎょなまえくうかん	control namespace				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36478	C		(ASN.1)被封入型	(ASN.1)ひふうにゅうがた	enclosed (ASN.1) type				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36479	C		(ASN.1型の)封入要素	(ASN.1かたの)ふうにゅうようそ	enclosing element (of an ASN.1 type)				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36480	C		(ASN.1型の)囲い込み型	(ASN.1かたの)かこいこみかた	enclosing type (of an ASN.1 type)				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36481	C		(型用)最終符号化指示	(かたよう)さいしゅうふごうかしじ	final encoding instructions (for a type)				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36482	C		継承符号化指示	けいしょうふごうかしじ	inherited encoding instructions				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36483	C		名前空間限定名	なまえくうかんげんていめ	namespace-qualified name				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36484	C		空識別属性	からしきべつぞくせい	nil identification attribute				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36485	C		部分的XML要素内容	ぶぶんてきXMLようそないよう	partial XML element content				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36486	C		限定情報	げんていじょうほう	qualifying information				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36487	C		標的符号化指示	ひょうてきふごうかしじ	targeted encoding instructions				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36488	C		型識別属性	かたしきべつぞくせい	type identification				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36489	C		統一資源識別子(URI)	とういつしげんしきべつし(URI)	uniform resource identifier (URI)				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36490	C		有効XML文書(ASN.1スキーマ用)	ゆうこうXMLぶんしょ(ASN.1すきーまよう)	valid XML document (for an ASN.1 schema)				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36491	C		XER符号化指示	XERふごうかしじ	XER encoding instructions				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36492	C		XML属性	XMLぞくせい	XML attribute				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36493	C		XML要素	XMLようそ	XML element				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36494	C		XML要素名	XMLようそめい	XML element name				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36495	C		XML文書	XMLぶんしょ	XML document				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36496	C		XML処理指示	XMLしょりしじ	XML processing				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36497	C		XMLプロローグ	XMLぷろろーぐ	XML prolog				ISO/IEC 8825-4	2008				2008	SC6
36498	C		XSD名前空間	XSDなまえくうかん	XSD namespace				ISO/IEC 8825-5	2008				2008	SC6
36499	C		XSI名前空間	XSIなまえくうかん	XSI namespace				ISO/IEC 8825-5	2008				2008	SC6
36500	C		XML名前空間	XMLなまえくうかん	XML namespace				ISO/IEC 8825-5	2008				2008	SC6
36501	C		不正フレーム	ふせいふれーむ	improper frame				ISO/IEC 8882-2	2000				2000	SC6
36502	C		非適時フレーム	ひてきじふれーむ	inopportune frame				ISO/IEC 8882-2	2000				2000	SC6
36503	C		適正フレーム	てきせいふれーむ	proper frame				ISO/IEC 8882-2	2000				2000	SC6
36504	C		適正フレーム	てきせいふれーむ	proper packet				ISO/IEC 8882-3	2000				2000	SC6
36505	C		不正パケット	ふせいぱけっと	improper packet				ISO/IEC 8882-3	2000				2000	SC6
36506	C		非適時フレーム	ひてきじふれーむ	inopportune packet				ISO/IEC 8882-3	2000				2000	SC6
36507	C		アクセス単位 (AU)	あくせすたんい (AU)	Access Unit (AU)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36508	C		実受信者	じつじゅしんしゃ	Actual Recipient				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36509	C		主管機関	しゅかんきかん	Administration				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36510	C		主管機関領域名	しゅかんきかんりょういきめい	Administration Domain Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36511	C		主管機関管理領域(ADMD)	しゅかんきかんかんりりょういき(ADMD)	Administration Management Domain				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36512	C		代行受信者	だいこうじゅしんしゃ	Alternate Recipient				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36513	C		属性	ぞくせい	Attribute				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36514	C		属性表	ぞくせいひょう	Attribute List				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36515	C		属性型	ぞくせいがた	Attribute Type				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36516	C		属性値	ぞくせいち	Attribute Value				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36517	C		基本サービス	きほんさーびす	Basic Service				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36518	C		本体	ほんたい	Body				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36519	C		本体部	ほんたいぶ	Body Part				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36520	C		一般名	いっぱんめい	Common Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36521	C		内容	ないよう	Content				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36522	C		内容種別	ないようしゅべつ	Content Type				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36523	C		変換	へんかん	Conversion				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36524	C		国名	こくめい	Country Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36525	C		配信	はいしん	Delivery				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36526	C		配信報告	はいしんほうこく	Delivery Report				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36527	C		直接発信	ちょくせつはっしん	Direct Submission				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36528	C		ディレクトリ	でぃれくとり	Directory				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36529	C		ディレクトリ名	でぃれくとりめい	Directory Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36530	C		ディレクトリシステム機能体(DSA)	でぃれくとりしすてむきのうたい(DSA)	Directory System Agent (DSA)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36531	C		ディレクトリ利用者機能体(DUA)	でぃれくとりりようしゃきのうたい(DUA)	Directory User Agent (DUA)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36532	C		直接利用者	ちょくせつりようしゃ	Direct User				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36533	C		配布先表(DL)	はいふさきひょう(DL)	Distribution List (DL)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36534	C		配布先表展開	はいふさきひょうてんかい	Distribution List Expansion				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36535	C		配布先表名	はいふさきひょうめい	Distribution List Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36536	C		領域	りょういき	Domain				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36537	C		領域定義属性	りょういきていぎぞくせい	Domain Defined Attributes				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36538	C		サービス要素	さーびすようそ	Element Of Service				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36539	C		符号化情報種別(EIT)	ふごうかじょうほうしゅべつ(EIT)	Encoded Information Type (EIT)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36540	C		封筒	ふうとう	Envelope				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36541	C		明示変換	めいじへんかん	Explicit Conversion				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36542	C		拡張物理的配達アドレス構成要素	かくちょうぶつりてきはいたつあどれすこうせいようそ	Extension Of Physical Delivery Address Components				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36543	C		拡張郵便O/Rアドレス構成要素	かくちょうゆうびんO/Rあどれすこうせいようそ	Extension of Postal OR-Address Components				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36544	C		ファイル転送本文	ふぁいるてんそうほんぶん	File Transfer Body Part				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36545	C		定形郵便O/Rアドレス	ていけいゆうびんO/Rあどれす	Formatted Postal OR-Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36546	C		一般テキスト本体部	いっぱんてきすとほんたい	General Text Body Part				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36547	C		見出し	みだし	Heading				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36548	C				Immediate Recipient				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36549	C		暗黙変換	あんもくへんかん	Implicit Conversion				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36550	C		間接発信	かんせつはっしん	Indirect Submission				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36551	C		間接利用者	かんせつりようしゃ	Indirect User				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36552	C		対象受信者	たいしょうじゅしんしゃ	Intended Recipient				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36553	C		相互通信	そうごつうしん	Intercommunication				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36554	C		個人間メッセージ通信サービス	こじんかんめっせーじつうしんさーびす	Interpersonal Messaging Service				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36555	C		IPメッセージ	IPめっせーじ	IP-message				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36556	C		地域郵便属性	ちいきゆうびんぞくせい	Local Postal Attributes				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36557	C		管理領域(MD)	かんりりょういき(MD)	Management Domain (MD)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36558	C		管理領域名	かんりりょういきめい	Management Domain				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36559	C		構成員	こうせいいん	Members				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36560	C		メッセージ	めっせーじ	Message				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36561	C		メッセージ通信処理(MH)	めっせーじつうしんしょり(MH)	Message Handling (MH)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36562	C		メッセージ通信処理環境	めっせーじつうしんしょりかんきょう	Message Handling Environment				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36563	C		メッセージ通信処理サービス	めっせーじつうしんしょりさーびす	Message Handling Service				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36564	C		メッセージ通信処理システム(MHS)	めっせーじつうしんしょりしすてむ(MHS)	Message Handling System (MHS)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36565	C		メッセージ格納域	めっせーじかくのういき	Message Storage				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36566	C		メッセージ格納(MS)	めっせーじかくのう(MS)	Message Store (MS)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36567	C		メッセージ転送(MT)	めっせーじてんそう(MT)	Message Transfer (MT)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36568	C		メッセージ転送機能体(MTA)	めっせーじてんそうきのうたい(MTA)	Message Transfer Agent (MTA)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36569	C		メッセージ転送サービス	めっせーじてんそうさーび	Message Transfer Service				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36570	C		メッセージ転送システム(MTS)	めっせーじてんそうしすてむ(MTS)	Message Transfer System (MTS)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36571	C		メッセージシステム	めっせーじしすてむ	Messaging System				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36572	C		簡略記述O/Rアドレス	かんりゃくきじゅつO/Rあどれす	Mnemonic OR-Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36573	C		命名機関	めいめいきかん	Naming Authority				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36574	C		ネットワークアドレス	ねっとわーくあどれす	Network Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36575	C		配信不能	はいしんふのう	Non-delivery				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36576	C		未登録アクセス	みとうろくあくせす	Non-registered Access				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36577	C		数字O/Rアドレス	すうじO/Rあどれす	Numeric OR-Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36578	C		数字利用者識別子	すうじりようしゃしきべつし	Numeric User Identifier				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36579	C		O/Rアドレス	O/Rあどれす	OR-Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36580	C		O/R名	O/Rめい	OR-Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36581	C		任意選択利用者ファシリティ	にんいせんたくりようしゃふぁしりてい	Optional User Facilities				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36582	C		組織名	そしきめい	Organization Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36583	C		部門名	ぶもんめい	Organizational Unit Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36584	C		発信者	はっしんしゃ	Originator				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36585	C		個人名	こじんめい	Personal Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36586	C		物理的配達(PD)	ぶつりてきはいたつ(PD)	Physical Delivery (PD)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36587	C		物理的配達アクセス単位(PDAU)	ぶつりてきはいたつあくせすたんい(PDAU)	Physical Delivery Access Unit (PDAU)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36588	C		物理的配達アドレス構成要素	ぶつりてきはいたつあどれすこうせいようそ	Physical Delivery Address Components				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36589	C		物理的配達国名	ぶつりてきはいたつこくめい	Physical Delivery Country Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36590	C		物理的配達領域	ぶつりてきはいたつりょういき	Physical Delivery Domain				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36591	C		物理的配達郵便局アドレス構成要素	ぶつりてきはいたつゆうびんきょくあどれすこうせい	Physical Delivery Office Address Components				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36592	C		物理的配達郵便局名	ぶつりてきはいたつゆうびんきょくめい	Physical Delivery Office Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36593	C		物理的配達郵便局番号	ぶつりてきはいたつゆうびんきょくばんごう	Physical Delivery Office Number				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36594	C		物理的配達組織名	ぶつりてきはいたつそしきめい	Physical Delivery Organization Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36595	C		物理的配達個人名	ぶつりてきはいたつこじんめい	Physical Delivery Personal Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36596	C		物理的配達サービス	ぶつりてきはいたつさーびす	Physical Delivery Service				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36597	C		物理的配達サービス名	ぶつりてきはいたつさーびすめい	Physical Delivery Service Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36598	C		物理的配達システム(PDS)	ぶつりてきはいたつしすてむ(PDS)	Physical Delivery System (PDS)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36599	C		物理メッセージ	ぶつりめっせーじ	Physical Message				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36600	C		物理表現	ぶつりひょうげん	Physical Rendition				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36601	C		郵便番号	ゆうびんばんごう	Postal Code				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36602	C		郵便ORアドレス	ゆうびんORあどれす	Postal OR-Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36603	C		郵便ORアドレス成分	ゆうびんORあどれすせいぶん	Postal OR-Address Components				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36604	C		私書箱番号	ししょばこばんごう	Post Office Box Address (P.O. Box Address)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36605	C		局留めアドレス	きょくどめあどれす	Poste Restante Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36606	C		潜在受信者	せんざいじゅしんしゃ	Potential Recipient				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36607	C		私設領域名	しせつりょういきめい	Private Domain Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36608	C		私設管理領域(PRMD)	しせつかんりりょういき(PRMD)	Private Management Domain (PRMD)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36609	C		打診	だしん	Probe				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36610	C		公衆メッセージ処理サービス	こうしゅうめっせーじしょりさーびす	Public Message Handling Service				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36611	C		公衆サービス	こうしゅうさーびす	Public Services				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36612	C		受信	じゅしん	Receipt				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36613	C		受信者	じゅしんしゃ	Recipient				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36614	C		再帰	さいき	Recursion				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36615	C		あて先変更	あてさきへんこう	Redirection				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36616	C		登録済みアクセス	とうろくずみあくせす	Registered Access				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36617	C		報告	ほうこく	Report				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36618	C		検索	けんさく	Retrieval				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36619	C		安全保護能力	あんぜんほごのうりょく	Security Capabilities				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36620	C		特殊アクセス	とくしゅあくせす	Specialized Access				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36621	C		標準属性	ひょうじゅんぞくせい	Standard Attribute				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36622	C		街路アドレス	がいろあくせす	Street Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36623	C		主題	しゅだい	Subject				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36624	C		報告対象メッセージ	ほうこくたいしょうめっせー	Subject Message				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36625	C		報告対象打診	ほうこくたいしょうだしん	Subject Probe				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36626	C		発信	はっしん	Submission				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36627	C		代理受信者	だいりじゅしんしゃ	Substitute Recipient				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36628	C		端末識別子	たんまつしきべつし	Terminal Identifier				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36629	C		端末ORアドレス	たんまつORあどれす	Terminal OR-Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36630	C		端末種別	たんまつしゅべつ	Terminal Type				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36631	C		転送	てんそう	Transfer				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36632	C		転送システム	てんそうしすてむ	Transfer System				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36633	C		転送処理	てんそうしょり	Transmittal				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36634	C		自由形式郵便O/Rアドレス	じゆうけいしきゆうびんO/Rあどれす	Unformatted Postal OR-Address				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36635	C		一意郵便名	いちいゆうびんめい	Unique Postal Name				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36636	C		利用者	りようしゃ	User				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36637	C		利用者機能体(UA)	りようしゃきのうたい(UA)	User Agent (UA)				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36638	C		音声本体部	おんせいほんたいぶ	Voice Body Part				ISO/IEC 10021-1	2003				2003	SC6
36639	C		区域	くいき	area				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36640	C		隣接システム	りんせつしすてむ	neighbour				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36641	C		隣接情報	りんせつじょうほう	adjacency				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36642	C		回線	かいせん	circuit				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36643	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36644	C		指定IS	していIS	designated IS				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36645	C		疑似ノード	ぎじのーど	pseudonode				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36646	C		一斉同報サブネットワーク	いっせいどうほうさぶねっとわーく	broadcast subnetwork				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36647	C		一般形態サブネットワーク	いっぱんけいたいさぶねっとわーく	general topology subnetwork				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36648	C		経路選択副領域	けいろせんたくふくりょういき	routeing subdomain				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36649	C		レベル2副領域	れべる2ふくりょういき	level 2 subdomain				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36650	C		ジッタ	じった	jitter				ISO/IEC 10589	2002				2002	SC6
36651	C		呼び出し	よびだし	call				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36652	C		介在ネットワーク(IVN)	かいざいねっとわーく(IVN)	intervening network (IVN)				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36653	C		公衆私設混合ISDN	こうしゅうしせつこんごう	mixed public/private ISDN				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36654	C		ネットワーク呼制御構成要素	ねっとわーくこせいぎょこうせいようそ	network call control entity				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36655	C		私設統合サービスネットワーク(PISN)	しせつとうごうさーびすねっとわーく(PISN)	Private Integrated Services Network (PISN)				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36656	C		私設統合サービスネットワーク交換機(PINX)	しせつとうごうさーびすねっとわーくこうかんき	Private Integrated Services Network				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36657	C		PISN利用者	PISNりようしゃ	PISN user				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36658	C		サービス[電気通信サービス]	さーびす[でんきつうしんさーびす]	service [Telecommunication				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36659	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 11574	2000				2002	SC6
36660	C		ACSE APDU	ACSE APDU	ACSE APDU				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36661	C		追加ネットワーク特性(ANF)	ついかねっとわーくとくせい(ANF)	Additional Network Feature (ANF)				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36662	C		隣接PINX	りんせつPINX	Adjacent PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36663	C		プロトコルデータユニット(APDU)	ぷろとこるでーたゆにっと(APDU)	Protocol Data Unit (APDU)				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36664	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, Basic call				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36665	C		呼独立シグナル伝達接続	こどくりつしぐなるでんたつせつぞく	Call independent signalling connection				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36666	C		呼独立	こどくりつ	Call independent				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36667	C		呼関連	こかんれん	Call related				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36668	C		コネクション型	こねくしょんがた	Connection oriented				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36669	C		コネクションレス	こねくしょんれす	Connectionless				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36670	C		調整機能	ちょうせいきのう	Coordination Function				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36671	C		あて先PINX	あてさきPINX	Destination PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36672	C		DSE APDU	DSE APDU	DSE APDU				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36673	C		ダイアログサービス要素(DSE)	だいあろぐさーびすようそ(DSE)	Dialogue Service Element (DSE)				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36674	C		終端PINX	しゅうたんPINX	End PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36675	C		ゲートウェイPINX	げーとうぇいPINX	Gateway PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36676	C		一般的機能輸送制御(GFT制御)構成要素	いっぱんてききのうゆそうせいぎょ(GFTせいぎょ)こうせいようそ	Generic Functional Transport Control (GFT-Control) entity				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36677	C		受信側	じゅしんがわ	Incoming side				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36678	C		解釈APDU	かいしゃくAPDU	Interpretation APDU				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36679	C		PINX間のリンク	PINXかんのりんく	Inter-PINX link				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36680	C		起動	きどう	Invocation				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36681	C		リンク有意	りんくゆうい	Link significance				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36682	C		構造不備	こうぞうふび	Mistyped				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36683	C		ネットワーク有意	ねっとわーくゆうい	Network significance				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36684	C		次のPINX	つぎのPINX	Next PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36685	C		通知	つうち	Notification				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36686	C		発信PINX	はっしんPINX	Originating PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36687	C		発信側	はっしんがわ	Outgoing side				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36688	C		PINXアドレス	PINXあどれす	PINX address				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36689	C		前のPINX	まえのPINX	Preceding PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36690	C		プライベートシグナル伝達システムNo.1	ぷらいべーとしぐなるでんたつしすてむNo.1	Private Signalling System No.1				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36691	C		プロトコル制御	ぷろとこるせいぎょ	Protocol Control				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36692	C		ROSE APDU	ROSE APDU	ROSE APDU				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36693	C		末端	まったん	Side				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36694	C		シグナル配信機構(SCM)	しぐなるはいしんきこう(SCM)	Signalling Carriage Mechanism (SCM)				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36695	C		ソースPINX	そーすPINX	Source PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36696	C		後続PINX	こうぞくPINX	Subsequent PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36697	C		付加サービス	ふかさーびす	Supplementary service				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36698	C		付加サービス制御(SS制御)構成要素	ふかさーびすせいぎょ(SSせいぎょ)こうせいようそ	Supplementary Services Control (SS-Control)				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36699	C		終了PINX	しゅうりょうPINX	Terminating PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36700	C		端末、端末装置	たんまつ、たんまつそうち	Terminal, Terminal Equipment				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36701	C		トランジットPINX	とらんじっとPINX	Transit PINX				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36702	C		未認識	みにんしき	Unrecognised				ISO/IEC 11582	2002				2002	SC6
36703	C		追加ネットワーク特性	ついかねっとわーくとくせ	Additional network feature				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36704	C		応答待ち、呼び出し中	おうとうまち、よびだしちゅ	Alerting				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36705	C		応答	おうとう	Answered				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36706	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, basic call				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36707	C		第1次呼	だい1じこ	Primary call				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36708	C		第2次呼	だい2じこ	Secondary call				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36709	C		結合による転送	けつごうによるてんそう	Transfer by Join				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36710	C		再ルーティングによる転送	さいるーていんぐによるてんそう	Transfer by rerouteing				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36711	C		利用者A	りようしゃA	User A				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36712	C		利用者B	りようしゃB	User B				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36713	C		利用者C	りようしゃC	User C				ISO/IEC 13865	2003				2003	SC6
36714	C		終端PINX	しゅうたんPINX	End PINX				ISO/IEC 13869	2003				2003	SC6
36715	C		第1次PINX	だい1じPINX	Primary PINX				ISO/IEC 13869	2003				2003	SC6
36716	C		あて先変更番号	あてさきへんこうばんごう	Redirection number				ISO/IEC 13869	2003				2003	SC6
36717	C		第2次PINX	だい2じPINX	Secondary PINX				ISO/IEC 13869	2003				2003	SC6
36718	C		転送PINX	てんそうPINX	Transferring PINX				ISO/IEC 13869	2003				2003	SC6
36719	C		CC呼	CCこ	CC Call				ISO/IEC 13870	2003				2003	SC6
36720	C		CC要求	CCようきゅう	CC Request				ISO/IEC 13870	2003				2003	SC6
36721	C		コネクション解放	こねくしょんかいほう	Connection release				ISO/IEC 13870	2003				2003	SC6
36722	C		コネクション保持	こねくしょんほじ	Connection retention				ISO/IEC 13870	2003				2003	SC6
36723	C		パス保存	ぱすほぞん	Path reservation				ISO/IEC 13870	2003				2003	SC6
36724	C		サービス保持	さーびすほじ	Service retention				ISO/IEC 13870	2003				2003	SC6
36725	C		追加ネットワーク特性	ついかねっとわーくとくせい	Additional network feature				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36726	C		話中	はなしちゅう	Busy				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36727	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, basic call				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36728	C		接続番号	せつぞくばんごう	Connected number				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36729	C		呼ごと(毎)着信転送	こごとちゃくしんてんそう	Call Deflection				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36730	C		呼ごと(毎)着信未応答転送	こごとちゃくしんみたいおうてんそう	Call Deflection from Alert				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36731	C		呼ごと(毎)着信即時転送	こごとちゃくしんそくじてんそう	Call Deflection Immediate				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36732	C		着信転送	ちゃくしんてんそう	Diversion				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36733	C		未応答転送	みおうとうてんそう	Diversion from Alert				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36734	C		即時転送	そくじてんそう	Diversion Immediate				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36735	C		転送先番号	てんそうさきばんごう	Diverted-to number				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36736	C		転送先サブ番号	てんそうさきさぶばんごう	Diverted-to subaddress				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36737	C		転送先使用者	てんそうさきしようしゃ	Diverted-to user				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36738	C		転送原因	てんそうげんいん	Diverting cause				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36739	C		転送者番号	てんそうしゃばんごう	Diverting number				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36740	C		自動転送	じどうてんそう	Forwarding				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36741	C		自動転送スイッチ処理	じどうてんそうすいっちしょ	Forward switching				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36742	C		最終転送使用者	さいしゅうてんそうしよう	Last diverting user				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36743	C		元の着呼番号	もとのちゃっこばんごう	Original called number				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36744	C		元の着呼使用者	もとのちゃっこしようしゃ	Original called user				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36745	C		部分的再ルーティング	ぶぶんてきさいるーていんぐ	Partial rerouteing				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36746	C		番号通知指標	ばんごうつうちしひょう	Presentation indicator				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36747	C		PISN番号	PISNばんごう	PISN number				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36748	C		私設	しせつ	Private				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36749	C		公衆	こうしゅう	Public				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36750	C		公衆ISDN	こうしゅうISDN	Public ISDN				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36751	C		再ルーティング	さいるーていんぐ	Rerouteing				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36752	C		当該使用者	とうがいしようしゃ	Served user				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36753	C		端末、端末装置	たんまつ、たんまつそうち	Terminal, terminal				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36754	C		使用者A	しようしゃA	User A				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36755	C		使用者B	しようしゃB	User B				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36756	C		使用者B1、使用者B2、使用者B3等	しようしゃB1、しようしゃB2、しようしゃB3など	User B1, user B2, user B3, etc.				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36757	C		使用者C	しようしゃC	User C				ISO/IEC 13872	2003				2003	SC6
36758	C		起動PINX	きどうPINX	Activating PINX				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36759	C		話中	はなしちゅう	Busy				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36760	C		接続番号	せつぞくばんごう	Connected number				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36761	C		解除PINX	かいじょPINX	Deactivating PINX				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36762	C		着信転送	ちゃくしんてんそう	Diversion				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36763	C		転送先番号	てんそうさきばんごう	Diverted-to number				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36764	C		転送先PINX	てんそうさきPINX	Diverted-to PINX				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36765	C		転送先利用者	てんそうさきりようしゃ	Diverted-to user				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36766	C		転送原因	てんそうげんいん	Diverting cause				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36767	C		転送者番号	てんそうしゃばんごう	Diverting number				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36768	C		自動転送スイッチ処理	じどうてんそうすいっちしょ	Forwarding				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36769	C		自動呼び出し切替	じどうよびだしきりかえ	Forward switching				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36770	C		問い合わせPINX	といあわせPINX	Interrogating PINX				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36771	C		最終転送使用者	さいしゅうてんそうしよう	Last diverting user				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36772	C		元の着呼番号	もとのちゃっこばんごう	Original called number				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36773	C		元の着呼使用者	もとのちゃっこしようしゃ	Original called user				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36774	C		部分的再ルーティング	ぶぶんてきさいるーていん	Partial rerouteing				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36775	C		表示インジケータ	ひょうじいんじけーた	Presentation indicator				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36776	C		再ルーティング	さいるーていんぐ	Rerouteing				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36777	C		再ルーティングPINX	さいるーていんぐPINX	Rerouteing PINX				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36778	C		当該使用者	とうがいしようしゃ	Served user				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36779	C		使用者A	しようしゃA	User A				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36780	C		使用者B	しようしゃB	User B				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36781	C		使用者B1、使用者B2、使用者B3等	しようしゃB1、しようしゃB2、しようしゃB3など	User B1, user B2, user B3, etc.				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36782	C		使用者C	しようしゃC	User C				ISO/IEC 13873	2003				2003	SC6
36783	C		分岐PINX	ぶんきPINX	Branching PINX				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36784	C		協力PINX	きょうりょくPINX	Cooperating PINX				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36785	C		終端PINX	しゅうたんPINX	End PINX				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36786	C		前のPINX	まえのPINX	Preceding PINX				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36787	C		置換接続	ちかんせつぞく	Replaced connection				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36788	C		再ルーティングPINX	さいるーていんぐPINX	Requesting PINX				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36789	C		保持接続	ほじせつぞく	Retained connection				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36790	C		次のPINX	つぎのPINX	Subsequent PINX				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36791	C		招へい(聘)PINX	しょうへいPINX	Inviting PINX				ISO/IEC 13874	2003				2003	SC6
36792	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36793	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36794	C		送信者	そうしんしゃ	sender				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36795	C		受信者	じゅしんしゃ	receiver				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36796	C		ツリー	つりー	tree				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36797	C		TO (トップオーナー)	TO (とっぷおーなー)	TO (top owner)				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36798	C		LO (ローカルオーナー)	LO (ろーかるおーなー)	LO (local owner)				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36799	C		LE (葉部分の構成要素)	LE (はぶぶんのこうせいようそ)	LE (leaf entity)				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36800	C		ローカルグループ	ろーかるぐるーぷ	local group				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36801	C		親	おや	parent				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36802	C		子	こ	child				ISO/IEC 14476-1	2002				2003	SC6
36803	C		相互PINXリンク	そうごPINXりんく	Inter-PINX link				ISO/IEC 14843	2003				2003	SC6
36804	C		パス保存	ぱすほぞん	Path retention				ISO/IEC 14843	2003				2003	SC6
36805	C		当該使用者PINX	とうがいしようしゃPINX	Served User PINX				ISO/IEC 14843	2003				2003	SC6
36806	C		起動PINX	きどうPINX	Activating PINX				ISO/IEC 14844	2003				2003	SC6
36807	C		停止PINX	ていしPINX	Deactivating PINX				ISO/IEC 14844	2003				2003	SC6
36808	C		相互PINXリンク	そうごPINXりんく	Inter-PINX link				ISO/IEC 14844	2003				2003	SC6
36809	C		問い合わせPINX	といあわせPINX	Interrogating PINX				ISO/IEC 14844	2003				2003	SC6
36810	C		パス保持	ぱすほじ	Path retention				ISO/IEC 14844	2003				2003	SC6
36811	C		当該使用者PINX	とうがいしようしゃPINX	Served User PINX				ISO/IEC 14844	2003				2003	SC6
36812	C		話し中	はなしちゅう	Busy				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36813	C		会議型接続	かいぎがたせつぞく	Conference type				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36814	C		切迫割り込みの通知	せっぱくわりこみのつうち	Impending intrusion warning notification				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36815	C		分離	ぶんり	Isolation				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36816	C		パス保持	ぱすほじ	Path retention				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36817	C		当該使用者PINX	とうがいしようしゃPINX	Served User PINX				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36818	C		対象使用者	たいしょうしようしゃ	Wanted user				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36819	C		不要な使用者	ふようなしようしゃ	Unwanted user				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36820	C		不要な使用者PINX	ふようなしようしゃPINX	Unwanted User PINX				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36821	C		話し中待機	はなしちゅうたいき	Wait on busy				ISO/IEC 14846	2003				2003	SC6
36822	C		通知モード	つうちもーど	Advice mode				ISO/IEC 15050	2003				2003	SC6
36823	C		通知モード組み合わせ	つうちもーどくみあわせ	Advice mode combination				ISO/IEC 15050	2003				2003	SC6
36824	C		請求料金の提示	せいきゅうりょうきんのて	Charge rate provision				ISO/IEC 15050	2003				2003	SC6
36825	C		中間料金の提示	ちゅうかんりょうきんのて	Interim charge provision				ISO/IEC 15050	2003				2003	SC6
36826	C		最終料金の提示	さいしゅうりょうきんのてい	Final charge provision				ISO/IEC 15050	2003				2003	SC6
36827	C		料金関連情報	りょうきんかんれんじょうほう	Charging Association Information				ISO/IEC 15050	2003				2003	SC6
36828	C		会計機能	かいけいきのう	Accounting Function				ISO/IEC 15050	2003				2003	SC6
36829	C		話し中	はなしちゅう	Busy				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6
36830	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, basic call				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6
36831	C		リコール話し中	りこーるはなしちゅう	Recall busy				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6
36832	C		リコール話し中タイマ	りこーるはなしちゅうたい	Recall busy timer				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6
36833	C		リコール無応答	りこーるむおうとう	Recall no answer				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6
36834	C		リコール無応答タイマ	りこーるむおうとうたいま	Recall no answer timer				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6
36835	C		当該使用者	とうがいしようしゃ	Served user				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36836	C		話し中使用者待機	はなしちゅうしようしゃたい	Waiting at busy user				ISO/IEC 15051	2003				2003	SC6
36837	C		当該使用者、使用者A	とうがいしようしゃ、しようしゃA	Served user, User A				ISO/IEC 15052	2003				2003	SC6
36838	C		当該使用者PINX	とうがいしようしゃPINX	Served User PINX				ISO/IEC 15052	2003				2003	SC6
36839	C		追加ネットワーク特性	ついかねっとわーくとくせ	Additional Network				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36840	C		ANF-CINT使用者	ANF-CINTしようしゃ	ANF-CINT user				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36841	C		話し中	はなしちゅう	Busy				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36842	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, basic call				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36843	C		着呼使用者	ちゃっこしようしゃ	Called user				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36844	C		中断通知先	ちゅうだんつうちさき	Intercepted-to user				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36845	C		中断原因	ちゅうだんげんいん	Interception cause				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36846	C		遅延による中断	ちえんによるちゅうだん	Interception delayed				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36847	C		即時中断	そくじちゅうだん	Interception immediate				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36848	C		話し中待機	はなしちゅうたいき	Waiting on busy				ISO/IEC 15053	2003				2003	SC6
36849	C		転送切替	てんそうきりかえ	Forward switching				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36850	C		中断通知PINX	ちゅうだんつうちPINX	Intercepting PINX				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36851	C		中断通知先PINX	ちゅうだんつうちさきPINX	Intercepted-to PINX				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36852	C		中断通知先使用者	ちゅうだんつうちさきしようしゃ	Intercepted-to user				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36853	C		即時中断通知	そくじちゅうだんつうち	Interception immediate				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36854	C		遅延中断通知	ちえんちゅうだんつうち	Interception delayed				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36855	C		呼失敗	こしっぱい	Call failure				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36856	C		話し中待機	はなしちゅうたいき	Waiting on busy				ISO/IEC 15054	2003				2003	SC6
36857	C		WTM使用者	WTMしようしゃ	WTM user				ISO/IEC 15429	2003				2003	SC6
36858	C		代用識別子	だいようしきべつし	Alternative identifier				ISO/IEC 15431	2003				2003	SC6
36859	C		ホームデータベース(HDB)	ほーむでーたべーす	Home data base (HDB)				ISO/IEC 15431	2003				2003	SC6
36860	C		ホームPINX	ほーむPINX	Home PINX				ISO/IEC 15431	2003				2003	SC6
36861	C		再ルーティングPINX	さいるーてぃんぐPINX	Rerouteing PINX				ISO/IEC 15431	2003				2003	SC6
36862	C		ビジターデータベース	びじたーでーたべーす	Visitor data base (VDB)				ISO/IEC 15431	2003				2003	SC6
36863	C		ビジターPINX	びじたーPINX	Visitor PINX				ISO/IEC 15431	2003				2003	SC6
36864	C		WTMI検出PINX	WTMIけんしゅつPINX	WTMI-detect PINX				ISO/IEC 15431	2003				2003	SC6
36865	C		認証サーバPINX	にんしょうさーばPINX	Authentication Server				ISO/IEC 15433	2003				2003	SC6
36866	C		当該使用者	とうがいしようしゃ	Served User				ISO/IEC 15505	2003				2003	SC6
36867	C		メッセージセンタ	めっせーじせんた	Message Centre				ISO/IEC 15505	2003				2003	SC6
36868	C		メッセージ待機表示	めっせーじたいきひょうじ	Message Waiting				ISO/IEC 15505	2003				2003	SC6
36869	C		メッセージセンタPINX	めっせーじせんたPINX	Message Centre PINX				ISO/IEC 15506	2003				2003	SC6
36870	C		当該使用者	とうがいしようしゃ	Served User				ISO/IEC 15506	2003				2003	SC6
36871	C		メッセージセンタ	めっせーじせんた	Message Centre				ISO/IEC 15506	2003				2003	SC6
36872	C		メッセージ待機表示	めっせーじたいきひょうじ	Message Waiting				ISO/IEC 15506	2003				2003	SC6
36873	C		発呼PINX	はっこPINX	Calling PINX				ISO/IEC 17309	2000				2000	SC6
36874	C		着呼PINX	ちゃっこPINX	Called PINX				ISO/IEC 17309	2000				2000	SC6
36875	C		チャンネル	ちゃんねる	Channel				ISO/IEC 17309	2000				2000	SC6
36876	C		DQチャンネル	DQちゃんねる	D_Q-Channel				ISO/IEC 17309	2000				2000	SC6
36877	C		UQチャンネル	UQちゃんねる	U_Q-Channel				ISO/IEC 17309	2000				2000	SC6
36878	C		相互PINX接続	そうごPINXせつぞく	Inter-PINX Connection				ISO/IEC 17309	2000				2000	SC6
36879	C		相互PINXリンク	そうごPINXりんく	Inter-PINX Link				ISO/IEC 17309	2000				2000	SC6
36880	C		チャンネル	ちゃんねる	Channel				ISO/IEC 17310	2000				2000	SC6
36881	C		DQチャンネル	DQちゃんねる	D_Q-Channel				ISO/IEC 17310	2000				2000	SC6
36882	C		UQチャンネル	UQちゃんねる	U_Q-Channel				ISO/IEC 17310	2000				2000	SC6
36883	C		終端PINX	しゅうたんPINX	End PINX				ISO/IEC 17310	2000				2000	SC6
36884	C		相互PINX接続	そうごPINXせつぞく	Inter-PINX Connection				ISO/IEC 17310	2000				2000	SC6
36885	C		相互PINXリンク	そうごPINXりんく	Inter-PINX Link				ISO/IEC 17310	2000				2000	SC6
36886	C		通過PINX	つうかPINX	Transit PINX				ISO/IEC 17310	2000				2000	SC6
36887	C		チャンネル	ちゃんねる	Channel				ISO/IEC 17311	2000				2000	SC6
36888	C		DQチャンネル	DQちゃんねる	D_Q-Channel				ISO/IEC 17311	2000				2000	SC6
36889	C		UQチャンネル	UQちゃんねる	U_Q-Channel				ISO/IEC 17311	2000				2000	SC6
36890	C		終端PINX	しゅうたんPINX	End PINX				ISO/IEC 17311	2000				2000	SC6
36891	C		相互PINX接続	そうごPINXせつぞく	Inter-PINX Connection				ISO/IEC 17311	2000				2000	SC6
36892	C		相互PINXリンク	そうごPINXりんく	Inter-PINX Link				ISO/IEC 17311	2000				2000	SC6
36893	C		通過PINX	つうかPINX	Transit PINX				ISO/IEC 17311	2000				2000	SC6
36894	C		全呼登録、AllCall登録	ぜんことうろく、AllCallとう	AllCall registration				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36895	C		追加ネットワーク特性(ANF)	ついかねっとわーくとくせい(ANF)	Additional network feature (ANF)				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36896	C		代用識別子	だいようしきべつし	Alternative identifier				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36897	C		相手先番号	あいてさきばんごう	Destination number				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36898	C		ホームデータベース(HDB)	ほーむでーたべーす	Home Data Base (HDB)				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36899	C		ホームPINX	ほーむPINX	Home PINX				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36900	C		ホストアドレス	ほすとあどれす	Hosting address				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36901	C		着呼登録	ちゃっこうろく	InCall registration				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36902	C		PUM着信、PUM着呼	PUMちゃくしん、PUMちゃっこ	Incoming PUM call				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36903	C		発呼番号	はっこばんごう	Originating number				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36904	C		発呼登録	はっこうろく	OutCall registration				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36905	C		PUM発信、PUM発呼	PUMはっしん、PUMはっこ	Outgoing PUM call				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36906	C		PUM使用者識別	PUMしようしゃしきべつ	PUM user identity				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36907	C		プライベートユーザモビリティ(PUM)	ぷらいべーとゆーざもびりてぃ(PUM)	Private User Mobility (PUM)				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36908	C		(PUM)登録取消	(PUM)とうろくとりけし	(PUM) de-registration				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36909	C		PUM登録	PUMとうろく	PUM registration				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36910	C		PUM番号	PUMばんごう	PUM number				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36911	C		PUM使用者	PUMしようしゃ	PUM user				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36912	C		登録セッション	とうろくせっしょん	Registration session				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36913	C		ビジター領域	びじたーりょういき	Visitor area				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36914	C		ビジターデータベース	びじたーでーたべーす	Visitor Data Base (VDB)				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36915	C		ビジターPINX	びじたーPINX	Visitor PINX				ISO/IEC 17875	2000				2000	SC6
36916	C		リモートPINX	りもーとPINX	Remote PINX				ISO/IEC 17876	2003				2003	SC6
36917	C		前ビジターPINX	ぜんびじたーPINX	Previous Visitor PINX				ISO/IEC 17876	2003				2003	SC6
36918	C		代用識別子	だいようしきべつし	Alternative identifier				ISO/IEC 17876	2003				2003	SC6
36919	C		起動使用者	きどうしようしゃ	Activating user				ISO/IEC 17876	2003				2003	SC6
36920	C		追加ネットワーク特性(ANF)	ついかねっとわーくとくせい(ANF)	Additional network feature (ANF)				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36921	C		代用識別子	だいようしきべつし	Alternative identifier				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36922	C		相手先番号	あいてさきばんごう	Destination number				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36923	C		ホームデータベース(HDB)	ほーむでーたべーす	Home Data Base (HDB)				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36924	C		ホームPINX	ほーむPINX	Home PINX				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36925	C		ホストアドレス	ほすとあどれす	Hosting address				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36926	C		PUM着呼	PUMちゃっこ	Incoming PUMcall				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36927	C		発信番号	はっしんばんごう	Originating number				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36928	C		PUM発呼	PUMはっこ	Outgoing PUM call				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36929	C		プライベートユーザモビリティ(PUM)	ぷらいべーとゆーざもびりてぃ(PUM)	Private User Mobility (PUM)				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36930	C		PUM登録	PUMとうろく	PUM registration				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36931	C		PUM使用者	PUMしようしゃ	PUM user				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36932	C		PUM使用者識別	PUMしようしゃしきべつ	PUM user identity				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36933	C		ビジターデータベース	びじたーでーたべーす	Visitor Data Base (VDB)				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36934	C		ビジターPINX	びじたーPINX	Visitor PINX				ISO/IEC 17877	2000				2000	SC6
36935	C		代用識別子	だいようしきべつし	Alternative identifier				ISO/IEC 17878	2003				2003	SC6
36936	C		ホームデータベース(HDB)	ほーむでーたべーす	Home data base (HDB)				ISO/IEC 17878	2003				2003	SC6
36937	C		再ルーティングPINX	さいるーてぃんぐPINX	Rerouteing PINX				ISO/IEC 17878	2003				2003	SC6
36938	C		PUMI検出PINX	PUMIけんしゅつPINX	PUMI-detect PINX				ISO/IEC 17878	2003				2003	SC6
36939	C		端末装置(TE)	たんまつそうち(TE)	Terminal equipment (TE)				ISO/IEC 17878	2003				2003	SC6
36940	C		ビジターデータベース	びじたーでーたべーす	Visitor data base (VDB)				ISO/IEC 17878	2003				2003	SC6
36941	C		参照点	さんしょうてん	reference point				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36942	C		チャンネル	ちゃんねる	channel				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36943	C		DQチャンネル	DQちゃんねる	D_Q-Channel				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36944	C		UQチャンネル	UQちゃんねる	U_Q-Channel				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36945	C		相互接続ネットワーク(ICN)	そうごせつぞくねっとわーく(ICN)	Interconnecting Network (ICN)				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36946	C		PINX接続	PINXせつぞく	PINX connection				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36947	C		相互PINXリンク	そうごPINXりんく	inter-PINX link				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36948	C		T+参照点	T+さんしょうてん	T+ reference point				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36949	C		公衆ネットワーク装置	こうしゅうねっとわーくそう	public network equipment				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36950	C		第三者	だいさんしゃ	third party				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36951	C		仮想私設ネットワーク、VPN	かそうしせつねっとわーく、VPN	Virtual Private Network (VPN)				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36952	C		VPN-PINX	VPN-PINX	VPN-PINX				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36953	C		付属PINX	ふぞくPINX	attached PINX				ISO/IEC 18017	2001				2001	SC6
36954	C		能動通信モード	のうどうつうしんもーど	active communication				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36955	C		ASK変調	ASKへんちょう	ASK modulation				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36956	C		2進化10進数(BCD)	2しんか10しんすう(BCD)	Binary Coded Decimal (BCD)				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36957	C		衝突	しょうとつ	collision				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36958	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36959	C		H閾値	Hしいきち	$H_{Threshold}$				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36960	C		開始プログラム	かいしぷろぐらむ	initiator				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36961	C		負荷変調	ふかへんちょう	load modulation				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36962	C		lsb優先	lsbゆうせん	lsb first				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36963	C		LSB優先	LSBゆうせん	LSB first				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36964	C		マンチェスタ符号化	まんちぇすたふごうか	Manchester coding				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36965	C		変調指標	へんちょうしひょう	modulation index				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36966	C		msb優先	msbゆうせん	msb first				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36967	C		MSB優先	MSBゆうせん	MSB first				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36968	C		NFCIP-1デバイス	NFCIP-1でばいす	NFCIP-1 device				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36969	C		NFC識別子 (NFCIDn)	NFCしきべつし (NFCIDn)	NFC Identifier (NFCIDn)				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36970	C		受動通信モード	じゅどうつうしんもーど	passive communication mode				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36971	C		RF衝突回避 (RFCA)	RFしょうとつかいひ (RFCA)	RF Collision Avoidance (RFCA)				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36972	C		SEL PAR	SEL PAR	SEL_PAR				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
36973	C		検出	けんしゅつ	sensing				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36974	C		単一デバイス検出(SDD)	たんいつでばいすけんしゅつ(SDD)	Single Device Detection (SDD)				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36975	C		副搬送波	ふくはんそうは	subcarrier				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36976	C		ターゲット	たーげっと	Target				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36977	C		期間	きかん	Time Period				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36978	C		タイムスロット	たいむすろっと	Time Slot				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36979	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 18092	2004				2004	SC6
36980	C		ゲートウェイPINX	げーとうぇいPINX	Gateway PINX				ISO/IEC 19058	2001				2001	SC6
36981	C		相互PINXリンク(IPL)	そうごPINXりんく(IPL)	Inter-PINX link (IPL)				ISO/IEC 19058	2001				2001	SC6
36982	C		先行側	せんこうがわ	Preceding side				ISO/IEC 19058	2001				2001	SC6
36983	C		私設統合サービスネットワーク交換(PINX)	しせつとうごうさーびすねっとわーくこうかん	Private Integrated services Network				ISO/IEC 19058	2001				2001	SC6
36984	C		後続側	こうぞくがわ	Succeeding side				ISO/IEC 19058	2001				2001	SC6
36985	C		追加ネットワーク特性(ANF)	ついかねっとわーくとくせい(ANF)	Additional network feature (ANF)				ISO/IEC 19459	2001				2001	SC6
36986	C		元の呼、元の接続	もとのこ、もとのせつぞく	Original Call, Original Connection				ISO/IEC 19459	2001				2001	SC6
36987	C		新しい呼、新しい接続	あたらしいこ、あたらしいせつぞく	New Call, New Connection				ISO/IEC 19459	2001				2001	SC6
36988	C		使用者A、転送する使用者	しようしゃA、てんそうするしようしゃ	User A, Transferring User				ISO/IEC 19459	2001				2001	SC6
36989	C		使用者B、転送される使用者	しようしゃB、てんそうされるよびだし	User B, Transferred User				ISO/IEC 19459	2001				2001	SC6
36990	C				User C, Transferred-To User				ISO/IEC 19459	2001				2001	SC6
36991	C		再ルーティング番号	さいるーていんぐばんごう	Rerouting number				ISO/IEC 19460	2003				2003	SC6
36992	C		再ルーティングPINX	さいるーていんぐPINX	Rerouting PINX				ISO/IEC 19460	2003				2003	SC6
36993	C		転送元PINX	てんそうもとPINX	Transferred PINX				ISO/IEC 19460	2003				2003	SC6
36994	C		転送先PINX	てんそうさきPINX	Transferred-To PINX				ISO/IEC 19460	2003				2003	SC6
36995	C		転送PINX	てんそうPINX	Transferring PINX				ISO/IEC 19460	2003				2003	SC6
36996	C		協力使用者	きょうりょくしようしゃ	Co-operating User				ISO/IEC 20113	2004				2004	SC6
36997	C		相手先使用者	あいてさきしようしゃ	Destination User				ISO/IEC 20113	2004				2004	SC6
36998	C		発信要求	はっしんようきゅう	Make Call Request				ISO/IEC 20113	2004				2004	SC6
36999	C		発信呼び出し	はっしんよびだし	Original Call				ISO/IEC 20113	2004				2004	SC6
37000	C		要求された呼び出し	ようきゅうされたよびだし	Requested Call				ISO/IEC 20113	2004				2004	SC6
37001	C		要求使用者	ようきゅうしようしゃ	Requesting User				ISO/IEC 20113	2004				2004	SC6
37002	C		協力PINX	きょうりょくPINX	Co-operating PINX				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37003	C		協力使用者	きょうりょくしようしゃ	Co-operating User				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37004	C		相手先PINX	あいてさきPINX	Destination PINX				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37005	C		相手先使用者	あいてさきしようしゃ	Destination User				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37006	C		発信要求	はっしんようきゅう	Make Call Request				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37007	C		元の呼	もとのこ	Original Call				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37008	C		要求された呼	ようきゅうされたこ	Requested Call				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37009	C		要求PINX	ようきゅうPINX	Requesting PINX				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37010	C		要求使用者	ようきゅうしようしゃ	Requesting User				ISO/IEC 20114	2004				2004	SC6
37011	C		当該使用者	とうがいしようしゃ	Served User				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37012	C		当該使用者PINX	とうがいしようしゃPINX	Served User PINX				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37013	C		メッセージセンター	めっせーじせんたー	Message Centre				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37014	C		MCMメッセージセンター	MCMめっせーじせんたー	MCM Message Centre				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37015	C		MWIメッセージセンター	MWIめっせーじせんたー	MWI Message Centre				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37016	C		MCAプロファイル1	MCAぷろふぁいる1	MCA-Profile-1				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37017	C		MCAプロファイル2	MCAぷろふぁいる2	MCA-Profile-2				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37018	C		MCAプロファイル3	MCAぷろふぁいる3	MCA-Profile-3				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37019	C		MCAプロファイル4	MCAぷろふぁいる4	MCA-Profile-4				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37020	C		メッセージ保存場所	めっせーじほぞんばしょ	Message Deposit				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37021	C		直接メッセージ保存場所	ちょくせつめっせーじほぞんばしょ	Direct Message Deposit				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37022	C		転換後のメッセージ保存場所	てんかんごのめっせーじほぞんばしょ	Message Deposit after Diversion				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37023	C		転送後のメッセージ保存場所	てんそうごのめっせーじほぞんばしょ	Message Deposit after Transfer				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37024	C		メッセージセンターのモニタリング	めっせーじせんたーのもにたりんぐ	Message Centre Monitoring				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37025	C		メッセージ閲覧	めっせーじえつらん	Message Browsing				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37026	C		メッセージ検索	めっせーじけんさく	Message Retrieval				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37027	C		メッセージセンター転送	めっせーじせんたーてん	Message Centre Transfer				ISO/IEC 20115	2004				2004	SC6
37028	C		アドレスヘッダ	あどれすへっだ	Address Header				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37029	C		完全情報	かんぜんじょうほう	Complete Information				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37030	C		圧縮情報	あっしゅくじょうほう	Compressed Information				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37031	C		削除メッセージ	さくじょめっせーじ	Deleted Messages				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37032	C		受信箱	じゅしんばこ	Mailbox				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37033	C		メッセージセンター(MC)	めっせーじせんたー(MC)	Message Centre (MC)				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37034	C		メッセージ状態	めっせーじじょうたい	Message Status				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37035	C		メッセージ型	めっせーじがた	Message Type				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37036	C		メッセージ待機信号	めっせーじたいきしんごう	Message Waiting Signal				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37037	C		新規メッセージ	しんきめっせーじ	New Message				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37038	C		発信者	はっしんしゃ	Originator				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37039	C		発信者アドレス	はっしんしゃあどれす	Originator address				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37040	C		検索メッセージ	けんさくめっせーじ	Retrieved Message				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37041	C		当該使用者	とうがいしようしゃ	Served User				ISO/IEC 20116	2004				2004	SC6
37042	C		メッセージセンターPINX	めっせーじせんたーPINX	Message Centre PINX				ISO/IEC 20117	2004				2004	SC6
37043	C		当該使用者PINX	とうがいしようしゃPINX	Served User PINX				ISO/IEC 20117	2004				2004	SC6
37044	C		相互接続ネットワーク	そうごせつぞくねっとわー	Interconnecting Network				ISO/IEC 20161	2001				2001	SC6
37045	C		仮想トランジットPINX	かそうとらんじっとPINX	Virtual Transit PINX				ISO/IEC 20161	2001				2001	SC6
37046	C		クライアント使用者	くらいあんとしようしゃ	Client User				ISO/IEC 21407	2001				2001	SC6
37047	C		ディスプレイ情報	でぃすぷれいじょうほう	Display information				ISO/IEC 21407	2001				2001	SC6
37048	C		キーパッド情報	きーぱっどじょうほう	Keypad information				ISO/IEC 21407	2001				2001	SC6
37049	C		サーバ使用者	さーばしようしゃ	Server User				ISO/IEC 21407	2001				2001	SC6
37050	C		クライアント使用者PINX	くらいあんとしようしゃPINX	Client User PINX				ISO/IEC 21408	2003				2001	SC6
37051	C		サーバ使用者PINX	さーばしようしゃPINX	Server User PINX				ISO/IEC 21408	2003				2001	SC6
37052	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, Basic call				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37053	C		法人用電気通信ネットワーク(CN)	ほうじんようでんきつうしんねっとわーく(CN)	Corporate telecommunication Network (CN)				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37054	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	Gateway				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37055	C		IPネットワーク	IPねっとわーく	IP network				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37056	C		私設統合サービスネットワーク(PISN)	しせつとうごうさーびすねっとわーく(PISN)	Private Integrated Services Network (PISN)				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37057	C		受信側	じゅしんがわ	Receiving side				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37058	C		送信側	そうしんがわ	Sending side				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37059	C		側面	そくめん	Side				ISO/IEC 21409	2001				2001	SC6
37060	C		構成要素A	こうせいようそA	Entity A				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37061	C		構成要素A*	こうせいようそA*	Entity A*				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37062	C		構成要素B	こうせいようそB	Entity B				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37063	C		構成要素B*	こうせいようそB*	Entity B*				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37064	C		構成要素B'	こうせいようそB'	Entity B'				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37065	C		構成要素C	こうせいようそC	Entity C				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37066	C		構成要素C*	こうせいようそC*	Entity C*				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37067	C		構成要素C'	こうせいようそC'	Entity C'				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37068	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	Gateway				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37069	C		レッグAB	れっぐAB	Leg AB				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37070	C		レッグAB*	れっぐAB*	Leg AB*				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37071	C		レッグAC	れっぐAC	Leg AC				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37072	C		レッグBC	れっぐBC	Leg BC				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37073	C		レッグBC*	れっぐBC*	Leg BC*				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37074	C		レッグB	れっぐB	Leg B				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37075	C		レッグB*	れっぐB*	Leg B*				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37076	C		レッグC	れっぐC	Leg C				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37077	C		シナリオAB1	しなりおAB1	Scenario AB1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37078	C		シナリオAB*1	しなりおAB*1	Scenario AB*1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37079	C		シナリオAB2	しなりおAB2	Scenario AB2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37080	C		シナリオAB*2	しなりおAB*2	Scenario AB*2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37081	C		シナリオAC1	しなりおAC1	Scenario AC1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37082	C		シナリオAC2	しなりおAC2	Scenario AC2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37083	C		シナリオBC1	しなりおBC1	Scenario BC1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37084	C		シナリオBC*1	しなりおBC*1	Scenario BC*1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37085	C		シナリオBC2	しなりおBC2	Scenario BC2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37086	C		シナリオBC*2	しなりおBC*2	Scenario BC*2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37087	C		シナリオB1	しなりおB1	Scenario B1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37088	C		シナリオB*1	しなりおB*1	Scenario B*1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37089	C		シナリオB2	しなりおB2	Scenario B2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37090	C		シナリオB*2	しなりおB*2	Scenario B*2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37091	C		シナリオC1	しなりおC1	Scenario C1				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37092	C		シナリオC2	しなりおC2	Scenario C2				ISO/IEC 21410	2001				2001	SC6
37093	C		接続D	せつぞくD	Association D				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37094	C		接続E	せつぞくE	Association E				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37095	C		接続F	せつぞくF	Association F				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37096	C		接続G	せつぞくG	Association G				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37097	C		構成要素A	こうせいようそA	Entity A				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37098	C		構成要素B	こうせいようそB	Entity B				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37099	C		構成要素B'	こうせいようそB'	Entity B'				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37100	C		構成要素C	こうせいようそC	Entity C				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37101	C		構成要素D	こうせいようそD	Entity D				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37102	C		構成要素E	こうせいようそE	Entity E				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37103	C		構成要素F	こうせいようそF	Entity F				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37104	C		構成要素G	こうせいようそG	Entity G				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37105	C		構成要素H	こうせいようそH	Entity H				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37106	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	Gateway				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37107	C		レッグA	れっぐA	Leg A				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37108	C		レッグB	れっぐB	Leg B				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37109	C		レッグB'	れっぐB'	Leg B'				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37110	C		レッグC	れっぐC	Leg C				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37111	C		再ルーティング構成要素	さいるーてぃんぐこうせいようそ	Rerouting entity				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37112	C		シナリオA1	しなりおA1	Scenario A1				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37113	C		シナリオA2	しなりおA2	Scenario A2				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37114	C		シナリオB1	しなりおB1	Scenario B1				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37115	C		シナリオB2	しなりおB2	Scenario B2				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37116	C		シナリオC1	しなりおC1	Scenario C1				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37117	C		シナリオC2	しなりおC2	Scenario C2				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37118	C		シナリオD1	しなりおD1	Scenario D1				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37119	C		シナリオD2	しなりおD2	Scenario D2				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37120	C		シナリオE1	しなりおE1	Scenario E1				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37121	C		シナリオE2	しなりおE2	Scenario E2				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37122	C		シナリオF1	しなりおF1	Scenario F1				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37123	C		シナリオF2	しなりおF2	Scenario F2				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37124	C		シナリオG1	しなりおG1	Scenario G1				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37125	C		シナリオG2	しなりおG2	Scenario G2				ISO/IEC 21411	2001				2001	SC6
37126	C		追加ネットワーク特性(ANF)	ついかねっとわーくとくせい(ANF)	Additional Network Feature (ANF)				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37127	C		ANF-CIDL使用者	ANF-CIDLしようしゃ	ANF-CIDL user				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37128	C		呼	こ	Call				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37129	C		呼識別データ、CIDLデータ	こしきべつでーた、CIDLでーた	Call Identification Data, CIDL-Data				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37130	C		呼連鎖データ	これんさでーた	Call Linkage Data				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37131	C		グローバル呼識別、グローバル呼ID、GID	ぐろーばるこしきべつ、ぐろーばるこID、GID	Global Call Identification, Global Call ID, GID				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37132	C		レッグ識別、レッグID、LID	れっぐしきべつ、れっぐID、LID	Leg Identification, Leg ID, LID				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37133	C		スレッド識別、スレッドID、TID	すれっどしきべつ、すれっどID、TID	Thread Identification, Thread ID, TID				ISO/IEC 21888	2001				2001	SC6
37134	C		CIDL PINX	CIDL PINX	CIDL PINX				ISO/IEC 21889	2001				2001	SC6
37135	C		CIDLトランジットPINX	CIDLとらんじっとPINX	CIDL Transit PINX				ISO/IEC 21889	2001				2001	SC6
37136	C		コマンド	こまんど	Command				ISO/IEC 21989	2002				2002	SC6
37137	C		メッセージセンター	めっせーじせんたー	Message Centre				ISO/IEC 21989	2002				2002	SC6
37138	C		メッセージセンターケース	めっせーじせんたーけー	Message Centre Case				ISO/IEC 21989	2002				2002	SC6
37139	C		ScAlert	ScAlert	ScAlert				ISO/IEC 21989	2002				2002	SC6
37140	C		サービスセンター(SC)	さーびすせんたー(SC)	Service Centre (SC)				ISO/IEC 21989	2002				2002	SC6
37141	C		ショートメッセージ(SM)	しょーとめっせーじ(SM)	Short Message (SM)				ISO/IEC 21989	2002				2002	SC6
37142	C		ショートメッセージ待機データ	しょーとめっせーじたいきでーた	Short Message Waiting Data				ISO/IEC 21989	2002				2002	SC6
37143	C		受信使用者ケース	じゅしんしようしゃけーす	Receiving User Case				ISO/IEC 21990	2002				2002	SC6
37144	C		受信使用者PINX	じゅしんしようしゃPINX	Receiving User PINX				ISO/IEC 21990	2002				2002	SC6
37145	C		送信使用者PINX	そうしんしようしゃPINX	Sending User PINX				ISO/IEC 21990	2002				2002	SC6
37146	C		送信使用者メッセージセンター	そうしんしようしゃめっせーじせんたー	Sending User Message Centre				ISO/IEC 21990	2002				2002	SC6
37147	C		ショートメッセージ構成要素	しょーとめっせーじこうせいようそ	Short Message Entity				ISO/IEC 21990	2002				2002	SC6
37148	C		受信使用者メッセージセンター	じゅしんしようしゃめっせーじせんたー	Receiving User Message Centre				ISO/IEC 21990	2002				2002	SC6
37149	C		構成要素A	こうせいようそA	Entity A				ISO/IEC 21991	2002				2002	SC6
37150	C		構成要素B	こうせいようそB	Entity B				ISO/IEC 21991	2002				2002	SC6
37151	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	Gateway				ISO/IEC 21991	2002				2002	SC6
37152	C		IPネットワーク	IPねっとわーく	IP network				ISO/IEC 21991	2002				2002	SC6
37153	C		レッグA	れっぐA	Leg A				ISO/IEC 21991	2002				2002	SC6
37154	C		シナリオA1	しなりおA1	Scenario A1				ISO/IEC 21991	2002				2002	SC6
37155	C		シナリオA2	しなりおA2	Scenario A2				ISO/IEC 21991	2002				2002	SC6
37156	C		発呼PINX	はっこPINX	Calling PINX				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37157	C		着呼PINX	ちゃっこPINX	Called PINX				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37158	C		チャンネル	ちゃんねる	Channel				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37159	C		DQチャンネル	DQちゃんねる	D_Q-Channel				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37160	C		UQチャンネル	UQちゃんねる	U_Q-Channel				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37161	C		リソース制御情報	りそーすせいぎょじょうほう	Resource Control Information				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37162	C		相互PINX接続(IPC)	そうごPINXせつぞく(IPC)	Inter-PINX Connection (IPC)				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37163	C		QPKT	QPKT	QPKT				ISO/IEC 21992	2003				2003	SC6
37164	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	Gateway				ISO/IEC 23289	2002				2002	SC6
37165	C		IPネットワーク	IPねっとわーく	IP network				ISO/IEC 23289	2002				2002	SC6
37166	C		折り返し着信音	おりかえしちゃくしんおん	Ring-back tone				ISO/IEC 23289	2002				2002	SC6
37167	C		H.323呼	H.323こ	H.323 call				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37168	C		PISN呼	PISNこ	PISN call				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37169	C		呼セグメント	こせぐめんと	Call segment				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37170	C		チャンネル	ちゃんねる	Channel				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37171	C		DQチャンネル	DQちゃんねる	D_Q-Channel				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37172	C		UQチャンネル	UQちゃんねる	U_Q-Channel				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37173	C		相互PINX接続(IPC)	そうごPINXせつぞく(IPC)	Inter-PINX Connection (IPC)				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37174	C		相互PINXリンク(IPL)	そうごPINXりんく(IPL)	Inter-PINX Link (IPL)				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37175	C		開始PINX	かいしPINX	Initiating PINX				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37176	C		承認PINX	しょうにんPINX	Accepting PINX				ISO/IEC 23290	2004				2004	SC6
37177	C		音	おと	sound				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37178	C		音声	おんせい	voice				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37179	C		音声	おんせい	speech				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37180	C		人工音声、合成音声	じんこうおんせい、ごうせいおんせい	artificial speech, synthetic speech				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37181	C		聴覚信号	ちょうかくしんごう	acoustic signal				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37182	C		音声信号	おんせいしんごう	voice signal				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37183	C		音声信号	おんせいしんごう	speech signal				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37184	C		音声周波数	おんせいしゅうはすう	speech frequency				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37185	C		音声帯域幅	おんせいたいいきはば	speech bandwidth				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37186	C		音声パターン	おんせいぱたーん	speech pattern				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37187	C		音声入力	おんせいにゅうりょく	voice input				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37188	C		音声入力	おんせいにゅうりょく	speech input				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37189	C		音声出力	おんせいしゅつりょく	speech output				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37190	C		音声テンプレート	おんせいてんぷれーと	speech template				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37191	C		音声処理	おんせいしょり	speech processing				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37192	C		音声分析	おんせいぶんせき	speech analysis				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37193	C		音素	おんそ	phoneme				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37194	C		ダイフォン	だいふぉん	diphone				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37195	C		音声スペクトグラム、発声スペクトグラム	おんせいすぺくとぐらむ、はっせいすぺくとぐらむ	speech spectrogram, utterance spectrogram				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37196	C		ソノグラム	そのぐらむ	sonogram				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37197	C		フォルマント	ふぉるまんと	formant				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37198	C		音声デジタル化、音声デジタル化	おんせいでじたるか、おんせいでじたるか	speech digitizing, speech digitization				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37199	C		音声符号化、音声波形符号化	おんせいふごうか、おんせいはけいふごうか	speech coding, speech encoding, speech waveform coding				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37200	C		(音声確認及び合成における)予測符号化	(おんせいかくにんおよびごうせいにおける)よそくふ	prediction coding (in speech recognition and				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37201	C		線形符号化	せんけいふごうか	linear prediction coding				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37202	C		サブバンド符号化	さぶばんどふごうか	sub-band coding				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37203	C		音声圧縮	おんせいあっしゅく	speech compression				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37204	C		音声了解度	おんせいりょうかいど	speech intelligibility				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37205	C		音声クリッピング	おんせいくりっぴんぐ	speech clipping				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37206	C		音声確認、自動音声認識、ASR(略語)	おんせいかくにん、じどうおんせいにんしき、ASR(りゃくご)	speech recognition, automatic speech recognition, ASR (abbreviation)				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37207	C		音声認識	おんせいにんしき	voice recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37208	C		話者認識	わしゃにんしき	speaker recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37209	C		声紋	せいもん	voice signature, voiceprint				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37210	C		話者検証	わしゃけんしょう	speaker verification, speaker authentication				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37211	C		話者識別	わしゃしきべつ	speaker identification				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37212	C		話者適応	わしゃてきおう	speaker adaptation				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37213	C		音声コマンド	おんせいこまんど	voice command, spoken command				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37214	C		音声制御	おんせいせいぎょ	voice control, speech control				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37215	C		音声再構成、音声回復	おんせいさいこうせい、おんせいかいふく	speech reconstruction, speech restitution				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37216	C		音声合成	おんせいごうせい	speech synthesis				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37217	C		音声訓練	おんせいくんれん	speech training				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37218	C		適応訓練	てきおうくんれん	adaptive training				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37219	C		音声言語識別	おんせいげんごしきべつ	spoken-language identification				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37220	C		音声翻訳	おんせいほんやく	spoken-language				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37221	C		音声から文章への変換、STT変換	おんせいからぶんしょうへのへんかん、STTへんか	speech-to-text conversion, STT				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37222	C		音声パターンマッチング	おんせいぱたーんまっち	speech-pattern matching				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37223	C		音声理解	おんせいりかい	speech understanding				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37224	C		音声分析装置、音声分析システム	おんせいぶんせきそうち、おんせいぶんせきしすてむ	speech analyzer, speech analysis system				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37225	C		音声認識装置、音声認識システム	おんせいにんしきそうち、おんせいにんしきしすてむ	speech recognizer, speech recognition system				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37226	C		孤立単語認識、離散音声認識	こりつたんごにんしき、りさんおんせいにんしき	isolated-words recognition, discrete-				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37227	C		隣接単語認識	りんせつたんごにんしき	contiguous-words recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37228	C		連続音声認識、連続単語認識	れんぞくおんせいにんしき、れんぞくたんごにんしき	continuous-speech recognition, connected-words recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37229	C		動的時間伸縮、動的時間ワープ、DTW	どうてきじかんしんしゅく、どうてきじかんわーぷ、	dynamic time warping, DTW (abbreviation)				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37230	C		ワープ入力モデル	わーぷにゅうりょくもでる	warped-input model				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37231	C		隠れマルコフモデル、HMM	かくれまるこふもでる、HMM	hidden Markov model, HMM (abbreviation)				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37232	C		特徴量ベース音声認識	とくちょうりょうべーすおんせいにんしき	feature-based speech recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37233	C		話者限定認識	わしゃげんていにんしき	speaker-dependent recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37234	C		話者非限定認識	わしゃひげんていにんしき	speaker-independent recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37235	C		話者依存性	わしゃいぞんせい	speaker dependence				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37236	C		話者限定システム、話者登録システム、SDシステム	わしゃげんていしすてむ、わしゃとうろくしすてむ、SDしすてむ	speaker-dependent system, SD system, speaker-trained system				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37237	C		話者非限定システム、SIシステム	わしゃひげんていしすてむ、SIしすてむ	speaker-independent system, SI system, unrestricted recognition system				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37238	C		話者適応システム、使用者同調システム	わしゃてきおうしすてむ、しようしゃどうちょうしすてむ	speaker-adaptive system, user-tuned system				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37239	C		音声認識装置	おんせいにんしきそうち	voice-recognition unit				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37240	C		音声制御システム、音声制御装置	おんせいせいぎょしすてむ、おんせいせいぎょそう	voice control system, voice controller				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37241	C		登録	とうろく	enrollment				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37242	C		高速登録	こうそくとうろく	rapid enrollment				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37243	C		単語スポッティング	たんごすぽっていんぐ	word spotting				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37244	C		音声プロンプト	おんせいぷろんぷと	voice prompt, voice-response prompt				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37245	C		音声プロンプト中に話し始める	おんせいぷろんぷとちゅうにはなしはじめる	barge in (verb)				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37246	C		発話モード	はつわもーど	speaking mode				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37247	C		認識語い(彙)、受動的語い(彙)	にんしきごい、じゅどうてきごい	recognition vocabulary, passive vocabulary				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37248	C		文章非限定認識装置、文章非限定認識システム	ぶんしょうひげんていにんしきそうち、ぶんしょうひげんていにんしきしすてむ	text-independent recognizer, text-independent recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37249	C		文章限定認識装置、文章限定認識システム	ぶんしょうげんていにんしきそうち、ぶんしょうげんていにんしきしすてむ	text-dependent recognizer, text-dependent recognition				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37250	C		音声合成器、音声合成システム	おんせいごうせいき、おんせいごうせいしすてむ	speech synthesizer, speech synthesis system				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37251	C		録音合成	ろくおんごうせい	direct waveform synthesis				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37252	C		編集合成	へんしゅうごうせい	concatenation synthesis				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37253	C		ルールベース合成	るーるべーすごうせい	model-based synthesis				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37254	C		パラメタ表現による合成、パラメタモデル化による合成	ぱらめたひょうげんによるごうせい、ぱらめたもでるかによるごうせい	synthesis by parametric representation, synthesis by parametric modeling				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37255	C		フォルマント合成	ふぉるまんとごうせい	formant synthesis				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37256	C		規則合成	きそくごうせい	rule-based synthesis				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37257	C		プロソディ規則	ぷろそでぃきそく	prosody rule, prosodic rule				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37258	C		文章から音声への変換	ぶんしょうからおんせいへのへんかん	text-to-speech conversion				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37259	C		文章から音声への合成器、文章から音声への合成システム	ぶんしょうからおんせいへのごうせいき、ぶんしょうからおんせいへのごうせいしすてむ	text-to-speech synthesizer, text-to-speech synthesis system				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37260	C		音声応答、VR	おんせいおうとう、VR	voice response, VR (abbreviation)				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37261	C		音声認識応答、IVR	おんせいにんしきおうとう、IVR	interactive voice response, IVR				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37262	C		音声認識応答システム、VIRS	おんせいにんしきおうとうしすてむ、VIRS	voice interactive response system, VIRS				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37263	C		音声サーバ	おんせいさーば	voice server				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37264	C		自動受付	じどううけつけ	automated attendant, auto-attendant				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37265	C		音声プレビューア	おんせいぷれびゅーあ	voice previewer				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37266	C		発声可能語い(彙)、能動的語い(彙)	はっせいかのうごい、のうどうてきごい	spoken vocabulary, active vocabulary				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37267	C		音声ベース警告、音声ベース通知	おんせいべーすけいこく、おんせいべーすつうち	speech-based alerting				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37268	C		ボコーダ、音声符号器	ぼこーだ、おんせいふごう	vocoder, voice coder				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37269	C		音声メニュー	おんせいめにゅー	voice menu, spoken menu				ISO/IEC 2382-29	1999				1999	JTC1
37270	C		コネクショニズム、コネクションサイエンス	こねくしょにずむ、こねくしょんさいえんす	connectionism, connection science				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37271	C		コネクショニストモデル	こねくしょにすともでる	connectionist model				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37272	C		記号下表現	きごうかひょうげん	subsymbolic				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37273	C		相互結合型	そうごけつごうがた	heterarchy				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37274	C		階層型	かいそうがた	hierarchy				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37275	C		ニューラルネットワーク、ニューラルネット、NN、人工ニューラルネットワーク、ANN	にゅーらるねっとわーく、にゅーらるねっと、NN、じんこうにゅーらるねっとわーく、ANN	neural network, neural net, NN (abbreviation), artificial neural network, ANN (abbreviation)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37276	C		人工ニューロン	じんこうにゅーろん	artificial neuron				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37277	C		ニューロコンピュータ、ニューラルコンピュータ	にゅーろこんぴゅーた、にゅーらるこんぴゅーた	neurocomputer, neural computer				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37278	C		ニューロチップ	にゅーろちっぷ	neurochip				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37279	C		ニューラルネットワークモデル	にゅーらるねっとわーくもでる	neural-network model				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37280	C		ソースノード	そーすのーど	source node				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37281	C		入力ニューロン	にゅうりょくにゅーろん	input neuron				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37282	C		出力ニューロン	しゅつりょくにゅーろん	output neuron				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37283	C		可視ニューロン	かしにゅーろん	visible neuron				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37284	C		隠れニューロン	かくれにゅーろん	hidden neuron				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37285	C		(ニューラルネットワークにおける)層	(にゅーらるねっとわーくにおける)そう	layer (in neural networks)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37286	C		入力層	にゅうりょくそう	input layer				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37287	C		出力層、判断層	しゅつりょくそう、はんだんそう	output layer, decision layer				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37288	C		可視層	かしそう	visible layer				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37289	C		隠れ層	かくれそう	hidden layer				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37290	C		ボトルネック層	ぼとるねっくそう	bottleneck layer				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37291	C		スラブ	すらぶ	slab				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37292	C		層状ネットワーク	層状ネットワーク	layered network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37293	C		非層状ネットワーク	非層状ネットワーク	nonlayered network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37294	C		単層ネットワーク	たんそうねっとわーく	single-layered network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37295	C		多層ネットワーク	たそうねっとわーく	multilayered network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37296	C		部分的結合ネットワーク	ぶぶんてきけつごうねっとわーく	partially connected network, diluted network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37297	C		完全接続ネットワーク、完全接続ネットワーク	かんぜんせつぞくねっとわーく、かんぜんせつぞくねっとわーく	totally connected network, fully connected network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37298	C		ランダム接続ネットワーク、ランダムネットワーク	らんだむせつぞくねっとわーく、らんだむねっと	randomly connected network, random network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37299	C		荷重共有ネットワーク	かじゅうきょうゆうねっとわーく	weight-sharing network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37300	C		(ニューラルネットワークにおける)安定状態	(にゅーらるねっとわーくにおける)あんていじょうたい	stable state (in neural networks)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37301	C		ステイブル コアリション、相互活性化、相互活性化連合体	すていぶる こありしょん、そうごかっせいか、そうごかっせいかれんごうたい	stable coalition				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37302	C		同期ニューラルネットワー	どうきにゅーらるねっと	synchronous neural				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37303	C		非同期ニューラルネットワーク	ひどうきにゅーらるねっとわーく	asynchronous neural network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37304	C		フィードフォワードネットワーク、前方伝ぱ(播)ネットワーク	ふぃーどふぉわーどねっとわーく、ぜんぽうでんぱねっとわーく	feedforward network, forward-propagation network, acyclic network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37305	C		フィードバックネットワーク	ふぃーどばっくねっとわー	recurrent network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37306	C		単層パーセプトロン、単純パーセプトロン、パーセプトロン	たんそうぱーせぷとろん、たんじゅんぱーせぷとろん、ぱーせぷとろん	single-layer perceptron, simple perceptron, perceptron				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37307	C		多層パーセプトロン	たそうぱーせぷとろん	multilayered perceptron				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37308	C		ラジアルネットワーク、RBFネットワーク	らじあるねっとわーく、RBFねっとわーく	radial basis function network, RBF network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37309	C		フィードバックプロパゲーションネットワーク、後方伝ぱ(播)ネットワーク、BPN	ふぃーどばっくぷろぱげーしょんねっとわーく、こうほうでんぱねっとわーく、BPN	back-propagation network, BPN (abbreviation), feedback-propagation network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37310	C		自己組織化ネットワーク	じこそしきかねっとわーく	self-organizing network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37311	C		自己組織化マップ、SOM、自己組織化特徴マップ、SOFM、コホーネンマップ	じこそしきかまっぷ、SOM、じこそしきかとくちょうまっぷ、SOFM、こほーねんまっぷ	self-organizing map, SOM (abbreviation), self-organizing feature map, SOFM (abbreviation), Kohonen map				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37312	C		連想記憶装置、内容アドレス指定可能記憶装置、連想メモリ	れんそうきおくそうち、ないようあどれすしていかのうきおくそうち、れんそうめもり	associative storage, content-addressable storage, associative memory				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37313	C		ホップフィールドネットワーク、クロスバー連想ネットワーク、CAN	ほっぷふぃーるどねっとわーく、くろすばーれんそうねっとわーく、CAN	Hopfield network, crossbar associative network, CAN (abbreviation)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37314	C		ボルツマン機械	ぼるつまんきかい	Boltzmann machine				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37315	C		適応共鳴理論ネットワーク、ARTネットワーク	てきおうきょうめいりろんねっとわーく、ARTねっと	adaptive resonance theory network, ART network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37316	C		ウィナーテイクスオールネットワーク	ういなーていくすおーるねっとわーく	winner-takes-all network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37317	C		ウィナーテイクスモアネットワーク	ういなーていくすもあねっとわーく	winner-takes-more network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37318	C		適応ニューラルネットワーク	てきおうにゅーらるねっとわーく	adaptive neural network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37319	C		弁別ネットワーク	べんべつねっとわーく	discrimination network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37320	C		階層型ニューラルネットワーク、階層型人工ニューラルネットワーク	かいそうがたにゅーらるねっとわーく、かいそうがたじんこうにゅーらるねっ	hierarchical neural network, hierarchical artificial neural network				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37321	C		ニューラル接続、ニューラルリンク	にゅーらるせつぞく、にゅーらるりんく	neural connection, neural link				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37322	C		(ニューラルネットワークにおける)結合荷重	(にゅーらるねっとわーくにおける)けつごうかじゅう	connection weight (in neural networks), connection strength				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37323	C		動的にプログラム可能な結合	どうてきにぷろぐらむかのうなけつごう	dynamically programmable connection				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37324	C		バンドル	ばんどる	bundle				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37325	C		(ニューラルネットワークにおける)学習	(にゅーらるねっとわーくにおける)がくしゅう	learning (in neural networks)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37326	C		(ニューラルネットワークにおける)学習アルゴリズム	(にゅーらるねっとわーくにおける)がくしゅうあるごり	learning algorithm (in neural networks)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37327	C		コネクショニスト学習	こねくしょにすとがくしゅう	connectionist learning				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37328	C		学習速度	がくしゅうそくど	learning rate				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37329	C		自己組織化	じこそしきか	self-organization				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37330	C		エラー修正学習	えらーしゅうせいがくしゅう	error-correction learning				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37331	C		ヘッブ学習則	へっぶがくしゅうそく	Hebbian learning				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37332	C		競合学習	きょうごうがくしゅう	competitive learning				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37333	C		活性化関数	かっせいかかんすう	activation function				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37334	C		ラジアル基底関数、RBF	らじあるきていかんすう、RBF	radial basis function, RBF (abbreviation)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37335	C		結合更新率、CUPS	けつごうこうしんりつ、CUPS	connection updates per second, CUPS				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37336	C		フィードフォワードプロパゲーション、前方伝ぱ(播)	ふぃーどふぉわーどぷろぱげーしょん、ぜんぽうでん	feedforward propagation, forward propagation				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37337	C		バックプロパゲーション、後方伝ぱ(播)	ばっくぷろぱげーしょん、こうほうでんぱ	back propagation, feedback propagation				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37338	C		(ニューラルネットワークにおける)学習	(にゅーらるねっとわーくにおける)がくしゅう	training (in neural networks)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37339	C		(ニューラルネットワークにおける)エポック	(にゅーらるねっとわーくにおける)えぽっく	epoch (in neural networks)				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37340	C		バッチ学習	ばっちがくしゅう	batch training				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37341	C		対話型学習	たいわがたがくしゅう	interactive training, pattern training				ISO/IEC 2382-34	1999				1999	JTC1
37342	C		発呼セションアドレス	はっこせしょんあどれす	calling session address				ISO/IEC 9548-1	1996				1996	JTC1
37343	C		着呼セションアドレス	ちゃっこせしょんあどれす	called session address				ISO/IEC 9548-1	1996				1996	JTC1
37344	C		要求者	ようきゅうしゃ	requester				ISO/IEC 9548-2	1995				1995	JTC1
37345	C		受諾者	じゅだくしゃ	acceptor				ISO/IEC 9548-2	1995				1995	JTC1
37346	C		要求者	ようきゅうしゃ	requester				ISO/IEC 9576-2	1995				1995	JTC1
37347	C		受諾者	じゅだくしゃ	acceptor				ISO/IEC 9576-2	1995				1995	JTC1
37348	C		適用可能な符号化規則	てきようかのうなふごうかきそく	applicable encoding rules				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37349	C		構造付加	こうぞうふか	attach construct				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37350	C		基本制約	きほんせいやく	base constraint				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37351	C		基底型	きていがた	base type				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37352	C		振る舞い行	ふるまいぎょう	behaviour line				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37353	C		振る舞い木	ふるまいき	behaviour tree				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37354	C		空白入力	くうはくにゅうりょく	blank entry				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37355	C		呼び出し木	よびだしき	calling tree				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37356	C		圧縮制約表	あっしゅくせいやくひょう	compact constraint table				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37357	C		圧縮試験項目表	あっしゅくしけんこうもく	compact test case table				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37358	C		並行試験項目	へいこうしけんこうもく	concurrent test case				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37359	C		並行TTCN	へいこうTTCN	concurrent TTCN				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37360	C		制約部分	せいやくぶぶん	constraints part				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37361	C		制約参照	せいやくさんしょう	constraints reference				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37362	C		調整メッセージ[CM]	ちょうせいめっせーじ[CM]	coordination message				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37363	C		調整点[CP]	ちょうせいてん[CP]	coordination point [CP]				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37364	C		宣言部分	せんげんぶぶん	declarations part				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37365	C		既定振る舞い	きていふるまい	default behaviour				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37366	C		規定群	きていぐん	default group				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37367	C		規定群参照	きていぐんさんしょう	default group reference				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37368	C		規定識別子	きていしきべつし	default identifier				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37369	C		規定ライブラリ	きていらいぶらり	default library				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37370	C		規定参照	きていさんしょう	default reference				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37371	C		導出経路	どうしゅつけいろ	derivation path				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37372	C		動的連鎖	どうてきれんさ	dynamic chaining				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37373	C		動的部分	どうてきぶぶん	dynamic part				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37374	C		拡張試験セット	かくちょうしけんせっと	expanded test suite				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37375	C		明示的外部	めいじてきがいぶ	explicit external				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37376	C		明示的定義オブジェクト	めいじてきていぎおぶじぇ	explicitly defined object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37377	C		明示的エクスポートオブジェクト	めいじてきえくすぽーとおぶじぇくと	explicitly exported object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37378	C		明示的インポートオブジェクト	めいじてきいんぽーとおぶじぇくと	explicitly imported object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37379	C		エクスポートオブジェクト	えくすぽーとおぶじぇくと	exported object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37380	C		外部オブジェクト	がいぶおぶじぇくと	external object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37381	C		大域結果変数	たいいきけっかへんすう	global result variable				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37382	C		暗黙的外部	あんもくてきがいぶ	implicit external				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37383	C		暗黙的エクスポートオブジェクト	あんもくてきえくすぽーとおぶじぇくと	implicitly exported object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37384	C		暗黙的インポートオブジェクト	あんもくてきいんぽーとおぶじぇくと	implicitly imported object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37385	C		暗黙的送信事象	あんもくてきそうしんじしょ	implicit send event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37386	C		インポートオブジェクト	いんぽーとおぶじぇくと	imported object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37387	C		インベントレベル	いんべんとれべる	level of indentation				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37388	C		内部結果変数	ないぶけっかへんすう	local result variable				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37389	C		局所木	きょくしょき	local tree				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37390	C		主要試験構成要素[MTC]	しゅようしけんこうせいようそ[MTC]	main test component [MTC]				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37391	C		修正制約	しゅうせいせいやく	modified constraint				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37392	C		モジュール化試験セット	もじゅーるかしけんせっと	modularized test suite				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37393	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37394	C		非並行試験項目	ひへいこうしけんこうもく	non-concurrent test case				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37395	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37396	C		操作意味論	そうさいみろん	operational semantics				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37397	C		原ソースオブジェクト	げんそーすおぶじぇくと	original source object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37398	C		想定外事象	そうていがいじしょう	otherwise event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37399	C		概要部分	がいようぶぶん	overview part				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37400	C		並列試験構成要素[PTC]	へいれつしけんこうせいようそ[PTC]	parallel test component [PTC]				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37401	C		予備結果	よびけっか	preliminary result				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37402	C		擬似的事象	ぎじてきじしょう	pseudo-event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37403	C		条件付き事象	じょうけんつきじしょう	qualified event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37404	C		受信事象	じゅしんじしょう	receive event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37405	C		結果変数	けっかへんすう	result variable				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37406	C		ルート木	るーとき	root tree				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37407	C		送信事象	そうしんじしょう	send event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37408	C		代替集合	だいたいしゅうごう	set of alternatives				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37409	C		単一制約表	たんいつせいやくひょう	single constraint table				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37410	C		スナップショット意味論	すなっぷしょっといみろん	snapshot semantics				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37411	C		ソースオブジェクト	そーすおぶじぇくと	source object				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37412	C		特定値	とくていち	specific value				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37413	C		静的連鎖	せいてきれんさ	static chaining				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37414	C		静的意味論	せいてきいみろん	static semantics				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37415	C		構造化型	こうぞうかかた	structured type				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37416	C		部分モジュール	ぶぶんもじゅーる	submodule				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37417	C		試験項目識別子	しけんこうもくしきべつし	test case identifier				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37418	C		試験項目変数	しけんこうもくへんすう	test case variable				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37419	C		試験構成要素	しけんこうせいようそ	test component				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37420	C		試験構成要素設定	しけんこうせいようそせってい	test component configuration				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37421	C		試験群参照	しけんぐんさんしょう	test group reference				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37422	C		試験段階群	しけんだんかいぐん	test step group				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37423	C		試験段階群参照	しけんだんかいぐんさんしょう	test step group reference				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37424	C		試験段階識別子	しけんだんかいしきべつし	test step identifier				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37425	C		試験段階ライブラリ	しけんだんかいらいぶらり	test step library				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37426	C		試験段階オブジェクティブ	しけんだんかいおぶじぇくていぶ	test step objective				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37427	C		試験セット制約	しけんせっとせいやく	test suite constant				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37428	C		試験セットパラメータ	しけんせっとぱらめーた	test suite parameter				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37429	C		試験セット変数	しけんせっとへんすう	test suite variable				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37430	C		タイムアウト事象	たいむあうとじしょう	timeout event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37431	C		木接続	きせつぞく	tree attachment				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37432	C		木ヘッダ	きへった	tree header				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37433	C		木識別子	きしきべつし	tree identifier				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37434	C		木の葉	このは	tree leaf				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37435	C		木ノード	きのーど	tree node				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37436	C		木通知	きつうち	tree notation				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37437	C		TTCN宣言	TTCNせんげん	TTCN statement				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37438	C		想定外試験事象	そうていがいしけんじしょう	unforeseen test event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37439	C		無条件事象	むじょうけんじしょう	unqualified event				ISO/IEC 9646-3	1998				1998	JTC1
37440	C		ICSプロフォーマ仕様、ICS書式仕様	ICSぷろふぉーましょう、ICSしょしきしょう	ICS proforma specification				ISO/IEC 9646-7	1995				1995	JTC1
37441	C		ICSテンプレート	ICSてんぷれーと	ICS template				ISO/IEC 9646-7	1995				1995	JTC1
37442	C		アクセプタ	あくせぷた	acceptor				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37443	C		アプリケーション障害	あぷりけーしょんしょうがい	application failure				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37444	C		原子動作	げんしどうさ	atomic action				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37445	C		原子動作分枝、分岐	げんしどうさぶんき、ぶんき	atomic action branch, branch				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37446	C		原子動作分枝識別子、分岐識別子	げんしどうさぶんきしきべつし、ぶんきしきべつし	atomic action branch identifier, branch identifier				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37447	C		原子動作データ	げんしどうさでーた	atomic action data				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37448	C		原子動作グラフ	げんしどうさぐらふ	atomic action graph				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37449	C		原子動作識別子	げんしどうさしきべつし	atomic action identifier				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37450	C		原子動作イニシエータ	げんしどうさいにしえーた	atomic action initiator				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37451	C		原子動作所有者	げんしどうさしょゆうしゃ	atomic action owner				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37452	C		原子性	げんしせい	atomicity				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37453	C		開始木、原子動作開始木	かいしき、げんしどうさかいしき	begin-tree, atomic action begin-tree				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37454	C		バウンドデータ	ばうんどでーた	bound data				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37455	C		分岐イニシエータ、原子動作分岐イニシエータ	ぶんきいにしえーた、げんしどうさぶんきいにしえー	branch-initiator, atomic action branch-initiator				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37456	C		分岐応答者、原子動作分岐応答者	ぶんきおうとうしゃ、げんしどうさぶんきおうとうしゃ	branch-responder, atomic action branch-responder				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37457	C		コミット木、原子動作コミット木	こみっとき、げんしどうさこみっとき	commit-tree, atomic action commit-tree				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37458	C		CCRサービス提供者	CCRさーびすていきょう	CCR service-provider				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37459	C		CCRサービス使用者	CCRさーびすしようしゃ	CCR service-user				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37460	C		コミットコーディネータ	こみっとこーでぃねーた	commit coordinator				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37461	C		コミットディサイダ	こみっとでぃさいだ	commit-decider				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37462	C		原子動作分岐のコミットメント、コミットメント	げんしどうさぶんきのこみっとめんと、こみっとめ	commitment of an atomic action branch,				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37463	C		コミット下位	こみっとかい	commit-subordinate				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37464	C		コミット上位	こみっとじょうい	commit-superior				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37465	C		通信障害	つうしんしょうがい	communication failure				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37466	C		保証動作	ほしょうどうさ	compensating action				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37467	C		並行処理制御	へいこうしょりせいぎょ	concurrency control				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37468	C		コミットメントの確認	こみっとめんとのかくにん	confirmation of				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37469	C		継続的二相分岐、継続的二相ネイバ	けいぞくてきにそうぶんき、けいぞくてきにそうねいば	continuing two-phase branch, continuing two-phase neighbour				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37470	C		接続グラフ	せつぞくぐらふ	connected graph				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37471	C		一貫性	いっかんせい	consistency				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37472	C		分散型アプリケーション	ぶんさんがたあぷりけーしょん	distributed application				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37473	C		不確定期間	ふかくていきかん	doubt period				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37474	C		耐久性	たいきゅうせい	durability				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37475	C		最終状態	さいしゅうじょうたい	final state				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37476	C		グラフ	ぐらふ	graph				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37477	C		自発的判断	じはつてきはんだん	heuristic decision				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37478	C		初期状態	しょきじょうたい	initial state				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37479	C		中間	ちゅうかん	intermediate				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37480	C		中間状態	ちゅうかんじょうたい	intermediate state				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37481	C		割り込み分岐	わりこみぶんき	interrupted branch				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37482	C		独立性	どくりつせい	isolation				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37483	C		葉	は	leaf				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37484	C		ローカルコミットメント手順	ろーかるこみっとめんとてじゅん	local commitment procedures				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37485	C		ローカルロールバック手順	ろーかるろーるばっくてじゅん	local rollback procedures				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37486	C		自発的不整合判明状態	じはつてきふせいごうはんめいじょうたい	mixed heuristic situation mixed situation				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37487	C		(グラフ内のノードの)ネイバ	(ぐらふないののーどの)ねいば	neighbour (of a node in a graph)				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37488	C		(ノードの)ネイバフッド	(のーどの)ねいばふっど	neighbourhood (of a node)				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37489	C		ノード、CCRノード	のーど、CCRのーど	node, CCR node				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37490	C		非参照マッピング	ひさんしょうまっぴんぐ	non-reference mapping				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37491	C		原子動作分岐のコミットメント命令、コミットメント命令	げんしどうさぶんきのこみっとめんとめいれい、こみっとめんとめいれい	order of commitment of an atomic action branch, order of commitment				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37492	C		第1フェーズ	だい1ふぇーず	phase I				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37493	C		第2フェーズ	だい2ふぇーず	phase II				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37494	C		強制ロールバック	きょうせいろーるばっく	presumed rollback				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37495	C		コミット準備状態	こみっとじゅんびじょうたい	ready-to-commit state				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37496	C		参照マッピング	さんしょうまっぴんぐ	reference mapping				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37497	C		原子動作分岐の回復、回復	げんしどうさぶんきのかいふく、かいふく	recovery of an atomic action branch, recovery				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37498	C		原子動作分岐の回復責任、回復責任	げんしどうさぶんきのかいふくせきにん、かいふくせきにん	recovery responsibility of an atomic action branch, recovery responsibility				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37499	C		参照仕様	さんしょうしよう	referencing specification				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37500	C		要求ネイバフッド	ようきゅうねいばふっど	requesting neighbourhood				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37501	C		要求側	ようきゅうがわ	requestor				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37502	C		原子動作分岐のロールバック、ロールバック	げんしどうさぶんきのろーるばっく、ろーるばっく	rollback of an atomic action branch, rollback				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37503	C		レディ信号	れでぃしんごう	ready signal				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37504	C		アークの下位	あーくのかい	subordinate of an arc				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37505	C		ノードの下位	のーどのかい	subordinate of an node				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37506	C		下位副木	かいふくき	subordinate subtree				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37507	C		(ノードの)副木	(ノードの)ふくき	subtree (of a node)				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37508	C		(根付き木の)アークの上位	(ねつききの)あーくのじょうい	superior of an arc (in a rooted tree)				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37509	C		ノードの上位	のーどのじょうい	superior of an node (in a rooted tree)				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37510	C		根	ね	root				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37511	C		木	き	tree				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37512	C		使用者ASE	しようしゃASE	user-ASE				ISO/IEC 9804	1998				1998	JTC1
37513	C		対話確立指示未処理	たいわかくりつしじみしょり	dialogue establishment indication outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37514	C		対話確立要求未処理	たいわかくりつようきゅうみしょり	dialogue establishment request outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37515	C		対話終了指示未処理	たいわしゅうりょうしじみしょり	dialogue termination indication outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37516	C		対話終了要求未処理	たいわしゅうりょうようきゅうみしょり	dialogue termination request outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37517	C		ハンドシェイク指示未処理	はんどしぇいくしじみしょり	handshake indication outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37518	C		ハンドシェイク要求未処理	はんどしぇいくようきゅうみしょり	handshake request outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37519	C		ロールバック開始指示	ろーるばっくかいししじ	rollback-initiating				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37520	C		ロールバック開始要求	ろーるばっくかいしようきゅ	rollback-initiating request				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37521	C		ロールバック開始サービスプリミティブ	ろーるばっくかいしさーびすぷりみていぶ	rollback-initiating service primitive				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37522	C		下位対話	かいたいわ	subordinate dialogue				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37523	C		下位サブツリー	かいさぶつりー	subordinate subtree				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37524	C		上位対話	じょういたいわ	superior dialogue				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37525	C		トランザクションの終了段階	とらんざくしょんのしゅうりょうだんかい	termination phase of a transaction				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37526	C		トランザクションツリー制約	とらんざくしょんつりーせいやく	transaction tree constraint				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37527	C		使用者エラー表示未処理	しようしゃえらーひょうじみしょり	user error indication outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37528	C		使用者エラー要求未処理	しようしゃえらーようきゅうみしょり	user error request outstanding				ISO/IEC 10026-2	1996				1996	JTC1
37529	C		送信者	そうしんしゃ	sender				ISO/IEC 10026-4	1995				1995	JTC1
37530	C		受信者	じゅしんしゃ	receiver				ISO/IEC 10026-4	1995				1995	JTC1
37531	C		マネジメント知識オブジェクト	まねじめんとちしきおぶじぇくと	management knowledge object				ISO/IEC 10164-16	1997				1997	JTC1
37532	C		バックアップ	ばっくあっぷ	backup				ISO/IEC 10164-18	1997				1997	JTC1
37533	C		配信	はいしん	deliver				ISO/IEC 10164-18	1997				1997	JTC1
37534	C		実行可能	じっこうかのう	executable				ISO/IEC 10164-18	1997				1997	JTC1
37535	C		インストール	いんすとーる	install				ISO/IEC 10164-18	1997				1997	JTC1
37536	C		復元	ふくげん	revert				ISO/IEC 10164-18	1997				1997	JTC1
37537	C		活用	かつよう	utilize				ISO/IEC 10164-18	1997				1997	JTC1
37538	C		検証	けんしょう	validate				ISO/IEC 10164-18	1997				1997	JTC1
37539	C		領域管理オブジェクト	りょういきかんりおぶじぇく	domain managed object				ISO/IEC 10164-19	1998				1998	JTC1
37540	C		(システムマネジメント)方針管理オブジェクト	(しすてむまねじめんと)ほうしんかんりおぶじぇくと	(systems management) policy managed object				ISO/IEC 10164-19	1998				1998	JTC1
37541	C		違反検知	いはんけんち	violation detection				ISO/IEC 10164-19	1998				1998	JTC1
37542	C		領域(メンバーシップ指定子)	りょういき(めんばーしっぷしていし)	domain (membership specifier)				ISO/IEC 10164-19	1998				1998	JTC1
37543	C		管轄管理オブジェクト	かんかつかんりおぶじぇく	jurisdiction managed				ISO/IEC 10164-19	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37544	C		管理側面管理オブジェクト	かんりそくめんかんりおぶじぇくと	administrative aspect managed object				ISO/IEC 10164-19	1998				1998	JTC1
37545	C		実クロック速度	じつくろっくそくど	actual clock rate				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37546	C		精度	せいど	accuracy				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37547	C		調整頻度	ちょうせいひんど	adjustment rate				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37548	C		基本クロック速度	きほんくろっくそくど	basic clock rate				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37549	C		協定世界時	きょうていせかいじ	Coordinated Universal Time (UTC)				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37550	C		正確クロック	せいかくくろっく	correct clock				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37551	C		誤差発生頻度オフセット	ごさはっせいひんどおふせっと	frequency offset				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37552	C		クロックの誤差	くろっくのごさ	error of a clock				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37553	C		機能しているクロック	きのうしているくろっく	functioning clock				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37554	C		粒度	りゅうど	granularity				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37555	C		ローカルクロック	ろーかるくろっく	local clock				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37556	C		クロックの最大ドリフト	くろっくのさいだいどりふと	maximum drift of a clock				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37557	C		クロックの最大誤差	くろっくのさいだいごさ	maximum error of a clock				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37558	C		精密	せいみつ	precision				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37559	C		ラポート	らぽーと	rapport				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37560	C		同期化ドメイン	どうきかどめいん	synchronization domain				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37561	C		同期化ソース	どうきかそーす	synchronization source				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37562	C		時間オフセット	じかんおふせっと	time offset				ISO/IEC 10164-20	1999				1999	JTC1
37563	C		コマンドシーケンサ	こまんどしーけんさ	command sequencer				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37564	C		ローンチスクリプト	ろーんちすくりぷと	launch script				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37565	C		スレッド	すれっど	thread				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37566	C		一時停止可能スレッド	いちじていしかのうすれっど	suspendable thread				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37567	C		ローンチパッド	ろーんちぱっど	launch pad				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37568	C		同期ローンチパッド	どうきろーんちぱっど	asynchronous launch pad				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37569	C		非同期ローンチパッド	ひどうきろーんちぱっど	synchronous launch pad				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37570	C		トリガアクティベータ	とりがあくていべーた	trigger activator				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37571	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 10164-21	1998				1998	JTC1
37572	C		管理関係適用性要旨(MRCS)	かんりかんけいてきようせいようし(MRCS)	managed relationship conformance summary (MRCS)				ISO/IEC 10165-6	1997				1997	JTC1
37573	C		管理適合性宣言(MCS)	かんりてきごうせいせんげん(MCS)	management conformance statement (MCS)				ISO/IEC 10165-6	1997				1997	JTC1
37574	C		マネジメント情報定義宣言(MIDS)プロフォルマ	まねじめんとじょうほうていぎせんげん(MIDS)ぷろふぉるま	management information definition statement (MIDS) proforma				ISO/IEC 10165-6	1997				1997	JTC1
37575	C		MCSプロフォーマ	MCSぷろふぉーま	MCS proforma				ISO/IEC 10165-6	1997				1997	JTC1
37576	C		MRCSプロフォーマ	MRCSぷろふぉーま	MRCS proforma				ISO/IEC 10165-6	1997				1997	JTC1
37577	C		プロフォーマ仕様	ぷろふぉーましょう	proforma specification				ISO/IEC 10165-6	1997				1997	JTC1
37578	C		非対称暗号アルゴリズム	ひたいしょうあんごうあるごりずむ	asymmetric cryptographic algorithm				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37579	C		認証機関	にんしょうきかん	certification authority				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37580	C		条件付きで信頼できるエンティティ	じょうけんつきでしんらいできるえんていてい	conditionally trusted entity				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37581	C		暗号連鎖	あんごうれんさ	cryptographic chaining				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37582	C		電子指紋	でんししもん	digital fingerprint				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37583	C		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37584	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash function				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37585	C		一方向性関数	いちほうこうせいかんすう	one-way function				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37586	C		一方向性ハッシュ関数	いちほうこうせいはっしゅかんすう	one-way hash function				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37587	C		私設鍵	しせつかぎ	private key				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37588	C		公開鍵	こうかいかぎ	public key				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37589	C		取消証明書	とりけししょうめいしょ	revocation certificate				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37590	C		取消リスト証明書	とりけしりすとしょうめい	revocation list certificate				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37591	C		シール	しーる	seal				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37592	C		秘密鍵	ひみつかぎ	secret key				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37593	C		セキュリティ管理者	せきゅりていかんりしゃ	security administrator				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37594	C		セキュリティ機関	せきゅりていきかん	security authority				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37595	C		セキュリティ証明書	せきゅりていしょうめいしょ	security certificate				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37596	C		セキュリティ証明書連鎖	せきゅりていしょうめいしょれんさ	security certificate chain				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37597	C		セキュリティドメイン	せきゅりていどめいん	security domain				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37598	C		セキュリティドメイン権限	せきゅりていどめいんけんげん	security domain authority				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37599	C		セキュリティ情報	せきゅりていじょうほう	security information				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37600	C		セキュリティ回復	せきゅりていかいふく	security recovery				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37601	C		安全相互作用規則	あんぜんそうごさようきそ	secure interaction rules				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37602	C		セキュリティ方針規則	せきゅりていほうしんきそく	security policy rules				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37603	C		セキュリティトークン	せきゅりていとーくん	security token				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37604	C		対称暗号アルゴリズム	たいしょうあんごうあるごりずむ	symmetric cryptographic algorithm				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37605	C		信頼	しんらい	trust				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37606	C		信頼できるエンティティ	しんらいできるえんてい	trusted entity				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37607	C		信頼できる第三者	しんらいできるだいさん	trusted third party				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37608	C		無条件に信頼できるエンティティ	むじょうけんにしんらいできるえんていてい	unconditionally trusted entity				ISO/IEC 10181-1	1996				1996	JTC1
37609	C		アクセス制御証明書	あくせすせいぎょしょうめいしょ	access control certificate				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37610	C		アクセス制御決定情報(ADI)	あくせすせいぎょけっていじょうほう(ADI)	Access Control Decision Information (ADI)				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37611	C		アクセス制御決定機能(ADF)	あくせすせいぎょけっていきのう(ADF)	Access Control Decision Function (ADF)				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37612	C		アクセス制御実施情報(AEF)	あくせすせいぎょじっしじょうほう(AEF)	Access Control Enforcement Function				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37613	C		アクセス制御情報(ACI)	あくせすせいぎょじょうほう(ACI)	Access Control Information (ACI)				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37614	C		アクセス制御方針	あくせすせいぎょほうしん	access control policy				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37615	C		アクセス制御方針規則	あくせすせいぎょほうしんきそく	access control policy rules				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37616	C		アクセス制御トークン	あくせすせいぎょとーくん	access control token				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37617	C		アクセス要求	あくせすようきゅう	access request				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37618	C		アクセス要求アクセス制御決定情報、アクセス要求ADI	あくせすようきゅうあくせすせいぎょけっていじょうほう、あくせすようきゅうADI	access request access control decision information, access				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37619	C		アクセス要求アクセス制御情報、アクセス要求ACI	あくせすようきゅうあくせすせいぎょじょうほう、あくせすようきゅうACI	access request access control information, access request ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37620	C		アクセス要求バインドアクセス制御情報、アクセス要求バインドACI	あくせすようきゅうばいんどあくせすせいぎょじょうほう、あくせすようきゅうばいんどACI	access request-bound access control information, access request-bound ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37621	C		クリアランス	くりあらんす	clearance				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37622	C		文脈情報	ぶんみゃくじょうほう	contextual information				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37623	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37624	C		イニシエータアクセス制御決定情報、イニシエータADI	いにしえーたあくせすせいぎょけっていじょうほう、いにしえーたADI	initiator access control decision information, initiator ADI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37625	C		イニシエータアクセス制御情報、イニシエータACI	いにしえーたあくせすせいぎょじょうほう、いにしえーたACI	initiator access control information, initiator ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37626	C		イニシエータバインドアクセス制御情報、イニシエータバインドACI	いにしえーたばいんどあくせすせいぎょじょうほう、いにしえーたばいんどACI	initiator-bound access control information, initiator-bound ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37627	C		オペランドアクセス制御決定情報、オペランドADI	おぺらんどあくせすせいぎょけっていじょうほう、おぺらんどADI	operand access control decision information, operand ADI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37628	C		オペランドアクセス制御情報、オペランドACI	おぺらんどあくせすせいぎょじょうほう、おぺらんど	operand access control information, operand ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37629	C		オペランドバインドアクセス制御情報、オペランドバインドACI	おぺらんどばいんどあくせすせいぎょじょうほう、おぺらんどばいんどACI	operand-bound access control information, operand-bound ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37630	C		留保ADI	りゅうほADI	retained ADI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37631	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37632	C		ターゲットアクセス制御決定情報、ターゲットADI	たーげっとあくせすせいぎょけっていじょうほう、たーげっとADI	target access control decision information, target ADI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37633	C		ターゲットアクセス制御情報、ターゲットACI	たーげっとあくせすせいぎょじょうほう、たーげっと	target access control information, target ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37634	C		ターゲットバインドアクセス制御情報、ターゲットバインドACI	たーげっとばいんどあくせすせいぎょじょうほう、たーげっとばいんどACI	target-bound access control information, target-bound ACI				ISO/IEC 10181-3	1996				1996	JTC1
37635	C		損傷証拠	そんしょうしょうこ	compromised evidence				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37636	C		カウンタ署名	かうんたしょめい	counter-signature				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37637	C		証拠	しょうこ	evidence				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37638	C		証拠生成者	しょうこせいせいしゃ	evidence generator				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37639	C		証拠対象	しょうこたいしょう	evidence subject				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37640	C		証拠使用者	しょうこしょうしゃ	evidence user				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37641	C		証拠検証者	しょうこけんしょうしゃ	evidence verifier				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37642	C		メッセージ認証符号	めっせーじにんしょうふごう	message authentication code				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37643	C		非否認サービス要求者	ひひにんさーびすようきゅうしゃ	Non-repudiation service requester				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37644	C		公証者	こうしょうしゃ	notary				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37645	C		発信者	はっしんしゃ	originator				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37646	C		受信者	じゅしんしゃ	recipient				ISO/IEC 10181-4	1997				1997	JTC1
37647	C		機密性保護環境	きみつせいほごかんきょう	confidentiality-protected-environment				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37648	C		機密性保護データ	きみつせいほごでーた	confidentiality-protected-data				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37649	C		機密性保護情報	きみつせいほごじょうほう	confidentiality-protected-information				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37650	C		非公開にする	ひこうかいにする	hide				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37651	C		公開する	こうかいする	reveal				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37652	C		機密性非公開情報	きみつせいひこうかいじょうほう	hiding confidentiality information				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37653	C		機密性公開情報	きみつせいこうかいじょうほう	revealing confidentiality information				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37654	C		直接攻撃	ちょくせつこうげき	direct attack				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37655	C		間接攻撃	かんせつこうげき	indirect attack				ISO/IEC 10181-5	1996				1996	JTC1
37656	C		完全性保護チャンネル	かんぜんせいほごちゃんねる	integrity-protected channel				ISO/IEC 10181-6	1996				1996	JTC1
37657	C		完全性保護環境	かんぜんせいほごかんきょう	integrity-protected environment				ISO/IEC 10181-6	1996				1996	JTC1
37658	C		完全性保護データ	かんぜんせいほごでーた	integrity-protected data				ISO/IEC 10181-6	1996				1996	JTC1
37659	C		シールド	しーるど	shield				ISO/IEC 10181-6	1996				1996	JTC1
37660	C		非シールド	ひしーるど	unshield				ISO/IEC 10181-6	1996				1996	JTC1
37661	C		検証	けんしょう	validate				ISO/IEC 10181-6	1996				1996	JTC1
37662	C		警報プロセッサ	けいほうぷろせっさ	alarm processor				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37663	C		監査権限	かんさけんげん	audit authority				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37664	C		監査アナライザ	かんさあならいざ	audit analyzer				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37665	C		監査アーカイバ	かんさあーかいば	audit archiver				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37666	C		監査ディスパッチャ	かんさでぃすぱっちゃ	audit dispatcher				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37667	C		監査トレールイグザミナ	かんさとれーるいぐざみな	audit trail examiner				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37668	C		監査レコーダ	かんされこーだ	audit recorder				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37669	C		監査プロバイダ	かんさぷろばいだ	audit provider				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37670	C		監査トレールコレクタ	かんさとれーるこれくた	audit trail collector				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37671	C		イベントディスクリミネータ	いべんとでぃすくりみねーた	event discriminator				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37672	C		セキュリティ警報	せきゅりていけいほう	security alarm				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37673	C		セキュリティ警報管理者	せきゅりていけいほうかんりしゃ	security alarm administrator				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37674	C		セキュリティ関連イベント	せきゅりていかんれんいべんと	security-related event				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37675	C		セキュリティ監査メッセージ	せきゅりていかんさめっせーじ	security audit message				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37676	C		セキュリティ監査記録	せきゅりていかんさきろく	security audit record				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37677	C		セキュリティ監査役	せきゅりていかんさやく	security auditor				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37678	C		セキュリティ報告	せきゅりていほうこく	security report				ISO/IEC 10181-7	1996				1996	JTC1
37679	C		アソシエーションセキュリティ状態	あそしえーしょんせきゅりていじょうたい	association security state				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37680	C		保護プレゼンテーションコンテキスト	ほごぷれぜんてーしょんこんてきすと	protecting presentation context				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37681	C		保護転送構文	ほごてんそうこうぶん	protecting transfer syntax				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37682	C		シール	しーる	seal				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37683	C		セキュリティアソシエーション	せきゅりていあそしえーしょん	security association				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37684	C		セキュリティ通信機能	せきゅりていつうしんきのう	security communication function				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37685	C		セキュリティドメイン	せきゅりていどめいん	security domain				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37686	C		セキュリティ交換	せきゅりていこうかん	security exchange				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37687	C		セキュリティ交換アイテム	せきゅりていこうかんあいてむ	security exchange item				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37688	C		セキュリティ交換機能	せきゅりていこうかんきの	security exchange				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37689	C		安全相互作用規則	あんぜんそうごさようきそ	secure interaction rules				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37690	C		セキュリティ状態	せきゅりていじょうたい	security state				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37691	C		システムセキュリティ機能	しすてむせきゅりていきの	system security function				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37692	C		システムセキュリティオブジェクト	しすてむせきゅりていおぶじぇくと	system security object				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37693	C		セキュリティ変換	せきゅりていへんかん	security transformation				ISO/IEC 10745	1995				1995	JTC1
37694	C		プレゼンテーションコンテキストバウンドセキュリティアソシエーション	ぷれぜんてーしょんこんてきすとばうんどせきゅりていあそしえーしょん	presentation-context-bound security association				ISO/IEC 11586-1	1996				1996	JTC1
37695	C		単一アイテムバウンドセキュリティアソシエーション	たんいつあいてむばうんどせきゅりていあそしえーしょん	single-item-bound security association				ISO/IEC 11586-1	1996				1996	JTC1
37696	C		外部確立セキュリティアソシエーション	がいぶかくりつせきゅりていあそしえーしょん	externally-established security association				ISO/IEC 11586-1	1996				1996	JTC1
37697	C		初期符号化規則	しょきふごうかきそく	initial encoding rules				ISO/IEC 11586-1	1996				1996	JTC1
37698	C		保護プレゼンテーション	ほごぷれぜんてーしょん	protecting presentation				ISO/IEC 11586-1	1996				1996	JTC1
37699	C		保護転送構文	ほごてんそうこうぶん	protecting transfer syntax				ISO/IEC 11586-1	1996				1996	JTC1
37700	C		保護マッピング	ほごまっぴんぐ	protection mapping				ISO/IEC 11586-1	1996				1996	JTC1
37701	C		計算マネジメントオブジェクト	けいさんまねじめんとおぶじぇくと	computational management object				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37702	C		工学技術マネジメントオブジェクト	こうがくぎじゅつまねじめんとおぶじぇくと	engineering management object				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37703	C		連結応答オペレーション	れんけつおうとうおぺれーしょん	linked reply operation				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37704	C		連結応答クライアントインタフェース	れんけつおうとうくらいあんといんたふぇーす	linked reply client interface				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37705	C		連結応答サーバインタフェース	れんけつおうとうさーばいんたふぇーす	linked reply server interface				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37706	C		マネジメントオブジェクト	まねじめんとおぶじぇくと	management object				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37707	C		被管理役割	ひかんりやくわり	managed role				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37708	C		管理役割	かんりやくわり	managing role				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37709	C		通知	つうち	notification				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37710	C		通知クライアントインタフェース	つうちくらいあんといんたふぇーす	notification client interface				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37711	C		通知サーバインタフェース	つうちさーばいんたふぇー	notification server				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37712	C		マネジメントオペレーションサーバインタフェース	まねじめんとおぺれーしょんさーばいんたふぇーす	management-operation server interface				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37713	C		マネジメントオペレーションクライアントインタフェース	まねじめんとおぺれーしょんくらいあんといんた	management-operation client interface				ISO/IEC 13244	1998				1998	JTC1
37714	C		引数	ひきすう	argument				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37715	C		アソシエーション	あそしえーしょん	association				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37716	C		アソシエーションコントラク	あそしえーしょんこんとらく	association contract				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37717	C		非同期	ひどうき	asymmetrical				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37718	C		接続パッケージ	せつぞくぱっけーじ	connection package				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37719	C		コントラクト	こんとらくと	contract				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37720	C		エラー	えらー	error				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37721	C		連結オペレーション	れんけつおぺれーしょん	linked operation				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37722	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37723	C		オペレーション	おぺれーしょん	operation				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37724	C		オペレーションパッケージ	おぺれーしょんぱっけーじ	operation package				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37725	C		(エラーの)パラメータ	(えらーの)ぱらめーた	parameter (of an error)				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37726	C		結果	けっか	result				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37727	C		ROSオブジェクト	ROSおぶじぇくと	ROS-object				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37728	C		対称的	たいしょうてき	symmetrical				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37729	C		同期	どうき	synchronous				ISO/IEC 13712-1	1995				1995	JTC1
37730	C		アソシエーション開始アプリケーション実態、アソシエーション開始者	あそしえーしょんかいしあぷりけーしょんじったい、あそしえーしょんかいし	association-initiating-application-entity, association-initiator				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37731	C		アソシエーション応答アプリケーション実態、アソシエーション応答者	あそしえーしょんおうとうあぷりけーしょんじったい、あそしえーしょんおうとう	association-responding-application-entity, association-responder				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37732	C		呼び出しアプリケーション実体、呼び出し元	よびだしあぷりけーしょんじったい、よびだしもと	invoking-application-entity, invoker				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37733	C		実行アプリケーション実体、実行者	じっこうあぷりけーしょんじったい、じっこうしゃ	performing-application-entity, performer				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37734	C		要求者	ようきゅうしゃ	requestor				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37735	C		受諾者	じゅだくしゃ	acceptor				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37736	C		連結オペレーション	れんけつおぺれーしょん	linked operation				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37737	C		親オペレーション	おやおぺれーしょん	parent-operation				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37738	C		子オペレーション	こおぺれーしょん	child-operation				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37739	C		ACSE使用者	ACSEしようしゃ	ACSE-User				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37740	C		遠隔操作サービス要素	えんかくそうささーびすようそ	Remote Operation Service Element				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37741	C		ROSE提供者	ROSEていきょうしゃ	ROSE-provider				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37742	C		ROSE使用者	ROSEしようしゃ	ROSE-user				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37743	C		RTSE使用者	RTSEしようしゃ	RTSE-user				ISO/IEC 13712-2	1995				1995	JTC1
37744	C		遠隔操作プロトコルマシン	えんかくそうさぷろとこるましん	remote-operation-protocol-machine				ISO/IEC 13712-3	1995				1995	JTC1
37745	C		要求側遠隔操作プロトコルマシン	ようきゅうがわえんかくそうさぷろとこるましん	requesting-remote-operation-protocol-				ISO/IEC 13712-3	1995				1995	JTC1
37746	C		受諾側遠隔操作プロトコルマシン	じゅだくがわえんかくそうさぷろとこるましん	accepting-remote-operation-protocol-				ISO/IEC 13712-3	1995				1995	JTC1
37747	C		管理	かんり	administration				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37748	C		管理者	かんりしゃ	administrator				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37749	C		呼び出し応答	よびだしおうとう	call answering				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37750	C		呼び出し側	よびだしがわ	caller				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37751	C		キャンセル	きゃんせる	cancel				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37752	C		制御メニュー	せいぎょめにゅー	control menu				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37753	C		データ入力	でーたにゅうりょく	data entry				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37754	C		デリミト	でりみと	delimit				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37755	C		ダイヤルアヘッド	だいやるあへっど	dial-ahead				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37756	C		ダイヤルスルー	だいやるするー	dial-through				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37757	C		直接メッセージング	ちょくせつめっせーじんぐ	direct messaging				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37758	C		DTMF	DTMF	DTMF				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37759	C		DTMFデバイス	DTMFでばいす	DTMF device				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37760	C		フィードバック	ふぃーどばっく	feedback				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37761	C		強制切断	きょうせいせつだん	forced disconnect				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37762	C		ヘッダ	へっだ	header				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37763	C		ヘルプ	へるぷ	help				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37764	C		キー間タイムアウト	きーかんたいむあうと	inter-key time-out				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37765	C		対話型音声応答	たいわがたおんせいおうと	interactive voice response				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37766	C		割り込み可能性	わりこみかのうせい	interruptibility				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37767	C		キープレス	きーぷれす	key-press				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37768	C		メールボックスアクセス	めーるぼっくすあくせす	mailbox access				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37769	C		メインメニュー	めいんめにゅー	main menu				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37770	C		必す(須)[特徴／機能]	ひっす[とくちょう／きのう]	mandatory [feature/function]				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37771	C		メニュー	めにゅー	menu				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37772	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37773	C		メッセージ発信者	めっせーじはっしんしゃ	message originator				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37774	C		メッセージ受信者	めっせーじじゅしんしゃ	message recipient				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37775	C		未予約	みよやく	non-reserved [feature/function]				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37776	C		未加入者	みかにゅうしゃ	non-subscriber				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37777	C		未規定	みきてい	not specified				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37778	C		任意(選択)[特徴／機能]	にんい(せんたく)[とくちょう／きのう]	optional [feature/function]				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37779	C		プレス	ぷれす	press				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37780	C		プロンプト	ぷろんぷと	prompt				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37781	C		記録トーン	きろくとーん	record tone				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37782	C		予約キー	よやくきー	reserved key				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37783	C		セキュリティコード	せきゅりていこーど	security code				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37784	C		加入者	かにゅうしゃ	subscriber				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37785	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37786	C		タイムアウト	たいむあうと	time-out				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37787	C		利用者設定可能	りようしゃせっていかのう	user-configurable				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37788	C		利用者識別(利用者ID)	りようしゃしきべつ(りようしゃID)	User identification (User ID)				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37789	C		音声入力	おんせいにゅうりょく	voice input				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37790	C		音声メールボックス	おんせいめーるぼっくす	voice mailbox				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37791	C		音声メッセージ	おんせいめっせーじ	voice message				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37792	C		音声メッセージングシステム	おんせいめっせーじんぐしすてむ	voice messaging system				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37793	C		#	#	#				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37794	C		*	*	*				ISO/IEC 13714	1995				1995	JTC1
37795	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 13800	1996				1996	JTC1
37796	C		実装	じっそう	implementation				ISO/IEC 13800	1996				1996	JTC1
37797	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 13800	1996				1996	JTC1
37798	C		フィールド識別子	ふぃーるどしきべつし	field identifier				ISO/IEC 13800	1996				1996	JTC1
37799	C		空白	くうはく	Blank Space				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37800	C		バッファ	ばっふぁ	Buffer				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37801	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37802	C		バイトシーケンス	ばいとしーけんす	Byte Sequence				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37803	C		フィールド	ふぃーるど	Field				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37804	C		フィールド識別子(FID)	ふぃーるどしきべつし(FID)	Field Identifier (FID)				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37805	C		フィールド表	ふぃーるどひょう	Field Table				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37806	C		ファイル	ふぁいる	File				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37807	C		ファイルマーク	ふぁいるまーく	file mark				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37808	C		ファイルセット	ふぁいるせっと	File Set				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37809	C		インタリーブ ファイルセット	いんたりーぶふぁいるせっ	Interleaved File Sets				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37810	C		反復フィールドセット	はんぷくふぃーるどせっと	Iterated Field Set				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37811	C		オペレーティングシステム	おぺれーていんぐしすてむ	operating system				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37812	C		発信システム	はっしんしすてむ	originating system				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37813	C		相対的バイト位置	そうたいてきばいといち	Relative Byte Position				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37814	C		受信システム	じゅしんしすてむ	receiving system				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37815	C		セクタ	せくた	Sector				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37816	C		セクタ番号	せくたばんごう	Sector Number				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37817	C		ソース	そーす	Source				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37818	C		記録のための規格	きろくのためのきかく	standard for recording				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37819	C		ボリューム	ぼりゅーむ	Volume				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37820	C		ボリュームセット	ぼりゅーむせっと	Volume Set				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37821	C		ボリュームセットシーケンス番号	ぼりゅーむせっとしーけんすばんごう	Volume Set Sequence Number				ISO/IEC 14863	1996				1996	JTC1
37822	C		アソシエーション制御サービス要素	あそしえーしょんせいぎょさーびすようそ	Association Control Service Element				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37823	C		ACSEサービス使用者	ACSEさーびすしようしゃ	ACSE service-user				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37824	C		ACSEサービス提供者	ACSEさーびすていきょう	ACSE service-provider				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37825	C		要求者	ようきゅうしゃ	requestor				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37826	C		受諾者	じゅだくしゃ	acceptor				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37827	C		アソシエーション開始者	あそしえーしょんかいし	association-initiator				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37828	C		アソシエーション応答者	あそしえーしょんおうとう	association-responder				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37829	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37830	C		認証機能	にんしょうきのう	authentication-function				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37831	C		認証値	にんしょうち	authentication-value				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37832	C		認証機構	にんしょうきこう	authentication-mechanism				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37833	C		通常モード	つうじょうもーど	normal mode				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37834	C		混乱	こんらん	disrupt				ISO/IEC 15953	1999				1999	JTC1
37835	C		アソシエーション制御プロトコルマシン	あそしえーしょんせいぎょぷろとこるましん	Association Control Protocol Machine				ISO/IEC 15954	1999				1999	JTC1
37836	C		要求側アソシエーション制御プロトコルマシン	ようきゅうがわあそしえーしょんせいぎょぷろとこる	requesting Association Control Protocol Machine				ISO/IEC 15954	1999				1999	JTC1
37837	C		受諾側アソシエーション制御プロトコルマシン	じゅだくがわあそしえーしょんせいぎょぷろとこる	accepting Association Control Protocol Machine				ISO/IEC 15954	1999				1999	JTC1
37838	C		[ASEに対する]外部イベント	[ASEにたいする]がいぶいべんと	external event [to an ASE]				ISO/IEC 15954	1999				1999	JTC1
37839	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37840	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37841	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37842	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37843	C		符号化文字セット、符号	ふごうかもじせっと、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37844	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37845	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37846	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-1	1998				1998	SC2
37847	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37848	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37849	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37850	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37851	C		符号化文字セット、符号	ふごうかもじせっと、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37852	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37853	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37854	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37855	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-2	1999				1999	SC2
37856	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37857	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37858	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37859	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37860	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37861	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37862	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37863	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37864	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-3	1999				1999	SC2
37865	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37866	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37867	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37868	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37869	C		符号化文字セット、符号	ふごうかもじせっと、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37870	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37871	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37872	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37873	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-4	1998				1998	SC2
37874	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination, byte				ISO/IEC 8859-5	1998				1998	SC2
37875	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-5	1998				1998	SC2
37876	C		符号化文字セット、符号	ふごうかもじせっと、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-5	1998				1998	SC2
37877	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-5	1998				1998	SC2
37878	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-5	1998				1998	SC2
37879	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-5	1998				1998	SC2
37880	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-5	1998				1998	SC2
37881	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37882	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37883	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37884	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37885	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37886	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37887	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37888	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37889	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-6	1999				1999	SC2
37890	C		双方向テキスト	そうほうこうてきすと	bi-directional text				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37891	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37892	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37893	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37894	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37895	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37896	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37897	C		方向性特性	ほうこうせいとくせい	directional character properties				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37898	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37899	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37900	C		暗黙的な方向	あんもくてきなほうこう	implicit directionality				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37901	C		左横書き文字	ひだりよこがきもじ	left-to-right character				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37902	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37903	C		右横書き文字	みぎよこがきもじ	right-to-left character				ISO/IEC 8859-8	1999				1999	SC2
37904	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37905	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37906	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37907	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37908	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37909	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37910	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37911	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37912	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-9	1999				1999	SC2
37913	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37914	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37915	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37916	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37917	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37918	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37919	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37920	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37921	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-10	1998				1998	SC2
37922	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37923	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37924	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37925	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37926	C		符号化文字セット、符号	ふごうかもじせっと、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37927	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37928	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37929	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37930	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-13	1998				1998	SC2
37931	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37932	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37933	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37934	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37935	C		符号化文字集合、符号、コード	ふごうかもじしゅうごう、ふごう、こーど	coded character set, code				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37936	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37937	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37938	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37939	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-14	1998				1998	SC2
37940	C		抽象アソシエーション	ちゅうしょうあそしえーしょ	abstract-association				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37941	C		管轄ポート	かんかつぽーと	Administration Port				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37942	C		通知抽象操作	つうちちゅうしょうそうさ	Alert abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37943	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37944	C		属性型	ぞくせいがた	attribute-type				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37945	C		属性値	ぞくせいち	attribute-value				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37946	C		属性値表明	ぞくせいちひょうめい	attribute-value-assertion				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37947	C		自動動作	じどうどうさ	auto-action				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37948	C		自動動作ログ	じどうどうさろぐ	Auto-action-log				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37949	C		自動動作事象	じどうどうさじしょう	auto-action-event				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37950	C		自動動作種別	じどうどうさしゅべつ	auto-action-type				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37951	C		自動通知	じどうつうち	Auto-alert				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37952	C		自動修正報告	じどうしゅうせいほうこく	Auto-correlate-reports				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37953	C		自動削除	じどうさくじょ	Auto-delete				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37954	C		自動回送	じどうかいそう	Auto-forward				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37955	C		自動変更	じどうへんこう	Auto-modify				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37956	C		子エントリ	こえんとり	child-entry				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37957	C		子順序番号	こじゅんじょばんごう	child-sequence-number				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37958	C		制約セット	せいやくせっと	constraining set				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37959	C		内容固有	ないようこゆう	content-specific				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37960	C		作成日時	さくせいにちじ	creation-time				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37961	C		削除抽象操作	さくじょちゅうしょうそうさ	Delete abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37962	C		配信EIT	はいしんEIT	delivered-EITs				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
37963	C		配信メッセージエントリ	はいしんめっせーじえんと	delivered-message				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37964	C		配信報告エントリ	はいしんほうこくえんとり	delivered-report				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37965	C		配信	はいしん	Delivery				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37966	C		配信ログ	はいしんろぐ	Delivery-log				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37967	C		ドラフト	どらふと	Draft				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37968	C		ドラフトメッセージ	どらふとめっせーじ	draft-message				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37969	C		エントリ	えんとり	entry				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37970	C		エントリクラス	えんとりくらす	entry-class				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37971	C		エントリ情報	えんとりじょうほう	entry-information				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37972	C		エントリ情報選択	えんとりじょうほうせんたく	entry-information-				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37973	C		エントリ種別	えんとりしゅべつ	entry-type				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37974	C		取り出し抽象操作	とりだしちゅうしょうそうさ	Fetch abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37975	C		取り出し制限	とりだしせいげん	fetch-restrictions				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37976	C		フィルタ	ふぃるた	filter				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37977	C		フィルタ項目	ふぃるたこうもく	filter-item				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37978	C		回送要求	かいそうようきゅう	forwarding-request				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37979	C		一般属性	いっぱんぞくせい	general-attribute				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37980	C		一般自動動作	いっぱんじどうどうさ	general-auto-actions				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37981	C		等級	とうきゅう	grade				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37982	C		最大数	さいだいすう	limit				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37983	C		一覧抽象操作	いちらんちゅうしょうそうさ	List abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37984	C		主エントリ	しゅえんとり	main-entry				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37985	C		一致判定規則	いっちはんていきそく	matching-rule				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37986	C		メッセージグループ	めっせーじぐるーぷ	message-group				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37987	C		メッセージログ	めっせーじろぐ	Message-log				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37988	C		メッセージ発信抽象操作	めっせーじはっしんちゅうしょうそうさ	Message-submission abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37989	C		変更抽象操作	へんこうちゅうしょうそうさ	Modify abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37990	C		MS抽象サービス	MSちゅうしょうさーびす	MS abstract-service				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37991	C		MS抽象サービス使用者	MSちゅうしょうさーびすしようしゃ	MS abstract-service-user				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37992	C		MS抽象サービス提供者	MSちゅうしょうさーびすていきょうしゃ	MS abstract-service-provider				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37993	C		MSメッセージ発信抽象操作	MSめっせーじはっしんちゅうしょうそうさ	MS-message-submission abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37994	C		MS打診発信抽象操作	MSだしんはっしんちゅうしょうそうさ	MS-probe-submission abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37995	C		MS発信ポート	MSはっしんぽーと	MS-submission Port				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37996	C		MS発信操作	MSはっしんそうさ	MS-submission-options				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37997	C		MS使用者	MSしようしゃ	MS-user				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37998	C		多値属性	たちぞくせい	multi-valued attribute				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
37999	C		上書き	うわがき	override				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38000	C		親エントリ	おやえんとり	parent-entry				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38001	C		親順序番号	おやじゅんじょばんごう	parent-sequence-number				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38002	C		部分属性要求	ぶぶんぞくせいようきゅう	partial-attribute-request				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38003	C		範囲	はんい	range				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38004	C		登録MS抽象操作	とうろくMSちゅうしょうそうさ	Register-MS abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38005	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38006	C		登録識別子	とうろくしきべつし	registration-identifier				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38007	C		検索ポート	けんさくぽーと	Retrieval Port				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38008	C		検索状態	けんさくじょうたい	retrieval-status				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38009	C		返信内容	へんしんないよう	returned-content				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38010	C		選択子	せんたくし	selector				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38011	C		順序番号	じゅんじょばんごう	sequence-number				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38012	C		単値属性	たんちぞくせい	single-valued attribute				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38013	C		格納メッセージ	かくのうめっせーじ	Stored-message				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38014	C		発信	はっしん	Submission				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38015	C		発信ログ	はっしんろぐ	Submission-log				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38016	C		発信メッセージ	はっしんめっせーじ	submitted-message				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38017	C		発信打診	はっしんだしん	submitted-probe				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38018	C		加入	かにゅう	subscription				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38019	C		要約抽象操作	ようやくちゅうしょうそうさ	Summarize abstract-operation				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38020	C		UA登録	UAとうろく	UA-registration				ISO/IEC 10021-5	1999				1999	SC6
38021	C		EDI転送	EDIてんそう	EDI forwarding				ISO/IEC 10021-8	1999				1999	SC6
38022	C		EDIメッセージ	EDIめっせーじ	EDI message				ISO/IEC 10021-8	1999				1999	SC6
38023	C		EDIメッセージ通信使用者	EDIめっせーじつうしんしようしゃ	EDI messaging user				ISO/IEC 10021-8	1999				1999	SC6
38024	C		EDI通知	EDIつうち	EDI notification				ISO/IEC 10021-8	1999				1999	SC6
38025	C		EDIメッセージ責任	EDIめっせーじせきにん	EDI message responsibility				ISO/IEC 10021-8	1999				1999	SC6
38026	C		EDIメッセージ保管	EDIめっせーじほかん	EDI message store				ISO/IEC 10021-9	1999				1999	SC6
38027	C		EDIメッセージ通信システム	EDIめっせーじつうしんしすてむ	EDI messaging system				ISO/IEC 10021-9	1999				1999	SC6
38028	C		EDI使用者エージェント	EDIしようしゃえーじぇんと	EDI user agent				ISO/IEC 10021-9	1999				1999	SC6
38029	C		構成情報	こうせいじょうほう	configuration Information				ISO/IEC 10030	1995				1995	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38030	C		リダイレクト情報	りだいれくとじょうほう	redirection information				ISO/IEC 10030	1995				1995	SC6
38031	C		サブネットワークアドレス解決実体	さぶねっとわーくあどれすかいけつじったい	subnetwork address resolution entity				ISO/IEC 10030	1995				1995	SC6
38032	C		暗号有効期間	あんごうゆうこうきかん	cryptoperiod				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38033	C		規格内プロトコル機構	きかくないぷろとこるきこう	in-band protocol mechanism				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38034	C		規格外プロトコル機構	きかくがいぷろとこるきこう	out-of-band protocol mechanism				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38035	C		対キー	ついきー	pairwise key				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38036	C		返送検出	へんそうけんしゅつ	reflection protection				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38037	C		セキュリティアソシエーション	せきゅりてぃあそしえーしょん	security association				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38038	C		セキュリティアソシエーション属性	せきゅりてぃあそしえーしょんぞくせい	security association attributes				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38039	C		SE TPDU	SE TPDU	SE TPDU				ISO/IEC 10736	1995				1995	SC6
38040	C		アドレス	あどれす	Address				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38041	C		番号	ばんごう	Number				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38042	C		PISN番号	PISNばんごう	PISN Number				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38043	C		番号片	ばんごうへん	Partial Number				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38044	C		サブアドレス	さぶあどれす	Subaddress				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38045	C		領域	りょういき	Domain				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38046	C		部分領域	ぶぶんりょういき	Sub-Domain				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38047	C		明示付番方式	めいじふばんほうしき	Explicit Numbering Plan				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38048	C		暗黙付番方式	あんもくふばんほうしき	Implicit Numbering Plan				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38049	C		接頭辞	せっとうじ	Prefix				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38050	C		サービス符号	さーびすふごう	Service Code				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38051	C		付番方式	ふばんほうしき	Numbering Plan				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38052	C		内部付番方式	ないぶふばんほうしき	Native Numbering Plan				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38053	C		外部付番方式	がいぶふばんほうしき	Foreign Numbering Plan				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38054	C		私設総合サービス網付番方式、PISN NP	しせつそうごうさーびすもうふばんほうしき、PISN NP	Private Integrated Services Network Numbering Plans (PISN				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38055	C		ISDN付番方式、ISDN NP	ISDNふばんほうしき、ISDN NP	ISDN Numbering Plan (ISDN NP)				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38056	C		私設付番方式、PNP	しせつふばんほうしき、PNP	Private Numbering Plan (PNP)				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38057	C		PNP番号	PNPばんごう	PNP Number				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38058	C		領域	りょういき	Region				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38059	C		領域符号(RC)	りょういきふごう(RC)	Region Code (RC)				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38060	C		領域番号(RN)	りょういきばんごう(RN)	Regional Number (RN)				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38061	C		完全番号	かんぜんばんごう	Complete Number				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38062	C		ダイヤル方式	だいやるほうしき	Dialling Plan				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38063	C		付番方式識別子、NPI	ふばんほうしきしきべつし、NPI	Numbering Plan Identifier (NPI)				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38064	C		番号の型、TON	ばんごうのかた、TON	Type of Number (TON)				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38065	C		エスケープ符号	えすけーぷふごう	Escape Code				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38066	C		選択アドレス/番号	せんたくあどれす/ばんごう	Selection				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38067	C		識別アドレス/番号	しきべつあどれす/ばんごう	Identification Address/Number				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38068	C		複数加入者番号、MSN	ふくすうかにゅうしゃばんごう、MSN	Multiple Subscriber Number (MSN)				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38069	C		PISN管理者	PISNかんりしゃ	PISN Administrator				ISO/IEC 11571	1998				1998	SC6
38070	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 11575	1995				1995	SC6
38071	C		IX通信のインスタンス	IXつうしんのいんすたんす	instance of IX-communication				ISO/IEC 11575	1995				1995	SC6
38072	C		凍結SA-ID	とうけつSA-ID	Frozen SA-ID				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38073	C		対キー	ついきー	Pairwise Key				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38074	C		セキュリティ制御情報	せきゅりてぃせいぎょじょうほう	Security Control Information				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38075	C		SA属性	SAぞくせい	SA-Attributes				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38076	C		セキュリティアソシエーション	せきゅりてぃあそしえーしょん	Security Association				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38077	C		データ単位完全性	でーたたんいかんぜんせ	Data Unit Integrity				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38078	C		規格内	きかくない	In-band				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38079	C		規格外	きかくがい	Out-of-band				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38080	C		セキュリティ規則	せきゅりていきそく	Security Rules				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38081	C		ラベル	らべる	Label				ISO/IEC 11577	1995				1995	SC6
38082	C		高速	こうそく	high-speed				ISO/IEC 11579-2	1999				1999	SC6
38083	C		高速私設総合サービス網	こうそくしせつそうごうさーびすもう	high-speed private integrated services				ISO/IEC 11579-2	1999				1999	SC6
38084	C		拡張回線	かくちょうかいせん	extension line				ISO/IEC 11579-3	1999				1999	SC6
38085	C		端末装置	たんまつそうち	terminal equipment				ISO/IEC 11579-3	1999				1999	SC6
38086	C		トランシーバ	とらんしーば	transceiver				ISO/IEC 11579-3	1999				1999	SC6
38087	C		QOSカテゴリ	QOSかてごり	QOS category				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38088	C		QOS特質	QOSとくしつ	QOS characteristic				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38089	C		QOSマネジメント	QOSまねじめんと	QOS management				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38090	C		QOS機構	QOSきこう	QOS mechanism				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38091	C		OSI通信のQOS	OSIつうしんのQOS	QOS of OSI				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38092	C		QOS方針	QOSほうしん	QOS policy				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38093	C		QOS文脈	QOSぶんみゃく	QOS context				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38094	C		QOSデータ	QOSでーた	QOS data				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38095	C		QOS情報	QOSじょうほう	QOS information				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38096	C		QOS測定	QOSそくてい	QOS measure				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38097	C		QOSパラメタ	QOSぱらめた	QOS parameter				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38098	C		QOS要件	QOSようけん	QOS requirement				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38099	C		QOS動作目標	QOSどうさもくひょう	QOS operating target				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38100	C		QOSアラート	QOSあらーと	QOS alert				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38101	C		QOS属性	QOSぞくせい	QOS attribute				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38102	C		QOS制御	QOSせいぎょ	QOS control				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38103	C		QOS問合せ	QOSといあわせ	QOS enquiry				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38104	C		QOS確立	QOSかくりつ	QOS establishment				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38105	C		QOS保守	QOSほしゅ	QOS maintenance				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38106	C		QOSマネジメント機能	QOSまねじめんときのう	QOS management				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38107	C		QOS監視	QOSかんし	QOS monitoring				ISO/IEC 13236	1998				1998	SC6
38108	C		追加的ネットワーク機能	ついかてきねっとわーくきのう	Additional Network Feature				ISO/IEC 13242	1997				1997	SC6
38109	C		呼び出し、基本呼び出し	よびだし、きほんよびだし	Call, Basic Call				ISO/IEC 13242	1997				1997	SC6
38110	C		経路アクセスクラス(RAC)	けいろあくせすくらす	Route Access Class				ISO/IEC 13242	1997				1997	SC6
38111	C		設備制限クラス(FRC)	せつびせいげんくらす(FRC)	Facility Restriction Class (FRC)				ISO/IEC 13242	1997				1997	SC6
38112	C		設備	せつび	Facility				ISO/IEC 13242	1997				1997	SC6
38113	C		ATM終端システムアドレス	ATMしゅうたんしすてむあどれす	ATM endsystem address				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38114	C		広帯域私設総合サービス網(B-PISN)	こうたいいきしせつそうごうさーびすもう(B-PISN)	broadband private integrated services network (B-PISN)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38115	C		呼	こ	call				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38116	C		呼/接続	こ/せつぞく	call/connection				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38117	C		一括	いっかつ	en bloc				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38118	C		ゲートウェイPINX	げーとうぇいPINX	gateway PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38119	C		入りゲートウェイPINX	いりげーとうぇいPINX	incoming gateway PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38120	C		情報要素	じょうほうようそ	information element				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38121	C		妥当でない内容の情報要素	だとうでないないようのじょうほうようそ	information element with invalid contents				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38122	C		PINX間リンク、IPL	PINXかんりんく、IPL	inter-PINX link (IPL)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38123	C		PINX間仮想チャンネル、IPVC	PINXかんかそうちゃんねる、IPVC	inter-PINX virtual channel (IPVC)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38124	C		PINX間仮想チャンネル識別子、IPVCI	PINXかんかそうちゃんねるしきべつし、IPVCI	inter-PINX virtual channel identifier (IPVCI)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38125	C		相互作用PINX	そうごさようPINX	interworking PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38126	C		狭帯域私設総合サービス網、N-PISN	きょうたいいきしせつそうごうさーびすもう、N-PISN	narrow-band private integrated Services network (N-PISN)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38127	C		作成PINX	さくせいPINX	originating PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38128	C		発信呼び出し/接続	はっしんよびだし/せつぞく	outgoing call/connection				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38129	C		発ゲートウェイPINX	はつげーとうぇいPINX	outgoing gateway PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38130	C		重複	ちょうふく	overlap				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38131	C		先行PINX	せんこうPINX	preceding PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38132	C		先行サイド	せんこうさいど	preceding side				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38133	C		公設広帯域ISDN(公設B-ISDN)	こうせつこうたいいきISDN(こうせつB-ISDN)	public broadband ISDN (public B-ISDN)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38134	C		公設総合サービスデジタル網(公設ISDN)	こうせつそうごうさーびすでじたるもう(こうせつISDN)	public integrated Services digital network (public ISDN)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38135	C		公設峡帯域ISDN(公設N-ISDN)	こうせつきょうたいいきISDN(こうせつN-ISDN)	public narrow-band ISDN (public N-ISDN)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38136	C		サイド	さいど	side				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38137	C		信号伝達AAL、SAAL	しんごうでんたつAAL、SAAL	signalling AAL (SAAL)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38138	C		後続PINX	こうぞくPINX	succeeding PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38139	C		後続サイド	こうぞくさいど	succeeding side				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38140	C		終了PINX	しゅうりょうPINX	terminating PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38141	C		通過PINX	つうかPINX	transit PINX				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38142	C		予定外メッセージ	よていがいめっせーじ	unexpected message				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38143	C		規定外情報要素	きていがいじょうほうようそ	unrecognized information element				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38144	C		規定外メッセージ	きていがいめっせーじ	unrecognized message				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38145	C		無保証ビット速度、UBR	むほしょうびっとそくど、	unspecified bit rate (UBR)				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38146	C		仮想チャネル	かそうちゃねる	virtual channel				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6
38147	C		仮想チャネル接続	かそうちゃねるせつぞく	virtual channel connection				ISO/IEC 13247	1997				1997	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38148	C		追加的ネットワーク機能	ついかてきねっとわーくきのう	Additional network feature				ISO/IEC 13863	1998				1998	SC6
38149	C		ANF-PR使用者	ANF-PRしようしゃ	ANF-PR user				ISO/IEC 13863	1998				1998	SC6
38150	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, basic call				ISO/IEC 13863	1998				1998	SC6
38151	C		接続	せつぞく	Connection				ISO/IEC 13863	1998				1998	SC6
38152	C		新接続	しんせつぞく	New connection				ISO/IEC 13863	1998				1998	SC6
38153	C		旧接続	きゅうせつぞく	Old connection				ISO/IEC 13863	1998				1998	SC6
38154	C		トロンボーン接続	とろんぼーんせつぞく	Trombone connection				ISO/IEC 13863	1998				1998	SC6
38155	C		応答局	おうとうきょく	answering station				ISO/IEC 8480	1995				1995	SC6
38156	C		許可モード	きょかもーど	authorized mode				ISO/IEC 8480	1995				1995	SC6
38157	C		呼び出し局	よびだしきょく	calling station				ISO/IEC 8480	1995				1995	SC6
38158	C		直接モード	ちょくせつもーど	direct mode				ISO/IEC 8480	1995				1995	SC6
38159	C		送信側トランスポートアドレス	そうしんがわとらんすぽーとあどれす	Source-transport-address				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38160	C		受信側トランスポートアドレス	じゅしんがわとらんすぽーとあどれす	Destination-transport-address				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38161	C		コネクション型トランスポートプロトコル	こねくしょんがたとらんすぽーとぷろとこる	Connection oriented transport protocol				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38162	C		コネクション型トランスポートサービス	こねくしょんがたとらんすぽーとさーびす	Connection oriented transport service				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38163	C		コネクション型ネットワークサービス	こねくしょんがたねっとわーくさーびす	Connection oriented network service				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38164	C		コネクションレス型トランスポートプロトコル	こねくしょんれすがたとらんすぽーとぷろとこる	Connectionless-mode transport protocol				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38165	C		コネクションレス型トランスポートサービス	こねくしょんれすがたとらんすぽーとさーびす	Connectionless-mode transport service				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38166	C		コネクションレス型ネットワークサービス	こねくしょんれすがたねっとわーくさーびす	Connectionless-mode network service				ISO/IEC 8602	1995				1995	SC6
38167	C		不適正PDU	ふてきせいPDU	improper PDU				ISO/IEC 8882-1	1996				1996	SC6
38168	C		適正PDU	てきせいPDU	proper PDU				ISO/IEC 8882-1	1996				1996	SC6
38169	C		テスタ	てすた	tester				ISO/IEC 8882-1	1996				1996	SC6
38170	C		テストケース	てすとけーす	test case				ISO/IEC 8882-1	1996				1996	SC6
38171	C		テストケース選択	てすとけーすせんたく	test selection				ISO/IEC 8882-1	1996				1996	SC6
38172	C		最小テストケース	さいしょうてすとけーす	test subgroup				ISO/IEC 8882-1	1996				1996	SC6
38173	C		部分機能	ぶぶんきのう	sub-function				ISO/IEC 8882-1	1996				1996	SC6
38174	C		ネットワーク追加機能	ねっとわーくついかきのう	additional network feature				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38175	C		アプリケーション識別子	あぷりけーしょんしきべつ	application identifier				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38176	C		話中、ビジー	わちゅう、びじー	busy				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38177	C		話中当事者	わちゅうとうじしゃ	busy party name				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38178	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	call, basic call				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38179	C		発呼当事者名	はっことうじしゃめい	calling party name				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38180	C		接続先当事者名	せつぞくさきとうじしゃめい	connected party name				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38181	C		着呼当事者名	ちゃっことうじしゃめい	called party name				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38182	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38183	C		端末、端末機器	たんまつ、たんまつき	terminal, terminal				ISO/IEC 13864	1995				1995	SC6
38184	C		ネットワーク追加機能	ねっとわーくついかきのう	additional network feature				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38185	C		話中、ビジー	わちゅう、びじー	busy				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38186	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	call, basic call				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38187	C		呼完了	こかんりょう	call completion				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38188	C		フリー	ふりー	free				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38189	C		経路予約	けいろよやく	path reservation				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38190	C		再呼タイマ	さいこたいま	recall timer				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38191	C		保持タイマ	ほじたいま	retention timer				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38192	C		SS-CC再呼	SS-CCさいこ	SS-CC recall				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38193	C		SS-CCサービス継続時間タイマ	SS-CCさーびすけいぞくじかんたいま	SS-CC Service duration timer				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38194	C		使用者A	しようしゃA	User A				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38195	C		使用者B	しようしゃB	User B				ISO/IEC 13866	1995				1995	SC6
38196	C		応答端点	おうとうたんてん	Answering Endpoint				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38197	C		ベアラチャネル	べあらちゃねる	Bearer Channel				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38198	C		ベアラチャンネル速度	べあらちゃんねるそくど	Bearer Channel Rate				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38199	C		呼端点	こたんてん	Calling Endpoint				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38200	C		チャネル集約単位	ちゃねるしゅうやくたんい	Channel Aggregation Unit				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38201	C		CRCエンコーダ	CRCえんこーだ	CRC Encoder				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38202	C		情報メッセージ	じょうほうめっせーじ	Information Message				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38203	C		マスタ チャネル、主チャネル	ますたちゃねる、しゅちゃねる	Master Channel				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38204	C		全体的システム遅延	ぜんたいてきしすてむちえ	Overall System Delay				ISO/IEC 13871	1995				1995	SC6
38205	C		発呼者番号	はっこしゃばんごう	calling user number				ISO/IEC 14136	1995				1995	SC6
38206	C		発呼者サブアドレス	はっこしゃさぶあどれす	calling user subaddress				ISO/IEC 14136	1995				1995	SC6
38207	C		接続先	せつぞくさき	connected user				ISO/IEC 14136	1995				1995	SC6
38208	C		接続先番号	せつぞくさきばんごう	connected user number				ISO/IEC 14136	1995				1995	SC6
38209	C		接続先サブアドレス	せつぞくさきさぶあどれす	connected user				ISO/IEC 14136	1995				1995	SC6
38210	C		チャネル	ちゃねる	Channel				ISO/IEC 14474	1998				1998	SC6
38211	C		Dqチャネル	Dqちゃねる	Dq channel				ISO/IEC 14474	1998				1998	SC6
38212	C		Uqチャネル	Uqちゃねる	Uq channel				ISO/IEC 14474	1998				1998	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38213	C		QSIG(Q参照点における信号伝達情報の流れ)	QSIG(Qさんしょうてんにおけるしんごうでんたつじょうほうのながれ)	QSIG (Signalling information flow at the Q reference point)				ISO/IEC 14474	1998				1998	SC6
38214	C		CSIG(C参照点における信号伝達情報の流れ)	CSIG(Cさんしょうてんにおけるしんごうでんたつじょうほうのながれ)	CSIG (Signalling information flow at the C reference point)				ISO/IEC 14474	1998				1998	SC6
38215	C		装置	そうち	equipment				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38216	C		ローカル事項	ろーかるじこう	local matter				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38217	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38218	C		応答者	おうとうしゃ	responder				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38219	C		送信側トランスポート実体	そうしんがわとらんすぽーとじったい	sending transport entity				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38220	C		受信側トランスポート実体	じゅしんがわとらんすぽーとじったい	receiving transport entity				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38221	C		エラー表示	えらーひょうじ	error indication				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38222	C		無効TPDU	むこうTPDU	invalid TPDU				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38223	C		プロトコルエラー	ぷろとこるえらー	protocol error				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38224	C		透過データ	とうかでーた	transparent (data)				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38225	C		(ネットワーク接続の)所有者	(ねっとわーくせつぞくの)しょゆうしゃ	owner (of a network connection)				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38226	C		発呼	はっこ	calling				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38227	C		着呼	ちゃっこ	called				ISO/IEC 14699	1997				1997	SC6
38228	C		装置	そうち	equipment				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38229	C		ローカル事項	ろーかるじこう	local matter				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38230	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38231	C		応答者	おうとうしゃ	responder				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38232	C		送信側ネットワーク実体	そうしんがわねっとわーくじったい	sending network entity				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38233	C		受信側ネットワーク実体	じゅしんがわねっとわーくじったい	receiving network entity				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38234	C		エラー表示	えらーひょうじ	error indication				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38235	C		無効NPDU	むこうNPDU	invalid NPDU				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38236	C		プロトコルエラー	ぷろとこるえらー	protocol error				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38237	C		透過(データ)	とうか(でーた)	transparent (data)				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38238	C		発呼	はっこ	calling				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38239	C		着呼	ちゃっこ	called				ISO/IEC 14700	1997				1997	SC6
38240	C		明示的プロトコル識別法	めいじてきぷろとこるしきべつほう	explicit protocol identification method				ISO/IEC 14765	1997				1997	SC6
38241	C		暗黙的プロトコル識別法	あんもくてきぷろとこるしきべつほう	implicit protocol identification method				ISO/IEC 14765	1997				1997	SC6
38242	C		代替プロトコルセット	だいたいぷろとこるせっと	set of alternative				ISO/IEC 14765	1997				1997	SC6
38243	C		関連プロトコルセット	かんれんぷろとこるせっと	set of related protocols				ISO/IEC 14765	1997				1997	SC6
38244	C		プロトコル群	ぷろとこるぐん	family of protocols				ISO/IEC 14765	1997				1997	SC6
38245	C		ネットワーク追加機能	ねっとわーくついかきのう	additional network feature				ISO/IEC 14841	1996				1996	SC6
38246	C		自動呼請求起動タイマ	じどうこせいきゅうきどうたいま	automatic call offer invocation timer				ISO/IEC 14841	1996				1996	SC6
38247	C		話中	わちゅう	busy				ISO/IEC 14841	1996				1996	SC6
38248	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	call, basic call				ISO/IEC 14841	1996				1996	SC6
38249	C		相談タイマ	そうだんたいま	consultation timer				ISO/IEC 14841	1996				1996	SC6
38250	C		請求呼	せいきゅうこ	offered call				ISO/IEC 14841	1996				1996	SC6
38251	C		経路保持	けいろほじ	path retention				ISO/IEC 14841	1996				1996	SC6
38252	C		ネットワーク追加機能	ねっとわーくついかきのう	additional network feature				ISO/IEC 14842	1996				1996	SC6
38253	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	call, basic call				ISO/IEC 14842	1996				1996	SC6
38254	C		相談タイマ	そうだんたいま	consultation timer				ISO/IEC 14842	1996				1996	SC6
38255	C		発呼番号	はっこばんごう	originating number				ISO/IEC 14842	1996				1996	SC6
38256	C		発呼サブアドレス	はっこさぶあどれす	originating subaddress				ISO/IEC 14842	1996				1996	SC6
38257	C		経路保持	けいろほじ	path retention				ISO/IEC 14842	1996				1996	SC6
38258	C		サービス対象使用者	さーびすたいしょうしょう	served user				ISO/IEC 14842	1996				1996	SC6
38259	C		話中	わちゅう	busy				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38260	C		会議型接続	かいぎがたせつぞく	conference type				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38261	C		相談	そうだん	consultation				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38262	C		相談タイマ	そうだんたいま	consultation timer				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38263	C		確立された呼	かくりつされたこ	established call				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38264	C		強制リリース	きょうせいりりーす	forced release				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38265	C		即時起動	そくじきどう	immediate invocation				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38266	C		切迫割込み状態	せっぱくわりこみじょうたい	impending intrusion state				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38267	C		切迫割込み警告通知	せっぱくわりこみけいこくつうち	impending intrusion warning notification				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38268	C		実装選択肢	じっそうせんたくし	implementation option				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38269	C		割込み呼	わりこみこ	intruding call				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38270	C		割込み状態	わりこみじょうたい	intrusion state				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38271	C		割込み呼接続通知	わりこみこせつぞくつうち	intruding call connected notification				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38272	C		隔離	かくり	isolation				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38273	C		経路保持	けいろほじ	path retention				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38274	C		サービス対象使用者	さーびすたいしょうしょう	served user				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38275	C		割込みまでの時間	わりこみまでのじかん	time to intrusion				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38276	C		使用者B	しようしゃB	user B				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38277	C		使用者C	しようしゃC	user C				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38278	C		話中待機状態	わちゅうたいきじょうたい	wait on busy state				ISO/IEC 14845	1996				1996	SC6
38279	C		ネットワーク追加機能	ねっとわーくついかきのう	Additional Network				ISO/IEC 15049	1997				1997	SC6
38280	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	call, basic call				ISO/IEC 15049	1997				1997	SC6
38281	C		課金呼	かきんこ	charged call				ISO/IEC 15049	1997				1997	SC6
38282	C		現地通貨単位	げんちつうかたんい	local currency unit				ISO/IEC 15049	1997				1997	SC6
38283	C		サービス対象使用者	さーびすたいしょうしよう	served user				ISO/IEC 15049	1997				1997	SC6
38284	C		ネットワーク追加機能	ねっとわーくついかきのう	additional network feature				ISO/IEC 15055	1997				1997	SC6
38285	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	call, basic call				ISO/IEC 15055	1997				1997	SC6
38286	C		信号伝達接続	しんごうでんたつせつぞく	signalling connection				ISO/IEC 15055	1997				1997	SC6
38287	C		通過カウンタ	つうかかうんた	transit counter				ISO/IEC 15055	1997				1997	SC6
38288	C		ネットワーク追加機能、ANF	ねっとわーくついかきのう、ANF	Additional Network Feature (ANF)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38289	C		ディレクトリPINX	でぃれくとりPINX	Directory PINX				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38290	C		固定部分(FP)	こていぶぶん(FP)	Fixed part (FP)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38291	C		ホームデータベース(HDB)	ほーむでーたべーす	Home Data Base (HDB)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38292	C		ホームPINX	ほーむPINX	Home PINX				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38293	C		位置領域、LA	いちりょういき、LA	Location Area (LA)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38294	C		ネットワーク割当て身元、NAI	ねっとわーくわりあてみもと、NAI	Network Assigned Identity (NAI)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38295	C		PISN権限	PISNけんげん	PISN authority				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38296	C		PISN使用者	PISNしようしゃ	PISN user				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38297	C		サービスプロファイル	さーびすぷろふぁいる	Service profile				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38298	C		ビジタ領域、VA	びじたりょういき、VA	Visitor Area (VA)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38299	C		ビジタデータベース、VDB	びじたでーたべーす、VDB	Visitor Data Base (VDB)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38300	C		ビジタPINX	びじたPINX	Visitor PINX				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38301	C		ワイヤレス端末移動性、WTM	わいやれすたんまついどうせい、WTM	Wireless Terminal Mobility (WTM)				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38302	C		WTLR使用者	WTLRしようしゃ	WTLR user				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38303	C		WTM情報	WTMじょうほう	WTM information				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38304	C		WTM使用者	WTMしようしゃ	WTM user				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38305	C		WTM使用者の身元	WTMしようしゃのみもと	WTM user's identity				ISO/IEC 15428	1999				1999	SC6
38306	C		WTM呼	WTMこ	WTM call				ISO/IEC 15430	1999				1999	SC6
38307	C		WTMI使用者	WTMIしようしゃ	WTMI user				ISO/IEC 15430	1999				1999	SC6
38308	C		WTMO使用者	WTMOしようしゃ	WTMO user				ISO/IEC 15430	1999				1999	SC6
38309	C		着信WTM呼	ちゃくしんWTMこ	Incoming WTM call				ISO/IEC 15430	1999				1999	SC6
38310	C		発信WTM呼	はっしんWTMこ	Outgoing WTM call				ISO/IEC 15430	1999				1999	SC6
38311	C		認証サーバ	にんしょうさーば	Authentication Server				ISO/IEC 15432	1999				1999	SC6
38312	C		ワイヤレス端末	わいやれすたんまつ	Wireless Terminal				ISO/IEC 15432	1999				1999	SC6
38313	C		WTAN使用者	WTANしようしゃ	WTAN user				ISO/IEC 15432	1999				1999	SC6
38314	C		WTAT使用者	WTATしようしゃ	WTAT user				ISO/IEC 15432	1999				1999	SC6
38315	C		隣接PINX	りんせつPINX	Adjacent PINX				ISO/IEC 15507	1997				1997	SC6
38316	C		要求側PINX	ようきゅうがわPINX	Requesting PINX				ISO/IEC 15507	1997				1997	SC6
38317	C		宛先PINX	あてさきPINX	Destination PINX				ISO/IEC 15507	1997				1997	SC6
38318	C		同期実体	どうきじったい	Synchronization Entity				ISO/IEC 15507	1997				1997	SC6
38319	C		追加的ネットワーク機能	ついかてきねっとわーくきのう	Additional Network Feature				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38320	C		ANF-CMN使用者	ANF-CMNしようしゃ	ANF-CMN User				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38321	C		逆方向	ぎゃくほうこう	Backward direction				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38322	C		呼、基本呼	こ、きほんこ	Call, Basic Call				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38323	C		共通情報	きょうつうじょうほう	Common Information				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38324	C		機能識別子	きのうしきべつし	Feature Identifier				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38325	C		順方向	じゅんほうこう	Forward direction				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38326	C		装置識別	そうちしきべつ	Equipment Identity				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38327	C		ノード識別	のーどしきべつ	Node Identity				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38328	C		グループ識別	ぐるーぷしきべつ	Group Identity				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38329	C		機器識別、ユニット識別	ききしきべつ、ゆにっとしきべつ	Unit Identity				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38330	C		当事者分類	とうじしゃぶんるい	Party Category				ISO/IEC 15771	1998				1998	SC6
38331	C		アフィリエイト	あふぃりえいと	affiliate				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38332	C		アフィリエーション	あふぃりえーしょん	affiliation				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38333	C		非同期	ひどうき	asynchronous				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38334	C		集中プロトコル	しゅうちゅうぷろとこる	convergence protocol				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38335	C		集中サービス	しゅうちゅうさーびす	convergence service				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38336	C		CPEアドレス	CPEあどれす	CPE address				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38337	C		CPEインスタンス識別子	CPEいんすたんすしきべ	CPE instance identifier				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38338	C		CPEインスタンスナンバ	CPEいんすたんすなんば	CPE instance number				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38339	C		LAN/MANマネジメント	LAN/MANまねじめんと	LAN/MAN Management				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38340	C		リソース	りそーす	resource				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38341	C		同期	どうき	synchronous				ISO/IEC 15802-2	1995				1995	SC6
38342	C		呼	こ	Call				ISO/IEC 15899	1998				1998	SC6
38343	C		呼/接続	こ/せつぞく	Call/connection				ISO/IEC 15899	1998				1998	SC6
38344	C		トランスポートコネクション	とらんすぽーとこねくしょん	transport connection				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38345	C		登録グループ	とうろくぐるーぷ	enrolled group				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38346	C		グループTSAPアドレス	ぐるーぷTSAPあどれす	group TSAP address				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38347	C		活動中グループ	かつどうちゅうぐるーぷ	active group				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38348	C		活動中グループ条件	かつどうちゅうぐるーぷじょうけん	active group integrity				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38349	C		合意のQoSレベル	ごういのQoSれべる	QoS level of agreement				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38350	C		順序付け	じゅんじょづけ	ordering				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38351	C		TC参加者	TCさんかしゃ	TC-participant				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38352	C		TC所有者	TCしょゆうしゃ	TC-owner				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38353	C		焦点TS利用者	しょうてんTSりようしゃ	focal TS-user				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38354	C		送信側TS利用者	そうしんがわTSりようしゃ	sending TS-user				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38355	C		受信側TS利用者	じゅしんがわTSりようしゃ	receiving TS-user				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38356	C		伝送多様性	でんそうたようせい	transmit diversity				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38357	C		受信多様性	じゅしんたようせい	receive diversity				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38358	C		伝送の並行性	でんそうのへいこうせい	transmit concurrency				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38359	C		チャネル	ちゃねる	Channel				ISO/IEC 13252	1999				1999	SC6
38360	C		取得者	しゅとくしゃ	acquirer				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38361	C		読者	どくしゃ	audience				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38362	C		読者調査	どくしゃちょうさ	audience research				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38363	C		後付け	あとづけ	back matter				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38364	C		写真製版原本	しゃしんせいはんげんぽ	camera-ready originals				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38365	C		締切日	しめきりび	cut-off date				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38366	C		提供品	ていきょうひん	deliverables				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38367	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38368	C		文書	ぶんしょ	documentation				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38369	C		文書開発スタッフ	ぶんしょかいはつすたっふ	documentation development staff				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38370	C		文書計画	ぶんしょけいかく	documentation plan				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38371	C		文書作成者	ぶんしょさくせいしゃ	documenter				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38372	C		電子コピー	でんしこぴー	electronic copy				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38373	C		nダッシュ	nだっしゅ	en dash				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38374	C		巻末の注	かんまつのちゅう	endnotes				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38375	C		折込み	おりこみ	foldout				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38376	C		フッタ	ふった	footer				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38377	C		脚注	きゃくちゅう	footnote				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38378	C		前付け	まえづけ	front matter				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38379	C		ヘッダ	へった	header				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38380	C		見出し	みだし	heading				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38381	C		ヘルプシステム	へるぷしすてむ	help system				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38382	C		ヘルプテキスト	へるぷてきすと	help text				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38383	C		文書化の項目	ぶんしょかのこうもく	item of documentation				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38384	C		位置参照	いちさんしょう	location reference				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38385	C		マークアップ	まーくあっぷ	mark-up				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38386	C		版下	はんした	mechanicals				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38387	C		ナビゲーション	なびげーしょん	navigation				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38388	C		オンライン文書	おんらいんぶんしょ	on-line documentation				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38389	C		オンライン文書システム又はヘルプシステム	おんらいんぶんしょしすてむまたはへるぷしすてむ	on-line documentation system or help system				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38390	C		オーファン、ページ末孤立行	おーふぁん、ぺーじまつこりつぎょう	orphan				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38391	C		紙文書	かみぶんしょ	paper documentation				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38392	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38393	C		ポイント	ぽいんと	point				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38394	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38395	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38396	C		生産	せいさん	production				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38397	C		校正刷り	こうせいすり	proof				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38398	C		プロトタイプ	ぷろとたいぷ	prototype				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38399	C		表面	おもてめん	recto				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38400	C		画面ダンプ	がめんだんぷ	screen dump				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38401	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38402	C		目次	もくじ	table of contents				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38403	C		有効頁表	ゆうこうぺーじひょう	table of effective pages				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38404	C		チーム選択計画	ちーむせんたくけいかく	team selection plan				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38405	C		スロークリア	すろーくりあ	throwclear				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38406	C		有用性試験所	ゆうようせいしけんじょ	usability laboratory				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38407	C		有用性試験	ゆうようせいしけん	usability testing				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38408	C		使用者インタフェース	しようしゃいんたふぇーす	user interface				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38409	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38410	C		裏面	うらめん	verso				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38411	C		能動的空白	のうどうてきくうはく	white space, active				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38412	C		受動的空白	じゅどうてきくうはく	white space, passive				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38413	C		ウィドウ、ページ先頭孤立行	ういどう、ぺーじせんとうこりつぎょう	widow				ISO/IEC 15910	1999				1999	SC7
38414	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38415	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38416	C		制御トラック	せいぎょとらっく	Control Track				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38417	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38418	C		欠陥管理	けっかんかんり	Defect Management				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38419	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38420	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38421	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38422	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38423	C		ホールド機能	ほーるどきのう	holding feature				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38424	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38425	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38426	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38427	C		光ディスクカートリッジ、ODC	ひかりでぃすくかーとりっじ、ODC	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38428	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38429	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38430	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38431	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38432	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38433	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38434	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38435	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38436	C		WORMディスク	WORMでぃすく	WORM disk				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38437	C		ゾーン	ぞーん	Zone				ISO/IEC 13403	1995				1995	SC23
38438	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38439	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38440	C		制御トラック	せいぎょとらっく	Control Track				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38441	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38442	C		欠陥管理	けっかんかんり	defects management				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38443	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38444	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38445	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38446	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38447	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38448	C		ホールド機能	ほーるどきのう	holding feature				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38449	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38450	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38451	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38452	C		光ディスクカートリッジ	ひかりでぃすくかーとりっじ	optical disk cartridge				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38453	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38454	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38455	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38456	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38457	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38458	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38459	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38460	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38461	C		WORMディスク	WORMでぃすく	WORM disk				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38462	C		ゾーン	ぞーん	Zone				ISO/IEC 13614	1995				1995	SC23
38463	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38464	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38465	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38466	C		テープの始端マーカ(BOT)	てーぷのしたんまーか (BOT)	Beginning-Of-Tape marker (BOT)				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38467	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38468	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38469	C		巡回冗長検査(CRC)文字	じゅんかいじょうちょうけんさ(CRC)もじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) character				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38470	C		早期終端警告、EW	そうきしゅうたんけいこく、	Early Warning (EW)				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38471	C		誤り検出符号(EDC)	あやまりけんしゅつふごう (EDC)	Error-Detecting Code (EDC)				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38472	C		テープの終端マーカ(EOT)	てーぷのしゅうたんまーか (EOT)	End-Of-Tape marker (EOT)				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38473	C		実体	じったい	Entity				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38474	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error-Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38475	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38476	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38477	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	Logical Block				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38478	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38479	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38480	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38481	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38482	C		物理ブロック	ぶつりぶろっく	physical block				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38483	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38484	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38485	C		レコード	れこーど	Record				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38486	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Reference Edge				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38487	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38488	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38489	C		基準信号振幅(SRA)	きじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38490	C		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38491	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38492	C		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	Typical Field				ISO/IEC 13962	1995				1995	SC23
38493	C		補助データ	ほじょでーた	Auxiliary data				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38494	C		注記記録	ちゅうききろく	Annotation record				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38495	C		注記トラック	ちゅうきとらっく	Annotation tracks				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38496	C		平均信号振幅(ASA)	へいきんしんごうしんぷく(ASA)	Average Signal Amplitude (ASA)				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38497	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38498	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38499	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38500	C		符号語ディジタル総計値、CDS	ふごうごでぃじたるそうけいち、CDS	Codeword Digital Sum (CDS)				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38501	C		データ領域	でーたりょういき	Data area				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38502	C		データ領域基準線	でーたりょういききじゅんせん	Data area reference line				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38503	C		データ領域基準点	でーたりょういききじゅん	Data area reference point				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38504	C		データフィールド	でーたふぃーるど	Data field				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38505	C		累計ディジタル総計値、DSV	るいけいでぃじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Variation (DSV)				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38506	C		ドロップアウト	どろっぷあうと	Dropout				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38507	C		消去	しょうきょ	Erase				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38508	C		消去フィールド	しょうきょふぃーるど	Erasing field				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38509	C		等価基準縁	とうかきじゅんえん	Equivalent reference edge				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38510	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38511	C		らせん状(データ)記録	らせんじょう(でーた)きろく	Helical (data) record				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38512	C		らせん状トラック	らせんじょうとらっく	Helical track				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38513	C		ホームトラックID	ほーむとらっくID	Home track ID				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38514	C		内部符号	ないぶふごう	Inner code				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38515	C		リーダ	りーだ	Leader				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38516	C		論理ボリューム	ろんりぼりゅーむ	Logical volume				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38517	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38518	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38519	C		外部符号	がいぶふごう	Outer code				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38520	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38521	C		ポストアンブル	ぽすとあんぶる	Postamble				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38522	C		プリアンブル	ぷりあんぶる	Preamble				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38523	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	reference edge				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38524	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38525	C		分解能	ぶんかいのう	Resolution				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38526	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38527	C		セクタ	せくた	Sector				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38528	C		セクタ記録耐性	せくたきろくたいせい	Sector recording				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38529	C		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38530	C		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38531	C		同期パターン	どうきぱたーん	Sync pattern				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38532	C		テープマーク	てーぷまーく	Tape mark				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38533	C		許容ゾーン	きょようぞーん	Tolerance zones				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38534	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38535	C		トラック角度	とらっくかくど	track angle				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38536	C		トラックセット	とらっくせっと	Track Set				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38537	C		トラックセットID、TSD	とらっくせっとID、TSD	Track Set ID (TSID)				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38538	C		ボリュームセット	ぼりゅーむせっと	Volume set				ISO/IEC 14417	1999				1999	SC23
38539	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38540	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38541	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38542	C		テープの始端マーカ(BOT)	てーぷのしたんまーか(BOT)	Beginning-Of-Tape marker (BOT)				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38543	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38544	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38545	C		巡回冗長検査(CRC)文字	じゅんかいじょうちょうけんさ(CRC)もじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) character				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38546	C		早期終端警告、EW	そうきしゅうたんけいこく、	Early Warning (EW)				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38547	C		誤り検出符号(EDC)	あやまりけんしゅつふごう(EDC)	Error-Detecting Code (EDC)				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38548	C		テープの終端マーカ(EOT)	てーぷのしゅうたんまーか(EOT)	End-Of-Tape marker (EOT)				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38549	C		実体	じったい	Entity				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38550	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error-Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38551	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38552	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38553	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	Logical Block				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38554	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38555	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38556	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38557	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38558	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38559	C		物理ブロック	ぶつりぶろっく	physical block				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38560	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38561	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38562	C		レコード	れこーど	Record				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38563	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Reference Edge				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38564	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38565	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38566	C		基準信号振幅(SRA)	きじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38567	C		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38568	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38569	C		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	Typical Field				ISO/IEC 14833	1996				1996	SC23
38570	C		帯域	たいいき	band				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38571	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38572	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38573	C		制御トラック	せいぎょとらっく	control track				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38574	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38575	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38576	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38577	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38578	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38579	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38580	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38581	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38582	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38583	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38584	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38585	C		マークエッジ	まーくえっじ	mark edge				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38586	C		マークエッジ記録	まーくえっじきろく	mark edge recording				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38587	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38588	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38589	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38590	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38591	C		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38592	C		再生光出力	さいせいひかりしゅつりょく	read power				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38593	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38594	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38595	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38596	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38597	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38598	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38599	C		書き込み禁止孔	かきこみきんしこう	write-inhibit hole				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38600	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 15486	1998				1998	SC23
38601	C		帯域	たいいき	band				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38602	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38603	C		チャンネルビット	ちゃんねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38604	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38605	C		制御ゾーン	せいぎょぞーん	control zone				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38606	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38607	C		データクロック	でーたくろっく	data clock				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38608	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38609	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38610	C		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38611	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38612	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38613	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38614	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38615	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38616	C		飛行可能ゾーン	ひこうかのうぞーん	flyable zone				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38617	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38618	C		グレイ符号化部分、GEP	ぐれいふごうかぶぶん、GEP	Gray code Encoded Part (GEP)				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38619	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38620	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38621	C		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38622	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38623	C		磁場変調	じばへんちょう	magnetic field modulation				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38624	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38625	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38626	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38627	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38628	C		保護被覆	ほごひふく	protective coating				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38629	C		再生光出力	さいせいひかりしゅつりょく	read power				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38630	C		記録磁場	きろくじば	recording magnetic field				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38631	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38632	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38633	C		サーボクロック	さーぼくろっく	servo clock				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38634	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38635	C		セグメント	せぐめんと	segment				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38636	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38637	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38638	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38639	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38640	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 15498	1997				1997	SC23
38641	C		絶対フレームアドレス	ぜったいふれーむあどれ	Absolute Frame Address				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38642	C		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38643	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38644	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38645	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38646	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38647	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38648	C		ビットセル	びっとせる	bit cell				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38649	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38650	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38651	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38652	C		圧縮データ	あっしゅくでーた	compressed data				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38653	C		巡回冗長検査(CRC)文字	じゅんかいじょうちょうけんさ(CRC)もじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) character				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38654	C		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38655	C		データ終端(EOD)	でーたしゅうたん(EOD)	End of Data (EOD)				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38656	C		誤り訂正符号	あやまりていせいふごう	Error Correcting Code				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38657	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38658	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38659	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38660	C		テープの論理始端(LBOT)	てーぷのろんりしたん(LBOT)	Logical Beginning of Tape (LBOT)				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38661	C		論理記録	ろんりきろく	Logical Record				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38662	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38663	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38664	C		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition Boundary				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38665	C		テープの物理始端(PBOT)	てーぷのぶつりしたん(PBOT)	Physical Beginning of Tape (PBOT)				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38666	C		テープの論理終端(PEOT)	てーぷのろんりしゅうたん(PEOT)	Physical End of Tape (PEOT)				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38667	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38668	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38669	C		二次基準テープ(SSRT)	にじきじゅんてーぷ(SSRT)	Secondary Standard Reference Tape (SSRT)				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38670	C		標準信号振幅(SRA)	ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38671	C		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38672	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38673	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38674	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38675	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38676	C		非圧縮データ	ひあっしゅくでーた	uncompressed data				ISO/IEC 15718	1998				1998	SC23
38677	C		絶対ブロック番号	ぜったいぶろっくばんごう	Absolute block number				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38678	C		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38679	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38680	C		付加フィールド	ふかふぃーるど	Append file				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38681	C		付加ボリューム	ふかぼりゅーむ	Append volume				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38682	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude (ASA)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38683	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38684	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38685	C		ビットセル	びっとせる	bit cell				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38686	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38687	C		ブロック管理表(BTM)	ぶろっくかんりひょう(BTM)	Block Management Table (BMT)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38688	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38689	C		カセット	かせっと	cassette				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38690	C		圧縮データ	あっしゅくでーた	compressed data				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38691	C		制御トラック	せいぎょとらっく	Control Track				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38692	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38693	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38694	C		論理トラック集合ID	ろんりとらっくしゅうごうID	Logical track set ID				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38695	C		論理ボリューム	ろんりぼりゅーむ	Logical volume				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38696	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38697	C		主基準テープ(MSRT)	しゅきじゅんてーぷ(MSRT)	Master Standard Reference Tape (MSRT)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38698	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38699	C		基準磁界(RF)	きじゅんじかい(RF)	Reference Field (RF)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38700	C		二次基準テープ(SSRT)	にじきじゅんてーぷ(SSRT)	Secondary Standard Reference Tape (SSRT)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38701	C		標準信号振幅(SRA)	ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38702	C		基準電流(Ir)	きじゅんでんりゅう(Ir)	Standard Reference Current (Ir)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38703	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38704	C		試験記録電流(TRC)	しけんきろくでんりゅう(TRC)	Test Recording Current (TRC)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38705	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38706	C		トラック角度	とらっくかくど	track angle				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38707	C		ティピカル集合	ていぴかるしゅうごう	Track Set				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38708	C		ティピカル磁界(TF)	ていぴかるじかい(TF)	Typical Field (TF)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38709	C		固有識別子、UID	こゆうしきべつし、UID	Unique Identifier (UID)				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38710	C		単語	たんご	word				ISO/IEC 15731	1998				1998	SC23
38711	C		実書込み出力	じつかきこみしゅつりょく	actual write power				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38712	C		エアサンドイッチディスク	えあさんどいっちでぃすく	air sandwich disk				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38713	C		バンド	ばんど	band				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38714	C		基準反射率	きじゅんはんしゃりつ	baseline reflectance				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38715	C		複屈折	ふくくっせつ	birefringence				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38716	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38717	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38718	C		カバーシート	かばーしーと	cover sheet				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38719	C		クロストークレベル	くろすとーくれべる	cross-talk level				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38720	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	cyclic redundancy check (CRC)				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38721	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38722	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38723	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38724	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correction code (ECC)				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38725	C		誤り検出及び訂正(EDAC)	あやまりけんしゅつおよびていせい(EDAC)	error detection and correction (EDAC)				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38726	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38727	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38728	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38729	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38730	C		マークエッジ	まーくえっじ	mark edge				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38731	C		マークエッジ記録	まーくえっじきろく	mark edge recording				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38732	C		狭帯域SN比	きょうたいいきSNひ	narrow band signal-to-noise ratio				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38733	C		ノイズフロア	のいずふろあ	noise floor				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38734	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38735	C		光ディスクキャリア	ひかりでぃすくきゃりあ	optical disk carrier				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38736	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38737	C		光学的遅れ	こうがくてきおくれ	optical retardation				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38738	C		周辺環	しゅうへんかん	perimeter ring				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38739	C		プリフォーマットマーク	ぷりふぉーまっとまーく	pre-formatted mark				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38740	C		裏打ち層	うらうちそう	protective layer				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38741	C		再生光出力	さいせいひかりしゅつりょく	read power				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38742	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38743	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38744	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38745	C		チルト	ちると	tilt				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38746	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38747	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38748	C		書き込み力	かきこみりょく	write power				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38749	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 15898	1998				1998	SC23
38750	C		ケース	けーす	Case				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38751	C		チャンネルビット	ちゃんねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38752	C		ディジタル総計値、DSV	でぃじたるそうけいち、	Digital Sum Value (DSV)				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38753	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38754	C		ダミー基板	だみーきばん	Dummy substrate				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38755	C		エンボスマーク	えんぼすまーく	Embossed mark				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38756	C		入射面	にゅうしゃめん	Entrance surface				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38757	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	Land and Groove				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38758	C		マーク	まーく	Mark				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38759	C		相変化	そうへんか	Phase change				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38760	C		偏光	へんこう	Polarization				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38761	C		記録層	きろくそう	Recording layer				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38762	C		セクタ	せくた	Sector				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38763	C		スペース	すぺーす	Space				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38764	C		基板	きばん	Substrate				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38765	C		トラック	とらっく	Track				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38766	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	Track pitch				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38767	C		ZCLV	ZCLV	ZCLV				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38768	C		ゾーン	ぞーん	Zone				ISO/IEC 16824	1999				1999	SC23
38769	C		カートリッジ	かーとりっじ	Cartridge				ISO/IEC 16825	1999				1999	SC23
38770	C		ケース	けーす	Case				ISO/IEC 16825	1999				1999	SC23
38771	C		交互ファインクロックマーク(AFCM)	こうごふぁいんくろっくまーく(AFCM)	Alternating Fine Clock Mark (AFCM)				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38772	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38773	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	Clamping Zone				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38774	C		ディジタル総計値、DSV	でぃじたるそうけいち、	Digital Sum Value (DSV)				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38775	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	Disk Reference Plane				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38776	C		ダミー基板	だみーきばん	dummy substrate				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38777	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38778	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38779	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38780	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38781	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38782	C		相変化	そうへんか	phase change				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38783	C		物理セクタ	ぶつりせくた	Physical Sector				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38784	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38785	C		リードソロモン符号 (RS)	りーどそろもんふごう(RS)	Reed-Solomon code (RS)				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38786	C		セグメント番号	せぐめんとばんごう	segment number				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38787	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38788	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38789	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38790	C		トラック番号	とらっくばんごう	track number				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38791	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38792	C		ウォブル	うぉぶる	wobble				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38793	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 16969	1999				1999	SC23
38794	C		非対称	ひたいしょう	asymmetry				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38795	C		バンド	ばんど	band				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38796	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38797	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38798	C		制御トラック	せいぎょとらっく	control track				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38799	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38800	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38801	C		直接上書き	ちょくせつうわがき	direct overwrite				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38802	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38803	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38804	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38805	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38806	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38807	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38808	C		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38809	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38810	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38811	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38812	C		マークエッジ	まーくえっじ	mark edge				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38813	C		マークエッジ記録	まーくえっじきろく	mark edge recording				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38814	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38815	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38816	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38817	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38818	C		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38819	C		再生光出力	さいせいひかりしゅつりょく	read power				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38820	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38821	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38822	C		スペース	すぺーす	space				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38823	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38824	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38825	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38826	C		書き込み禁止穴	かきこみきんしこう	write-inhibit hole				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38827	C		追記機能	ついききのう	write-once functionality				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38828	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 18093	1999				1999	SC23
38829	C		交流消去	こうりゅうしょうきょ	a.c. erase				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38830	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38831	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38832	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38833	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38834	C		テープ始端(BOT)	てーぷしたん(BOT)	Beginning of Tape (BOT)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38835	C		テープ始端センススロット	てーぷしたんせんすすろっと	Beginning of Tape Sense Slot				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38836	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38837	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38838	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38839	C		符号語ディジタル総計値、CDS	ふごうごでぃじたるそうけいち、CDS	Codeword Digital Sum (CDS)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38840	C		巡回冗長検査(CRC)文字	じゅんかいじょうちょうけんさ(CRC)もじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) Character				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38841	C		データ領域参照点	でーたりょういきさんしょうてん	Data Area Reference Point				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38842	C		論理データレコード(LDR)	ろんりでーたれこーど	Logical Data Record				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38843	C		圧縮データレコード(PDR)	あっしゅくでーたれこーど(PDR)	Processed Data Record (PDR)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38844	C		ユーザデータレコード	ゆーざでーたれこーど	User Data Record (UDR)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38845	C		ディジタルサムバリエーション(DSV)	でぃじたるさむばりえーしょん(DSV)	Digital Sum Variation (DSV)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38846	C		テープ終端(EOT)	てーぷしゅうたん(EOT)	End of Tape (EOT)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38847	C		テープ終端センススロット	てーぷしゅうたんせんすすろっと	End of Tape Sense Slot				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38848	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38849	C		ファイルセーフ	ふぁいるせーふ	File safe				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38850	C		固定走査グループヘッダ	こていそうさぐるーぷへっ	Fixed Scan Group Header				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38851	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38852	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38853	C		らせん時間符号(HTC)	らせんじかんふごう(HTC)	Helical Time Code (HTC)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38854	C		内部リーダヘッダ(ILH)	ないぶりーだへっだ(ILH)	Internal Leader Header (ILH)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38855	C		論理ブロック番号	ろんりぶろっくばんごう	Logical Block Number				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38856	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38857	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38858	C		パケット	ぱけっと	Packet				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38859	C		パケット識別子	ぱけっとしきべつし	Packet Identifier				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38860	C		パケットトレイラ	ぱけっととれいら	Packet Trailer				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38861	C		記録密度	きろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38862	C		ポストアンブル	ぽすとあんぶる	Postamble				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38863	C		プリアンブル	ぷりあんぶる	Preamble				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38864	C		圧縮データ	あっしゅくでーた	processed data				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38865	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Fields				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38866	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38867	C		走査グループ	そうさぐるーぷ	Scan Group				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38868	C		走査グループ対	そうさぐるーぷつい	Scan Group Pair				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38869	C		走査グループ開始データ(SGSD)	そうさぐるーぷかいしでーた(SGSD)	Scan Group Start Data (SGSD)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38870	C		副基準テープ	ふくきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38871	C		標準信号振幅(SRA)	ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitudes (SRA)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38872	C		基準電流(Ir)	きじゅんでんりゅう(Ir)	Standard Reference Currents (Ir)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38873	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38874	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Currents (Technical Report)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38875	C		トラック(技術報告書)	とらっく(ぎじゅつほうこく	track				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38876	C		トラック角度	とらっくかくど	track angle				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38877	C		ティピカル磁界(TF)	ていぴかるじかい(TF)	Typical Field (TF)				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38878	C		可変走査グループヘッダ	かへんそうさぐるーぷへっ	Variable Scan Group				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38879	C		ゼロ交差	ぜろこうさ	zero crossing				ISO/IEC 14840	1996				1996	SC23
38880	C		基本モード	きほんもーど	basic mode				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38881	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38882	C		符号ビット	ふごうびっと	code bit				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38883	C		符号グループ	ふごうぐるーぷ	code group				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38884	C		コンセントレータ	こんせんとれーた	concentrator				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38885	C		接続管理(CMT)	せつぞくかんり(CMT)	Connection Management (CMT)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38886	C		対向循環	たいこうじゅんかん	counter-rotating				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38887	C		サイクル	さいくる	cycle				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38888	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38889	C		光ファイバ	ひかりふぁいば	fibre optics				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38890	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38891	C		混成モード	こんせいもーど	Hybrid mode				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38892	C		混成リング制御(HRC)	こんせいりんぐせいぎょ(HRC)	Hybrid Ring Control (HRC)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38893	C		論理リング	ろんりりんぐ	logical ring				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38894	C		媒体アクセス制御(MAC)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)	Media Access Control (MAC)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38895	C		(FDDI)ネットワーク	(FDDI)ねっとわーく	network (FDDI network)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38896	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38897	C		非ゼロ復帰(NRZ)	ひぜろふっき(NRZ)	non-return to zero (NRZ)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38898	C		非ゼロ復帰、インバートオンワン(NRZI)	ひぜろふっき、いんばーとおんわん(NRZI)	non-return to zero, invert on ones (NRZI)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38899	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38900	C		物理接続	ぶつりせつぞく	Physical Connection				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38901	C		物理層媒体依存(PMD)	ぶつりそうばいたいいぞん(PMD)	Physical Layer Medium Dependent (PMD)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38902	C		物理層プロトコル(PHY)	ぶつりそうぷろとこる(PHY)	Physical Layer Protocol (PHY)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38903	C		物理リンク	ぶつりりんく	Physical Link				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38904	C		ポート	ぽーと	Port				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38905	C		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38906	C		プロトコルデータ単位(PDU)	ぷろとこるでーたたんい(PDU)	Protocol Data Unit (PDU)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38907	C		カルテット	かるてっと	quartet				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38908	C		受信	じゅしん	receive				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38909	C		リピート	りぴーと	repeat				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38910	C		リング	りんぐ	ring				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38911	C		サービスデータ単位(SDU)	さーびすでーたたんい	Service Data Unit (SDU)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38912	C		サービス	さーびす	services				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38913	C		局	きょく	station				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38914	C		局管理(SMT)	きょくかんり(SMT)	Station Management				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38915	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38916	C		伝送する	でんそうする	transmit				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38917	C		単位間隔(UI)	たんいかんかく(UI)	Unit Interval (UI)				ISO/IEC 9314-7	1998				1998	SC25
38918	C		能動的入力インタフェース(AII)	のうどうてきにゅうりょくいんたふぇーす(AII)	Active Input Interface (AII)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38919	C		能動的出力インタフェース(AOI)	のうどうてきしゅつりょくいんたふぇーす(AOI)	Active Output Interface (AOI)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38920	C		減衰	げんすい	Attenuation				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38921	C		平均出力	へいきんしゅつりょく	Average Power				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38922	C		ビット誤り率(BER)	びっとあやまりりつ(BER)	Bit Error Rate (BER)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38923	C		バイパス	ばいぱす	Bypass				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38924	C		中央波長	ちゅうおうはちょう	Central Wavelength				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38925	C		符号ビット	ふごうびっと	Code-bit				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38926	C		集線装置	しゅうせんそうち	Concentrator				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38927	C		遮断波長	しゃだんはちょう	Cut-off Wavelength				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38928	C		二重接続局	にじゅうせつぞくきょく	Dual Attachment Station				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38929	C		消光比	しょうこうひ	Extinction Ratio				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38930	C		消光比(%)	しょうこうひ(%)	Extinction Ratio (%)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38931	C		ファイバ	ふぁいば	Fibre				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38932	C		光ファイバケーブル	ひかりふぁいばけーぶる	Fibre Optic Cable				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38933	C		チャネル間分離	ちゃねるかんぶんり	Interchannel Isolation				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38934	C		データ依存ジッタ(DDJ)	でーたいぞんじった(DDJ)	Jitter, Data Dependent (DDJ)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38935	C		デューティサイクルひずみジッタ(DCD)	でゅーていさいくるひずみじった(DCD)	Jitter, Duty Cycle Distortion (DCD)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38936	C		ランダムジッタ(RJ)	らんだむじった(RJ)	Jitter, Random (RJ)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38937	C		媒体インタフェースコネクタ(MIC)	ばいたいいんたふぇーすこねくた(MIC)	Media Interface Connector (MIC)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38938	C		MICプラグ	MICぷらぐ	MIC Plug				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38939	C		MICレセプタクル	MICれせぷたくる	MIC Receptacle				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38940	C		モードフィールド直径	もーどふぃーるどちょっけ	Mode Field Diameter				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38941	C		多重モードファイバ(MMF)	たじゅうもーどふぁいば(MMF)	Multimode Fibre (MMF)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38942	C		光立ち下がり時間	ひかりたちさがりじかん	Optical Fall Time				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38943	C		光基準面	ひかりきじゅんめん	Optical Reference Plane				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38944	C		光反射減衰量(ORL)	ひかりはんしゃげんすいりょう(ORL)	Optical Return Loss (ORL)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38945	C		光立ち上がり時間	ひかりたちあがりじかん	Optical Rise Time				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38946	C		物理コネクション	ぶつりこねくしょん	Physical Connection				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38947	C		物理リンク	ぶつりりんく	Physical Link				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38948	C		プリミティブ	ぷりみていぶ	Primitive				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38949	C		受信器	じゅしんき	Receiver				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38950	C		リング	りんぐ	Ring				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38951	C		サービス	さーびす	Services				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38952	C		単一接続局	たんいつせつぞくきょく	Single Attachment Station				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38953	C		単一モードファイバ(SMF)	たんいつもーどふぁいば(SMF)	Single-mode Fibre (SMF)				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38954	C		スペクトル幅-RMS	すぺくとるはば-RMS	Spectral Width-RMS				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38955	C		局	きょく	Station				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38956	C		送信器	そうしんき	Transmitter				ISO/IEC 9314-4	1999				1999	SC25
38957	C		基本モード	きほんもーど	basic mode				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38958	C		チャンネル	ちゃんねる	channel				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38959	C		回路	かいろ	circuit				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38960	C		回路切換え	かいろきりかえ	circuit switching				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38961	C		回路切換えマルチプレクサ(CS-MUX)	かいろきりかえまるちぷれくさ(CS-MUX)	circuit switching multiplexer (CS-MUX)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38962	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38963	C		サイクル	さいくる	cycle				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38964	C		サイクル制御フィールド	さいくるせいぎょふぃーる	cycle control field				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38965	C		サイクルヘッダ	さいくるへっだ	cycle header				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38966	C		サイクルマスタ	さいくるますた	cycle master				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38967	C		サイクルシーケンス	さいくるしーけんす	cycle sequence				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38968	C		サイクル構造	さいくるこうぞう	cycle structure				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38969	C		サイクルグループ	さいくるぐるーぷ	cyclic groups				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38970	C		専用パケットグループ(DPG)	せんようぱけっとぐるーぷ(DPG)	dedicated packet group (DPG)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38971	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38972	C		FDDI-II	FDDI-II	FDDI-II				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38973	C		光ファイバ	ひかりふぁいば	fibreoptics				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38974	C		混成等時性MACサービスアクセス点(HI-SAP)	こんせいとうじせいMACさーびすあくせすてん(HI-SAP)	hybrid isochronous-MAC Service access Point (HI-SAP)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38975	C		混成モード	こんせいもーど	hybrid mode				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38976	C		混成マルチプレクサ(H-MUX)	こんせいまるちぷれくさ(H-MUX)	hybrid multiplexer (H-MUX)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38977	C		混成パケットMACサービスアクセス点(HP-SAP)	こんせいぱけっとMACさーびすあくせすてん(HP-	hybrid packet-MAC Service access Point				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38978	C		混成リング制御	こんせいりんぐせいぎょ	hybrid ring control				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38979	C		混成サービスアクセス点(H-SAP)	こんせいさーびすあくせすてん(H-SAP)	hybrid Service access Point (H-SAP)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38980	C		等時性	とうじせい	isochronous				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38981	C		等時性MACサービスアクセス点(I-SAP)	とうじせいMACさーびすあくせすてん(I-SAP)	isochronous MAC Service access Point (I-SAP)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38982	C		等時性媒体アクセス制御(I-MAC)	とうじせいばいたいあくせすせいぎょ(I-MAC)	isochronous media access control (I-MAC)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38983	C		LAPD	LAPD	LAPD				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38984	C		待ち時間調整バッファ(LAB)	まちじかんちょうせいばっふぁ(LAB)	latency adjustment buffer (LAB)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38985	C		媒体アクセス制御(MAC)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)	media access control (MAC)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38986	C		モード	もーど	mode				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38987	C		モニタコンテンション手順	もにたこんてんしょんてじゅん	monitor contention procedure				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38988	C		モニタランク	もにたらんく	monitor rank				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38989	C		モニタ局	もにたきょく	monitor station				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38990	C		多点回路	たてんかいろ	multi-point circuit				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38991	C		非モニタ局	ひもにたきょく	non-monitor station				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38992	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
38993	C		パケット媒体アクセス制御(P-MAC)	ぱけっとばいたいあくせすせいぎょ(P-MAC)	packet media access control (P-MAC)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38994	C		パケット切替え	ぱけっときりかえ	packet switching				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38995	C		物理層プロトコル(PHY)	ぶつりそうぷろとこる(PHY)	physical layer protocol (PHY)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38996	C		プロトコルデータ単位(PDU)	ぷろとこるでーたたんい(PDU)	protocol data unit (PDU)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38997	C		プログラミングテンプレート	ぷろぐらみんぐてんぷれー	programming template				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38998	C		Q.931	Q.931	Q.931				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
38999	C		受信する	じゅしんする	receive				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39000	C		リング	りんぐ	ring				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39001	C		サービス	さーびす	services				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39002	C		サービスプリミティブ	さーびすぷりみていぶ	service primitive				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39003	C		サービスデータ単位(SDU)	さーびすでーたたんい	service data unit (SDU)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39004	C		スレーブ局	すれーぶきょく	slave station				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39005	C		局	きょく	station				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39006	C		局管理(SMT)	きょくかんり(SMT)	station management				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39007	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39008	C		同期	どうき	synchronous				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39009	C		トークン	とーくん	token				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39010	C		伝送チャンネル	でんそうちゃんねる	transmission channel				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39011	C		伝送する	でんそうする	transmit				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39012	C		広帯域チャンネル(WBC)	こうたいいきちゃんねる(WBC)	wideband channel (WBC)				ISO/IEC 9314-5	1995				1995	SC25
39013	C		接続	せつぞく	attachment				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39014	C		バイパス	ばいぱす	bypass				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39015	C		コンセントレータ	こんせんとれーた	concentrator				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39016	C		対向循環	たいこうじゅんかん	counter-rotating				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39017	C		二重接続コンセントレータ(DAC)	にじゅうせつぞくこんせんとれーた(DAC)	Dual Attachment Concentrator (DAC)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39018	C		二重接続局(DAS)	にじゅうせつぞくきょく(DAS)	Dual Attachment Station (DAS)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39019	C		二重リング(FDDI二重リング)	にじゅうりんぐ(FDDIにじゅうりんぐ)	dual ring (FDDI dual ring)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39020	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39021	C		光ファイバケーブル	ひかりふぁいばけーぶる	fibre optic cable				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39022	C		論理経路	ろんりけいろ	Local Path				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39023	C		論理リング	ろんりりんぐ	logical ring				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39024	C		媒体インタフェースコネクタ(MIC)	ばいたいいんたふぇーすこねくた(MIC)	Media Interface Connector (MIC)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39025	C		MICプラグ	MICぷらぐ	MIC plug				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39026	C		MICレセプタクル	MICれせぷたくる	MIC receptacle				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39027	C		ネットワーク(FDDIネットワーク)	ねっとわーく(FDDIねっとわーく)	network (FDDI network)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39028	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39029	C		無接続コンセントレータ(NAC)	むせつぞくこんせんとれーた(NAC)	Null Attachment Concentrator (NAC)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39030	C		経路	けいろ	Path				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39031	C		物理コネクション	ぶつりこねくしょん	Physical Connection				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39032	C		物理リンク	ぶつりりんく	Physical Link				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39033	C		ポート	ぽーと	Port				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39034	C		一次経路	いちじけいろ	Primary Path				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39035	C		プリミティブ	ぷりみていぶ	primitive				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39036	C		(光)受信器	(ひかり)じゅしんき	receiver (optical)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39037	C		リピータ	りぴーた	repeater				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39038	C		リング	りんぐ	ring				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39039	C		根付きノード	ねつきのーど	rooted node				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39040	C		二次経路	にじけいろ	Secondary Path				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39041	C		サービス	さーびす	services				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39042	C		単一接続コンセントレータ(SAC)	たんいつせつぞくこんせんとれーた(SAC)	Single Attachment Concentrator (SAC)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39043	C		単一接続局(SAS)	たんいつせつぞくきょく(SAS)	Single Attachment Station (SAS)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39044	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39045	C		(光)送信器	(ひかり)そうしんき	transmitter (optical)				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39046	C		幹線	かんせん	trunk				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39047	C		木	き	tree				ISO/IEC 9314-6	1998				1998	SC25
39048	C		非同期	ひどうき	asynchronous				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39049	C		基本モード	きほんもーど	Basic mode				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39050	C		バイパス	ばいぱす	bypass				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39051	C		補そく	ほそく	capture				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39052	C		クレームトークン	くれーむとーくん	claim token				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39053	C		対向循環	たいこうじゅんかん	counter-rotating				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39054	C		サイクル	さいくる	cycle				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39055	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39056	C		光ファイバ	ひかりふぁいば	fibre optics				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39057	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39058	C		混成モード	こんせいもーど	Hybrid mode				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39059	C		混成リング制御(HRC)	こんせいりんぐせいぎょ(HRC)	Hybrid Ring Control (HRC)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39060	C		即時	そくじ	immediate				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39061	C		論理リング	ろんりりんぐ	logical ring				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39062	C		媒体アクセス制御(MAC)	ばいたいあくせすせいぎょ(MAC)	Media Access Control (MAC)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39063	C		マイロングアドレス(MLA)	まいろんぐあどれす(MLA)	my long address (MLA)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39064	C		マイショートアドレス(MSA)	まいしょーとあどれす	my short address (MSA)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39065	C		(FDDI)ネットワーク	(FDDI)ねっとわーく	network (FDDI network)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39066	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39067	C		制限なしトークン	せいげんなしとーくん	non-restricted token				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39068	C		空アドレス	くうあどれす	null address				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39069	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39070	C		物理層媒体依存(PMD)	ぶつりそうばいたいいぞん(PMD)	Physical Layer Medium Dependent (PMD)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39071	C		物理層プロトコル(PHY)	ぶつりそうぷろとこる(PHY)	Physical Layer Protocol (PHY)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39072	C		プリミティブ	ぷりみていぶ	primitive				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39073	C		プロトコルデータ単位(PDU)	ぷろとこるでーたたんい(PDU)	Protocol Data Unit (PDU)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39074	C		受信	じゅしん	receive				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39075	C		リピート	りぴーと	repeat				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39076	C		制限付きトークン	せいげんつきとーくん	restricted token				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39077	C		リング	りんぐ	ring				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39078	C		サービスデータ単位(SDU)	さーびすでーたたんい	Service Data Unit (SDU)				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39079	C		サービス	さーびす	services				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39080	C		ソース経路選択	そーすけいろせんたく	source routing				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39081	C		局	きょく	station				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39082	C		局管理(SMT)	きょくかんり(SMT)	Station Management				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39083	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39084	C		同期	どうき	synchronous				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39085	C		トークン	とーくん	token				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39086	C		伝送する	でんそうする	transmit				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39087	C		透明ブリッジング	とうめいぶりっじんぐ	transparent bridging				ISO/IEC 9314-8	1998				1998	SC25
39088	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance testing				ISO/IEC 9314-13	1998				1998	SC25
39089	C		プロトコル実装適合性宣言(PICS)様式	ぷろとこるじっそうてきごうせいせんげん(PICS)ようしき	protocol implementation conformance statement (PICS) proforma				ISO/IEC 9314-13	1998				1998	SC25
39090	C		プロトコル実装適合性宣言(PICS)	ぷろとこるじっそうてきごうせいせんげん(PICS)	protocol implementation conformance statement (PICS)				ISO/IEC 9314-13	1998				1998	SC25
39091	C		抽象試験項目群(ATS)	ちゅうしょうしけんこうもくぐん(ATS)	Abstract Test Suite (ATS)				ISO/IEC 9314-25	1998				1998	SC25
39092	C		フレーム基盤管理(FBM)	ふれーむきばんかんり(FBM)	Frame Based Management (FBM)				ISO/IEC 9314-25	1998				1998	SC25
39093	C		管理情報基盤(MIB)	かんりじょうほうきばん(MIB)	Management Information Base (MIB)				ISO/IEC 9314-25	1998				1998	SC25
39094	C		接続管理(CMT)	せつぞくかんり(CMT)	Connection Management (CMT)				ISO/IEC 9314-25	1998				1998	SC25
39095	C		物理接続管理(PCM)	ぶつりせつぞくかんり(PCM)	Physical Connection Management (PCM)				ISO/IEC 9314-25	1998				1998	SC25
39096	C		リング管理(RMT)	りんぐかんり(RMT)	Ring Management (RMT)				ISO/IEC 9314-25	1998				1998	SC25
39097	C		HBヘッダ	HBへっだ	HB Header				ISO/IEC 11518-8	1999				1999	SC25
39098	C		H-PDU	H-PDU	H-PDU				ISO/IEC 11518-8	1999				1999	SC25
39099	C		プロトコルデータ単位(PDU)	ぷろとこるでーたたんい(PDU)	protocol data unit (PDU)				ISO/IEC 11518-8	1999				1999	SC25
39100	C		減衰	げんすい	attenuation				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39101	C		平均光パワー	へいきんひかりぱわー	average power				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39102	C		ビット誤り率(BER)	びっとあやまりりつ(BER)	bit error rate (BER)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39103	C		B0-B19	B0-B19	B0-B19				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39104	C		中心波長(レーザ)	ちゅうしんはちょう(れーざ)	centre wavelength (laser)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39105	C		符号化ニブル	ふごうかにぶる	coding nibble				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39106	C		D0-D31、D32-D63	D0-D31、D32-D63	D0-D31, D32-D63				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39107	C		データフィールド	でーたふぃーるど	data field				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39108	C		デバウンス信号	でばうんすしんごう	debounced signal				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39109	C		受信側	じゅしんがわ	Destination				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39110	C		消光比	しょうこうひ	extinction ratio				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39111	C		光ファイバ試験手順(FOTP)	ひかりふぁいばしけんてじゅん(FOTP)	fibre-optic test procedure (FOTP)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39112	C		ファイバ設備	ふぁいばせつび	fibre plant				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39113	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39114	C		機能単位	きのうたんい	functional unit				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39115	C		HIPPI-PH	HIPPI-PH	HIPPI-PH				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39116	C		HIPPIポート	HIPPIぽーと	HIPPI port				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39117	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39118	C		マスタ遷移	ますたせんい	Master Transition				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39119	C		平均出射パワー	へいきんしゅっしゃぱわー	mean launch power				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39120	C		光ファイバシステム試験慣行(OFSTP)	ひかりふぁいばしすてむしけんかんこう(OFSTP)	Optical Fibre System Test Practice (OFSTP)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39121	C		光反射減衰量	ひかりはんしゃげんすいりょう	optical return loss				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39122	C		任意選択	にんいせんたく	optional				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39123	C		オーバーヘッドビット(OH1-OH8)	おーばーへっどびっと(OH1-OH8)	Overhead bit (OH1-OH8)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39124	C		受信器リンクインタフェース(RLI)	じゅしんきりんくいんたふぇーす(RLI)	Receiver Link Interface (RLI)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39125	C		送信側	そうしんがわ	Source				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39126	C		分光幅(RMS)	ぶんこうはば(RMS)	spectral width (RMS)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39127	C		SUBMUX、SUBDEMUX	SUBMUX、SUBDEMUX	SUBMUX, SUBDEMUX				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39128	C		タイムスロット	たいむすろっと	time slot				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39129	C		送信器リンクインタフェース(TLI)	そうしんきりんくいんたふぇーす(TLI)	Transmitter Link Interface (TLI)				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39130	C		単位	たんい	unit				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39131	C		XDEMUX	XDEMUX	XDEMUX				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39132	C		XMUX	XMUX	XMUX				ISO/IEC 11518-9	1999				1999	SC25
39133	C		接続制御情報(CCI)	せつぞくせいぎょじょうほう(CCI)	connection control information (CCI)				ISO/IEC 14165-211	1999				1999	SC25
39134	C		ファイバチャネル	ふぁいばちゃねる	Fibre Channel				ISO/IEC 14165-	1999				1999	SC25
39135	C		情報単位(IU)	じょうほうたんい(IU)	information unit (IU)				ISO/IEC 14165-	1999				1999	SC25
39136	C		上位層プロトコル(ULP)	じょういそうぷろとこる	upper-layer protocol				ISO/IEC 14165-	1999				1999	SC25
39137	C		応答トランザクション	おうとうとらんざくしょん	Answer transaction				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39138	C		基本信号	きほんしんごう	Basic signal				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39139	C		ブロック	ぶろっく	Block				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39140	C		バスハンドラ(BH)	ばすはんどら(BH)	Bus handler (BH)				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39141	C		バスマスタ	ばすますた	Bus master				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39142	C		バススレーブ	ばすすれーぶ	Bus slave				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39143	C		バススヌープ	ばすすぬーぷ	Bus snoop				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39144	C		キャッシュ無効化	きゃっしゅむこうか	Cache invalidation				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39145	C		CPU	CPU	CPU				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39146	C		コピーバックスキーム	こぴーばっくすきーむ	Copyback scheme				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39147	C		DUT(Destination Unit)	DUT(Destination Unit)	DUT (Destination Unit)				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39148	C		非共有変更状態(EM)	ひきょうゆうへんこうじょうたい(EM)	Exclusive & Modified state (EM)				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39149	C		機能単位	きのうたんい	Function unit				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39150	C		I/Oアダプタ	I/Oあだぷた	I/O adapter				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39151	C		無効状態(I)	むこうじょうたい(I)	Invalid state (I)				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39152	C		モディファイ付きリードコマンド	もでぃふぁいつきりーどこまんど	Modified read command				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39153	C		任意選択信号	にんいせんたくしんごう	Optional signal				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39154	C		オーダドトランザクション	おーだとらんざくしょん	Order transaction				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39155	C		パリティ	ぱりてぃ	Parity				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39156	C		プロセッサ	ぷろせっさ	Processor				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39157	C		リードヒット/リードミス	りーどひっと/りーどみす	Read hit/read miss				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39158	C		再試行指示	さいしこうしじ	Retry indication				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39159	C		共有未変更状態(SU)	きょうゆうみへんこうじょうたい(SU)	Shared & Unmodified state (SU)				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39160	C		SUT(Source Unit)	SUT(Source Unit)	SUT (Source Unit)				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39161	C		ライトヒット/ライトミス	らいとひっと/らいとみす	Write hit/write miss				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39162	C		ライトスルースキーム	らいとするーすきーむ	Write-through scheme				ISO/IEC 14576	1999				1999	SC25
39163	C		配線	はいせん	cabling				ISO/IEC 14709-1	1997				1997	SC25
39164	C		ネットワーク端点	ねっとわーくたんてん	network termination				ISO/IEC 14709-1	1997				1997	SC25
39165	C		電力伝送	でんりょくでんそう	power feeding				ISO/IEC 14709-1	1997				1997	SC25
39166	C		端末装置	たんまつそうち	terminal equipment				ISO/IEC 14709-1	1997				1997	SC25
39167	C		ケーブル単位	けーぶるたんい	cable unit				ISO/IEC 14709-2	1998				1998	SC25
39168	C		チャンネル	ちゃんねる	channel				ISO/IEC 14709-2	1998				1998	SC25
39169	C		スパー	すぱー	spur				ISO/IEC 14709-2	1998				1998	SC25
39170	C		(情報技術基盤における構成要素の)識別子	(じょうほうぎじゅつきばんにおけるこうせいようその)しきべつし	identifier (of component in the information technology infrastructure)				ISO/IEC 14763-1	1999				1999	SC25
39171	C		ラベル	らべる	label				ISO/IEC 14763-1	1999				1999	SC25
39172	C		経路	けいろ	pathway				ISO/IEC 14763-1	1999				1999	SC25
39173	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 14763-1	1999				1999	SC25
39174	C		空間	くうかん	space				ISO/IEC 14763-1	1999				1999	SC25
39175	C		作業命令	さぎょうめいれい	work order				ISO/IEC 14763-1	1999				1999	SC25
39176	C		打ち切られたコマンド	うちきられたこまんど	aborted command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39177	C		ACAコマンド	ACAこまんど	ACA command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39178	C		応用クライアント	おうようくらいあんと	application client				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39179	C		自動誤り情報保持状態	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい	auto contingent allegiance				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39180	C		ブロック(タスク状態)	ぶろっく(たすくじょうたい)	blocked (task state)				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39181	C		ブロック境界	ぶろっくきょうかい	blocking boundary				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39182	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39183	C		呼出	よびだし	call				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39184	C		クライアントサーバ	くらいあんとさーば	client-server				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39185	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39186	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39187	C		コマンド記述子ブロック	こまんどきじゅつしぶろっく	command descriptor block				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39188	C		完了コマンド	かんりょうこまんど	completed command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39189	C		完了タスク	かんりょうたすく	completed task				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39190	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39191	C		応答付きプロトコルサービス	おうとうつきぷろとこるさーびす	confirmed protocol service				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39192	C		現在タスク	げんざいたすく	current task				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39193	C		受信側装置	じゅしんがわそうち	destination device				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39194	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39195	C		装置サービス要求	そうちさーびすようきゅう	device service request				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39196	C		装置サービス応答	そうちさーびすおうとう	device service response				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39197	C		領域	りょういき	domain				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39198	C		休眠閉鎖(タスク状態)	きゅうみんへいさ(たすくじょうたい)	dormant (task state)				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39199	C		使用可能(タスク状態)	しようかのう(たすくじょうたい)	enabled (task state)				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39200	C		終了コマンド	しゅうりょうこまんど	ended command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39201	C		フォールト起動側	ふぉーるときどうがわ	faulted initiator				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39202	C		フォールトタスク集合	ふぉーるとたすくしゅうごう	faulted task set				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39203	C		フォールトコマンド	ふぉーるとこまんど	faulting command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39204	C		フォールトタスク	ふぉーるとたすく	faulting task				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39205	C		機能完了	きのうかんりょう	function complete				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39206	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39207	C		I/O操作	I/Oそうさ	I/O operation				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39208	C		実装	じっそう	implementation				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39209	C		実装固有	じっそうこゆう	implementation-specific				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39210	C		実装任意選択	じっそうにんいせんたく	implementation option				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39211	C		起動側	きどうがわ	initiator				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39212	C		相互接続サブシステム	そうごせつぞくさぶしすて	interconnect subsystem				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39213	C		送信中	そうしんちゅう	in transit				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39214	C		層	そう	layer				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39215	C		連結CDB	れんけつCDB	linked CDB				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39216	C		連結コマンド	れんけつこまんど	linked command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39217	C		論理単位	ろんりたんい	logical unit				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39218	C		論理単位番号	ろんりたんいばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39219	C		論理単位任意選択	ろんりたんいにんいせん	logical unit option				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39220	C		下位プロトコル	かいぷろとこる	lower level protocol				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39221	C		必す	ひっす	mandatory				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39222	C		媒体情報	ばいたいじょうほう	media information				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39223	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39224	C		任意選択	にんいせんたく	option, optional				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39225	C		ピアプロトコルサービス	ぴあぷろとこるさーびす	peer-to-peer protocol service				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39226	C		ぴあ実体	ぴあじったい	peer entities				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39227	C		未決タスク	みけつたすく	pending task				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39228	C		物理相互接続	ぶつりそうごせつぞく	physical interconnect				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39229	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39230	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39231	C		プロトコル固有	ぷろとこるこゆう	protocol-specific				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39232	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39233	C		プロトコル選択肢	ぷろとこるせんたくし	protocol option				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39234	C		プロトコルサービス確認	ぷろとこるさーびすかくにん	protocol service confirmation				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39235	C		プロトコルサービス指示	ぷろとこるさーびすしじ	protocol service indication				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39236	C		プロトコルサービス要求	ぷろとこるさーびすよう	protocol service request				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39237	C		プロトコルサービス応答	ぷろとこるさーびすおうとう	protocol service response				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39238	C		待ち行列	まちぎょうれつ	queue				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39239	C		受信者	じゅしんしゃ	receiver				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39240	C		参照モデル	さんしょうもでる	reference model				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39241	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39242	C		要求応答トランザクション	ようきゅうおうとうとらんざくしょん	request-response transaction				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39243	C		要求確認トランザクション	ようきゅうかくにんとらんざくしょん	request-confirmation transaction				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39244	C		予約	よやく	reserved				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39245	C		リセット事象	りせっとじしょう	reset event				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39246	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39247	C		SCSI応用層	SCSIおうようそう	SCSI application layer				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39248	C		SCSI装置	SCSIそうち	SCSI Device				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39249	C		SCSI装置識別子	SCSIそうちしきべつし	SCSI device identifier				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39250	C		SCSI I/Oシステム	SCSI I/Oしすてむ	SCSI I/O system				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39251	C		SCSIプロトコル層	SCSIぷろとこるそう	SCSI protocol layer				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39252	C		送信側	そうしんがわ	sender				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39253	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39254	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39255	C		サービス配達障害	さーびすはいたつしょうがい	service delivery failure				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39256	C		サービス配達ポート	さーびすはいたつぽーと	service delivery port				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39257	C		サービス配達サブシステム	さーびすはいたつさぶしすてむ	service delivery subsystem				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39258	C		サービス配達トランザクション	さーびすはいたつとらんざくしょん	service delivery transaction				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39259	C		信号	しんごう	signal				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39260	C		送信側装置	そうしんがわそうち	source device				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39261	C		サブシステム	さぶしすてむ	subsystem				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39262	C		一時停止情報	いちじていしじょうほう	suspended information				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39263	C		対象	たいしょう	target				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39264	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39265	C		タスク放棄事象	たすくほうきじしょう	task abort event				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39266	C		タスク完了事象	たすくかんりょうじしょう	task completion event				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39267	C		タスク終了事象	たすくしゅうりょうじしょう	task ended event				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39268	C		タスク管理機能	たすくかんりきのう	task management function				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39269	C		タスク管理要求	たすくかんりようきゅう	task management request				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39270	C		タスク管理応答	たすくかんりおうとう	task management				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39271	C		タスクマネージャ	たすくまねーじゃ	task manager				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39272	C		タスク集合	たすくしゅうごう	task set				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39273	C		タスクスロット	たすくすろっと	task slot				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39274	C		第三者コマンド	だいさんしゃこまんど	third-party command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39275	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39276	C		未確認プロトコルサービス	みかくにんぷろとこるさーびす	unconfirmed protocol service				ISO/IEC 14776-411	1999				1999	SC25
39277	C		非連結コマンド	ひれんけつこまんど	unlinked command				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39278	C		上位プロトコル	じょういぷろとこる	upper level protocol				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39279	C		ベンダ固有	べんだこゆう	vendor-specific				ISO/IEC 14776-	1999				1999	SC25
39280	C		互換性	ごかんせい	compatibility				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39281	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39282	C		インタフェースシステム	いんたふぇーすしすてむ	interface system				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39283	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39284	C		アドレス	あどれす	address				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39285	C		アドレス基板	あどれすきばん	addressed board				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39286	C		アービトレーション	あーびとれーしょん	arbitration				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39287	C		バックプレーン	ばっくぷれーん	backplane				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39288	C		ブロック転送	ぶろっくてんそう	block transfer				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39289	C		基板	きばん	board				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39290	C		バス	ばす	bus				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39291	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39292	C		ハンドシェイク	はんどしぇいく	handshake				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39293	C		(論理)高電圧値	(ろんり)こうでんあつち	high state				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39294	C		(論理)低電圧値	(ろんり)ていでんあつち	low state				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39295	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39296	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39297	C		解放	かいほう	release				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39298	C		シーケンス	しーけんす	sequence				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39299	C		整定時間	せいていじかん	settling time				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39300	C		信号	しんごう	signal				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39301	C		信号レベル	しんごうれべる	signal level				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39302	C		信号線	しんごうせん	signal line				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39303	C		信号パラメタ	しんごうぱらめた	signal parameter				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39304	C		保持期間	ほじきかん	tenure				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39305	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39306	C		転送	てんそう	transfer				ISO/IEC 10859	1997				1997	SC25
39307	C		ライセンスプレート(LP)	らいせんすぷれーと(LP)	License Plate (LP)				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39308	C		プロファイル	ぷろふぁいる	PROFILE				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39309	C		PTSMCR機関	PTSMCRきかん	PTSMCR Authority				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39310	C		PTSMCR登録	PTSMCRとうろく	PTSMCR Registration				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39311	C		ジョイントバイレベルイメージエキスパートグループ、JBIG	じょいんとばいれべるいめーじえきすぱーとぐるーぷ、JBIG	Joint Bi-level Image experts Group (JBIG)				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39312	C		ジョイントフォトグラフィックエキスパートグループ、JPEG	じょいんとふぉとぐらふぃっくえきすぱーとぐるーぷ、じぇいぺぐ	Joint Photographic Experts Group (JPEG)				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39313	C		登録機関(REGAUT)	とうろくきかん(REGAUT)	REGistration AUThority (REGAUT)				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39314	C		静止画像交換ファイルフォーマット(SPIFF)	せいしがぞうこうかんふぁいるふぉーまっと(SPIFF)	Still Picture Interchange File Format (SPIFF)				ISO/IEC 10918-4	1999				1999	SC29
39315	C		応用プログラミングインタフェース(API)	おうようぷろぐらみんぐいんたふぇーす(API)	application programming interface (API)				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39316	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39317	C		適合MHEG-3エンジン	てきごうMHEG-3えんじん	conforming MHEG-3				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39318	C		適合MHEG-3交換スクリプト	てきごうMHEG-3こうかんすくりぷと	conforming MHEG-3 interchanged script				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39319	C		適合MHEG-3オブジェクト	てきごうMHEG-3おぶじぇく	conforming MHEG-3				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39320	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39321	C		ハイパメディア(形容詞)	はいぱめでぃあ(けいよう	hypermedia (adj.)				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39322	C		交換スクリプト	こうかんすくりぷと	interchanged script				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39323	C		インタフェース定義言語(IDL)	いんたふぇーすていぎげんご(IDL)	interface definition language (IDL)				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39324	C		IDL属性	IDLぞくせい	IDL attribute				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39325	C		IDL例外	IDLれいがい	IDL exception				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39326	C		IDLインスタンス	IDLいんすたんす	IDL instance				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39327	C		IDLインタフェース	IDLいんたふぇーす	IDL interface				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39328	C		IDLオブジェクト	IDLおぶじぇくと	IDL object				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39329	C		IDL操作	IDLそうさ	IDL operation				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39330	C		mhスクリプト	mhすくりぷと	mh-script				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39331	C		MHEG動作	えむへぐどうさ	MHEG action				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39332	C		MHEG動作オブジェクト	えむへぐどうさおぶじぇくと	MHEG action object				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39333	C		MHEG応用	えむへぐおうよう	MHEG application				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39334	C		MHEG適合オブジェクト	えむへぐてきごうおぶじぇ	MHEG conforming object				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39335	C		MHEG基本動作	えむへぐきほんどうさ	MHEG elementary action				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39336	C		MHEGエンジン	えむへぐえんじん	MHEG engine				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39337	C		MHEG実体	えむへぐじったい	MHEG entity				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39338	C		MHEGリンク	えむへぐりんく	MHEG link				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39339	C		MHEGオブジェクト	えむへぐおぶじぇくと	MHEG object				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39340	C		MHEGスクリプトクラス	えむへぐすくりぷとくらす	MHEG script class				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39341	C		MHEGスクリプトオブジェクト	えむへぐすくりぷとおぶじぇくと	MHEG script object				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39342	C		MHEG API	えむへぐえーぴーあい	MHEG API				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39343	C		MHEG-3(形容詞)	MHEG-3(けいようし)	MHEG-3 (adj.)				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39344	C		MHEG-3応用	MHEG-3おうよう	MHEG-3 application				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39345	C		MHEG-3エンジン	MHEG-3エンジン	MHEG-3 engine				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39346	C		MHEG-3プロファイル	MHEG-3プロファイル	MHEG-3 profile				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39347	C		MHEG-SIR	MHEG-SIR	MHEG-SIR				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39348	C		(MHEG-SIR)呼出スタック	(MHEG-SIR)よびだしす	(MHEG-SIR) call stack				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39349	C		MHEG-SIR符号	MHEG-SIRふごう	MHEG-SIR code				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39350	C		(MHEG-SIR)定数	(MHEG-SIR)ていすう	(MHEG-SIR) constant				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39351	C		(MHEG-SIR)構成型	(MHEG-SIR)こうせいがた	(MHEG-SIR) constructed type				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39352	C		(MHEG-SIR)データ識別子	(MHEG-SIR)でーたしきべつし	(MHEG-SIR) data identifier				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39353	C		(MHEG-SIR)例外	(MHEG-SIR)れいがい	(MHEG-SIR) exception				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39354	C		(MHEG-SIR)機能	(MHEG-SIR)きのう	(MHEG-SIR) function				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39355	C		(MHEG-SIR)機能識別子	(MHEG-SIR)きのうしきべつし	(MHEG-SIR) function identifier				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39356	C		(MHEG-SIR)大域変数	(MHEG-SIR)たいいきへんすう	(MHEG-SIR) global variable				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39357	C		(MHEG-SIR)命令	(MHEG-SIR)めいれい	(MHEG-SIR) instruction				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39358	C		(MHEG-SIR)命令実行単位	(MHEG-SIR)めいれいじっこうたんい	(MHEG-SIR) instruction execution unit				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39359	C		MHEG-SIR交換スクリプト	MHEG-SIRこうかんすくりぷと	MHEG-SIR interchanged script				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39360	C		(MHEG-SIR)内部変数	(MHEG-SIR)ないぶへんす	(MHEG-SIR) local variable				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39361	C		(MHEG-SIR)メッセージ	(MHEG-SIR)めっせーじ	(MHEG-SIR) message				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39362	C		(MHEG-SIR)メッセージ識別子	(MHEG-SIR)めっせーじしきべつし	(MHEG-SIR) message identifier				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39363	C		(MHEG-SIR)メッセージ待ち行列	(MHEG-SIR)めっせーじまちぎょうれつ	(MHEG-SIR) message queue				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39364	C		(MHEG-SIR)オブジェクト参照	(MHEG-SIR)おぶじぇくとさんしょう	(MHEG-SIR) object reference				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39365	C		(MHEG-SIR)オペランド	(MHEG-SIR)おぺらんど	(MHEG-SIR) operand				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39366	C		(MHEG-SIR)パッケージ	(MHEG-SIR)ぱっけーじ	(MHEG-SIR) package				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39367	C		(MHEG-SIR)パラメタ	(MHEG-SIR)ぱらめた	(MHEG-SIR) parameter				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39368	C		(MHEG-SIR)パラメタスタック	(MHEG-SIR)ぱらめたすたっく	(MHEG-SIR) parameter stack				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39369	C		(MHEG-SIR)規定型	(MHEG-SIR)きていかた	(MHEG-SIR) predefined type				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39370	C		(MHEG-SIR)プリミティブ型	(MHEG-SIR)ぷりみていぶかた	(MHEG-SIR) primitive type				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39371	C		(MHEG-SIR)ルーチン	(MHEG-SIR)るーちん	(MHEG-SIR) routine				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39372	C		(MHEG-SIR)rtスクリプト実行単位	(MHEG-SIR)rtすくりぷとじっこうたんい	(MHEG-SIR) rt-script execution unit				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39373	C		(MHEG-SIR)スクリプトインタプリタ	(MHEG-SIR)すくりぷといんたぷりた	(MHEG-SIR) script interpreter				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39374	C		(MHEG-SIR)サービス	(MHEG-SIR)さーびす	(MHEG-SIR) service				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39375	C		(MHEG-SIR)変数	(MHEG-SIR)へんすう	(MHEG-SIR) variable				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39376	C		(MHEG-SIR)仮想機械	(MHEG-SIR)かそうきかい	(MHEG-SIR) virtual				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39377	C		マルチメディア(形容詞)	まるちめでぃあ(けいよう	multimedia (adj.)				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39378	C		マルチメディア及びハイパメディア応用	まるちめでぃあおよびはいぱめでぃあおうよう	multimedia and hypermedia application				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39379	C		マルチメディア応用	まるちめでぃあおうよう	multimedia application				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39380	C		プラットフォームマッピング仕様	ぷらっとふぉーむまっぴんぐしよう	platform mapping specification				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39381	C		待ち行列	まちぎょうれつ	queue				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39382	C		rt-スクリプト	rt-すくりぷと	rt-script				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39383	C		範囲	はんい	scope				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39384	C		スクリプト言語	すくりぷとげんご	scripting language				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39385	C		スクリプト交換表現(SIR)	すくりぷとこうかんひょうげん(SIR)	script interchange representation (SIR)				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39386	C		スタック	すたっく	stack				ISO/IEC 13522-3	1997				1997	SC29
39387	C		アクセスノード	あくせすのーど	Access Node				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39388	C		応用サービス層(SL1)	おうようさーびすそう(SL1)	Application Service Layer (SL1)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39389	C		応用、アプリケーション	おうよう、あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39390	C		振る舞い	ふるまい	behavior				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39391	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39392	C		呼	こ	call				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39393	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39394	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39395	C		条件付きアクセス	じょうけんつきあくせす	conditional access				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39396	C		接続する	せつぞくする	connect				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39397	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39398	C		接続実体	せつぞくじったい	Connectivity Entity				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39399	C		内容情報	ないようじょうほう	content-information				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39400	C		制御情報	せいぎょじょうほう	control-information				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39401	C		制御面(CP)	せいぎょめん(CP)	Control Plane (CP)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39402	C		内容提供者	ないようていきょうしゃ	Content Provider				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39403	C		内容サービス要素	ないようさーびすようそ	Content Service Element				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39404	C		コアネットワーク	こあねっとわーく	Core Network				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39405	C		配信システム(DS)	はいしんしすてむ(DS)	Delivery System (DS)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39406	C		配信ネットワーク	はいしんねっとわーく	Distribution Network				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39407	C		領域	りょういき	domain				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39408	C		末端サービス利用者、ESC	まったんさーびすりようしゃ、ESC	End-Service Consumer (ESC)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39409	C		末端サービス利用システム、ESCS	まったんさーびすりようしすてむ、ESCS	End-Service Consumer System (ESCS)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39410	C		末端サービス提供者(ESP)	まったんさーびすていきょうしゃ(ESP)	End-Service Provider (ESP)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39411	C		末端サービス提供者システム(ESPS)	まったんさーびすていきょうしゃしすてむ(ESPS)	End-Service Provider System (ESPS)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39412	C		環境	かんきょう	environment				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39413	C		環境実体	かんきょうじったい	Environment Entity				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39414	C		誤り	あやまり	error				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39415	C		機能	きのう	function				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39416	C		情報フロー	じょうほうふろー	information flow				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39417	C		インスタンス	いんすたんす	instance				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39418	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39419	C		中間サービス提供者(ISP)	ちゅうかんさーびすていきょうしゃ(ISP)	Intermediate-Service Provider (ISP)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39420	C		層	そう	layer				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39421	C		論理インタフェース	ろんりいんたふぇーす	logical interface				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39422	C		管理実体	かんりじったい	Management Entity				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39423	C		管理面(MP)	かんりめん(MP)	Management Plane (MP)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39424	C		管理情報	かんりじょうほう	management-information				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39425	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39426	C		ネットワークインタフェースユニット(NIU)	ねっとわーくいんたふぇーすゆにっと(NIU)	Network Interface Unit (NIU)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39427	C		ネットワーク関連制御	ねっとわーくかんれんせいぎょ	Network Related Control				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39428	C		ネットワークサービスアクセス点(NSAP)	ねっとわーくさーびすあくせすてん(NSAP)	Network Service Access Point (NSAP)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39429	C		ネットワークサービス層(SL3)	ねっとわーくさーびすそう(SL3)	Network Service Layer (SL3)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39430	C		ネットワーク端点(NT)	ねっとわーくたんてん(NT)	Network Termination (NT)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39431	C		ネットワーク	ねっとわーく	network				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39432	C		パーティション	ぱーていしょん	partition				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39433	C		分割	ぶんかつ	partitioning				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39434	C		同位	どうい	peer				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39435	C		物理インタフェース	ぶつりいんたふぇーす	physical interface				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39436	C		面	めん	plane				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39437	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39438	C		主要サービス層(SL0)	しゅようさーびすそう(SL0)	Principal Service Layer (SL0)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39439	C		主要サービス	しゅようさーびす	principal service				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39440	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39441	C		製品実体	せいひんじったい	Product Entity				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39442	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39443	C		提供者	ていきょうしゃ	provider				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39444	C		参照点	さんしょうてん	reference point				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39445	C		S1	S1	S1				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39446	C		S2	S2	S2				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39447	C		S3	S3	S3				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39448	C		S4	S4	S4				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39449	C		S5	S5	S5				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39450	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39451	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39452	C		サービス層	さーびすそう	service layer				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39453	C		サービスオブジェクト	さーびすおぶじぇくと	service object				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39454	C		サービスプロバイダ	さーびすぷろばいだ	Service Provider				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39455	C		サービス関連制御	さーびすかんれんせい	Service Related Control				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39456	C		セッション及びトランスポートサービス層(SL2)	せっしょんおよびとらんすぽーとさーびすそう(SL2)	Session and Transport Service Layer (SL2)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39457	C		セッション制御機能	せっしょんせいぎょきのう	Session Control Function				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39458	C		セッションサービスアクセス点(SSAP)	せっしょんさーびすあくせすてん(SSAP)	Session Service Access Point (SSAP)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39459	C		セッションサービス	せっしょんさーびす	session services				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39460	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39461	C		セットトップボックス(STB)	せっととっぷぼっくす(STB)	Set Top Box (STB)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39462	C		セットトップユニット(STU)	せっととっぷゆにっと	Set Top Unit (STU)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39463	C		信号	しんごう	signal				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39464	C		仕様	しよう	specification				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39465	C		ストリームサービス要素	すとりーむさーびすようそ	Stream Service Element				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39466	C		サブシステム	さぶしすてむ	subsystem				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39467	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39468	C		透過情報	とうかじょうほう	transparent information				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39469	C		型	かた	type				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39470	C		使用者面、UP	しようしゃめん、UP	User Plane (UP)				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39471	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 16500-1	1999				1999	SC29
39472	C		呼出実体又は接続実体	よびだしじったいまたはせつぞくじったい	call entity or connection entity				ISO/IEC 16500-2	1999				1999	SC29
39473	C		機能制御実体	きのうせいぎょじったい	functional control entities				ISO/IEC 16500-2	1999				1999	SC29
39474	C		機能実体	きのうじったい	functional entity				ISO/IEC 16500-2	1999				1999	SC29
39475	C		代理信号伝達エージェント	だいりしんごうでんたつえーじぇんと	proxy signaling agent				ISO/IEC 16500-2	1999				1999	SC29
39476	C		Q.2931 MACRO	Q.2931 MACRO	Q.2931 MACRO				ISO/IEC 16500-2	1999				1999	SC29
39477	C		セッション実体	せっしょんじったい	session entity				ISO/IEC 16500-2	1999				1999	SC29
39478	C		アクセスネットワーク(AN)	あくせすねっとわーく(AN)	Access network (AN)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39479	C		アクセスノード	あくせすのーど	Access node				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39480	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39481	C		ケーブルモデム	けーぶるもでむ	cable modem				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39482	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39483	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39484	C		接続する	せつぞくする	connect				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39485	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39486	C		接続サービス	せつぞくさーびす	connection service				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39487	C		制御面(CP)	せいぎょめん(CP)	Control Plane (CP)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39488	C		コアネットワーク	こあねっとわーく	Core network				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39489	C		配信システム(DS)	はいしんしすてむ(DS)	Delivery system (DS)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39490	C		配布ネットワーク	はいふねっとわーく	Distribution network				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39491	C		下り転送	くだりてんそう	downstream				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39492	C		末端サービス消費者(ESC)	まったんさーびすしょうひしゃ(ESC)	End-Service Consumer (ESC)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39493	C		末端サービス消費者システム(ESCS)	まったんさーびすしょうひしゃしすてむ(ESCS)	End-Service Consumer System (ESCS)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39494	C		末端サービス提供者(ESP)	まったんさーびすていきょうしゃ(ESP)	End-Service provider (ESP)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39495	C		末端サービス提供者システム(ESPS)	まったんさーびすていきょうしゃしすてむ(ESPS)	End-Service provider System (ESPS)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39496	C		誤り	あやまり	error				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39497	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39498	C		インタフェース定義	いんたふぇーすていぎ	interface definition				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39499	C		中間サービス提供者(ISP)	ちゅうかんさーびすていきょうしゃ(ISP)	Intermediate-Service provider (ISP)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39500	C		層	そう	layer				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39501	C		論理情報フロー経路	ろんりじょうほうふろーけ	logical information flow				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39502	C		論理インタフェース	ろんりいんたふぇーす	logical interface				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39503	C		管理面(MP)	かんりめん(MP)	Management Plane (MP)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39504	C		管理情報	かんりじょうほう	management-information				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39505	C		ネットワーク	ねっとわーく	network				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39506	C		ネットワーク制御機能	ねっとわーくせいぎょきの	network control function				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39507	C		ネットワークインタフェースユニット(NIU)	ねっとわーくいんたふぇーすゆにっと(NIU)	Network Interface Unit (NIU)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39508	C		ネットワーク関連制御	ねっとわーくかんれんせいぎょ	Network Related Control				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39509	C		ネットワーク端点(NT)	ねっとわーくたんてん(NT)	Network termination (NT)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39510	C		物理情報フロー経路	ぶつりじょうほうふろーけいろ	physical information flow path				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39511	C		物理インタフェース	ぶつりいんたふぇーす	Physical Interface				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39512	C		面	めん	plane				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39513	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39514	C		プロセスインスタンス	ぷろせすいんすたんす	process instance				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39515	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39516	C		ランダム化	らんだむか	randomization				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39517	C		参照点	さんしょうてん	reference point				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39518	C		S1	S1	S1				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39519	C		S2	S2	S2				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39520	C		S3	S3	S3				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39521	C		S4	S4	S4				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39522	C		S5	S5	S5				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39523	C		スクランブリング	すくらんぶりんぐ	scrambling				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39524	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39525	C		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	Service provider				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39526	C		サービス関連制御	さーびすかんれんせい	Service Related Control				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39527	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39528	C		セッション制御機能	せっしょんせいぎょきのう	Session Control Function				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39529	C		セッションサービス	せっしょんさーびす	session services				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39530	C		信号	しんごう	signal				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39531	C		信号経路	しんごうけいろ	signal route				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39532	C		仕様	しよう	specification				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39533	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39534	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39535	C		時分割多元接続(TDMA)	じぶんかつたげんせつぞく(TDMA)	Time Division Multiple Access (TDMA)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39536	C		透明情報	とうめいじょうほう	transparent information				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39537	C		型	かた	type				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39538	C		上り転送	のぼりてんそう	upstream				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39539	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39540	C		使用者面(UP)	しようしゃめん(UP)	User plane (UP)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39541	C		付加価値付きサービス提供者(VASP)	ふかかちつきさーびすていきょうしゃ(VASP)	Value Added Service provider (VASP)				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39542	C		仮想チャネル	かそうちゃねる	virtual channel				ISO/IEC 16500-4	1999				1999	SC29
39543	C		アクセスネットワーク(AN)	あくせすねっとわーく(AN)	Access Network (AN)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39544	C		アクセスノード	あくせすのーど	Access Node				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39545	C		アプリケーション プログラム インタフェース、応用プログラムインタフェース、API	あぷりけーしょんぷろぐらむいんたふぇーす、おうようぷろぐらむいんたふぇーす、API	Application Programming Interface (API)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39546	C		制御面	せいぎょめん	Control Plane				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39547	C		呼	こ	call				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39548	C		チャネル	ちゃねる	channel				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39549	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39550	C		条件付きアクセス	じょうけんつきあくせす	conditional access				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39551	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39552	C		接続サービス	せつぞくさーびす	connection service				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39553	C		内容情報	ないようじょうほう	content-information				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39554	C		制御情報	せいぎょじょうほう	control-information				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39555	C		コアネットワーク	こあねっとわーく	Core Network				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39556	C		配信システム(DS)	はいしんしすてむ(DS)	Delivery System (DS)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39557	C		領域	りょういき	domain				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39558	C		下り転送	くだりてんそう	downstream				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39559	C		末端サービス消費者(ESC)	まったんさーびすしょうひしゃ(ESC)	End-Service Consumer (ESC)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39560	C		末端サービス消費者システム(ESCS)	まったんさーびすしょうひしゃしすてむ(ESCS)	End-Service Consumer System (ESCS)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39561	C		末端サービス提供者(ESP)	まったんさーびすていきょうしゃ(ESP)	End-Service Provider (ESP)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39562	C		末端サービス提供者システム(ESPS)	まったんさーびすていきょうしゃしすてむ(ESPS)	End-Service Provider System (ESPS)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39563	C		層	そう	layer				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39564	C		層サービス	そうさーびす	layer service				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39565	C		中間サービス提供者(ISP)	ちゅうかんさーびすていきょうしゃ(ISP)	Intermediate-Service Provider (ISP)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39566	C		管理実体	かんりじったい	Management Entity				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39567	C		管理面(MP)	かんりめん(MP)	Management Plane (MP)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39568	C		管理情報	かんりじょうほう	management-information				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39569	C		ナビゲーション	なびげーしょん	navigation				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39570	C		ネットワーク	ねっとわーく	network				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39571	C		ネットワークインタフェース単位(NIU)	ねっとわーくいんたふぇーすたんい(NIU)	Network Interface Unit (NIU)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39572	C		ネットワーク端点(NT)	ねっとわーくたんてん(NT)	Network Termination (NT)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39573	C		物理インタフェース	ぶつりいんたふぇーす	physical interface				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39574	C		面	めん	plane				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39575	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39576	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39577	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39578	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39579	C		参照点	さんしょうてん	reference point				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39580	C		S1	S1	S1				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39581	C		S2	S2	S2				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39582	C		S3	S3	S3				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39583	C		S4	S4	S4				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39584	C		S5	S5	S5				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39585	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39586	C		サービスゲートウェイ	さーびすげーとうぇい	Service Gateway (SGW)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39587	C		サービス提供者システム、SPS	さーびすていきょうしゃしすてむ、SPS	Service Provider System (SPS)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39588	C		セッションサービス	せっしょんさーびす	session services				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39589	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39590	C		ストリームサービス要素	すとりーむさーびすようそ	Stream Service Element				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39591	C		使用者面(UP)	しようしゃめん(UP)	User Plane (UP)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39592	C		付加価値付きサービス提供者(VASP)	ふかかちつきさーびすていきょうしゃ(VASP)	Value-Added Service Provider (VASP)				ISO/IEC 16500-5	1999				1999	SC29
39593	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39594	C		アンカ	あんか	anchor				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39595	C		応用	おうよう	application				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39596	C		アプリケーション プログラム インタフェース、応用プログラムインタフェース、API	あぷりけーしょんぷろぐらみんぐいんたふぇーす、おうようぷろぐらむいんたふぇーす、API	Application Programming Interface (API)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39597	C		資産	しさん	assets				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39598	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39599	C		条件付きアクセス	じょうけんつきあくせす	conditional access				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39600	C		内容項目	ないようこうもく	Content Item				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39601	C		内容項目要素	ないようこうもくようそ	Content Item Element				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39602	C		内容パッケージ	ないようぱっけーじ	Content package				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39603	C		内容提供者	ないようていきょうしゃ	Content Provider				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39604	C		制御語	せいぎょご	Control Word				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39605	C		配信システム(DS)	はいしんしすてむ(DS)	Delivery System (DS)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39606	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39607	C		終了タグ	しゅうりょうたぐ	end-tag				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39608	C		暗号化	あんごうか	encryption				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39609	C		資格制御メッセージ、ECM	しかくせいぎょめっせーじ、ECM	Entitlement Control Message (ECM)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39610	C		資格管理メッセージ、ECM	しかくかんりめっせーじ、ECM	Entitlement Management Message (EMM)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39611	C		かぎ管理	かぎかんり	key management				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39612	C		ハイパーリンク	はいぱーりんく	hyperlink				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39613	C		ステレオ相関	すてれおそうかん	joint stereo				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39614	C		論理インタフェース	ろんりいんたふぇーす	logical interface				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39615	C		モノメディア構成要素	ものめでぃあこうせいよう	monomedia component				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39616	C		等幅文字フォーマット、固定ピッチフォーマット	とうはばもじふぉーまっと、こていぴっちふぉーまっと	monospace format				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39617	C		マルチメディア構成要素	まるちめでぃあこうせいようそ	multimedia component				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39618	C		ナビゲーション	なびげーしょん	navigation				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39619	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39620	C		実時間ストリーム	じつじかんすとりーむ	real-time stream				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39621	C		レンダリング	れんだりんぐ	rendering				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39622	C		スクランブリング	すくらんぶりんぐ	scrambling				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39623	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39624	C		サービス情報(SI)	さーびすじょうほう(SI)	Service Information (SI)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39625	C		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	Service Provider				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39626	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39627	C		セットトップボックス(STB)	せっととっぷぼっくす(STB)	Set Top Box (STB)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39628	C		セットトップユニット(STU)	せっととっぷゆにっと	Set Top Unit (STU)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39629	C		開始タグ	かいしたぐ	start-tag				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39630	C		タグ	たぐ	tag				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39631	C		仮想機械(VM)	かそうきかい(VM)	virtual machine (VM)				ISO/IEC 16500-6	1999				1999	SC29
39632	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39633	C		条件付きアクセス	じょうけんつきあくせす	conditional access				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39634	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39635	C		制御語(CW)	せいぎょご(CW)	Control Word (CW)				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39636	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39637	C		データ発信元の認証	でーたはっしんもとのにんしょう	data origin authentication				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39638	C		資格制御メッセージ、ECM	しかくせいぎょめっせーじ、ECM	Entitlement Control Message (ECM)				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39639	C		資格管理メッセージ、EMM	しかくかんりめっせーじ、EMM	Entitlement Management Message (EMM)				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39640	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39641	C		かぎ管理	かぎかんり	key management				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39642	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39643	C		非認証	ひにんしょう	non-repudiation				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39644	C		PCカード	PCかーど	PC card				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39645	C		同位実体	どういじったい	peer-entity authentication				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39646	C		資源	しげん	resource				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39647	C		スクランブリング	すくらんぶりんぐ	scrambling				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39648	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39649	C		スマートカード	すまーとかーど	smart card				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39650	C		トランスポート流	とらんすぽーとりゅう	Transport Stream				ISO/IEC 16500-7	1999				1999	SC29
39651	C		アクター	あくたー	Actor				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39652	C		クラス	くらす	Class				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39653	C		クラス図	くらすず	Class Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39654	C		クラス及びオブジェクトモデル化	くらすおよびおぶじぇくともでるか	Class and Object Modeling				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39655	C		構成要素図	こうせいようそず	Component Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39656	C		計算モデル	けいさんもでる	Computational Model				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39657	C		デプロイメントモデル	でぷろいめんともでる	Deployment Modeling				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39658	C		領域分析	りょういきぶんせき	Domain Analysis				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39659	C		事象追跡図	じしょうついせきず	Event Trace Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39660	C		機能モデル、OMT	きのうもでる、OMT	Functional Model (OMT)				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39661	C		相互作用図	そうごさようず	Interaction Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39662	C		メッセージ追跡図	めっせーじついせきず	Message Trace Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39663	C		方法	ほうほう	Method				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39664	C		方法体系	ほうほうたいけい	Methodology				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39665	C		方法体系フレームワーク	ほうほうたいけいふれーむわーく	Methodology framework				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39666	C		ネットワーク要素(NE)	ねっとわーくようそ(NE)	Network Element (NE)				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39667	C		オブジェクト	おぶじぇくと	Object				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39668	C		オブジェクト協調図	おぶじぇくときょうちょうず	Object Collaboration Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39669	C		オブジェクトモデル	おぶじぇくともでる	Object Model				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39670	C		操作支援システム(OS)	そうさしえんしすてむ(OS)	Operations Support System (OS)				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39671	C		パッケージ	ぱっけーじ	Package				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39672	C		シナリオ図	しなりおず	Scenario Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39673	C		状態遷移図	じょうたいせんいず	State Transition Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39674	C		電気通信管理網(TMN)	でんきつうしんかんりもう(TMN)	Telecommunications Management Network				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39675	C		手法	しゅほう	Technique				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39676	C		ツール	つーる	Tool				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39677	C		ユースケース図	ゆーすけーすず	Use Case Diagram				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39678	C		ユースケースモデル化	ゆーすけーすもでるか	Use Case Modeling				ISO/IEC 16500-8	1999				1999	SC29
39679	C		バルク使用データ転送インタフェース	ばるくしようでーたてんそういんたふぇーす	Bulk Usage Data Transfer Interface				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39680	C		DAVIC要素	DAVICようそ	DAVIC Element				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39681	C		DAVICシステムマネジャー	DAVICしすてむまねじゃー	DAVIC System Manager				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39682	C		外部支援システム	がいぶしえんしすてむ	External Support System				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39683	C		相互作用部	そうごさようぶ	Interactive				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39684	C		サポートデータ、取引データ	さぽーとでーた、とりひきでーた	Support Data				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39685	C		使用データ	しようでーた	Usage Data				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39686	C		使用データ集積	しようでーたしゅうせき	Usage Data Accumulation				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39687	C		使用データアセンブリ	しようでーたあせんぶり	Usage Data Assembly				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39688	C		使用データ収集要素	しようでーたしゅうしゅうようそ	Usage Data Collection Element				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39689	C		使用データ収集インタフェース	しようでーたしゅうしゅういんたふぇーす	Usage Data Collection Interface				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39690	C		使用データ収集管理	しようでーたしゅうしゅうかんり	Usage Data Collection Administration				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39691	C		使用データ関連性整合化	しようでーたかんれんせいせいごうか	Usage Data Correlation Support				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39692	C		使用データファイル	しようでーたふぁいる	Usage Data File				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39693	C		使用データ書式付け	しようでーたしょしきづけ	Usage Data Formatting				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39694	C		使用データ機能	しようでーたきのう	Usage Data Functions				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39695	C		使用データ生成	しようでーたせいせい	Usage Data Generation				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39696	C		使用データ記録	しようでーたきろく	Usage Data Record				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39697	C		使用データ転送インタフェース	しようでーたてんそういんたふぇーす	Usage Data Transfer Interface				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39698	C		使用データ検証	しようでーたけんしょう	Usage Data Validation				ISO/IEC 16500-9	1999				1999	SC29
39699	C		2値化画像	にちかがぞう	binarized image				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39700	C		実効分解能	じっこうぶんかいのう	effective resolution				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39701	C		誤り訂正能力	あやまりていせいのうりょ	error correction capacity				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39702	C		検査域	けんさいき	inspection area				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39703	C		等級しきい(閾)値	とうきゅうしきいち	grade threshold				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39704	C		モジュール誤り	もじゅーるあやまり	module error				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39705	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39706	C		原画像	げんがぞう	raw image				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39707	C		参照濃淡画像	さんしょうのうたんがぞう	reference grey-scale				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39708	C		標本領域	ひょうほんりょういき	sample area				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39709	C		走査等級	そうさとうきゅう	scan grade				ISO/IEC 15415	2004				2004	SC31
39710	C		接触スキャナ	せっしょくすきゃな	contact scanner				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39711	C		複合シンボル体系	ふくごうしんぼるたいけい	composite symbology				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39712	C		復号の冗長性	ふくごうのじょうちょうせい	decode redundancy				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39713	C		最大読み取り距離	さいだいよみとりきょり	maximum reading distance				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39714	C		最小読み取り距離	さいしょうよみとりきょり	minimum reading distance				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39715	C		ラスタ間隔	らすたかんかく	raster distance				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39716	C		ラスタ幅	らすたはば	raster width				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39717	C		読み取り角度	よみとりかくど	reading angle				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39718	C		読取範囲図	よみとりはんいず	reading diagram				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39719	C		読み取り領域	よみとりりょういき	reading zone				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39720	C		分解能	ぶんかいのう	resolution				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39721	C		走査	そうさ	scan, noun				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39722	C		走査する	そうさする	scan, verb				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39723	C		走査試行	そうさしこう	scan attempt				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39724	C		走査率	そうさりつ	scanning rate				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39725	C		走査速度	そうさそくど	scanning speed				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39726	C		X軸	Xじく	X axis				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39727	C		Y軸	Yじく	Y axis				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39728	C		Z軸	Zじく	Z axis				ISO/IEC 15423	2009				2004	SC31
39729	C		一次基準試験用シンボル、一次参照テストシンボル	いちじきじゅんしけんようしんぼる、いちじさんしょうてすとしんぼる	primary reference test symbol				ISO/IEC 15426-2	2005				2005	SC31
39730	C		アプリケーションコマンド	あぷりけーしょんこまんど	Application command				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39731	C		アプリケーションメモリ	あぷりけーしょんめもり	Application memory				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39732	C		アーク	あーく	Arc				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39733	C		基本符号化規則、BER	きほんふごうかきそく、	BER = Basic Encoding				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39734	C		ブロック	ぶろっく	Block				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39735	C		コマンド応答装置	こまんどおうとうそうち	Command/Response Unit				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39736	C		データキャリア	でーたきゃりあ	Data carrier				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39737	C		データ圧縮	でーたあっしゅく	Data compaction				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39738	C		データコンパクタ	でーたこんぱくた	Data Compactor				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39739	C		データプロトコルプロセッ	でーたぷろとこるぷろせっ	Data Protocol Processor				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39740	C		要素名	ようそめい	Element name				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39741	C		フォーマッタ	ふぉーまった	Formatter				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39742	C		論理メモリ	ろんりめもり	Logical Memory				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39743	C		論理メモリマップ	ろんりめもりまっぷ	Logical Memory Map				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39744	C		オブジェクト	おぶじぇくと	Object				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39745	C		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	Object identifier				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39746	C		オブジェクト識別子型	おぶじぇくとしきべつしか	OBJECT IDENTIFIER type				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39747	C		オクテット	おくてっと	Octet				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39748	C		相対的OID型	そうたいてきOIDかた	RELATIVE-OID type				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39749	C		応答	おうとう	Response				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39750	C		システム情報	しすてむじょうほう	System information				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39751	C		タグドライバ	たぐどらいば	Tag Driver				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39752	C		転送構文	てんそうこうぶん	Transfer syntax				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39753	C		型参照	かたさんしょう	Type reference				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39754	C		一意項目識別子	いちいこうもくしきべつし	Unique item identifier				ISO/IEC 15961	2004				2004	SC31
39755	C		アプリケーションコマンド	あぷりけーしょんこまんど	Application commands				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39756	C		アプリケーションメモリ	あぷりけーしょんめもり	Application memory				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39757	C		アーク	あーく	Arc				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39758	C		ブロック	ぶろっく	Block				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39759	C		コマンド応答単位	こまんどおうとうたんい	Command/Response Unit				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39760	C		データ圧縮	でーたあっしゅく	Data compaction				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39761	C		データコンパクタ	でーたこんぱくた	Data Compactor				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39762	C		データプロトコルプロセッ	でーたぷろとこるぷろせっ	Data Protocol Processor				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39763	C		要素名	ようそめい	elementName				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39764	C		フォーマッタ	ふぉーまった	Formatter				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39765	C		論理メモリ	ろんりめもり	Logical Memory				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39766	C		論理メモリマップ	ろんりめもりまっぷ	Logical Memory Map				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39767	C		オブジェクト	おぶじぇくと	Object				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39768	C		オブジェクト識別子	おぶじぇくとしきべつし	Object identifier				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39769	C		オブジェクト識別子型	おぶじぇくとしきべつしか	OBJECT IDENTIFIER type				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39770	C		プリカーサ	ぷりかーさ	Precursor				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39771	C		相対的OID型	そうたいてきOIDかた	RELATIVE-OID type				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39772	C		応答	おうとう	Response				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39773	C		ルートOID	るーとOID	root-OID				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39774	C		タグドライバ	たぐどらいば	Tag Driver				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39775	C		転送構文	てんそうこうぶん	Transfer syntax				ISO/IEC 15962	2004				2004	SC31
39776	C		RFタグ	RFたぐ	RF tag				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39777	C		RFタグ固有識別子	RFたぐこゆうしきべつし	RF tag unique identifier				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39778	C		RFタグ発行者	RFたぐはっこうしゃ	RF tag issuer				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39779	C		IC製造者	ICせいぞうしゃ	IC manufacturer				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39780	C		RFタグ製造者	RFたぐせいぞうしゃ	RF tag manufacturer				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39781	C		割り当てクラス	わりあてくらす	allocation class				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39782	C		IC製造者登録番号	ICせいぞうしゃとうろくばんごう	IC manufacturer registration number				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39783	C		RFタグ発行者登録番号	RFたぐはっこうしゃとうろくばんごう	RF tag issuer registration number				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39784	C		チップID、CID	ちっぷID、CID	chip ID, CID				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39785	C		タグID、TID	たぐID、TID	tag ID, TID				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39786	C		物品固有識別子、UII	ぶっぴんこゆうしきべつし、UII	unique item identifier, UII				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39787	C		オブジェクト識別子、OID	おぶじぇくとしきべつし、	object identifier, OID				ISO/IEC 15963	2009				2009	SC31
39788	C		符号語	ふごうご	codeword				ISO/IEC 16022	2006				2006	SC31
39789	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 16022	2006				2006	SC31
39790	C		畳み込み符号化	たたみこみふごうか	convolutional coding				ISO/IEC 16022	2006				2006	SC31
39791	C		パターンランダム化	ぱたーんらんだむか	pattern randomising				ISO/IEC 16022	2006				2006	SC31
39792	C		符号語	ふごうご	Codeword				ISO/IEC 16023	2000				2000	SC31
39793	C		拡張チャンネル解釈(ECI)	かくちょうちゃんねるかいしゃく(ECI)	Extended Channel Interpretation (ECI)				ISO/IEC 16023	2000				2000	SC31
39794	C		モード標識	もーどひょうしき	Mode Indicator				ISO/IEC 16023	2000				2000	SC31
39795	C		モジュール	もじゅーる	Module				ISO/IEC 16023	2000				2000	SC31
39796	C		RDAメッセージ	RDAめっせーじ	RDA Message				ISO/IEC 9579	2000				2000	SC32
39797	C		RDA操作	RDAそうさ	RDA Operation				ISO/IEC 9579	2000				2000	SC32
39798	C		RDAプログラムインタフェース	RDAぷろぐらむいんたふぇーす	RDA Programming Interface				ISO/IEC 9579	2000				2000	SC32
39799	C		RDAプロトコル	RDAぷろとこる	RDA Protocol				ISO/IEC 9579	2000				2000	SC32
39800	C		RDA中継	RDAちゅうけい	RDA Relay				ISO/IEC 9579	2000				2000	SC32
39801	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39802	C		分類方式	ぶんるいほうしき	Classification Scheme				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39803	C		分類方式項目、CSI	ぶんるいほうしきこうもく、CSI	Classification Scheme Item, CSI				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39804	C		分類方式項目間関連	ぶんるいほうしきこうもくかんかんれん	Classification Scheme Item Relationship				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39805	C		分類体系項目関連の型記述	ぶんるいたいけいこうもくかんれんのかたきじゅつ	classification scheme item relationship type description				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39806	C		分類体系項目の型名	ぶんるいたいけいこうもくのかためい	classification scheme item type name				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39807	C		分類方式項目の値	ぶんるいほうしきこうもくのあたい	classification scheme item value				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39808	C		分類体系所属	ぶんるいたいけいしょぞく	classification scheme membership				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39809	C		分類体系型名	ぶんるいたいけいかためい	classification scheme type name				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39810	C		概念	がいねん	Concept				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39811	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39812	C		用語見出し語	ようごみだしご	Terminological Entry				ISO/IEC 11179-2	2005				2005	SC32
39813	C		概念定義域	がいねんていぎいき	Conceptual Domain				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39814	C		概念	がいねん	Concept				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39815	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39816	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39817	C		データ要素概念	でーたようそがいねん	Data Element Concept				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39818	C		定義	ていぎ	definition				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39819	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39820	C		メタデータレジストリ	めたでーたれじすとり	Metadata Registry				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39821	C		メタデータ項目	めたでーたこうもく	metadata item				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39822	C		メタデータオブジェクト	めたでーたおぶじぇくと	metadata object				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39823	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39824	C		値域	ちいき	Value Domain				ISO/IEC 11179-4	2004				2004	SC32
39825	C		管理項目	かんりこうもく	administered item				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39826	C		文脈	ぶんみゃく	context				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39827	C		語い(彙)	ごい	lexical				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39828	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39829	C		名前の一部	なまえのいちぶ	name part, part of name				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39830	C		命名規則	めいめいきそく	naming convention				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39831	C		オブジェクトクラス項目	おぶじぇくとくらすこうもく	object class term				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39832	C		原則	げんそく	principle				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39833	C		特性用語	とくせいようご	property term				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39834	C		修飾用語	しゅうしょくようご	qualifier term				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39835	C		表現用語	ひょうげんようご	representation term				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39836	C		規則	きそく	rule				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39837	C		意味論	いみろん	semantics				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39838	C		分離子	ぶんりし	separator				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39839	C		構造集合	こうぞうしゅうごう	structure set				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39840	C		構文	こうぶん	syntax				ISO/IEC 11179-5	2005				2005	SC32
39841	C		管理項目	かんりこうもく	Administered Item				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39842	C		管理状況	かんりじょうきょう	administrative status				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39843	C		データ識別子、DI	でーたしきべつし、DI	data identifier, DI				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39844	C		情報交換	じょうほうこうかん	information interchange				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39845	C		国際コード指定子、ICD	こくさいこーどしていし、ICD	International Code Designator, ICD				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39846	C		国際コード指定子値、ICD値	こくさいこーどしていしち、ICDち	International Code Designator value, ICD				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39847	C		国際登録データ識別子、IRDI	こくさいとうろくでーたしきべつし、IRDI	international registration data identifier, IRDI				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39848	C		項目識別子	こうもくしきべつし	item identifier				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39849	C		項目登録機関識別子	こうもくとうろくきかんしきべつし	item registration authority identifier				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39850	C		メタデータ項目	めたでーたこうもく	metadata item				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39851	C		メタデータオブジェクト	めたでーたおぶじぇくと	metadata object				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39852	C		メタデータレジスタ	めたでーたれじすた	metadata register				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39853	C		メタデータレジストリ、MDR	めたでーたれじすとり、	Metadata Registry, MDR				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39854	C		OPIソース指示子、OPIS	OPIそーすしじし、OPIS	OPI Source Indicator,				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39855	C		OPIS値	OPISち	OPIS value				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39856	C		組織識別子	そしきしきべつし	organization identifier				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39857	C		組織部署識別子、OPI	そしきぶしょしきべつし、OPI	organization part identifier, OPI				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39858	C		登録	とうろく	registration				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39859	C		登録実行団体、RAB	とうろくじっこうだんたい、RAB	registration acting body, RAB				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39860	C		登録機関	とうろくきかん	Registration Authority				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39861	C		登録機関識別子	とうろくきかんしきべつし	registration authority identifier				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39862	C		登録状態	とうろくじょうたい	registration status				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39863	C		レジストリ項目	れじすとりこうもく	registry item				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39864	C		責任部門、RO	せきにんぶもん、RO	responsible organization,				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39865	C		提出部門、SO	ていしゅつぶもん、SO	submitting organization,				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39866	C		版別識別子、VI	はんべつしきべつし、VI	version identifier, VI				ISO/IEC 11179-6	2005				2005	SC32
39867	C		アトム	あとむ	atom				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39868	C		公理	こうり	axiom				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39869	C		共通論理交換様式、CLIF	きょうつうろんりこうかんようしき、CLIF	Common Logic Interchange Format, CLIF				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39870	C		概念グラフ、CG	がいねんぐらふ、CG	conceptual graph, CG				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39871	C		概念グラフ交換様式、CGIF	がいねんぐらふこうかんようしき、CGIF	Conceptual Graph Interchange Format, CGIF				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39872	C		概念グラフ理論	がいねんぐらふりろん	conceptual graph theory				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39873	C		デノテーション	でのてーしょん	denotation				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39874	C		ダイアレクト	だいあれくと	dialect				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39875	C		議論領域内の名前、対象世界内の名前	ぎろんりょういきないのなまえ、たいしょうせかいないのなまえ	discourse name				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39876	C		議論領域、対象世界	ぎろんりょういき、たいしょうせかい	domain of discourse				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39877	C		拡張可能共通論理マークアップ言語、XCL	かくちょうかのうきょうつうろんりまーくあっぷげんご、XCL	eXtensible Common Logic Markup Language, XCL				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39878	C		個物、実体	こぶつ、じったい	individual				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39879	C		国際資源識別子、IRI	こくさいしげんしきべつし、IRI	Internationalized Resource Identifier, IRI				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39880	C		解釈	かいしゃく	interpretation				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39881	C		知識交換様式、KIF	ちしきこうかんようしき、KIF	Knowledge Interchange Format, KIF				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39882	C		演算	えんざん	operator				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39883	C		述部	じゅつぶ	predicate				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39884	C		分離方言	ぶんりほうげん	segregated dialect				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39885	C		文	ぶん	sentence				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39886	C		ソート	そーと	sort				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39887	C		ソート論理	そーとろんり	sorted logic				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39888	C		用語	ようご	term				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39889	C		伝統的一次論理、TFOL	でんとうてきいちじろんり、TFOL	traditional first-order logic, TFOL				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39890	C		型	かた	type				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39891	C		議論領域、対象世界	ぎろんりょういき、たいしょうせかい	universe of discourse, domain of discourse				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39892	C		参照領域	さんしょうりょういき	universe of reference				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39893	C		統一資源識別子、URI	とういつしげんしきべつし、URI	Uniform Resource Identifier, URI				ISO/IEC 24707	2007				2007	SC32
39894	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39895	C		一次グループ配列	いちじぐるーぷはいれつ	primary group layout				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39896	C		二次グループ配列	にじぐるーぷはいれつ	secondary group layout				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39897	C		キーの機能、キーの結果	きーのきのう、きーのけっ	key effect				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39898	C		ロック状態	ろっくじょうたい	lock state				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39899	C		レベルロック状態	れべるろっくじょうたい	level lock state				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39900	C		大文字ロック状態	おおもじろっくじょうたい	capitals lock state				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39901	C		制御機能	せいぎょきのう	control function				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39902	C		グループ	ぐるーぷ	group				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39903	C		セクション	せくしょん	section				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39904	C		レベル	れべる	level				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39905	C		動作位置	どうさいち	active position				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39906	C		グループ選択	ぐるーぷせんたく	group select				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39907	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39908	C		レベル選択	れべるせんたく	level select				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39909	C		関連システム	かんれんしすてむ	associated system				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39910	C		修飾キー	しゅうしょくきー	qualifier key				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39911	C		編集キー	へんしゅうきー	editing key				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39912	C		機能キー	きのうきー	function key				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39913	C		図形キー	ずけいきー	graphic key				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39914	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 9995-1	2009				2009	SC35
39915	C		ツールパレット	つーるぱれっと	tool palette				ISO/IEC 11581-5	2004				2004	SC35
39916	C		ツールポインタ	つーるぽいんた	tool pointer				ISO/IEC 11581-5	2004				2004	SC35
39917	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 18035	2003				2003	SC35
39918	C		動的媒体	どうてきばいたい	dynamic media				ISO/IEC 18035	2003				2003	SC35
39919	C		動的オブジェクト	どうてきおぶじぇくと	dynamic object				ISO/IEC 18035	2003				2003	SC35
39920	C		アイコン	あいこん	icon				ISO/IEC 18035	2003				2003	SC35
39921	C		対話型システム	たいわがたしすてむ	interactive system				ISO/IEC 18035	2003				2003	SC35
39922	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 18036	2003				2003	SC35
39923	C		アイコン	あいこん	icon				ISO/IEC 18036	2003				2003	SC35
39924	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 18036	2003				2003	SC35
39925	C		ツールバー	つーるばー	toolbar				ISO/IEC 18036	2003				2003	SC35
39926	C		WWWブラウザ	WWWぶらうざ	World Wide Web browser				ISO/IEC 18036	2003				2003	SC35
39927	C		学習	がくしゅう	learning				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39928	C		訓練	くんれん	training				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39929	C		ウェブ基盤学習	うぇぶきばんがくしゅう	web-based learning				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39930	C		オンライン学習	おんらいんがくしゅう	on-line learning				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39931	C		混合学習	こんごうがくしゅう	blended learning				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39932	C		コンピュータ支援共同学習、CSCL	こんぴゅーたしえんきょうどうがくしゅう、CSCL	computer-supported collaborative learning,				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39933	C		コンピュータ基盤学習	こんぴゅーたきばんがくしゅう	computer-based learning				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39934	C		コンピュータ管理学習	こんぴゅーたかんりがく	computer managed				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39935	C		学習者	がくしゅうしゃ	learner				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39936	C		教師	きょうし	teacher				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39937	C		訓練者	くんれんしゃ	trainer				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39938	C		家庭教師	かていきょうし	tutor				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39939	C		オープンユニバーシティ	おーぷんゆにばーしてぃ	open university				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39940	C		指導設計者	しどうせっけいしゃ	instructional designer				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39941	C		内容著者	ないようちょしゃ	content author				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39942	C		学習管理システム、LMS	がくしゅうかんりしすてむ、LMS	learning management system, LMS				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39943	C		学習内容管理システム、LCMS	がくしゅうないようかんりしすてむ、LCMS	learning content management system,				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39944	C		学習技術システム、LTS	がくしゅうぎじゅつしすてむ、LTS	learning technology system, LTS				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39945	C		分散型学習技術システム	ぶんさんがたがくしゅうぎじゅつしすてむ	distributed learning technology system				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39946	C		学習環境	がくしゅうかんきょう	learning environment				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39947	C		セッション	せっしょん	session				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39948	C		指導設計	しどうせっけい	instructional design				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39949	C		学習資料	がくしゅうしりょう	learning resource				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39950	C		学習目標	がくしゅうもくひょう	learning objective				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39951	C		学習活動	がくしゅうかつどう	learning activity				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39952	C		学習戦略	がくしゅうせんりゃく	learning strategy				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39953	C		指導方法	しどうほうほう	instructional method				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39954	C		学習者情報	がくしゅうしゃじょうほう	learner information				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36
39955	C		学習者経歴	がくしゅうしゃけいれき	learner history				ISO/IEC 2382-36	2008				2008	SC36

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
39956	C		抽象文字	ちゅうしょうもじ	abstract character				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39957	C		結合	けつごう	binding				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39958	C		データ型	でーたかた	datatype				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39959	C		符号化	ふごうか	encoding				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39960	C		実装定義の振る舞い	じっそうていぎのふるまい	implementation-defined behaviour				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39961	C		参加者識別子	さんかしゃしきべつし	participant identifier				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39962	C		参加者情報	さんかしゃじょうほう	participant information				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39963	C		最小許容最大値、SPM	さいしょうきょようさいだいち、SPM	smallest permitted maximum, SPM				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39964	C		UCS、国際符号化文字集合	UCS、こくさいふごうかもじしゅうごう	UCS, universal character set				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39965	C		未規定振る舞い	みきていふるまい	unspecified behaviour				ISO/IEC 24703	2004				2004	SC36
39966	C		口述録音機器	こうじゅつろくおんきき	dictation equipment				ISO 1730	1980				1980	JTC1
39967	C		口述録音機	こうじゅつろくおんき	dictation machine				ISO 1730	1980				1980	JTC1
39968	C		事務用口述録音機	じむようこうじゅつろくおん	office dictation machine				ISO 1730	1980				1980	JTC1
39969	C		携帯用口述録音機	けいたいようこうじゅつろくおんき	portable dictation machine				ISO 1730	1980				1980	JTC1
39970	C		転写機械	てんしゃきかい	transcription machine				ISO 1730	1980				1980	JTC1
39971	C		口述録音・転写複合機	こうじゅつろくおん・てんしゃふくごうき	combined dictation and transcription machine				ISO 1730	1980				1980	JTC1
39972	C		集中型口述録音システム	しゅうちゅうがたこうじゅつろくおんしすてむ	centralized dictation system				ISO 1730	1980				1980	JTC1
39973	C		二相(又はBi-φ)	にそう(またはBi-φ)	bi-phase (or Bi-φ)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39974	C		データアジマス	でーたあじます	data azimuth				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39975	C		(動的)アジマス	(どうてき)あじます	data azimuth (dynamic)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39976	C		(静的)アジマス	(せいてき)あじます	data azimuth (static)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39977	C		データ記録存在幅	でーたきろくそんざいはば	data scatter				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39978	C		データ間隔	でーたかんかく	data spacing				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39979	C		パルス占有率	ぱるすせんゆうりつ	duty factor (of a pulse)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39980	C		縁余白(M)	えんよはく(えむ)	edge margin (M)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39981	C		最小縁余白(Mm)	さいしょうえんよはく(Mm)	edge margin, minimum (M_)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39982	C		周波数分割多重化(FDM)	しゅうはすうぶんかつたじゅうか(FDM)	frequency division multiplex (FDM)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39983	C		主フレーム	しゅふれーむ	frame, major				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39984	C		副フレーム	ふくふれーむ	frame, minor				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39985	C		約数フレーム	やくすうふれーむ	frame, submultiple				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39986	C		ギャップ長	ぎゃっぷちょう	gap length				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39987	C		ギャップ存在幅	ぎゃっぷそんざいはば	gap scatter				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39988	C		ヘッド	へっど	head				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39989	C		ヘッドアジマス	へっどあじます	head azimuth				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39990	C		ヘッド付番	へっどふばん	head numbering				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39991	C		ヘッド基準面	へっどきじゅんめん	head reference plane				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39992	C		ヘッドセグメント	へっどせぐめんと	head segment				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39993	C		ヘッドセグメントギャップアジマス	へっどせぐめんとぎゃっぷあじます	head Segment gap azimuth				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39994	C		ヘッドセグメントギャップアジマス差異	へっどせぐめんとぎゃっぷあじますさい	head segment gap azimuth difference				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39995	C		ヘッドセグメント付番	へっどせぐめんとふばん	head segment numbering				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39996	C		ヘッド間隔、S	へっどかんかく、S	head spacing (S)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39997	C		ヘッド傾斜	へっどけいしゃ	head tilt				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39998	C		埋め込みヘッド	うめこみへっど	heads in-line				ISO 6068	1985				1985	JTC1
39999	C		飛び越しヘッド	とびこしへっど	heads interlaced				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40000	C		個別トラックデータアジマス差異	こべつとらっくでーたあじますさい	individual track data azimuth difference				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40001	C		モード	もーど	mode				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40002	C		変調パターン	へんちょうぱたーん	modulation pattern				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40003	C		NRZ(非ゼロ復帰)	NRZ(ひぜろふっき)	NR2 (non-return-to-zero)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40004	C		パルス振幅変調(PAM)	ぱるすしんぷくへんちょう(PAM)	pulse amplitude modulation (PAM)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40005	C		PAM/FM	PAM/FM	PAM/FM				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40006	C		PAM/FM/FM	PAM/FM/FM	PAM/FM/FM				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40007	C		パルス符号変調(PCM)	ぱるすふごうへんちょう(PCM)	pulse code modulation (PCM)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40008	C		PCM/FM	PCM/FM	PCM/FM				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40009	C		PCM/FM/FM	PCM/FM/FM	PCM/FM/FM				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40010	C		疑似ノイズ(PN)波形	ぎじのいず(PN)はけい	pseudo-noise (PN) waveform				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40011	C		基準縁	きじゅんえん	reference edge				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40012	C		基準トラック位置(G)	きじゅんとらっくいち(G)	reference track location				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40013	C		標準張力	ひょうじゅんちょうりょく	standard tensile forte				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40014	C		多対一のスロット割り当て	たたいいちのすろっとわりあて	subcommutation				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40015	C		一対多のスロット割り当て	いちたいたのすろっとわりあて	supercommutation				ISO 6068	1985				1985	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40016	C		同期	どうき	synchronization				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40017	C		実テープ速(Vact)	じつてーぷそく(Vact)	tape speed, actual (V_{act})				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40018	C		有効テープ速(Veff)	ゆうこうてーぷそく(Veff)	tape speed, effective (V_{eff})				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40019	C		標準テープ速(Vstd)	ひょうじゅんてーぷそく(Vstd)	tape speed, standard (V_{std})				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40020	C		テープ張力	てーぷちょうりょく	tape tensile forte				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40021	C		時間分割多重化(TDM)	じかんぶんかつたじゅうか(TDM)	time division multiplex (TDM)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40022	C		タイムスロット	たいむすろっと	time-slot				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40023	C		トラック位置(Hn)	とらっくいち(Hn)	track location (H_n)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40024	C		トラック付番	とらっくふばん	track numbering				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40025	C		トラック間隔(D)	とらっくかんかく(D)	track spacing (D)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40026	C		トラック幅(W)	とらっくはば(W)	track width (W)				ISO 6068	1985				1985	JTC1
40027	C		アソシエーション起動側応用実体、アソシエーション起動側	あそしえーしょんきどうがわおうようじったい、あそしえーしょんきどうがわ	association-initiating-application-entity, association-initiator				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40028	C		アソシエーション応答側応用実体、アソシエーション応答側	あそしえーしょんおうとうがわおうようじったい、あそしえーしょんおうとうが	association-responding-application-entity, association-responder				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40029	C		送信側応用実体、送信側	そうしんがわおうようじったい、そうしんがわ	sending-application-entity, sender				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40030	C		受信側応用実体、受信側	じゅしんがわおうようじったい、じゅしんがわ	receiving-application-entity, receiver				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40031	C		要求側	ようきゅうがわ	requestor				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40032	C		受諾側	じゅだくがわ	acceptor				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40033	C		高信頼転送サービス要素	こうしんらいてんそうさーびすようそ	Reliable Transfer Service Element				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40034	C		高信頼転送	こうしんらいてんそう	Reliable Transfer				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40035	C		RTSE使用者	RTSEしようしゃ	RTSE-user				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40036	C		RTSE提供者	RTSEていきょうしゃ	RTSE-provider				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40037	C		ACSE提供者	ACSEていきょうしゃ	ACSE-provider				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40038	C		モノローグ相互作用	ものろーぐそうごさよう	monologue interaction				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40039	C		構文合致サービス	こうぶんがっちさーびす	syntax-matching-services				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40040	C		X.410-1984モード	X.410-1984もーど	X.410-1984 mode				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40041	C		正規モード	せいきもーど	normal mode				ISO/IEC 9066-1	1989				1989	JTC1
40042	C		高信頼転送プロトコル機械	こうしんらいてんそうぷろとこるきかい	reliable-transfer-protocol-machine				ISO/IEC 9066-2	1989				1989	JTC1
40043	C		要求側高信頼転送プロトコル機械	ようきゅうがわこうしんらいてんそうぷろとこるきかい	requesting-reliable-transfer-protocol-machine				ISO/IEC 9066-2	1989				1989	JTC1
40044	C		受諾側高信頼転送プロトコル機械	じゅだくがわこうしんらいてんそうぷろとこるきかい	accepting-reliable-transfer-protocol-machine				ISO/IEC 9066-2	1989				1989	JTC1
40045	C		送信側高信頼転送プロトコル機械	そうしんがわこうしんらいてんそうぷろとこるきかい	sending-reliable-transfer-protocol-machine				ISO/IEC 9066-2	1989				1989	JTC1
40046	C		受信側高信頼転送プロトコル機械	じゅしんがわこうしんらいてんそうぷろとこるきかい	receiving-reliable-transfer-protocol-machine				ISO/IEC 9066-2	1989				1989	JTC1
40047	C		アソシエーション起動側高信頼転送プロトコル機械	あそしえーしょんきどうがわこうしんらいてんそうぷろとこるきかい	association-initiating-reliable-transfer-protocol-machine				ISO/IEC 9066-2	1989				1989	JTC1
40048	C		アソシエーション応答側高信頼転送プロトコル機械	あそしえーしょんおうとうがわこうしんらいてんそうぷろとこるきかい	association-responding-reliable-transfer-protocol-machine				ISO/IEC 9066-2	1989				1989	JTC1
40049	C		摩耗性	まもうせい	abrasivity				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40050	C		耐久性	たいきゅうせい	durability				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40051	C		消去の容易さ	しょうきょのよういさ	ease of erasure				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40052	C		表面電気抵抗	ひょうめんでんきていこう	electrical surface				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40053	C		ストレス下伸長	すとれすかしんちょう	elongation under stress				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40054	C		E値	Eち	E value				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40055	C		瞬間的不均一性(ドロップアウト)	しゅんかんてきふきんいつせい(どろっぷあうと)	instantaneous nonuniformities (dropouts)				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40056	C		操作バイアス電流	そうさばいあすでんりゅう	operating bias current				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40057	C		出力レベル均一性(長期)	しゅつりょくれべるきんいつせい(ちょうき)	output level uniformity (long term)				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40058	C		基準テープ	きじゅんてーぷ	reference tape				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40059	C		基準ヘッド	きじゅんへっど	reference head				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40060	C		基準出力レベル	きじゅんしゅつりょくれべる	reference output level				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40061	C		交流バイアス付き(参照記録レベル)	こうりゅうばいあすつき(さんしょうきろくれべる)	(reference record level) with a.c. bias				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40062	C		交流バイアスなし(参照記録レベル)	こうりゅうばいあすなし(さんしょうきろくれべる)	(reference record level) without a.c. bias				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40063	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary reference tape				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40064	C		信号対雑音比	しんごうついざつおんひ	signal-to-noise ratio				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40065	C		波長応答	はちょうおうとう	wavelength response				ISO/IEC 8441-1	1991				1991	JTC1
40066	C		エイリアシング	えいりあしんぐ	aliasing				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40067	C		直流成分復元器	ちょくりゅうせいぶんふくげんき	baseline restorer				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40068	C		ビット誤り	びっとあやまり	bit error				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40069	C		ビット誤り率(BER)	びっとあやまりりつ(BER)	bit error rate (BER)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40070	C		ビットパッキング密度	びっとぱっきんぐみつど	bit packing density				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40071	C		ビットスリップ	びっとすりっぷ	bit slip				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40072	C		ビットシンクロナイザ	びっとしんくろないざ	bit synchronizer				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40073	C		クロスプレイ	くろすぷれい	cross play				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40074	C		クロストーク	くろすとーく	cross talk				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40075	C		データアジマス	でーたあじます	data azimuth				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40076	C		(動的)アジマス	(どうてき)あじます	data azimuth (dynamic)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40077	C		(静的)アジマス	(せいてき)あじます	data azimuth (static)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40078	C		データ記録存在幅	でーたきろくそんざいはば	data scatter				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40079	C		データ間隔	でーたかんかく	data spacing				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40080	C		復号器	ふくごうき	decoder				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40081	C		デジタル記録符号	でじたるきろくふごう	digital recording code				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40082	C		ドロップアウト	どろっぷあうと	dropout				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40083	C		負荷時間率	ふかじかんりつ	duty factor (of a pulse)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40084	C		エッジマージン(M)	えっじまーじん(M)	edge margin (M)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40085	C		最小エッジマージン(M_m)	さいしょうえっじまーじん(M_m)	edge margin, minimum (M_m)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40086	C		符号器	ふごうき	encoder				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40087	C		誤り検出	あやまりけんしゅつ	error detection				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40088	C		誤り訂正	あやまりていせい	error correction				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40089	C		アイパターン	あいぱたーん	eye pattern				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40090	C		欠陥	けっかん	flaw				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40091	C		フラッタ	ふらった	flutter				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40092	C		磁束反転	じそくはんてん	flux transition				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40093	C		磁束反転密度	じそくはんてんみつど	flux transition density				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40094	C		フレームシンクロナイザ	ふれーむしんくろないざ	frame synchronizer				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40095	C		ギャップ長	ぎゃっぷちょう	gap length				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40096	C		ギャップ存在幅	ぎゃっぷそんざいはば	gap scatter				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40097	C		ヘッド	へっど	head				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40098	C		ヘッドアジマス	へっどあじます	head azimuth				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40099	C		ヘッド1	へっど1	head 1				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40100	C		ヘッド基準面	へっどきじゅんめん	head reference plane				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40101	C		ヘッドセグメント	へっどせぐめんと	head segment				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40102	C		ヘッドセグメントギャップアジマス	へっどせぐめんとぎゃっぷあじます	head segment gap azimuth				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40103	C		ヘッドセグメントギャップアジマス差異	へっどせぐめんとぎゃっぷあじますさい	head segment gap azimuth difference				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40104	C		ヘッドセグメント番号	へっどせぐめんとばんごう	head segment number				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40105	C		ヘッド空間(S)	へっどくうかん(S)	head spacing (S)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40106	C		ヘッド傾斜	へっどけいしゃ	head tilt				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40107	C		高密度デジタル記録(HDDR)	こうみつどでじたるきろく(HDDR)	high density digital recording (HDDR)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40108	C		個別追跡データアジマス差異	こべつついせきでーたあじますさい	individual track data azimuth difference				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40109	C		インラインヘッド	いんらいんへっど	in-line heads				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40110	C		インタレースヘッド	いんたれーすへっど	interlaced heads				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40111	C		ジッタ振幅	じったしんぷく	jitter amplitude				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40112	C		ジッタ率	じったりつ	jitter rate				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40113	C		オーバーバイアス	おーばーばいあす	overbias				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40114	C		オーバーヘッドビット	おーばーへっどびっと	overhead bits				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40115	C		並列HDDT	へいれつHDDT	parallel HDDR				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40116	C		疑似ランダムシーケンス/パターン	ぎじらんだむしーけんす/ぱたーん	pseudorandom sequences/patterns				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40117	C		パルス符号変調(PCM)	ぱるすふごうへんちょう(PCM)	pulse code modulation (PCM)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40118	C		基準縁	きじゅんえん	reference edge				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40119	C		基準トラック位置、G	きじゅんとらっくいち、G	reference track location				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40120	C		信号対雑音比、SNR	しんごうたいざつおんひ、SNR	signal-to-noise ratio (SNR)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40121	C		信号追跡シリアルHDDR	しんごうついせきしりあるHDDR	Single track serial HDDR				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40122	C		同期語	どうきご	synchronization word				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40123	C		同期	どうき	synchronous				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40124	C		テープスキュー	てーぷすきゅー	tape skew				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40125	C		実テープ速度(ν_{act})	じつてーぷそくど(ν_{act})	tape speed, actual (ν_{act})				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40126	C		有効テープ速度(ν_{eff})	ゆうこうてーぷそくど(ν_{eff})	tape speed, effective (ν_{eff})				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40127	C		公称テープ速度(ν)	こうしょうてーぷそくど(ν)	tape speed, nominal (ν)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40128	C		テープ速度誤り	てーぷそくどあやまり	tape speed error				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40129	C		テープ張力	てーぷちょうりょく	tape tensile forte				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40130	C		トラック位置(H_n)	とらっくいち(H_n)	track location (H_n)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40131	C		トラック付番	とらっくふばん	track numbering				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40132	C		トラック空間(D)	とらっくくうかん(D)	track spacing (D)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40133	C		トラック幅 (*W*)	とらっくはば (*W*)	track width (*W*)				ISO/IEC 8441-2	1991				1991	JTC1
40134	C		(試験項目の)異常終了	(しけんこうもくの)いじょうしゅうりょう	abnormal (test case) termination				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40135	C		抽象的〈N〉サービスプリミティブ [(N)-ASP]	ちゅうしょうてき〈N〉さーびすぷりみていぶ [(N)-ASP]	abstract (N)-service-primitive [(N)-ASP]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40136	C		抽象試験項目	ちゅうしょうしけんこうもく	abstract test case				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40137	C		抽象試験項目誤り	ちゅうしょうしけんこうもくあやまり	abstract test case error				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40138	C		(抽象)試験方法[ATM]	(ちゅうしょう)しけんほうほう[ATM]	(abstract) test method [ATM]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40139	C		抽象試験項目群[ATS]	ちゅうしょうしけんこうもくぐん[ATS]	abstract test suite [ATS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40140	C		抽象試験項目群[ATS]仕様	ちゅうしょうしけんこうもくぐん[ATS]しよう	abstract test suite [ATS] specification				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40141	C		抽象試験文脈	ちゅうしょうしけんぶん	abstract testing context				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40142	C		抽象試験法	ちゅうしょうしけんほう	abstract testing methodology				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40143	C		基本仕様	きほんしよう	base specification				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40144	C		基本相互接続試験[BIT]	きほんそうごせつぞくしけん[BIT]	basic interconnection test [BIT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40145	C		振る舞い試験	ふるまいしけん	behaviour test				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40146	C		(実装の)機能	(じっそうの)きのう	capability (of an implementation)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40147	C		機能試験	きのうしけん	capability test				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40148	C		(試験機関の)クライアント	(しけんきかんの)くらいあ	client (of a test				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40149	C		共通(サブ)プロファイル	きょうつう(さぶ)ぷろふぁい	common (sub)profile				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40150	C		(結果の)比較可能性	(けっかの)ひかくかのうせ	comparability (of results)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40151	C		包括的試験サービス	ほうかつてきしけんさーびす	comprehensive testing service				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40152	C		適合性評価プロセス	てきごうせいひょうかぷろせす	conformance assessment process				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40153	C		適合性ログ	てきごうせいろぐ	conformance log				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40154	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance resolution				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40155	C		(適合性)試験項目群	(てきごうせい)しけんこうもくぐん	(conformance) test suite				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40156	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance testing				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40157	C		適合性試験仕様	てきごうせいしけんしよう	conformance testing specification				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40158	C		適合実装	てきごうじっそう	conforming implementation				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40159	C		適合システム	てきごうしすてむ	conforming system				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40160	C		協調試験法	きょうちょうしけんほう	Coordinated test method				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40161	C		分散試験法	ぶんさんしけんほう	Distributed test method				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40162	C		動的適合性要件	どうてきてきごうせいようけん	dynamic conformance requirement				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40163	C		埋め込み試験	うめこみしけん	embedded testing				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40164	C		実行可能試験項目	じっこうかのうしけんこうも	executable test case				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40165	C		実行可能試験項目誤り	じっこうかのうしけんこうもくあやまり	executable test case error				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40166	C		実行可能試験項目[ETS]	じっこうかのうしけんこうもく[ETS]	executable test suite [ETS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40167	C		失敗(判定)	しっぱい(はんてい)	fail (verdict)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40168	C		予見試験結果	よけんしけんけっか	foreseen test outcome				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40169	C		(ICS(様式))項目	(ICS(ようしき))こうもく	(ICS (proforma)) item				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40170	C		(ICS(様式))質問	(ICS(ようしき))しつもん	(ICS (proforma)) question				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40171	C		アイドル試験状態	あいどるしけんじょうたい	idle testing state				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40172	C		実装適合性宣言[ICS]	じっそうてきごうせいせんげん[ICS]	implementation conformance statement				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40173	C		実装適合性宣言[ICS]様式	じっそうてきごうせいせんげん[ICS]ようしき	implementation conformance statement				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40174	C		試験用実装補助情報[IXIT]	しけんようじっそうほじょじょうほう[IXIT]	implementation extra information for testing				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40175	C		試験用実装補助情報[IXIT]様式	しけんようじっそうほじょじょうほう[IXIT]ようしき	implementation extra information for testing [IXIT] proforma				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40176	C		試験対象実装[IUT]	しけんたいしょうじっそう[IUT]	implementation under test [IUT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40177	C		不確定(判定)	ふかくてい(はんてい)	inconclusive (verdict)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40178	C		情報オブジェクト実装適合性宣言[情報オブジェクトICS]	じょうほうおぶじぇくとじっそうてきごうせいせんげん[じょうほうおぶじぇくとICS]	information object implementation conformance statement [information object ICS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40179	C		試験用情報オブジェクト実装補助情報[情報オブジェクトIXIT]	しけんようじょうほうおぶじぇくとじっそうほじょじょうほう[じょうほうおぶじぇくとIXIT]	information object implementation extra information for testing [information object IXIT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40180	C		初期試験状態	しょきしけんじょうたい	initial testing state				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40181	C		不正タイミングの試験事象	ふせいたいみんぐのしけんじしょう	inopportune test event				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40182	C		無効試験事象	むこうしけんじしょう	invalid test event				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40183	C		IUT構成要素	IUTこうせいようそ	IUT component				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40184	C		局所的試験法	きょくしょてきしけんほう	Local test method				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40185	C		下位試験手段[LT]	かいしけんしゅだん[LT]	lower tester [LT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40186	C		下位試験手段制御機能[LTCF]	かいしけんしゅだんせいぎょきのう[LTCF]	lower tester control function [LTCF]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40187	C		試験の手段[MOT](IUTs)	しけんのしゅだん[MOT](IUTs)	means of testing [MOT] (IUTs)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40188	C		多当事者試験[MPyT]文脈	たとうじしゃしけん[MPyT]ぶんみゃく	multi-party testing [MPyT] context				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40189	C		複数プロトコル試験	ふくすうぷろとこるしけん	multi-protocol testing				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40190	C		複数仕様依存	ふくすうしようぃぞん	multi-specification dependency				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40191	C		(被観測)試験結果	(ひかんそく)しけんけっか	(observed) test outcome				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40192	C		パラメタ化された抽象的試験項目	ぱらめたかされたちゅうしょうてきしけんこうもく	parameterized abstract test case				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40193	C		パラメタ化された実行可能試験項目[PATS]	ぱらめたかされたじっこうかのうしけんこうもく	parameterized abstract test suite [PATS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40194	C		パラメタ化された抽象的試験項目群	ぱらめたかされたちゅうしょうてきしけんこうもくぐ	parameterized executable test case				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40195	C		パラメタ化された実行可能試験項目群[PETS]	ぱらめたかされたじっこうかのうしけんこうもくぐん	parameterized executable test suite [PETS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40196	C		通過(判定)	つうか(はんてい)	pass (verdict)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40197	C		制御観測点[PCO]	せいぎょかんそくてん[PCO]	point of control and observation [PCO]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40198	C		予備結果	よびけっか	preliminary result				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40199	C		プロファイル適合性試験	ぷろふぁいるてきごうせいしけん	profile conformance testing				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40200	C		プロファイル実装適合性宣言[プロファイルICS]	ぷろふぁいるじっそうてきごうせいせんげん[ぷろふぁいるICS]	profile implementation conformance statement [profile ICS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40201	C		プロファイル実装適合性宣言[プロファイルICS]様式	ぷろふぁいるじっそうてきごうせいせんげん[ぷろふぁいるICS]ようしき	profile implementation conformance statement [profile ICS] proforma				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40202	C		試験用プロファイル実装補助情報[プロファイルIXIT]	しけんようぷろふぁいるじっそうほじょじょうほう[ぷろふぁいるIXIT]	profile implementation extra information for testing [profile IXIT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40203	C		試験用プロファイル実装補助情報[プロファイルIXIT]様式	しけんようぷろふぁいるじっそうほじょじょうほう[ぷろふぁいるIXIT]ようしき	profile implementation extra information for testing [profile IXIT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40204	C		(プロファイル)IXIT要求事項一覧[XRL]	(ぷろふぁいる)IXITようきゅうじこういちらん[XRL]	(profile) IXIT requirements list [XRL]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40205	C		(プロファイル)要求事項一覧[RL]	(ぷろふぁいる)ようきゅうじこういちらん[RL]	(profile) requirements list [RL]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40206	C		プロファイル固有実装適合性宣言[プロファイル固有ICS]	ぷろふぁいるこゆうじっそうてきごうせいせんげん[ぷろふぁいるこゆうICS]	profile specific implementation conformance statement [profile specific ICS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40207	C		試験用プロファイル固有実装補助情報[プロファイル固有IXIT]	しけんようぷろふぁいるこゆうじっそうほじょじょうほう[ぷろふぁいるこゆうIXIT]	profile specific implementation extra information for testing [profile specific IXIT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40208	C		プロファイル固有試験仕様[PSTS]	ぷろふぁいるこゆうしけんしょう[PSTS]	profile specific test specification [PSTS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40209	C		プロファイル試験仕様[PTS]	ぷろふぁいるしけんしょう[PTS]	profile test specification [PTS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40210	C		プロファイル仕様	ぷろふぁいるしよう	profile specification				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40211	C		プロファイル試験仕様要約[PTS要約]	ぷろふぁいるしけんしようようやく[PTSようやく]	profile test specification summary [PTS -				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40212	C		プロトコル適合性試験報告書[PCTR]	ぷろとこるてきごうせいしけんほうこくしょ[PCTR]	protocol conformance test report [PCTR]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40213	C		プロトコル実装適合性宣言[PICS]	ぷろとこるじっそうてきごうせいせんげん[PICS]	protocol implementation conformance statement [PICS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40214	C		試験用プロトコル実装補助情報[PIXIT]	しけんようぷろとこるじっそうほじょじょうほう[PIXIT]	protocol implementation extra information for testing [PIXIT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40215	C		(プロトコル)プロファイル	(ぷろとこる)ぷろふぁいる	(protocol) profile				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40216	C		PSTS試験項目置換一覧	PSTSしけんこうもくちかんいちらん	PSTS test case replacement list				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40217	C		参照(標準)抽象試験項目[参照(標準)ATS]	さんしょう(ひょうじゅん)ちゅうしょうしけんこうもく[さんしょう(ひょうじゅん)ATS]	reference (standardized) abstract test suite [reference (standardized) ATS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40218	C		遠隔試験法	えんかくしけんほう	Remote test method				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40219	C		(結果の)再現性	(けっかの)さいげんせい	repeatability (of results)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40220	C		(通信のインスタンスにおける実装の)役割	(つうしんのいんすたんすにおけるじっそうの)やくわり	role (of an implementation in an instance of communication)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40221	C		選択された抽象的試験項目群[SATS]	せんたくされたちゅうしょうてきしけんこうもくぐん	selected abstract. test suite [SATS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40222	C		選択された実行可能試験項目群[SETS]	せんたくされたじっこうかのうしけんこうもくぐん	selected executable test suite [SETS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40223	C		意味論的に無効な試験事象	いみろんてきにむこうなしけんじしょう	semantically invalid test event				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40224	C		単一当事者試験[SPyT]文脈	たんいつとうじしゃしけん[SPyT]ぶんみゃく	single-party testing [SPyT] context				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40225	C		単一プロトコル試験	たんいつぷろとこるしけん	single-protocol testing				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40226	C		安定試験状態	あんていしけんじょうたい	stable testing state				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40227	C		標準抽象試験項目群[標準ATS]	ひょうじゅんちゅうしょうしけんこうもくぐん[ひょうじゅんATS]	standardized abstract test suite [standardized ATS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40228	C		動的適合性要求事項	どうてきてきごうせいようきゅうじこう	static conformance requirement				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40229	C		静的適合性審査	せいてきてきごうせいしん	static conformance review				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40230	C		状態(値)	じょうたい(あたい)	status (value)				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40231	C		(支援)応答	(しえん)おうとう	(support) answer				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40232	C		構文的に無効な試験事象	こうぶんてきにむこうなしけんじしょう	syntactically invalid test event				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40233	C		システム適合性宣言[SCS]	しすてむてきごうせいせんげん[SCS]	system conformance statement [SCS]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40234	C		システム適合性宣言[SCS]様式	しすてむてきごうせいせんげん[SCS]ようしき	system conformance statement [SCS] proforma				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40235	C		システム適合性試験報告書[SCTR]	しすてむてきごうせいしけんほうこくしょ[SCTR]	system conformance test report [SCTR]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40236	C		試験対象システム[SUT]	しけんたいしょうしすてむ[SUT]	system under test [SUT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40237	C		テンプレート	てんぷれーと	template				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40238	C		試験本体	しけんほんたい	test body				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40239	C		試験キャンペーン	しけんきゃんぺーん	test campaign				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40240	C		試験項目	しけんこうもく	test case				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40241	C		試験項目誤り	しけんこうもくあやまり	test case error				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40242	C		試験協調手続[TCP]	しけんきょうちょうてつづき[TCP]	test coordination procedures [TCP]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40243	C		試験事象	しけんじしょう	test event				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40244	C		試験グループ	しけんぐるーぷ	test group				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40245	C		試験グループ目標	しけんぐるーぷもくひょう	test group objective				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40246	C		試験機関	しけんきかん	test laboratory				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40247	C		試験管理プロトコル[TMP]	しけんかんりぷろとこる[TMP]	test management protocol [TMP]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40248	C		試験管理プロトコル[TMP]実装宣言	しけんかんりぷろとこる[TMP]じっそうせんげん	test management protocol [TMP] implementation statement				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40249	C		(試験)ポストアンブル	(しけん)ぽすとあんぶる	(test) postamble				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40250	C		(試験)プリアンブル	(しけん)ぷりあんぶる	(test) preamble				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40251	C		試験目的	しけんもくてき	test purpose				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40252	C		試験実現	しけんじつげん	test realization				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40253	C		試験実現者	しけんじつげんしゃ	test realizer				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40254	C		試験状態	しけんじょうたい	testing state				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40255	C		試験段階	しけんだんかい	test step				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40256	C		試験システム	しけんしすてむ	test system				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40257	C		(試験)判定	(しけん)はんてい	(test) verdict				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40258	C		一時試験状態	いちじしけんじょうたい	transient testing state				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40259	C		予見外試験結果	よけんがいしけんけっか	unforeseen test outcome				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40260	C		未特定試験事象	みとくていしけんじしょう	unidentified test event				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40261	C		上位試験手段[UT]	じょういしけんしゅだん	upper tester [UT]				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40262	C		有効試験事象	ゆうこうしけんじしょう	valid test event				ISO/IEC 9646-1	1994				1994	JTC1
40263	C		顧客チェックリスト	こきゃくちぇっくりすと	client checklist				ISO/IEC 9646-5	1994				1994	JTC1
40264	C		顧客試験管理者	こきゃくしけんかんりしゃ	client test manager				ISO/IEC 9646-5	1994				1994	JTC1
40265	C		(適合性評価プロセスの)交渉による終了	(てきごうせいひょうかぷろせすの)こうしょうによるしゅうりょう	negotiated exit (from the conformance assessment process)				ISO/IEC 9646-5	1994				1994	JTC1
40266	C		試験対象システム運用者[SUT運用者]	しけんたいしょうしすてむうんようしゃ[SUTうんよう	operator of the system under test [SUT operator]				ISO/IEC 9646-5	1994				1994	JTC1
40267	C		試験機関チェックリスト	しけんきかんちぇっくりすと	test laboratory checklist				ISO/IEC 9646-5	1994				1994	JTC1
40268	C		試験機関管理者	しけんきかんかんりしゃ	test laboratory manager				ISO/IEC 9646-5	1994				1994	JTC1
40269	C		試験運用者	しけんうんようしゃ	test operator				ISO/IEC 9646-5	1994				1994	JTC1
40270	C		(プロファイルの)構成要素	(ぷろふぁいるの)こうせいようそ	component (of a profile)				ISO/IEC 9646-6	1994				1994	JTC1
40271	C		OSI文書	OSIぶんしょ	OSI document				ISO/IEC 9834-2	1993				1993	JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40272	C		OSI文書型	OSIぶんしょかた	OSI document type				ISO/IEC 9834-2	1993				1993	JTC1
40273	C		キャリア規格	きゃりあきかく	carrier-standard				ISO/IEC 9834-2	1993				1993	JTC1
40274	C		(文書型の)緩和	(ぶんしょかたの)かんわ	relaxation (of a document type)				ISO/IEC 9834-2	1993				1993	JTC1
40275	C		(文書型の)強化	(ぶんしょかたの)きょうか	tightening (of a document type)				ISO/IEC 9834-2	1993				1993	JTC1
40276	C		OSIサービス	OSIさーびす	OSI-service				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40277	C		OSIサービス提供者	OSIさーびすていきょうしゃ	OSI-service-provider				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40278	C		OSIサービス使用者	OSIさーびすしようしゃ	OSI-service-user				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40279	C		OSIサービスプリミティブ、プリミティブ	OSIさーびすぷりみてぃぶ、ぷりみてぃぶ	OSI-service primitive, primitive				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40280	C		発信(プリミティブ)	はっしん(ぷりみてぃぶ)	submit (primitive)				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40281	C		配達(プリミティブ)	はいたつ(ぷりみてぃぶ)	deliver (primitive)				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40282	C		要求側	ようきゅうがわ	requestor				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40283	C		受諾側	じゅだくがわ	acceptor				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40284	C		要求(プリミティブ)、要求側発信(プリミティブ)	ようきゅう(ぷりみてぃぶ)、ようきゅうがわはっしん(ぷりみてぃぶ)	request (primitive), requestor.submit (primitive)				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40285	C		指示(プリミティブ)、受諾側配達(プリミティブ)	しじ(ぷりみてぃぶ)、じゅだくがわはいたつ(ぷりみ	indication (primitive), acceptor.deliver (primitive)				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40286	C		応答(プリミティブ)、受諾側発信(プリミティブ)	おうとう(ぷりみてぃぶ)、じゅだくがわはっしん(ぷりみてぃぶ)	response (primitive), acceptor.submit (primitive)				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40287	C		確認(プリミティブ)、要求側配達(プリミティブ)	かくにん(ぷりみてぃぶ)、ようきゅうがわはいたつ(ぷりみてぃぶ)	confirm (primitive), requestor.deliver (primitive)				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40288	C		OSI機能	OSIきのう	OSI-facility				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40289	C		OSI必す機能	OSIひっすきのう	OSI-mandatory-facility				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40290	C		OSI提供者選択機能	OSIていきょうしゃせんたくきのう	OSI-provider-optional-facility				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40291	C		OSI使用者選択機能	OSIしようしゃせんたくきの	OSI-user-optional-facility				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40292	C		OSI確認型機能	OSIかくにんかたきのう	OSI-confirmed-facility				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40293	C		OSI非確認型機能	OSIひかくにんかたきのう	OSI-non-confirmed-				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40294	C		OSI提供者起動機能	OSIていきょうしゃきどうきのう	OSI-provider-initiated-facility				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40295	C		ローカルビュー	ろーかるびゅー	OSI-local view				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40296	C		対称サービス	たいしょうさーびす	symmetrical service				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40297	C		非対称サービス	ひたいしょうさーびす	asymmetrical service				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40298	C		複数同位	ふくすうどうい	multi-peer				ISO/IEC 10731	1994				1994	JTC1
40299	C		活性化	かっせいか	activate				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40300	C		アドレスオンリートランザクション	あどれすおんりーとらんざくしょん	address-only transaction				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40301	C		アービトレーション	あーびとれーしょん	arbitration				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40302	C		アービトレート型メッセージ	あーびとれーとかためっせーじ	arbitrated message				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40303	C		表明	ひょうめい	assert				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40304	C		*(アステリスク)	*(あすてりすく)	* (asterisk)				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40305	C		ビート	びーと	beat				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40306	C		ブロックコピー	ぶろっくこぴー	block copy				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40307	C		バスブリッジ	ばすぶりっじ	bus bridge				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40308	C		バスライン	ばすらいん	bus line				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40309	C		バス期間	ばすきかん	bus tenure				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40310	C		バストランザクション	ばすとらんざくしょん	bus transaction				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40311	C		ビジー	びじー	busy				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40312	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40313	C		バイトレーン	ばいとれーん	byte lane				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40314	C		キャッシュコヒーレンス	きゃっしゅこひーれんす	cache coherence				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40315	C		キャッシュメモリ	きゃっしゅめもり	cache memory				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40316	C		キャッシュ領域	きゃっしゅりょういき	coherence domain				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40317	C		コヒーレンスライン	こひーれんすらいん	coherence line				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40318	C		強制データ転送プロトコル	きょうせいでーたてんそうぷろとこる	compelled data transfer protocol				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40319	C		競争者	きょうそうしゃ	competitor				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40320	C		接続トランザクション	せつぞくとらんざくしょん	connected transaction				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40321	C		接続相	せつぞくそう	connection phase				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40322	C		制御取得	せいぎょしゅとく	control acquisition				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40323	C		コピーバックキャッシュ	こぴーばっくきゃっしゅ	copyback cache				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40324	C		CSR	CSR	CSR				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40325	C		CSRA	CSRA	CSRA				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40326	C		データ相	でーたそう	data phase				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40327	C		デッドロック	でっどろっく	deadlock				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40328	C		切断相	せつだんそう	disconnection phase				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40329	C		ダブレット	だぶれっと	doublet				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40330	C		参加者	さんかしゃ	entrant				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40331	C		継続可能	けいぞくかのう	forward progress				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40332	C		地理的アドレス	ちりてきあどれす	geographical address				ISO/IEC 10857	1994					JTC1

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40333	C		大域識別	たいいきしきべつ	global identification				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40334	C		介入スレーブ	かいにゅうすれーぶ	intervening slave				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40335	C		ライブロック	らいぶろっく	livelock				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40336	C		ロッキング	ろっきんぐ	locking				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40337	C		マスタ	ますた	master				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40338	C		選出マスタ	せんしゅつますた	master elect				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40339	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40340	C		モナークプロセッサ	もなーくぷろせっさ	monarch processor				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40341	C		オクトレット	おくとれっと	octlet				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40342	C		パケットデータ転送プロトコル	ぱけっとでーたてんそうぷろとこる	packet data transfer protocol				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40343	C		並列コンテンションアービトレーション	へいれつこんてんしょんあーびとれーしょん	parallel contention arbitration				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40344	C		参加スレーブ	さんかすれーぶ	participating slave				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40345	C		プリエンプション	ぷりえんぷしょん	preemption				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40346	C		クワドレット	くわどれっと	quadlet				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40347	C		解放	かいほう	release				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40348	C		最終手段のリポジトリ	さいしゅうしゅだんのりぽじとり	repository of last resort				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40349	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40350	C		要求側	ようきゅうがわ	requester				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40351	C		応答側	おうとうがわ	responder				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40352	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40353	C		ラウンドロビン	らうんどろびん	round robin				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40354	C		選択スレーブ	せんたくすれーぶ	selected slave				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40355	C		共有メモリ	きょうゆうめもり	shared memory				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40356	C		信号名	しんごうめい	signal names				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40357	C		スキュー	すきゅー	skew				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40358	C		スレーブ	すれーぶ	slave				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40359	C		スナーフ	すなーふ	snarf				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40360	C		スヌープ	すぬーぷ	snoop				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40361	C		空間局所性	くうかんきょくしょせい	spatial locality				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40362	C		分割トランザクション	ぶんかつとらんざくしょん	split transaction				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40363	C		枯渇	こかつ	starvation				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40364	C		強順序一貫性	きょうじゅんじょいっかんせい	strong sequential consistency				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40365	C		システムトランザクション	しすてむとらんざくしょん	system transaction				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40366	C		時間局所性	じかんきょくしょせい	temporal locality				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40367	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40368	C		非選択スレーブ	ひせんたくすれーぶ	unselected slave				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40369	C		弱順序一貫性	じゃくじゅんじょいっかんせ	weak sequential				ISO/IEC 10857	1994					JTC1
40370	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 962	1974				1974	SC2
40371	C		トラック	とらっく	track				ISO 962	1974				1974	SC2
40372	C		基準縁	きじゅんえん	reference edge				ISO 962	1974				1974	SC2
40373	C		行	ぎょう	row				ISO 962	1974				1974	SC2
40374	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO 962	1974				1974	SC2
40375	C		間隔	かんかく	gap				ISO 962	1974				1974	SC2
40376	C		8位置環境	8いちかんきょう	8 position environment				ISO 962	1974				1974	SC2
40377	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 3275	1974				1974	SC2
40378	C		トラック	とらっく	track				ISO 3275	1974				1974	SC2
40379	C		バイト	ばいと	byte				ISO 3275	1974				1974	SC2
40380	C		符号、符号化文字集合	ふごう、ふごうかもじしゅうごう	code, coded character set				ISO 3275	1974				1974	SC2
40381	C		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension				ISO 3275	1974				1974	SC2
40382	C		環境	かんきょう	environment				ISO 3275	1974				1974	SC2
40383	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO 9036	1987				1987	SC2
40384	C		文字	もじ	character				ISO 9036	1987				1987	SC2
40385	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO 9036	1987				1987	SC2
40386	C		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension				ISO 9036	1987				1987	SC2
40387	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO 9036	1987				1987	SC2
40388	C		制御文字	せいぎょもじ	control character				ISO 9036	1987				1987	SC2
40389	C		制御機能	せいぎょきのう	control function				ISO 9036	1987				1987	SC2
40390	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO 9036	1987				1987	SC2
40391	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO 9036	1987				1987	SC2
40392	C		位置	いち	position				ISO 9036	1987				1987	SC2
40393	C		現在位置	げんざいいち	active position				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40394	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40395	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40396	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40397	C		文字位置	もじいち	character position				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40398	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40399	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40400	C		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40401	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40402	C		制御文字	せいぎょもじ	control character				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40403	C		制御機能	せいぎょきのう	control function				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40404	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40405	C		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40406	C		終端バイト	しゅうたんばいと	Final Byte				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40407	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40408	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40409	C		レパートリ	れぱーとり	repertoire				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40410	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 4873	1991				1991	SC2
40411	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40412	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40413	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40414	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set, code				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40415	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40416	C		制御機能	せいぎょきのう	control function				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40417	C		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40418	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40419	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40420	C		位置	いち	position				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40421	C		レパートリ	れぱーとり	repertoire				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40422	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 10367	1991				1991	SC2
40423	C		現在領域	げんざいりょういき	active area				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40424	C		現在フィールド	げんざいふぃーるど	active field				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40425	C		現在行	げんざいぎょう	active line				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40426	C		現在ページ	げんざいぺーじ	active page				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40427	C		現在位置	げんざいいち	active position				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40428	C		領域	りょういき	area				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40429	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40430	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40431	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40432	C		文字進路	もじしんろ	character path				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40433	C		文字位置	もじいち	character position				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40434	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set; code				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40435	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-data-				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40436	C		符号拡張	ふごうかくちょう	code extension				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40437	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40438	C		制御文字	せいぎょもじ	control character				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40439	C		制御機能	せいぎょきのう	control function				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40440	C		制御シーケンス	せいぎょしーけんす	control sequence				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40441	C		制御列	せいぎょれつ	control string				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40442	C		カーソル	かーそる	cursor				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40443	C		既定値	きていち	default				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40444	C		指示する	しじする	to designate				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40445	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40446	C		表示面	ひょうじめん	display				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40447	C		文書	ぶんしょ	document				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40448	C		文書終了子	ぶんしょしゅうりょうし	document terminator				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40449	C		編集機能	へんしゅうきのう	editor function				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40450	C		エスケープシーケンス	えすけーぷしーけんす	escape sequence				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40451	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40452	C		終端バイト	しゅうたんばいと	Final Byte				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40453	C		書式機能	しょしきのう	formator function				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40454	C		書式付け可能テキスト	しょしきづけかのうてきす	formattable text				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40455	C		書式付きテキスト	しょしきつきてきすと	formatted text				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40456	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40457	C		図形描出	ずけいびょうしゅつ	graphic rendition				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40458	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40459	C		中間バイト	ちゅうかんばいと	Intermediate Byte				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40460	C		呼び出す	よびだす	to invoke				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40461	C		行	ぎょう	line				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40462	C		行開始位置	ぎょうかいしいち	line home position				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40463	C		行終了位置	ぎょうしゅうりょういち	line limit position				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40464	C		行進行方向	ぎょうしんこうほうこう	line progression				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40465	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40466	C		ページ開始位置	ぺーじかいしいち	page home position				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40467	C		ページ像書式、PIF	ぺーじぞうしょしき、PIF	page-image format, PIF				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40468	C		ページ終了位置	ぺーじしゅうりょういち	page limit position				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40469	C		ページ終了位置	ぺーじしゅうりょういち	page terminator				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40470	C		パラメタバイト	ぱらめたばいと	Parameter Byte				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40471	C		位置	いち	position				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40472	C		レパートリ	れぱーとり	repertoire				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40473	C		タブ	たぶ	tabulation				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40474	C		タブストップ	たぶすとっぷ	tabulation stop				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40475	C		テキスト領域	てきすとりょういき	text area				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40476	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40477	C		可変字送り図形文字	かへんじおくりずけいもじ	variable-spacing graphic symbol				ISO/IEC 10538	1991				1991	SC2
40478	C		企業電気通信網、CN	きぎょうでんきつうしんもう、CN	corporate telecommunication network, CN				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40479	C		退出ゲートウェイ	たいしゅつげーとうぇい	egress gateway				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40480	C		ゲートウェイ	げーとうぇい	gateway				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40481	C		進入ゲートウェイ	しんにゅうげーとうぇい	ingress gateway				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40482	C		IP網	IPもう	IP network				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40483	C		メディアストリーム	めでぃあすとりーむ	media stream				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40484	C		私設総合サービス網、PISN	しせつそうごうさーびすもう、PISN	Private Integrated Services Network, PISN				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40485	C		私設総合サービス網交換、PINX	しせつそうごうさーびすもうこうかん、PINX	Private Integrated Services Network				ISO/IEC 22535	2009				2009	SC6
40486	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40487	C		アドホックネットワーク	あどほっくねっとわーく	ad hoc network				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40488	C		アソシエーション	あそしえーしょん	association				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40489	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40490	C		交信可能領域	こうしんかのうりょういき	coverage area				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40491	C		デソシエーション	でそしえーしょん	dissociation				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40492	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40493	C		K	K	K				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40494	C		Kμs	Kμs	Kμs				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40495	C		k	k	k				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40496	C		論理チャンネル	ろんりちゃんねる	logical channel				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40497	C		マスタ	ますた	master				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40498	C		MAC管理プロトコルデータ単位、MMPDU	MACかんりぷろとこるでーたたんい、MMPDU	MAC management protocol data unit,				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40499	C		MACプロトコルデータ単位、MPDU	MACぷろとこるでーたたんい、MPDU	MAC protocol data unit, MPDU				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40500	C		MACサービスデータ単位、MSDU	MACさーびすでーたたんい、MSDU	MAC service data unit, MSDU				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40501	C		モバイル装置	もばいるそうち	mobile device				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40502	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40503	C		携帯用装置	けいたいようそうち	portable device				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40504	C		スレーブ	すれーぶ	slave				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40505	C		局	きょく	station				ISO/IEC 24771	2009				2009	SC6
40506	C		ケーブルアダプタ	けーぶるあだぷた	cable adaptor				ISO 2110	1989				1989	SC6
40507	C		コネクタハウジング	こねくたはうじんぐ	connector housing				ISO 2110	1989				1989	SC6
40508	C		接点配置	せってんはいち	contact arrangement				ISO 2110	1989				1989	SC6
40509	C		雌形接点	めすがたせってん	female contact				ISO 2110	1989				1989	SC6
40510	C		適合コネクタ	てきごうこねくた	intermateable connectors				ISO 2110	1989				1989	SC6
40511	C		施錠装置	せじょうそうち	locking device				ISO 2110	1989				1989	SC6
40512	C		雄形接点	おすがたせってん	male contact				ISO 2110	1989				1989	SC6
40513	C		(n極)コネクタ	(nきょく)こねくた	(n-pole-)connector				ISO 2110	1989				1989	SC6
40514	C		ケーブルアダプタ	けーぶるあだぷた	cable adaptor				ISO 4902	1989				1989	SC6
40515	C		コネクタハウジング	こねくたはうじんぐ	connector housing				ISO 4902	1989				1989	SC6
40516	C		接点配置	せってんはいち	contact arrangement				ISO 4902	1989				1989	SC6
40517	C		雌形接点	めすがたせってん	female contact				ISO 4902	1989				1989	SC6
40518	C		適合コネクタ	てきごうこねくた	intermateable connectors				ISO 4902	1989				1989	SC6
40519	C		施錠装置	せじょうそうち	locking device				ISO 4902	1989				1989	SC6
40520	C		雄形接点	おすがたせってん	male contact				ISO 4902	1989				1989	SC6
40521	C		(n極)コネクタ	(nきょく)こねくた	(n-pole-)connector				ISO 4902	1989				1989	SC6
40522	C		ケーブルアダプタ	けーぶるあだぷた	cable adaptor				ISO 4903	1989				1989	SC6
40523	C		コネクタハウジング	こねくたはうじんぐ	connector housing				ISO 4903	1989				1989	SC6
40524	C		接点配置	せってんはいち	contact arrangement				ISO 4903	1989				1989	SC6
40525	C		雌形接点	めすがたせってん	female contact				ISO 4903	1989				1989	SC6
40526	C		適合コネクタ	てきごうこねくた	intermateable connectors				ISO 4903	1989				1989	SC6
40527	C		施錠装置	せじょうそうち	locking device				ISO 4903	1989				1989	SC6
40528	C		雄形接点	おすがたせってん	male contact				ISO 4903	1989				1989	SC6
40529	C		(n極)コネクタ	(nきょく)こねくた	(n-pole-)connector				ISO 4903	1989				1989	SC6
40530	C		実サブネットワーク	じつさぶねっとわーく	real subnetwork				ISO 8648	1988				1988	SC6
40531	C		サブネットワーク	さぶねっとわーく	subnetwork				ISO 8648	1988				1988	SC6
40532	C		相互動作単位	そうごどうさたんい	interworking unit				ISO 8648	1988				1988	SC6
40533	C		中継システム	ちゅうけいしすてむ	relay system				ISO 8648	1988				1988	SC6
40534	C		中間システム	ちゅうかんしすてむ	intermediate system				ISO 8648	1988				1988	SC6
40535	C		データ伝送サービス	でーたでんそうさーびす	data transmission service				ISO 8648	1988				1988	SC6
40536	C		共通方向タイミング	きょうつうほうこうたいみん	codirectional timing				ISO 9543	1989				1989	SC6
40537	C		反対方向タイミング	はんたいほうこうたいみん	contradirectional timing				ISO 9543	1989				1989	SC6
40538	C		信号要素タイミング	しんごうようそたいみんぐ	signal element timing				ISO 9543	1989				1989	SC6
40539	C		タイミング変位	たいみんぐへんい	timing displacement				ISO 9543	1989				1989	SC6
40540	C		負荷サイクル	ふかさいくる	duty cycle				ISO 9543	1989				1989	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40541	C		信号要素	しんごうようそ	signal element				ISO 9543	1989				1989	SC6
40542	C		有意瞬間	ゆういしゅんかん	significant instants				ISO 9543	1989				1989	SC6
40543	C		有意区間	ゆういくかん	significant interval				ISO 9543	1989				1989	SC6
40544	C		ジッタ	じった	jitter				ISO 9543	1989				1989	SC6
40545	C		遷移	せんい	transition				ISO 9543	1989				1989	SC6
40546	C		データ信号伝達速度	でーたしんごうでんたつそくど	data signalling rate				ISO 9543	1989				1989	SC6
40547	C		直列伝送	ちょくれつでんそう	serial transmission				ISO 9543	1989				1989	SC6
40548	C		同期伝送	どうきでんそう	synchronous transmission				ISO 9543	1989				1989	SC6
40549	C		同期DCE	どうきDCE	synchronous DCE				ISO 9543	1989				1989	SC6
40550	C		イメージ	いめーじ	Image				ISO/IEC 15802-4	1994					SC6
40551	C		ロード可能装置(LD)	ろーどかのうそうち(LD)	Loadable Device (LD)				ISO/IEC 15802-4	1994					SC6
40552	C		ロードサーバ(LS)	ろーどさーば(LS)	Load Server (LS)				ISO/IEC 15802-4	1994					SC6
40553	C		電子的タイミング	でんしてきたいみんぐ	electronic timing				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40554	C		機構的タイミング	きこうてきたいみんぐ	mechanical timing				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40555	C		開始停止システム	かいしていししすてむ	start-stop system				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40556	C		スタート-ストップ伝送	すたーと-すとっぷでんそ	start-stop transmission				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40557	C		スタート-ストップ連続伝送	すたーと-すとっぷれんぞくでんそう	continuous start-stop operation				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40558	C		信号要素	しんごうようそ	signal element				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40559	C		単位時間	たんいじかん	unit interval				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40560	C		変調速度	へんちょうそくど	modulation rate				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40561	C		文字時間	もじじかん	character interval				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40562	C		開始信号	かいししんごう	start signal				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40563	C		開始遷移	かいしせんい	start transition				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40564	C		停止信号	ていししんごう	stop signal				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40565	C		スタート-ストップのひずみ(歪)度合い	すたーと-すとっぷのひずみどあい	degree of start-stop distortion				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40566	C		スタート-ストップの総ひずみ(歪)度合い	すたーと-すとっぷのそうひずみどあい	degree of gross start-stop distortion				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40567	C		同期スタート-ストップのひずみ(歪)度合い	どうきすたーと-すとっぷのひずみどあい	degree of synchronous start-stop distortion				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40568	C		実マージン	じつまーじん	margin				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40569	C		同期マージン	どうきまーじん	synchronous margin				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40570	C		正味マージン	しょうみまーじん	net margin				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40571	C		実マージン	じつまーじん	practical margin				ISO/IEC 7480	1991				1991	SC6
40572	C		平衡交換回路	へいこうこうかんかいろ	balanced interchange				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40573	C		同相除去比(CMRR)	どうそうじょきょひ(CMRR)	common mode ejection ratio (CMRR)				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40574	C		同相電圧	どうそうでんあつ	common mode voltage				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40575	C		漏話ロス(近端)	ろうわろす(きんたん)	cross-talk loss (near end)				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40576	C		漏話ロス(遠端)	ろうわろす(えんたん)	cross-talk loss (far end)				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40577	C		異相電圧	いそうでんあつ	differential mode voltage				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40578	C		環境条件	かんきょうじょうけん	environmental conditions				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40579	C		ガルバニ絶縁	がるばにぜつえん	galvanic isolation				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40580	C		発信器	はっしんき	generator				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40581	C		発信器オフセット電圧	はっしんきおふせっとでんあつ	generator offset voltage				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40582	C		信号アース	しんごうあーす	ground signal				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40583	C		アース	あーす	ground earth				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40584	C		接地電位差	せっちでんいさ	ground potential				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40585	C		誘導雑音	ゆうどうざつおん	induced noise				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40586	C		交換回路	こうかんかいろ	interchange circuit				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40587	C		交換点	こうかんてん	interchange point				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40588	C		受信器	じゅしんき	receiver				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40589	C		立上り時間	たちあがりじかん	rise time				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40590	C		サイト条件	さいとじょうけん	site conditions				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40591	C		サージ電圧抵抗	さーじでんあつていこう	surge voltage resistance				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40592	C		サージ電圧	さーじでんあつ	surge voltage				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40593	C		非平衡交換回路	ひへいこうこうかんかいろ	unbalanced interchange circuit				ISO/IEC 8482	1993				1993	SC6
40594	C		領域	りょういき	domain				ISO/IEC 10028	1993				1993	SC6
40595	C		領域関連パラメタ	りょういきかんれんぱらめ	domain-related parameter				ISO/IEC 10028	1993				1993	SC6
40596	C		ホップ	ほっぷ	hop				ISO/IEC 10028	1993				1993	SC6
40597	C		ドメイン内IS-IS経路選択プロトコル	どめいんないIS-ISけいろせんたくぷろとこる	Intra-domain IS-IS routeing protocol				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40598	C		ドメイン間リンク	どめいんかんりんく	Inter-domain link				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40599	C		境界中間システム	きょうかいちゅうかんしすてむ	Boundary Intermediate system				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40600	C		終端経路選択ドメイン	しゅうたんけいろせんたくどめいん	End Routeing Domain				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40601	C		遷移経路選択ドメイン	せんいけいろせんたくどめいん	Transit Routeing Domain				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40602	C		隣接RD	りんせつRD	Adjacent RDs				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40603	C		RD経路	RDけいろ	RD Path				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40604	C		経路選択ドメイン連合	けいろせんたくどめいんれんごう	Routeing Domain Confederation				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40605	C		入れ子RDC	いれこRDC	Nested RDCs				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40606	C		重複RDC	ちょうふくRDC	Overlapping RDCs				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40607	C		ディスジョイントRDC	でぃすじょいんとRDC	Disjoint RDCs				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40608	C		ポリシ情報ベース	ぽりしじょうほうべーす	Policy Information Base				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40609	C		経路源	けいろげん	Route Origin				ISO/IEC 10747	1994				1994	SC6
40610	C		精度	せいど	Accuracy				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40611	C		非同期信号	ひどうきしんごう	Asynchronous signals				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40612	C		クロック解放稼働モード	くろっくかいほうかどうもー	Clock free running mode				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40613	C		クロック持続モード	くろっくじぞくもーど	Clock hold over mode				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40614	C		制御スリップ	せいぎょすりっぷ	Controlled Slip				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40615	C		ジッタ	じった	Jitter				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40616	C		不足領域	ふそくりょういき	Lack range				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40617	C		マスタ	ますた	Master				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40618	C		最大時間間隔誤り(MTIE)	さいだいじかんかんかくあやまり(MTIE)	Maximum time Interval error (MTIE)				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40619	C		位相ロックループ(PLL)	いそうろっくるーぷ(PLL)	Phase Locked Loop (PLL)				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40620	C		従来の同期	じゅうらいのどうき	Plesiochronous				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40621	C		一次参照クロック	いちじさんしょうくろっく	Primary Reference Clock				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40622	C		引込み領域	ひきこみりょういき	Pull in range				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40623	C		参照クロック	さんしょうくろっく	Reference Clock				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40624	C		スレーブ	すれーぶ	Slave				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40625	C		スリップ	すりっぷ	Slip				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40626	C		スリップタイミング	すりっぷたいみんぐ	Split Timing				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40627	C		同期	どうき	Synchronous				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40628	C		同期化	どうきか	Synchronization				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40629	C		時間間隔誤り(TIE)	じかんかんかくあやまり	Time-Interval Error (TIE)				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40630	C		タイミングループ	たいみんぐるーぷ	Timing loop				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40631	C		修理までの時間	しゅうりまでのじかん	Time to repair				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40632	C		透過的	とうかてき	Transparent				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40633	C		ワンダ	わんだ	Wander				ISO/IEC 11573	1994				1994	SC6
40634	C		連続形式	れんぞくけいしき	continuous forms				ISO 3535	1977				1977	SC7
40635	C		割付け図	わりつけず	layout chart				ISO 3535	1977				1977	SC7
40636	C		形式設計シート	けいしきせっけいしーと	forms design sheet				ISO 3535	1977				1977	SC7
40637	C		能動的認証	のうどうてきにんしょう	active authentication				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40638	C		基本アクセス保護、BAP	きほんあくせすほご、BAP	basic access protection, BAP				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40639	C		チップ認証	ちっぷにんしょう	chip authentication				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40640	C		クローン	くろーん	clone				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40641	C		傍受	ぼうじゅ	eavesdropping				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40642	C		拡張アクセス保護、EAP	かくちょうあくせすほご、EAP	extended access protection, EAP				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40643	C		入力文字列	にゅうりょくもじれつ	input string				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40644	C		発行機関、IA	はっこうきかん、IA	issuing authority, IA				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40645	C		非一致警報	ひいっちけいほう	non-match alert				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40646	C		受動的認証	じゅどうてきにんしょう	passive authentication				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40647	C		疑似発行機関、PIA	ぎじはっこうきかん、PIA	pseudo issuing authority,				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40648	C		公開鍵基盤、PKI	こうかいかぎばん、PKI	public key infrastructure, PKI				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40649	C		読み取り機関、RA	よみとりきかん、RA	reading authority, RA				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40650	C		基準文字列	きじゅんもじれつ	reference string				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40651	C		スキャン領域識別子、SAI	すきゃんりょういきしきべつし、SAI	scanning area identifier, SAI				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40652	C		セキュア集積回路、SIC	せきゅあしゅうせきかいろ、SIC	secure integrated circuit, SIC				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40653	C		セキュアメモリ	せきゅあめもり	secure memory				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40654	C		スキミング	すきみんぐ	skimming				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40655	C		信頼連鎖	しんらいれんさ	trust chain				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40656	C		信頼モデル	しんらいもでる	trust model				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40657	C		信頼ネットワーク	しんらいねっとわーく	trust network				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40658	C		信頼点	しんらいてん	trust point				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40659	C		結合	けつごう	twinning				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40660	C		アンパックBCD	あんぱっくBCD	unpacked BCD				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40661	C		検証機関、VA	けんしょうきかん、VA	verifying authority, VA				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40662	C		直接VA	ちょくせつVA	immediate VA				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40663	C		非直接VA	ひちょくせつVA	non-immediate VA				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40664	C		検証実体	けんしょうじったい	verifying entity				ISO/IEC 18013-3	2009				2009	SC17
40665	C		プログラム	ぷろぐらむ	Program				ISO/IEC 8485	1989				1989	SC22
40666	C		実装	じっそう	Implementation				ISO/IEC 8485	1989				1989	SC22
40667	C		(実装の)機能	(じっそうの)きのう	Facility (of an implementation)				ISO/IEC 8485	1989				1989	SC22
40668	C		定義機能	ていぎきのう	Defined-Facility				ISO/IEC 8485	1989				1989	SC22
40669	C		任意選択機能	にんいせんたくきのう	Optional-Facility				ISO/IEC 8485	1989				1989	SC22
40670	C		実装定義機能	じっそうていぎきのう	Implementation-Defined-Facility				ISO/IEC 8485	1989				1989	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40671	C		整合的拡張	せいごうてきかくちょう	Consistent-Extension				ISO/IEC 8485	1989				1989	SC22
40672	C		算術データ型	さんじゅつでーたかた	arithmetic data type				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40673	C		公理	こうり	axiom				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40674	C		継続値	けいぞくち	continuation value				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40675	C		データ型	でーたかた	data type				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40676	C		非正規化損失	ひせいきかそんしつ	denormalization loss				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40677	C		非正規化	ひせいきか	denormalized				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40678	C		誤り	あやまり	error				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40679	C		例外	れいがい	exception				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40680	C		例外値	れいがいち	exceptional value				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40681	C		指数バイアス	しすうばいあす	exponent bias				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40682	C		ヘルパ機能	へるぱきのう	helper function				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40683	C		(ISO/IEC 10967のこの部の)実装	(ISO/IEC 10967のこのぶの)じっそう	implementation (of this part of ISO/IEC 10967)				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40684	C		正規化	せいきか	normalized				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40685	C		通知	つうち	notification				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40686	C		操作	そうさ	operation				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40687	C		精度	せいど	precision				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40688	C		丸め	まるめ	rounding				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40689	C		丸め機能	まるめきのう	rounding function				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40690	C		最近値丸め	さいきんちまるめ	round to nearest				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40691	C		負方向への丸め	ふほうこうへのまるめ	round toward minus				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40692	C		ゼロへの丸め	ぜろへのまるめ	round toward zero				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40693	C		しなければならない	しなければならない	shall				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40694	C		することが望ましい	することがのぞましい	should				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40695	C		(機能又は操作の)署名	(きのうまたはそうさの)しょめい	signature(of a function or operation)				ISO/IEC 10967-1	1994				1994	SC22
40696	C		動的違反	どうてきいはん	Dynamic-violation				ISO/IEC 10206	1991				1991	SC22
40697	C		誤り	あやまり	Error				ISO/IEC 10206	1991				1991	SC22
40698	C		拡張	かくちょう	Extension				ISO/IEC 10206	1991				1991	SC22
40699	C		処理系定義	しょりけいていぎ	Implementation-defined				ISO/IEC 10206	1991				1991	SC22
40700	C		処理系依存	しょりけいいぞん	Implementation-				ISO/IEC 10206	1991				1991	SC22
40701	C		処理系	しょりけい	Processor				ISO/IEC 10206	1991				1991	SC22
40702	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 1861	1975				1975	SC23
40703	C		基準テープ	きじゅんてーぷ	reference tape				ISO 1861	1975				1975	SC23
40704	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary reference tape				ISO 1861	1975				1975	SC23
40705	C		信号振幅基準テープ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷ	signal amplitude reference tape				ISO 1861	1975				1975	SC23
40706	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO 1861	1975				1975	SC23
40707	C		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	standard reference amplitude				ISO 1861	1975				1975	SC23
40708	C		基準縁	きじゅんえん	reference edge				ISO 1861	1975				1975	SC23
40709	C		接触している	せっしょくしている	in contact				ISO 1861	1975				1975	SC23
40710	C		トラック	とらっく	track				ISO 1861	1975				1975	SC23
40711	C		パッキング密度	ぱっきんぐみつど	packing density				ISO 1861	1975				1975	SC23
40712	C		ブロック間間隔	ぶろっくかんかんかく	inter-block gap				ISO 1861	1975				1975	SC23
40713	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 1862	1975				1975	SC23
40714	C		基準テープ	きじゅんてーぷ	reference tape				ISO 1862	1975				1975	SC23
40715	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	secondary reference tape				ISO 1862	1975				1975	SC23
40716	C		信号振幅基準テープ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷ	signal amplitude reference tape				ISO 1862	1975				1975	SC23
40717	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO 1862	1975				1975	SC23
40718	C		基準縁	きじゅんえん	reference edge				ISO 1862	1975				1975	SC23
40719	C		接触している	せっしょくしている	in contact				ISO 1862	1975				1975	SC23
40720	C		トラック	とらっく	track				ISO 1862	1975				1975	SC23
40721	C		パッキング密度	ぱっきんぐみつど	packing density				ISO 1862	1975				1975	SC23
40722	C		ブロック間間隔	ぶろっくかんかんかく	inter-block gap				ISO 1862	1975				1975	SC23
40723	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 3407	1983				1983	SC23
40724	C		基準テープカセット	きじゅんてーぷかせっと	reference tape cassette				ISO 3407	1983				1983	SC23
40725	C		二次基準テープカセット	にじきじゅんてーぷかせっと	secondary reference tape cassette				ISO 3407	1983				1983	SC23
40726	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO 3407	1983				1983	SC23
40727	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording current				ISO 3407	1983				1983	SC23
40728	C		信号振幅基準テープカセット	しんごうしんぷくきじゅんてーぷかせっと	Signal amplitude reference tape cassette				ISO 3407	1983				1983	SC23
40729	C		二次基準振幅	にじきじゅんしんぷく	standard reference amplitude				ISO 3407	1983				1983	SC23
40730	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude				ISO 3407	1983				1983	SC23
40731	C		接触している	せっしょくしている	in contact				ISO 3407	1983				1983	SC23
40732	C		トラック	とらっく	track				ISO 3407	1983				1983	SC23
40733	C		ビット密度	びっとみつど	bit density				ISO 3407	1983				1983	SC23
40734	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	position of flux transitions				ISO 3407	1983				1983	SC23
40735	C		リーダ	りーだ	leader				ISO 3407	1983				1983	SC23
40736	C		消去磁界	しょうきょじかい	erasing field				ISO 3407	1983				1983	SC23
40737	C		プリントスルー	ぷりんとするー	print through				ISO 3407	1983				1983	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40738	C		基準位置合わせカセット	きじゅんいちあわせかせっと	reference alignment cassette				ISO 3407	1983				1983	SC23
40739	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field				ISO 3407	1983				1983	SC23
40740	C		抵抗毎スクエア	ていこうまいすくえあ	resistance per square				ISO 3407	1983				1983	SC23
40741	C		セクタ	せくた	sector				ISO 3561	1976				1976	SC23
40742	C		ホームアドレス	ほーむあどれす	home address				ISO 3561	1976				1976	SC23
40743	C		カウント	かうんと	count				ISO 3561	1976				1976	SC23
40744	C		キー	きー	key				ISO 3561	1976				1976	SC23
40745	C		データブロック	でーたぶろっく	data block				ISO 3561	1976				1976	SC23
40746	C		間隔	かんかく	gap				ISO 3561	1976				1976	SC23
40747	C		バイト(又はオクテット)	ばいと(またはおくてっと)	byte (or octet)				ISO 3561	1976				1976	SC23
40748	C		16進数表記法	16しんすうひょうきほう	hexadecimal notation				ISO 3561	1976				1976	SC23
40749	C		セクタ	せくた	sector				ISO 3563	1976				1976	SC23
40750	C		セクタ0	せくた0	sector 0				ISO 3563	1976				1976	SC23
40751	C		データセクタ	でーたせくた	data sectors				ISO 3563	1976				1976	SC23
40752	C		識別子	しきべつし	identifier				ISO 3563	1976				1976	SC23
40753	C		データブロック	でーたぶろっく	data block				ISO 3563	1976				1976	SC23
40754	C		間隔	かんかく	gap				ISO 3563	1976				1976	SC23
40755	C		バイト(又はオクテット)	ばいと(またはおくてっと)	byte (or octet)				ISO 3563	1976				1976	SC23
40756	C		16進数表記法	16しんすうひょうきほう	hexadecimal notation				ISO 3563	1976				1976	SC23
40757	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	cyclic redundancy check (CRC)				ISO 3563	1976				1976	SC23
40758	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 4057	1986				1986	SC23
40759	C		基準テープカートリッジ	きじゅんてーぷかーとりっじ	Reference Tape Cartridge				ISO 4057	1986				1986	SC23
40760	C		二次基準テープカートリッジ	にじきじゅんてーぷかーとりっじ	secondary reference tape cartridge				ISO 4057	1986				1986	SC23
40761	C		信号振幅基準テープカートリッジ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷかーとりっじ	Signal Amplitude Reference Tape Cartridge				ISO 4057	1986				1986	SC23
40762	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO 4057	1986				1986	SC23
40763	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current:				ISO 4057	1986				1986	SC23
40764	C		基準信号振幅(SRA)	きじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO 4057	1986				1986	SC23
40765	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO 4057	1986				1986	SC23
40766	C		接触中	せっしょくちゅう	in-contact				ISO 4057	1986				1986	SC23
40767	C		トラック	とらっく	track				ISO 4057	1986				1986	SC23
40768	C		ビット密度	びっとみつど	bit density				ISO 4057	1986				1986	SC23
40769	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	Position of flux transitions				ISO 4057	1986				1986	SC23
40770	C		消去磁界	しょうきょじかい	erasing field				ISO 4057	1986				1986	SC23
40771	C		基準位置合わせカートリッジ	きじゅんいちあわせかーとりっじ	Reference Alignment Tape Cartridge				ISO 4057	1986				1986	SC23
40772	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field				ISO 4057	1986				1986	SC23
40773	C		フレキシブルディスク	ふれきしぶるでぃすく	flexible disk				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40774	C		基準フレキシブルディスクカートリッジ	きじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	reference flexible disk cartridge				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40775	C		二次基準フレキシブルディスクカートリッジ	にじきじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	secondary reference flexible disk cartridge				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40776	C		信号振幅基準フレキシブルディスクカートリッジ	しんごうしんぷくきじゅんふれきしぶるでぃすくかー	signal amplitude reference flexible disk cartridge				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40777	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40778	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40779	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	test recording currents				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40780	C		標準信号振幅(SRA)	ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	standard reference amplitudes				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40781	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40782	C		接触している	せっしょくしている	in contact				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40783	C		書式付け	しょしきづけ	formatting				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40784	C		初期化	しょきか	initialization				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40785	C		記録領域	きろくりょういき	recording area				ISO 7065-1	1985				1985	SC23
40786	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40787	C		基準テープカートリッジ	きじゅんてーぷかーとりっじ	Reference Tape Cartridge				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40788	C		二次基準テープカートリッジ	にじきじゅんてーぷかーとりっじ	Secondary Reference Tape Cartridge				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40789	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40790	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40791	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40792	C		信号振幅基準テープカートリッジ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷかーとりっじ	Signal Amplitude Reference Tape Cartridge				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40793	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40794	C		標準信号振幅(SRA)	ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40795	C		接触中	せっしょくちゅう	in-contact				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40796	C		トラック	とらっく	track				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40797	C		記録密度	きろくみつど	physical recording density				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40798	C		データ密度	でーたみつど	data density				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40799	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	position of flux transitions				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40800	C		消去磁界	しょうきょじかい	erasing field				ISO 8063-1	1986				1986	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40801	C		記録領域	きろくりょういき	recording area				ISO 8063-1	1986				1986	SC23
40802	C		フレキシブルディスク	ふれきしぶるでぃすく	flexible disk				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40803	C		基準フレキシブルディスクカートリッジ	きじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	reference flexible disk cartridge				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40804	C		二次基準フレキシブルディスクカートリッジ	にじきじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	secondary reference flexible disk cartridge				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40805	C		信号振幅基準フレキシブルディスクカートリッジ	しんごうしんぷくきじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	signal amplitude reference flexible disk cartridge				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40806	C		(各面の)ティピカル磁界	(かくめんの)ていぴかるじかい	typical field (for each side)				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40807	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40808	C		(各面の)試験記録電流	(かくめんの)しけんきろくでんりゅう	test recording current (for each side)				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40809	C		(各面の)標準信号振幅(SRA)	(かくめんの)ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	standard reference amplitude (SRA) (for each side)				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40810	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40811	C		接触中	せっしょくちゅう	in-contact				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40812	C		書式付け	しょしきづけ	formatting				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40813	C		初期化	しょきか	initialization				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40814	C		記録領域	きろくりょういき	recording area				ISO 8378-1	1986				1986	SC23
40815	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40816	C		基準テープカートリッジ	きじゅんてーぷかーとりっじ	Reference Tape Cartridge				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40817	C		二次基準テープカートリッジ	にじきじゅんてーぷかーとりっじ	Secondary Reference Tape Cartridge				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40818	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	typical field				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40819	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40820	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Currents				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40821	C		信号振幅基準テープカートリッジ	しんごうしんぷくきじゅんてーぷかーとりっじ	Signal Amplitude Reference Tape Cartridge				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40822	C		標準信号振幅(SRA)	ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40823	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40824	C		接触中	せっしょくちゅう	in-contact				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40825	C		トラック	とらっく	track				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40826	C		記録密度	きろくみつど	physical recording density				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40827	C		データ密度	でーたみつど	data density				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40828	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	position of flux transitions				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40829	C		基準位置合わせテープカートリッジ	きじゅんいちあわせてーぷかーとりっじ	Reference Alignment Tape Cartridge				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40830	C		記録領域	きろくりょういき	recording area				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40831	C		消去磁界	しょうきょじかい	erasing field				ISO 8462-1	1986				1986	SC23
40832	C		フレキシブルディスク	ふれきしぶるでぃすく	flexible disk				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40833	C		基準フレキシブルディスクカートリッジ	きじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	Reference Flexible Disk Cartridge				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40834	C		二次基準フレキシブルディスクカートリッジ	にじきじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	Secondary Reference Flexible Disk Cartridge				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40835	C		信号振幅基準フレキシブルディスクカートリッジ	しんごうしんぷくきじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	Signal Amplitude Reference Flexible Disk Cartridge				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40836	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40837	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40838	C		(各面の)試験記録電流	(かくめんの)しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current (for each side)				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40839	C		標準信号振幅(SRA)	ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40840	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40841	C		接触中	せっしょくちゅう	in-contact				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40842	C		書式付け	しょしきづけ	formatting				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40843	C		初期化	しょきか	initialization				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40844	C		記録領域	きろくりょういき	recording area				ISO 8630-1	1987				1987	SC23
40845	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40846	C		巡回冗長検査文字、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさもじ、CRC	Cyclic Redundancy Check (CRC)				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40847	C		エンボスマーク	えんぼすまーく	embossed mark				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40848	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40849	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code (ECC)				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40850	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40851	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40852	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40853	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40854	C		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40855	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40856	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40857	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40858	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(おーでぃーしー)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40859	C		極性	きょくせい	polarization				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40860	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40861	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40862	C		書換形光ディスク	かきかえがたひかりでぃすく	rewritable optical disk				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40863	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40864	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40865	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40866	C		追記機能	ついききのう	write-once functionality				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40867	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 13481	1993				1993	SC23
40868	C		フレキシブルディスク	ふれきしぶるでぃすく	flexible disk				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40869	C		主標準フレキシブルディスクカートリッジ	しゅひょうじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	master standard reference flexible disk cartridge				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40870	C		二次標準フレキシブルディスクカートリッジ	にじひょうじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	secondary standard reference flexible disk cartridge				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40871	C		(各面の)ティピカル磁界	(かくめんの)ていぴかるじかい	typical field (for each side)				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40872	C		基準磁界	きじゅんじかい	reference field				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40873	C		(各面の)試験記録電流	(かくめんの)しけんきろくでんりゅう	test recording current (for each side)				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40874	C		(各面の)標準信号振幅(SRA)	(かくめんの)ひょうじゅんしんごうしんぷく(SRA)	standard reference amplitude (SRA) (for each side)				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40875	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	average signal amplitude				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40876	C		接触中	せっしょくちゅう	in-contact				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40877	C		書式付け	しょしきづけ	formatting				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40878	C		初期化	しょきか	initialization				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40879	C		記録エリア	きろくえりあ	recording area				ISO/IEC 7487-1	1993				1993	SC23
40880	C		キャディ	きゃでぃ	caddy				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40881	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40882	C		光学ディスク	こうがくでぃすく	optical disk				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40883	C		光学ディスクキャリア	こうがくでぃすくきゃりあ	optical disk carrier				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40884	C		光学ディスクカートリッジ	こうがくでぃすくかーとりっ	optical disk cartridge				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40885	C		周囲環	しゅういかん	perimeter ring				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40886	C		エアサンドイッチディスク	えあさんどいっちでぃすく	air-sandwich disk				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40887	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40888	C		カバーシート	かばーしーと	coversheet				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40889	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40890	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40891	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40892	C		裏打ち層	うらうちそう	protective layer				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40893	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40894	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40895	C		傾斜角	けいしゃかく	tilt				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40896	C		実効記録パワー	じっこうきろくぱわー	actual write power				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40897	C		基準反射率	きじゅんはんしゃりつ	baseline reflectance				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40898	C		複屈折	ふくっせつ	birefringence				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40899	C		クロストークレベル	くろすとーくれべる	cross-talk level				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40900	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40901	C		狭帯域信号対雑音比	きょうたいいきしんごうたいざつおんひ	narrow band signal-to-noise ratio				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40902	C		ノイズフロア	のいずふろあ	noise floor				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40903	C		光学的遅れ	こうがくてきおくれ	optical retardation				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40904	C		再生パワー	さいせいぱわー	read power				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40905	C		記録パワー	きろくぱわー	write power				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40906	C		帯域	たいいき	band				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40907	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40908	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40909	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40910	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	cyclic redundancy check (CRC)				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40911	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40912	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correction code (ECC)				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40913	C		誤り検出及び訂正(EDAC)	あやまりけんしゅつおよびていせい(EDAC)	error detection and correction (EDAC)				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40914	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40915	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 10885	1993				1993	SC23
40916	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40917	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40918	C		回転方向	かいてんほうこう	direction of rotation				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40919	C		ディスク	でぃすく	disk				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40920	C		消去可能性	しょうきょかのうせい	eraseability				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40921	C		書式付け	しょしきづけ	formatting				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40922	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40923	C		接触中	せっしょくちゅう	in-contact				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40924	C		インデックス	いんでっくす	Index				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40925	C		初期化	しょきか	initialization				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40926	C		アクセス線	あくせすせん	line of access				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40927	C		ライナ	らいな	liner				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40928	C		主標準フレキシブルディスクカートリッジ	しゅひょうじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	Master Standard Reference Flexible Disk				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40929	C		基準消去磁界	きじゅんしょうきょじかい	Reference Erase Field				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40930	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40931	C		二次標準フレキシブルディスクカートリッジ	にじひょうじゅんふれきしぶるでぃすくかーとりっじ	Secondary Standard Reference Flexible Disk Cartridge				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40932	C		シャッタ	しゃった	shutter				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40933	C		面	めん	Side				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40934	C		標準信号振幅	ひょうじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40935	C		試験消去電流	しけんしょうきょでんりゅう	Test Erase Current				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40936	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40937	C		ティピカル磁界	てぃぴかるじかい	Typical Field				ISO/IEC 10994	1992				1992	SC23
40938	C		絶対フレーム番号(AFN)	ぜったいふれーむばんごう(AFN)	Absolute Frame Number (AFN)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40939	C		交流消去	こうりゅうしょうきょ	AC erase				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40940	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40941	C		自動トラックファインディング(ATF)	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ(ATF)	Automatic Track Finding (ATF)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40942	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40943	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40944	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40945	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40946	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40947	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel bit				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40948	C		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40949	C		データ終端(EOD)	でーたしゅうたん(EOD)	End of Data (EOD)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40950	C		情報終端(EOI)	じょうほうしゅうたん(EOI)	End of Information (EOI)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40951	C		パーティション終端(EOP)	ぱーてぃしょんしゅうたん(EOP)	End of Partition (EOP)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40952	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40953	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40954	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40955	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40956	C		グループ	ぐるーぷ	group				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40957	C		テープの論理始端(LBOT)	てーぷのろんりしたん(LBOT)	Logical Beginning of Tape (LBOT)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40958	C		テープの論理終端(LEOT)	てーぷのろんりしゅうたん(LEOT)	Logical End of Tape (LEOT)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40959	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40960	C		主参照	しゅさんしょう	Master reference				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40961	C		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40962	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40963	C		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	optimum recording field				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40964	C		パーティション	ぱーてぃしょん	partition				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40965	C		パーティション参照	ぱーてぃしょんさんしょう	partition reference				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40966	C		テープの物理始端(PBOT)	てーぷのぶつりしたん(PBOT)	Physical Beginning of Tape (PBOT)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40967	C		テープの物理終端(PEOT)	てーぷのぶつりしゅうたん(PEOT)	Physical End of Tape (PEOT)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40968	C		記録密度	きろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40969	C		記録条件(最大記録レベル)	きろくじょうけん(さいだいきろくれべる)	pre-recording condition (maximum recorded levels)				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40970	C		レコード	れこーど	record				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40971	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40972	C		信号振幅副基準テープ	しんごうしんぷくふくきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40973	C		副基準テープ	ふくきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40974	C		セパレータ	せぱれーた	separator				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40975	C		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40976	C		テープ雑音振幅	てーぷざつおんしんぷく	tape noise amplitude				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40977	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
40978	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 11321	1992				1992	SC23
40979	C		絶対フレーム番号(AFN)	ぜったいふれーむばんごう(AFN)	Absolute Frame Number (AFN)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40980	C		アクセスポイント	あくせすぽいんと	Access Point				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40981	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40982	C		自動トラックファインディング(ATF)	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ(ATF)	Automatic Track Finding (ATF)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40983	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40984	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40985	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40986	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40987	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40988	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40989	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel Bit				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40990	C		符号語	ふごうご	Codeword				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40991	C		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40992	C		早期警告点(EWP)	そうきけいこくてん(EWP)	Early Warning Point (EWP)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40993	C		データ終端(EOD)	でーたしゅうたん(EOD)	End of Data (EOD)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40994	C		実体	じったい	Entity				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40995	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40996	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40997	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40998	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
40999	C		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	Housekeeping Frame				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41000	C		テープの論理始端(LBOT)	てーぷのろんりしたん(LBOT)	Logical Beginning of Tape (LBOT)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41001	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41002	C		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41003	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41004	C		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	Optimum Recording Field				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41005	C		パーティション境界	ぱーていしょんきょうかい	Partition boundary				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41006	C		テープの物理始端(PBOT)	てーぷのぶつりしたん(PBOT)	Physical Beginning of Tape (PBOT)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41007	C		テープの物理終端(PEOT)	てーぷのぶつりしゅうたん(PEOT)	Physical End of Tape (PEOT)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41008	C		記録密度	きろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41009	C		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41010	C		処理	しょり	processing				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41011	C		処理済みデータ	しょりずみでーた	processed data				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41012	C		処理済み記録	しょりずみきろく	Processed Record				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41013	C		処理済み記録シーケンス	しょりずみきろくしーけんす	Processed Record Sequence				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41014	C		レコード	れこーど	Record				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41015	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41016	C		復元処理	ふくげんしょり	reprocessing				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41017	C		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41018	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41019	C		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41020	C		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41021	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41022	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41023	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41024	C		未処理データ	みしょりでーた	Unprocessed Data				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41025	C		未処理記録	みしょりきろく	Unprocessed Record				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41026	C		テープの仮想終端(VEOT)	てーぷのかそうしゅうたん(VEOT)	Virtual End of Tape (VEOT)				ISO/IEC 11557	1992				1992	SC23
41027	C		ケース	けーす	case				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41028	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41029	C		制御トラック	せいぎょとらっく	control track				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41030	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、CRC	cyclic redundancy check (CRC)				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41031	C		欠陥管理	けっかんかんり	defect management				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41032	C		ディスクの基準面	でぃすくのきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41033	C		入射面	にゅうしゃめん	entrance surface				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41034	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	error correction code (ECC)				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41035	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41036	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41037	C		インタリーブ	いんたりーぶ	interleaving				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41038	C		カー回転	かーかいてん	Kerr rotation				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41039	C		ランド及びグルーブ	らんどおよびぐるーぶ	land and groove				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41040	C		マーク	まーく	mark				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41041	C		光ディスク	ひかりでぃすく	optical disk				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41042	C		光ディスクカートリッジ(ODC)	ひかりでぃすくかーとりっじ(ODC)	optical disk cartridge (ODC)				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41043	C		偏光	へんこう	polarization				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41044	C		プリレコードマーク	ぷりれこーどまーく	pre-recorded mark				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41045	C		再生パワー	さいせいぱわー	read power				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41046	C		記録層	きろくそう	recording layer				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41047	C		リードソロモン符号	りーどそろもんふごう	Reed-Solomon code				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41048	C		スピンドル	すぴんどる	spindle				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41049	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41050	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41051	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41052	C		書込み禁止孔	かきこみきんしこう	write-inhibit hole				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41053	C		追記型光ディスク	ついきがたひかりでぃすく	write once optical disk				ISO/IEC 11560	1992				1992	SC23
41054	C		絶対フレーム番号(AFN)	ぜったいふれーむばんごう(AFN)	Absolute Frame Number (AFN)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41055	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41056	C		自動トラックファインディング(ATF)	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ(ATF)	Automatic Track Finding (ATF)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41057	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41058	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41059	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41060	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41061	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41062	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel Bit				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41063	C		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41064	C		早期警告点(EWP)	そうきけいこくてん(EWP)	Early Warning Point (EWP)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41065	C		データ終端(EOD)	でーたしゅうたん(EOD)	End of Data (EOD)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41066	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41067	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41068	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41069	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41070	C		ハウスキーピングフレーム	はうすきーぴんぐふれー	Housekeeping Frame				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41071	C		テープの論理始端(LBOT)	てーぷのろんりしたん(LBOT)	Logical Beginning of Tape (LBOT)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41072	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41073	C		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41074	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41075	C		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	Optimum Recording Field				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41076	C		パーティション境界	ぱーてぃしょんきょうかい	partition boundary				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41077	C		テープの物理始端(PBOT)	てーぷのぶつりしたん(PBOT)	Physical Beginning of Tape (PBOT)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41078	C		テープの物理終端(PEOT)	てーぷのぶつりしゅうたん(PEOT)	Physical End of Tape (PEOT)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41079	C		記録密度	きろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41080	C		記録条件	きろくじょうけん	pre-recording condition				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41081	C		レコード	れこーど	record				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41082	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41083	C		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41084	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41085	C		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41086	C		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41087	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41088	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41089	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41090	C		テープの仮想終端(VEOT)	てーぷのかそうしゅうたん(VEOT)	Virtual End of Tape (VEOT)				ISO/IEC 12247	1993				1993	SC23
41091	C		絶対フレーム番号(AFN)	ぜったいふれーむばんごう(AFN)	Absolute Frame Number (AFN)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41092	C		アルゴリズム	あるごりずむ	algorithm				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41093	C		エリアID	えりあID	Area ID				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41094	C		自動トラックファインディング(ATF)	じどうとらっくふぁいんでぃんぐ(ATF)	Automatic Track Finding (ATF)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41095	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41096	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41097	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41098	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41099	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41100	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	Channel Bit				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41101	C		符号語	ふごうご	Codeword				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41102	C		データフォーマットID	でーたふぉーまっとID	Data Format ID				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41103	C		データ終端(EOD)	でーたしゅうたん(EOD)	End of Data (EOD)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41104	C		情報終端(EOI)	じょうほうしゅうたん(EOI)	End of Information (EOI)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41105	C		パーティション終端(EOP)	ぱーていしょんしゅうたん(EOP)	End of Partition (EOP)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41106	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41107	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41108	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41109	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41110	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41111	C		グループ	ぐるーぷ	group				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41112	C		テープの論理始端(LBOT)	てーぷのろんりしたん(LBOT)	Logical Beginning of Tape (LBOT)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41113	C		テープの論理終端(LEOT)	てーぷのろんりしゅうたん(LEOT)	Logical End of Tape (LEOT)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41114	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41115	C		主参照	しゅさんしょう	master reference				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41116	C		信号振幅主基準テープ	しんごうしんぷくしゅきじゅんてーぷ	Master Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41117	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41118	C		最適印加磁界	さいてきいんかじかい	Optimum Recording Field				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41119	C		パーティション	ぱーていしょん	partition				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41120	C		パーティション参照	ぱーていしょんさんしょう	partition reference				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41121	C		テープの物理始端(PBOT)	てーぷのぶつりしたん(PBOT)	Physical Beginning of Tape (PBOT)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41122	C		テープの物理終端(PEOT)	てーぷのぶつりしゅうたん(PEOT)	Physical End of Tape (PEOT)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41123	C		記録密度	きろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41124	C		記録条件(最大記録レベル)	きろくじょうけん(さいだいきろくれべる)	pre-recording condition (maximum recorded levels)				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41125	C		処理済み記録	しょりずみきろく	processed record				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41126	C		処理済み記録シーケンス	しょりずみきろくしーけん	processed record				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41127	C		処理	しょり	processing				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41128	C		レコード	れこーど	record				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41129	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Recording Field				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41130	C		信号振幅二次基準テープ	しんごうしんぷくにじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Amplitude Calibration				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41131	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41132	C		セパレータマーク	せぱれーたまーく	Separator Mark				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41133	C		基準信号振幅	きじゅんしんごうしんぷく	Standard Reference Amplitude				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41134	C		テープ雑音振幅	てーぷざつおんしんぷく	tape noise amplitude				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41135	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Tape Reference Edge				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41136	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 12248	1993				1993	SC23
41137	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41138	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41139	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41140	C		テープの始端マーカ(BOT)	てーぷのしたんまーか(BOT)	Beginning-Of-Tape marker (BOT)				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41141	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41142	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41143	C		巡回冗長検査(CRC)文字	じゅんかいじょうちょうけんさ(CRC)もじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) character				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41144	C		早期終端警告、EW	そうきしゅうたんけいこく、	Early Warning (EW)				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41145	C		誤り検出符号(EDC)	あやまりけんしゅつふごう(EDC)	Error-Detecting Code (EDC)				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41146	C		テープの終端マーカ(EOT)	てーぷのしゅうたんまーか(EOT)	End-Of-Tape marker (EOT)				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41147	C		実体	じったい	Entity				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41148	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error-Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41149	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41150	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41151	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	Logical Block				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41152	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41153	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41154	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41155	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41156	C		物理ブロック	ぶつりぶろっく	physical block				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41157	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41158	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41159	C		レコード	れこーど	Record				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41160	C		テープ基準縁	てーぷきじゅんえん	Reference Edge				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41161	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41162	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41163	C		基準信号振幅(SRA)	きじゅんしんごうしんぷく(SRA)	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41164	C		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41165	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41166	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field				ISO/IEC 13421	1993				1993	SC23
41167	C		入力受理	にゅうりょくじゅり	acknowledgement				ISO 8805	1988				1988	SC24
41168	C		縦横比	たてよこひ	aspect ratio				ISO 8805	1988				1988	SC24
41169	C		表示様相源フラグ(ASF)	ひょうじようそうげんふらぐ(ASF)	aspect source flag (ASF)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41170	C		基本要素の表示様相	きほんようそのひょうじようそう	aspects of primitives				ISO 8805	1988				1988	SC24
41171	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO 8805	1988				1988	SC24
41172	C		後方境界面	こうほうきょうかいめん	back plane				ISO 8805	1988				1988	SC24
41173	C		ベースライン	べーすらいん	baseline				ISO 8805	1988				1988	SC24
41174	C		束指標	たばしひょう	bundle index				ISO 8805	1988				1988	SC24
41175	C		束表	たばひょう	bundle table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41176	C		キャップライン	きゃっぷらいん	capline				ISO 8805	1988				1988	SC24
41177	C		セル配列	せるはいれつ	cell array				ISO 8805	1988				1988	SC24
41178	C		投影中心	とうえいちゅうしん	centre of projection				ISO 8805	1988				1988	SC24
41179	C		中央線	ちゅうおうせん	centreline				ISO 8805	1988				1988	SC24
41180	C		文字基準方向	もじきじゅんほうこう	character base vector				ISO 8805	1988				1988	SC24
41181	C		文字枠	もじわく	character body				ISO 8805	1988				1988	SC24
41182	C		文字幅拡大率	もじはばかくだいりつ	character expansion				ISO 8805	1988				1988	SC24
41183	C		文字高	もじこう	character height				ISO 8805	1988				1988	SC24
41184	C		文字集合	もじしゅうごう	character set				ISO 8805	1988				1988	SC24
41185	C		文字間隔	もじかんかく	character spacing				ISO 8805	1988				1988	SC24
41186	C		文字立ち上がり方向	もじたちあがりほうこう	character up vector				ISO 8805	1988				1988	SC24
41187	C		文字幅	もじはば	character width				ISO 8805	1988				1988	SC24
41188	C		選択値入力装置	せんたくちにゅうりょくそう	choice device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41189	C		CIE	CIE	CIE				ISO 8805	1988				1988	SC24
41190	C		CIE L*u*v* 色モデル	CIE L*u*v* いろもでる	CIE L*u*v* colour model				ISO 8805	1988				1988	SC24
41191	C		CIE三刺激色色モデル	CIEさんしげきしょくいろもでる	CIE Tristimulus colour colour model				ISO 8805	1988				1988	SC24
41192	C		切取り	きりとり	clipping				ISO 8805	1988				1988	SC24
41193	C		切取り立体	きりとりりったい	clipping volume				ISO 8805	1988				1988	SC24
41194	C		色モデル	いろもでる	colour model				ISO 8805	1988				1988	SC24
41195	C		色定義表	いろていぎひょう	colour table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41196	C		ベクタグラフィクス	べくたぐらふぃくす	coordinate graphics, line graphics				ISO 8805	1988				1988	SC24
41197	C		装置座標(DC)	そうちざひょう(DC)	device coordinates (DC)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41198	C		装置ドライバ	そうちどらいば	device driver				ISO 8805	1988				1988	SC24
41199	C		装置空間	そうちくうかん	device space				ISO 8805	1988				1988	SC24
41200	C		表示装置	ひょうじそうち	display device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41201	C		表示画像	ひょうじがぞう	display image; picture				ISO 8805	1988				1988	SC24
41202	C		表示空間	ひょうじくうかん	display space				ISO 8805	1988				1988	SC24
41203	C		エコー	えこー	echo				ISO 8805	1988				1988	SC24
41204	C		エコー領域、エコー立体	えこーりょういき、えこーりったい	echo area, echo volume				ISO 8805	1988				1988	SC24
41205	C		エコー型	えこーかた	echo type				ISO 8805	1988				1988	SC24
41206	C		辺	へん	edge				ISO 8805	1988				1988	SC24
41207	C		辺束表	へんたばひょう	edge bundle table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41208	C		辺フラグ	へんふらぐ	edge flag				ISO 8805	1988				1988	SC24
41209	C		辺線種	へんせんしゅ	edge type				ISO 8805	1988				1988	SC24
41210	C		辺線幅倍率	へんせんぶくばいりつ	edgewidth scale factor				ISO 8805	1988				1988	SC24
41211	C		エスケープ	えすけーぷ	escape				ISO 8805	1988				1988	SC24
41212	C		事象モード	じしょうもーど	event mode				ISO 8805	1988				1988	SC24
41213	C		事象待ち行列	じしょうまちぎょうれつ	event queue				ISO 8805	1988				1988	SC24
41214	C		事象報告	じしょうほうこく	event report				ISO 8805	1988				1988	SC24
41215	C		フィードバック	ふぃーどばっく	feedback				ISO 8805	1988				1988	SC24
41216	C		領域	りょういき	fill area				ISO 8805	1988				1988	SC24
41217	C		領域束表	りょういきたばひょう	fill area bundle table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41218	C		領域集合	りょういきしゅうごう	fill area set				ISO 8805	1988				1988	SC24
41219	C		前方境界面	ぜんぽうきょうかいめん	front plane				ISO 8805	1988				1988	SC24
41220	C		一般化作画基本要素(GDP)	いっぱんかさくがきほんようそ(GDP)	Generalized Drawing Primitive (GDP)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41221	C		GKS-3D水準	GKS-3Dすいじゅん	GKS-3D level				ISO 8805	1988				1988	SC24
41222	C		GKS-3Dメタファイル	GKS-3Dめたふぁいる	GKS-3D Metafile (GKSM)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41223	C		ハーフライン	はーふらいん	halfline				ISO 8805	1988				1988	SC24
41224	C		ハッチ内部様式	はっちないぶようしき	hatch interior style				ISO 8805	1988				1988	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41225	C		ハッチ表	はっちひょう	hatch table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41226	C		隠線隠面消法(HLHSR)	いんせんいんめんしょうきょ(HLHSR)	hidden line/hidden surface removal				ISO 8805	1988				1988	SC24
41227	C		強調表示	きょうちょうひょうじ	highlighting				ISO 8805	1988				1988	SC24
41228	C		HLS	HLS	HLS				ISO 8805	1988				1988	SC24
41229	C		中空内部様式	ちゅうくうないぶようしき	hollow interior style				ISO 8805	1988				1988	SC24
41230	C		HSV	HSV	HSV				ISO 8805	1988				1988	SC24
41231	C		描画像	びょうがぞう	image				ISO 8805	1988				1988	SC24
41232	C		実装必す要項	じっそうひっすようこう	implementation mandatory				ISO 8805	1988				1988	SC24
41233	C		入力類	にゅうりょくるい	input class				ISO 8805	1988				1988	SC24
41234	C		入力モード	にゅうりょくもーど	input mode				ISO 8805	1988				1988	SC24
41235	C		問合せ機能	といあわせきのう	inquiry function				ISO 8805	1988				1988	SC24
41236	C		内部様式	ないぶようしき	interior style				ISO 8805	1988				1988	SC24
41237	C		線種	せんしゅ	linetype				ISO 8805	1988				1988	SC24
41238	C		線幅倍率	せんぷくばいりつ	linewidth scale factor				ISO 8805	1988				1988	SC24
41239	C		位置入力装置	いちにゅうりょくそうち	locator device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41240	C		論理入力装置	ろんりにゅうりょくそうち	logical input device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41241	C		論理入力値	ろんりにゅうりょくち	logical input value				ISO 8805	1988				1988	SC24
41242	C		マーカ	まーか	marker				ISO 8805	1988				1988	SC24
41243	C		マーカ倍率	まーかばいりつ	marker size scale factor				ISO 8805	1988				1988	SC24
41244	C		マーカ種	まーかしゅ	marker type				ISO 8805	1988				1988	SC24
41245	C		計測値	けいそくち	measure				ISO 8805	1988				1988	SC24
41246	C		計測プロセス	けいそくぷろせす	measure process				ISO 8805	1988				1988	SC24
41247	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO 8805	1988				1988	SC24
41248	C		MI	MI	MI				ISO 8805	1988				1988	SC24
41249	C		MO	MO	MO				ISO 8805	1988				1988	SC24
41250	C		正規化変換、ウィンドウビューポート変換	せいきかへんかん、ういんどうびゅーぽーとへんかん	normalization transformation, window-to-viewport				ISO 8805	1988				1988	SC24
41251	C		正規化装置座標系(NDC)	せいきかそうちざひょうけい(NDC)	normalized device coordinates (NDC)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41252	C		正規化投影座標系(NPC)	せいきかとうえいざひょうけい(NPC)	normalized projection coordinates (NPC)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41253	C		斜めビュー	ななめびゅー	oblique view				ISO 8805	1988				1988	SC24
41254	C		操作者	そうさしゃ	operator				ISO 8805	1988				1988	SC24
41255	C		出力基本要素	しゅつりょくきほんようそ	output primitive				ISO 8805	1988				1988	SC24
41256	C		平行変換	へいこうへんかん	parallel transformation				ISO 8805	1988				1988	SC24
41257	C		透視変換	とうしへんかん	perspective				ISO 8805	1988				1988	SC24
41258	C		ピック入力装置	ぴっくにゅうりょくそうち	pick device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41259	C		ピック識別子	ぴっくしきべつし	pick identifier				ISO 8805	1988				1988	SC24
41260	C		ピクセル、画素	ぴくせる、がそ	pixel, picture element				ISO 8805	1988				1988	SC24
41261	C		折れ線	おれせん	polyline				ISO 8805	1988				1988	SC24
41262	C		折れ線束表	おれせんたばひょう	polyline bundle table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41263	C		マーカ列	まーかれつ	polymarker				ISO 8805	1988				1988	SC24
41264	C		マーカ列束表	まーかれつたばひょう	polymarker bundle table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41265	C		基本要素属性	きほんようそぞくせい	primitive attribute				ISO 8805	1988				1988	SC24
41266	C		投影平面	とうえいへいめん	projection plane				ISO 8805	1988				1988	SC24
41267	C		投影基準点(PRP)	とうえいきじゅんてん(PRP)	projection reference point (PRP)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41268	C		投影線	とうえいせん	projector				ISO 8805	1988				1988	SC24
41269	C		入力促進、プロンプト	にゅうりょくそくしん、ぷろんぷと	prompt				ISO 8805	1988				1988	SC24
41270	C		ラスタ方式グラフィクス	らすたほうしきぐらふぃくす	raster graphics				ISO 8805	1988				1988	SC24
41271	C		RGB	RGB	RGB				ISO 8805	1988				1988	SC24
41272	C		回転	かいてん	rotation				ISO 8805	1988				1988	SC24
41273	C		拡大縮小	かくだいしゅくしょう	scaling zooming				ISO 8805	1988				1988	SC24
41274	C		セグメント	せぐめんと	segment				ISO 8805	1988				1988	SC24
41275	C		セグメント属性	せぐめんとぞくせい	segment attributes				ISO 8805	1988				1988	SC24
41276	C		セグメント優先度	せぐめんとゆうせんど	segment priority				ISO 8805	1988				1988	SC24
41277	C		セグメント変換	せぐめんとへんかん	segment transformation				ISO 8805	1988				1988	SC24
41278	C		文字列	もじれつ	string				ISO 8805	1988				1988	SC24
41279	C		文字列入力装置	もじれつにゅうりょくそうち	string device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41280	C		点列入力装置	てんれつにゅうりょくそうち	stroke device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41281	C		テキスト	てきすと	text				ISO 8805	1988				1988	SC24
41282	C		テキスト配置	てきすとはいち	text alignment				ISO 8805	1988				1988	SC24
41283	C		テキスト束表	てきすとたばひょう	text bundle table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41284	C		テキスト平面定義ベクトル	てきすとへいめんていぎべくとる	text direction vectors				ISO 8805	1988				1988	SC24
41285	C		テキスト区域	てきすとくいき	text extent				ISO 8805	1988				1988	SC24
41286	C		テキストフォント及び表示精度	てきすとふぉんとおよびひょうじせいど	text font and precision				ISO 8805	1988				1988	SC24
41287	C		テキスト進行方向	てきすとしんこうほうこう	text path				ISO 8805	1988				1988	SC24
41288	C		テキスト平面	てきすとへいめん	text plane				ISO 8805	1988				1988	SC24
41289	C		テキスト位置	てきすといち	text position				ISO 8805	1988				1988	SC24
41290	C		平行移動、シフト	へいこういどう、しふと	translation, shift				ISO 8805	1988				1988	SC24
41291	C		トリガ	とりが	trigger				ISO 8805	1988				1988	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41292	C		実数値入力装置	じっすうちにゅうりょくそう	valuator device				ISO 8805	1988				1988	SC24
41293	C		ビュー指標	びゅーしひょう	view index				ISO 8805	1988				1988	SC24
41294	C		ビュー写像変換行列	びゅーしゃぞうへんかんぎょうれつ	view mapping matrix				ISO 8805	1988				1988	SC24
41295	C		ビュー方向変換行列	びゅーほうこうへんかんぎょうれつ	view orientation matrix				ISO 8805	1988				1988	SC24
41296	C		ビュー平面	びゅーへいめん	view plane				ISO 8805	1988				1988	SC24
41297	C		ビュー平面距離	びゅーへいめんきょり	view plane distance				ISO 8805	1988				1988	SC24
41298	C		ビュー平面法線	びゅーへいめんほうせん	view plane normal				ISO 8805	1988				1988	SC24
41299	C		ビュー基準座標系(VRC)	びゅーきじゅんざひょうけい(VRC)	view reference coordinate system (VRC)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41300	C		ビュー基準点	びゅーきじゅんてん	view reference point				ISO 8805	1988				1988	SC24
41301	C		ビュー表	びゅーひょう	view table				ISO 8805	1988				1988	SC24
41302	C		ビュー上方向定義ベクトル	びゅーじょうほうこうていぎべくとる	view up vector				ISO 8805	1988				1988	SC24
41303	C		ビュー立体	びゅーりったい	view volume				ISO 8805	1988				1988	SC24
41304	C		ビューウィンドウ	びゅーういんどう	view window				ISO 8805	1988				1988	SC24
41305	C		ビュー変換	びゅーへんかん	viewing transformation				ISO 8805	1988				1988	SC24
41306	C		ビューポート	びゅーぽーと	viewport				ISO 8805	1988				1988	SC24
41307	C		ウィンドウ	ういんどう	window				ISO 8805	1988				1988	SC24
41308	C		ワークステーション	わーくすてーしょん	workstation				ISO 8805	1988				1988	SC24
41309	C		ワークステーション依存セグメント保管(WDSS)	わーくすてーしょんいぞんせぐめんとほかん(WDSS)	workstation dependent Segment storage (WDSS)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41310	C		ワークステーション独立セグメント保管(WISS)	わーくすてーしょんどくりつせぐめんとほかん(WISS)	workstation independent Segment storage (WISS)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41311	C		ワークステーション必す要項	わーくすてーしょんひっすようこう	workstation mandatory				ISO 8805	1988				1988	SC24
41312	C		ワークステーション変換	わーくすてーしょんへんか	workstation				ISO 8805	1988				1988	SC24
41313	C		ワークステーションビューポート	わーくすてーしょんびゅーぽーと	workstation viewport				ISO 8805	1988				1988	SC24
41314	C		ワークステーションウィンド	わーくすてーしょんういん	workstation window				ISO 8805	1988				1988	SC24
41315	C		世界座標系(WC)	せかいざひょうけい(WC)	world coordinate (WC)				ISO 8805	1988				1988	SC24
41316	C		コンピュータグラフィックス	こんぴゅーたぐらふぃっく	computer graphics				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41317	C		応用	おうよう	application				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41318	C		オペレータ	おぺれーた	operator				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41319	C		環境	かんきょう	environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41320	C		構造環境	こうぞうかんきょう	construction environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41321	C		仮想環境	かそうかんきょう	virtual environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41322	C		ビュー環境	びゅーかんきょう	viewing environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41323	C		論理環境	ろんりかんきょう	logical environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41324	C		具現環境	ぐげんかんきょう	realization environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41325	C		上位環境	じょういかんきょう	higher environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41326	C		下位環境	かいかんきょう	lower environment				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41327	C		実体	じったい	entity				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41328	C		ファンイン、(入力での)単線化	ふぁんいん、(にゅうりょくでの)たんせんか	fan-in				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41329	C		ファンアウト、(出力での)複線化	ふぁんあうと、(しゅつりょくでの)ふくせんか	fan-out				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41330	C		外部インタフェース	がいぶいんたふぇーす	external interfaces				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41331	C		オペレータインタフェース	おぺれーたいんたふぇー	operator interface				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41332	C		応用インタフェース	おうよういんたふぇーす	application interface				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41333	C		データ取得メタファイル	でーたしゅとくめたふぁい	data capture metafile				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41334	C		移出	いしゅつ	export				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41335	C		移入	いにゅう	import				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41336	C		監査証跡メタファイル	かんさしょうせきめたふぁいる	audit trail metafile				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41337	C		処理要素	しょりようそ	processing element				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41338	C		上位情報の取込み	じょういじょうほうのとりこ	absorption				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41339	C		準備	じゅんび	preparation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41340	C		作成	さくせい	production				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41341	C		投射	とうしゃ	projection				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41342	C		仕上げ	しあげ	completion				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41343	C		表示	ひょうじ	presentation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41344	C		上位への情報送り込み	じょういへのじょうほうおくりこみ	emanation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41345	C		収集	しゅうしゅう	accumulation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41346	C		抽出	ちゅうしゅつ	abstraction				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41347	C		登用	とうよう	elevation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41348	C		統合	とうごう	generation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41349	C		活用	かつよう	utilization				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41350	C		下位への情報送り込み	かいへのじょうほうおくりこ	distribution				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41351	C		下位情報の取込み	かいじょうほうのとりこみ	assembly				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41352	C		操作	そうさ	manipulation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41353	C		データ要素	でーたようそ	data element				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41354	C		複合体	ふくごうたい	composition				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41355	C		モデル	もでる	model				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41356	C		シーン	しーん	scene				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41357	C		ピクチャ	ぴくちゃ	picture				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41358	C		グラフィック イメージ	ぐらふぃっくいめーじ	graphical image				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41359	C		ディスプレイ	でぃすぷれい	display				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41360	C		出力群保管	しゅつりょくぐんほかん	collection store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41361	C		出力群	しゅつりょくぐん	collection				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41362	C		入力群保管	にゅうりょくぐんほかん	aggregation store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41363	C		入力群	にゅうりょくぐん	aggregation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41364	C		トークン保管	とーくんほかん	token store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41365	C		入力素保管	にゅりょくそほかん	lexeme store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41366	C		情報保管	じょうほうほかん	information store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41367	C		選択保管	せんたくほかん	selection store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41368	C		指示保管	ししほかん	directive store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41369	C		指令保管	しれいほかん	instruction store				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41370	C		環境状態	かんきょうじょうたい	environment state				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41371	C		編集	へんしゅう	editing				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41372	C		出力プリミティブ	しゅつりょくぷりみていぶ	output primitive				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41373	C		入力トークン	にゅうりょくとーくん	input token				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41374	C		特性	とくせい	property				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41375	C		幾何特性	きかとくせい	geometric property				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41376	C		幾何変換	きかへんかん	geometric transformation				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41377	C		位置形状	いちけいじょう	geometry				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41378	C		結合	けつごう	binding				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41379	C		解放	かいほう	unbinding				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41380	C		クリッピング	くりっぴんぐ	clipping				ISO/IEC 11072	1992				1992	SC24
41381	C		入力受理	にゅうりょくじゅり	acknowledgement				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41382	C		(LIDが)活動中	(LIDが)かつどうちゅう	active (for a LID)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41383	C		許容範囲	きょようはんい	allowed latitude				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41384	C		(セグメントに対する)付加	(せぐめんとにたいする)ふ	appending (to a segment)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41385	C		(トリガを)作動可能化	(とりがを)さどうかのうか	arming (a trigger)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41386	C		縦横比	たてよこひ	aspect ratio				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41387	C		表示様相源フラグ(ASF)	ひょうじようそうげんふらぐ(ASF)	aspect source flag (ASF)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41388	C		基本要素及びオブジェクトの表示様相	きほんようそおよびおぶじぇくとのひょうじようそう	aspects (of primitive and object)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41389	C		(属性値の)アソシエーション	(ぞくせいちの)あそしえーしょん	association (of attribute values)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41390	C		(LIDとのトリガの)アソシエーション	(LIDとのとりがの)あそしえーしょん	association (of triggers with LIDs)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41391	C		属性機能	ぞくせいきのう	attribute function				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41392	C		属性値	ぞくせいち	attribute value				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41393	C		補助色	ほじょしょく	auxiliary colour				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41394	C		背景色	はいけいしょく	background colour				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41395	C		(マップされたビットマップの)背景色	(まっぷされたびっとまっぷの)はいけいしょく	background colour (of mapped bitmap)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41396	C		結合	けつごう	binding				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41397	C		ビットブロック転送	びっとぶろっくてんそう	bitblt				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41398	C		ビットマップ	びっとまっぷ	bitmap				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41399	C		ビットマップ領域	びっとまっぷりょういき	bitmap region				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41400	C		(待ち行列の)閉鎖	(まちぎょうれつの)へいさ	blocked (of a queue)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41401	C		境界	きょうかい	boundary				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41402	C		入力取消し	にゅうりょくとりけし	break action				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41403	C		束	たば	bundle				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41404	C		(セル配列又はパタンの)セル	(せるはいれつまたはぱたんの)せる	cell (of CELL ARRAY or pattern)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41405	C		(文字セルの)セル	(もじせるの)せる	cell (of character cell)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41406	C		CGIジェネレータ	しーじーあいじぇねれーた	CGI Generator				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41407	C		CGIインタプリタ	しーじーあいいんたぷりた	CGI Interpreter				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41408	C		文字集合	もじしゅうごう	character set				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41409	C		クラス	くらす	class				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41410	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41411	C		クリップ境界部分	くりっぷきょうかいぶぶん	clip boundary portion				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41412	C		クリッピング	くりっぴんぐ	clipping				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41413	C		閉図形	へいずけい	closed figure				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41414	C		閉包点	へいほうてん	closure point				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41415	C		色選択モード	いろせんたくもーど	colour selection mode				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41416	C		色定義表	いろていぎひょう	colour table				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41417	C		(直接)色値	(ちょくせつ)しきち	(direct) colour value				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41418	C		複合オブジェクト	ふくごうおぶじぇくと	compound object				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41419	C		複合テキスト	ふくごうてきすと	compound text				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41420	C		共役半径対(CRP)	きょうえきはんけいつい(CRP)	conjugate radius pair (CRP)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41421	C		制御機能	せいぎょきのう	control functions				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41422	C		制御値	せいぎょち	control value				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41423	C		遅延モード	ちえんもーど	deferral mode				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41424	C		記述表	きじゅつひょう	description table				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41425	C		装置クラス	そうちくらす	device class				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41426	C		装置座標(DC)	そうちざひょう(DC)	device coordinates (DC)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41427	C		装置ドライバ(CGIの実装)	そうちどらいば(CGIのじっそう)	device driver (implementation of the				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41428	C		ディスプレイ表面	でぃすぷれいひょうめん	display surface				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41429	C		ダウンストリーム	だうんすとりーむ	downstream				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41430	C		作画モード	さくがもーど	drawing mode				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41431	C		作画表面	さくがひょうめん	drawing surface				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41432	C		動的修正	どうてきしゅうせい	dynamic modification				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41433	C		エコーイング	えこーいんぐ	echoing				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41434	C		エコー要求入力	えこーようきゅうにゅうりょ	echo request input				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41435	C		エッジ	えっじ	edge				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41436	C		(データ列)符号化	(でーたれつ)ふごうか	(data stream) encoding				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41437	C		誤りクラス	あやまりくらす	error class				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41438	C		誤り待ち行列	あやまりまちぎょうれつ	error queue				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41439	C		エスケープ機能	えすけーぷきのう	escape function				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41440	C		事象入力	じしょうにゅうりょく	event input				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41441	C		事象待ち行列	じしょうまちぎょうれつ	event queue				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41442	C		明示的境界部分	めいじてききょうかいぶぶ	explicit boundary portion				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41443	C		外部機能	がいぶきのう	external functions				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41444	C		塗りつぶしオブジェクト	ぬりつぶしおぶじぇくと	fill object				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41445	C		(トリガを)発火する	(とりがを)はっかする	firing (a trigger)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41446	C		フォント	ふぉんと	font				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41447	C		(オブジェクトの)前景色	(おぶじぇくとの)ぜんけいしょく	foreground colour (of objects)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41448	C		(マップされたビットマップの)前景色	(まっぷされたびっとまっぷの)ぜんけいしょく	foreground colour (of mapped bitmaps)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41449	C		基礎プロファイル	きそぷろふぁいる	foundation profile				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41450	C		(CGI)機能	(CGI)きのう	(CGI) function				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41451	C		機能性	きのうせい	functionality				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41452	C		ジェネレータ	じぇねれーた	generator				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41453	C		一般化作画基本要素(GDP)	いっぱんかさくがきほんようそ(GDP)	generalized drawing primitive (GDP)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41454	C		大域属性値	たいいきぞくせいち	global attribute value				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41455	C		グラフィック機能	ぐらふぃっくきのう	graphic function				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41456	C		グラフィックオブジェクト	ぐらふぃっくおぶじぇくと	graphic object				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41457	C		グラフィックオブジェクトパイプライン	ぐらふぃっくおぶじぇくとぱいぷらいん	graphic object pipeline				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41458	C		ハッチ様式	はっちようしき	hatch style				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41459	C		実装依存	じっそういぞん	implementation-dependent				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41460	C		暗黙の境界部分	あんもくのきょうかいぶぶ	implicit boundary portion				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41461	C		暗黙の閉包	あんもくのへいほう	implicit closure				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41462	C		暗黙のセグメント再表示モード	あんもくのせぐめんとさいひょうじもーど	implicit segment regeneration mode				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41463	C		指標(付き)色	しひょう(つき)いろ	indexed colour				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41464	C		入力クラス	にゅうりょくくらす	input class				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41465	C		入力操作	にゅうりょくそうさ	input operation				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41466	C		入力面座標(ISC)空間	にゅうりょくめんざひょう(ISC)くうかん	input surface coordinate (ISC) space				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41467	C		問い合わせ機能	といあわせきのう	inquiry function				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41468	C		(塗りつぶしオブジェクトの)内部	(ぬりつぶしおぶじぇくとの)ないぶ	interior (of a fill object)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41469	C		インタプリタ	いんたぷりた	interpreter				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41470	C		局所属性値	きょくしょぞくせいち	local attribute value				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41471	C		論理入力装置(LID)	ろんりにゅうりょくそうち	logical input device (LID)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41472	C		マップ付きビットマップ	まっぷつきびっとまっぷ	mapped bitmap				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41473	C		測定値	そくていち	measure				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41474	C		メッセージ	めっせーじ	message				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41475	C		モーダル値(モーダル的に設定された値)	もーだるち(もーだるてきにせっていされたあたい)	modal value (modally set value)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41476	C		非解離可能トリガ	ひかいりかのうとりが	non-dissociable trigger				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41477	C		非保持型データ	ひほじがたでーた	non-retained data				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41478	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41479	C		オブジェクトクリッピングモード	おぶじぇくとくりっぴんぐもーど	object clipping mode				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41480	C		一方向出力	いっぽうこうしゅつりょく	one-way (1-way) output				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41481	C		オペレータ	おぺれーた	operator				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41482	C		(待ち行列の)あふれ	(まちぎょうれつの)あふれ	overflow (of a queue)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41483	C		パリティ塗りつぶしアルゴリズム	ぱりてぃぬりつぶしあるごりずむ	parity fill algorithm				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41484	C		(塗りつぶしパタンの)パタ	(ぬりつぶしぱたんの)ぱた	pattern (of fill pattern)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41485	C		(ビットマップ領域の)パタン	(びっとまっぷりょういきの)ぱたん	pattern (of bitmap region)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41486	C		ピック	ぴっく	picking				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41487	C		画素	がそ	pixel				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41488	C		基本要素	きほんようそ	primitive				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41489	C		基本要素機能	きほんようそきのう	primitive function				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41490	C		基本要素型	きほんようそかた	primitive type				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41491	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41492	C		プロンプト、入力促進	ぷろんぷと、にゅうりょくそくしん	prompting				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41493	C		迅速更新方法	じんそくこうしんほうほう	quick update method				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41494	C		ラスタ操作機能	らすたそうさきのう	raster operation functions				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41495	C		実現された辺	じつげんされたへん	realized edge				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41496	C		実現された内部	じつげんされたないぶ	realized interior				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41497	C		再生	さいせい	regeneration				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41498	C		(塗りつぶしオブジェクトの)領域	(ぬりつぶしおぶじぇくとの)りょういき	region (of a fill object)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41499	C		(ビットマップの)領域	(びっとまっぷの)りょういき	region (of a bitmap)				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41500	C		遠隔エコーイング	えんかくえこーいんぐ	remote echoing				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41501	C		レンダリング	れんだりんぐ	rendering				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41502	C		要求入力	ようきゅうにゅうりょく	request input				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41503	C		サンプル入力	さんぷるにゅうりょく	sample input				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41504	C		セグメント	せぐめんと	segment				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41505	C		セグメント定義	せぐめんとていぎ	segment definition				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41506	C		斜交	しゃこう	skewed				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41507	C		要求機能	ようきゅうきのう	soliciting function				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41508	C		仕様モード	しようもーど	specification mode				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41509	C		状態一覧	じょうたいいちらん	state list				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41510	C		タイムアウト	たいむあうと	timeout				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41511	C		透過性	とうかせい	transparency				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41512	C		トリガ	とりが	trigger				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41513	C		トリガアソシエーション	とりがあそしえーしょん	trigger association				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41514	C		アップストリーム	あっぷすとりーむ	upstream				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41515	C		ビューポート	びゅーぽーと	(device) viewport				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41516	C		仮想装置	かそうそうち	virtual device				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41517	C		仮想装置座標(VDC)空間	かそうそうちざひょう(VDC)くうかん	virtual device coordinate (VDC) space				ISO/IEC 9636-1	1991				1991	SC24
41518	C		表現	ひょうげん	representation				ISO/IEC 9637-2	1992				1992	SC24
41519	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 9637-2	1992				1992	SC24
41520	C		語	ご	word				ISO/IEC 9637-2	1992				1992	SC24
41521	C		偶数境界揃え	ぐうすうきょうかいそろえ	word-aligned				ISO/IEC 9637-2	1992				1992	SC24
41522	C		認定	にんてい	accreditation				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41523	C		認定機関	にんていきかん	accreditation body				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41524	C		応用プログラムインタフェース(API)規格	おうようぷろぐらむいんたふぇーす(API)きかく	application programmer interface (API) standard				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41525	C		試験対象実装	しけんたいしょうじっそう	candidate implementation				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41526	C		(適合性の)認証	(てきごうせいの)にんしょう	certificate (of conformity)				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41527	C		認証	にんしょう	certification				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41528	C		認証機関	にんしょうきかん	certification body				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41529	C		認証基準	にんしょうきじゅん	certification criteria				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41530	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41531	C		構成	こうせい	configuration				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41532	C		適合性	てきごうせい	conformance				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41533	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance testing				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41534	C		データ列符号化	でーたれつふごうか	data stream encoding				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41535	C		本質的特徴	ほんしつてきとくちょう	essential feature				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41536	C		反証	はんしょう	falsification				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41537	C		完全適合	かんぜんてきごう	full conformance				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41538	C		実装適合性	じっそうてきごうせい	implemmtation				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41539	C		試験中の実装、IUT	しけんちゅうのじっそう、IUT	implementation under test (IUT)				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41540	C		言語結合	げんごけつごう	language binding				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41541	C		メタファイル規格	めたふぁいるきかく	metafile standards				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41542	C		最低限適合	さいていげんてきごう	minimal conformance				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41543	C		オペレータ	おぺれーた	operator				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41544	C		オペレータインタフェース	おぺれーたいんたふぇー	operator interface				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41545	C		プログラム適合性	ぷろぐらむてきごうせい	program conformance				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41546	C		試験項目	しけんこうもく	test case				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41547	C		試験方法	しけんほうほう	test method				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41548	C		試験手順	しけんてじゅん	test procedures				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41549	C		試験プログラム	しけんぷろぐらむ	test program				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41550	C		試験報告書	しけんほうこくしょ	test report				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41551	C		試験要求事項文書	しけんようきゅうじこうぶんしょ	test requirements document				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41552	C		試験結果	しけんけっか	test result				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41553	C		試験スクリプト	しけんすくりぷと	test script				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41554	C		試験サービス	しけんさーびす	test service				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41555	C		試験仕様文書	しけんしようぶんしょ	test specifications				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41556	C		試験ソフトウェア	しけんそふとうぇあ	test software				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41557	C		試験項目群	しけんこうもくぐん	test suite				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41558	C		試験管理委員会	しけんかんりいいんかい	testing control board				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41559	C		試験機関	しけんきかん	testing laboratory				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41560	C		試験支援サービス	しけんしえんさーびす	testing support service				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41561	C		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41562	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 10641	1993				1993	SC24
41563	C		バイアス指数	ばいあすしすう	Biased exponent				IEC 559	1989				1989	SC25
41564	C		2進浮動小数点数	にしんふどうしょうすうてんすう	Binary floating-point number				IEC 559	1989				1989	SC25
41565	C		非正規化数	ひせいきかすう	Denormalized number				IEC 559	1989				1989	SC25
41566	C		あて(宛)先	あてさき	Destination				IEC 559	1989				1989	SC25
41567	C		指数	しすう	Exponent				IEC 559	1989				1989	SC25
41568	C		小数部	しょうすうぶ	Fraction				IEC 559	1989				1989	SC25
41569	C		モード	もーど	Mode				IEC 559	1989				1989	SC25
41570	C		NaN	NaN	NaN				IEC 559	1989				1989	SC25
41571	C		結果	けっか	Result				IEC 559	1989				1989	SC25
41572	C		有効部	ゆうこうぶ	Significant				IEC 559	1989				1989	SC25
41573	C		しなければならない	しなければならない	Shall				IEC 559	1989				1989	SC25
41574	C		することが望ましい	することがのぞましい	Should				IEC 559	1989				1989	SC25
41575	C		状態フラグ	じょうたいふらぐ	Status flag				IEC 559	1989				1989	SC25
41576	C		使用者	しようしゃ	User				IEC 559	1989				1989	SC25
41577	C		基板	きばん	BOARD				IEC 822	1988				1988	SC25
41578	C		VSBバックプレーン	VSBばっくぷれーん	VSB BACKPLANE				IEC 822	1988				1988	SC25
41579	C		スロット	すろっと	SLOT				IEC 822	1988				1988	SC25
41580	C		サブラック	さぶらっく	SUBRACK				IEC 822	1988				1988	SC25
41581	C		バックプレーンインタフェース論理	ばっくぷれーんいんたふぇーすろんり	BACKPLANE INTERFACE LOGIC				IEC 822	1988				1988	SC25
41582	C		機能モジュール	きのうもじゅーる	FUNCTIONAL MODULE				IEC 822	1988				1988	SC25
41583	C		データ転送バス	でーたてんそうばす	DATA TRANSFER BUS				IEC 822	1988				1988	SC25
41584	C		マスタ	ますた	MASTER				IEC 822	1988				1988	SC25
41585	C		スレーブ	すれーぶ	SLAVE				IEC 822	1988				1988	SC25
41586	C		選択スレーブ	せんたくすれーぶ	SELECTED SLAVE				IEC 822	1988				1988	SC25
41587	C		応答スレーブ	おうとうすれーぶ	RESPONDING SLAVE				IEC 822	1988				1988	SC25
41588	C		参加スレーブ	さんかすれーぶ	PARTICIPATING SLAVE				IEC 822	1988				1988	SC25
41589	C		アイドルスレーブ	あいどるすれーぶ	IDLE SLAVE				IEC 822	1988				1988	SC25
41590	C		競合スレーブ	きょうごうすれーぶ	CONTENDING SLAVE				IEC 822	1988				1988	SC25
41591	C		VSBアービトレーションバ	VSBあーびとれーしょんば	VSB ARBITRATION BUS				IEC 822	1988				1988	SC25
41592	C		要求側	ようきゅうがわ	REQUESTER				IEC 822	1988				1988	SC25
41593	C		競合要求側	きょうごうようきゅうがわ	CONTENDING				IEC 822	1988				1988	SC25
41594	C		アービタ	あーびた	ARBITER				IEC 822	1988				1988	SC25
41595	C		デイジーチェーン	でいじーちぇーん	DAISY CHAIN				IEC 822	1988				1988	SC25
41596	C		地理的アドレス付与	ちりてきあどれすふよ	GEOGRAPHICAL ADDRESSING				IEC 822	1988				1988	SC25
41597	C		VSBバスサイクル	VSBばすさいくる	VSB BUS CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41598	C		アドレスブロードキャスト	あどれすぶろーどきゃすと	ADDRESS BROADCAST				IEC 822	1988				1988	SC25
41599	C		データ転送	でーたてんそう	DATA TRANSFER				IEC 822	1988				1988	SC25
41600	C		サイクル終了	さいくるしゅうりょう	CYCLE TERMINATION				IEC 822	1988				1988	SC25
41601	C		動的バス定寸	どうてきばすていすん	DYNAMIC BUS SIZING				IEC 822	1988				1988	SC25
41602	C		データブロードキャスト	でーたぶろーどきゃすと	DATA BROADCAST				IEC 822	1988				1988	SC25
41603	C		データブロードコール	でーたぶろーどこーる	DATA BROADCALL				IEC 822	1988				1988	SC25
41604	C		単転送読み取りサイクル	たんてんそうよみとりさいくる	SINGLE-TRANSFER READ CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41605	C		単転送書き込みサイクル	たんてんそうかきこみさいくる	SINGLE-TRANSFER WRITE CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41606	C		ブロック転送読み取りサイクル	ぶろっくてんそうよみとりさいくる	BLOCK-TRANSFER READ CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41607	C		ブロック転送書き込みサイクル	ぶろっくてんそうかきこみさいくる	BLOCK-TRANSFER WRITE CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41608	C		不可分アクセスサイクル	ふかぶんあくせすさいくる	INDIVISIBLE-ACCESS CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41609	C		アドレスオンリーサイクル	あどれすおんりーさいくる	ADDRESS-ONLY CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41610	C		割込み確認サイクル	わりこみかくにんさいくる	INTERRUPT-ACKNOWLEDGE CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41611	C		アービトレーションサイク	あーびとれーしょんさいく	ARBITRATION CYCLE				IEC 822	1988				1988	SC25
41612	C		バス	ばす	Bus				IEC 824	1988				1988	SC25
41613	C		演算[論理] [演算及び論理]単位、ALU	えんざん[ろんり] [えんざんおよびろんり]たんい、ALU	Arithmetic [logic] [arithmetic and logic] unit, ALU (abbreviation)				IEC 824	1988				1988	SC25
41614	C		(命令)制御単位	(めいれい)せいぎょたんい	(Instruction) control unit				IEC 824	1988				1988	SC25
41615	C		プログラムカウンタ	ぷろぐらむかうんた	Program counter				IEC 824	1988				1988	SC25
41616	C		レジスタ	れじすた	Register				IEC 824	1988				1988	SC25
41617	C		レジスタ長	れじすたちょう	Register length				IEC 824	1988				1988	SC25
41618	C		はん用レジスタ	はんようれじすた	General purpose register				IEC 824	1988				1988	SC25
41619	C		アドレスレジスタ	あどれすれじすた	Address register				IEC 824	1988				1988	SC25
41620	C		基本アドレス	きほんあどれす	Base address				IEC 824	1988				1988	SC25
41621	C		基本(アドレス)レジスタ	きほん(あどれす)れじすた	Base (address) register				IEC 824	1988				1988	SC25
41622	C		読み取り/書き込みレジス	よみとり/かきこみれじす	Read/write register				IEC 824	1988				1988	SC25
41623	C		命令レジスタ	めいれいれじすた	Instruction register				IEC 824	1988				1988	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41624	C		累算器、アキュムレータ	るいさんき、あきゅむれーた	Accumulator				IEC 824	1988				1988	SC25
41625	C		指標レジスタ、インデックスレジスタ	しひょうれじすた、いんでっくすれじすた	Index register				IEC 824	1988				1988	SC25
41626	C		指示子	ししし	Indicator				IEC 824	1988				1988	SC25
41627	C		条件符号レジスタ、指示子レジスタ	じょうけんふごうれじすた、ししじれじすた	Condition code register, indicator register				IEC 824	1988				1988	SC25
41628	C		(中央処理装置の)状態	(ちゅうおうしょりそうちの)じょうたい	Status (of a central processing unit)				IEC 824	1988				1988	SC25
41629	C		状態レジスタ	じょうたいれじすた	Status register				IEC 824	1988				1988	SC25
41630	C		プッシュダウン記憶装置、スタック(記憶装置)	ぷっしゅだうんきおくそうち、すたっく(きおくそうち)	Pushdown storage, stack (storage)				IEC 824	1988				1988	SC25
41631	C		スタックポインタ、スタック表示器	すたっくぽいんた、すたっくひょうじき	Stack pointer, stack indicator				IEC 824	1988				1988	SC25
41632	C		ビットスライスプロセッサ	びっとすらいすぷろせっさ	Bit slice processor				IEC 824	1988				1988	SC25
41633	C		ホールド信号、待機指示信号	ほーるどしんごう、たいきしじしんごう	Hold (input) signal				IEC 824	1988				1988	SC25
41634	C		準備完了信号	じゅんびかんりょうしんごう	Ready signal				IEC 824	1988				1988	SC25
41635	C		ウェイト信号、待機要請信号	うぇいとしんごう、たいきようせいしんごう	Wait signal				IEC 824	1988				1988	SC25
41636	C		(カウンタを)リセットする	(かうんたを)りせっとする	To reset (a counter)				IEC 824	1988				1988	SC25
41637	C		機械サイクル	きかいさいくる	Machine cycle				IEC 824	1988				1988	SC25
41638	C		クロックサイクル	くろっくさいくる	Clock cycle				IEC 824	1988				1988	SC25
41639	C		先行取り出し、事前取り出し	せんこうとりだし、じぜんとりだし	Anticipatory fetching, pre-fetching				IEC 824	1988				1988	SC25
41640	C		カスケード式けた上げ	かすけーどしきけたあげ	Cascaded carry				IEC 824	1988				1988	SC25
41641	C		高速けた上げ	こうそくけたあげ	High-speed carry				IEC 824	1988				1988	SC25
41642	C		先読みけた上げ	さきよみけたあげ	Look-ahead carry				IEC 824	1988				1988	SC25
41643	C		メモリセグメント	めもりせぐめんと	Memory segment				IEC 824	1988				1988	SC25
41644	C		セグメント	せぐめんと	Segment				IEC 824	1988				1988	SC25
41645	C		割込み	わりこみ	Interrupt, interruption				IEC 824	1988				1988	SC25
41646	C		割込みベクトル	わりこみべくとる	Interrupt vector				IEC 824	1988				1988	SC25
41647	C		バスアービトレーション	ばすあーびとれーしょん	Bus arbitration				IEC 824	1988				1988	SC25
41648	C		コプロセッサ	こぷろせっさ	Coprocessor				IEC 824	1988				1988	SC25
41649	C		マルチプロセッサ	まるちぷろせっさ	Multiprocessor				IEC 824	1988				1988	SC25
41650	C		マイクロプログラム	まいくろぷろぐらむ	Microprogram				IEC 824	1988				1988	SC25
41651	C		絶対符号	ぜったいふごう	absolute code				IEC 975	1989					SC25
41652	C		絶対ローダ	ぜったいろーだ	absolute loader				IEC 975	1989					SC25
41653	C		2進情報	にしんじょうほう	binary information				IEC 975	1989					SC25
41654	C		文字形式	もじけいしき	character form				IEC 975	1989					SC25
41655	C		チェックサム	ちぇっくさむ	checksum				IEC 975	1989					SC25
41656	C		符号	ふごう	code				IEC 975	1989					SC25
41657	C		コマンド	こまんど	command				IEC 975	1989					SC25
41658	C		コメント	こめんと	comments				IEC 975	1989					SC25
41659	C		外部定義	がいぶていぎ	external definition				IEC 975	1989					SC25
41660	C		外部参照	がいぶさんしょう	external reference				IEC 975	1989					SC25
41661	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				IEC 975	1989					SC25
41662	C		ライブラリアン	らいぶらりあん	librarian				IEC 975	1989					SC25
41663	C		ライブラリ	らいぶらり	library				IEC 975	1989					SC25
41664	C		リンカ、連係編集プログラム	りんか、れんけいへんしゅうぷろぐらむ	linkage editor (or linker)				IEC 975	1989					SC25
41665	C		ロードポインタ	ろーどぽいんた	load pointer				IEC 975	1989					SC25
41666	C		ローダ	ろーだ	loader				IEC 975	1989					SC25
41667	C		MAU	MAU	MAU				IEC 975	1989					SC25
41668	C		最小アドレス可能単位	さいしょうあどれすかのうたんい	minimum addressable unit				IEC 975	1989					SC25
41669	C		モジュール	もじゅーる	module				IEC 975	1989					SC25
41670	C		MUFOM	MUFOM	MUFOM				IEC 975	1989					SC25
41671	C		オブジェクトモジュール	おぶじぇくともじゅーる	object module				IEC 975	1989					SC25
41672	C		プロセス	ぷろせす	process				IEC 975	1989					SC25
41673	C		プロセッサ	ぷろせっさ	processor				IEC 975	1989					SC25
41674	C		プログラム	ぷろぐらむ	program				IEC 975	1989					SC25
41675	C		再配置可能コード	さいはいちかのうこーど	relocatable code				IEC 975	1989					SC25
41676	C		再配置処理	さいはいちしょり	relocator				IEC 975	1989					SC25
41677	C		再配置	さいはいち	relocation				IEC 975	1989					SC25
41678	C		複製	ふくせい	replication				IEC 975	1989					SC25
41679	C		セクション	せくしょん	section				IEC 975	1989					SC25
41680	C		セグメント	せぐめんと	segment				IEC 975	1989					SC25
41681	C		しなければならない	しなければならない	shell				IEC 975	1989					SC25
41682	C		することが望ましい	することがのぞましい	should				IEC 975	1989					SC25
41683	C		開始ロードアドレス	かいしろーどあどれす	starting load address				IEC 975	1989					SC25
41684	C		型	かた	type				IEC 975	1989					SC25
41685	C		弱外部参照	じゃくがいぶさんしょう	weak external				IEC 975	1989					SC25
41686	C		アドレス	あどれす	address				ISO 6951	1986				1986	SC25
41687	C		アービタ	あーびた	arbiter				ISO 6951	1986				1986	SC25
41688	C		アービトレーション	あーびとれーしょん	arbitration				ISO 6951	1986				1986	SC25
41689	C		バックプレーン	ばっくぷれーん	backplane				ISO 6951	1986				1986	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41690	C		入札装置	にゅうさつそうち	bidding device				ISO 6951	1986				1986	SC25
41691	C		バス	ばす	bus				ISO 6951	1986				1986	SC25
41692	C		バスサイクル	ばすさいくる	bus cycle				ISO 6951	1986				1986	SC25
41693	C		バスライン	ばすらいん	bus line				ISO 6951	1986				1986	SC25
41694	C		バスリンカ	ばすりんか	bus linker				ISO 6951	1986				1986	SC25
41695	C		バス電圧	ばすでんあつ	bus voltage				ISO 6951	1986				1986	SC25
41696	C		バイト	ばいと	byte				ISO 6951	1986				1986	SC25
41697	C		回路カード	かいろかーど	circuit card				ISO 6951	1986				1986	SC25
41698	C		データ	でーた	data				ISO 6951	1986				1986	SC25
41699	C		デッドロック	でっどろっく	deadly embrace				ISO 6951	1986				1986	SC25
41700	C		装置	そうち	device				ISO 6951	1986				1986	SC25
41701	C		拡張サイクル	かくちょうさいくる	extender panel				ISO 6951	1986				1986	SC25
41702	C		保留サイクル	ほりゅうさいくる	Hold cycles				ISO 6951	1986				1986	SC25
41703	C		ハイウェイ	はいうぇい	highway				ISO 6951	1986				1986	SC25
41704	C		分割不能操作	ぶんかつふのうそうさ	indivisible operation				ISO 6951	1986				1986	SC25
41705	C		バス間転送	ばすかんてんそう	interbus transfer				ISO 6951	1986				1986	SC25
41706	C		割込み	わりこみ	interrupt				ISO 6951	1986				1986	SC25
41707	C		マスタ	ますた	master				ISO 6951	1986				1986	SC25
41708	C		通常アドレス空間	つうじょうあどれすくうかん	normal address space				ISO 6951	1986				1986	SC25
41709	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO 6951	1986				1986	SC25
41710	C		疑似アドレス空間	ぎじあどれすくうかん	pseudo address space				ISO 6951	1986				1986	SC25
41711	C		読み取りサイクル	よみとりさいくる	Read cycle				ISO 6951	1986				1986	SC25
41712	C		リセット	りせっと	reset				ISO 6951	1986				1986	SC25
41713	C		保持サイクル	ほじさいくる	Retain cycle				ISO 6951	1986				1986	SC25
41714	C		整定時間	せいていじかん	settling time				ISO 6951	1986				1986	SC25
41715	C		シェルフ	しぇるふ	shelf				ISO 6951	1986				1986	SC25
41716	C		スキュー	すきゅー	skew				ISO 6951	1986				1986	SC25
41717	C		スレーブ	すれーぶ	slave				ISO 6951	1986				1986	SC25
41718	C		スプール	すぷーる	spur				ISO 6951	1986				1986	SC25
41719	C		(バスラインの)状態	(ばすらいんの)じょうたい	state (of a bus line)				ISO 6951	1986				1986	SC25
41720	C		ベクトルサイクル	べくとるさいくる	Vector cycle				ISO 6951	1986				1986	SC25
41721	C		語	ご	word				ISO 6951	1986				1986	SC25
41722	C		0V	0V	0 V				ISO 6951	1986				1986	SC25
41723	C		書き込みサイクル	かきこみさいくる	Write cycle				ISO 6951	1986				1986	SC25
41724	C		アクティブフィルタ	あくてぃぶふぃるた	active filter				ISO 9315	1989				1989	SC25
41725	C		アクチュエータ	あくちゅえーた	actuator				ISO 9315	1989				1989	SC25
41726	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO 9315	1989				1989	SC25
41727	C		シリンダ	しりんだ	cylinder				ISO 9315	1989				1989	SC25
41728	C		ディスク	でぃすく	disk				ISO 9315	1989				1989	SC25
41729	C		ディスクドライブ	でぃすくどらいぶ	disk drive				ISO 9315	1989				1989	SC25
41730	C		フォーマット	ふぉーまっと	format				ISO 9315	1989				1989	SC25
41731	C		ハードセクタ方式	はーどせくたほうしき	hard sectoring				ISO 9315	1989				1989	SC25
41732	C		インデックス孔トラック	いんでっくすこうとらっく	index hole track				ISO 9315	1989				1989	SC25
41733	C		ジャケット	じゃけっと	jacket				ISO 9315	1989				1989	SC25
41734	C		レベル	れべる	level				ISO 9315	1989				1989	SC25
41735	C		偽	ぎ	logical false				ISO 9315	1989				1989	SC25
41736	C		真	しん	logical true				ISO 9315	1989				1989	SC25
41737	C		必す(須)信号	ひっすしんごう	mandatory				ISO 9315	1989				1989	SC25
41738	C		任意信号	にんいしんごう	optional				ISO 9315	1989				1989	SC25
41739	C		パルス	ぱるす	pulse				ISO 9315	1989				1989	SC25
41740	C		読取り書込みヘッド	よみとりかきこみへっど	read/write head				ISO 9315	1989				1989	SC25
41741	C		ステップ	すてっぷ	step				ISO 9315	1989				1989	SC25
41742	C		トラック	とらっく	track				ISO 9315	1989				1989	SC25
41743	C		ベンダ固有	べんだこゆう	vendor unique				ISO 9315	1989				1989	SC25
41744	C		バスサイクル	ばすさいくる	Bus Cycle				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41745	C		インタフェース(IEC出版物625-1)	いんたふぇーす(IECしゅっぱんぶつ625-1)	Interface (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41746	C		インタフェースシステム(IEC出版物625-1)	いんたふぇーすしすてむ(IECしゅっぱんぶつ625-	Interface System (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41747	C		上書き	うわがき	Override				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41748	C		システム	しすてむ	System				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41749	C		バス(IEC出版物625-1)	ばす(IECしゅっぱんぶつ625-1)	Bus (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41750	C		バイト	ばいと	Byte				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41751	C		語	ご	Word				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41752	C		信号(IEC出版物625-1)	しんごう(IECしゅっぱんぶつ625-1)	Signal (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41753	C		信号パラメタ(IEC出版物625-1)	しんごうぱらめた(IECしゅっぱんぶつ625-1)	Signal Parameter (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41754	C		信号レベル(IEC出版物625-1)	しんごうれべる(IECしゅっぱんぶつ625-1)	Signal Level (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41755	C		高電圧状態(IEC出版物625-1)	こうでんあつじょうたい(IECしゅっぱんぶつ625-	High State (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41756	C		低電圧状態(IEC出版物625-1)	ていでんあつじょうたい(IECしゅっぱんぶつ625-	Low State (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41757	C		信号線(IEC出版物625-1)	しんごうせん(IECしゅっぱんぶつ625-1)	Signal Line (IEC Publication 625-1)				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41758	C		マスタ	ますた	Master				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41759	C		スレーブ	すれーぶ	Slave				IEC 796-1	1990				1990	SC25
41760	C		バックプレーン	ばっくぷれーん	Backplane				IEC 796-3	1990				1990	SC25
41761	C		バックプレーンの前面	ばっくぷれーんのぜんめ	Front of a backplane				IEC 796-3	1990				1990	SC25
41762	C		ユーロカード	ゆーろかーど	Eurocard				IEC 796-3	1990				1990	SC25
41763	C		ユーロカードの前面	ゆーろかーどのぜんめん	Front of a Eurocard				IEC 796-3	1990				1990	SC25
41764	C		ユーロカードの後端	ゆーろかーどのこうたん	Rear edge of a Eurocard				IEC 796-3	1990				1990	SC25
41765	C		バス制御	ばすせいぎょ	Bus Control				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41766	C		バス交換	ばすこうかん	Bus Exchange				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41767	C		ビジー	びじー	Busy				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41768	C		コマンド	こまんど	Command				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41769	C		コマンド制御	こまんどせいぎょ	Command Control				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41770	C		データ制御	でーたせいぎょ	Data Control				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41771	C		欠陥マップ	けっかんまっぷ	Defect Map				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41772	C		書式仕様	しょしきしよう	Format Specification				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41773	C		情報転送	じょうほうてんそう	Information Transfer				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41774	C		レベル2	れべる2	Level 2				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41775	C		レベル3	れべる3	Level 3				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41776	C		論理インタフェース	ろんりいんたふぇーす	Logical Interface				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41777	C		マスタスレーブ	ますたすれーぶ	Master Status				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41778	C		パラメタ	ぱらめた	parameter				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41779	C		物理インタフェース	ぶつりいんたふぇーす	Physical Interface				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41780	C		物理セクタ	ぶつりせくた	physical sector				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41781	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41782	C		応答制御	おうとうせいぎょ	Response Control				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41783	C		RPS	RPS	RPS				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41784	C		RPSパルス	RPSぱるす	RPS Pulse				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41785	C		スレーブ状態	すれーぶじょうたい	Slave Status				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41786	C		状態応答	じょうたいおうとう	status response				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41787	C		目標セクタ	もくひょうせくた	Target Sector				ISO/IEC 9318-2	1990				1990	SC25
41788	C		実アドレス	じつあどれす	actual address				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41789	C		アドレス	あどれす	addressee				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41790	C		別名	べつめい	alias				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41791	C		属性	ぞくせい	attributes				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41792	C		バースト	ばーすと	burst				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41793	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41794	C		チェックサムディスク操作	ちぇっくさむでぃすくそうさ	check sum disk operation				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41795	C		コマンドアドレス	こまんどあどれす	command address				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41796	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41797	C		データブロック	でーたぶろっく	DataBlock				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41798	C		エクステント	えくすてんと	extent				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41799	C		機能アドレス	きのうあどれす	facility address				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41800	C		ハウスキーピング	はうすきーぴんぐ	housekeeping				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41801	C		個別	こべつ	individual				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41802	C		情報転送	じょうほうてんそう	information transfer				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41803	C		割込み	わりこみ	interrupts				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41804	C		L利用可能(論理的に利用可能)	Lりようかのう(ろんりてきにりようかのう)	L-available (logically available)				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41805	C		Lビジー(論理的にビジー)	Lびじー(ろんりてきにび	L-busy (logically busy)				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41806	C		レベル2(装置特定)	れべる2(そうちとくてい)	level 2 (device-specific)				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41807	C		レベル3(装置共通)	れべる3(そうちきょうつう)	level 3 (device-generic)				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41808	C		論理アドレス	ろんりあどれす	Logical Address				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41809	C		論理インタフェース	ろんりいんたふぇーす	Logical interface				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41810	C		強制的	きょうせいてき	mandatory				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41811	C		多重	たじゅう	multiplex				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41812	C		運用	うんよう	operational				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41813	C		任意(選択)	にんい(せんたく)	optional				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41814	C		パリティディスク操作	ぱりてぃでぃすくそうさ	parity disk operation				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41815	C		P利用可能(物理的に利用可能)	Pりようかのう(ぶつりてきにりようかのう)	P-available (physically available)				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41816	C		Pビジー(物理的にビジー)	Pびじー(ぶつりてきにび	P-busy (physically busy)				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41817	C		区画	くかく	partition				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41818	C		物理ブロック	ぶつりぶろっく	PhysicalBlock				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41819	C		物理インタフェース	ぶつりいんたふぇーす	physical interface				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41820	C		(コマンドの)待ち行列化	(こまんどの)まちぎょうれつか	queued				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41821	C		動作可能	どうさかのう	ready				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41822	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41823	C		選択アドレス	せんたくあどれす	selection address				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41824	C		シャドウディスク操作	しゃどうでぃすくそうさ	shadow disk operation				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41825	C		同義	どうぎ	synonym				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41826	C		ベンダ固有	べんだこゆう	vendor unique				ISO/IEC 9318-3	1990				1990	SC25
41827	C		ファイル始端	ふぁいるしたん	beginning of file				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41828	C		媒体始端(BOM)	ばいたいしたん(BOM)	beginning of media (BOM)				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41829	C		媒体終端警告(EMW)	ばいたいしゅうたんけいこく(EMW)	end-of-media warning (EMW)				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41830	C		ファイル終端	ふぁいるしゅうたん	end of file				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41831	C		消去間隔	しょうきょかんかく	erase gap				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41832	C		ファイルマーク	ふぁいるまーく	file mark				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41833	C		前進運動	ぜんしんうんどう	forward motion				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41834	C		IDバースト	IDばーすと	ID burst				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41835	C		ブロック間間隔	ぶろっくかんかんかく	interblock gap				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41836	C		パーティション	ぱーていしょん	partition				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41837	C		物理ブロック	ぶつりぶろっく	PhysicalBlock				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41838	C		媒体の物理終端(PEOM)	ばいたいのぶつりしゅうたん(PEOM)	physical end of media (PEOM)				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41839	C		後進運動	こうしんうんどう	reverse motion				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41840	C		テープマーク	てーぷまーく	tape mark				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41841	C		ボリューム	ぼりゅーむ	volume				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41842	C		書き込み保護	かきこみほご	write protect				ISO/IEC 9318-4	1990				2002	SC25
41843	C		取得位相	しゅとくいそう	acquisition phase				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41844	C		アドレス転送	あどれすてんそう	address transfer				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41845	C		アドレス/データバス信号グループ	あどれす/でーたばすしんごうぐるーぷ	address/data bus signal group				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41846	C		エージェント	えーじぇんと	agent				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41847	C		エージェント誤り	えーじぇんとあやまり	agent error				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41848	C		エージェント状態	えーじぇんとじょうたい	agent status				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41849	C		アービトレーション操作	あーびとれーしょんそうさ	arbitration operation				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41850	C		バックプレーン	ばっくぷれーん	backplane				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41851	C		ビット(b)	びっと(b)	bit (b)				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41852	C		ブロードキャストメッセージ	ぶろーどきゃすとめっせーじ	broadcast message				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41853	C		バスクロックサイクル	ばすくろっくさいくる	bus clock cycle				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41854	C		バス損失	ばすそんしつ	bus loss				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41855	C		バス操作	ばすそうさ	bus operation				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41856	C		バス所有者	ばすしょゆうしゃ	bus owner				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41857	C		バス要求シーケンス	ばすようきゅうしーけんす	bus request sequence				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41858	C		バイト(B)	ばいと(B)	byte (B)				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41859	C		中央サービスモジュール(CSM)	ちゅうおうさーびすもじゅーる(CSM)	central services module (CSM)				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41860	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41861	C		コールドスタート	こーるどすたーと	cold-start				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41862	C		コマンド転送	こまんどてんそう	command transfer				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41863	C		データ転送	でーたてんそう	data transfer				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41864	C		駆動エージェント	くどうえーじぇんと	driving agent				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41865	C		双モードエージェント	そうもーどえーじぇんと	dual-mode agent				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41866	C		双モードシステム	そうもーどしすてむ	dual-mode system				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41867	C		転送終結(EOT)状態	てんそうしゅうけつ(EOT)じょうたい	end of transfer (EOT) status				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41868	C		例外	れいがい	exception				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41869	C		例外操作	れいがいそうさ	exception operation				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41870	C		ハンドシェイク状態	はんどしぇいくじょうたい	handshake status				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41871	C		I/O空間	I/Oくうかん	I/O space				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41872	C		相互接続空間	そうごせつぞくくうかん	interconnect space				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41873	C		相互接続テンプレート	そうごせつぞくてんぷれーと	interconnect template				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41874	C		インタフェース	いんたふぇーす	interface				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41875	C		ロック状態	ろっくじょうたい	locked				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41876	C		メモリ空間	めもりくうかん	memory space				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41877	C		メモリモードエージェント	めもりもーどえーじぇんと	memory-mode agent				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41878	C		メモリモードシステム	めもりもーどしすてむ	memory-mode system				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41879	C		メッセージ空間	めっせーじくうかん	message space				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41880	C		メッセージモードエージェント	めっせーじもーどえーじぇんと	message-mode agent				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41881	C		メッセージモードシステム	めっせーじもーどしすてむ	message-mode system				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41882	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41883	C		ニブル	にぶる	nibble				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41884	C		パケット	ぱけっと	packet				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41885	C		並列システムバス(PSB)	へいれつしすてむばす	parallel system bus (PSB)				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41886	C		パーキング	ぱーきんぐ	parking				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41887	C		電源障害回復	でんげんしょうがいかいふく	power failure recovery				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41888	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41889	C		読み取りデータ転送	よみとりでーたてんそう	read data transfer				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41890	C		受信器	じゅしんき	receiver				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41891	C		回復位相	かいふくいそう	recovery phase				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41892	C		応答位相	おうとういそう	reply phase				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41893	C		応答側エージェント	おうとうがわえーじぇんと	replying agent				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41894	C		要求位相	ようきゅういそう	request phase				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41895	C		要求側エージェント	ようきゅうがわえーじぇん	requesting agent				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41896	C		解決位相	かいけついそう	resolution phase				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41897	C		送信側	そうしんがわ	sender				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41898	C		順次転送	じゅんじてんそう	sequential transfer				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41899	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41900	C		信号位相	しんごういそう	signal phase				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41901	C		スキュー	すきゅー	skew				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41902	C		要求に基づくメッセージ	ようきゅうにもとづくめっせーじ	solicited messages				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41903	C		状態転送	じょうたいてんそう	status transfer				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41904	C		システム制御信号グループ	しすてむせいぎょしんごうぐるーぷ	system control signal group				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41905	C		転送操作	てんそうそうさ	transfer operation				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41906	C		ウォームスタート	うぉーむすたーと	warm-start				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41907	C		書き込みデータ転送	かきこみでーたてんそう	write data transfer				ISO/IEC 10861	1994				1994	SC25
41908	C		実行中試験	じっこうちゅうしけん	active test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41909	C		アドレス誤り	あどれすあやまり	address-error				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41910	C		アドレス方式	あどれすほうしき	addressing				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41911	C		エージェント	えーじぇんと	agent				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41912	C		バックプレーン	ばっくぷれーん	backplane				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41913	C		ビッグアドレシアン	びっぐあどれしあん	big addressian				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41914	C		ビッグエンディアン	びっぐえんでぃあん	big endian				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41915	C		基板	きばん	board				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41916	C		ブリッジ	ぶりっじ	bridge				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41917	C		ブロードキャストトランザクション	ぶろーどきゃすととらんざくしょん	broadcast transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41918	C		バッファ型書き込み	ばっふぁがたかきこみ	buffered write				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41919	C		バス依存	ばすいぞん	bus-dependent				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41920	C		バス規格	ばすきかく	bus standard				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41921	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41922	C		コヒーレントトランザクショ	こひーれんととらんざくしょ	coherent transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41923	C		コマンドリセット	こまんどりせっと	command reset				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41924	C		会社ID	かいしゃID	company id				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41925	C		衝突誤り	しょうとつあやまり	conflict-error				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41926	C		CSR	CSR	CSR				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41927	C		CSRアーキテクチャ	CSRあーきてくちゃ	CSR Architecture				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41928	C		デッド状態	でっどじょうたい	dead state				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41929	C		診断的試験	しんだんてきしけん	diagnostic test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41930	C		ディレクトリ	でぃれくとり	directory				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41931	C		ディレクトリ入力	でぃれくとりにゅうりょく	directory entry				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41932	C		切断状態	せつだんじょうたい	disconnected state				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41933	C		破壊的試験	はかいてきしけん	disruptive test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41934	C		DMA	DMA	DMA				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41935	C		done_correct	done_correct	done_correct				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41936	C		ダブレット	だぶれっと	doublet				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41937	C		エンペラプロセッサ	えんぺらぷろせっさ	emperor processor				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41938	C		入力	にゅうりょく	entry				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41939	C		拡張アドレス方式(32ビット)	かくちょうあどれすほうしき(32びっと)	extended addressing (32-bit)				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41940	C		拡張アドレス方式(64ビット)	かくちょうあどれすほうしき(64びっと)	extended addressing (64-bit)				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41941	C		拡張メモリ空間	かくちょうめもりくうかん	extended memory space				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41942	C		拡張試験	かくちょうしけん	extended test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41943	C		拡張ユニット空間	かくちょうゆにっとくうかん	extended units space				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41944	C		固定アドレス方式(64ビット)	こていあどれすほうしき(64びっと)	fixed addmssing (64-bit)				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41945	C		Futurebus+	Futurebus+	Futurebus+				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41946	C		一般ROM書式	いっぱんROMしょしき	general ROM format				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41947	C		ギガバイト	ぎがばいと	gigabyte				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41948	C		直接効果	ちょくせつこうか	immediate effect				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41949	C		直接入力	ちょくせつにゅうりょく	immediate entry				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41950	C		独立電源形	どくりつでんげんがた	independently powered				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41951	C		初期メモリ空間	しょきめもりくうかん	initial memory space				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41952	C		初期ノード空間	しょきのーどくうかん	initial node space				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41953	C		初期レジスタ空間	しょきれじすたくうかん	initial register space				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41954	C		初期ユニット空間	しょきゆにっとくうかん	initial units space				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41955	C		初期化試験	しょきかしけん	initialization test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41956	C		初期化状態	しょきかじょうたい	initializing state				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41957	C		キロバイト	きろばいと	kbybe				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41958	C		葉	は	leaf				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41959	C		葉入力	はにゅうりょく	leaf entry				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41960	C		行	ぎょう	line				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41961	C		リトルアドレシアン	りとるあどれしあん	little addressian				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41962	C		リトルエンディアン	りとるえんでぃあん	little endian				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41963	C		ロックトランザクション	ろっくとらんざくしょん	lock transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41964	C		手動試験	しゅどうしけん	manual test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41965	C		メガバイト	めがばいと	Mbybe				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41966	C		最小限ROM書式	さいしょうげんROMしょしき	minimal ROM format				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41967	C		モジュール	もじゅーる	module				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41968	C		モナークプロセッサ	もなーくぷろせっさ	monarch processor				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
41969	C		MULTIBUS II[4]	MULTIBUS II[4]	MULTIBUS II[4]				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41970	C		ノード	のーど	node				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41971	C		ノードキャスト	のーどきゃすと	nodecast				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41972	C		ノードID	のーどID	node id				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41973	C		非コヒーレントトランザクション	ひこひーれんととらんざくしょん	noncoherent transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41974	C		非破壊的試験	ひはかいてきしけん	nondisruptive test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41975	C		不揮発性メモリ(NVM)	ふきはつせいめもり(NVM)	nenvolatile memory (NVM)				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41976	C		NuBus®[5]	NuBus®[5]	NuBus®[5]				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41977	C		物理インタフェース	ぶつりいんたふぇーす	physical interface				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41978	C		電源リセット	でんげんりせっと	power reset				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41979	C		一次状態	いちじじょうたい	primary state				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41980	C		クアドレット	くあどれっと	quadlet				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41981	C		読み取りトランザクション	よみとりとらんざくしょん	read transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41982	C		レジスタ	れじすた	register				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41983	C		要求部分動作	ようきゅうぶぶんどうさ	request subaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41984	C		要求側	ようきゅうがわ	requester				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41985	C		リセット試験	りせっとしけん	reset test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41986	C		応答側	おうとうがわ	responder				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41987	C		応答部分動作	おうとうぶぶんどうさ	response subaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41988	C		応答タイムアウト	おうとうたいむあうと	resporise timeout				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41989	C		ROM	ROM	ROM				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41990	C		ルートディレクトリ	るーとでぃれくとり	root directory				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41991	C		実行状態	じっこうじょうたい	running state				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41992	C		SCI(スケーラブルコヒーレントインタフェース)	SCI(すけーらぶるこひーれんといんたふぇーす)	SCI (Scalable Coherent Interface)				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41993	C		シリアルバス	しりあるばす	Serial Bus				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41994	C		分割トランザクション	ぶんかつとらんざくしょん	split transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41995	C		標準バス	ひょうじゅんばす	standard bus				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41996	C		部分動作	ぶぶんどうさ	subaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41997	C		下位ユニット	かいゆにっと	subunit				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41998	C		成功試験	せいこうしけん	successful test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
41999	C		支援トランザクション	しえんとらんざくしょん	supported transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42000	C		システム試験	しすてむしけん	system test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42001	C		テラバイト	てらばいと	terabyte				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42002	C		試験状態	しけんじょうたい	testing state				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42003	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42004	C		型誤り	かたあやまり	type error				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42005	C		統一トランザクション	とういつとらんざくしょん	unified transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42006	C		ユニット	ゆにっと	unit				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42007	C		ユニットアーキテクチャ	ゆにっとあーきてくちゃ	unit architecture				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42008	C		ユニット依存	ゆにっといぞん	unit-dependent				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42009	C		不成功試験	ふせいこうしけん	unsuccessful test				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42010	C		非支援トランザクション	ひしえんとらんざくしょん	unsupported transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42011	C		ベンダ依存	べんだいぞん	vendor-dependent				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42012	C		書き込みトランザクション	かきこみとらんざくしょん	write transaction				ISO/IEC 13213	1994				1994	SC25
42013	C		認証済み暗号化	にんしょうずみあんごうか	authenticated encryption				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42014	C		認証済み暗号化機構	にんしょうずみあんごうかきこう	authenticated encryption mechanism				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42015	C		ブロック暗号	ぶろっくあんごう	block cipher				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42016	C		暗号文	あんごうぶん	ciphertext				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42017	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42018	C		復号	ふくごう	decryption				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42019	C		暗号化	あんごうか	encryption				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42020	C		暗号化システム	あんごうかしすてむ	encryption system				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42021	C		かぎ(鍵)	かぎ	key				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42022	C		メッセージ認証コード(MAC)	めっせーじにんしょうこーど(MAC)	message authentication code (MAC)				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42023	C		分割	ぶんかつ	partition				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42024	C		平文	へいぶん	plaintext				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42025	C		秘密鍵	ひみつかぎ	secret key				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42026	C		対称暗号化システム	たいしょうあんごうかしすてむ	symmetric encryption system				ISO/IEC 19772	2009				2009	SC27
42027	C		ACBioインスタンス	ACBioいんすたんす	ACBio instance				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42028	C		生体認証のための確認コンテクスト、ACBio	せいたいにんしょうのためのかくにんこんてくすと、ACBio	authentication context for biometrics, ACBio				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42029	C		生体認証	せいたいにんしょう	biometric				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42030	C		生体認証処理ユニット、BPU	せいたいにんしょうしょりゆにっと、BPU	biometric processing unit, BPU				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42031	C		生体認証処理ユニット証明書、BPU証明書	せいたいにんしょうしょりゆにっとしょうめいしょ、BPUしょうめいしょ	biometric processing unit certificate, BPU certificate				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42032	C		生体認証処理ユニット証明組織、BPU証明組織	せいたいにんしょうしょりゆにっとしょうめいそしき、BPUしょうめいそしき	biometric processing unit certification organization, BPU certification organization				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42033	C		生体認証処理ユニット機能報告、BPU機能報告	せいたいにんしょうしょりゆにっときのうほうこく、BPUきのうほうこく	biometric processing unit function report, BPU function report				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42034	C		生体認証処理ユニットIO指標、BPU IO指標	せいたいにんしょうしょりゆにっとIOしひょう、BPU IOしひょう	biometric processing unit IO Index, BPU IO Index				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42035	C		生体認証処理ユニット報告、BPU報告	せいたいにんしょうしょりゆにっとほうこく、BPUほう	biometric processing unit report, BPU report				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42036	C		生体認証処理ユニットセキュリティ報告、BPUセキュリティ報告	せいたいにんしょうしょりゆにっとせきゅりていほうこく、BPUせきゅりていほう	biometric processing unit security report, BPU security report				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42037	C		生体認証サンプル	せいたいにんしょうさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42038	C		生体認証参照テンプレート	せいたいにんしょうさんしょうてんぷれーと	biometric reference template				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42039	C		生体認証参照テンプレート証明書、BRT証明書	せいたいにんしょうさんしょうてんぷれーとしょうめいしょ、BRTしょうめいしょ	biometric reference template certificate, BRT certificate				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42040	C		生体認証参照テンプレート証明組織、BRT証明組織	せいたいにんしょうさんしょうてんぷれーとしょうめいそしき、BRTしょうめいそしき	biometric reference template certification organization, certification organization				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42041	C		生体認証検証	せいたいにんしょうけん	biometric verification				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42042	C		生体認証	せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42043	C		認証要求者	にんしょうようきゅうしゃ	claimant				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42044	C		比較	ひかく	comparison				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42045	C		比較決定	ひかくけってい	comparison decision				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42046	C		比較スコア	ひかくすこあ	comparison score				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42047	C		制御値	せいぎょち	control value				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42048	C		登録する	とうろくする	enrol				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42049	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42050	C		登録組織	とうろくそしき	enrolment organization				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42051	C		評価組織	ひょうかそしき	evaluation organization				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42052	C		中間生体認証サンプル	ちゅうかんせいたいにんしょうさんぷる	intermediate biometric sample				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42053	C		中間生体認証参照テンプレート	ちゅうかんせいたいにんしょうさんしょうてんぷれー	intermediate biometric reference template				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42054	C		一致	いっち	match				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42055	C		不一致	ふいっち	non-match				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42056	C		カード上照合	かーどじょうしょうごう	on-card matching				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42057	C		処理済み生体認証サンプル	しょりずみせいたいにんしょうさんぷる	processed biometric sample				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42058	C		処理済み生体認証参照テンプレート	しょりずみせいたいにんしょうさんしょうてんぷれー	processed biometric reference template				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42059	C		処理前生体認証サンプル	しょりまえせいたいにんしょうさんぷる	raw biometric sample				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42060	C		処理前生体認証参照テンプレート	しょりまえせいたいにんしょうさんしょうてんぷれー	raw biometric reference template				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42061	C		サブプロセス	さぶぷろせす	subprocess				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42062	C		サブプロセス索引	さぶぷろせすさくいん	subprocess index				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42063	C		サブプロセスIO索引	さぶぷろせすIOさくいん	subprocess IO index				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42064	C		認定機関	にんていきかん	validator				ISO/IEC 24761	2009				2009	SC27
42065	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access control				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42066	C		説明責任	せつめいせきにん	accountability				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42067	C		資産	しさん	asset				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42068	C		脅威	きょうい	attack				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42069	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42070	C		真正性	しんせいせい	authenticity				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42071	C		可用性	かようせい	availability				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42072	C		事業継続性	じぎょうけいぞくせい	business continuity				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42073	C		機密性	きみつせい	confidentiality				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42074	C		制御	せいぎょ	control				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42075	C		制御目的	せいぎょもくてき	control objective				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42076	C		是正措置	ぜせいそち	corrective action				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42077	C		有効性	ゆうこうせい	effectiveness				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42078	C		効率性	こうりつせい	efficiency				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42079	C		事象	じしょう	event				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42080	C		指針	ししん	guideline				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42081	C		影響	えいきょう	impact				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42082	C		情報資産	じょうほうしさん	information asset				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42083	C		情報セキュリティ	じょうほうせきゅりてい	information security				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42084	C		情報セキュリティ事象	じょうほうせきゅりていじ	information security event				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42085	C		情報セキュリティインシデント	じょうほうせきゅりていいんしでんと	information security incident				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42086	C		情報セキュリティインシデントマネジメント	じょうほうせきゅりていいんしでんとまねじめんと	information security incident management				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42087	C		情報セキュリティマネジメントシステムISMS	じょうほうせきゅりていまねじめんとしすてむISMS	information security management system ISMS				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42088	C		情報セキュリティリスク	じょうほうせきゅりていりす	information security risk				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42089	C		完全性	かんぜんせい	integrity				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42090	C		マネジメントシステム	まねじめんとしすてむ	management system				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42091	C		否認防止	ひにんぼうし	non-repudiation				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42092	C		方針	ほうしん	policy				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42093	C		予防措置	よぼうそち	preventive action				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42094	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42095	C		プロセス	ぷろせす	process				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42096	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42097	C		信頼性	しんらいせい	reliability				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42098	C		リスク	りすく	risk				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42099	C		リスク容認	りすくようにん	risk acceptance				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42100	C		リスク分析	りすくぶんせき	risk analysis				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42101	C		リスクアセスメント	りすくあせすめんと	risk assessment				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42102	C		リスク伝達	りすくでんたつ	risk communication				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42103	C		リスク基準	りすくきじゅん	risk criteria				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42104	C		リスク予測	りすくよそく	risk estimation				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42105	C		リスク評価	りすくひょうか	risk evaluation				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42106	C		リスクマネジメント	りすくまねじめんと	risk management				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42107	C		リスク処理	りすくしょり	risk treatment				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42108	C		適用宣言書	てきようせんげんしょ	statement of applicability				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42109	C		脅威	きょうい	threat				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42110	C		ぜい弱性	ぜいじゃくせい	vulnerability				ISO/IEC 27000	2009				2009	SC27
42111	C		コロケーション	ころけーしょん	collocation				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42112	C		通信センター	つうしんせんたー	communication centre				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42113	C		必す通信	ひっすつうしん	essential communications				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42114	C		通信の非開示	つうしんのひかいじ	non-disclosure of communications				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42115	C		個人情報	こじんじょうほう	personal information				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42116	C		優先呼出	ゆうせんよびだし	priority call				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42117	C		電気通信応用	でんきつうしんおうよう	telecommunications applications				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42118	C		電気通信事業	でんきつうしんじぎょう	telecommunications				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42119	C		電気通信装置室	でんきつうしんそうちしつ	telecommunications equipment room				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42120	C		電気通信設備	でんきつうしんせつび	telecommunications				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42121	C		電気通信事業者	でんきつうしんじぎょうしゃ	telecommunications organizations				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42122	C		電気通信記録	でんきつうしんきろく	telecommunication				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42123	C		電気通信サービス	でんきつうしんさーびす	telecommunications				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42124	C		電気通信サービス顧客	でんきつうしんさーびすこきゃく	telecommunications service customer				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42125	C		電気通信サービス使用者	でんきつうしんさーびすしようしゃ	telecommunications service user				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42126	C		端末設備	たんまつせつび	terminal facilities				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42127	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 27011	2008				2008	SC27
42128	C		カテゴリ試験	かてごりしけん	category test				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42129	C		コレート、ページ順繰り返し	これーと、ぺーじじゅんくりかえし	collation				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42130	C		デフォルトドライバ	でふぉるとどらいば	default driver				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42131	C		両面印刷	りょうめんいんさつ	duplex printing				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42132	C		EFTP、実行スループット	EFTP、じっこうするーぷっ	EFTP, effective				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42133	C		ESAT、予測飽和スループット	ESAT、よそくほうわするーぷっと	ESAT, estimated saturated throughput				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42134	C		特質性能率	とくしつせいのうりつ	feature performance percentage				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42135	C		特質性能試験	とくしつせいのうしけん	feature performance test				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42136	C		ファーストセット出力完了時間	ふぁーすとせっとしゅつりょくかんりょうじかん	FSOT, first set out time				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42137	C		完全詳細報告	かんぜんしょうさいほうこく	full detailed report				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42138	C		完全報告	かんぜんほうこく	full report				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42139	C		ホストベース制御装置	ほすとべーすせいぎょそう	host-based controller				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42140	C		初期インストール状態	しょきいんすとーるじょうたい	initial installation state				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42141	C		入力画像等価	にゅうりょくがぞうとうか	input image equivalent				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42142	C		インタフェース/ネットワー	いんたふぇーす/ねっと	interface/network				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42143	C		ラストセット出力完了時間	らすとせっとしゅつりょくかんりょうじかん	LSOT, last set out time				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42144	C		公称コピー速度	こうしょうこぴーそくど	nominal printing speed				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42145	C		PDL、ページ記述言語	PDL、ぺーじきじゅつげんご	PDL, page description language				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42146	C		PDLベース制御装置	PDLべーすせいぎょそうち	PDL-based controller				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42147	C		印刷装置	いんさつそうち	printing device				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42148	C		RIP、ラスタ画像プロセッサ	RIP、らすたがぞうぷろ	RIP, raster image				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42149	C		印刷部数	いんさつぶすう	set count				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42150	C		片面印刷	かためんいんさつ	simplex printing				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42151	C		概略報告	がいりゃくほうこく	summary report				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42152	C		試験ファイル	しけんふぁいる	test file				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42153	C		試験プラットフォーム	しけんぷらっとふぉーむ	test platform				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42154	C		試運転	しうんてん	test run				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42155	C		試験セット	しけんせっと	test set				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42156	C		試験項目群	しけんこうもくぐん	test suite				ISO/IEC 24734	2009				2009	SC28
42157	C		両面コピー	りょうめんこぴー	duplex copying				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42158	C		EFTP、実行スループット	EFTP、じっこうするーぷっと	EFTP effective throughput				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42159	C		ESAT、予測飽和スループット	ESAT、よそくほうわするーぷっと	ESAT estimated saturated throughput				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42160	C		特質性能試験	とくしつせいのうしけん	feature performance test				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42161	C		ファーストセット出力完了時間	ふぁーすとせっとしゅつりょくかんりょうじかん	FSOT, first set out time				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42162	C		完全詳細報告	かんぜんしょうさいほうこく	full detailed report				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42163	C		完全報告	かんぜんほうこく	full report				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42164	C		一般性能試験	いっぱんせいのうしけん	general performance test				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42165	C		ラストセット出力完了時間	らすとせっとしゅつりょくかんりょうじかん	LSOT, last set out time				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42166	C		公称コピー速度	こうしょうこぴーそくど	nominal copying speed				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42167	C		片面コピー	かためんこぴー	simplex copying				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42168	C		概略報告	がいりゃくほうこく	summary report				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42169	C		試験ファイル	しけんふぁいる	test file				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42170	C		試験セット	しけんせっと	test set				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42171	C		試験目標	しけんもくひょう	test target				ISO/IEC 24735	2009				2009	SC28
42172	C		謄写版原紙	とうしゃばんげんし	duplicating stencil				ISO 2133	1976				1976	SC28
42173	C		オフセット平板複写機	おふせっとへいばんふくしゃき	offset litho duplicator				ISO 3066	1986				1986	SC28
42174	C		謄写版複写機	とうしゃばんふくしゃき	stencil duplicator				ISO 3066	1986				1986	SC28
42175	C		液体式複写機	えきたいしきふくしゃき	spirit (or other fluid) duplicator				ISO 3066	1986				1986	SC28
42176	C		刷り位置の安定性	すりいちのあんていせい	registration				ISO 3066	1986				1986	SC28
42177	C		(紙の)流れ目	(かみの)ながれめ	machine direction (grain)				ISO 3066	1986				1986	SC28
42178	C		調整及び試験のための標準環境	ちょうせいおよびしけんのためのひょうじゅんかん	standard atmosphere for conditioning and testing				ISO 3066	1986				1986	SC28
42179	C		記述項	きじゅつこう	entry				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42180	C		口述録音機器	こうじゅつろくおんきき	dictation equipment				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42181	C		口述録音機	こうじゅつろくおんき	dictation machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42182	C		事務用口述録音機器	じむようこうじゅつろくおんきき	office dictation machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42183	C		携帯口述録音機	けいたいこうじゅつろくお	portable dictation machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42184	C		転写機	てんしゃき	transcription machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42185	C		口述録音・転写複合機	こうじゅつろくおん・てんしゃふくごうき	combined dictation and transcription machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42186	C		集中型口述録音システム	しゅうちゅうがたこうじゅつろくおんしすてむ	centralited dictation system				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42187	C		リール付き磁気テープを使用する機械	りーるつきじきてーぷをしようするきかい	machine using magnetic tape on a reel				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42188	C		カセット磁気テープを使用する機械	かせっとじきてーぷをしようするきかい	machine using magnetic tape in a cassette				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42189	C		磁気テープループを使用する機械	じきてーぷるーぷをしようするきかい	machine using magnetic tape in an endless loop				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42190	C		磁気ディスクを使用する機械	じきでぃすくをしようするきかい	machine using a magnetic disk				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42191	C		磁気シートを使用する機械	じきしーとをしようするきかい	machine using a magnetic sheet				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42192	C		磁気ベルトを使用する機械	じきべるとをしようするきかい	machine using a magnetic belt				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42193	C		様々な磁気記録媒体を使用する機械	さまざまなじききろくばいたいをしようするきかい	machine using various magnetic recording media				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42194	C		非磁気記録媒体を使用する機械	ひじききろくばいたいをしようするきかい	machine using a non-magnetic recording				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42195	C		コンセント式機械	こんせんとしききかい	mains-powered machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42196	C		電池式機械	でんちしききかい	battery-powered machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42197	C		コンセント/電気式機械	こんせんと/でんきしききかい	mains/battery-powered machine				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42198	C		磁気トラック	じきとらっく	magnetic track				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42199	C		記録容量	きろくようりょう	recording capacity				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42200	C		機械記録	きかいきろく	mechanical recording				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42201	C		磁気記録	じききろく	magnetic recording				ISO 5138-1	1978				1978	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42202	C		オーバスピーキング	おーばすぴーきんぐ	overspeaking				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42203	C		自動語接続再生	じどうごせつぞくさいせい	automatic word link, recall				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42204	C		音声作動	おんせいさどう	voice actuation				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42205	C		音響作動	おんきょうさどう	acoustic actuation				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42206	C		自動利得制御	じどうりとくせいぎょ	automatic gain control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42207	C		自動ノイズ抑圧	じどうのいずよくあつ	automatic noise				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42208	C		自動停止	じどうていし	automatic stop				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42209	C		マーキング	まーきんぐ	marking				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42210	C		再生	さいせい	playback				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42211	C		消去	しょうきょ	erase				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42212	C		マイクロフォン	まいくろふぉん	microphone				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42213	C		会議用マイクロフォン	かいぎようまいくろふぉん	conference microphone				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42214	C		記録媒体	きろくばいたい	recording medium				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42215	C		記録ヘッド	きろくへっど	recording head				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42216	C		再生ヘッド	さいせいへっど	playback head				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42217	C		消磁器	しょうじき	eraser				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42218	C		消去ヘッド	しょうきょへっど	erase head				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42219	C		複合ヘッド	ふくごうへっど	combined head				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42220	C		ヘッド支持アーム	へっどしじあーむ	head support arm				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42221	C		リールスピンドル	りーるすぴんどる	reel spindle				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42222	C		スプールスピンドル	すぷーるすぴんどる	spool spindle				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42223	C		ディスクスピンドル	でぃすくすぴんどる	disk spindle				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42224	C		キャプスタン	きゃぷすたん	capstan				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42225	C		マンドレル	まんどれる	mandrels				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42226	C		電話記録付属品	でんわきろくふぞくひん	telephone recording attachment				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42227	C		ヘッドフォン	へっどふぉん	headphone(s)				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42228	C		ステトフォン	すてとふぉん	stethophone(s)				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42229	C		方耳用イヤフォン	かたみみようういやふぉん	single ear-piece				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42230	C		固定装置	こていそうち	locking device				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42231	C		バルク消磁器	ばるくしょうじき	bulk eraser				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42232	C		本線電圧アダプタ	ほんせんでんあつあだぷた	mains voltage adaptor				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42233	C		供給電圧アダプタ	きょうきゅうでんあつあだぷた	supply voltage indicator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42234	C		装てん制御	そうてんせいぎょ	loading control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42235	C		電源スイッチ	でんげんすいっち	mains switch				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42236	C		一般警告表示器	いっぱんけいこくひょうじき	general warning indicator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42237	C		口述録音制御	こうじゅつろくおんせいぎょ	dictation control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42238	C		開始・停止制御	かいし・ていしせいぎょ	stop/start control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42239	C		再生制御	さいせいせいぎょ	playback control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42240	C		モード表示器	もーどひょうじき	mode indicator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42241	C		後退制御	こうたいせいぎょ	backspace control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42242	C		巻き戻し制御	まきもどしせいぎょ	fast rewind control fast return control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42243	C		走査制御	そうさせいぎょ	scanning control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42244	C		早送り制御	はやおくりせいぎょ	fast forward control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42245	C		速度変化制御	そくどへんかせいぎょ	speed change control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42246	C		変速制御	へんそくせいぎょ	variable speed control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42247	C		記録レベル制御	きろくれべるせいぎょ	recording level control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42248	C		記録レベル表示器	きろくれべるひょうじき	recording level indicator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42249	C		感度制御 会議制御	かんどせいぎょ かいぎせいぎょ	sensitivity control conference control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42250	C		音量制御	おんりょうせいぎょ	volume control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42251	C		音質制御	おんしつせいぎょ	tone control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42252	C		拡声器制御	かくせいきせいぎょ	loudspeaker control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42253	C		電話記録制御	でんわきろくせいぎょ	telephone recording				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42254	C		同調制御	どうちょうせいぎょ	tuning control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42255	C		トラック開始制御	とらっくかいしせいぎょ	start of track control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42256	C		トラック変更制御	とらっくへんこうせいぎょ	track change control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42257	C		位置表示器	いちひょうじき	position indicator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42258	C		語位置表示装置	ごいちひょうじそうち	word locator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42259	C		指示マーカ制御	ししまーかせいぎょ	instruction marker control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42260	C		書状終端マーカ制御	しょじょうしゅうたんまーかせいぎょ	end-of-letter marker control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42261	C		媒体終端接近表示器	ばいたいしゅうたんせっきんひょうじき	approach-of-end-of-medium indicator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42262	C		媒体終端表示器	ばいたいしゅうたんひょう	end-of-medium indicator				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42263	C		タイピストの遠隔制御	たいぴすとのえんかくせいぎょ	typist's remote control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42264	C		排出装置制御	はいしゅつそうちせいぎょ	ejector control				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42265	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42266	C		磁気ディスク	じきでぃすく	magnetic disk				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42267	C		磁気シート	じきしーと	magnetic sheet				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42268	C		磁気ベルト	じきべると	magnetic belt				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42269	C		非磁気記録媒体	ひじききろくばいたい	non-magnetic recording medium				ISO 5138-1	1978				1978	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42270	C		繰り出しリール	くりだしりーる	supply reel				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42271	C		巻き取りスプール	まきとりすぷーる	take-up spool				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42272	C		シングルカセット	しんぐるかせっと	single cassette				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42273	C		ダブルカセット	だぶるかせっと	double cassette				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42274	C		見出しスリップ	みだしすりっぷ	index slip				ISO 5138-1	1978				1978	SC28
42275	C		記述項	きじゅつこう	entry				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42276	C		複写機	ふくしゃき	duplicator				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42277	C		謄写版複写機	とうしゃばんふくしゃき	stencil duplicator				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42278	C		オフセット平板複写機	おふせっとへいばんふくしゃき	offset litho duplicator				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42279	C		ダイレクト平板複写機	だいれくとへいばんふくしゃき	direct litho duplicator				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42280	C		スピリット(又はその他の流動体)複写機	すぴりっと(またはそのほかのりゅうどうたい)ふく	spirit (or other fluid) duplicator				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42281	C		手動複写機	しゅどうふくしゃき	manually driven duplicator				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42282	C		電動複写機	でんどうふくしゃき	electrically driven				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42283	C		手動紙送り式複写機	しゅどうかみおくりしきふくしゃき	duplicator with hand feed				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42284	C		自動紙送り式複写機	じどうかみおくりしきふくしゃき	duplicator with automatic feed				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42285	C		手動原本変更複写機	しゅどうげんぽんへんこうふくしゃき	duplicator with manual master change				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42286	C		半自動原本変更複写機	はんじどうげんぽんへんこうふくしゃき	duplicator with semi-automatic master change				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42287	C		自動原本変更複写機	じどうげんぽんへんこうふくしゃき	duplicator with fully automatic master change				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42288	C		登録	とうろく	registration				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42289	C		謄写版複写	とうしゃばんふくしゃ	stencil duplicating				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42290	C		オフセット平板複写	おふせっとへいばんふく	offset litho duplicating				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42291	C		ダイレクト平板複写	だいれくとへいばんふく	direct litho duplicating				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42292	C		スピリット(又はその他の流動体)複写	すぴりっと(またはそのほかのりゅうどうたい)ふく	spirit (or other fluid) duplicating				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42293	C		画像転写	がぞうてんしゃ	image transfer				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42294	C		画像ロード	がぞうろーど	master loading				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42295	C		原本排出	げんぽんはいしゅつ	master ejection				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42296	C		原本配送	げんぽんはいそう	master delivery				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42297	C		インク付け	いんくづけ	inking				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42298	C		インク補充	いんくほじゅう	inking up				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42299	C		給湿	きゅうしつ	damping				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42300	C		原本下塗り	げんぽんしたぬり	master priming				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42301	C		クリーンダウン	くりーんだうん	cleaning down				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42302	C		紙送り	かみおくり	paper feed				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42303	C		インタリービング	いんたりーびんぐ	interleaving				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42304	C		用紙配送	ようしはいそう	paper delivery				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42305	C		セットオフ	せっとおふ	set-off				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42306	C		原本	げんぽん	master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42307	C		原本ヘディング	げんぽんへでぃんぐ	master heading				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42308	C		謄写版原本	とうしゃばんげんぽん	stencil master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42309	C		裏紙	うらがみ	backing sheet				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42310	C		圧力謄写版	あつりょくとうしゃばん	pressure stencil				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42311	C		電気謄写版	でんきとうしゃばん	electronic stencil				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42312	C		熱謄写版	ねつとうしゃばん	thermal stencil				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42313	C		平版原本(オフセット又はダイレクト)	へいばんげんぽん(おふせっとまたはだいれくと)	litho master (offset or direct)				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42314	C		未穿孔平版原本	みせんこうへいばんげんぽん	unpunched litho master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42315	C		穿孔平版原本	せんこうへいばんげんぽ	perforated litho master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42316	C		後縁平版原本	こうえんへいばんげんぽ	trailing edge litho master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42317	C		スピリット(又はその他の流動体)原本	すぴりっと(またはそのほかのりゅうどうたい)げんぽ	spirit (or other fluid) master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42318	C		転写シート	てんしゃしーと	transfer sheet				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42319	C		圧力型スピリット原本	あつりょくがたすぴりっとげんぽん	pressure-type spirit master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42320	C		熱型スピリット原本	ねつがたすぴりっとげんぽ	thermal-type spirit master				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42321	C		熱型スピリット転写シート	ねつがたすぴりっとてんしゃしーと	thermal-type spirit transfer sheet				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42322	C		原本/転写シートセット	げんぽん/てんしゃしーとせっと	master/transfer sheet set				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42323	C		原本トレー	げんぽんとれー	master tray				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42324	C		ブランケット	ぶらんけっと	blanket				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42325	C		原本下塗り装置	げんぽんしたぬりそうち	master priming device				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42326	C		ブランケット清掃装置	ぶらんけっとせいそうそう	blanket cleaning device				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42327	C		紙スタック	かみすたっく	paper stack				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42328	C		用紙プラットフォーム、紙送り板	ようしぷらっとふぉーむ、かみおくりばん	paper platform, feedboard				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42329	C		用紙リフト	ようしりふと	paper lift				ISO 5138-2	1980				1980	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42330	C		紙辺ガイド	しへんがいど	paper side guides				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42331	C		紙端停止	したんていし	paper end stop				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42332	C		吸引式紙送り装置	きゅういんしきかみおくりそうち	suction feeder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42333	C		摩擦式紙送り装置	まさつしきかみおくりそうち	friction feeder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42334	C		コーナ分離装置	こーなぶんりそうち	corner separator				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42335	C		摂取ローラ	せっしゅろーら	intake rollers				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42336	C		シート検出装置	しーとけんしゅつそうち	sheet detector				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42337	C		二重シート検出装置	にじゅうしーとけんしゅつそうち	double sheet detector				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42338	C		二重シート排出装置	にじゅうしーとはいしゅつそうち	double sheet ejector				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42339	C		フロントレイ	ふろんとれい	front lay				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42340	C		サイドレイ	さいどれい	side lay				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42341	C		シリンダグリッパ	しりんだぐりっぱ	cylinder gripper				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42342	C		圧力ローラ	あつりょくろーら	pressure roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42343	C		ストリッパ	すとりっぱ	stripper				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42344	C		配送ローラ、配送ホイール	はいそうろーら、はいそうほいーる	delivery rollers, delivery wheels				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42345	C		配送トレー、配送プラットフォーム	はいそうとれー、はいそうぷらっとふぉーむ	delivery tray, delivery platform				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42346	C		揺動配送トレー	ようどうはいそうとれー	swinging delivery tray				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42347	C		配送端停止	はいそうたんていし	delivery end stop				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42348	C		配送紙偏向器	はいそうしへんこうき	delivery paper deflector				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42349	C		配送辺ガイド	はいそうへんがいど	delivery side guides				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42350	C		トレー配送機構	とれーはいそうきこう	tray delivery mechanism				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42351	C		グリッパ機構	ぐりっぱきこう	gripper mechanism				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42352	C		グリッパ縁	ぐりっぱえん	gripper edge				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42353	C		連鎖配送機構	れんさはいそうきこう	chain delivery mechanism				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42354	C		コンベヤ配送機構	こんべやはいそうきこう	conveyor delivery mechanism				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42355	C		インクダクト	いんくだくと	ink duct				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42356	C		インクダクトローラ	いんくだくとろーら	ink duct roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42357	C		インクダクトブレード	いんくだくとぶれーど	ink duct blade				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42358	C		インク振動機ローラ	いんくしんどうきろーら	ink vibrator roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42359	C		インク分散機ローラ	いんくぶんさんきろーら	ink distributor roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42360	C		インク振動ローラ	いんくしんどうろーら	ink oscillating roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42361	C		インクスクリーン	いんくすくりーん	ink screen				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42362	C		インクローラ清掃装置	いんくろーらせいそうそう	ink roller cleaning device				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42363	C		液体コンテナ	えきたいこんてな	fluid container				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42364	C		液体ポンプ	えきたいぽんぷ	fluid pump				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42365	C		点滴注入弁	てんてきちゅうにゅうべん	drip feed valve				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42366	C		スプレーチューブ	すぷれーちゅーぶ	spray tube				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42367	C		給湿パッド	きゅうしつぱっど	damping pad				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42368	C		給湿パッドホルダ	きゅうしつぱっどほるだ	damping pad holder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42369	C		加湿ローラ	かしつろーら	moistening roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42370	C		加湿圧ローラ 運搬ローラ	かしつあつろーら うんぱんろーら	moistening pressure roller conveying roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42371	C		トラフローラ	とらふろーら	trough roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42372	C		給湿圧ローラ	きゅうしつあつろーら	damping pressure roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42373	C		給湿器バイブレータローラ	きゅうしつきばいぶれーたろーら	damper vibrator roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42374	C		給湿器アプリケータローラ	きゅうしつきあぷりけーたろーら	damper applicator roller				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42375	C		シリンダ	しりんだ	cylinder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42376	C		原本シリンダ	げんぽんしりんだ	master cylinder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42377	C		ライン選択機原本シリンダ	らいんせんたくきげんぽんしりんだ	line-selection machine master cylinder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42378	C		原本クランプ	げんぽんくらんぷ	master clamp				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42379	C		原本クリップ	げんぽんくりっぷ	master clip				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42380	C		原本旋回装置	げんぽんせんかいそうち	master slewing device				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42381	C		ブランケットシリンダ	ぶらんけっとしりんだ	blanket cylinder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42382	C		ブランケットクリップ	ぶらんけっとくりっぷ	blanket clip				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42383	C		逆圧シリンダ	ぎゃくあつしりんだ	counter-pressure cylinder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42384	C		配送シリンダ	はいそうしりんだ	delivery cylinder				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42385	C		電源スイッチ	でんげんすいっち	mains switch				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42386	C		開始制御	かいしせいぎょ	start control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42387	C		停止制御	ていしせいぎょ	stop control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42388	C		機械ハンドル、機械ハンドホイール	きかいはんどる、きかいはんどほいーる	machine handle, machine handwheel				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42389	C		速度制御	そくどせいぎょ	speed control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42390	C		自動プログラム制御	じどうぷろぐらむせいぎょ	automatic programme control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42391	C		原本取り付け制御	げんぽんとりつけせいぎょ	master attachment control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42392	C		原本整列制御	げんぽんせいれつせい	master alignment control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42393	C		画像ヘッド調節装置	がぞうへっどちょうせつそうち	image head adjuster				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42394	C		原本下塗り制御	げんぽんしたぬりせいぎょ	master priming control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42395	C		下塗り制御	したぬりせいぎょ	priming control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42396	C		インクレバー	いんくればー	ink lever				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42397	C		手動インク制御	しゅどういんくせいぎょ	manual inking control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42398	C		インク計測制御	いんくけいそくせいぎょ	ink metering control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42399	C		インクダクト制御ネジ	いんくだくとせいぎょねじ	ink duct regulating screws				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42400	C		インク選択装置	いんくせんたくそうち	ink selector				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42401	C		インク振動子遮断装置	いんくしんどうしゃだんそうち	ink vibrator interrupter				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42402	C		給湿制御	きゅうしつせいぎょ	damping control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42403	C		給湿幅選択装置	きゅうしつはばせんたくそうち	damping width selector				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42404	C		ブランケット清掃制御	ぶらんけっとせいそうせいぎょ	blanket cleaning control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42405	C		紙送り版昇降制御	かみおくりばんしょうこうせいぎょ	feedboard raising and lowering control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42406	C		校正刷り制御	こうせいずりせいぎょ	proof control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42407	C		紙送り制御	かみおくりせいぎょ	feed control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42408	C		二重文書検出装置	にじゅうぶんしょけんしゅつそうち	double sheet detector control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42409	C		真空制御	しんくうせいぎょ	vacuum control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42410	C		摩擦圧力制御	まさつあつりょくせいぎょ	friction pressure control				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42411	C		サイドレイ調節装置	さいどれいちょうせつそう	side lay adjuster				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42412	C		シリンダ圧調節装置	しりんだあつちょうせつそ	cylinder pressure adjuster				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42413	C		総数カウンタ	そうすうかうんた	total counter				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42414	C		事前選択装置カウンタ	じぜんせんたくそうちかうんた	preselector counter				ISO 5138-2	1980				1980	SC28
42415	C		記述項	きじゅつこう	entry				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42416	C		宛名印刷機	あてないんさつき	addressing machine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42417	C		転写式あて(宛)名印刷機	てんしゃしきあてないんさつき	transfer process addressing machine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42418	C		謄写式あて(宛)名印刷機	とうしゃしきあてないんさつき	stencil process addressing machine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42419	C		凸版式あて(宛)名印刷機	とっぱんしきあてないんさつき	relief print process addressing machine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42420	C		手動機械	しゅどうきかい	manually driven machine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42421	C		電動機械	でんどうきかい	electrically driven machine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42422	C		原本手動送り式あて(宛)印刷機	げんぽんしゅどうおくりしきあてないんさつき	addressing machine with manual master feed				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42423	C		原本ホッパ送りあて(宛)印刷機	げんぽんほっぱおくりあてないんさつき	addressing machine with master feed from a hopper				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42424	C		手動紙送り式あて(宛)印刷機	しゅどうかみおくりしきあてないんさつき	addressing machine with manual Paper movement				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42425	C		半自動紙送り式あて(宛)印刷機	はんじどうかみおくりしきあてないんさつき	addressing machine with semi-automatic paper movement				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42426	C		自動紙送り式あて(宛)印刷機	じどうかみおくりしきあてないんさつき	addressing machine with automatic paper				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42427	C		機械速度	きかいそくど	machine speed				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42428	C		機械機能	きかいきのう	machine function				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42429	C		手動機能	しゅどうきのう	manual function				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42430	C		自動機能	じどうきのう	automatic function				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42431	C		機能事前選択	きのうじぜんせんたく	function preselection				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42432	C		機械プログラム	きかいぷろぐらむ	machine programme				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42433	C		固定プログラム実行	こていぷろぐらむじっこう	fixed programme run				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42434	C		可変プログラム実行	かへんぷろぐらむじっこう	variable programme run				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42435	C		印刷プロセス	いんさつぷろせす	printing process				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42436	C		凸版印刷	とっぱんいんさつ	relief printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42437	C		ネガティブ印刷	ねがていぶいんさつ	negative printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42438	C		ポジティブ印刷	ぽじていぶいんさつ	positive printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42439	C		謄写版印刷	とうしゃばんいんさつ	stencil printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42440	C		スピリット転写印刷	すぴりっとてんしゃいんさ	spirit transfer printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42441	C		熱転写印刷	ねつてんしゃいんさつ	heat transfer printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42442	C		全部印刷	ぜんぶいんさつ	total printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42443	C		部分的印刷	ぶぶんてきいんさつ	partial printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42444	C		ライン印刷	らいんいんさつ	line printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42445	C		補足的印刷	ほそくてきいんさつ	supplementary printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42446	C		印刷位置	いんさついち	print position				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42447	C		繰返し印刷	くりかえしいんさつ	repeat printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42448	C		事前選択繰り返し印刷	じぜんせんたくくりかえしいんさつ	preselected repeat printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42449	C		スキッピング	すきっぴんぐ	skipping				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42450	C		印刷リリース	いんさつりりーす	print release				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42451	C		印刷中断	いんさつちゅうだん	print interruption				ISO 5138-3	1981				1981	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42452	C		原本供給	げんぽんきょうきゅう	master feeding				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42453	C		原本輸送	げんぽんゆそう	master transporting				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42454	C		自動原本輸送	じどうげんぽんゆそう	automatic master transporting				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42455	C		半自動原本輸送	はんじどうげんぽんゆそう	semi-automatic master transporting				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42456	C		手動原本輸送	しゅどうげんぽんゆそう	manual master				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42457	C		原本保管	げんぽんほかん	master storage				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42458	C		インク付け	いんくづけ	inking				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42459	C		インク転移	いんくてんい	ink transfer				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42460	C		インク制御	いんくせいぎょ	ink regulation				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42461	C		熱転写	ねつてんしゃ	heat transfer				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42462	C		加湿	かしつ	moistening				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42463	C		紙送り	かみおくり	paper feeding				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42464	C		紙排出	かみはいしゅつ	paper ejecting				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42465	C		紙スタッキング	かみすたっきんぐ	paper stacking				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42466	C		選択	せんたく	selection				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42467	C		登録	とうろく	registration				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42468	C		原本	げんぽん	master				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42469	C		型押し原本	かたおしげんぽん	embossed master				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42470	C		記載原本	きさいげんぽん	written master				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42471	C		熱転写原本	ねつてんしゃげんぽん	heat transfer master				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42472	C		スピリット転写原本	すぴりっとてんしゃげんぽ	spirit transfer master				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42473	C		謄写版原本	とうしゃばんげんぽん	stencil master				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42474	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42475	C		原本マガジン	げんぽんまがじん	master magazine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42476	C		選択装置	せんたくそうち	selector				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42477	C		可視的選択装置	かしてきせんたくそうち	visual selector				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42478	C		自動選択装置	じどうせんたくそうち	automatic selector				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42479	C		自動プログラム選択装置	じどうぷろぐらむせんたくそうち	automatic programme selector				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42480	C		印刷パッド	いんさつぱっど	printing pad				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42481	C		補足的印刷パッド	ほそくてきいんさつぱっど	supplementary printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42482	C		部分的印刷パッド	ぶぶんてきいんさつぱっど	partial printing pad				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42483	C		スライド式パッド	すらいどしきぱっど	sliding pad				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42484	C		印刷ローラ	いんさつろーら	printing roller				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42485	C		補足的印刷ローラ	ほそくてきいんさつろーら	supplementary printing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42486	C		部分的印刷ローラ	ぶぶんてきいんさつろーら	partial printing roller				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42487	C		スライド式ローラ	すらいどしきろーら	sliding roller				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42488	C		印刷セグメント	いんさつせぐめんと	printing segment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42489	C		補足的印刷セグメント	ほそくてきいんさつせぐめんと	supplementary printing segment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42490	C		部分的印刷セグメント	ぶぶんてきいんさつせぐめんと	partial printing segment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42491	C		スライド式セグメント	すらいどしきせぐめんと	sliding segment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42492	C		裏面印刷装置	うらめんいんさつそうち	reverse side printing equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42493	C		補足的印刷装置	ほそくてきいんさつそうち	supplementary printing equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42494	C		英数字及び数字付番及び日付記入装置	えいすうじおよびすうじふばんおよびひづけきにゅうそうち	alphanumeric and numeric numbering and dating device				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42495	C		単一印刷装置	たんいついんさつそうち	single print equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42496	C		連続印刷装置	れんぞくいんさつそうち	continous print equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42497	C		リボンガイド	りぼんがいど	ribbon guide				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42498	C		リボン供給機構	りぼんきょうきゅうきこう	ribbon feed mechanism				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42499	C		リボン供給反転装置	りぼんきょうきゅうはんてんそうち	ribbon reverse device				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42500	C		インク付け装置	いんくづけそうち	inking device				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42501	C		インク分散ローラ	いんくぶんさんろーら	ink distributor roller				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42502	C		インク付けパッド	いんくづけぱっど	inker pad				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42503	C		インク付けローラ	いんくづけろーら	inker roller				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42504	C		加湿器	かしつき	moistening equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42505	C		熱転写装置	ねつてんしゃそうち	heat transfer equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42506	C		紙送りデッキ	かみおくりでっき	feed deck				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42507	C		分離装置	ぶんりそうち	separator				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42508	C		紙送り装置	かみおくりそうち	feeder				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42509	C		自動用紙ガイド運搬装置	じどうようしがいどうんぱんそうち	automatic paper guide and transporting equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42510	C		半自動用紙ガイド運搬装置	はんじどうようしがいどうんぱんそうち	semi-automatic paper guide and transporting				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42511	C		リスティング装置	りすていんぐそうち	listing equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42512	C		多重行リスティング装置	たじゅうぎょうりすていんぐそうち	multi-column listing equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42513	C		リスタ停止	りすたていし	lister stop				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42514	C		リスト戻し装置	りすともどしそうち	list return equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42515	C		バースタ	ばーすた	burster				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42516	C		ギロチン	ぎろちん	guillotine				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42517	C		スリッタ	すりった	slitter				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42518	C		トレースタッカ	とれーすたっか	tray stacker				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42519	C		ベルトスタッカ	べるとすたっか	belt stacker				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42520	C		用紙反転装置	ようしはんてんそうち	paper reversing equipment				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42521	C		二重文書検出装置	にじゅうぶんしょけんしゅつそうち	double document detector				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42522	C		紙送りデッキリミッタ	かみおくりでっきりみった	feed deck limiter				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42523	C		スタックリミッタ	すたっくりみった	stack limiter				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42524	C		印象カウンタ	いんしょうかうんた	impression counter				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42525	C		機械サイクルカウンタ	きかいさいくるかうんた	machine cycle counter				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42526	C		事前選択カウンタ	じぜんせんたくかうんた	preselection counter				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42527	C		自動停止	じどうていし	automatic stop				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42528	C		電源スイッチ	でんげんすいっち	mains switch				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42529	C		開始制御	かいしせいぎょ	start control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42530	C		停止制御	ていしせいぎょ	stop control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42531	C		機械ハンドル 機械ハンドホイール	きかいはんどる きかいはんどほいーる	machine handle machine handwheel				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42532	C		速度制御	そくどせいぎょ	speed control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42533	C		印刷制御	いんさつせいぎょ	print control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42534	C		スキップ制御	すきっぷせいぎょ	skip control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42535	C		繰返し制御	くりかえしせいぎょ	repeat control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42536	C		紙送り制御	かみおくりせいぎょ	paper feed control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42537	C		自動制御	じどうせいぎょ	automatic control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42538	C		特別停止制御	とくべつていしせいぎょ	special stop control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42539	C		オーバーライド制御	おーばーらいどせいぎょ	override control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42540	C		事前選択印刷制御	じぜんせんたくいんさつせいぎょ	preselection print control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42541	C		印刷位置制御	いんさついちせいぎょ	paint position control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42542	C		紙厚制御	かみあつせいぎょ	paper thickness control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42543	C		印刷圧制御	いんさつあつせいぎょ	print pressure control				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42544	C		タブ	たぶ	tab				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42545	C		可視表示装置	かしひょうじそうち	visual indicator				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42546	C		グルーパ	ぐるーぱ	grouper				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42547	C		マスタファイリング	ますたふぁいりんぐ	master filing				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42548	C		修正液	しゅうせいえき	correcting fluid				ISO 5138-3	1981				1981	SC28
42549	C		記述項	きじゅつこう	entry				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42550	C		書状開封機	しょじょうかいふうき	letter opening machine				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42551	C		ギロチンカッタ付き書状開封機	ぎろちんかったつきしょじょうかいふうき	letter opening machine with guillotine cutter				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42552	C		回転切断刃付き書状開封機	かいてんせつだんはつきしょじょうかいふうき	letter opening machine with rotating cutting				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42553	C		回転一枚刃付き書状開封機	かいてんいちまいばつきしょじょうかいふうき	letter opening machine with one rotating blade				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42554	C		回転二枚刃付き書状開封機	かいてんにまいはつきしょじょうかいふうき	letter opening machine with two rotating blades				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42555	C		複合ギロチン回転刃付き書状開封機	ふくごうぎろちんかいてんはつきしょじょうかいふうき	letter opening machine with combined guillotine and rotating blade				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42556	C		多重刃カッター付き書状開封機	たじゅうはかったーつきしょじょうかいふうき	letter opening machine with multi-bladed cutter(s)				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42557	C		手動機械	しゅどうきかい	manually driven machine				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42558	C		電動機械	でんどうきかい	electrically driven machine				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42559	C		手動紙送り式書状開封機	しゅどうかみおくりしきしょじょうかいふうき	letter opening machine with manual feed				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42560	C		自動紙送り式書状開封機	じどうかみおくりしきしょじょうかいふうき	letter opening machine with automatic feed				ISO 5138-4	1981				1981	SC28
42561	C		記述項	きじゅつこう	entry				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42562	C		書状折り機	しょじょうおりき	letter folding machine				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42563	C		シュート	しゅーと	chute folder				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42564	C		ナイフ	ないふ	knife folder				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42565	C		フラップ	ふらっぷ	flap folder				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42566	C		回転折り	かいてんおり	turn folder				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42567	C		一つ折り	ひとつおり	single fold				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42568	C		標準二つ折り	ひょうじゅんふたつおり	standard double fold				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42569	C		蛇腹折り	じゃばらおり	accordion fold				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42570	C		二つ折り	ふたつおり	double fold				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42571	C		十字折り	じゅうじおり	cross fold				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42572	C		多重折り	たじゅうおり	multiple fold				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42573	C		手動機械	しゅどうきかい	manually driven machine				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42574	C		電動機械	でんどうきかい	electrically driven machine				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42575	C		手動紙送り式書状折り機	しゅどうかみおくりしきしょじょうおりき	letter folding machine with manual feed				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42576	C		自動紙送り式書状折り機	じどうかみおくりしきしょじょうおりき	letter folding machine with automatic feed				ISO 5138-5	1981				1981	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42577	C		A4書状折り機	えーよんしょじょうおりき	A4 letter folding machine				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42578	C		A3書状折り機	えーさんしょじょうおりき	A3 letter folding machine				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42579	C		機械速度	きかいそくど	machine speed				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42580	C		紙スタック	かみすたっく	paper stack				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42581	C		分離紙送り	ぶんりかみおくり	separating and feeding				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42582	C		折り	おり	folding				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42583	C		折り目付け	おりめつけ	scoring				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42584	C		穿孔	せんこう	perforating				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42585	C		切断	せつだん	slitting				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42586	C		排出	はいしゅつ	ejecting				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42587	C		スタック	すたっく	stacking				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42588	C		給紙台	きゅうしだい	paper feed platform				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42589	C		紙辺誘導装置	しへんゆうどうそうち	paper side guides				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42590	C		吸引給紙装置	きゅういんきゅうしそうち	suction feeder				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42591	C		摩擦給紙装置	まさつきゅうしそうち	friction feeder				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42592	C		排出ローラ	はいしゅつろーら	ejection rollers				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42593	C		ベルトスタッカ	べるとすたっか	belt stacker				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42594	C		パイルスタッカ	ぱいるすたっか	pile stacker				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42595	C		スコアラ	すこあら	scorer				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42596	C		穿孔機	せんこうき	perforator				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42597	C		ストリッパ	すとりっぱ	stripper				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42598	C		スリッタ	すりった	slitter				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42599	C		電源スイッチ	でんげんすいっち	mains switch				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42600	C		紙送り制御	かみおくりせいぎょ	feed control				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42601	C		速度制御	そくどせいぎょ	speed control				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42602	C		セパレータ制御装置	せぱれーたせいぎょそうち	separator adjuster				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42603	C		紙辺誘導装置アジャスタ	しへんゆうどうそうちあじゃすた	Paper side guide adjuster				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42604	C		折り選択装置制御	おりせんたくそうちせい	fold selector control				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42605	C		傾斜制御	けいしゃせいぎょ	skew control				ISO 5138-5	1981				1981	SC28
42606	C		郵便料金別納証印刷機	ゆうびんりょうきんべつのうしょういんさつき	postal franking machine				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42607	C		回転式印刷機	かいてんしきいんさつき	rotary printing machine				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42608	C		平形機械	ひらがたきかい	flat printing machine				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42609	C		携帯用機械	けいたいようきかい	hand-held machine				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42610	C		手動機械	しゅどうきかい	manually-operated				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42611	C		電動機械	でんどうきかい	electrically-operated machine				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42612	C		手動紙送り	しゅどうかみおくり	manual feed				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42613	C		自動紙送り	じどうかみおくり	automatic feed				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42614	C		料金前納システム付き郵便料金別納証印刷機	りょうきんぜんのうしすてむつきゆうびんりょうきんべつのうしょういんさつき	postal franking machine with prepayment system				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42615	C		プリペイドカードシステム付き郵便料金別納証印刷機	ぷりぺいどかーどしすてむつきゆうびんりょうきんべつのうしょういんさつき	postal franking machine with a value card system				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42616	C		当座勘定システム付き郵便料金別納証印刷機	とうざかんじょうしすてむつきゆうびんりょうきんべつのうしょういんさつき	postal franking machine with a current account system				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42617	C		一体型メータ付き機械	いったいがためーたつききかい	machine with integrated meter				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42618	C		取り外し可能メータ付き機械	とりはずしかのうめーたつききかい	machine with detachable meter				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42619	C		機械機能	きかいきのう	machine function				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42620	C		手動機能	しゅどうきのう	manual function				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42621	C		自動機能	じどうきのう	automatic function				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42622	C		機械プログラム	きかいぷろぐらむ	machine programme/GB/machine program/US				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42623	C		紙送り	かみおくり	feeding				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42624	C		印刷プロセス	いんさつぷろせす	printing process				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42625	C		印刷リリース	いんさつりりーす	print release				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42626	C		印刷位置	いんさついち	print position				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42627	C		インク付け	いんくづけ	inking				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42628	C		インク規制	いんくきせい	ink regulation				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42629	C		インク転送	いんくてんそう	ink transfer				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42630	C		印象	いんしょう	impression				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42631	C		印象順序	いんしょうじゅんじょ	impression sequence				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42632	C		必す印象	ひっすいんしょう	mandatory impression				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42633	C		選択的印象	せんたくてきいんしょう	optional impressions				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42634	C		料金既済印象	りょうきんきさいいんしょう	value paid impression				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42635	C		場所及び日付印象	ばしょおよびひづけいんしょう	place and date impression				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42636	C		登録フェッタ番号印象	とうろくふぇったばんごういんしょう	registered fetter number impression				ISO 5138-7	1986				1986	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42637	C		郵便費用の記録	ゆうびんひようのきろく	recording of postal expenditure				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42638	C		排出	はいしゅつ	ejection				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42639	C		スタッキング	すたっきんぐ	stacking				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42640	C		郵便料金別納証金型	ゆうびんりょうきんべつのうしょうかながた	franking die				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42641	C		郵便料金別納証金型運び台	ゆうびんりょうきんべつのうしょうかながたはこびだい	franking die carrier				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42642	C		郵便料金別納証金型取り付けブロック	ゆうびんりょうきんべつのうしょうかながたとりつけぶろっく	die mounting block				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42643	C		印刷ドラム	いんさつどらむ	printing drum				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42644	C		印刷リリース装置	いんさつりりーすそうち	print release device				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42645	C		料金印刷ホイール	りょうきんいんさつほいーる	value printing wheels				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42646	C		日付ホイール	ひづけほいーる	date wheels				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42647	C		給紙デッキ	きゅうしでっき	feed deck				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42648	C		給紙装置	きゅうしそうち	feeder				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42649	C		給紙ベルト又はローラ	きゅうしべるとまたはろー	feed belt or roller				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42650	C		インク付けシステム	いんくつけしすてむ	inking system				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42651	C		インク付けローラ	いんくづけろーら	inking roller				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42652	C		インク付けパッド	いんくづけぱっど	inking pad				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42653	C		印象ローラ	いんしょうろーら	impression roller				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42654	C		印象パッド	いんしょうぱっど	impression pad				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42655	C		上昇レジスタ、トータルレジスタ	じょうしょうれじすた、とーたるれじすた	ascending register, total register				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42656	C		下降レジスタ、クレジットレジスタ	かこうれじすた、くれじっとれじすた	descending register, credit register				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42657	C		プリペイドカードカウンタ	ぷりぺいどかーどかうんた	value card counter				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42658	C		分離装置	ぶんりそうち	separator				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42659	C		スタッカ	すたっか	stacker				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42660	C		ラベルディスペンサ	らべるでぃすぺんさ	label dispenser				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42661	C		アイテムカウンタ	あいてむかうんた	item counter				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42662	C		電源スイッチ	でんげんすいっち	mains switch				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42663	C		開始制御	かいしせいぎょ	start control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42664	C		停止制御	ていしせいぎょ	stop control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42665	C		操作ハンドル	そうさはんどる	operating handle				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42666	C		速度制御	そくどせいぎょ	speed control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42667	C		厚み調節装置	あつみちょうせつそうち	thickness adjuster				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42668	C		インク付け制御	いんくづけせいぎょ	inking control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42669	C		料金選択装置	りょうきんせんたくそうち	value selector				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42670	C		データ選択装置	でーたせんたくそうち	date selector				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42671	C		プリペイドカードリリース	ぷりぺいどかーどりりーす	value card release				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42672	C		選択的印象制御	せんたくてきいんしょうせいぎょ	optional impression control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42673	C		高料金制御	こうりょうきんせいぎょ	high value control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42674	C		料金表示器	りょうきんひょうじき	value indicator				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42675	C		分離器調節装置	ぶんりきちょうせつそうち	separator adjuster				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42676	C		テープ制御	てーぷせいぎょ	tape control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42677	C		ラベル加湿器制御	らべるかしつきせいぎょ	label moistener control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42678	C		封筒封止装置	ふうとうふうしそうち	envelope sealing control				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42679	C		安全シール	あんぜんしーる	security seal				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42680	C		郵便料金別納証用インク	ゆうびんりょうきんべつのうしょうよういんく	franking ink				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42681	C		ラベル	らべる	label				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42682	C		プリペイドカード	ぷりぺいどかーど	value card				ISO 5138-7	1986				1986	SC28
42683	C		タイプライタ	たいぷらいた	typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42684	C		文字	もじ	character				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42685	C		文字高	もじだか	character height				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42686	C		タイプスタイル	たいぷすたいる	type style				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42687	C		タイプライン	たいぷらいん	typing line				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42688	C		シフトモーション	しふともーしょん	shift motion				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42689	C		書込み行	かきこみぎょう	writing line				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42690	C		タイプ位置	たいぷいち	typing position				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42691	C		インプリント位置	いんぷりんといち	imprint position				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42692	C		ピッチ	ぴっち	pitch				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42693	C		字送り	じおくり	escapement				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42694	C		字送り単位	じおくりたんい	unit of escapement				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42695	C		拡張字送り	かくちょうじおくり	expand escapement				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42696	C		スペース	すぺーす	space				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42697	C		後退、バックスペース	こうたい、ばっくすぺーす	backspace				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42698	C		文字固有間隔	もじこゆうかんかく	proportional spacing				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42699	C		基本行間	きほんぎょうかん	basic line space				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42700	C		行間	ぎょうかん	line space				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42701	C		最大行長	さいだいぎょうちょう	maximum line length				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42702	C		行頭	ぎょうとう	start of line				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42703	C		行末	ぎょうまつ	end of line				ISO 5138-9	1984				1984	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42704	C		紙送り孔	かみおくりこう	paper feed aperture				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42705	C		用紙容量	ようしようりょう	paper capacity				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42706	C		キーストローク	きーすとろーく	key stroke				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42707	C		単一キーストローク	たんいつきーすとろーく	single key stroke				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42708	C		タイプマチックキースト	たいぷまちっくきーすと	typamatic key stroke				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42709	C		反復キーストローク	はんぷくきーすとろーく	repeat key stroke				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42710	C		交互キーストローク	こうごきーすとろーく	alternate key stroke				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42711	C		タイプ速度	たいぷそくど	typing speed				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42712	C		タッチ	たっち	touch				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42713	C		印象力	いんしょうりょく	force of impression				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42714	C		印刷コントラスト	いんさつこんとらすと	print contrast				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42715	C		機能識別子	きのうしきべつし	function identifier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42716	C		重量タイプライタ	じゅうりょうたいぷらいた	heavy typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42717	C		中量タイプライタ	ちゅうりょうたいぷらいた	medium-weight typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42718	C		軽量タイプライタ	けいりょうたいぷらいた	light-weight typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42719	C		事務タイプライタ	じむたいぷらいた	office typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42720	C		携帯用タイプライタ	けいたいようたいぷらいた	portable typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42721	C		特殊作業用タイプライタ	とくしゅさぎょうようたいぷらいた	typewriter for special work				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42722	C		手動タイプライタ	しゅどうたいぷらいた	manual typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42723	C		電動タイプライタ	でんどうたいぷらいた	electric typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42724	C		電子タイプライタ	でんしたいぷらいた	electronic typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42725	C		タイプセグメントタイプライタ	たいぷせぐめんとたいぷらいた	type segment typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42726	C		タイプシリンダタイプライタ	たいぷしりんだたいぷらい	type cylinder typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42727	C		タイプボールタイプライタ	たいぷぼーるたいぷらい	type ball typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42728	C		タイプホイールタイプライタ	たいぷほいーるたいぷらいた	type wheel typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42729	C		タイプディスクタイプライタ	たいぷでぃすくたいぷらい	type disk typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42730	C		タイププレートタイプライタ	たいぷぷれーとたいぷらいた	type plate typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42731	C		タイプバータイプライタ	たいぷばーたいぷらいた	type bar typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42732	C		タイプロッドタイプライタ	たいぷろっどたいぷらいた	type rod typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42733	C		非衝撃タイプライタ	ひしょうげきたいぷらいた	non-impact typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42734	C		ワイヤマトリクスタイプライタ	わいやまとりくすたいぷらいた	wire matrix typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42735	C		交換不可用紙キャリヤ付きタイプライタ	こうかんふかようしきゃりやつきたいぷらいた	typewriter with non-changeable paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42736	C		交換可能用紙キャリヤ付きタイプライタ	こうかんかのうようしきゃりやつきたいぷらいた	typewriter with changeable paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42737	C		円筒プラテン付きタイプライタ	えんとうぷらてんつきたいぷらいた	typewriter with cylindrical platen				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42738	C		フラットプラテン付きタイプライタ	ふらっとぷらてんつきたいぷらいた	typewriter with flat platen				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42739	C		可動用紙キャリヤ付きタイプライタ	かどうようしきゃりやつきたいぷらいた	typewriter with moving paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42740	C		固定用紙キャリヤ付きタイプライタ	こていようしきゃりやつきたいぷらいた	typewriter with stationary paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42741	C		用紙キャリヤ無しタイプライタ	ようしきゃりやなしたいぷらいた	typewriter without paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42742	C		繊維製リボン付きタイプライタ	せんいせいりぼんつきたいぷらいた	typewriter with fabric ribbon				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42743	C		修正リボン付きタイプライタ	しゅうせいりぼんつきたいぷらいた	typewriter with correction ribbon				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42744	C		カーボンリボン付きタイプライタ	かーぼんりぼんつきたいぷらいた	typewriter with carbon ribbon				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42745	C		リボン2本付きタイプライタ	りぼん2ほんつきたいぷらいた	typewriter with two ribbons				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42746	C		インクパッド付きタイプライタ	いんくぱっどつきたいぷらいた	typewriter with ink pad				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42747	C		インクジェットタイプライタ	いんくじぇっとたいぷらい	ink jet typewriter				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42748	C		一定ピッチ付きタイプライタ	いっていぴっちつきたいぷらいた	typewriter with constant pitch				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42749	C		比例間隔付きタイプライタ	ひれいかんかくつきたいぷらいた	typewriter with proportional spacing				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42750	C		複数ピッチ付きタイプライタ	ふくすうぴっちつきたいぷらいた	typewriter with multiple pitches				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42751	C		交換可能タイプ要素付きタイプライタ	こうかんかのうたいぷようそつきたいぷらいた	typewriter with exchangeable type				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42752	C		固定タイプ要素付きタイプライタ	こていたいぷようそつきたいぷらいた	typewriter with fixed type elements				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42753	C		機械機能	きかいきのう	machine function				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42754	C		機能事前選択	きのうじぜんせんたく	function preselection				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42755	C		連続機能	れんぞくきのう	continuous function				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42756	C		用紙挿入	ようしそうにゅう	paper injection				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42757	C		用紙排出	ようしはいしゅつ	paper extraction				ISO 5138-9	1984				1984	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42758	C		事前設定	じぜんせってい	presetting				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42759	C		シフトモード	しふともーど	shift mode				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42760	C		改行	かいぎょう	line feed				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42761	C		部分的ラインナップ	ぶぶんてきらいんなっぷ	partial line up				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42762	C		部分的ラインダウン	ぶぶんてきらいんだうん	partial line down				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42763	C		タイプライン調節	たいぷらいんちょうせつ	typing line adjustment				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42764	C		水平欄送り	すいへいらんおくり	horizontal tabulation				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42765	C		垂直欄送り	すいちょくらんおくり	vertical tabulation				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42766	C		水平前進	すいへいぜんしん	horizontal advance				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42767	C		水平リターン	すいへいりたーん	horizontal return				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42768	C		スキッピング、スキップタブ移動	すきっぴんぐ、すきっぷたぶいどう	skipping, skip tabbing				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42769	C		キーボード	きーぼーど	keyboard				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42770	C		キー列	きーれつ	key row				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42771	C		タイプ(名詞)	たいぷ(めいし)	type (noun)				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42772	C		タイプ要素	たいぷようそ	type element				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42773	C		タイプスラグ	たいぷすらぐ	type slug				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42774	C		タイププレート	たいぷぷれーと	type plate				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42775	C		タイプボール	たいぷぼーる	type ball				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42776	C		タイプホイール	たいぷほいーる	type wheel				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42777	C		タイプディスク	たいぷでぃすく	type disk				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42778	C		タイプセグメント	たいぷせぐめんと	type segment				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42779	C		タイプシリンダ	たいぷしりんだ	type cylinder				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42780	C		タイプキャリヤ	たいぷきゃりや	type carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42781	C		タイプバー	たいぷばー	type bar				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42782	C		タイプロッド	たいぷろっど	type rod				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42783	C		タイプバーセグメント	たいぷばーせぐめんと	type bar segment				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42784	C		タイプバー支点	たいぷばーしてん	type bar fulcrum				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42785	C		タイプバーガイド	たいぷばーがいど	type bar guide				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42786	C		タイプバーレストパッド	たいぷばーれすとぱっど	type bar rest pad				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42787	C		用紙キャリヤ	ようしきゃりや	paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42788	C		固定用紙キャリヤ	こていようしきゃりや	stationary paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42789	C		可動用紙キャリヤ	かどうようしきゃりや	moving paper carrier				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42790	C		紙送り機構	かみおくりきこう	paper feed mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42791	C		プラテン	ぷらてん	platen				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42792	C		用紙ガイド	ようしがいど	paper guide				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42793	C		紙送りローラ	かみおくりろーら	paper feed rollers				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42794	C		用紙ホルダ	ようしほるだ	paper holder				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42795	C		用紙ベイル	ようしべいる	paper bail				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42796	C		カードホルダ	かーどほるだ	card holder				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42797	C		アライナ	あらいな	aligner				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42798	C		行定規	ぎょうじょうぎ	line ruler				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42799	C		コピーガイド	こぴーがいど	copy guide				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42800	C		用紙支持体	ようししじたい	paper support				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42801	C		用紙支持体拡張	ようししじたいかくちょう	paper support extension				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42802	C		用紙偏向装置	ようしへんこうそうち	paper deflector				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42803	C		行間機構	ぎょうかんきこう	line space mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42804	C		行間ラチェット	ぎょうかんらちぇっと	line space ratchet				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42805	C		プラテン変化機構	ぷらてんへんかきこう	platen variable mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42806	C		一定ピッチ機構	いっていぴっちきこう	constant pitch mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42807	C		比例間隔機構	ひれいかんかくきこう	proportional spacing mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42808	C		文字拡張機構	もじかくちょうきこう	character expand mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42809	C		バックスペース機構	ばっくすぺーすきこう	backspace mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42810	C		マージン制御機構	まーじんせいぎょきこう	margin control mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42811	C		左手マージン停止	ひだりてまーじんていし	left-hand margin stop				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42812	C		右手マージン停止	みぎてまーじんていし	right-hand margin stop				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42813	C		行末ロック	ぎょうまつろっく	line end lock				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42814	C		マージン解除機構	まーじんかいじょきこう	margin release mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42815	C		マージン目盛り	まーじんめもり	margin scale				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42816	C		リボン送り機構	りぼんおくりきこう	ribbon feed mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42817	C		リボンガイド	りぼんがいど	ribbon guide				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42818	C		リボン持ち上げ機構	りぼんもちあげきこう	ribbon lift mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42819	C		リボン持ち上げガイド	りぼんもちあげがいど	ribbon lift guide				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42820	C		カーボンリボン巻き取り機構	かーぼんりぼんまきとりきこう	carbon ribbon take-up mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42821	C		タブ機構	たぶきこう	tabulator mechanism				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42822	C		タブ停止	たぶていし	tabulator stop				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42823	C		手動タブ	しゅどうたぶ	manual tabulator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42824	C		キー設定タブ	きーせっていたぶ	key-set tabulator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42825	C		連続書式付属品	れんぞくしょしきふぞくひん	continuous forms attachment				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42826	C		ピン送り装置	ぴんおくりそうち	pin-feed device				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42827	C		用紙挿入装置/排出装置	ようしそうにゅうそうち/はいしゅつそうち	paper injector/extractor				ISO 5138-9	1984				1984	SC28

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42828	C		印刷キー	いんさつきー	printing key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42829	C		デッドキー	でっどきー	dead key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42830	C		ファンクションキー	ふぁんくしょんきー	function key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42831	C		リピートキー	りぴーときー	repeat key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42832	C		ラッチダウンキー	らっちだうんきー	latch-down key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42833	C		スペースバー	すぺーすばー	space bar				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42834	C		ハーフスペースキー	はーふすぺーすきー	half-space key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42835	C		間隔拡張キー	かんかくかくちょうきー	space expand key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42836	C		ピッチ選択装置	ぴっちせんたくそうち	pitch selector				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42837	C		バックスペースキー	ばっくすぺーすきー	backspace key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42838	C		リターンキー/レバー	りたーんきー/ればー	return key/lever				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42839	C		タブキー	たぶきー	tabulator key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42840	C		タブ設定キー	たぶせっていきー	tabulator set key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42841	C		水平タブキー	すいへいたぶきー	horizontal tabulator key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42842	C		垂直タブキー	すいちょくたぶきー	vertical tabulator key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42843	C		10進タブキー	10しんたぶきー	decimal tabulator keys				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42844	C		ラッチアウトタブキー、タッチタブキー	らっちあうとたぶきー、たっちたぶきー	latch-out tabulator key, touch tabulator key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42845	C		ホールドダウンタブキー	ほーるどだうんたぶきー	hold-down tabulator key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42846	C		タブクリアキー	たぶくりあきー	tabulator clear key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42847	C		タブギャングクリアキー	たぶぎゃんぐくりあきー	tabulator gang clear key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42848	C		マージン停止設定制御	まーじんていしせっていせいぎょ	margin stop setting control				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42849	C		マージン解除キー	まーじんかいじょきー	margin release key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42850	C		シフトキー	しふときー	shift key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42851	C		シフトロック	しふとろっく	shift lock				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42852	C		修正キー	しゅうせいきー	correction key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42853	C		印刷防止キー	いんさつぼうしきー	no-print key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42854	C		衝突防止キー	しょうとつぼうしきー	anti-clash key				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42855	C		位置表示器	いちひょうじき	position indicator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42856	C		再配置表示器	さいはいちひょうじき	reposition indicator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42857	C		行間選択装置	ぎょうかんせんたくそうち	line space selector				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42858	C		プラテンノブ	ぷらてんのぶ	platen knob				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42859	C		プラテン可変ノブ	ぷらてんかへんのぶ	platen variable knob				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42860	C		プラテン解除レバー	ぷらてんかいじょればー	platen release lever				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42861	C		キャリッジ解除	きゃりっじかいじょ	carriage release				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42862	C		用紙解除	ようしかいじょ	paper release				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42863	C		リボン逆転制御	りぼんぎゃくてんせいぎょ	ribbon reverse control				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42864	C		リボン領域選択装置	りぼんりょういきせんたくそうち	ribbon zone selector				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42865	C		キータッチ選択装置	きーたっちせんたくそうち	key touch selector				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42866	C		タイプ印象制御	たいぷいんしょうせいぎょ	type impression control				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42867	C		複数コピー制御	ふくすうこぴーせいぎょ	multiple copy control				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42868	C		キーロック	きーろっく	key lock				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42869	C		キャリッジロック	きゃりっじろっく	carriage lock				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42870	C		ページ末尾表示器	ぺーじまつびひょうじき	end-of-page indicator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42871	C		マージン停止表示器	まーじんていしひょうじき	margin stop indicator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42872	C		カーボンリボン供給表示器	かーぼんりぼんきょうきゅうひょうじき	carbon ribbon supply indicator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42873	C		行端表示器	ぎょうたんひょうじき	end-of-line indicator				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42874	C		リボン	りぼん	ribbon				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42875	C		繊維製リボン	せんいせいりぼん	fabric ribbon				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42876	C		カーボンリボン	かーぼんりぼん	carbon ribbon				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42877	C		リボンスプール	りぼんすぷーる	ribbon spool				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42878	C		リボンカートリッジ	りぼんかーとりっじ	ribbon cartridge				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42879	C		修正リボン	しゅうせいりぼん	correction ribbon				ISO 5138-9	1984				1984	SC28
42880	C		アプリケーション固有文脈情報	あぷりけーしょんこゆうぶんみゃくじょうほう	application-specific context information				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42881	C		アーカイブ構造情報	あーかいぶこうぞうじょうほう	archive structure information				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42882	C		内容情報	ないようじょうほう	content information				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42883	C		文脈情報	ぶんみゃくじょうほう	context information				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42884	C		ファイル属性	ふぁいるぞくせい	file attribute				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42885	C		情報パッケージ	じょうほうぱっけーじ	information package				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42886	C		プロフェッショナルアーカイバルアプリケーションフォーマットファイル、PA-AFファイル	ぷろふぇっしょなるあーかいばるあぷりけーしょんふぉーまっとふぁいる、PA-AFふぁいる	professional archival application format file PA-AF file				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42887	C		前処理ツール	まえしょりつーる	pre-processing tools				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42888	C		前処理情報	まえしょりじょうほう	pre-processing				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42889	C		保存記述情報	ほぞんきじゅつじょうほう	preservation description information				ISO/IEC 23000-6	2009				2009	SC29
42890	C		アクセスユニット	あくせすゆにっと	access unit	常に唯一のプライマリ符号化ピクチャを含むNALユニットの集合。プライマリ符号化ピクチャに加えて、アクセスユニットは一つまたはそれ以上の冗長符号化ピクチャ、一つの補助符号化ピクチャ、或いは、スライスまたはスライスデータ分割を含まない他のNALユニットを含んでもよい。アクセスユニットの復号結果は常に復号ピクチャである。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42891	C		AC変換係数	ACへんかんけいすう	AC transform coefficient	一方或いは両方の次元における周波数インデックスが非ゼロの変換係数			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42892	C		適応型二値算術復号プロセス	てきおうにちさんじゅつふくごうぷろせす	adaptive binary arithmetic decoding process	適応型二値算術符号化プロセスによって生成されたビットストリームから二値信号の値を導出するエントロピー復号プロセス			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42893	C		適応型二値算術符号化プロセス	てきおうにちさんじゅつふごうかぷろせす	adaptive binary arithmetic encoding process	本国際標準では規定しないエントロピー符号化プロセスであり、一連の二値信号を符号化し、適応型二値算術復号プロセスを用いて復号できるビットストリームを生成する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42894	C		アルファ合成	あるふぁごうせい	alpha blending	この国際規格では規定しないプロセスであり、表示プロセスにおいて、補助符号化ピクチャは、プライマリ符号化ピクチャやこの国際規格によって規定されていない他のデータと組み合わせて使用される。アルファ合成プロセスでは、補助符号化ピクチャのサンプルは、対応するプライマリ符号化ピクチャの輝度サンプルの不透明度(或いは、透明度)を			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42895	C		任意スライス順序、ASO	にんいすらいすじゅんじょ、ASO	arbitrary slice order (ASO)	スライスの復号順序において、スライスグループ内のあるスライスの先頭マクロブロックのマクロブロックアドレスが、同一スライスグループ内の他の先行するスライス、或いは、ピクチャが3つの別々のカラープレーンを用いて符号化されている場合には、同一カラープレーンの同一スライスグループ内の他の先行するスライスの先頭マクロブロックのマクロブロックアドレスより小さくてもよい。或いは、ピクチャのスライスグループのスライスは、ピクチャの一つまたはそれ以上の他のスライスグループのスライス、或いは、ピクチャが3つの別々のカラープレーンを用いて符号化されている場合には、同一カラープレーンの一つまたはそれ以上の他のスライスグループのスライスとインタリーブされても			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42896	C		補助符号化ピクチャ	ほじょふごうかぴくちゃ	auxiliary coded picture	プライマリ符号化ピクチャを補う画像で、表示プロセスにおいて、この国際規格で規定されない他のデータと組み合わせて使用してもよい。補助符号化ピクチャには、モノクロの冗長符号化ピクチャと同じシンタックス的、意味的な制限がある。補助符号化ピクチャはプライマリ符号化ピクチャと同じ数のマクロブロックを含まなければならない。補助符号化ピクチャは標準の復号プロセスに影響を与えない。プライマリ符号化ピクチャと冗長符号			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42897	C		Bスライス	Bすらいす	B slice	イントラ予測或いは最大2つの動きベクトル及び参照インデックスを用いたインター予測により、ブロックのサンプル値を予測してもよいスライス			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42898	C		二値信号	にちしんごう	bin	二値信号列の1ビット			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42899	C		二値化	にちか	binarization	シンタックス要素の全ての取り得る値に対する二値化信号列の集合			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42900	C		二値化プロセス	にちかぷろせす	binarization process	シンタックス要素の全ての取り得る値を二値化信号列へユニークにマッピングするプロセ			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42901	C		二値信号列	にちしんごうれつ	bin string	二値信号の列。二値信号列は、シンタックス要素の二値化により生成されるシンタックス要素値の中間的な二進表現			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42902	C		双予測スライス	そうよそくすらいす	bi-predictive slice	Bスライスを参照			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42903	C		ビットストリーム	びっとすとりーむ	bitstream	一つ或いはそれ以上の符号化ビデオシーケンスを形成する符号化ピクチャと関連データの表現を形成する一連のビット。ビットストリームは、NALユニットストリーム或いはバイトストリームの何れかを参照するのに使われる集合語			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42904	C		ブロック	ぶろっく	block	サンプル或いは変換係数のMxN(M行、N列)配列			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42905	C		下位フィールド	かいふぃーるど	bottom field	フレームを構成する2つのフィールドのうちの一つ。下位フィールドの各列は、空間的に、上位フィールドの対応する列のすぐ下に位置する			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42906	C		(マクロブロックペアの)下位マクロブロック	(まくろぶろっくぺあの)かいまくろぶろっく	bottom macroblock (of a macroblock pair)	マクロブロックペア内のマクロブロックであり、マクロブロックペアのサンプルの下列のサンプルを含む。フィールドマクロブロックペアに対しては、下位マクロブロックはマクロブロックペアの空間領域に位置するフレームの下位フィールドの領域のサンプルを表す。フレームマクロブロックペアに対しては、下位マクロブロックはマクロブロックペアの空間領域の下半分に位置するフレームのサンプルを表す。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42907	C		リンク切れ	りんくぎれ	broken link	ビットストリームの位置であり、ビットストリームの生成における予期しない操作のために、復号順で後続のピクチャが深刻な視覚的劣化を含むかも知れないことを示す。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42908	C		バイト	ばいと	byte	8ビットのシーケンス。最上位ビットを左、最下位ビットを右として読み書きされる。一連のデータビットで表現される場合には、バイトの最上位ビットを先頭とする			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42909	C		バイト整列	ばいとせいれつ	byte-aligned	ビットストリームの先頭ビット位置から8bitの整数倍のビットストリーム位置はバイト整列されている。ビットストリーム中の出現位置がバイト整列されている時、ビット或いはバイト、シンタックス要素はバイト整列されていると言う。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42910	C		バイトストリーム	ばいとすとりーむ	byte stream	Annex B規定の、スタートコードプレフィックスとNALユニットを含むNALユニットストリームのカプセル化			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42911	C		することができる	することができる	can	許可されているが必ずしも要求されない振る舞いを参照するときに使用する用語			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42912	C		カテゴリ	かてごり	category	各シンタックス要素に関係付けられた番号。カテゴリは、シンタックス要素をスライスデータ分割のどのNALユニットに割り当てるかを示すために使用される。シンタックス要素のクラスを参照するために、本国際標準で規定しないアプリケーションで規定された方法を用			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42913	C		色差	しきさ	chroma	サンプル配列或いは単一サンプルを特定する形容詞で、プライマリカラーに関係する2つの色差信号の一つを表す。CbとCrが色差配列或いはサンプルを表すシンボルとして使			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42914	C		符号化フィールド	ふごうかふぃーるど	coded field	フィールドの符号化表現			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42915	C		符号化フレーム	ふごうかふれーむ	coded frame	フレームの符号化表現			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42916	C		符号化ピクチャ	ふごうかぴくちゃ	coded picture	ピクチャの符号化表現。符号化ピクチャは、符号化フィールドか符号化フレームの何れか。符号化ピクチャは、プライマリ符号化ピクチャ或いは冗長符号化ピクチャを指す集合語であるが、両方合わせては使わない。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42917	C		符号化ピクチャバッファ、CPB	ふごうかぴくちゃばっふぁ、CPB	coded picture buffer (CPB)	復号順でアクセスユニットを含むFIFOバッファ。Annex Cの仮想参照デコーダで規定			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42918	C		符号化表現	ふごうかひょうげん	coded representation	データ要素の符号化された形態			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42919	C		符号化スライスデータ分割NALユニット	ふごうかすらいすでーたぶんかつNALゆにっと	coded slice data partition NAL unit	スライスデータ分割を含むNALユニット			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42920	C		符号化スライスNALユニット	ふごうかすらいすNALゆにっと	coded slice NAL unit	補助符号化ピクチャ以外のスライスを含むNALユニット			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42921	C		符号化ビデオシーケンス	ふごうかびでおしーけんす	coded video sequence	一連のアクセスユニットで、復号順に、IDRアクセスユニットと、後に続く全てのアクセスユニットが0個以上の非IDRアクセスユニットで構成される			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42922	C		構成要素	こうせいようそ	component	4:2:0、4:2:2、または4:4:4の色フォーマットでフィールドかフレームを形成する3つの配列(輝度と2つの色差)の1つからの配列または単一サンプル、或いはモノクロフォーマットでフィールドかフレームを形成する配列からの配列か単一サンプル			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42923	C		相補的フィールドペア	そうほてきふぃーるどぺあ	complementary field pair	相補的参照フィールドペアと相補的非参照フィールドペアの集合語			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42924	C		相補非参照フィールドペア	そうほひさんしょうふぃーるどぺあ	complementary non-reference field pair	2つの非参照フィールドで、最初のフィールドが既にペアにされたフィールドでなく、2つの反対パリティの符号化フィールドとして復号順序で連続したアクセスユニットに含まれる。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42925	C		相補参照フィールドペア	そうほさんしょうふぃーるどぺあ	complementary reference field pair	2つの参照フィールドで、復号順序で2番目のフィールドが、IDR画像でなく、かつ値が5のmemory_management_control_operationシンタックス要素を含まない、frame_numシンタックス要素が同じ値を有する2つの符号化フィールドとして復号順序で連続したアクセスユニットに含まれる。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42926	C		コンテクスト変数	こんてくすとへんすう	context variable	二値信号の適応型二値算術復号プロセスのために、最近復号された二値信号を含む数式により規定される変数			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42927	C		DC変換係数	DCへんかんけいすう	DC transform coefficient	周波数インデックスがすべての次元でゼロである変換係数。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42928	C		復号ピクチャ	ふくごうぴくちゃ	decoded picture	復号ピクチャは、符号化ピクチャを復号することによって得られる。復号ピクチャは、復号フレームか復号フィールドのいずれか。復号フィールドは、復号された上位フィールドか復号された下位フィールドのいずれか。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42929	C		復号ピクチャバッファ、DPB	ふくごうぴくちゃばっふぁ、DPB	decoded picture buffer (DPB)	Annex Cの仮想参照デコーダに規定の、参照、並べ替え、または出力遅延のために復号画像を保持するバッファ			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42930	C		デコーダ、復号器	でこーだ、ふくごうき	decoder	具現化された復号プロセス			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42931	C		試験対象デコーダ、DUT	しけんたいしょうでこーだ、DUT	decoder under test (DUT)	デコーダと仮想参照デコーダに従うビットストリームを提供するために仮想ストリームスケジューラを操作し、2個のデコーダの出力の値とタイミングを比較することによって、この国際規格に準拠するかテストされるデコーダ			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42932	C		復号順序	ふくごうじゅんじょ	decoding order	シンタックス要素が復号プロセスによって処理される順序。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42933	C		復号プロセス	ふくごうぷろせす	decoding process	この国際規格で規定されるプロセスで、ビットストリームを読んで、それに由来する復号ピクチャを導出する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42934	C		ダイレクト予測	だいれくとよそく	direct prediction	動きベクトルが復号されないブロックのインター予測。空間ダイレクト予測と時間ダイレクト予測として参照される2つのダイレクト予測モードが規定される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42935	C		表示プロセス	ひょうじぷろせす	display process	この国際規格でされないプロセスで、入力として、復号プロセスの出力であるクロップされた復号ピクチャを有する			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42936	C		エミュレーション防止バイト	えみゅれーしょんぼうしばいと	emulation prevention byte	NALユニットの中に存在しているかもしれない0×03と等しい1バイト。エミュレーション防止バイトの存在により、NALユニットで連続するバイト整列しているバイトのどんなシーケンスもスタートコードプレフィックスを含まないことを確実にする。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42937	C		エンコーダ、符号化	えんこーだ、ふごうか	encoder	具現化された符号化プロセス			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42938	C		符号化プロセス	ふごうかぷろせす	encoding process	この国際規格で規定されないプロセスで、この国際規格に準拠するビットストリームを生			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42939	C		フィールド	ふぃーるど	field	フレームの列を交互に組み合わせたもの。フレームは2つのフィールド、上位フィールド、および下位フィールドで構成される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42940	C		フィールドマクロブロック	ふぃーるどまくろぶろっく	field macroblock	ただ一つのフィールドからのサンプルを含むマクロブロック。符号化フィールドのすべてのマクロブロックがフィールドマクロブロックである。マクロブロック適応フレーム/フィールド復号の場合は、符号化フレームのいくつかのマクロブロックがフィールドマクロブロックで			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42941	C		フィールドマクロブロックペア	ふぃーるどまくろぶろっくぺあ	field macroblock pair	2つのフィールドマクロブロックとして復号されたマクロブロックペア			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42942	C		フィールド走査	ふぃーるどそうさ	field scan	変換係数の特定の連続した順序。各行を各列よりも急速に走査する点が、ジグザグ走査と異なる。フィールド走査はフィールドマクロブロックにおける変換係数に使用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42943	C		フラグ	ふらぐ	flag	0と1の2つの値のうち一つを取る変数			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42944	C		フレーム	ふれーむ	frame	フレームはモノクロフォーマットの輝度サンプルの配列、或いは4:2:0、4:2:2、および4:4:4色フォーマットの輝度サンプルと2つの対応する色差サンプルの配列を含むフレーム。フレームは2つのフィールド、上位フィールドと下位フィールドから成る			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42945	C		フレームマクロブロック	ふれーむまくろぶろっく	frame macroblock	符号化フレームの2つのフィールドからのサンプルを表すマクロブロック。マクロブロック適応フレーム/フィールド復号の場合は、符号化フレームのすべてのマクロブロックがフレームマクロブロックである。マクロブロック適応フレーム/フィールド復号の場合は、符号化フレームのいくつかのマクロブロックがフレームマクロブロックであってもよい。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42946	C		フレームマクロブロックペア	ふれーむまくろぶろっくぺあ	frame macroblock pair	2つのフレームマクロブロックとして復号されたマクロブロックペア			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42947	C		周波数インデックス	しゅうはすういんでっくす	frequency index	復号プロセスの逆変換前の変換係数に関する一次元、または二次元のインデックス			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42948	C		仮想参照デコーダ、HRD	かそうすとりーむすけじゅーら、HRD	hypothetical reference decoder (HRD)	仮想デコーダモデルは、符号化プロセスが生成してもよいNALユニットストリーム或いはバイトストリームの変動性に関する制約を規定する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42949	C		仮想ストリームスケジューラ、HSS	かせつてきすとりーむすけじゅーら、HSS	hypothetical stream scheduler (HSS)	仮想参照デコーダへのビットストリーム入力のタイミングとデータフローのための仮想デリバリ機構。HSSは、ビットストリームかデコーダの適合性をチェックするのに使用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42950	C		Iスライス	Iすらいす	I slice	イントラ予測だけを使用することで復号されるSIスライスでないスライス。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42951	C		参考	さんこう	informative	この国際規格で提供されたこの国際規格の不可欠な部分でない内容を参照するのに使用される用語。この国際規格への適合に必須な要件は、参考の内容では一切規定しな			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42952	C		瞬時復号リフレッシュ(IDR)アクセスユニット	しゅんじふくごうりふれっしゅ(IDR)あくせすゆにっと	instantaneous decoding refresh (IDR) access unit	プライマリ符号化ピクチャがIDRピクチャであるアクセスユニット			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42953	C		瞬時復号リフレッシュ(IDR)ピクチャ	しゅんじふくごうりふれっしゅ(IDR)ぴくちゃ	instantaneous decoding refresh (IDR) picture	全てのスライスがIかSIスライスの符号化ピクチャで、復号プロセスは、IDRピクチャの復号直後に、全ての参照ピクチャを「参照に使用しない」とマークする。IDRピクチャの復号後に、IDRピクチャの前に復号されたどんなピクチャからのインター予測なしで、復号順序において後続の全ての符号化ピクチャが復号できる。それぞれの符号化ビデオシーケンスの最初のピクチャはIDRピクチャである。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42954	C		インター符号化	いんたーふごうか	inter coding	インター予測を使用するブロック、マクロブロック、スライス、またはピクチャの符号化。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42955	C		インター予測	いんたーよそく	inter prediction	現在の復号ピクチャ以外の参照ピクチャの復号サンプルから得られる予測			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42956	C		解釈サンプル値	かいしゃくさんぷるち	interpretation sample value	補助符号化ピクチャの復号サンプル値に対応している変更される可能性がある値で、表示プロセスにおいて使用するために生成されてもよい。解釈サンプル値は復号プロセスに使用されない。また、標準の復号プロセスへの影響を持たない。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42957	C		イントラ符号化	いんとらふごうか	intra coding	イントラ予測を使用するブロック、マクロブロック、スライス、またはピクチャの符号化。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42958	C		イントラ予測	いんとらよそく	intra prediction	同一スライスの復号サンプルから得られた予測。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42959	C		イントラスライス	いんとらすらいす	intra slice	Iスライス参照			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42960	C		逆変換	ぎゃくへんかん	inverse transform	復号プロセスの一部で、1セットの変換係数が空間領域値に変換される。または1セットの変換係数がDC変換係数に変換される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42961	C		層	そう	layer	枝分かれのない階層的な関係における、1セットのシンタックス構造の1つ。上位層は下層を含んでいる。符号化層は、符号化ビデオシーケンスと、ピクチャと、スライスと、マクロブロックレイヤである。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42962	C		レベル	れべる	level	この国際規格のシンタックス要素と変数が取り得る値に対する制約条件の定義されたセット。同じセットのレベルがすべてのプロファイルに定義される。個々のインプリメンテーションは、特定の制約の範囲内で、それぞれがサポートするプロファイルのために異なったレベルをサポートしてもよい。異なった文脈では、レベルはスケーリングの前の変換係			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42963	C		リスト0(リスト1)動きベクトル	りすと0(りすと1)うごきべくとる	list 0 (list 1) motion vector	参照ピクチャリスト0(リスト1)を指す参照インデックスに関係する動きベクトル			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42964	C		リスト0(リスト2)予測	りすと0(りすと2)よそく	list 0 (list 1) prediction	参照ピクチャリスト0(リスト1)を指す参照インデックスを使用するインター予測			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42965	C		輝度	きど	luma	サンプル配列か単一サンプルがプライマリ色に関連したモノクロ信号を表していることを示す形容詞。輝度に使用されるシンボルか添字は、Yかし。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42966	C		マクロブロック	まくろぶろっく	macroblock	ピクチャの16×16ブロックの輝度サンプルと2つの対応するブロックの色差サンプルで、3つのサンプル配列を持つ。または、16×16ブロックのモノクロピクチャのサンプル。または、3つの別々の色平面を使用して符号化されたピクチャ。スライス或いはマクロブロックペアのマクロブロックへの分割はパーティショニングである。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42967	C		マクロブロック適応フレーム/フィールド復号	まくろぶろっくてきおうふれーむ/ふぃーるどふくごう	macroblock-adaptive frame/field decoding	符号化フレームの復号プロセスで、マクロブロックはフレームマクロブロックとして復号してもよく、他のマクロブロックはフィールドマクロブロックとして復号してもよい。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42968	C		マクロブロックアドレス	まくろぶろっくあどれす	macroblock address	マクロブロック適応フレーム/フィールド復号を使用していないときは、画像の左上マクロブロックをゼロとして始まるピクチャのマクロブロックラスタ走査順のマクロブロックのインデックスが、マクロブロックアドレスである。マクロブロック適応フレーム/フィールド復号を使用しているときは、マクロブロックペアの上位マクロブロックのマクロブロックアドレスは、ピクチャのマクロブロックペアラスタ走査によるマクロブロックペアのインデックスの2倍であり、マクロブロックペアの下位マクロブロックのマクロブロックアドレスは、対応する上位マクロブロックのマクロブロックアドレスに1加えたものである。それぞれのマクロブロックペアの上位マクロブロックのマクロブロックアドレスは偶数で、それぞれのマクロブロックペアの下位マクロブロックのマクロブロックアドレスは奇数である。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42969	C		マクロブロック位置	まくろぶろっくいち	macroblock location	(x、y)によって示されたピクチャのマクロブロックの二次元座標。ピクチャの左上マクロブロックの座標(x、y)は(0、0)である。xは左から右にそれぞれのマクロブロック行あたり1ずつ加算される。マクロブロック適応フレーム/フィールド復号を使用していないときは、yは上から下までそれぞれのマクロブロック列あたり1ずつ加算される。マクロブロック適応フレーム/フィールド復号を使用しているときは、yは上から下までそれぞれのマクロブロックペア列あたり2ずつ加算されて、マクロブロックが下位マクロブロックであるときは、さらに			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42970	C		マクロブロックペア	まくろぶろっくぺあ	macroblock pair	フレームで垂直方向に隣接するマクロブロックの組で、マクロブロック適応フレーム／フィールド復号で使用される。スライスのマクロブロックペアへの分割はパーティショニン			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42971	C		マクロブロック分割	まくろぶろっくぶんかつ	macroblock partition	3つのサンプル配列を持つピクチャのインター予測のためのマクロブロックのパーティショニングの結果である輝度サンプルのブロックと対応する色差サンプルの2つのブロック。または、モノクロピクチャまたは3つの別々の色平面を使用して符号化されるピクチャのインター予測のためのマクロブロックのパーティショニングの結果である輝度サンプルのブ			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42972	C		マクロブロックスライスグループマップ	まくろぶろっくすらいすぐるーぷまっぷ	macroblock to slice group map	ピクチャのマクロブロックをスライスグループにマッピングする手段。それぞれの符号化マクロブロックに対応する番号のリストで構成され、それぞれの符号化マクロブロックが属するスライスグループを指定する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42973	C		マップユニットスライスグループマップ	まっぷゆにっとすらいすぐるーぷまっぷ	map unit to slice group map	ピクチャのスライスグループマップユニットをスライスグループにマッピングする手段。それぞれのスライスグループマップユニットに対応する番号のリストで構成され、それぞれの符号化スライスグループマップユニットが属するスライスグループを指定する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42974	C		してもよい	してもよい	may	許可されているが必ずしも要求されていない振る舞いを参照するのに使用される用語。説明された振る舞いがオプションであることを強調したい場合に、"may or may not"が強調するために使用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42975	C		メモリマネジメント制御操作	めもりまねじめんとせいぎょそうさ	memory management control operation	参照ピクチャマーキングを制御する7つの操作			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42976	C		動きベクトル	うごきべくとる	motion vector	インター予測に使用される二次元ベクトル。復号ピクチャの座標からから参照ピクチャの座標までのオフセットを提供する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42977	C		しなければならない	しなければならない	must	この国際規格におけるほかの場所で規定されるリクワイアメント或いはリクワイアメントの暗示に関する所見を表現する際に使用される用語。この用語は専ら参考説明の中で使			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42978	C		NALユニット	NALゆにっと	NAL unit	後に続くデータのタイプ情報と、必要に応じてエミュレーション防止バイトが挿入されたRBSPデータバイトを含むシンタックス構造。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42979	C		NALユニットストリーム	NALゆにっとすとりーむ	NAL unit stream	NALユニットの連続。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42980	C		非ペアフィールド	ひぺあふぃーるど	non-paired field	ペアでない参照フィールドまたは非参照フィールドを表す集合語。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42981	C		非ペア非参照フィールド	ひぺあひさんしょうふぃーるど	non-paired non-reference field	相補的非参照フィールドペアの一部でない復号された非参照フィールド。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42982	C		非ペア参照フィールド	ひぺあさんしょうふぃーる	non-paired reference field	相補的参照フィールドペアの一部でない復号された参照フィールド。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42983	C		非参照フィールド	ひさんしょうふぃーるど	non-reference field	nal_ref_idcを0として符号化されたフィールド。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42984	C		非参照フレーム	ひさんしょうふれーむ	non-reference frame	nal_ref_idcを0として符号化されたフレーム。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42985	C		非参照ピクチャ	ひさんしょうぴくちゃ	non-reference picture	nal_ref_idcを0として符号化されたピクチャ。非参照ピクチャは他のピクチャのインター予測には使用しない。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42986	C		注記	ちゅうき	note	参考所見の前に置く言葉。専ら参考説明の中で使用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42987	C		反対パリティ	はんたいぱりてい	opposite parity	上位の反対のパリティは下位、逆も同様。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42988	C		出力順序	しゅつりょくじゅんじょ	output order	復号ピクチャバッファから出力される復号ピクチャの順序			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42989	C		Pスライス	Pすらいす	P slice	SPスライスでないスライスで、それぞれのブロックのサンプルを予測するのに、イントラ予測或いは高々1つの動きベクトルと参照ピクチャインデックスを使用するインター予測を使用して復号される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42990	C		パラメタ	ぱらめた	parameter	シーケンスパラメータセット或いはピクチャパラメータセットのシンタックス要素。定義された用語である量子化パラメータの一部としても使用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42991	C		パリティ	ぱりてい	parity	フィールドのパリティは、上位か下位である。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42992	C		パーティショニング	ぱーていしょにんぐ	partitioning	セットの各要素がサブセットのちょうど一つに含まれるように、セットをサブセットに分割す			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42993	C		ピクチャ	ぴくちゃ	picture	フィールド或いはフレームの集合語			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42994	C		ピクチャパラメータセット	ぴくちゃぱらめーたせっと	picture parameter set	シンタックス要素を含むシンタックス構造で、各スライスヘッダの pic_parameter_set_id シンタックス要素で決定される0個以上の符号化ピクチャ全体に適用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
42995	C		ピクチャオーダーカウント	ぴくちゃおーだーかうんと	picture order count	出力順序におけるピクチャ位置の増加に対して非減少である値を持つ変数で、復号順序で前のIDRピクチャか、全ての参照ピクチャを“unused for reference”にマークするメモリ管理制御操作を含む前のピクチャを基準とする。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42996	C		予測	よそく	prediction	予測プロセスを具現化したもの			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42997	C		予測プロセス	よそくぷろせす	prediction process	現在デコード中のサンプル値かデータ要素の概算を提供する予測子の使用			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42998	C		予測スライス	よそくすらいす	predictive slice	Pスライス参照			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
42999	C		予測子	よそくし	predictor	規定値或いは復号済サンプル値またはデータ要素の組み合わせで、後続のサンプル値またはデータ要素の復号プロセスで使用される			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43000	C		プライマリ符号化ピクチャ	ぷらいまりふごうかぴくちゃ	primary coded picture	ピクチャの符号化表現で、この国際規格に準拠しているビットストリームの復号プロセスに使用される。プライマリ符号化ピクチャはピクチャのすべてのマクロブロックを含む。標準の復号プロセスに影響を与える唯一のピクチャが、プライマリ符号化ピクチャである。冗長符号化ピクチャも参照のこと。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43001	C		プロファイル	ぷろふぁいる	profile	この国際規格のシンタックスの特定のサブセット。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43002	C		量子化パラメータ	りょうしかぱらめーた	quantisation parameter	変換係数レベルのスケーリングのために復号プロセスで使用される変数。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43003	C		ランダムアクセス	らんだむあくせす	random access	ストリームの先頭以外のポイントからビットストリームの復号プロセスを開始する動作。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43004	C		ラスタ走査	らすたそうさ	raster scan	長方形の二次元パターンから一次元パターンへのマッピングで、二次元パターンの先頭列を左から右までスキャンされたものを一次元パターンの先頭とし、同様に、第2、第3列以下をそれぞれ左から右へスキャンしたものが続く。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43005	C		ローバイトシーケンスペイロード、RBSP	ろーばいとしーけんすぺいろーど、RBSP	raw byte sequence payload (RBSP)	整数バイト数を含むシンタックス構造で、NALユニットでカプセル化される。RBSPは、空であるか、またはシンタックス要素を含む一連のデータビットを持ち、RBSPストップビットと0個以上の“0”ビットが続く。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43006	C		ローバイトシーケンスペイロード(RBSP)停止ビット	ろーばいとしーけんすぺいろーど(RBSP)ていしびっと	raw byte sequence payload (RBSP) stop bit	ローバイトシーケンスペイロード(RBSP)中の一連のデータビット後に存在する1に等しいビット。RBSP中のデータビット列の末尾の位置は、RBSPにおける最後のノンゼロ・ビットであるRBSP停止ビットをRBSPの末尾から探すことによって、特定できる。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43007	C		復帰点	ふっきてん	recovery point	ランダム・アクセスかリンク切れの後で、ビットストリームによって表現された復号済みピクチャの表示を、再開することができるビットストリームのポイント			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43008	C		冗長符号化ピクチャ	じょうちょうふごうかぴくちゃ	redundant coded picture	ピクチャ或いはピクチャの一部の符号化表現。この国際規格に準拠するビットストリームの復号プロセスにおいて、冗長符号化ピクチャの内容を使用してはならない。冗長符号化ピクチャは、プライマリ符号化ピクチャのすべ店おマクロブロックを含む必要はない。冗長符号化ピクチャは、標準の復号プロセスに影響を与えない。プライマリ符号化ピクチャ			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43009	C		参照フィールド	さんしょうふぃーるど	reference field	参照フィールドは、P,SP,Bスライスの符号化フィールド或いは符号化フレームのフィールドマクロブロックの復号の際、インター予測に用いてもよい。参照ピクチャも参照のこと。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43010	C		参照フレーム	さんしょうふれーむ	reference frame	参照フレームは、P,SP,Bスライスの符号化フレームの復号の際、インター予測に用いてもよい。参照ピクチャも参照のこと。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43011	C		参照インデックス	さんしょういんでっくす	reference index	参照ピクチャリストに格納するインデックス			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43012	C		参照ピクチャ	さんしょうぴくちゃ	reference picture	nal_ref_idcが0でないピクチャ。復号順序で後続のピクチャの復号プロセスにおいて、インター予測に使用してもよいサンプルを含む。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43013	C		参照ピクチャリスト	さんしょうぴくちゃりすと	reference picture list	P、B、またはSPスライスのインター予測に使用される参照ピクチャのリスト。PまたはSPスライスの復号プロセスでは、参照ピクチャリストを1つ使用する。Bスライスの復号プロセスでは、参照ピクチャリストを2つ使用する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43014	C		参照ピクチャリスト0	さんしょうぴくちゃりすと0	reference picture list 0	P、BまたはSPスライスのインター予測に使用される参照ピクチャリスト。PとSPスライスに使用されるすべてのインター予測が、参照ピクチャリスト0を使用する。参照ピクチャリスト0は、Bスライスのインター予測に使用される2つの参照ピクチャリストの1つである。他方は参照ピクチャリスト1である。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43015	C		参照ピクチャリスト1	さんしょうぴくちゃりすと1	reference picture list 1	Bスライスのインター予測に使用される参照ピクチャリスト。参照ピクチャリスト1は、Bスライスのインター予測に使用される2つの参照ピクチャリストの1つである。他方は参照画像			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43016	C		参照ピクチャマーキング	さんしょうぴくちゃまーきんぐ	reference picture marking	ビットストリームにおいて、どのように復号されたピクチャがインター予測のためにマークされるかを指定する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43017	C		予約	よやく	reserved	特定のシンタックス要素のいくつかの値を指定する節で使用され、将来のITU-TまたはISO/IECによる使用を予約する用語である。これらの値は、この国際規格に準拠するビットストリーム中では使用してはならないが、ITU-TまたはISO/IECによるこの国際規格の将来拡張においては使用してもよい。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43018	C		残差	ざんさ	residual	サンプル或いはデータ要素の予測値と復号された値の間の差分。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43019	C		ラン	らん	run	復号プロセスで再現された連続するデータ要素の数。ある文脈では、ジグザグ走査或いはフィールド走査によって生成された変換係数レベルのリストにおいて、非ゼロレベルの係数に先行するゼロレベルの係数の数である。他の文脈では、マクロブロックの数を表			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43020	C		サンプルアスペクト比	さんぷるあすぺくとひ	sample aspect ratio	この国際規格では規定されない表示プロセスを補助するために指定され、フレームの輝度サンプル配列の行間の意図された水平距離と列間の意図された垂直距離の比率を表す。サンプルアスペクト比は h:v で表される。ここで、hは水平幅、vは垂直高さ(空間距離の任意の単位)である。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43021	C		スケーリング	すけーりんぐ	scaling	ある要素によって変換係数レベルを乗算し、変換係数を導出するプロセスである。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43022	C		順次パラメタセット	じゅんじぱらめたせっと	sequence parameter set	シンタックス要素を含むシンタックス構造であり、各スライスヘッダのpic_parameter_set_idシンタックス要素で指定される、ピクチャパラメータセットのseq_parameter_set_idによる指示に従って、ゼロ以上の符号化映像シーケンス全体に適用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43023	C		しなければならない	しなければならない	shall	この国際規格に準拠するために必須のリクワイアメントを表現するのに用いられる用語。シンタックス要素の値或いは復号プロセスで規定される走査によって得られる結果について必須の制約を表現するのに用いられる際には、制約条件が実現するのを保証するのは、エンコーダの責任である。復号プロセスによって実行された操作に関して使用されると、復号プロセスは、この国際規格の復号プロセスリクワイアメントに準拠する本書に記載された復号プロセスと同じ結果を生成する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43024	C		することが望ましい	することがのぞましい	should	予期された通常の状況で従うことが奨励されるが、この国際規格への準拠に必須のリクワイアメントでないインプリメンテーションの振る舞いについての言及に用いる用語。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43025	C		SIスライス	SIすらいす	SI slice	イントラ予測のみと予測サンプルの量子化を使用して符号化されるスライス。SIスライスは、復号サンプルがSPスライスと一致するように符号化できる。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43026	C		スキップマクロブロック	すきっぷまくろぶろっく	skipped macroblock	マクロブロックが「スキップ」として復号されることを示す情報以外は、どんなデータも符号化されないマクロブロック。この指示はいくつかのマクロブロックに共通であってもよい。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43027	C		スライス	すらいす	slice	特定のスライスグループ内でラスタ走査順に連続して並べられた、整数個のマクロブロック或いはマクロブロックペア。プライマリ符号化ピクチャでは、各スライスグループからスライスへの分割はパーティショニングである。スライスは、スライスグループ内でラスタ走査順に連続にマクロブロック或いはマクロブロックペアを含むが、これらのマクロブロック或いはマクロブロックペアは、必ずしもピクチャ内でラスタ走査で連続しているというわけではない。(スライスヘッダに表されるように)スライスにおける最初のマクロブロックアドレスと、スライスグループマップに属するマクロブロック、そして、ピクチャが3つの分割された色平面を使用する場合には色平面識別子から、マクロブロックアドレスを得る。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43028	C		スライスデータパーティション	すらいすでーたぱーていしょん	slice data partition				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43029	C		スライスデータ分割	すらいすでーたぶんかつ	slice data partitioning	各シンタックス要素に関連するカテゴリに基づいて選択されたシンタックス要素をシンタックス構造にパーティショニングする方法。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43030	C		スライスグループ	すらいすぐるーぷ	slice group	ピクチャのマクロブロックまたはマクロブロックペアの部分集合。ピクチャのスライスグループへの分割は、ピクチャのパーティショニングである。このパーティショニングは、スライスグループマップへのマクロブロックの割当てによって規定される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43031	C		スライスグループマップユニット	すらいすぐるーぷまっぷゆにっと	slice group map units	マップユニットスライスグループマップの単位			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43032	C		スライスヘッダ	すらいすへっだ	slice header	スライス内の先頭或いは全てのマクロブロックに関係するデータ要素を含む符号化スライスの一部			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43033	C		ソース	そーす	source	ビデオ素材或いはその符号化前の属性を指す用語			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43034	C		SPスライス	SPすらいす	SP slice	それぞれのブロックのサンプルを予測するのに、イントラ予測或いは高々1つの動きベクトルと参照ピクチャインデックスを使用するインター予測を使用して復号されるスライス。SPスライスは、他のSPスライス或いはSIスライスと復号サンプルが一致するように再構成されるように符号化される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43035	C		スタートコードプレフィックス	すたーとこーどぷれふぃっくす	start code prefix	各NALユニットの接頭辞としてバイトストリームに埋め込まれる 0x000001 に等しいユニークな3バイトのシーケンス。スタートコードプレフィックスの位置は、新しいNALユニットの始点及び先行するNALユニットの末尾を特定するためにデコーダが使用できる。スタートコードプレフィックスのエミュレーションは、エミュレーション防止バイトをNALユニットに			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43036	C		データビット列、SODB	でーたびっとれつ、SODB	string of data bits (SODB)	いくつかのビット列で、ローバイトシーケンスペイロード停止ビットに先行するローバイトシーケンスペイロード中に存在するシンタックス要素を表す。SODB中において、もっとも左端のビットは、先頭及び最上位ビットと考えられ、右端のビットは、末尾或いは最下位			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43037	C		サブマクロブロック	さぶまくろぶろっく	sub-macroblock	マクロブロックの1/4のサンプル、すなわち3つのサンプル配列を有するピクチャに対しては、一つの角がマクロブロックの角に位置する8x8輝度ブロックと2つの対応する色差ブロックで、モノクロピクチャ或いは3つの別々の色平面を使って符号化されるピクチャに対しては、一つの角がマクロブロックの角に位置する8x8輝度ブロック。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43038	C		サブマクロブロック分割	さぶまくろぶろっくぶんかつ	sub-macroblock partition	3つのサンプル配列を有するピクチャに対しては、インター予測のためのサブマクロブロックのパーティショニングの結果として得られる輝度サンプルのブロックと2つの対応する色差サンプルのブロックで、モノクロピクチャ或いは3つの別々の色平面を使って符号化されるピクチャに対しては、インター予測のためのサブマクロブロックのパーティショニングの結果として得られる輝度サンプルのブロック			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43039	C		スイッチングIスライス	すいっちんぐIすらいす	switching I slice	SIスライス参照			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43040	C		スイッチングPスライス	すいっちんぐPすらいす	switching P slice	SPスライス参照			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43041	C		シンタックス要素	しんたっくすようそ	syntax element	ビットストリーム中で表されるデータの要素			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43042	C		シンタックス構造	しんたっくすこうぞう	syntax structure	0個以上のシンタックス要素で、特定の順序でビットストリーム中に続けて存在する			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43043	C		上位フィールド	じょういふぃーるど	top field	フレームを構成する2つのフィールドのうちの一つ。上位フィールドの各列は、空間的に、下位フィールドの対応する列のすぐ上に位置する			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43044	C		(マクロブロックペアの)上位マクロブロック	(まくろぶろっくぺあの)じょういまくろぶろっく	top macroblock (of a macroblock pair)	マクロブロックペア内のマクロブロックであり、マクロブロックペアのサンプルの上列のサンプルを含む。フィールドマクロブロックペアに対しては、上位マクロブロックはマクロブロックペアの空間領域に位置するフレームの上位フィールドの領域のサンプルを表す。フレームマクロブロックペアに対しては、上位マクロブロックはマクロブロックペアの空間領域の上半分に位置するフレームのサンプルを表す。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43045	C		変換係数	へんかんけいすう	transform coefficient	スカラー量で、周波数領域にあると考えられ、復号プロセスの逆変換において、特定の1次元或いは2次元の周波数インデックスに関連する。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43046	C		変換係数レベル	へんかんけいすうれべる	transform coefficient level	整数の量で、復号プロセスにおいて変換係数値導出のためのスケーリング前の特定の2次元周波数インデックスに関連する値を表す。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43047	C		汎用一意識別子、UUID	はんよういちいしきべつし、UUID	universal unique identifier (UUID)	全ての汎用一意識別子の空間に関して 、ユニークな識別子			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43048	C		未規定	みきてい	unspecified	特定のシンタックス要素のいくつかの値を指定する節で使用され、この国際規格では特定の意味を持たず、また、将来においてもこの国際規格の必須部分としての特定の意味を持たないことを示す用語。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43049	C		可変長符号化、VLC	かへんちょうふごうか、VLC	variable length coding (VLC)	エントロピー符号化のための可逆な手続きであり、頻度が高いと予想されるシンボルにはより短いビット列を割り当て、頻度が低いと予想されるシンボルにはより長いビット列を			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43050	C		VCL NALユニット	VCL NALゆにっと	VCL NAL unit	符号化スライスNALユニットと符号化スライスデータ分割NALユニットを表す集合語。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43051	C		ジグザグ走査	じぐざぐそうさ	zig-zag scan	空間周波数の(おおよそ)低い方から高い方へと続く変換係数レベルの特定の順序。ジグザグ走査は、フレームマクロブロックの変換係数レベルのために使用される。			ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43052	C		任意スライス順序(ASO)	にんいすらいすじゅんじょ(ASO)	arbitrary slice order (ASO)				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43053	C		関連NAL単位	かんれんNALたんい	associated NAL unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43054	C		Bスライス	Bすらいす	B slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43055	C		基本層	きほんそう	base layer				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43056	C		基本品質層表現	きほんひんしつそうひょうげん	base quality layer representation				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43057	C		ビット流れの部分集合	びっとながれのぶぶんしゅうごう	bitstream subset				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43058	C		(マクロブロック対の)最下位マクロブロック	(まくろぶろっくついの)さいかいまくろぶろっく	bottom macroblock (of a macroblock pair)				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43059	C		可変性拡張NAL単位における符号化スライス	かへんせいかくちょうえぬえーえるたんいにおけるふごうかすらいす	coded slice in scalable extension NAL unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43060	C		相補参照フィールド対	そうほさんしょうふぃーるどつい	complementary reference field pair				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43061	C		相補参照基本フィールド対	そうほさんしょうきほんふぃーるどつい	complementary reference base field pair				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43062	C		依存性表現	いぞんせいひょうげん	dependency				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43063	C		EBスライス	いーびーすらいす	EB slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43064	C		EIスライス	いーあいすらいす	EI slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43065	C		EPスライス	いーぴーすらいす	EP slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43066	C		フィールドマクロブロック	ふぃーるどまくろぶろっく	field macroblock				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43067	C		フレームマクロブロック	ふれーむまくろぶろっく	frame macroblock				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43068	C		Iスライス	あいすらいす	I slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43069	C		瞬時復号リフレッシュ(IDR)画像	しゅんじふくごうりふれっしゅ(あいでぃーあーる)が	instantaneous decoding refresh (IDR) picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43070	C		層間イントラ予測	そうかんいんとらよそく	inter-layer intra prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43071	C		層間予測	そうかんよそく	inter-layer prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43072	C		層内イントラ予測	そうないいんとらよそく	intra-layer intra prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43073	C		イントラ予測	いんとらよそく	intra prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43074	C		イントラスライス	いんとらすらいす	intra slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43075	C		層最下位フィールド	そうさいかいふぃーるど	layer bottom field				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43076	C		層フィールド	そうふぃーるど	layer field				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43077	C		層フレーム	そうふれーむ	layer frame				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43078	C		層画像	そうがぞう	layer picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43079	C		層最上位フィールド	そうさいじょういふぃーるど	layer top field				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43080	C		層表現	そうひょうげん	layer representation				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43081	C		層表現識別子	そうひょうげんしきべつし	layer representation identifier				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43082	C		マクロブロック	まくろぶろっく	macroblock				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43083	C		マクロブロック適応フレーム/フィールド復号	まくろぶろっくてきおうふれーむ/ふぃーるどふくご	macroblock-adaptive frame/field decoding				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43084	C		マクロブロックアドレス	まくろぶろっくあどれす	macroblock address				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43085	C		マクロブロック位置	まくろぶろっくいち	macroblock location				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43086	C		マクロブロック対	まくろぶろっくつい	macroblock pair				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43087	C		マクロブロックスライスグループマップ	まくろぶろっくすらいすぐるーぷまっぷ	macroblock to slice group map				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43088	C		マップ単位スライスグループマップ	まっぷたんいすらいすぐるーぷまっぷ	map unit to slice group map				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43089	C		非対参照基本フィールド	ひついさんしょうきほんふぃーるど	non-paired reference base field				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43090	C		Pスライス	ぴーすらいす	P slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43091	C		パラメタ	ぱらめた	parameter				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43092	C		画像パラメタ集合	がぞうぱらめたしゅうごう	picture parameter set				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43093	C		接頭部NAL単位	せっとうぶえぬえーえるたんい	prefix NAL unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43094	C		参照基本フィールド	さんしょうきほんふぃーる	reference base field				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43095	C		参照基本フレーム	さんしょうきほんふれーむ	reference base frame				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43096	C		参照基本画像	さんしょうきほんがぞう	reference base picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43097	C		参照フィールド	さんしょうふぃーるど	reference field				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43098	C		参照フレーム	さんしょうふれーむ	reference frame				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43099	C		参照層マクロブロック	さんしょうそうまくろぶろっ	reference layer				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43100	C		参照層表現	さんしょうそうひょうげん	reference layer representation				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43101	C		参照画像	さんしょうがぞう	reference picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43102	C		参照画像リスト	さんしょうがぞうりすと	reference picture list				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43103	C		参照画像リスト0	さんしょうがぞうりすとぜろ	reference picture list 0				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43104	C		参照画像リスト1	さんしょうがぞうりすといち	reference picture list 1				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43105	C		可変性ビット流れ	かへんせいびっとながれ	scalable bitstream				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43106	C		逐次パラメタ集合	ちくじぱらめたしゅうごう	sequence parameter set				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43107	C		スライス	すらいす	slice				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43108	C		スライスグループ	すらいすぐるーぷ	slice group				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43109	C		空間イントラ予測	くうかんいんとらよそく	spatial intra prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43110	C		部分ビット流れ	ぶぶんびっとながれ	sub-bitstream				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43111	C		部分集合	ぶぶんしゅうごう	subset				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43112	C		部分集合シーケンスパラメタ集合	ぶぶんしゅうごうしーけんすぱらめたしゅうごう	subset sequence parameter set				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43113	C		SVCシーケンスパラメタ集合	えすぶいしーしーけんすぱらめたしゅうごう	SVC sequence parameter set				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43114	C		SVCシーケンスパラメタ集合RBSP	えすぶいしーしーけんすぱらめたしゅうごうあーるびーえすぴー	SVC sequence parameter set RBSP				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43115	C		目標依存性表現	もくひょういぞんせいひょうげん	target dependency representation				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43116	C		目標層表現	もくひょうそうひょうげん	target layer				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43117	C		(マクロブロック対の)最上位マクロブロック	(まくろぶろっくついの)さいじょういまくろぶろっく	top macroblock (of a macroblock pair)				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43118	C		アクセス単位	あくせすたんい	access unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43119	C		アンカアクセス単位	あんかあくせすたんい	anchor access unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43120	C		アンカ画像	あんかがぞう	anchor picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43121	C		アンカビュー構成要素	あんかびゅーこうせいよう	anchor view component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43122	C		関連NAL単位	かんれんNALたんい	associated NAL unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43123	C		基本ビュー	きほんびゅー	base view				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43124	C		ビット流れの部分集合	びっとながれのぶぶんしゅうごう	bitstream subset				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43125	C		符号化スライスMVC拡張NAL単位	ふごうかすらいすMVCかくちょうNALたんい	coded slice MVC extension NAL unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43126	C		復号ビュー構成要素	ふくごうびゅーこうせいよう	decoded view component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43127	C		直接予測	ちょくせつよそく	direct prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43128	C		フィールドビュー構成要素	ふぃーるどびゅーこうせいようそ	field view component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43129	C		フレームビュー構成要素	ふれーむびゅーこうせいようそ	frame view component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43130	C		瞬時復号リフレッシュ(IDR)画像	しゅんじふくごうりふれっしゅ(IDR)がぞう	instantaneous decoding refresh (IDR) picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43131	C		瞬時復号リフレッシュ(IDR)ビュー構成要素	しゅんじふくごうりふれっしゅ(IDR)びゅーこうせいようそ	instantaneous decoding refresh (IDR) view component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43132	C		ビュー間符号化	びゅーかんふごうか	inter-view coding				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43133	C		ビュー間オンリ参照構成要素	びゅーかんおんりさんしょうこうせいようそ	inter-view only reference component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43134	C		ビュー間予測	びゅーかんよそく	inter-view prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43135	C		ビュー間予測参照	びゅーかんよそくさんしょう	inter-view prediction reference				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43136	C		ビュー間参照索引	びゅーかんさんしょうさくいん	inter-view reference index				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43137	C		ビュー間参照画像	びゅーかんさんしょうがぞう	inter-view reference				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43138	C		リスト0(リスト1)予測	りすと0(りすと1)よそく	list 0 (list 1) prediction				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43139	C		マクロブロックパーティショ	まくろぶろっくぱーていしょ	macroblock partition				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43140	C		動きベクトル	うごきべくとる	motion vector				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43141	C		MVCシーケンスパラメタ集合	MVCしーけんすぱらめたしゅうごう	MVC sequence parameter set				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43142	C		MVCシーケンスパラメタ集合RBSP	MVCしーけんすぱらめたしゅうごうRBSP	MVC sequence parameter set RBSP				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43143	C		非アンカアクセス単位	ひあんかあくせすたんい	non-anchor access unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43144	C		非アンカ画像	ひあんかがぞう	non-anchor picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43145	C		非アンカビュー構成要素	ひあんかびゅーこうせいようそ	non-anchor view component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43146	C		非基本ビュー	ひきほんびゅー	non-base view				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43147	C		非参照画像	ひさんしょうがぞう	non-reference picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43148	C		操作点	そうさてん	operation point				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43149	C		画像順序数	がぞうじゅんじょすう	picture order count				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43150	C		接頭部NAL単位	せっとうぶNALたんい	prefix NAL unit				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43151	C		参照画像	さんしょうがぞう	reference picture				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43152	C		参照画像リスト	さんしょうがぞうりすと	reference picture list				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43153	C		参照画像リスト0	さんしょうがぞうりすと0	reference picture list 0				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43154	C		参照画像リスト1	さんしょうがぞうりすと1	reference picture list 1				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43155	C		参照画像マーキング	さんしょうがぞうまーきんぐ	reference picture marking				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43156	C		部分ビット流	ぶぶんびっとりゅう	sub-bitstream				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43157	C		部分集合	ぶぶんしゅうごう	subset				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43158	C		目標出力ビュー	もくひょうしゅつりょく	target output view				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43159	C		目標時間レベル	もくひょうじかんれべる	target temporal level				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43160	C		ビュー	びゅー	view				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43161	C		ビュー構成要素	びゅーこうせいようそ	view component				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43162	C		ビュー順序索引	びゅーじゅんじょさくいん	view order index				ISO/IEC 14496-10	2009				2009	SC29
43163	C		ビット組合せ、バイト	びっとくみあわせ、ばいと	bit combination, byte				ISO 9282-1	1988				1988	SC29
43164	C		符号	ふごう	code				ISO 9282-1	1988				1988	SC29
43165	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO 9282-1	1988				1988	SC29
43166	C		オプコード	おぷこーど	opcode				ISO 9282-1	1988				1988	SC29
43167	C		オプコード表	おぷこーどひょう	opcode table				ISO 9282-1	1988				1988	SC29
43168	C		オペランド	おぺらんど	operand				ISO 9282-1	1988				1988	SC29
43169	C		画像	がぞう	picture				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43170	C		画像符号化	がぞうふごうか	picture coding				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43171	C		図形要素	ずけいようそ	graphic element				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43172	C		画像符号化方法	がぞうふごうかほうしき	picture coding method				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43173	C		画像符号化環境	がぞうふごうかかんきょう	picture coding				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43174	C		画像実体(PE)	がぞうじったい(PE)	picture entity (PE)				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43175	C		画像制御実体(PCE)	がぞうせいぎょじったい(PCE)	picture control entity (PCE)				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43176	C		画像データ実体(PDE)	がぞうでーたじったい	picture data entity (PDE)				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43177	C		画像符号化デリミタ(PCD)	がぞうふごうかでりみた(PCD)	picture coding delimiter (PCD)				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43178	C		符号化方法識別子(CMI)	ふごうかほうほうしきべつし(CMI)	coding method identifier (CMI)				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43179	C		長さ指示子(LI)	ながさしじし(LI)	length indicator (LI)				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43180	C		写真符号化	しゃしんふごうか	photographic coding				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43181	C		コンピュータグラフィックス符号化	こんぴゅーたぐらふぃっくすふごうか	computer graphics coding				ISO/IEC 9281-1	1990				1990	SC29
43182	C		設定可能画像解像度	せっていかのうがぞうかいぞうど	addressable imaging resolution				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43183	C		調整済みBWC	ちょうせいずみBWC	adjusted BWC				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43184	C		ビットマップ	びっとまっぷ	bit map				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43185	C		消耗品	しょうもうひん	consumables				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43186	C		専用バーコードプリンタ	せんようばーこーどぷりんた	dedicated bar code printer				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43187	C		デジタルバーコードファイ	でじたるばーこーどふぁい	digital bar code file				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43188	C		ディジタルバーコード画像化システム	でぃじたるばーこーどがぞうかしすてむ	digital bar code imaging system				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43189	C		ゆがみ	ゆがみ	distortion				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43190	C		DPMM、ミリメートル当たりドット	DPMM、みりめーとるあたりどっと	DPMM, dots per millimetre				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43191	C		はん用プリンタ	はんようぷりんた	general purpose printer				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43192	C		イメージセッタ	いめーじせった	imagesetter				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43193	C		画像化ツール	がぞうかつーる	imaging tool				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43194	C		丸め誤差	まるめござ	rounding errors				ISO/IEC 15419	2009				2009	SC31
43195	C		OCR-A	OCR-A	OCR-A				ISO/IEC 1073-1	1976				1976	SC31
43196	C		OCR-B	OCR-B	OCR-B				ISO/IEC 1073-1	1976				1976	SC31
43197	C		印刷フレーム	いんさつふれーむ	printing frame				ISO/IEC 1073-1	1976				1976	SC31
43198	C		レパートリのサイズ	れぱーとりのさいず	sizes of a repertoire				ISO/IEC 1073-1	1976				1976	SC31
43199	C		OCR-A	OCR-A	OCR-A				ISO/IEC 1073-2	1976				1976	SC31
43200	C		OCR-B	OCR-B	OCR-B				ISO/IEC 1073-2	1976				1976	SC31
43201	C		資源	しげん	resource				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43202	C		統一資源識別子、URI	とういつしげんしきべつし、URI	URI				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43203	C		URI参照	URIさんしょう	URI reference				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43204	C		相対的URI	そうたいてきURI	relative URI				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43205	C		基底URI	きていURI	base URI				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43206	C		素片識別子	そへんしきべつし	fragment identifier				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43207	C		インスタンス	いんすたんす	instance				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43208	C		スペース文字	すぺーすもじ	space character				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43209	C		空白文字	くうはくもじ	whitespace character				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43210	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43211	C		名前空間URI	なまえくうかんURI	namespace URI				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43212	C		局所名	きょくしょめい	local name				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43213	C		NCName	NCName	NCName				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43214	C		名前クラス	なまえくらす	name class				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43215	C		パターン	ぱたーん	pattern				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43216	C		外部の属性	がいぶのぞくせい	foreign attribute				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43217	C		外部要素	がいぶようそ	foreign element				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43218	C		完全な構文	かんぜんなこうぶん	full syntax				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43219	C		単純構文	たんじゅんこうぶん	simple syntax				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43220	C		単純化	たんじゅんか	simplification				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43221	C		データ型ライブラリ	でーたかたらいぶらり	datatype library				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43222	C		データ型	でーたかた	datatype				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43223	C		公理	こうり	axiom				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43224	C		推論規則	すいろんきそく	inference rule				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43225	C		スキーマに照らして妥当	すきーまにてらしてだとう	valid with respect to a schema				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43226	C		スキーマ	すきーま	schema				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43227	C		文法	ぶんぽう	grammar				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43228	C		正しいスキーマ	ただしいすきーま	correct schema				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43229	C		妥当性検証器	だとうせいけんしょうき	validator				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43230	C		パス	ぱす	path				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43231	C		情報集合	じょうほうしゅうごう	infoset				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43232	C		情報項目	じょうほうこうもく	information item				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43233	C		データモデル	でーたもでる	data model				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43234	C		XML文書	えっくすえむえるぶんしょ	XML document				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43235	C		拡張BNF	かくちょうBNF	EBNF				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43236	C		弱い意味でのマッチ	よわいいみでのまっち	weak matching				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43237	C		直上の文法	ちょくじょうのぶんぽう	in-scope grammar				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43238	C		内容種別	ないようしゅべつ	content-type				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43239	C		混在列	こんざいれつ	mixed sequence				ISO/IEC 19757-2	2008				2008	SC34
43240	C		AFIIグリフ名	AFIIぐりふめい	AFII glyph name				ISO/IEC 9541-4	2009				2009	SC34
43241	C		イタリック体	いたりっくたい	italic				ISO/IEC 9541-4	2009				2009	SC34
43242	C		アクセシビリティ	あくせしびりてぃ	accessibility				ISO/IEC 24756	2009				2009	SC35
43243	C		使用可能性	しようかのうせい	usability				ISO/IEC 24756	2009				2009	SC35
43244	C		支援技術、AT	しえんぎじゅつ、AT	assistive technology, AT				ISO/IEC 24756	2009				2009	SC35
43245	C		使用状況	しようじょうきょう	context of use				ISO/IEC 24756	2009				2009	SC35
43246	C		ハンディキャップ	はんでぃきゃっぷ	handicap				ISO/IEC 24756	2009				2009	SC35

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43247	C		操作対象文書	そうさたいしょうぶんしょ	active document				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43248	C		操作位置	そうさいち	active position				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43249	C		行頭	ぎょうとう	beginning of line				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43250	C		オブジェクト間カーソル	おぶじぇくとかんかーそる	between-objects cursor				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43251	C		行内限定テキストモード	ぎょうないげんていてきすともーど	bounded linear text mode				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43252	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43253	C		文字の進行方向	もじのしんこうほうこう	character path				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43254	C		操作位置カーソル	そうさいちかーそる	co-located cursor				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43255	C		カーソル	かーそる	cursor				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43256	C		編集	へんしゅう	editing				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43257	C		行末	ぎょうまつ	end of line				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43258	C		書式化又はプレゼンテーションの指示子	しょしきかまたはぷれぜんてーしょんのしじし	formatting or presentation indicator				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43259	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43260	C		増分カーソル制御	ぞうぶんかーそるせいぎょ	incremental cursor control				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43261	C		入力	にゅうりょく	input				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43262	C		モード	もーど	mode				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43263	C		オープンページテキストモード	おーぷんぺーじてきすともーど	open page text mode				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43264	C		選択マーカ	せんたくまーか	selection marker				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43265	C		目標位置	もくひょういち	target position				ISO/IEC 10741-1	1995				1995	SC35
43266	C		開始シーケンス	かいししーけんす	beginning sequence				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43267	C		正規形式	せいきけいしき	canonical form				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43268	C		カタログ番号	かたろぐばんごう	catalog number				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43269	C		組立て形文字指定	くみたてがたもじしてい	compose character				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43270	C		制御キー	せいぎょきー	control key				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43271	C		終了シーケンス	しゅうりょうしーけんす	ending sequence				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43272	C		16進数	16しんすう	hexadecimal				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43273	C		レベル	れべる	level				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43274	C		レベル2選択	れべる2せんたく	Level 2 Select				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43275	C		UCS	UCS	UCS				ISO/IEC 14755	1997				1997	SC35
43276	C		調整可能セグメント化キーボード	ちょうせいかのうせぐめんとかきーぼーど	adjustable segmented keyboard				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43277	C		英数字キーボード	えいすうじきーぼーど	alphanumeric keyboard				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43278	C		英数字セクション	えいすうじせくしょん	alphanumeric section				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43279	C		カーソル制御キー	かーそるせいぎょきー	cursor control keys				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43280	C		編集セクション	へんしゅうせくしょん	editing section				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43281	C		固定角度セグメント化キーボード	こていかくどせぐめんとかきーぼーど	fixed angle segmented keyboard				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43282	C		機能セクション	きのうせくしょん	function section				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43283	C		ホームキー列	ほーむきーれつ	home row of keys				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43284	C		キーボード	きーぼーど	keyboard				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43285	C		側方傾斜 γ	そくほうけいしゃ γ	lateral inclination γ				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43286	C		中立姿勢	ちゅうりつしせい	neutral posture				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43287	C		数字キーボード又は数字キーパッド	すうじきーぼーどまたはすうじきーぱっど	numeric keyboard or numeric keypad				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43288	C		数字セクション	すうじせくしょん	numeric section				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43289	C		回内	かいない	pronation				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43290	C		橈側偏位	とうそくへんい	radial deviation				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43291	C		肩外転	かたがいてん	shoulder abduction				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43292	C		肩屈曲	かたくっきょく	shoulder flexion				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43293	C		傾斜 α	けいしゃ α	slope α				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43294	C		斜角 β	しゃかく β	splay angle β				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43295	C		回外	かいがい	supination				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43296	C		尺骨偏位	しゃっこつへんい	ulnar deviation				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43297	C		視覚表示端末装置(VDT)	しかくひょうじたんまつそうち(VDT)	Visual Display Terminal (VDT)				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43298	C		手関節伸展	しゅかんせつしんてん	wrist extension				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43299	C		手関節屈曲	しゅかんせつくっきょく	wrist flexion				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43300	C		リストレスト	りすとれすと	wrist rest				ISO/IEC 15411	1999				1999	SC35
43301	C		ピッチ	ぴっち	pitch				ISO/IEC 15412	1999				1999	SC35
43302	C		埋込み数字セクション	うめこみすうじせくしょん	embedded numeric				ISO/IEC 15412	1999				1999	SC35
43303	C		キャプション	きゃぷしょん	legends				ISO/IEC 15412	1999				1999	SC35
43304	C		ポータブルコンピュータ	ぽーたぶるこんぴゅーた	portable computer				ISO/IEC 15412	1999				1999	SC35
43305	C		ロケール	ろけーる	Locale				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43306	C		文字集合記述	もじしゅうごうきじゅつ	Charmap				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43307	C		テキストファイル	てきすとふぁいる	Text File				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43308	C		文化依存要素	ぶんかいぞんようそ	Cultural Element				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43309	C		文化依存性の仕様	ぶんかいぞんせいのしよ	Cultural Specification				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43310	C		文化依存性の記述的仕様	ぶんかいぞんせいのきじゅつてきしよう	Narrative Cultural Specification				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43311	C		レパートリマップ	れぱーとりまっぷ	Repertoiremap				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43312	C		(規格の)プロファイル	(きかくの)ぷろふぁいる	Profile (of a standard)				ISO/IEC 15897	1999				1999	SC35
43313	C		肯定応答BIPメッセージ	こうていおうとうBIPめっせーじ	acknowledgement BIP message				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43314	C		BIP対応フレームワーク	BIPたいおうふれーむわー	BIP-enabled framework				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43315	C		BIP終端点	BIPしゅうたんてん	BIP endpoint				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43316	C		BIPリンク	BIPりんく	BIP link				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43317	C		BIPメッセージ	BIPめっせーじ	BIP message				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43318	C		BSPアクセスUUID	BSPあくせすUUID	BSP access UUID				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43319	C		BSP製品UUID	BSPせいひんUUID	BSP product UUID				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43320	C		CBEFF	CBEFF	CBEFF				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43321	C		終端点IRI	しゅうたんてんIRI	endpoint IRI				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43322	C		はん用BIP実体	はんようBIPじったい	generic BIP entity				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43323	C		リンク経路	りんくけいろ	link channel				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43324	C		(与えられたBIP終端点の)マスタ終端点	(あたえられたBIPしゅうたんてんの)ますたしゅうたん	master endpoint (of a given BIP endpoint)				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43325	C		通知BIPメッセージ	つうちBIPめっせーじ	notification BIP message				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43326	C		通知/肯定応答リンク経路	つうち/こうていおうとうりんくけいろ	notification/acknowledgement link channel				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43327	C		遠隔アクセス方針	えんかくあくせすほうしん	remote access policy				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43328	C		要求BIPメッセージ	ようきゅうBIPめっせーじ	request BIP message				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43329	C		要求/応答リンク経路	ようきゅう/おうとうりんくけいろ	request/response link channel				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43330	C		応答BIPメッセージ	おうとうBIPめっせーじ	response BIP message				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43331	C		(与えられたBIP終端点の)スレーブ終端点	(あたえられたBIPしゅうたんてんの)すれーぶしゅうたんてん	slave endpoint (of a given BIP endpoint)				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43332	C		トランスポートプロトコル結合	とらんすぽーとぷろとこるけつごう	transport protocol binding				ISO/IEC 24708	2008				2008	SC37
43333	C		アドホックネットワーク	あどほっくねっとわーく	Ad-hoc network				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43334	C		バックボーン	ばっくぼーん	Backbone				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43335	C		バックオフ期間	ばっくおふきかん	Backoff Period				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43336	C		バックオフ手順	ばっくおふてじゅん	Backoff Procedure				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43337	C		バックオフ値	ばっくおふち	Backoff Value				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43338	C		ビット	びっと	Bit				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43339	C		バイト	ばいと	Byte				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43340	C		キャリアセンス	きゃりあせんす	Carrier Sense				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43341	C		セル	せる	Cell				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43342	C		セルブリッジ(CB)	せるぶりっじ(CB)	Cell Bridge (CB)				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43343	C		暗号文	あんごうぶん	Ciphertext				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43344	C		平文	ひらぶん	Cleartext				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43345	C		コリジョン	こりじょん	Collision				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43346	C		競合ウィンドウ	きょうごううぃんどう	Contention Window				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43347	C		デリミタ	でりみた	Delimiter				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43348	C		差分変調	さぶんへんちょう	Differential Modulation				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43349	C		離散マルチトーン(DMT)	りさんまるちとーん(DMT)	Discrete Multi-Tone				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43350	C		フリップフロップ	ふりっぷふろっぷ	Flip-flop				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43351	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43352	C		ホームネットワーキング	ほーむねっとわーきんぐ	Home Networking				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43353	C		フレーム間間隔	ふれーむかんかんかく	InterFrame Space				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43354	C		リンクタイマ	りんくたいま	Link Timer				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43355	C		論理ネットワーク	ろんりねっとわーく	Logical Network				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43356	C		MAC管理情報(MMI)	えむえーしーかんりじょうほう(MMI)	MAC Management Information (MMI)				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43357	C		MACプロトコルデータ単位(MPDU)	えむえーしーぷろとこるでーたたんい(MPDU)	MAC Protocol Data Unit (MPDU)				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43358	C		MACサービスデータ単位(MSDU)	えむえーしーさーびすでーたたんい(MSDU)	MAC Service Data Unit (MSDU)				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43359	C		媒体ビジー	ばいたいびじー	Medium BUSY				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43360	C		媒体競合	ばいたいきょうごう	Medium CONTENTION				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43361	C		媒体アイドル	ばいたいあいどる	Medium IDLE				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43362	C		MACインタフェース(MI)	えむえーしーいんたふぇーす(MI)	MAC Interface (MI)				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43363	C		ネットワーク	ねっとわーく	Network				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43364	C		PHYインタフェース(PI)	ぴーえいいんたふぇーす(PI)	PHY Interface (PI)				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43365	C		プライバシー	ぷらいばしー	Privacy				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43366	C		プロキシ局	ぷろきしきょく	Proxy Station				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43367	C		PHYサービスデータ単位(PSDU)	PHYさーびすでーたたんい(PSDU)	PHY Service Data Unit (PSDU)				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43368	C		再構成	さいこうせい	Reassembly				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43369	C		リピーター	りぴーたー	Repeater				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43370	C		経路指定テーブル	けいろしていてーぶる	Routing Table				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43371	C		スクランブラー	すくらんぶらー	Scrambler				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43372	C		セグメンテーション	せぐめんてーしょん	Segmentation				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43373	C		シリアルインタフェース	しりあるいんたふぇーす	Serial Interface				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43374	C		サービスブロック	さーびすぶろっく	Service Block				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43375	C		局	きょく	Station				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43376	C		サブフレーム	さぶふれーむ	Sub-frame				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43377	C		記号	きごう	Symbol				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43378	C		記号ブロック	きごうぶろっく	Symbol Block				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43379	C		タイムスロット	たいむすろっと	Time Slot				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43380	C		トランザクション	とらんざくしょん	Transaction				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43381	C		トランザクションコンボ	とらんざくしょんこんぼ	Transaction Combo				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43382	C		伝送モード	でんそうもーど	Transmission Mode				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43383	C		VLANタグ	ぶいらんたぐ	VLAN Tag				ISO/IEC 12139-1	2009				2009	SC6
43384	C		アンカーポイント	あんかーぽいんと	anchor point				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43385	C		基本記録速度	きほんきろくそくど	basic recording speed				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43386	C		ブロックSYNC防護領域	ぶろっくSYNCぼうごりょういき	block SYNC guard area				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43387	C		ボーダゾーン	ぼーだぞーん	border zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43388	C		チャンネルビット	ちゃんねるびっと	channel bit				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43389	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43390	C		クラス	くらす	class				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43391	C		データゾーン	でーたぞーん	data zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43392	C		データ記録可能ゾーン	でーたきろくかのうぞーん	data recordable zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43393	C		デジタル総計値、DSV	でじたるそうけいち、DSV	Digital Sum Value, DSV				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43394	C		ディスクアットワンス記録	でぃすくあっとわんすきろく	disk at once recording				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43395	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43396	C		ディスク試験領域、DTA	でぃすくしけんりょういき、DTA	Disk Testing Area, DTA				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43397	C		ECCブロックアドレス	いーしーしーぶろっくあどれす	ECC Block address				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43398	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code, ECC				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43399	C		誤り検出符号、EDC	あやまりけんしゅつふごう、EDC	Error Detection Code, EDC				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43400	C		ファイナライゼーション	ふぁいならいぜーしょん	finalization				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43401	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43402	C		インクリメンタル記録	いんくりめんたるきろく	incremental recording				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43403	C		情報ゾーン	じょうほうぞーん	information zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43404	C		初期情報ゾーン	しょきじょうほうぞーん	initial information zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43405	C		ランド	らんど	land				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43406	C		ランドプレピット、LPP	らんどぷれぴっと、LPP	Land Pre-Pit, LPP				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43407	C		リードインゾーン	りーどいんぞーん	lead-in zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43408	C		リードアウトゾーン	りーどあうとぞーん	lead-out zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43409	C		中間ゾーン	ちゅうかんぞーん	middle zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43410	C		記録管理領域、RMA	きろくかんりりょういき、RMA	Recording Management Area, RMA				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43411	C		記録管理データ、RMD	きろくかんりでーた、RMD	Recording Management Data, RMD				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43412	C		r情報ゾーン	rじょうほうぞーん	r-information zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43413	C		再マッピング	さいまっぴんぐ	re-mapping				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43414	C		rゾーン	rぞーん	rzone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43415	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43416	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43417	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43418	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43419	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 12862	2009				2009	SC23
43420	C		ビット組合せ	びっとくみあわせ	bit combination				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43421	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43422	C		文字	もじ	character				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43423	C		符号表	ふごうひょう	code table				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43424	C		符号化文字集合、符号	ふごうかもじしゅうごう、ふごう	coded character set; code				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43425	C		符号化文字データ要素(CCデータ要素)	ふごうかもじでーたようそ(CCでーたようそ)	coded-character-data-element (CC-				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43426	C		図形文字	ずけいもじ	graphic character				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43427	C		図形記号	ずけいきごう	graphic symbol				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43428	C		位置	いち	position				ISO/IEC 8859-15	1999				1999	SC2
43429	C		サービス要求者	さーびすようきゅうしゃ	Service Requester				ISO/IEC 25437	2009				2009	SC6
43430	C		サービス提供者	さーびすていきょうしゃ	Service Provider				ISO/IEC 25437	2009				2009	SC6
43431	C		アプリケーションセッション	あぷりけーしょんせっしょ	Application Session				ISO/IEC 25437	2009				2009	SC6
43432	C		中断型解放	ちゅうだんがたかいほう	Abortive Release				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43433	C		絶対パス名	ぜったいぱすめい	Absolute Pathname				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43434	C		アクセスモード	あくせすもーど	Access Mode				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43435	C		追加ファイルアクセス制御機構	ついかふぁいるあくせすせいぎょきこう	Additional File Access Control Mechanism				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43436	C		アドレス空間	あどれすくうかん	Address Space				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43437	C		助言情報	じょげんじょうほう	Advisory Information				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43438	C		肯定応答	こうていおうとう	Affirmative Response				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43439	C		警報	けいほう	Alert				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43440	C		警報文字、<alert>	けいほうもじ、<alert>	Alert Character (<alert>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43441	C		別名	べつめい	Alias Name				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43442	C		境界調整	きょうかいちょうせい	Alignment				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43443	C		代替ファイルアクセス制御機構	だいたいふぁいるあくせすせいぎょきこう	Alternate File Access Control Mechanism				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43444	C		代替信号スタック	だいたいしんごうすたっく	Alternate Signal Stack				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43445	C		補助データ	ほじょでーた	Ancillary Data				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43446	C		山括弧	やまかっこ	Angle Brackets				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43447	C		アポストロフィ文字、<apostrophe>	あぽすとろふぃもじ、<apostrophe>	Apostrophe Character (<apostrophe>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43448	C		応用プログラム	おうようぷろぐらむ	Application				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43449	C		アプリケーションアドレス	あぷりけーしょんあどれす	Application Address				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43450	C		応用プログラムインタフェース、API	おうようぷろぐらむいんたふぇーす、API	Application Program Interface (API)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43451	C		適切な権限	てきせつなけんげん	Appropriate Privileges				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43452	C		実引数	じつひきすう	Argument				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43453	C		(タイマを)始動する	(たいまを)しどうする	Arm (a Timer)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43454	C		アステリスク文字、<asterisk>	あすてりすくもじ、<asterisk>	Asterisk Character (<asterisk>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43455	C		非同期キャンセルセーフ関数	ひどうききゃんせるせーふかんすう	Async-Cancel-Safe Function				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43456	C		非同期イベント	ひどうきいべんと	Asynchronous Events				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43457	C		非同期入力及び出力	ひどうきにゅうりょくおよびしゅつりょく	Asynchronous Input and Output				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43458	C		非同期信号セーフ関数	ひどうきしんごうせーふかんすう	Async-Signal-Safe Function				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43459	C		非同期生成信号	ひどうきせいせいしんごう	Asynchronously-Generated Signal				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43460	C		非同期I/O完了	ひどうきI/Oかんりょう	Asynchronous I/O Completion				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43461	C		非同期I/O動作	ひどうきI/Oどうさ	Asynchronous I/O				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43462	C		認証	にんしょう	Authentication				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43463	C		認可	にんか	Authorization				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43464	C		バックグラウンドジョブ	ばっくぐらうんどじょぶ	Background Job				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43465	C		バックグラウンドプロセス	ばっくぐらうんどぷろせす	Background Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43466	C		バックグラウンドプロセスグループ(又はバックグラウンドジョブ)	ばっくぐらうんどぷろせすぐるーぷ(またはばっくぐらうんどじょぶ)	Background Process Group (or Background Job)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43467	C		逆引用符文字	ぎゃくいんようふもじ	Backquote Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43468	C		逆斜線、<backslash>	ぎゃくしゃせん、<backslash>	Backslash Character (<backslash>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43469	C		バックスペース文字、<backspace>	ばっくすぺーすもじ、<backspace>	Backspace Character (<backspace>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43470	C		バリア	ばりあ	Barrier				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43471	C		ベースネーム	べーすねーむ	Basename				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43472	C		基本正規表現、BRE	きほんせいきひょうげん、BRE	Basic Regular Expression (BRE)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43473	C		バッチアクセスリスト	ばっちあくせすりすと	Batch Access List				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43474	C		バッチ管理者	ばっちかんりしゃ	Batch Administrator				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43475	C		バッチクライアント	ばっちくらいあんと	Batch Client				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43476	C		バッチ宛先	ばっちあてさき	Batch Destination				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43477	C		バッチ宛先識別子	ばっちあてさきしきべつし	Batch Destination				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43478	C		バッチ指示	ばっちしじ	Batch Directive				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43479	C		バッチジョブ	ばっちじょぶ	Batch Job				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43480	C		バッチジョブ属性	ばっちじょぶぞくせい	Batch Job Attribute				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43481	C		バッチジョブ識別子	ばっちじょぶしきべつし	Batch Job Identifier				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43482	C		バッチジョブ名	ばっちじょぶめい	Batch Job Name				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43483	C		バッチジョブ所有者	ばっちじょぶしょゆうしゃ	Batch Job Owner				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43484	C		バッチジョブ優先順位	ばっちじょぶゆうせんじゅんい	Batch Job Priority				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43485	C		バッチジョブ状態	ばっちじょぶじょうたい	Batch Job State				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43486	C		バッチ名サービス	ばっちめいさーびす	Batch Name Service				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43487	C		バッチ名空間	ばっちめいくうかん	Batch Name Space				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43488	C		バッチノード	ばっちのーど	Batch Node				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43489	C		バッチ演算子	ばっちえんざんし	Batch Operator				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43490	C		バッチ待ち行列	ばっちまちぎょうれつ	Batch Queue				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43491	C		バッチ待ち行列属性	ばっちまちぎょうれつぞくせい	Batch Queue Attribute				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43492	C		バッチ待ち行列位置	ばっちまちぎょうれついち	Batch Queue Position				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43493	C		バッチ待ち行列優先順位	ばっちまちぎょうれつゆうせんじゅんい	Batch Queue Priority				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43494	C		バッチ再実行可能性	ばっちさいじっこうかのうせい	Batch Rerunability				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43495	C		バッチ再起動	ばっちさいきどう	Batch Restart				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43496	C		バッチサーバ	ばっちさーば	Batch Server				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43497	C		バッチサーバ名	ばっちさーばめい	Batch Server Name				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43498	C		バッチサービス	ばっちさーびす	Batch Service				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43499	C		バッチサービス要求	ばっちさーびすようきゅう	Batch Service Request				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43500	C		バッチ申請	ばっちしんせい	Batch Submission				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43501	C		バッチシステム	ばっちしすてむ	Batch System				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43502	C		バッチ対象利用者	ばっちたいしょうりようしゃ	Batch Target User				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43503	C		バッチ利用者	ばっちりようしゃ	Batch User				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43504	C		バインド	ばいんど	Bind				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43505	C		空白文字、<blank>	くうはくもじ、<blank>	Blank Character (<blank>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43506	C		空白行	くうはくぎょう	Blank Line				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43507	C		ブロック化プロセス(又はスレッド)	ぶろっくかぷろせす(またはすれっど)	Blocked Process (or Thread)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43508	C		ブロック	ぶろっく	Blocking				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43509	C		ブロックモード端末	ぶろっくもーどたんまつ	Block-Mode Terminal				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43510	C		ブロック型特殊ファイル	ぶろっくがたとくしゅふぁい	Block Special File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43511	C		波括弧	なみかっこ	Braces				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43512	C		角括弧	かくかっこ	Brackets				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43513	C		ブロードキャスト	ぶろーどきゃすと	Broadcast				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43514	C		組込みユーティリティ、内蔵	くみこみゆーていりてい、ないぞう	Built-In Utility (or Built-In)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43515	C		バイト	ばいと	Byte				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43516	C		バイト出入力機能	ばいとしゅつにゅうりょくきのう	Byte Input/Output Functions				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43517	C		復帰文字、<carriage-return>	ふっきもじ、<carriage-return>	Carriage-Return Character (<carriage-return>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43518	C		文字	もじ	Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43519	C		文字配列	もじはいれつ	Character Array				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43520	C		文字クラス	もじくらす	Character Class				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43521	C		文字集合	もじしゅうごう	Character Set				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43522	C		文字型特殊ファイル	もじがたとくしゅふぁいる	Character Special File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43523	C		文字列	もじれつ	Character String				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43524	C		子プロセス	こぷろせす	Child Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43525	C		サーカムフレックスアクセント、<circumflex>	さーかむふれっくすあくせんと、<circumflex>	Circumflex Character (<circumflex>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43526	C		クロック	くろっく	Clock				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43527	C		クロックジャンプ	くろっくじゃんぷ	Clock Jump				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43528	C		時間単位	じかんたんい	Clock Tick				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43529	C		符号化文字集合	ふごうかもじしゅうごう	Coded Character Set				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43530	C		コードセット	こーどせっと	Codeset				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43531	C		照合要素	しょうごうようそ	Collating Element				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43532	C		照合	しょうごう	Collation				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43533	C		照合文字列	しょうごうもじれつ	Collation Sequence				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43534	C		けた(桁)位置	けたいち	Column Position				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43535	C		コマンド	こまんど	Command				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43536	C		コマンド言語インタプリタ	こまんどげんごいんたぷりた	Command Language Interpreter				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43537	C		合成図形記号	ごうせいずけいきごう	Composite Graphic				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43538	C		条件変数	じょうけんへんすう	Condition Variable				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43539	C		接続ソケット	せつぞくそけっと	Connected Socket				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43540	C		コネクション	こねくしょん	Connection				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43541	C		コネクションモード	こねくしょんもーど	Connection Mode				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43542	C		コネクションレスモード	こねくしょんれすもーど	Connectionless Mode				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43543	C		制御文字	せいぎょもじ	Control Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43544	C		制御演算子	せいぎょえんざんし	Control Operator				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43545	C		制御プロセス	せいぎょぷろせす	Controlling Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43546	C		制御端末	せいぎょたんまつ	Controlling Terminal				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43547	C		変換記述子	へんかんきじゅつし	Conversion Descriptor				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43548	C		コアファイル	こあふぁいる	Core File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43549	C		CPU時間(実行時間)	CPUじかん(じっこうじか	CPU Time (Execution				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43550	C		CPU時間記録時計	CPUじかんきろくどけい	CPU-Time Clock				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43551	C		CPU時間タイマ	CPUじかんたいま	CPU-Time Timer				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43552	C		現行ジョブ	げんこうじょぶ	Current Job				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43553	C		現行の作業ディレクトリ	げんこうのさぎょうでぃれくとり	Current Working Directory				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43554	C		カーソル位置	かーそるいち	Cursor Position				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43555	C		データグラム	でーたぐらむ	Datagram				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43556	C		データセグメント	でーたせぐめんと	Data Segment				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43557	C		遅延バッチサービス	ちえんばっちさーびす	Deferred Batch Service				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43558	C		装置	そうち	Device				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43559	C		装置ID	そうちID	Device ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43560	C		ディレクトリ	でぃれくとり	Directory				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43561	C		ディレクトリエントリ(またはリンク)	でぃれくとりえんとり(またはりんく)	Directory Entry (or Link)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43562	C		ディレクトリストリーム	でぃれくとりすとりーむ	Directory Stream				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43563	C		(タイマを)停止する	(たいまを)ていしする	Disarm (a Timer)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43564	C		表示する	ひょうじする	Display				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43565	C		表示行	ひょうじぎょう	Display Line				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43566	C		ドル記号文字、<dollar-sign>	どるきごうもじ、<dollar-sign>	Dollar-Sign Character (<dollar-sign>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43567	C		ドット	どっと	Dot				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43568	C		ドットドット	どっとどっと	Dot-Dot				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43569	C		二重引用符文字	にじゅういんようふもじ	Double-Quote Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43570	C		小文字化	こもじか	Downshifting				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43571	C		ドライバ	どらいば	Driver				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43572	C		実効グループID	じっこうぐるーぷID	Effective Group ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43573	C		実効利用者ID	じっこうりようしゃID	Effective User ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43574	C		8ビット透明性	8びっととうめいせい	Eight-Bit Transparency				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43575	C		空きディレクトリ	あきでぃれくとり	Empty Directory				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43576	C		空行	からぎょう	Empty Line				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43577	C		空文字列(又はヌル文字列)	あきもじれつ(またはぬるもじれつ)	Empty String (or Null String)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43578	C		空ワイド文字列	からわいどもじれる	Empty Wide-Character String				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43579	C		符号化規則	ふごうかきそく	Encoding Rule				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43580	C		全正規表現	ぜんせいきひょうげん	Entire Regular Expression				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43581	C		基準時点	きじゅんじてん	Epoch				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43582	C		同値類	どうちるい	Equivalence Class				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43583	C		暦法	れきほう	Era				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43584	C		イベント管理	いべんとかんり	Event Management				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43585	C		実行可能ファイル	じっこうかのうふぁいる	Executable File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43586	C		実行する	じっこうする	Execute				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43587	C		実行時間	じっこうじかん	Execution Time				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43588	C		実行時間監視	じっこうじかんかんし	Execution Time Monitoring				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43589	C		拡張	かくちょう	Expand				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43590	C		拡張正規表現、ERE	かくちょうせいきひょうげん、ERE	Extended Regular Expression (ERE)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43591	C		拡張セキュリティ制御	かくちょうせきゅりていせいぎょ	Extended Security Controls				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43592	C		機能試験マクロ	きのうしけんまくろ	Feature Test Macro				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43593	C		フィールド	ふぃーるど	Field				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43594	C		FIFO特殊ファイル、FIFO	FIFOとくしゅふぁいる、	FIFO Special File (or				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43595	C		ファイル	ふぁいる	File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43596	C		ファイル記述	ふぁいるきじゅつ	File Description				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43597	C		ファイル記述子	ふぁいるきじゅつし	File Descriptor				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43598	C		ファイルグループクラス	ふぁいるぐるーぷくらす	File Group Class				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43599	C		ファイルモード	ふぁいるもーど	File Mode				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43600	C		ファイルモードビット	ふぁいるもーどびっと	File Mode Bits				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43601	C		ファイル名	ふぁいるめい	Filename				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43602	C		ファイルオフセット	ふぁいるおふせっと	File Offset				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43603	C		ファイル他者クラス	ふぁいるたしゃくらす	File Other Class				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43604	C		ファイル所有者クラス	ふぁいるしょゆうしゃくらす	File Owner Class				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43605	C		ファイル許可ビット	ふぁいるきょかびっと	File Permission Bits				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43606	C		ファイル通し番号	ふぁいるとおしばんごう	File Serial Number				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43607	C		ファイルシステム	ふぁいるしすてむ	File System				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43608	C		ファイル型	ふぁいるかた	File Type				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43609	C		フィルタ	ふぃるた	Filter				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43610	C		(ファイルの)初オープン	(ふぁいるの)はつおーぷ	First Open (of a File)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43611	C		フロー制御	ふろーせいぎょ	Flow Control				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43612	C		フォアグラウンドジョブ	ふぉあぐらうんどじょぶ	Foreground Job				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43613	C		フォアグラウンド処理	ふぉあぐらうんどしょり	Foreground Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43614	C		フォアグラウンド処理グループ(又はフォアグラウンドジョブ)	ふぉあぐらうんどしょりぐるーぷ(またはふぉあぐらうんどじょぶ)	Foreground Process Group (or Foreground Job)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43615	C		フォアグラウンド処理グループID	ふぉあぐらうんどしょりぐるーぷID	Foreground Process Group ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43616	C		用紙送り文字、<form-feed>	ようしおくりもじ、<form-feed>	Form-Feed Character (<form-feed>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43617	C		図形文字	ずけいもじ	Graphic Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43618	C		グループデータベース	ぐるーぷでーたべーす	Group Database				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43619	C		グループID	ぐるーぷID	Group ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43620	C		グループ名	ぐるーぷめい	Group Name				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43621	C		ハードリミット	はーどりみっと	Hard Limit				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43622	C		ハードリンク	はーどりんく	Hard Link				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43623	C		ホームディレクトリ	ほーむでぃれくとり	Home Directory				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43624	C		ホストバイト順	ほすとばいとじゅん	Host Byte Order				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43625	C		不完全行	ふかんぜんぎょう	Incomplete Line				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43626	C		Inf	Inf	Inf				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43627	C		測定対象アプリケーション	そくていたいしょうあぷりけーしょん	Instrumented Application				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43628	C		会話的シェル	かいわてきしぇる	Interactive Shell				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43629	C		国際化	こくさいか	Internationalization				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43630	C		プロセス間通信	ぷろせすかんつうしん	Interprocess				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43631	C		起動	きどう	Invoke				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43632	C		ジョブ	じょぶ	Job				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43633	C		ジョブ制御	じょぶせいぎょ	Job Control				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43634	C		ジョブ制御ジョブID	じょぶせいぎょじょぶID	Job Control Job ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43635	C		(ファイルの)最終クローズ	(ふぁいるの)さいしゅうくろーず	Last Close (of a File)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43636	C		行	ぎょう	Line				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43637	C		リンガ	りんが	Linger				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43638	C		リンク	りんく	Link				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43639	C		リンク数	りんくすう	Link Count				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43640	C		現地習慣	げんちしゅうかん	Local Customs				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43641	C		ローカルプロセス間通信(ローカルIPC)	ろーかるぷろせすかんつうしん(ろーかるIPC)	Local Interprocess Communication (Local				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43642	C		ロケール	ろけーる	Locale				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43643	C		現地化	げんちか	Localization				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43644	C		ログイン	ろぐいん	Login				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43645	C		ログイン名	ろぐいんめい	Login Name				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43646	C		マップ	まっぷ	Map				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43647	C		マーク付きメッセージ	まーくつきめっせーじ	Marked Message				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43648	C		一致	いっち	Matched				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43649	C		メモリマップファイル	めもりまっぷふぁいる	Memory Mapped Files				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43650	C		メモリオブジェクト	めもりおぶじぇくと	Memory Object				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43651	C		メモリ常駐	めもりじょうちゅう	Memory-Resident				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43652	C		メッセージ	めっせーじ	Message				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43653	C		メッセージカタログ	めっせーじかたろぐ	Message Catalog				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43654	C		メッセージカタログ記述子	めっせーじかたろぐきじゅつし	Message Catalog Descriptor				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43655	C		メッセージ待ち行列	めっせーじまちぎょうれつ	Message Queue				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43656	C		モード	もーど	Mode				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43657	C		単調クロック	たんちょうくろっく	Monotonic Clock				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43658	C		マウントポイント	まうんとぽいんと	Mount Point				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43659	C		複数文字照合要素	ふくすうもじしょうごうようそ	Multi-Character Collating Element				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43660	C		ミューテックス	みゅーてっくす	Mutex				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43661	C		名前	なまえ	Name				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43662	C		名前付きSTREAM	なまえつきSTREAM	Named STREAM				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43663	C		NaN(非数)	NaN(ひすう)	NaN (Not a Number)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43664	C		母国語	ぼこくご	Native Language				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43665	C		否定応答	ひていおうとう	Negative Response				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43666	C		ネットワーク	ねっとわーく	Network				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43667	C		ネットワークアドレス	ねっとわーくあどれす	Network Address				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43668	C		ネットワークバイト順	ねっとわーくばいとじゅん	Network Byte Order				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43669	C		改行文字、<newline>	かいぎょうもじ、<newline>	Newline Character (<newline>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43670	C		ナイス値	ないすち	Nice Value				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43671	C		ノンブロック	のんぶろっく	Non-Blocking				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43672	C		非空白文字	ひくうはくもじ	Non-Spacing Characters				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43673	C		NUL	NUL	NUL				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43674	C		ナルバイト	なるばいと	Null Byte				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43675	C		ヌルポインタ	ぬるぽいんた	Null Pointer				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43676	C		ナル文字列	なるもじれつ	Null String				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43677	C		ワイド文字ナル	わいどもじなる	Null Wide-Character Code				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43678	C		番号記号文字、<number-sign>	ばんごうきごうもじ、<number-sign>	Number-Sign Character (<number-sign>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43679	C		目的ファイル	もくてきふぁいる	Object File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43680	C		オクテット	おくてっと	Octet				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43681	C		最大オフセット	さいだいおふせっと	Offset Maximum				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43682	C		不透明アドレス	ふとうめいあどれす	Opaque Address				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43683	C		オープンファイル	おーぷんふぁいる	Open File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43684	C		オープンファイル記述	おーぷんふぁいるきじゅつ	Open File Description				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43685	C		オペランド	おぺらんど	Operand				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43686	C		演算子	えんざんし	Operator				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43687	C		選択機能	せんたくきのう	Option				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43688	C		選択機能の引数	せんたくきのうのひきすう	Option-Argument				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43689	C		文字幅指定	もじはばしてい	Orientation				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43690	C		親のないプロセスグループ	おやのないぷろせすぐるーぷ	Orphaned Process Group				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43691	C		ページ	ぺーじ	Page				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43692	C		ページサイズ	ぺーじさいず	Page Size				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43693	C		パラメタ	ぱらめた	Parameter				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43694	C		親ディレクトリ	おやでぃれくとり	Parent Directory				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43695	C		親プロセス	おやぷろせす	Parent Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43696	C		親プロセスID	おやぷろせすID	Parent Process ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43697	C		パス名	ぱすめい	Pathname				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43698	C		パス名構成要素	ぱすめいこうせいようそ	Pathname Component				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43699	C		パス接頭部	ぱすせっとうぶ	Path Prefix				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43700	C		パターン	ぱたーん	Pattern				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43701	C		ピリオド文字、<period>	ぴりおどもじ、<period>	Period Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43702	C		許可	きょか	Permissions				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43703	C		持続	じぞく	Persistence				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43704	C		パイプ	ぱいぷ	Pipe				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43705	C		ポーリング	ぽーりんぐ	Polling				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43706	C		移植可能な文字集合	いしょくかのうなもじしゅう	Portable Character Set				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43707	C		移植可能なファイル名文字集合	いしょくかのうなふぁいるめいもじしゅうごう	Portable Filename Character Set				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43708	C		位置パラメタ	いちぱらめた	Positional Parameter				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43709	C		事前割り当て	じぜんわりあて	Preallocation				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43710	C		プロセス(又はスレッド)	ぷろせす(またはすれっど)	Preempted Process (or Thread)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43711	C		前のジョブ	まえのじょぶ	Previous Job				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43712	C		印字可能文字	いんじかのうもじ	Printable Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43713	C		印字可能ファイル	いんじかのうふぁいる	Printable File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43714	C		優先度	ゆうせんど	Priority				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43715	C		優先度集団	ゆうせんどしゅうだん	Priority Band				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43716	C		優先度逆転	ゆうせんどぎゃくてん	Priority Inversion				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43717	C		優先度スケジューリング	ゆうせんどすけじゅーりん	Priority Scheduling				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43718	C		優先度ベース スケジューリング	ゆうせんどべーすすけじゅーりんぐ	Priority-Based Scheduling				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43719	C		権限	けんげん	Privilege				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43720	C		プロセス	ぷろせす	Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43721	C		プロセスグループ	ぷろせすぐるーぷ	Process Group				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43722	C		プロセスグループID	ぷろせすぐるーぷID	Process Group ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43723	C		プロセスグループリーダー	ぷろせすぐるーぷりーだー	Process Group Leader				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43724	C		プロセスグループ寿命	ぷろせすぐるーぷじゅみょ	Process Group Lifetime				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43725	C		プロセスID	ぷろせすID	Process ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43726	C		プロセス生存期間	ぷろせすせいぞんきかん	Process Lifetime				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43727	C		プロセスメモリロッキング	ぷろせすめもりろっきんぐ	Process Memory Locking				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43728	C		プロセス終了	ぷろせすしゅうりょう	Process Termination				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43729	C		プロセス間通信	ぷろせすかんつうしん	Process-To-Process Communication				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43730	C		プロセス仮想時間	ぷろせすかそうじかん	Process Virtual Time				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43731	C		プログラム	ぷろぐらむ	Program				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43732	C		プロトコル	ぷろとこる	Protocol				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43733	C		疑似端末	ぎじたんまつ	Pseudo-Terminal				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43734	C		小数点文字	しょうすうてんもじ	Radix Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43735	C		読み取り専用ファイルシステム	よみとりせんようふぁいるしすてむ	Read-Only File System				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43736	C		読み取り書き取りロック	よみとりかきとりろっく	Read-Write Lock				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43737	C		実グループID	じつぐるーぷID	Real Group ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43738	C		実時間	じつじかん	Real Time				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43739	C		実時間信号拡張	じつじかんしんごうかくちょ	Realtime Signal Extension				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43740	C		実利用者ID	じつりようしゃID	Real User ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43741	C		記録	きろく	Record				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43742	C		リダイレクション	りだいれくしょん	Redirection				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43743	C		リダイレクション演算子	りだいれくしょんえんざん	Redirection Operator				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43744	C		参照共有メモリオブジェクト	さんしょうきょうゆうめもりおぶじぇくと	Referenced Shared Memory Object				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43745	C		リフレッシュ	りふれっしゅ	Refresh				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43746	C		正規表現	せいきひょうげん	Regular Expression				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43747	C		領域	りょういき	Region				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43748	C		通常ファイル	つうじょうふぁいる	Regular File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43749	C		相対パス名	そうたいぱすめい	Relative Pathname				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43750	C		再配置可能ファイル	さいはいちかのうふぁいる	Relocatable File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43751	C		再配置	さいはいち	Relocation				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43752	C		要求バッチサービス	ようきゅうばっちさーびす	Requested Batch Service				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43753	C		(時間)分解能	(じかん)ぶんかいのう	(Time) Resolution				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43754	C		ロバストミューテックス	ろばすとみゅーてっくす	Robust Mutex				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43755	C		ルートディレクトリ	るーとでぃれくとり	Root Directory				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43756	C		実行可能プロセス(又はスレッド)	じっこうかのうぷろせす(またはすれっど)	Runnable Process (or Thread)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43757	C		実行中プロセス(又はスレッド)	じっこうちゅうぷろせす(またはすれっど)	Running Process (or Thread)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43758	C		保存資源限界	ほぞんしげんげんかい	Saved Resource Limits				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43759	C		退避グループID	たいひぐるーぷID	Saved Set-Group-ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43760	C		退避利用者ID	たいひりようしゃID	Saved Set-User-ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43761	C		スケジューリング	すけじゅーりんぐ	Scheduling				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43762	C		スケジューリング割り当て領域	すけじゅーりんぐわりあてりょういき	Scheduling Allocation Domain				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43763	C		スケジューリング競合スコープ	すけじゅーりんぐきょうごうすこーぷ	Scheduling Contention Scope				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43764	C		スケジューリングポリシ	すけじゅーりんぐぽりし	Scheduling Policy				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43765	C		画面	がめん	Screen				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43766	C		スクロール	すくろーる	Scroll				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43767	C		セマフォ	せまふぉ	Semaphore				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43768	C		セッション	せっしょん	Session				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43769	C		セッションリーダ	せっしょんりーだ	Session Leader				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43770	C		セッション寿命	せっしょんじゅみょう	Session Lifetime				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43771	C		共有メモリオブジェクト	きょうゆうめもりおぶじぇく	Shared Memory Object				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43772	C		シェル	しぇる	Shell				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43773	C		The Shell	The Shell	Shell, the				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43774	C		シェルスクリプト	しぇるすくりぷと	Shell Script				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43775	C		信号	しんごう	Signal				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43776	C		信号スタック	しんごうすたっく	Signal Stack				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43777	C		シングル引用符	しんぐるいんようふ	Single-Quote Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43778	C		斜線、<slash>	しゃせん、<slash>	Slash Character (<slash>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43779	C		ソケット	そけっと	Socket				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43780	C		ソケットアドレス	そけっとあどれす	Socket Address				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43781	C		ソフトリミット	そふとりみっと	Soft Limit				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43782	C		ソースコード	そーすこーど	Source Code				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43783	C		スペース文字、<space>	すぺーすもじ、<space>	Space Character				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43784	C		スポーン	すぽーん	Spawn				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43785	C		特殊ビルトイン	とくしゅびるといん	Special Built-In				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43786	C		特殊パラメタ	とくしゅぱらめた	Special Parameter				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43787	C		スピンロック	すぴんろっく	Spin Lock				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43788	C		スポラディックサーバ	すぽらでぃっくさーば	Sporadic Server				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43789	C		標準エラー	ひょうじゅんえらー	Standard Error				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43790	C		標準入力	ひょうじゅんにゅうりょく	Standard Input				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43791	C		標準出力	ひょうじゅんしゅつりょく	Standard Output				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43792	C		標準ユーティリティ	ひょうじゅんゆーてぃり	Standard Utilities				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43793	C		stream	stream	Stream				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43794	C		STREAM	STREAM	STREAM				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43795	C		STREAMエンド	STREAM えんど	STREAM End				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43796	C		STREAMヘッド	STREAM へっど	STREAM Head				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43797	C		STREAMマルチプレクサ	STREAM まるちぷれくさ	STREAMS Multiplexor				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43798	C		文字列	もじれつ	String				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43799	C		サブシェル	さぶしぇる	Subshell				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43800	C		転送完了	てんそうかんりょう	Successfully Transferred				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43801	C		補助グループID	ほじょぐるーぷID	Supplementary Group ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43802	C		一時停止したジョブ	いちじていしたじょぶ	Suspended Job				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43803	C		シンボル定数	しんぼるていすう	Symbolic Constant				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43804	C		シンボルリンク	しんぼるりんく	Symbolic Link				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43805	C		同期出入力	どうきしゅつにゅうりょく	Synchronized Input and Output				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43806	C		同期I/O完了	どうきI/Oかんりょう	Synchronized I/O Completion				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43807	C		同期I/Oデータ完全性完了	どうきI/Oでーたかんぜんせいかんりょう	Synchronized I/O Data Integrity Completion				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43808	C		同期I/Oファイル完全性完了	どうきI/Oふぁいるかんぜんせいかんりょう	Synchronized I/O File Integrity Completion				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43809	C		同期I/O動作	どうきI/Oどうさ	Synchronized I/O				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43810	C		同期I/O動作	どうきI/Oどうさ	Synchronous I/O				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43811	C		同期生成信号	どうきせいせいしんごう	Synchronously-Generated Signal				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43812	C		システム	しすてむ	System				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43813	C		システムブート	しすてむぶーと	System Boot				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43814	C		システムクロック	しすてむくろっく	System Clock				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43815	C		システムコンソール	しすてむこんそーる	System Console				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43816	C		システムクラッシュ	しすてむくらっしゅ	System Crash				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43817	C		システムデータベース	しすてむでーたべーす	System Databases				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43818	C		システム文書化	しすてむぶんしょか	System Documentation				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43819	C		システムプロセス	しすてむぷろせす	System Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43820	C		システムリブート	しすてむりぶーと	System Reboot				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43821	C		システム追跡イベント	しすてむついせきいべんと	System Trace Event				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43822	C		システム全体の	しすてむぜんたいの	System-Wide				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43823	C		タブ文字、<tab>	たぶもじ、<tab>	Tab Character (<tab>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43824	C		端末(又は端末装置)	たんまつ(またはたんまつそうち)	Terminal (or Terminal Device)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43825	C		テキストけた(桁)	てきすとけた	Text Column				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43826	C		テキストファイル	てきすとふぁいる	Text File				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43827	C		スレッド	すれっど	Thread				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43828	C		スレッドID	すれっどID	Thread ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43829	C		スレッドリスト	すれっどりすと	Thread List				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43830	C		スレッドセーフ	すれっどせーふ	Thread-Safe				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43831	C		スレッド固有データキー	すれっどこゆうでーたきー	Thread-Specific Data Key				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43832	C		チルド、<tilde>	ちるど、<tilde>	Tilde Character (<tilde>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43833	C		タイムアウト	たいむあうと	Timeouts				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43834	C		タイマ	たいま	Timer				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43835	C		タイマオーバラン	たいまおーばらん	Timer Overrun				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43836	C		トークン	とーくん	Token				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43837	C		追跡アナライザプロセス	ついせきあならいざぷろせす	Trace Analyzer Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43838	C		追跡コントローラプロセス	ついせきこんとろーらぷろせす	Trace Controller Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43839	C		追跡イベント	ついせきいべんと	Trace Event				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43840	C		追跡イベント型	ついせきいべんとかた	Trace Event Type				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43841	C		追跡イベント型マッピング	ついせきいべんとかたまっぴんぐ	Trace Event Type Mapping				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43842	C		追跡フィルタ	ついせきふぃるた	Trace Filter				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43843	C		追跡生成バージョン	ついせきせいせいばー	Trace Generation Version				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43844	C		追跡ログ	ついせきろぐ	Trace Log				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43845	C		追跡点	ついせきてん	Trace Point				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43846	C		追跡ストリーム	ついせきすとりーむ	Trace Stream				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43847	C		追跡ストリーム識別子	ついせきすとりーむしきべつし	Trace Stream Identifier				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43848	C		追跡システム	ついせきしすてむ	Trace System				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43849	C		追跡対象プロセス	ついせきたいしょうぷろせす	Traced Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43850	C		追跡ストリームの追跡状態	ついせきすとりーむのついせきじょうたい	Tracing Status of a Trace Stream				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43851	C		型付きメモリ名前空間	かたつきめもりなまえくうかん	Typed Memory Name Space				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43852	C		型付きメモリオブジェクト	かたつきめもりおぶじぇく	Typed Memory Object				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43853	C		型付きメモリプール	かたつきめもりぷーる	Typed Memory Pool				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43854	C		型付きメモリポート	かたつきめもりぽーと	Typed Memory Port				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43855	C		アンバインド	あんばいんど	Unbind				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43856	C		単位データ	たんいでーた	Unit Data				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43857	C		大文字化	おおもじか	Upshifting				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43858	C		利用者データベース	りようしゃでーたべーす	User Database				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43859	C		利用者ID	りようしゃID	User ID				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43860	C		利用者名	りようしゃめい	User Name				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43861	C		利用者追跡イベント	りようしゃついせきいべん	User Trace Event				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43862	C		ユーティリティ	ゆーていりてぃ	Utility				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43863	C		変数	へんすう	Variable				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43864	C		垂直タブ文字(<vertical-tab>)	すいちょくたぶもじ(<vertical-tab>)	Vertical-Tab Character (<vertical-tab>)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43865	C		ホワイト空白	ほわいとくうはく	White Space				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43866	C		ワイド文字符号(C言語)	わいどもじふごう(Cげんご)	Wide-Character Code (C Language)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43867	C		ワイド文字出入力機能	わいどもじしゅつにゅうりょくきのう	Wide-Character Input/Output Functions				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43868	C		ワイド文字列	わいどもじれつ	Wide-Character String				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43869	C		語	ご	Word				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43870	C		作業ディレクトリ(又は現行の作業ディレクトリ)	さぎょうでぃれくとり(またはげんこうのさぎょうでぃれくとり)	Working Directory (or Current Working Directory)				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43871	C		ワールドワイドポータビリティインタフェース	わーるどわいどぽーたびりてぃいんたふぇーす	Worldwide Portability Interface				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43872	C		書き込み	かきこみ	Write				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43873	C		XSI	XSI	XSI				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43874	C		XSI適合	XSIてきごう	XSI-Conformant				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43875	C		ゾンビプロセス	ぞんびぷろせす	Zombie Process				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43876	C		±0	±0	±0				ISO/IEC 9945	2009				2009	SC22
43877	C		平均信号振幅	へいきんしんごうしんぷく	Average Signal Amplitude				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43878	C		アジマス	あじます	azimuth				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43879	C		裏面	うらめん	back surface				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43880	C		テープ始端マーカ(BOT 1及びBOT 2)	てーぷしたんまーか(BOT 1およびBOT 2)	Beginning-Of-Tape markers (BOT 1 and BOT 2)				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43881	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43882	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43883	C		巡回冗長検査文字、CRC文字	じゅんかいじょうちょうけんさもじ、CRCもじ	Cyclic Redundancy Check (CRC) character				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43884	C		終端予告、EW	しゅうたんよこく、EW	Early Warning (EW)				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43885	C		誤り検出符号(EDC)	あやまりけんしゅつふごう(EDC)	Error-Detecting Code (EDC)				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43886	C		テープ終端マーカ(EOT)	てーぷしゅうたんまーか(EOT)	End-Of-Tape marker (EOT)				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43887	C		エンティティ	えんていてぃ	Entity				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43888	C		誤り修正符号(ECC)	あやまりしゅうせいふごう(ECC)	Error-Correcting Code (ECC)				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43889	C		磁束反転位置	じそくはんてんいち	flux transition position				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43890	C		磁束反転間隔	じそくはんてんかんかく	flux transition spacing				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43891	C		論理ブロック	ろんりぶろっく	Logical Block				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43892	C		論理トラック	ろんりとらっく	logical track				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43893	C		磁気テープ	じきてーぷ	magnetic tape				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43894	C		主基準テープ	しゅきじゅんてーぷ	Master Standard Reference Tape				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43895	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43896	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43897	C		物理ブロック	ぶつりぶろっく	physical block				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43898	C		物理記録密度	ぶつりきろくみつど	physical recording density				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43899	C		物理トラック	ぶつりとらっく	physical track				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43900	C		レコード	れこーど	Record				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43901	C		基準縁	きじゅんえん	Reference Edge				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43902	C		基準磁界	きじゅんじかい	Reference Field				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43903	C		二次基準テープ	にじきじゅんてーぷ	Secondary Standard Reference Tape				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43904	C		基準信号振幅、SRA	きじゅんしんごうしんぷく、SRA	Standard Reference Amplitude (SRA)				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43905	C		基準電流	きじゅんでんりゅう	Standard Reference Current				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43906	C		試験記録電流	しけんきろくでんりゅう	Test Recording Current				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43907	C		ティピカル磁界	ていぴかるじかい	Typical Field				ISO/IEC 15895	1999				1999	SC23
43908	C		ACAコマンド	ACAこまんど	ACA command				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43909	C		センスコード	せんすこーど	additional sense code				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43910	C		集合	しゅうごう	aggregation				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43911	C		アプリケーションクライアン	あぷりけーしょんくらいあ	application client				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43912	C		引数	ひきすう	argument				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43913	C		関連付け	かんれんづけ	association				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43914	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43915	C		ACA状態	ACAじょうたい	auto contingent allegiance				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43916	C		バックグラウンド処理	ばっくぐらうんどしょり	background operation				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43917	C		コマンドブロック状態	こまんどぶろっくじょうたい	blocked command state				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43918	C		ブロッキング境界、コマンド実行境界	ぶろっきんぐきょうかい、こまんどじっこうきょうかい	blocking boundary				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43919	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43920	C		クラス	くらす	class				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43921	C		クラス図	くらすず	class diagram				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43922	C		クライアントサーバ	くらいあんとさーば	client-server				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43923	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43924	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43925	C		コマンド・ディスクリプタ・ブロック	こまんど・でぃすくりぷた・ぶろっく	command descriptor block				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43926	C		コマンド識別子	こまんどしきべつし	command identifier				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43927	C		コマンド優先度	こまんどゆうせんど	command priority				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43928	C		コマンド規格	こまんどきかく	command standard				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43929	C		完了コマンド、完了したコマンド	かんりょうこまんど、かんりょうしたこまんど	completed command				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43930	C		確認	かくにん	confirmation				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43931	C		確認機構有りSCSI転送プロトコルサービス	かくにんきこうありSCSIてんそうぷろとこるさーびす	confirmed SCSI transport protocol service				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43932	C		制約	せいやく	constraint				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43933	C		現コマンド	げんこまんど	current command				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43934	C		保留エラー	ほりゅうえらー	deferred error				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43935	C		従属関係、依存状態	じゅうぞくかんけい、いぞんじょうたい	dependency				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43936	C		従属論理ユニット	じゅうぞくろんりゆにっと	dependent logical unit				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43937	C		デバイスモデル	でばいすもでる	device model				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43938	C		デバイスサーバ	でばいすさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43939	C		デバイスサービス要求	でばいすさーびすようきゅ	device service request				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43940	C		デバイスサービス応答	でばいすさーびすおうとう	device service response				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43941	C		ドメイン	どめいん	domain				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43942	C		コマンド休止状態	こまんどきゅうしじょうたい	dormant command state				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43943	C		コマンド実行可能状態	こまんどじっこうかのうじょうたい	enabled command state				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43944	C		拡張論理ユニットアドレス	かくちょうろんりゆにっとあどれす	extended logical unit addressing				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43945	C		フォールトI_Tネクサス、障害I_Tネクサス	ふぉーるとI_Tねくさす、しょうがいI_Tねくさす	faulted I_T nexus				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43946	C		フォールトタスクセット、障害タスクセット	ふぉーるとたすくせっと、しょうがいたすくせっと	faulted task set				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43947	C		フォールトコマンド、障害コマンド	ふぉーるとこまんど、しょうがいこまんど	faulting command				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43948	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43949	C		はん(汎)化	はんか	generalization				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43950	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43951	C		階層論理ユニット	かいそうろんりゆにっと	hierarchical logical unit				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43952	C		I_Tネクサス	I_Tねくさす	I_T nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43953	C		I_Tネクサス消失	I_Tねくさすしょうしつ	I_T nexus loss				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43954	C		I_Tネクサス消失イベント	I_Tねくさすしょうしついべんと	I_T nexus loss event				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43955	C		I_T_Lネクサス	I_T_Lねくさす	I_T_L nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43956	C		I_T_L_Qネクサス	I_T_L_Qねくさす	I_T_L_Q nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43957	C		I_T_L_Qネクサストランザクション	I_T_L_Qねくさすとらんざくしょん	I_T_L_Q nexus transaction				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43958	C		I_T_L_xネクサス	I_T_L_xねくさす	I_T_L_x nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
43959	C		I/Oオペレーション	I/Oおぺれーしょん	I/O operation				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43960	C		実装固有	じっそうこゆう	implementation specific				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43961	C		不正論理ユニット番号	ふせいろんりゆにっとばんごう	incorrect logical unit number				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43962	C		不正論理ユニット	ふせいろんりゆにっと	incorrect logical unit				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43963	C		イニシエータポート識別子	いにしえーたぽーとしきべつし	initiator port identifier				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43964	C		イニシエータポートネーム	いにしえーたぽーとねー	initiator port name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43965	C		インスタンス	いんすたんす	instance				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43966	C		転送中	てんそうちゅう	in transit				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43967	C		暗黙のキュー先頭	あんもくのきゅーせんとう	implicit head of queue				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43968	C		層	そう	layer				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43969	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43970	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit (see 4.6.19)				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43971	C		論理ユニット一覧	ろんりゆにっといちらん	logical unit inventory				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43972	C		論理ユニットネーム、論理ユニット固有名/一意名	ろんりゆにっとねーむ、ろんりゆにっとこゆうめい/いちいめい	logical unit name				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43973	C		論理ユニット番号	ろんりゆにっとばんごう	logical unit number				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43974	C		論理ユニットリセット	ろんりゆにっとりせっと	logical unit reset				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43975	C		論理ユニットリセットイベント	ろんりゆにっとりせっといべんと	logical unit reset event				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43976	C		多重度	たじゅうど	multiplicity				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43977	C		ネーム、固有名、一意名	ねーむ、こゆうめい、いちいめい	name				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43978	C		ネクサス	ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43979	C		非フォールトI_Tネクサス、非障害I_Tネクサス	ひふぉーるとI_Tねくさす、ひしょうがいI_Tねくさす	non-faulted I_T nexus				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43980	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43981	C		オブジェクト図	おぶじぇくとず	object diagram				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43982	C		オペレーション	おぺれーしょん	operation				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43983	C		ピアエンティティ	ぴあえんていてい	peer entities				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43984	C		電源切断・投入サイクル、電源オフオンサイクル	でんげんせつだん・とうにゅうさいくる、でんげんおふおんさいくる	power cycle				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43985	C		停電予期	ていでんよき	power loss expected				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43986	C		停電予期イベント	ていでんよきいべんと	power loss expected				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43987	C		電源オン	でんげんおん	power on				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43988	C		電源オンイベント	でんげんおんいべんと	power on event				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43989	C		手続き	てつづき	procedure				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43990	C		手続き呼び出し	てつづきよびだし	procedure call				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43991	C		プロトコル	ぷろとこる	protocol				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43992	C		キュー	きゅー	queue				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43993	C		受信側	じゅしんがわ	receiver				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43994	C		参照モデル	さんしょうもでる	reference model				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43995	C		相対ポート識別子	そうたいぽーとしきべつし	relative port identifier				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43996	C		要求	ようきゅう	request				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43997	C		要求応答トランザクション	ようきゅうおうとうとらんざくしょん	request-response transaction				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
43998	C		リセットイベント	りせっといべんと	reset event				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
43999	C		応答	おうとう	response				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44000	C		役割	やくわり	role				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44001	C		SCSIアプリケーション層	SCSIあぷりけーしょんそう	SCSI application layer				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44002	C		SCSIデバイス	SCSIでばいす	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44003	C		SCSIデバイスネーム、SCSIデバイス固有名/一意名	SCSIでばいすねーむ、SCSIでばいすこゆうめい/いちいめい	SCSI device name				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44004	C		SCSIイベント	SCSIいべんと	SCSI event				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44005	C		SCSI I/Oシステム	SCSI I/Oしすてむ	SCSI I/O system				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44006	C		SCSIイニシエータデバイス	SCSIいにしえーたでばい	SCSI initiator device				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44007	C		SCSIイニシエータポート	SCSIいにしえーたぽーと	SCSI initiator port				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44008	C		SCSIポート	SCSIぽーと	SCSI port				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44009	C		SCSIポート識別子	SCSIぽーとしきべつし	SCSI port identifier				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44010	C		SCSIターゲット装置、SCSIターゲットデバイス	SCSIたーげっとそうち、SCSIたーげっとでばいす	SCSI target device				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44011	C		SCSIターゲットポート	SCSIたーげっとぽーと	SCSI target port				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44012	C		SCSI転送プロトコル層	SCSIてんそうぷろとこるそう	SCSI transport protocol layer				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44013	C		SCSI転送プロトコルサービス確認	SCSIてんそうぷろとこるさーびすかくにん	SCSI transport protocol service confirmation				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44014	C		SCSI転送プロトコルサービス指示	SCSIてんそうぷろとこるさーびすしじ	SCSI transport protocol service indication				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44015	C		SCSI転送プロトコルサービス要求	SCSIてんそうぷろとこるさーびすようきゅう	SCSI transport protocol service request				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44016	C		SCSI転送プロトコルサービス応答	SCSIてんそうぷろとこるさーびすおうとう	SCSI transport protocol service response				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44017	C		SCSI転送プロトコル固有	SCSIてんそうぷろとこるこゆう	SCSI transport protocol specific				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44018	C		送信側	そうしんがわ	sender				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44019	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44020	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44021	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44022	C		サービス	さーびす	service				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44023	C		サービス配信障害	さーびすはいしんしょうがい	service delivery failure				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44024	C		サービス配信サブシステム	さーびすはいしんさぶしすてむ	service delivery subsystem				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44025	C		サービス配信トランザクション	さーびすはいしんとらんざくしょん	service delivery transaction				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44026	C		標準INQUIRYデータ	ひょうじゅんINQUIRYでー	standard INQUIRY data				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44027	C		ターゲットポート識別子	たーげっとぽーとしきべつし	target port identifier				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44028	C		ターゲットポートネーム、ターゲットポート固有名/一意名	たーげっとぽーとねーむ、たーげっとぽーとこゆうめい/いちいめい	target port name				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44029	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44030	C		タスク属性	たすくぞくせい	task attribute				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44031	C		タスクマネジメント機能	たすくまねじめんときのう	task management function				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44032	C		タスクマネジメント要求	たすくまねじめんとよう	task management request				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44033	C		タスクマネジメント応答	たすくまねじめんとおうとう	task management				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44034	C		タスクマネジャー	たすくまねじゃー	task manager				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44035	C		タスクルータ	たすくるーた	task router				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44036	C		タスクセット	たすくせっと	task set				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44037	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
44038	C		確認機構無しSCSI転送プロトコルサービス	かくにんきこうなしSCSIてんそうぷろとこるさーびす	unconfirmed SCSI transport protocol service				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44039	C		既定の論理ユニット、特定用途向け論理ユニット	きていのろんりゆにっと、とくていのようとむけろんりゆにっと	well known logical unit				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44040	C		既定の論理ユニット番号、特定用途向け論理ユニット番号	きていのろんりゆにっとばんごう、とくていようとむけろんりゆにっとばんごう	well known logical unit number				ISO/IEC 14776-414	2009				2009	SC25
44041	C		責任追跡性	せきにんついせきせい	accountability				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44042	C		証明書	しょうめいしょ	certificate				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44043	C		証明機関	しょうめいきかん	certification authority				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44044	C		暗号検査関数	あんごうけんさかんすう	cryptographic check function				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44045	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44046	C		データ発信元の認証	でーたはっしんもとのにんしょう	data origin authentication				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44047	C		データ格納庫	でーたかくのうこ	data storage				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44048	C		配達機関	はいたつきかん	delivery authority				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44049	C		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44050	C		区別識別子	くべつしきべつし	distinguishing identifier				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44051	C		証拠	しょうこ	evidence				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44052	C		証拠生成者	しょうこせいせいしゃ	evidence generator				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44053	C		証拠利用者	しょうこりようしゃ	evidence user				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44054	C		証拠検証者	しょうこけんしょうしゃ	evidence verifier				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44055	C		証拠要求者	しょうこようきゅうしゃ	evidence requester				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44056	C		証拠対象者	しょうこたいしょうしゃ	evidence subject				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44057	C		ハッシュ符号	はっしゅふごう	hash-code				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44058	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44059	C		押印	おういん	imprint				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44060	C		かぎ(鍵)	かぎ	key				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44061	C		監視機関、監視者	かんしきかん、かんししゃ	monitoring authority, monitor				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44062	C		メッセージ認証符号、MAC	めっせーじにんしょうふごう、MAC	Message Authentication Code, MAC				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44063	C		メッセージ認証符号アルゴリズム、MACアルゴリズム	めっせーじにんしょうふごうあるごりずむ、MACあるごりずむ	Message Authentication Code algorithm, MAC algorithm				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44064	C		創作の否認防止	そうさくのひにんぼうし	non-repudiation of				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44065	C		配達の否認防止	はいたつのひにんぼうし	non-repudiation of				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44066	C		配達トークンの否認防止	はいたつとーくんのひにんぼうし	non-repudiation of delivery token				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44067	C		否認防止交換	ひにんぼうしこうかん	non-repudiation exchange				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44068	C		否認防止情報	ひにんぼうしじょうほう	non-repudiation				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44069	C		閲読の否認防止	えつどくのひにんぼうし	non-repudiation of knowledge				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44070	C		発信元の否認防止	はっしんもとのひにんぼう	non-repudiation of origin				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44071	C		発信元の否認防止トークン	はっしんもとのひにんぼうしとーくん	non-repudiation of origin token				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44072	C		否認防止方針	ひにんぼうしほうしん	non-repudiation policy				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44073	C		受信の否認防止	じゅしんのひにんぼうし	non-repudiation of receipt				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44074	C		送信の否認防止	そうしんのひにんぼうし	non-repudiation of				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44075	C		否認防止サービスの要求者	ひにんぼうしさーびすのようきゅうしゃ	non-repudiation service requester				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44076	C		差出しの否認防止	さしだしのひにんぼうし	non-repudiation of submission				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44077	C		差出の否認防止トークン	さしだしのひにんぼうしとーくん	non-repudiation of submission token				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44078	C		否認防止トークン	ひにんぼうしとーくん	non-repudiation token				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44079	C		輸送の否認防止	ゆそうのひにんぼうし	non-repudiation of				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44080	C		輸送の否認防止トークン	ゆそうのひにんぼうしとーくん	non-repudiation of transport token				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44081	C		公証機関	こうしょうきかん	notary authority				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44082	C		公証	こうしょう	notarization				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44083	C		公証トークン	こうしょうとーくん	notarization token				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44084	C		発信者	はっしんしゃ	originator				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44085	C		プライベートかぎ	ぷらいべーとかぎ	private key				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44086	C		確証	かくしょう	proof				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44087	C		公開かぎ	こうかいかぎ	public key				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44088	C		公開かぎ証明書	こうかいかぎしょうめいしょ	public key certificate				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44089	C		受信者	じゅしんしゃ	recipient				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44090	C		秘密かぎ(鍵)	ひみつかぎ	secret key				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44091	C		セキュリティ機関	せきゅりていきかん	security authority				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44092	C		セキュリティ証明書	せきゅりていしょうめいしょ	security certificate				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44093	C		安全な封筒、SENV	あんぜんなふうとう、SENV	secure envelope, SENV				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44094	C		セキュリティ方針	せきゅりていほうしん	security policy				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44095	C		セキュリティトークン	せきゅりていとーくん	security token				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44096	C		署名者	しょめいしゃ	signer				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44097	C		タイムスタンプ	たいむすたんぷ	time-stamp				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44098	C		タイムスタンプ機関	たいむすたんぷきかん	time-stamping authority				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44099	C		信頼	しんらい	trust				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44100	C		信頼できる第三者機関	しんらいできるだいさんしゃきかん	trusted third party				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44101	C		信頼できるタイムスタンプ	しんらいできるたいむすたんぷ	trusted time-stamp				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44102	C		検証かぎ	けんしょうかぎ	verification key				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44103	C		検証者	けんしょうしゃ	verifier				ISO/IEC 13888-1	2009				2009	SC27
44104	C		保証レベル	ほしょうれべる	assurance level				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44105	C		攻撃者	こうげきしゃ	attacker				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44106	C		バイオメトリクス特性	ばいおめとりくすとくせい	biometric characteristic				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44107	C		バイオメトリクス製品	ばいおめとりくすせいひん	biometric product				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44108	C		生体認証	せいたいにんしょう	biometrics				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44109	C		評価者	ひょうかしゃ	evaluator				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44110	C		評価	ひょうか	evaluation				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44111	C		ラム	らむ	lamb				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44112	C		ベンダ	べんだ	vendor				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44113	C		使用者	しようしゃ	user				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44114	C		ウルフ	うるふ	wolf				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44115	C		入力試行	にゅうりょくしこう	attempt				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44116	C		バイオメトリックデータ	ばいおめとりっくでーた	biometric data				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44117	C		バイオメトリック特徴	ばいおめとりっくとくちょう	biometric feature				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44118	C		バイオメトリックモデル	ばいおめとりっくもでる	biometric model				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44119	C		バイオメトリックプロパティ	ばいおめとりっくぷろぱ	biometric property				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44120	C		バイオメトリック参照データ	ばいおめとりっくさんしょうでーた	biometric reference				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44121	C		バイオメトリックサンプル	ばいおめとりっくさんぷる	biometric sample				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44122	C		バイオメトリックテンプレート	ばいおめとりっくてんぷれーと	biometric template				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44123	C		登録データ記録	とうろくでーたきろく	enrolment data record				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44124	C		トランザクション	とらんざくしょん	transaction				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44125	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44126	C		バイオメトリック応用判定	ばいおめとりっくおうようはんてい	biometric application decision				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44127	C		バイオメトリック認識	ばいおめとりっくにんしき	biometric recognition				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44128	C		比較スコア	ひかくすこあ	comparison score				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44129	C		登録解除	とうろくかいじょ	de-enrolment				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44130	C		判定方針	はんていほうしん	decision policy				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44131	C		登録する	とうろくする	enrol				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44132	C		登録	とうろく	enrolment				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44133	C		バイオメトリック識別	ばいおめとりっくしきべつ	biometric identification				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44134	C		比較判定	ひかくはんてい	comparison decision				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44135	C		しきい値	しきいち	threshold				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44136	C		バイオメトリック照合	ばいおめとりっくしょうごう	biometric verification				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44137	C		意図的な偽者入力試行	いとてきなにせものにゅうりょくしこう	active impostor attempt				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44138	C		登録失敗率、FTE	とうろくしっぱいりつ、FTE	failure-to-enrol rate, FTE				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44139	C		誤非合致率、FNMR	ごひがっちりつ、FNMR	false non-match rate,				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44140	C		誤合致率、FMR	ごがっちりつ、FMR	false match rate, FMR				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44141	C		本人拒否率、FRR	ほんにんきょひりつ、FRR	false reject rate, FRR				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44142	C		他人受入れ率、FAR	たにんうけいれりつ、FAR	false accept rate, FAR				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44143	C		識別順位	しきべつじゅんい	identification rank				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44144	C		予備選択アルゴリズム	よびせんたくあるごりずむ	pre-selection algorithm				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44145	C		予備選択エラー	よびせんたくえらー	pre-selection error				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44146	C		被験者集団	ひけんしゃしゅうだん	test crew				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44147	C		ゼロエフォート偽者入力試行	ぜろえふぉーとにせものにゅうりょくしこう	zero-effort impostor attempt				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44148	C		信頼区間	しんらいくかん	confidence interval				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44149	C		信頼値	しんらいち	confidence value				ISO/IEC 19792	2009				2009	SC27
44150	C		AACプログラム	AACぷろぐらむ	AAC program				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44151	C		オーディオアクセスユニッ	おーでぃおあくせすゆにっ	Audio access unit				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44152	C		オーディオ構成ユニット	おーでぃおこうせいゆにっ	Audio composition unit				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44153	C		絶対時間	ぜったいじかん	Absolute time				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44154	C		実パラメタ	じつぱらめた	Actual parameter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44155	C		適応コードブック	てきおうこーどぶっく	Adaptive codebook				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44156	C		エイリアス	えいりあす	Alias				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44157	C		分析フィルターバンク	ぶんせきふぃるたーばんく	Analysis filterbank				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44158	C		補助データ	ほじょでーた	Ancillary data				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44159	C		Asig	Asig	Asig				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44160	C		オーディオバッファ	おーでぃおばっふぁ	Audio buffer				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44161	C		オーディオサークル、Aサイクル	おーでぃおさーくる、Aさいくる	Audio cycle A-cycle				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44162	C		オーディオレート、Aレート	おーでぃおれーと、Aれーと	Audio rate A-rate				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44163	C		オーディオサンプル	おーでぃおさんぷる	Audio sample				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44164	C		オーディオBIFS	おーでぃおBIFS	AudioBIFS				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44165	C		オーサリング	おーさりんぐ	Authoring				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44166	C		バッカス・ナウア記法(BNF)	ばっかす・なうあきほう(BNF)	Backus-Naur Format (BNF)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44167	C		後方互換性	こうほうごかんせい	Backward compatibility				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44168	C		周波数スケーラビリティ	しゅうはすうすけーらびりてぃ	Bandwidth scalability				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44169	C		バンク	ばんく	Bank				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44170	C		バーク	ばーく	Bark				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44171	C		ビート	びーと	Beat				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44172	C		ビットレート	びっとれーと	Bitrate				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44173	C		ビットレートスケーラビリティ	びっとれーとすけーらびりてぃ	Bitrate scalability				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44174	C		ビットストリームペイロード検証器	びっとすとりーむぺいろーどけんしょうき	Bitstream payload verifier				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44175	C		ビットストリーム、ストリー	びっとすとりーむ、すとりー	Bitstream; stream				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44176	C		ブロック圧伸	ぶろっくあっしん	Block companding				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44177	C		バス	ばす	Bus				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44178	C		バイト	ばいと	Byte				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44179	C		バイト整列	ばいとせいれつ	Byte aligned				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44180	C		中央チャンネル	ちゅうおうちゃんねる	Center channel				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44181	C		チャンネル	ちゃんねる	Channel				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44182	C		符号化オーディオビットストリーム	ふごうかおーでぃおびっとすとりーむ	Coded audio bitstream				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44183	C		符号化表現	ふごうかひょうげん	Coded representation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44184	C		構成(合成)	こうせい(ごうせい)	Composition (compositing)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44185	C		圧縮	あっしゅく	Compression				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44186	C		一定ビットレート	いっていびっとれーと	Constant bitrate				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44187	C		コンテクスト	こんてくすと	Context				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44188	C		制御	せいぎょ	Control				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44189	C		制御サイクル	せいぎょさいくる	Control cycle				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44190	C		制御期間	せいぎょきかん	Control period				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44191	C		制御率	せいぎょりつ	Control rate				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44192	C		コア符号器	こあふごうき	Core coder				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44193	C		CRC	CRC	CRC				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44194	C		臨界帯域	りんかいたいいき	Critical band				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44195	C		データ要素	でーたようそ	Data element				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44196	C		データ関数	でーたかんすう	Data function				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44197	C		復号化ストリーム	ふくごうかすとりーむ	Decoded stream				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44198	C		復号器	ふくごうき	Decoder				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44199	C		復号(プロセス)	ふくごう(ぷろせす)	Decoding (process)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44200	C		逆多重化	ぎゃくたじゅうか	Demultiplexing				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44201	C		デジタルストレージメディア、DSM	でじたるすとれーじめでぃあ、DSM	Digital storage media; DSM				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44202	C		次元変換	じげんへんかん	Dimension conversion				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44203	C		離散コサイン変換、DCT	りさんこさいんへんかん、DCT	Discrete cosine transform; DCT				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44204	C		ダウンミックス	だうんみっくす	Downmix				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44205	C		継続期間	けいぞくきかん	Duration				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44206	C		編集	へんしゅう	Editing				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44207	C		エレメンタリストリーム(ES)	えれめんたりすとりーむ(ES)	Elementary stream (ES)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44208	C		符号器	ふごうき	Encoder				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44209	C		符号化(プロセス)	ふごうか(ぷろせす)	Encoding (process)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44210	C		強化層	きょうかそう	Enhancement layer(s)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44211	C		エントロピー符号化	えんとろぴーふごうか	Entropy coding				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44212	C		エンベロープ	えんべろーぷ	Envelope				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44213	C		イベント	いべんと	Event				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44214	C		刺激	しげき	Excitation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44215	C		式	しき	Expression				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44216	C		FFT、高速フーリエ変換	FFT、こうそくふーりえへんかん	FFT, Fast Fourier Transformation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44217	C		フィルタバンク	ふぃるたばんく	Filterbank				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44218	C		ビットレート微調整	びっとれーとびちょうせい	Fine rate control				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44219	C		固定コードブック	こていこーどぶっく	Fixed codebook				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44220	C		フラグ	ふらぐ	Flag				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44221	C		仮パラメタ	かりぱらめた	Formal parameter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44222	C		前方互換性	ぜんぽうごかんせい	Forward compatibility				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44223	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44224	C		Fs	Fs	Fs				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44225	C		FSS、周波数選択スイッチ	FSS、しゅうはすうせんたくすいっち	FSS, Frequency Selective Switch.				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44226	C		基本周波数	きほんしゅうはすう	Fundamental frequency				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44227	C		宣言先行ウエーブテーブル	せんげんせんこううえーぶてーぶる	Future wavetable				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44228	C		グローバルブロック	ぐろーばるぶろっく	Global block				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44229	C		グローバルコンテクスト	ぐろーばるこんてくすと	Global context				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44230	C		グローバルパラメタ	ぐろーばるぱらめた	Global parameters				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44231	C		グローバル変数	ぐろーばるへんすう	Global variable				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44232	C		文法	ぶんぽう	Grammar				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44233	C		ガード式	がーどしき	Guard expression				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44234	C		ハン窓	はんまど	Hann window				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44235	C		調波列	ちょうはれつ	Harmonic lines				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44236	C		調波強度	ちょうはきょうど	Harmonic magnitude				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44237	C		調波合成	ちょうはごうせい	Harmonic synthesis				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44238	C		高調波	こうちょうは	Harmonics				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44239	C		ハフマン符号化	はふまんふごうか	Huffman coding				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44240	C		ハイブリッドフィルタバンク	はいぶりっどふぃるたばんく	Hybrid filterbank				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44241	C		識別子	しきべつし	Identifier				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44242	C		単一周波	たんいつしゅうは	Individual line				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44243	C		参考	さんこう	Informative				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44244	C		初期位相	しょきいそう	Initial phase				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44245	C		初期化サイクル、Iサイク	しょきかさいくる、Iさいくる	Initialisation cycle, I-cycle				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44246	C		初期化パス、Iパス	しょきかぱす、Iぱす	Initialisation pass, I-pass				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44247	C		初期化レート、Iレート	しょきかれーと、Iれーと	Initialisation rate, I-rate				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44248	C		インスタンス	いんすたんす	Instance				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44249	C		インスタンス化	いんすたんすか	Instantiation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44250	C		楽音合成	がくおんごうせい	Instrument				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44251	C		楽音インスタンス	がくおんいんすたんす	Instrument instantiation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44252	C		インテンシティステレオ	いんてんしていすてれお	Intensity stereo				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44253	C		フレーム間予測	ふれーむかんよそく	Interframe prediction				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44254	C		国際音声文字、IPA	こくさいおんせいもじ、IPA	International Phonetic Alphabet, IPA				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44255	C		Ivar	Ivar	Ivar				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44256	C		ジョイントステレオ符号化	じょいんとすてれおふごう	Joint stereo coding				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44257	C		ジョイントステレオモード	じょいんとすてれおもーど	Joint stereo mode				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44258	C		Kサイクル	Kさいくる	K-cycle				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44259	C		Kレート	Kれーと	K-rate				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44260	C		Ksig	Ksig	Ksig				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44261	C		字句要素	じくようそ	Lexical element				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44262	C		口唇形状パターン	こうしんけいじょうぱたーん	Lip shape pattern				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44263	C		口唇同期	こうしんどうき	Lip synchronization				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44264	C		ルーピング	るーぴんぐ	Looping				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44265	C		低周波強化(LFE)チャンネル	ていしゅうはきょうか(LFE)ちゃんねる	Low frequency enhancement (LFE)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44266	C		LPC残留信号	LPCざんりゅうしんごう	LPC residual signal				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44267	C		LPC合成フィルタ	LPCごうせいふぃるた	LPC synthesis filter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44268	C		M/Sステレオ	M/Sすてれお	M/S stereo				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44269	C		メインオーディオチャンネ	めいんおーでぃおちゃん	Main audio channels				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44270	C		マッピング	まっぴんぐ	Mapping				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44271	C		マスキング	ますきんぐ	Masking				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44272	C		聴音下限特性	ちょうおんかげんとくせい	Masking threshold				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44273	C		MIDI	MIDI	MIDI				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44274	C		有声音無声音フレーム	ゆうせいおんむせいおんふれーむ	Mixed voiced frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44275	C		修正離散コサイン変換(MDCT)	しゅうせいりさんこさいんへんかん(MDCT)	Modified discrete cosine transform (MDCT)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44276	C		動画合成録音	どうがごうせいろくおん	Moving picture dubbing				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44277	C		MPEG-4オーディオテキスト音声復号器	MPEG-4おーでぃおてきすとおんせいふくごうき	MPEG-4 Audio Text-to-Speech Decoder				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44278	C		M-TTS意味論	M-TTSいみろん	M-TTS sentence				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44279	C		M-TTSシーケンス	M-TTSしーけんす	M-TTS sequence				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44280	C		多重チャンネル	たじゅうちゃんねる	Multichannel				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44281	C		多言語	たげんご	Multilingual				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44282	C		多重化	たじゅうか	Multiplexing				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44283	C		自然音	しぜんおん	Natural Sound				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44284	C		NCC、考慮チャンネル数	NCC、こうりょちゃんねるすう	NCC, Number of Considered Channels				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44285	C		雑音成分	ざつおんせいぶん	Noise component				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44286	C		非調音成分	ひちょうおんせいぶん	Non-tonal component				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44287	C		規定	きてい	Normative				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44288	C		ナイキストサンプリング	ないきすとさんぷりんぐ	Nyquist sampling				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44289	C		オペレーションコード	おぺれーしょんこーど	Opcode				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44290	C		オーケストラ	おーけすとら	Orchestra				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44291	C		オーケストラサイクル	おーけすとらさいくる	Orchestra cycle				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44292	C		パディング	ぱでぃんぐ	Padding				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44293	C		パラメタ	ぱらめた	Parameter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44294	C		パラメタフィールド、Pフィールド	ぱらめたふぃーるど、Pふぃーるど	Parameter fields, P-fields				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44295	C		パーサー	ぱーさー	Parser				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44296	C		音素/ブックマーク・FAP変換器	おんそ/ぶっくまーく・FAPへんかんき	Phoneme/bookmark-to-FAP converter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44297	C		π	π	Pi				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44298	C		ピッチ	ぴっち	Pitch				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44299	C		ピッチ制御	ぴっちせいぎょ	Pitch control				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44300	C		多相フィルタバンク	たそうふぃるたばんく	Polyphase filterbank				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44301	C		ポストフィルタ	ぽすとふぃるた	Postfilter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44302	C		予測	よそく	Prediction				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44303	C		予測誤差	よそくごさ	Prediction error				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44304	C		予測器	よそくき	Predictor				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44305	C		提示チャンネル	ていじちゃんねる	Presentation channel				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44306	C		生成規則	せいせいきそく	Production rule				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44307	C		PSNR、ピーク信号対雑音比	PSNR、ぴーくしんごうたいざつおんひ	PSNR, Peak Signal to Noise Ratio				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44308	C		ランダムアクセス	らんだむあくせす	Random access				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44309	C		レート意味論	れーといみろん	Rate semantics				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44310	C		レート型	れーとかた	Rate type				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44311	C		レート不一致誤り	れーとふいっちあやまり	Rate-mismatch error				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44312	C		予約	よやく	Reserved				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44313	C		経路記述	けいろきじゅつ	Route statement				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44314	C		ランタイムエラー	らんたいむえらー	Run-time error				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44315	C		サンプル	さんぷる	Sample				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44316	C		サンプルバンクフォーマット	さんぷるばんくふぉーまっと	Sample Bank Format				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44317	C		さんぷりんぐしゅうはすう(Fs)	さんぷりんぐしゅうはすう(Fs)	Sampling Frequency (Fs)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44318	C		SAOL	SAOL	SAOL				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44319	C		SAOLオーケストラ	SAOLおーけすとら	SAOL orchestra				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44320	C		SASBF	SASBF	SASBF				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44321	C		SASL	SASL	SASL				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44322	C		SBA	SBA	SBA				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44323	C		スケール係数	すけーるけいすう	Scalefactor				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44324	C		スケール係数帯域	すけーるけいすうたいいき	Scalefactor band				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44325	C		スケール係数指数	すけーるけいすうしすう	Scalefactor index				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44326	C		スケジューラ	すけじゅーら	Scheduler				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44327	C		スコープ	すこーぷ	Scope				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44328	C		楽譜	がくふ	Score				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44329	C		楽譜時間	がくふじかん	Score time				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44330	C		意味規則	いみきそく	Semantics				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44331	C		送信ステートメント	そうしんすてーとめんと	Send statement				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44332	C		順序付け規則	じゅんじょづけきそく	Sequence rules				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44333	C		サイド情報	さいどじょうほう	Side information				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44334	C		信号変数	しんごうへんすう	Signal variable				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44335	C		正弦波合成	せいげんはごうせい	Sinusoidal synthesis				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44336	C		空間化	くうかんか	Spatialisation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44337	C		スペクトル係数	すぺくとるけいすう	Spectral coefficients				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44338	C		スペクトルエンベロープ	すぺくとるえんべろーぷ	Spectral envelope				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44339	C		速度制御	そくどせいぎょ	Speed control				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44340	C		拡散関数	かくさんかんすう	Spreading function				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44341	C		状態空間	じょうたいくうかん	State space				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44342	C		ステートメント	すてーとめんと	Statement				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44343	C		ステレオ無関係	すてれおむかんけい	Stereo-irrelevant				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44344	C		構造化オーディオ	こうぞうかおーでぃお	Structured audio				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44345	C		スタッフィング(ビット)、スタッフィング(バイト)	すたっふぃんぐ(びっと)、すたっふぃんぐ(ばいと)	Stuffing (bits), stuffing (bytes)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44346	C		サラウンドチャンネル	さらうんどちゃんねる	Surround channel				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44347	C		記号	きごう	Symbol				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44348	C		記号表	きごうひょう	Symbol table				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44349	C		記号定数	きごうていすう	Symbolic constant				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44350	C		シンクワード	しんくわーど	Syncword				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44351	C		構文	こうぶん	Syntax				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44352	C		構文エラー	こうぶんえらー	Syntax error				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44353	C		合成	ごうせい	Synthesis				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44354	C		合成フィルタバンク	ごうせいふぃるたばんく	Synthesis filterbank				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44355	C		合成音	ごうせいおん	Synthetic Sound				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44356	C		テンポ	てんぽ	Tempo				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44357	C		ターミナル	たーみなる	Terminal				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44358	C		終了	しゅうりょう	Termination				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44359	C		テキスト音声合成	てきすとおんせいごうせい	Text-to-speech				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44360	C		音色	ねいろ	Timbre				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44361	C		トークン	とーくん	Token				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44362	C		トークン化	とーくんか	Tokenisation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44363	C		調音成分	ちょうおんせいぶん	Tonal component				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44364	C		トリックモード	とりっくもーど	Trick mode				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44365	C		ツインVQ	ついんVQ	TwinVQ				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44366	C		無声音フレーム	むせいおんふれーむ	Unvoiced frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44367	C		V/UV決定	V/UVけってい	V/UV decision				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44368	C		可変	かへん	Variable				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44369	C		可変ビットレート	かへんびっとれーと	Variable bitrate				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44370	C		可変長符号(VLC)	かへんちょうふごう(VLC)	Variable length code				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44371	C		可変長符号化	かへんちょうふごうか	Variable length coding				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44372	C		可変長復号器	かへんちょうふくごうき	Variable length decoder				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44373	C		可変長符号器	かへんちょうふごうき	Variable length encoder				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44374	C		ベクトル量子化器	べくとるりょうしかき	Vector quantizer				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44375	C		仮想コードブック	かそうこーどぶっく	Virtual codebook				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44376	C		有声音フレーム	ゆうせいおんふれーむ	Voiced frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44377	C		VXC、ベクトル刺激符号化	VXC、べくとるしげきふごうか	VXC, Vector eXcitation Coding				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44378	C		ウェーブテーブル合成	うぇーぶてーぶるごうせい	Wavetable synthesis				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44379	C		白色ガウス雑音	はくしょくがうすざつおん	White Gaussian noise				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44380	C		幅	はば	Width				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44381	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44382	C		ラゲールフィルタ	らげーるふぃるた	Laguerre filter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44383	C		オーディオフレーム	おーでぃおふれーむ	Audio frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44384	C		サブフレーム	さぶふれーむ	Sub-frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44385	C		fs	fs	fs				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44386	C		セグメント	せぐめんと	Segment				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44387	C		ウィンドウ	ういんどう	Window				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44388	C		重ねと追加	かさねとついか	Overlap and add				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44389	C		架橋プロセス	かきょうぷろせす	Linking process				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44390	C		誕生	たんじょう	birth				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44391	C		連続	れんぞく	Continuation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44392	C		死亡	しぼう	Death				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44393	C		部分的	ぶぶんてき	Partial				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44394	C		オーディオチャンネル	おーでぃおちゃんねる	Audio Channel				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44395	C		オーディオフレーム	おーでぃおふれーむ	Audio Frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44396	C		オーディオチャンネル番号	おーでぃおちゃんねるばんごう	Audio Channel Number				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44397	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44398	C		予約	よやく	Reserved				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44399	C		無音パターン	むおんぱたーん	Silence Pattern				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44400	C		ダイレクトストリームデジタ	だいれくとすとりーむでじ	Direct Stream Digital				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44401	C		ダイレクトストリームトランスファー	だいれくとすとりーむとらんすふぁー	Direct Stream Transfer				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44402	C		半確立	はんかくりつ	Half Probability				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44403	C		マッピング	まっぴんぐ	Mapping				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44404	C		予測フィルタ	よそくふぃるた	Prediction Filter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44405	C		確率表	かくりつひょう	Probability Table				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44406	C		サンプリング周波数	さんぷりんぐしゅうはすう	Sampling Frequency				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44407	C		セグメンテーション	せぐめんてーしょん	Segmentation				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44408	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44409	C		ブロック	ぶろっく	Block				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44410	C		サブブロック	さぶぶろっく	Sub-block				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44411	C		ランダムアクセスフレーム	らんだむあくせすふれー	Random Access Frame				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44412	C		残差	ざんさ	Residual				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44413	C		予測/予測フィルタ	よそく/よそくふぃるた	Predictor/Prediction Filter				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44414	C		予測次数	よそくじすう	Prediction order				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44415	C		LPC係数	LPCけいすう	LPC coefficients				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44416	C		パーコール係数	ぱーこーるけいすう	Parcor coefficients				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44417	C		量子化係数	りょうしかけいすう	Quantized coefficients				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44418	C		ライス符号	らいすふごう	Rice code				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44419	C		仮数	かりすう	Mantissa				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44420	C		指数	しすう	Exponent				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44421	C		コア層	こあそう	Core Layer				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44422	C		LLE層	LLEそう	LLE Layer				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44423	C		ビット面	びっとめん	Bit-Plane				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44424	C		暗黙バンド	あんもくばんど	Implicit Band				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44425	C		明示バンド	めいじばんど	Explicit Band				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44426	C		オーバーサンプリング因数(osf)	おーばーさんぷりんぐいんすう(osf)	Oversampling Factor (osf)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44427	C		オーバーサンプリング帯域	おーばーさんぷりんぐたいいき	Oversampling Range				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44428	C		予約	よやく	Reserved				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44429	C		DIV(m,n)	DIV(m,n)	DIV(m,n)				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44430	C		|・|	|・|	|・|				ISO/IEC 14496-3	2009				2009	SC29
44431	C		適応形係数正規化	てきおうがたけいすうせいきか	adaptive coefficient normalization				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44432	C		適応形逆走査	てきおうがたぎゃくそうさ	adaptive inverse scanning				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44433	C		適応形VLC	てきおうがたVLC	adaptive VLC				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44434	C		アルファ画像プレーン	あるふぁがぞうぷれーん	alpha image plane				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44435	C		ブロック	ぶろっく	block				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44436	C		ブロックインデックス	ぶろっくいんでっくす	block index				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44437	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44438	C		バイト整列	ばいとせいれつ	byte-aligned				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44439	C		クロマ	くろま	chroma				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44440	C		符号化ブロックパターン高域	ふごうかぶろっくぱたーんこういき	coded block pattern high-pass				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44441	C		符号化ブロックパターン低域	ふごうかぶろっくぱたーんていいき	coded block pattern low-pass				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44442	C		符号化ブロック状態	ふごうかぶろっくじょうたい	coded block status				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44443	C		符号ストリーム	ふごうすとりーむ	codestream				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44444	C		コンポーネント	こんぽーねんと	component				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44445	C		コンテクスト	こんてくすと	context				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44446	C		コンテクスト変数	こんてくすとへんすう	context variable				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44447	C		DC係数	DCけいすう	DC coefficient				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44448	C		DC-LP配列	DC-LPはいれつ	DC-LP array				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44449	C		復号器	ふくごうき	decoder				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44450	C		復号プロセス	ふくごうぷろせす	decoding process				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44451	C		逆量子化	ぎゃくりょうしか	dequantization				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44452	C		判別式	はんべつしき	discriminant				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44453	C		符号器	ふごうき	encoder				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44454	C		符号化プロセス	ふごうかぷろせす	encoding process				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44455	C		展開画像	てんかいがぞう	extended image				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44456	C		ファイル	ふぁいる	file				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44457	C		ファイルフォーマット	ふぁいるふぉーまっと	file format				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44458	C		FLCリファインメント	FLCりふぁいんめんと	FLC refinement				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44459	C		フレックスビット	ふれっくすびっと	flexbits				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44460	C		周波数帯	しゅうはすうたい	frequency band				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44461	C		周波数モード	しゅうはすうもーど	frequency mode				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44462	C		ハードタイル	はーどたいる	hard tiles				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44463	C		高域係数	こういきけいすう	high-pass coefficient				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44464	C		画像	がぞう	image				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44465	C		画像プレーン	がぞうぷれーん	image plane				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44466	C		初期レベル値	しょきれべるち	initial level value				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44467	C		内部カラーフォーマット	ないぶからーふぉーまっと	internal color format				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44468	C		逆コア変換(ICT)	ぎゃくこあへんかん(ICT)	inverse core transform				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44469	C		逆変換プロセス	ぎゃくへんかんぷろせす	inverse transform process				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44470	C		逆走査	ぎゃくそうさ	inverse scanning				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44471	C		リトルエンディアン形式	りとるえんでぃあんけいし	little-endian form				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44472	C		低域係数	ていいきけいすう	low-pass coefficient				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44473	C		ルマ、明度	るま、めいど	luma				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44474	C		マクロブロック	まくろぶろっく	macroblock				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44475	C		マクロブロックパーティショ	まくろぶろっくぱーていしょ	macroblock partition				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44476	C		出力ビット精度	しゅつりょくびっとせいど	output bit depth				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44477	C		出力カラーフォーマット	しゅつりょくからーふぉーまっと	output color format				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44478	C		出力フォーマットプロセス	しゅつりょくふぉーまっとぷろせす	output formatting process				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44479	C		出力画像高	しゅつりょくがぞうだか	output image height				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44480	C		出力画像幅	しゅつりょくがぞうはば	output image width				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44481	C		オーバラップフィルタリン	おーばらっぷふぃるたりん	overlap filtering				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44482	C		構文解析プロセス	こうぶんかいせきぷろせす	parsing process				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44483	C		予測	よそく	prediction				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44484	C		予測残差	よそくざんさ	prediction residual				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44485	C		基本画像プレーン	きほんがぞうぷれーん	primary image plane				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44486	C		QP指標	QPしひょう	QP index				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44487	C		QPセット	QPせっと	QP set				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44488	C		量子化パラメタ	りょうしかぱらめた	quantization parameter				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44489	C		ラスタ走査順序	らすたそうさじゅんじょ	raster scan order				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44490	C		リファインメント	りふぁいんめんと	refinement				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44491	C		ラン	らん	run				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44492	C		サンプル再構成プロセス	さんぷるさいこうせいぷろせす	sample reconstruction process				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44493	C		ソフトタイル	そふとたいる	soft tiles				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44494	C		空間コロケーション	くうかんころけーしょん	spatial co-location				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44495	C		空間モード	くうかんもーど	spatial mode				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44496	C		空間変換	くうかんへんかん	spatial transformation				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44497	C		開始符号	かいしふごう	start code				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44498	C		タイル	たいる	tile				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44499	C		タイルパケット	たいるぱけっと	tile packet				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44500	C		タイルパーティション	たいるぱーていしょん	tile partition				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44501	C		変換係数	へんかんけいすう	transform coefficients				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44502	C		可変長符号(VLC)	かへんちょうふごう(VLC)	variable length code (VLC)				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44503	C		VLCリファインメント	VLCりふぁいんめんと	VLC refinement				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44504	C		ウィンドウイング	ういんどういんぐ	windowing				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44505	C		ジグザグ走査順序	じぐざぐそうさじゅんじょ	zigzag scan order				ISO/IEC 29199-2	2009				2009	SC29
44506	C		輸送ユニット グループ	ゆそうゆにっとぐるーぷ	grouping of transport				ISO/IEC 15459-8	2009				2009	SC31
44507	C		生体情報特性	せいたいじょうほうとくせい	biometric characteristic				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44508	C		生体情報登録	せいたいじょうほうとうろく	biometric enrolment				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44509	C		生体情報特徴	せいたいじょうほうとくちょ	biometric feature				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44510	C		生体認証モデル	せいたいにんしょうもでる	biometric model				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44511	C		生体認証基準	せいたいにんしょうてんぷれーと	biometric reference				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44512	C		登録者	とうろくしゃ	enrolee				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44513	C		ICチップ	ICちっぷ	IC chip				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44514	C		船員	せんいん	seafarer				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44515	C		船員の身分証明書、SID	せんいんのみぶんしょうめいしょ、SID	Seafarers' Identity Document, SID				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44516	C		SID認証局	SIDにんしょうきょく	SID verification station				ISO/IEC 24713-3	2009				2009	SC37
44517	C		アサーション	あさーしょん	assertion				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44518	C		表明試験	ひょうめいしけん	assertion test				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44519	C		認証	にんしょう	attestation				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44520	C		基準規格	きじゅんきかく	base standard				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44521	C		生体情報特性	せいたいじょうほうとくせい	biometric characteristic				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44522	C		生体認証データ交換記録、BDIR	せいたいにんしょうでーたこうかんきろく、BDIR	biometric data interchange record, BDIR				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44523	C		認証	にんしょう	certification				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44524	C		適合性	てきごうせい	conformance				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44525	C		適合性要求事項	てきごうせいようきゅうじこ	conformance requirement				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44526	C		適合性試験	てきごうせいしけん	conformance test				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44527	C		適合性試験機関	てきごうせいしけんきかん	conformance testing laboratory				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44528	C		適合性試験セット	てきごうせいしけんせっと	conformance testing suite				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44529	C		適合性評価	てきごうせいひょうか	conformity assessment				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44530	C		宣言	せんげん	declaration				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44531	C		実装適合性宣言	じっそうてきごうせいせんげん	implementation conformance statement				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44532	C		試験対象実装、IUT	しけんたいしょうじっそう、IUT	implementation under test, IUT				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44533	C		入力生体認証データ記録、IBDR	にゅうりょくせいたいにんしょうでーたきろく、IBDR	input biometric data record, IBDR				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44534	C		レベル1試験	れべる1しけん	Level 1 testing				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44535	C		レベル2試験	れべる2しけん	Level 2 testing				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44536	C		レベル3試験	れべる3しけん	Level 3 testing				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44537	C		メタデータ記録	めたでーたきろく	metadata record				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44538	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44539	C		要求事項	ようきゅうじこう	requirement				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44540	C		試験、適合性試験	しけん、てきごうせいしけ	testing, conformance				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44541	C		試験基準、適合性試験基準	しけんきじゅん、てきごうせいしけんきじゅん	testing standard, conformance testing standard				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44542	C		試験方法	しけんほうほう	test method				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44543	C		試験方法実装	しけんほうほうじっそう	test method				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44544	C		試験方法仕様	しけんほうほうしよう	test method specification				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44545	C		試験報告	しけんほうこく	test report				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44546	C		A型適合性主張	Aがたてきごうせいしゅちょ	Type A conformance claim				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44547	C		B型適合性主張	Bがたてきごうせいしゅちょ	Type B conformance claim				ISO/IEC 29109-1	2009				2009	SC37
44548	C		サンプル取得忠実度	さんぷるしゅとくちゅうじつ	acquisition fidelity				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44549	C		生体情報登録エラー	せいたいじょうほうとうろくえらー	biometric failure to enrol				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44550	C		生体情報登録エラー率	せいたいじょうほうとうろくえらーりつ	biometric failure to enrol rate				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44551	C		特性	とくせい	character				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44552	C		環境	かんきょう	environment				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44553	C		特徴抽出忠実度	とくちょうちゅうしゅつちゅうじつど	extraction fidelity				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44554	C		外的	がいてき	extrinsic				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44555	C		忠実度	ちゅうじつど	fidelity				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44556	C		内的	ないてき	intrinsic				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44557	C		解釈	かいしゃく	interpretation				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44558	C		取得エラー率	しゅとくえらーりつ	failure to acquire rate				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44559	C		誤照合率、FMR	ごしょうごうりつ、FMR	false match rate, FMR				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44560	C		誤不一致率、FNMR	ごふいっちりつ、FNMR	false non-match rate,				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44561	C		オペレータ	おぺれーた	operator				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44562	C		性能	せいのう	performance				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44563	C		品質	ひんしつ	quality				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44564	C		品質スコア	ひんしつすこあ	quality score				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44565	C		品質スコア正規化	ひんしつすこあせいきか	quality score normalization				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44566	C		品質スコア正規化データセット、QSND	ひんしつすこあせいきかでーたせっと、QSND	quality score normalization dataset, QSND				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44567	C		品質スコアパーセンタイル順位、QSPR	ひんしつすこあぱーせんたいるじゅんい、QSPR	quality score percentile rank, QSPR				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44568	C		品質素点	ひんしつそてん	raw quality score				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44569	C		サンプル	さんぷる	sample				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44570	C		ソース	そーす	source				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44571	C		効用	こうよう	utility				ISO/IEC 29794-1	2009				2009	SC37
44572	C		採取制御ブロック、CCB	さいしゅせいぎょぶろっく、CCB	capture control block, CCB				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44573	C		採取出力ブロック、COB	さいしゅしゅつりょくぶろっく、COB	capture output block, COB				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44574	C		ライブスキャン装置	らいぶすきゃんそうち	livescan device				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44575	C		非回転指紋	ひかいてんしもん	plain impression				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44576	C		回転指紋	かいてんしもん	rolled prints				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44577	C		四指指紋	よんししもん	slap prints				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44578	C		セグメント位置計算	せぐめんといちけいさん	segment position				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44579	C		十指指紋採取	じゅっししもんさいしゅ	tenprint capture				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44580	C		2型記録	にかたきろく	Type-2 record				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44581	C		4型記録	よんかたきろく	Type-4 record				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44582	C		10型記録	じゅうかたきろく	Type-10 record				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44583	C		14型記録	じゅうよんかたきろく	Type-14 record				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44584	C		垂直回転	すいちょくかいてん	vertical rolls				ISO/IEC 29141	2009				2009	SC37
44585	C		子マニフェスト	こまにふぇすと	child manifest				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44586	C		コンテンツファイル	こんてんつふぁいる	content file				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44587	C		コンテンツ構成、構成	こんてんつこうせい、こうせい	content organization, organization				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44588	C		制御ファイル	せいぎょふぁいる	control file				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44589	C		交換パッケージ	こうかんぱっけーじ	interchange package				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44590	C		起動可能URI	きどうかのうゆーあーるあ	launchable URI				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44591	C		LETコンテンツ、コンテンツ	LETこんてんつ、こんてん	LET content, content				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44592	C		ローカル	ろーかる	local				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44593	C		論理パッケージ	ろんりぱっけーじ	logical package				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44594	C		マニフェスト	まにふぇすと	manifest				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44595	C		マニフェスト文書	まにふぇすとぶんしょ	manifest document				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44596	C		メタデータ	めたでーた	metadata				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44597	C		名前空間	なまえくうかん	namespace				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44598	C		パッケージ	ぱっけーじ	package				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44599	C		パッケージ交換ファイル、PIF	ぱっけーじこうかんふぁいる、PIF	package interchange file, PIF				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44600	C		パッケージリーダ	ぱっけーじりーだ	package reader				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44601	C		パッケージライタ	ぱっけーじらいた	package writer				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44602	C		参照マニフェスト	さんしょうまにふぇすと	referenced manifest				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44603	C		相対参照	そうたいさんしょう	relative reference				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44604	C		リモート	りもーと	remote				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44605	C		資源	しげん	resource				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44606	C		独立型資源	どくりつかたしげん	stand-alone resource				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44607	C		統一資源識別子、URI	とういつしげんしきべつし、ゆーあーるあい	uniform resource identifier, URI				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44608	C		統一資源位置指定子、URL	とういつしげんいちていし、ゆーあーるえる	uniform resource locator, URL				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44609	C		変異	へんい	variant				ISO/IEC 12785-1	2009				2009	SC36
44610	C		カーネル	かーねる	kernel				ISO/IEC 19757-7	2009				2009	SC34
44611	C		ハル	はる	hull				ISO/IEC 19757-7	2009				2009	SC34
44612	C		略語	りゃくご	abbreviation				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44613	C		頭字語	とうじご	acronym				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44614	C		造語	ぞうご	coined term				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44615	C		概念	がいねん	concept				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44616	C		辞書	じしょ	dictionary				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44617	C		eビジネス	いーびじねす	eBusiness				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44618	C		用語集	ようごしゅう	glossary				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44619	C		文法的性	ぶんぽうてきせい	grammatical gender				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44620	C		同音異義	どうおんいぎ	homonymy				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44621	C		多義性	たぎせい	polysemy				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44622	C		ローマ字化	ろーまじか	romanization				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44623	C		ローマ字形式	ろーまじけいしき	romanized form				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44624	C		集合	しゅうごう	set				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44625	C		記号	きごう	symbol				ISO/IEC 15944-7	2009				2009	SC32
44626	C		機械読み取り領域、MRZ	きかいよみとりりょういき、MRZ	machine readable zone, MRZ				ISO/IEC 11693-2	2009				2009	SC17
44627	C		光学文字認識、OCR	こうがくもじにんしき、OCR	optical character recognition, OCR				ISO/IEC 11693-2	2009				2009	SC17
44628	C		OCR-B	OCR-B	OCR-B				ISO/IEC 11693-2	2009				2009	SC17
44629	C		ビット	びっと	bit				ISO/IEC 13560	2009				2009	SC6
44630	C		文字列	もじれつ	string				ISO/IEC 13560	2009				2009	SC6
44631	C		オクテット	おくてっと	octet				ISO/IEC 13560	2009				2009	SC6
44632	C		ビーコン群、BG	びーこんぐん、BG	Beacon Group, BG				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44633	C		ビーコン期間、BP	びーこんきかん、BP	Beacon Period, BP				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44634	C		ビーコン期間開始時間、BPST	びーこんきかんかいしじかん、BPST	Beacon Period Start Time, BPST				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44635	C		チャネル	ちゃねる	Channel				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44636	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	Data integrity				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44637	C		装置	そうち	Device				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44638	C		分散型予約プロトコル、DRP	ぶんさんがたよやくぷろとこる、DRP	Distributed Reservation Protocol, DRP				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44639	C		等価等方放射電力、EIRP	とうかとうほうほうしゃでんりょく、EIRP	Equivalent Isotropic Radiated Power, EIRP				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44640	C		等価等方受信電力、EIRxP	とうかとうほうじゅしんでんりょく、EIRxP	Equivalent Isotropic Received Power, EIRxP				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44641	C		拡張ビーコン群	かくちょうびーこんぐん	Extended beacon group				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44642	C		フレーム	ふれーむ	Frame				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44643	C		フレーム保護	ふれーむほご	Frame protection				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44644	C		MACクライアント	MACくらいあんと	MAC client				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44645	C		MACコマンドデータ単位、MCDU	MACこまんどでーたたんい、MCDU	MAC Command Data Unit, MCDU				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44646	C		MACプロトコルデータ単位、MPDU	MACぷろとこるでーたたんい、MPDU	MAC Protocol Data Unit, MPDU				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44647	C		MACサービスデータ単位、MSDU	MACさーびすでーたたんい、MSDU	MAC Service Data Unit, MSDU				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44648	C		マスタースレーブ対、MSPr	ますたーすれーぶつい、MSPr	Master-Slave Pair, MSPr				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44649	C		マスタースレーブ期間、MSP	ますたーすれーぶきかん、MSP	Master-Slave Period, MSP				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44650	C		メッセージ完全性コード、MIC	めっせーじかんぜんせいこーど、MIC	Message Integrity Code, MIC				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44651	C		ネイバ	ねいば	Neighbour				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44652	C		予約	よやく	Reservation				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44653	C		予約ブロック	よやくぶろっく	Reservation block				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44654	C		セキュアフレーム	せきゅあふれーむ	Secure frame				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44655	C		ストリーム	すとりーむ	Stream				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44656	C		スーパーフレーム	すーぱーふれーむ	Superframe				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44657	C		切替型ビームアンテナ(SBA)装置	きりかえがたびーむあんてな(SBA)そうち	Switched Beam Antenna (SBA) Device				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44658	C		対称かぎ	たいしょうかぎ	Symmetric key				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44659	C		時間領域拡散因子、TDSF	じかんりょういきかくさんいんし、TDSF	Time Domain Spreading Factor, TDSF				ISO/IEC 13156	2009				2009	SC6
44660	C		アクセシビリティ	あくせしびりてぃ	accessibility				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44661	C		利用者層	りようしゃそう	audience				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44662	C		作者	さくしゃ	author				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44663	C		注意	ちゅうい	caution				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44664	C		文脈依存ヘルプ	ぶんみゃくいぞんへるぷ	context-sensitive help				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44665	C		重要情報	じゅうようじょうほう	critical information				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44666	C		カスタマイズ	かすたまいず	customization				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44667	C		設計	せっけい	design				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44668	C		開発	かいはつ	development				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44669	C		表示	ひょうじ	display				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44670	C		説明書	せつめいしょ	document				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44671	C		(利用)説明	(りよう)せつめい	documentation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44672	C		(利用)説明大系	(りよう)せつめいたいけい	document set				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44673	C		有効性	ゆうこうせい	effectiveness				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44674	C		効率	こうりつ	efficiency				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44675	C		埋め込み(利用)説明	うめこみ(りよう)せつめい	embedded documentation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44676	C		評価	ひょうか	evaluation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44677	C		機能	きのう	function				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44678	C		図解	ずかい	illustration				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44679	C		国際化	こくさいか	internationalization				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44680	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44681	C		現地化	げんちか	localization				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44682	C		ナビゲーション	なびげーしょん	navigation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44683	C		注記	ちゅうき	note				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44684	C		画面表示(利用)説明	がめんひょうじ(りよう)せつめい	on-screen documentation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44685	C		プラットフォーム	ぷらっとふぉーむ	platform				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44686	C		ポップアップ	ぽっぷあっぷ	pop-up				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44687	C		印刷(利用)説明	いんさつ(りよう)せつめい	printed documentation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44688	C		手順	てじゅん	procedure				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44689	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44690	C		製品責任者	せいひんせきにんしゃ	product authority				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44691	C		プロジェクト	ぷろじぇく	project				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44692	C		プロジェクトマネージャ	ぷろじぇくとまねーじゃ	project manager				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44693	C		満足	まんぞく	satisfaction				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44694	C		ソフトウェア	そふとうぇあ	software				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44695	C		ソフトウェア(利用)説明	そふとうぇあ(りよう)せつめい	software user documentation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44696	C		ステップ	すてっぷ	step				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44697	C		スタイル	すたいる	style				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44698	C		利用説明のシステム試験	りようせつめいのしすてむしけん	system test of user documentation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44699	C		作者に対する技術的支援責任者	どくしゃにたいするぎじゅつてきしえんせきにんしゃ	technical contact				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44700	C		トピック	とぴっく	topic				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44701	C		チュートリアル	ちゅーとりある	tutorial				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44702	C		ユースケース	ゆーすけーす	use case				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44703	C		利用者	りようしゃ	user				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44704	C		(要件群の)検証	(ようけんぐんの)けんしょう	validation				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44705	C		(要件の)検証	(ようけんの)けんしょう	verification				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44706	C		警告	けいこく	warning				ISO/IEC 26513	2009				2009	SC7
44707	C		アプリケーション	あぷりけーしょん	application				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44708	C		バンドル	ばんどる	bundle				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44709	C		コンポーネント	こんぽーねんと	component				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44710	C		計算装置	けいさんそうち	computing device				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44711	C		コンフィギュレーション品目、CI	こんふぃぎゅれーしょんひんもく、CI	configuration item, CI				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44712	C		コンフィギュレーションマネジメントデータベース、CMDB	こんふぃぎゅれーしょんまねじめんとでーたべーす、CMDB	configuration management database, CMDB				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44713	C		顧客	こきゃく	customer				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44714	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44715	C		エンドユーザ	えんどゆーざ	end-user				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44716	C		同値分割	どうちぶんかつ	equivalence partitioning				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44717	C		拡張マークアップ言語、XML	かくちょうまーくあっぷげんご、XML	extensible markup language, XML				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44718	C		グローバルー意識別子、GUID	ぐろーばるいちいしきべつし、GUID	globally unique identifier, GUID				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44719	C		旧式ソフトウェア	きゅうしきそふとうぇあ	legacy software				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44720	C		事業科目アプリケーション開発者	じぎょうかもくあぷりけーしょんかいはつしゃ	line of business application developer				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44721	C		MD5、メッセージダイジェストアルゴリズム5	MD5、めっせーじだいじぇすとあるごりずむ5	MD5, Message-Digest algorithm 5				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44722	C		パッケージ	ぱっけーじ	package				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44723	C		プラットフォーム	ぷらっとふぉーむ	platform				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44724	C		プラットフォーム提供者	ぷらっとふぉーむていきょうしゃ	platform provider				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44725	C		製品	せいひん	product				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44726	C		登録識別子、regid	とうろくしきべつし、regid	registration identifier,				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44727	C		リリース	りりーす	release				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44728	C		リリースマネージャ	りりーすまねーじゃ	release manager				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44729	C		SAM所有者	SAMしょゆうしゃ	SAM owner				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44730	C		SAM実行者	SAMじっこうしゃ	SAM practitioner				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44731	C		ソフトウェア	そふとうぇあ	software				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44732	C		ソフトウェア資産マネジメント、SAM	そふとうぇあしさんまねじめんと、SAM	Software Asset Management, SAM				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44733	C		ソフトウェア消費者	そふとうぇあしょうひしゃ	software consumer				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44734	C		ソフトウェア作成者	そふとうぇあさくせいしゃ	software creator				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44735	C		ソフトウェア開発者	そふとうぇあかいはつしゃ	software developer				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44736	C		ソフトウェア権利	そふとうぇあけんり	software entitlement				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44737	C		ソフトウェア識別タグ	そふとうぇあしきべつたぐ	software identification tag				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44738	C		ソフトウェアライセンス	そふとうぇあらいせんす	software license				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44739	C		ソフトウェアライセンス発行者	そふとうぇあらいせんすはっこうしゃ	software licensor				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44740	C		ソフトウェア製造者	そふとうぇあせいぞうしゃ	software manufacturer				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44741	C		ソフトウェアパッケージ	そふとうぇあぱっけーじ	software package				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44742	C		ソフトウェアパッケージャ	そふとうぇあぱっけーじゃ	software packager				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44743	C		ソフトウェア提供者	そふとうぇあていきょうしゃ	software provider				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44744	C		ソフトウェア発行者	そふとうぇあはっこうしゃ	software publisher				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44745	C		タグ創作者	たぐそうさくしゃ	tag creator				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44746	C		タグ変更者	たぐへんこうしゃ	tag modifier				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44747	C		タグ提供者	たぐていきょうしゃ	tag provider				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44748	C		統一資源識別子、URI	とういつしげんしつきべつし、URI	Uniform Resource Identifier, URI				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44749	C		有効	ゆうこう	valid				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44750	C		有効	ゆうこう	valid				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44751	C		付加価値再販業者	ふかかちさいはんぎょう	value-added reseller				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44752	C		バージョン	ばーじょん	version				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44753	C		XMLスキーマ定義	XMLすきーまていぎ	XML Schema Definition				ISO/IEC 19770-2	2009				2009	SC7
44754	C		注釈	ちゅうしゃく	annotation				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44755	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44756	C		図形情報	ずけいじょうほう	graphical information				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44757	C		グローバルラベル	ぐろーばるらべる	global label				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44758	C		ラベル	らべる	label				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44759	C		メタモデル	めたもでる	meta model				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44760	C		(ネットグラフの)オブジェ	(ねっとぐらふの)おぶじぇ	object (of a net graph)				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44761	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44762	C		PNMLコアモデル	ぴーえぬえむえるこあもで	PNML Core Model				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44763	C		PNML文書(ペトリネット文書)	ぴーえぬえむえるぶんしょ(ぺとりねっとぶんしょ)	PNML Document (Petri Net Document)				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44764	C		PNML高レベルネット文書	ぴーえぬえむえるこうれべるねっとぶんしょ	PNML High-level Net Document				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44765	C		PNML場所／遷移ネット文書	ぴーえぬえむえるばしょせんいねっとぶんしょ	PNML Place/Transition Net Document				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44766	C		PNML対照ネット文書	ぴーえぬえむえるたいしょうねっとぶんしょ	PNML Symmetric Net Document				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44767	C		参照ノード	さんしょうのーど	reference node				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44768	C		場所参照(ノード)	ばしょさんしょう(のーど)	reference place				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44769	C		遷移参照(ノード)	せんいさんしょう(のーど)	reference transition				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44770	C		ソースノード	そーすのーど	source node				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44771	C		ターゲットノード	たーげっとのーど	target node				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44772	C		ツール固有情報	つーるこゆうじょうほう	tool specific information				ISO/IEC 15909-2	2009				2009	SC7
44773	C		カートリッジ	かーとりっじ	cartridge				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44774	C		クランプ領域	くらんぷりょういき	clamp area				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44775	C		イジェクト領域	いじぇくとりょういき	eject area				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44776	C		ギャップ	ぎゃっぷ	gap				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44777	C		ガイドレール	がいどれーる	guide rail				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44778	C		インタフェースID	いんたふぇーすID	interface ID				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44779	C		挿入方向マーク領域	そうにゅうほうこうまーくりょういき	insertion direction mark area				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44780	C		ラベル領域	らべるりょういき	label area				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44781	C		負荷領域	ふかりょういき	load area				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44782	C		ロッキングシステム	ろっきんぐしすてむ	locking system				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44783	C		プラグコネクタ	ぷらぐこねくた	plug connector				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44784	C		電力ID	でんりょくID	power ID				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44785	C		受信システム	じゅしんしすてむ	receiving system				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44786	C		レセプタクルコネクタ	れせぷたくるこねくた	receptacle connector				ISO/IEC 29171	2009				2009	SC23
44787	C		アーカイバル	あーかいばる	archival				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44788	C		最大BER	さいだいびーいーあーる	BER max				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44789	C		データ移動	でーたいどう	data migration				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44790	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、いーしーしー	error correction code, ECC				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44791	C		誤り率	あやまりりつ	error rate				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44792	C		初期性能試験	しょきせいのうしけん	initial performance test				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44793	C		平均寿命	へいきんじゅみょう	life expectancy				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44794	C		寿命	じゅみょう	lifetime				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44795	C		最大PIE SUM 8	さいだいぴーあいいーえすうーえむえいと	PIE SUM 8 max				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44796	C		定期性能試験	ていきせいのうしけん	periodical performance				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44797	C		復元性	ふくげんせい	retrievability				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44798	C		ストレス	ストレス	stress				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44799	C		保管時間	ほかんじかん	storage time				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44800	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44801	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44802	C		訂正不能誤り	ていせいふのうあやまり	uncorrectable error				ISO/IEC 29121	2009				2009	SC23
44803	C		基本記録速度	きほんきろくそくど	basic recording speed				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44804	C		ブロックSYNC保護領域	ぶろっくSYNCほごりょうい	block SYNC guard area				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44805	C		チャネルビット	ちゃねるびっと	channel bit				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44806	C		クランプゾーン	くらんぷぞーん	clamping zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44807	C		クラス	くらす	class				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44808	C		データゾーン	でーたぞーん	data zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44809	C		データ記録可能ゾーン	でーたきろくかのうぞーん	data recordable zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44810	C		デジタル総計値	でじたるそうけいち	Digital Sum Value, DSV				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44811	C		ディスク基準面	でぃすくきじゅんめん	disk reference plane				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44812	C		ディスク試験領域、DTA	でぃすくしけんりょういき、DTA	Disk Testing Area, DTA				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44813	C		ECCブロックアドレス	ECCぶろっくあどれす	ECC Block address				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44814	C		誤り訂正符号、ECC	あやまりていせいふごう、ECC	Error Correction Code, ECC				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44815	C		誤り検出符号、EDC	あやまりけんしゅつふごう、EDC	Error Detection Code, EDC				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44816	C		ファイナライゼーション	ふぁいならいぜーしょん	finalization				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44817	C		グルーブ	ぐるーぶ	groove				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44818	C		情報ゾーン	じょうほうぞーん	information zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44819	C		初期情報ゾーン	しょきじょうほうぞーん	initial information zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44820	C		ランド	らんど	land				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44821	C		ランドプレピット、LPP	らんどぷれぴっと、LPP	Land Pre-Pit, LPP				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44822	C		レイヤジャンプアドレス	れいやじゃんぷあどれす	Layer jump address				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44823	C		リードインゾーン	りーどいんぞーん	lead-in zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44824	C		リードアウトゾーン	りーどあうとぞーん	lead-out zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44825	C		中間ゾーン	ちゅうかんぞーん	middle zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44826	C		記録管理領域、RMA	きろくかんりりょういき、RMA	Recording Management Area, RMA				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44827	C		記録管理データ、RMD	きろくかんりでーた、RMD	Recording Management Data, RMD				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44828	C		制限付き上書き	せいげんつきうわがき	restricted overwrite				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44829	C		r情報ゾーン	rじょうほうぞーん	r-information zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44830	C		rゾーン	rぞーん	rzone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44831	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44832	C		基板	きばん	substrate				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44833	C		トラック	とらっく	track				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44834	C		トラックピッチ	とらっくぴっち	track pitch				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44835	C		ゾーン	ぞーん	zone				ISO/IEC 13170	2009				2009	SC23
44836	C		アクセシビリティ機能	あくせしびりていきのう	accessibility feature				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44837	C		アクセシビリティ設定	あくせしびりていせってい	accessibility setting				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44838	C		アクセシビリティ設定モード	あくせしびりていせっていもーど	accessibility setting mode				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44839	C		聴覚フィードバック	ちょうかくふぃーどばっく	auditory feedback				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44840	C		はね返り防止キー、バウンスキー	はねかえりぼうしきー、ばうんすきー	BounceKeys™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44841	C		コンピュータ	こんぴゅーた	computer				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44842	C		フィルタキー	ふぃるたきー	FilterKeys™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44843	C		マウスキー	まうすきー	MouseKeys™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44844	C		オンスクリーンキーボード	おんすくりーんきーぼーど	on-screen keyboard				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44845	C		リピートキー	りぴーときー	RepeatKeys™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44846	C		スクリーンリーダ	すくりーんりーだ	screen reader				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44847	C		ショートカット	しょーとかっと	shortcut				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44848	C		ショーサウンド	しょーさうんど	ShowSounds™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44849	C		スローキー	すろーきー	SlowKeys™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44850	C		サウンドセントリー、サウンド表示	さうんどせんとりー、さうんどひょうじ	SoundSentry™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44851	C		スティッキーキー、固定キー機能	すてぃっきーきー、こていきーきのう	StickyKeys™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44852	C		タイムアウト	たいむあうと	Time Out				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44853	C		トグルキー	とぐるきー	ToggleKeys™				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44854	C		視覚的強調	しかくてききょうちょう	visual emphasis				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44855	C		視覚フィードバック	しかくふぃーどばっく	visual feedback				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44856	C		音声操作	おんせいそうさ	voice operation				ISO/IEC 24786	2009				2009	SC35
44857	C		自動フェイルバック	じどうふぇいるばっく	auto-failback				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44858	C		自動プローピング	じどうぷろーぴんぐ	auto-probing				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44859	C		利用可能パス集合	りようかのうぱすしゅうごう	available paths				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44860	C		装置ファイル	そうちふぁいる	device file				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44861	C		装置識別VPDページ	そうちしきべつVPDぺーじ	device identification VPD page				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44862	C		16進符号化2進データ	16しんふごうか2しんでーた	hexadecimal-encoded binary data				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44863	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44864	C		イニシエータ	いにしえーた	initiator				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44865	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44866	C		マルチパス論理ユニット	まるちぱすろんりゆにっと	multipath logical unit				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44867	C		オブジェクトID	おぶじぇくとID	object ID				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44868	C		パス	ぱす	path				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44869	C		パス論理ユニット	ぱすろんりゆにっと	path logical unit				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44870	C		持続性	じぞくせい	persistent				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44871	C		プラグイン	ぷらぐいん	plugin				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44872	C		製品(又は装置製品)	せいひん(またはそうちせいひん)	product (or device product)				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44873	C		ターゲット	たーげっと	target				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44874	C		ターゲットポート群	たーげっとぽーとぐん	target port group				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44875	C		ユニコード	ゆにこーど	unicode				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44876	C		VPD	VPD	VPD				ISO/IEC 11002	2008				2008	SC25
44877	C		アクティブビデオ	あくていぶびでお	active video				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44878	C		オーディオフレーム	おーでぃおふれーむ	Audio frame				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44879	C		AVフレーム	えーぶいふれーむ	AV frame				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44880	C		クロミナンス	くろみなんす	chrominance				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44881	C		クライアント	くらいあんと	client				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44882	C		クリップ	くりっぷ	clip				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44883	C		コンポーネントビデオ	こんぽーねんとびでお	component video				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44884	C		コンポジットビデオ	こんぽじっとびでお	composite video				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44885	C		圧縮A/Vストリーム	あっしゅくえーぶいすとりーむ	Compressed A/V stream				ISO/IEC 14165-321	2009				2009	SC25
44886	C		コンテンツムーブメント	こんてんつむーぶめんと	Content Movement				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44887	C		コンシューマ	こんしゅーま	consumer				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44888	C		コンテナ	こんてな	Container				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44889	C		コンテンツ	こんてんつ	Content				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44890	C		FC-AVコンテナ	えふしーえーぶいこんてな	FC-AV Container				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44891	C		FCフレーム	えふしーふれーむ	FC frame				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44892	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44893	C		フルストリーム構造	ふるすとりーむこうぞう	Full Stream Structure				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44894	C		インタレース方式	いんたれーすほうしき	Interlaced				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44895	C		輝度	きど	luminance				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44896	C		オブジェクト	おぶじぇくと	Object				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44897	C		プロデューサ	ぷろでゅーさ	producer				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44898	C		プログレッシブ	ぷろぐれっしぶ	Progressive				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44899	C		実時間	じつじかん	Real Time				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44900	C		サーバ	さーば	server				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44901	C		セグメント化	せぐめんとか	Segmented				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44902	C		ストリーム	すとりーむ	Stream				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44903	C		ストリームモード	すとりーむもーど	Stream mode				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44904	C		ストリーム状態	すとりーむじょうたい	Stream state				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44905	C		ビデオフレーム	びでおふれーむ	Video frame				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44906	C		ビデオプログラム	びでおぷろぐらむ	Video Program				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44907	C		ビデオシンク	びでおしんく	Video Sink				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44908	C		ビデオソース	びでおそーす	Video Source				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44909	C		YCBCR	YCBCR	YCBCR				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44910	C		YIQ	YIQ	YIQ				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44911	C		YUV	YUV	YUV				ISO/IEC 14165-	2009				2009	SC25
44912	C		ASCII文字	あすきーもじ	ASCII character				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44913	C		音響	おんきょう	acoustics				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44914	C		ATA、ATアタッチメント	えーてぃーえー、えーてぃーあたっちめんと	ATA, AT attachment				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44915	C		ATA-1装置	えーてぃーえーわんそうち	ATA-1 device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44916	C		ATA-2装置	えーてぃーえーつーそうち	ATA-2 device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44917	C		ATA-3装置	えーてぃーえーすりーそう	ATA-3 device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44918	C		ATA/ATAPI-4装置	えーてぃーえ／えーてぃーえーぴーあいふぉーそうち	ATA/ATAPI-4 device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44919	C		ATA/ATAPI-5装置	えーてぃーえ／えーてぃーえーぴーあいふぁいぶそう	ATA/ATAPI-5 device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44920	C		ATA/ATAPI-6装置	えーてぃーえ／えーてぃーえーぴーあいしっくすそう	ATA/ATAPI-6 device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44921	C		ATA/ATAPI-7装置	えーてぃーえ／えーてぃーえーぴーあいせぶんそう	ATA/ATAPI-7 device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44922	C		ATAPI装置、ATアタッチメントパケットインタフェース装置	えーてぃーえーぴーあいそうち、えーてぃーあたっちめんとぱけっといんたふぇーすそうち	ATAPI device, AT attachment packet interface device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44923	C		割当単位、AU	わりあてたんい、えーゆー	allocation unit, AU				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44924	C		オーディオビデオ、AV	おーでぃおびでお、えーぶ	audio-video, AV				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44925	C		バックチャネル	ばっくちゃねる	backchannel				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44926	C		ビット誤り率、BER	びっとあやまりりつ、びーいーあーる	bit error rate, BER				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44927	C		バスリリース	ばすりりーす	bus release				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44928	C		バイト数	ばいとすう	byte count				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44929	C		バイト数制限	ばいとすうせいげん	byte count limit				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44930	C		コンパクトフラッシュアソシエーション、CFA	こんぱくとふらっしゅあそしえーしょん、しーえふえー	CompactFlash™ Association, CFA				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44931	C		検査条件	けんさじょうけん	check condition				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44932	C		シリンダヘッドセクタ、CHS	しりんだへっどせくた、しーえいちえす	cylinder-head-sector, CHS				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44933	C		コード違反	こーどいはん	code violation				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44934	C		コマンド異常終了	こまんどいじょうしゅうりょ	command aborted				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44935	C		コマンド承認	こまんどしょうにん	command acceptance				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44936	C		コマンドブロックレジスタ	こまんどぶろっくれじすた	command block registers				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44937	C		コマンド終了	こまんどしゅうりょう	command completion				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44938	C		コマンドパケット	こまんどぱけっと	command packet				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44939	C		放棄されたコマンド	ほうきされたこまんど	command released				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44940	C		制御ブロックレジスタ	せいぎょぶろっくれじすた	control block registers				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44941	C		制御文字	せいぎょもじ	control character				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44942	C		巡回冗長検査、CRC	じゅんかいじょうちょうけんさ、しーあーるしー	cyclical redundancy check, CRC				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44943	C		シリンダ高レジスタ	しりんだこうれじすた	cylinder high register				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44944	C		シリンダ低レジスタ	しりんだていれじすた	cylinder low register				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44945	C		データ文字	でーたもじ	data character				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44946	C		データイン	でーたいん	data-in				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44947	C		データアウト	でーたあうと	data-out				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44948	C		遅延LBA	ちえんえるびーえー	delayed LBA				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44949	C		装置	そうち	device				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44950	C		装置選択	そうちせんたく	device selection				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44951	C		(0と1との)不均衡度、ディスパリティ	(0と1との)ふきんこうど、でぃすぱりてぃ	disparity				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44952	C		DMAデータ転送、直接メモリアクセスデータ転送	でぃーえむえーでーたてんそう、ちょくせつめもりあくせすでーたてんそう	DMA data transfer, direct memory access data transfer				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44953	C		無関係	むかんけい	don't care				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44954	C		ドライバ	どらいば	driver				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44955	C		DRQデータブロック	でぃーあーるきゅーでーたぶろっく	DRQ data block				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44956	C		弾性バッファ	だんせいばっふぁ	elasticity buffer				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44957	C		符号化文字	ふごうかもじ	encoded character				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44958	C		第一者DMAアクセス	だいいちしゃでぃーえむえーあくせす	first party DMA access				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44959	C		フレーム情報構造、FIS	ふれーむじょうほうこうぞう、えふあいえむ	frame information structure, FIS				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44960	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44961	C		強制ユニットアクセス、FUA	きょうせいゆにっとあくせす、えふうーえー	forced unit access, FUA				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44962	C		Gen1 DWORD時間	じぇんわんでぃーわーどじかん	Gen1 DWORD time				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44963	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44964	C		ホストアダプタ	ほすとあだぷた	host adapter				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44965	C		割り込み待ち	わりこみまち	interrupt pending				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44966	C		論理ブロックアドレス、LBA	ろんりぶろっくあどれす、えるびーえー	logical block address, LBA				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44967	C		線形帰還シフトレジスタ、LFSR	せんけいきかんしふとれじすた、えるえふえすあーる	linear feedback shift register, LFSR				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44968	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44969	C		論理セクタ	ろんりせくた	logical sector				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44970	C		ネイティブ最大アドレス	ねいていぶさいだいあどれす	native max address				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44971	C		重複	ちょうふく	overlap				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44972	C		パケット配信コマンド	ぱけっとはいしんこまんど	packet delivered command				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44973	C		PHY	ぴーえいちあい	PHY				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44974	C		物理セクタ	ぶつりせくた	physical sector				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44975	C		プログラム入力／出力データ転送、PIOデータ転送	ぷろぐらむにゅうりょくしゅつりょくでーたてんそう、ぴーあいおーでーたてん	programmed input/output data transfer, PIO data transfer				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44976	C		プリミティブ	ぷりみてぃぶ	primitive				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44977	C		待ち行列型	まちぎょうれつかた	queued				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44978	C		読み取りコマンド	よみとりこまんど	read command				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44979	C		レジスタ	れじすた	register				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44980	C		レジスタ配信コメンド	れじすたはいしんこめんど	register delivered				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44981	C		レジスタ転送	れじすたてんそう	register transfers				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44982	C		放棄	ほうき	released				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44983	C		セクタ	せくた	sector				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44984	C		セクタ番号レジスタ	せくたばんごうれじすた	sector number register				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44985	C		シャドーコマンドブロック	しゃどーこまんどぶろっく	shadow command block				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44986	C		シャドー制御ブロック	しゃどーせいぎょぶろっく	shadow control block				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44987	C		署名	しょめい	signature				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44988	C		セルフモニタリング・アナリシス・アンド・リポーティング・テクノロジー、SMART	せるふもにたりんぐ・あなりしす・あんど・りぽーてぃんぐ・てくのろじー、	self-monitoring, analysis and reporting technology, SMART				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44989	C		トランスポート	とらんすぽーと	transport				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44990	C		ウルトラDMAバースト	うるとらでぃーえむえーばーすと	ultra DMA burst				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44991	C		非整位置書き込み	ひせいいちかきこみ	unaligned write				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44992	C		ユニットアテンション状態	ゆにっとあてんしょんじょうたい	unit attention condition				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44993	C		回復不能エラー	かいふくふのうえらー	unrecoverable error				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
44994	C		ベンダ固有、VS	べんだこゆう、ぶいえす	vendor specific, VS				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44995	C		書き込みコマンド	かきこみこまんど	write command				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44996	C		ワールドワイドネーム、WWN	わーるどわいどねーむ、WWN	world wide name, WWN				ISO/IEC 24739-2	2009				2009	SC25
44997	C		アクセス制御リスト(ACL)	あくせすせいぎょりすと(えーしーえる)	access control list (ACL)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
44998	C		アクセス制御リスト項目(ACE)	あくせすせいぎょりすとこうもく(えーしーいー)	access control list entry (ACE)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
44999	C		アクセス制御	あくせすせいぎょ	access controls				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45000	C		アクセス制御コーディネータ	あくせすせいぎょこーでぃねーた	access controls coordinator				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45001	C		有効電力状態	ゆうこうでんりょくじょうたい	active power condition				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45002	C		追加的センスコード	ついかてきせんすこーど	additional sense code				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45003	C		別名リスト	べつめいりすと	alias list				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45004	C		別名値	べつめいち	alias value				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45005	C		アプリケーションクライアン	あぷりけーしょんくらいあ	application client				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45006	C		付属メディア交換器	ふぞくめでぃあこうかんき	attached medium changer				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45007	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45008	C		自動誤り情報保持状態、ACA	じどうあやまりじょうほうほじじょうたい、ACA	auto contingent allegiance (ACA)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45009	C		ブロックされたタスク	ぶろっくされたたすく	blocked task				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45010	C		バイト	ばいと	byte				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45011	C		キャッシュメモリ	きゃっしゅめもり	cache memory				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45012	C		コマンド	こまんど	command				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45013	C		コマンド記述子ブロック(CDB)	こまんどきじゅつしぶろっく(しーでぃーびー)	command descriptor block (CDB)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45014	C		コマンド規格	こまんどきかく	command standard				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45015	C		企業ID	きぎょうあいでぃー	company_id				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45016	C		制御モードページ	せいぎょもーどぺーじ	Control mode page				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45017	C		制御拡張モードページ	せいぎょかくちょうもーどぺーじ	Control Extension mode page				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45018	C		コピーマネージャ	こぴーまねーじゃ	copy manager				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45019	C		コピーターゲット装置	こぴーたーげっとそうち	copy target device				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45020	C		入力データバッファ	にゅうりょくでーたばっふぁ	data-in buffer				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45021	C		出力データバッファ	しゅつりょくでーたばっふぁ	data-out buffer				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45022	C		保留エラー	ほりゅうえらー	deferred error				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45023	C		指定	してい	designation				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45024	C		装置識別VPDページ	そうちしきべつぶいぴーでぃーぺーじ	Device Identification VPD page				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45025	C		装置サーバ	そうちさーば	device server				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45026	C		装置サービス要求	そうちさーびすようきゅう	device service request				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45027	C		装置サービス応答	そうちさーびすおうとう	device service response				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45028	C		装置タイプ、装置種別	そうちたいぷ、そうちしゅべつ	device type				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45029	C		切断再接続モードページ	せつだんさいせつぞくもーどぺーじ	Disconnect-Reconnect mode page				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45030	C		要素	ようそ	element				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45031	C		可能タスク状態	かのうたすくじょうたい	enabled task state				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45032	C		拡張一意識別子、48ビットグローバル一意識別子(EUI-48)	かくちょういちいしきべつし、よんじゅうはちびっとぐろーばりーいちいしきべつし(いーゆーあいよんは	Extended Unique Identifier, a 48-bit globally unique identifier (EUI-48)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45033	C		拡張一意識別子、64ビットグローバル一意識別子(EUI-48)	かくちょういちいしきべつし、ろくじゅうよんびっとぐろーばりーいちいしきべつし(いーゆーあいろくよん)	Extended Unique Identifier, a 64-bit globally unique identifier (EUI-64)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45034	C		フォールテッドI_Tネクサス	ふぉーるてっどあいてぃーねくさす	faulted I_T nexus				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45035	C		フィールド	ふぃーるど	field				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45036	C		ハードリセット	はーどりせっと	hard reset				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45037	C		ホスト	ほすと	host				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45038	C		IEEE企業ID	あいいーいーいーきぎょうあいでぃー	IEEE company_id				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45039	C		I_Tネクサス	あいてぃーねくさす	I_T nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45040	C		I_Tネクサスロス	あいてぃーねくさすろす	I_T nexus loss				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45041	C		I_T_Lネクサス	あいてぃーえるねくさす	I_T_L nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45042	C		I_T_L_Q ネクサス	あいてぃーえるきゅーねくさす	I_T_L_Q nexus transaction				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45043	C		遊休電源状態	ゆうきゅうでんげんじょうたい	idle power condition				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45044	C		行列暗黙先頭	ぎょうれつあんもくせんとう	implicit head of queue				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45045	C		イニシエータ装置名	いにしえーたそうちめい	initiator device name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45046	C		イニシエータポート	いにしえーたぽーと	initiator port				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45047	C		イニシエータポート識別子	いにしえーたぽーとしきべつし	initiator port identifier				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45048	C		イニシエータポート名	いにしえーたぽーとめい	initiator port name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45049	C		インターネットプロトコルドメイン名	いんたーねっとぷろとこるどめいんめい	Internet protocol domain name				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45050	C		インターネットプロトコル番号	いんたーねっとぷろとこるばんごう	Internet protocol number				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45051	C		リンク内コマンド	りんくないこまんど	linked command				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45052	C		最下位ビット(LSB)	さいかいびっと(えるえすびー)	least significant bit (LSB)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45053	C		左寄せ	ひだりよせ	left-aligned				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45054	C		論理ユニット	ろんりゆにっと	logical unit				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45055	C		論理ユニットアクセス制御記述子(LUACD)	ろんりゆにっとあくせすせいぎょきじゅつし(えるゆーえーしーでぃー)	logical unit access control descriptor (LUACD)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45056	C		論理ユニットインベントリ	ろんりゆにっといんべんとり	logical unit inventory				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45057	C		論理ユニット番号(LUN)	ろんりゆにっとばんごう(えるゆーえぬ)	logical unit number (LUN)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45058	C		論理ユニットリセット	ろんりゆにっとりせっと	logical unit reset				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45059	C		メディア	めでぃあ	medium				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45060	C		メディア補助メモリ、MAM	めでぃあほじょめもり、MAM	medium auxiliary memory (MAM)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45061	C		メディア交換器	めでぃあこうかんき	medium changer				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45062	C		最上位ビット(MSB)	さいじょういびっと(えむえすびー)	most significant bit (MSB)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45063	C		名前	なまえ	name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45064	C		ネットワークアドレス典拠(NAA)	ねっとわーくあどれすてんきょ(えぬえーえー)	network address authority (NAA)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45065	C		ネクサス	ねくさす	nexus				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45066	C		非揮発性キャッシュメモリ	ひきはつせいきゃっしゅめもり	non-volatile cache memory				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45067	C		ヌル詰め	ぬるづめ	null-padded				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45068	C		ヌル終了	ぬるしゅうりょう	null-terminated				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45069	C		1	いち	one				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45070	C		組織一意識別子(OUI)	そしきいちいしきべつし(おーゆーあい)	organizationally unique identifier (OUI)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45071	C		ページ	ぺーじ	page				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45072	C		停電時持続	ていでんじじぞく	persist through power loss				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45073	C		持続的予約ホルダ	じぞくてきよやくほるだ	persistent reservation holder				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45074	C		動力サイクル	どうりょくさいくる	power cycle				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45075	C		電源オン	でんげんおん	power on				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45076	C		プロトコル識別子	ぷろとこるしきべつし	protocol identifier				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45077	C		プロトコル固有	ぷろとこるこゆう	protocol specific				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45078	C		プロトコル規格	ぷろとこるきかく	protocol standard				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45079	C		プロキシトークン	ぷろきしとーくん	proxy token				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45080	C		リクエスト・フォー・コメント、RFC	りくえすとふぉーこめんと、RFC	request for comment (RFC)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45081	C		登録済	とうろくすみ	registered				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45082	C		登録済ネクサス	とうろくずみねくさす	registrant				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45083	C		右寄せ	みぎよせ	right-aligned				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45084	C		相対ポート識別子	そうたいぽーとしきべつし	relative port identifier				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45085	C		相対イニシエータポート識別子	そうたいいにしえーたぽーとしきべつし	relative initiator port identifier				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45086	C		相対ターゲットポート識別子	そうたいたーげっとぽーとしきべつし	relative target port identifier				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45087	C		SCSI装置	えすしーえすあいそうち	SCSI device				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45088	C		SCSI装置名	えすしーえすあいそうちめ	SCSI device name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45089	C		SCSI領域	えすしーえすあいりょういき	SCSI domain				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45090	C		SCSIイニシエータ装置	えすしーえすあいいにしえーたそうち	SCSI initiator device				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45091	C		SCSIイニシエータポート	えすしーえすあいいにしえーたぽーと	SCSI initiator port				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45092	C		SCSIポート	えすしーえすあいぽーと	SCSI port				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45093	C		SCSIポート識別子	えすしーえすあいぽーとしきべつし	SCSI port identifier				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45094	C		SCSIポート名	えすしーえすあいぽーとめ	SCSI port name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45095	C		SCSIポートVPDページ	えすしーえすあいぽーとぶいぴーでぃーぺーじ	SCSI Ports VPD page				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45096	C		SCSIターゲット装置	えすしーえすあいたーげっとそうち	SCSI target device				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45097	C		SCSIターゲットポート	えすしーえすあいたーげっとぽーと	SCSI target port				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45098	C		SCSIトランスポートプロトコル規格	えすしーえすあいとらんすぽーとぷろとこるきかく	SCSI transport protocol standard				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45099	C		センスデータ	せんすでーた	sense data				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45100	C		センスキー	せんすきー	sense key				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45101	C		サービスアクション	さーびすあくしょん	service action				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45102	C		サービスデリバリサブシステム	さーびすでりばりさぶしすてむ	service delivery subsystem				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45103	C		待機電源状態	たいきでんげんじょうたい	standby power condition				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45104	C		ステータス	すてーたす	status				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45105	C		システム	しすてむ	system				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45106	C		ターゲット装置名	たーげっとそうちめい	target device name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45107	C		ターゲットポート	たーげっとぽーと	target port				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45108	C		ターゲットポート非対照アクセス状態	たーげっとぽーとひたいしょうあくせすじょうたい	target port asymmetric access state				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45109	C		ターゲットポートグループ	たーげっとぽーとぐるーぷ	target port group				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45110	C		ターゲットポートグループ非対照アクセス状態	たーげっとぽーとぐるーぷひたいしょうあくせすじょう	target port group asymmetric access state				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45111	C		ターゲットポート識別子	たーげっとぽーとしきべつ	target port identifier				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45112	C		ターゲットポート名	たーげっとぽーとめい	target port name				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45113	C		タスク	たすく	task				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45114	C		タスク集合	たすくしゅうごう	task set				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45115	C		TCPポート番号	てぃーしーぴーぽーとばんごう	TCP port numbers				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45116	C		第三者コマンド	だいさんしゃこまんど	third-party command				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45117	C		ユニットアテンション状態	ゆにっとあてんしょんじょうたい	unit attention condition				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45118	C		世界時、UT	せかいじ、UT	universal time (UT)				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45119	C		URIスキーム	ゆーあーるあいすきーむ	URI Schemes				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45120	C		UTF-8	ゆーてぃーえふえいと	UTF-8				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45121	C		ベンダ固有(VS)	べんだこゆう(ぶいえす)	vendor specific (VS)				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45122	C		揮発性キャッシュメモリ	きはつせいきゃっしゅめもり	volatile cache memory				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45123	C		既知論理ユニット	きちろんりゆにっと	well known logical unit				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45124	C		既知論理ユニット番号(W-LUN)	きちろんりゆにっとばんごう(だぶりゅーえるゆーえ	well known logical unit number (W-LUN)				ISO/IEC 14776-453	2009				2009	SC25
45125	C		0	ぜろ	zero				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45126	C		ゼロ詰め	ぜろづめ	zero-padded				ISO/IEC 14776-	2009				2009	SC25
45127	C		だ円曲線の定義体	だえんきょくせんのていぎたい	definition field of an elliptic curve				ISO/IEC 15946-5	2009				2009	SC27
45128	C		だ円曲線	だえんきょくせん	elliptic curve				ISO/IEC 15946-5	2009				2009	SC27
45129	C		有限体	ゆうげんたい	finite field				ISO/IEC 15946-5	2009				2009	SC27
45130	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 15946-5	2009				2009	SC27
45131	C		概素数	がいそすう	nearly prime number				ISO/IEC 15946-5	2009				2009	SC27
45132	C		だ円曲線の次数 E(F)	だえんきょくせんのじすう E(F)	order of an elliptic curve $E(F)$				ISO/IEC 15946-5	2009				2009	SC27
45133	C		smooth整数、容易整除数	smoothせいすう、よういせいじょすう	smooth integer				ISO/IEC 15946-5	2009				2009	SC27
45134	C		非対称かぎの一対	ひたいしょうかぎのいっつ	asymmetric key pair				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45135	C		非対称署名システム	ひたいしょうしょめいしすてむ	asymmetric signature system				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45136	C		認証	にんしょう	authentication				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45137	C		証明機関、CA	しょうめいきかん、CA	certification authority, CA				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45138	C		暗号	あんごう	cryptography				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45139	C		データ完全性	でーたかんぜんせい	data integrity				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45140	C		データ発信元認証	でーたはっしんもとにん	data origin authentication				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45141	C		ディジタル署名	でぃじたるしょめい	digital signature				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45142	C		区別符号化規則、DER	くべつふごうかきそく、DER	distinguished encoding rules, DER				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45143	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45144	C		ハッシュ値	はっしゅち	hash-value				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45145	C		メッセージ認証符号、MAC	めっせーじにんしょうふごう、MAC	message authentication code, MAC				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45146	C		メッセージ認証符号(MAC)アルゴリズム	めっせーじにんしょうふごう(MAC)あるごりずむ	message authentication code (MAC) algorithm				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45147	C		プライベートかぎ(鍵)	ぷらいべーとかぎ	private key				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45148	C		公開かぎ(鍵)	こうかいかぎ	public key				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45149	C		公開かぎ証明書	こうかいかぎしょうめいしょ	public key certificate				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45150	C		タイムスタンプ要求者	たいむすたんぷようきゅうしゃ	time-stamp requester				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45151	C		タイムスタンプトークン、TST	たいむすたんぷとーくん、てぃーえすてぃー	time-stamp token, TST				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45152	C		タイムスタンプ検証者	たいむすたんぷけんしょうしゃ	time-stamp verifier				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45153	C		タイムスタンプ機関、TSA	たいむすたんぷきかん、てぃーえすえー	time-stamping authority, TSA				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45154	C		タイムスタンプ方針	たいむすたんぷほうしん	time-stamping policy				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45155	C		タイムスタンプサービス、TSS	たいむすたんぷさーびす、てぃーえすえす	time-stamping service, TSS				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45156	C		タイムスタンプ単位、TSU	たいむすたんぷたんい、てぃーえすゆー	time-stamping unit, TSU				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27
45157	C		信頼できる第三者機関、TTP	しんらいできるだいさんしゃきかん、TTP	trusted third party				ISO/IEC 18014-2	2009				2009	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45158	C		集約	しゅうやく	aggregation				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45159	C		衝突困難ハッシュ関数	しょうとつこんなんはっしゅかんすう	collision-resistant hash-function				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45160	C		データ項目の表現	でーたこうもくのひょうげん	data items' representation				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45161	C		ハッシュ関数	はっしゅかんすう	hash-function				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45162	C		ハッシュ値	はっしゅち	hash value				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45163	C		リンク	りんく	link				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45164	C		タイムスタンプ機関、TSA	たいむすたんぷきかん、てぃーえすえー	time-stamping authority, TSA				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45165	C		タイムスタンプサービス、TSS	たいむすたんぷさーびす、てぃーえすえす	time-stamping service, TSS				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45166	C		タイムスタンプトークン、TST	たいむすたんぷとーくん、てぃーえすてぃー	time-stamp token, TST				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45167	C		信頼できる第三者機関、TTP	しんらいできるだいさんしゃきかん、TTP	trusted third party, TTP				ISO/IEC 18014-3	2009				2009	SC27
45168	C		行動	こうどう	action				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45169	C		活動	かつどう	activity				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45170	C		検査	けんさ	check				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45171	C		評価用提供物	ひょうかようていしゅつぶつ	evaluation deliverable				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45172	C		評価証拠	ひょうかしょうこ	evaluation evidence				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45173	C		評価技術報告書	ひょうかぎじゅつほうこく	evaluation technical report				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45174	C		検査、検査する	けんさ、けんさする	examine				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45175	C		解釈	かいしゃく	interpretation				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45176	C		方法	ほうほう	methodology				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45177	C		所見報告書	しょけんほうこくしょ	observation report				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45178	C		評価者判定	ひょうていはんてい	overall verdict				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45179	C		評価機関判定	ひょうていきかんはんてい	oversight verdict				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45180	C		記録	きろく	record				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45181	C		報告書	ほうこくしょ	report				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45182	C		制度	せいど	scheme				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45183	C		副活動	ふくかつどう	sub-activity				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45184	C		追跡可能関係	ついせきかのうかんけい	tracing				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45185	C		判定	はんてい	verdict				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45186	C		作業単位	さぎょうたんい	work unit				ISO/IEC 18045	2008				2008	SC27
45187	C		分析モデル	ぶんせきもでる	analytical model				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45188	C		属性	ぞくせい	attribute				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45189	C		基本的測定値	きほんてきそくていち	base measure				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45190	C		データ	でーた	data				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45191	C		判断基準	はんだんきじゅん	decision criteria				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45192	C		導出測定量	どうしゅつそくていりょう	derived measure				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45193	C		指標	しひょう	indicator				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45194	C		情報ニーズ	じょうほうにーず	information need				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45195	C		測定値	そくていち	measure				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45196	C		測定	そくてい	measurement				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45197	C		測定の関数	そくていのかんすう	measurement function				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45198	C		測定方法	そくていほうほう	measurement method				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45199	C		測定結果	そくていけっか	measurement results				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45200	C		オブジェクト	おぶじぇくと	object				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45201	C		尺度	しゃくど	scale				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45202	C		測定の単位	そくていのたんい	unit of measurement				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45203	C		妥当性確認	だとうせいかくにん	validation				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45204	C		検証	けんしょう	verification				ISO/IEC 27004	2009				2009	SC27
45205	C		警報	けいほう	alert				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45206	C		アーキテクチャ	あーきてくちゃ	architecture				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45207	C		攻撃者	こうげきしゃ	attacker				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45208	C		監査ロギング	かんさろぎんぐ	audit logging				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45209	C		監査ツール	かんさつーる	audit tools				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45210	C		認証機関、CA	にんしょうきかん、しーえー	certification authority, CA				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45211	C		企業情報セキュリティ方針	きぎょうじょうほうせきゅりてぃほうしん	corporate information security policy				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45212	C		非武装地帯、DMZ	ひぶそうちたい、でぃーえむぜっと	demilitarized zone, DMZ				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45213	C		サービス妨害、DoS	さーびすぼうがい、でぃーおーえす	denial of service, DoS				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45214	C		エクストラネット	えくすとらねっと	extranet				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45215	C		フィルタリング	ふぃるたりんぐ	filtering				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45216	C		ファイアウォール	ふぁいあうぉーる	firewall				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45217	C		ハブ	はぶ	hub				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45218	C		ザ インターネット	ざ いんたーねっと	the Internet				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45219	C		インターネット	いんたーねっと	internet				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45220	C		イントラネット	いんとらねっと	intranet				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45221	C		侵入	しんにゅう	intrusion				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45222	C		侵入検出	しんにゅうけんしゅつ	intrusion detection				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45223	C		侵入検出システム、IDS	しんにゅうけんしゅつしすてむ、あいでぃーえす	intrusion detection system, IDS				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45224	C		侵入防止	しんにゅうぼうし	intrusion prevention				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45225	C		侵入防止システム、IPS	しんにゅうぼうししすてむ、あいぴーえす	intrusion prevention system, IPS				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45226	C		マルウェア	まるうぇあ	malware				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45227	C		マルチプロトコルトラベルスイッチング、MPLS	まるちぷろとこるとらべるすいっちんぐ、えむぴーえるえす	multi protocol label switching, MPLS				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45228	C		ネットワーク管理	ねっとわーくかんり	network administration				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45229	C		ネットワーク解析装置	ねっとわーくかいせきそう	network analyzer				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45230	C		ネットワーク要素	ねっとわーくようそ	network element				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45231	C		ネットワークマネジメント	ねっとわーくまねじめんと	network management				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45232	C		ネットワーク監視	ねっとわーくかんし	network monitoring				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45233	C		ネットワークセキュリティ方針	ねっとわーくせきゅりていほうしん	network security policy				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45234	C		ネットワークスニファー	ねっとわーくすにふぁー	network sniffer				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45235	C		ポート	ぽーと	port				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45236	C		遠隔アクセス	えんかくあくせす	remote access				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45237	C		遠隔ユーザ	えんかくゆーざ	remote user				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45238	C		ルータ	るーた	router				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45239	C		セキュリティ領域	せきゅりていりょういき	security domain				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45240	C		セキュリティゲートウェイ	せきゅりていげーとうぇい	security gateway				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45241	C		スパム	すぱむ	spam				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45242	C		なりすまし	なりすまし	spoofing				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45243	C		スイッチ	すいっち	switch				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45244	C		トンネル	とんねる	tunnel				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45245	C		仮想ローカルエリアネットワーク	かそうろーかるえりあねっとわーく	virtual local area network				ISO/IEC 27033-1	2009				2009	SC27
45246	C		基線	きせん	baseline				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45247	C		(視軸)交差点距離	(しじく)こうさてんきょり	convergence distance				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45248	C		(視軸)交差点	(しじく)こうさてん	convergence point				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45249	C		視差	しさ	disparity				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45250	C		焦点距離	しょうてんきょり	focal length				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45251	C		フレーム	ふれーむ	frame				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45252	C		レンチキュラ	れんちきゅら	lenticular				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45253	C		最大視差	さいだいしさ	max of disparity				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45254	C		単眼視フラグメント	たんがんしふらぐめんと	monoscopic fragment				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45255	C		最小視差	さいしょうしさ	min of disparity				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45256	C		視差バリア	しさばりあ	parallax barrier				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45257	C		一次画像シーケンス	いちじがぞうしーけんす	primary view sequence				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45258	C		回転	かいてん	rotation				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45259	C		二次画像シーケンス	にじがぞうしーけんす	secondary view sequence				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45260	C		シーケンス	しーけんす	sequence				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45261	C		立体視カメラ情報	りったいしかめらじょうほう	stereoscopic camera information				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45262	C		立体視表示情報	りったいしひょうじじょうほう	stereoscopic display information				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45263	C		立体視フラグメント	りったいしふらぐめんと	stereoscopic fragment				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45264	C		立体視左フラグメント	りったいしひだりふらぐめんと	stereoscopic left fragment				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45265	C		立体左画像シーケンス	りったいひだりがぞうしーけんす	stereoscopic left view sequence				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45266	C		立体視右フラグメント	りったいしみぎふらぐめん	stereoscopic right				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45267	C		立体右画像シーケンス	りったいみぎがぞうしーけんす	stereoscopic right view sequence				ISO/IEC 23000-11	2009				2009	SC29
45268	C		抽象デコーダモデル、ADM	ちゅうしょうでこーだもでる、えーでぃーえむ	abstract decoder model, ADM				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45269	C		BSD、ビットストリーム構文記述	びーえすでぃー、びっとすとりーむこうぶんきじゅつ	BSD, bitstream syntax description				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45270	C		BSDL	びーえすでぃーえる	BSDL				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45271	C		接続	せつぞく	connection				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45272	C		デコーダコンフィギュレーション	でこーだこんふぃぎゅれーしょん	decoder configuration				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45273	C		デコーダ記述、DD	でこーだきじゅつ、でぃーでぃー	decoder description, DD				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45274	C		復号ソリューション	ふくごうそりゅーしょん	decoding solution				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45275	C		FU、機能単位	えふゆー、きのうたんい	FU, functional unit				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45276	C		FND、FUネットワーク記述	えふえぬでぃー、えふゆーねっとわーくきじゅつ	FND, FU network description				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45277	C		FNL、FUネットワーク言語	えふえぬえる、えふゆーねっとわーくげんご	FNL, FU network language				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45278	C		モデルインスタンス化	もでるいんすたんすか	model instantiation				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45279	C		MPEGビデオツールライブラリ、MPEG VTL	えむぴーいーじーびでおつーるらいぶらり、えむぴーいーじーぶいてぃーえ	MPEG video tool library, MPEG VTL				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45280	C		RVC、再構成可能ビデオ符号化	あーるぶいしー、さいこうせいかのうびでおふごうか	RVC, reconfigurable video coding				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45281	C		RVC-BSDL	あーるぶいしーびーえすでぃーえる	RVC-BSDL				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45282	C		トークン	とーくん	token				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45283	C		VTL、ビデオツールライブラリ	ぶいてぃーえる、びでおつーるらいぶらり	VTL, video tool library				ISO/IEC 23001-4	2009				2009	SC29
45284	A		文字	もじ	character	可視化表現(形状、大きさ、意匠など)、筆順、音、意味、起源、機能などを属性としてもつ情報表現要素。	JIS Z 8125	2004							
45285	A		字体	じたい	abstract letter shape	一つの漢字として認識される点画の抽象的な構成の在り方で、視覚的認識のために他の文字と明確に区別できる特徴を備えている。	JIS Z 8125	2004							
45286	A		グリフ	ぐりふ	glyph	個々のデザインの違いを除去した認知可能な抽象的図記号(JIS X 4161参照)。	JIS Z 8125	2004							
45287	A		合字、リガチャ	ごうじ、りがちゃ	composite glyph, logature	二つ以上のグリフの一部を融合し、一体化して一つのグリフとしたもの。	JIS Z 8125	2004							
45288	A		字形	じけい	letter from	文字について、手書き、印字、画面表示などによって実際に図形として表現したもの。	JIS Z 8125	2004							
45289	A		書体	しょたい	typeface	印字、画面表示などに使用するため、統一的な意図に基づいて作成された一組の文字又は記号の意匠。	JIS Z 8125	2004							
45290	A		フォント	ふぉんと	font	ある書体によって作成された字形の集合。	JIS Z 8125	2004							
45291	A		システムフォント	しすてむふぉんと	system font	システムソフトフォントに組み込まれたフォント。	JIS Z 8125	2004							
45292	A		作字	さくじ		複数の文字の部分を組み合わせるなどの方法により、新たな字形を作ること。	JIS Z 8125	2004							
45293	A		地紋	じもん		印刷領域の地の一部又は全部に付ける模様。	JIS Z 8125	2004							
45294	A		タイポグラフィ	たいぽぐらふぃ	typography	a) 文字印刷の方法。 b) 文字、又は文字及び画像を用いた印刷物の意匠及び設計。	JIS Z 8125	2004							
45295	A		組版	くみはん	composition	原稿及びレイアウトの指定に従って、文字・図版・写真などを配置する作業の総称。	JIS Z 8125	2004							
45296	A		ページ物	ぺーじもの		形式のほぼ一定した組体裁に基づき、面付の処理を経て作成される、ある程度のページ数のある印刷物。	JIS Z 8125	2004							
45297	A		端物	はもの		単一ページ、又は少数ページからなる印刷物の総称。	JIS Z 8125	2004							
45298	A		オンデマンド印刷	おんでまんどいんさつ	on-demand printing, demand printing	出版物、カタログなどをデジタルデータで保存しておき、必要なときに必要な部数だけ必要な人に必要な情報を印刷する方法(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45299	A		バリアブル印刷	ばりあぶるいんさつ	variable printing	可変データの印刷をすること。	JIS Z 8125	2004							
45300	A		CIP3	しっぷすりー	CIP3	International Cooperation for Integration of Prepress, Press and Postpressの短縮形。製版、印刷及び印刷後工程という印刷の全工程を統合し、その各工程間で処理及び管理のデータをやりとりすることを目指した国際的な広がりをもった業界活動及びそれが定め	JIS Z 8125	2004							
45301	A		CIP4	しっぷふぉー	CIP4	International Cooperation for Integration of Process in Prepress, Press and Postpressの短縮形。CIP3に工程管理を加えたもの。	JIS Z 8125	2004							
45302	A		欧文フォント	おうぶんふぉんと		ラテン文字を表示するフォント。	JIS Z 8125	2004							
45303	A		和文フォント	わぶんふぉんと	Japanese font	日本語を表示するフォント。	JIS Z 8125	2004							
45304	A		仮名フォント	かなふぉんと	kana font	平仮名及び/又は片仮名文字から構成される和文フォント。	JIS Z 8125	2004							
45305	A		数字フォント	すうじふぉんと	numeric font	アラビア数字から構成されるフォント。	JIS Z 8125	2004							
45306	A		中文フォント	ちゅうぶんふぉんと	Chinese font	中国語を表示するフォント。	JIS Z 8125	2004							
45307	A		ハングルフォント	はんぐるふぉんと	Hangul font	朝鮮語(チョソノ)のハングルを表示するフォント。	JIS Z 8125	2004							
45308	A		記号フォント	きごうふぉんと	sign font	約物及びその他の記号で構成されるフォント。	JIS Z 8125	2004							
45309	A		外字フォント	がいじふぉんと	gaiji font	外字で構成されるフォント。	JIS Z 8125	2004							
45310	A		パイフォント	ぱいふぉんと	pi font	通常の欧文フォントに含まれていない文字又は記号専用のフォント。	JIS Z 8125	2004							
45311	A		ファミリー、フォントファミリー	ふぁみりー、ふぉんとふぁみりー	family, font family	書体の設計において共通の起源をもつ、又は一定の様式をもたせてウェイト、字幅などに変化を付けたフォントの集合。	JIS Z 8125	2004							
45312	A		ウェイト	うぇいと	weight	書体における字形の画線の太さの指標。	JIS Z 8125	2004							
45313	A		立体、ローマン	りったい、ろーまん		直立した形に設計した欧文フォント。	JIS Z 8125	2004							
45314	A		イタリック	いたりっく	italic	右斜めに傾けて設計した欧文フォント。	JIS Z 8125	2004							
45315	A		正体	せいたい		直立の原形字形。	JIS Z 8125	2004							
45316	A		変形	へんけい	deforming	正体に対して縦又は横の一方向の拡大・縮小、傾けなどを施すこと、又は施したもの。	JIS Z 8125	2004							
45317	A		斜体	しゃたい	slant	変形の一つで、文字の横枠、縦枠のいずれか又は両者を斜めにしたもの。	JIS Z 8125	2004							
45318	A		長体	ちょうたい	narrow	変形の一つで、文字の横幅を縮小したもの。	JIS Z 8125	2004							
45319	A		平体	へいたい	wide	変形の一つで、文字の天地方向を縮小したもの。	JIS Z 8125	2004							
45320	A		(フォント情報管理の)送り	(ふぉんとじょうほうかんりの)おくり	escapement	フォントの設計の際に定められる隣接して並ぶ文字の対応する基準点間の変位。	JIS Z 8125	2004							
45321	A		フォントメトリク、フォント配置量	ふぉんとめとりく、ふぉんとはいちりょう	font metric	フォントに含まれるグリフ表現に共通する寸法情報を含む各種計量情報の総称(JIS X 4161及びJIS X 4162参照)。	JIS Z 8125	2004							
45322	A		グリフメトリク、グリフ配置量	ぐりふめとりく、ぐりふはいちりょう	gluph metric	一つの字形に固有の寸法情報を含む各種計量情報の総称(JIS X 4161及びJIS X 4162参照)。	JIS Z 8125	2004							
45323	A		字幅、セット	じはば、せっと	character width, set	配列する方向の文字の外枠の大きさ。一般に幅の絶対値を文字サイズで除した値で示す。単位には、エム、倍、分などが用いられる。	JIS Z 8125	2004							
45324	A		a-zレングス	えいぜっとれんぐす	a-z length	aからzまでの全文字の字幅の合計。	JIS Z 8125	2004							
45325	A		プロポーショナル	ぷろぽーしょなる	proportional	一つのフォント中で文字の字幅が一定でなく、文字ごとに独立した字幅の値をもっている	JIS Z 8125	2004							
45326	A		モノスペース	ものすぺーす	mono-space	和文フォントの各文字は、通常、モノスペースであり、正方形の仮想ボディにデザインさ	JIS Z 8125	2004							
45327	A		サイドベアリング	さいどべありんぐ	side bearing	欧文のグリフに外接する(矩)形の左端から文字の外側の左辺又は右端から文字の外側の右辺までの長さ。	JIS Z 8125	2004							
45328	A		ベースライン、並び線	べーすらいん、ならびせん	baseline	欧文フォントなどにおいて、フォント中の多くのグリフがその上でそろう、基本的な仮想の	JIS Z 8125	2004							
45329	A		xハイト	えっくすはいと	x-height	欧文フォントのベースラインからの小文字xの高さ(ISO TR 9544参照)。	JIS Z 8125	2004							
45330	A		ミーンライン	みーんらいん	mean line	欧文の小文字の高さを示すベースラインに平行な仮想の線。	JIS Z 8125	2004							
45331	A		キャップハイト	きゃっぷはいと	cap height	欧文フォントのベースラインからの大文字の高さ。	JIS Z 8125	2004							
45332	A		キャップライン	きゃっぷらいん	cap line	欧文の大文字の高さを示す仮想の線。	JIS Z 8125	2004							
45333	A		アセンダ	あせんだ	ascender	欧文小文字のb、d、f、h、k、l、などの文字の、xハイトよりも上に伸びている部分。	JIS Z 8125	2004							
45334	A		アセンダライン	あせんだらいん	ascender line	アセンダの最上部を示す、ベースラインに平行な仮想の線。	JIS Z 8125	2004							
45335	A		ディセンダ	でぃせんだ	descender	欧文小文字のg、j、p、q、yなどの文字の、ベースラインより下に伸びている部分。	JIS Z 8125	2004							
45336	A		ディセンダライン	でぃせんだらいん	descender line	ディセンダの最下端を示す、ベースラインに平行な仮想の線。	JIS Z 8125	2004							
45337	A		オーバーシュート、オーバハング	おーばしゅーと、おーばはんぐ	overshoot, overhang	欧文の大文字O、A、V、小文字o、c、vなどの、上部又は底部の円弧状又は鋭角的な部分を、ベースライン又はキャプライン若しくはミーンラインよりも少しははみ出して設計すること(JIS X 4163参照)。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45338	A		文字サイズ	もじさいず	character size	文字の大きさ。通常、文字の行送り方向の外枠又は仮想ボディの長さ。	JIS Z 8125	2004							
45339	A		ポイント	ぽいんと	point	文字サイズの単位。1ポイントは0.3514mmに等しい(JIS Z 8305参照)。	JIS Z 8125	2004							
45340	A		Q	きゅう	Q	文字サイズの単位。1Qは0.25mmに等しい。	JIS Z 8125	2004							
45341	A		全角	ぜんかく		a) 変形をかけない正方形の文字のサイズ。 b) a)に等しい長さの相対単位。	JIS Z 8125	2004							
45342	A		エム	えむ	em	文字サイズと等しい長さの相対単位(ISO TR 9544参照)。	JIS Z 8125	2004							
45343	A		二分、半角	にぶ(にぶん)、はんかく		全角の2分の1の長さ。	JIS Z 8125	2004							
45344	A		エン	えん		文字サイズの半分の幅(ISO TR 9544参照)。	JIS Z 8125	2004							
45345	A		三分	さんぶ(さんぶん)		全角の3分の1の長さ。	JIS Z 8125	2004							
45346	A		四分	しぶ(しぶん)		全角の4分の1の長さ。	JIS Z 8125	2004							
45347	A		仮想ボディ	かそうぼでぃ	imaginary body	一つの文字が占有する仮想的な(矩)形領域。	JIS Z 8125	2004							
45348	A		字面	じづら	face	字形の、実際に表示される領域。	JIS Z 8125	2004							
45349	A		ビットマップフォント	びっとまっぷふぉんと	bitmap font	字面を基盤の目状に分割し、その格子の各枡目の白黒を指定することによってグリフの形状を表現するフォント。	JIS Z 8125	2004							
45350	A		グレースケールフォント	ぐれーすけーるふぉんと	grayscale font	白・黒の2値以外に中間調も用いて文字形状を表現する方式のフォント。	JIS Z 8125	2004							
45351	A		ストロークフォント	すとろーくふぉんと	stroke font	グリフ形状を、その画線の骨格線のベクトルによって表現するフォント。	JIS Z 8125	2004							
45352	A		アウトラインフォント	あうとらいんふぉんと	outline font	文字の輪郭を数式で表示したフォント(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45353	A		ベジェ曲線	べじぇきょくせん	Bezier curve	アウトラインフォントの輪郭表現に用いられる曲線の一つ。設計者がイメージした曲線をコンピュータ上に近似させるには“内挿法”及び“近似法”があり、ベジェ曲線は近似法に属する。図で表せば次のようになる(図表あり)。	JIS Z 8125	2004							
45354	A		円すい(錐)曲線	えんすいきょくせん	conic curve	アウトラインフォントの輪郭表現に用いられる曲線の一つ。円すい(錐)の頂点を含まない平面で切断して得られる切断面図形。 切断の位置によって、円、だ(楕)円、放射線、及び双曲線になる。	JIS Z 8125	2004							
45355	A		スプライン曲線	すぷらいんきょくせん	spline curve	アウトラインフォントの輪郭表現に用いられる曲線の一つ。内挿法の代表的な近似曲線。点列を通過する曲線として定義される。一般に点列が多くなると式の次数が高くなり、デザインの意図とかけ離れてしまうこともあるため、範囲をいくつかに分割して、そのそれぞれに多項式を当てはめる。こうして得られる曲線をスプライン曲線という。	JIS Z 8125	2004							
45356	A		Bスプライン曲線	びーすぷらいんきょくせん	B-spline curve	アウトラインフォントの輪郭表現に用いられる曲線の一つ。Bスプライン基底関数を用いて生成した曲線。	JIS Z 8125	2004							
45357	A		グリフ座標系	ぐりふざひょうけい	glyph coordinate system	グリフの形状及びグリフ配置量を定義するのに用いる2次元デカルト座標系(JIS X 4161	JIS Z 8125	2004							
45358	A		ステム	すてむ	stem	グリフの形状を構成する主要な画線(JIS X 4163参照)。	JIS Z 8125	2004							
45359	A		ヒンディング	ひんでぃんぐ	hinting	グリフの均整及び特徴を保存するための、グリフの幾何形状に付加する手続き指定情報又は宣言的な指定情報(JIS X 4163参照)。	JIS Z 8125	2004							
45360	A		レンダリング	れんだりんぐ	rendering	文字の形を表す情報を、表示用メモリにどのように描画すればよいか準備すること。	JIS Z 8125	2004							
45361	A		ラスタ化	らすたか	rasterization	レンダリングにより変換されたデータを実際の表示用メモリに描画すること。	JIS Z 8125	2004							
45362	A		スケーリング	すけーりんぐ	scaling	フォントデータを表示するために、指示された表示サイズになるようにする処理。	JIS Z 8125	2004							
45363	A		塗りつぶし	ぬりつぶし	filling	輪郭線の内側すべてを指定した色にする処理。	JIS Z 8125	2004							
45364	A		スムージング	すむーじんぐ	sommthing	ジャギー又はそれ以外の不要な凹凸を除去し軽減する処理。	JIS Z 8125	2004							
45365	A		アンチエイリアス	あんちえいりあす	anti-aliasing	ジャギーを見かけ上滑らかにする技法の一つ。ジャギーが発生している輪郭部分の画素を中間色で補間することにより、ジャギーを目立たなくする処理。	JIS Z 8125	2004							
45366	A		キャッシング	きゃっしんぐ	caching	フォントデータの処理時間短縮のために、ラスタ化済みのデータを再利用する処理。	JIS Z 8125	2004							
45367	A		グレースケール	ぐれーすけーる	grayscale	単色の中間値を含めた階調表現のための多値データ。	JIS Z 8125	2004							
45368	A		黒み、組上り濃度	くろみ、くみあがりのうど	typographic color	表示されたフォントの相対的な太さによる視覚的な濃度。	JIS Z 8125	2004							
45369	A		(フォントデザインの)グリッド	(ふぉんとでざいんの)ぐりっど	grid	字形を構成する輪郭線上のデータ点を置くために定義する格子。	JIS Z 8125	2004							
45370	A		グリッドサイズ	ぐりっどさいず	grid size	字形を構成する輪郭線上のデータ点の間の最小間隔。	JIS Z 8125	2004							
45371	A		原字	げんじ	artwork	書体設計者が作成した文字図形。	JIS Z 8125	2004							
45372	A		デジタイジング	でじたいじんぐ	digitizing	アナログ原字から文字のデジタルデータを作ること。	JIS Z 8125	2004							
45373	A		フィッティング	ふぃってぃんぐ	fitting	アウトラインフォントの作成において、原字又はそのラスタ化されたデータに忠実に直線又は曲線を当てはめること。	JIS Z 8125	2004							
45374	A		(フォントの)補間	(ふぉんとの)ほかん	interpolation	複数の形状情報から、その中間的形状を生成すること。	JIS Z 8125	2004							
45375	A		印刷書体	いんさつしょたい		(分類名)	JIS Z 8125	2004							
45376	A		和文書体	わぶんしょたい		日本語を表示するための書体。	JIS Z 8125	2004							
45377	A		欧文書体	おうぶんしょたい		ラテン文字で綴られる言語を表示するための書体。	JIS Z 8125	2004							
45378	A		本文書体	ほんぶんしょたい		書籍、雑誌などの本文に使うことを目的とした書体。	JIS Z 8125	2004							
45379	A		見出し書体	みだししょたい	display typeface	見出しに使うことを目的とした書体。	JIS Z 8125	2004							
45380	A		新聞書体	しんぶんしょたい	newspaper typeface	新聞の本文、見出しなどで使うことを目的とした書体。	JIS Z 8125	2004							
45381	A		モジュール	もじゅーる	module	欧文書体をデザインするときの基準となる寸法の集合。	JIS Z 8125	2004							
45382	A		ストローク	すとろーく	stroke	一筆で書ける文字の部分。	JIS Z 8125	2004							
45383	A		エレメント	えれめんと	element	字形を構成する要素。	JIS Z 8125	2004							
45384	A		漢字のエレメント	かんじのえれめんと		漢字の字形を構成する要素。	JIS Z 8125	2004							
45385	A		仮名のエレメント	かなのえれめんと		仮名の字形を構成する要素。	JIS Z 8125	2004							
45386	A		欧文のエレメント	おうぶんのえれめんと		欧文の字形を構成する要素。	JIS Z 8125	2004							
45387	A		組方向	くみほうこう		横組又は縦組。	JIS Z 8125	2004							
45388	A		横組	よこぐみ	horizonatal composition	行においては文字を水平方向に左から右へ、ページにおいて行を上から下へ、段を左から右へ配列すること。また、そのように文字が配置された状態。	JIS Z 8125	2004							
45389	A		縦組	たてぐみ	vertical composition	行においては文字を垂直方向に上から下へ、ページにおいて行を右から左へ、段を上から下へ配列すること。また、そのように文字が配置された状態。	JIS Z 8125	2004							
45390	A		アキ	あき	space	隣接する文字又は隣接する行の間隔。	JIS Z 8125	2004							
45391	A		スペーシング	すぺーしんぐ	spacing	欧文のワードスペース及び/又は行間をあけること。	JIS Z 8125	2004							
45392	A		字間	じかん	letter space	同一行の隣接する二つの文字の仮想ボディの間隔。	JIS Z 8125	2004							
45393	A		字間調整	じかんちょうせい	letter spacing	字間を変化させること。	JIS Z 8125	2004							
45394	A		字送り	じおくり		同一行の隣接する文字同士の基準点から基準点までの距離。	JIS Z 8125	2004							
45395	A		ベタ組	べたぐみ	solid, solid matter	字間を空けずに仮想ボディを接して文字を配置すること。	JIS Z 8125	2004							
45396	A		アキ組	あきぐみ		字間に一定のアキを入れて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45397	A		均等割り	きんとうわり	equal space	字間を均等に空け、文字列の両端を行頭及び行末にそろえること。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45398	A		字取り	じどり		使用文字サイズの倍数で指定した長さの両端に文字列の先頭と最後尾をそろえて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45399	A		トラッキング	とらっきんぐ	tracking	ベタ組みの字送りより、字送りを全体的に変更する機能。欧文では、個々の文字がもつ固有の字送りより、全体的に字送りを変更すること。	JIS Z 8125	2004							
45400	A		カーニング	かーにんぐ	kerning	固有の字幅と異なる字幅。(通常は、固有の字幅より狭い。)を用いて文字の送りをし、字間を調整すること。	JIS Z 8125	2004							
45401	A		詰め組	つめぐみ		ベタ組より字送りを詰めて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45402	A		仮名詰	かなつめ	kana-tracking, kana-	仮名と隣接する文字との字間をベタ組より詰めて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45403	A		均等詰	きんとうつめ		ベタ組より字間を一定量詰めて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45404	A		食込み詰	くいこみつめ		文字のふところ、字面領域内まで詰めて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45405	A		字面詰	じづらつめ		仮名や約物などの字面が重ならない程度まで詰めて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45406	A		和欧間スペース	わおうかんすぺーす		和欧混植における、隣接する和文部分と欧文部分とのアキ。	JIS Z 8125	2004							
45407	A		ワードスペース、(欧文の)語間	わーどすぺーす、(おうぶんの)ごかん	word soace	欧文における単語と単語とのアキ。	JIS Z 8125	2004							
45408	A		分ち組	わかちぐみ		文字を構成する語やその上位の構成要素を単位として、それぞれの間にアキを入れて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45409	A		行	ぎょう	line	(分類名)	JIS Z 8125	2004							
45410	A		行幅	ぎょうはば		同一行の最も大きな文字サイズの文字における仮想ボディの行送り方向の長さ。	JIS Z 8125	2004							
45411	A		行間	ぎょうかん		隣接する行の最も大きな文字サイズの文字の仮想ボディ間の距離。	JIS Z 8125	2004							
45412	A		行送り	ぎょうおくり	line feed	隣接する行同士の基準点から基準点までの距離。	JIS Z 8125	2004							
45413	A		行長	ぎょうちょう	line length	行そろえをして組まれた文字行の長さ(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45414	A		字詰	じづめ		行長を文字サイズの倍数で指定する場合の文字数。	JIS Z 8125	2004							
45415	A		改行	かいぎょう	line feed, line break	行を改めること。	JIS Z 8125	2004							
45416	A		行頭	ぎょうとう	line head	一つの行の始まる位置。	JIS Z 8125	2004							
45417	A		天付き	てんつき		a) 行頭に位置した括弧類に二分の字幅のものなどを使用して、隣接する行の行頭とそろえること。 b) 段階最初の行において行頭の字下げを行わないで、隣接する行の行頭とそろえるこ	JIS Z 8125	2004							
45418	A		字下げ	じさげ	indent	行頭の位置を行末方向に移すこと。	JIS Z 8125	2004							
45419	A		行末	ぎょうまつ	line end	一つの行の終わる位置。	JIS Z 8125	2004							
45420	A		字上げ	じあげ	indent	行末の位置を行頭方向に移すこと。	JIS Z 8125	2004							
45421	A		行取り	ぎょうどり		見出しなどを配置する領域の行送り方向の大きさを行単位で確保すること。	JIS Z 8125	2004							
45422	A		字詰方向	じづめほうこう		1行の中で、一つの文字から次の文字へと続く方向。	JIS Z 8125	2004							
45423	A		行送り方向	ぎょうおくりほうこう		一つの行が次の行へと続く方向。	JIS Z 8125	2004							
45424	A		そろえ	そろえ		(分類名)	JIS Z 8125	2004							
45425	A		上そろえ	うえそろえ		a) 横組の場合に文字の上辺をそろえて配置する方法。 b) 縦組の場合の行頭そろえ。	JIS Z 8125	2004							
45426	A		下そろえ	したそろえ		a) 横組の場合に文字の下辺をそろえて配置する方法。 b) 縦組の場合の行末そろえ。	JIS Z 8125	2004							
45427	A		左そろえ	ひだりそろえ	b) flush left	a) 縦組の場合に文字の左辺をそろえて配置する方法。 b) 横組の場合の行頭そろえ。	JIS Z 8125	2004							
45428	A		右そろえ	みぎそろえ	b) flush right	a) 縦組の場合に文字の左辺をそろえて配置する方法。 b) 横組の場合の行末そろえ。	JIS Z 8125	2004							
45429	A		ベースラインそろえ	べーすらいんそろえ		欧文における、ベースラインをそろえて配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45430	A		行頭行末そろえ	ぎょうとうぎょうまつそろえ		各行の最初の文字を行頭にそろえ、かつ各行の最後の文字を行末にそろえて配置する	JIS Z 8125	2004							
45431	A		行頭そろえ	ぎょうとうそろえ		文字列の最初の文字を行頭の位置に合わせること。	JIS Z 8125	2004							
45432	A		行末そろえ	ぎょうまつそろえ		文字列の最後の文字を行末の位置に合わせること。	JIS Z 8125	2004							
45433	A		中央そろえ	ちゅうおうそろえ		文字列の中央を、行頭と行末との中央の位置に合わせること。	JIS Z 8125	2004							
45434	A		ラグ組	らぐぐみ		ベタ組で行頭はそろえるが、行末はそろえないで文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45435	A		禁則処理	きんそくしょり		行頭禁則、行末禁則、分離(分割)禁止などの禁則を避けるために行われる処理。	JIS Z 8125	2004							
45436	A		行頭禁則	ぎょうとうきんそく	line head wrap	行頭に特定の文字を置くことを禁止する規則。	JIS Z 8125	2004							
45437	A		行末禁則	ぎょうまつきんそく	line end wrap	行末に特定の文字を置くことを禁止する規則。	JIS Z 8125	2004							
45438	A		分離分割禁止、分離禁止	ぶんりぶんかつきんし、ぶんりきんし		a) 特定の文字の組の文字間にアキを入れることを禁止すること。 b) 特定の文字の組の文字間で改行にすることを禁止すること。	JIS Z 8125	2004							
45439	A		追込み処理	おいこみしょり		禁則処理の一つの方法であって、約物の前後などを詰めて行頭行末そろえをすること。	JIS Z 8125	2004							
45440	A		追出し処理	おいだししょり		禁則処理の一つの方法であって、字間をさげて行頭行末そろえをすること。	JIS Z 8125	2004							
45441	A		ぶら下げ組	ぶらさげぐみ	hanging punctuation	行等に位置した和文の句読点を1文字だけ前行の行末文字の次に指定された行長を超えて配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45442	A		ハイフネーション	はいふねーしょん	hyphenation	欧文組版において、2行に分かれた単語の前半部の最後にハイフンを挿入すること。	JIS Z 8125	2004							
45443	A		ワードラップ	わーどらっぷ	word wrap	欧文の言語が2行に分割されないようにする機能。	JIS Z 8125	2004							
45444	A		イニシャル組	いにしゃるぐみ	initial	強調したり、飾るために、文章の最初の文字に花文字、大きな文字などを使用して処理する方法。	JIS Z 8125	2004							
45445	A		ウィドウ	ういどう	widow	欧文組版において、2単語程度である段階の最終行が、新しいページ又は段の第1行目にくること。	JIS Z 8125	2004							
45446	A		添え字	そえじ	superscript, subscript, superior, inferior	文字のそばに付ける上付き文字又は下付き文字。	JIS Z 8125	2004							
45447	A		上付き文字	うわつきもじ	superior character(letter, figure), superscript	小さい字面の文字で、通常の大きさの文字の右肩又は左肩に付けて配置する文字。	JIS Z 8125	2004							
45448	A		下付き文字	したつきもじ	inderior character(letter, figure), subscript	小さい字面の文字で、通常の大きさの文字の右下又は左下に付けて配置する文字。	JIS Z 8125	2004							
45449	A		下線	かせん	under line	横組において、文字又は文字列の下に引いた線。	JIS Z 8125	2004							
45450	A		傍線	ぼうせん		縦組において、文字又は文字列の右又は左に引いた線。	JIS Z 8125	2004							
45451	A		取り消し線	とりけしせん		文字又は文字列の取り消し、削除などを示すために、文字又は文字列の中心付近の字詰め方向に引いた線。	JIS Z 8125	2004							
45452	A		圏点	けんてん	ken dot	文字のそばに付けて注意を促したり、その部分を強調したりするしるし。	JIS Z 8125	2004							
45453	A		親文字	おやもじ		ルビ、添え字又は圏点が付けられたとき、その対象となる文字。	JIS Z 8125	2004							
45454	A		ルビ	るび	ruby	文字及び語のそばに付けてその読み、意味などを示す小さな文字。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45455	A		肩付きルビ	かたつきるび		縦組において、ルビを親文字の右肩に付けて配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45456	A		中付きルビ	なかつきるび		縦組の場合は親文字の天地中央に、横組の場合は親文字の左右中央にルビを付けて配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45457	A		グループルビ	ぐるーぷるび		語全体にかかるように均等間隔にルビを付けて配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45458	A		モノルビ	ものるび		親文字の1字ごとに対応してルビを付けて配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45459	A		総ルビ	そうるび		文中のすべての漢字にルビを付けること。	JIS Z 8125	2004							
45460	A		パラルビ	ぱらるび		文中の一部の漢字だけにルビを付けること。	JIS Z 8125	2004							
45461	A		インライングラフィック	いんらいんぐらふぃっく	inline graphic	本文の一部として文字と文字との間に挿入された画像。	JIS Z 8125	2004							
45462	A		縦中横	たてちゅうよこ		縦組の行中で、文字を縦向きのまま横組にする(文字を縦向きのまま水平方向に左から右へ配置する)こと。	JIS Z 8125	2004							
45463	A		タブ	たぶ	tab	a) 文字をそろえる位置を設定する機能。 b) 行中の指定された位置に、文字を合わせて配置すること。	JIS Z 8125	2004							
45464	A		混植	こんしょく		a) 和文と欧文とを併用して組版すること(和欧混植)。 b) 異なる大きさの文字を併用して組版すること(異サイズ混植)。 c) 異なる書体を使用して組版すること(異書体混植)。	JIS Z 8125	2004							
45465	A		組体裁	くみていさ	page format	書籍・雑誌などの基本的なページの体裁。	JIS Z 8125	2004							
45466	A		棒組	ぼうぐみ	in slip	文字サイズ・書体・1行の文字数・行間だけを決めて、図版、表、柱、ノンブルの配置などのページの体裁についての処理は行わないで組版すること。	JIS Z 8125	2004							
45467	A		大組	おおぐみ	makeup	棒組、見出し、図版などを新聞1ページにまとめ上げること。	JIS Z 8125	2004							
45468	A		(レイアウト・組版の)グリッド	(れいあうと・くみはんの)ぐりっど	grid	文字、写真、図版などを整然と配置するレイアウト又は組版を行うため、一定の設計に基づいてページ上に配置された仮想の線で構成された格子。	JIS Z 8125	2004							
45469	A		グリーキング	ぐりーきんぐ	greeking	a) カンプの組体裁見本作成、又は欧文書体の見本組作成のときに使用する、特に意味をもたせていない文章。 b) DTPでは、画面の書き換え時間を短縮するため、必要としない文字又は画像部分をグレーに置き換えること。	JIS Z 8125	2004							
45470	A		ページ	ぺーじ	page	本などを構成する1枚の紙の片面。	JIS Z 8125	2004							
45471	A		見開き	みひらき	spread, double spread, double-page spread, two-page spread, double truck	本などを開いたときの両面のページ。	JIS Z 8125	2004							
45472	A		ページネーション	ぺーじねーしょん	pagination	a) ページごとに組版をまとめ上げ、出力すること。 b) ノンブルを付けること c) 書籍の前付、本文及び後付の構成順序。	JIS Z 8125	2004							
45473	A		本文組	ほんぶんぐみ(ほんもんぐ		本文ページの基本となる組版。	JIS Z 8125	2004							
45474	A		版面	はんめん(はんづら)	type page	本の1ページ内の、周囲の余白を除いた部分の印刷面。	JIS Z 8125	2004							
45475	A		余白	よはく	margin	本の1ページ内の印刷された版面を除く天地左右、周辺の白い空白部分。	JIS Z 8125	2004							
45476	A		マスターページ	ますたーぺーじ	master page	使用する文字サイズ・行長・行数・段数・段間などの版面情報、版面位置、ノンブル・柱など複数ページのレイアウトに共通の情報など本の基本的なページの体裁を設定したペー	JIS Z 8125	2004							
45477	A		テンプレート	てんぷれーと	template	文書の基本的な構成要素、書式情報などを設定したもので、新規文書を作成する際にベースとして使用するひな型。	JIS Z 8125	2004							
45478	A		ガイドライン	がいどらいん	guide line	レイアウトの位置合せや、ページ内に配置するものを移動しやすくするために画面に表示される線。	JIS Z 8125	2004							
45479	A		丁	ちょう	leaf	本の中身を構成している紙葉を数える単位。裏表の2ページ1枚を1丁と数える。	JIS Z 8125	2004							
45480	A		ノンブル	のんぶる	page number	印刷物の各ページの順序を示すために付けてある番号。	JIS Z 8125	2004							
45481	A		通しノンブル	とおしのんぶる		a) 書籍の前付・本文・後付を通して一連のノンブルを付けること。 b) 追い丁と同じ。	JIS Z 8125	2004							
45482	A		別ノンブル	べつのんぶる		前付ページ又は後付けページと本文ページとに別の順序付けを行うノンブルを付けるこ	JIS Z 8125	2004							
45483	A		隠しノンブル	かくしのんぶる	blind folio	a) ページ数には数えるが、特定のページに対して意図的にノンブルを印刷しないこと。 b) のどの側に寄せるなどして、目立たない位置に付けるノンブル。	JIS Z 8125	2004							
45484	A		逆ノンブル	ぎゃくのんぶる		巻末の方からページの番号を開始するノンブル。	JIS Z 8125	2004							
45485	A		追い丁	おいちょう	serial pagination	分冊して刊行されるそう(叢)書などで、それら全体を通して一連のノンブルを付けること。また、定期刊行物での各号ごとのノンブルとは別に1年分を通したノンブルを併記するこ	JIS Z 8125	2004							
45486	A		仮ノンブル	かりのんぶる		既に組版が行われている部分の散逸又はページの入り乱れを防ぐため、章・節単位などのある程度まとまったページごとに仮に付けるノンブル。	JIS Z 8125	2004							
45487	A		柱	はしら	running head, header	各ページの版面外に記載された署名・章名・節名など。	JIS Z 8125	2004							
45488	A		片柱	かたばしら		柱を奇数ページだけに掲げること。	JIS Z 8125	2004							
45489	A		両柱	りょうばしら		柱を奇数・偶数両ページに掲げること。	JIS Z 8125	2004							
45490	A		改丁	かいちょう	new recto	奇数ページから新規に見出しなどを始めること。	JIS Z 8125	2004							
45491	A		改ページ	かいぺーじ	page break	奇数ページ・偶数ページに関わらず、ページの途中であっても次の文章・見出しなどを次のページから新しく始めること。	JIS Z 8125	2004							
45492	A		改段	かいだん		段を改めること。	JIS Z 8125	2004							
45493	A		段組	だんぐみ	column composition	連続する1系列の文章を1ページの中で、字詰め方向において、二つ以上の部分(段)に分割し、各部分の間には空白(段間)を設けて文字を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45494	A		段	だん	column	段数において、分割された1区分。	JIS Z 8125	2004							
45495	A		段数	だんすう		1ページ内に配置される段の数。	JIS Z 8125	2004							
45496	A		段間	だんかん		段組と段と段との間の空き。	JIS Z 8125	2004							
45497	A		段抜き	だんぬき	full measure	段組のページのおいて、見出し、図版などを複数段にまたがって配置すること。	JIS Z 8125	2004							
45498	A		同行見出し	どうぎょうみだし		見出しの次に改行を入れることなく、文章を続けるもの。	JIS Z 8125	2004							
45499	A		別行見出し	べつぎょうみだし		本文とは別の行に配置した見出し。	JIS Z 8125	2004							
45500	A		注の組版	ちゅうのくみはん		(分類名)	JIS Z 8125	2004							
45501	A		後注	こうちゅう	endnote	本文の編・章・節・段落などの区分の終わり又は巻末にまとめて入れる注釈。	JIS Z 8125	2004							
45502	A		脚注	きゃくちゅう	footnote	ページの下部に、本文よりも小さなページで組まれた注釈(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45503	A		割注	わりちゅう	cutting note, inline note	本文中で、複数行に割書きした注釈。割注には、割書きを囲む括弧類を含む。	JIS Z 8125	2004							
45504	A		頭注	とうちゅう	headnote	版面の上部に組み入れた注釈。	JIS Z 8125	2004							
45505	A		傍注	ぼうちゅう	side note, marginal note	版面の小口(前小口)寄りに配置する注釈。	JIS Z 8125	2004							
45506	A		振分け	ふりわけ		1行の中に、複数の行からなる文章を配置する方法。	JIS Z 8125	2004							
45507	A		箇条書き	かじょうがき	itemization	順序付き、又は順序を明示することなく項目を列挙すること。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45508	A		表組	ひょうぐみ	table work	数字、文字などから成るデータ項目を一覧しやすい形式に配列する(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45509	A		こま(小間)	こま	cell	表組の隣り合う2本の横罫と隣り合う2本の縦罫に囲まれた領域。	JIS Z 8125	2004							
45510	A		キャプション	きゃぷしょん	caption	写真、図版、表などにそえる標題や簡潔な説明文。	JIS Z 8125	2004							
45511	A		罫線	けいせん	rule	(分類名)	JIS Z 8125	2004							
45512	A		表罫	おもてけい		0.1mm程度の太さの実線。	JIS Z 8125	2004							
45513	A		裏罫	うらけい		0.4mm程度の太さの実線。	JIS Z 8125	2004							
45514	A		中細罫	ちゅうぼそけい		表罫と裏罫との中間で0.25mm程度の太さの実線。	JIS Z 8125	2004							
45515	A		囲み罫	かこみけい	border, border line	文字列などを囲んだ罫線。	JIS Z 8125	2004							
45516	A		箱組	はこぐみ	box	コラムなどを、本文とは別の四角な領域内などに配置すること。	JIS Z 8125	2004							
45517	A		固定ブロック	こていぶろっく		特定の場所に、図版、表組などを入れるために指定された大きさで確保した領域。	JIS Z 8125	2004							
45518	A		浮動ブロック	ふどうぶろっく		文章の移動に伴って自動的に移動する図版、表組などを入れるために確保した領域。	JIS Z 8125	2004							
45519	A		流し込み	ながしこみ	flow	図版、表組、箱組などのブロックを配置した後、それらのブロック以外の領域に文字、画像などを配置すること。	JIS Z 8125	2004							
45520	A		かべ	かべ		段組において、版面の中に入れた段抜きの図版・表組などを壁にたとえ、その手前で文章の行の流れを折り返すこと。	JIS Z 8125	2004							
45521	A		飛越し	とびこし		段組において、版面の中に入れた段抜き図版・表組などの手前で文章の行の流れを折り返すことなく、そのまま先へ文章の行の流れを続けること。	JIS Z 8125	2004							
45522	A		泣き別れ	なきわかれ		1つにまとまっていなければならないブロック又は文章が別々のページ又は段に配置され	JIS Z 8125	2004							
45523	A		回り込み	まわりこみ		図版、表組などを配置するために確保した領域の字詰め方向の余白に本文を組み込む	JIS Z 8125	2004							
45524	A		アンカー	あんかー	anchor	本文とともに動くことができるように、浮動ブロックなどを本文の中に貼り込むための関係	JIS Z 8125	2004							
45525	A		製版	せいはん	prepress	印刷版を作成するための工程。文字組版、集版、面付、校正及び刷版まで含める。	JIS Z 8125	2004							
45526	A		ポジ、陽画	ぽじ、ようが	positive	被写体と同じ明暗をもつ画像。	JIS Z 8125	2004							
45527	A		ネガ、陰画	ねが、いんが	negative	被写体と明暗及び色相が逆転した画像。	JIS Z 8125	2004							
45528	A		反転	はんてん	reversing, mirroring	a) ネガをポジに、又はポジをネガにすること。 b) 左右で画像を逆転すること。	JIS Z 8125	2004							
45529	A		解像度	かいぞうど	resolution	画像の細部をどの程度まで表現できるかを示す尺度。例えば、1mm当たりの表現本数で表す(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45530	A		線画	せんが	line drawing, line art	階調のない図柄。	JIS Z 8125	2004							
45531	A		ビットマップ画像	びっとまっぷがぞう	bitmap image	画像を基盤の目状に分割し、その格子の各升目に階調をもたせて表現した画像。	JIS Z 8125	2004							
45532	A		ベクトルデータ	べくとるでーた	vector data	文字又は図形の始点と終点を決めて、その間をベクトルで結んで表現されたデータ。	JIS Z 8125	2004							
45533	A		ラスタデータ	らすたでーた	raster data	ベクトルデータを変換してできる出力用のビットマップデータ。	JIS Z 8125	2004							
45534	A		リップ、RIP	りっぷ、RIP	RIP	文字及び画像データが記述されたデータを受け取り、プリンタなどの出力機、表示装置などに描画するために出力機器の解像度にあった出力用データにラスタ化する装置。Raster Image Processorの短縮形。	JIS Z 8125	2004							
45535	A		プリフライト	ぷりふらいと	preflighting	リップ処理するのに必要な文字、画像などがデータとしてそろっているか、又は解像度、特色などの指定が出力条件とあっているかを、リップ処理前にチェックする工程。	JIS Z 8125	2004							
45536	A		スキャン	すきゃん	scan	原稿濃度を電気信号に変換するため、表面を光の点又は線でなぞること。	JIS Z 8125	2004							
45537	A		トーン、調子	とーん、ちょうし	tone	画像のもっている濃淡。	JIS Z 8125	2004							
45538	A		トーンカーブ	とーんかーぶ	tone curve	原稿濃度を横軸、複製物の網点面積率又は再現濃度を縦軸にとったトーンの再現曲線	JIS Z 8125	2004							
45539	A		トーンリプロダクション	とーんりぷろだくしょん	tone reproduction	原稿のもつ各トーンが、複製印刷物に再現されている程度又は性質。	JIS Z 8125	2004							
45540	A		トーンコントロール	とーんこんとろーる	tone control	スキャンニング及びハーフトーニングにおいて、原稿のハイライト、中間調、車道などのトーンを個々に変化させることにより、トーンを調整すること。	JIS Z 8125	2004							
45541	A		トーンジャンプ、デンシティジャンプ	とーんじゃんぷ、でんしていじゃんぷ	tone jump	画像の連続階調をハーフトーン画像に変換したときに、又はグラデーションにおいて連続性に不自然な変化があること。	JIS Z 8125	2004							
45542	A		ガンマ補正	がんまほせい	gamma correction	画像の階調の応答特性を表すガンマ値(γ)を利用し、入力値をガンマ値(又は1/ガンマ)乗したものを出力値とするような変換を用いて、入出力装置の特性に応じた最適のトーンカーブが得られるように補正すること。	JIS Z 8125	2004							
45543	A		硬調	こうちょう	high contrast	a) 写真のコントラストが強く、濃淡の差が大きい状態。 b) コントラストが強い写真。	JIS Z 8125	2004							
45544	A		軟調	なんちょう	low contrast	a) 写真のコントラストが弱く、濃淡の差が少ない状態。 b) コントラストが弱い写真。	JIS Z 8125	2004							
45545	A		シャドウ	しゃどう	shadow	画像のトーンのある部分で、暗い部分をいう。	JIS Z 8125	2004							
45546	A		ハイライト	はいらいと	highlight	画像のトーンのある部分で、明るい部分をいう。	JIS Z 8125	2004							
45547	A		中間調	ちゅうかんちょう	midtone	画像のトーンのある部分で、ハイライトとシャドウの中間部をいう。	JIS Z 8125	2004							
45548	A		階調	かいちょう	gradation	画像の濃淡の変化。	JIS Z 8125	2004							
45549	A		グラデーション	ぐらでーしょん	a) gradation b) vignette	a) 階調のこと。 b) 図形の中で、特定の方向に向かって色が連続的に変化する画像。	JIS Z 8125	2004							
45550	A		連続階調	れんぞくかいちょう	continuous tone	写真、絵画などのように、網点を用いないで表現した階調(JIZ Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45551	A		ハーフトーン	はーふとーん	halftone	網点などによる擬似階調表現。	JIS Z 8125	2004							
45552	A		網点	あみてん	halftone dot, dot	階調のある文字、図版、写真などを表現する場合において、主に規則的に配列された点群(形状は円、四角、だ円などがある)の面積変化に置き換えて擬似階調表現をするとき	JIS Z 8125	2004							
45553	A		網点面積率	あみてんめんせきいつ	tone values	ハーフトーンにおいて、網点面積が単位面積に占める割合。	JIS Z 8125	2004							
45554	A		網線数、スクリーン線数	あみせんすう、すくりーんせんすう	screen ruling	ハーフトーニングの細かさを表す単位で、1cm又は2.54cm当たりに配列されている網点の列の数。	JIS Z 8125	2004							
45555	A		網角度、スクリーン角度	あみかくど、すくりーんかく	screen angle	垂直線に対する網点の並びの角度。	JIS Z 8125	2004							
45556	A		色	いろ	color	有彩色成分と無彩色成分との組合せからなる視知覚の属性。この属性は、黄、オレンジ、赤、ピンク、緑、青、紫などの有彩色名、若しくは白、灰、黒などの無彩色名を、明るい、暗いなどで修飾したもの、又はこれらの色名の組合せで記述される。三刺激値のように、算出手法が規定された3個の数値による色刺激の表示。JIS Z 8105参照。	JIS Z 8125	2004							
45557	A		色濃度	いろのうど	color density	写真、印刷物などの色の濃淡を数量的に表したもの。	JIS Z 8125	2004							
45558	A		カラーマネージメントシステム	からーまねーじめんとしすてむ	color management system	入出力機器ごとの色空間の変換用テーブルを用意し、これに従って色空間を変換することで、入出力機器間での色の整合性を図ること。	JIS Z 8125	2004							
45559	A		カラープロファイルフォーマット	からーぷろふぁいるふぉーまっと	color profile format	入力機器又は出力機器が備える色変換プロセスの特性を表現するためのデータ記述様式。	JIS Z 8125	2004							
45560	A		色分解	いろぶんかい	color separation	多色印刷などで、元の色画像又は被写体から二つ以上の原色の明暗を表す画像を作る	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45561	A		UCR	ゆーしーあーる	UCR	Under Color Removalの短縮形。画像のシャドウ部で、イエロー、マゼンタ及びシアンの3色インキが刷り重なるグレー成分の一部を、ブラックインキに代用させる手法のこと。	JIS Z 8125	2004							
45562	A		GCR	じーしーあーる	GCR	Gray Component Replacementの短縮形。ハイライトからシャドウまでのグレー成分を、すべてブラックインキに置きかえることで表現する手法。	JIS Z 8125	2004							
45563	A		グレーバランス	ぐれーばらんす	gray balance	イエロー、マゼンタ、シアンを刷り重ねたときに、無彩色が得られる3色インキのつり合い(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45564	A		カラーマッチング	からーまっちんぐ	color matching	基準画像と処理画像を比較したとき、両画像の階調又は色再現が、測色値又は見え方で同じになるようにする処理。	JIS Z 8125	2004							
45565	A		色修正	いろしゅうせい	color correction	画像を希望の色再現になるように修正すること。	JIS Z 8125	2004							
45566	A		モアレ	もあれ	moire	点又は線が幾何的に規則正しく分布されたものを重ね合わせるとき生じる干渉模様(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45567	A		ロゼットパターン	ろぜっとぱたーん	rosette pattern	多色印刷で網角度の違う網点刷り重なった時に発生する最小モアレパターン。	JIS Z 8125	2004							
45568	A		プロセスインキ	ぷろせすいんき	process ink	カラー印刷に用いる(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)及びブラック(K)のインキの一組(JIZ Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45569	A		特色	とくしょく	spot color, special color	プロセスインキ以外のインキ。	JIS Z 8125	2004							
45570	A		ダブルトーン	だぶるとーん	duotone, duograph, duplex halftone	1枚の写真原稿から違った階調の版を取りだし、網角度を変えて2色又は濃淡の異なるインキで刷り重ねる技法。	JIS Z 8125	2004							
45571	A		色(インキ)見本	いろ(いんき)みほん	color swatch	印刷時の刷り色指定用の色の見本を、指定のインキで刷ったもの。	JIS Z 8125	2004							
45572	A		分版出力	ぶんぱんしゅつりょく	separation output	編集用のソフトウェアで分版する場合と、リップで分版する場合がある。	JIS Z 8125	2004							
45573	A		レタッチ	れたっち	retouching	印刷複製物の色・階調・キズなどを修正する目的で行う製版工程中の作業(JIS Z 8123	JIS Z 8125	2004							
45574	A		シャープネス効果	しゃーぷねすこうか	sharpness effect	画像のトーンを変えないで、輪郭部の濃淡を増減することで輪郭を強調し、見かけ上シャープに見えるようにする効果。	JIS Z 8125	2004							
45575	A		平網	ひらあみ	halftone tint	網点などを利用した視覚的に均一な濃度に見えるパターン。	JIS Z 8125	2004							
45576	A		網伏せ	あみふせ	tint laying	線画領域を平網、グラデーションなどで埋めること。	JIS Z 8125	2004							
45577	A		集版	しゅうはん	page make up, assembly	文字・図形・画像などの版面構成要素を指定に従って位置決めし、ページ又は単位面積にとりまとめること(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45578	A		アタリ罫、アタリ	あたりけい、あたり	guide line, key line	a) レイアウト指定、版下などで、本文、見出し、図版、写真などの位置及び大きさを指定するための線。 b) 当該罫線が指示用であり、印刷されない罫であることを示す指定用語。	JIS Z 8125	2004							
45579	A		毛抜き合い	けぬきあい	butting	隣り合う画像、文字、網伏せした図形などを、すき間なしに配置すること。	JIS Z 8125	2004							
45580	A		トラッピング	とらっぴんぐ	trapping	印刷条件などによる見当ずれに起因して、写真、平網、図版、文字などの隣接する部分に白色部又は違う色が出るのを防ぐ目的で、隣接部分にわずかに重複部分を作ること。	JIS Z 8125	2004							
45581	A		ノセ	のせ	overprint	文字又は罫線を他の色版に刷り重ねる処理。	JIS Z 8125	2004							
45582	A		白抜き	しろぬき	transposition, reverse	黒又は他の色で印刷された画像領域の中に、文字又は図柄を白又は紙の生地色にする	JIS Z 8125	2004							
45583	A		見当	けんとう	register	表裏、多色印刷の各色、折り、裁断などを合わせる位置。	JIS Z 8125	2004							
45584	A		見当合せ	けんとうあわせ	registering	見当を合わせること。	JIS Z 8125	2004							
45585	A		見当ずれ	けんとうずれ	out of register, misregister	適正位置に印刷又は加工されないこと。	JIS Z 8125	2004							
45586	A		台	だい	form	a) 一度に印刷機で印刷できるページ数の単位、又は印刷物の総量を表示する単位。 b) 折丁を数える単位。 c) 製版において、折丁の片面のページを数える単位。	JIS Z 8125	2004							
45587	A		台割	だいわり	table of form	1度に印刷するページ数を1単位(1台)とし、総ページを折丁の単位で分割し整理するこ	JIS Z 8125	2004							
45588	A		面付	めんつけ	imposition, image	印刷用の版を作成するため、ページを付け合せすること。	JIS Z 8125	2004							
45589	A		多面付け	ためんつけ	step and repeat imposition	ひとつの印刷用の版に複数の同じ図柄又はページを付けること。	JIS Z 8125	2004							
45590	A		版面の刷り位置	はんめんのすりいち		印刷物の仕上り寸法と版面との位置関係。	JIS Z 8125	2004							
45591	A		天合せ、頭合せ	てんあわせ、あたまあわ	head-to-head	ページの天側(上部)を向い合せにする面付の方法。	JIS Z 8125	2004							
45592	A		け(罫)下合せ	けしたあわせ	tumble head	ページのけ(罫)下側(下部)を向い合せにする面付の方法。	JIS Z 8125	2004							
45593	A		本掛け	ほんがけ	heetwise, sheet work, sheetwise imposition	表版と裏版を別々に組み付けて印刷し、折った場合に正しいページ順となる面付の方法。	JIS Z 8125	2004							
45594	A		打ち返し、略掛け	うちかえし、りゃくがけ	half sheet work	表版と裏版を同時に用紙の表面に半数印刷し、裏返して印刷し、半分に裁断することで総数が得られるように面付する方法。	JIS Z 8125	2004							
45595	A		表版	おもてはん	outer form	用紙の表面に刷る版。	JIS Z 8125	2004							
45596	A		裏版	うらはん	inner form	用紙の裏面に刷る版。	JIS Z 8125	2004							
45597	A		掛合せ	かけあわせ		2種類以上の異なった折丁の版を同一の印刷面に付けること。	JIS Z 8125	2004							
45598	A		トンボ	とんぼ	register mark	多色印刷の見当合せ、表裏の見当合せ、ページ位置、折り、裁断、後加工などの位置きめの指標として、原稿や印刷版に付ける目印。	JIS Z 8125	2004							
45599	A		センタートンボ	せんたーとんぼ	center register mark	仕上り寸法の中心を示すトンボ。	JIS Z 8125	2004							
45600	A		折りトンボ	おりとんぼ		印刷された紙の折り位置を示すトンボ。	JIS Z 8125	2004							
45601	A		見当合せトンボ	けんとうあわせとんぼ		多色印刷又は両面刷り時に各版の間の見当を合わせるために使用するトンボ。	JIS Z 8125	2004							
45602	A		断裁トンボ	だんさいとんぼ	trim mark, cut mark	断裁の位置を示すトンボ。	JIS Z 8125	2004							
45603	A		引出しトンボ	ひきだしとんぼ		刷本のくわえじり又は針じり(針の反対側の端)一杯に印刷したトンボ。	JIS Z 8125	2004							
45604	A		裁切り	たちきり	bleed	写真、平網などを裁断位置いっぱいまで印刷すること。	JIS Z 8125	2004							
45605	A		刷版	さっぱん	plate, forme	実際に印刷機で使用するために作成した版。	JIS Z 8125	2004							
45606	A		CTP	しーてぃーぴー	CTP	Computer To Plateの短縮形。文字、図版、写真などのデジタル情報を、直接刷版に焼き付けること。	JIS Z 8125	2004							
45607	A		色校正、色校	いろこうせい、いろこう	color proof, color proofing	カラーの校正刷に対して、主に色表現を点検し校正すること。又はそのために作成する	JIS Z 8125	2004							
45608	A		簡易校正	かんいこうせい		校正機や印刷本機を使用せずに校正刷を作成することの総称。	JIS Z 8125	2004							
45609	A		デジタルプルーフ	でじたるぷるーふ	digital proof	デジタル情報から直接校正刷を作成するものの総称。	JIS Z 8125	2004							
45610	A		カラーパッチ	からーぱっち	color patch	印刷管理用に余白に添えておくイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックなどの色表。	JIS Z 8125	2004							
45611	A		色玉	いろだま		印刷の濃度管理用の網点面積率100%のカラーパッチ。	JIS Z 8125	2004							
45612	A		製本	せいほん	bookbinding	印刷された枚葉紙又はこれを折った折丁を順序に従って取りまとめて綴じ合わせ、一冊仕上げること(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45613	A		上製本	じょうせいほん	casebound book, hardbound book	綴じた中身を本の形に作ってから、厚い表紙でくるんで、のりづけした本(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45614	A		並製本	なみせいほん	paper-bound book, paper-covered book	綴じた中身に簡単な紙表紙を付けた本(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45615	A		右開き	みぎびらき		右側に開いていく本の作り方で、見開きの右ページのページ数が左ページのページ数より少ない数となる。	JIS Z 8125	2004							
45616	A		左開き	ひだりびらき		左側に開いていく本の作り方で、見開きの左ページのページ数が右ページのページ数より少ない数となる。	JIS Z 8125	2004							
45617	A		二丁製本	にちょうせいほん	two-up binding	2冊分を縦に並べ、同時に製本した後で断裁して2冊に分ける製本。	JIS Z 8125	2004							
45618	A		刷本	すりほん	printing sheet	印刷が完了し、製本工程又は仕上げ断裁に入る前の印刷物。	JIS Z 8125	2004							
45619	A		くわえ	くわえ	gripper end, front margin, gripper margin, gripper edge, gripper bite	枚紙紙を印刷機のくわえ爪でくわえ込む方の一端、それに相当する版又はブランケットの一端、並びにくわえるために必要とする用紙部分及びその寸法。	JIS Z 8125	2004							
45620	A		くわえじり(尻)	くわえじり		くわえの反対側の端。	JIS Z 8125	2004							
45621	A		くわえしろ	くわえしろ	front margin, gripper margin, gripper edge,	枚葉紙をくわえ爪でくわえ込むために必要とする用紙部分又はその寸法。	JIS Z 8125	2004							
45622	A		針	はり	sige gauge, side guide, side lay, side mark	a) 枚葉印刷機の給紙部分で用紙の横方向の位置を規制する金具。 b) 加工のための基準として、刷本のくわえ側及び針側の端面。	JIS Z 8125	2004							
45623	A		一部抜き	いちぶぬき	folder set dummy	製本作業の前に一冊の本を構成する本文、付き物、表紙などすべてを一単位づつそろえること、又はそろえたもの。	JIS Z 8125	2004							
45624	A		突きそろえ	つきそろえ	jogging	枚葉紙または刷本の長辺と短辺の2辺を基準にそろえること。	JIS Z 8125	2004							
45625	A		裁割り	たちわり	cutting paper in size	刷本を次加工で必要とする寸法に断裁し分割すること。	JIS Z 8125	2004							
45626	A		予備紙	よびし	spare paper stock	製本作業時の予備のための刷本。	JIS Z 8125	2004							
45627	A		ヤレ	やれ	waste, spoilage	規定の品質になっていない製本、製品、部材又は作業中に発生するそれらのもの。	JIS Z 8125	2004							
45628	A		折り	おり	folding	製本の際、正しいページ順で印刷物を折り畳む作業(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45629	A		回し折り	まわしおり	right-angle fold, cross fold	2回目の折りを最初の折り目に対して直角にし、順次右回りに折り目を前の折り目に対して直角に折り進む折り方。	JIS Z 8125	2004							
45630	A		巻折り	まきおり	parallel fold	前の折りに対して次の折りを平行に折る折り方。最後は直角折りになる。	JIS Z 8125	2004							
45631	A		観音折り	かんのんおり	gatefold	左右4ページ分の紙を両側から半分ずつ内側に折り畳む折り方。	JIS Z 8125	2004							
45632	A		教本折り	きょうぼんおり	accordion fold, zigzag fold, fanfold	アコーディオンの蛇腹のように、平行、かつ交互に繰り返して折る方法(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45633	A		折丁	おりちょう	signature, section	製本のために折り畳まれた印刷物。本を構成する一単位(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45634	A		天袋	てんぶくろ	closed foot(head)	横組の本において、折丁の天が袋になっている部分。	JIS Z 8125	2004							
45635	A		地袋	ちぶくろ	closed foot(bottom)	縦組の本において、折丁の地が袋になっている部分。	JIS Z 8125	2004							
45636	A		ラップ	らっぷ	lap, lip	中綴じ、逆中綴じにおいて、丁合いの際に折丁をつまむためにあらかじめ長くしてある部	JIS Z 8125	2004							
45637	A		折込み	おりこみ	folded leaf	判型より大きい別の印刷物を折り畳んで、製本された本の中に挿入すること、又はその	JIS Z 8125	2004							
45638	A		入紙	にゅうし	insert, inset	折丁の間に、別丁を貼りこむ又は差し込む作業。	JIS Z 8125	2004							
45639	A		貼込み	はりこみ	tipping	別丁を所定の折丁に貼り付けること。	JIS Z 8125	2004							
45640	A		ペラ	ぺら	leaf	a) 本の台割において、2ページとなるもの。 b) 折られていない1枚の紙。	JIS Z 8125	2004							
45641	A		別丁	べっちょう	inset	本文の前後又は中間に綴じこまれた本文とは別に印刷した印刷物。紙質又は印刷方式	JIS Z 8125	2004							
45642	A		共紙	ともがみ		書籍・雑誌などの付き物、中扉、扉、表紙などを本文と同じ用紙にすること。	JIS Z 8125	2004							
45643	A		余り丁	あまりちょう	overrun	製本作業完了後に余った折丁又は刷本。	JIS Z 8125	2004							
45644	A		綴じ	とじ	binging, sewing and stitching	丁合いされた印刷物を綴じる作業。糸綴じ、平綴じ、中綴じ、無線綴じなどがある(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45645	A		糸綴じ	いととじ	thread stitching, thread sewing	折丁を一折りずつ糸で綴じる綴じ方。	JIS Z 8125	2004							
45646	A		針金綴じ	はりがねとじ	write stitching	針金を用いる綴じ方。並製本の一方式。	JIS Z 8125	2004							
45647	A		中綴じ	なかとじ	saddle stitching, saddle stitch	折った印刷物を、開いた状態で中心の折り線にそって針金で綴じること(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45648	A		逆中綴じ	ぎゃくなかとじ		中綴じと逆の内側から綴じる綴じ方。表紙はのり(糊)付けになる。	JIS Z 8125	2004							
45649	A		平綴じ	ひらとじ	side stitching, side stitch	本の中身をそろえ、背に近い部分を針金で綴じ、表紙を付けること(JIS Z 8123参照)	JIS Z 8125	2004							
45650	A		無線綴じ	むせんとじ	adhesive binding, perfect binding	a) 糸又は針金を用いず、背の部分を接着剤だけで固める綴じ方。 b) 糸又は針金を用いず、背の部分を切り落として接着剤だけで固める綴じ方。	JIS Z 8125	2004							
45651	A		あじろ(網代)綴じ	あじろとじ	ajiro binding, notch binding	折丁の背に切り込みを入れ、その切り込みから接着剤を浸み込ませて固める綴じ方。	JIS Z 8125	2004							
45652	A		和綴じ	わとじ	japanese binding	片面に印刷した製本の印刷面を外にして二つ折りにしたものを折丁とし、小口を袋として、厚手の表にを付け、麻糸で綴じる、和製本の製本方式。	JIS Z 8125	2004							
45653	A		袋綴じ	ふくろとじ	double-leaved	小口側が袋になっている綴じ方。	JIS Z 8125	2004							
45654	A		右綴じ	みぎとじ		表1を正面に見た場合に、のどが右側になっている綴じ方。	JIS Z 8125	2004							
45655	A		左綴じ	ひだりとじ		表1を正面に見た場合に、のどが左側になっている綴じ方。	JIS Z 8125	2004							
45656	A		天のり(糊)	てんのり	pad	用紙の天側の断裁面を接着剤で固め、表紙を巻き込むか、又は共紙を表紙とする製本	JIS Z 8125	2004							
45657	A		丁合い	ちょうあい	gethering, collecting, assembling	製本の一工程で、ペラ丁、折丁などを集めてページを正しい順序にそろえる作業(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45658	A		背丁	せちょう	signature name	刷本及び折丁の管理用に折丁の背に印刷する書名及び折り番号。	JIS Z 8125	2004							
45659	A		背標	せひょう	signature mark, collating mark, migger head	折丁の背に印刷された識別記号。丁合いの正しい順序を示す(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45660	A		袋標	ふくろひょう		乱丁、落丁及び取込みを防止する目的で折丁の天(横組)又は地(縦組)の袋の部分に印刷する記号。	JIS Z 8125	2004							
45661	A		落丁	らくちょう	incorrect collating, imperfect collating, erratic pagination, paging disorder	一部の折丁が足りないまま、丁合い、製本すること。	JIS Z 8125	2004							
45662	A		乱丁	らんちょう	incorrect collating, paging disorder, misbound	折丁の順序を誤って、丁合い、製本すること。	JIS Z 8125	2004							
45663	A		取込み	とりこみ	double-feeding	同じ折丁を複数とって、丁合い、製本すること。	JIS Z 8125	2004							
45664	A		仕上り寸法	しあがりすんぽう	trim size, final size	仕上げ裁ちした印刷物の寸法(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45665	A		仕上げ裁ち	しあげだち	trimming	印刷された紙、本、その中身などを仕上り寸法に合わせて断裁すること。	JIS Z 8125	2004							
45666	A		仕上げ代、裁ち代	しあげしろ、たちしろ	trimming margin, trim off	仕上り寸法に合わせて断裁される天・地・小口などの部分、又はその寸法。	JIS Z 8125	2004							
45667	A		ドブ、どぶ	どぶ		多面付けにより生じた印刷間の有効面積以外の余白部分。	JIS Z 8125	2004							
45668	A		綴じ代	とじしろ	binding margin	平綴じ、穴あけなどのために必要とされる本ののどの部分の余白。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45669	A		つか(束)	つか	bulk	a) 表紙を除いた本の中身の厚さ。 b) 紙の重さと比べた紙の厚さ。	JIS Z 8125	2004							
45670	A		つか(束)見本	つかみほん	dummy, bulking dummy, thickness dummy	書籍の仕上がり厚さを確かめるために、使用する用紙で製本した見本(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45671	A		紙の目	かみのめ	direction	用紙中の繊維の方向。	JIS Z 8125	2004							
45672	A		順目	じゅんめ	with the grain	紙の目が本の背に平行になっていること。	JIS Z 8125	2004							
45673	A		逆目	ぎゃくめ	against the grain	紙の目が本の背に直角になっていること。	JIS Z 8125	2004							
45674	A		縦目	たてめ	long grain, nachine direcrion(MD)	枚葉紙の場合、紙の目が長辺に平行しているもの。	JIS Z 8125	2004							
45675	A		横目	よこめ	short grain, cross direction(CD)	枚葉紙の場合、紙の目が短辺に平行しているもの。	JIS Z 8125	2004							
45676	A		遊び	あそび	free endpaper	本の見返しで表紙にのり(糊)付けされていない方の丁。	JIS Z 8125	2004							
45677	A		遊び紙	あそびがみ	flyleaf	本の中身の前後に入れる何も印刷されていない紙。	JIS Z 8125	2004							
45678	A		裏白	うらじろ	back no-printing	表側だけ印刷して、裏が白紙のままのページ。	JIS Z 8125	2004							
45679	A		間紙	あいし(あいだがみ)	slip sheet	a) 裏移り防止用に、印刷された紙おの間に挟む紙。 b) 扉、口絵などの別丁類を保護するために貼り込む紙。 c) 検印、奥付などの貼り込み用接着剤による汚れを防止するために挟み込む紙。	JIS Z 8125	2004							
45680	A		小口	こぐち	edge, fore-edge, thumb edge	a) 本のページの綴じていない三方の切り口。 b) のどの反対側。	JIS Z 8125	2004							
45681	A		天	てん	head, top edge	a) 本又はページの上部。 b) ページの上部の仕上り線と版面までの余白部分。	JIS Z 8125	2004							
45682	A		地、け(罫)下	ち、けした	foot, tail	a) 本又はページの下部。 b) ページの下部の仕上り線と版面までの余白部分。	JIS Z 8125	2004							
45683	A		のど	のど	gutter, back margin	a) 本を広げたとき、中央の綴じ目がある方向。 b) 中央の綴じ目と版面の余白部分。 c) 本の中身と背が接する部分。	JIS Z 8125	2004							
45684	A		背	せ	back, spine	本の綴じてある側の表紙又は中身の部分。	JIS Z 8125	2004							
45685	A		背固め	せがため	back lining	本の中身の背に寒冷紗・紙などを貼り、補強する作業。	JIS Z 8125	2004							
45686	A		丸背	まるめ	round back	本の背に丸みをもたせて仕立てる上製本の背の方式。	JIS Z 8125	2004							
45687	A		丸み出し	まるみだし	back rounding	本の中身の背に丸みを付ける作業。	JIS Z 8125	2004							
45688	A		角背	かくせ	square back, flat back	本の背に丸みをもたせず、平らのまま仕立てる上製本の背の方式。	JIS Z 8125	2004							
45689	A		角山	かくやま	square back, flat back	角背のうち、耳を出して仕立てる方式。	JIS Z 8125	2004							
45690	A		タイトバック	たいとばっく	tight back	背に厚紙などを貼って、本の中身の背と表紙を貼り合わせて仕立てる製本の背の方式。	JIS Z 8125	2004							
45691	A		フレキシブルバック	ふれきしぶるばっく	flexible back	背に薄紙などを貼って柔軟に仕立てる上製本の背の方式。	JIS Z 8125	2004							
45692	A		ホローバック	ほろーばっく	hollow back	表紙と中身は、見返しの耳の部分で接着し、本を開いたときに中身の背と表紙の間に空洞ができるように仕立てる上製品の背の方式。	JIS Z 8125	2004							
45693	A		耳	みみ	joint, back edge, hinge	a) 上製品において、背と表紙との接合及び開閉を良くするため、本の中身の背の部分を両側に隆起させた部分。 b) 紙の断裁していない縁。	JIS Z 8125	2004							
45694	A		溝、みぞ	みぞ	groove	上製本において、本の開閉を良くするために平と背の境目に、背と平行してつけたくぼ	JIS Z 8125	2004							
45695	A		花ぎれ(布)	はなぎれ	headband	上製品において、中身の背の天地両端に貼り付けた飾りの小さな布。	JIS Z 8125	2004							
45696	A		しおり	しおり	bookmark, tassel	ページに挟み目印とするために本の中身の背に貼り込んだひも。	JIS Z 8125	2004							
45697	A		表紙	ひょうし	cover, case	本の中身の保護、装飾、内容の表示などの目的で中身に取り付けた外装部分。	JIS Z 8125	2004							
45698	A		表紙貼り	ひょうしばり	case-making	上製本の表紙を作成する作業。	JIS Z 8125	2004							
45699	A		表紙くるみ	ひょうしくるみ	casing-in	中身に表紙を取り付ける作業。	JIS Z 8125	2004							
45700	A		グル	ぐる	good bye	表紙と中身が上下逆に製本されること。	JIS Z 8125	2004							
45701	A		表(おもて)表紙	おもてびょうし	front cover	本の表側の表紙。	JIS Z 8125	2004							
45702	A		裏表紙	うらびょうし	back cover	本の裏側の表紙。	JIS Z 8125	2004							
45703	A		厚表紙	あつびょうし	stiff cover	板紙(JIS P 0001参照)など厚い紙を心(しん)にして仕立てる上製本の表紙の方式。	JIS Z 8125	2004							
45704	A		薄表紙	うすびょうし	flexible cover	心(しん)に薄い紙などを用いて柔軟に仕立てる上製本の表紙の方式。また、ビニールなどの心(しん)紙を用いない1枚の表装材料で仕立てる表紙。	JIS Z 8125	2004							
45705	A		無双表紙	むそうびょうし		1枚の心(しん)紙の上に表装材料などを貼って仕立てる薄表紙。	JIS Z 8125	2004							
45706	A		フランス表紙	ふらんすびょうし		印刷した厚紙の四囲を折り畳んだ表紙。	JIS Z 8125	2004							
45707	A		クロス	くろす	cloth, book cloth	布、紙などをベースに加工した、上製本の表紙用外装材料。	JIS Z 8125	2004							
45708	A		角	かど	corner	本の小口(前小口)側の天地の直角になっている部分。	JIS Z 8125	2004							
45709	A		角丸	かどまる	edge-rounded, round	中身及び表紙の角を丸くして仕立てる製本方法。	JIS Z 8125	2004							
45710	A		くるみ表紙	くるみひょうし	glued-on cover	中身を綴じた後で、表紙でくるんで仕立てる並製本の一方式。	JIS Z 8125	2004							
45711	A		おかしわ	おかしわ		綴じた中身を表紙でくるんだ後で、のど以外の三方を断裁して仕立てる並製本の一方	JIS Z 8125	2004							
45712	A		口のり(糊)	くちのり	edge gluing, edge pasting, paste of fore edge	並製本で見返しを付けた場合、小口(前小口)側の一部だけにのり(糊)を付けて仕立てる方式。	JIS Z 8125	2004							
45713	A		がんだ(雁垂)れ	がんだれ	gate folded cover	くるみ表紙の小口(前小口)を中身より大きくしておき、その部分を折り返して仕立てる並製本の一方式。	JIS Z 8125	2004							
45714	A		切り付け表紙	きりつけびょうし	cut flush	a) 中身と表紙を一度に仕上げ裁ちして、ちりのない本に仕立てる並製本の一方式。 b) 中身と表紙を同時に綴じたうえで、仕上げ裁ちして仕立てる並製本の一方式。	JIS Z 8125	2004							
45715	A		表1、表紙1	ひょういち、ひょうしいち	obverse cover	表(おもて)表紙の表面。	JIS Z 8125	2004							
45716	A		表2、表紙2	ひょうに、ひょうしに	inside front cover	表(おもて)表紙の裏面。	JIS Z 8125	2004							
45717	A		表3、表紙3	ひょうさん、ひょうしさん	inside back cover	裏表紙の裏面。	JIS Z 8125	2004							
45718	A		表4、表紙4	ひょうよん、ひょうしよん		裏表紙の表面。	JIS Z 8125	2004							
45719	A		平、ひら	ひら	side	表紙の背ではない、平らになっている部分。	JIS Z 8125	2004							
45720	A		はく(箔)押し	はくおし	hot stamping, stamping	加熱した型と、紙などの被印刷物との間に金属はく(箔)又は転写はく(箔)を密着加圧して、文字・模様を転写すること(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45721	A		金版	かなばん	die, brass die, stamping	はく(箔)押しに使用する型押し用の金属製の凸版。	JIS Z 8125	2004							
45722	A		はく(箔)	はく	foil, leaf	はく(箔)押し用に、熱転写する金属やその他の材料。	JIS Z 8125	2004							
45723	A		空押し	からおし	blind blocking, blind stamping, blind embossing	本の表紙などの表面に、はく(箔)を用いないで、文字又は模様のある金版を用いて型押しすること。	JIS Z 8125	2004							
45724	A		背文字	せもじ	back title	本の背にはく(箔)押し又は印刷した文字。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45725	A		ちり	ちり	square	上製本の場合、表紙の中身より出張っている部分。	JIS Z 8125	2004							
45726	A		見返し	みかえし	endpaper, end leaf, end sheet	本の中身と表紙を結合するための丈夫な紙(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45727	A		貼見返し	はりみかえし	pasting endpaper	二つ折りした見返しを巻頭及び巻末の折丁に貼り付ける見返し。	JIS Z 8125	2004							
45728	A		(本の)箱、(本の)はこ(函)	(ほんの)はこ	slip case	本の中身の保護、装飾、宣伝などのために厚紙で作成した箱。	JIS Z 8125	2004							
45729	A		貼箱、貼ばこ(函)	はりばこ		板紙を用いて組み立てた中身に、別に印刷した紙・布などを貼って仕立てる函。	JIS Z 8125	2004							
45730	A		機械箱、機械ばこ(函)	きかいばこ		機械を用いて針金又は接着剤を用いて仕立てる箱。	JIS Z 8125	2004							
45731	A		型抜き箱、型抜きばこ(函)	かたぬきばこ		印刷した紙と板紙を貼り合わせて、接着剤を用いて仕立てる箱。箱の小口側は、内側に折り返される。	JIS Z 8125	2004							
45732	A		付き物	つきもの		a) 本文以外の前付及び後付。 b) 本の本文用紙で印刷したもの以外の付属物。	JIS Z 8125	2004							
45733	A		売上カード	うりあげかーど	slip	書籍に挿入する販売管理用の短冊状の紙片。	JIS Z 8125	2004							
45734	A		帯紙	おびかみ	book band, girdle	本の表紙、カバー又は箱の外側の下側に掛ける帯状の印刷物。	JIS Z 8125	2004							
45735	A		カバー	かばー	book jacket, jacket	本の表紙の上に掛ける印刷物。	JIS Z 8125	2004							
45736	A		袖	そで		a) カバー又は帯紙の見返し側に折り込んだ部分。 b) 観音折りの内側に折り込んだ部分。	JIS Z 8125	2004							
45737	A		正誤表	せいごひょう	errata, errata slip, corrigenda	印刷後に発見された誤植・訂正をまとめて印刷した紙片。	JIS Z 8125	2004							
45738	A		読者カード	どくしゃかーど	reader service card	本に挟み込まれる読者のアンケート用ハガキ。	JIS Z 8125	2004							
45739	A		綴込み	とじこみ		付録など別に印刷したものを本に一緒に綴じこんだもの。	JIS Z 8125	2004							
45740	A		投込み	なげこみ		別に印刷したものを完成した本に挟み込むものの総称。	JIS Z 8125	2004							
45741	A		コーティング	こーてぃんぐ	coating	紙、フィルム、印刷物などの表面に、つや出し、表面保護などの目的で、塗工剤を塗り、硬化させて皮膜をつくること(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45742	A		ニス引き	にすびき	varnishing	印刷物の表面を保護し、光沢を与えるために、透明な樹脂液を塗布すること。	JIS Z 8125	2004							
45743	A		PP貼り	ぴーぴーはり	P.P. film laminating	印刷物の表面を保護し、光沢を与えるために、ポリプロピレン・フィルムを接着剤で圧着加工すること。	JIS Z 8125	2004							
45744	A		仕上げ	しあげ	finishing	製本の最終工程である検品、カバー掛け、売上カード・読者カード・正誤表・出版案内の挿入及び包装作業。	JIS Z 8125	2004							
45745	A		製本仕様書	せいほんしようしょ	specification	出版社など発注者が、製本所に対して製本の方式、製本する材料、本文などの印刷所、納期などについて指示した文書。	JIS Z 8125	2004							
45746	A		総ページ数	そうぺーじすう		前付、後付及び白ページを含めた本文と同じ用紙で印刷されるページ数。	JIS Z 8125	2004							
45747	A		編集可能形式文書	へんしゅうかのうけいしきぶんしょ	revisable from document	適切な機能をもつシステムによって、編集及び改訂を行うことに適した形式の電子化文書。	JIS Z 8125	2004							
45748	A		文書スタイル意味指定言語(DSSSL)、DSSSL	ぶんしょすたいるいみしていげんご(でそる)	document style semantics and specification language (DSSSL), DSSSL	SGML(標準一般化マーク付け言語)で表現されたデータ構造の変換を指定し、そのデータ部分にフォーマット処理機能の集合を適用することを指定する言語(JIS X 4153参照)。	JIS Z 8125	2004							
45749	A		行外領域	ぎょうがいりょういき	display area	直接には行の一部とはならない領域。	JIS Z 8125	2004							
45750	A		行内領域	ぎょうないりょういき	inline area	行の一部をなす領域。	JIS Z 8125	2004							
45751	A		グリフ代替	ぐりふだいたい	glyph substitution	文字をフォーマット処理する際に、選択したグリフ又はグリフ列を異なるグリフ又はグリフ列によって置き換える処理。	JIS Z 8125	2004							
45752	A		流し込みオブジェクト	ながしこみおぶじぇくと	flow object	SGML木フォーマット処理(STFP)における入力文書とフォーマット指定との組合せの表現である木のノード。	JIS Z 8125	2004							
45753	A		DSSSLライブラリ	でそるらいぶらり	DSSSL library	DSSSL指定を容易に生成するためのデータ及びプログラムの集合。	JIS Z 8125	2004							
45754	A		拡張可能なスタイルシート言語(XSL)、XSL	かくちょうかのうなすたいるしーとげんご(XSL)、	extensible styleshht language (XSL), XSL	XML文書のスタイルシートを表現するためのフォーマット化セマンティクスを指定するXML語い(彙)。	JIS Z 8125	2004							
45755	A		フォーマット化オブジェクト	ふぉーまっとかおぶじぇくと	formatting object	流し込みオブジェクト、レイアウトオブジェクト又は補助オブジェクト。	JIS Z 8125	2004							
45756	A		XSL変換(XSLT)、XSLT	えっくすえすえるへんかん(えっくすえすえるてぃ)	XSL transformations (XSLT), XSLT	XML文書を他のXML文書に変換するための言語。	JIS Z 8125	2004							
45757	A		XMLパス言語(XPath)、XPath	えっくすえむえるぱすげんご(えっくすぱす)	XML path language (XPath), XPath	XSLTでの利用のために、XML文書の番地付けパートを記述する言語。	JIS Z 8125	2004							
45758	A		段階スタイルシート(CSS)、CSS	だんかいすたいるしーと(しーえすえす)	cascading style sheet (CSS), CSS	HTML文書などの要素に対して、フォーマット処理属性を規定する言語。	JIS Z 8125	2004							
45759	A		最終形式文書	さいしゅうけいしきぶんしょ	final from document	可視化処理によって表示出力するのに適したフォーマット済み電子化文書。	JIS Z 8125	2004							
45760	A		ページ記述言語(PDL)、PDL	ぺーじきじゅつげんご(ぴーでぃーえる)	page description language (PDL), PDL	最終形式文書をプログラム言語の概念を用いて記述する文書交換用データ様式。	JIS Z 8125	2004							
45761	A		標準ページ記述言語(SPDL)、SPDL	ひょうじゅんぺーじきじゅつげんご(えすぴーでぃー	standard page description language (SPDL), SPDL	JIS X 4154 (ISO/IEC 10180)によって規定されたページ記述言語。	JIS Z 8125	2004							
45762	A		SPDL文書	えすぴーでぃーえるぶん	SPDL document	SPDLを用いて表現した最終形式文書。	JIS Z 8125	2004							
45763	A		仕上げ命令	しあげめいれい	finishing instruction	文書ページ画像の可視化処理の後に行われる文書の提示(presentation)に影響を与える文書作製命令(Document Production Instruction)。	JIS Z 8125	2004							
45764	A		基底フォント	きていふぉんと	base font	実際のグリフ表現を含むフォント。	JIS Z 8125	2004							
45765	A		複合フォント	ふくごうふぉんと	composite font	階層的に木構造状に構成されたフォントの集まり。	JIS Z 8125	2004							
45766	A		フォント指標対応表	ふぉんとしひょうたいおうひょう	fontindex map	複合フォント内において、フォント指標をフォント選択子と関連付けるために用いるベクタ。	JIS Z 8125	2004							
45767	A		ポータブル文書フォーマット(PDF)、PDF	ぽーたぶるふぉんとふぉーまっと(ぴーでぃーえふ)	portable document format(PDF), PDF	最終形式文書を、装置非依存に、しかも容易にかつ信頼性をもって交換し閲覧することを目的として開発されたページ記述言語。	JIS Z 8125	2004							
45768	A		OPI	おーぴーあい	OPI	Open Prepress Interfaceの短縮形。低解像度の画像によるページ作製を可能にする、PostScriptの拡張。これによって、ページ割付けファイルの要領を削減して処理時間の短縮が図れる。	JIS Z 8125	2004							
45769	A		インタネット印刷プロトコル(IPP)、IPP	いんたねっといんさつぷろとこる(あいぴーぴー)	Internet prining protocol(IPP), IPP	インタネットのツール及び技術を用いて、分散型印刷に利用できるアプリケーションレベルのプロトコル。	JIS Z 8125	2004							
45770	A		大文字	おおもじ	capital, capital letter uppercase	文頭、固有名詞語頭などに用いるラテン文字、ギリシャ文字又はキリール文字の、通常、大きな字形のもので、ベースライン及びキャップラインを基準に設計されている文字。	JIS Z 8125	2004							
45771	A		小文字	こもじ	small letter, lowercase	文頭及び固有名詞語頭以外に用いるラテン文字、ギリシャ文字又はキリール文字、通常、小さな字形のもので、ベースライン、並びにミーンライン、アセンダライン及び/又はディセンダラインを基準に設計されている文字。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45772	A		スモールキャピタル	すもーるきゃぴたる	small capital	参考文献の人名表記、年代表記などに用いるラテン文字などで、xハイトと近似的に等しい高さをもつ大文字字形の文字。	JIS Z 8125	2004							
45773	A		ダイアクリティカルマーク	だいあくりてぃかるまーく	diacritical mark	主に欧文の文字に付加して、発音の区別などを示す補助記号。	JIS Z 8125	2004							
45774	A		アクセント記号	あくせんときごう	accent mark	主に欧文の母音文字に付加して、単語内の発音の抑揚や曲折を指示する補助記号。	JIS Z 8125	2004							
45775	A		数字	すうじ	figure, numerical character	(分類名)	JIS Z 8125	2004							
45776	A		アラビア数字	あらびあすうじ	arabic figure, arabic	インドに始まり、アラビアからヨーロッパに伝わった数字。	JIS Z 8125	2004							
45777	A		連数字	れんすうじ		アラビア数字が一つ以上連続するもの。位取りのコンマ及び空白並びに小数点のピリオドを含む。 備考　和字として扱われる全角数字及び欧文用文字として扱われる固有の字幅をもつアラビア数字は除く(JIS X 4051参照)。	JIS Z 8125	2004							
45778	A		ローマ数字	ろーますうじ	roman figure, roman	ラテン文字の大文字又は小文字を用いて表記する数字。	JIS Z 8125	2004							
45779	A		時計数字	とけいすうじ		ローマ数字を全角のサイズの合字にした数字。	JIS Z 8125	2004							
45780	A		小書きの仮名	こがきのかな		拗音、促音、外来語などを書き表す場合に用いる、字面を小さくした仮名。	JIS Z 8125	2004							
45781	A		繰返し符号	くりかえしふごう	ditto mark	直前の文字又は句を反復する場合に用いる符号。	JIS Z 8125	2004							
45782	A		(漢文の)返り点	(かんぶんの)かえりてん		漢文を日本語の語法と語順に従って読む訓読の場合に、語順を示すために付ける符	JIS Z 8125	2004							
45783	A		約物	やくもの	punctuation mark	文字組版に使用する記述記号類の総称(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45784	A		記述記号	きじゅつきごう	punctuation mark	文章の区切り、語句のつながり、文章の意味を表現するためなどに付ける記号。	JIS Z 8125	2004							
45785	A		区切り符	くぎりふ		語句及び文章の区切りを明らかにするために付ける記号。	JIS Z 8125	2004							
45786	A		句読点	くとうてん	punctuation mark	文章の区切りを示す句点及び読点。	JIS Z 8125	2004							
45787	A		括弧類	かっこるい	parenthesis	一部の語句、文章などを囲んで、他との区別を明らかにするために、前後に挟むくくり記	JIS Z 8125	2004							
45788	A		引用符	いんようふ	quotation mark	語句を引用する際に、その語句の前後をくくる括弧類。	JIS Z 8125	2004							
45789	A		つなぎ符	つなぎふ		語と語又は欧文の音節をつないで、その関係を示す記号。	JIS Z 8125	2004							
45790	A		しるし物	しるしもの	symbol	参照符、学術記号、商用記号及びその他の記号文字の総称。	JIS Z 8125	2004							
45791	A		参照符	さんしょうふ	reference mark	文章中で注記する場合、その参照箇所に付ける記号。	JIS Z 8125	2004							
45792	A		数学記号	すうがくきごう	mathematical symbol	数式に使用する記号。	JIS Z 8125	2004							
45793	A		商用記号	しょうようきごう	commercial symbol	通貨を示す記号、単位及び比率を示す記号の総称。	JIS Z 8125	2004							
45794	A		禁則文字	きんそくもじ		行頭若しくは行末に位置してはならない文字、又は分割してはならない文字の組を構成する文字。	JIS Z 8125	2004							
45795	A		行頭禁則文字	ぎょうとうきんそくもじ		行頭禁則の条件に該当する文字。	JIS Z 8125	2004							
45796	A		行末禁則文字	ぎょうまつきんそくもじ		行頭禁則の条件に該当する文字。	JIS Z 8125	2004							
45797	A		分離分割禁止文字、分離禁止文字	ぶんりぶんかつきんしもじ、ぶんりきんしもじ		連続した同じ文字間では分割してはならず、追出し処理によって行を調整する場合でも、連続した同じ文字間を広げてはならない文字。	JIS Z 8125	2004							
45798	A		外字	がいじ		a) システム又は利用者が独自に採用若しくは規定した文字及び記号。 b) ある特定の符号化文字集合に含まれていない文字及び記号。 c) システムの登録可能なエリアに登録した文字及び記号。	JIS Z 8125	2004							
45799	A		タイトル	たいとる	title	書籍の題名、雑誌の誌名又は論文の標題。	JIS Z 8125	2004							
45800	A		サブタイトル	さぶたいとる	subtitle	書籍の題名、論文の標題又は見出しに付ける副次的な題名。	JIS Z 8125	2004							
45801	A		前付	まえづけ	front matter, preliminary matter	書籍の本文に先立つページで、扉、口絵、序文、目次など。	JIS Z 8125	2004							
45802	A		前扉	まえとびら	bastard title, half title	扉の前に書籍の題名だけを掲げたページ。	JIS Z 8125	2004							
45803	A		扉	とびら	title page, inside title	書籍などの巻頭に配置する、署名、著者名、出版社名などを記した丁又はページ。	JIS Z 8125	2004							
45804	A		口絵	くちえ	frontispiece	前付の部分に掲げる絵又は写真。	JIS Z 8125	2004							
45805	A		献辞	けんじ	dedication	著者が敬愛するひと、恩師などに捧げる言葉。	JIS Z 8125	2004							
45806	A		序文、はしがき、まえがき	じょぶん、はしがき、まえがき	preface, preliminary remark	著者が刊行の目的、動機などをまとめた巻頭の文。	JIS Z 8125	2004							
45807	A		凡例	はんれい	explanatory note	本文にしようされる用語、記号、略語、編述の目的・方針、記述の約束事などを箇条書きにして解説したもの。	JIS Z 8125	2004							
45808	A		目次	もくじ	table of content	本の内容の見出しを、書かれている順序又は分野別に並べて、それぞれの該当ページ番号を示したもの。	JIS Z 8125	2004							
45809	A		図版目次	ずはんもくじ	list of illustration	図版を、掲載順又は分野別に並べて、それぞれの該当ページ番号を示したもの。	JIS Z 8125	2004							
45810	A		本文	ほんぶん	body of book, text	a) 書籍を構成する主要部分。通常、その前に前付、後には後付が付く。 b) 図版、表、見出し、注、リードなどを除いた記事の中の主要部分。 c) ページ内の柱及びノンブルを除いた部分。 d) 表紙、見返し、投げ込みなどの付属物を除いた本の中身。	JIS Z 8125	2004							
45811	A		中扉	なかとびら	divisional title, part title	書籍の内容が大きく区分される場合に、その内容の区切りを明確にするために本文中に挿入する、標題などを掲げた丁又はページ。	JIS Z 8125	2004							
45812	A		半扉	はんとびら		中扉を簡略にしたもので、裏面から本文を始める、見出しなどの標題を掲げたページ。	JIS Z 8125	2004							
45813	A		見出し	みだし	heading, headline	a) 論文、記事などの標題。 b) 本、論文、記事などの内容を区分して付けた標題。	JIS Z 8125	2004							
45814	A		大見出し	おおみだし	headline, chapter head	本・新聞などで、区分の最大のまとまりに付ける標題。	JIS Z 8125	2004							
45815	A		中見出し	なかみだし		大見出しと小見出しとの中間の区分に付ける標題。	JIS Z 8125	2004							
45816	A		小見出し	こみだし	subhead, subheading	本などで、区分の最小のまとまりに付ける標題。	JIS Z 8125	2004							
45817	A		リード	りーど	lead	記事の前に掲げる、記事の内容を要約したもの。	JIS Z 8125	2004							
45818	A		段落	だんらく	paragraph	行組版処理の処理単位となる一つ以上の文の集まり。段落は、1行又は連続した複数の行からなる。	JIS Z 8125	2004							
45819	A		引用文	いんようぶん	quotation	公表された他の著作物から、その一部を引用して利用するもの。	JIS Z 8125	2004							
45820	A		注	ちゅう	note	語句、図版、表などに加える補助的な説明・解釈。	JIS Z 8125	2004							
45821	A		囲み記事	かこみきじ	column, box column	ページの一部に罫線などを使って囲んだ記事。	JIS Z 8125	2004							
45822	A		表	ひょう	table	文字又は数字を一覧できるように、罫などで区切ったこま(小間)に配列したもの。	JIS Z 8125	2004							
45823	A		図版	ずはん	illustration	印刷物の中に掲げる図、グラフ、カット、イラストレーション、写真などの総称。	JIS Z 8125	2004							
45824	A		後付	あとづけ	back matter, end matter, reference matter	書籍の本文の後ろに付けられるページで、付録、参考文献、索引、あとがき、奥付など。	JIS Z 8125	2004							
45825	A		付録	ふろく	appendix, annex	本において、本文に関係するが、本文中で扱うことが適当でないものをまとめたもの。	JIS Z 8125	2004							
45826	A		参考文献	さんこうぶんけん	references, bibliography	本文の内容に関係の深い他の著書、論文を記したもの。	JIS Z 8125	2004							
45827	A		索引	さくいん	index	1冊又は複数冊からなる本の中の語句、事項などを抜き出して配列し、それぞれの該当ページ番号を示したもの。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45828	A		あとがき、後書き	あとがき	afterword	本の終わりに添える文。	JIS Z 8125	2004							
45829	A		奥付	おくづけ	colophon, imprint	書名・著者名・発行者名・印刷者名・刊行年月日などを記載したもの。本の初め又は終わりに付ける(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45830	A		原稿	げんこう	original copy, copy	印刷によって複製しようとする、文字・画像などの総称(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45831	A		画像原稿	がぞうげんこう	image	(分類名)	JIS Z 8125	2004							
45832	A		図版原稿	ずはんげんこう	original	ある表示の意図を持って描いた図解、絵画、地図、グラフ、イラストなどの原稿。	JIS Z 8125	2004							
45833	A		写真原稿	しゃしんげんこう	photograph	物体の像又は電磁波・粒子線のパターンを視覚的再現のために、物理・化学的	JIS Z 8125	2004							
45834	A		カラー原稿	からーげんこう	color copy	複製するための原稿として用いる絵画・カラーフィルム・カラープリント・着色線画など(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45835	A		反射原稿	はんしゃげんこう	reflection copy	反射光で見る原稿(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45836	A		透過原稿	とうかげんこう	transparency	透過光で見る原稿(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45837	A		線画原稿	せんがげんこう	line drawing, black and	線・図形などで濃淡の階調がない白黒画像原稿(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45838	A		階調原稿	かいちょうげんこう		写真原稿、絵画など、原稿の全部又は一部に連続階調をもっている画像原稿。	JIS Z 8125	2004							
45839	A		版下	はんした	artwork, camera-ready copy	レンダリング(製版用に清書された文字)、写真植字文字、図、表などを台紙に貼ったもの(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45840	A		組版指定	くみはんしてい	markup	原稿上に文字の書体、サイズ、体裁、スペースなどを直接記入した指定(JIS Z 8124参	JIS Z 8125	2004							
45841	A		組版指定所	くみはんしていしょ		文字の組版方法についての全般的な事項を記載し、文字原稿に添付する文書。	JIS Z 8125	2004							
45842	A		レイアウト、割付	れいあうと、わりつけ	layout	印刷物を作成する際に、文字・画像などのページ内における配置構成を設計し、更に必要な組版及び製版の指示を施すこと。	JIS Z 8125	2004							
45843	A		トリミング	とりみんぐ	trimming, cropping	絵柄の必要部分を指定する行為(JIS Z 8124参照)。	JIS Z 8125	2004							
45844	A		見本組	みほんぐみ	specimen page	ページの体裁を確認・決定するために、原稿の一部だけの組版を行い、校正刷としたも	JIS Z 8125	2004							
45845	A		カンプ	かんぷ	comprehensive, comp(.)	制作スタッフ又は発注者に提示し理解を得るための、刷り上がりイメージに近い状態の	JIS Z 8125	2004							
45846	A		完全原稿	かんぜんげんこう		印刷工程にまわす原稿の内容及び組版指定に誤りがなく、すぐに組版又は製版の作業ができる状態にある原稿。	JIS Z 8125	2004							
45847	A		トメじるし	とめじるし		原稿に通し番号をふった場合、原稿の末尾に書き添えるマーク。	JIS Z 8125	2004							
45848	A		訂正原本	ていせいげんぽん	master copy	書籍の増刷、改訂版などの発行に備えて、誤記・誤植、その他の訂正などを書き入れた	JIS Z 8125	2004							
45849	A		入稿	にゅうこう	material in	組版指定が行われている原稿、組版処理済みの電子データ、その他の形態の原稿を印刷工程に回すために印刷所などに渡すこと。	JIS Z 8125	2004							
45850	A		電子原稿	でんしげんこう	electronic manuscript	原稿を電子媒体上で作成した原稿で、内容が電子データとして保存されている原稿。	JIS Z 8125	2004							
45851	A		電子データ入稿	でんしでーたにゅうこう		電子データによる入稿。	JIS Z 8125	2004							
45852	A		(原稿の)出力見本	((げんこうの)しゅつりょくみほん		電子データの原稿の内容を示すため、及び組版指定を施すために添付するハードコピー。	JIS Z 8125	2004							
45853	A		完全データ入稿	かんぜんでーたにゅうこう		面付を除き、入稿された電子データの修正を行わず、そのままの状態でフィルム、刷版又は印刷物として出力できる状態で渡される組版・製版処理済み電子データの入稿。	JIS Z 8125	2004							
45854	A		後送(原稿)	こうそう(げんこう)		原稿の一部を後から送付すること、及び原稿又は校正刷へその旨を指示するサイン。	JIS Z 8125	2004							
45855	A		校正	こうせい	proofreading	校正刷をチェックして、修正指示すること(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45856	A		校閲	こうえつ	revision	a) 著者の依頼・承認を受けた第三者が、原稿内容の誤り、不備などを調べて正すこと。 b) 一通り校正の済んだ校正刷に目を通し、誤りの有無を吟味すること。 c) 新聞制作において、専門の部署によって行われる原稿内容の修正・訂正。	JIS Z 8125	2004							
45857	A		校正刷	こうせいずり	proof	校正用の印刷物を作成すること、又はその印刷物(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45858	A		出校	しゅっこう		印刷所などの受注者が校正刷を出版社などの発注者に渡すこと。	JIS Z 8125	2004							
45859	A		見開き出校	みひらきしゅっこう		校正刷を見開きの状態で作成して出校すること。	JIS Z 8125	2004							
45860	A		内校、内校正	うちこう、うちこうせい	printer's proof	校正刷を見開きの状態で作成して出校する前に校正を行って訂正すること。	JIS Z 8125	2004							
45861	A		初校	しょこう	first revise, first proof	最初の校正又は校正刷。	JIS Z 8125	2004							
45862	A		要再校	ようさいこう	show revise	初校(校正刷)を戻す際に、再校(校正刷)を出すように指示する校正の用語。	JIS Z 8125	2004							
45863	A		再校	さいこう	revise, revised proof	2度目の校正又は校正刷。	JIS Z 8125	2004							
45864	A		三校	さんこう	second revised proof	3度目の校正又は校正刷。	JIS Z 8125	2004							
45865	A		念校	ねんこう		校了の直前に、念のために行う校正。	JIS Z 8125	2004							
45866	A		抜念校、抜念	ぬきねんこう、ぬきねん		特に赤字の多いページ、修正が難しいページなどのみを抜き出して行う念校。	JIS Z 8125	2004							
45867	A		校了	こうりょう	OK	校正の結果、修正・訂正のなくなった状態、又は校正が完了したことを指示する校正のサ	JIS Z 8125	2004							
45868	A		校了紙	こうりょうし	OK sheet	校正を完了して、そのとおり印刷すればよいという合意を得た校正刷(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45869	A		責了、責任校了	せきりょう、せきにんこうりょう	OK with change, OK with correction	印刷所などが責任をもって必要な訂正又は変更を行うことを前提とした校了、又はそのことを指示する校正のサイン。	JIS Z 8125	2004							
45870	A		責了紙	せきりょうし	OK proof	責了の承認を得た校正刷。	JIS Z 8125	2004							
45871	A		下版	げはん		校了になった組版データを、次の作業に回すこと。	JIS Z 8125	2004							
45872	A		誤植	ごしょく	misprint, typo(typographical error),	原稿及び組版指定に対する組版の誤り。	JIS Z 8125	2004							
45873	A		ゲタ	げた	tumed letter	特殊な文字などで準備された文字がない場合に仮に入れておく記号。	JIS Z 8125	2004							
45874	A		赤字	あかじ	correction mark	校正刷に対して主として赤い色で修正・訂正を指示する書き込み。	JIS Z 8125	2004							
45875	A		赤字修正、赤字訂正	あかじしゅうせい、あかじていせい	correction	校正刷の指示に従って、組版データを修正する作業。	JIS Z 8125	2004							
45876	A		引合せ校正	ひきあわせこうせい		原稿と校正刷を、1字1字照合しながら校正する方法。	JIS Z 8125	2004							
45877	A		読合せ校正	よみあわせこうせい	hold copy	一人が原稿を音読し、他の一人がその校正刷を黙読して校正する方法。	JIS Z 8125	2004							
45878	A		赤字引合せ	あかじひきあわせ		初校と再校とを[一般的には第(n-1)校と第n校とを]対比して、赤字が修正されているかどうかを確認し、未修正及び修正誤りがあれば、再校(校正刷)に訂正の指示の赤字を	JIS Z 8125	2004							
45879	A		素読み	すよみ	silent reading	原稿を離れて校正刷を読むことに集中して行う校正方法。	JIS Z 8125	2004							
45880	A		出張校正	しゅっちょうこうせい		著者、編集者、校正者などが、印刷所に出向いて行う校正。	JIS Z 8125	2004							
45881	A		待ち校	まちこう		印刷所などの校正刷を届けにきた人を待たせて行う校正。	JIS Z 8125	2004							
45882	A		著者構成	ちょしゃこうせい	author's proofreading	著者又は編著者が行う構成。	JIS Z 8125	2004							
45883	A		校正記号	こうせいきごう	proofreader's mark, proof correction mark	校正の指示を簡略に表記する共通の記号として認められたもの(JIS Z 8123参照)。	JIS Z 8125	2004							
45884	A		パスラインシステム	ぱすらいんしすてむ	pathline system	校正で赤字を記入する際に、訂正箇所から引き出し線を引いて行間や欄外の余白に訂正する文字又は記号を記入する方法。	JIS Z 8125	2004							
45885	A		ブックシステム	ぶっくしすてむ	book system	校正で赤字を記入する際に、訂正箇所に斜線又は丸印を付け、同じ行の行頭又は行末の空白部に訂正する文字又は記号を記入する方法。	JIS Z 8125	2004							
45886	A		イキ	いき	stet	訂正を取り消して元を生かす校正記号。	JIS Z 8125	2004							

	レベル		日本語用語	日本語読み	英語用語	日本語定義	JIS番号	JIS公開年	対応IS	IS公開年		JIS最新版	対応IS版	IS最新版	対応SC
45887	A		トル	とる	delete	校正刷にある不要な文字・記号を削除し、その後を詰めるよう指示する校正記号。	JIS Z 8125	2004							
45888	A		追込み	おいこみ	run in, run on	a) 改段、改ページ及び改丁とせずに、次の見出しなどを前段又は前ページの空白部に続けること、又はその指示。 b) 改行とせずに、次の文章を前行の末尾に続けて配置すること、又はその指示。	JIS Z 8125	2004							
45889	A		(校正の)送り	(こうせいの)おくり		文字若しくは行を前後に移動させること、又はその指示。	JIS Z 8125	2004							